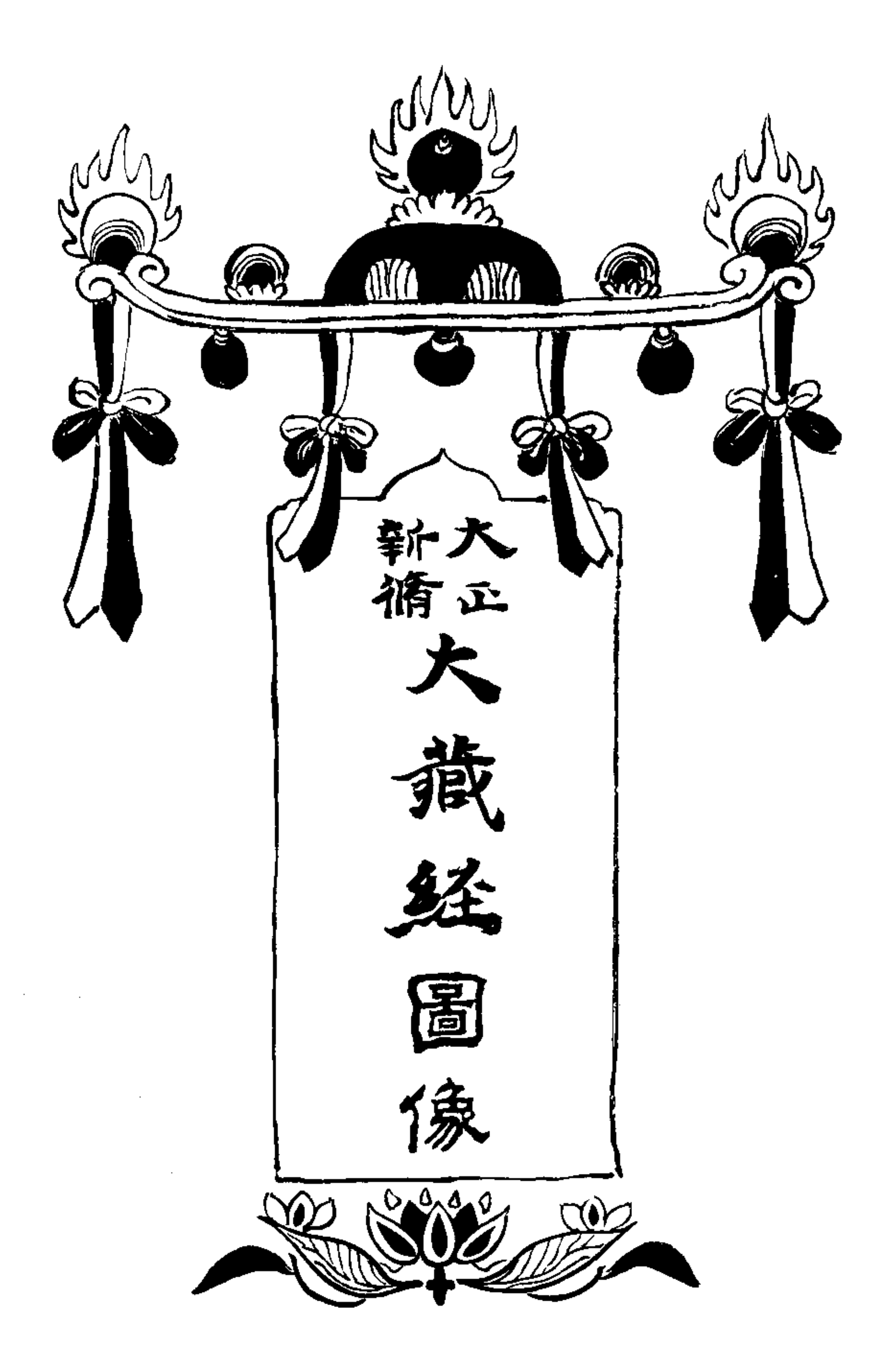
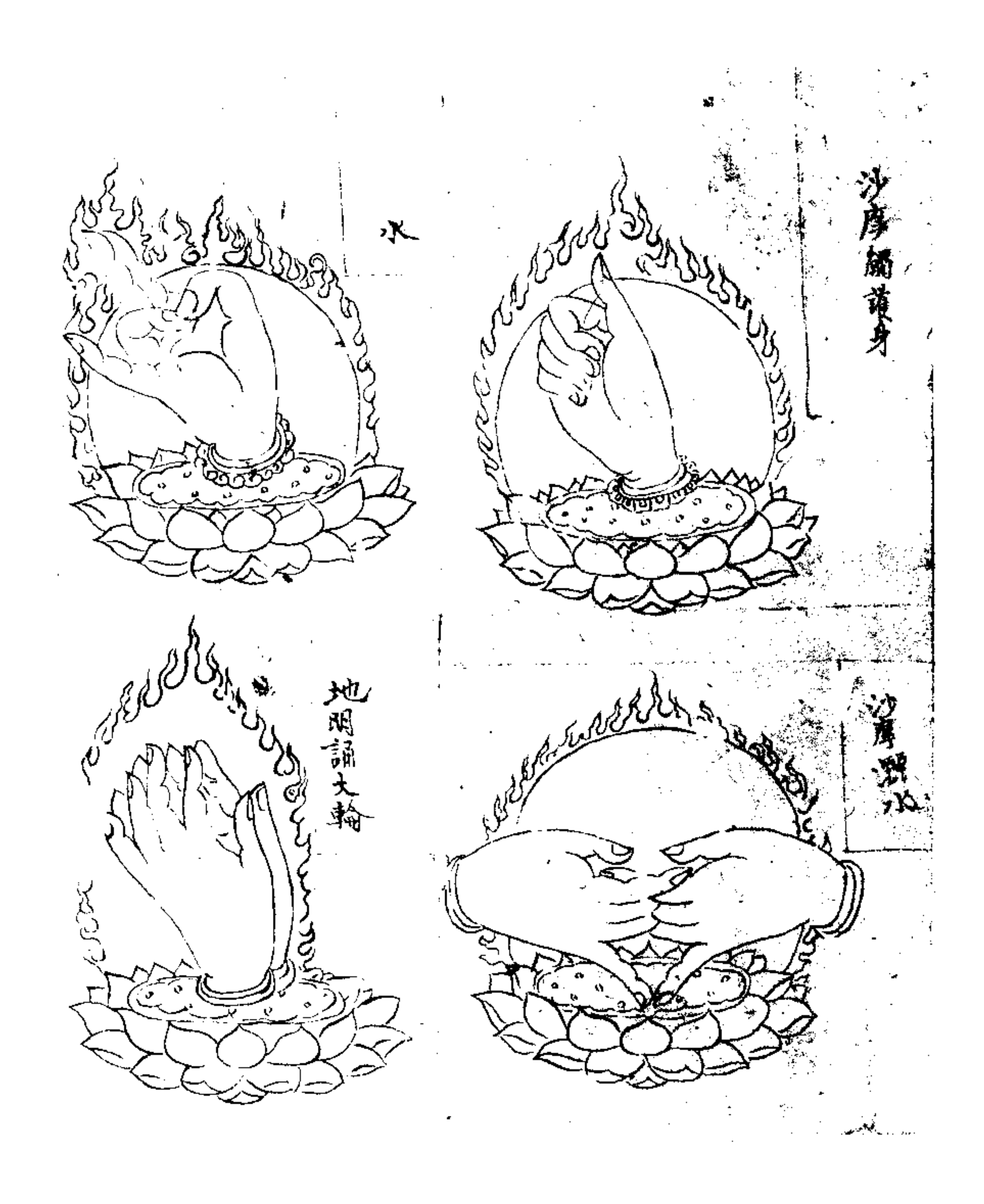
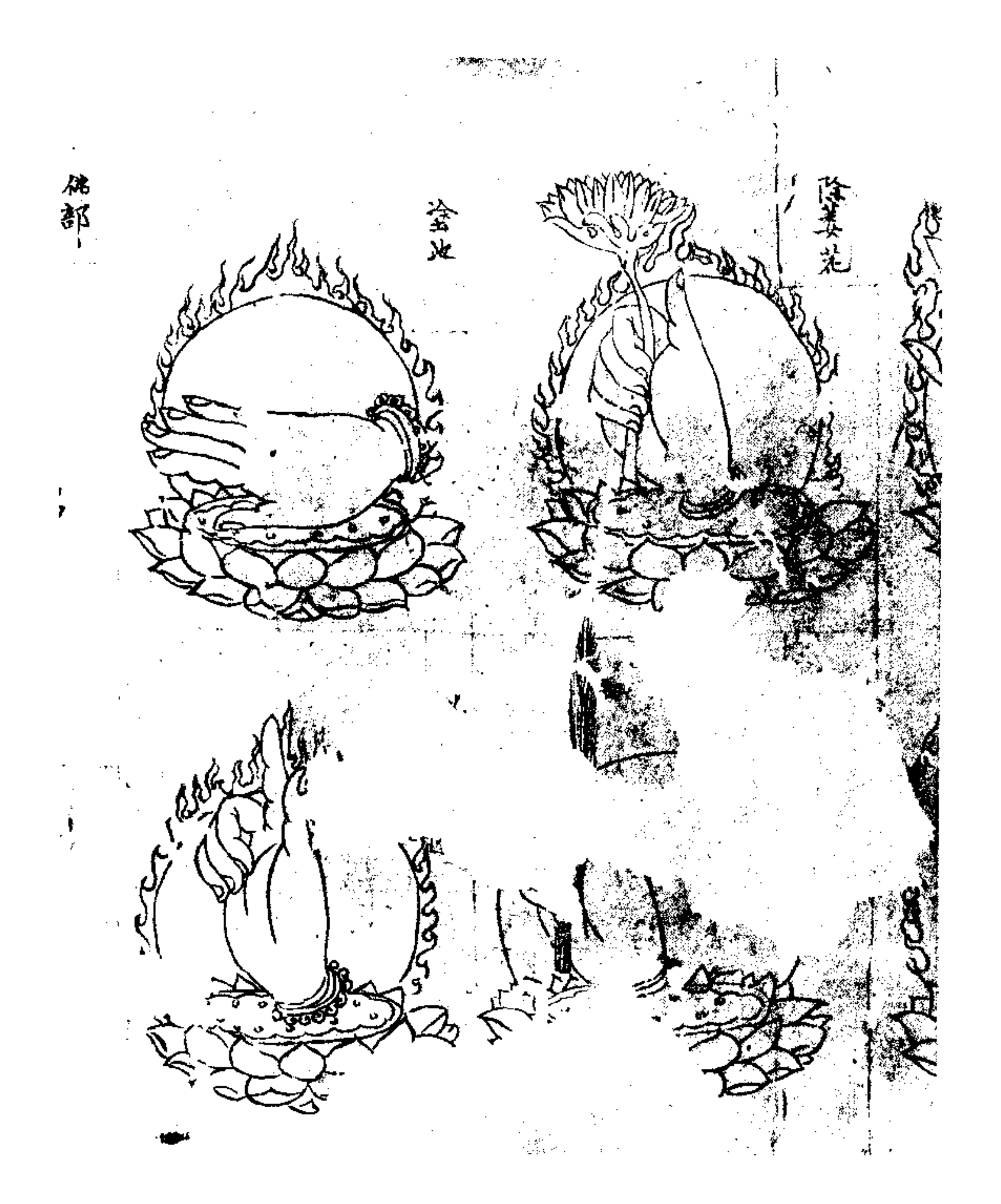

大正新脩
大藏經圖像



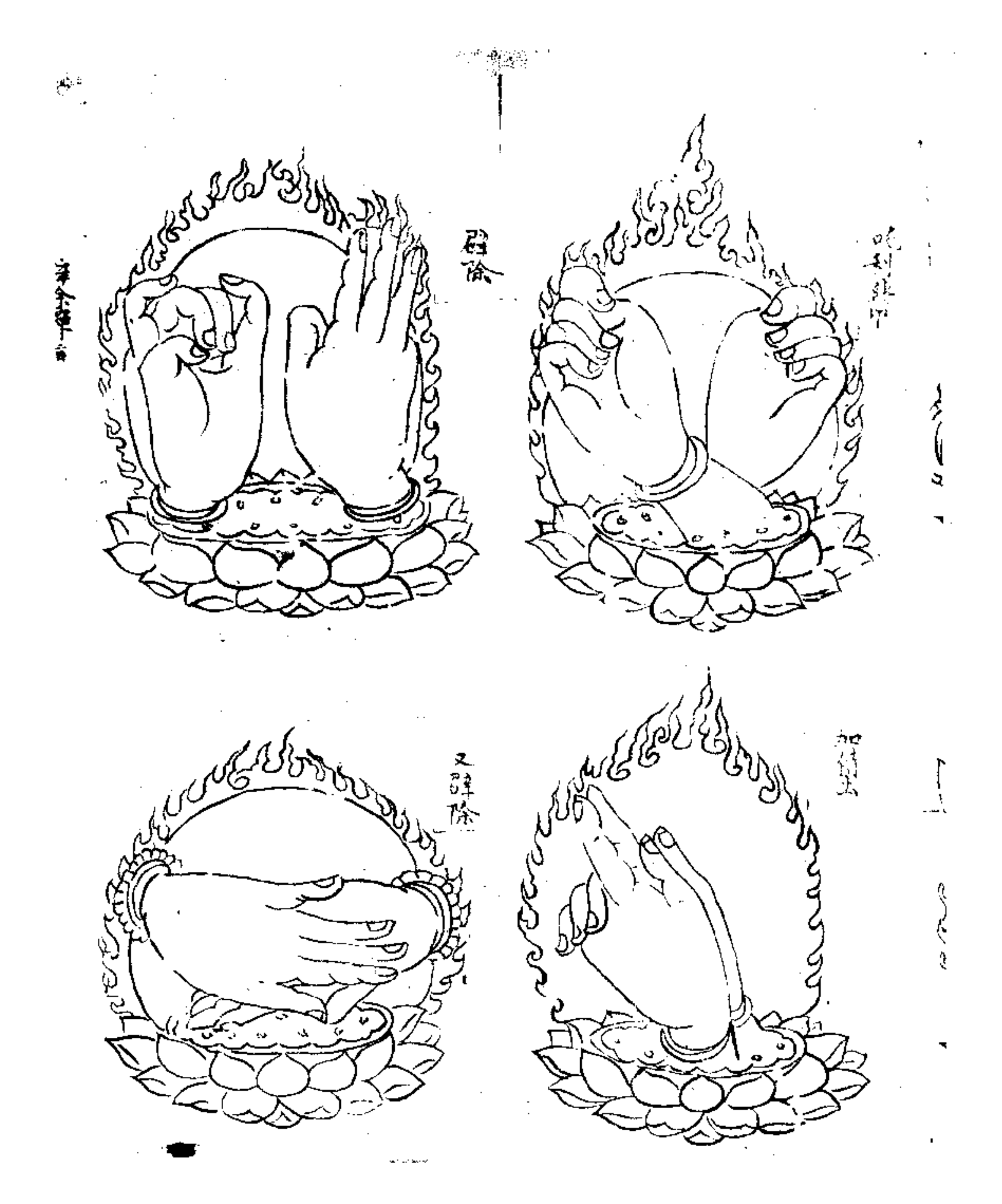
圖像 No. 1．沙摩觸護身　圖像 No. 2．沙摩灑水　圖像 No. 3．水　圖像 No. 4．地明誦大輪



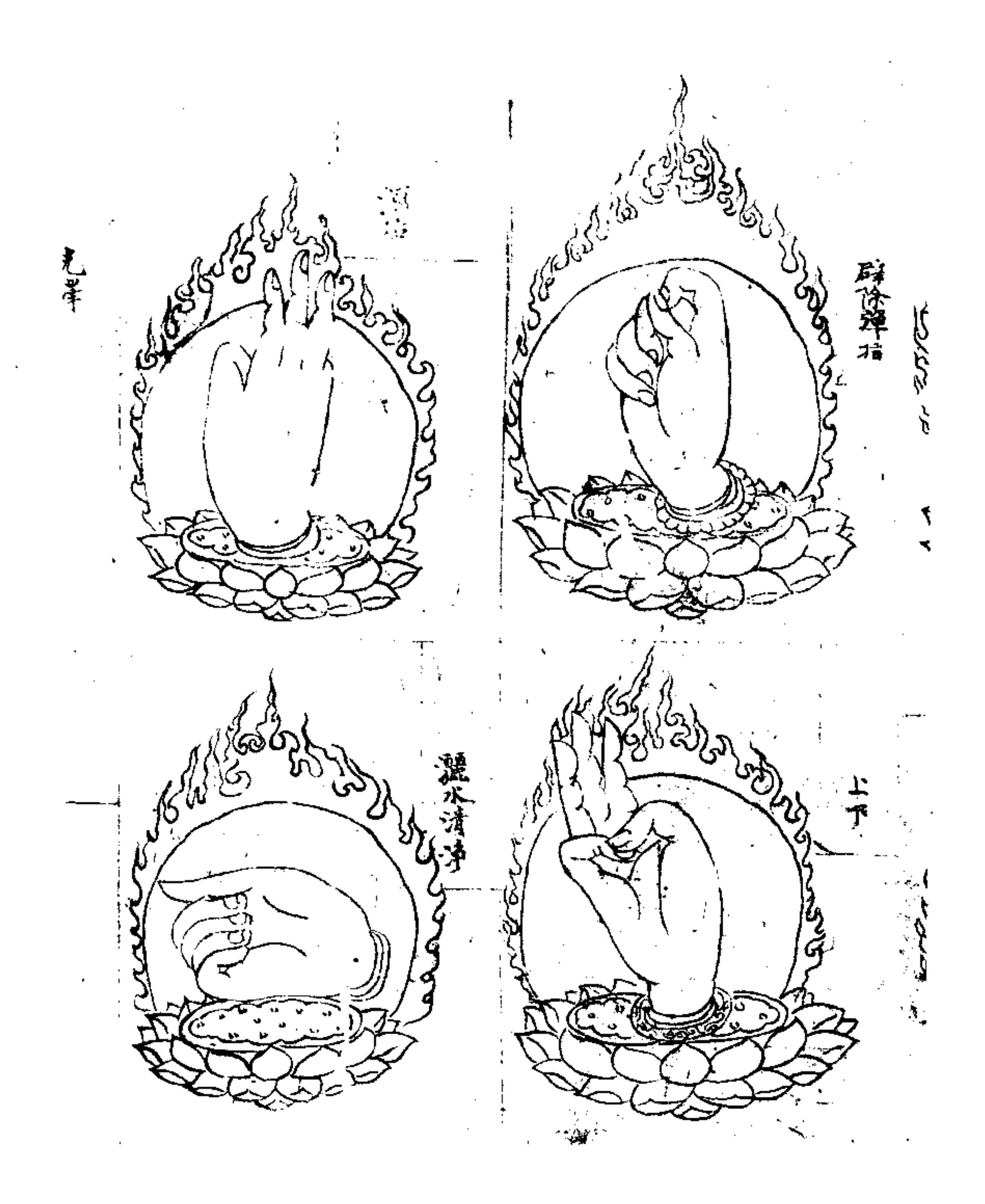
圖像 No. 5. 除萎花　圖像 No. 6. 未詳　圖像 No. 7. 塗地　圖像 No. 8. 未詳



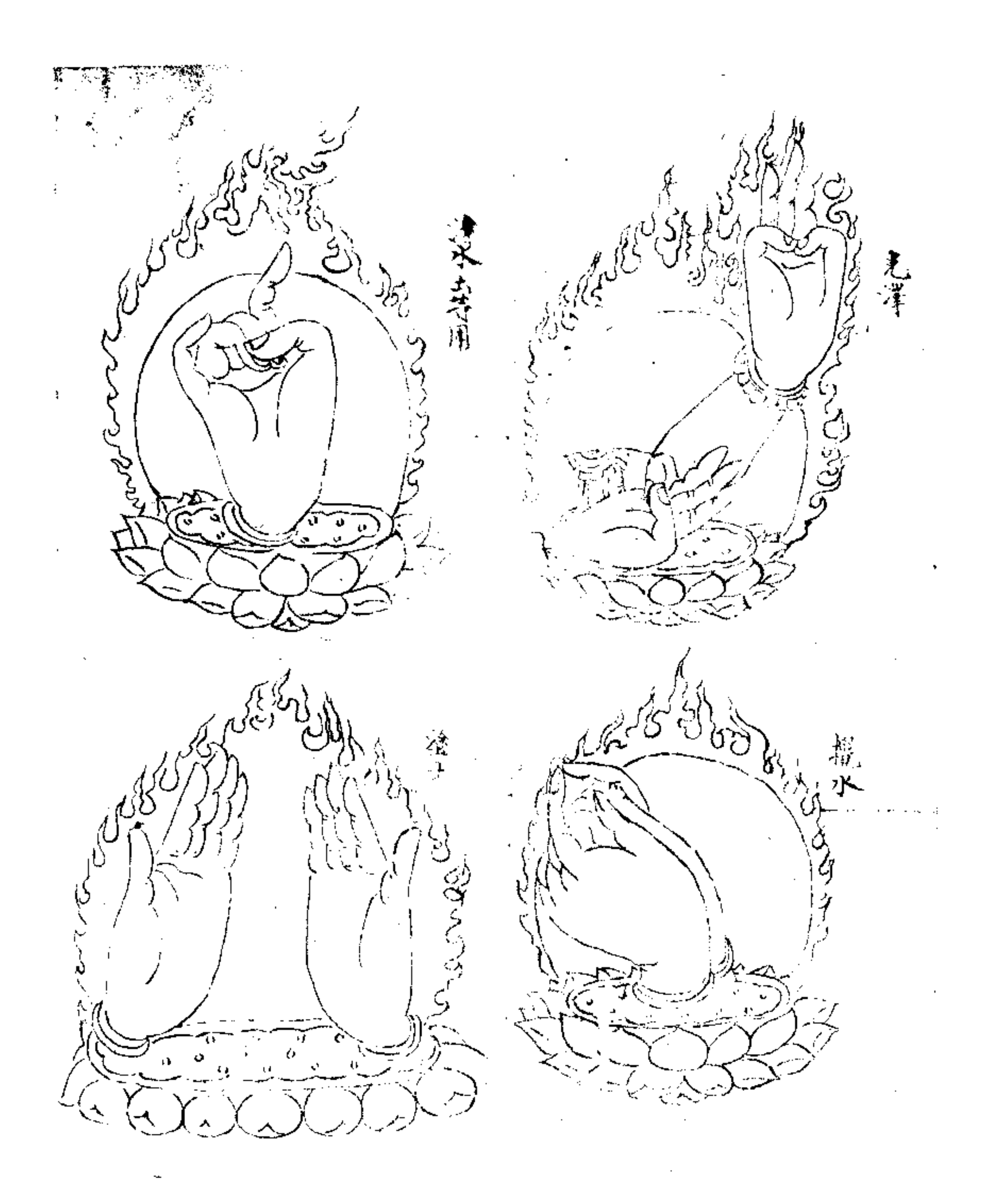
圖像 No. 9. 佛部　圖像 No. 10. 蓮花部　圖像 No. 11. 金剛部　圖像 No. 12. 未詳



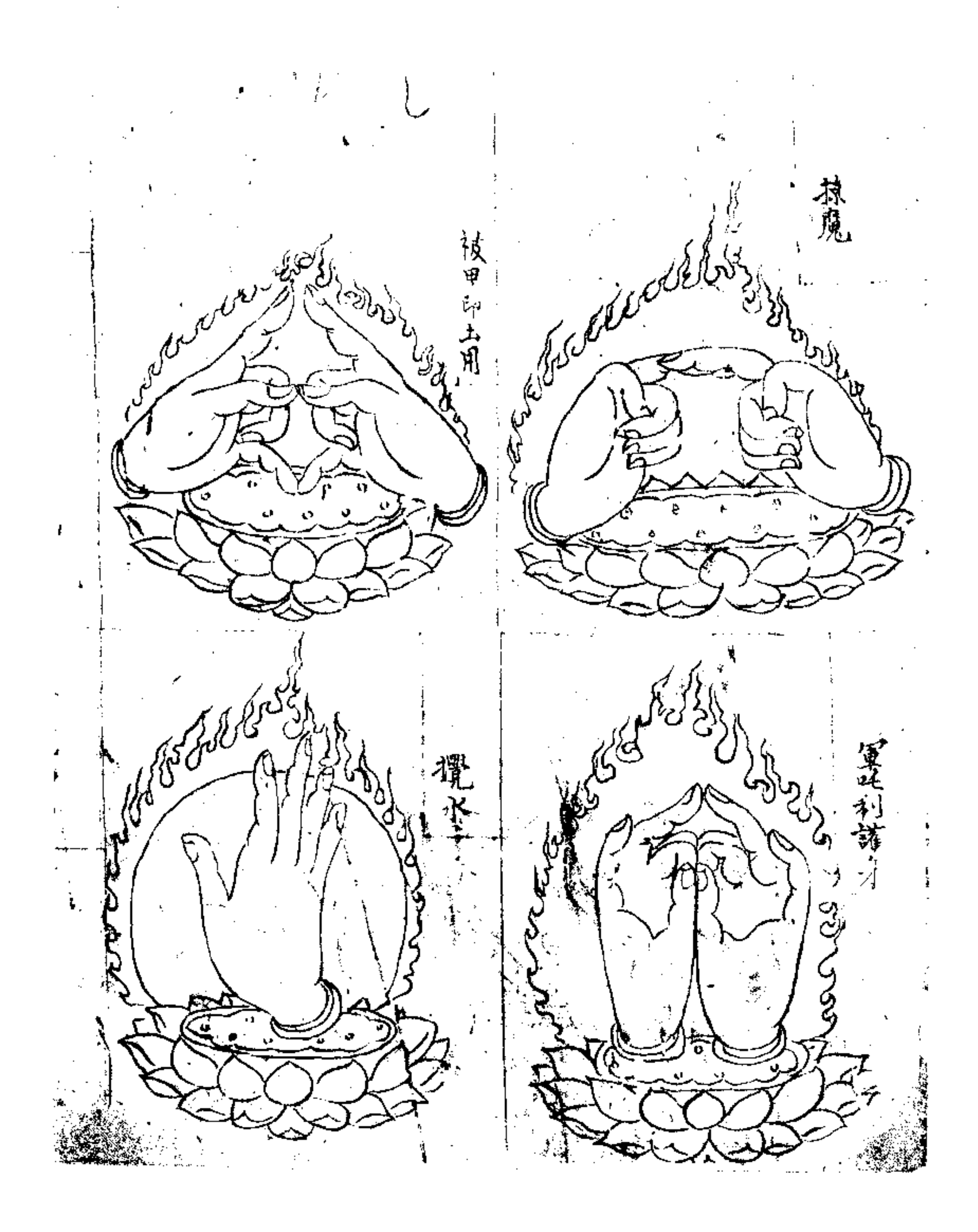
圖像 No.13．叱利縛印　圖像 No.14．加持土　圖像 No.15．辟除　圖像 No.16．又辟除



圖像 No. 17. 辟除彈指　圖像 No. 18. 上下　圖像 No. 19. 瀉垢　圖像 No. 20. 灑水清淨

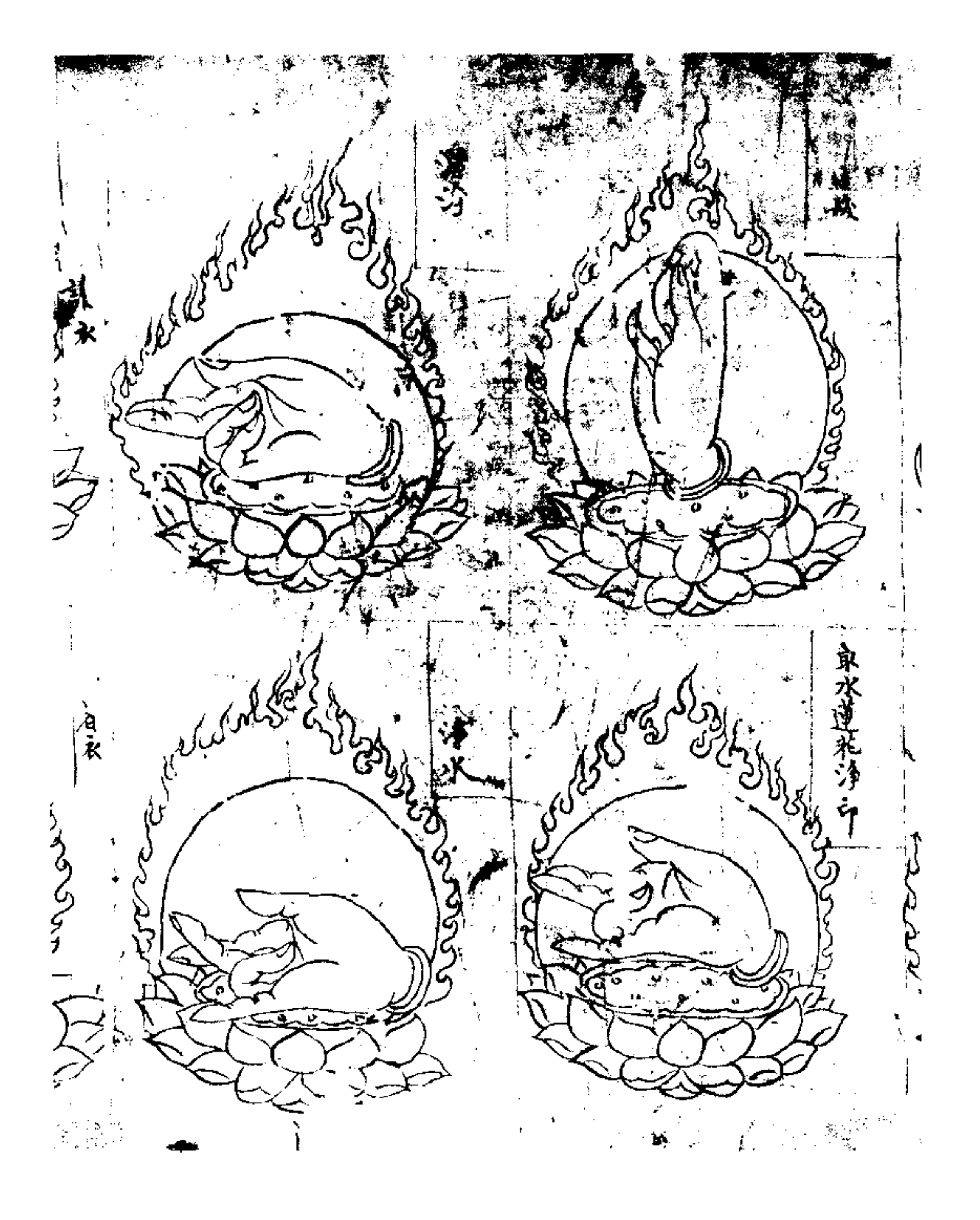


圖像No. 21. 光澤　圖像No. 22. 提水　圖像No. 23. 淨水土等用　圖像No. 24. 塗土



圖像No. 25．掠魔　圖像No. 26．軍吒利　圖像No. 27．被甲印土用　圖像No. 28．攪水

九

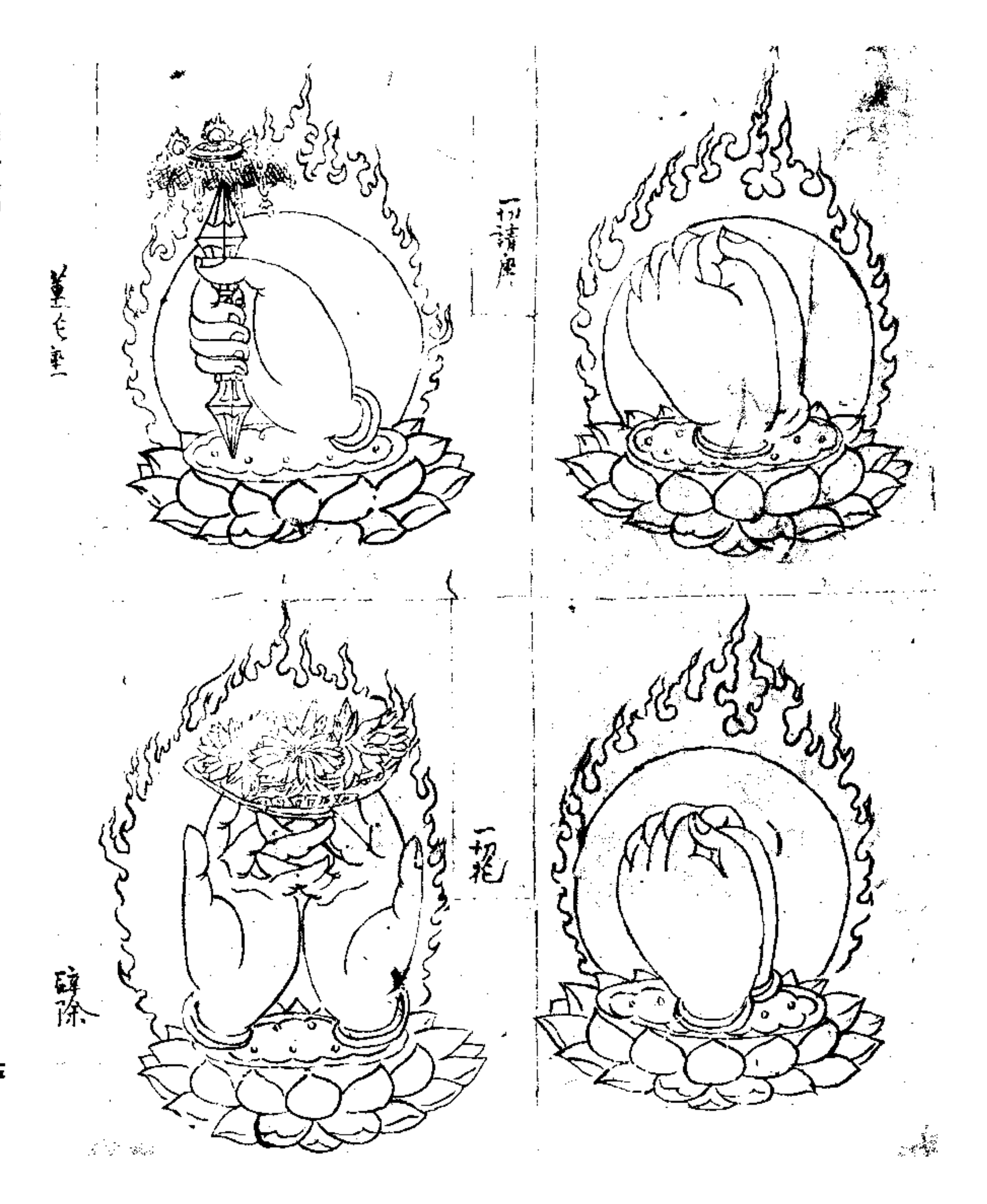


圖像 No.29．結髮　圖像 No.30．取水蓮花淨印　圖像 No.31．灑淨　圖像 No.32．淨水

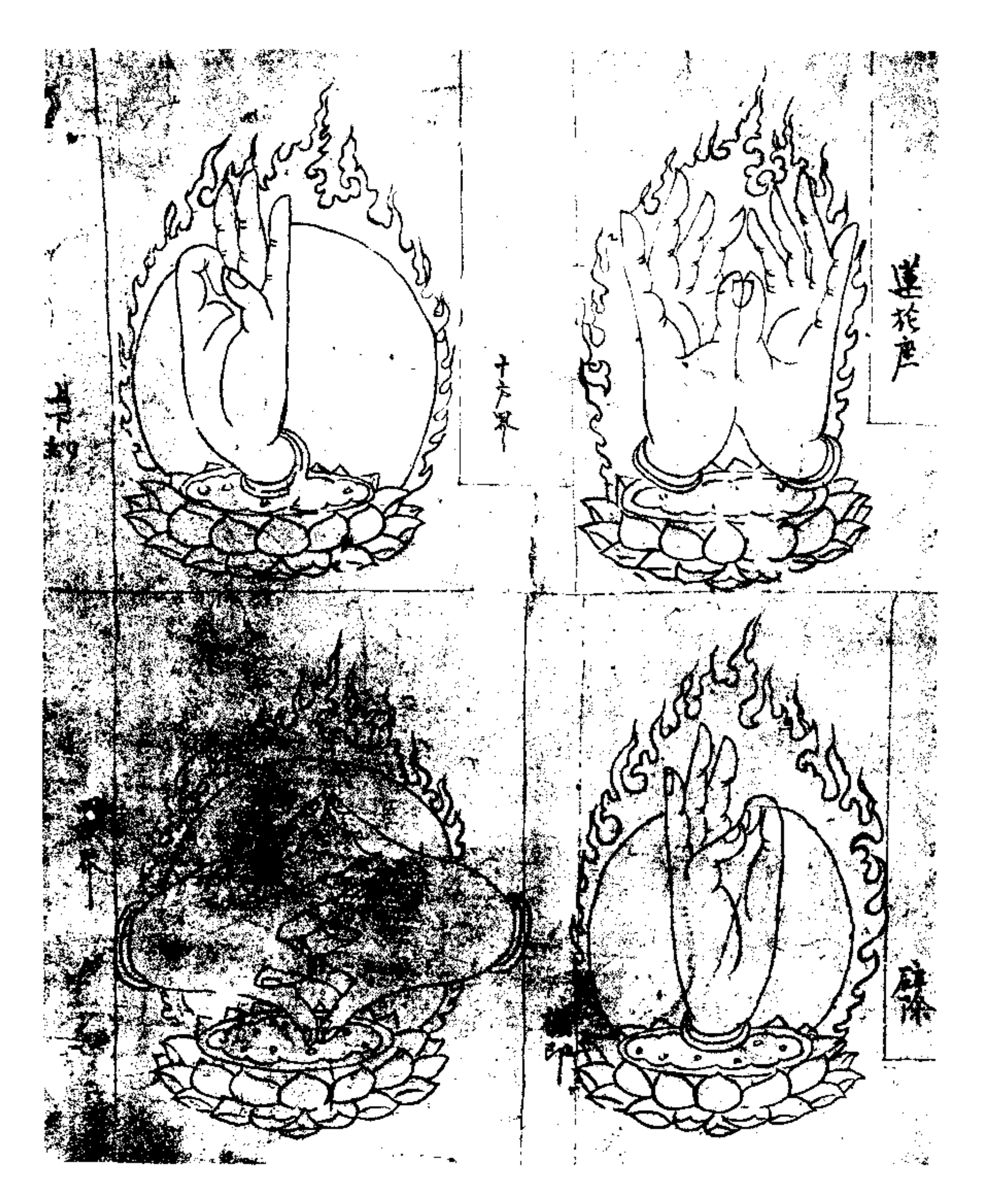
圖像 No.33. 護衣　圖像 No.34. 着衣　圖像 No.35. 佛部三昧　圖像 No.36. 蓮花三昧



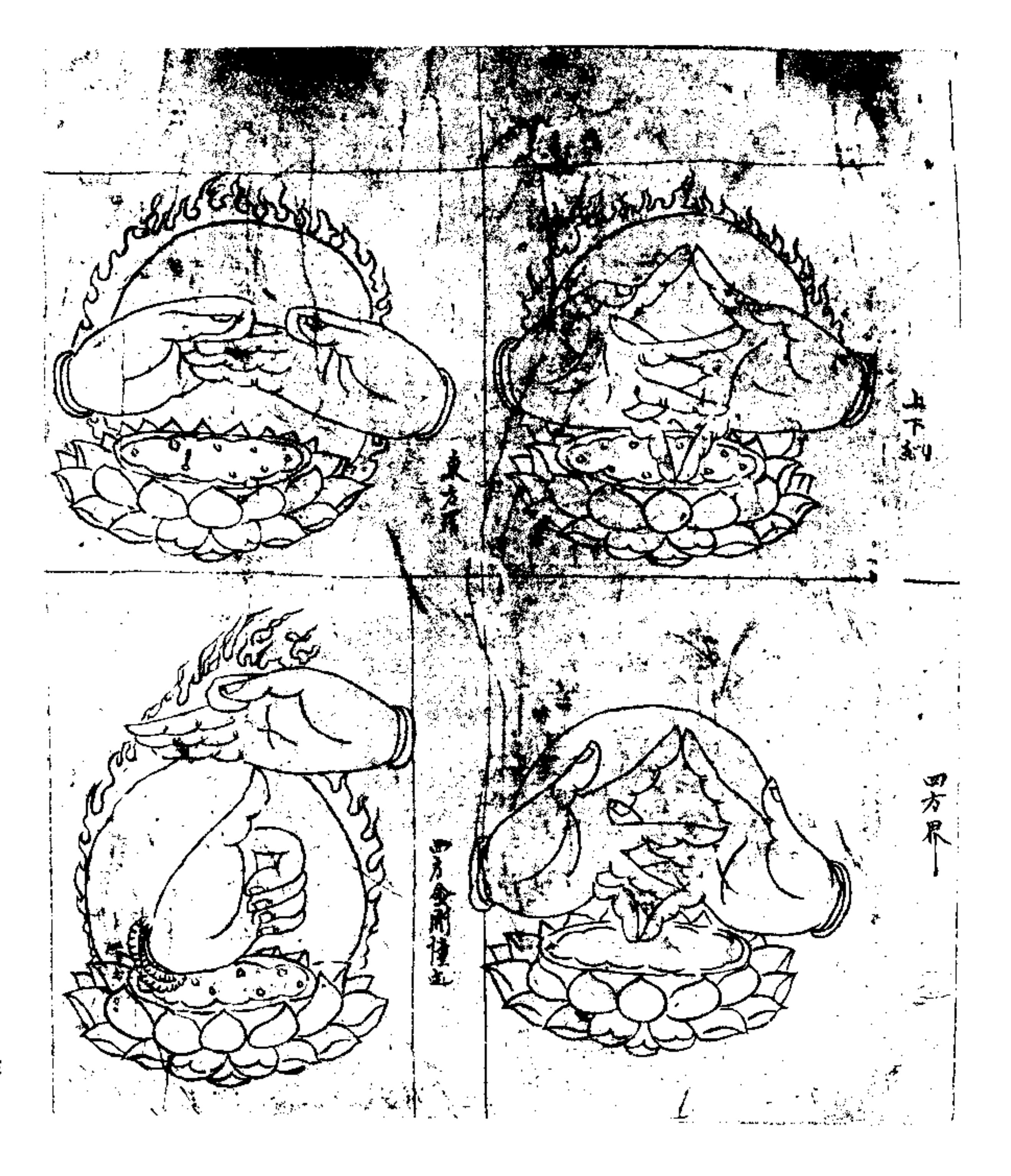
圖像 No.37．金剛部三昧　圖像 No.38．違除　圖像 No.39．辟除　圖像 No.40．又辟除



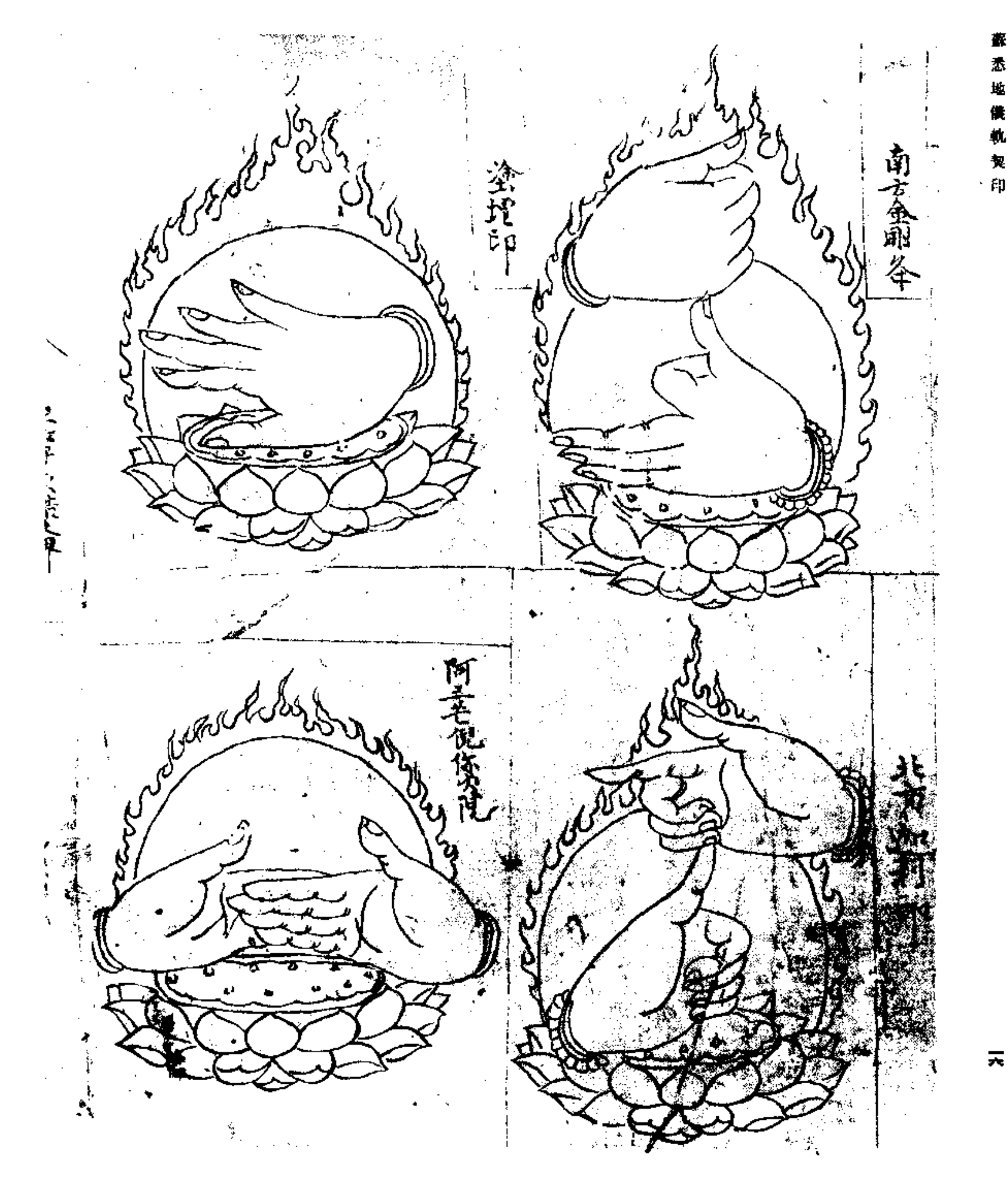
圖像 No. 41. 未詳　圖像 No. 42. 未詳　圖像 No. 43. 一切請座　圖像 No. 44. 一切花



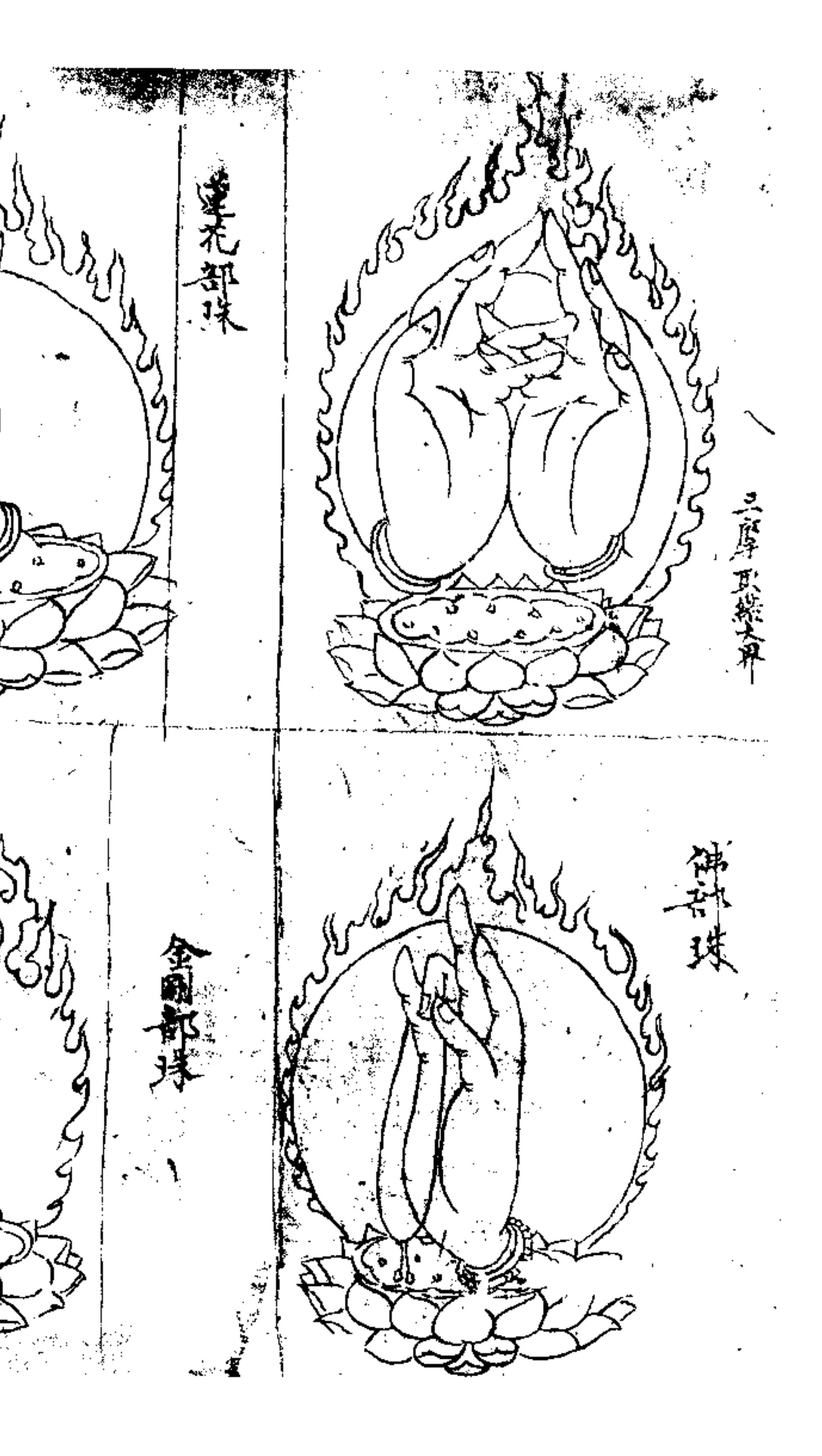
圖像 No. 45．蓮花座　圖像 No. 46．辟除　圖像 No. 47．十方界　圖像 No. 48．橛印



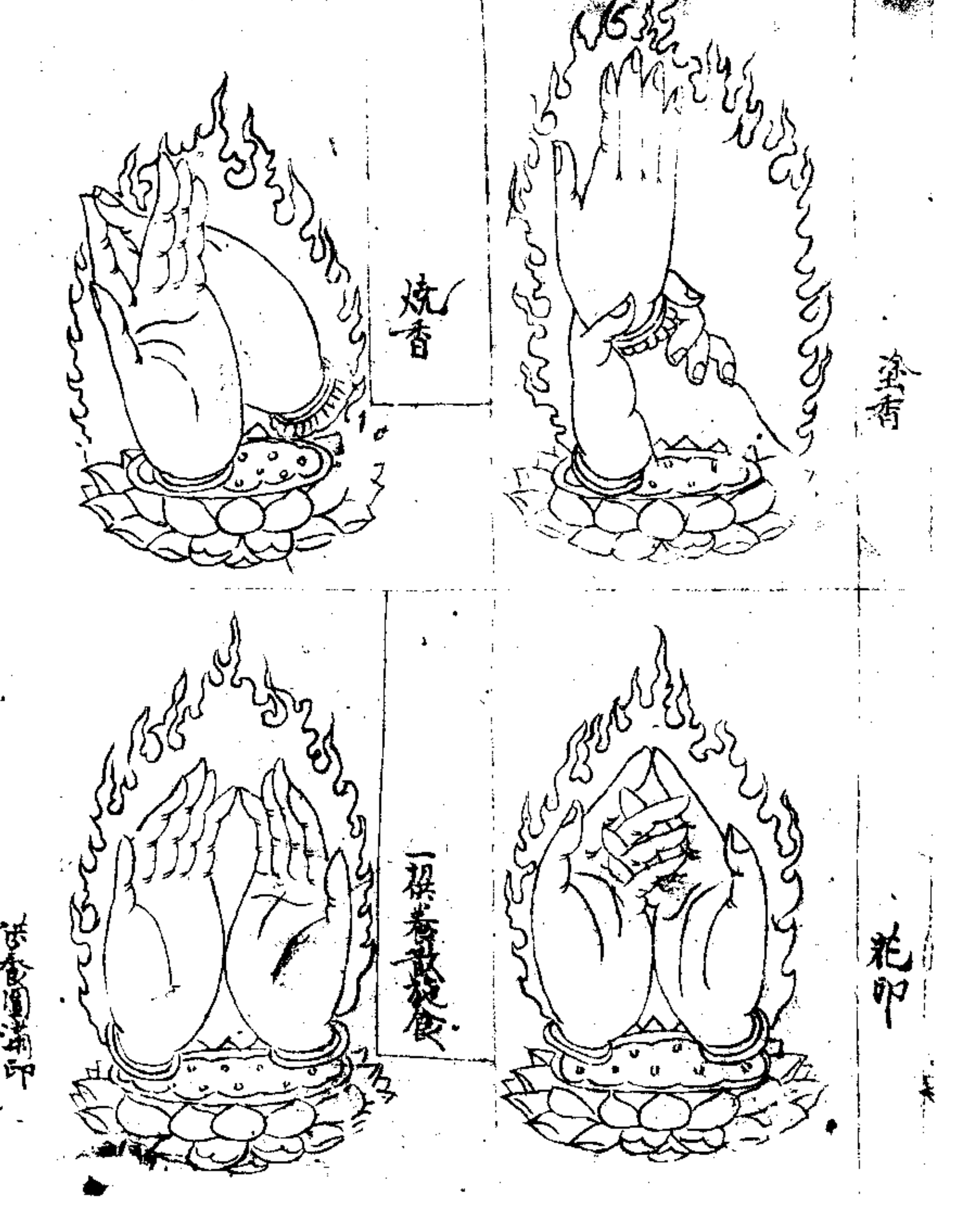
圖像 No. 49. 上下網　圖像 No. 50. 四方界　圖像 No. 51. 東方網　圖像 No. 52. 西方金剛幢定



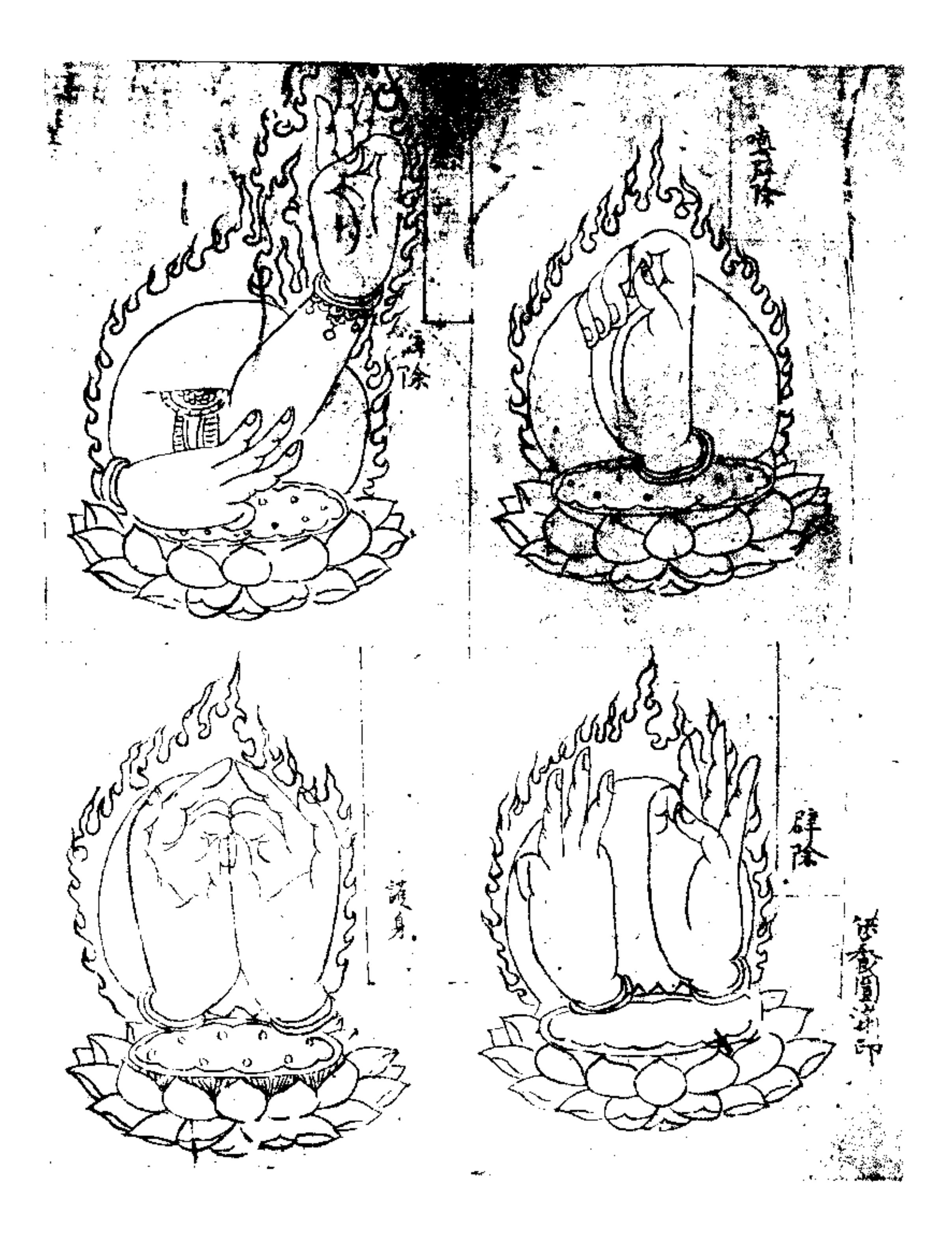
圖像 No. 53. 南方金剛拳　圖像 No. 54. 北方迦利印　圖像 No. 55. 塗壇印　圖像 No. 56. 阿三芒倪儞火院



圖像 No.57．三昧耶結大界　圖像 No.58．佛部珠　圖像 No.59．蓮花部珠　圖像 No.60．金剛部珠

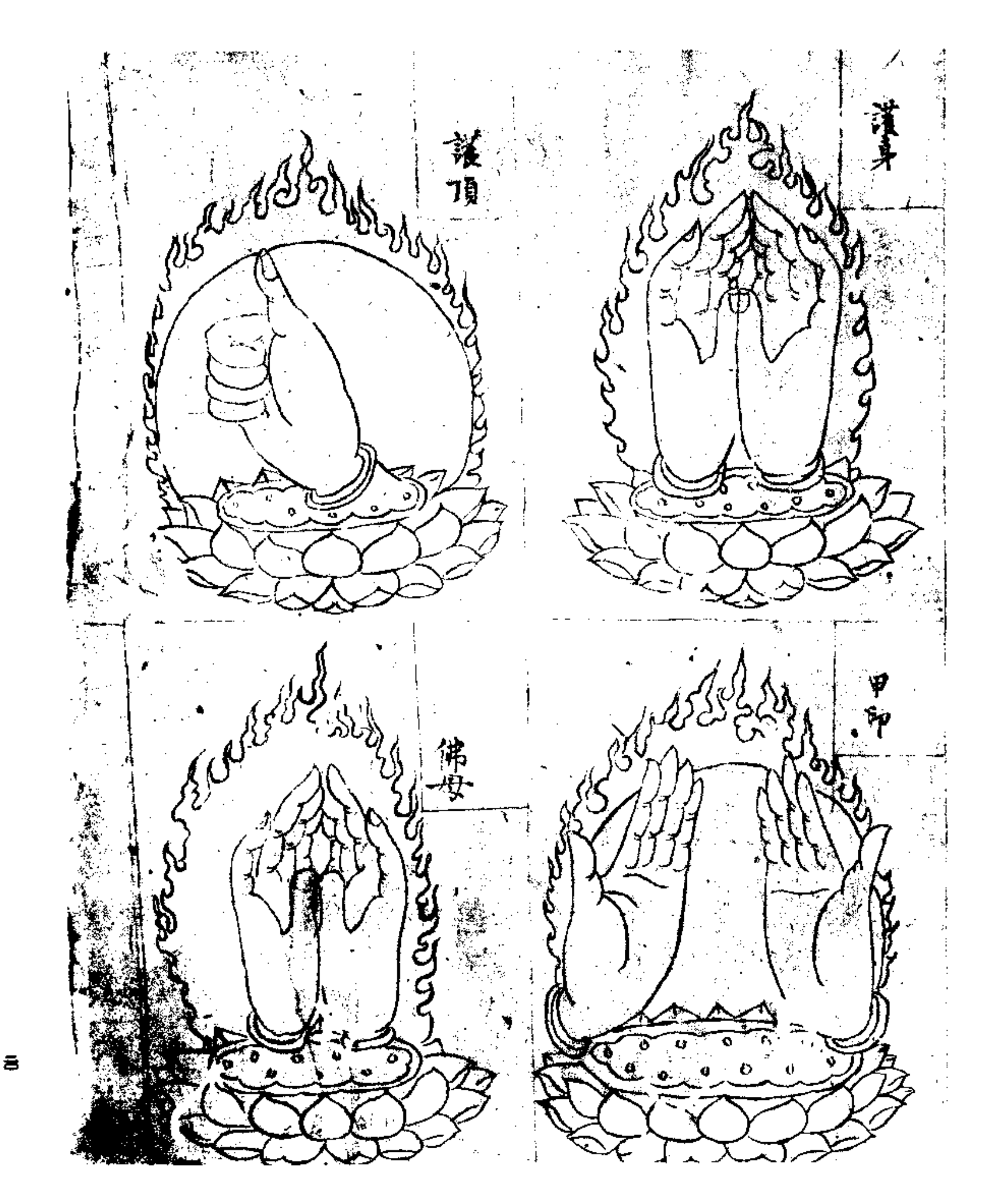


圖像 No.61．塗香　圖像 No.62．花印　圖像 No.63．燒香　圖像 No.64．一切供養散施食

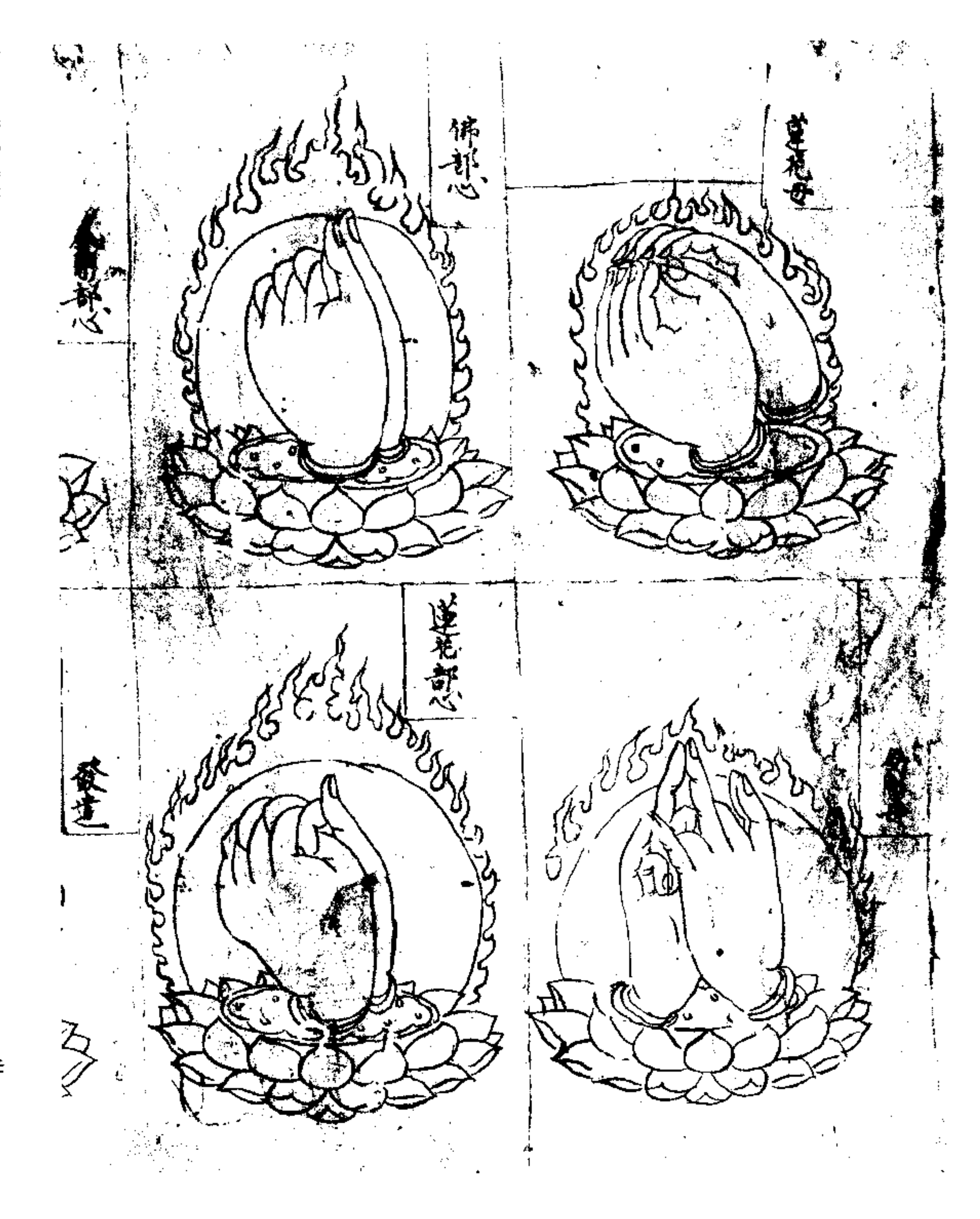


圖像 No. 65、嗔辟除　圖像 No. 66、辟除　圖像 No. 67、辟除　圖像 No. 68、護身

一九

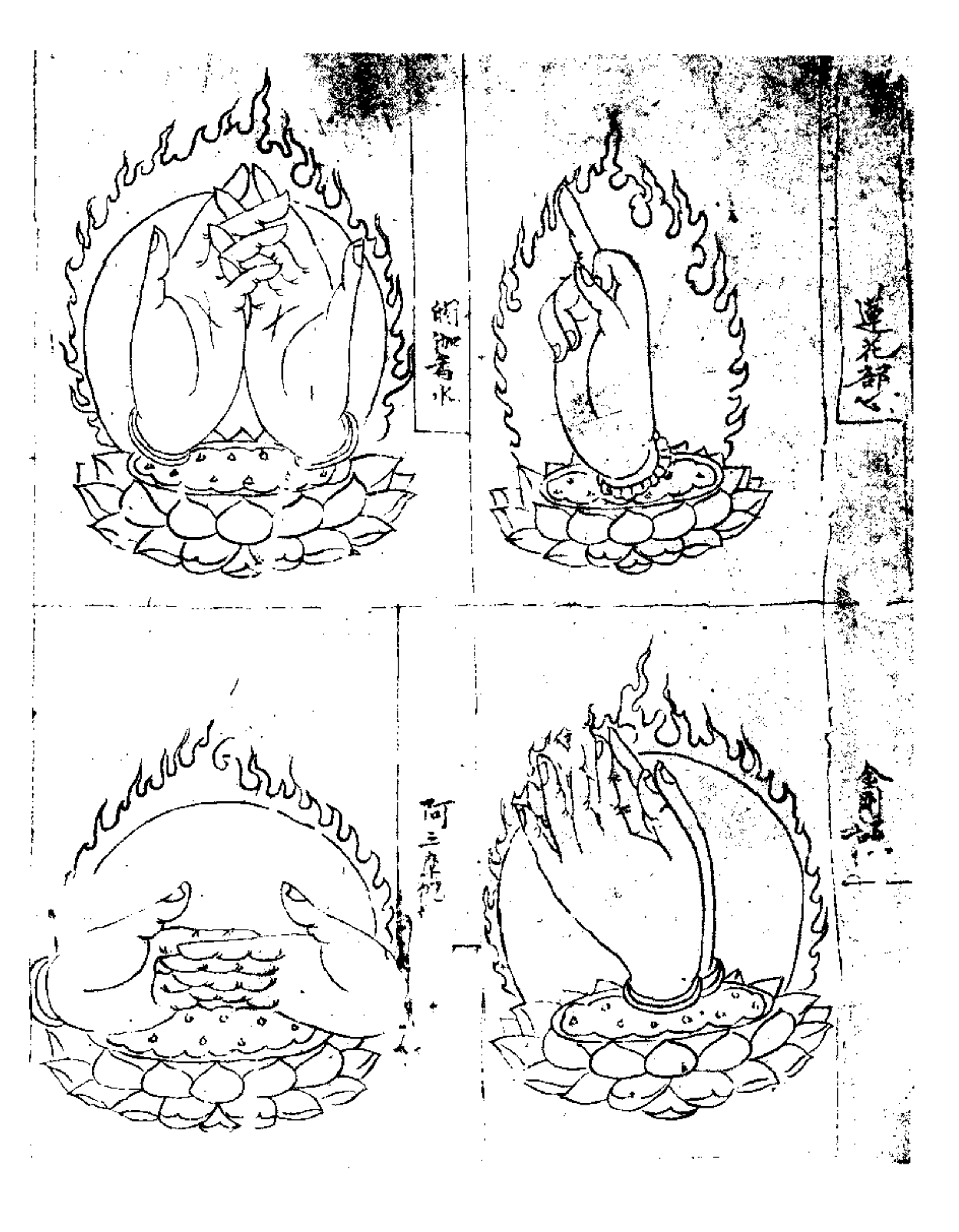


圖像 No. 69. 護身　圖像 No. 70. 甲印　圖像 No. 71. 護頂　圖像 No. 72. 佛母



圖像No. 73. 蓮花母　圖像No. 74. 金剛母　圖像No. 75. 佛部心　圖像No. 76. 蓮花部心

圖像 No. 77. 金剛部心　圖像 No. 78. 發遣　圖像 No. 79. 請一切佛印　圖像 No. 80. 佛部心



圖像 No. 81. 蓮花部心　圖像 No. 82. 金剛部心　圖像 No. 83. 閼伽香水　圖像 No. 84. 阿三摩倪儞

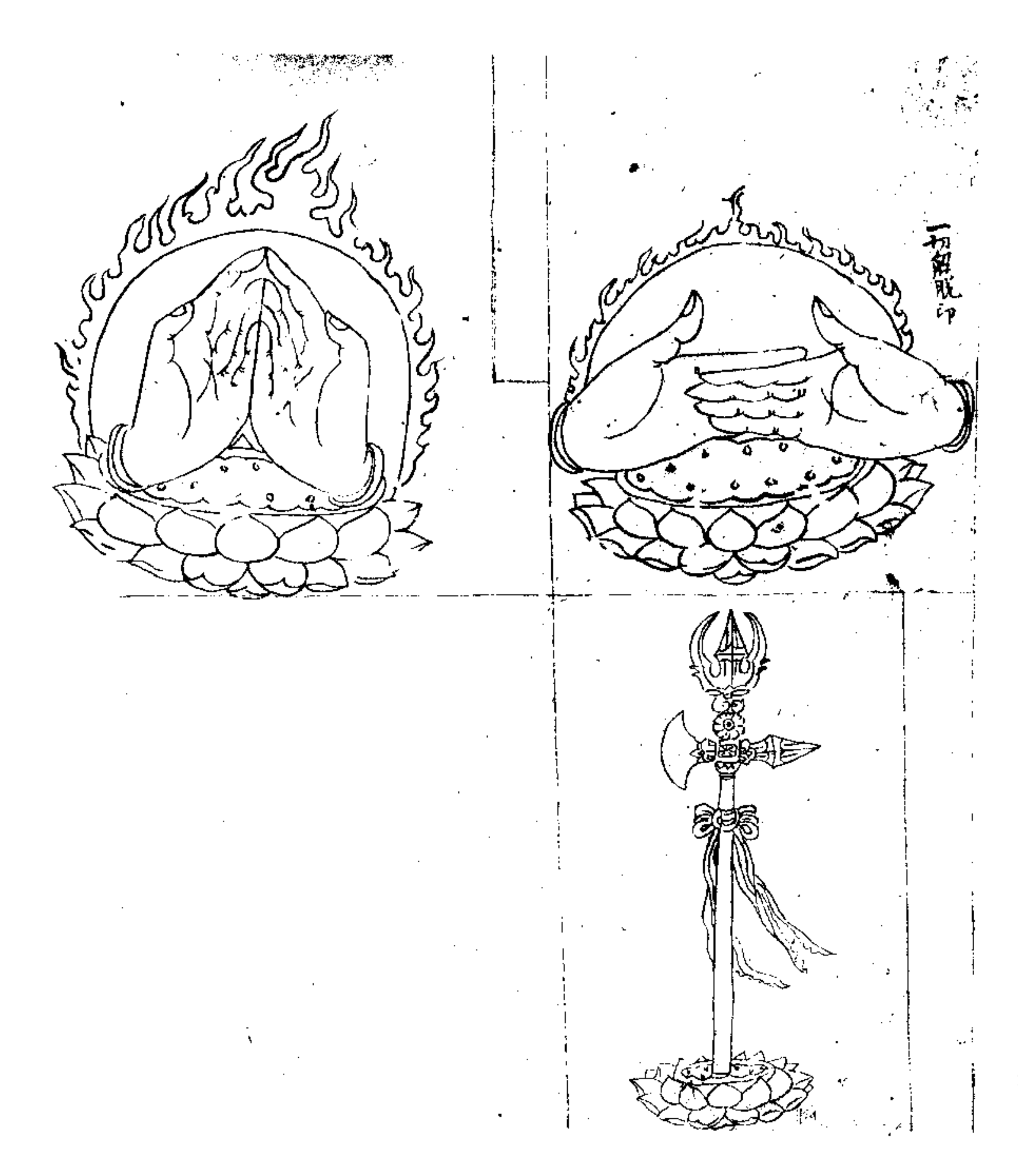


召一切天神鬼等印

火法与火神五種

護身火

圖像 No. 85．召一切天神鬼等印　圖像 No. 86．護身火　圖像 No. 87．火天下肢火盆清淨　圖像 No. 88．火法與火神五種



圖像 No. 89. 一切解脱印　　圖像 No. 90. 未詳　　圖像 No. 91. 未詳

二五

大唐咸通五年歲次甲申孟夏月中旬有八天水郡趙[illegible]錄記

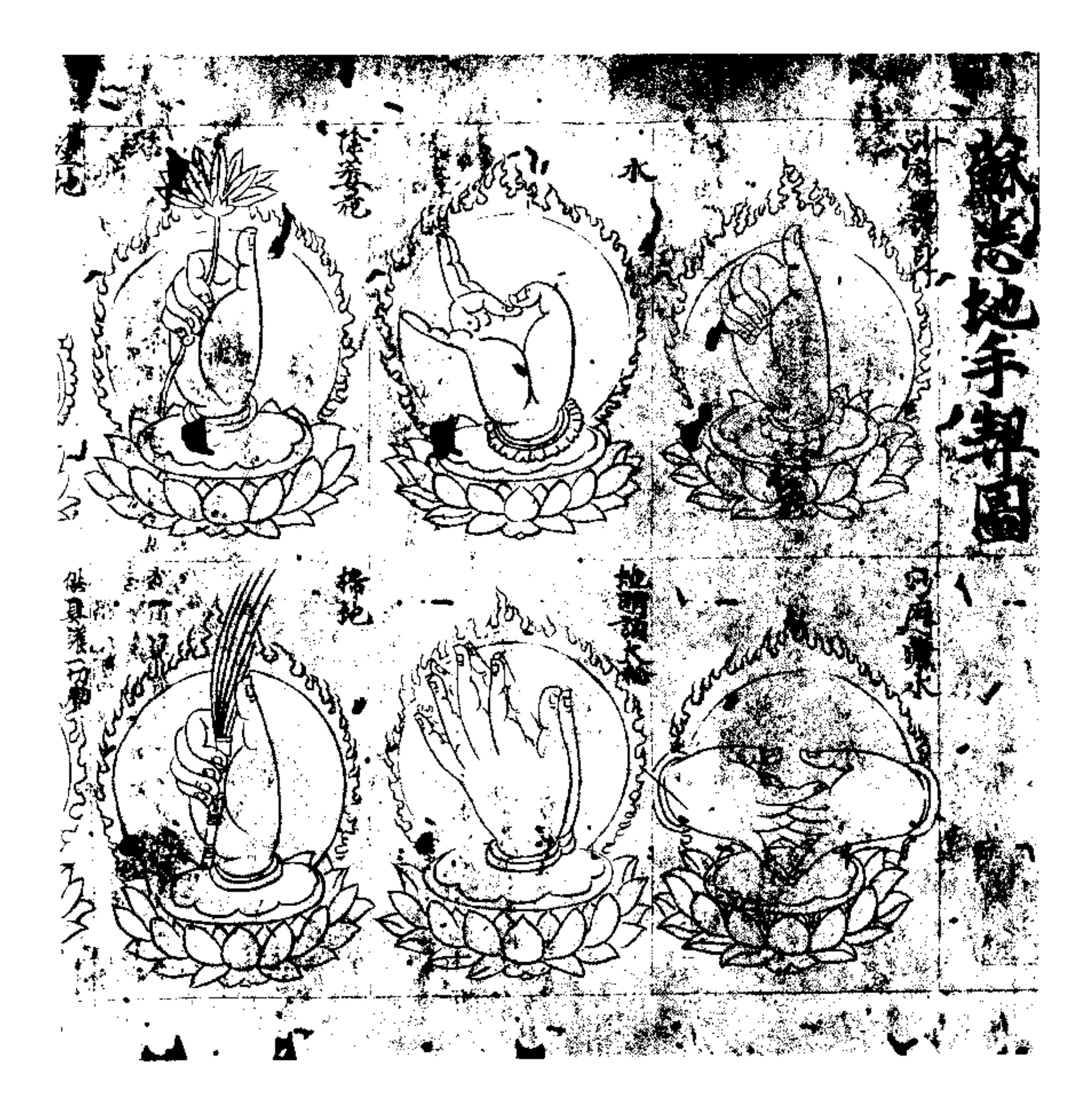
請納

延喜元年八月五日

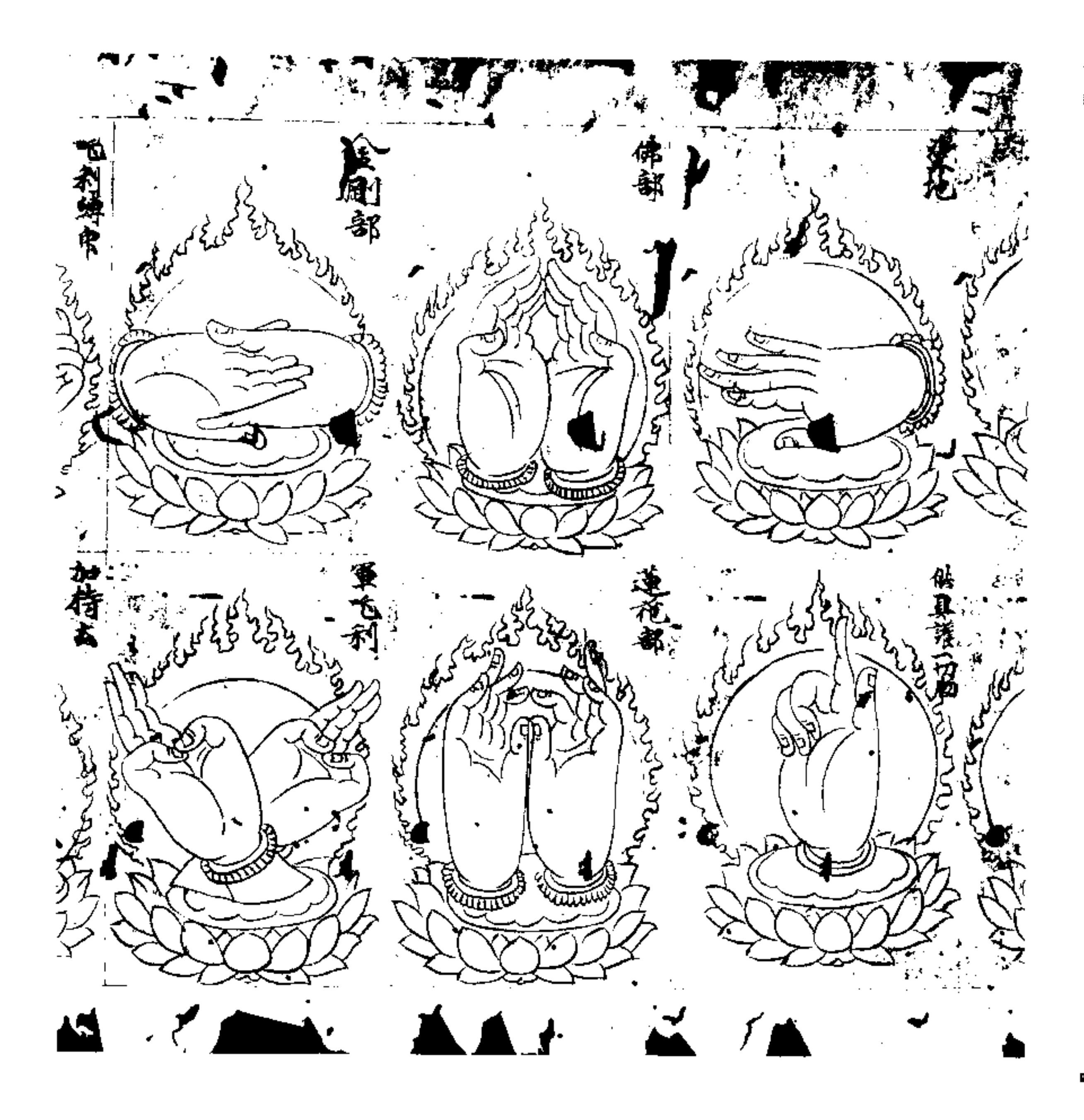
五智院

二六

蘇悉地手契圖



圖像 No. 1、沙摩嚩護身〔cf. p. 32、裏書 No. 82〕 圖像 No. 2、沙摩灑水 圖像 No. 3、水〔cf. p. 32、裏書 No. 80〕 圖像 No. 4、地明護大輪〔cf. p. 32、裏書 No. 81〕 圖像 No. 5、除萎花〔cf. p. 32、裏書 No. 78〕 圖像 No. 6 掃地〔cf. p. 32、裏書 No. 79〕



圖像 No. 7、除地〔cf. p.31. 裏書 No. 76〕　圖像 No. 8、供具護一切物〔cf. p. 31、裏書 No.77〕　圖像 No.9、佛部〔cf. p. 31、裏書 No. 74〕　圖像 No. 10、蓮花部〔cf. p. 31、裏書 No. 75〕　圖像 No. 11、金剛部〔cf. p 31、裏書 No. 72〕　圖像 No. 12、軍吒利〔cf. p. 31、裏書 73〕



圖像 No. 13、吒利縛印　圖像 No. 14、加持水 [cf. p. 30、裏書 No. 71]　圖像 No. 15、辟除 [cf. p. 30、裏書 No. 69]　圖像 No. 16、又辟除 [cf. p. 30、裏書 No. 70]　圖像 No. 17、辟除彈指 [cf. p. 30、裏書 No. 67]　圖像 No. 18、上下 [cf. p. 30、裏書 No. 68]

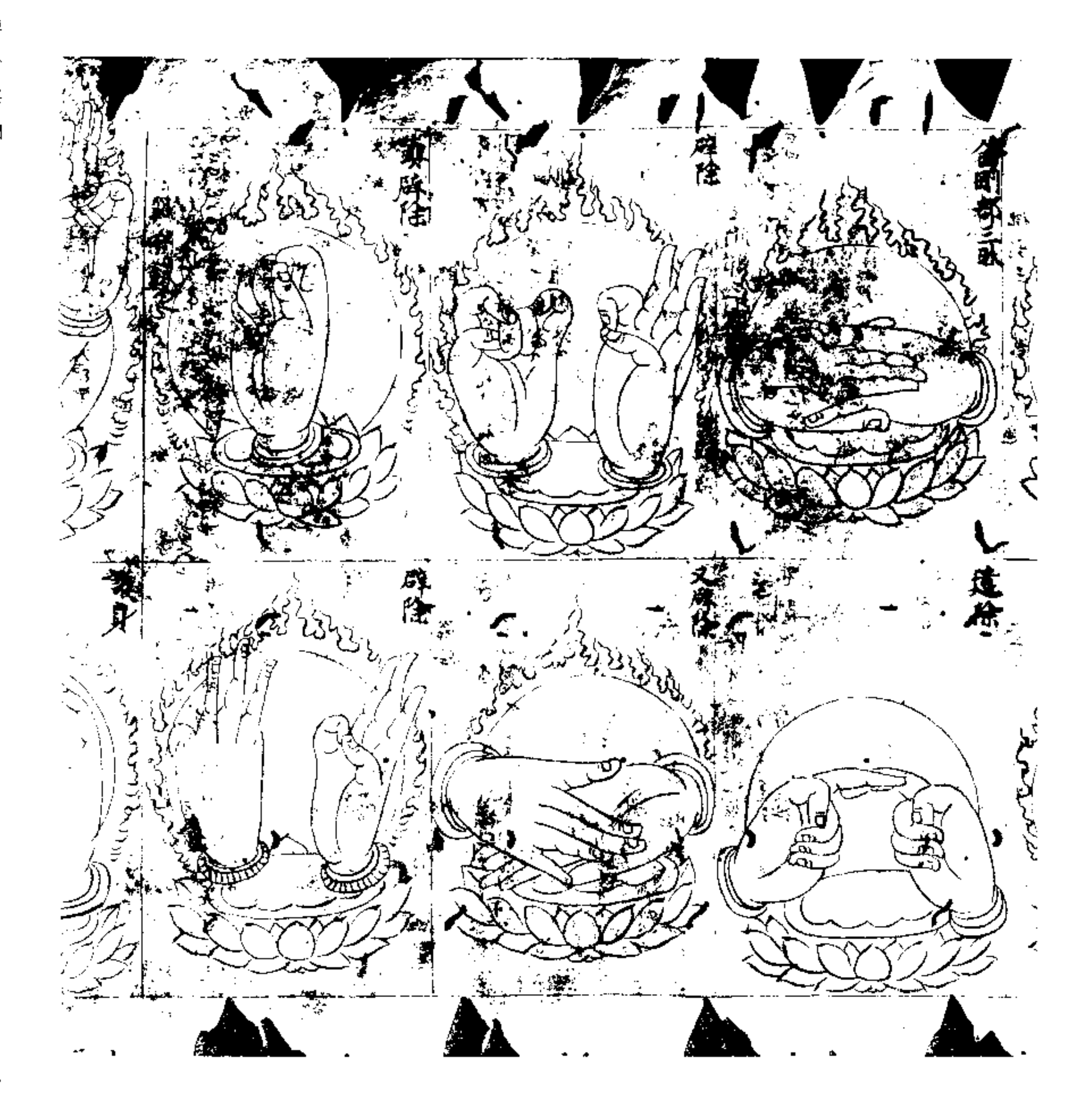
圖像 No.19、瀉垢〔cf. p.29、裏書 No.65〕 圖像 No.20、灑水清淨〔cf. p.29、裏書 No.66〕 圖像 No.21、光澤〔cf. p.29、裏書 No.63〕 圖像 No.22、攪水〔cf. p.29、裏書 No.64〕 圖像 No.23、淨水土等用〔cf. p.29、裏書 No.61〕 圖像 No.24、塗土〔cf. p.29、裏書 No.62〕



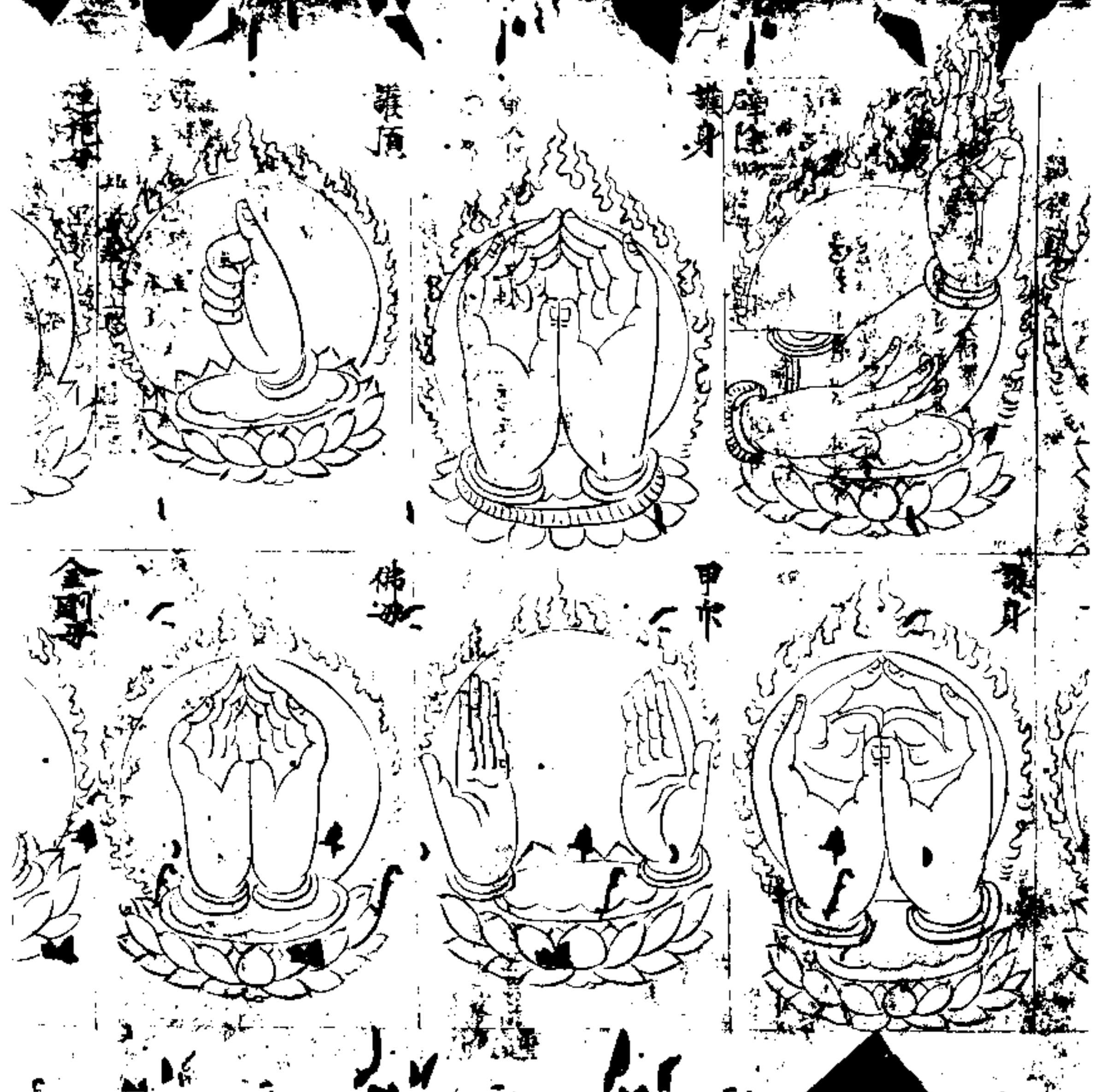
圖像 No 25. 掠魔〔cf. p. 29. 裏書 No. 59〕　圖像 No. 26. 軍吒利護身〔cf. p. 29. 裏書 No. 60〕　圖像 No. 27. 被甲印土用〔cf. p. 28. 裏書 No. 57〕　圖像 No. 28. 撹水〔cf. p. 28. 裏書 No. 58〕　圖像 No. 29. 結髮〔cf. p. 28、裏書 No. 55〕　圖像 No. 30、裹蓮花淨水〔cf. p. 28、裏書 No. 56〕



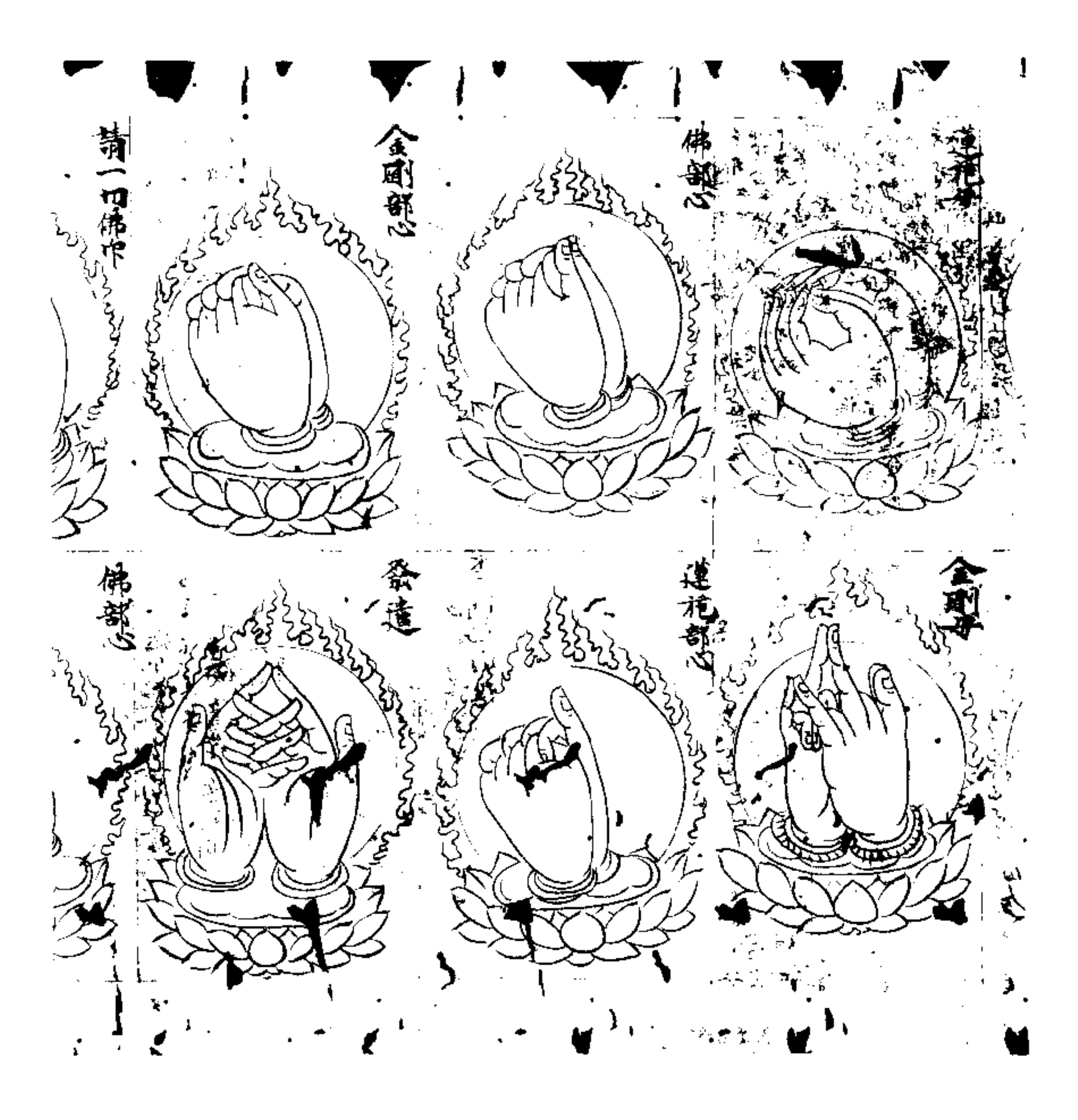
圖像 No. 31，灑淨〔cf. p. 28，裏書 No. 53〕　圖像 No. 32，淨水〔cf. p. 28，裏書 No. 54〕　圖像 No. 33，護衣〔cf. p. 28，裏書 No. 51〕　圖像 No. 34，著衣〔cf. p. 28，裏書 No. 52〕　圖像 No. 35，佛部三昧〔cf. p. 27，裏書 No. 49〕　圖像 No. 36，蓮花三昧〔cf. p. 27，裏書 No. 50〕



圖像 No. 37, 金剛部三昧〔同 p. 27, 東書 No. 4[illegible]〕 圖像 No. 38, 遣除〔同 p. 27, 東書 No. 48〕 圖像 No. 39, 辟除〔同 p. 27, 東書 No. 45〕 圖像 No. 40, 又辟除〔同 p. 27, 東書 No. 46〕 圖像 No. 41, 嚫辟除〔同 p. 27, 東書 No. 43〕 圖像 No. 42, 遣除〔同 p. 27, 東書 No. 44〕



圖像 No. 43、辟除〔cf. p. 26、裏書 No. 41〕　圖像 No. 44、護身〔cf. p. 26、裏書 No. 42〕　圖像 No. 45、護身〔cf. p. 26、裏書 No. 39〕　圖像 No. 46、甲印〔cf. p. 26、裏書 No. 40〕　圖像 No. 47、護肩〔cf. p. 26、裏書 No. 37〕　圖像 No. 48、佛母〔cf. p. 26、裏書 No. 38〕



圖像 No. 49、蓮花母〔cf. p. 25、裏書 No. 35〕　圖像 No. 50、金剛母〔cf. p. 25、裏書 No. 36〕　圖像 No. 51、佛部心〔cf. p. 25、裏書 No. 33〕　圖像 No. 52、蓮花部心〔cf. p. 25、裏書 No. 34〕　圖像 No. 53、金剛部心〔cf. p. 25、裏書 No. 31〕　圖像 No. 54、發遣〔cf. p. 25、裏書 No. 32〕

請一切佛部

蓮花部心

一切請座

蓮花座

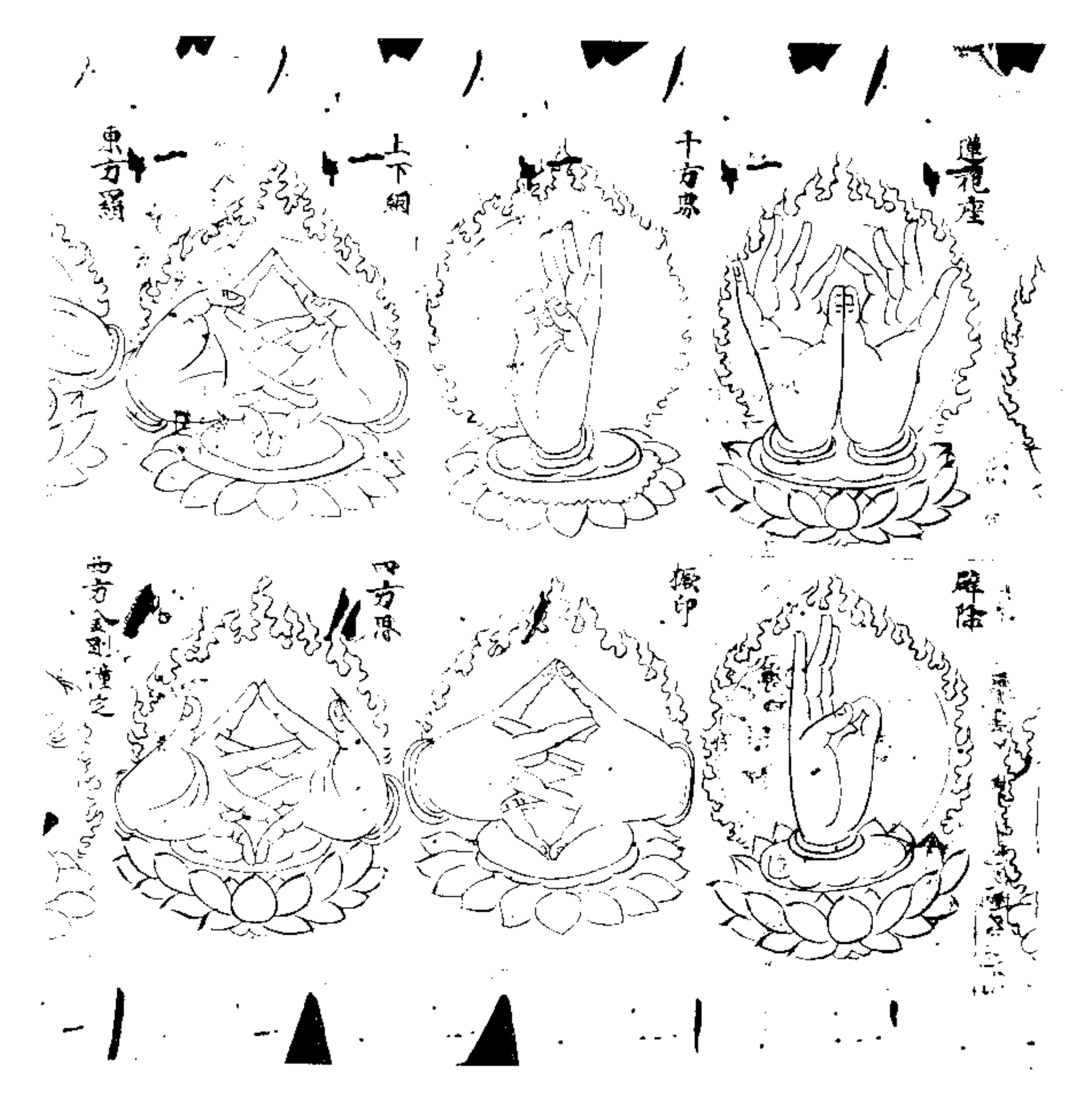
佛部心

金剛部心

一切花

辟除

圖像 No. 55、請一切佛部〔cf. p. 24、裏書 No. 29〕　圖像 No. 56、佛部心〔cf. p. 24、裏書 No. 30〕　圖像 No. 57、蓮花部心〔cf. p. 24、裏書 No. 27〕　圖像 No. 58、金剛部心〔cf. p. 24、裏書 No. 28〕　圖像 No. 59、一切請座〔cf. p. 24、裏書 No. 25〕　圖像 No. 60、一切花〔cf. p. 24、裏書 No. 26〕



圖像 No. 61、蓮花座〔cf. p. 23、裏書 No. 23〕　圖像 No. 62、辟除〔cf. p. 23、裏書 No. 24〕　圖像 No. 63、十方界〔cf. p. 23、裏書 No. 21〕　圖像 No. 64、橛印〔cf. p. 23、裏書 No. 22〕　圖像 No. 65、上下網〔cf. p. 23、裏書 No. 19〕　圖像 No. 66、四方界〔cf. p. 23、裏書 No. 20〕

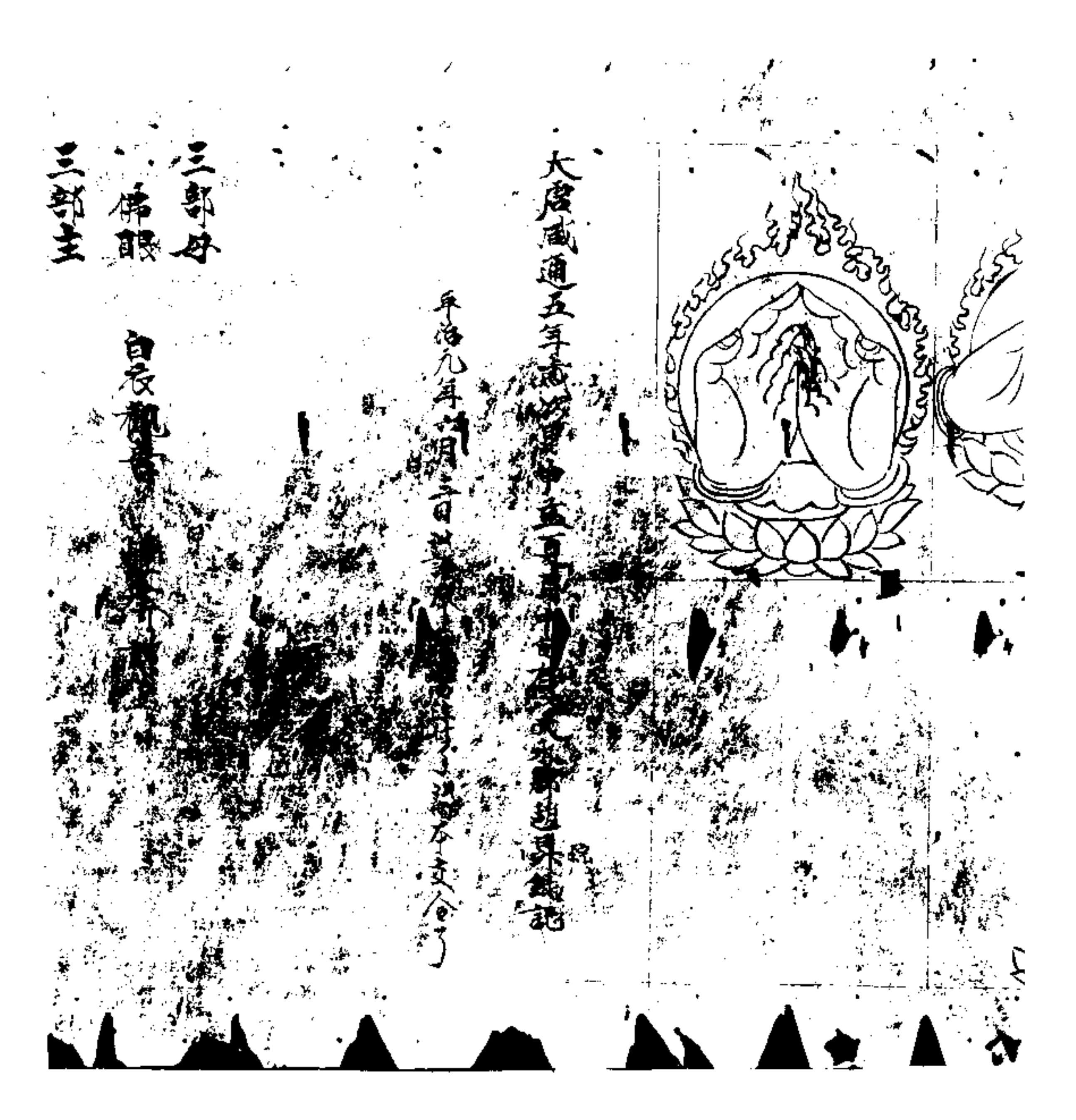
圖像 No. 67. 東方羂〔cf. p. 23. 裏書 No.13〕　圖像 No.68. 西方金剛幢定　圖像 No. 69. 南方金剛拳〔cf. p. 22. 裏書 No. 16〕　圖像 No. 70. 北方迦利印〔cf. p. 22. 裏書 No. 17〕　圖像 No. 71. 塗壇印〔cf. p. 22. 裏書 No. 14〕　圖像 No. 72. 阿三芒倪弥大院〔cf. p. 22. 裏書 No.15〕



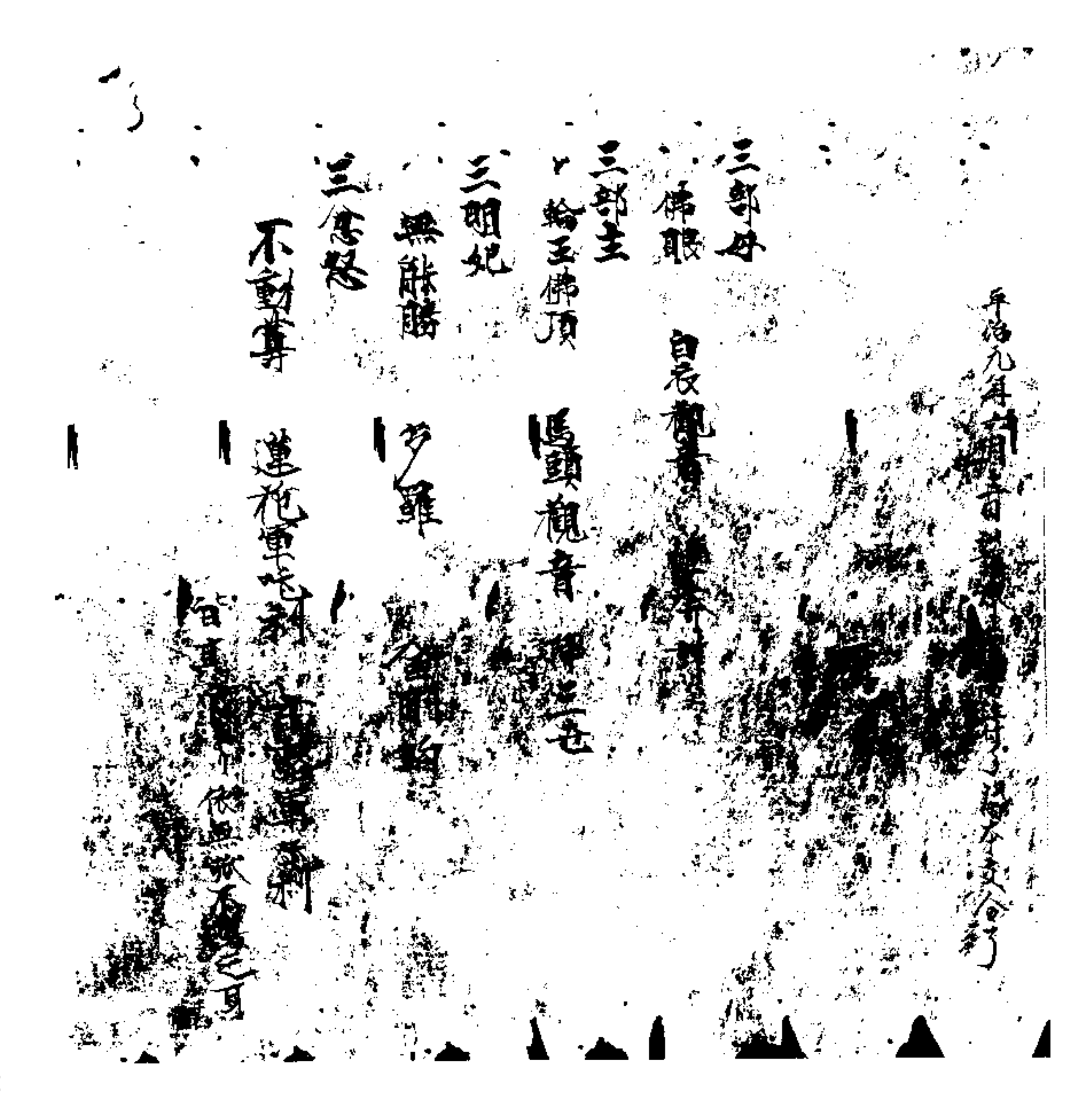
圖像 No. 73、三摩耶結大界〔cf. p. 22、裏書 No. 12〕　圖像 No. 74、佛部珠〔cf. p. 22、裏書 No. 13〕　圖像 No. 75、蓮花部珠〔cf. p. 21、裏書 No. 10〕　圖像 No. 76、金剛部珠〔cf. p. 21、裏書 No. 11〕　圖像 No. 77、塗香〔cf. p. 21、裏書 No. 8〕　圖像 No. 78、花印〔cf. p. 21、裏書 No. 9〕

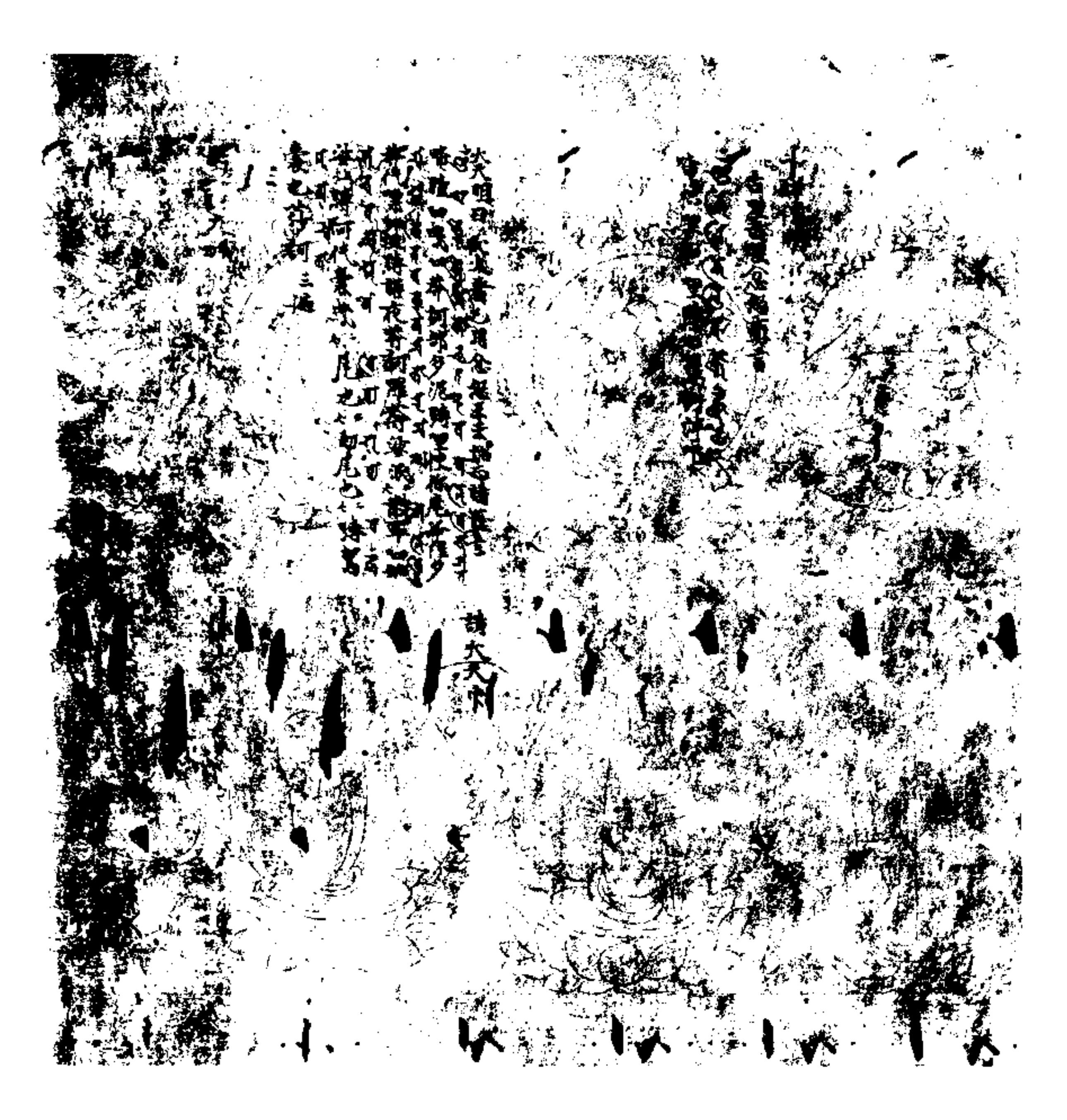
圖像 No. 79、燒香〔cf. p. 21、裏書 No. 6〕　圖像 No. 80、一切供養散施食〔cf. p. 21、裏書 No. 7〕　圖像 No. 81、献燈〔cf. p. 21、裏書 No. 4〕　圖像 No. 82、供養圓滿印〔cf. p. 21、裏書 No. 5〕　圖像 No. 83、閼伽香水　圖像 No. 84、阿三摩伲僻

圖像 No. 85，召一切天神鬼等印，火天印〔cf. p. 20，裏書 No. 2〕　圖像 No. 86，護身火〔cf. p. 20，裏書 No. 3〕　圖像 No. 87，火天下世火爐清淨〔cf. p. 20，裏書 No. 1〕　圖像 No. 88，火法與火神五種　圖像 No. 89，一切解脫印　圖像 No. 90，印名未詳

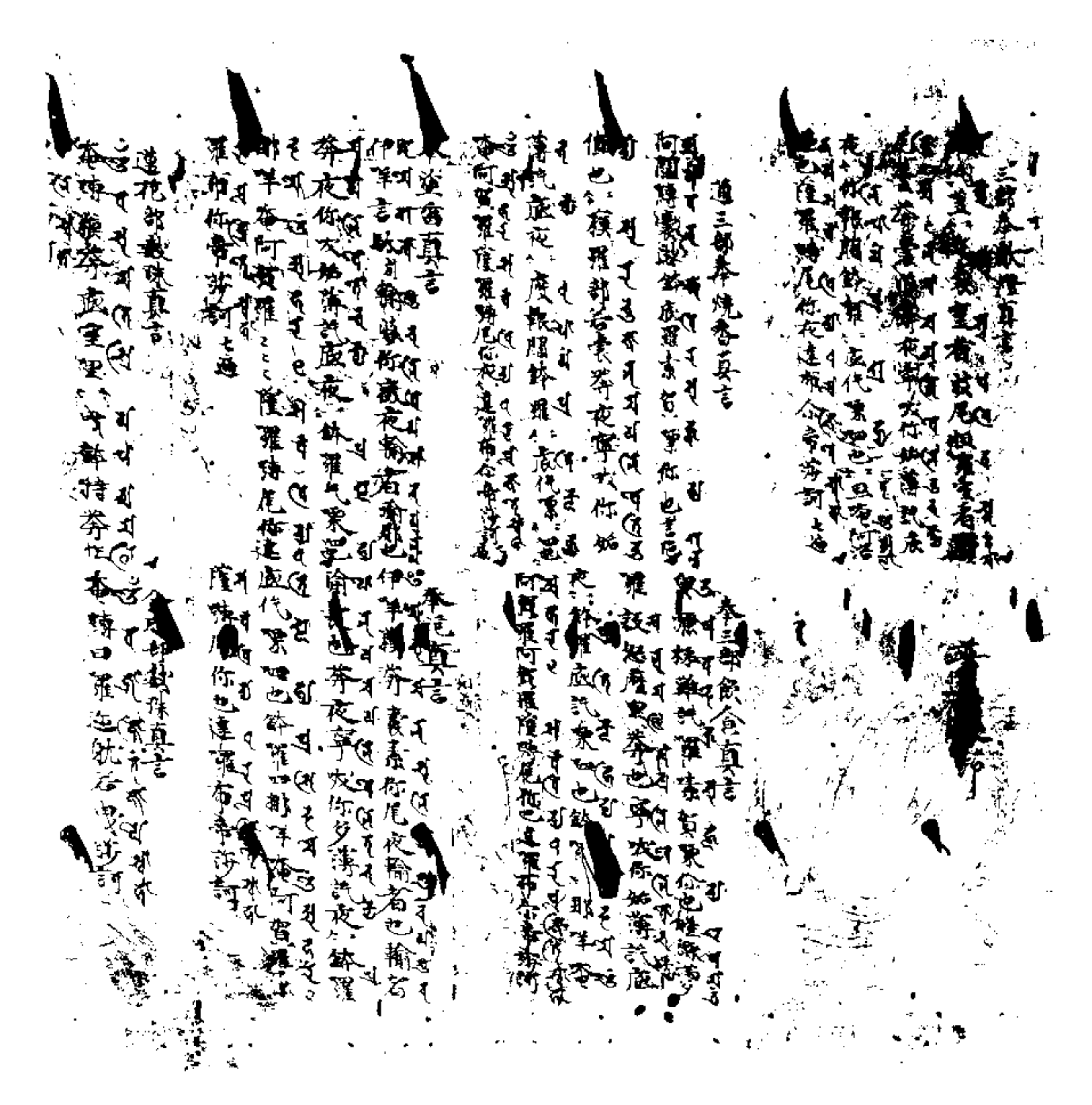


圖像 No. 91. 印名未詳


三部母　佛眼　白衣観音
三部主　輪王佛頂　馬頭観音
三明妃　無能勝　多羅
三忿怒　不動尊　蓮花軍荼利

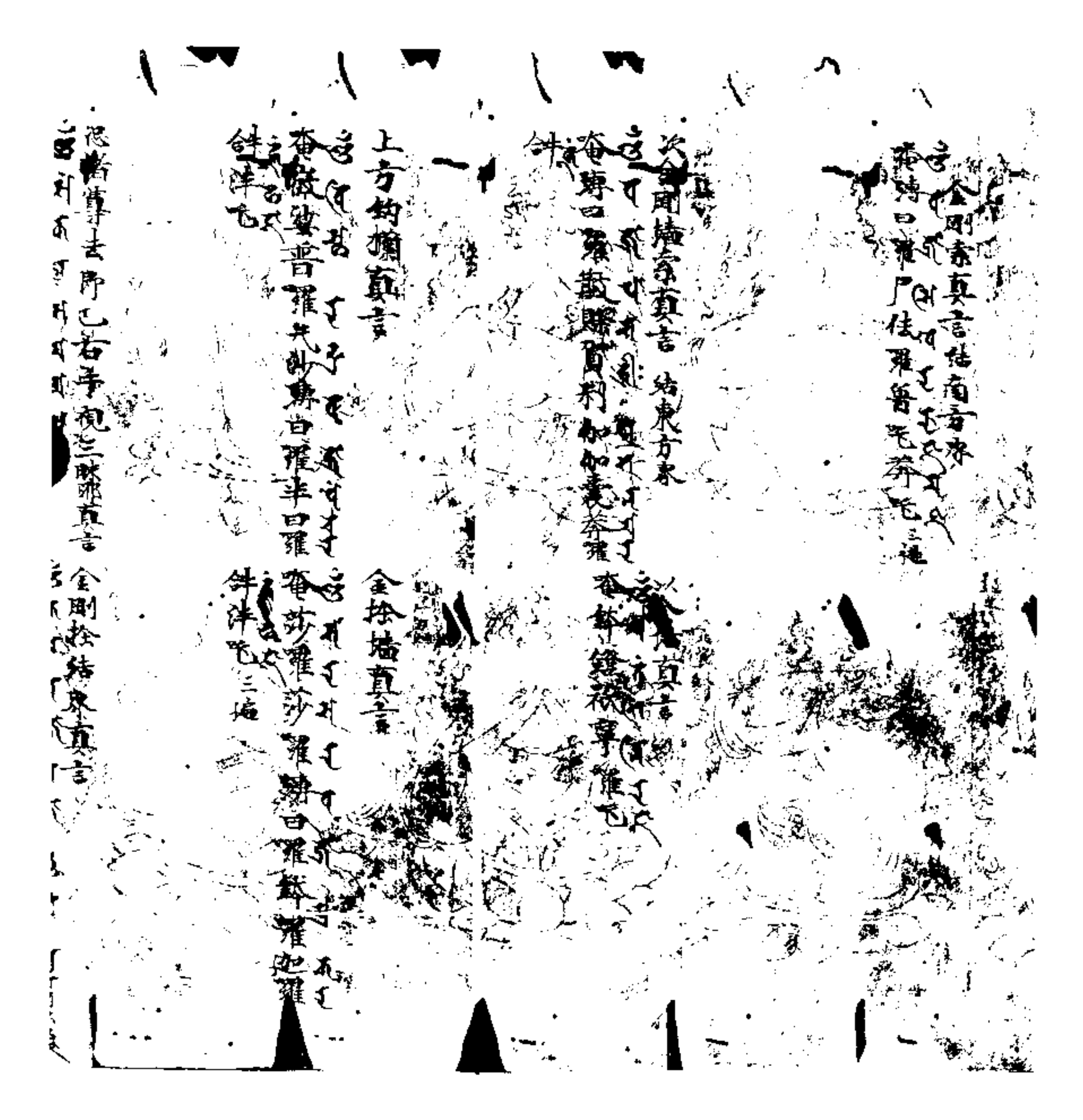


表背 No. 1, (上) 〔cf. p. 17, No. 87〕 裏背 No. 2, (上) 〔cf. p. 17, No. 85〕 裏背 No. 3, (下) 〔cf. p. 17, No. 86〕

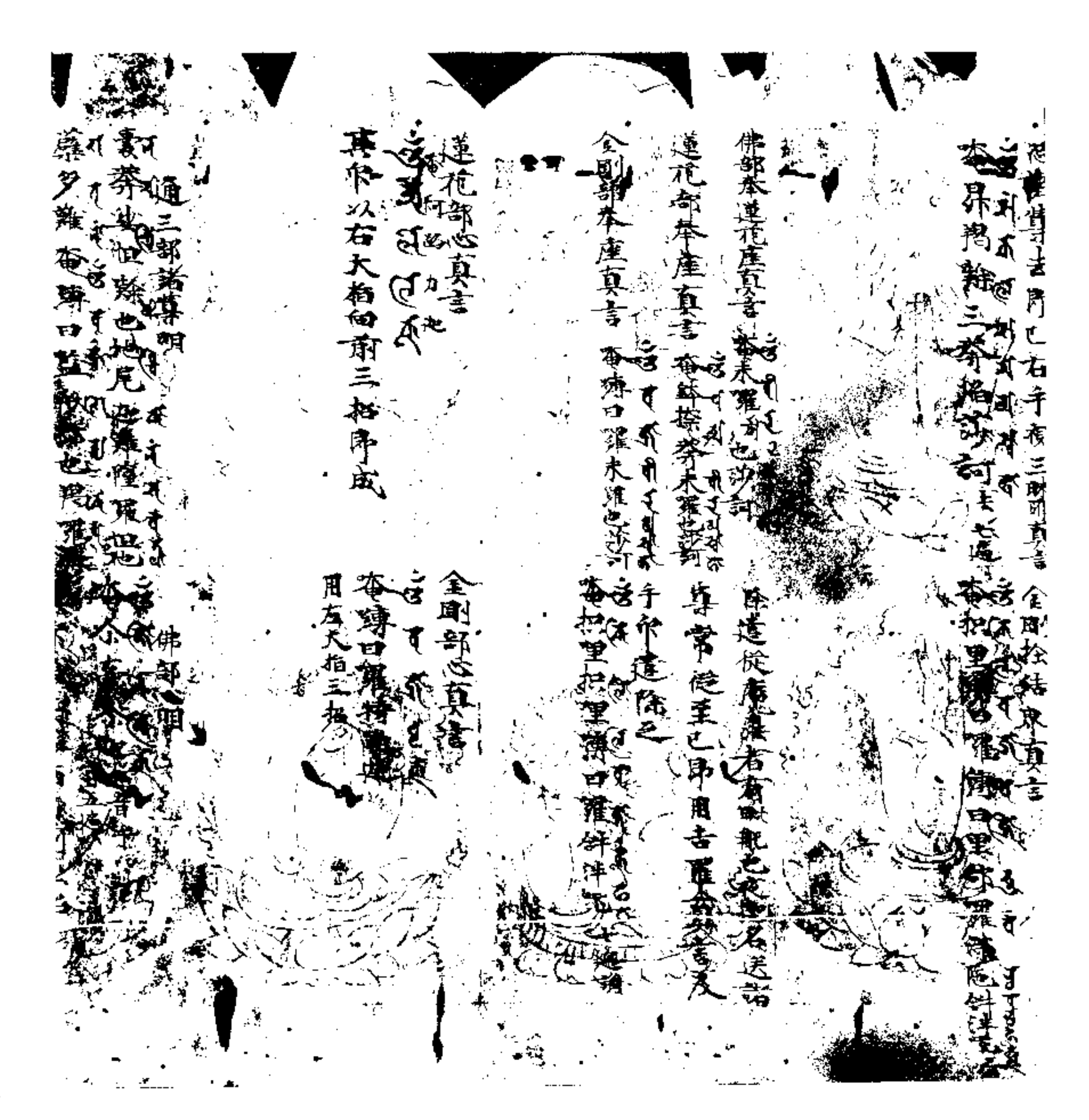


裏書 No. 4, (上) [cf. p. 16, No. 81] 裏書 No. 5, (下) [cf. p. 16, No. 82] 裏書 No. 6, (上) [cf. p. 16, No. 79] 裏書 No. 7, (下) [cf. p. 16, No. 80] 裏書 No. 8, (上) [cf. p. 15, No. 77] 裏書 No. 9, (下) [cf. p. 15, No. 78] 裏書 No. 10, (上) [cf. p. 15, No. 75] 裏書 No. 11, (下) [cf. p. 15, No. 76]

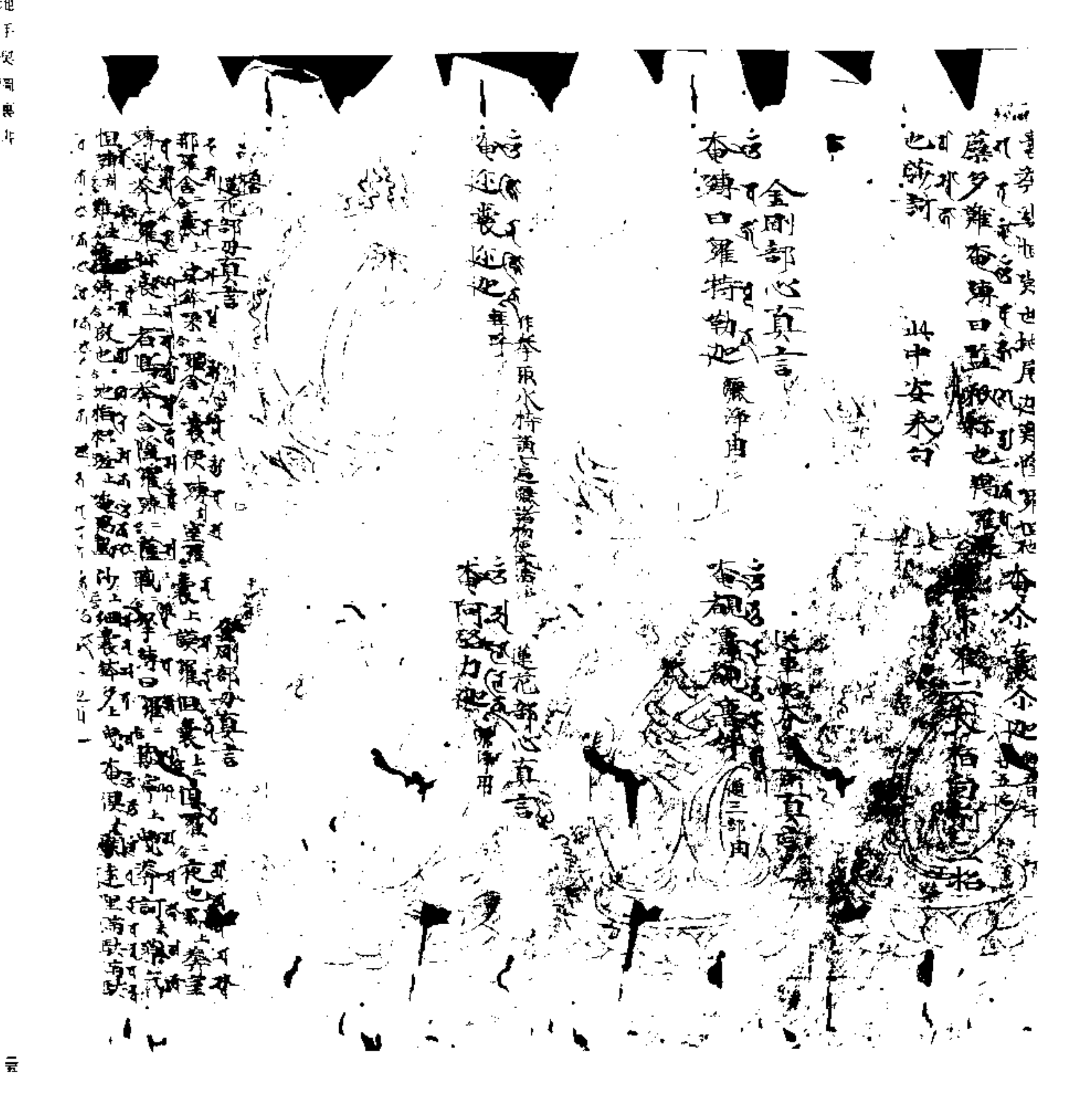
裏書 No. 12.（上）〔cf. p. 15, No. 73〕　裏書 No. 13.（下）〔cf. p. 15, 74〕　裏書 No. 14.（上）〔cf. p. 14, No. 71〕　裏書 No. 15.（下）〔cf. p. 14, No. 72〕　裏書 No. 16.（上）〔cf. p. 14, No. 69〕　裏書 No. 17.（上）〔cf. p. 14, No. 70〕



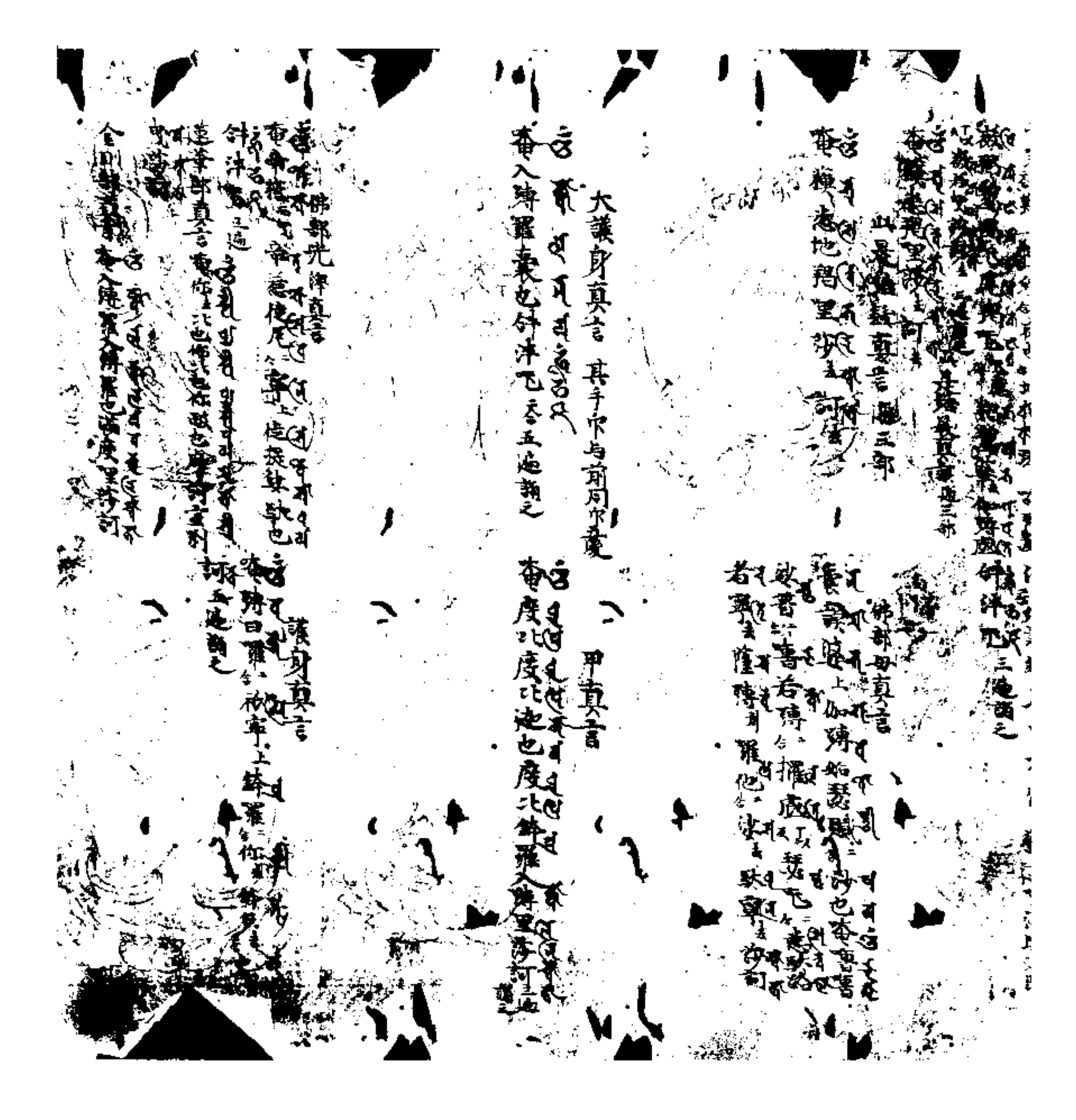
裏書 No. 18.（上）〔cf. p. 14, No. 67〕 裏書 No. 19.（上）〔cf. p. 13, No. 65〕 裏書 No. 20（下）〔cf. p. 13, No. 66〕 裏書 No. 21.（上）〔cf. p. 13, No. 63〕 裏書 No. 22.（下）〔cf. p. 13, No. 64〕 裏書 No. 23.（上）〔cf. p. 13, No. 61〕 裏書 No. 24.（下）〔cf. p. 13, No. 62〕



裏書 No. 25.（上）〔cf. p. 12, No. 59〕 裏書 No. 26.（下）〔cf. p. 12, No. 60〕 裏書 No. 27.（上）〔cf. p. 12, No. 57〕 裏書 No. 28.（下）〔cf. p. 12, No. 58〕 裏書 No. 29.（上）〔cf. p. 12, No. 55〕 裏書 No. 30.（下）〔cf. p. 14, No. 56〕



裏書 No. 31.（上）〔cf. p. 11, No. 53〕　裏書 No. 32.（下）〔cf. p. 11, No. 54〕　裏書 No. 33.（上）〔cf. p. 11, No. 51〕　裏書 No. 34.（下）〔cf. p. 11, No. 52〕　裏書 No. 35.（上）〔cf. p. 11, No. 49〕　裏書 No. 36.（下）〔cf. p. 11, No. 50〕



裏書 No. 37. (上) [cf. p. 10, No. 47] 裏書 No. 38. (下) [cf. 10, No. 48] 裏書 No. 39. (上) [cf. p. 10, No. 45]
裏書 No. 40. (下) [cf. p. 10, No. 46] 裏書 No. 41. (上) [cf. p. 10, No. 43] 裏書 No. 42. (下) [cf. p. 10, No. 44]

辟除諸部真言

唵 ... 吽泮吒 七遍誦之

辟除真言

除身中穢觸夜叉真言

唵 ... 莎訶 五遍誦

金剛部三昧耶真言

唵 ... 莎訶 五遍誦

蓮花部三昧耶真言

唵 ... 莎訶 五遍誦

佛部三昧耶真言 五遍

唵 ... 莎訶

裏書 No. 43.（上）［cf. p. 9, No. 41］
裏書 No. 46.（下）［cf. p. 9, No. 40］
裏書 No. 49.（上）［cf. p. 8, No. 35］
裏書 No. 44.（下）［cf. p. 9, No. 42］
裏書 No. 47.（上）［cf. p. 9, No. 37］
裏書 No. 50.（下）［cf. p. 8, No. 36］
裏書 No. 45.（上）［cf. p. 9, No. 39］
裏書 No. 48.（下）［cf. p. 9, No. 38］

蓮花部欲水灑淨真言

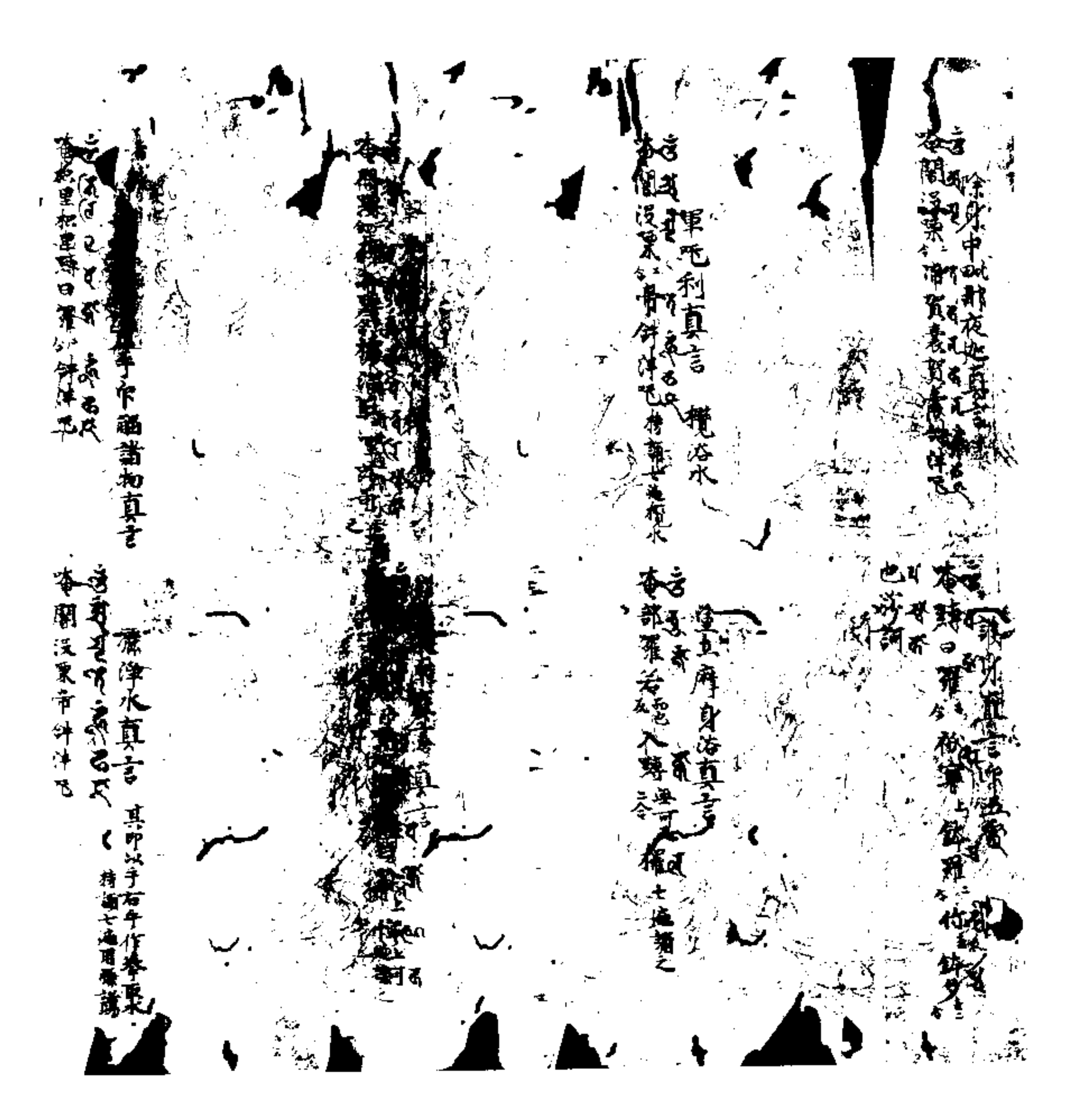
金剛部灑身真言

佛部欲水灑淨真言

裏書 No. 51. (上) [cf. p. 8, No. 33]
裏書 No. 54. (下) [cf. p. 8, No. 32]
裏書 No. 57. (上) [cf. p. 7, No. 27]

裏書 No. 52. (下) [cf. p. 8, No. 34]
裏書 No. 55. (上) [cf. p. 7, No. 29]
裏書 No. 58. (下) [cf. p. 7, No. 28]

裏書 No. 53. (上) [cf. p. 8, No. 31]
裏書 No. 56. (下) [cf. p. 7, No. 30]



裏書 No. 59.（上）〔cf. p. 7, No. 25〕　裏書 No. 60.（下）〔cf. p. 7, No. 26〕　裏書 No. 61.（上）〔cf. p. 6, No. 23〕
裏書 No. 62.（下）〔cf. p. 6, No. 24〕　裏書 No. 63.（上）〔cf. p. 6, No. 21〕　裏書 No. 64.（下）〔cf. p. 6, No. 22〕
裏書 No. 65.（上）〔cf. p. 6, No. 19〕　裏書 No. 66.（下）〔cf. p. 6, No. 20〕

唵枳里枳里嚩日囉二合吽泮吒

七遍誦之辟除去垢真言

唵闍沒栗帝吽泮吒

持誦七遍用灑淨

又辟除真言

唵枳里枳哩枳羅嚩日[illegible]捺羅二合吽泮吒

護身及結十方界真言

唵商迦棘三萃焰娑訶

解界法

辟除真言

曩上謨[illegible]嚩日囉[illegible]

南[illegible]瑜珱羅也泮吒二七遍

又辟除真言

唵嚩日羅[illegible]羅吽泮吒

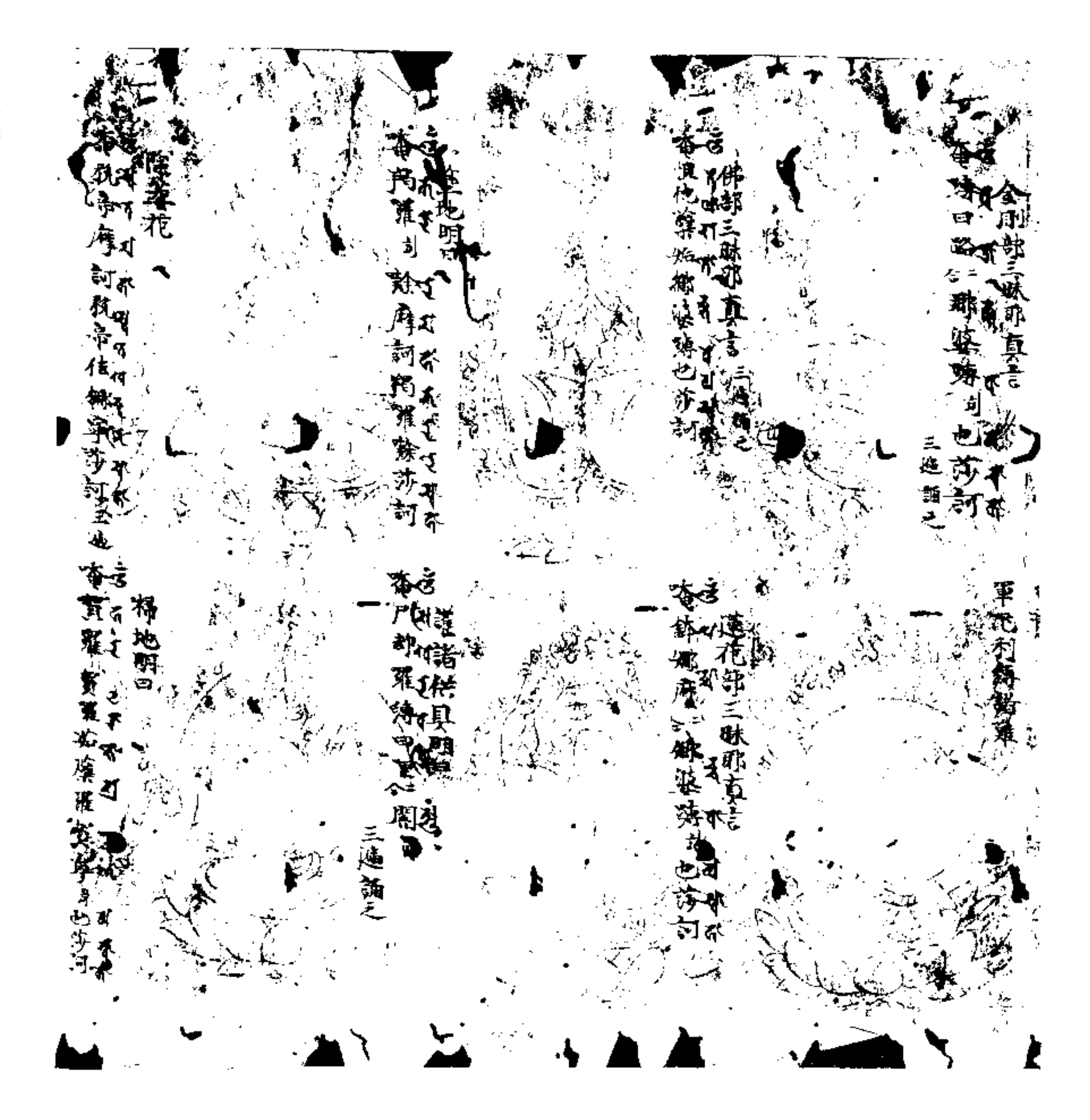
入道場辟除三遍誦

咒上真言

唵[illegible]淨上佉囊婆嚩上提[illegible]訶

建壇之

裏書 No. 67.（上）［cf. p. 5, No. 17］
裏書 No. 70.（下）［cf. p. 5, No. 16］
裏書 No. 68.（下）［cf. p. 5, No. 18］
裏書 No. 71.（下）［cf. p. 5, No. 14］
裏書 No. 69.（上）［cf. p. 5, No. 15］

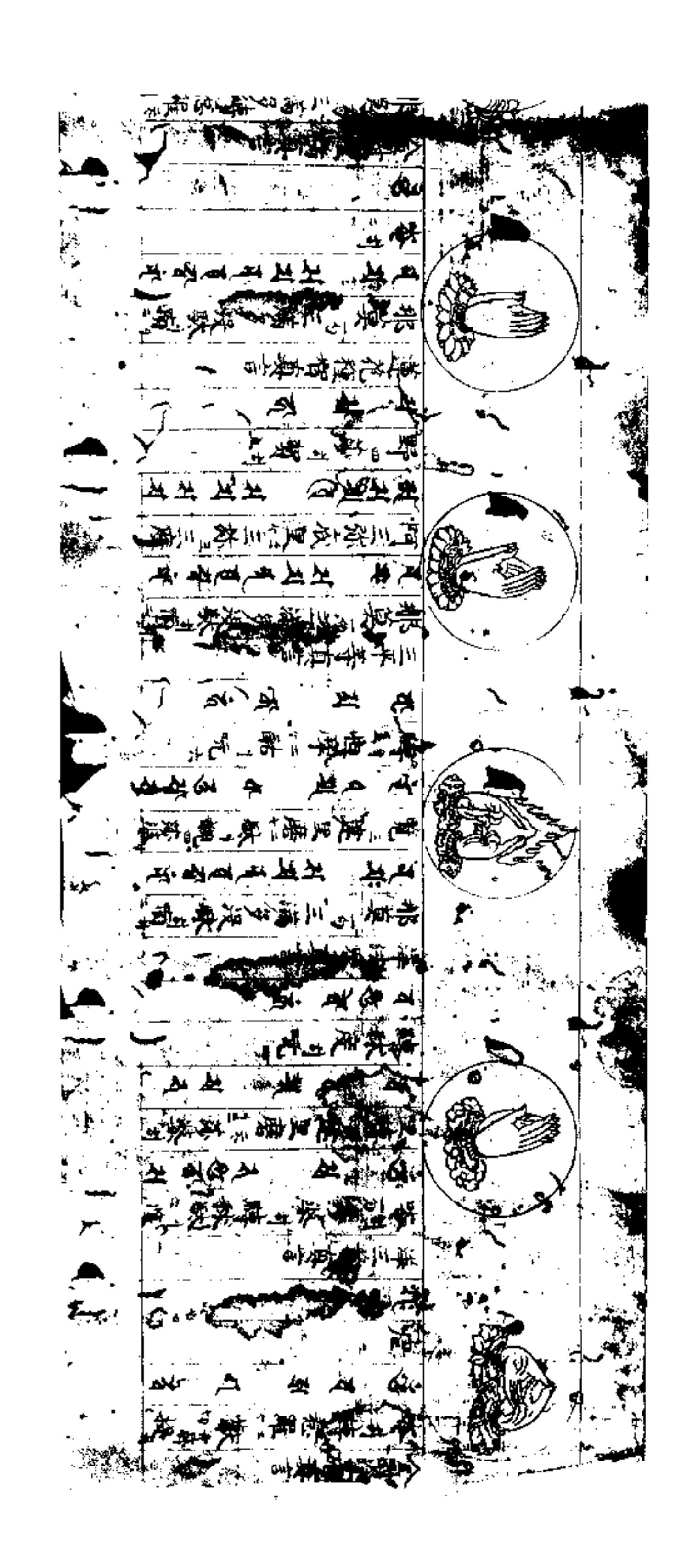


裏書 No. 72.（上）［cf. p. 4, No. 11］　裏書 No. 73.（下）［cf. p. 4, No. 12］　裏書 No. 74.（上）［cf. p. 4, No. 9］
裏書 No. 75.（下）［cf. p. 4, No. 10］　裏書 No. 76.（上）［cf. p. 4, No. 7］　裏書 No. 77.（下）［cf. p. 4, No. 8］

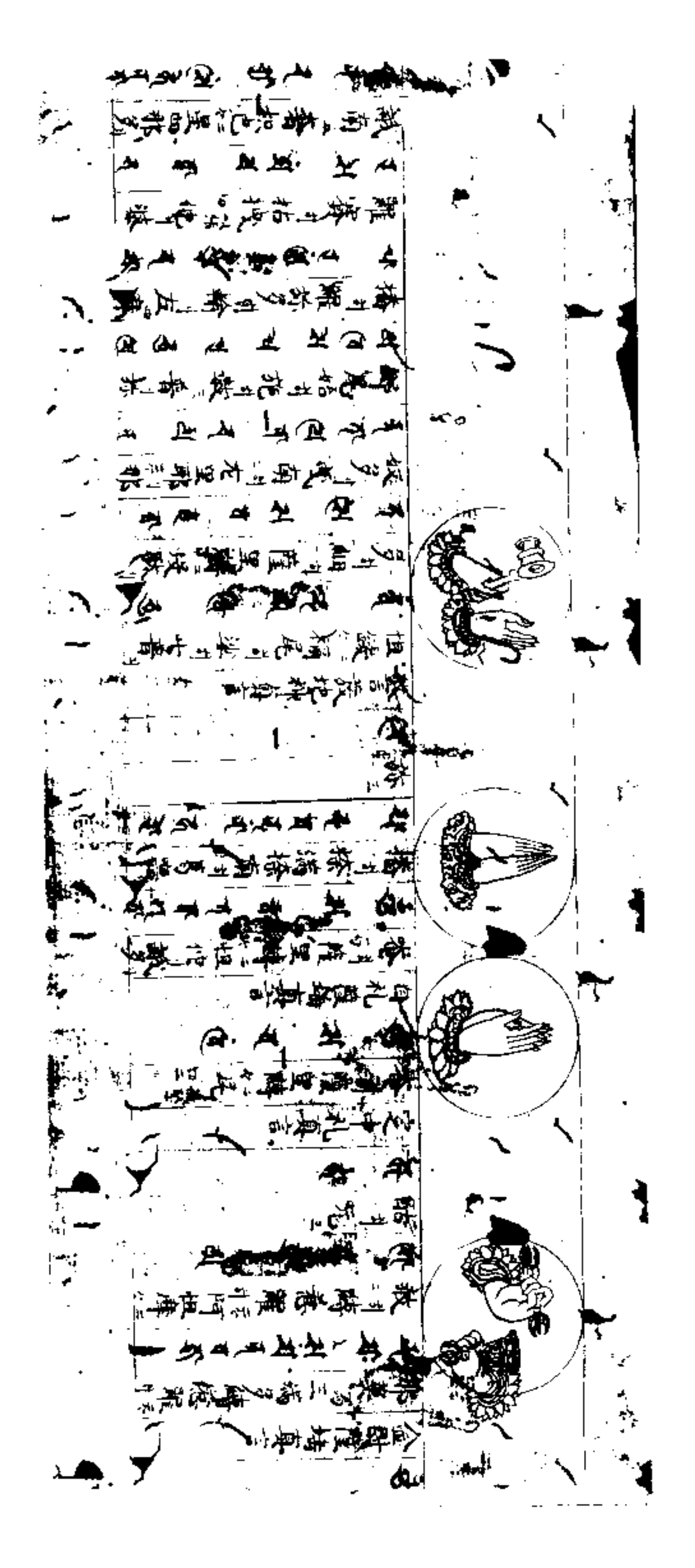
裏書 No. 78.（上）〔cf. p. 3, No. 5〕　裏書 No. 79.（下）〔cf. p. 3, No. 6〕　裏書 No. 80.（上）〔cf. p. 3, No. 3〕　裏書 No. 81.（下）〔cf. p. 3, No. 4〕　裏書 No. 82.（上）〔cf. p. 3, No. 1〕

佛說大毘盧遮那成佛神變加持經修眞言行大悲胎藏生大曼拏羅王普通念誦儀軌

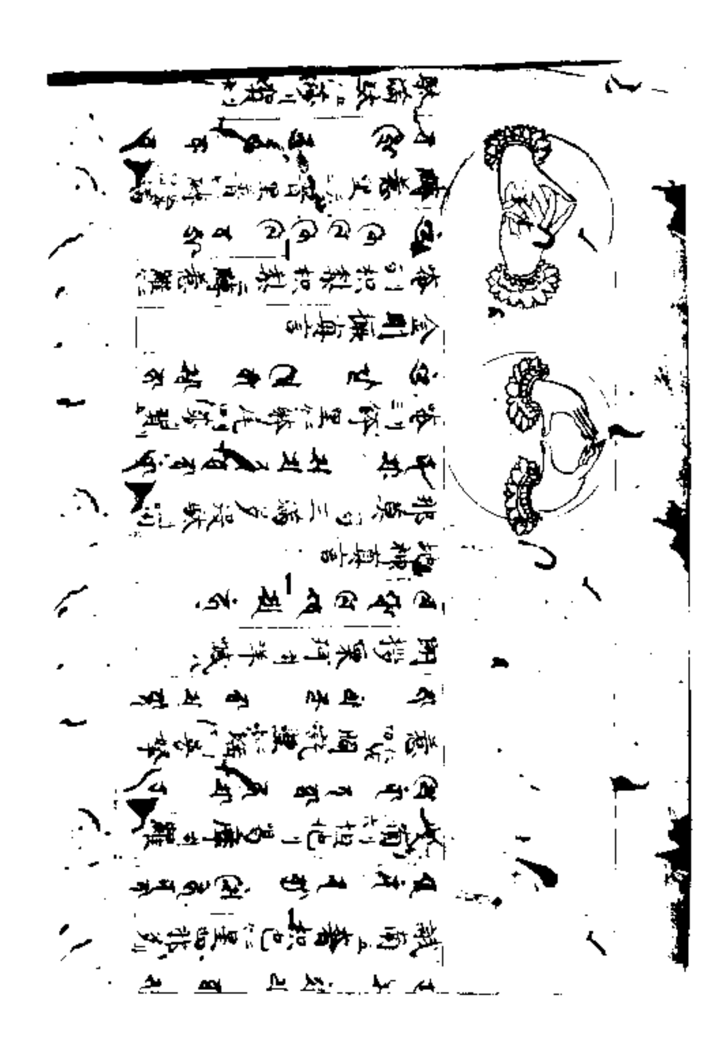
〔卷　上〕



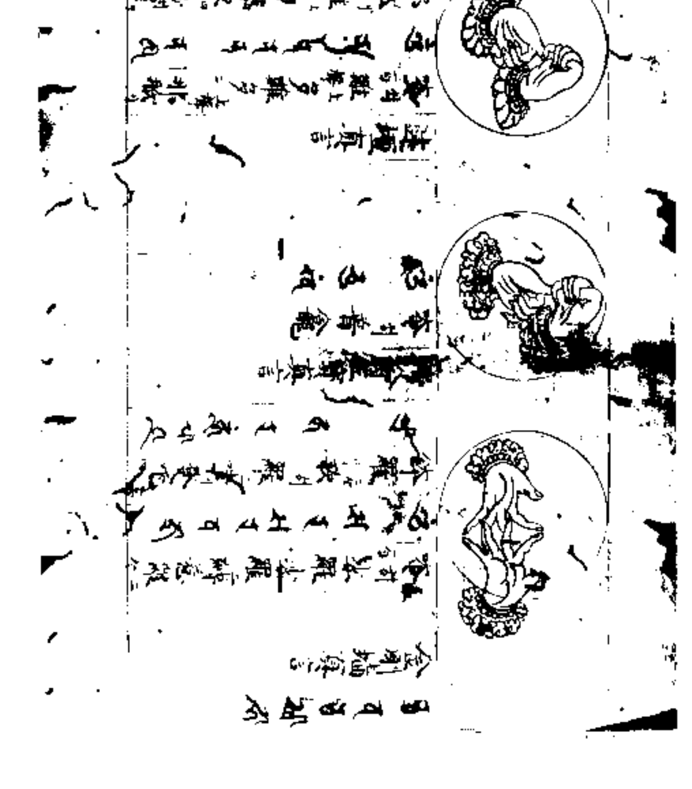
圖像 No. 1. 金剛塗香　圖像 No. 2. 淨三業　圖像 No. 3. 淨法界　圖像 No. 4. 三平等　圖像 No. 5. 蓮花積智



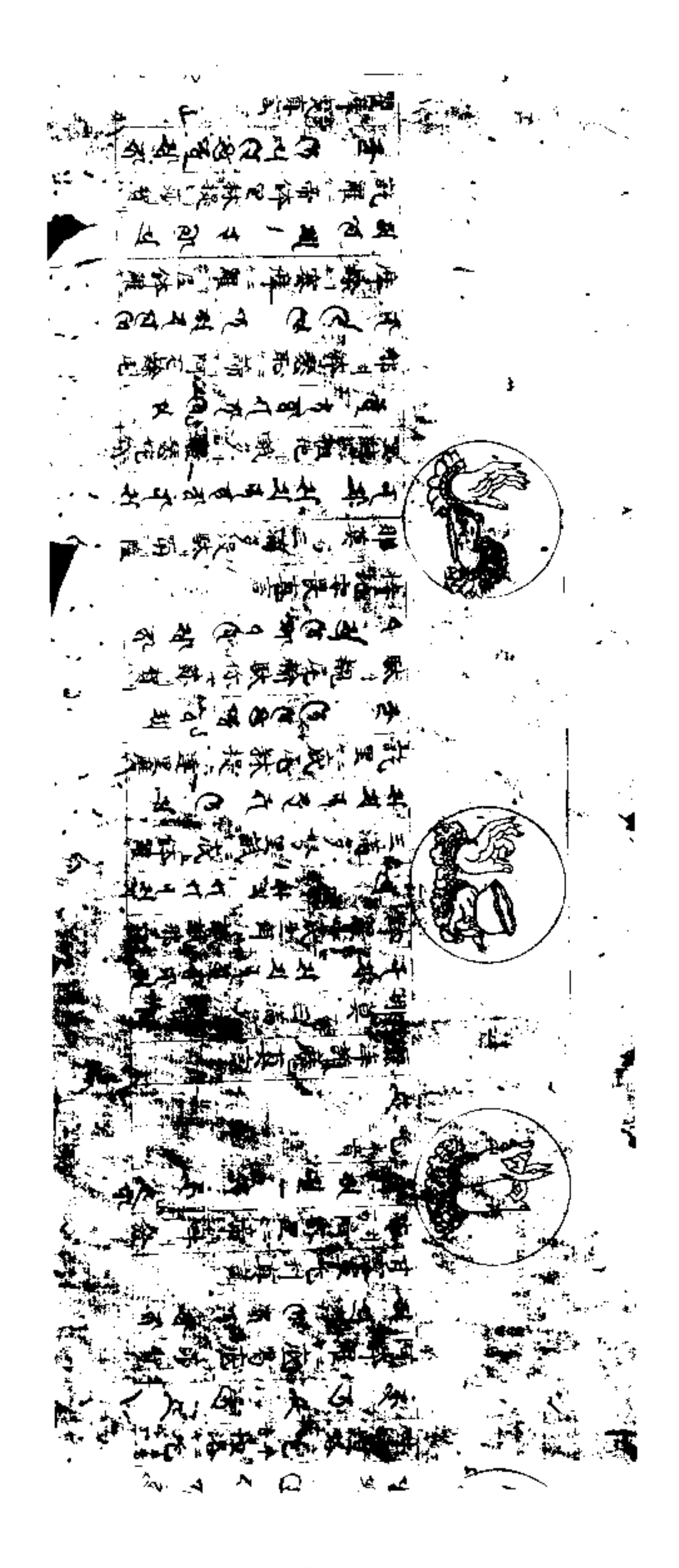
圖像 No. 6. 金剛薩埵　圖像 No. 7. 定中禮　圖像 No. 8. 自禮薩埵　圖像 No. 9. 警發地神



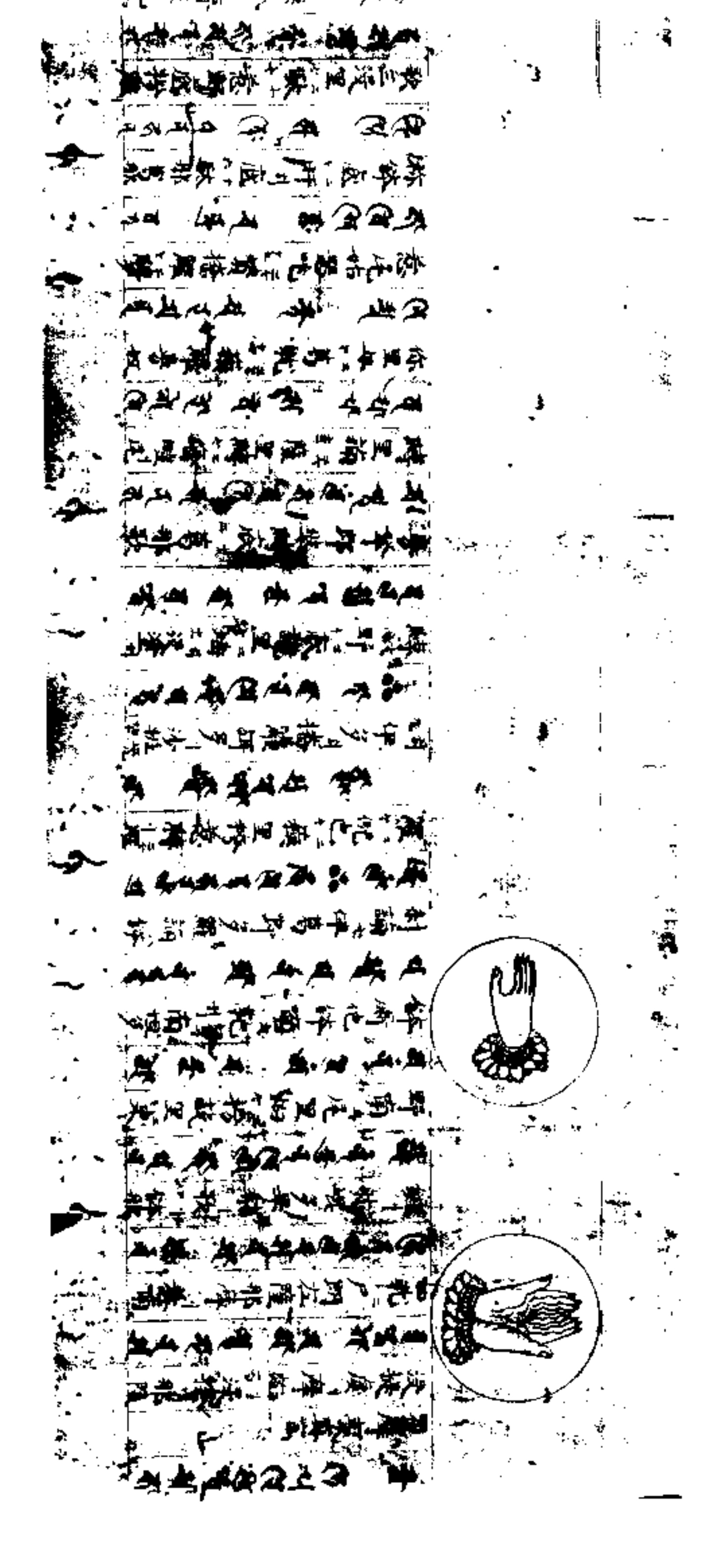
圖像 No. 10、地神　圖像 No. 11、金剛掬

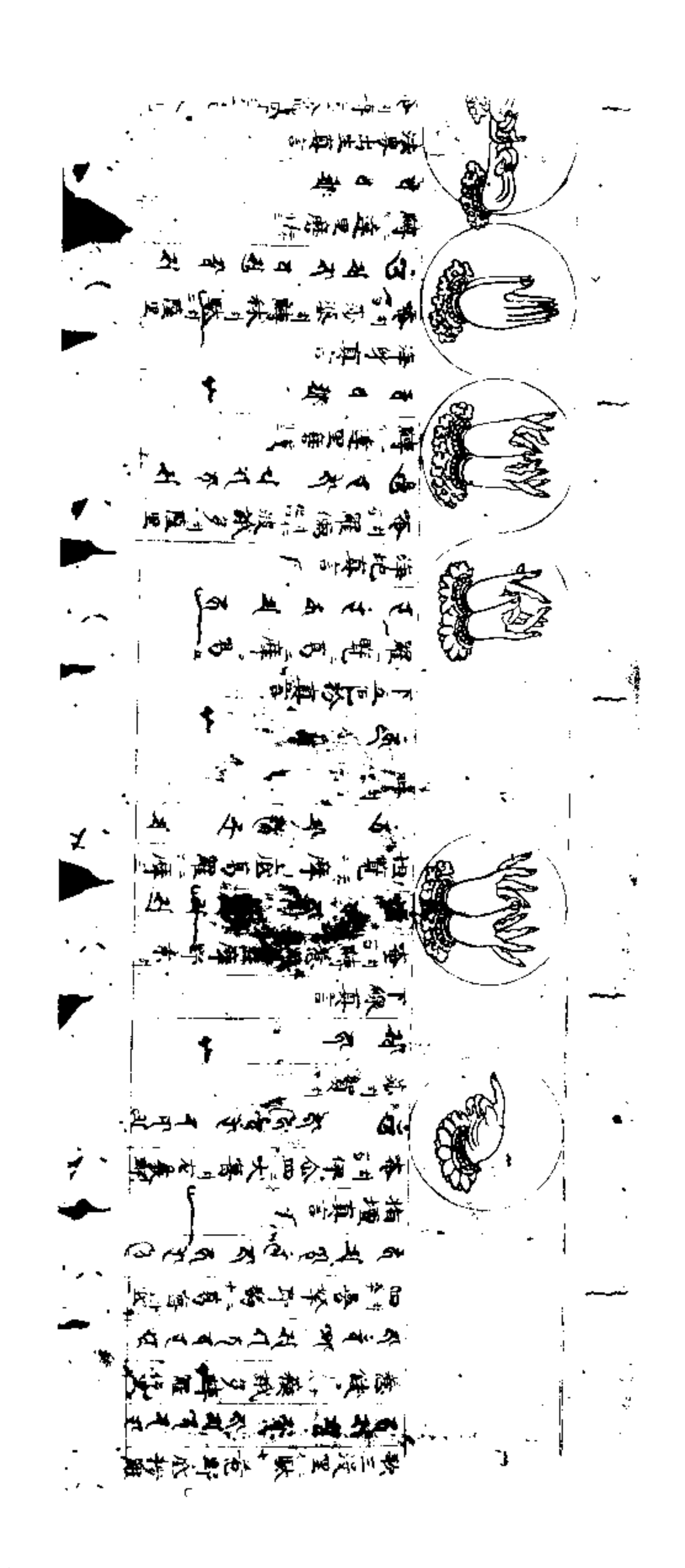


圖像 No. 12. 金剛牆　圖像 No. 13. 歸命三寶　圖像 No. 14. 建壇　圖像 No. 15. 大力大護明妃

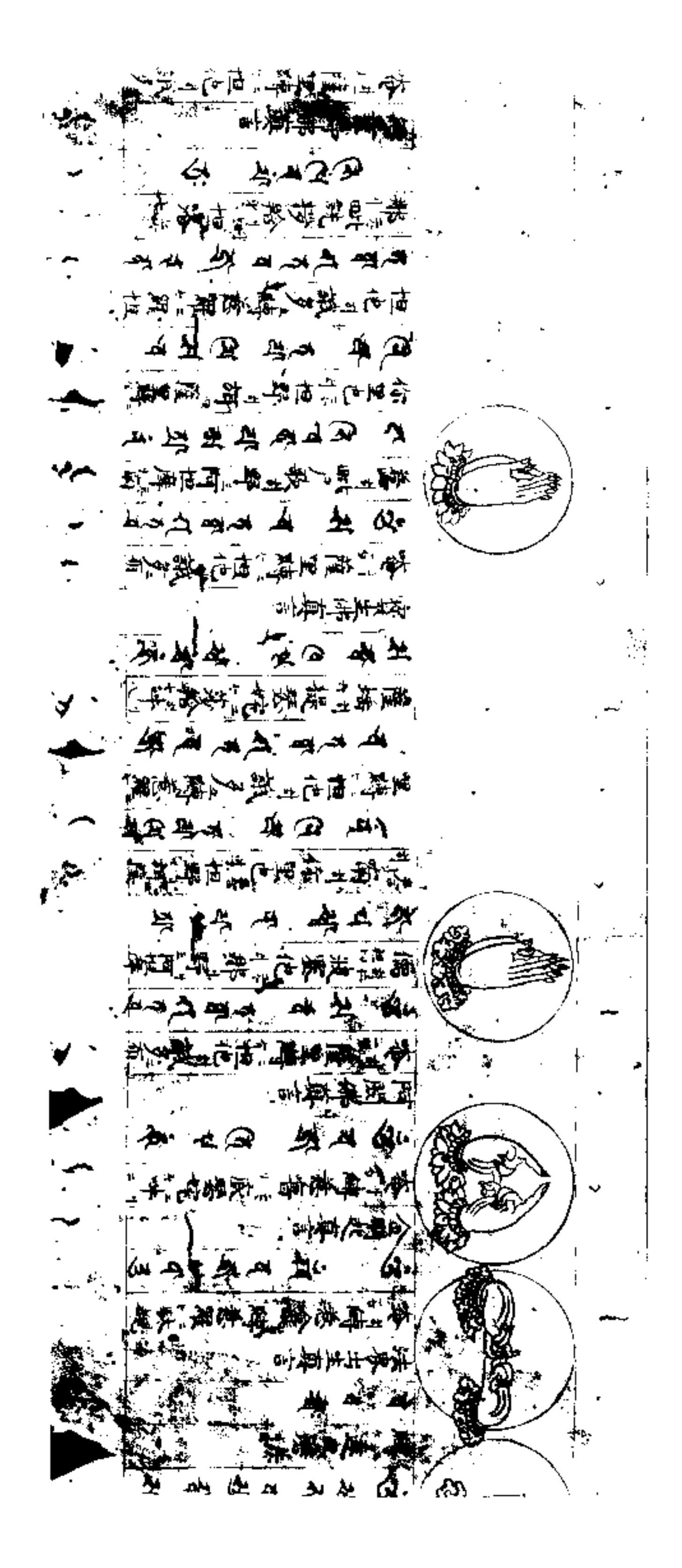


圖像 No. 16、甘露軍吒利　圖像 No. 17. 澗淨護魔　圖像 No. 18、持地安提

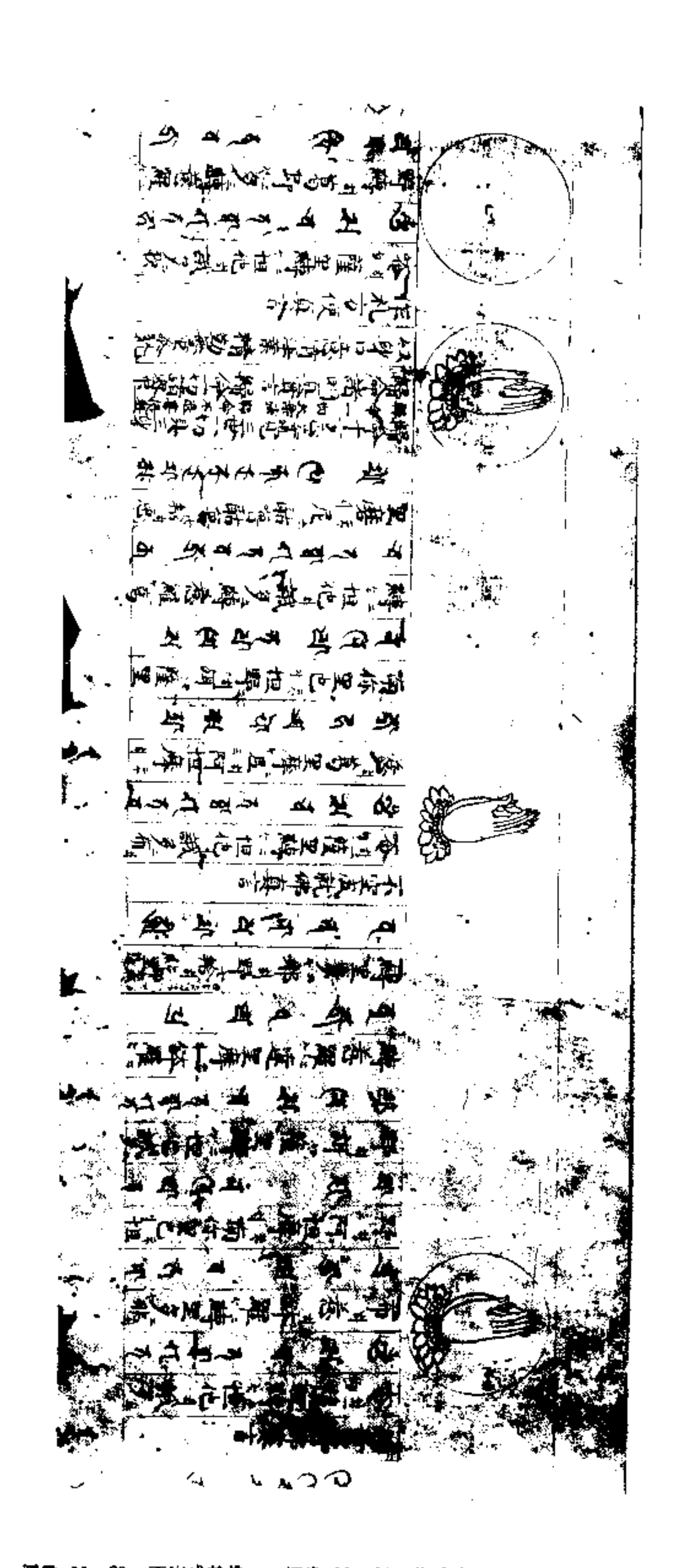




圖像 No. 20, 指壇　圖像 No. 21, 下線　圖像 No. 22, 下五色粉　圖像 No. 23, 淨地　圖像 No. 24, 淨身

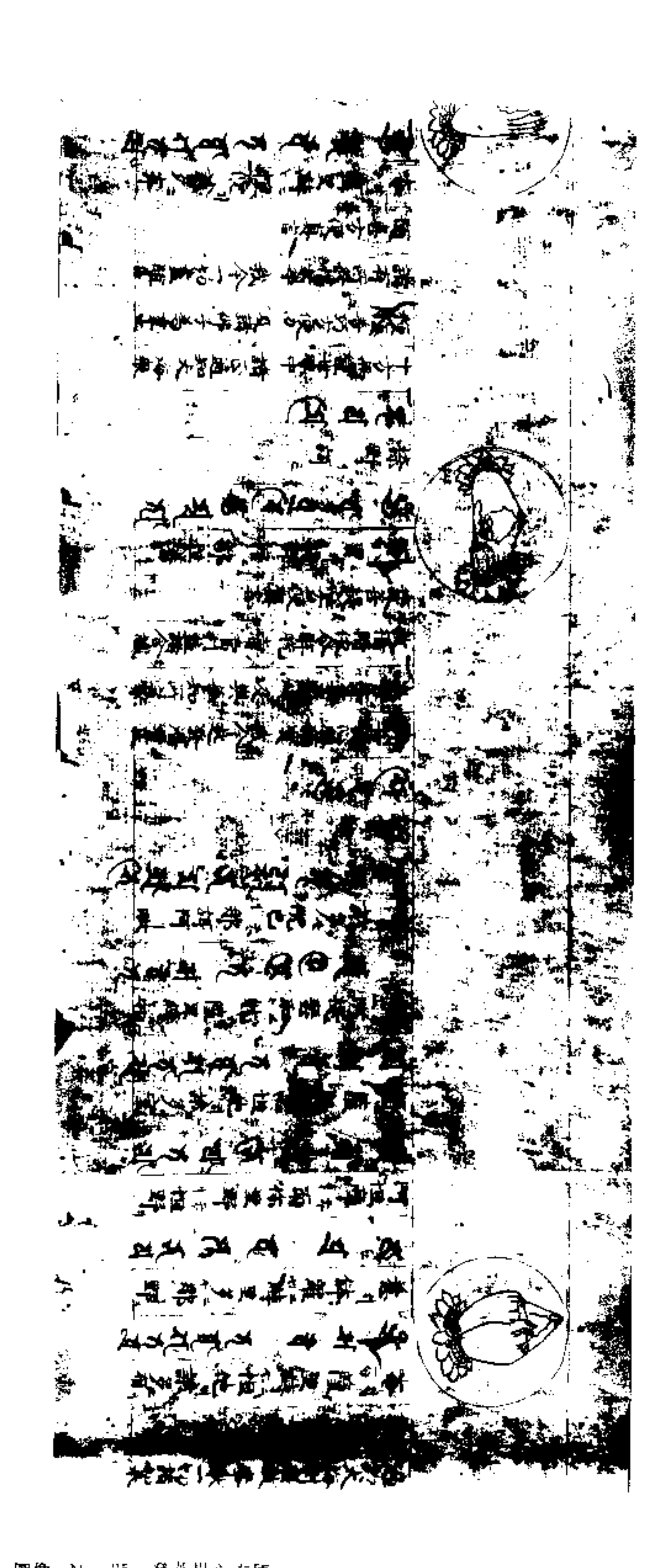


圖像 No. 25、法界出生　圖像 No. 26、金剛起　圖像 No. 27、阿閦佛　圖像 No. 28、寶生佛



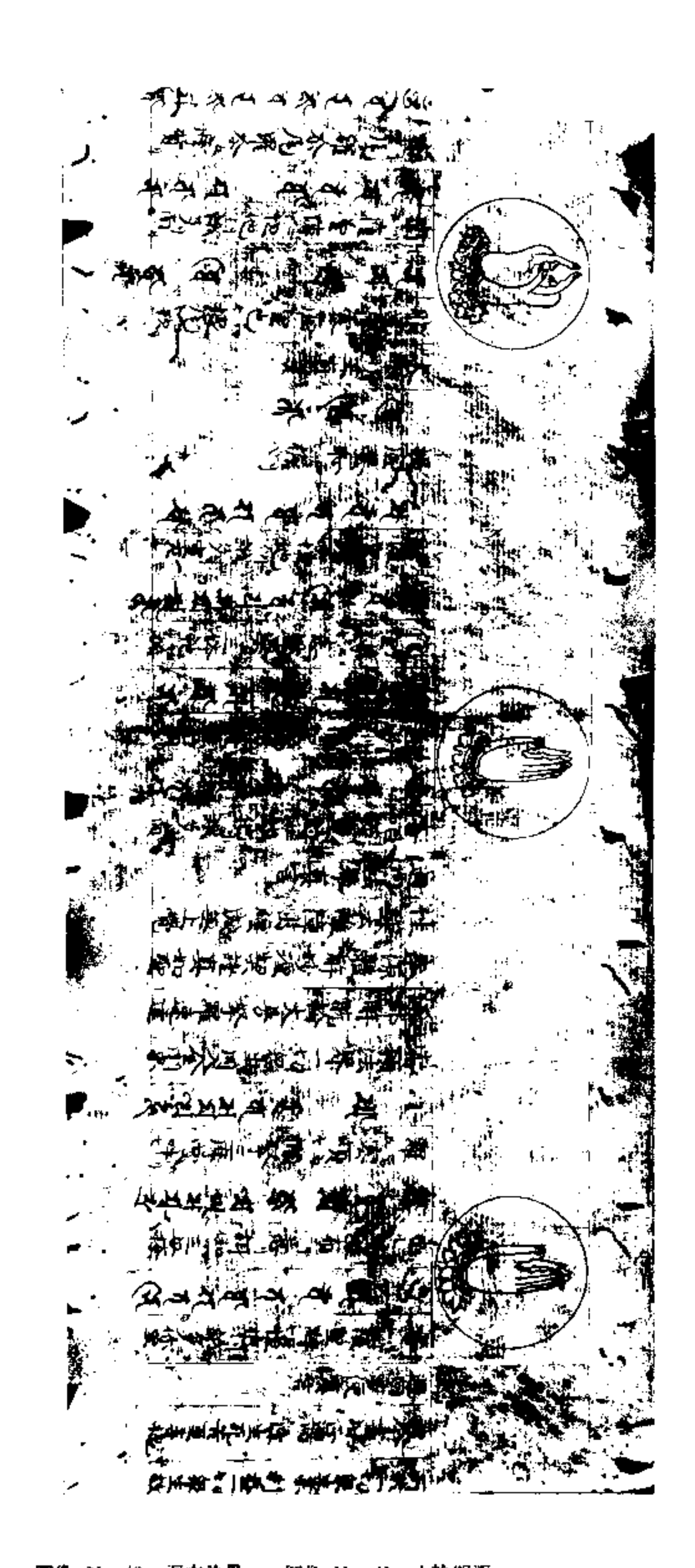
圖像 No. 29. 無量壽佛　　圖像 No. 30. 不空成就佛　　圖像 No. 31. 作禮方便

圖像 No. 32、出罪方便　　圖像 No. 33、歸依方便

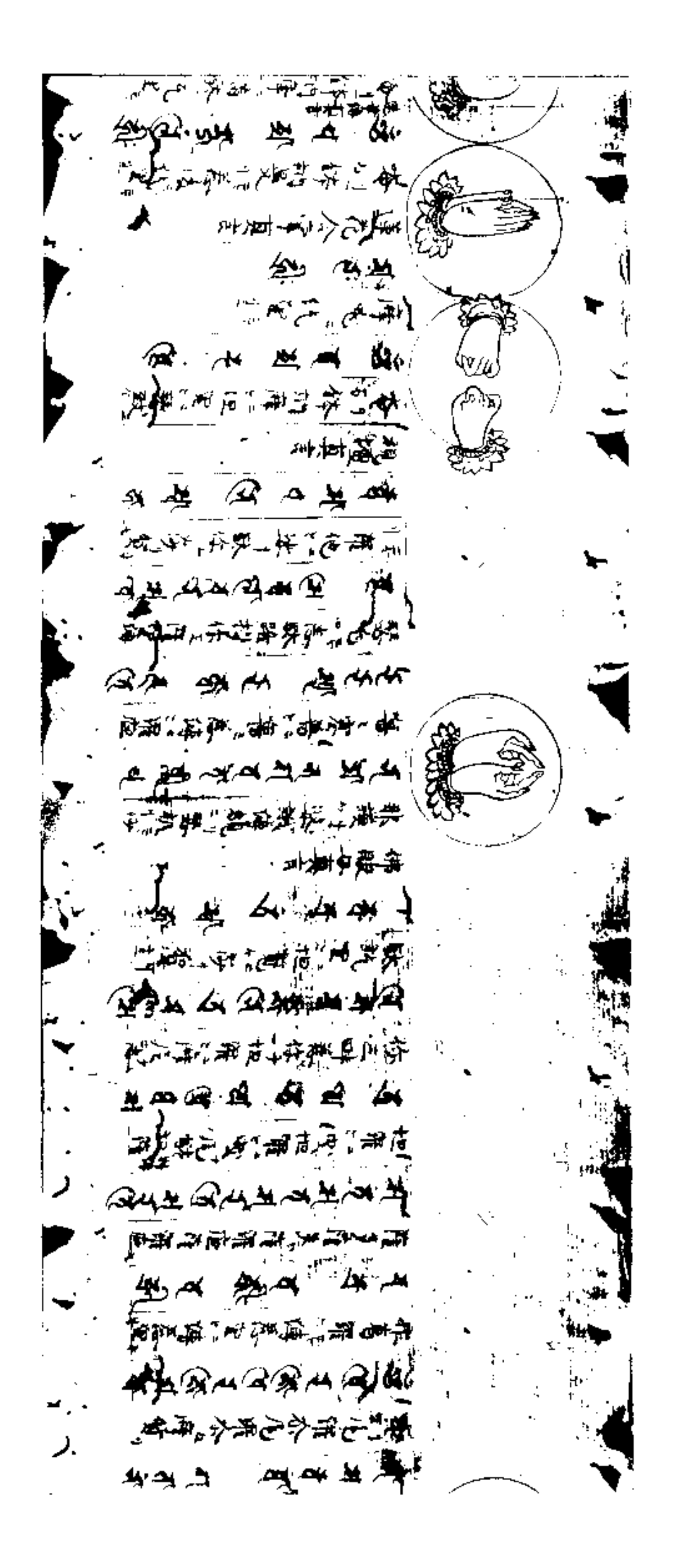


圖像 No. 34. 施身方便　圖像 No. 35. 發菩提心方便

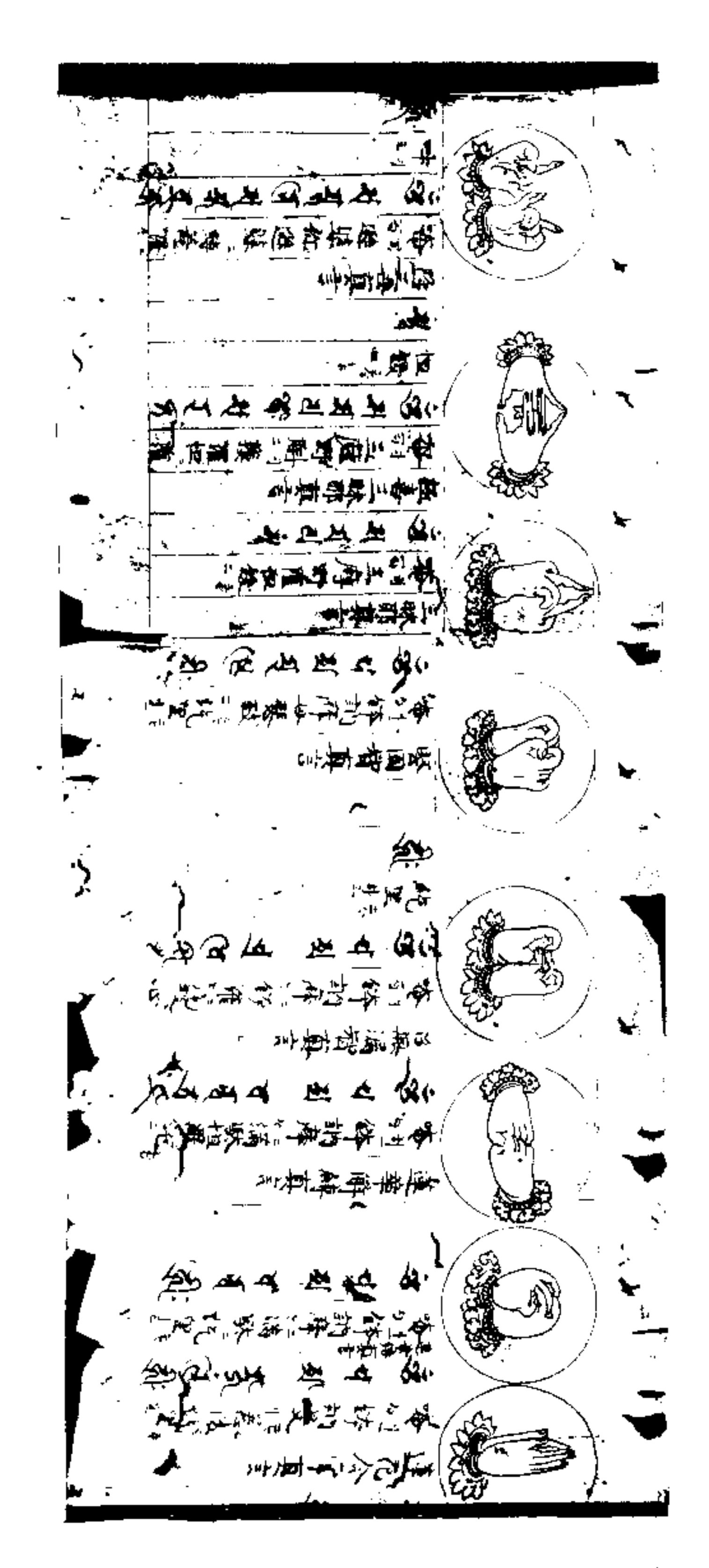
圖像 No. 36、隨喜方便　圖像 No. 37、勸請方便　圖像 No. 38、奉請法身方便



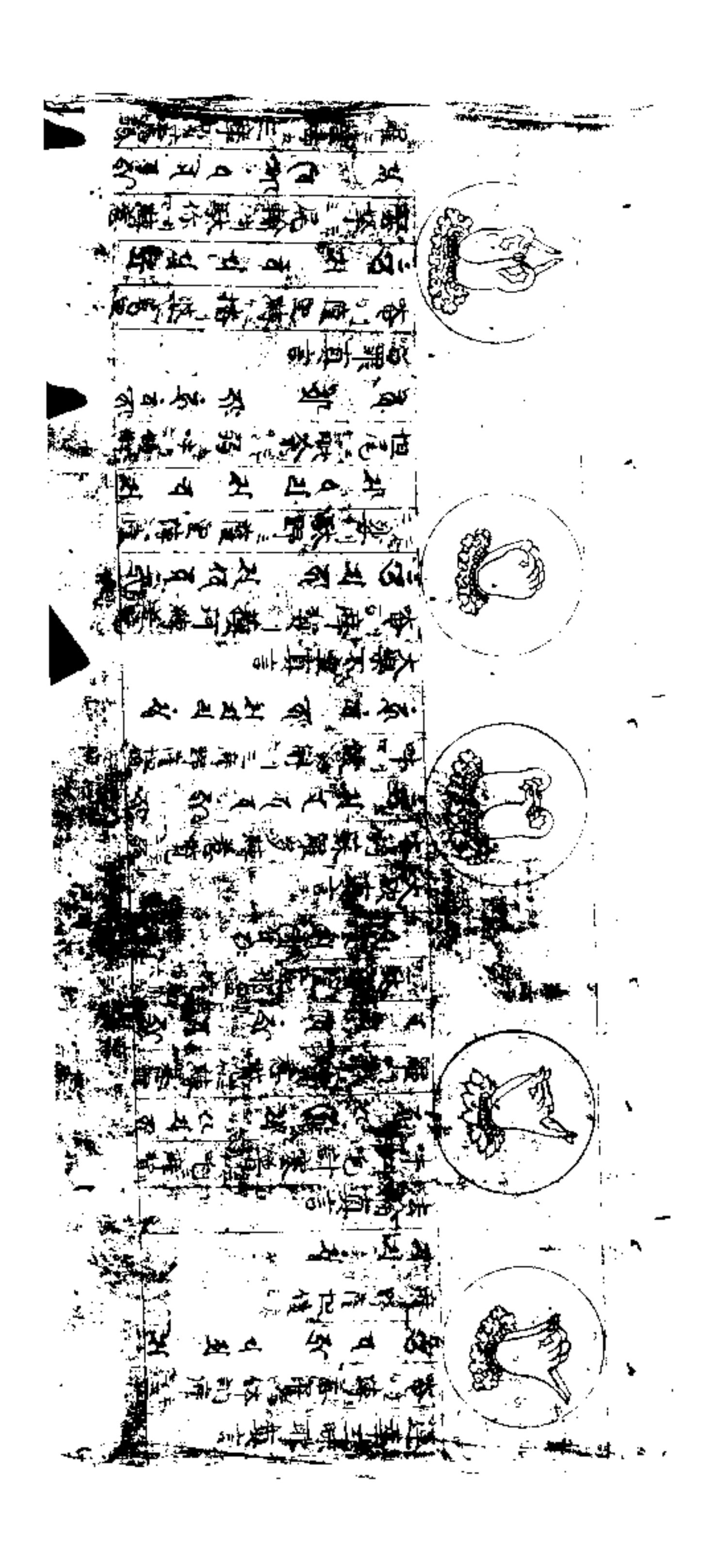
圖像 No. 39. 迴向方便　圖像 No. 40. 迴向法界　圖像 No. 41. 大輪明王



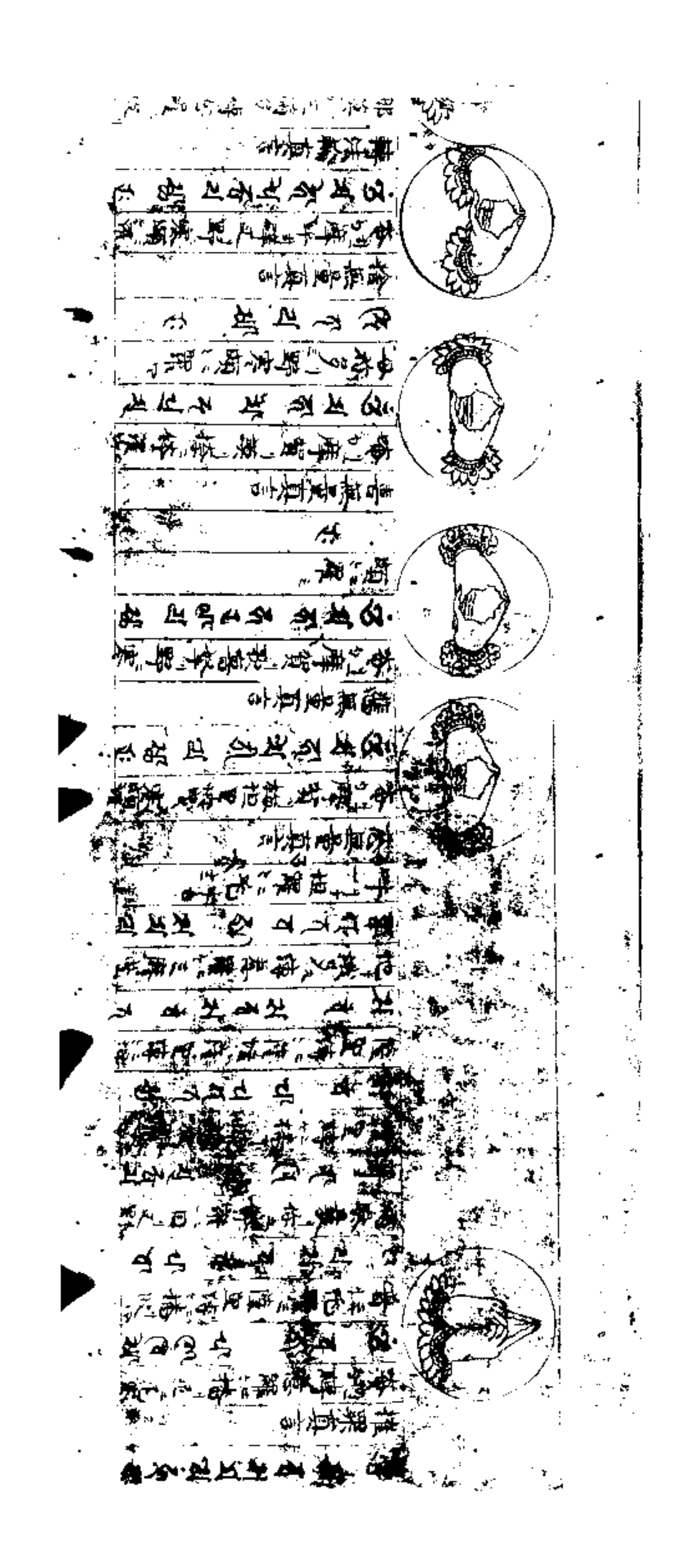
圖像 No. 42. 佛眼母　圖像 No. 43. 視壇　圖像 No. 44. 蓮花合掌



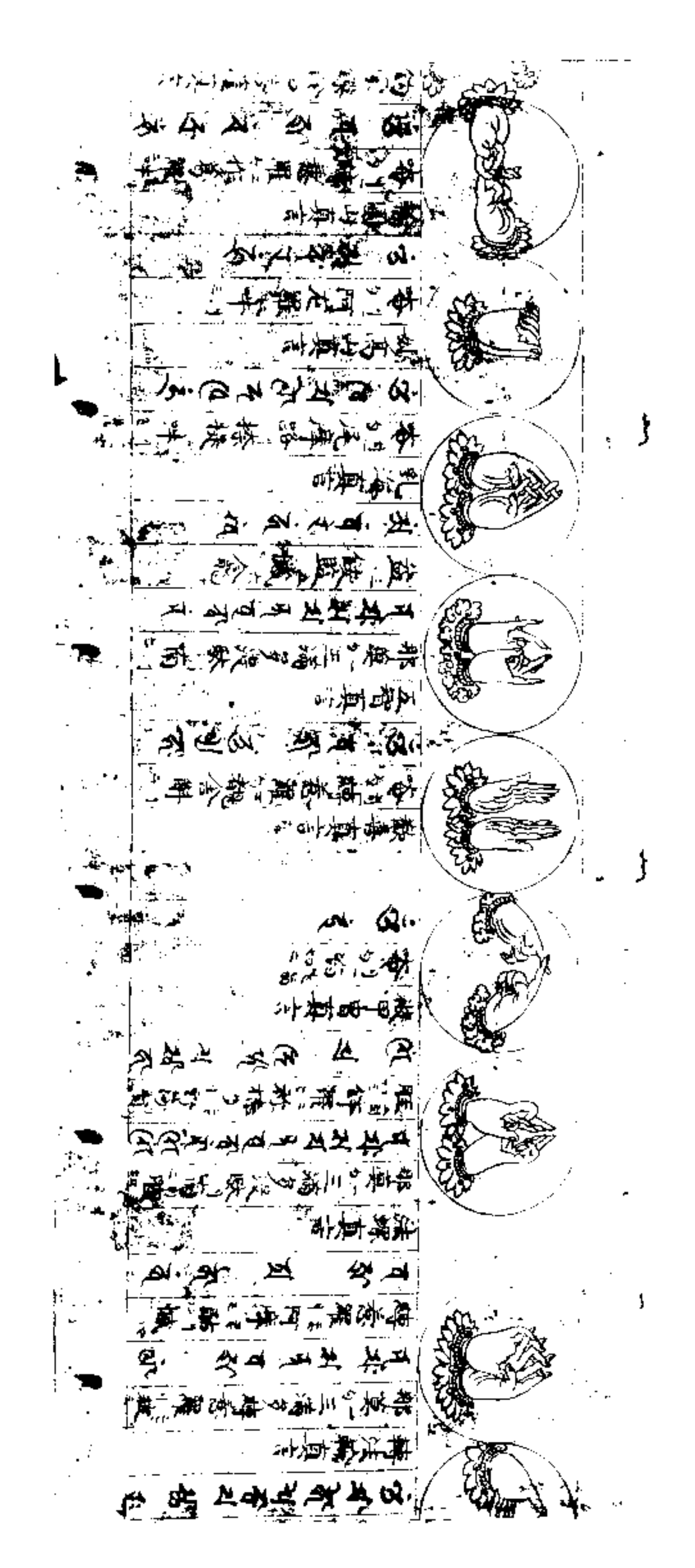
圖像 No. 45、蓮華縛　圖像 No. 46、蓮華解縛　圖像 No. 47、召無漏智　圖像 No. 48、堅固智　圖像 No. 49、三昧耶
圖像 No. 50、極喜三昧耶　圖像 No. 51、降三世



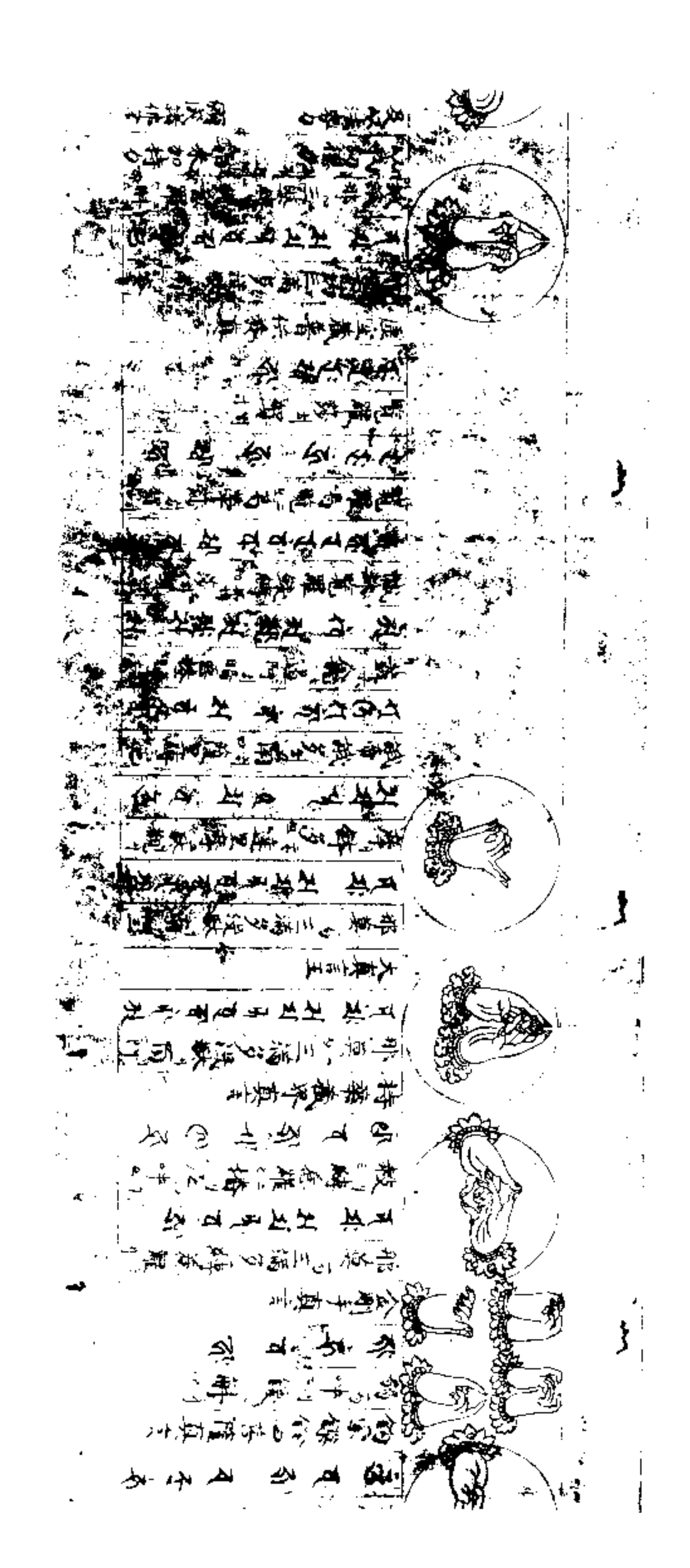
圖像 No. 52. 蓮華三昧耶　圖像 No. 53. 法輪　圖像 No. 54. 大欲　圖像 No. 55. 大樂不空　圖像 No. 56. 召罪



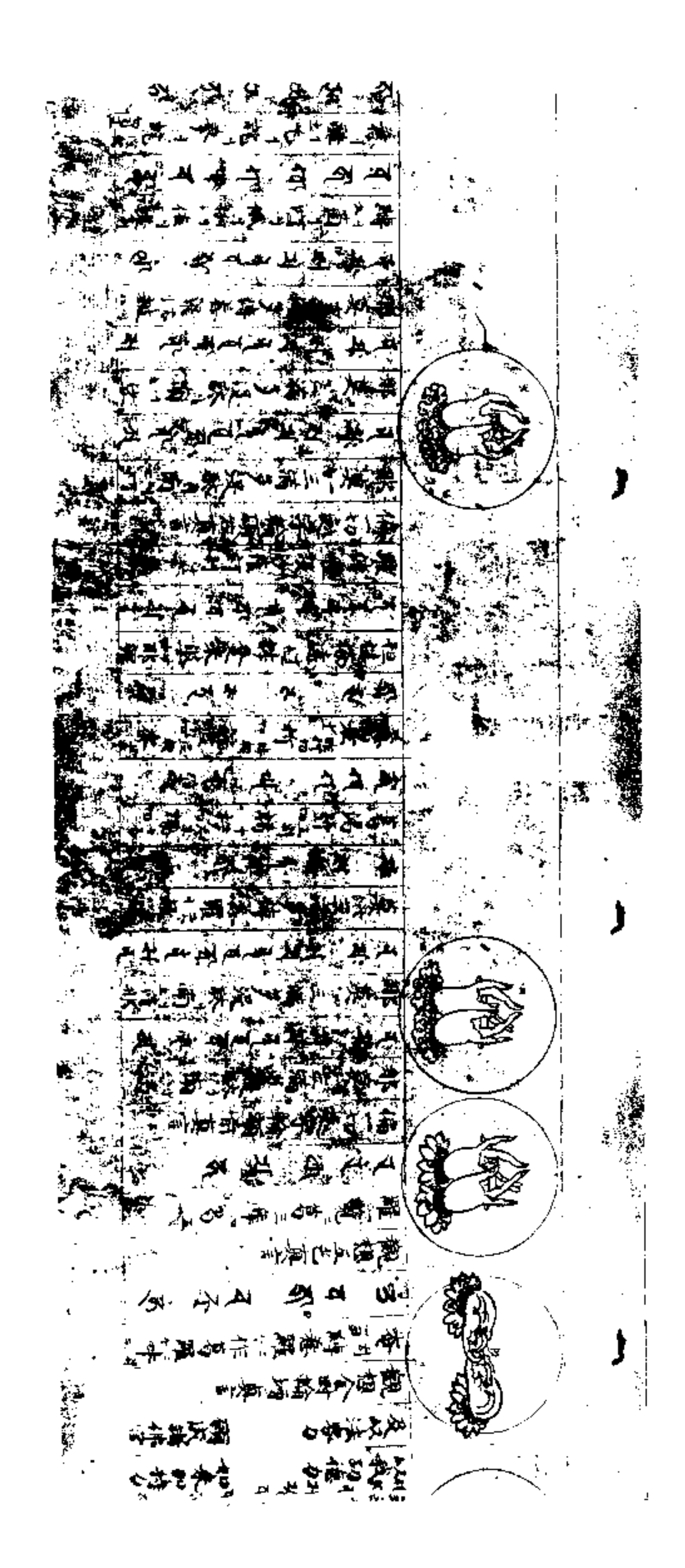
圖像 No. 57、摧罪　圖像 No. 58、慈無量　圖像 No. 59、悲無量　圖像 No. 60、喜無量　圖像 No. 61、捨無量



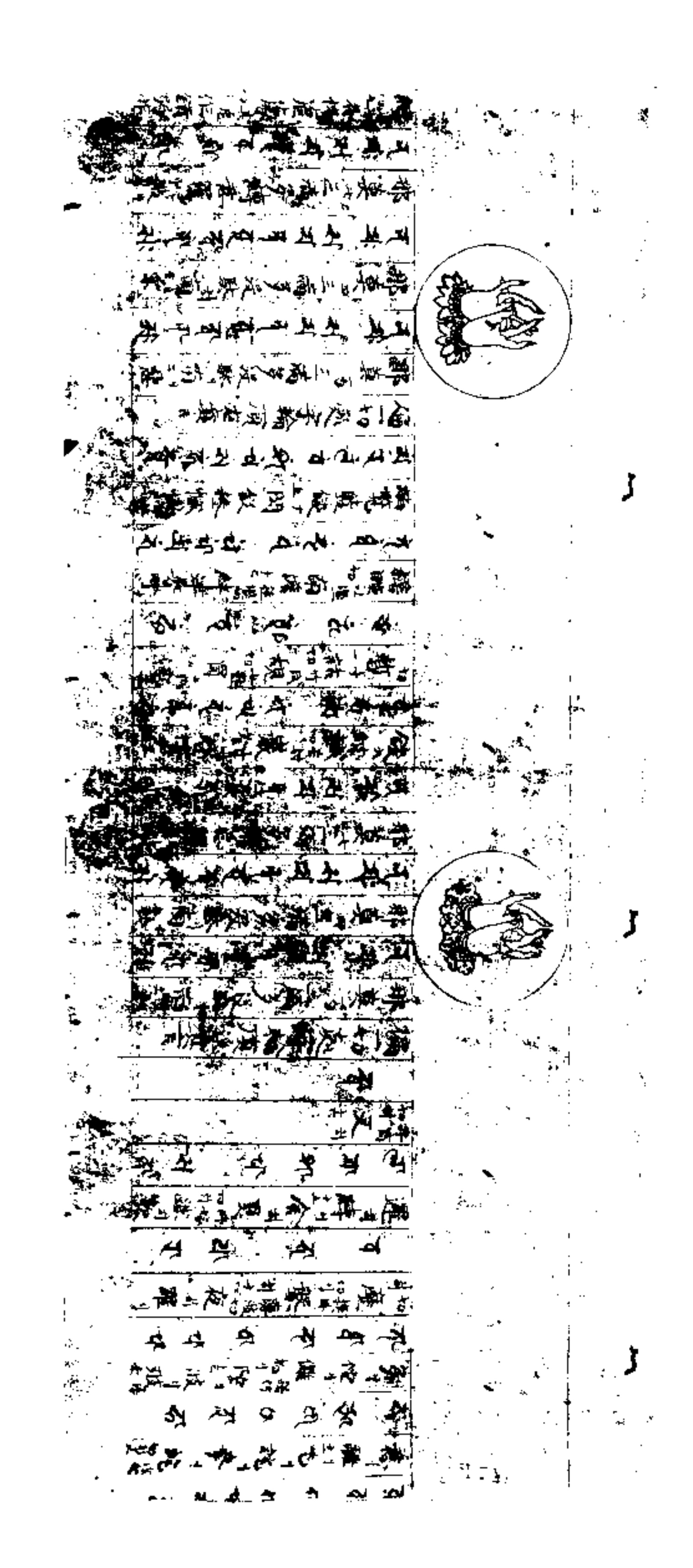
圖像 No. 62、轉法輪　圖像 No. 63、法螺　圖像 No. 64、被甲冑　圖像 No. 65、歡喜　圖像 No. 66、五智　圖像 No. 67、乳海　圖像 No. 68、妙高山　圖像 No. 69、輪圍山



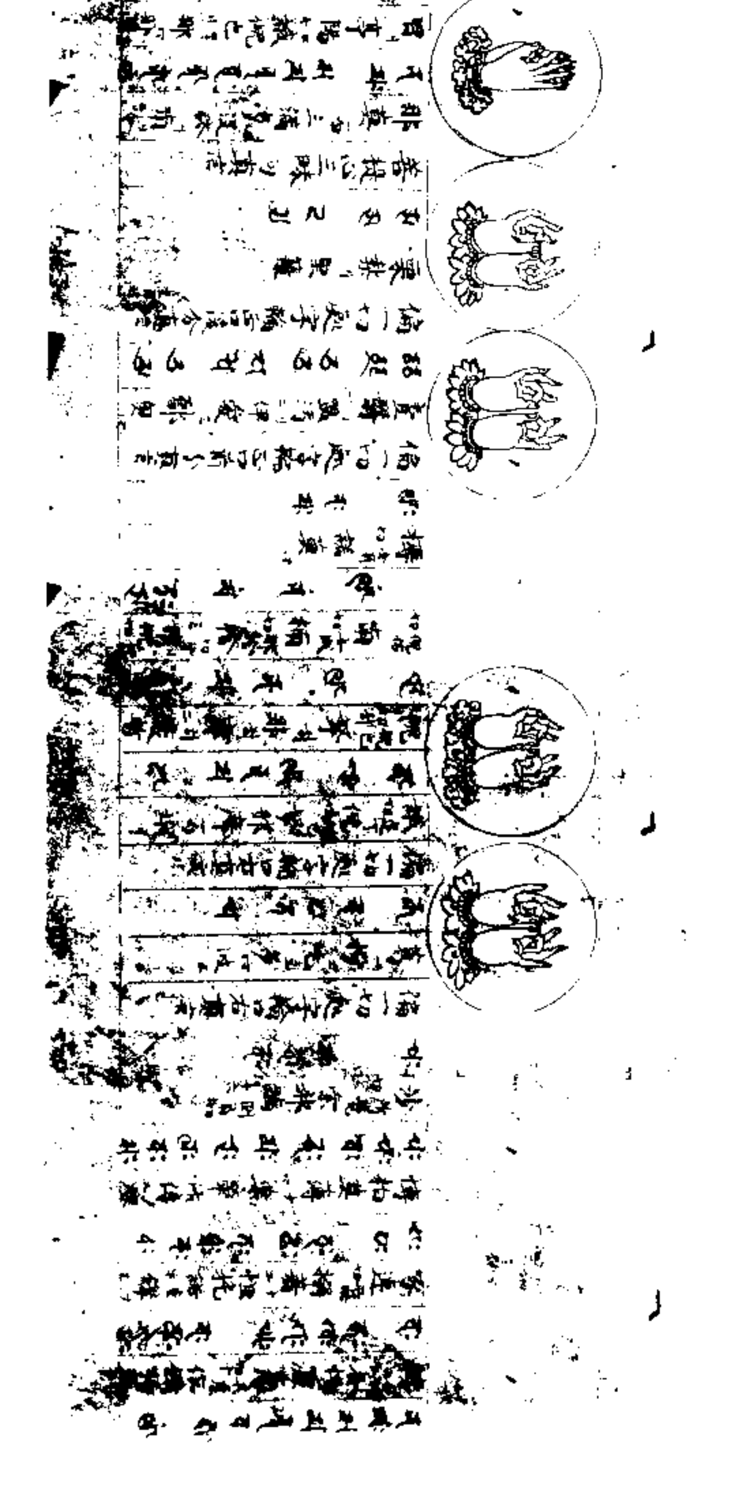
圖像 No. 71、鈎索鎖鈴 薩菩供養　圖像 No. 71、金剛手　圖像 No. 72、持幡藏界　圖像 No. 73、大寶吉王　圖像 No. 74、虛空



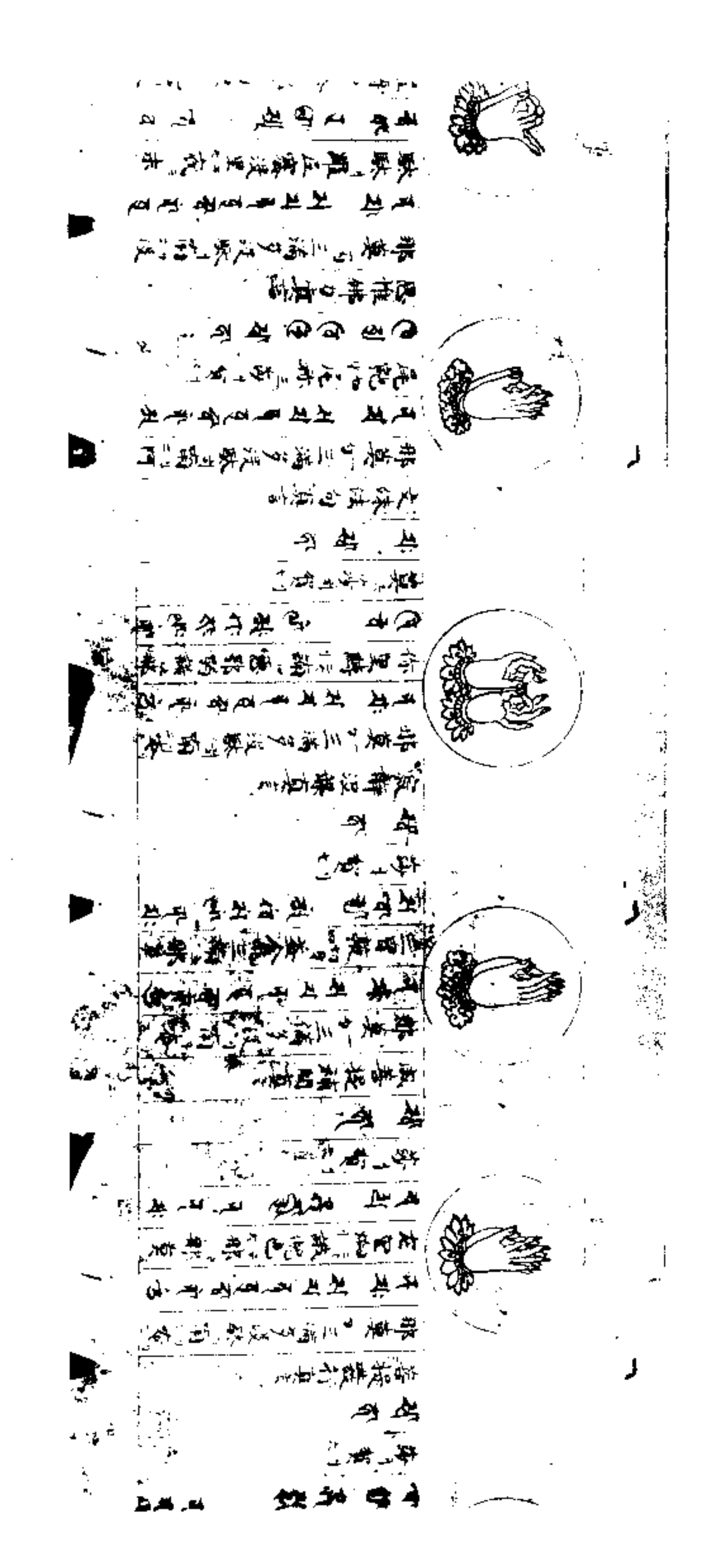
圖像 No. 75、觀想金剛輪壇　圖像 No. 76、觀想五色　圖像 No. 77、遍一切處字輪額前　圖像 No. 78、遍一切處字輪頂右



圖像 No. 79、遍一切處宇輪頂後　　圖像 No. 80、遍一切處宇輪頂左

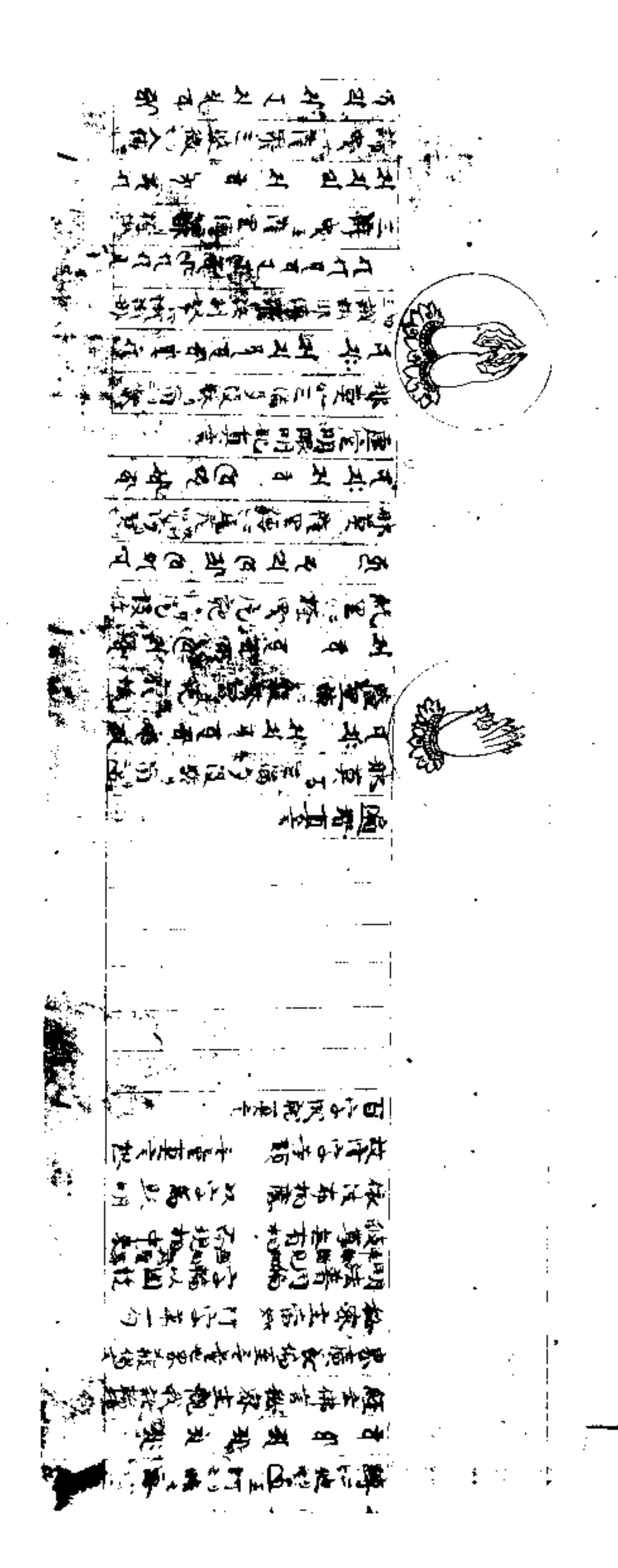


圖像 No. 81, 遍一切處字輪口右　圖像 No. 82, 遍一切處字輪口左　圖像 No. 83, 遍一切處字輪口前分　圖像 No. 84, 遍一切處字輪口後分　圖像 No. 85, 菩提心三昧印

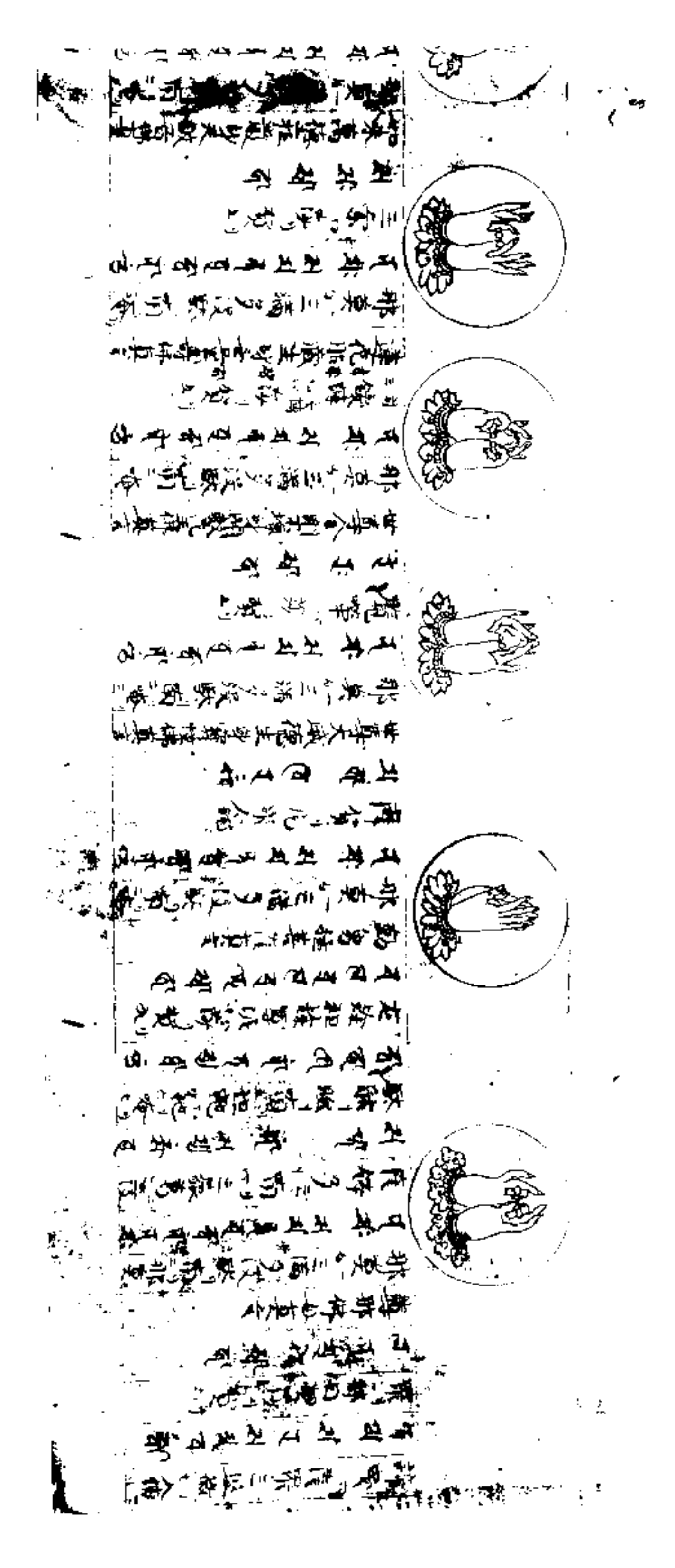


圖像 No. 86、菩提發行 圖像 No. 87、成菩提補闕 圖像 No. 88、寂靜涅槃 圖像 No. 89、文殊法句 圖像 No. 90、思惟界力

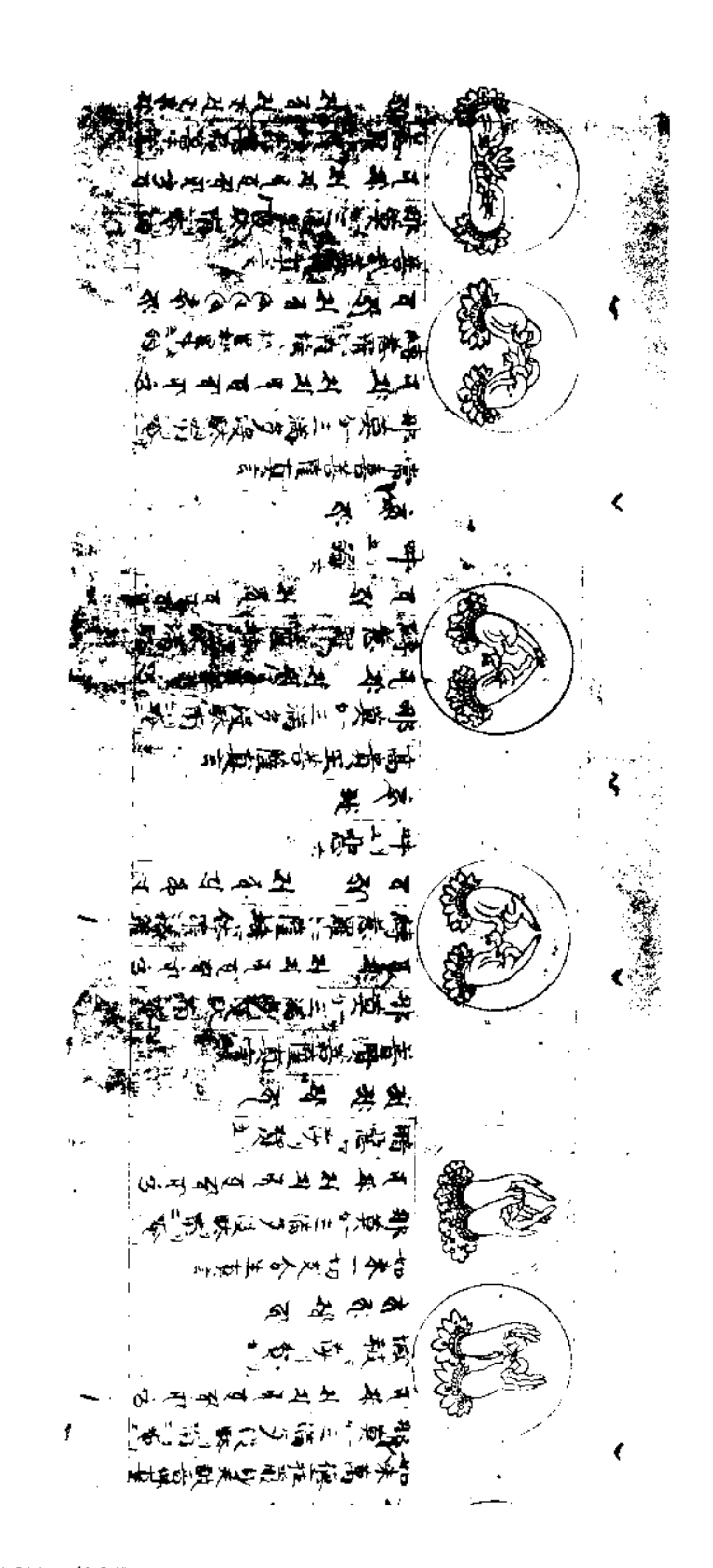
圖像 No. 91，世尊迅疾持　圖像 No. 92，滿足一切智　圖像 No. 93，百光遍照如來　圖像 No. 94，如來方便遍法界無所不至



百字成就（印幷眞言缺）　圖像 No. 95、遍智　圖像 No. 96、虛空明眼明妃



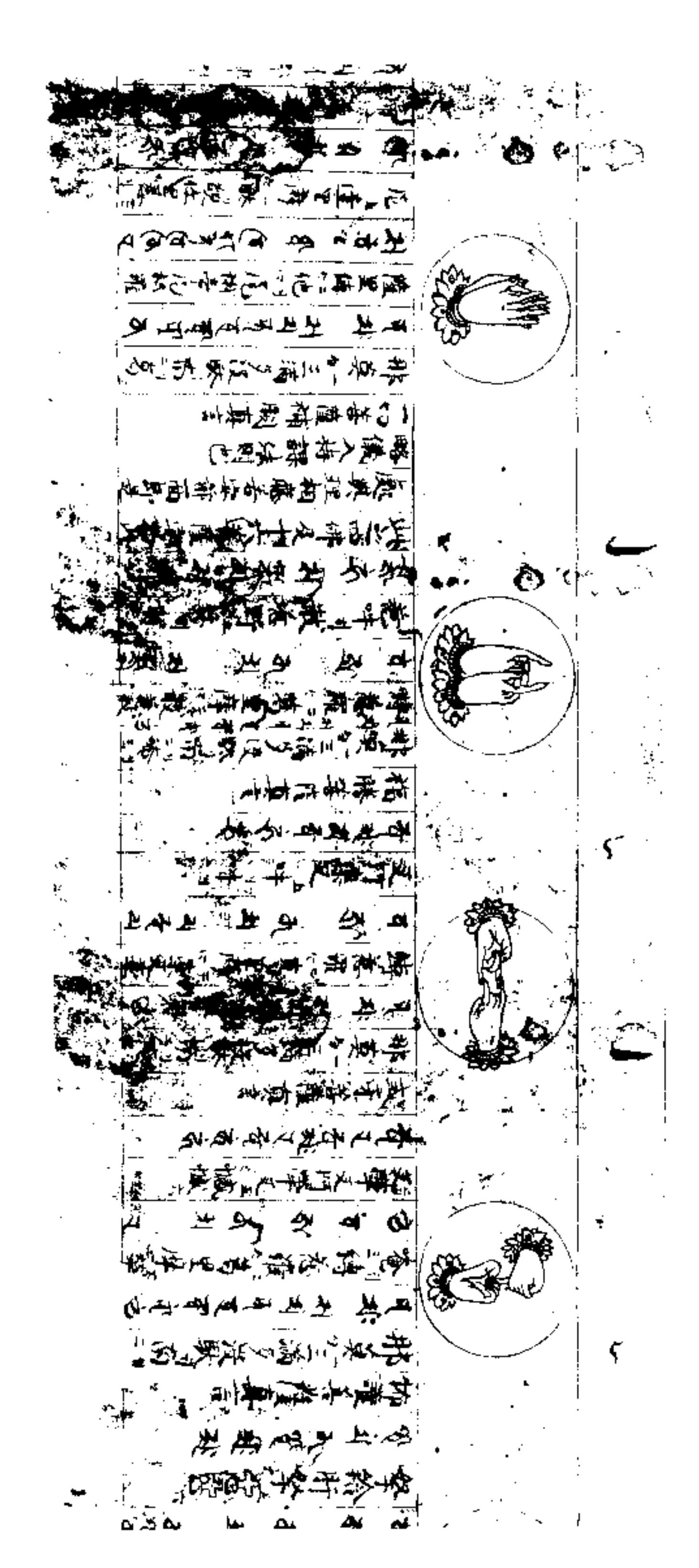
圖像 No. 97、韋那佛母　圖像 No. 98、勤勇猛菩薩　圖像 No. 99、世尊大威德生身寶幢佛　圖像 No. 100、世尊金剛不壞身開敷花王佛　圖像 No. 101、蓮花胎藏生身無量壽佛



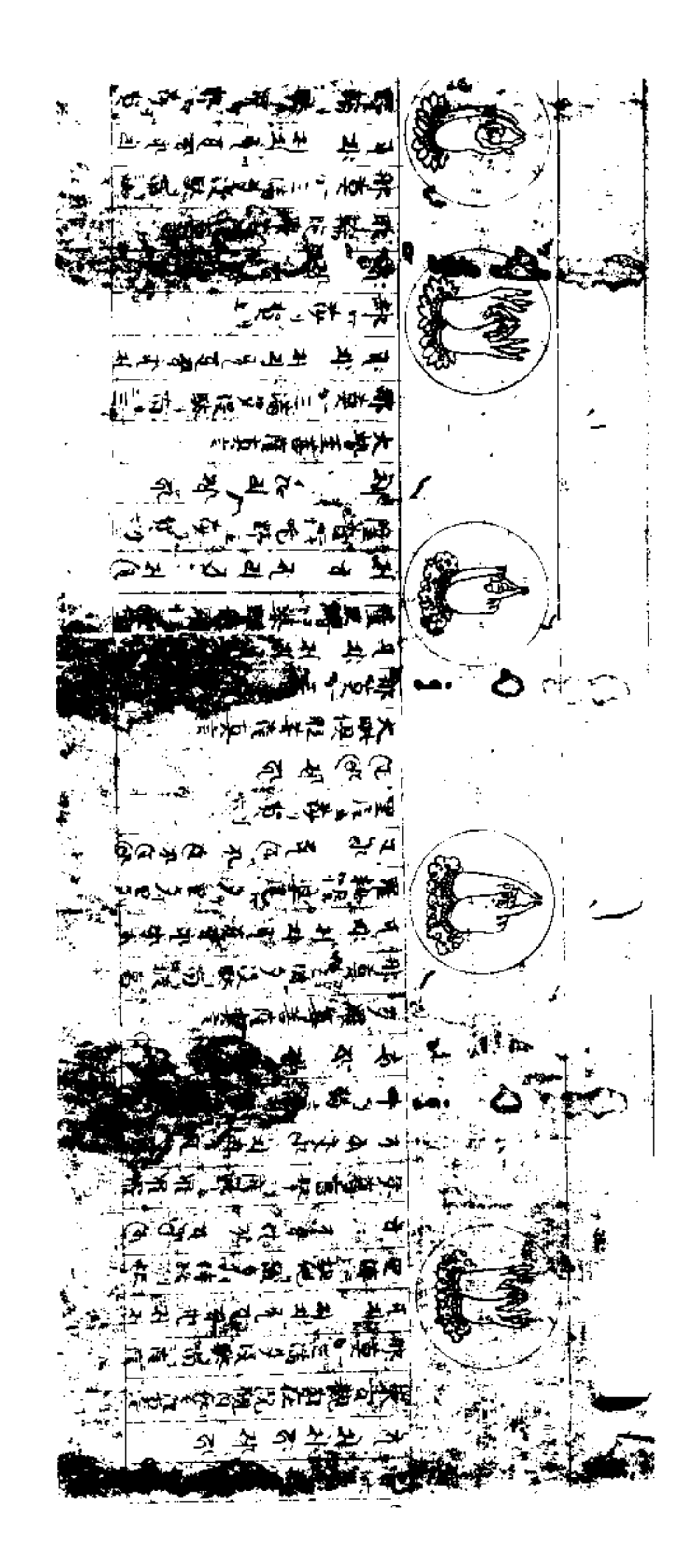
圖像 No. 102、如來萬德莊嚴身天鼓音佛　圖像 No. 103、如來一切支分生　圖像 No. 104、普賢菩薩　圖像 No. 105、高貴王菩薩　圖像 No. 106、常啼菩薩　圖像 No. 107、善哉菩薩

圖像 No. 108. 持寶菩薩　圖像 No. 109. 慈光菩薩　圖像 No. 110. 智幢菩薩　圖像 No. 111. 常笑菩薩

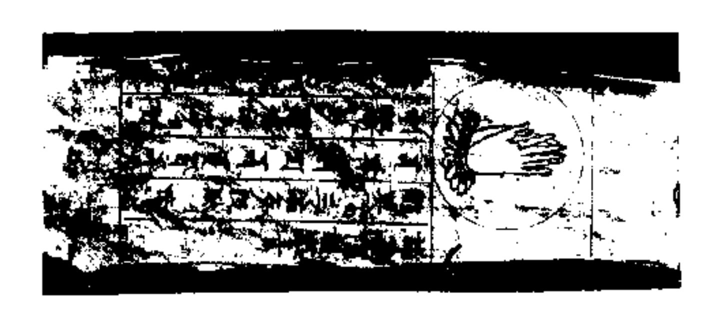
圖像 No. 112、慈施菩薩　圖像 No. 113、普濟利菩薩　圖像 No. 114、續因菩薩　圖像 No. 115、常應語菩薩　圖像 No. 116、成智業菩薩

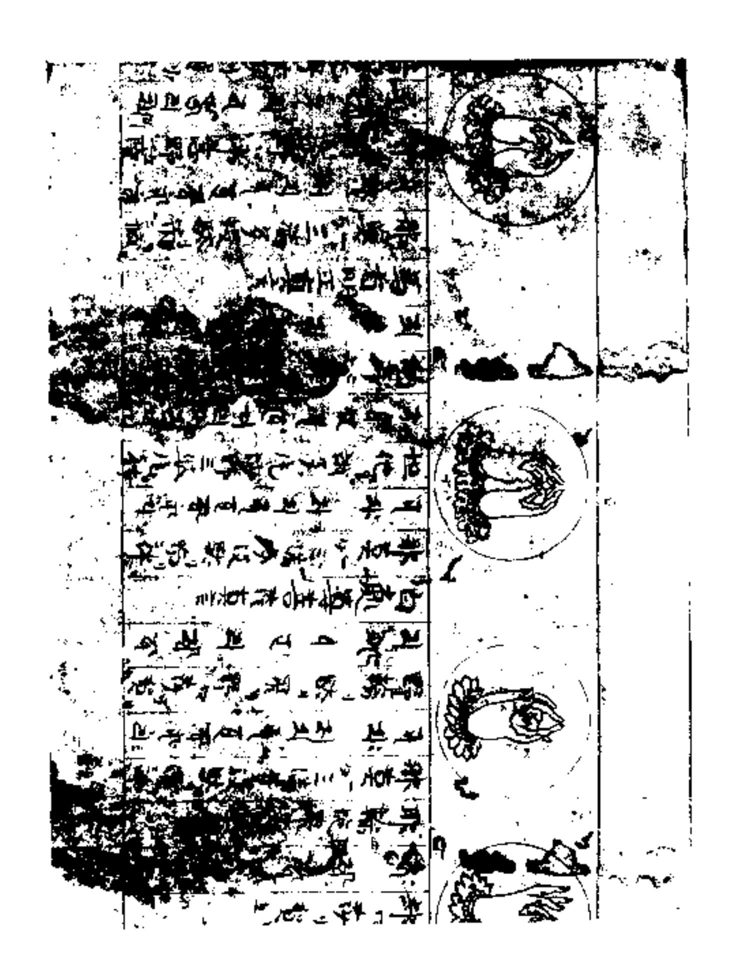


圖像 No. 117. 怖讓菩薩　圖像 No. 118. 戒牙菩薩　圖像 No. 119. 福勝菩薩　圖像 No. 120. 一切菩薩補闕

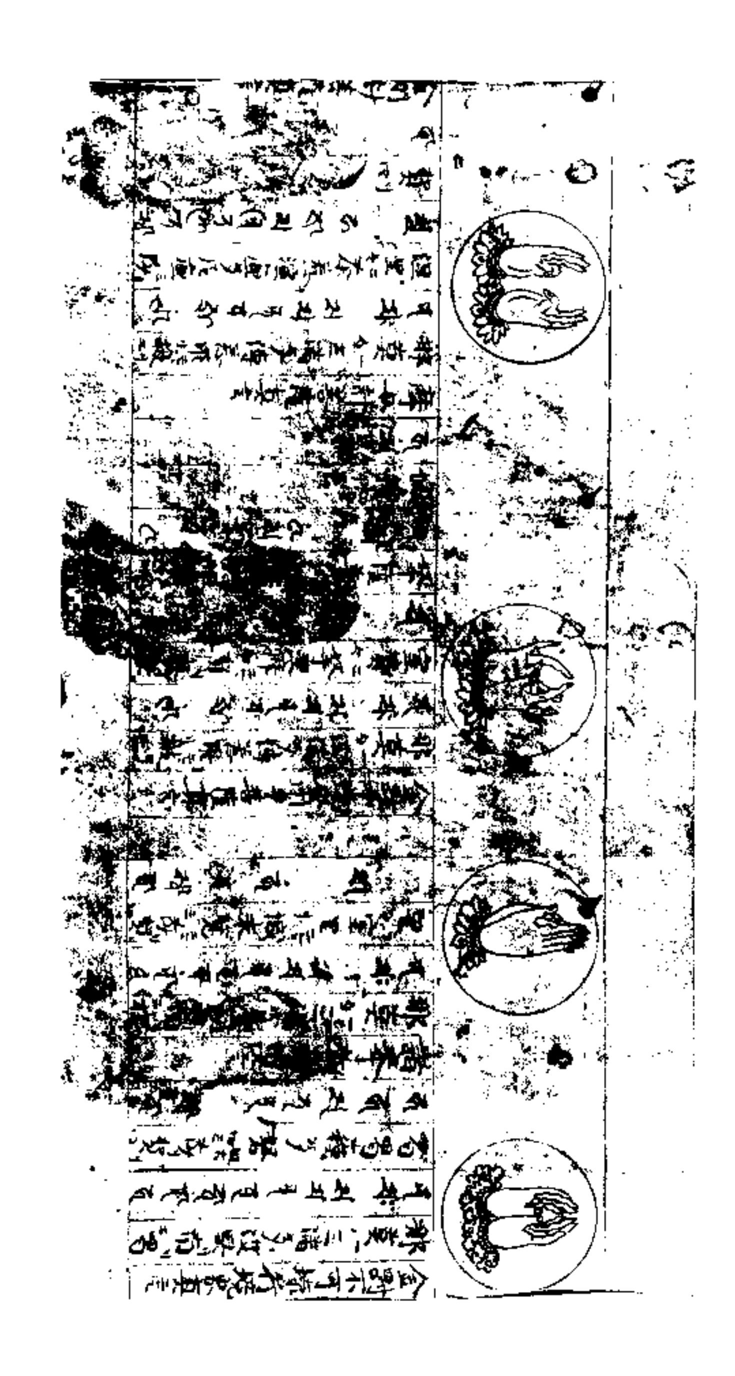


圖像 No. 121、東方觀自在院觀自在菩薩　圖像 No. 122、多羅尊菩薩　圖像 No. 123、大毘倶胝菩薩　圖像 No. 124、大勢至菩薩

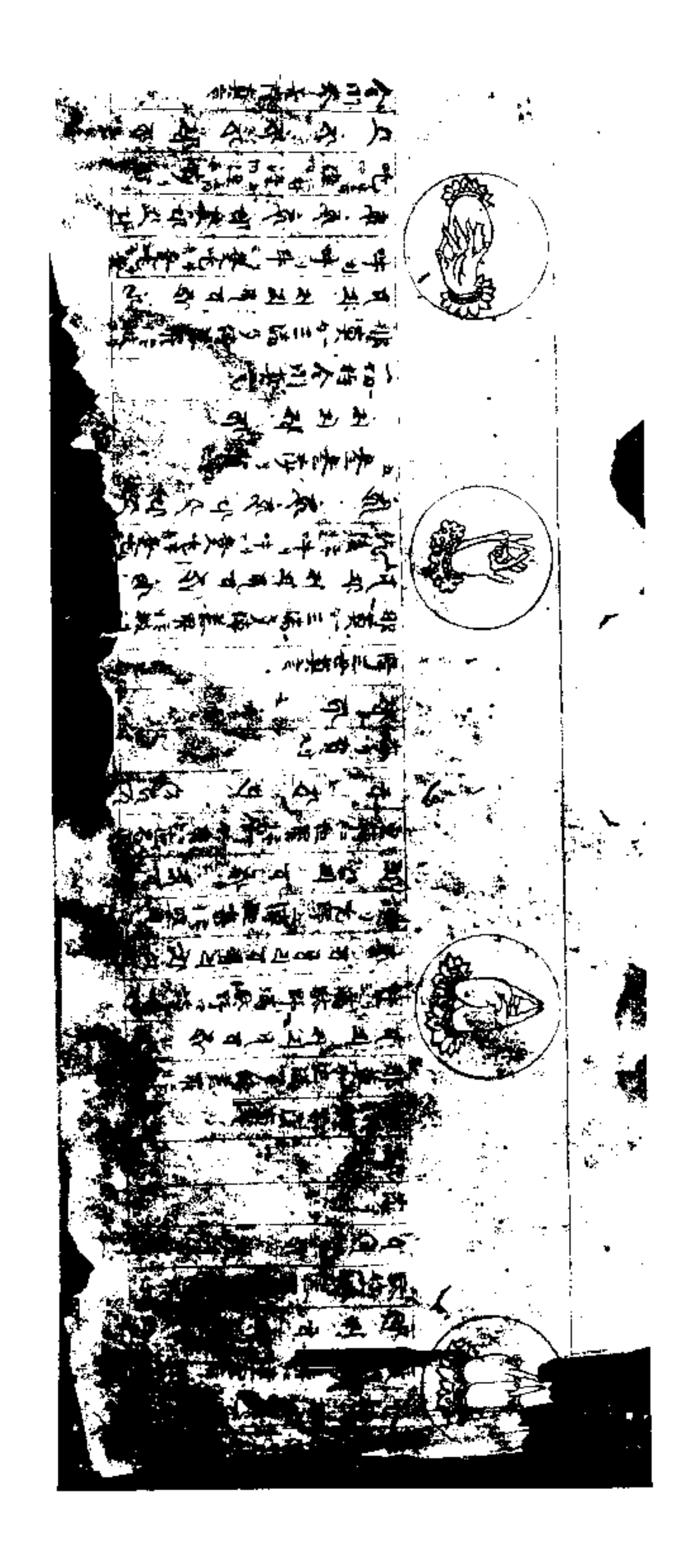




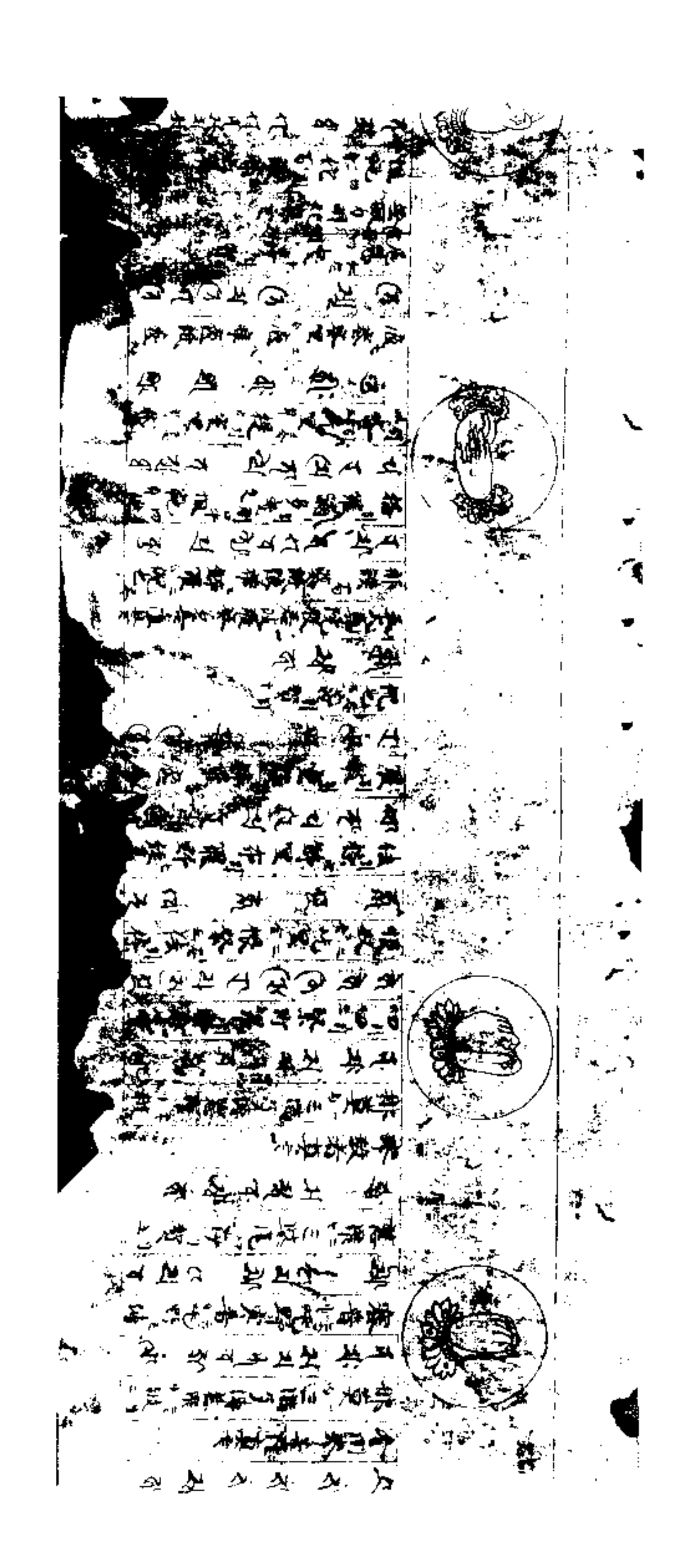
圖像 No. 125. 耶輸陀羅菩薩　　圖像 No. 126. 白處尊菩薩　　圖像 No. 127. 馬首明王菩薩　　圖像 No. 128. 諸菩薩說



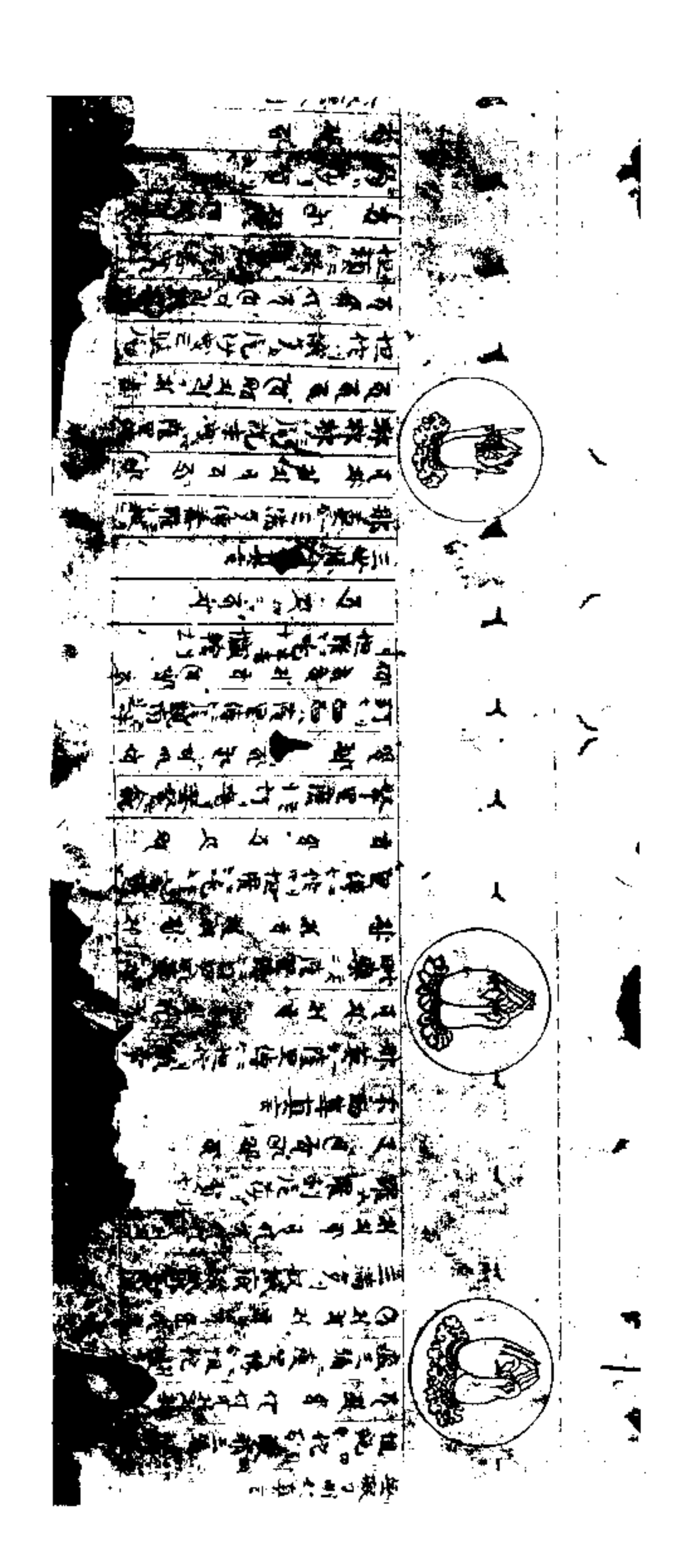
圖像 No. 129、金剛不可壞行境界　圖像 No. 130、諸奉教者　圖像 No. 131、金剛手院金剛手菩薩　圖像 No. 132、摩毋計菩薩



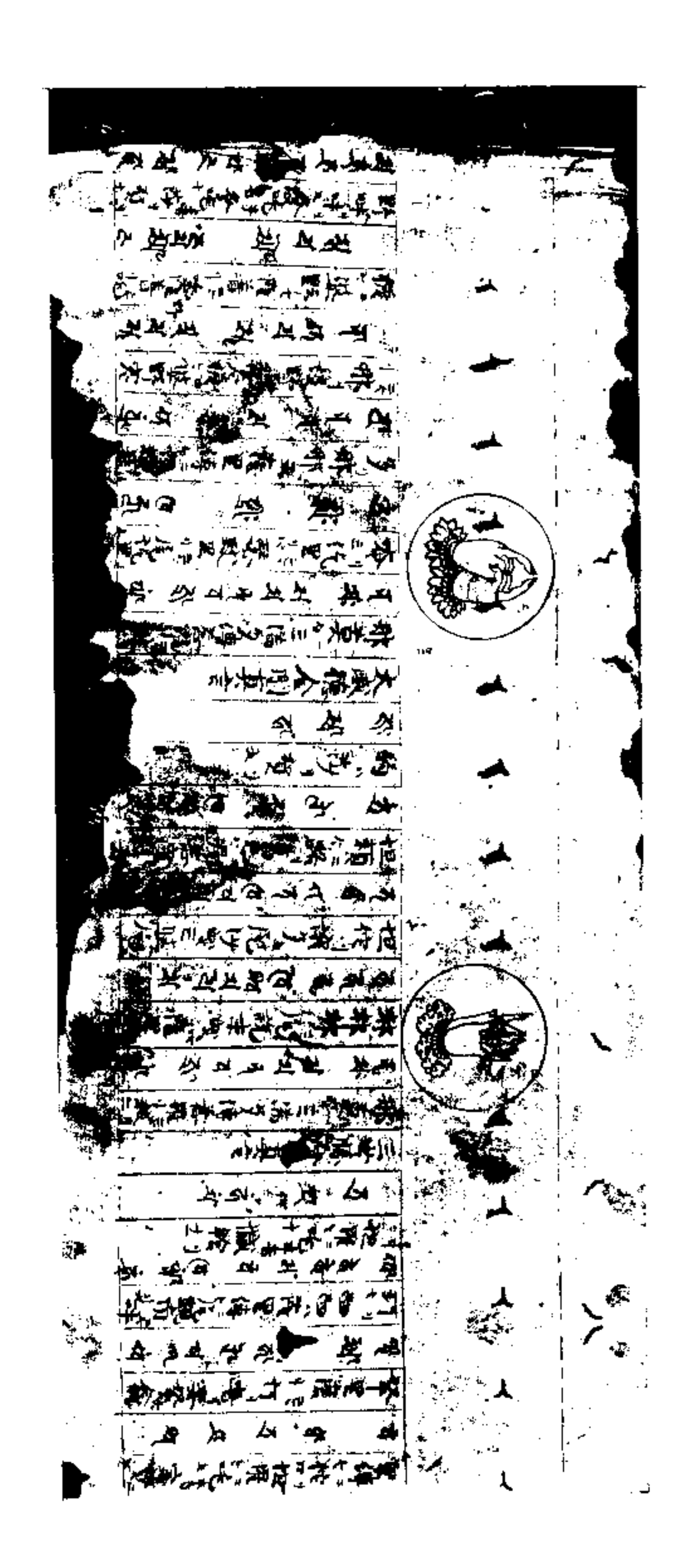
圖像 No. 133、金剛針菩薩　圖像 No. 134、金剛鎖菩薩　圖像 No. 135、降三世　圖像 No. 136、一切持金剛



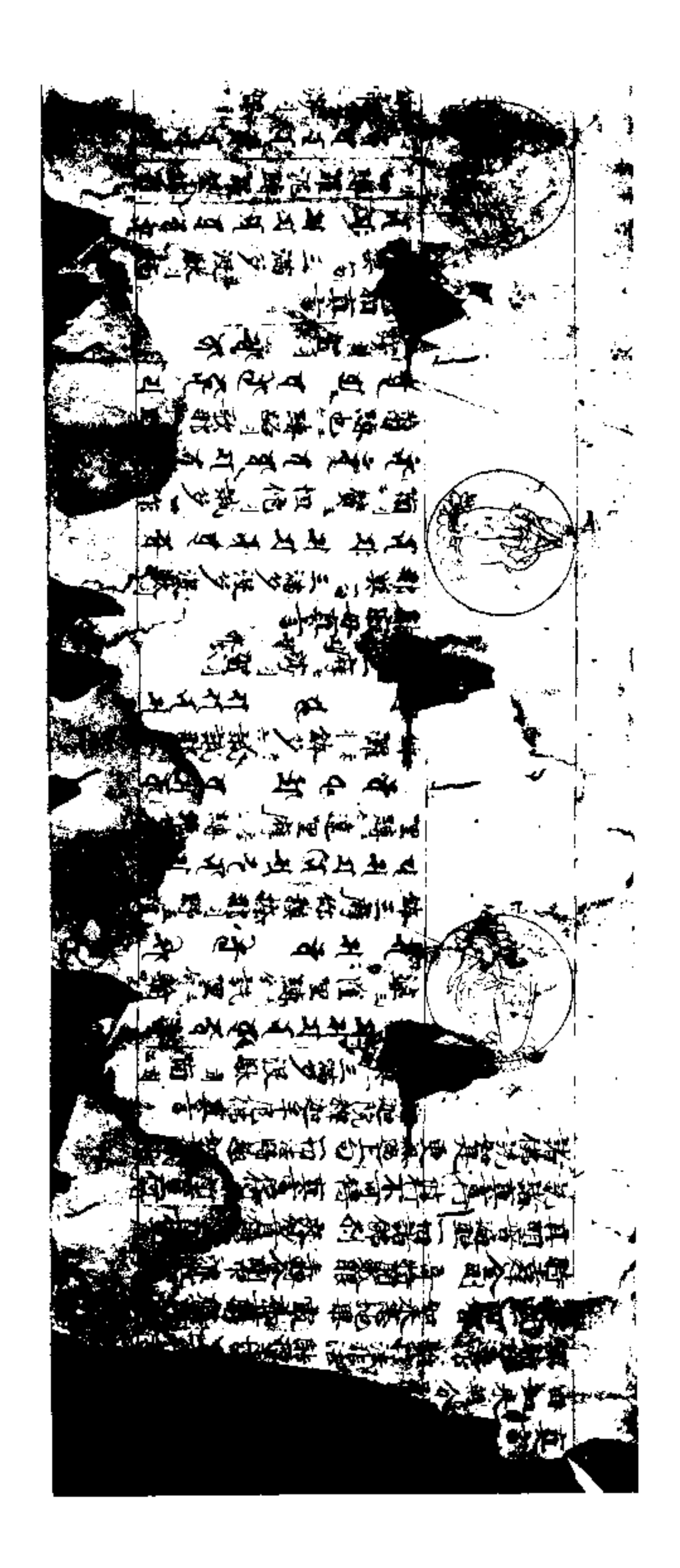
圖像 No. 137、金剛拳菩薩　圖像 No. 138、本敎者　圖像 No. 139、五大尊院般若波羅蜜多菩薩



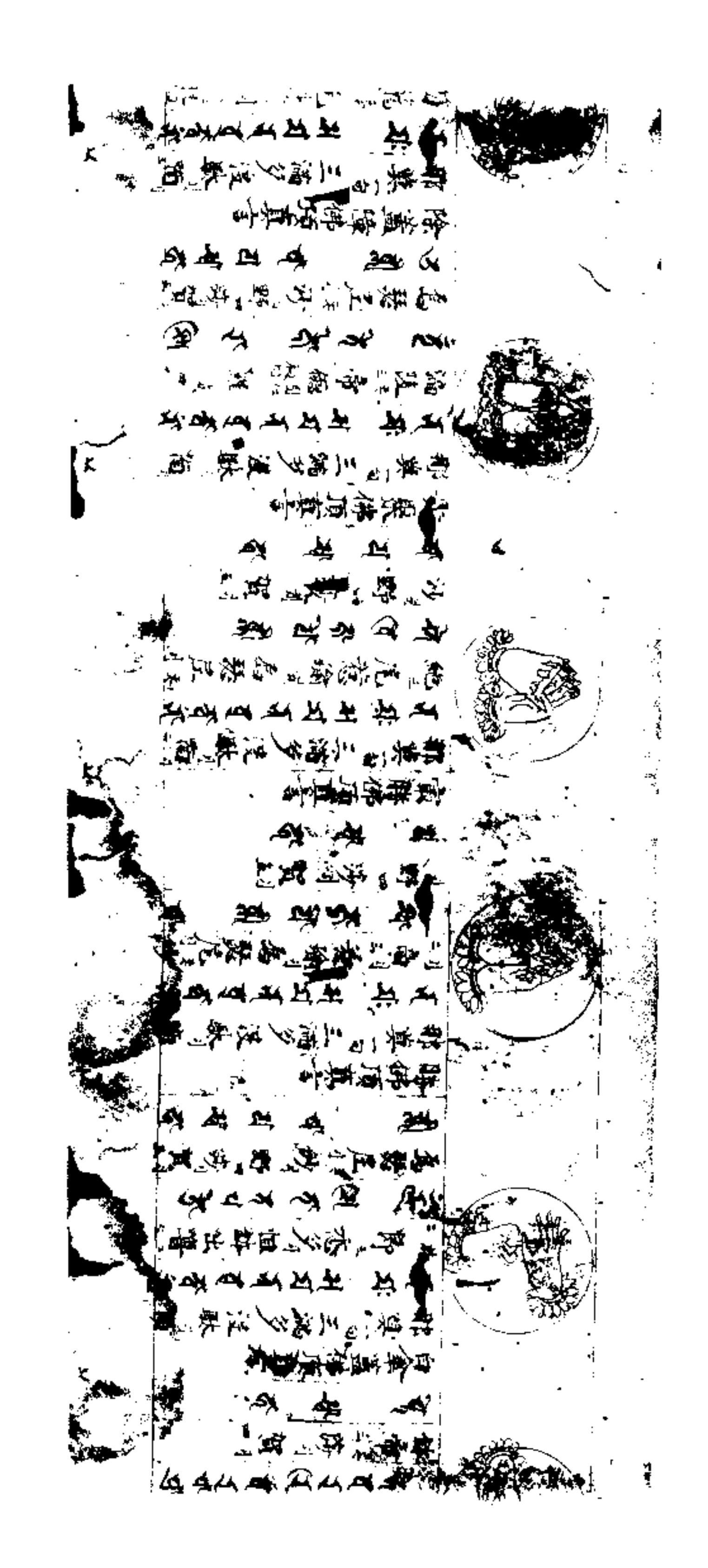
圖像 No. 140、無礙力明妃　圖像 No. 141、不動尊　圖像 No. 142、三世勝金剛



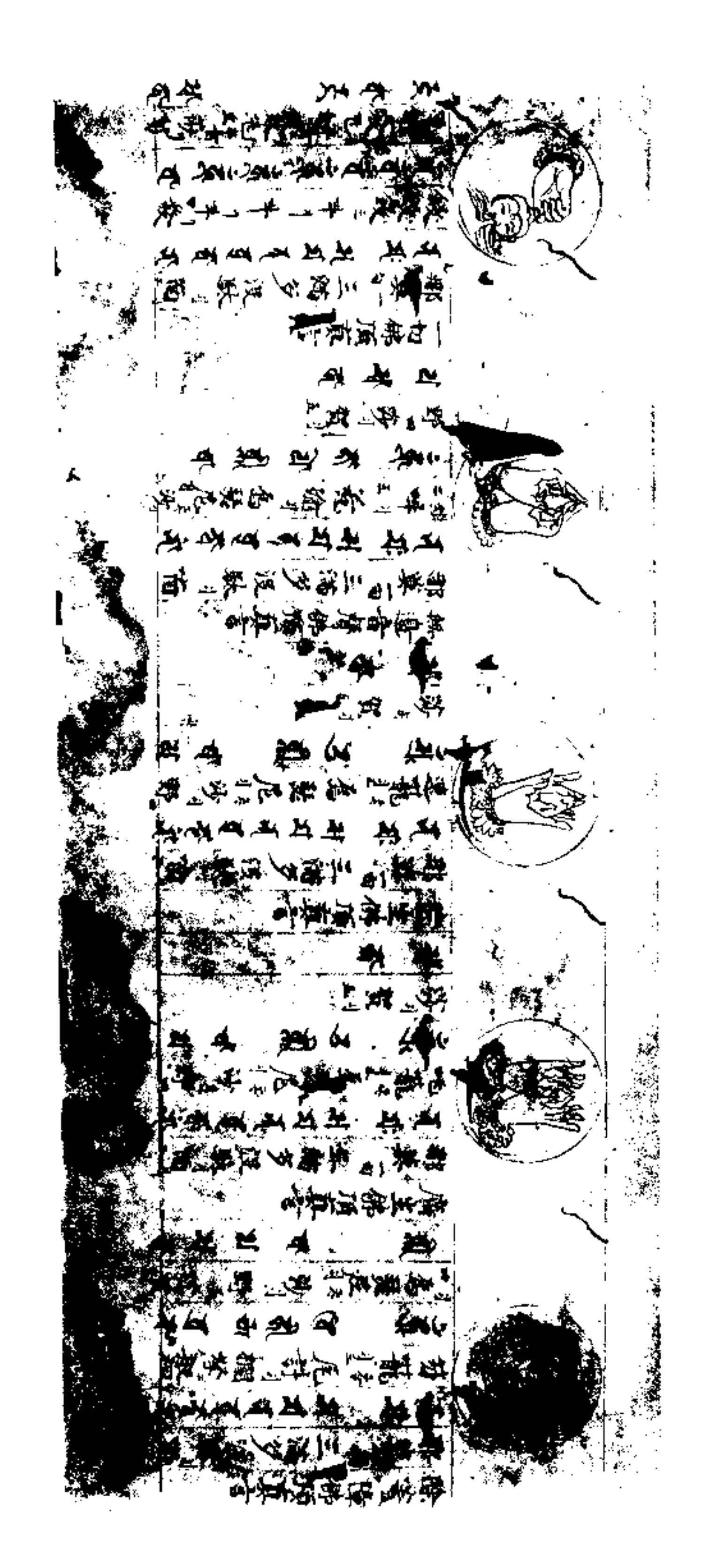
圖像 No. 143. 大威德金剛（以下闕）



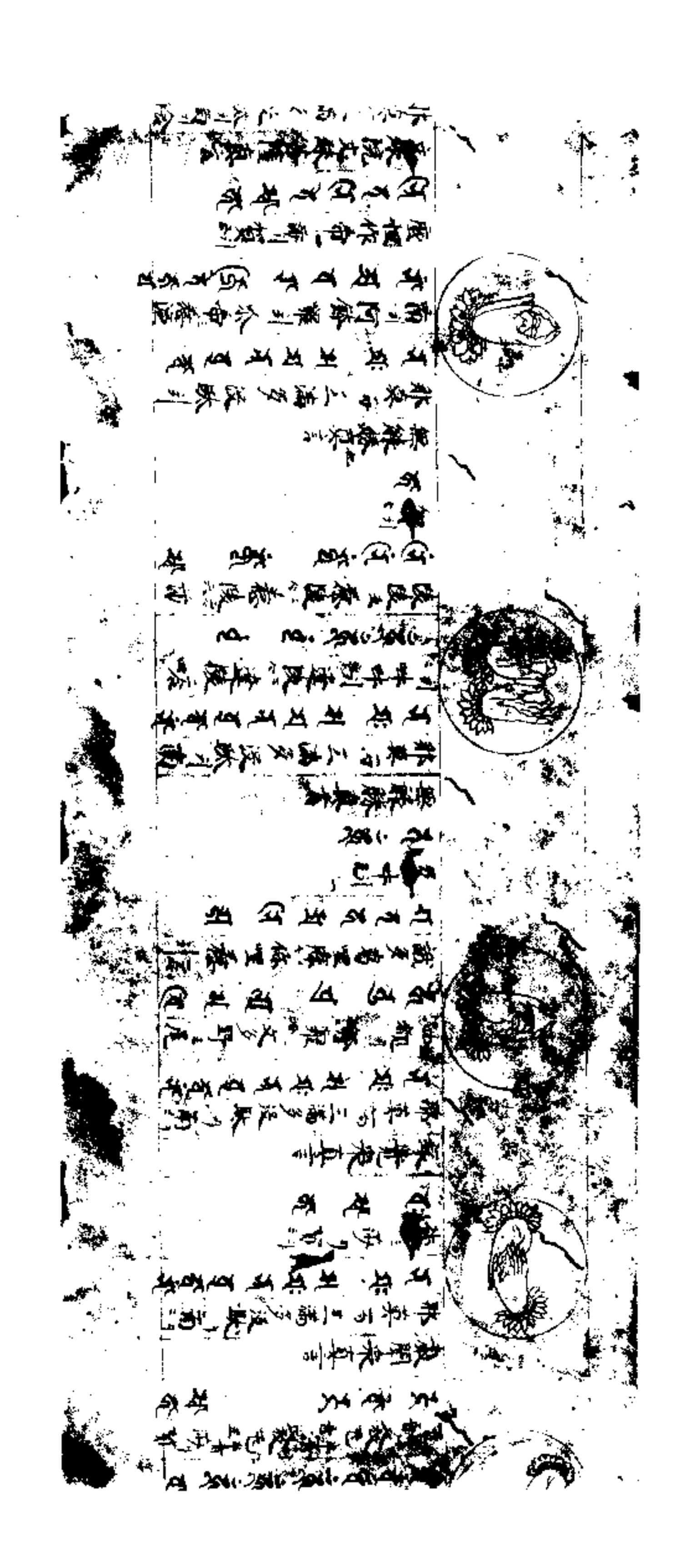
圖像 No. 144. 釋迦院釋迦牟尼佛　圖像 No. 145. 能寂母　圖像 No. 146. 毫相



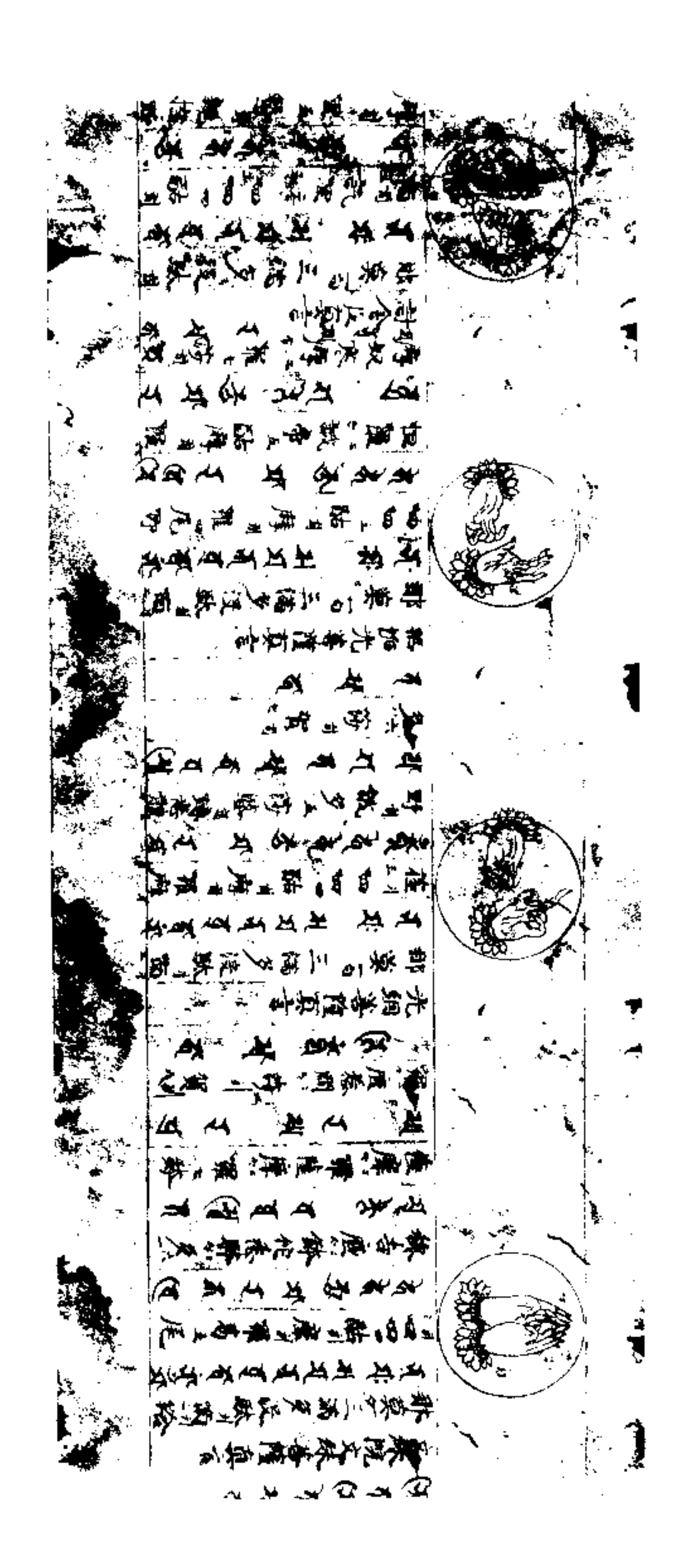
圖像 No. 147. 白傘蓋佛頂　圖像 No. 148. 勝佛頂　圖像 No. 149. 最勝佛頂　圖像 No. 150. 光聚佛頂



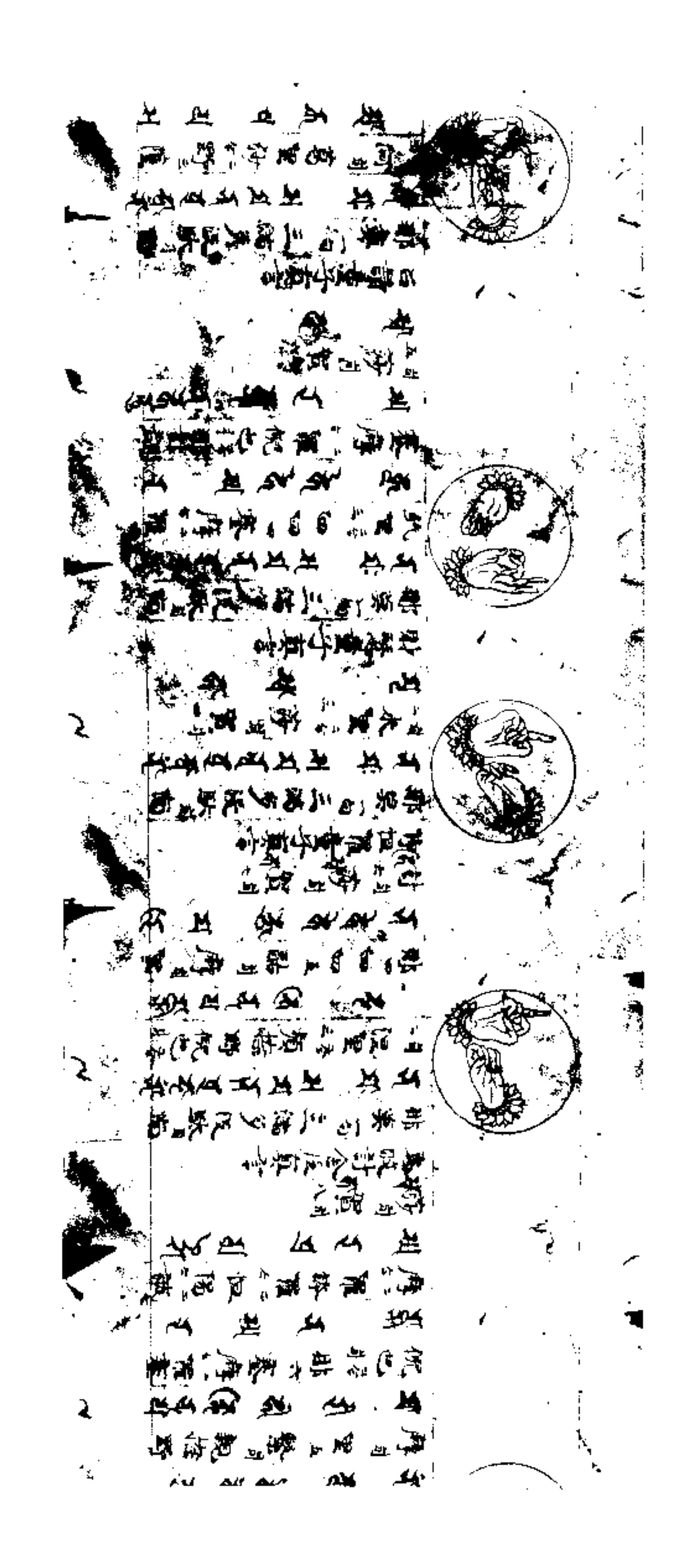
圖像 No.151. 除蓋障佛頂　圖像 No.152. 廣生佛頂　圖像 No.153. 發生佛頂　圖像 No.154. 無邊音聲佛頂　圖像 No.155. 一切佛頂



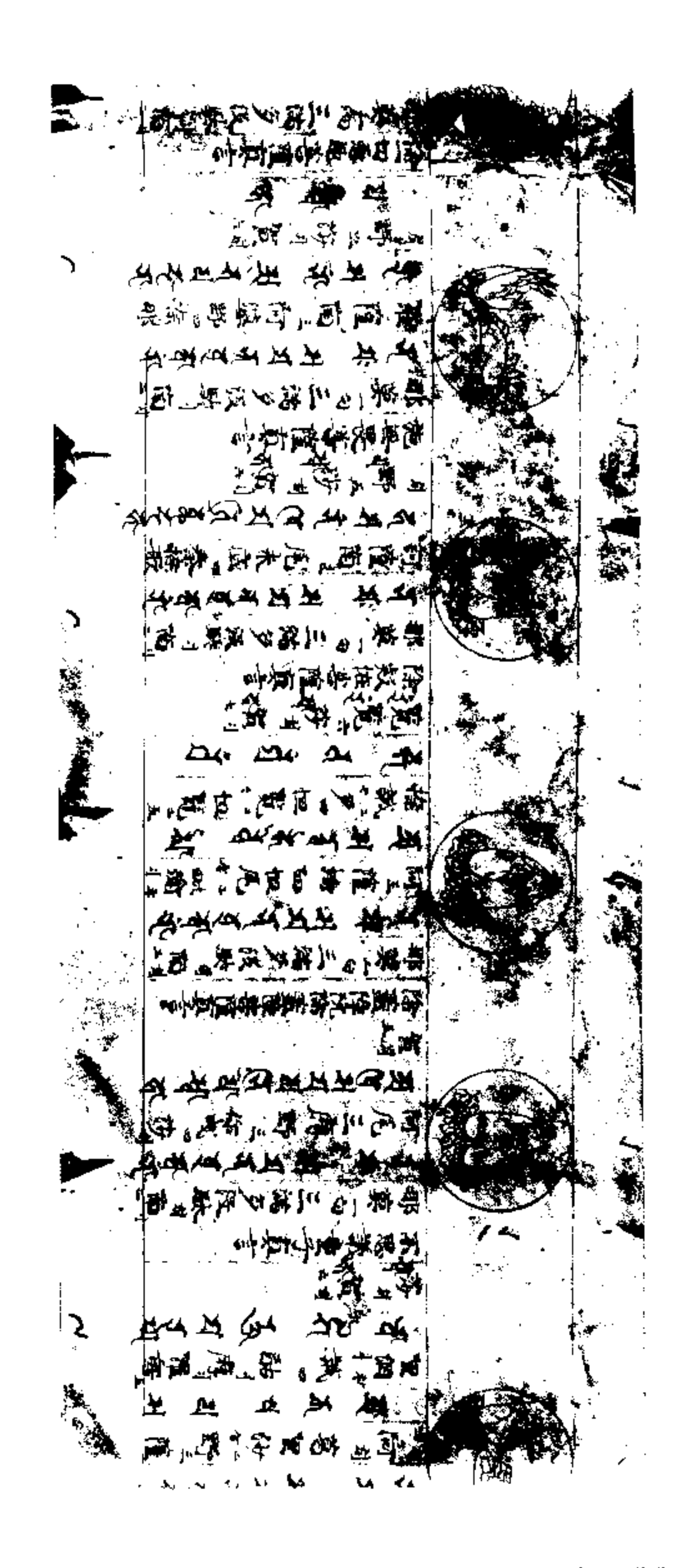
圖像 No. 156. 聲聞衆　圖像 No. 157. 緣覺衆　圖像 No. 158. 無能勝　圖像 No. 159. 無能勝妃



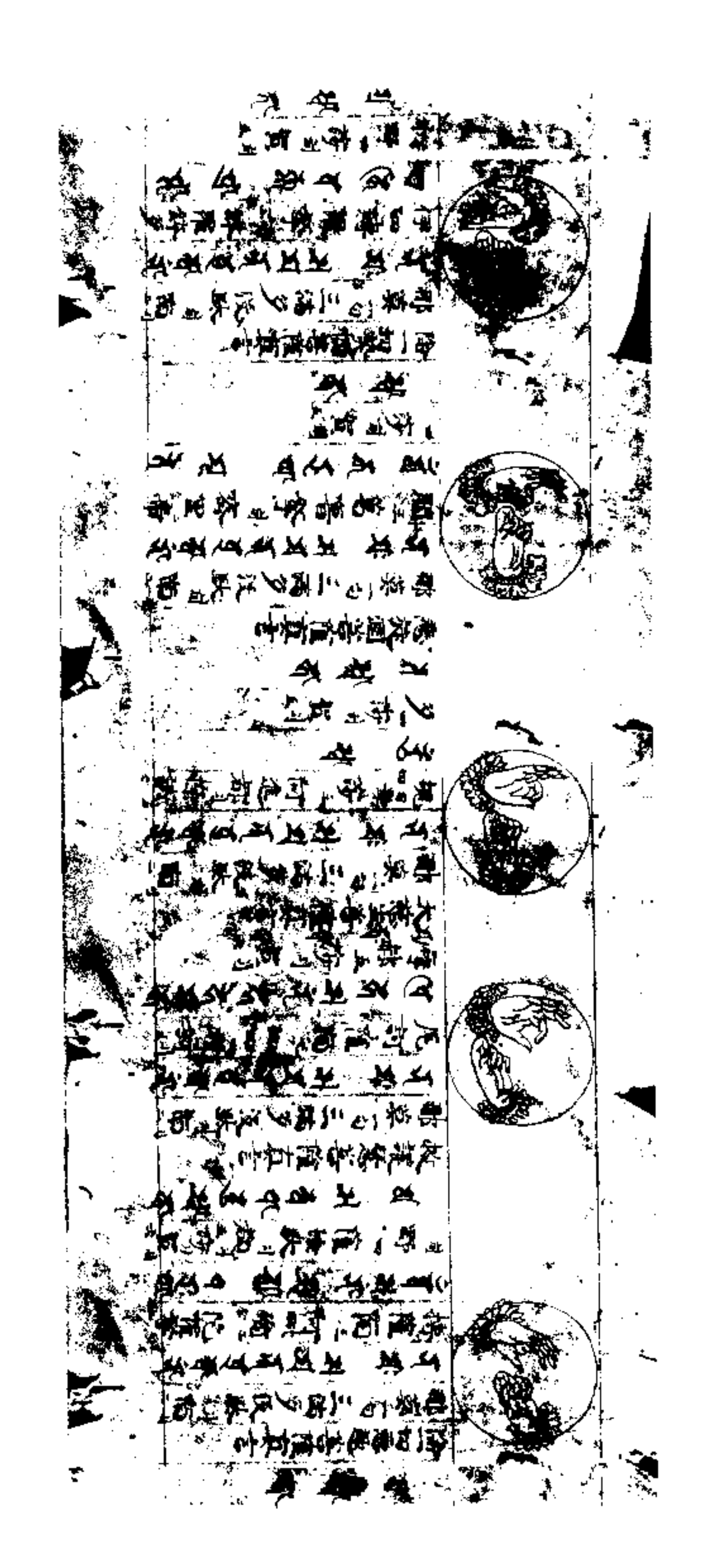
圖像 No. 160、文殊院文殊菩薩　圖像 No. 161、光網菩薩　圖像 No. 162、無垢光菩薩　圖像 No. 163、計舍尼



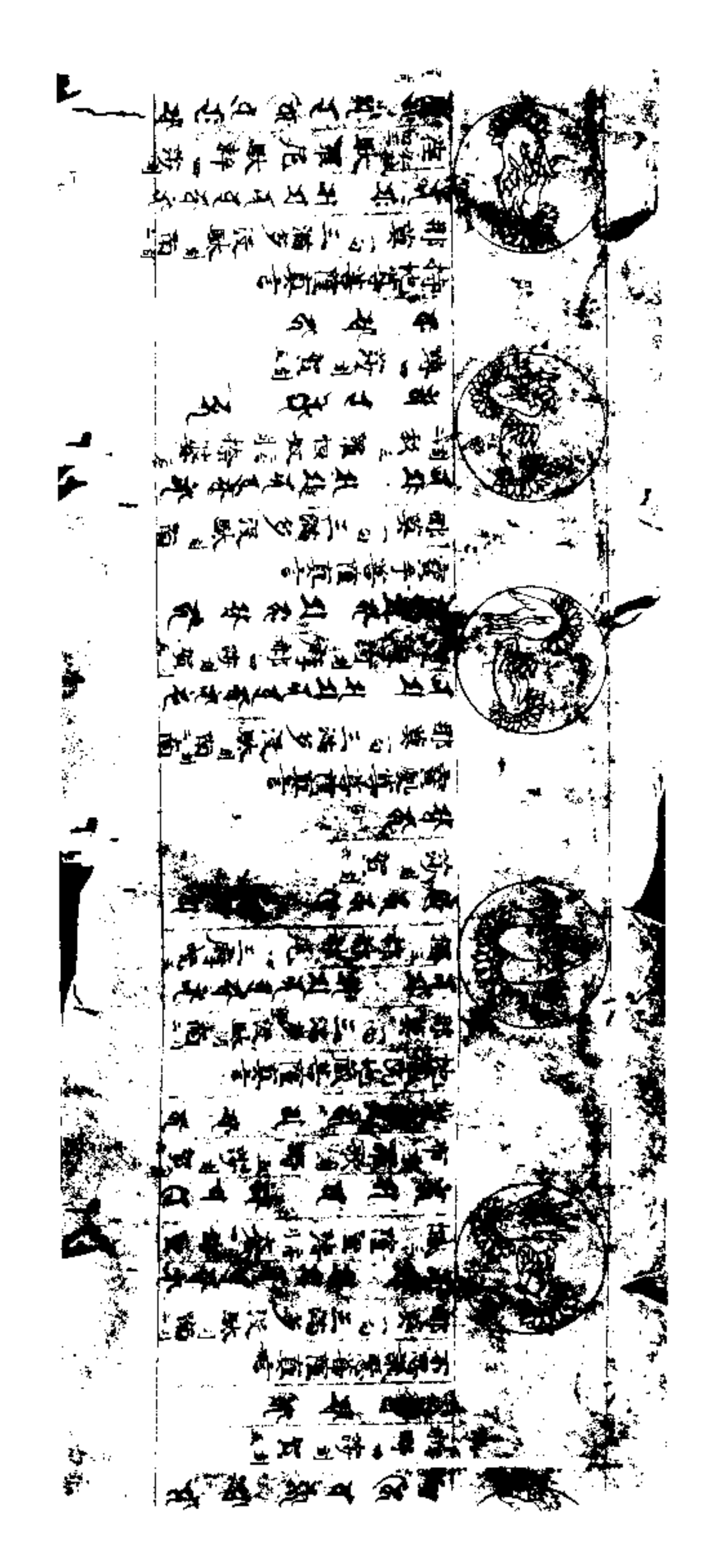
圖像 No. 164. 烏波計舍尼　圖像 No. 165. 喞怛囉童子　圖像 No. 166. 財慧童子　圖像 No. 167. 召請童子



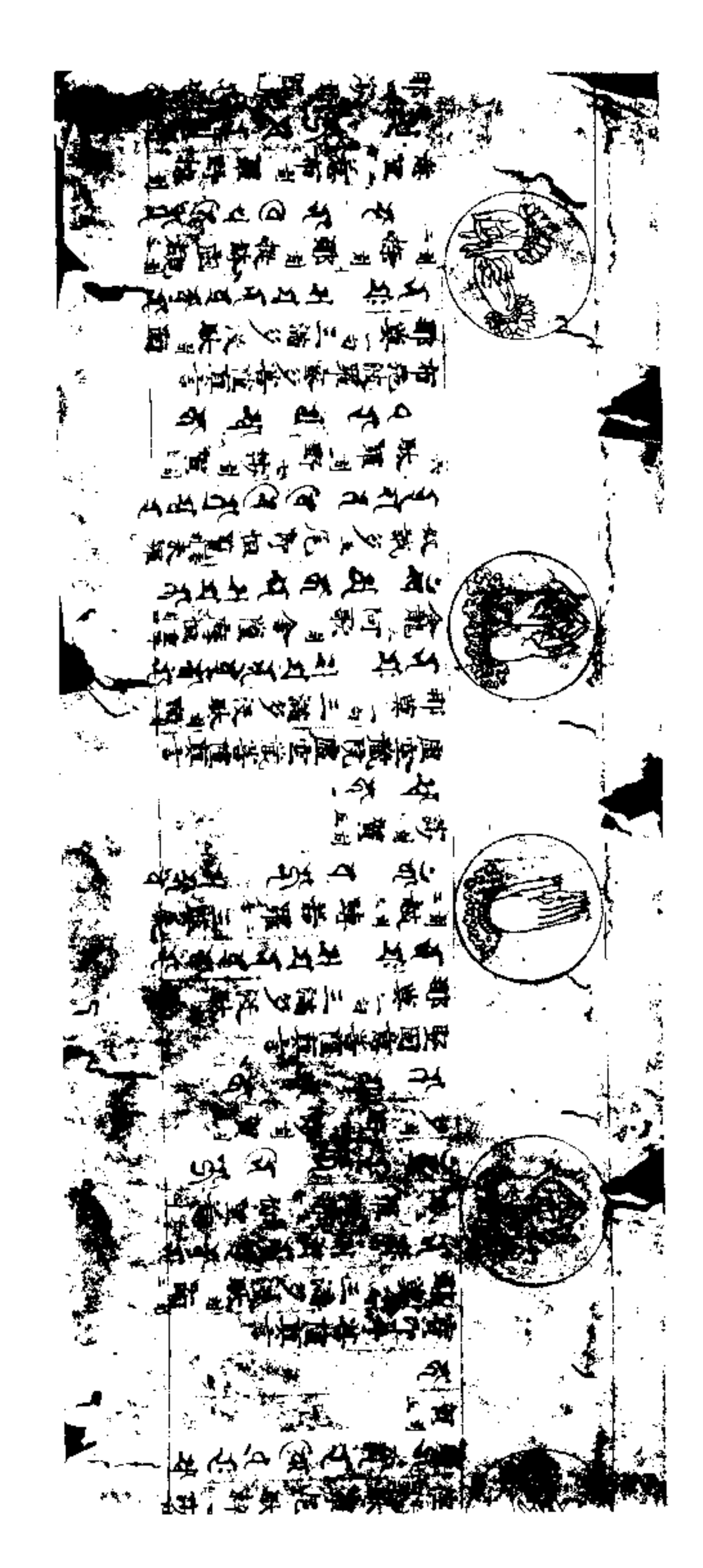
圖像 No. 168、不思議童子　圖像 No. 169、除蓋障院除蓋障菩薩　圖像 No. 170、除疑怪菩薩　圖像 No. 171、施無畏菩薩



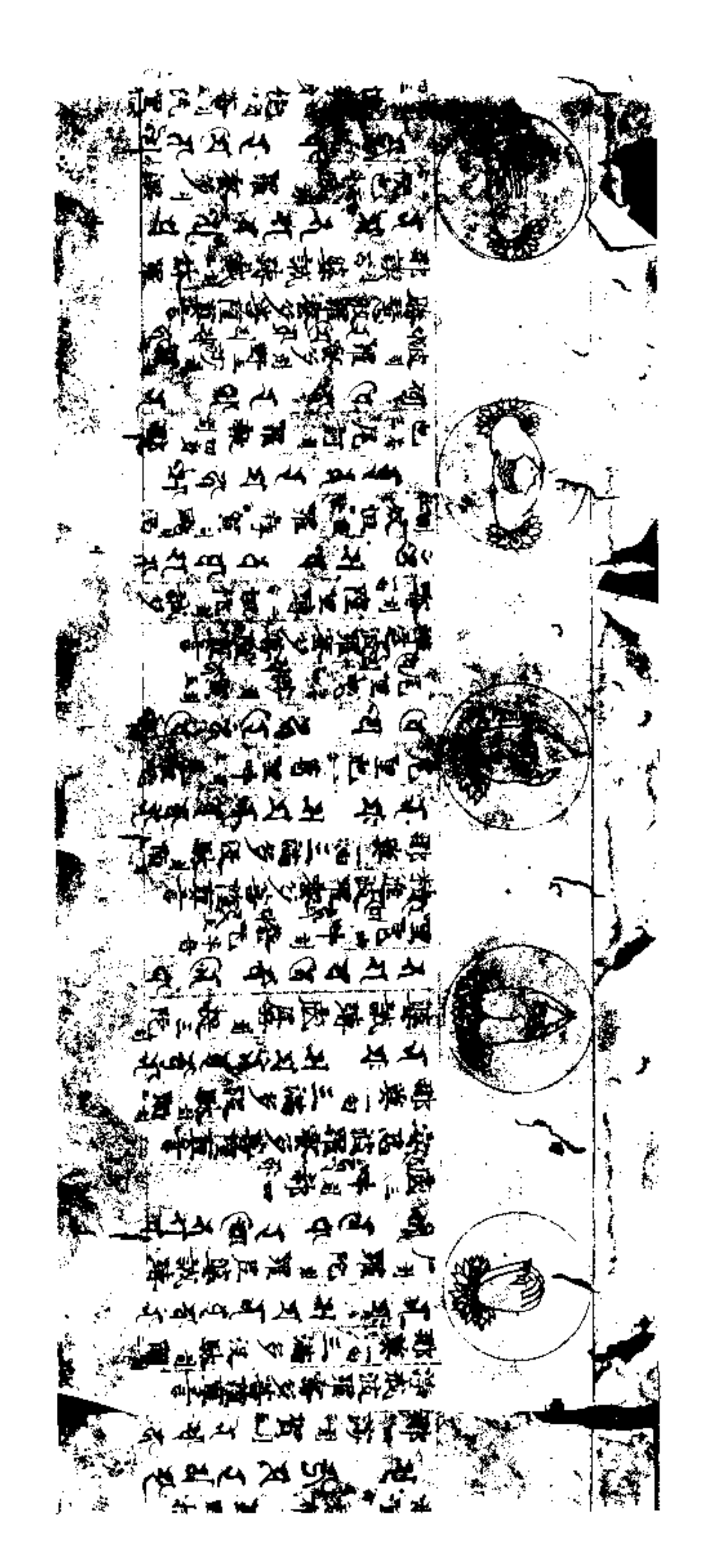
圖像 No. 172、除一切惡趣菩薩　圖像 No. 173、救護慧菩薩　圖像 No. 174、大慈生菩薩　圖像 No. 175、悲旋潤菩薩
圖像 No. 176、除一切熱惱菩薩



圖像 No. 177. 不思議慧菩薩　圖像 No. 178. 地藏院地藏菩薩　圖像 No. 179. 寶處尊菩薩　圖像 No. 180. 寶手菩薩
圖像 No. 181. 持地尊菩薩



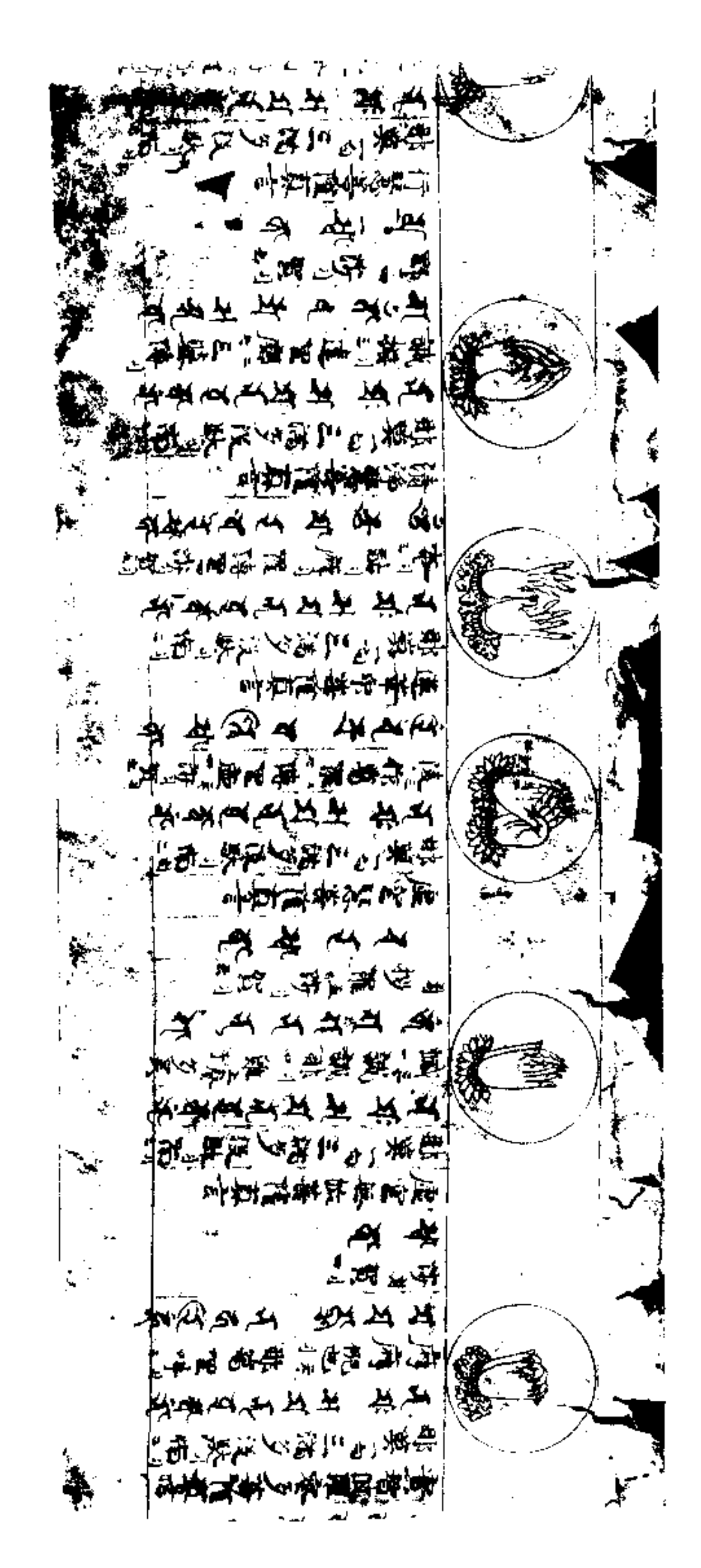
圖像 No. 182、寶印手菩薩　圖像 No. 183、堅固意菩薩　圖像 No. 184、虛空藏院虛空藏菩薩　圖像 No. 185、布施波羅蜜多菩薩



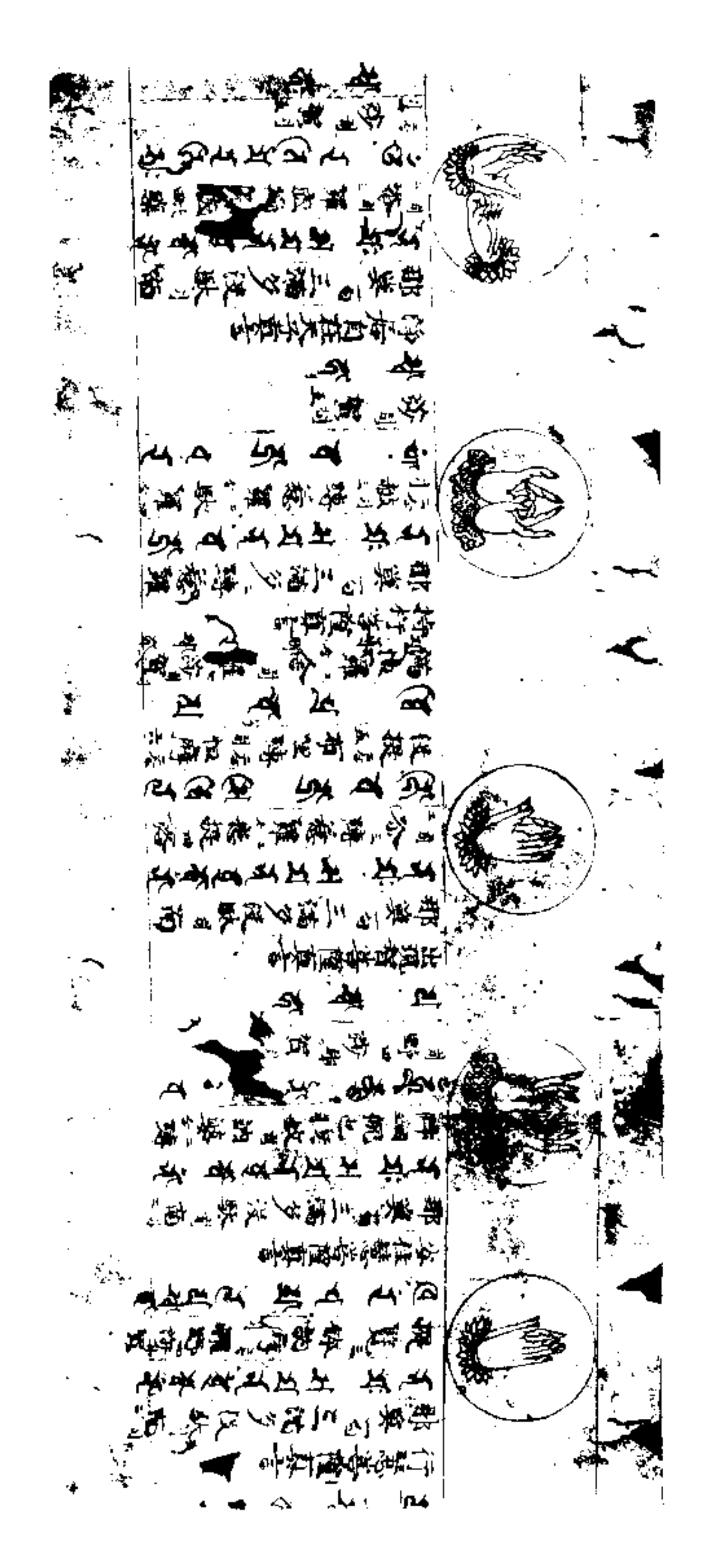
圖像 No. 186. 淨戒波羅蜜多菩薩　圖像 No. 187. 安忍波羅蜜多菩薩　圖像 No. 188. 精進波羅蜜多菩薩　圖像 No. 189. 禪定波羅蜜多菩薩　圖像 No. 190. 勝慧波羅蜜多菩薩



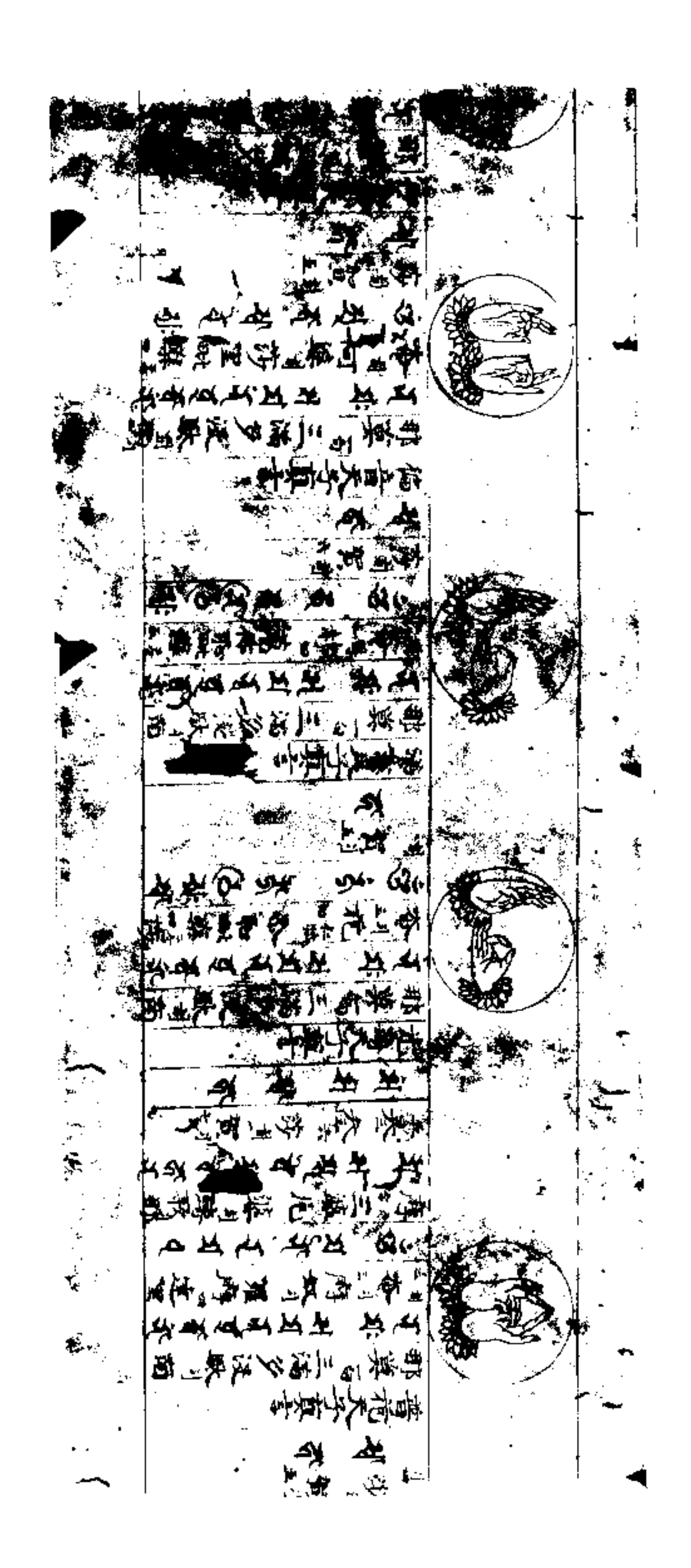
圖像 No. 191. 方便波羅蜜多菩薩　圖像 No. 192. 悲願波羅蜜多菩薩　圖像 No. 193. 堅固力波羅蜜多菩薩



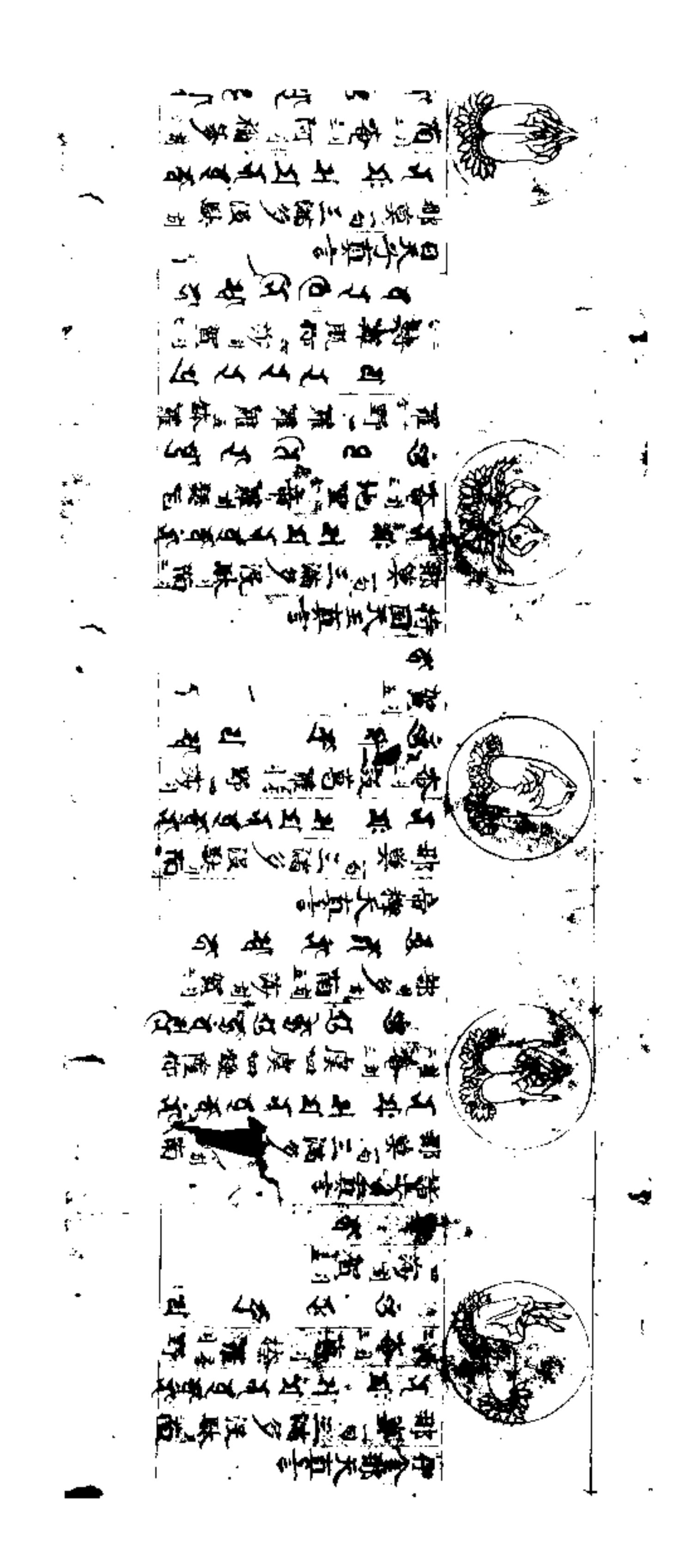
圖像 No. 194、寶智波羅蜜多菩薩　圖像 No. 195、虛空無垢菩薩　圖像 No. 196、虛空慧菩薩　圖像 No. 197、蓮華印菩薩
圖像 No. 198、淸淨慧菩薩



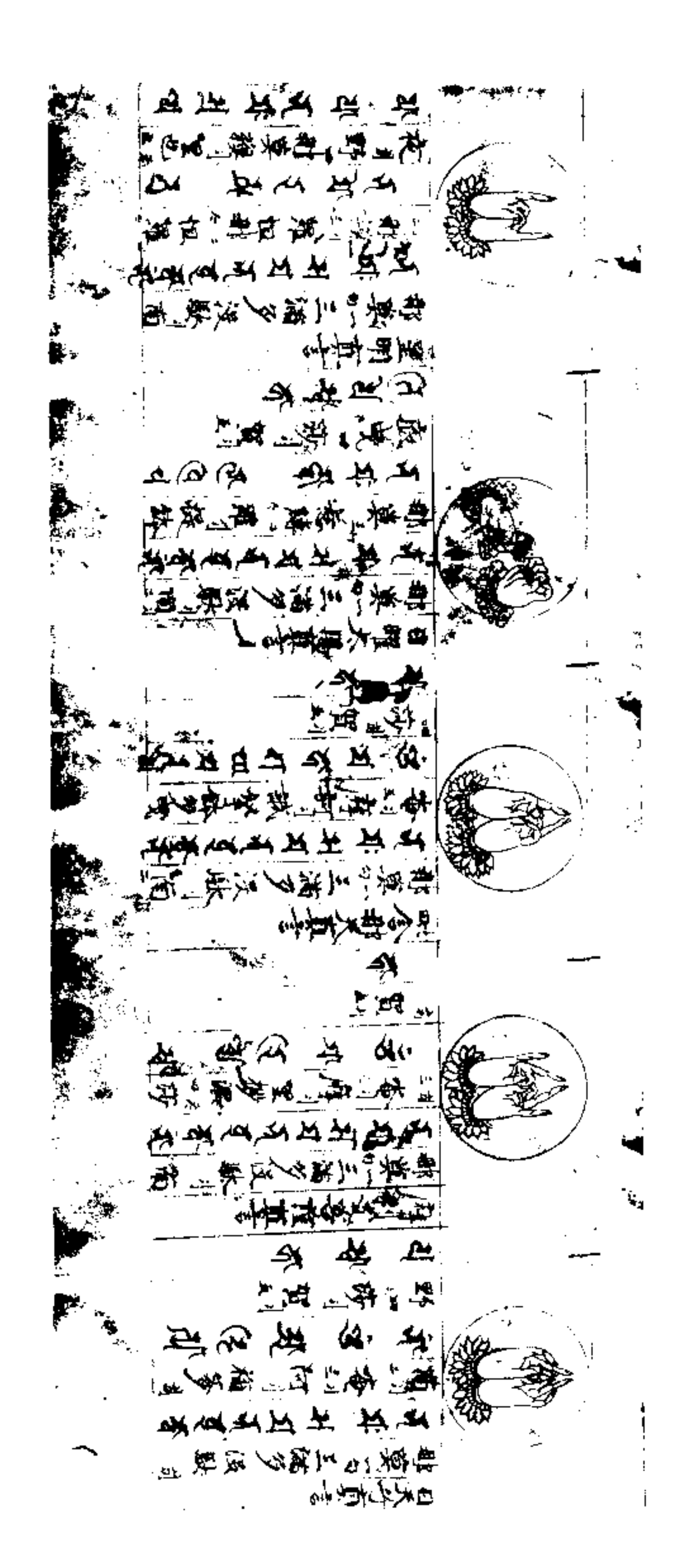
圖像 No. 199. 行慧菩薩　圖像 No. 200. 安住慧菩薩　圖像 No. 201. 出現智菩薩　圖像 No. 202. 持杵菩薩　圖像 203. 淨居自在天子



圖像 No. 204. 普花天子　圖像 No. 205. 光鬘天子　圖像 No. 206. 滿意天子　圖像 No. 207. 遍音天子

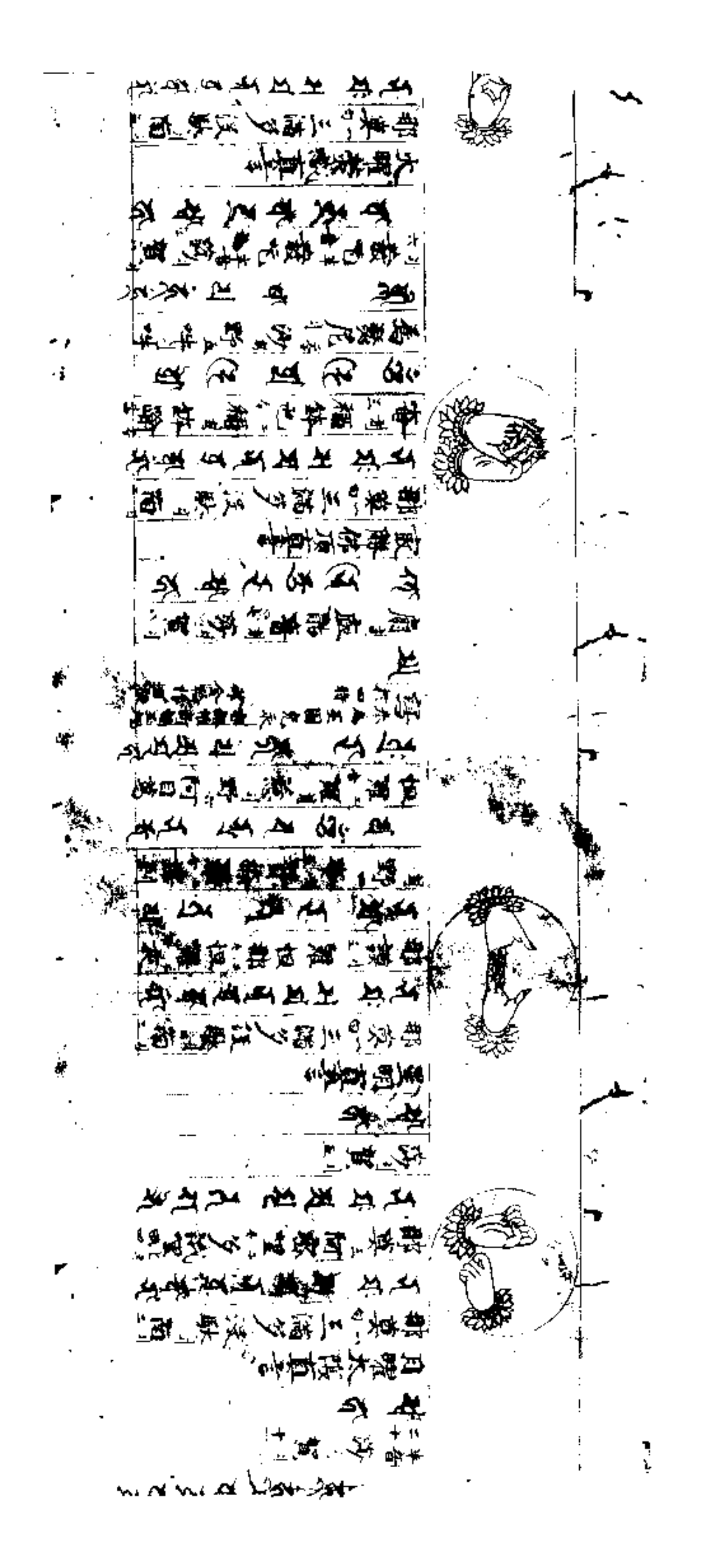


圖像 No. 208. 伊舍那天　圖像 No. 209. 諸歩多　圖像 No. 210. 帝釋天　圖像 No. 211. 持國天王

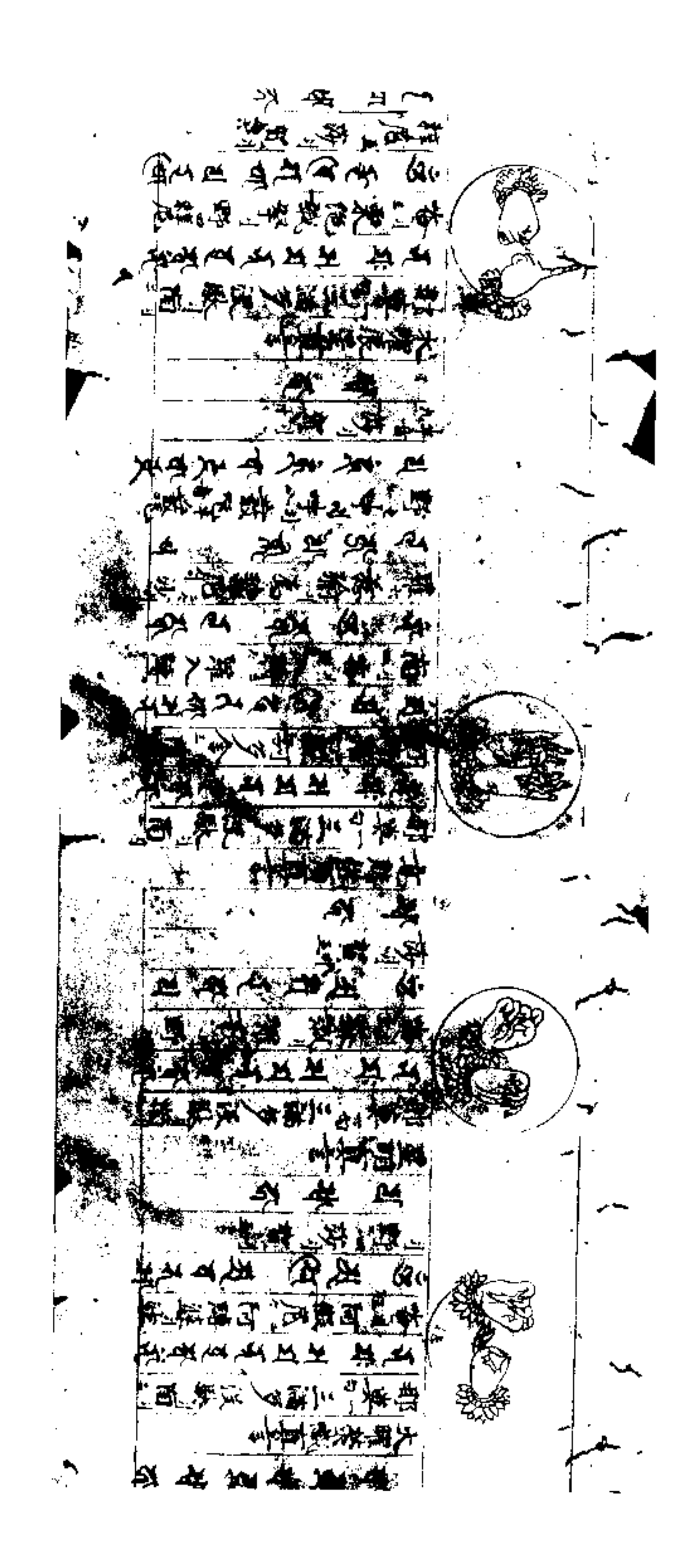


圖像 No. 212, 日天子　圖像 No. 213, 摩利支菩薩　圖像 No. 214, 毘舍那天　圖像 No. 215, 日曜太陽　圖像 No. 216, 早明

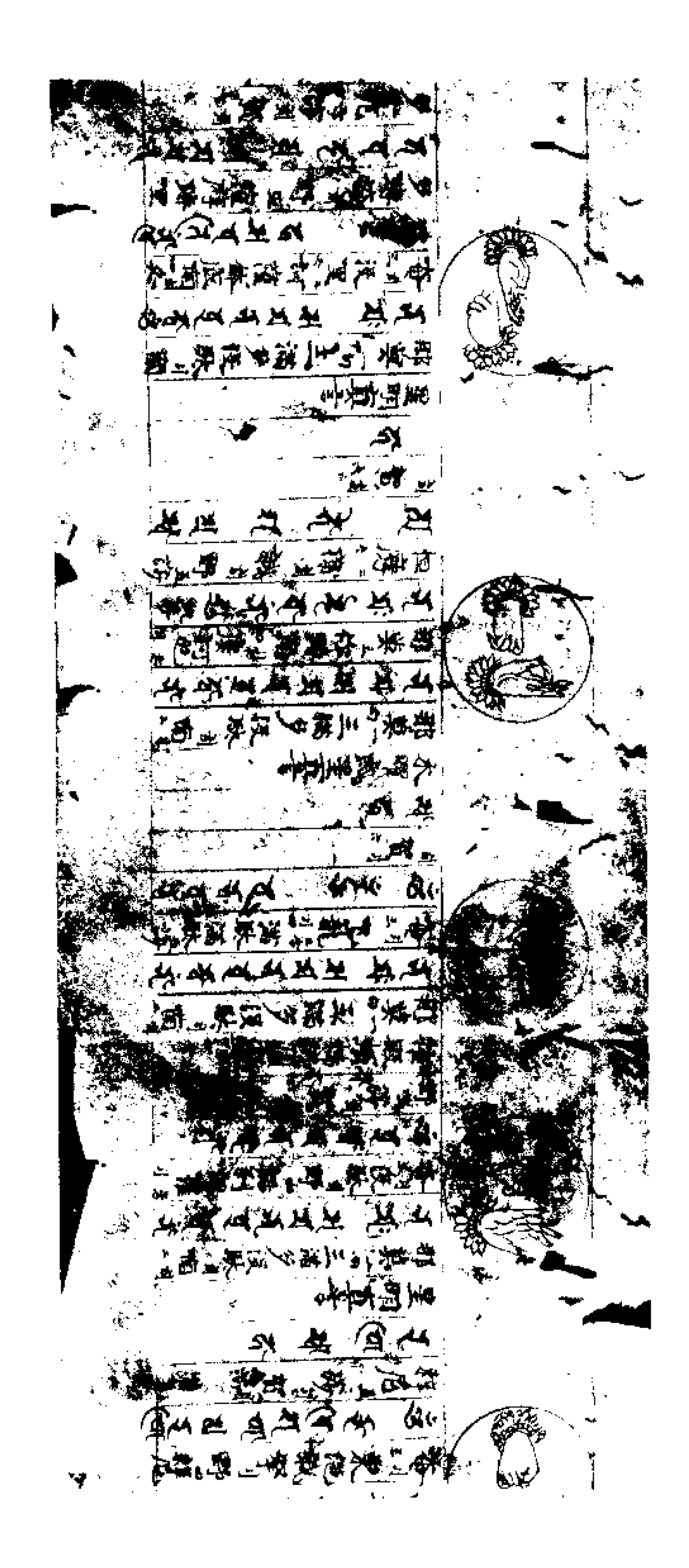
圖像 No. 217、光 聚 佛 頂



圖像 No. 218、月曜太陰　圖像 No. 219、星明　圖像 No. 220、最勝佛頂



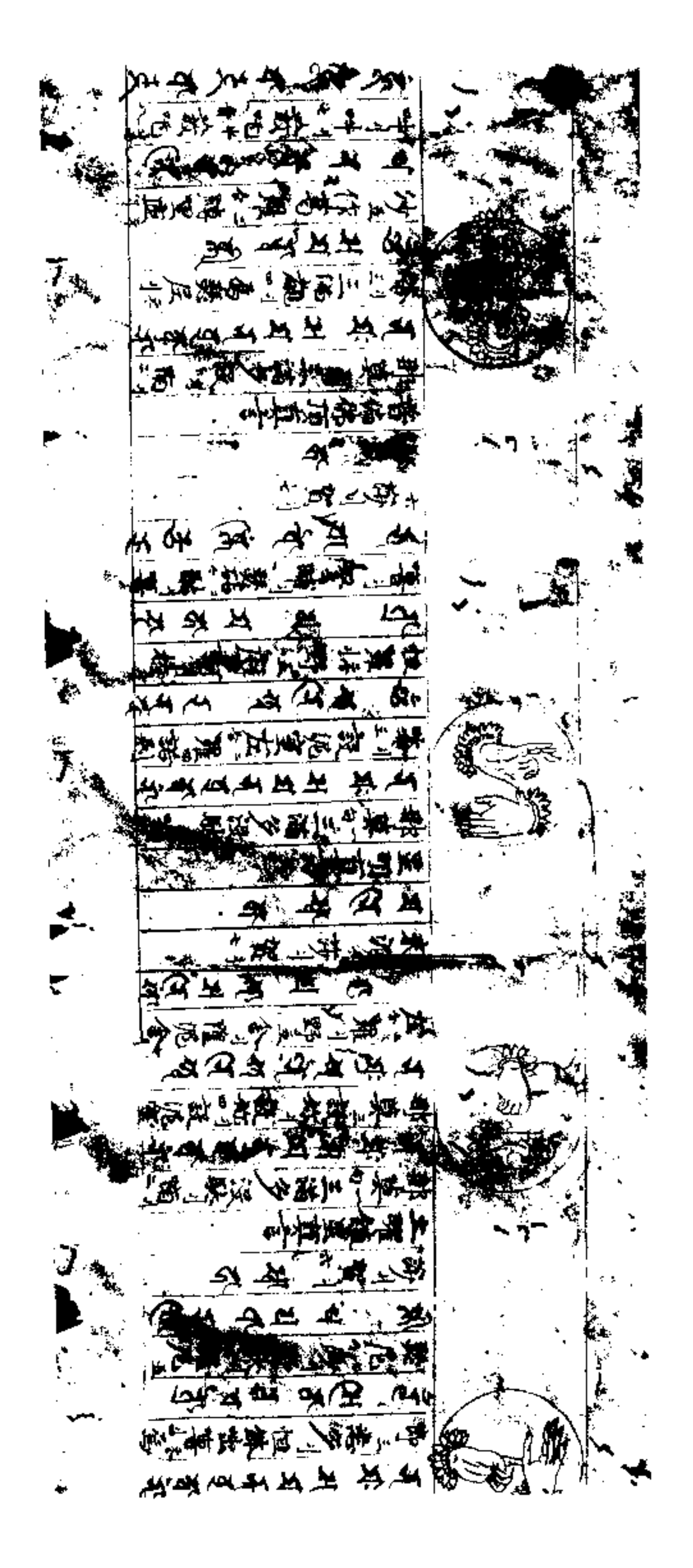
圖像 No. 221、火曜熒惑　圖像 No. 222、星明　圖像 No. 223、高勝佛頂　圖像 No. 224、水曜辰星



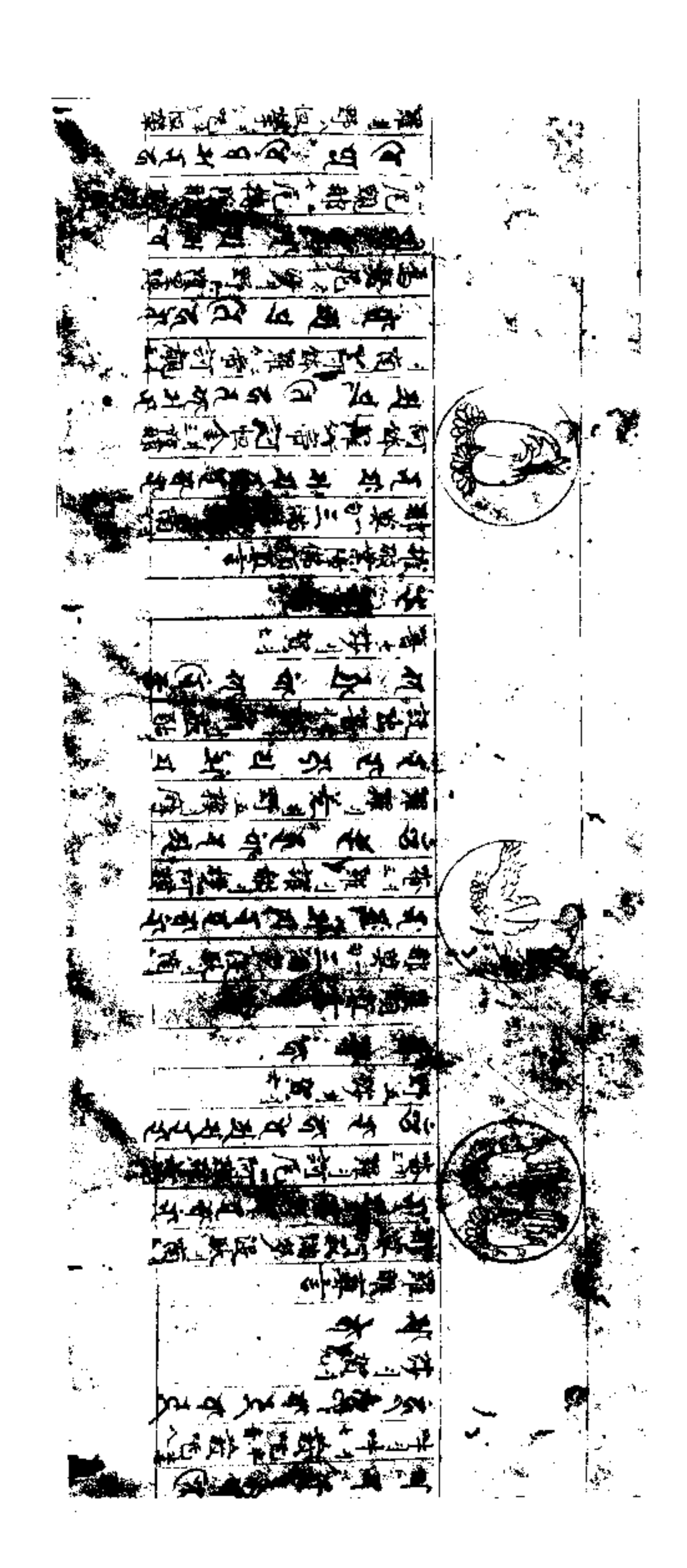
圖像 No. 225. 星明　圖像 No. 226. 摧毀煩惱佛頂　圖像 No. 227. 木曜歲星　圖像 No. 228. 星明



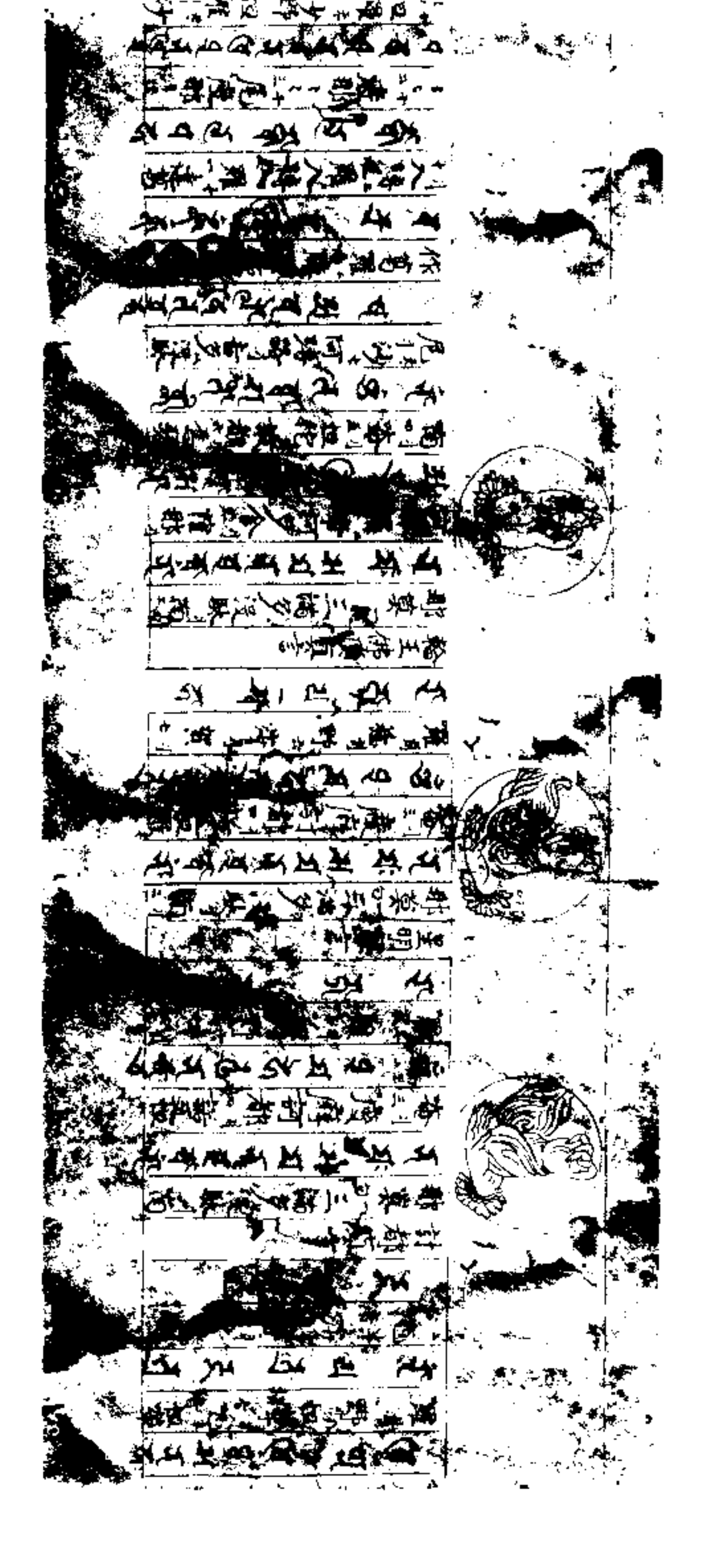
圖像 No. 229. 摧壞覺怨佛頂　圖像 No. 230. 金曜太白　圖像 No. 231. 星明　圖像 No. 232. 白傘蓋佛頂



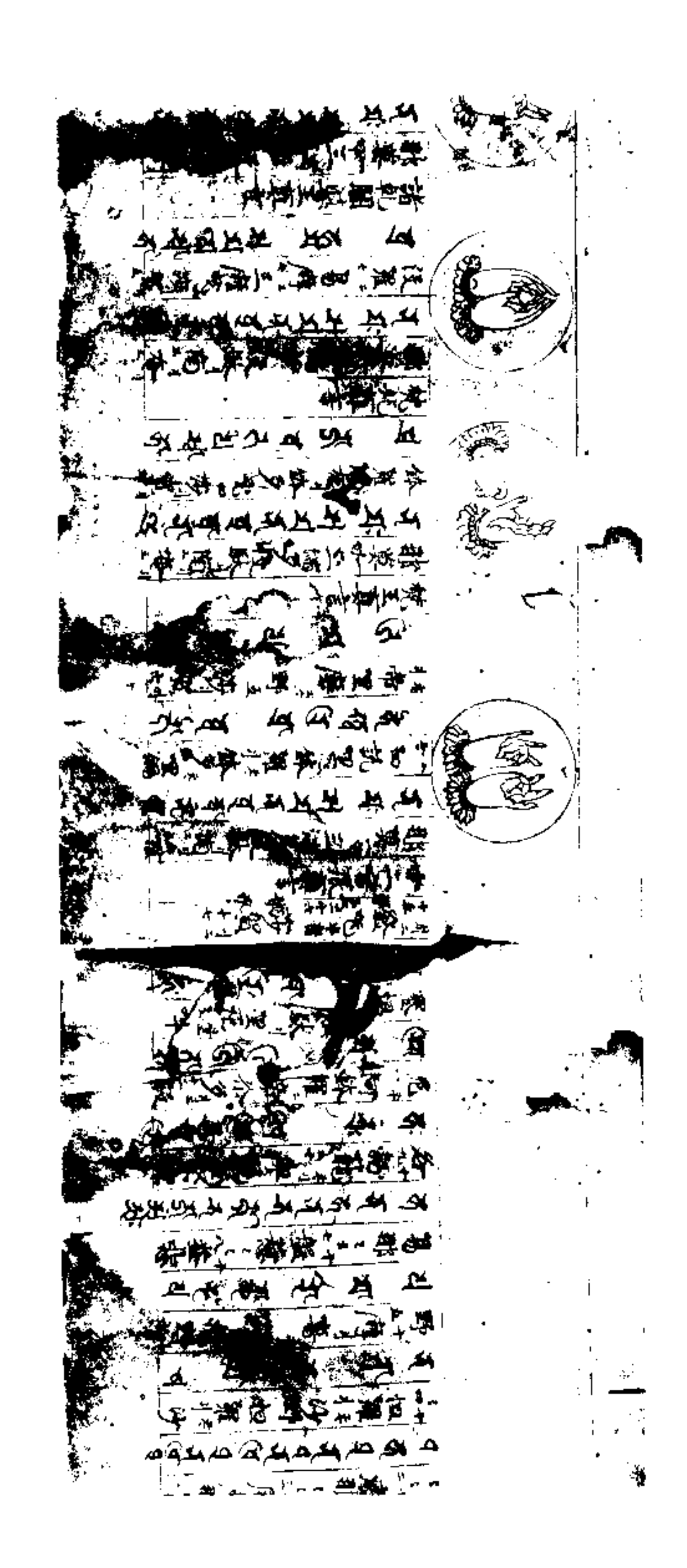
圖像 No. 233. 土曜鎭星　圖像 No. 234. 星明　圖像 No. 235. 普遍佛頂



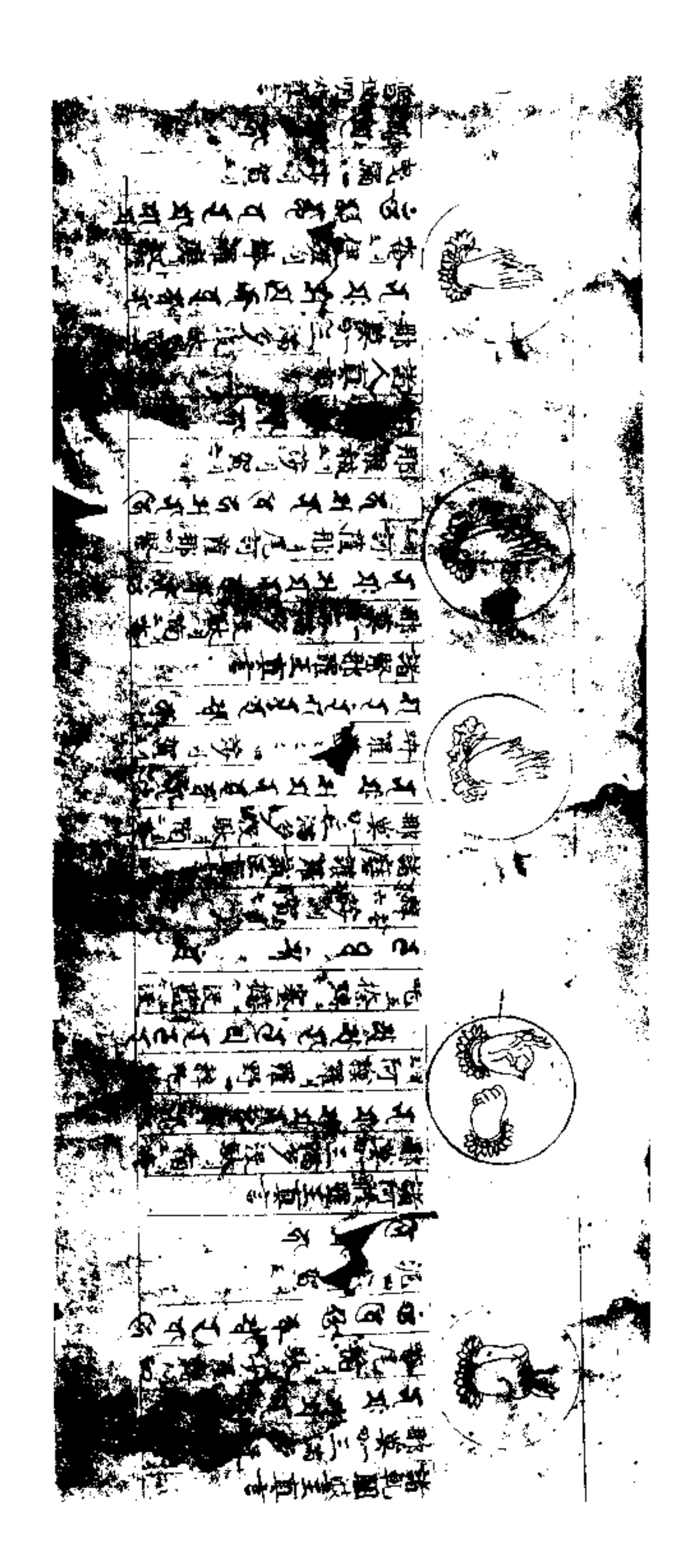
圖像 No. 236、羅睺　圖像 No. 237、星明　圖像 No. 238、摧破業障佛頂



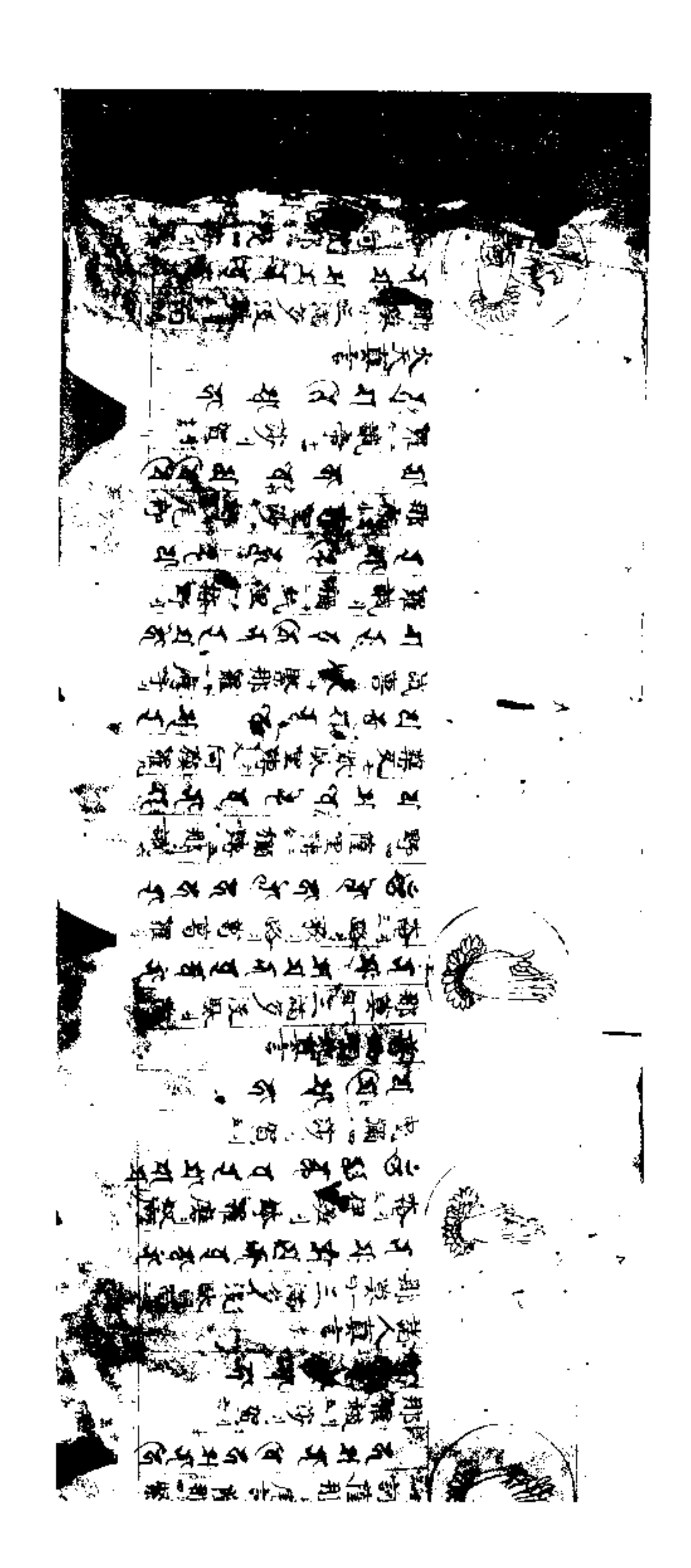
圖像 No. 239. 計都　圖像 No. 240. 星明　圖像 No. 241. 輪王佛頂



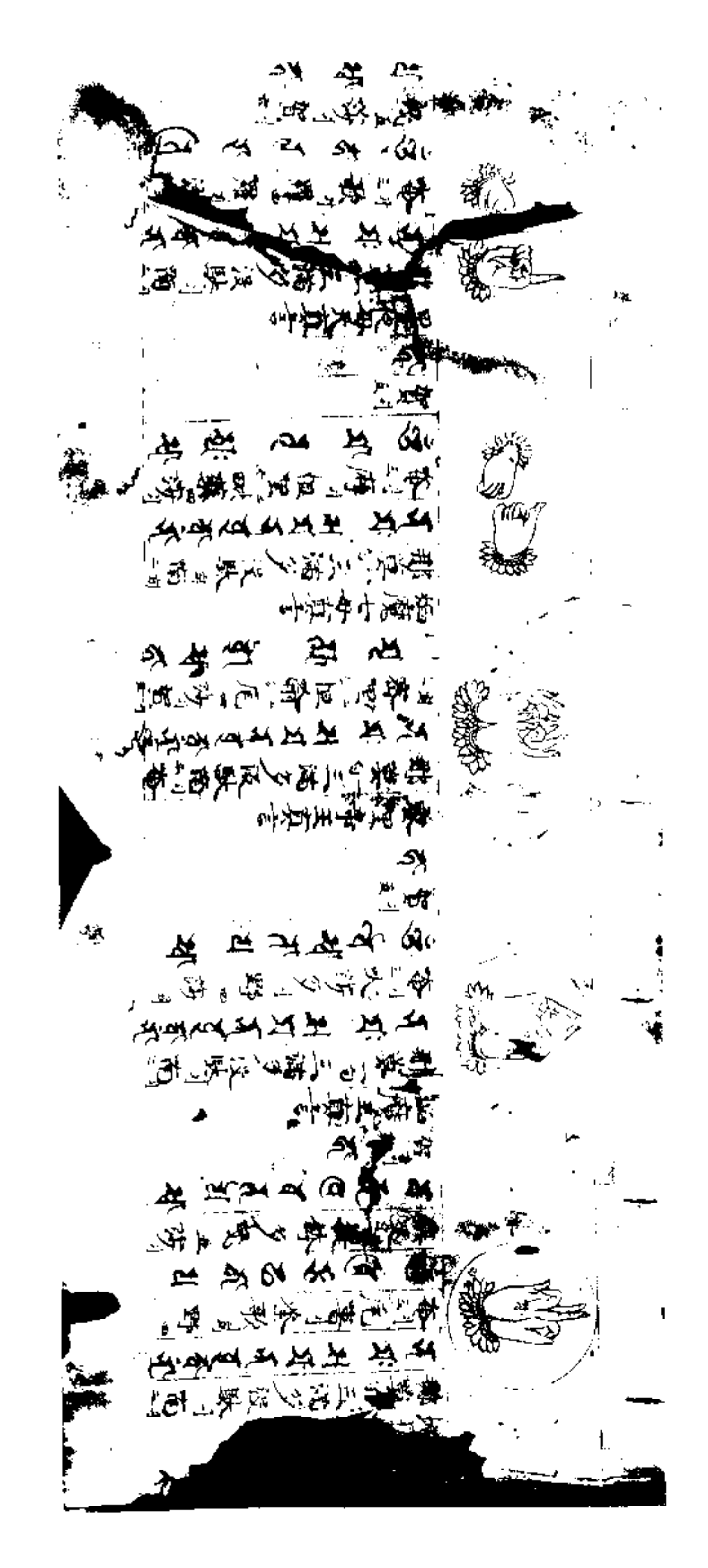
圖像 No. 242. 十二宮辰　圖像 No. 243. 梵王　圖像 No. 244. 梵妃



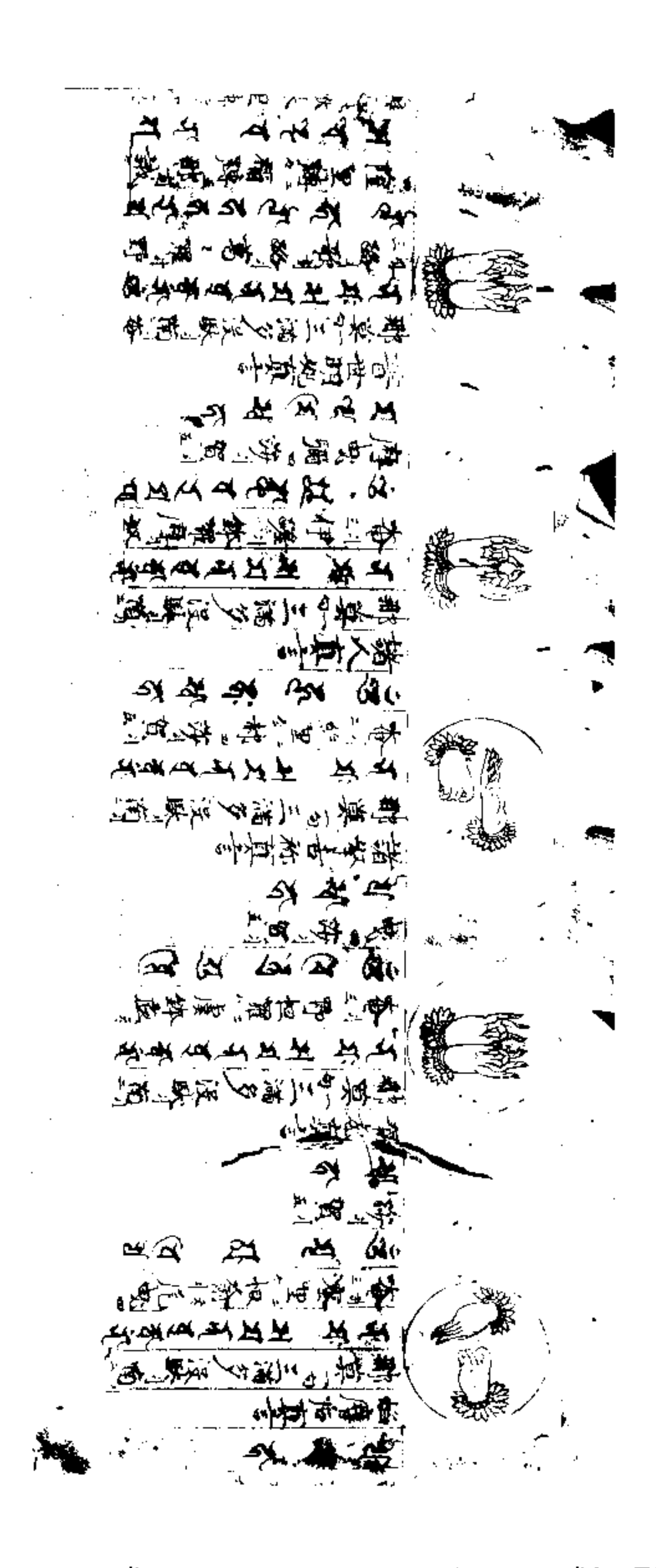
圖像 No. 245、諸乾闥婆王　圖像 No. 246、諸阿修羅王　圖像 No. 247、諸摩睺羅誐王　圖像 No. 248、諸緊那羅王
圖像 No. 249、諸人



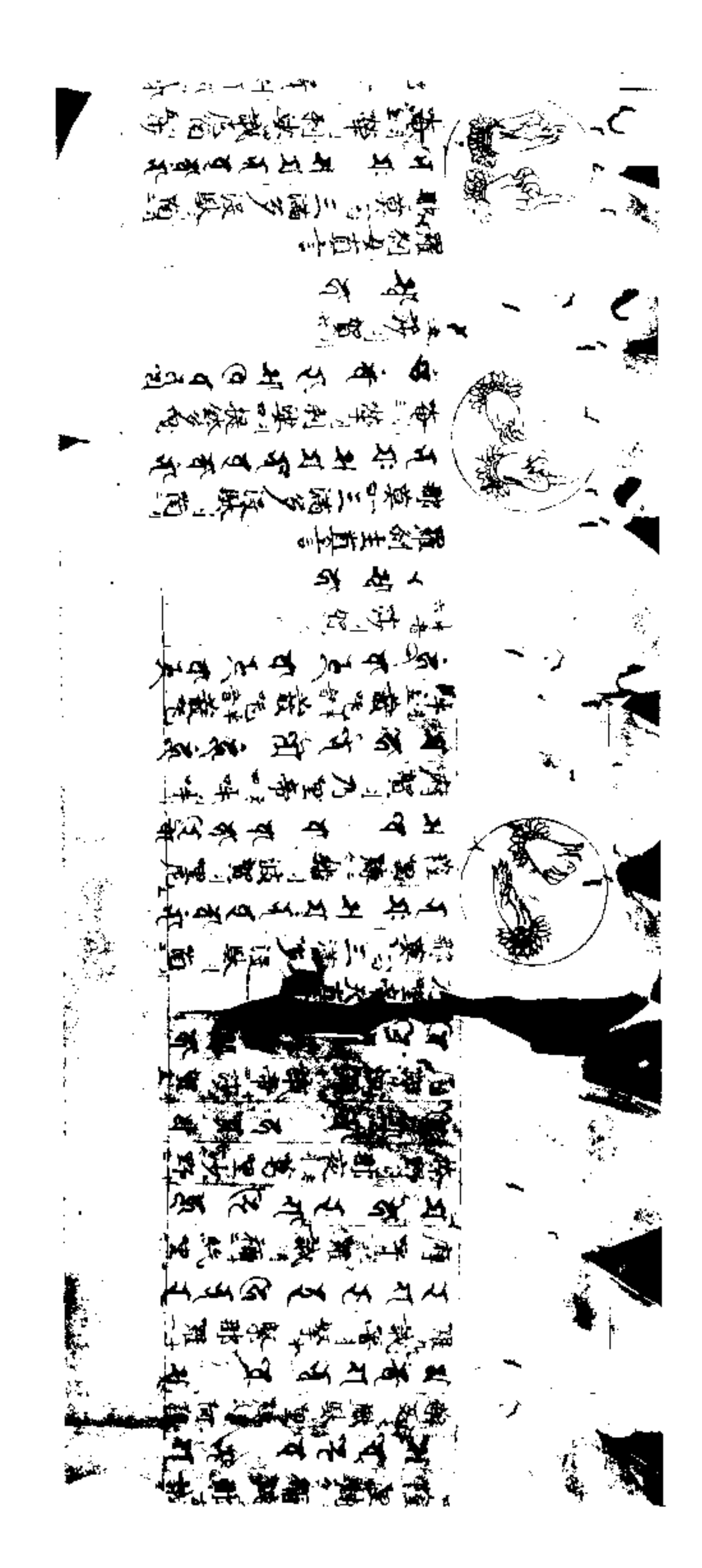
圖像 No. 250. 普世明妃　圖像 No. 251. 火天



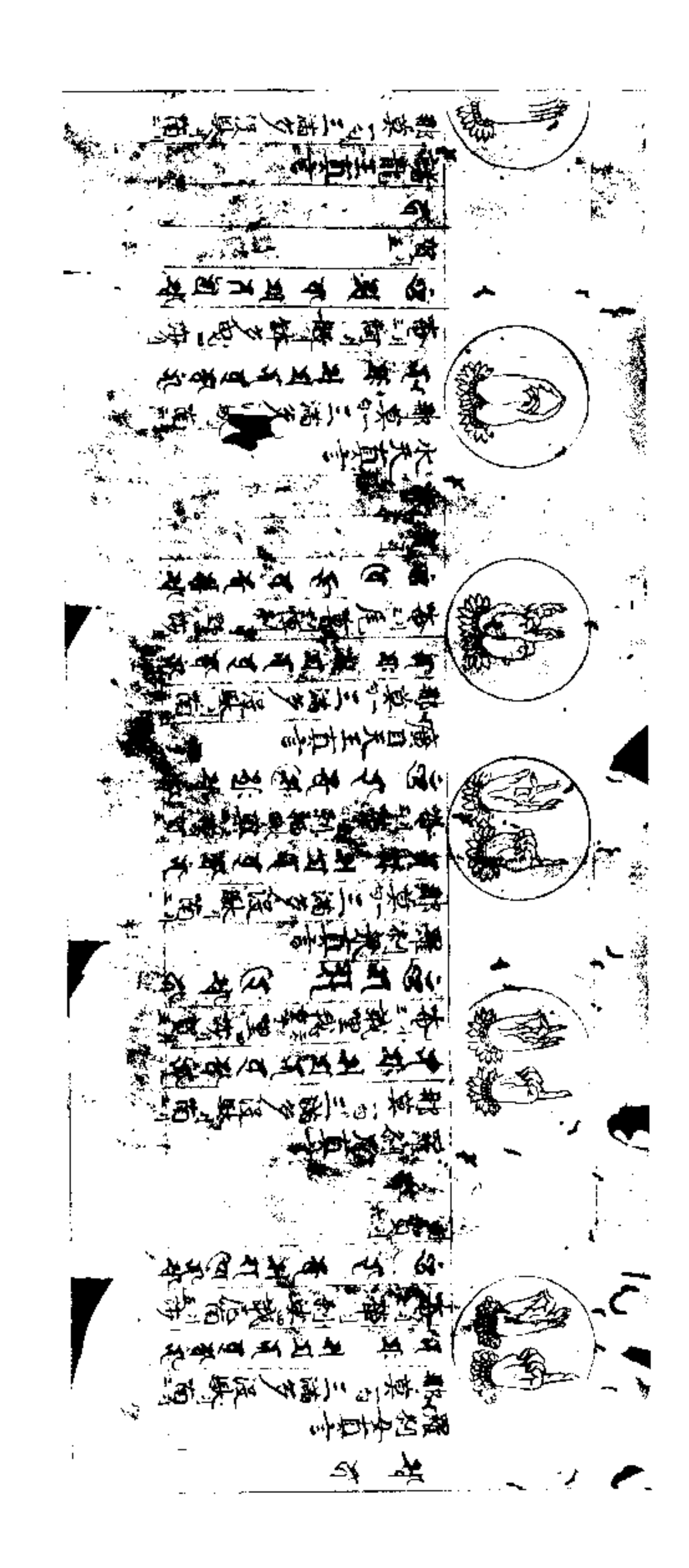
圖像 No. 252、增長天　圖像 No. 253、焔魔王　圖像 No. 254、[illegible]帝王　圖像 No. 255、焔魔七母　圖像 No. 256、黑夜母天



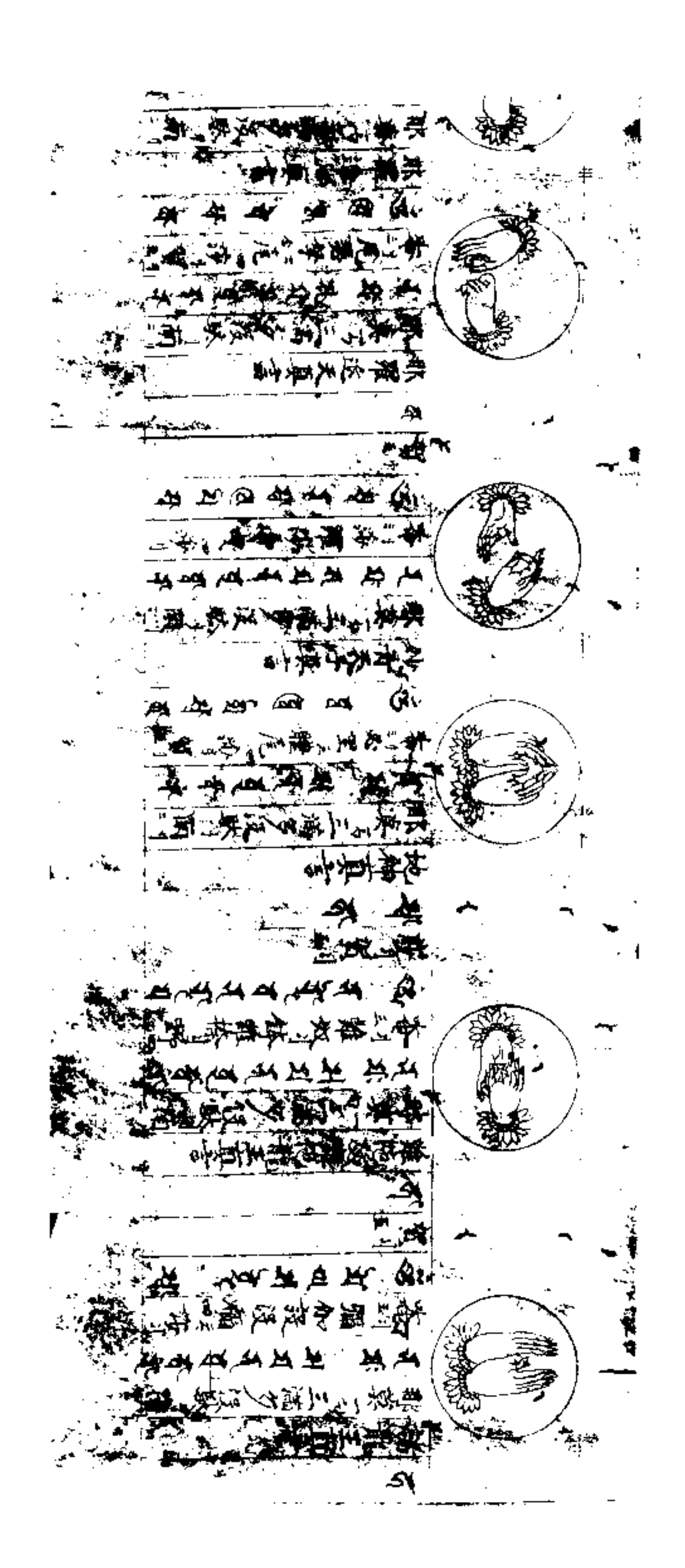
圖像 No. 257、焰摩后　圖像 No. 258、拏敦　圖像 No. 259、諸擊吉祠　圖像 No. 260、諸人　圖像 No. 261、普世明妃



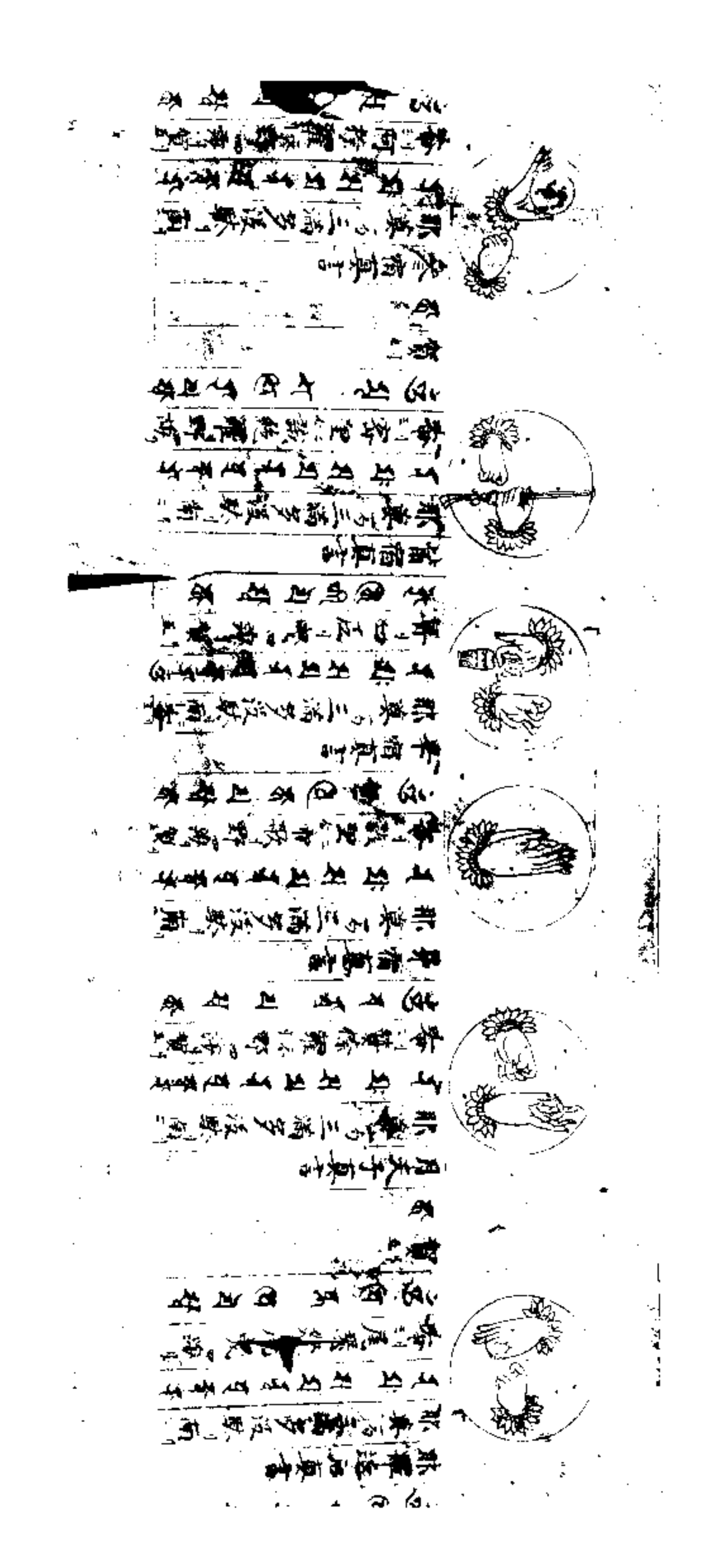
圖像 No. 262、乃哩帝天　圖像 No. 263、羅刹王



圖像 No. 264、羅刹女　圖像 No. 265、羅刹兒　圖像 No. 266、羅刹衆　圖像 No. 267、廣目天王　圖像 No. 268、水天

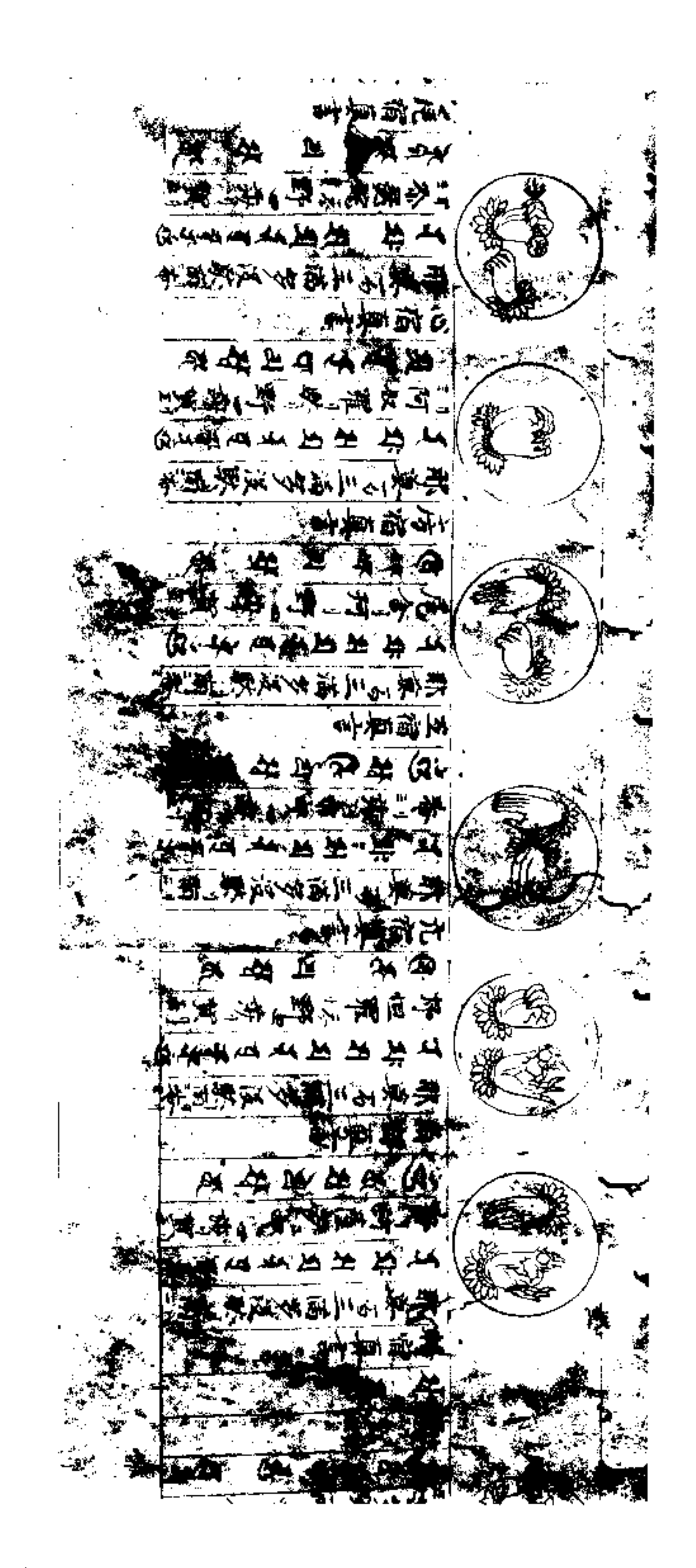


圖像 No. 269、諸龍王　圖像 No. 270、難陀跋難陀龍王　圖像 No. 271、地神　圖像 No. 272、妙音天子　圖像 No. 273、那羅延天

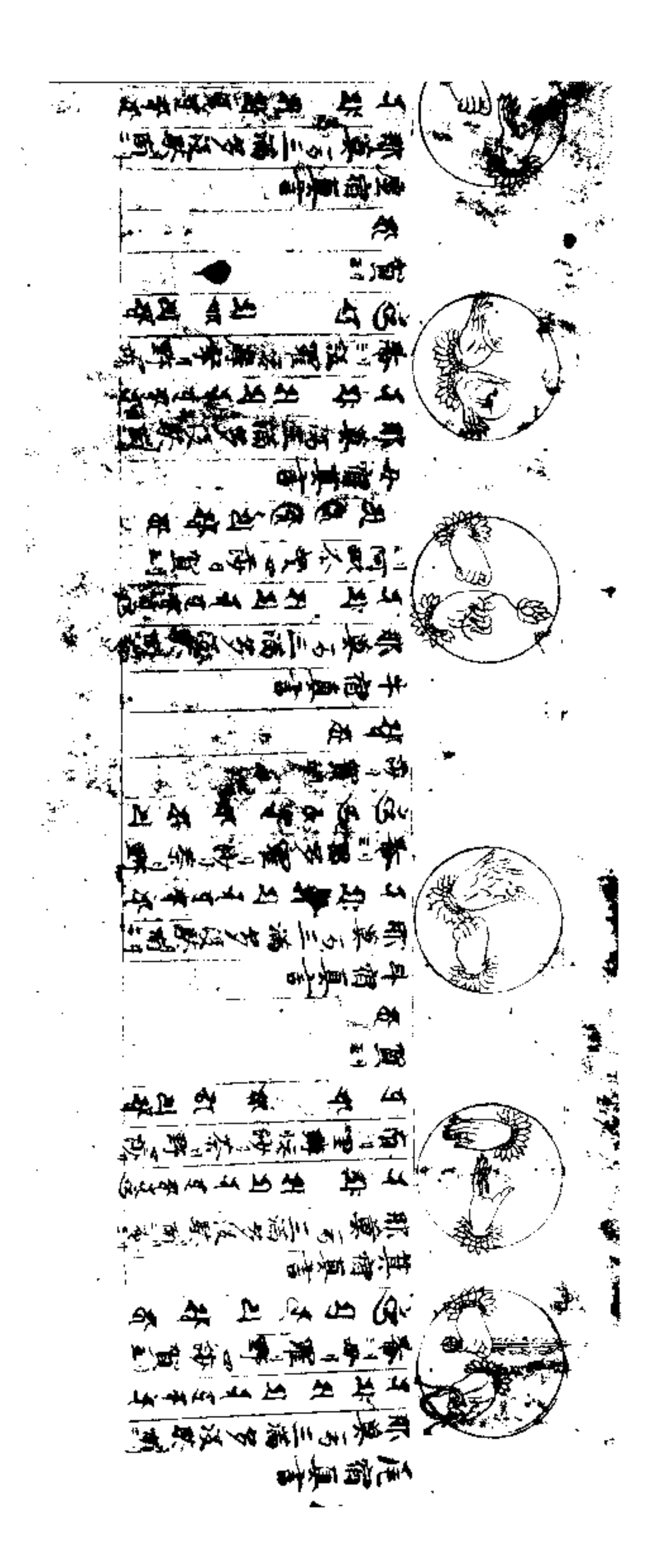


圖像 No. 274、那羅延后　圖像 No. 275、月天子　圖像 No. 276、昴宿　圖像 No. 277、畢宿　圖像 No. 278、觜宿
圖像 No. 279、參宿

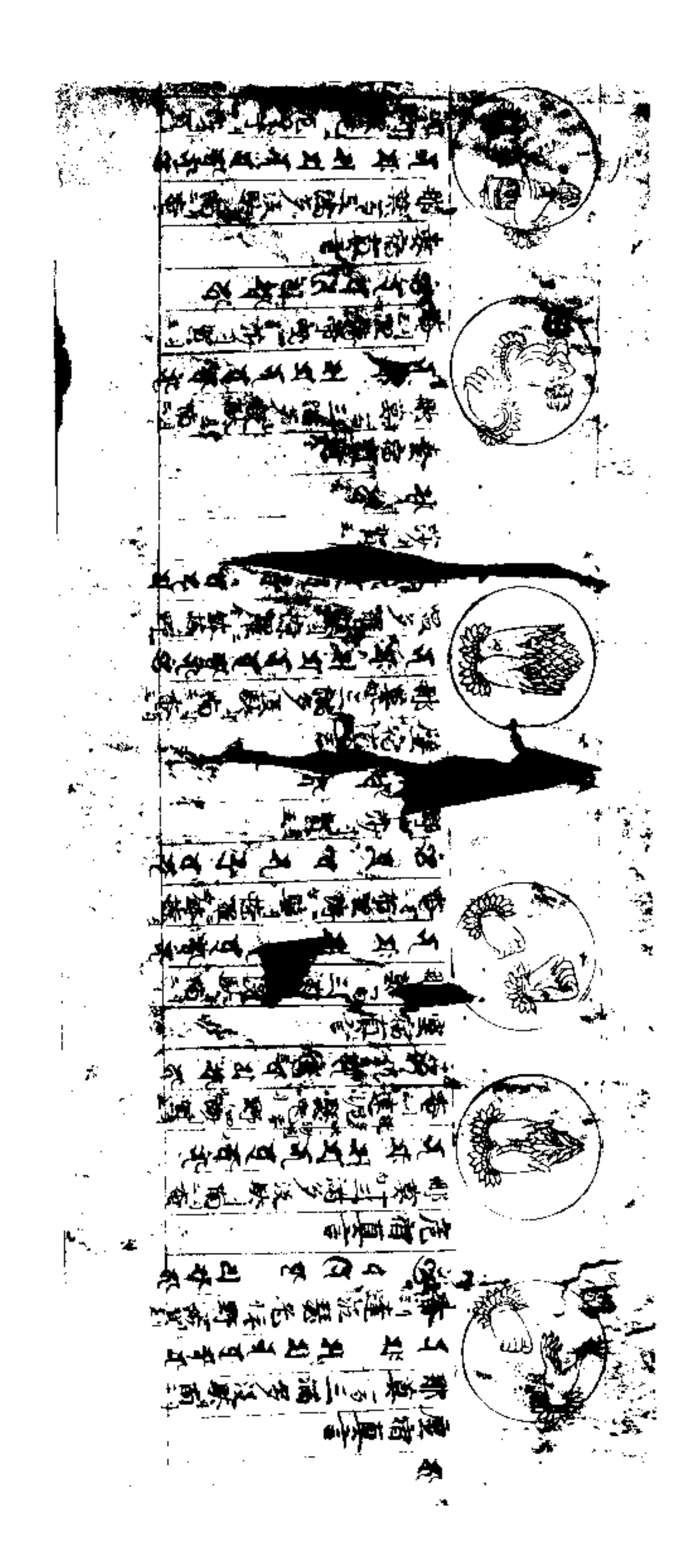
圖像 No. 280、井宿　圖像 No. 281、鬼宿　圖像 No. 282、柳宿　圖像 No. 283、星宿　圖像 No. 284、張宿　圖像 No. 285、翼宿



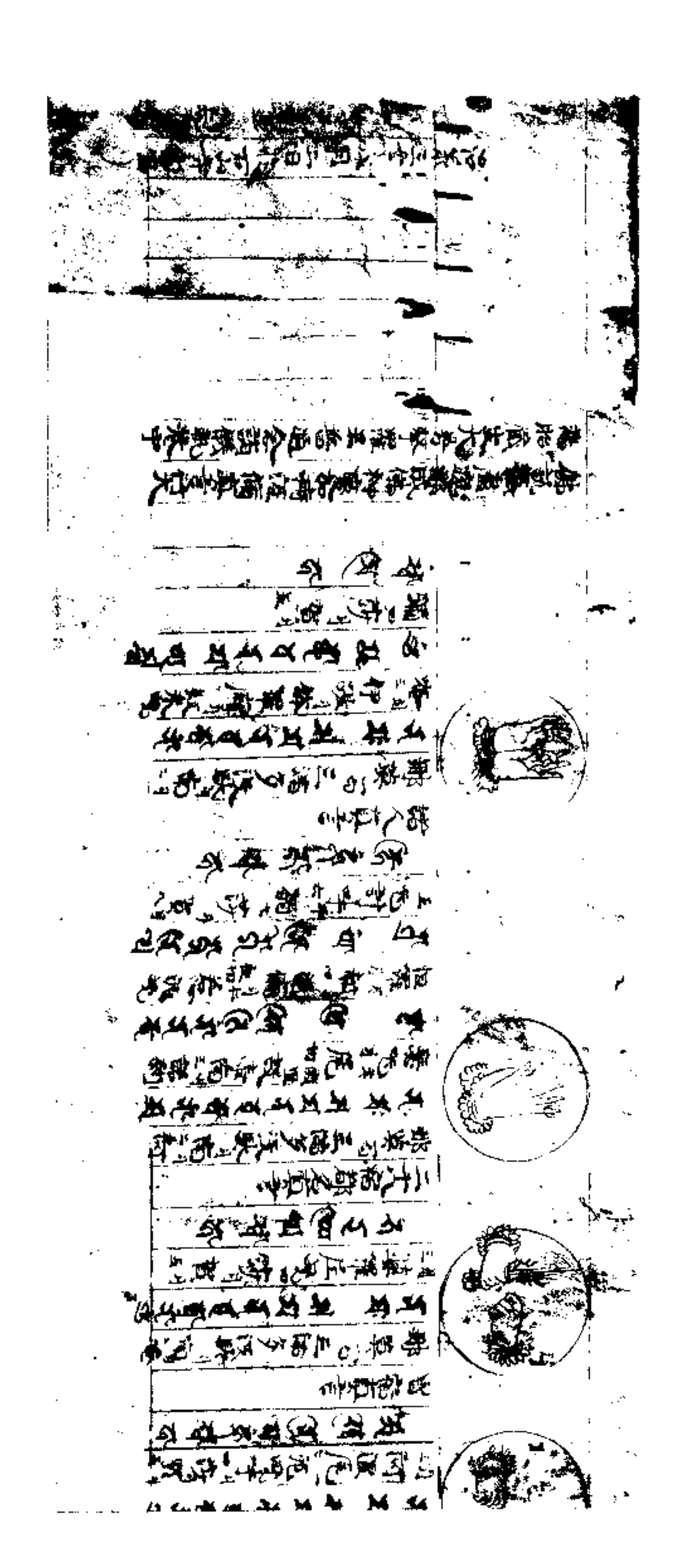
圖像 No. 286、軫宿　圖像 No. 287、角宿　圖像 No. 288、亢宿　圖像 No. 289、氐宿　圖像 No. 290、房宿　圖像 No. 291、心宿



圖像 No. 292. 尾宿　圖像 No. 293. 箕宿　圖像 No. 294. 斗宿　圖像 No. 295. 牛宿　圖像 No. 296. 女宿



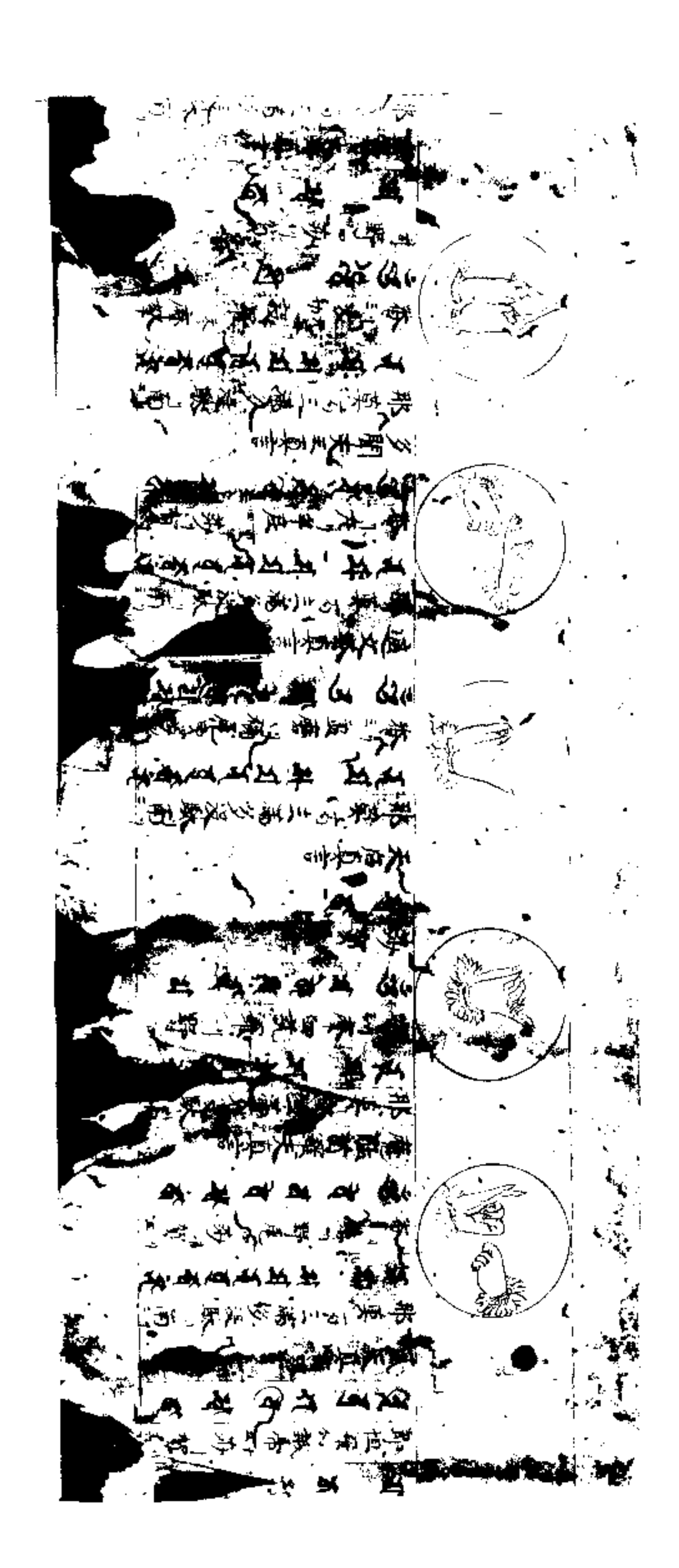
圖像 No. 297、虛宿　圖像 No. 298、危宿　圖像 No. 299、室宿　圖像 No. 300、壁宿　圖像 No. 301、奎宿　圖像 No.302、婁宿



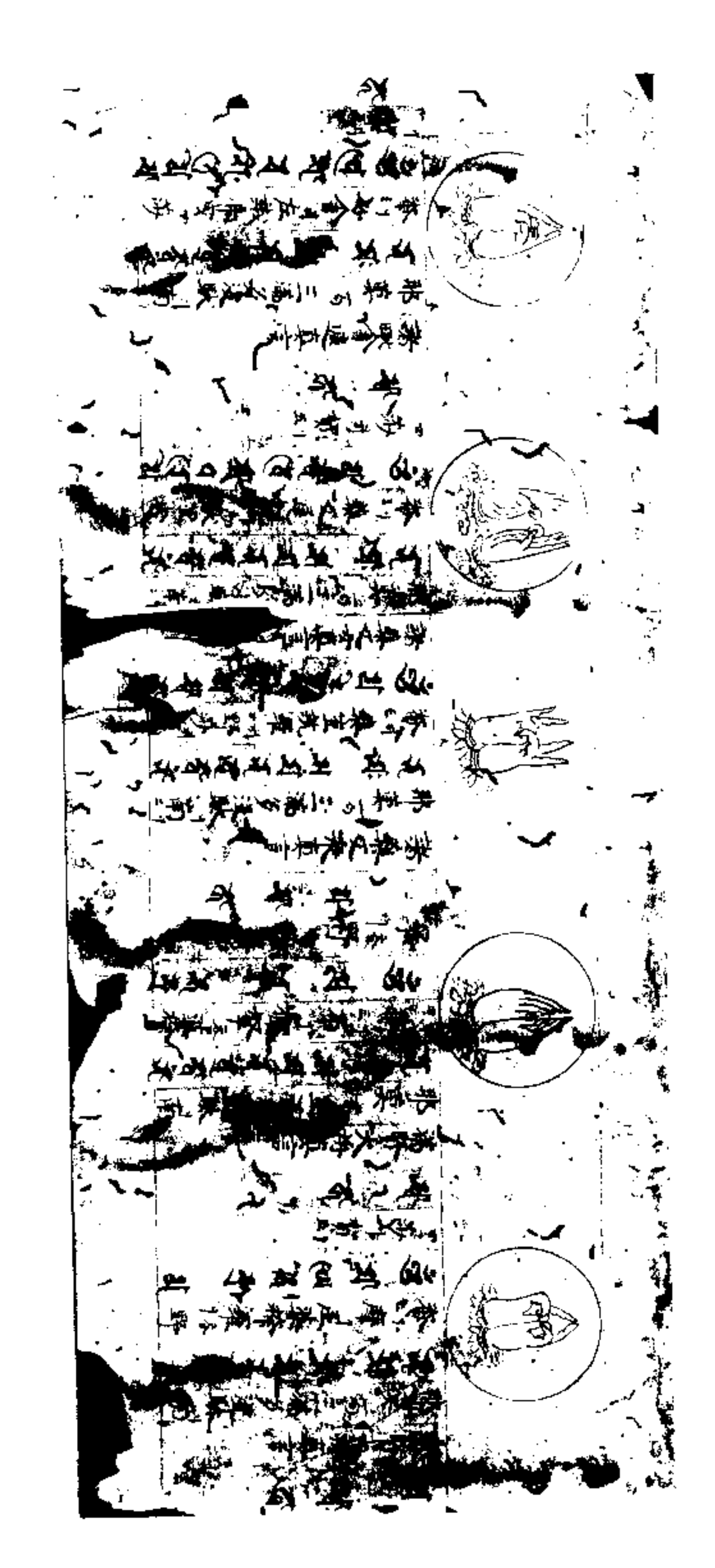
圖像 No. 303. 胃宿　圖像 No. 304. 二十八宿都名　圖像 No. 305. 諸人



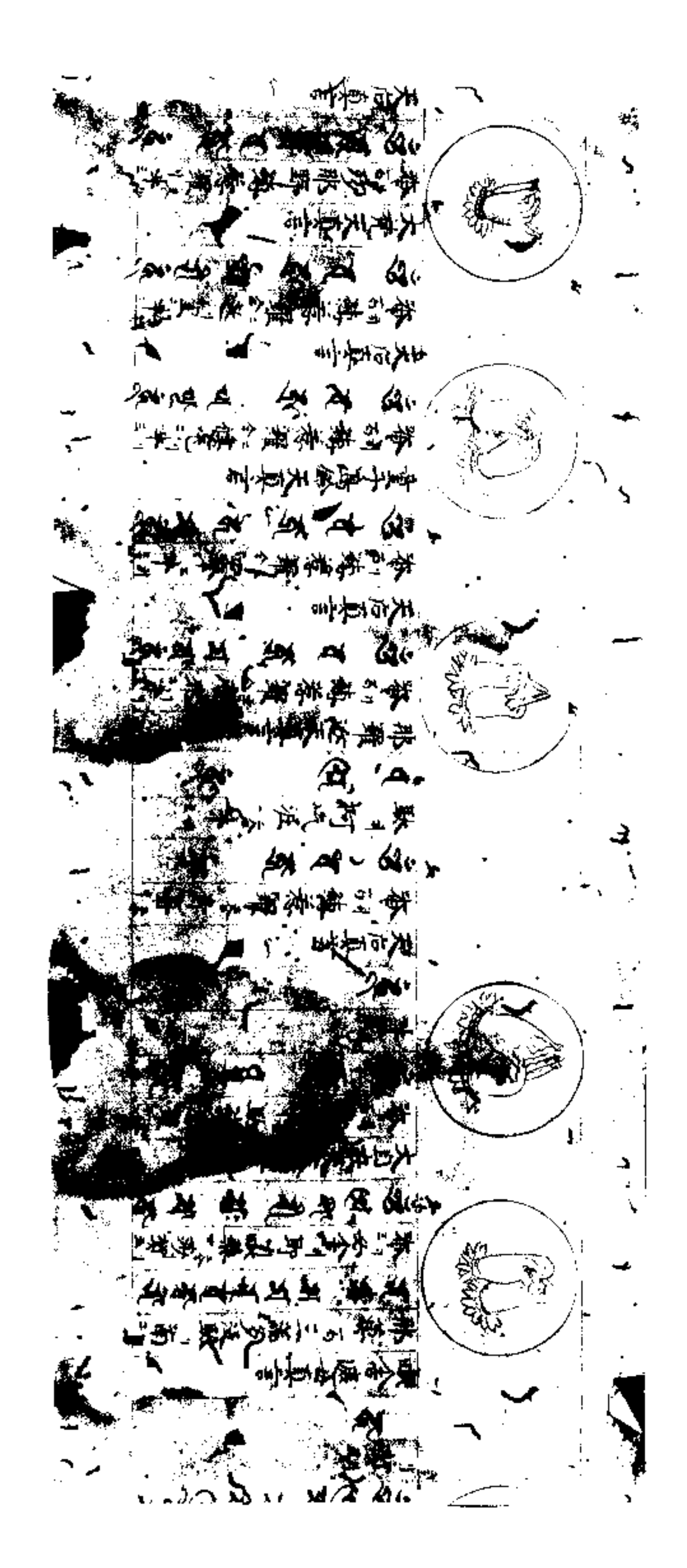
圖像 No. 306. 音 世 明 紀



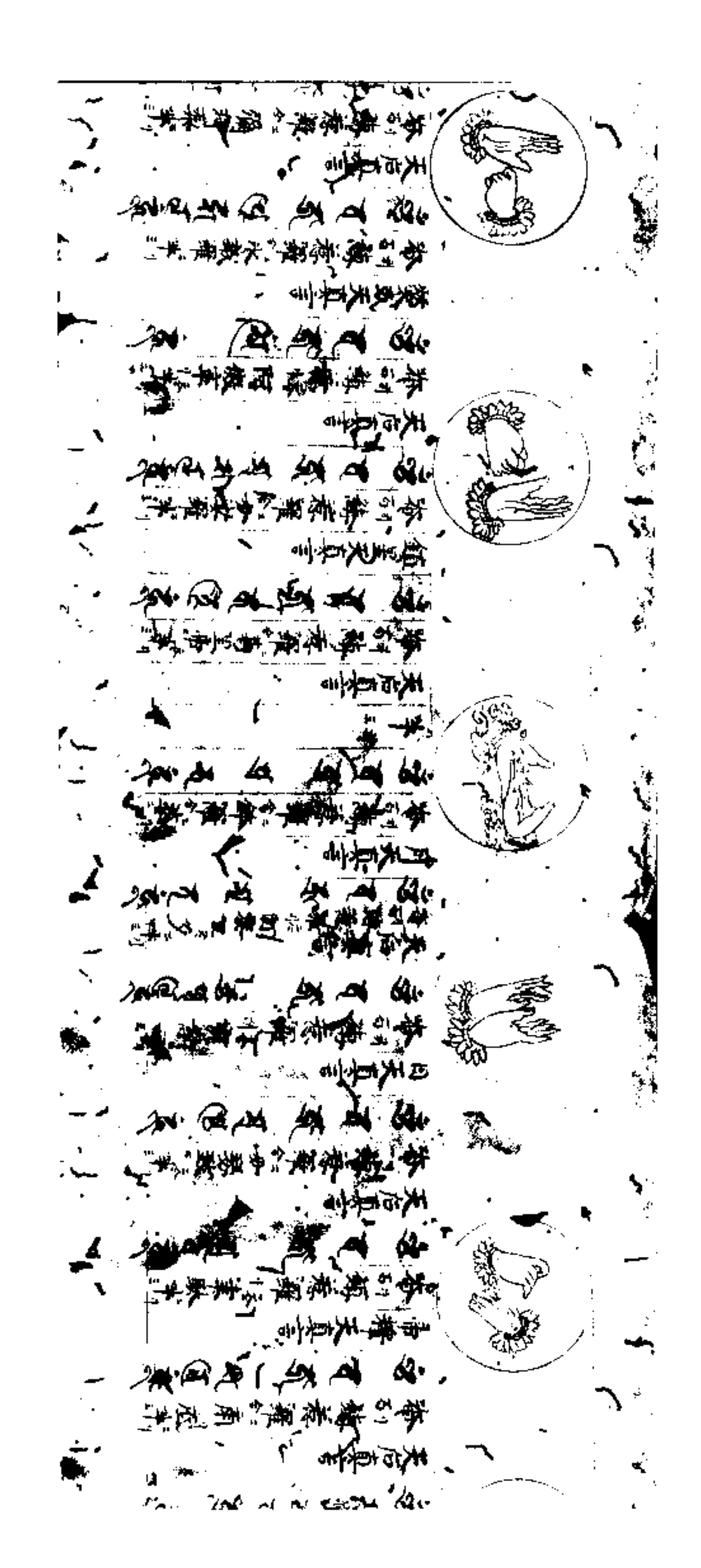
圖像 No. 307、風天　圖像 No. 308、摩醯首羅天　圖像 No. 309、天后　圖像 No. 310、遮文荼　圖像 No. 311、多聞天王



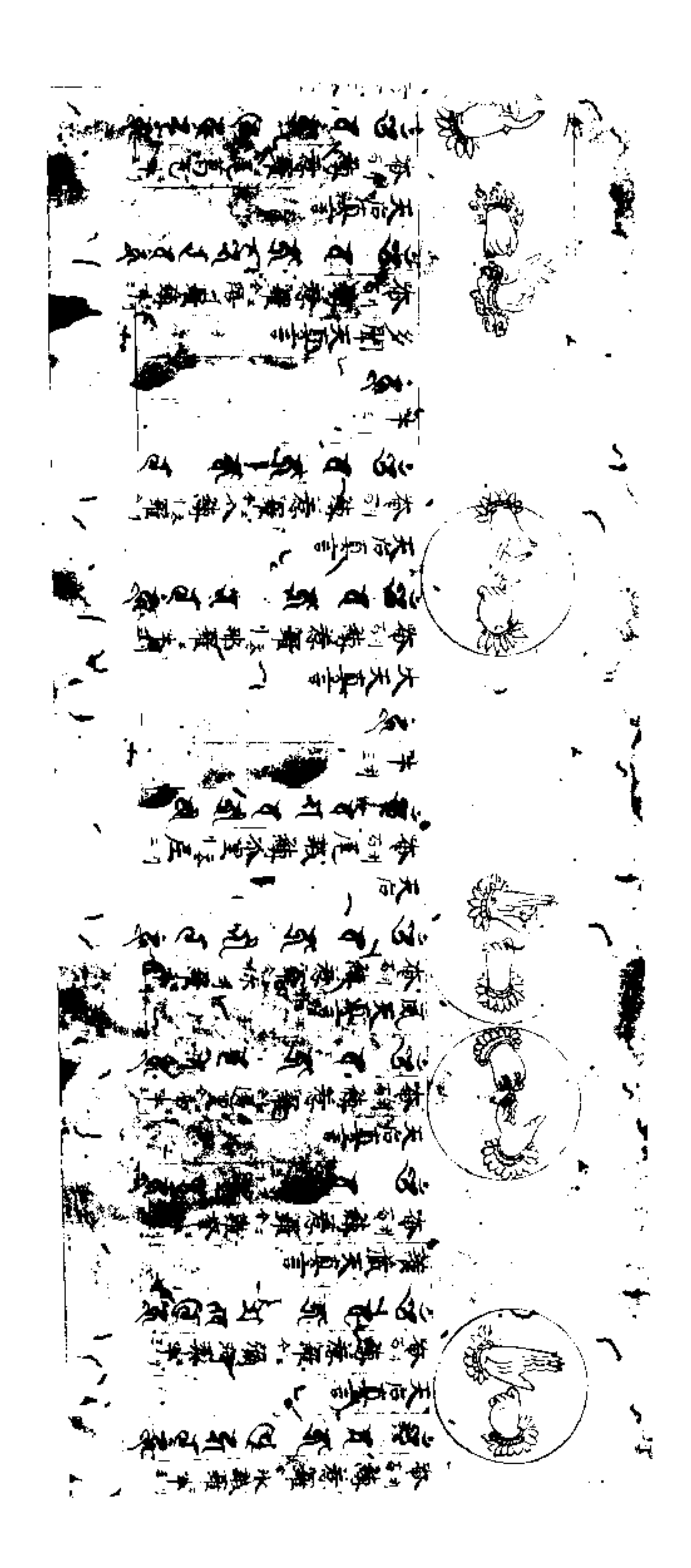
圖像 No. 312. 寶賢大將　圖像 No. 313. 滿賢大將　圖像 No. 314. 諸藥叉衆　圖像 No. 315. 諸藥叉女　圖像 No. 316. 諸毘舍遮



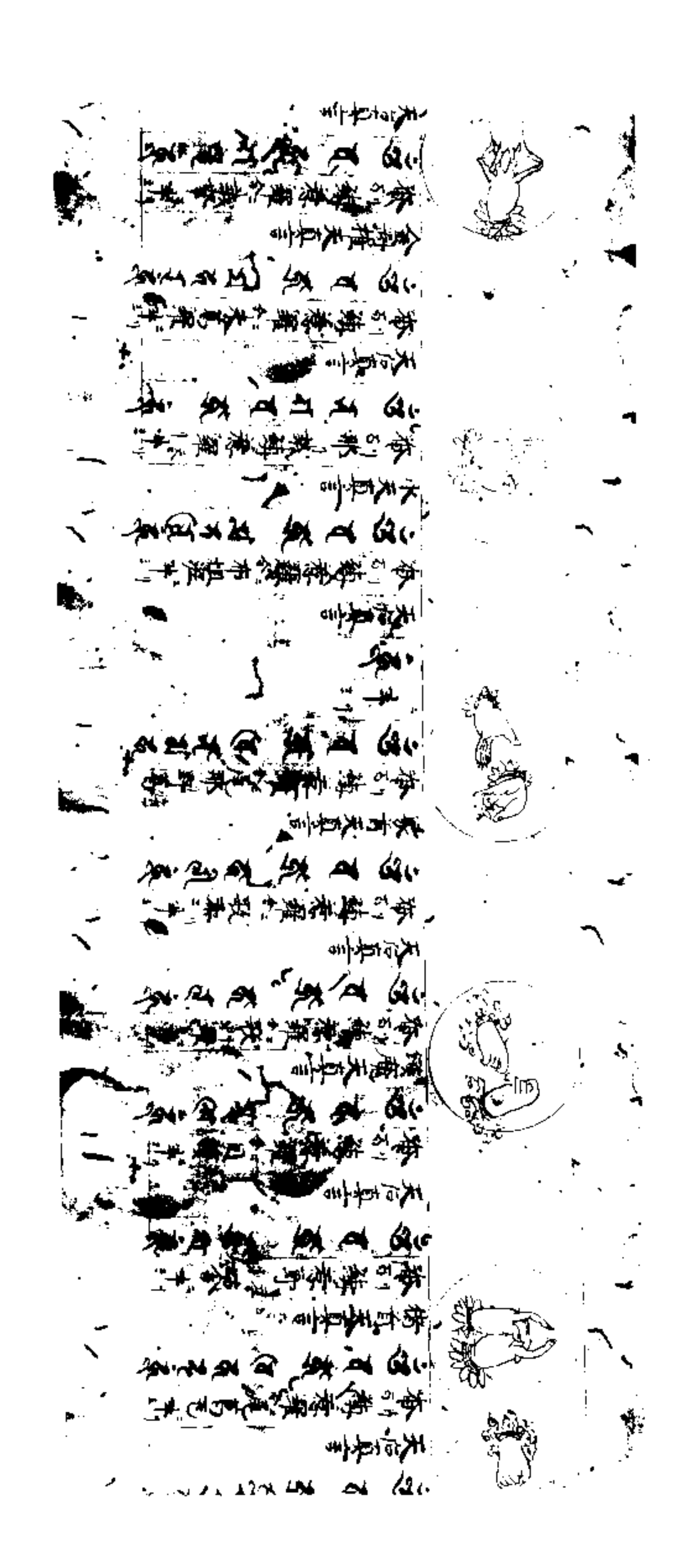
圖像 No. 317、毘舍遮女　圖像 No. 318、大自在天王及天后　圖像 No. 319、那羅延天及天后　圖像 No. 320、童子鳴鈴天及天后　圖像 No. 321、大梵天及天后



圖像 No. 322、帝釋天及天后　圖像 No. 323、日天及天后　圖像 No. 324、月天及天后　圖像 No. 325、鎮星天及天后
圖像 No. 326、熒惑天及天后

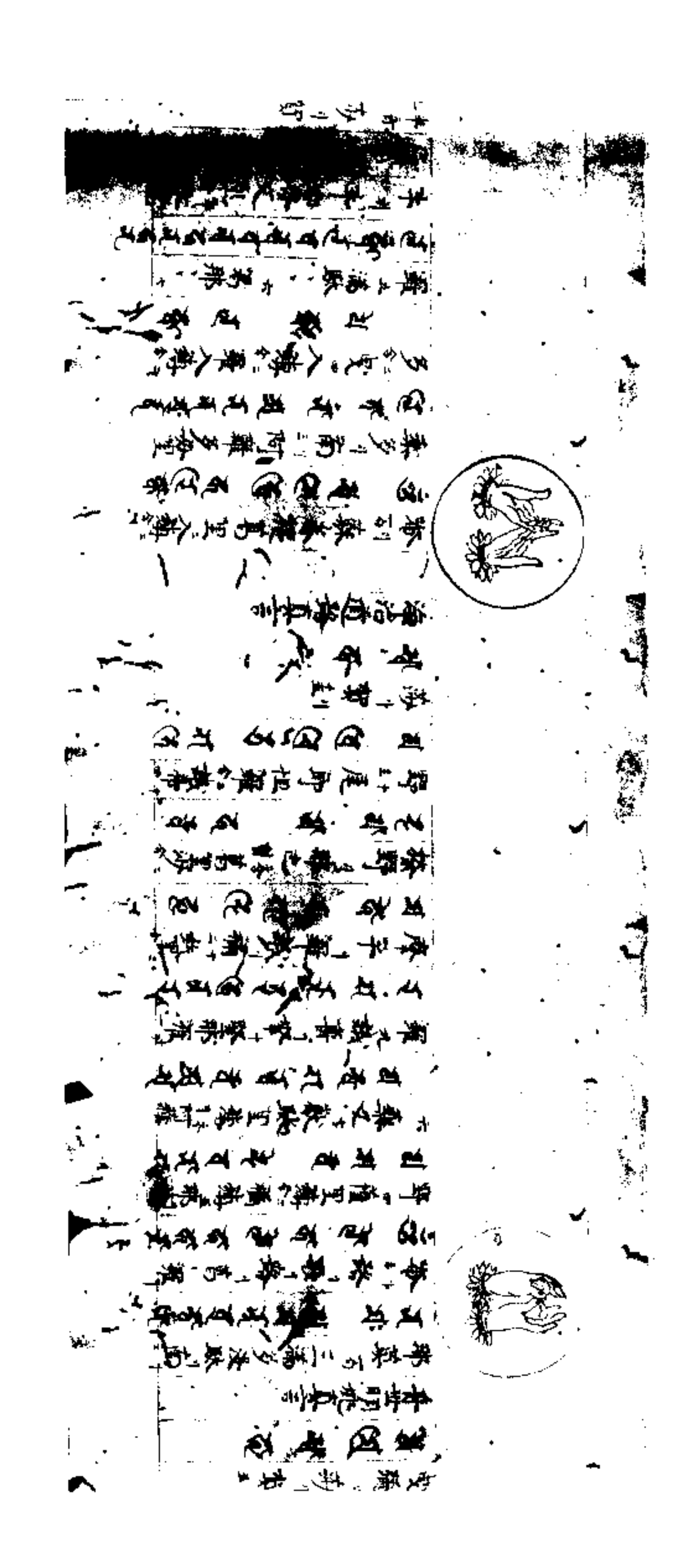


圖像 No. 327、護藏天及天后　圖像 No. 328、風天及天后　圖像 No. 329、火天及天后　圖像 No. 330、多聞天及天后

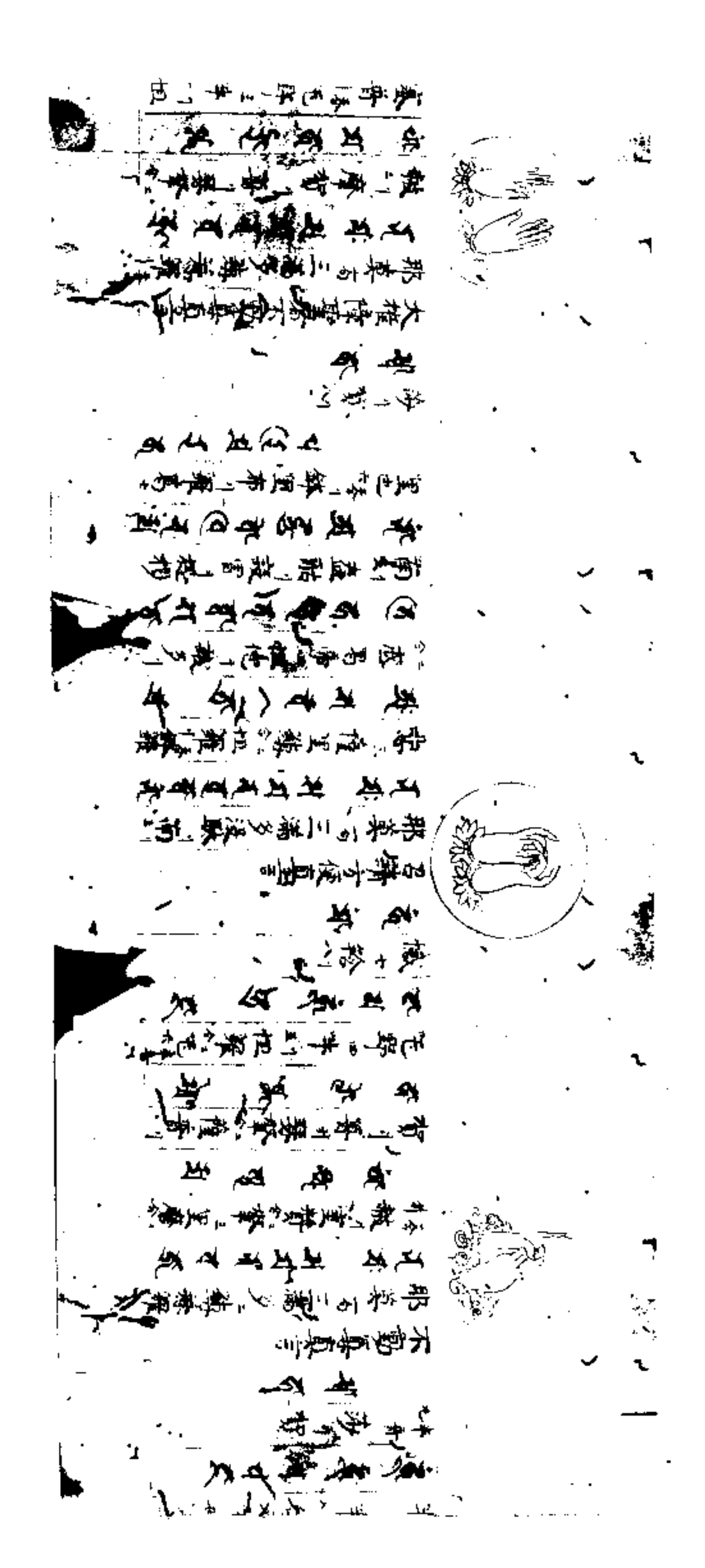


圖像 No. 331、猪首天及天后　圖像 No. 332、焰魔天及天后　圖像 No. 333、象首天及天后　圖像 No. 334、水天及天后

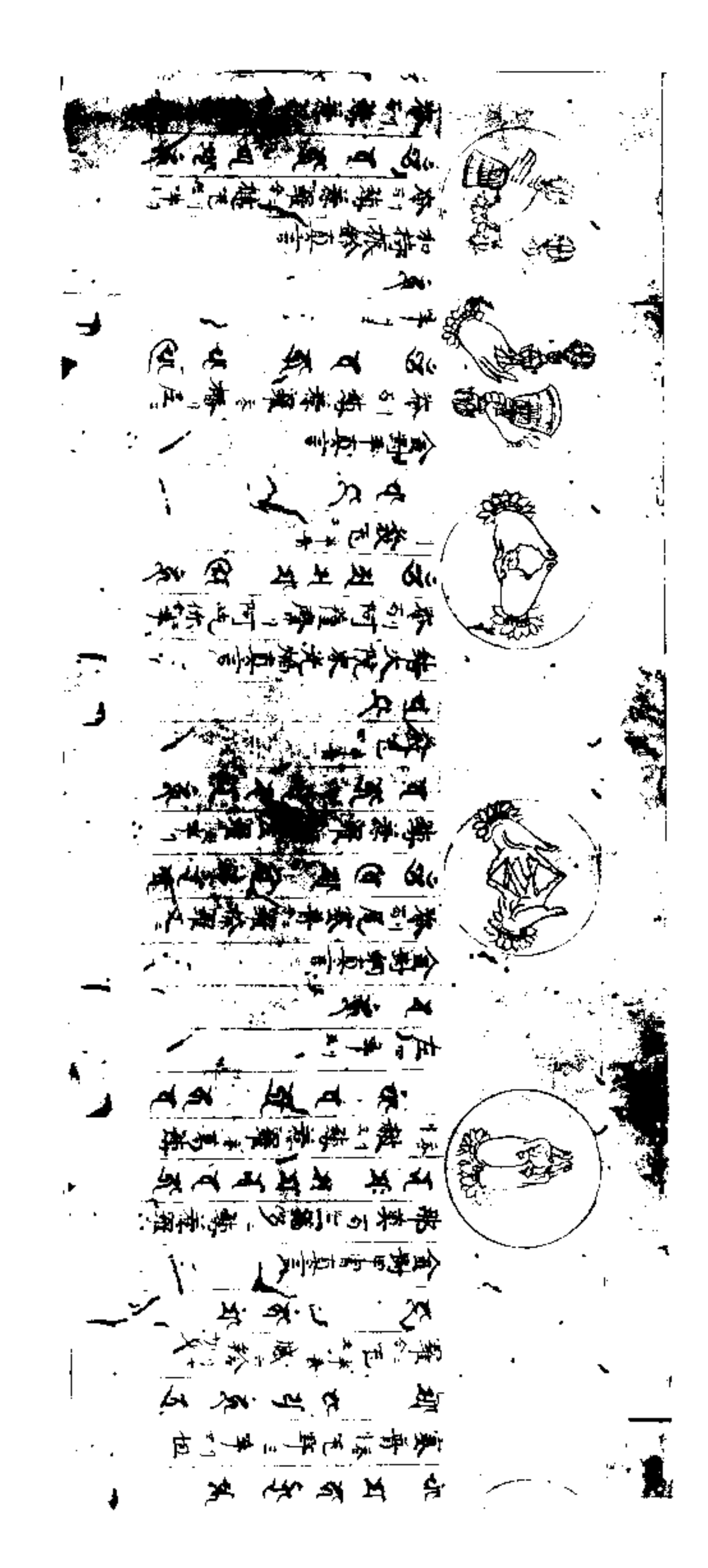
圖像 No. 335. 金剛摧天及天后　圖像 No. 336. 金剛食天及天后　圖像 No. 337. 金剛位天及天后　圖像 No. 338. 金剛衣天及天后　圖像 No. 339. 諸人



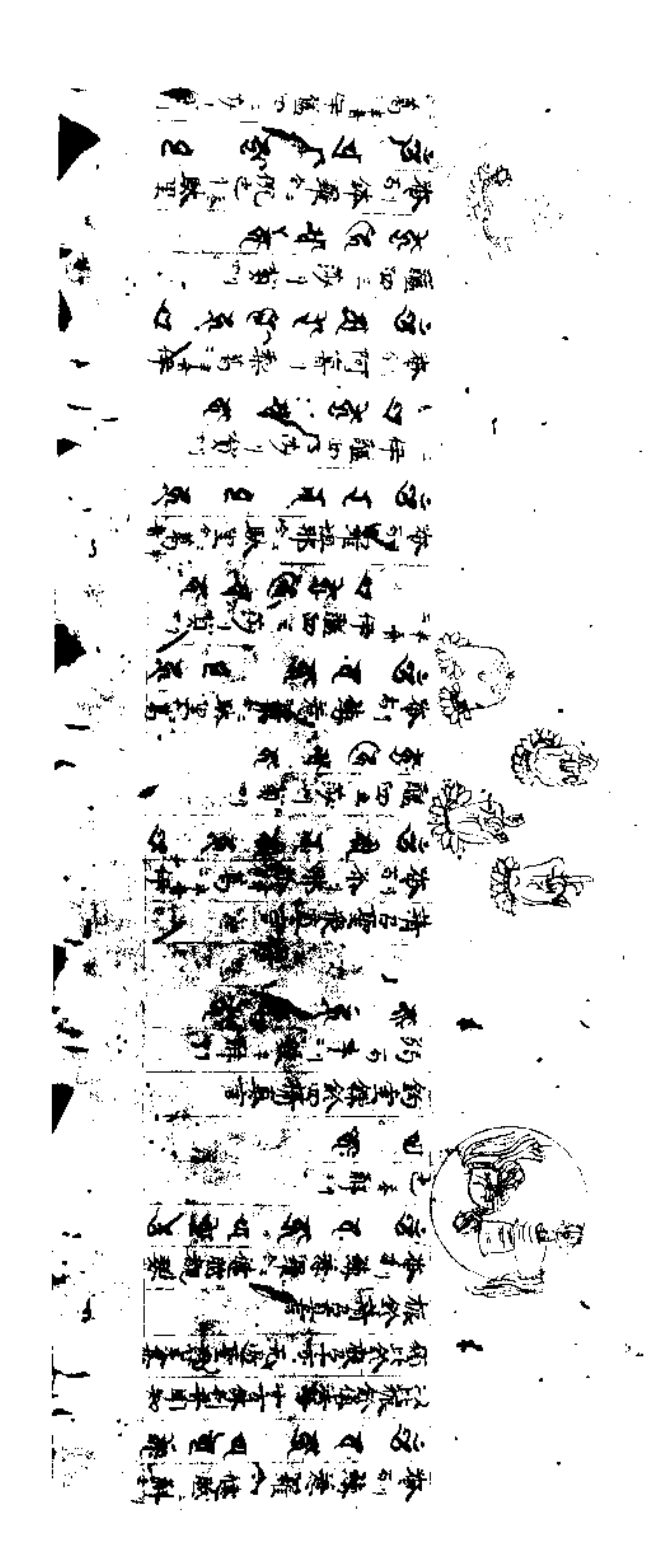
圖像 No. 340、普世明妃　圖像 No. 341、淨治道路



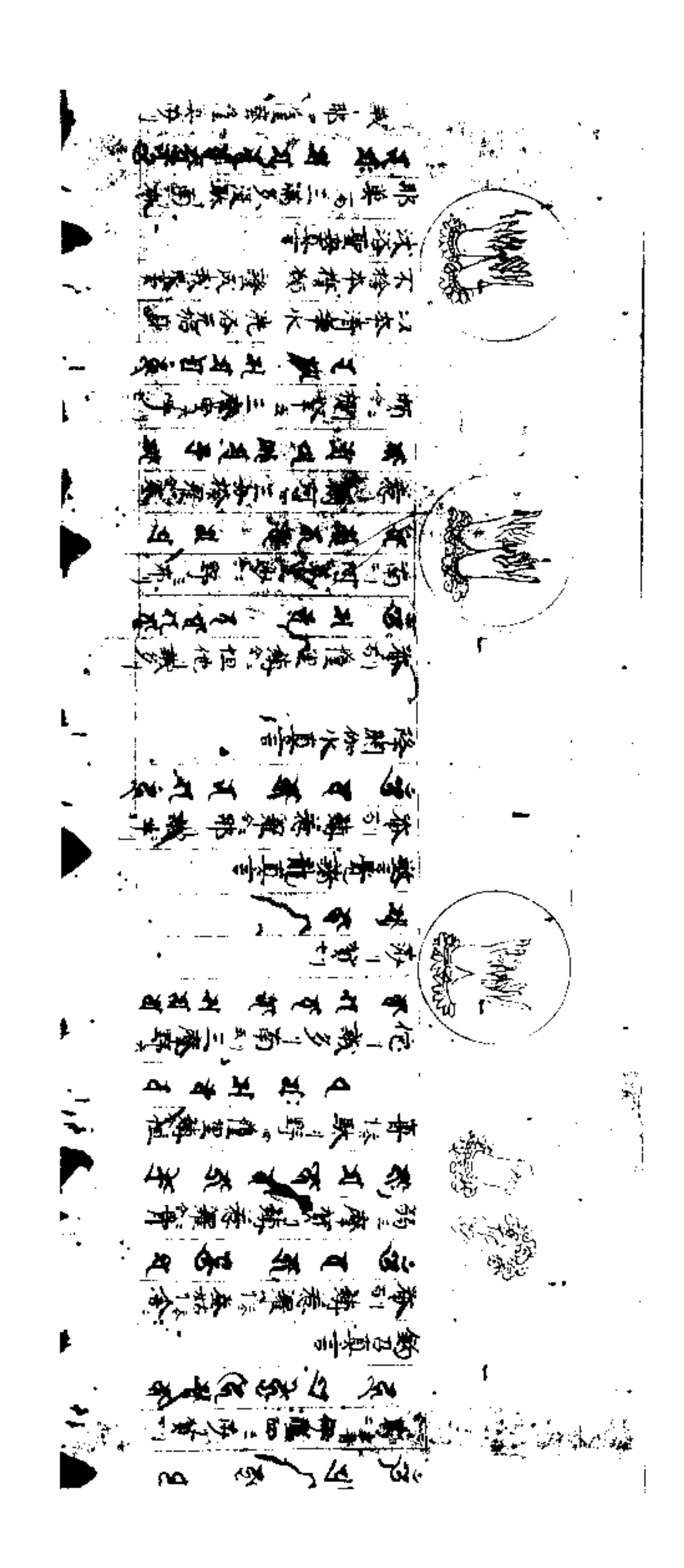
圖像 No. 342. 不動尊　圖像 No. 343. 召請方便　圖像 No. 344. 大摧障聖者不動尊



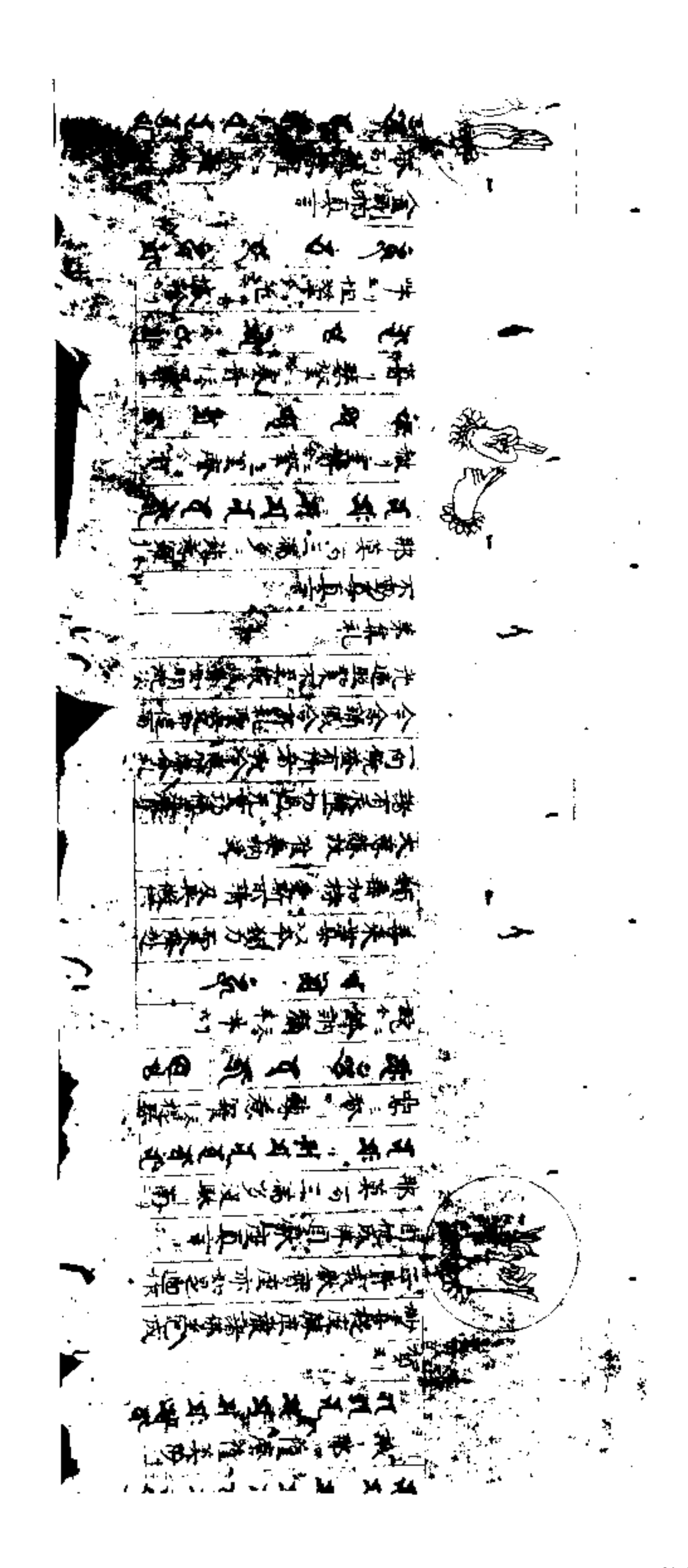
圖像 No. 345、金剛甲冑加持振鈴　圖像 No. 346、金剛網　圖像 No. 347、結火院界光焔　圖像 No. 348、金剛手　圖像 No. 349、



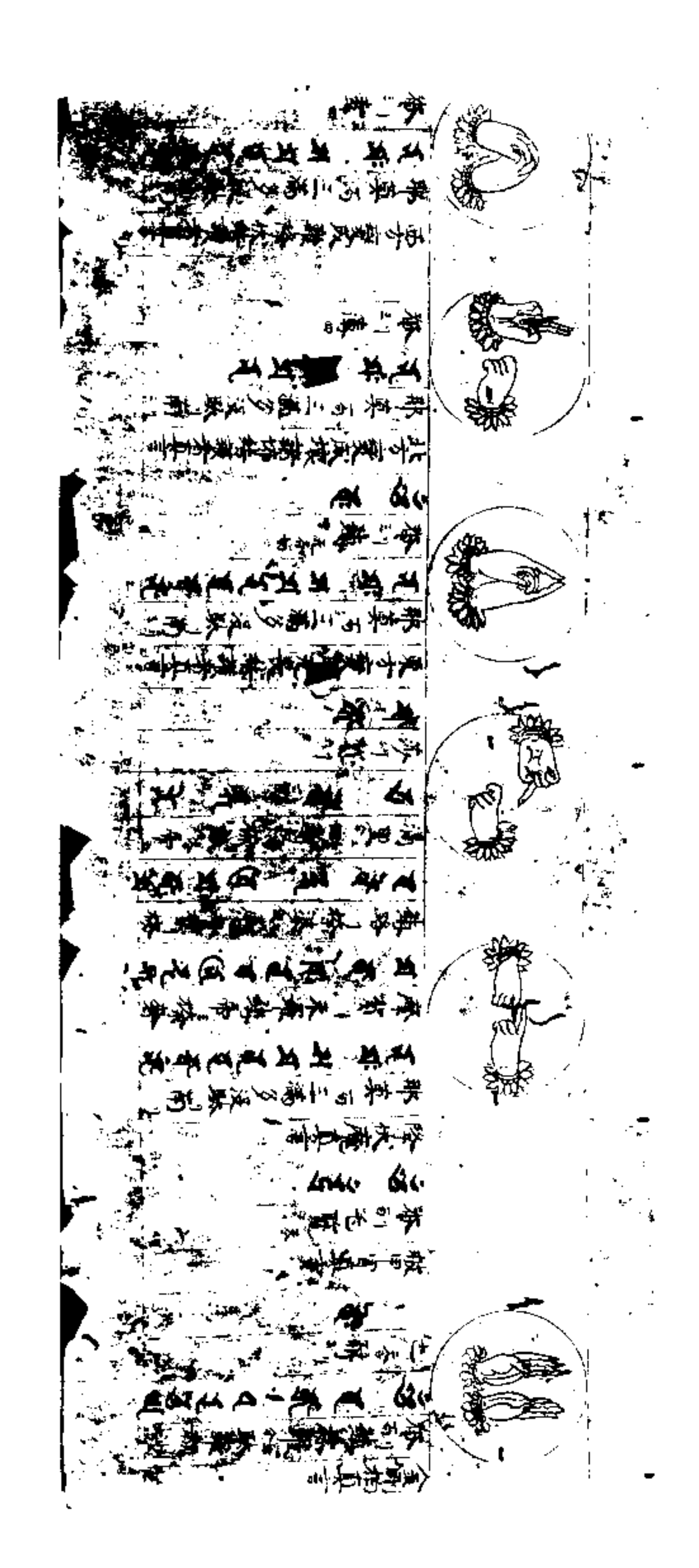
圖像 No. 350、振鈴請召　圖像 No. 351、鉤索鎖鈴四攝　圖像 No. 352、請召聖衆



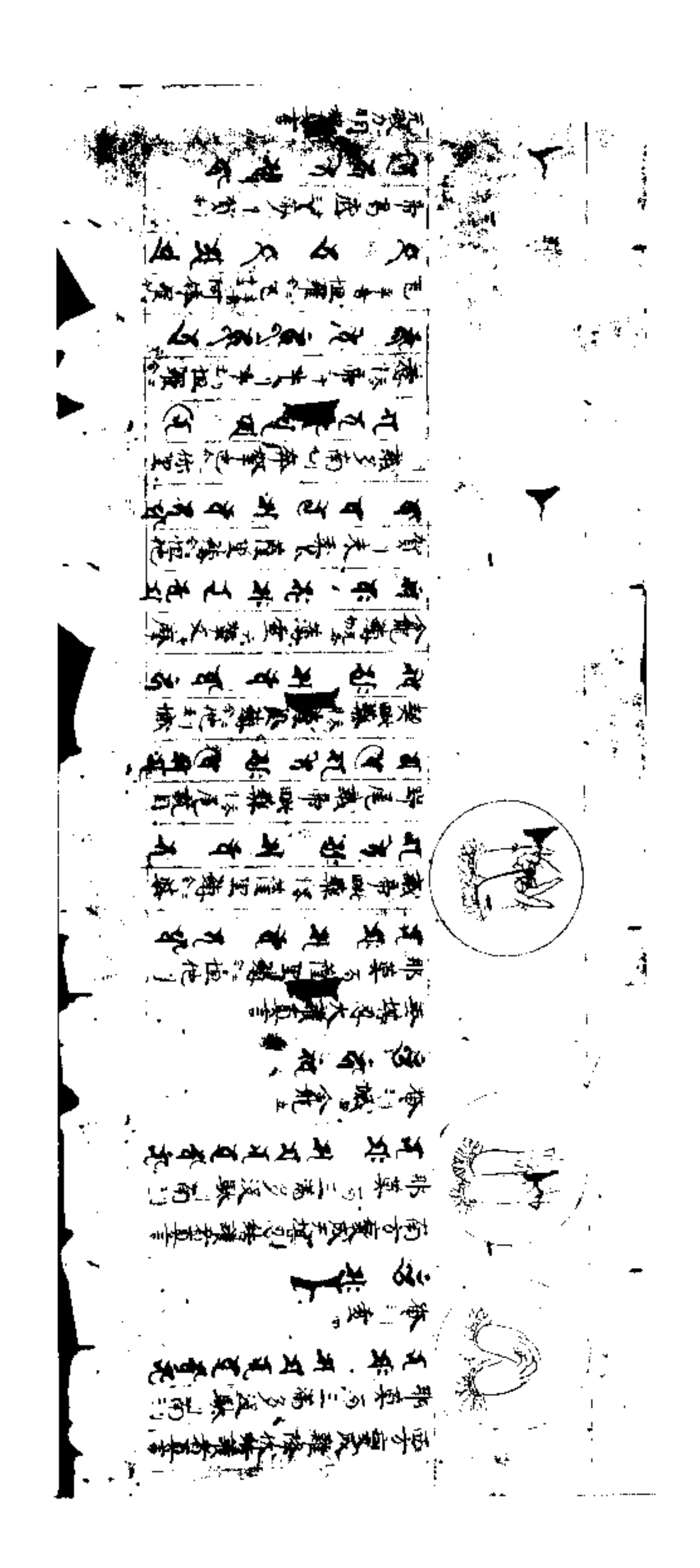
圖像 No. 353. 鈎召　圖像 No. 354. 警覺諸龍　圖像 No. 355. 降閼伽水　圖像 No. 356. 沐浴聖衆



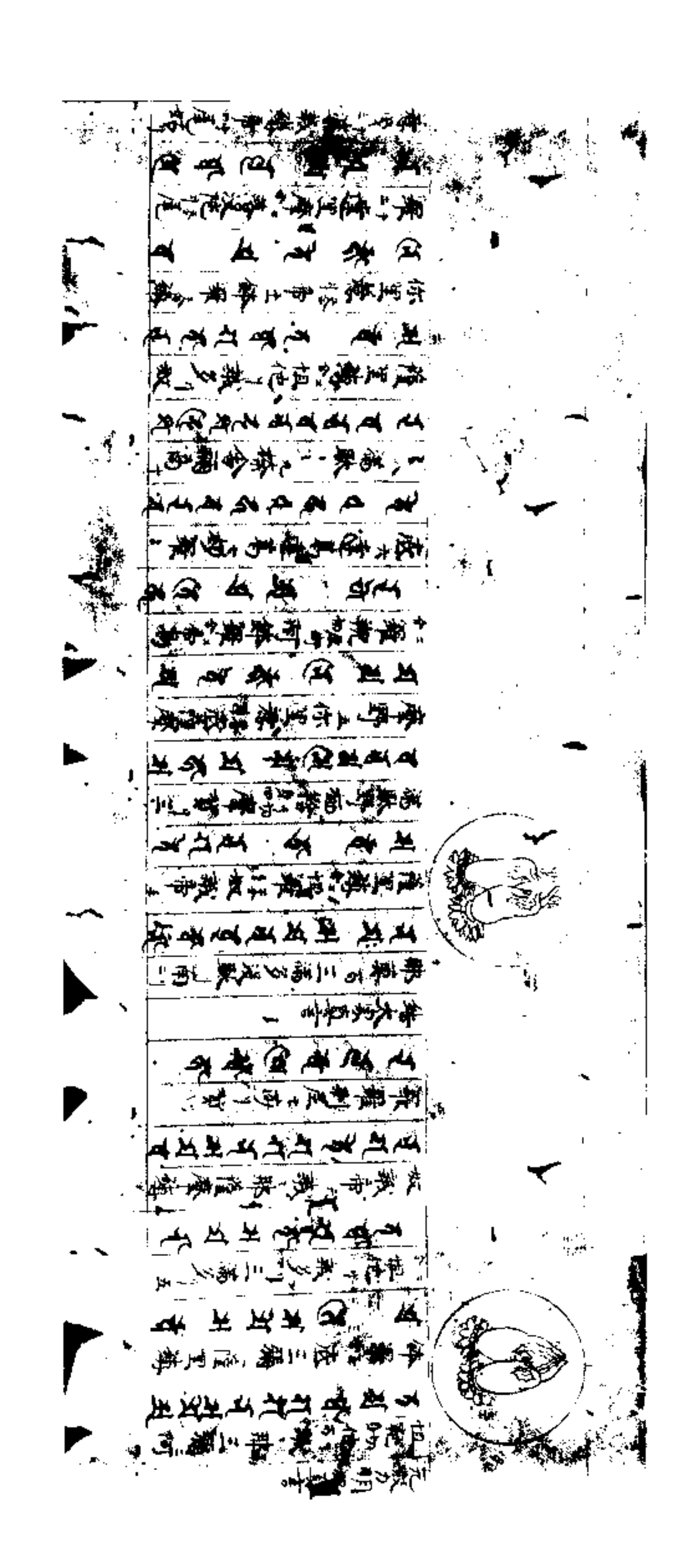
圖像 No. 357、獻座　　圖像 No. 358、不動尊



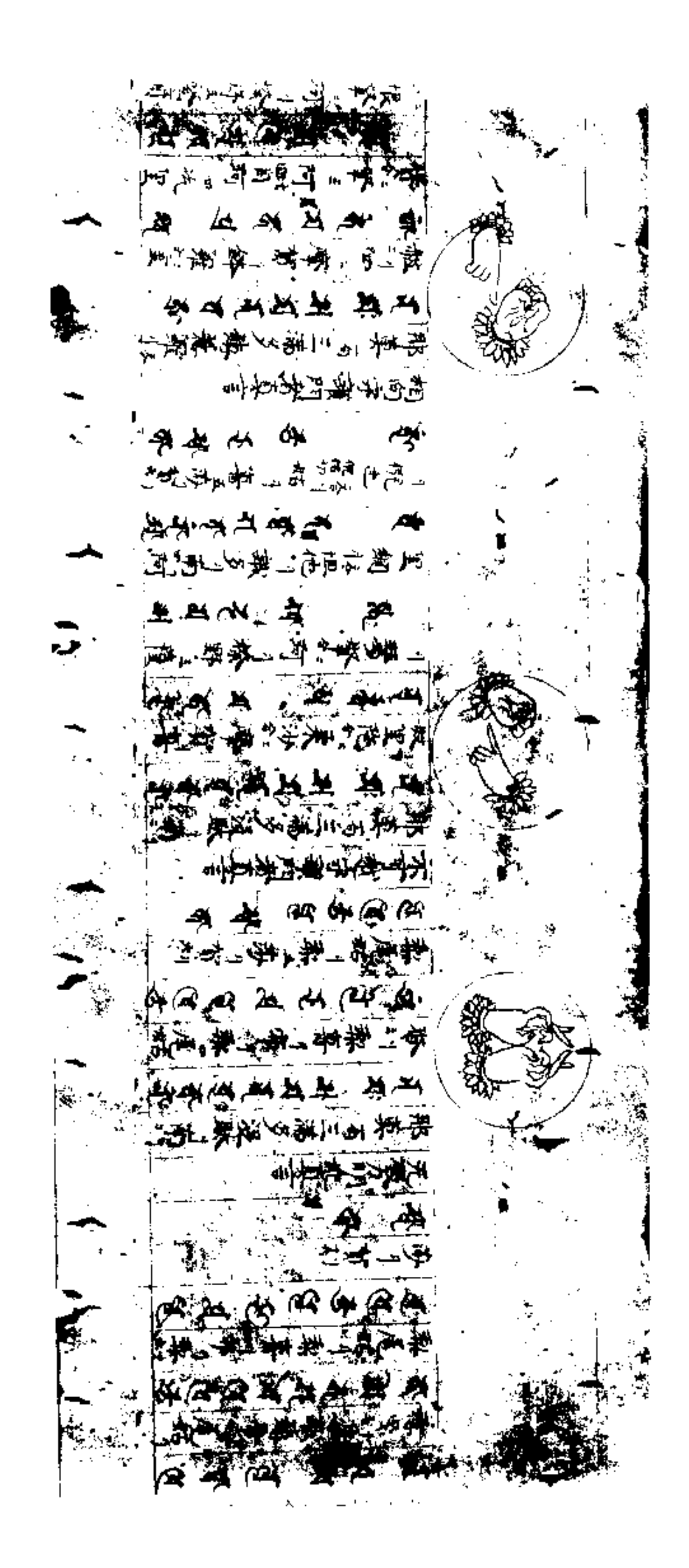
圖像 No. 359、金剛拍　圖像 No. 360、被甲冑　圖像 No. 361、降伏魔　圖像 No. 362、東方變成無畏結護者　圖像 No. 363、北方變成壞諸怖結護者



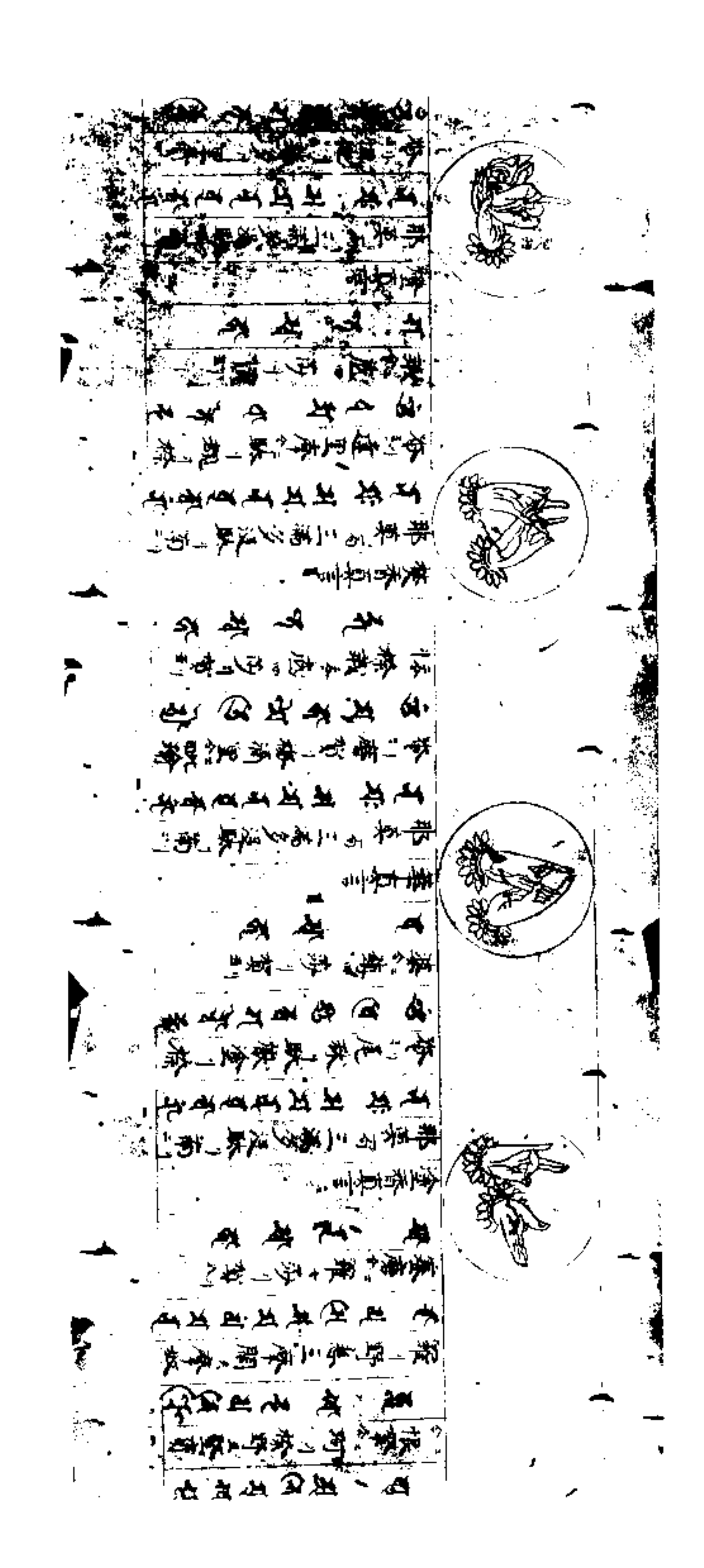
圖像 No. 364、西方變成難降伏結護者　圖像 No. 365、南方變成無堪忍結護者　圖像 No. 366、無堪忍大護



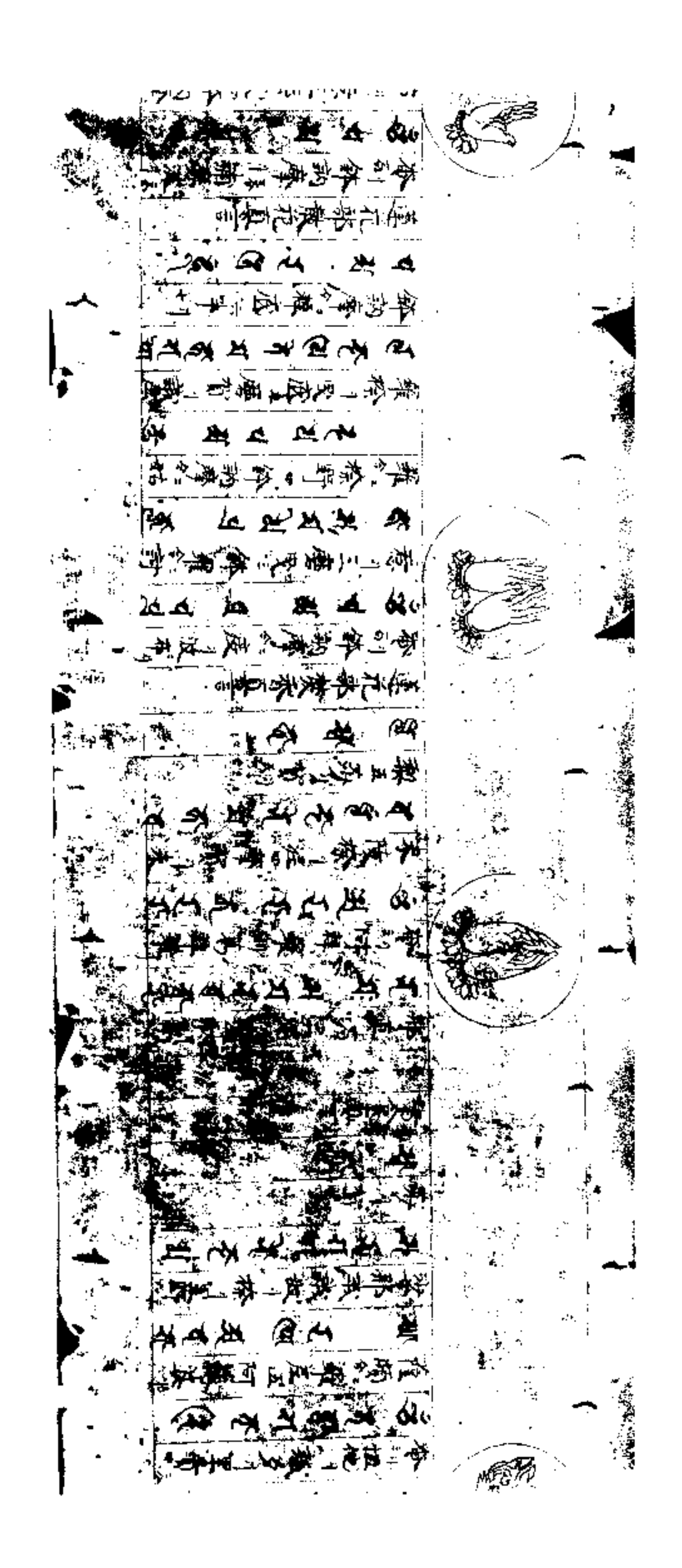
圖像 No. 367. 無礙力明妃　圖像 No. 368. 結大界



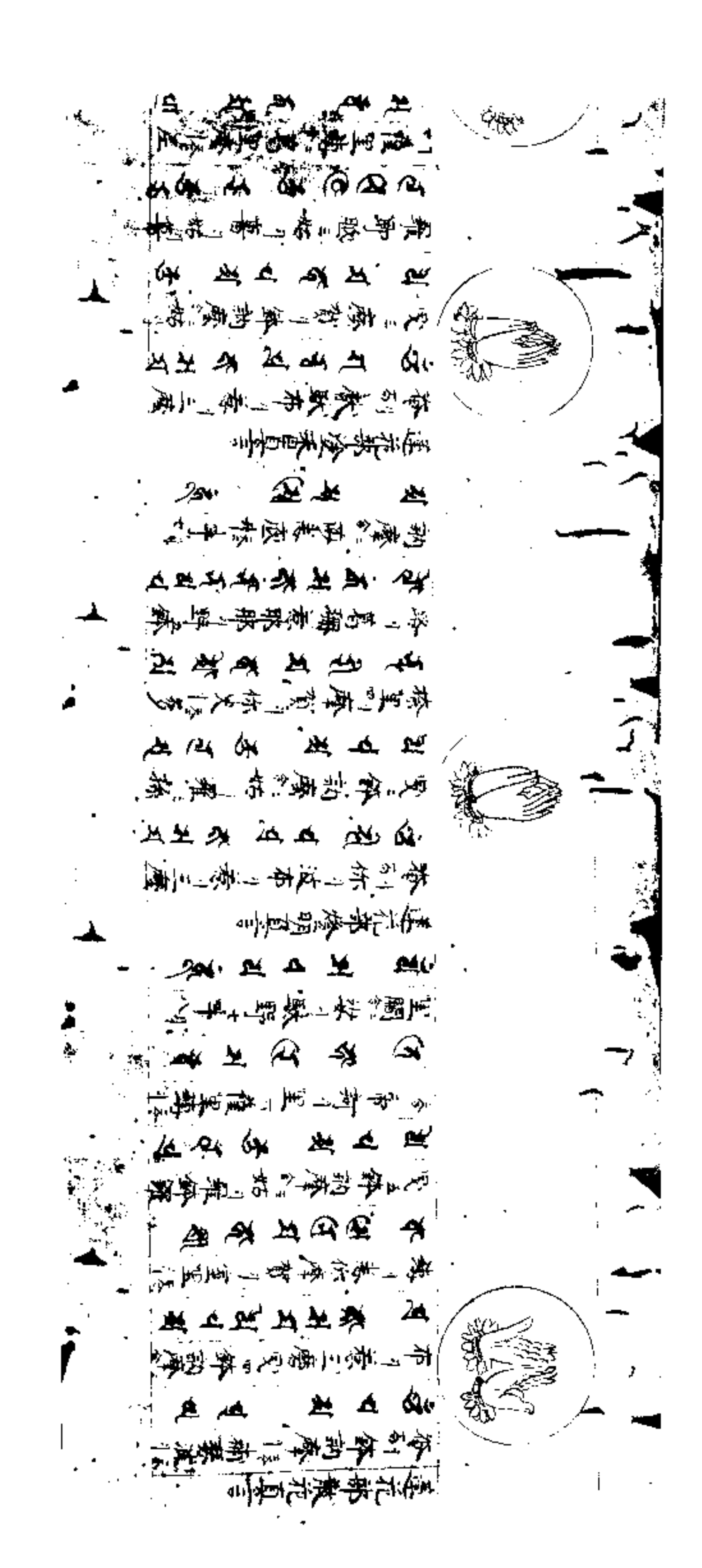
圖像 No. 369. 無礙力明妃　　圖像 No. 370. 不可越守護門者　　圖像 No. 371. 相向守護門者



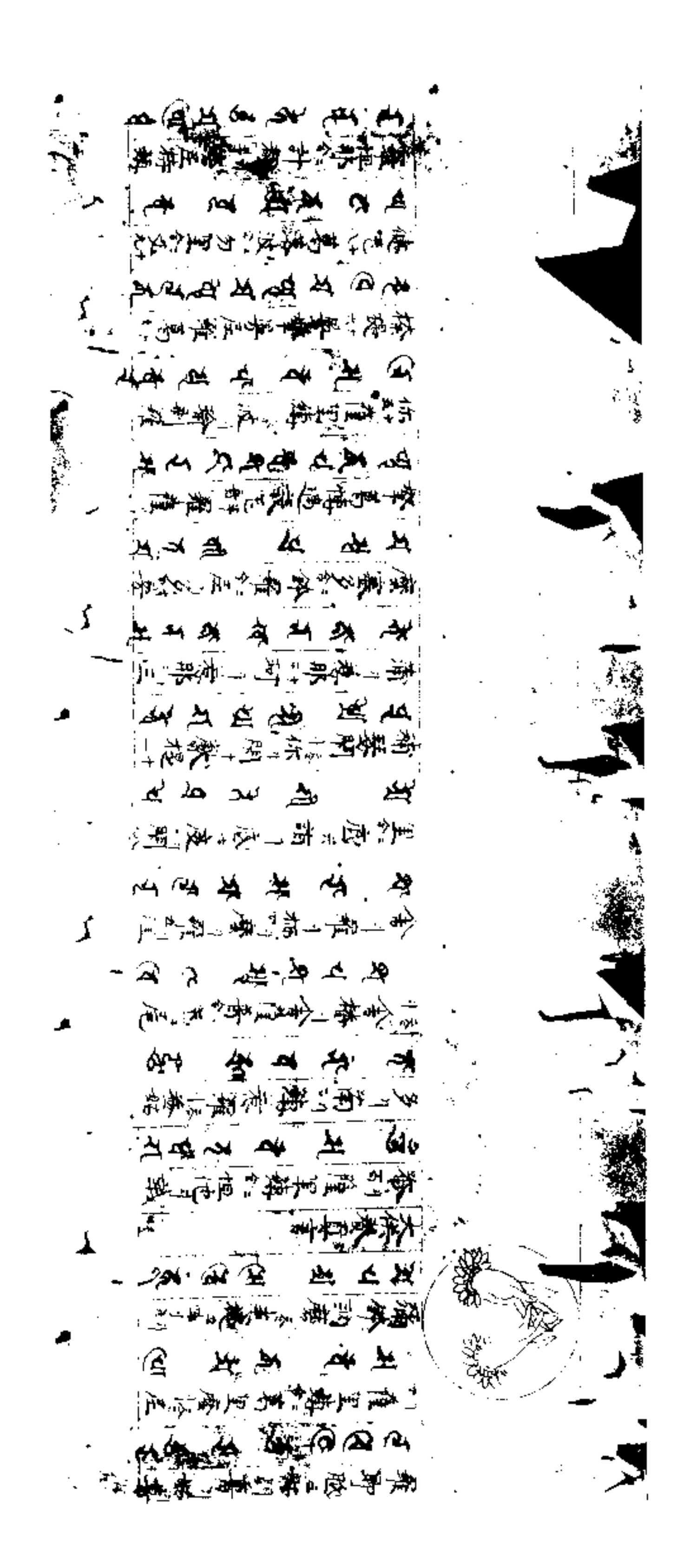
圖像 No. 372. 塗香　圖像 No. 373. 華　圖像 No. 374. 焚香　圖像 No. 375. 燈



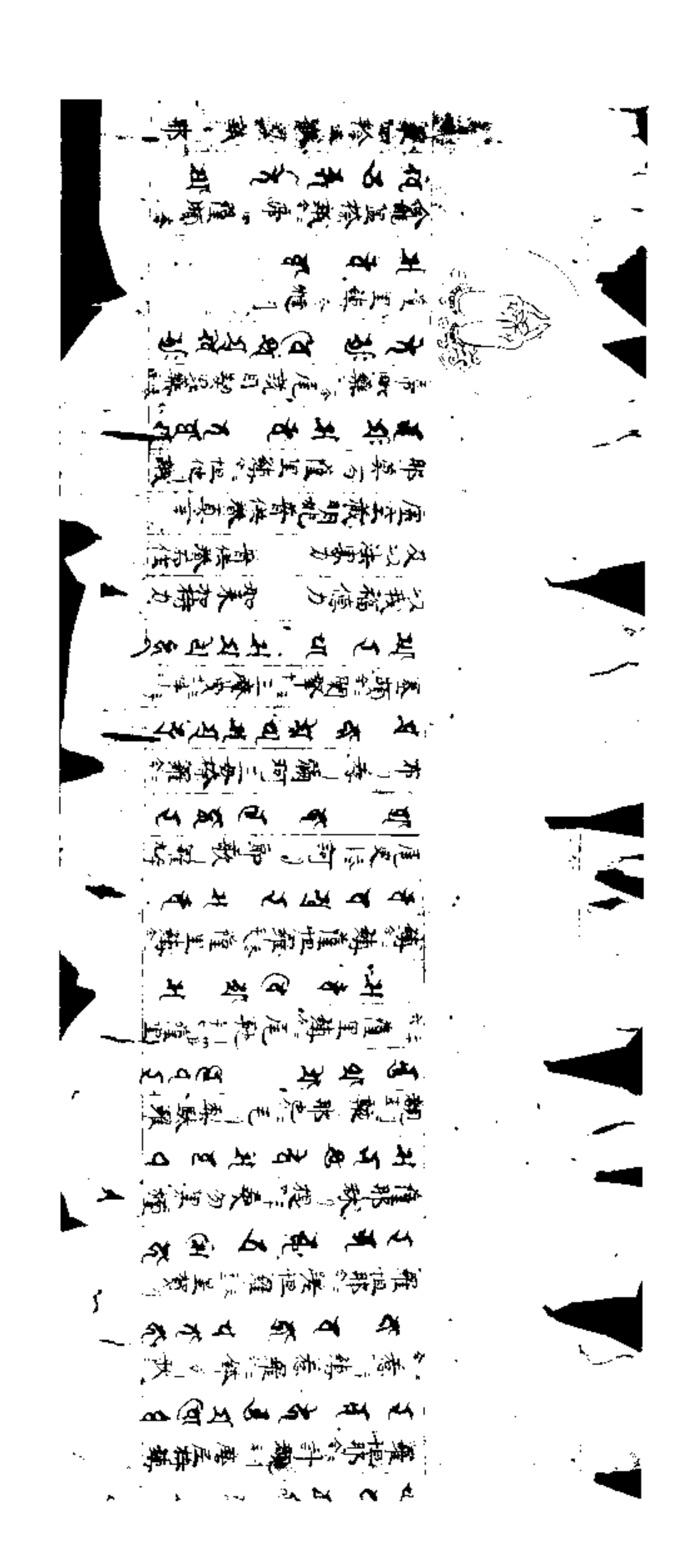
圖像 No. 376. 請食　圖像 No. 377. 蓮花部焚香



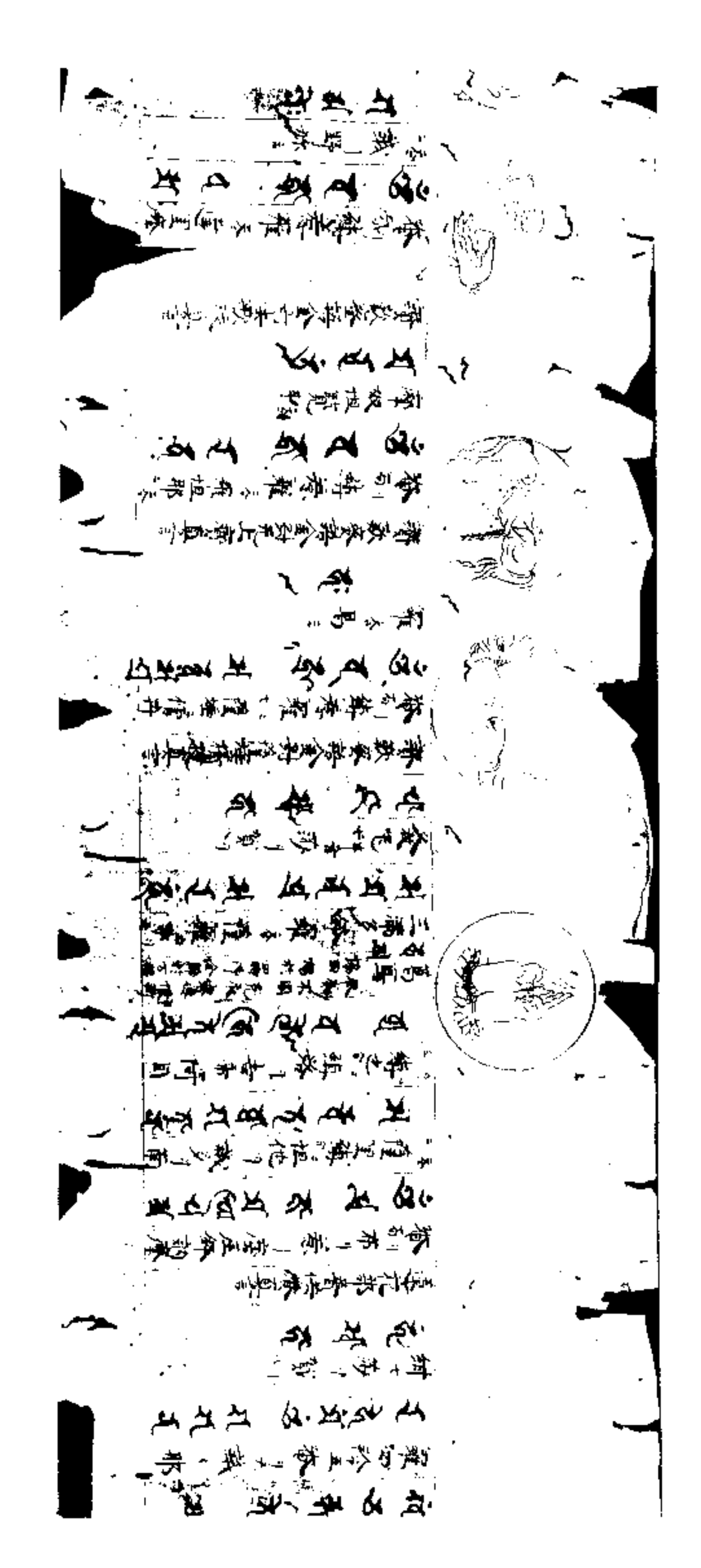
圖像 No. 378、蓮花部散花　圖像 No. 379、蓮花部燈明　圖像 No. 380、蓮花部塗香



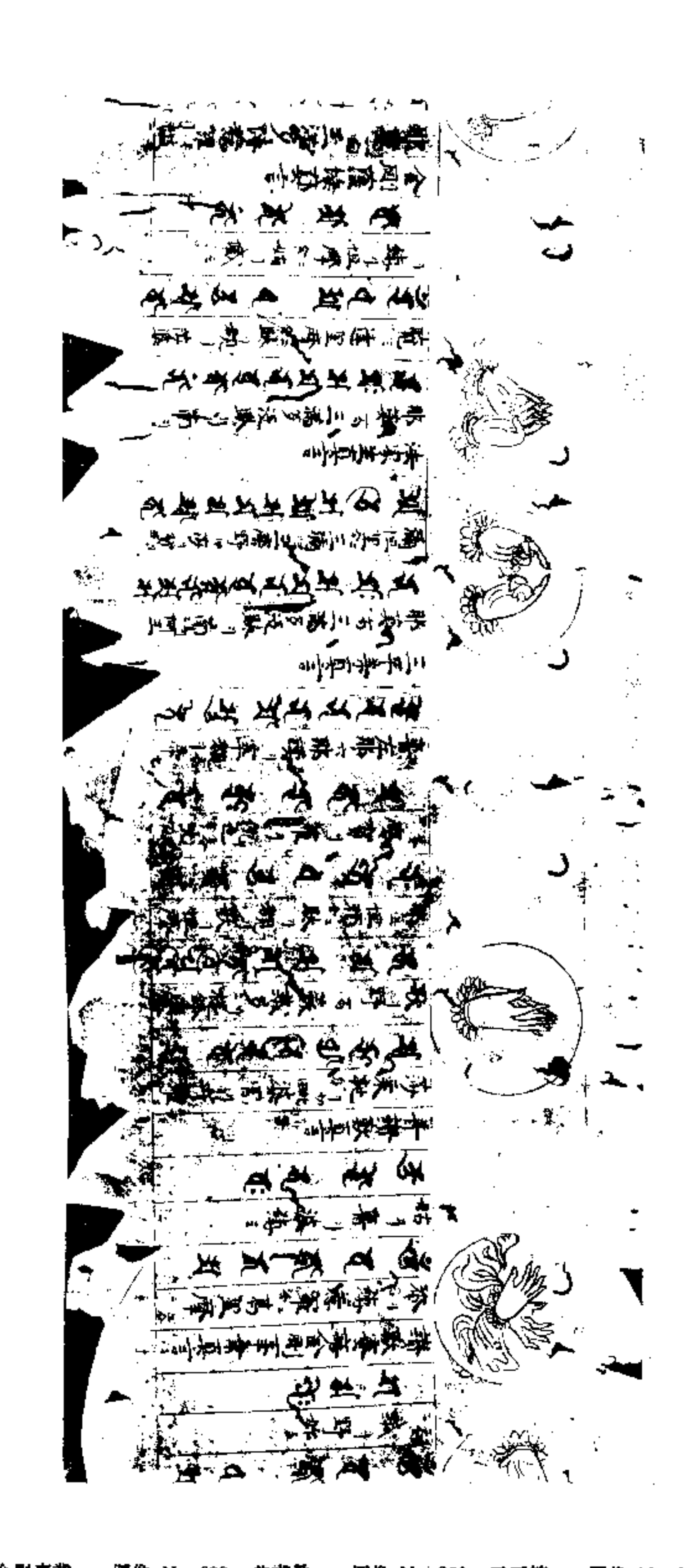
圖像 No. 381. 大 供 養



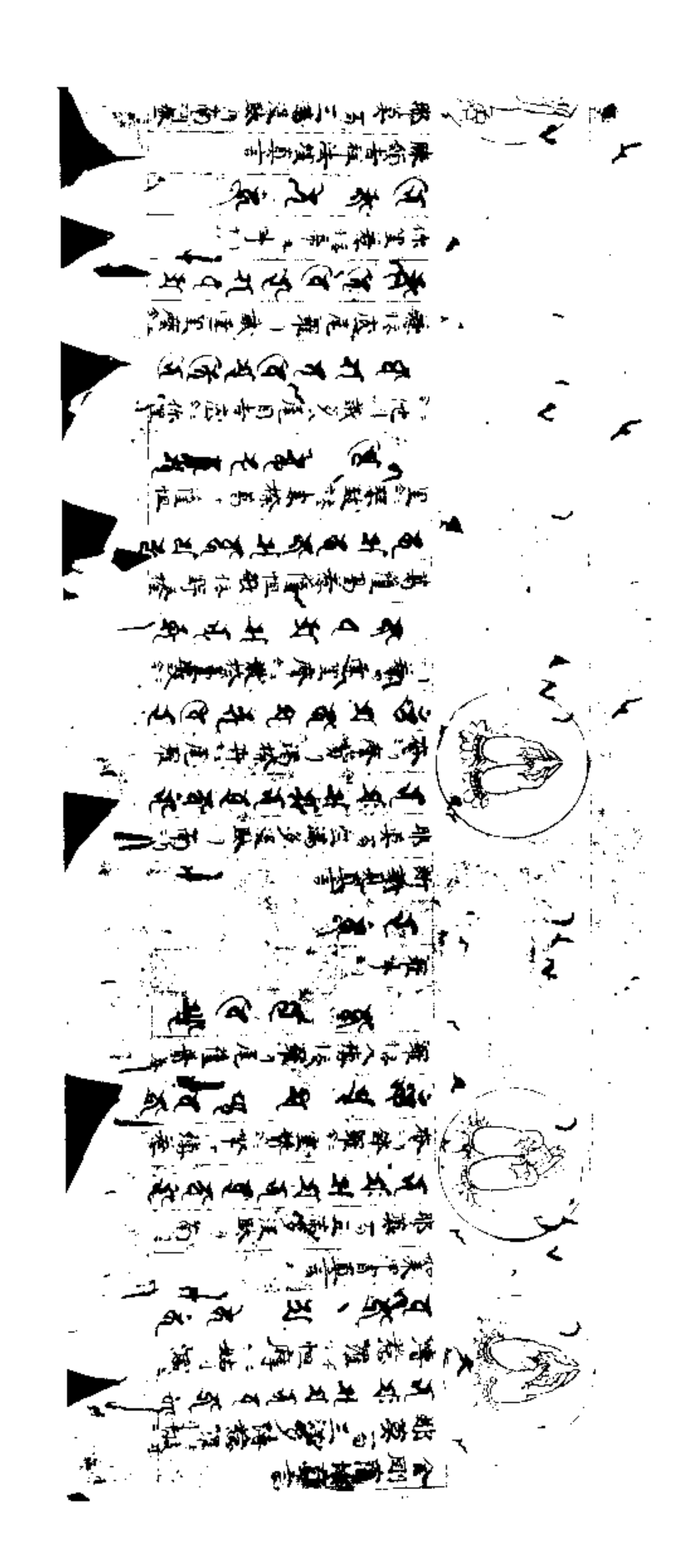
圖像 No. 382, 虛空藏明妃普供養



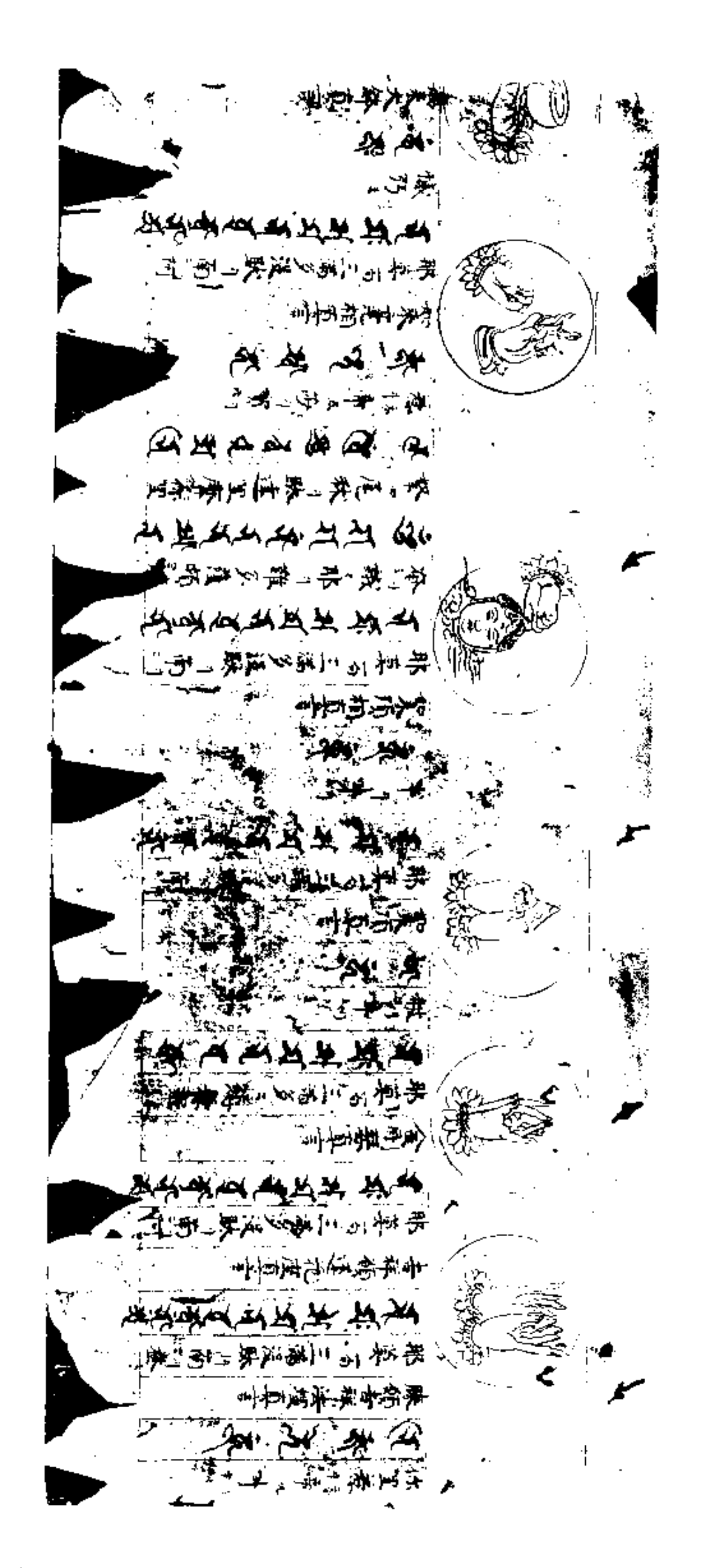
圖像 No. 383. 蓮花部普供養讚歎密語金剛法歌詠　圖像 No. 384. 讚歎密語金剛薩埵攝授　圖像 No. 385. 讚歎密語金剛無上寶　圖像 No. 386.



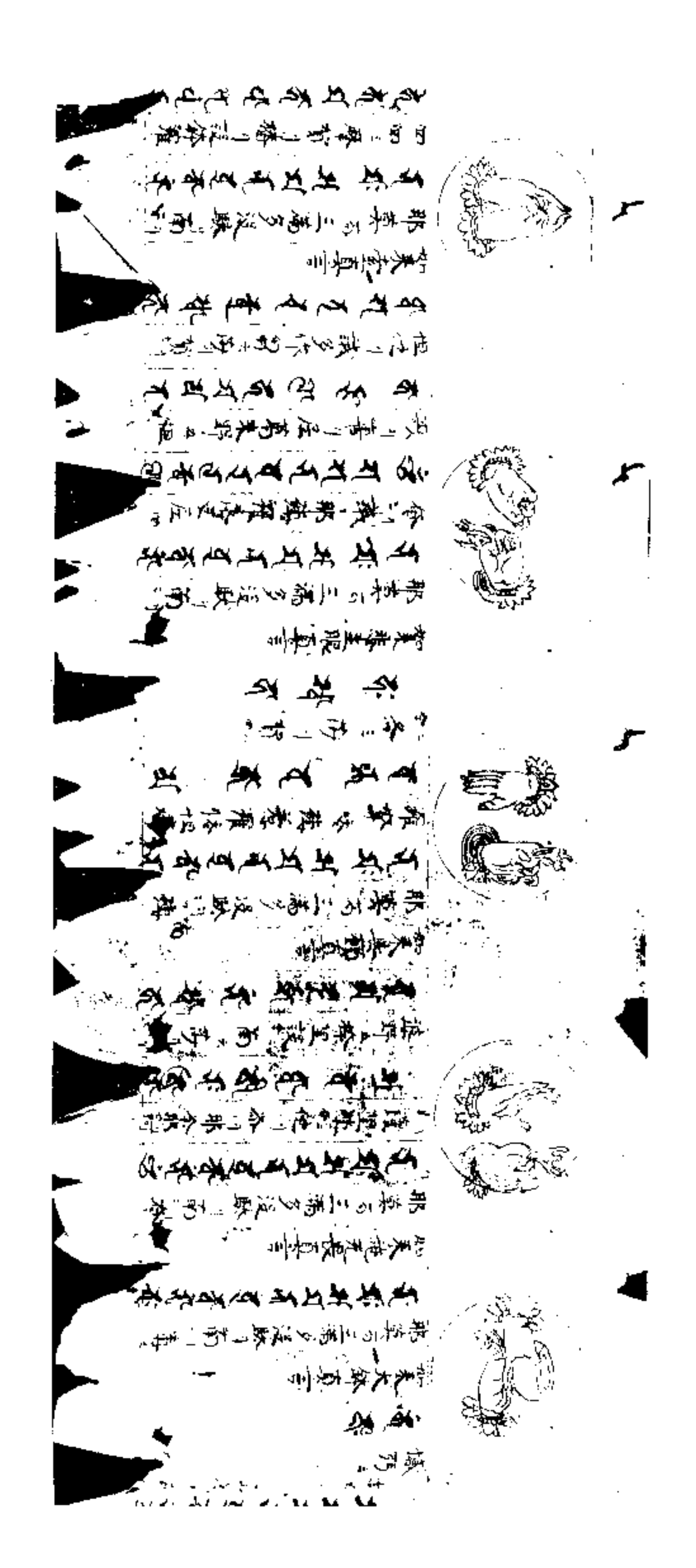
圖像 No. 387、讃歎密語金剛事業　圖像 No. 388、普讃歎　圖像 No. 389、三平等　圖像 No. 390、法界生



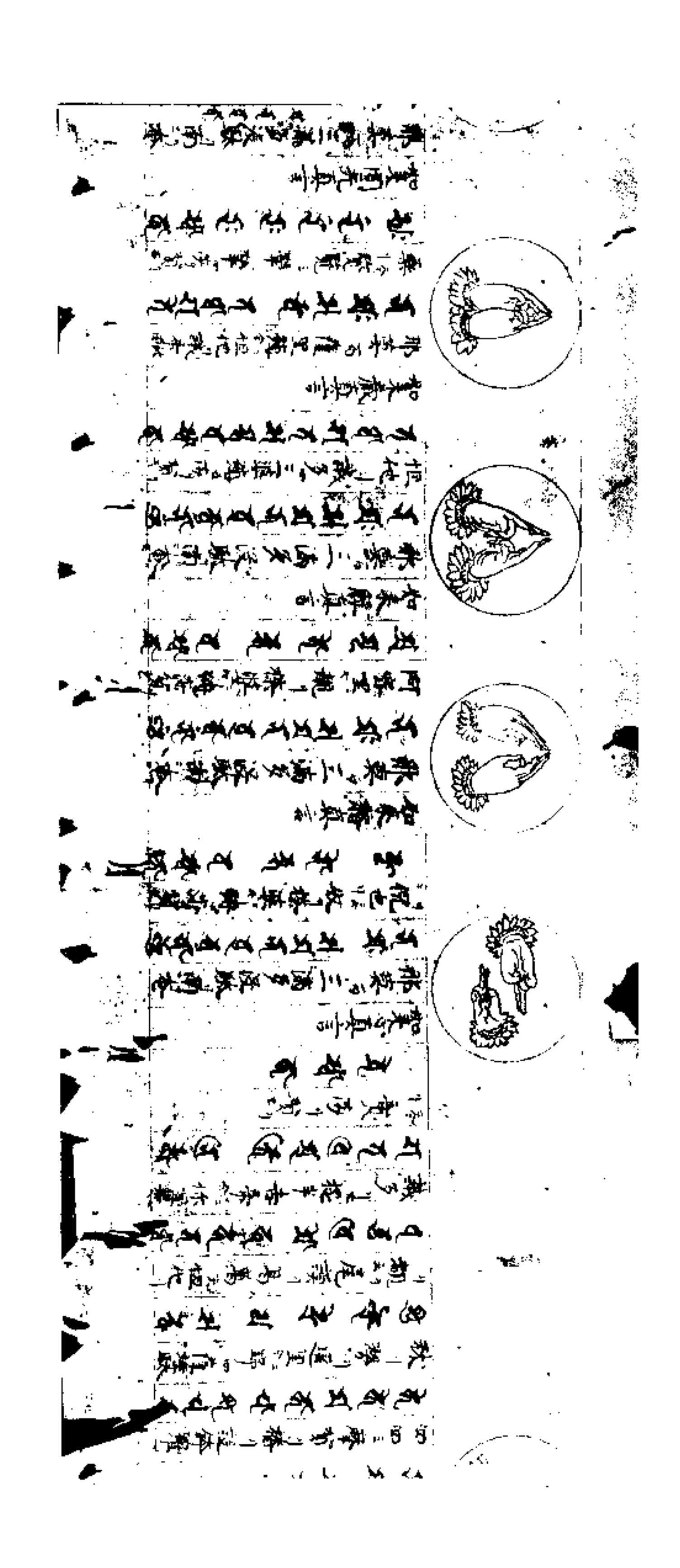
圖像 No. 391、金剛薩埵　圖像 No. 392、如來甲冑　圖像 No. 393、斷諸見



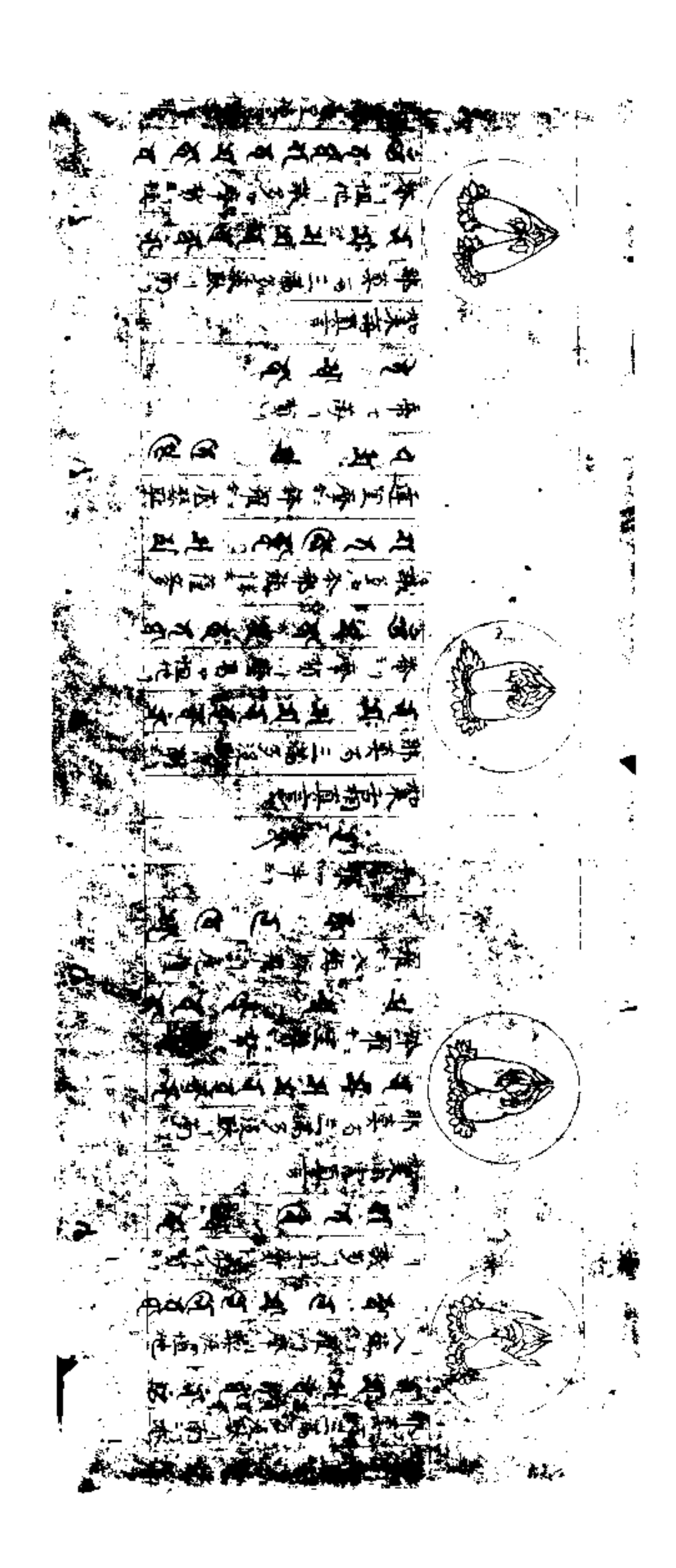
勝願吉祥法螺（印缺）　圖像 No. 394、吉祥願蓮花座　圖像 No. 395、金剛琴　圖像 No. 396、如來頂　圖像 No. 397、如來頂相　圖像 No. 398、如來毫相



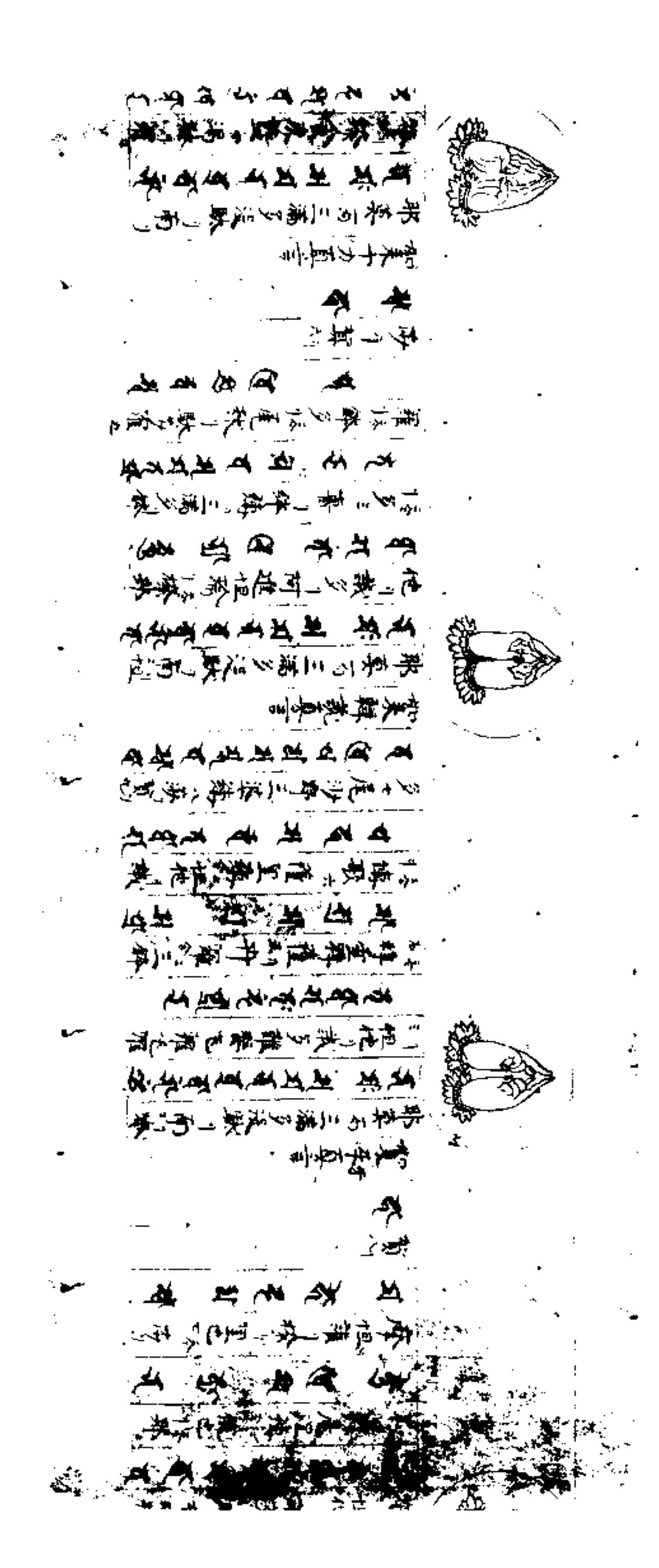
圖像 No. 399、如來大鉢　圖像 No. 400、如來施無畏　圖像 No. 401、如來與願　圖像 No. 402、如來悲生眼　圖像 No. 403、如來索



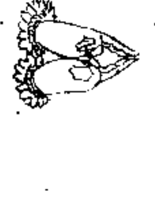
圖像 No. 404. 如來心　圖像 No. 405. 如來臍　圖像 No. 406. 如來腰　圖像 No. 407. 如來藏



圖像 No. 408. 如來圓光　圖像 No. 409. 如來甲冑　圖像 No. 410. 如來舌相　圖像 No. 411、如來語



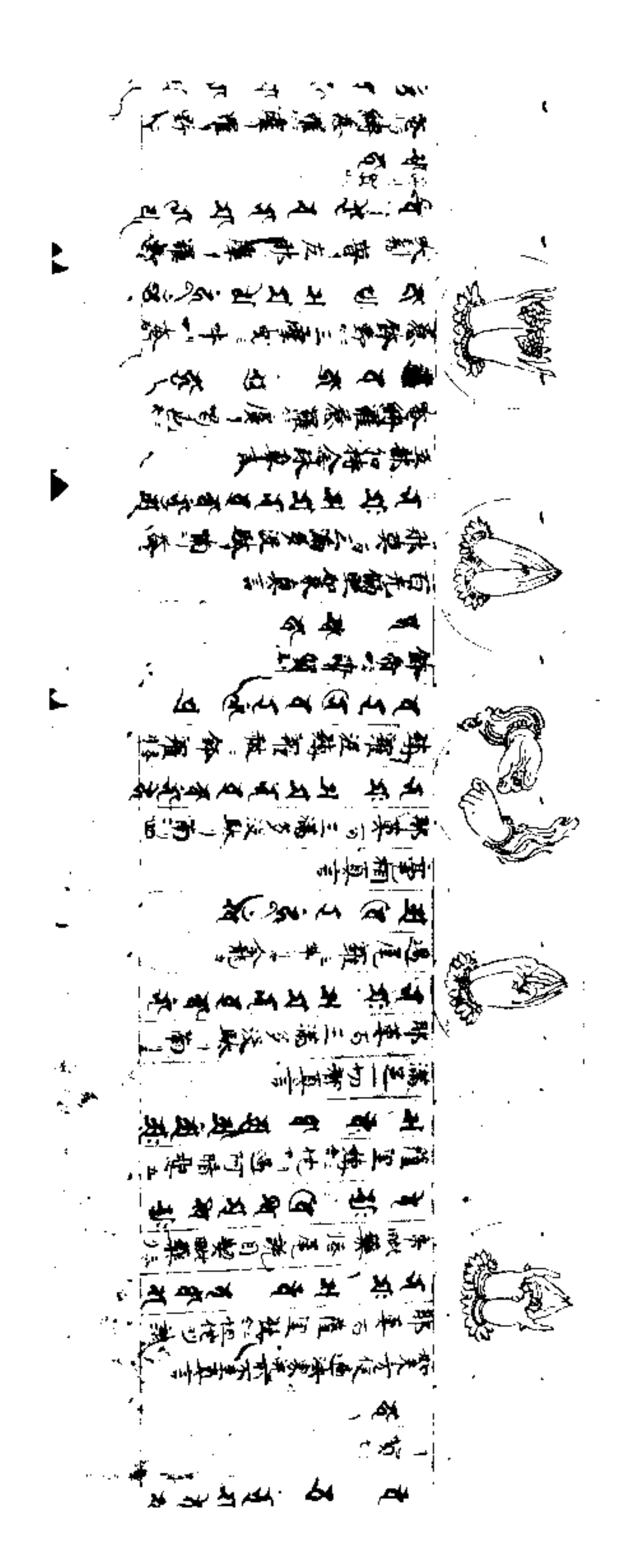
圖像 No. 412. 如來牙　圖像 No. 413. 如來辯說



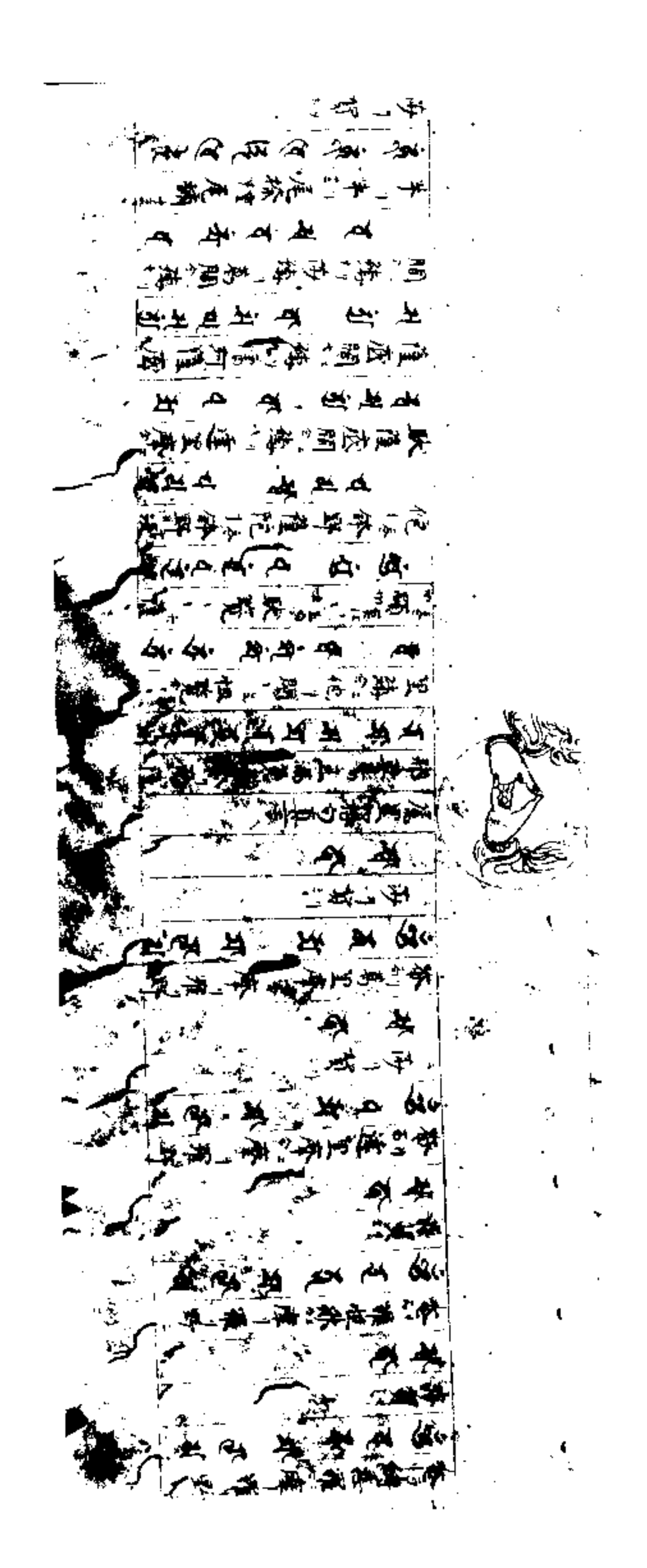


圖像 No. 414. 如來十力　圖像 No. 415. 如來念處　圖像 No. 416. 一切法平等開悟　圖像 No. 417. 普賢如意珠

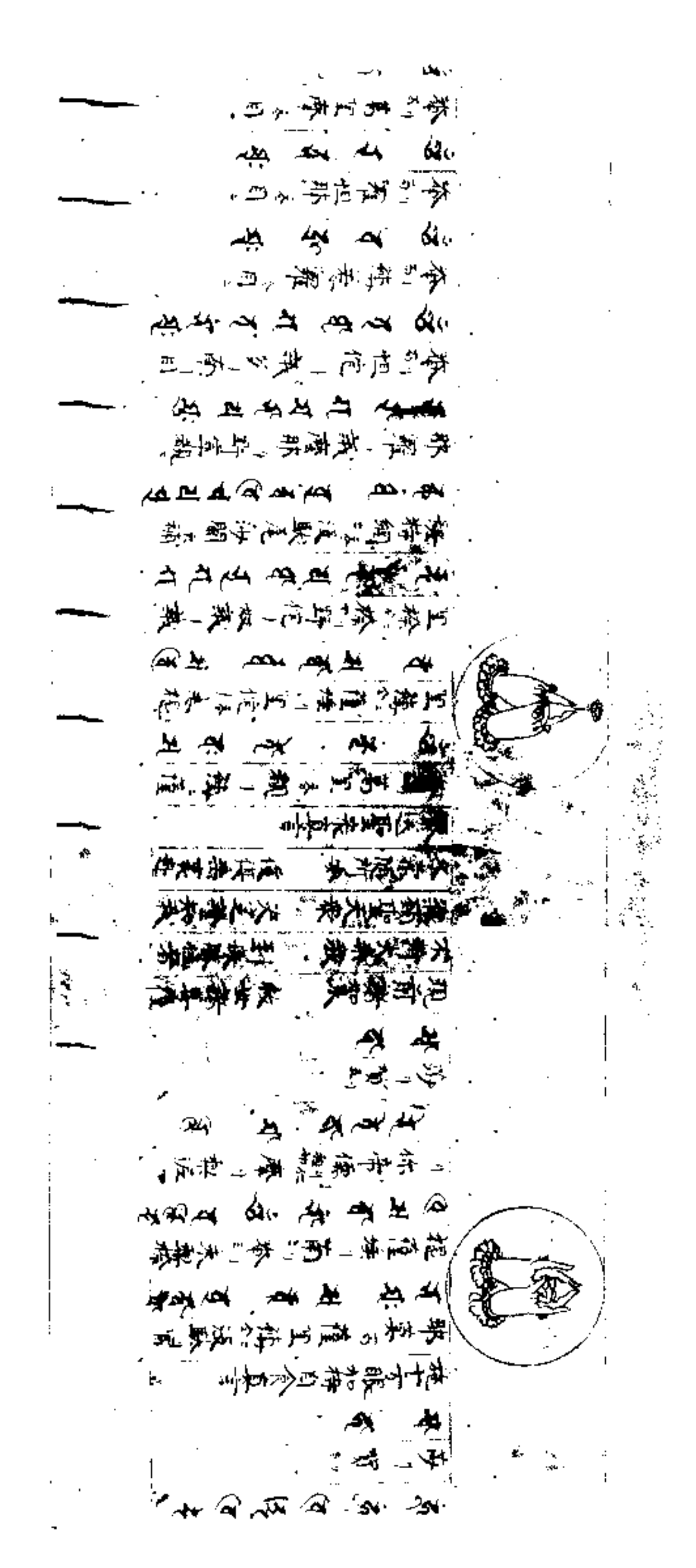
圖像 No. 418. 慈氏　圖像 No. 419. 三世無礙力明妃　圖像 No. 420. 無能害力明妃



圖像 No. 421、如來方便遍法界無所不至　圖像 No. 422、滿足一切智　圖像 No. 423、毫相　圖像 No. 424、百光遍照如來
圖像 No. 425、五部加持念珠



圖像 No. 426. 鳳　尾　加　持



圖像 No. 427，施十方加持　圖像 No. 428，奉送聖衆

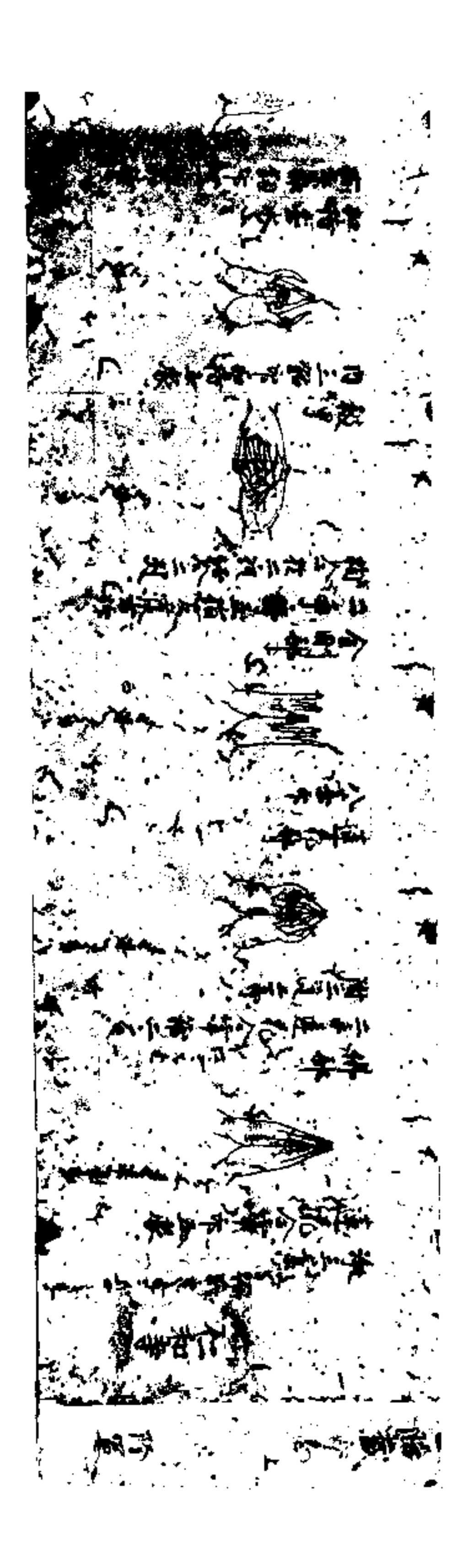
胎藏印圖

〔卷　上〕

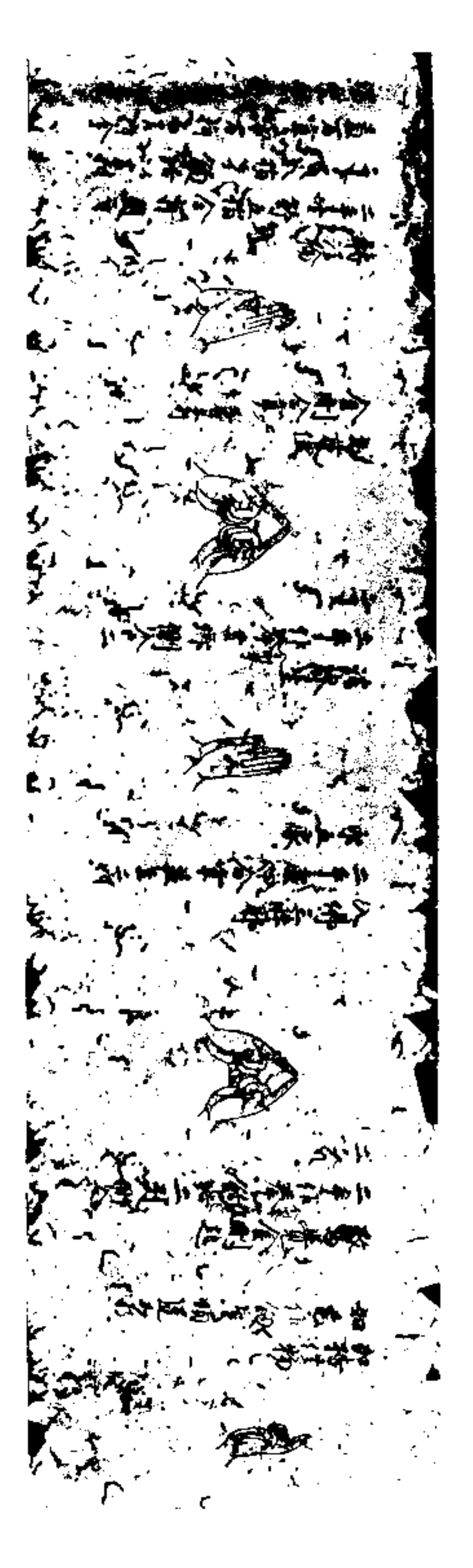
〔卷　下〕

四攝

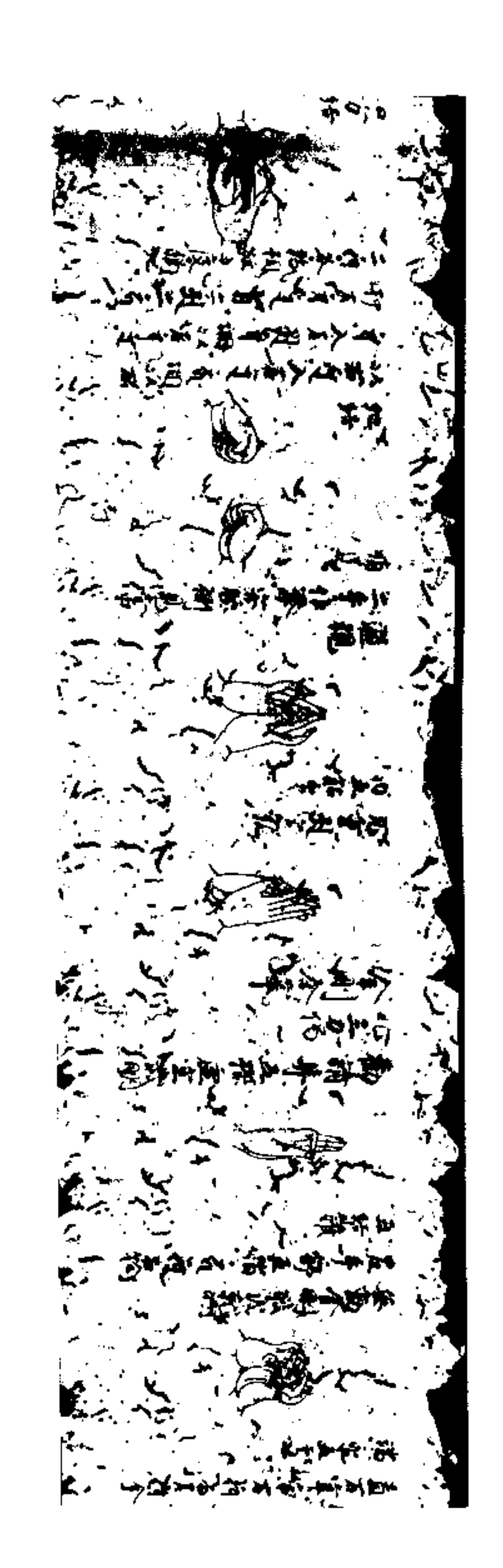
五供



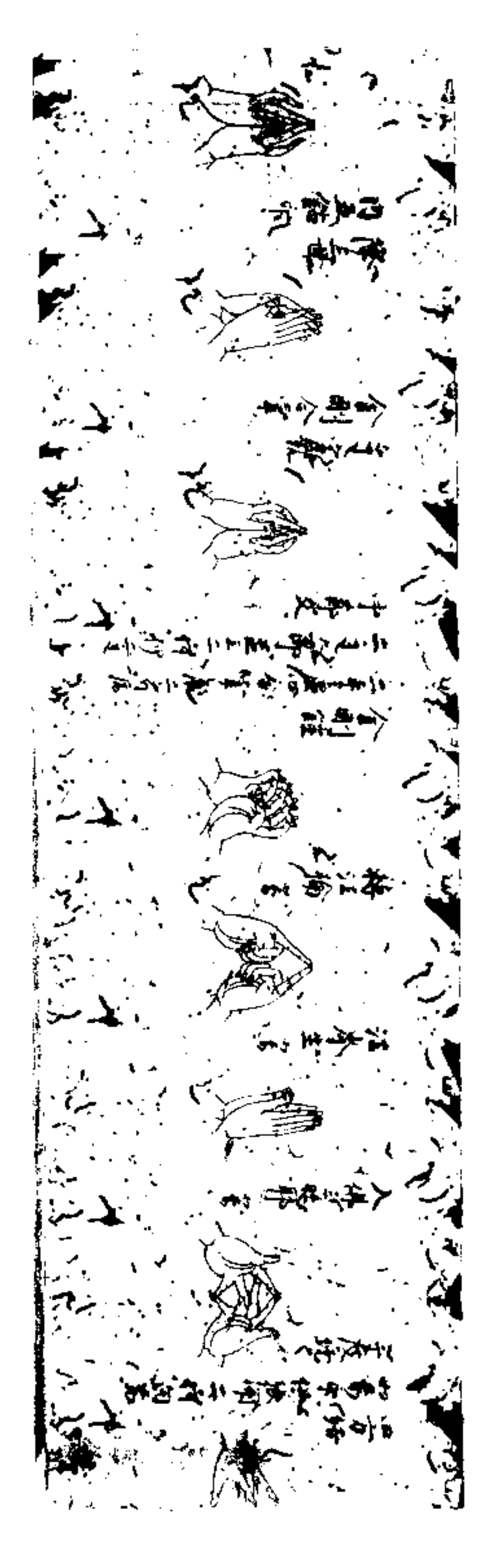
圖像 No. 1、淨三業　圖像 No. 2、佛部　圖像 No. 3、蓮花部　圖像 No. 4、金剛部　圖像 No. 5、被甲



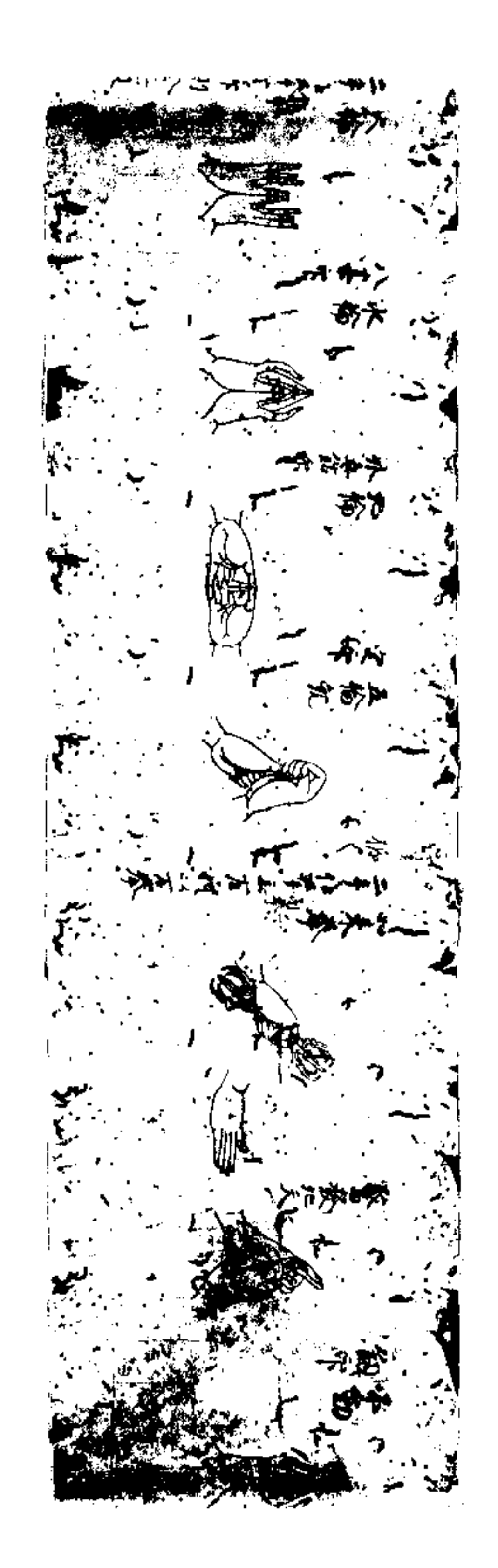
圖像 No. 6、加持香水　加持供物（圖省略）　圖像 No. 7、驚覺金剛起　圖像 No. 8、入佛三昧耶　圖像 No. 9、法界生
圖像 No. 10、九方便



圖像 No. 11. 轉法輪　圖像 No. 12. 無動金剛能成就明　圖像 No. 13. 勸請并五智虛空藏明妃三力偈　圖像 No. 14. 九重眞字觀　圖像 No. 15. 遍視　圖像 No. 16. 地結

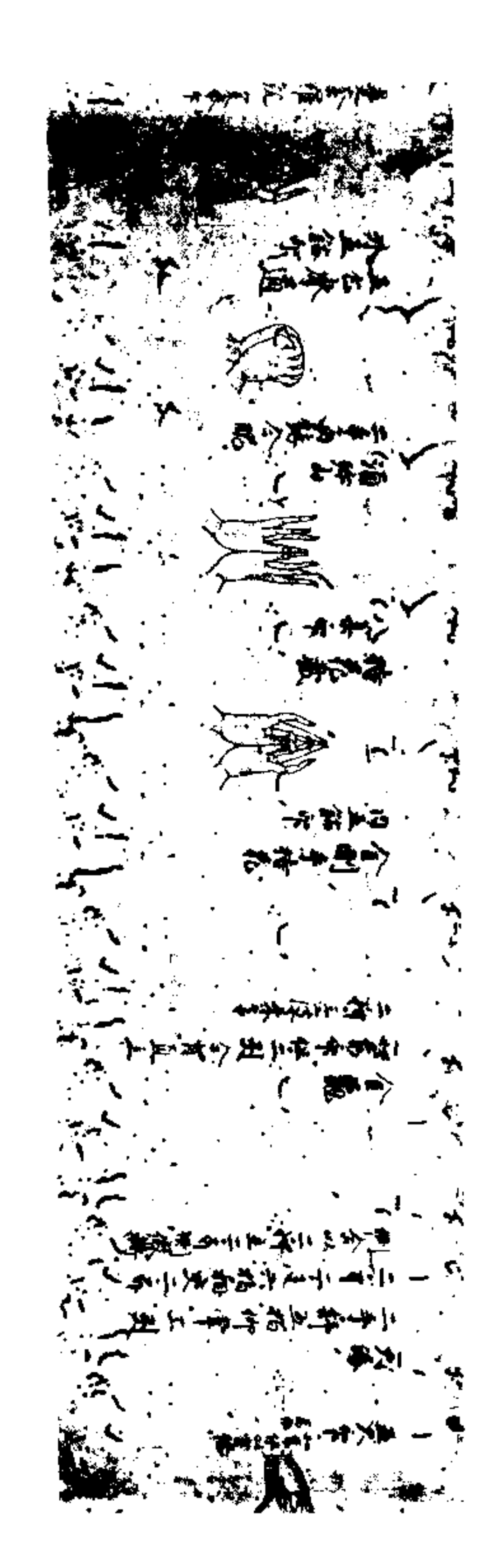


圖像 No. 17、四方結　圖像 No. 18、入佛三昧耶　圖像 No. 19、法界生　圖像 No. 20、轉法輪　圖像 No. 21、金剛鎧
圖像 No. 22、[illegible]字觀　圖像 No. 23、降三世

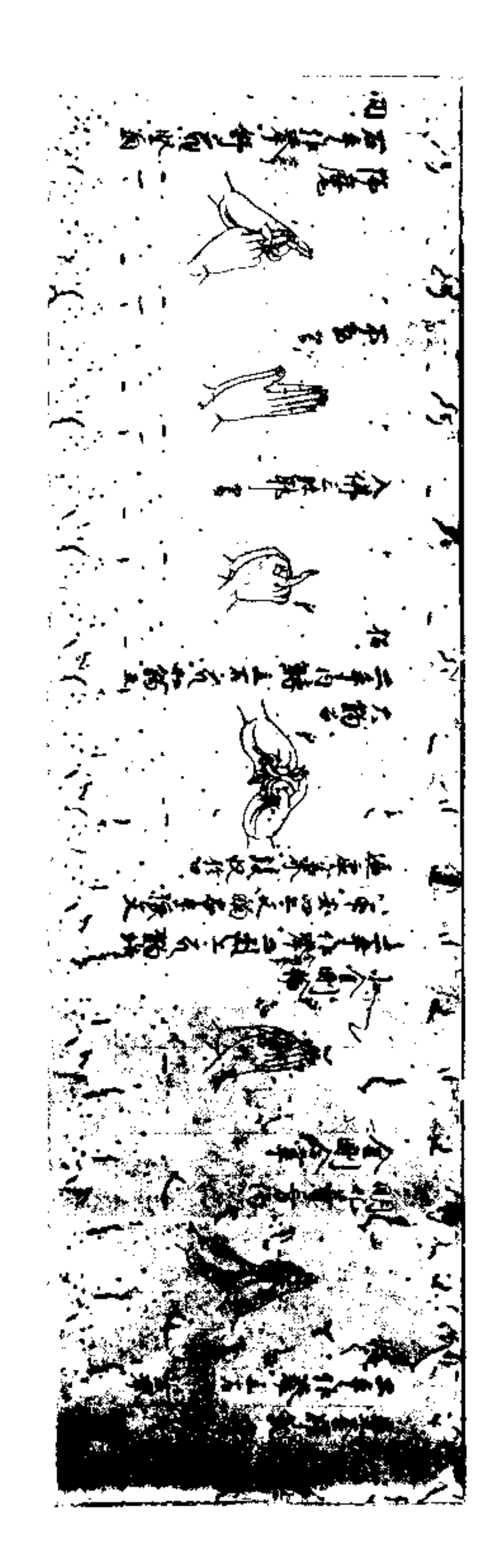


圖像 No. 24、不動　圖像 No. 25. 驚發地天　圖像 No. 26、如來拳　圖像 No. 27、五輪觀　圖像 No. 28、地輪　圖像 No. 29、水輪

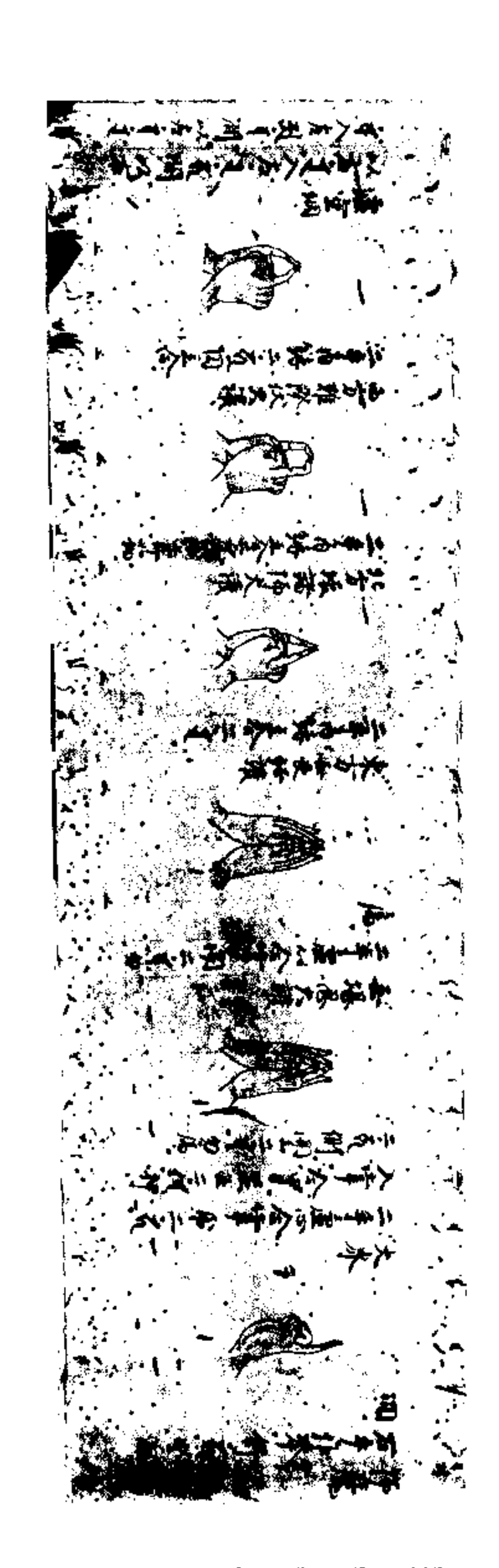
圖像 No. 30、火輪　圖像 No. 31、風輪　圖像 No. 32、空輪　圖像 No. 33、百光王　圖像 No. 34、滿足句　圖像 No. 35、器界觀



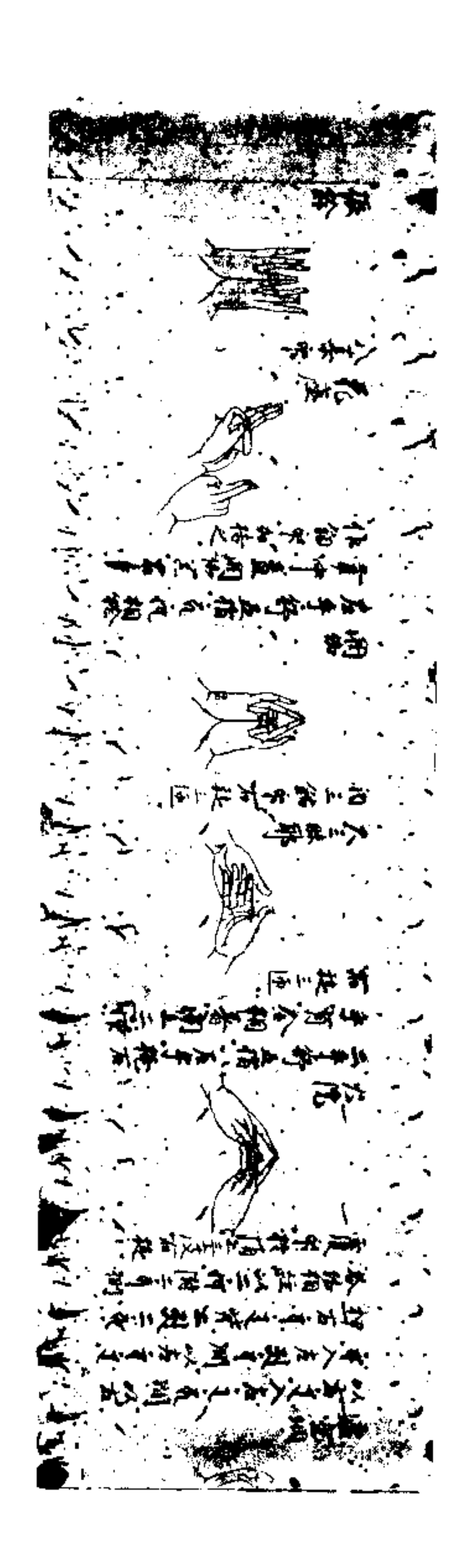
五大印（圖省略）　大海（圖缺）　金龜（圖缺）　圖像 No. 36. 金剛手持花　圖像 No. 37. 持花藏　圖像 No. 38. 須彌山　圖像 No. 39. 五色界道



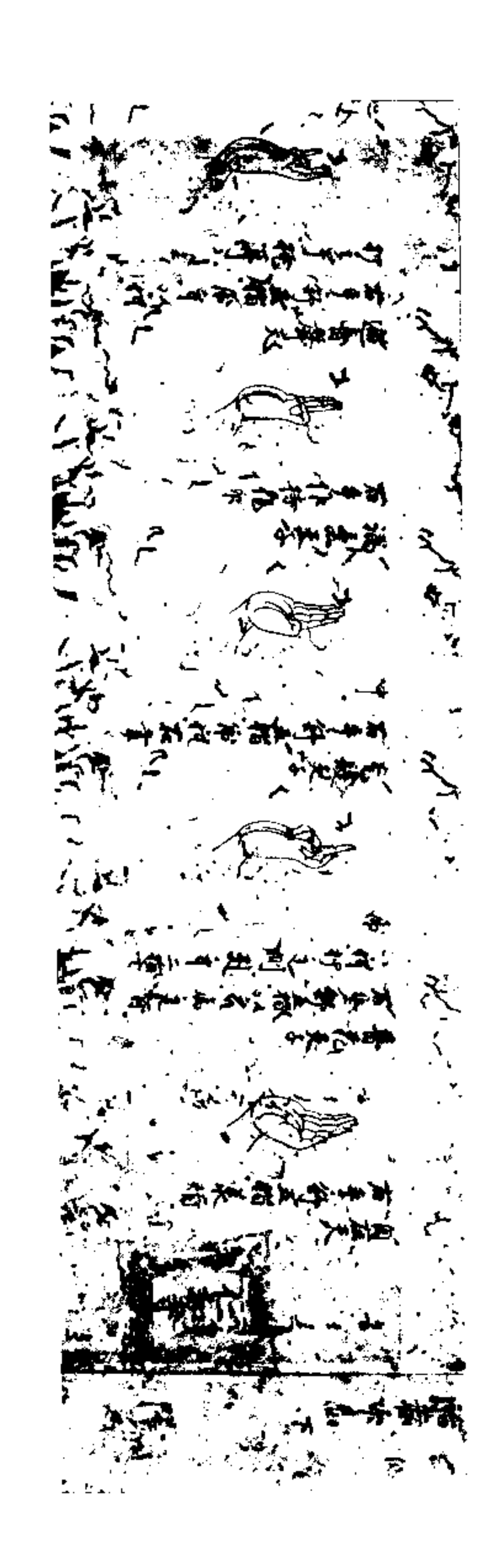
圖像 No. 40、曼荼羅觀　圖像 No. 41、明妃并三力偈　圖像 No. 42、小金剛輪　圖像 No. 43、大鈎召　圖像 No. 44、入佛三昧耶　圖像 No. 45、不動



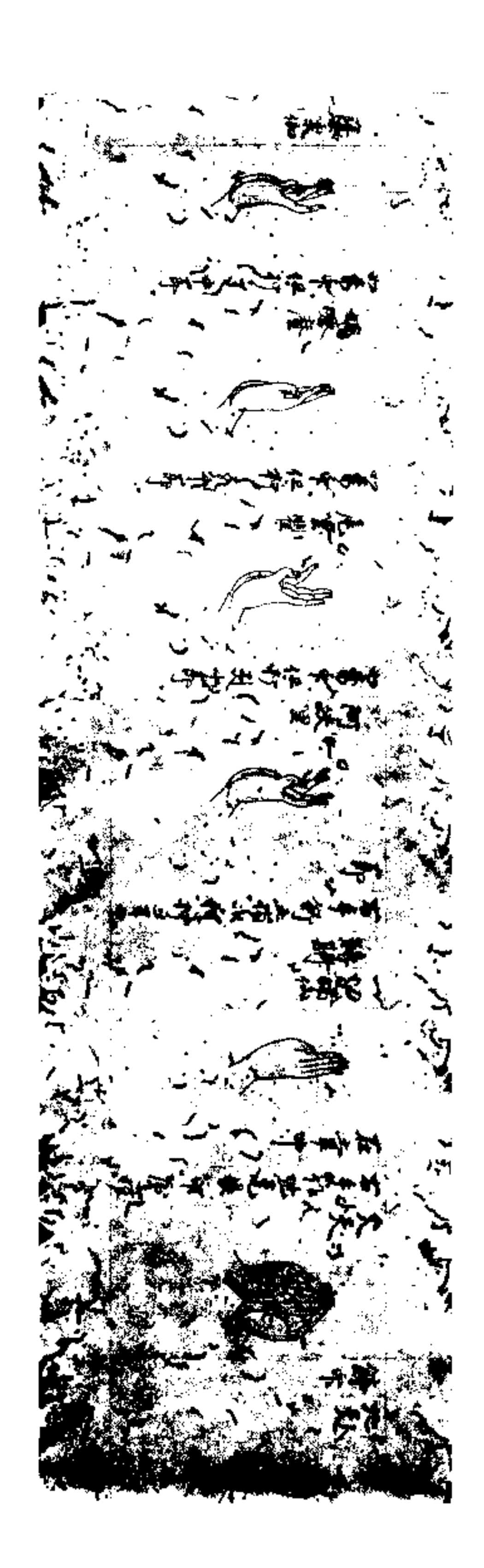
圖像 No. 46、怖魔　圖像 No. 47、大界　圖像 No. 48、南方無堪忍大護　圖像 No. 49、東方無畏結護　圖像 No. 50、北方壞諸怖大護　圖像 No. 51、西方難降伏大護



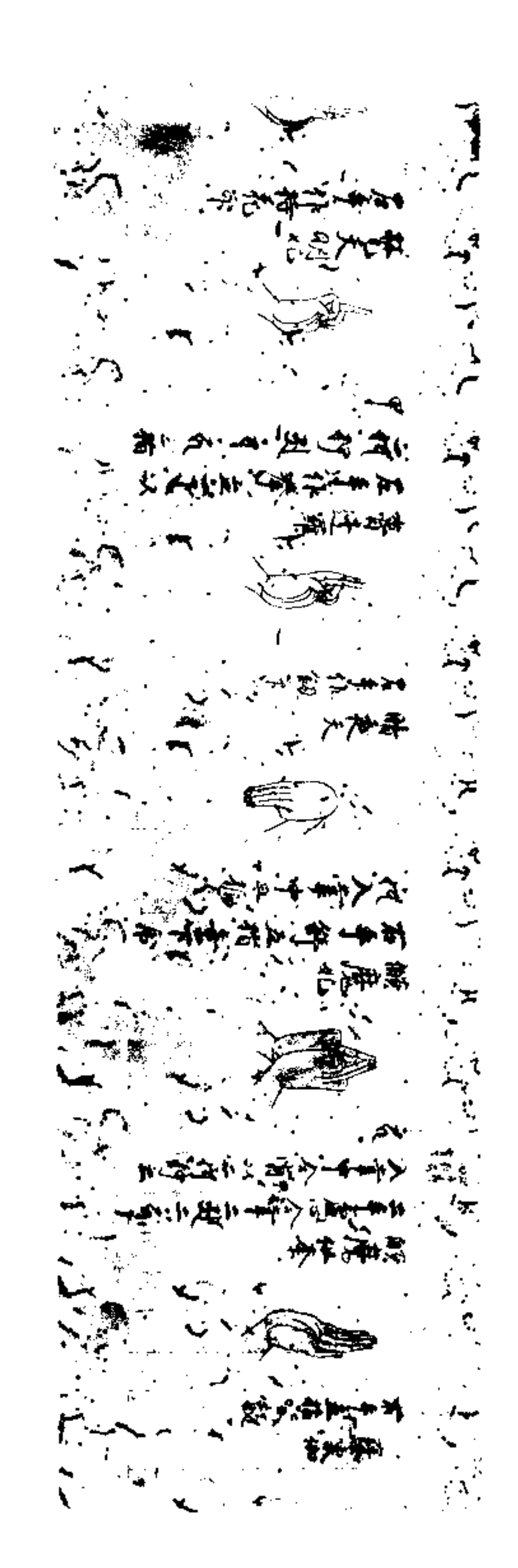
圖像 No. 52、虛空網　圖像 No. 53、火院　圖像 No. 54、大三昧耶　圖像 No. 55、閼伽　圖像 No. 56、花座　振鈴（圖缺）



圖像 No. 57、自在天　圖像 No. 58、普花天子　圖像 No. 59、光鬘天子　圖像 No. 60、滿意天子　圖像 No. 61、遍音聲天

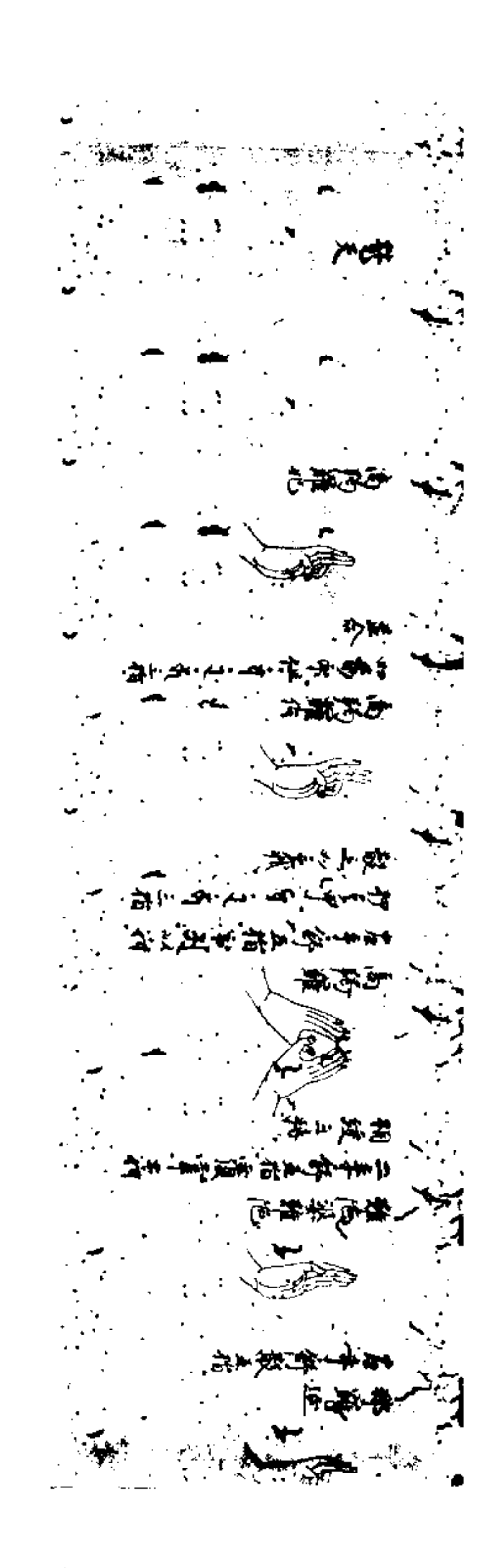


圖像 No. 62、地天　圖像 No. 63、火天　圖像 No. 64、縛斯　圖像 No. 65、阿趺哩　圖像 No. 66、尾哩羅　圖像 No. 67、嚩苦摩



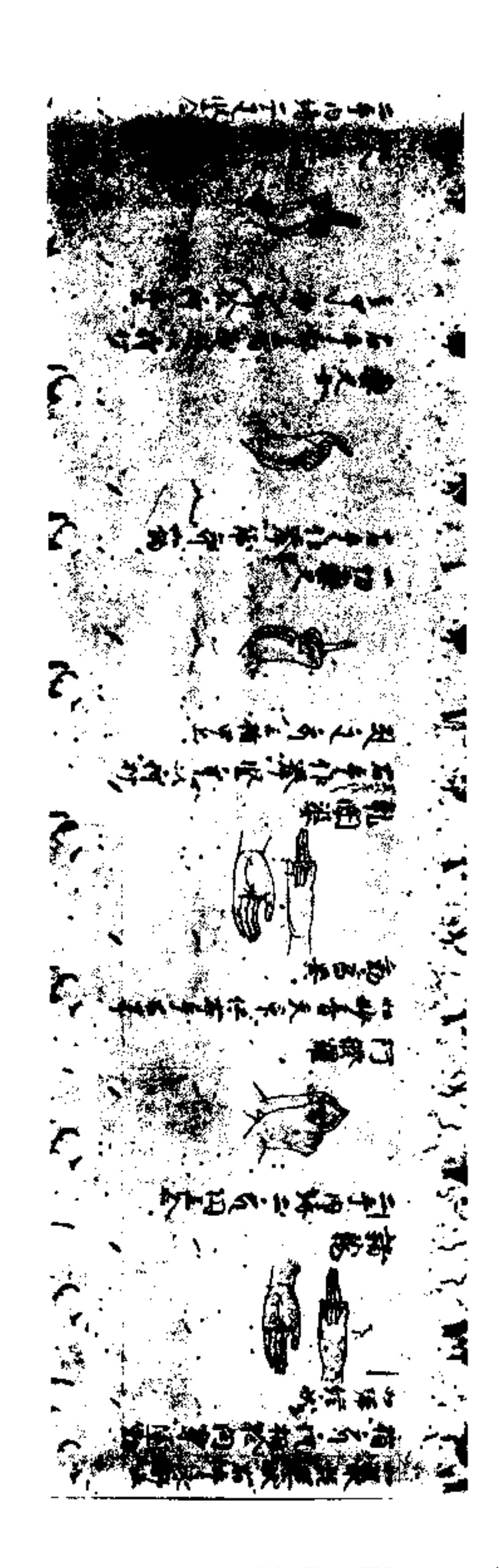
圖像 No. 68、蘗𠺕伽　圖像 No. 69、焔魔但荼　圖像 No. 70、焔魔妃　圖像 No. 71、暗夜天　圖像 No. 72、喻迮羅
圖像 No. 73、梵天明妃

圖像 No. 74、嚩末離儞底　圖像 No. 75、那羅延后　圖像 No. 76、焰魔七母　圖像 No. 77、遮文荼　圖像 No. 78、涅哩底

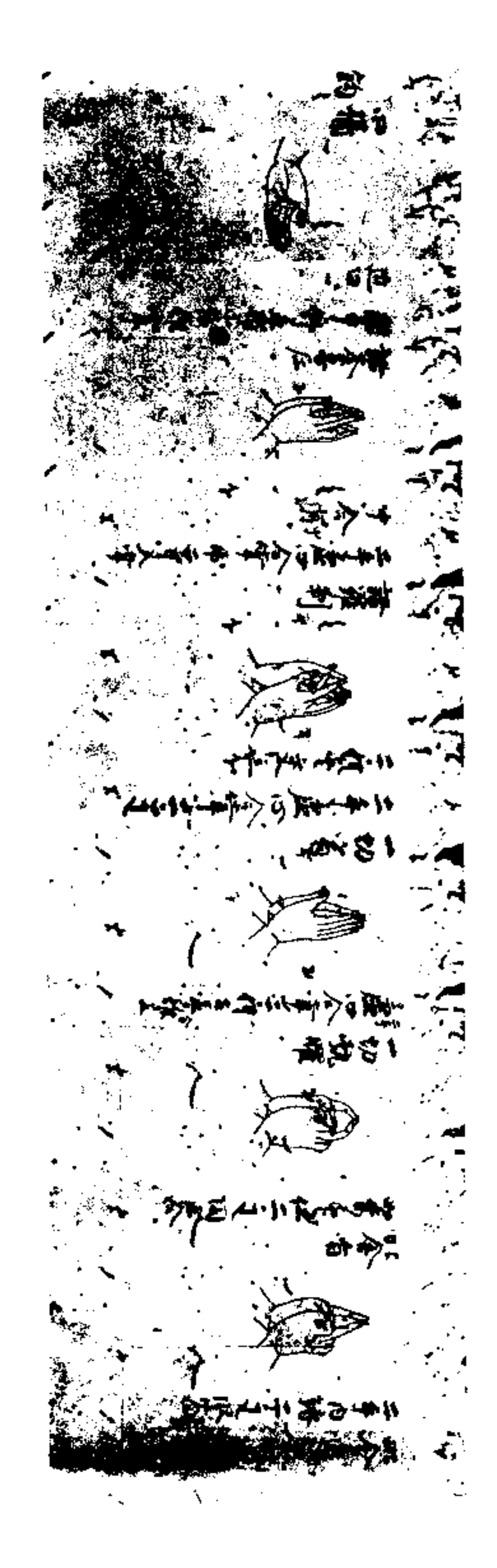


圖像 No. 79. 那羅延　　圖像 No. 80. 難陀婆難陀　　圖像 No. 81. 商羯羅　　圖像 No. 82. 商羯羅后　　商羯羅妃（圖缺）

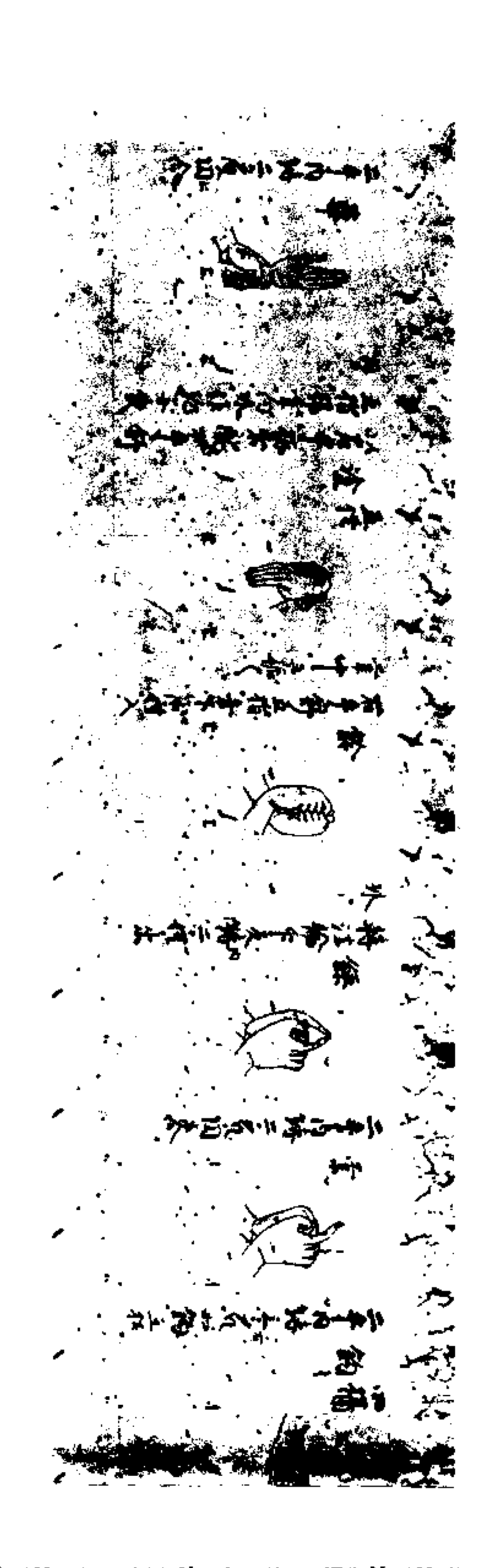
圖像 No. 83. 梵天　圖像 No. 84. 月天　日天（圖缺）　圖像 No. 85. 社耶毘社耶　圖像 No. 86. 風天



圖像 No. 87. 妙音天　圖像 No. 88. 諸龍　圖像 No. 89. 阿修羅　圖像 No. 90. 乾闥婆　圖像 No. 91. 一切藥叉
圖像 No. 92. 藥叉女



圖像 No. 93、毘舍遮　圖像 No. 94、比舍手　圖像 No. 95、一切執曜　圖像 No. 96、一切宿　圖像 No. 97、諸羅刹
圖像 No. 98、諸荼吉尼



No. 99.〔四攝〕鈎　圖像 No. 100. 索　圖像 No. 101. 鎖　圖像 No. 102 鈴　圖像 No. 103.〔五供〕塗

圖像 No. 104. 華　圖像 No. 105. 葵　圖像 No. 106. 鈦　圖像 No. 107. 橙

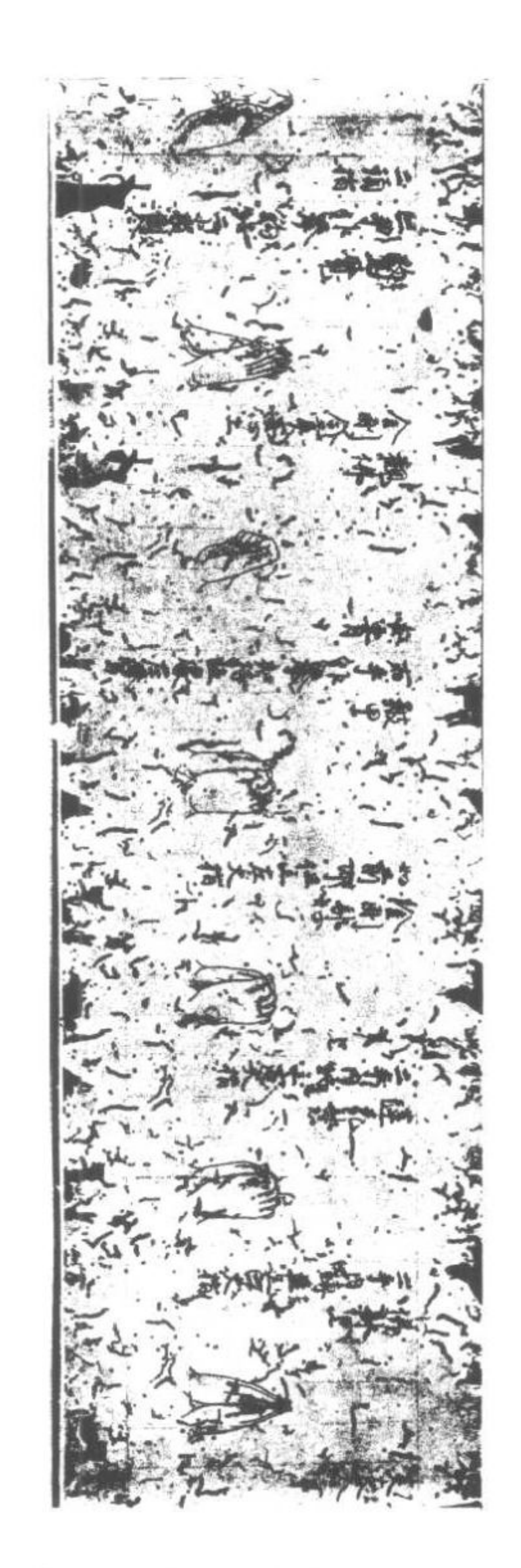
金剛界印圖



圖像 No. 1. 三金觀　淨三業（圖省略）　圖像 No. 2. 偈　圖像 No. 3. 佛部　圖像 No. 4. 蓮花部



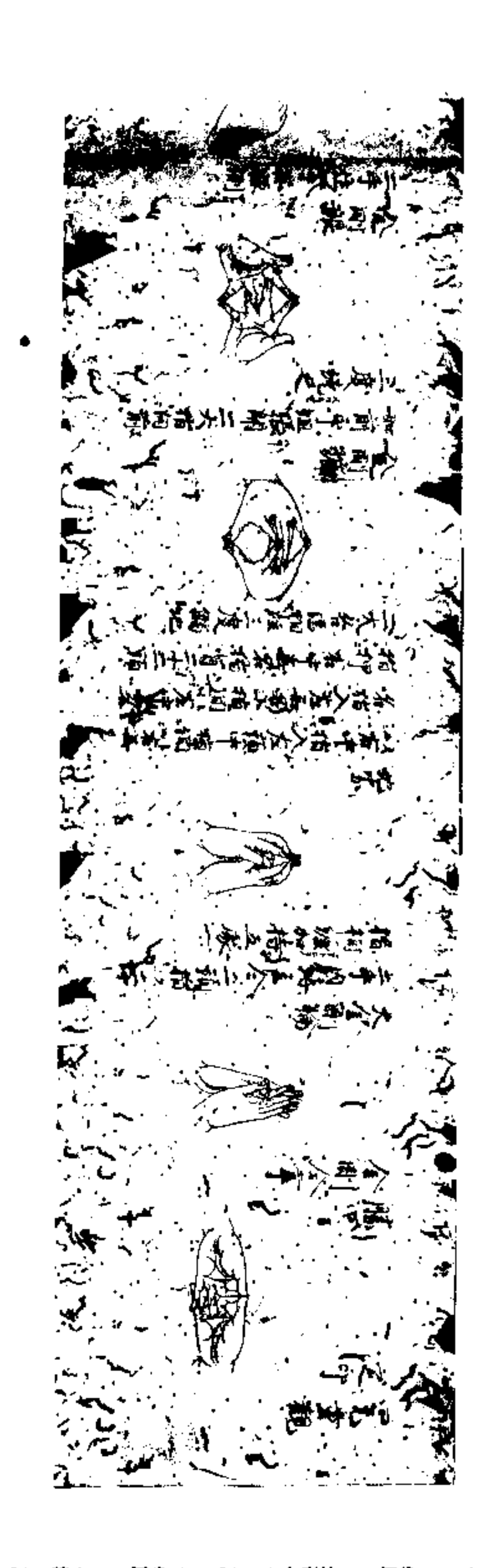
圖像 No. 5．金剛部　圖像 No. 6．被甲　圖像 No. 7．加持香水　圖像 No. 8．加持供物　圖像 No. 9．覽字觀　圖像 No. 10．淨地



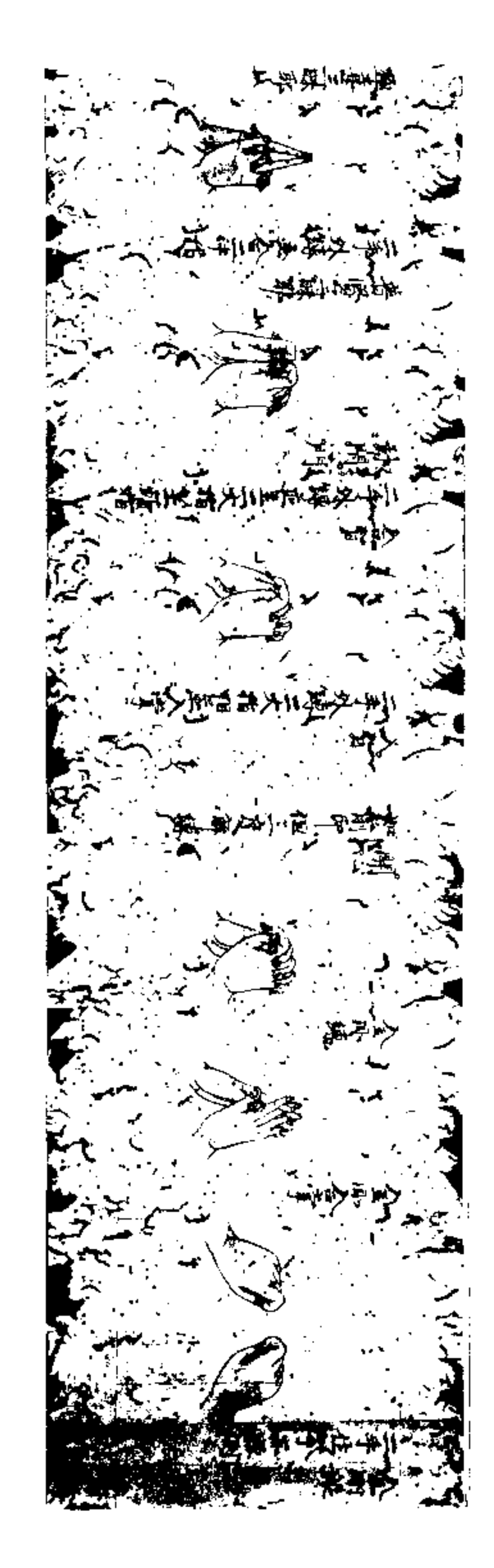
圖像 No. 11，淨身　圖像 No. 12，佛部心　圖像 No. 13，蓮花部心　圖像 No. 14，金剛部心　圖像 No. 15，被甲
圖像 No. 16，觀佛



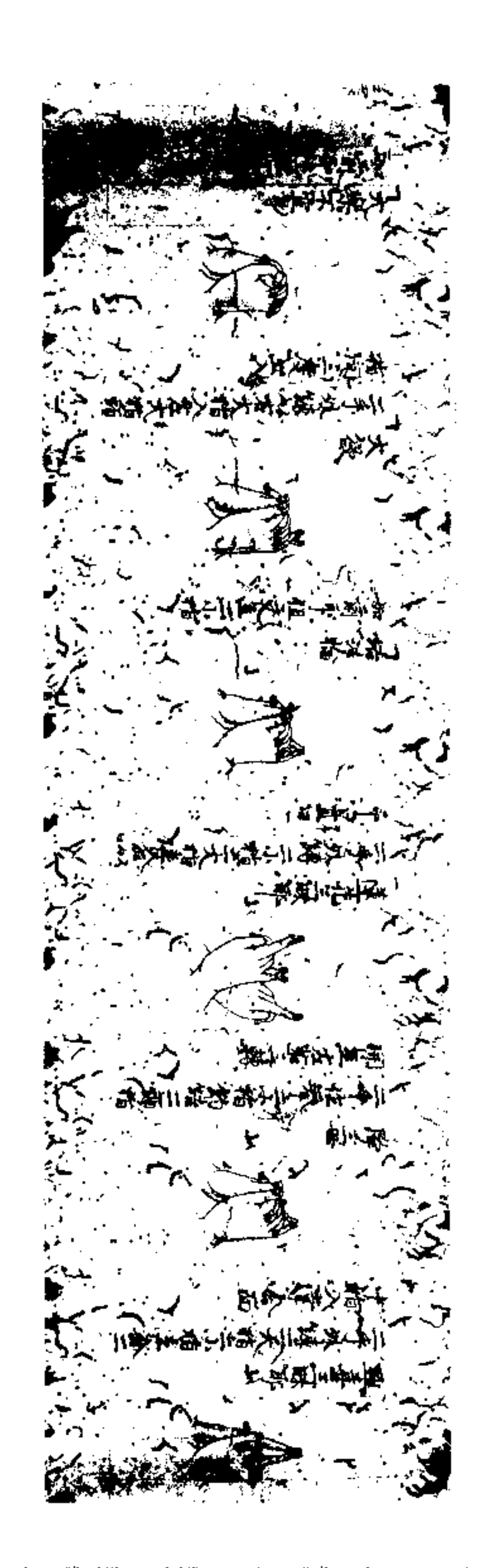
圖像 No. 17、驚覺　圖像 No. 18、四禮　圖像 No. 19、金剛持遍禮　圖像 No. 20、五悔發願五大願等　圖像 No. 21、普供養　圖像 No. 22、三力偈



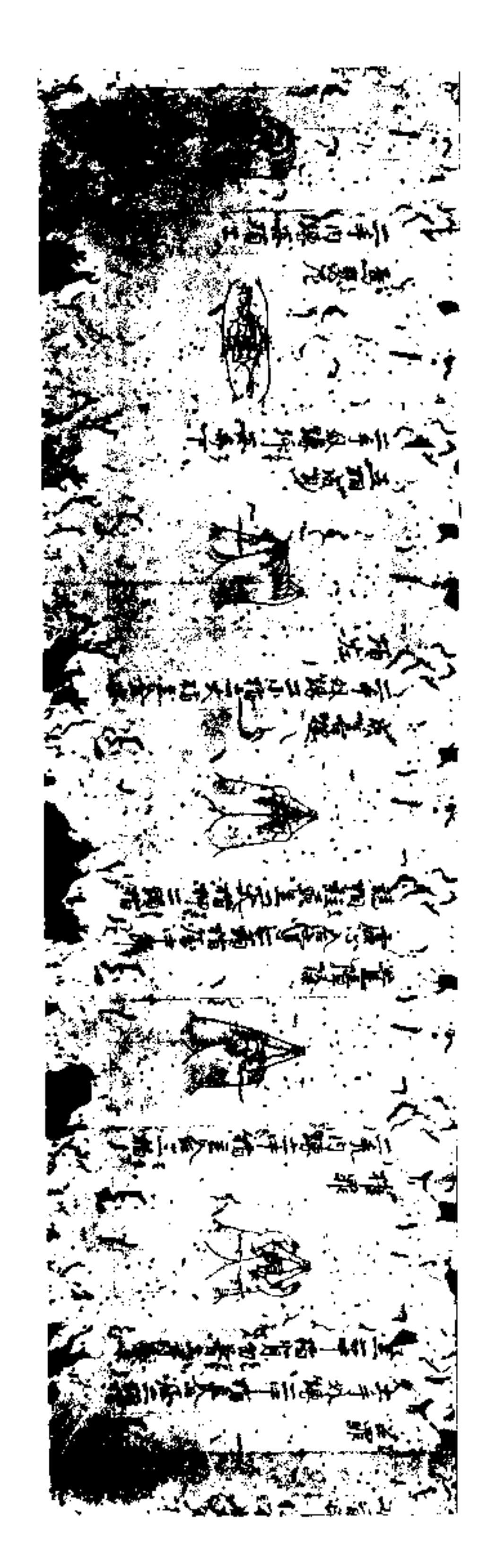
圖像 No. 23. 四無量觀　圖像 No. 24. 勝心　圖像 No. 25. 大金剛輪　圖像 No. 26. 地界　圖像 No. 27. 金剛墻



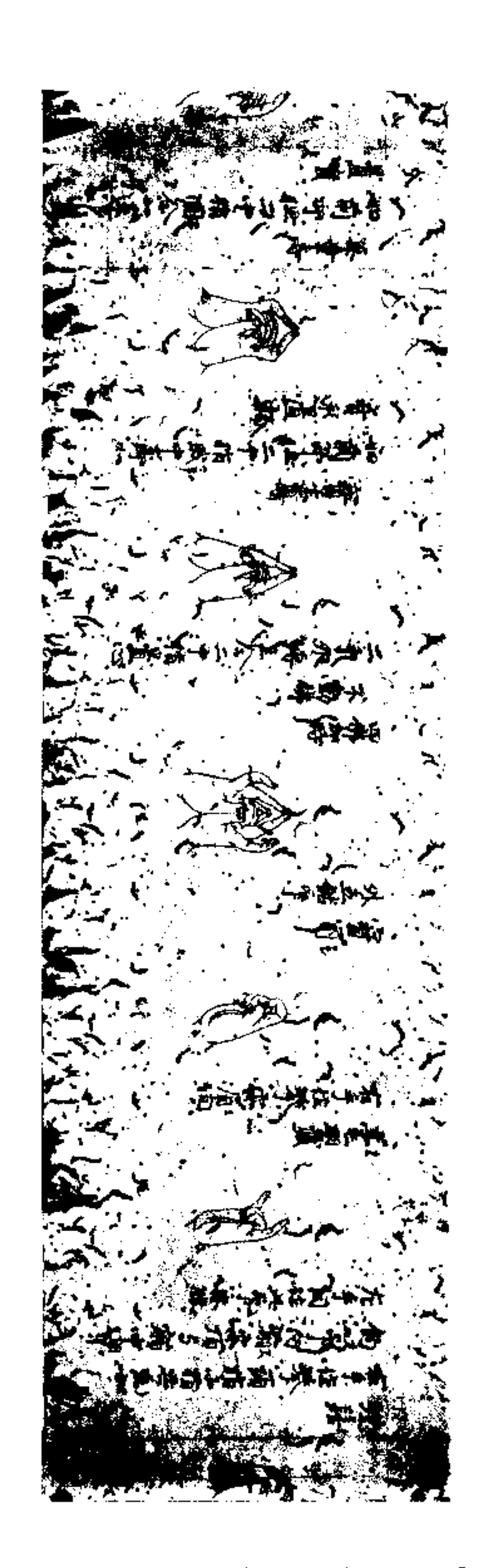
圖像 No. 28. 金剛眼　圖像 No. 29. 金剛合掌　圖像 No. 30. 金剛縛　開心（圖省略）　圖像 No. 31. 入智　圖像 No. 32. 合智　圖像 No. 33. 普賢三昧耶



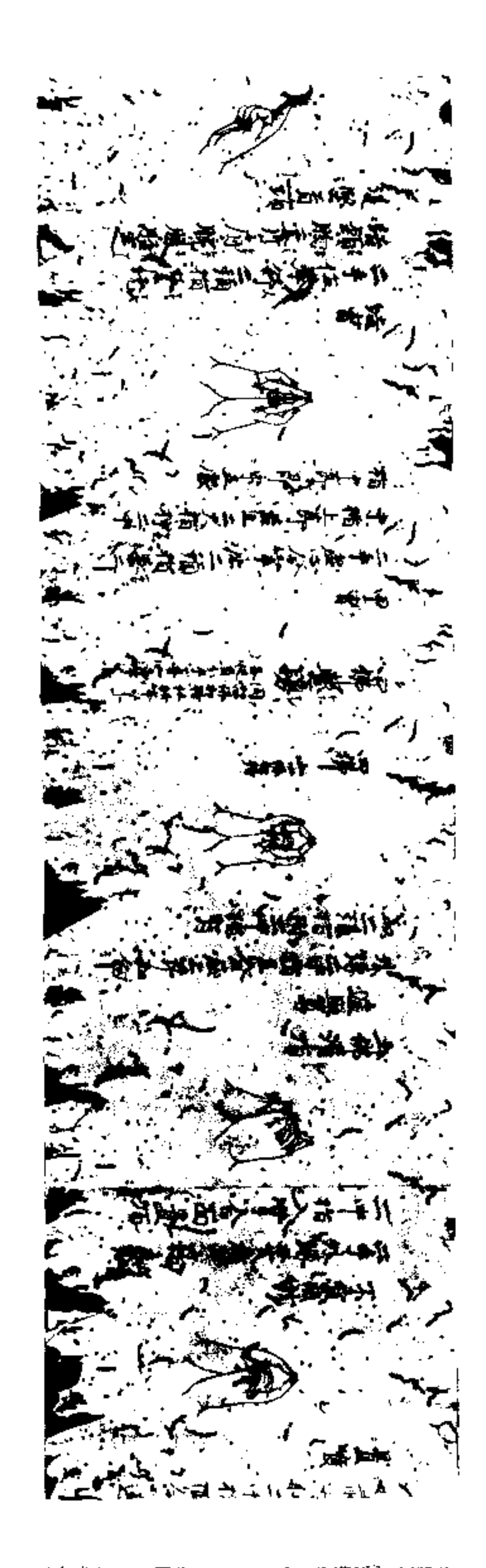
圖像 No. 34、極喜三昧耶　圖像 No. 35、降三世　圖像 No. 36、蓮花三昧耶　圖像 No. 37、結法輪　圖像 No. 38、大欲大樂不空身（圖省略）



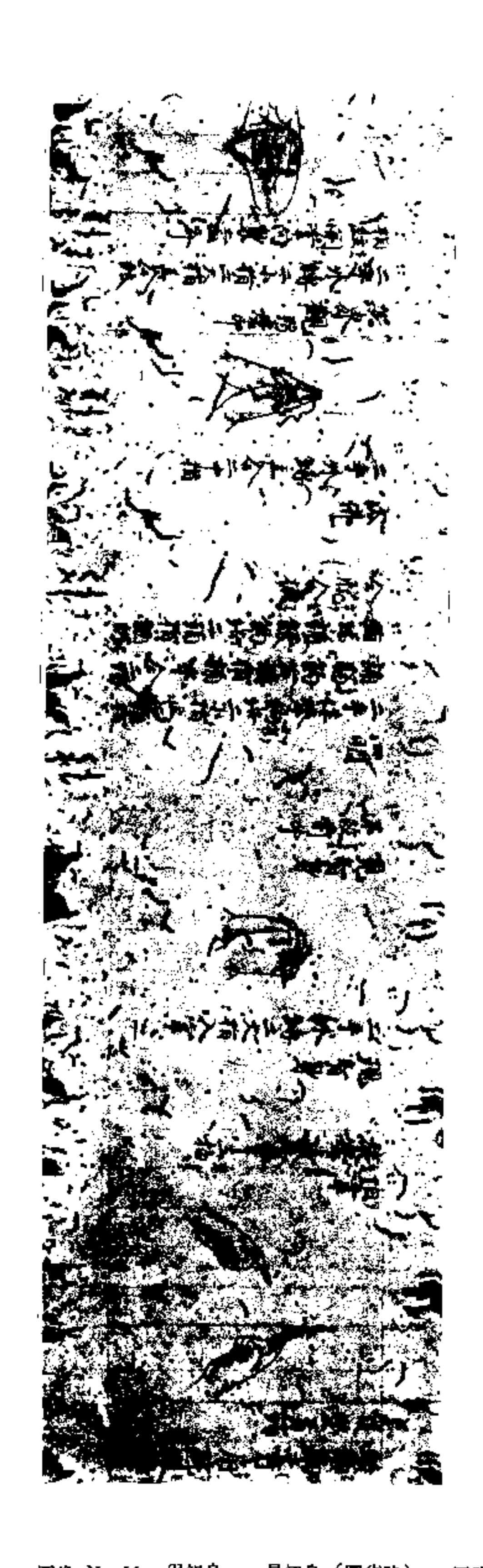
圖像 No. 39、召罪　圖像 No. 40、摧罪　圖像 No. 41、業障除　圖像 No. 42、成菩提　圖像 No. 43、五相成身　圖像 No. 44、烏瑟尼



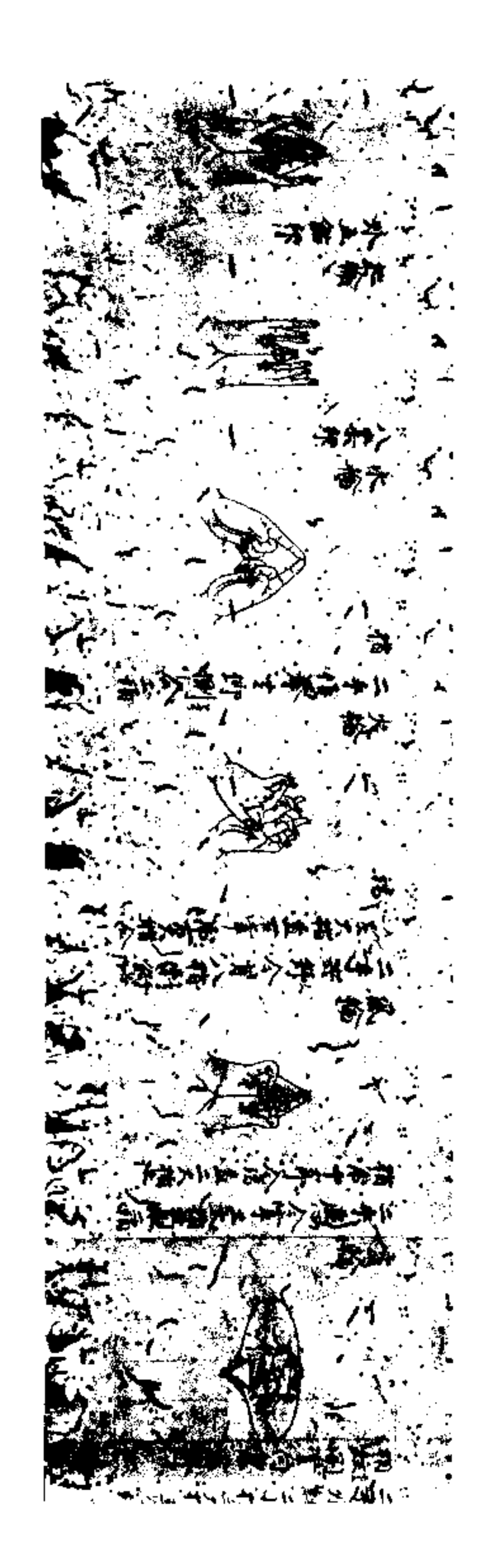
圖像 No. 45、螺髻尊　圖像 No. 46、毫相殿　圖像 No. 47、寶冠　圖像 No. 48、〔四佛加持〕不動佛　圖像 No. 49、寶生



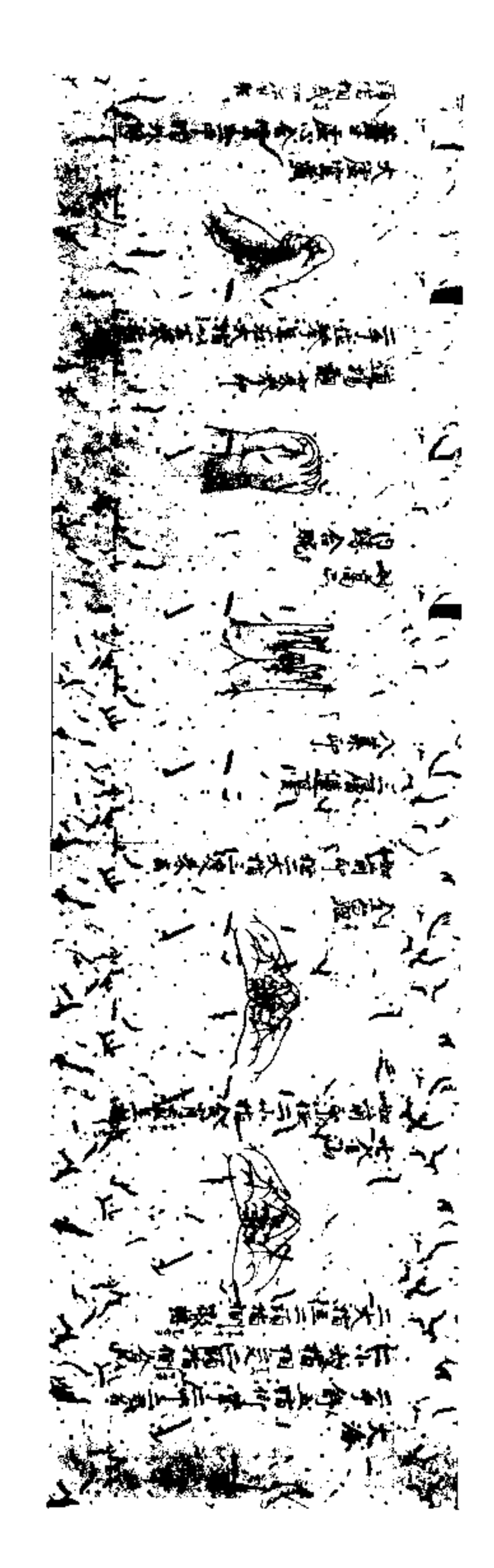
圖像 No. 50. 無量壽　圖像 No. 51. 不空成就　圖像 No. 52. [五佛灌頂] 遍照尊　四佛（圖省略）　四佛繫鬘（圖省略）
圖像 No. 53. 甲冑



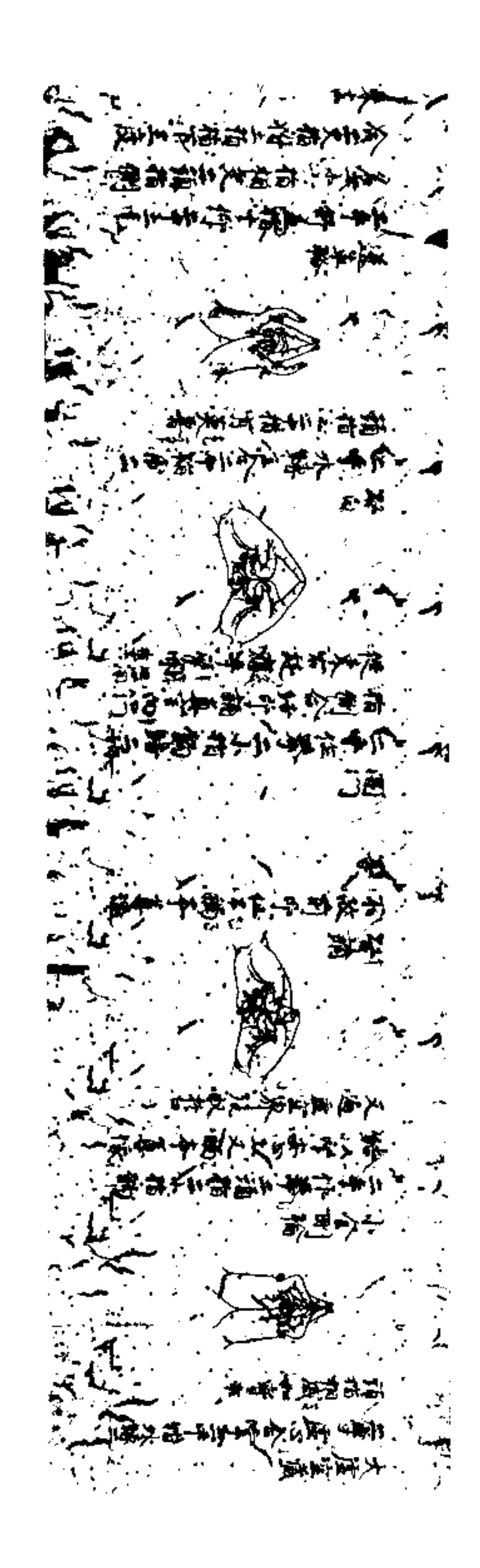
圖像 No. 54、結胄　拍掌（圖省略）　圖像 No. 55、現智身　見智身（圖省略）　四明（圖省略）　圖像 No. 56、成佛



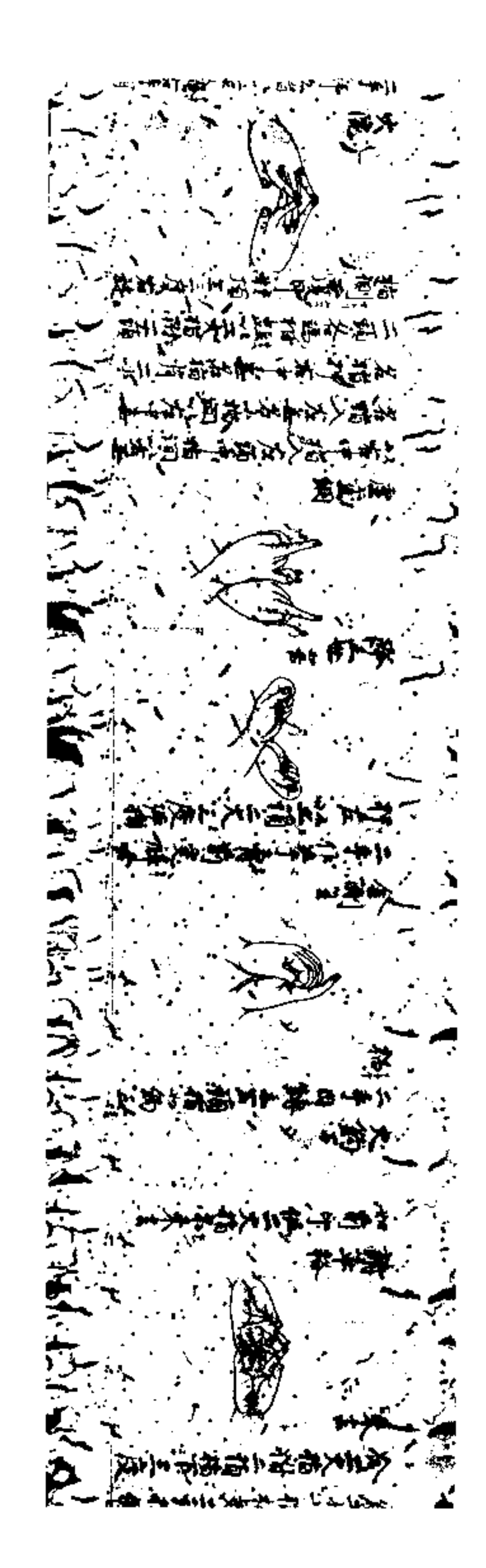
圖像 No. 57、器界觀　圖像 No. 58、空輪　圖像 No. 59、風輪　圖像 No. 60、火輪　圖像 No. 61、水輪　圖像 No. 62、地輪



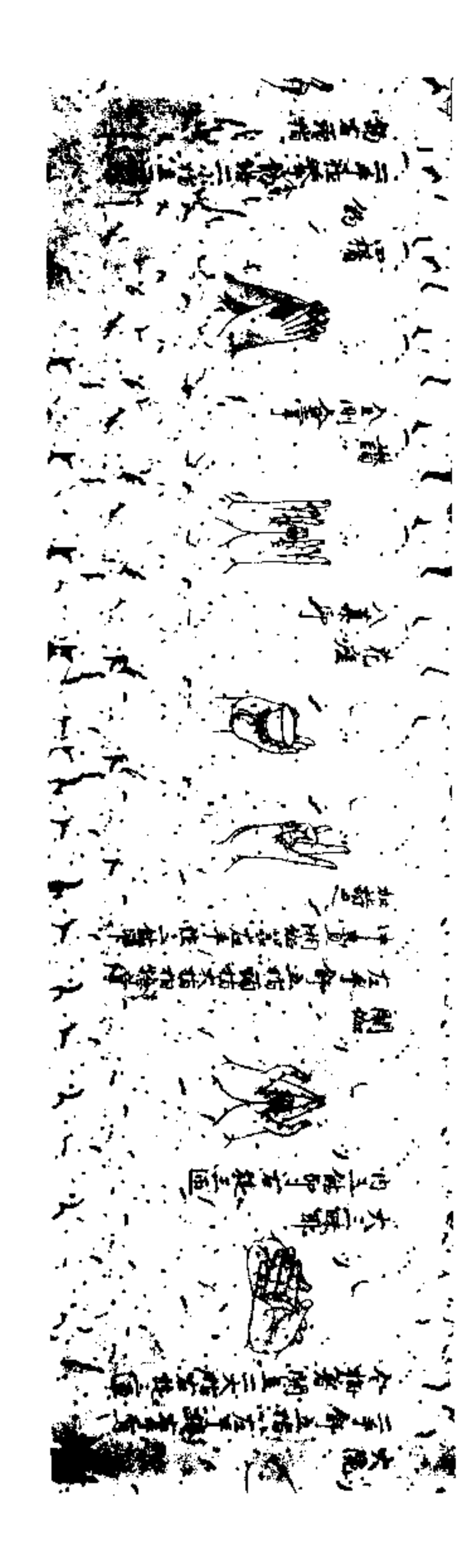
圖像 No. 63, 大海　圖像 No. 64, 七金山　金龜（圖省略）　圖像 No. 65, 三層蓮臺　圖像 No. 66, 妙高山　圖像 No. 67, 道場觀



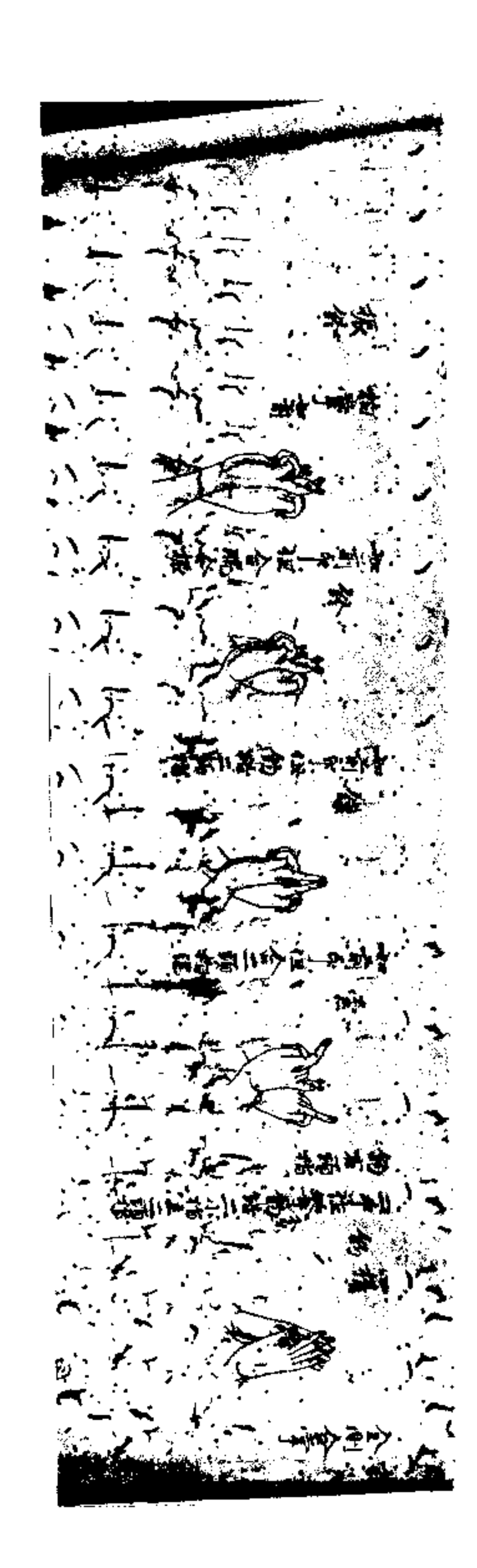
圖像 No. 68、大虛空藏　圖像 No. 69、小金剛輪　啓請（圖省略）　圖像 No. 70、開門　圖像 No. 71、啓白



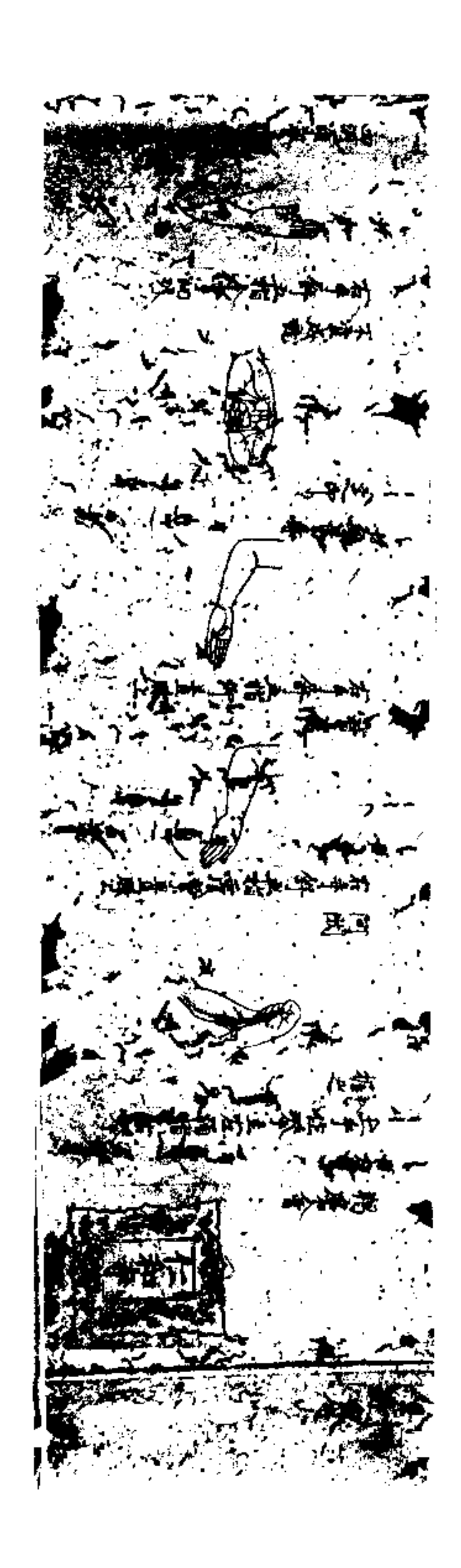
圖像 No. 72、送車輅　請車輅（圖省略）　圖像 No. 73、大鈎召　圖像 No. 74、金剛王　圖像 No. 75、降三世　圖像 No. 76、碓空網



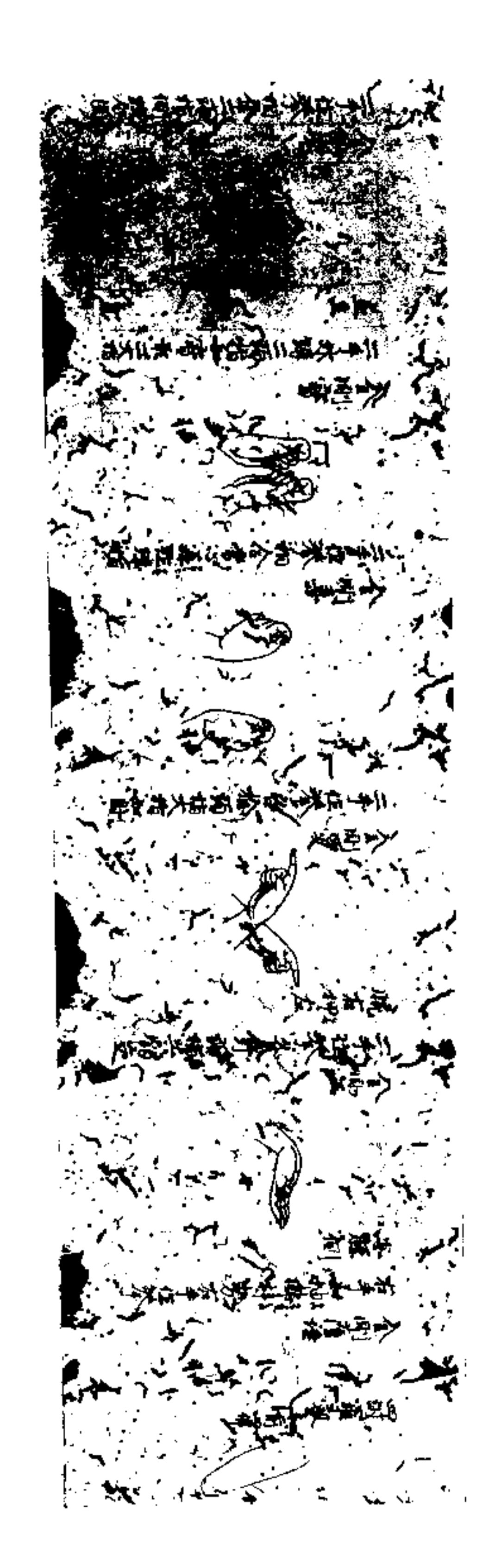
圖像 No. 77. 火院　圖像 No. 78. 大三昧耶　圖像 No. 79. 閼伽　圖像 No. 80. 花座　圖像 No. 81. 讃



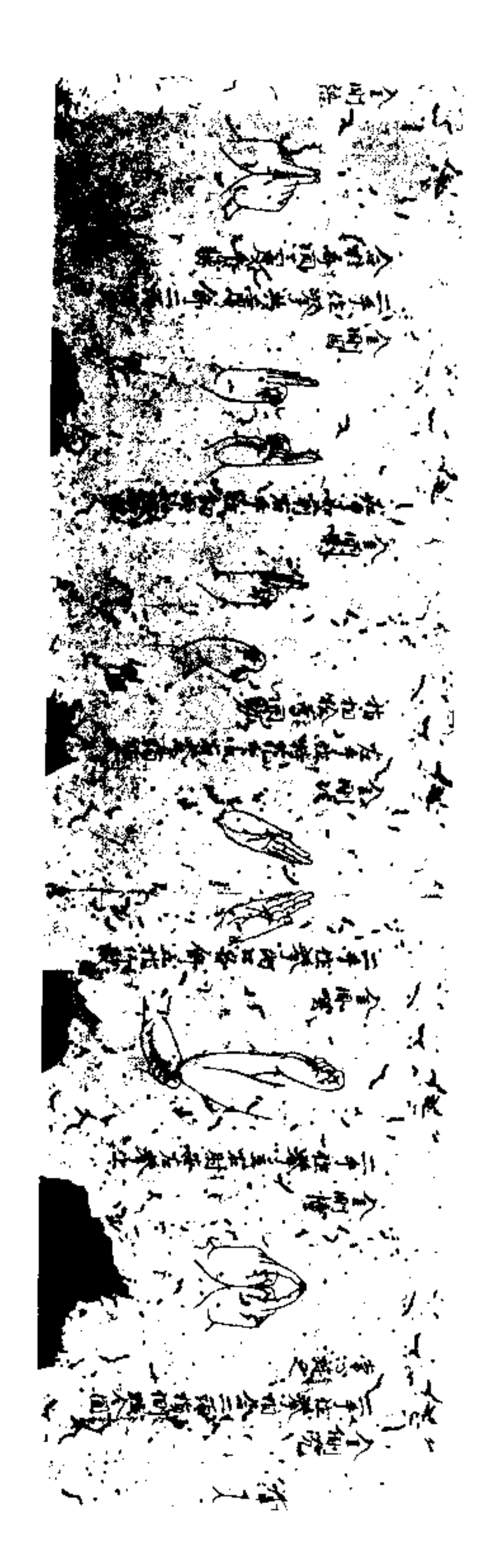
圖像 No. 82. 〔四攝〕鉤　圖像 No. 83. 索　圖像 No. 84. 鎖　圖像 No. 85. 鈴　拍掌（圖省略）　振鈴（圖省略）



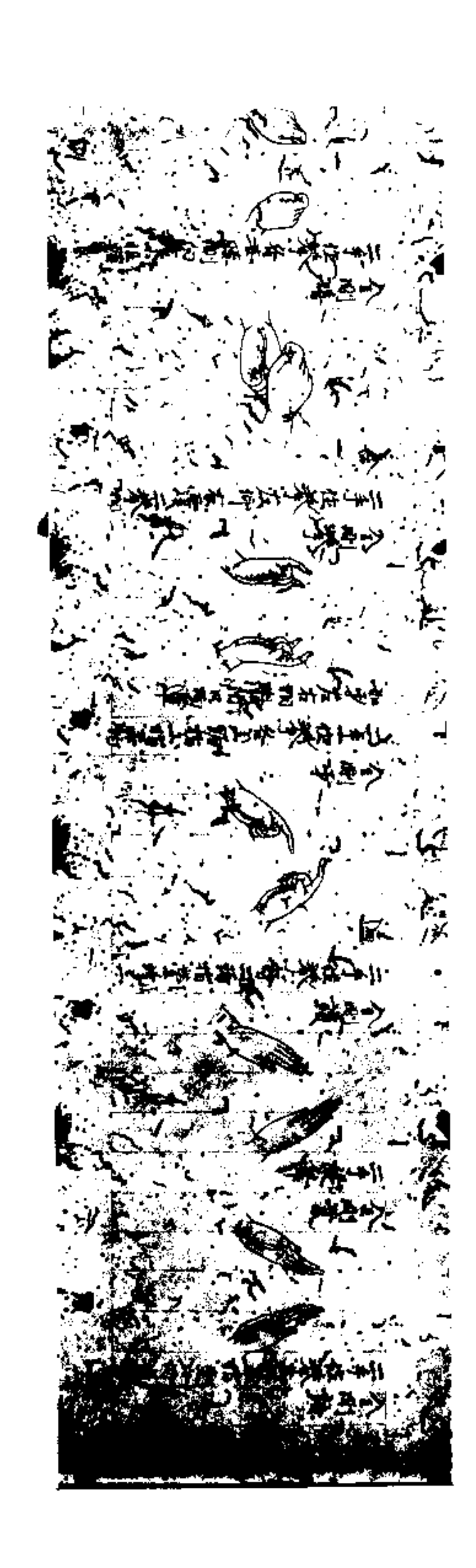
圖像 No. 86. [羯磨會] 大日　圖像 No. 87. 阿閦　圖像 No. 88. 寶生　圖像 No. 89. 無量壽　圖像 No. 90. 不空成就



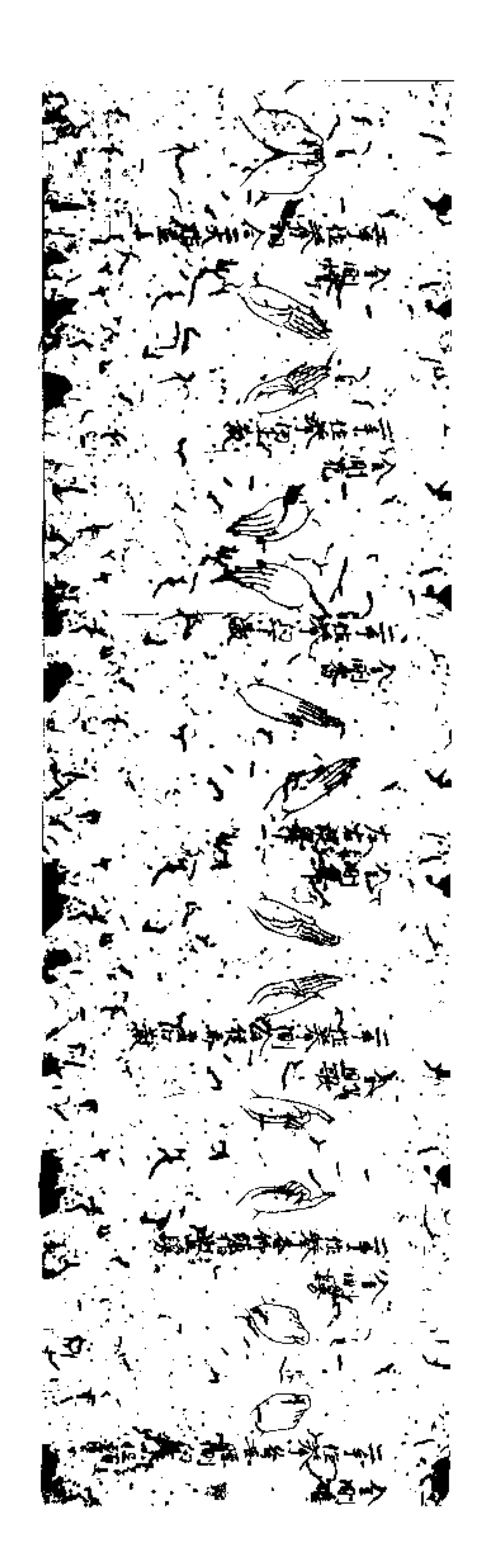
四波羅蜜（圖省略）　圖像 No. 91、金剛薩埵　圖像 No. 92、金剛王　圖像 No. 93、金剛愛　圖像 No. 94、金剛喜
圖像 No. 95、金剛寶



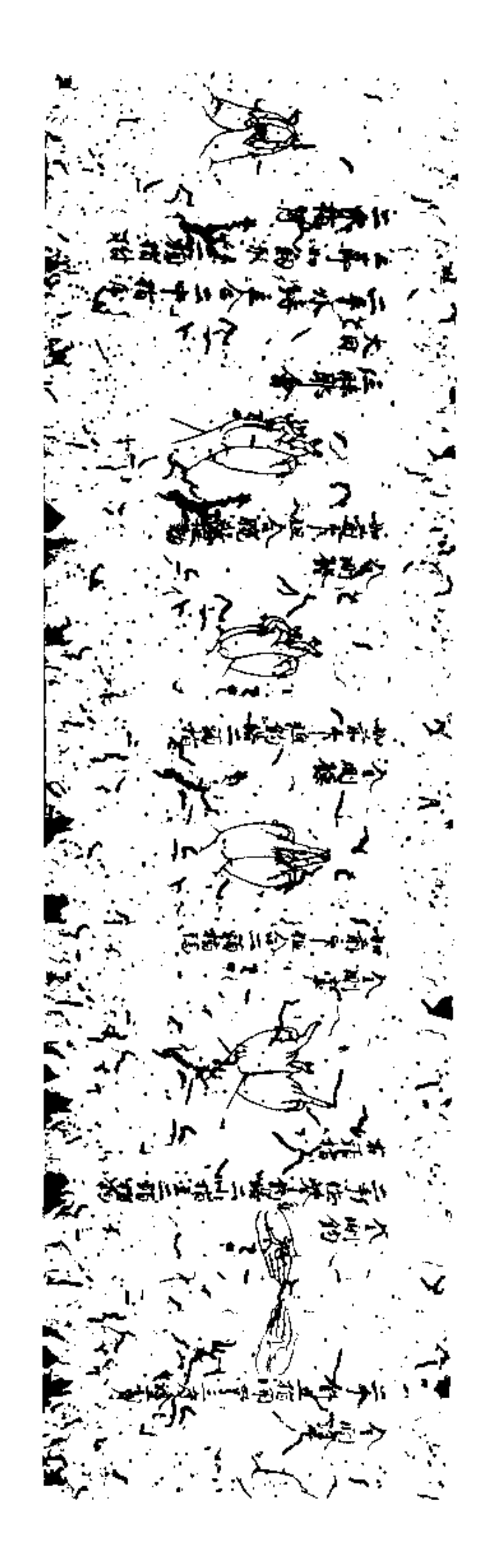
圖像 No. 96、金剛光　圖像 No. 97、金剛幢　圖像 No. 98、金剛咲　圖像 No. 99、金剛法　圖像 No. 100、金剛利
圖像 No. 101、金剛因



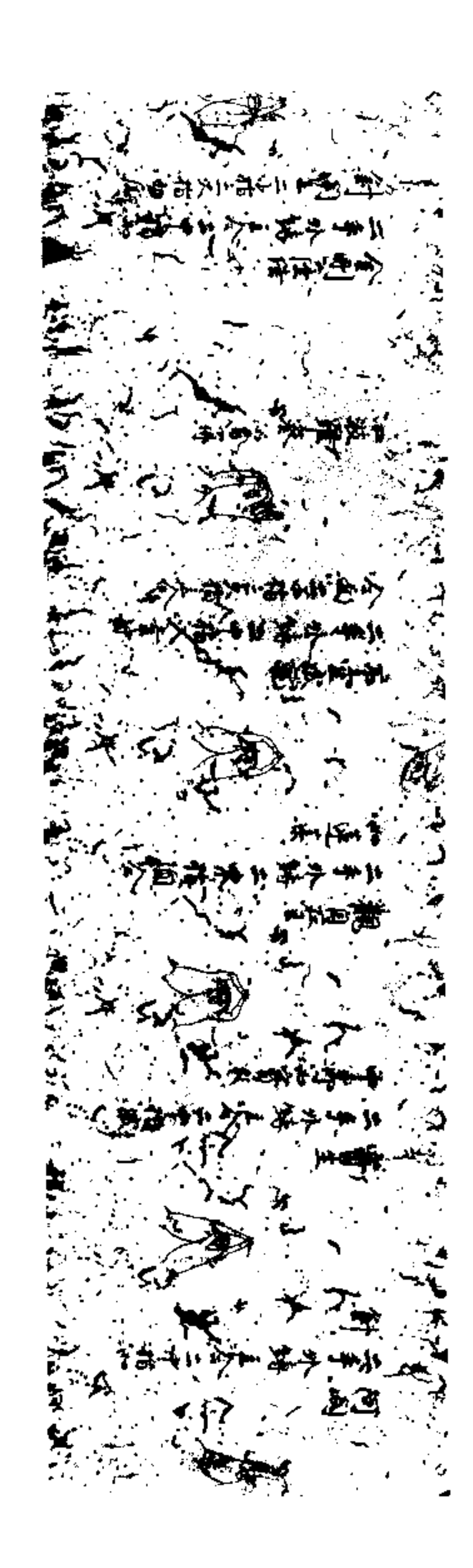
圖像 No. 102. 金剛語　圖像 No. 103. 金剛業　圖像 No. 104. 金剛護　圖像 No. 105. 金剛牙　圖像 No. 106. 金剛拳



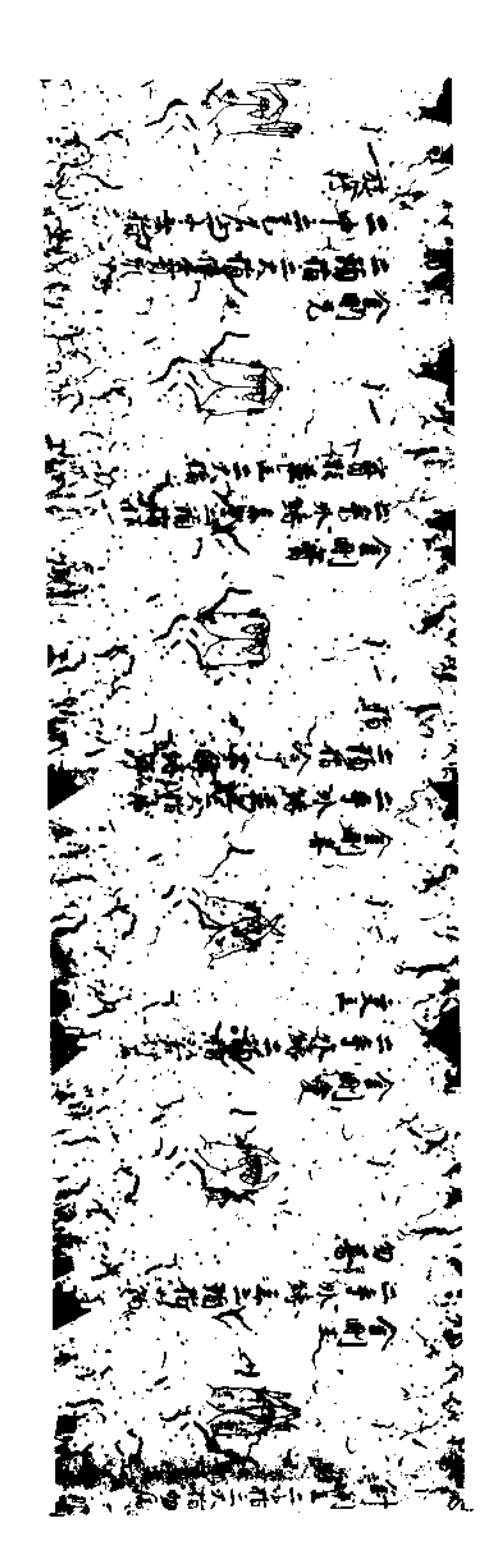
圖像 No. 107、金剛嬉　同像 No. 108、金剛鬘　同像 No. 109、金剛歌　同像 No. 110、金剛舞　同像 No. 111、金剛香
同像 No. 112、金剛花　同像 No. 113、金剛燈



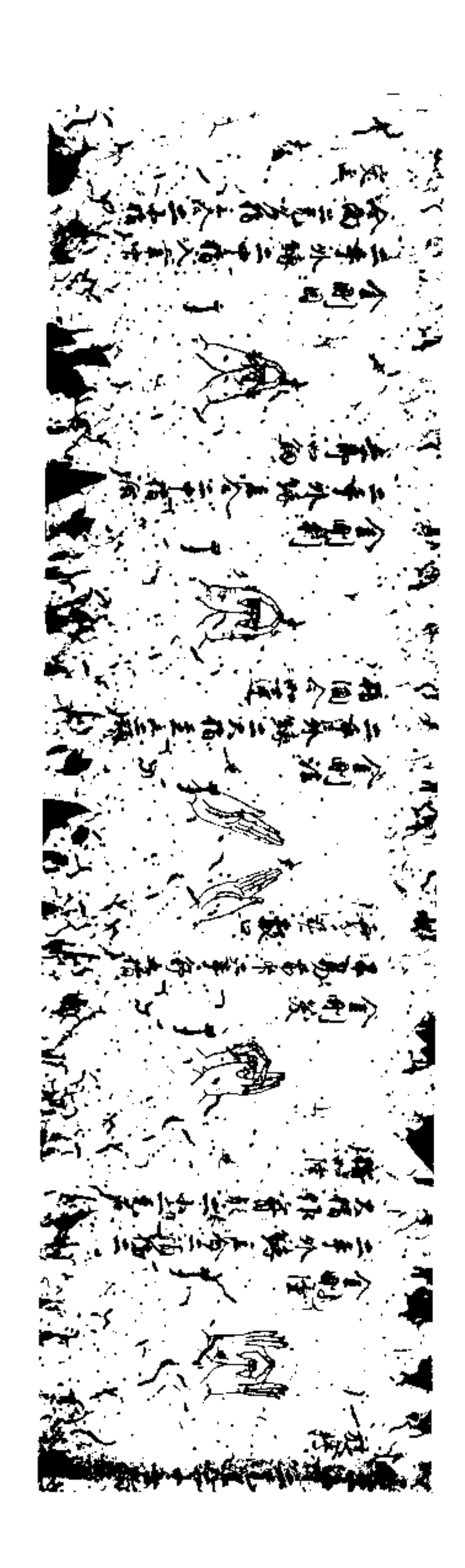
圖像 No. 114, 金剛塗　圖像 No. 115, 金剛鈎　圖像 No. 116, 金剛索　圖像 No. 117, 金剛鎖　圖像 No. 118, 金剛鈴
圖像 No. 119, 〔三昧耶会〕大日



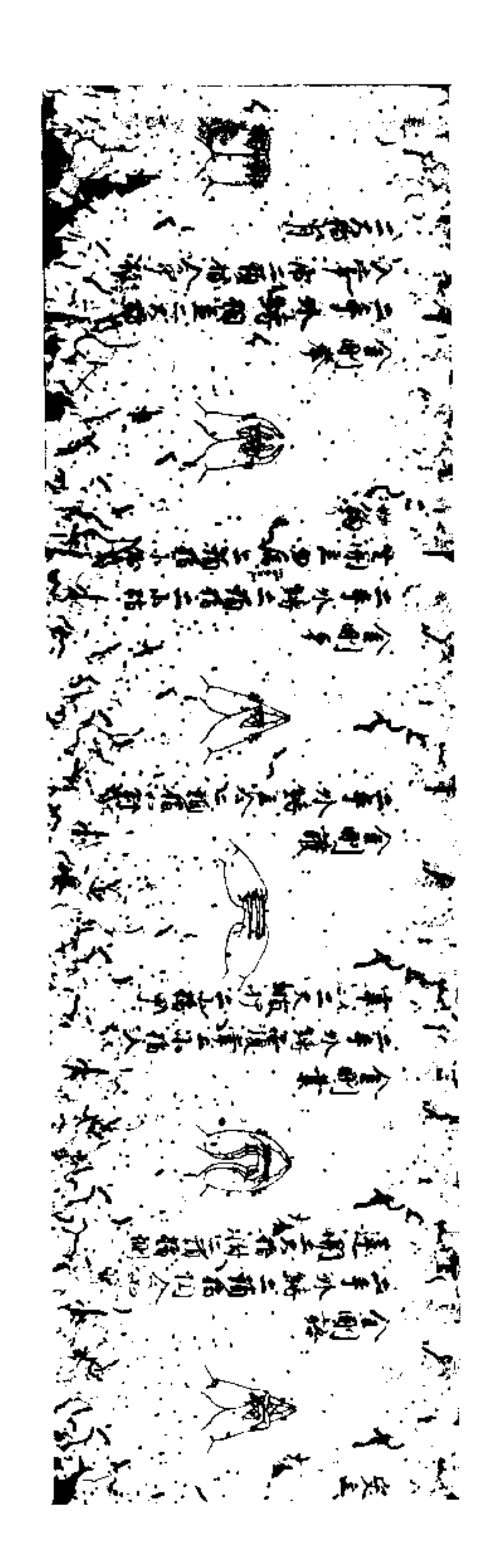
圖像 No. 120, 阿閦　圖像 No. 121, 寶生　圖像 No. 122, 觀自在王　圖像 No. 123, 不空成就　四波羅蜜（圖省略）



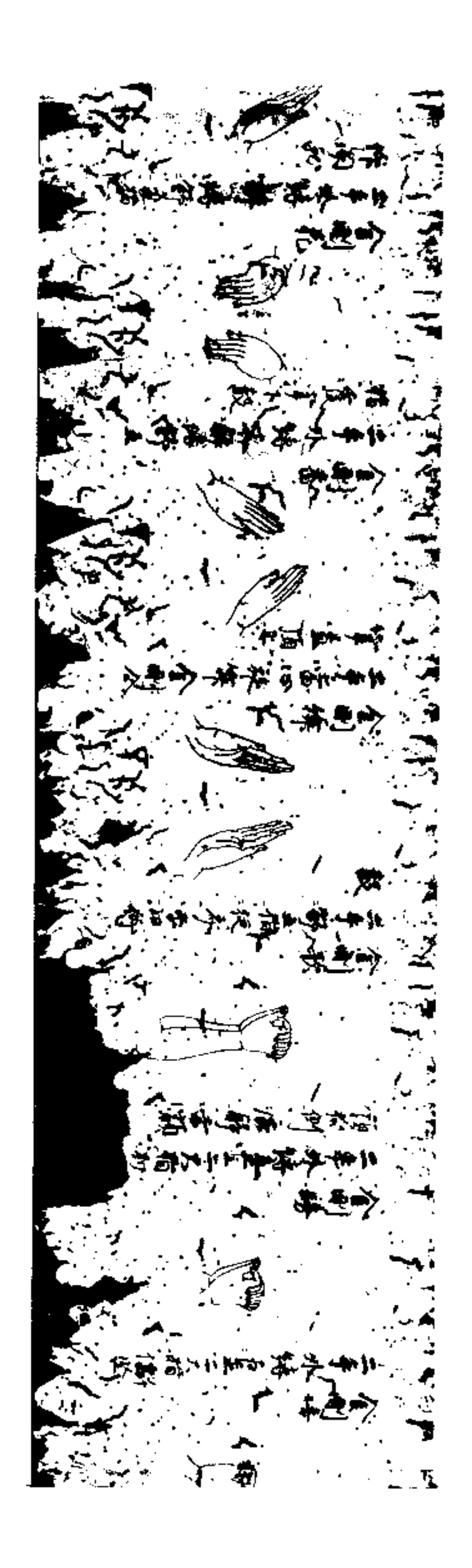
圖像 No. 124. 金剛薩埵　圖像 No. 125. 金剛王　圖像 No. 126. 金剛愛　圖像 No. 127. 金剛喜　圖像 No. 128. 金剛寶　圖像 No. 129. 金剛光



圖像 No. 130、金剛幢　圖像 No. 131、金剛笑　圖像 No. 132、金剛法　圖像 No. 133、金剛利

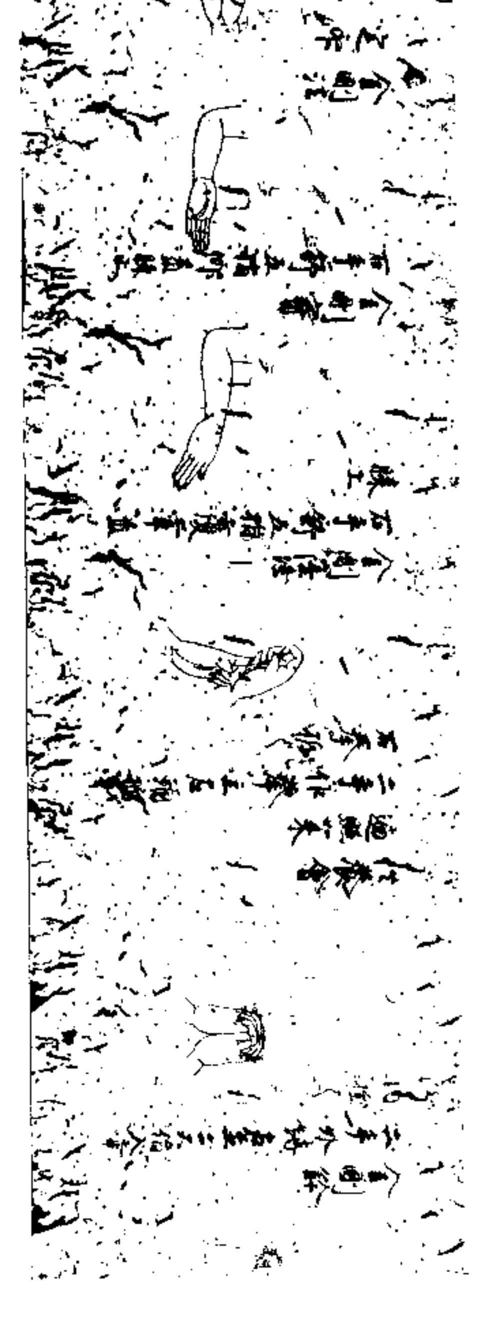


圖像 No. 134、金剛因　圖像 No. 135、金剛語　圖像 No. 136、金剛業　圖像 No. 137、金剛護　圖像 No. 138、金剛牙
圖像 No. 139、金剛拳

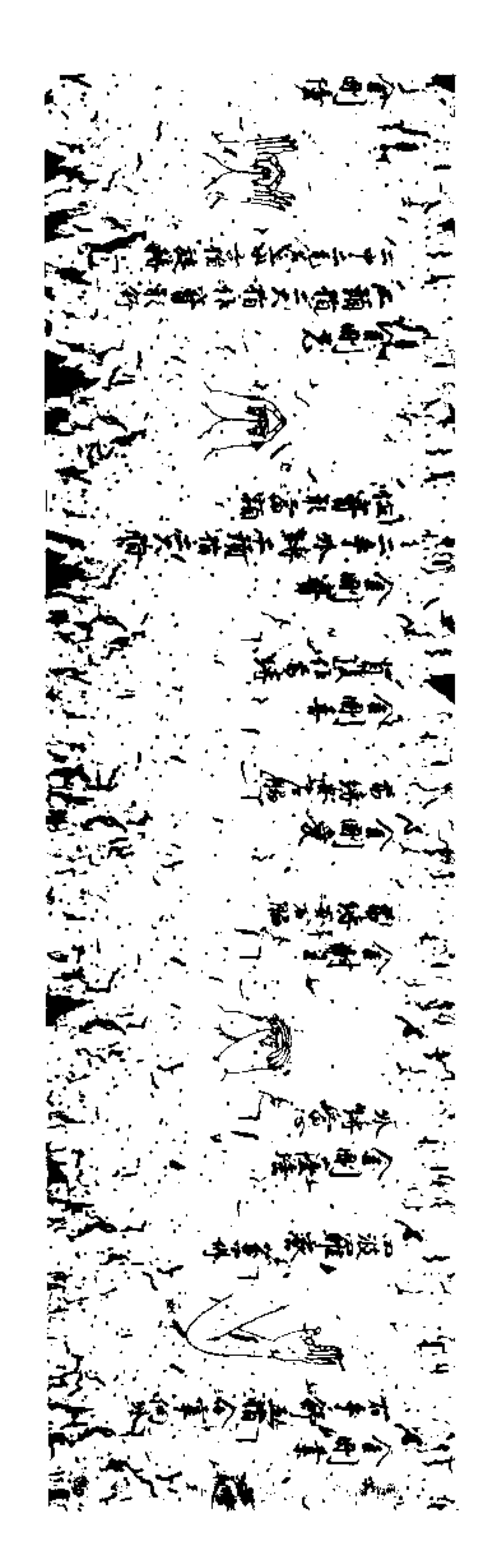


圖像 No. 140. 金剛嬉　圖像 No. 141. 金剛鬘　圖像 No. 142. 金剛歌　圖像 No. 143. 金剛舞　圖像 No. 144. 金剛香

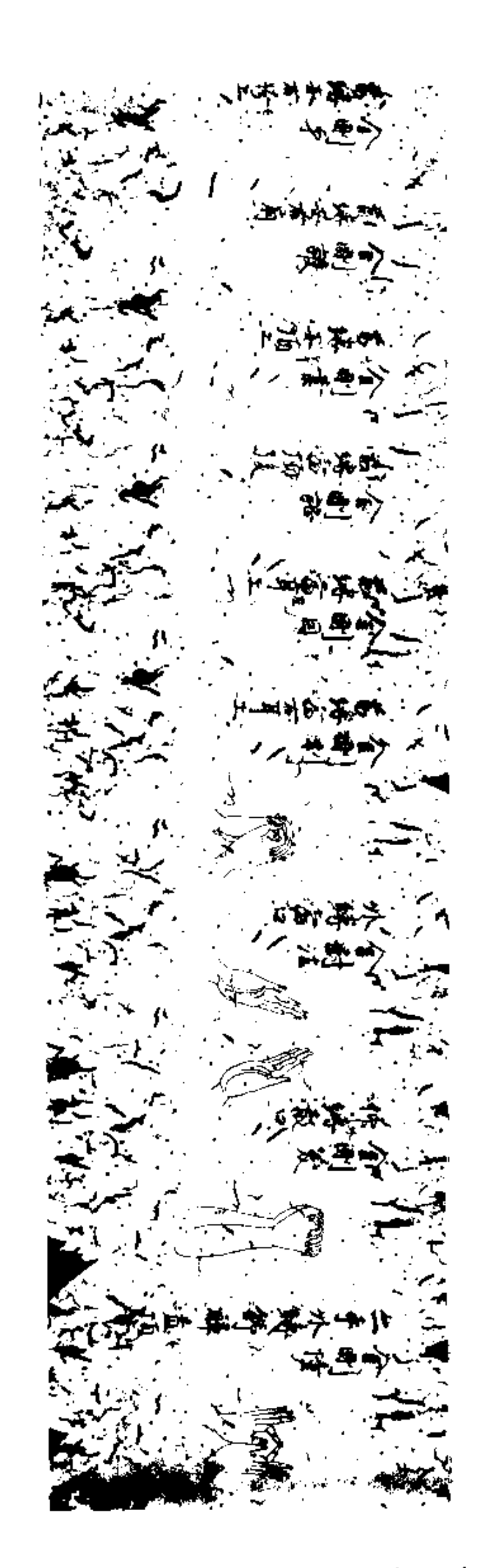
圖像 No. 145. 金剛花　圖像 No. 146. 金剛燈　圖像 No. 147. 金剛塗　圖像 No. 148. 金剛鈎　圖像 No. 149. 金剛索
圖像 No. 150. 金剛鎖



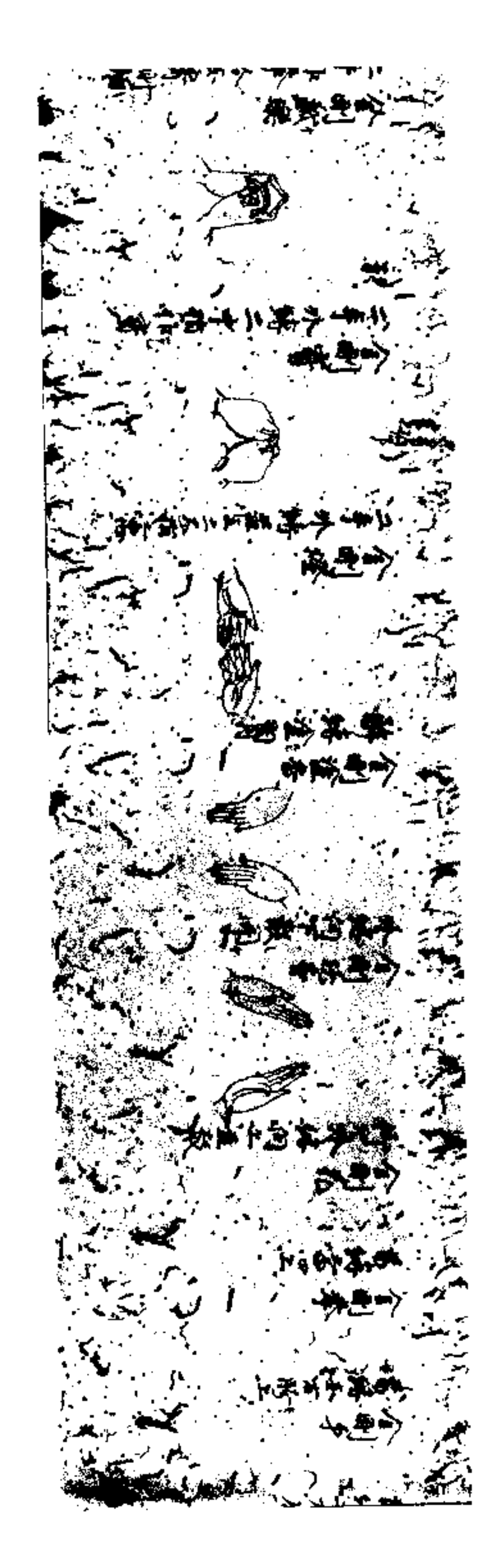
圖像 No. 151、金剛鈴　圖像 No. 152、〔供養會〕遍照如來　圖像 No. 153、金剛薩埵　圖像 No. 154、金剛寶　圖像 No. 155、金剛法



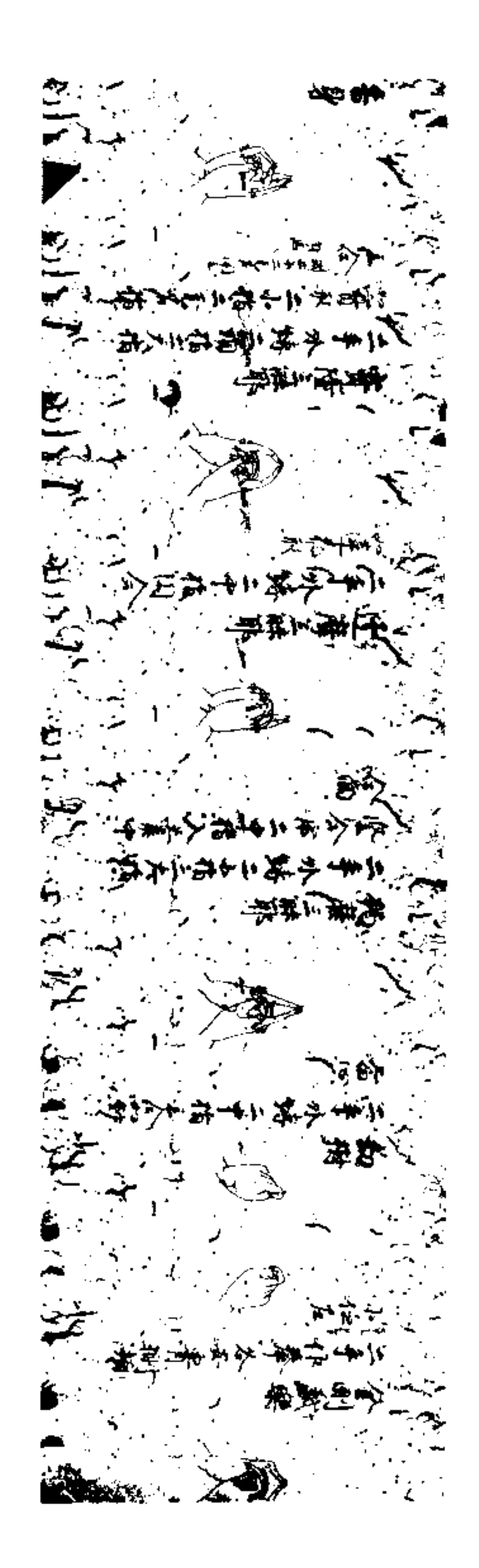
圖像 No. 156. 金剛業　四波羅蜜（圖省略）　圖像 No. 157. 金剛薩埵　金剛王（圖省略）　金剛愛（圖省略）　金剛喜（圖省略）　圖像 No. 158. 金剛寶　圖像 No. 159. 金剛光



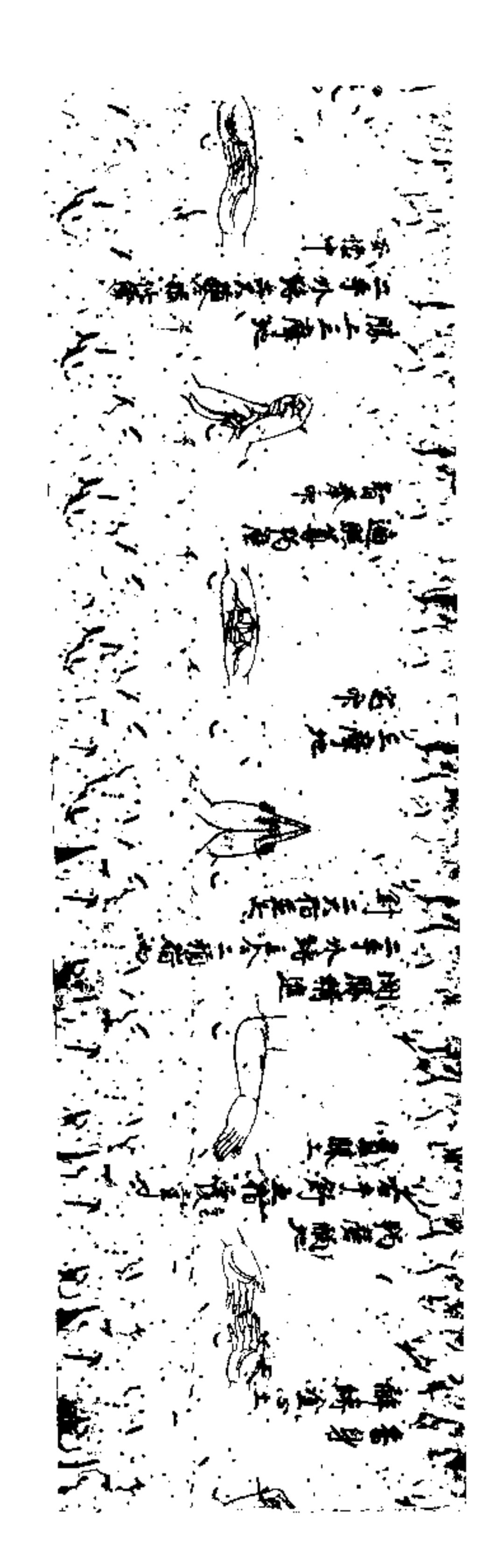
圖像 No. 160. 金剛幢　圖像 No. 161. 金剛笑　圖像 No. 162. 金剛法　金剛利（圖省略）　金剛因（圖省略）　金剛語（圖省略）　金剛業（圖省略）　金剛護（圖省略）



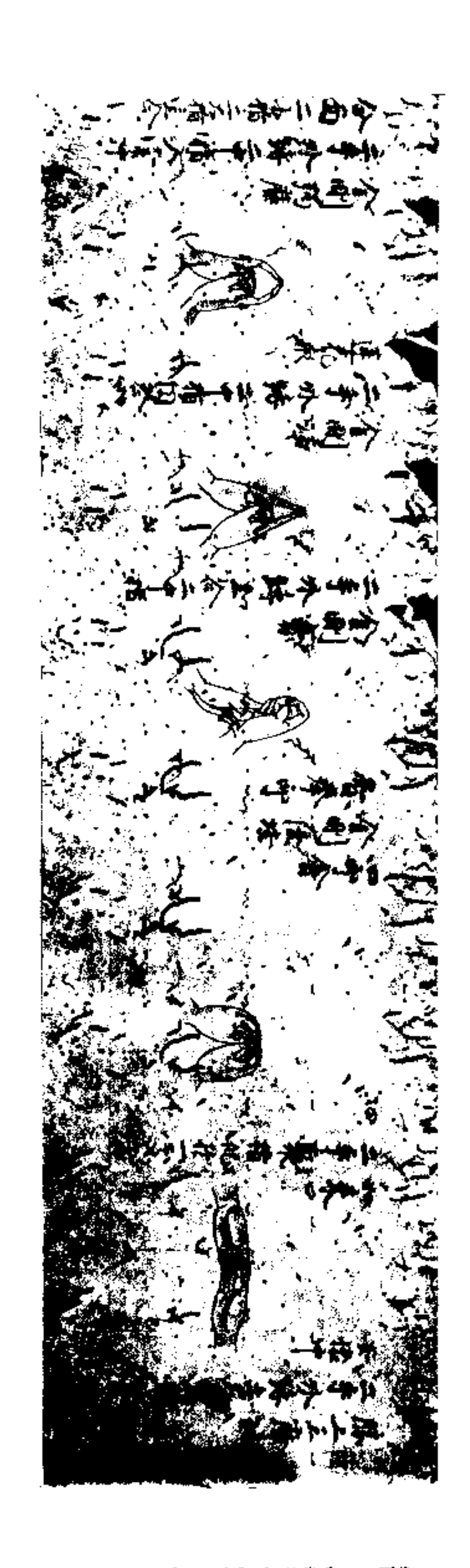
金剛牙（圖省略）　金剛拳（圖省略）　圖像 No. 163、金剛花　圖像 No. 164、金剛燒香　圖像 No. 165、金剛塗香
圖像 No. 166、金剛燈　圖像 No. 167、金剛寶



圖像 No. 168、金剛歡樂寶幢三昧耶　圖像 No. 169、劫樹　圖像 No. 170、踊躍三昧耶　圖像 No. 171、達磨三昧耶　圖像 No. 172、



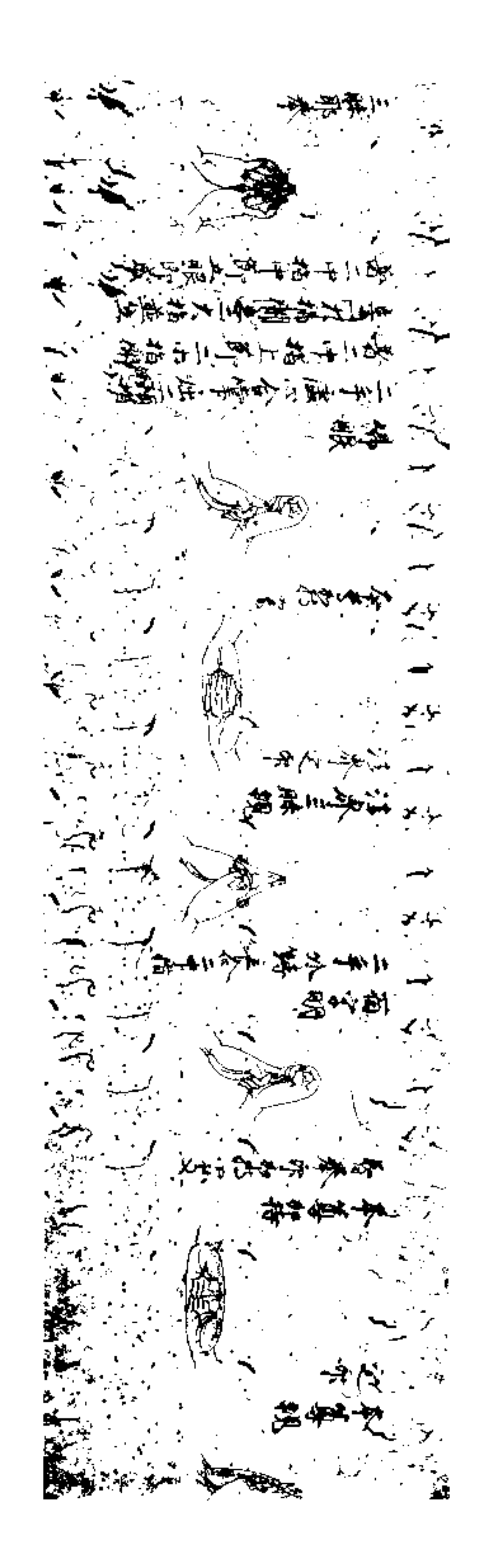
圖像 No. 173、吞身　圖像 No. 174、羯磨觸地　圖像 No. 175、闘勝精進　圖像 No. 176、三摩地　圖像 No. 177、遍照尊羯磨　圖像 No. 178、勝上三摩地



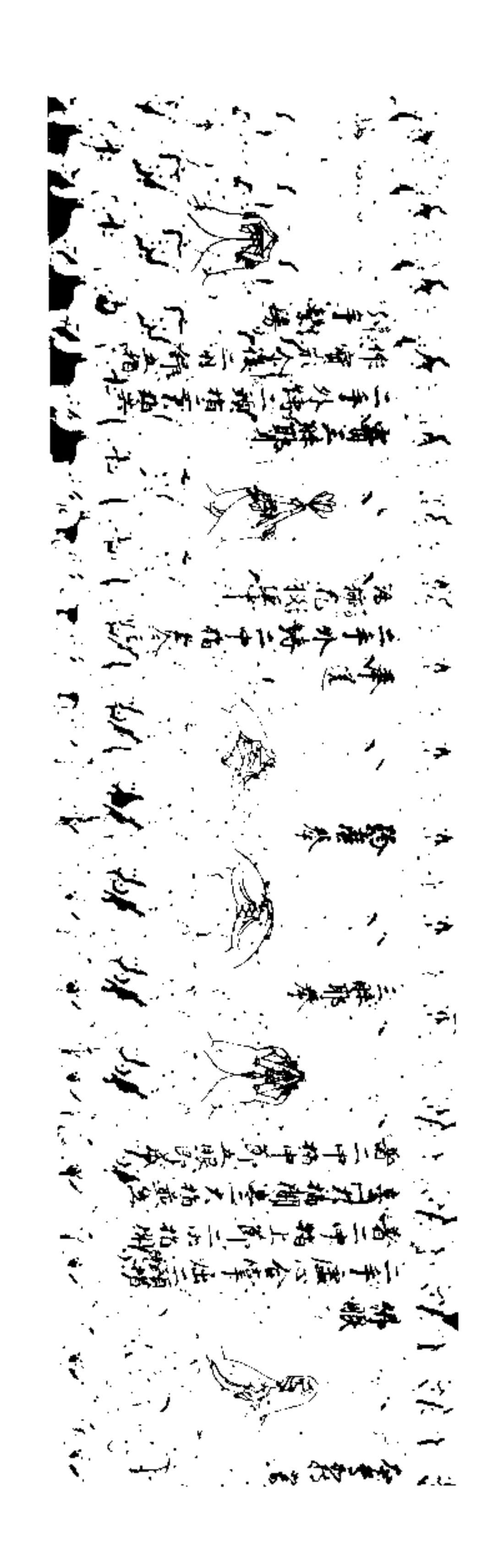
圖像 No. 179. 如來门　圖像 No. 180. 〔四印會〕金剛薩埵　圖像 No. 181. 金剛寶　圖像 No. 182. 金剛法



圖像 No. 183. 金剛羯磨　圖像 No. 184.［一印會］智拳印　圖像 No. 185. 四智讃　圖像 No. 186. 普供養　圖像 No. 187. 三力祈願禮佛



圖像 No. 188．本尊觀　圖像 No. 189．本尊加持　圖像 No. 190．百字明　圖像 No. 191．法界三昧觀　圖像 No. 192．本尊加持　圖像 No. 193．佛眼

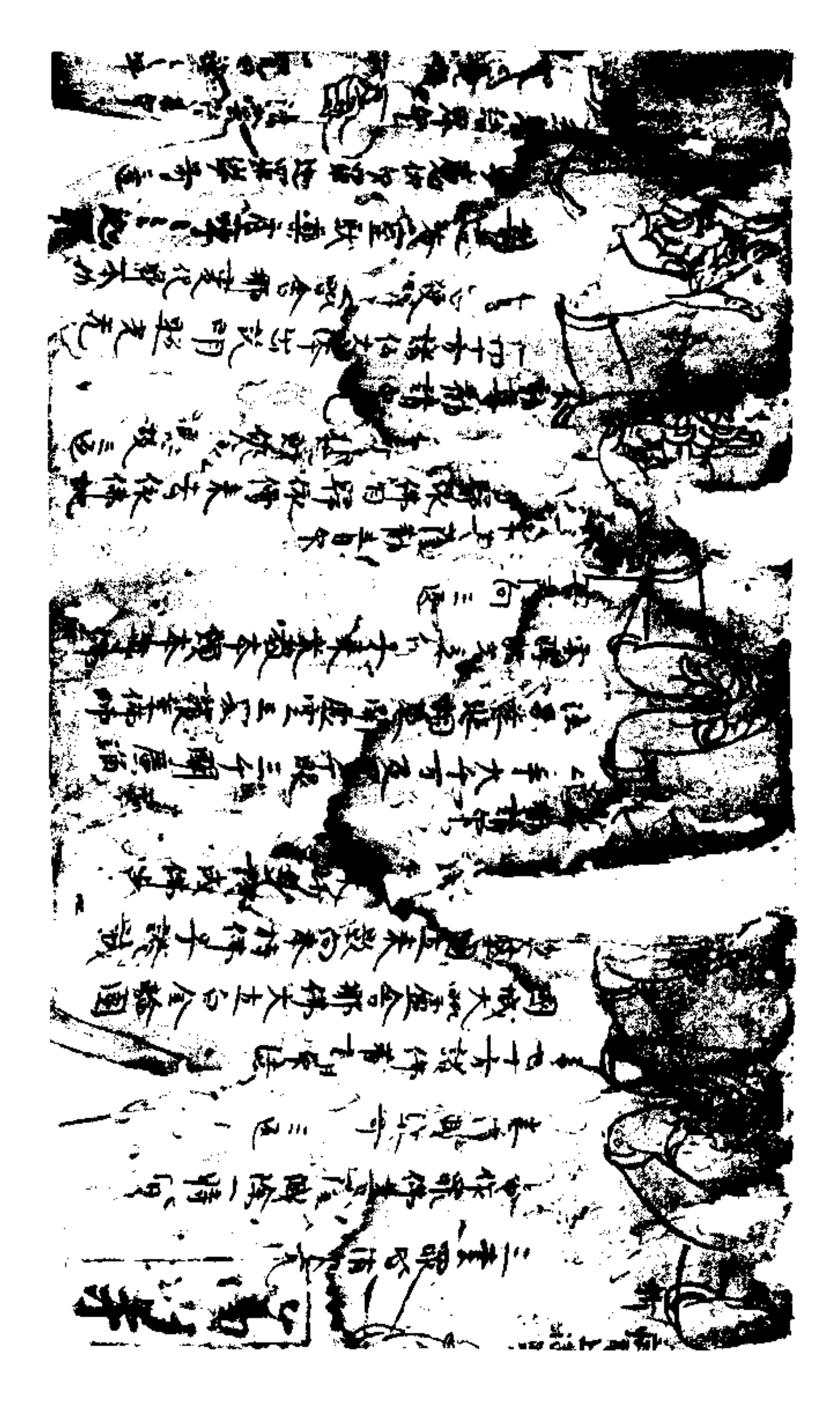


圖像 N.. 194. 三昧耶拳　圖像 No. 195. 堝䃎拳　圖像 No. 196. 奉送　圖像 No. 197. 寶三昧耶

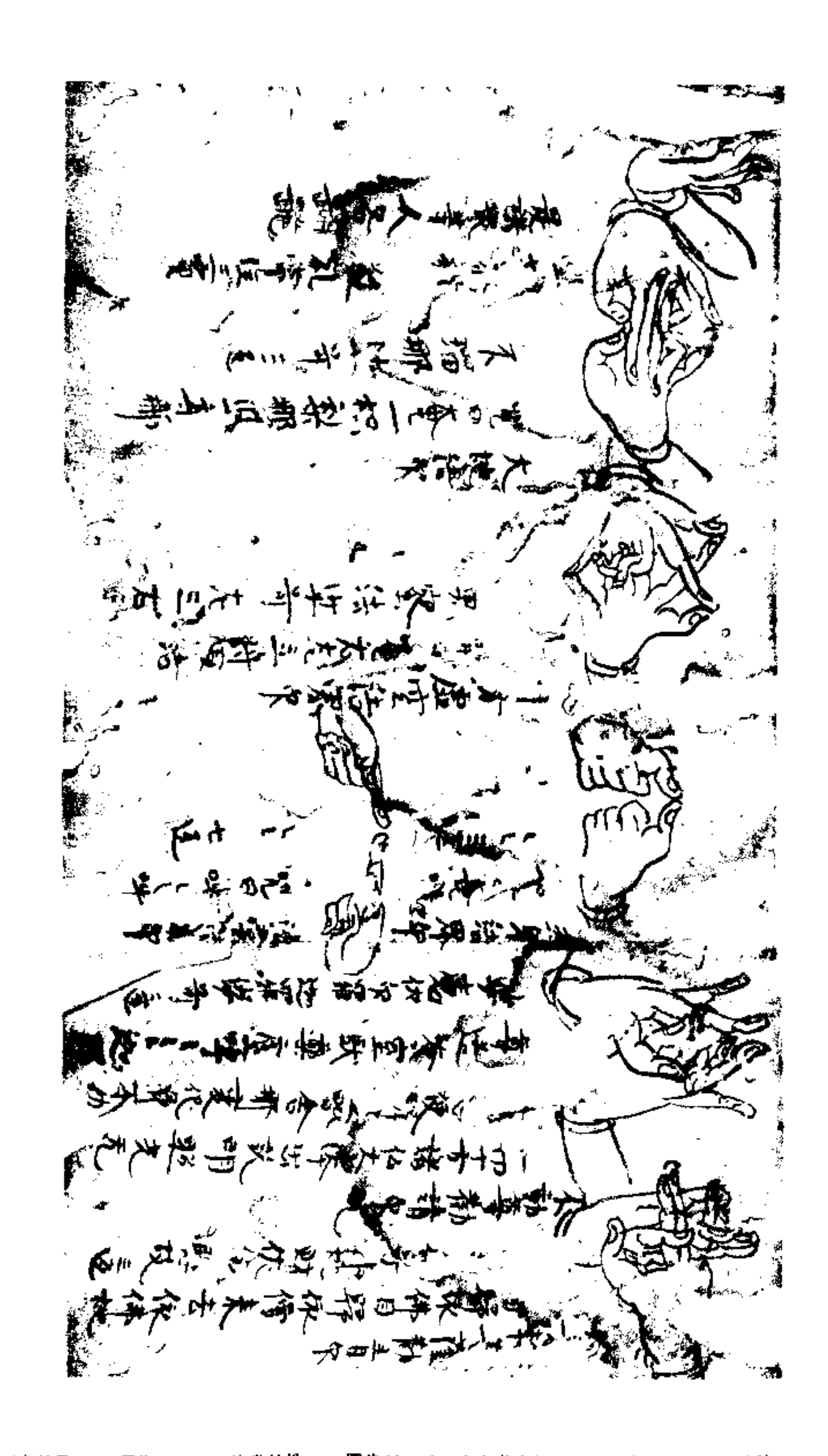
印圖



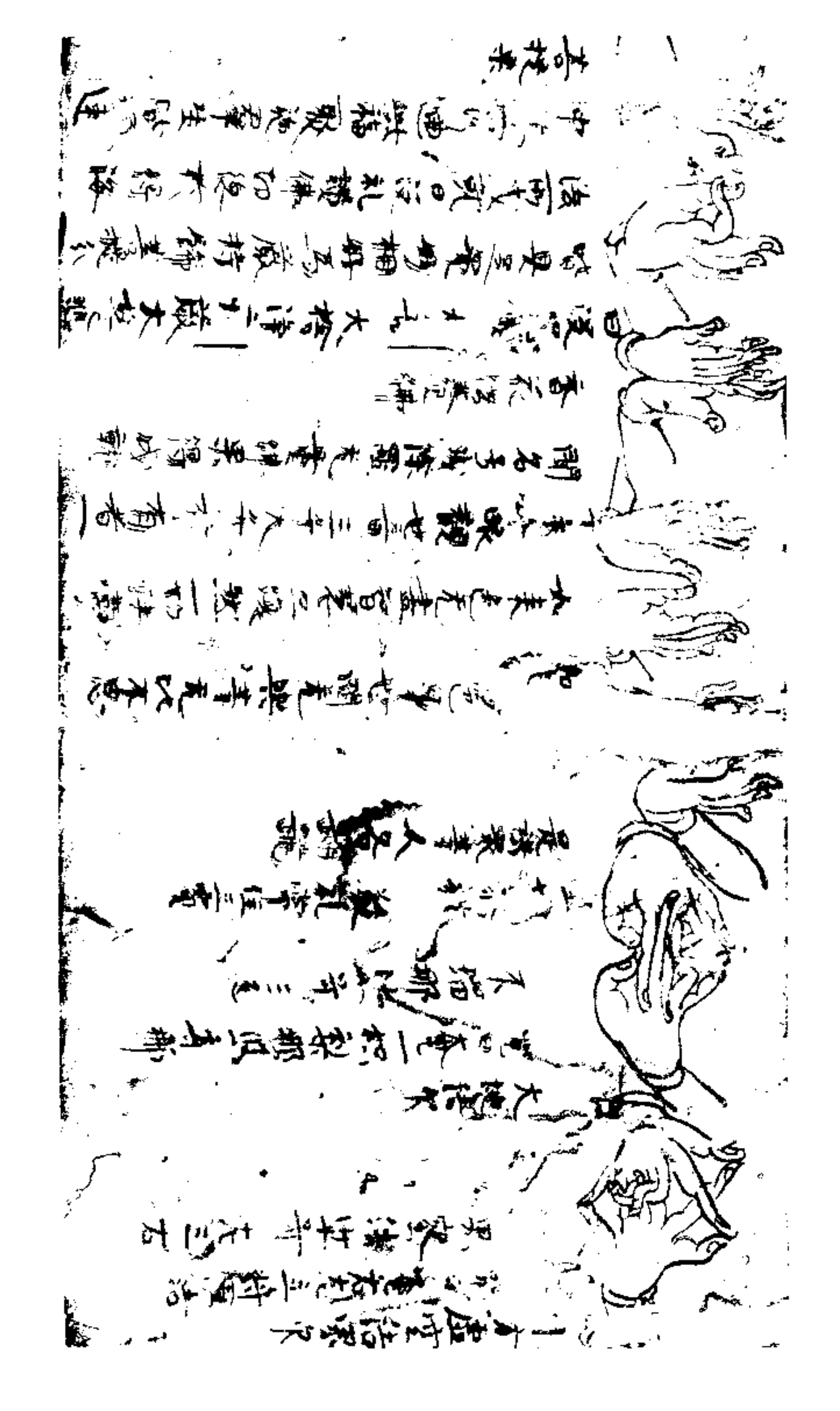
圖像 No.1. 淨三業（上） 圖像 No.2. 普禮（下） 圖像 No.3. 千手護身（上） 圖像 No.4. 如意輪菩薩護身（下） 圖像 No.5. 不動尊護身（上） 圖像 No.6. 識界罪滅（下） 圖像 No.7. 無識界罪滅（上） 圖像 No.8. 欲界罪滅（下）



圖像 No. 9．三業罪皆消　圖像 No. 10．三世十方諸佛勸請　圖像 No. 11．千手勸請　圖像 No. 12．如意輪菩薩勸請　圖像 No. 13．不動尊勸請



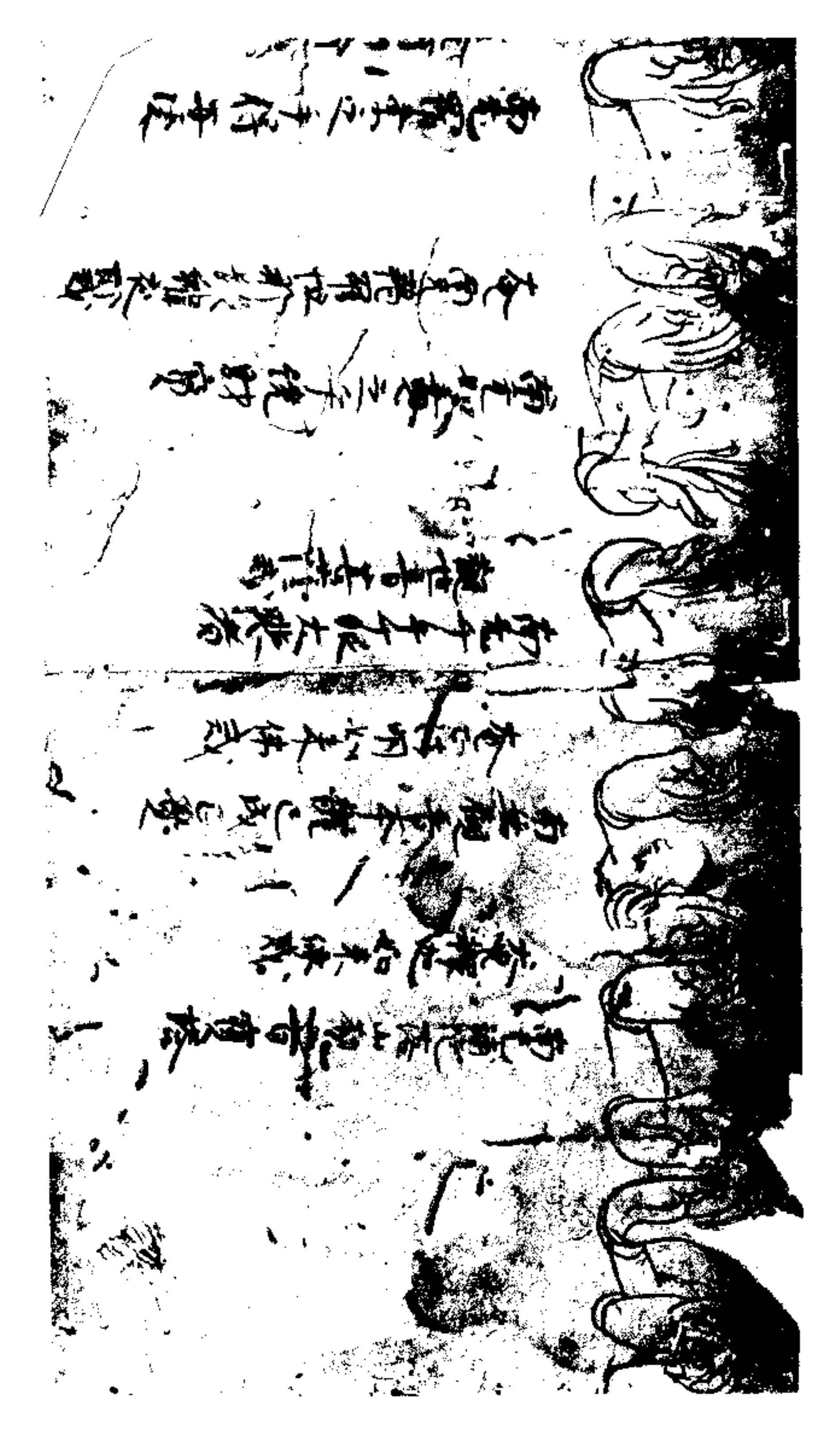
圖像 No. 14. 五身結界　圖像 No. 15. 法堂結界　圖像 No. 16. 十方虛空結界　圖像 No. 17. 大地結界



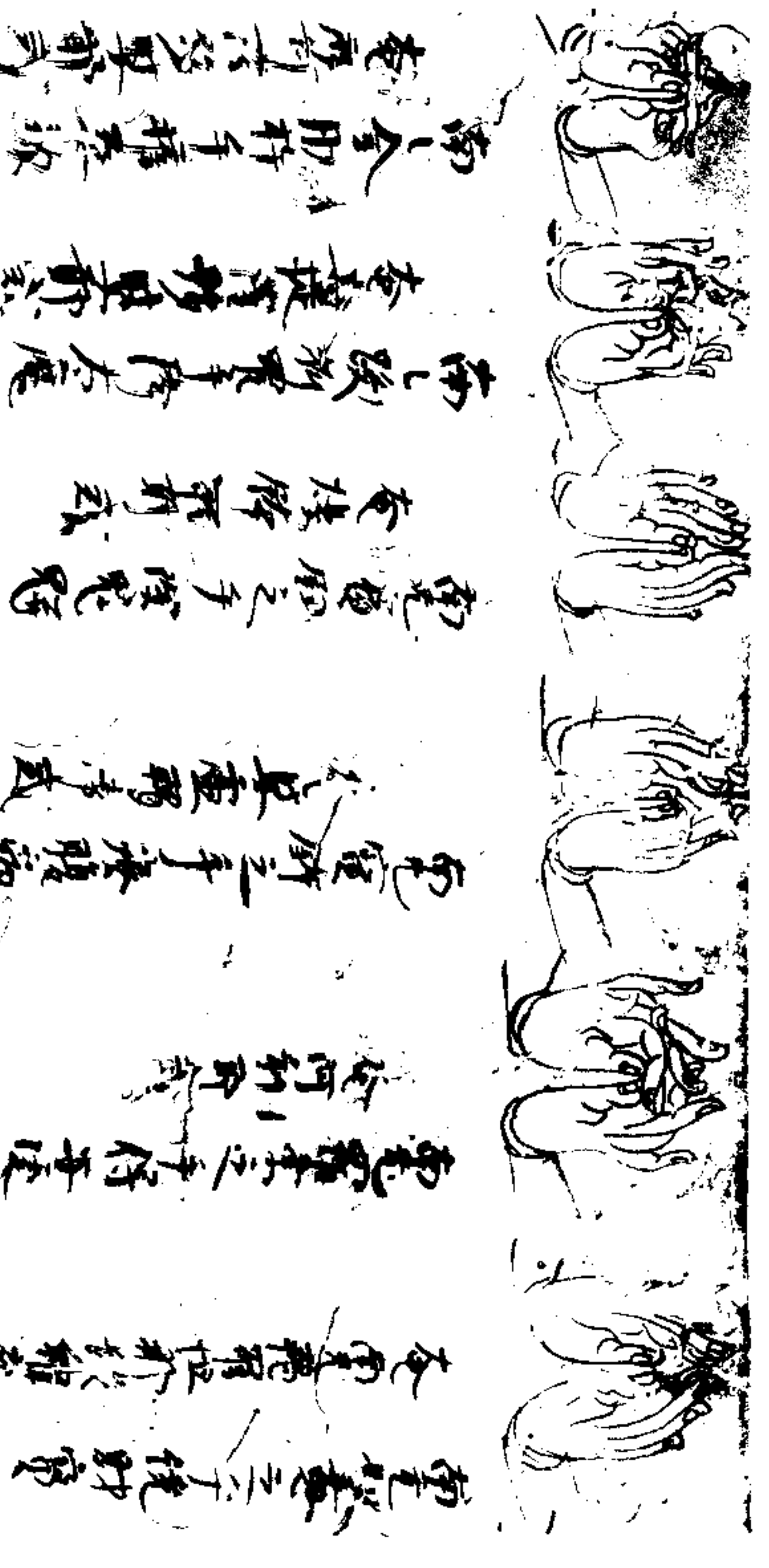
圖像 No. 18. 一切恭禮　圖像 No. 19. 如來妙色身　圖像 No. 20. 千手千眼觀世音　圖像 No. 21. 日沒呪願

圖像 No. 22. 初夜呪願　圖像 No. 23. 半夜呪願　圖像 No. 24. 晨朝呪願　圖像 No. 25. 後夜呪願　圖像 No. 26. 日中呪願

圖像No. 27. 南無清淨法界體性智　圖像No. 28. 南無金剛堅固圓鏡智　圖像No. 29. 南無福德莊嚴平等智　圖像No. 30. 南無智慧莊嚴觀察智　圖像No. 31. 南無作變化身成所智



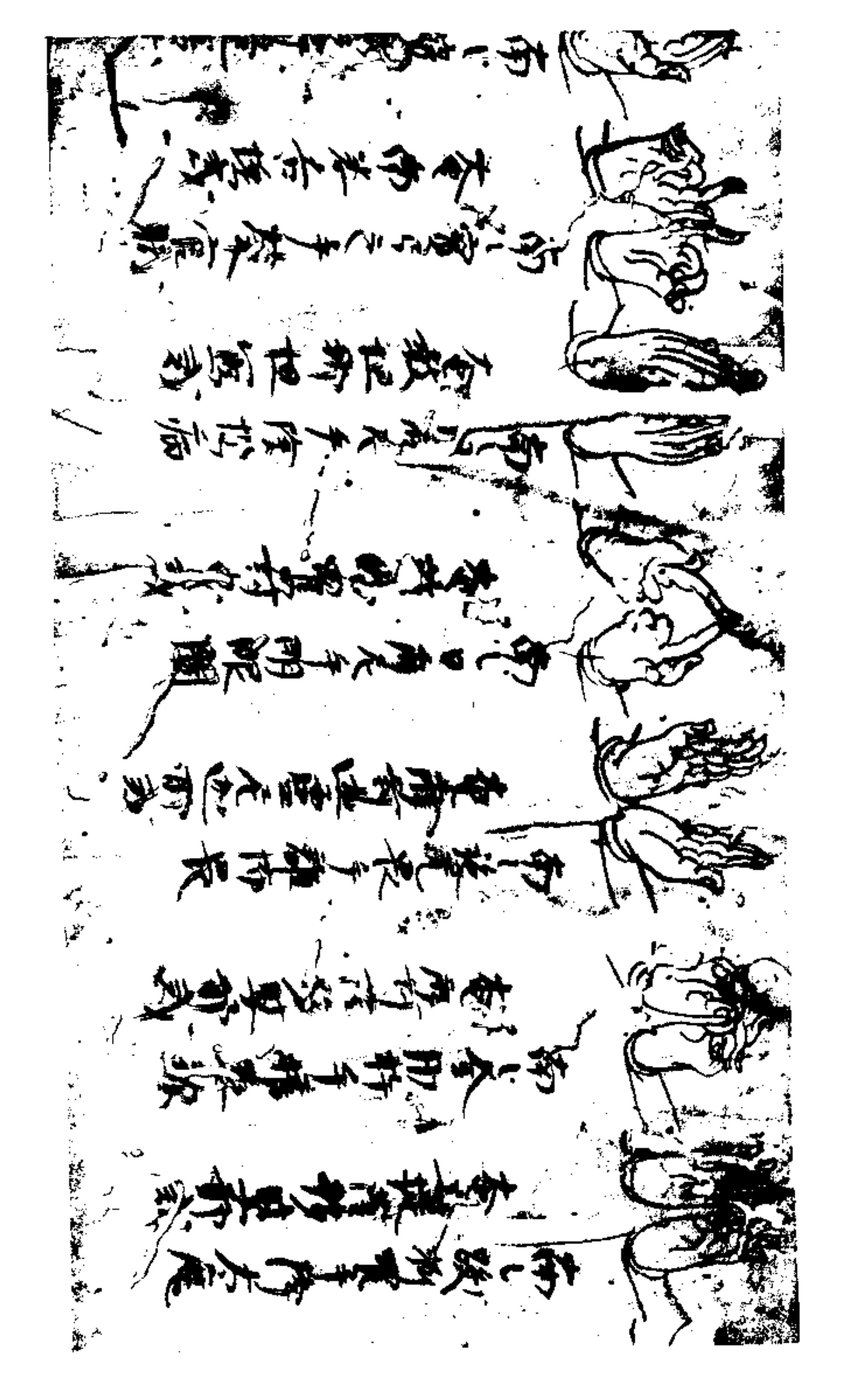
圖像 No. 32. 南無補陀落山觀音寶塔　圖像 No.33. 南無觀音本體已成已覺　圖像 No.34. 南無千手千眼大悲者　圖像 No. 35. 南無如意之手繞財寶



圖像 No. 36、南無羂索之手得安穩　圖像 No. 37、南無寶鉢之手療腹病　圖像 No. 38、南無寶劍之手除鬼魅　圖像 No. 39、南無跋折羅手降大魔

印

圖



圖像 No. 40. 南無金剛杵手摧怨敵　圖像 No. 41. 南無施無畏手離怖畏　圖像 No. 42. 南無日摩尼手明眼闇　圖像 No. 43. 南無月摩尼手除惱病　圖像 No. 44. 南無寶弓之手榮官職

二



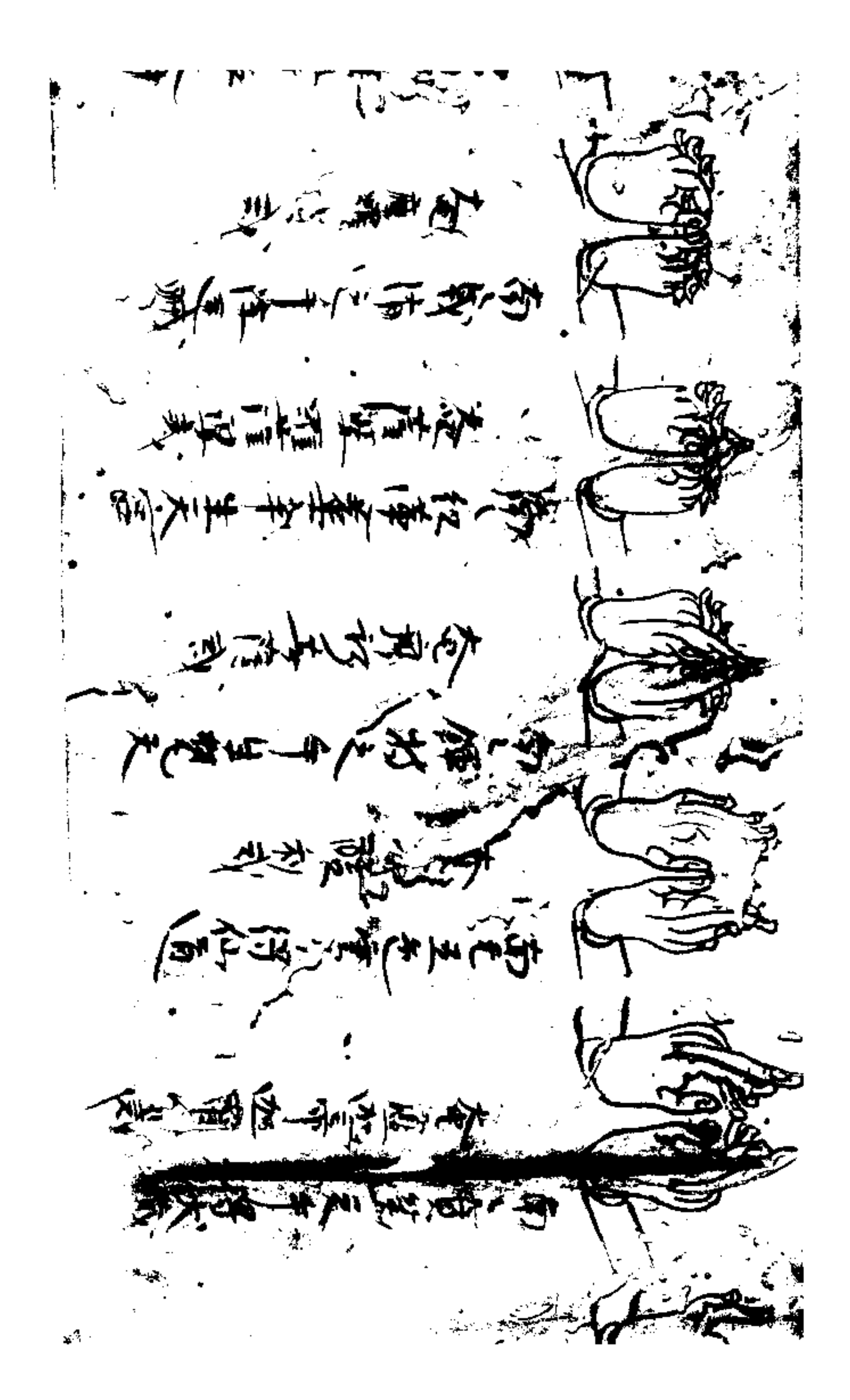
圖像 No. 45．南無寶鏡之手逢善友　圖像 No. 46．南無楊柳之手治萬病　圖像 No. 47．南無白拂之手除障難　圖像 No. 48．南無胡瓶之手和眷屬



圖像No.49．南無榜牌之手除惡獸　圖像No.50．南無鉞斧之手離官難　圖像No.51．南無玉環之手多僕使　圖像No.52．南無白蓮華手滿功德



圖像 No. 53. 南無青蓮華手生淨土　圖像 No. 54. 南無寶鏡之手開慧眼　圖像 No. 55. 南無紫蓮華手見諸佛



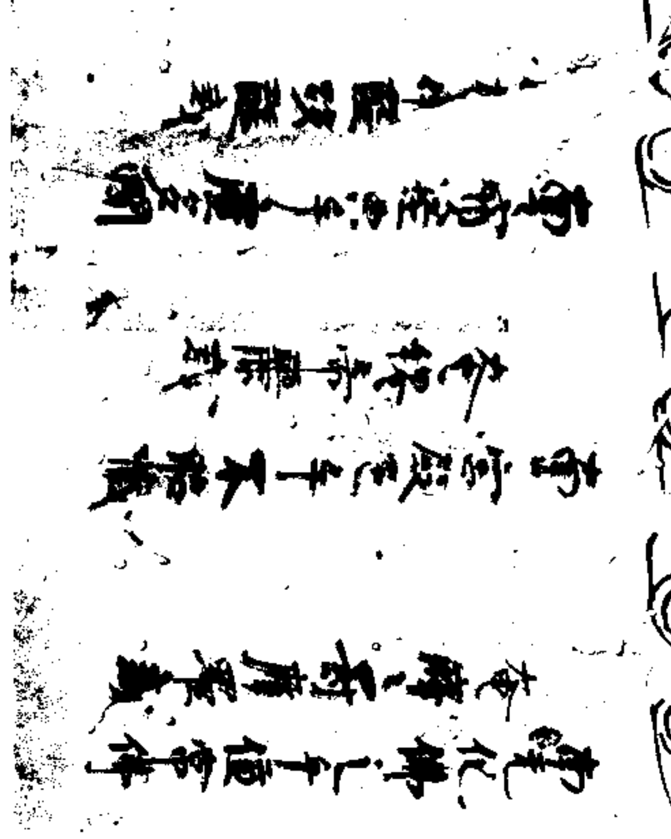
圖像 No. 56. 南無寶篋之手得伏藏　圖像 No. 57. 南無五色雲手得仙道　圖像 No. 58. 南無鍕持之手生梵天　圖像 No. 59. 南無紅蓮華手生天宮　圖像 No. 60. 南無戟矟之手除逆賊



圖像 No. 61．南無寶螺之手呼天神　圖像 No. 62．南無髑髏之手令鬼神　圖像 No. 63．南無數珠之手授佛手　圖像 No. 64．南無寶鐸之手梵音聲



圖像 No. 65. 南無寶印之手言[illegible]　圖像 No. 66. 南無鐵鈎之手龍神護　圖像 No. 67. 南無錫杖之手慈悲護



圖像 No. 68．南無合掌之手爲敬愛無寶經典手廣多聞　圖像 No. 69．南無化佛之手値常佛　圖像 No. 70．南無宮殿之手不胎藏　圖像 No. 71．南

印

圖



圖像 No. 72. 南無金剛輪之手不退轉　圖像 No. 73. 南無頂上之手得授記　圖像 No. 74. 南無蒲桃之手成五穀　圖像 No. 75. 南無普聞無數諸三昧　圖像 No. 76. 南無千眼照見千手護持

一九

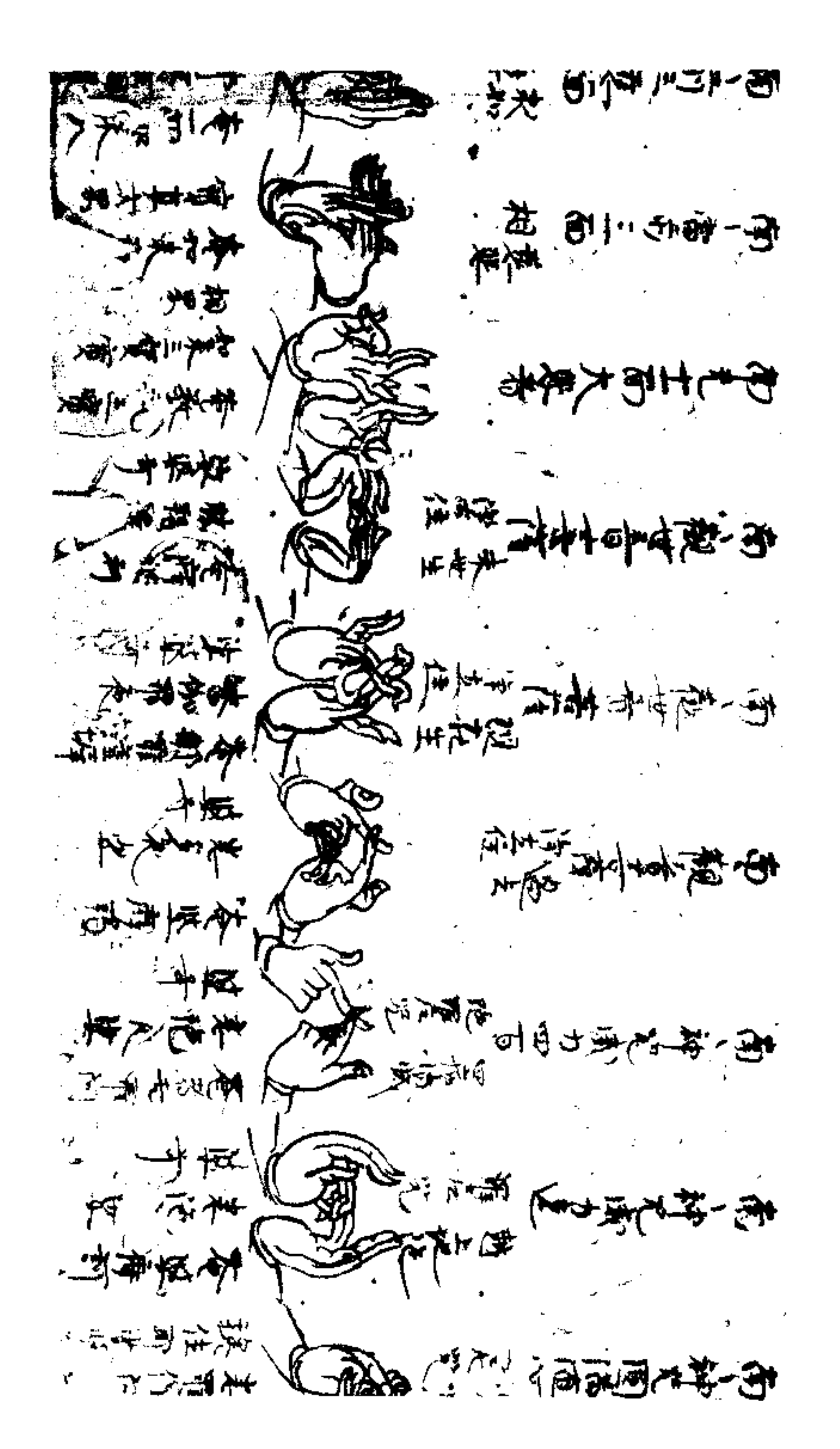


圖像 No. 77. 南無四十之手□祈願　圖像 No. 78. 南無□面大悲者　圖像 No. 79. 南無大悲謹念成所願　圖像 No. 80. 南無大悲觀世音願我速知一切法　圖像 No. 81. 南無大悲觀世音願我早得智慧眼

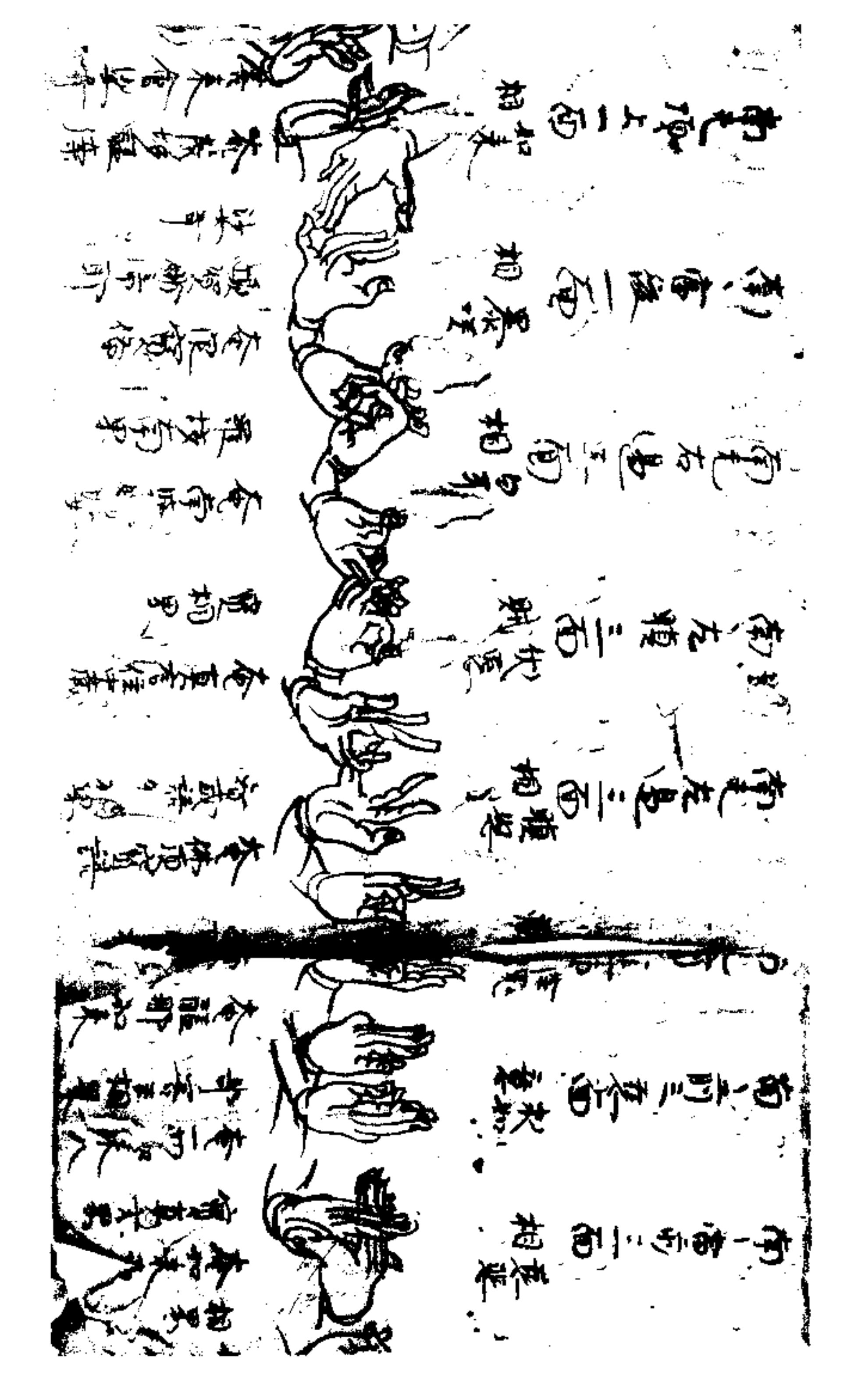
圖像 No. 82. 南無大悲觀世音願我速度一切衆　圖像 No. 83. 南無大悲觀世音願我早得善方便　圖像 No. 84. 南無大悲觀世音願我速乘般若船　圖像 No. 85. 南無大悲觀世音願我早得越苦海　圖像 No. 86. 南無大悲觀世音願我速得戒□藻　圖像 No. 87. 南無大悲觀世音願我早赴涅槃山

圖像 No. 88，南無大悲觀世音願我速會無爲舍　圖像 No. 89，南無大悲觀世音願我早同法性身　圖像 No. 90，我若向刀山刀山自摧□等　圖像 No. 91，南無神呪無礙大悲心陀羅尼

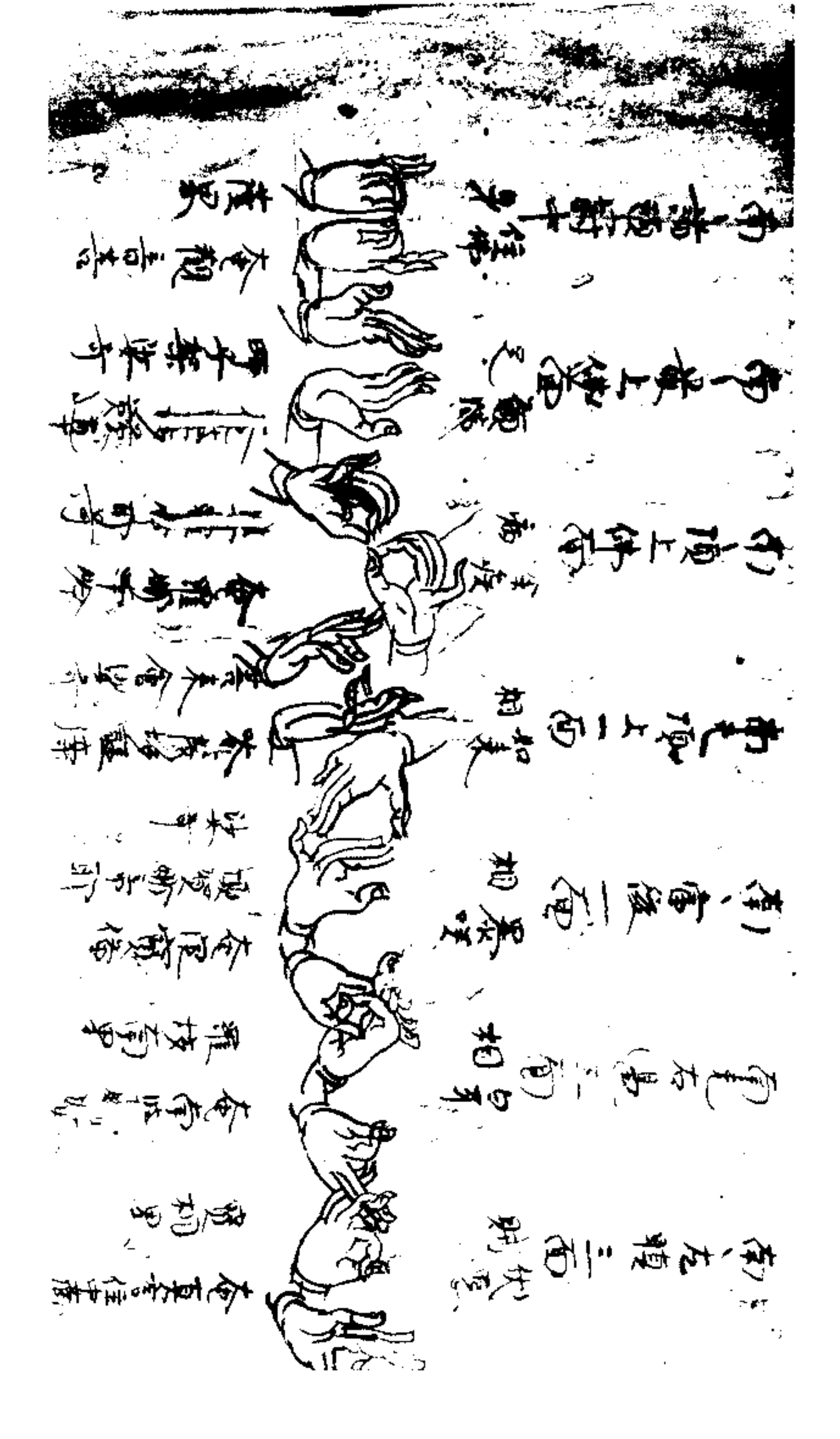
圖像 No. 92. 南無神呪圓滿能救苦陀羅尼　圖像 No. 93. 南無神呪廣大延壽陀羅尼　圖像 No. 94. 南無神呪圓滿破業障陀羅尼
圖像 No. 95. 南無神呪圓滿隨心自在陀羅尼呪　圖像 No. 96. 南無神呪威力速越上廂陀羅尼呪　圖像 No. 97. 南無神呪威力四百四病消滅陀羅尼呪



圖像 No. 98. 南無觀世音菩薩過去淨土住　圖像 No. 99. 南無觀世音菩薩現在生淨土住　圖像 No. 100. 南無觀世音菩薩未世生淨土住　圖像 No. 101. 南無十一面大悲者　圖像 No. 102. 南無當前三面慈悲相



圖像 No. 103．南無前三慈面求如意　圖像 No. 104．南無前[illegible]面除鬼病　圖像 No. 105．南無左邊三面瞋怒相　圖像 No. 106．南無左瞋三面伏怨賊　圖像 No. 107．南無右邊三面白牙相　圖像 No. 108．南無當後一面暴咲相　圖像 No. 109．南無頂上一面如來相

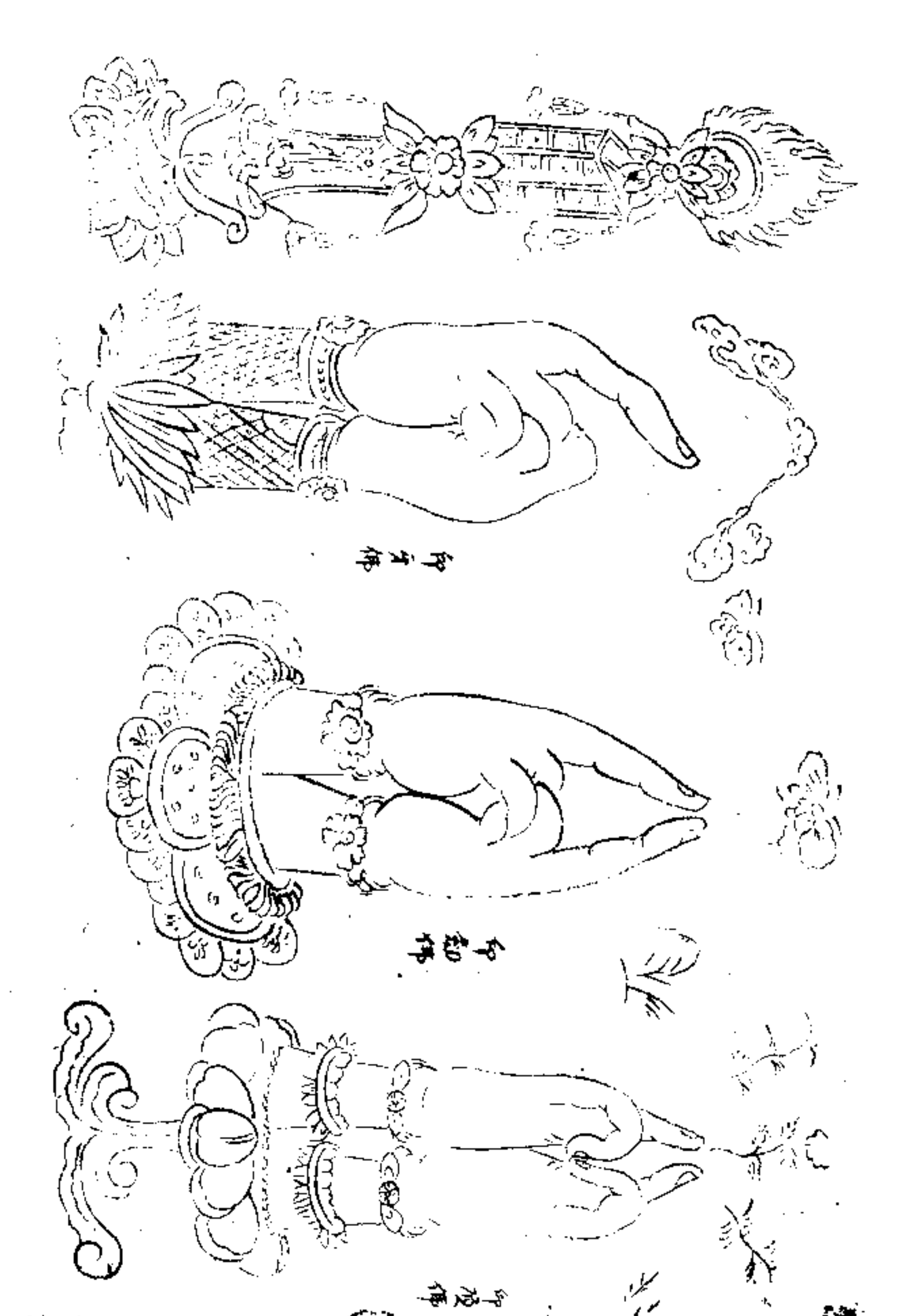


圖像 No. 110. 南無頂上佛面除疾病　圖像 No. 111. 南無最上佛面願滿足　圖像 No. 112. 南無諸頭冠中住佛身

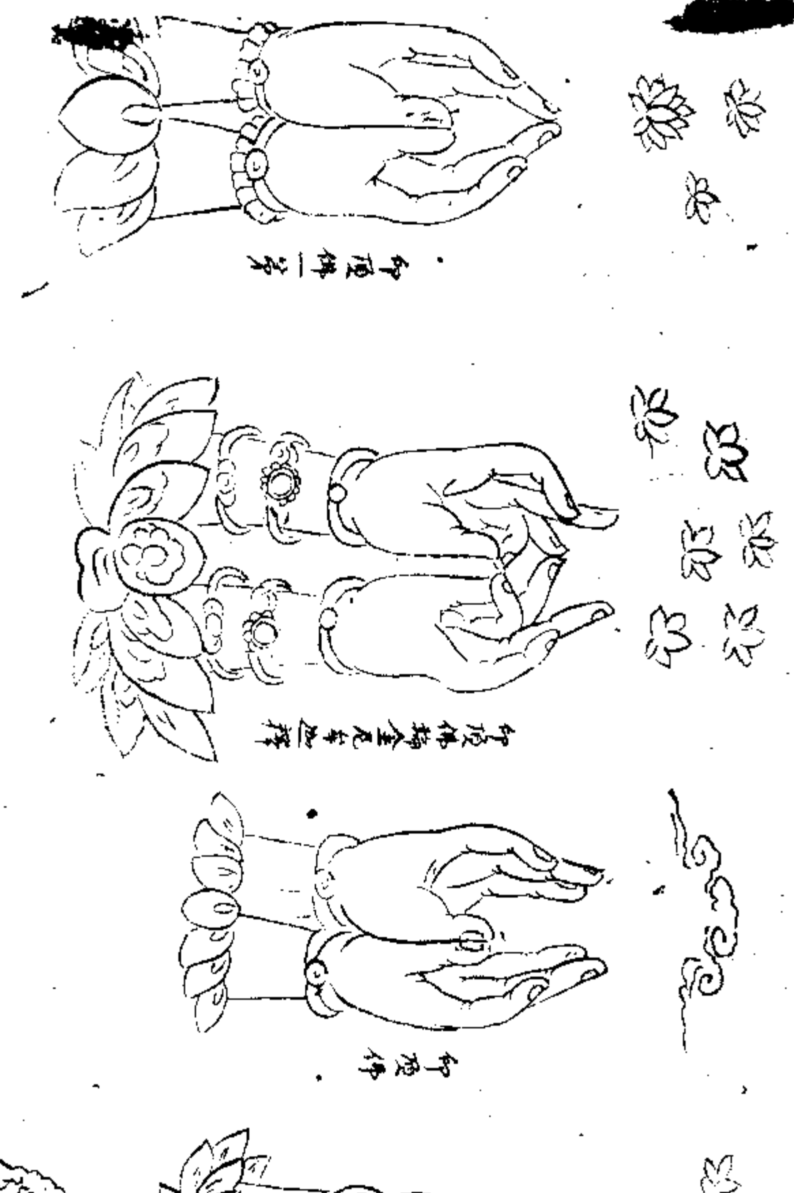
印圖

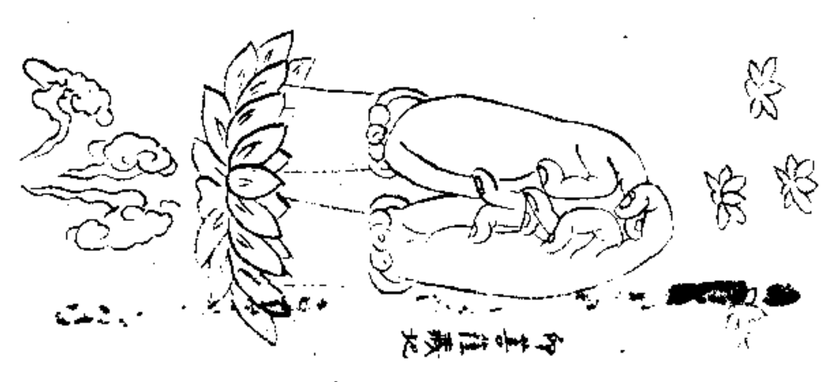
圖像 No. 1. 觀音護身印　　圖像 No. 2. 佛心印　　圖像 No. 3. 一切佛心印



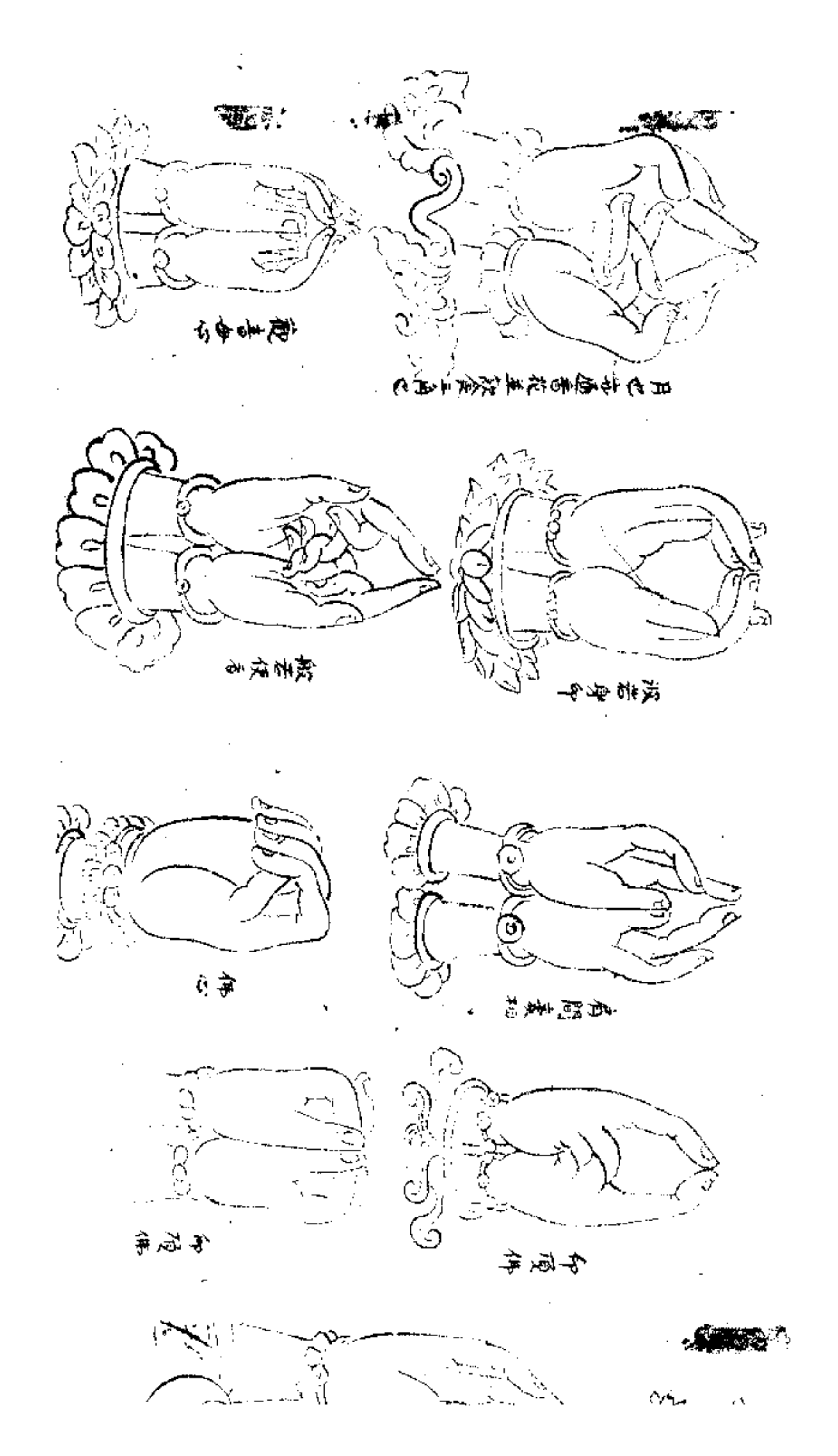


圖像No. 4、佛頂印　圖像No. 5、佛劍印　圖像 No.6、佛牙印　圖像No. 7、未詳

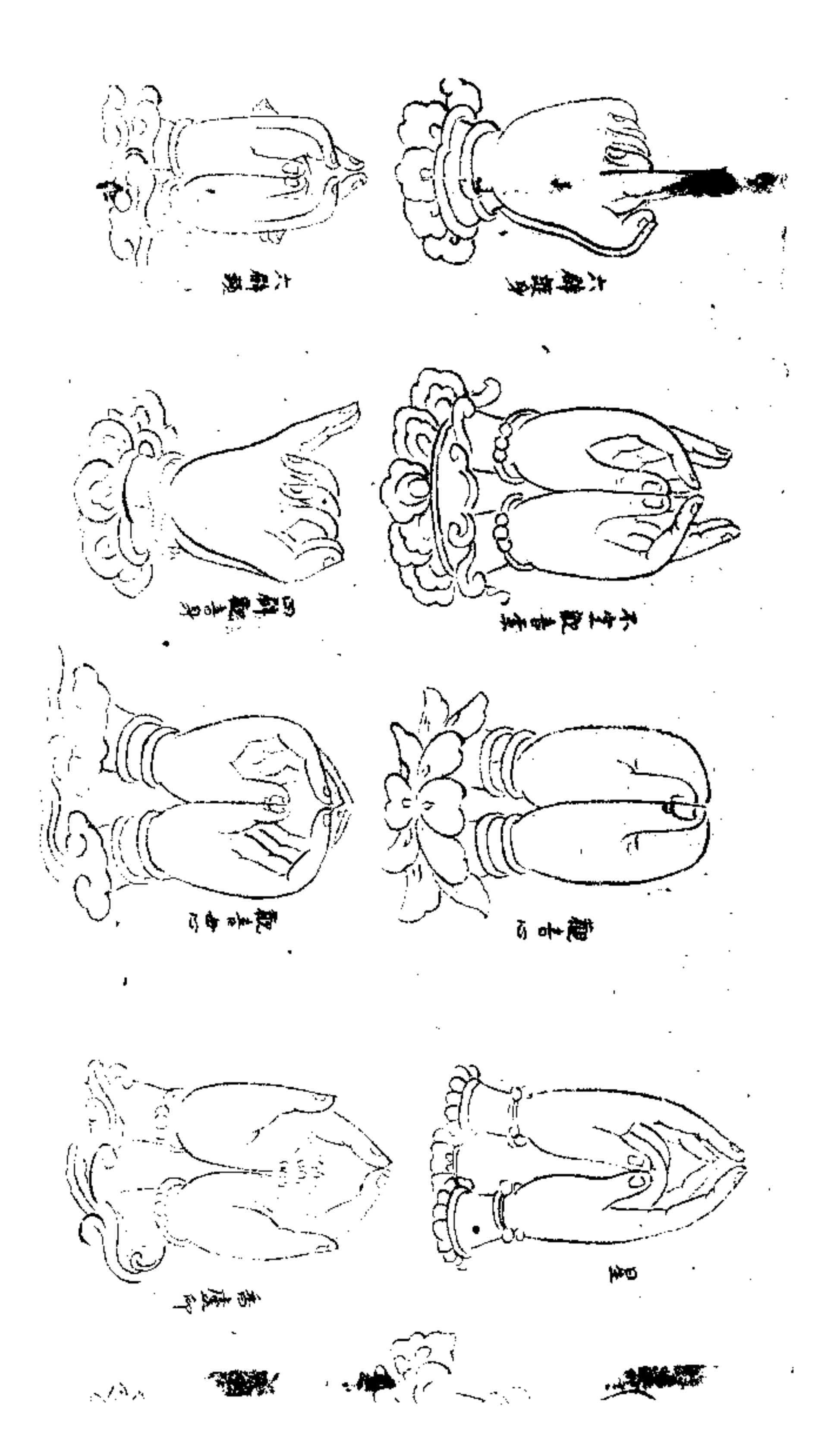




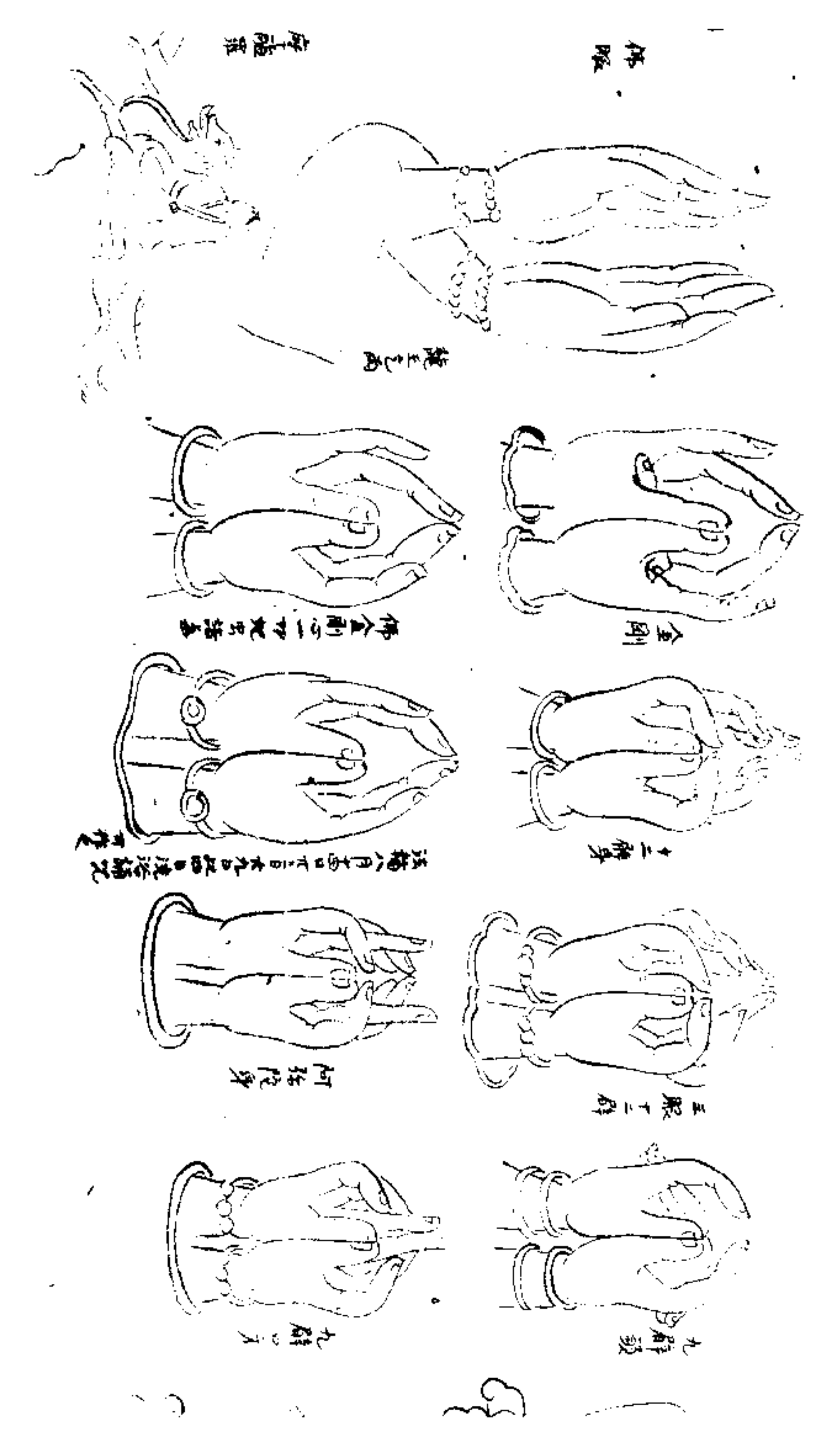
圖像 No.8. 地藏菩薩印　圖像 No.9. 佛頂印　圖像 No.10. 釋迦牟尼金輪佛頂印　圖像 No.11. 第一佛頂印



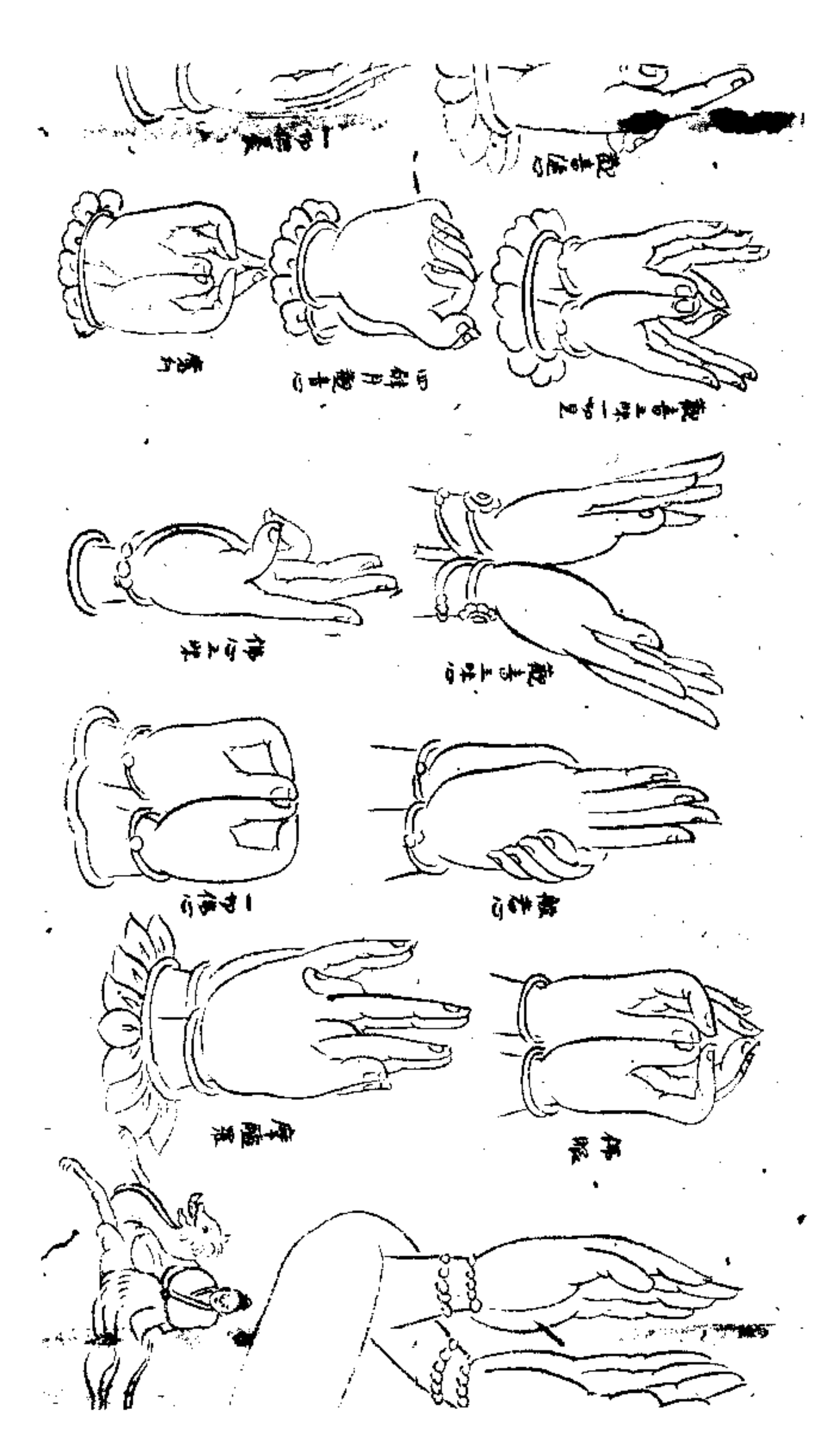
圖像 No. 12. 佛頂印（上）　圖像 No. 13. 佛頂印（下）　圖像 No. 14. 眉間毫相（上）　圖像 No. 15. 佛心（下）　圖像 No. 16. 般若身印（上）　圖像 No. 17. 般若使者（下）　圖像 No. 18. 月（上）　圖像 No. 19. 觀音母身（下）



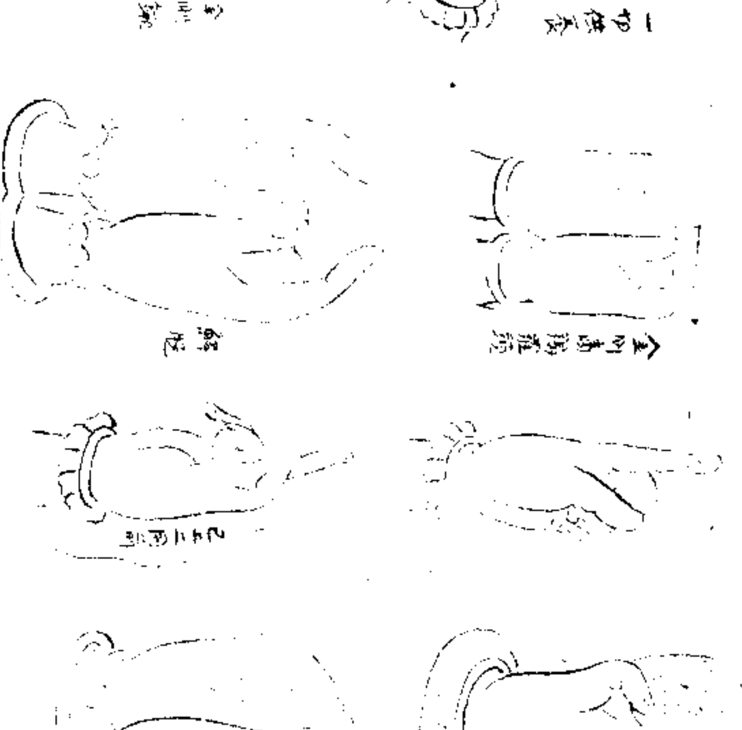
圖像 No. 20. 星（上）　圖像 No. 21. 香爐印（下）　圖像 No. 22. 觀音心（上）　圖像 No. 23. 觀音母心（下）　圖像 No. 24. 不空觀音索（上）　圖像 No. 25. 四臂觀音身（下）　圖像 No 26. 六臂護身（上）　圖像 No. 27. 六臂頭（下）



圖像No.28. 九臂頭（上）　圖像No.29. 九臂口牙（下）　圖像No.30. 三眼十二臂（上）　圖像No.31. 阿彌陀身（下）
圖像No.32. 十二臂身（上）　圖像No.33. 法輪（下）　圖像No.34. 金剛（上）　圖像No.35. 佛金剛心一切蛇蟲諸毒（下）
圖像No.36. 龍王乞雨



圖像 No.37．佛眼（上）　圖像 No.38．摩醯羅（下）　圖像 No.39．般若心（上）　圖像 No.40．一切佛心（下）　圖像 No.41．觀音三昧心（上）　圖像 No.42．佛心三昧（下）　圖像 No.43．觀音三昧一切見（上）　圖像 No.44．四臂月觀音心（中）　圖像 No.45．魔利（下）

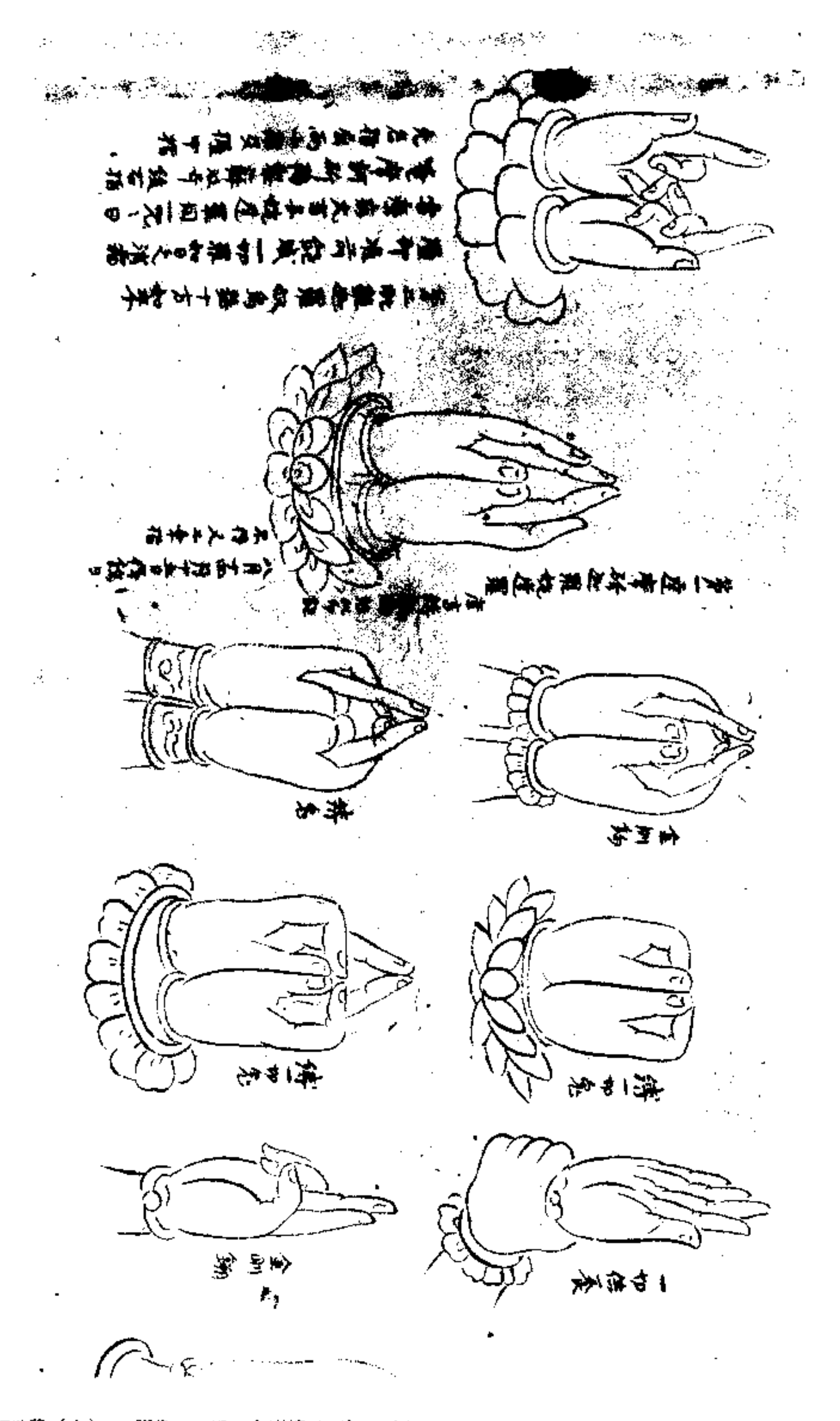




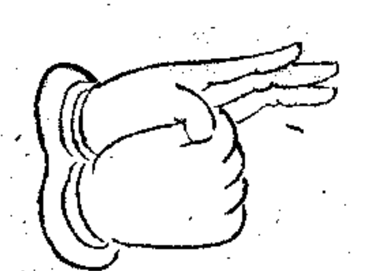


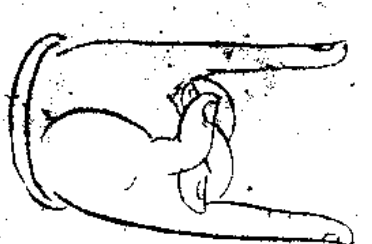


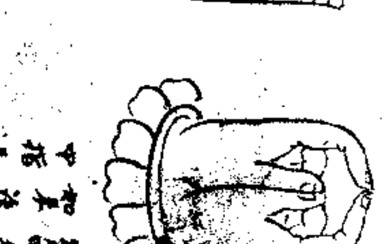
圖像 No. 46. 觀音隨心（上） 圖像 No. 47. 一切供養（下） 圖像 No. 48. 馬頭觀音縛一切鬼（上） 圖像 No. 49. 未詳（下） 圖像 No. 50. 金剛三昧王（上） 圖像 No. 51. 金剛王除一切時氣病（下） 圖像 No. 52. 未詳（上） 圖像 No. 53. 未詳（已上[illegible]）（下） 圖像 No. 54. 金剛商羯羅頭（上） 圖像 No. 55. 解脫（下）

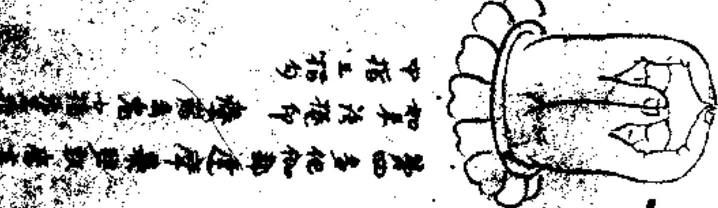


圖像 No.56．一切供養（上）　圖像 No.57．金剛網（下）　圖像 No.58．縛一切鬼（上）　圖像 No.59．縛一切鬼（下）　圖像 No.60．金剛鉤（上）　圖像 No.61．縛鬼（下）　圖像 No.62．達磨斫迦羅嚩近羅（轉法輪印）　圖像 No.63．毘難迦羅奴烏瑟（十方如來頂印）

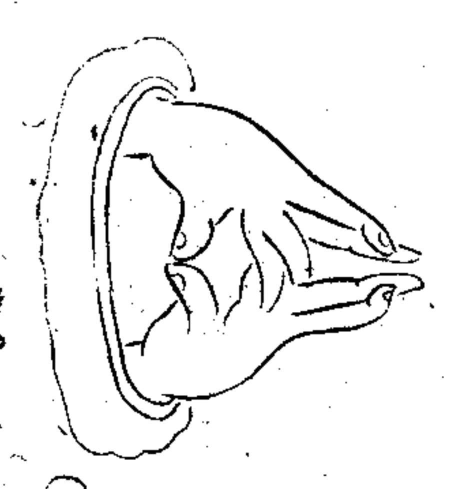


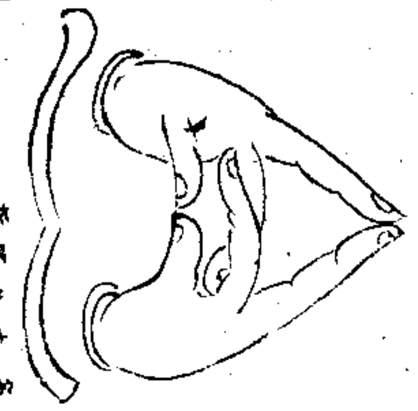


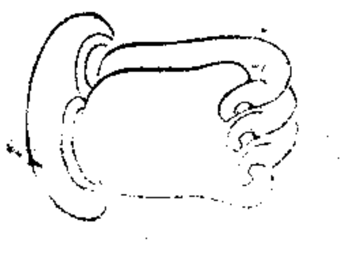




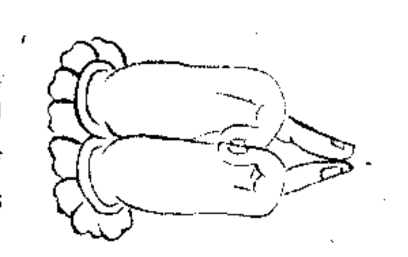
圖像 No. 64. 帝殊羅勢（光明取佛印）　圖像 No. 65. 多他伽都達摩崑懿致（如來法捲印）　圖像 No. 66. 摩訶閼耶毘鉢達羅（最勝印）　圖像 No. 67. 哆他朅多拔折羅慰迦（如來取支節印）

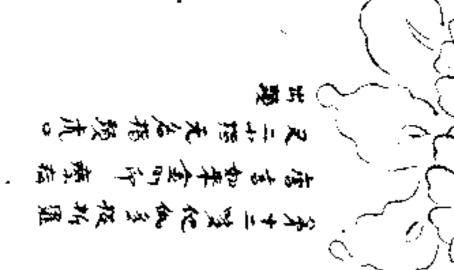






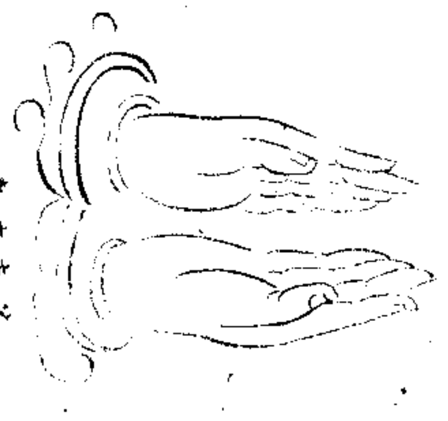
圖像No. 68. 拔折羅文那（如來金剛相印）　圖像No. 69. 阿利耶婆嚧吉底沙呵沙底（觀音施衆善印）　圖像No. 70. 阿利耶婆嚧吉底迦（觀音極善印）　圖像No. 71. 鉢鸞迦（觀音花身印）



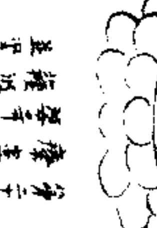


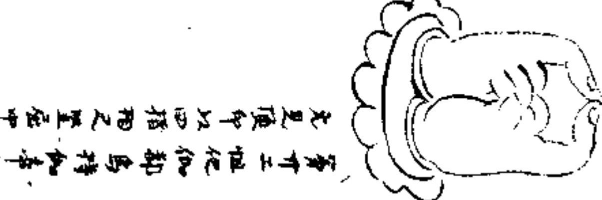


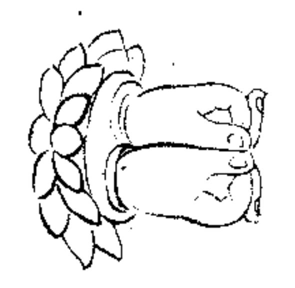
圖像 No. 72. 哆他伽多拔折羅（如來金剛印）　圖像 No. 73. 哆他伽多拔折羅（如來金剛印）　圖像 No. 74. 多他伽都瞿醯娑達羅（如來祕藏？）　圖像 No. 75. 他多伽都鑠吉底（如來勢印）

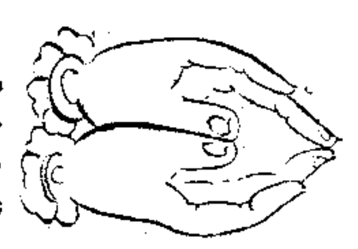


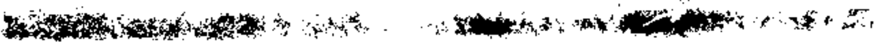
圖像 No. 76，怛他伽都嚩瑟吒昉（佛印可）　圖像 No. 77，少伽拔（如來能消一切惡毒印）　圖像 No. 78，摩醯首羅（大自在天菩薩所求稱意）　圖像 No. 79，悉都烏瑟尼沙（如來清涼頂印）







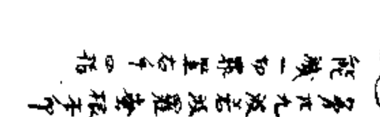


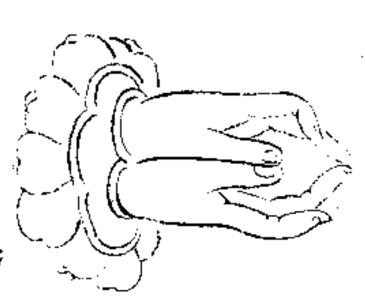


圖像 No. 80, 怛他都烏瑟尼沙（如來光取印）　圖像 No. 81, 怛他伽都悉馱怛鉢多羅（清淨印）　圖像 No. 82, 怛他伽都烏詩伽帝（如來無見頂印）　圖像 No. 83, 步醯利驉（大佛心印）　圖像 No. 84, 怛他伽都嚧吉那（佛眼光印）





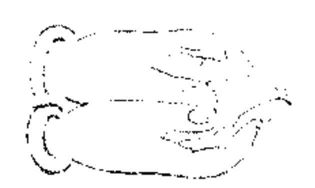






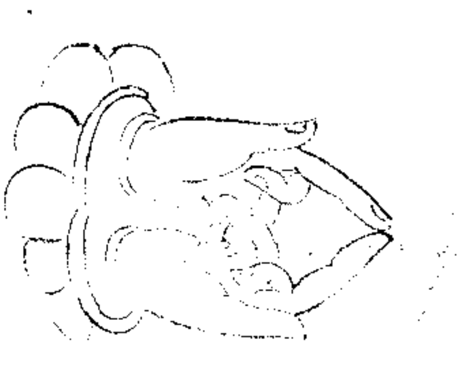


圖像 No. 85、佛心印　圖像 No. 86、怛他伽都烏瑟（佛眉間毫相印）　圖像 No. 87、波若波羅蜜根本印　圖像 No. 88、三摩耶毖達羅（佛平等印, 亦名佛陀三昧耶印）

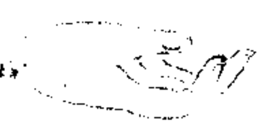


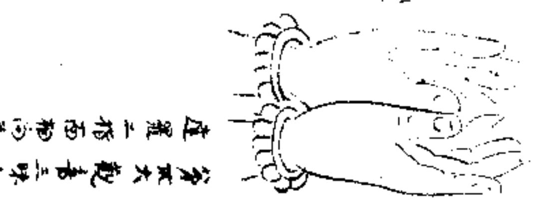






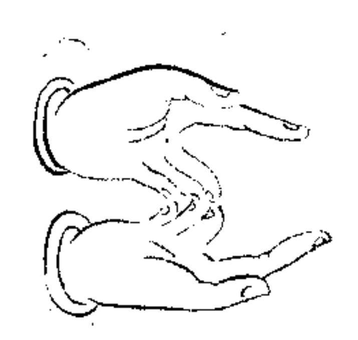
圖像No.89，般若波羅蜜多印　圖像No.90，薩婆波[illegible]　圖像No.91，戰達羅娑達羅（月印）　圖像No.92，摩利支印







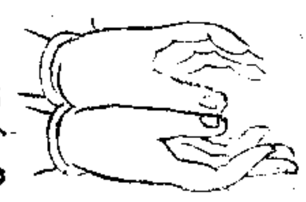




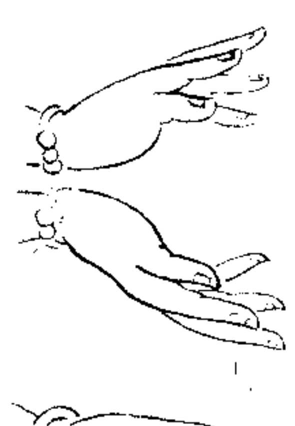




圖像No 93．觀音印　圖像No. 94．徐擲入多囉那叉多羅（星）　圖像No. 95．阿姪底彼達羅（日佛生宿印）　圖像No. 96．觀音上心印　圖像No. 97．觀音三昧印



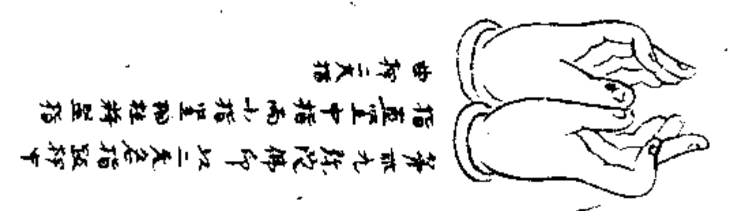


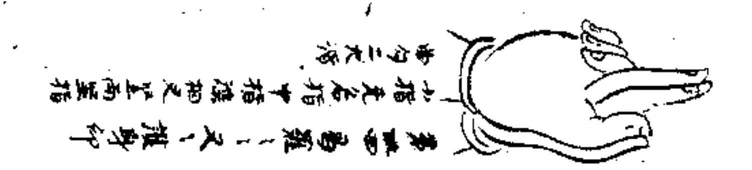


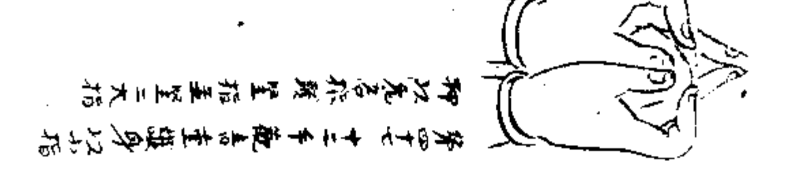


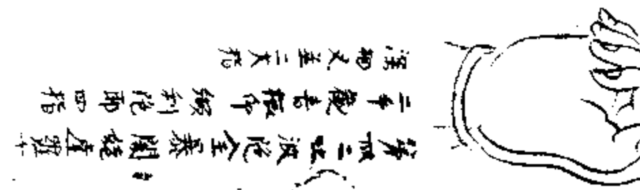
圖像 No. [illegible]、阿慕却波舍心鞨利多耶羅（不空羂索觀音心印）　圖像 No. [illegible]、阿慕却波舍摩呵娑達羅（蜜六臂觀音印）　圖像 No. 100、薩波毘沙訶羅（消毒印）　圖像 No. 101、阿慕却波舍（不空羂索觀音印）　圖像 No. 102、馱波陀舍婆附娑達羅（十二臂觀音印）



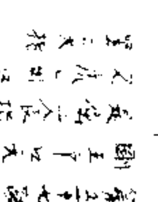








圖像 No. 103．吐波陀舍暴闍埵達羅（十二手觀音根印）　圖像 No. 104．十二手觀音直護身印　圖像 No. 105．烏羅くく又く（護身印）　圖像 No. 106．彌陀佛印　圖像 No. 107．馱波陀舍暴闍（十八臂觀音頂印）　圖像 No. 108．阿難馱羅慕羅埵達羅（觀音隨心印）







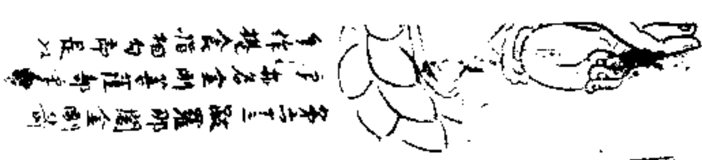


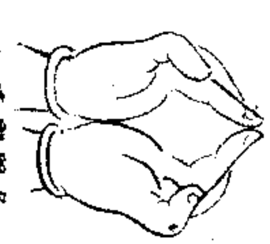




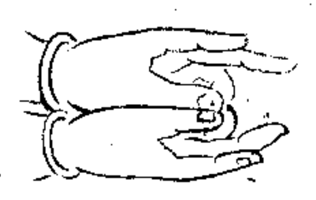


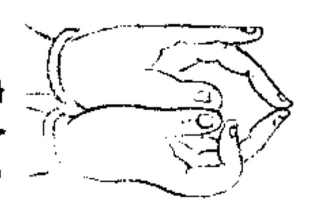
圖像 No. 109. 毘離俱底（觀音嚬印） 圖像 No. 110. 烏波糊利駄耶（觀音隨心印） 圖像 No. 111. 伊伽陀舍施羅（十一面觀音印）
圖像 No. 112. 馬頭觀音印 圖像 No. 113. 阿難馱羅糊利陀耶（觀音心印） 圖像 No. 114. 跋折羅易羅闍蘇摩（金剛王印）









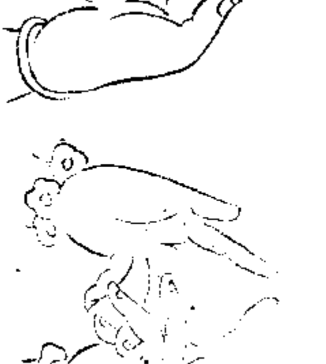


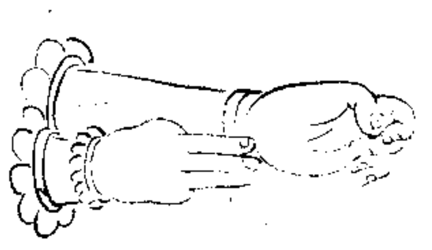


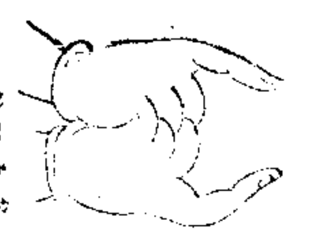
圖像No. 115. 何耶吉利縛失何（馬頭觀音印） 圖像No. 116. 跋折羅吉利蘇悉地迦羅（金剛吉利印） 圖像No. 117. 跋折羅三摩耶摩訶根（金剛根印） 圖像No.118. 跋折羅摩訶三摩耶（似君荼利開手印） 圖像No. 119. 摩羅跋折羅烏羅閉（金剛母印）

圖像 No. 120，波羅那闍（金剛箭印，亦名金剛菩薩部印）　圖像 No. 121，金剛阿蜜陀君荼利護身印　圖像 No. 122，跋折羅甚持錫羅（金剛棒印）　圖像 No. 123，跋折羅蔻瑟齊（金剛鴉印）　圖像 No. 124，波羅什波羅彌（馬頭觀音印）　圖像 No. 125，遮都摩訶囉羅闍（四天王印）





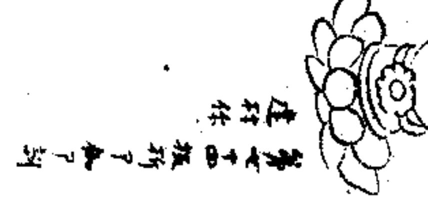




圖像 No. 126．烏枳羅那㖿逸羅（辟除毘那夜迦印）　圖像 No. 127．拔折羅波闍羅波羅迦羅（金剛王結四方印）　圖像 No. 128．拔折羅雞閉地吉（金剛閉地印）　圖像 No. 129．拔折羅那闍羅（金剛結上方印）





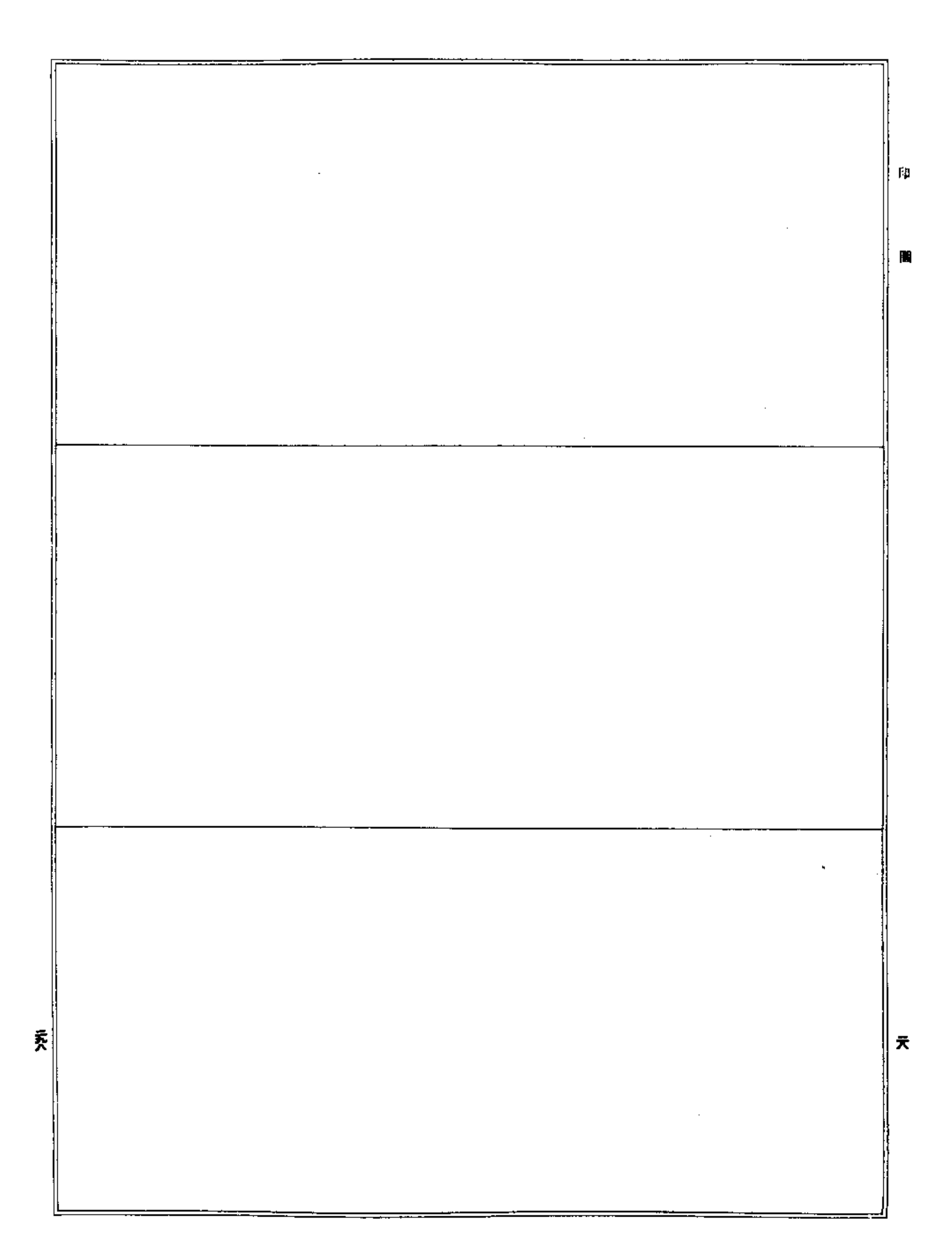




圖像 No. 130. 醯波摩陀薩埵那乾陀（供養一切佛菩薩香印）　圖像 No. 131. 阿蜜多君荼利印　圖像 No. 132. 拔折羅伽羅訶達村儞　圖像 No. 133. 拔折羅鶱但尸　圖像 No. 134. 未詳　圖像 No. 135. 未詳



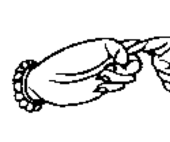
圖像 No. 136. 護印娑達羅（火頭金剛護身印）



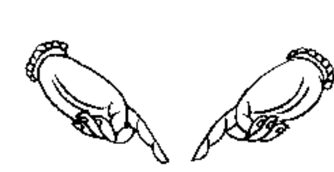
胎金護十八印圖　附四度法要集

胎藏界印圖

遣除毘那夜迦印







加持供物刀印

啓白

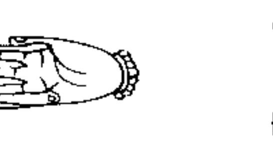
敬白眞言敎主大日如來祕密內證四佛四尊大聖不動明王四大八大諸大忿怒十三大院五百餘尊兩部曼荼羅聖衆外金剛部護法天等言佛子小善相催志求佛道是則依生生世世宿緣也眞言教行頓證方軌也須傳受胎藏大法修行三密勝行也夫大悲胎藏界曼荼羅者是三世十方一切諸佛之根源四十二地一切菩薩之所出也矣何物名胎藏界凡夫者因心如未敷蓮華爲諸惑之所纏縛輪迴生死不知身中有成佛之理是故大日如來經無量劫爲頓悟機說此胎藏祕密教法若有行人如法觀行即身成佛心數諸尊諸會具足相備十界廣大無邊皆從觀心顯成佛之理是則胎藏界理性曼荼羅意也若有衆生一見此曼荼羅者無始以來惡業重障摧滅無餘必定得菩提之記云云三密修行之功香華供佛之善其德難思結於一印契驚塵數佛誦一眞言利六趣之生暫凝想念者本有功德自然開顯纔致信力者恒沙之罪障須臾消滅矣香華是三密加持之香華於一華一香色具萬行成就之無礙香華佛身亦三身相即佛形於一佛一尊像備萬德圓融之無數果德能供是法界一色一香是中道所供亦法界佛像即此法界弟子某宿因多幸適值遇究竟大乘是時不修學者不異入寶山空手而還聞法悟道究竟方軌又過此教耶仰願大日如來釋迦彌陀胎藏界會五百餘尊證知弟子誠所願成就有何疑矣

唱禮

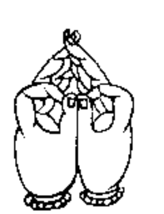


警覺

作禮方便

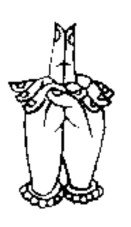


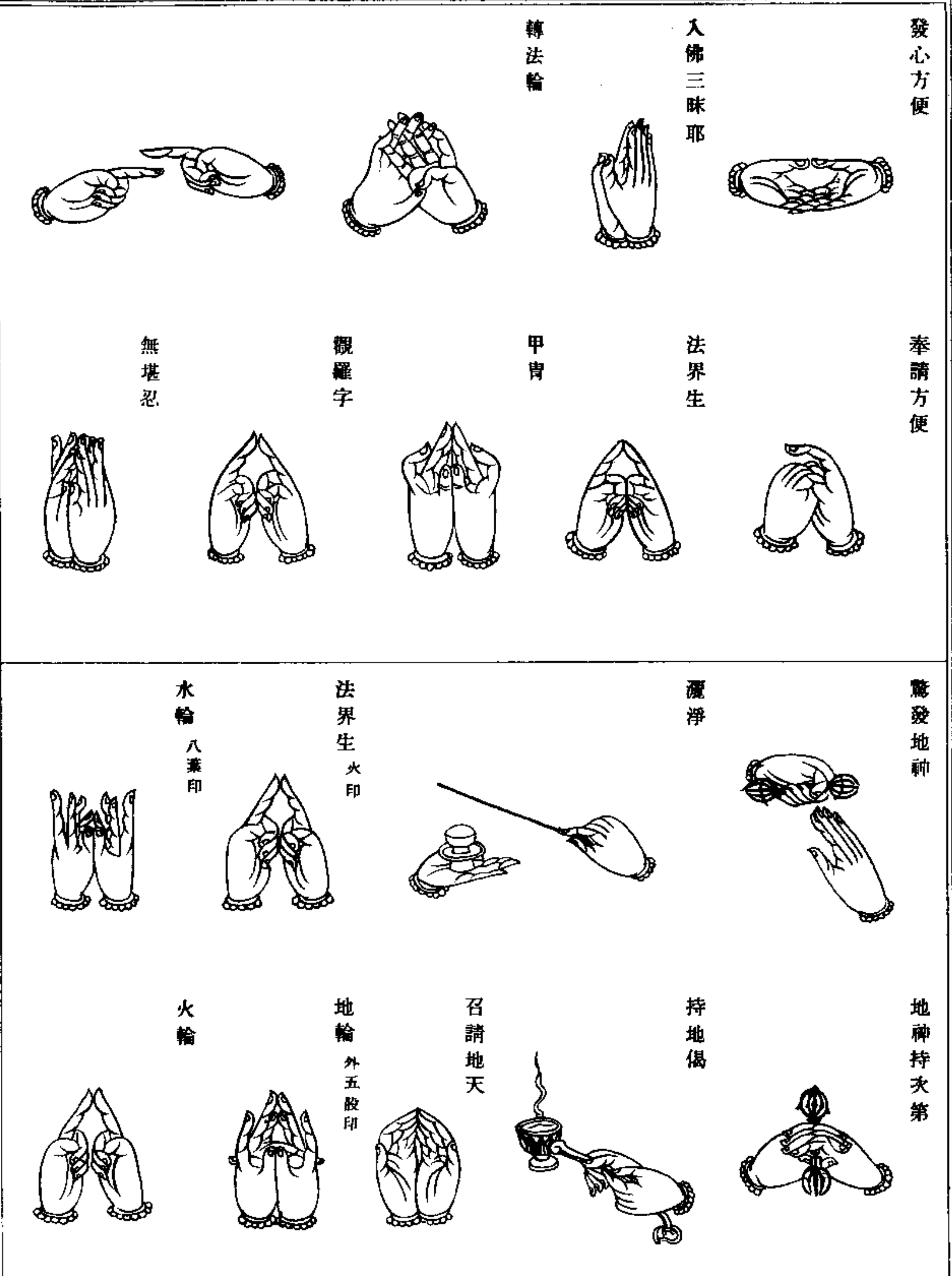
出罪方便

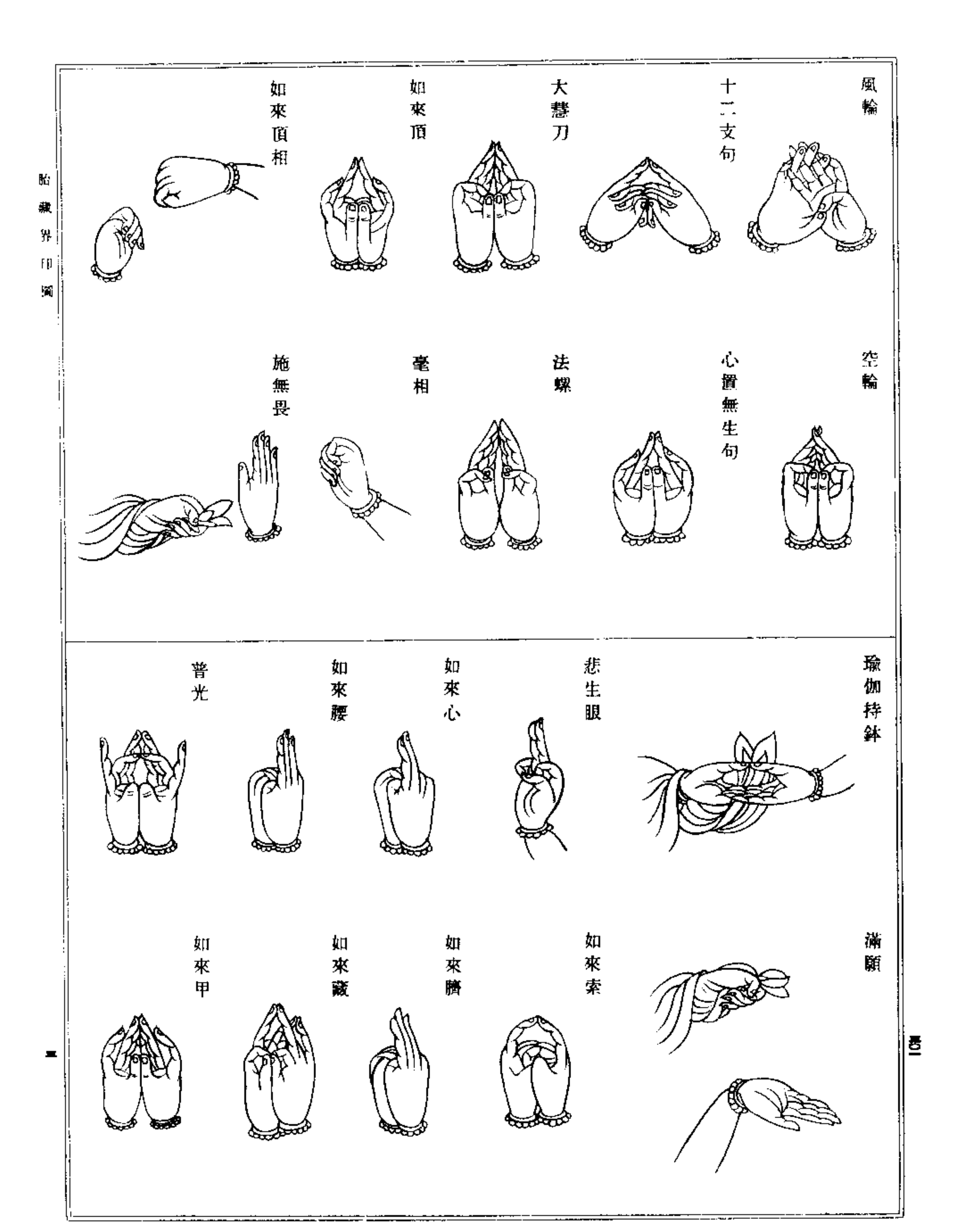


普印下皆同

施身方便




發心方便
入佛三昧耶
轉法輪
奉請方便
法界生
甲冑
觀羅字
無堪忍
驚發地神
灑淨
法界生
火印
水輪
八葉印
地神持次第
持地偈
召請地天
地輪
外五股印
火輪


風輪
十二支句
大慧刀
如來頂
如來頂相
空輪
心置無生句
法螺
毫相
施無畏
瑜伽持鉢
悲生眼
如來心
如來腰
普光
滿願
如來索
如來臍
如來藏
如來甲

如來舌

如來牙

如來十力

平等開悟

慈氏

如來語

如來辯說

如來念處

普賢如意珠

無礙力明妃

無能害力

金剛手持華

蓮華王

道場觀

大日印

大海

華臺

大輪壇

成不動

成火焰印

結界護身

治路

刀鞘印

振鈴

勸請

蓮華部

索印

鈴印

閼伽印

摧伏諸魔

三部心佛部

金剛部

鎖印

遣除從魔

三股印

難堪忍

東方無畏

西方難降伏

無能勝守護

塗香

北方壞怖

南方無堪忍

相向守護

華鬘

燒香

燈明

加持珠

正念珠

飲食

根本印

淨珠

還念珠

虛空眼

奉送

火印

胎藏界印圖 終

解界

普印

佛頂印

金剛界印圖

降三世半印

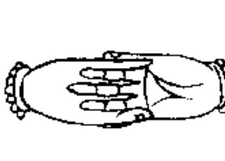
淨三業

警覺

淨地法界生印

觀佛金剛合掌

金剛地大

啓白

敬白祕密教主摩訶毘盧舍那四智四波羅蜜四攝八供諸大薩埵外金剛部護法天等總三十七尊五部界會五十世界塵數聖衆乃至三世十方一切三寶言弟子蒙善友教訓云祕密尊教是諸教肝心也胎藏金剛大法者卽發心成佛之直道也夫金剛界者是毘盧舍那內證之法金剛薩埵超昇之路十方諸佛者金剛界五佛是也何物名金剛界自性清淨之大菩提心名金剛界又一切有情身中本來有普賢大菩提心爲貪瞋癡惑之所纏縛經歷六趣四生不了自心成佛之理是故大日如來經無數劫爲上根人說金剛界大法於內心中令觀日月

輪蕩妄霧於慧風。見大日光。澄迷濁於定泉。顯得本覺。若有行人如法修行觀法成就。即身成佛。自心成大日尊。三十七尊圍繞。密嚴國土無盡莊嚴內證眷屬現在。皆是觀心成佛。是則金剛界無上乘教之大意也。何況經云。若有衆生已造四重五無間極重罪業。若發懺悔心能入此金剛界大曼荼羅及有見者。一切罪障皆得消滅。獲得一切如來眞實智慧云々故今爲結緣於勝教。以不堪之器恭敬受習金剛界念誦儀軌。於懈怠身慈欲練行供養修行勤。仰願大日如來諸尊聖衆殊垂證明。常被加護速離魔緣。身心精進善願相應。成佛大事必令成就給。願往生彌陀淨刹。聽聞此祕教開悟自心妙慧。自心悟智慧普示法界。三寶境界證知弟子意趣矣

麼吒

金剛合掌

金剛縛

開心

召智

閉心

普賢三昧耶

降三世

法輪

大樂

摧罪

極喜三昧耶

蓮華三昧耶

大慾

召罪

淨業障

成菩提

舒劍蓮華印

觀身爲本尊大劍印

南寶生佛

縛定印

東不動佛

西無量壽佛

北不空成就佛

是口決印也

金剛拍

現智身

四字明 鈎印

鎖印

如來甲冑

見知身

索印

鈴印

陳三昧耶

須彌

開門

觀佛海會

大海

金剛輪

啓白

諸如來集會

閼伽

振鈴印

鬘菩薩

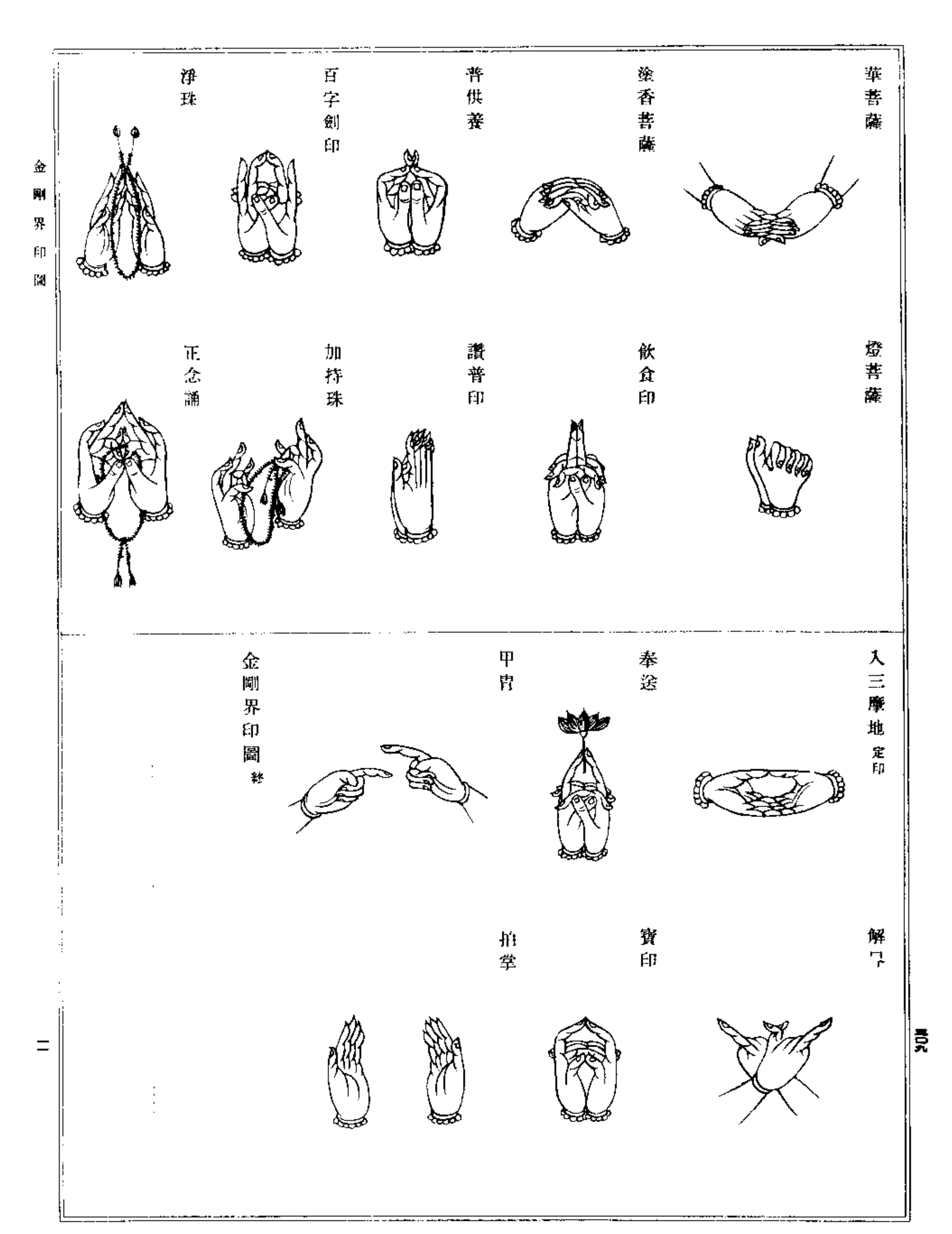
舞菩薩

華座

嬉菩薩

歌菩薩

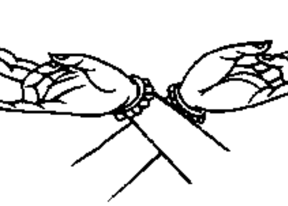
燒香菩薩


華菩薩
塗香菩薩
普供養
百字劍印
淨珠
燈菩薩
飲食印
讚普印
加持珠
正念誦
入三摩地 定印
奉送
甲冑
金剛界印圖 終
解
寶印
拍掌

護摩私記印圖

金剛羯磨印





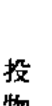
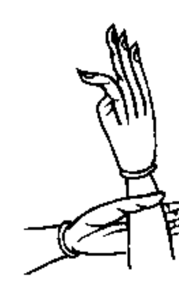
內護摩觀

火天奉送印

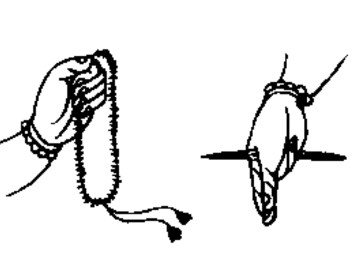
金剛輪印



火天召請印


投物



諸曜勸請印

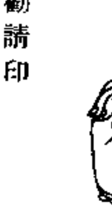
諸宿勸請印





本尊勸請印 同之

息災護摩印



滅惡趣護摩印



諸天勸請印

加持飲食印

蒙甘露法味印

一字心水輪觀印

啓白

謹敬白祕密教主摩訶毘盧遮那如來教流布身釋迦牟尼無上大薄伽梵十方三世諸佛善逝殊本尊界會三世常住大聖不動明王矜迦羅使者制多迦童子俱哩迦羅大龍蓮華吉祥四大八大諸大忿怒總三部五部諸尊聖衆外金剛部金剛天等別我山東西楞嚴住持三寶乃至佛眼所照微塵刹土三寶境界言方今南贍部州大日本國慈覺大師末弟小僧某甲出雙親之家入三密之室以來先受十八契印修明王祕法次習兩部大法開舍那密藏重今傳受三密平等觀法始修六段成就之護摩處也夫護摩祕密法者投有爲妄想供於慧火之焰生無漏五大觀於智水之浪何況天聖不動明王者是火生三昧

之色質能燒三毒之本尊也然則顯寂靜三昧之加持於修練壇施降伏四魔之神力於弟子身仰願本尊大悲明王垂知見證明納微功於願海令成就現當二世之悉地給

護摩結願作法（佛布施卷數机上置之）

後鈴迴向之後鳴磬一下次誦卷數讀了燒爐火（次取珠杵香爐鳴磬一下唱曰）

自開闢之始至于結願之今至隨分精誠雖勤修之具縛凡夫定多所違犯然則歷三業六根而所誤失越三昧耶罪障誦有功眞言唱諸尊寶號爲成如法如說功德

懺悔印眞言 一下 結誦出罪方便印明

金剛輪陀羅尼 一下 結印誦明七徧

佛眼印眞言 一下 結誦印明

南無摩訶毘盧遮那佛 一下（執珠杵香爐）

南無佛眼部母菩薩 一下

南無一字金輪佛頂 一下

南無金剛輪菩薩 一下

南無一切三寶 一下

神分

抑日來之間降臨影向天神地祇重爲奉令法樂莊嚴威光倍增總神分

般若心經 誦心經二徧

大般若經名 唱經題號

靈分

爲三國傳燈諸大師等乃至貴賤靈等皆成佛道

南無摩訶毘盧遮那如來 一下

南無阿彌陀如來 一下

祈願

奉爲金輪聖王天長地久寶祚萬歲

南無摩訶毘盧遮那如來 一下

南無藥師瑠璃光如來 一下

爲四海泰平諸人快樂

南無摩訶毘盧遮那如來 一下

南無觀自在菩薩 一下

伏乞祕密教主摩訶毘盧遮那如來本尊大聖不動明王三部五部諸尊聖衆外金剛部天等各還念本誓降臨祕密道場納受隨方供具信心佛子息災延命恒受快樂心中善願決定成就

南無摩訶毘盧遮那如來 一下

南無本尊大聖不動明王 一下

南無佛眼部母菩薩 一下

南無大聖文殊師利菩薩 一下

南無金剛手菩薩 一下

南無一切三寶 一下

爲法界衆生平等利益

南無本尊大聖不動明王 一下

南無觀自在菩薩 一下

爲法成就

南無一字金輪佛頂 一下

南無金剛手菩薩 一下

次奉佛布施（左手取布施右手以散杖灑之三徧次取杵誦辨事明加持之左右轉各三徧次二手横捧之唱曰）

南無恭敬供養本尊界會大聖不動明王哀愍納受所獻供養

（即誦普供養眞言三徧安置左方机上）

次解界奉送（已下如常行記修之）

壞壇法

先取去壇上鈴杵及內外供養器等如始護摩之時

次誦緣起法身偈梵文三徧及誦同漢語偈一徧（金剛合掌）

曳達摩係覩鉢羅合二婆嚩係覩帝釤怛他引譏都引紇哩合二㘞
鑁縛娜帝釤左庾賴嚩馱㘞鑁縛儞摩訶室羅合二摩娜

漢語偈曰

諸法從緣生　如來說是因　是法因緣盡　是大沙門說

誦了不散印卽想地下有[illegible]字色黑轉成大風輪卽吹散此壇破壞卽以印左三轉次右手取獨股杵大指竪副杵以杵頭爐前緣三業穿之而後任意破棄

卷數案文

不動護摩所

奉念

大日如來眞言二千百徧
一字金輪眞言二千百徧
護本尊眞言二千百徧
本尊眞言二萬一千徧
三部諸尊總呪二千百徧
諸天曜宿眞言二千百徧
息災護摩眞言二千百徧

奉供

大壇供二十一箇度
護摩供二十一箇度
神供三箇度

右始自某月某日至于今日並一七箇日夜之間將致精誠勤修上件敎法所祈請心中善願成就圓滿之由如件仍勤行事謹言

年　月　日　　佛子某敬白

十八道私記印圖

加持衣

淨三業

蓮華部三昧耶

被甲護身

孝衣

佛部三昧耶

金剛部三昧耶

三股印

懺悔合掌

灑淨

彈指

清淨

加持香水

加持供物

拍掌

去垢

光澤

祈願

供養文唱禮 金剛合掌已下皆同

警覺

施身方便

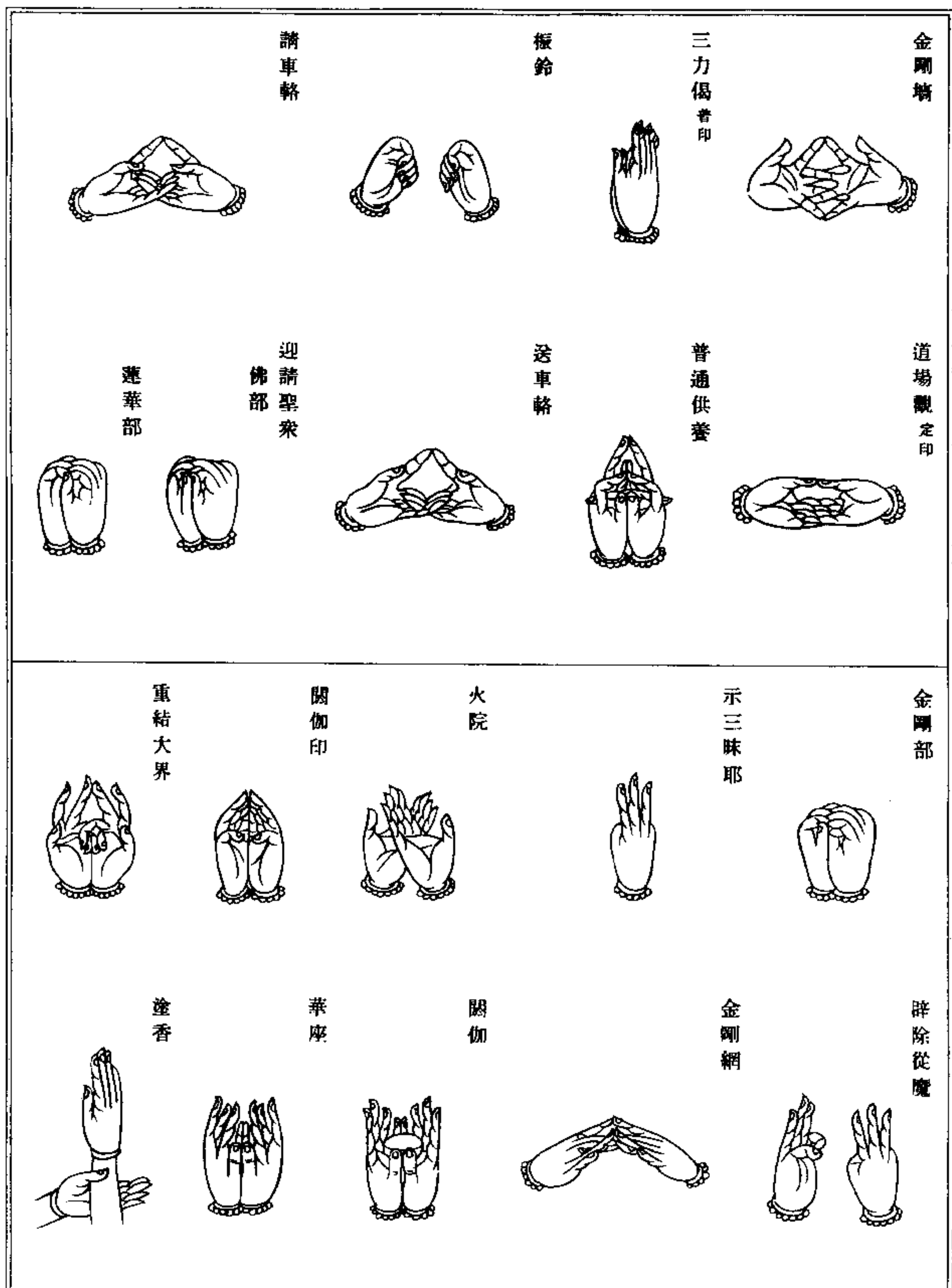
奉請法身方便

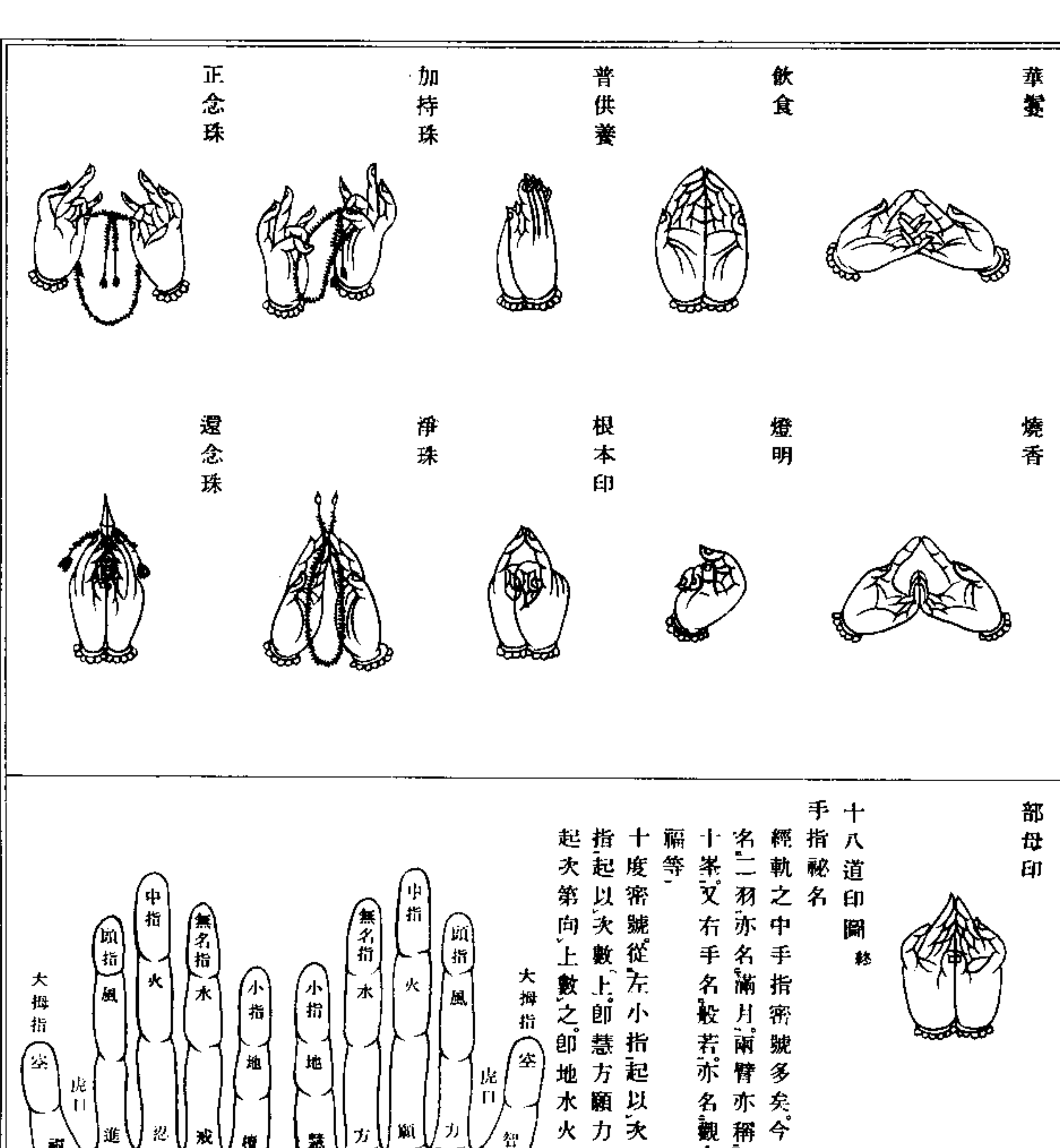
啓白神分等

出罪方便

發菩提心方便

地結


金剛墻
三力偈 普印
振鈴
請車輅
道場觀 定印
普通供養
送車輅
迎請聖衆
佛部
蓮華部
金剛部
示三昧耶
火院
閼伽印
重結大界
辟除從魔
金剛網
閼伽
華座
塗香



十八道印圖 終

手指祕名

經軌之中手指密號多矣。今且出行記中所用示之。謂兩手名二羽亦名滿月。兩臂亦稱兩翼。又十指名十度亦名十輪十峯。又右手名般若亦名觀慧智等。左手名三昧亦名止定福等。

十度密號從左小指起以次數之上。即檀戒忍進禪。從右小指起以次數上。即慧方願力智。五輪密號亦然。從左右小指起次第向上數之。即地水火風空也。如圖須知

五大院云右手名慧左手名定右手爲觀此通例也在儀軌中以右爲止以左爲觀是別說也金剛界等軌中右名檀戒忍進禪左名慧方願力智起自右小指訖左大指是通例也云々今謂此等之異行者須知之矣

十八道私記印圖終

四度法要集

○十八道初行表白

敬白祕密教主摩訶毘盧遮那如來本尊大聖大悲無動摩訶威怒王四大八大諸大明王三部五部界會諸尊外金剛部護法天等東西滿山住持三寶盡空法界一切三寶言（某甲）無始生死中適遇祕密教猶如一眼之龜値浮木孔若不修學徒過一生豈異入寶山空手而歸乎故依大日教法莊嚴道場排備供具始自今日限以三七日（或五七日/或七七日）晝夜三時勸請供養不動明王夫不動明王者大日如來化身華臺久已成佛以本願故爲如來使者執持諸務三世諸佛皆從此祕密身應現三身菩提樹下降魔成佛是寂滅定不動義若一持祕密呪生生而加護能斷五住煩惱竭三有苦海何況人間所有怨敵不善心者無不摧壞是以殊勵精誠勸請供養仰願大日如來本尊諸尊護法天等各各還念本誓悲願證知證明佛子丹誠滅罪生善現世當生一切善願決定成就謹言

○十八道初行結願作法

後普供養次佛布施（先灑水次以辨事明/加持薫香頂戴之）

讚　四知讚　閼伽　振鈴　回向方便

次打磬讀卷數　次啓白

佛子日來之間謹依佛教雖勤修悉地行法凡夫具縛身三業四儀誤多佛眼照見可恥可恐仍持誦祕密眞言唱種種寶號成如法清淨善根

滅罪印眞言　打（結誦出罪方便/印明如十八道）

金剛輪印眞言　打（印明如十八道/右轉頂上散之）

佛眼印眞言　打（印言如/十八道）

南無摩訶毘盧遮那如來　丁

南無本尊界會　丁

南無佛眼部母菩薩　丁

南無大金剛輪菩薩　丁

南無一字金輪佛頂　丁

南無大聖文殊師利菩薩　丁

南無甘露軍荼利明王　丁

神分

三七日（或五七日/或七七日）之間每日三時讀誦般若心經雖奉諸天神祇威光增益當結願此時重爲奉法樂莊嚴威光增益二一切神分

般若心經（打鈴/一卷）　大般若經名（打唱/經題）

次羅分　如前　次祈願　如前

爲決定法成就

南無摩訶毘盧遮那如來　丁

南無佛眼部母菩薩　丁

南無金剛輪菩薩　丁

南無一切三寶　丁

次隨方回向　如前

以下如行記可修之

○胎藏界初行表白

謹敬白眞言教主密嚴佛土淨妙法身摩訶毘盧遮那如來大悲胎藏四重法界圓妙增中三部界會諸尊聖衆梵釋四王龍神八部外金剛部護法天等乃至佛眼所照微塵世界同體別體三寶境界言夫以酬往昔乘戒因佛教人身竝得之多生曠劫希事且在此時者歟就中已値三密教法定知大種性緣熟修學專可在今生勤行亦欲期何時是以悉地略行薰修已漸積胎藏大法勤行更宜莇依之莊祕密壇場調隨方供具迎大悲胎藏四重曼荼羅始自今日限三七日（成五七日/或七七日）晝夜三時所奉勸修也仰乞大日如來諸尊聖衆還念本誓悲願加被所修三密三世善願成就圓滿乃至法界平等利益

○胎藏界初行結願作法

後普供養次佛布施（先灑水次不動印明/加持薫香頂戴之）

讚　四智讚　閼伽　振鈴　回向方便

次打磬讀卷數　次啓白

佛子日來之間謹依佛教雖勤修瑜伽行法凡夫具縛身三業四儀誤多佛眼照見可恥可恐仍持誦祕密眞言唱種種寶號成如法清淨善根

滅罪印眞言　打（結誦出罪方便/印明如十八道）

金剛輪印眞言　打（印明如十八道/右轉頂上散之）

佛眼印眞言　打（印言如十八道）

南無摩訶毘盧遮那如來　丁

南無本尊界會　丁

南無佛眼部母菩薩　丁

南無金剛輪菩薩 丁
南無一字金輪佛頂 丁
南無大聖文殊師利菩薩 丁
南無不動明王 丁

神分

三七日（或五七日或七七日）之間。每日三時讀誦般若心經。雖奉諸天神祇等威光增益。當結願此時重爲奉法樂莊嚴威光增益。一切神分

般若心經一卷（丁誦）大般若經名（丁唱經題）

靈分（如前）祈願（如前）

爲決定法成就

南無摩訶毘盧遮那如來 丁
南無佛眼部母菩薩 丁
南無金剛輪菩薩 丁
南無一切三寶 丁

次隨方迴向

以下如行記可修之

○金剛界初行表白

愼敬三世常住淨妙法身摩訶毘盧遮那阿閦寶生等四知心品應正等覺者金剛界大曼荼羅中自性所成內證眷屬三十七尊彌勒不空見等賢劫一千諸佛菩薩那羅延俱摩羅等五類諸天后妃眷屬乃至佛眼所照微塵剎土現不現前三寶境界。驚白言。夫曩劫乘種之因內催。今生知識之緣外資。胎藏勤行日數漸積。今更迎金剛界曼荼羅調香華燈塗供具。自今日今時起首一日三時所勤行也。如法觀行一印一明皆具四種曼荼功德。一華一香悉成三世常恒供養。所仰者三密教法總持功力何空。所供者五部聖衆本誓有憑者歟。然則酬今勤行依此善根速遂紹隆佛法素懷。必滿現世當生悉地。乃至法界平等利益

○金剛界初行結願作法

後普供養次佛布施（先灑水降三世印明加持薰香頂戴奉之）

讚 四智讚 閼伽 振鈴 發願

次打磬讀卷數 次啓白

佛子日來之間。謹依佛教雖勤修金剛界行法。凡夫具縛身。三業四儀誤多。佛眼照見可耻可恐。仍持誦祕密眞言唱種種寶號成如法淸淨善根

滅罪印眞言 打（結誦出罪方便印明如十八道）
金剛輪印眞言 打（印明如十八道右轉頂上散之）
佛眼印眞言 打（印言如十八道）
南無摩訶毘盧遮那如來 丁
南無本尊界會 丁
南無佛眼部母菩薩 丁
南無金剛輪菩薩 丁
南無一字金輪佛頂 丁
南無大聖文殊師利菩薩 丁
南無降三世明王 丁

神分

三七日（或五七日或七七日）之間。每日三時轉讀般若心經。雖奉諸天神祇威光增益。當結願此時重爲奉法樂莊嚴。一切神分 般若心經一卷（丁誦）大般若經名（丁唱首題）

靈分（如前）祈願（如前）

爲決定法成就

南無摩訶毘盧遮那如來 丁
南無佛眼部母菩薩 丁
南無金剛輪菩薩 丁
南無一切三寶 丁

次隨方迴向

以下如行記可修之

○護摩初行表白

敬白祕密教主摩訶毘盧遮那如來本尊界會大聖不動大悲明王四大八大諸大忿怒三部五部諸尊聖衆乃至盡空法界一切三寶言。佛子被催多生宿善傳受兩部大法以來。勤行漸積薰修稍重。今更凝丹誠抽精勤建立扇底迦火壇辨備護摩支分。始自今日限七箇日。晝夜三時恭敬供養大聖明王。仰願大日如來本尊界會。還念本誓悲願悉知佛子丹誠。滅罪生善。現世當生無邊善願決定令成就圓滿

○護摩結願作法

後普供養次佛布施（先灑水火以辨事明加持薰香頂戴奉之）

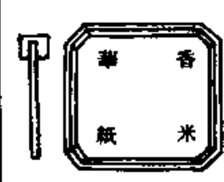
讚 四智讚 閼伽 振鈴

次打磬讀卷數 次啓白

佛子日來之間。殊專一心之精誠雖修三密之行法。凡夫具縛之身。三業六情咎多。妄念闕犯誤多。可耻可恐。仍念種種眞言

唱諸尊寶號成如法如說善根
滅罪印眞言 打 結誦出鼻方便印明
金剛輪印眞言 打 如前
佛眼部母印眞言 打 如前
南無摩訶毘盧遮那如來 丁
南無本尊界會 丁
南無佛眼部母菩薩 丁
南無一字金輪佛頂 丁
南無金剛輪菩薩 丁
南無大聖文殊師利菩薩 丁
南無降三世明王 丁
神分
七箇日之間每日三時轉讀般若心經離
奉資益神祇冥衆當結願此時重爲法樂
莊嚴威光增益一切神分 般若心經一卷 打頭
大般若經名 打唱首題
靈分 如前 祈願 如前
爲決定法成就
南無摩訶毘盧遮那如來 丁
南無佛眼部母菩薩 丁
南無金剛輪菩薩 丁
南無一切三寶 丁
次五悔 次隨方回向 以下知行記可修之
○破壇作法
先取去壇上鈴杵及內外供養器等
次塗香塗手 次法界定印
觀大壇中有(梵字)字此地輪種子也此字變
成大壇法然所作也又有(梵字)字變成大風
輪卽吹散地輪破壞此壇所謂成者必壞
也
次普印 誦緣起法身偈三徧
諸法從緣生 如來說是因
此法因緣盡 是大沙門說
誦偈畢以印左轉三徧
次外縛以獨股杵指入右小指左無名指
右頭指左大指之間向下出杵頭口誦(梵字)
字以杵頭突壞爐前緣三度
○曠野神供作法
先護身法 如常
次淨地 結火印誦眞言投地 發○南(梵字)
次加持其地 三股印右手以大指捻小指甲餘三指開立
唵阿密利帝吽發吒
次加持供物 三股印同上
唵枳里枳里嚩日羅吽發吒
次不動印明 右空加風甲餘三指開立
發○赦阿左羅羯拏戰拏娑馱耶吽發吒
次加持飲食 右手以大指捻中指甲三指直立隨誦眞言彈指一七徧
發莫薩嚩怛他蘖多嚩嚕枳帝唵三娑羅
三婆羅吽
次蒙甘露法味 立右臂舒開五指臨供具
發莫蘇嚕跛野怛他蘖多野怛儞也他唵
蘇嚕蘇嚕婆羅蘇嚕婆羅蘇嚕婆嚩訶
次一字心水輪觀 仰右手指末垂下臨供具
發○南(梵字) 想掌中有(梵字)字流出甘露醍醐
次事由 以兩手捧幣念言曰
敬奉始八方神天一太白大將軍王相氣
大歲八神行疫流行神等年中一切神祇
冥道閻魔法王五道大臣太山府君司命
司錄等一切冥官冥類聖歡喜天大黑天
神堅牢地神五帝龍神山王三聖王子眷
屬赤山明神王城鎭守諸大明神當所主
託護法神等日本國中有勢無勢已官知
未官知權實二類總普天率土一切天神
地祇乃至一切夜叉部多南餓鬼鬼類白
言今甲某謹調五穀御粥散米幣帛等加三密
加持以廣施無量之心勸請供養一一降
臨影向哀愍納受給信心甲某息災延命持
給 隨事可新請之 乃至所修行法靈驗勝利決定
守顯給乃至國土豐人民平持給云 愼白
以幣祓本所
先四臂不動 刀印誦慈救呪末加曳醯呬句招之 次勸請
次諸天等 合掌二空直立招之
唵路迦路迦羯羅也曳醯呬一切天神地
祇冥官冥類餓鬼鬼類曳醯呬娑嚩賀
次普供養 合掌誦眞言供諸供具也
發○南薩嚩他欠搵娜蘖底娑頗羅呬給
誐誐曩劍娑嚩賀
先幣帛左手取右手一本宛取渡十二
天供折敷置 次粥酌上不動尊十二
天等供 次散供取合想十方散部類
鬼神等供 次幣帛取挿紙拔取散供
取具粥桶入五波羅蜜觀香華米帛是
五度也
次法施 普印 先五如來名號
南無寶勝如來 南無妙色身如來

南無甘露王如來　南無廣博身如來
南無離怖畏如來
次心經一卷　次諦緣度
知苦斷集。證滅修道。十二緣生。十二緣滅。
布施波羅蜜。淨戒波羅蜜。安忍波羅蜜。精
進波羅蜜。靜慮波羅蜜。般若波羅蜜
次如來慈護呪
唵沒馱昧怛哩嚩日囉囉乞叉唅
次三昧耶戒（外縛二中立合如針）
唵三昧耶薩埵鑁
次無所不至　阿鑁覽唅欠
次外五股印　阿尾羅吽欠
次小劍印　阿羅波左那
次啓謝（普印）
所設供具多不如法。唯願諸天布施歡喜」
次撥遣（彈指七反）唵嚩日囉母乞叉穆
次三部被甲（如常）　次回向（願以此功德等）
護摩時。諸尊段」供」之。見」建立護摩軌」云々
已上
支度之事
桶一　小折敷一枚　小杓一本
足折臺一　帛串八本（長八寸）
帛八枚（一寸四方紙。幅一寸長二寸切。從中二折。挿串）　五穀（入土器納桶中）
香少　切華少　切紙少　洗米少　桶（高七寸。徑七寸三分）



○護摩卷數案文
祈所
奉修加行護摩供二十一箇座之攸
奉念
大日如來眞言　二千一百遍
一字金輪眞言　二千一百遍
本尊不動明王眞言　二萬一千遍
護衞佛眼眞言　二千一百遍
火天眞言　二千一百遍
當壇眞言　二千一百遍
九曜總呪　二千一百遍
二十八宿總呪　二千一百遍
三部總呪　二千一百遍
諸天總呪　二千一百遍
奉供
閼伽供　二十一箇度
飮食供　二十一箇度
諸神供　三箇度
右始自今月何日至同何日一七箇日之
間晝夜三時勤修上件行法唯願滅罪生
善悉地成就之由如件
時年號月日　佛子（某甲）敬白

○擇地（行者稟師許可已。依地分宜處。深山峯半閑靜蘭若處。山中。滿池。大河。流川。淵岸。側遠離家人物。求憤閙絕諸務。息其心求悉地）
○入廁法（右手蓮拳立大指。左拳安腰。頭明加持五處。三彈指入廁）
唵倶嚕（二合）馱曩吽弱
○分土加持洗淨（合掌二水二火屈入掌中。背合。少不令相著。以二空各捻水火）
頭加持土三分。和水洗身三分。或唯用印言耳

唵度比度比迦也度比度比鉢囉（二合）入嚩（二合）里
寧娑嚩（二合）訶
○澡浴（右手忿怒拳。左手安腰。成以杓右轉撥水。加持。隨意浴）
唵阿密哩帝吽發吒（三部通用）
○護摩作壇略作法
先鍬印（即外縛。並竪二風。頭明七遍。眞言曰。二空）
唵儞佉那嚩蘇提娑嚩（二合）訶
次加持泥印（合掌。二水二風入掌中。各背合。竪二空。去風二寸許。如馬口形。是也。即馬頭印也。眞言七遍）
唵阿密哩都納婆嚩吽發吒娑嚩訶
次加持壇印（用大金剛輪印。明七遍。眞言加持。記畢）
已上用三箇印加持壇上也。別有緊縛法。深祕故今不記之。是都法ヽ所作也
○共語法（結法中間有急切事。若欲共人語。即想於舌上有字光明。清淨法界心也。即師此眞言共語。不爲間想所出。言辭本有金剛性。眞言曰）
唵嚩網（亡可反）囉跛折囉婆沙
○起座法（若有急切要務。不得止。欲起座出道場外。則禮佛貫帖紙。其上安念珠及獨股）
外縛內五股印。誦字七遍。想金剛薩埵代吾坐。而後起座出堂。○亦還堂著座結誦前印明

不動立印像畫圖

觀羅字 已上如胎記

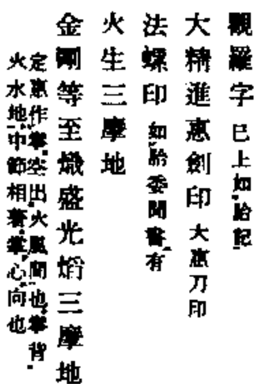
大精進惠劍印 大惠刀印

法螺印 如胎委聞書有

火生三摩地

金剛等至熾盛光焰三摩地 定惠作拳空出火風間也拳背火水地中節相著拳心向也

右



左

此印事上巻聞書有

俱胝焚燒三摩地 右手以空捻水火甲地風立開端指定掌左右轉三反

左

右

此印事上巻聞書有

成不動身 如胎二手各忿怒拳二地二風節合拳心向明三反如式

次字印明 法界生印 前印不散風舒火印作指峰心向也少鈎スルナリ身指峰著惡也式法界生印アレトモサハセサルナリ字明如常

次刀鞘印 如胎十字カクナリ

次字明 法界生コトシ三反投様スル也

五輪 如式

大海 如式如胎

大蓮華臺 如式

道場觀 定印

三力 如常

普通 如常

大輪壇 如常

觀曼陀羅 定印如胎

十九觀 皆定印如胎

治路 如胎

護身辟除 刀鞘印如隨行

振鈴 如常

奉請印明 外縛二風如鉤召之如式

右

左

遣除從魔 刀鞘印明

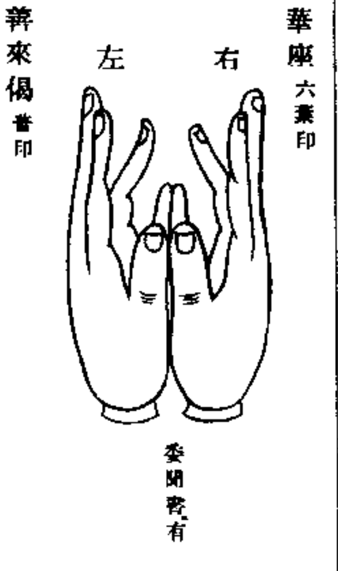
示三昧耶 入佛三昧耶印

閼伽 前法螺印也

華座 六葉印

右

左



委聞書有

善來偈 普印

除障加護 刀鞘印

執金剛 五古印

被甲 如胎

摧伏諸魔 如隨行

難堪忍 如式

亦閼伽 如前

塗香 無所不至印也委聞書有

華鬘 前印不散二空二風本關付

此印開塔印似タリ

燒香 虛合二地開立制立水二火屈上節二風屈中節峰拄空端

右

左

此印事委聞書有

飲食 虛合二空入月

此印虛合二空掌折入

燈明 虛合二空立アリ如式但並立ナリ

普供養 普印

讃四智 普印

我今 普印

此事委聞書有

根本印等 十四印

第一根本印 如十八道

第二寶山印 內縛印也

第三頭印 以二金剛拳定慧拳上左拳向身右拳仰上置也

第四眼印 如式但委聞書有

有二空上節掌折入二內圓立合

委聞書有先內縛二風立合二空掌折入

第五口印 口護觀此印護身印似別二小交入中二水指並折入空以押但風火背ヒッ付也

小指 水指 小指

第六心密印 無所不至印也

第七甲印 虛合二火立合二風住火初節二水寶形地空各立開印心兩肩喉頂散

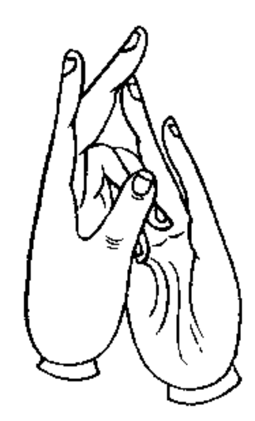
二空風本付也
二地水付也

第八師子奮迅 前印右風舒開也

第九火焰印 此印前倶胝梵燒印コトシ但少カハレリ右風左火本節キダメヲサスナリ轉樣聞書有

委聞書有

第十火焰輪止印 此印前金剛幕至燄光焔三摩地印也委聞書有



第十一商佉印 此印委聞書有能々見分結フヘシ是法螺印ナリ

第十二劍印 刀鞘印ヌカス動セスシテ前置也委聞書有少印アケテ持也

第十三羂索印 此印左地水火風四指並屈空峯風峯捻右地水火三指並屈空水指甲捻風舒左掌ウツムケ入



委聞書有

第十四三鈷金剛印 右空風捻地水火立右乳邊置小三古印ナリ地水火三指各アヒタアリ

十九布字 皆忿怒拳作兩拳地風中節合付掌心向



加持珠 如常
本尊觀 火印當心
根本印 索印也
次刀鞘印 二印三明ゴトシ
正念誦
次入定 定印
根本印 如前二印三明
部母印明 大呪
百字明 索印
此次事業金剛式デレトモ當流ニハセサルナリ
塗香
華鬘
燒香
飲食
燈明
普供養
讃 四智
閼伽
振鈴
廻向方便 已上如前
隨方廻向 如常
加持供 金合
解界 離塔忍印如胎
示三摩耶 入佛三昧耶印
奉送 如隨行
入佛三昧耶 法界生
轉法輪 被甲
字觀 已上如前
不動護身 刀鞘印如被身

佛眼印明 如十八道小呪
起去　堂外作善 如常

永正七庚午年四月十日於加州小原藥
師寺佛殿書之
白山寺住侶實藏坊
金剛佛子　永禪
願以書寫功德力自他法界證菩提後
覽人可□陀羅尼一遍迴向候但阿闍
梨位仁守斯可授行者初心行者曾不
可見之

寬永五戊辰曆霜月二十二日南山無
動寺於寶生坊書之

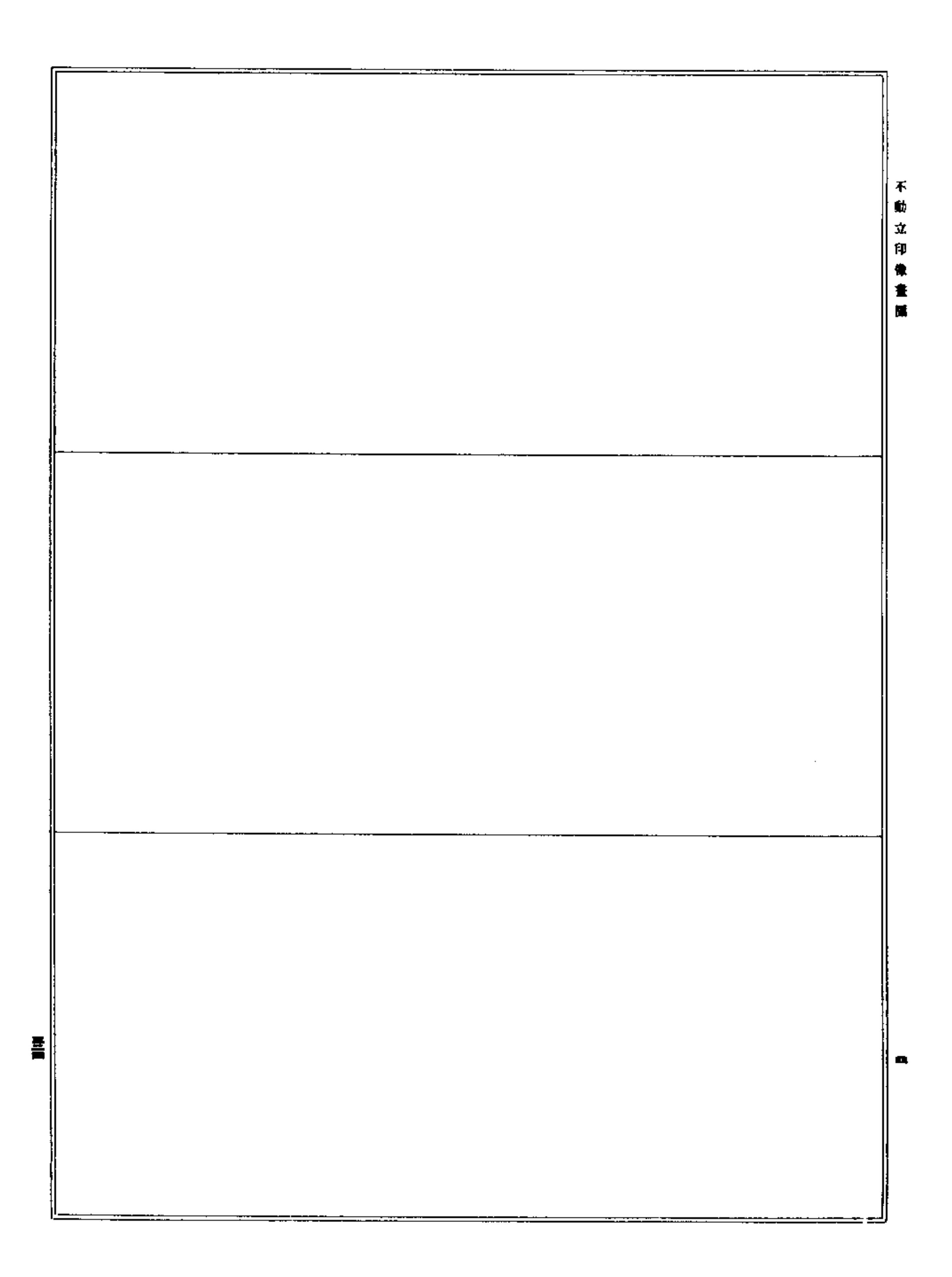
元祿二己巳年五月二十八日於東叡
山灌室書之
金剛佛子 常騰　公英拜書

右以御本書寫之
寶曆五乙亥八月下旬
金剛佛子　亮容

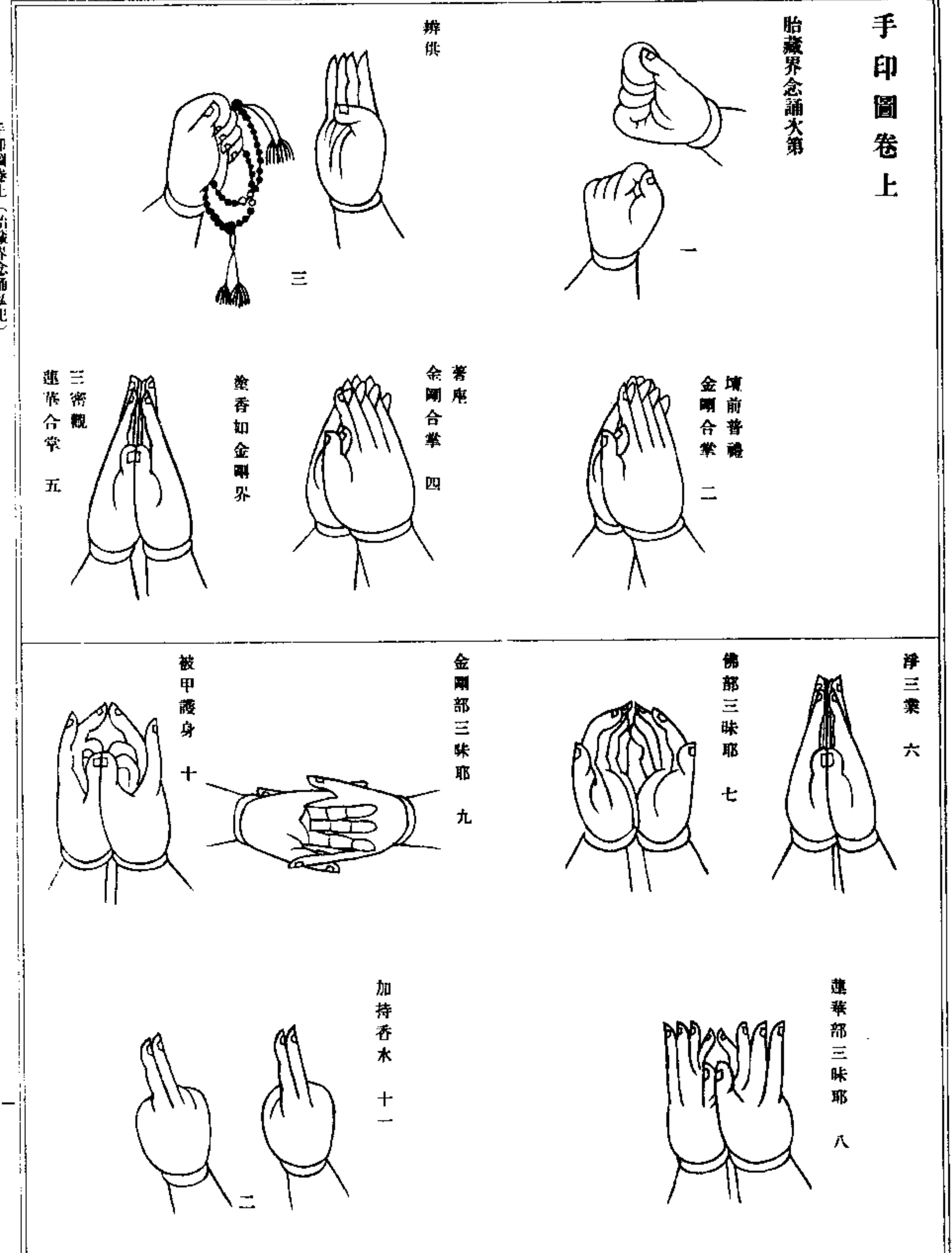
右以御本拜寫之了
明和六己丑年九月二十八日
佛子　慈藤豪堅

寛政七乙卯十一月二十八日於金龍
山荒澤堂不動前書寫之了
智圓亮榮

右以亮榮本
享和元辛酉年三月二日於江都淺草
金龍山本院當御別當代淵海霞城謹
書寫之
乃至法界平等拔濟
花押



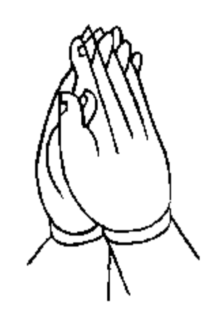
手印圖卷上


胎藏界念誦次第
一
辨供
三
壇前普禮
金剛合掌　二
著座
金剛合掌　四
塗香如金剛界
三密觀
蓮華合掌　五
淨三業　六
佛部三昧耶　七
金剛部三昧耶　九
被甲護身　十
蓮華部三昧耶　八
加持香水　十一
二

曬字觀
金剛合掌　三



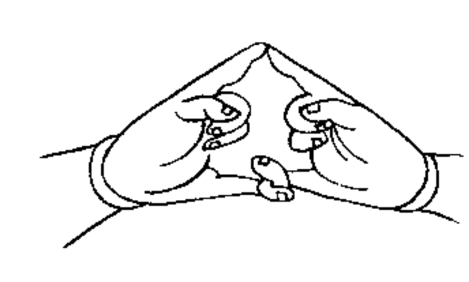
觀佛
金剛合掌　四



本尊普禮
九方便　六



金剛起　五
劍印



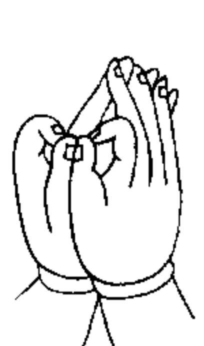
啓白
神分
祈願
九方便

金剛部三昧耶之印

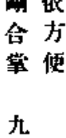


七

大惠刀印　八



歸依方便
金剛合掌　九



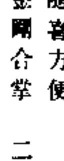
發菩提心方便
法界定印　二十一

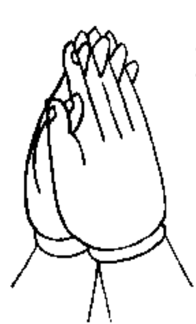
施身方便
金剛合掌　二十



隨喜方便
金剛合掌　二

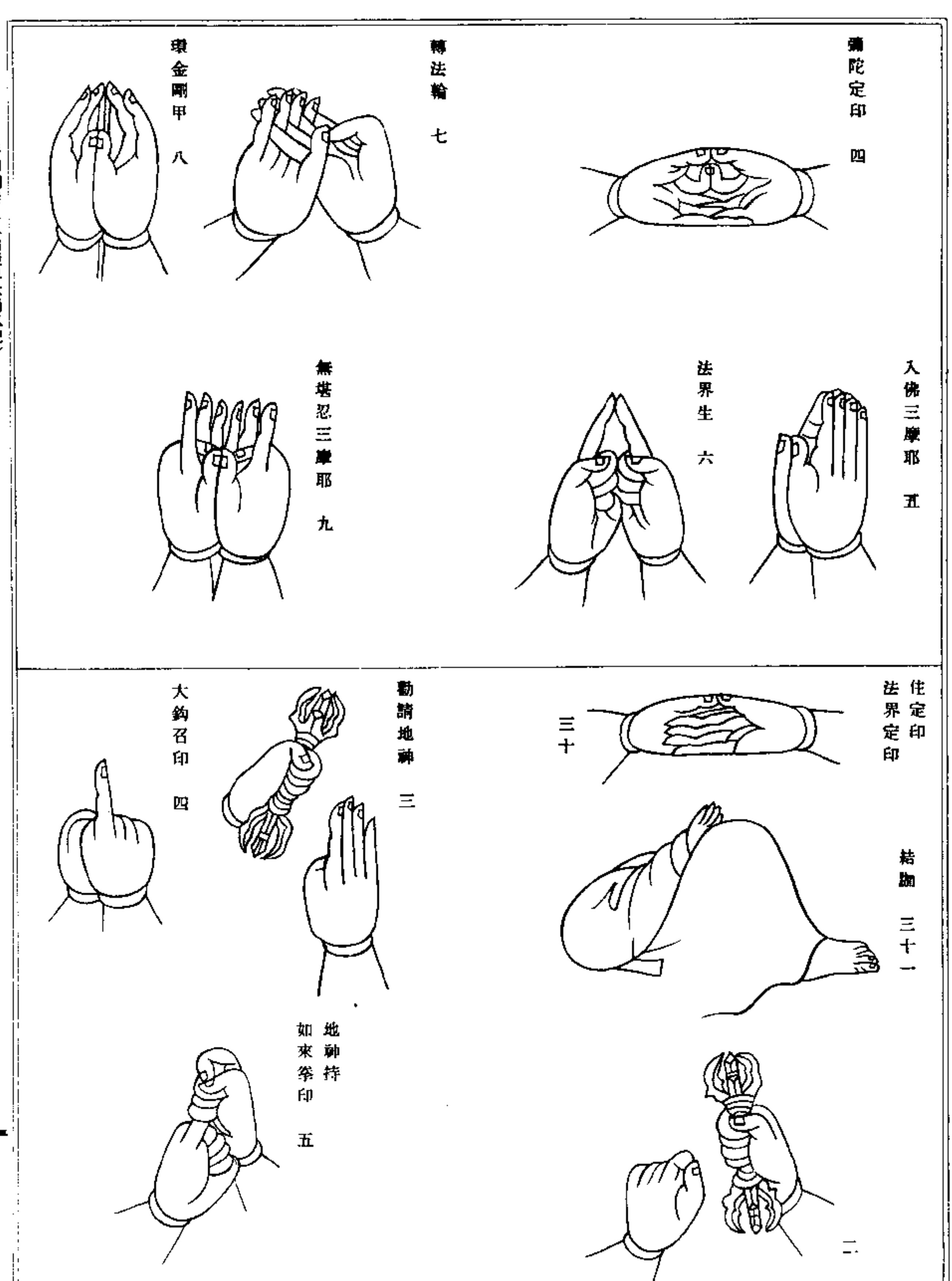


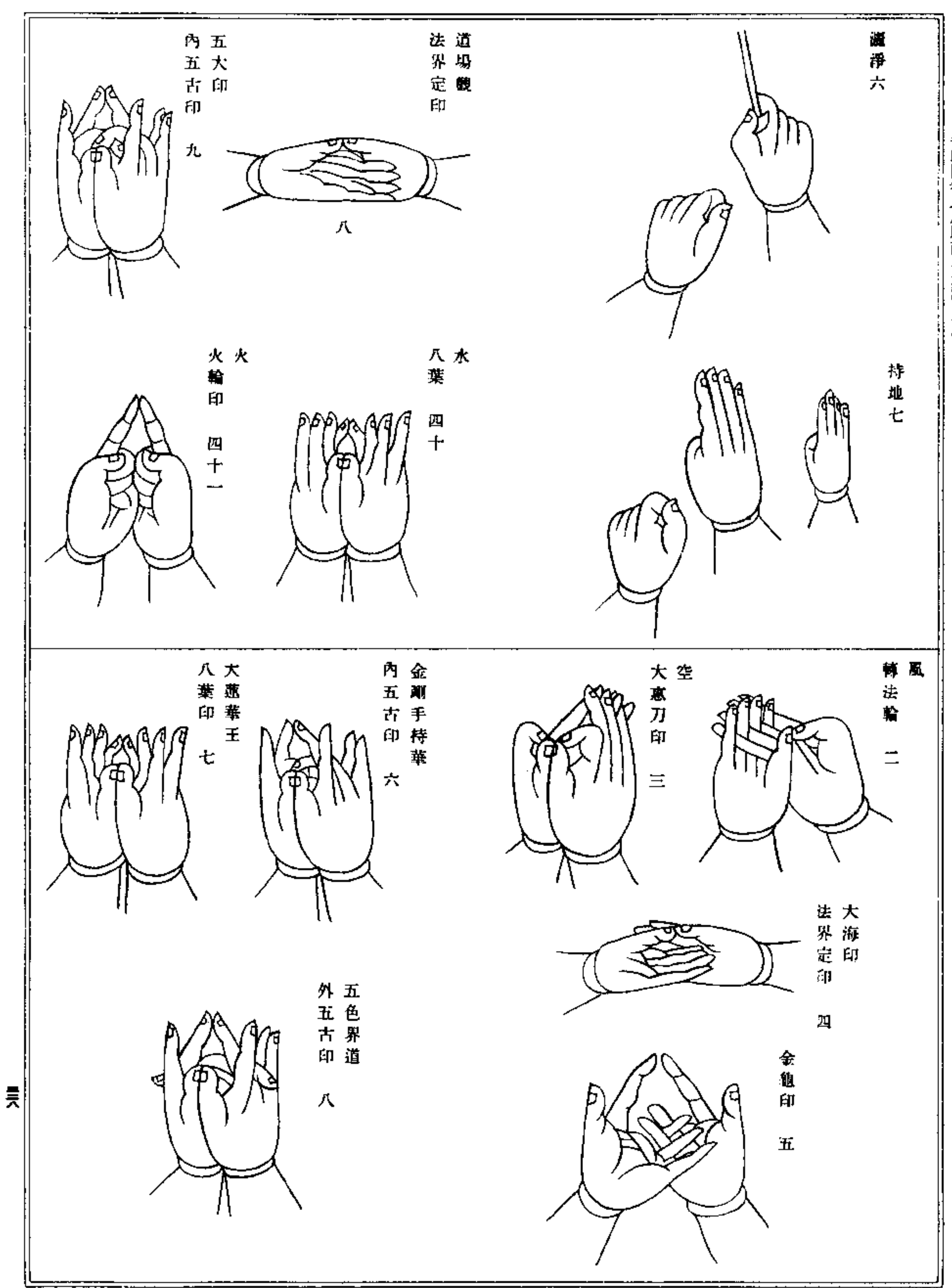


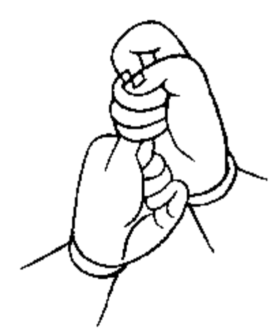
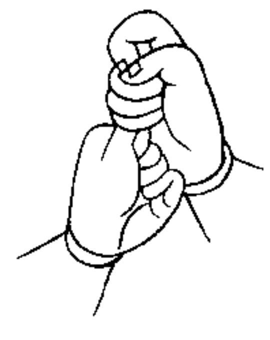


奉請法身方便
金剛合掌　三




彌陀定印　四
入佛三摩耶　五
法界生　六
轉法輪　七
環金剛甲　八
無堪忍三摩耶　九
住定印
法界定印
三十
結跏　三十一
勸請地神　三
大鈎召印　四
地神持
如來拳印　五
二

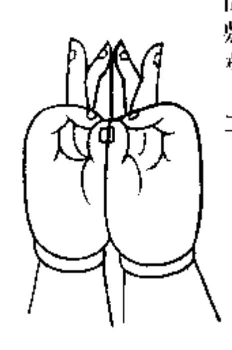

灑淨 六
道場觀
法界定印
八
五大印
內五古印 九
持地 七
水
八葉 四十
火
火輪印 四十一
風
轉法輪 二
空
大慧刀印 三
金剛手持華
內五古印 六
大蓮華王
八葉印 七
大海印
法界定印 四
金龜印 五
五色界道
外五古印 八

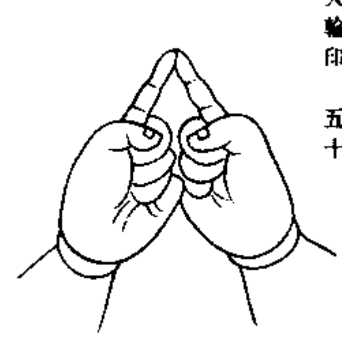
住如來拳印　九



秘密八印
大威德生
寶幢　五十一



金剛不壞
開敷華　二



三部字輪觀
火輪印　五十



蓮華藏
阿彌陀
八葉印　三



萬德莊嚴
散香　四

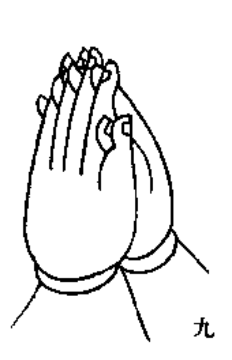


一切支分生
普賢菩薩　五

世尊陀羅尼
觀自在　六



滿足一切智々
外五古印　六十



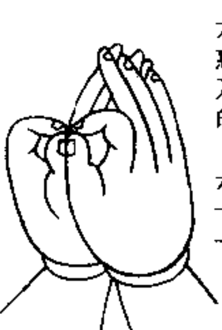
九



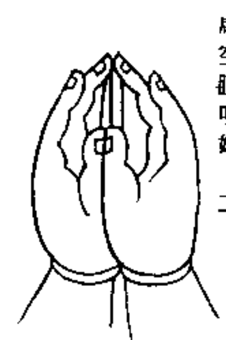
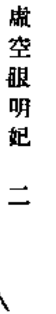
文殊師利菩薩法住　七



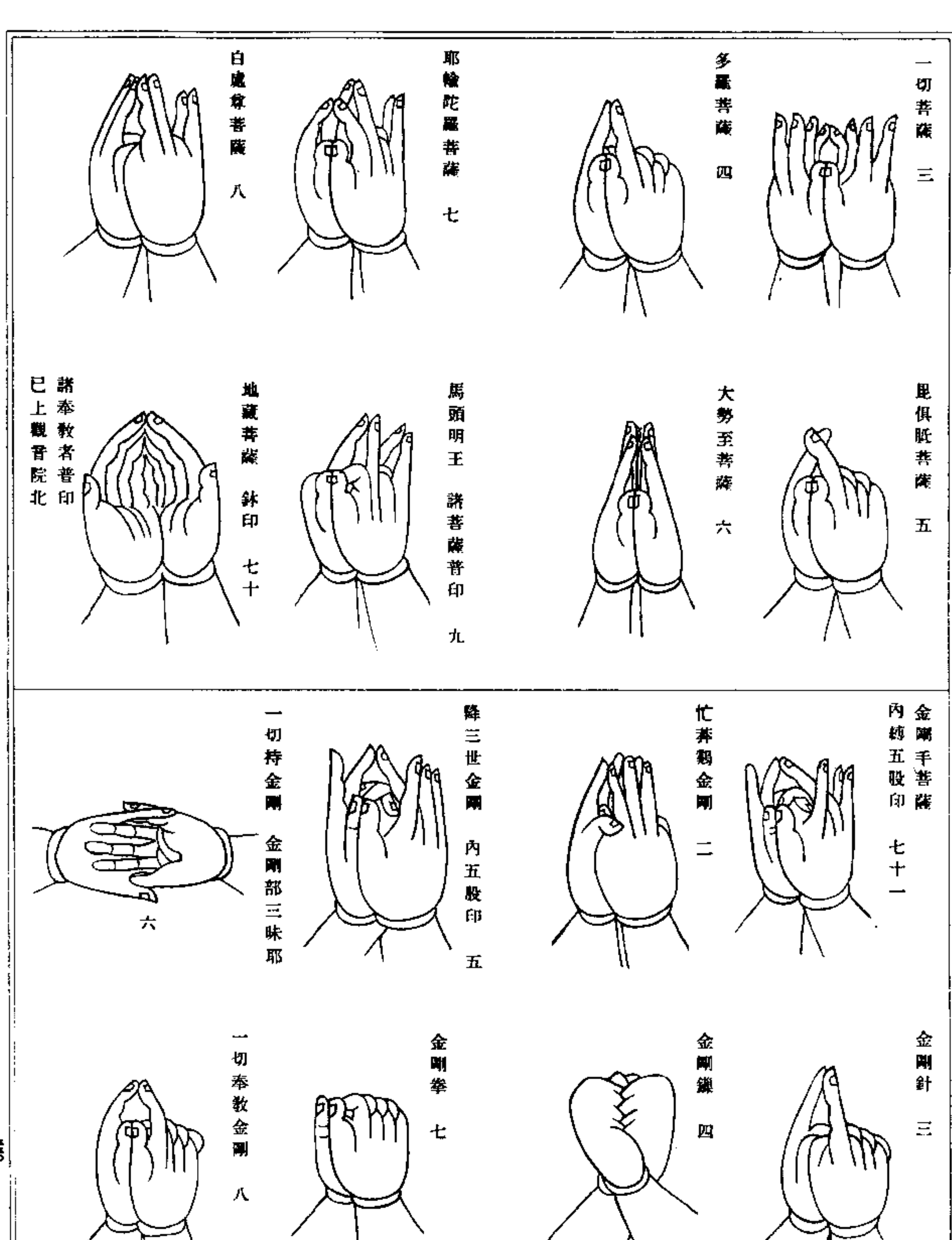
迅疾持
彌勒菩薩　八

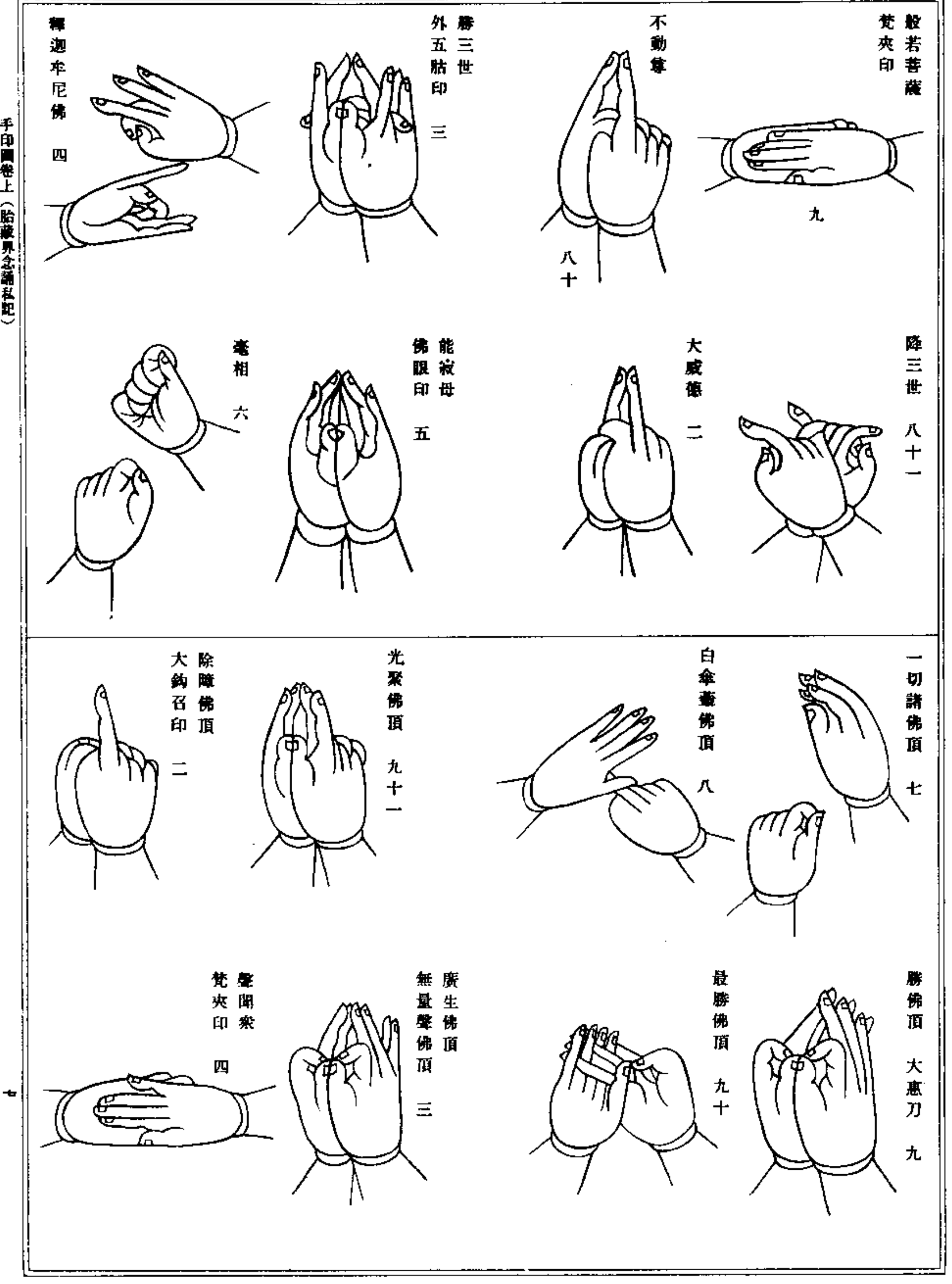


遍法界無所不至
大慧刀印　六十一

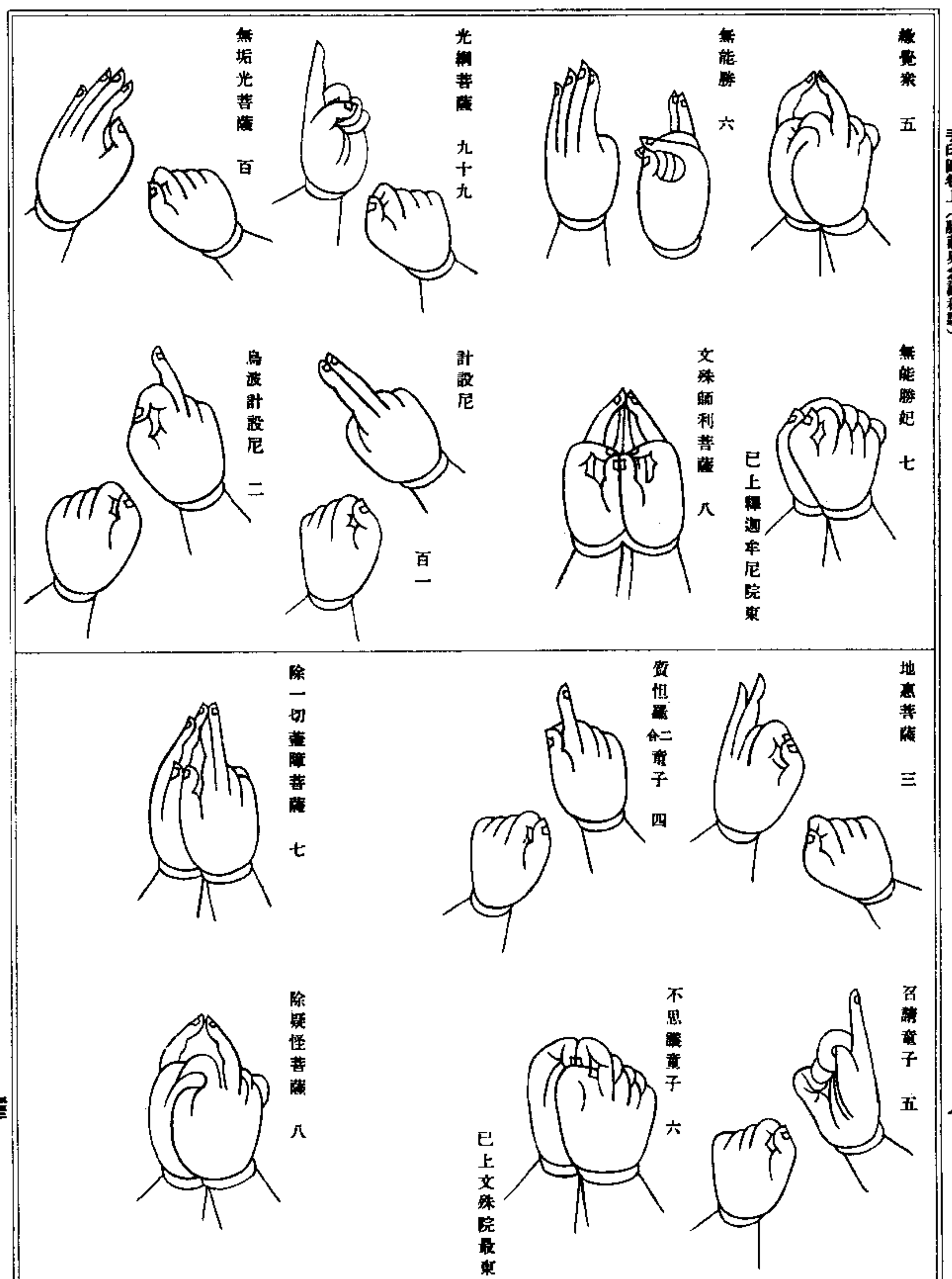



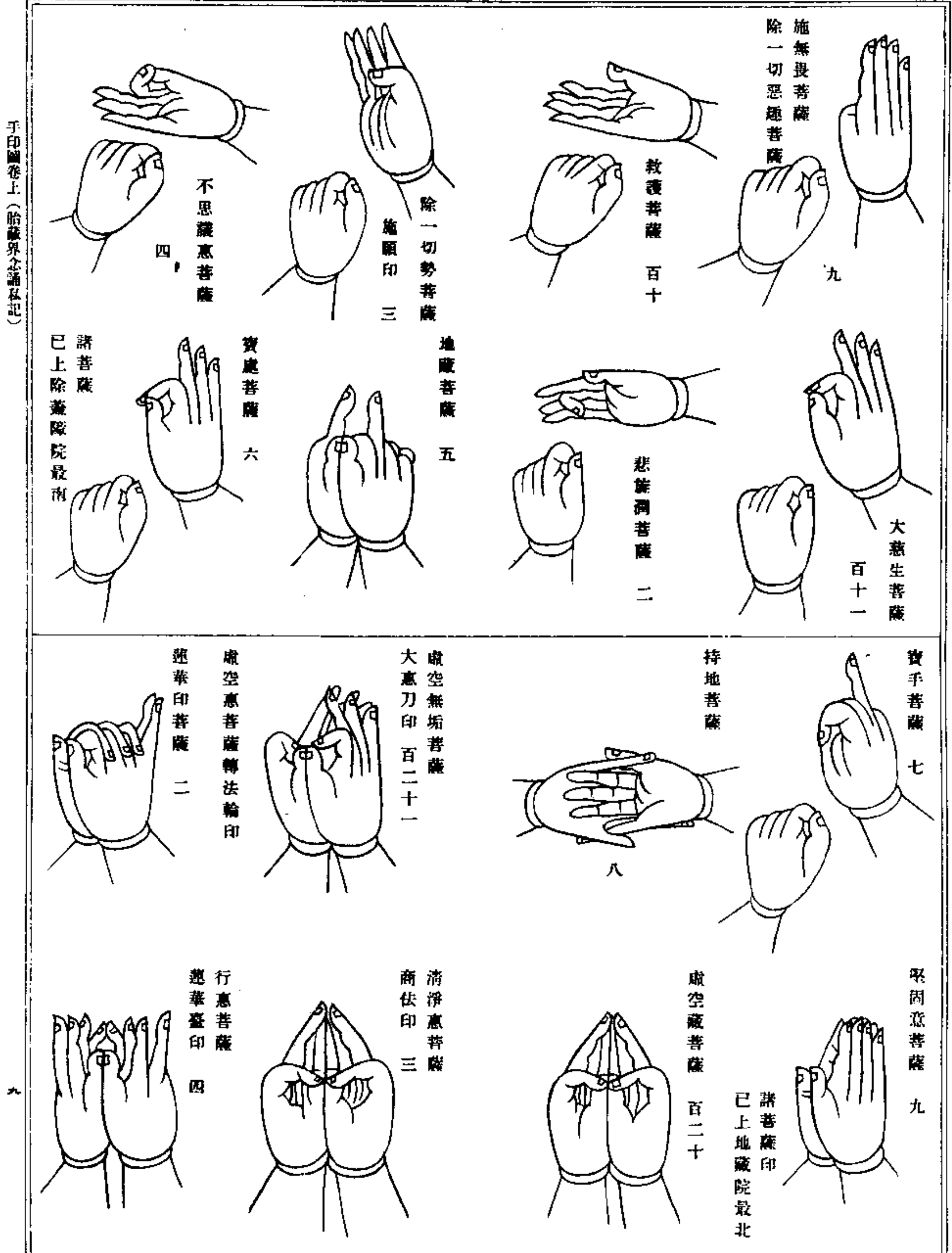
虛空眼明妃　二


一切菩薩 三
多羅菩薩 四
耶輸陀羅菩薩 七
白處尊菩薩 八
毘俱胝菩薩 五
大勢至菩薩 六
馬頭明王 諸菩薩普印 九
地藏菩薩 鉢印 七十
諸奉教者普印
已上觀音院北
金剛手菩薩
內縛五股印 七十一
忙莽鷄金剛 二
降三世金剛 內五股印 五
一切持金剛 金剛部三昧耶
六
金剛針 三
金剛鏁 四
金剛拳 七
一切奉教金剛 八

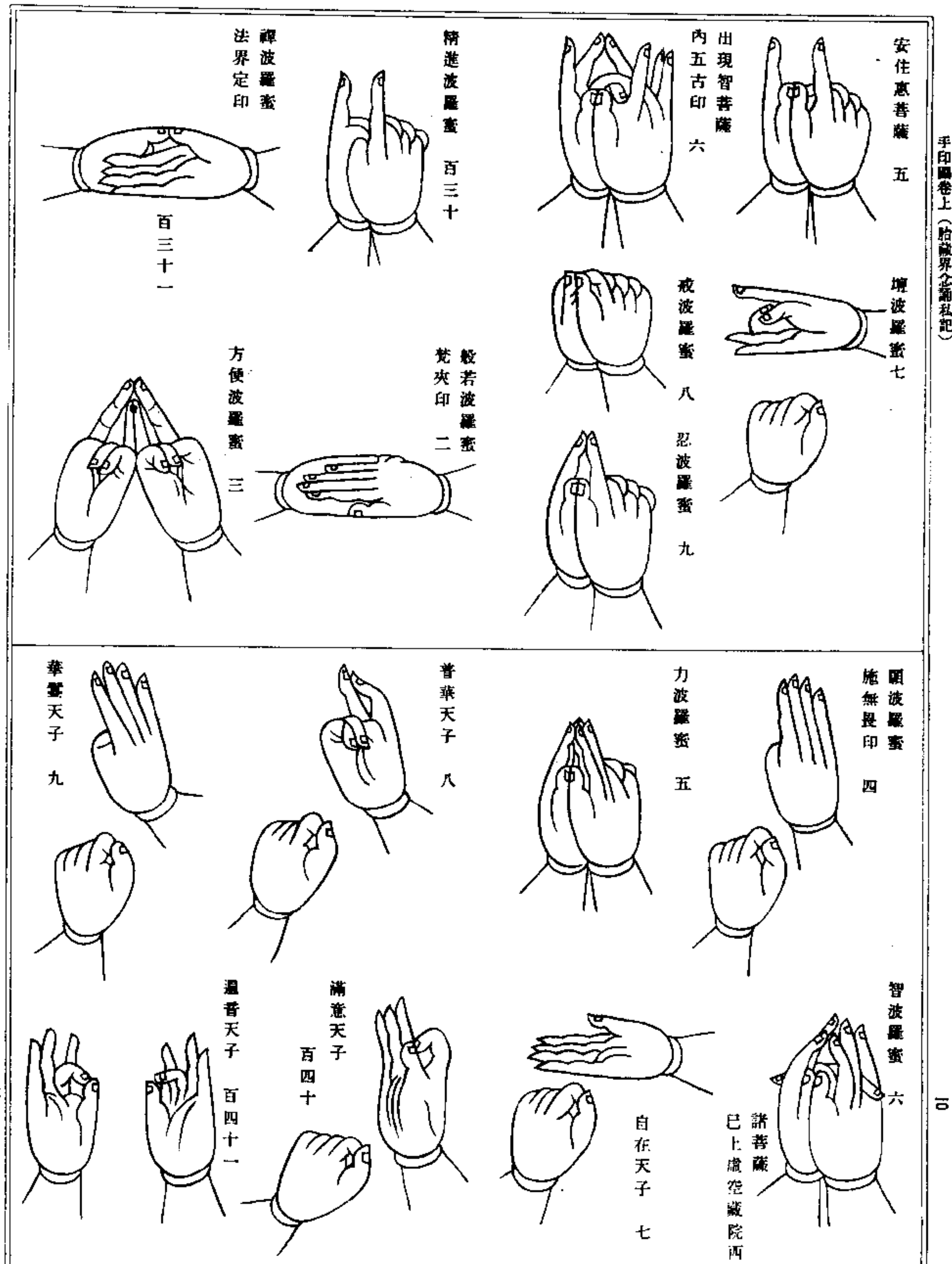


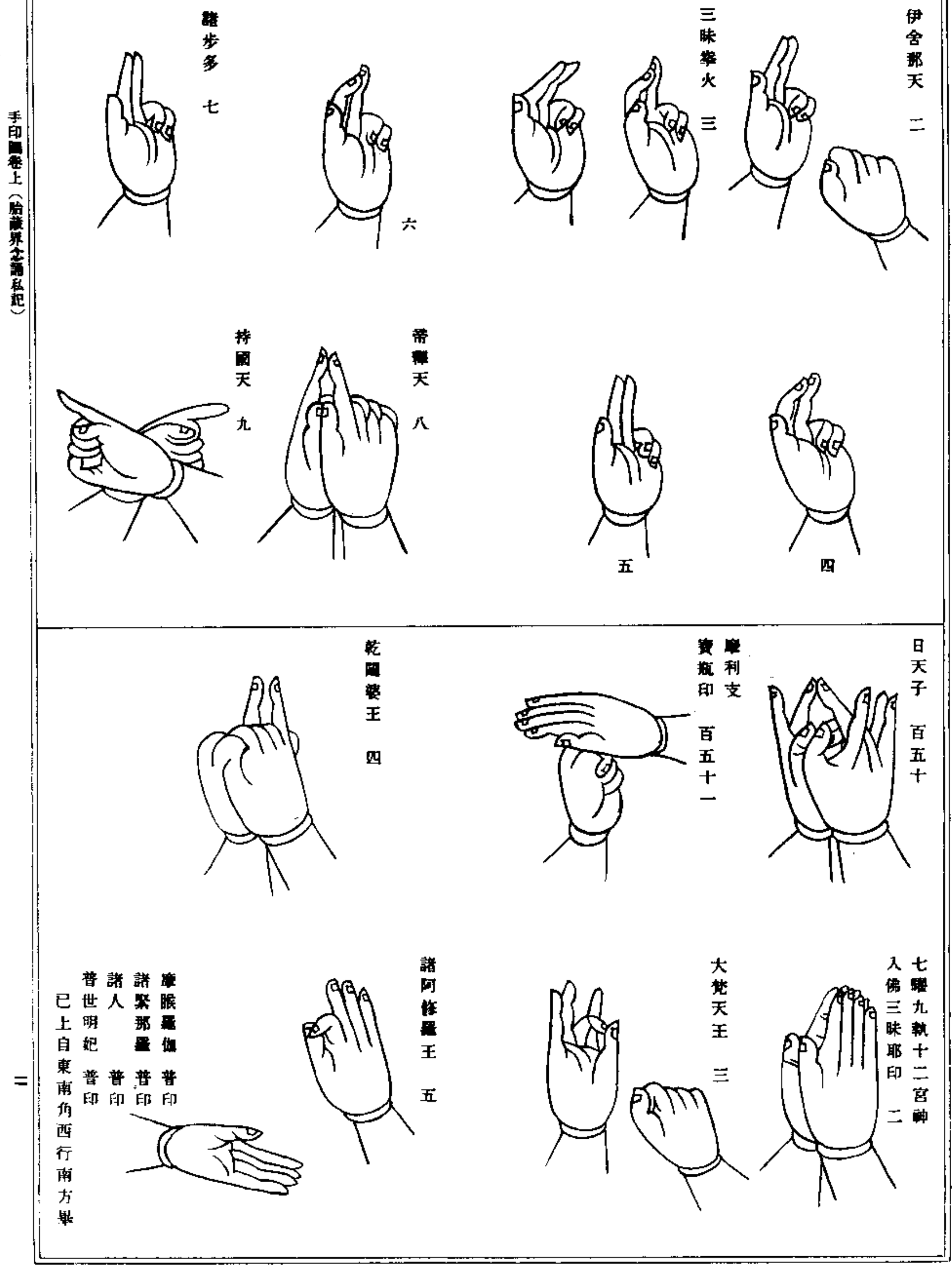
般若菩薩 梵夾印
九
不動尊
八十
勝三世 外五鈷印 三
釋迦牟尼佛 四
降三世 八十一
大威德 二
能寂母 佛眼印 五
毫相 六
一切諸佛頂 七
白傘蓋佛頂 八
光聚佛頂 九十一
除障佛頂 大鉤召印 二
勝佛頂 大惠刀 九
最勝佛頂 九十
廣生佛頂 無量聲佛頂 三
聲聞衆 梵夾印 四

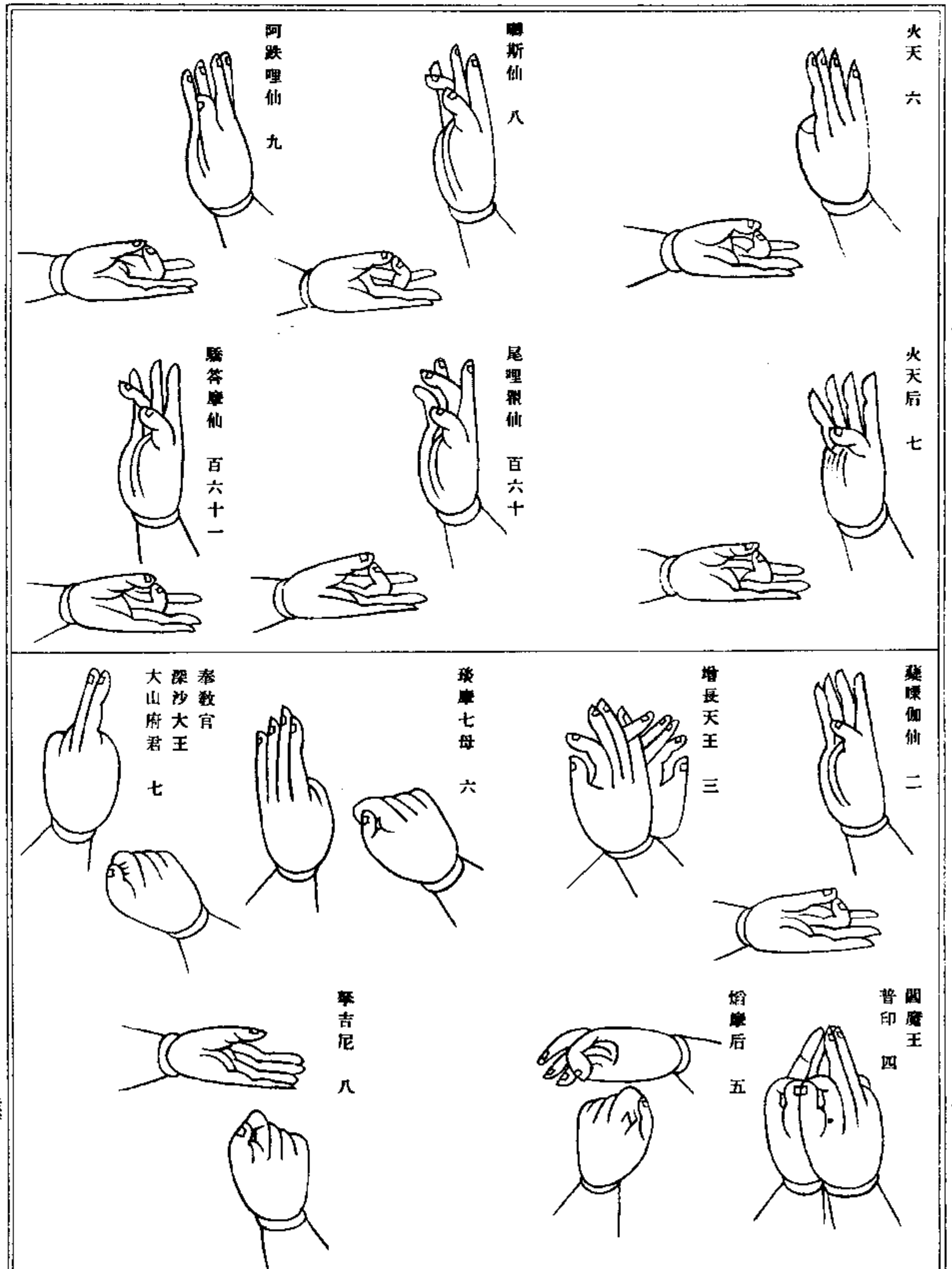

緣覺衆　五
無能勝　六
光網菩薩　九十九
無垢光菩薩　百
無能勝妃　七
已上釋迦牟尼院東
文殊師利菩薩　八
計設尼　百一
烏波計設尼　二
地惠菩薩　三
質怛羅二合童子　四
除一切蓋障菩薩　七
召請童子　五
不思議童子　六
已上文殊院最東
除疑怪菩薩　八

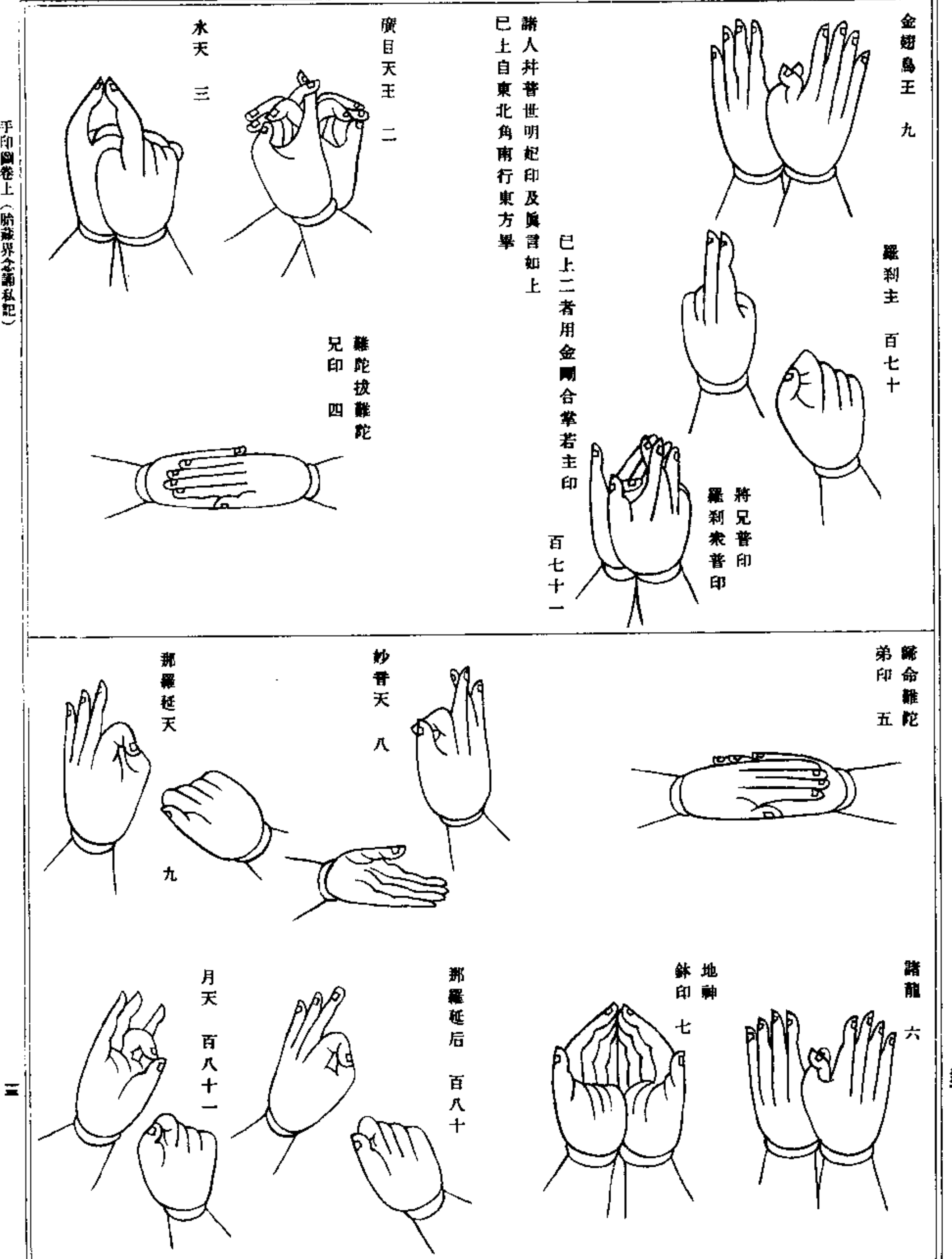


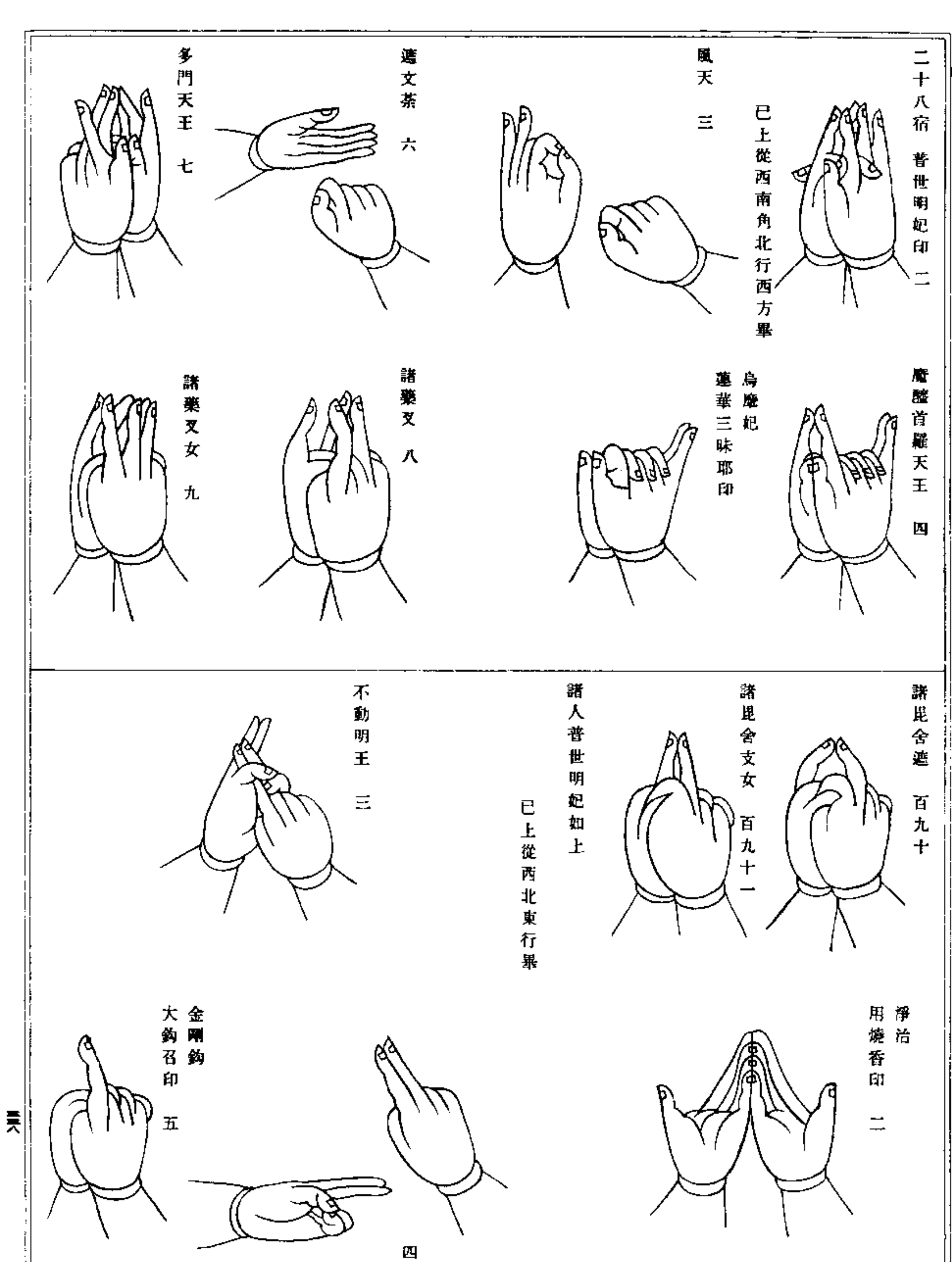
施無畏菩薩
除一切惡趣菩薩
九
救護菩薩　百十
除一切勢菩薩
施願印　三
不思議慧菩薩
四
大慈生菩薩
百十一
悲旋潤菩薩　二
地藏菩薩　五
寶處菩薩　六
諸菩薩
已上除蓋障院最南
寶手菩薩　七
持地菩薩
八
虛空無垢菩薩
大慧刀印　百二十一
虛空慧菩薩轉法輪印
蓮華印菩薩　二
堅固意菩薩　九
諸菩薩印
已上地藏院最北
虛空藏菩薩　百二十
清淨慧菩薩
商佉印　三
行慧菩薩
蓮華臺印　四

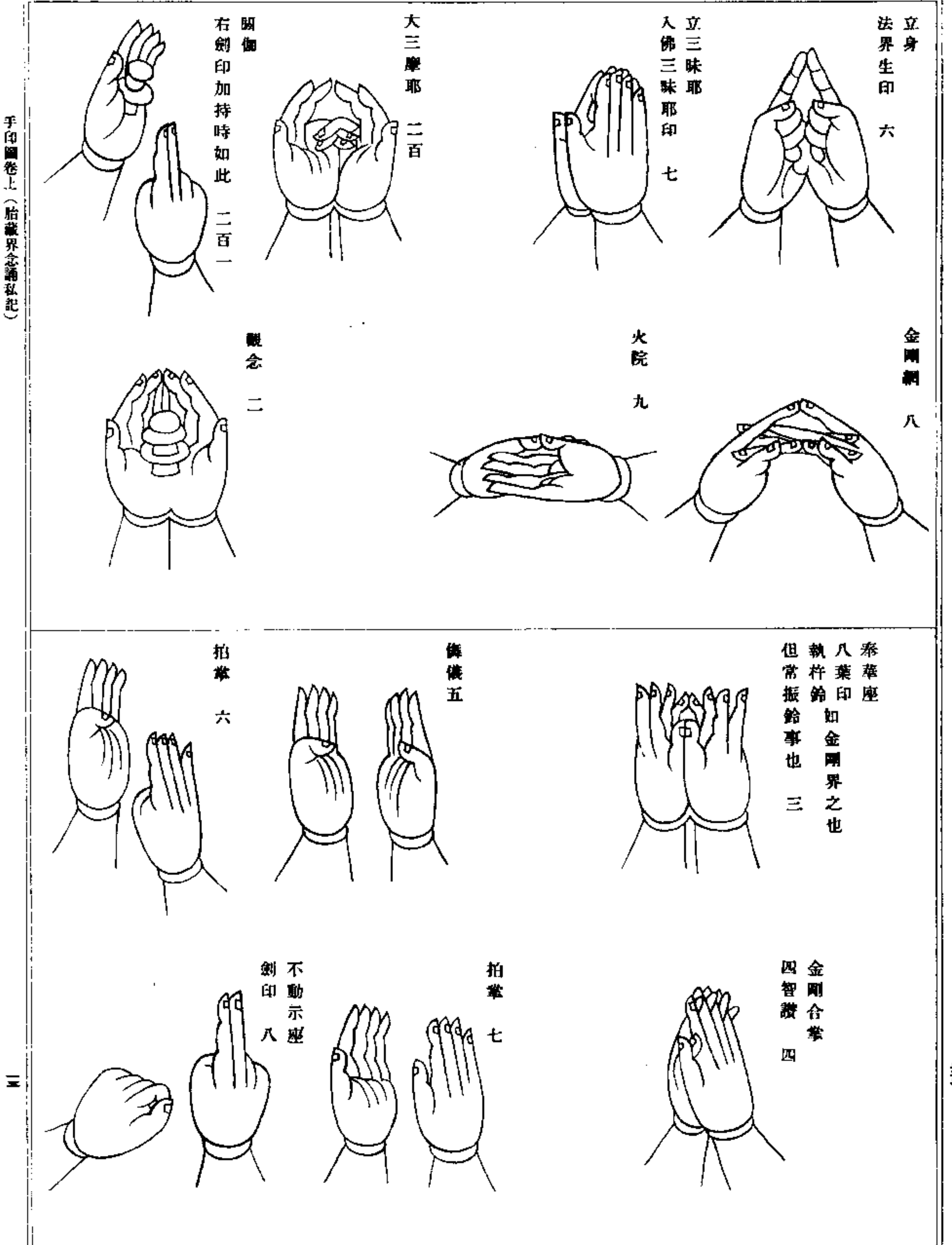

安住惠菩薩　五
出現智菩薩
內五古印　六
精進波羅蜜　百三十
禪波羅蜜
法界定印
百三十一
壇波羅蜜七
戒波羅蜜　八
忍波羅蜜　九
般若波羅蜜
梵夾印　二
方便波羅蜜　三
願波羅蜜
施無畏印　四
力波羅蜜　五
普華天子　八
華鬘天子　九
智波羅蜜　六
諸菩薩
已上虛空藏院西
自在天子　七
滿意天子
百四十
遍音天子　百四十一

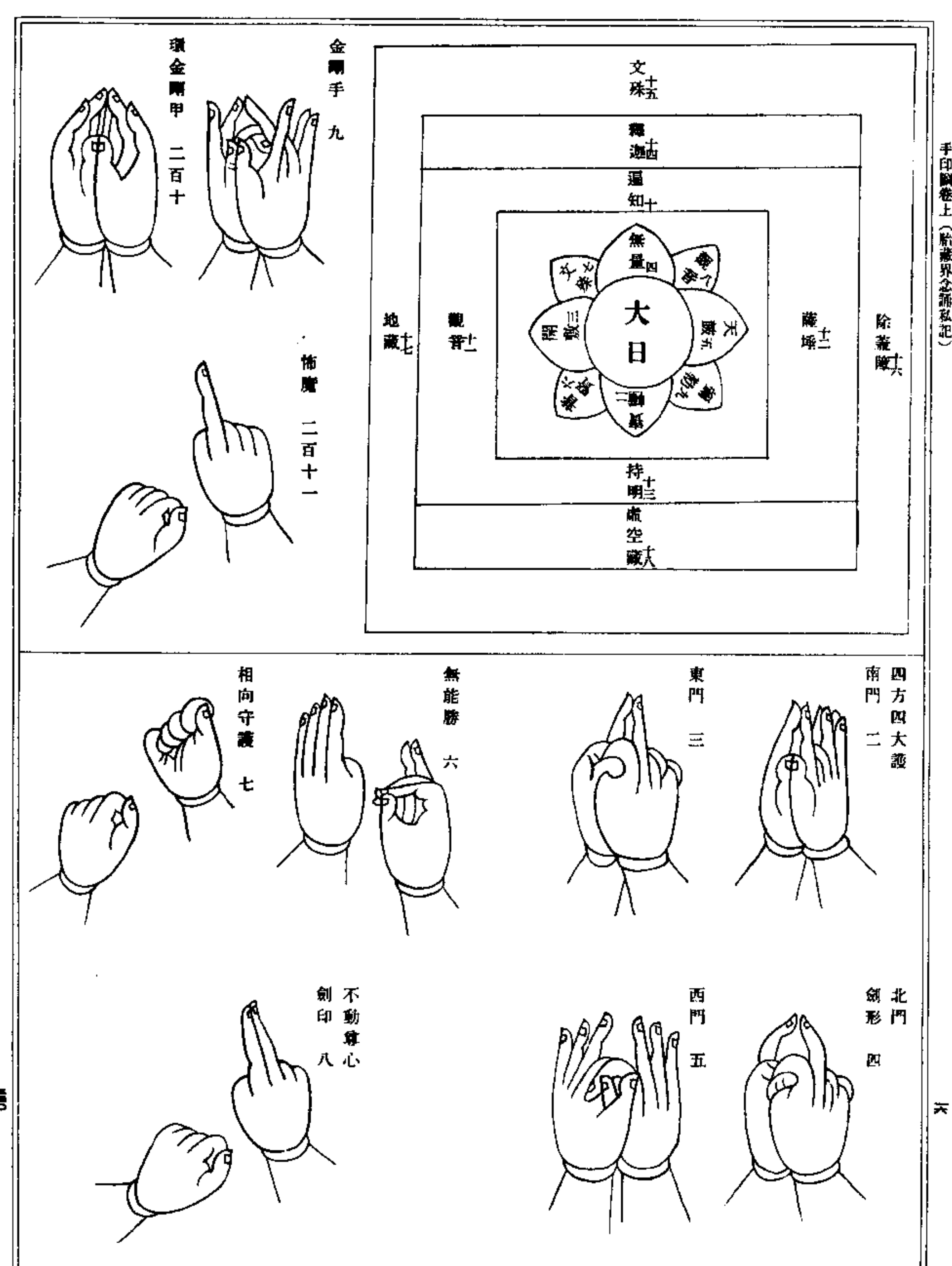

伊舍那天 二
三昧拳火 三
諸步多 七
六
五
四
帝釋天 八
持國天 九
日天子 百五十
摩利支
寶瓶印 百五十一
乾闥婆王 四
七曜九執十二宮神
入佛三昧耶印 二
大梵天王 三
諸阿修羅王 五
摩睺羅伽 普印
諸緊那羅 普印
諸人 普印
普世明妃 普印
已上自東南角西行南方畢

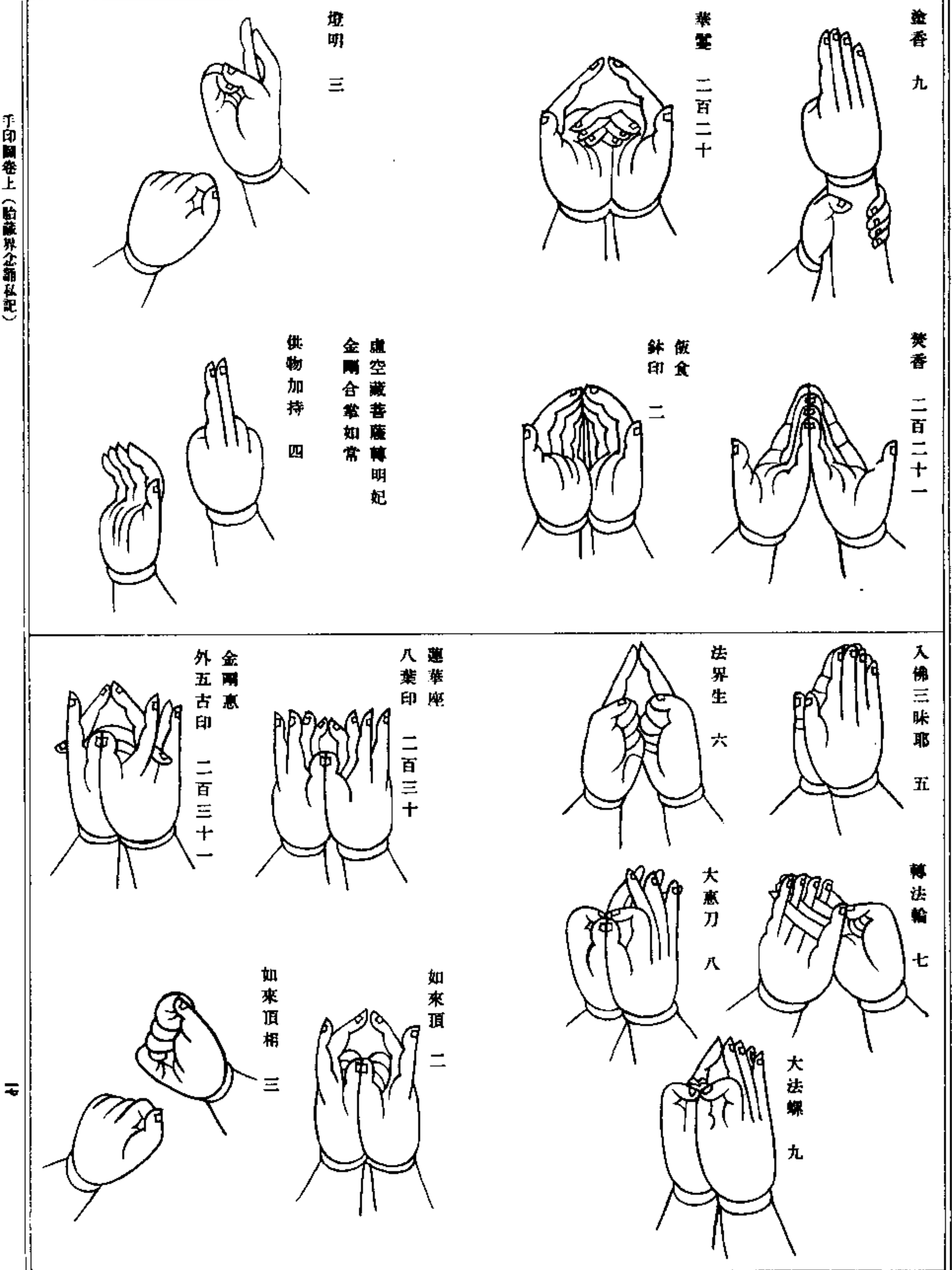

火天　六
嚩斯仙　八
阿跌哩仙　九
火天后　七
尾哩瞿仙　百六十
驕答摩仙　百六十一
蘖嘌伽仙　二
增長天王　三
琰摩七母　六
奉教官
深沙大王
大山府君　七
閻魔王
普印　四
焰摩后　五
拏吉尼　八

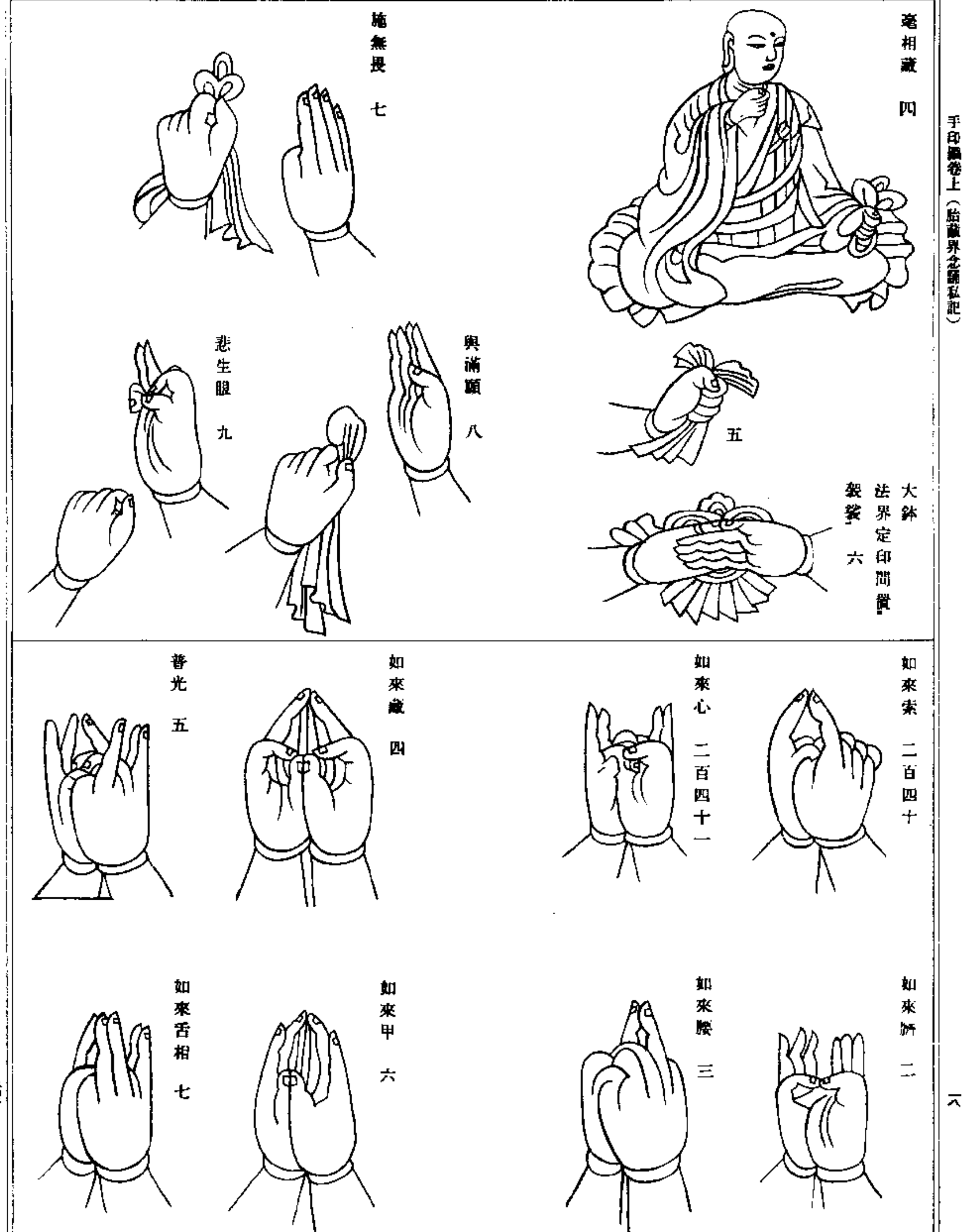

金翅鳥王　九
羅刹主　百七十
已上二者用金剛合掌若主印
百七十一
將兄普印
羅刹衆普印
諸人并普世明起印及眞言如上
已上自東北角南行東方畢
廣目天王　二
水天　三
難陀拔難陀
兄印　四
歸命難陀
弟印　五
妙音天　八
那羅延天
九
諸龍　六
地神
鉢印　七
那羅延后　百八十
月天　百八十一


二十八宿　普世明妃印　二
已上從西南角北行西方畢
風天　三
遮文荼　六
多門天王　七
麼醯首羅天王　四
烏摩妃
蓮華三昧耶印
諸藥叉　八
諸藥叉女　九
諸毘舍遮　百九十
諸毘舍支女　百九十一
諸人普世明妃如上
已上從西北東行畢
不動明王　三
淨治
用燒香印　二
四
金剛鉤
大鉤召印　五

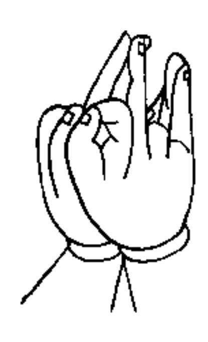
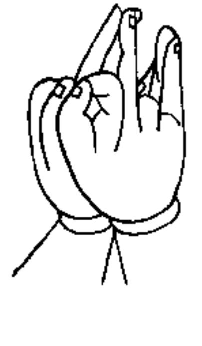

立身
法界生印　六
立三昧耶
入佛三昧耶印　七
大三摩耶　二百
胭伽
右劍印加持時如此　二百一
金剛綱　八
火院　九
觀念　二
薝華座
八葉印　如金剛界之也
執杵鈴
但常振鈴事也　三
儀五
拍掌　六
金剛合掌
四智讚　四
拍掌　七
不動示座
劍印　八


金剛手 九
環金剛甲 二百十
怖魔 二百十一
文殊十五
釋迦十四
遍知十
無量四
大日
天鼓五
觀音十一
地藏十七
薩埵十二
除蓋障十六
持明十三
虛空藏十八
四方四大護 南門 二
東門 三
無能勝 六
相向守護 七
北門 劍形 四
西門 五
不動尊心 劍印 八

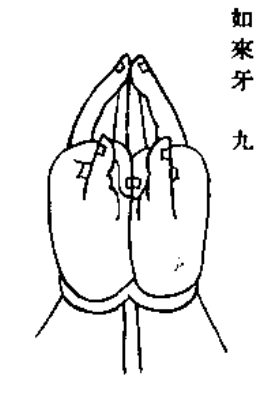

塗香 九
華鬘 二百二十
燈明 三
焚香 二百二十一
飯食 鉢印 二
虛空藏菩薩轉明妃 金剛合掌如常
供物加持 四
入佛三昧耶 五
法界生 六
蓮華座 八葉印 二百三十
金剛慧 外五古印 二百三十一
轉法輪 七
大慧刀 八
如來頂 二
如來頂相 三
大法螺 九


毫相藏 四
五
大鉢 法界定印間置 袈裟 六
施無畏 七
與滿願 八
悲生眼 九
如來索 二百四十
如來心 二百四十一
如來藏 四
普光 五
如來臍 二
如來腰 三
如來甲 六
如來舌相 七

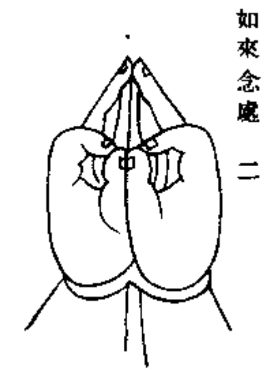
如來語 馬頭印 八

如來牙 九



如來念處 二



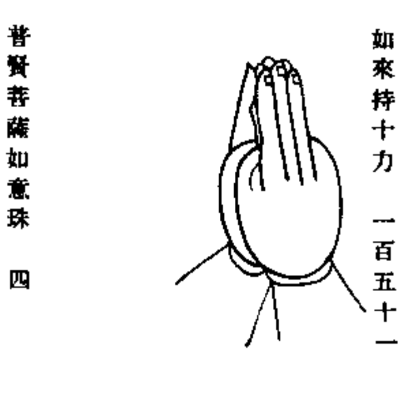
一切法平等開悟 三



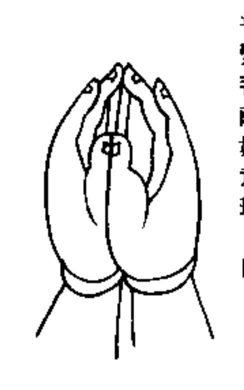
如來辯說 二百五十



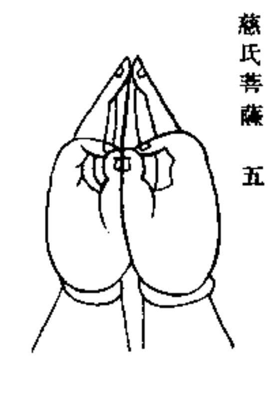

如來持十力 一百五十一



普賢菩薩如意珠 四



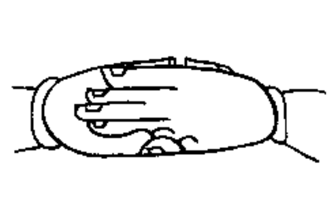
慈氏菩薩 五



時佛內縛三古印 六



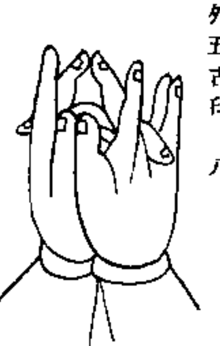
無能害力明妃 七



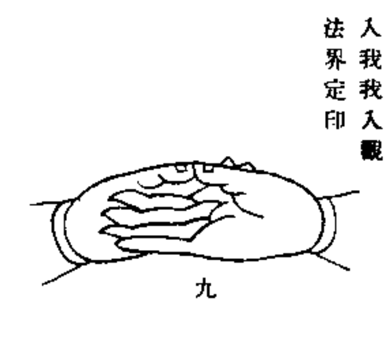
本尊加持如前 正念誦
外五古印 二百六十



本尊加持
外五古印 八



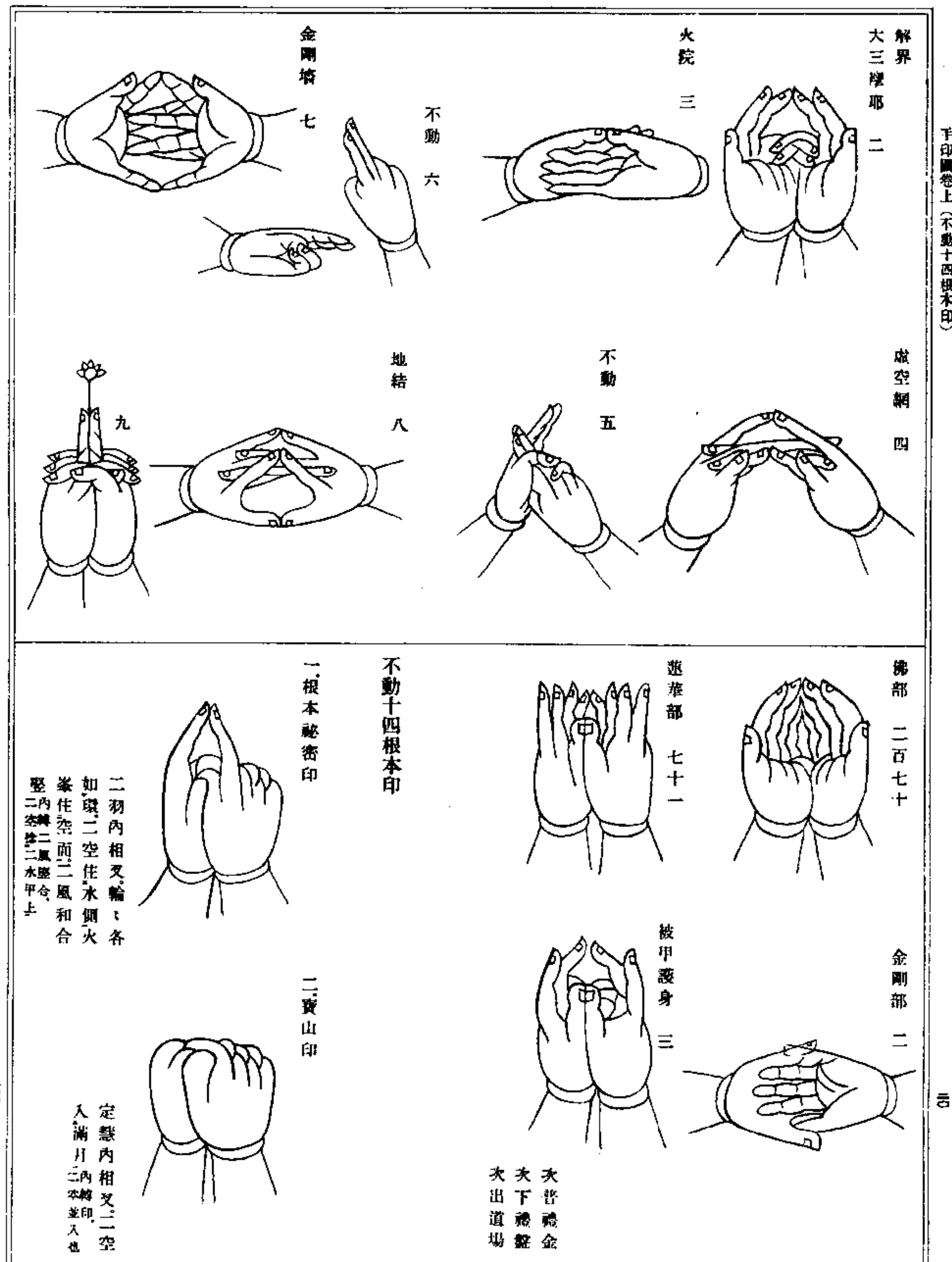
入我我入觀
法界定印

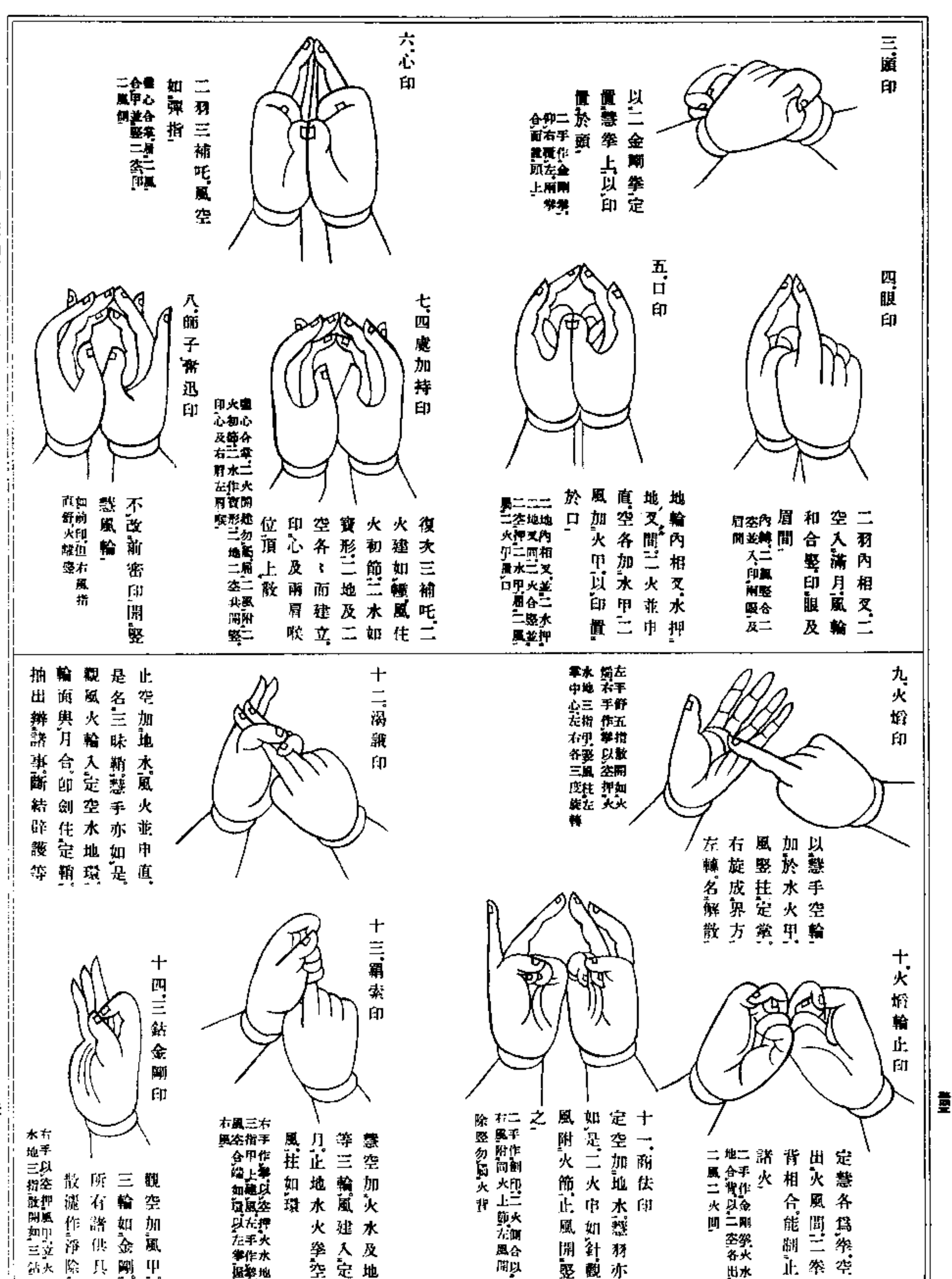


九

本尊加持
字輪觀
法界定印 二百六十一

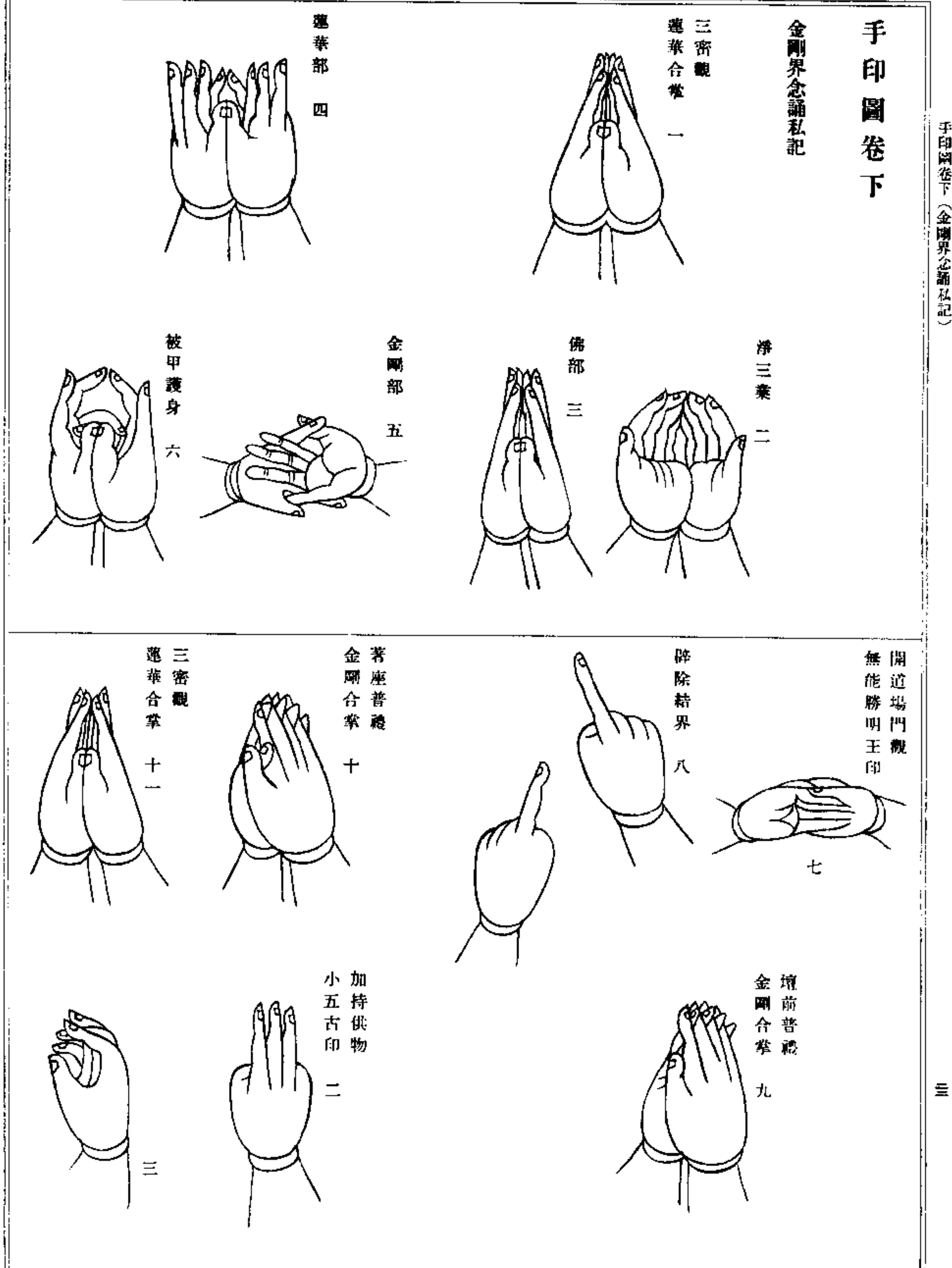


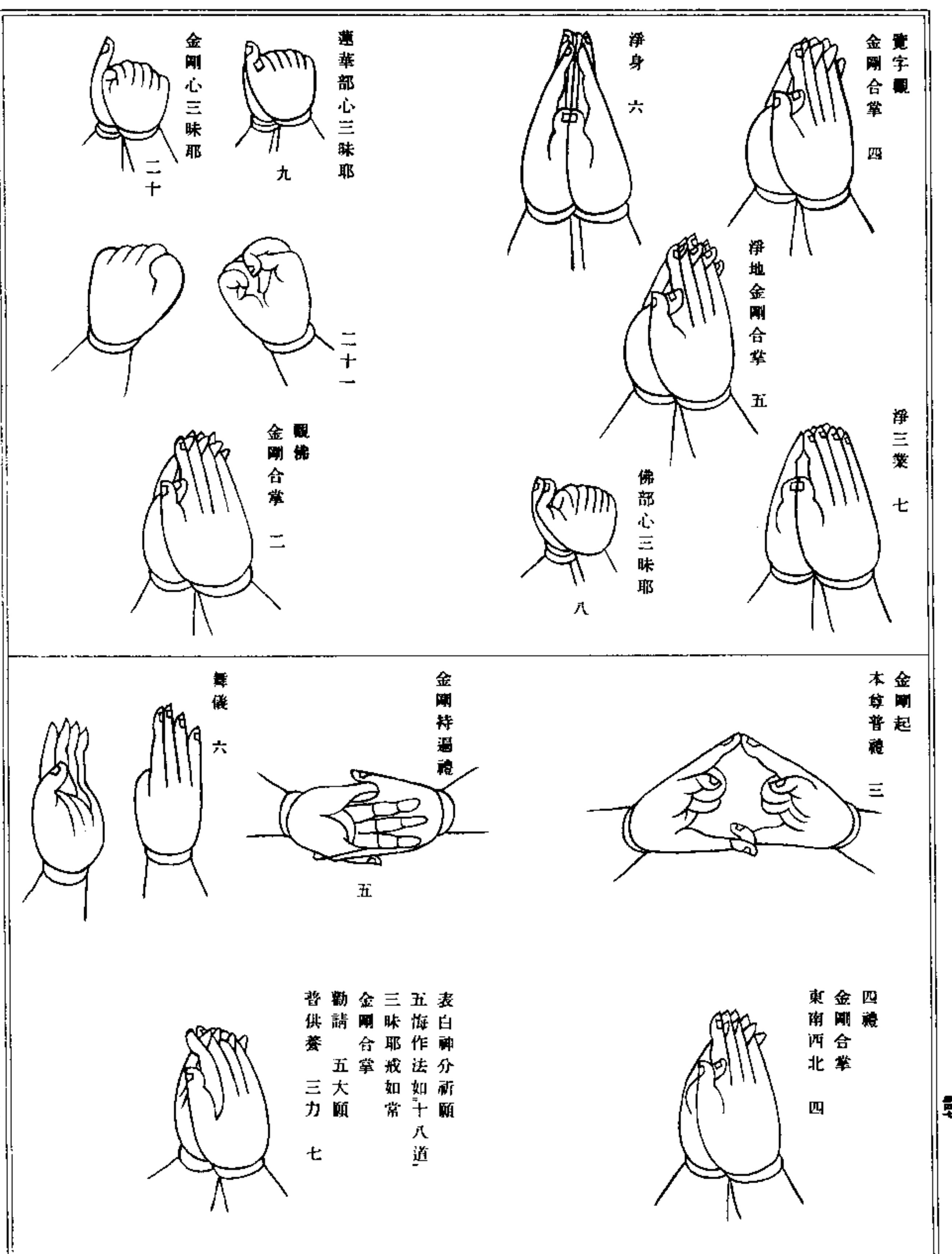

解界
大三摩耶 二
火院 三
虛空網 四
不動 五
不動 六
金剛墻 七
地結 八
九
佛部 二百七十
蓮華部 七十一
金剛部 二
被甲護身 三
次普禮金
次下禮盤
次出道場
不動十四根本印
一根本祕密印
二羽內相叉。輪〻各如環。二空住水側。火峯住空面。二風和合竪。内縛二風竪合、二空捻二水甲上
二寶山印
定慧內相叉。二空入滿月。内縛印。二空並入也

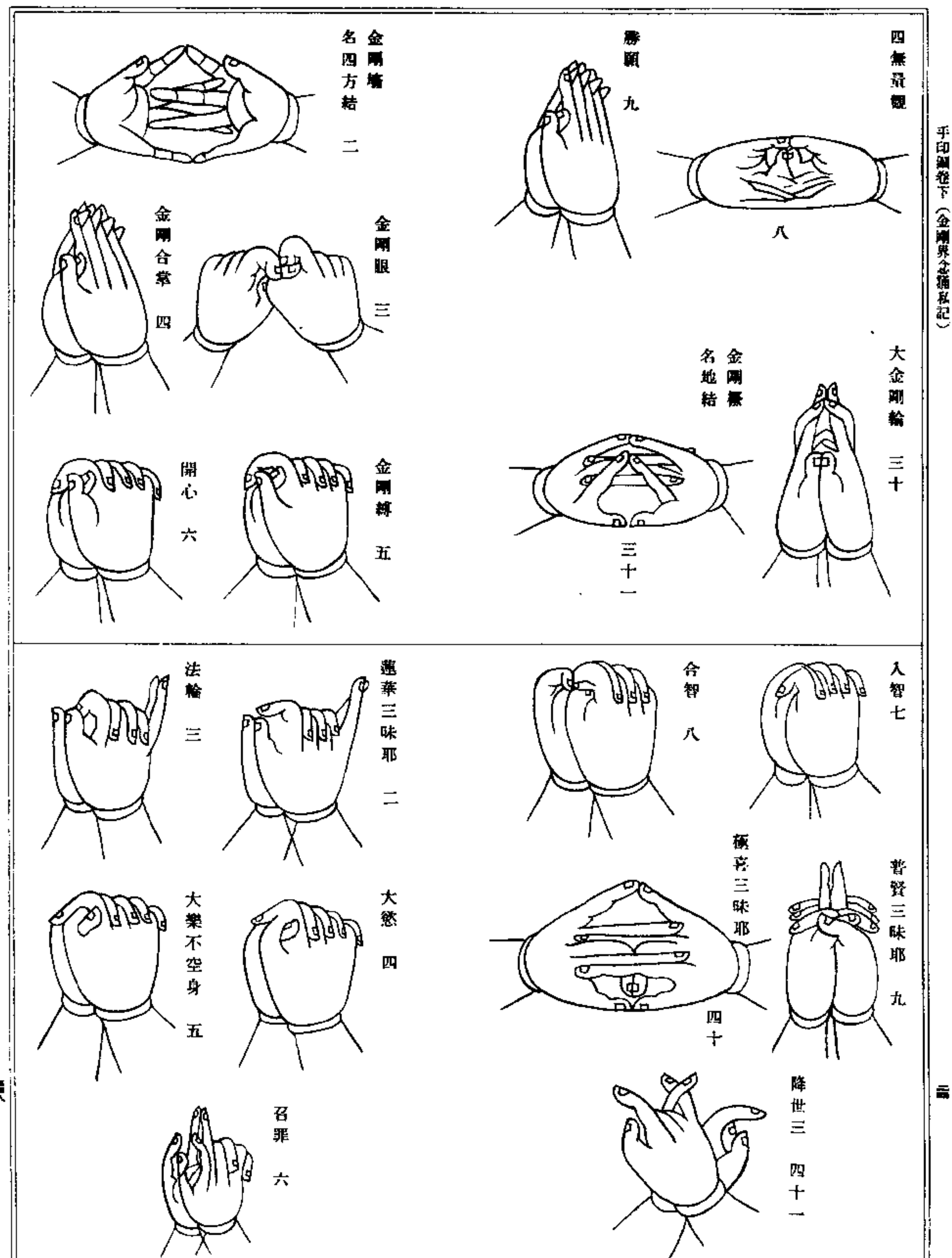

三、頂印
以二金剛拳定慧拳上以印置於頭
二手作金剛拳仰右覆左兩拳合面置頭上
四、眼印
二羽內相叉二空入滿月風輪和合豎印眼及眉間
內縛二風豎合二空並入印兩眼及二眉間
五、口印
地輪內相叉水押地叉間二火並申直空各加水甲二風加火甲以印置於口
二地內相叉並二水押二地叉兩二火合豎並二空押二水甲屈二風二火甲置口
六、心印
二羽三補吒風空如彈指
虛心合掌屈二風合甲並豎二空印二風側
七、四處加持印
復次三補吒二火建如幢風住火初節二水如寶形二地及二空各各而建立印心及兩肩喉位頂上散
虛心合掌二火開豎勿離二風附二火初節二水作寶形二地二空共開豎印心及右肩左肩喉
八、師子奮迅印
不改前密印開豎慧風輪
如前印但右風指直舒火離空
九、火焰印
以慧手空輪加於水火甲風豎拄定掌右旋成界方左轉名解散
左手舒五指散開如火焰右手作拳以空押火水地三指甲豎風拄左掌中心左右各三度旋轉
十、火焰輪止印
定慧各為拳空出火風間二拳背相合能制止諸火
二手作金剛拳火水地合背以二空各出二風二火間
十一、商佉印
定空加地水慧羽亦如是二火申如針觀風附火節止風開豎之
二手作制印二火側合以右風附同火上節左風開除豎勿屈火背
十二、渴誐印
止空加地水風火並申直是名三昧鞘慧手亦如是觀風火輪入定空水地環輪面與月合即劍住定鞘抽出辦諸事斷結辟護等
十三、羂索印
慧空加火水及地等三輪風建入定月止地水火拳空風拄如環
右手作拳以空押火水地三指甲上建風以左手作拳握右風空合端如環
十四、三鈷金剛印
觀空加風甲三輪如金剛所有諸供具散灑作淨除
右手以空押風甲立火水地三指散開如三鈷

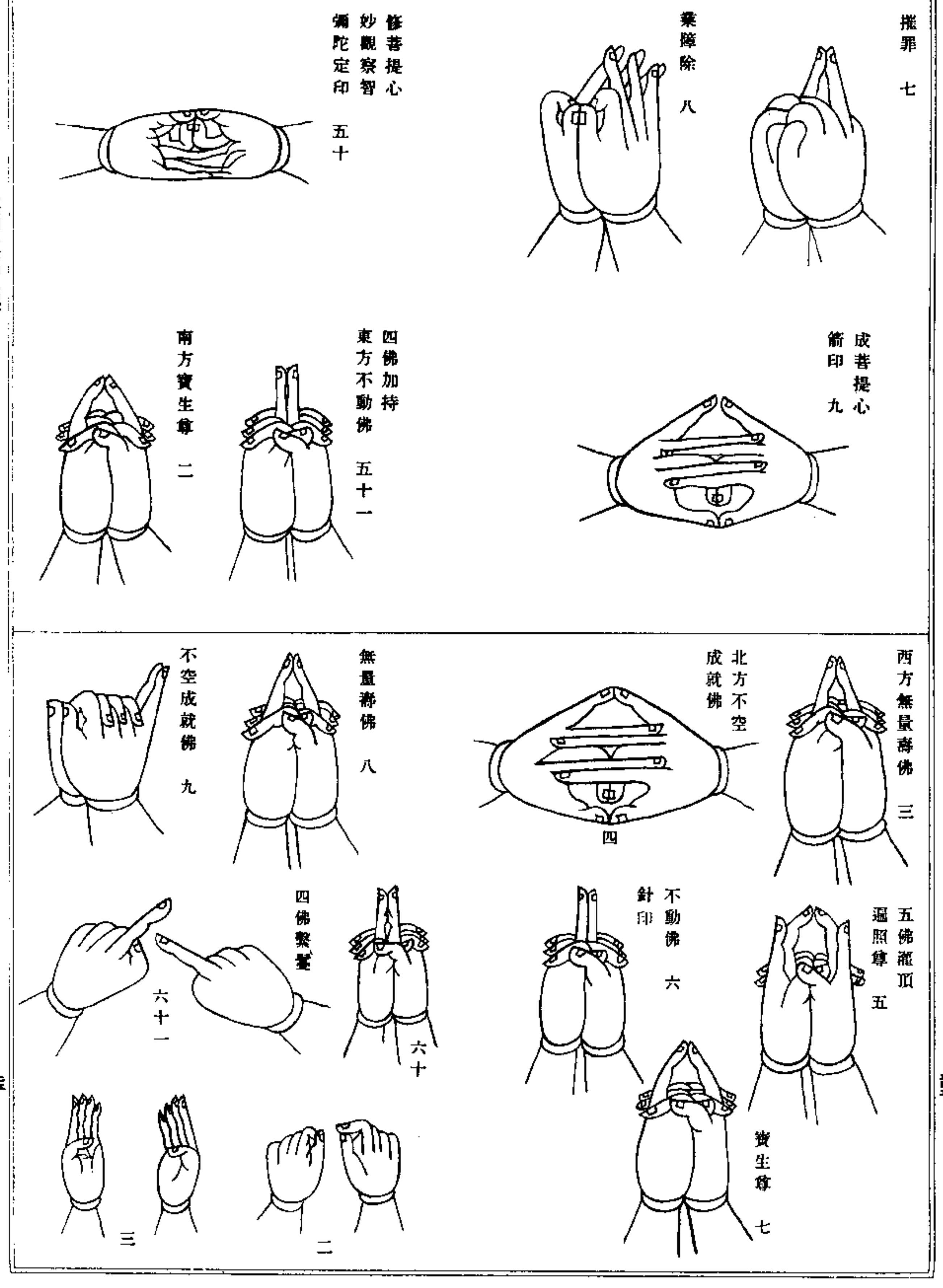
手印圖卷下

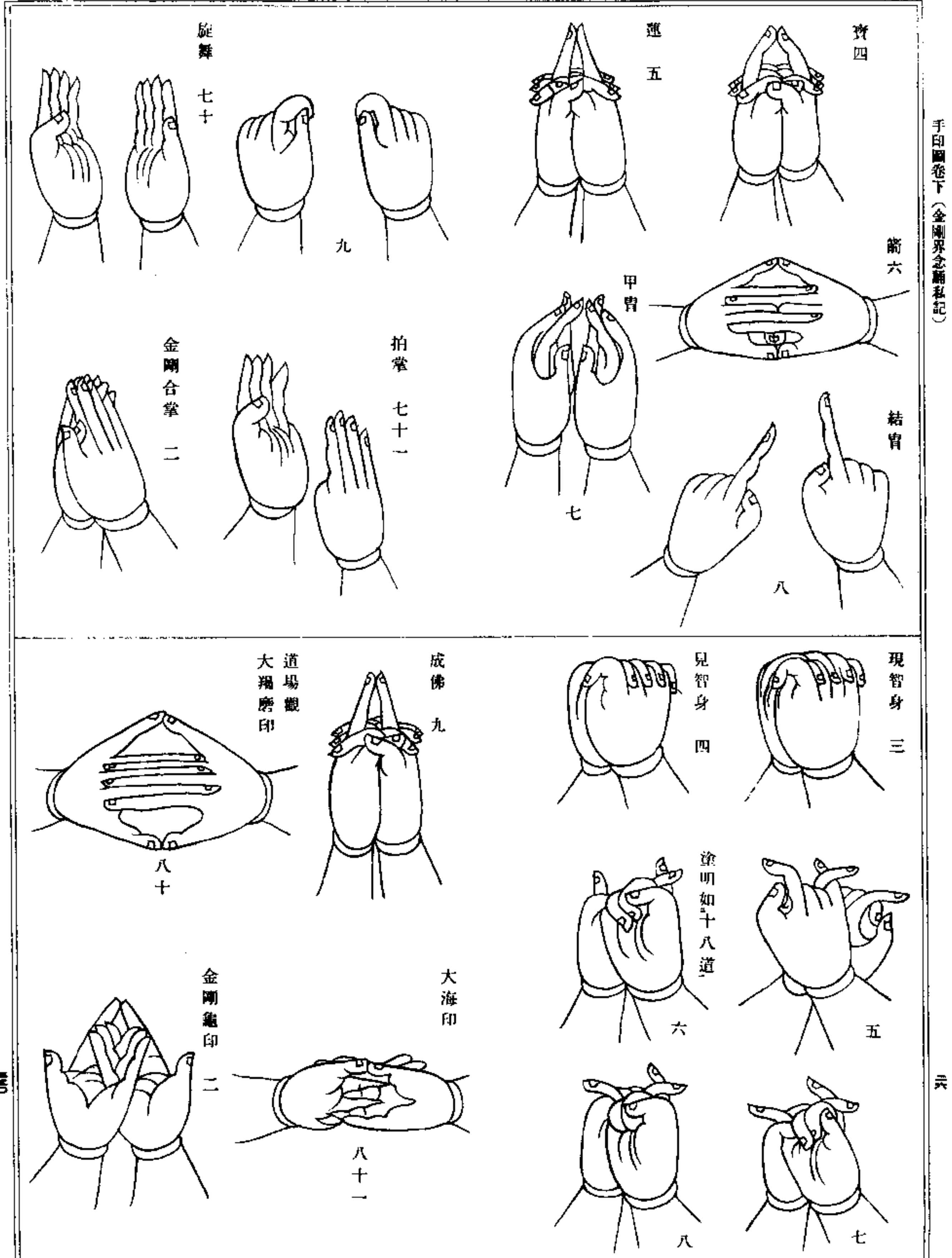
金剛界念誦私記



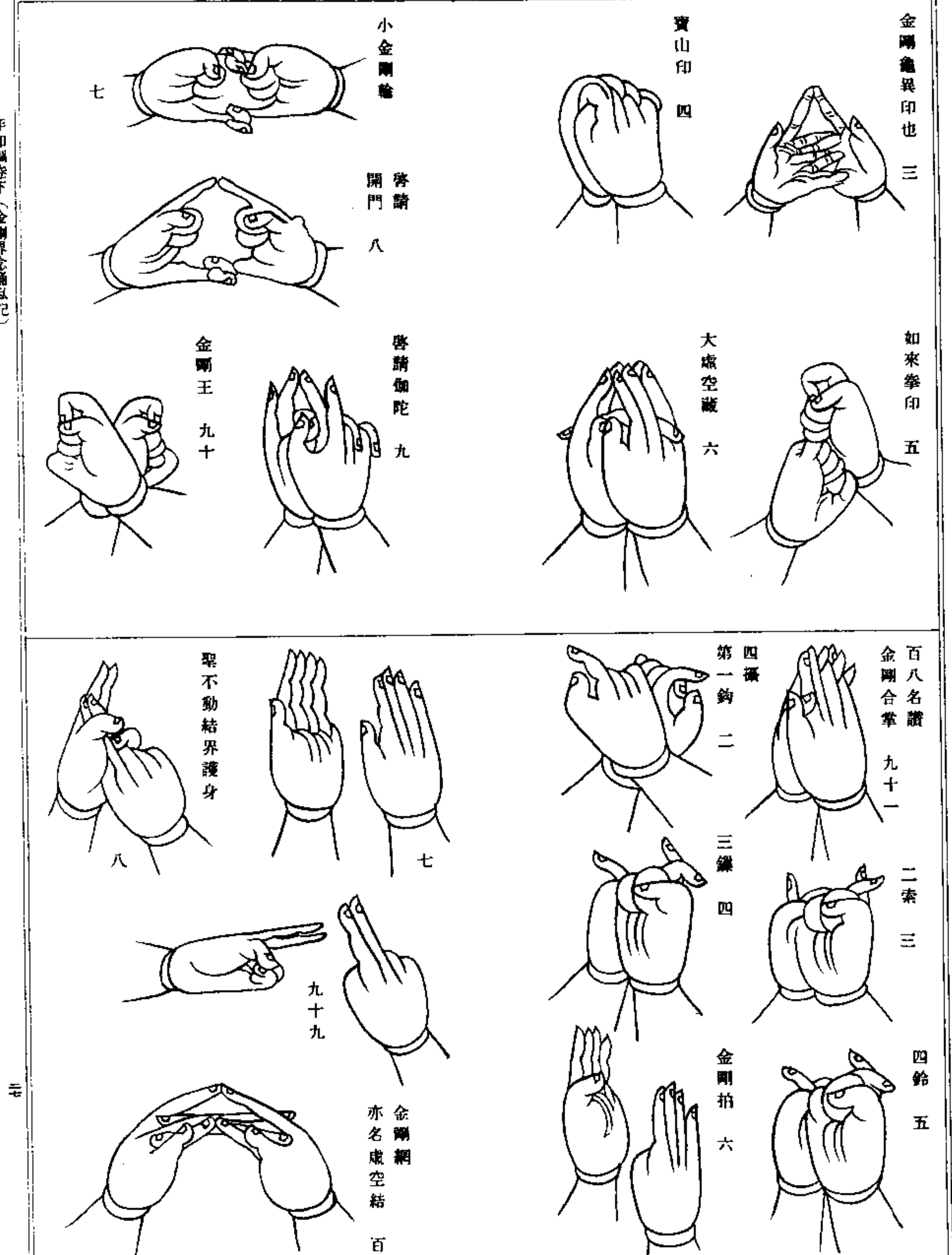

覺字觀
金剛合掌　四
淨身　六
淨地金剛合掌　五
淨三業　七
佛部心三昧耶
八
蓮華部心三昧耶
九
金剛心三昧耶
二十
二十一
觀佛
金剛合掌　二
金剛起
本尊普禮　三
金剛持遍禮
五
舞儀　六
四禮
金剛合掌
東南西北　四
表白神分祈願
五悔作法如「十八道」
三昧耶戒如常
金剛合掌
勸請　五大願
普供養　三力　七

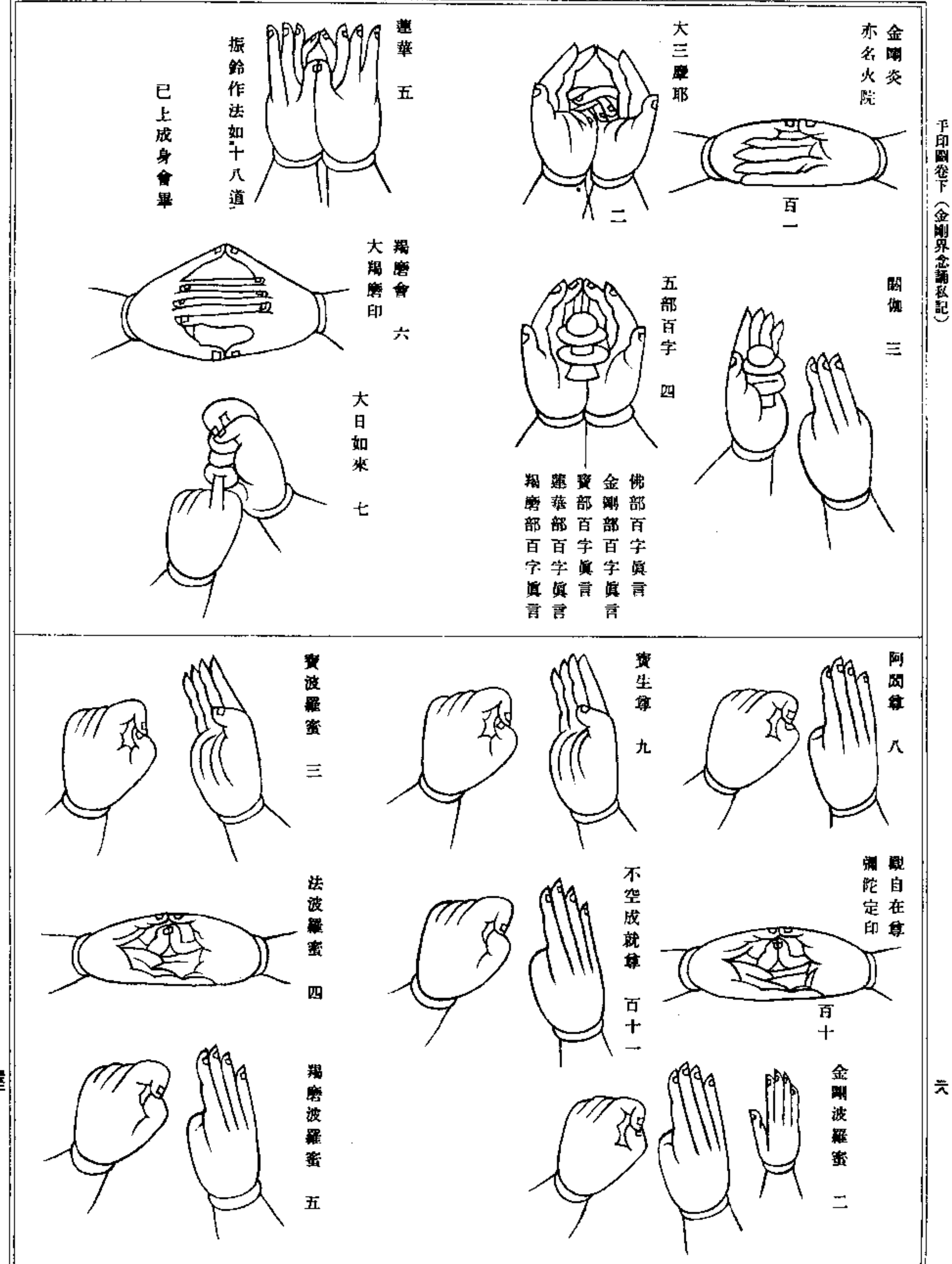

四無量觀
八
勝願 九
金剛墻
名四方結 二
金剛眼 三
金剛合掌 四
金剛縛 五
開心 六
大金剛輪 三十
金剛橛
名地結
三十一
入智 七
合智 八
普賢三昧耶 九
極喜三昧耶
四十
降世三 四十一
蓮華三昧耶 二
法輪 三
大慾 四
大樂不空身 五
召罪 六


摧罪 七
業障除 八
修菩提心
妙觀察智
彌陀定印 五十
成菩提心
篇印 九
四佛加持
東方不動佛 五十一
南方寶生尊 二
西方無量壽佛 三
北方不空成就佛
四
無量壽佛 八
不空成就佛 九
五佛灌頂
遍照尊 五
不動佛 六
針印
四佛繫鬘
六十
六十一
寶生尊 七
三
二



齊四
蓮五
旋舞七十
九
箭六
甲冑
七
拍掌七十一
金剛合掌二
結胄
八
現智身三
見智身四
成佛九
道場觀大羯磨印
八十
塗明如十八道
五
六
金剛縛印二
大海印
八十一
七
八


金剛龜異印也 三
寶山印 四
小金剛輪 七
啓請 開門 八
如來拳印 五
大虛空藏 六
啓請伽陀 九
金剛王 九十
百八名讚 金剛合掌 九十一
四攝 第一鉤 二
聖不動結界護身 八
七
二索 三
三鏁 四
九十九
四鈴 五
金剛拍 六
金剛網 亦名虛空結 百


金剛炎
亦名火院
百一
大三摩耶
二
閼伽
三
五部百字
四
佛部百字眞言
金剛部百字眞言
寶部百字眞言
蓮華部百字眞言
羯磨部百字眞言
蓮華
五
振鈴作法如十八道
已上成身會畢
羯磨會
六
大羯磨印
大日如來
七
阿閦尊
八
寶生尊
九
寶波羅蜜
三
觀自在尊
彌陀定印
百十
不空成就尊
百十一
法波羅蜜
四
金剛波羅蜜
二
羯磨波羅蜜
五

金剛薩埵菩薩　六

金剛王菩薩　七

金剛愛菩薩　八

金剛喜菩薩　九

金剛寶菩薩　百二十

金剛光菩薩　百二十一

金剛幢菩薩　二

金剛咲菩薩　三

金剛法菩薩　四

金剛利菩薩　五

金剛護菩薩　九

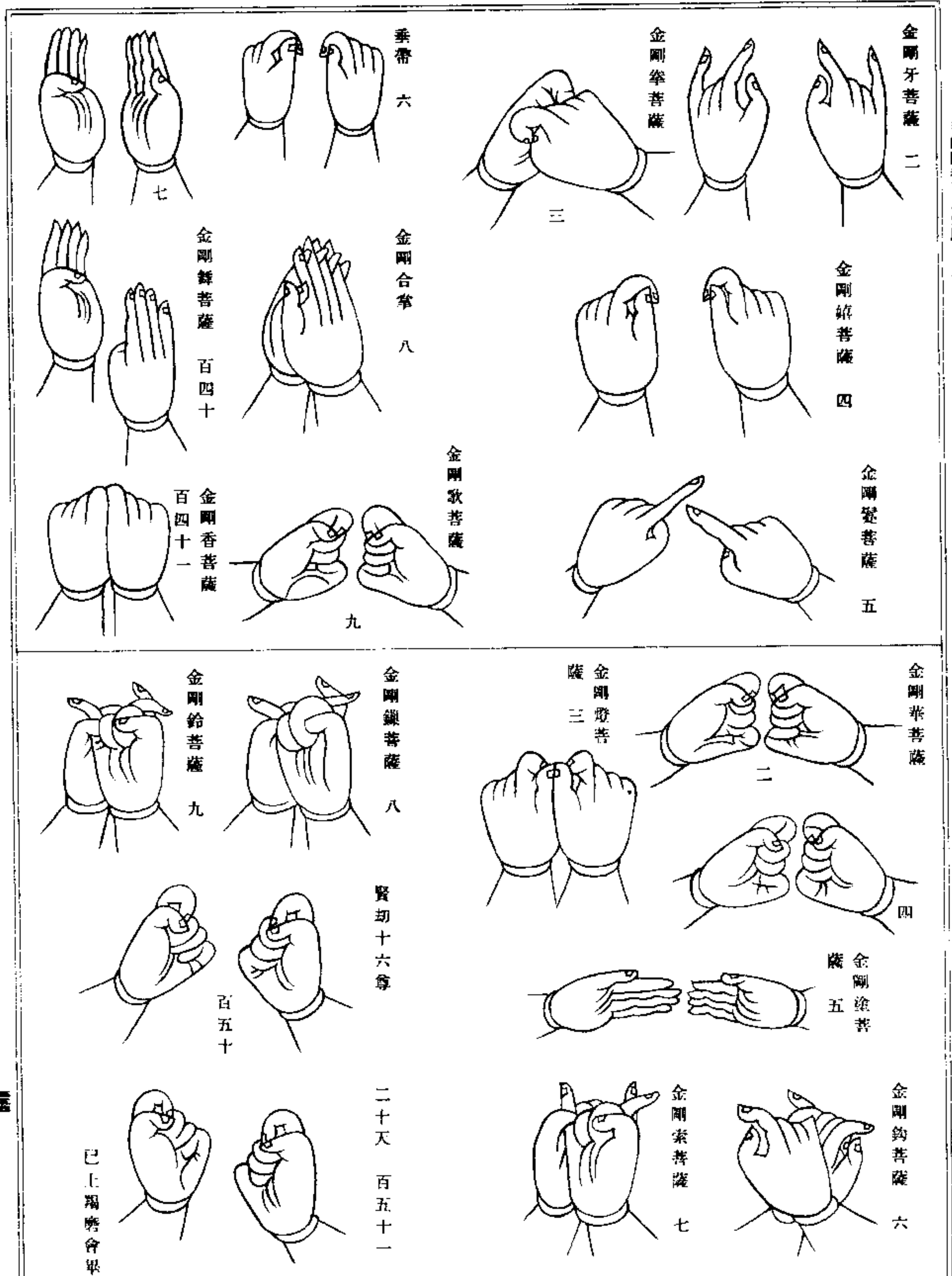
金剛因菩薩　六

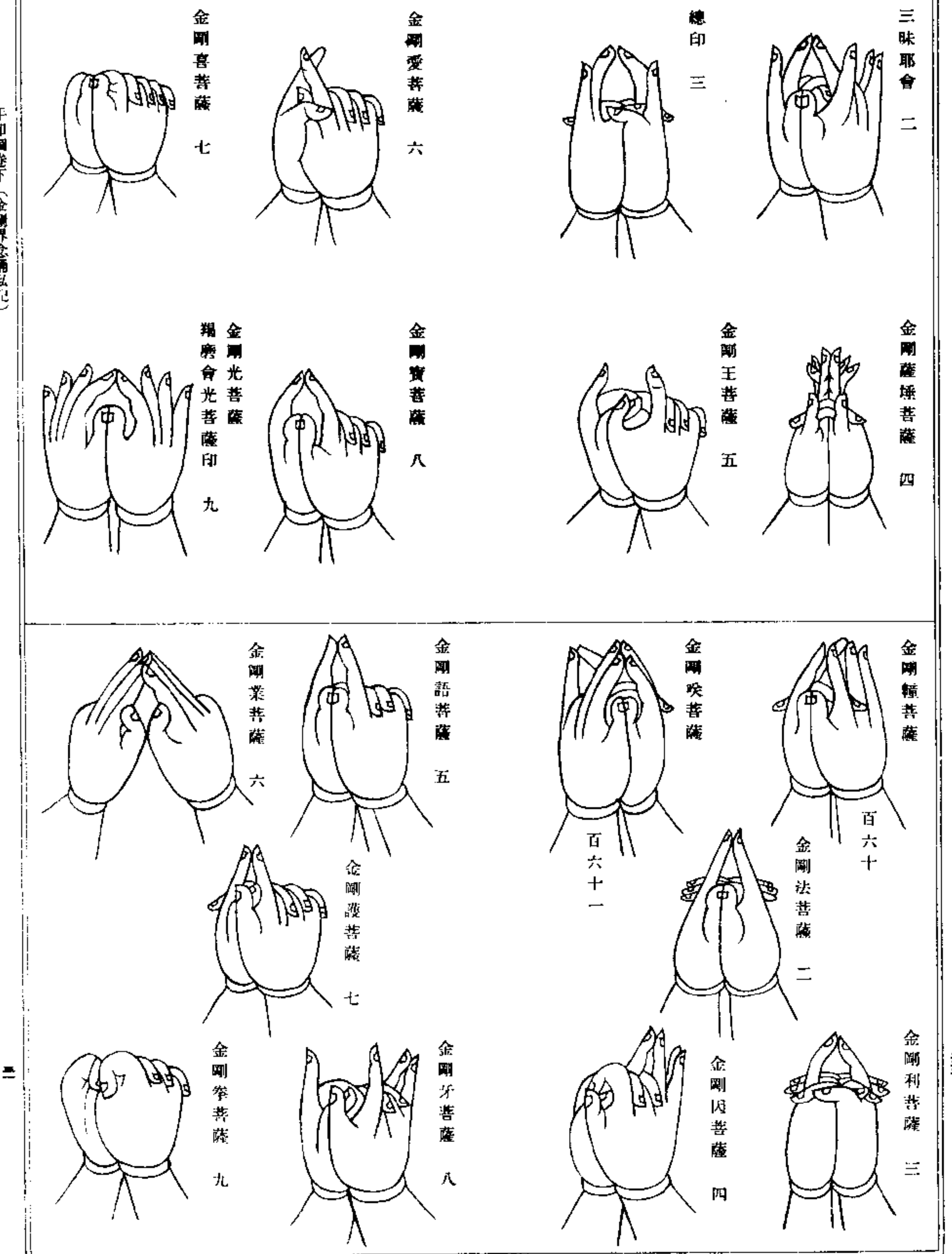
金剛語菩薩　七

百三十

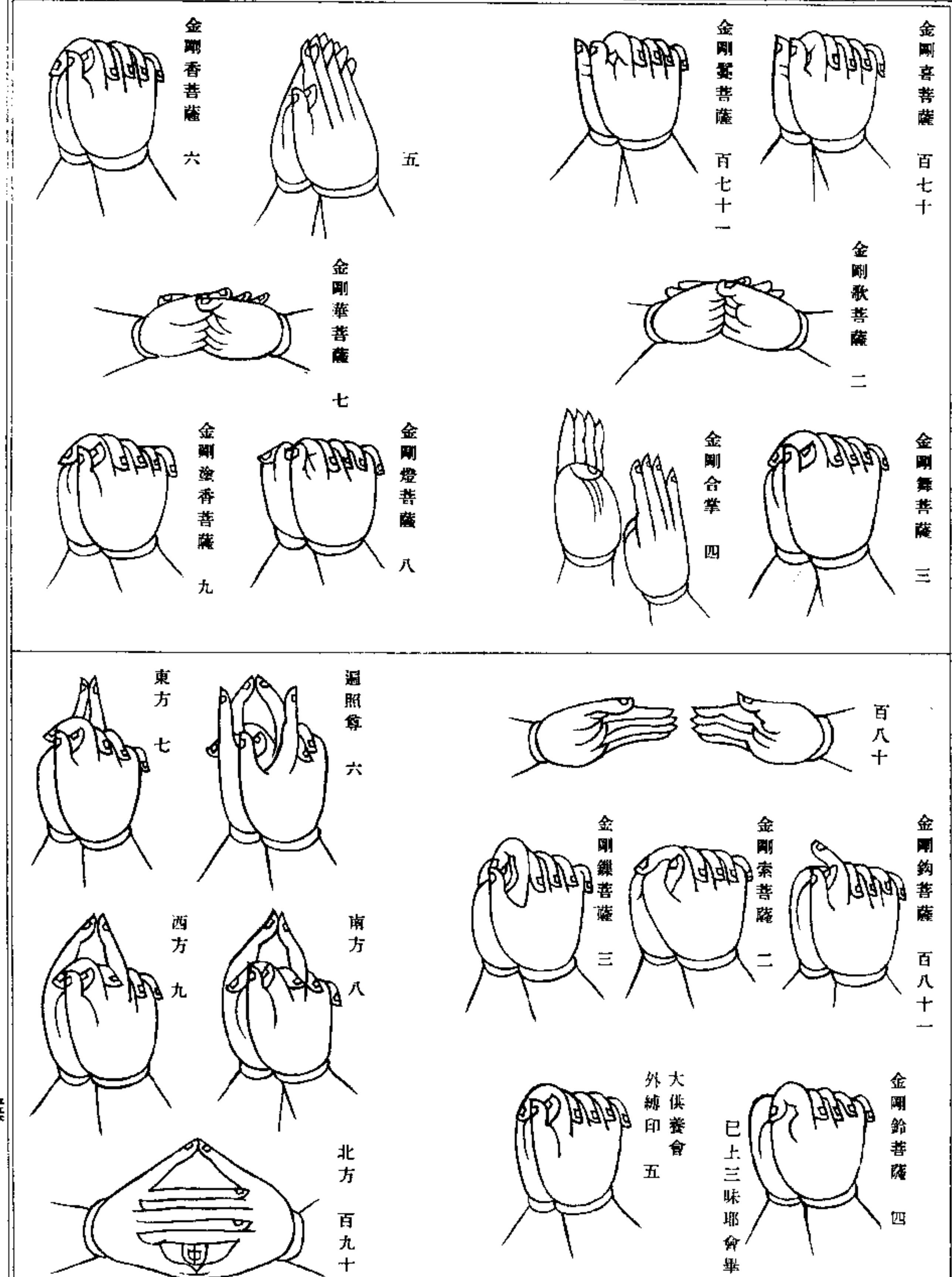
金剛業菩薩　八

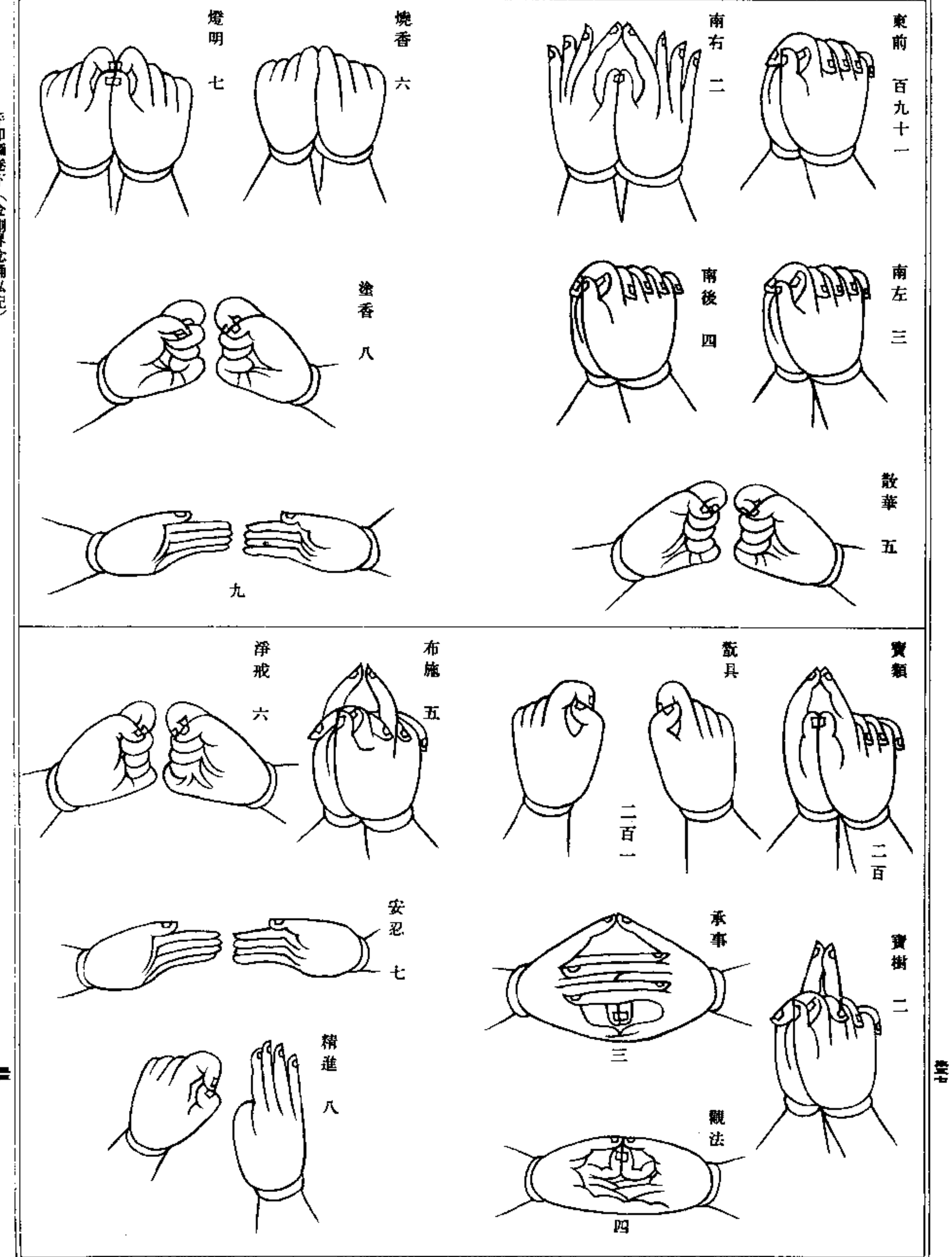
百三十一

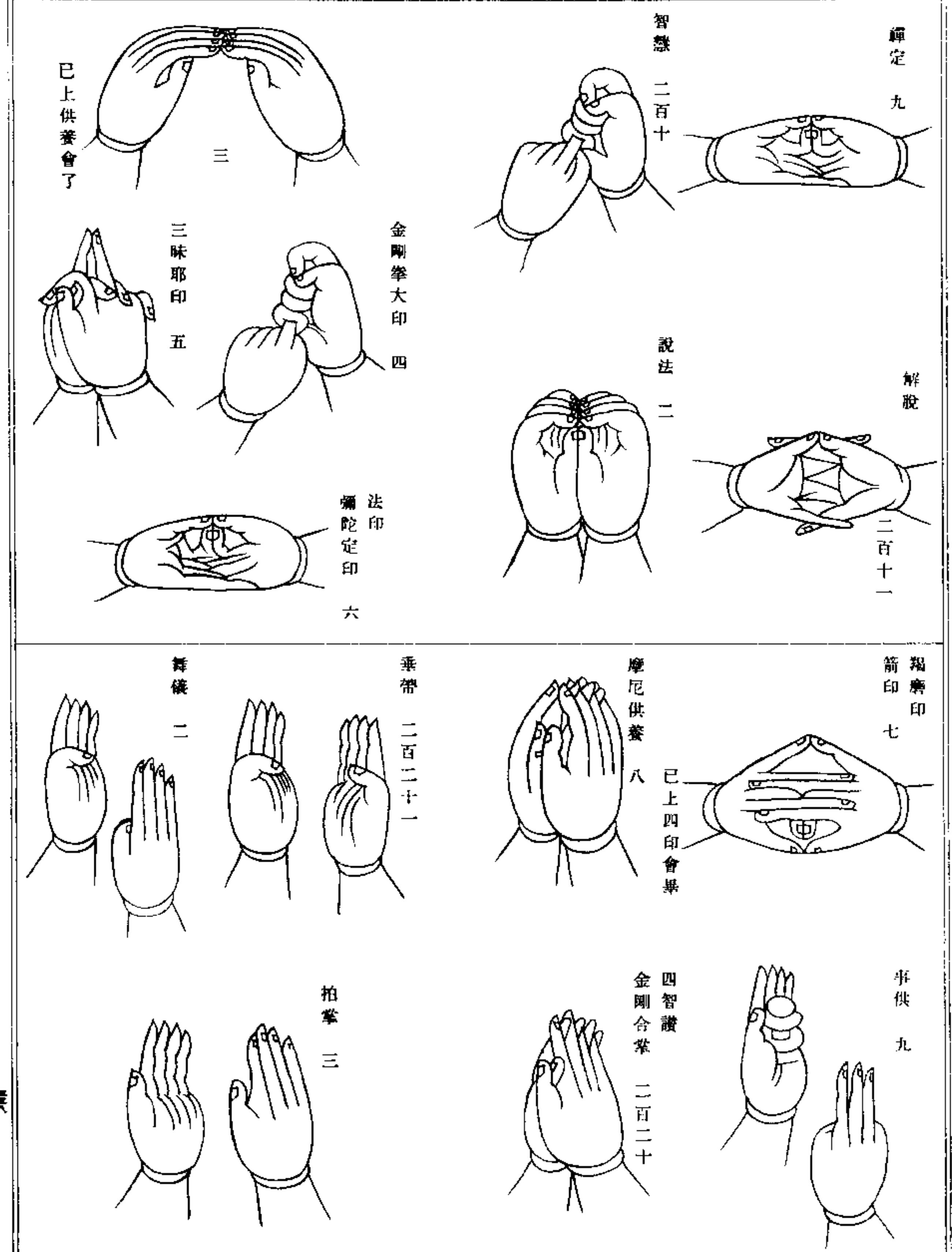

金剛牙菩薩 二
金剛拳菩薩
三
垂帶 六
七
金剛鏁菩薩 四
金剛合掌 八
金剛鋒菩薩 百四十
金剛疑菩薩 五
金剛歌菩薩
九
金剛香菩薩 百四十一
金剛華菩薩
二
金剛燈菩薩 三
四
金剛鏁菩薩 八
金剛鈴菩薩 九
賢劫十六尊
百五十
金剛塗菩薩 五
金剛鈎菩薩 六
金剛索菩薩 七
二十天 百五十一
已上羯磨會畢

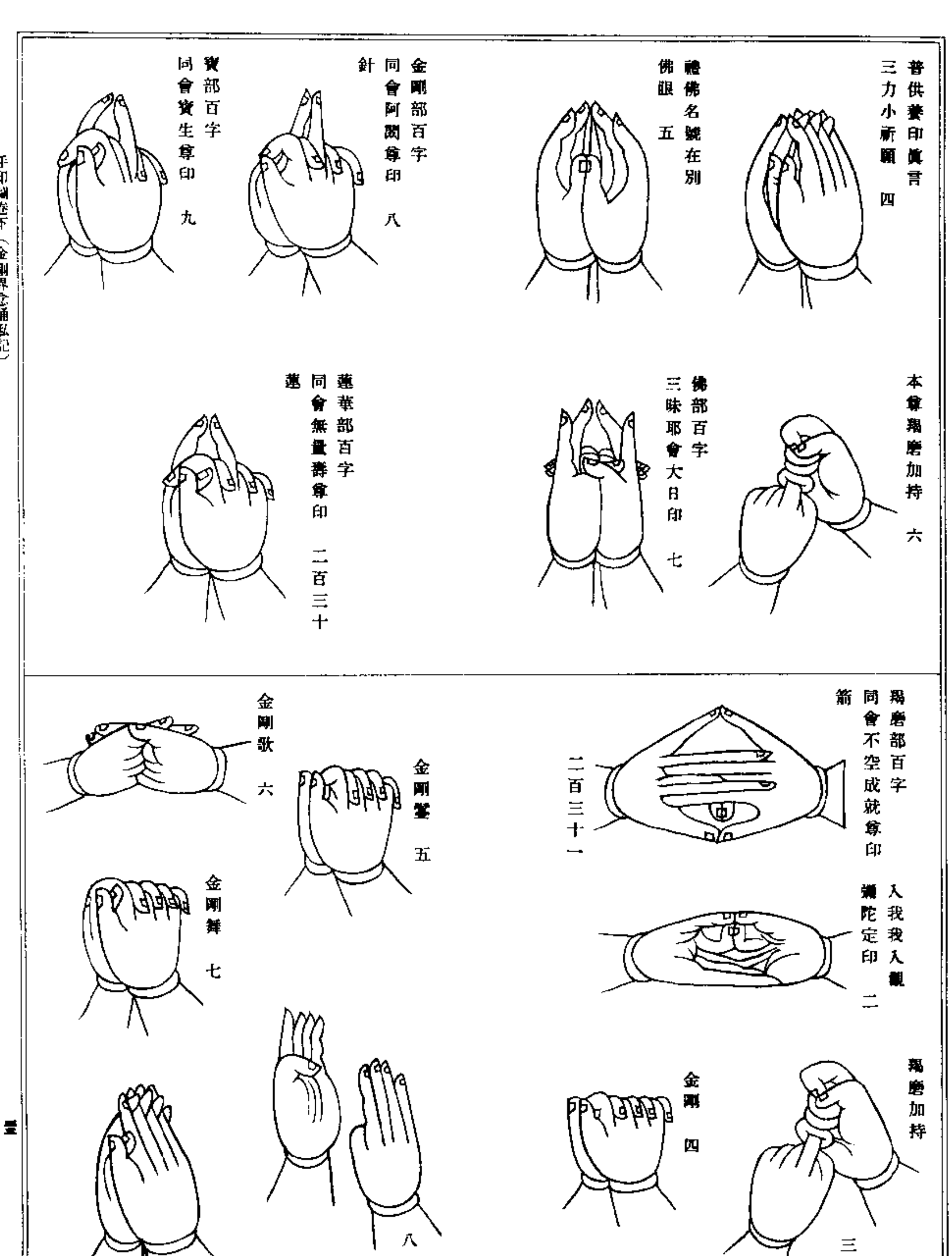


三昧耶會 二
總印 三
金剛愛菩薩 六
金剛喜菩薩 七
金剛薩埵菩薩 四
金剛王菩薩 五
金剛寶菩薩 八
金剛光菩薩
羯磨會光菩薩印 九
金剛輪菩薩
百六十
金剛咲菩薩
百六十一
金剛語菩薩 五
金剛業菩薩 六
金剛法菩薩 二
金剛護菩薩 七
金剛利菩薩 三
金剛因菩薩 四
金剛牙菩薩 八
金剛拳菩薩 九


金剛喜菩薩 百七十
金剛鬘菩薩 百七十一
金剛歌菩薩 二
金剛舞菩薩 三
金剛合掌 四
五
金剛香菩薩 六
金剛華菩薩 七
金剛燈菩薩 八
金剛塗香菩薩 九
百八十
金剛鉤菩薩 百八十一
金剛索菩薩 二
金剛鏁菩薩 三
金剛鈴菩薩 四
已上三昧耶會畢
大供養會
外縛印 五
遍照尊 六
東方 七
南方 八
西方 九
北方 百九十


東前 百九十一
南右 二
燒香 六
燈明 七
南左 三
南後 四
塗香 八
散華 五
九
寶類 二百
敷具 二百一
布施 五
淨戒 六
寶樹 二
承事 三
安忍 七
觀法 四
精進 八


禪定 九
智慧 二百十
已上供養會了
三
金剛拳大印 四
三昧耶印 五
說法 二
解脫
二百十一
法印
彌陀定印 六
羯磨印
箭印 七
摩尼供養 八
已上四印會畢
垂帶 二百二十一
舞儀 二
四智讚
金剛合掌 二百二十
拍掌 三
事供 九


普供養印眞言
三力小祈願　四
禮佛名號在別
佛眼　五
本尊羯磨加持　六
佛部百字
三昧耶會大日印　七
金剛部百字
同會阿閦尊印　八
針
寶部百字
同會寶生尊印　九
蓮華部百字
同會無量壽尊印　二百三十
蓮
羯磨部百字
同會不空成就尊印
箭
二百三十一
入我我入觀
彌陀定印　二
羯磨加持
三
金剛　四
金剛鬘　五
金剛歌　六
金剛舞　七
八
九



金剛香 二百四十

金剛華 二百四十一

普供養 四

金剛燈 二

金剛塗 三

後供養
閼伽
後鈴
神分
祈願
四智讚—普供養印言幷三力偈
小祈願
禮佛名號—迴向
至心迴向
解界

大三昧耶 五

火院 六

降三世 二百五十

墻界 二百五十一

網界 七

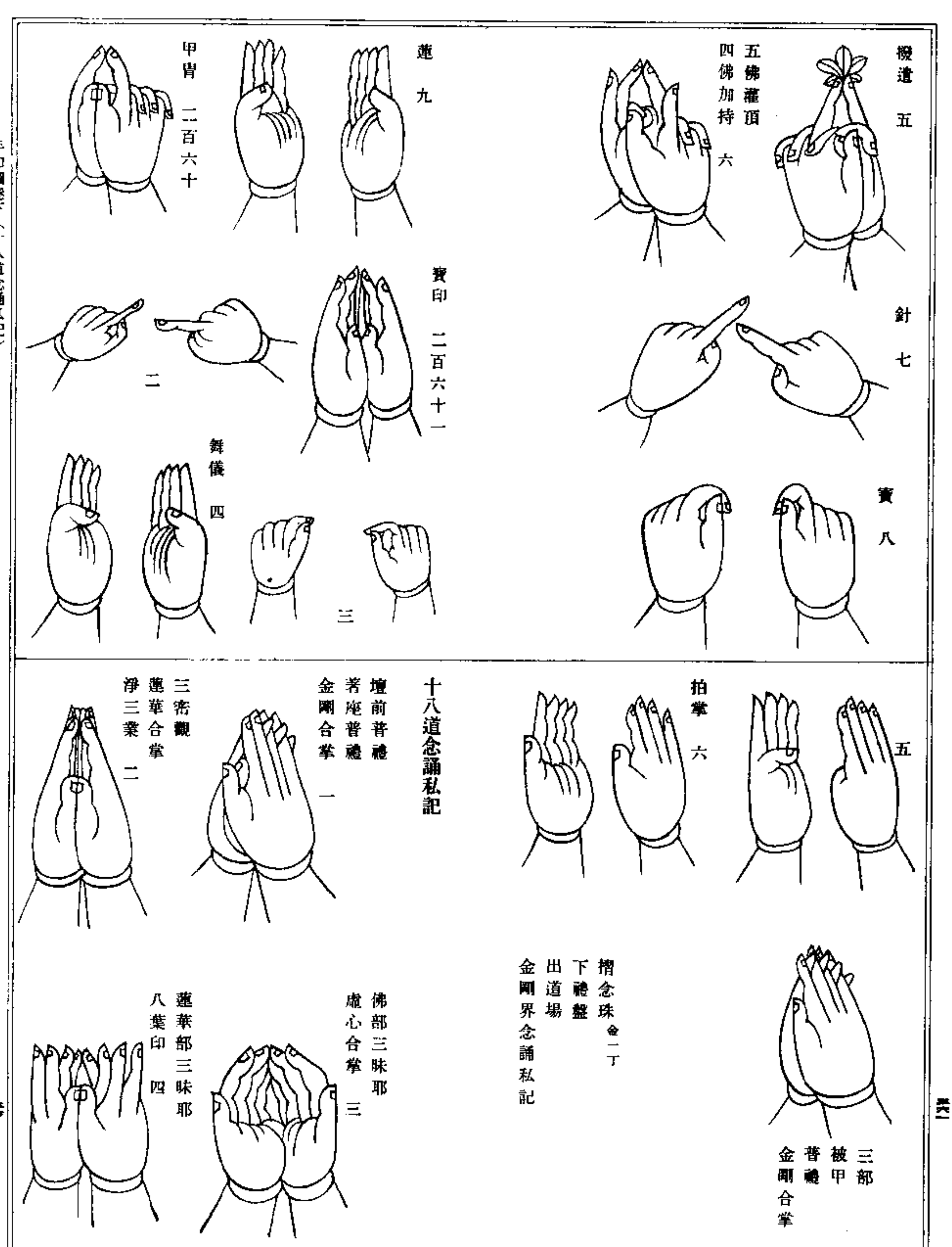
地結 二

解三昧耶拳 三

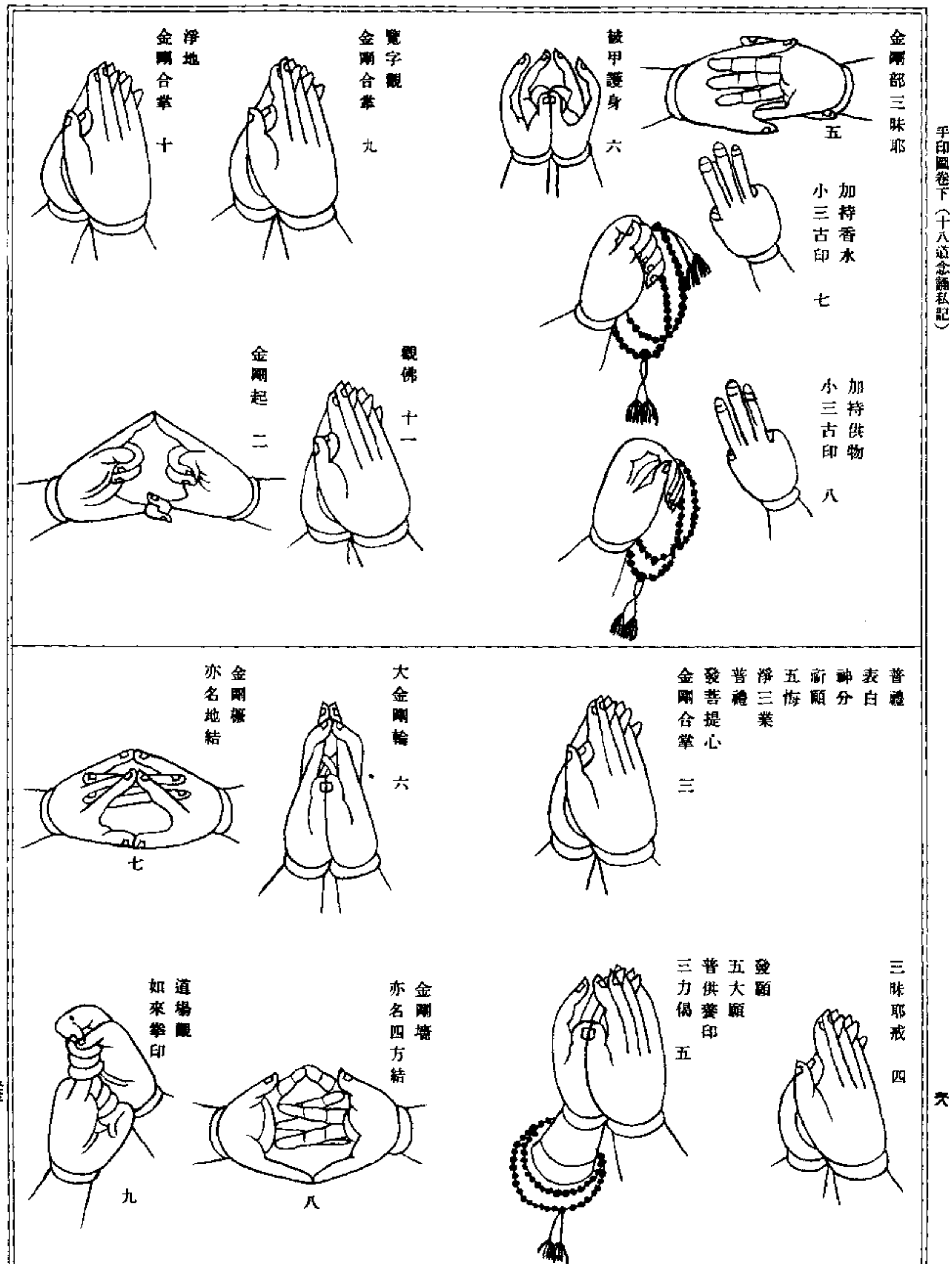
不動 八

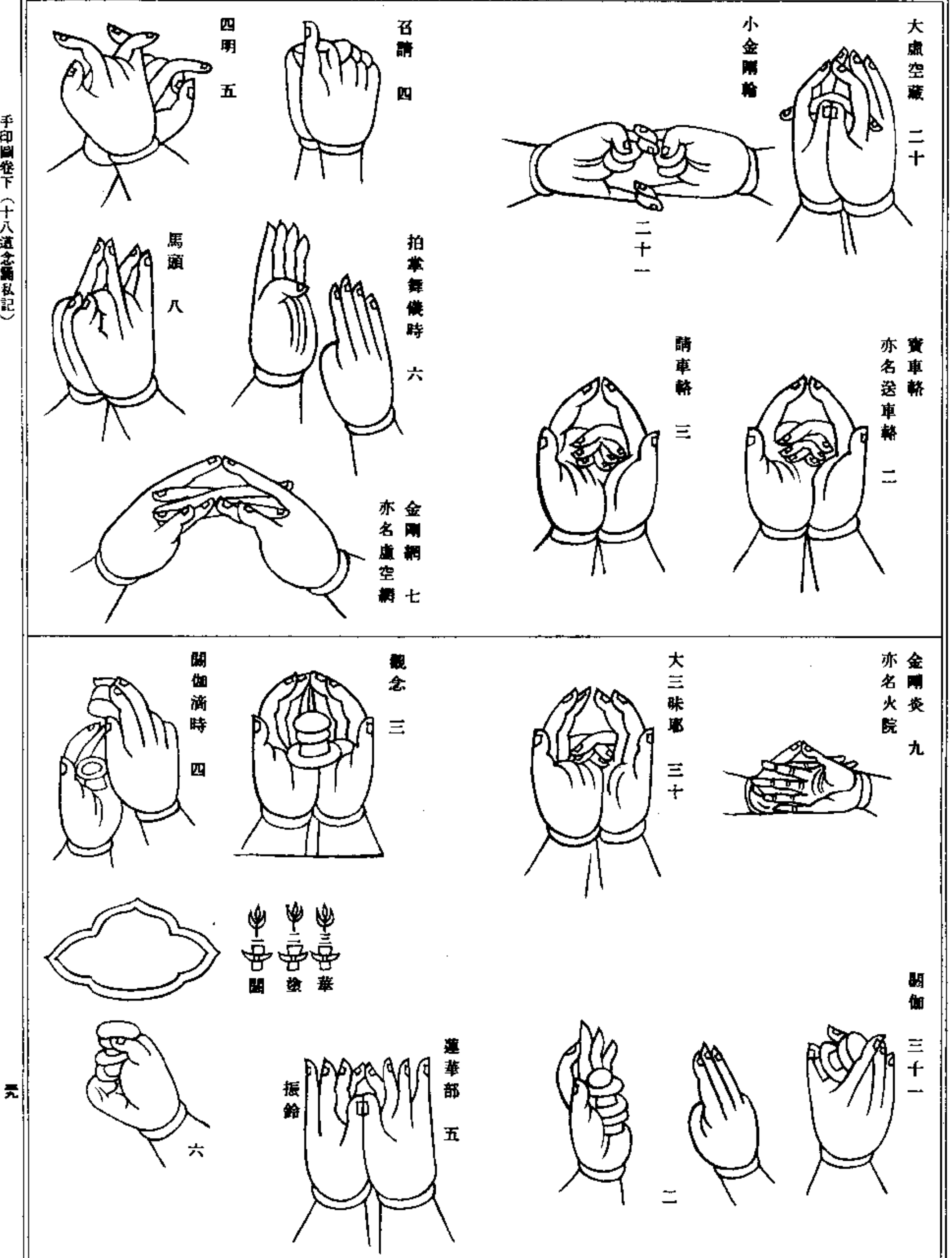
九

解羯磨拳 四

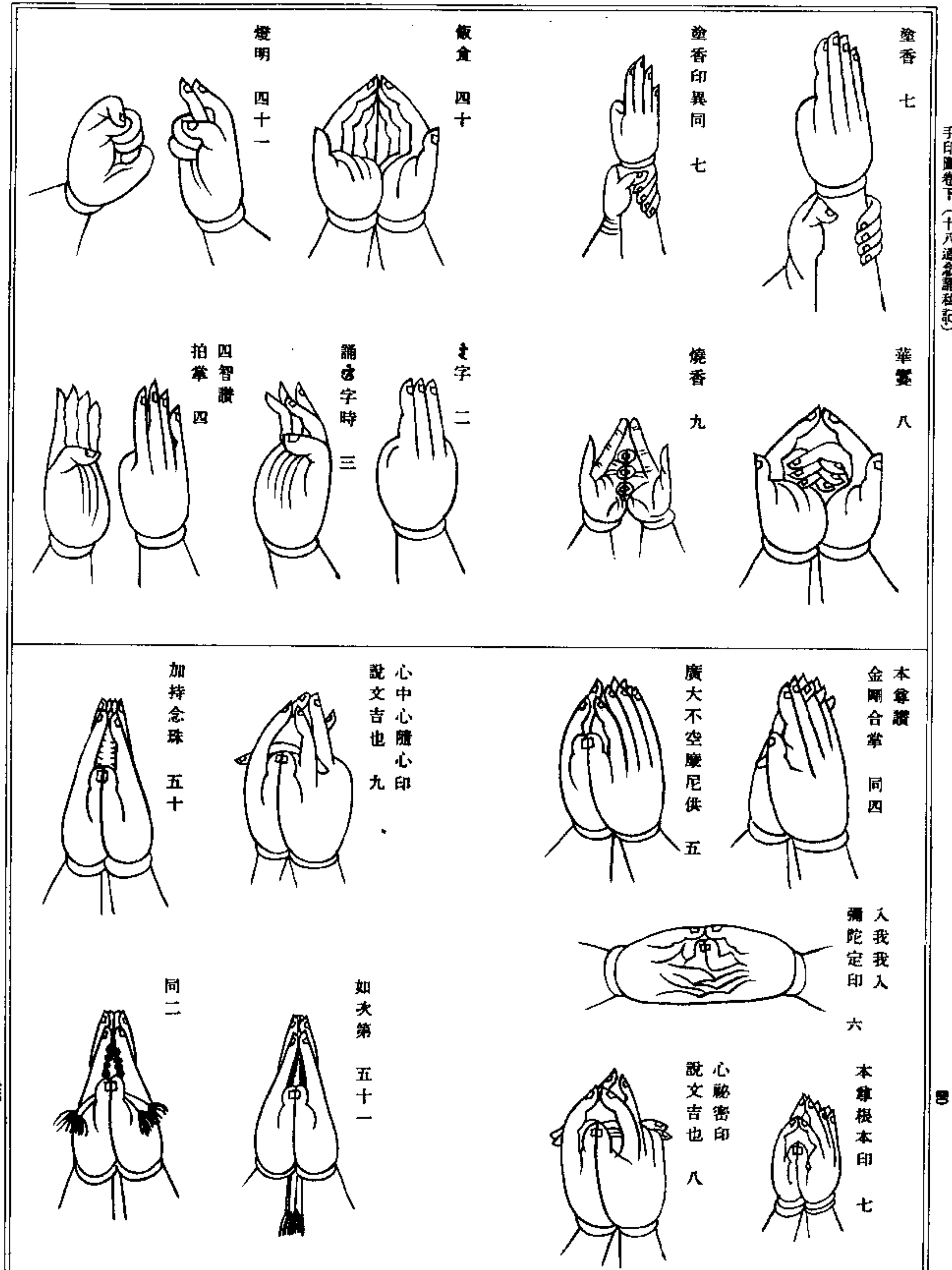


撥遣 五
五佛灌頂
四佛加持 六
針 七
寶 八
蓮 九
甲冑 二百六十
寶印 二百六十一
二
舞儀 四
三
拍掌 六
五
三部
被甲
普禮
金剛合掌 七
搯念珠 金一丁
下禮盤
出道場
金剛界念誦私記
十八道念誦私記
壇前普禮
著座普禮
金剛合掌 一
三密觀
蓮華合掌
淨三業 二
佛部三昧耶
虚心合掌 三
蓮華部三昧耶
八葉印 四

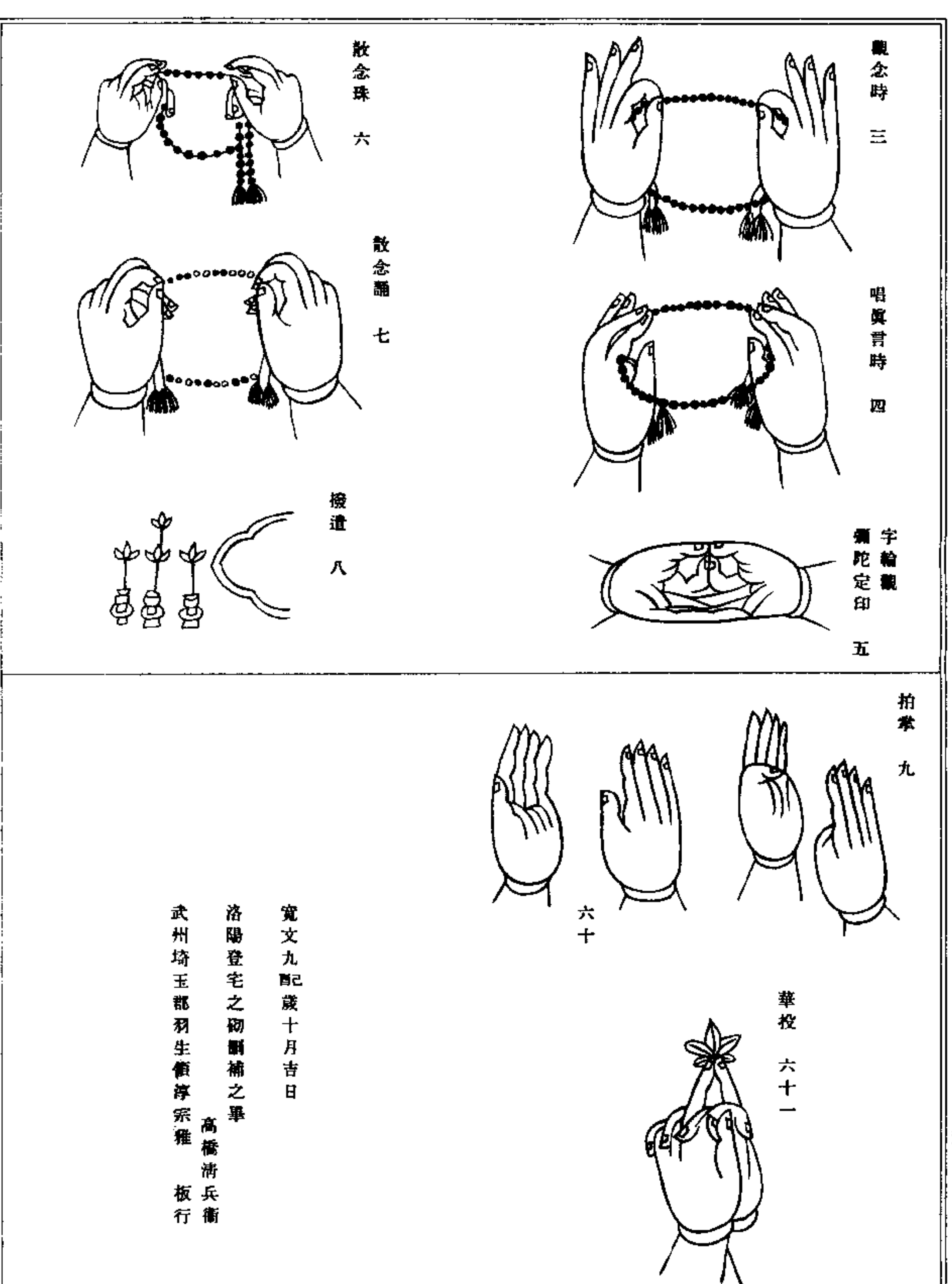

金剛部三昧耶
五
加持香水
小三古印
七
加持供物
小三古印
八
被甲護身
六
驚字觀
金剛合掌
九
淨地
金剛合掌
十
觀佛
十一
金剛起
二
普禮
表白
神分
祈願
五悔
淨三業
普禮
發菩提心
金剛合掌
三
大金剛輪
六
金剛橛
亦名地結
七
三昧耶戒
四
發願
五大願
普供養印
三力偈
五
金剛墻
亦名四方結
八
道場觀
如來拳印
九



大虛空藏 二十
小金剛輪
二十一
寶車輅
亦名送車輅 二
請車輅 三
召請 四
四明 五
拍掌舞儀時 六
馬頭 八
金剛網 七
亦名虛空網
金剛炎 九
亦名火院
大三昧耶 三十
觀念 三
閼伽滴時 四
閼
塗
華
閼伽 三十一
二
蓮華部 五
振鈴
六



塗香 七
塗香印異同 七
飯食 四十
燈明 四十一
華鬘 八
燒香 九
字 二
誦字時 三
四智讚 拍掌 四
本尊讚 金剛合掌 同四
廣大不空摩尼供 五
心中心隨心印 說文吉也 九
加持念珠 五十
入我我入 彌陀定印 六
本尊根本印 七
心祕密印 說文吉也 八
如次第 五十一
同二



寛文九己酉歳十月吉日
洛陽登宅之砌刪補之筆
高橋淸兵衛
武州埼玉郡羽生領淳宗雅　板行

典令漫訖四種成[illegible]所謂[illegible]
根本[illegible]迦[illegible]等 是故阿吒迷哥法
是主牌也。若欲作息灾法者面向北坐像面向南於
本尊前塗拭圓壇觀本尊作白色所獻花菓飲食
并自身衣服皆白色塗香用白檀燒香用沉水香[illegible]
燈以慈心相應從月一日初夜時起首至月八日一期滿每
日三時澡浴三時換衣至日滿時或斷食或三白食[illegible]
像法念誦則能除滅灾難[illegible]本尊
宿時殃枉種種灾禍口舌鬬諍王宮逼迫官[illegible]不和[illegible]
病飢儉鬼魅不祥悉皆殄滅獲得吉祥身心安樂所求
如意脩世出世行願无[illegible]成就
若作增益法者面向東坐像面向西本尊前塗拭方壇
觀本尊作黃色所獻花菓飲食并自身衣服等皆依
黃色塗香用白檀加小鬱金燒白檀香欲油燈以善觀
心相應從月九日日出時起首至十五日一期滿准前三時
澡浴三時換衣至日滿時准前斷食及三白食如是念誦
能遂官榮及增壽命求福得聰惠多聞或求伏藏豐財
眷屬像馬五穀成熟職位王位官勢得力所求勝事皆
增益
若作敬愛法者面向西坐像面向東本尊前塗蓮花形壇
觀本尊作赤色身著緋衣所獻花菓飲食等盡皆赤色
塗香用鬱金以丁香蘇合香鬱金知龍[illegible]燈然諸草油燈
以喜悅心相應從十六日夜半時起首至廿三日一期滿

以喜怒心相應從十六日後夜時起首至廿三日一期滿[illegible]
日滿時澡浴斷食法准前如是念誦得一切人敬愛若
家不和國不和后欲伺求使欲求彼此相敬和順者
及令眷屬朋友恩戒親厚眾事官長得善
顏色恩愛相親者依此法求不得和順又欲求說法辯才
言音威肅聞者喜悅聖賢加護天龍八部一切歡喜
者當依此法精誠念誦所求速得圓滿
若作降伏法者面向南坐像面向北本尊前塗三角壇
觀本尊作青色或黑色身著青黑衣獻青色花兒
不香花及曼陀羅花等飲食用石榴汁染作黑色或但
青色塗香栢木[illegible]伽用[illegible]以墨色紙及芥子栢木塗香
合取小分置閼伽中燒安悉香然芥子油燈以忿怒心相應
應馬頭明王真言或蓮花部使者一字尊真言從廿四日
平時或中夜時起首至月盡日一期滿日日澡浴斷食護
前以是念誦能調伏毒惡鬼神及諸惡龍令國無旱灾
雨雪霜雹傷損苗稼疾病流行並亦調伏惡人於國不
忠致害无量有情破滅佛教誹謗正法一闡提耶見惡人
及諸外道斷善者及侵害佛持正法者及背師僧父母
不念恩德作留難者及諸惡獸虎狼師子能敵惡人破相
損害者如是等作此法時有起惡心者如有覺觸身心不
安或病或至不濟即勸令發善心若能悔過自責永斷惡
心者即爲彼人作息灾法念誦彼等即免灾難
若求出世間上上悉地福德智慧二種資糧及滿足
[illegible]

地波羅蜜超越三无數劫難行難進欲滅除內外諸障[illegible]
行者次定一緣本尊三摩地三密相應[illegible]斷伏諸
佛菩薩大悲願力助護以三密成就資糧依四印相應普
觀點期令心神散亂於定不[illegible]行住坐臥四威儀[illegible]
[illegible]念念与勝義瑜伽相應於清淨法界常作觀[illegible]
[illegible]方无晝无夜一道清淨猶如虛空於見聞知法觀[illegible]
知於名於相悉知阿字无緣大悲平等常樂剎[illegible]无量有
情違令成就波羅蜜行等同觀自在菩薩諸能如是於
持或於山間深谷殊勝[illegible]清淨伽藍於四月四時專精
念誦舞歎斷語策勵身心不數者睡眠懈怠隨瑜伽者
根性利鈍淨信勝解差別於其中間必獲得輕安三昧現
前於則定中見无數佛會聞妙法音證得地位諸願圓滿
圓滿身心轉依於後十六大生證成无上菩提欲求世出世間
成就者已曾入金剛界大曼荼羅受本尊持明灌頂從阿闍
梨具受印契真言瑜伽觀行依法畫本尊像隨力大小隨
自意樂吉祥福地資助伴知法弟子及成就資緣具等其
弟子須恭敬於師善順其意淨信深法住菩提心方堪
助伴於一種悉地共成心不移易求成就物有四種等類一
者輪鈎杵鉞斧及倖錫杖等二者雌黃雄黃牛黃及諸
藥類等三者取阿爾摩土作諸禽獸形所謂象馬水牛
鵝鷹孔雀金翅鳥等四者本尊像成就依獲悉地數
法而作成就輪等及藥物禽獸形本尊等長短分量形貌及
童女織成不截白絲等於中間隨取其一而作成就具滿

童女織成不截白絲等[illegible]隨取其一而作[illegible]
[illegible]行道數然後共助伴如法[illegible]限[illegible]
[illegible]如[illegible]火不應間斷[illegible]相現[illegible]煙光
[illegible]近成就時有[illegible]
中下成就物等或執或[illegible]或手持現[illegible]
[illegible]或有人見於現驗者人物覺得[illegible]
[illegible]菩薩皆來[illegible]一大劫獲得初地百法[illegible]
若仙[illegible]三四時於一[illegible]
前契結契念誦常不[illegible]斷現生[illegible]獲三業清淨

四種壇法

[illegible]哩野蜜栗二合多單拏里[illegible]嚕二合馱羅悉尼薩
悉[illegible]莫怛洛[illegible]

作壇法　可壇作所以地天真言壇建立擇地
丁金剛輪除諸凡石[illegible]穢之物皆取捨又惡鬼等諸障難
人等皆悉驅除以不動尊真言加持一百八返次灑香水香
地次取可作土灑香水以降三世真言加持一百八返又廿一返
瀝馬頭真言加持一百八返又灑香水結界也　次更地結真
言加持一百八返　次以火金剛輪真言加持一百八返 [illegible]
[illegible]
唵 復馱昧怛羅二合 縛曰羅二合 [illegible]羅乞叉 二合 吽 [illegible]
次破此壇觀了即誦法身偈破也　可安淨地　法身偈曰
諸法從緣起　如來說是因　此緣生滅　是大沙門說 [illegible]
[illegible]建曼荼羅[illegible]觀鋒羅又[illegible]觀本秘觀他識觀賀理[illegible]

達磨陁観鉢羅㮈婆嚩観布私観他鐵観賀哩
鉢羯泥喩羅者瑜你魯駄羯鉢羯弥摩訶室羅摩拏
三角壇次第（阿闍梨面向爐前食物西面肘有黒色又紫色也 用三角壇調伏行魔鬼閻魔羅座）
先三角壇邊茅草數迴（日東北角起之也） 其數法者根北末南茶加
根末浮押末也　次油水牛蘇和一器 疊契上也　次行者
右邊置大少杉　次飯一器　次五穀一器　次薇妙一器 薇妙者
（芥子毒藥鐵末以牛糞研磨為作人形之身從頭截切人形散也 若先之後如是若不爾若元亡燒也） 次乳木（長十二指量截也 肘長也）
次諸枳刺柔等　次薪炭柏薪　次行者右邊置灑淨香水一
器 漱口香水一器 丸香一器 散香一器花一器 扇一器枚
劍等（已上諸供具式似着 草行者所然也）　次工坐觀如常　次壇前著乳
次着座普礼　次攪并三密等護身如常結三股印加持
灑淨香百八遍　又廿一遍　次漱口印右手金剛拳舒進度
攪水加持廿一遍（又廿一遍訖）　次取灑淨香水自身壇供物及
乃至道壇内也 次結羯磨印加持油乳木飯五穀薇
薪炭薪花香等每物七遍　次然薪　次扇七遍　真言曰
唵歩引入嚩羅吽引　次右手作掬扑水壺手向身右
狀灑火真言曰　唵嚩羅娜曰羅　工件加
持漱口水處可誦此真言　次以三股印當爐口誦枳里枳羅
真言加持百八遍（若時忍者廿一遍）　唵枳里枳里縛日羅吽發吒
次如常　次第法行自念誦也　但本尊自念誦真言廿一遍
許不可作字輪月觀　次作火天印誦大真言四處加持
次取念珠誦摩真言百八遍念誦了置念珠（用火天小真言）　次結定
印觀火中在 字成火天有四臂（右一施无畏二念珠左一數上二持身色赤也繞火焰觀也）
[illegible]口等三遍復火中觀成荷葉座則坐其

次取一花誦火天小真言加持三遍投火中觀成荷葉座則坐其
上也　次結火天印勸請曼荼羅火天令寘會爐中火光明（真言）
（用火天也）次以浣漱口香水三遍沃火中洗火天御口觀也　次塗香
三遍投爐口也（用火天小真言也）觀自火天御口入至心蓮花成供具從一一
毛孔流出无量供養雲海供養盡虛空法界諸佛菩薩賢
聖聲聞乃至世天等也　次以油等大杉三遍小杉三遍　觀真
言如前（小真言也 每度一遍）　次乳木三遍　觀真言同先　次飯大杉三遍小杉
三遍（觀真言同先也）　次五穀大杉三遍小杉三遍（同先 觀真言）　次花三遍　次丸
香三遍　次散香三遍（同先 觀真言）　次結末尼供養印（誦真言三遍 具降賀也）　次油等
大杉三遍　次以浣漱口水三遍沃爐中觀　洗火天御口也　次取
一花誦火天小真言加持三遍投曼荼羅火天本坐觀成荷葉
坐　次結發遣印誦火天大真言薩婆訶上加薩婆瑜婆
徒火發遣令還著曼荼羅本坐即如前　但改禪度捻戒度
甲上也　忍度向外撥也（已上第一段了）
第二次以灑淨香水灑壇及供物等　次然薪　次扇火
七遍真言如先　次以右手作掬扑水灑爐口每方三遍（觀洗爐口也）
次結三股印當爐口誦枳里枳羅真言加持百八遍（若廿一遍）
次結不動尊印觀 字成不動明王尊右手持利劍
左手持索坐盤石上遍身燃火焰也　旋出劍印於鞘内
右轉三遍為避除　右轉三遍為結界　指四方四角上下並印
身五處額右左肩胸喉　次結定印觀火中有 字
字成不動尊如先也　次以右手取一花以不動尊真言加
持三遍投火中　觀成花坐本尊坐其上也　次結不動印當胸
[illegible]

[illegible]三返復次[illegible] 觀成花坐本尊坐其上也 次結不動印當胸
前誦真言 吽它工[illegible]加四明觀請曼荼羅[illegible]
[illegible]於壇中明王 次以手取漱口水浣於火中三返觀[illegible]也
[illegible]塗香三返投火中供之觀自念怒尊從口入至心蓮花成供
具從一一毛孔流出无量供養雲海供養盡空法界諸佛菩
薩念怒身緣覺聲聞乃至世天也 次油等大杓三返小杓
三返觀如先 不動真言所 次乳木三返 觀真言如先之 次飯大杓三返小杓三
返 觀真言如先 次五穀大杓三返小杓三返 觀真言如先 次花三返丸香三返
散香三返 觀真言如先 泮吒工[illegible]加祈願詞也 次結摩尼供養印
三返誦真言 次油等飯五穀花香為餘尊天等分置也
[illegible]本尊料油等大少杓[illegible]三返[illegible]交物盡為限不限[illegible]
[illegible]次乳木加持一一投盡但小杓[illegible]
[illegible]次本尊料飯小杓百八返供也 次本尊料[illegible]
返供也 次本尊料花盡為限供也 次[illegible]料丸香散香
盡為限供也 觀真言如先 次結摩尼供養印誦真言三返
次乳木一一加持供也 次盛飯等先以不動真言加持百八
返[illegible]一返 次取小[illegible]飯等百八返供也 若千八十返 觀念
花明王御口入乃至心蓮花成種[illegible]從一一毛孔流出无量利
劒雲海供養花盡空法界念怒尊也返來加持我念我及
施主調伏消除厭禱咒咀四大鬼業病諸為障者也 如是觀
念供養 次以大杓油等三返供也 次以捥取漱口水浣於火
中三返洗明王御口觀也 次取一花以不動真言加持三返曼
荼羅本尊位觀成花坐也 次結明王印真言了
加藏ミ眼ミ自壇中撥遣令還著曼荼羅本位

加藏ミ眼ミ自壇中撥遣令還著曼荼羅本位
第三段 [illegible] 次灑香水 次燃薪[illegible]
次以漱口水灌壇毎方三返 次結三股印誦[illegible]里[illegible]里真言
加持爐口廿一返 次結定印觀有火中降三世等諸念怒明王
並一切諸尊教領輪念怒尊也 次加持數葉花投火中成[illegible]
諸尊坐其上真言用降三世也 次結降三世印誦真言了[illegible]
勸請曼荼羅諸念怒等令會壇中諸念怒尊 [illegible]
漱口水浣爐中三返觀洗諸尊御口也 次塗香三返供[illegible]
自諸尊御口入至心蓮花成供具從一一毛孔流出无量供
養雲海供養盡虛空法界諸佛菩薩緣覺聲聞世天
等也 次油等大杓三返小杓三返 若物欠者隨有之 觀真言同先
次飯大杓三返小杓三返 觀真言同先 次五穀大杓三返小杓三
返觀真言同先 次花三返丸香三返散香三返 觀真言同先
次誠惡趣供也 印真言如例 次摩尼供養印誦真言三返 次以捥漱
口水浣爐中三返撥曼荼羅本位觀成花坐也 次結降三世印
誦真言了 加藏[illegible]自爐中撥遣令還著曼荼羅
本位 第四段 次供火 天儀式如寂初四段了
第五段 次先諸供物和一器但塗香別供 次灑淨香水
次燃薪 次扇火 次以手漱口 次結定印 觀火中在十二七曜
廿八宿 次取數葉花誦自在天真言加持三返投火中觀成荷
葉坐諸天等其上也 次結大自在天印真言 勸請曼荼
羅諸天等令會壇中天等 次以捥漱口水三返觀洗
天御口也 次塗香三返供也 觀自天等御口入心蓮花從一一
[illegible]

[illegible]諸天等各[illegible]會[illegible]中天等　次以嗽口水三遍[illegible]

[illegible]觀自天等仰口入[illegible]

毛孔[illegible]供養雲海盡供養盡空法界諸佛菩薩[illegible]

開乃至普賢等　次以和合供物每天一杓供 諸合各真言也　香物

供少者大杓三遍小杓三遍供也 用大自在天真言　觀念空

香時　次[illegible]尼供真言三遍　次以挽潄口水三遍　次加持

散[illegible]我等[illegible]天等本位成荷[illegible]重觀也　次結[illegible]

往印了　加[illegible]遣自爐中令還着[illegible]本位

第五壇了

[illegible]所略念誦遍數若可誦者可加誦　次作字轉月輪寸

[illegible]念誦了　但[illegible]日不可解界　但從道場出

[illegible]時誦不動明王真言[illegible]中以潄口水每方三遍其[illegible]時盡手々

向外右[illegible]也[illegible]次相[illegible]明麻乳木十二指 用有乳木入柔枯也

觀明麻本尊從佛口入至心蓮花成光明輪從一一毛孔流出光

量光明輪雲海供養盡虛空界一切諸佛菩薩還來我及彼

人自頂入而流入五躰增益色力壽命福而護摩千八十遍

●增益相應物

粳米丸[illegible]蜜護摩　乳木十指 用黃字　觀粳米至心蓮花

成如意寶自一一毛孔流出无量雲海而供養盡虛空界諸

佛菩薩還來我与及彼人兩滿无量財之資具福千八十遍

護摩●調伏料芥子毒藥印青塩 用頭 鐵末酢此五種之

物一器和以不動尊真言加持一百八遍　又以不動尊真言件

物投爐中而七八十遍護摩觀從本尊佛口入至心蓮花成

利劍自一一毛孔流出无量利劍雲海而供養盡空遍法

[illegible]

[illegible]來守護我与及彼人即為敵及耶見者

[illegible]調伏相也　知是念而護摩乳木八指 用判木

[illegible]敬愛相應物　餅短 [illegible]如丸如香石

觀餅短自本尊佛口入而至於心蓮花成蓮花箭從一一毛

孔流出蓮花以蓮花箭[illegible]供養盡虛空界諸佛菩薩而

還來射矢一切衆生之獸禱心及彼人之獸禱心射矢想

而護摩千八十遍

四種護摩壇如儀軌文

延長七年十二月廿四日石山寺寫畢

先於自身前觀[Siddham]字門成淨月輪於輪中觀[Siddham]字成金

剛愛菩薩身朱砂色身放紅光二手持箭分明觀已誦四字

明結印引入自身四字明曰　[Siddham] [Siddham] [Siddham] [Siddham]　便以印加

持四處心額喉頂真言曰 印五處本

唵縛日羅 合 羅我阿地瑟姹 合 娑縛 合 賀斛　誦觀已身

如金剛愛菩薩儀色相无有差別即觀彼人在前一肘身

下有紇哩字成蓮花自身自身從花孔入入彼人身遍其形

體支分猶如被帶衣上下諦觀其形无二即誦真言曰

唵縛日羅 羅訖 々 野命斛 彼名　念誦觀相續不絶滿

二七遍於後見之所出語言皆是彼人无別結跏趺坐入定

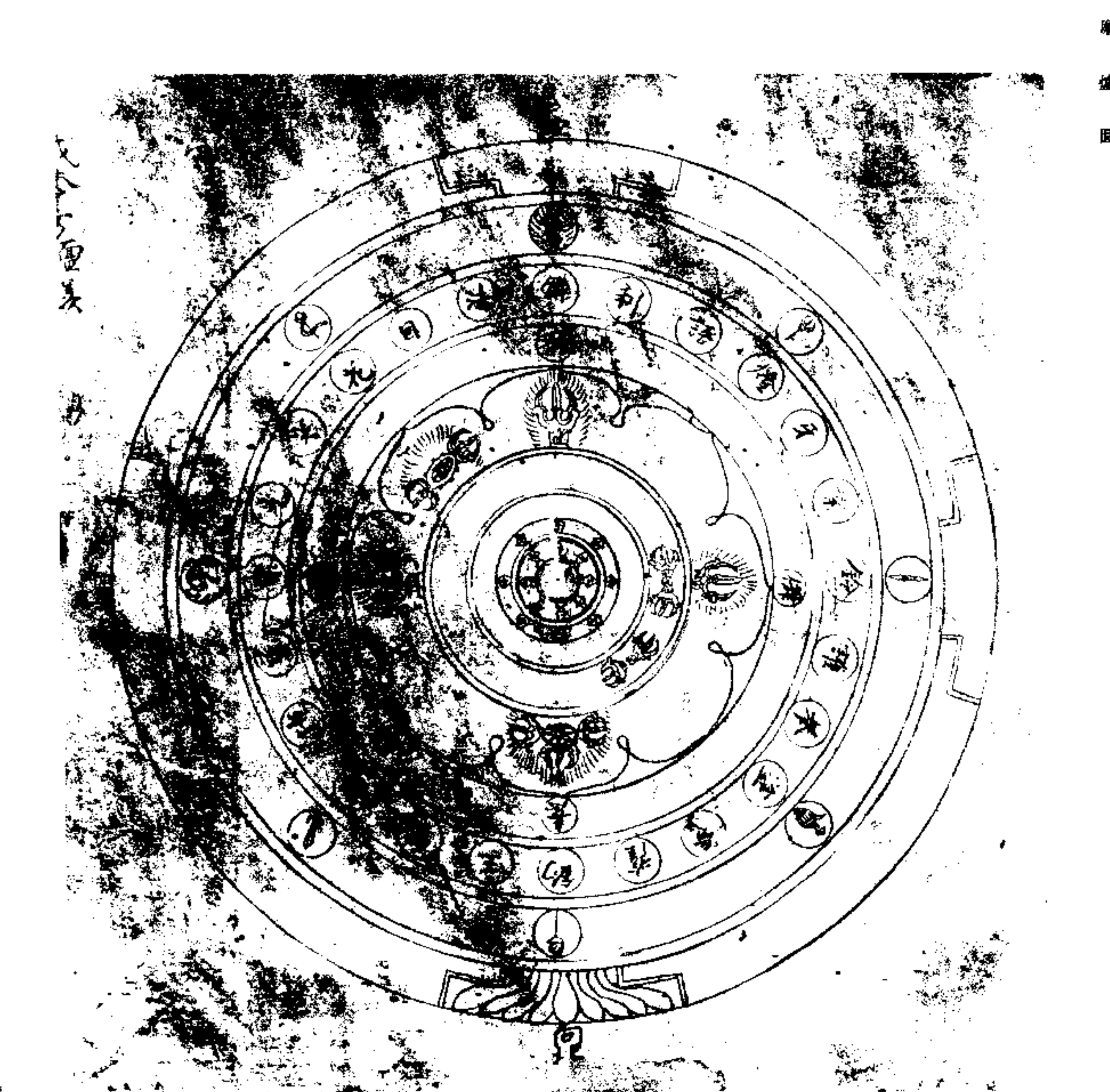
想前有阿字光耀光明便變為月輪々中有[illegible]字成訖

便為金剛鉤菩薩二手持鉤便從口入心中便成菩薩即從心

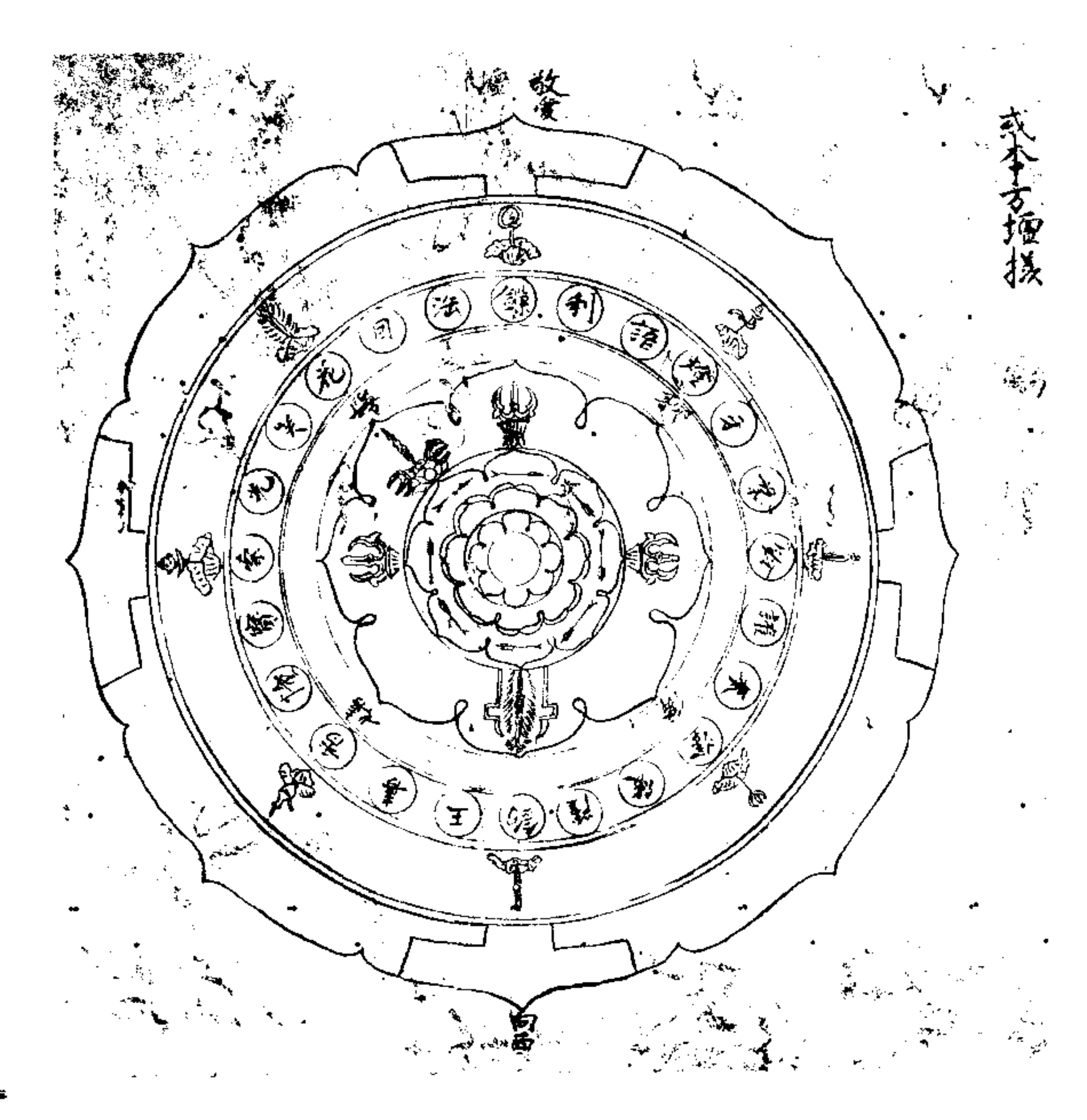
中出一[Siddham]字流入如[illegible]至前人心中成鉤如金剛女一指

右杵右手曲成鉤二身无二相　同月同日寫了

護摩爐圖



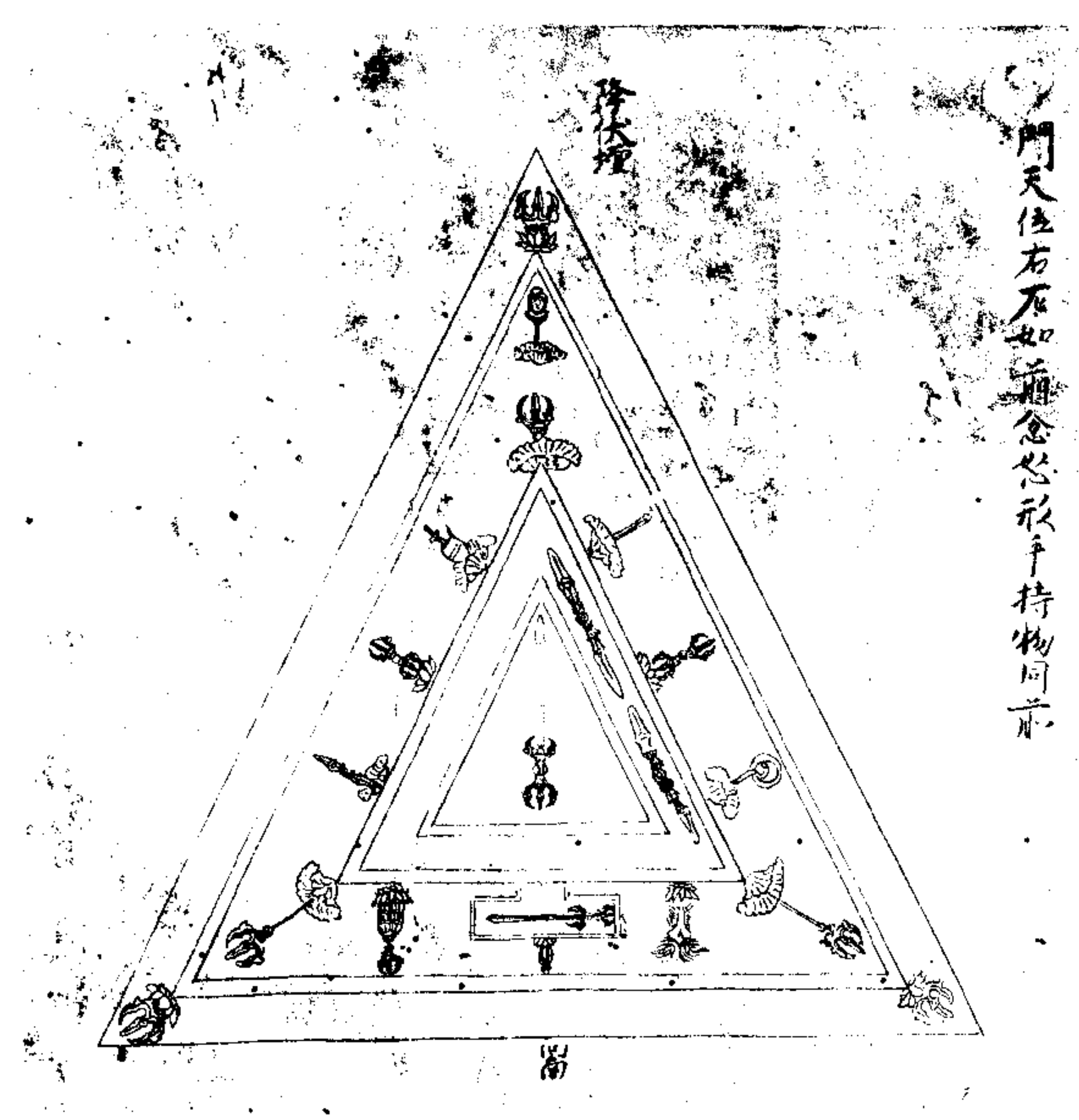
圖像 No. 1. 息　　災　　壇



圖像 No. 2. 敬 愛 壇

或本様西方置未敷蓮形四角置半三古又北置八輻輪南
置鉾形但開蓮座上立未向行者方　又東立蓮座上三古西立
蓮座上獨古

或本様南炎魔天擔卧上置六足尊北多門天位契上置羯
磨長自在天位斤三古卧上立三古東帝尺位獨古卧上
立三古次書忿怒形右手持棒左手作拳次火天位水瓶卧
上立三古次羅刹天位刀卧上立三古次如前有忿怒形左右
手同前次水天索卧上立三古次風天幢幡卧上立三古又多
門天位右左如前忿怒形手持物同前



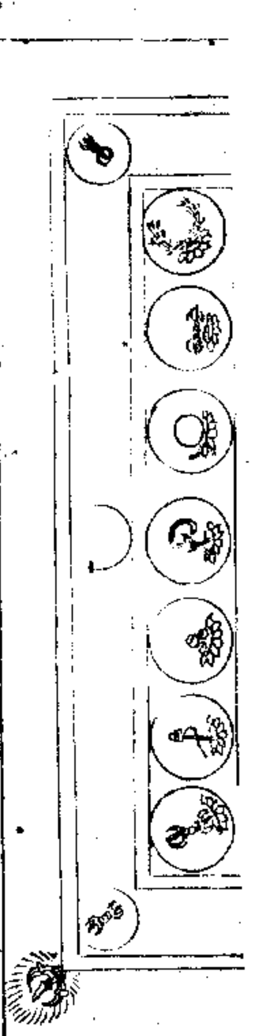
圖像 No. 3. 降 伏 壇

圖像 No. 4. 金剛忿怒一切火壇

鈎召火壇

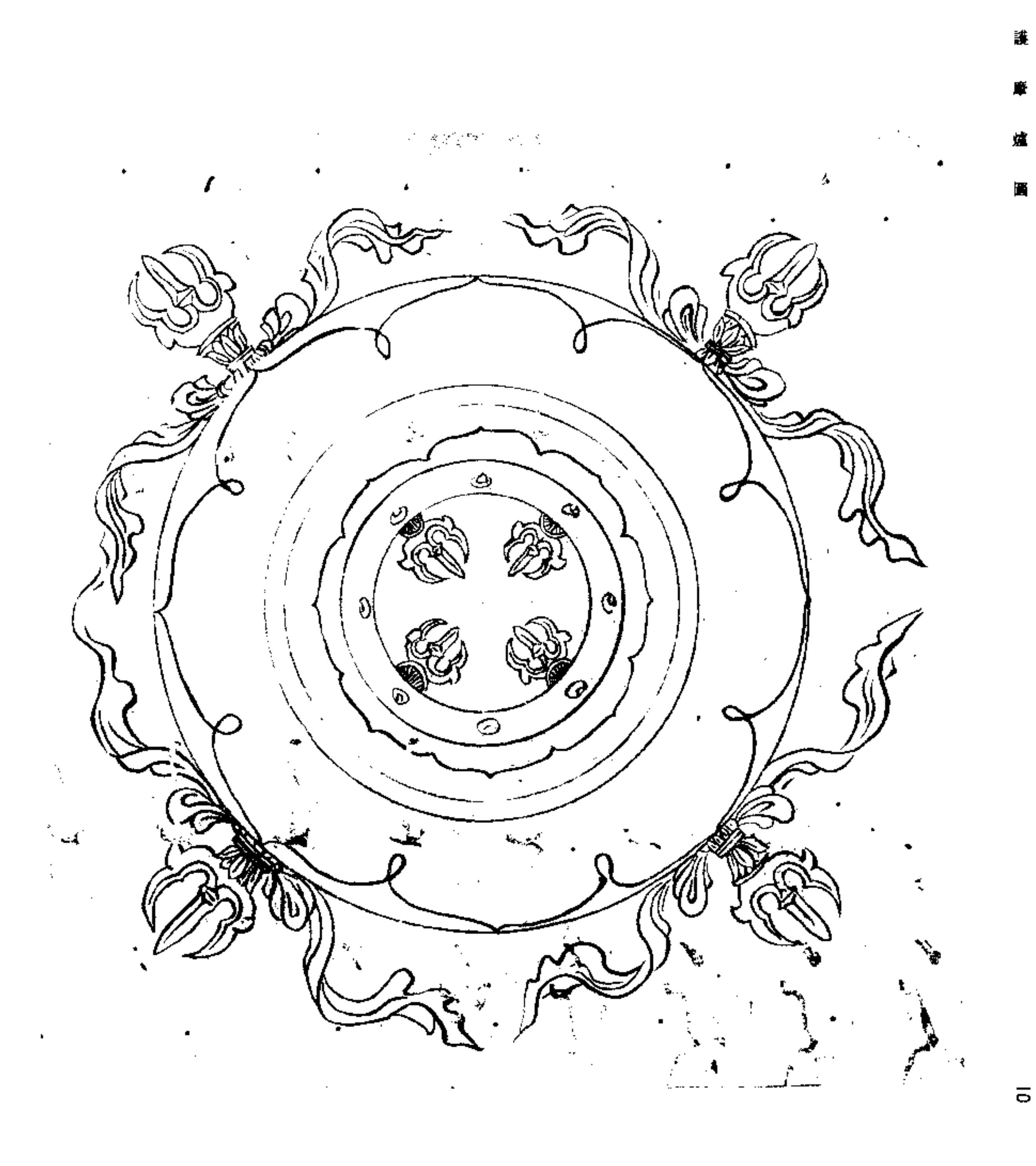
圖像 No.5. 息 災 壇 ?

鈎召火壇

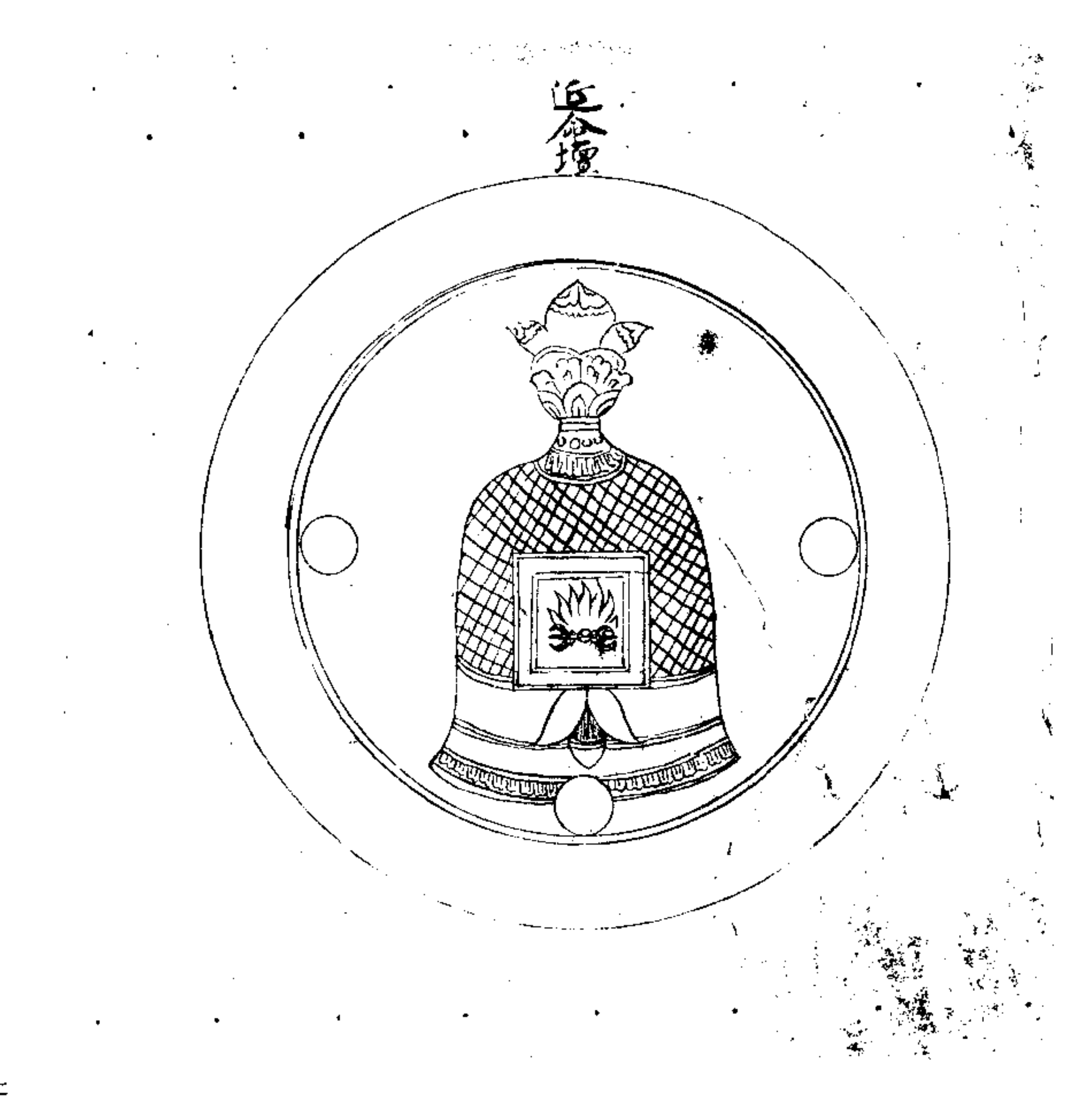


圖像No. 6, 鈎 召 火 壇

圖像 No. 7. 敬　愛　壇 ?



圖像No. 8. 敬　愛　壇？

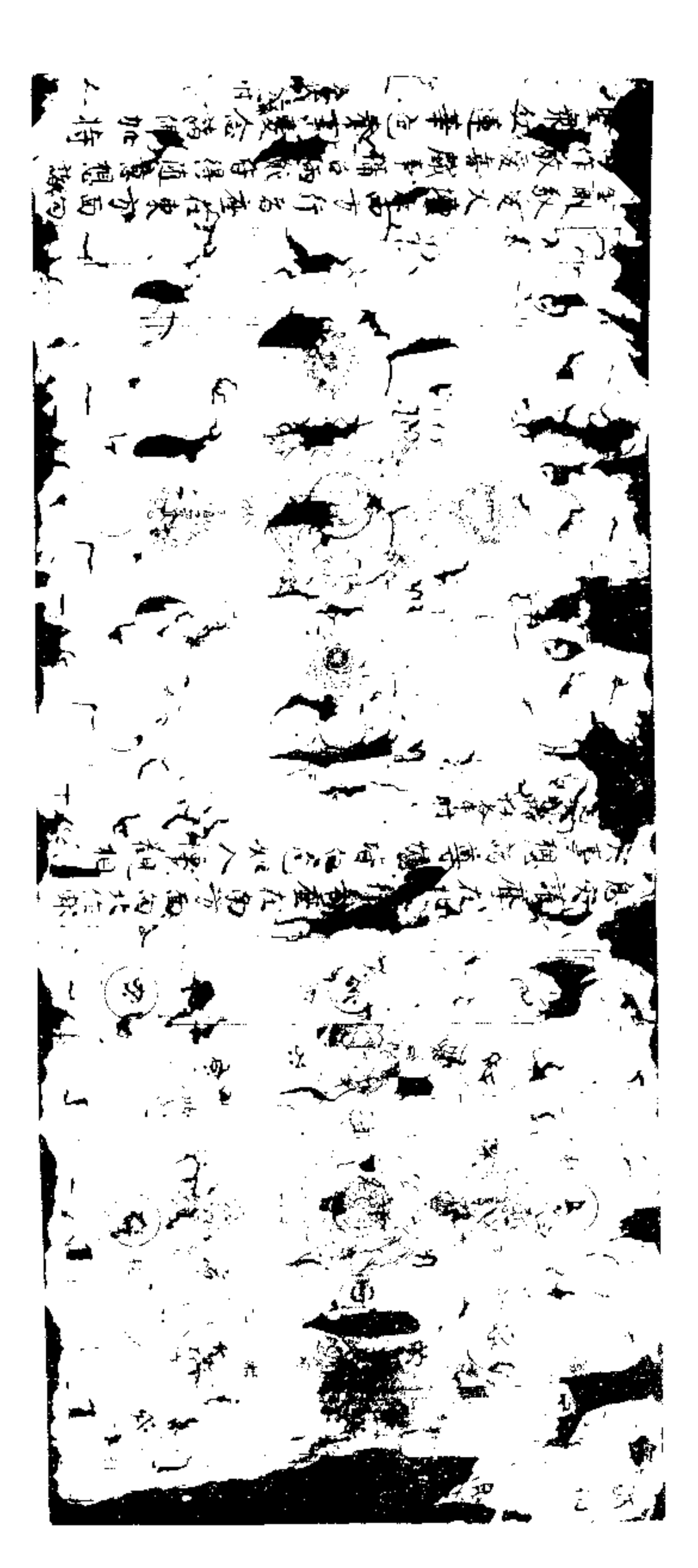


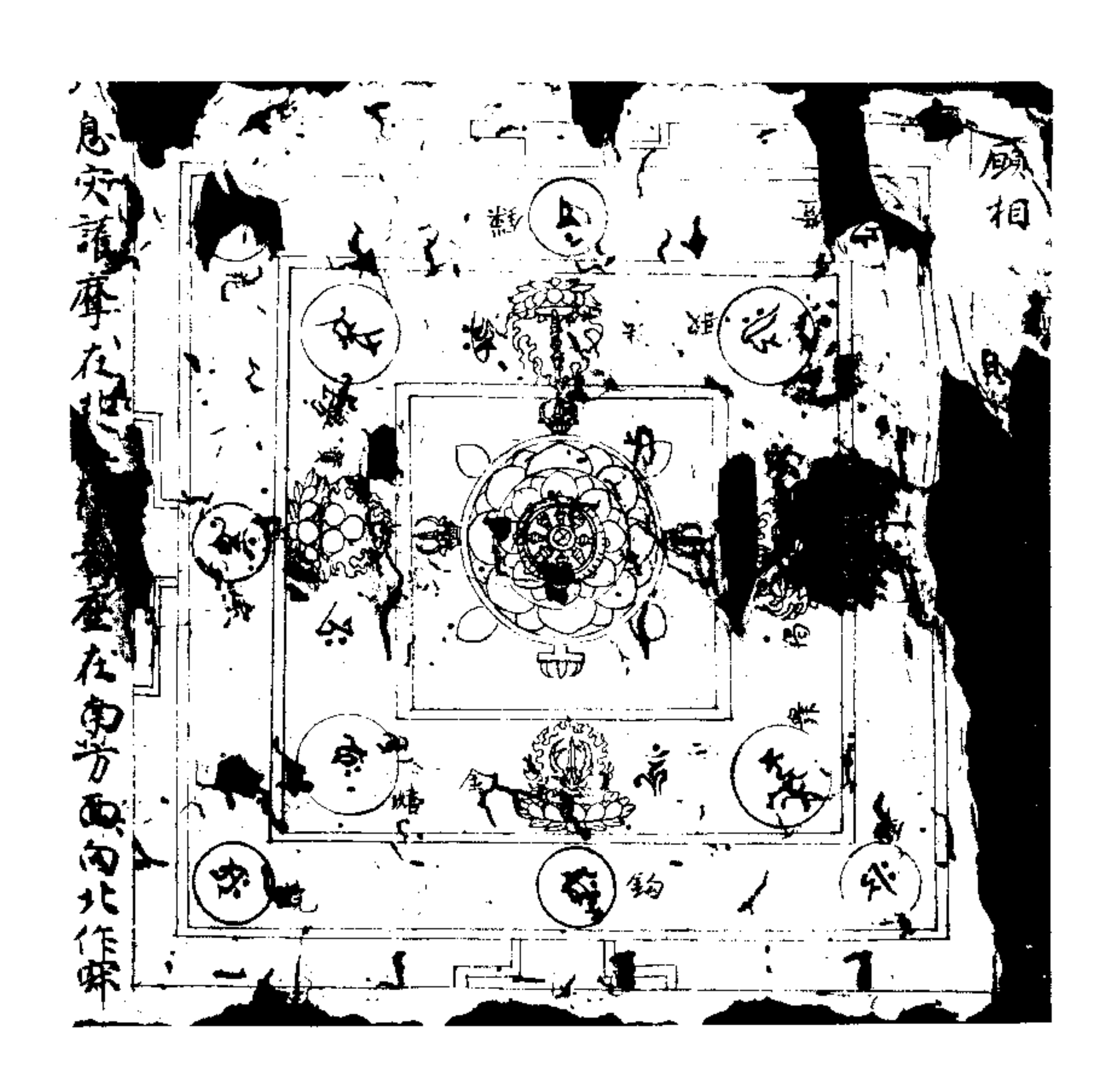
圖像 No. 9. 延 命 壇

永久元年十二月十四日於圓樂寺寫之　亦記之

延享第三丙寅歳夷則五日傳授了
佛心首賀　俗歳六十三歳

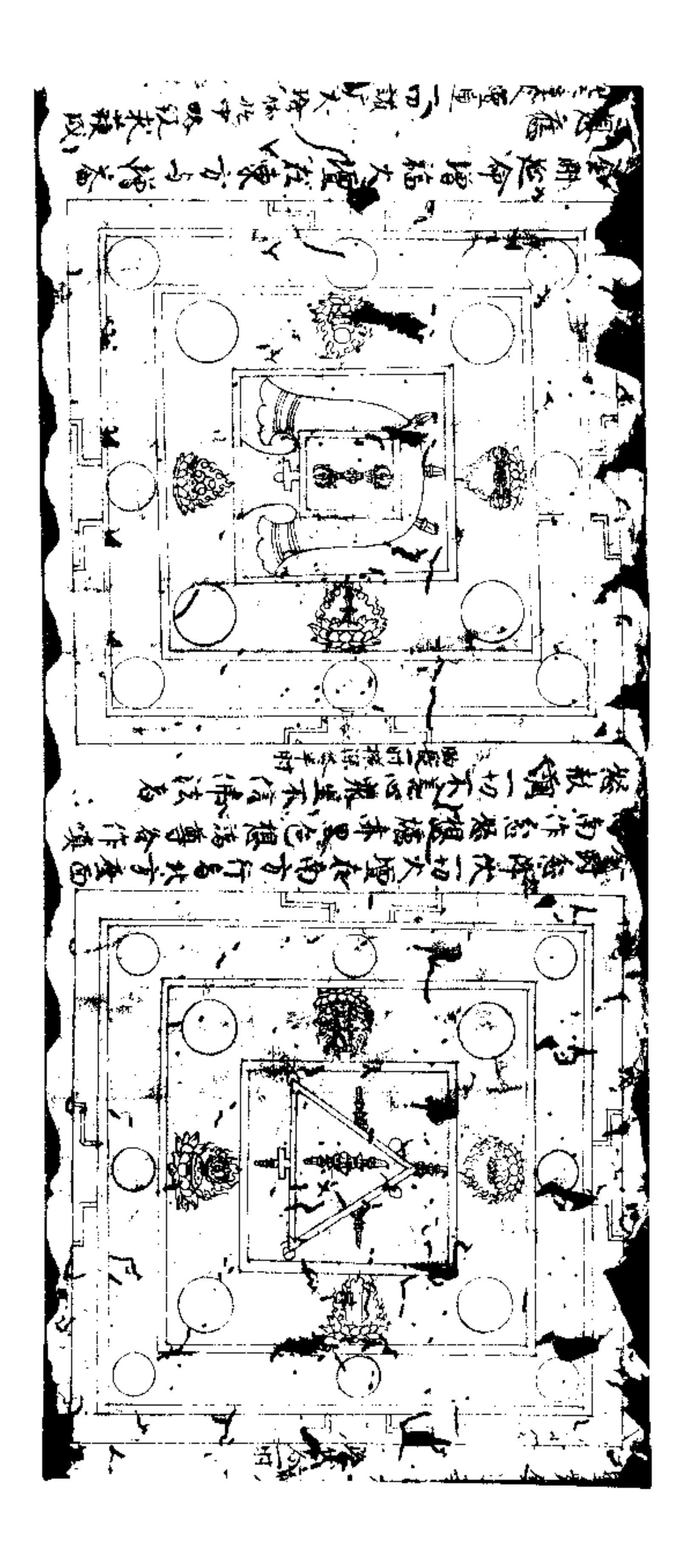
諸壇圖

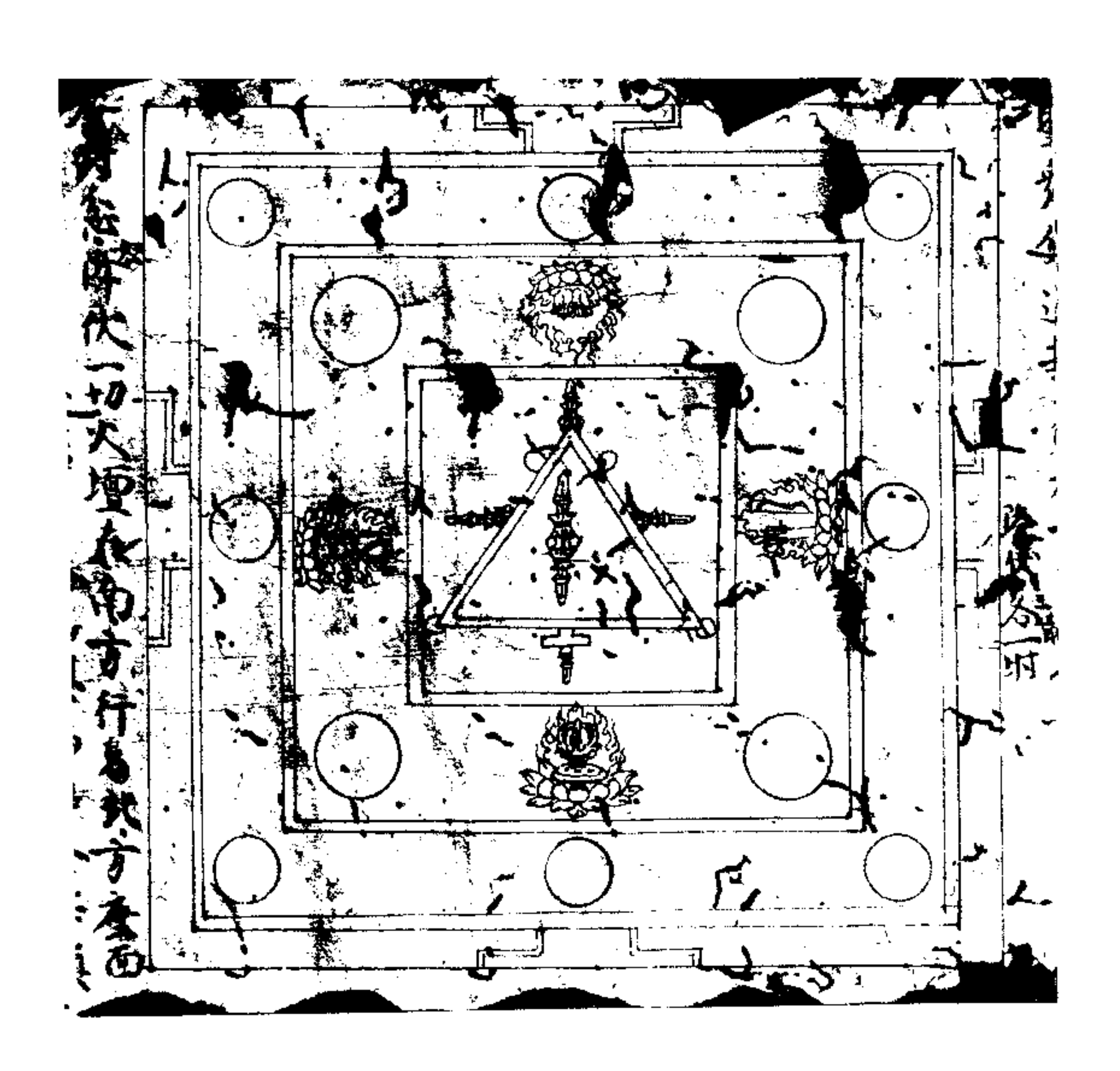




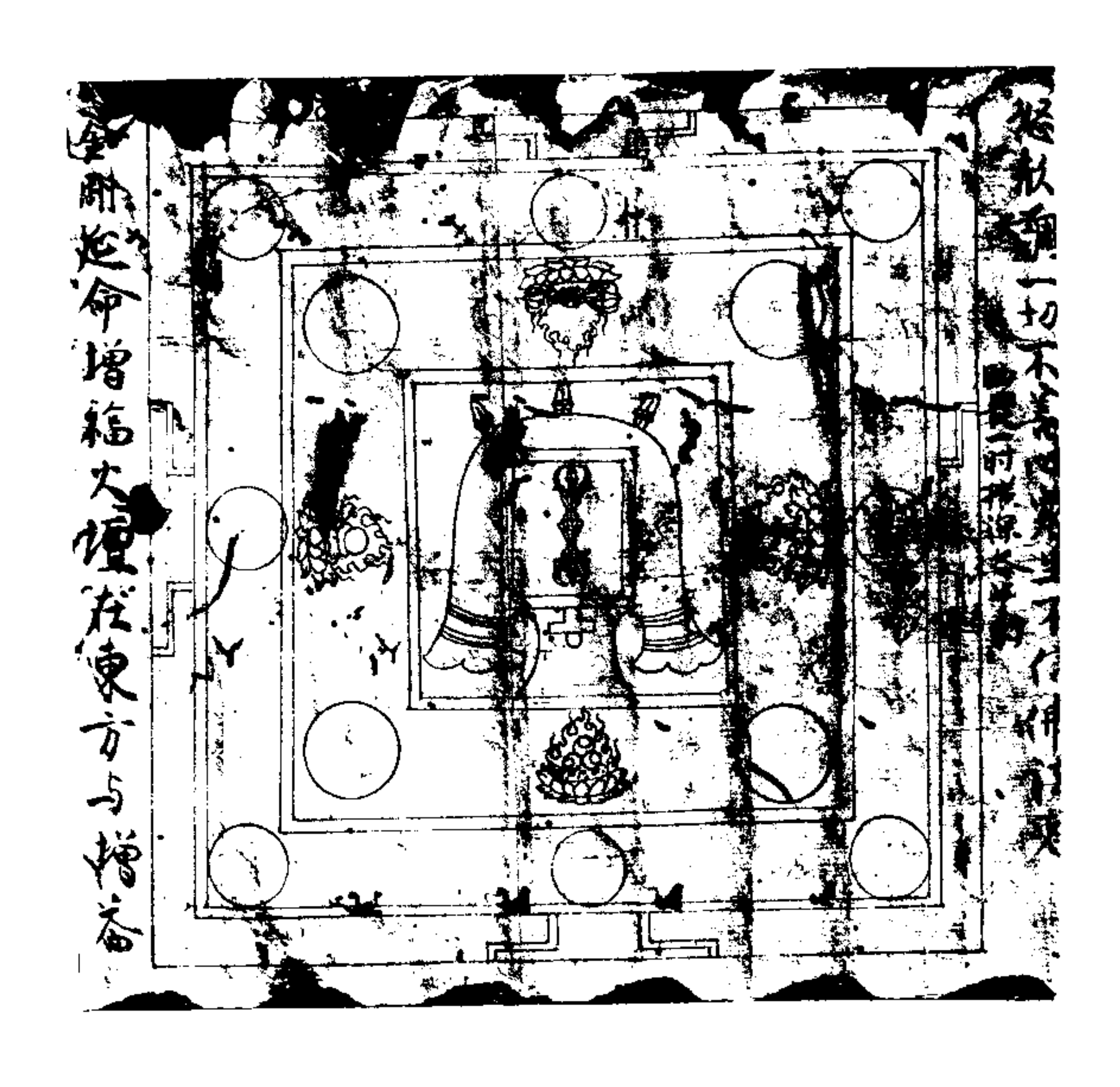
圖像No.1. 息災火壇

圖像No.2、 金剛敬愛火壇

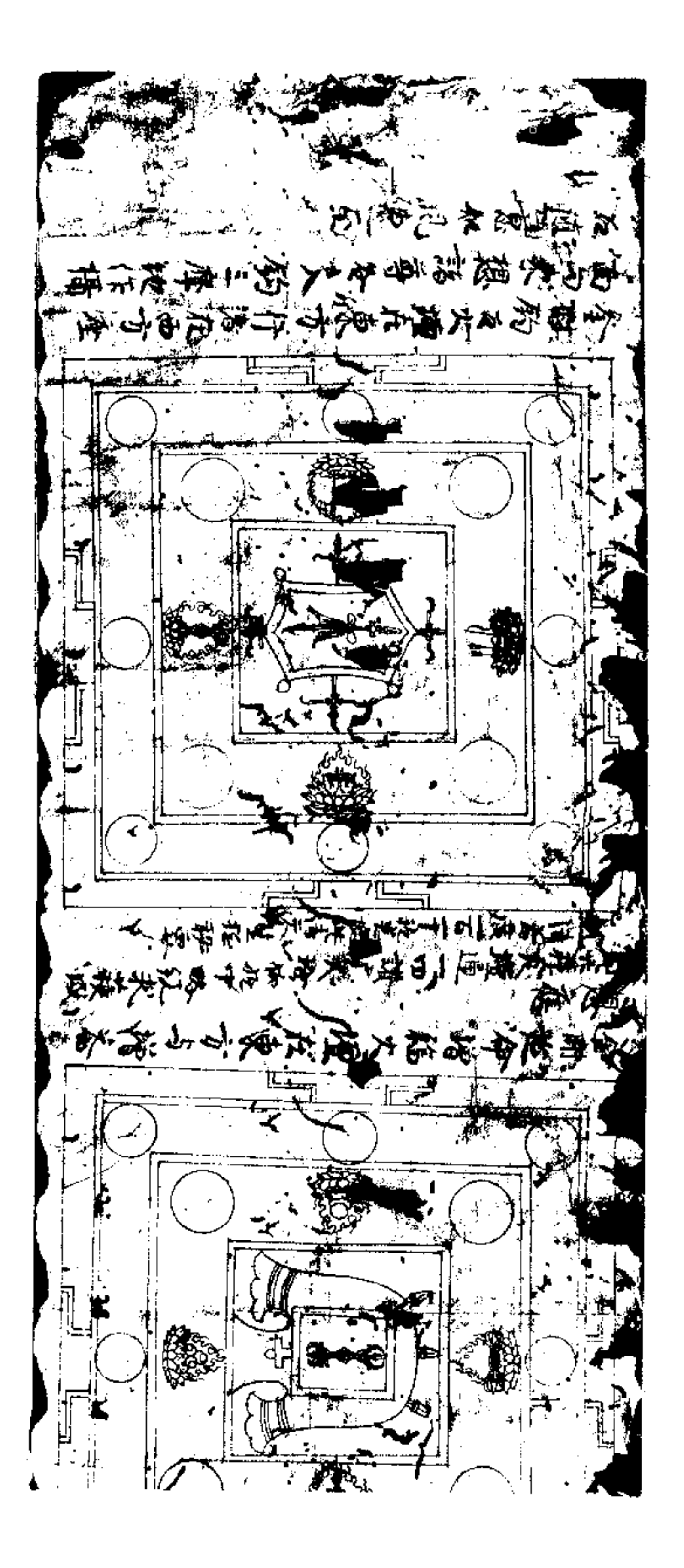




圖像No.3. 金剛忿怒降伏一切火壇

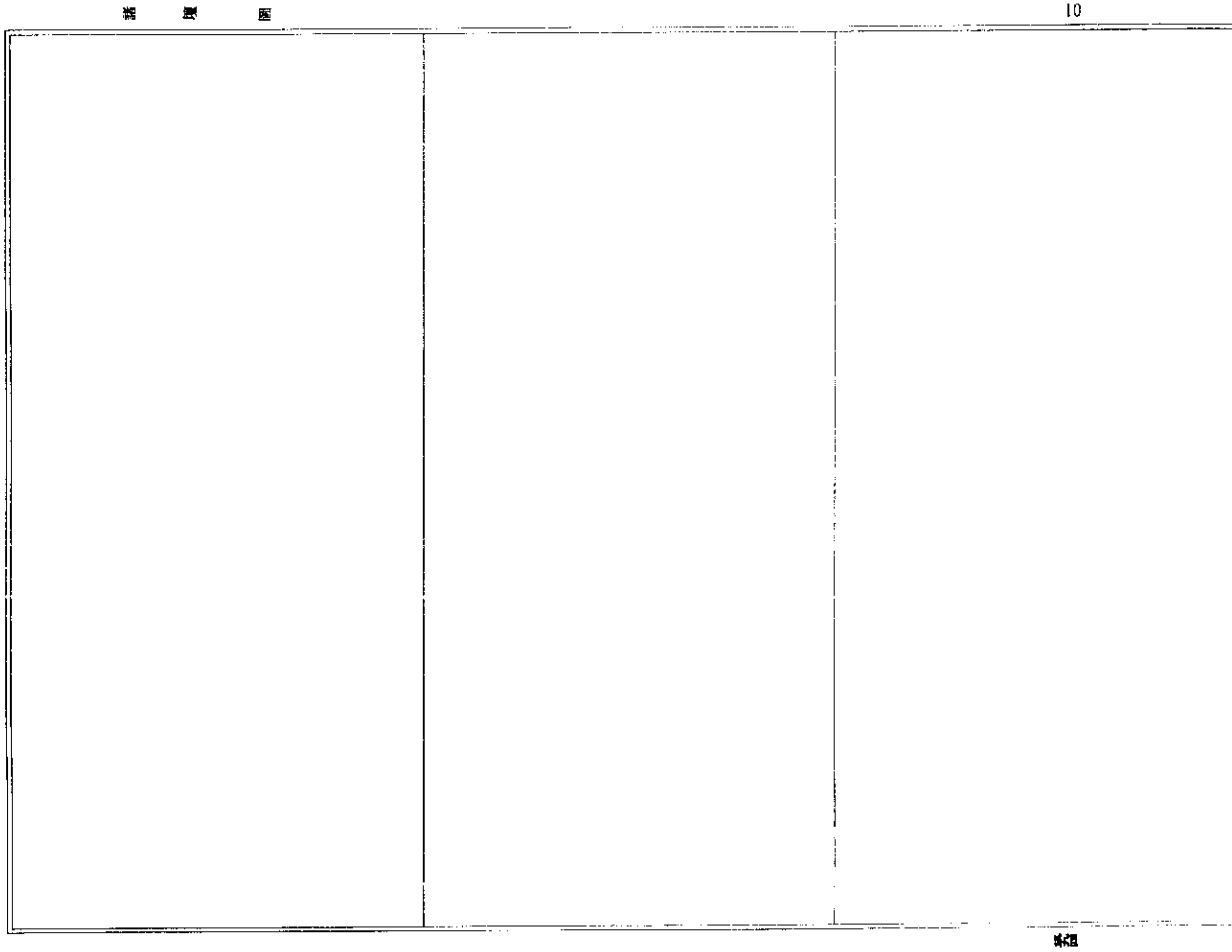


圖像 No. 4. 金剛延命增福火壇

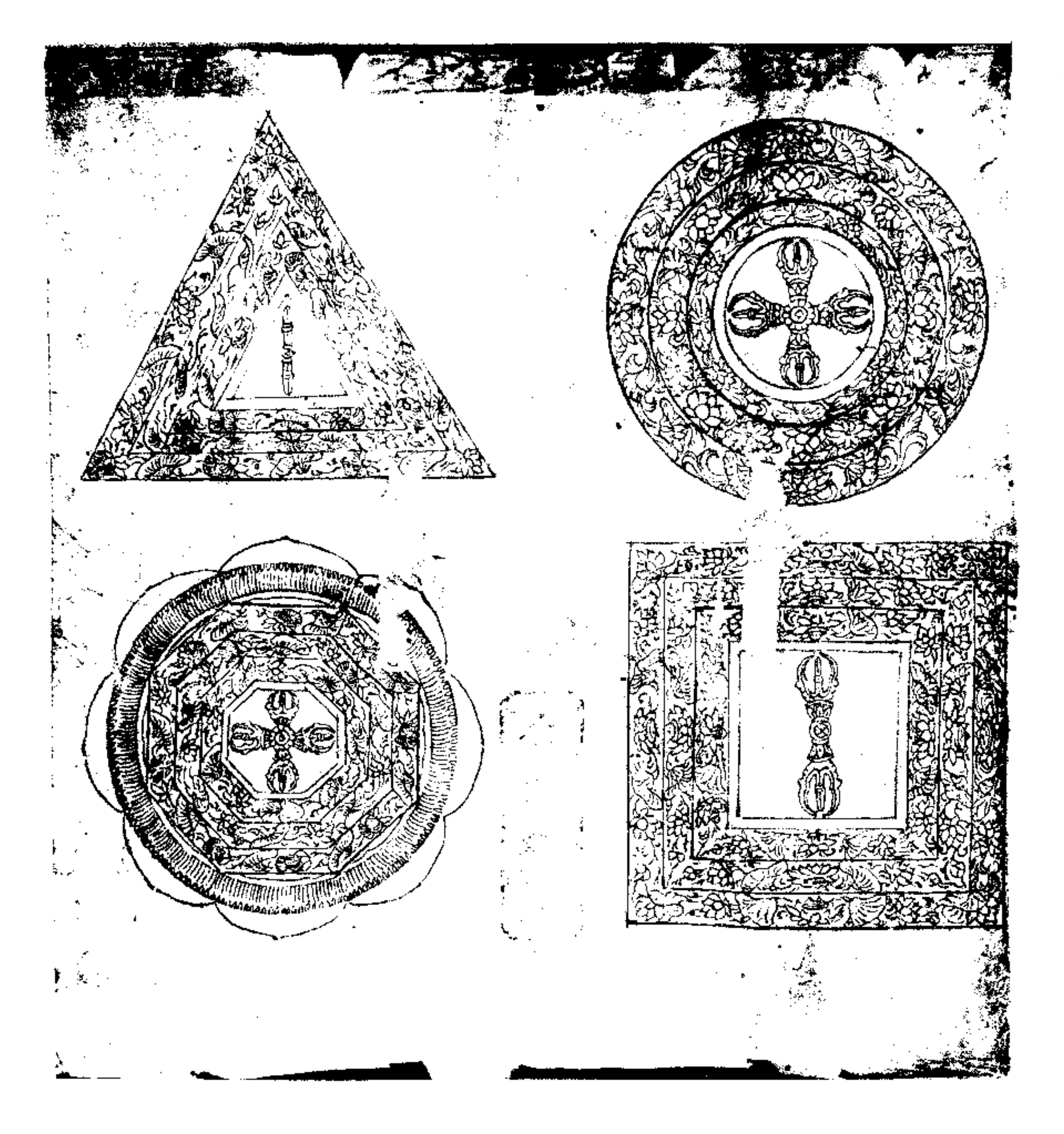




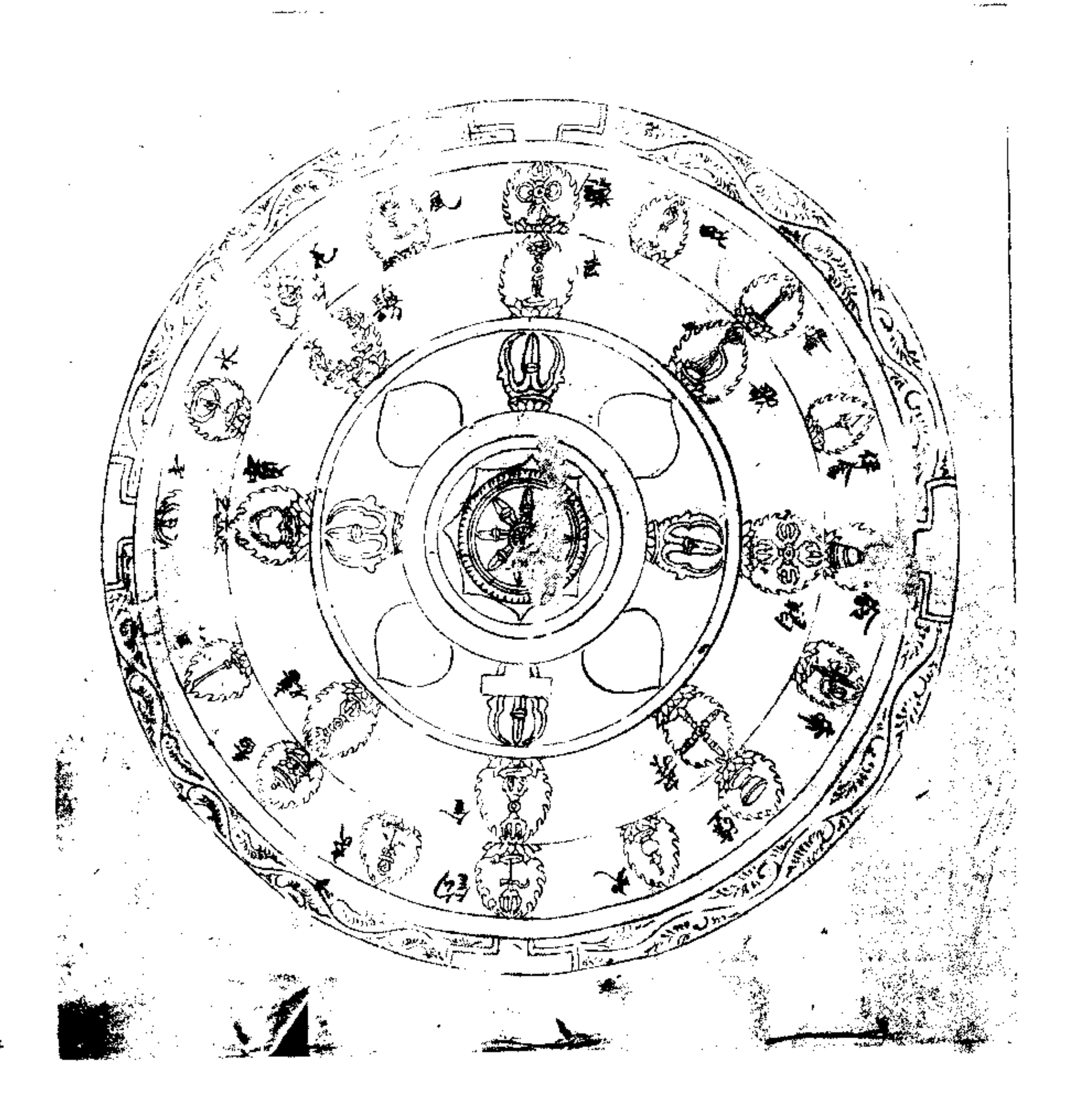
圖像No.5. 金剛鈎召火壇



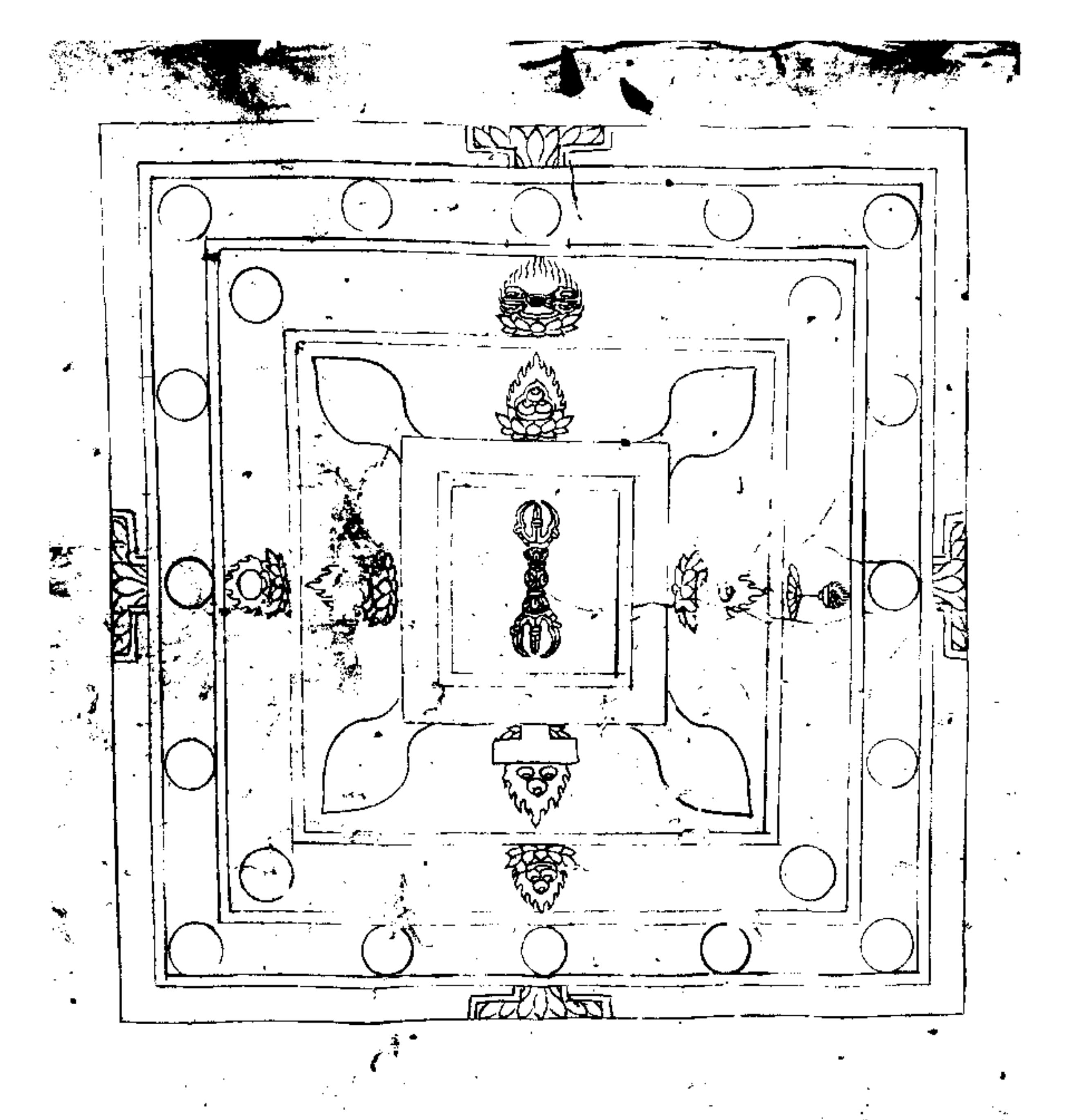
四種軍荼圖



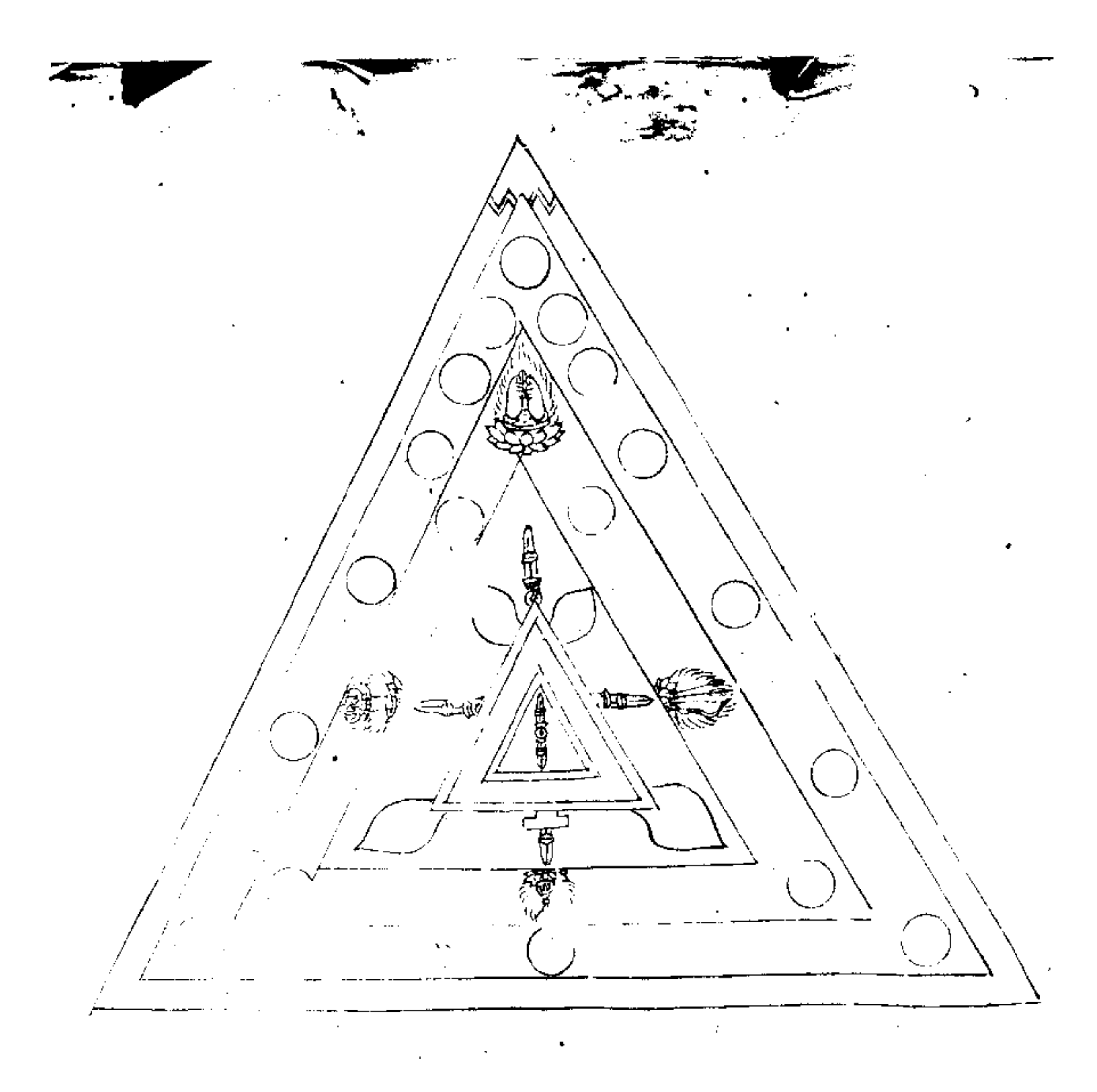
圖像No. 1. 息災(上) 圖像No. 2. 增益（下） 圖像 No. 3. 降伏（上） 圖像 No. 4. 敬愛（下）



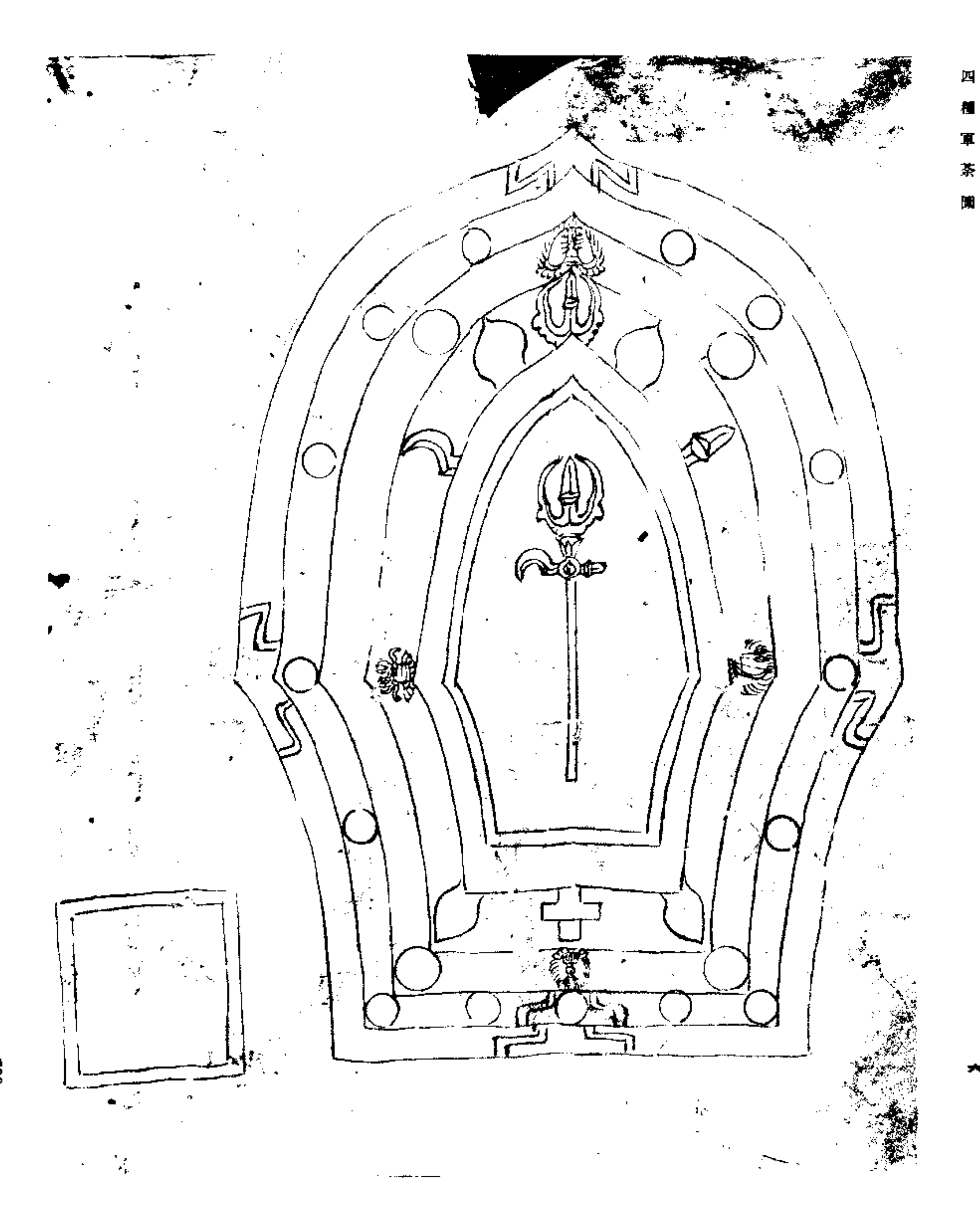
圖像 No. 5. 息　　災



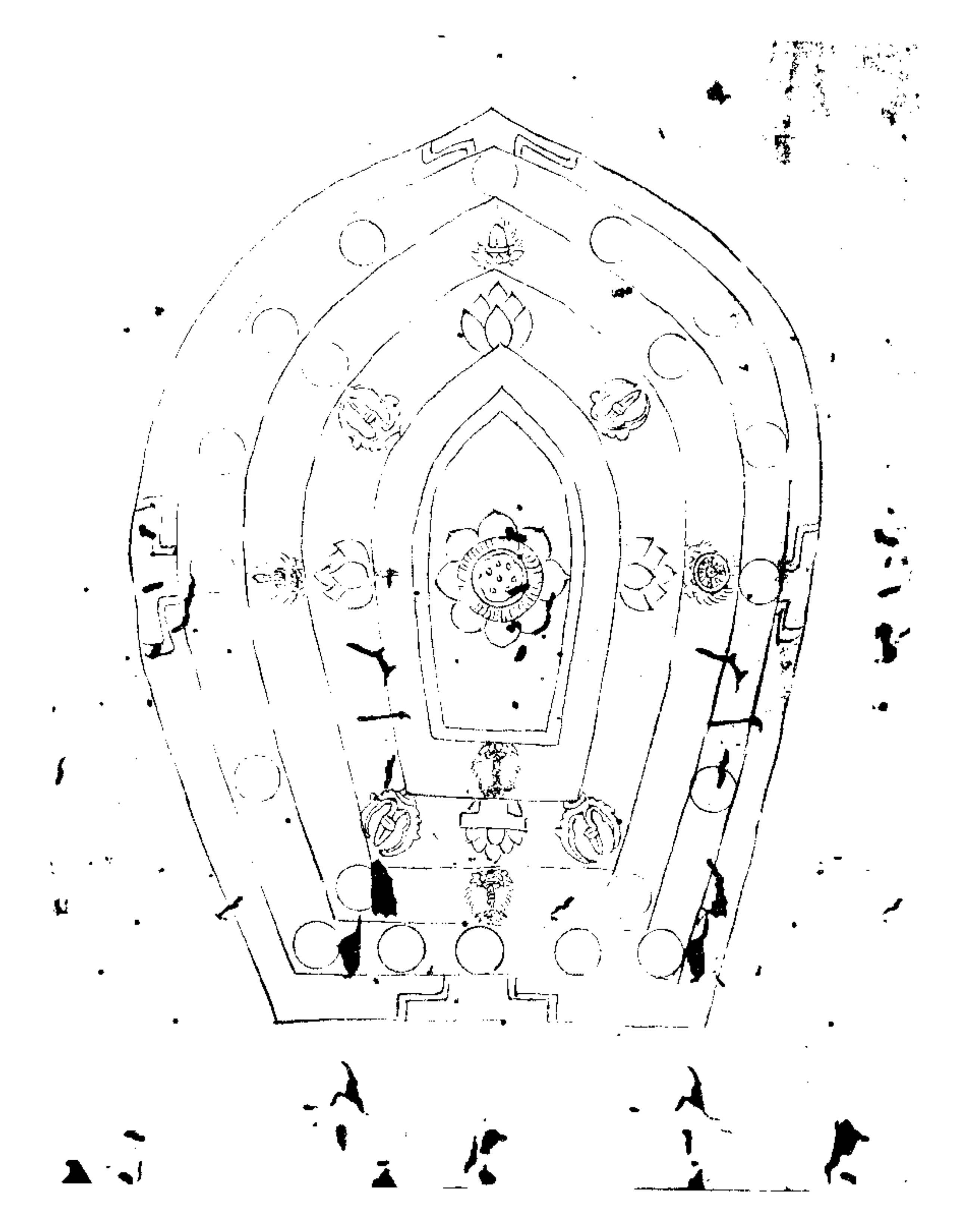
圖像 No. 6. 増　　　　　益



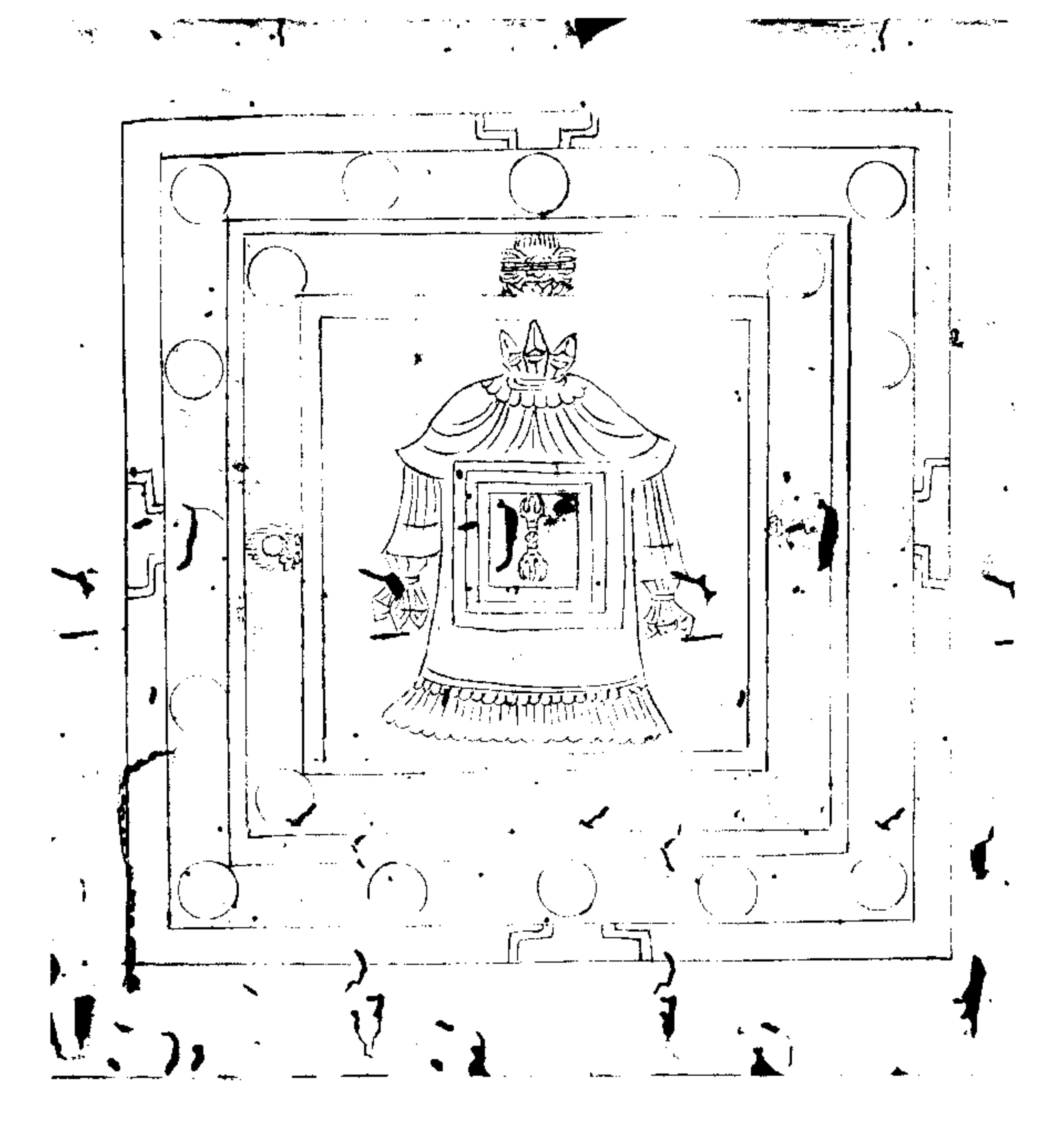
圖像No. 7. 降　　伏



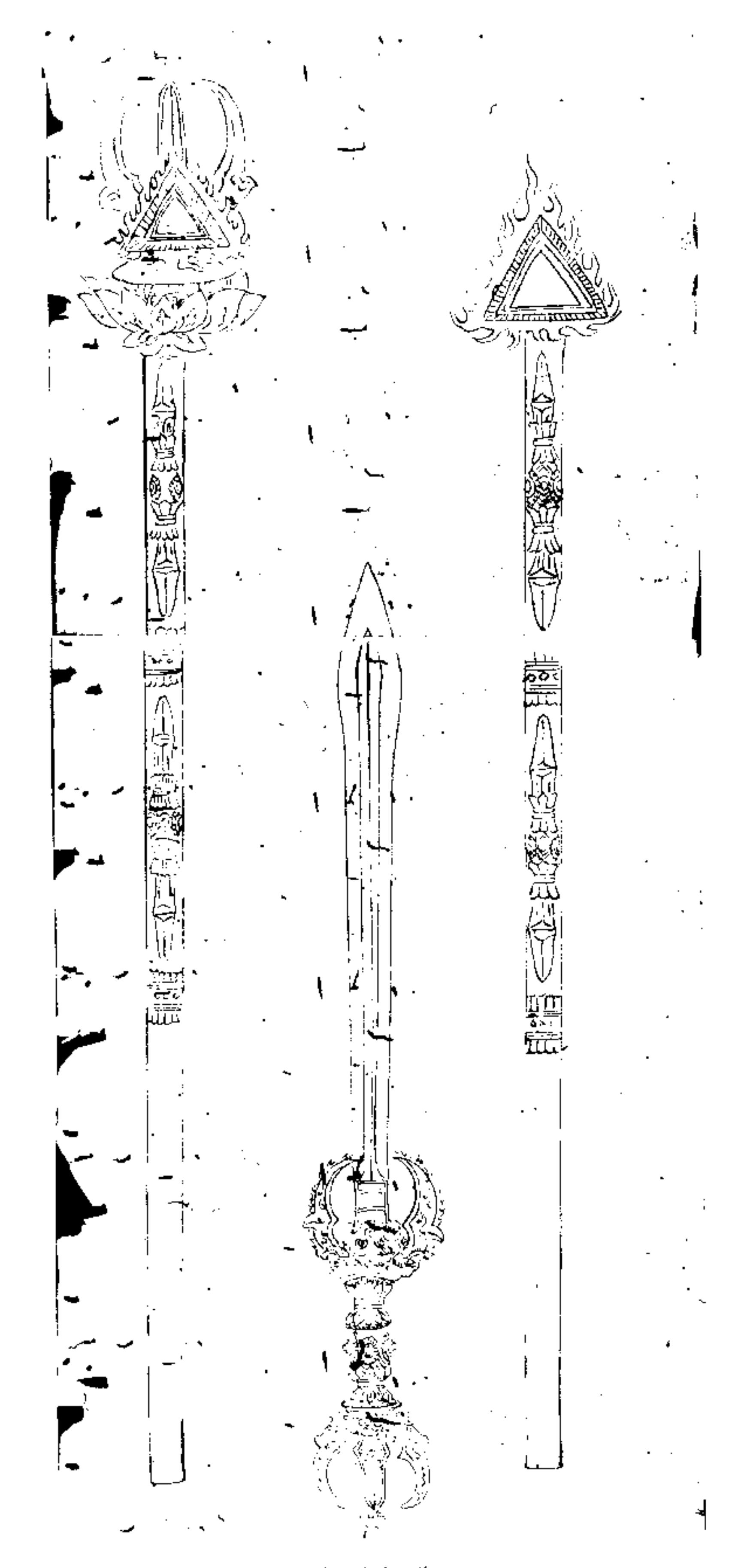
圖像 No. 8. 鈎　　召



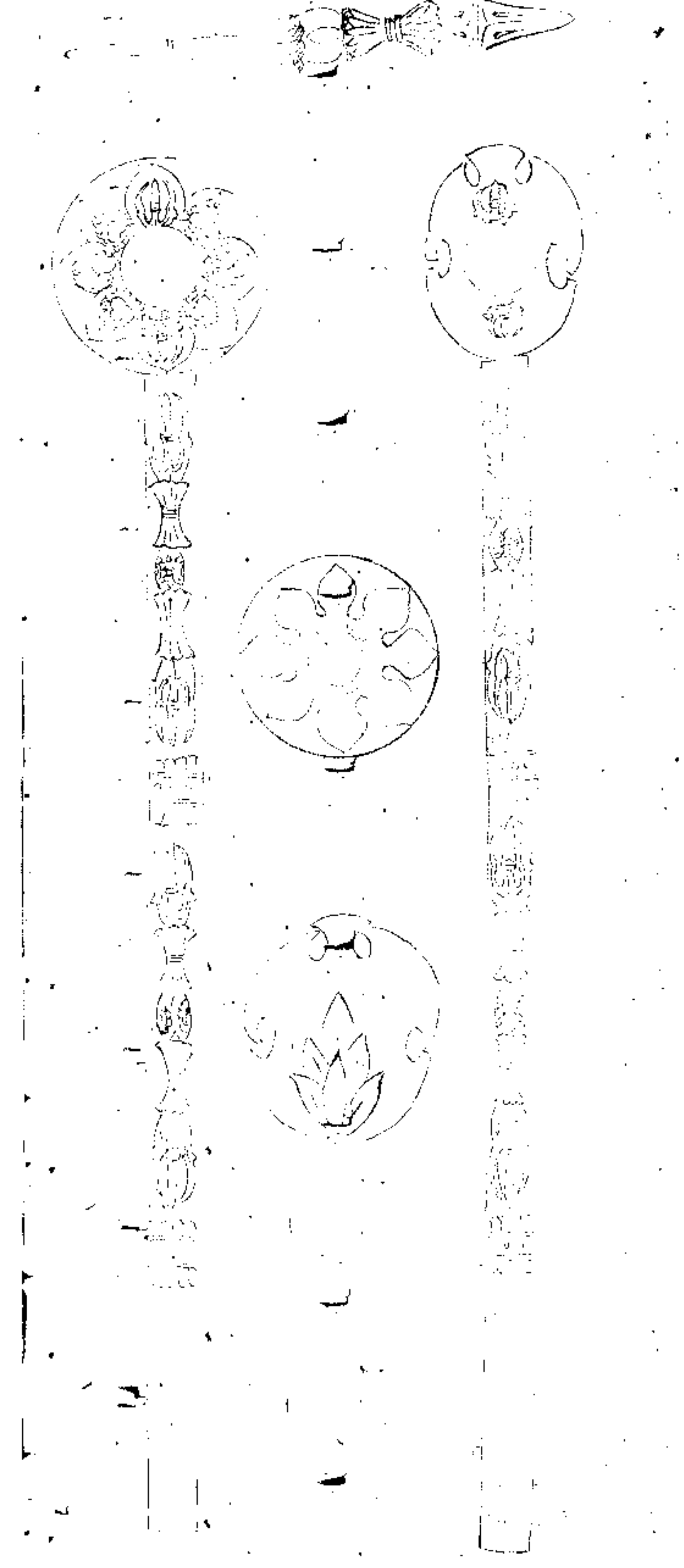
圖像 No.9. 敬　　愛



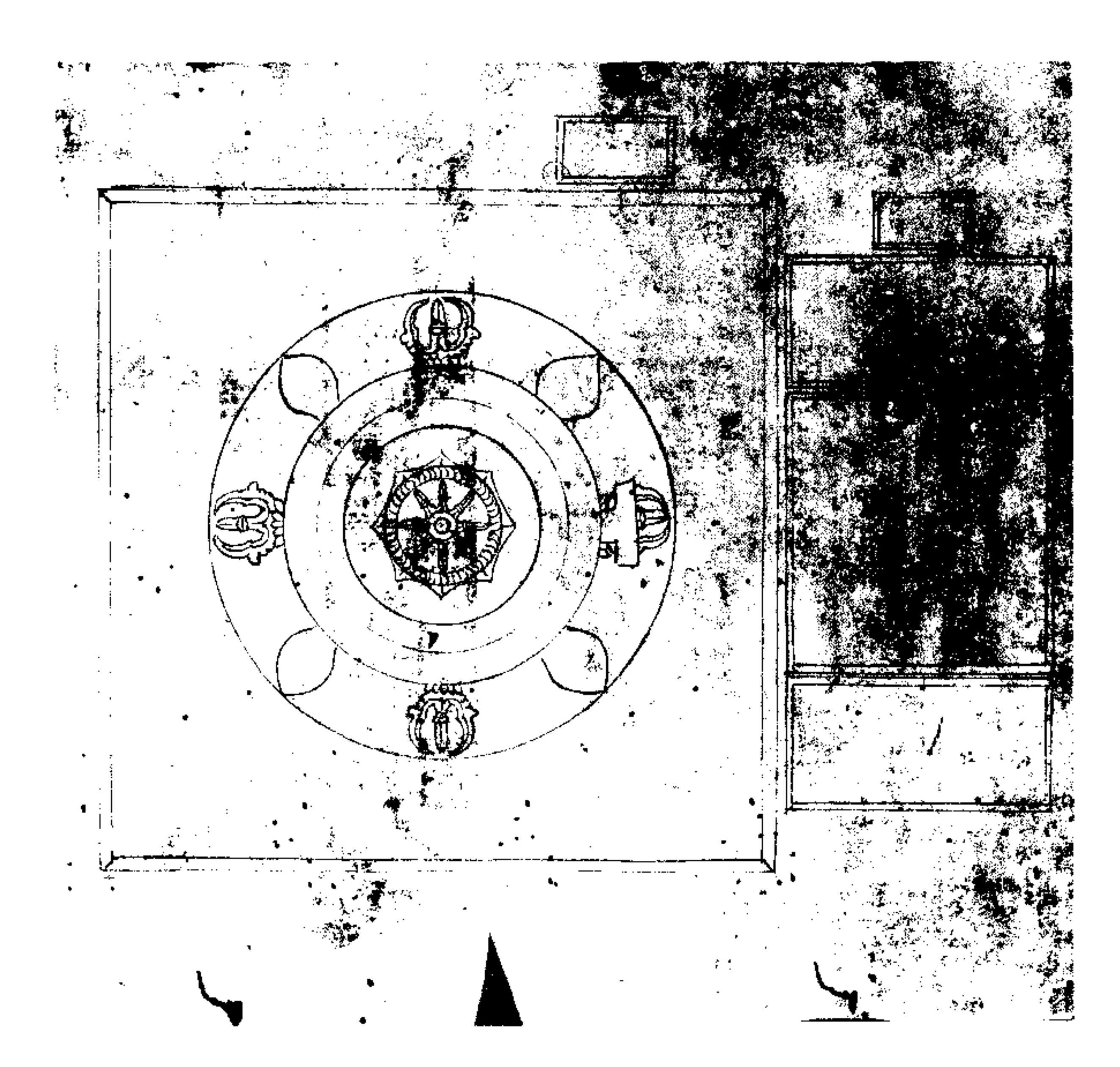
圖像 No. 10、延　　命



圖像 No.11. 護摩爐契印？（其一）　　圖像 No.12. 護摩爐契印？（其二）　　圖像 No.13. 護摩爐契印？（其三）



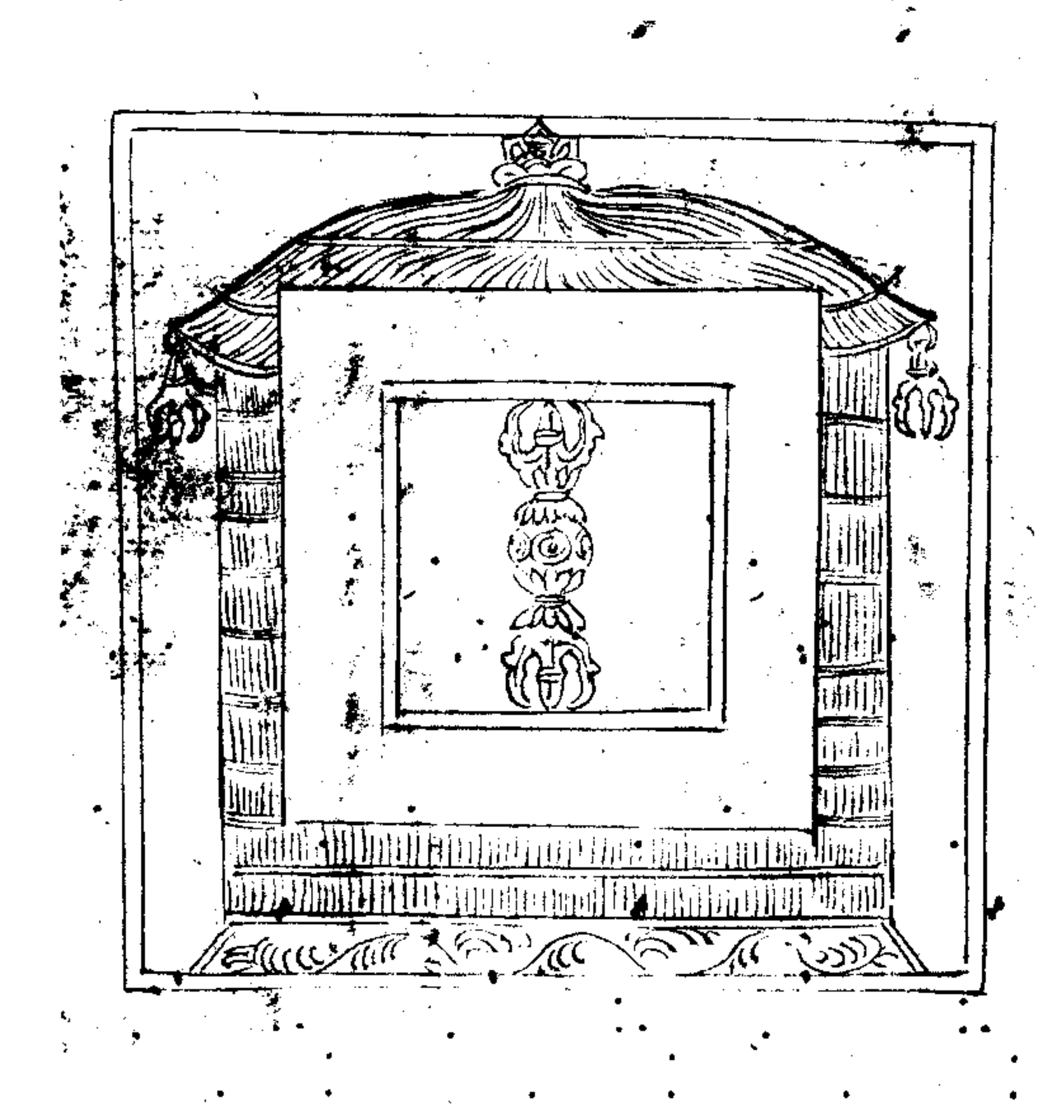
圖像 No.14, 護摩爐契印？（其四）　圖像 No.15, 護摩爐契印？（其五）　圖像 No.16, 護摩爐契印？（其六）　圖像 No.17, 護摩爐契印？（其七）　圖像 No.18, 護摩爐契印？（其八）



圖像 No. 19. 息　　災

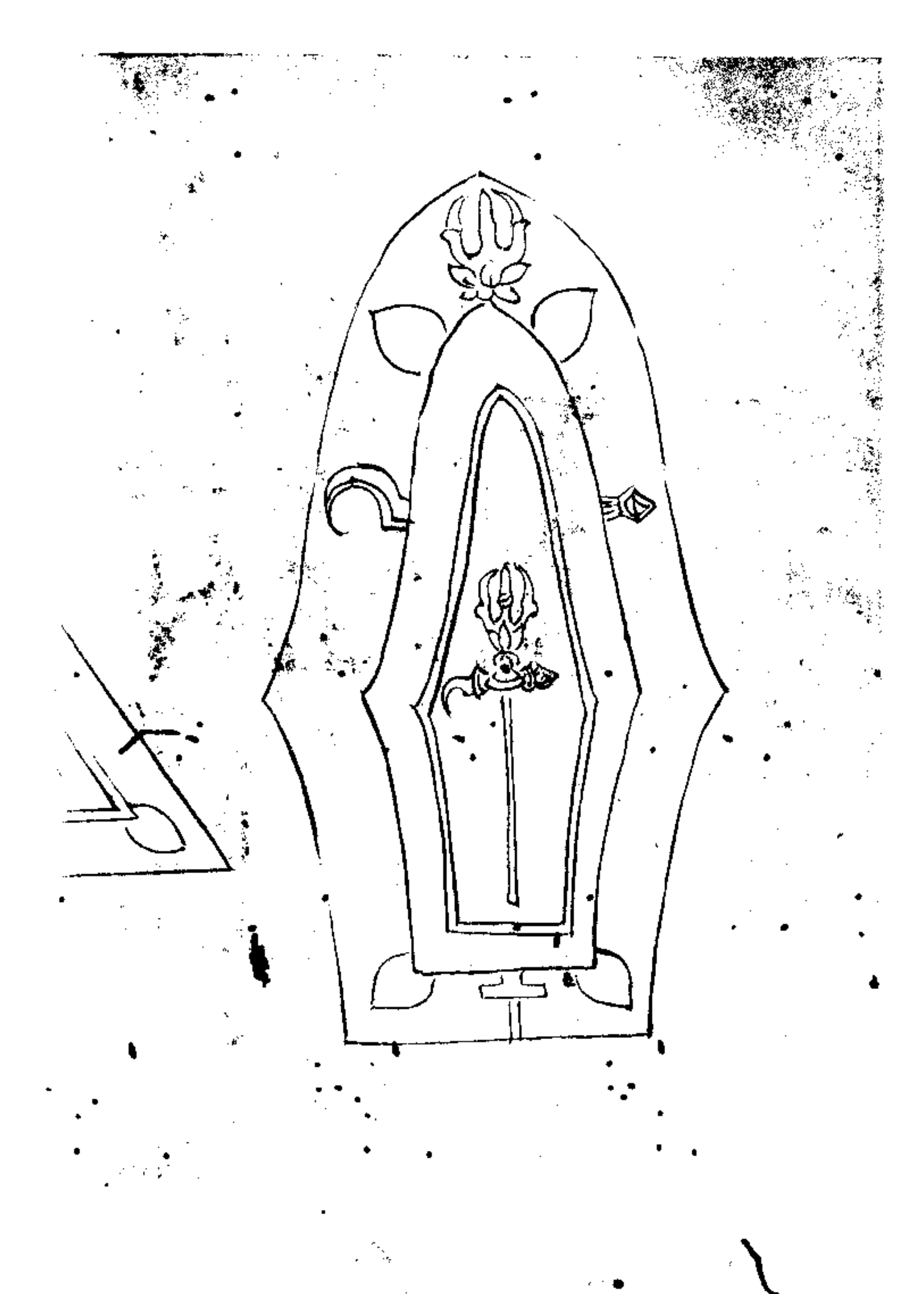


圖像No. 20, 增　　益



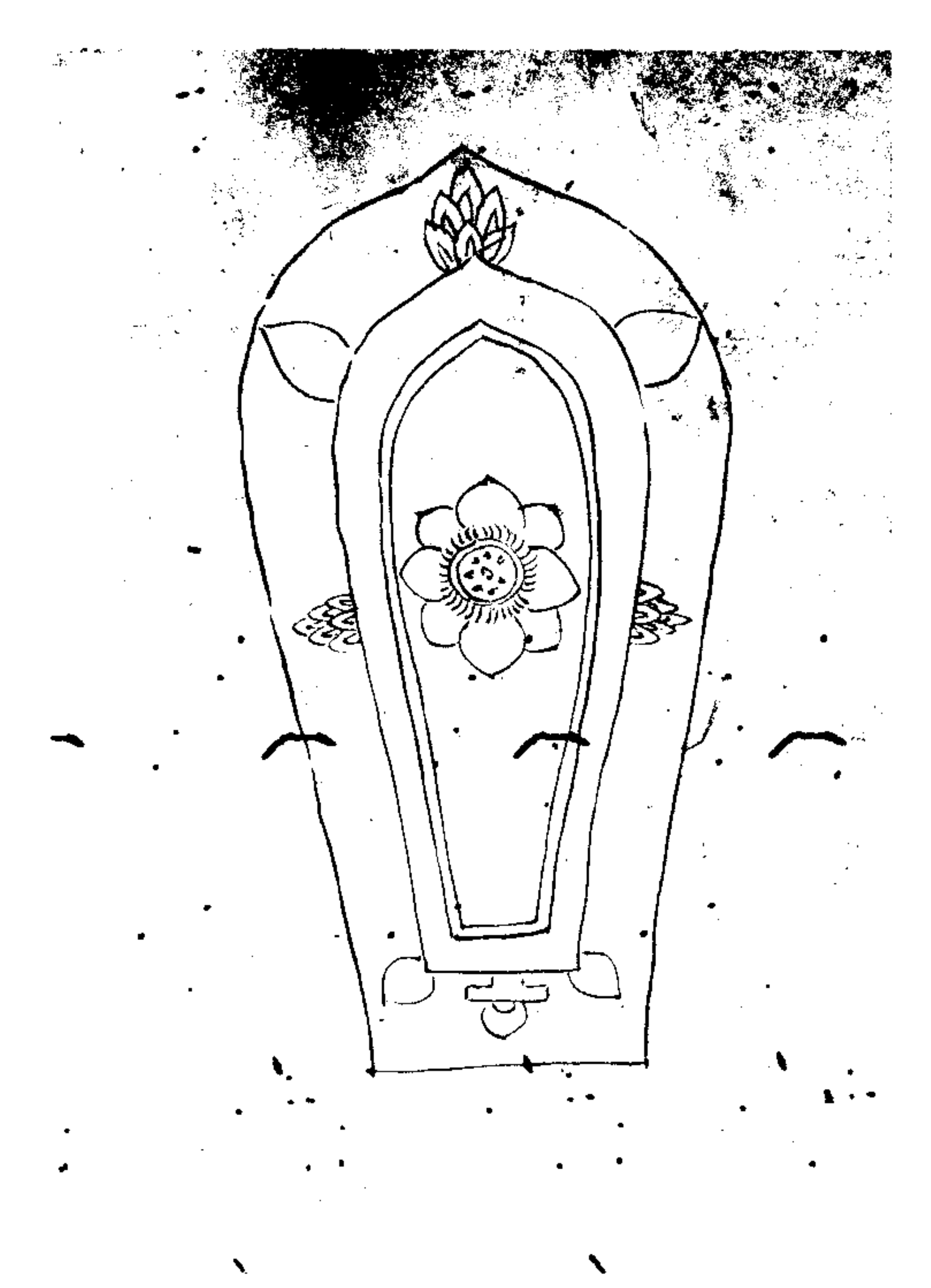
圖像 No. 21. 延　　　　命

圖像 No. 22. 降　　伏



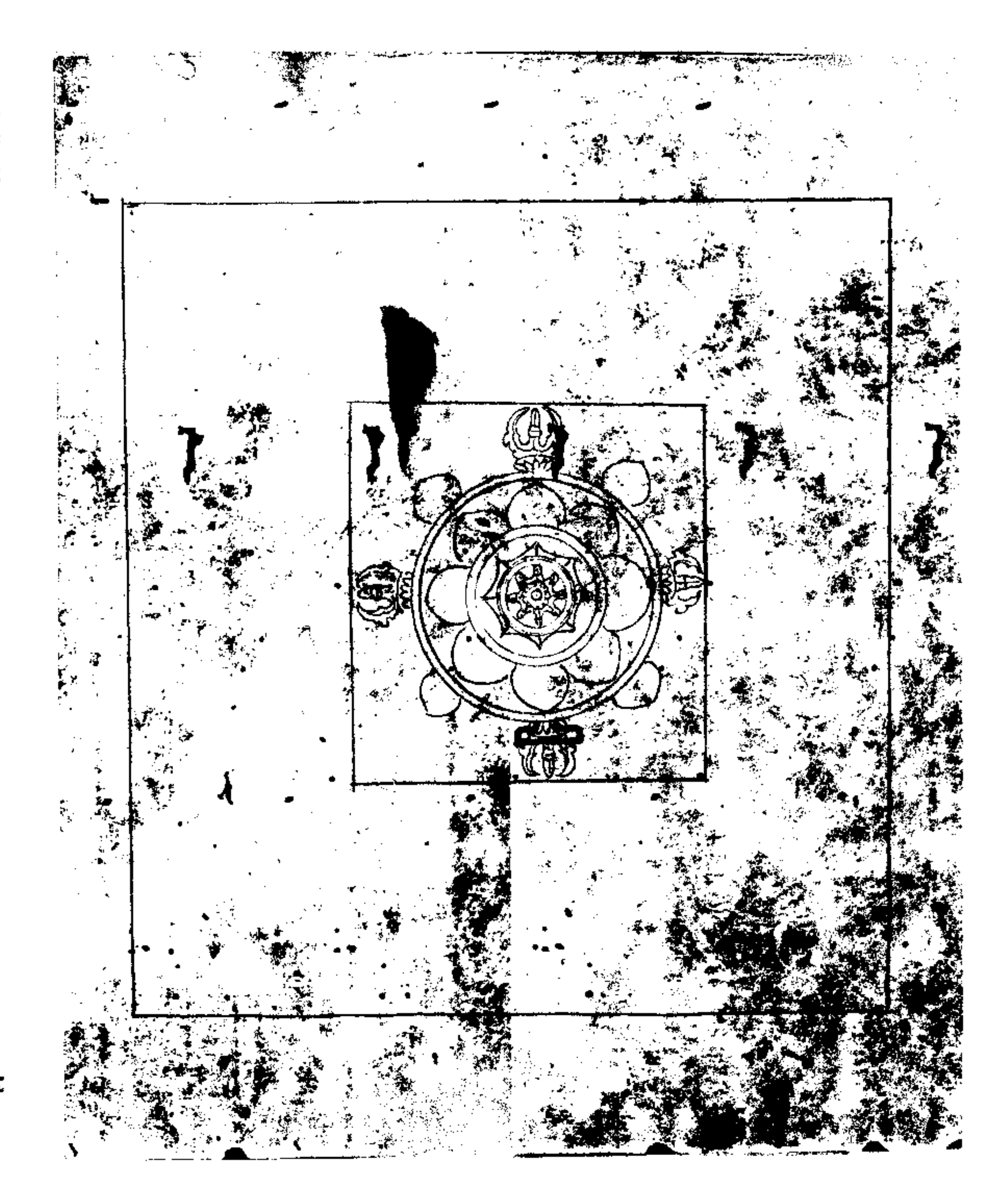
圖像 No. 23. 鉤　　召

圖像 No. 24. 降伏　圖像 No. 25. 鈎召



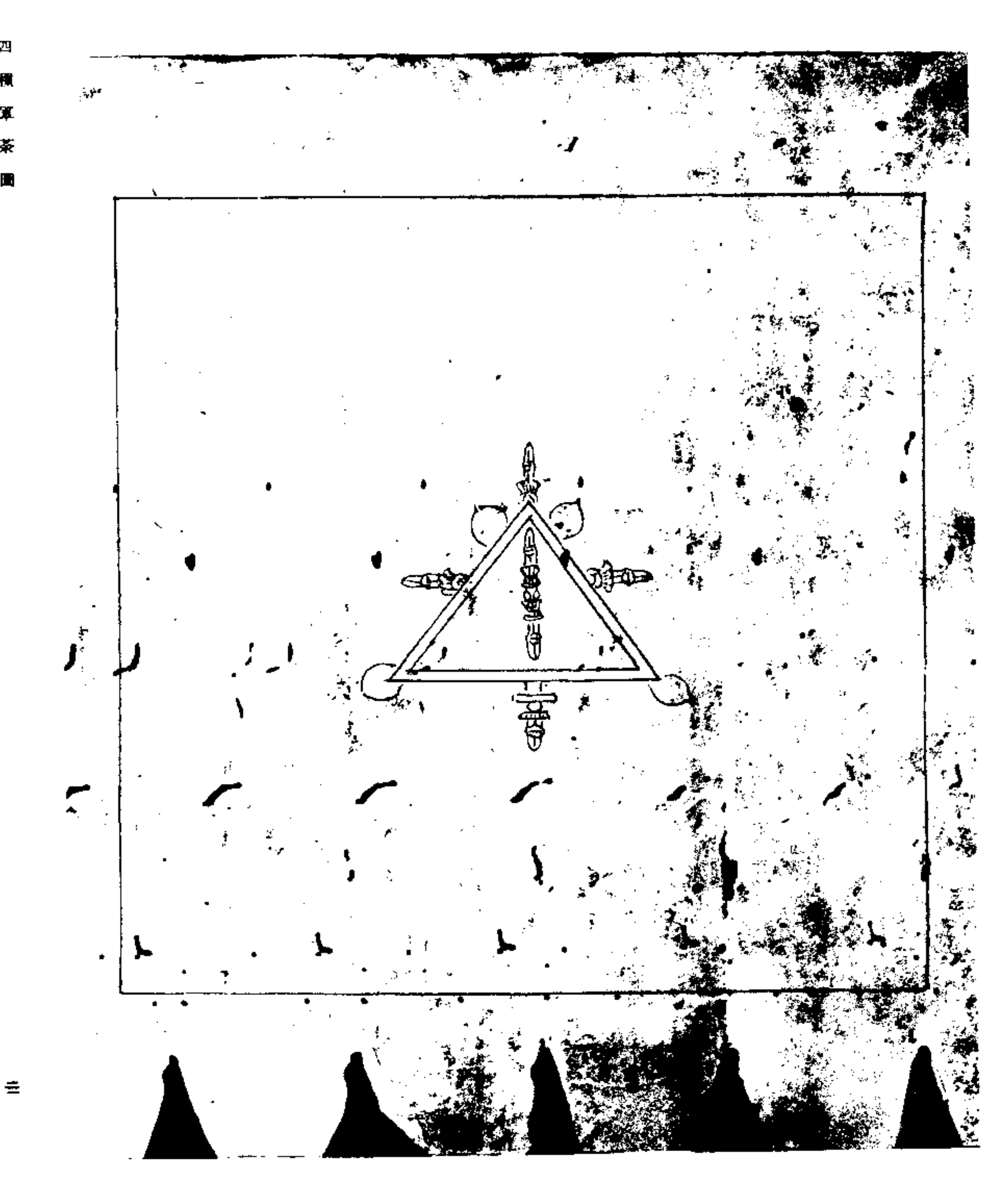
圖像 No. 26，敬　　　愛

圖像 No. 27. 增　　益

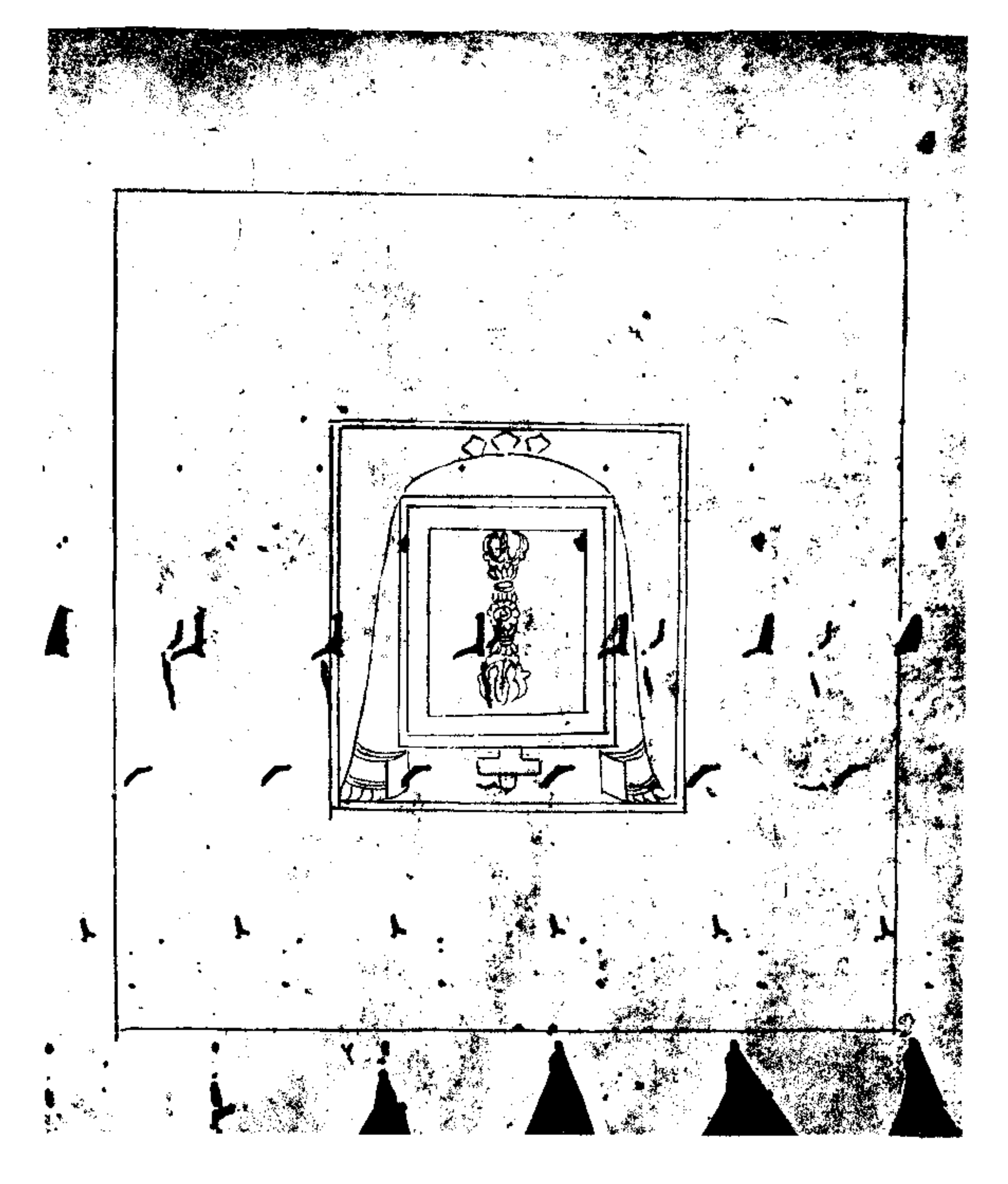


圖像No. 28. 息　　　災

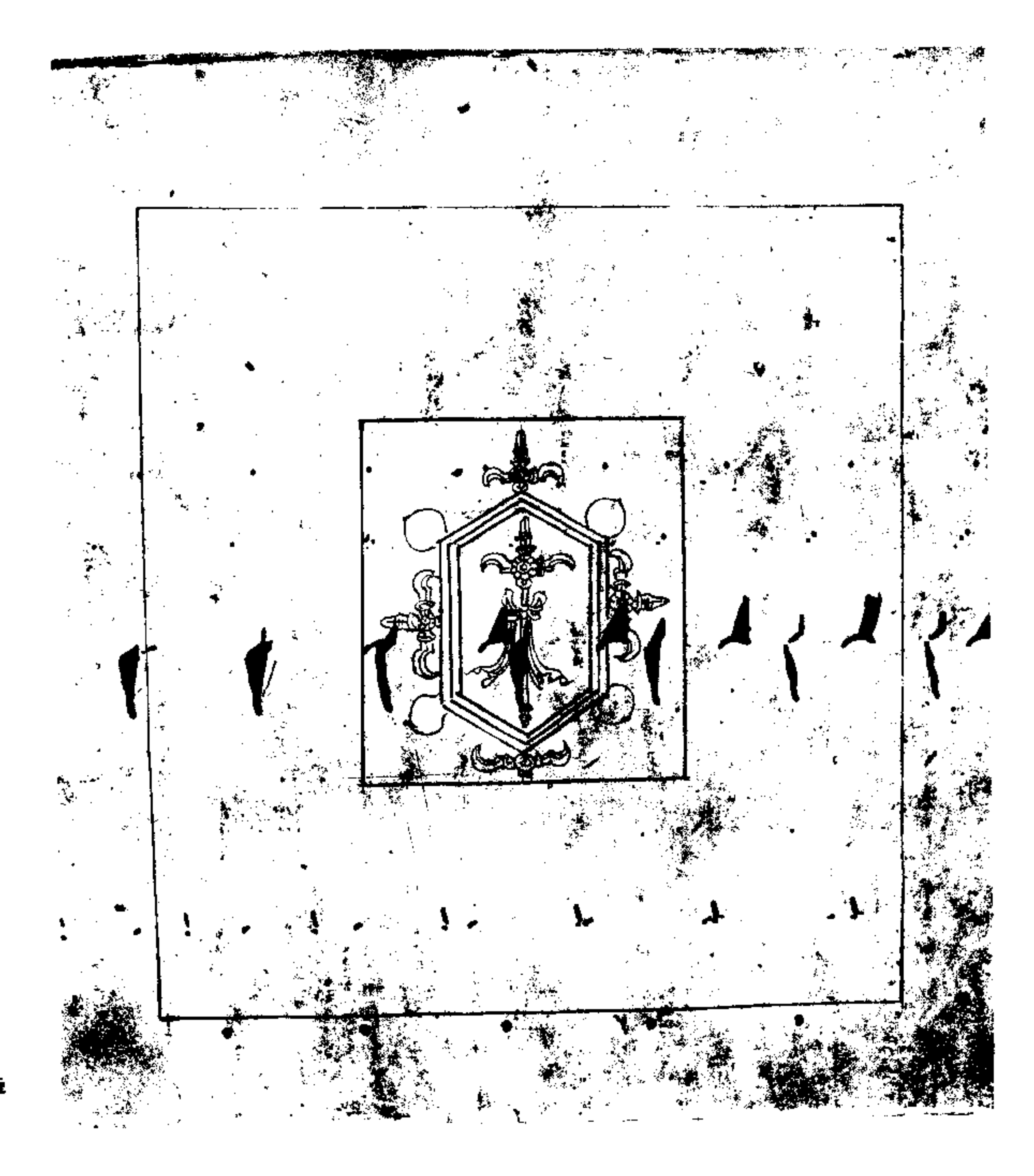
圖像 No. 29. 敬　　　　愛



圖像 No. 30. 降　　伏



圖像 No. 31. 延　命



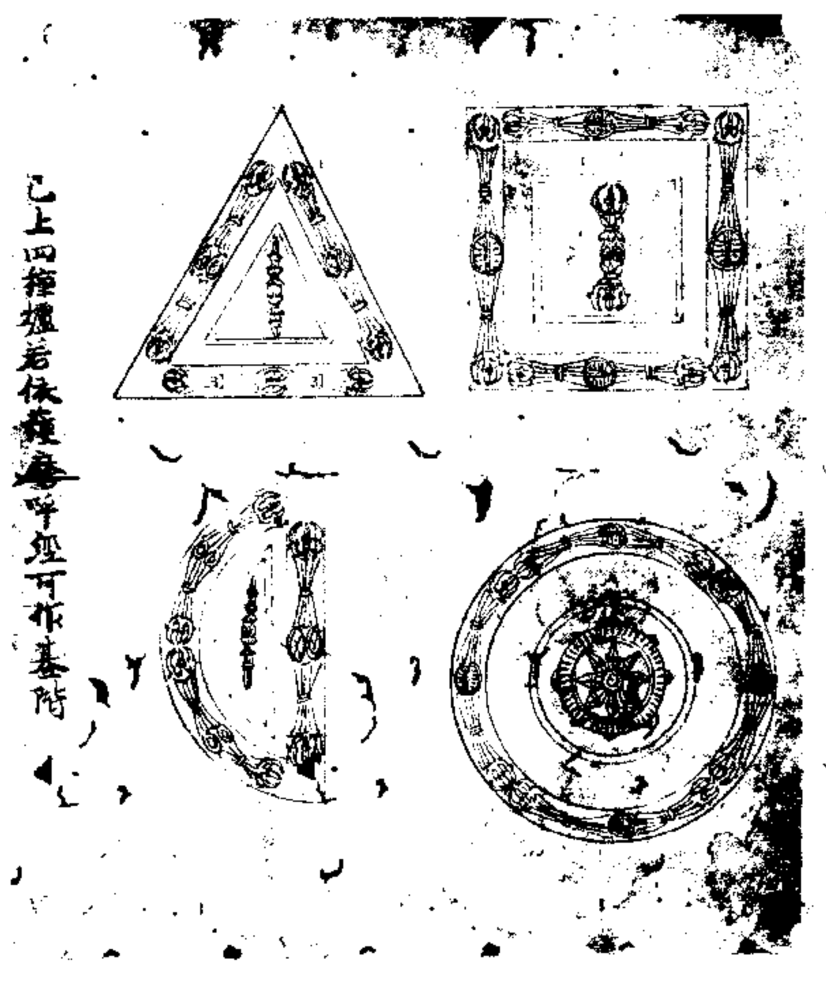
圖像 No.32. 鈎　　　召

大日經護摩壇樣（石山寺本）

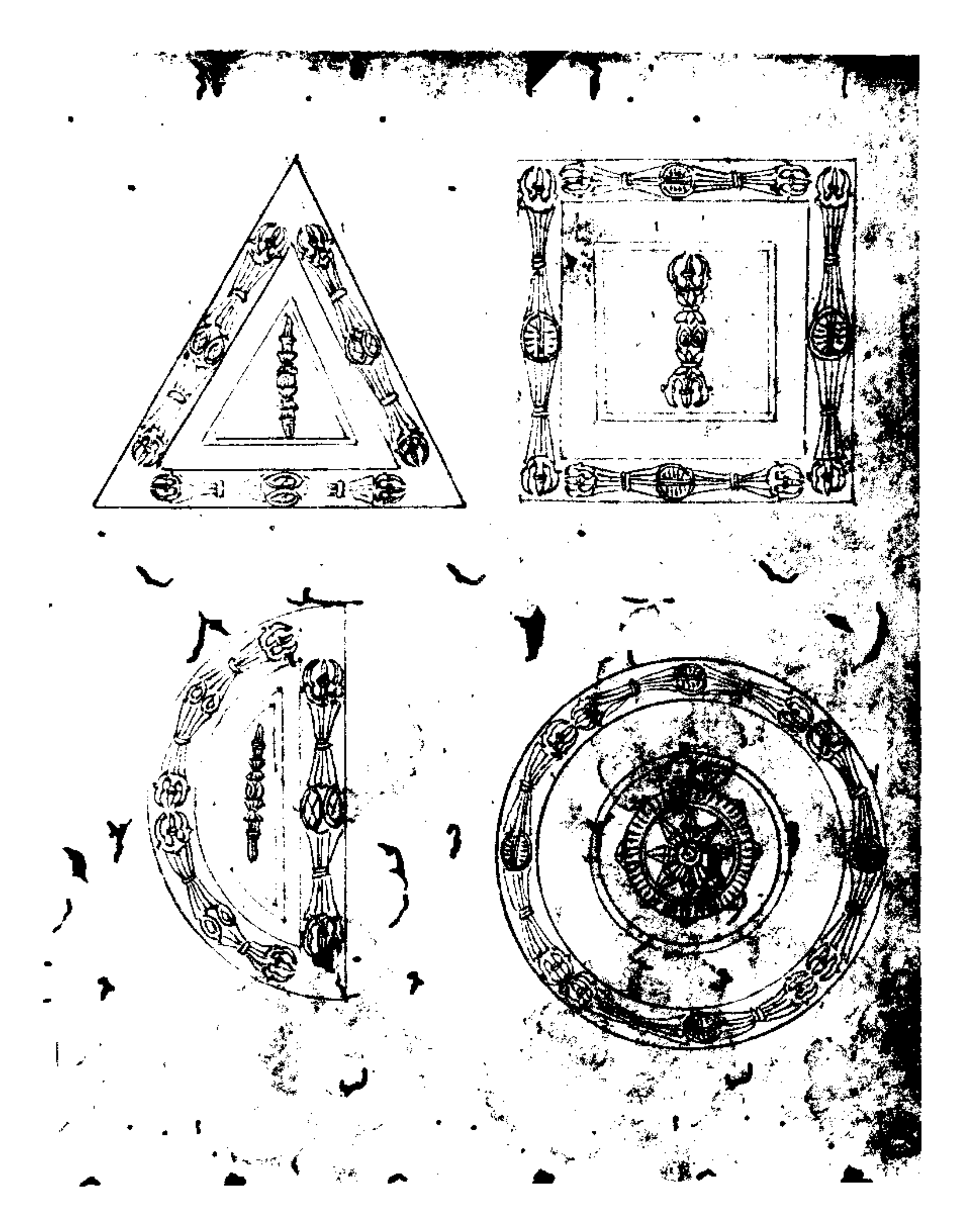
大日經護摩壇樣　延曆寺通覺金剛抄

具緣品云如其自肘量陷作充明壇四節為周界中表金剛印義釋云作曼荼羅法取自身肘量從齊一肘其深半之周帀安緣廣四指節高下亦如是達云教受緣四指護摩ヤ經云基層及爐以瞿摩塗文云兩重布於基上階下四邊亦塗瞿摩滿弟草復用弟草護摩之物安量基上及安基下所塗之處

護摩品云大爐如肘量四方相均等四節為界周帀金剛印義釋云彼大爐如肘量普晦四指緣金剛圍之謂隨所住處穿深一肘方亦如之口上安緣高闊皆四指用大指節量也更審繞緣以金剛圍之四面各一橫摺如上八下等中也普者謂深及方亦等也如方爐者三角半月圓等可知也



已上四種爐若依蘇摩呼經可作基階



圖像 No. 1. 息災壇（上）　圖像 No. 2. 增益壇（下）　圖像 No. 3. 降伏壇（上）　圖像 No. 4. 敬愛壇（下）

已上四種壇方依經並…

第一息災

第二増益

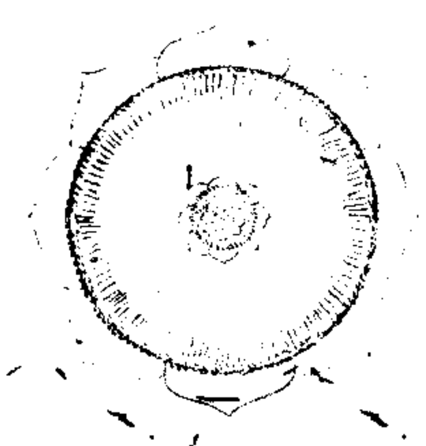
第三敬愛



圖像 No. 5. 息災壇　圖像 No. 6. 增益壇

第三歡愛

軌云　爐如八葉蓮〈円爐八角〉開敷具臺蘂量一肘深半座安紅蓮華兩重緣四指〈白色高一指〉或云座安蓮華紅赤色兩緣是白餘色皆赤紅色



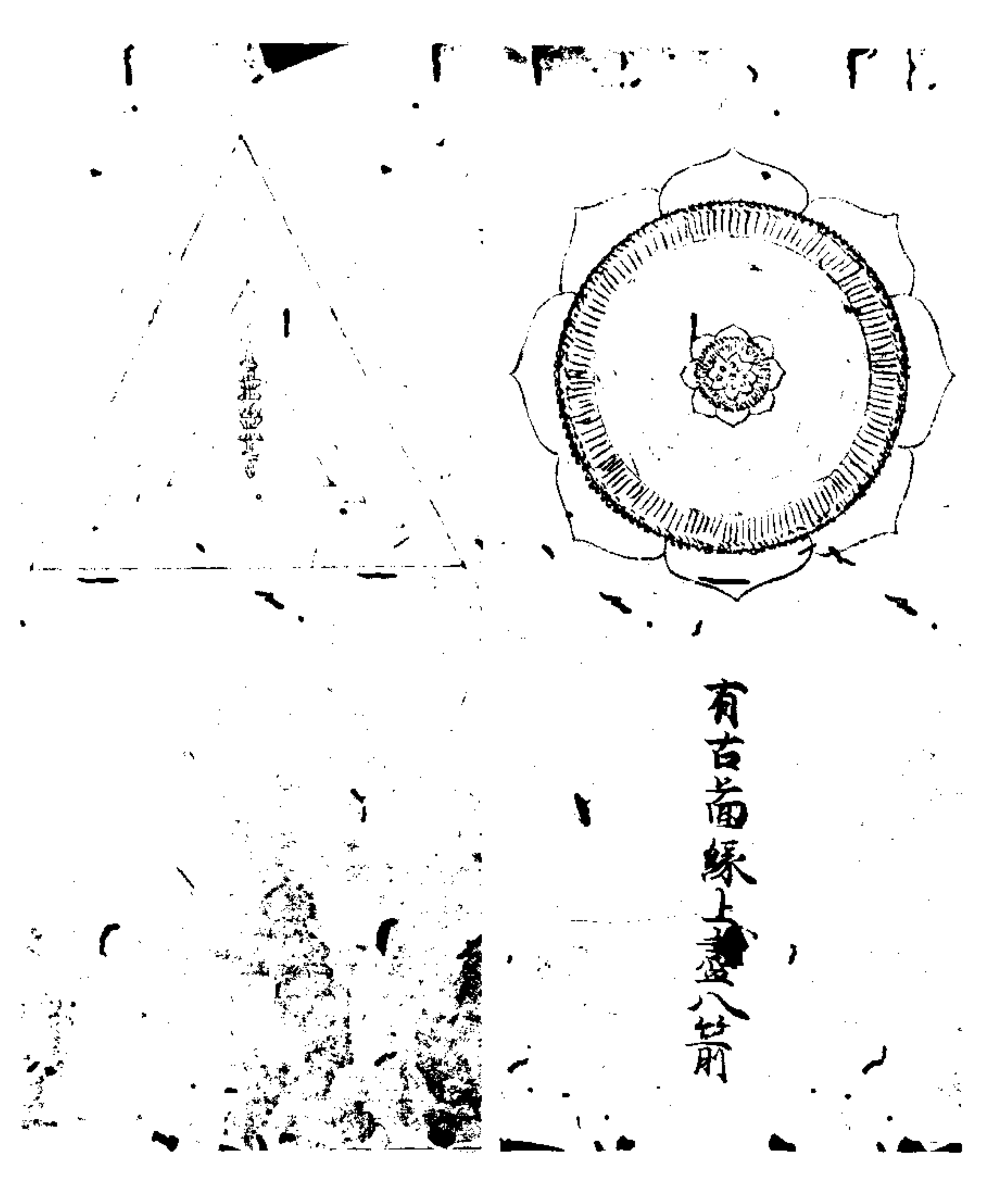
有古角緣上畫八針

第四降伏

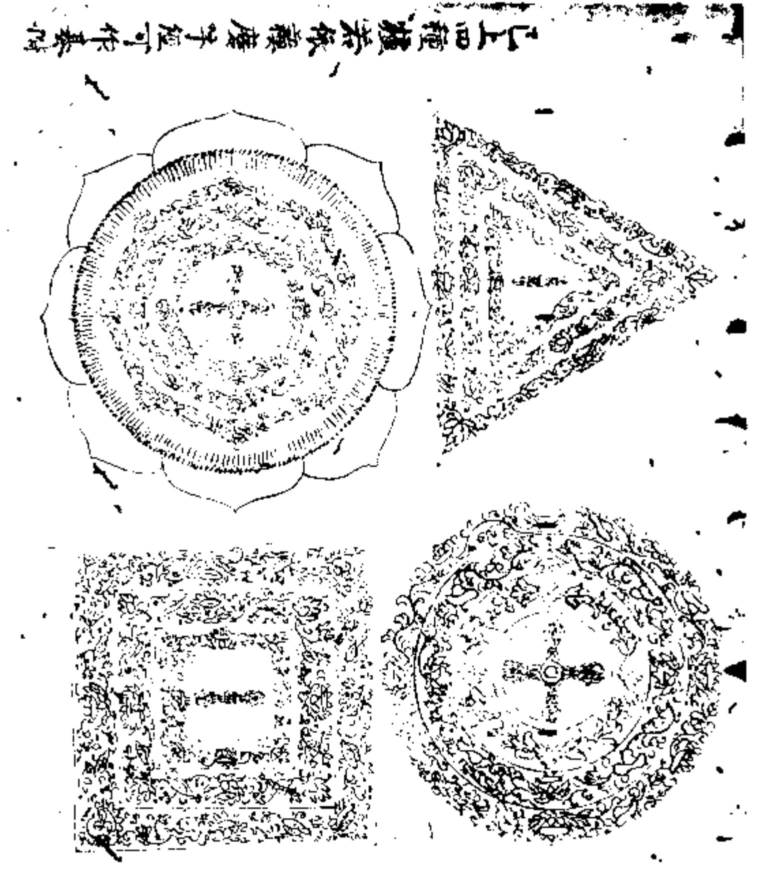
軌云　火爐三角作攞般杵量中量同縛德迦敬愛文云兩重緣四指

已上四種爐若依蘇婆呼經可作委隨

大吽壇樣



圖像No. 7．歡愛壇　圖像No. 8．降伏壇



圖像 No.9. 扇底迦壇（上）　圖像 No.10. 補瑟徵迦壇（下）　圖像 No.11. 阿毘遮嚕迦壇（上）　圖像 No.12. 嚩迦羅壇（下）

金剛頂瑜伽護摩壇樣

第一息災

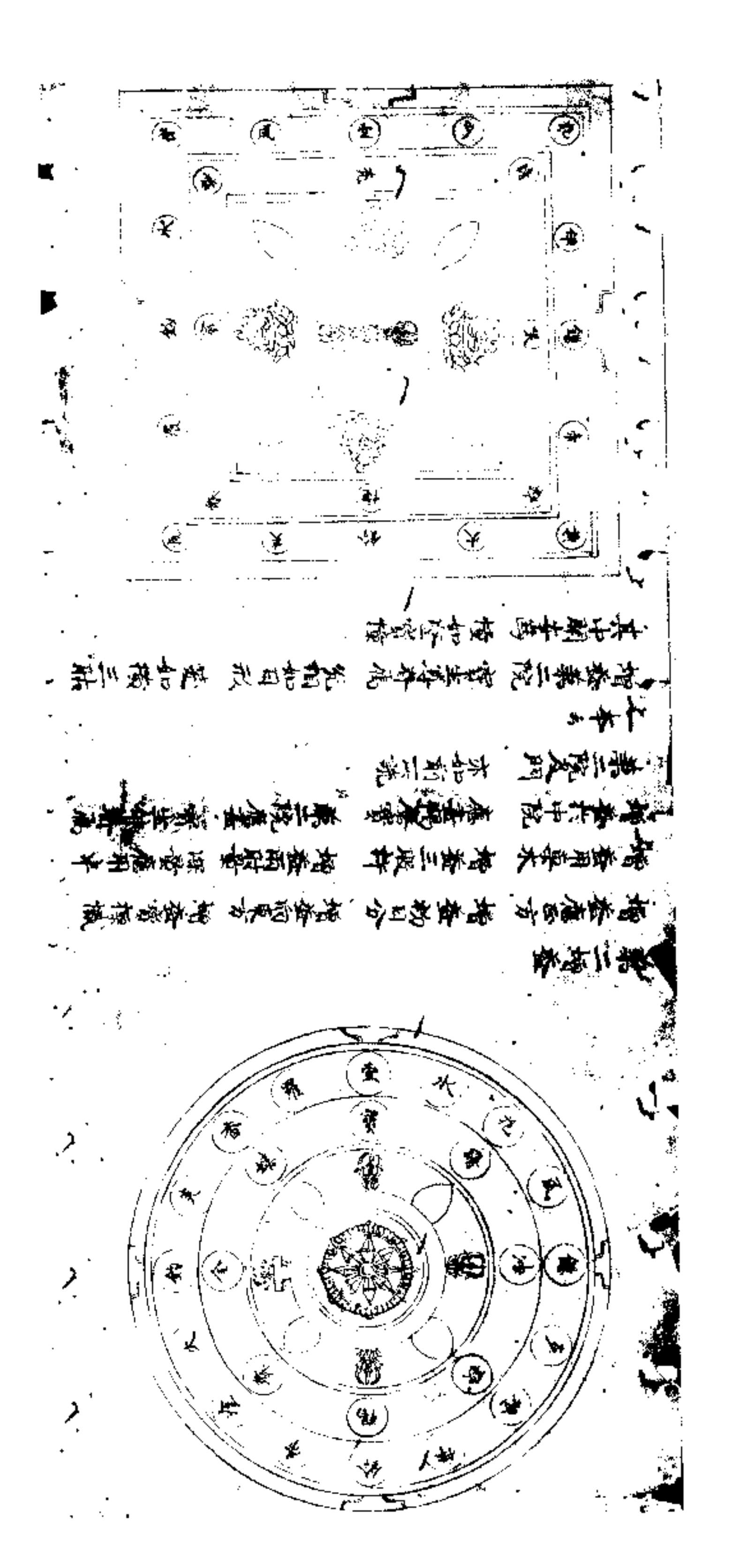
息災爐正圓　應當如是作　息災初夜起　面北作息災
息災持佛下　息災炷甘木　息災爐作輪　息災爐應畫
横金堅半肘　中院羯磨杵　四隅畫蓮華　第二院四契
謂四波羅密　四隅内供養　第三院應畫　八方天眷属
四隅於四門　外供養四攝　中安遍照尊　此息災軍荼
餘四軍荼相　三院皆如是

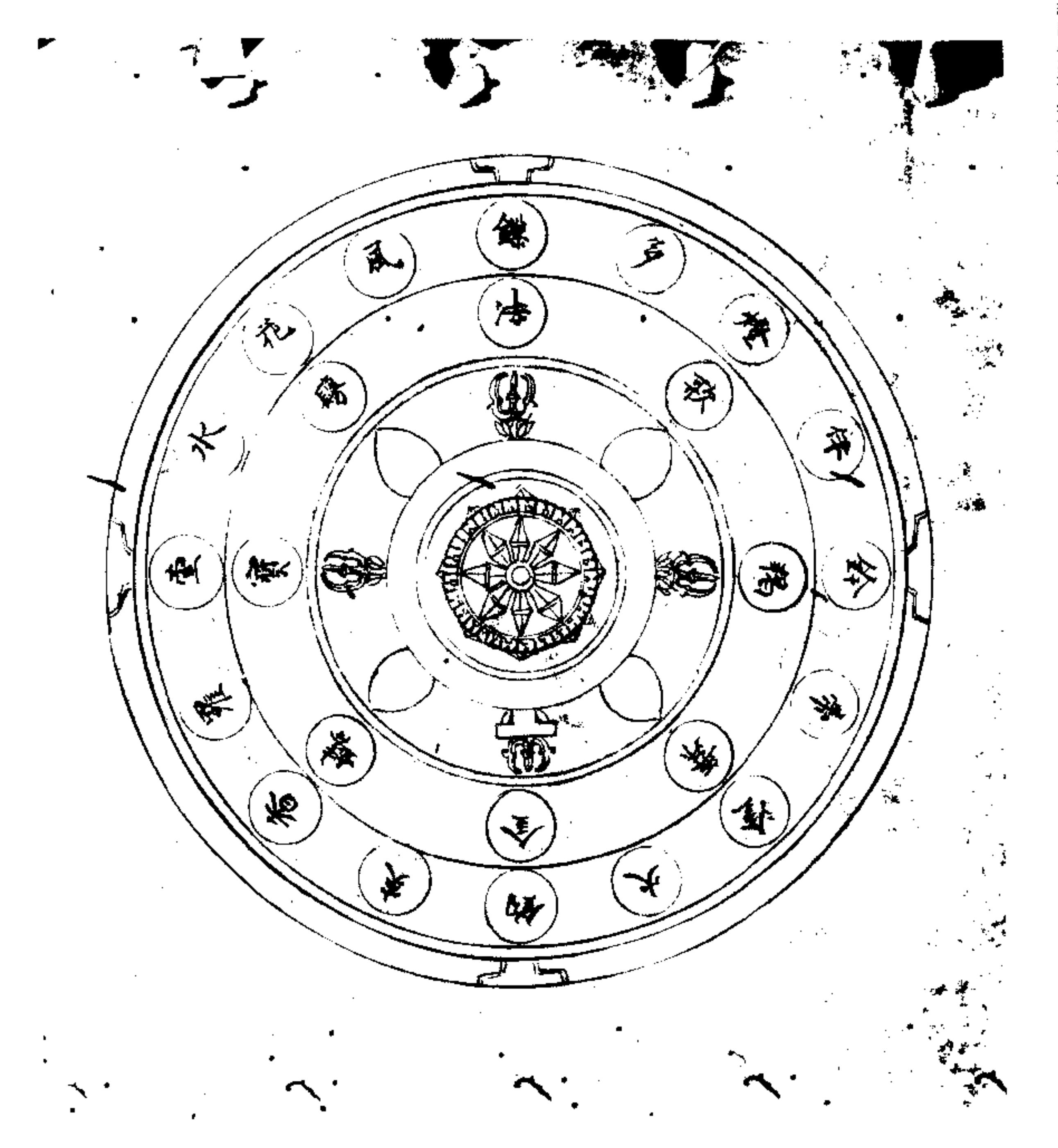
其爐緣高兩指闊四指緣内爐口本地闊兩指於中契
中高兩指其爐從身開竪項闊四指長兩指次闊十指
長四指次作蓮華形今大小相稱從竪項至華末都十六
指高下普与緣齊五種爐並同

秘之器出經云作四肘壇高一磔手中鑿君荼徑圓一肘
深十二指妙淨泥拭兩重作緣内緣高闊各一母指外緣
高闊各有四指底須平正即於其底泥作輪像或跋折
羅像柄向南出如世丁字柄長四指闊亦四指横頭長
八指高闊各四指次外作五臺形如蓮華葉穀及柴並
置臺右以香水二器置其臺上

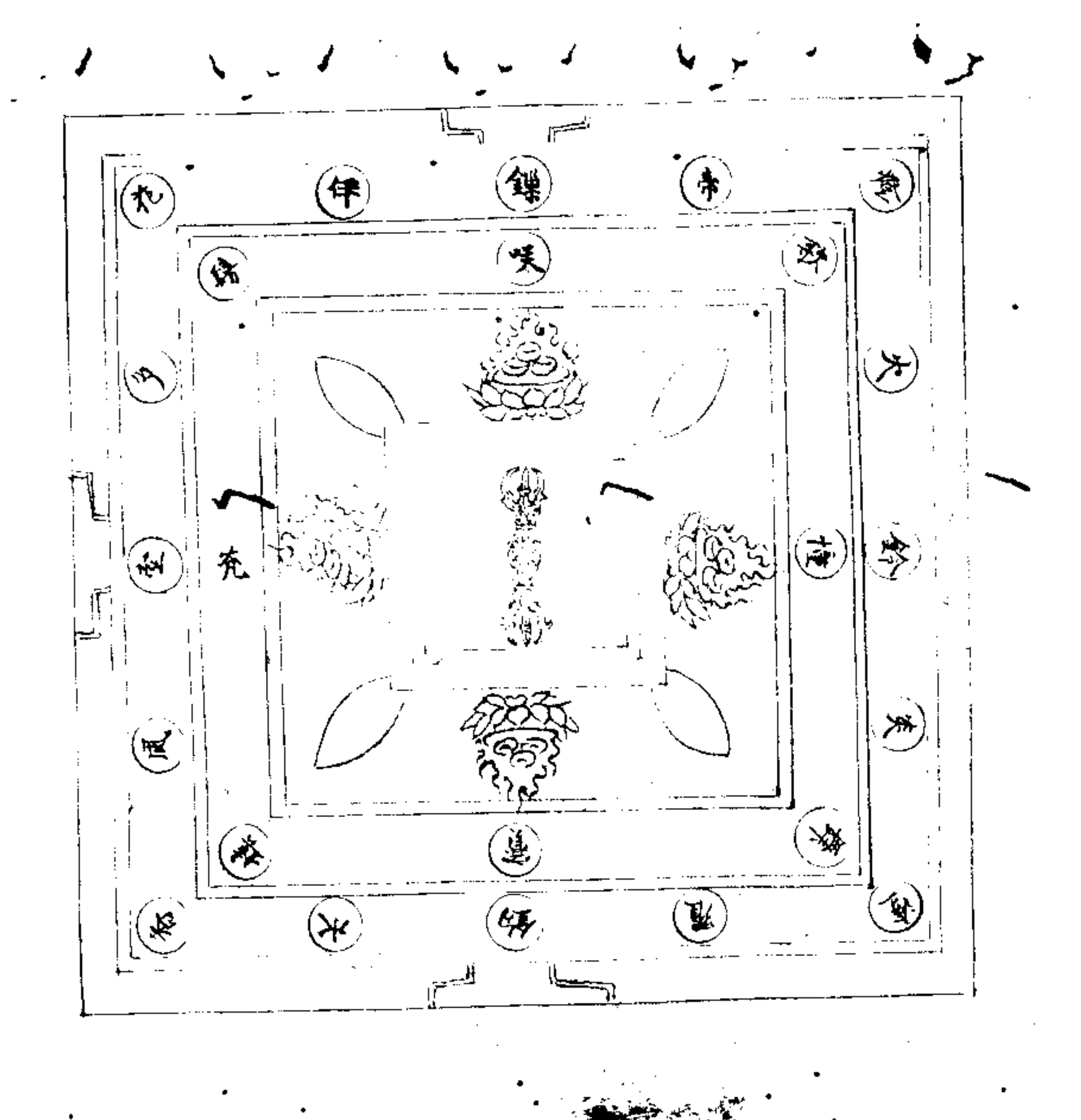
一本云

西契及四攝　内外八供養　而[illegible]　今說
行人南方坐　金剛應在南　寶部而在西　法契當北面
羯磨在東方　嬉戲西南隅　鬘應西北角　歌契應東北
舞在東南　燒香如嬉戲　華供養隅方　燈應如歌詠
塗香如舞在　鈎在金剛後　索應寶部前　鎖鈴法契
鈴如羯磨知　隨行人右旋　諸壇當如是　巡環而安之
達東第二院　四波羅密契　金剛三鈷杵　寶契如寶形
法如獨鈷杵　上戴開敷蓮　羯磨十字杵　嬉戲三鈷杵
鬘如寶冠形　歌應畫箜篌　舞獨鈷羯磨　鈎為金剛鈎
索如羂索形　一頭半獨鈷　而在於中心　鎖如並兩環
[illegible]中蓮環　鈴作金剛鈴　燈作燭相　塗香盛香器





圖像 No. 13、息　災　壇



図像 No. 14. 増 益 壇

第三降伏

三角作降伏　中日分應作　降伏猛利法　應西南而住

以作降伏事　金剛怒降伏　若木降伏業　降伏一肘作

降伏軍荼利　三角各一肘　降伏於中院　獨股羯磨杵

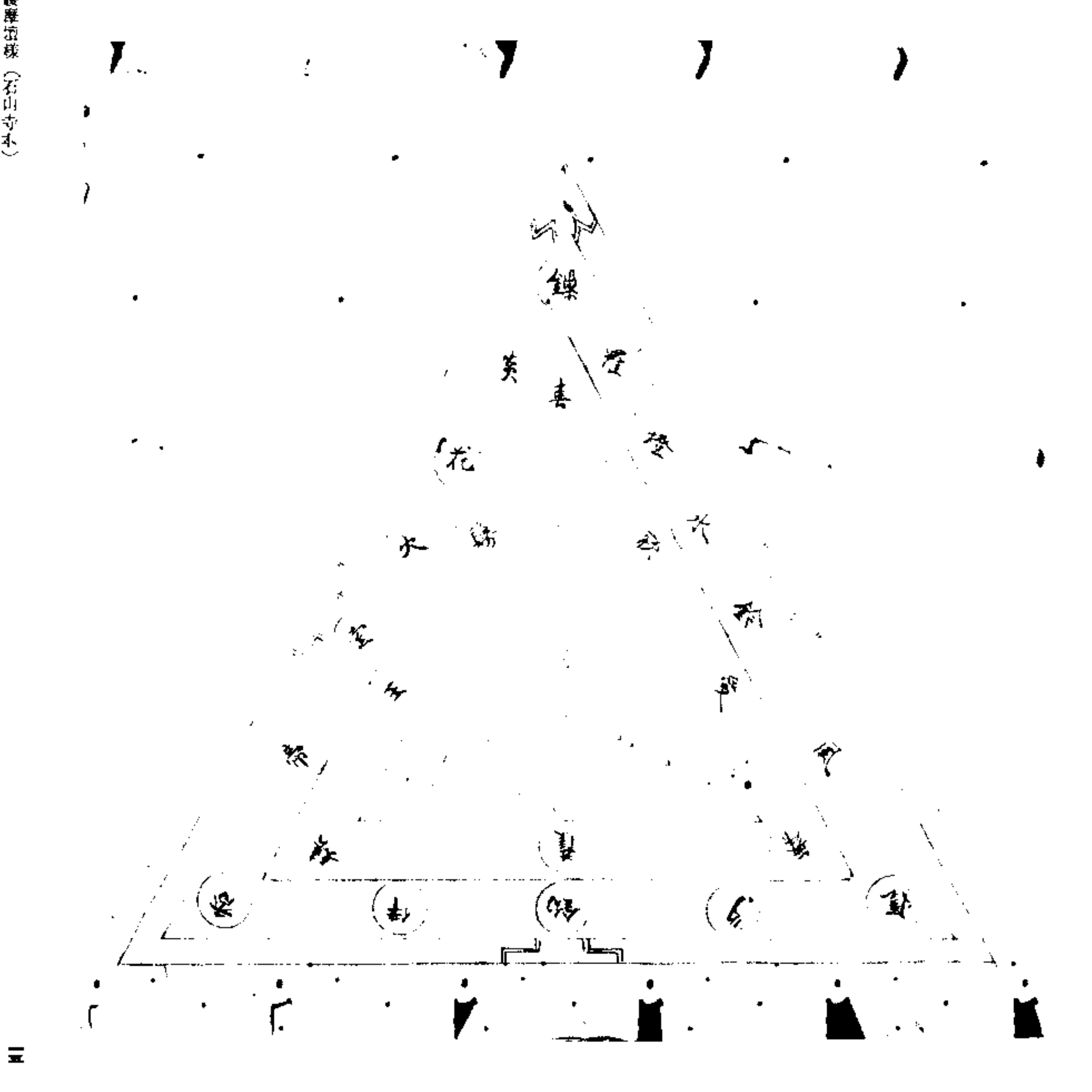
四隅畫蓮葉　第二院應畫　降三世眷屬　四種忿怒相

第三院及門　如前所説　而皆忿怒相

一本云

降伏四忿怒　薩埵三鈷杵　王如立二劍　善式並雙手

以作弾指相　愛如堅弓箭



圖像 No. 15. 降　伏　壇

第四鈎召

金剛形軍荼　鈎召爲寂勝　鈎召一切時　作視廣諸方

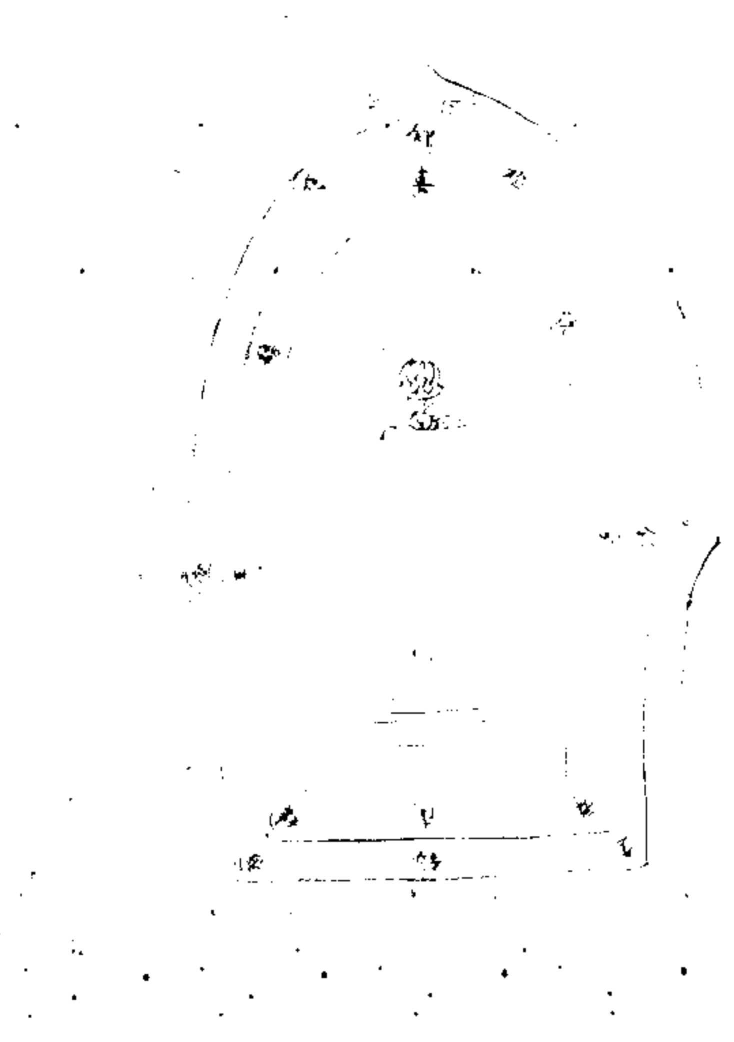
是爲鈎召儀　金剛鈎鈎召　大召而相應　剋木爲鈎召

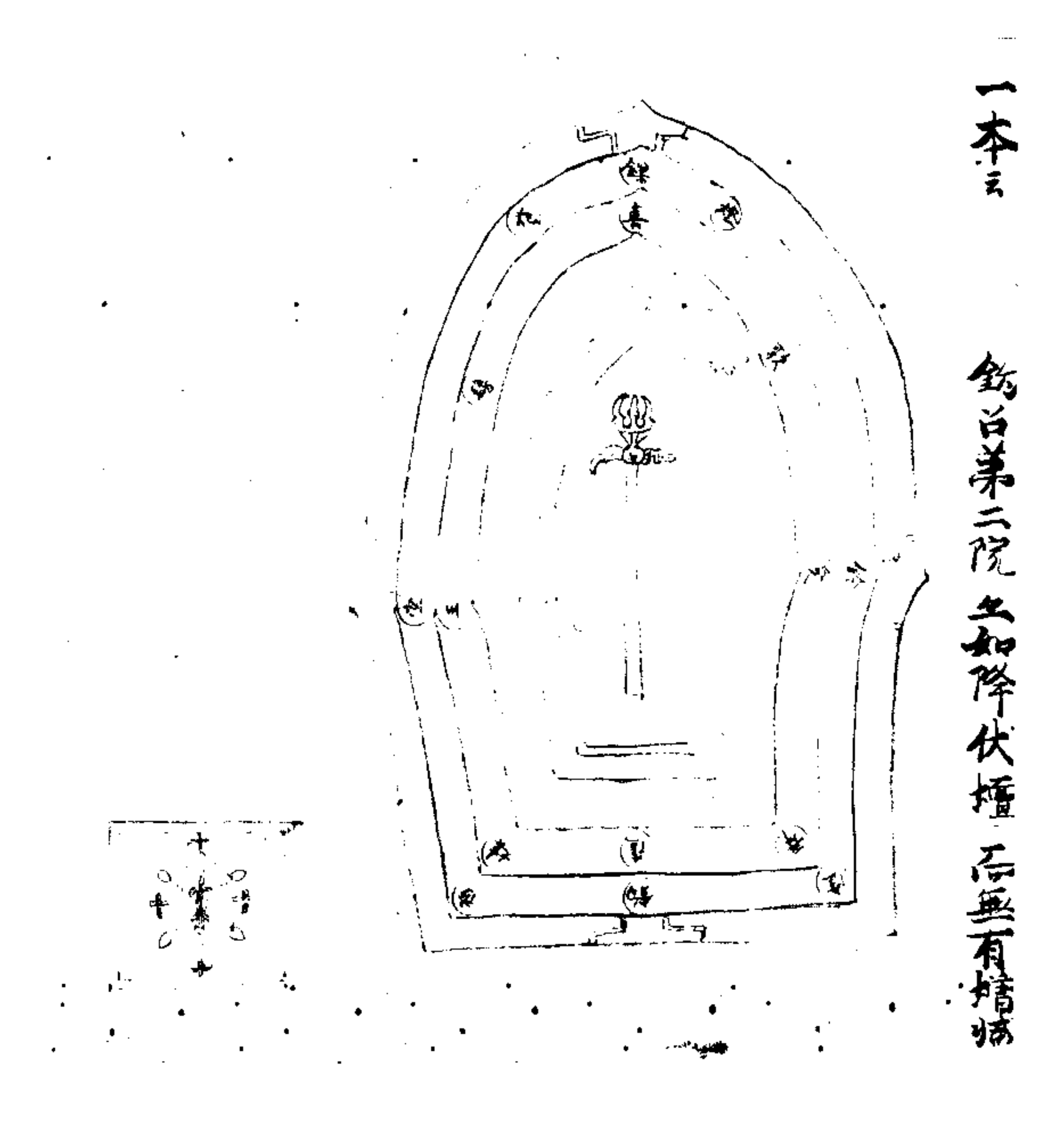
鈎召應作鈎　鈎召長一肘　横深各梹半　鈎召於中院

應畫金剛鈎　四隅畫蓮花　第二院應畫　不動佛眷属

第三院四隅　八方及四門　如初軍荼知

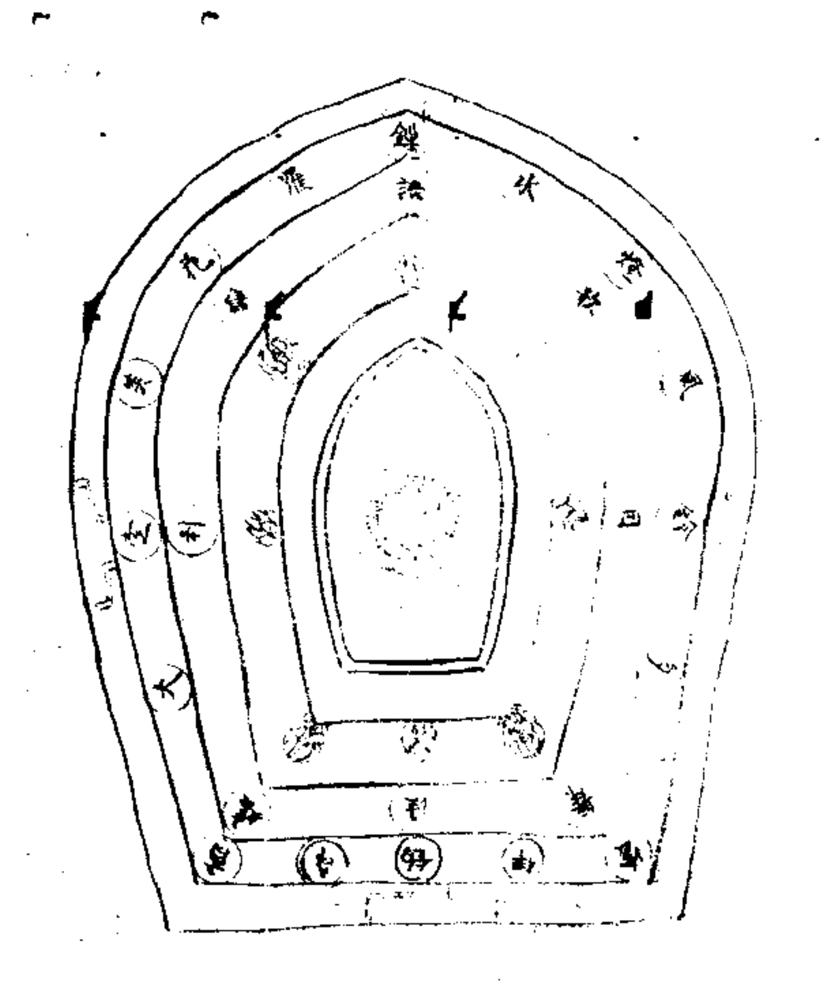
一本云　鈎召第二院　亦如降伏壇　而無有増減

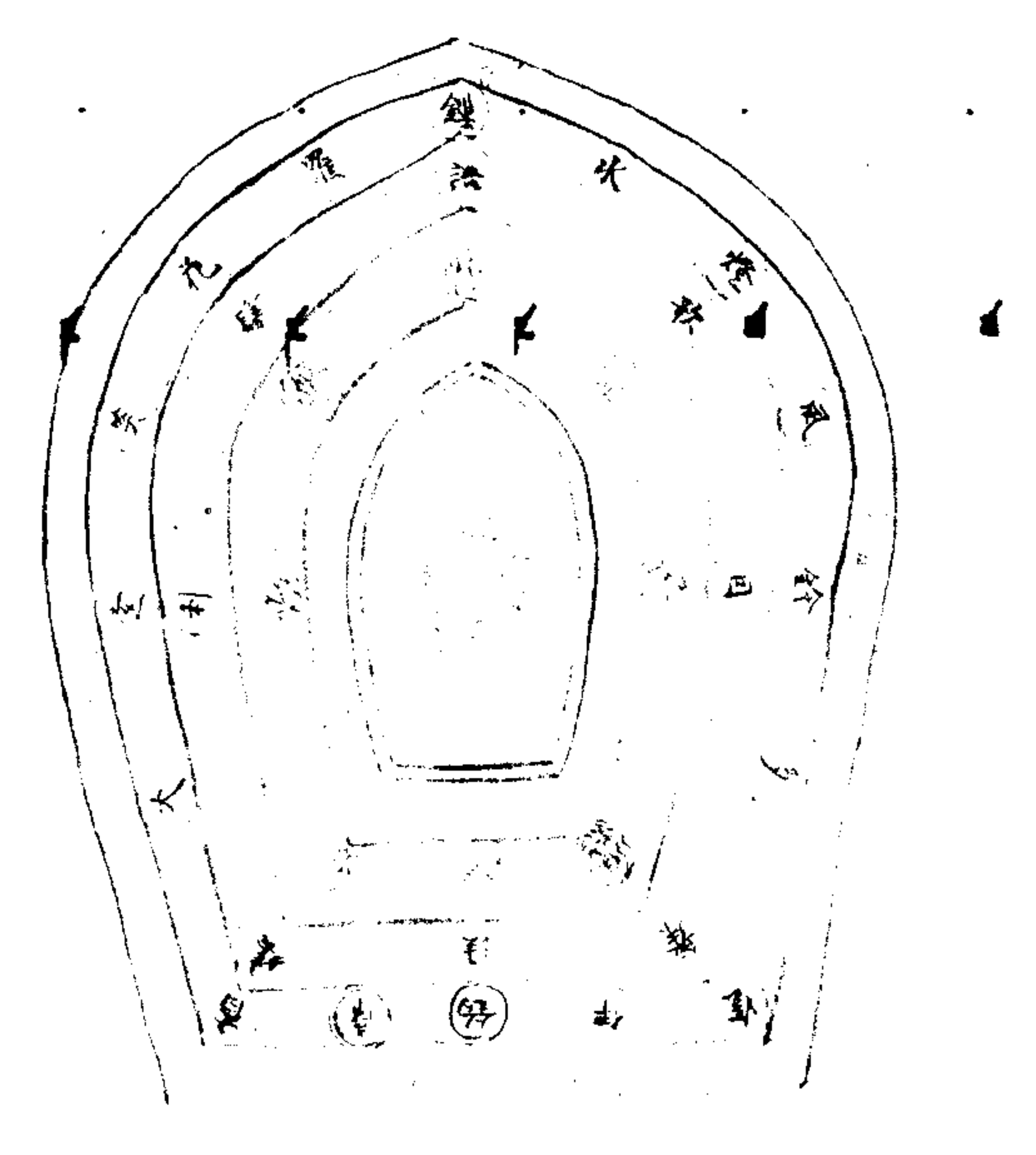




圖像 No. 16, 鈎　召　壇

第五敬愛
長作蓮葉形　敬愛爲相應　於花作敬愛　若敬愛相應
應住西向西　敬愛蓮花部　花木說敬愛　敬愛作蓮花
敬愛々一肘　横深如鉤召　敬愛於中院　畫蓮花羯磨
四隅三股杵　第二院應畫　元量壽眷属　應畫四種事
第三院四隅　八方及四門　所說々如前
一本云
敬愛第二院　元量壽眷属　法如法波羅　利當爲鉤形
語應舌相曰　作日輪形中　獨鈷羯磨杵





圖像 No.17. 敬　愛　壇

延命壇

若欲延命壇屋裏亦其延命壇如前増益壇外作甲胄

形其種米在壁亦比鉢物從十依之

一本云

延命如増益　壇外畫甲冑　如人被甲形　亦八々雙袖角

袖如三獨鈷　下如覆蓮形　上作三年叙　如三獨鈷杵

内外八供養　數与四攝等　諸壇皆如一　一一所畫羂

諸生蓮華上　兩有火焔光　八方天眷屬　各如諸羂等

皆放行人座　向起於東方　帝釋獨鈷杵　僧豎左右飛

火天畫軍持　蓮座上火焔　焔摩兩鈷叉　其中安人頭

繒飛如帝釋　羅刹立畫刀　坐焔如火天　水天畫羂索

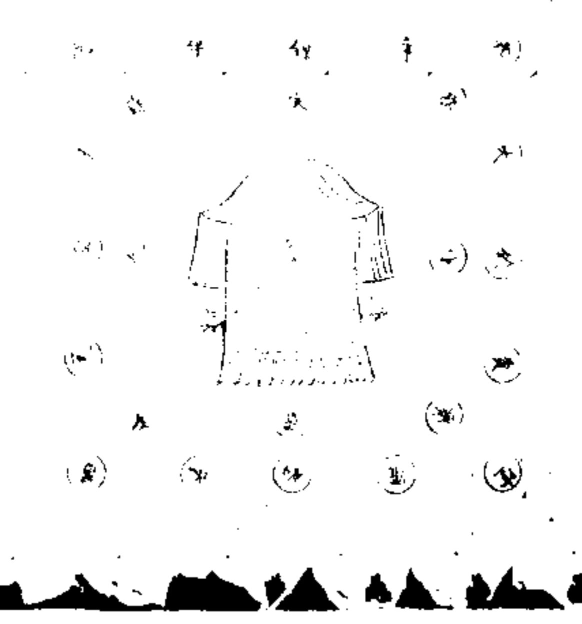
兩頭獨鈷頭　風天作幡旗　兩生蓮華中　毗沙門作棒

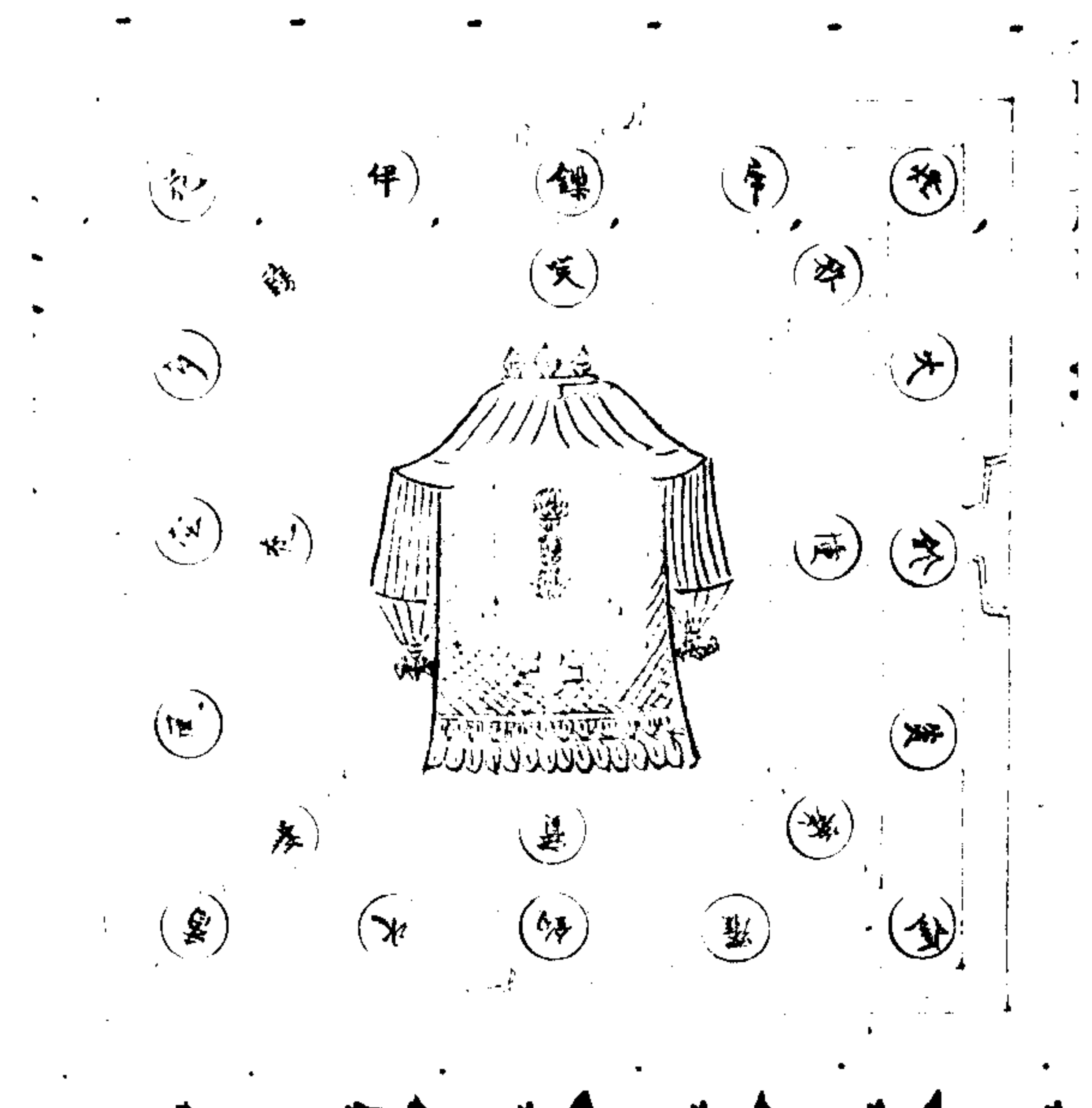
繒繫又如上　舎那半三鈷　蓮座火焔光　智者應善知

審諦無錯悞

延命法云　壇中心畫以白粉作一肘半金剛甲冑中央穿

一灌頂半肘図様





圖像 No. 18. 延　命　壇

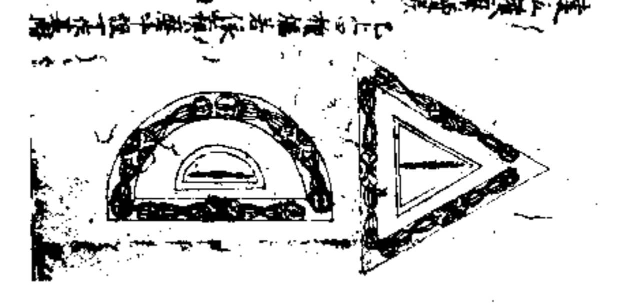
已上六種爐縁外可作五臺
軌文云次作蓮形令大小相稱略出經云次作五臺形
如蓮葉云故私法大師依此等文意縁外作五臺又
先師達同作之軌文云葉形者即略出經五臺也從
有人言不可作五臺可尋其意
慈覺大師云在唐之日値千天竺三藏寶月示爾
於水壇云何謂水壇也三藏答曰望千事而掃地面
隨所修之法取方圓角肘量數以水灑限量之
内地上以手磨瑩地面令淸嚴是名水壇也
已上壇様自非同門不及他見棄心之後早破

適胝金剛者皇慶阿闍梨寺金剛号也

仁平二年五月十七日於勅旨寺書之了

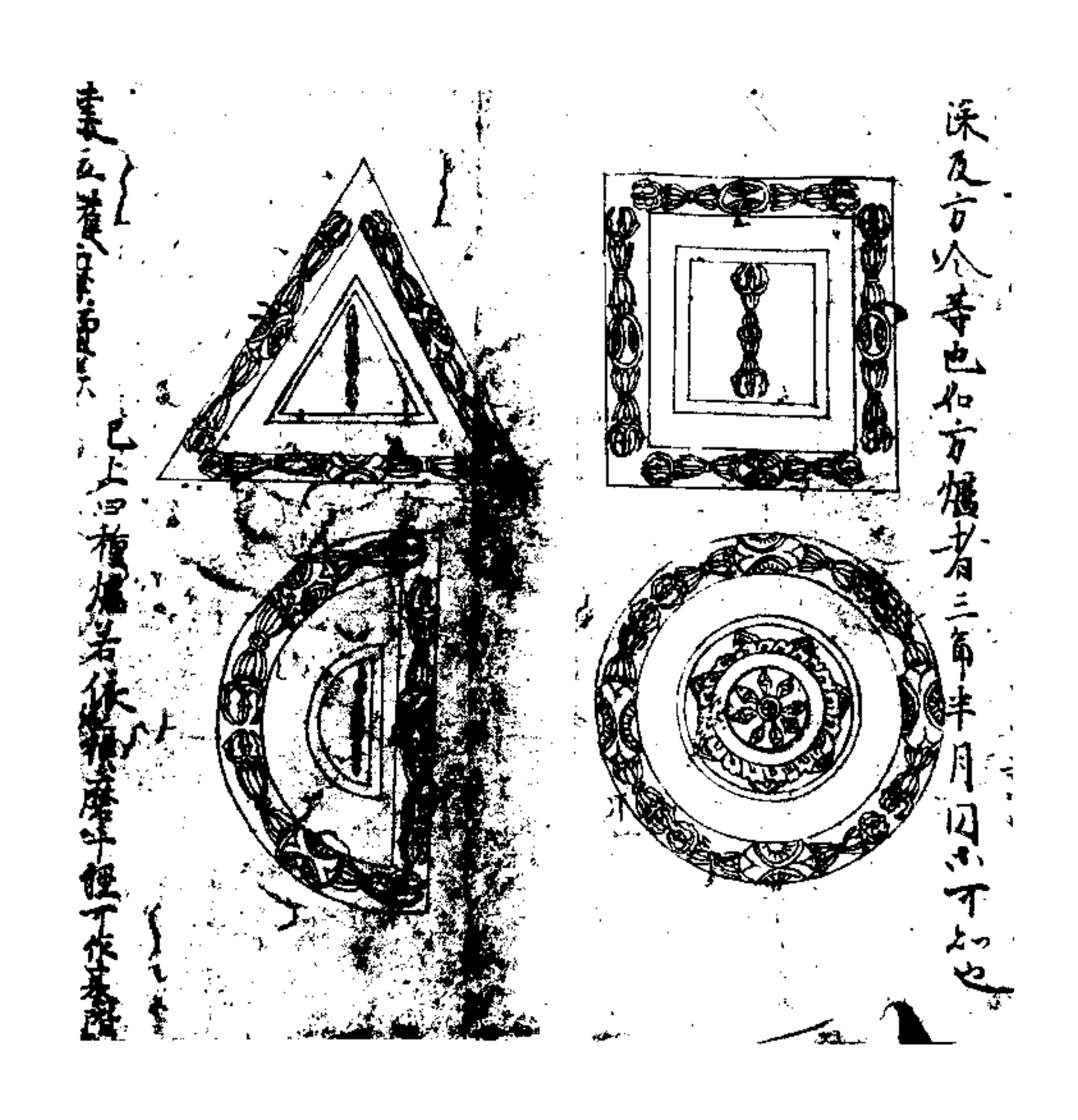
護摩壇樣抄（觀智院本）



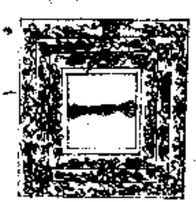




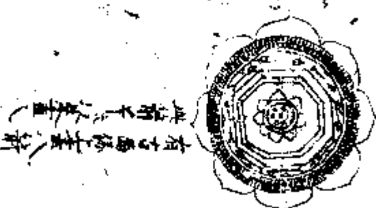




圖像 No. 1，息災壇（上）　圖像 No. 2，增益壇（下）　圖像 No. 3，降伏壇（上）　圖像 No. 4，敬愛壇（下）

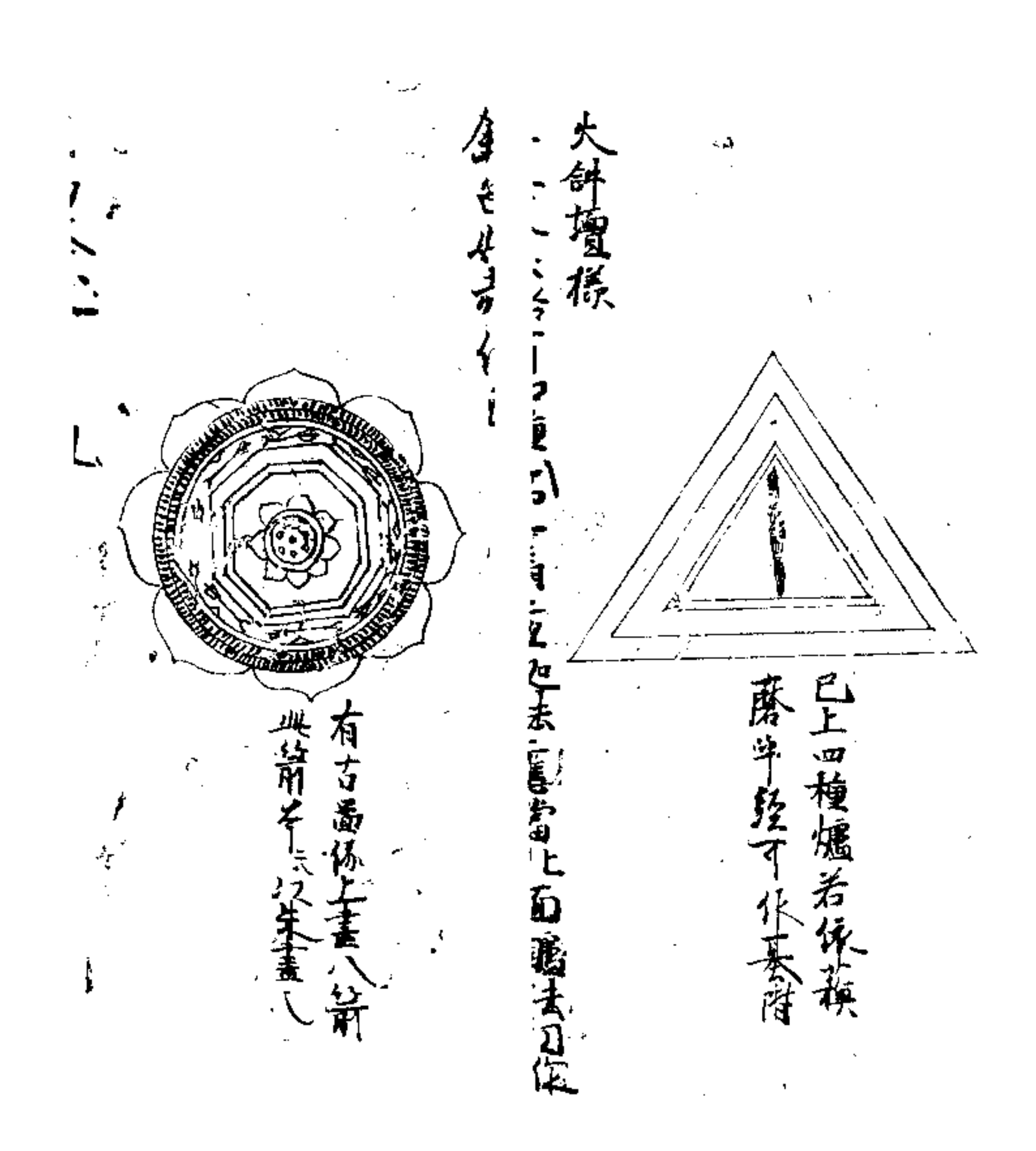








圖像 No. 5．息災壇　圖像 No. 6．增益壇



圖像No. 7、敬愛壇　圖像No. 8、降伏壇

金剛頂瑜伽護摩儀軌云已上四種壇各依[illegible]

第一息災

息災壇正圓　應當如此作　息災不動尊　面北作息災

息災錫佛頂　息災金剛手　息災轉法輪　息災除蓋障

摧金剛輪　中住觀音　四隅畫蓮葉　第二院四契

謂四波羅蜜　四隅內供養　第三院應畫　八方天眷屬

四隅於四門　外供養四攝　中安遍照尊　北畫突羅薩

餘四菩薩　三院皆如是

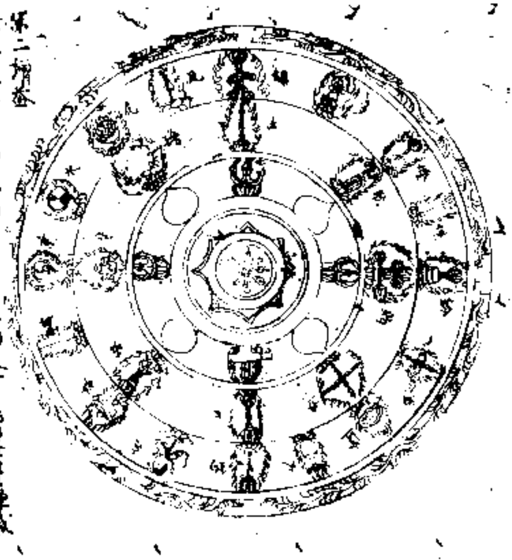
其壇縱廣兩肘　四指[illegible]

兩指量[illegible]

作道其形令大小相稱[illegible]

[illegible]

一　[illegible]



第二增益

增益應正方　增益剎月[illegible]　增益向東方　增益寶捧藏

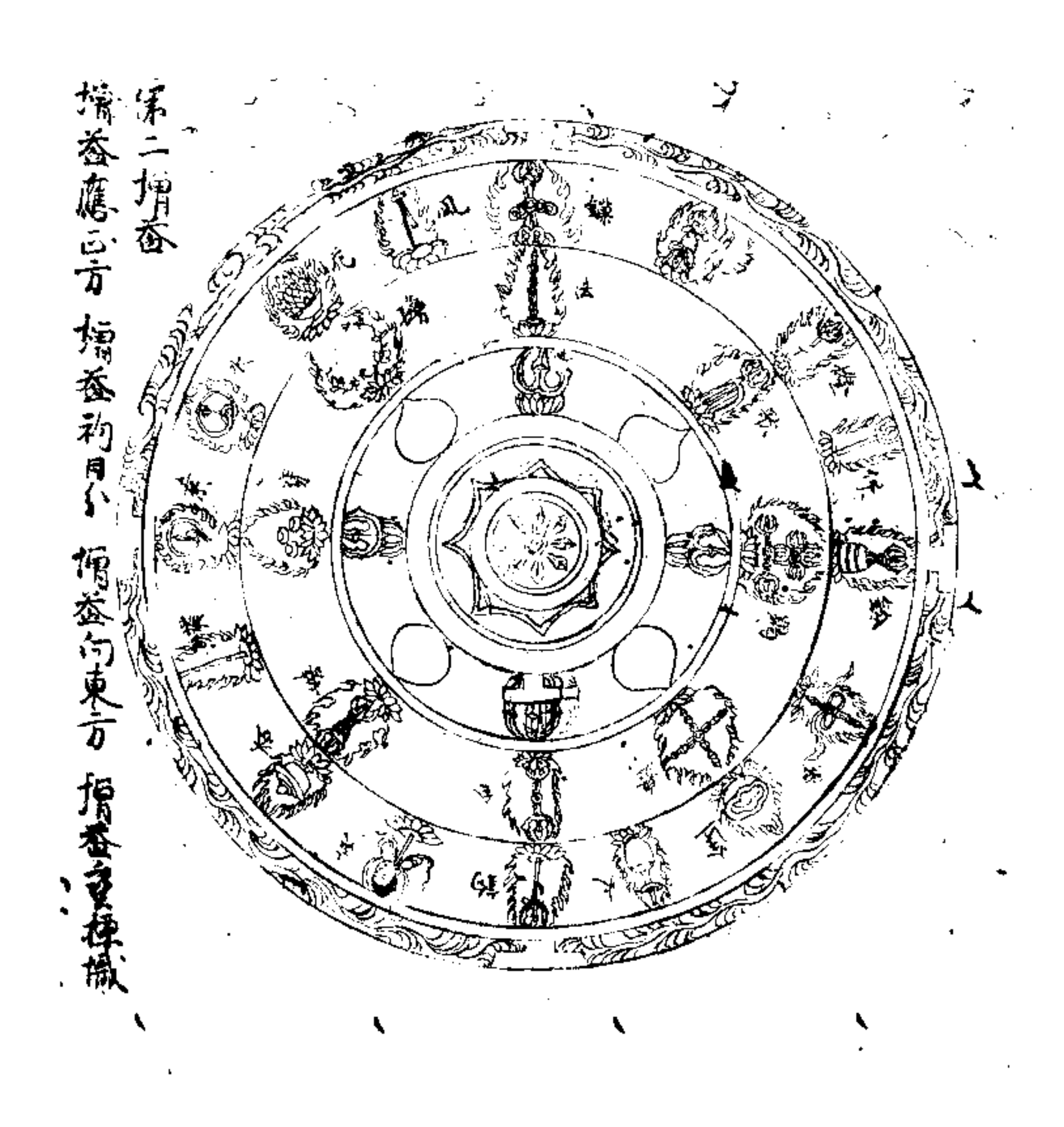
增益用寶木　增益三股杵　增益兩肘量　除[illegible]

增益於中院　[illegible]　第二院應畫　[illegible]佛眷屬

第三院[illegible]　亦如前所作

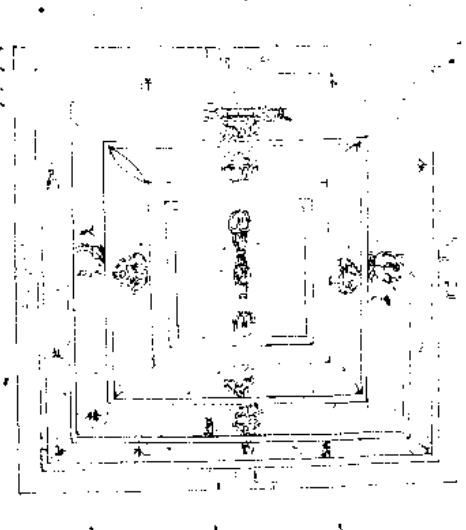
金剛頂瑜伽護摩壇様

圖像 No. 9. 扇底迦壇（上） 圖像 No. 10. 補瑟徴迦壇（下）　圖像 No. 11. 阿毘遮嚕迦壇（上）　圖像 No. 12. 櫳迦羅壇（下）

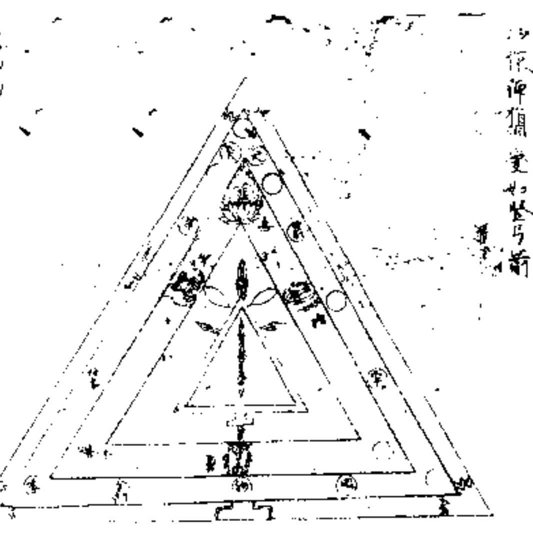


圖像 No.13.　息　災　壇

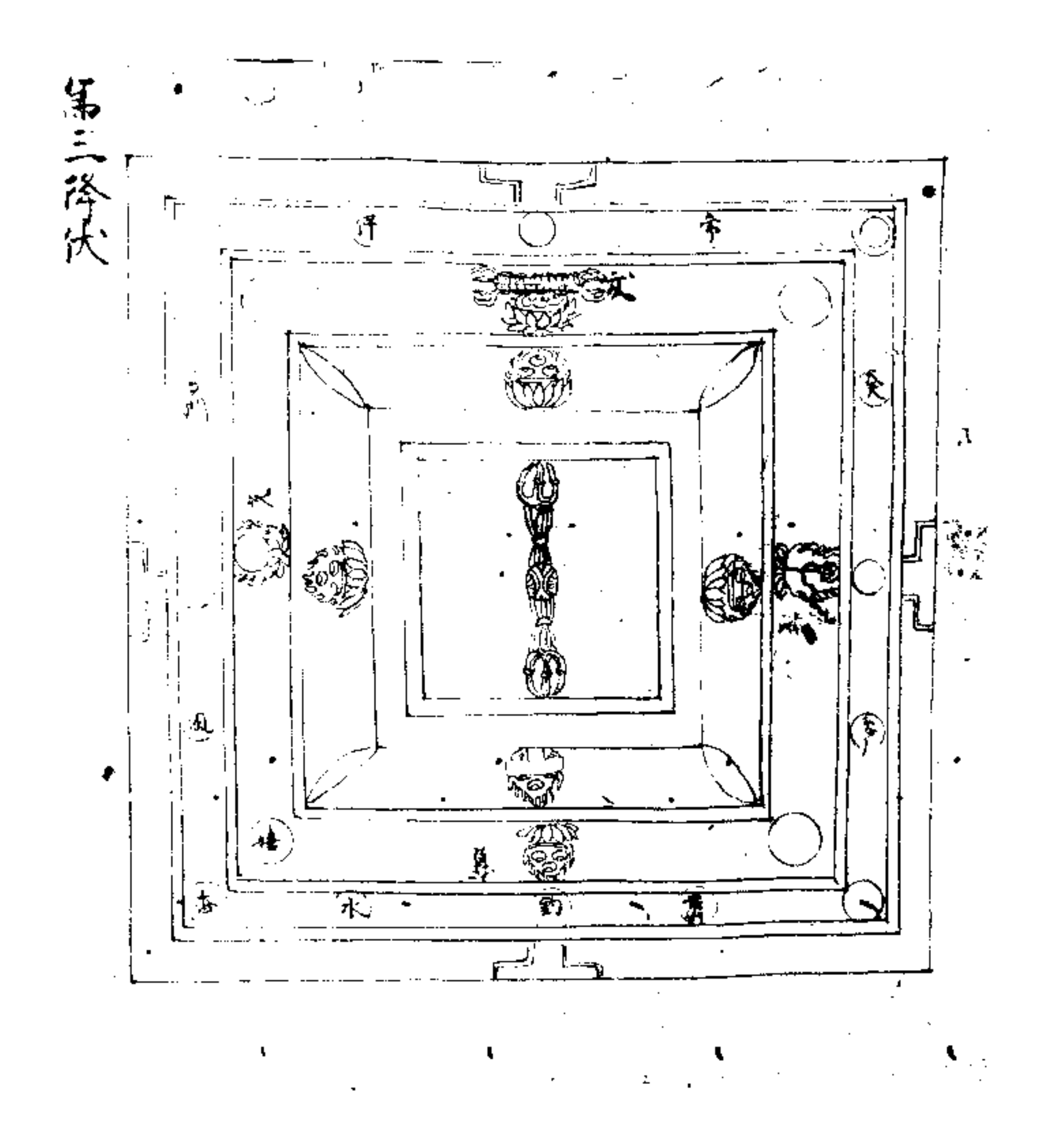
增益第二八 [illegible]生子[illegible] 寶[illegible]如寶形 [illegible]杵如日形
安如[illegible] 其中[illegible] [illegible]幢如[illegible]



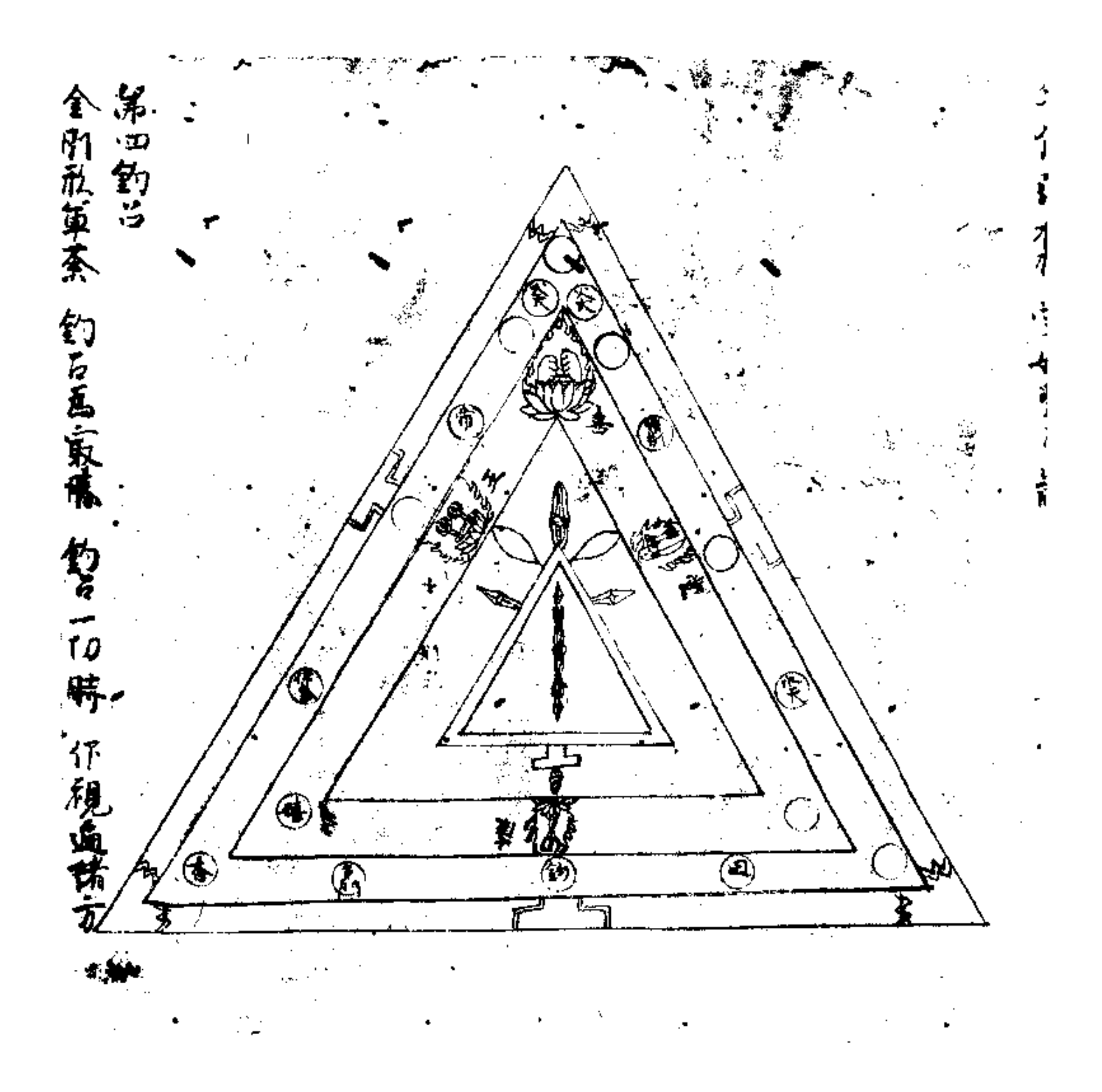
第三降伏
三角作降伏 中日合摩作 降伏[illegible]杵 [illegible]面南而坐
於作降伏事 金剛怒降伏 若木降伏者 降伏一形作
降伏事本形 三角各一肘 降伏於中院 獨股[illegible]為杵
四隅畫蓮華 第二院羅畫 降三世等[illegible] 四種忿怒相
第三院及門 亦如前所說 而皆忿怒形
一本云
降伏四忿怒 護壇三鈷杵 五如應二鈷 [illegible]
[illegible] 更如竪弓箭



第四鈎召
金剛形寶蓮 鈎召為最勝 鈎召一門時 作觀遍[illegible]
[illegible]鈎召[illegible] 金剛鈎鈎召 大召為[illegible] 刺木為鈎召
鈎召摩[illegible]鈎 鈎召長一肘 [illegible] 鈎召於中院
[illegible] [illegible]不動佛[illegible]

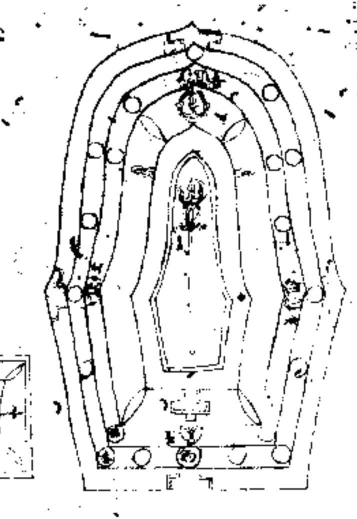


圖像 No. 14. 增 益 壇

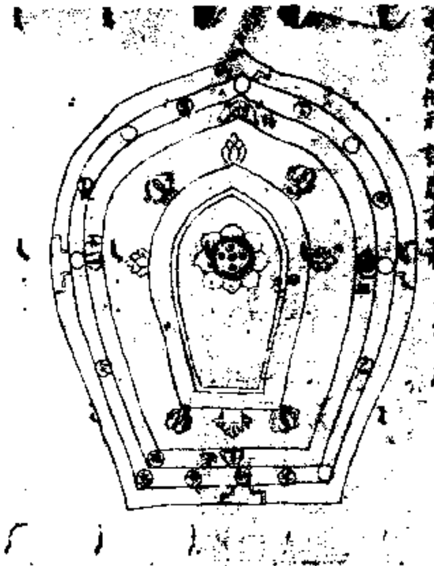


圖像 No. 15．降伏壇（裏朱書云、此爐緣畫匠誤落之仍以後日決之卽依師說改畫緣了、長宴記之）

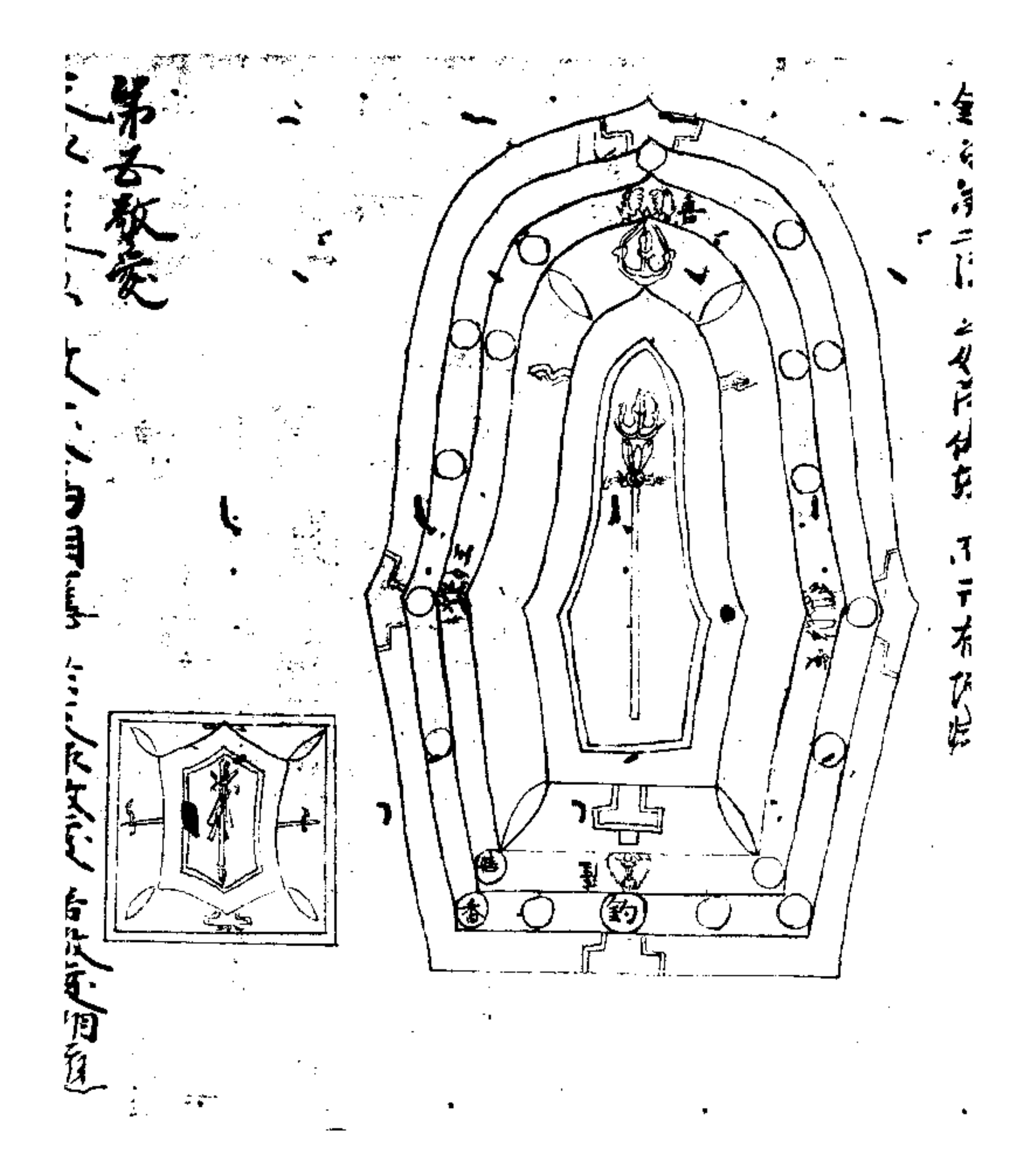
摩壇食用灼 四隅畫蓮花等 第二院摩畫[illegible]
第三院四隅 八方及四門 如初畢案之
一本云
的曰第二院 亦如降伏壇 而无有所[illegible]



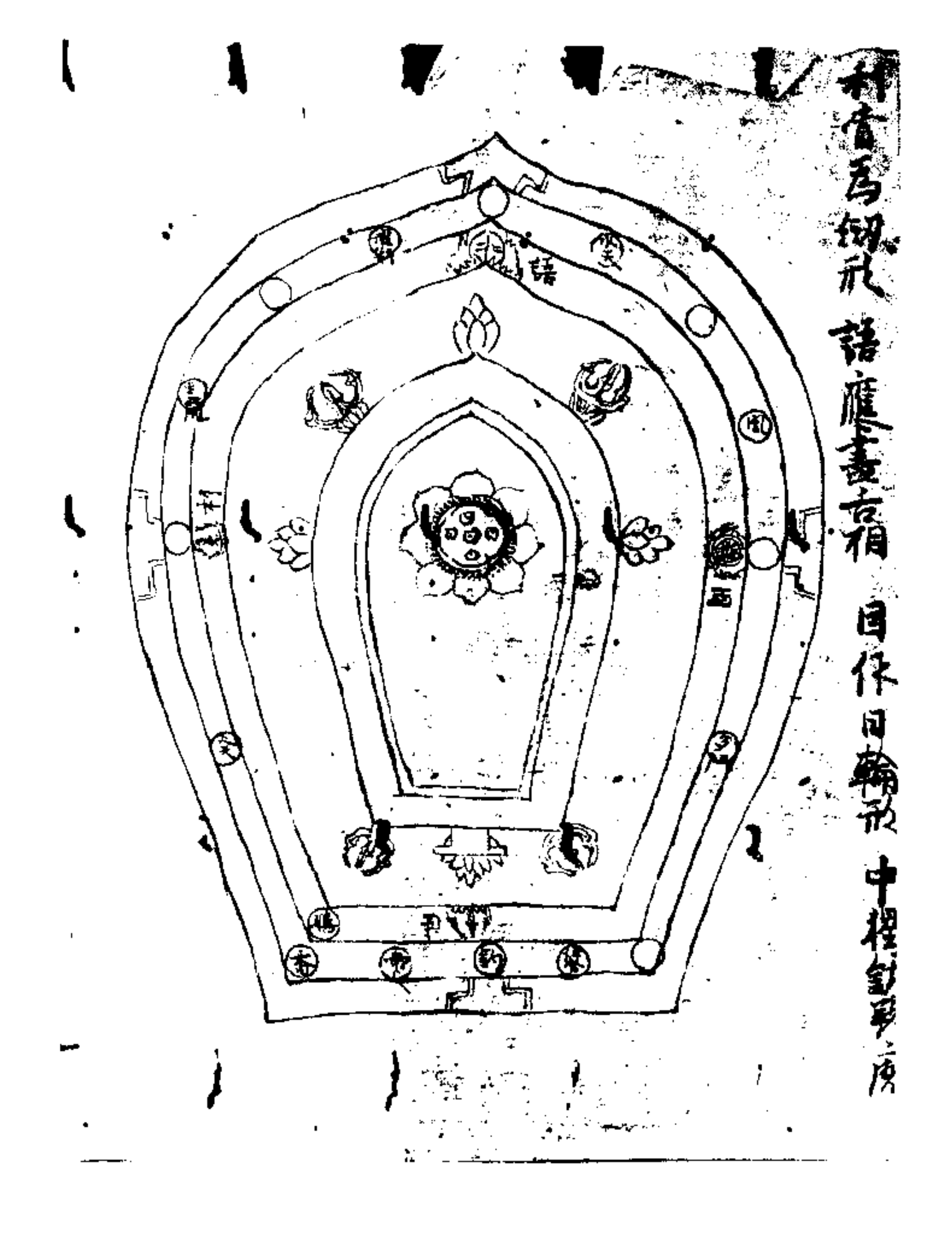
第五敬愛
長作蓮形 敬愛爲相應 於尺依敬愛 若敬愛相應
壇位面向西 敬愛蓮花部 花木就敬愛 敬首作蓮花
敬愛色一肘 横深如鈎分 敬愛於中院 畫蓮花鉤磨
四隅三股杵 第二院摩畫 元愛寺等 畫四攝等
第三院四隅 八方及四門 一寸説之如前
一本云 敬愛第二院 元愛寺等 法[illegible]
[illegible] 摩畫 自作[illegible] 中[illegible]磨



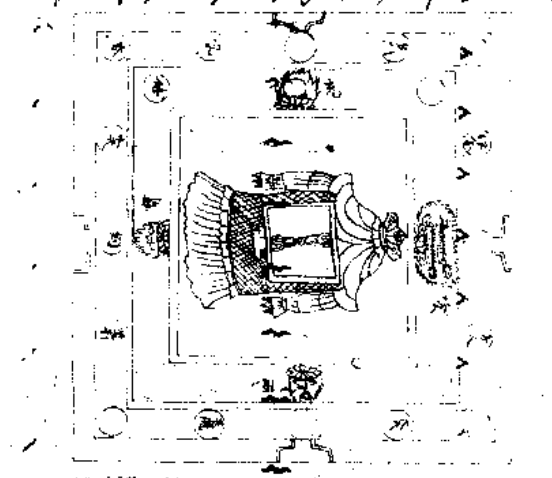
延命壇
若欲延命坑底[illegible]其延命壇如前增益壇外作甲胄形[illegible]
[illegible]華[illegible]餘物[illegible]十倍[illegible]



圖像 No. 16. 鈎　召　壇



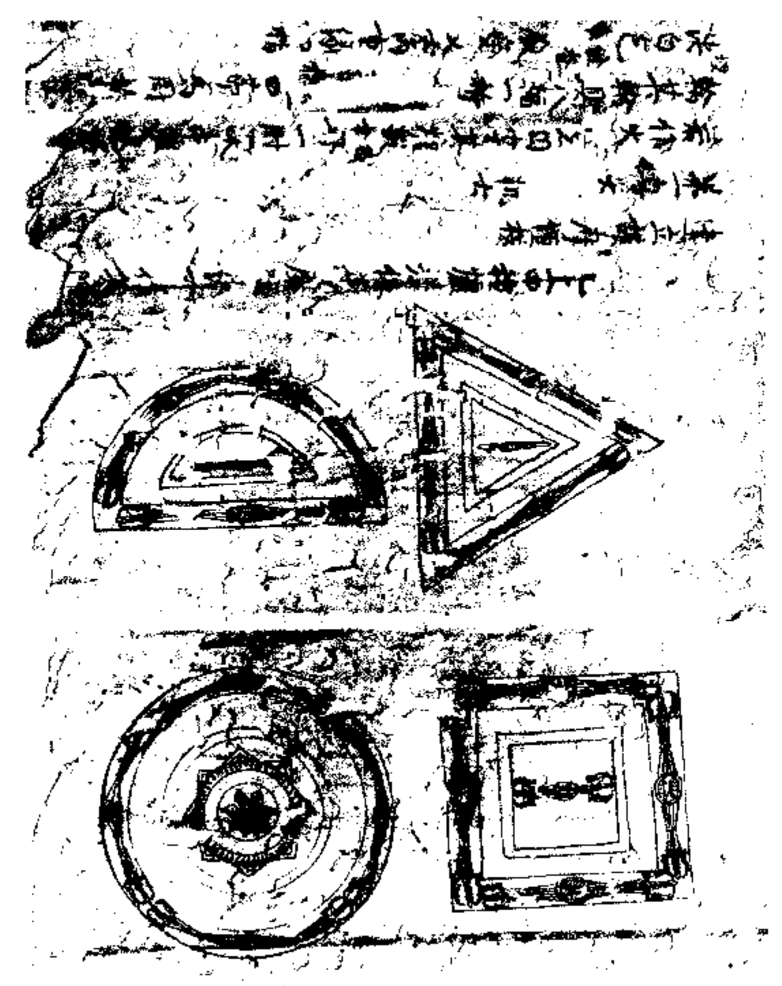
圖像 No. 17. 敬　愛　壇

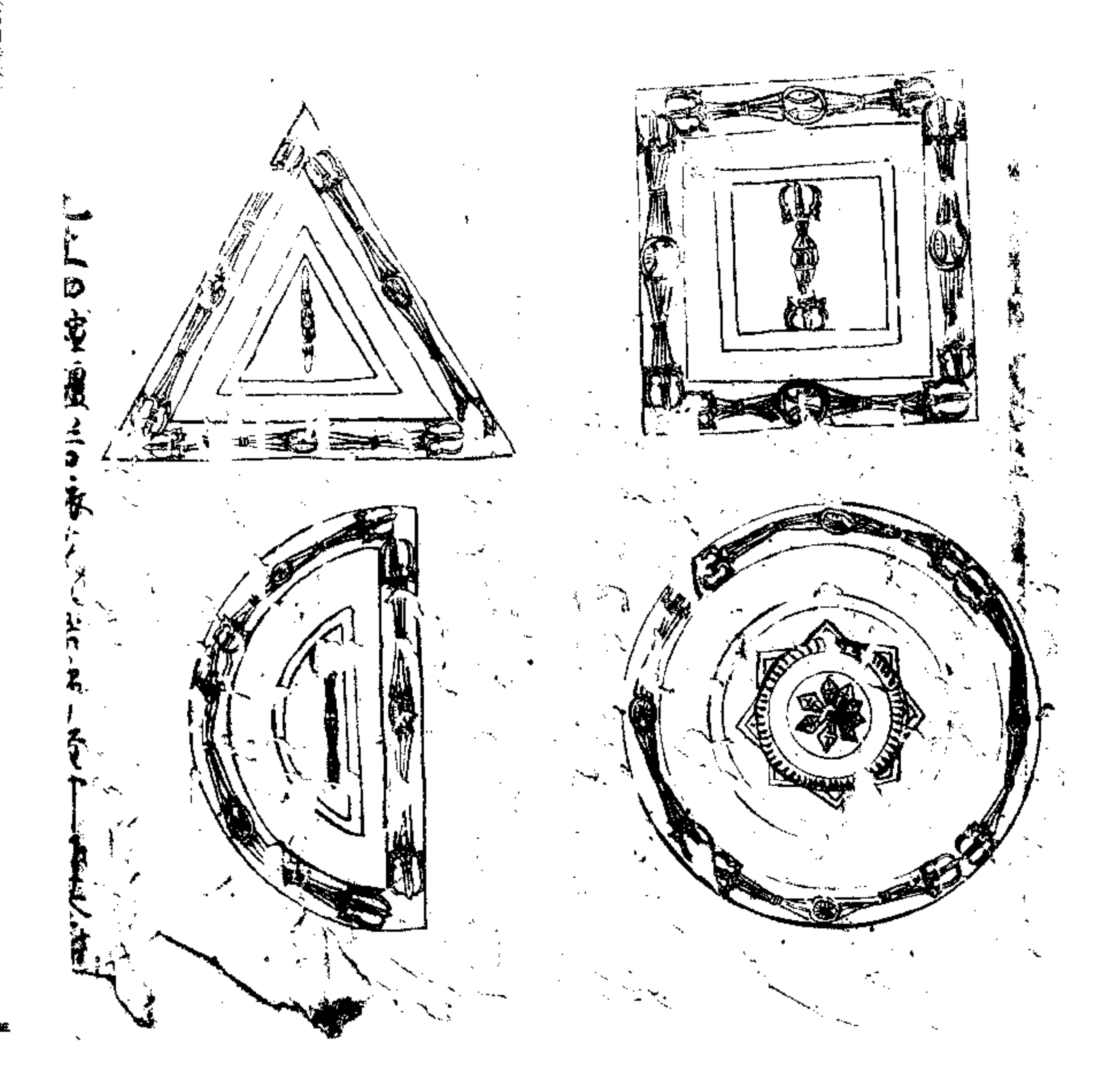


已上六種爐依外可作去臺軌文云坎依恭敬令大小相稱

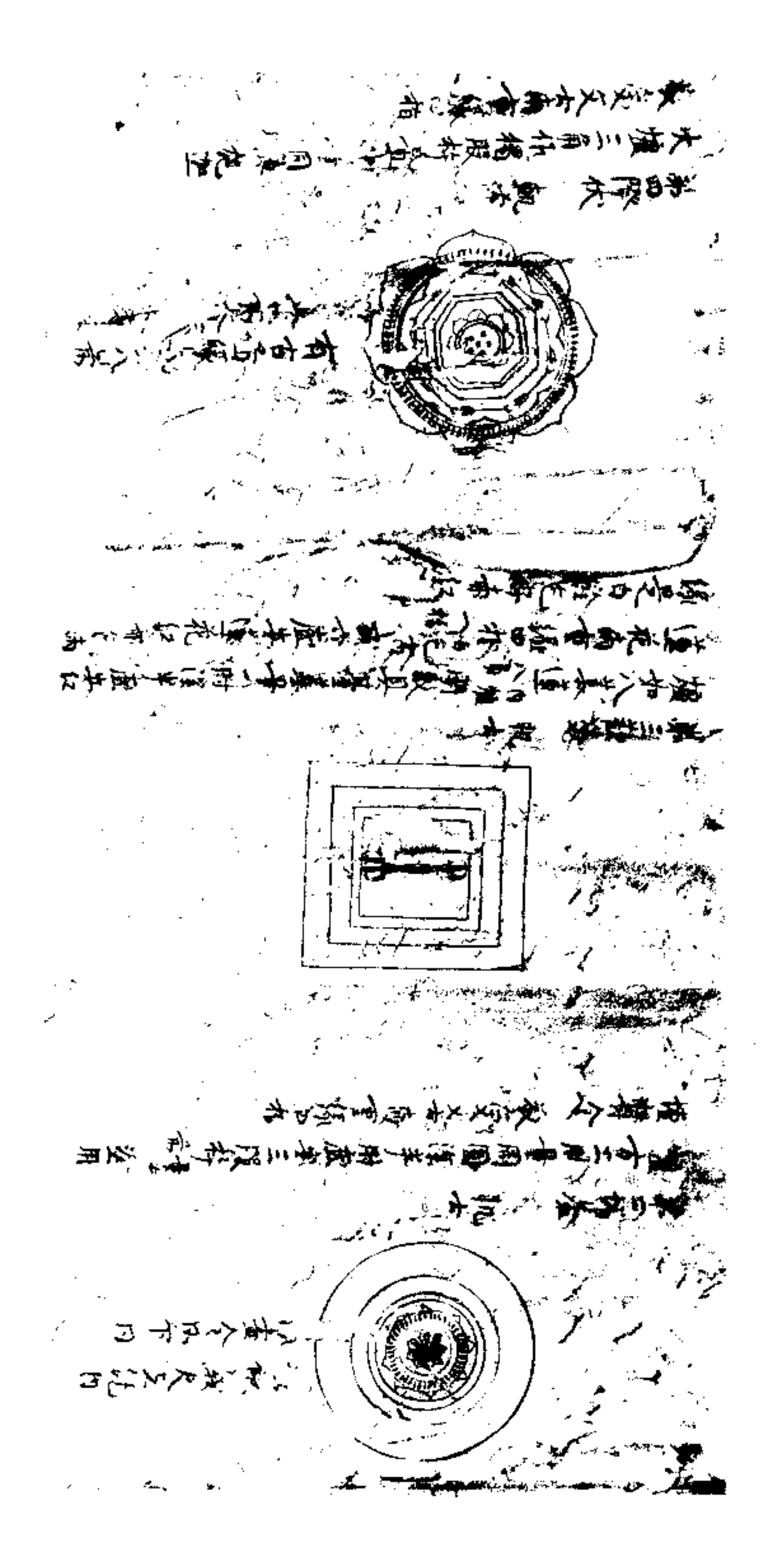
圖像 No. 18. 延命壇（裏朱書云，此爐畫師誤落線樣仍以後日決之卽依師說畫線了，長寛記之）

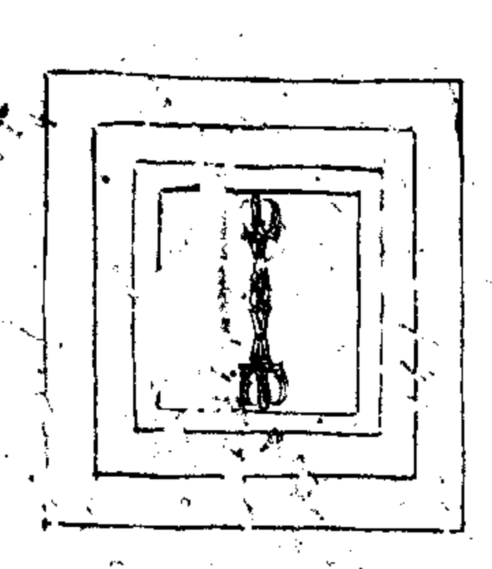
大日經護摩壇樣（高山寺本）



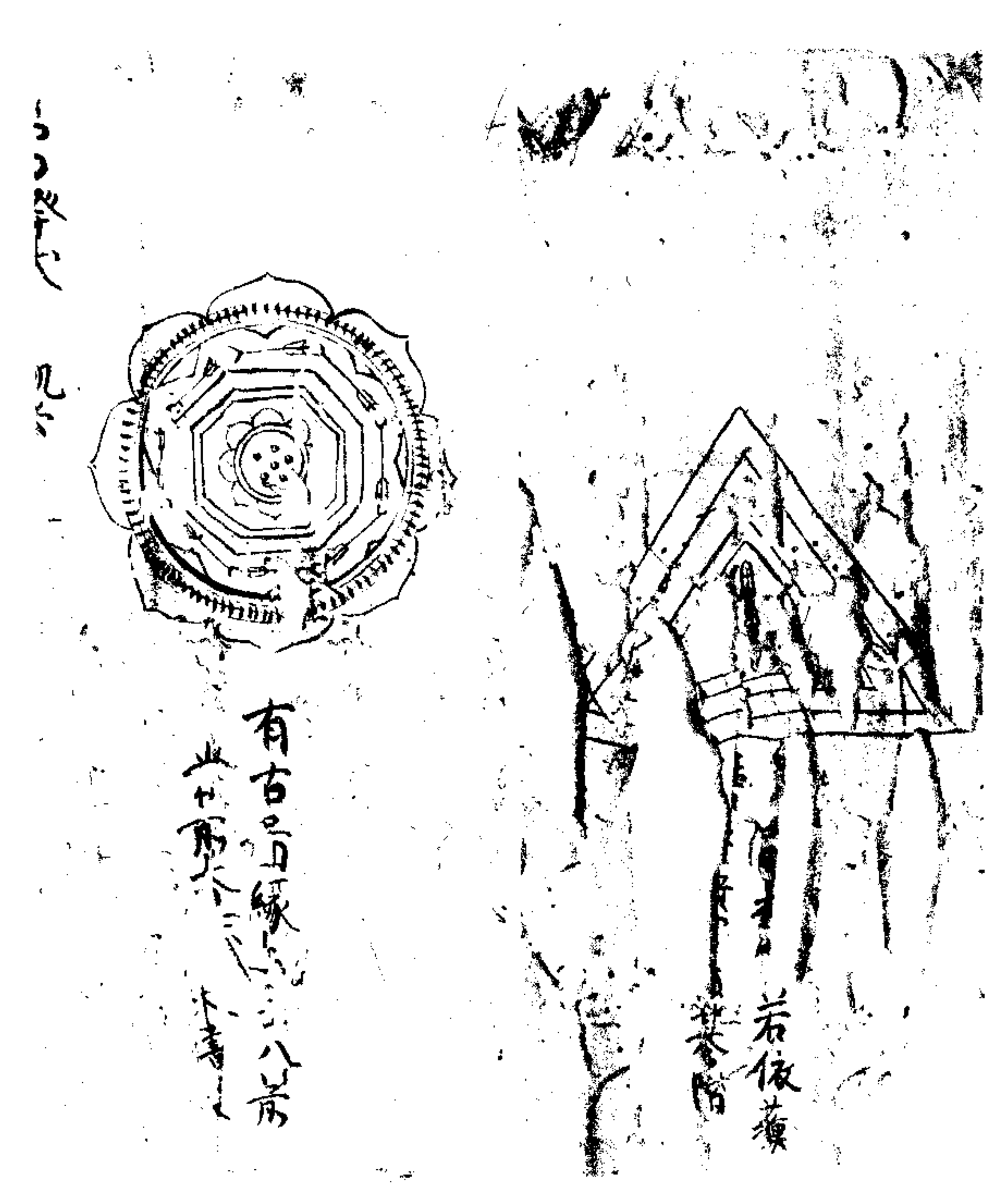


圖像 No. 1. 息災壇（上）　圖像 No. 2. 增益壇（下）　圖像 No. 3. 降伏壇（上）　圖像 No. 4. 敬愛壇（下）





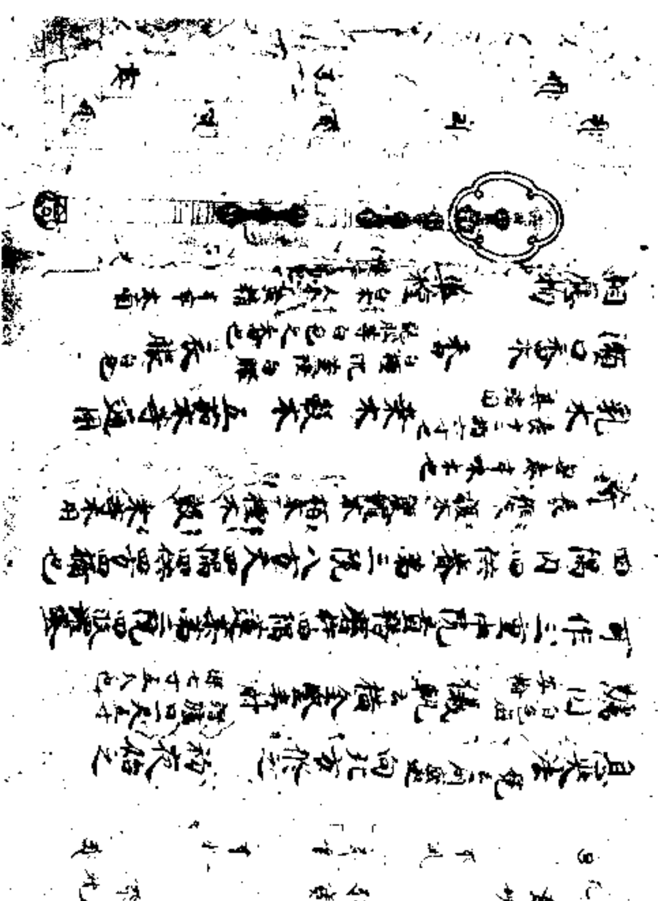
圖像No. 5. 息災壇　圖像No. 6. 增益壇

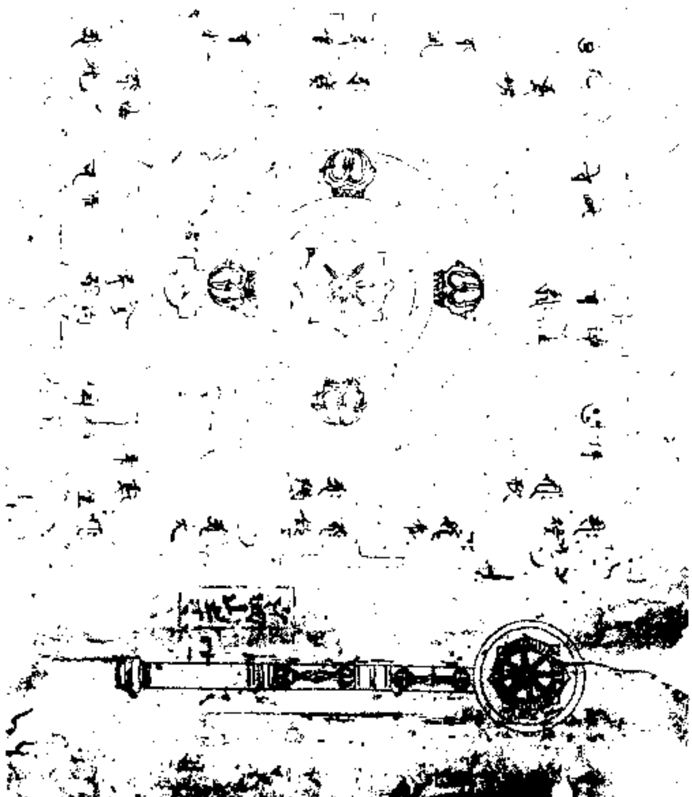


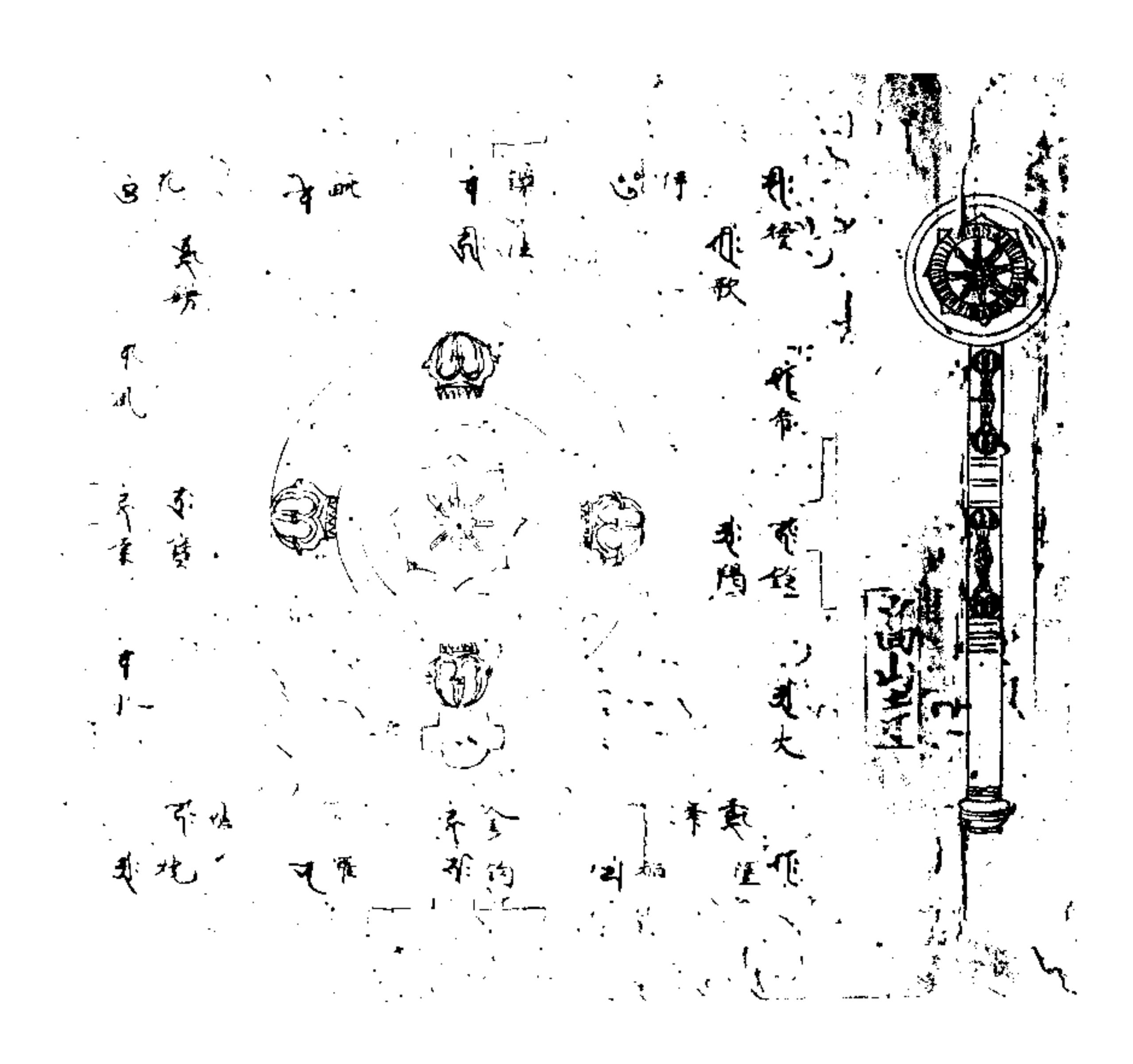
圖像 No.7. 歡愛壇　圖像 No.8. 降伏壇

護摩壇圖樣

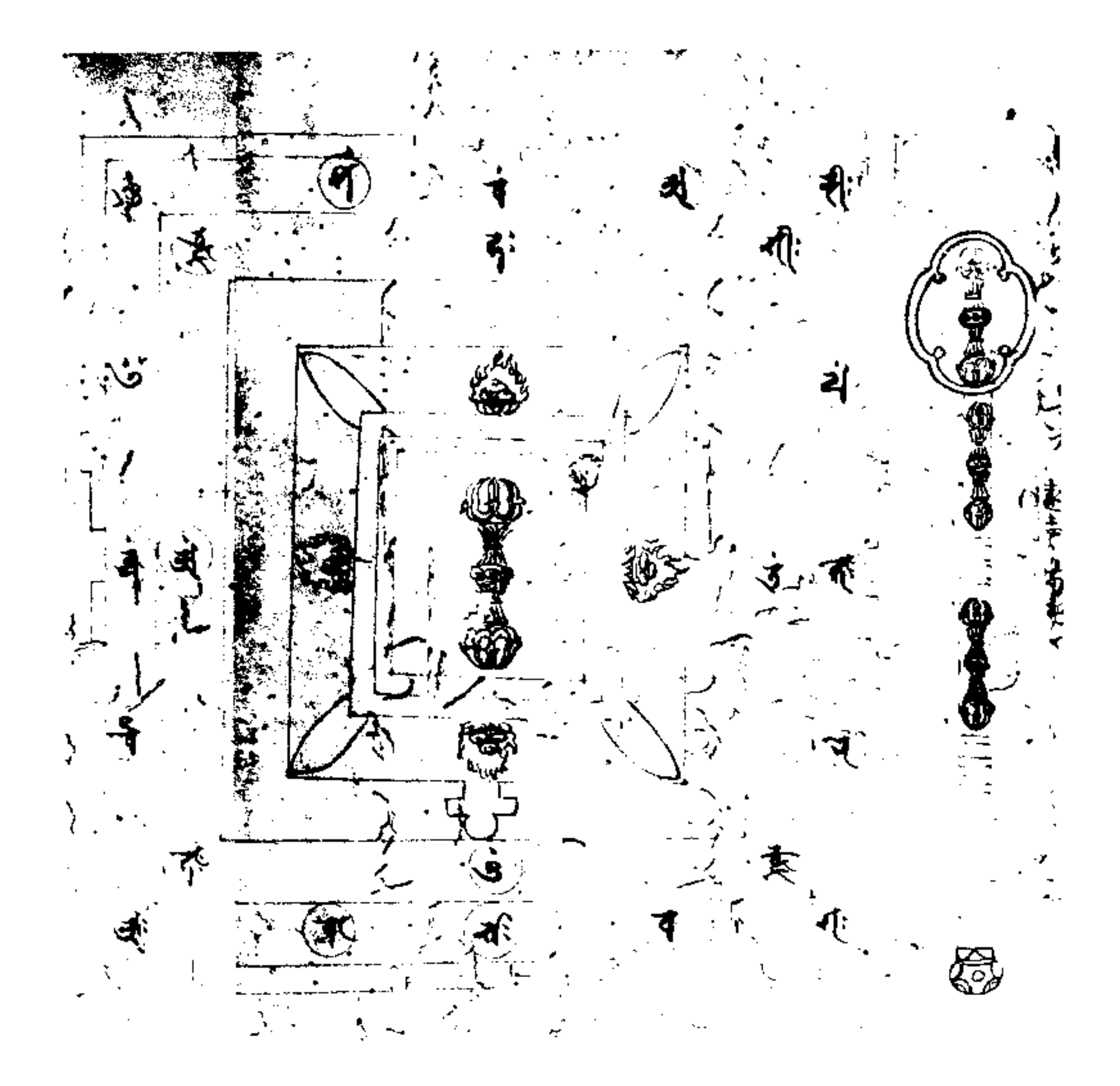
壇様儀軌說



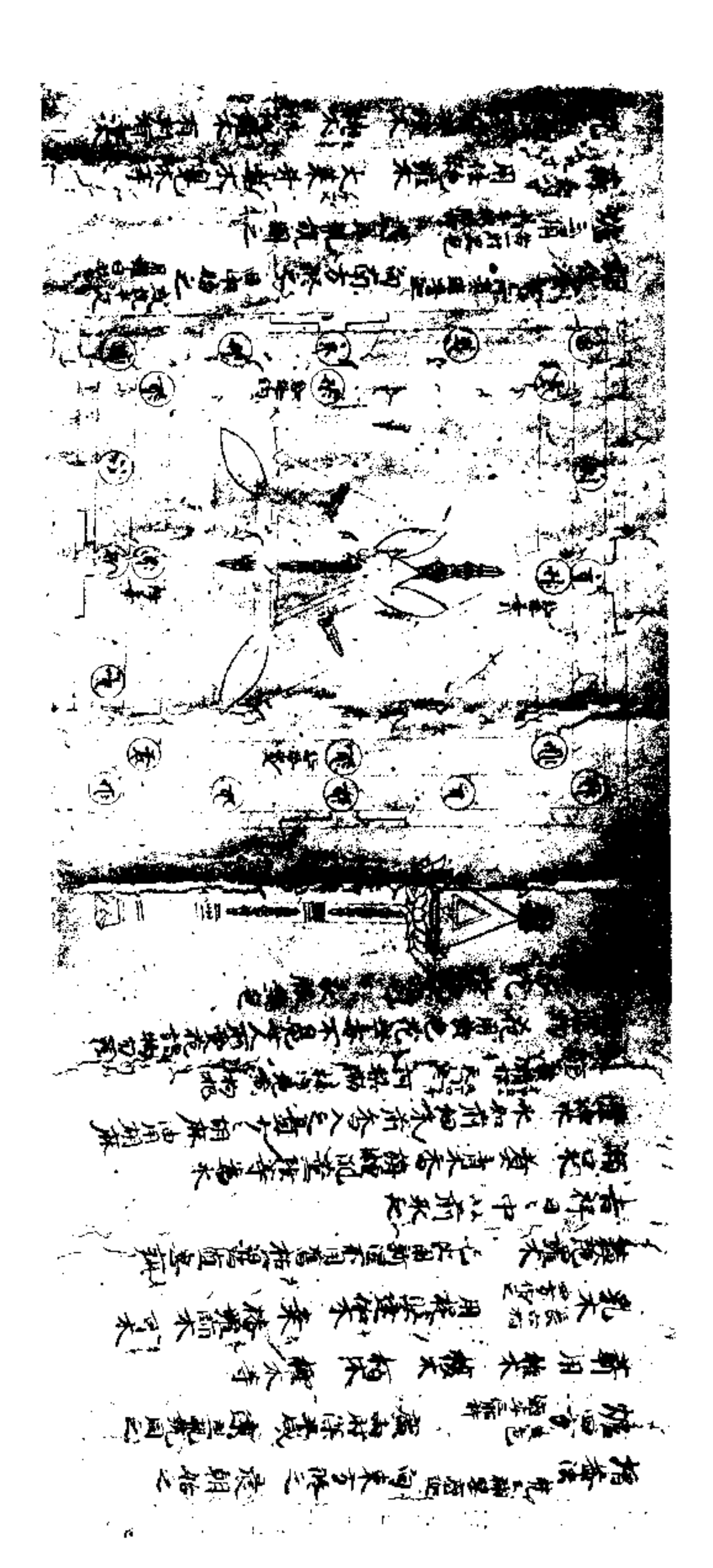


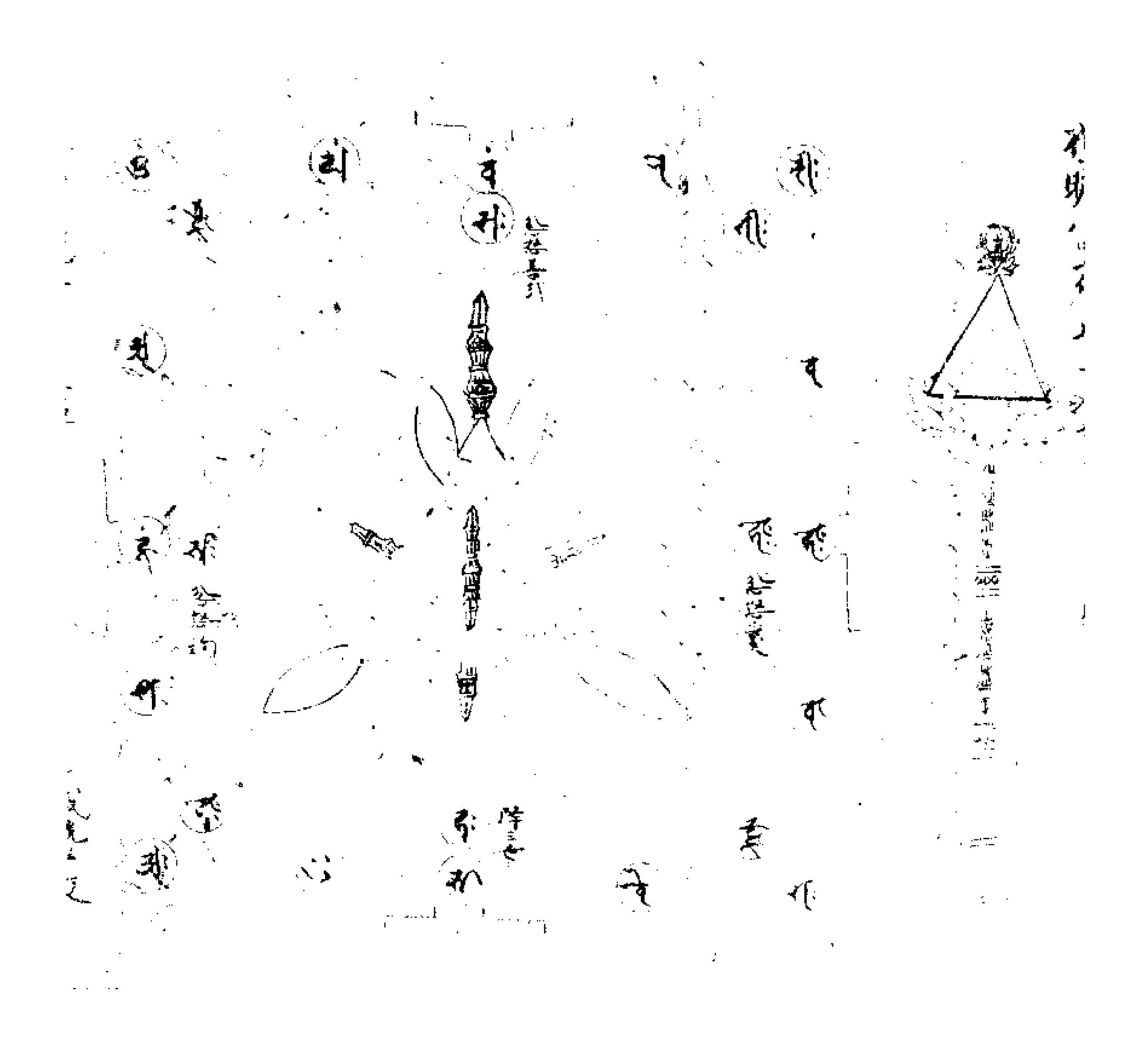


圖像 No. 1, 息　災



図像No. 2. 増　　益





圖像 No. 3． 調　　　伏

閼伽 器下香為水盛杵子ケし載入青代令水色青黒

塗香 水和前、入丁香甲香末ケし

以上二器用黒漆若或瓦器等

香 丸香 春安息香丁香等以松汁合之為丸

散香 焼香 塗香丁子甲香麝香安息香等青色

花 用安世三昧青色紫色等毒草毒木荊棘之花

射干 龍膽 曲枝花 桔梗ナ花也

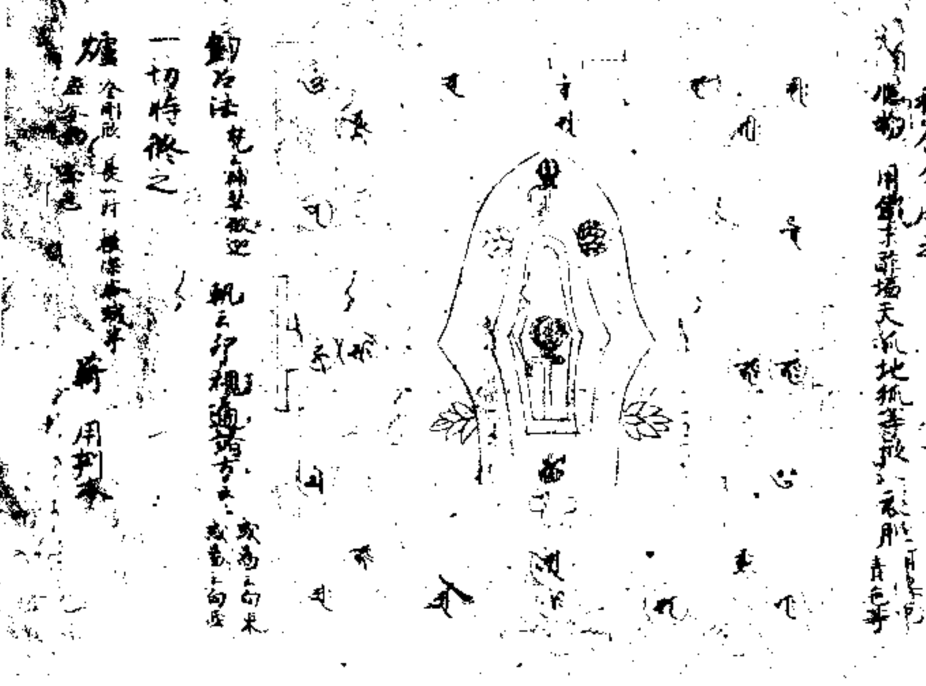
燈 用麻子油胡麻油

供養 五穀 和合毒薬汁入ケし芥子

毒種 附子 烏頭 龍膽 花荊 射干 巴豆[illegible]

和合分用之

飲食物 用[illegible]等天氣地氣等散[illegible]青色等

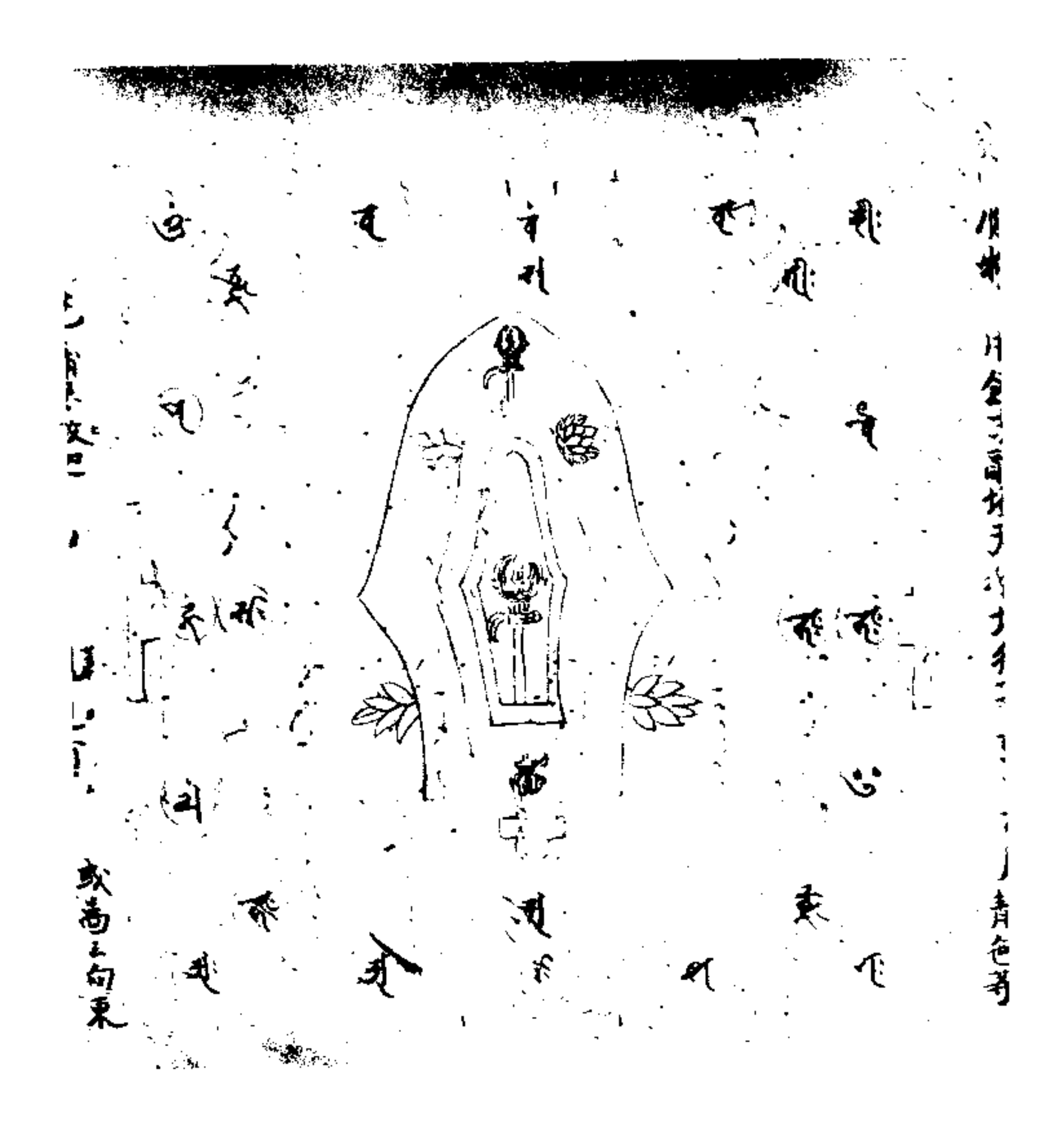


勧請法 梵云[illegible] 軌云印觀通句[illegible]

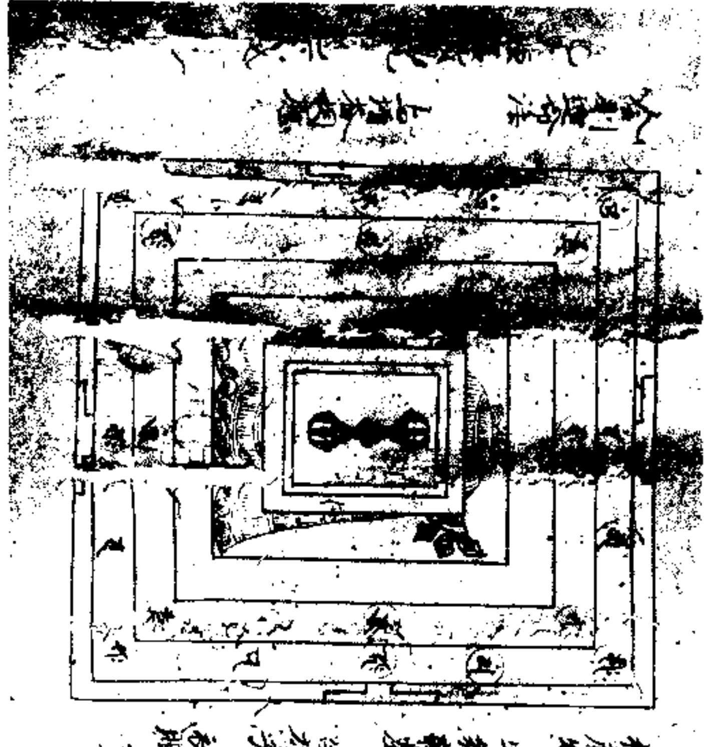
一切時設之

爐 金剛杖 長一肘 [illegible]

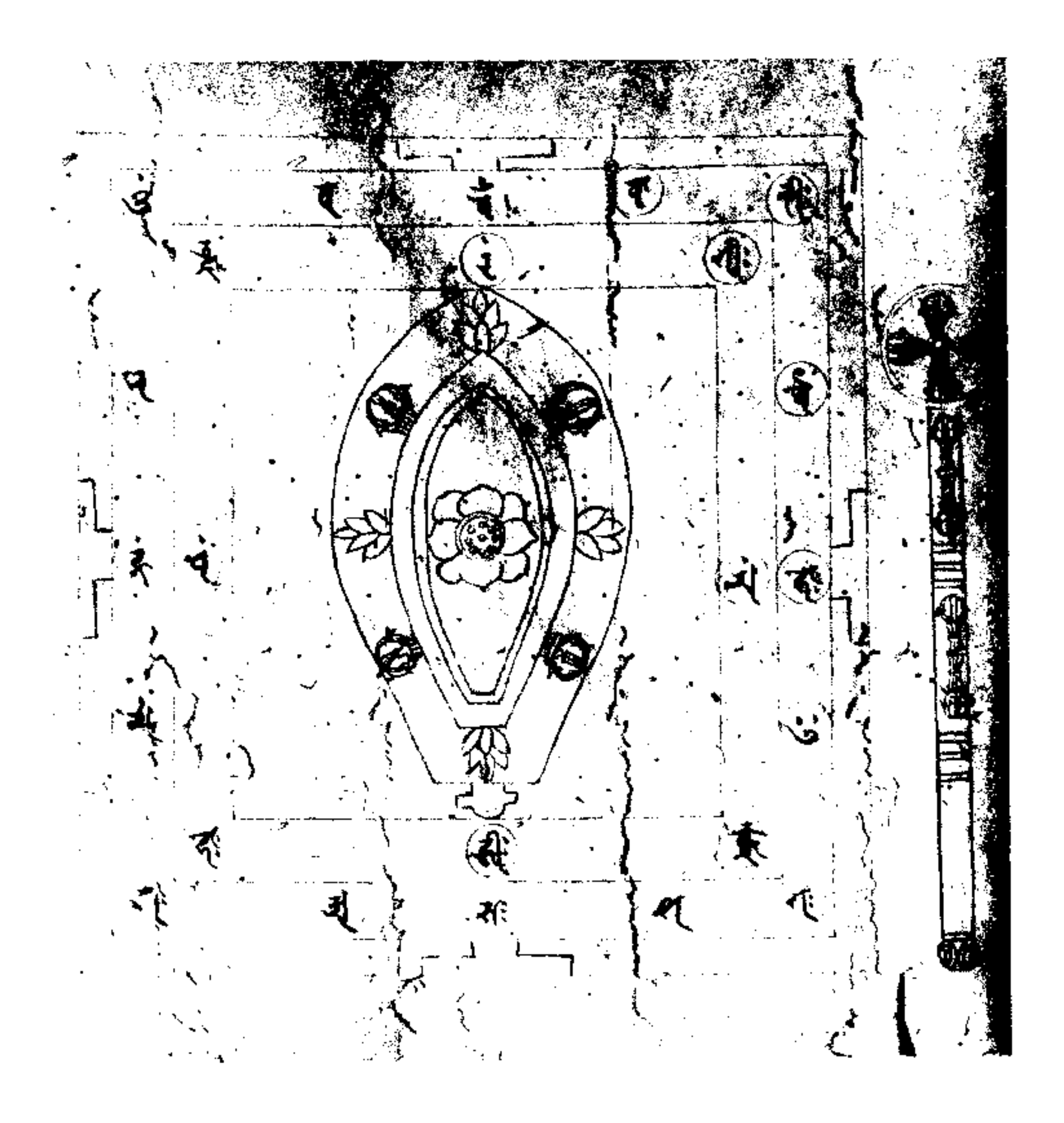
[illegible] 用[illegible]



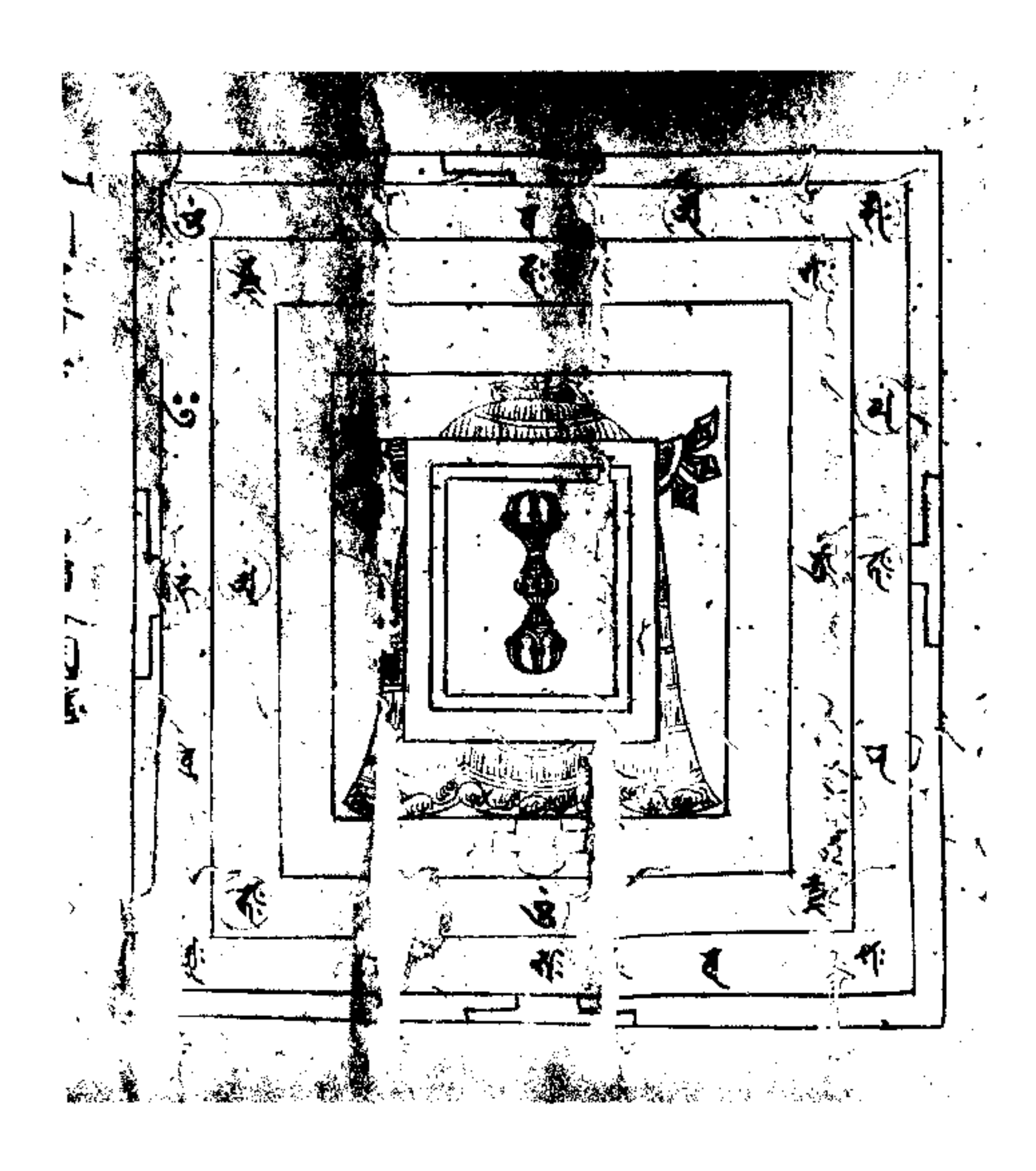
圖像 No.4. 鈎召



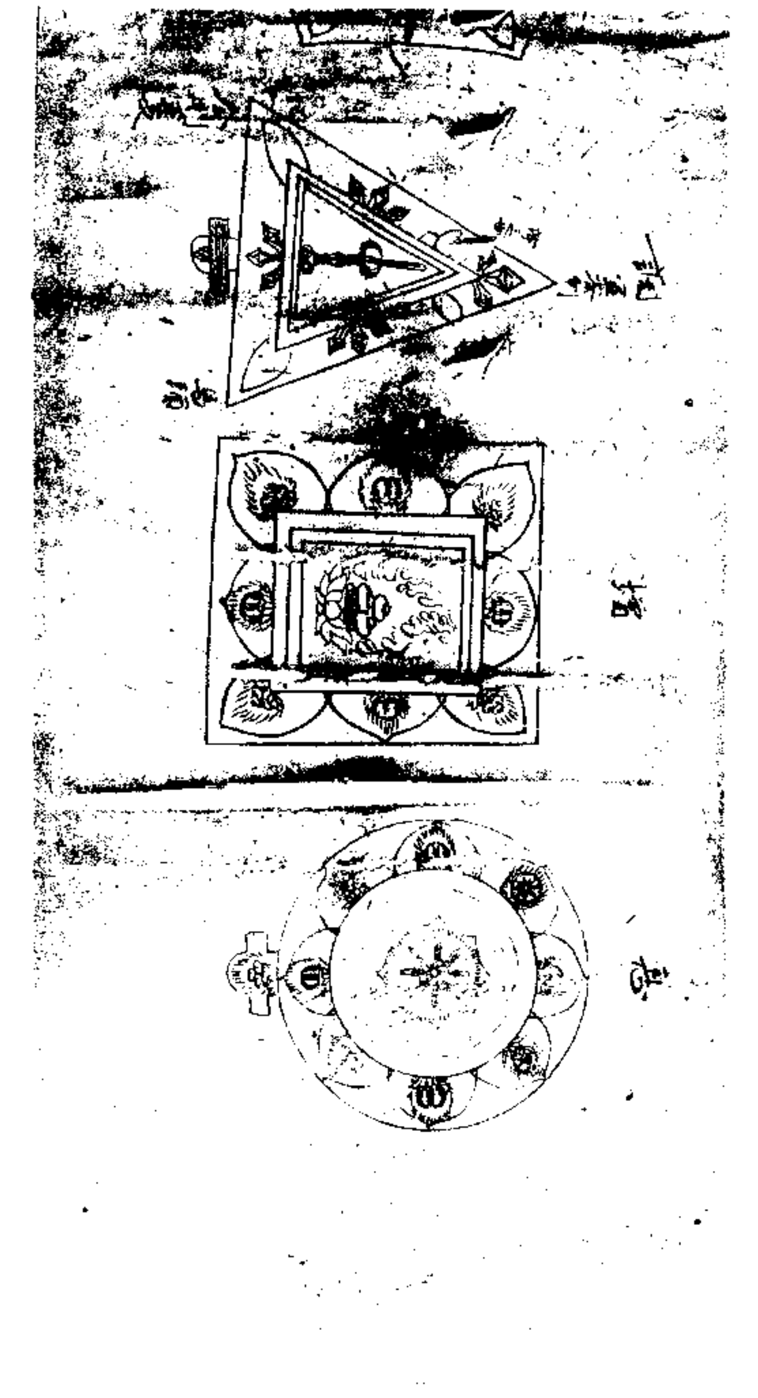
九

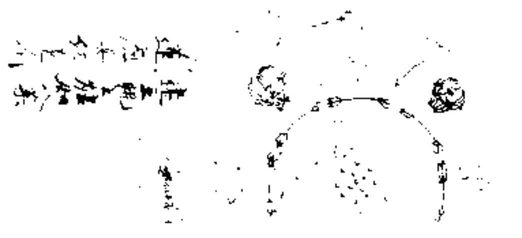


圖像No. 5. 敬　　愛



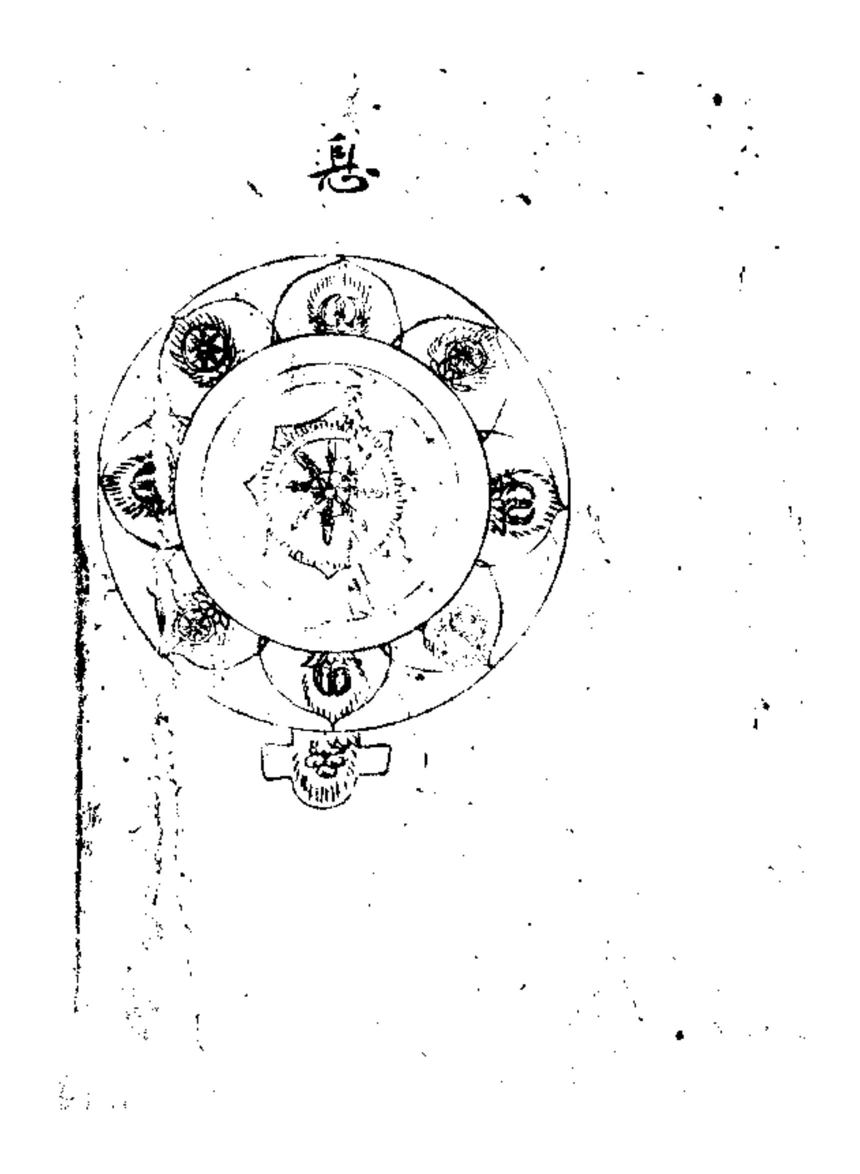
圖像 No. 6.　金 剛 延 命



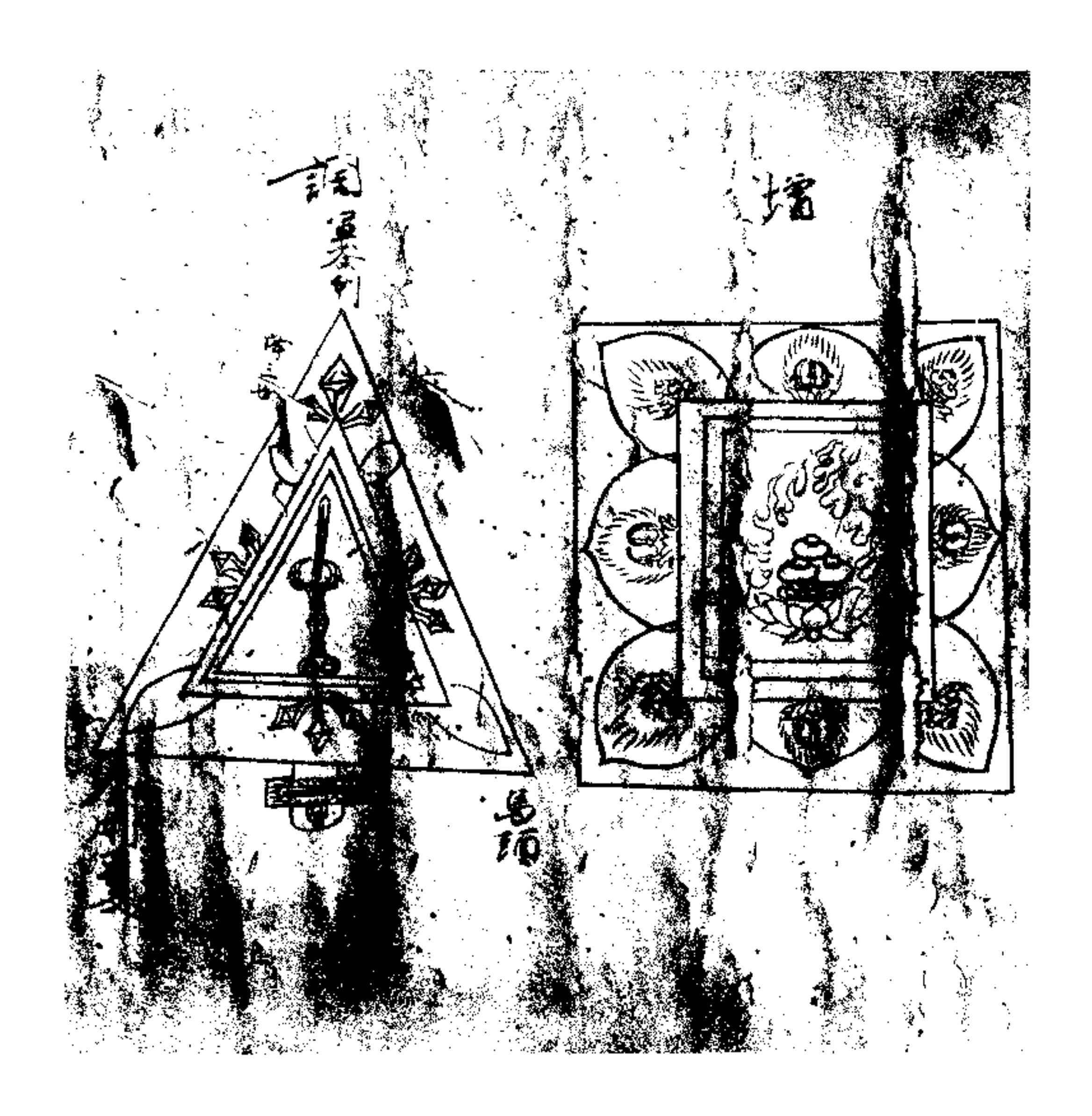




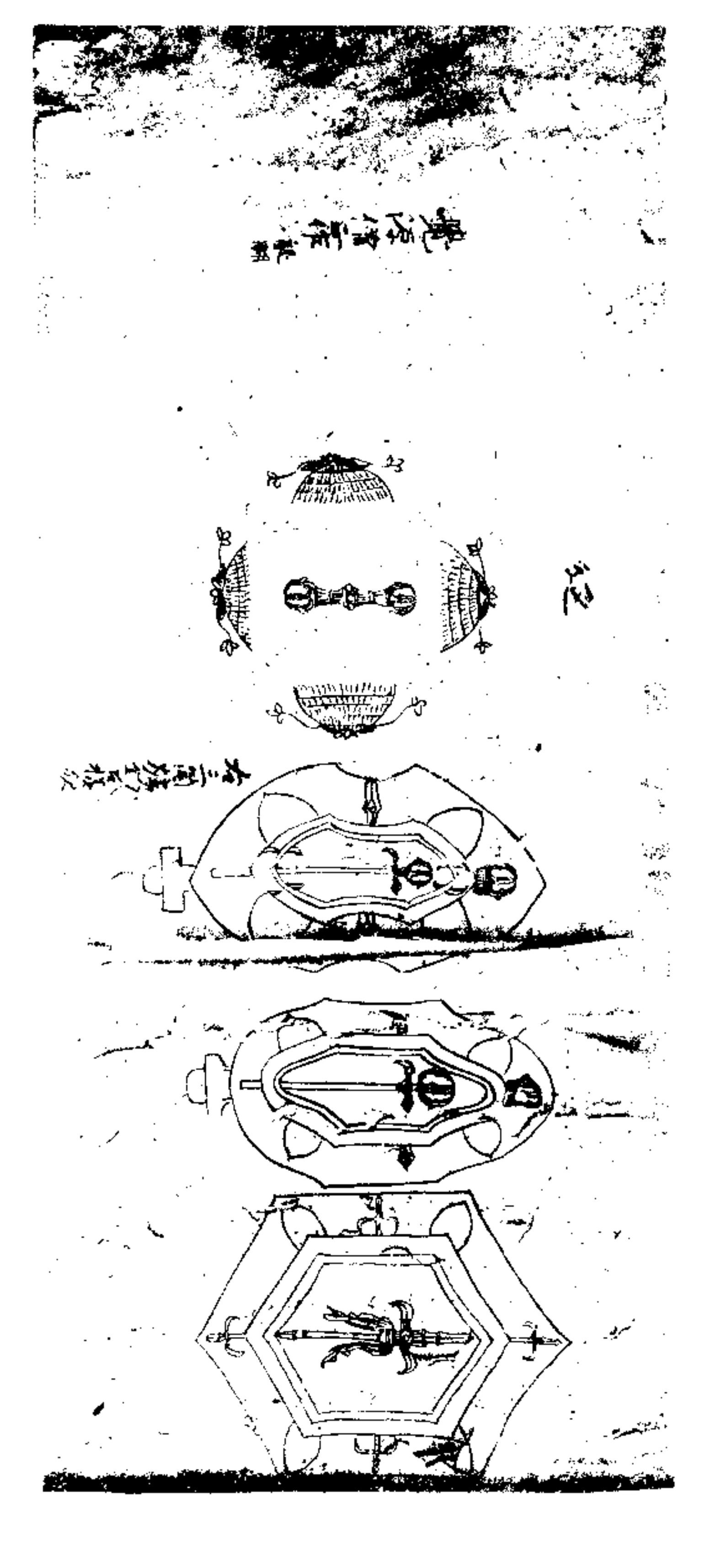
圖像No 7. 敬　　愛

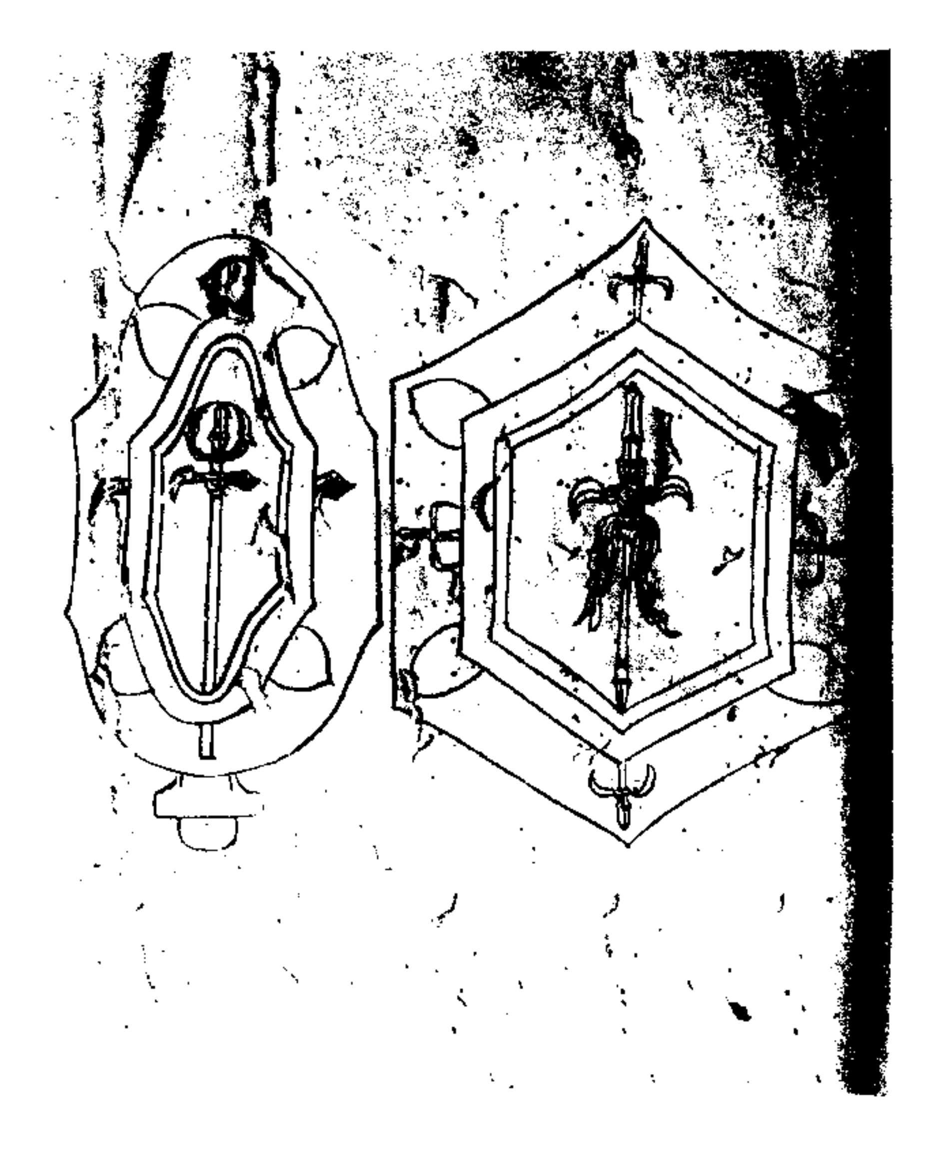


圖像 No. 8. 息　　　災

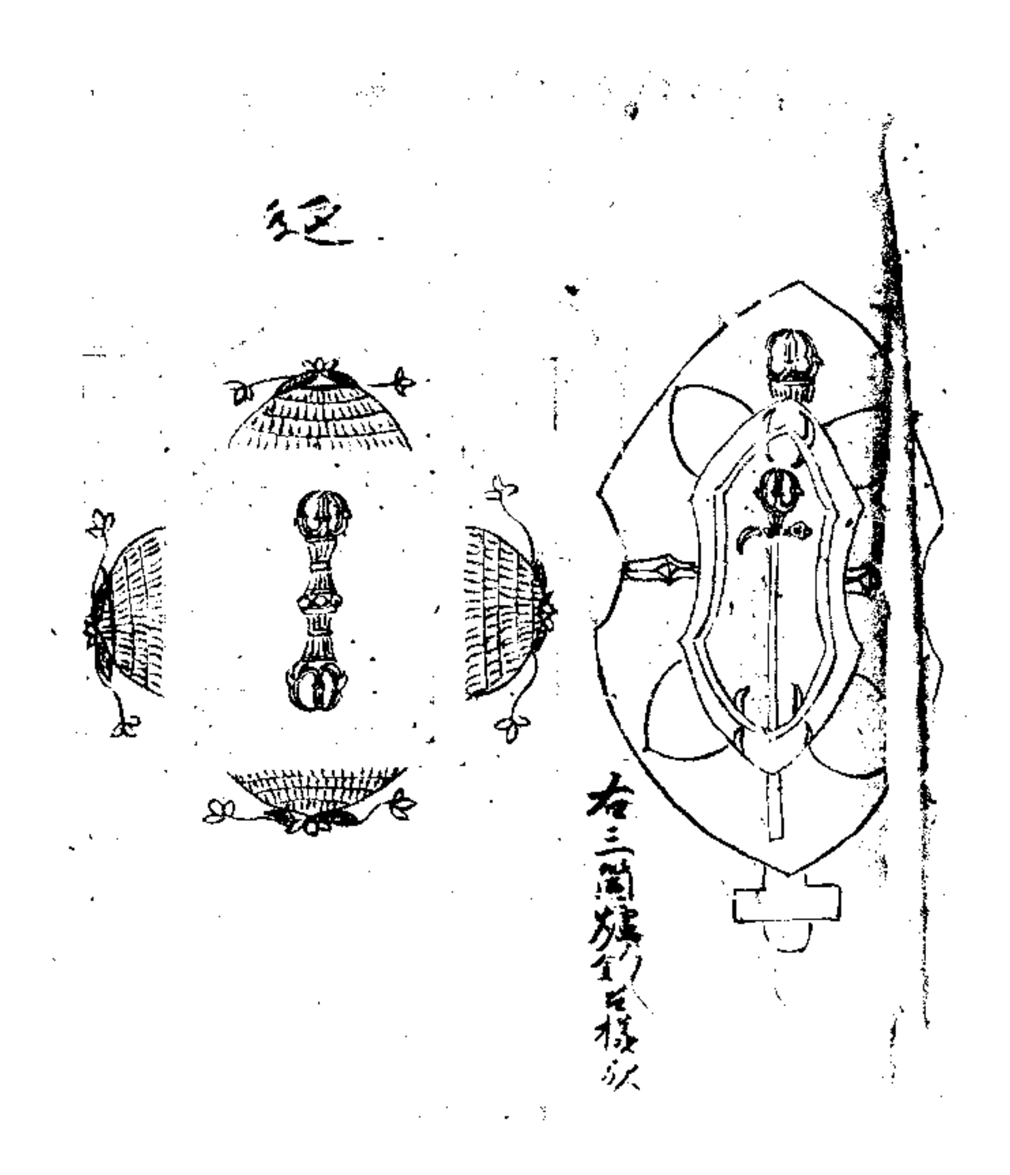


圖像 No. 9. 增益　圖像 No. 10. 調伏





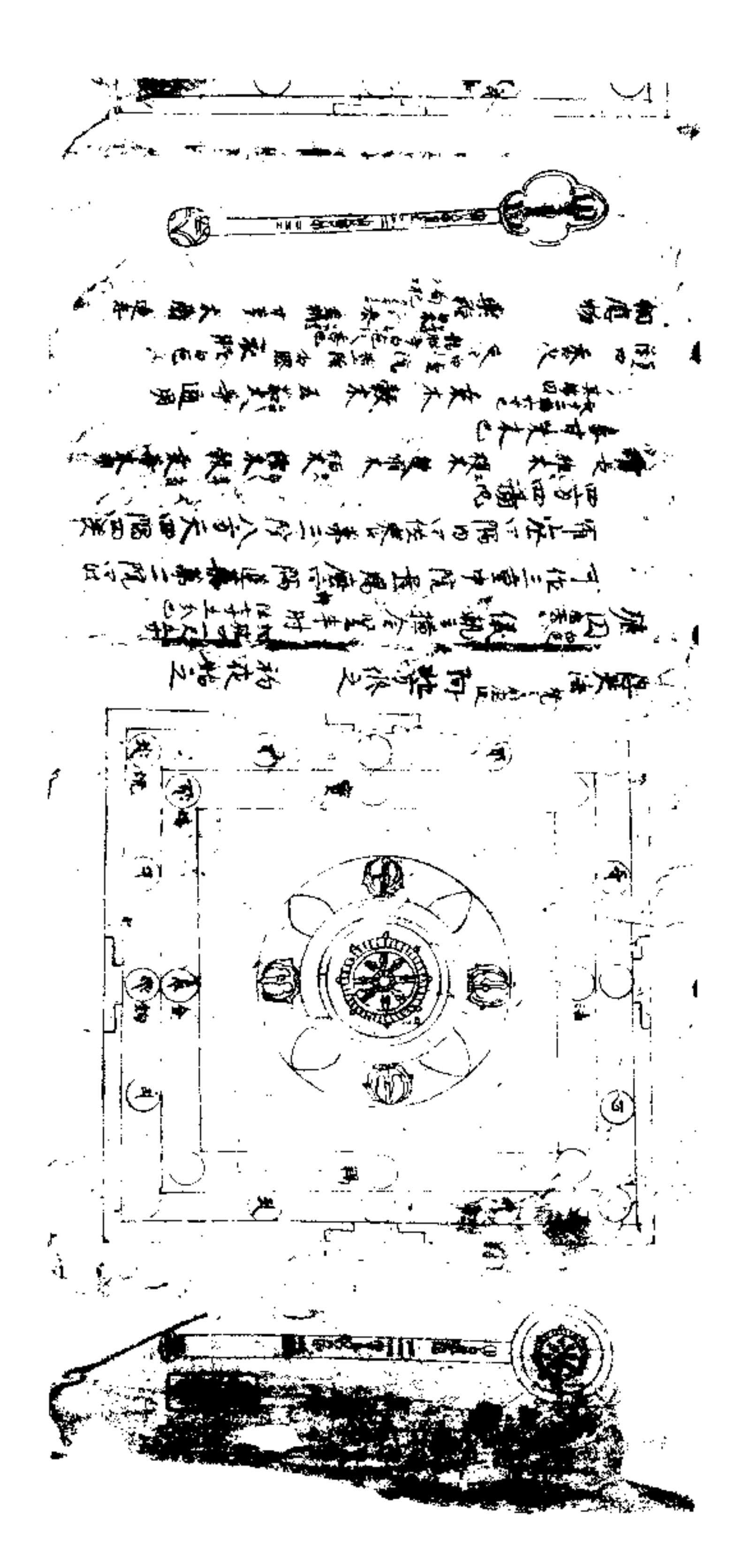
圖像 No. 11. 鈎召様軾（其一）　圖像 No. 12. 鈎召様軾（其二）

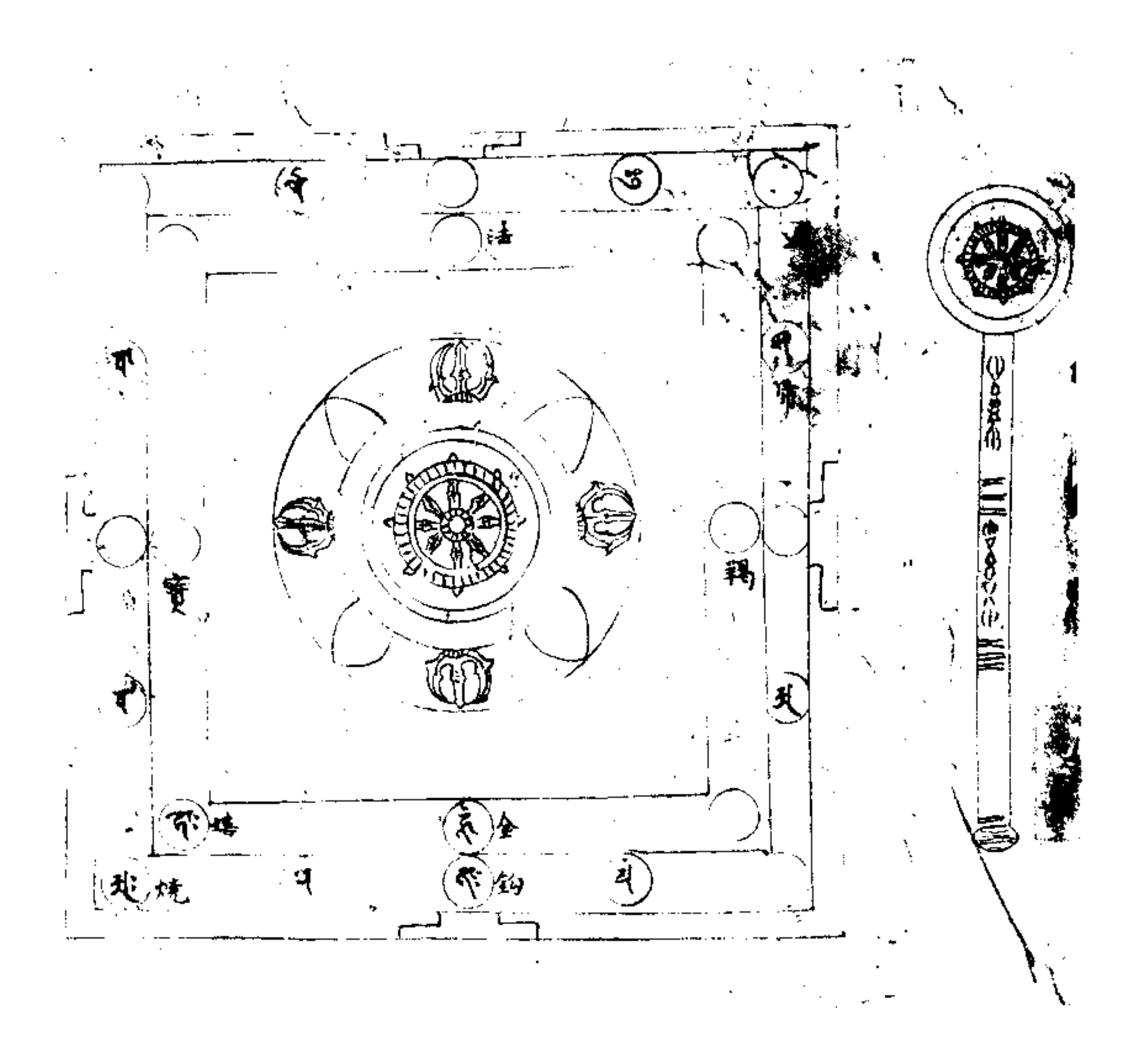


圖像 No. 13. 鈎召樣軌（其三）　圖像 No. 14. 延命

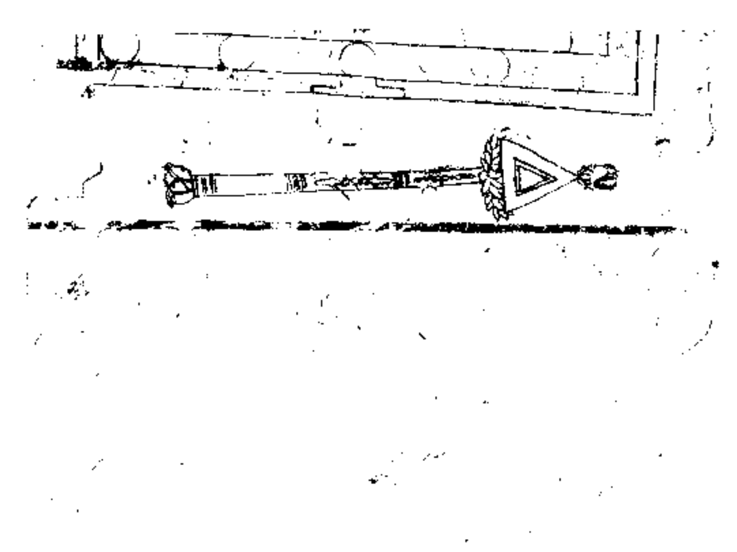
息災調伏延命壇圖樣

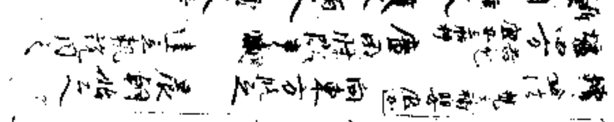
壇樣儀軌說

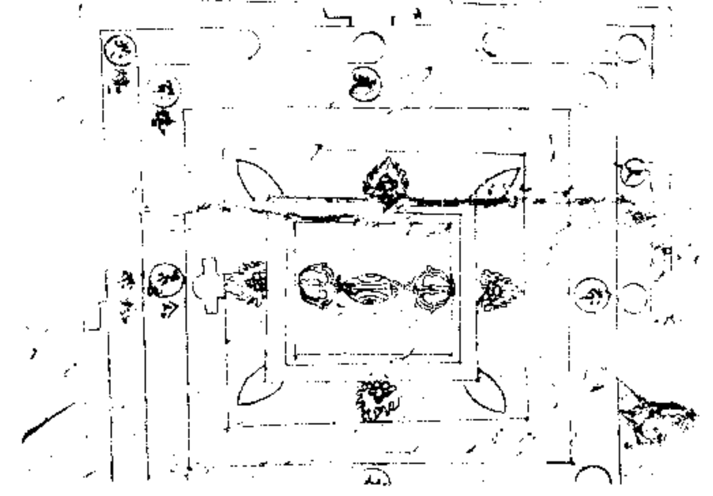


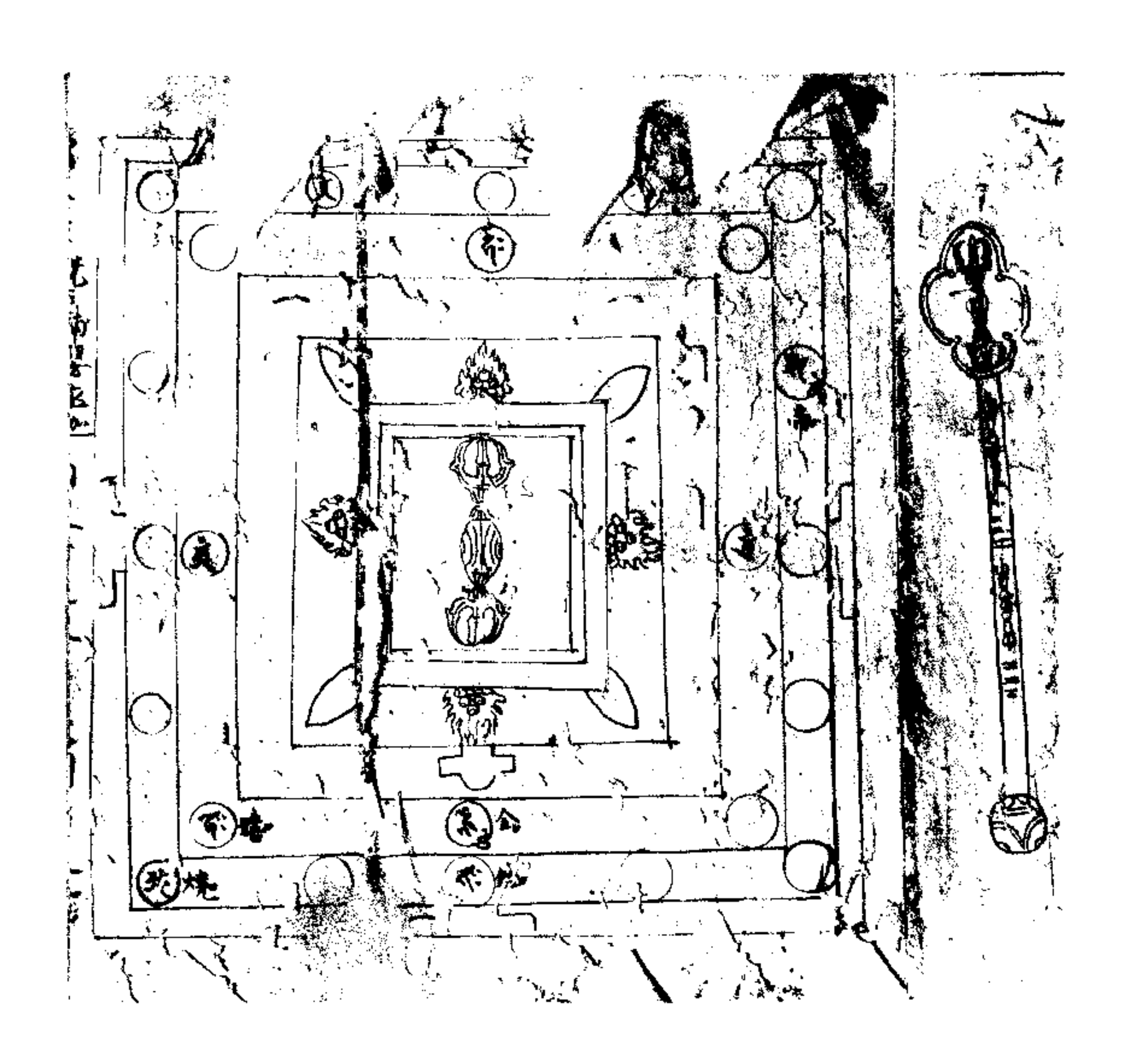


圖像 No.1. 息 災

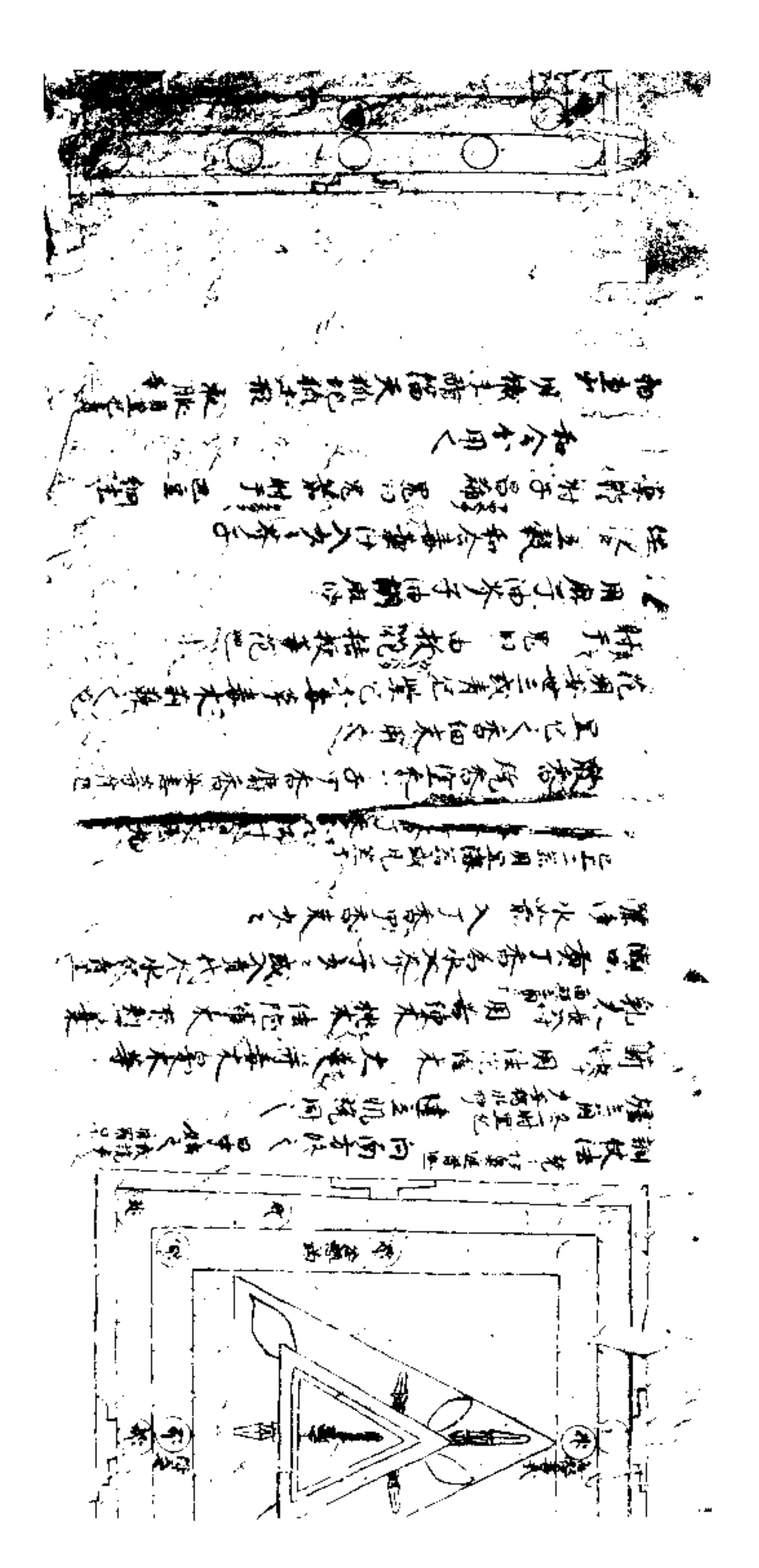


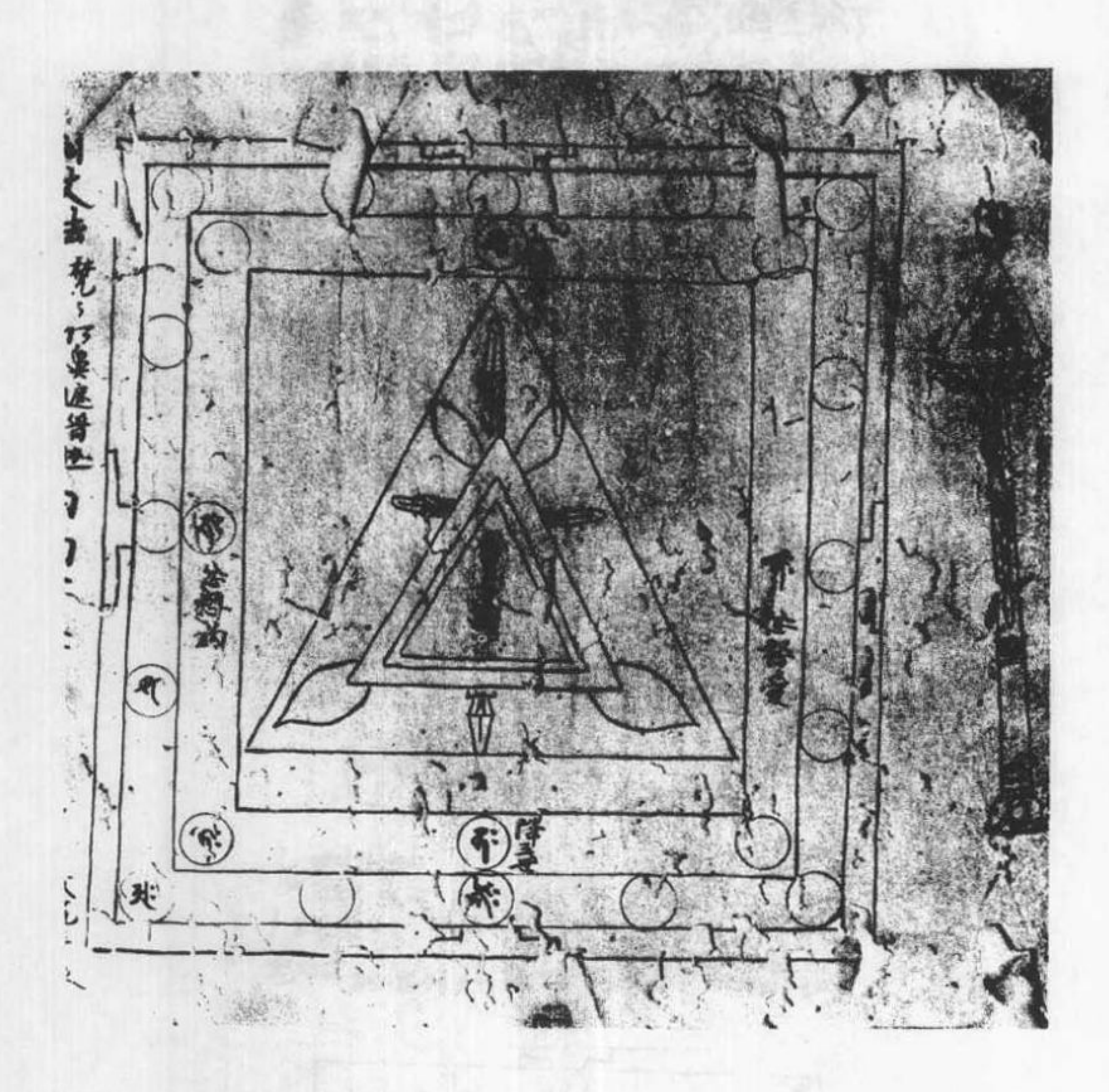




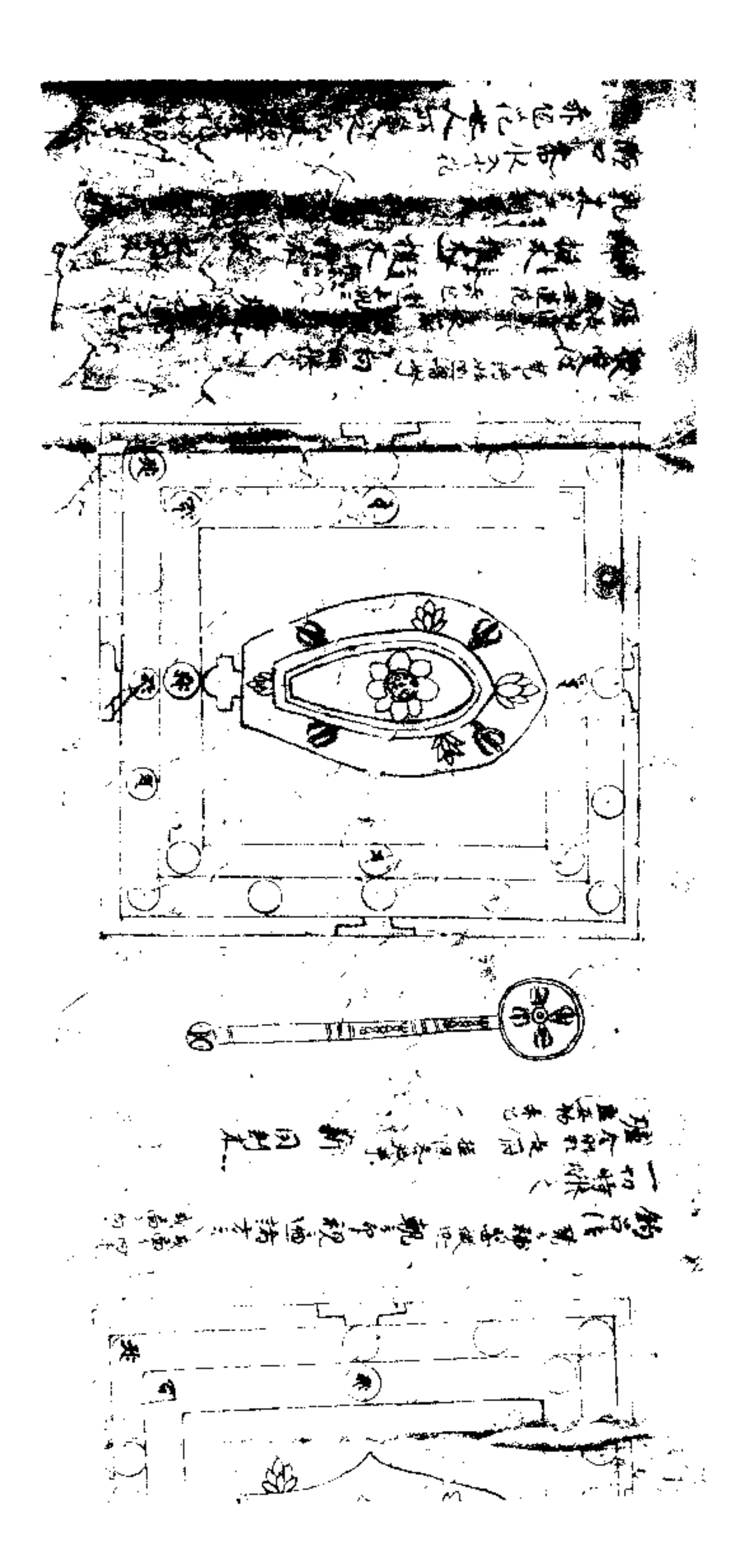


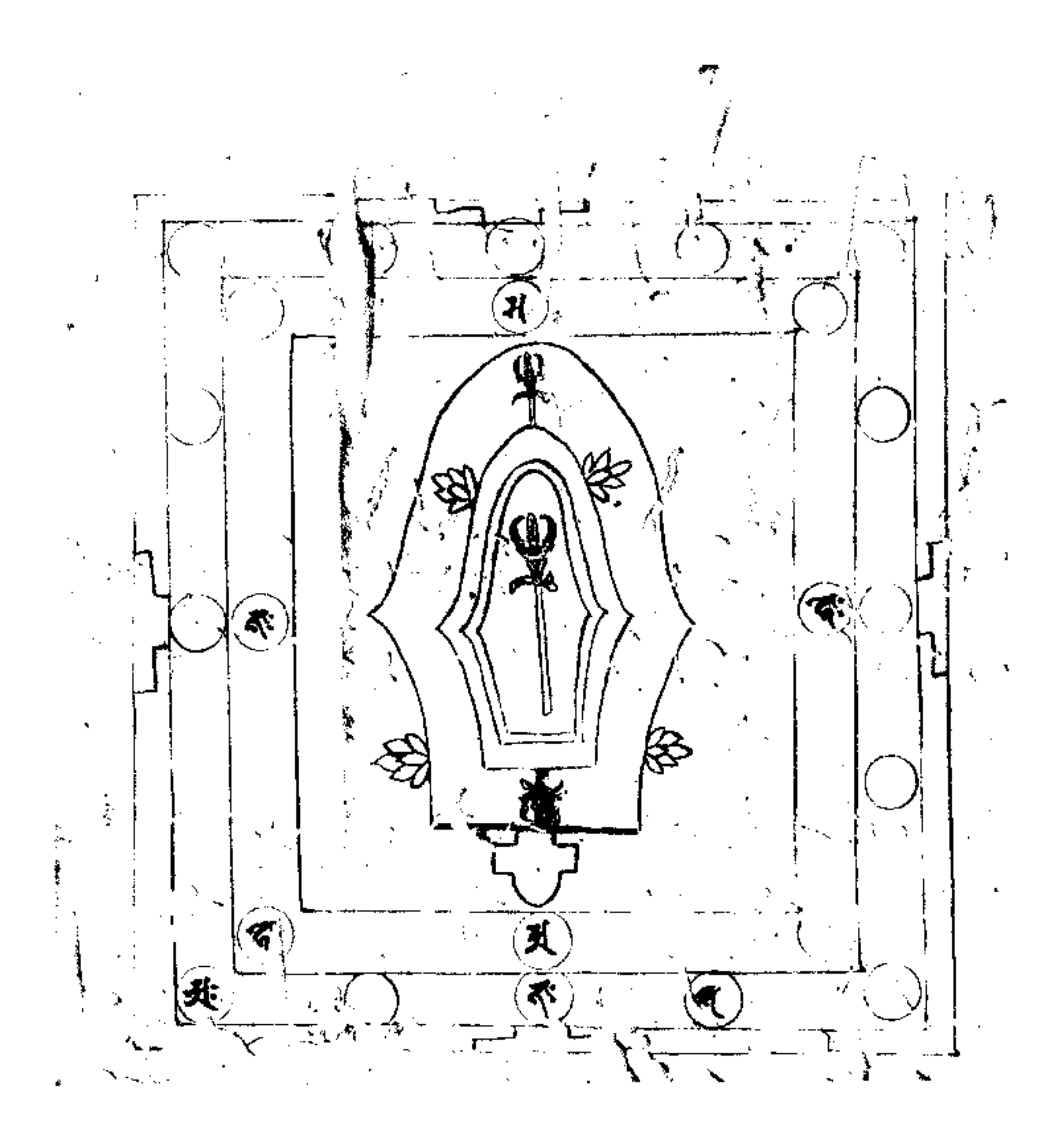
圖像 No. 2、 增　　　　益



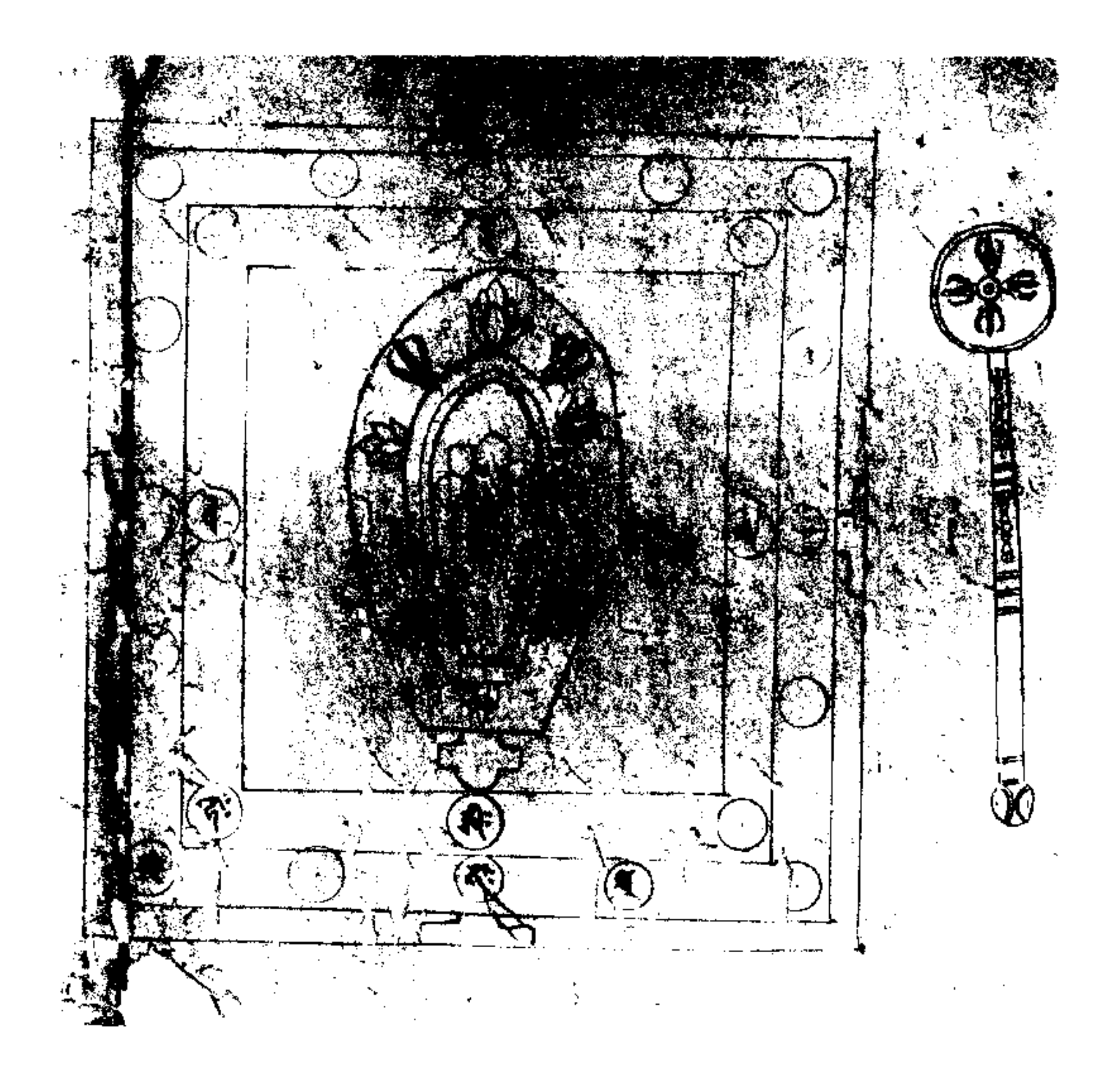


圖像 No.3. 調　　伏

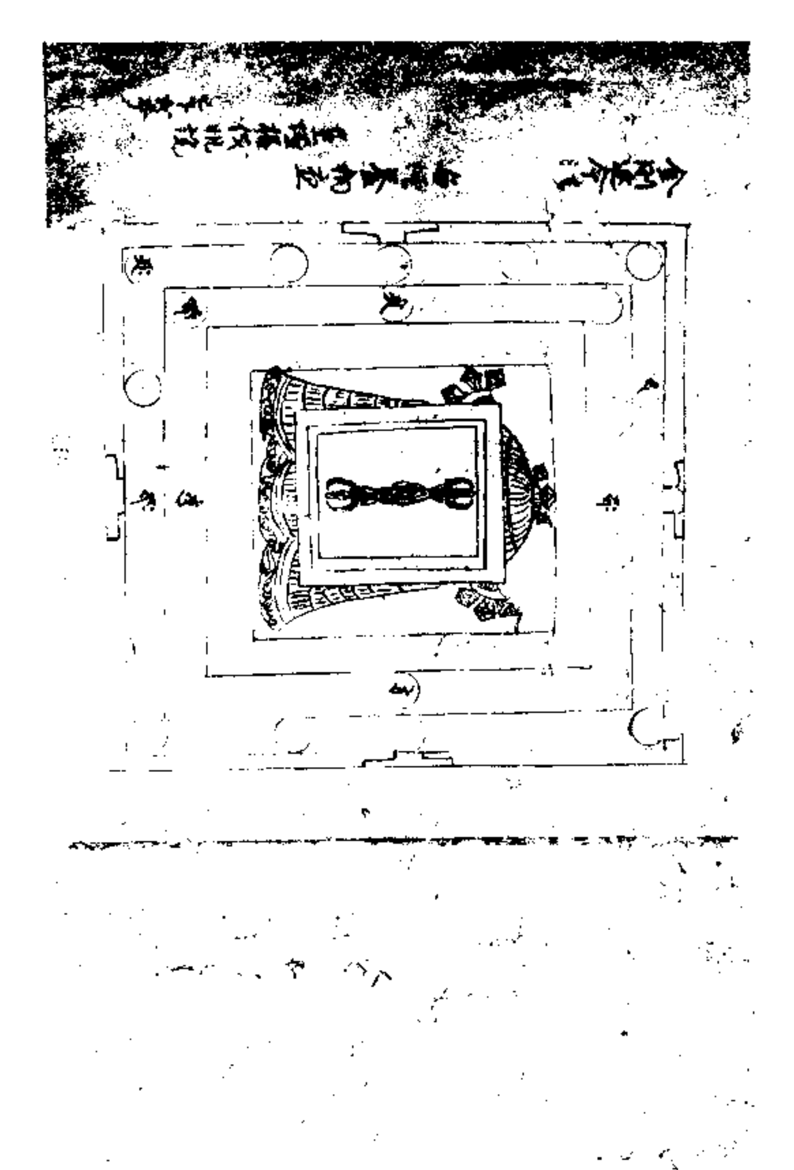


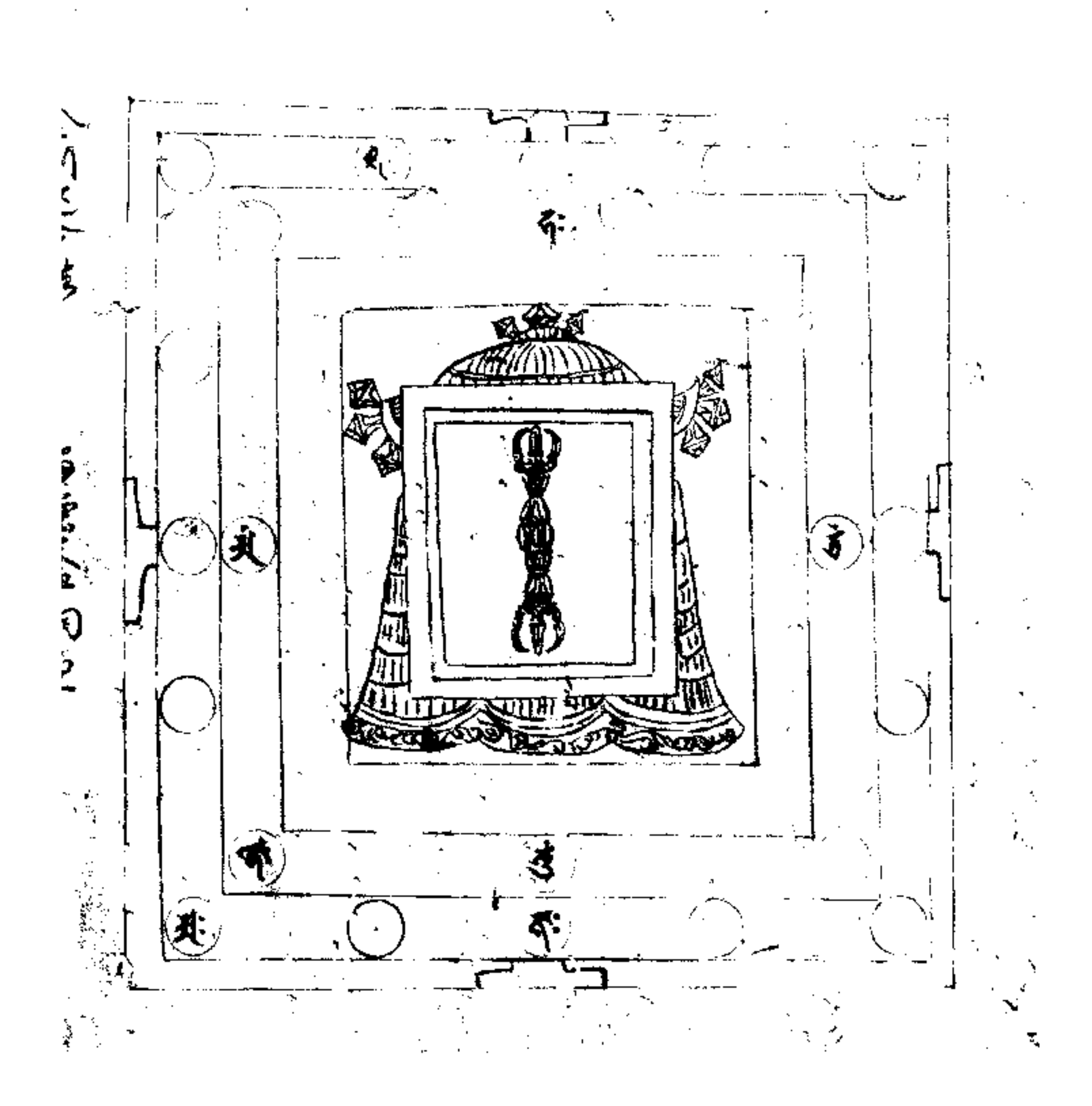


圖像 No. 4. 鈎　　召

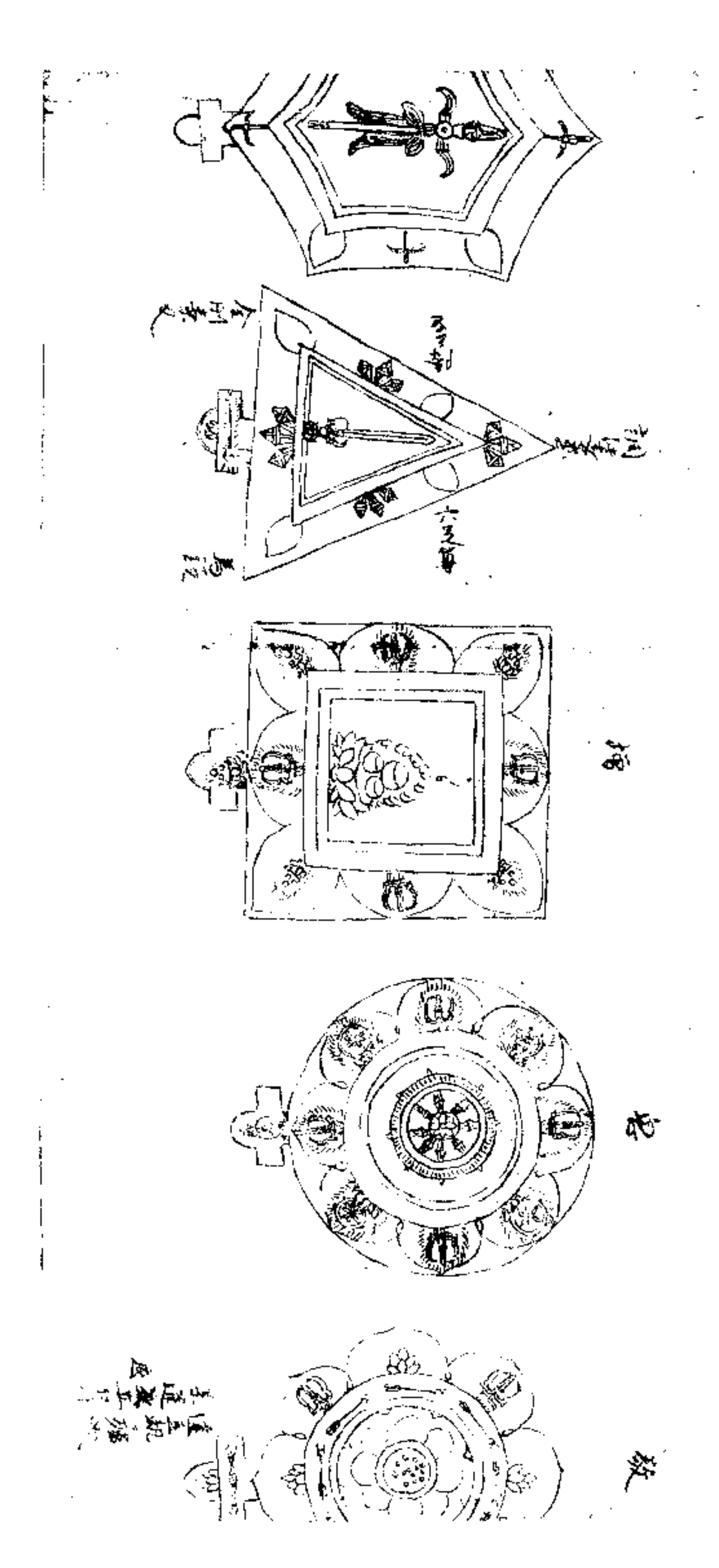


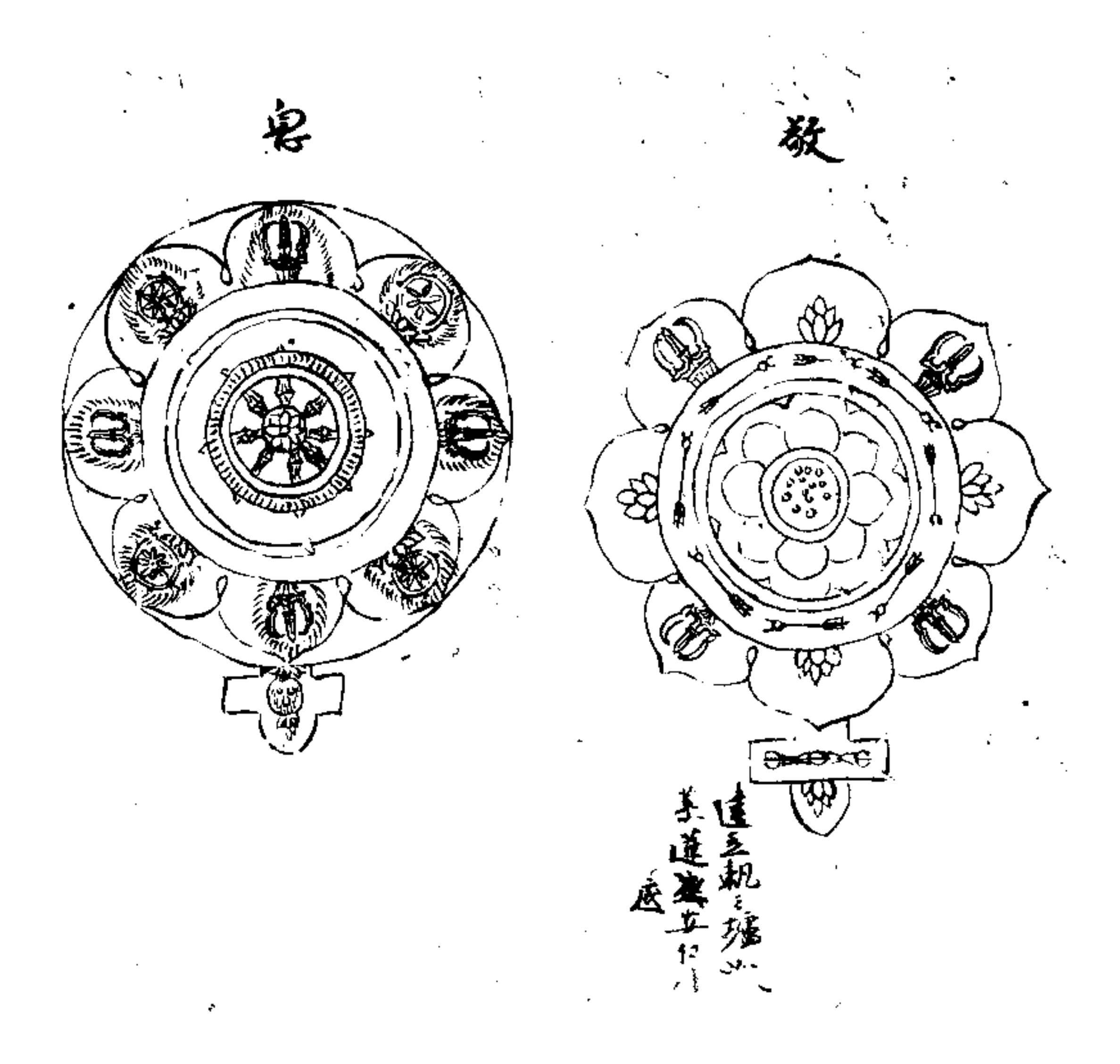
圖像 No. 10. 敬 愛



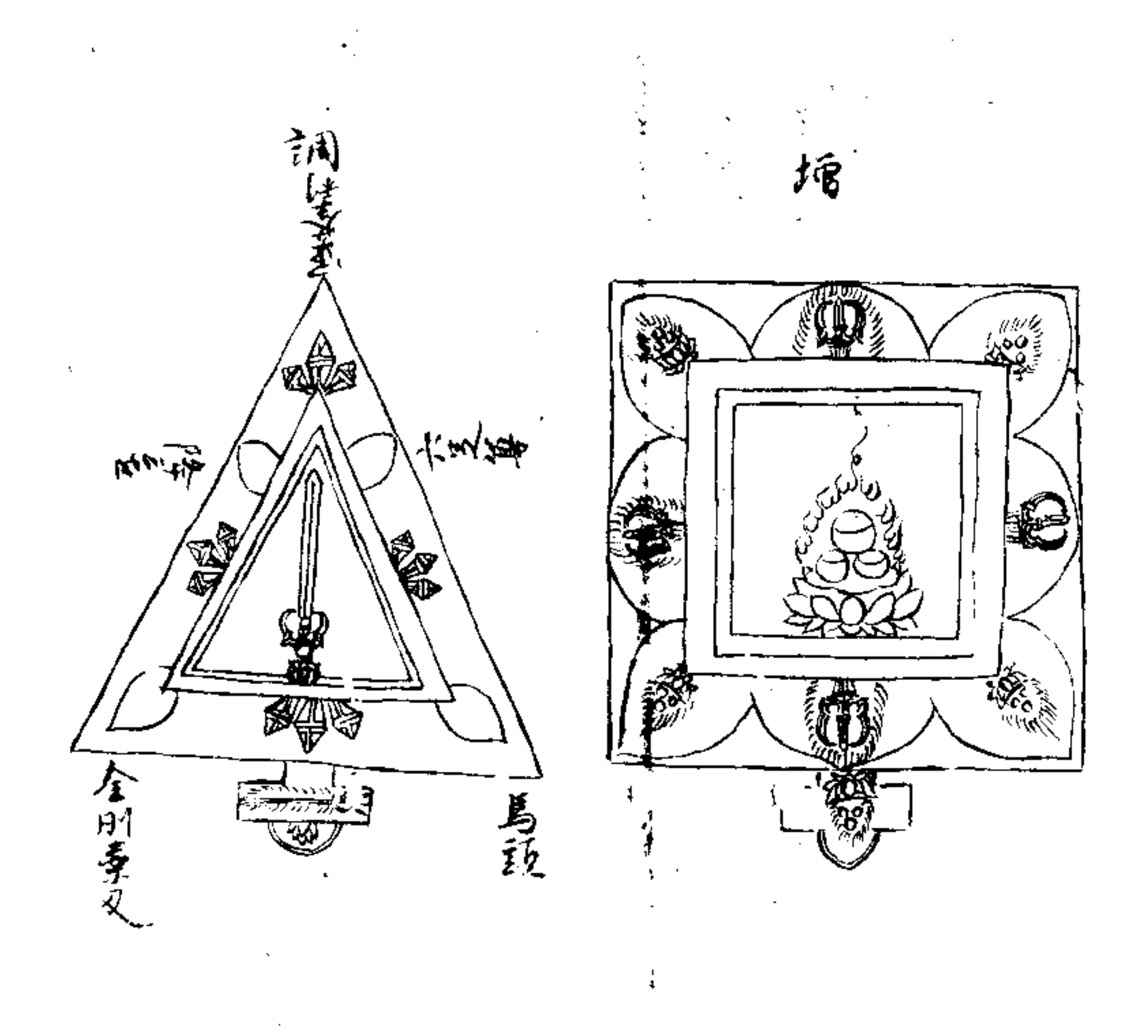


圖像 No. 6、 金 剛 延 命

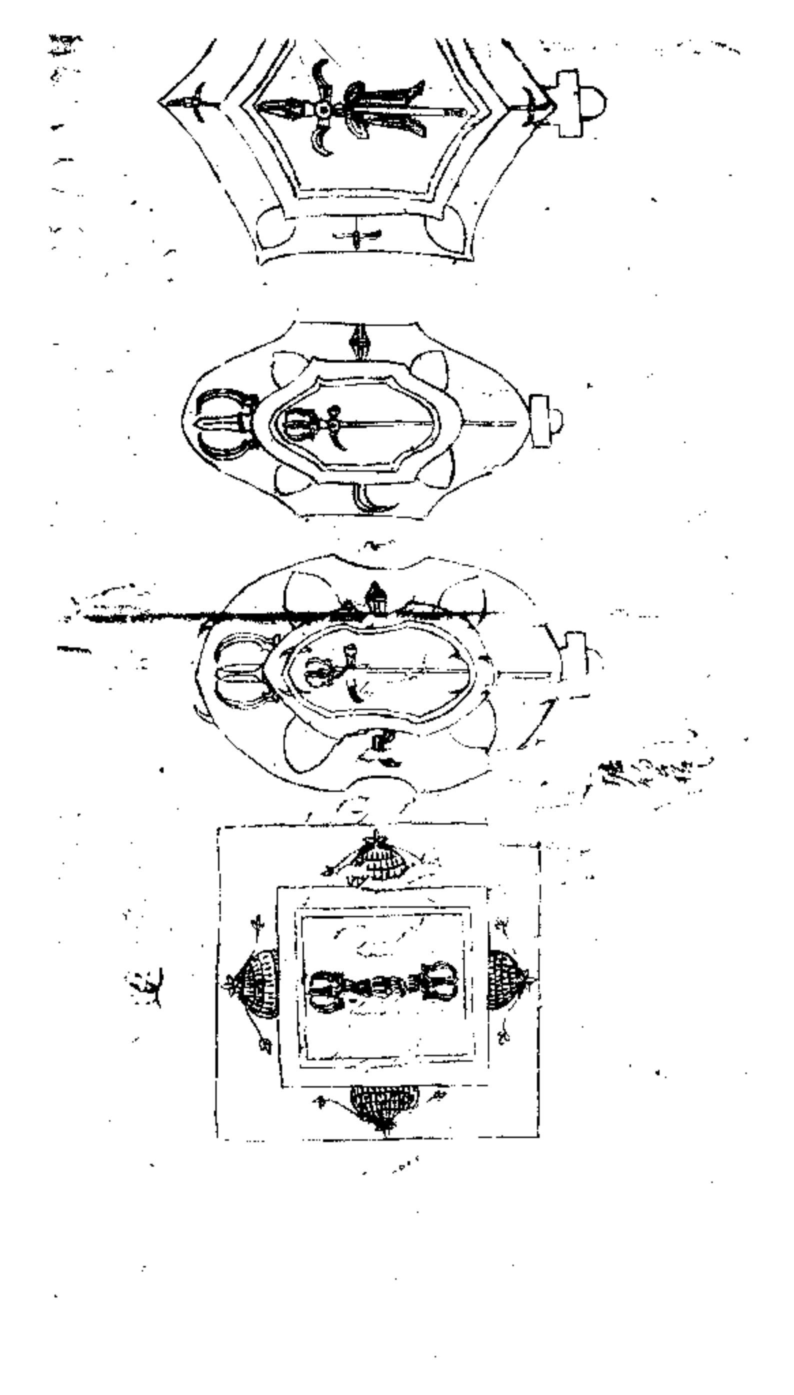


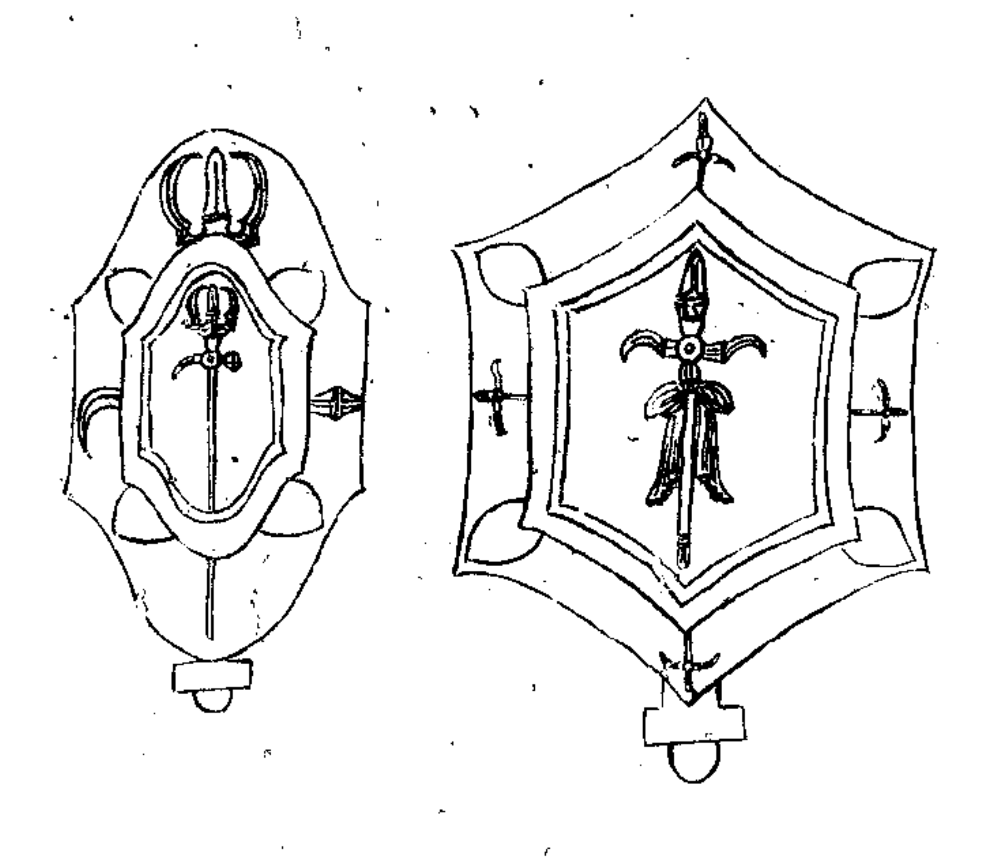


圖像No.7. 敬愛　圖像No.8. 息災

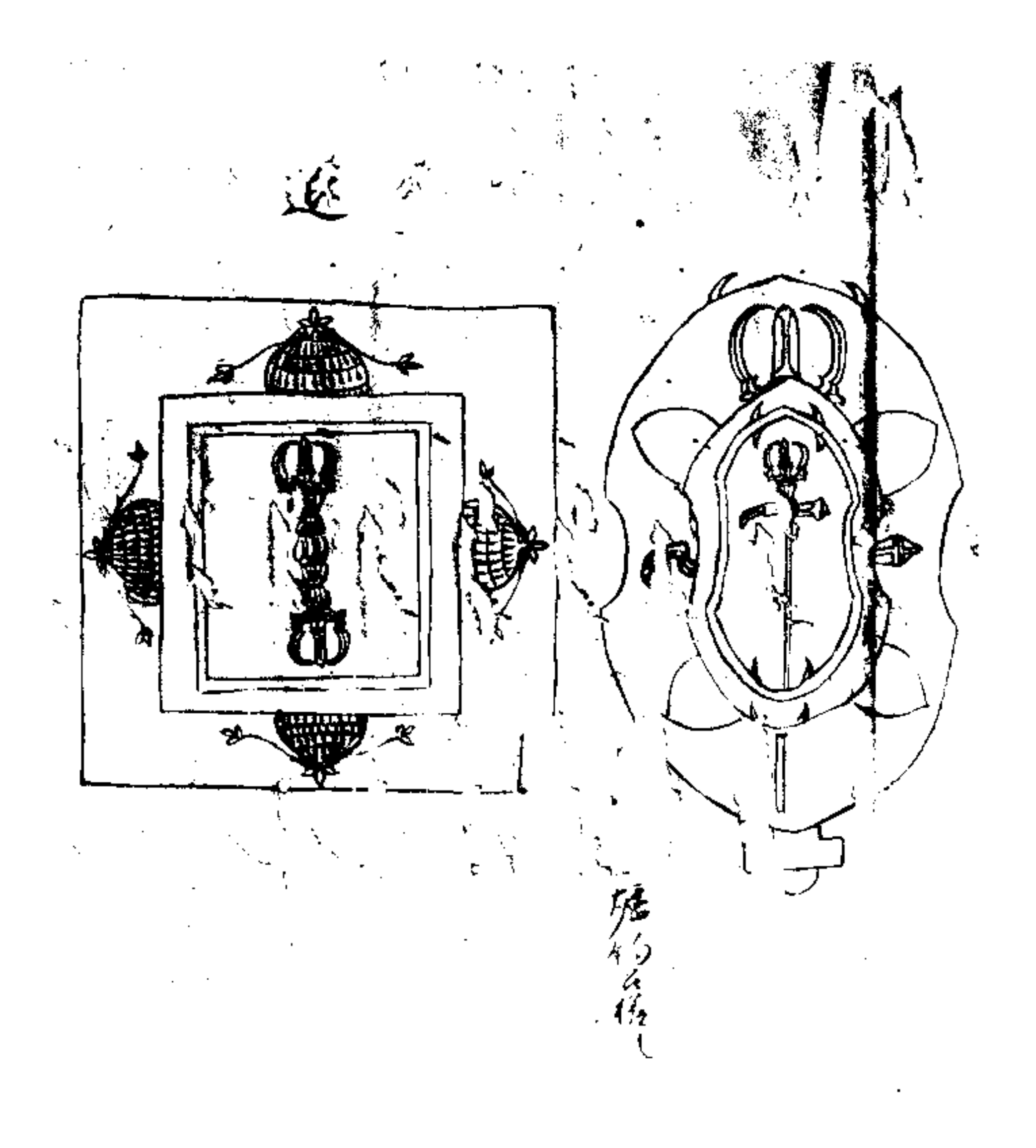


圖像 No. 9. 増益　圖像 No. 10. 調伏



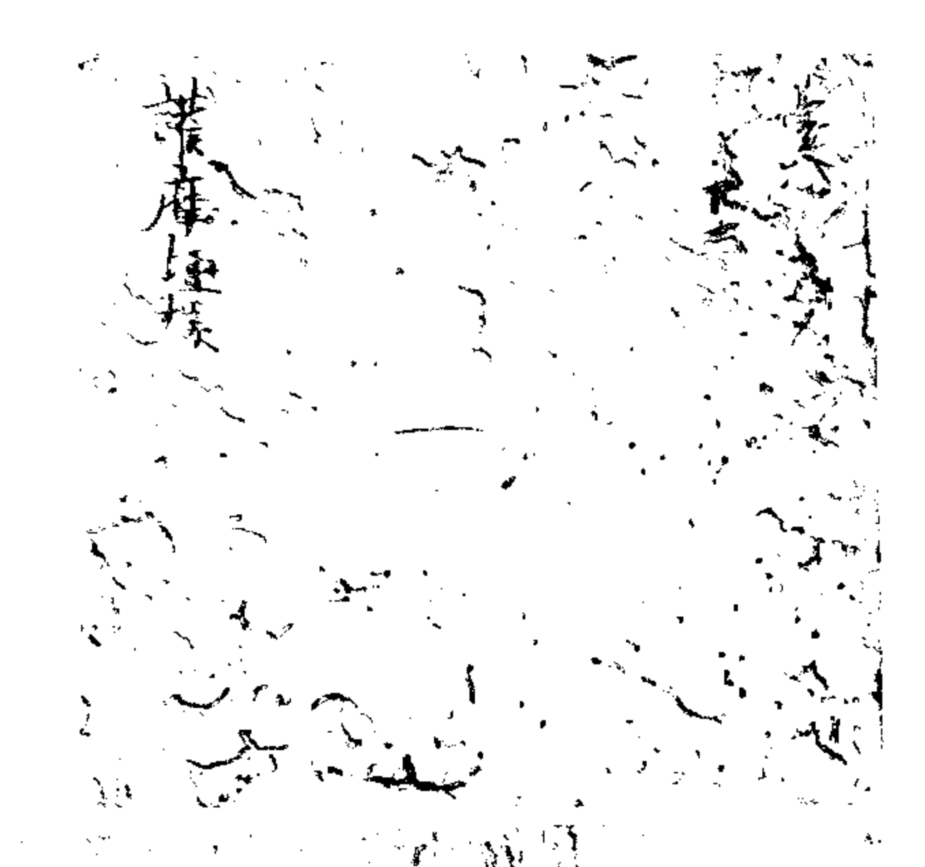


圖像 No. 11. 鈎召様軾（其一）　圖像 No. 12. 鈎召様軾（其二）



圖像 No. 13. 鉤召樣軌（其三）　圖像 No. 14. 延命

護摩壇樣



夫護摩有二種內[illegible]種內
竟以為根本所謂所應也息災敬
鬘是迦法是增益也　　鉤召敬愛也
阿毘遮嚕迦法是降伏也若欲作息災法者
面向北坐依西向則於本尊前澆灑
圓壇觀本尊作白色所獻飲
食并自身衣服皆白色塗香用白檀
燒香用沉水雜穢[illegible]以毒[illegible]

一日初夜時起首至月八日結願
三時沐浴三時換衣重日満時後
断飲食三日食如是修法念誦断
除除滅災難業障重罪頓止其後
遍身全苦時咸枯種種灾禍口舌
闘諍官遍迫家国不和疫病飢饉
悉於不称意皆滅復得吉祥身心
安穏所求無不得是故修行龍見吉

秋聚各種宇采焼燃花説花合
普賢菩薩共受所供諸仏菩薩之
擁護受天能鬼神之侍衛授与
如之計其数無浮之悲満已終未
是[illegible]字胸之色[illegible]字蓮花
種子其杖所散蓮花西方請人之
所散金色其業八葉故爐之八葉
調伏向南方之主是陽気燃熾

先焼物残智火之臨熘枝燃燃之
稍林稿折被熱炎入之物燃壊爐色
纔里是燃煙之也即字火焰之之
秋三等故爐之三角伏出去之摩金
滅去同之答熾也不縁其爐之満金
四種爐壇大意粗其耳
次奇儀
息災和里之五壇増益

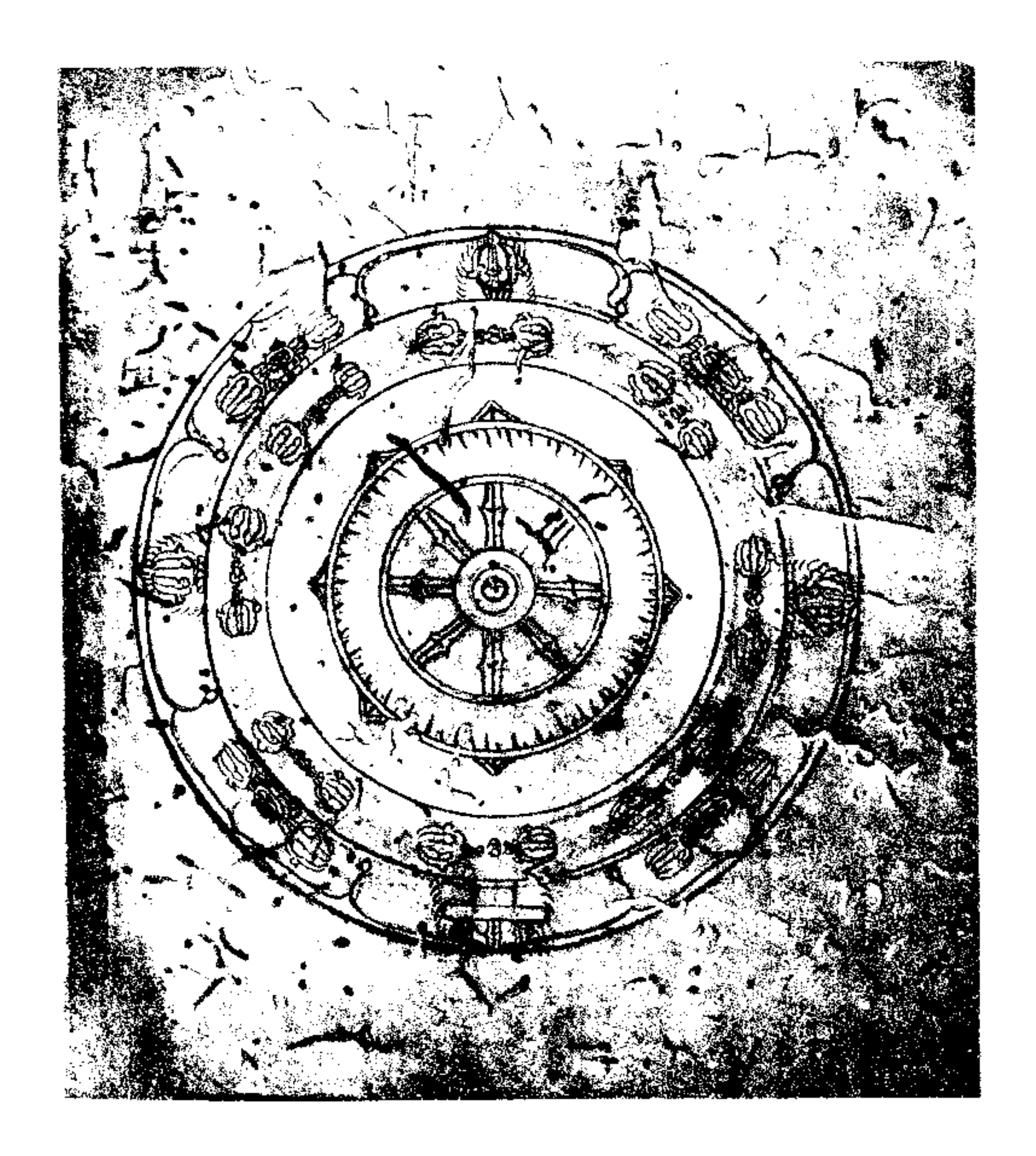
蓮花剣小心亦言散業刷馬頭
衛言調伏内縛之古真言但权里
王真言遍獨點南加持香水
之也
次入道場其人念誦音之作法
次對壇前立礼　次着座普礼
次三卧三摩耶戒印等
次執香爐誦年事身言加持香水灑

灑壇上供物稼油及粗魔諸物重
内四方水如可入香、遍灑之、義
云清浄之義、水有清浄之義
之遍灑之義、武水女入香始從向
北灑一切衆生之冥現香浄百六
十四戒論之始但加肉、又云冥
言若有入遍之
次結〔　〕同上捨油物

息災石壇

普賢真言依普賢延命菩薩王
而作真言事善延花普一云歌耶
次秘密真言爲弃事入金剛部中
一云真言本尊爲本尊之
難勝忍婆母、云
善、普、惟本尊本尊言
歌耶乞哩陀門王真言句
奄阿〔　〕婆嚩伏羊未乞波耶

對像ヘ [illegible] 息 災 壇 圖



圖像No. 2. 息災壇圖（文様）

一軍荼利明王真言

一香阿菓遅虚中律乞

一五香 龍脳 藿香 鬱金 薫陸 安息

一五薬 赤箭 人参 茯苓 石菖蒲 天門冬

一五宝 黄金 白銀 瑠璃 真珠 頗梨

一五穀 大麦 小麦 小豆 胡麻

一五色 青 黄 赤 白 黒

一五種 又本 香精根 甘草

一蘭 葉畫 杷

一加持物 胡麻 乳木 長木 梧

嫩甘木 同前木 梅桐

共穀漆木 天台 天茅 楊木

乳木 枝木 楊柳 榆檀木

榆 達陀 藍木 檀

佛乗 木 園首木 檽 木蘭

一檽萃 代用物王

鳥芻 長木達

次觀想 佳沙 帝細 法身

觀不違 耳是

諸法随縁起 如来説是因

彼法縁生故 如来所説

悦諾 是達摩駄都

証観本我他識観智

満足實壽尊

一鉢摩訶菩提 摩

已上飲食法了

若作増益者 面向東 面向

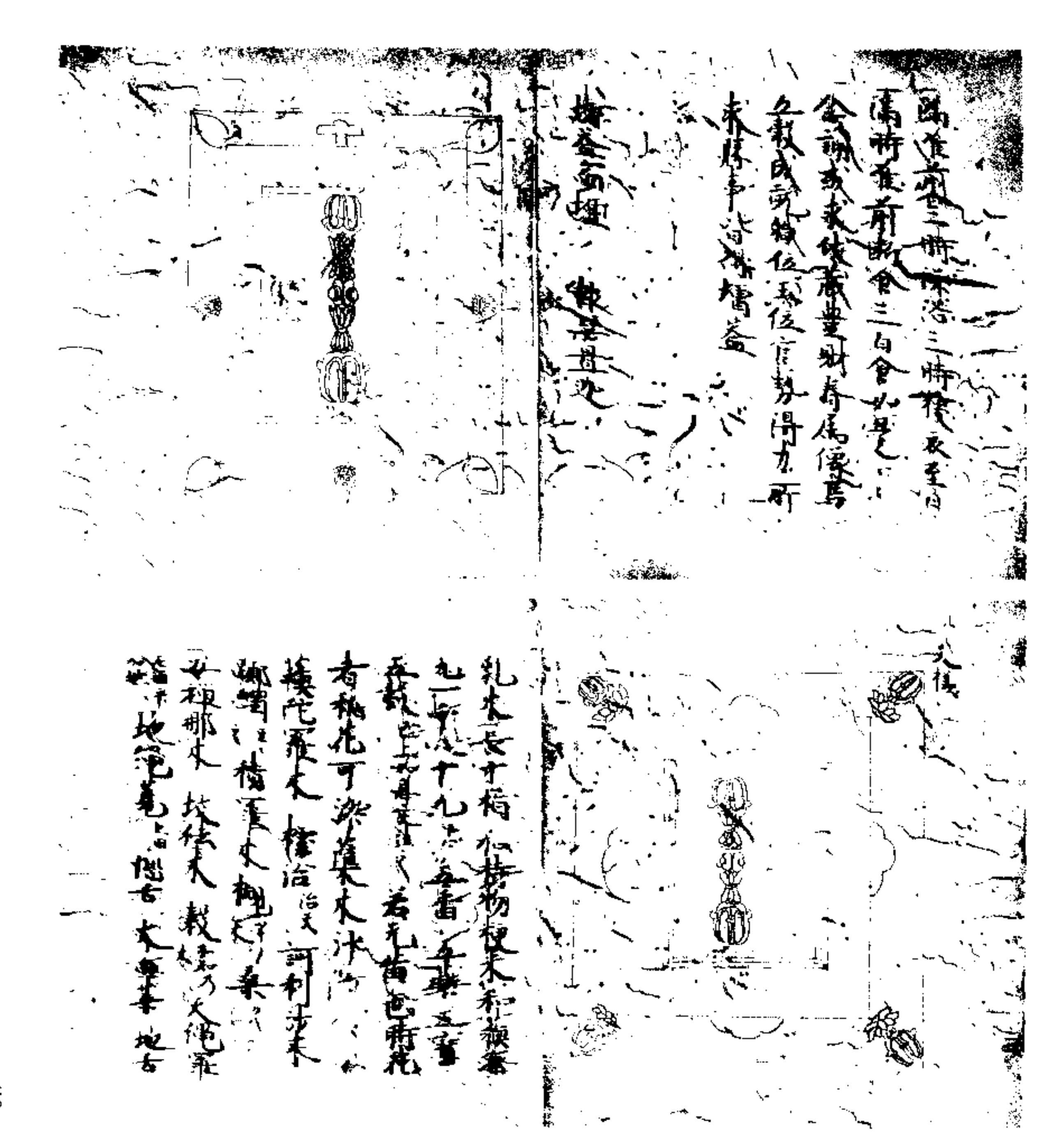
東 尊前 本尊

様 色所献花果飲食并身衣

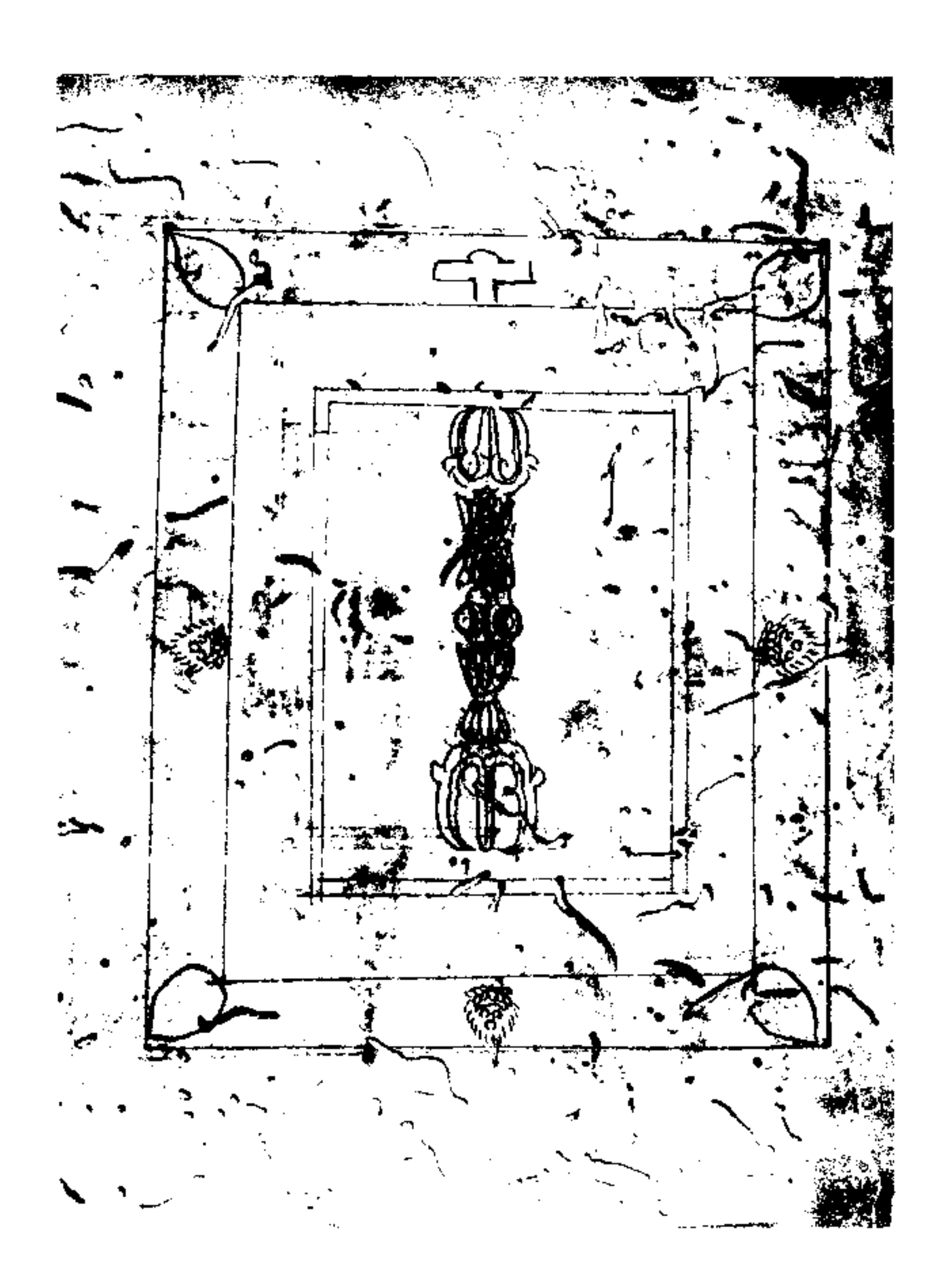
像 黄色

金蔵白檀香 燈油 心相応

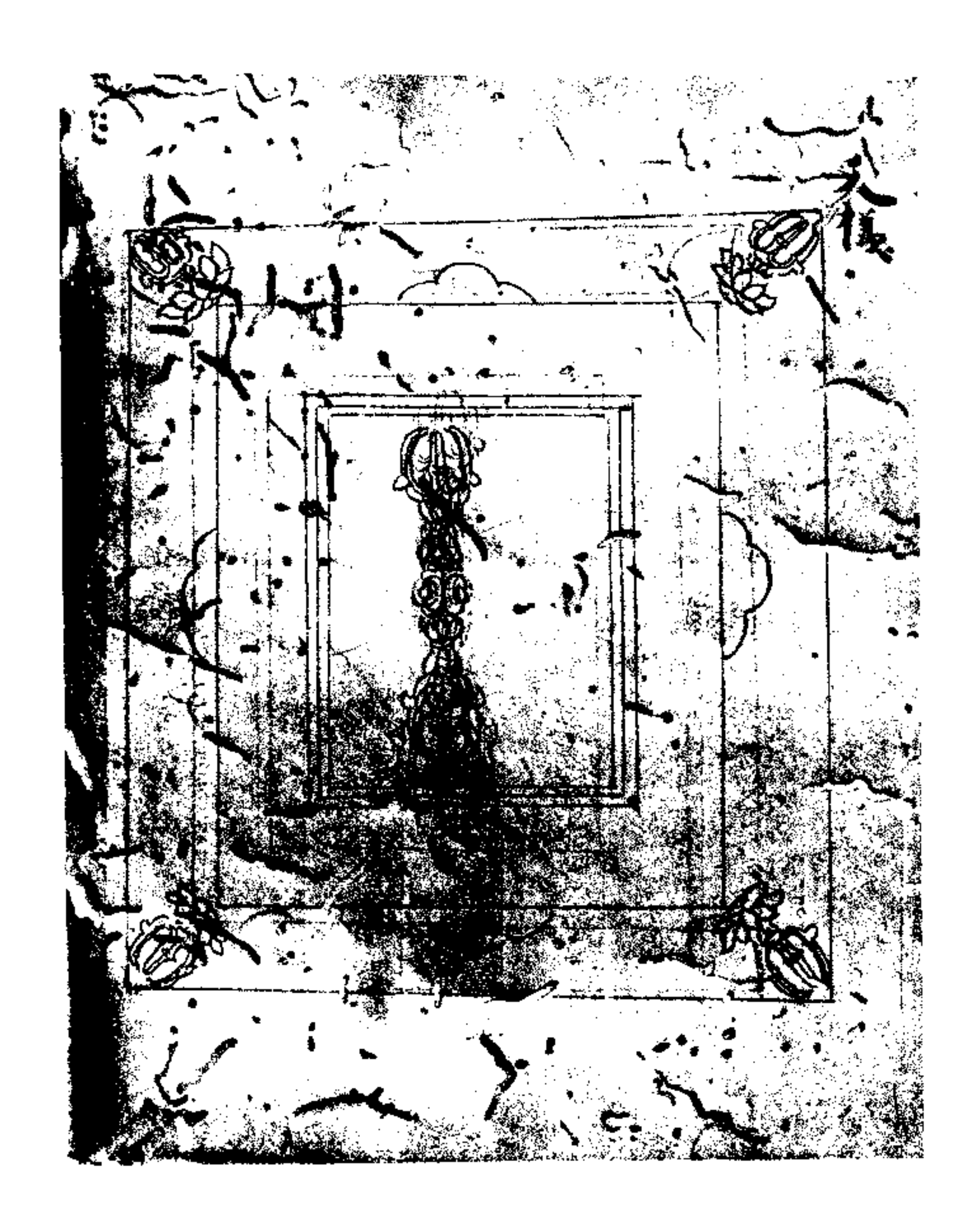
從 至 十五日二日


臨食前三時後三時後 取至白
肅時食前後食三白食如是之
念誦或求使蔵豊財寿属僚等
久穀成就位転位官勢得力所
求隨事皆悉増益
増益面西 敷吉祥草

乳木長十指 [illegible]木 和[illegible]
九一百八十九 [illegible]
[illegible]若[illegible]
有稲花可[illegible]木[illegible]
[illegible]木 [illegible]治 訶[illegible]木
[illegible]木 [illegible]丈[illegible]
[illegible]丈 [illegible]木 [illegible]
[illegible]地[illegible] [illegible] 地[illegible]



圖版No.3. 增益壇圖



圖像 No.4. 增益壇圖（又様）

谷葉ノ藏薩ノ[illegible]骨樓草

白膠木 松栢

若欲敬愛法者面向西坐像面向東

奉華前塗蓮花形爐觀本尊

作赤色者難衣所獻花等飲食等

赤色味色淨香用[illegible]香

合香焼之除諸草油[illegible]

[illegible]心閉目[illegible]十[illegible]後[illegible]

百二[illegible]滿至日滿時[illegible]斷食

彼前以之念誦時一切人敬愛若家

中和合[illegible]相

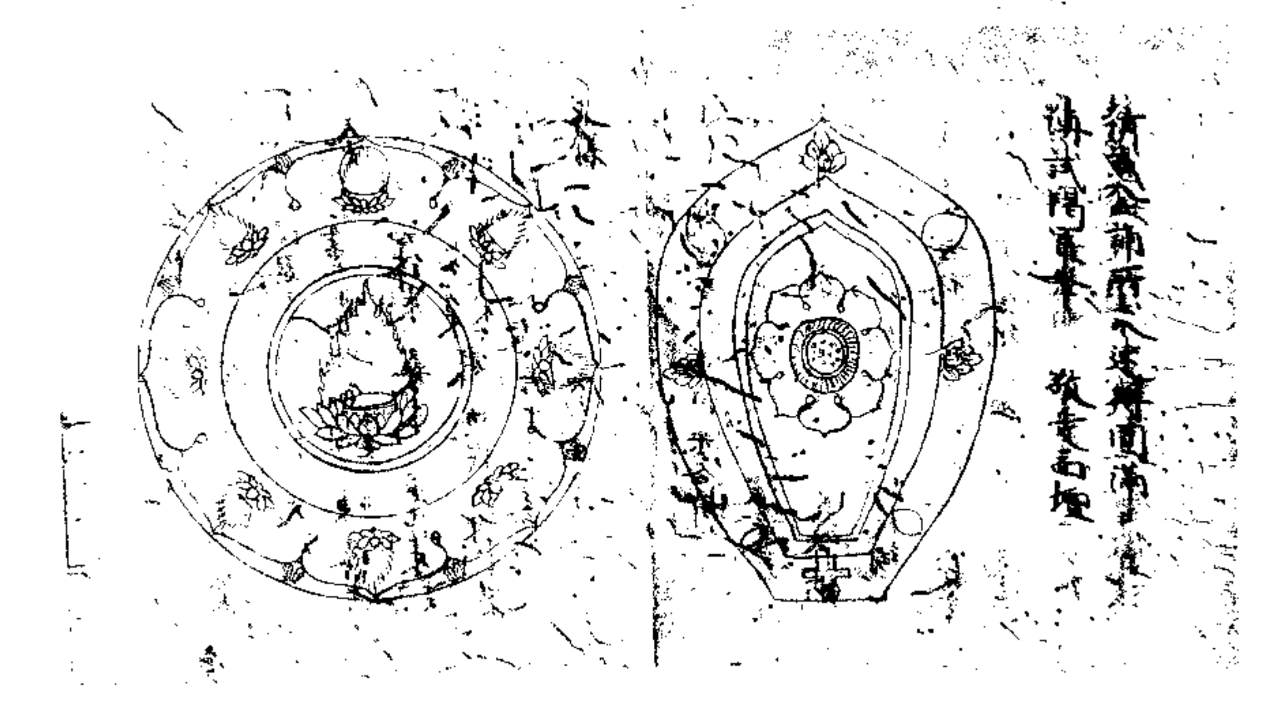
夫和順者父母朋友[illegible]

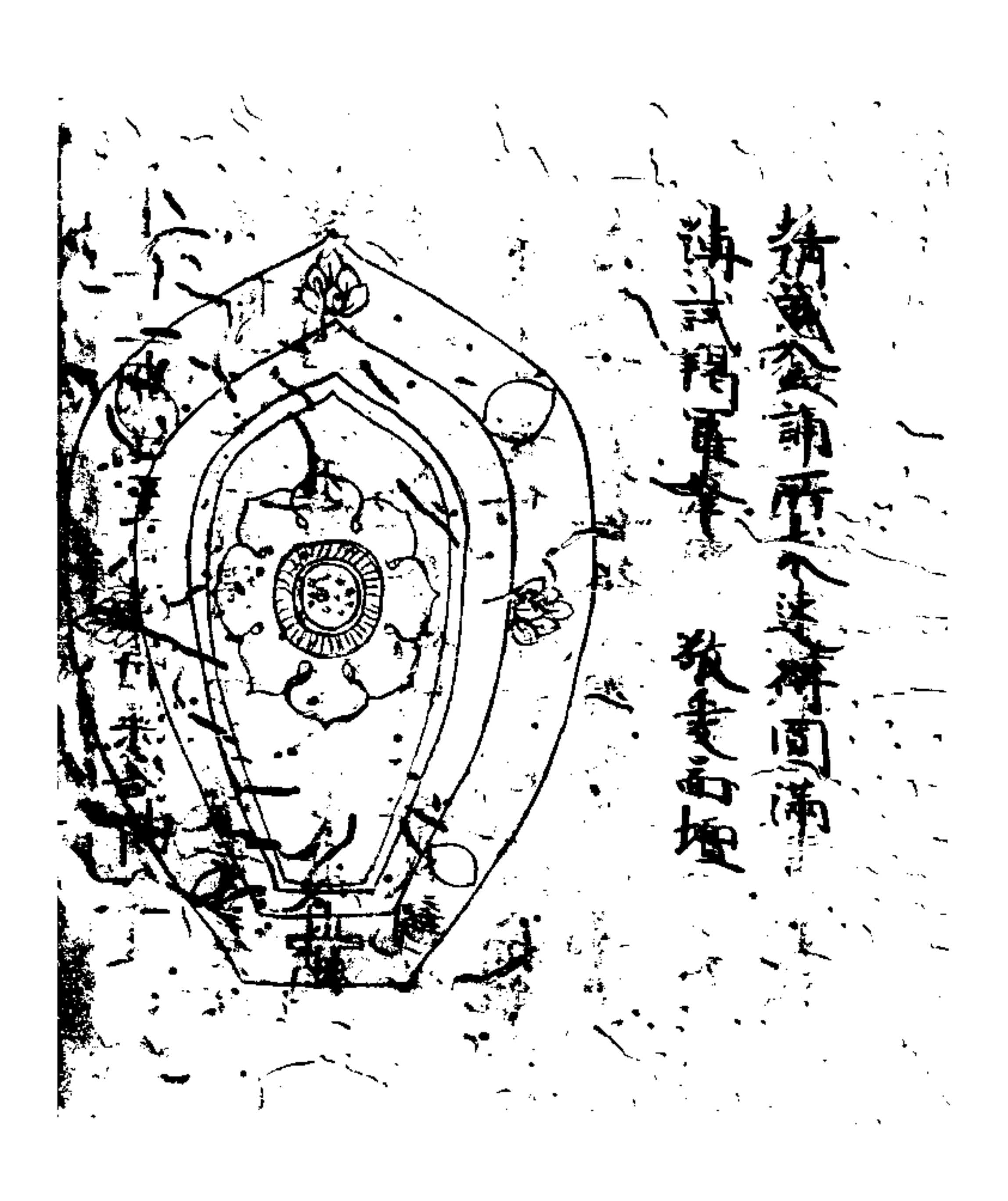
來事官長得[illegible]顏色息愛相

若誦此法求得和順又欲求[illegible]

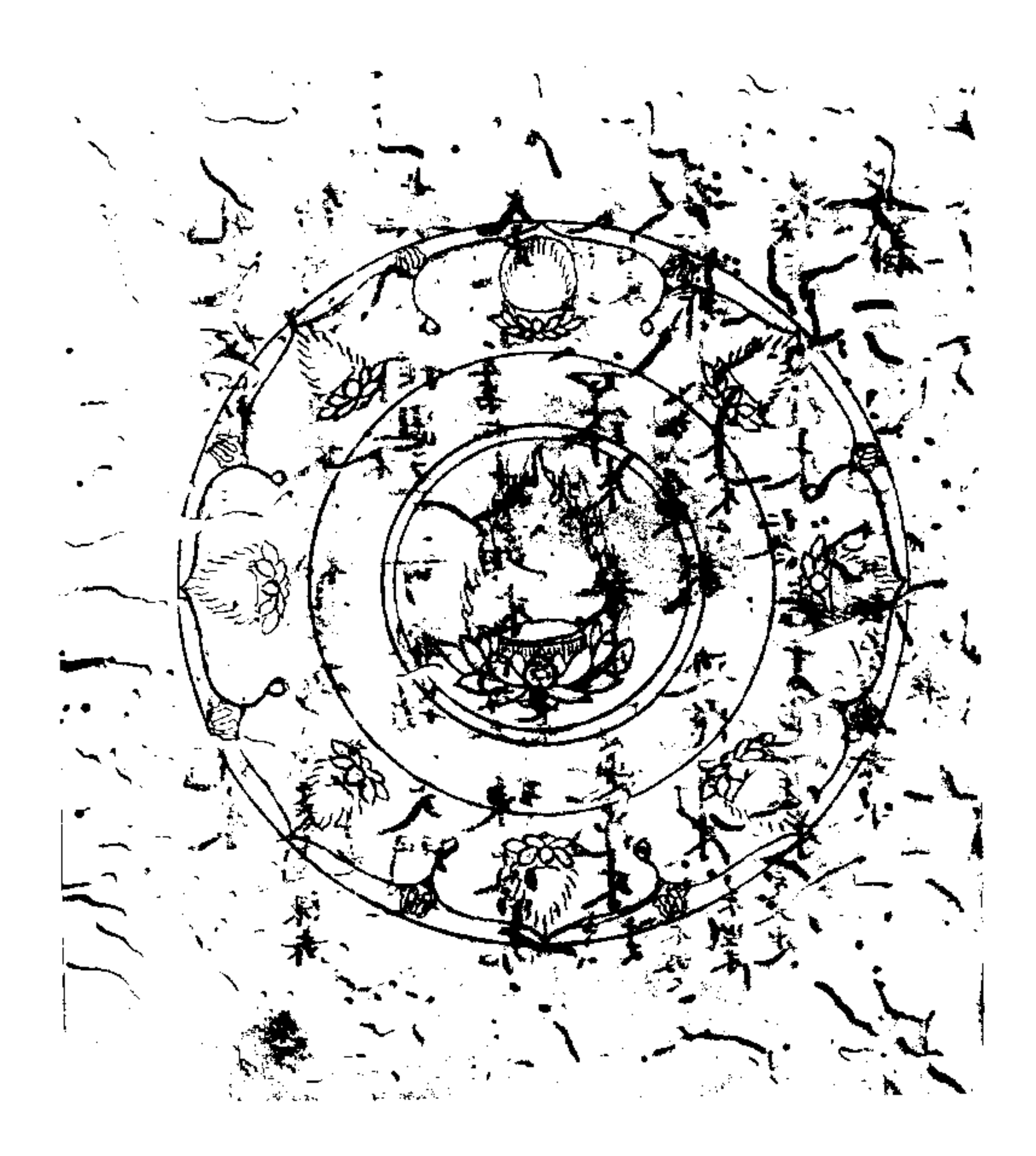
衆中言音威肅聞者喜悦聖賢加

護天龍八部一切歡喜皆當依法





圖像No. 5. 敬愛壇圖



圖像 No. 6. 敬愛壇圖（又樣）

一 乳木〈安器指 或稱〉薪用花木

加持物　白芥子粉和末砂〈或末胡麻 加持子也〉

一 藥種　桐黒子〈木〉、可梨勒、天門冬

天木香〈善加〉、沈香木〈白檀木〉〈香桂木〉、肉桂、沈香少

木〈波比万〉〈白豆〉、安息香、桑木、蓮花木〈青木〉

丹禅那木〈加加乃木〉〈枯木〉、栽 迦陀羅木〈呵梨勒〉〈香木〉

穀類　那花木〈仁多〉、若干陀羅木〈香速〉

穀類〈粳米〉[illegible]

白芥子[illegible]涂肉之白膠香香取粳乳

香也　上散業

右作降伏法者面向南坐緣面向北

本尊前三角爐觀本尊作青色

一 或黒色身着青黒衣獻青色花果

不香花又毘茶羅花等飯食用石

榴沙蓮花黒色或株青色塗香稍

[illegible]佛[illegible]先種荼[illegible]亦芥子[illegible]

塗香名車[illegible]量開於中[illegible]花半善香

燒芥子油燈又悉甚也相應馬而明

王每言或速花示使者一語無每

言從此日十時或中夜時起皆量

日滿日一期滿之日深而斷念法后

前又之念誦降調伏惡悉眾生及

請惡龍[illegible]國[illegible]三雷[illegible]

一 傷損五穀疾病行業[illegible]調伏惡人七國

不忠[illegible]無量有情破滅佛法誹毀正

法[illegible]闡提犯謗悉人[illegible]即斷善

者及謗言佛法者[illegible]師傳

又父母不念恩復侄復難者及諸惡

一 或其根師弟惡欲惡人欲相損言者

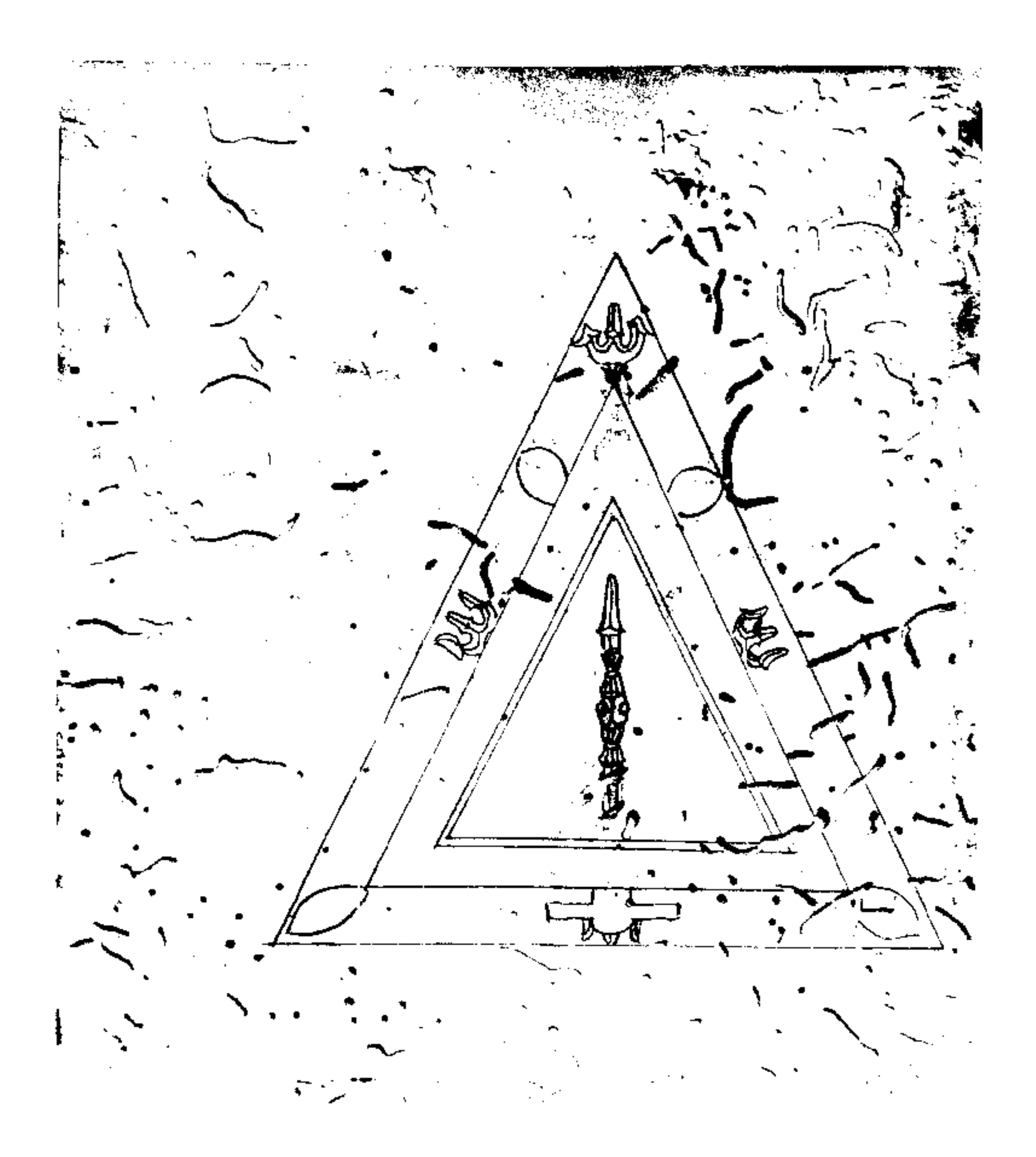
如是等作此法時有起惡心者若有

慢心[illegible]不必或病或至命將勵

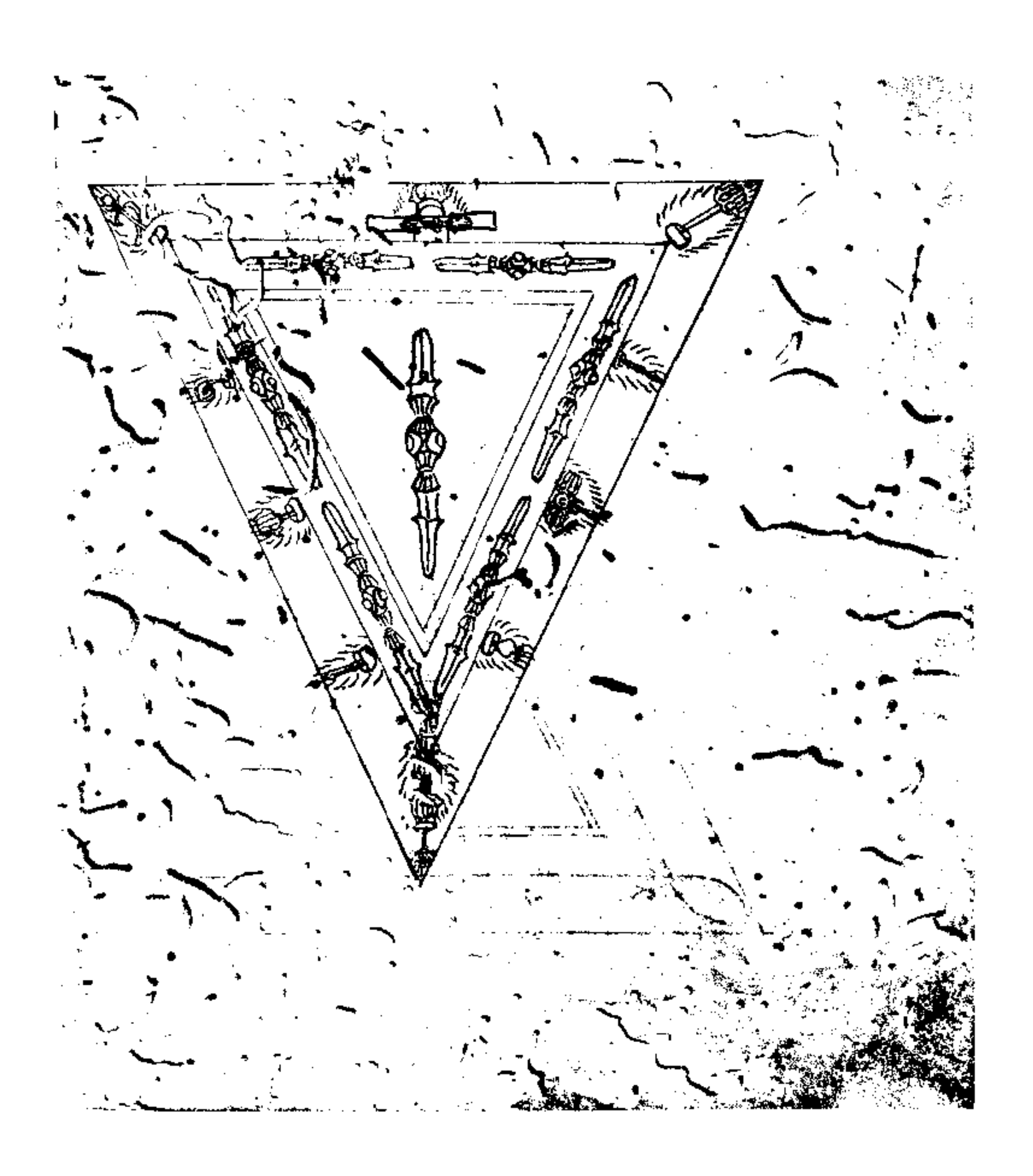
[illegible]八葉蓮華上有[illegible]
[illegible]字[illegible]變成[illegible]
[illegible]

[illegible]

乳木[illegible]
[illegible]
[illegible]
凡通用者[illegible]乳木[illegible]新
苦練木 楝木[illegible]梧桐子[illegible]
[illegible]木[illegible]
木[illegible]桓仙木[illegible]桃木[illegible]槐[illegible]
[illegible]木 木[illegible]伏[illegible]苦木[illegible]



圖像 No. 7. 降伏壇圖



圖像 No.8. 降伏壇圖（又様）

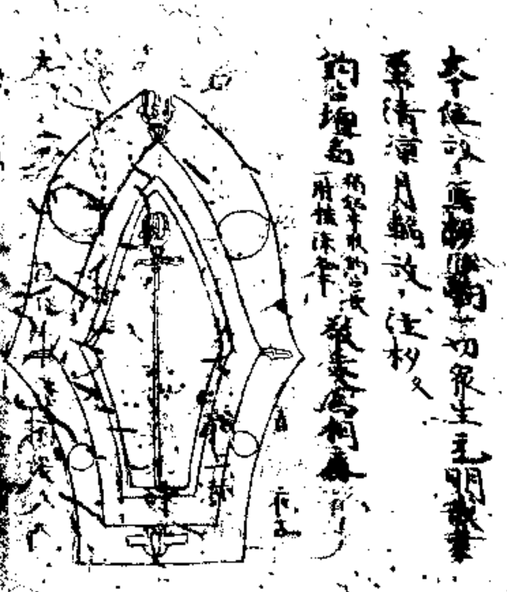
撥遮羅木 楓木 松葉 柴石木 蔓根
金剛石木 龍脳 乾布丸 栗粉丸
千丈葉 好馬尾 乳柿 落子根
芭蕉草 甲宿 鐵末 塩酪
尾陀林灰 百福丸 髑髏
已上降伏
此外護摩有三種
息災増益敬愛調伏也各向本方
行之息災北方 増益南方 百木百草
皆拍子 息災三處 増益三藁之
敬愛者柳 也
白是無字水輪 也水輪圓形
爐之圓也 潤生義 種子 也
益向東方 春 水解山野
生萌開花結菓稱如意寶 種取
佛說 乘爐 黄色 地輪

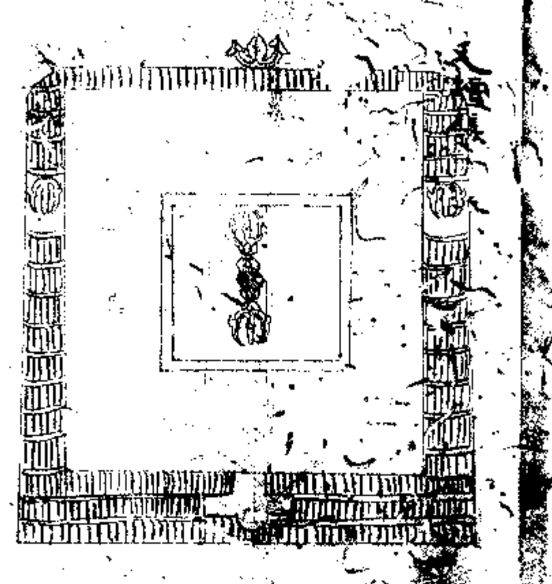
也地 西方 爐 方也 加 爐
如被 時方物壞 敬愛 西方
主殊 大 寶 藥 開花 花
食 敬 秋 諸佛菩薩
愛 天龍鬼神 侍衛也
敬愛 字 蓮華 種子 蓮葉
爐 方 主
母 陽 大 之 猛
物 相 物
爐 也 三
三 爐 隨 下
者 門 敬不 緣
已上 觀在 記之
五種 所有不生 義
息災 稱 之 爐 會
斷伏 是降伏 本

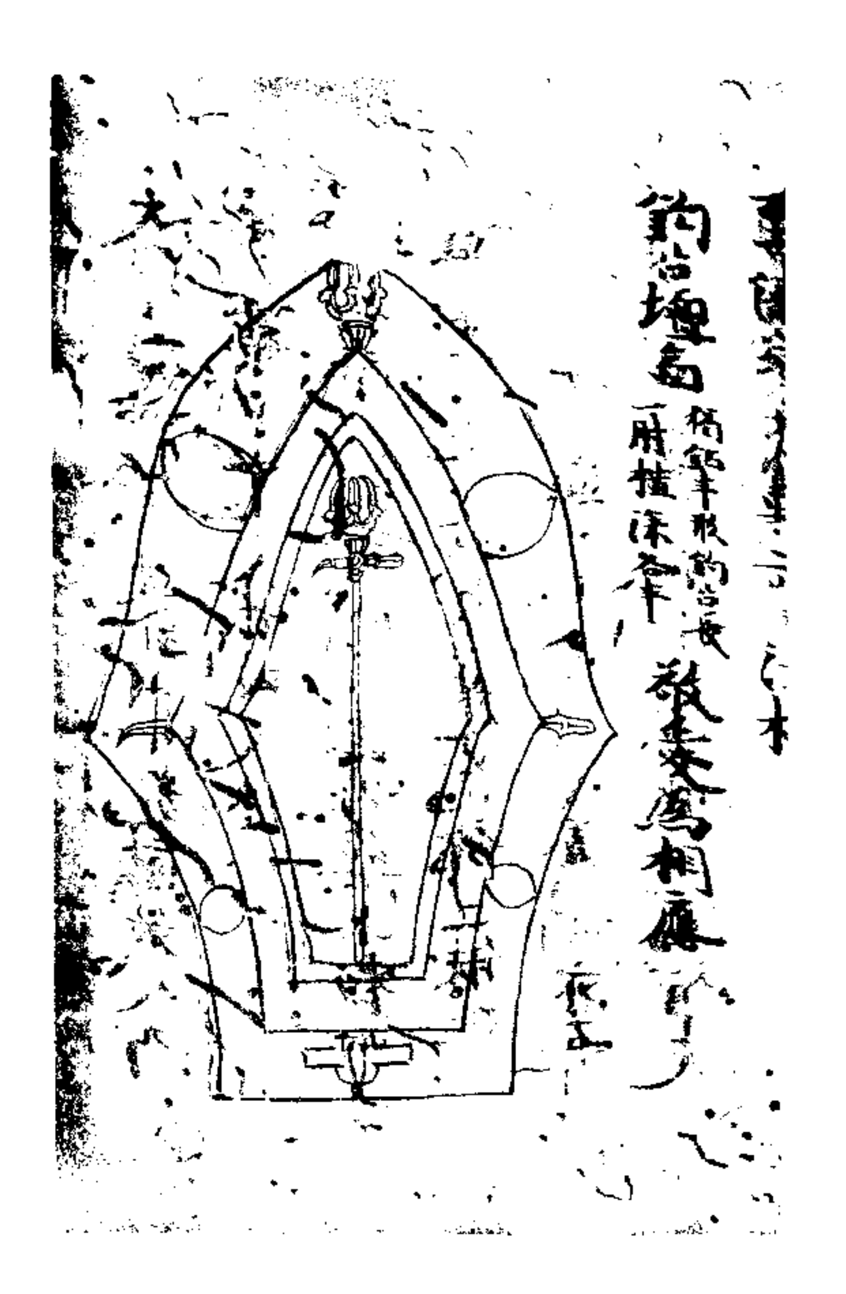
光明[illegible]本[illegible]是殺靈之義[illegible]
六道ニ集光明又大海遍鉤召ノ義也
又大小杉式ニ杉為杉式ノ説ニ大杉
如吉祥草相續形似柘榴子也中三
右是金剛部[illegible]杖下[illegible]体[illegible]甘露
[illegible]花刹為一千事[illegible]
[illegible]大杉十[illegible]所[illegible]甘露
[illegible]

又經[illegible]
要[illegible]明十又能[illegible]
謂[illegible]杉[illegible]諸物[illegible]成甘露妙藥[illegible]杉[illegible]
皆入[illegible]蓮花形見蓮花部三昧耶
形中以有蓮華不染之義[illegible]亦不
清淨之義也私[illegible]小杉説為有[illegible]
杉所詮為理也
有又[illegible]取歸[illegible]業并[illegible]菩提[illegible]

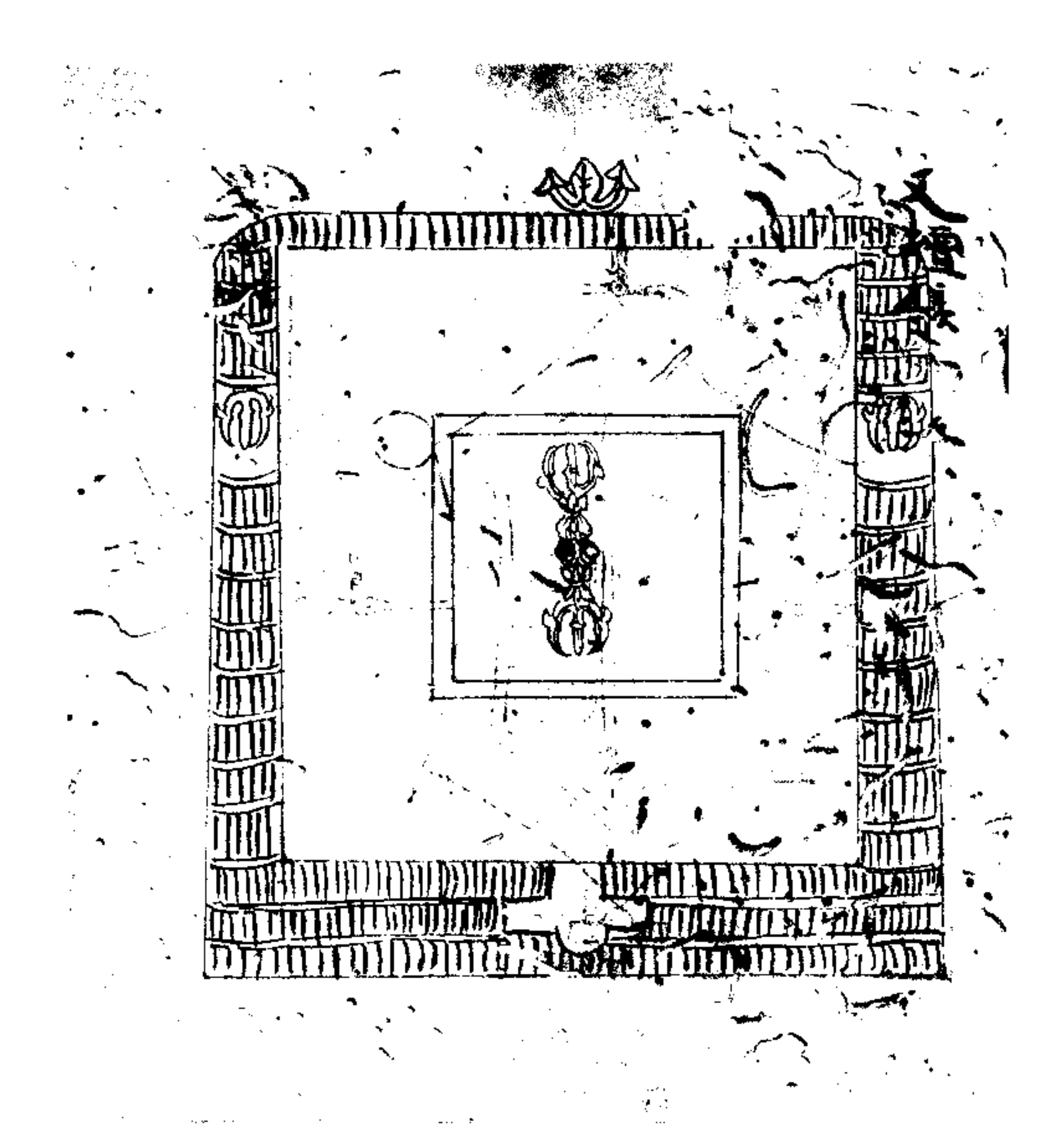
本[illegible]一切衆生光明[illegible]
要清涼月輪故。注杉ノ
鉤召壇為[illegible]



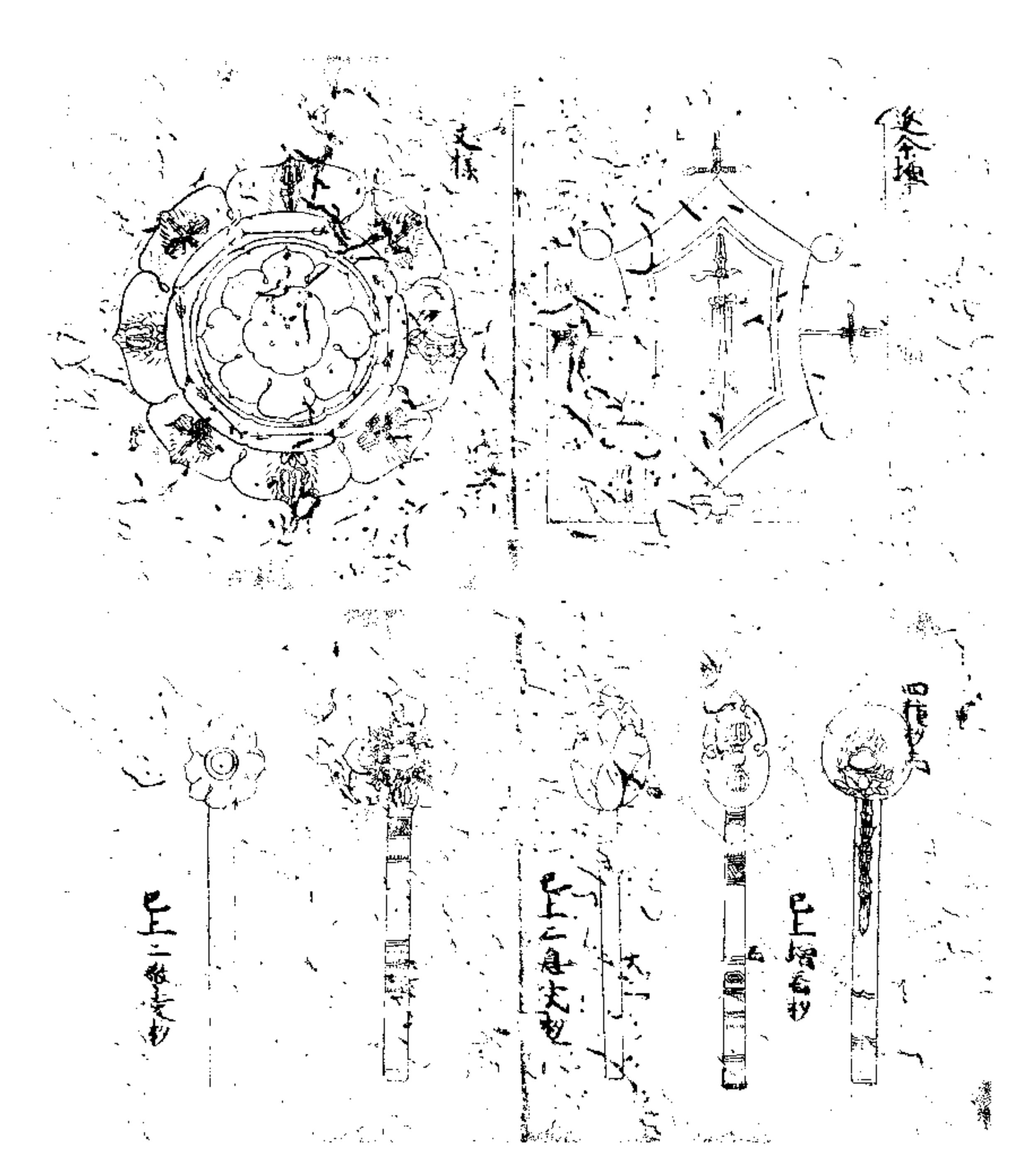


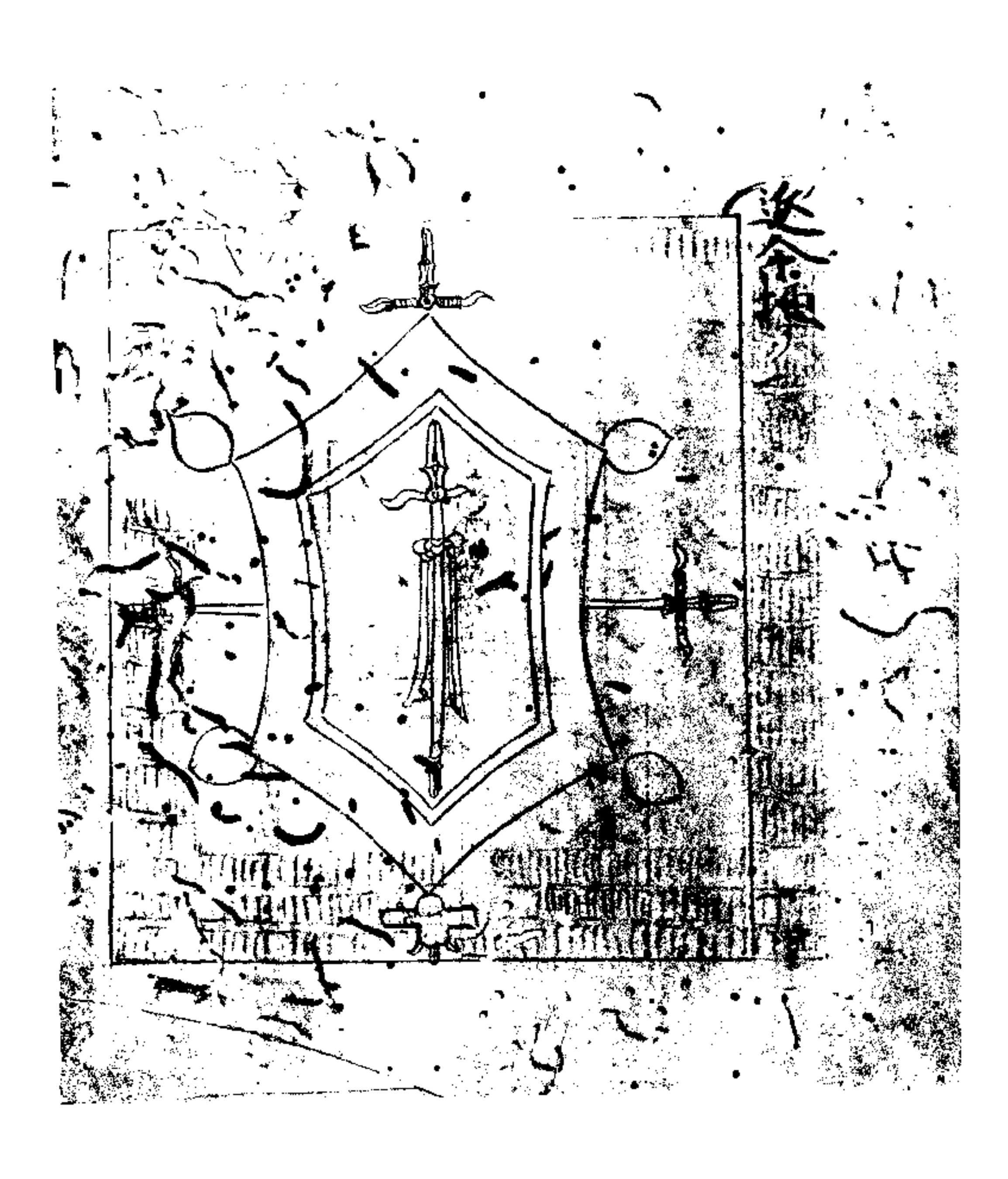


圖像 No. 9. 鈎召壇圖

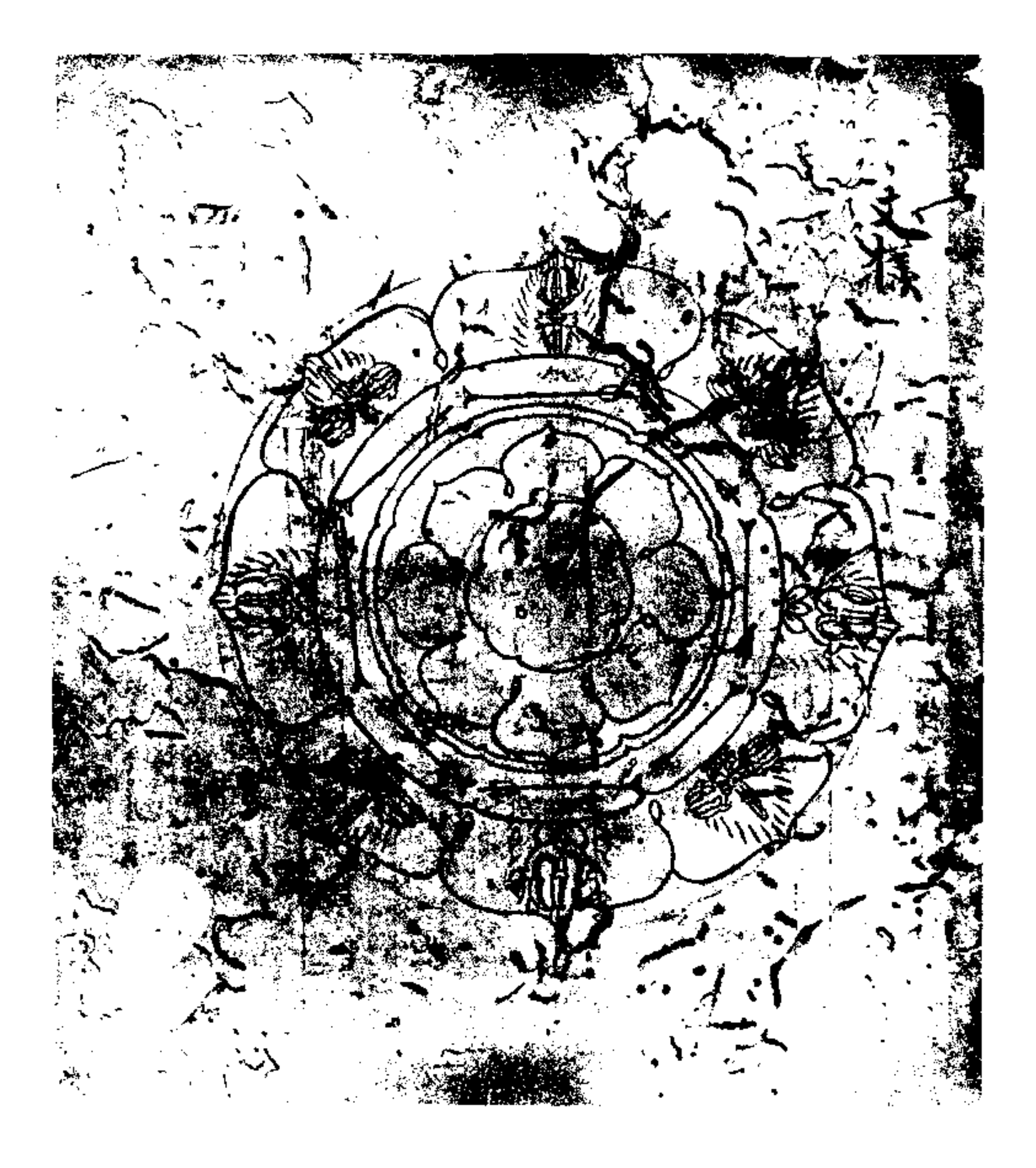


圖像 No.10. 鈎召壇圖（又様）

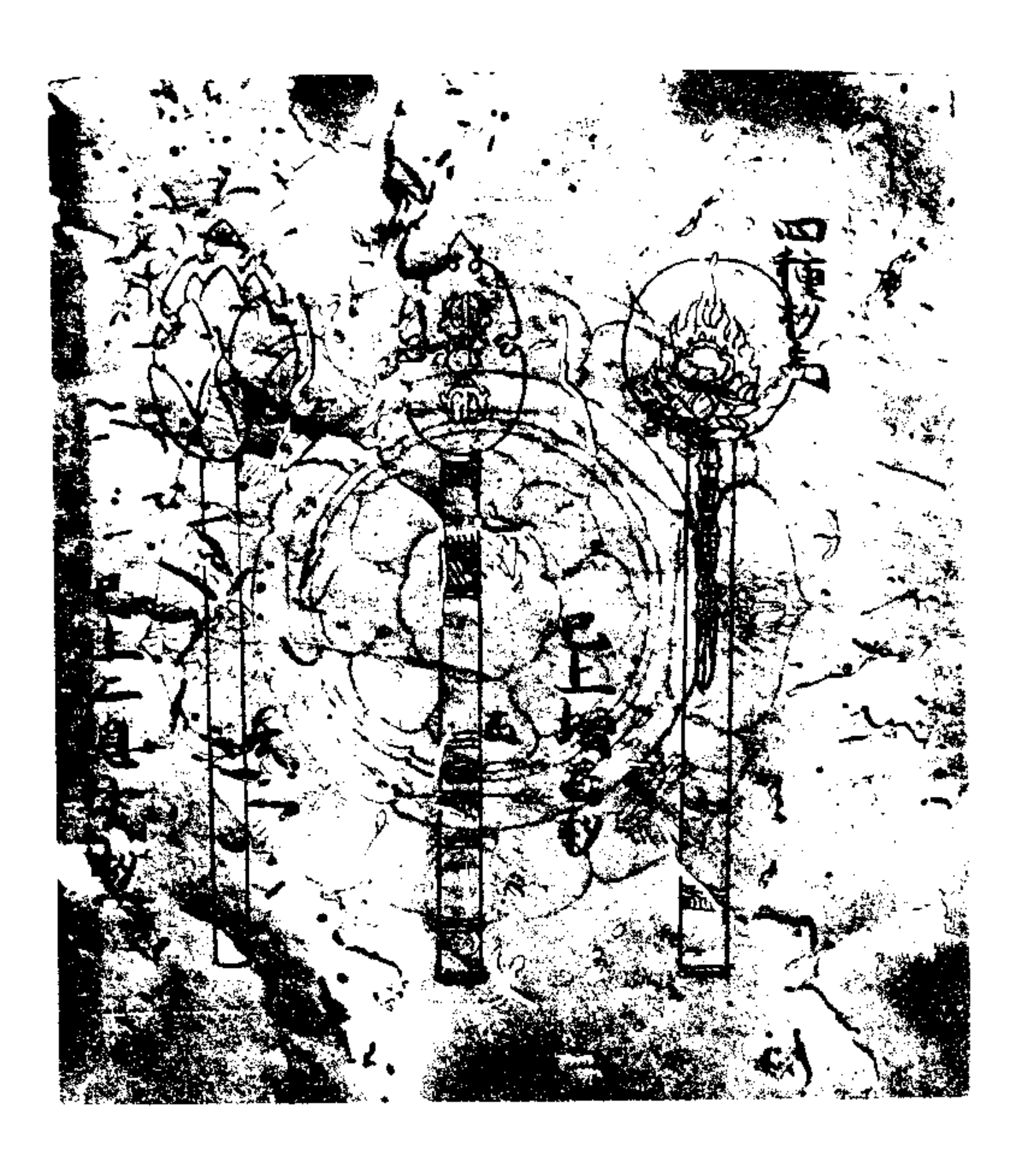




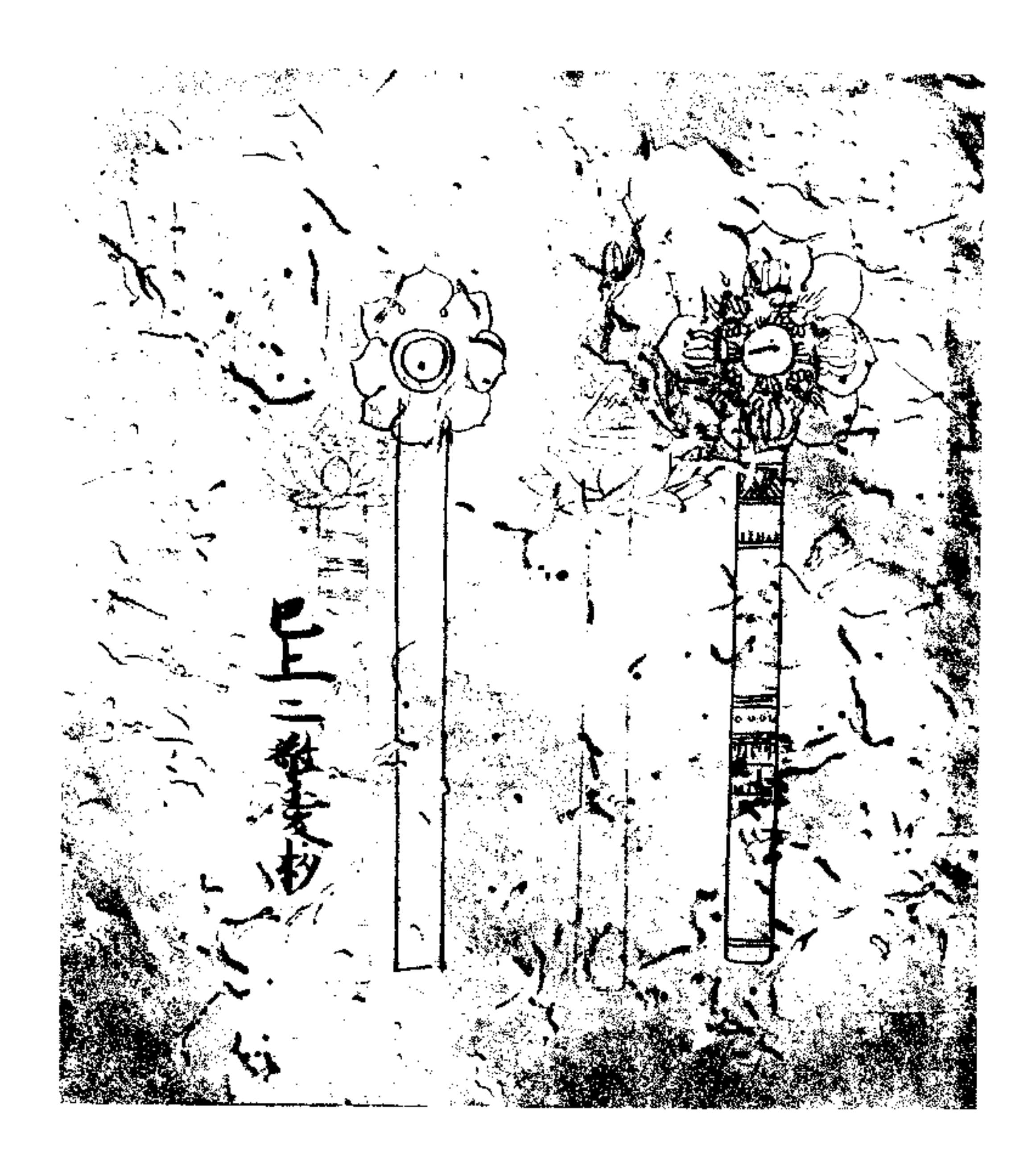
圖像、11, 延命壇圖



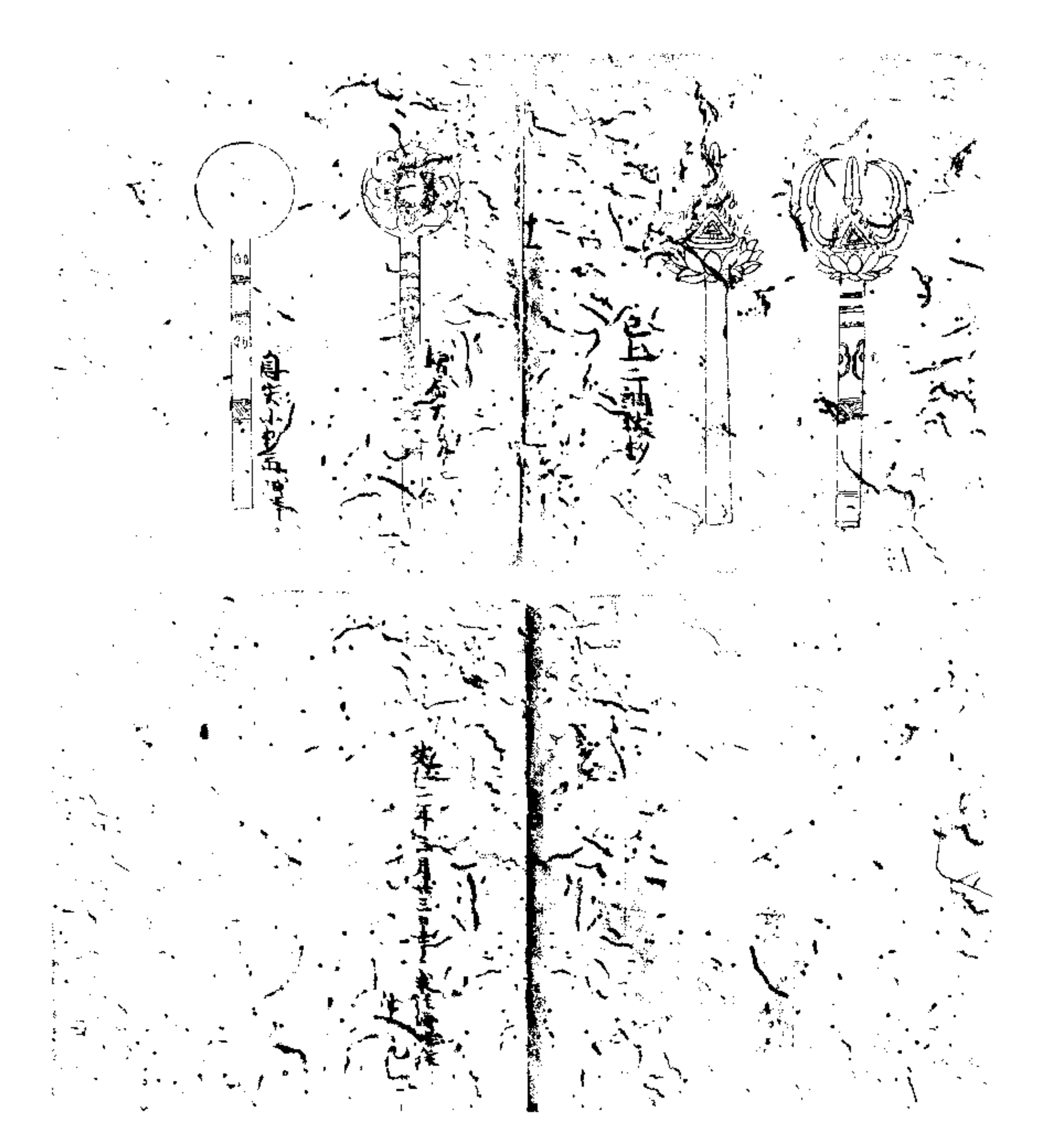
圖像 No. 12.　延命壇圖（文樣）



圖像 No. 13. 增益杵　圖像 No. 14. 息災杵（其一）　圖像 No. 15. 息災杵（其二）

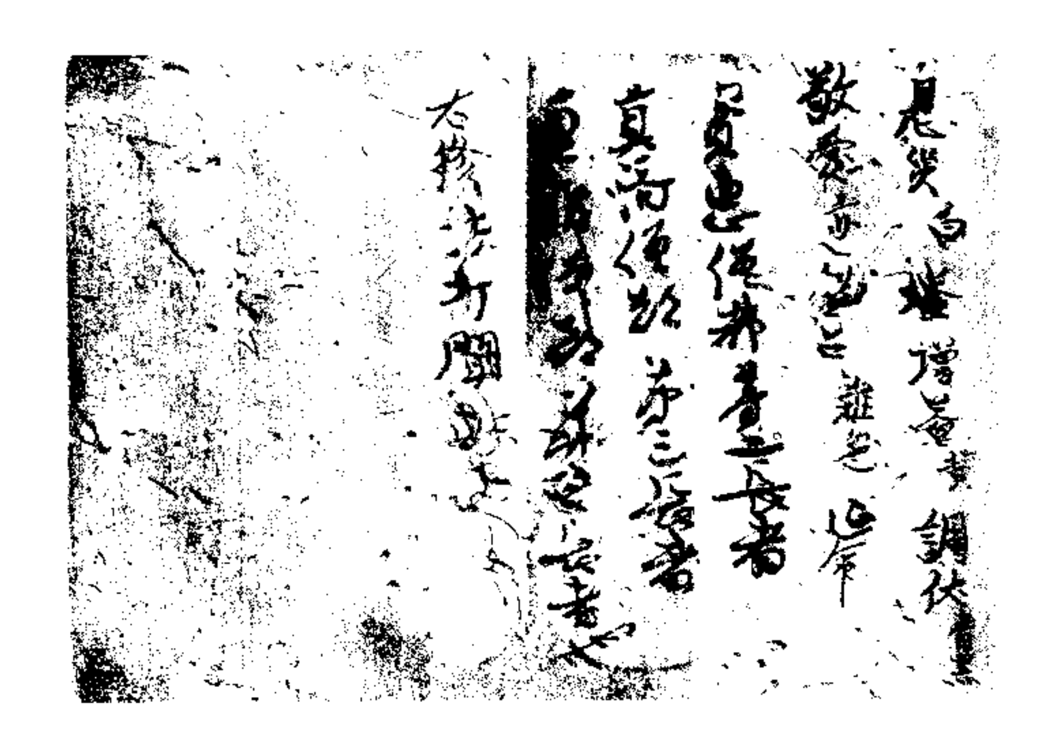


圖像 No. 16、 敬愛杓（其一） 圖像 No. 17、敬愛杓（其二）

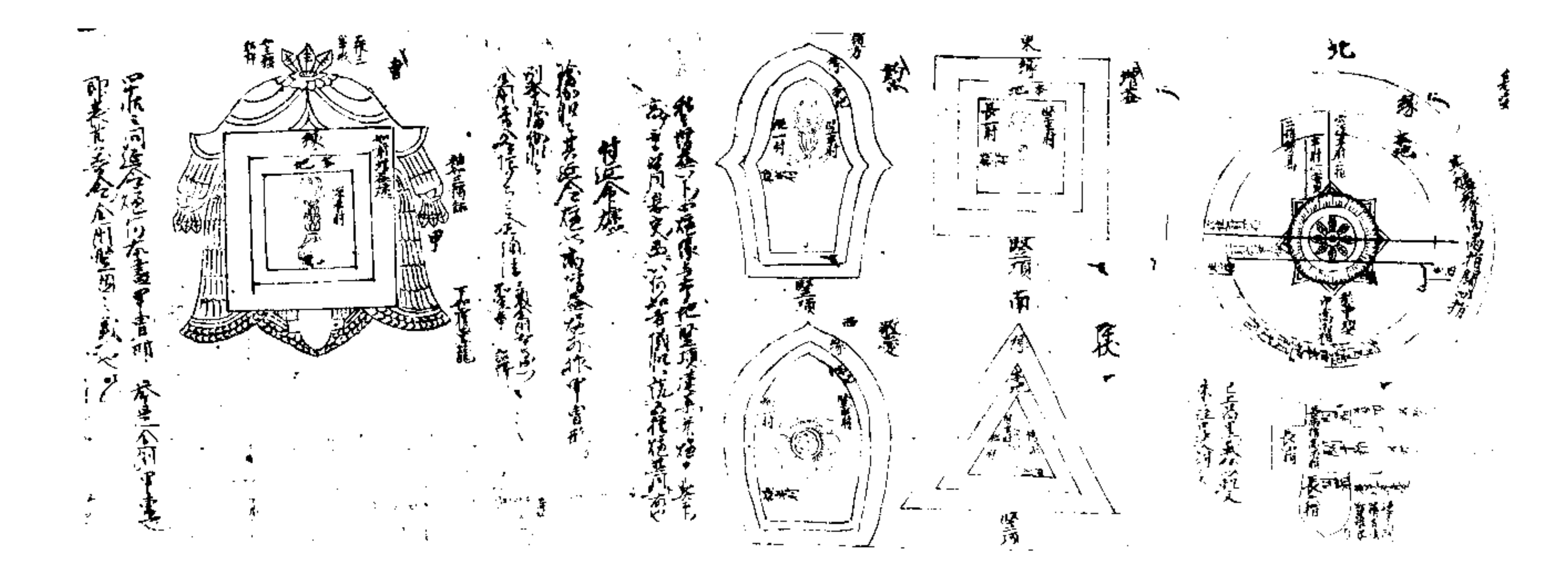


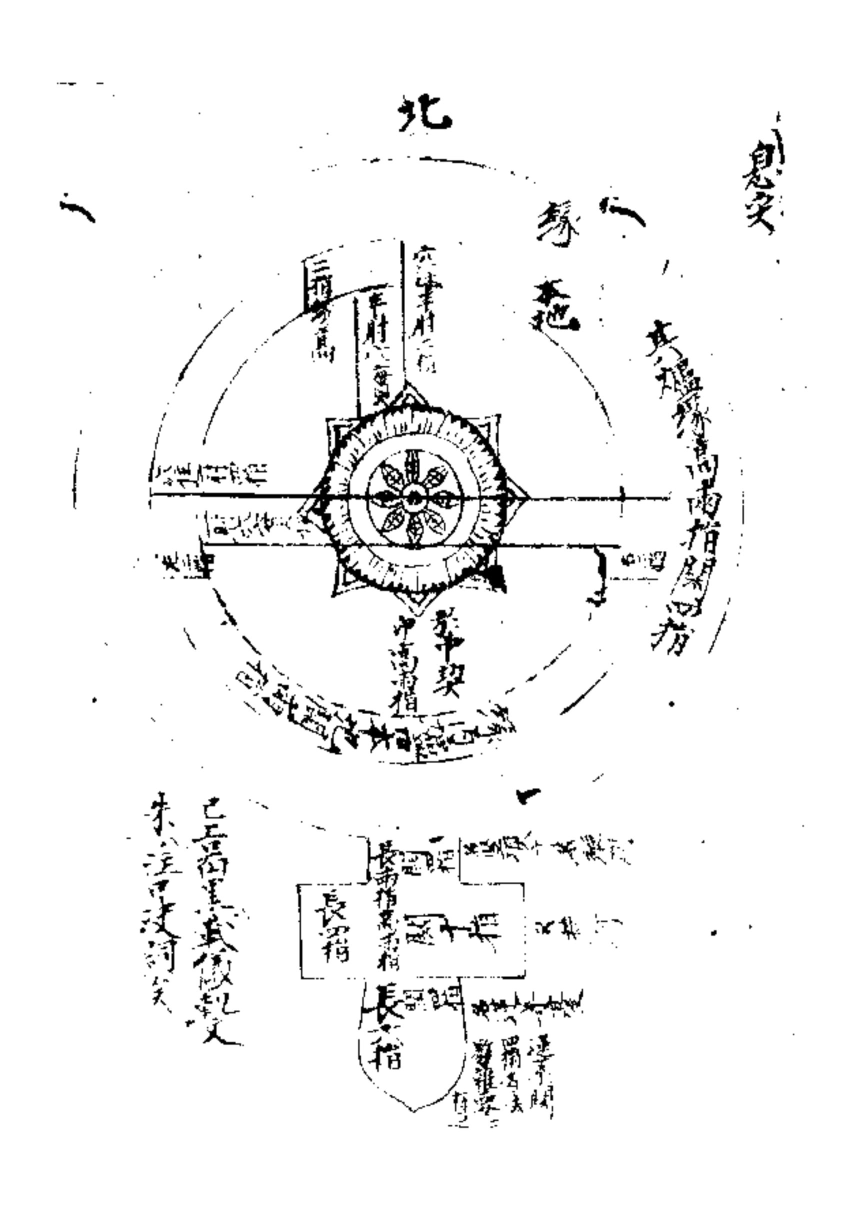
圖像 No.18. 調伏杓（其一）　圖像 No.19. 調伏杓（其二）

圖像 No. 20. 増益杓（或本）　圖像 No. 21. 息災小杓（或本）



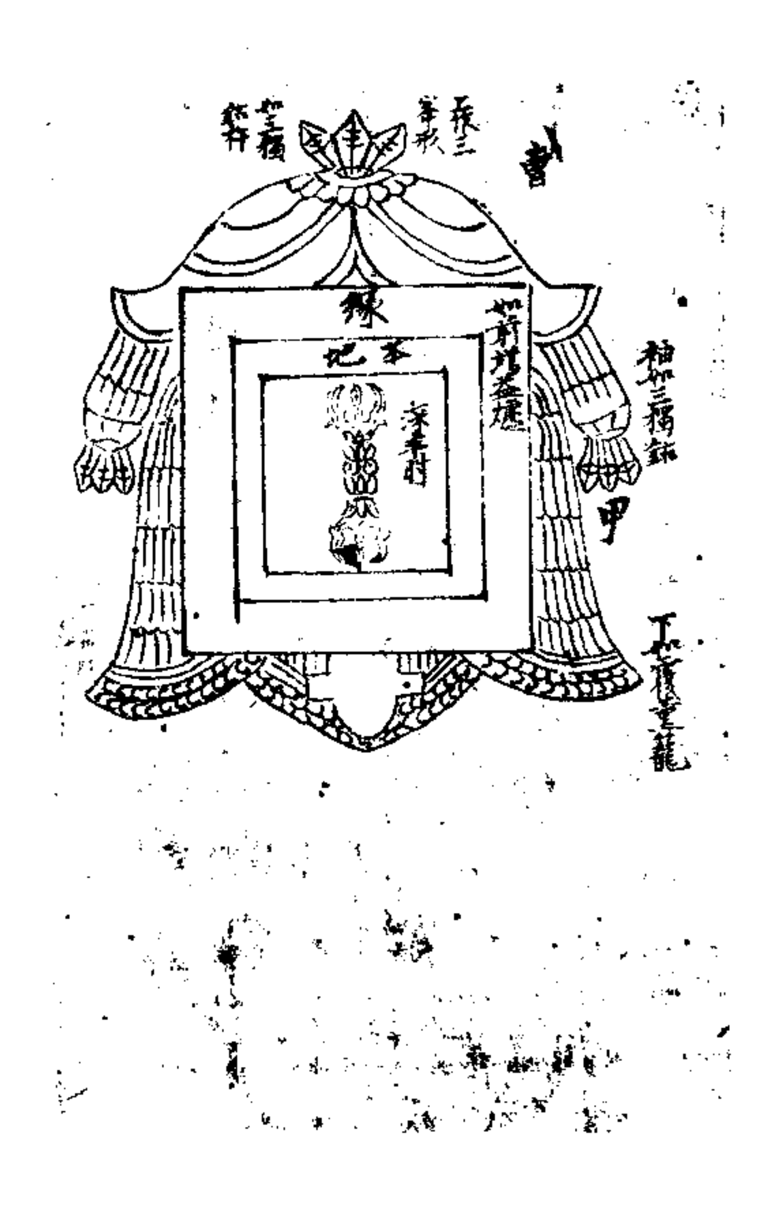
軍荼事


北
南

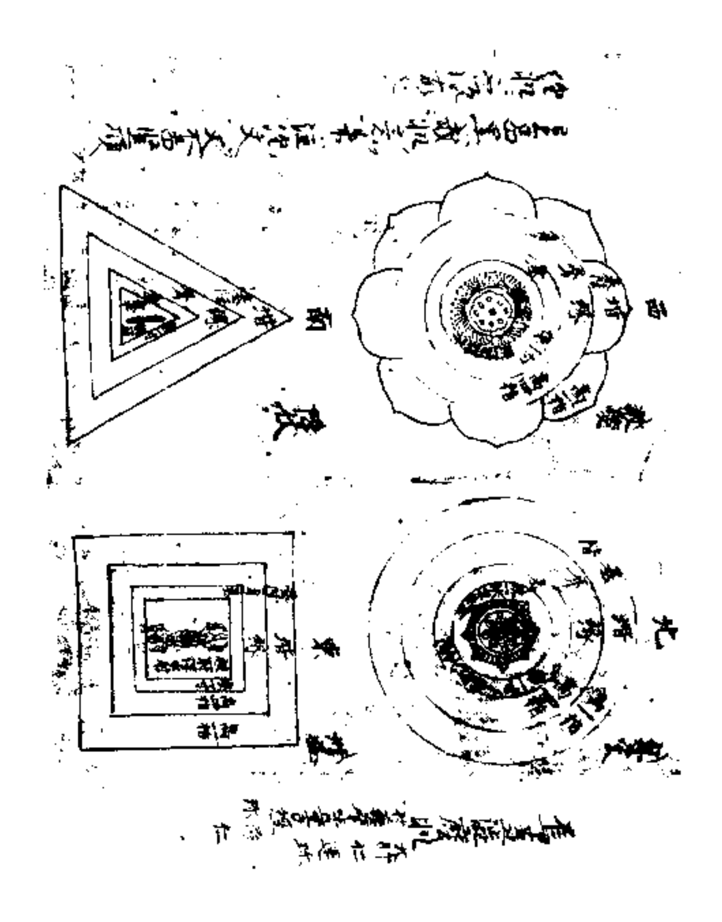


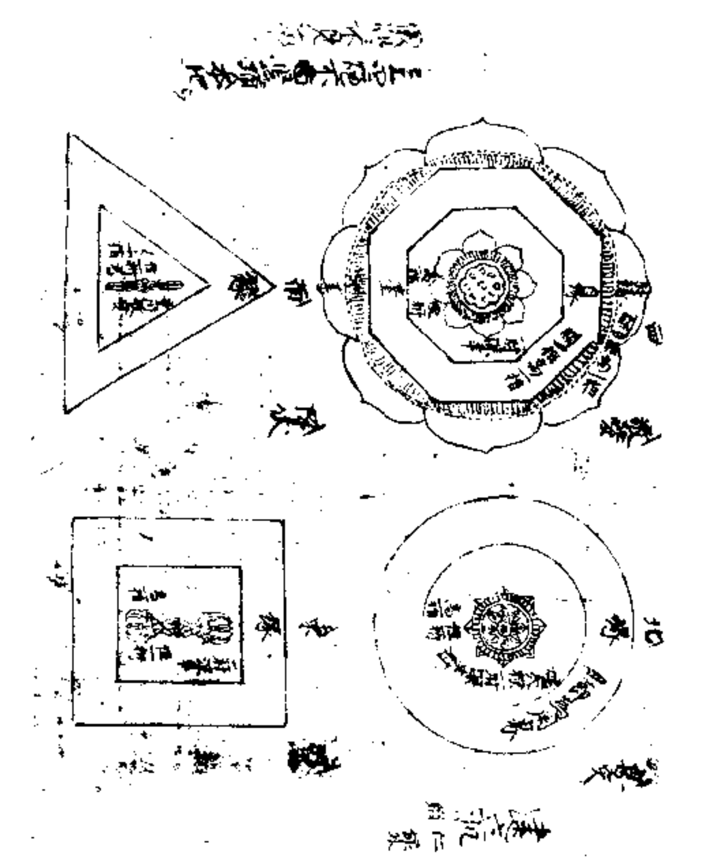
圖像 No. 1. 息　　災

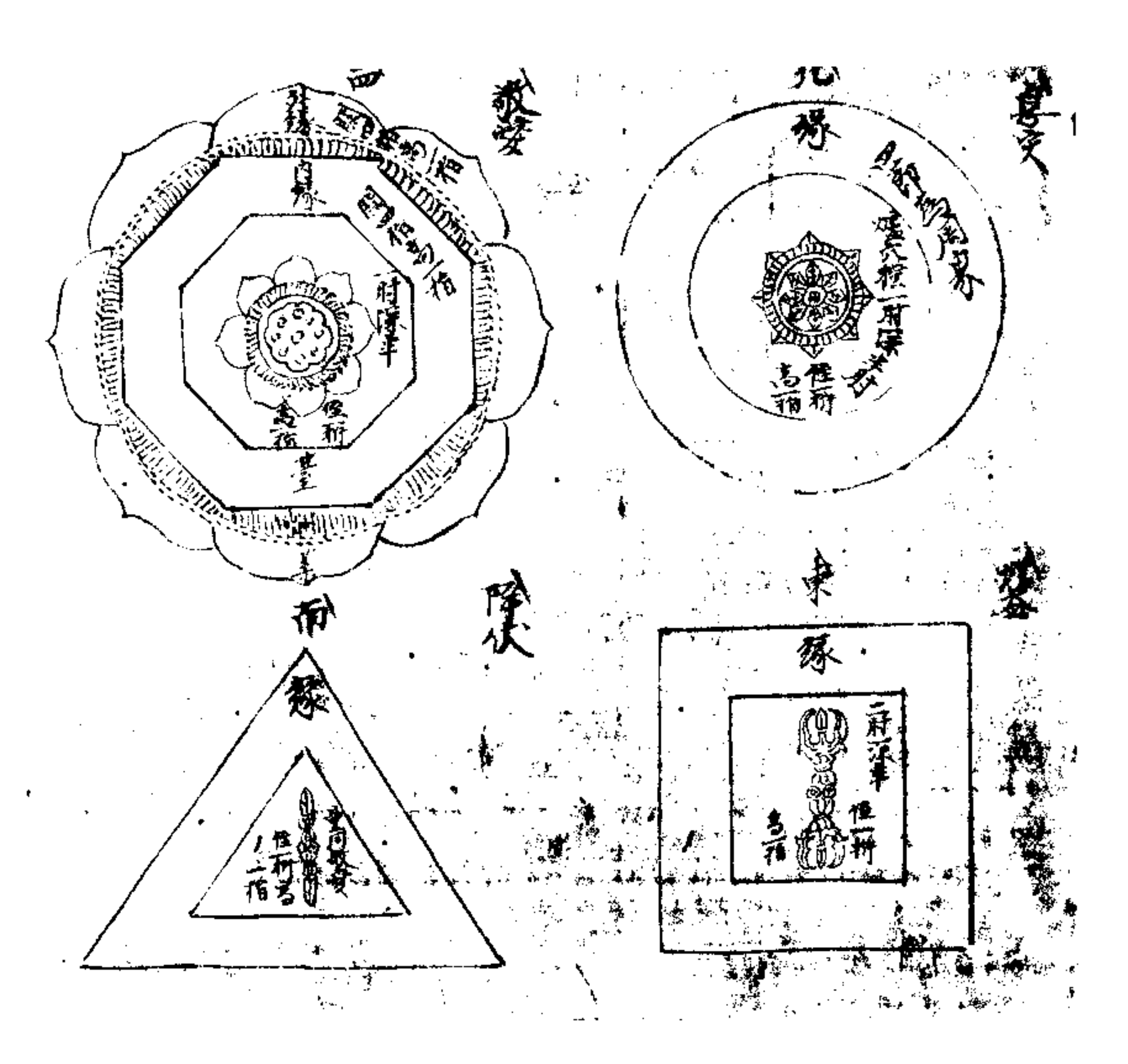
圖像 No. 2. 增益（上）　圖像 No. 3. 降伏（下）　圖像 No. 4. 鈎召（上）　圖像 No. 5. 敬愛（下）



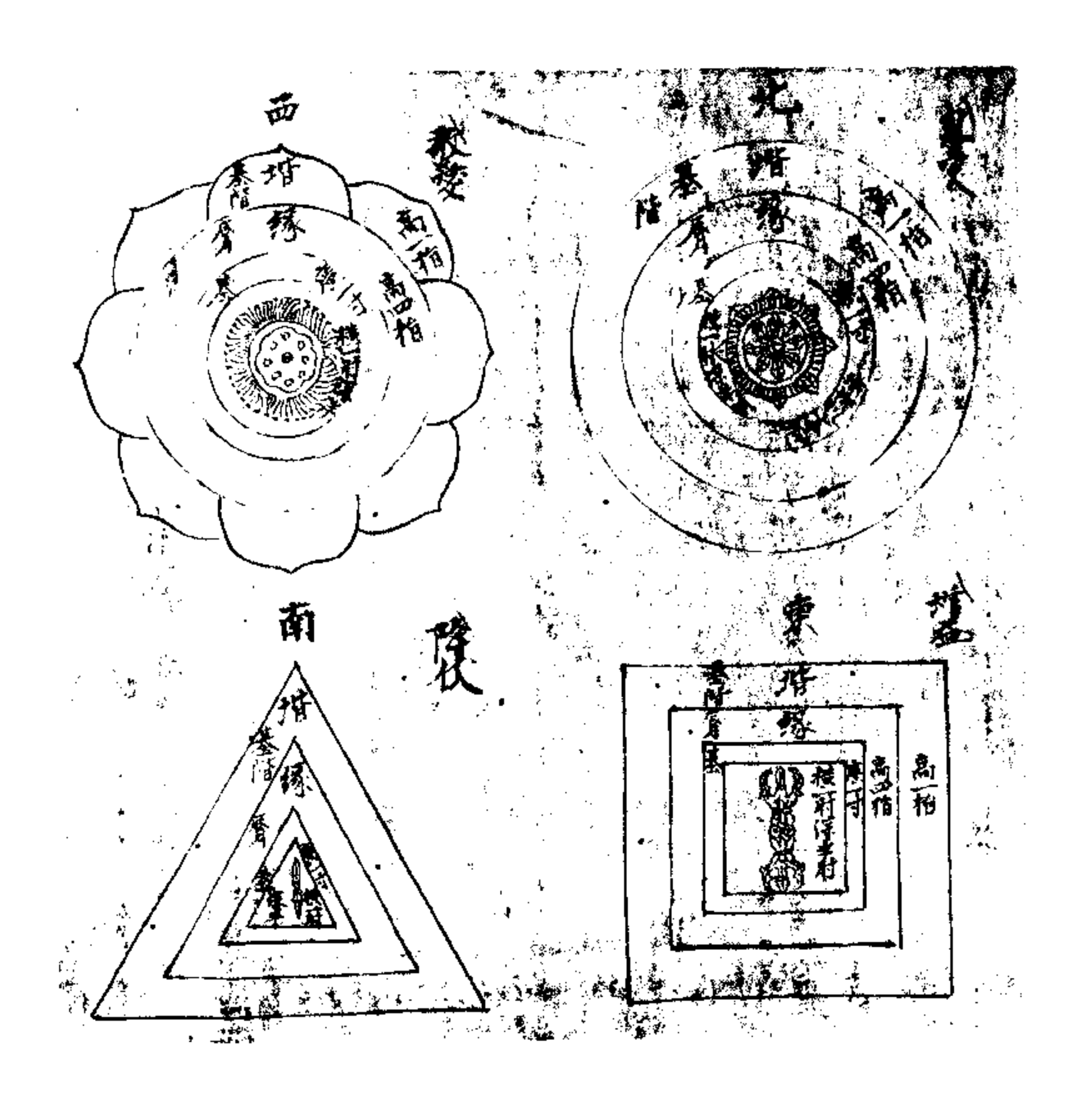
圖像 No. 6. 延　命





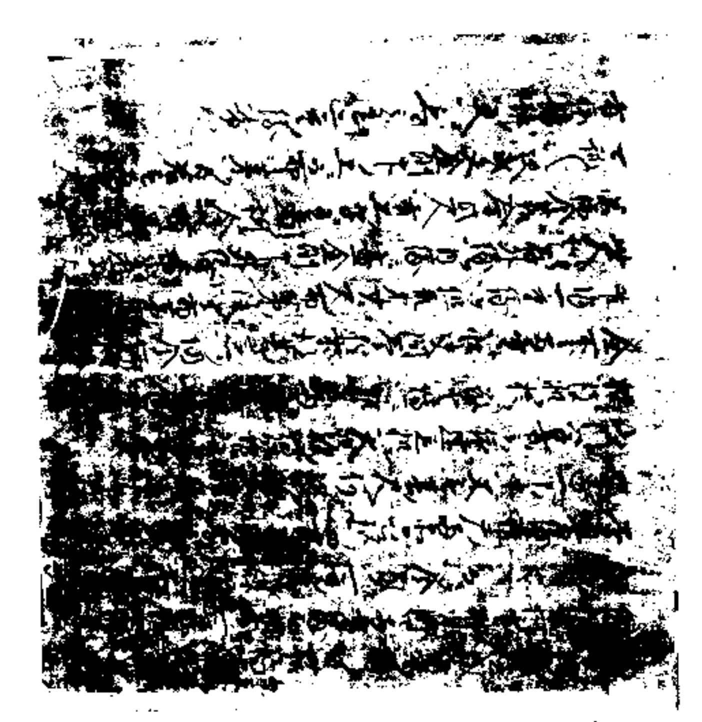


圖像 No. 7. 息災（上）　圖像 No. 8. 增益（下）　圖像 No. 9. 敬愛（上）　圖像 No. 10. 降伏（下）



圖像 No.11. 息災（上）　圖像 No.12. 增益（下）　圖像 No.13. 敬愛（上）　圖像 No.14. 降伏（下）

問[illegible]
[illegible]
[illegible]寺座[illegible]
[illegible]二指一寸[illegible]
[illegible]二指一寸[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
問説教[illegible]灌頂[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]



西

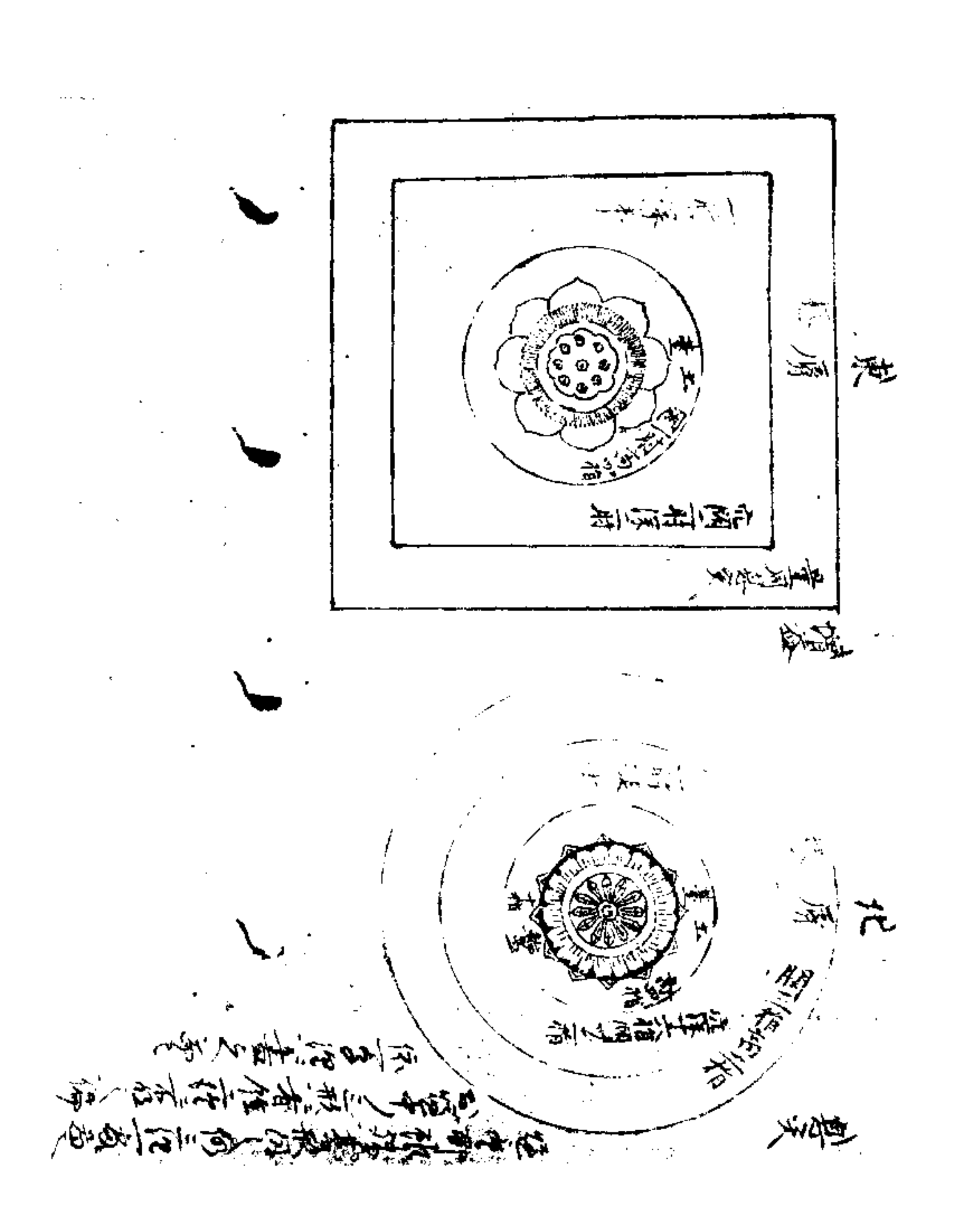
東

増益

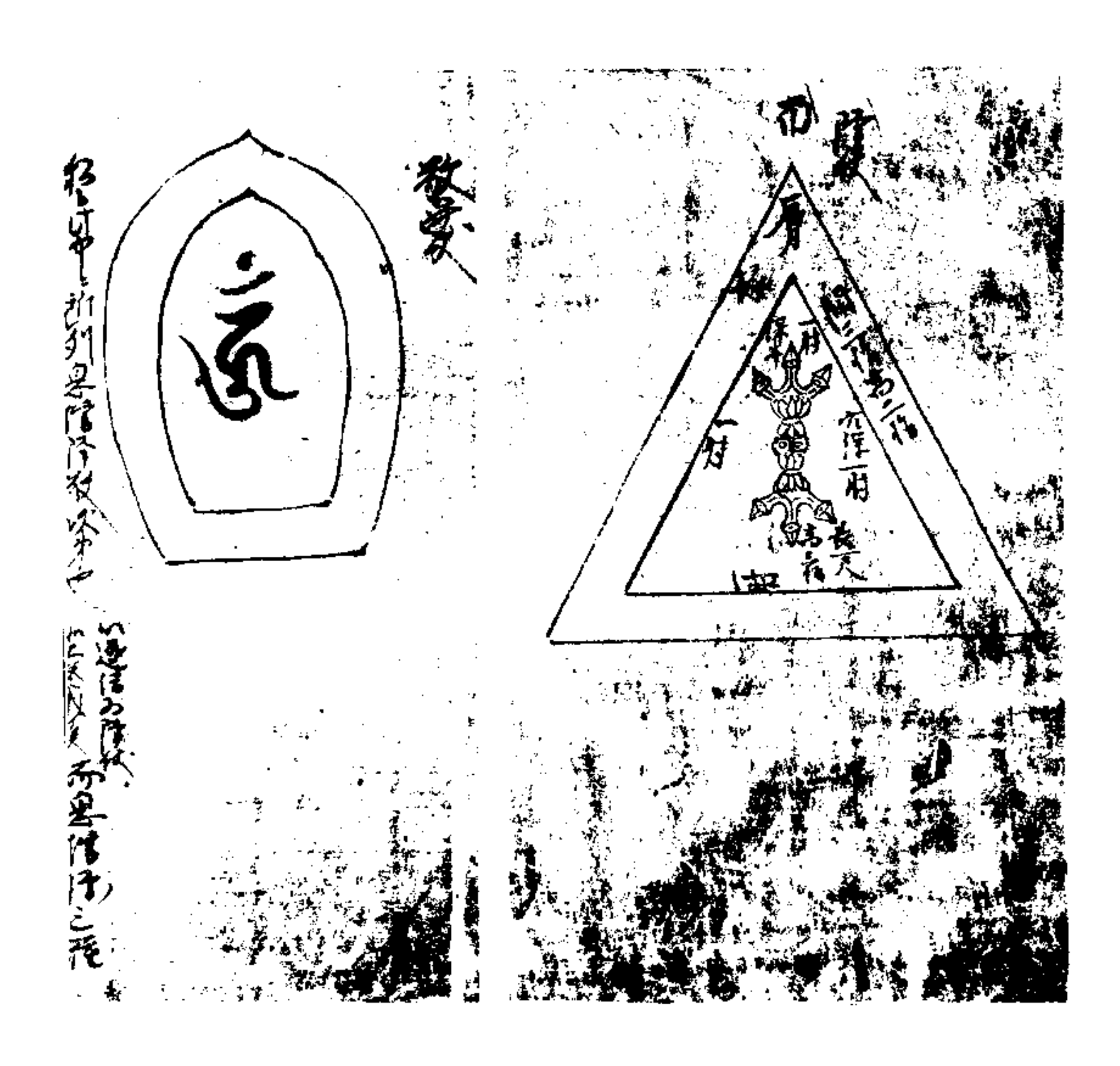
北

息災

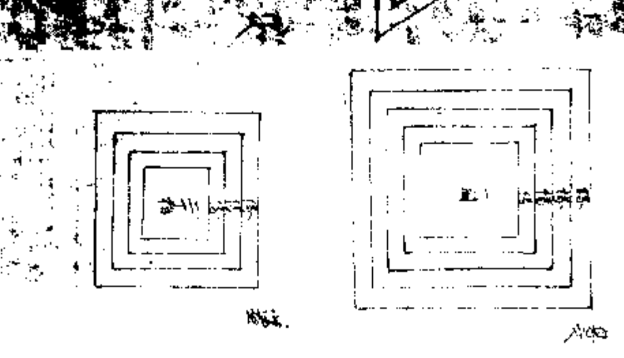
層



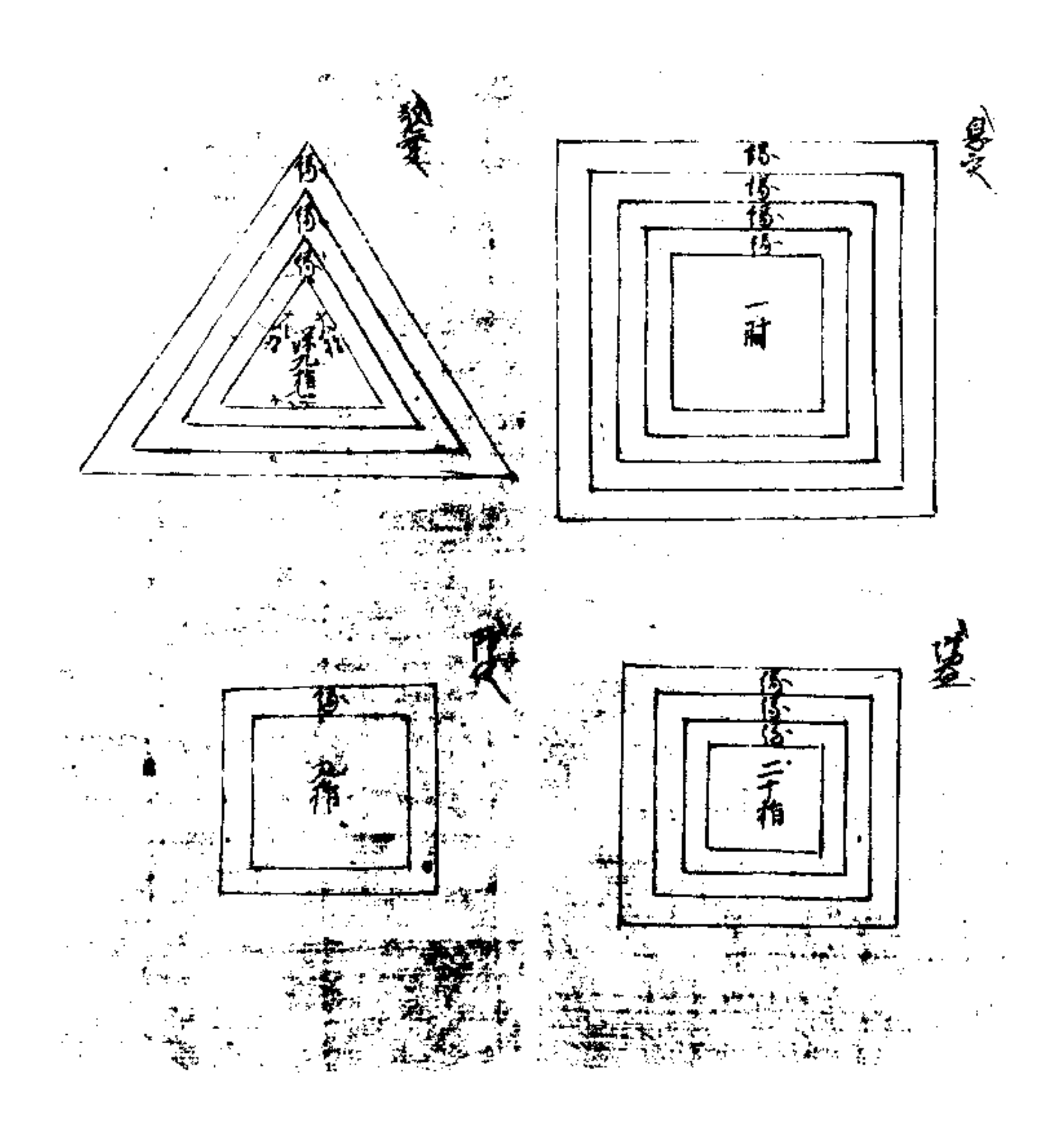
圖像 No.15. 息災　　圖像 No.16. 增益



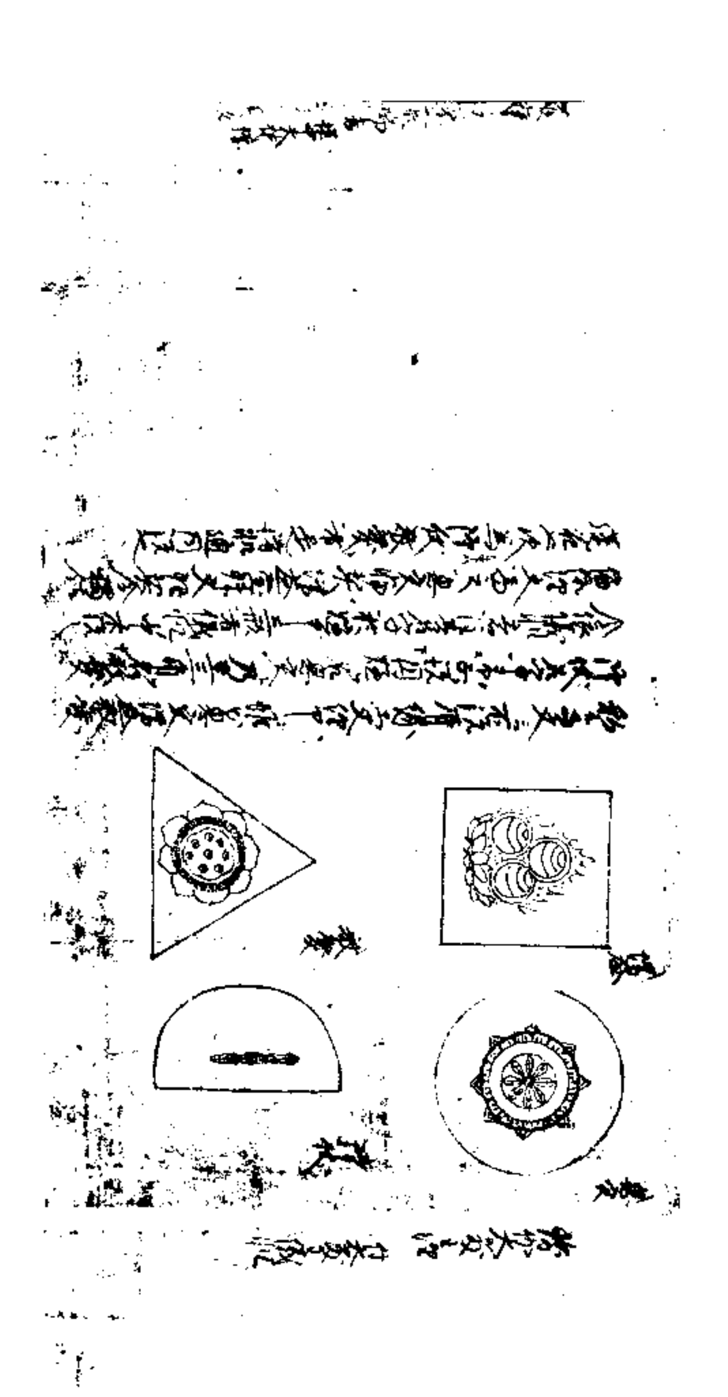
圖像 No. 17、降伏　圖像 No. 18、敬愛

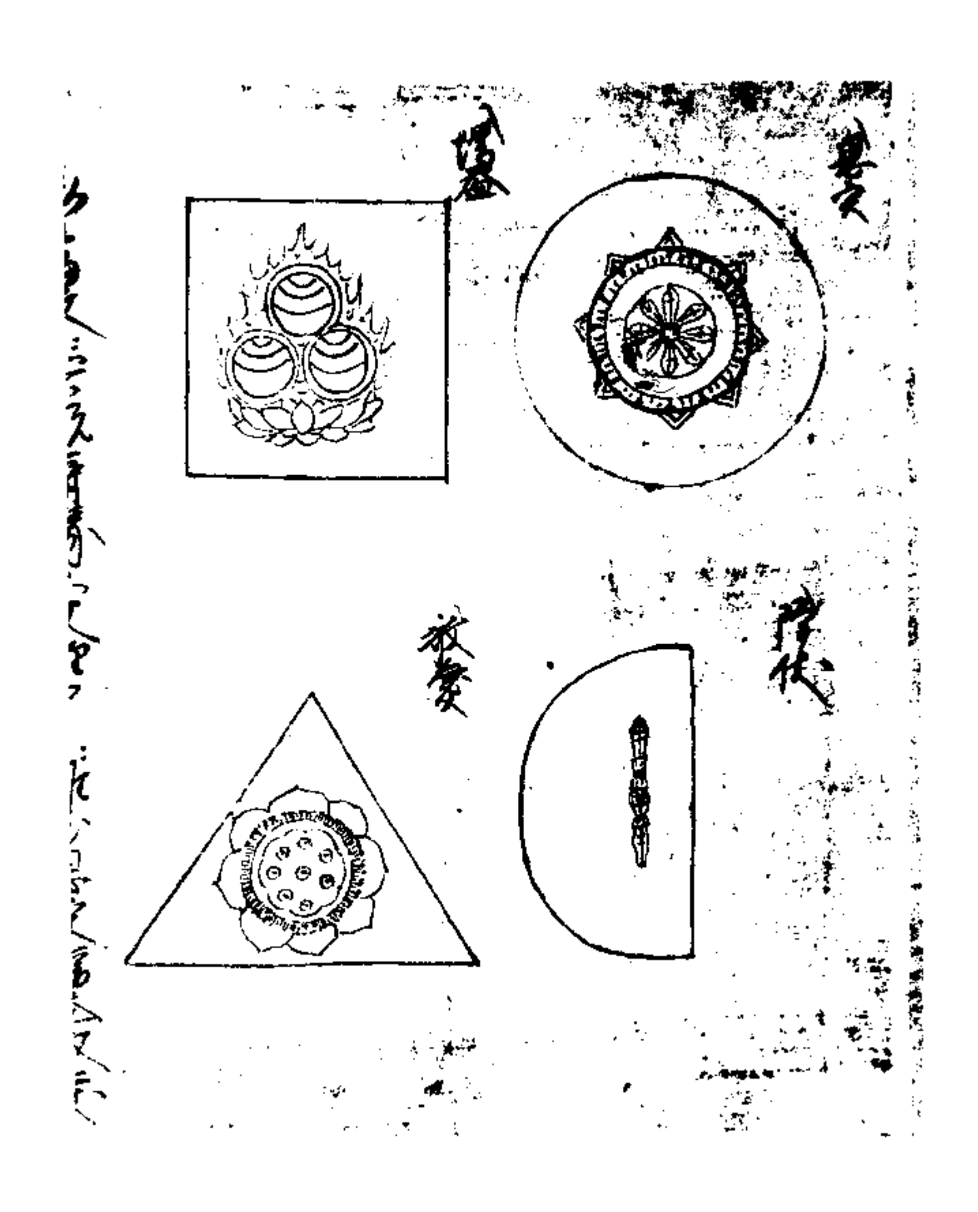




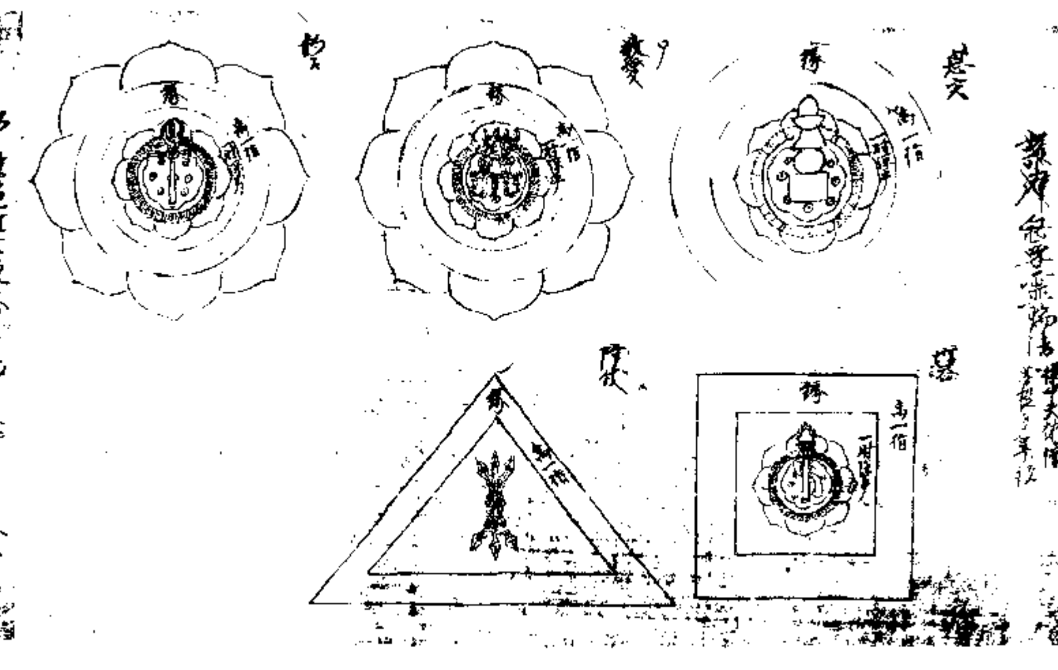


圖像 No. 19、息災（上）　圖像 No. 20、增益（下）　圖像 No. 21、敬愛（上）　圖像 No. 22、降伏（下）

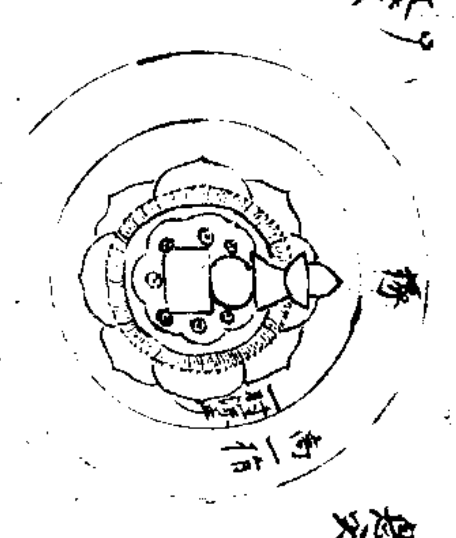




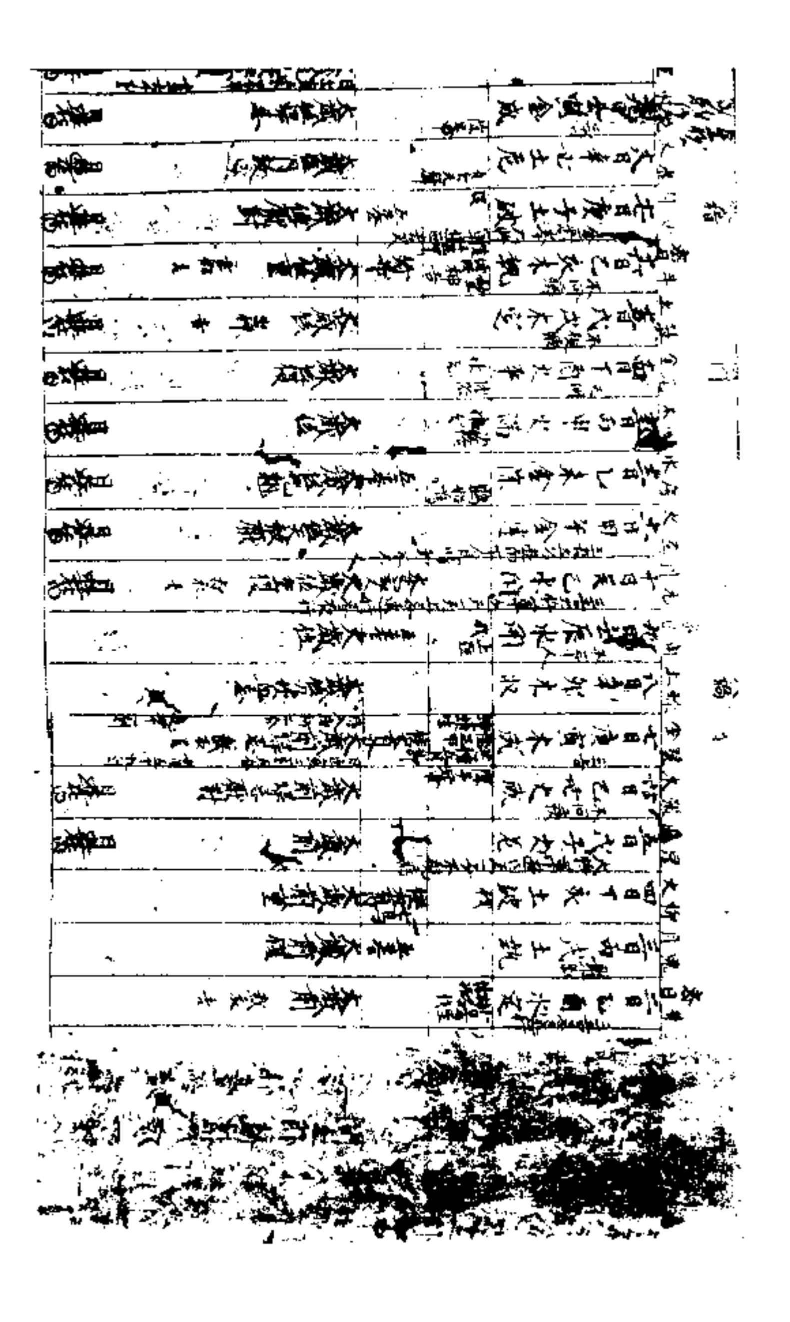
圖像 No. 23. 息災（上）　圖像 No. 24. 降伏（下）　圖像 No. 25. 增益（上）　圖像 No. 26. 敬愛（下）







圖像 No.27，息災（上）　圖像 No.28，增益（下）　圖像 No.29，降伏（下）　圖像 No.30，敬愛（上）　圖像 No.31，鈎召（上）



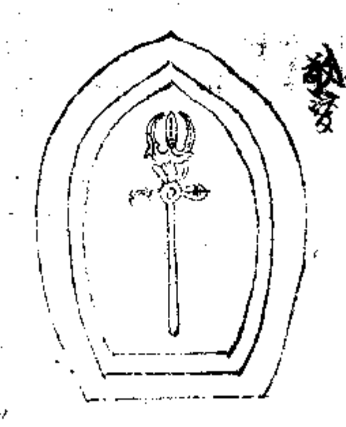
裏書 cf. p. 2

爐形事

問。増益壇中契中ニ但畫獨古杵乎、答。案儀軌
云、表已雨壇ト、定呪壇ト、災現三形壇底ニ
泥畫。但獨古杵ノ文。理増益降伏二壇契中ニ殊以獨古
者次下ノ文ニ、其因壇及八角壇即作對不ハサル、本尚
說ニ限因壇与三角壇、以杜古杵ヲ通増降
二矣。若之降伏、看ツテ三角壇底作杜古杵ト
通ニ壇底ニ不畫別名、是故増益壇ニ畫杜古杵
同古杵尚三古、似違文云々

十一面觀 大師仁

是情降 壇形并契中ニ



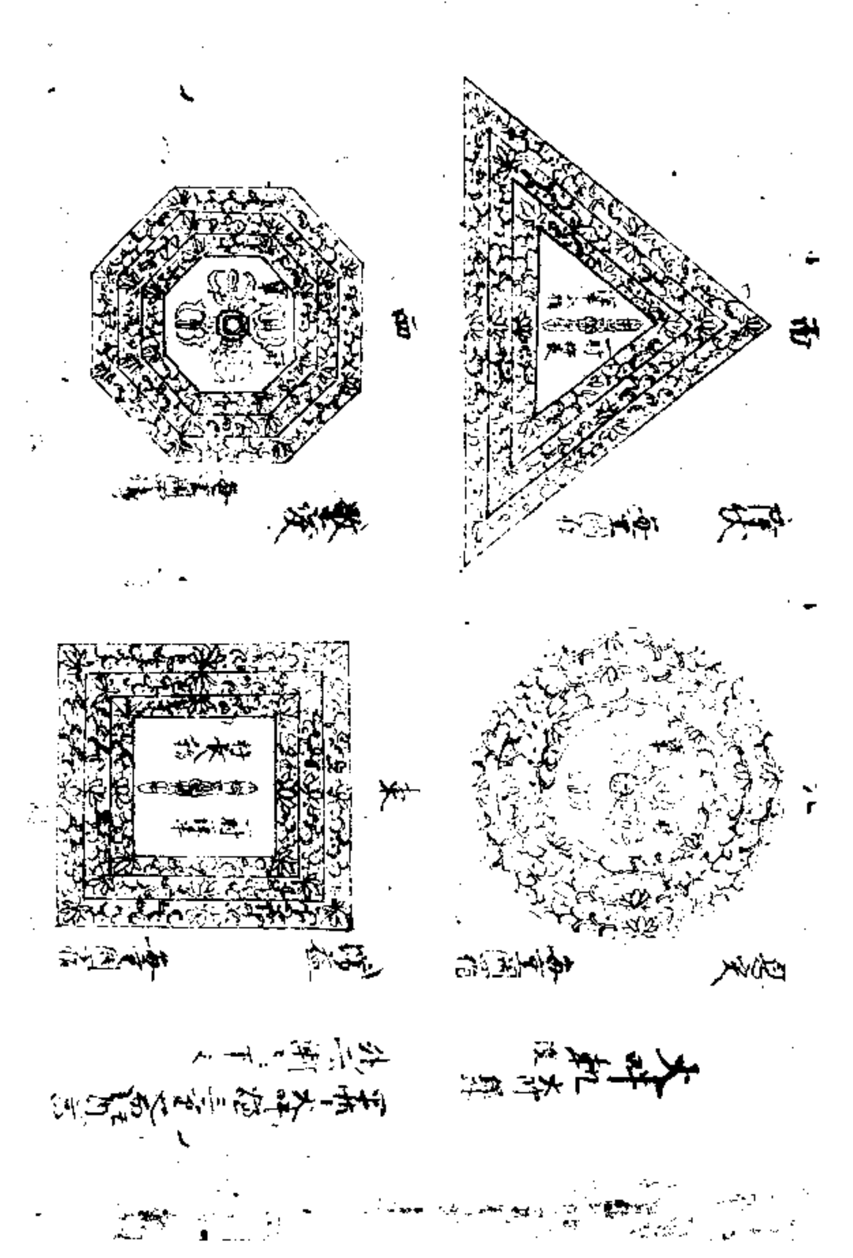
敬愛

形、常識乃壇形、亦得三形、本尊壇
亦不得并本地壇頂、須准
作三壇者形相并契中不遠諸說、故不畫
敬愛壇中三形金剛杵、故

問。敬愛壇安金剛 法 敬
愛云、敬愛故 敬 之法相
云思



圖像 No. 1. 敬 愛



北

息災

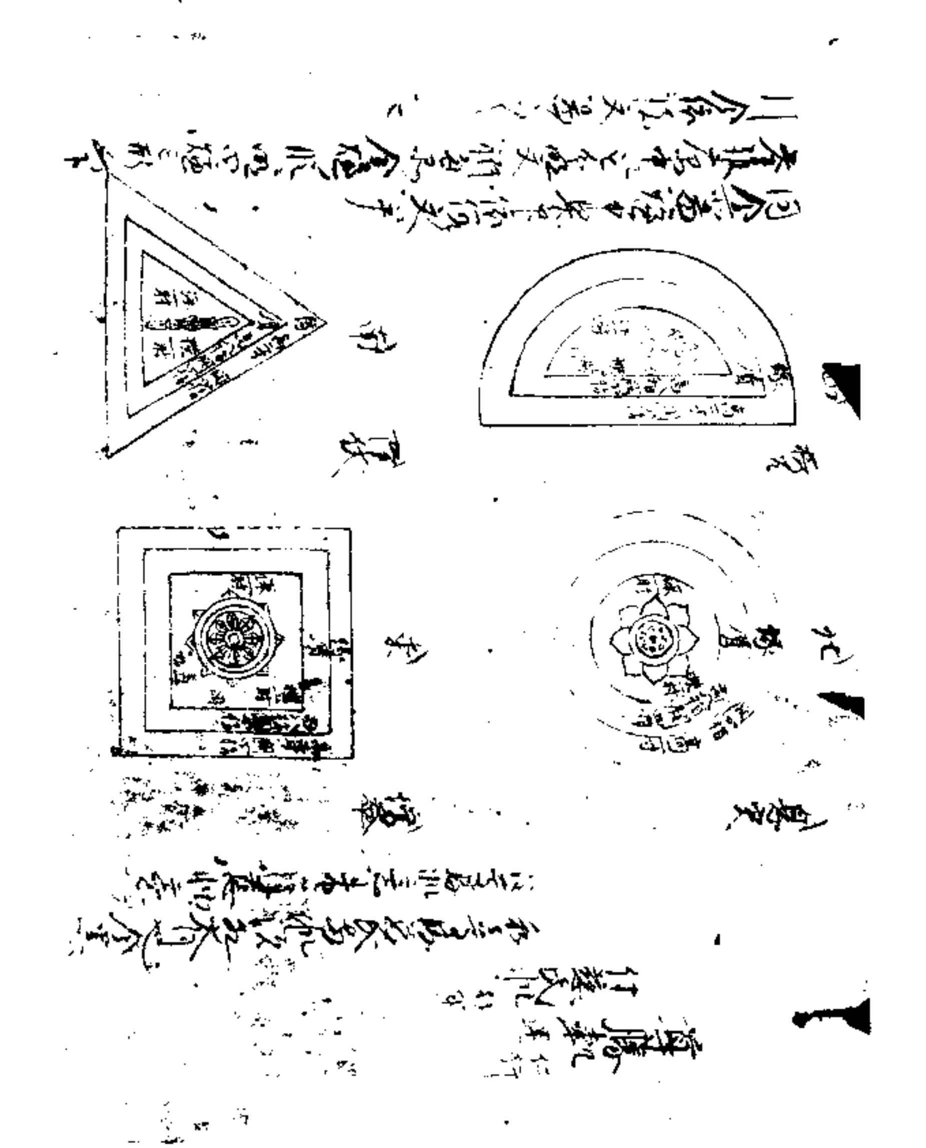
東

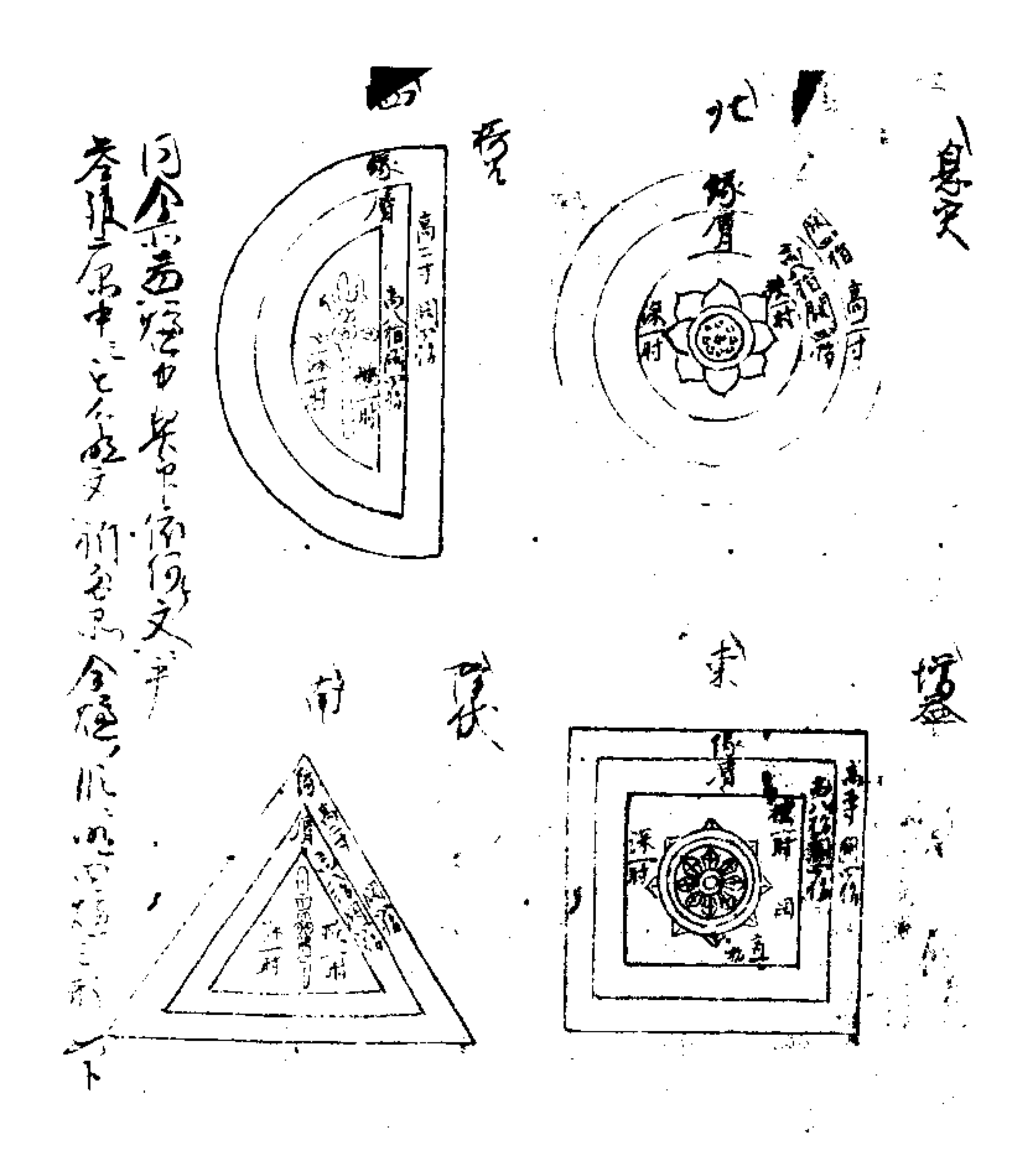
增益

圖像 No.2. 息災　　圖像 No.3. 增益

圖像 No. 4. 降伏　圖像 No. 5. 敬愛

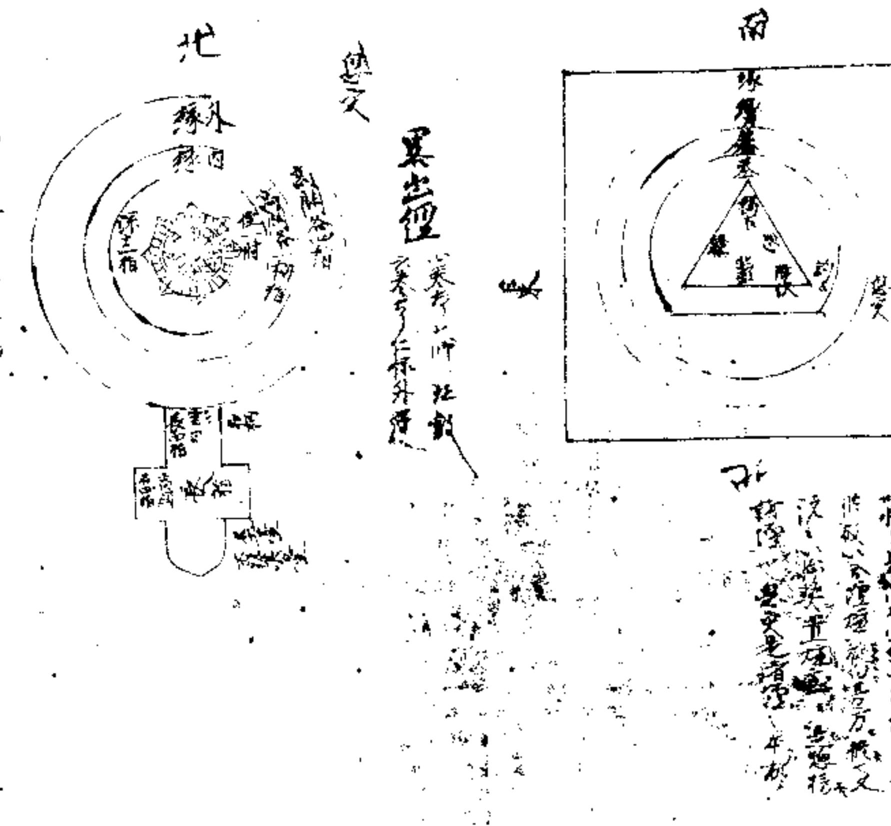
妻[illegible]又本云一重但[illegible]二種[illegible]
次又并五種ヲ一[illegible]唯[illegible]二重[illegible]
書[illegible]供[illegible]讃[illegible]者縁外方下
[illegible]一重作二八十[illegible]若[illegible]大
[illegible]者[illegible]其中心[illegible]右
不各[illegible]作[illegible]外[illegible]地[illegible]
[illegible]今方[illegible]作法[illegible]
[illegible]本[illegible]中法[illegible]外方下[illegible]
[illegible]通是[illegible]
四隅[illegible]三重院中[illegible]
者本[illegible]
[illegible]
[illegible]文[illegible]
[illegible]二重[illegible]文[illegible]
[illegible]

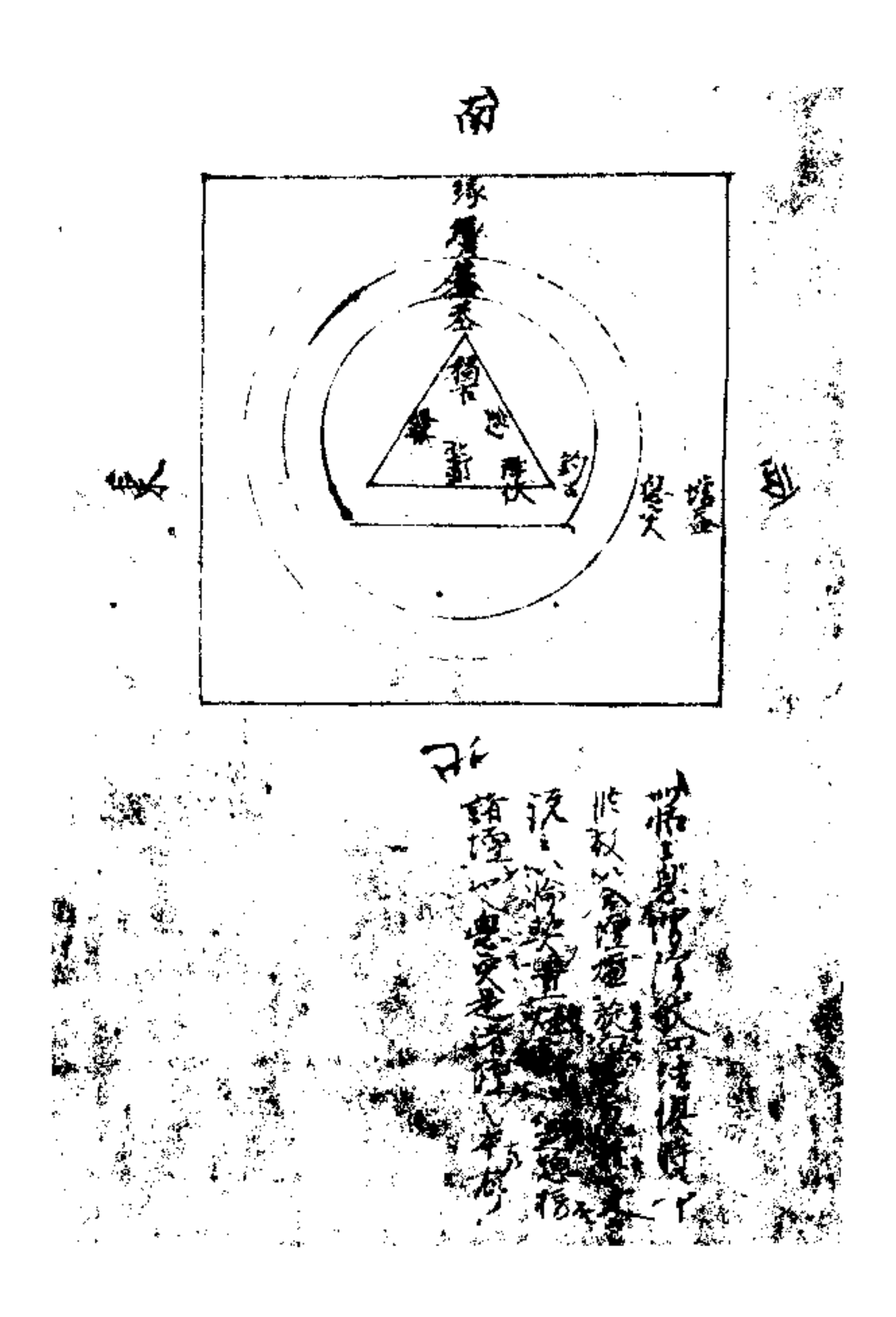




圖像 No. 6．息災（上）　圖像 No. 7．增益（下）　圖像 No. 8．攝召（上）　圖像 No. 9．降伏（下）

一爐ノ形ハ凡ソ段壇ノ花様並ニ一肘ノ浮量ニ随フ肘ハ佛ニ浮土
指ニシテ最極ハ一指五下段ハ十二指、其ノ六寸也、不及ナラ肘ヲ量ル
事ヲ第一ノ爐ニ内ハ、外縁ハ高四指、下ヒテ君ヲ所収ノ
者燒ヲ在事而深サ　二十三指ト
一爐ノ横ハ深サハ凡ニ一開十指長四指ト也、佛ニ長八指
開四指ニ　佛ハ阿与爪長ハ　但長与爪開ハ同寸四門窓爪
佛ニ爪書ニ之所　其上爪ハ望行者ニ之君ヲ才佛ハ望ム
物形ハ之爪各佛一寸ニ以テ形様ニ之
一爐柄ニ之所　其爐柄ハ爪ニ柄ハ佛ニ在ル其最中鉄
柄　一其量ハ行事　其上爪ハ之所
様法ニ示ス　此佛ニ之様是ハ其量石ハ之知行所ヲ抵ク





圖像 No. 10. 合　爐



圖像 No. 11. 息　災

[illegible]

大日經 [illegible]

是又 [illegible]



東

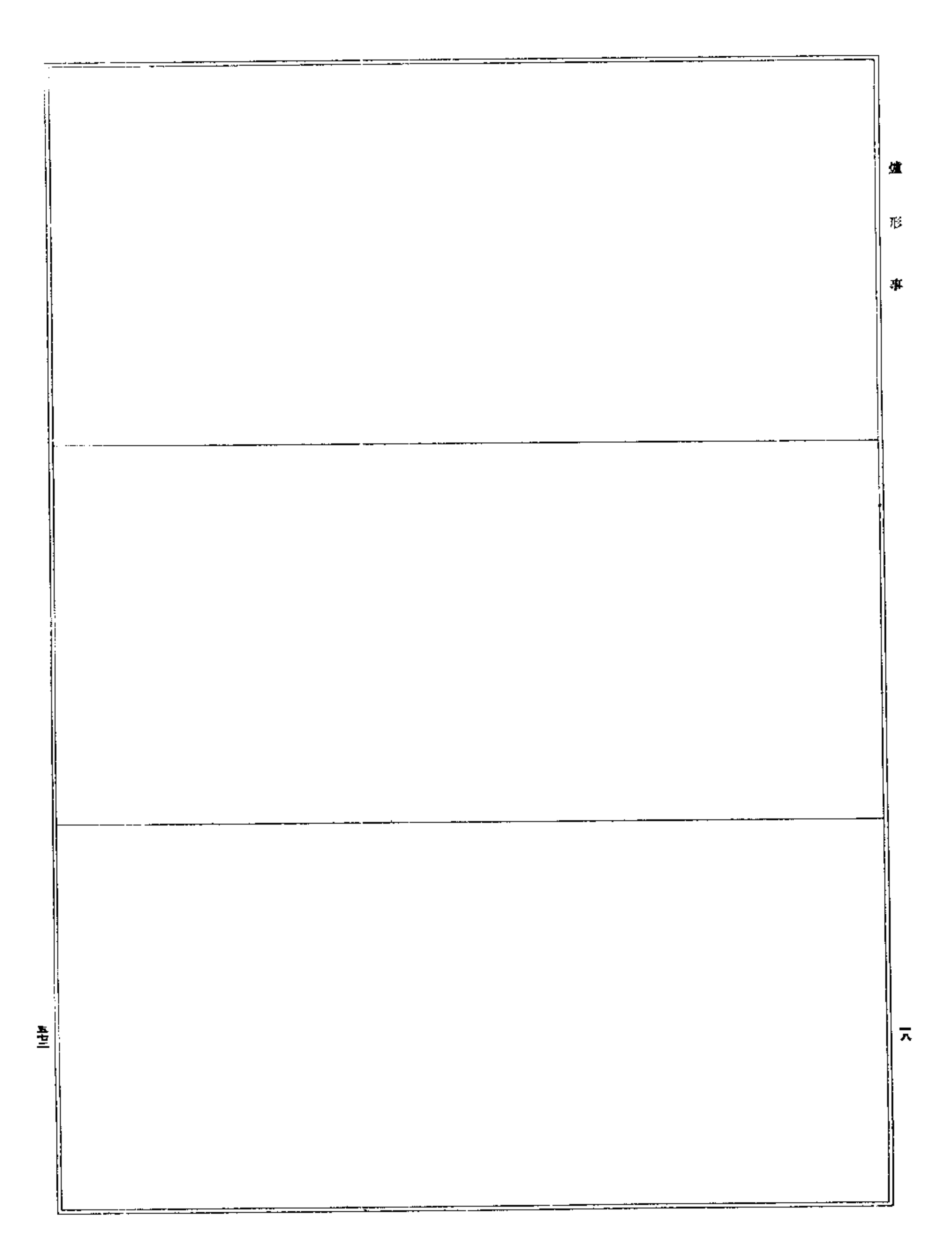
[illegible]

東

息災

圖像No. 12. 息　　災

叶[illegible]中下[illegible]八第十[illegible]
[illegible]寿[illegible]同状一行郡司[illegible]一肘文[illegible]
[illegible]一肘[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]東西[illegible]
者甲一肘[illegible]三[illegible]形[illegible]三角[illegible]
[illegible]之[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]長一肘[illegible]
[illegible]長一肘[illegible]
[illegible]長三肘一尺八寸[illegible]者二肘[illegible]
[illegible]形[illegible]者三[illegible]大[illegible]
[illegible]之[illegible]
[illegible]肘[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]長一肘者[illegible]
者[illegible]文[illegible]一肘[illegible]
[illegible]
[illegible]一肘[illegible]
[illegible]一肘[illegible]一肘[illegible]
[illegible]
[illegible]文[illegible]



護摩壇圖

護摩壇図

蘇悉地経云持誦香水灑地浄不假掘地若於本

舎誦室中作此法速得成就於諸處中不令作成就法

於像室中亦不令作云

護摩要抄云地若不能掘作壇者亦用水壇言水壇

者以香水灑其處然後於其處立壇其中心坐爐也云

又云若掘地時用新浄鑁鍬未経用者以斧事真言

一七二七三七遍已然後掘之云

仏部中以難勝忿怒王為斧事也於蓮花部中以歌

耶訶利嚩真言為斧事也於金剛部中以軍荼利

真言為斧事也

難勝忿怒王真言曰

唵戸嚕々々旃荼利摩登耆莎訶

歌耶訶利嚩明王真言曰

唵阿蜜哩都納婆嚩吽泮吒莎嚩訶

軍荼利明王真言曰

唵阿蜜哩底吽泮吒

先可作壇之處地天真言加持真言曰

唵畢哩體微曳莎嚩訶

即觀想地下金剛輪除諸瓦石汙穢之物皆取捨又悪

鬼等諸障難人等皆悉遠除即以不動尊真言加持

百八遍

次掘地壑中金剛輪堅牢智進力真言廿一遍真言曰

唵欲佉那鉢羅々捷娑嚩訶

或云以此中加持鑁或取鑁真言云

安祥等儒部記云其中下指端觸地如掘地勢三遍

擬々其鍬撅者曰莎訶之言俟云

次以佛眼或讃明加持百八遍真言曰 九五九沓

唵路駄昧怛羅縛日羅羅吒合

次往壇中

定拳按胸恵拳申指遍地上次往輝指竪摩地中

有情等也真言曰

唵難駄々々娜智々々難駄婆哩莎嚩訶

次取五作浄加持白檀薫陸種種香和合作泥畢以

香水灑之

或云捧出法者本[illegible]

次加持浄作

次加持法中

執五二手合掌屈進力戒方二節相合禪智並建立

力如口[illegible]真言廿一遍

唵阿蜜哩都納婆縛吽發咤娑縛訶

次以五寶五香五藥五穀等埋壇中竟以地天真言

加持百八遍

五寶 金 真珠 銀 水精 瑠璃

五香 沈 白檀 丁子

五藥

五穀 小豆 大麦 小麦

各取少許以小瓶子盛之以埋壇底或安在壇時

若無五寶之時持五[illegible]量算茶中心[illegible]五

寶也云云

次以弁事真言加持百八遍

塗壇真言曰

唵地羅[illegible]摩訶[illegible]娑縛訶

又云塗壇法先始自東北次第[illegible]真言不限遍

數以塗畢為限耳云云

若云有急事而不能如上作法時者但以淨水誦吉

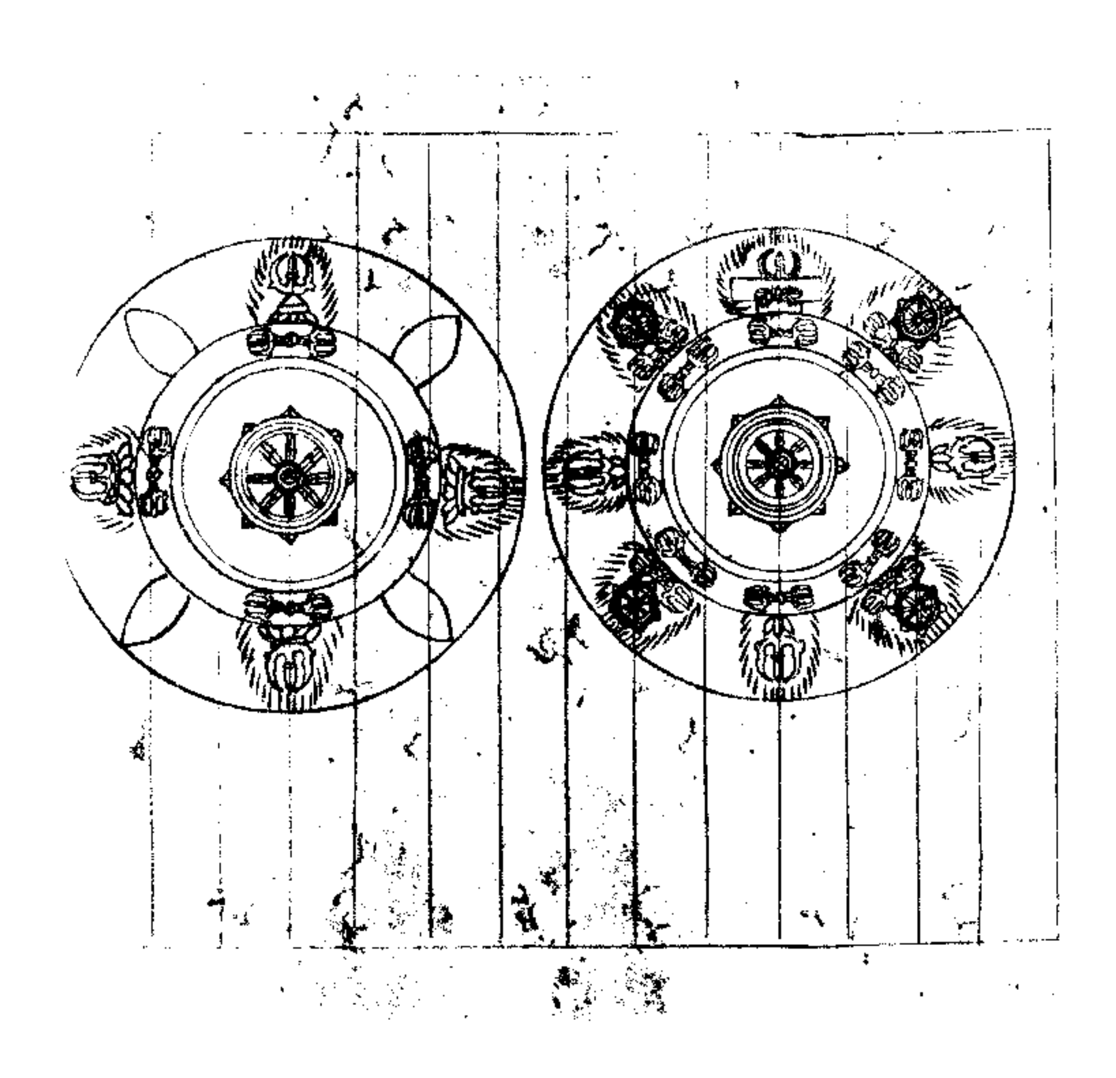
言加持之各廿一遍而灑地面是淨除惡穢也亦誦

蘇等畢掘取其土住壇向之[illegible]灑香水取五[illegible]

不動真言加持之一百八遍然後壇之先壇[illegible]

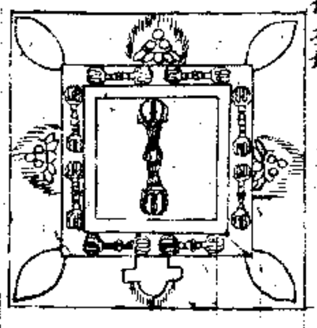
鐵輪其上埋五寶等之物也 已上[illegible]

息災壇



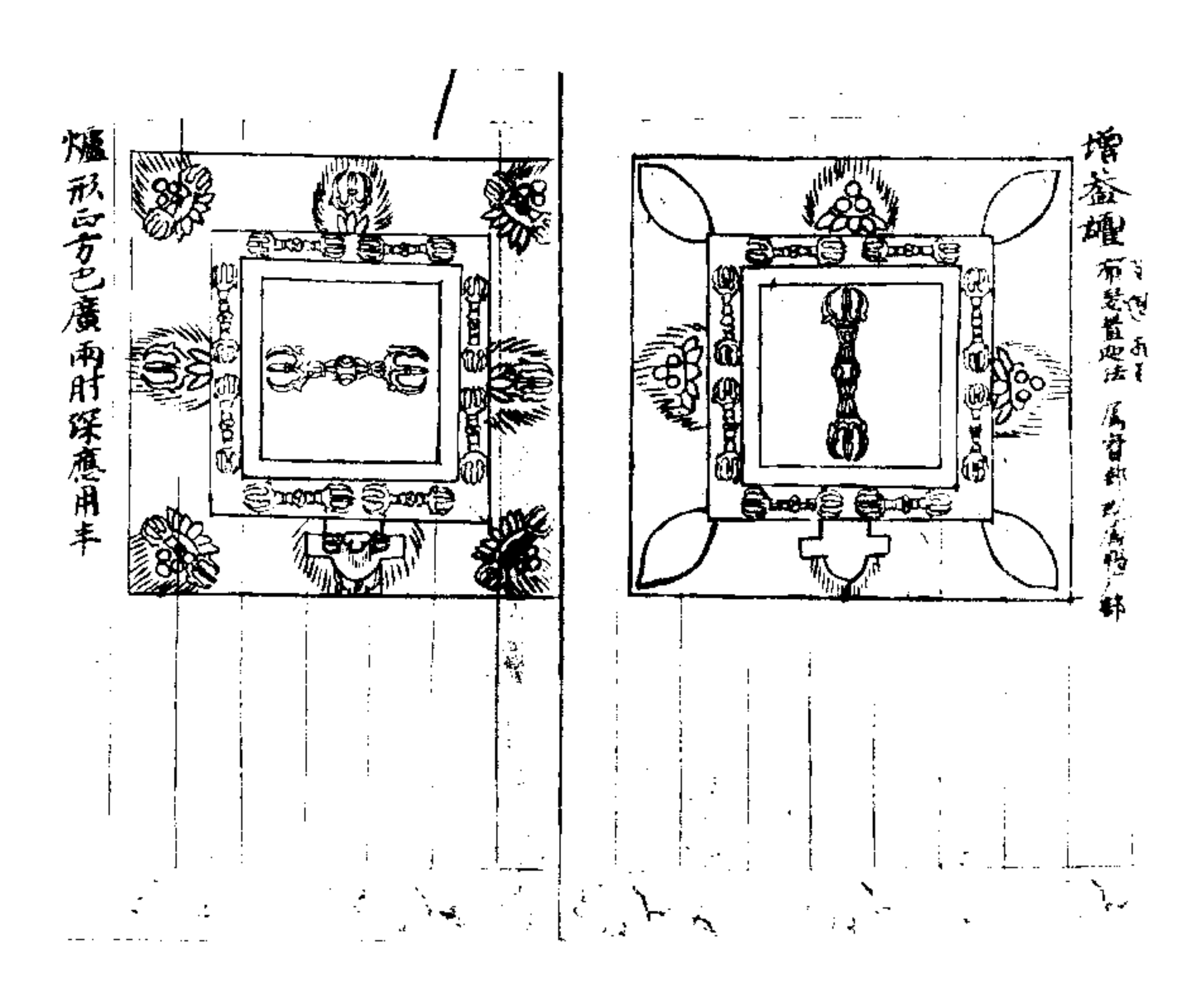
圖像 No. 1. 息災壇（其一）　圖像 No. 2. 息災壇（其二）

爐形〔二〕圓廣一肘（一尺四寸也）深半肘（七寸也）爐緣高兩指（二寸也）
闊四指（四寸）緣内爐口本地開兩指其爐心〔身〕開緊兩闊
四指長兩指從壁項至幕末都十二指云
一一所畫契皆坐蓮花上而有火焔光文
藥種　白芥　人谷　安息　精粗　木蜜　蓮香　芍杞　牙草
名香　白檀　沈　薰陸
加持物　明藏　或粉云胡麻是白芥子也
花　白色也
乳木　（樹）　長十二指守也山削之
粉云上十二指中八指下四指黄木但截四指沈檀等二
三四分隨得截之
粉云息災用香木油若不得者但以胡麻油通於諸
部而供養之
行者向北坐（行者正坐結跏趺坐右押左　大吽軌云跏趺坐面向北）
金剛頂經云　息災粉皮火吽軌云安　稱於普賢住法
當今之處淨居天集會即得成　文
別本大吽軌云息災護摩法左邊用應著白衣面向
北坐應用白檀香龍腦香蘇合香薰陸香沉香等以
為燒香若不得者隨得用之閼伽水著淨器中滅火著
一花色若無著小麦二三許粒其飲食并菓等者
隨力所弁但用清淨若不能弁飲食者取白食上
少量淨器中以花供養其燈明應用香潔之油隨力所
弁或設一燈若二三四燈此諸所用器皆用白色蓋金
至器為上朱器等為中白瓷器等為下護摩木者
稻桑木　穀木　杜仲木　菩提木　文



增益壇

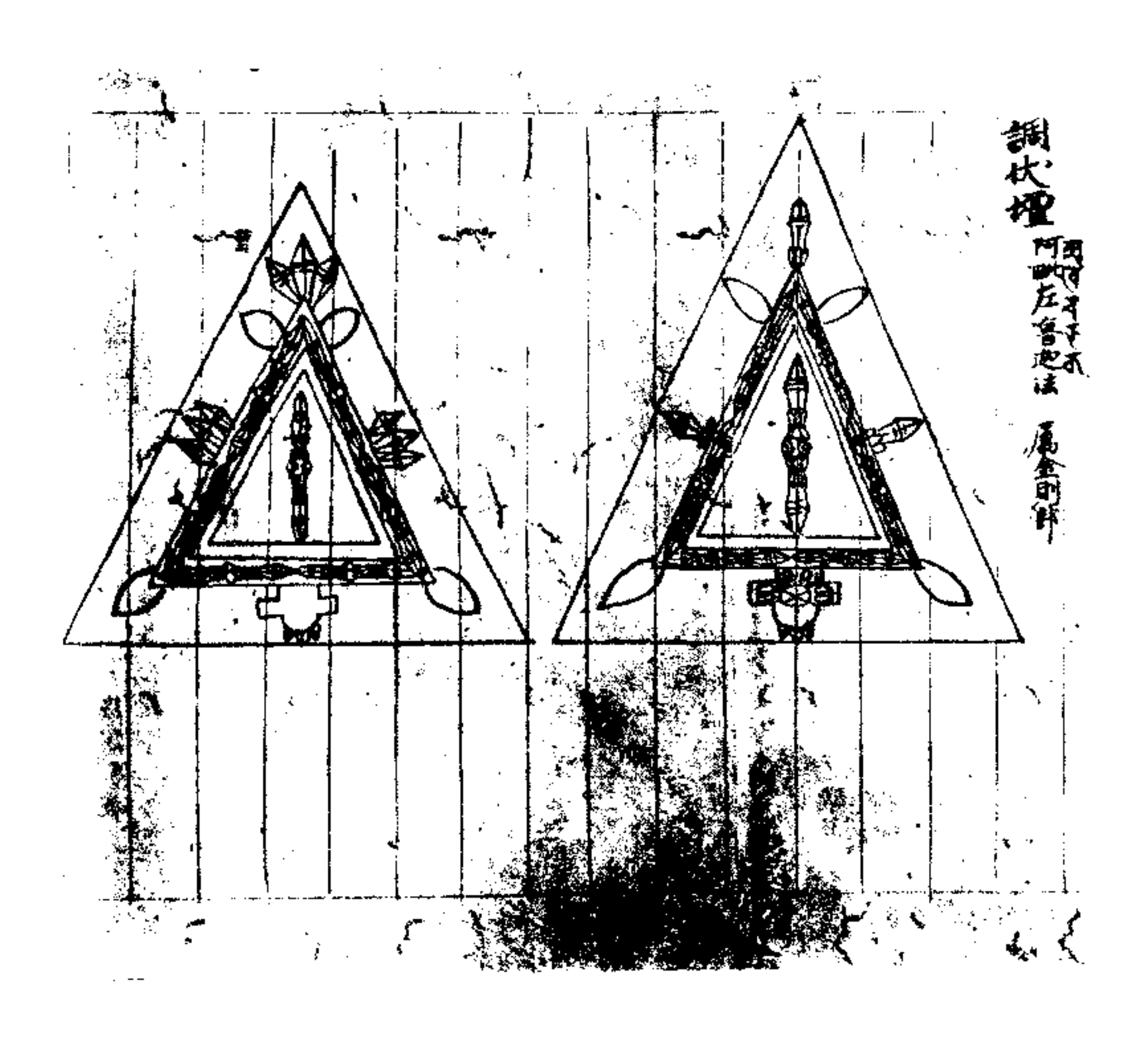




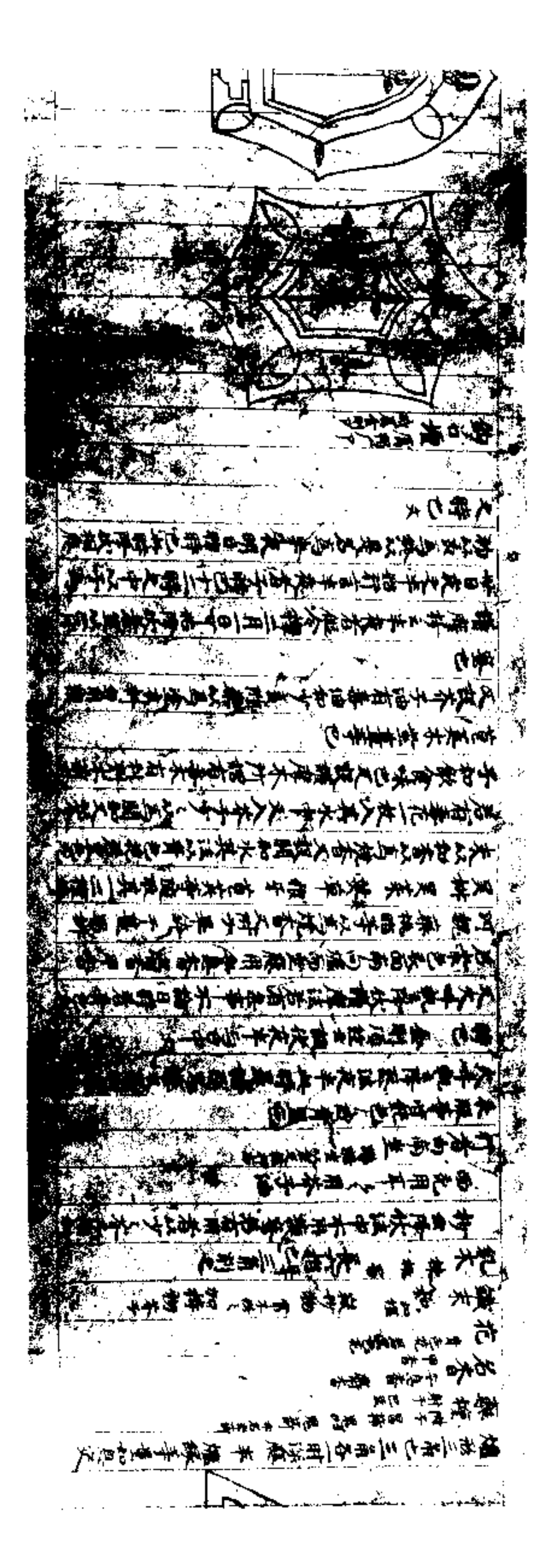
圖像 No. 3. 增益壇（其一）　圖像 No. 4. 增益壇（其二）

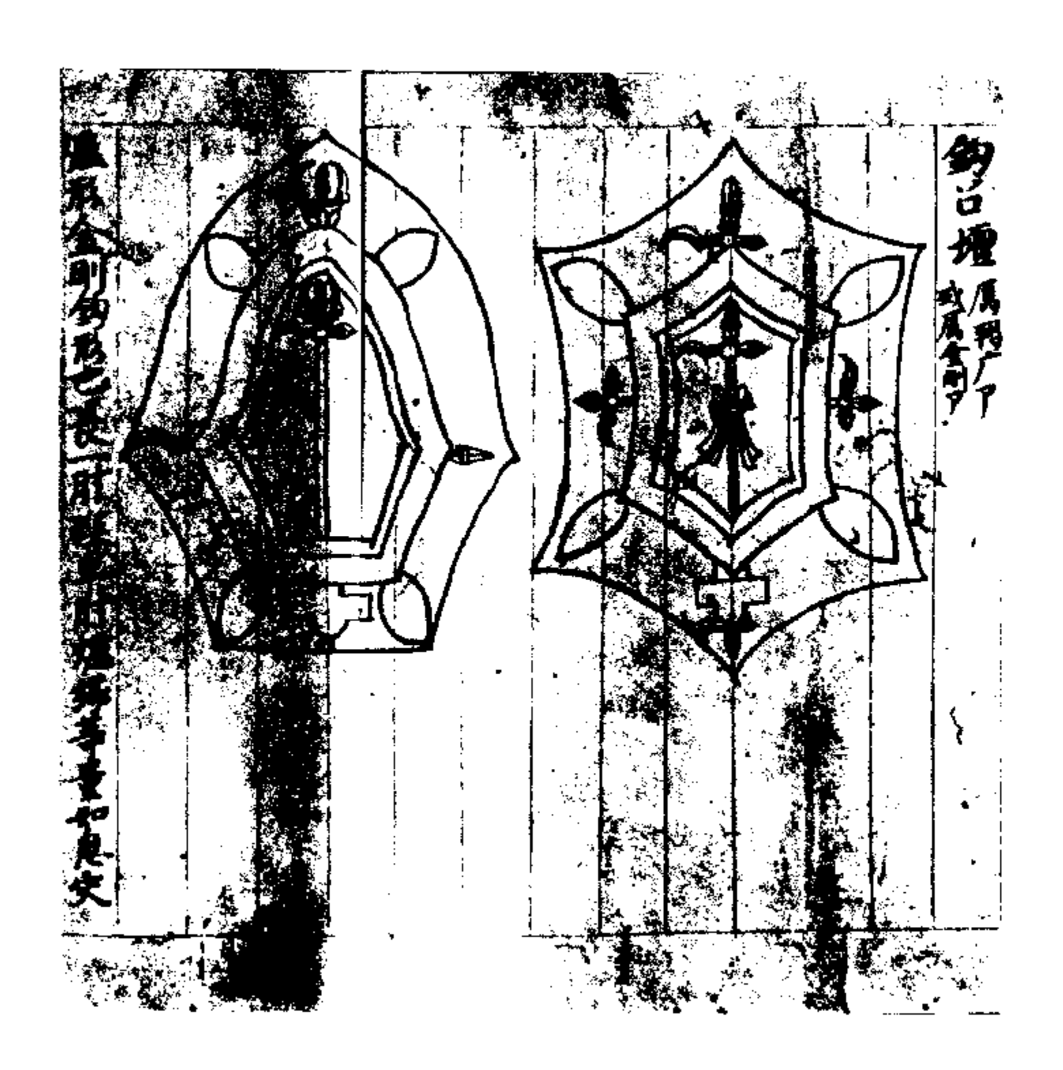
爐形四方色黃兩肘深應用半 肘
護摩地壇之隨方一肘四面半作量深半肘或
大壇亦之色所四爐皆一肘小又一尺
藥種 薑 蒲根 天門冬 訶梨勒 桂心 地黃 枸杞
名香 沈 丁子 欝金
加持物 粳米 飯黃色染之
乳木 叔 桑 搏 長十指已半 方削之 行者向東坐積
歡喜悅心相應
火吽軌云增益護摩法應著黃色衣服面向東坐應
用薰陸香蘇合香龍腦香欝金香楓香等以爲燒香
若不得者隨得用之護摩木 桑木 穀木 杜仲木 皆
佛木等
目簡法日欲出時面向東坐夫坐之著淨衣嚴飾喜悅
時諸天集時被人作法諸天歡喜易成就
金剛頂經云增益日出時之衣服等皆黃色
抄之增益用胡麻油

調伏壇 國之有不以阿毗遮嚕迦法 屬金剛部

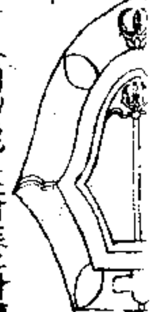


圖像 No. 5、調伏壇（其一）　圖像 No. 6、調伏壇（其二）





図像No. 7. 鈎召壇（其一）　図像No. 8. 鈎召壇（其二）



爐形金剛鉤形也長一肘深半肘爐緣等量如息災

護摩種

名香 丁子 加持物 粳米 乳木 刺木

行者向諸方坐 半跏坐喜怒心相應爲敬愛相應々

但面向西々 衣服等皆如增益

瑜伽護摩儀軌云鉤召佛現前諸方是為鉤召儀々

抄云敕云現諸方者退求所召者之意歟々

金剛頂經云鉤召通一切時也々

瑜伽護摩儀軌云鉤召皆如增益唯花用有刺木茅花

或用本法所説物真言曰

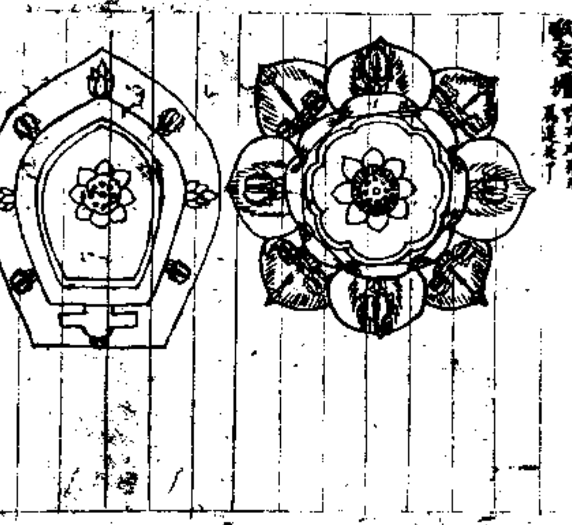
唵嚩日羅二羯里灑三耶弱

於鉤上加被人名即想從本尊心外遍身現出無量金剛

鉤鉤召盡虛空一切佛菩薩聖衆以此衆鉤こ召三界所有

情安置人天善處即以無衆鉤入被人心召來々

敬愛壇



爐敬蓮華形也廣一肘深半肘爐緣等量如息災也

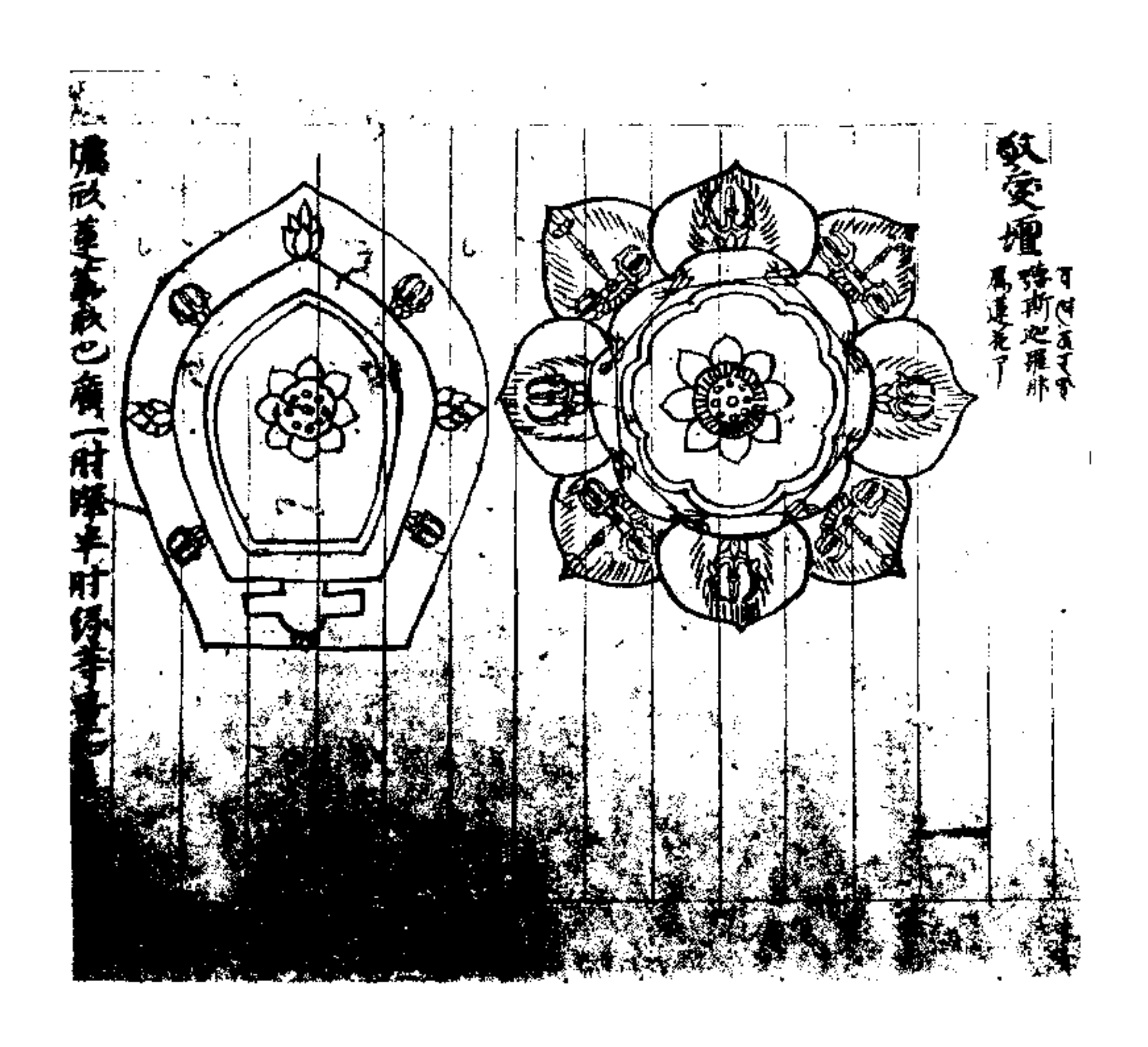
大鉢軌云骨蓋之上種蓋花如不然畫作即觀想之

護摩種 天門冬 名香 白檀 沈 加持物 粳米

乳木 柔軟木 長八指 四寸也 敬愛用蘇麻油

行者向西坐 衣服等皆赤也

金剛頂經云敬愛後夜也



圖像 No. 9. 敬愛壇（其一）　圖像 No. 10. 敬愛壇（其二）

金剛[illegible]安鎮法也

迹命法

黄色

壇敷如當處一肘半　深半肘

華種　名香 加常香　加持物 [illegible]黄色

釘木 銀木 紫木　長十指 手也　胃寺草 烏[illegible]根黒色

行者向東坐 金剛坐

讃抄云方壇名曰陀羅是心王之義明此是大之即

穿彼地底觀金剛性生量故同其金剛不可破壊云々

逢其軌云設方當金色 以香泥塗 明座

於之塗壇畢以白布敷食道始從東北角割繞之

次五橛剌線先作事真言加持之百遍 明[illegible]不動真言[illegible]

打五壇四角始東北方順繞[illegible]之打橛真言曰

唵摩訶[illegible]叶泮　四百遍可誦

次取五色線加持廿一遍 明[illegible]不動真言 已神線真言曰

唵地里々々娑摩羅迦里吽泮吒

繋其橛頭先從東北角始右行繞之

供物奉置壇法物量觀次閼伽水次塗香次花次燒香

次飲食穢飲食中物量觀次酒餅次菓子次飯菩

子等次燈明已從東北角始而什備々

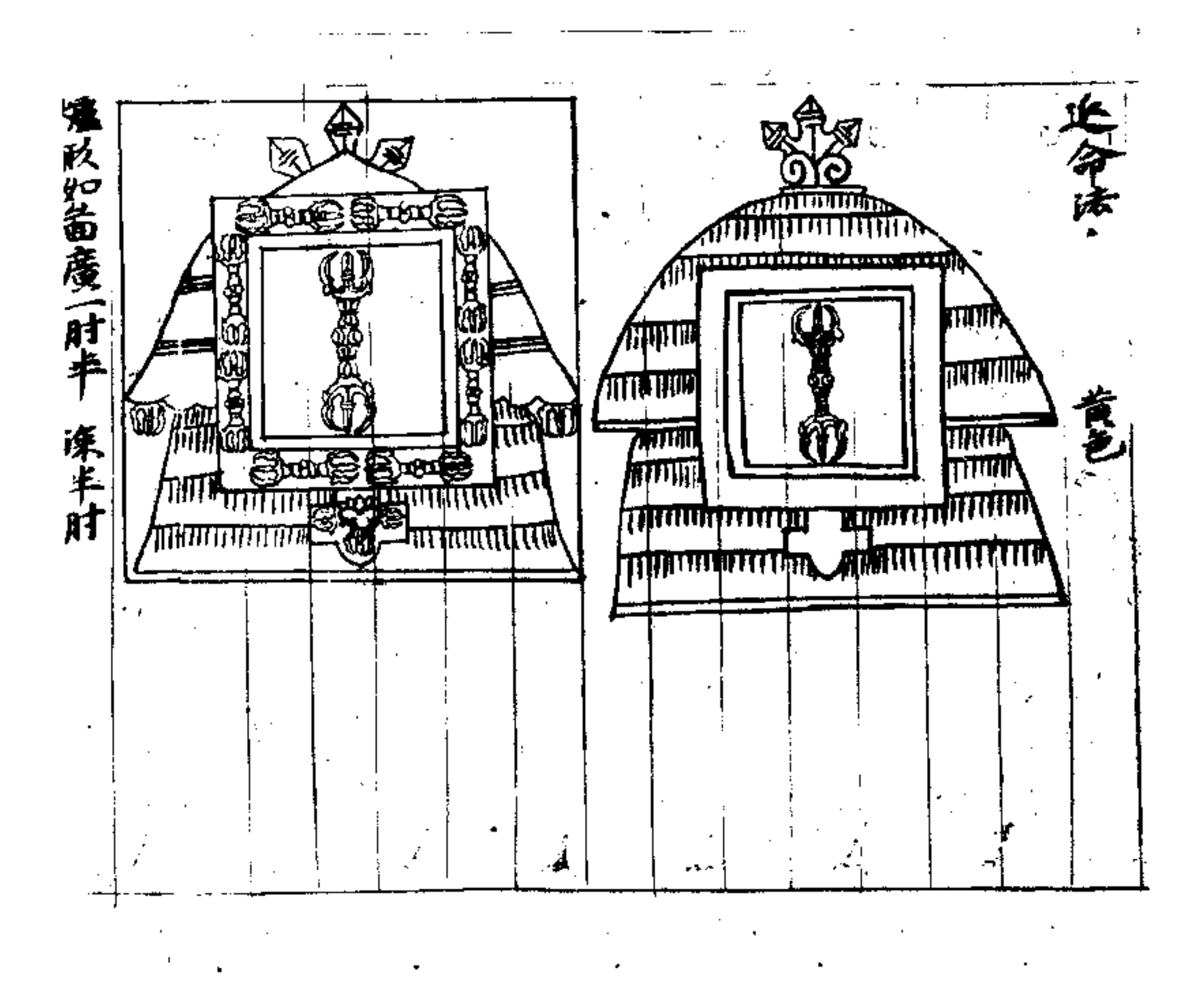
安禅手說云作始修摩時以念怒真言取杵加持橛

等一々百八遍又五十四遍也 明[illegible]不動真言 [illegible]百八遍　若護摩

行二七日者初七日竟次即至于第八日等及拔橛

花卸替而更拝新者序加持如先日也云

[illegible]



圖像 No.11. 延命壇（其一）　圖像 No.12. 延命壇（其二）

一奄唐曾々々吽洋　四百遍可誦

次取五色線加持廿一遍 附耕不動慈救 已神線真言

奄地里々々嚴度羅迦里吽洋吒

繋其頭頸先從東北角始右纒繞之

供物奉置壇法物置觀次閼伽水次塗香次花次燒香

次飲食擬飲食中物置粥次蒸餅次菓子次飲食

子等次燈明也從東北角始西行備之

世拜手記之持[illegible]傳座時以光明真言加持香水

等一々百八遍又五十四遍也 [illegible] 若無暇

行二七日者初七日竟次即出之 [illegible]

死[illegible]替而更拜新座序如持加先日也

掃壇上掃地真言曰

奄賀羅々々祖侘羅々賀羅帑 莎訶

破壇作法

以為[illegible]破壇[illegible]次[illegible]觀光[illegible]

次[illegible]大[illegible]出[illegible]壇[illegible] [illegible]

大金剛輪真言七遍又[illegible]三遍加持之

次出堂

一[illegible]

文和三年[illegible]十二月[illegible]日於[illegible]寺[illegible]

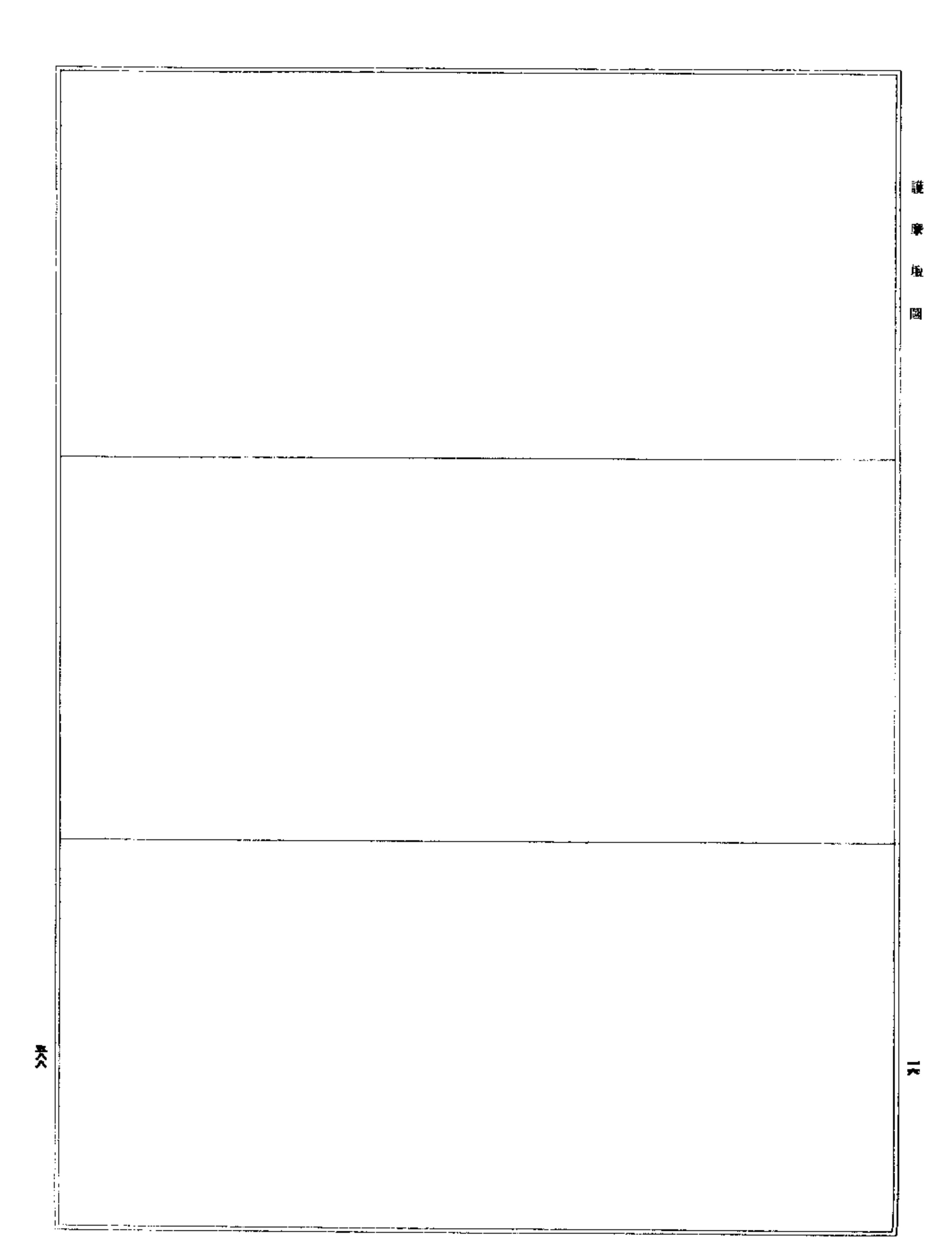
書寫了[illegible]

一身[illegible]

[illegible]

寶永三年十月[illegible]修之

昇[illegible]



成菩提集第一（尊勝以下不足缺本追可寫）

蓮寶坊 永範類聚

佛部

大日一 釋迦二 藥師（三附七佛） 彌陀四
尊勝五 一字金輪六 佛眼七 熾盛
光八 諸佛頂等 阿閦九 延命十
無量壽決定如來十一 定光十二

大日 遍照金剛
種子 阿（胎藏界） 鑁（金剛界）
三昧耶形（卒婆觀）
印

釋迦如來二
梵號
密號 寂靜金剛
種子（婆字加涅槃點暫依義釋意）
三昧耶形 鉢（或說法印）

以婆字爲種子事（婆字傍點有何所表耶）
義釋云婆是有義立王三昧普現二十五有隨類之身皆爲調伏諸有令入祕藏故加傍點也
婆名爲漏亦名爲堅也（之イ）一切有漏有爲之法無力無堅而諸衆生謂有性實堅著不捨是故此法無常敗壞卽便沒在愛著大海今入阿字門則知諸法本來不生況有堅固住者故能以此法王三昧遍破二十五有普閉一切諸惡趣門轉無量塵勞盡成寶處故名爲破有法王於法自在云々
種子義可知之
疏云婆是三有傍有二點卽是除遣三有義也
又明鉢印云作此印卽同如來持恒沙諸佛幖幟之儀（式イ）亦能令一切非器衆生皆堪爲法器也（可案之）
有人云鉢表法身堪爲法器也法身卽爲萬德所依故鉢表所依功德也

印
左手取袈裟二角在心上仰掌右手以空捻火甲隨乳上掌向外（有人出之）
有云二手各以大指捻中指端以左手橫心前以右手向外立乳上（有人授）
具緣品疏云右手竪指以空水輪相持是其標幟也
軌云空持火（或本云持水青龍玄法云持火）
對記有云二手各空水相捻以慧覆定法身印也空火相捻亦覆報身印也空風相捻亦覆應身印也是釋迦三身印也
有人記云空火相捻應身更尋之
有人云吉祥印是應身說法相也上印相合爲報身說法相也上印相反定慧火中立而合之以空押火側爲法身說法相也
有人云前鉢印（或密印云風空相捻法身印也空火相捻報身也水空相捻應身也）
釋云如前持鉢相是釋迦鉢印應（不審）同之

廣大軌云二羽仰臍間（攝軌同之）

大鉢印
經云住瑜伽座持鉢相應以定慧手俱在臍間是名釋迦牟尼大鉢印
義釋云左手持兩衣角（其法取袈裟慧手小火角及掩局之角繞臂週）（入手中令二角如雙耳也）二手相重合以右加左上如坐禪手引上令當臍稍屈如重手承鉢之勢
（私云諸文不遑）
對記云先結跏趺坐或半跏坐也得金剛不動坐也左手先執左袈裟上角次以右袈裟角從臂上而引越之（如イ）從手下入手執其角令二角以（如イ）牛角以此仰手安跏趺上仰右手安其上二空稍立相合是以與定印爲別也
又樣決云如前亦叉二手二空手端相拄亦是定印也

眞言
曩〇南（一引）婆（是有義入王三昧現二十五有之身爲淨三有令入祕藏故加傍點）薩
縛吃哩（二合）捨（一切煩惱）涅（入）素嚩曩（二摧伏）薩婆
達磨（是一切法）縛（無反）鉢始多鉢羅鉢多（是得自在）誐
〻曩三磨三磨（等虛空無等者）娑婆賀

大鉢印眞言
曩〇南婆（□吽釋及攝軌□□□梵字有涅槃點可詳）
身相（或云復赤色著天衣）
胎藏軌云紫金光聚身具三十二相被服袈裟衣坐白蓮花臺爲令教流布住彼而說法（私云白蓮花可思之）
具緣品疏云身眞金色并具光耀三十二相所被袈裟作乾陀色（私謂赤色）坐白蓮花作

說法狀。左手取袈裟角。如今阿育王像。右
手竪指。以空水輪相持。是其標幟也。此白
蓮花即是中台淨法界藏世尊。爲令此教
廣流布故。此以生身標幟而說法之狀。與
本法界身無二無別故。云住彼而說法也。
白蓮花○(無イ)云。釋迦如來膩沙紺青髻。眉間
白毫光照東方。八萬身相黃金色。左定結
拳印。右慧開外方。屈無明小指。叙中頭大
指。跏趺左押右。垂下右輻輪。被服袈裟衣。
安住白蓮花。恒遊月輪中。光明赫々□爲
令教流布住彼而說法。三昧(平)衆圍繞各護
持經者也

讚　釋迦如來眞實圓滿功德讚

曩謨鄔婆迦(引)履也摩訶馱耶多(引)演難
一母尼鑠(引)吃也(合二)僧(思孕反)訶鉢羅鉢底
(丁以反)二縛日羅(合二)馱羅摩護忙哩野惹耶三
鉢利勿栗(合二)怛寫儞多也縛瑳窣都帝(有更)
(讚悲願)

陀羅尼集經第一云

釋迦佛印(此印不得名無號呪)反叉二小指二無名指
於掌中。直竪二中指頭相拄。以二頭指屈
捻中指上節背。右大指壓左大指上(取意)
釋迦印(無名呪)准前唯改。以左大指壓右指
上　釋迦印(無名亦呪)准前唯改。並屈二大指
○(人イ)掌中。若能受持此三印者。乃能日々恭
敬供養。一切罪障皆悉消滅。一切功德念
々增長

曩謨婆誐縛帝舍枳也(合二)牟曩曳怛他誐
哆耶阿羅誐帝三藐三母馱耶

敬禮釋迦牟尼如來正眞正等正覺　大
佛頂(頭註)(大佛頂下恐有脫字)
或云。唵薩婆悉底羅毘瑜陀羅尼娑縛
賀
師說呪。唵薩婆悉智計毘瑟陀羅尼二
娑縛賀
々々小主開孫昇

陀羅尼集經第一云

佛頂破魔結界降伏印呪第二

准前身印(私云前印反叉左右二無名指二小指在於掌中前竪二中指頭相拄屈二食指頭)(壓中指上節背並竪大指捻中指中節側二)唯改二頭指竪頭指相
捻。以二中指各並頭指上節背側。過頭相
拄。並屈二大指入掌內。先應頂戴恭敬印
是已。至心誦呪。々曰
唵一室利(合二)夜二婆醯三莎訶
頂戴恭敬。呪七返已。印左右肩當心咽下
眉間髮際。及印頂後。如是三度。此印及呪
常用護身結界。釋迦牟尼佛初成道時。坐
菩提樹下。先用此印誦陀羅尼。護身結界
降伏諸魔。成等正覺。是陀羅尼印。能解一
切種々毒蟲。種々惡鬼。種々精魅。種々諸
魔。鬼神呪術皆悉除遣。一切厭蠱呪咀口
舌皆悉消滅不能爲害

釋迦牟尼佛懺悔法印呪

左右頭指無名指小指並向下相叉。竪二
中指頭相拄。二大指相鉤右壓左。大指頭
附右頭指側。呪曰
那(上音)謨(上音)薩婆胥惹耶一唵二三婆悉底
(合二)精三莎訶四

是法印呪。能除一切三業罪障。滅諸四重
三逆等罪皆悉除滅

陀羅尼集經第二云

釋迦佛心印。二大中小六指。各竪頭相拄。
以二食指向內相叉右押左。無名亦爾。開
腕四寸(此印與觀音心印同與火頭金剛輪印同)呪云
唵一薩婆悉底(合二)雞毘輪陀羅(上音)尼三莎
訶四
呪師若欲得供養十方諸佛。欲避一切障
難。除一切鬼神。治一切病痛者。應作此法。
若知有鬼病者。作四肘水壇。中心著火爐。
燒柘樹枝。數々誦呪即差。若一日不差。日
々作到七日即差(上已)
或人云。釋迦小呪。唵阿目佉悉弟阿(金剛界義)
(磨令不空成就但非師說)

大佛頂廣聚陀羅尼經第四云

釋迦牟尼佛根本呪

南謨薄伽薄帝舍枳也(合二)牟那曳多他伽
多耶阿(去)羅訶帝三藐三步馱耶怛姪他
唵阿爾帝阿多(引)祚曳何羅何羅米底利
(合二)耶婆嚩枳帝迦羅々々摩訶三末耶(引)
志弟婆羅跋羅摩訶菩提曼荼尾脅莎末
羅婆摩紺三摩炎菩提摩訶菩提嚟縛訶

釋迦牟尼佛心呪

唵末里々々摩訶末里嚟縛訶

釋迦牟尼佛心中心呪

唵末儞々々薩羅莎吧訶

釋迦牟尼佛印根本呪

唵摩母儞陀羅尼件々泮(引)嚟縛訶

釋迦牟尼佛心呪印
唵三末儞室里(二合)鉢莎吧訶
釋迦牟尼佛心中心呪
唵阿奢摩儞鉢
釋迦念誦私記
先洗手嗽口(用齒木浄水豆等浄)　次加持衣。其印相。
以右手作拳。持誦用灑浄衣(按左腰拳)眞言曰。
次著衣　次浄三業　次三部　次被甲
次入堂(持杵持數)入堂明日入堂之時。口(巳上身內)
誦眞言而入於足。眞言曰。唵入縛(二合)哩多
路者曩鉢泮吒(七返)　次到佛前。兩膝著地。
合掌慮心誦懺悔偈。誦浄三業明(如十八契然後)
(禮法)　次著座　次塗香塗手　次加持香
水。右手取杵加持香水(先左轉次右轉用軍荼利印若無者用杵)眞
言曰。唵阿彌哩帝吽泮吒　次灑浄(右手取散
杖取水灑自身壇上供物堂內始自東北角順灑之)　次加持供物　次
去垢　次清浄(三印)　次光澤　次開白神
分等　次供養文　次唱禮　次驚覺
次九方便(若不用供養文唱禮九方便替用金剛輪印眞言)　次發願
次佛部(如十八契)　次蓮(如十八道)　次金剛
(如十八)　次被甲　次地界(如十八)　次金剛
墻(如十八)　次道場觀(用定印)觀想前地結上
(天ィ)有方隅內有大海。々中有寶山。々上有寶
師子座。々上有寶蓮花。々々上有寶樓閣。
懸以綵幡。上有寶繒覆稔羯尼網而以莊
嚴　次三力偈(如十八用普印)　次虛空藏普通
供養(如十八印明)　次觀尊(用定印)觀想前曼陀
羅中心有寶蓮花臺。々上有月輪。々上有
婆字。々變成本體。々變成釋迦如來。住說

法印。具四八相。三部聖衆圍遶云々　次
送車輅　次請車輅　次迎請聖衆(三部印眞
言)　次除遣從魔　次視三昧耶　次閼
伽(如十八契乍捧器明後新願若偏蘇悉地可用彼印明)　次花座　次
獻來偈(用普印)　次金剛網　次火院　次
重結大海(如蘇悉)　次塗香　次花鬘　次
燒香　次飯食　次燈明(胎藏巳上五供養偏若蘇悉地用彼)
(中眞言)　次普供養(如十八)　次讚(用金剛合掌)鑁
謨鳴嚩韷里也摩訶荼夜馱宜那一母捉
捨迦也絲伽鉢羅(二合)跋底(二合)縛折羅(二合)達
磨護摩哩野(二合)惹那三跛哩(二合)普利(二合)路
合計荼也婆○(賀ィ)素塔(二合)帝四　次入三摩
地(用定印)觀想。心月輪上有婆字。々變成大
鉢。漸舒漸大量等己身。鉢變成釋迦牟尼
如來。住說法印。具四八相　次根本印(從師
可受之)眞言(如七反例)　次加持念珠　次正念
誦　次入三摩地(用定印)觀想。心上月輪上
有婆字。諸法有不可得義也　次根本印
明(如前)　次部母印明(佛眼部母若依本部可用金剛部從)　次
塗香　次花鬘　次燒香　次飯食　次
燈明　次讚　次閼伽(捧器作新願)　次解界
(用火院印明誦明後左轉三匝眞言除迦ヲサヤ句加縈瑳ヾヾ句以大指向外拂中指頭ヾ)　次禮佛　次奉送(結送車輅印誦)　次結迎請聖衆
印。三部末加縈瑳々々句。以大指向外拂
之。或不用之　次三部三昧耶　次被甲
護身　次九方便　次隨方迴向　次下
座禮佛　次出堂
釋迦念誦私記(丹州)

藥師
種子　阿(師說)　或
三摩耶形　佛頂印



又師云。壺(或人云阿迦陀藥)

疏云。經中有種子者。當如法置之。如經不
載。當取梵名中最初字爲種子字。或可通
用阿字。
又云。十方佛等各依常相圖之者。若作○(契ィ)
印。常如來頂相。種子即以阿字
又云。如來頂相具攝一切功德。凡手中無
初可爲標幟者。皆應置之
私云。婆是一切法有不可得義。愛是一
切法因不可得義也
印
陀羅尼集經第二云。以左右手頭指已下
八指反叉入於掌中。右押左。兩腕相去五
寸許。以二大指來去
覺大師說如此經說。證大師說印。不離腕。
只佛部心印也。夜叉供阿闍梨印眞言(更問)
眞言
陀羅尼集經
唵一呼盧呼盧二戰馱(去引)利三摩橙祇四
莎訶
又云。藥師瑠璃光佛大陀羅尼呪曰
那謨羅怛那(二合)路羅(二合)夜耶一那謨金毘

羅二和耆羅三彌佉羅四安陀羅五摩尼
羅六素藍羅七因達羅八婆耶羅九摩休
羅十眞持羅十一照頭羅十二毘伽羅十三那讀
毘舍闍毘留十四毘留離耶十五毘鉢羅頗羅闍
去音耶十六跢姪他十七唵毘舍是毘舍是十八毘
舍闍十九婆摩羯帝二十莎訶（二異言共用前釋印）
新譯藥師經下云（義淨）時彼世尊入三摩地。
名曰滅除一切衆生苦惱。既入定已。於肉
髻中出大光明。光中演說大陀羅尼呪曰
南謨薄伽伐帝鞞殺社窶嚕薜瑠璃鉢喇
婆曷羅闍也呾他揭多也阿羅訶帝三藐
三勃陀也呾姪他唵鞞殺逝鞞殺逝〇（鞞殺社イ）三
沒揭帝莎婆訶
心呪
唵鞞殺逝鞞殺逝鞞殺社三沒揭帝莎訶
（印初請印有人出之）
藥師如來頂上光明眞言梵字譯（安然釋集）
梵字光明眞言
[illegible]
[illegible]
[illegible]
訣云。此中[illegible]讃[illegible]鞞[illegible]瑠字[illegible]蘇字[illegible]陀
字[illegible]呾[illegible]姪字持爲不正故難用之
梵字光明眞言（珍和上本）
敬禮藥師如來正眞等覺正尊
曩謨婆誐嚩帝俈殺爾耶（二合）虞嚕吠女嚟
耶（二合）鉢羅（二合）婆羅惹耶怛他誐路耶阿羅
訶帝三藐三母馱耶
陀羅尼集文云。毘舍闍毘留留毘留離耶

本經云。毘舍闍俱嚕（二合）吠流璃喇也
讃
曩莫薩嚩勃馱曩薩嚩入奈（入）迦盧荼怛
麽（二合）迦訶羅（引）覩迷俱魯吠女里也（二合）入
縛羅（引）ミミミ怛他誐多摩訶捺耶曩謨
悉羯羅
或書云。藥師如來念誦儀軌（不空譯更問之）今
讃出之。名結護讃。有注撿之
日光月光十二神將印眞言（大師御傳云）
唵嚕褒（引）儞庾（二合）多婆嚩訶
外縛進力竪反屈如寶形。大指直竪。不改
寶印。而以下三指開舉而覆旋轉
唵賛捺羅（二合）鉢羅（二合）婆野婆嚩訶
右手作拳置腰。左手大指水指相捻。如持
花勢。臂向外。掌中觀有半月
用大陀羅尼。如自曩讃至于微伽羅也。但
加旋底迦俱魯婆嚩賀。內縛地水合竪也。
又可用諸藥叉眞言
諸藥叉印眞言　定拳屈風如鈎。兩手置
腰。更有異說。撿對記
曩〇南藥乞叉（二合）濕嚩羅野婆嚩（二合）賀
唵婆多曳娑婆訶（唵下加十二神當名）
十二神將呪　右手作拳。屈人指如鈎
曩〇（如上大呪也）
金毘羅　和耆羅　彌伽羅　安他羅
摩尼羅　宗林羅　因持羅　波耶羅
摩休羅　眞陀羅　照頭羅　毘伽羅
宮毘羅（藏項帛尸利密多）拔折羅　迷企羅　頞儞羅

末儞羅　波儞羅　因陀羅　波夷羅
薄呼羅　眞達羅　朱杜羅　毘羯羅
（二卷義淨）
宮毘羅　伐折羅　迷企羅　安底羅
頞儞羅　珊底羅　因達羅　波夷羅
摩虎羅　眞達羅　招杜羅　毘羯羅
（玄奘）
金毘羅　和耆羅　彌佉羅　安陀羅
摩尼羅　素藍羅　因達羅　波耶羅
摩休羅　眞持羅　照頭羅　毘伽羅
（阿地瞿多陀羅尼集經）
或人云。四本之經梵號共同。漢字少異。
皆是梵語之囀輕重之別也
問。先德曰。釋迦（普賢金剛手）藥師（文殊地藏）栴
檀香佛（摩利支大勢至）無量壽（觀音彌勒）十二神
內護外護度衆生
（牟利曼陀羅經文有人設云少異之）私云未見本經
一行阿闍梨十二神將集
金毘羅者。徵明。即亥神。彌勒菩薩
和耆羅者。是河魁。戌神。得大勢菩薩
彌佉羅者。是從魁。酉神。阿彌陀佛
安陀羅者。傳送。申神。觀世音
摩尼羅者。是小吉。未神。摩利天菩薩
蘇藍羅者。勝先。午神。虛空藏菩薩
因陀羅者。太一。巳神。地藏菩薩
婆耶羅者。天罡。辰神。文殊師利菩薩
摩休羅者。大衝。卯神。藥師佛
眞持羅者。功曹。寅神。普賢菩薩
照頭羅者。大吉。丑神。金剛手菩薩

毘伽羅者。神后。子神。釋迦佛
大集經三十五云。又此世界諸菩薩等。或作天像調伏。或作龍像(乃至)遊閻浮提教化如是種類衆生云云　閻浮提外東方海中有瑠璃山。名之爲潮。高二十由旬。具種種寶。其山有窟。名種種色。是昔菩薩所住之處。縱廣一由旬。高六由旬。有一毒蛇在中而住。修聲聞慈。復有一窟。名曰無死。有一馬修聲聞慈。復有一窟。名曰善法○有一羊修聲聞慈云云　南方海中有頗梨山云云　其山有窟。名曰上色云云　有一獼猴修聲聞慈。復有一窟。名曰誓願云云　有一雞修聲聞慈。復有一窟。名曰法林云云　有一犬修聲聞慈云云　閻浮提外西方海中有一銀山。中有一窟。名曰金剛云云　有一猪修聲聞慈。復有一窟。名香功德云云　中有一鼠修聲聞慈。復有一窟云云　中有牛。閻浮提北方海中有一金山。名功德相云云　中有窟名爲明星云云　有一師子云云　復有一窟。名曰喜樂云云　中有龍云云　是十二獸。晝夜常行閻浮提內。人天恭敬。功德成就已。於諸佛所發深重願。一日一夜常令一獸遊行教化。餘十一獸安住修慈。因(周イ)而復始七月朔日鼠初遊行。以聲聞乘教化一切鼠身衆生。令離惡業勸修善事。如是次第至十三日。鼠復還行。如是乃至盡十二月至十二歲亦復如是。常爲調伏諸衆生故。善男子。是故此土多有功德。乃至畜獸亦能教化演說無上菩提之道。是故他方諸菩薩等常應恭敬此佛世界(已上)

或人集云。地心經云。正月徵明彌勒菩薩。二月河魁觀自在菩薩。三月從魁無量壽佛。四月傳送得大勢菩薩。五月小吉摩利支天菩薩。六月勝先旃檀香佛。七月太一地藏菩薩。八月天罡文殊師利菩薩。九月大衝藥師瑠璃光佛。十月功曹普賢菩薩。十一月大吉陀羅尼菩薩。十二月神后釋迦牟尼佛

然此一經依非正經。所不信也。此則我朝之人可所爲矣。然而依有佛號暫取其文。又有別出。又有人云。一行和尚記云云　未見正文

又云。金毘羅者徵明即亥神彌勒菩薩也。和耆羅者是河魁即戌神大勢至菩薩也。彌佉羅者是從魁即酉神阿彌陀佛。安陀羅者是傳送即申神觀世音菩薩也。摩尼羅者是小吉即未神摩利天也。宗藍羅者是勝先即午神檳摩呪菩薩也。因持羅者太一即巳神地藏菩薩也。婆耶羅者是天罡即辰神文殊師利菩薩也。摩休羅者是大衝即卯神藥師佛也。眞陀羅者是功曹即寅神普賢菩薩也。照頭羅者是大吉即丑神陀羅尼菩薩也。毘伽羅者神后即子神釋迦牟尼佛也(已上。與上有相違可見之)

淨瑠璃淨土標(叡山本不在之仍別出)

四十九燈事

陀羅尼集經第二云。若有人等多諸罪障。及諸婦女難月産厄。願欲轉禍求福。并患鬼神病難差者。以五色線面作呪索。用繫病人頂及手足腰腹等處。仍敎令作藥師佛像一軀。寫藥師經一卷。造幡一口。以五色成四十九尺。又復敎燃四十九燈。燈作七層形如車輪。安置像前。又敎放生四十九頭。然後與作五色呪索。作呪索法。得線未搓。即燈名香發願已。呪四十九返香烟熏竟。搓線作索。呪聲無絕。搓作索已。以印拄之。更呪其索四十九返。然後結作四十九結。一呪一結數足即止。應將此索繫彼人身。又轉藥師經四十九返。所有罪障皆得解脫。臨產之時一無苦惱即得易生。所生孩子形貌端正。聰明智慧壽命延長。又不遇橫苦。常得安穩鬼神之病立即除斷。

藥師瑠璃光佛大陀羅尼呪曰

那謨囉怛那(二合)路羅(二合)夜耶(乃至)莎訶(印用前印)

是法印呪。佛左維耶離耆樂樹下。與三萬六千人俱。及十二神王并諸眷屬。天龍八部大神王。在如是等大衆會中。說此法已。大衆皆聞無不歡喜(以下文廣)

本願經云。續命幡燈復云何造。救脫菩薩言。讀誦此經四十九返。燃四十九燈。造彼如來形像一(七イ)軀。一一像前各置七燈。一一燈量大如車輪。乃至四十九日光明不絕。造五色綵幡。長四十九搩手。應放雜類衆生至四十九。可得過度危厄之難。不爲諸橫惡鬼所持云云

七佛本願經云。若有病人云云　晝夜六時○讀誦此經四十九返。燃四十九燈。造彼

如來形像七軀。一〻像前各置七燈。其七燈狀圓如車輪。乃至四十九夜光明不絕。造雜綵幡四十九首。幷一長幡四十九尺。放四十九生云〻

或軌云。晝夜恒照明云〻

或軌云。放水陸生日滿四十九

又云。放水陸生四十九頭

灌頂經云。救脫菩薩白佛言。去東方十恒河沙世界有佛。號瑠璃光云〻。神幡五色四十九尺。燈亦復爾。七層之燈。一層七燈云如車輪云〻

又云。懸五色續命神幡云〻

本願經云。請諸衆僧轉讀此經。燈七層之燈。懸著五色續命神幡云〻

私云。七層以灌頂經文可案之。又灌頂經陀羅尼集經不云造立形像七軀

靖邁疏云。燃四十九燈。造藥師像七軀。下別明。置像安燈方法。謂造七軀像云〻。別自處一度。又造七輪燈。形量大如車輪。一〻像前各置一輪燈。一〻輪上各安七盞燈云〻

七佛文（私問云。七佛藥師者一佛像七軀造歟。當爲如何。新譯東方七佛歟）

本願經云。佛告文殊師利。東方去此過十競河沙等佛土有世界。名淨瑠璃云〻

七佛本願經云。佛告曼尸利。東方去此過四競河沙佛土有世界。名曰無勝。佛號善名稱吉祥如來云〻。發八大願。過五競河沙佛土有世界。名曰妙寶。佛號寶月智嚴光量自在王如來云〻。發八大願云〻。過六〻〻〻〻。名曰圓滿香積。佛號金色寶光妙行成就如來云〻。發四大願云〻。過七〻〻〻。名曰無憂。佛號無憂最勝吉祥如來云〻。發四大願云〻。過八〻〻〻。名曰法幢。佛號法海雷音如來云〻。發四大願云〻。過九〻〻〻。名曰善住寶海。佛號法海勝慧遊戲神通如來云〻。發四大願〻云。過十〻〻〻。名曰淨瑠璃。佛號藥師瑠璃光如來云〻。發十二大願云〻

七佛經云。若有淨信男子女人。得聞如七佛○所有名號云〻

本願經云。淨信男子女人。得聞世尊藥師瑠璃光如來云〻

七佛經云。欲供養彼七佛者。應先敬造七佛形像

本願經云。欲供養彼世尊藥師瑠璃光如來者。應先造立彼佛形像云〻

七佛經云。若有女人臨當產時云〻。供養七佛如來云〻

本願經云。供養彼如來者（意云藥師如來）

七佛經云。如我稱揚彼七如來名號功德。此是諸佛甚深境界云〻

本願經云。藥師瑠璃光如來所有功德。是諸佛甚深境界云〻

七佛經云。恭敬供養彼七如來。其法云何

本願經云。應云何恭敬供養彼世尊藥師瑠璃光如來云〻

傳敎大師傳云。延曆二十四年閏十月二十三日。大宰府竈門山寺爲渡海四船平達。（遂イ）敬造檀像藥師佛四軀。高六尺餘。其名號無勝淨土善明稱吉祥王如來已上

藥師次第（已前作法如例）

先三部三摩耶　次被甲　次地結　次金剛墻　次道場觀。觀想。此地結上金剛墻內卽瑠璃地也。其地中心有大宮殿。七寶所成。有無量莊嚴殿。內有大曼荼羅。四角有四賢瓶。無量供具周匝陳列。曼荼羅中心有大蓮花臺〻上有阿字。〻變成佛頂印。〻變成藥師如來。日光月光坐於左右。八供四攝菩薩周匝圍遶。十二神將外金剛部天等其外圍遶云〻　次三力偈。

次普通供養　次隨方勸請（用普印）

至心奉請　淨瑠璃土　十二大願
藥師如來　日光月光　遍照菩薩
內外八供　四攝薩埵　十二神將
外金剛部　護法天等　還念本誓
大悲願界　降臨壇場　受我供養

次送車輅　次請車輅　次迎請聖衆　次辟除　次示三昧耶　次金剛網　次火院　次閼伽（先新願次眞言）　次花座　次善來偈　次重結大海　次五供養　次讚。次入三摩地。觀想。心月輪上有𤙖阿字。〻變成佛頂印。〻漸舒漸大。擧體成佛頂印。〻變藥師如來　次根本印　次加持珠。次正念誦　次質珠本處　次入三摩地。觀想。月輪上有阿字。阿字本不生義也　次部母印明。次五供養　次普供養　次讚　次閼伽（先新願次眞言）　次解界　次禮佛。

次奉送　次三部　次被甲　次五悔
次迴向　次下座　禮佛(已上)

南謨薄伽伐帝鞞殺社婁嚕薜瑠璃耶鉢

剌婆曷羅闍也呾他揭多也阿羅訶帝三

藐三勃陀也呾姪他唵鞞殺逝鞞殺逝鞞

殺社三沒揭帝莎訶
兩卷經文如之。陀羅尼集經云。毘嚕𨋢耶。
大佛頂經云唵瑠唎也。金剛智大佛頂云。
吠嚩耶(二合)不空本作吠女(引去)
嚩耶(二合)注大佛頂梵字眞言疑作吠
女哩也。最勝王梵字眞言吠女
哩也。今云。實是吠女哩也。寫者暗
於梵文。或作。讀者暗梵音或呼鞞
瑠璃耶。本作短聲女字。或作長聲女字。
寫者誤作字。亦作字。注大佛頂疑作
字。此字唯有都魯之音。而無女音。讀者
強作如魯之音。而背字形(聲或字作長)
爾時衆中有十二藥叉大將。俱在會坐。其
名曰宮毘羅大將○毘羯羅大將
療痛病眞言曰

怛姪他(翠イ)要婁莫婁怛羅婁麼麼婁具麗訶

(呼玄)醯(去)末羅ヽヽ竪樹麗布囉莎訶

阿彌陀　清淨金剛
梵號
阿利也彌多婆野薩怛他二誐
多(入)
種子　胎藏三字
安然和尚記云。圖。釋。抄
疏云。娑是諸漏○而上有點。定此諸漏。即
同大空也
疏第二十云。次即暗字三菩提也。以萬行
故成等正覺。其佛名阿彌陀。即西方也
師云。以暗欠等宛五佛。并以阿等五字宛
五佛不同。能可案之
三摩形
或人云開敷蓮花。或云初割蓮花(開敷初割何如異)
印　八葉印
胎軌云。開敷妙法蓮花。攝初印散火水。地
合空亦然
廣軌云。即以初印散水輪火輪
經云
義云。如前作印。三補吒合掌。其二水二火
指開帳。其地風等指。先已開張作初割蓮
花(私云地字可問之)
眞言
胎軌云。蓮花藏眞言曰(阿彌陀青龍注)○南橼
婆縛(二合)賀
金剛界

種子　紇哩字
三摩耶形　師云。開敷蓮花(杵也 窣)
理趣釋云。紇哩字具四字成一眞言。賀字
門者一切法因不可得義。羅字門者一切
法離塵義。塵者所謂五塵。亦名能所二種
執著。伊字門者自在不可得。二點惡字義。
惡字名爲涅槃。由覺悟諸法本不生故。二
種執著皆速離證得法界。紇哩字亦可慚
義。若具慚愧不爲一切不善。即具一切無
漏善法。是故蓮花部亦名法部。由此字加
持。於極樂世界水鳥樹林皆演妙法。廣如
經中所說。若人持此一字眞言。亦能除一
切災禍疾病。命終已後當生安樂國土。得
上品上生云ヽ
印
羯磨會無量壽佛印眞言。二手仰相叉。二
頭指竪相背。以二大指橫安二頭指上。定
印。眞言曰
唵盧(引)計濕縛羅ヽ惹紇哩(二合云印。阿彌陀定發菩法橡)
(王印如來眞言觀自在眞言也)
三摩耶會云。二手仰外縛。改二中指直竪
相合圓閉如蓮花葉。眞言曰
縛日羅(二合)枳惹(二合)南嚩利(二合)
觀自在王儀軌云。次結根本印。堅固縛。以
忍願相拄。如蓮花葉形。誦密言
唵一路計濕縛(二合)囉囉囉(引)惹訖利(二合四)
別行儀軌云。二手外相叉作拳。竪二中指
頭相拄。如蓮花葉形。陀羅尼曰
曩謨(引)羅怛曩(二合)怛羅(二合)夜(引)耶一娜莫

阿引去哩野引二合弭路引娑引去耶怛他蘖路
引夜曬曷帝三藐三沒馱耶三怛儞也合二
他四唵阿密㗚合五帝五阿密㗚合二姤納婆
吠阿密㗚合二多三婆去吠阿密㗚合二多蘖
陛八阿密㗚合二多悉弟九阿密㗚合二多帝
際阿密㗚合二多尾紇隣帝阿密㗚合二多尾
訖磷多誐弭寧二十阿密㗚合二多誐誐曩吉
底迦隸三十阿密㗚合二多鞴上合二努娑嚩合二嚇
去薩嚩引羅他娑馱寧五十薩嚩羯磨訖禮
引二合捨吃灑孕迦隸娑嚩賀十六
此無量壽如來陀羅尼纔誦一返則滅身
中十惡四重五無間罪一切業障悉皆消
滅若苾蒭苾蒭尼犯根本罪誦七返已卽
時還得戒品清淨誦滿一萬遍獲得不廢
忘菩提心三摩地菩提心顯現身中皎潔
圓明猶如淨月輪命終時見無量壽如來
與無量俱胝菩薩衆圍遶來迎安慰行者
則生極樂世界上品上生證菩薩位已上
彌陀如來眞言亦云十甘露眞言
曩謨乃至迦隸娑嚩合二賀如上
[illegible]
或經云阿彌陀呪
曩謨弭哆婆引耶怛他誐多野怛儞也他

去阿密哩合二都納婆吠阿弭多三婆吠阿
弭多尾訖蘭合二帝娑嚩合二賀
別行儀軌云無量壽如來心眞言
唵阿密哩合二多帝際賀羅吽引
誦十萬返得見阿彌陀如來命終決定得
生極樂世界私云此文儀軌有無不同也
大佛頂廣聚陀羅尼經第四云阿彌陀佛
心呪
唵阿密哩合二多帝誓訶羅吽
此呪誦百千返阿彌陀佛自身現來一切
諸佛菩薩并諸四衆○比丘比丘尼優婆
塞優婆夷天龍夜叉等並皆得見命終之
後生極樂世界蓮花化生更不墮邊地下
賤八難六趣之身所生之處常得宿命所
聞不忘若求願者皆得成就
阿彌陀佛心中心呪
唵阿密栗合二底許許
問修此法壇場供具樣如何
儀軌云爾時金剛手菩薩在毘盧遮那佛
大集會中○白佛言世尊我爲當來末法
雜染世界惡趣衆生說無量壽如來陀羅
尼修三密門證念佛三昧得淨土入菩薩
正位不以小福無慧方便得生彼刹是故
依此教法正念修行決定生於極樂世界
上品上生獲得初地若在家出家願生淨
土者應先入曼荼羅得灌頂已然後從師
受念誦儀軌或於勝地或隨所居塗拭淨
室建立方檀上張天蓋周匝懸幡壇上分
布八曼荼羅白檀香用塗聚位於檀四面

而安無量壽如來像持誦者於壇東坐向
西對像或敷茅薦或坐單脚小床每日三
時散種々花置二閼伽或用蠡盃及寶金
銀銅器石瓷瓦等未經用者滿盛香水置
於壇上於壇四角安四賢瓶燒香燈明塗
香飲食隨力所辦一々加持慇懃供養
淨三業印眞言觀念如例次作禮等如文次
佛部想彌陀相好得身業清淨悉如文次
蓮部想觀音相好得口業清淨悉如文次
金部想金剛藏得意業清淨悉如文次被
甲悉如文次地結悉如文次金剛墻如文
次大虛空印眞言如文
次想壇中有訖哩合二字於大光明如紅頗
梨色遍照十方世界其中衆生遇此光者
無有不得罪障消滅
次結如來拳印以左手四指握拳直豎大
指以右手作金剛拳握左大指甲卽成以
此拳印々地眞言加持七返變其世界如
來拳眞言曰
唵步入引欠一
由此印及眞言加持故卽變此三千大千
世界成極樂刹土七寶爲地水鳥樹林皆
演法音無量莊嚴如經所說已上
金輪王佛頂念誦法云次結如來拳印左
手蓋光高勝四指握拳豎左輪右手作金
剛拳握左輪甲眞言
唵僕引欠入嚩合二羅吽引
隨誦眞言以印加持自身五處身器清淨
與法相應便以印加持道場中地眞言七

返其處變成金剛界宮。自然有衆寶嚴飾。
如佛淨土(巳上)
金剛頂祕密最勝教王降三世極祕密法
要云(此文同上)
大樂金剛薩埵修行成就儀軌云。次想於
頭上冠中五佛。各々依本形色住本印威
儀。並跏趺而坐。頂上毘盧遮那如來白色。
二拳舒左大指。以右拳握初分。當心前(巳上)
次寶車輅印眞言(如文)觀想(如文)次請車輅
印眞言(如文)觀想(如文)次迎請聖衆印眞言
(如文)觀想(如文)次馬頭印呪(如文)次金剛網
印呪(如文)次火院印呪(如文)次閼伽印呪
(如文)次蓮花座印呪(如文)觀想(如文)次廣大
不空摩尼供養印呪(如文)觀想(如文)次讚
曩謨引弭路引婆(去引)野曩謨引弭路引庾
曩(引一)曩謨引進底野(二合)曩拏(上引)迦羅引答
麼(二合)寧(引二)曩謨引弭路引婆野爾(慈反)以曩
(上)野帝(上引)母寧素佉(去引)縛底姪(二合)夜引弭
多縛引羚鈕波野(引四)索佉(去引)縛底孕(二合)迦
曩迦尾唧怛羅(二合)迦曩南(五引)麼(上)羚羅餘
引素曩多素帝引羅稜(去)訖哩(二合)耽多噂
引室羅(二合)夜答鉢羅(二合)體(町反)以多變拏寫
地引麼(上)多七鉢羅夜引弭擠引摩護變
拏(上)囉怛曩(二合)散左琰(引八)
修行者每日三時常誦此讚。々佛功德(以下)
(文廣如軌)
次結無量壽如來根本印。二手外相叉作
拳。豎二中指頭相拄。如蓮花葉形。結此印
已。誦無量壽如來陀羅尼七返。以印於頂

上散。陀羅尼曰(陀羅尼并功能等如上)即取蓮子念珠
安於手中千轉念珠眞言(如文)次觀三摩
地(如文)次結普印供養印 次獻閼伽
次結前火院印。左轉一匝解前結界 次
奉送(如文)次三部三昧耶 次被甲
出堂。隨意經行。常讀誦無量壽經。懷增上
意樂。精勤念誦。印佛印塔。樂行檀施。修持
禁戒忍辱精進禪定智慧。所修善品皆悉
迴向。共諸衆生同生淨土上品上生。證歡
喜地得無上菩提記。蘄此法通一切蓮花
部(巳上)
私記
先洗衣浴身 次安置尊壇 次加持衣
(如例)次著衣(如例)次護身。先淨三業(如例)
次三部三昧耶(如軌)次被甲護身(如軌)次
持珠杵入堂 次禮佛。先到佛前雙膝長
跪。二手蓮花合掌當心。頌懺悔偈(如十八道)偈
後誦淨三業眞言。定印散頂上 次普禮
(軌云)次著座(結跏半跏右押左)次塗香塗手 次
加持香衣(若無杵者用辨事明)次灑淨(如例)次加持
供物(以辨事明先左轉次右轉)次去垢(如例)次清淨印
明 次啓白 次神分等 次供養文
次唱禮 次驚覺 次九方便 次發願。
次三部 次被甲 次結地結 次金剛
墻 次大虛空藏(已上如軌私云行者想念依此印眞言前地結上金剛墻內有)
(宮殿樓閣內有大壇有諸供具周匝陳列云々)次觀本尊軌云。次想
壇中(乃至)罪障消滅。字變成開敷蓮花。蓮花
變成阿彌陀如來。左右有二薩埵云々
次如來拳 次三力偈(用普印此次若振鈴) 次送車

輅 次請車輅 次迎請聖衆 次馬頭
(已上如軌)次示三昧耶 次金剛網 次火
院 次閼伽 次花座(已上如軌)次善來偈。
次重結大海 次摩尼供養印 次讚 次
觀三摩地 次觀自在菩薩印眞言 次
根本印眞言 次加持珠(軌云)次正念誦。
次還珠法(軌云)次入三摩地 次根本
印眞言(如前軌云欲出道場以印頂上散已上如軌)次部母印明。
虛合二水。二空入內。眞言曰
曩○南一半怛他(引)蘖多尾灑野三婆吠
一鉢娜(二合)麼忙履儞(二合)涉賀
次摩尼供養(如前)次讚 次閼伽(軌云)又
獻閼伽(乃至)成就我願 此次若振鈴 次
奉送(軌云)次三部三昧耶(各誦三返)次被甲
護身 次五悔(軌云)對本尊(乃至)禮佛 次
隨方迴向 次出堂 次堂外作善(軌云)
無量壽如來十二契印
一。根本印
印眞言有軌
二。大身印 已下十印在經
虛心合。以二地絞二水背。以二風押二
空頭。眞言曰
那莫阿(去引)哩野(二合)弭路引婆耶莎縛訶
三。大心印
不改前。以二風押二空甲上入月。眞言
唵怛他(去引)蘖路引夜引吽
四。護身結界印
不改前印。二火入月爪甲和合(五處)眞言
曰

唵阿密哩（二合）多帝際賀羅吽

五坐禪印

不改前印。立忍願如針。眞言曰

唵阿密哩（二合）帝紇里〻〻〻

六滅罪印

二手虛心合掌。以二風望二火第三節。以二空押二火第二文。二地開立。眞言曰

唵訖里阿暗訖里訖里吽

七小心印

各以大指押四指甲。仰左俯右。入掌中如環。眞言曰

唵訖里吽訖里吽

八頂印

內縛竪二火指相交。眞言曰

唵三婆吠三婆吠

九轉法輪印

二手開申以二空押二水甲。眞言曰

唵達磨訖里達磨訖里

十療病印

以二拳仰左覆右當膝。眞言曰

唵鞞（上）弭〻〻

十一隨類說法印

二手舒五輪。以二空押二風輪。仰左安乳下。立右向外。眞言曰

唵宜哩達磨〻〻〻

十二妙觀察智印

金剛合掌。開竅二風背相捻二空輪。眞言曰

唵三摩地半度奴迷訖哩

右契印功能所說所見陀羅尼集經第二卷也

陀羅尼集經第二云

阿彌陀佛身印第一。左右二小指各菘在無名指背上。二無名指頭相拄著。二中指直竪開一寸許。二大指並直竪屈二頭指押二大指頭相拄。頭指來去

阿彌陀佛大心印第二。准前身印。唯改屈二大指入掌。以二頭指押二大指甲上。呪用前呪。作四肘水壇○若作此法即得奢摩他。滅恒沙四重五逆之罪。每月十五日洗浴誦呪。作如前法。隨意往生阿彌陀佛國

阿彌陀護身結界印第三。准初身印。唯改二中指及（入イ）掌相著。用護身結界訖。然後坐禪

阿彌陀佛坐禪印第四。合腕。左右中指無名指直竪。令節文相當著。左右小指各菘在二無名指背上。頭當上節。二大指並直竪屈二頭指中節。頭押大指頭（以下廣文）

阿彌陀佛滅罪印第五。合腕。左右中指無名指直竪。令節文相著。開二小指直竪。開二頭指當中指背上。勿著。頭少曲。二大指並竪。頭押中指第二節（以下廣文）

阿彌陀佛心印第六。右手中指已下三指總屈入左手掌內。把左手大指押右。還以右大指押右三指甲上。二頭指直竪磔開之（已下撿文）

唵一婆雞陀那麼二莎訶三

阿彌陀佛頂印第十二。准佛頂印。唯改以二中指相叉於中節文。直申。即是頂印（以下廣文）

阿彌陀佛輪印第十三。左右手以二大指各捻無名指頭。右押左。當心。若欲說法論義之時。日〻作此法。一切歡喜。死生阿彌陀佛國

阿彌陀佛療病印第十四。先仰左手。四指仍屈。即以右手覆於左手。右手四指亦屈。與左手急相鉤。令二拳各拄掌心。其二大指各直怒之

是一法印。降伏一切諸惡鬼神。有人病者。當用印之。其病即愈。此等諸印皆是

誦心呪

經初云。阿彌陀佛大思惟經說序分第一

尊形

陀羅尼集經云。次畫佛像法。用中央著阿彌陀佛。結跏趺坐。手作阿彌陀佛說法印。左右大指無名指頭各相捻。以右大指無名指頭壓左大指無名指頭。左右頭指中指小指開竪。佛之右廂作十一面觀世音菩薩像。左廂作大勢至菩薩像。佛上作宮殿。皆以七寶所成○其寶殿中作佛菩薩。其阿彌陀佛云〻

天明八申十一月十八日。以西谷藏本寫。彼本尊勝法已下缺本。請後來君子補之（又彌陀法亦不足乎）

遍照金剛　實靈

成菩提集二上

遠賓坊　永範

菩薩部

普賢一　文殊二　六觀音文三　聖觀
音四　千手五　馬頭六　十一面七　白
不空羂索八　准提九　如意輪十　白
處尊十一　白衣大白衣十二　白身大白身
等文十三　葉衣十四　毘倶胝多羅菩薩十五
大隨求十六　大勢至十七　地藏十八　虛空
藏十九附五大虛空藏　彌勒二十　淨名二十一　藥王
二十二　持世二十三　馬鳴二十四　龍樹二十五　放光菩薩二十六　水月觀音　延命二十七

普賢菩薩

梵號　不同如下

密號　眞如金剛

種子　惡。或吽。或暗。阿。調圖

三昧耶形　五股

或賢瓶　胎藏

印眞言

普賢金剛薩埵軌云、不空次結金剛縛。合竪
二中指。是金剛薩埵三摩耶印。密語曰
唵一三摩耶二薩怛鑁三合三
由結此印。修行者當住普賢大菩薩三摩
地。坐於滿月背倚於月輪。令身圓備

五祕密軌云。次結三昧耶印。二手金剛縛。
合竪忍願安於當心。誦眞言曰
三摩耶娑怛梵云、
由結契印誦眞言已。於背後想。有月輪以
爲圓光。身處在其中。想金剛薩埵。由結此
印及誦眞言故。大智印等一切部中所結
一切印。一切如來身口意金剛印。功不虛
棄無敢違越。若誦一千遍。結一切印皆得
成就云云

私云。世人多用之。仍出之

普賢金剛薩埵軌明羯磨印中云。普賢菩
薩作金剛鑁印

同軌明三摩耶印云。二手金剛縛。以二中
指入掌交合。二小指二大指各竪頭相拄。
如獨股杵形。是普賢菩薩三摩耶印

五祕密軌云。〇金剛薩埵大智印〇二羽
各作金剛拳。左置於胯。右手調擲金剛杵。
置於心上。右脚押左云云。次結五祕密三
昧。卽結金剛薩埵三昧耶印。作金剛縛。屈
忍願入掌。而相合如箭。禪智檀慧各相拄。
如獨股金剛杵。誦眞言曰。素羅多薩埵梵
二合〇由結此印誦眞言故。神通壽命威力
相好等同金剛薩埵

私云。蘇羅多者普賢也。撿理趣釋

金剛界羯磨會金剛薩埵羯磨印。左手作
金剛拳安左腰側。想取五股鈴。右手想取
五股杵。抽擲之三反。卽置乳上。誦眞言
唵縛日羅二合薩怛縛二合阿

三摩耶會云。金縛忍願直竪。二大指二小
指各開立不相著。是五股印
三摩耶薩怛鑁二合
爲欲見合集之用印眞言行者用意。又聞
師說

普賢軌云。普賢菩薩讃曰
薩縛弩羅引誐素上結薩怛莽鑁娑一去怛
網縛日羅二合薩怛縛跛羅莫素上羅多入
婆縛冥摩訶素上佉涅哩住荼羅也諾三
鉢羅底跛儞也悉駄者攞虞鉢羅拏多四入
誦第一句讃。當結欲金剛羯磨印。次誦第
二句。結計里計羅金剛羯磨印。誦第三句。
結愛金剛羯磨印。誦第四句。結金剛鑁羯
磨印。則成四種歌詠印。正結印誦讃時。入
大三摩地。則住普賢菩薩大印。誦大樂不
空三昧耶。眞言密語曰
唵一摩二訶三素上四結五縛六日羅二合七
薩八怛九縛弱十吽十一鑁十二斛十三素十四羅
十五多十六娑怛十七鑁

私云。用此眞言可尋知事也。私付一二
等也

私云。又用金界薩菩薩讃。有何咎乎
嚩日羅二合薩怛縛二合摩訶引薩怛嚩日羅
合二薩縛怛他引駄多二三縵多跛怛曬合二
嚩日羅儞耶二合三縛日曬合二波儜髮讃引
娑覩二合諦四

菩提心義五云。又理趣經云。大樂金剛薩
埵卽是普賢金剛薩埵。卽是普賢金剛薩
埵名妙適淸淨句。其下十六句卽普賢爲

主薩王愛喜爲四親近八供四攝如次圖繞都有十七句十七尊其十七印具如十七尊述義也其十七明別如勝初瑜伽經普賢儀軌也彼中普賢根本眞言十七字郎理趣釋所列十七尊種子十七字也又名蘇羅多金剛此云妙著郎金剛薩埵異名也故十七字云唵摩訶大蘇佉樂日羅金剛薩怛縛二合惹吽鑁斛蘇羅多薩怛鑁三合此十七尊如次以爲普賢四親內四外四之攝明也故知十七合唯普賢七十離合名大樂若五祕密法中以此大樂四親五印具歷五方五位皆爲此法云云當知一切諸尊內證外迹名義離合行相通別隨各々部皆示如此々々義極祕不能縷說云云

已上私書加之

依理趣釋

金剛雨　金剛香　秋
吉髻羅離　金剛愛樂　金剛愛
金剛聲　吉髻羅離　金剛薩埵　金剛慢　金剛味
金剛意生　金剛欲　金剛慢
金剛春　金剛色　金剛冬

私云金剛王儀軌出此曼陀羅相

私云有五普賢曼荼羅撿之

西北　西南
欲金剛　鎖金剛　咲金剛
金剛秋　金剛愛　金剛雲
香也
鈴金剛　金剛慢　普賢　金剛計里　索金剛
金剛雪霜　金剛欲　金剛春
舞金剛　鉤金剛　喜戲
東北　東南

依普賢軌

私云與前小異更尋又問也又有別圖

又有口決

胎藏八印中一切支分生云經云以定慧手作開敷合掌文

軌云蓮華竪二空

廣大軌云作未開敷蓮華合掌建立二空輪而稍屈

胎藏記云虛合如未敷蓮華唯中指端小開二空並竪師曰此印蓮合微開火頭立二空輪而稍屈之是也此郎與文小異

義云蓮華竪二空文

眞言　曩○南暗惡娑縛二合賀引

私云胎藏圖云普賢菩薩眞如金剛種子暗三摩耶形賢瓶肉色左手持蓮華上有劍右手如三股仰向外戴五佛冠云々

私云問胎藏金剛手院部主金剛手名金剛薩埵理趣經略出經等普賢菩薩名金剛手名金剛薩埵同異云何經明金剛手壇云復次祕密主今說第二壇正等四方相○先佛說彌勒是□曼荼羅義云佛親對金剛手說之故告云是汝曼荼羅也義一云金剛手祕密主者梵云播尼郎是手掌云持金剛手執義同故經中二名互出也西方謂夜叉爲祕密以其身口意速疾隱祕難可了知故舊翻或云密迹若淺略明義祕密主是夜叉主也執金剛杵常侍衛佛故曰金剛手然是性中深義言夜叉者郎是如來身語意密唯佛與佛乃能知之乃至彌勒菩薩等猶如是祕密神通力所不及祕中最祕所謂心密之王故曰祕密主能持此印故云執金剛也入祕密曼荼羅法品義釋云々理趣釋云金剛手菩薩者在毘盧遮那前月輪中表一切如來菩提心初發菩提心由金剛薩埵加持修證普賢行願證如來地又云金剛手菩薩摩訶薩者此菩薩本名是普賢從毘盧遮那佛二手掌親受五智金剛杵郎與灌頂名之爲金剛手云々大日經列同聞衆云其金剛名曰虛空無垢執金剛乃至金剛手執金剛如是上首十佛刹微塵數等持金剛衆俱私云初列金剛衆及普賢菩薩慈氏

菩薩妙吉祥菩薩除一切蓋障菩薩等諸
大菩薩前後圍繞而演說法（大衆列菩薩）又云
彼菩薩普賢爲上首諸執金剛祕密主爲
上首義云所言十佛刹微塵數者如來差
別智印〇此毘盧遮那內證之德以加持
故從一々智印各現執金剛身形色性類
皆有表像又云次列菩薩衆以四尊者而
爲上首前明諸執金剛一向是如來智印
今此菩薩又兼定慧故別受名也亦是毘
盧遮那內證功德又云又般若釋論生身
佛成道時阿難密迹力士等是名內眷屬
舍利弗目連等諸聖人及彌勒文殊諸阿
鞞跋致一生補處菩薩等是名大眷屬今
謂佛加持身亦復如是諸執金剛各持如
來密印名內眷屬諸菩薩大悲方便普門
攝受無量衆生補佐法王行如來事名大
眷屬經云又現執金剛普賢蓮華手菩薩
等釋云今略擧三聖者以爲稱首已執金
剛對金剛智慧門普賢對如々法身門寂
災方便觀音對蓮華三昧門增益方便（或先）
（總云今金剛手非是普賢也師說云）胎藏金剛手院金剛薩埵
（具如金剛縛日羅跛尼）文殊會普賢（具如金剛阿利也三曼多路拾羅）八
葉院普賢（具如金剛阿利也三曼多跛那羅普地薩怛轉）聖觀音軌明
轉法輪菩薩云印相可見之觀自身如金
剛薩埵菩薩左手執金剛輪置於左胯上
右手持五股杵當心作跳擲勢身如日月
色頂戴五佛冠坐月輪中々云瑜祇經疏明
五方如來各現二種身中云中方大日轉
法不動尊々云對記有云此大日部可用一

切如來金剛薩埵印眞言々云若金剛頂瑜
伽經云大日如來現二種身一正法輪身
現轉法輪菩薩身二教令輪身現不動金
剛身故於此部或可用轉法輪菩薩三昧
耶印卽是胎藏金剛薩埵轉法輪印耳安
然闍梨菩提心義云若金剛頂百八名讚
々云如普賢百八名中別出六號一金剛勇
舊經云金剛薩埵（乃至）四普賢舊經又同五
金剛初舊經云金剛上首六金剛手舊經
云執金剛々云經中普賢列諸佛前坐月輪
中左手執金剛杵轉於掌中卽金剛初是
普賢菩薩々云理趣釋云々云又大日經云金
剛手祕密主義釋中云梵云縛日羅駄羅金
々々是執持義此菩薩手持金剛故名金
剛手也祕密主者若淺略義卽夜叉王其
性速疾今深祕釋此菩薩執持大日如來
身口意密故名祕密主々云密迹力士經云
有力士名密迹金剛注梵網經云若有大
王千子發心願成佛道時有二兄誓成神
王護千佛法今諸寺門金剛力士二神是
也法華云應以執金剛身得度者々云注維
摩云天竺夜叉亦名暴惡亦名貴人々云大
般若經云諸夜叉等々云俱舍云須彌四角
有四峯金剛手所住々云蘇悉地疏釋說處
云可指普賢所住須彌山頂々云此金剛手
內證外迹也々云私云安然闍梨意如之
八大曼荼羅經云次說普賢菩薩密言曰
纈利（二合）惹也娑縛訶
戴五佛冠金色身右手持劍左手施願半

跏坐
次說金剛手菩薩密言曰
唵鑁羅嚩娑縛訶
右手執金剛杵左手安於胯戴五佛冠身
青色半跏坐（已上）
陀羅尼集經云（有印更多呪）普賢菩薩滅罪呪
支嚧嗘（一決定）毘呢嚧嗘（二斷結）烏嚇嚧嗘（三生）
蠱
此呪平旦七遍夜七返誦去厭魅野道蠱
毒能得身心慧三解脫後生不受生死身
得法身常身境內外國怨賊一切惡人一
切惡鬼神一切盜賊虎狼師子惡毒蟲惡
獸聞此呪聲皆口禁不相惱亂惡夢災殃
鳥鳴百怪自然消滅此呪功能說不可盡
尊形
祕藏記云東南普賢菩薩白肉色左手持
蓮華上有三股縛折羅（已上）
調定圖云八葉院普賢肉色左手持蓮華
上有劍右手如三股印仰向外戴五佛冠
（已上）文殊院普賢肉色左手持蓮華坐蓮華
（已上）
白蓮華經身相義紫色左□蓮上□□拳
押膝々云
普賢延命經云我此延命法先須彩畫普
賢如滿月童子形五佛頭冠右手持金剛
杵左手持召集金剛鈴契鑒際復帶坐千
葉蓮華々下有白象王象有三頭鼻卷獨
股杵各具六牙其象四足踏一大金剛輪
々下有五千群象各負其輪身放百寶光

〻外畫日月輪衆彩莊嚴云〻

禮記云次開普賢堂禮普賢菩薩像三衆並立背上安置一菩薩像已上

五祕密私記先擇地軌云瑜伽者乃至所樂之處次四禮軌云當禮四方乃至律儀戒今私謂如金剛界次驚覺軌云次於空中乃至加持覆護私云謂如金剛界次五悔軌云當對聖衆乃至五種大願私云此中五種大願者金剛界五悔中第五發願意也次發菩提心眞言軌云則結金剛薩埵蹈乃至及諸如來作私云謂可用金剛縛定印次勝悉地私謂前定印不散軌云瑜伽者作是思惟次底瑟姹二合耽私謂以下分明文三初瑜伽四種藏性是四智也又作是思惟以下明三力結法界體性智也已上行願分

次金剛合掌軌云則結金剛乃至二種資糧私謂此中有三初明印契次出眞言三出功能次金剛縛軌云次結金剛縛乃至解脫智私謂有三分如前次開心軌云次結金縛印三拍乃至羯磨智印私謂有三分如金剛界用次召智軌云次結金剛拳乃至而不散失私謂有三分用如金剛界印次閉心軌云次結金剛阿尾捨乃至速得成就私謂有三分如金剛界用次普賢三昧耶軌云次結三昧耶印乃至皆得成就私謂有三分次極喜三昧耶軌云二羽金剛縛乃至諸願皆得私謂有三分用如金剛界印已上三摩耶分

次薩埵大智印軌云次結金剛薩埵大智印乃至及金剛薩埵私謂此中有四初明眞言次結金剛以下明觀相三誦已以下明乃至觀相四由持以下明功能次現智身軌云當住此智印乃至阿尾捨顯現私謂有三初觀想次眞言後功能其印如金剛界次見智身軌云誦眞言曰乃至了〻分明私謂此中有二分先眞言次功用其印如金剛界此軌文無別觀想故可用金剛界文彼軌云見彼智薩埵應觀於自身私謂觀我身如前薩埵也

次四字明軌云即誦四字乃至定身交合一體私謂此中有二眞言功能也其印如金剛界次素囉多印眞言軌云二羽金剛縛乃至常恒護持私謂此中有三分印契眞言功能也次五佛寶冠軌云二羽金剛縛乃至灌頂位私謂此中有三分印契眞言功能也次繫鬘軌云二羽金剛拳乃至滿給私謂此中有二分印契眞言也次甲冑軌云即結甲冑印遍身擐甲私謂如金剛界有印言二分次拍掌軌云次結歡喜印乃至斛引私謂此有印契眞言已上成身分

次誦根本眞言軌云次結前金剛薩埵大智印乃至薩怛梵二合羯磨印私謂前大智印可用次讚軌云次應結四祕密羯磨印乃至𤙖多內四供印次欲金剛如軌次計里計羅如軌私謂入金剛界四羯磨中次愛金剛如軌次金剛慢如軌已上羯磨印次金剛薩埵三昧耶如軌以下分有同三次欲金剛三昧耶如軌次計里計羅三昧耶如軌次愛金剛三昧耶如軌次金剛慢三昧耶如軌已上三昧耶印次百字明軌云次住金剛乃至薩怛縛二合私謂結薩埵三昧耶印先誦百字明一遍誦薩埵眞言軌文云大讚印云〻次正念誦軌云或住大智印乃至安樂等事已上作業分

次四威儀觀軌云瑜伽者乃至同一月輪

次釋五祕密軌云金剛薩埵者三身果位

五祕密儀軌云瑜伽者行住坐臥常以四眷屬而自圍繞處大蓮華同一〇如來菩提心是一切如來祖師是故一切如來禮敬金剛薩埵如經所說金剛薩埵三摩地名爲一切諸佛法此法能成諸佛道離此更別無有佛〻云

金剛薩埵密印二手內相叉各以禪智捻進力眞言曰

唵嚩日羅倶舍冒地即多吽

問菩提心義云普者遍一切處賢者最妙善謂菩提心所起願行及以三業善皆平等遍一切處奉事諸佛拔濟有情故名普賢 文若天台云梵號□修跋陀羅此云普賢位居衆伏之頂故名普賢〻云義釋云普賢普是一切處賢是最妙善義謂菩提心所起願行及身口意悉皆平等遍一切處純一妙善備具衆德故以爲名〻云大佛頂經云普賢菩薩即從座起頂禮佛足而白佛言我已曾與恒沙如來爲法王子十方如來敎其弟子菩薩根者修普賢行從我立名世尊我用心聞分別衆生所有知見若於他方恒沙界外有一衆生心中發明普賢行者我於爾時乘六牙象分身百千皆至其所縱彼障深未得見我〻與暗中摩頂擁護安慰令其成就佛開圓通我說本自心聞發明分別自在斯爲第一〻云智度論第十云是遍吉菩薩一〻毛孔常出諸佛國土及諸佛菩薩遍滿十方以化衆生無適住處〻云

文殊

梵號　阿梨也曼殊師利

密號　般若金剛八印中吉祥金剛又智金剛

種子　[梵字]瞞字。梵阿八葉院八字軌隨法出瞞曇室利支利四字。五字軌只出曇字。五字陀羅尼出淡字。然闍梨胎藏記出瞞摩鑁三字。金剛界利菩薩

種子出曇一字

三摩耶形 劍

或靑蓮華上三股 文殊會

曇字

八字軌云若求息災除難殄滅七種災難
云々當心中書曇字云々
大日經普通藏品云曇 有命諸
菩無畏軌云臺中觀曇字
疏云本體即空上又點又是空所謂大空
也越十八空名爲大空住空之位名爲大
空即是大般若也
私云弃字一切法吾我不可得

淡

八軌云若求降伏惡人令相好捨惡心者
中心而書淡字
大日經疏云多是如々也如々之性即日
大空
五字軌云〇菩提月中有曇字
私云多字一切法如々不可得

室置利 イ本

八軌云若有惡人難降伏屠兒獵師外道
不信佛法者令惡心摧滅或令破壞者心
中應書梵文悉置利 合二字々云
胎云靑云軌云注云摧伏一切怨家
私云捨字一切法本性寂義吒字一切
法慢不可得義羅字一切法離塵染義

室利

八軌云若求福慶祿位吉祥事者心中書
室利 合二字

大日經疏云室利定止無垢
私云捨字一切法本性寂義羅字一切
法離諸塵染義伊字一切法根不可得
義
私云胎藏文殊會以曇字爲種子中胎
八葉以野字或阿字爲種子
五軌云菩提心月中有曇字々即變成般
若波羅劍離諸分別能斷煩惱想爲智劍
略六云用左置於心如煩惱障以右劍殺
之
眞實經云我今右手執大利劍能斷衆生
一切煩惱云々
五軌云右手持智劍左手執靑蓮華
大日經疏云左持泥盧鉢羅是細葉靑蓮
華々上有金剛印靑蓮是不染著諸法三
昧心以無所住故即見實相金剛智印能
以常寂之光遍照法界
八字軌云爾時世尊告金剛密迹主言是
八字最勝大威德心眞言所住之處如佛
在世無有異也能現諸佛種々神力不可
思議亦能作大無量神力變化我今略讚
此陀羅尼小分功德我若具說無量俱胝
那庾多百千大劫說不能盡爾時世尊即
說八字大威德心眞言曰
唵 阿引 味引 囉引 許 佉 左 洛
復告金剛密迹主言此陀羅尼若有男子
女人不能辦作承仕供養法者復緣在家
迫迮作種々生業但能憶時不忘依時念
誦隨分不闕供養小分隨自力辦亦得成
就除不至心不正信心不發大乘菩薩之
心興行誹謗於三寶所起不善等心行諸
惡業此等之心一切小法由不能得成就
況復大法能成就之爾時如來復告金剛
密迹主言若善男子善女人若能念誦此
陀羅尼一返即得自護兩遍能護同伴若
誦三返即大護住處十地菩薩不能逾勝
何況諸小類衆生若誦四遍即得擁護妻
息若誦五遍即能擁護一切眷屬若誦六
遍即能擁護一切城邑村坊聚落等若誦
七遍即能擁護一切衆生諸苦難等若欲
著衣時當加持七遍能除一切惡毒及諸
災難若洗手面時加持淨水七遍然洗手
面能令衆生貴仰所有諸惡見者悉當降
伏一切諸人皆伏敬重除彼惡心生歡喜
心若人患身體支節疼痛者加持蘇水一
百八遍洗浴即得好夢便得除愈若每日
晨朝以水一掬加持七遍飲在身中所有
惡報悉當消滅何況無災患者及諸三業
亦得消蕩壽命長遠若加持飲食七遍食
者毒亦不能爲害若見惡人怨家當須念
誦即自降伏除瞋心慈心相向有恐怖
處至誠念誦即得無畏若臥時誦一百八
遍即得好夢能知善惡之事若人患瘧持
誦者覩彼患人面誦此眞言一千八遍瘧
即除差若入陣時當以牛黃書此眞言帶
於身上一切刀杖弓箭鉾斧不能傷害若
入陣時應畫文殊師利童子像及眞言於
象馬上置軍前先引諸軍賊等不能爲害

自然退散。常須念誦。所有五逆四重十逆等罪悉得消滅。當得面觀文殊師利。行住坐臥常須受持念誦憶持不忘。若每誦一百八返勿令斷絕。常得一切衆生降伏。若加持髮髻七返。一切衆生見者悉當降伏惡人退散。若能每日三時。依法入道場時別一百八返。所求皆得稱意圓滿具足。得大富貴所行自在。臨命終時得普門三昧。及見文殊師利菩薩

八軌文云。若住山林中頭陀居曠野。王難遭枷獄。橫事恐怖時。疾病鬼神殃。暗夜行怖懼。修道被魔嬈鬪諍家不和。諸毒欲來傷。如此多種難。常持八祕明。無惡不殄除

○大教阿闍梨。深行功慧者。欲求大悉地。應須頻護摩。每滿三洛叉。一度火供養。若得三相現。暖煙及光明。劍中發伏聲。梵音師子吼。雷鳴微妙響。鐘鼓雅歌聲。種〻說法音。行人得悉地。護摩如教法。微細明解之。小分不相應。衆遝皆來集。三俱胝數滿。常得見文殊。心通解脫門。智慧不可測。世出世間願。所求皆滿足

八軌明曼荼羅末云。若有比丘比丘尼男子女人。若官若庶。身遭危厄官事王厄病厄。一切恐怖無可方計。恐有刀杖刑獄之厄。應當發大慈大悲心。爲夜來星下作此念誦。或三人或五人或七人。若欲臨時當夜面北爲彼稱名發願念誦。每人一萬遍即得消滅(下云爲息災故定夜以之初)

又云。行人先當從阿闍梨得灌頂。及親得傳受已。再入持明悉地灌頂。具足慈悲行無緣慈。愍一切苦厄有情作是念誦。誓當救拔一切恐怖厄難衆生。若急難時隨其處或香塗或撚粉作壇。若常念者。應須精室如法建立道場。一如前法。行人先興八種心方可持法。第一慈悲心。二無垢心。三無我所心。四無勝附心。五平等心。六無怨害心。七有哀愍心。八無貪利心。如是之人乃可傳受。如是等堪同作法。若非此者。惟應自作令法得成。若遍數未終不得中間輒共人語。使有間斷。即法失驗。未作法時。先當明告。若自作念誦亦勿間斷云〻

八葉印中文殊。黃金色。左手持靑蓮華。上立五股杵或三股。右手持梵篋。左右當乳首有五髻。後本別安化佛。右手作拳當腰持劍

軌云。髻金色

胎藏文殊會圖。五髻。左手持靑蓮花。上有三股杵。坐赤蓮華。右仰當出外也。同會。五髻文殊菩薩亦名五字文殊。吉祥金剛。三昧耶梵篋。黃色。左持梵篋。右持靑蓮華。坐赤蓮華

五字軌云(不空)爾時文殊師利菩薩在毘盧遮那大會中。從座而頂禮佛足而白佛言。世尊我今說本五字陀羅尼。若有善男子善女人纔誦一遍者。一切如來所說法藏修多羅藏。讀誦受持等彼功德。毘盧遮那佛告文殊師利言。極意說之。爾時文殊師利即說明曰

阿囉跛者曩

纔說此陀羅尼已。一切如來所說法。攝入五字陀羅尼中。能令衆生般若波羅蜜多成就

五字心陀羅尼云(金剛智)若善男子善女人有能受持此陀羅尼者。即入如來一切法平等。一切文字亦皆平等。速得成就摩訶般若。纔誦一遍。如持八萬四千修多羅藏。

不空軌云。此陀羅尼極應祕密。阿囉跛者曩是滿一切願義。何以故。阿字樂欲菩提義。囉字者染著不捨衆義。跛字者第一義諦義。者字者妙行義。曩字者無自性義。樂欲菩提不捨衆生。染第一義諦中行〻修習諸法無有自性。若如是修滿一切願。此諸願中證如來位。及執金剛不求當得

金剛智軌云。此法門一切如來祕密之要。若誦一返。能除行人苦難。誦兩遍。除滅億劫生死重罪。若誦三返。三昧現前。若誦四遍。總持不忘。若五遍速得成就無上菩提。一心念誦滿一月已。曼珠室利即現其身。或於空中演說法要。是時行者得宿命智辯才無礙。自在神足勝願成就。速證如來金剛法身(已上)

不空軌云。次結曼珠羯磨印。二羽皆作金剛拳。禪羽置於自心上。右手猶如執劍勢。由此羯磨妙印力。身護如尊等無異。羯磨眞言

唵縛日羅(二合)底乞叉拏(二合)疊

次結金剛利劍印。結月忍願相如劍。由此

金剛利妙印。當願般若甚深智金剛利。眞
言曰
唵耨佉紲娜
金剛智軌云。次結三昧印。行者住三昧。二
羽外相叉。仰於跏坐上。端身合口齒。數息
令心定。先所請如來遍滿空界者。彈指驚
覺我。令觀阿字門。默誦此密語。受數而觀
念
唵卽跢鉢羅合二底味淡迦嚕弭
當默誦一返。使想爲月輪。倍欲淸淨故。誦
此祕密言
唵引冐地喞跢母怛跛合二娜夜弭
於淸淨月輪。觀種子淡字。以成金剛劍。誦
此祕密語
唵引底瑟吒合二縛日羅合二底乞叉拏
於淸淨月輪。鋭利至光徹。次應漸周遍。引
重同虛空
唵引娑頗合二囉日羅合二底乞叉拏
只不見己身及與一切相。次應漸觀劍。誦
此收攝言
唵引僧賀羅縛合二底乞叉拏合二
虛空諸如來悉隨劍而舒。量同己身已。便
成本聖形。身色如紫金。妙作童子相。五髻
被首飾冠。寶五方冠。右持金剛劍。上發火
炎色。左手持靑蓮。有般若梵篋。住諸妙色
相。身處淨月輪。行者住此已。應作是思惟。
我今堅固住。金剛劍之身。三昧耶之身。摩
訶三昧耶軌。三世諸如來現。成等正覺我
住此三昧。爲金剛劍身。作是思惟。身同於

誦密語。應結本聖印。加持三昧形。二羽外
相叉。忍願俱中直。屈二度上節。猶如劍峯
形。心額喉與頂。各誦此一遍
唵引耨佉紲娜淡
次結五髻印。令具足諸相。戒慧及檀方。忍
力願進度。禪智等皆合。印狀如五峯。印心
兩肩喉。最後置頂上。此名五髻印。誦此本
眞言
曩莫三滿多沒馱引南引阿鉢羅合二底賀
哆舍曩引南怛儞也合二他引唵羅〻三摩
合二羅阿鉢羅合二底賀多合二舍薩曩引南俱摩
曬路馱哩抳吽引薩頗合二吒〻〻〻合二娑
縛合二賀引
金剛界羯摩利菩薩印。左拳置左乳上。念
取蓮華。右拳置右膝上。念持劍
唵縛日羅合二底乞瑟拏合三談
三昧耶會云。金縛忍願竪並屈上節如劍
首
耨反奴獨佉砌那（爲見合集之行法時可問師說）
讚
八軌云
縛日羅合二底反丁以乞瑟拏合三摩賀引夜引
曩縛日羅句引舍摩賀引庾馱合二引曼祖引
室利引二合縛日羅合二儞鼻利耶三二縛日羅
合二跛沒帝曩謨窣覩帝引
又有漢語大讚。歸命密迹主。摧伏諸魔者。
童眞法王子。具普賢衆行。住是本有身。無
始無終寂。妙用施諸願。降怨害三毒。改劫
故修行。而於三界中。重說祕明教。爲諸有

情類。說大方便門。拯救諸含靈。令越生死
輪。從凡入佛地。行者作是語。讚詠於本尊。
至心誦三返。令大聖歡喜。行人所求願。一
切速圓滿
曼荼羅相
八字軌云。我今更說八字曼荼羅壇法。次
第○若欲建立息災曼荼羅云〻若爲急
厄怕怖事○但書眞言及種子字。以觀想
本尊形色。相應與作持念擁護。若事慢要
圖畫者云〻其曼荼羅法。先當心作一圓
輪。由如滿月。當中心梵書滿字。次從字後
北面書唵引字。次右旋東北角書阿字長引
惡者入次東方書味長引字。次東南方隅書縛
字。次南方書吽引字。次西南方隅書佉字。
次西方書左字。次西北方角書洛字。次此
九字爲內院中尊。或於院中畫妙吉祥童
子。其頂八髻。前五髻。頂上一髻。頂後兩髻。
一〻髻上皆有佛身。（是名畫像法。私云。隨尊中心種子異。以前知之）次說
第二院安布八文殊。布位法。尊前南面畫
請召童子。次西南角畫計設尼童子○次
後西北方畫光網童子。次東北角畫地慧
童子。次東方左邊畫無垢光童子。次東南
隅畫不思議慧童子。如是八方妙吉祥童
眞菩薩。皆面向中尊如奉教勢。皆坐蓮花
上。一〻各乘師子。二手各有執持幖幟印
契。畫須如法。又於圓輪外四角中畫四忿
怒明王。東南角畫降三世金剛云〻西北
角無能勝明王云〻西南角閻曼德金剛
云〻東北馬頭明王云〻餘皆依本法。次說

第三院十六大天外護當尊前鉤菩薩左拳右鉤次西焰魔后次西羅刹主當角燒香供養菩薩次角北羅刹后次北水天西門索菩薩次北龍天后次北風天王西北角花供養菩薩次東風天后次東毘沙門天王尊後北方金剛鎖菩薩次東毘沙門后次東伊舍那天王東北角燈供養菩薩次南伊舍那后次南帝釋天王左方東門金剛鈴菩薩次南帝釋后次南火天神東南角塗香供養菩薩角次火天后次西焰魔天已上第三院安布諸尊竟四門及食道四角同諸壇法寶性草亦同四門蓮華葉細如青蓮花復說速救難立成壇法但於一無人及無穢惡高原之處或廣野或伽藍中露地爲之云云小一肘次二肘三肘四肘圓如月輪分爲四重中心種子字周匝八字眞言第二院中安布八文殊童子第三院安布四門四攝四角四大忿怒明王第四院四門香水蘇燈白花乳粥酪飯等供養更若不辦但第二院便布八聖所謂四攝四明王等若緣國家帝王身有厄難要作護道場者其壇應廣一十六肘或大二十四肘若緣五星失度日月頻蝕彗孛數現四方異國侵境劫奪百姓大臣返逆用兵不利損害國人疾病流行皆作大壇壇內第二院外布烈十二大天如熾盛光法次第四院布二十八宿第五院十二宮神外四明王餘同諸法

八軌觀想文中云乘師子王座操持智慧劍左執青蓮花云云臺立智杵首髻八智尊五字軌云我今說曼荼羅云云隨意大小於曼荼羅中畫文殊師利五髻童子形狀身如鬱金色種種瓔珞莊嚴其身右手把金剛左手把梵篋坐月輪於月輪四面周旋五字陀羅尼又云我今又說契經印曼荼羅壇中畫金剛劍四面各於本方畫八供養契及四攝契○我今又說三摩耶曼荼羅壇中畫五字及八供養四攝種子字○我今又說羯磨曼荼羅壇中安般若波羅蜜經卷日日讀誦念誦以種種供養○我今當說畫像法或白氎絹素等中畫文殊師利菩薩坐月輪中輪內周旋書五字四面畫八供養及四攝如大壇法又法於舍利塔四面周旋右轉書五字陀羅尼遶塔行道

胎藏文殊會

祕藏記云文殊師利菩薩黃金色首有五髻髮左手取青蓮花上有三股跋折羅團炎鬘右手與願契

調定圖云黃金色首有五髻持蓮花上有三股杵坐赤蓮花右作當出外也

八葉院文殊

祕藏記云西南文殊師利菩薩黃金色五髻冠左手執青蓮花上有三股跋折羅右手梵篋云云

調定圖云黃金色左手持青蓮華上立五股杵祕藏記三股杵右手梵篋左右手各當乳首有五髻後本髻別安化佛右手作拳當腰持劍

軌云鬱金色

八大曼荼羅經云五髻童子形左手執蓮華云云中有五股金剛杵右手施願身金色半跏坐云云

白蓮華經云身相黃金色左定青蓮華其上有三劍右慧執梵篋跏趺右押左文

理趣釋

問文殊實名如何

菩提心義三云曼蘇室利云妙吉祥古云妙德或云妙音佛大智慧祕妙吉祥發生之義如五字經云文殊是三世諸佛母五佛頂宗云文殊是般若佛母六度經云文殊持般若藏也又云妙吉祥者妙謂佛無上慧猶如醍醐純淨第一室利翻爲吉祥卽是具德義或云妙德亦云妙音也卽以大慈悲力故演妙音令一切聞云云文

八文殊印眞言

八軌云八文殊又云八方妙吉祥眞菩薩又云八文殊童子

八字軌云復次聖文殊請召童子印慧手結爲拳舒風如鉤形七誦而三召卽說眞言曰

私云胎軌幷諸師印相同之但胎軌名召請童子圖名鉤召使者海大德名鉤召童子圖云密號普集金剛阿羯沙尼種子阿三形幢黃色右持幢左持青蓮華其形童子坐赤蓮華

曩莫○南阿羯羅灑二合野薩縛引矩嚕阿然矩忙引羅寫娑縛二合賀

復次計設儞○智慧羽爲拳。火風相合竪。
由同刀標相
私云。胎藏記海說云。立火風。以空押地
水甲。諸師多同之。或云作刀印。動之。定
拳置腰。但今軌并胎軌并經不云以空
押地水。或人云。胎○面五髻文殊亦名
五字文殊。恐是計設儞歟。吉祥金剛。三
形梵篋。黃色。左持梵篋。右持青蓮華。童
子形。坐赤蓮花
曩○係々矩忙履計娜耶枳孃難上娑麼
合二羅鉢羅底吉然合二娑縛賀
復次尊右方救護慧童子。左手金剛拳。端
坐安腰側。右舒五輪直。當以掩其心。案竪
於空輪私云。此尊右胎藏除蓋障院。可尋之。胎記印同之
曩莫○南上引係摩訶引々々娑麼羅鉢羅
合二底枳然合二娑縛合二賀引
救護慧賢護菩薩巧護金剛。三形獨股杵尾訶沙難
肉色。左手作掌持瓶安臍下。從瓶孔出獨股杵。右手持一股杵當乳。坐赤蓮華
烏波計室尼智慧手爲拳。而申火輪直風
屈指中節。如同戟相標胎記意云。慧拳舒火以空押三輪。甲戟印。經并軌及今軌不云以空押三輪
曩莫○南上頻娜夜枳孃合二難係矩忙履
計三娑縛合二訶
妙慧金剛。種子儞[illegible]。三形利劍。黃色。右
持劍左持青蓮花。童子形。坐赤蓮華
復次光網尊。內眷屬童子○三昧手爲拳。
風胎記有異輪舉。如鉤。爲攝諸含識。令住解脫地
曩○南係々矩忙羅忙耶蘖多沙縛合二婆
縛悉體合二多娑縛合二賀

色相金剛。種子係。染。三形羂索。阿利振
婆羅合二婆。黃色。左持青蓮華當乳上。右
手風火空相捻當乳。童子形。坐赤蓮花。
或云。右手持羂索
復明地慧幢。內眷之標幟。三昧手爲拳。而
舒地水輪。直竪如幢相胎記云。右拳按竪。左手以空押火風甲。端直立地水相並。他人多同之。正僧正說定拳舒地水
曩○南係娑麼合二羅枳孃合二曩計覩引娑
縛合二賀引
文殊師利使者或云地慧幢歟吉祥金剛種子。
三形風幢。黃色。右持杖。其上有半月。其
上星形。左持青蓮華。童子形。坐赤蓮華
次復無垢光。矩忙羅密主。如前三昧手。舒
上一切輪。悉皆微屈之。如佛身光明。其焰
徹暉照胎記意云。定手五輪直立。小屈向外
曩○南係々矩忙引羅微質怛羅合二蘖底
矩忙引羅麼弩娑麼合二羅娑縛合二賀
尾麼羅鉢羅合二婆離麼金剛。種子怛羅。
三形開敷蓮華。黃色。左持蓮華未開。右
持鉢當臍。坐蓮華上。童子形
復次不思議慧○定慧內相叉。一合爲拳
印。二風別屈舒。屈三節對之。合甲急相背。
二空並直竪。名爲奉教者
私記云。海云。文云。定慧內縛拳。空風竪
相合。風屈第三節。々々者交屈風入掌中
也。以空並押風上更檢是五種奉教者
上首。攝四人故不別印明
曩○南係々引緊旨羅拽徙阿去呼念尾娑
麼合二也傳曳娑縛合二賀

奉教使者菩薩。密持金剛。種子阿。三形
幢。黃色。右持杵。左手立地水空屈火風。
坐赤蓮華。童子形。或左手青蓮華
八軌云。如是八方妙吉祥童眞菩薩。皆面
向中尊如奉教勢。皆坐蓮花上。一々各坐
師子。二手各有執持標幟印契。又先作奉
請云々或三或七遍召請入道場。懸懃陳
所請。復請妙吉祥密迹金剛主。定慧合蓮
華。二火絞水輪。峯端捻甲背。二風屈相柱。
二空並竪之。風橫押空峯。誦眞言三召
曩○南係々俱摩羅迦尾目訖底丁反大鉢
他引悉體合二多娑麼合二羅鉢羅底枳然合二
娑嚩賀
復次部明王。辟除諸障者。定慧合蓮華。水
風並下垂。俱入滿月間。空並離風節云々
忿怒大恐怖。三面現六臂。眞言
唵引度曩々々摩他々々訶曩々々賀野
儞哩合二縛吽引發吒半音
由是眞言故。及以印加持。能令諸障除。行
人少施功。速獲得成就
瑜祇經內護摩文云。金剛猛利刀劍字放
大光照徹三界暗。能伏納瑟吒
唵縛日羅合二底乞叉拏阿儗儞合二吽淡
護摩時。此文至要也。但淡字可有用意歟
五字心陀羅尼云。二羽相叉仰於臍下。諦
觀菩薩演五字陀羅尼。五色光明從口而
出。於行者心月之中阿字當前。餘四字右
施而布。一々思惟五字三義。是名三摩地。
念誦每日四時不令間闕。每時千遍或二

千或五百三百乃至百八。勿令減足沒身疲極。令惡趣衆生增加精進慈悲喜捨。如是修習。當知行人滿足六度。證諸如來一切三昧。常得曼殊室利及一切菩薩而爲伴侶。學要言之。精進修持。現於此生得證初地。後十六生當成阿〇菩提。若欲止時。有二種法。一者發遣留菩薩入於已身
五字陀羅尼云。二手持念珠。菩提及蓮子私云可思之朝午昏中夜。四時爲定。准此。法最第一。爲祕密中要
已上大心抄文殊卷
八大曼荼羅經云。次說曼殊室利菩薩密言曰
室利二合闍藍讖沙縛二合訶
五髻童子形。左手執青蓮花。〻中有五股金剛杵。右手作施願。身金色。半跏坐云〻
以下私書合爲易知也。八字文殊胎藏文殊院諸尊等載之
問。胎藏文殊院右幾尊耶
對。受記云。今儀軌中列二十五菩薩。謂文殊一觀自在二普賢三對面護四對護五惹耶六尾惹耶七瞳母八爾多九阿波羅爾多十光網十一寶冠十二無垢光十三日光明十四五髻文殊十五烏婆髻失儞十六奉教請菩薩十七文殊二使者十九十八鉤召四奉教二一十二三四井鉤召菩薩二五印相。唯說十印。文殊一光網二寶冠三無垢光四計設儞五烏波六地慧七質多羅童子八召請九五種奉教不思議童子十此中地慧質多羅二

菩薩。前列中無也。眞言但說明九。於十印中無寶冠明。故。傳者唯傳有眞言尊九印。然所說文光網印中。云寶冠持寶印者尊手執物非手印也者。恐問明師。何者列名文中。光網之次列寶冠名。說印文中。光網之次說寶冠印。豈非手印。但眞言中無其明故。傳者作此釋耳。無印明尊可用通法

請召童子

梵號　阿羯沙尼

密號　普集金剛

種子　阿■

三昧形　■

印　眞言

八字軌云。復次請文殊請召童子印。慧手結爲拳。舒風如鉤狀。七誦而三召。即說眞言曰

曩莫〇南阿羯羅灑二合野薩鑁引矩魯阿然矩忙羅寫四娑縛賀

胎記云。召請童子亦名鉤召童子。文云。請風爲右金剛拳。舒風作鉤。三遍召之。左手同前

別記云。定手同前。慧拳舒風微屈如鉤與詞招鉤印

理界記云。同前印。但改風指而作鉤形是。覺傳亦同之。但云舒風指作鉤相招之眞言曰。如上八軌。但釋云。第五請召童子眞言。梵本缺文。梵音阿迦嚩灑抳。此請召名即是眞言。以義推之。以最初爲種子也已上

尊形

祕藏記云。鉤召使者黃色。左手青蓮華。右手■

調定圖云。黃色。右持■。左持青蓮。其形童子形也。坐赤蓮華云〻。裏書云。此鉤召使者此召請童子歟。其由者。三卷記此尊用召請童子印眞言故也。然和尙記此菩薩名請召云〻

計設尼　亦云計設儞

梵號

密號　妙慧金剛理記　或人云。吉祥金剛

種子　枳履二合

三昧形　梵篋

印　眞言

八字軌云。復次計設尼印。相如後說。智慧羽爲拳。火風相合竪。由同刀標相。彼密言曰

曩〇南上引係〻矩忙嚟計娜耶枳壞二合娑麽二合羅三鉢羅二合底吉然二合娑嚩二合賀

胎記云。〇文云。計設尼持刀。慧拳竪風火定拳安腰。慧作刀印動之。謂立火風以空押地水甲

大和上記云。先舒右手作拳舒火風合竪並也

意大德說同海本說但作刀印向外動之

理界記云。計設尼〇左手作拳押腰。右手爲拳舒風火二輪而並立。即當肩擧之。覺傳云。右手如前。左手作刀。如不動刀印。三返振之也。眞言

曩〇南枳履種子係〻矩忙履計童子作如擊示是文殊三

味也那耶與願壤難知娑摩羅惜鉢羅底吉然
四本願云尊者於文殊所得勝願也授與我娑縛賀引
釋云。以一切法離諸作故。名爲吉祥妙業
三昧。□字是無相慧身。從此慧身現加持
三昧之用故。加伊字音也。眞言係〻是呼
召義。倶摩梨鷄謂童子是文殊三昧也。菩
薩本所立有六百妙願。今亦授與我也〻云

尊形

調定圖云。五髻文殊。黃色。左持梵篋。右持
青蓮花。童子形。坐蓮華。裏書云。五髻文殊
是計設尼歟。其所以者。三卷記五髻文殊
印用計設尼印。卽云繼室尼刀印。又用計
設尼明 已上

救護慧 又云賢護菩薩

安然云。救護慧亦云賢護。亦名哀愍慧。
在除蓋障院

梵號 跛里怛羅拏捺也摩底

密號 巧濟金剛

種子

三昧形 三股 或一股

印眞言

八字軌云。復次尊右方。救護慧童子。左手
金剛拳。端坐安腰側。右舒五輪直。當以掩
其心。礫堅於空輪。令彼眞言曰
曩〇南係摩訶〻〻娑摩羅鉢羅底枳然
娑縛 合二 賀

胎記云。如軌

理界記云。左手拳押腰。右手並舒五輪掩
心上立空。上向是也。左手如前。慈覺大師
傳云。左手如前。以悲手掌向內著心。以大
指竪之。謂悲手者右手也

眞言曰。曩〇南尼訶沙難 四字種子 係摩訶娑
摩羅長念鉢羅 合二 底然 本願除一切苦故云名爲救護慧今呼彼名憶本願
故而敷讃一切 娑縛賀。釋云。又名救護慧。學種〻
權巧名爲救意慧也。以種〻善巧方便令
得安樂者。卽釋悲力三昧中哀愍救護之
意。若無慧方便者不能自解。況解一切衆
生。是故以哀愍心遍學種〻權巧。故名爲
救意慧也云〻

尊形

祕藏記云。賢護菩薩肉色。左手持寶瓶。右
手持一股杵

圖云。賢護亦名救護慧。肉色。左手仰掌持
瓶安臍下。自瓶乳出獨股杵。左手持一股
杵當乳。坐赤蓮華 已上

烏波計設尼 亦烏波髻始寧

梵號

密號 妙慧金剛

種子 儞履

三昧形 利劍印

眞言

八字軌云。烏波計室尼。智慧手爲拳。面中
火輪直風。掘指中節。如同戰相摽。說彼眞
言曰
曩〇南頻娜夜枳攘 合二 難二係矩忙履計
娑縛訶

胎記云。慧拳舒火直立。以空押地水風甲
上云〻

理界記云。左手作拳押腰。右手爲拳。舒火
指如戟形。當肩拳之竪之。三返振之等肩
也

尊形

祕藏記云。烏婆計設尼黃色。左手青蓮花。
右手利劍

圖云。黃色右持劍。左持青蓮。童子形。坐赤
蓮花

光網菩薩

梵號 惹里寧鉢羅婆

密號 色相金剛

種子

三形 羂索

印眞言

八字軌云。復次光網尊。內眷屬童子〇三
昧手爲拳。風輪拳如鉤。爲攝諸含識。令作
解脫地。卽說眞言曰
曩〇南係〻矩忙羅忙軌耶蘖多娑縛娑
縛軌悉體多娑縛賀

胎記云。海大德說。慧拳安腰。定拳屈風鉤。
誦娑縛訶召之三度

別記云。定手作拳。申風指屈如鉤。舉身側
與肩齊云〻

理界記云。右拳押腰。左拳舒風。屈上節如
鉤形。卽拳左肩上云〻

尊形

祕藏記云。黃色。左手青蓮華。右手羂索

圖云。左手如圖風火空想捻當乳

地慧幢 文殊使者歟

梵號
密號 財慧金剛。或云吉祥金剛
種子 四履（二合）
三昧形 風天幢
印真言
八軌云。復明地慧幢○三昧手爲拳。而舒
地水輪。直竪如幢相。說是密言曰
曩○南係娑摩羅枳壞鑁計都引娑縛（二合）
賀
胎記云。海大德說。右拳按腰。左手以空押
火風甲端直立。地水相並也○正僧正說。
定拳舒地水云云
理界記云。右手拳按腰。左手爲舒地水二
指。當肩拳之。覺傳云。與前不異。但以大指
押中指風指甲。三遍印等
疏云。以左手作拳。而申地水二指。大指在
外之拳。如烏波計設尼印
又疏。財慧童子者。若是地慧童子異名也。
以一切離因緣故。名妙吉祥。自慧神力三
昧也
尊形
圖云。黃色。右持杖。其上有半月。其上星形。
左持青蓮花童子形也。坐赤蓮花
祕藏記云。黃色。左手青蓮華。右手風天幢
云云
無垢光
梵號
密號 離塵金剛
種子

三昧形 開敷蓮華
印真言
八軌云。如前三昧手。舒上一切輪。悉皆微
屈之。如佛身光明。其焰徹暉照。稱念彼真
言
曩○南係係矩忙引羅微質坦羅鑁底矩
忙羅摩紵娑摩羅娑縛訶
胎記云。慧手如前。定手五輪直竪小屈向
外云云
理界記云。右手同。左手五輪並立小屈。當
肩擧之○釋云。謂是菩薩本誓當普門示
現垂種種行。而引一切摩奴薩末羅誦念
昔所願。於佛前立此願也
尊形
圖云。黃色。左持蓮華未開。右持鉢當臍。坐
蓮華上。童子形也
祕記云
不思議慧
梵號
密號 密持金剛
種子
三昧形 幢
印真言
八軌云。定慧內相叉。一合爲拳印。二風別
屈舒。屈三節對之。合甲急相背。二空並直
竪。名爲奉教者。復說密言曰
曩○南係係緊旨羅拽徙阿尾娑磨也傳
曳ソワカ
胎記云。五種奉教者初不思議童子說文

云。定慧內縛擧空風。竪相合。屈第三節更
屈風入掌。以空並押風上。是五種中一也
○是五種使者中上首也。攝四人云云
理界記云。二手地水火相叉入掌。並二空
入月。屈二風第三節。合甲押空上節。以印
當心。覺傳云。內縛中二風指頭相合而屈
第三節。二空指亦竪之並之○釋云。又名
奉教者。又名使者。又名異也
疏云。諸奉教者是不思議童子也云云
尊形
圖云。肉色。所持物杖上有半月形。其上有
星形 疏蓮華
祕藏記云
私記。先建立道場乃至金剛牆（如十八道）次道場
觀（用定印）觀想。地結上金剛牆。々內有寶山。
是則清涼山也。其中臺上有寶殿。々內有
大曼荼羅。々々中心有月輪。々々上有
寶蓮花座。々上有瞞字。々變成智劍。々
變成大聖文殊室利菩薩。無量聖衆周匝
圍繞。行人在前向本尊云云。次三力偈乃至
送車路（如十八道）次請車路（迦羅野句下加疊殊師利醯醯唱句）次
迎請聖衆（如十八道）真言曰。唵阿曼殊師利醯
醯䤋 辟除從魔乃至普供養（如十八道）次讚（在別）
次入三摩地（用定印）觀想。心月輪上有瞞字。
々變成智劍。々々變成曼殊師利菩薩云云
次根本印次加持珠乃至置本所（如十八道）次
入三摩地（在別用定印）觀想。心月輪上有瞞字。諸
法我不可得義也云云 次根本印 次佛
部母印（如十八道蓮華部印用）次塗香乃至堂外作善（如十

私記八道。丹州私記
唱禮 三身如常
南無佛眼部母菩薩摩訶薩
南無曼陀羅主阿利也曼殊師利菩薩摩
訶薩 三反或只云文殊師利菩薩摩訶薩
南無阿羯沙尼〻〻〻〻〻〻
南無計設尼〻〻〻〻〻
南無跛哩怛羅拏捨也磨底〻〻〻〻〻〻
南無烏波計設尼〻〻〻〻〻〻〻
南無制別掘波羅婆〻〻〻〻〻〻 網光
南無縛索磨底也〻〻〻〻〻〻
南無尾摩羅鉢羅婆〻〻〻〻〻〻 無垢光
南無阿悉底也摩底娜難多〻〻〻〻〻〻 不思議
南無縛日羅蘇婆儞菩提薩埵婆〻〻〻
〻〻
南無縛日羅焔曼德迦〻〻〻〻〻〻
南無縛日羅阿婆爾多也〻〻〻〻〻〻
南無縛日羅賀野說利縛〻〻〻〻〻〻
南無大小〻〻
三身 佛眼
曼〻 阿羯沙尼等八大〻〻〻
縛日羅蘇婆尼等四大明王〻〻〻〻〻〻
私略唱禮 已上大心抄
胎藏軌云。文殊儞金色虛空雜色圓青蓮
開火輪云〻
文殊師利菩薩法住眞言曰
鑁〇南引阿吠娜尾泥婆縛二合賀引
或人私記云。八葉院內次文殊虛合中指

稍開。眞言如執
師云。令法久住事云〻 可問明神
經云。文殊師利常住東北淸涼山。一萬菩
薩以爲眷屬云〻
又云。一切諸佛之母。於三世中能現三寶
云〻
又云。過去已成佛道。號龍種上智尊王如
來
又云現。在北方今成佛道。云歡喜藏摩尼
寶積如來云〻
又云。未來當成佛道。號普見如來
又云。一切如來般若藏
又云。供養文殊所得福報。尙勝供養一切
諸佛
又云。若有衆生聞文殊名。除却十二億劫
生死之罪。若禮拜供養者。生〻之處倶生
諸佛家。爲文殊師利威神所護云〻
文殊八字經云。十方世界中。有佛無佛國。
大乘所流布。皆是文殊力
放鉢經云。今我得佛。皆是文殊師利之恩。
過去無央數諸佛。是文殊師利弟子。當來
者亦是其威神力恩力所致。譬如世間小
兒有父母。文殊者佛道中父母也文
阿育王造文殊像事
集神州三寶感通錄中云。唐麟之年終南
山釋氏東。晉廬山文殊師利菩薩像者。昔
有晉名巨陶侃字。士行。建。南海有漁人。每。
夕見海濱光因。以白侃〻遣。尋之。俄。見一
金像。凌波而趣船。撿其銘。勒。乃。阿育王所

造文殊師利像也。昔傳云。育王既緣此洲
學鬼王制獄怨酷尤甚。文殊現處鑊中火
熾。水淸生靑蓮花。心感悟卽曰。毀獄造八
萬四千塔。建立形像其數亦然。此其一也
云〻
六觀音文
止觀二云。六字卽是六觀音也。能破六道
三障。所謂大悲觀世音破地獄道三障。此
道苦重。宜用大悲。大慈觀世音破餓鬼道
三障。此道饑渴。宜用大慈。師子無畏觀
世音破畜生道三障。獸王威猛。宜用無畏
也。大光普照觀世音破阿修羅道三障。其
道猜忌嫉疑偏。宜用普照也。天人丈夫觀
世音破人道三障。人道有事理。事伏憍慢
稱丈夫。理則見佛性故稱丈夫。大梵深遠
觀世音破天道三障。梵是天主。標主得臣
也。廣六觀世音卽是二十五三昧。大悲卽
是無垢三昧。大慈卽是心樂三昧。師子卽
是不退三昧。大光卽是歡喜三昧。丈夫卽
是如幻等四三昧。大梵卽是不動等十七
三昧。自思可見文
弘決云〇大悲等言今家義立云〻
司命五道記云。六道觀文云。律云。六字觀
音。謂大悲。大慈。師子無畏。大光普照。天人
丈夫。大梵深遠也。所謂大悲者千手觀音。
大慈者聖觀音。師子無畏者馬頭觀音。大
光普照者十一面。天人丈夫者准提觀音。
大梵深遠者如意輪觀音。具如經所說已上

惠心要法門云。有云。六道司命記云。大悲等如次。聖千手馬頭十一面准提如意輪或云。大悲千手。大慈聖云〻私云。司命記文大悲千手。大慈聖也。今先德所云相違如何　菩提心義二云。又請觀音經有六字章句陀羅尼。天台引雜呪集。六觀世音以爲六字章句。破六道三障云〻（此文至要也誠可爲證中明珠）　雜呪集經四云。南無觀世音。能施無畏力。一切和雅音。勇猛獅子音。大梵淸淨音。大慈妙法音。天人丈夫能施衆生樂。滅除無明使。濟度生死海。今我等歸依云〻　此文至要也　華嚴經云。我是勇猛觀自在。赴深淸淨大慈悲。心念禮敬若稱名。一切應時皆解脫　請觀音經云。大慈大悲心。遊戲於六道。令離生死苦。常得安樂所　眞興僧都記。問。以六觀音配六道證文在何。答。天台宗立六觀音配六道也。眞言宗等餘宗所不立也。天台摩訶止觀第二卷。釋請觀音經六字章句陀羅尼云。六字卽六觀世音。能破六道三障。自思之可見云〻　可披見之。末師曰。大悲千手也。大慈正觀音。師子無畏馬頭觀音。大光普照者十一面也。天人丈夫者不空羂索也（近代人云。人道准提觀音也。師曰。准提者佛母也。逆觀音歸）大梵深遠者如意輪云〻　此義巧諸人愛之。然眞言宗不依義。所以金剛界三十七中唯一觀音金剛法是也。意者諸大觀音其形匚異。只是觀音一身普現色身三昧。二十五三昧力之所爲也。千手儀軌立五觀音法。此

依金剛頂故來五部也（千手加白衣大白衣多羅尊俱知也）或法立八大觀音百部觀音等胎藏觀音院中二十一尊皆爲觀音。各破六道依一偏。是故請觀音經請一觀音讚曰。亦遊戲地獄或處畜生中。或處阿修羅。現身作餓鬼。乃至戲於五道（今略文也遊於五道者文意除地獄餘五道也既前文云地獄）金剛智三藏所譯如意輪瑜伽讚如意輪云。六臂廣博體能遊六道云〻而天台宗依義且配一道。如釋迦十大弟子。各雖具三明六通。隨彼所好各取其一。各稱第一。今六觀音亦復如是非捨餘道。如是應緣（上已）止云。大悲聖觀音（破地獄道三障此道苦重宜用大悲重垢報處用無垢三昧破）（惡業垢見思塵沙明等垢三諸三味）無大慈千手觀音（隨此道生道破餓鬼餓害道苦重渴三味宜破用）（宜用大慈花施令他三隱此道用無畏除業破惡無滿常疑修業怖宜悲怖羅見愧用餓見道思退心渴明四畏智思三等失樂千三三謂依等隆憫諸三出昧昧部一之此又道味香西南伏說令道用瞋用天脩破離多不王月下慢人諸猜退瞋光果稱道怖怖三猛三報丈三用畏味宜味雖大隆歡宜北謂理人瞋用用命卽道三善熱不見有味照炎定佛非惡）師子無畏馬頭大光普照十一面天人丈夫准提（故稱如幻丈夫化用用如日幻光等明四三三昧昧破天人道也三用隱不梵動是等天十三七標）大梵深遠如意輪（味三昧三）聖觀音（地獄）千手（餓鬼）師子無畏馬頭（畜生）大光普照十一面（修羅）天人丈夫大准提（人）大梵深遠（天）依源僧都觀音讚也。又或云。千手（地獄）聖觀音（餓鬼）此二說相違。又六觀音中准提不空羂索互有無論如何遠來作法圖六觀音入不空羂索不入准提（有自他門等徒明德勸文）二十五三昧破二十五有非地獄無垢三昧生不退餓鬼心樂修羅歡喜東用日光西

用月光。北用熱炎。南用如幻。不動四王難伏。忉利悅意。夜摩青色。兜率黃色。化樂赤色。他化白色。初禪種〻。梵王變。破二禪當音。三禪雲圓。四禪照鏡。那含虛空。無想無礙。空處常破。識處樂破。不用我破有頂（上已）

觀自在菩薩

理界記云。梵名阿縛路枳帝濕縛羅（二合）。密號法金剛。種子[siddham]。三昧形結開敷蓮花印當心是也。覺傳不異疏云。初作開敷蓮花合掌。以二空指二地指聚而相捻。餘六指散豎之。其火風指皆並豎。頭散向外。二水指獨立是也。眞言曰。曩〻○南（引）娑（子稱）嚩怛他孽多（引。如來）一切縛路吉多（是二不觀等名普諸眼佛觀觀部）羯嚕儜磨野（爲體。大悲）羅〻〻（是門阿字）（無等自有初等三義以在訶薩菩之字立空根力是也爲悲至怖欲證爲三三苦解重義脫也上離有離有命二合三三得空重消點淨羅得是三同字無味佛也食義眼也吽）娑嚩賀。釋云。入於普觀三昧。（是字阿門也入大義無悲恐以因子生稱義大破戒卽以不猛怖）若是卽普眼三昧。入此三昧時。能於念〻中以普眼遍觀具足明了。菩薩從此三昧中以平等眞語說普眼之心。及得大勢等法門。谷隨金剛頂宗名爲金剛眼也。常寂法身。以定慧爲二手。觀自在蓮花部若望三諦。從空入假智。若對三點。是如來解脫分。若爲三部。是菩薩蓮花部主也

觀音

梵號 [siddham]

阿利也縛路吉帝濕縛羅（二合）

密號　法金剛（八葉院）　觀自在院（正法金剛　本淨〻〻）

種子　釋迦院〻正〻法金界菩薩法
院 紇里。或娑。或或母 八葉
三昧形　初割蓮花
無量壽軌明觀自在菩薩三摩地云。閉目
澄心。觀自在身中圓滿潔白。猶如淨月。仰
在心中。於淨月上想紇哩合二字。放大光明。
其字變成八葉蓮花臺。上有觀自在相好
分明
又西方法菩薩以紇哩字爲種子
理趣經紇哩字　理趣釋云。紇哩字具四
字成一眞言。賀字門者一切法因不可得
義。羅字門者一切法離義。伊字門者自在
不可得。二點惡字義名爲涅槃。由覺悟諸
法本不生故。故二種執著皆遠離。證得法
界淸淨云〻。由此字加持。於極樂世界水
鳥樹林皆演法音。如廣經中所說。若人持
此一字眞言。能除一切災禍疾病。命終已
後當生極樂國土。得上品上生云〻
種子　胎藏娑。或八葉之中母字。又胎藏圖同出此二字。但釋迦院只出初娑字
觀自在瑜伽儀軌云。蓮華臺上想娑字。〻
成聖觀自在菩薩
大日經疏云。入娑字門。一切諸法無染著。
是蓮花義　私云。甚要也
藏品疏云。娑上觀自在也。娑是諸漏。傍有
二點。卽是訶除。遣諸漏無漏之觀。觀故自
在也
三摩耶形初割蓮華　安然和尚多用之。更有異說。撿之。師說同安。和尚有
人云。紅蓮華

疏明印相云。初作開割合掌云〻
私云。有可尋事。私云。釋迦院以白拂爲三
摩耶形。又右手執白拂。可尋知事也。八葉
之中以法住印爲〻〻。金界意云。畫拔折
羅腰有蓮花。或云。與彌陀同。或花臺上立
一古。上安將開蓮花
印眞言
觀自在菩薩瑜伽軌云。次結觀自在菩薩
心印。以二手內相叉。翅竪右大母指○眞
言曰
唵阿盧力迦 普牟 娑縛 合二 賀 引
一印軌云。次則結觀自在菩薩心密印。以
二羽內相叉拳。禪度出外竪
唵阿 引 嚕力迦娑縛 合二 賀
由結前印誦眞言故。卽成三昧耶
胎藏第三會觀自在印八葉也。眞言撿之。
八葉之中觀自在印眞言撿之
讚　金剛界法菩薩讚
縛日羅達磨蘇薩怛縛羅他縛日羅鉢娜
磨蘇瑜馱迦路計濕縛羅蘇縛日羅乞叉
縛日羅寧怛羅曩漢蘇都諦
私云。觀自在瑜伽儀軌云。轉法輪印眞言
次云。次結大日如來劍印。次二手當心合
掌。屈二頭指中節橫相柱。以二大母指並
押二頭指上節如劍形。結此印已。卽觀自
心中有八葉蓮花。中想阿引字。放金色
光與印相應想彼阿字了。一切法本來
不生。卽誦眞言曰。那莫三去滿多母馱引
南引惡引尾羅吽引欠。軌誦眞言八遍。以

印如前加持自身五處。於頂上散印。次結
普供養云〻。次觀行布字法。修瑜伽者應
觀想。自身眉間置吽字。赤金色。變成白
毫相。於胸交縫內置暗字。作白色光滿
其胸中。於頂上置纜字。作赤色光外焰
上衝。於佛頂上應想唵字。作白色光照
法界。於自右足掌中置娑縛引二合字。左
足掌中置賀字。卽觀自心爲菩提心。離
一切我。離蘊處界能取所取。於法平等。了
知自心本來不生空無自性。下文廣之可見。如是大
悲爲菩提心。發是心已。於羅字上。其圓
點卽爲纜字。爲法界覽字種子。想二
字置二眼中。如盛燈光普照一切。用此光
明智慧之眼。觀自心中所置阿字去上字。
了一切法本來不生。卽於阿字流出白色
光明。照無邊塵沙世界。除一切有情身中
無明癡闇。卽想自身轉成毘盧遮那如來。
具頭冠瓔珞。坐白蓮花。身如金色光明照
曜。作住三摩地相應。如是觀。次結觀自在
心印云〻。隨誦眞言。以右大母指向身招
之。卽成召請。卽觀本尊心上有圓滿寂靜
月輪。〻中右旋安布陀羅尼。其字皆放白
色光遍周法界。其光還來入行者頂。於修
瑜伽者心月輪中。准前右旋布列了〻分
明。其字復放光明。准前作觀。如是觀已。修
瑜伽者自身與本尊觀自在菩薩身等無
差別。如彼鏡像不一不異。次應思惟字義。
阿字門者一切法本不生故。羅字門者一
切法遠離塵故。攞字門者一切法不可得

故此攞字爲加聲變成力字從此力字中流出迦字〻〻門者一切法無造作故應如是觀繫心於眞言文字之上即思字下所詮義門謂本來不生等如上四義如是作觀終而復始名爲三摩地念誦

身相

聖觀自在瑜伽軌云於蓮花臺上云〻結跏趺坐身如金色圓光熾盛身被輕縠綃綵衣著赤色裙左手當臍上執未敷蓮花右手當胸作開花葉勢具頭冠瓔珞首戴無量壽佛住定（私云手相可尋之）

無量軌云左手持蓮花右手作開花葉勢作是思惟一切有情身中具布此覺悟蓮花清淨法界不染煩惱云〻

大日經云頂現無量壽者明此行之極果即是如來普門方便智也此像及菩薩身皆作現法樂悅微笑之容觀自在身色如淨月或如商佉即上妙螺貝或如軍那花云〻

經說貪等清淨義耶云設住諸觀猶如蓮花不爲客塵諸垢所染疾證無上正等菩提○觀自在大菩薩○怡微笑敷蓮花勢觀欲不染說一切群生種〻色心

理趣釋云手持蓮華觀一切有情身中如來藏性自性清淨光明一切惑染所不能染由觀自在菩薩加持得離垢清淨等同聖者云〻

阿嚕力迦經云（不空譯）我今說畫像之法取清淨氎未曾割截童女織者最上中畫阿彌陀如來長六拼手作說法印於蓮花臺結跏趺坐身純金色作白焰光佛右畫觀自在菩薩左畫大勢至菩薩皆純金色作白焰光二菩薩右手各執蓮華大勢至身稍小於觀自在皆種〻莊嚴其身著寶瓔珞手釧皆衣白衣髮並上結不得披下於自在之右畫聖者半拏羅婆悉儞菩薩（白衣觀自在母也）髮亦上結寶冠種〻寶衣以爲莊著白色衣天衣爲黑左手持棒或持羂索右手執於梵篋於大勢至近下應畫行人手執華冠或紅蓮青蓮瞻佛尊顏佛座正下爲蓮華池中畫寶蓮〻之右廂畫難陀龍王左畫跋難陀龍王皆立半身出水各出一手捧佛座託蓮花面貌忻悅以寶嚴身作赤色池之左右各爲天女服寶衣二手執花仰奉如來佛後應畫如意寶樹〻上掛種〻寶衣諸珍寶乃至音樂作歌儛鳥當於樹上畫諸天等以手散花兩佛上畫像畢於淨處面西置每受八戒於一切有情起大慈悲發菩提心至誠供養於佛前自作小塔亦讀般若經或白月八日或十四日布施衆僧隨力多小如不能辨乃至極少一升炒許於此像前塗香末香燒香種〻飲食如法供養及獻花燈幡蓋音樂自常心念阿彌陀佛誦其眞言三十五萬遍即得悉地已後任運心念皆成我今復說刻像法取一白檀木中央刻阿彌陀右觀自在左大勢至各執白拂衣裳瓔珞等並如法唯除池等云〻我今更說別畫像法令童子受八戒織氎廣狹大小或二三肘去毛髮護淨香薰更作種〻香水淨洗之取最上畫人先受八戒畫時以吊掩口鼻勿令觸正中畫阿彌陀如來或坐蓮臺或師子座結跏而坐住說法印右自在左勢至執拂微身等如上像法但佛及菩薩等上各畫白傘蓋以種〻寶網莊嚴於蓋正上畫作明仙持諸寶花散而供養花如兩足亦作種〻音樂奉獻畫訖安於舍利塔內或於舍利瓶前半夜最朝如法持誦尼俱胝遍即得悉地於眞言王最上所訖羅惹○爾時觀自在菩薩重白佛言我今更說畫像法取無毛氎不割截氎治護如前畫人受八戒中央觀自在菩薩左手執紅蓮華右手直下與餓鬼水髮上結身著白衣如前珍寶瓔珞莊嚴天衣爲黑於蓮花上結跏趺坐左廂畫大勢至菩薩右廂畫普賢菩薩各執白拂畫已於舍利塔內安置面應向西隨得香花任爲大小供養中間不斷誦一俱胝行人所有橫死及惡障難皆除或爲現說辟除之法（已上可見之）我今更說別畫像法取不割截無毛髮氎如前淨治或木板平淨治於中央畫觀自在菩薩坐蓮花臺以七寶嚴身或衣纈衣白衣左邊畫作羂索及畫恒跢迦悉（二合）地右邊畫作須彌盧山〻根畫大海水遶之菩薩上畫作彩雲〻中畫諸仙天雨種〻花而以供養畫已於直入海名泉岸上面向西安之如前誦一俱胝即得一切明仙

中羅惹。更誦三俱胝。即成一切明仙中碍
羅〻惹叉於前但誦三洛叉半。得成尊位。
誦一洛叉。得大將位云〻（已上可見之）

世天
耶瑜四　勢至三　毘俱胝二
蓮華部主
馬頭六　白處五　多羅一

普遍四方相　中吉祥商佉
出生鉢曇華　開敷含菓實
上來金剛印　承以大蓮印
布一切種子　善巧以爲種
多羅毗俱知　及與白處尊
明妃資財主　及與大勢至

諸吉祥受教　皆在曼荼羅
釋云。作方曼荼羅。內畫商佉。上有蓮花。〻
〻上有金剛。〻〻上又有蓮花。〻〻上置
觀音菩薩。或可安印我安字也。諸印上皆
安種子字。以本種子巧安置之
又云。中胎是吉祥壇。以觀音爲主。胎外留
空地外。即是第二座位。悉置觀音部諸尊。
餘悉如作大壇法。其空處亦置十方佛。其
第三坐位亦置八部等

西
猪（表癡）
金剛語
北　蓮華（表染涅形）　金剛因　觀自在菩薩　金剛利　蛇（表瞋）　南
金剛法
天女（表貪）
東

依理趣釋圖也
四內外隅各安四內外供養
私云。釋有所思。若無師傳不可用之。可
恐之
已上大心抄

聖觀音心念誦略次第
夫修瑜伽者。先於靜處建立曼荼羅。以香
水散灑。以種〻時花散壇上。行者先須澡
浴著新清衣。而入道場對尊像前。五體投
地發慇重心。頂禮一切如來諸大菩薩（唱我）（從過去世等偈）　次加持香水灑淨供物等　次
神分　次唱禮五悔（或誦金剛輪眞言）　次塗香水
塗手。合掌誦淨三業眞言。唵薩嚩（二合）婆嚩
秫（詩律反）度唅　次結觀音心印。以二羽內
外相叉拳。禪度出外。竪右手大指。誦明（三反）
唵阿嚕力迦娑嚩賀　次結前印誦明三
反。以印左右各轉（三反）即成辟除結界　次
即想身前有八葉蓮花　次結前印誦明
七反以禪度向身招之（請召加句。發遣加句〻〻）　次
結前印辟除又重結界　次結前印示三
昧耶　次以二手捧閼伽水。當額奉之。誦
七反。想浴聖衆。啓白事由　次結前印明
誦七反。成就獻蓮花之座　次塗香　次
花　次燒香　次飯食　次燈明（各誦前明三反）
若無事物者作前印　次結金剛合掌印。
明曰。曩莫三曼多沒馱南薩嚩他欠溫那
薩底娑嚩羅（二合）醯輪識〻曩劍娑嚩賀　次
誦讚云〻　次隨念祈願　次或結前印
誦前明。想自身如觀音無異。或若作千手
觀音者。結其本印。二手金剛合掌。以忍願
二度相合。檀慧禪智四度散開。各直竪即
成。眞言如儀軌　次取念珠三擧頂上。誦
明加持。明曰。唵尾嚕左曩麼羅娑嚩賀
次發五大願（如常）　次正念誦　次結前

根本印誦明加持自身五處　次如前五
供養　次普供養　次讚　次閼伽　次
祈願　次迴向　次結前印左轉云〻讚
曰薩嚩母馱婆羅二合捨婆路引二合野一三
勃里二合路引野寠殿摩賀答摩二合爾四
觀音心念誦極略次第
唱禮　三身
南無阿利耶賀野紇里嚩冐地〻〻
南無大曼陀羅主阿利耶縛嚕枳帝濕鉢
羅冐地サタハヤマカサタハヤ
南無半筝羅婆私寧冐地サタハヤ〻〻
〻〻
南無蓮華部中諸大菩薩摩訶薩
南無梵王帝釋大小自在
南無三部海會一切諸佛菩薩等
聖觀音次第
先加持香水灑淨　次啓白　次神分
次供養文　唱禮　次驚覺　次九方便
次發願　次入佛三昧耶　次法界生
次轉法輪　次大日劍印　次金剛甲冑
印　次無能堪忍印　次法螺印　次覽
字印　次五輪觀印　次滿足印　次百
光王印　次成器世界印　次滿足印
次道場觀印　次本尊觀　次治路印
次鈴杵　次召請　次辟除從魔印　次
示三昧耶　次閼伽　次花座　善來偈
次辟除結界印　次閼　次塗花　燒
飲　燈　次普供養　次讚薩縛沒馱鉢
羅二合捨婆路引二合野三勃哩二合多野寠隸

寠覽二阿嚩路引枳多僧枳嚩野三曩莫
引類殿摩賀答摩爾四　次祈願　次根
本印　次布字　次千轉念誦　次部母
印　次根本印　次念誦　次入定　次
本尊印　次部母印　次塗花燒香。次
衾明　次普供養　次閼伽　次鈴杵
次本尊　四智讚　次禮拜　次九方便
次迴向　次外界　次示三昧耶　次奉
送印　次三部護身　次被甲　次馬
頭印　次出堂已上
胎藏唱禮九方便用之根本印有口傳〻云
千手
梵號
密號　大悲金剛清淨〻〻悉地〻〻
種子　[illegible]普[illegible]
三摩耶形　師説開敷蓮華圖同之
印眞言
軌云不空二手金剛合掌以忍願二度相捻
檀慧禪智四度拆開各直立眞言　私云
如軌并經等小呪
師説用羯磨會法菩薩眞言
唵縛日羅二合達磨頡利
或人集云
唵嚩日羅二合多摩二合頡哩二合婆縛二合賀
陀羅尼如在經
南無曷羅怛那哆囉夜耶一南無阿唎耶

二婆盧羯帝爍鉢羅耶三菩提薩哆婆耶
四摩訶薩埵婆耶摩訶迦盧尼迦耶六唵
七薩皤羅罰曳八數怛那怛寫九南無悉
吉埵伊蒙阿利耶十婆盧吉帝室佛楞馱
婆十一南無那羅謹墀十二醯利摩皤哆沙咩
十三薩皤阿他豆輸朋十四阿逝孕十五薩婆薩
哆那摩婆〻伽十六摩罰特豆十七怛姪他十八
阿婆盧醯十九盧迦帝二十迦羅帝二十一夷醯
利二十二摩訶菩提薩埵二十三薩婆〻〻二十
四摩羅〻〻二十五摩〻醯利馱孕二十六俱
盧〻〻羯懺二十七度盧〻〻罰闍耶帝二十
八摩訶罰闍耶帝二十九陀羅〻〻三十地利
尼三十一室佛羅耶三十二遮羅〻〻三十三摩
〻罰摩羅三十四穆帝麗三十五伊醯移醯三十
六室那〻〻三十七阿羅參佛羅舍利三十八
罰沙罰參三十九他利瑟尼那五十婆夜摩那
五十一婆婆訶五十二悉陀夜五十三婆婆阿五十
四摩訶悉陀夜五十五悉陀嚕婆五十六寘皤
羅耶五十七婆婆訶五十八那羅謹墀五十九婆
婆訶六十摩囉那羅六十一悉羅僧阿穆佉耶
六十二婆婆訶六十三婆摩訶悉陀夜六十四婆
婆訶六十五者吉羅阿悉陀夜六十六婆婆訶
六十七婆摩訶訶羯悉哆夜六十八婆婆訶六十
九那羅謹墀皤伽羅耶七十婆婆訶七十一摩
波利昇羯羅夜七十二婆婆訶七十三南無曷
羅怛那哆羅夜耶七十四南無阿利耶七十五
婆盧吉帝七十六爍皤羅耶七十七婆婆訶七十
八
更有菩提三藏梵本眞言

讃　軌文用百字讃。或人云。用總讃。或云。
通讃用
如意論讃上云。於壇西南安千手千眼觀
音像。持誦者於壇東對像
軌云。次於下方空中想含字。其字深玄色。
漸舒漸廣成大風輪。於風輪上想鑁字。白
色。漸大與風輪相稱。變爲水輪。於水輪上
想鉢羅(合二)字。金色。稱其水輪成一金龜。於
龜背上想素字。變爲妙高山。四寶所成。又
想劍(平)字。變成金山。七重圍遶。則於妙高
山上虛空中。想毘盧遮那佛。遍身毛孔流
出香乳雨。澍七金山間。以成八功德香水
海。於妙高山頂上。想有八葉大蓮華。於蓮
華上有八大金剛柱。成寶樓閣。於蓮花胎
中。想[illegible]紇哩(合二)字。從字流出大光明遍照
一切佛世界。所有受苦衆生遇光照觸皆
得解脫。於此大光明中。涌出千手千眼觀
自在。具無量相好。熾盛威德。十波羅蜜菩
薩周匝圍繞。八供養菩薩各住本位。於寶
樓閣四隅有白衣。大白衣。多羅。毗俱胝等
四大菩薩。各與無量蓮華部衆前後圍繞。
諸天八部以爲眷屬。如是觀想。無量聖衆
及本尊極須分明。勿令忘失。次第
師說云。軌云(云々)。若依例者可觀想字。變
成開敷蓮花(云々)。變成千手千眼
姥陀羅尼經云。當用白氎縱廣十肘或二
十肘。是菩薩
尊形
姥陀羅尼經云。是菩薩身作閻浮壇金色。

面有三眼。臂有千手。於千手掌各有一眼。
首戴寶冠。々有化佛。其正大手有十八臂
(私云。十八臂相可見經文)其餘九百八十二手。皆於手中
各執種々器杖等印。或單結手印皆各不
同。如心經說。手腕一々各著環釧。身服天
妙寶衣。咽垂瓔珞
千臂經云。面有三眼。一千臂。一々掌中各
有一眼。正前面身有十二臂。及左右傍總
一千臂(十二臂所持物可見經文)　又云。更有一梵本云。
此處無好白氎。但取一幅白氎。長五尺作
兩臂。傍無千臂亦得。供養不要千臂。此亦
梵本說。菩薩額上須安著一眼。若不安〇
梵本云。失菩薩相好。若安額上一眼作像
法用。卽得具足相好云々
姥陀羅尼經云。而有兩臂。依前第五千臂
印法(餘同上多)
胎藏圖云。黃金色。二十七面(五重)正面之左
面忿怒相。右如例。次二重各七面。次二重
各五面。每首有髮髻冠。髮最上正中一面
(佛頂有肉髻其頂有化佛)四十二臂印契器仗等。九百五
十八臂手掌舒出。重々輪環宛似圓光。每
掌有一眼(已上)
祕藏記云。二十七面具在千手黃金色(云々)
寶王經云。示現百千臂。其眼亦復然。具足
十一面。智如四大海
問。於何佛所發願具此千手千眼耶。千臂
經云。更有一梵本云。此菩薩過去毘婆尸
佛以作降魔身。千眼各出一佛。以爲賢劫
千佛。臂又各化出一輪王。爲千代輪王(云々)

姥陀羅尼經云。千手經云。觀世音菩薩白
佛言。世尊我今過去無量億劫有佛出世。
名曰千光王靜住如來。彼佛世尊憐念我
故。爲一切衆生故。說此廣大圓滿無礙大
悲心陀羅尼。以金色手摩我頂上。作如是
言。善男子。汝當持此神呪。普爲未來惡世
一切衆生作大利樂。我於是時始住初地。
一聞此呪越第八地。我時心歡喜故卽發
誓言。若我當來堪能利益安樂一切衆生
者。令我卽時身生千手千眼具足。發是願
已。應時身上千手千眼悉皆具足(已上撿之頁)千
手經云。佛告阿難。若爲富饒種々珍財資
具者。當於如意珠手。若爲腹中諸病。當於
寶鉢手。若爲降伏一切魍魎鬼神者。當於
寶劍手。若爲降伏一切天魔神者。當於跋
折羅手。若爲摧伏一切怨敵者。當於金剛
杵手。若爲一切處怖畏不安者。當於施無
畏手。若爲眼闇無光明者。當於日精摩尼
手。若爲熱毒病求淸涼者。當於月精摩尼
手。若爲榮官益職者。當於寶號手。若爲諸
善朋友早相逢者。當於寶箭手。若爲身上
種々病者。當於楊柳枝手。若爲除身上惡
障難者。當於白拂手。若爲一切善和眷屬
者。當於胡瓶手。若爲辟除一切虎狼豺豹
諸惡獸者。當於榜排手。若爲一切時處好
離官難者。當於鉞斧手。若爲男女僕使者。
當於玉環手。若爲種々功德者。當白蓮花
手。若爲欲得往生十方淨土者。當於青蓮
花手。若爲大智慧者。當於寶鏡手。若爲面

見十方一切諸佛者。當於紫蓮花手。若爲地中伏藏者。當於寶篋手。若爲仙道者。當於五色雲手。若爲生梵天者。當於鐸持手。若爲往生諸天宮者。當於紅蓮花手。若爲辟除他方逆賊者。當於戰戟手。若爲召呼一切諸天善神者。當於寶螺手。若爲使令一切鬼神者。當於髑髏杖手。若爲十方諸佛速來授手者。當於數珠手。若爲成就一切上妙梵音聲者。當於寶鐸手。若爲口業辭辨巧妙者。當於寶印手。若爲善神龍王常來擁護者。當於俱尸鐵鉤手。若爲慈悲覆護一切衆生者。當於錫杖手。若爲一切衆生常相恭敬愛念者。當於合掌手。若爲生々之處不離諸佛邊者。當於化佛手。若爲生々世々常在佛宮殿中不處胎藏中受身者。當於化宮殿手。若爲多聞廣學者。當於寶經手。若爲從今身至佛身菩提心常不退轉者。當於不退金輪手。若爲十方諸佛速來摩頂授記者。當於頂上化佛手。若爲菓蓏諸穀稼者。當於蒲挑手。如是可求之法有千條。今粗略說小耳

先方便祈例　次著座　次塗香塗手　次淨地(如加金)　次淨三業(如金)　次觀佛(如金剛軌)　(云。即塗心乃至)入法界生　次驚覺(又觀自身心歡喜乃至)　次四禮(軌云。次禮四方如來請求加護)　先東佛(軌云。東方乃至禮)　菩提心圓滿　次禮南佛(軌云。南方乃至禮)　次禮西佛(軌云。次禮西方)　次禮北方佛(軌云々)　次加持香水等　啓白神分　供養文　唱禮　次五悔(今依文例觀此佛處前用置之之)　次發願　次四無量心　先慈無量心(軌云。即結定印乃至沙頗二合羅)　次悲無量心(軌云。次應入悲無量心乃至娑頗二合羅)　次喜無量心(軌云。次應入喜無量心乃至娑頗二合羅)　次捨無量心(軌云。次應入捨無量心乃至娑羅)　次金剛合掌(軌云。次結金剛合掌得十自在)　次金剛縛(軌云。次結金剛縛○十地滿足)　次開心(軌云。次結摧十種○或降身口)　次召智(軌云。次金剛印○加持不散遍入)　次閉心(軌云。一切結金剛拳成就乃至)　意金剛　次普賢三昧耶(軌云)　次歡喜三昧耶(軌云)　次降三世(軌云)　次蓮華三昧耶(軌云。次結蓮華金剛乃至此速得成就印用不異在書)　次妙觀察智(軌云)　次徹心明(軌云)　次無染心(軌云)　次觀金剛蓮花界(軌云)　次觀身爲本尊(軌云)　次加持(軌云々)　次灌頂(軌云)　次繫鎧(軌云)　次甲胄(軌云々)　次拍掌(軌云)　次道場觀(軌云)　次於下方乃至勿令妄　先次第(私謂。惟例軌可云。於此想大光明字變成中敷乃至蓮華藏世界圖結莊嚴若成變德)　千手千眼觀自在菩薩　次大輪壇(軌云。發乃至結諸訶讚)　次振鈴　次啓白(軌云。發乃至結普)　次觀佛海會(軌云。乃至上宮中便結普召集召集)　次諸如來集會(軌云。普禮)　一切聖衆　軌云。瑜伽者乃至悉地野左　次四明印(此四攝菩薩印異云也)　次獻閼伽(軌云)　次獻閼伽乃至速成就(私云。記謂有印人)　次花座(例軌加之依無)　次內四供養(如軌)　次外四供養(如軌)　次十波羅蜜(如軌)　次四大菩薩(如軌)　次事供養　次普供養(如軌)　次讚(私謂。文無。依已例上加三之種軌)　次入掌尊觀三摩地(用定印依例加之軌無)　觀想。心月輪上有紇哩字。々々變成開敷蓮花。此蓮花漸舒漸大舉體成蓮華。々々々變成千手千眼觀自在菩薩(軌云)　次根本院　次加持念珠(軌云。次結加持念珠印。乃至三摩耶。吽。私云。若依例者先引輪。次頂戴叟)　次正念誦(軌云)　次還珠(軌云)　次入三摩地(用定印依例加之軌無)　觀想。心月輪上有紇哩字。智業不可得義也。若字觀也。賀字諸法因不加得義也。羅字諸法離塵不可得義也。伊字諸法災禍不可得義也。惡字遠離不可得義也者。最上根性月輪上施布陀羅字觀句義成立義。又順逆觀。諸字是施陀羅尼觀也　次根本印(軌云。後本印乃至異言)　次部母印(用蓮花部加持依例之軌無今)　次後供養(軌云。一結反八私供讚如各例誦)　次諸尊印(軌云)　一復反結十波羅蜜(私云。若仟者乃至止異之言)　次事供養　次普供養　次讚(私云。文無依已例上加三之軌)　次閼伽(即軌獻云)　(閼伽心中所希望如隨便。私云。告三世解脫菩薩印異言如前)　次振鈴　次解界(軌云)　(即結印左轉三世解脫界)　次禮佛(私加之)　次奉送(軌云)　(次結奉送破壞娜乃至)　次五悔(軌云。私云。即三對懺悔。聖衆來金剛界歟)　次加持(軌云。加持又以此頭心奉送頂)　次灌頂(軌云。灌頂印即結)　次繫甲(軌云。前繫如)　次被甲(軌云)　次拍掌(軌云。金剛)　各拍掌(私云。本異言一總反文云)　次隨方迴向　次下座　禮佛(軌云)　次出堂作善(軌云。乃至皆隨意獲此出成道場)

已上成神抄。成菩提集中大心抄

或人云。或先德云。金剛頂經并略出經云。普賢菩薩從毘盧遮那佛二手掌親受五智金剛杵時。即與灌頂。名之爲金剛手々云又不空理趣釋及仁王經良賁疏云。金剛手即普賢菩薩云々而大日經疏云。金剛手等諸執金剛及普賢等諸菩薩云々又八大菩薩中普賢金剛手二菩薩別列々云

馬頭觀世音

梵號　阿利也賀野紇利縛

密號　迅疾金剛。噉食金剛（或迅速金剛）
種子　安然和尚云。唅。或吽。藏
三摩耶形　白馬頭
安然馬口
具緣品疏云。何耶揭唎婆譯言馬頭口。此是蓮華部忿怒持明王也。猶如轉輪聖王寶馬巡履四州。於一切時一切處去心不息

印眞言

密印品云。如前印（私云。白處尊印也）屈二風輪置虛空輪下。相去猶如穬麥。是何耶揭里縛印」
軌云。印如白處尊。移風空輪下相去穬麥」
胎記云。虛合二水內背相著。二風相屈端不相著。二空並竪勿著風指
安然。定慧空心合掌。二水入中屈二風輪。道虛空輪下。相去穬麥（海殿異之石泉記出之）
青龍軌云。馬頭明王眞言曰。賀野紇哩（二合）縛（食無明諸障盡也）
曩〇南唅（種子）吽（恐怖）佉那野（噉食諸障也）畔惹（打破）
薩逗（二合）吒野（破碎合盡）娑縛訶（玄法同之）
私云。密印品。無含吽字。藏品加吽。廣大軌有吽無含。靑龍玄法有唅吽二字
二手合掌。二頭指二無名指屈入掌。各自相背並。二大指微屈。勿著頭指即成
唵阿密嘌（二合）姤納婆（二合）縛引吽發吒（半音）娑縛（二合）賀
最勝心明王經馬頭眞言曰
唵阿沒哩（二合）都納婆（二合）縛吽發吒（有印可撿之）

讃　世有賀野紇哩縛二卷軌不空譯云々。彼出金剛界法菩薩讃（更問之）
理界記云。馬頭明王印〇虛心合掌。屈水風第二節。合背入月並立。二空少屈向上（十一面儀云。金剛合掌。竪合二中指。以二頭指各鉤。無名指竪與頭指聚。小頭指各押中指上節。小指並竪入掌中。二大指並）
覺傳云。問。前說但風頭粒許不相著二大指直竪。二小指二中指亦爾也此下

疏眞言曰
曩莫〇南唅（種子）吽（恐怖）佉那野（噉食諸障）畔惹（打破）
薩叵吒野娑縛賀
釋云。是蓮華部主忿怒明王。如觀自在菩薩。於一切法界門。以普眼遍觀而得自在。今馬頭尊還以此觀自在力。從一切法界門大摧三障拔苦衆生。馬頭是大精進義也。噉食三垢破壞三障也

陀羅尼集經第六云
何耶揭唎婆觀世音菩薩法印呪品（唐翻馬頭）
當部（印即有八呪有十六）
馬頭護身結界法印呪。兩手從中指以下三指向外相叉。各博著手背。合掌。二食指直竪。相去五分許。並二大指相著。各屈一節。勿著食指。頭指來去。呪曰
唵一鉢囉毘迦悉路二跋折囉三涉筏（二合）囉々支四涉（去音）訶五
是法印呪。若欲受持是菩薩法者。先須以此法印誦呪護自身已〇結界。然後作諸法事悉當有驗
馬頭大法身印呪。兩手食指以下三指向外相叉。指頭各博著手背。合掌。以二小指並竪相合。並二大指相著屈怒。大指來去。呪曰
唵一吐那々々二摩他々々三可馱々々四訶耶揭唎婆五嗚餠柿六涉訶
是法印呪。若人被毒蟲及蛇齧者。并得惡人以印々已呪之即差。又法〇又若彼此俱有心者。取果子呪二十一遍。使人送食時。心即迷亂極相愛念。更無他意
馬頭法心印呪。以二手食指以下四指向外相叉。指頭各博著手背。合掌。並二大指相著。各屈一節。勿著食指。大指來去。呪曰。
唵阿密利都知婆々嗚餠柿三涉訶四
是法印呪。若欲論義〇即得勝他。法當如是
馬頭法印呪（如文）頭痛即差云々
馬頭頂法印呪（如文）人病頭頂痛者誦呪即差
馬頭口法印呪（如文）一切鬼病即差
馬頭牙法印呪（如文）用此呪者。一切諸人作法。皆破不能成辦（除人者外道惡人也）
馬頭觀世音菩薩乞食法印呪（如文）
馬頭觀世音菩薩解禁刀印呪（如文）
馬頭療病法印呪（如文）是呪治一切諸病及鬼神等苦惱
馬頭觀世音菩薩大呪。那謨囉云々
縛毘那夜迦呪（如文）
歸命禮拜呪（如文）
發遣馬頭觀世音印呪（如文）

已上文廣。仍略之。若有要時看。可撿經本文云云

畫像法

陀羅尼集經云。畫作像法。取新瓦瓶未曾用者。染作青色。於其瓶上畫作馬頭觀世音像。其像身高。如來一磔手（一磔等人肘）畫作四箇歡喜之面。左邊一面畫作黑色。眼精綠色狗牙上出。右邊一面畫作赤色。名契呪面。當中前面作菩薩面極令端正。畫作白色。離像頂上懸於空中。畫作青面口吐寶珠。其四面像頭上各戴寶冠。其寶冠上皆化佛坐。菩薩左手把於蓮花。屈肘向上。拳在髆前。右臂垂下。五指皆申施無畏手。兩手腕上皆作寶釧。其像項下著寶瓔珞。身分莊嚴如餘處說觀音身莊嚴之法。其像之在寶蓮華上　又云。復次更有畫作像法云云　其菩薩身長佛一磔（以長短人一正肘當）總有四面。中菩薩面極令端正作慈悲顏。顏色赤白頭髮純青。左邊一面作大懸髕怒黑色之面。狗牙上出。頭髮使竪如火焰色。右邊一面作大笑顏。赤白端正似菩薩面。顏髮純青。三面頭上各戴天冠及著耳璫。其天冠上。有一化佛結跏趺坐。中面頂上作碧馬頭。仍令合口。菩薩頸下著寶瓔項背圓光數重色作。左手屈臂手當乳前抱紅蓮花。其蓮花與菩薩頭齊。正臨左髆。其花臺上作一化佛。著緋袈裟結跏趺坐。項背有光。右手作掌五指皆申。臂肘半屈。其手掌擎眞陀摩尼（唐云如意珠也）其珠圓圓如作白色。赤色光燄圍繞其珠。於其右手正當珠下兩種種寶。其左髆上著弊耶（二合）迦羅者摩（二合唐云虎皮）如著祇支。當右腋下掩皮結帶。更用虎皮縵其胯上。以外臂釧天衣裙等。皆如餘處畫菩薩法。如今菩薩端身正立紅蓮花上。空懸寶傘蓋菩薩頭。其上空中畫作種種天音樂具。兩邊空中須陀會天。舞蹈供養。畫此像時用香汁畫。皮膠不當用　馬頭觀世音菩薩受法壇。若有沙門若婆羅門諸善男子善女人等。意欲受持菩薩法者。准前應作四肘壇法。當覓勝地清淨之所掃灑清淨。復以香水牛糞泥地。懸於種種雜色幡蓋寶鈴○道場中立五色壇。縱廣四肘。先下白色。次黃次赤次青次黑。而作四門。其壇中心作蓮花座。安置馬頭觀世音像。正當東門作蓮花座。安十一面菩薩。正當北門作蓮花座。安八臂觀世音。其壇南方更無花座。作八龍王。何等爲八。一名難陀龍王。二名婆素雞龍王。三名德叉迦龍王。四名羯固吒龍王。五名般摩龍王。六名摩訶般摩龍王。七名商佉波羅門龍王。八名鳩利迦龍王。此八龍王唯以粇米乳糜供養。以外餘者種種飮食供養亦得。然四十五燈。先喚八箇龍王安置用馬頭菩薩身印來去。眞言曰。唵闍耶毘闍耶二阿瑟吒（二合）那伽羅闍那三摩羅闍那四莎訶五其壇西門如近南畔。安一火鑪。以胡麻人稻穀花等。蘇蜜相和竟。誦菩薩心呪。呪前和物一偏。呪已投火中燒。一〻如是。乃至滿足一千八遍已。次請中心馬頭菩薩。次請北方八臂觀世音菩薩。用心菩薩身印法來去呪曰。唵一夜勢夜愉醬二莎訶三次請東方十一面菩薩。用花座印○若欲論議。當作此壇而供養者。皆得勝上不被他難。亦能難他。若病難差。作此壇已病無不差。若被毒藥毒蟲虎等之所傷者。若誦前呪無有不差。用蘇木佉子（唐云莪臺）搗以爲末。極令微細。用酪（作酪汁也）殘汁和。如和麵法。用馬頭觀世音心呪。呪三七遍。與其病人空腹服之。腹內所有一切毒蟲悉皆吐出云〻　已上成菩提集中教令抄馬頭卷乎

問。馬頭尊形何

大日經疏云。次於觀自在菩薩下置何耶揭喇婆。譯云。馬頭。其身非黃非赤。如日初出之色。以白蓮花爲瓔珞等莊嚴其身。光焰猛盛。赫奕如鬘。指甲長利。雙牙上出。首髮如師子項毛。作極吼怒之狀。此是蓮花部忿怒持明王也。形如轉輪王寶馬巡履四州。於一切時一切處去心不息。諸菩薩大精進力亦復如之。所以得如是威猛之勢。於生死重障中不顧身命。多所催伏者。正爲日淨大悲心故〻　用白蓮花瓔珞而自嚴身也

祕藏記云。次馬頭觀音菩薩。赤肉色。大忿怒之相。并三面。臂在上牙。頭在白馬之形。如輪王寶馬云〻

調定圖云。肉色前本三面二臂。結印右足

翹也。右跌翻向外。後本一面四臂。右手持三股鈎。左手持未開蓮花。坐赤蓮花云々

私云。如繪像曼荼羅者。又可有四面二臂像歟

問。頭現馬頭有何所由耶 私加

十八契義釋云。是大明王噉食無明諸障盡。摧破衆生諸恐怖云々。謂如大馬口海呑納衆流。表示此故頂現馬頭。有人云。百川異流同會一海。々々沒犯馬口不增不減。此觀自在亦如是也。謂諸佛菩薩慈悲方便種々雖異。悉攝入觀自在身。而不增不減。如大海中犯馬口也。是故現馬頭也 文

此菩不知誰集。世間流布故栰之。用否如何

十一面觀世音

梵號 阿利也曀迦娜舍目佉

密號 變異金剛。慈愍々々

種子 [梵字]字。或[梵字]迦。胎藏圖

三昧耶形 軍持

印眞言

二手右押左相叉。合掌以印置頂上即成

陀羅尼集經云

那謨囉路那 二合 路囉 二合 夜耶 一 那謨阿梨耶 二 婆路枳帝 二合 攝跋囉 二合 耶 三 菩提薩埵耶 五 摩訶迦嚧尼迦耶 六 怛姪他 七 唵

十一面神呪心經云 玄奘 誦此呪者應作此說。敬禮三寶。敬禮聖智海遍照莊嚴王如來。敬禮一切如來應正等覺。敬禮聖觀自在菩薩摩訶薩大悲者

怛姪他唵 一 達羅達羅 二 地履地履 三 杜嚕杜嚕 四 壹䶢 向下 伐䶢 五 折隸折隸 六 鉢羅折隸折隸 七 俱素謎 八 俱素摩成 輪律反 伐隸 九 壹履弭履 十 止履止徵 十一 祉 時賀反 羅摩波捺耶 夷何反 成 輪律反 陀薩埵縛莫訶迦盧尼惹迦 十四 涉訶 十五

鉢羅摩 儀軌 陀羅尼集經有此句

或先德出小呪

唵摩訶迦嚕尼伽也涉訶

或人集小呪

唵嚕鷄入縛羅吃哩

私云。用唵阿魯力迦三呪有何失之。撿陀羅尼集經等

讃

唵鉢納麼 二合 羅識涅 寧反 達 摩攬迦麼羅識母答鈴 二合 盧迦蘖他滿馱銘薩縛秫馱悉地者 十一面用有此讃

身相

本軌云。以堅好無隙白栴香。彫觀自在菩薩身。長一尺三寸。作十一面四臂。右邊第一手把念珠。第二手施無畏 揚掌也 左手第一手持蓮花。第二手執軍持。十一面當前三面作慈悲相。右邊三面威怒相。左邊三面利牙出現相。後有一面作笑怒容。最上一面作如來相。頭冠中各有化佛。觀自在菩薩身種々瓔珞莊嚴云々

十一面經云。先以堅好無隙白栴檀香。刻作觀自在菩薩像。長一搩手半。左手執紅蓮華軍持。展右臂以掛數珠。及作施無畏手。其像作十一面。當前面作慈悲相。左邊三面作瞋怒相。右邊三面作白牙上出相。當後一面作暴惡大咲。頂上一面作佛面像。諸頭冠中皆作佛身。其觀自在菩薩身上具瓔珞等莊嚴

陀羅尼集經云。作十一面觀世音像。其木要須精好堅實。不得枯𣗥。其像身量長佛一肘 若人肘量三肘一磔 若不得者。一尺三寸作之亦得。作十一面。當前三面作菩薩面。左廂三面當作瞋面。右廂三面似菩薩面。狗牙上出。後有一面當作咲面。其頂上面當作佛面。其十一面各戴花冠。其花冠中各々安一阿彌陀佛。其像左手把一澡罐。其澡罐口插一蓮花。右臂垂下。展其右手。以串瓔珞施無畏手。其像身上刻出瓔珞種々莊嚴。作其像身云々

胎藏圖云。肉色十一面。前三面寂相。左三面利牙上出相。若三面威怒相。大面三。左右二面靑黑也。左一手持蓮花。次手把軍持。右一手持念珠。次手施無畏。坐赤蓮

十一面經疏云。十一面者。前三面慈相。見善衆生而生慈心大慈與樂。左三面瞋面。見惡衆生而生悲心大悲拔苦。右三面白牙出面。見淨業者發希有讃勸進佛道。最後一面暴大咲面。見善惡雜穢衆生而怪咲改惡問道。頂上佛面。或對習行大乘機者而說諸法究竟佛道。故現佛面。各示三

方三面爲化三有故現三面若合本面應十二面而十一面是方便面本體常面是眞實面〻離於身不知面主面表內懷以頓權實故常面上現十一面故曰十一面也

又云十一面者實是十二面也佛面是果下菩薩面是因也謂是因果一變也只十一面是方便面下一面是眞實面也謂是實方便一變也是十一面中前三面慈相左三面瞋相慈是父瞋是悲謂父悲一變也右三面白牙上出相是讃後一面暴大咲相是嗤謂讃嗤一變也或現慈面或現瞋面或現白牙上出面或現暴大咲面雖現十一本體不二故擧反現面故曰十一面也　問是菩薩有慈面不可怪而何故是菩薩有瞋面耶上有牙出相等三相耶答聖除染汚之氣豈有瞋咲相耶然隨世間者依違境而發瞋也依順心而發咲也現牙出相而讃淨也白牙上出相者方便經曰身口意淨故二牙白相也故知讃淨三業有情故有白牙上出相面七暴大咲相者嗤善惡雜穢有情故現暴大咲相也何知然者夫咲之者見善而心喜故咲也見惡而嗤謗故咲而今日暴大咲相者必當嗤謗彼惡罪故有暴人言故嗤彼善惡雜穢有情故有咲面也謂世間人面表於心〻出於見善色善見惡色惡隨心善惡面色美醜故隨世間故聖現此面相也　問若化善衆生但以慈面化惡衆生但以瞋面而化善惡雜穢有情但以暴咲面化淨業有情但以白牙上出面者是娑婆有善者甚少惡者甚多故多以瞋而化度耶小以餘面化耶答先以瞋面而化有情惡後若調其心而成善心乃以慈面而化度也　上來瞋面能除怨敵也故下云取燕支一顆誦一百八遍具現十一面耶答方便化物不可定相或具現或不具今依具現之但若有惡緣怨害行者至誠發願故離此怨者是觀世音乃現瞋面而降伏之若有衆生欲求佛道即現佛身而爲說法之若有衆生欲度衆生勤修淨業而現白牙上出面乃觀讃進之若有衆生欲見觀音現後化度即現慈相而說法也若有衆生或善或惡或行不行心性不定欲見觀音化度即現暴咲面而爲說法也今更釋十一面以五義而釋一聖有二化方便一聖默然密化如維摩法默然即是本面也二聖說法謂種〻方便種〻說法也即見十一面相也二聖有二化一說定慧而化有情所現之身二眞實體即是前三慈面也二說權方便慧而化有情所現之身二方便身如瞋面咲面牙出面也三聖有二化一者一往化如咲面嗤惡業也二遂化如瞋面方惡也牙出面讃淨業也四聖有二化一相順化如華嚴經田獵漢捕共助而化也即如暴咲面化也二相集化如持論逼迫化即瞋面號惡也五聖有二化一慰喩化如維摩慰喩即此慈面咲善也二調伏化如維摩調伏寄惡也雖不對一生菩薩而作十一面像如法修行者願令得也　問此何故佛面是一慈面瞋面牙出面各有三面只咲而是一耶答果道無二故佛面無二也慈面三者小出三面也一慈有苦無樂有情而令滅苦得樂也二慈有論無慧而令具論慧也三慈有慧無通有情而令得神通智慧故慈面三也瞋怒面三者一怒欲離苦報果迷苦業業也二怒欲求樂果不知樂因也三怒欣寂靜理還著散亂境故瞋面三也白牙上出面三相者爲讃三業淨故有三面也上爲化三有故有三凡面也暴大嗔一面總嗤善惡雜穢有情故有一面也　問至人無相〻隨緣故不見世間人面十一身一者何故違世而現身耶答每面應有面以面知彼人儀識之者見彼眞面人但知瞋人不知觀音方便故今爲淺者令知觀音一身反現十一面之身故現十一面身也文

十一面神呪心經云爾時觀自在菩薩〇白佛言世尊我有神呪心名十一面具大威力十一倶胝諸佛所說我今說之欲利益安樂一切有情除一切病故滅一切惡故爲止一切不吉祥故爲却一切惡夢想故爲遮一切非時死故欲令諸惡心者得調淨故有憂苦者得安樂故有怨對者得和解故魔鬼障礙皆消滅故心所願求皆稱遂故〇世尊我憶過去過殑伽沙等劫前有佛出世名白蓮華眼無障礙頂熾盛

功德光王如來。我於爾時作大仙人從彼世尊得此呪。時見十方佛應時證得無生法忍。當知此呪具大威力。是故若有淨信善男子善女人等。欲受持讀誦此神呪者。應當恭敬至心繫念。每晨朝時如法淸淨。念誦此呪一百八遍。若能如是現身獲得十種勝利。何等爲十。一者身常無病。二者恒爲十方諸佛攝受。三者財寶衣食受用無盡。四者能伏怨敵而無所畏。五者令諸尊貴恭敬先言。六者蠱毒鬼魅不能中傷。七者一切刀杖所不能害。八者水不能溺。九者火不能燒。十者終不橫死。復得四種功德勝利。一者臨命終時得見諸佛。二者終不墮諸惡趣。三者不因險厄而死。四者得生極樂世界。世尊我憶過去過十殑伽沙等劫。復過於此有佛出世。名美音香如來○爾時我身作大居士。於彼佛所得此呪。時便於生死超四萬劫○我此神呪有大威力。若誦一遍卽能除滅四根本罪及五無間令無有餘○繫心於我誦此神呪。便於生死超四萬劫。世尊我由此呪。名號尊貴難可得聞。若有稱念百千俱胝那庾多諸佛名號。復有暫時於我名號至心稱念。彼二功德平等〻〻。諸有稱念我名號者。一切皆得不退轉地。離一切病脫一切障一切怖畏。及能滅除身語意惡。況能於我所說神呪受持讀誦如說修行。當知是人於無上菩提則爲領受如在掌中文

陀羅尼集經云。毗居利多印(唐云讚印。第一面)若作此印。摧伏惡魔外道皆無所畏。作此印處一切鬼神永皆無也　離羅印(唐云高慢印。第二面)若作此印。六道衆生一切皆得離諸苦難　婆羊揭唎印(唐云大瞋印。第三面)若作此印。一切鬼病悉皆除差　娑馱印(唐云歡心印。第四面)阿嚕陀囉印(唐云大怒印。第五面)若作此印。一切惡人惡鬼神等皆悉變心轉作好心　特崩(二合)沙尼印(唐云破手障難印。亦云[illegible]遣印。第六面)闍耶印(唐云得勝印。第七面)毘闍耶印(唐云得勝印。第八面)若作大功德道場壇時。起大雲雨大風動者。當作此印〻云　阿目多印(唐云無能勝印。第九面)作此印時。欲界天魔皆悉戰慄諸鬼神等悉皆倒地。諸佛菩薩金剛天等悉皆歡喜　阿波羅質多印(唐云無能勝印。第十面)摩羅栖那波羅末陀儞印(唐云破魔印。第十一面)觀世音菩薩在於佛前作如是言。我今有十一面各出一印。若人見聞及學此法如法行者。四重五逆及恒沙罪一時消滅。如猛火燒諸草木。隨何國土有此法處。與我自身現住無異。此十一印總用最初大陀羅尼(已上)十一印依故。賴不能書之。若有要撿本經文

十一面觀世音神呪經(周宇文氏天竺三藏耶舍崛多譯第一)十一面神呪心經(大唐三藏玄奘譯)右二經與前陀羅尼集經第四卷十一面神呪經同本異譯。而集經中印法稍廣。十一面觀自在菩薩經三卷。解曰綱內題云。十一面觀自在菩薩心密言儀軌經(三藏不空譯)已上成菩提集中大心抄十一面卷也

理界記云。十一面根本呪有跡命(如上大呪也)部尊心密言曰。嚩日羅(二合)阿路力迦。此印眞言摧伏一切毘那夜迦作障礙者。十一面觀自在菩薩印。根本印。二手右押左外相叉。金剛合掌。以印置頂上卽成。本尊身眞言如經說

問。以何木可作十一面像耶。儀軌云。以堅好無隙白檀香。彫觀自在菩薩身。長一尺三寸。作十一面四臂云〻。十一面經云。先以堅好無隙白檀香。刻作觀自在菩薩像。長一搩手半云〻。疏云。木是無心。何故動而出聲耶。答。此有三義故動而出聲也。一者行人心誠故。二願力強盛故。三菩薩願重故也。世人不無是事也。如丁蘭母指現生相增盛書母尚應若形。何況是菩薩而不應耶。經曰。佛從天下。木像起坐。佛先合掌後異像住。故佛言。若人禮像。猶如眞佛也。問。此行法中何以白色爲法。如日月役禮白檀作像○答。白色是衆色本。觀音是行人之基。如法花曰白毫放光。問。若無白檀之國者。爲何木作像也。答。依方法者若求而不得。亦以柏木像也云〻

不空羂索

梵號　阿哩也母伽跛舍

密號　等引金剛

種子　普中初

三摩耶形　羂索。開蓮花

不空羂索神呪心經云。觀自在○白佛言。
我有神呪。名不空羂索
陀羅尼集經云。觀自在菩薩不空羂索身
印呪云々
印眞言
千手儀軌云。次結不空羂索菩薩印。二手
蓮華合掌。進力禪智金剛縛。右手禪度入
左手虎口中。誦眞言曰
唵阿(上)謨(引)伽(去)跛娜摩(二合)播(引)捨(一)娑
嚕(引二合)駄(引)羯囉(上)灑(二合)野鉢囉(二合)吠(微反引四)
捨野(三)摩賀跛輸(上)跛底(丁以反四)路麽縛糝
拏(上)矩吠(同音引)囉(五)沒囉(二合)憾摩(二合)吠(引)
灑駄囉(六)跛娜摩(二合)矩攞(三)麽(去)琰(七引)吽(八引)
私云。覺空法橋出此文。此下眞言又在
千手軌
八家錄明不空羂索云。不空羂索毘盧遮
那大灌頂光明眞言(出不空羂索經二十八)
唵阿謨伽尾盧左曩摩賀母捺羅摩尼鉢
納麽(二合)入嚩羅(二合)攞多野吽(有可疑問之)
不空羂索神呪心經(玄奘)私云。此經中廣說
功能撿之
餘形
胎藏圖。白肉色。有四臂。右一手持念珠。次
手持軍持瓶。左一手持蓮華。次手持羂索。
以虎皮爲白氈。有三面々々上三目。左右二
目。大靑色。座赤蓮花
不空羂索經云。以新白氈。應長一丈。而闊
五尺。總一般成。忽斷經縷。畫作佛像○右

邊應復畫作觀自在。似大自在天。頂有螺
髻。首冠花冠。豎褺耶皮。被左肩上。自餘身
分。瓔珞環釧而爲裝嚴云々
三卷本上云。其身黃白。首戴花冠。紺髮分
被兩肩前。後慈顏和悅。放百千光。淸淨殊
勝。面有三目。以純白縷交絡胸臆。以豎泥
耶鹿王皮而覆肩上。莊嚴寶帶以繫其腰。
尊者四臂。左邊上手執持蓮華。下手執澡
瓶。右邊上手施無畏。下手執數珠。皆以珍
寶而嚴飾之。身著天衣。立蓮華上。有大威
德。瓔珞環長交順垂下。耳璫臂印及以環
珮皆嚴飾之。頂上畫作無量壽佛。於其幘
內畫種々花云々
不空羂索經第八云。補陀落山○七寶功
德種々莊嚴其宮殿。地衆寶所成。殿中置
寶蓮華座。其上不空羂索觀世音。一面三
目一十八臂文
又有一面八臂像。世間多圖此樣。若山階
寺南圓堂像樣歟。又有三面八臂像(可尋之)
秘藏記云。不空羂索菩薩。白肉色。面上三
目。幷三面。左右二面大靑色。著鹿皮袴。有
四手。左一手執開敷蓮花。次一手羂索。右
一手說法之相。次一手取鐸持瓶。右蓮花
使者取蓮花已上
寶志和尙傳云。不空羂索一面八臂像見
此傳。和尙云。若然者。得三人造了。令造三
身一體之身。國王歡喜。歸躍差遂三人好
手佛師。和尙卽以右大指之爪。從眉間至
面裂開令見佛師。一人見三面八臂不空

羂索。長一丈。纔々端正。一人見十一面觀
自在菩薩。一探手半。相好圓滿。一人見千
手千眼觀音。長六尺。放光照曜已上
陀羅尼集經第五云。觀世音菩薩不空羂
索身印呪。准前觀世音母身印。上唯改開
二中指。去一寸許。二頭指無名指少舉。句
與大指相著。頭指無名指開。開容一中指
地。頭指來去。呪曰
路婬他(一)唵(二)濕閉(二合)多夜(三)濕閉(二合)多
菩闍夜(四)啞(去音)醯啞(去)醯鉢囉麽(六)輸駄
薩埵(七)摩訶迦盧膩迦(八)涉訶(九)
觀世音菩薩不空羂索口法印(如經可見之文)
觀世音菩薩不空羂索牙法印。准前口印
唯改少屈二中指頭。各厭二火指頭。二小
指外右厭左。總握無名指背。呪用前呪。是
一法印。能除一切水火風賊刀及王難。夜
叉羅刹一切毒龍毒蛇繫縛等難。若人日
々常作供養。得觀世及諸菩薩等皆生歡
喜。命終得生阿彌陀佛國。又復十方淨土
隨意往生○
觀世音菩薩不生羂索心中心呪
唵(一)梨悉底哩(三合)盧迦(去反耶)毘社夜(二)阿
謨伽波(令三)摩訶麽盧駄(四)囉闍夜(五)梨
陀(去音)夜阿波囉(上音)提阿踰(七)嗚鉾嗚鉾(八)
捕捕(九)
是一法呪。能滅罪障懺悔治病。大有神驗。
具如不空羂索經說
不空羂索神呪心經(不空譯)佛在布怛洛迦
山觀自在宮殿說○爾時會中有一菩薩

○名觀自在○而白佛言。我有神呪心。名不空羂索。我於往昔第九十一劫。時有世界。名殊勝觀。其中有佛。名世主王如來〻云爲我說此大神呪心云〻世尊。若有衆生。造諸重罪習行惡法。毀辱賢聖誹謗正法。當墮無間大地獄中。經無數劫受諸劇苦。諸佛菩薩獨覺聲聞。雖具神通而不能救。(衆病)若聞此神呪心經。能生悔愧終不更造(悉除之相可見之無間地獄罪業轉重輕受之文可見之)若有衆生。爲勝他故。或怖主故。怖怨讎故。怖惡獸故。怖厄難故。或隨他故。或求高貴多財寶故。聽聞如是神呪心經。雖復聽聞而不恭敬。或復誹謗輕賤毀呰。智者應知非其自力。是觀自在威神力故令彼耳聞。爲令彼得現在未來利樂事故。世尊譬如有人採沈取麝或復栴檀龍腦香等。種〻誹謗輕賤毀呰。而復擣磨用塗身體。然沈麝等不作是念。彼陵蔑我不與其香。而性自然恒作香事。此神呪心亦復如是。雖有誹謗輕賤毀呰。或如上說以諂誑心。若爲受持恭敬供養。而作彼善根因緣。令彼當來隨所生處。具戒定慧功德妙香。亦能爲他作斯香事故。此神呪威德難思。信謗俱能作饒益事

小呪　唵鉢頭摩陀羅弭暮伽枲野泥主嚩〻莎訶(門師說更之)

不空羂索根本印

理界記云。不空羂索菩薩。二手蓮華合掌。進力禪智金剛縛。右手禪度入左手虎口也。根本印。合掌屈二指頭。頭當中指側上第一節文。其二大母指相並手伸。此印能□一切諸佛菩薩法門也。只能召請觀世音菩薩來加護念。眞言曰

唵阿暮伽弭矩喇弭路二嗟漫嬋路迦給二空(同上)履野持(二合)婆地瑟恥嬋(四)訶暮伽上鉢頭米(五)者羅弭者羅散者羅二鉢〻七

此印眞言名觀密三世不空照明蓮花光。神通威德。若有眞實以大悲心輪結是印而誦念者。當得三世微塵佛刹一時震動。是等佛刹一切如來悉皆歡喜。放大光明。伸手摩頂加被。不空羂索心王母陀羅尼眞言。最勝神變除蓋障八難大怖。不空羂索祕密心眞言曰。唵(吉月呼引)(吽一下)鉢頭(下除同色香反)麼歌麼塞(下同□□反)路摩二訶(上)暮捨一娑(去)陀野儸摩野(四)紇喇娜焰(引)栝羅〻〻六餅七

祕密小心眞言

唵一鉢頭(二合)摩陀(上)羅訶暮伽(上)惹野泥主魯〻〻(四)莎嚩訶(五)

准提

梵號　阿利也(二合)母陀婆誐縛底

密號　最勝金剛

種子　普□。或云梵最初。胎藏圖 [illegible] 母

字

三摩耶形　賢瓶

印

本軌云(不空)二手內相叉。竪二中指頭相著。以二頭指念中指背。二大指側附二頭指根下。卽成根本印

金剛智軌云。先以二手小指無名指相叉入掌。二中指直竪頭相著。二頭指頭附二中指上節側。二大指各附頭指側卽成。眞言

唵左禮祖禮准泥娑縛(二合)訶

經云

曩莫颯多南一三藐三勃馱俱胝南二怛姪他三唵者禮四主禮准提六娑縛(二合)賀

不空軌云。次結第二根本印。用護身。二手外相叉。二頭指二大指並直竪卽成。誦佛母心眞言。印身五處○眞言曰

唵迦麼黎尾摩黎准提娑婆(二合)賀(引)

結護身印時。起大慈心。遍緣六道四生。願一切有情。被大誓莊嚴堅固金剛甲冑。速證無上正等菩提

金剛智軌云。第二根本印。以二手向內相叉。二頭指二大母指並直竪卽成。妙言

娜慕颯多南一三藐三勃陀(去)俱胝南二怛姪他三唵四折隸(引去二下音)祖隸六准提七莎縛(二合)訶

大乘寶王經云

讚　本軌有讚文。廣難持。更思

尊形

身黃白色。結跏趺坐。坐蓮花上。身佩圓光著輕縠。如十婆羅蜜菩薩衣。上下皆作白色。復有天衣角絡瓔珞頭冠。臂皆著環釧。檀慧著寶環。其像面有三目。十八臂。上二手作說法相。右第二手作施無畏。第三手

執劍。第四手持寶鬘。第五手掌倶縁葉。第六手持鉞斧。第七手執鈎。第八手執金剛杵。第九手持念珠。左第二手執如意寶幢。第三手持開敷紅蓮花。第四手軍持。第五手羂索。第六手持輪。第七手商佉。第八手賢瓶。第九手般若梵夾。蓮華下畫水池。池中難陀龍王。塢波難陀龍王。栴蓮花座左邊畫持誦者。執香爐瞻仰聖者。准提佛母矜愍持誦人。眼下顧視。上畫二淨居天。一名倶素陀天子。手持花鬘向下。乘雲空而來供養聖者。畫像已。隨力作次請七僧。供養。請開光明呪願讚歎。於像下應畫法身縁起偈。將像於精室祕密供養。以帛覆像。念誦時去覆帛。瞻禮供養念誦畢。却以帛覆。慎勿令人見。何以故。從師受儀軌畫像法。若轉與人呈像。被魔得便。當須祕密

金剛智同之

胎藏圖種子[illegible]母。三形賢瓶。白黄色有十八臂云々(九手把疑■云々。而上有三眼坐赤蓮華 同上文所執三摩耶形同上軌文倶有第)(以綾帶繫腰白 衣著腰帶云々)

准提儀軌云(金剛智)若求不二法門者。應觀兩臂。若求四無量。當觀四臂。若求六通。當觀六臂。若求八聖道。當觀八臂。若求十波羅蜜圓滿十地者。應觀十臂。若求如來普遍廣地者。觀十二臂。若求十八不共法者。應觀十八臂。卽如畫像法觀也。若求三十二相。當觀三十二臂。若求八萬四千法門者。應觀八十四臂云々

祕藏記云。七倶胝佛母尊。白黄色。有十八手。遍身有白輕羅綿也文

次說本尊陀羅尼布字法。從頂至足觀。一々眞言字。居由分明流出光明。照六道四生輪迴有情。深起悲愍施與安樂。用陀尼九字布列於行者身。卽成以如來印八大菩薩所加持身。若作息災增益降伏敬愛。隨四種法。所謂白黄黑赤。成辦悉地。卽結布字印。二手內相叉。二大指二頭指二小指相合直豎卽成。想唵字安於頂。以大母指觸頭上。次想左字兩目瞳人上倶。次想禮字。復以大母指觸左右眼上。次想祖字。安於頸上。用大母指觸。次想禮字當心。以大母指觸。次想准字。安左右肩。以大母指觸。次想泥字。安臍上。以大母指觸。次想莎縛(二合)字。安左右兩膝上。以小指觸。次想訶字。安左右兩脛上。以小指觸。由想布眞言結印加持故。行者身卽成准提佛母身。滅除一切業障。積集無量福德吉祥。其身成金剛不壞體。若能常專注觀行。一切悉地皆得現前。速證無上正等菩提。念誦加持頂戴心口作是願言。我今欲念誦。唯願本尊諸佛菩薩加持護念。願令速得隨意所求悉地圓滿。然復以左手無名指大指承珠。右手以大指無名指移珠。手如說法相(私云。大指無名指文可 思之如說法相文其要)當於心前持珠念誦。其聲不緩不急。心專注不異緣。觀自身同本尊身相好具足。又於身前壇中。觀想七倶知佛母與眷屬圍繞。了々分明對坐。每稱莎縛(二合)賀字。同時移一珠。一百八或一千八十。爲念誦遍數常須限定。若不滿一百八。卽不充求悉地遍數(金剛智云。如有緣事。不得減一百八。已上亦)念誦畢已○卽結定印。端身閉目澄心靜意。當於胸臆身內炳現圓明如滿月皎潔光明。起大精進決定取證。若能不懈怠專功。必當得見本源淸淨之心。於圓明中想唵字。餘八字右旋於圓明上布列。於定中須見眞言字分明。說不散動得定。卽與般若波羅蜜相應。卽畫圓明月輪。次應思惟字母種子義。唵字者是三身義。亦是一切法本不生義。左字者一切法不生不滅義。禮字者一切法相無所得義。祖字者一切法無生滅義。禮字者一切法無垢義。准字者一切法等無覺義。泥字者一切法無取捨義。娑縛(二合)字者一切法平等無言說義。賀字者一切法無因義。由一切法本不生故卽得不生不滅。由不生不滅故卽得相無所得。由相無所得故卽得無生滅。由無生滅故卽得無垢。由無垢故卽得無等覺。由無等覺故卽得無取捨。由無取捨故卽得平等無言說。由平等無言說故卽得無因無果。般若相應無所得。以爲方便入勝義實際則證界眞如。以此爲三摩地念誦

已上成菩提集了

理界記云(比丘明達集)七倶胝印

密號最勝金剛。歸命合掌是也。用一切菩薩眞言

准胝儀軌云。二手外相叉。二頭指二大指並直竪也。名根本印。印身五處如常(根本眞言)

曩莫颯多(引)南(引)三藐三沒馱(引)俱(引)胝
南(引)怛儞也(二合)他唵者禮主禮准泥娑縛(二合)賀(引)
心眞言曰
唵迦麼黎尾麼黎准泥莎縛(二合)賀
獨部法云。以二手無名指小指相叉於內。二中指直竪側相拄。頭指屈附二中指第一節。母指捻右手無名指中節。若有召請二頭指來去也
經云。出家在家菩薩誦持此陀羅尼滿九十萬遍。無量劫造十惡四重五無間罪悉皆消滅。所生之處掌遇諸佛菩薩。掌得出家。若人無宿善根無菩提種。不修菩薩行。纔誦一遍。則生菩提法芽。何況常能念誦受持也
釋云。以此淨菩提心寶。生十方三世證者無不道同故。此印力能滅十惡重罪。成就一切白法功德也。作此法。不簡在家出家飲酒食肉有妻子。不簡淨穢。但誦我法無不成就
已上二個印儀軌不說之

如意輪 (或經云如意輪王。或經題云觀自在菩薩如意摩尼轉輪聖王金輪呪王經云々)
梵號 阿利也眞多摩尼
密號 持寶金剛。與願々々
種子 吃哩。胎藏圖同也。中初。普
三摩耶形 如意寶 (此等義至下可知)

金剛智軌云。想於己身前。觀紇哩字門。變爲蓮華王。中有紇哩字。怛羅安兩邊。爲金剛寶蓮。共變爲所尊。持眞多妙寶
印
金剛智軌云。平掌當於心(不空云。二手合掌)二忍願如蓮華(不空云。二頭指屈相拄。如蓮葉)進力摩尼狀(不空云。二頭指屈如寶形)餘度盡如幢。誦根本密言。思願有情願。密言曰
那麼(不空云曩謨)羅怛曩怛羅夜也娜莫阿利耶縛嚕枳帝濕縛羅耶菩地薩怛縛耶摩訶薩怛縛耶摩訶迦嚕捉迦耶怛姪他唵斫迦羅秣(云彈)底嚫跢摩尼摩訶鉢頭(入)迷魯々底瑟吒入縛羅阿迦里(羯羅)灑耶吽發吒薩縛訶
次結心密印。准前根本印。戒方檀慧縛々云(無名指小指相叉外)名爲本心印。一切諸意願。應心之所念。由結此印故。皆悉得成就。密言
唵鉢頭(入)迷(破納摩)震多摩捉入縛攞吽
次結隨心印(印心中心印)二手堅固縛(二中指分相叉)進力摩尼形。禪智並而申。戒方亦舒直。檀慧相交竪(二小指橫竪)隨意願成就。密言
縛羅娜鉢頭(入)迷(破納銘)吽(私云經有唵字或經鉢特摩)
次想尊口中。流出祕密言。分明成字道。五色光照耀。間錯殊勝色。入於踰鮁口。列心月輪中。瑩如紅頗梨。一々諦思惟。順理隨覺悟。住定而修習。入於阿字門。卽入輪字觀。皆遍觀諸字。此名三昧念。獲智及解脫。由此相應故。不久成種智。若當聲順念。最勝妙奇特。住於本尊觀。不應急躁心。不高亦不下。不緩亦不急。智者離分別。及諸妄想心。若誦洛叉遍。所求皆悉地 都表如意輪軌印相。更撿之
如意輪陀羅尼經法印下。根本印。二手合掌虛掌內。二大指相並竪申。屈二頭指捻二大指頭上相拄。誦大心明三遍。印頂上左右膊上喉上。護身被甲云々私云。此印必從師可尋知了馱
迦麼攞目佉迦麼攞路(引)左娜迦麼攞(引)娑那迦麼攞賀娑路迦麼攞婆(去)母儞迦麼攞々々々三婆(去)縛娑迦攞摩攞乞叉羅曩摩悉帝
如意輪菩薩觀門義注祕訣。唵字。一切法流注義。無所得以爲方便。覺不可得。嚩字。一切法超越之義。言語道斷不可得。囉字。一切法離塵義。了亦不可得。娜字。一切法施義。畢竟無所得。跛字。一切法勝義性相不可得。娜麼(二合)字。一切法離我取執不可得。吽字。一切諸法了義亦不可得。右如上布列諸字。畫作鬱金之色。從本尊口引入身心口輪中。分明布列已。一々諦觀之。從此三昧耶速獲一切智。夫瑜伽法念誦數畢。卽布諸字。更於身上布列小心眞言。復於字上分明觀照。如日初出。光明赫奕。廣極無邊。如斯觀照。不久當證法身三昧。安於頂。置於額。布兩目。觀於口。安於心。置二膊。安臍輪。以前觀字門速悟無生理。不久當成就獲得如來智

布字菩提心月輪

[illegible]

身相不同

金剛智軌云。六臂身金色。皆想於自身頂髻寶莊嚴。冠坐自在王。住於說法相。第一手思惟。愍念有情故。第二持意寶。能滿一切願。第三持念珠。爲度傍生苦。左按光明山。成就無傾動。第二持蓮珠。能淨諸非法。第三手舉輪。能轉無上法。六臂廣博體。能遊於六道。以大悲方便。斷諸有情苦 六臂已上

圖像同前之藏 觀自在菩薩如意摩尼轉輪聖王念輪呪王經儀式品第五 此者常之一品未備 取白氎布一丈五 得此圖滿無持恐譯人用不參安入經中此云ゝ如尺分裁兩段。ゝ別長七尺五寸。縱相著以安悉香薰。呪一百八遍。其像通身花座及蓋總長七尺五寸。若欲大作者。准前法用三幅爲之。長一丈八尺作。亦得。其畫像人乃至於前壁上畫作一菩薩像。身安十手。上第一手左右於頂上合掌。第二手左掌把日。右掌把月。第三左手把一如意珠。右手把輪。第四左手執澡罐。口著青蓮花。右手執跋折羅。第五左手執呪索。右手執數珠。其像頂上放大光明照十方大地。身上天衣頭項兩手並有七寶瓔珞。其像足下畫一十地菩薩從地涌出。像蹈膊上。十地菩薩交手捧足。其像左邊畫帝釋提頭賴吒毘樓勒叉二天王。各領諸衆二部鬼神。右邊畫梵天王。毘沙門。毘樓博叉王。各領諸衆二部鬼神。各執器仗。其當部鬼神各於神脚下畫之。如無氎布。取未嫁女童織絹等宛之亦得。餘悉不堪云ゝ已上十臂像。

又別畫像法。取白氎若淨布絹。如前法薰呪。已上如前。畫像人及釆色法。卽於物上從下先畫一水池。ゝ上有山。ゝ上有紅蓮花無蔡數在山頂。上下平正。菩薩處之而坐。身色赤白。相好端嚴。迴面向西纔似仰頭。先垂左足。右扶左上。足著草履。頭有寶冠。中有一化佛。佛下有寶。如作半月。月中復有寶蓮花。佛處花中加趺而坐。菩薩頂著寶。頸臂有天衣。身佩瓔珞。腰著輕赤裙。四臂。左上一手向下至繫腰處。提蓮華莖。於虎口中上出。掌向下提其花。出於當身坐下池中。上長過頂。下去水一尺許。分出一花開向東。一葉向下。次上五寸許又分出一葉。ゝ向東。此葉在坐蓮花下。於項齊叉分出一葉向東。一花向西。最上有開敷蓮花。ゝ中有一化佛。相好如前。第二手於第一手後向上。可至取乳。母指與食指頭捻珠白色。右上第一手屈肘去右膝上可一寸許。母指與中指頭作相捻勢。相去如豆許不相著。其相捻二指。於右服肚上去分毫不至眼肚。眼作低視。食指長指申似有小曲。無名指曲多於食指。此手共捻珠手俱現掌。ゝ有輪文。次第二手亦第一手後曲復向上。此肘稍高二寸許。執方梵甲。其四手腕各ゝ著釧二道。於前蓮莖兩邊各一蓮華作欲開勢。莖可長一尺許。次前花莖東有龍女。人身色著赤裙天衣頂有生花髮於頂近處有一髻。並有垂下髮至肩。

二手提大蓮華。左莖手在右手向上。二手掌俱在下。頂著寶。頸臂有環珮。又於大蓮莖西有龍男。人身閑肉色。口角有鬚。與前女相對。合掌而立。立在池水中。水至膝已下。龍女亦如是立。著赤裙天衣。腕有釧。無有髻垂下。二俱項有肉光。〻〻各有一白色龍。其龍蛇頭。左足前有一人。肉色著衣。中左手垂下曲上執鐵〻。堅著地。右手曲下至髀執金杵。堅在右肩。手指側承在杵下。腰有胡錄。頸頭身前頭向右。頭著七寶冠〻中現白馬頭及項。菩薩左有一人。似女。面肉色。與前著衣中人齊作行勢。著天衣赤裙七寶冠頸釧。右手垂下向上勢。梵甲□方作。左手下至繫腰處。執一蓮花。〻上過於頂。有髻并有垂下髮至肩。□執梵甲。下有一毘那夜迦。人身象頭。白色兼有小肉色。著天衣。皮裙以脚皮向前繫腰。左手向前把青蓮華。一莖欲開。右手叉腰。著頸釧立於石上。其石杏牙非山。菩薩左與毘那夜迦當有一婆羅門。肉色。鬚髮並白色。髮髻垂兩腕已上。披赤色。著赤褌子。於胸前及腹脾並路。左手執軍持。肘前臂上□一鹿皮。并頭脚并足。右手五指向前。於虎口中椽數珠。綦脚作行勢。向菩薩頭上有七箇佛。中心佛像加趺作說法。容。於右有一佛立低頭。右手向前作說法勢。左手垂下向前作捻□勢。於右又有一佛。跏趺如入定坐。於右有二佛。立覆肩披衣。右手持蓋。左手於蓋邊作似說法手。如上四像

並坐立蓮花。三佛像相對而畫。如意輪菩薩左外邊佛像。畫□即現佛身而爲說法。次畫沙門。髮肩及身上。並如入禪定。又次下畫帝釋身。畫之現帝釋身而爲說法。又次下畫天大將軍身。衣甲執刀低身。題□現天大將軍身而爲說法。菩薩外右邊佛像。題□同上。次下畫沙門。如入禪定。題□現聲聞身而爲說法。又次下畫梵王。髻身分似佛。披紫色衣。執經一卷。題□現梵王身說法。次下畫小王。執笏著冠曲身。題□現小王身而爲說法。又隨所求顯畫像作增并印等法。其畫像菩薩身毛皆並白紅色。頭上化佛坐白寶蓮花上。菩薩頭作寶冠□瓔珞。手上作環珮。左手執一寶蓮花。〻上安寶珠。〻有炎。右手屈臂在乳房下。仰掌把如意寶珠。結跏趺坐云〻身印。以小指無名指反相叉。以二中指竪頭相拄。次二頭指押二中指第一節背上。二大母指押二中指側第二節文　畫二臂菩薩。白色莊嚴結跏趺坐白蓮花。左仰押右。〻叉押左。〻手押右。並作□□。其手安脚上。心中畫一化佛。左手把右手頭指。餘三指各把拳當心下。其佛著緋色袈裟。坐寶花上。菩薩頭後有三種光。身在大日月圓光內。坐像兩邊各有一金鉢持傘印。先合掌十指二小指相著。餘指各散開。當開敷蓮花勢云〻又畫像法。其菩薩圓滿端正微上好有六手。頭上有化像。坐寶蓮華云〻左上手仰掌。大母指把一開敷寶蓮華。上

有一如意珠。〻上有火炎。第二手下曲向膝上。五指作卷把一天磬。〻口向下。磬金色。第三向臍下。次中指頭指捻紅蓮花似開少許。右上第一手屈於脇前。大指頭指無名指小指並舒展。中指直竪。指頭上立。竪一拔折羅。上有火炎。第二手向下垂覆作降魔印。五指舒展。第三手向臍下。花上作捻花勢。以無名指捻之。其菩薩加趺坐寶蓮花云〻如意印。以左右手小指無名指各於背上反相叉。二中指直竪頭相拄。二頭指屈第二節。押中指側第二文。二大母指來去。以慈悲心誦呪一百八遍。一切過去未來及現在身上三業無量重罪。若至誠心發懺悔。罪得消滅。永不更起。悉皆清淨。除不至心及懷疑者云〻如意輪蓮花峯王十二手像法。如意輪王與一切衆生滿願。自在不思議神力。身。畫像法。不開淨與不淨。乃至白氎布絹稱〻皆不擇時日辨即作其法。其菩薩圓滿相好。甚妙端正頂上有化佛。結跏趺坐一蓮花上。佛右手作說法。左手在腰臍下仰掌。菩薩著頭冠瓔珞。頭光通身光長一丈五尺五寸。不限大小悉皆並得。上左右二手在頂上作合掌勢。左上第二手小曲託金輪。右二手提拔折羅作擬勢。左第三手仰掌向上屈無名指大指。捻一寶蓮花莖。蓮花內有一如意珠。〻上有火炎。右第三手執五色如意枝。左第四手作歡喜印。大指捻無名指第三節上。作向前擬勢。右第四手把一三

股叉。左第五手向下垂執澡罐。右第五手下申作施無畏手。左右第六手當心作自在神通如意神力印。左右二小指二無名指反相叉入掌中。二中指頭相拄。二頭指第二節曲。以二大母指押中指第三節文。其菩薩身白紅色(乃至)脚踏白蓮花。其蓮花在水池中。上有二天散花供養。下左廂畫一金剛藏王菩薩。右手屈向脇前執一青蓮花莖。其花上有跋折羅。上有火輪焰。左手執白拂身著種々衣服。立於青蓮花。右廂畫一軍荼利菩薩。六手。青面青色身。左上第一手執輪作擬勢。右第一手執拔折羅亦作擬勢。左第二手作斷其一切煩惱印。大母指捻中指第二節側。又無名指中指小指急把作拳勢。右第二手向下施無畏手。左右第三手。左押右交在胸前作身印。大母指押小指甲上。三指並竪。散如八字。立青蓮華上。菩薩足下畫一呪師手執香鑪。踋跪瞻仰菩薩。呪師身著白衣

作曼荼羅相

如意輪陀羅尼經壇法品云。觀自在菩薩○白佛言。世尊。是祕密如意輪陀羅尼大曼荼羅印三昧耶。成就世間三種藥法。令世人民見聞歡喜而愛敬。當候大陰太陽蝕時。預二七日於閑靜處方量四肘或復五肘。或復八肘隨自力能。如法掘地除去惡土瓦石骨木。以淨黃土培築平填。初瞿摩夷塗。次黃土泥塗。次香泥塗。精細塗飾。分爲二院。內院當心畫三十二葉開敷蓮。於葉臺上畫如意輪聖觀自在菩薩。面西結加趺坐。顏貌熙怡身金色相。首戴寶冠。冠有化佛。菩薩左手執開蓮花。當其臺上畫如意寶珠。右手作說法相○身放衆光。東面畫圓滿意願明王。左畫白衣觀世音母菩薩。北面畫大勢至菩薩。左畫多羅菩薩。西面畫馬頭觀世音明王。左畫一髻一刹女。南面畫四面觀世音明王。左畫毘俱胝菩薩。是等菩薩云々坐蓮花上半跏趺坐。外院東面畫帝釋天。左右畫諸天衆圍遶。南面畫焰魔王(閻羅王也)左右畫諸鬼母衆圍遶。西面畫水天王。左右畫難陀龍王。烏波難陀龍王。及諸龍王衆圍繞。北面畫多聞天王。左右畫諸藥叉衆圍遶。東南面畫火天神。左右畫苦行仙衆圍繞。西南面畫羅刹王。左右畫諸羅刹衆圍繞。西北面畫風天王。左右畫風天衆圍繞。東北面畫大自在天王。左右畫宮槃荼鬼衆圍繞。又東面畫日天子。左右畫七星天衆圍繞。又西面畫月天子。左右畫七星天衆圍繞。又西南畫地天神。左右畫諸藥叉神圍繞。又東面畫大梵天王。左右畫諸梵天衆圍繞。又西面畫阿素落王。左右畫阿素洛僕從圍繞。又西門畫始縛(無可反)婆歌(呼我反)明王。是等天神各執器杖。種々衣服如法莊嚴半跏趺坐。內外院界畫寶街道。內院界上遍畫種々色如意寶珠。繞畫火焰。外院界上遍畫獨股金剛杵。令頭相次繞畫火焰。此祕密曼荼羅三昧耶。力不遠者但畫座位。各於位上題書名字。作法供養。亦得成就云々

功能利益

都表如意輪云。若有先世極重罪。不過萬遍悉皆除。除滅罪已增福智。即得無病及命長

觀世音菩薩祕密神呪經云。若有善男子善女人。比丘々々尼。優婆塞優婆夷。童男童女。於此生中(或本云此生身)於欲求現報(或本云欲求現報世出世無上果者)當於中夜一心精勤。不忘此陀羅尼者(或本云持修習)受亦不簡擇時日淨與不淨。若誦得已即有成驗(或本云纔讀誦無不成驗)若凡所求事。當誦一百八遍。即百千事成。更無別有神呪及此如意輪王陀羅尼者(或本云當知此呪微妙第一於諸法中無與樂)受過去現在惡業重障悉能破壞。若能誦此陀羅尼。應墮阿鼻地獄即得解脫。五逆等罪亦悉滅除。何況其餘惡業及諸厄難一切疾病(或本云。若能勤心誦持之者能破無上阿鼻地獄其中一切苦惱衆生悉得解脫即往生極樂世界)惡賊終不能害。及諸惡夢(乃至)虎狼悉不能害。兵鬪戰陣皆得勝利。若有官事諍訟皆得和解。若誦此陀羅尼一遍。如上等事悉得遂意。若日々誦此陀羅尼一百八遍。見觀世音○阿彌陀佛自現其身。見極樂世界(或輝本意云。一見觀音即得天眼能見諸佛爲見彌陀亦見極樂)亦見十方一切諸佛。亦見觀音所居住處補怛洛山。即自身清淨。常爲諸王公卿宰相恭敬供養衆人愛敬。所生之處不處母胎。生蓮花上。在所生處常得宿命。始從今日乃至成佛。終不墮惡道常生佛前(或本云究竟證得無上菩提)觀世音菩薩祕密藏一切愛樂

法品第二。此祕密藏境界不得向餘人說。若欲得此如意輪陀羅尼我最勝驗者。至心一切時一切處淨與不淨。常應誦持。一無過咎〔或本云不問已食未食不簡淨不淨〕復應稱觀世音菩薩名及如意輪陀羅尼菩薩並稱彼人名字。或時思念〔或本云當於夜後分及日初出〕若國王王子〔乃至〕種〻外道。但欲親覲者應稱彼名。每至五更使得課充。若求最勝驗者。或親覲國王於十日中。每至五更誦一千八遍卽得相見〔或本云爲及身常誦一千八十反〕若欲見妃后應誦九百遍〔或本云一千八遍〕若欲見王子誦八百遍。若欲見宮人誦七百遍。若欲見公主誦六百遍。若親觀婆羅門誦五百遍。若親觀刹利誦四百遍。毘舍誦三百遍。比丘〻〻尼一百遍。優婆塞優婆夷九十遍。童男童女六十遍〔或本云諸女一百三十遍諸界一百五十遍童男六十遍童女九十一遍〕若欲見觀世音菩薩誦一千八遍。卽見其眞身一切成滿。若欲見金剛應誦一萬遍。卽現其前憐愍其人如父愛子。心所願事悉能與之。若欲見諸佛及諸大衆。滿一萬三千遍卽見。若七日七夜相續誦。凡所持呪神皆悉現前。各〻自將已呪功能施與其人常隨擁護。第七日三千大千世界主及天帝釋與諸眷屬俱來皆與其願能依如前所說誦課法者。所求之願皆得滿足　已上

如意輪陀羅尼經護摩品〔他本云大供養品〕爾時觀自在菩薩白佛言。世尊。是陀羅尼明護摩法。饒益有情成就一切最勝之法。破諸蓄障止諸怨敵。一切毘那夜迦不相障惱。一切人民見皆歡喜。於淸淨處方量三肘淨治塗地。當中圓一肘深半肘穿火爐坑。瞿摩夷黃土塗如法摩拭。白栴檀木長二把半。截之鑪中累燒。等分以稻穀花白芥子沈水香和蘇蜜乳酪。於五更時護摩一千八十遍。五無間罪一切業障一時消滅。若經七日作護摩者。壽命無夭出諸重罪得身淸淨。若二七日作護摩者福壽增越。國王〻子輔相人民見者愛敬如事火天。若三七日作護摩者。三十三天釋提桓因幷諸天衆日月天子。皆來擁護與諸願滿。四天王神持明仙衆幷諸眷屬。皆來擁護與其効驗。執金剛菩薩與大勝願。聖觀自在當現其身。授加大願隨意滿足。令世人民皆當敬伏。若天亢旱。以白芥子和蘇。三日三夜如法護摩則降甘雨。若多霖雨。取護摩灰。仰觀空雲明一百八遍。上散空中。其雨卽晴。若災風電雨卒暴起時。用護摩灰明一百八遍。望向散之。風雹卽止。若常依法誦念明者。威德神力而無所畏。如那羅延。捨此身後卽生西方極樂界云〻

六手利益

有人口決云。欲觀此尊。應作是念。此菩薩過去作佛。言正法明如來。以大悲願力爲安樂○現佛菩薩位居等覺彌陀左面弟子也。頂寶冠中有阿彌陀佛。若稱念此菩薩名號。滅無量罪得無量福。命終往生彌陀佛國云〻持念眞言。速出生死大海。入諸佛如來海會〔乃至〕消滅煩惱增長福壽

私云。問。餘手不別〻度其道。何故持珠別度傍生。答。六手利益可有二義。一者別表。次六種三昧利六道衆生也。二者總表。一一三昧普利六道〔乃至〕十界一切衆生也。文言雖略。義意必然。貴在得意。莫守執矣

又問。五手所表義准可知。以持珠手度傍生。其意云何。答。此義未詳。然念珠功德經云。珠表菩提果。中絕爲斷漏。線貫表觀音。母爲彌陀佛。以是不應越。由珠積功德。速獲成就故〔文〕今案云。珠表菩提等者。菩提是智德也。彌陀觀音俱是五部中智慧門之尊也。又念珠記數令不忘失是慧分也。若爾念珠表佛智慧歟。千手經云。我若向畜生。自得大智慧云〻准知畜生愚癡重故。以智珠手而化度也

右第一思惟愍念有情手。若約別義此度地獄〻〻衆生諸苦最重。菩薩於彼慈悲偏重故。入深三昧思惟愍念拔苦與樂。總而言之。一切衆生未離苦者。慈善根力皆拔濟之。此手表之　第二如意能滿諸願手。此手度餓鬼也。餓鬼慳貪報。飢火燒其身故。入如意三昧雨樂具而施與。乃至法界一切衆生一切所願皆令滿足〔總別二義准前可知之〕第三持珠度傍生手。畜生是愚癡偏增者也。故以慧珠手除癡暗苦。乃至法界一切衆生無明煩惱皆令除滅　左第一按山不傾動手。修羅恒與諸天鬪諍。於諸善品易退動也。故調伏其心令不傾動也〔乃至〕能令一切衆生斷惡修善　第二持蓮淨非

法手。人道起諸煩惱垢染處也。故以蓮花
淸手令淨煩惱非法垢。乃至能令一衆生
離苦得淨　第三持輪轉法輪手。三界諸
天雖免三途極重苦。未斷生死輪迴苦。故
轉法輪令斷苦輪。乃至法界亦復如是已上
（私用意也）
如理趣釋云。觀自在菩薩手持蓮花。觀一
切有情身中如來藏。自性淸淨光明。一切
惑染所不能染云〻。又有處云。觀自在菩
薩內證淸淨無染智。外觀一切衆生三業
淨除五欲無礙自在云〻。觀音是蓮花部
主也。故以蓮花表其德也云〻。祕敎中釋
佛菩薩功德有淺略釋深祕釋。淺略釋中
亦有多義。佛意如大海。一定含萬法。隨宜
用心自得會理。故行者智解應作種〻觀。
念誦時可作如此念。又可觀本尊與我一
體無二。作依此觀所願成就。乃至成佛是
密事也已上
如意輪念誦觀行私記。三昧坊。二手蓮華
合掌當心。而方作是念。我掌中有八葉蓮
華。其中有臺鬚蘂具足。臺上有　字。色如
金色。我舌端亦有八葉蓮華鬚蘂具足。其
臺上有　字。色赤金色。在我肉團之身內
心如蓮花含而未敷。我觀行力故。令彼心
蓮開敷也。其花臺上亦有　字。其色如黃
金。皆放金色光照我身口意業。由此字加
持故。我身口意業本性淸淨。是則達摩曼
荼羅身。此字卽變成五股金剛杵。我三業
卽成杵體。自頭至足咸成遍法界金剛杵。

此卽三昧耶曼荼羅身。此五股杵變成金
剛薩埵。其尊身周遍法界自受法樂。此卽
摩訶曼荼羅身。此身卽遍十方界普門方
便作諸事業。此卽羯磨曼荼羅也。作是觀
了。誦吽字三遍。以前蓮華印加持三處。謂
額及右肩左肩。加持了方誦淨三業明。其
淨三業明有十六字。是則薩王愛喜寶光
幢咲法利因語業護牙拳等。十六大菩薩
種子。故誦此眞言時。卽十六大生一念圓
滿。不經劫數證本尊果也。字變爲大毘盧
遮那佛。四波羅蜜。四佛。十六大菩薩。八供
養。四攝等。諸佛其數如胡麻。滿塞虛空。皆
入法界定自受法樂。作此念已。誦觀佛之
明。四無量觀。如千手及理趣會也。禮阿閦尊
時作此念。我心有　字。變爲五股拔折羅
身。中微塵數諸法皆成金剛薩埵也。捨身
遍法界。奉阿閦佛及一切諸佛。禮寶生尊
時作是念。我額有　怛羅（二合）字。變成金剛
寶身。中一切諸法咸皆成金剛寶身云〻
禮彌陀時作此念。我有　字。變成八葉大
蓮花王身。中微塵數皆成金剛輪法身云〻
禮業尊時作此念。我頂有　字。變成羯磨
金剛杵身。中一切諸佛皆悉金剛業身。捨
身遍法界奉不空尊及一切諸佛。先所淨
一大虛空中有　憾字。其色其玄。放大黑
光照於世界。吹張世界（此卽風輪）風輪上有
字色如日乳。漸大與風輪相稱成大水輪。
世界皆悉向色。成一水輪。於水輪上有鉢
羅字。色如黃金。稱其水輪成一大金龜。無

量由旬成一大海（此時用於印日）大金龜背上有八
葉蓮華主。其蓮華上有阿字。變爲妙高山。
四寶所成。劍字變成七金山。其近妙高山
者名尼乾陀羅山。此山高半須彌。其山四
方皆有四大乳海。〻中開敷四種蓮華（此時
用山印明）妙高頂有八葉大蓮花〻〻之上有
八大金剛寶杵。變爲大樓閣寶王。高無中
邊。諸大妙寶王微妙間飾。其莊嚴相非言
所述。其殿王內有寶師子座。〻上有八葉
蓮華。〻〻臺上有　字。其字放金色百光
照於世界。其百光端一〻亦各放百光。每
其光端有　字。如是放無量無邊光。亦有
無量無邊　字無處不遍。此卽法曼荼羅
身。此字卽聚成一大率都婆。此卽三昧耶
曼荼羅身。此遍法界率都波卽成本尊如
意寶尊身。八供養四攝及無量內外眷屬。
無量天龍八部前後圍遶而爲說法。此卽
摩訶曼荼羅身。此尊普門示現遍法界廣
作佛事利益法界四生。此卽羯磨曼荼羅
身。此四種曼荼羅身於我前空中者。是現
智身。我身卽一時變成此尊身。是見智身
也。作此觀了。方用拳印云〻作等持印了
作此念。先所觀無量諸佛滿虛空中彈指
驚我云。佛子汝何成正等覺。不知諸如來
眞實妙法（行者是時於定中誦普禮明禮此諸如來）我卽曰。願世尊
示我眞道。諸佛告曰。汝想先內心中　字。
其字卽變成一大月輪。尚如在輕霧中。作
此觀了。誦通達心明。次誦修菩提心眞言。
此明力故。此心月輪明顯淸淨懸大空中。

次其月輪中有八葉蓮花中有金剛寶作此念了方誦蓮花心明次想廣彼寶蓮花等同大空周遍三界無有間隙放千光炎照無量國一ゝ光中現無量佛土無量諸佛皆悉住中自受法樂轉大妙法輪ゝ云作此念了誦廣蓮華明次斂此蓮華等已身量前有諸佛皆入一體尚如明鏡能現萬像法界自性體而住金剛蓮華座即變其蓮花爲我本尊身手持如意寶六臂而金色身三十二相八十種好皆悉圓滿能遊六道以大悲方便斷一切四生貪瞋癡病苦我身此本尊身作此念了誦斂蓮華明爲令此堅固無動故誦金剛心眞言奉淨水時可作此念性淨無垢大菩提心器盛滿自性本性三昧閼伽水奉洗一切諸佛足及淨盡無餘界一切四生貪欲瞋愚癡惡習之垢如諸佛清淨我及法界皆悉清淨奉金剛嬉內供養時可作此觀始自我本尊五智如來至一切四生及草木土地皆悉奉金剛嬉大菩提心供養一切百界依正皆入此三昧受大菩提心之樂是則廣作佛事一ゝ奉八供養時皆悉作此觀時與法界俱作止時與法界俱止灌頂寶鬘智慧妙歌大精進舞菩薩以燒香三十二相妙花五眼明燈五分塗香禪悅法喜欲食或身前有八葉蓮華其花臺上坐本尊主手持眞多妙寶六臂身黃金色頂髻以衆寶莊嚴觀自在王安住其上身放千光明照曜十方界從其尊口中流出祕密

心眞言了ゝ分明成字道五色光照曜入我喉中右旋布列心月輪上如以水精布明鏡上光瑩如紅頗梨一ゝ文一ゝ句皆悉放光照自身界其所詮義不生不滅一相皆遍法界非動非靜非空有定慧雙途永絕諸相此實相三昧水流注我三業無明煩惱一切習氣咸皆淨除一念頓證本尊悉地已上大底下悉設初[梵字]字合三成體誦阿烏莽[梵字]阿字者一切法性不可得義[梵字]烏字者一切法本不生義[梵字]莽字者一切法我不可得義是則三身義也莽字化身義烏字報身義阿字法身義由此三字契實相理則成稽首一切如來亦如來無觀頂義　蓮花義淨諸非法本不染故　思惟實義亦如來實義有勝用能滿衆生願故熾然義光明照曜十方虛空法界驚覺諸佛菩薩聖衆降集普赴下召一切天龍八部諸有情類利益加護故　字者一切法因不可得義菩提道場義機發菩提心即降伏四魔坐道場轉正法輪由相應此眞言一字則能證悟一切佛法具薩婆若智直至究竟坐金剛座自受法樂是則自行已滿之地逆順一還觀方二觀下字四字合成體訶羅[梵字]字離塵清淨義[梵字]伊者自在不可得義[梵字]惡字者涅槃義由覺悟諸法不生故能取所取皆悉遠離證得中道法界清淨由此字加持於極樂世界水邊樹林皆演法音若能持此一字眞言能除一切災禍疾病命終已後當生安樂國土得上品上生

諸字句皆拔此字行因至果從本垂迹比以爲本滅爲王者也　如意輪菩薩觀門義注祕訣釁字一切法流注義無所得以爲方便釁不可得麼字一切法超越之義言語道不可得羅字一切法離塵義了亦不可得怛娜字一切法施義畢竟無可得囉跛字一切法勝性不可得夜字一切法離我取執不可得七字一切法了義亦不可得娜莫歸命義○三寶義所謂歸敬三寶○稽首阿唎耶嚩嚕枳帝濕嚩囉耶聖觀自在菩薩摩訶薩怛縛耶大勇道心者摩訶迦嚕抳迦耶大慈悲者怛儞也二合他所謂附如來藏說眞言唵三身義也含三字義阿烏莽三字共成阿字者一切法生不可得義烏字者一切法本不生義莽字者一切法我不可得義又釋云莽字化身義烏字報身義阿字法身義由此三字契實相理則成稽首一切如來亦如來無觀頂義斫迦囉靺底能轉無上法輪義亦摧破義震跢摩抳思惟寶義寶有六種能滿衆生願故摩訶鉢頭入迷大蓮花淨諸非法本不染故嚩ゝ離塵垢義塵有二種故重稱也二塵者所謂內塵外塵ゝゝ即是五根眼耳鼻舌身內塵色聲香味觸於二種塵皆無所得以爲方便成瑜伽觀智底瑟吒二合釋云住義亦無住義無住以爲一切法本亦云無住涅槃不住生死由大智故不著生死由大悲故不住涅槃入嚩二合攞釋云熾然義光明照曜遍滿十方虛空法界驚覺諸佛菩薩聖衆降集普赴下召一切

天龍八部諸有情類利益加護故阿迦哩灑耶請召義由此請召諸佛菩薩天龍八部應召而至悉皆雲集加持護念吽字者一切法無因義亦云菩提道場如金剛頂瑜伽經說纔發菩提心卽坐菩提道場轉正法輪由此相應此眞言一字則能證悟一切佛法念々證悟佛法之時具薩波若智直至究竟坐金剛座吒者是破壞義亦云摧壞義得成佛時摧破四魔薩字一切法我無所得義縛字平等無言說義阿字是斷煩惱義　已上成菩提集　如意輪念誦私記

寶曆八申十月二十二日以西谷藏本寫彼本抄物寫故文字難見後來請以異本訂證

南澗吉祥師子艑遍照金剛實顯（押花）

成菩提集二下

白處尊　或白衣觀音蓮華部母

梵號　破拏羅縛悉尼

密號　離垢金剛淨照々々

種子　半或

三摩耶形　鉢曇摩華

藏品疏明諸尊種子中云半（白處觀音部母也跛是第一義諦如也）

（虛空）曼荼羅品疏云半拏羅嚩悉寧譯云白處以此尊常在白蓮華中故以爲名〇左手持開數蓮華云々

藏品疏云白者卽是菩提之心住此菩提之心卽是自住處也

印

密印品云如前以定慧手空心合掌水輪空輪皆入於中是白處尊印

廣大軌云二羽虛心合水輪入掌中空輪捻其上眞言

曩〇南（引）半（種子）怛他蘗多（如來也）尾灑野（境界）（也如來境界所謂如來）三婆吠（從彼生也）鉢頭摩（白處也）忙履（無）儞（入以波而摩爲華鬘以莊嚴法身嚴儞是處義）娑婆（二合）賀（引）（半字注）

藏品疏云然此眞言以初怛字爲體卽是如々也卽是諸佛境界我今從彼而生也白者卽是菩提之心也住此菩提之心卽是自住處也此菩提心從佛境界生也常住於此能生諸佛也此是諸佛母卽蓮華部主也

理界記云釋云白是本淨菩提心蓮華種子所含藏處萬德莊嚴從此出生故以爲名淨菩提心三昧故作如天形若本淨三慧是大日如來是尊觀音母蓮華部母也文

十一面儀軌云二手內相叉作拳合頭指圓屈結此印亦護本尊護自身念誦速疾成就密言曰

唵濕吠（二合）帝惹致儞半拏羅縛悉儞惹吒（引）麼矩吒馱（引）里捉娑縛（二合）賀

同軌云白衣觀自在密言曰

唵濕吠（二合）帝惹致儞半拏羅縛（引）悉儞娑縛（二合）訶

最勝心明王經云又說白衣觀自在菩薩眞言曰

唵迦致（下同知鬼切）尾迦致迦吒孕（二合）迦致娑縛（二合）賀

千手軌云次結白衣觀自在菩薩印二手內相叉作拳豎進力頭柱令圓禪智並豎眞言（云々異前更撿）由結此印誦眞言七遍蓮華部母聖者加持故諸魔毘那夜迦不得其便從初作先行時乃至求成就時念誦遍數奉獻此尊掌持設令出念誦處誤失三業破三昧耶戒所有念誦功課定充先行成就數功不虛棄尅獲悉地或有惡人無辜作留難者想彼人在瑜伽者足下誦眞言二十一遍所有留難者悉皆消散慈心相向不能障礙

又云。又以白衣觀自在菩薩加持神線臂
釧等。眞言曰
曩謨囉怛那怛囉二合夜也曩莫阿引哩夜
二合嚩路枳帝濕嚩二合囉引也冐地薩怛嚩
引二合也摩賀薩怛嚩引二也合野摩訶迦引嚕
抳迦也一切觀音眞言同此歸命怛儞也二合他唵捺捨曩
引毘焰二合嚩引室囉二合嚩拏娑二合麼羅抳
曳二合曩縛引寫引摩含薩怛縛引二麼合南薩
縛尾夜地止枳怛娑二合脚怛儞也二合他迦
致迦孕吒二合迦致尾迦致知曳切餘單此娑誐嚩
底惹曳娑嚩二合賀引
又云。內縛。豎二空。稍屈其上節。是馬頭印。
內縛。風申合。二空亦並豎。是第二心印。不
易第二心。風相拄如環。是白衣觀自在印
又云。白衣觀自在根本印。誦心眞言。一切
伏藏自然放光。恣意受用。又山中採長年
藥。結一切驚怖諸鬼神印。卽禁一切藥。誦
心眞言。必延年樂法成就
對受記云。白處尊印。海大德說。觀音母也。
虛心合掌。二空入月。二水相背各入掌也。
意大德說。空風入月。又此次說馬頭印〇
別說云。虛心合掌。二水二空屈入月中云云

尊形

大日經疏云。亦戴天髮髻冠。襲純素衣。左
手持開敷蓮華云云
胎藏圖云。白黃色。左持蓮華當乳。右手與
願契。垂前。著天華坐赤蓮
祕藏記云。次白處觀自在菩薩。白黃色。左
手取開敷蓮華云云

大日經疏云。多羅右置半拏羅嚩悉寧。譯
云白處。以此尊常在白蓮華中。故以爲名。
亦戴天髮髻冠。襲純表衣。左手持開敷蓮
華。從此最白淨處出生普眼。故此三昧名
爲蓮華部母也文

讃 白衣大白衣文

千手軌云。次結白衣觀自在菩薩印。二手
內相叉作拳。豎進力頭相拄。令風禪智並
豎。誦眞言曰
曩謨引囉怛曩二合怛囉二合夜引野娜莫阿
引去哩野引二合嚩路引枳帝濕嚩二合囉引野
二冐地薩怛嚩引二合野三摩賀引薩怛嚩
二合野四摩賀迦嚕抳迦引野五娜羅捨二合
曩娑鉢二合羅捨曩引毘琰引二合縛合引二室
囉二合縛拏鼻娑麼二合羅曩縛引寫引麼
憾七薩嚩薩怛嚩二合南抳薩縛弭也二合把
卽吉蹉上迦九入怛儞也二合八引他十引羯蘇尾羯
蘇羯微羯蘇一十羯吒尾羯吒羯微羯蘇二十
婆去誐嚩底尾惹引曳引娑嚩引二合賀三十
由結此印誦眞言七遍。蓮華部母聖者加
持故。諸魔毘那夜迦不得其便。從初作先
行時。乃至求成就時。念誦遍數奉獻此尊。
掌持設令出念誦處誤失三業破三昧耶
戒。所有承什念誦功課。定充先行成就數。
功不慮棄。剋獲悉地。或有惡人無辜作留
難者。想彼人在瑜伽者足下。誦眞言二十
一遍。所有作留難者悉皆消散。慈心相向
不能障礙
次結大白衣觀自在菩薩印。二手內相叉。

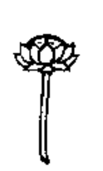
進力二度合豎微開。禪智並豎卽成。眞言
曰
曩謨引羅怛曩二合怛羅二合夜引野一娜莫
阿引去哩野二合縛無可切路枳帝濕嚩二合羅引
野二冐引地薩怛嚩二合野三摩賀引薩怛
縛二合野摩賀引迦嚕抳迦引野五怛儞也
二合他引去濕吠引帝七濕吠二合囊引嚩八濕
吠二合多上部惹濕吠多縛悉怛蘇濕吠多
麼引上隸引囉去摞訖哩二合帝二十惹曳尾惹
曳三十阿上十一儞帝阿波羅引縛帝四十薩嚩悉
馱娜莫娑訖哩帝五十嚩里弭里枳里六十捨
囉捨二合野娑馱野娑嚩賀
由結此印誦眞言三遍。無量劫積集十不
善黑業悉皆消滅。一切善品白法無漏圓
寂皆得圓滿。瑜伽者於眞言久修持。忽生
疑惑欲求知未來成不成善惡之事。於欲
眠寢時。以衣覆頭。以右手右旋摩其面。誦
此大白衣眞言二十一遍。卽右脇而臥。離
諸思想。唯觀念大白衣觀自在菩薩。睡已
須臾頃。卽夢見老人。或見國王淨行。或見
白衣少年婦人。或見菲菓稱〻吉祥勝事。
當知未來剋獲成就殊勝吉祥。若夢中見
旃陀羅身著垢弊破衣服。或見女人醜惡
形容。或見不吉祥之物。當知所求事不成
必有障礙
理界記云。若白衣觀自在菩薩。十一面儀
下卷文印如羂索經。白處異名尊眞言曰
唵濕吠帝惹致儞半拏囉嚩悉儞娑嚩訶
內縛。豎二空。稍屈其上節。是馬頭印。內縛

風中合。二空亦並竪也。第二心印。不易第
二心印。風相拄環。是白衣觀世音印也。白
衣本眞言
唵迦致尾迦致吒孕迦致娑縛訶
攘災決云。九曜息災大白衣觀音陀羅尼
經云（若日月在人本命宮中及五星在本命宮鬪戰失度可立大息災觀音或文殊八字熾盛光佛）
（頂禁道場各依本法念誦一切災難自然消散也）一切曜不吉祥。誦此
眞言能吉祥。眞言
曩謨囉怛曩（二合）怛囉（二合）夜野一曩謨索麼
囉嚩（二合）諾託灑（二合）怛（二合）怛羅（二合）邏引惹上野者
去覩地波阿引去路迦囉野怛儞也（二合）他唵
孥摩底跛努摩底薩賓上儞佉上細莎嚩
（二合）引賀引（古唐反三孥向努音奴）

白身觀世音菩薩
胎藏圖云。白身觀世音菩薩
梵號　阿利也（二合）尸吠多婆誐縛底
密號　普化金剛
種子　□娑
三昧耶形　蓮華
圖云。白黃色。左持蓮華。右臂竪膝上。覆掌
就耳下。立右膝。坐赤蓮華。或云。肉紅。裏書
云。白衣歟
祕藏記云。白身觀自在淺黃色。左手執蓮
華云〻
或人記云。白身觀自在印（梵號密號種子三昧形如圖）
印相
千手軌云。次結白衣觀自在菩薩印（印言如眞）

上
理界記云。大白身觀世音菩薩印。合掌。其
掌下開一寸。二頭指二中指二無名指各
竪相並合頭。二大母指各竪搏頭指側上。
相去一寸。二小指各竪微屈頭相去八分。
眞言曰
唵麼訶去鉢頭二末濕度當倪三虎吽〻
〻娑縛訶五
白身觀世音母菩薩印。〻同前大白觀世
音印。眞言曰
唵鉢頭麼半孥囉嚩矩矜〻〻莎縛訶五

大明白身菩薩
梵號　阿利也豪黎摩訶微地也
密號　放光金剛
種子　□娑
三昧耶形



開敷蓮華
圖云。白黃色（白與黃琰）左持蓮華前出。右當乳
與願。半坐赤蓮華。天冠
祕藏記云。大明白身菩薩淺黃色。白與黃
琰。右手取開敷蓮華云〻
或人記云。大明白身觀自在印。印相千手
軌云。次結大白衣觀自在菩薩（印言如上眞）
胎藏軌明蓮華部云。大明白身菩薩〇白
處尊菩薩。白身觀自在
如意輪經云。蓮華臺上如意觀音東西畫
圓滿意願明王。左畫白衣觀世音母菩薩。
北面畫大勢至菩薩（取意文廣更檢之）

私云。毘俱胝（觀音額皺現此菩薩西方額上皺文爲毘俱胝如今又念時額上有皺文）
也多羅（從觀音眼生）白處尊（部母）馬頭（明王）耶輸多
羅（明妃）
已上成菩提集

葉衣菩薩
梵號　阿利也（二合）波羅舍縛利
密號　異行金剛
種子　□娑
三昧耶形　未開蓮華。或云斧。或
人用吉祥果
印
口傳祕而不書。葉衣觀自在法。觀自在葉
衣菩薩心眞言曰
唵曳引曩二薩帝曳引曩三薄誐縛帝四引
鉢羅吉惹孥五二合播引羅密路六引薩普吒
七引瞋駄縛日哩尼八作葛哩引孥九帝曳
曩十薩帝曳引曩一十幡引跛劍引二十唵三十
誐利十入觀引入吉利引入引吠吽底十入薩嚩
哩（二合）底十入四六尾惹曳十引七薩縛（二合）賀十引八
葉衣觀自在陀羅尼經（有大陀羅尼撿之）心眞言曰
唵鉢羅孥（二合）捨縛哩吽引發吒（或人記出此心眞言）
讚
尊形
經云。其像作天女形。首戴寶冠。〻有無量
諸佛瓔珞臂釧莊嚴其身。〻有圓光火焰
圍遶。像有四臂。右第一手當心持吉祥菓。
右第二手作施願手。左第一手持鉞斧。左
第二手持絹索。坐蓮華上云〻（此法作法若非師說不可）

（修之。有別私記可見之）

胎藏圖云。肉色。左手垂下持索。右手當乳持如意幢

祕藏記云。未開蓮華。屈左膝坐赤蓮華。復本坐白蓮華

陀羅尼功能

經出二眞言之。時觀自在菩薩說此陀羅尼已白佛言。世尊。若善男子善女人。誦此陀羅尼一遍卽護自身。若誦兩遍幷護伴侶。若誦三反能護一家。若誦四遍護一聚落。若誦五遍護一國界。何況七遍乃至多遍能饒益六趣四生

葉衣私記

當明此法分爲兩段。序分正宗。就序分又分爲二。初通序。次別序也。初爾時下是通序也（此中有可知之）次爾時金剛下是別序也。能請大士勸請法王（此中有三初禮敬次擧者下歎徳三唯願下正勸請也）下次爾時下正宗也。所謂大士應請說法。分又爲三。初請許。次佛許。三正說。此卽初也（此中有三初禮佛次合掌下擧可說法三我今下正請許也）次佛言下佛許。三爾時下正說分。又爲三。初說陀羅尼。次時觀下總明功能。若欲下別說除難等法。分又爲二。初總明先持誦法。次若國下別說除難大法。此中有十二種法。第一除疫病法。第二長壽無病法。第三護持國王法。第四除宿曜難法。第五除人疫法（右三箇之法今本脫以異）（本補之）第六除畜疫法。第七除頭病法。第八除鬼魅法。第九除癰病法。第十除嬰魅法。第十一除却賊法。第十二除蚘虫法也

先就第一法明之（私謂於呪有撿者可修之云々）先畫尊像（如經說）次可儲道具。賢瓶（滿鹽香水揷藥樹枝）懸像竿一枝（有龍頭儀鐵）法螺二口。大鼓二口（加杖）磬二口（加杖）香鑪三口（加香臺）（此等之物兼日置壇場內以辨事眞言等加持之）次於壇場內安置所畫佛像。七日七夜修護摩法（可具十四人助修）至第七夜。正作遣除法。於初夜時修供養法（乃至）念誦々々已了。未修護摩。阿闍梨助修相共先作三部被甲等。然後出壇場。一人持賢瓶（誦心眞言加持之誦之加持之）一人持懸像竿（無開斷誦大陀羅尼又先誦之加持之）二人吹螺（誦摘枳王眞言加持之師之吹之）二人擊鼓（誦摘枳王眞言二十一遍加持之所擊之杖又）（誦之擊之又淨人持此鼓令）二人鳴磬（誦摘枳王眞言二十一遍加持所擊之杖又誦）（之擊之又令淨人持此辟）二人誦讚。三人持香鑪（燒安悉香其香以心）（眞言加持之一百八遍又誦之燒之香鑪勿令斷絕又令持香臺）阿闍梨在後出行結根本印。而無間斷誦大陀羅尼（或持杵加持之）引入王宮。從南門入。右遶一匝。又從南門而出。後從東却遶城內坊市一匝。使從城南門出至城南門外大水瓶處（於中置種々飲食雜）（藥及妙等當時量置此大瓶可用瓦瓶也）至彼等覺阿闍梨誦妙色身如來眞言。加持此瓶七遍。眞言曰。嚢謨婆誐縛帝〇又誦葉衣觀自在陀羅尼七遍。於眞言句中（其句可問師）稱國王名號加持之（可云國王某甲除災安穩增長寶壽願王國界無諸災難）然後於路側曠野棄擲水瓶。令破作是告言。閻魔界中行病鬼等。汝等受領此飲食。復道而歸於諸有情起大慈心。令此國界無諸災難（金剛）（合掌之私謂又誦般若心經仁王般若四非常偈金剛般若兩段偈諦緣度等以爲法施）次阿闍梨助修三部被甲等。然後相共還入壇場。

安置佛像修護摩（以下諸法可用佛像）

第二法（如文）

第三法。又七日七夜修護摩法。書二十八大藥叉將眞言。建立別壇。隨其方位而安置之（經云於二十八大藥叉將位各々以白檀香餘一小搬）次辦備諸供具（經云增上燒香雜帯飲食燈明閼伽）以助修一人每日令勸請（讚後令讀祭文）經云。虔誠啓告。唯願二十八大藥叉幷諸眷屬。各住本方。護持某甲。爲除災禍不祥疾病夭壽。獲得色力增長聰慧威肅端嚴果報具足。易長易養。壽命長遠（私謂經文帖眞言已作供養摩白雖然兼日作之有何妨乎）次至第七夜作護持法。於初夜時修供養法（乃至）念誦。念誦已了。未修護摩。阿闍梨助修相共作三部被甲等。然後持所寫藥叉將眞言。出於壇場到彼所居之處。隨諸方位。次第帖之。帖眞言了。又阿闍梨助修三部被甲等。然後相共還入壇場。修護摩法。供養啓白大藥叉將（私謂此法乃至聚衆相共修之有何妨乎）

第四法。是除難灌頂法也（具可問師）

自餘別法如文。又有口決等。可問師

延曆寺傳燈大法師位遍照金剛撰

已上成菩提集也

毘俱胝菩薩

梵號　勃哩（二合）俱胝

密號　降伏金剛。亦云除障金剛

種子　[illegible]

三昧耶形　數珠鬘

印眞言

對受記云。進力二指第二節相叉右押左。以是與前印爲異。前印者多羅菩薩印 意大德說。用前印風叉。權僧正云々。別記云。不改多羅印。二風端相叉。以右押左云々

如多羅菩薩印。但相叉風端。以右押左也

十一面儀云如上多羅印少變屈青蓮葉 覺傳亦不異。此印同疏眞言曰

曩莫三曼多沒䭾引南引勃哩合二薩嚩婆野 一切恐怖 怛羅々二合 爲如體 散儞 入二又恐怖義是 有畏後是無畏一 切衆生有恐怖故不得無畏處故緣生我 慢我執自高恐令離有畏而得無畏也 吽娑頗吒野 破障 娑嚩合二賀引

十一面儀云

唵娑囉々々惹曳娑嚩合二賀

釋云。是菩薩觀音眷屬。觀自在於額上皺中現菩薩。如今人忿時額上有波皺文。梵謂毘俱胝。故以爲名也。出現時諸執金剛皆大恐怖入金剛藏身中。彼尋以忿怒形進至金剛藏前。金剛藏亦復恐怖入如來座下而作是言。願佛護我。佛語毘俱胝言姉妹汝住彼即位○而立白佛言。唯佛所教勅我當奉行。於是諸執金剛恐怖亦除。皆大歡喜言。此大悲者能現此威猛大勢。是故觀自在者爲誰蓮華藏故。以毘俱胝三昧而攝之。鄰至中道 已上

尊形

大日經疏云。觀音左邊置聖者毘俱胝。其身四手。右邊一手垂數珠鬘。一手作施願印。左邊一手持蓮華。一手執軍持。兩有三目。如摩醯首羅像。首戴髮冠。如毘盧遮那髮髻冠形。所云持者。如言地持萬物。即是戴承之義也。其身潔白圓光周之。光中具有黃赤白三色。不純白純赤純黃。故云無主。凡黃爲增益色也。白者寂災色。赤者降伏色。以此三昧光中兼具三力。是故用爲標幟也

祕藏記云。毘俱胝菩薩肉色有四手。左上手蓮華。次軍持。左上手數珠。次手與願契。有數使者云々

調定圖云。肉色四臂。左一手持蓮華上有梵篋 無威 二手持軍持。右一手與願。二手持念珠。著白衣。額上有眼。坐赤蓮華。裏云。不空羂索經下云。毘俱胝天女居云顰目云々

多羅尊菩薩

梵號 路多囉儞尾 如船濟人越大海置於彼岸得自在也

密號 悲生金剛。又行願々々

種子 [illegible]

三昧耶形 青蓮華也。開却合是也

印眞言

理界記云。多羅菩薩印。二手內縛竝立風如針。以二空押風側也。覺傳云。內縛二風指直豎。二空亦豎著二風本。左右共捧一蓮華是也 此印同蓮 眞言曰 十一面儀云內叉拳豎合頭指如未敷青蓮華也

曩○南引 枳 種子 羯嚩奴 悲 嗢婆吠 生謂悲者而此 菩薩從觀音眼中生由見法性名爲普眼見於如々之體 賀 多隷多哩捉 是度義以

切字爲體 多 婆縛合二賀

十一面儀云

唵矩嚕矩隷娑縛賀

又眞言曰

唵多㘑咄多㘑咄㘑娑縛賀

釋云。是菩薩阿彌陀之姉妹也。蓮華部眷屬。從觀自在眼中生也。多是諸法如義。以一切法本不生。故羅是六塵義。以諸法如異故。六塵皆如實相。名爲如實知見淨無垢眼。又六根六塵名爲生死大海。一切衆生悉皆沒溺其中不得邊際。今六塵如々實相故。到佛眼彼岸故。眼中生也云々

義釋云。次於觀音右邊畫多羅菩薩。凡諸聖者皆面向大日。今言觀音右邊者。即是座西。恤効此々。是觀自在三昧故。作女人像。多羅是眼義。青蓮華是淨無垢義。以如是普眼攝受群生。既不先時亦不後時。故作中年女人狀。不太老不太小也。青是降伏色。白是大悲色。其妙在二用之中。故令二色和合。不青不白色。其像合掌。々中持此青蓮華。手面皆向觀音。如微笑形。通身圓光。如淨金色。被服白衣。首有髮髻。作天髻形。不同大日髮冠也

對受記云。海大德說。多羅即阿彌陀之姉妹也。內縛二風直立端相拄。二空直豎著二風側。三誦。道大德說。內縛空風豎。權僧正說○同海說。別記云。內縛中二風二空相雙豎也

尊形

祕藏記云。多羅菩薩青白色。中年之女形。二手合掌中執青蓮華。頭髮髻冠。左邊多羅使者云々

調定圖云。綠色（或青白色）中年女形。二手合掌中揷青蓮華。頭髮冠著羯磨衣。復本肉色。不著羯磨衣。坐赤蓮華係天衣。裏云。此云妙日。不空羂索經下云。多羅天周言瞳子

耶輪陀羅菩薩

梵號

密號　悲生金剛（理記）示現金剛（調剛）

種子

三昧耶身（左拵葉。如由利葉理記文）

印眞言

理界記云。耶輪陀羅菩薩。虛心合掌。屈二水第二節合背。入月。屈風加火背。兩頭不相著。猶如內縛五股杵形也。覺傳云。印相似五股印而少異。然故以二無名指不相交。以爪甲相著故也。同前眞言曰

曩〇南引南引㗇（種子）野輪䭾囉野娑縛賀」

釋云。是蓮華部明妃。於莊嚴寶業法門而德自在故爲種子。以加大空點。故遍一切處用給群生。是名普觀乘。亦名普門乘也」

大日經疏云。次於明王左邊畫耶輪陀羅。譯云持名稱者。身眞金色。以諸瓔珞莊嚴令極端嚴。如天女之像。右手持鮮白妙華枝。果葉相間長條茂好。其華或有初殖或有欲開。或有正開數者。若五若十乃至數十。左手持鉢胤遇。亦是西方勝上之華。以得大勢明王主安立一切衆生菩提種子。而此明妃主含藏出生此中種〻功德故。其被服標幟皆與此義相應也

尊形

祕藏記云。耶輪陀羅菩薩。白肉色取楊枝。

前在使者

調定圖云。白肉色（或云白黃）左手持箪葉。右手與願手（當心印掌指末稍垂）坐赤蓮。軌云鉢胤遇。祕藏記云楊柳。此尊女相也

大日經疏如上

虛空藏菩薩

梵號　阿利也阿迦舍蘗波

密號　如意金剛

種子　。或　釋迦院。或　。軌　伊

三摩耶形　如意寶珠　胎藏虛空藏院寶劍

印眞言

大虛空藏軌云。次結三摩耶印。二羽金剛縛。進力反蹙如寶形。禪智竝竪置於當心。

即誦三昧耶眞言

唵縛日羅（二合）羅怛鑁（二合）吽

次結羯磨印。以止羽當心仰掌。以智力捻。反屈力度如寶形。以觀羽仰掌向前作施願勢。結此契已作是思惟。我身即同虛空藏菩薩。即誦羯磨眞言

唵縛日羅（二合）羅怛努（二合鼻）憾

私云。羯磨會寶菩薩印。二拳（已上）面相合。二頭指竪頭相拄如寶形

唵縛日羅（二合）羅怛（二合）唵

三摩耶會。金縛二頭指竪屈如寶形。二母指並竪

素摩訶引怛鑁（二合）

求聞持軌云。能滿諸願虛空藏菩薩最勝心陀羅尼

南謨阿迦（去引）捨（舒可反）羯（魚可反）婆（去引）耶唵阿利迦麼利慕利莎縛

其手印相。先仰舒右手五指。屈其頭指與母指相捻。狀如捻香。此是虛空藏菩薩如意寶珠成辦一切事印

胎藏印眞言更撿之

求聞持軌云。次須作護身手印相。其手印相。先拳右手。然後以頭指與大母指相捻。狀若捻香。其頭指屈第二節。其第一節極令端直。方始印相

八曼荼羅經云次說虛空藏密言曰

阿蘗婆也娑縛（不空二合）訶

左手持寶安於心。右手施願。流出無量寶」

或經曰。虛空藏眞言

曩莫阿引哩也引阿引迦引捨蘗婆野唁

地婆怛嚩野怛儞也他蘗陛〻蘗婆尾陀寧娑縛訶

讚　金剛界寶菩薩讚。虛空藏軌出也

尊形

虛空藏軌云。壇中有寶樓閣。內有八葉開敷蓮華云〻

求聞持軌云。當於絹素白氎或淨板上。先畫滿月。於中畫虛空藏像。其量下至不減一肘。或復過此。任其力辦。滿月增減相稱。身作金色。寶蓮華上半跏而坐。以右押左。

容顏殊妙作熙怡喜悅之相於寶冠上有五佛像結跏趺坐菩薩左手執白蓮華微作紅色於華臺上有如意寶珠吠瑠璃色黃光發焰右手復作與願手五指垂下現掌向外是與諸願印相
虛空藏軌云於壇西面安虛空藏菩薩像持誦者壇東對像
求聞持軌云安置其像面正向西或容向北
胎藏虛空藏院前本肉色左手當腰持蓮華上安寶形右手持劍首戴五佛冠坐寶蓮華後本黃金色不持寶形坐赤蓮華釋迦院肉色右白拂左拳押腰立蓮花上
祕藏記云虛空藏院肉色左手持開敷蓮花上在如意珠玉寶右手持寶劍釋迦院云左手持蓮花上有如意寶右手持白拂
陀羅尼集經第六云虛空藏菩薩法身印呪仰二手反鉤二無名指二小指各屈掌內二中指相背著竪頭指仰直舒右押左二大指舒押頭指上頭相拄大指來去呪曰
唵一伽〻那倢闍二婆盧吉帝三莎訶四
是法印呪若有人能常樂誦持此印呪者所須財物悉皆如意若以此印〻水呪已七日服之除一切病其水入服喻如醍醐晨朝向暮各服一升至於後日服一升半亦可二升三四五升每飲水訖禮十方虛空佛十拜行道七匝若有人服呪水滿一百日者悉除身中一切諸病仍卽證得阿縛漢道心〻常念虛空藏菩薩不得廢忘是呪力故
又虛空藏菩薩呪水呪曰
那謨羅(上)坦那路羅(二合)夜耶一那摩訶迦令揭婆(去)耶二菩提薩埵(去音)耶三摩訶薩埵(去音上)耶摩訶迦盧尼迦(去音)耶五路姤他六毘(上)摩黎七摩訶毘(上)摩黎八都摩黎九摩訶都摩黎十休摩黎一十摩訶休摩黎二十薩婆黎三十摩訶薩婆黎四十只黎剃五十莎訶六十
常用此呪〻於淨水四十九遍與病人服若多人患呪一盆水人〻各與二升服之或在身中或在身外或在生藏上或熟藏下頭痛目眩身痛心痛寒熱不調閞是虛空藏菩薩呪水星菩薩呪八萬鬼神不得嬈害其身此大神呪能令病者悉得除愈
曼陀羅相
理趣釋云修行者修虛空藏菩薩三摩地行故應立本菩薩曼荼羅中央畫虛空菩薩如本形前畫金剛寶右畫金剛光左畫金剛幢後畫金剛笑內外院四隅各列內外四供養如本形東門安金剛杵南門寶西門蓮華北門鈴修行者若入此曼陀羅令他人現生所求一切富貴階位悉得滅一切貧窮業障設盜一切有主所攝物者六分之一不得不與取非速疾獲得一切悉地
五大虛空藏文
瑜祇經云爾時復說成就富貴金剛虛空藏鉤召五字明王曰
鑁吽怛洛(二合)紇利(二合)惡(短)
行者應畫五大金剛虛空藏於一圓明中等自身量畫之於一圓中更分爲五於中圓畫白色虛空藏左手執鉤右手持寶前圓中畫黃色虛空藏左持鉤右執寶金剛右圓中畫青色虛空藏左執鉤右持三瓣寶放大光明於後圓中畫赤色虛空藏如前左持鉤右持大紅蓮花左圓中畫黑紫色虛空藏如前左持鉤右持寶羯磨是名五大虛空藏求富貴法若畫此像於青色或金色絹上畫之其菩薩衣服首冠瓔珞皆依本色各半跏坐畫此像了對於壇前無間時方但誦五字明一千萬遍卽得富貴成就時〻護摩速獲大悉地次當說印相毘首羯磨三昧耶忍願相合峯如針是名法界虛空藏三昧耶印應知次改進力如三鈷是名金剛虛空藏復改進力如寶形是爲寶光虛空藏又屈進力如蓮葉卽名蓮花虛空藏戒方進力互相叉是名業用虛空藏
疏云三成就富貴五大虛空藏五字眞言法如經爾時復說成就富貴金剛虛空藏鉤召明王曰〇行者應畫五大虛空藏於一圓明中等自身量畫之(言圓明者是明星標幟故可作星色)也如釋觀世音是日天子大勢至是月天子虛空藏是明星天子法華三光天子卽是也虛空藏釋說西方虛空藏菩薩來時以三昧力令諸國土皆如虛空藏菩薩顏上有一寶珠行者明星出時觀彼明星云〻又有虛空藏釋南方虛空藏菩薩來時及觀行法亦似前釋云〻二釋唯說西南二方今唯此釋卽有五部五大虛空

藏也於一圓中更分爲五(五方五智五佛五部各入虛空藏三昧地故作部身在皆持寶成就富證五部虛空藏身例如上四大菩薩一ゝ皆入八合第一敎王合有四持金剛界印二降三世印三遍誦伏法輪三十成就輪三十七尊皆持藏尊卽一切義成就輪五方色形持五部三昧耶現五貴行者亦有五部三昧耶印入大樂金剛五祕密法五方五佛大樂五尊三摩地然金剛頂十大輪一金剛界輪三十七尊皆數人輪三十七尊皆持降三世七尊皆持觀世音印四一切義虛空藏印云ゝ今此五大虛空蘇悉地法通能成就一切義成就輪五部求富貴法云ゝ)於中間畫白色虛空藏左手執鉤右手執寶前圓中畫黃色虛空藏左執鉤右執寶金剛右圓中畫青色虛空藏左持鉤右持三瓣寶放大光明彼圓中畫赤色虛空藏左持鉤右持大紅蓮花左圓中畫黑紫色虛空藏左持鉤右持寶羯磨若於青色或金色絹上畫之次說印相毘首羯磨三昧耶忍願相合舉如針是名法界虛空藏三昧密印應當知次改進力如三鈷是名金剛虛空藏復改進力如寶形是爲寶光虛空藏又屈進力如蓮葉卽名蓮華虛空藏戒方進力互相叉是名業用虛空藏云ゝ攝眞實經中東西南北白青金紅五色是表寂靜調財愛增法又守護經亦同此也若仁王經東南西北中方菩薩各放青白金紅碧五色光明表降魔修龍叉衆德今此經中東南西北方虛空藏色白黃青紅黑紫是表五佛共入虛空藏三昧耶故以五佛三昧耶色爲眞色像亦持五佛三昧耶印爲其印相中方劍形印白色獨鈷是劍形之標幟也東方三鈷印金色三鈷是金剛之標幟也南方寶形印青色如寶是寶珠之標幟也西方蓮華印紅色如蓮是蓮花之標幟也北方羯磨印黑紫相叉是羯磨之標幟也然金剛界佛三昧耶印與此小異而作標幟亦無大異毘首羯磨三昧耶印是十字羯磨印卽不空成就佛印亦卽羯磨薩埵印非金剛業菩薩三昧印若用此印則此經中五印雖成有別本經法界印註云薩埵印金剛印註云唯護身印業用印註云不空成就佛印今謂當准金剛界五佛三昧耶印唯中三印用進力也今此五大虛空藏菩薩是明星天子本身故處明星圓明之中亦以七曜九執二十八宿而爲眷屬故此法亦用金剛吉祥破七曜等三眞言印此五大虛空藏大日三昧耶印亦是大阿闍梨位者也事行須具准序品七分修之五相成身之處當隨所樂成五成一以成自以五佛身成五菩薩亦隨一印十三四印十七五印三十七行之卽五佛種子故須先成五佛次轉五佛成五菩薩轉法界之圓明成明星之圓明從明星之圓明會法界之圓明自餘觀法具如虛空藏經

此下三法開九及十二也

理界記云虛空藏菩薩虛心合掌屈二空入月拄水第二節屈二風二端相拄而置空第二節上以印當心儀軌云持大慧刀印覺傳云儀軌云印形如法敎者謂指前慈氏虛心合掌屈二風入掌爪甲不相著令間一寸二大指入掌又印前合掌以二風指著火背以二大指入月也又印前合掌以二大指入月是也

又有別儀軌云合掌二頭指作寶形二空直竪名根本印(眞言有別)瑜祇經五大虛空藏印(可出金剛界私記中)眞言曰

曩莫三曼多沒馱南伊阿迦奢(虛空也)三曼多(等也一切法樂於虛空也)紗蘇多(得也前ゝ知義超義此中云得義亦相命也)尼質怛囕(種子雜色)嚩羅(衣義二合)達囉(披著也種ゝ衣如虛空而能滿種ゝ形此菩薩亦令能滿衆生種ゝ願種ゝ形利益有情)娑嚩(二合)賀

別儀軌說根本眞言

南麽阿迦捨薩婆耶怛姪他唵阿梨迦麽梨沒唎莎訶

釋云菩薩入淸淨境界三昧者謂入此三昧時卽知諸佛境界畢竟淸淨猶如虛空是故普門曼荼羅皆悉離一切相唯是心佛自證不可示人而已自在神力出內取與周給衆生不可窮盡也

欲修此法圖繪尊像(如軌)次擇地(如軌)次作壇(如軌)次安置尊像(如軌)次辨備供物(如軌)次起首時分(軌云當順具辨此物云ゝ)次房中作法(軌云然後出外)次入堂禮佛(軌云次應往詣像前至心禮拜)次著座(軌云西向菩薩云ゝ)次塗香塗手(私用之或次済此中有ゝ白神分供發文明證五悔)次護身(軌云卽須作云ゝ)次灑淨(軌云復作前印云ゝ)次加持供物(軌云復如前作云ゝ)次結界(軌云復作護身印云ゝ)次道場觀(軌云次臆用目云ゝ)次勸請(軌云復護身印)次閼伽(軌云先舒右手五指頭共頭指與大母指相捻狀如捻香云ゝ軌無閼伽印明故私用前文)次華座(軌云復作此印誦陀羅尼云ゝ)次讃來偈(軌云又誦三ゝ手印如前)次塗香(軌云次取塗香)次華鬘(軌云次復取華)次燒香次飲食次燈明(軌云次第取之長誦一反手持供養誦左增邊云ゝ)次普供養(軌云復作念誦)次讃(如金界)次根本印(私加之若如軌不可用之)次正念

誦（軌云卽以手印云々）次入三摩地（軌云身心若作云々）
次根本印　次塗香　次華鬘　次燒香
次飲食　次燈明　次普供養　次讚
次閼伽（弘願）次解界（以前印明左轉）
已上十條軌文無之。可用故私加之
次奉送（軌云又作前手印云々）先誦偈後誦明發遣
（私意取）
次護身　次下座禮　次出堂　次堂外
作善
已上四條可有故私加之。於丹州別處
給之
三身　佛眼　曼荼羅
大虛空藏菩薩摩訶薩
縛日羅荼利冒地薩埵縛耶摩訶薩薩怛
縛耶大小自在云々
三部界會一切佛菩薩等
已上成菩提集
問
八卷經第四云。爾時有時王菩薩白大虛
空藏菩薩言。大士此娑婆訶世界有無量
受苦有情。貧匱飢餓。無諸飲食。著破弊衣。
諸餓鬼露形飢渴○爾以衣食而充滿。消
之時虛空藏菩薩以加持力。於虛空雨種
々飲食異類衣服。百千色相無量無邊不
可算數。上妙細軟過於迦止栗那綿身觸
之時受極快樂。於此三千大千世界一切
貧匱孤露有情。及諸餓鬼蒙此飲食。勝妙
衣服悉皆充足
又云。爾時大虛空藏菩薩告普通光明菩
薩言。汝獲得無垢妙淨天眼。當觀十方諸
佛世界爲見何物。說是語已。普遍光明卽
以天眼觀見十方無量阿僧祇世界。所雨
寶物飲食衣服一如此界無所減少。又聞
空中所說一切微妙法音。亦不增減
爾時王舍大城有五百女人。共詣大虛空
藏菩薩所。到已白言。我聞正士能滿一切
有情所願。然今我等夫主並死。不知所趣。
唯願大士示我令見。爾時大虛空藏菩薩
以威神力故。卽爲五百女人。各々現於本
夫形狀。住菩薩前。時虛空藏告諸女言。姉
妹當觀。此是汝等本夫。以不。彼諸女等各
見本夫悲喜交集。時彼大夫各自隨逐是
諸女等還歸本家。七日之中爲女說法令
得成就咸發無上菩提之心住不退轉云々

大隨求菩薩
梵號　摩訶鉢羅底薩落
密號　與願金剛　自在金剛
種子　普[梵字]。初[梵字]鉢羅
三摩耶形　梵篋
或五古杵

宗叡僧正於唐國師所口受
根本印第一。二手內相叉。二中指合竪。二
頭指於中指背微屈如鈎。二小指二大指
合竪微屈。梵云嚩日羅云々　唐云五股金
剛杵
一切如來心眞言第二。二手左覆右仰背
相著。中指左相背鈎竪如斧形卽成。梵云
波羅戍。唐云鉞斧。安云。二手背立中指柱
鈎
一切如來心眞言第三。二手內相叉。二
中指頭相拄屈合開卽成。梵云跛羅捨捨
唐云索
一切如來金剛被甲眞言印第四。二手合
掌。二頭指屈中節合平腰。頭相拄卽成。梵
云渴誐。唐云鈎
一切如來灌頂眞言印第五。二手外相叉
二無名指合竪。二小指竪交卽成。梵云斫
羯囉嚩引唐云輪
一切如來結界眞言印第六。二大指捻二
小指甲。餘指竪合如三股叉形卽成。梵云
底哩戍羅。唐云三股叉
一切如來心中心眞言印第七。二手外相
叉。二頭指相拄如寶形。二大指並竪卽成
梵云進路摩抳。唐云寶
一切如來隨心眞言印第八。以左手仰於
當心展五指。以右手覆於左上相合令平
卽成。梵云摩訶尾儞也（二合）馱羅尾。唐云大
明總持
以上八印記文從水尾得
慈覺大師大隨求印讃岐守傳安然。內縛
五股印是也。貞觀十九年三月二十二日
傳
有師云。八印是大隨求菩薩所持物標幟

也。以第一印爲根本印。最後眞言爲小呪
私云。又有隨求八印。撿之。私問。何故明
八印。尋同又撿之。又問。持念之時。可用
何印眞言。問之尋之

普遍光明清淨熾盛如意寶印心無能勝
大明王大隨求陀羅尼(陀者過去佛。羅者現在佛。尼者未來佛。又陀過去父母。羅現在父母。尼未來父母。陀地羅空尼天也)不空譯
大陀羅尼(文廣在別卷也)

一切如來心眞言
唵薩嚩怛他(引)誐多(引)畢帝(合二)鉢羅(合二)嚩羅尼誐多婆曳捨𤚥野薩嚩(合二)銘婆(合二)誐嚩底薩嚩播閉毘喻(合二)娑嚩(合二)婆底(合二)婆嚩覩母𩕳ゝゝ尼母𩕳佐隸佐攞寧婆野尾誐帝野賀羅捉胃地ゝゝ冐馱野ゝゝゝ沒地里ゝゝゝゝ薩嚩怛他(引)誐多紇哩(合二)乃野足(諵反)欲慧𢤱(合二)薩嚩(合二)賀

一切如來心印
唵嚩日囉(合二)嚩底嚩日囉(合二)鉢囉(合二)底瑟恥(合二)帝舜第怛他(引)誐多母捺囉(合二)地瑟吒(合二)韈地瑟恥(合二)帝摩訶(引)沒捺隸薩嚩(合二)賀

一切如來被甲眞言
唵敵顯ゝゝゝゝ嚕隸阿鼻洗(去)佐覩怜薩嚩怛他(引去)蘖路(合二)薩嚩尾儞夜(合二)鼻曬闍(引)摩賀嚩日囉(合二)迦嚩佐母(上)捺囉(合二)(合二)母捺哩(合二)帶嚩日隸(合二)怛他誐多訖哩(合二)乃夜地瑟恥多嚩日隸(合二)娑嚩(合二)賀
尒時薄伽梵說此普遍光明清淨如意寶印心無能勝大明王隨求大陀羅尼已(已下)

(廣說功能更撿之文)
下卷云。佛告大梵。復有四陀羅尼。是無能勝妃大心眞言。若有書寫帶佩於身。常應受持深心思惟觀行。能除惡夢不淨之業。一切安樂皆得成就。陀羅尼曰。結界眞言
唵阿蜜哩多尾盧(引)枳𩕳薩婆僧洛乞灑(合二)捉阿(去引)(合二)羯哩灑(合二)捉吽(引)吽頗吒ゝゝ婆嚩(合二)賀(引)
唵尼磨黎慈也嚩隸阿蜜哩(合二)帝吽(引)吽(引)吽(引)吽頗吒ゝゝゝゝゝ婆嚩(合二)(引)賀

隨心眞言
唵跛羅ゝゝ三跛羅ゝゝゝゝ印捺哩(合二)也尾戍達𩕳吽(引)吽魯ゝ左隸婆嚩(合二)賀(引)
佛說此四大陀羅尼已。一切諸佛諸大菩薩聲聞異口同音說此大隨求大明王無能勝陀羅尼甲胄密言句。以一切如來印ゝ之。此甚難得聞。何況書寫受持讀誦爲他宣說(已上廣更撿文)
更有一卷經有陀羅尼撿之

讃云ゝ

尊形
胎藏圖黃色(赤黃次黃)有八臂。各持三摩耶形。左上手蓮花。上有金輪光炎。次手梵篋。次手寶幢。次手索。右上手五股杵。次手鎊鉾。次手劍。次手斧鉞鉤。坐赤蓮花
秘藏記云。大隨求菩薩深黃色。并有八臂云ゝ(所持三昧耶形同但斧鈎或本鈎云ゝ)
隨求即得儀軌云。次說密印等。五如來密想。以初印ゝ心。次印頂上。次印額。次印眉間。次印兩肩。先右次左竟。此印結了。即我身成遍照。於舌觀金剛。先合金剛掌。使成金剛縛。忍願如鉤形。進力附於背。忍願竪如針。反屈如寶形。移屈如蓮花。面合於掌中。檀慧禪智合。即成祕密印。此五祕密印。密之中之密。祕之中祕。不可傳不阿闍梨。若有知法弟隨宜耳(此非可問云ゝ)

隨求陀羅尼利益功能文

一。求男女并産生安穩利益
上卷云。若有諸女人持此陀羅尼。彼皆悉成就。男女在其胎。安穩胎增長。産生皆安樂。一切病悉除。諸罪皆消滅
又云。若能依法書寫身上帶持。所求皆得。求男得男。求女得女。懷胎安穩漸增圓滿。産生安樂云ゝ
佛說隨求即得大陀羅尼神呪經云。若有女人受持此神呪者。有大勢力。當當生男。受胎之時在胎安穩。産生安樂無諸疾病。衆罪消滅必定無疑。以福德力財穀增長。所說教令人皆信受。當爲一切之所敬重。應當潔淨若男若女云ゝ
又云。復次大梵若人所求。應當如法書寫此呪。隨所願求悉得成就。求男得男。求女得女。並持胎藏所胎安穩。日月滿足安樂産生。大梵當知於此摩伽陀國有王。名慈尉手。其王初生之時。即中有手執於母嬭。其母兩嬭變成金色。乳自流出。於其手中又能出於無量珍寶施諸衆生。以是因緣

名慈愍手。其王無子。爲求子故。說大說會供養諸佛及諸塔廟。求子不得。後於夜分其王夢見淨居天子來至王所。而告王言。大王當知有神呪。名隨求卽得。王可如法書寫與大夫人。繫其頸下。當得子。時王覺已至於明旦。卽如法書寫此大神呪。與夫人帶。應時有胎。日月滿足生一僮子。色相具足端嚴殊勝。見者歡喜。大梵當知此神呪力。所求願者皆得稱心

又云。石女生子息。胎孕盛增長。常加護彼人。乃至壽命存云々

又云。或有石女人。扇姹半姹迦。如是諸人類。由帶大隨求。尙能有子息。若此類帶者。應畫九執曜。二十八宿天。中畫彼人形。所求悉如意已上

火不能燒文

經云。云何得知。火不能燒於迦毘羅大城。羅睺童子在母胎時。其母釋種女耶輸陀羅被擲火坑。於是羅睺羅在母胎中。憶念此陀羅尼。其大火坑便自清涼。尋卽變成蓮花之池。何以故。此陀羅尼是一切如來加持力故

一卷本云。如迦毘羅大城。羅睺羅僮子在母胎中憶念此呪。其大火坑尋卽變成蓮花之池。此是神呪力故。以是因緣火不能燒

毒不能害

經曰。毒不能害者。如善遊城豐才長者子。持誦世人所說密言。以持明力故。鉤召德叉迦龍王。忘不結界護身。其龍瞋怒嚙損。是人受共苦痛命將欲絕。多有諸持明者無能救濟。於其城中有一優婆夷。名無垢淸淨。常誦持此隨求大明陀羅尼。其優婆夷大悲成就。起慈愍心往詣其所。以陀羅尼加持。纔經一遍。其毒消滅平復如故。時長者子於無垢淸淨所受此陀羅尼。憶念在心。大梵當知毒不能害

一卷經云大途同上文

降隣國敵之文

又云。筏羅捺斯城有王。名曰梵施。時隣國王有大威力。起四種兵來罰梵施。梵施輔佐白大王言〇是時梵施告群臣言。我有隨求大明王陀羅尼。由此陀羅尼威力。能力摧他敵〇其時梵施卽以香水沐浴著新淨衣。依法書寫此陀羅尼。入在於篋安頭髻中。以此大隨求陀羅尼護身被甲。卽往入陣。王共戰四兵降伏來歸已上

一卷本云意同上

書寫帶持之利益

又云。此大隨求陀羅尼。依法書寫繫於臂上。及在頸下。當知是人一切如來之所加持。當知是人等同一切如來身。當知是金剛堅固之身〇曾有苾芻心懷淨信。如來制戒有所違犯。不與取現前僧物四方僧物將入己用。後遇重病受大苦惱。時彼苾芻無救濟者。作大叫聲。則於其所有一婆羅門優婆塞聞其叫聲。卽往詣彼病苾芻所起大悲愍。卽爲書此隨求大明王陀羅尼。繫於頸下。苦惱皆息。便卽命終生無間獄。其苾芻屍殯在塔中。其陀羅尼帶於身上。因其苾芻纔入地獄。諸受罪者所有苦痛。悉得停息咸皆安樂。阿鼻地獄所有猛火。由此陀羅尼威德力故悉皆消滅。是故焰魔卒見是事。甚大驚怪。具以上事白焰魔王。說伽陀曰。大王今當知。此事甚奇特〇時彼焰魔王〇而作如是言〇汝往滿足城。當觀有何事。獄卒受教已。於其夜分時。至滿足城南。見彼苾芻塔。乃見於屍上。帶此大明王。隨求陀羅尼。而放大光明。其光如火聚。天龍及藥叉。八部衆圍繞恭敬而供養。時彼焰魔卒。號爲隨求塔。爾時焰魔卒還至王所。具以上事白焰魔王。其苾芻承此陀羅尼威力。罪障消滅得生三十三天。因號此天爲先身隨求天子已上

一卷本曰。若有人帶此神呪者可見如上釋

或一卷經曰。是眞言是爲無數億恒河沙諸佛智根本。無量諸佛從是眞言出生佛之成道由持是眞言。故三世諸佛經無數萬億劫。毘盧遮那如來自法界智盡無數劫求得。由是名隨求。卽得眞言。一切諸佛不得是眞言不成佛。外道婆羅門得是眞言成佛速。所以者何。昔摩竭陀國有一婆羅門。名俱博婆羅門。不見佛不聞法〇日々殺生食豬羊熊鹿鵝鴨龜等類。各日々五十或一百。俱博生年二百五十歲。命過卽去人間到閻羅王宮。卽閻羅王白帝釋言。此罪人賜何地獄。罪輕重何。帝釋告白。

是人罪不可量算數不可計盡造善金札
無一善作惡鐵札不可盡計速阿鼻地獄
可送遣則獄卒請事投入爾時地獄忽然
爲蓮花池彌滿八功德水其中在種々蓮
花所謂靑白紅紫而色勝諸蓮花每其花
上坐各罪人無諸之苦則馬頭牛頭閻羅
王申云此地獄奇異此罪人謬賜也地獄
變成淨土罪人不異佛未見聞如是事者
爾時閻羅王詣帝釋宮言此俱博不非人
神變如上說帝釋答云二生之善無曾一
厘許所不知我則詣佛界白釋迦牟尼佛
言俱博之善如何神變如是爾時佛告帝
釋言俱博自生不作一善唯可見人間之
骸帝釋則來見人間葬所從俱博葬所西
方去一里有學都婆其中在此根本眞言
朽學覩婆眞言墮落地上其文一字隨風
繫彼俱博骸上爾時帝釋來歸奇異八地
獄移每地獄如是遂成不受苦者爾時俱
博並諸罪人皆共具三十二相圓滿八十
相好一時蓮華藏世界成諸佛菩薩上方
世界之無垢勝佛是俱博也滅罪功能如
是何況自持若至心持念人何罪有小許
以是眞言名隨求卽得成佛自在也已上
先師云此經云々
乘船納入海採財依此呪力脫龍魚風
波難事
又不被傷電雷事
又經云大梵當知此陀羅尼有大威力汝
當受持書寫讀誦依法佩帶當得遠離一
切惡趣不被雷電傷害云何得知

隨求曼荼羅

得大勢

梵號 阿利也摩訶薩縛合二塵鉢羅合二鉢路

密號 持輪金剛持光々々轉輪々々轉法輪々々空生々々

種子 娑 索 參

三昧耶形 未敷蓮華

印

虛心合掌令普□如未開蓮花形也

靑龍軌云

摩賀娑太二合鉢羅合二鉢路（或阿利也摩賀薩縛二合娑鉢羅鉢哆）

曩莫三曼多合沒馱引南引參髯々（生義二電上生煩惱）（不動皆是義不稱安子相動已法離有二生隨減同釋於動大不）娑縛合二賀引（阿字門不生二生所知隨入空如諸佛住）

攝軌云得大勢至

歸命三參賀引薩他合二塵引鉢羅合二跛多合二髯々娑索□音娑縛合二賀

義曰又得大勢眞言與觀自在相成前字
加涅槃點爲令出離諸垢果實成就故此
字加大空點爲令滋生無礙華蘂開敷故
餘如前釋
又云得大勢眞言是蓮花眷屬重言髯字
本體是慈字門卽是生義所謂煩惱障生
所知障生今以二障生義皆悉本來不生
乃至因不可得故二障不生得質實大空
生是故加以圓點次有索字爲眞言體是
不動義若法有云無漏動與不動皆是敗
壞不安之相今以一生不可得於娑字側
更加二點令此蓮花同於涅槃第一堅固
不可動轉此卽是如來大勢位今此眞言
主持未開數蓮令不退失要當同得如是
大位故名得大勢已上
二十本云如世人有大官位多諸財威伏
多人名有勢人云々
已上成菩提集擧

理界記云大勢至菩薩
梵號摩賀娑太合二鉢羅合二鉢路
密號持光金剛或云定光亦云轉法輪亦空生
種子
三摩耶身在蓮花
虛心合掌少開火端如未開數蓮花形也
覺仲不異前疏云作三補吒合掌屈十指
相拄令周圓也如來部之蓮也此蓮也卽
云是如來寶篋於開數已而智合故也眞
言曰
曩○南引參髯（安不相動傍義加釋二子點動同法於有涅槃卽釋堅住義已離二）（字生門義卽上不生生煩有惱大二空生所無知點障謂除入阿不二）索（生障也於）娑縛賀（如同諸於佛大住空）
釋云是蓮花部眷屬也是蓮花三昧同於
涅槃卽是如來勢位今此眞言得未開數
蓮令不退失必當同得如是大位故名得
大勢也已上
尊形
秘藏記云大勢至菩薩肉色左手取蓮花
調定圖曰肉色左持蓮花右手當胸屈地

水火三指。坐赤蓮花云〻
白蓮花經云。頂上五髻冠。〻中住鉾持身。
相白肉色。左定白蓮花。滋茂而未敷。圍繞
以圓光。右慧說法印。嚴身如普賢
大勢至菩薩得大勢菩薩同異
七佛所說神呪經曰。大勢至菩薩復欲樂
說菩薩有四事利益衆生心無厭疲。何等
爲四云〻
得大勢菩薩復欲樂說誰能於釋迦牟尼
佛遺法之中作佛方者。我等八人常當擁
護。略說有四事。何等爲四云〻

地藏菩薩
梵號 阿利也(合二)乞叉(合二)底蘗婆(又尾藤轉か鉢里布羅迦理界記)
密號 悲願金剛。悲愍〻〻
又與願金剛(理界記)
種子 [illegible]訶。或[illegible]
三摩耶形 蓮花上幢旗
或
或
印眞言
胎藏地藏院
密印品云。如前以定慧手爲拳。令二火輪
開數。是地藏旗印
疏曰。地藏旗印。先作指向內叉拳。申二火
指竪之。令指頭一寸許不相到。即是(二空並竪餘如常)
計觀是旗也(此印如旗也)
靑金軌云。祕密內爲縛。火輪竪散開二空
持風側
廣大軌云。觀訶字光輪轉。成地藏尊。定慧
內反拳。舒散火輪幢
私云。胎記曰。內縛二火直竪不相著。釋
曰(如前疏)。或言。直立二火開數如兩幢。海
意等說同云。內縛二火直竪不相著。但
大和上記曰。此印如軌。唯二空並竪。私
曰。海等說同經及廣大軌。大和上記似
疏及靑龍軌。更問之
曩莫三滿多沒駄南(引)訶訶訶尾娑摩
(合二)曳娑縛(合二)賀
觀自在院又出地藏印眞言
胎軌曰。地藏內爲縛。地水空並合(釋疏同之。海等用之)
(但珍用鉢印。二空持二地下節)
靑全云。地藏圓滿。合二空風輪側。如是應
器成
曩〇南訶訶訶(三因也。謂聲聞緣覺菩薩因也。凡諸眞言自說本誓之境。此總指地藏德)
之索怛[illegible](名妙色身即法身也)娑縛(合二)賀
藏品疏云。次地藏菩薩眞言。時此菩薩入
不壞金剛行三昧。金剛者即是菩提之心。
此菩提心即是不壞。依此進行是金剛行
也。訶訶訶(上阿是眞言體也。訶是行義亦是笑聲。入阿字門即離喜。喜者即生滅法)所
以有三者。即三乘行。此菩薩以種〻法門
利益衆生也。蘇多奴(蘇是善。多奴是生義。所謂善生也。亦是轉安義)猶
善能行利益有情之行。眞是佛子。從善性
而生故名善子。從佛而生故名佛子。此菩
薩即能說種〻三乘行門。利益衆生。如十
輪廣說
八大曼荼羅大經云(不空)次說地藏菩薩密
言曰
乞灑(合二)訶羅惹娑縛(合二)賀
理界記云。二手內縛。立二火大開散。並立
二空。以印當心。義釋云。地藏菩薩旗印。譬
傳云。內縛舒二中指竪之。頭不相著也。疏
云。內縛申二火指竪之。令指頭一寸許不
相到。二空並竪。餘如常(此印同智證大師傳)

讚
或先德讚云。以軍荼利爲明王
縛日羅(合二)計觀蘇薩怛縛羅他(合二)持縛(合二)
惹蘇都灑迦(合二)羅怛耶(合二)計都摩訶縛日
羅(合二)〻〻〻也瑟蘇曩漠蘇都(合二)帝

尊形
胎藏圖曰。內肉色。右手持月形(或云寶珠)左手
持蓮花。上幢幡。坐赤蓮華
地藏經曰。是地藏菩薩作沙門像
地藏儀軌曰。次說畫像。作聲聞形像。著袈
裟端覆左肩。左手持盈華形。右手施無畏。
令坐蓮花。復作居坐大士像。頂著天冠著
袈裟。左手持蓮花葉。右手如前。令安坐九
品蓮臺
祕藏記云。白肉色。左手持蓮華。上有幢幡。
右手持寶珠云〻
八大曼陀羅經云。地藏菩薩。頭冠瓔珞。面
貌熈怡寂靜。愍念一切有情。左手安臍下
拓鉢。右手覆合掌向下。大指捻頭指。作安

慰一切有情相
理界記云。地藏菩薩。釋云。是菩薩色如鉢
孕畢花色。此間粟穀之色。華房亦如穀穗
甚香。手執蓮花。以爲三昧耶。以金銀頗胝
水精四寶爲蓮花。坐。菩薩坐上。如在胎藏。
故云處於腅胎也。此菩薩持寶王心地中
性起功德無邊寶藏也
陀羅尼集經第六云。地藏菩薩法身印呪。
仰兩手。二頭指二無名指各相鉤右押左。
二大指各屈在掌中。以二中指各屈押二
大指甲上。二小指又各屈在掌中。大指來
去呪曰
唵一波羅二合末平音馱儞二莎訶
又地藏菩薩印。合兩腕。二大指直豎。屈二
頭指押二大指頭。二中指直豎。以二無名
指各祕於中指背上。二小指開直豎
儀軌云
次說身印。二羽三補吒。戒方內掌來去。呪
曰
唵炎摩智利莎訶
次說普供印。二羽三補吒。禪智立來去。呪
曰
唵布惹摩尼莎訶
次總印。二羽三補吒。進力來去。呪曰
唵羯只儞耶莎訶
次請印。二羽三補吒。進力來去
次發遣。以觀手禪進彌
又地藏菩薩○說呪曰
唵閻摩他閻摩儞俱苾〻〻三曼多莎訶

次說心呪
唵炎曼他者莎訶
次說心中心呪
唵砥鬩
胎藏地藏院
北方地藏尊。其坐極巧嚴。身處於腅胎。雜
寶莊嚴地。綺錯互相間。四寶爲蓮花。聖者
所安住。金剛不可壞。行境界三昧。及與大
名稱。無量諸眷屬。日光明菩薩。堅固心菩
薩。幷持地菩薩。寶手菩薩等。寶光明菩薩。
寶印手菩薩。不空見菩薩。除一切憂冥
地藏菩薩唵尾布羅囉縛迦引鉢
曩莫三曼多沒馱南引訶訶訶三因謂是三乘之因尾
娑摩曳希有一切有情常有我想稱〻煩惱哉念興言我想即除爲希有亦甚希有也
軌云。祕密內爲縛。舒散於火輪
青龍曰。祕密內爲縛。火輪堅散開。二空持
風側
對受記云。北方地藏尊印。海大德說以下。
第十會也是第二重北方中也文云。祕密內爲縛舒散
於火輪者。開散二大直立不相著之是名
旗印。此印如旗故。大和上記云。此印如儀
軌。唯二空並立也。意大德說同。海本說。權
僧正大和上說。眞珍兩和上說同。海本說
也。無大和上記說亦同云是旗印
寶處菩薩
軌云。又觀寶處尊。慧拳舒三輪。寶上三股
印
青軌云。又觀寶處尊。散慧散空風。寶上三
股印

對受記云。寶處菩薩印。海大德說。文云。慧
拳舒三輪。寶上三股印者。定拳按腰。慧拳
空風相捻。地水火三並開直立也。寶上三
股印者。手所執物。凡言作持花狀者。作此
印直立也。言作持珠狀者。作此印仰掌安
心上也。意大德說同但云古印三權僧正大和
尙說。惠和上說同。海說。珍和上說。文云。寶
上三股印者。以右持華印立於肩前。次微
屈地水火仰安心前。是持寶印相私云對受之時不屈
掌向外。
風上節作之別記云。定拳安腰。慧手開掌向外。
五輪直豎。而火空相撮作持花之勢。正僧
正說。慧拳空風相捻以空外押風側出餘輪散舒。當
心第二
青軌云。寶處菩薩羅怛曩二合加羅
曩○南引難二稱子保摩賀〻〻大中大寶處者如寶
生於大海中從寶處生故寶處也娑縛賀
寶手菩薩　亦云寶掌
軌云。寶掌於寶上。一股金剛印。慧拳舒水
輪
經云。慧手舒水
疏云。右手作拳。以空壓諸指。直水立也
玄法云。寶掌於寶上。一股金剛印。慧拳舒
風輪
對受記云。寶手菩薩印。海大德說。亦名寶
掌菩薩。文云。慧拳舒水輪者。定手同前。慧
手以空押地水風中上。直立水輪向外。是
名獨股金剛印。意大德說同。權僧正大和
尙說。惠和上說同。海說也。珍和上說。以地
水風握空。指直立火。別記云。定手同前。慧

擧水直立。以空押三輪。正僧正說同海說也(第三)

青軌云。寶手菩薩眞言(羅怛曩二合播捉寶從手出言聖者從寶而生從)(何寶而生謂從菩提心寶而生)

曩○南(引)杉(種子)曬怛怒(二合)嗢婆縛(二合)娑嚩(二合)賀

持地菩薩

軌云。持地右寶上二手金剛印

經云。以定慧手作反相叉合掌。定手空輪。慧手地輪相交○餘如拔折羅狀

對受記云。持地菩薩印。海大德說。文云二手金剛印者。前持地印。金剛部三昧耶印也。當心三鈷。文云持地右寶上者。謂地藏右邊也。大和上記云。持地右寶上二手金剛印者。右謂尊右邊也。寶上謂標誌也。金剛印謂金剛部三昧耶印也(私云二手背又地空相鉤)意大德說同海本說。權僧正大和上說。惠珍爾和上說同海本說(但無大師記說)別記云。前持地印是也。正僧正說同金剛部三昧耶印。當膝三上下

青軌云。持地菩薩眞言曰。馱羅捉馱囉背

曩莫○南(引)喩(種子)達羅尼(尼仁反地也以地能持一切物故以爲名)達羅(持也諸佛荷負衆生故名持也亦合衆生同得此也)娑縛(二合)賀

寶印手菩薩

軌云。寶印手。寶上五股金剛印(此印可問之)

經云。如前作五古金剛戟形

疏云內縛

對受記云。寶印手菩薩印。海大德說。文云五股金剛印者。用外縛五股印也。意大德說。同權僧正大和上說。惠珍爾和上說同海說也。別記亦同。正僧正說同海說也

青軌云。寶印手菩薩眞言曰(羅怛曩二合識捺羅二合賀薩多)

曩○南(引)含(種子)曬怛曩寶(二合)儞(入)利爾多(諸生)

(佛寶生)娑縛(二合)賀(引)

堅固意菩薩

軌云。堅固意。右寶羯磨金剛印。前印諸輪合

青軌云。堅固意。右寶羯磨金剛印。定慧蓮花合。並空微拳開

對受記云。堅固意菩薩印。海大德說。結前五股印。唯以風改著二火背上。文云諸輪合者。二地二空各合。總如三股。卽三股印也。意大德說同(但云蓮合又云空付風捩是羯磨金剛印)權僧正大和上說。惠和上說。此印與軌少異。今案諸輪合者。謂不改離諸輪端。又說。堅實合掌。不離各合之輪。一〻合之開立也。珍和上說。合掌二大少開。二空大散開之。別記云堅實合掌。五輪不相離。而指間齊分如輪相

青軌云。堅固意菩薩眞言曰

曩莫○南(引)皺(種子)嚩日羅(二合)三婆縛(但哩二合茶地也二合捨也)(從金剛不)

(堅智印而生故以爲名也)娑嚩賀

私云。今儀軌中列九菩薩。地藏一日光明 二 堅固心 三 持地 四 寶手 五 寶光明 六 寶印手 七 不空見 八 除一切憂冥 九 印相眞言唯說六種。地藏一寶處二寶手 三 持地 四 寶印手 五 堅固心 六 無印明尊可用通法(已上對受記文)

私撿佛眼曼荼羅八大菩薩

爾時地藏菩薩現作無能勝金剛明王。遍身黃色放大光明。右手作撥印說眞言曰

唵戶魯〻〻賛拏禮摩蹬耆娑縛(二合)賀

地藏 唵 內縛二火直竪不相著

瑜祇經疏曰。金剛部虛空庫菩薩現無能勝(虛空庫印成人用業菩薩印)

已上成菩提集

同名地藏有何所以耶

理界記云。釋云。住金剛不壞行境界三昧者。猶如金剛地輪極堅固不可壞故。能持萬物使不傾動。又如大地出生種〻珍寶物。伏藏無有窮盡。含藏一切種子。今此三昧亦如是。能持法界衆生善根種子。經無量億劫終不敗亡。出生寶性功德無有窮盡。眞言訶訶訶謂三因也。謂聲聞緣覺菩薩因也。此中諸眞言皆自說本尊之德行。此總持地藏菩薩之德也。蘇多弩謂妙見身也。由身極淨故名妙身。卽法身也

又云(此者曰已下之文恐可在虛空藏菩薩之下歟)。爾時復有五百丈夫。被賊欲害○時彼諸人以恐怖故。皆共一心異口同聲作如是言。南無大虛空藏菩薩。作是語時。虛空藏菩薩化五百人。從虛空下住彼人前。告諸賊言。是等貧道何用害爲。寧殺我等。令當與汝衣服瓔珞所須之物令無所乏。勿斷彼命。時諸賊卽殺化人。其五百人咸離怖畏。泰然安隱。皆共往詣大虛空藏菩薩之所。恭敬合掌禮足。作如是言。我等今者皆從大師得全性命。故來頂禮云〻

臨終利益

大集經云若有衆生聞虛空藏菩薩名號圖繪形像而供養者其人所生之處火不能燒水不能溺兵刄不害毒不能傷人與非人無能侵害終不横死王事不加不犯根本重罪無有疾病亦不饑死命欲終時乃至眼不見色耳不聞聲○猶有微細出入氣息身小識在乃至最後微識爾時虛空藏菩薩卽爲現身若此衆生先事梵天現梵天像○乃至毘沙門王隨其所事於彼人前示現其身而說偈言如是曰聖諦智慧者所見以知於生死能度諸有海時彼衆生心於意識中知此法已皆生善處若有衆生信敬佛者卽現佛身而說偈言佛正智清淨能度說有海速得證初地遠離一切苦爾時衆生聞說是語思惟佛功德故命終之後所往生處國土清淨無有五濁而見諸佛現在說法念法念僧亦復如是云云

彌勒菩薩

梵號 阿利也(二合)昧怛隸(二合)野

密號 迅疾金剛

種子 [悉曇]瑜(八葉院) [悉曇]遏字(儀軌)或[悉曇]

三昧耶形 蓮上迅疾印(八葉院) 塔(儀軌)

印眞言

慈氏軌上云(菩提無譯)法界手印交叉二地水輪於掌中以二風輪各在火輪背令頭著火輪甲下以二大空堅捻二火輪上節文其二火輪相離一寸半許開二空輪來去卽成慈氏菩薩法身印以地水二輪相叉屈入掌中開二火輪豎二風輪相背屈二空輪雙押火中文火開一寸半許風幢來去慈氏菩薩根本眞言曰

納粘(引)喇怛曩(二合)怛羅(二合)夜(引)耶(一)納莫婀哩(二合)也誐盧(引)吉底灑誐(二合)邏(引上)耶(二)母(引)地薩埵誐(二合)耶(三)莾賀薩怛誐(二合)(引)耶莾賀迦(上)嚩(引)覩迦(引上)耶(五)怛涅他(六)郞箭(二合)妹怛利(七)(二合)妹怛羅(二合)莾曩洗(八)妹怛羅(二合)穆婆(上)颰(九)妹怛嚩(二合)納婆(二合)(上)颰(十)莾賀穆莾薩誐(二合)賀

上件眞言同兩印用之以眞言印加持本尊五支及愈識者五支卽成法身然後入大慈生心三昧耶眞言印卽是本尊之體次觀本尊慈氏菩薩住發生普遍大悲三昧耶眞言曰

納莾穆滿多勃馱(引)喃(一)遏餽單(上)舵耶(二)薩羅誐(二合)薩怛誐(二合引)捨也紓薩多(三)薩誐(二合引)賀(四)

其手印相以智定二手虛心合掌以二風輪屈在二火輪下餘如依舊以印加持五支卽成慈氏菩薩眞身以印々本尊及愈識者五處

大日經普通藏品云時彌勒菩薩住發生普遍大慈三昧說自身眞言曰

南磨三曼多勃馱南(一)阿爾單若耶(二)薩婆薩埵(引)阿捨耶紓蘗多(三)莎訶

釋云經時彌勒(乃至)自身眞言者如前普賢菩薩遍一切如來境界出生無盡莊嚴今亦如是遍一切如來境界而起大慈隨種々衆生性欲施與正法之樂雖於一法門而得自在其實具足一切法界門如其自所通達演說心要故曰眞言心也阿爾單惹耶譯云無能勝卽是瑜伽宗中彌勒菩薩異名也就彼經義以於種々金剛事業無不究其微妙故曰無能勝者今此眞言以阿字爲體以知一切諸法本來不生但從緣起故雖復生死流轉不出於如乘此如々遍一切衆生起成正等覺是故名曰無能勝者次句轉釋無能勝用緣薩婆薩埵是一切衆生阿捨耶是心性紓蘗多是至義知義遊義了知一切衆生心性而隨順之也謂明見一切播々緣又知種々工技故能普遍諸趣如其性欲而充滿之所以名爲普遍大慈三昧又彌勒正音昧底哩(二合)曳此云慈氏此名號卽是眞言以最初昧字爲種子昧是心意亦是大空又加三昧聲言自證此心卽是大空三昧具含萬像故則能遍大慈若有衆生能修此字門者卽同慈氏菩薩也阿闍梨言若就本名以底哩(二合)字爲種子可謂實相無垢翳慈也

靑龍軌云慈氏菩薩眞言曰(住發生普遍大慈三昧也印同)

(諸佛奉觀婆也)鑁莫三曼多沒馱南阿(體)爾單(古云阿逸多其義無勝一切愛見煩惱及二乘等無有能勝)惹耶(得勝於無勝中得勝)薩縛薩怛縛(二合一切衆生)奢耶(性心性也謂先世所習諸根性欲也)紓蘗多(知也)

能了知衆生諸根性欲娑縛合二賀
八大曼荼羅經不空譯 次說慈氏菩薩密言
曰
每訶哩爾娑縛訶
想彌勒菩薩金色身。左手執軍持。右手施
無畏。冠中有率覩波。半跏座
大日經云。虛心合掌。以二風輪屈二火輪
疏云。三補吒屈二風輪至火指根下。二空
並壓之
海說云。虛合二風切屈第二節。相對一寸
許。二空直並立之。竪二風間令風一列
大師記云。二風屈令至二火根下。二空並
竪捻二風上
曩○沒○一引阿爾單惹野二薩縛薩怛縛
合二奢野野數多三娑縛合二賀
讃歎
軌云。迦上莽攞慕佉上迦上莽羅麽引左曩上合二
二迦上莽羅引薩合曩迦上莽攞訶薩路迦上合二
迦莽攞引婆許上二合莫顆迦上莽攞迦上合二
莽攞攞婆上超薩迦上攞莽攞訖灑引二合
攞納結斯覩合二底
私云。師云云〻
或人云。依別行儀軌出之。又依兩界可修
之云〻
私云。五輪上觀曼荼羅。又淸□舉天本
尊等更撿本軌
尊形曼荼羅相何
其疊像取白疊布絹等。隨意大小。亦不得
還債中心疊圓明。就大圓明中更分爲井。

中心五圓四隅畫四半月。圓明中間用十
二金剛界道。一如常法。每金剛頭上安率
覩合二波法界印。中心置本尊慈氏菩薩。首
戴五如來冠。左手持上云紅蓮花於花上
置法界塔印。右手作說法印上云大母指押火輪甲上餘指
散舒微屈風輪結加趺坐。於本尊右圓明中畫事
業波羅蜜多菩薩。左圓明中畫七寶波羅
蜜多菩薩。前圓明中畫法波羅蜜多菩薩。
後圓明中畫金剛波羅蜜。東北隅半月中
畫花波羅蜜多菩薩。東南隅半月畫燈〻
〻〻。西南隅半月中畫塗香〻〻〻〻西北
隅半月中畫燒香〻〻〻。又大圓明下右
邊畫降三世明王。半月輪曼拏攞〻云〻○左
邊畫三角形曼荼羅。於中畫不動尊〻云〻又
兩明王中間畫香爐寶子。右三世明王下
畫圓明。於中置修愈識者。蹦跪手執香爐。
於大圓明上畫七寶傘蓋。兩邊各畫三箇
首陀會童子。半身滿五色雲中。以香華燈
塗瓶花枝等散於佛上 說多曼荼羅檢
之
胎藏圖云。肉色。左手掌當胸向外。右手持
蓮花。上安軍持。冠中有舉覩婆
軌云。黃金色
祕藏記云。慈氏菩薩白肉色。右手執蓮華。
上在鐸持瓶
白蓮花經云。○身相赤肉色。左定紫蓮花。
其上有鐸持。右慧按摩膝。跏趺右押左〻云」
大妙金剛大甘露軍拏禮焰鬘熾盛佛頂
經云。爾時慈氏菩薩現作大輪金剛明王。

遍身黃金放大光明。右手持八輪金剛輪。
左手拄一獨股金剛杵。說是六字心眞言
曰
唵縛日羅合二左訖羅合二吽
瑜祇經疏云。有五部忿怒使者。佛部轉法
輪菩薩現金剛輪
圖。彌勒菩薩大輪明王
儀軌上云取意 先淨法界覽 次金剛輪方
次水輪圓 次火輪三角 次風輪半月 次
虛空輪五輪形 次普通眞言。以定慧日月
安置眼界遍觀照十方 次覽字觀燒除垢罪
攘地穢惡 次虛空輪 次風輪 次火輪
次水輪 次金輪 次普通眞言及印加
持地上。卽成眞寶金剛輪。又觀愈識海會
聖衆。曼荼羅圖形如左。觀五輪及曼陀羅
海會已。便誦普通眞言。以普通印合金加持
地。成眞實金剛輪。大愈識曼荼羅海會。若
以此印加持身。卽成金剛不壞之身 次
略觀慈氏菩薩〻云 次三昧耶印眞言
次降三世印眞言持誦之處遣除穢惡及爲障者凡獻供具辟除淸淨結諸方界
護身及件幷住處等以定手印攘於心上以智手印能辨說事 次驚覺本尊諸尊四智四波
羅蜜多從三昧耶起感念勤苦憶昔本願降赴道場 次發請本尊想本尊在覩史
多天宮珊瑚天上普現色身三昧起從珊瑚殿上白階道場降臨 次請本尊印
眞言 次請入道場 次請住 次堅固
印眞言 次灌沐本尊及已身 次供養
水陸所生香花等各以本眞言加持奉獻 次燒香 次妙華 次
寶燈 次塗香金剛印眞言 次八方使歸依出罪隨喜
勸請菩提心讚歎發願運心供養 次普供養撿字 次本尊印
眞言如上 次執數珠。兩手當心。執珠念誦

觀本尊心上圓明中布列本尊眞言字。一〻分明皆放火光。逐日轉之如下圖。觀過字變成法界塔。在於圓明中。又轉變塔成慈氏本尊身。即此尊身即是愈識者身。是故三密轉成三身故。以身置心。以心觀心。如實知自心。即是母地心。初發心時便成正覺。此心發時便成普現色身三昧耶身。如是住心安布字輪。〻轉字輪了〻分明。從愈識口出一〻眞言字。安布本尊心圓明中。從本尊心圓明中流出眞言字。入愈識者頂上遍諸毛孔。流出甘露乳光三昧。即此三昧變成大圓明。修愈識者在其中心。如是觀之爲限。先觀圓明中心過字名種子。即是本尊身。然後誦眞言。或觀己身即是本尊坐於大圓明內。自身上復置圓明。如上安布眞言。輪轉漸〻廣大。遍周法界爲一體性。從愈識者心圓明中流出過字。入本尊心圓明上。從本尊心圓明上流出過字。入愈識者心中。如是漸〻澄濾即同一體。一〻字皆成諸戒定慧解脫三昧耶形像。又本尊心圓明上過字變成本尊身。觀修愈識者頂上。又修愈識者心圓明上過字變成修愈識者身。觀本尊頂上。如是展轉周遍法界。成無盡法界普現色身三昧耶身。以眞言輪安布輪轉至於乏極。常作如是觀。若念誦欲畢漸〻小。復還本尊以眞言印加持五支。然後復從初供養香華○然後隨意本尊依前運想七寶牕道。從道場所出於覩史多宮善法堂珊瑚殿上。以車輅奉送慈氏菩薩并諸眷屬○奉送本尊眞言云〻。其解界送本尊印者。以智定二手相叉作金剛拳。向頂上解散。是名能所結界解之。亦能成辨發遣奉送本尊等。隨意送本尊已。重更結護道場。兼護己身印。又略觀己身爲本尊身。於大圓明中而坐。復觀自心圓明中過字無生之義。若乏困。然後任出道場作諸事業。以木印塔印沙印水等。或浴洗像接人事轉讀三乘味怛羅合二也經及慈氏本願經○乃至本尊法等云〻

文殊〻〻經云。彌勒菩薩呪

曩謨阿引哩也合二昧怛哩合二夜野冐地娑怛縛野怛儞也他昧怛哩合二昧哩〻〻捺羅摩曩細娑縛賀

淨名大士　維摩詰菩薩

梵號　毘摩羅詰底

密號

種子　普 或 尾

三昧耶形

印眞言

金剛合掌。眞言

曩莫○沒馱南迦薩縛他尾麼底尾枳羅儜遂羅摩馱睹湼佐多 五 三〻訶娑縛賀

大元儀軌云。觀世音等諸菩薩印。兩腕相拄。二大指著並。二小指亦然。餘指散小曲竪如摘蓮花。頭指上來下去。呪曰

唵毘是底 二 毘劍鋻 三 速帝盧迦 四 毘闍曳 五 莎訶

或經云。維摩詰眞言

莫曩阿引哩也二引合尾摩攞吉引多曳冐地娑怛縛野怛儞也合二他吉引底路薩嚩爾乃嚩底吉引底路嚩爾乃縛日羅迦嚩隸縛日羅三娑大縛日羅陛娜迦隸娑縛合二訶

讚　菩薩通讚也

迦麼攞日佉迦摩攞路引左攞摩攞娑那迦麼攞迦娑路迦麼攞娑母儞迦麼攞〻〻三婆縛娑迦羅麼攞乞叉合二攞襄麼悉帝

身形

或人云

藥王菩薩

梵號

種子　鞞字

三昧耶形　或人云。蓮葉

或人云。阿迦陀藥

印　或人云。普印

眞言

曩莫三曼多沒馱南訖叉孥多羅闍劍娑縛賀 出或之人

又或人云

唵鞞逝捺嚩莅耶娑呵 出或之人

讚　菩薩通讚也

身形

白蓮華經云。第三藥王菩薩。頂上妙寶冠。紺髮垂耳側。身相朝日色。左定拳著膝。右慧雲上日。跏趺右押左。大悲救世相。身被妙花鬘。天衣及瓔珞。纓釧爲臂玉。細綿以腰中。赤綟爲妙裳。莊嚴相好身。身光遍暉曜。寶蓮以爲座。安住月輪海

持世菩薩

梵號

種子 [illegible] 馱。普云。或□

三昧耶形　頗羅菓 此云大石榴

印

經云。以無名指捻大指上節文。又以大指押無名指甲上。兩手亦然。相合腕。兩小指又博著中指中節背。二中指頭相拄。並二大指二頭直竪。即是眞言曰

唵 引 伐素馱 上 唎 上 娑嚩呵 此名根本呪

心眞言

唵室里 二合 伐素莎呵

心中眞言

唵婆蘇莎呵

或人集云。樓閣中有八葉大蓮華臺。〻上有月輪。〻有馱字。〻變成頗羅菓 此云大石榴 〻〻變成持世菩薩。其像身容青色黃色。坐蓮花座上結跏趺坐。身作種〻瓔珞。頭冠環釧種〻莊嚴。於右手中執頗羅菓。左手當行施無畏手。其像面當作微咲之容

讚　菩薩通讚

印如上。眞言等如上

持世陀羅尼經云

馬鳴菩薩

梵號　阿濕矩沙

種子 [illegible] 迦字

三昧耶形

印

馬鳴儀軌云。屈左中指無名指。以大母指押彼二指甲。舒頭指及小指安心上。左手把數珠。念眞言。此名玉環成就一切所願

印

別本軌云。十指交絞。右押左。腕相離。以印〻五處云〻眞言

曩〇娜迦馬鳴乞里吒佉〻〻毘多羅儞莎呵

別本軌云。曩〇南迦縛日羅 二合 嚩多曩吽

馬鳴紇里 二合 莎呵

讚

馬鳴菩薩。分形大千。化爲蠶室。口吐絲綿。巡千世界。普智在光。供養感應。移祖無邊

或用菩薩通讚

或人集云。樓閣中有八葉蓮花。〻〻上有月輪。〻中[illegible]字。〻變成線句形。〻變成馬鳴菩薩。色相白肉色。而合掌坐白蓮花。乘白馬。著白衣。以瓔珞莊嚴身首。戴花冠。垂右足 檢六臂各持標物別本軌云其形六臂又二臂

讚。印眞言等如上

或人集。馬鳴菩薩本緣并印眞言

南宋傳師資別錄云。阿濕矩沙菩薩 譯曰馬鳴 東天竺葉岐國人婆羅門種也。智周萬物道播三乘。高才絕倫。辯慧通敏。決擇弘暢無所不轉。一切外論。莫不傾覆。三藏祕語盛悉達朗。須宣法教。高建勝幡。巧妙辯機別備弘廣

摩訶摩耶經云。佛滅度六百歲已。九十六種外道。邪見興盛。毀滅正法。有一比丘。名曰馬鳴。善說法要。降伏一切外道邪論。建法正幢云〻廣如傳。可見之

慈恩傳云。東有馬鳴。南有提婆。西有龍猛。北有童壽。前後間出號爲四日。能照有情。或云〻

婆沙第一云。佛去世後四百年間。有迦膩瑟伽王。此名抯五印度。時馬鳴菩薩位有地前。善化彼王令信佛法。彼王曰。別請□羅供入宮諸法種〻不同。五大驚怪云〻

寶林傳云。昔南天竺之境有一馬國。人皆生毛。蠶悉如馬鳴。菩薩勇作蠶出彼國。自口出糸。令人依衣。馬人歡化悉爲悲鳴。故名馬鳴

大佛頂如來放光悉怛鉢怛羅經諸菩薩萬行品云 出無提 喚馬鳴菩薩印眞言。喚馬鳴菩薩時。須向日。噓口含水。向日㖂之。誦

仰印

唵薩婆毘耶忿流〻〻頭豆〻〻〻〻〻〻咄力〻〻〻〻〻莎呵

以左右二手十指相叉。合掌當心。誦七遍頂禮菩薩。求聽明。若每日作此印供養菩

薩滅愚癡罪惡云々
已上有人集也
龍樹菩薩
梵號　那伽阿羅樹那
種子　或人云曩字
三昧耶形　或人云梵篋
印　金剛合掌
真言　師云可用通呪
讚　偺讚
穆訖枕穆訖底播他鉢羅跛耽試乞灑野
素弭野縛娑體耽乞灑怛攞尾始瑟鵮獄
擊刎曩謎偺健左婆縛路
或人集云樓閣中有草座々上有曩字々
變成梵篋々々變成龍樹菩薩作聲聞像著
袈裟衣
或人傳書一通（此書文多可尋見之）已上大原
（更可問明師非從師傳受）
龍樹文殊等口傳一事
傳行婆羅門僧正
虛心合掌屈二風相捻二空端即成誦真
言
阿阿欠
比是過去諸佛勸請又登應身如來因位
而間滿檀波羅蜜尸羅波羅蜜
次不破前印二風端著合空持二末豆許
相去即成可誦真言
吽噁噁
此是成現在諸佛勸請又登化身如來之
因位而間滿羼提波羅蜜毘梨耶波羅蜜
次不破前印開二風指末小許屈即成可
誦真言
唵唅唅
此是未來諸佛勸請又登法身如來之因
位而間滿禪波羅蜜般若波羅蜜
已上大心抄出之
或人云龍樹菩薩印真言等
梵號南莫阿利野曩識阿羅成那冐地薩
埵摩訶薩埵種子三昧耶形印未得尋之
今且用諸尊印即印也真言曰
曩莫三曼多沒馱南佉多吽々々々
又呪曰
唵縛日羅（二合）婆灑藍々々々
傳授人努々々
私云已上慮外得之真偽難知
或人集龍樹菩薩本緣并印真言
南宗傳受法師資別錄上卷云那伽揭賴
樹菩薩（唐譯曰龍猛秦譯曰龍樹）南天竺梵志種也天聰
奇悟事不再問以妙功德用自莊嚴建立
勝幢具如彼傳
摩訶摩耶經云我滅度後百年中有一比
丘名曰龍樹善說法要滅邪見幢燃正法
炬云々
楞伽經云於我滅度後南天竺大國有大
德沙門名龍樹菩薩住初歡喜地為人說
大乘能破有無見往生安樂國云々
悉曇章第一云釋迦滅後七百年中龍樹
入海探得大乘而中天竺兼用龍宮之文
云々
龍樹傳云南天竺國王甚大邪見宗事外
道毀謗正法龍樹為化彼故躬持赤旛在
王前行經歷七年王始怪問曰汝何人答
曰我是一切智人也王大驚問一切智人
甚為奇有汝自言是何以所驗答曰王欲
知者宜當見問說之可知王念我為智主
問之能屈未足為奇脫不如彼所損甚多
默然無言亦復非理想惟良久俯仰問曰
諸天今者為何所作答曰今者正與阿修
羅戰王聞此已歎非其言無以為驗欲納
彼說事又難明龍樹曰此非虛論須臾間
當驗言訖宮中刀劍長戟短斧相繼而落
王曰此雖戰器何必是天修羅也龍樹曰
當驗以實言已修羅耳鼻於空下王始驚
悟受其道化時萬波羅門見其神德欲未
會有而就出家時諸外道悉來雲集求攝
言辯龍樹以大智慧廣共論義其愚短者
一言便屈小有聰慧極至三日辭理俱遣
悉求出家如是所度修竟一月王家日送
十車衣盋學出家却盡出然舉傳
大佛頂如來放光悉怛鉢怛羅經諸菩薩
萬行品云（提出無）喚龍樹菩薩印呪曰
唵薩婆濕婆提涉訶
以左手掌仰向右手腕上右手掌覆二掌
背相背如蛇口若人遇毒龍蛇傷作此印
向之
放光菩薩記

梁朝漢抄德陽縣善寂寺東廊壁上張繇
繇。畫地藏菩薩觀世音菩薩各一軀。狀若
僧貌。劍披而坐。時麟禮異光煥發。至麟德
元年寺僧瞻敎歎異於常。是以將絹就壁
上摸寫。散將供養發光無異。時人展轉寫
者甚衆。至麟德三年王紀赴任資州刺史。
當以摸寫精誠供養。同行船有十隻。忽遇
惡風頓起。九隻船沒溺遭此波濤。唯王紀
船更無恐怖。將知菩薩弘大慈悲有如是
之力焉。至垂拱二年天后聞之。勅令畫人
摸寫。光發如前。於內道場供養。至大曆元
年寶壽寺大德於道場中見光異相。寫表
聞奏。帝乃虔心頂禮讚歎其菩薩。現時圖
當安泰。後有商人妻姙娠。得二十八月不
產。忽覩光明。便卽摸寫一心發願於菩薩。
當夜便卽生下一男。相好端嚴見者歡喜」
水月觀音讚

嘉保四年 丁丑 孟夏之頃。於室町御房
書寫之畢。比叡山寶幢院沙門永範爲
結緣有祕敎習學之志。自門他門之先
德私記抄物所聞□聞求披見之爲貴
師資之道。先師大和尙所撰集之成菩
提集。徒然住京之間。於僧都御房京御
房申出於御筆之本書披閱之。其次炎
天拭汗書寫之畢。但御筆之本書未被
治定。仍要文等之次第粗似有前後違
亂。愚見所及所々書付之。頗與本書多
有異。又私要事等加入之。又餘人私記
書副之。縱渭濫玉石相雜。是不望他見。
只爲一身之□要也。但事初文首以朱
著三點者。是偏先師□御草也。著一點
者。私見追入之。遮外有見此書。倫者察
此旨。敢勿令混濫。努力々々
成菩提集本書五十卷也。今私粽於四
帖。後人知之

永曆元年十月二十日。於堀川御壇所
爲弘法利生書之　慶源
願以書寫力　必至等覺位

天明八申十月二十四日。以西谷藏於
南谷吉祥院室中寫。寫誤不鮮。請後來
君子以全本訂釐
大僧都遍照金剛　實鑁 押花

成菩提集第三

運實坊永範類聚

金剛部

不動一　四臂不動　俱哩迦　藥廁尼
蓮花吉祥女　蘷尼滿願　降三世二
軍荼利三　大威德四　金剛夜叉五
金剛部母六　犛莫雞步擲七　大輪八
無能勝九　烏瑟澁摩十　金剛童子十一
孔雀明王二十　愛染王三十　大元明王四十

不動

梵號　阿利也 合二 遮羅曩駄
密號　常住金剛。慈護々々
種子　[illegible]　憾鈐
安然和尙出胎藏諸尊種子只出憾
字。諸會不同中出憾鈐二字。大僧正
唅字
三昧耶形　劍
安然出之。師說同之。大僧正同之
神日上綱次第以劍索爲三昧耶形
疏釋眞言云。唅 平反 鑁 無反 卄用後二字爲種
子。諸句義皆成就此也
底里々々々唅鈐
又云。唅字訶是行義。又有阿聲。是怖魔障
金剛三昧也。點卽大空也。以此大空不動
之行大怖一切魔障也。鑁字嚩是我義。入
阿字門卽無我也。又以此大空無我三昧

而怖衆魔以此字亦有阿聲反點也

裏書

印

立印儀軌出十四印初印云（覺空法禪出之）二羽內相叉輪〻各如環二空住水側火峯住空面二風和合竪

使者軌云次作根本心印兩手合掌使內相叉令十指頭並入掌內直申二頭指相拄二大母指勾取二無名指甲

底哩三摩耶軌云無動金剛三昧耶印（亦名根本身印）六度和合內相叉直舒進力頭相拄智度屈捻方便背禪捻戒背亦如是（又云中下）（指以下並向內相叉便爲鈎二頭指側相拄二大指各捻無名指甲）

密印品云以三昧手爲拳舒火風輪而以虛空加地水輪上其智慧手中風火輪入三昧掌中亦以虛空加地水輪上如在刀鞘是不動尊印（安然和尚諸會不同出之）

使者軌云海螽印以左手中指以下三指握右手中指已下三指各以當手大指捻無明指相捉訖直竪右手頭指屈左手頭指捻右手頭指第二節文安口上誦根本呪（結界身用之）次作身印（亦名甲印）合二手以二頭指二無名指入掌內相叉直竪二大母指二中指二小指相合如三古金剛杵形

眞言（出[illegible]品注依[illegible]也）

南麼三曼多伐折羅赦二戰荼（極惡也所謂暴惡之中又是甚暴惡也）摩訶盧灑傳（大忿怒也）薩破吒耶（破壞也）吽（恐怖也）怛羅（二合）吒（堅固也）悍（引）鑁（引）（無種子廿反）

覺空闍梨云東寺及覺大師皆用慈救呪

使者軌名總慈救呪

玄法軌云

曩莫薩縛怛他（引）蘖（引）帝毘藥（二合）薩縛目契毘藥（二合）薩縛他怛羅（二合）吒贊拏摩賀路灑拏欠佉（引）呬佉（引）呬薩縛尾覲南二吽怛羅（二合）吒憾鈐（立印軌出之安然和尚出中二眞言）

底哩三昧耶軌大摧障聖者不動明王威怒明曰

曩莫三曼茶縛日羅（二合）赧（歸命普遍忿怒金剛王）怛羅（二合）吒（殘害破障也）阿謨伽戰拏（不空威忿怒極惡之中極也示形狀暴惡）（無有過者乃至噉食一切世間諸障令無有餘惡中之惡也極樂之中而更忿怒暴惡甚也）摩訶路灑傳（此是大怒）娑頗（二合）吒野（破壞也）吽（恐怖也）怛羅（二合）麼野（堅固也）吽怛羅吒唅鈐（種子也）

立印軌名不空聖者無動威怒眞言但羅麼也〻〻〻〻吽怛羅吒使者軌名心印怛吽怛羅麼耶〻〻〻〻吽怛羅吒〻〻〻〻鈐忙

立印軌一字心眞言

曩莫三滿多縛日囉（二合）赧憾

使者軌云

那謨三曼陀縛日羅（二合）喃吽尾迦吒波乞嘌（二合）多尾羯羅（二合）邏二摩訶閉利多（三二合）毘瑟佗契註吒瑟吒訶羅四按怛羅摩羅達羅五折覩嚕木佉六濕縛羅（二合）那羅迦七（二合）比嚕鵲路持縛計舍吽泮八伐折羅〻〻〻尾羯羅（二合）吽泮娑縛（二合）訶

讚

底哩三昧耶軌讚歎明曰（經同之）

曩麼薩婆母馱菩地薩埵縛（二合）南薩婆怛洛（二合）俳句素彌多鼻根惹（二合）羅始吠那讃素都帝莎縛（二合）賀

十四根本印

大僧正次第出十四印師說依之但私加他文

第一根本印

立印軌云二羽內相叉輪〻各如環二空住水側火峯住空面二風和合竪（今軌不云印名）

底哩三昧耶經云以二中指以下向內相叉便爲鉤二頭指側相拄二大指各捻無名指甲上（但根本印）

同軌云六度和合內相叉直竪進力頭相跓智度屈捻方便背禪捻戒背亦如是（亦名根本印又云加持身堅固住可思之）

私問立印軌與底哩三昧耶軌印相同異如何

使者軌云次作根本心印兩手合掌使內相叉令十指頭並入掌中訖直申二頭指相拄二大母指勾取二無名指甲

南麼三曼多伐折羅南怛羅吒阿慕伽戰荼摩訶嚧灑那拏駄吒耶吽怛羅摩耶〻〻〻吽怛羅吒鈐忙（加持殘食呪也私云依師出此異言已下亦爾也但大僧正那云用一字明又用不空羂者明但使者軌此印出今呪）

第二寶山印

軌云定慧內相叉二空入滿月（大僧正云以印下散想身坐寶山）

底哩三昧耶經云以十指內相叉合結爲拳

同軌云金剛堅固內相叉

使者軌云。兩手十指向內相叉。急握爲拳」
曩謨三曼陀縛日羅二合赧憾 大僧正出此眞言
第三頭印
軌云。以二金剛拳。定置慧拳上。名頭祕密
印。以印而置於頭 大僧正云。師說云。若拳置上用一字明
底哩三昧耶經云。左手四指握大指爲拳
置頭上
同軌云。禪度入掌把爲拳
使者軌云。右手大母指屈入掌中。四握爲
拳 用前明
私云。底哩三摩耶等此次明髮印
底哩三昧耶軌云。戒方壇慧內相叉。忍
願竪合。進力附。禪智二度皆相著。屈入
戒方相叉內。亦與二無名面相著。舉印
置安左髻中
經云。二無名指面內相叉。便結爲拳。竪
二中指頭側相拄。二頭指各捻中指甲
上。二大指屈上分入無名小指間。甲相
背合。卽是以印置頭左肩上。名左髮印」
使者軌云。卽此頭印。上申頭指中指相
並安左頂上。便引向下耳前下。名使者
一髻印 一本或髮
第四眼印
軌云。二羽內相叉。二空入滿月。風輪和合
竪。印眼及眉間。是名眼密印
底哩三昧耶經云。卽以此印 私云左髮印也 翻頭
向內倒垂置額上。名聖者眼印
同軌云。准前髮印。翻手倒垂至額前。卽無
動金剛眼

使者軌云。以右手無名小指握大母指頭。
直甲頭指中指。於額兩眉間垂頭指中指
向下漸向髮際。名不動使者天眼印。誦心
中呪々之
唵質路古婆嚩耶娑縛訶 師說依之。僧正用一字明
第五口印
軌云。地輪內相叉。水抑地叉間。二火並申
直。空各加水甲。二風加火甲。以印置於口」
底哩三昧耶經云。二小指向內相叉。以二
無名指握之。二中指側拄。二頭指各捻中
指甲。置口上
同軌云。壇慧二度內相叉。戒方雙抑內叉
上。忍願竪合。進力附禪捻戒背智捻方
使者軌云。二手相並。以二小指相叉屈二
無名指握小指第二節。以二大母指捻無
名指甲。二中指頭相拄。二頭指屈捻二中
指背第三節。從掌向上數第三也 一字明。大僧正同之」
第六心密印
軌云。二羽三補吒。風空如彈指
底哩三昧耶經云。以二小指無名指向內
相叉爲拳。二中指竪頭相拄。二頭指於中
指背後曲爲鉤。二大指並捻中指中節。卽
是
同軌云。戒方壇慧內相叉。忍願竪合屈進
力。禪智並捻忍願文
使者軌云。卽依口印。屈二頭指入二大母
指根。安心上。如獨鈷金剛杵形。名曰心印」
曩莫三滿多縛日羅二合南婀左羅迦拏賀
拏婆馱也吽發吒半音

私云。立印軌今眞言云。復次心眞言。用
金剛祕印。大僧正今眞言印云。觀空如
風。申三輪如金剛
第七甲印
軌云。復次三補吒。二火建如幢。風住火初
節。二水如寶形。二地及二空。各々而建立。
印心及兩肩喉位頂上散
私云。師說次第及神日上綱等次第皆名甲印。大僧正次第名喉印。今軌不出名。更問之
底哩三昧耶經云。合掌屈無名指頭指背
著。二大指二中指二小指合面擽開
同軌云。戒方入掌背相著。進力入掌亦如
是。六度竪合三鈷杵。開腕印身及頂上。加
持五處頂上散。是名金剛甲
使者軌云。以二頭指二無名指入掌內相
叉。直竪二大母指二中指二小指。相合如
三鈷金剛杵形。名爲甲印 師根本呪印五處。一字明
第八惡叉波
軌云。次作惡叉波。名師子奮迅。不改前祕
印。開竪慧風輪 私云。今軌二印可問明師
底哩三昧耶經云。次結師子奮迅印。卽五
鈷印。唯無名背合。卽作頻申舞勢
同軌云。准前無動金剛甲印。唯改進力頭
相拄。起立頻申似舞勢。遶壇行道辟除魔。
師子頻申大奮迅。是名五股金剛印 此印相云何」
使者軌云。如前甲印。申二頭指開直竪之。
身立如金剛勢。以印或左或右麾之。怒目
顰蹙吽聲誦師子呪曰
那麼三曼多末實羅南唵阿者羅迦那戰
拏婆馱耶吽泮

立印軌云
曩莫三滿多縛日羅二合南〻〻〻師說用之大僧
正一字明
第九火焰印
軌云以慧手空輪加於水火甲風豎跓定
掌旋成界方左轉名解散
底哩三昧耶經云左手大指屈上節押中
指已下三直豎頭拄右掌心右手散開五
指可尋
同軌云禪捻三度背爲拳力度獨舒指定
掌散開五度如猛炎私力度如何
使者軌云右手大母指押小指甲左手握
大母指作拳申頭指內右手掌中從右邊
繞頭上邊過向左猶如旋背光勢名曰光
焰印也
第十火焰輪心印或名遮火印或名制火焰印
軌云定慧各爲拳空出火風間二拳背相
合能制止諸火
底哩三昧耶經云次說制火焰印二手各
爲拳二大指於頭指間出頭拳相合
同軌云
使者軌云遮火印並二手各握大母指爲
拳屈二頭指入大指根內拳相向並之能
除一切火難
第十一商佉印
軌云定空加地水慧羽亦如之二火甲如
針觀風附火節止風開豎之或入云二火相跓側手腕而相著」
底哩三昧耶經云次說商佉印以二大指
各捻無名指小指兩相穿即豎二中指拄

左頭指直附中指背右頭屈捻中指上節
即是
同軌云二羽各如無動劍掌內鉤鎖狀猶
環忍願豎合頭相拄進與忍背重相著力
度願背亦如是是名無動法螺印師說一字明大僧正
同用一字明或用慈救呪
第十二劍印
軌云不動羯識印止空加地水火風並申
直是名三昧鞘慧手亦如之觀風火輪入
定空水地環輪面與月合即劍住定鞘揷
出辨諸事斷結辟護等使者軌印相同之
底哩三昧耶經云左手大指捻無名指小
指甲直舒頭中右手亦然以右手頭中二
指入左手中握以爲拳屈頭指捻大指如
環是也
同軌云願力並豎端慧方如鉤勢智度捻
如環定羽亦如是即以忍進劍穿入慧鞘
中是名無動劍云〻
曩莫三滿哆縛日羅二合引赦晻嚩左攞迦
引攣沒馱際吒迦吽〻佉嗢〻〻伊南上
紇哩下二合上囉怛曩鈴賀引攞賀攞尾沙
索入跛哆二合惡紇哩入引發吒半音阿哩夜二合
左攞蘗緒豎止羅引也徙伊南上迦引哩
養二合矩嚕娑縛二合訶引立印軌名羯佉眞言
第十三羂索印
軌云慧空加火水及地等三輪風建入定
月止地水火拳空風跓如環
底哩三昧耶軌云禪捻三度背爲拳進度
直豎觀羽握力度屈捻智如環

曩莫三滿多縛日羅南暗幡捻猛去惹曩
吽發吒半音呼
第十四三古金剛印
軌云觀空加風甲三輪如金剛
底哩三昧耶經云次結金剛杵印以右手
大指橫捻頭指甲上如環散開三指
曩莫三滿多縛日羅南吽尾訖哩二合哆尾
迦吒尾羯羅路羅特縛二合吽計捨吽縛日羅
二合訖囉二合吽發吒半音呼
別軌云諸印取本部中所愛樂明以加持
之必得成就
使者軌云已前諸結印每念誦時依次用
之口誦呪不停但持根本呪有功已後餘
呪印但誦結即用有驗更亦不須受持總
攝慈救不割呪曰
此呪出毘盧遮那經能攝諸印法云〻可思之
有人云十四印通用一字心眞言
身相
金剛手光明灌頂經說
次說無動尊　畫像儀作法
於袈裟上畫　聖者無動尊
左垂一索髮　左目而現眇
右手採銳劍　左手執羂索
安坐寶盤山　現叱吒暗鳴
作怖三界相　眞身遍靑色
上定袈裟畫　或赤或乾陀
褐色等繒綵　是名爲袈裟
使者軌同之但云身赤黃色又云首如
蓮葉形

私云同前畫像但前云坐寶盤山今云坐寶蓮華又行者同著赤色衣

訣祕要義云是曼荼羅三角形不動尊頂有七髮垂一髮於左耳輪咬右邊脣開左目右稍似合頭稍底向右半跏趺坐盤石七寶金山右手捉金剛力周旋生三昧火焔屈於右膝上左手屈臂向外執金剛索身上周圍生三昧火焔以天衣爲裙瓔珞環釧白帶莊嚴必取以結髮者歷事諸佛大精進之相左手應如想三昧慈悲義右手應男想智慧簡擇善惡勇猛義將右手智慧刀入彼右手三莽地門想令成印隨取印處令成法事諸度門等如是眞言印契窮劫說不可盡唯佛與佛乃能說之祕密手菩薩亦不能知之

胎藏軌云大日如來印不動如來持慧刀羂索頂髮垂左肩一目而諦觀威怒身猛炎安住在盤石面門水波相充滿童子形炎焔光界中

金剛手光明灌頂經云復次畫像法取死人衣服畫聖無動尊相貌如前說刺取自身血畫無動尊像安像面於西眞言行者薩面東對像坐

底哩三昧耶經云又取尸陀林帛〇以上血淡作色像云々（同前使者同之）

金剛手光明灌頂經云若止諸怨敵畫黃色大身四面手亦四口出現利牙作大暴惡形遍身成火焔作吞他力相

安鎭軌云卽作四臂大忿怒身紺青色洪滿端嚴目口皆張利牙上出右劍左索其上二臂在口兩邊作忿怒身處八金剛輪內有輪四外現八三股金剛杵頭輪復有迦樓羅炎坐大四寶須彌山上已上

金剛手光明灌頂經云又法畫釋迦牟尼如來像右邊畫文殊童子之形像左邊畫金剛手菩薩微咲形於下畫無動著種々瓔珞嚴身支分（同使者之文）

底哩三昧耶經云畫釋迦佛像左畫曼殊童子像右畫執金剛菩薩像作微咲面手執金剛杵於執金剛杵下畫不動尊卽種々莊嚴云々

私云同經云但前右邊文殊左邊金剛

金剛手光明灌頂經云於袈裟上畫應作青黑色髮向左邊垂作童子形狀手持鑠乞底或持縛日羅眼睛色微赤威焔光赫奕坐於盤山上其山色赤黃著青色衣服作孩子相貌對此畫像形結一切密印皆悉得成就

底哩三昧耶經云又畫不動尊著赤色衣左垂辮髮眼斜視童子形手執金剛杵及寶棒眼微赤坐蓮花上瞋怒遍身火焔云々

（三卷釋云坐石上云々）

私云同經但前云坐於盤石上亦云著青色衣服雖說五像理實唯有三畫像法卽經第一第三第五也頗有不同當隨所樂若作別壇至下當知

尊勝軌云右邊三角赤光中畫無動尊於盤石上半跏趺坐一目怒出一目合咬下脣一邊反出赤髮交鎖垂下左邊身復肥滿如童子形右手把劍左手執索

白蓮華經云髮上八葉蓮頂髮垂左肩一目而諦觀面門水波相大忿怒白牙左定握羂索金剛寶瓔珞一切寶嚴飾威怒身火焔住七寶盤石

四臂像不同（一面四臂四面四臂黃色青色等不同）

金剛手光明灌頂經云畫黃色大身四面手亦爾口出現利牙作暴惡形遍身成火焔云々

安鎭軌云卽作四臂大忿怒身紺青色洪滿端嚴目口皆張利牙上出右劍左索其上二臂在口兩邊作忿怒身〇坐四寶須彌山上已上（在上可見之）

決祕要義云次聖無動尊畫像法等云々

曼陀羅中心畫不動尊四面四臂狗牙口現大暴惡相如降三世形青肉色二手金剛拳頭小指各曲如鈎安口兩角相如牙勢右手持刀令左手持羂索半跏右押左坐盤石威焔光明遍身如火藏師子冠正面三眼極忿定面三目張口慧面忿怒開口（或云三目已上出現利牙）頂上一面兩眼非嗔非笑寂然之相閉口牙不出現本尊色者隨供用之耆是如來密印標幟之相三眼者淨三毒入三解脫門猶如伊字三點不縱不橫也四面者折伏四魔招入四智義四手者摧破四惡趣引入四涅槃義也兩足者於二種生死不動搖以七善律儀守護貧苦

六十心戲論。所以堅住七寶山。七善律者。放生布施禮敬實語和合語軟語利益語也。頂有七髻莎髮者以七善法引攝七衆令住阿字本空。即是第一義諦實相觀門也

或書云。於此三昧中證成應身。金剛明王聖者名無動明王。爲大悲調伏故。設身處於屍陀林中現可畏之相。其貌青色。有四面四臂四足。攝阿修羅皮以爲衣服。瓔珞鐶釧皆用髑髏莊嚴。其髮左垂。目赤牙直竪。大張其口。作吸啥吞噉之勢。其上二臂。左手在左頤下。其右手在上脣上。其二手舒展上下。如大張口勢。其下二手。右手執劍。左手執索。屈二右足展二左足。倚坐盤石。於毛孔中放百千萬億金剛光明。焰照曜十方世界。於其焰中現種ゝ相。或作迦樓羅形。或爲師子形。或爲象。或爲龍。或爲摩竭魚。或須彌山形鎭壓三界。或爲萬字形。或爲螺形。或爲金剛杵形。或爲金剛輪形。或爲諸器杖形。或作諸天宮殿。或爲梵王形。或爲帝釋形。或爲佛菩薩形。於其光焰中復出種ゝ聲。或作諸天音樂。或似說法聲。或讚嘆聲。或作安立世界之聲。爲調伏故。或雷震之聲。如兩山相擊聲。如是種ゝ孝吼之聲。皆是無動尊金剛大悲神力。應順衆生現種ゝ形及諸音聲。隨數皆應（從阿闍梨御房持此文幷像自本坐之）

護世八天法云。中位觀四臂不動忿怒王。兩手金剛拳。地風曲如鈎。以安口兩邊。右劍左持索。須彌山爲座。身外現八峯銳利金剛輪洪滿紺青色。遂頭垂髮索。威焰如刼燒。執如蘗魯拏。赫奕無能對。魔羅及鉢底攝怖而奔竄。乘昔大誓力。現此暴惡形。呑噉諸障惱。安慰修行者。眞言曰（慈救呪也）

牟利曼荼羅經說云。轉菴摩羅識得法界性智。身密現毘盧遮那佛。口密現普賢菩薩。意密現不動金剛（安然和尚廣攝不動雖引中文未撿本經）

仁王經軌云。毘盧遮那〇依教令輪現作威怒不動金剛云ゝ

底哩三昧耶軌云。不動明王此是如來法身。以大願故無相中而現是相。護一切眞言行者。若能常念能離一切障也。所謂無動者即是眞淨菩提之心。爲表是義故因事立名

又云。此不動明王即是一切智ゝ大菩提心。當知即是大力威猛能永害一切隨眠等心過云ゝ

又云。不動使者即大日如來。如世間王勅教命。令使一人火急追役。使人至已。上至王宮下及凡庶。無問貴賤。更不敢拒逆。皆隨使往至彼王所。無問善惡一依教令。不動使者亦復如是云ゝ

儀軌云。無邊如來奉事是不動尊大威怒王。復有六十萬恒河沙俱胝如來。皆蒙教示得成無上正等菩提。復有無量天龍八部等恒常供養。若纔憶念是威怒王。能令作障難者皆悉斷壞。一切障者不敢親近常當遠離。是修行者所住之處。無有隱及諸鬼神等

底哩三昧耶軌云。又法。於己身上布明梵字。彼羅刹衆退散百由旬外

儀軌云。一百由旬內所有難調御鬼神所持者皆悉能散壞。又正報盡者能延六月住

仁王軌云。依教令輪現作不動金剛。摧伏一切鬼魅諸障惱者。令調伏故〇與天帝釋及將無量諸天而爲眷屬。與四俱胝菩薩往護其國

使者軌云。此不動使者毘盧遮那佛之化身。一持之後生生加護。若求無上出世菩提者。當淸淨梵行一心精進。當得種ゝ不思議三昧不思議境界不思議神通不思議辨才不思議力用。如是之事證者乃知不可具說。若世間之人世習未斷。雖千度觸犯種ゝ世業。使者皆許其懺悔不即捨離

除病難事

儀軌云。次除死災法。以乳作護摩一千遍爲限。能除死災難。又除大死法。以骨瀘草榲蘇乳蜜護摩滿一十萬遍。能除大死難。所謂國人民疾疫行夭折故。名大死難

使者軌云。復次依護摩法。杓子盛牛乳一呪一燒。如是滿一千遍。能除國中大疫癘也〇西國疫病或一家一村遞相染著皆死盡。今吳蜀嶺南亦有此害。是法能制已

底哩三昧耶軌云。又用乳作火法。誦一千遍。沃火燒能除疫病〇又法。句盧草和蘇

乳蜜加持沃火中。燒得十萬遍。能除大疫
病云云
立印軌云。爾時金剛手菩薩入三昧地云云
從三昧起告文殊師利言云云時金剛手
復告文殊師利言。善男子諦。聽。無邊功德
勇健云云
底哩三昧耶經云。爾時釋迦牟尼佛告執
金剛菩薩言。我今爲汝說無量力神通無
動使者云云
底哩三昧耶儀軌云。我薄伽梵大日尊復
爲修眞言者說除障之因云云無動明王
此是如來法身云云
無動金剛事業求願品第七。爾時釋迦牟
尼佛告執金剛菩薩言。我今爲汝說無量
神通力無動云云。中文與經初文同
先德觀此尊有十九觀
一。是尊大日如來化身於花臺久已成佛。
而以本願力故。及如來使者執持諸勢
義釋云。此尊於大日花臺久已成佛。以三
昧耶本誓願故。亦現初發大心諸相不備
之形。爲如來僮僕給使執作諸勢
二。明中阿嚕唅輅四字。三世諸佛皆從此
四祕密應現三身。坐菩提樹下降魔轉法
輪。卽是寂定不動義也 底哩三昧軌云。
祕密曰。不動者大寂定之義也。我薄伽梵
大日世尊。從最初正覺坐寂滅道場。以大
願故證三世諸佛應正等覺。皆從四祕密
三菩提起應現三身成等正覺。如來成道
時。先坐寶菩提樹降魔成道者。卽是大寂
定不動云云
三。常住火生三摩地。以覽字智火焚燒一
切障。成大智火 底哩三昧耶軌云
四。現童子形。身卑肥滿。表上受佛勅給使
行人。下化衆生攝雜類者云云 經云。充
滿童子形 義釋云。其身卑而充滿肥盛
作奮怒之勢極忿之形。是密印標幟相也。
底哩三昧耶軌云
五。頂有七莎髮。表轉七覺分法 底哩三
昧耶軌云。頭上七種髮表菩提分。或書云。
題云阿左羅曩他對治門抄一卷。額成攞
云云吒相者。頂有莎髻。庶髮垂左肩者。灌頂
經云。頭上成尸佉髮。底哩使者云。左垂辮
髮髻。又左垂一索髮。使者云。左邊一髻下
垂。三昧耶軌。聖者左垂辮髮皆同也。有云
水慈之花。有云水栗之花云云然空海阿
闍梨別行法私抄云。頭上在蓮華。頭左辮
髮云云惠雲阿闍梨唐本植像。頂安黑髮
之七髻。安然阿闍梨云。依作黑髮七髻是
尤莎髻元文也。餘唐本植多安蓮華。而大
唐或阿闍梨等爲飾尊像。頂上安蓮華。金
纏結髮。世人聞其使行者之本誓。多導頂
上蓮華爲戴菩提心行者之足云云灌頂
經云。若欲往天宮使者戴接往。然智證大
師云。疏云莎髻倭云美具利。女人求作指
環云云今謂莎字倭云佐佐女。其形似茅。
人採作莎衣者蓑是也。然大唐兒女之禮
皆結髮。唯有奴婢法。皆蓬頭。謂額髮藏如
日本小兒左右後髮面亂垂也。御馬輿者
多作此形。或有野土良人安作之時。以莎
草等頓結頂髮云云末垂者亦以結之。風俗
呼之以爲莎髮。又巴子國奴婢之徒皆作
辮髮。以二分其髮。辮垂之令辮面。呼名爲
辮髮。今智證大阿闍梨唐本植像尤亂莎
髮辮髮。若欲具知者當禮彼像也。然辮髮
索髮者皆頂髮之名。所謂左肩垂下髮。此
卽是髮也。私謂。莎髻者運上頭髮以莎草
結額上髮。宛如戴鬘也。垂辮髮者縈其髮
作繩索狀。垂下髮末而捻結之也
六。左垂一辮髻。表於一切衆生垂一子慈
悲 底哩三昧耶軌云。左垂一髮向下者。
是垂慈悲之義。悲念下惡極苦惱衆生也
七。額有皺文。形如水波。表懊惱六道隨趣
念多 經云。面門水波相 私云。此文可尋之
門者口也。水波相在額。今何云面門水波
相耶 大日經第四云。申三昧手以覆面
門。爾賀縛觸之。是諸荼吉尼印 疏第八
云。明灌頂中云。用此綵淨帛周覆弟子面
門云云又云。次應開面瞻覩道場云云此等
文能可思擇 六十華嚴第二云。爾時世尊知諸
菩薩念之所念。卽於面門及一一齒間各
放佛世界塵數光明 探玄記三云。面門
者諸德有三釋。一云是口。一云是面之正
容。非別口也。光統師云。鼻下口上中間是
也。准下施鼻文。亦如所說。今釋依梵語稱
面及口并門悉名目佉。是故翻此目佉爲
面門也。故知此中通舉其事。口者爲表敎
道遐被也。面者正對向機也。門者開法攝

生也。齒者勝用也。謂思咀法味。故治碎惑障故。以緣起具德相差別故。云一々各放塵數光也　八十經第六云。爾時世尊知諸菩薩心之所念。卽於面門衆齒之間。放佛刹微塵數光明

八。閉左一目開右一目。表掩蔽左道令入一乘　底哩三昧耶軌云。閉一目者有深意。示現極惡醜弊怖魔之義　義釋云。閉一目者亦有深意也。以佛明鑒一無二無三云々又云。以一目視之意。明如來以等目所觀一切衆生無可宥者。故此尊凡有所爲事唯爲此事因緣也　菩提心義云。又釋不動明王一目小眇中云。諸佛明鑒唯一無二故有一目云々

九。下齒上嚙右脣。垂左脣翻出於外。表慈悲力用怖魔羅

十。緘閉其口。表滅衆生生死戲論語風

校書曰自第十一至第十九觀文脫之歟

十九布字

欠 頂上右手大母指屈入掌中四屈爲拳頂上安之是使者印也曩莫薩縛但他蘖帝毘藥薩縛目契毘藥薩縛他唵娜左羅贊拏欠

企孕 髮頂上二空入滿月以二金剛拳定慧上拳上此印置頂立印々之企孕歸命如上

棄 髮頂上一髮印卽此頭印々上申頭指中指相並安左右頂上便引向下耳前下○唵贊拏棄

憾 額以右手爲拳置眉間○憾引

囒 兩耳金剛合掌○唵

怛羅吒 左右目。二羽內相叉。二空入滿月。二風合豎。印眼及眉間○怛羅吒

吽 兩鼻。普印○吽

護 口。地內叉。水押地叉上。二火並申直。空各加水申。二風加火申。以印置於口○護

憾 舌。二手虛心合掌。以二空指相著火指○憾

莽 兩肩。普印○莽

鋡 喉。普印○鋡

瞻 兩乳。普印○瞻

滿 心。二羽三補吒。風空如彈指○滿

吒暗 臍。二手內縛。舒右水火風三指竪之○吒暗

吒唵 兩脇。普印○吒唵

吒 腰。二羽內縛。二火二風並立。頭相著○吒

郝 兩陛。普印○郝

憾 兩膝。普印○憾

憾 兩足。普印○憾

已上

決祕要義云。聖無動尊略布字法

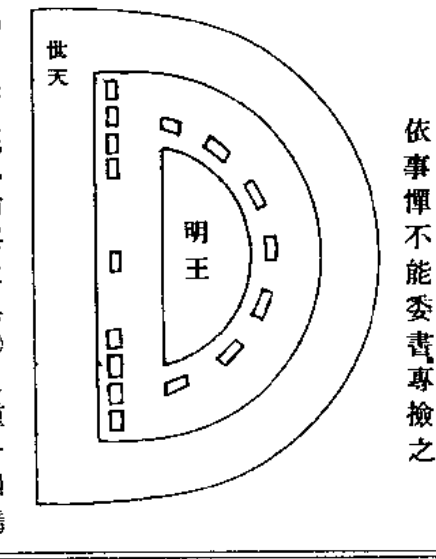
唵 頂。其色如虛空　縛 眉間。其色如水　日羅 兩肩。其色如火

阿 左心上其色如色圓白如日暉　路 安於咽喉。色如黃金

已上五字布修行人身上。於中有阿字遍含五字。此中布已。遍體成無動尊金剛身。觀布已卽誦一字眞言曰。那莫三曼多縛日羅赦憾引

有云。若不動法持誦時。則有三心觀。一者若持大日經中不動眞言。當觀阿字中成大日々々左蓮當不動々々餘如文 執金剛歟 二者若持釋迦所說三昧耶經及金剛手所說光明灌頂經中不動眞言。當觀婆字中成釋迦々々右蓮不動々々餘如文。三者直觀唅鋡中成不動々々眷屬前後圍繞。此通行法諸尊例然。若觀行者觀力未明。當以圖畫觀之

安然和尚云。今准諸壇別作有三。一者嘉會壇中。若以不動安中台者。毘盧移在中院東方。二者或作別壇。不動安中。以諸金剛安第二院。以諸世天安第三院。三者或有別壇。不動安中。以第二重三部諸尊安第二院。以諸世天安第三院 私云更撿之



依事憚不能委書。專撿之

不動曼荼羅。風輪與火俱○及種子圍遶 微妙大嚴刀或復劍索

不動曼荼羅火俱者。風謂半月。火謂三角。謂半月壇中畫三角々々中作不動尊也○其心上當置種子字。其三角當以刀圍之。若不畫尊形。但畫刀或索亦得也。然此之若別者。不動在中。毘盧在中院東。餘金剛眷屬圍遶 私云。具緣品大往西方。畫無量持金剛 緣起列衆十九金剛。此中亦有十六金剛○各々有壇。若別作者。互爲主伴三重作之。第二院

亦有二文。一准大悲壇之釋。用三部衆二
依字二文。用持金剛
曩莫三〇戰拏（北方金剛夜叉[illegible]惡軍荼利南方恐怖主）摩訶路灑嚀（降三世東方大）
（方忿怒）娑破吒也吽怛羅吒（西方威德）
啅給（中能成辨事業不動）
此注未得本文

矜羯羅制多伽文
使者軌云。若欲得使矜羯羅者。月生一日起首。早起清淨。於畫像前散華。以檀香泥地作壇。呪一百八遍。日午黃昏各誦一百八遍。若多誦不絕最好。餘時不能誦呪。但向道場中坐。一心正念至時而誦亦得。至十五日滿。即造種〻飲食供養。盡像前方一肘作坑深一柝手。燒遏伽木。若無用苦練木亦得。取白芥子一斗五升。從黃昏起首誦呪。取杏人一合計芥子。呪此一遍了。即投火中燒之。其芥子以蘇和合之令濕。如此燒呪至半夜後。矜羯羅即形云須作何駈使。行人報云。矜羯羅今日以後有事須問。常相隨逐更莫東西。矜羯羅者問事也。羯羅者駈使也。若不現者心決定念誦不動使者。必須得見莫生狐疑。直至平明無不來者。現已種〻駈使處分皆得。乃至洗手或用柳枝令取皆得。欲得上天入地亦扶行人將去。欲得見欲界上天女等令將來相見亦得。何況人間取人及物乃至種〻飲食。又有法具載梵文。此神作小童子形。有兩種。一名矜迦羅恭敬小心者是

一名制吒迦。難共語惡性者是。猶如人間惡性在下。雖受駈使常多過失也。若無事時向道。且去還來。慎莫向道無事好去。若向道即無事好去。即便長去更不來矣。第一須記不得邂逅西國有僧駈使多年。一朝誤遣遂不復來。乃啼哭悔恨不復更至」
底哩三昧耶經云。若欲成就緊迦羅法。於白月一日〻中時（念誦法云拾月一日卯時）像前著種〻香花供養。不歇誦一百返。想念壇中一切諸佛菩薩。每日念誦滿一月（滿一月日）如法供養。取苦練木燒香。遏迦木上塗蘇。白芥子加持擲火中（用苦練木柴燒火遏加木上塗蘇乃白芥子加持燒火）從戌至子乃至寅時（至夜半至日出）緊迦羅即來語行者言。使我作何事。行者攝受已後常隨行者所使皆隨順。乃至使往天上取天女亦皆將來。所須飲食齒木水等皆得給使
立印軌云

復次說使者　成就之法門
起黑月一日　對像三時念
各一百八遍　至自十五日
月輪圓滿時　如前所演說
最初承事法　以苦練木柴
及以白芥子　從黃昏起首
護摩至夜半　使者即來起
不來盡一夜　決定來出現
來問持明者　求乞進止等
隨意而處分　皆悉依奉行
若欲往天宮　使者載接往
若所須宮觀　皆悉能成辨
若齒木淨水　塗掃等事業
皆悉能爲作　所使令作者
一切能成辨　如聖者所須
皆悉成辨之　若一夜護摩
使者不出現　彼即決定相
聖者無動使　法門說已竟

決祕要義云。次聖無動尊成就使者法品。若畫矜羯洛（唐云能作者）童子者。大體如正尊。頭髮迫毛不從耳涉誓不壞。出面目喜怒。左持索右持斤刀。被袈裟裙裟足躡石上。身赤黃。令同使駈使也。恭敬小心者。世間小悉地。當於此尊像前。隨心成就白壇香等作此像。莫令疎略之。若求制吒迦難（唐云移惡勝者）造畫其像。面目忿怒。其四臂七結髮垂左肩。頂置八葉蓮華。色似白。左右結縛日羅若里印。當擬胸前恭敬聖者之勢。次左手持弓。次手持箭。令著袈裟裙。身色青黑。將立盤石上。隨逐大心者阿尼者一切事業。其性麁惡瞋心。數〻現行者。若得役之者。善能以精進法施將護其心。莫令退離。三洛叉後。如頭隨後生〻加護。更不化心。於是像亦有一身。梵云薩怛嚧（唐云一眼）行者施殘食時。以無等本誓故。現一眼身。受所施食。表一實相大菩提心無二無三故（已上像同以三昧耶使者印）海南僧多作是像禮拜供養。神驗甚多。若求官位敬愛等事。此尊前燒瑟吒訶利摩愉（唐云小豆）一百八遍。即得官位。以苦練子一百八遍。即得一切敬愛。若欲伏怨家。取跋者草根（唐云葛蘆）護摩一百八

遍福喜者用底波苾利天香天木香也
或云乘白馬作騾勢增下懸鈴子
童子五髮俳衆如十五歲（兒執執枝）

倶哩迦龍事

立印軌云又法壁畫劍以倶哩迦龍纒交於劍上加持一千返劍中觀阿字云々
使者軌云若欲使古力迦龍王者於壁上畫一劍以古力迦龍王繞此劍上龍王形如蛇劍中書阿字心中亦自觀此劍及字了々分明云々
底哩三昧耶軌云又明火有四義二種世間二種出世間○如九十五種外道法中事火爲最如大火龍變出世火燒損衆生亦能焚燒衆物此無動智火先能降伏火龍制諸外道上至等覺下至衆生皆能燒諸煩惱云々
又云又於壁上畫劍契又畫句律迦大蛇纒劍上其劍周圍有火炎即加持千返以示病者々々即下語
先德云變成倶力迦表智龍火劍摧滅九十五外道諸龍子云々
有先德云唫囉二字斯是定慧之意亦是劍索言劍者慧劍亦云智劍言索者羂索亦云龍索今此劍索轉變時現異形倶力迦龍斯其人也但言龍者非斯龍也似借羂索之所變化也都盧爲降伏外道天魔等類故也凡諸明王等之忿怒形龍蛇瓔珞皆是表瞋恚偏增之法門也非言體毒蛇等倶力迦亦云羯識亦云伭爾龍又倶力迦亦云大刀或云劍若偏舉梵語可云倶哩迦識爨若漢語者□劍龍梵漢並舉倶力迦龍（此義追可沙汰也）

聖無動尊決祕要義云

次說矩里迦（唐云作哥勃）龍王像法其形如蛇作雷電之勢身金色繫如意寶三昧焰起四足蹴踏之形背張竪七金剛利針額生支玉角纒遶劍上畫阿字兼用觀心一々分明若作人相者面目喜怒遍身甲冑猶如毘魯博叉王左托腰把索右臂屈肘向上執劍頂上置龍王蟠立金剛山又別本云迦里迦龍王如天神熙怡之相頭上畫出七頭龍蹦跪仰覷如來合捧寶蓮華阿字變成龍使者此字是菩提種子凡持誦者皆有此心希求無上菩提故劍上觀此字從此生一切法也即菩提心也行點者成就福智故大空者是成菩提也涅槃點者是除世諸垢入涅槃也重字猶如大龍王有大威德與雲致雨一切自在故阿字亦復如是如來作事皆從此字出生

次龍王法身印眞言左右無名小指掌內相叉二中指直竪相跓以二食指跓中指背上節以二大指小曲各柱二食指內中節頭指來去在肘樣如後眞言曰
曩莫三滿多勃駄南唵一布祇々々二步醯布伽跛底三吽涉呵（四上音）

一切龍王法身印以右羽頭在右羽內以右後四指小曲母指博頭指小曲左手返曲向右手上亦如是兩手相向狀蛇口二手四指開合來去眞言如前

次華座印二手八指似曲皆向上竪二小指相去二寸二無二中各相去二寸二頭指去四寸並竪大指二指相著

次牙印屈右肘向上屈無名小指在掌中指直竪屈頭指側著中指中節以大指捻頭指側若作壇供養時即作此印誦眞言用喚入壇中即得一切皆悉歡喜若欲祈雨當作其壇供養即得降雨三五七九八一等法具在別文眞言曰（如上）

次根本眞言曰
曩莫三滿多勃駄南倶哩迦耶迦羅若銘屓俑曳莎縛（二合）訶

可用前印若有病患者當結龍王身印加持即執劍々上運心觀想阿字變成金色龍忿怒光曜之貌令視病者即得除差若有癡栗訶鬼之著識栗行疫病鬼之持位在南西方及癡病種々苦惱事當作一肘水壇四角置賢瓶口插生花若無生花用綵花亦得四方置四器盛滿香水諸供具物布烈莊嚴即勸請龍王安住壇上壇中方置劍啓白事由禮拜供養誦眞言加持一百八遍執刀加被病人即得消滅即發遣誦破壇明

次觀風輪破壇了不獲令久住是法祕中祕莫專輙傳倶哩迦龍者諸龍之中王具出文殊師利法等云々

蓮華吉祥女文

使者軌云。取蓮花十萬莖。以蘇蜜酪三物相和。點一花上。誦呪一返即燒之。如是燒花令盡。是時蓮華吉祥天即現自身。問行人言。所願何事。隨○所汝願皆得滿足

底哩三昧耶經云。又取蓮華和蘇蜜酪。誦沃火中燒十萬反。蓮花吉祥天常與已願」

立印軌云

使者軌云。又取蘇摩那花一洛叉。一呪一燒乃至燒盡。即得夜叉如來現身住種〻駈使

聖無動尊決祕要義云

次說蓮花大吉祥天像。天身端正。赤白色二臂。畫作種〻瓔珞環釧耳璫天衣寶冠。天女左手持如意珠。右手施無畏。寶臺上坐。其手印相者。舒其兩臂。然後合其二手掌相著。並二大指相去一寸許。微曲二頭指如鉤。以餘三指兩相擫如蓮花。作已誦此眞言曰

唵毘摩羅藥羅伐底三婆羅吽

作是法時。心所樂者皆得如意。作法之後必誦是眞言。一切所務皆悉吉祥。若欲具足天者。三月夜不喫食。佛前以都魯瑟迦（唐云合香）薰香及散白花一百八遍護摩。天女現身。其行者所求一切財寶及事皆得稱心云〻

藥廁抳使者像（五夜叉文）

不動立印軌云。又一成就法。若底花護摩。滿一十萬遍。得藥廁抳來。伏從持明者

決祕要義云。欲役藥廁抳使者。應以惹底花（和尙云。此云勝花。此方似亭藶子。）

又云。次無動藥廁抳（唐云勇建神）使者像。一身四手。左邊上手把三股叉。下手把棒。右邊上手當輪。下手把羂索。其身青色。而大張口。狗牙上出。眼赤如血。有三眼。頂戴髑髏。頭髮聳豎。如大艷色。頂纏大蛇。二膊各有倒垂一龍頭相向。其像腰纏二大赤蛇。二脚腕上纏大赤蛇。所把棒上亦纏大蛇。虎皮縵袴。髑髏瓔珞。像二脚下各安一鬼。其像左右二邊各當作一青衣童子。髮髻兩角。手執香爐。其像右作二夜叉。一赤一黃。執刀索。其像左邊作二夜叉。一白一黑。執鞘執叉。形狀並皆甚可怖畏。手足並作夜叉手足。其爪長利。畫作像已。日月蝕時急作一壇。隨力多小。辦食菓供養誦呪。乃至日月平後即休。授法不食五辛酒肉。若其食者無有神驗。神性急惡恐損人。宜須愼之

陀羅尼集經第八云

大青面金剛呪法大呪第一呪曰（檢更）

凡欲療病。先誦五方藥叉名字幷請眷屬。令其入室云〻。至心奉請五方五帝夜叉。各領八萬四千眷屬。入此壇內云〻

畫五夜叉像法。一身四手。左邊上手把三股叉。下手把棒。右邊上手掌桁一輪。下手把羂索。其身青色。而大張口。狗牙上出。眼赤如血。而有三眼。頂戴髑髏。頭髮聳豎。如火艷色。頂纏大蛇。兩膊各有倒垂一龍頭相向。其像腰纏二大赤蛇。兩脚腕上亦纏大赤蛇。所把棒上亦纏大蛇。虎皮縵袴髑髏瓔珞。像兩脚下各安一鬼。其像左右兩邊各當作一青衣童子。髮髻兩角。手執香爐。其像右邊作二夜叉。一赤一黃。執刀執索。其像左邊作二夜叉。一白一黑。執矟執叉。形狀皆甚可怖畏。手足並作夜叉手足。其爪長利。畫作像已。日月蝕時急作一壇。隨力多小。辦食菓子供養誦呪。乃至日月平後即休。授法不食五辛酒肉。若其食者無有神驗。神性急惡恐損害人。宜須愼之」

決祕要義云

次勸請印。左手以大指押小指甲。以風指押大指中節。水火直立來去。眞言曰

曩莫三滿多勃馱南唵藥乞叉（二合）尾儞夜（二合）達哩ソハカ

次輪印。右中指拄右頭指。左中指拄左頭指。二無名指屈於掌中。二節相背。二大指並直豎頭相拄。眞言曰

唵藥乞叉（二合）毘儞耶（二合）達哩斫乞羅（二合）野娑訶

若行者有怖畏時。以是印護身即消滅。或令覩魯一切辦事一切相應。辟除結界用之。若入山林曠野惡獸毒龍難。是即能摧滅

次棒印。相二手內縛。右中指直豎之。是名進天鬼印。或名集天神印。召請時來去也」

次索印。右手大指押無名小指甲於乳。右

大指入左掌乳押右頭以下四指甲頭指
中指直竪之若治病縛見等用之若欲勝
論義宜作之欲解散者心想放解
次諸使者稍印屈右手無名小指以大指
押甲上中指頭指直竪左手亦爾屈右手
腕覆當胸上横著左臂直甲向左一如執
稍形眞言曰
唵嚩哩布羅那含尼莎縛訶
若有鬼病者結印起立以左脚斜立如投
稍形心作破鬼至心誦呪鬼病卽差
次諸使者濁伽印誦前眞言准前稍印改
左手屈向身當胸上横著指頭向右肩右
手甲臂向上腕向前立地是一法印若人
患鬼神等病當結此印卽起立以右脚斜
立似向病兒斫之卽差
次擲鬼印以左手無名指與大指捻向擲
手卽成擲印
次又輪印手右掌向摩病人頭上卽成輪
印
次稍印以右手小指直竪餘三指屈向掌
以大指押上
次降魔印以右手押左手背仍以右大指
向左小指下皆上下相叉是四法印皆誦
一眞言曰
唵枳哩〻〻縛日羅二去摩羅耶三離利槃
羅野ソワカ
是印悉能降伏一切諸魔一切大毒惡鬼
神等亦能摧破百千萬億野叉羅刹及行
病鬼幷諸外道勞度人等皆悉退散若有

病者以印作法誦明印病卽當除差
決祕要義云若欲成就惹位者以密欏縛
葉護摩十萬遍隨心滿足密縛欏果者外國葉子也此似穀木宜用
之王樹故敬愛應以比哩孕愚花又云鉢孕瞿
花西方出此間果穀之色義亦如穀稍甚香也或云鉢胤愚花是淡黃色
也欲見本尊者應以戰娜迦其形葉和尚云青
小欲役藥癎捉者應以惹底花和尚云此云勝
黑豆花此方似亭藶子
維摩疏云夜叉者皆是鬼道夜叉此云輕
疾有三種一在地二在空三爲諸天給使
毀戒故墮鬼神以惡毒故受夜叉身往修
業故見佛聞法小行布施微有果報車馬
施故〻能飛空云〻
法花補正記第二云經云夜叉此翻捷疾
鬼亦云勇健
玄贊二云夜叉此云勇健飛騰空中攝地
行類諸羅刹也羅刹暴惡亦云可畏彼皆
訛音梵語正藥叉羅刹
集云言夜叉等其身赤色雖無翅羽而能
飛空有大神變作大音聲故名勇健亦有
翻爲天使諸天使故他國翻爲怪捷鬼亦
天狗正法念經云夜叉性好熱血上妙高
山瞻下何處兵戰未得食中間因此長嘘
嘆息氣上天爲篲星亦云彗星亦云□槍
星也天上星必有兵甲之事也在須彌山
第三層住言攝地行類者羅刹是地行類
今經中只言夜叉不言羅刹〻〻向夜叉
中攝夜叉飛空羅刹地行向夜叉中攝也
金向日論何業生羅刹中呑法炬陀羅尼

經云違□師教生夜叉中口說不行疫他
名利生羅刹中以類同故攝得羅刹也
最勝經一列同聞衆中云復有三萬六千
諸藥叉衆毘沙門天王而爲上首其名曰
菴婆藥叉特菴婆藥叉蓮花光藏藥叉蓮
花面藥叉○皆愛樂如來正法深心護持
不生疲懈云〻
招疏曰藥叉此云勇健亦云捷疾亦攝地
行諸羅刹娑〻〻〻此云暴惡類德有三
一受正法二能護持三不疲倦
憬興師略贊云藥叉者此云勇健亦名暴
惡飛行空中食噉生類亦攝地行諸羅刹
〻〻者此云可畏昔云夜叉名爲性捷者
謬也如來正法者世俗勝義二種正法故
於世俗法深信護持勝義法中不生懈怠
云〻
不動使者不同
憂丘滿願法中云迴光菩薩迴喜菩薩阿
耨大天志德菩薩憂丘婆丘淸淨比丘
或書云不動十二使者一慧光菩薩二慧
記菩薩三志得菩薩四阿耨達天五憂苦
六波苦七淸淨比丘八蓮華吉祥女九修
務夜叉女十矜迦羅童十一制吒迦羅童
十二俱力迦羅龍王
不動使者四十八名號　俱栗賀羅龍王
健闥夜叉王尸棄大梵王七天五母夜叉
王初禪若干大梵王二三四禪大明王東
三十三天各〻天王阿伽尼吒天王大金

色十八大明王央俱將伽羅王修羅金縛
王大鉢娑羅王南縛苦婆多羅王多羅迦
王牛頭密呪大呪王光大炎魔王五天大
散羅王神母大山法王西槌鍾迦羅大王
迦毘羅修法王夜叉諸天大地主三界授
天大王倶多陀遷化天王閻羅諸天王北
持攝受大王金夜修羅王神王引攝大士
王二十八宿諸天王一切諸法受用王迦
葉大呪大士王東一〻各有大士王護持
諸法大明王吽發吒羅王蘇小縛具王急
〻大小神天王那縛伽羅王南悉底地大
士王天地授法大明王摩登迦羅大人王
那羅延天王諸神皆得天王一〻東西南
北王密呪受持天王迦葉大王沙羅大神
王莫呪大呪大明王會集神王太一德王北

先年從古法子中撰出之後以他書校
之不得意甚多更問明師又付他書文
彌以不明私卷有件書撿之有印有眞
言隨見來書之不知誰是
或本無神王眷屬大王有那羅迦天王

降三世(廣大軌云心相吽字門拔大忿怒王此軌眞言同金界)

梵號 阿利他(二合)怛隷(二合)路迦縛日羅(二合)野

密號 最勝金剛

種子 [梵字]吽或[梵字]郝或[梵字]訶

安然和尚胎藏諸會不同云同種子

鈔出三種子

三摩耶形 五股

大日經疏云世名貪瞋癡降此三毒名降三世也復次三世者名爲三界○能降伏三界主故云名降三世

軌云

歸命聖主掌　普賢金剛手
及降伏一切　現吽迦羅身
摧三世有毒　令卽證菩提
是甚深祕密　降三世瑜伽

大日經云忿怒降三世○號名月黶尊

金剛頂經云大愛欲

疏云卽是東方染欲如來大菩提故

瑜祇經疏云

教王經云大黑是降三世也又黑是降伏色也隨色爲名

同疏云大日經云怛隷三路迦世尾惹耶

降

千手軌云三世勝菩薩

本軌云普賢金剛手現吽迦羅身

大日經疏意云大日現降三世仁王軌等意金剛手所現也

壽命軌云毘盧遮那佛○入忿怒三摩地從胸臆間五峯金剛菩薩心流出四面八臂○降三世金剛菩薩(可思也)

印

金界傳法記云隨誦眞言作印至第一吽字左手作忿怒拳次至第二吽字右手作忿怒拳以右腕置左腕上至第三吽字二地相拘至第四斛字二頭指竪開如牙次左三轉辟除右三轉結界次印天印地次印身五印文忿怒拳者以水大握空指起風獨屈小起竪怒次右手亦爾也

六卷略出經云佛言後分金剛拳爲二於心軌腕上置觀羽以檀慧度相鉤竪進力度云〻

金剛對受記(更撿之)

千手軌云二手各作金剛拳右手加左腕上檀慧反相鉤直竪進力安身當心文

慈氏軌云以智定二手各爲拳竪其風幢屈空輪入掌內以地水火輪三輪押之卽成其印以定手印置在心上以定手印用觸諸物及結地界四方四隅乃至上下等方右轉三遍指上下便成結十方界　有眞實撿之尊勝曰也

眞言

降三世軌云(不空)私云同金界眞言胎藏廣大軌同出此眞言

金界對受記云別時獻憲大德云昔三井寺珍和尚以降三世大結護授花山和上也因安然慇懃求請之中院以元慶六年十月二十日授此大結護其正文云三世結護

唵蘇(之反呼)婆儞蘇婆吽(短呼)(二拳下準當心垂相對二拳)槃
哩(二合)訶擧(二合)〻〻(二合)〻拳(二合)吽(拳轉)(左)槃哩
(二合)訶擎(二合)婆耶吽(押轉)(二合左右)阿引義野斛引
(相地)(一)(鉤輪)婆識嚩縛日羅吽(風竪)(輪二)泮吒二吽
(心一)吽(縮二)吽(喉三)斛(頂四)吽(臂口)(住七觀振)(動)三吽(肩左)吽(膝左)
吽(膝右)斛(肩右)吽(心)四辟除吽(角左)(膝)吽(角)吽(角)

斛(現威猛顯觀於諸方)吽(角四守護角皆)五結界吽(左膝四方角角)轉吽
角斛(瞬目下稍顧而)視吽角
慈覺大師將來法全和上胎藏三卷儀軌
第一卷題奧云降三世結護唵蘇(之反)(呼)婆
儞蘇婆吽(吽短呼二擧下)(先準二垂當心相掌對)蘖哩(二合)訶拏(二合)婆
ㇱㇱ(二合)ㇱㇱ(二合)吽(轉掌)左蘖哩(二合)訶拏(二合)婆
耶吽(押轉)(左右)掌阿引𤚥野斛引(地相)(輪鈎)婆讃梵
縛日羅(二合)吽(豎風)(二輪)吽泮吒二吽引(心一)吽(喉二)斛(頂四)
吽(暫口)(振住)(動觀)三吽(左肩)吽(左膝)吽(右膝)斛(右肩)吽心四
辟除吽(左起)(左膝)(轉角)吽角吽角斛(現威猛顯觀於諸方)吽(角曰)
守角皆護吽五結界吽(左右膝轉四角方起角)吽角吽角斛
(瞬目稍下顧而)視吽角
佛母曼荼羅要集云降三世明王眞言曰
唵(一引)遜婆儞遜婆吽縛日羅(二合)吽發吒
熾盛佛頂威德光明眞言儀軌金剛手菩
薩化作降三世○以右手擲五古金剛杵
○八字眞言
唵儞素婆縛日羅(二合)吽(引)發吒
瑜祇經云
唵縛日羅(二合引)吽(引)羯羅(二合)吽䫂遜婆ㇱ」云
胎藏軌云勝三世亦名降三世
或軌云金剛界降三世
密印品云如前金剛慧印是降三世印(諸師)
(云五古印也或云內縛五古印也又用金剛界降三世印)
曩莫三曼多縛日羅赦二訶ㇱㇱ二尾娑
摩(二合)曳(三平)薩婆怛他引揭多微灑也三婆
嚩(四)怛𡀩(二合)路枳也(二合)尾惹也(五)吽(六)惹
入娑縛(二合)賀(攝羅品二)
讃(以金剛薩埵軌)

曩謨縛日羅(二合)羅納摩訶句魯(二合)馱縛日
羅(二合)羯里灑耶婆莽醯縛日羅(二合)蘖怛縛
摩訶句魯馱怛賴路乞也尾惹耶𩕳讃索
都帝婆婆賀(或人云界金剛薩埵讃)
身相
本軌云二羽印當心慧手持五古怒臂如
下擬次箭劍直執定上五古鈴次弓次執
索皆直引臂持四面正青色右黃左綠色
後紅威忿怒舉右足左旋攝彼傲慢者大
自在欲王撲至於地已定按於彼頂慧踐
彼王妃烏摩乳房上摧彼我慢故以足加
於頂(私云五古或本云五古鈎鈴)
文殊八字軌云青色八臂當前二手結印
檀慧反相鈎餘拳豎進力左手執弓右手
把箭架左一手執杵一手執索右一手執
戟一手把棒三面口角現牙坐火炎中
壽命軌云四面八臂
仁王軌云四頭八臂
千手軌云四面八臂
彌勒軌云四臂兩手結三摩耶心鈎印向
胸心上左一手曲向耳上把金剛鈎斧右
手直向頂峻下把五古戟皈羅周旋生火」
大日經云三目四牙現
六卷略出經云以左脚押大自在天王面
以右脚押大自在天妻胸乳房間
私云佛眼曼荼羅二臂也
理趣釋云以蓮花面微笑而怒顰眉者聖
者住內心與觀自在悲愍心相應外示現
忿怒也猛視者於四種眼中第三忿怒眼

義也利牙出現者與金剛藥叉三摩地相
應住降伏立相者降三世立印其二足相
去可五尺屈右膝舒左膝兩足左蹈摩醯
首羅右踏烏摩
降三世忿怒王念誦儀軌云(不空)
唵蘇婆儞(乃至)吽泮吒(私云摩醯首羅身相可檢之)
誦此眞言一遍則無量無邊魔界各苦惱
熱病故於行者生障礙無得便者變成行
者僕從
作契儀則可見金剛頂瑜伽教中更不翻
譯後不次作諸契印法但威驗皆在此眞
言亦無有別呪(廣本始末檢廣本也)
師云
元杲僧都九會密記云降三世降伏三世
怨敵等義也是則斷除煩惱所知二障也
左足踏自天王表斷煩惱障也右足踏烏
摩后表斷所知障也煩惱障稚故喩男強
踏所知障細故喩女和踏但形現忿怒心
是慈悲也(云々)
瑜祇經金剛薩埵菩提心內作業灌頂悉
地品云次說遜婆明根本眞言曰
唵縛日羅(二合)吽羯羅(二合)吽ㇱㇱ䫂遜婆(二合)
吽
先住菩提大印已羯磨四印作加持以成
三世大摽身兩臂青色薩埵儀然後入忿
怒王業二羽抽擲金剛杵至空却下承薩
埵復次三旋金剛舞至空却下金剛王乃
至善哉亦如是卽能廣作諸事業是名哉
初吽迦羅如前所結誦心密方應作此護

摩業云ゝ

疏云次說遜婆明王根本眞言曰（金剛頂十八會初教王會四大品中初二降三世會有六曼荼羅所謂大三法羯各有三十七智持三世印一印十三四印十七今文四印加持東方四尊入吽迦羅是四印曼荼羅十七尊法先以東方入名爲最初吽伽羅者可作五部迦羅法東方是最初故吽者是種子字即降伏義迦羅此云黑晴如仁王云摩訶迦羅大黑天神故以迦羅闇黑晴大日疏摩訶迦羅天云大暗夜天文剛迦羅□也此吽迦羅名勝三世亦名月黶尊也金剛頂羅呼降三世名大黑也黑是降伏色隨色爲名蘇悉地釋金剛部明王是蘗嚕備亦爲金剛部主金剛界亦以此尊爲金剛部明王忿怒部主極深密軌皆實金剛手愛吽迦羅降三世金剛大日經疏不動尊發菩提心勝三世降伏三世三有三尊此勝三世名月羅尊而胎藏曼荼羅勝三世之外更無吽迦羅及遜婆菩薩非也遜婆未見對譯）

根本眞言（字者能成辨婆賴遜婆此子心眞言是三世勝名也）

（在經羯羅黑研義轉遜婆是此降三世義吽ゝゝ三字羅悉地云若眞言中有三吽一切尊亦有八大明王中心眞言並云遜降三世名亦有大日經勝三世眞言及稱）

此遜婆法先以十五尊成金剛薩埵（五中隨一）
次成吽迦羅之身卽金剛部金剛薩埵忿
怒三昧以入三十七尊之業皆修降三世
法其三十七尊皆以金剛薩埵三昧耶印
爲根本印各入降三世印故金剛頂降三
世敎中觀自在法以金剛薩埵三昧耶印
爲觀自在根本印次用金剛三昧印業印
三十七准之
先住菩提大印已（上文金剛薩埵心菩提密言印及金剛薩埵業印眞言）羯
磨四印作加持（東方四菩薩印眞言自身四菩薩方觀此四尊）以成三
世大誓身（先變薩埵成降三世八大明王中有兩臂降三世非金剛頂四面八臂極深密門金剛薩埵名眞實王呼降三世名大誓世尊也）然後入忿怒王業乃至
善哉亦如是次四尊作降三世事業初薩
埵用遜婆明降三世印次用鈴杵上序品
云金剛手以右手五峯金剛擲於空中寂
然一體還住手中今降三世觀□抽擲五
股於空却下承住空手是薩埵身五股是

大誓身故云承薩埵也此羽用鈴然後三
旋作舞次王愛喜降三世業亦同前儀是
名最初次作寶印蓮部金部佛部次如上
金剛手作業此中亦誦心密（有一字短吽是也）作內
護摩准上亦有五部三十七尊五種業或
加此內火法作外火須准下金剛手六種
外火法行之故所用護摩物其體同此明
皆從心流出各隨其本色云ゝ亦准序品
七分行之
金剛頂降三世大儀軌法王教中觀自在
菩薩心眞言一切如來蓮花大曼荼羅品
（不空）合掌已二水二風交地空各開竪二火
相合是根本印芙蓉合掌是爲大蓮花印
○又外金剛縛合二風如蓮花葉二空竪
相過是三昧耶

三
四
九
十
十一
十二
十三
二
一
八
七
六
五
十六
十五
十四

私云依有所恐不能委載更撿
經云降三世殊異謂在風輪中繞金剛印
而住於三處文
釋云降三世者謂在半月中八本金剛團

也三處謂或作形或印或字也
理趣釋云內四隅安四忿怒內供養於外
四隅安四忿怒外供養東門安弓箭畫契
其南門安劍西門輪北門三股

忿怒善哉
忿怒愛
降三世
忿怒王
忿怒薩埵

私問金剛手院忿怒月黶菩薩亦名降三
世（底羅金剛種子紇林三形一股阿利也二合句路二合駄贊羅二合底羅迦身形青色或黑四臂三目左右於一手結印當心於二手持三古戟右二手持獨古杵利牙上出坐亦蓮華）第五院風方
勝三世亦名降三世金剛菩薩（最勝金剛種子部三形五古或索阿利也二合怛隸二合洛迦縛日羅二合耶身形青色左手持三古當乳右手持三股戟坐盤石極忿怒形在火炎中）
無動尊北般若菩薩南拔折羅吽迦
羅金剛亦名降三世（種子吽三形五古或索阿利也二合縛日羅吽迦羅身形四面八臂前二手結降三世印右次手持箭次手持劍次手持五古鈴左二手持弓次手持索次手執三古戟坐白蓮花在火炎中）
此三尊同有降三世名同異如
何今文所明五大尊中降三世是何耶
胎藏釋（眞興）云一云各別也三人同名其印
眞言亦各異故別體同名部ゝ非一如金
剛針在金剛手院亦有虛空藏院之末執
杵菩薩亦名金剛針等也一云一人一名
隨本誓故處ゝ出現如地藏等也二義俱

得取捨任意云〻

瑜祇經疏云、降三世、大日經云、怛隷三路迦世尾惹耶勝翻云勝三世、亦云聖三世也

瑜祇經云、吽迦羅降伏義黑闍

教王經云、大黑、疏是降三世

壽命經云、四面八臂

極深密門云、四面八臂取意

八字文殊同之或迄説眞興初義歟 先

瑜祇經疏云眞如金剛遜婆明王名吽迦羅遮羅此云黑暗、亦名勝三世、亦名月黶尊、而胎藏曼荼羅勝三世之外、更置吽迦羅及遜婆菩薩非也私云眞興初義此文雖會師説云

或云經釋共號降三世、言降三世以訶字爲種子、勝三世亦以是字同爲種子、無畏軌云、先○寶想石上火生三昧中訶字法門轉想成威怒尊、以是勝三世即降三世也、何差別云〻、釋云、如來住法幢高峯三昧降伏三界難調衆生及三毒煩惱於三界天中天化無量眷屬爲大天主勝彼諸天百千萬倍、更有何衆生而能勝、又云爲降伏世間難調衆生故稱降三世也、所謂三世者名貪瞋癡、降此三毒名降三世、又云三世者名爲三界也、釋勝三世眞言中尾灑野境界也、三婆吠句是菩薩從佛境界生故號降三世、以是定知勝降二菩薩更無差別

降三世次第依十八道

前方便如例 次驚覺 次九方便 次發願 次三部 次被甲 次地結 次金剛墻 次道場觀定印

觀想前地結上金剛墻內有大海、〻中有寶山、〻上有寶樓閣、〻內有大曼荼羅、四角有四賢瓶、無量供具周匝陳列、曼荼羅中心有寶蓮花臺、〻上有半月輪、月輪內有吽字、字變成五古金剛、金剛變成降三世明王、四面八臂、踏自在天幷天后、內外八供四攝菩薩二十天等周匝圍繞云〻

次三力偈 次普通供養 次振鈴 次送車輅相車輪至本尊所居 次請車輅 次迎請聖衆用金剛部心印明末可加鉤日羅蘇婆奧蘇唱 次障除從魔如悉地 次示三昧耶 次金剛網 次火院 次閼伽 次華座 次善來 次重結大界 次塗香 次花鬘 次燒香 次飯食 次燈明 次普供養 次讚用金剛薩埵讚 次入三摩地

觀想心月輪上有吽字、字變成五古杵、漸舒漸大、擧體成五古杵、〻〻變成降三世明王四面八臂、踏天王天后、住半月中云〻

次根本印如金界 次加持珠如悉地 次正念誦 次置珠本處 次入三摩地

心月輪上觀種子、念其字義、若欲廣觀者、旋布眞言觀字義句義云〻

次根本印 次部母用金剛部母 次五供養 次普供養 次讚 次閼伽 次振鈴 次解界 次禮佛 次奉送用二印明 次三部 次被甲 次方便 次隨方迴向 次下座禮佛 次出堂作法

池上阿闍梨作

戟弓索 定手五古令、次弓、次索弓杵索
一〻〻

畫像 〆印 〆 文殊

〻〻〻
鈴箭劍 慧手五古、次箭、次劍戟箭棒
或一或一

軍荼利

梵號

種子 吽

三摩耶形 師說軍持

吽字義如上

義釋云、賀是因義、歡喜義、因是一切智願、歡喜是初得此願到修行地、是故加三昧之聲、上加大空點者、言以萬行方便修治如是願寶鑒徹空明威力具足、故能出一切財寶遍施衆生、以此口施之音折伏貧窮下劣者令心通泰

軍荼利軌云、觀吽引字是甘露軍荼利法身種子

瑜祇經疏云、集經云、闍密哩二合帝甘露金剛軍荼利瓶

慈氏軌云、甘露瓶菩薩

建立記云、吉里明王者是軍荼利尊也、軍荼利者是甘露義也、亦名大賀明王、謂吉里者清淨義也、卽息災義也、軍荼利者增

益之義。甘露者敬愛義也。大賀者降伏義
私云。此軌出吉里〻〻真言名吉里明王呪。更撿之
金剛頂經云。大樂
疏云。軍荼利金剛名爲大樂。是南方極施
衆生無邊貧匱○令皆滿足也。出世大安
樂故
仁王軌云。虛空藏依教令輪現作甘露軍
荼利
熾盛光佛頂經云。虛空藏現作大加天金
剛
瑜祇疏云。摩尼部虛空藏現大賀金剛
蘇悉地疏云。忿怒軍荼利菩薩者。於五明
王是南方明王。卽虛空藏菩薩也

印眞言

軌云不空次結本尊三昧耶印。壇慧相交入
掌。並屈戒方押叉間。忍願並伸。進力屈如
鉤。住忍願初節後。如三鈷金剛杵形。禪智
並伸押戒方背。處於忍願間。誦此密言曰」
曩謨羅怛曩二合怛羅二合夜也 曩莫室戰二合
拏摩訶嚩日哩二合俱路二合馱引也 唵戶魯
〻〻底瑟吒二合〻〻〻二合滿馱〻〻賀曩
〻〻阿蜜哩二合帝吽發吒半音娑嚩二合訶
同軌云。卽結本尊羯磨印。智押慧度甲。餘
如三股形。慧手亦如之。右押左受臂。密言」
唵阿蜜利二合帝吽發吒半音
蘇悉軌下云。以二羽二地輪叉入掌。以二
水輪押叉上。其二大輪直竪頭相著。屈二
風輪在火輪背後。勿令相著。並直竪二空
輪在二火輪第二節下。其印卽成。此軍荼

利身印○又說別印相。以觀羽空輪持地
輪甲。餘三指直竪如三鈷跋折羅形是也
○此是軍荼利菩薩羯磨印
上卷云。左手置右膊上。以大指捻小指甲。
展中三指如三古杵。復以右手置於左膊
上。亦以大指捻小指甲。展中三指如三古
杵
儀軌云不空卽於自頂上想唵字。赤色具大
光明照曜十方。次觀阿字當心。色如珂雪。
內外照曜如大月輪。又觀密哩二合字於兩
肩上。色如虹霓。遍照一切世界。又觀帝字
於臍輪。色如皓素。光明潤澤照於無邊世
界一切惡趣。次觀吽字於兩髀。其色如黃
金。光明照觸無間惡趣。次觀頗字安兩脛。
其色如玄雲。照觸諸修羅令悟正道。次觀
吒字安二足掌。素色。其形如半月。流出光
明照觸諸外道令捨邪見歸信於三寶。
由此布字三摩地。自身變成本尊
同軌云。結金剛縛定印。入本尊密言布字
輪實相三摩地。卽於兩目瞳人上觀覽字。
色如燈炎。微屈頭閉目。以心慧眼照了心
道。常於胸臆內觀想圓滿菩提心月輪。秉
現在於身器。了〻分明離外散動。由智慧
定水澄淨得菩提心影於中現。良久心專
住一緣。卽於圓明上以心密言右旋一字
布列。意誦乃至三五遍。卽觀初唵字。一切
法本來無所得。與義相應時。但心緣理不
緣於字。一道淸淨遍周法界。卽入第二阿
字門。卽觀一切法本不生。旣觀已卽入第

三密哩二合字門。一切法我不可得。卽成平
等眞如自性成就恒沙功德。次應入第四
帝字門。一切法眞如不可得。諸觀已。內有
微細能緣所緣因緣法義。卽入第五吽字
門。一切法因不可得。因無所得故果亦無
所獲。次入第六頗字門。一切法果不可得。
由果無所得故卽成究竟圓滿法身。一切
無漏諸法所依止。次觀第七吒字門。一切
法本淨不可得。由一切法無諍故一切法
不可得。由一切法無所得故一切法本不
生。由一切法無生故一切法我不可得。由
一切法無我故眞如不可得。由一切法眞
如無所得故一切法因不可得。由一切法
因無所得故一切法果不可得。由一切法
果無所得故卽一切法離諍。由一切法無
諍故獲得淸淨無戲論實相三摩地。周而
復始。由一念淸淨心相應故。獲無礙般若
波羅蜜。無始時來一切業障報障煩惱障
一切頓滅。十方一切諸佛及本尊現前。不
久當得隨意所樂世間出世間悉地成就。
現生獲得初歡喜地菩薩。後十六大生證
無上正等菩提云〻

讚

軌云。卽誦此讚。〻揚聖者無量功能
摩訶摩羅引也戰拏引也尾尼儞也羅引
惹引也娑引馱吠引納難上路曩麼迦引夜
也曩謨悉帝二合嚩日羅播拏曳私云。金剛部說也。成本無
第三也字
身相

陀羅尼集經第八云。若欲受持軍荼利法。先畫其像。遍身青色。兩眼俱赤。攪髮成髻。其頭髮色黑赤交雜。如三昧火焰。張眼大怒。上齒背露而齩下脣。作大瞋面。有二赤蛇兩頭相交垂在胸前。頭仰向上。其兩蛇尾各穿像耳。尾頭垂下至肩上。其二蛇色如黃侯蛇赤黑間錯。其像百八臂手。右最上手把跋折羅。屈臂向上。下第二手把長戟柱。屈臂向上。其戟上下各有三叉皆有鋒刃。一頭向上一頭柱地。第三臂押左第三臂。兩臂相交在於胸上。右手中把兩箇赤蛇。其蛇相交各向像面。左手亦把一頭赤蛇。兩手各作跋折羅印。兩手大指捻小指甲。餘指皆申。即以左手押右腕前。次以右手押左腕前。即是身印。下第四臂仰垂向下。勿著右跨。五指皆申押施無畏手。左上手中把金輪形。屈臂向上。輪有八角。轂輞成具。下第二手。中指以下三指各屈向掌。大指捻中指上節側。頭指直豎向上申之。屈其臂肘。手臂向左。下第四手橫覆左跨指頭向右。八手腕中皆著金釧。以紫色地散花錦天衣。絡髆項背。令其天衣頭分左右各垂向下。髀以綠衣內紅色帶用繫其腰。虎皮與錦襯其兩跨。其兩脚脛名有赤蛇絞其脚脛。其兩蛇色赤黑間錯。仍令其像立於七寶雙蓮花上。其右脚指還向右邊。其左脚指還向左邊。其像左邊踝子以下畫一鬼王。身似人形。軀貌麁大。作白象頭。屈膝跪坐。舉頭向上瞻仰像顏。其鬼右手把蘿蔔根。屈肘向上。左臂平屈。展手掌把歡喜團。其手兩腕皆著金釧。其鬼頸下著金瓔珞。將以綠帶繫其腰上。以朝霞錦襯其兩胯

本軌云。軍荼利身色。瑩如碧瑠璃。威光遍劫炎赫奕。佩日輪。嚬眉笑怒。眼虎牙上下現。千日現不瞬。晃曜咸如日。千手各操持。金剛諸器仗。首冠金剛寶。龍瓔虎皮裙。無量忿怒衆。金剛及諸天。圍繞作侍衛

又云。次說本尊身相。應觀四面四臂。右手執金剛杵。左手滿願印。二手作羯磨印。身佩威光炎鬘。住月輪中青蓮花色。坐瑟々盤石。正面慈。右第二面忿怒。左第三眼作大笑容。後第四面微怒開口

又云。隨意所樂觀念四臂八臂乃至兩臂千臂云々

蘇悉地儀軌云。歸命金剛手。密主大菩薩。能說最上乘。令速證菩提。甘露軍荼利。能摧諸魔障（云々。私云。可思可思）

又云。白檀香塗曼荼羅。或安方或圓隨意大小

儀軌云。當於室中本尊像面向西。瑜伽面向東云々

又云。又於寶樓閣中央觀阿字。於兩邊觀吽引字。是甘露軍荼利法身種子字。次於東方觀吽短字。是降三世法身種子。又於南方觀怛洛合二字。是忿怒金剛藏法身種子。又於南方觀訖哩字。是金剛軍童子法身種子。次於北方觀惡字。是金剛羯捉（古譯名金剛童子）法身種子

又云。阿閦如來妙喜世界大集會中。請本尊甘露軍荼利菩薩幷諸大忿怒菩薩眷屬

瑜祇䟽明三部忿怒尊。金剛部金剛軍荼利。明三部忿怒使者。蓮華部蓮花軍荼利。金剛部甘露軍荼利

又云。不空三藏所持金剛頂瑜伽經說。五方如來各現二身。一正法輪身。二教令輪身○南方寶生虛空藏軍荼利（仁王云金剛寶）又明五部忿怒使者。摩尼寶虛空藏現大質金剛

瑜祇䟽云。彼教自有三部法王。佛部普賢即大日尊。蓮華部觀世音即阿彌陀。金剛部金剛手即釋迦文（出大日義釋）

陀羅尼集經云。金剛阿密哩多軍荼利菩薩自在神力呪印品。爾時世尊與軍荼利烏樞沙摩等共會。宣說是大自在威力陀羅尼法印神呪。時三千大千世界六種振動。毘那夜迦諸惡鬼神等不信敬者生大驚怕。欲走入山不得而去。復欲入海亦不能去。無處藏避。走至佛所頭面著地請佛救護。佛言。住々。汝等莫怕。金剛打爾頭作七分。汝等曾聞。摩訶畢伽那王昔在於彼悉遮山中。已被金剛打殺摧碎。汝憶此不。我此金剛有大力故。若復有人誦持諸佛般若菩薩金剛天等呪法印等。日々供養廣爲懺悔。及欲救護一切衆生厄難之時。汝等鬼神皆護助力不得惱亂。若有人等

憶念此呪印等法者汝等好看勿使一切
惡鬼等得便惱亂若復有人設食酒肉五
辛等味錯食不淨鮮血食者汝等亦忍不
得惱亂汝等若能不違我語當令汝等得
免如是怖畏之難爾時伽那王白佛言世
尊若有人等誦持諸佛般若菩薩金剛天
等神呪印者常能護行諸佛法要廣設供
養我等眷屬授佛教勅不令一切惡鬼神
等作諸障礙若復有人誦持佛呪及作印
法曼荼羅者常能供養十方諸佛般若菩
薩金剛天等我等護念若令誦呪人起種
々想或令其病或令眼閃或念財色由是
想念不令衆生日々入壇而誦佛等陀羅
尼呪及作法印設使誦持徒然無驗皆由
諸相不能成就若復有人或以燒香散花
飲食作諸供具爲欲供養遂被鬼神偷盜
將法使誦呪人作法不成如是等事我悉
擁護所有惡魔鬼神等輩隨逐人者我悉
遮護不令隨逐或復有人誦持我佛正法
呪印有時設犯錯食雜味及其食中有諸
不淨辛葷皿器臭穢氣者或復設與如人
交雜我悉不爲降難所惱皆由我護行法
人故爾時金剛藏言若復有人授持諸佛
印呪者恐諸不淨之所染著懼犯前事當
勤洗浴時宣禁戒每日平旦誦呪七遍食
時亦爾即破一切所有障礙所作之法一
切無畏悉皆成辦
大笑
陀羅尼集經第八明軍荼利法門云跋折
羅吒訶沙印呪法唐云大笑金剛跋折羅吒訶娑
多印呪第一先以二中指各菍在二無名
指背上二無名指頭相拄二小指開頭直
竪相去一寸許二大母指壓二無名指第
二節側文合腕二頭指屈頭相拄頭指來
去呪曰
跢姪他一唵二跋折羅吒訶娑那去音摩三
瑳醯々々四莎訶五壇於仁反或作亞
軍荼利私記丹州
前方便如例　次著座　次塗香塗手此軌
文中在下　次驚覺　次禮佛軌云々此瑜伽中向東者乃至
向本方也凡諸尊法中若有本尊所居土者先向彼土可作禮拜故云尊也　次普禮軌云
又應五輪乃至云々私云無量壽佛軌用蓮華合掌　次運心供養軌云々私云用定印
如何　次加持香水乃至唄禮　次五悔
次發願　次淨三業如軌　次三部三昧耶
如軌　次被甲軌云々　次金剛輪軌云々　次燒淨
器男如軌記私加之　次風輪印軌云文　次水輪
如軌　次地輪如軌私云印異言如胎記　次大海如軌私謂先結
大海印當講觀想然後誦異言右轉　次須彌山如軌私云結印先觀想誦異言　次
地結如軌　次金剛墻如軌　次道場觀軌云
々私云用定印作此觀□燈云次可想大殿內有大曼荼羅　次三力偈如軌
次普通供養如軌　次觀尊如軌私云用定印觀想曼荼羅中央
有阿字乃至法身種子々々轉各爲三昧耶形々々々々轉成尊形　次大輪壇如軌
私云准金界　次振鈴　次送車輅如軌　次請車
輅如軌　次迎請聖衆如軌　次辟除從魔如軌
次觀三昧耶如軌　次金剛網如軌　次火院
如軌　次閼伽如軌　次華座如軌　次閼伽如軌
次重結大界軌云又結火三昧耶印乃至皆速得成就　次塗香如軌
次花鬘如軌　次燒香　次飲食如軌　次燈
明如軌　次普供養如軌　次讚如軌　次布字
成本尊如軌　次本尊羯磨印如軌　次部母
如軌　次本尊三昧耶如胎　次加持珠如軌
次正念誦如軌　次還珠如軌　次入三昧地
如軌　次根本印　次部母如軌　次塗香　次
花鬘　次燒香　次飲食　次燈明　次
普供養如軌　次讚如軌　次閼伽如軌　次振
鈴　次解界如軌　次禮佛　次奉送如軌
次三部如軌　次被甲如軌　次五悔　次隨
方週向　次下座禮佛如軌　次出堂作法
軌云隨意釋行乃至速疾發得
以下三事如文
大威德本軌云聚閻曼德迦威怒王又云大威德忿怒明王花殿軌同之但又云六足尊大日經
疏六降閻曼德迦文殊眷屬具大威勢
梵號　阿利他二合閻曼德迦
密號　大威德金剛持明金剛
種子
三昧耶形　師說棒安然出之
印
本軌云次結根本印法二手內相叉作拳
二中指直竪頭相合即成印有大威力有
大神驗纏結此印誦眞言其人等同大威
德忿怒明王身無有異次說心印法如前
根本印舒二頭指屈如三戟叉即成結此
印誦眞言所作事法皆得成就次說心中
心印如前心印直竪二頭指即成結此印
誦眞言能成辦一切事
胎藏對受記大威德金剛印更有十六印

如下。海大德說。此即有三。一根本印。二心印。三心中心印(恐如軌)意大德說。同第一印。無後二印。權僧正大和尚說。惠和尚說。珍和尚說。并別記只用根本一印

軌云。說勝眞言曰〇次說大心眞言法。眞言曰(私加背龍注)

唵(驚覺三界一切聖賢皆集)紇哩(二合種子)瑟底梨(二合摧伏一切怨家)尾紇哩(二合)哆那曩(恐怖)吽薩縛設咄論(二合一切怨家)娜(引)捨野薩擔(二合)婆野(止禁)娑擔婆野(止禁)娑娑吒(二合)娑婆多(二合破壞降伏摧壞)娑縛(二合)賀

次說心中法。眞言曰

唵瑟室利(二合)迦(引)攞嚩枚吽欠娑縛(二合)賀

引

或本出三種印了云。次隨心眞言(私云次上心中)(心眞言也)次心頂口心眞言曰。唵嚫吽。次說大威德身云。身安三字。謂頂安唵字。口安惡字。心安吽字。成就尊身

又云。又畫彼像云〻次誦三字明。隨處一〻布字。眞言曰。唵惡吽。作此持成就身已。

即誦大威德明王讃

佛眼法中云

唵(引)吽(引)嚩吽(引)

讃

軌云。大威德明王讃

曩謨(引)縛羅娜縛日羅(二合)麌羅曼儒具攞摩賀摩攞娑賀娑羅(二合)吠遇尾惹曳尾觀娑(二合)羅瑟吒羅跛末娜迦

身相

軌云。聖閻曼德迦威怒王身乘青黑水牛。持種〻器杖。以髑髏爲瓔珞。頭冠虎皮爲裙。其身長大無量由旬。遍身火焰洞然。如劫燒焔。顧視四方。如師子奮迅

又云。若有惡人怨家。於善人起惡意相危害者。應當鑄一金銅威怒王像。隨意大小

又云。若欲摧他敵者。應當建立三角壇。於中畫大威德明王。身作玄雲色。遍身生火焔。執持諸色器杖。身安三字。謂頂安唵字。口安惡字。心安吽字。成就尊身〇布於自身一同壇中像法。威驗並皆如是

又云。又畫彼像及想己身。並作青黑色。六足六首六臂。所以淨六趣滿六度成六通。次誦三字明。隨處一一布。眞言曰。唵噁吽。作此持成就身

八字文殊軌云。閻曼德迦金剛青黑色。六頭六臂六足。各執惡杖。左上手執戟。次下手執弓。次下執索。右上手執劍。次下手執箭。次下手執棒。乘青水牛爲座(私云外害治牛一云齊牛)(即水牛也。能沈沒於水中者也)

仁王軌云。文殊師利云〻依教令輪現作威怒六足金剛。手臂各六。座水牛上。摧伏一切諸惡毒龍。興大風雨。損有情者。令調伏故

本軌云。爾時釋迦牟尼佛觀淨居天宮諸天大菩薩天龍八部。告文殊師利言。過去十阿僧祇倶胝如來。皆於大聖文殊師利菩薩發無上菩提心。說文殊師利眞言教法。欲令佛法久住世間。加持國王護持國界。以十善法化導有情。今正是時。汝當宣說聖閻曼德迦威怒王身(云〻如上)說勝根本眞言(如上)

軌根本眞言次云。纔誦此眞言。三千大千世界六種震動。所有天魔毘那夜迦於世間作障者所居宮殿皆大震動。恐怖不安。皆來雲集。頂禮大威怒尊白言。唯願哀愍令我無畏。爾時威怒王白佛言。我今所說眞言。十地菩薩聞此眞言。不隨順佛教法者。尚能銷融。況餘天龍八部作障難者。誦此眞言滿一萬遍。則能作種〻猛利調伏法。若有惡人怨家。於善人起惡意相危害者。應當鑄一金銅王像。隨意大小。於一淨室作三角壇。底畫彼人形。或書姓名。像面向北。持誦者身面向南坐。結棚印忿怒厲聲。日〻三時念誦一七日。其惡人或患惡疾。或患惡瘡。或身喪滅。又法。畫彼設覩盧(二合)於貝葉上。或樺皮上。畫了結棚印按彼心上。誦眞言加持一百八遍。然後置像坐下。取熒惑日午時作法。又每日於中夜。以鍐印按彼像心上。誦眞言二十一遍。想彼設覩盧(二合)在像底。並眷從眷屬皆衰喪。又法。先畫三角壇〻中畫設覩盧(二合)形。取佉陀羅木作橛。可長四寸。橛頭如獨股形。以眞言加持一百八遍。眞言句中按彼人名。於此句下加之。便釘彼心上。一月於像前三時念誦。時別一百八遍。隨力供養。焚安悉香。滿一月已。設覩盧(二合)即坐臥不安。遠走而去。久後身患至死。持誦者起悲愍。爲作息災護摩法。彼則如故。次說大心眞言

法。眞言曰
唵紇哩（如上云々）
對大聖像前作三角壇。誦此眞言一萬遍。功行卽成。然後取黑泥。捏作設覩嚧（二合）形仰臥。於腹中著驢糞。又取驢骨作橛五枚。長六寸。一々橛各誦眞言一百八遍。以二橛釘左右二肩。二橛釘兩脞。一釘心上。面南坐。燒安息香誦眞言一萬遍。其設覩嚧（二合）卽患病吐血而死。又法。對像前作三角火壇。護摩七夜。以棘刺柴焚火。取苦練葉書二相愛人名。以葉相背。用蛇皮裹。以鼠狼毛爲繩纏葉上。用一百八葉。於眞言句中稱彼人名。誦眞言一遍。一擲火中。彼二人卽互相憎嫌不和。又法。欲令惡人遠去。取烏翅一百枚。搵芥子油於三角爐中燒。棘刺柴然火。護摩一夜。眞言句中稱彼人名。一遍一擲火中。其人不自由卽便遠方去。又法。欲於軍陣得勝者。取茅草葉一百八枚。長十二指。搵胡麻油三角爐中燒棘刺然火。護摩七夜。誦眞言一百八遍。於眞言句中稱彼將帥名。一遍一擲火中。卽得彼軍陣破得勝。又法。取鐵末六兩。誦眞言句中稱彼人名。然後取一撮以眞言加持。一遍一擲三角爐中。護摩七夜。彼設覩嚧（二合）卽自衰喪。又法。取佉陀羅木橛長四指。於三角壇中。以燒屍骨灰畫設咄嚧形。誦眞言加持一百八返。釘設覩嚧心上。想自身爲大威德忿怒尊。以左脚踏設咄嚧心上。誦眞言一千返。眞言句中稱彼人名。其人卽滅亡。次說心中心法。眞言曰
唵瑟致喇（二合）迦攞嚩跋（如上）
念誦作此法時。誦此眞言印身五處。護身辟除結界用。若能每日誦一千返。一切惡人怨家不得其便。令彼作惡法不成。呪咀厭禱悉皆破壞。若見惡夢誦七返。惡夢不應。又法。結心中心印。遙擲設都嚧方。其國界災起疾疫。若欲解時。起大悲心。遙想彼國界人衆互起慈心。相向如父母。如前誦眞言一萬返。卽得災息。次結根本印法（如上）次結心印法（如上）次結心中心印（如上）
已下文如上
次說二十二種供養。能令所作之法速得成就。掃地眞言。請召眞言。閼伽眞言。獻座眞言。澡浴眞言。金剛輪眞言。獻衣眞言。塗香眞言。焚香眞言。花眞言。加持五色粉闌壇眞言。寶帳眞言。幢眞言。幡眞言。寶軒冕眞言。寶樓閣眞言。扇眞言。莊嚴眞言。燈眞言。獻食眞言。獻念誦返數眞言。拂眞言。奉送眞言。已上眞言修行者三返或七返。則具如上二十二種供養。所求悉地速得成就。又於上二十二種明中。加持五色粉明。應於建立壇中。當用此眞言加持其粉。以用闌壇。其奉送眞言念誦畢已。欲出道場。應誦此明以遣聖衆。又法。欲令聖者疾得降臨。速除障難滿本願者。准前建立三角壇。當取安悉香及白芥子與摩努沙嚕地羅。和諸毒藥赤芥子並油。獨管之葉一百八枚。苦練枝一百八枚。削兩頭小尖。長十二指。以用搵油誦眞言曰○誦此一遍已。及諸香藥一擲火中。盡一百八枚已。所求之願皆得成就。是時聖者不違本誓。疾至道場爲作加護。若有惡夢。由加持力皆悉不現究竟消滅。行者作前諸法念誦畢已。當出道場起慈悲心勿生怨害。經行任意轉讀大乘典

大威德尊深祕十六印（金剛智三藏口決云 地不離口決文出之）
第一根本印。謂二手內拳縛。二中指末相合。胸臆間建立之。辟除上下
第二證身印（如根本印）舒竪二頭指。相當二中指上節上直竪之（用大呪五處）
第三密心印。如前印。以二頭相著二中指上節。令著之
第四祕心中印。如前印。但二頭指如微呟形。以二大指端相捻二中指文上。謂以二大指端相捻二中指文。此心中祕密之義（器杖者三貼狀乃如スルナリ）
第五鑁印（蘇合羂索也謂結縛 之鑁義也解脫義云々）印二地二水二火相鉤如索。亦二頭指與二大指之端相捻。相重如羂索形。相似內縛契也。以是密索契在設覩嚕本心信上。除却妄執結縛。令得智解脫（印形隱之云々）
第六棒印。以最初根本印用意故作棒印。亦以片手作時。右手地水風屈入掌中。以大指橫按地水風三指上。中指直申樹之。是名棒印。左手作拳按腰側（辟除上下諸惡人五處怨體想）（以此印打之）
第七鉾印。以根本印用意故作鉾密印。亦

以三戟印爲鉾印。謂二羽堅實合掌。二水
交入掌中。亦二頭指交入掌中。二地相合
直樹之。二中指相合直樹之。二大指相合
直樹之。二腕相合如鉾柄是也
第八楯印。先定掌五指相側竪。向前方樹
之。慧掌亦同重樹定掌內。定慧十指更互
相重右轉三匝。猶如楯圍遶
第九劍印。如前根本印。但二中指初節微
屈如智劍首是也。如例
第十弓箭印。如上智劍印。屈定中指爲弓。
申慧中指爲箭。以射厭離佛種妄分別心
爲用怨體
第十一輪印。定慧地水相鈎環。定慧大指
中指之端相捻。如重按二輪。二頭指之端
相拄。如虛空輪。實相觀照文字等三種般
若和合輪印（初加持三業。次加持壇四方。置於壇中也）
第十二三昧耶攝召印。三者三界諸心意
識總在善惡。普遍攝召故。大威德無差別
一體智。以前印二頭指相召歸輪印
第十三羯磨法輪印。定大指與中指之端
相捻如輪。慧羽亦如此。小指無名頭指等。
更互相交。右轉三匝辨事是
第十四六首印（亦名六度印）二手和合樹之。二
小指相交入掌中。亦二大指相交入掌中。
二水二中二頭各々指末開散竪之。二掌
中間如虛空無際。印七處了開散頂上也」
第十五大威德無比眼印。先二地相交入
掌中。次二中和合端相拄樹之。次二頭二
大端相捻令有三角。猶如兩眼。次二水末

更互左右頭指大指中間相出。如兩目。以
印在行者兩眼上。都見惡人卽時滅死。亦
以此印打暴惡鬻云々
復次大威德神通使者智牛王祕印。二羽
共作忿怒拳。共相背入並掌中。二水二中
諸節齊等。二地申初節忽相屈。指末附水
指中節側。二頭指微屈如並肩。以二大指
附二火節上。猶如牛王伏（是一印清涼房大師眼前結得者也」）
無畏軌文云。執劍戟棒索。左持弓。右箭。卽
說根本大眞言。是菩薩文殊師利變化身。
或別儀軌云。釋迦變身云々。梵云野曼德
迦。是尊六足六手六臂。所以淨六趣滿六
度成六通也。身無量由旬也云々。勝三世
五胋印是也。繹釋共號降三世。言降三世
以訶字爲種子。勝三世亦以是字同爲種
子。無畏軌云。先想寶石上火生三昧中訶
字法門。轉想成威怒尊。以是勝三世卽降
三世。無何差別云々。釋云。如來住法幢高
峯三昧。降伏三界難調衆生及三毒煩惱。
於三界天中化無量眷屬爲大天主。勝彼
諸天百千萬倍。更有何衆生而能勝。又云。
爲降伏世間難調衆生故卽降三世也。所
謂三世者名貪瞋癡。降此三毒名降三世。
又云。三世者名爲三界也。釋勝三世眞言
中尾攞野境界也。三婆吠句云。是菩薩從
佛境界生故號降三世。以是定知。勝降二
菩薩更無差別　青三本云。右上三鈷杵。
次箭。次劍。當心三昧印。右手索。次弓。次鏘」
大威德次第

先洗衣浴身　次建立道場　次辨備供
物　次護身（先淨三業。三部。被甲。次）　次入堂（持珠杵）
次禮佛　次著座　次加持香水灑淨供
物（用軍荼利明）　次加持供物（用馬頭）　次去垢
次清淨　次光澤　次啓白神分等　次
供養文　次唱禮　次驚覺　次九方便
次佛部　次蓮華部　次金剛部　次被
甲　次地結　次金剛墻　次道場觀（用定
印）
觀想。先地結上金剛墻內有大海。八功德
水彌滿。海中有寶山々々上有寶師子座々々
上有蓮花臺々々上有寶樓閣。諸幢幡
寶蓋天衣繒綵等周匝懸列。有諸寶樹浴
池水邊等。諸樂器懸處虛空不鼓自鳴。有
諸香花雲及衆寶雲。普雨雜花繽紛以飾
地。宮殿內有寶瓶閼伽等。摩尼爲燈。殿內
有大曼荼羅。々々中心有寶座。々々上有
紇哩字（古字）婆々々變成棒。々々變成大威德尊
形相好分明。無量忿怒眷屬圍繞云々
次三力偈　次普通供養　次治路印如
例（用[illegible]地明在軌）　次送車輅　次請車輅　次
奉請本尊（用印明。心中在軌）　次辟除從魔　次示
三昧耶（如地悉）　次金剛網　次火院　次
閼伽　次花座（明軌在）　次善來　次重結
大界　次閼伽（用澡浴明）　次供養金剛鈴
次供養獻花　次寶帳　次幢　次幡
次寶軒冕　次寶樓閣　次扇　次莊嚴
次拂（已上金剛合掌）　次塗香　次花　次燒
次食　次燈（已上在軌呪）　普供　次讚（在軌）

次布字（用定印師說用心中心印即想己身成本修觀法在軌唵惡吽）次根本
印　次大心印　次心中心印　次加持
珠　次正念誦（加持珠了頂戴發五大願而成正念誦）次念誦
了頂置本所　次入定（心月輪上種子）次根本
三印　次部母蓮花　次獻念誦遍數明
次解界　次禮佛　次奉送（結先送車輅印誦其明除迎羅）次三部　次
沙（野句加縛車々々以二大指向外撥二中指端或用軌奉送明）
被甲　次五悔　次隨方迴向　次出堂
掃地明本私記用治路印。今私云。壇上
道場掃地可用之歟。加持五色粉眞言
闍梨時用之

金剛藥叉
瑜祇疏云。第四金剛夜叉念誦法云。縛日
羅藥乞叉。教王經云金剛盡（是金剛牙菩薩名也）此經
云金剛火焰口。亦名金剛大藥叉呑噉。亦
名金剛盡。亦名金剛食（是忿怒王名也）
教王經云。金剛盡（舊云金剛夜叉）方便（舊云摩訶方便）金
剛牙（舊同）亦大怖（舊云甚可怖畏）摧魔（舊云伏魔摧）金剛
唆（舊云剛上）金金剛忿（舊云金剛暴惡）
疏云。金剛夜叉是北方菩薩。北是黑色故
爲大黑也
略出經云。金剛夜叉。摩訶方便。金剛牙。甚
可怖畏。摧伏魔。金剛上。金剛暴惡
瑜祇經疏云。金剛食即盡同號（金疏云夜叉是食義義釋）
（云藥乞叉噉食義也）
仁王軌云。解曰。梵云。夜叉。此云威德。又翻
爲盡。能盡諸怨故。如彼經云々。摧伏一
切可畏夜叉

種子 [siddham] 吽（私云吽種子可歎知歟）
三摩耶形　牙
金剛頂經意云。摧一切魔菩薩現金剛牙
菩薩々々々々者金剛夜叉也（可撿正文）
仁王經軌意云。摧一切魔菩薩現金剛夜
叉
甘露軍荼利經及瑜祇疏等至下步擲撿
之
印
戒方忍願指。內相叉爲齒。檀慧曲如鉤。進
力及禪智。由如笑眼形。是名根本印（瑜）
有處云。二羽內縛。出地風空。各屈如忿怒
拳
瑜祇經金剛讃明曰
唵摩訶藥乞叉（合二）縛日羅（合二）薩埵（合二）縛（合二）弱
吽鑁斛（引）跋羅（合二）吠捨吽（更有呪可同一字心）
讃
軌云。讃歎夜叉眞言曰
縛日羅（合二）愛咄羅（合二）藥乞叉（合二）縛日羅底
哩（合二）尼尾補利（合二）賀顙（引上）縛日羅（合二）摩訶
藥乞叉（合二）夜乞叉（合二）婆顙伽顙也（引）惡（短）
善哉善哉惡藥叉　憐愍有情我等類
無倫比像化含靈　何者寧爲何惱法
或用金剛界牙菩薩讃
縛日羅藥乞叉摩呼播耶縛日羅鄧瑟吒
羅摩訶婆耶摩攞鉢羅末㗚儞縛日路藥
羅縛日羅戰拏曩謨薩都諦
身相
仁王軌云。示現八臂

瑜祇經云。我今更說祕。金剛夜叉形。六臂
持衆器。弓箭劍輪印。及薩埵羯磨。五眼布
忿怒。三首馬王髻。珠寶遍嚴飾
仁王經軌云。北方金剛夜叉菩薩。手持金
剛鈴。放瑠璃色光。與四倶胝藥叉。往護其
國。解曰。梵云藥叉。此云威德。又翻爲盡。能
盡諸怨故。如彼經云。摧一切魔怨菩薩也。
依前法輪現勝妙色。悲智圓滿得自在故。
手持金剛鈴者。鈴音震擊覺悟有情。表以
般若警群迷故。依敎令輪現作威怒淨身
金剛。示現四臂。摧伏一切可畏夜叉。當於
晝夜伺求方便。奪人精氣害有情者分調
伏故。放瑠璃光者。顯能除遣藥叉等也。與
彼北方多聞天王。及將無量藥叉衆羅刹
娑衆爲眷屬。與四倶胝菩薩往護其國
金剛界羯磨會金剛牙羯磨印明。二拳々
面相合。二小指及二頭指各怒之。引至拳
安口上
唵縛日羅（合二）藥乞叉（合二）吽
對受記云。日院說。二手忿怒拳面相合致
口。二風安口左右。想立一牙。睿和上說。二
金剛拳。進力檀慧各如鉤形。以進力中節
向外附口兩邊。運和尚說。二手各以大指
橫掌中。以中名指握其上。頭指小指初分
小曲如牙。以當口左右邊。記者私云。略出
云。又用二展檀慧度。進力等置口兩邊。如
藥叉牙。敎王云。小指牙。眞實云。次觀金剛
藥叉菩薩。行者作想。我是金剛藥叉。所以
諸佛大方便力神通變化。我口中有金剛

利牙。所以見者懷大恐怖。善能摧滅一切
魔怨。我身五色。諸佛菩薩衆生十方世界
亦皆五色。結金剛拳。左右小指相鉤著口。
舒二頭指安左右頰。是二牙相
三摩耶會牙菩薩。日院說。外縛二地各立。
二風如鉤不相跓。想如牙也。香房中院並
同日院（准中院說。惠和尚云。二風屈端向下。成云如鉤）睿和尚說如軌。
運和上說。金剛縛開二頭指初分小曲。立
二中小指如牙當口。私云。略出經云。如本
縛。曲進力度開壇慧度爲牙。名金剛夜叉
三摩地契。教王經云。曲頭指如牙。小指亦
復然

眞言曰

設咄魯薄乞叉（二合）

瑜祇經云。大金剛焰口降伏一切魔怨品
第十二。爾時世尊復觀一切未來世諸薄
福有情。住大悲盡三昧。而說伽陀

有佛名金剛　大藥叉呑噉
一切惡有情　及無情等物
三世一切惡　穢濁染欲心
令彼速除盡　呑噉無有餘
汝金剛薩埵　一心聽此明
廣布諸有情　金剛盡明日

唵摩賀藥乞叉（二合）縛日羅薩怛縛弱吽鑁
斛引跋囉（二合）吠捨吽

此名金剛食　主宰諸能摧
菩薩化身天　及正業受果
誦此一千八　隨順而攝伏
三千世界中　上至有頂類
若加持男女　能令阿尾捨
三世三界事　盡能知休咎
若誦一洛叉　能令三界天
所問吉凶事　速令阿尾捨
若欲食諸觸　先誦七遍明
便食諸觸物　能令悉淸淨
若與人食毒　誦明三七遍
擲而如彼器　卽成藥魯拏
噉食諸龍毒　或觀成本尊
或印成本尊　皆得攝彼毒
若令人敬愛　以印遙擲彼
或想以印擊　彼皆如奴僕
若作曼荼羅　及畫或觀成
當觀吽一字　成大羯磨輪
放光焰金色　復於臍輪中
當鈷於五分　觀五大月輪
一輪安五尊　共爲二十五
用金剛界字　羯磨印安布
次於輪四隅　放種種色光
一隅四忿怒　四隅十六護
各持五峯杵　作金剛擲步
皆從吽字生　身作四方色
最中圓佛處　四隅內供養
次四方前前　左右安二尊
所謂鉤等四　及香花等四
次後相對處　安妙吉祥幢
種種諸寶網　緋衣珠鬘花
輪鈴拂商佉　天女作衆樂
如是等安布　皆從吽字生
用前成就明　安了誦一遍
卽能成眞實　堅固如金剛
行人自爲師　處於輪臍中
四時不間斷　誦滿三十萬
依前觀行門　速得本尊身
若有諸惡人　藥叉羅刹主
風雨龍山神　七母諸宿曜
海神江河神　釋梵日月天
金剛尾伽那　三界中天人
俱依此觀住　彼見如仁者
作禮獻所能　授教而請命
復次金剛手　我今更說印
戒方忍願智　內相叉爲齒
檀慧曲如鉤　進力及禪智
由如笑眼形　是名根本印
亦名根本心　結護及供養
扇底迦四事　皆用此印作
我今更說祕　金剛藥叉形
六臂持衆器　弓箭劍輪印
及薩埵羯磨　五眼布忿怒
三首馬王髻　珠寶遍嚴飾
其餘諸聖尊　盡如金剛界
若欲治諸病　應稱十六吽
結彼金剛業　勢如持金剛
口誦所言約　彼皆悉受命
移大海蘇彌　及取三界天
開惡趣放罪　所作皆稱遂
若欲得仙藥　及往極樂界
知足天王宮　隨所意使得

金剛薩埵汝　更說阿尾捨
取童男女等　淨浴新淨衣
令彼薩埵誓　上安於白花
加持令掩面　再加一千八
彼即阿尾捨　彼身或住空
所有三世事　一切皆智者
我說祕密句　汝等善諦聽
扇底等五事　祕句說眞言
圓極大悲常　是名寂災句
歸依及蓮花　是名增益句
忿怒破壞釋　是名降伏句
敬愛伽路耶　金剛鉤〻召
是名五祕密　金剛語瑜伽
欲令彼未來　不依歸授者
於此法輕慢　自述自師意
述諸阿闍梨　剛強大我等
更說一字心　祕中最勝密
(或本眞言有之)
此名最勝祕　金剛身語心
諸佛大悲身　常在此字中
隨處誦一遍　諸大果菩薩
一切人天衆　悉皆禮彼人
如前所作法　或誦此密言
一切迷皆成　不可思議力
承金剛薩埵　此名祕最勝
勿忘傳與人　當付智慧者
唵吒枳吽娑怖(合二)吒鉢羅(合二)吠舍野吽發
吒
爾時大衆十六大菩薩及諸忿怒金剛等。皆悉禮佛依位而住時佛菩薩等忽然不現。諸金剛等各〻互相謂言。何故諸佛忽然不現。即於是時遍於法界而有聲言。善哉諸金剛等。我本無有言。但爲利益說時。金剛手等亦復不現

娑嚩(合二)賀曩摩跛納麼(合二)吽泮吒伽路耶

殃句契(可有當付智慧者次)

疏云。第四金剛夜叉念誦法云。縛日羅藥乞叉。教王經云。金剛盡(是金剛牙菩薩名也)此經云金剛火焰口。亦名金剛大藥叉吞噉。亦名金剛𤙖。亦名金剛食(是忿怒王名也)若作曼荼羅。及畫或觀成。常觀吽一字。成大羯磨輪(連輪十字)(成大圓輪)放光焰金色。從於臍輪中(輪中爲臍)當鈷於五分。觀五大月輪。一輪安五尊。共爲二十五。用金剛界字羯磨印安布(用金剛界羯臍合五佛四)(蜜十六菩薩種子界成之即用供印異言並之)次於輪四隅。放種種色光。一隅四忿怒。四隅十六護。各常五峯杵。作金剛步擲。皆從吽字生。身作四方色(文殊)(八字法云第三院十六大天外護南焰魔后次西羅剎主次角羅剎后次北水天次北稚天后次北風天王次東風天后次東毘沙門天王尊次東毘沙門后次東伊舍那天次南伊舍那后次南帝釋次王次南帝釋后次南火天神次西火天后次西焰魔天此釋四隅各四大護常分四方之后加於四維以爲四剛各四大護維五大虛空藏五方色中白東黃南青西赤北黑若大勝品東白南黃西紅北綠以五大品爲定作十六色最下文云行人自爲佛處於輪臍中即以自身先成大日次變大日火焰口金剛藥叉)中圓佛處四隅內供養(四月輪間)次四方面前。左右安二韋所謂鉤等四。及香花等四(四輪前左右左攝右供)次後相對處。安妙吉祥幡。種〻諸寶網。綵衣珠鬘花輪。鈴佛商佉天女作衆樂。如是等安布。皆從吽字生。用若成就明。安了誦一遍。即能成眞實。堅固如金剛。行人自爲佛。處於輪臍中(本尊眞言先持誦成就者名前成就明或用唵字明等爲前成就明)我今更說祕。金剛夜叉形。六臂持衆器。弓箭劍輪印。及薩埵羯磨。五眼布忿怒。三首馬王髻。珠寶遍嚴飾。其餘諸聖尊。盡如金剛界(先用金剛界三十七尊印明十六外護印明安立已了次變大日爲火焰口縛如大日後胸現降三世次以四蜜成火焰口次東南西北五尊次第變成火焰口尊例如吽迦羅法以五部尊次第成吽迦羅云〻當例此中五月輪增並五大明王輪境各以五大明王轉變各作五五五二十五尊云〻)

本軌云。爾時金剛手虛空庫菩薩摩訶薩。觀察天宮諸大菩薩天龍等八部。而從座起偏袒一肩。白釋迦牟尼佛言。乃往古昔無量俱胝大劫。爲求法故流轉器世間。多有波旬王。令我多退佛法。唯願薄伽梵聽。示現權身。說大威神驗眞言。佛言。欲現何權身。答曰。願現大聖藥叉金剛形。過去佛已現。〻在佛今現。未來佛當現。我今非過去非現在非未來。現我自身三昧忿怒。而守護佛法愍念有情。佛言。善哉。大聖欲護持佛法愍念有情。仁者善可現權說大靈驗眞言。我與仁加持護念。俱共說眞言。慈護持者。即時未起座。現三面六臂大威忿怒毒形。以七珍瓔珞莊其身。長大無量。遍身火焰燃如劫火盛猛。顧視四方如獸王云〻

金剛夜叉私記

前方便(如例)　次驚覺　次九方便　次發願　次三部　次被甲　次地結　次金剛墻　次道場觀(定印)

觀想。前地結上金剛墻內有大海。〻中有寶山。〻〻上有寶樓閣。〻〻內有大曼荼羅。

曼荼羅四角有四賢瓶。無量供具周匝陳
烈。曼荼羅中心有寶蓮臺。蓮臺上有日輪。
〻上有吽字。字變成金剛牙。金剛牙變成
金剛夜叉。六臂持衆器。弓箭劍輪印。及薩
埵羯磨。五眼布忿怒。三首馬王髻。珠寶遍
嚴飾。內外八供四攝菩薩天等周匝圍遶
云〻
次三力偈　次普通供養　次振鈴　次
送車輅(想車輅至本尊所在)　次請車輅　次迎請聖
衆(用金剛藥叉部印明可加與醯唱明句末)　次辟除從魔(如悉地)
次觀三昧耶(如悉地)　次金剛網　次火院
次閼伽　次花座　次普來　次重結大
界　次塗香　次花鬘　次燒香　次飯
食　次燈明　次普供養　次讚(用金剛牙讚)
次入三摩地
觀想。心月輪變成日輪。輪上有吽字。字變
成金剛牙。其牙漸舒漸大。舉體成金剛牙。
金剛牙變成金剛藥叉。六臂三面(具如前道場觀中)
次根本印(成如金剛界成如口決)　次加持珠(如悉地)
次正念誦　次置珠本處　次入三摩地
心日輪上觀種子字。念其字義。若作廣觀
者。旋布眞言觀字義句義云〻
次根本印　次部母(用金剛部母)　次五供養
次普供養　次讚　次閼伽　次振鈴
次禮佛　次奉送(用二印明)　次三部　次被
甲　次九方便　次隨方迴向　次下座
禮佛　次出堂作法
軌云。若欲行此呪。如聖不堂尊念誦儀
軌而作法。今暫依十八道契明之

金剛部母莽莫雞
梵號　阿里也縛日羅勾羅網婆縛
密號　不壞金剛
種子　怛哩
三摩耶形　三股
印
二手內相叉。忍願檀慧禪智並申。如三股
金剛杵形。密言
唵矩蘭馱哩滿馱〻〻吽發吒娑縛賀(軍荼利軌文有歸命句)
密印品云。如前印。以二空輪屈入掌中。此
是忙莽雞印
疏云
南麼三曼多伐折羅赦一怛嘌(二合)吒(輕)怛
嘌(二合)吒若衍底莎訶
藏品疏云。次金剛母。所謂忙莽計。忙言母
義。莽計亦是多義。即一切金剛之母。諸金
剛智慧從此生也。怛履(二合)吒(輕)〻〻〻(輕)
此中以上怛履字爲體。多是如〻義。羅是
離塵垢義。伊是三昧也。即是如〻無垢三
昧。諸金剛智慧由此生也。吒字不成是半
體。破壞不成是死義。由此三昧殺無明住
地人也。已殺無明住地故。若衍底是勝義。
亦是生義。若達如〻。垢障除得無勝之生。
故爲衆母。無勝而生。即是生諸金剛〻〻
是無勝者。亦是生諸無勝人也。此無勝生
亦名甘露生
陀羅尼集經云。金剛摩摩雞(去音)(亦名金剛母)以
二無名指頭指。各右厭左屈在掌中。二小

指各並直竪頭相拄。以二大指齊並竪之。
勿與頭指相著。大指來去。呪曰
唵一孤蘭怛哩二盤陀〻〻三莎訶四
此法印呪名爲金剛母法。若作金剛法。乃
至欲作軍荼利等金剛法者。先誦此母安
置供養。即得一切金剛歡喜。行法有驗
瑜祇經疏云。有三部母。爲扇底加法〇金
剛母忙莽雞
不空羂索經下云。摩摩雞天女(周言我所不壞金剛)
圖云。發生金剛部菩薩阿利也(二合)縛
日羅(二合)助婆(二合)縛。種子縛。三摩耶獨股。白
肉色。法界定印上立獨股杵。著大衣坐赤
蓮華。或本淺黃。此合曼荼羅也

步擲
本軌題云。播那曩結使波(唐云步擲)
種子　至下可知
三摩耶形　至下可知
大妙金剛大甘露軍拏禮焰鬘熾盛佛頂
經云。普賢菩薩現作步擲金剛明王。以右
手把一旋蓋。左手把金剛杵
本軌云。歸命金剛手。諸佛所依者。具普賢
衆行。住是本有身云〻
瑜祇疏云。摧一切魔現步擲金剛
同疏云。羯磨部摧一切魔菩薩現步擲金
剛
印(私云金剛夜叉步擲明王同異別可思擇之)
本軌云。左手頭指已下成拳。以大指押頭

指側想執三古杵。極力展臂向左擬勢。右手大指入掌。以中名指握之。頭指及小指皆舒之。極力乘臂手背向外。利牙出現。瞋日左顧（檢軌本）

本尊心眞言曰

唵一攞臨二二合屈臨三二合部臨四二合素臨五二合儞臨六二合盧

佛眼要集云

唵紇哩緋引二合矩嚕吽引二合勃哩吽引二合宰嚕吽引二合儞嚕吽三合盧

本軌云。復結三昧金剛杵契

（私云何契了以印於心誦眞言曰）

唵一攞哩二二合儞臨二二合

由此契及眞言加持。行者心如本尊。及舉印契頭。誦眞言曰

唵部臨二合

由此契及眞言加持故。首同本尊。又以契印額右肩左肩及心喉。皆誦被甲冑眞言曰

唵一儒臨二合

由此契及眞言加持故。卽成被金剛甲冑。無能嬈害○行者之身與本尊無異。諸佛授記諸天歸仰。決定成無上正等菩提

讃

大輪（檢佛眼文集）

種子

三摩耶形

印眞言

大輪金剛總持陀羅尼經云。爾時世尊卽說身呪曰

那謨婆多梨耶一地婆伽南二怛他揭多南三烏鉢四二合毘羅時ヽヽ五摩訶斫迦羅六薩多ヽヽ七莎羅帝ヽヽヽ八哆羅曳ヽヽヽ九毘陀摩儞十三盤禪儞一十怛羅末儞二十悉陀羯梨怛炎三十娑訶四十

大輪陀羅尼心眞言曰

南無悉唎哩二合耶一隊伽南二怛他伽哆二合南三上唵四尾羅時ヽヽ五摩訶斫羯羅六伐折梨七伐折羅八薩多ヽヽ九娑羅帝ヽヽヽ十怛羅曳ヽヽヽ一十毘馱末儞二十三盤儕儞三十多羅末底四十悉陀阿羯哩底丁反以哩䘏莎訶（有印檢之）

大妙金剛甘露軍拏禮焰鬘熾盛佛頂經云。爾時慈氏菩薩現作大輪金剛明王○說是六字心眞言曰

唵縛日羅二合左訖羅二合吽

千手軌云。機發意轉法輪菩薩印。二手各作金剛拳。進力檀慧相鉤結。卽誦眞言曰

（師說更問云）

唵縛日羅二合斫訖羅二合吽弱吽鑁斛

讃

身相

無能勝

梵號阿波羅爾多法摩訶

密號無能勝金剛。勝妙金剛

種子　唵。或

安然胎藏抄云。唵。或軌吽

三昧耶形

大日經疏明無能勝云。此是釋迦化身。隱其無量自在神力。而現此忿怒明王之形。謂降伏衆生而盡諸障也○坐佛樹下摧破四魔兵衆也。無能勝卽不可破壞之義也（私云胎藏軌等眞言異前頁檢）

密號云。阿波羅爾多法摩訶

瑜祇經疏明三部忿怒云。佛部阿鉢羅爾彈

大妙金剛大甘露軍拏禮焰鬘熾盛佛頂經云。爾時地藏菩薩現作無能勝金剛明王○說眞言曰

唵戶嚕ヽヽ贊拏禮摩蹬霓上娑縛二合賀

佛眼要集云

唵戶魯ヽヽ戰拏り上摩蹬儗娑縛二合賀

圖地藏菩薩虛空庫也。別可思擇也

或云無能勝明王呪印

地藏菩薩　呪如上。右手在心。如執蓮花像。直中左手臂五輪。而向外距之

印

佛眼法中師說云。二羽虛心合掌。十輪端相拄令密合

又說云。二手內相叉作拳。豎合二中指

私云。胎藏印等撿之。此尊行相別可思擇之

准提儀軌云。次結無能勝菩薩印。辟除障者。二手右押左內相叉作拳。豎二中指頭相合卽成

曩莫三滿多沒馱引南唵戶魯々々戰拏引里摩蹬耆娑縛合二賀引

一字金輪軌云

又用本部中無能勝明王
密言印自身五所如前法
八指右押左掌內各交合
大指開微屈少離頭指側
誦此心眞言吽短聲
由作此加持於一切時處
魔寃不能侵虎狼毒虫
惡心人非人盡無能陵屈
如來初成佛於菩提樹下
以此印眞言摧破天魔軍

胎藏儀軌云、釋迦牟尼前、無能勝及妃、明王智持蓮風空捻火屈定掌外向舒高於頭而在黑蓮上、妃密勝大口內縛並二空如鉤黑色持刀阿上跛羅引爾多、眞言曰

曩莫三滿多沒馱南引四吽地睒々々合二聊陵合二々々娑縛合二賀引

無能妃眞言曰

曩莫三滿多沒多南引阿跛羅爾帝惹衍底怛抳帝娑縛賀

先德私記云、次無能勝、右手當右胸上竪臂、劍向外、以空捻火、如持花之勢

吽地陵合二々々聊陵合二々々娑縛賀

無能勝妃印、內縛二空並竪屈如鉤、風空之間稍如張大口。文云、勝當口鼻者五寸許

阿跛羅爾帝若衍底怛抳帝娑縛賀

圖云

無能勝金剛、勝妙金剛

種子 陵地

三形鉞鉾

前本黃色、三面四臂也、右一手作拳、舒頭指高上、次手持壓左、一手持鐵、次手三股」

無能勝妃、長生金剛

種子

三形鉞鉤

前本青色、左作拳舒風、右拳舒風高舉也、著天足踏蓮忿怒形

烏芻澁摩

陀羅尼集經云、烏樞沙摩、唐云不淨潔金剛

種子吽

三摩耶形棒

烏樞沙摩最勝明王經云、先以手背相著、乃交指、小指及大指自相合如針、大開掌、根本印、根本密言曰

唵一吽々々二頗吒下半同音頗吒々々三郎訖羅合二戍羅播寧四餅々五頗吒々々々々六攞羝寧羅曩七二合娜餅々々八頗吒々々々々九娑縛合二賀此安然和尚出印眞言

本軌云、內叉其二羽、開掌諸度舒、合檀慧成峯、微屈禪智節、互捻進力側、近甲善成焰、誦大心眞言、常胸安其印、三遍誦明句、心月於本尊、改申進力環、極舒自相合如針、名棒印、誦其後眞言

唵俱嚕合二馱曩吽惹

普焰契、又陳禪智成針狀、眞言用根本、名獨股金剛

唵吽發吒半音々々々郎紇羅合二戍羅播寧吽々々發吒々々々々攞羝寧羅曩娜吽々發吒々々々々唵々々摩訶麼攞娑縛合二賀

軍荼利軌云、便易及諸穢、用烏瑟樞摩金剛密言印加持五處、諸魔不得便、速得成就、烏樞瑟摩心密言曰

唵俱路合二馱曩吽弱

其印以右指四指作拳、直竪禪指

十一面軌云、烏樞沙摩印、以右手作拳、翹大指印五處密言曰

唵俱路合二馱曩吽弱

一字軌云、若入便易處、用觸身忿怒烏芻瑟摩印、右手如拳掌、翹大指加持五處、誦此心密言

唵特嚩合二迦

由作此加持、入一切穢處、魔障得便

陀羅尼集經云、烏樞沙摩護身法印呪第一、兩手掌向身、相叉中指及無明指、頭博著掌上、小指斜竪頭相拄、二頭指相鉤右壓左、屈二大指捻頭指上節橫文、呪曰

唵一跋折羅二俱嚕馱三摩訶婆去音羅四

訶那馱訶五跛者毘馱崩二合寫夜六烏樞沙摩七二合俱嚕馱八烏鉡抪九此文次有撿之身印呪第二。以右手無名指小指從左手無名背後入中指無名指岐間。以右大指押右無名小指甲上。握左無名指小指。次屈左無名小指。復以左大指押左無名小指甲上。作環相鉤。各竪兩頭指及中指頭相拄。頭指來去。呪曰

唵一跛折羅二俱嚕馱二合摩訶婆去羅四訶那馱去音訶五跛者毘枳羅六毘馱崩二合寫夜七藍蒱陀羅九烏樞沙摩十二合俱嚕馱十一烏鉡抪〻二十莎訶三十

是法印呪。若入道場作法之時。日〻供養。皆以此印護身結界已。還用此印喚請金剛已下文更撿之廣本軌云

讚

本軌云。次以美言音金剛妙歌讚

摩訶麼攞也贊挐引也尾儞也二合羅惹也難捉寧尾曩引迦地里二合多娓也那莫俱嚕二合馱野縛日哩二合儞二

身形

陀羅尼集經云。黑月八日九日若十四日○然後畫作火頭金剛。其像身長可佛一肘。二尺三寸半。除其光座。更作高大亦彌精好云〻。其像色青而有四臂。右手向髆把縛折羅。左手向肩而把赤索。其索盤屈狀似盤蛇。右手舒下。仰大指博頭指直下舒。其餘三指屈向上。左手屈臂向上把數珠。以中指頭而搯其珠。面貌端正極令殊妙。畫二龍王。絡左髆上。其二龍頭相鉤仰視在於胸前。尾在背上。俱純赤色。又四龍王並作青色。各絞一臂。又二龍王亦皆青色。各絞脚脛。其像頭上一白龍王。絞盤竪頭。其像腰下虎皮縵袴。頭髮火焰悉皆使竪。非但頭上。項背亦有火炎之光。其頭光上左右各畫一蓮花座。左蓮花上作阿閦佛像一本云釋迦佛結加趺座。左手仰掌橫左髆上。右手仰掌在右膝上。指頭總垂。右蓮花上作阿彌陀佛像。結跏趺座。手作阿彌陀佛輪印。謂左手仰掌。大指無名指兩頭相拄。食中小三指皆舒展之。右手同前。但以此手覆左手上。二手大指無名指甲疊之相拄。其佛像上畫作諸天散花之勢。其上作雲如電光色。其金剛像底畫作海水中。有蓮花。於其花上立金剛。著海中畫作八阿修羅王。左邊四箇。右邊四箇。其八王形皆作底頭禮拜之形。其金剛底右邊復畫呪師形像。手把香爐䠒跪云〻

烏瑟沙摩明王經云。畫像法。用應肘量綵。畫大威力明王。遍身黑色焰起忿怒形。左目碧色。髮黃色上竪。咬下脣狗牙上出。衣虎皮褌。蛇爲瓔珞。四臂左上手持杵。下手羂索。右上手並屈竪頭指擬勢。下手施願。眉間顰蹙其目可怖云〻

胎藏玄法軌云。次烏瑟沙摩。作大忿怒形。黑色光焰起。右劍下羂索。捧及三鈷叉。器杖皆焰起

私問。烏樞瑟摩。穢積金剛。不淨金剛。火頭金剛等同異如何

烏蒭沙摩題下云此云穢積

穢積金剛法云

陀羅尼集經云。烏樞瑟摩。唐云不淨潔金剛

同經烏樞瑟摩畫像中云火頭金剛

穢積金剛法云。佛在拘尸那城云〻。臨入涅槃是持有無量百千衆云〻。唯有蠡髻梵王○何不來耶。必有我慢之心。而不來此。我等徒衆使小呪仙到彼令取。作是語已。策百千衆呪仙。到於彼處。乃見種〻不淨而爲城塹。其仙見已各自有犯而死○復策無量金剛云〻。復策無量大菩薩持明者云〻。乃至七日無人取得云〻。是時如來○左手化出不壞金剛。卽於衆中從座而起。白大衆言。我有大眞言。能取彼梵王。作是語已。而於大衆之中現大神通云〻卽騰身至梵王所。以指〻之。其種〻穢物變爲大地云〻。能取彼梵王來至於此云〻卽說大圓滿陀羅尼曰

唵一伏折羅俱嚕陀一摩訶摩羅二訶那訶三摩他四微枳羅五尾陀防六沙吽社置囉七藍謨馱羅八烏樞沙摩俱嚕馱九吽泮吒十二合娑婆訶

時彼金剛說此明已。復作是言。我於如來滅後常誦此。一切有情諸類受持。我常爲彼給使云〻

又云。無問染與不淨。隨意駈使。一如人意

陀羅尼集經云。諸法之中皆不許染。唯烏樞沙摩金剛法通若染若淨。無所禁制」(云〻)

大日經義釋七明降大自在天中云。時不動明王承佛教。令○卽化受觸金剛(卽不淨金剛也)令彼取之。爾時不淨金剛須臾悉噉所有諸穢令並無餘(云〻)。是夜叉類(云〻)

安然菩提心義云。若依大日經義釋云(云〻)不動金剛往執令來。七反不從。化糞住中。不動金剛使烏蒭沙摩皆呑食之(云〻)

祕藏記云

大佛頂經第五云。烏蒭瑟摩於如來前○而白佛言。我先憶久遠劫前。性多貪欲。有佛出世名日空王。說多婬人成猛火聚(云〻)化多婬心成智慧火。從是諸佛皆呼召我。名爲火頭。我以火光三昧力故成阿羅漢。心發大願。諸佛成道。我爲力士親伏魔怨」

烏樞沙摩解穢法印呪。以二小指相鉤掌中。二無名中指食指直竪。相博二大母指安在掌中二小指上。合腕。呪曰

修利摩利摩〻利摩利二修〻利莎訶

(四)

是法印呪中著水呪七反已洗面。然後誦持諸餘呪法。行呪法人若見死尸婦人產處六畜產生血光流處。見如是等種〻穢時。卽作此印誦外穢呪。卽得淸淨。所行呪法悉有效驗。若不爾者。令人失驗及被殃害。面上生瘡。外穢神呪必不得忘

金剛童子

種子 [illegible]。先德云。吽

三摩耶形 獨股杵

無量壽化身軌云。吽字成獨股。變成忿怒尊

聖迦抳忿怒金剛童子菩薩成就軌云。大興善寺三藏譯出蘇悉地大明王教中第六品

根本印。以二中指相背竪。二無名指於中指中節外横交。二頭指鉤二無名指頭。二大指於中指前中節頭相拄。二小指頭相合向下竪如針。眞言曰

曩謨(一)羅怛曩(二合)怛羅(二合引)夜(引)野(二)曩莫室戰(二合)拏縛日羅(二合)播拏曳(三)摩訶藥乞灑(二合)細曩(引)鉢多(上)曳(四)怛儞也(二合)他(五)唵(六)迦抳度顆(七)吽(引)發吒(半音)娑婆賀」

獨鈷杵印。二手內相叉作拳。二大指互捻二小指甲上。頭指並竪合。用前根本眞言」

又心眞言曰

唵(引)迦顆吽(引)發吒(用前根本印)

佛說無量壽佛化身大忿迅俱摩羅金剛念誦瑜伽儀軌(金剛智)金剛童子大身眞言曰(私云。師曰。本印何可尊之)

曩謨(乃至)怛儞也(二合)他。唵摩賀縛日羅(二合)俱摩羅(二合)迦抳度尼吽〻泮吒娑縛(二合)賀

隨心持神契　慧手虛心拳
方蕊於願背　力勾方便指
方押智指背　智押慧亦然
頭指建如幢　由是加持故
能攝自在力　無過勝上句

隨心眞言曰

曩謨(引)羅怛曩怛羅夜(引)野(二)曩莫室戰拏(二合)縛日羅(二合)俱摩羅(二合)(三)唵迦(引)抳度尼(四)吽〻泮吒〻〻娑縛(二合)賀

忿怒心密印　虛合於二羽
水交入虎口　風鉤捻空下
地輪竪如牙　眞實大悲心
拔濟三途苦　速得成悉地

眞言曰

吽縛日羅(二合)俱摩羅迦尼度尼吽〻泮吒」

理界記云。金剛童子印。左手作施願形置膝上。右手爲拳以忿怒形。背左方如前金剛拳勢。別儀云。忿迅俱摩羅大心印。金剛童子異名也。以二無名指相叉入於虎口中。屈二頭指捻二大母指下文。二小指竪之。二中指相跓。二大母指並竪之。眞言曰(是根本大心呪也)

曩莫羅怛那多羅夜野拔折羅摩訶藥叉惚馱曳摩訶句刹那唵伽尼度尼吽〻發吒娑縛(二合)賀

讃(先德次第用四智讃金剛部讃。無是諍化身軌有讃。撿之)

身相

不空軌云。畫像法。取不截白疊。畫師受八戒。畫菩薩身。種〻瓔珞以莊嚴。身如火色遍身流出火焰。以右手持金剛杵。斜擧向上。左手作施願手。脚爲阿里荼立。踏盤石上。施願手下畫持誦者。右膝著地。手執香爐(云〻) 文廣撿之

金剛智軌云

次畫本尊像　長一尺五寸
而作丁字立　足路青蓮花
身作黃雲色　髮赤上綠亂
種〻諸瓔珞　環玔以嚴身
用虎皮縵袴　左執跋折羅
右下施無畏　當作極迅形
左畫一金剛　四臂黃雲色
執杵輪索刀　右兩臂使者
一手作拳印　次持劫鉢羅
腰臂跨龍纏　前俱摩羅衆
八部衆圍繞　上五色祥雲
諸天散妙花　刀利天王軍
四天各使者　及頻那夜迦
皆請命本教　畫人淨齋戒
次別畫像法　身五尺八寸
形作紅蓮花　眼目長二寸
衣服緖黃色　脚踏金蓮花
右手拔折羅　擧上如擬勢
左持金蓮花　髮少黃右旋
獨髮龍頭冠　髮際上二寸
髮中立化佛　右揚左澡灌
兩邊皆一佛　持錫杖金色
聖者邊其身　急雲五色光

不空軌云。又法。取白氎。用牛尿洗。復用香水灌之。於閑靜處。對佛前或舍利塔前。不應用皮膠和綵色。畫筆色盞須新者。畫師澡浴著新淨衣。受八齋戒。勿吐氣以衝其像。亦不與畫人論其價直。其像獨身從海踊出。如吠瑠璃色身。有六臂。〻膊臃停相貌充滿。面有三目。其目赤色。首戴寶冠。狗牙上出。口咬下脣。蹙眉威怒。又海中畫一寶山。像以左足踏寶山。〻上有妙蓮花。以承其足。右足在海中立沒其半膝。右第一手持底里賞佉金剛杵。作擲勢。第二手持母娑羅棒。謂棒一頭如鐵杵形。第三手執鉞斧。左第一手把棒。第二手如擬勢〈作金剛拳舒頭指〉第三手持劍。以大蛇於身上角絡繫。又以一切毒蛇作膊釧臂腰條瓔珞及耳璫繫髮。又以大毒蛇繞腰三匝。身背圓光火焰圍遶。於火焰外有其雷電以相補翼

孔雀明王

梵號　阿利也麼訶麼瑜利

密號　佛母金剛護世

種子　𑖦麼字

三昧耶形　孔雀羽



佛母大孔雀明王畫像壇場儀軌云〈不空〉

次結佛母大孔雀明王印。二手右押左內相交。二大指二小指各直竪頭相跓。卽成。當心誦眞言七返。如前以印加持四處。頂上散印。眞言曰

唵麼庾〈引〉羅訖蘭〈二合〉帝娑縛〈二合〉賀

身形

胎藏圖。肉色。右手持孔雀尾。擎肩。左持蓮花。坐赤蓮花

佛母大孔雀明王畫像壇場儀軌法〈不空〉

佛告阿難陀。若諸世間所有災禍逼惱刀兵飢饉亢旱疾疫。四百四病憂苦鬪諍。及八萬四千鬼魅嬈惱有情。所求世間出世間勝願多有障礙者。皆由無始已來貪愛無明虛妄分別三毒煩惱。不了實相積集不善。敢招如是種〻災難。阿難陀。是故我今爲彼讀誦佛母大孔雀明王經者。復說畫像法及建立道場供養儀軌。若依此法轉讀是經。一切災難皆得消除。所有願求隨意滿足。阿難陀。若有苦惱災難起時。或彼國王及諸王子大臣妃后。及苾芻〻〻尼。善男子善女人等。爲除災故。或於王宮或於勝地。或於淸淨伽藍。或隨本所居宅舍。依法淨地掘深一肘。除去瓦礫地中穢物。壤滿淨土築令平正。其土本淨却用壤之。若土有餘其地殊勝。應塗拭淸淨建立道場。作五肘方壇。高四指量三重布位。或以彩畫。或用五色粉成。於內院中心畫八葉蓮花。於蓮華胎上畫佛母大孔雀明王菩薩。頭向東方白色。著白繒輕衣。頭冠瓔珞耳璫臂釧種〻莊嚴。乘金色孔雀。結跏趺坐白蓮花上。住慈悲相。有四臂。右邊第一手執開敷蓮花。第二手持俱緣果〈其果狀似木苽〉左邊第一手當心掌持吉祥菓。第二手執三五莖孔雀尾。從佛母右旋周匝蓮花葉上畫七佛世尊。從微鉢尸如來次第布列。乃至釋迦及慈氏菩薩等。皆頭向外坐。各住定相。至西北角第八葉上畫慈氏菩薩。

左手執軍持。右手揚掌向外作無畏勢。又於蓮華葉外。內院四方畫四辟支佛。皆作佛形。頂有肉髻。亦作定相。又於四隅畫四大聲聞。從東北隅畫阿難陀。次東南隅畫羅睺羅。次西南隅畫舍利弗。次西北隅畫大目乾連。皆著乾陀袈裟。偏袒右臂。此皆中院。次第二院畫八方天王幷諸眷屬。東方畫帝釋天王。執金剛杵與諸衆圍遶。次東南方畫火天王。左手執軍持。右手施無畏與五通苦行仙衆圍遶。次南方畫焰摩天王。執焰摩幢。與焰摩界衆圍遶。次西南方畫羅剎主。執刀與諸龍衆圍遶。次西方畫水天王。持羂索與諸龍衆圍遶。次西北方畫風天王。執幢幡與諸持明仙衆圍遶。次北方畫多聞天王。執寶棒與諸藥叉衆圍遶。次東北方畫伊金那天。執三戟叉。與諸步多鬼衆圍遶。此皆第二院。次第三院從東北隅右旋周匝畫二十八藥叉將。各與諸鬼神衆圍遶。及畫宿曜十二宮神。次第三院外周匝。用香泥塗拭。布以荷葉。上置供養食器。所謂乳糜酪飯飲食菓子。皆以阿波羅爾多明王眞言加持香水散灑。布烈四邊供養。及以諸糵砂糖石蜜石榴蜜漿等而奉獻之。壇上散白色花。於四角置蘇燈四盞。四門各置二淨器。滿盛香水。於壇東安佛母大孔雀明王像。法如前說壇。唯不安界道。即是中院聖衆。燒沈香和香等供養。東方天衆應燒白膠香而爲供養。南方天衆以紫鑛芥子及鹽相和燒之供養。西方天衆以蘇和安悉香燒之供養。北方天衆應燒薰陸香而供養之。持誦者於壇西面敷茅薦爲座。或坐卑脚床子。嚴飾經案。置於壇前。以諸香華供養經卷。應如是布列。讀經者可三人五人七人。更替相續。晝夜不令經聲間斷。或一日或二日三日乃至七日。一切災過悉皆殄滅。除不至心。轉經者或在家或是出家人。每日澡浴淸淨著新淨衣

又云。若不辯如是塗畫壇場。或有急速災難至時。可隨自力於一淨處以瞿摩夷塗地。作一方壇。隨大小磨白壇香塗作圓壇。九位中安佛像。及以三五莖孔雀尾竪於壇中。隨時燒香散花。乳酪餠供養聖衆。但虔誠一心轉讀此經。或三遍乃至七遍。或一日或二日。一切厄難悉得消除。所有祈願皆得圓滿

愛染王

梵號

密號

種子 [梵字]吽字。或[梵字]弱字。或[梵字]〈或人出之〉

三昧耶形 五股。或人云箭

印眞言

經愛染王品第五云

復說愛染王一字心明曰

吽擿枳吽弱

復說根本印。二手金剛縛。忍願竪相合。二風如鉤形。檀慧與禪智。竪合如五峯。是名羯磨印。亦名三昧耶

次上品云。爾時世尊卽說明曰

唵麽賀囉誐縛日路瑟抳灑縛日羅薩埵弱吽鑁斛

爾時世尊復說頌曰。二手金剛拳。相交內爲縛。直竪忍願針。相交卽成染。是名根本印云〻

金剛頂瑜伽金剛王菩薩念誦儀軌云。卽結根本印。以二手金剛拳。檀慧進力反相鉤。卽是彼印。誦眞言曰

吒枳吽惹

讚

縛日羅〈二合〉羅誐摩訶燥〈引〉企也〈一二合〉縛日羅縛〈引〉拏縛商迦羅〈二合〉磨羅迦〈引〉摩摩訶〈引〉縛日羅〻〻〻〈二合〉左〈引〉波曩謨娑覲帝乚

或人云

縛日羅〻惹蘇沒馱佗哩野縛日朗矩捨但他糵多阿目伽羅惹縛日羅儞也縛日羅羯羅灑曩牟薩覲諦〈是第三讚也 或用第三〉

已上大原法橋

橫川僧都。種子阿。讚〈菩薩〉印外五古也〈云〻〉

師云。縛日羅〻惹摩訶羅惹

尊形異

一切如來金剛最勝王義利堅固愛染王心品第二。爾時世尊復入馬陰藏三摩地。一切如來幽隱玄深。寂靜熾燃。光明勇猛忿怒威峻。師子吼音振動雷聲。天鼓自鳴。香象王聲。大金剛聲。大商佉聲。作如是等聲。時金剛手及金剛持等菩薩見如是相

已。齊聲讚曰。諸佛甚奇特○告金剛手等言。金剛手有眞言。名一切如來金剛最勝王義利堅固染愛王心眞言。於一切瑜伽中最尊最勝。速獲悉地。能令一切見者皆生父母妻子之想。所作之業皆得成。所持諸餘眞言。若佛頂部及諸如來部蓮花部金剛部寶部羯磨部等。皆能持誦彼等眞言。令速成就。若眞言行人持經三十萬遍。一切眞言等及金剛界大曼拏攞王皆悉集會。一時成就。速得大金剛位乃至普賢菩薩位。爾時世尊卽說明曰

[illegible]

唵磨賀羅引誐縛日路瑟抳灑縛日羅薩

[illegible]

埵弱吽鑁斛

爾時世尊復說頌曰

二手金剛拳　相交內爲縛
直竪忍願針　相交卽成染
是名根本印　若持此眞言
及以密印力　印心額喉頂
如金剛頂身　一切諸罪垢
纔結卽當滅　若寂災增益
愛敬與降伏　隨其所愛身
纔誦此眞言　彼卽當獲得
若毒若相憎　纔結誦當息
加持食七遍　我當降甘露

疏云。二者一切如來金剛最勝王義利堅固染愛王心品說。爾時世尊復入馬陰藏三摩地。告金剛手○眞言名一切如來金剛最勝王義利堅固染愛王心眞言。於一切瑜伽中最尊最勝。速獲悉地。能令一切見者皆生父母妻子之想。所作之業皆得成。所持諸餘眞言。若佛頂部及諸如來部蓮華部金剛部阿闍梨位亦羯磨部等。皆能持誦彼等眞言令速成就。若持三十萬遍。一切眞言主及金剛界大曼陀羅王皆悉集會。一時成就。速得大金剛位乃至普賢菩薩位。持此眞言印。如金剛頂身（寂增愛降伏隨樂卽得）此法以佛頂部及四部法而爲所餘。故知此眞言是金剛部中金剛愛眞言。金剛愛密號。故眞言云摩賀羅誐（此云大愛）此經百八名讚歎德名中。金剛頂羯摩會中金剛愛眞言。並云羅誐。唯百八讚初列名中。此品羅惹是下愛染王品。此名金剛王。故云羅惹實是愛金剛。非金剛王也。又此法印。外縛忍願針交。金剛頂三昧耶會金剛愛印。外縛進力針交。並是染義。後愛染王品卽是此品作業分。以五股印爲一字心根本印。此名金剛王頂中最勝名金剛薩埵妻一切諸佛母者。是普賢之妻。五佛之母明妃之王。此法又誦阿闍梨位品眞言令速成就。故知亦是大阿闍位人所修行之法。亦大日尊爲本尊乃至變身成金剛愛染王。持金剛愛眞言通能成就五部三十七成就。其行法准前序品。堅固染愛心結大羯磨印。以一字心明。三十七圓滿（云々）准後愛染王品。金剛手白佛言。世尊我今更說愛染王一切如來共所成就雜法悉地及畫像法。扇底迦。布瑟置（二合）迦。縛始迦羅拏。伽多耶。阿毘左魯迦法等。偈云。造像安於西。行人面西對。結大羯磨印。及誦根本明。兼示三昧耶。一字心密語。又結金剛界。三十七羯磨。及以本業明。速成百千事（云々）。故知此染愛心品說心眞言印。後愛染王品說一字心印及作業分。次四攝行品說染愛法四攝行。又大勝瑜伽品說愛染王一字心。治自性障。並是同法說。非略法說。爲禁慢法故。次隨樂或爲一法行之。或爲二法行之。並得。亦准序品七分行之。唯改成身及眞言主

金剛峯樓閣一切瑜伽瑜祇經愛染王品第五。爾時金剛手復白佛言。世尊。我今更說。愛染王一切如來共所成就雜法悉地。及畫像法。扇底迦。布瑟置（二合）迦。縛始迦羅拏。伽路耶。阿毘左魯迦法等。爾時遍照薄伽梵告金剛手言。我已於一切如來所會修學。汝今爲諸末法世中善男子善女人等。廣說利樂。時金剛手以偈頌曰

於日月鬼宿　取淨白素繫
畫愛染金剛　身色如日暉
住於熾盛輪　三目威怒視
首髮師子冠　利毛忿怒形
又安五鈷鉤　在於師子頂
五色花髻垂　天帶覆於耳
左手持金鈴　右執五峯杵
儀形如薩埵　安立衆生界
次左金剛弓　右執金剛箭

如射衆星光　能成大染法
左下手持彼　右蓮如打勢
一切惡心衆　速滅無有疑
以諸花鬘索　絞結以嚴身
作結跏趺坐　住於赤色蓮
蓮下有寶瓶　兩畔吐諸寶
造像安於西　行人面西對
結大羯磨印　及誦根本明
兼示三昧耶　一字心密語
能成能斷滅　一切惡心衆
又結金剛界　三十七羯磨
及以本業明　速成百千事
薩縛納悉吒　及諸毘羅訶
速滅無時方　剎那不復生
又取彼那磨　置於師子口
加忿怒降伏　一夜當終竟
誦大根本明　結三摩耶印
又令伽路耶　取紅蓮花葉
一百八護摩　一宿卽敬愛
又令彼攝伏　取白檀香尌
金剛愛染王　五指爲量等
長帶於身藏　一切有情類
及諸利利生　攝伏如奴僕
常結羯磨印　誦大根本明
增益一切福　堅固如金剛
若七曜陵逼　命業胎等宿
畫彼形那摩　置於師子口
念誦一千八　速滅不復生
乃至釋梵尊　水火風焰魔

頂行之惡類　疾走無邊方
一切惡種惹　淨行苾蒭衆
難調毒惡龍　那羅延自在
護世四天王　速降伏失命
復說愛染王　一字心明曰

吽摘枳吽弱

復說根本印　二手金剛縛
忍願堅相合　二風如鉤形
檀慧與禪智　竪合如五峯
是名羯磨印　亦名三昧耶
若纔結一遍　及誦本眞言
能滅無量罪　能生無量福
扇底迦等法　四事速圓滿
三世三界中　一切無能越
此名金剛王　頂中最勝名
金剛薩埵妻　一切諸佛母
復說扇底迦　五種相應印
戒方入掌交　禪智相鉤結
檀慧合如針　忍願竪相捻
進力各偃竪　是名寂災印
進力捻忍願　四指頭並齊
是布瑟置迦　母捺羅火印
進力如蓮葉　印名伽路耶
進力捻忍願　上節甕三誦
阿毘左魯迦　當用此密契
進力屈如鉤　隨誦而招集
金剛尖俱施　一切時作業
大染金剛頂　五密印說竟

疏曰。五愛染品說。爾時金剛手白佛言。世尊我今更說愛染王。一切如來共所成就雜法悉地及畫像法。扇底迦。布瑟置迦。縛始迦羅拏伽多耶。阿毘左魯迦法等。偈云。造像安於西。行人面西對。結大羯磨印。及誦根本明。兼示三昧耶。一字心密語。又結金剛界。三十七羯磨。及以本業明。速成百千事。復說愛染王。一字心明曰云云復說根本印〇竪合如五峯。是名羯磨印。亦名三昧耶。此名金剛王。頂中最勝名。金剛薩埵妻。一切諸佛母。復說扇底迦。五種相應印云云金剛頂金剛愛印。羯磨會云。由金剛可愛契故。說是金剛妻亦能染著。三昧耶云。由金剛愛染契故能染一切法云云故知前品大日世尊已說染愛王心眞言印。此品金剛薩埵更說愛染王畫像及一字心印眞言並五種成就印契。並以大日尊亦爲本尊。乃至變身成金剛愛染王。修前染愛王品眞言。亦誦阿闍梨位品眞言悉令成就。故此愛染王品眞言亦是大阿闍梨位者之行法也。金剛愛眞言五部通成就法。亦准序品行之。唯改成身及眞言主

金剛頂經上云。爾時婆伽梵復入摩羅大菩薩三昧耶。出生薩埵加持。名金剛三昧摩地。一切如來隨染三昧耶。名一切如來心。從自心出

囀日羅邏我

從一切如來心纔出已。卽彼婆伽梵持金剛。爲一切如來花器仗。出已入世尊毘盧

遮那佛心聚爲一體生大金剛箭形住佛掌中從彼金剛箭形出一切世界微塵等如來身作一切如來隨染等作一切佛神通遊戲極殺故金剛薩埵三摩地極堅牢故聚爲一體生摩羅大菩薩身住世尊毘盧遮那佛心說此嗢陀南

　奇哉自性淨　隨染欲自然
　離欲淸淨故　以染而調伏

時彼摩羅大菩薩身從世尊心下依一切如來左月輪而住復請敎令時世尊入一切如來隨染加持名金剛三摩地受一切如來能殺三昧耶盡無餘有情界隨染一切安樂說意故乃至得一切如來摩羅業最勝悉地果故則彼金剛箭授與摩羅大菩薩雙手則一切如來以金剛名號金剛弓金剛弓灌頂時金剛弓菩薩摩訶薩以金剛箭殺一切如來說此嗢南

　此是一切佛　染智無瑕穢
　以染害厭離　能施諸安樂

疏三云經爾時婆伽梵復入摩羅大菩薩三昧出生薩埵加持名金剛三摩地一切如來隨染三昧耶名一切如來心從自心出縛日羅邏誐別本云爾時世尊復入摩羅大菩薩三摩地出生加持薩埵金剛三摩地已從其心出一切如來奉事三摩地名一切如來心說此陀羅尼曰跋折羅〻伽舊本云爾時世尊復入摩羅大菩薩三摩地出生加持薩埵金剛三摩地已卽從己身出一切如來奉事三摩地名一切如來心卽說密語跋折羅囉伽私釋曰從此以下第三明一切如來第三摩羅大菩薩授金剛花器仗智灌頂門也心要云雖有鉤召然未具大悲之心須發愛念一切有情而與敎護於是金剛愛菩薩乃執大悲之箭能射二乘計執之心若能所未忘定爲濟拔持此大悲弓箭亦能殺害一切煩惱直取菩提卽金剛愛喜之行位也分別位云毘盧遮那佛於內心證得金剛愛大悲箭三摩地智自受用故從金剛愛大悲箭三摩地智流出金剛箭光明遍照十方世界射害一切衆生於無上菩提厭離心者來收一聚爲令一切菩薩受用三摩地智故成金剛愛菩薩形住阿閦如來左邊月輪也訣云第三一切如來摩羅大菩薩三昧耶智印實相門述此意者謂如來現其智相名曰摩羅〻〻者具足梵音摩爛拏此翻殺者如其智印所謂弓箭謂或有菩薩成等正覺住淸淨處不樂隨於雜染世界成就衆生此智印力能射攝之不令久住故以染智攝彼淨智故名殺者或有菩薩發廣大心作大佛事有佛菩薩住於自宮不動其力而此菩薩卽以智印而彈擊之彼佛菩薩便當隨喜而共加持佛智神力無有違者此卽殺淨而順染也又諸衆生恒爲一切煩惱堅牢染縛而不信受佛淸淨法爾時菩薩以此智印而擊射之彼所堅縛卽破壞以淸淨法而用染之一切衆生以是因緣開示悟入佛之知見此卽殺染而順淨也是故如來以摩羅智於染淨中皆能染淨也又此次第者謂入初普賢金剛三昧耶遍能觀察一切如來遍能了知諸佛境界得不空智爾時如來便以智印而用加持得加持已便能集會一切如來及諸如來無盡智藏嚴自智界作大佛事便能承事一切如來而諸如來護念不捨是以染智據次而說如是次第皆是如來普賢三昧智用一合實相甚深境界以擊字相次故別轉耳後〻所說准應知之次下釋文頌云如來奉事心祕密神變相現請敎旨者授菩薩弓箭如來奉事心者經云爾時世尊復入至乃拔折羅邏迦等釋曰謂從普賢菩薩金剛三昧入佛境界加持來生相續使入不空相而作佛事轉住卽入此奉事門故云復入等如上準知言奉事及染愛者謂奉事如來及以衆生以奉事如來故如來愛樂以奉事衆生故衆生離苦又謂由染愛如來故如來護念由染愛衆生故衆生解脫是以名爲染愛之智故說祕明云拔折羅伽也祕密義者謂金剛愛染奉事也　經從一切如來心纔出已卽彼婆伽梵持金剛爲一切如來花器杖出已入世尊毘盧遮那佛心聚爲一體生大金剛箭形但佛掌中從彼金剛箭形出一切世界微塵等如來身作一切如來隨染等作一切佛神通遊戲別本云說陀羅尼時從一切如來心卽彼薄伽梵執金剛爲一切如來花器杖出已還同

一體性入毘盧遮那佛心爲金剛弓箭身出住佛掌又從彼金剛箭出現一切世界微塵等如來身作一切如來神變佛事已舊本云纔說此呪時從一切如來心中卽彼世尊執金剛以爲一切如來花器仗卽出已同一密體入於世尊毘盧遮那佛心中於彼便以爲金剛弓箭身而住於掌中卽從彼金剛箭身一切世界微塵等如來身出現已爲作一切如來奉事等及一切如來神變作已頌祕密神變相者從此已下至神通遊戲等釋曰此中神變入出令殺皆如普賢金剛行相卽唯此中契相別者所謂花器杖弓箭等如來彈擊智也其契兩頭皆有蓮花故云花器仗卽是弓箭也此智猶如主立彈宮彈擊非法謂二乘樂寂自謂究竟此非法也菩薩位地悲智不等此非法也一切衆生常樂諸欲習諸邪道此非法也乃至縱使有佛及一切聖賢悲智不等皆是非法也是故大日如來現悲智相令諸菩薩習正行者持此智命承事諸佛攝受衆生隨意無等　經極殺故金剛薩埵三摩地極堅牢故聚爲一體生摩羅大菩薩身住世尊毘盧遮那佛心說此嗢陀南奇哉自性淨隨染欲自然離欲清淨故以染而調伏時彼摩羅大菩薩身從世尊心下依一切如來左月輪而住復諸教令時世尊入一切如來隨染加持名金剛三摩地受一切如來能殺三昧耶盡無餘有情界隨染一切安樂脫意故乃

至得一切如來摩羅業最勝悉地果故別本云由至極殺故於金剛薩埵三摩地已極堅牢故合同一體性爲摩羅大菩薩身已住於毘盧遮那佛說此嗢陀南曰我實希有自性清淨以愛染故奉事如來雖有離染得清淨者能以染故而調伏之爾時摩羅大菩薩從佛心出依一切如來左邊月輪中住復請教示爾時世尊入一切如來愛染奉事加持金剛三摩地已爲一切如來摩蘭拏金剛三摩地盡衆生界喜愛一切安樂悅意愛用故乃至獲一切如來摩羅業最勝悉地果故舊本云由至極殺故復由金剛薩埵三摩地極堅牢故同一密合以爲成就摩羅大菩薩身已卽住於世尊毘盧遮那佛心中住已而高聲唱是言奇哉曰我自性清淨能以染愛事奉事於如來以離染清淨染故能調伏爾時彼摩羅大菩薩身卽從毘盧遮那佛心而下一切如來左月輪中而住復請教示爾時世尊入一切如來愛染奉事三摩地加持金剛既入定已一切如來摩蘭拏金剛三摩耶盡遍衆生界喜愛一切安樂悅意受用乃至一切如來摩羅業最勝悉地獲果故訣云頌現請教示相者釋曰謂以諸佛境界入衆生界和合爲一成妙智相在左月輪爲諸衆生現諸因緣故云爲摩羅大菩薩身而此大菩薩善巧智相奉事如來雖已離於愛染由善巧故諸佛愛念如世恩愛不相離故攝爲一體住於自心說調

伏偈如經可解次菩薩出現請教示相如來復入念其所應乃至一切獲得妙益故最勝悉地果故等此中句義已如上釋更不繁詞也依經思之可解耳私釋曰偈文分二初二句稱歎智身也菩薩無染淨不爲二邊非法所礙故云自性淨能令染淨能令淨染故云隨染欲殺淨順染殺染順淨其體自爾非物使然故云自然後二句明智印功能若體是欲者何能調伏諸非法等故云離欲清淨故以染而調伏問若智體離欲清淨者何故更以染調伏答所言染者是無染而染似染現染故云染也又能令他不染而得染欲謂或有菩薩住清淨處不樂染界或有菩薩住於自宮不助其力或有衆生爲煩惱染不樂清淨射攝如是染淨之類皆悉令染淨等法又大悲之心愛念一切故云染也具如訣也
經則彼金剛箭授與摩羅大菩薩雙手則一切如來以金剛名號金剛弓金剛弓灌頂時金剛弓菩薩摩訶薩以金剛箭殺一切如來說此嗢陀南此是一切佛染智無瑕穢以染害厭離能施諸安樂別本云授彼金剛弓箭與摩羅大菩薩雙手已是時一切如來以金剛弓箭與其灌頂時金剛弓箭菩薩摩訶薩以其金剛箭殺一切如來時說此嗢陀南曰此是諸佛無垢染智能以染愛害離染者悉能授與一切安樂舊本云彼金剛箭爲彼摩羅大菩薩如上雙手與授之是時一切如來皆號彼爲金剛

弓。以金剛弓與灌頂之。爾時金剛弓菩薩摩訶薩。以其金剛箭殺一切如來時。卽以高聲唱如是言曰。此是一切法。離垢愛染智。以染害離染。一切受安樂。訣云。此是頌授菩提弓箭。釋曰。灌頂之法略如前釋。授此智相而說偈等者。欲令菩薩及諸有情見聞此法。受持修行不生疑礙。故云此是諸佛無垢染智能以染愛害離染者悉能授與一切安樂。是名彈擊智印。卽弓箭之表也。私釋曰。就令信偈爲二。初二句是擧勝人令生正信。謂此智印是三世十方一切諸佛染智無瑕穢。非是三乘下位之類及外道等汚穢僞詐之智印也。三乘劣智或但出分段。或在變易。塵沙無明未得斷盡。名瑕穢。又煩惱易斷如垢穢。所知難斷如瑕玭。小乘三人但斷煩惱所知全在。上智菩薩雖斷所知。而是分斷。未究竟盡。猶如瑕玭。凡夫人天六趣四生二障全具。如瑕與穢。而是智印無此等失。故云無瑕穢也。後二句擧智印功能令無疑滯也。二乘及以不肯利生諸菩薩等。煩惱所縛不樂佛法諸有情輩。射害如是等類之心。安住菩提。故云以染害厭離等也

金剛王菩薩儀軌云。羅識王九箇眞言

愛染王大身呪

曩謨羅怛曩合二怛羅夜野曩莫室戰二拏縛日羅合二跋拏曳摩訶樂乞叉細曩鉢多曳怛儞也合二他唵縛日羅倶摩羅合二賀捉度尼合二吽ゝ泮吽ゝゝ娑婆賀

同隨心呪

曩謨羅怛曩合二怛羅合二夜引野曩莫室戰拏合二縛日羅倶摩羅唵迦捉度尼吽ゝ泮吒ゝゝ娑縛賀

同調伏心密呪

吽縛日羅合二倶摩羅迦尼度尼吽泮吒

同破不祥息災呪

曩謨薩闍迦摩唵伽尼度尼唵吽泮吒ゝゝ娑縛賀

同增益眞言曰

唵縛日羅倶摩尼訶尼怒尼娑縛賀

同延命眞言

唵縛日羅合二邏識護

同鈎召眞言曰

阿斛引素佉

同人天被敬愛呪

唵瞿嚕ゝゝ拔泮ゝゝ

同菩薩治身心病呪

唵縛日羅倶摩羅賀那ゝゝ賀鉢太ゝゝゝ親那ゝゝ頻那ゝゝ薩里訶拏ゝゝゝゝ吽ゝ泮吒ゝゝ

已上九箇眞言授染呪也。千金莫傳ゝゝゝゝ

根本印

二手金剛拳。相叉內爲縛。直竪忍願針。相交。卽成染。是名根本印

唵摩賀羅識縛日𠸪烏瑟捉灑縛日羅薩怛縛惹吽鑁斛 已上瑜祇經文

後愛染王品卽是此品作業分。以五古印爲一字心根本印 以上修行法文

復說愛染王一字心明曰

吽吒枳吽惹

復說根本印。二手金剛縛。忍願竪相合。二風如鈎形。檀慧與禪智。竪合如五峯。是名羯磨印 已上經文

金剛三昧耶會愛菩薩印明。金縛進力竪。少屈如鈎形。相交如箭

阿斛素佉

羯磨會愛菩薩印明。左金拳舒臂致左方。次右金拳近著左拳。卽引著右頰邊。如弓箭射三反眞言

唵縛日羅合二邏引識護引

私云。種子。三昧耶形。讃。根本印。師說不同也

先種子。丹州吽字。大原法橋吽弱二字。

禪定阿字

三昧形。丹州五古。或箭

讃 或云第二菩薩讃。或云第三菩薩讃。或云通讃

師云。ハサラキシャマカラシャ

私云。金剛王菩薩。金剛愛菩薩同異如何

尊形不同

一樣。左第一手持鈴安腰。第二手捧日輪。第三手垂持弓。右第一手持五古安胸。第二手持未敷蓮花。第三手垂持箭。尊像之體直坐蓮花臺。身光圓輪

一樣。尊像右小低頭。左第一手持鈴安腰。第二手捧弓。第三手提人頭。右第一手持

五古當胸第二手持箭對弓第三手擧臂
持未敷蓮花尊前立賢瓶巳上六臂
又瑜祇經說云身色如日輝住於熾盛輪
三目威怒視首髻師子冠利毛忿怒形又
安五鈷鉤在於師子頂五色花鬘垂天帶
覆於耳左手持金鈴右手五峯杵儀形如
薩埵安立衆生界次左金剛弓右執金剛
箭如射衆星光能成大染法左下手持彼
右蓮如打勢一切惡心衆速成無有疑住
於赤色花花下有寶瓶兩畔吐諸寶云〻如上
金剛王菩薩儀軌云又變成本尊身〻有
四臂上二住端箭勢下右手仰當心持金
剛杵下左手爲金剛拳安左腰側持金剛
鈴頻眉口微咲白色戴五佛冠緋裙天衣
半跏坐月輪中蓮花上云〻
祕藏記云右金剛王菩薩肉色二手叉拳
左金剛愛菩薩肉色持箭云〻
囉識五相觀依大儀軌出之
先妙觀察智定
軌云結跏趺坐乃至究竟眞實智
次五相成身
初徹心明亦名通達心不散前定印軌云卽觀於空中
乃至迦魯弭
次無染心亦名修菩提心不散前定印軌云藏識本非
染乃至圓滿益明顯
次觀金剛蓮花亦名堅固菩提心亦名金剛心從此觀五部始分不散
軌云諸佛復告言菩提心堅固復授心
眞言觀金剛蓮花私謂蓮花二字改可爲塔婆其所以者是法先成大日身所修行法也亦大日爲本尊云〻

私謂眞言曰
唵底瑟侘二合縛日羅宷觀婆
誦眞言後觀想月輪上有鑁字變成宷
觀婆
次觀金剛蓮花界亦名卽爲蓮花界亦名菩周法界亦名蓮金剛身亦名金剛界眞言不散前定印軌云汝於淨月輪觀八葉
蓮花私謂八葉蓮花四字可改爲窣覩婆塔令普周法界唯一
大蓮花私謂蓮花二字可改爲塔婆應當知自身金剛
蓮花界私謂蓮花二字可改爲塔婆
歛塔婆眞言曰
唵縛日羅率覩婆沙頗囉印如前但開三指
金剛塔婆界眞言曰
唵縛日羅率覩婆怛摩句含前印於[illegible]上印末指印復
誦是眞言
歛金剛眞言曰
唵縛日羅率都僧賀羅印如前
次觀身爲本尊亦名諸佛身圓滿軌云復白諸世
尊我爲蓮花身私謂蓮花二字可改爲塔婆時彼諸如
來便勅行者言觀身爲本尊復授此眞
言印眞言如軌變成大日如來塔婆
已上成身了
次結本尊根本印
當心觀想大日如來及成羅識尊眞言
如軌或用二印眞言或用後印眞言誦百字明時改縛日
羅可爲囉識修種子字吽云〻
先驚覺　五悔用金剛界　次發願用不在人意
三部或此大用二印眞言　被甲　地結　金剛墻
次道場觀定印
觀想前地結上金剛墻內有大海海中有

寶山上有寶師子座〻〻上有大蓮花〻〻上
有寶樓閣有無量莊嚴閣內有大壇〻〻上
周匝有寶瓶閼伽等諸供具云〻
次三力偈普通供養　次觀本尊
結本尊印置心誦眞言三反然後觀之壇
中心有大蓮花臺上有日輪〻〻上有[illegible]吽
字〻〻變成五古金剛〻〻變成羅識王相
好圓滿如經說內外八供四攝菩薩依位住
曼荼羅周匝閣遶行者住閣前觀後散印
云〻
次振鈴用不在人意可加羅遍句下羅讃曳醯咽　次送車輅請車輅眞言末迦
次迎請聖衆印二手內縛右大指入掌以
左大指隨誦眞言招之眞言曰
唵縛日羅特力迦婆伽梵摩訶羅識曳醯
咽莎呵三反
次辟除從魔二手以大指押小指甲舒開
三指如縛日羅以右印押腰以左印左轉
右轉上下五處眞言曰
唵吉里〻〻縛日羅吽發吒三五七反
次視三昧耶前印以左手押腰以右印向
外託之眞言曰
唵昇羯隷三[illegible][illegible]婆縛迦七反
次金剛網　次火院　次閼伽捧器祈願然後誦明
次華座　次重結大界　次五供　次普
供　次讃如金剛界第三十六中　次入三摩地定印
觀想心月輪上有吽字〻〻變成五古金剛
漸舒大量圓己身五古變成本尊云〻
次根本印先外縛可仰也眞言用二印眞言或用一印眞言　次加

持珠(如例)　次正念誦　次念珠畢置珠本
處　次入三摩地念誦(定印)
觀想。心日輪上有吽字。卽觀字義。吽字義
有別。可住三空之。或以眞言日輪上右縛
順布。順逆觀義
次根本印眞言　次部母印眞言(用忙莽計印明。如悉
地)　次五供　次普供　次讃　次閼伽
次(先祈願次眞言)　次振鈴(用不在意)　次解界　次禮佛(乍居
禮之)　次奉送
先結前請車輅印。誦請車輅眞言。除眞言
末迦羅嚩野句。加摩訶羅譏蘗車〻〻句。
以二大指向外撥之(三反)
次結迎請聖衆印。誦眞言曰
唵縛日羅特力迦婆譏梵摩訶羅譏蘗車
〻〻
卽以左大指向外撥之(三反)
次三部　次被甲　五悔　隨方迴向(若[illegible])
(以此功德)　次下座　次禮佛　次出堂
曜譏私記
三身　佛眼　摩訶羅譏冒地薩埵婆耶
摩訶薩埵婆耶縛日羅ソハニ冒地薩埵
婆耶摩訶薩埵婆耶大小自在〻云　五部
界海一切佛菩薩等〻云
已上二樣行法了。池上阿闍梨御作
師云。忿怒云日輪。又二印明必用之。或
愛染王。三〻〻箭
種子三形　如金剛界愛菩薩。可尋之
愛染王次第　大原法橋
入堂　禮佛　懺悔　著座　加持香水

加持供物等　辨事印明等(降三世)　啓白
神分　供養文　唱禮　三身(如常)　佛眼
南無曼荼羅主縛日羅惹冒地薩埵婆耶
〻〻〻〻
南無縛日羅娑縛儞冒地薩埵婆耶
南無四大明王冒地〻〻〻〻
南無大小自在〻〻〻〻三部〻〻〻〻〻
驚覺　五悔發願　三部　被甲　護身
地結　方結　次道場觀
應觀。於壇中八葉大蓮華。上有師子座〻
上有七寶樓閣。垂諸瓔珞繒綵幢幡寶柱
行烈。垂妙天衣周布。香雲普雨雜花。奏諸
音樂。寶瓶閼伽天妙飯食。摩尼爲燈。想曼
荼羅中央有師子座。上蓮華。花上有寶瓶。
寶瓶上有赤蓮花。花上有月輪。輪中有[illegible]
或吽[illegible]字。變爲五古。〻變成本尊。其形如
經〻云　供養界會如本法〻云
次三力偈　次大虛空藏　次治路　次
振鈴　次送車輅　次請車輅　次迎請
本尊(金剛印召請之)　辟除從魔(降三世)　示三昧
耶　金剛網　火院　閼伽　花座　善
來偈　大界　五供養　普供養　讃(本尊)
(四智是第二也。或用第三)
嚩日羅惹蘇沒馱紇哩野嚩日朗矩捨怛
他蘗多阿目伽羅惹縛日羅儞也嚩日羅
羯羅灑囊牟サ覩諦
祈願　千轉念珠　本尊觀　根本印明
(在執)念誦　次念誦了入定　根本印明
佛眼印明　五供養　普供養　讃　祈

願　閼伽　振鈴　五悔、迴向　解界
奉送　三部　被甲(降三世)　出堂
大原延□法橋作
[illegible]弱字金色也
太元明王
種子
三昧耶形
印
問。忿怒尊名明王。有何所以耶
先德記云。師曰。就忿怒形尊名明王之義
有二釋。一依字釋。二依義釋也。依字釋者。
此尊能破衆生煩惱黑闇而得自在名明
王。依義釋者。此尊是明呪之王也。以正爲
明。所以此尊以佛正道能破邪道。如明破
闇。〻是邪明是正。闇是染。明是淨。而是尊
形正出現大忿怒身。降伏諸邪。如以石破
石。以鐵摧鐵。今亦如是。由彼强剛身降伏
彼惡。所以經云。觀見大自在天剛强難化
執持邪見非我寂靜大悲之身堪任調伏
(乃至)入悲怒三摩地流出威德熾盛奇特難
觀身(云〻已上)以正爲誓。所以名明呪。〻是誓。
〻是不誤義也。若違此義卽爲大王也。以
此明呪能降伏魔。而是明呪非邪橫呪。唯
是菩提究竟明呪。是故經云。菩薩摩訶薩。
得一切如來大菩薩最勝成就故。則得一
切如來摧大力魔最勝成就。菩薩摩訶薩。
得一切如來摧大力魔最勝成就故速得
遍三界自在主成就(云〻已上)夫佛道從正出

也。魔界從邪生也。是故明王能破魔界。如明破闇也（成法中名眞言神。成法中名呪神。有人曰。是明王也。或云別有神也）

五大尊五大力同異文

此等沙汰要文等。在總持抄第二帖。可見彼

五大力尊形印眞言等（依先德之抄）

第一金剛吼菩薩（東方）

舊經云。一金剛吼菩薩。手持千寶相輪。往護其國云々

新經云。東方金剛手菩薩摩訶薩。手持金剛杵。放靑色光。與四倶胝菩薩往護其國云々

仁王儀軌云。解曰。金剛手者。依三藏所持梵本云々。卽普賢菩薩也云々

印　五古印。唯二水內相叉。眞言

唵　縛日羅（二合）播抳縛日羅（二合）薩怛縛（二合）

吽

又云。左拳安腰。右拳安心。仰抽擲杵勢。

眞言

唵縛日羅（二合）薩怛縛（二合）阿

第二龍王吼菩薩（南方）

經云。二龍王吼菩薩。手持金剛燈。往護彼國

新經云。南方金剛寶菩薩摩訶薩。手持金剛摩尼。放白色光。與四倶胝菩薩往護其國

儀軌云。金剛寶者。如彼經云。虛空藏菩薩也云々

印　二拳而相合。舒進力如寶形當心。

眞言

唵縛日羅（二合）羅怛那（二合）唵（西方）

第三無畏十力孔菩薩

經云。三無畏十力吼菩薩。手持金剛杵。往護彼國云々

新經云。西方金剛利菩薩摩訶薩。手持金剛劍。放金色光。與四倶胝菩薩往護其國

軌云。解云。言金剛利者。如彼經云文殊師利也云々

印　左拳當心。想持花。右拳安右脇上。想把劍。眞言

唵縛日羅底（引）乞瑟拏（二合）淡

第四雷電吼菩薩（北方）

經云。四雷電吼菩薩。手持千寶羅網。往護其國

新經云。北方金剛藥叉菩薩摩訶薩。手持金剛鈴。放瑠璃色光。與四倶胝藥叉往護其國云々

軌云。解曰〇如彼經云。摧一切魔怨菩薩

印　忿怒拳當口邊。左右爲牙。眞言

唵縛日羅（二合）藥乞叉（二合）吽

第五無量力吼菩薩

經云。五無量力吼菩薩。手持五千劍輪。往護其國

新經云。中方金剛波羅蜜多菩薩摩訶薩。手持金剛輪。放五色光。與四倶胝菩薩往護其國云々

仁王儀軌云。解曰〇如彼經云。轉法輪菩薩也

印　左手作拳安髀。右手舒五輪。以掌臥右膝之上。以爲地。眞言

唵薩怛縛（二合）縛日里（二合）吽

已上印眞言出金剛界中耳

已上有先達抄也

仁王經法

東
西
南
北
香　持國　帝釋　塗
大天
索
增長
花　水天　廣目　燈
多聞
鈴
風天
鉤
鎖
寶瓶　降三世（持杵）　寶瓶
軍荼利（持寶）
寶瓶　六足尊（持輪）　寶瓶
金剛夜叉（持鈴）
五貼　三貼
羯磨　金剛牙　塗磨
寶形　寶冠
鉤
不動（左十二輻輪　右劍）

種子　師說吽字

三昧耶形　師說輪

印

不空軌云。又以兩手背相附。收二頭指。以二小指屈於掌中。以大拇指各押二頭指

側心上。誦經中陀羅尼七遍。由結此印誦

陀羅尼故。行者自身即便變成般若波羅蜜多菩薩。而爲一切諸佛〻母。其菩薩像。結跏趺坐。〻白蓮花上。身黃金色。衆寶瓔珞遍身莊嚴。首戴寶冠。繫冠白繒兩邊垂下。左手當心持般若梵夾。右手當乳作說法師。以大拇指押無名指頭。即想菩薩從頂至足身諸毛孔流出光明。作種〻色遍滿法界。一〻光中化無量佛遍虛空界。諸世界中普爲衆生當根宣說般若波羅蜜多甚深之法。皆令悟解住三摩地行法。行者作此觀已頂上散印

私云。胎藏般若菩薩印。海說用梵夾印。即左手平舒。右覆左手上是也。或用大慧刀印。金剛合掌。以大指捻頭指端是也。眞言者用六波羅蜜中第六眞言。唵地入室里二合輪嚕二合多尾惹曳娑縛二合賀是也

陀羅尼集經第三云。般若無盡藏印一名般若眼一名般若根本一名金剛般若心以二大指各捻二小指甲上。平屈二小指下節中節相背博之。二中指二無名指各背博直竪向上。各屈二頭指相背。令平中節背相著。與二小指相稱令平。如高座上安置經藏。當心著之。當誦呪時。專想繫念。一切經藏皆從印出悉入心中。般若無盡藏陀羅尼呪曰

那上謨上婆伽伐帝一鉢囉上若若治反波羅弭上多上曳二唵利伊伊奇反超音二合引下同四地伊二合五室利上音二合六輪嚧二合陀七毘祢曳八莎訶九

佛言。此陀羅尼印有四種名。一名般若無盡藏。二名般若眼。三名般若根本。四名金剛般若心。此陀羅尼印有大功德。若能至心如法受持。隨誦一遍出生一萬八千修多羅藏。又彼一〻修多羅中各〻出生二萬五千修多羅藏。又彼一〻修多羅中出生百萬修多羅藏。又彼一〻修多羅中出生無量百千萬億那由他阿僧祇修多羅藏。如是乃至展轉出生無量無盡修多羅藏所出經題名句義味各〻不同而不重出。如是念〻出生無盡。是故爲無盡藏陀羅尼印。此陀羅尼印即是十方三世諸佛宗祖。亦是十方三世諸佛無盡法藏。一切般若波羅蜜母。過現未來諸佛菩薩常所供養恭敬讚嘆

娜莫囉怛娜二合怛囉二合夜野一娜莫引阿里夜二合吠無蓋反路者娜引野二怛他引孽多引夜囉訶諦三三藐三沒馱引野四娜莫阿里野二合五三滿多跛捺羅二合引野六冒地薩怛縛二合引野引七摩賀薩怛縛二合引野八摩賀迦引嚕抳迦引野九怛儞野他引十枳穰二合娜鉢羅儞引閉十一惡乞叉二合野句勢十二鉢羅二合底婆引娜縛底十三薩縛沒馱引縛路枳諦十四喩譏跛哩儞澁跛二合寧十五儼避引囉努羅縛譏引係十六底哩野三合特縛二合十七跋里儞澁跛二合寧十八冒地質多散惹娜儞十九薩縛引毘囉迦引毘色訖諦二合二十達摩娑引譏羅三步諦二十一阿暮伽室羅二合縛儜二十二摩賀三滿多跛捺羅步彌二十三涅以逸反里野二合諦二十四尾野羯囉拏二十五跛里鉢羅二合跛寧二十六薩縛悉馱娜摩塞訖哩二合諦二十八薩縛冒地怛縛二合引二十九散惹娜儞三十婆議縛底丁以反上同三十一沒馱摩諦三十二阿羅嬾迦羅嬾三十三阿羅拏迦羅嬾三十四摩賀鉢羅二合枳穰二合三十五播羅弭諦娑縛二合引賀三十六

私云。經云。金剛手菩薩等〇異口同音說陀羅尼此陀羅尼有不空譯之撿之

經云。爾時金剛手菩薩等〇白佛言。世尊我等本願承佛神力。十方世界一切國土。若有此經受持讀誦解說之處。我當各與如是眷屬。於一念頃即至其所。守護正法。令其國界無諸災難。刀兵疾疫一切皆除。世尊我有陀羅尼。能加持擁護。是一切佛本所修行速疾之門。若人得聞一經於耳。所有罪障悉皆消滅。況復誦習而令通利。以法威力當令國界永無衆難。若有誦持此陀羅尼者。我十方諸佛悉常加護。諸惡鬼神敬之如佛。不久當得阿耨多三藐三菩提

轉法輪菩薩　手持金剛輪

大口　表毘盧遮那初成正覺請轉法輪又以法輪化

中方金剛波羅蜜多菩薩　放五色光

導有情頂具衆德破諸闇義

不動金剛

摧伏諸鬼魅。惑亂障惱者。帝釋及諸人。眷屬衆圍繞。四倶胝菩薩。往護其國土

東方金剛菩薩（普賢）　手持金剛杵（表起正智如金剛能除我法微細障）　放青色光（顯能除遣魔等衆義）

降三世（四頭八臂）　摧伏摩醯羅。大自在魔軍。壞法害衆生。持國天王衆。乾闥毘舍衆。四倶胝菩薩。往護其國土

南方金剛寶菩薩（虛空藏菩薩）　手持金剛摩尼（表體淨堅密金剛如意寶。隨諸有情類所求皆護得）　放白色光（顯能除遣脩陀羅衆）

甘露軍荼利（八臂）　摧伏阿修羅。閻魔諸眷屬。惱害諸有情。行疾疫鬼等。增長天王衆。無量恭畔荼。四倶胝菩薩。往護其國土

西方金剛輪菩薩（文殊師利）　手持金剛劍（表斷自他倶生障故）　放於金色光（顯能除遣惡龍等義）

六足尊（手臂頭各六坐於水牛上）　摧伏毒龍與風雨。損害一切有情者。廣目天王衆。龍富單那衆。四倶胝菩薩。往護其國土

北方金剛夜叉菩薩（摧一切魔怨菩薩）　手持金剛鈴（以般若鈴音覺悟群迷衆）　放瑠璃色光（顯能除遣夜叉等衆）

摧伏諸夜叉。常於日月中。伺奪人精氣。方便害有情。多聞天王衆。無量諸夜叉。四倶胝菩薩往護其國土

瑜祇經疏云。若欲以大尊同一壇者。當准仁王儀軌修之。彼如文云。於壇中心畫十二輻輪。東畫五鈷金剛杵。南邊畫金剛寶。西邊畫金剛劍。北邊畫金剛牙。此上五事是卽五方菩薩手中所執祕密之契。東南隅畫三鈷金剛杵。西南隅畫寶冠。西北隅畫箜篌。東北隅畫羯磨金剛杵。當四角上置四賢瓶。金剛銅瓷新瓦亦得。受一斗已下。瓶滿盛水。揷技條花。用四色綵。各長四尺。青黃赤綠如上次第。繫四瓶項。次第三重東門畫金剛劍。南門畫金剛索。西門畫金剛鎖。北方畫金剛鈴。東南角畫香爐。西南角畫荷葉。於中畫雜花。西北角畫燈。東北角畫塗香器。所畫杵等皆有光焰。三重壇外一重界道

般若法（八家錄中出多法。且其中般若菩薩）

種子（梵字）若（胎藏虛空藏院般若菩薩院）

本軌云。觀地字門成般若波羅蜜佛母

三昧耶形　劍（胎藏虛空藏院）　梵篋（般若菩薩院）

印眞言

本軌云。次結本尊三昧耶印。二羽金剛合掌。二大指各捻二頭指側。誦本尊眞言七返訖。頂上散之。眞言曰

娜謨婆誐嚩帝（一）鉢羅（二合）枳孃（二合）播（引）羅弭路曳（二合）唵（三）佉利地室里（四）牡嚕（二合）底尾惹曳（五）婆嚩（二合）賀

對受記明般若菩薩印云。用梵夾印。卽用六波羅蜜第六眞言也。或用大慧刀印。意大德說同二印。權僧正大和上說。慧和上說同海說。珍和上說同。別記云。同前梵夾印。正僧正說用梵夾印

明　般若波羅蜜菩薩印云。海大德說作梵夾印。當誦明（但儀軌云。左手舒。右覆左上當心）意大德說同。權僧正大和正說。惠珍和上說同。別說云。同前梵夾印

唵地（引）室里（引二合）輪嚕（二合）多尾惹曳娑嚩（二合）賀（此二眞言處處同用）

已上成菩提集之　行賢

嘉保四年季夏之初室町御坊書寫之畢

比叡山西塔院求法佛子永範。改頭宗五時八教之道。入密教兩界三部之宗。先師大和尙所撰集之成菩提集。於京

御房拜見之其次書寫了但御筆之本書未再治之書也仍要事次第粗似有前後違亂任遇見所々治定之題與本書有異又後私書加也或餘人之集書副之是不瑩他見只爲一身愚要也敢不可出於門闕但事之初文之首以朱著三點者偏先師之御製也著二點者餘人之集副載之著一點者管見書加也慮外見此書倫者委察此旨勿令混濫矣　成菩提集中教令抄本書十卷也今私糅一帖後人知之

交定了　慶源

天明八申十一月三日以西谷藏本寫

南谷吉祥師子嘯請后來君子依本攙

經軌訂正焉

遍照金剛大僧都實靈（花押）

成菩提集第四之一

遵貫坊永範類聚

世天

毘沙門一　兜跋二　吉祥天三　最勝太子四　梵天五　帝釋六　伊舍那天七　大自在八　那羅延天九　都史多天十　淨居天十一　持國天十二　增長天十三　廣目天　四天王通印等　日天　月天　火天　水天（付龍等）　風天　炎魔天十九（付五道大神太山府君茶吉尼等）　羅刹天　地天二十　十二天（八方天等）　三兄弟四姉妹法　十二神　三十六禽　摩利支　辨才天　迦婁羅天　歡喜天　深沙天將　訶利帝母　摩訶迦羅天　金剛力士　氷迦羅天　常瞿梨童女三十八　七曜九執　北斗七星（付二十四見抄）　二十八宿　十二宮

毘沙門天

種子　（梵字）普或（梵字）

三摩耶形　棒

義釋云、縛是語言道斷義云々　復次久字性離卽解脫相故此縛字門卽是諸佛金剛語能以無言之聲普遍世界若知如來常不說法者乃名具足多聞縛是縛義以入阿字門故本是我義無縛々々卽是如來是吠是無言三昧亦是畢竟空義云々

私云、縛是一切語言道斷義是一切法自不可得義　縛字加以翳聲翳是三昧亦是指物之聲謂此眞言之體此處出過語言之地不可示之唯觀行字內證之境也曳是我義如世間車要因於地而得前進云々（私云此等文暫借用之爲知字義非余同之）

印

先合掌十指內相叉二水竪頭相柱二風竪微屈左空入右掌中押左火甲右空越左空背入左掌中押右火甲二風與呵相招

儀軌無根本印是□□和尙私記文十二天法出之覺空法橋抄出之私云此印出何處耶

又云、虛心合掌二地入掌相叉二空雙直立之二風當二大側如鉤一寸許不相著

每誦二風招之三度（胎藏）

毘沙門經云（不空）我今說根本印以二手右押左內相叉竪二無名指頭相合二頭指屈如鉤若迎請時向身招若撥遣時向外撥念誦時結印當心誦七遍卽頂散

隨軍護法云（不空別行譯）私云同胎軌大藥叉印可思之說印相全同前經說

胎藏軌云多聞虛心合雙地入掌交空樹風側屈一寸不相著（佛經同之安然和尙出抄大軌文）

或記云、先內縛舒竪水火其端相柱舒二頭指微屈從中指端不相到一寸許二頭與訶召之

或云、頭指付中指背相去如三股形召之

或云、記不用三古印相□之

覺超僧都抄出此印相

傳法記云。盧合二地屈入內相交。二風屈
端一寸許不著
熾盛光軌（檢之異合）
私云。師云。儀軌有二眞言。若用心眞言
者。用諸藥叉印云〻　私云。定拳屈風如
劍。慧手置腰。正僧正說云。內縛水立合。
風屈勿著
軌
明大藥叉印云。定慧內叉拳。水竪二風
屈
或人云。此前諸藥叉印異說也。有云。八大
夜叉印也。或云多門天印也。覺超僧都〻云
或云。諸藥叉。或云。八大藥叉。俱有其理〻云
私云。更撿諸軌始末。必可沙汰事也。又
此印同前經說。可案可問
眞言　軌有二眞言
胎藏軌云。曩〇沒〇味室羅二合摩拏野娑
轉二合賀
私云。味字抄攝軌作吠。江尾曳反。玄法
云。同作吠。但云轉拏野（瑜伽攞摩軌同之）
毘沙門經云。毘沙門心眞言。每欲供養。以
此眞言供養香水飲食菓子花香。各誦一
遍供養獻之
曩〇母〇唵吠室羅二合摩拏耶娑轉二合賀
孔雀經中云
吠室羅二合摩拏野藥叉羅二合地鉢多曳娑
轉賀
雙身軌云（更問之）
或軌云（至下可知）
身相（案陀羅尼集身長一肘歟）　甲（和名ヨロヒ）　冑（和名カブト）

瑜伽護摩軌云。乘二鬼上。身著甲冑。左手
掌捧塔。右手執寶棒。身金色。二天女持寶
花等
或儀軌（般若斫羯羅三藏）云。我示現大將軍身。手
持戟劍（戟　私名ミツマタナルホコ。又和ヒ）身著七寶金剛莊
嚴冑（或云。身著七寶莊嚴甲。或云。七寶寶莊嚴□□）左手執三叉戟。右
手托腰（又一本左手寶塔）其脚下踏三夜叉（經多□□二鬼）
中央名地天。亦名歡喜天。左邊名藍婆。右
邊名毘藍婆。其天王面作可畏猛形。怒眼
開。其右邊畫五太子及兩部夜叉羅剎眷
屬。左邊畫五行道天女及妻眷屬
隨軍護法云。面作甚可畏形。惡眼視一切
鬼勢。其塔奉釋迦牟尼佛教（或云。著甲冑天衣）
大梵如意兜跋藏王呪經上云。毘沙門天
王示現忿怒降魔相。威德自在。能變萬像
度衆生。或現持舍利寶塔。放其威勢光明。
照曜無量世界。持衆寶杵。領攝魔王摧伏
怨敵。具足二種資糧。隨衆生念願速令滿
足一切所願（說觀音十身中第六身也）
陀羅尼集經云。左手同前。執鐵柱地。右手
屈肘擎於佛塔
私云。有相違。私云。東大寺。天王寺
白蓮花經云。寶冠嚴髮髻。面門白黃色。左
定持寶塔。右慧持寶劍
般若儀軌出使者。更撿之
毘沙門八兄弟
攝大軌云。天王八兄弟。門西東各四。同習
一眞言。歸命同前
印捺羅一二合蘇上摩二縛羅拏三鉢羅二合

惹婆底四入婆羅納縛二合惹五入伊舍那六室
戰二合那諾七迦摩八室隸二合瑟姹二合九短
顆建姹十〻〻迦十一縛膩麼捉十二〻〻左
羅十三鉢羅二合拏那十四縛跛半只迦十五婆跢
哩二合十六迦摩縛多十七布羅拏二合十八仗儞入
羅十九句尾諾二十虞播藥乞叉二十一阿吒縛
句二十二曩羅邏惹二十三爾娜乞灑二合跛二十
四半惹羅獻拏二十五蘇母契二十六儞伽藥
乞灑二合二十七娑畢里二合惹曩二十八卿怛羅二合
細曩二十九儞縛二合彥達縛三十悉底哩二合頗
哩三十一左底哩二合建吒迦三十二儞入伽捨
底三十三室者二合摩多里三十四娑縛賀
私云。此印更問師之
玄法軌多聞天王法云。八藥叉。摩尼跋羅
一布得那跋陀羅二滿賢半只迦三散支娑多
那里四醯摩縛多五毘灑迦六阿吒縛迦
七半遮羅八
畫像文
毘沙門經云。彼持誦者。當於白月八日及
十五日。令畫人受八戒。澡浴著新淨衣。取
不截白氎。畫像。其彩色中不得用皮膠。中
心畫釋迦牟尼佛說法相。右邊畫吉祥天
女。作天女形。眼目廣長。顏貌寂靜。首戴天
冠。瓔珞臂釧莊嚴其身。右手作施願印。左
手執開敷紅蓮花。右邊畫毘沙門天王。畫
像已了。於清淨處安像供養。以塗香花鬘
燒香飲食燈明。用供養佛及吉祥天。受持
者不應以下劣心而生恐怖。應以決定心
如法念誦

最勝經云。世尊若持呪時。欲得見我身現者。可於月八日或十五日。於白㲲上畫佛形像。當用木膠雜彩莊飾。其畫人爲受八戒。於佛左邊作吉祥天女像。於佛右邊作我多聞天像。并畫男女眷屬之類。安置座處。咸令如法布烈花彩。燒衆名香。燃燈續明晝夜無歇。上妙飲食種々珍奇。發慇重心隨時供養。受持神呪不得輕心

讚　師說用諸天讚

諸天讚曰

阿演覩彌縛娑譏素羅緊那羅那樶乞叉迦羅那野婆羅々々達麼擬哩馱地迦羅毘達麼娑婆羅娑麼操乞也彌咩多部迷多縛羅譏沙野他寧譏室樶摩拏也多舲

名諸天王保護世間神力功德讚

天阿蘇羅藥叉等　來聽法者應至心
擁護佛法使長存　各々勤行世尊教
諸有聽徒來至此　或在地上或居空
常於人世起慈心　日夜自身依法住
願諸衆生常安穩　無邊佛智益群生
所有罪業並消除　遠離衆苦歸圓寂
恒用戒香塗瑩體　常持定服以資身
菩提妙花遍莊嚴　隨所住處常安樂

五天竺法。每作此修持常永念時。常誦此偈及諸天保護世間神力功德讚。香山聚者竭伽大仙所說

私云。此漢語孔雀經三卷末皆出也

別行軌云。毘沙門天王告一切衆生言〇汝於閻浮提五濁惡世中。或出家比丘僧比丘尼。在家優婆塞優婆夷等。同在佛法中。我領諸天善神。於空中擁護是人。若聞我名者。知有我者。我當於是人邊左右。如護眼精。如護己命。令無諸惡者惱亂。若有一切男子女人。以王事我。々以王事之。以一切貴勝事我。々以一切貴勝事之。若以富貴音樂聲事我。々以一切富貴聲事之。若有人能受持誦陀羅尼及結印法。所有行用供養我形像者。我於一切隨汝所求應之。汝願令汝滿足。若有出家人受持者。我爲童子助之。若有國王君臣等受持供養者。我當富貴兵甲王臣恒願應之。誓無相背。善男子。是眞言法。我於佛前奉上世尊。護持末法比丘佛子及諸衆生等。若有於我世尊末法弟子起惡心相向者。我自領多兵衆鬼神藥叉乾闥婆等。摧祈惡人猶如微塵。善男子。若有於我法中常供養。依法受持。隨汝等所願何與汝。若有人能受持我眞言法者。當先作四肘壇。於淨室中掘去惡土。深一尺。遠處取淨黃七。塡築令平正。勤成階道。高一搩手。上層方廣三尺。高一搩手。開四門。用水瓶盛香水。爐箭四隻。刀四口。鏡四面。供養飲食用十二盤。煎餅乳酪蘇燈四盞散花。春夏採雜花。秋冬散綵花。其壇下層畫山石。上層畫大蓮花。四角畫海水。安像中心蓮花上。懸幡十六口。皆作神形像。其像面南。持法人面向北。對像坐念誦。作壇眞言曰

唵　難馱々々娜智々々難馱婆里入婆婆合二賀

又云。結地結界契〇眞言曰

唵吉里々々縛日羅縛日里部里滿馱々々吽發吒

次結四方界契如軌一切藥叉惡鬼退散得法成就

次結虛空界契如軌

此契能除空中。上至於有頂諸魔鬼神。不敢惡念〇如文

次結香花契。印眞言如文

次結飲食契。印明如文若無飲食。但對天王像前。每朝空結契印。及誦眞言供養。亦得福利。天王歡喜

次結燈契。印明如文

唵婆閉底隸薩嚩賀引

次四天王結界契。二手少指屈入掌中。右押左。豎二中指二無名指相離一寸。二頭指拄二大指並入屈掌。眞言曰

唵婆帝也畔馱々々唅吽阿ソハカ

〇摩障皆走不敢近於道場云々

次召請契。右手前把左手腕。於頂上左手四指來去。眞言曰

曩謨引吠室羅末拏薩也麼地以瑟捺羅薩也悉他婆嚩覩婆多薩嚩賀

此契及誦眞言七返。天王眷屬降臨壇會。天王慈悲就座受小供養所屈請者徒侶各著座位受我供養。卽胡跪手執香呂。對天王前至心奉請諸眷屬藥叉羅刹諸佛菩薩金剛力士等。降臨道場爲我證明。北

方毘沙門天王道場。願得成就法力神通。得大自在。所願隨意。感天動地契合君臣。兵甲相扶人民愛念。所爲事稱意。若有神驗永不虛。天王現處變相令我知驗。天王大身陀羅尼曰

曩謨引羅怛曩怛羅夜引也曩謨引失戰荼縛日羅播拏曳摩訶藥叉細曩鉢多曳曩謨引阿他劫路引步路囉也一地入捨也二吠室羅摩拏縛左曩引薩也三摩賀引羅引惹薩也四夜乞叉地婆合二多薩也五縛摩多薩也六薩覩多薩也七婆捨娜八鉢羅縛賀娜薩也九咽摩馱吒十吒尼鉢羅沙夜引弭一十但儞也他倶曬弭二十ゝゝゝ但沙三十尾捨羅摩娜薩也四十摩訶引羅惹引十五翳畔馱伽六十寧多羅摩蹉覩七十薩縛賀

若有受持者。清淨念誦三十萬返。天王加備所作事業起心動念降伏。乃至一切業祿官職。我隨汝心願。若有人於月一日十五日起首。念誦作壇者。有音樂。但有小微塵心依隨。我常擁護。如護眼精。如護心命。口含香念誦心自他知。若常持誦我眞言不絕。我隨是人坐臥。常隨是人出入往來。或隨是人意願滿足。若每日誦眞言一百八遍。滅去身中一百八劫罪。若誦持我眞言滿一萬遍。能滅八萬四千十惡五逆重罪。破戒不孝之罪悉皆消滅。若對天王面誦持十萬遍身眞言。隨事亦須隨心。若日ゝ供養我形像者。乃與我作音樂乳粥供養者。當現金甲之身示現令願滿足。若和合諸香。取牛黃雄黃各等分。加持安我像足下。我與香法香供成就。隨汝所願塗身額。所向處見國王ゝ子大臣官長諸貴人等。一切所見者隨喜。兵士愛念。若能每日ゝ中時面向北對像前誦我心眞言滿三十萬落叉返。我示現大將軍身手持戟於夢中現身。或於他山遠頂示汝令見滿諸願。如不見吾身。亦隨力應念加持。北方天王心眞言曰

曩謨引羅怛那怛羅夜也曩謨失戰荼縛日羅播拏曳摩賀藥乞叉細曩鉢多曳曩謨引阿他骨嚕藥室拏薩也摩賀羅引惹摩羅翰怛藍鉢羅尾沙弭薩但縛咽底瑟吒南怛儞也他唵摩尼縛馱羅也薩縛賀布嚕拏縛馱羅也薩縛賀摩拏㗚託也薩縛賀悉定迦羅也薩縛賀吠室羅末拏也薩縛賀難上曩馱也薩縛賀

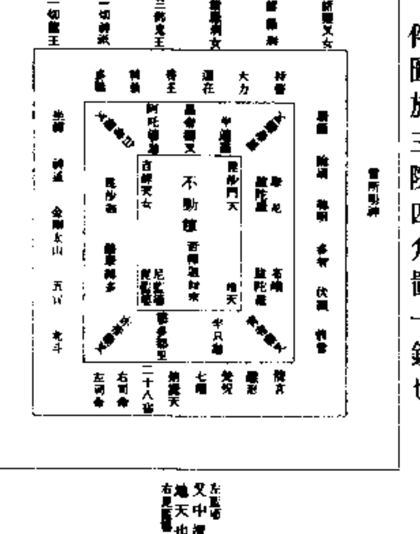
若有受持念誦我心眞言作諸供養者。唯我身心在汝身上。愛念汝無量。若有人求財求官。求一切外道諸心事。自令汝願滿足。不令惡人害汝。能令汝等受持我法者。即得富貴安樂。男女端正奴婢車乘五穀豆麥田莊妻妾。必決定與汝等。成就一切樂具。隨汝意願滿足。乃至命終往所生處。隨汝意願所生不相違背。若不實者。我不名爲護法天王。我必替汝墮阿鼻地獄。汝等受持讀誦者。於我法中生小疑心誹謗輕罵者。是汝等皆苦業地獄因緣未盡。即知此人無有出期。汝等人民憶持。香花油蘇燈。乃作水壇安置像於中。種ゝ香花菓子飲食煎餅乳粥等。酪蘇密盤如法供養。作音樂歌讚梵音讚歎。如是日ゝ每月十五日月。一日。正月七日。對像前念誦行道。我現身示現。或於壇中諸寶物與汝滿足。或隨汝從心行動所向去處東西南北四維上下。一切去處乃至夜夢中。皆施與汝等。又無畏。又入陣刀戟相無能知者。但汝心存念我名及眞言句。手執契印所擬方面彼有惡敵惡兵賊。悉自被縛自散自滅自顧自狂。無能害我法者

玄贊要集云。毘沙門者。此云多聞。常與佛守護道場常聞故曰多聞也

私云。觀音。大梵。帝釋天。摩醯首羅。大自在。多聞。兜跋多婆天。北道尊星。牛頭天十種降魔身也

前唐院供法圖

件圖於三院四角置一鏡也



壇廣方五尺高一肘。供師坐同高飲食菓子如法可施。雖二十二使者歸物可供油餅四十九枚二十二使者各二枚。今殘五枚。重供要使者。又可著油餅四十九枚。習々
口決云。欲敬毘沙門者。先發興法利生願。
若發神見時。天王不護。天王眷屬皆瞋。是
故天神地祇諸佛菩薩即不守護。故現當
二世所願不滿。若安住慈悲歸依天王者。
現生盛榮。若後世中天上人中得勝妙樂。
乃至隨樂生十方淨土。是天王者摩訶毘
盧遮那所變俗諦之身也。佛弟子隨類守
護供給壇那也。足下三藥叉表三身佛果
也。又表天王三德也。沙門八足弟者表八
葉九尊八兄弟加天王五方藥叉者表五智五佛
也。吉祥天女者表諸佛菩薩慈悲也。二十
二使者表逆順十二因緣也。皆名佛性。呼
此使者能世間及出世間及悉地滿足。始
自天王迄至眷屬。皆悉本地高位之尊。隱
眞諦德示俗諦形。從淺之深引接方便也。
呼使者法。樂論議者呼論議使者。若欲讀
經藏者呼讀誦使者。若求聽明多智呼聽
明多智使者成分聽明多智二人若求地中伏寶藏
者呼伏藏使者。若求入山坐禪及飛練學
仙者呼前當使者。若欲龍宮寶物者呼龍
宮使者。若求隱形昇天宮變化者呼隱形
使者。若求禁呪鬼神及諸渴禁大法者呼
禁呪使者。若求飲食錢財衣服及寄方者
々々。若求勝者若興法利生者呼右司命
使者。若欲知死者呼左司命使者。若求鎭
宅攘災厭禱迴凶成吉者呼北斗使者。若
欲知地獄久案吉凶者呼五官使者。若求
長生不死者呼太山使者。若欲求移山拔
海者呼金剛使者。若求知他心及鬼神意
者呼神通使者。若求水大力箭毒藥不能
損者呼聖神使者。若求諸人愛樂者即呼
多魅使者。若求作大醫王呼神仙使者。若
求香氣遍身熏者呼香王使者。若求乘神
通飛行十方者呼遍世使者。若求降伏惡
魔者呼大力使者。若求伏怨家者呼持齋
使者　尊等勸請次第。先不動明王若釋迦如
來　次天王。次吉祥天王。次天王八兄弟一
尼啟陀。二布嚕啟陀。三牟只迦。四婆多都里。五醯摩縛多。六毘灑迦。七阿吒婆。八半遮羅。足下三藥叉成在八兄弟云々　次五方藥叉。次閻魔王。次二十二
使者。次諸藥叉女。次諸羅剎女。如次三部
鬼王。次龍神八部。次天神地祇。次當所明
神足下三藥叉者。一地天二藍婆三毘藍婆　而契秘語尋求諸藏
中云々。有云。若不依印契眞言者。依圖位
數。依讃字勸請天。淸淨廣潔調供物。啓白
事由供養之。天王眷屬來臨。哀愍納受成
就大願。若依印契者供物如數調備。如十
二大天可用蠟燭。或不用蠟燭云々。若蠟
燭者。不可居閼伽等五供器。但用香水器。
若不用蠟燭者。用一前燒閼塗花等云々
又諸尊勸請之後。取花多可散壇上壇邊。
即想天等座加契眞言。若如是供者。世間
福祿官位榮曜欲愛及男女所念成就。若
又興法利生灌頂職位一切悉滿足。是圖
法秘密也。輙不披露。若遇災難及病亦可
敬供云々。供之誦三諦偈并十二因緣及
諸經貫。又五如來御名。三摩耶戒祈願懺
悔偈迴向云々
毘沙門天王口決尊位供法次第圖法一
卷前唐院
最勝王經四天王品云。爾時多聞天王從
座而起白佛言。世尊。我有如意寶珠陀羅
尼法。若有衆生樂受持者。功德無量。我常
擁護令彼衆生離苦得樂。能成福智二種
資糧。欲受持者先當誦此護身之呪。即說
呪曰
南謨薜室羅末拏也莫訶曷羅闍也怛姪
他嚾羅々々矩怒々々區怒々々窶怒々
々颯縛々々羯羅々々莫訶毘羯喇麼莫
訶毘羯喇麼莫訶曷羅社曷洛叉々々々
觀漫自稱己名薩婆薩埵難者莎訶
世尊。誦此呪者。當以白線呪之七返。一返
一結繫之肘後。其事必成。應取諸香。所謂
安息栴檀龍腦蘇合多揭羅薰陸。皆須等
分和合一處。手執香爐燒香供養。淸淨澡
浴著鮮潔衣。於一靜室可誦此呪。請我薜
室羅末拏天王。即說呪曰
南謨薜室羅末拏也南謨檀那馱也檀泥
說羅引也阿揭擔阿鉢利弭哆檀泥說羅
鉢羅麼迦留尼迦薩婆薩埵呬多捉多麼
々稱己名檀那末奴鉢賴拽擔碎闍摩揭擔莎
訶
此呪誦滿一七返已。次誦本呪。欲誦呪時。
先當稱名敬禮三寶及薜室羅末拏大王。
能施財物令諸衆生所求願滿悉能成就。

與其安樂。如是禮已。次誦薛室羅末拏王如意末尼寶心神呪。能施衆生隨意安樂。爾時多聞天王卽於佛前說如意末尼寶

曰

南謨曷喇怛那怛喇夜引也南謨薛室羅末拏引也莫訶羅闍也但姪他唵弭〻〻〻〻蘇母〻〻栴茶〻〻折囉〻〻薩囉〻〻羯囉〻〻枳哩〻〻矩嚕〻〻母魯〻〻主嚕〻〻沙大也頞貪某甲我名昵麼頞他達覩莎訶南謨薛室羅末拏也莎訶檀那馱也莎訶曼拏喇他鉢喇鏥迦引也莎訶

受持呪時。先誦千返。然後於淨室中瞿摩塗地。作小檀場。隨時飮食。一心供養。常燃妙香令烟不絶。誦前心呪。晝夜繫心。唯自耳聞勿令他解。時薛室羅末拏王子禪膩師現童子形來其所。問言。何故須喚我父。卽可報言。我爲供養三寶。事須財物願當施與。時禪膩師聞此語已。卽還父所白其父言。今有善人。發至誠心供養三寶。少乏財物爲斯請召。其父報曰。汝可速去。日〻與彼一百迦利娑婆拏成本云。每日與一百陳那羅。卽金錢也。注文廣可見之其持呪者見此相已。知事得成。當須獨處淨室燒香而臥。可於床邊置一香篋。每至天曉觀其篋中獲所求物。每得物時。當日卽須供養三寶香花飮食。兼施貧乏。皆令罄盡不得停留。於諸有情起慈悲念。勿生瞋諍詔害之心。若起瞋者卽失神驗。常可護心。勿令瞋恚。又持此呪者。於每日中憶我多聞天王及男女眷屬稱揚讚嘆。

恒以十善共相資助。令彼天等福力增明。衆善普至。證菩提處。彼諸天衆見是事已。皆大歡喜。共來擁衛持呪之人。又持呪者壽命長遠。經無量歲。永離三塗常無災厄。亦令獲得如意寶珠及以伏藏。神通自在。所願皆成。若求官榮。無不稱意。亦解一切禽獸之語。世尊。若持呪時。欲得見我自身現者。可於月八日或十五日。於白疊上畫佛形像。當用木膠雜彩。莊飾其畫像人。爲受八戒。於佛左邊作吉祥天女像。於佛右邊作我多聞天像。并畫男女眷屬之類。安置坐處威令如法。布烈花彩燒香衆名香。燃燈續明晝夜無歇。上妙飮食種〻珍奇。發慇重心隨時供養。受持神呪不得輕心。請召我時應誦此呪

南謨室喇健那也勃陀引也南謨薛室囉末拏也藥叉囉闍引也莫訶羅闍阿地羅闍也南謨麼室喇耶裔莫訶提弊引裔怛姪他怛羅〻〻咄嚕〻〻末羅〻〻辛攣吐〻〻〻漢娜〻〻末尼羯諾迦跋折羅薛瑠璃也目底迦楞訖㗚哆說喇囉裔蒲引薩婆薩埵呬哆迦摩薛室囉末拏室喇夜提鼻跋臘婆也爵呬〻〻麼毘藍婆瞿㗚拏〻〻〻秣剌娑〻〻〻達馱㗚麼〻阿目迦那末寫達哩設那迦末寫達里設南麼〻末娜鉢喇曷羅大也莎訶

世尊。我若見此誦呪之人。復見如是盛興供養。卽生慈愛歡喜之心。我卽變身作小兒形。或作老人苾蒭之像。手持如意末尼寶珠。并持金囊。入道場內。身現悲敬口稱佛名。語持呪者曰。隨汝所求皆令如願。或隱林藪。或造寶珠。或欲衆人愛寵。或求金銀等物。欲持諸呪皆令有驗。或欲神通壽命長遠及勝妙樂。無不稱心。或今且說如是之事。若更求餘。皆隨所願悉得成就。寶藏無盡功德無窮。假使日月墜墮于地。或可大地有時移轉。我此實語終不虛然。常得安隱隨心快樂。世尊。若有人能受持讀誦是經王者。誦此呪時不假疲勞。法速成就。世尊。我今爲彼貧困窮厄苦惱衆生。說此神呪。令獲大利。皆得富貴樂自在無患。乃至盡形我當擁護隨逐是人。爲除災厄。亦復令此持金光明最勝王經流通之者。及持呪人。於百步內光明照觸。我之所有千藥叉神亦常侍衛。隨欲駈使無不遂心。我說實語。無有虛誑。唯佛證知。時多聞天王說此呪已。佛言。善哉大王。汝能破裂一切衆生貧窮苦網。令得富樂。說是神呪。復令此經廣行於世。四王各有五百藥叉眷屬。常當處〻擁護是經爲說法師。以智光明而爲助云〻

僧伽羅刹經明菩薩〻。如毘沙門王爲諸衆生供給走使

守護國界經云。得此最勝陀羅尼。能除有情諸渴愛。如轉輪王敎十善。如毘沙門富法財

兜跋事

大梵如意兜跋藏王呪經上云。彼如意藏王。北方恒河沙國土之中。有上妙世界。名日寶生。在如來應供正遍知。其名日寶花功德海吠瑠璃金山金光明吉祥如來。於其正遍知所殖衆善根云〻是如意藏王能變萬像度諸衆生〇卽現十種降魔之身〇云何爲十身十號。一者無畏觀世音自在菩薩云〻二者大梵天王云〻三者帝釋天王云〻四者大自在天云〻五者摩醯首羅天云〻六者毘沙門天王云〻七者兜跋藏王。其威德自在。亦如毘沙門天。身相面貌忿怒。降魔安祥圓滿無量福智光明。權現兜跋國大王形像。爲解脫忽難不離人身。不代人體。唯所具足威光飛翼翔天遊變。最有自在。帶持大刀橫劍。摧折一切怨敵。掃除災害。於諸衆生令無驚恐怖畏。依此藏王廣大威德。大地神如自然踊出化生蓮葉。以掌承大如意藏王足。安靜結座。具如是大勢威力。普濟衆生種〻心願悉令滿足。八者多婆天王云〻九者北道尊星云〻十者牛頭天王云〻

又云。一切諸衆生仰依此如意藏王造作形像。及以七寶莊嚴恭敬供養。無有異心。一向稽首頂禮受持神呪憶念不忘者。此諸化現菩薩天等隨逐是人。晝夜不離衞護。令諸悉地成就。能除貧窮困苦病患驚愓一切惡事。悉令增長遠壽命官位爵祿無盡云〻

又云。時彼如來爲是藏王說大梵王如意兜跋藏王神呪。卽說呪日

南謨薄伽婆帝一三世佛陀耶二南謨修多羅契藏三三世達摩四南謨無畏觀自在大菩薩〻埵五三世僧伽耶六南謨大梵如意大藏王七吠室羅摩拏耶八唵九毘路迦耶十摩訶羅者耶十一薩縛阿地羅者耶十二薩縛悉唎夜提鞞十三摩訶提鞞薩羅帝耶十四薩縛藥叉吠瑠璃耶十五摩訶藥叉羅者耶十六薩縛怛多識多耶十七補尼耶婆羅那摩十八薩縛目契藥叉耶十九摩訶目契阿地羅者耶二十南謨薩羅毘乞叉主二十一撥里迦〻〻二十二毘舍耶〻〻〻二十三參曼多吠馱羅耶二十四摩訶陀參曼多室利耶二十五藥叉羅刹叉二十六撥里梵婆曳二十七浮地〻〻〻二十八浮地耶浮陀耶二十九婆羅〻〻摩訶婆羅三十悉地〻〻耶三十一摩訶悉地成就伽羅耶婆縛訶三十二

卽是三世諸佛智母。諸菩薩十方大士根本智母。諸天藥叉一切神仙根本祕藏云〻功能可見本文

又云。三世諸佛全身舍利頂戴護持。依此如來舍利功德力故。從今身盡未來際去來現在無量諸佛根本種子皆悉成就。爲諸衆生有隨廣作三世利益之事云〻

私云。未來成佛道藍婆毘藍婆夜叉事等。可見經文。十五種功能必可見之

吉祥天

種子　普　初　室利

三摩耶形　如意珠

普通藏品疏云。室利。定上無垢

印

毘沙門天王經云不空次說吉祥天女身印。以二手虛心合掌。開二頭指二中指二無名指。末屈如蓮花形。二大指小指竪合隨軍護法印相同文

功德天法出陀羅尼集經二無名指相鉤於掌中。二小指直竪頭相離一寸。二中指直竪頭相柱。二頭指於二中指背上第二節上。二大指並直竪。頭指來去身印也左右無名指小指反叉在掌。竪二中指頭柱。以二食指各捻中指上節背。並竪二大指心印也

眞言

毘沙門天王經云。吉祥天眞言

曩〇沒〇唵摩訶室利二合野曳娑婆賀

更有大呪。撿之有呪撿之

功德天法

身相

功德天法云。功德天像身。端正赤白色。二臂。畫作種〻瓔珞環釧耳璫天衣寶冠。〇左手持如意珠。右手施無畏。宣臺上座。左邊畫梵摩天。手執寶鏡。右邊畫帝釋天。如散花供養天女。背後各畫七寶山。於天像上作五色雲。〻上安六牙白象。〻鼻絞馬腦瓶。〻中傾出種〻寶物。灌於功德天頂上。天神背後畫百寶花林。頭上畫作千葉寶蓋。〻上作諸天伎樂散花供養。其像底

下右邊復畫作呪師形著鮮白衣手把香爐胡跪供養於白素紬上坐

私云以前種〻三摩耶形案今文意用

道場觀

讚

大吉祥天女十二契一百八名無垢大乘經本不空

此經出諸天漢語讚

私云梵語漢語任行者其一

涅槃經云如功德天利益貧者

大集經云爾時功德天以一斛器盛諸種子奉上觀世音菩薩摩訶薩而作是言我今以此一切種子施善丈夫爲欲增益一切種子願令我意所願成滿又令我能四天下充足衆資生之具於暴惡虐斷善衆生拔其苦難令得安住菩提之種爾時觀世音菩薩摩訶薩卽以手執彼種子器遍示十方作如是言一切諸佛菩薩及以諸龍今在者願悉念我令使一切諸四天下所有種子芽莖枝葉華果五穀及諸藥味地味精氣衆生精氣善法精氣增長無損又復令此四天下三寶種姓相續不斷使功德天所有願皆悉滿足常使功能天能令一切衆生資糧豐足亦能敎化一切衆生遠離一切惡令發菩提心又令衆生得離三惡道生於天中云〻

又云爾時世尊告功德天言淸淨智我於往昔與汝二人於因陀羅幢相王佛所同發誓願我今與汝得願具足我今已得阿耨○菩提汝亦住於功德之處功德天言如是〻〻大德婆伽婆伽如是〻〻大德修伽陀我與世尊所願已滿我與世尊善欲已滿我共世尊昔於因陀羅幢相王佛所同發誓願今願悉滿心意滿足是故如來出現於世我今得住功德之處我今雖復得功德處猶故未能滿昔本願成就衆生何以故此處多有象龍馬龍蛇龍魚龍蝦蟇龍○彼龍常起非時寒熱惡雲暴雨旱澇不調傷害及以五穀芽莖枝葉花菓藥草見已之上

有諸菩薩所說神呪可見之

功德天勇猛任敎化衆生爲貪欲衆生發起菩提心

金光明最勝王經大吉祥天女品第十六云爾時大吉祥天女卽從座起前禮佛足合掌恭敬白佛言世尊我若見有苾芻〻〻尼鄔婆索迦鄔婆斯迦受持讀誦爲人解說是金光明最勝王經者我當專心恭敬供養此等法師所謂飮食衣臥具醫藥及餘一切所須資具皆令圓滿無有乏少若晝若夜於此經王所有句義觀察思量安樂而住令此經典於贍部州廣行流布爲彼有情已於無量百千佛所種善根者常使得聞不速隱沒復於無量百千億劫當受人天種〻勝樂常得豐稔永除飢饉一切有情恒受安樂亦得値遇諸佛世尊於未來世速證無上大菩提果永絕三塗苦難世尊我念過去有瑠璃金山寶花光照吉祥功德海如來應正等覺十號具足我於彼所種諸善根由彼如來慈悲愍心念威神力故令我今日隨所念處隨所視方隨所至國能令無量百千萬億衆生受諸快樂乃至所須衣服飮食資生之具金銀瑠璃車渠珊瑚虎珀眞珠等寶悉令充足若復有人至心讀誦是金光明最勝王經亦當日〻燒衆名香及諸妙花爲我供養彼瑠璃金山寶花光照吉祥功德海如來應正等覺復當於每日於三時中稱念我名別以香花及諸美食供養於我亦常聽受此妙經王得如是福而說頌曰由能如是持經故自身眷屬離諸衰所須衣食無乏時威光壽命難窮盡能使地味常增長諸天降雨隨時節令彼天衆咸歡悅及以園林穀菓神叢林菓樹悉滋榮所有苗稼咸成就欲求財皆滿願隨所念者遂其心佛告大吉祥天女善哉〻〻汝能如是憶念昔因報恩供養利益安樂無邊衆生流布是經功德無盡

金光明最勝王經大吉祥天女增長財物品第十七云爾時大吉祥天女復白佛言世尊北方薜室羅末拏天王城名有財去城不遠有園名曰妙花福光中有勝殿七寶所成世尊我常住彼若復有人欲求五穀日〻增多倉庫盈溢者應當起敬信之心淨治一室瞿摩塗地應畫我像種〻瓔珞周匝莊嚴當洗浴身著淨衣服塗以名香入淨室內發心爲我每日三時稱彼佛

名及此經名號。而申禮敬。南謨琊璃金山
寶花光照吉祥功德海如來。持諸香花及
以種々甘美食至心奉獻。亦以香花及諸
飲食供養我像。復持飲食散擲餘方施諸
神等。實言邀請大吉祥天。發所求願。若如
所言是不虛者。於我所請勿令空爾。于時
吉祥天女知是事已。便生愍念。令其宅中
財穀增長。卽當誦呪請召於我。先稱佛名
及菩薩名字一心敬禮
南謨一切十方三世諸佛。々々寶髻佛。々
々無垢光明寶幢佛。々々金幢光佛。々々
百金光藏。々々金蓋寶積佛。々々金華光
幢佛。々々大燈光佛。々々大寶幢佛。々々
東方不動佛。々々南方寶幢佛。々々西方
無量壽佛。々々北方天鼓音佛。々々妙幢
菩薩。々々金光菩薩。々々金藏菩薩。々々
常啼菩薩。々々法上菩薩。々々善安菩薩
敬禮如是菩薩已。次當誦呪請召我大吉
祥天女。由此呪力所求之事皆得成就。卽
說呪曰
南謨室利莫訶天女怛姪他鉢利哺𠼝拏
折麗三曼頞達利沒泥莫訶毘訶羅揭帝
三曼哆曇哆摩泥莫訶迦里也鉢羅底瑟
侘鉢泥薩婆頞他娑彈泥蘇鉢喇底哺麗
痾耶娜達摩多莫訶毘俱比帝莫訶迷吐
魯鄔波僧呬羝莫訶頡唎使蘇僧近入里
呬羝三曼多頞他阿奴波喇泥莎訶
世尊。若人誦持如是神呪請召我時。我聞
請已卽至其前。令願得遂。世尊。是灌頂法
句。定成就法句。眞實之句。無虛誑句。是平
等行。諸衆生是正善根。若有受持讀誦呪
者。應七日七夜受八支戒。晨朝時先嚼齒
木淨澡漱已。及於晡後香花供養一切諸
佛。自陳其罪。當爲己身及諸含識迴向發
願。令所希求速得成就。淨治一室。或在空
閑阿練若處。瞿摩爲壇。燒栴檀香而爲供
養。置一勝座。幡蓋莊嚴。以諸名花布烈壇
內。應當至心誦持前呪。希望我至。我於爾
時卽便護念觀察是人。來入其室就座而
坐。受其供養。從此以後當令彼人於睡夢
中得見於我。隨所求事以實告知。若聚落
空澤及僧住處。隨所求者皆令圓滿。金銀
財寶牛羊穀麥飲食衣服皆得隨心受諸
快樂。既得如是勝妙果報。當以上分供養
三寶。及施於我。廣修法會設諸飲食布烈
香花。既供養已所有供養貿之取立。復爲
供養我。當終身常住於此。擁護是人令無
闕乏。隨所希求悉皆稱意。亦當時々給濟
貧乏。不應慳惜獨爲己身。常讀是經供養
不絕。當以此福普施一切迴向菩提願出
生死速得解脫。爾時世尊讚言。善哉吉祥
天女。汝能如是流布此經。不可思議自他
俱益

寶藏天女陀羅尼法（大唐咸通五年七月一日於上都左街安邑坊趙家寫之）
觀音院
爾時三十三天主摩醯首羅天王。共諸天
女衆讚寶藏天女名吒羅法。有大威德色
力無比。能於世間行殊勝事。迴天動地傾
山覆海。兵戈勝負志意而成。財帛金寶如
山岳。世間受持。卽說呪曰
唵吒囉佉吒囉佉毘多羅儞娑嚩（二合）賀
若欲受持此法。先畫一天女形。泥塊法。五
月五日前七日。喫希粥長齋。意欲去處須
淨潔也。凡行此法。天女不喚自來。然須思
存用表至誠。此法必須五月五日夜受持
卽果成就。五月五日夜注想思存喚々誦
呪一千八遍不得急。至三更卽心昏似睡。
天女來令相試弄。必莫共語。至第二遍其
天女吒羅佉自來相見。其作法人不得起。
便跚跪合掌頂禮兩拜。卽相問之。有何所
須。其作法人隨口答之。乞好藥長生不死
通靈。世間萬事之情。終身奉事。天女意生
欲爲夫妻。天女鬧已甚大歡喜。當夜便與
交諸願如意。若欲作姉妹。於事必須分明
勿生狐疑。其境法。二肘半量用牛糞泥地。
更以香泥塗地。五色綵畫。五色綵各二尺
五寸。在壇內安天女座。蘇蜜乳等菓子各
一盤。五色花餠各五枚也。雜粟麥燒作花
隨意供養。其畫像法。天女身長二尺五寸。
頭作花冠。所點花端正。身著紫袍金帶烏
靴。右手把蓮花。左手把如意寶珠。天女端
正光明。世間畫師無能畫。必須好手不得
論價。應時通靈心神自在。財帛盈溢官位
高遷。中一切禍福了達。貴賤男女皆悉歡
喜。凡有所動一切鬼神皆迎侍如天官。乃
至世間好妙藝隨意而成。有惡來相害者。
便呼賊名。皆自縛自打。言放卽放世間走

失死亡如驗。目前萬病舉意持之皆差。又
八眞言各須淸淨沐浴著新淨衣。於佛前
形像前各誦三七返。然後作法　第一眞
言
唵興娑羅帝吒急〻娑縛合二賀
唵拔羅帝吒利摩那羅娑縛合二賀
唵勒叉那帝吒娑婆合二賀
唵婆〻隷惹帝吒娑婆合二賀
唵勃惹羅帝吒ソワカ
唵藥叉〻〻底那婆ソワカ
唵遮帝毘折曳吽泮吒ソワカ
唵遮勒那〻梨婆帝吒ソワカ
以中指無名指屈而入掌。以大母指押二
指甲。舒頭指及小指安心上。右手把數珠
念眞言。此名玉環印
已上提婆抄之

最勝太子
種子　囉字
三昧耶形　刀劍
印眞言
先合掌當心。郎以二大指右押左交入掌。
二頭相並豎。餘三指交叉作拳。然頂戴之。
三上三下。眞言曰
唵那吒俱伐羅莎呵
讃師云用諸天讃
身形
其像八臂四面。當前正面作平正圓滿之
相。猶如菩薩相。左廂面青黑色。大張口虎
牙相。右廂一面作自在天相。赤白色。當前
上面作藥叉極惡相。牙齒長利。身赤黑色。
髮作金青色。其天王左右二手皆豎持刀。
左右二手雙持縛折羅叉。左右二手合掌
當心。左右二手下俱持槍。其身雄狀迅極
可畏。以色雲散爲蓋。諸天眷屬圍繞
或人集云
毘沙門驗記

梵天　補羅合二忛麼〻云
種子　囉羅
三昧耶形
攝大軌云。三昧空持水。猶如執花相
玄青等軌云。梵天持紅蓮唯白三昧空持水
私云。屈入水以空押水側
或云。水背上
熾盛云。三昧舒五輪。空持風上節
十二天法中云。右手作拳安腰。右左手五
指相著豎之小屈。其高少許過肩。郎成蓮
花想之可尋
曩〇鉢羅二合種子惹一切衆生鉢多曳〻〻〻陀羅尼集經撿之
護摩軌云。〻〻〻沒羅痕摩合二宣之
讃師云用諸天讃
身形
祕藏記云。大梵天王肉色四面。面上三眼。
有四手各花瓶鉾已上
胎藏圖云。大梵天王四面四臂。左一手施
無畏。次手持鉾。右一手持蓮花。次手持軍
持。坐赤蓮花。額有目
白蓮花經云
北大梵天王　四面髮髻冠
面門白肉色　每面三日相
四手慧持花　次慧持數珠
定上執鉾持　定下手側掌
屈風餘甲立　身嚴妙瑠璃
袈裟及天衣　圓光遍嚴身
坐於七鵝車
私云。著袈裟衣事如何。疏第五意同上。
但無袈裟衣

帝釋天　鑠吃羅合二
種子　捨字
三昧耶形　獨股
印
攝大軌云。釋印內縛拳。二風豎如鉾
廣大軌云同上
玄法等軌云。釋印內縛二風申如針
青龍注云。或云內縛合豎空地。恐錯空豎
私云。攝廣二軌印與玄青等印同異如
何
十二天法云。右手同前。左手五指直豎相
著。地水二指屈中節。以風著火背。空屈中
節
或軌云。此獨股金剛杵印。以空輪來去

七十提婆法中云。右手作拳置腰。右。左手
五指直竪相著。地水二指中節。以風著火
背。空屈中節。以大指也
此二印相可問師也
眞言
攝等諸軌云
曩南一引鑠種子吃羅合二也增也近莎訶
義釋云。釋提桓因眞言。釋迦是百福從義。
以於因中作百無遮大施大會。故得成此
界。故以爲名。今云釋迦羅也。是正音也。以
初釋字爲眞言體。捨是本性寂義。又奢摩
地是止義ゝゝ云
二十本云。佛俱生也
護摩軌云
印娜羅野娑縛合二賀陀羅尼集經印眞言撿之
略出四本云
唵遏移達羅耶
六本云
唵因達羅耶ゝゝゝ
身形
護摩軌云。乘白象住五色雲中。身作金色。
右手持三股當心。左手托左胯。左脚垂下。
三天女各手持蓮花盤。盛青蓮花。或以盤
盛雜花等
祕藏記云。帝釋天黄色。持一股跋折羅。坐
妙高山頂
胎藏圖云。天帝釋赤色。右手持一股戟。左
拳安腰。著天衣。及忿怒形也。東方帝釋
北方帝釋圖云。黄色。右手把獨股杵當左
手作拳押腰。坐頂彌山也。山金色也已上
具緣品云。初方釋天王。安住妙高山。寶冠
被瓔珞。持授折羅印。及餘諸眷屬。慧者善
分布
疏云。於東方五頂之南當畫因陀羅釋天
之主。座須彌山天衆圍繞。首戴寶冠。被種
ゝ瓔珞。持伐折羅。及餘諸眷屬。謂舍脂夫
人及六欲天等。具如圖中所示也
又云。辨才天次北幷置其妃。又其次置微
瑟紐。舊譯謂之毘紐。此是那羅延天也。幷
置商羯羅天。此是摩醯首羅〇經中下文
更有魯捺羅。即是商佉羅忿怒身。從事立
名。又置塞健那天。即是童子天也。皆於其
側置妃。阿闍梨言。此是天衆。當於天王左
右序列之私云。依有所恐不能委哉。更撿之問之
白蓮花經云。東門南天帝釋
寶冠嚴頂上　戴持三鈷杵
西門白黄色　左定結拳印
右懸持一鐲　百千種瓔珞
袈裟天飛衣　安住妙高山
私云。袈裟事如何
伊舍那天
青龍注云。摩醯首羅化身。熾盛光軌云
欲界自在伊舍那。經云自在
種子　普　初　[梵字]
三昧耶形　三股戟
印眞言
青龍等軌云。東北伊舍那。眷屬部多等。戟
印三昧拳。竪火風屈背
南〇嚕捺羅合二也莎訶私云。部多衆又之類也
熾盛光軌云。定手獨爲拳。火舒風屈節。由
立戟相。以印竪向。右手作拳押腰。眞言曰
同前
大日經說暗夜天下云。以三昧手爲拳。舒
風火輪。次云。即以此下文屈風輪。是嚕達
羅戟印已上
攝大軌云。鬼首伊舍那。戟印三昧拳。火輪
舒正直
私云。似異上說
私云。海說定拳大立。風小屈著火背。此
依上說歟。權慧等同海說。又樣定拳以
直立戟印。似攝軌文。珍同海說。但風近
火背勿著之。對記出之
十二天法云。右手作拳安腰。右。左手五指
直竪相著。地水二指屈中節。火風空三指
各少相去即成
以火風相召。又以空召之
瑜伽護摩軌云。眞言曰
曩莫三滿多沒馱南伊舍那野娑縛賀
廣大軌眞言同之
略出六本云
唵伊舍那耶ゝゝゝ
四本云
唵遏哩觫儞曳ゝゝゝ
義釋云。又嚕捺羅眞言。即是世間所奉摩
醯首羅天主。有衆多異名二十云。魯達羅亦佛所化身。是摩醯首羅
化也。又名伊舍那嚕捺羅即是一種自在天衆。以最

初唵字爲眞言體以本無塵垢三昧故其
心於一切法得大自在法爾如是天然成
就故名摩醯首羅天捺羅是授與義若以
字門相釋即是淨法界乘以一切世界無
非淨法界故知如是寶車其數無量故能
隨意取與遍施衆生也

身形

瑜伽護摩軌云乘黃黑牛左手持劫波盃
盛血右手執三戟鎗淺青肉色三目忿怒
二牙上出髑髏爲瓔珞頭冠中有二作月
二天持花云々
次上文云伊舍那天舊云摩醯首羅天云
大自在天云々
秘藏記云伊舍那天黑青色面上三目繫
髑髏瓔珞左手持器盤右手鉾鑯
胎藏圖云伊舍那[illegible]青肉色左手持
鉢右手三股戟以髑髏爲瓔珞著天衣後
本黑色淺戟著草袋也

魔醯首羅 此云大自在

種子 [illegible]或[illegible]

三昧耶形 三古戟

印眞言

胎藏儀軌云魔醯首羅天眞言曰二羽外
相叉右押左直竪地風空成召
唵莫三滿多沒馱南摩係引濕縛二合羅野
娑縛二合賀引
或人私記云次魔醯首羅定空押地甲三
指各開直竪如戟

唵摩係引濕縛二合羅野娑々々
次后印定空與地端相捻三指直竪合
軌不說眞言私記云用先眞言
次妃印如后印三指開竪此爲異
烏摩儞弭娑々々
蛾盛光法云先大自在天印慧羽五輪舒
承頰儼然住頭低右方可令受頰定手作
拳押腰 七隔反 呪三反 眞言
唵翳係曳摩系濕縛羅野娑縛賀
瑜伽護摩軌云東北方伊舍那天舊云魔
醯首羅釋亦云大自在天云々
私云如此文者魔醯首羅伊舍那天是
一體異名歟若爾有相違可尋之

身相

秘藏記云大自在紫色持鉾乘黑水牛
胎藏圖云黑紫色左手取三股戟右手小
握立風擧也乘黃牛或云黑牛今見青牛
私云見是牝牛也已上
白蓮花經云大自在天頂上妙天冠面門
紫蓮花定慧把利鉾乘大黑水牛上妙寶
瓔珞天衣及飛衣嚴身微妙色安住月輪
海

那羅延天 亦名毘紐天

種子 [illegible]或[illegible]

三昧耶形 輪或花

玄法云那羅延持輪定掌以舒散或人云持物上句明
印相下句明
經云如前輪印以三昧手爲之

義云以定手散竪四輪唯出空輪於掌中
橫著掌是
攝廣二軌云毘紐那羅延三昧空捻風圓
相如輪勢
私云此等印相同異如何
私云師說云定手中五相向外以空橫
安掌慧拳安腰
唵○尾瑟拏二合吠々々々
義云毘紐天眞言即是世間所奉那羅延
王有衆多別名也今正音云尾瑟拏吠此
是毘紐以最初尾字爲眞言體縛字加以
伊聲所謂金剛大力三昧又以離言說故
名畢竟空瑟拏是進義生義○此天乘迦
樓羅鳥而行空中自在無礙云々是二十佛化本身云

身形

秘藏記云那羅延天三面青黃色右手持
輪乘迦樓羅鳥云々
胎藏圖云毘紐天白色持花
那羅延天肉色三面左猪面黑色右猪
面白色右手擧輪左拳按腰乘金翅鳥
云黃色
毘紐天 肉色持荷葉盛花

觀史多天 [illegible]

種子 普 初 [illegible]

三形 蓮花

印眞言

以右手作如來勅印召六天以大指捻無
名指甲上及小指甲上頭中指直竪指末

來去

唵紐促肥地曳莎訶（大佛頂別行法）

圖云。肉色。右持未開蓮花。左拳安腰

淨居天

種子

三摩耶形　未敷蓮花

師說云。定手作拳押腰。慧手舒五指。但風指小橫。叉火背上。以空押胸前。面向左。餘輪直竪

私云。是普花天子印。可問之

普通藏品云。淨居眞言

曩〇滿拏羅摩二達摩三婆縛微婆縛迦曩三ヽ娑縛賀

摩拏羅達摩三婆迦詫ヽヽ娜三ヽ忙澾泥ヽヽヽ

私云。密印品說淨居五天印。不說眞言。普通藏亦唯說此一眞言。名淨居天眞言。諸軌以此爲普花眞言（可問之）

義釋云。淨居天眞言〇滿拏羅摩。譯言悅意。達摩是法。三婆縛是生。言此諸天從淸淨法俱生。非同世天〇復次法界是淨居義。從蓮花胎藏生故名悅意法生。次句尾婆縛迦曩。此翻爲悅。適文當在句初。以自從法俱生故。能爲世間說此方便也。次云參ヽ爲此眞言體。娑是蓮花義。是生義。加點故莊嚴具足。卽是大悲胎藏。以對二重淨居義故重言ヽ云

持國天

種子　地利字

三昧耶形　刀形

青龍軌云（下眞言小注曰之）　右拳空竪。風如鉤。不相著。左准腕相交

熾盛光軌云。擧右手爲拳。左覆目交腰。名爲本護印

師曰。此印作拳舒空安風側而如打物勢云是也。左覆目叉腰。空與四輪相開押左腰也。名爲本護印

曩〇唵地隸（合二）多羅瑟吒羅（合二）囉羅鉢羅（合二）末馱那（合二）娑縛（合二）賀

私撿陀羅尼集云。東方提頭賴吒天王法印呪。側左手掌。中指已下三指把拳。又屈頭指中節。頭亦少曲。又以大指直舒斜申。頭勿捻著頭指上。右手亦同。唯擧腕下著於左手臂上。大指來去。呪曰

唵一地梨致羅（上音）瑟吒（二合）羅ヽヽ三婆羅末陀那（四）娑（前出）訶（五）

身形

其像長量一肘作。身著種ヽ天衣。嚴飾極令精妙。與身相稱。左手申臂垂下把刀。右手屈臂向前仰手。掌中著寶。ヽ出光

祕藏記云。東方提頭賴吒天。赤肉色。鉾ヽ云

胎藏圖云。赤肉色忿怒形也。左持劍。右押股上也

白蓮花經云

東方持國天　寶冠嚴髮髻
面門青肉色　左定執利鉾
右慧著腰相　身妙嚴瓔珞
袈裟及天衣　金剛寶甲胄
瞋怒威德相　跏趺右押左
蓮花以爲坐

南方增長天王　毘嚕荼迦

種子　普　初。毘字

三昧耶形　劍形

玄法三卷云。二羽背相叉。火輪鉤如索。地風空屈如鉤。風召

唵尾魯荼迦藥乞叉（合二）地跛多曳（合二）ヽヽヽ

私勘陀羅尼集經云。南方毘嚕陀迦天王法印呪。側左手腕。以右腕側著左腕根上。二掌相背。以二中指相鉤申之如索。以二小指二頭指二大指各曲之。頭指來去。眞言曰

唵一毘嚕陀迦二藥叉地跛多曳三ヽヽヽ

身形

又云。像大小衣服准前。左手亦同天王法。申臂抱刀。右手執矟。ヽ根著地

青龍軌云。左手執刀。右手把矟。ヽ根著地。

祕藏記云。南方毘留勒叉天王。赤肉色持利劍

胎藏圖云。赤色。右手持劍。左手拳安腰。著天衣

白蓮花經云。南門毘樓勒叉天王。寶冠嚴髮髻。面門赤肉色。左定拳押膝。右慧金剛

劍

西方廣目天王　毘樓茶。亦云毘樓縛乞
叉
種子　普　初 [illegible]
三昧耶形　三股戟
靑龍云
玄法注云
胎藏私記云。定慧各拳。以右拳背置左拳
背。以思風鉤定風如索。但以二空押大甲。
每誦以空召之
唵尾嚕博乞叉那伽二地跛路曳娑云々
陀羅尼集經云。左手側腕。以右手腕著左
手腕根上。二手中指已下三指各屈在掌
作拳。屈二大指。以二大指頭各押中指甲
上。以二頭指相交如索申之。大指來去。眞
言呪曰
唵一毘嚕博叉那音去伽二地波路曳々々
々
身形
其像大小衣服准前。左手同前。唯執鋼異。
其右手中而把赤索
祕藏記云。西方毘樓博叉天王。白肉色。持
三胋鉾
胎藏圖云。赤色著胄。右手持三股戟。左拳
押腰
白蓮花經云。西門毘樓博叉天王。寶冠嚴
髮髻。西門白肉色。左定跋折羅。右定持羂
索文

四天王通心印呪
二手頭中小三指反叉合掌。二無名指竪
頭相柱屈初節之。二大指還向內拳中。大
指來去
四天王通心呪
唵一嘶婆嚩二謝鞏陀羅夜三莎訶
受持是呪。四大天王將二十八部善神來
詣道場助護。四天王歡喜垂恩。治一切病
多得錢財
四天王結界印
二手小指屈入掌中。右押左。竪二中指無
名指相離一寸。二頭指柱。二大指並屈入
掌中。眞言曰
唵婆帝也畔馱含吽彈ソワカ
作契誦眞言加持。魔障皆走。不敢進於道
場云々
種々雜呪云
提頭賴吒天王欲說一偈
四大天王中　我最爲第一
我雖作天王　不脫鬼神苦
我作鬼神王　已經五百歲
東西常馳聘　濟度諸群生
哀哉過去世　曾作人中王
治化不以理　今作鬼王身
又願諸國王　正治於國事
莫作貪渴行　復受鬼神身
毘樓博叉天王欲說半偈
我今過去世　生於閻浮提
豪富得自在　諂曲不正直

毘樓勒叉天王欲說一偈
今雖作鬼王　猶受鬼神苦
我今作鬼王　得離三途苦
遍歷四天下　救諸病苦者
憶念過去世　曾作人中王
放逸著五欲　今受鬼王身
又願人中王　謹愼不放逸
度脫諸衆生
毘沙門天王欲說一偈
我於往昔修菩提　爲衆生故作鬼王
衆生久處無明闇　我以今鉀開其目
慧眼觀開度生死　生死觀脫昇泥洹

成菩提集第四之一終

萬治四辛丑年三月吉祥日以葛川本
書寫
江州栗太郡芦浦觀音寺號般若坊法
印舜興藏
寶永七年六月上浣　嚴覺
寶曆十庚辰八月二日於延曆寺東塔
南溪吉祥院寫　寺主寶雲

成菩提集第四之二

永範類聚

日天

種子　阿

三昧耶形　○

印眞言

密印品云。以定慧手顯現合掌。屈虛空輪
置水側。是日天輿輅印疏可見之
此印異說。更撿對記。顯現合掌。又有異說」
密印曼荼羅品云。日天作車輅印。左金輪
中卽是正方壇也。日天眞言曰
曩○南一阿儞夜引莎訶
佛眼要集云。日天眞言曰
曩謨羅怛曩二合怛羅夜引野曩莫素哩野
薩嚩曩乞叉怛羅二合羅惹野唵阿謨伽寫
名字沒底引婆嚩二合賀
先合掌。風以下四指頭相拄前方大開。以
二空頭各拄水下節
私云。十二天中之日天印。二十天中印。
異之
胎藏軌云。日天福智作。風水加火背。其狀
車輅形
師說云。二掌仰之。二側相著。二水屈各
入掌。以二空押二水側上。當額上也
陀羅尼集經云。日天法印呪。先背兩手。中
指無名指小指等背竪使齊。以二頭指斜
直頭相柱。以二大指側屈捻頭指側本節
文。大指來去。呪曰
唵一娑訶薩羅二合羅上音濕迷二合三莎訶

身形

祕藏記云。日天耀赤肉色。乘三馬
調定圖云。肉色。右持月形。乘三白馬。後本
持日輪。乘五赤馬。我云。赤肉色
又云。日天肉色。左右手持蓮花。乘五馬車。
著天衣。馬色。後本白馬
梵天七曜經云。其形准梵本如菩薩身。住
赫奕日輪中。而門含咲。頂上圓光五色間
雜。坐寶蓮花。〻底以五碧寶馬駕車。兼以
車人其座身者。身以種〻瓔珞。首戴寶冠
天花鬘嚴身。跏趺而坐。合掌持蓮花
攘災決云。其神形。〻如人而似師子頭。人
身著天衣。持寶瓶而黑色文
具緣品云。左置日天衆。在於輿輅中。勝無
勝妃等。翼從而持衛文
疏云。釋天南置日天衆。在八馬車輅中。并
二妃在其左右。所謂誓耶微誓耶。譯云勝
無勝也。日天眷屬布諸執曜。盎伽在西。輪
伽在東。勃陀在南。勿羅薩鉢底在北。沒儞
沒遮在東南。羅睺在西南。劍婆在西北。計
都在東北。又於南緯之南置涅伽多。謂天
狗也。北置溫迦跋多。謂流火也第一星列名也
祕密品云。日天金剛輪。表以輿輅像。社耶
毘社耶。當知大力者。俱一大弓印。在因陀
羅輪
疏云。日天作車輅印。在金輪中卽是正方
壇也。社耶毘社耶作弓印今在金輪中也可傍大有以前

廣大軌云。右置日天衆。八馬車輅中。二妃
在左右。逝耶毘逝耶。亦云勝無勝。眷屬布
執曜。盎伽在左邊。瑜伽在於東。沒馱在於
南。勿落薩鉢底。置於日天北。沒儞沒遮東
南。羅睺在西南。劍婆在西北。南緯之南置。
涅伽多天狗。北緯之北置。唱伽波多火。摩
利支前行文
安然云。若作別壇。日天二后前爲中台以
七曜爲第二院。唯俗法云。東歲星木南熒
惑火西太白金北辰星水中鎭星土此中
次第與彼相違。一行七曜置亦同俗法也

月天

種子　戰。初怛羅

三昧耶形　月形兎形

印眞言

密印品云。以三昧手作蓮花想玄云觀音半印眞
言曰
曩○戰捺羅引二合也莎訶
普通藏品疏云。戰不死也捺羅卽月名也以初字爲諱
佛眼集云。唵戰上一怛羅二合曩乞灑二合入羅
二合羅惹野名位設底二合賀引
右手作拳安腰。左手五指相著竪之小屈。
其高小許過眉。卽成蓮花中想有潔白月
私云。十二天中印。二十天中印如十二
天
曩莫○沒○素廢里室利ソワカ又唵蘇戶曳ソワカ」

陀羅尼集經云。月天法印咒。反叉二小指無名指在掌中。右押左。直竪二中指頭相著。以二頭指各押中指第三節上。以二大指各捻掌中無名指兩頭。大指來去。咒曰

唵住〻鉢底莎訶

身形

祕藏記云。月天子白肉色。持半月形乘鵝

調定圖云。右手持作月。上有兔。後本持赤器。上有兔。左手屈指當胸。黃色

梵天七曜經云。梵本云。形如兔住素淨滿月輪中。面目和軟。項背放白光。圓坐寶蓮花。〻底以五箇白鵝爲鴛。兼有御車。左右手爲拳。於乳上執一枝青蓮花。右手以大指中捻一寶枝。〻上仰月。〻安一兔。餘如日天

又唐圖云。形如宰相

攘災決云。神形如天女。著青衣。手持寶劍

青龍軌云

具緣品疏云。西南門與日天相對應置月天。乘白鵝車。輅於其左右置二十八宿十二宮神等以爲眷屬

祕密品云。月天迦羅奢。淨白蓮花敷

疏云。月天作白瓶。并有蓮印

月天妃攢陀羅波里縛羅。月天妃依現圖出也

昴畢觜參井鬼柳 東
星張翼軫角亢氐 南
房心尾箕斗牛女 西
虛危室壁奎婁胃 北

圖

東 昴畢參觜 柳鬼井 南 軫張角亢 翼氐星
西 心尾箕中 斗女房 北 婁胃奎危 壁室虛
東 羊宮牛宮 男女宮 南 寶瓶宮魚 宮摩蝎宮
西 蝎宮弓 宮秤宮 北 雙宮師子 宮男女宮

此等爲見會注之。十二神三十六禽等受撿之

若作別壇。以月及后十二宮二十八宿爲中台。以主氐神六時等爲第二院。十二主神如次前左右後四。若用日治六宮。星張翼（宮師子）翼軫角心宮角亢氐（宮秤）氐房心（宮蝎）尾箕斗（宮弓）斗女虛（宮摩蝎）月治六宮。虛危室（宮瓶）室壁奎（宮魚）婁胃昴（宮羊）昴畢觜（宮牛）參井（宮男女）井鬼柳（宮蟹）

天竺曼荼羅二十八宿皆持星印

火天

種子　阿我。建立軌　字

三摩耶形　智火印

印

密印品云。如前以智慧手作施無畏相。以空輪在於掌中。是請召火天印（可思）

（或云左手作拳安腰。右手五指直竪相著屈空指 著掌中。風屈中節與莎訶相捐十二天火印也。二 十天中下 左手異也）

廣大軌云。火天施無畏。大空橫掌中

玄法三軌云。火天空在掌

青龍軌云。偈云。火天空在掌

法云。定印當心。火空相持。如三角形。慧手四輪。空橫掌中。風屈三召

熾盛光軌云。定手仰當心。火空相捻合內。如三角樣。是契名火天。慧手竪四輪。空橫於掌中。風屈三召之。是名火天相

具緣品云。心置三角印

祕密曼荼羅品疏云。請召火印當側中右手。其風指第三節稍屈。又屈空指上節向掌中。先直而屈。是請召也。若屈而還展是發遣也

攝大軌云。火天智無畏。大空橫掌中。請召慧風鉤之（可思）

眞言

曩○阿擬曩（二合）曳莎縛（二合）賀

梵天七曜經云

南無○南阿誐曳ソワカ

護摩軌云

曩○阿我那（二合）曳ソワカ

略出四本云

唵過姑娜曳ソワカ

六本云

唵阿祇那曳ソワカ

佛眼要集云

唵阿誐羅迦嚩僾那娑ソワカ

火羅圖云。火星呪

南莫三曼多勃阿南唵摩利多ソワカ

勸請

先偈　金合

我今稽首請　火天上首尊

天中之大仙　梵行所宗敬
唯願降臨此　納受護摩供
次印　以左手握右手腕。右手舒掌印外
屈禪度右掌中進度如鉤來去招。眞言曰
唵阿誐娜曳醯呬
身形
護摩儀軌云。乘青羊。赤肉色。遶身火炎。右
二手。一持青竹。一持軍持。左二手。一揚掌。
一持念珠。二天女持天花。左右置苦行仙。
左足蹉足云々
建立軌云。身赤髮黃。三目具四臂
具緣品云。左手持數珠。右手持澡瓶
護軌又云。火天四臂。右手施無畏。第二手
持珠。左手仙杖。第二手執軍持
私云。與前異也。廣大青龍玄法等。慧手
定澡形掌印定持杖。青羊以爲座。略出
經同之
祕藏記云。東南方火天。赤肉色。在火炎中。
四手各持仙杖澡瓶數。智火印。乘青羊上已
調定圖云。前本仙瓶也。所々持物。後本同
也。以鹿皮爲裙。有火天身赤色也。四手各
持仙杖澡瓶數珠。智火印。坐青牛
若別行々者
具緣品云。而作大仙像。住於熾焰中。三點
火爲標。身色皆深赤。心置三角印。而在圓
焰中。持珠及澡瓶
疏云。布烈諸火天衆。住火炎中。額及兩臂
各有三灰畫。即婆羅門用三指取灰。自塗
身像也。一切深赤色。當心有三角印。在焰

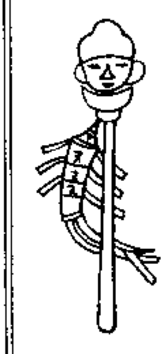
火圓中。此是普門之一身。爲引攝火祠韋
陀梵志。方便開示佛圍陀法。故示此大慧
火壇。修行梵行之標幟也
祕密曼荼羅品云。迦攝騷答摩。末建拏羯
伽婆私倪刺婆。各如其次第。應肅韋陀手。
而居火壇內
軌等云。妃后侍左右
水天 [siddham] 或人云。[siddham]
種子　普。初
三昧耶形
或人云如意寶
印
具緣品云。縛嚕拏龍王。羂索爲印
廣大軌云。羂索內作拳。二風頭圓滿 攝軌同之
熾盛光軌云。定慧內合掌。二風如環相是
水諸龍契上已
義釋云。如前羂索印。是諸龍印。但以左手
作之。即縛魯拏龍王印
安然和尚云。師說云。內縛二風圓屈。爲索
印 對記同之
私付イ本ニアリ 校者曰押紙也
疏云。當以諸大仙而圍遶之。謂迦葉裂
仙等。皆灰畫之。並右火院之中。火院即
三角壇。其中色赤。名赤院也。其印如前
五通仙人說四韋陀印是也。此是梵行
者祕記也。若謂韋陀者見此手印。知是
何論何記何部等也

十二天法云。右手如前。左手握拳。空勿入
掌中。風直豎。中節小屈 或人記同之
眞言
普通藏品云。縛嚕拏龍王眞言
南〇阿半鉢多曳々々々 玄法二三廣大青第同之
疏云。此是大海中龍也。諸龍王同此眞言。
阿半 脯甘反水也 鉢多 是主義也 曳 是助聲 以於水中
而得自在故名水主。以初阿字爲種子
護摩軌云
唵〇縛嚕拏々々々 梵天七曜經同之
以兩手小指頭側相博。二無名指在小指
後。指心相捻。二中指亦然。二頭指蕊捺二
中指背第一節上。仰掌狀如掬水法。以二
大母指各附食指側。大母指來去。呪曰
跢姪他一烏馱去音迦提婆那僄醯々三涉
訶
水天壇樣 檢
水天身印。起立並脚。合掌當眉間。屈二頭
指押二大指頭。結此印者水天身現
身形
護摩軌云。西方水天住於水中。乘龜。淺綠
色。右手執刀。左手持龍索。頭冠上有五龍。
四天女持妙花
胎藏圖云。水天眷屬肉色。左右手執三股
戟。跪向主 今釋股戟 一水天赤色 又云紫色 左手持
花上安星。右手持劍 西南門 水天肉色。左持
索。首有七龍。右手押腰 西北門 水天眷屬肉
色。左手持索。右手一股戟。頭有九龍頭
或人問云。西門南北方俱有水天。有何異

耶
又何所置水大梵號小異
有先德書云。軌云。龍王嚩嚕拏天。狀形女
人狀。龍光龜爲座意如何。答。不明。偸案云。
火天是龍王也。卽名縛嚕拏。其縛嚕天之
形似女人狀。以龍爲頭光。以龜爲座歟。護
摩軌云。水天住水中乘龜。頭冠上有五龍
云〻現見其像。冠上龍頭似頭光形。故一
往云以龍爲光歟
造水天法
陀羅尼集經十一云。以白檀木刻作其像。
身高五寸。似天女形。面有三眼。頭著天冠。
身著天衣。瓔珞莊嚴。以兩手捧如意珠。身
高二寸半亦得。造此像已。安木函內。以錦
囊盛。緊於左臂。諸願悉隨
祕密曼陀羅品云。縛嚕拏羂索。而在圓壇
中。種子字環遶
又云。難陀跋難陀。密雲與電俱。皆具淸渾
色。夾輔門廂衞。在釋師子座云〻
疏云。作圓曼荼羅。取本種子字圍之
上疏云。縛嚕拏是西方護方龍王
疏云。難陀龍兄弟作雲印。雲中有電。復有
水形。俱有壇門邊也
具緣品釋云。於通門第二重廂曲之內置
二龍王。右曰難陀。左曰秡難陀。首上皆有
七龍頭。右手持刀。左持羂索。乘雲而住文
難陀跋難陀 靑玄與言注云兄弟二龍
靑。全玄法等軌云。二龍左右掌。更互一相
加

釋云。以博定慧手。左右相如是
義云。卽以右加左上。是難陀龍王印。迴左
加右。是小難陀龍王也
難陀跋難陀眞言
曩〇難徒鉢難娜曳〻〻〻
廣大軌云。一龍眞言曰
歸命一難那野〻〻〻
普通藏品云。二龍眞言曰
南〇難徒鉢難捺瑜〻〻〻
左掌覆橫置右掌背動之。如雲勢。是難陀
印也。次如先右置左上。是跋難陀印也
諸龍
靑玄等軌云。諸龍覆散掌。二空互相絞。注
曰。前是龍王。此是一切諸龍通用此眞言。
龍噉食雲障。萬像明現。大虛廓然。又起無
盡雲。普雨法雨。或用索印。右手
普通藏品曰。諸龍眞言曰
曩〇南謎伽引設儜曳ソワカ
義云。謎伽是雲義。扇儞是噉食義。曳是助
聲。水天妃嚩嚕抳
定慧五輪舒散並之向外。以慧空鉤定空
〻指端等。次印置頂之名九頭龍印
風天
種子 嚩字 𑖪
三摩耶形 幢幡也 一說師也
印眞言
密印品云。如前幢印。是風天印
疏云。左手側掌屈地水指。此是風幢印

靑龍 與疏無異 玄法等云。縛庾風天幢。智拳地水豎
熾盛光云。定手握爲拳。地水如幢建。想彼
幡搖動。威怒護方隅文
十二天法云。右手如前。左手五指直豎相
著。地水屈中節。卽成。眞言曰
曩〇縛野吠〻〻〻
義釋云。縛野吠。卽是風之正音 二十本云。是佛化身也
胎私記云。慧拳直鉤水。以空押地火風甲。
定拳置腰
身形
護摩軌云。西北方風天。雲中乘麞。著甲冑。
左手托胯。右手執獨股頭創〻上有緋幡。
二天女侍之。并藥叉衆
調定圖云。風天 𑖪 𑖨 𑖪
黑紫色。有手持幢。末有半月形。懸赤幢
風飄颺之形也。左手拳押腰。身著胄等。鬚
髮白長仙形也
勸請偈 金合
我今稽首請 風天及眷屬
唯願淨段此 納立所設供
炎魔天 焰魔羅惹
種子 𑖧 成 𑖧
三昧耶形



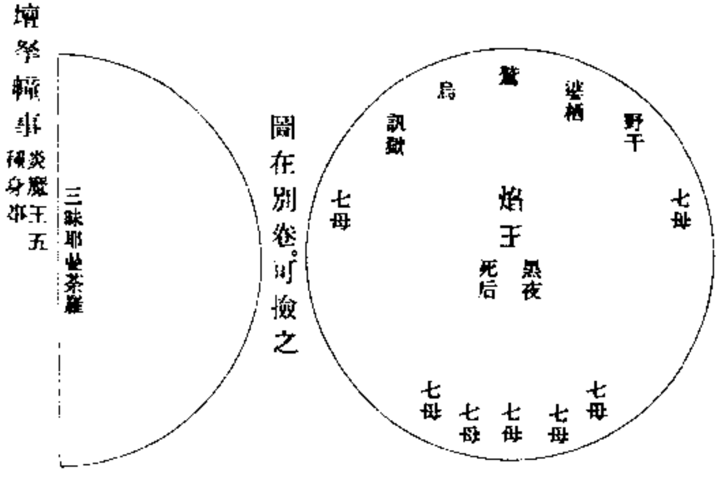
印眞言
玄法二三軌云。焰魔定慧合。地風變入月至空火屈
疏云。亦閻羅王作三補吒。二風二地屈入
掌。令頭聚合。以二空捻二風背節當第二三間異也
其空指頭稍屈令合。以二空當火指是
也。是壇荼印也
密印品云。如前以定慧手相合。風輪地入
於掌中。餘皆上向。是焰魔怛荼印
廣大軌云。閻魔禪智合。地風屈入日
靑龍云。焰魔定慧合。地風變入月
私云。玄法軌疏及密印品廣軌靑軌印
爲同爲異
熾盛光軌云。二手合爲蓮。地風垂入掌。如
同但拏相。名曰死王標
十二天法中云。先合掌。二地屈中節背相
著。二風亦屈背著。以二大指名押風中節
郎成
對受記云。海大德說。文云。焰魔定慧合地
風變入月至空大屈者。合掌二地二風相背入
月。二空從二風上超之相跓二火內第三
節側。意大德說同。權僧正大和尚說。惠珍
兩和上說同
別記云。虛心合掌。三風屈入日。二空自風
上越指火中節。正僧正說。檀那印。合掌地
風入月已上
眞言
玄法等軌云
曩○縛無背反縛娑縛二合多野二合娑縛二合賀

引
私云。初縛字。攝軌作吠。注無愛反
護摩軌云
曩○焰魔摩那ソワカ
略出四本云
唵琰魔曳莎訶
六本云
唵琰魔那〻〻〻
大日經二云。閻魔眞言曰
南摩三曼多勃馱南一梅無蓋反縛娑上嚩
二合哆也二莎訶
身形
護摩軌云。南方焰魔天。乘水牛。右手執人
頭幢。左手作掌。有二天女侍。二鬼使者持
刀捧戟。赤黑色垂右脚
具緣品云。右方焰魔王。手持檀拏印。水牛
以爲座。震電玄雲色
疏云。亦於右方直大日之南作焰魔法王。
手執壇拏印。〻相猶如棒形。上有人首作
於忿怒之狀。以牛王爲座。身作黑玄色云〻
祕藏記云。焰魔羅王肉色。手持檀荼枝。乘
白水牛云〻
胎藏圖云。肉色。左手持壇拏枝。右手與願
手。乘黃牛。後本乘黑牛。色赤色。仰掌出外
也已上
若作別檀者
具緣品云。手秉壇努水牛以爲座。震雷玄
雲色。七母幷黑夜死后等圍繞
廣大軌云。七母幷黑夜。死后妃圍遶。判官

諸鬼馭○荼吉尼定印。爾賀縛觸之
曼荼羅品云。閻魔但荼印。掌處風輪中。設
栗底鉢下。黑夜計都印○當知焰魔后以
設揭羅印。矯吠離耶后用耶跛羅印。如是
等皆在風曼荼羅中。烏鷲及婆栖野干等
圍遶。若欲成悉地。依法以圖之
具緣品疏云。印相猶如棒形。上有人首作
極忿怒之狀。以水牛爲座。身作黑玄色○
閻魔之西作閻魔后及死后。亦是閻魔后
也。東邊作黑夜神及七魔怛里。譯云。七母
皆如女鬼也。其形悉皆黑也
死王亦名死后
王右邊畫死后。以鈴爲印。焰魔明王眷一
切、衆生命
印。對受記云。海大德說用普印。意大德說
同權僧正說。惠和上說同海說也。珍和上
說此印未分明。是五道大神名貢識神。私
云。爛脫本云。死王眞言○亦名后若爾應是
死后。又經及疏有焰王后及死后○王者
是死后也。別記云。死王○金剛合掌。正僧
正說死王云〻
死王眞言曰
曩○南設里二合底野二合吠莎訶
設㗚底野吠。是死義也。死是斷其無始無
明。佛所化現。非眞殺一切衆生也
黑暗后亦云焰魔后。亦名黑夜天。亦名暗夜神。炎魔王侍后也
右邊畫黑暗后。以幢爲印。此幢也梵云計都槍也
二十本云旗也
印。文云。暗夜三昧拳風火並皆申者。慧手

同前。定手作拳。火風申而小屈也。以空著
風側也。大和上說同。惠和上說。定拳申風
火。慧拳安腰
黑夜神眞言
南〇南迦引羅〻引怛利合二曳莎訶
迦羅〻名黑。怛利曳名夜。黑夜闇魚是一
切鬼。於魑魅所引之處。諸生靈等多壞恐
怖衰惱之時。此神於黑夜中威勢自在。亦
能理其眷屬不令非法損惱世間云〻欲
除破無明黑闇中長夜諸障。后等怖畏故
說此眞言也
七母（是焰魔部主諸鬼魅類凡有七姉妹也。爲鬼衆母。一左問拳二嚩吠里三吠瑟拏微四嚩魔哩五印捺里六勞捺里七末羅吽弭此七名皆是眞言今云弃也里毘羅即七母通用也）
疏云。東邊作黑夜神及七魔怛里。譯云。七
母皆女鬼也。其形悉皆黑色
印。別記云。閻魔姉妹有七母。慧拳安腰。定
拳空直立。先安心。次擧頂外（此用七一母印）
密印品云。三昧手爲拳。令虛空輪直上。是
焰魔七母鎚印。七母眞言
曩〇南忙底里合二毘藥〻〻〻
七母等眷屬。謂烏鷲狐及婆栖烏（似鵄少黃土色）
（鷲亦黄足鵄類也。此鳥有秘身法也。凡閻魔王部類皆是在風輪中也）此等並在風輪中。閻邊七
母若持花得此鳥等亦持
七母眞言也
閻魔后妃
疏云。焰魔之西作炎魔后及死后。亦是閻
魔后也
印。文云慧手垂五輪猶如健吒相者。慧手
開散垂下也。以空當於掌中懸之。如鐸子
之形。然後振之
焰魔法王后眞言曰
曩〇南閻建ソワカ
青龍軌云。焰魔后眞言曰
曩莫〇南一嚩哩合二怛野合二吠娑縛合二賀
奉教官（亦云大山府君。蘇廣云判官。青龍玄法等云奉教古人傳云深沙大將也。印金剛合羣此食肉飲血鬼也）
印。海大德說。用金剛合掌。意大德橫僧正
惠珍和上說同
曩〇南引怛羅合二吒鉢多合二野ソワカ
現閻此次有三尊
鬼衆女毘舍遮　普。初。皆餓鬼形。飲血喫
肉之形也
死鬼衆魔斯誐拏　初
鬼衆毘舍戶　無氣息死臥形
拏吉尼（此是夜叉趣攝也。屬摩迦羅一日周遊四域。惠和上說云。荼吉尼者支川攝）
印。先申定掌橫掩兩門（口也）。出舌觸掌中。如
食人血之勢。慧拳按腰。海說云。定掌嚩賀
嚩觸也。嚩賀縛者舌也
拏吉尼眞言
曩〇南一訶去唎合二訶上
或云
曩〇訖利合二訶
私云。司善司惡引命獄卒五道大神九
種餓可攝此中。若作別壇者。此等安第
二院。地獄冥官餓鬼之衆。如次前左右
後別〻（已上有別閻魔之）
又辨才天閻王姉可有此中。但如印





冥道供法云。焔魔王宮庭有一壇。拏幡〻上有一小忿怒面。是則王神魂也。從彼口出大光。〻中出鐵繩而縛非人。衆生修善事時。從壇拏口出生蓮花。出無量香氣。王見如此能知衆生善惡之業。王左右有后妃。東邊有黑夜神。其形黑色也。其前常有地府太山府君。是王凡有五種變化身。定衆生善惡之業。號閻魔正法王。現極忿怒時。號黃泉國主善賀羅王。斷衆生煩惱時。號靜息王。住無縛三昧。能除衆生縛。以理不以非法治罪福無錯。離言絕戲論乘如法王位生死中自在也。日〻率無量眷屬定衆生善惡之業。生業之內。以自在身能濟衆生之病。號天自在王。好殺生非理之事。燒佛像塔等。行爲人非順。又爲如是之人。名死生王 文

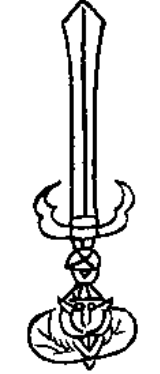
供養儀式

若行者欲修是法者。隨人可設供具。若國王之報盡時。七難必起。壽命報盡時。修是法者。焔魔王削死報之籍付生籍。延其壽命定。隨其願。況化病患夭命。壇中穿一穴。置病人新衣時〻供養之後。能〻加持之。其病卽立平愈。欲延壽命者。兼隷供以伴侶之僧令誦眞言。讀金剛般若經。發廣大慈悲之心可修。若住貪習之意修是法者。王定治罰行者。內壇供者伴侶出後外地以五穀粥施諸眷屬鬼等。紙錢繫竹葉散施。若末世死人之靈託怪。善男子善女人記彼己魂名。別可祈求小忿怒之日。請其性其凡名耶召刑羅之處勿令煩某人〔師問〕若中風病身體不動擲。以大山府君眞言。若暗夜天眞言加持之。則平癒。若欲除眼耳鼻舌身病者。以帝釋眞言加持之。卽得効驗。若欲知死臨之期者。閻王眞言禱乞。夢中告其期。欲生極樂者。誦阿彌陀眞言。卽得往生

羅刹天

種子 [siddham]　泥里底 [siddham]

三昧耶形



印眞言

密印品云。如前渴伽印。是涅哩底刀印

疏云。左手以空捻地水甲上。而申火風並竪之〔私云二十天法印同之 或云左手向外之〕

曩〇羅 入 吃察 合二 娑地婆多曳ソワカ

護摩軌云

曩〇底哩 合二 底曳 合二 ソハカ

胎藏私記云。羅刹天右掌向外。以空押地水甲。直竪火風召。左手置腰。又虛合水內背相著。火及空端相交

羅 入 吃察 合二 娑地婆多曳娑婆賀

義釋云。羅吃灑娑是能噉義。〇常噉衆生無有厭足。如來亦爾。常食一切垢障衆生無有厭足。駄是法界義。加伊字故轉爲地擊〔私云二十本云伊是三昧也所謂法界三昧也〕駄多以住法界三昧故名妙住。如是妙住時。見一切垢障悉入如來藏中。卽是能噉入腹之義云〻

身形

護摩儀軌云。乘日師子。身著甲冑。右手持刀令竪。左手大指押中指小指。赤肉色。二天女侍。左右二羅刹鬼持三股戟

胎藏圖云。大赤肉色。右手執劍。左手結劍印向外。身著甲冑也。天冠前本半跏坐〇後本立左足也

具緣品云。涅哩底鬼王。執刀恐怖形

疏云。於西南隅畫涅哩底鬼王。執刀可怖畏形。是護方羅刹王

曼荼羅品云。涅哩底大刀

攝廣二軌云。執刀恐怖形。身印同竭識。是諸羅刹娑

此軌右羅刹主。刹斯。將兄。羅刹衆四明

青龍軌云。泥哩底方主。號四大羅刹。執刀恐怖形〔慈刀〕是諸羅刹娑。羅刹使羅刹衆印也。蓮合水入月。風竪空火交。及羅刹女等。

先德云。主〔大刀〕羅刹娑〔渴伽〕羅刹斯經羅刹衆准同。羅娑種子。印經及義釋不出壇形。今且依圖作三角壇〔有圖繪之〕

私云。軌云。羅刹娑者說羅刹主歟。若是別疏歟。可尋之。何云是法之

普通藏品云。彌里底眞言曰

羅吃灑沙地鉢多曳〻〻〻

疏云。囉〔垢〕吃刹娑〔食沙是堅義也 都是能噉義也〕

同品經云。羅刹娑眞言曰

吃藍 合二 計履

疏云。次羅刹眞言。即用彼方言爲眞言也」
略出四本云。羅刹娑密語云
唵邏羔娑地婆多曳〻〻〻
六本云。邏叉娑陀羅尼曰
唵邏叉娑地婆多曳〻〻〻之(可思)
安然和尚云。諸羅刹玄法兩卷云。是諸羅
刹娑(乃至)及羅刹女等羅刹斯眞言云〻
如此說者。羅刹娑見說羅刹衆。若依之
者。經疏文如何

地天
種子 𑖢 鉢哩字
三昧耶形 白瓶
印眞言
密印品云。定慧相合。二虛空輪圓屈。其餘
四輪亦如是
攝廣二軌云。地神稱智利八度頭圓合。二
空附如蓋
義釋云。先合掌。其十指頭幷屈而相捻令
圓滿之。空其掌內形如瓶子(二十本云。空指合入掌內形瓶)
(師曰。以二空附二風側。以風而動指之。以印當口也)
十二天法云。先合掌。風以下四指頭相柱。
前方大開。二空各著風側
胎軌云
曩〇南鉢哩(二合)體(丁以反)吠曳(二合)ソハカ
私云。鉢字攝軌或作跛或作畢。吠字作
尾。注作梅。注無蘇反
護摩軌云
畢里(二合)體微也曳(二合)

義釋意云。跛里體曳即地神名。以最後尾
爲種子。地爲萬物所依。一切皆悉因之生
長。如來心地亦爲一切衆生所依處。善種
子由之滋長
普通品之疏云。亦是釋迦方便化身
身形
胎藏圖云。地神赤肉色。左手持鉢盛鮮花。
右手向外舒翻仰。或云。屈火水當乳下。次
地神后肉色。右手抱當心。左手亦抱如與
願契向外股下垂
堅牢地天儀軌云。可畫堅牢地神像法。男
天肉色。左手鉢盛花。右手掌向外。女天白
肉色。右手抱當心。左亦抱當股
最勝經云〻〻

十二天
東北方伊舍那天
東方帝釋天
東南方火天
南方焰魔天
西南方羅刹天
西方水天
西北方風天
北方毘沙門天
上方梵天
下方地天
日天
月天
八方天(除後四天。私云。八方天中四天王供可有取多門無餘三天耶)

護世八天
軌意云。伊舍那天。帝釋天。火天。炎魔天。羅
刹天。水天。風天。毘沙門天
熾盛光軌中東方持國天。除帝釋。叉持
國之次八天中間出乾闥婆意如何

十六天
大自在天。大梵天。那羅延天。都史多天。
帝釋天。日天。月天。火天。水天。木天。金天。
土天。羅天。彗天。地天。淨居天
私云。十六天中何無風天耶
七十提婆法中有歡喜天(如別抄)可問師
之。七十提婆法中更有四大尊印眞言。
又出三部總
眞言印
珍和上口決云。九十二天供位様中。九尊
如常方。次十二天如本方。次七曜(除日月)(地餘四)
(如本方)次二十八宿如本方。師說更加隨時

本尊
護世八天法云
中位觀四臂　不動忿怒王
兩手金剛拳　風地曲如鉤
以安口兩邊　右鉤在持索
須彌山爲座　身外現八峯
銳利金剛輪　洪滿紺青色
蓬頭垂髮索　威焰如劫燒
勢如驟吽擎　赫奕無能對
摩羅及鉢底　攝怖而奔竄
乘昔大精力　現此暴惡形
吞噉諸障惱　安慰修行者

眞言曰（慈救呪也）

三兄弟四姉妹如法（八家錄理趣釋兩收）

理趣經云。爾時末度迦羅天三兄弟十四親禮佛足獻自心眞言。娑縛（二合入）（乃至）

理趣釋云。爾時摩度羯羅天三兄弟等（乃至）眞言者。摩度羯羅三兄弟是梵王那羅延摩醯首羅之異名也。薩縛字者。薩字則一切法平等如虛空。縛字一切法言說不可得也。此天亦有曼荼羅。〻〻〻畫如弓形。三天次第而禮儀軌法則如廣經所說。爲文繁不復具引。此三天表佛法中三寶三身。佛寶者是金剛薩埵。法寶者觀自在菩薩。僧寶者是虛空藏菩薩。此三寶者皆從毘盧遮那心菩薩心中流出。亦名三法兄弟。以事顯理（已上三兄弟集會）

經云。爾時四姉妹女天獻自身眞言。唅

釋云。爾時四姉妹女（乃至）眞言者。其第一名惹耶。第二名微惹耶。第三阿爾多。第四阿波羅爾多。此四天亦有曼荼羅。中史畫都牟盧天。此天四姉妹之兄也。東西南北各畫一天女。其軌則如廣經所說。四姉妹者表瑜伽中四波羅蜜。所謂常波羅蜜。樂波羅蜜。我波羅蜜。淨波羅蜜是也。都牟盧表毘盧遮那佛。含字眞言者。一切法因不可得。其中帶莽字。詮一切法我不可得。卽成實相般若波羅蜜。若欲修此天法者。與此字相應。亦契世間出世間三摩地。威德自在。一切見者皆得歡喜。所出言調所求一切皆從命

私云。今四姉妹異在胎藏（已上四姉妹集會品　文殊會中受檢之）

七曜九執　七曜圖在別

日曜　歲德　太陽

種子

三昧耶形　○（星形也）

印眞言等皆如上

密印釋云。以定慧手顯現合掌。屈虛空輪置水側。是日天與輅印（疏可見之）

祕密曼荼羅品云。日天作車輅印。在金輪中正方壇也。日天眞言

阿儞怛夜ツワカ（此等文要如上）

日曜日精。名太陽。胡名密。波斯名曜森勿。天竺名阿儞底耶。

曩○南阿從底也（二合）室里（二合）ソワカ

依瑜祇經開七曜眞言爲易受持

月曜（月曜。月精。名太陰。胡名莫。波斯名婁禍森勿。天竺名蘇摩）

種子

三昧耶形　星形

印眞言皆如上

密印品云。以三昧手作蓮花想。眞言

曩○戰捺羅（二合引）也莎訶

印眞言等如上

或云

曩○南索摩室里ソワカ

南方火星（熒惑大將軍）

種子

三昧耶形　刀形

印眞言

左手作拳安腰。右手五指直竪相著。屈空納著掌中風屈中節。與莎縛相招（十二天中火天）

（印也二十天中印左手異也）

佛眼要集云

唵阿誐邏迦阿嚕擬野（名位）娑縛（二合）賀

或云

曩○南阿擬羅迦室里（二合）ソワカ

火羅圖云。神形如外道騎冠。四手執刀劍

私云。畫圖右一手持鉾。一手時箭二支。

右手持刀。一手持弓虎皮爲裳。開足立

火曜火精。名熒惑。胡名雲漢。波斯名執森勿。天竺名鴦誐羅迦（疏云夫迦）

火羅圖經云。一名南方熒惑星。一名四討星。一名雲漢

梵天七曜經云。梵本云。形如少狀大夫。面目嗔怒。著豹皮衣裝束。右手抱刀。左手忿怒五指。鬚髮竪灑。其身赤色。首戴金兜季。火星之像也

攘災決云。神形如象。黑色。向天大呼

又云。其神作銅亦赤色。貌帶瞋。驢冠著豹皮裙。四臂。一手執弓。一手執箭。一手執刀（云〻。今一手可見之。不見之。恐本有云落歟）

北方水曜（辰星。[illegible]刑。水精。名辰星。胡名嘀。波斯名制森勿。天竺名部多。疏云勃陀。火羅圖云。一名北辰。一名兔星。一名滝星）

種子　或

三昧耶形　索印

印

二羽內縛竪合二頭指

安然云師說云內縛二風屈爲索印
佛眼集云此方水星眞言
母馱曩乞殺合二怛羅合二娑縛弭曩位名契奴
娑縛賀十二天中作卜土
火羅圖云水星呪
唵但悉怛姪他利多崖紫儞帝ソワカ
或記云水曜眞言
唵部陀曳ソワカ
或云
曩〇沒馱室里合二ソワカ
梵天七曜經云梵本云形如字生兒童子
著青衣乘青驄馬天衣珠寶裝飾水星之
像也
攘災決云神形如黑蛇有四足而食蟹
又云其神如人著青衣帶猿冠手執文卷
火羅圖云其神形如女人頭戴猿冠手執
紙筆
私云圖畫右手執筆左手執紙開左右
手立
東方木曜歲星大歲木精名歲星胡名鶻勿斯波斯名本森勿天竺名勿里呵波底火羅圖云鶻勿斯者是歲星東方木精一名播提
種子
三摩耶形　鉢印
印　用鉢印
佛眼要集云東方木星呪曰
唵婆羅合二阿薩鉢底曩摩比路一縛曩合二
野摩攞嚩馱合二寧娑婆賀
火羅圖云木星呪
曩〇南唵印那羅野莎訶梵天七曜釋說同之

或記云木星眞言曰
唵苾栗賀颯鉢底曳ソワカ
或云
曩〇南沒羅賀娑摩合二底室哩合二ソワカ
身形
梵天七曜經云梵本云形如長君子著禮
衣帶冠冕乘一黑猪面目仁者如今之刺
史事諸使也
攘災決云神形如人身龍頭著天衣隨四
季色
又云其神如老人著青衣帶猪冠容貌儼
然
火羅圖云其神形如卿相著青衣戴冕冠
手執花菓
私云畫圖胸間左右手相並盛花一坏
立
西方金星太白歲殺金精名大日胡名那頡波斯名數森勿天竺名戌訖羅火羅圖云那頡者是太伯星金精也一名伯一名長庚一名那頡
種子
三昧耶形　星形〇
印眞言
二羽內縛舒竪二中指叉之但慧中指稍
屈也
佛眼要集云
唵戌上羯羅誐馱縛合二羅嚩合二邏惹野位名
室哩迦里合二娑縛合二賀引
火羅圖云金星呪曰
曩〇南唵吠尾野薩縛賀
或記云金曜眞言

唵驁伽迦耶ソワカ
梵釋七曜經云金星眞言
唵摩訶賛尾野多ソワカ
或記云
唵朱羯攞那ソワカ
或本云
唵戌誐里室里ソワカ
身形
梵天七曜經云梵本云形如婦人裝以綵
衣面目笑乘
攘災決云神形天女手持印騎白鷄
又云其神女人著黃衣頭戴鷄冠手彈琵
琶
火羅圖云其形如女頭戴首冠白練彈絃
私云畫圖左手執比巴頭右手彈絃
中方土曜鎮星歲破土精名鎮星胡名枳院波斯名翕森勿天竺名捨惹羅或除乃以室折羅疏云設儞設遮
種子
三摩耶形　星形〇
印眞言
佛眼要集云
唵捨泥殺作合二羅曩乞殺合二怛羅合二跛羅
訶曩摩嚩沙野位名普瑟底合二迦娑縛合二賀
火羅圖云土星呪
曩〇南唵賛吠曳ソワカ
或記云土星呪
唵珊尼折羅耶ソワカ
梵天七曜云同火羅圖說
或本

唵捨泥乞叉尼攞莎呵
或云
唵舍泥舍羅〻始制帝室里ソワカ
或云
曩〇南捨彌始戰二合羅始制二合帝室哩二合
ソワカ
身形
梵天七曜經云。梵本云。形如老波羅門師。手執錫杖。著黑袈裟。乘一里牛。衣以金疏
裝束。土星之像也
攘災決云。神形如婆羅門。騎黑沙牛
又云。其神似婆羅門。色黑頭帶牛冠。一手柱杖。一手指前微曲腰
火羅圖云。其形如婆羅門。牛冠手錫杖
私云。畫圖右手執錫杖。左手立臂申掌
執乘牛
七曜總印
瑜祇經云。二羽金剛掌。以檀慧內相鈎。戒方變屈入掌。忍願合如本。屈進力各捻忍願上節。以禪智各捻忍願初文。是金剛吉祥印
眞言曰
唵縛日羅室哩二合摩訶室里引二合阿引儞
底也二合室哩引二合素麼室里引二合盎誐引羅
迦哩引二合母陀室里二合沒羅二合賀娑破
二合底室里引二合戍羯羅引二合室里舍儞始者
二合羅始制二合帝室里引二合戸迦三戸曳室
里二合娑縛二合賀引
羅睺星（火羅圖云。一名羅睺。一名黃幡。一名太陽。一名蝕神頭。云〻）
種子

三昧耶形　星形〇
印（用一切執曜印）
眞言曰
唵羅引戸曩阿素羅邏惹野塞摩捨親曩
野（名位）扇的迦里娑縛二合賀
或記云。羅睺星眞言
唵過羅康耶莎〻〻
或本云
唵羅睺曩ソワカ
身形
火羅圖云。三面首九蛇乘雲
私云。畫圖雲中出三頭忿怒面。頭上出
一蛇
計都星（尊星天。火羅圖。一名豹尾。一名蝕神尾。一名太陰首）
種子
三昧耶形　星形〇
印（同用一切執曜印）
眞言曰
唵縛日羅二合計都曩引乞殺二合怛羅邏惹
野（名位）娑縛賀
或記云。計都星眞言曰
唵鷄都曳ソワカ
或本云
唵計都曳ソワカ
身形
火羅圖云。三頭首在三蛇頭乘雲
私云。畫圖雲中出三忿怒面。三頭各出
一蛇
九執印眞言

攝大軌云。定慧輪頭合。空建置於心。九執
之印相
一切執曜印眞言曰
南摩三曼多勃馱南一蘗羅二合醯涅隸二合
履耶二合鉢羅引二合鉢多彌底丁反以摩耶三
莎訶
靑龍七曜十二宮神九執眞言之印注云。定慧手相合。空微屈離火輪云〻
玄法等軌云。九執二羽合。空輪並而申
密印品疏云。次二手合掌。二空指亦並極
礫之。令與餘指相離。訖栗何印也（此別是一趣非）
（人非鬼也能恐怖人非人所持者是也是曜若近宿卽合取九執爲定）
問。何九曜名執耶。又何九執中羅睺計
都不亘日耶
孔雀經云。日月及熒惑。辰歲幷太白。鎭及
羅睺彗。此皆名執曜
大日經云。執有九種。卽是日月火水木金
土七曜。及與羅睺計都。合爲九執。羅睺是
交會食神。計都正翻爲旗。〻星謂彗星也。
除此二執之外。其餘七曜相次直日。其性
類亦有善惡。如梵曆中說
宿曜經云。日月天俱以五星爲摩佐云〻
大日經疏云。執者梵音紇哩何。是執持義
又云。梵音渴迦是執持義
又云。蘗魚列反里何者亦是別名也。經云鬼
魅所著。或云。非人所持智度著囊。皆是蘗
哩何鬼所作。以著人不相捨離故。以爲名。
其日月五星等恐以終始相隨故。梵語名
蘗哩何。翻爲九執。正相會一處。天竺曆名

正著時此執持義

建立記云。五星者。一者歲星。二者熒惑。三者鎭星。四太白。五辰星。加日月名七曜。遊空天。加羅睺計都名九執。或號九曜云云

疏云。就九執中。日喻本淨菩薩心。即是毘盧遮那自體。月喻菩提之行。白月十五日衆行圓滿喻成菩提。黑月十五日衆行皆盡喻般涅槃。中間與時昇降喻方便力。當知已攝百字明門也。土曜持中胎藏。水持右方蓮花眷屬。金持左方金剛眷屬。木持上方如來果德。火持下方大力諸明。復次如是五執即持五色蘇多羅。土爲信。木爲進。金爲念。水爲定。火爲慧。其餘二執。羅睺主爲覆障。彗星主見不祥。故不直日也

已上提婆抄 (但私聊再治領與本書異也)

北斗七星文

妙見 尊星王

種子 蘇字

三昧耶形

星形

印眞言

右手作施無畏。屈大指向身招之三度。左手作金剛拳安腰。根本眞言曰

目訖帝區蘇吒阿曬術吒烏都吒具者吒波賴帝吒耶彌惹吒烏都吒物羅帝吒者摩羅吒涉訶

奇妙心眞言

唵蘇涅里(合二)悲多涉訶

讚

曩謨寠都菩多耶曩謨寠都菩多曳曩謨寠都目訖多耶曩謨寠都目訖多曳曩謨寠都戰多耶曩謨寠戰多曳曩謨寠觀尾目訖多耶曩謨寠都尾目訖多成

身形

妙見菩薩。左手持蓮花。花上作北斗七星形。右手作法印。五指並舒向上。以大母指捻頭指頭側。手掌向外。天衣瓔珞珥璫釧莊嚴其身。五色雲中結跏趺坐。眷屬圍繞

或人云。北辰者即是妙見菩薩也。我朝之人急難之時。圖繪形像歸依渴仰。靈異不虛作。外國佛師圖繪妙見像時。頭光上並身左右畫點北斗七星。今尋思其由。北極在紫微宮。最中北斗在大微宮之北。運轉四方圍繞北辰。若是表彼相歟

七佛所說神呪二云。我北辰菩薩名曰妙見。今欲說神呪擁護諸國土。所作甚奇特故名曰妙見。處於閻浮提。衆星中最勝。神仙中之仙。菩薩之大將。光目諸菩薩。廣濟諸群生。有大神呪名曰胡捺彼 (晉言擁護國土佐諸國王消除災却敵莫不由之)

目低帝區蘇吒阿若術吒烏都吒具者吒波賴帝吒耶彌若吒烏都吒物羅帝吒者摩吒涉呵

我於過去從諸佛所。得聞說此大神呪力。從是以來經七百劫。住閻浮提爲大國師。領四天下。衆星中王。得最自在。四天下中一切國事我悉當之。若諸人王不以正法任用臣下。心無慚愧暴虐濁亂。縱諸群臣酷虐百姓。我能退之。徵召賢能代其王位。若能慚愧改惡修善。若能任善退諸惡人。其心弘廣普慈一切。容受極濟猶如橋船。苞含民類猶如父母。國有賢能當徵召之。敬賢尊聖如視父母。王自躬身臨朝斷事。不枉民物猶如明鏡。若其國王能修其德。改往來悔前所作。慚愧自責鄙悼愆咎。自悔責已當修三德。一者恭敬三寶。二者憐愍貧窮。國有孤老當撫恤之。三者於怨親中心常平等。稱理怨枉不枉民物。若能修行上來諸德。我時當率諸天大王諸天帝釋伺命都尉天曹都尉。除死定生滅罪增福益算延壽。白諸天曹善諸善神一千七百。邏護國界守護國土。除其災患滅其奸惡。風雨順時穀米豐熟。疫氣消除無諸強敵。人民安樂稱王之德

七星

午 巳未 辰申 卯酉 寅戌

破軍星 金太白。斗女虛危。小豆。芥。赤黃白

武曲星 木歲。心尾箕斗。大豆。李。赤黃白

廉貞星 土鎭。角亢氐房。麻。粟。赤黃白

文曲星 火辰。星張翼軫。麥。桑木。白黃白

祿存星 大熒惑。參井鬼柳。稻。梔木。白黃白

巨門星　月。胃昴畢觜參、槐木。白黄白

丑亥　子

貪狼星　日。室壁奎婁。桑。樹木。黒青赤

種子

[梵] 吠貪　[梵] 多羅巨門　[梵] 佉祿存　[梵] 破羅文曲
那武曲　老破軍　咄盧廉貞星

涅槃玄云。如七曜環北辰。似萬川之注東
海

印眞言

北斗七星軌云。虚心合掌。以二大指捻二
無名指甲。二中指二小指如蓮葉。二頭指
小開來去。次誦一字金頂輪王眞言幷召
北斗七星眞言。頂輪眞言曰
曩莫三曼多那羅ゝゝ破左羅吽
召北計眞言曰
曩莫三曼多那曩翳醯枳頗伊賀伊那伊
迦伊羅讃羅合二哆羅伽羅唅婆縛賀
謂北斗七星者。日月五星之精也。嚢括七
曜照臨八方。上曜於天神。下直于人間。以
司善惡而分禍福。群星所朝宗。萬靈所俯
仰。若有人能禮拜供養長壽福貴。不信敬
者運命不久。是以祿命書云。世間有司命
神。每至庚辛日。上向帝釋所陳說衆人之
罪惡。重罪者則撤算。輕罪者則去紀。算盡
紀失郎至命亡。是故如來爲末世薄福短
命夭死衆生故。說是一字頂輪王召北斗
七星供養護摩之儀則。爲供養者令其屬
星數削死籍還付生籍之

又北斗七星眞言
唵颯路而齒合二曩野作惹密惹野合二染普
他摩婆縛合二弭曩位名羅訖山合二婆縛覩婆
縛賀引
貪狼星呪　子　大白衣千手聖觀音
唵吠都迷莎訶
又曩○南引智羅布哩合二尼迦曳婆婆賀
或本云。智羅布尼羅伽他曳ソワカ。或金剛合掌當額
唵陀羅尼ゝゝゝ吽　或本。唵都迷ゝゝソワカ
巨門星　亥丑　馬頭
唵那盧加呼盧遮伽沙訶
或本
曩○南多羅多羅多羅賀尼婆婆賀　或本云。唵
多羅ゝゝ賀尼ソワカ。金剛合掌當面
或本
唵倶普陀羅吒呵　或本云。那盧加呼盧陀ソワカ
祿存星　戌寅　不空羂索
唵那都思盧遮伽莎訶
或本云
曩○南迦哩賀哩夜唎尼婆婆賀　或本云。佉伽呵
ゝゝ耶羅尼ゝゝゝソワカ。金剛合掌當左眼
或本云
唵婆羅陀哆伽鉡　或本云。那都思盧遮伽ソワカ
文曲星　酉卯　十一面
唵婆帝那吉那盧婆訶
曩○南鉢羅ゝゝ婆夜羅ゝゝゝ尼婆孁
賀　或本云。破羅ゝ破耶羅ゝゝソワカ
或本云
唵伊利陀羅吒吽　當前鼻印

廉貞星　申辰　水面觀音。深沙
唵咄都盧陀沙訶　或本。唵咄吒羅尼唵。印當左眼
曩○南迦迦迦引哩賀ゝゝ夜唎尼婆婆
賀
或本云
曩○南迦ゝ左里賀里那羅ゝゝ讃羅含
ソワカ
武曲星　未巳　阿嚕力迦觀音
唵那婆吉那莎訶
或
曩○南到ゝゝ力迦ゝゝ左里賀夜哩尼
ソワカ
或本
唵到ゝゝ力ゝゝ伽ゝ呵ゝソワカ　或本云唵
誐都唵吽。印當口
破軍星　午　虚空藏
唵朱嚧沙訶　或本。唵婆娑陀吒吽。印當頂上含
或
曩莫○南婆底多羅婆底婆利ゝゝ摩訶
婆利尼利尼ソワカ
或
唵縛帝ゝゝ多羅縛帝婆里ゝゝ摩訶婆
里佐利ソワカ
或
次壇東方觀貪狼星。謂大白衣千手觀音。
右羽旋頭。眞言
南莫三曼多沒馱南唵貪狼星耶娑婆呵
次觀寅方巨門星體。謂馬頭尊。左羽大指
押頭指甲。持寶瓶勢。眞言曰

唵巨門星耶娑婆呵（有歸命）
次觀丑方祿存星體。不空羂索。蓮花合掌
在當胸上。眞言曰
唵祿存星耶娑婆呵（有歸命）
次觀子方廉貞星體。水面觀音深沙大王。
觀羽直開滿月額押。眞言曰
唵廉貞星耶娑婆呵（如上）
次觀亥方武曲星體。阿嚕力迦觀自在尊。
觀羽直中右膝上覆。眞言曰
唵武曲星耶娑婆呵
次觀戌方文曲星體。獨諦觀音謂十一面。
觀羽作拳。空緊如幖。眞言曰
唵文曲星耶娑婆（合二）賀
次觀頂上虛空中間在破軍星。虛空藏尊。
右手五輪開如蓮花。置覆頂上。眞言曰
唵破軍星耶娑婆（合二）賀
或人次第云。山階寺坊忠僧都弟子南池
別當增利。以之延喜九年八月十六日傳
授蓮祐之　私云三昧和尚北斗御修法
時。御加持番僧等儀軌所出召北計呪令
讀之　北斗小呪
唵頞路那羅野莎縛賀（北斗小呪。師說云。護摩時用之）
儀軌云。我今爲未世薄福衆生。故說是北
極七星供養護摩次第儀則
又云。以手取命木及穀丼蘇密油等。擲之
於爐內火燒之。目觀其本命之星。若動搖
變色光色黃白者。卽爲應願如求。卽依前
法七日夜而爲之。必應如事不卽其星藏
沒不見（決云不可求也）

屬星妙文云。凡病者不見輔星屬星者。病
者必死亡。神光不視者。病者卽必死亡（文）
神光者是何。師云
又軌云。先啓詞曰。至心奉啓北極七那羅
貪狼巨門祿存文曲廉貞武曲破軍尊星
爲施主ム災厄解脫壽命延命得見百秋。
今作曼荼羅。願垂哀降臨此處。納受護摩
擁護施主（某甲）災難解脫壽命增長所願從
心（三反）
七星名北斗北極意如何
五行大義云。今誠圖云。北斗者居陰布陽
故稱北斗也
黃帝魏石氏云。北極者北辰也（云云）呂氏
云。北極者北辰也
要錄云。北極一曰北辰。論語云。爲政以德。
譬如北辰居其所而衆星拱之（云云）馬融
云。大極謂北辰也
七曜七星同異事
北斗軌云。北計七星者日月五星之精也
或人云。以此文而知。北斗者是七曜也。
而未知以其星而爲其曜焉。今依天文
要錄等說機得首尾（云云）私云。師云。以
七曜總呪爲北計總呪（云云）
義淨三藏屬星祕法云。昔北天竺月氏國
迦羅王。受病苦痛。將超三歲。千萬方術無
所可贖。于時呼大虛空。大王宿世犯逆罪。
今因業報病。欲除病延命。哀愍黎庶須治
屬星法。其法祕藏。北征七千八百里修羅
仙人隱處石窟。若有修此法。更還三魂七

魄卽入大王身。必可獲得金剛寶壽者爾
時降勅開駟馬象府。三台輔臣一時同騎
連連並馳。百二十日內到仙人石窟跡。絕
無人。更登巖嶺。辯持法沙門勅陳事旨隨
身歸王城。經三夜每至三更。盡珍異寶敬
修此法。大王病苦自然除愈感仙壽也。于
時慶賀之心傾七寶。府馱三千馬布施遍
國。是以五天諸國王號無價寶珠。常頂戴
之。十六大國王稱祕密法。制出他界。發鳩
摩羅什悟越昔聖惠挺今賢情存傳法從
龜茲國而傳漢地也
又云。夫屬星法。過去七仙已說。賢劫諸佛
今說。得益者不可勝計。來世佛當說之
或論者曰。佛在和提國說招魂大乘經。未
說屬星經。何稱三世佛說耶。答。未見大寶
積經大集經等之蹤。偏發此疑了攀短促
命。彼招魂經說二十八宿運度。此則同屬
星法也　問。觀招魂法與屬星法各殊途。
何得稱一法乎。答。神珠在掌。衆寶隨意。屬
星延命魂還其身。豈守一隅迷餘方哉
問。四苦之中有病苦死苦。若稱招魂則屬
星者可無病死二苦別。答。除病法與延命
異名同體。死者雖定業。如來說中夭也。除
非命則得延命。除病延命。非謂分途而已。
問。禮曰。天子祭天地。諸侯祭社稷。大夫祭
九禮者。然則凡夫輙不可祭天。答。昔漢朝
風襲戰軍勝。卽天子位因三祭階。今就息
災祭天無防焉

成菩提集第四之二終　永範類聚

寶暦十庚辰八月六日於延暦寺東塔
南溪吉祥院寫請得全本云爾
遍照金剛　實鑁

成菩提集第四之三

永範類聚

皇帝所遇七星圖事

大唐開成四年暦出之

皇帝遊於終南山。忽見一女。披髮身著素衣。山中遊行。皇帝問曰。是何女人乎。答曰。吾姉妹七人。是北斗七星。管。不問男子女人。生下使屬吾管。帝曰。朕亦屬鄉管。女曰。陛下貴賤有殊。人命一般亦屬吾管。皇帝曰。朕願事仙者得否。女曰。夫事吾者。夜間北斗出後各總北斗合掌禮拜。一生中無横惡之事。大小便及穢惡事。並不得向北。緣吾姉妹在北陰之管。不忍見穢惡之事。世人犯者。所以貧窮。又多疾病事。吾今化本身及星位令萬姓知委凡人向北不可大小便之旨。是在此文一

問

儀軌云。若諸國王於自宮中作曼荼羅。如法護摩禮拜供養。北斗歡喜爲擁護。故久居勝位恒受安穩。后妃夫人後宮婇女王子群臣三公百官上下和穆。不行非法。人民熾盛。禄穗豐饒。國土安寧。無有災難。不現異怪。疾病死亡不起。境內怨敵群賊自然退散。故以是法甚爲祕要已上

二十八宿

種子 𑖦 嚕

三昧耶形 ○星形

印眞言

密印品云。先作三補吒。其二火指二空指皆相交。右壓左。是一切宿印

南摩三曼多勃馱南一娜乞灑合二怛羅合二儞入嚢捺儞曳三莎訶

護摩軌云

南○諾乞灑怛羅涅那儞曳ソワカ

玄法兩三卷靑龍等軌云。二十八宿眞言曰

嚢莫三去曼多沒馱南引唵阿上瑟吒合二尾孕合二去沒底南諾乞察合二怛羅合二毘藥儞嚢類去揥計吽惹沙ハカ

普通藏品疏云。那乞叉合二多羅諸宿也涅那二合諸聲也逹儞曳食也食諸聲

密印品義釋十云。那是空義。乞叉曳是盡義。謂一切除盡也。𑖦羅如前。是垢等義。准玄云。謂食諸障垢也

熾盛光軌云。請召二十八宿眞言曰

嚢○一唵阿上瑟吒合二尾孕合二設底丁以反南二諾乞察合二怛曬合二毘藥合二儞嚢捺類七曳揥計吽引弭鉴縛合二賀

陀羅尼集經云。星宿天法印呪。先仰左手。右逆覆左手相叉。以右手無名指頭累押左手中指內根節。以右中指押左無名指內根節。復以左無名指逆累押右中指內根節。以左中指頭捻右無名指內根節。總綟正如索。以二小指直豎頭相柱。以二頭指舒直頭相柱。以二大指向身頭相柱。開大指來去。呪曰

唵一那刹蹃羅二提婆蹃曳三莎訶
對受記云海說文云宿密火空交者堅實
合掌二空二火相交餘指金合大師記云
合掌二空相並直竪去風本是名宿曜普
印不改此印二空二火相叉外縛故云交
也意大德說同海本說但餘指全合處云
令指付手背是一切宿印缺大師記也權
僧正大和尚說惠和上說同海本說(但二空)
(火小相交)珍和尚同海本說(但二空火云二空叉源)別記云交
請二十八宿爐心合掌二空與風本合相
去是諸宿通印也正僧正說同海本說
對受記又云私云諸儀軌中未見一切宿
印若別〻用印眞言者一〻梵號上加歸
命句下加地波多曳娑婆賀句其印同用
一切宿契
五大尊法中出二十八宿眞言
角宿呪
唵質多羅(合二)娑婆賀　南質多羅
亢呪
唵薩婆(合二)底〻〻〻　軌云執曜衆徵舍
佉
氐〻〻
房〻〻
唵阿拏羅陀〻〻〻　西七曜衆
心〻〻
唵逝瑟吒〻〻〻　尊
尾〻〻
〻暮羅〻〻〻　辰怖羅
箕〻〻

〻富盧跋(合二)阿娑荼〻〻〻　杏阿叉荼
斗〻〻
〻烏陀羅阿娑怒〻〻〻　大光摩訶帝
惹
牛〻〻
〻阿基何〻〻〻　對生巧毘爾入
女〻〻
〻失羅(合二)婆耶〻〻〻　寂
虛〻〻
〻陀儞〻〻〻　北愛財馱儞瑟吒
危〻〻
〻失多毘沙〻〻〻　百藥耆多毘叉
室〻〻
〻富樓婆(合二)跛陀羅(合二)〻〻〻　賢瓶婆
捺羅婆那
壁〻〻
〻烏多跋陀羅(合二)〻〻〻　多羅(或圖或有圖但無無)
(梵號)
奎〻〻
〻麗婆底〻〻〻　執曜衆隷縛底(軌本方曜)
婁〻〻
〻阿涅毘膩〻〻〻〻　阿涅毘尼
胃〻〻
〻婆羅尼〻〻〻　滿者多羅尼
昴〻〻
〻基羅底〻〻〻　東作者
畢〻〻
〻路基那〻〻〻　木者
觜〻〻

〻娑里(合二)乘失羅〻〻〻　烏頭沒哩疑
婆羅叉
參〻〻
〻阿引多羅〻〻〻　米濕阿那羅訶
井〻〻
〻富那樓婆(合二)〻〻〻〻　服財布那縛素
鬼〻〻
〻富沙〻〻〻　增益布惹耶
柳〻〻
〻阿失麗〻〻〻　不染阿竟攞惹
星〻〻
〻沙伽(合二)〻〻〻　南摩訶
張〻〻
〻富婆〻里求(合二)尼〻〻〻　果德鉢羅
讖爾那
翼〻〻
〻烏多羅跛里求〻〻〻　間錯爾多羅
軫〻〻
〻唵質婆多(合二)〻〻〻　訶悉多
或處云或云
昴宿
唵毘奢延舍〻〻〻　唵訖栗底迦耶〻
〻〻
畢〻
〻車鉢闍鉢底〻〻〻　〻尸魯醯儞耶
〻〻〻
觜〻
〻毘梨伽羅尼〻〻〻　〻筏㗚伽尸羅
耶〻〻〻

參〻 〻盧醯底耶那〻〻〻 〻頗達羅曳〻 〻〻
井〻 〻婆私瑟吒〻〻〻 〻補捺伐蘇耶〻 〻〻
鬼〻 〻苾利訶颰撥底〻〻〻 〻布灑曳耶 〻〻〻
柳〻 〻頭毘舍〻〻〻（已上東方七宿） 〻阿失麗耶〻 〻〻
星〻 〻瞿必略耶那〻〻〻 〻莫伽曳〻〻 〻
張〻 〻杵婆藪〻〻〻 〻皮留彼發嚕窶拏 耶〻〻〻
翼〻 〻耶摩神〻〻〻 〻烏怛羅曳耶〻〻 〻
軫〻 〻婆毘怛利〻〻〻 〻阿悉須曳〻〻 〻
角〻 〻僧伽羅耶那〻〻〻〻 〻質多羅曳〻 〻〻
亢〻 〻迦旃延尼〻〻〻 〻薩婆底曳〻〻

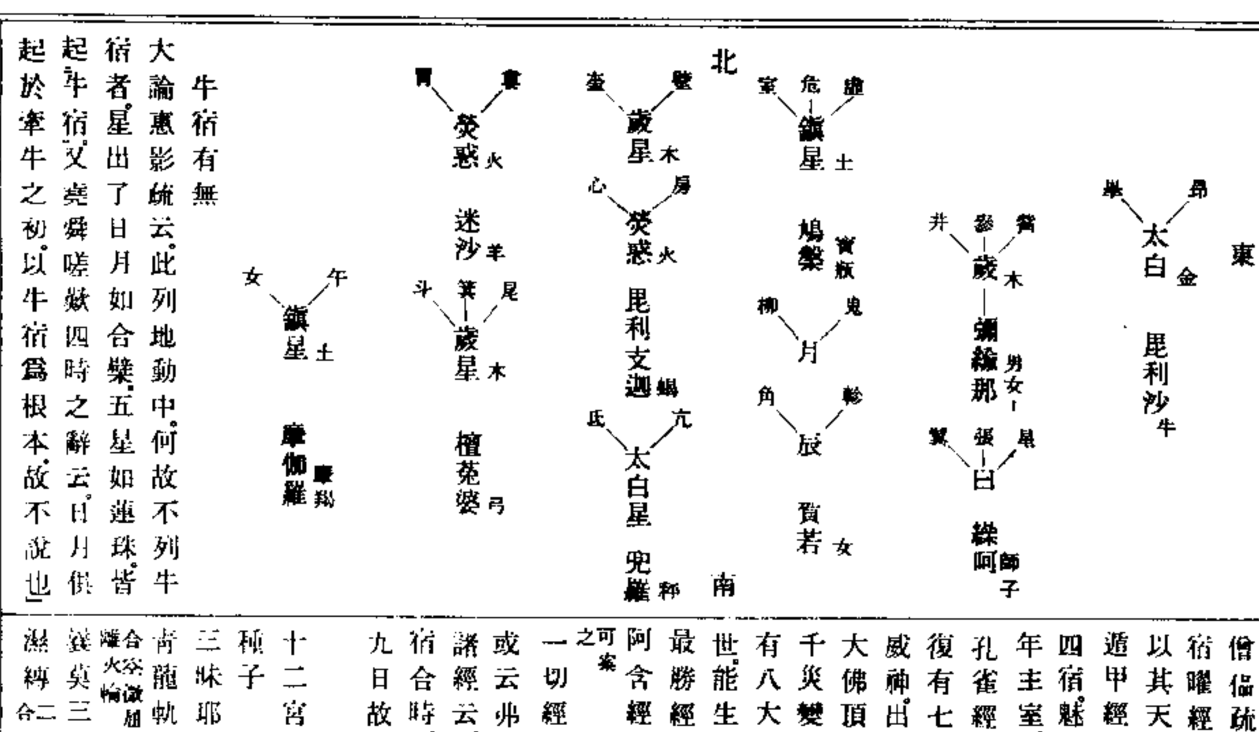
氐〻 〻因陀羅祇尸〻〻〻（已上南方七宿） 蘇舍佉 曳〻〻〻
房〻 〻羅多毘耶〻〻 〻阿奴羅地跛耶 〻〻〻
心〻 〻僧訖利底耶那〻〻〻 〻逝瑟佗曳 〻〻〻
尾〻 〻迦底耶〻〻 〻暮羅攞曳〻〻〻
箕〻 〻刺婆耶尼〻〻〻 〻皮留皮訶娑暮 〻〻〻
斗〻 〻鞞耶羅那〻〻〻 〻烏怛羅訶娑拏 〻〻〻
牛〻 〻奢那耶〻〻 〻阿委里朽曳〻〻 〻
女〻 〻格毘蘇細〻〻〻（已上西方七宿） 〻室羅末 拏耶〻〻〻
虛〻 〻婆杉迦耶〻〻〻 〻但儞瑟佗耶〻 〻〻
危〻 〻婆魯那〻〻〻 沒多婢灑耶〻〻〻

室〻 〻阿醯步陀〻〻〻 〻沒留波跋達羅 鉢陀耶〻〻〻
壁〻 〻俱摩多羅〻〻〻 〻烏哆羅跋陀曳 耶〻〻〻
奎〻 〻曼荼鼻耶〻〻〻 〻婁嚩伐底耶〻 〻〻
婁〻 〻阿訖耶尼〻〻〻 〻阿諏儞曳〻〻 〻
胃〻 〻婆禜筏波〻〻〻（已上北方七宿） 〻跛喇儞 曳〻〻〻

孔雀經云。昴星及畢星。觜星參及井。鬼宿能吉祥。柳星爲第七。此等七宿住於東門守護東方。星宿能摧怨。張翼亦如是。軫星及角亢。氐星居第七。此等七宿住於南門守護南方。房宿大威德。心尾亦復然。箕星及斗牛。女星爲第七。此等七宿住於西門守護西方。虛星與危星。室星壁星等。奎星及婁星。胃星爲第七。此等七宿住於北門守護北方。此執曜天巡行二十八宿之時。能令晝夜時分增減云〻

孔雀經

四分律



牛宿有無

大論惠影疏云。此列地動中。何故不列牛宿者。星出了日月如合櫱。五星如蓮珠。皆起牛宿。又堯舜嗟歎四時之辭云。日月俱起於牽牛之初。以牛宿爲根本。故不說也

僧偈疏云。此間二十八宿中唯無牛宿

宿曜經下云。唐用二十八宿。西國除牛宿。以其天主事之故。十二宮猶唐十二次

遁甲經云。北斗七星領二十八宿。一星主四宿。魁起室。剛起角。以次分〻屬。若人行年主室。而五星行到宿者。隨星吉凶也〻云

孔雀經云。宿有二十八。四方各居七。執曜復有七。加日月爲九。總成三十七。勇猛大威神出沒照世間。示其善惡相文

大佛頂別行法云。是婆婆世界有八萬四千災變惡星。二十八大惡星而爲上首。復有八大惡星以爲其主。作種〻形出現於世。能生衆生種〻災異云〻

最勝經云。白月八日補沙星合

阿含經云。彼春二月八日鬼宿合時也時主 可案之

一切經音義云。佛星。或云佛星。成作孛星。或云弗沙星。皆孛字之訛也。正音富沙。依諸經云。如來成道出家。皆用二月八日鬼宿合時。依日藏分經。二月九日晝夜分屬九日故也云〻

十二宮

種子 [illegible]初

三昧耶形 ○星形

青龍軌云。七曜十二宮九執眞言曰 定手相叉 合火炎輪叡屈

䞰莫三滿多沒馱南 引 薩羅 二合 醯 行也因也 垢也 濕縛 二合 哩也 二合自在 鉢羅 二合 鉢多 得也 殯底 明也 諸曜也 摩野 自性也於明性中而得自在 娑縛 二合 賀

私云。二手合掌。二空直立也

熾盛光軌云。請召十二宮天神眞言曰

娜莫三滿多沒馱南 一 唵 紇羅 二合 係濕二縛哩 引 野 三 鉢羅 二合 鉢多 二合 殯窒 丁逸反 哩 二摩 二合 引 野 四 攞計吽 引 弭娑縛 二合 賀

七十天法中出之。又師說云。若用別印眞言者。一〻梵號上加歸命句。下加地彼多曳娑縛賀句。其印同用一切執曜印

師子宮。僧伽深呵。太陽位。日天子居焉。其神如師子。故名師子宮 圖云白師子形毛脊黑色也文

女宮。迦若。辰星位焉。其神如女

秤量宮。兜邏 金遮 太白位焉。其神如禪 圖云肉色仙人形。右手執秤衡。左手拄擧醜形カ ハムシ衡ハカリノヲモミマ□カラハカリ

蝎宮。毘梨支迦 縛里濕縛 熒惑位焉。其神如蝎 圖云青黑虫形有十足

弓宮。壇尼毘 馱尾 歲星位焉。其神如弓 圖云天形執弓箭 裸

摩竭宮。摩伽羅。鎭星位。其神如魔宮魔主鬪諍 圖云如摩竭魚形

已上六位總屬太陽分

次下六位總屬太陰分

寶瓶宮。鳩槃 摩驟多 鎭星位焉。其神如形 圖云瓶口有蓮花

魚宮。彌那。歲星位焉。其神如魚

羊宮。彌沙。熒惑位焉。其神如羊 圖云白色羊也

牛宮。毘利沙。大白位焉。其神如牛 圖云黃赤牛也

男女宮。彌偸那。辰星位焉。其神如大妻。故名夫妻宮 圖云夫婦宮肉色男女形。後本連物頭

蠏宮。羯迦吒迦。太陰之位。月天子居焉。其神如蠏 圖云赤黑色也

迦羅迦合二吒迦蟹 和名カニ。八足蟲也

十二神
種子 [illegible]
三昧耶形 刀形
印眞言
唵婆多曳ソワカ唵下加十二神當名
十二神將呪右手作拳屈人指如鈎眞言 十二神將呪也
若用別印眞言一〻梵號上加歸命句下
加沙縛賀句
寅 亥唵宮毘羅〻〻〻
晉本金毘羅隋本宮毘羅唐木同
卯 戌唵伐折羅〻〻〻
晉本和耆羅隋本跋折羅唐本同
辰 酉唵迷企羅〻〻〻
晉本彌佉羅隋本迷佉羅唐本同
巳 申唵安底羅〻〻〻
晉本安陀羅隋本安捺羅唐本安底羅
午 未唵頞儞羅〻〻〻
晉本摩尼羅隋本安涅羅唐本安儞羅
未 午唵珊底羅〻〻〻
晉本宗林羅隋本摩涅羅唐本珊底羅
申 巳唵因達羅〻〻〻
晉本因林羅隋本因達羅唐本同
酉 辰唵婆夷羅〻〻〻
晉本婆耶羅隋本婆異羅唐本婆夷羅
戌 卯唵摩虎羅〻〻〻
晉本摩休羅隋本摩呼羅唐本摩虎羅
亥 寅唵眞達羅〻〻〻
晉本眞陀羅隋本眞達羅唐本同
子 丑唵招杜羅〻〻〻
晉本照頭羅隋本照度羅唐本招杜羅
丑 子唵毘羯羅〻〻〻
晉本毘伽羅隋本魚羯羅唐本毘羯羅

一行阿闍梨十二神將集云
金毘羅者微明印卽亥神彌勒菩薩
和耆羅者河魁戌神得大勢菩薩
彌佉羅者是從魁酉神阿彌陀佛
安陀羅者傳送卽申神觀世音菩薩
摩尼羅者是小吉未神摩利支天菩薩
蘇藍羅者勝先卽午神虛空藏菩薩
因陀羅者是太一卽巳神地藏菩薩
婆耶羅者天岡卽辰神文殊菩薩
摩休羅者大衝卽卯神藥師佛
眞持羅者功曹寅神普賢菩薩
照頭羅者大吉卽丑神金剛手菩薩
毘伽羅者神后卽子神釋迦佛
私云十二神本地有三說遠文如藥師
文中
問支數何子牛九巳亥四乎
大集經云
問十二神北斗之流類歟
五行大義五云七星各散成十二佛〻〻
〻變成三十六禽云〻
問十二神中不取師子等勝獸鳳凰等
勝獸乎
五行大義云問曰禽蟲之例數多何不取
驎鳳之屬乃取蚓蛇鼠小蟲答取十二屬
者皆以其知時候氣或色或形並應陰陽
故也
私云大集經中列十二神除寅神入師
子神也 可檢之
大集經云 如藥師卷

三十六禽
寅 初狸 次是豹ナカツカミ 末是虎 和名云トラ山獸之君也
卯 狐 兎 狢 ムジナ似狐而善眠也或云クサキ大タヌキ
辰 龍 蛟ミツチ 龍屬也 魚 此九屬東方木
巳 蟬 鯉コヒ 蛇 ヘミ一云クチナハ 一云クホチ
午 鹿 馬 麞クシカ
未 羊 雁 鷹 此九屬南方
申 狖 サルニタルイタチ 猨サル 猴
酉 烏 鷄 雉
戌 豹 狼オホカミ 豺 此九屬西方
亥 豕 㺄 猪キ
子 猫 鼠 伏翼カハホ□
丑 牛 蟹 鼈カハカメ 此九屬北方云也
弘決云六壬氏中列三十六准彼文者
已有三謂蟬蛆蛇今文云鯉多恐字誤
歟
魚蛟龍 狢兎狐 虎豹狸 鼈蟹牛
伏鼠鷰 猪㺄豕 豺狼豹 雉鷄烏
猿猴狖 雁鷹犴 獐馬鹿 蛇蛆蟬
五行大義五云七星各散成十二神〻〻
〻變成三十六禽云〻
或人云以之知三十六禽者北斗之支

流也
或文云供二十八宿三十六禽時呪
南無補步黑伽里怛里伐伽咀耶

摩利支天

種子　普𑖦初摩字
三昧耶形　或人云天扇形
印眞言
玄法三卷軌云内叉地水輪空風堅相合
火激風前合 何也 摩利支眞言曰
曩〇南摩利支娑縛合二賀
胎藏私記 丹州 云二手地水内相合風空
並竪合以火纏風如金剛輪印々身五處
召請之時以空召之文中無此印也
唵摩利支娑縛賀
摩利支法明根本印眞言曰
次印相者以二手内相叉竪合二頭指二
中指各相捻二大指並竪合即成誦眞言
加持身五處眞言曰
曩謨引囉怛曩合二怛羅合二夜引耶一怛儞
也合二他遏迦沫思遏迦沫思三沫迦沫思遏度沫思
四首跛羅沫思五摩賀引首跛羅沫思六
按怛囉沫思七摩哩制野沫思八曩謨蘇
都帝九落乞叉合二々々々給十引薩縛薩怛
縛合二難引者一十薩縛怛羅合二薩縛婆庾十引
二跛捺羅合二吠毘藥合二娑婆引二合訶十引三
次結摩利支菩薩心印眞言曰
曩〇南引哷摩引哩制曳娑婆賀
次結心眞言印相者以左手虚作拳頭指
大母指相捻如環想自身入左手拳中以
右手覆左拳上即想此印爲摩利支菩薩
形想自身隱在摩利支菩薩心中云々
摩利支花臺經云左手屈臂牽向於前以
頭指已下四指把拳復以大指押頭指甲
上次開掌中作孔以右手申掌從左手節
上向手掌摩之到於孔上即以右掌覆蓋
指孔上心裏作之左手掌是末利支心右
手掌是末利支身於左手掌心中我身隨
在末利支天藏我身著末利支在我頂上
護於我身此是末利印口中數々誦呪者
即得大驗 此經有身印及眞言更驗之
對受記云海大德說二名安怛祖那印周
云隱形也合掌二勝二高内相叉也二蓋
直立相合也二光押二蓋甲上而端相合
也二輪直立毎誦眞言三反召之然後加
持五處頂上散之此印儀軌不說是術印
也意大德說同權僧正惠和上說地水内
叉二風立合以二火絞二風上火端相柱
二風並立與訶召之大和上釋非此處說
餘處所說定空捻四輪甲如管以慧手平
伏以覆定管上是術印也昔良房故大政
大臣家夜居之次珍和尚所授也 以上

身形
經云時佛世尊即語此言 金疏 有天名末利
支常在日前行日不見彼々能見日
又云其造像法 或人云若銀若赤銅若白檀若紫檀 一似天女
形身長大小一寸二寸三寸乃至一肘其
中最勝者一寸二寸爲好云々若苾芻欲
行遠道於袈裟片中裹著彼像若持五戒
優婆塞於頭髻中盛著彼像大小便時離
身放著不得共身上牀大小便利
又云其像左右各刻作兩末利支侍者亦
作女形復以別紫檀木作蓋々之欲行遠
道將於此像不離身隱藏著之莫令聽人
知云々
又云有一本云作天像法其像二手左一
手屈臂向上平横當左乳前把拳々中把
拂形如講法師高座上所把形於其拂中
作西國萬字文形亦如佛像胸上字々四
曲内各作日形一々著之著四箇日形其
拂上作焰形右一手申臂及指解垂下

辨才天

種子　普𑖭或娑或娑縛
三昧耶形　琵琶形
印眞言
定印五輪叙作横置心上如琵琶慧空與
風相捻指直竪當定掌如摩琴之勢乾闥
婆類也文云費拏印者琵琶也
曩〇南蘇羅娑縛合二帝曳合二娑々々
身形
祕藏記云辨才天白肉色彈琵琶
調定圖云肉色引琵琶左膝立也
最勝王經第七云爾時婆羅門復以呪讃
天女曰
敬禮々々世間尊　於諸母中最爲尊
三種世尊咸供養　面貌容儀人樂觀

種〻妙德以嚴身　目如修廣青蓮葉
福智光明名稱滿　譬如無價末尼珠
我今讚嘆最勝者　悉能成辦所求心
眞實功德妙吉祥　譬如蓮花極清淨
身色端嚴皆樂見　衆相希有不思議
能放無垢智光明　於諸念中爲最勝
猶如師子獸中上　掌以八臂自莊嚴
[illegible]持弓箭刀稍斧　長杵鐵輪幷羂索
端正樂觀如滿月　吉詞無滯出和音
若有衆生心願求　善士隨念令圓滿
帝釋諸天咸供養　皆共稱讚可歸依
衆德能生不思議　一切時中起恭敬
莎訶（此上呪頌是呪亦是讚若持呪時必須誦文）
若欲祈請辨才天　依此呪讚言詞句
晨朝清淨至誠誦　於所求事悉隨心

花嚴經云

迦樓羅天

種子

三昧耶形　羣葉形

金翅鳥王印眞言

定慧手叙五指向外以定空鉤慧空左右
如鳥羽而扇雄鳥以左羽置右羽上所以
定空鉤慧空印之動三反如飛勢
阿鉢羅底二賀多三捨薩那南引四怛儞也
二合他五唵捨句娜六摩賀引捨句娜七尾
且多八跛乞叉二合九薩縛破曩十誐多迦
十一佉佉佉呬佉呬十二三摩十三摩奴薩摩二合
羅十四吽底瑟姹二合十五冐地薩怛舞二合十六枳
娜二合跛野底十七娑〻〻

小呪

唵誐樓拏野莎可

歡喜天　誐拏婆底

種子　普初誐

三昧耶形　蘿蔔根

誐　一切法行不可得

印

儀軌云以二小指二無名指相鉤向內卽
以二中指竪相叉二頭指各竪附中指以
二大指亦竪附近頭指側大指來去（壽集經）

眞言

儀軌云身呪曰
曩謨尾娜翼迦二合瀉賀悉底二合母佉瀉怛
儞野引二合他唵娜翼迦二合娜翼迦二合尾娜
翼迦二合怛羅二合翼迦二合蘖哩二合怛羅二合翼
迦二合鉓引佉賀悉底二合鉓引佉賀只多扇
上底迦羅二合娑縛二合賀

心呪

唵儗上哩廬

心中心呪

唵廬〻吽娑縛二合賀

陀羅尼集經云前印如呪曰（使呪法經有此三呪更又有呪檢之）
唵一薄迦羅准音去荼二阿地波多曳三莎
訶四音去

安然和尚出此呪又更有呪檢之

攝大儀軌云頻那夜迦天
歸命摩訶誐拏跛跢曳ソワカ

次讚

軌云
唵誐娜鎫底扇底娑縛悉底摩賀誐娜跛
娑縛賀

身相

軌云先須畫像或用白臘銅木等及花木
若鑄若刻並得其像形夫婦二身令相抱
立各長五寸或七寸皆得並作象頭人身
又云左牙出右牙折面少向左其鼻向外
壞有六臂其左上手把刀次手把果繫下
手把輪右上手把棒次手把索下手把牙
若鑄若刻若畫並得造此像不得還價
使呪法經云（菩提流支）白臘若金銅若花木又
石上生百歲花木先頭三七日加持而見
好相而刻作七寸又五寸五分其形者頭
如象頭身如人身夫婦二人相向令抱之
並在左手令取蘿蔔右手令取歡喜團
又云二像一身女形一身菩薩形也女形
者毘那夜迦郎鬼子母也菩薩形者觀世
音本誓形也
自在天儀軌云取阿伽木如一指節長對
作四臂像著大蟲皮衣頭戴七寶冠右下
手把鉞斧右上手把歡喜團盤左上手執
棒左下手執牙其頭象頭左邊牙折以黃
繞作歡喜團勢頂底種〻瓔珞著白絲朝
霞右脇上角絡披脚踏金山
調定圖云（胎藏）毘那夜迦肉色象頭人身右
手持斧左手持蘿蔔後本頭白赤形身
祕藏記云毘那夜迦白肉色持蘿蔔鉤

歎喜天略私記（依十八道）

入堂　禮拜　著座　懺悔偈　淨三業

塗香塗手　加持香水　灑淨供物　啓

白　神分　供養文　唱禮　驚覺　九

方便　三部　被甲

深沙大將　或人云大山府君

種子

三昧耶形

深沙大聖傳　海日沙門玄通撰

自佛涅槃後衆生隱顯託跡十方利樂有緣賓布沙界如日月臨照運載生靈皆是觀音分身救苦難即今深沙大聖降彼本土照物摧魔恩覆大千普縛一切無求不産得有願必從有北方天王部落水積宮管溫疫鬼九十之大神將也去貞觀年中有三藏遠諸西天取佛遺教至于中路砂磧覆地絶火絶糧遠途七日不拜得南北三藏虔念威神乃大聖潛形供侍所憩之處涌出甘泉珍饌自然百味薰馥三藏不測虔心彌增乃空中有言曰我是北方神將見聖貞懇持此供承但願堅誠取然聖何慙悚息又有蜀僧總一時經十載不出寺門強志情堅感深沙化爲童子供侍三年活石鳳滿聽慧仕哲隨念法花歎讃朝昏經聲不輟聖自染疾遂語滿曰吾大辰將全心老耄力衰恨未度脫於子滿亦曰和上積善彌廣出沒自有所歸一野顆明珠曠劫常在佛其繫歟總一驚愕如敬童子曰滿非人類是北方神將名號深沙晤師致懇供助修行和上呪眞性歸空弟子亦却伏舊質言託辭去師曰以休息眷何借現行滿曰勝軀貌赫烈恐人慓魂殁師再曰願横寫形相遍不他方救度頎厄利樂含識師再言後即祥藹空大花氣馥百姓驚愕皆奔赴瞻禮覩大聖現行時騰空盤殖紅蓮捧足朱髮螺髮狼爪毫眉銀牙烈戟將髑髏爲珞口若血河鋼獸皮爲衣眸光電焔蜿爲臂鎖毻髯而即直利於鉢鍛寶驚駭於人哀威善攝於魔魍又曾現蜀川寶應寺祇瑞異祥爲能備錄時西水節度李於國諸谿具事養聞聖被於四方萬民普沐於慈戴今所在圖錄形陶塑供養香油等願求無不克從者矣又有女商張書寫形供養後於浙江遇急風騰波蛟蜧涌溺商船幾書唯ゝ張氏候安神理根然後至江陵捨錢五百餘貫修樹堂宇錄寫形軀至今百姓虔誠求恩供養以大聖救照萬物普覆生靈恩舒十方遍滋而覆故知聖德沖懇焉凡庶能測淺深玄通不撥敢採緞群言略書記傳讃曰神靈沖邈浩森無涯威光普被遠近不遮化育含識降魔救苦有求必應如子啓父虔誠供養聖力可怙

大唐會昌四年本承和十二年仲夏之月從蘇臺白居易南禪院請來入唐求法沙門圓獻

天地頓合

唵天夜烏獸沙叉婆羅普儞摩儞娑呵

大唐浮丘深沙大聖禮懺文（入唐求法沙門圓獻之撰　本說別存）

一切恭敬ゝゝ禮常住三寶　如來唄云ゝ

次燒香文云戒香定香慧香解脫香解脫知見香光明雲臺遍法界供養十方一切佛

散花頌云稽首浮丘深沙聖觀音七種毘沙門示現北方大將神水陸利益有情界香花供養佛

歎佛呪願大聖世尊巍ゝ堂ゝ神智沙達衆聖中王

稱名云

南無法界性智大日像（遍照如來）

南無大圓鏡智藥師像（阿閦如來）

南無平等性智寶生像（寶ー如來）

南無妙觀察智彌陀像（如[illegible]如來）

南無成所作智事業像（釋迦如來）

南無觀音本體北方士（深沙大聖）

南無利益安業日本國（深沙大聖）

南無示現靈驗成所願（深沙大聖）

歸命頌云

歸命稽首深沙身　遍滿法界度有情

水陸厄難救護者　猶如世間慈父母

或現童子奉妙法　或現沙中承事僧

海中地上護男女　商人田蠶得利益

我等頂戴吽字門　浮丘深沙祕密法

三密智加持故　證知證誠我所願

如法持念百八遍

娜莫三曼他勃陀南唵吽吽吽

獻呪願

至心奉上北神呪　吽字法門遍法界
衆生卽是諸佛體　凡聖境界示靈驗
海上陸地無災難　無病有福常安樂

後稱名

南無歸命頂禮權現聖 深沙大聖
南無還念本願現於像 深沙大聖
南無國家安隱興佛法 深沙大聖
南無滅除疫病力賊難 深沙大聖
南無產業田靈豐成就 深沙大聖
南無四恩靈等成佛道 深沙大聖
南無信心施主等除災延命 深沙大聖
南無一切所願令滿足 深沙大聖
南無聲聞緣覺一切賢聖衆 深沙大聖
南無妙法蓮花經
一切諷誦般若心經

願以此功德　普及於一切
我等與衆生　皆共成佛道

大唐深沙大聖乞卜變其卜法
先捧身隨物大聖多少隨分富賤貴奉任物卽閉目澄心沙門妙法蓮花經次唱深沙大聖卽至心稱經名云其年月日爲事申乞敎卜吉凶若導吉凶之由量於卜謂卽投之一作一伏甚吉俯作非吉非凶也兩伏甚凶若一度得吉卜勿更投三度爲定兩吉凶甚吉了從兩凶一吉其事須惡審定上之萬不失一若獻大聖之物有冥者書寫法花經可供養轉讀(其內右本作中)努力努力莫化用但遠作功德施濟貧乏此得造像多少隨分任力如須彌如芥子木也得稔也得書也同七寶八珍

大聖深沙神記云深沙神者浮丘神也按大集經云是西方自在天神所化亦多聞天王爲降伏四天下行毒氣鬼神又唐三藏記云往西國取經迴至流沙磧中無人之處每至齋時於路側有新穿池水美如甘露有一分飲食異種馨香唯不見人三藏怪而啓念言此處長沙磧迴絕人煙置此池及食者是何人哉願知所來乃聞空中有聲〻啓三藏法師云我天神也緣和上取經遠來弟子是護法神此處無水絕人特爲和上貫水及食三藏齋訖其水却無但見流沙浩眇爰獨無人因此呼爲深沙神也舊因蜀川浮丘山寺有一僧發願十年不出寺持花嚴經立志彌堅感得此神化爲行者供侍給使掃洒焚香其僧願滿經數已終早朝忽不見行者連喚不應其僧遂出門高聲再喚但聞空中云昔時行者非是常人是北方神佐主領夜叉和尚行高感得弟子供給僧曰貧道凡僧肉眼不識大聖罪過〻〻十年供養何者不見本身相別神曰不解見本身恐驚和上若願相見幸請作慈莫怕遂卽見本夜叉身並口授陀羅尼一道心眞言一須臾却沒其僧召得工人塑形在寺供養守護伽藍甚有靈驗西蜀之人皆敬事也大和三年有一女商於蜀畫得形影船中供養其船欲到江陵六月十六日忽遭惡風其船欲沒女商怕急忽念大聖深沙神王兼啓發願乃於水見此神以手拓船直至岸女商到江陵開覺寺塑形供養人競瞻敬若有人致精魅冤家處魍魎所纏者但於此神前志發願悉得除滅若有供養者取月三九日以乳粥菓子荆洲圍米飯餅供養功須護淨勿令穢濁如有人要畫神者衣服者須深赤鮮潔爲上畫頭髮須赤拳虬足踏石左手把青蛇有人夢見把蛇趣者皆得此神擁護之相也(便有神呪等檢之)

深沙大將儀軌(三使者行金大第)　大興善寺三藏
沙門大廣智不空奉詔譯

爾時觀世音菩薩在大衆會座中而起五體投地禮佛雙足而白佛言我有一眞言一印三使者眞言廣大成就之法願爲利益安樂閻浮提諸善男子善女人故唯願世尊哀愍聽許我今說之眞言曰

那謨羅怛那一跢羅夜耶二那謨阿利耶婆盧枳帝三跢姪他四闍曳〻〻二合闍夜五婆醯儞闍檢跢利六迦羅〻〻摩羅〻〻者羅器拏八薩婆羯摩跋羅拏儞九迷婆底沙訶

誦此呪已惡業消滅誦至七遍之逆罪滅若滿千遍已罪不滅滿十萬遍面見觀音種〻莊嚴者七日之中初作法時唯得食乳糜蘇最後一日勿食十五日夜佛前念誦無定限數見像桴出聲唱言善哉〻〻放光明曜復以眞珠寶物安呪師頂上卽知成驗面見觀音已得滿一切善願又於

睡眠中夢見觀音種々莊嚴者一切善事
成就一切惡業消滅須轉讀者得滅罪夾
說一印亦名利益衆生以一印三十二及
種々成辨二手合交背相以二母指押二
頭指爲鉤以印使向虛空爲天蓋境界十
天上隨處成結界向本尊爲普供養作法
爲普禮後時爲迴向又爲救發遣若欲降
伏惡人者作手印無二以瞋心誦一百八
遍一切外道所作滅若人心病者加持黃
土塗於心除差若人患頭病加持火若人
患眼者加持杏子之油塗除差若人患癧
者糞末加持一百八遍塗除差若人欲令
遠去魔事加持若木八遍其人遠去夾使
者三印二十八部總攝左手掌平向天上
以大指來去天上使者費迦羅亦名淨滿
密語曰
費迦羅醫薩醐沙縛訶
二手合二地來去虛空使者大仙亦名縛
期密語曰
悉儞也娑縛訶
二手向虛空以二大來去下地使者火水
雷自在亦名大羅惹密語曰
唵闍鬼々々娑縛賀
此三種使者能滅三災能滅三種執能滅
生々世々業障生々世々悉地成就又此
三種使者無相爭力頓生滅轉鉢結縛來
合空鉢若人滿呪功者乘空界爲仙人召
集天龍夜叉鬼神等任心發遣尤法力也
阿迦吒密一印千類三轉使者成就經法

一卷深沙大將儀軌要一首
長安南洲治玄舍中有比丘僧名曰法傳
自性企於傳誦常誦法花經以天和元年
正月六日且於天光寺發弘誓解曰于究
竟菩提於法花經奉讀自此室去十里有
廣野名曰玄野於住經七日交出一人光
兒採薪斷使經七歲晝夜心在妙法無間
護養受所者依艱難留連呻吟然間法師
問云小兒言汝從何所來敎吾云小兒答
云吾此護廣野鬼神矣名曰深沙大將卽
法師云然顯本身答云我形甚醜怖若吾
師見我者心神迷惑云師答云尙顯現卽
答云然兩目合現形爰法師見此迷惑經
七日失方不起良久蘇起卽鬼云然申見
我形吾師迷惑云法師答云然不見云答
吾大分心怒像露形也頭如赤鉢兩手如
天羅地羅頸懸七鬼頭也體有八蛇兩鬼
頭然呑體也如是云我成護法師形護持
我師云々然間以員日其國采女王子伏
病苦痛有緣請此師卽口誦深沙大將菩
薩名字病苦卽除差卽彼國王大貴悅問
曰我師修持何法若干病若一時除差云
答云深沙大將御名一稱救萬病[有眞言可撿之]等
敬白深沙大聖者是觀音之分身薩埵垂
跡也緇素之歸依如萬草靡風剩禱之相
感似孤月之和水救苦拔難深沙大聖之
助廣延齡招福水月觀音之誓深頓漸隨
人勝利應器北方之神將南洲之府軍也
抑晝昔有胡僧其名曰總一十年不出寺

門六時轉讀經典爰大聖感其堅固之不
變々化爲童子供給期三年晝夜至一心
法名曰鳳滿聰慧佳質也已供侍緣盡今
欲還本所卽受總一之再言令撰無二之
體相于時祥雲靄空天花芳馥百姓驚愕
奔赴瞻觀大聖現形時紅蓮捧足朱髮赤
螺之鬚宛轉于一身之上青狼之爪森然
于二手之指峯蛟蠣纏臂象頭含膝瓔珞
繋髑髏衣服結獸皮口疑惡河之流眸誤
電光之爛曬驚駭於人類普攝於魔軍外
現忿怒之相內祕慈悲之意有求者必應
如子之啓父虔誠之供納受而慈愍恩者
施十方慈者蒙於萬姓甘泉涌于原地珍
寶雨于高天敬白

訶梨帝母
種子 普初
三昧耶形 吉祥菓
印
大藥叉女儀軌云夾說印契先說請召印
以右手指於左手背叉入把左手掌左手
向身三招其印相卽成云々[請召印也撥遣以左手向外擲也]
又云愛子畢哩[合二]孕迦陀羅尼法
唵致尾致顆ソワカ
又云其印以二手合掌二大指並屈入掌
中卽成此印一切處用護身請召奉送並
皆用之以印加持自身五處所謂頂左右
肩心喉等卽成護身以二大指招之名請
召開出之名奉送

訶梨帝母法云愛子心眞言

唵知(上)尾知(上)顆娑縛(二合)訶

印合掌屈二母指入掌中

訶梨帝母軌云

唵紓〻摩(引)里迦(引)嚩帝娑縛(二合)賀

大藥叉女儀軌同之但以此呪名心眞言

又有大呪檢之

十一面軌印同之

身相

儀軌云畫訶利底母(藥叉軌云歡喜母)作天女形像(藥叉軌云極令姝麗)金色(藥叉軌云身白紅色)身著天衣頭冠瓔珞坐宣臺上垂下右足兩邊畫二孩子傍宣臺立於二股上各坐一孩子以左懷中把一孩子(藥叉軌云其母左手於懷中抱一孩子右畢里孕迦極令端正云〻)於右手中持吉祥菓云〻(藥叉軌云右手近乳掌吉祥菓其左右並畫侍女眷屬或執白拂或莊嚴具)

軌云以白檀香橫量六指作童子形具足兩手把菓子與人頭上作三髻角子

大藥叉女軌云佛住王舍城竹林精舍爲諸人天演說法要時有藥叉女名曰歡喜容貌端嚴有五千眷屬常在支那國護持世界是娑多大藥叉將之女(娶也嫂)半支迦大藥叉將(古云散脂者訛)生五百子大威力與諸眷屬來詣佛所退坐一面佛告歡喜母汝今可受如來敎勑我願令汝捨除暴惡護諸有情此王舍城及贍部洲一切女人所生男女皆施無畏時歡喜母白佛言世尊若如是者我及諸子當於何食佛言汝但慈心不害有情我當勑諸聲聞弟子每於食衣常與汝食幷於行末置一分食呼汝名字幷諸子等皆令飽滿若有餘食汝可迴施一切鬼神皆悉運心令其飽足時歡喜母白佛言○我今歸命如來奉佛敎勅不敢違越王舍大城及諸國土一切人民所生男女我皆擁護令其安樂不令一切諸惡鬼神得其便也云〻(卽從佛受三歸五戒)

南海傳明僧食中云復於行末安食一盤以供呵梨底母其母光身因事發願食王舍城所有兒子因其邪願遂生藥叉之內生五百之兒日〻每飡王舍城男女諸人白佛佛遂藏其稚子名曰愛兒觸處覓之佛邊方得世尊告曰汝憐愛兒乎汝生五百一尙見憐呪餘人一二兒而已佛因化之令受五戒爲鄔婆斯迦因請佛曰我兒五百今何食焉佛言苾芻住處寺家日〻每設祭食令汝等充飡故西方諸寺每於門屋處或於食厨邊素畫母形把一兒子於其膝下或五或三以表其像每日於前盛陳供食其母乃是四天王之衆大豐勢力其有疾病無兒息者饗食薦之咸皆遂願 已上

根本說一切有部毘奈耶雜事第三十一云佛在王舍城竹林園住時此城內於一山邊有藥叉神而爲居止名曰娑多此常擁護影勝大王中宮妃后王臣宰相及諸人衆由彼力故王及諸人悉皆安樂時降甘雨苗稼善成花果泉池在處充滿常無飢儉乞求易得諸有沙門婆羅門貧窮孤獨商侶之類悉皆來萃摩揭陀國時此藥叉亦皆殺護娑多遂於自類族中娶妻同住是時北方犍陀羅國復有藥叉名半遮羅恒住於彼亦常能擁護令彼國中安隱豐樂與摩揭陀境事無差異時彼藥叉二於同類娶妻共居復於異時諸方藥叉共爲聚會此二藥叉得申歡愛與爲親友執別之後各還故居娑多藥叉取摩揭陀上妙花菓送與半遮羅彼以北方所出花果送與娑多如是多時共申情好復因聚會重得交歡是時娑多語半遮羅曰作何方便我等歿後所有子孫共爲親愛不相疎隔半遮羅曰善哉此語我意同爾娑多曰今可共作指腹之親我等二門若生男女共爲婚媾彼言可爾時娑多妻未經多時遂有娠體月輪生女容貌端嚴見者愛樂其女生時諸藥叉衆咸皆歡慶諸親立字名曰歡喜于時半遮羅聞彼生女情甚歡悅便作是念娑多藥叉新婦可作嚴身瓔珞衣服令便送去幷持書曰聞君生女情甚歡悅今送衣服願垂納受時娑多得書領信還以書答然遮羅意唯求男子未久之頃婦還有娠月滿生兒與其立名既是半遮羅子應號半支迦時娑多藥叉聞半遮羅生一男子便作是念我友生男豈得徒然可寄衣瓔用申歡慶彼卽是我女夫何疑遂裁書曰聞君誕子慶喜交懷聊寄衣瓔用申欣賀幸當爲受冀表不空彼覽書已報書答曰許作交親今皆遂願各待

成立共作婚姻。時娑多藥叉婦還有娠。其時諸山出聲如天象吼。月滿生時其山皆吼。諸親議曰。此之孩子託胎之日及以生時。山皆鳴吼。既是娑多之子。應名娑多山。既長大已。父遂身亡自爲家主。是時歡喜年既長成。報其弟曰。我今欲得遊王舍城。現有諸人所出男女悉皆取食。弟言。大姉曾聞我父於此城主及諸人衆當皆擁護令得安樂。離憂惱。我今宜可更守衞。此則是我所防境界。若有餘人爲損害者。我應遮護。爾今何得生惡心。宜除此念。然藥叉女由於前身。發惡邪願習氣力故。復告其弟說如前事。弟知姉意事難迴改。作如是念。我力不能遮其惡念。然父在日許嫁與他。我今宜可作婚姻事。即便裁書與半遮羅藥叉曰。我姉歡喜年既長成。宜可爲親當速來此。彼得書已便爲盛禮至王舍城。娶婦歸故。既至本城經多時已。與其夫主情義相得。作如是語。仁者當知。我意欲得王舍城中現在人衆所生男女皆取食之。答曰。賢首彼皆是汝家族住處。餘來侵害尚欲相遮。寧容汝今輙爲酷虐。興斯惡念勿更再言。由彼前身所發邪願熏習之力故。作不忍聲懷瞋且默。後於異時便生一子。如是次第更生五百。其最小者名曰愛兒。時五百兒威勢成立。母恃豪強欲行非法。夫頻勸誨竟不受言。夫知彼心默爾而住。是時歡喜便於王舍城中隨來去處現在人衆所有生男女爲次食之。爾時城中

既失男女所有人衆皆共白王。臣等男女皆被盜將。不知是誰作此巨害。痛惱中極欲遣如何。願王慈悲善爲尋察。王即勅令諸處街衢四面城門令兵守促。時諸兵士亦被偷將。日覺小生不知去處。婦人懷娠者咸亦被偷將向餘處。于時王舍城中大災盛起。諸王臣佐重啓大王。今此國中生大災難具說上事。王聞驚怖即喚卜師問其所以。答曰。斯之災橫皆是藥叉所作。宜可速辨諸妙飲食而爲祭祀。王下明勅繫鼓宣令告諸人曰。無問主客在我境者皆須備辨飲食香花掃灑街衢城隍聚落種〻嚴飾鼓樂音聲鈴鐸幡幢。于時王舍城人既奉王勅各以精心備辨飲食香花等物。嚴飾街衢如歡喜園。處〻祭祀雖勞備設災橫不除。苦惱憂惶莫知所計。于時守護王舍城天神於睡夢中告諸人曰。汝等男女咸被爲歡喜藥叉之所食噉。汝等宜可往世尊處所有災苦佛當調伏。諸人報神曰。此既取我男女充食。即是惡賊藥叉。何名歡喜。因此諸人皆號爲訶梨底藥叉女。王舍城聞是事已。皆往佛所頂禮佛足白言。世尊此訶梨底藥叉女於王舍城所居人衆。使於長夜作不饒益我等於彼失無惡念。然彼於我懷毒害心。所生男女悉皆盜去以充飲食。唯願世尊憐愍我等爲作調伏爾時世尊默然受請。彼等咸知佛受請已頂禮雙足奉辭而去。至明淸旦佛即著衣持鉢入城乞食。次第乞已還至本

處。飲食訖往訶梨底藥叉往處。時藥叉女出行不在。小子愛兒留在家內。世尊即以鉢覆其上。如來威力令兒不見弟。〻見諸兒時藥叉女迴至住處。不見小兒即大驚忙觸處尋覓。及問諸子。愛兒何在。答言。我等並皆不見。便自搥胸悲泣交流。脣口乾焦精神迷亂。情懷痛切速趣王城遍行諸坊康莊道路園林池俗天廟神堂客舍空房。皆求不得更加痛切使即癲狂脫去衣裳大聲號叫唱言。愛兒汝今何在。遂出城外巡歷村莊大聚落中。皆覓不得。即往四方乃至四海。亦皆不見。被髮露形宛轉于地。肘行膝步蹲居而坐。如是漸次至贍部洲七大黑山七大金山七大雪山無熱池香醉山。覓皆不得。情懷苦惱氣咽不通。又往東方毘提訶西瞿陀尼此俱盧洲亦皆不見。便往等活黑繩衆合叫喚大叫喚炎熱極熱阿鼻止領部陀尼剌部陀阿吒〻呵〻婆呼〻婆靑蓮花紅蓮花大紅蓮花。如是等十六大地獄亦皆不見。又往妙高山處。先登下層。次登第二第三層。直過多聞天宮。至妙高山頂。先入衆車園。次入離雜麁歡喜。皆覓不見。又往圓生樹下乃至善法堂中。入善見城。欲入帝釋最勝殿中。有金剛大神與無量藥叉守門而住。見彼來入便即斬出。善見城外情加痛切至多聞天處。於大石上投身躃地悲常諦哭白言。大將軍我小子愛兒被他流去。莫知何在。願見施我。多聞天曰。姉妹不須憂惱自

作癲狂。汝今且觀近汝家室晝日遊處誰來居止。答曰。大將軍沙門高荅摩在彼而住。報言。若如是者。宜可速往彼世尊所而作歸向。彼當令汝得見愛兒。彼聞此語情生歡喜。如死再生還來本處。遙見世尊三十二相八十種好莊嚴其身。圓明赫奕超日千光。如妙高山。深生渴仰。憂惱悉除情同得子。既至佛所頂禮佛足。退坐一面白言。世尊我久離別小子愛兒。唯願慈悲令我得見。佛告訶梨底藥叉女。汝有幾子。答言。我有五百兒。佛言。訶梨底。五百子中一子若無有何所苦。答言。世尊我若今日不見愛兒。必吐熱血而取命終。佛言。訶梨底。五百中不見一子受如是苦。況他一子。汝偷取食此苦如何。答言。此苦倍多於我。佛言。訶梨底。可受我戒。王舍城中現在人衆皆施無畏。若能如是不起此座得見愛兒。答言。世尊我從今已去依佛教勅。王舍城中現在諸人皆施無畏。作是語已。時佛令彼得見愛兒。于時訶梨底歸依如來請受禁戒。城中人衆皆得安樂離諸憂惱。于時訶梨底母親在佛所受三歸依并五學處。不殺生乃至不飲酒。前白佛言。世尊我及諸兒從今已去何所食噉。佛言。善女汝不須憂。於贍部洲所有我諸聲聞弟子。每於食次出衆生食并於行末設食一盤。呼汝名字并諸兒子皆令飽食永無飢苦。若復有餘現在衆生及江山海處諸鬼神等而應食者。皆悉運心令其飽足。佛告訶梨底。

又復我今付囑於汝。於我法中若諸伽藍僧尼住處。汝及諸兒常於晝夜勤心擁護。勿令衰損令得安樂。乃至我法未滅已來。於贍部洲應如是作。爾時世尊說是語已。時訶梨底母五百諸兒及以諸來藥叉等衆皆大歡喜頂禮奉行。時苾芻聞佛說已。咸皆有疑請世尊曰。訶梨帝母先作何業。生五百兒吸人精氣食王舍城人所生男女。佛告諸苾芻。汝等諦聽。此藥叉女及此城人先所作業還須自受。汝等苾芻乃往過去王舍城中牧牛人。娶妻未久遂即有娠。是時無佛但有獨覺出現人間。樂居寂靜。受用隨宜邊際臥具。世間唯有此福田。時此獨覺遊行人間至王舍城。爲大設會。有五百人各〻嚴身。咸持飲食并將音樂共詣芳園。於其路中逢見懷娠牧牛之女持酪漿瓶。諸人告言。姉妹可來舞蹈共爲歡樂。女見相喚便起欲心。舉目揚眉共爲舞蹈。由其疲頓即墮胎。城中諸人皆向園內。女懷憂惱掌頰而住。便以酪漿買得五百菴沒羅果。時彼獨覺來至女傍。其女遙見身心寂定威儀庠序在路而行。情生敬仰。遂即進前頂禮雙足。持香美果奉施聖人。諸獨覺者但以身化口不說法。欲饒益彼女人故。如大鵝王開舒兩翼上昇虛空。現諸神變。凡夫之人見神通時心便歸向。如大樹崩投身于地合掌發願。我今於此眞實福田所施功德。願我當來生王舍城。於此城中現在人衆所生男女我皆取食。

汝等苾芻於意如何。彼牧牛女豈異人乎。即訶梨底藥叉女是。由彼往昔奉施獨覺五百菴沒羅果發惡願故。今生王舍城作藥叉女。吸人精氣食噉城中所有男女。汝等苾芻。我常宣說黑業黑報白業白報。汝當應勤修白業。時諸苾芻聞佛說已。心大歡喜頂禮佛足奉辭而去 已上

蓮花面經云。諸天諦聽。釋迦如來復以此鉢覆於訶利鬼母最小之子名五利儞迦羅夜叉。以其惡心常食人血。故調伏之〻云

摩訶迦羅 或云天 或神

種子　普下。初[illegible]摩

三昧耶形　袋形。胎圖劍

印呪

師說用普印。或記同用之

摩訶迦羅天法云。其呪曰

唵密止〻〻舍婆隸二合多羅羯帝莎縛賀

印者。二手內縛。舒地水來去是也

攝大軌云。摩訶迦羅神

曩〇摩訶迦羅野娑縛賀

私云。師說用此印。眞言。神愷記用他印眞言。更撿之

身相

神愷記云。吾體作五尺若三尺若二尺若五寸通免之。膚色悉作黑色。頭令冠烏帽悉黑色也。令著袴駈襄不垂。令著狩衣。裙短袖細。右手作拳令收右腰。左手令持大袋。從背令懸肩上。其袋之色爲鼠毛色。其

垂下程餘臂上 巳上

胎藏梵號集云。摩訶迦羅天亦云大黑天神。普印。用三摩耶形。青色三面六臂。前左右横執劍。右次手執人頭 取髮提也 左次手執羊把二。次左右手象皮張背後。以髑髏爲瓔珞也。故本云。黑淺色也

調定圖云。青黑色。有三面六臂。右一手執劍横前。左一手擬劍叉。右次手執人髮契。左次手執手羊兩角提。次右左第三手取象皮張覆背。以髑髏蛇等爲瓔珞鑽釧冠飾也

大黑天神法 嘉祥寺神愷記

大黑天神者大自在天變身也。五天竺幷吾唐朝諸伽藍寺皆諸安置也。有人云。大黑天神者堅牢地天化身也。伽藍安之。每日所炊飯上分供養此天。暫夢中語詞之中曰。若吾伽藍安置日〻敬供者。吾寺中令住衆多僧。每日必養千人之衆。乃至人宅亦爾也。若人三年專心供吾者。吾必此來。供人與世間富乃至官爵職祿。應惟悉與焉○居大衆食屋禮供者。堂舍自然之榮。聚集涌出。又吾呪若人常持念。四季大備膳酒藥飲食乃至百味。以五更時不知衆多人供吾者。必定與富 文

大日經疏云。荼吉尼者。此是世間有造此法術者。亦自在呪術。能知人欲命終者。六月卽知之。知已卽作法取其心食之。所以爾者。人身中有黃。所謂人黃。猶牛有黃色也。若得食者能得極大成就。一日周遊四域。隨意所爲皆得。亦能種〻治人。有嫌者以術治之。極令病苦。然後法〻不得殺人。要依自計方術。人欲死者。去六月卽知之。以術取其心。雖取其心。然有法術要以餘物代之。此人命亦不絕。至令死時方壞也。大都是夜叉大自在。於世人所說大攝摩訶迦羅所謂大黑神也。毘盧遮那以降伏三世法門欲除彼故。化作大黑天神。遍於彼無量示現。以灰塗身。在曠野中以術悉召一切法成就。乘空履水皆無礙。諸荼吉尼而訶責之。猶汝常噉人故。我今亦常食汝。卽呑噉之。然不令死。彼伏了放之。悉令斷肉。彼白佛言。我今悉食肉存命。如何自濟。佛言。聽汝食死人心。彼言。人欲死時。諸夜叉等知彼命盡。爭來欲食。我云何得之。佛言。爲汝說眞言法印。六月未死卽能知之。知已以法加護勿令他畏得損。至命盡時。聽汝取食也。如是稍引令得入道。故有此眞言。訶梨 訶定行梨垢也 訶 行也 除彼邪術之垢也云〻

瑜祇經疏云。吽迦羅 名降三世 迦羅 降伏義又黑闇

仁王經疏云。摩訶迦羅大黑天神故。以迦羅翻云黑闇云〻

大日疏云。摩訶迦天大暗夜天。又翻迦羅云〻

南海傳一云。又復西方諸大寺處。咸於食厨柱側。或在大庫門前。彫木表形。或二尺三尺爲神王形。坐抱金囊。却踞小床。一脚垂地。每將油拭。黑色爲形。號曰莫訶哥羅。卽大黑神也。古代相承云。是大天之部屬。性愛三寶護持五衆使無損耗。求者稱情。但至食時。厨家每薦香花。所有飲食隨列於前。曾親常見說大涅槃處槃彈那寺。每常僧食一百有餘。春秋二時禮拜之際不期而至。僧徒五百臨中忽來。正到中時無宜更煮。其知事人告厨家曰。有斯倉卒事欲如何。于時有一淨人老母而告之曰。此乃常事。無勞見憂。遂乃多燃香火。盛陳祭食吉黑神曰。大聖涅槃爾徒尚在。四方僧乃至禮聖跡。飲食供承勿令闕乏。是仁之力。幸可知時。尋卽總命大衆令坐。以常食次第行之。大衆咸足。其飡所長還如常日。咸皆唱善。讚天神之力。親行禮覲。故見黑神。見在其前。食成大聚。問何意報此所由。淮北雖復先無。江南多有置處。求者効驗。神通非虛 文

新譯仁王經云。以祭塚間摩訶伽羅○大黑天神

良賁疏云。言塚間者所住處也。言摩訶者此翻云大。言迦羅者此云黑天也。上句梵語。下句唐言。大黑天神鬪戰神也。若祀彼神。增其威德。擧事皆勝。故饗祀也。何以知者。三藏引別梵夾云。孔雀經說。烏尸尼國〻城之東有林。名奢摩奢那。此云尸林。其林縱廣滿一由旬。有大黑天神。是摩醯首羅變化之身。與諸鬼神無量眷屬。常於夜間遊行林中。有大神力。多諸珍寶。有隱形藥。有長年藥。飛行空。諸幻術藥與人貿易。

唯取生人血肉。先約斤兩而貿易藥等。若人欲往者。以陀羅尼加持其身。然往貿易。若不加持。彼諸鬼神乃自隱形盜人血肉令減斤兩。卽取彼人身上血肉。隨取隨盡。不充先約。乃至取盡一人血肉。令減斤兩不死藥不可得。若加持者貿易得寶具及諸藥等。隨意所爲皆得成就。若饗祀者。唯人血肉也。彼有力卽加持人。所作勇猛鬪戰等法皆得勝也 文

金剛力士要文

寶積經第九云。於是衆會或有菩薩心自念言。斯密迹金剛力士在何世積衆德本。在何佛所而發道心○時佛告寂意菩薩。乃往過去久遠世時無央數劫不可思議。爾時有佛。名無量勳寶錦淨王。出現于世云〻時有轉輪聖王。名曰勇群王。有七寶○王有千子

又云。其二正夫人。一名不行步。二名無虛損○有二孩童。自然來上夫人膝上結跏趺坐○是二孩童則法神聖。一名法意。二名法念 文

又云。千太子賢劫千佛 取意云〻 其後二子各心念言。汝等正士所志云何。法意太子曰。吾自要誓。諸人成得佛時。當作金剛力士。常親近佛在外威儀。省諸如來一切祕要。常委託依普聞一切諸佛祕要密迹之事○爾時○轉輪聖王○佛言。則往過去定光如來是也。其時諸子。此賢劫中千佛興者是也。從拘留孫爲始作佛。至樓由竟千佛也。其法意太子則大金剛力士名密迹是也。其法念太子者今識甚梵天是也

菩提心義第二云。大般若中憍尸迦言。諸夜叉等所說神呪。言辭隱密難可了知可了。善現所說般若波羅蜜難可了知。又云。若入不退轉地菩薩。五族金剛常以侍衞。大日經義釋〻執金剛祕密主云。西方謂夜叉爲祕密。以其身口意速疾隱祕難可了知故。舊翻或云密迹。若淺略明義。祕密主卽是夜叉王也。執金剛杵常侍衞佛故。名金剛手。然是中深義言夜叉者卽是如來身語意密。唯佛與佛乃能知之。乃至彌勒菩薩等於如是祕密神通力所不及。祕中最祕。可謂心密之主。故曰祕密主。能持此印故云執金剛也。密迹力士經云。有力士名金剛密迹。注梵網經云。菩薩有千二王子。時千王子發心成佛。其二王子誓護佛法。今諸寺門金剛力士二像是也。又義釋云。般若釋論生才佛成道時。阿難密迹力士等。是名內眷屬。舍利弗目連等及彌勒文殊阿毘跋致一生補處菩薩等。名大眷屬。今謂佛加持身諸執金剛持如來密印。名內眷屬。諸菩薩大衆方便攝受衆生。名大眷屬故。般若云。欲爲諸佛內眷屬。欲得大眷屬者。當學般若也 文 故知般若所說諸夜叉等所說神呪。卽今淺略執金剛神所說眞言。五族金剛卽今仁王般若五方菩薩眷屬。依金剛頂瑜伽。卽是五佛現二種身。一正法輪身現五菩薩身。二教令輪身現五大尊身。往護其國是也

又云。又約金剛自有十種○八五教佛身衞護金剛。如義釋云。生身佛有五百執金剛神。常以衞護之。法身佛有無量執金剛神。爲內眷屬。又大般若經云。得不退轉菩薩。常有五族金剛神王而守護之。又注梵網經云。昔王子千子發心成佛時。有二兄誓成執金剛神護千佛法。又密迹力士經云。有力士名密迹金剛。九佛身金剛。如金剛界五部三十七尊金剛。又如大日經宗金剛部衆金剛。十五智金剛。如眞如法界五智三十七智一百八智一切理智金剛云〻

祕藏記云。問。所以諸寺門造立金剛形像如何。答。金剛智也。此智摧滅煩惱。譬如金剛強力摧破諸物。其開發心實相門以智慧故。先門立金剛。內置佛身〻〻者本來自性理也。斯理以智所照得顯現故 文

靈應傳云。國淸寺金剛記 左沙門中僎 唐貞元四年戊辰歲春三月己酉述曰。久應賢劫千佛。明數優曇鉢花。其爲化也有彼大千。其爲時也緇衣拂石難也。俾有數眞靜。尊卑有序。殊途同歸。在非數之力□則鮮不及員矣。其最後佛曰樓至迹金剛。勞□爲願力爲玄藉著明者也。天台嶠嶽渤澥碩鎭國淸佛廟炳煥大谷。經行金地興瀨靈漢。密勿護持則雲晦雷作。昭彰變化則神服泉抽。淸淨道林神秀者也。禪師

日。曇珍遊塵之開士也。腹智者門閫。昇尾
告之廬堂。愛慈天然。若顏氏留素之室。謂
以形替迹。微物莫所服。不若以象〻焉。斯
言信歟。會玉弊妙選良之重門之下而強
儀佐輔。則據足攘臂若正乾坤。誰憂例儺
乎。振精毅顯若威魑魅誰不情命乎。勢唵
讐詰之士。相出那羅延人殺然無倩過勇
也。將一發彈付護有王不易。寔惟牧宰攝
群府別駕韋亞節鉞之任借江城之理相
門優慶人樁韋絃懸命王體元和之涼粹
府大賢之風德。迴搏繫之使作亂澤之宰。
淫琴動於江上則林靜山塞。明鏡盡於秋
毫則神復物書。制宰條美贊百里志排青
雲。若涅乳灌栴檀情存沼鄉。則有寺主僧
法智。鵜珠戒光兎月圓德。釋究三學儒玄
九懷。上座僧道迦陳諸淨土化夫日庭都
維那僧如海□難□□曇裴之林也。固維
玄剎不動心水恒清。道莫滑溜厥惟多士。
中偃無生浪□名山皆到。因偶斯士無慙
鄙俗聊以志之
貞元二十年十月國清寺左金剛記　沙
門靈覺述
若有輔佐法在護持以股肱耳目成乎帝
道。四衆八部輔成法王。然金剛神者佛之
翼從。昔過去劫有王子月蓋。久備尾本早
階聖位。以弘願力陰㵼護法。於賢劫中而
見此身。執金剛寶摧伏邪見。受最後記號
樓至如來是知權實二柄聖賢一致。機感
相和□□遐應豈徒然哉。於戲精舍創然。

陳隋之代國之道場。山勝地幽高僧接底
泊唐寶應中天等晦禍寇爲䖍毒痛瘝民。
上棟下宇悉隨煨燼。爾來二十春秋。乃聚
化之木構止營止。方見仍舊寺觀成國又
清。悉文前言講二付德爭矣。此二祖素金
剛則大禪時厥號曇珍所成。師乃從定而
起運自在□□濟臣行響應畢事親互濆
儼說議形建立像。彼去相彈厭于門雲聚
毫眉電製。雙目肆贔屭之怒震漂烈之威。
有若星馳天旋雷動山破。群魔攝伏見於
是世界。肅清見於是所可畏也。盛事遊書
易以強德紀之㸰壁慙乎不接。唐貞元四
禮餘之月焉。國清寺珍禪寺製金剛記。夫
建像設者以眞爲像本。若外眞以求像則
像繫何而有之。且像之與眞出影之與質。
㹤伏體不異則靈隨附烏至乎。資嚴法城
匡衛佛廟像彼眞者期人伊何。或日樓至
如來。或云廣慧菩薩。皆以不捨願力過四
例足門。被堅固身坊八正之路。其狀也威
賜隆焦贔屭若怒目電轉於秋螢。靜妖魔
於梵場。眉雲聚於會峯。褡魍魅於眞界。或
揭一智杵指耶嶽而光飛。或張手空拳駭
魔黨而水釋。飾其像者窮逸思於粉繪。辯
聲實者念能事□□髮。創子功者不易其
人。則禪伯珍公謂之矣。公以非才從師蓋
以誠願製二力士建雙堵婆。伯手續義彈
林得一枚之胸旨。柄心公準獲七葉眞宗。
然末草有爲之功冀堅無魯之福。良以寺
經焚燼。舊制全墮。日者祈建法幢合龍索

猶闕。遂尋海嶠踊靈蹤。欲強□□願不偷。
徇物機之遊化積以金帛。徂三秋備嚴粹
容功畢。二歲爲五峯之恒親賚四方之花
或周圓。末幾而觀者如堵。迴以命叙。而終
慙菲薄不載美頌。炎虛巡代而無間。但書
功記能用彰乎事〻。爾時歲在執徐月辭
一月二十八日
觀音兩卷疏云。金剛不八了數。手執此寶
護持佛法。或言。在欲色天中敬供諸天。即
大護神也。經云□□問。若上界身可化下
界身。云何化上。答。菩薩所爲應以得度乃
應之了。如王蟻闘 文
義疏云。金剛神下第三而非凡非聖。身既
爲鬼神屬四天處住。是故非聖。實是樓至
佛。故非凡。樓至此云啼哭佛。獨住半賢劫
文
玄贊云。執金剛神有一手。執金剛觀音異
像 文
要集云。執金剛神者。此云有力神。常與諸
佛護持三寶。手執金剛杵故以爲名。言觀
音異像者。意云。此是觀音化身也 文
氷迦羅天
種子 @
三昧耶形　菓形
印
二手虛心合掌。若召請時以禪智三度召。
眞言曰
唵撥苾撥儞莎訶

又本云
唵撥若撥儞莎訶
身形
氷迦羅童子經云

蘘虞梨童女
種子 [illegible]
三昧耶形　戟叉形
印
蘘虞梨成就法云。我今復說蘘虞梨印及
觀行法。其根本印。以二手相博如掬物勢。
以二少指相並。餘八指各散開微曲即成。
結此印誦前根本眞言。加持自身五處。所
謂右肩左肩心喉額等。頂上散印。又結隨
心印。以右手五指散開微屈。如師子爪形。
即成。結此印誦隨心眞言七遍。加持五處。
修行者作先行成就已。欲作除毒之時。自
身爲蘘虞梨童女身云々
眞言
又云隨心眞言曰
唵阿枲儞賀吠引二合戍引攞儞賀吠引二二合
𡀔日羅迦曳三引紇羅娑紇羅合二娑四入縛
合二羅々々々五摩賀引迦引里六引摩賀引
喩祇七濕縛合二哩引曳八引唵引顚𪊲引九普
吒羅奚引娑嚩合二賀十吽發吒娑縛引二合
賀
蘘虞梨童子經云。爾時世尊告諸苾芻。我
於往昔住雪山北遊香醉山。見一童女○
爾時童女爲我宣說。我從彼女聞已。常時

此法饒益有情。我今當說眞言曰
怛儞也合二他引去壹里密帝一引底丁以反里密
帝二引壹里底里密帝三引努鼻迷努鼻摩引密
里引曳引四訥瑳引里引曳五平縛羯羅捉六
𡀔羯羅捉七上同羯濕弭引二合隸八引羯濕弭
引二合羅穆訖帝二合惡鼓杖十惡伽寧
一十惡伽去蘖伽去九寧二十壹曳三十曳反壹里々々
曳四十訶佉七十引去以曳合引二十二餅播引以曳十二訶上六合
濕吠合二帶濕吠合五多頓孏十引八
疊孖鼻嚧乞灑引二合娑縛合二賀十引九
佛告諸苾芻。若人一聞此陀羅尼。却後七
年遠離一切諸毒。若常受持。一切毒蟲及
諸毒藥悉不能害。若有毒蛇嚙此人者。其
蛇頭破作七分。猶如蘭香云々
又云。若人受持此經日誦一遍。非但滅世
間諸毒。能除滅身中三毒
成就法云。取一熟銅椀盛水。誦隨心眞言
加持七遍。以右手掬水打被螫人心上。所
有毒氣漸々消除云々
又法。於被螫人前。結根本印。數誦吽字一
字眞言。或誦撲字一字眞言加持。皆能除
毒云々
身形
成就法云。蘘虞梨童女身綠色。狀如龍女。
具足七頭。項有圓光。應想四臂。右第一手
持三戟叉。第二手執三五莖孔雀尾。右第
一手把一黑蛇。第二手施無畏。又想七寶
瓔珞耳璫環釧。臂脚鐶莊嚴其身。并以諸
蛇用爲瓔珞。從一々毛孔流出火焰已上

蘘虞梨童女經云。我於往昔住雪山北遊
香醉山。見一童女。百福相好莊嚴其身。鹿
皮爲衣。以諸毒蛇而爲瓔珞。將諸毒蟲蠏
蛇之類前後圍遶常爲伴戲已上
或書云。問曰。北斗七星以何名九星耶。答
曰。千字文義疏云。日月逕千里。周圍三千
里。一日一夜運行八百。一一城更暗更宜
日月所照方四十五萬里日出扶桑於像記赤日日出暘谷入虞洲道
數起於一。立於三。盛於五。衰於七。極於九。
□天者去地九萬里。崐崘爲柱。氣通天。崐
崘者地之中也。北斗九星二星隱不見。相
去九萬里。當崐崘嚴地崐崘氣運注天下。
春夏爲露。秋冬爲霜。人與天地同故列木
作外。以飲注養五肉也今曆圖說天去地七十萬八千里
五行大義云。三能六星兩之。而此以爲三
公。三々而九渴起。故北斗九星以爲九卿
瑞應志云三能叢珠□能□□智志八在人日三公在天日□□爲司命王輔上星爲天子下星爲女主中台主宗寶上星爲諸三公下星爲卿大夫也下台爲司祿主兵上星爲士下星爲人也
五行大義說九品文云。此九天亦屬北斗
九星之數。故對九洲。炎天數九屬斗。第一
樞星應離宮對揚洲。變天數八屬斗。第二
𣛃星應卽宮對充洲。日天數七屬斗。第三
機星應充宮對梁洲。書天數六屬斗。第四
權星應乾宮對雍洲。均天數五屬斗。第五
衡星應中宮對預洲。陽天數四屬斗。第六
開陽星應選宮對徐洲。蒼天數三屬斗。第
七標光星應履宮對青洲。朱天□□□斗。
第八星應坤宮對荊洲。玄天數一屬斗。第

九星應坎宮對冀洲。斗第八。第九星隱而不見。以其對陰宮也

隱者私云。北斗九星其說如此矣。抑二星隱而不見者。羅睺計覩二星也。有人云。此斗九星第一貪狼星云〻第八玄歲第九招搖。此二星隱而不見

又以北斗九星配人身九竅云〻

或人勸文云。玄枵

月令云季冬之月日在務如昏婁中且召中注云季令者日月會於玄枵計建丑之辰也

今案玄枵子方也。北斗七宿謂之玄枵歟。非星者歟。天文書云。初如人終於危十五云〻

斗杓　北斗之杓也。三星謂之杓歟

招搖　玄歲

件二星大北斗之尾。加件二星爲北斗九星云〻

攙槍星　勸云

攙雲

搶雲

石氏曰。歳星縮西南曰攙雲。又縮西北見日件搶攙件星攙搶星二名也。是苦一歳星□也

已上大外記師遠勸文

玉篇云。攙仕救反 爾推反 木蘭也又彗星爲攙搶 禁咸反 又鋤反

成菩提集第四之三終

萬治四辛丑年四月吉祥日以葛川本令書寫之畢

江州栗太郡蘆浦觀音寺舜興藏 龍華寺坊

寶永庚寅夏六月下紋日謄寫

三部都法阿闍梨嚴覺

寶曆十庚辰八月九日於延曆寺東塔南溪吉祥院寫後來元龜得全卷訂證云爾　比叡山南溪遍照金剛實靈

天明八申十月十四日以西谷千手堂之本。挍本云。天和二年五月十八日山門蓮華院。有。又表紙長壽院。有之。蓮實坊永範類聚。更以西谷本校。

實靈遺言。南無阿彌陀佛

阿娑縛抄序

原夫獨一無二之月。自受法樂之輪。雖高繫。千器萬品之水已證。隨緣之影猶區分。因茲華文總持之教迹。如綺錯興實理帶權之說相竝鉾諍宗。然而鐵塔開。心南天之風云扇華藏處身。東夏之雲無隔自爾以降。統教於遍一切乘自心成佛之教知相於六大無礙常恆瑜伽之相。自受變等之四種。盜皆同法身之名字印形像之三體。慣不離具足之境。加之削地位之漸階於三密之卽座開等妙之頓旨於四曼之當所說。語。教時。藏。鎭苞遮那之內證。分部。法。制開。廣顯加持之妙用。寔斯上根上智之解了也。抑又頓悟頓修之直說哉。遂使貝葉之風雖停。丹棘之露欲落。甚深無相之法。空讓上機。兼存有相之說。預應劣慧。然則諸祖爲之抄內垂範之文。明匠測量貫集次第之記。就中近古之諸德部類之篇帖。或拾廣文迷淺智之短慮。或好簡略闕三隅之用意。今補中尚欲兼廣略。纔就師說之大都。具述現行之一途。傍列十篇。綜緒二十要。委記次第。辨別七分。斯名阿娑縛抄。蓋爲三部通號。雖廣入修證之門。不出佛蓮金之部故也。抑淺略不捨之爲自淺近至深奧。極秘不遺之。令開極理纔未來也。顯露之憚頗雖犯三昧耶。與法之思偏忘。恐佛知見。人在則易。人亡則難。古賢之詞。誠可思惟〇者哉。昔一行禪師者。祖承皇居傳法不暇。法味無流。今三部都會者。所守職位。抄記集要。興隆繼道者也。專是望同門深行之過目。努莫窺未達偏執之初心。但誹謗皆讚嘆也。何耻反脣之衆口。見聞悉結緣也。必不撰斷臂之一質。乃至塵沙界利益無邊際而已

阿娑縛抄篇目

∴內題某尊法下（內有二十要。大原以朱注之。異名梵號漢名字號釋）

第一可修此法事
　先蹤等　自他門知不知
　古中今秘不秘

第二支度事 十九
　修法　付護摩供

第三形像事
　相承圖　付曼荼羅　尊形異（本文抄之）

第四道場莊嚴事
　〇爐壇樣　付道場指圖等

第五行法事
　現行私記〇首尾（付七分寄何行法 十三）
　住心　禮拜詞　三唱禮
　發願詞　啓白　付佛釋神分等
　觀曼荼羅　一種子 二三形　五觀請印明 十五 付本宮
　讚　付梵字　入三摩地　根本印明　付出梵讚字
　念誦　付加用明　部母　堂外作善　執說

第六護摩事 十四
　五種隨一　開合不同 十五　護摩呪 八
　番僧呪 九　後加持呪 十

第七行法用意事
　胎三壇　金四印一印等
　悉地大小等用意

第八經軌事
　譯者　將來〇
　所說大概　行法出所 十六
　經軌抄　功能文　起首日時向方香藥呪　算本緣別成就法少々　經軌反數決

第九私記事 十七
　諸人作等（大概趣法之旨）十八
　口傳　付諸篇

第十卷數事 二十
　修法　付護摩供

∴抄中可用意事

黑＼右點　嶽照阿闍梨（亦大原少將大藏坊）　幷契中阿闍梨
朱＼右點　相實法印　息心口遊等　但馬
墨／左點　相實法印　政春阿闍梨記也　押
朱／／左點　靜然法眼（太大光坊）　行林　戒光記
月點　隆快阿闍梨　南勝地
江師　仙雲法印說也　近江
ム云　忠快法印中納言　詞也。亦云忠師
禾ｌ　今抄中私詞也
住師　嶽照阿闍梨說　慈嚴阿闍梨記也　住心坊
覺師　覺審大僧都
禾云　私承澄記也

甲本朱編註曰。成光坊靜然者法曼流祖覺審僧都受法之師也。此事穴太流ノ加行記ニ見ヘタリ。承澄初從覺審受法（ス上）。家憲記ニ見ヘタリ

引正言云文　截取意云抄

∴抄中所引書

義釋一行　演密鈔　陀羅尼集經阿地瞿多
某尊本經軌　先達式口決等
四十帖口決長宴僧都　成菩提運實坊座主
用心草延愉强上坊　延胤決大原法橋
聖行房決院昭阿闍梨　息心抄相實宰相法眼
行林靜然成光房法眼　戒光記同上
密談抄忠快小川法印　師說政春靜阿闍梨
勝地記隆增阿闍梨　別批乘覺阿闍梨
十卷抄東寺永嚴僧都抄

阿娑縛抄現在目錄依秘錄次第朱點加

諸私記

胎灌記本同末　金灌記本同末　合灌記本同末　離作業本同末　延曆寺灌頂　兩寺灌頂上同下　三戒本同末　水取作法　灌要　胎灌讚衆用意　金灌讚衆用意　三戒讚衆用意　灌頂日記上同下　許可上同下本イ　曼荼羅供本同末　同日記　修法上同末　雜事　胎記本同末　胎諸本同末　胎要　隨行本同末　金記本同末　金諸本同末　金要　三摩地本同末　合行本合行末　同別　悉記本同末　同別　十八道本同末　同別　護摩本同末　同別　同要

諸佛

一切佛　藥師本同末　七佛藥師本同末　阿閦　釋迦　無量壽命決定如來　阿彌陀本同末　五佛頂　大佛頂　金輪時處　熾盛光本同末　尊勝本同末　白傘蓋　佛眼　同初度　同第二度　同第三度　孔雀　准胝　舍利　光明眞言

諸經

瑜祇經　法華本同末　華嚴　灌頂經文殊宿曜　八曼荼羅一切經法　普賢延命本同末　仁王經　請雨　造塔　無垢淨光　寶篋印　寶樓閣　持世　菩提場

諸觀音

聖觀音　請觀音　六字本同末　河臨末　同別　千手　十一面　馬頭　如意輪　不空羂索　葉衣鎭　大白衣秘　多羅　毘倶胝・大白衣　青頸・水月　白衣　六觀音合行

諸菩薩

普賢　五秘密　文殊五字二印　文殊六字　一字・滅淫欲　一髻　文殊八字　令法久住　虛空藏　求聞持　明星供　五大虛空藏　隨求本同末　彌勒　地藏　藥王　龍樹・勢至　[illegible]延命　轉法輪　放光　馬鳴

諸忿怒

愛染王　不動本同末上　同末下　降三世　軍多利　大威德　金剛夜叉　五壇法本同末　五大尊合行　安鎭本同末　同末下　正鎭作法　支物加持　輪擬供養　受地　安鎭日記甲　同乙　同丙　同丁　金剛童子　烏瑟沙摩　大輪　步擲　無能勝

諸天

毘沙門　變身　四天王合行　最勝太子　訶利帝　吉祥天　北斗　星　妙見　摩利支　氷迦羅　常求利　童子經　歡喜天　水歡喜天　施餓鬼　帝釋　火天　炎摩　辨才　羅刹　水天　風天　伊舍那　梵天　地天　日天・月天　迦樓羅　深沙　大黑天神　冥道供　向末　同別　七十天　十二天　十羅刹　大師供　玉山女王

諸作法

四種念誦作法　五色絲　向左絲　護身・讀誦　傳法三部　授戒　八齋戒・衣鉢　佛經供養　開眼・印佛　食法　護摩・灌浴　上廁　御衣木　佛船・產湯・鑄鐘・衣・食・念珠・易　[illegible]・鈴杵　受地

諸雜抄

通法抄　諸法要略　大日經等要文　義釋要文上同下　兩經疏要文　菩提心論勸文上同中同下　同別　教相雜抄上同下　一二三名目上同下　胎藏諸尊釋上同下　香藥上同下　教時義勘文上同中同下　正音義　字記正決上同下　九弄圖問答　次第記雜文料簡　字五表冊　頌一行　明匠抄上天竺震旦　同中日本　同下同下　三國名所　諸寺略記上同下　山上諸堂　諸社事　書籍事已上

禾云此書ゝ寫之輩可成起請文其詞大概

阿娑縛抄書寫事

右此道源底生涯前途也仍聊爾不書寫蒙御免者酬宿善也若終一部之功未令

具足之間。萬之一離御門人。有奉違背。又無付屬之仁者。早可返納本所。若又依不慮之横死。不及成敗者。可被尋召也。縱有弟子。於〇非器者。輙不披見。越三昧耶故。此旨雖一事。若於〇相違。大日如來。金剛天等。垂知見。與證罸。某現招諸殃。後生墮無間。仍所起請如件　敬白

年號月日　〇

阿娑縛抄（私云有目録内）現在目録（依秘録次第朱加）

胎灌　本　同　末　金灌　本　同　末
合灌　本　同　末　三戒　本　同　末
灌要　永取　延暦寺灌頂
兩寺灌頂　上　同　下
曼荼羅供　本　同　末
修法　同雜事　合行　本　同　末
胎記　本　同　末　胎諸　本　同　末
胎要（可書改之）　隨行　本　同　末
金記　本　同　末　金諸　本　同　末
金要（可書改之）　三摩地　本　同　末
悉記　本　同　末　同　別
十八道　本　同　末　同　別
護摩　本　同　末
護摩要　護摩　別（之秘後録有諸尊）
一切佛　藥師　本　同　末
七佛藥師　秘本　同　末　阿閦　釋迦
無量壽命決定如來　秘（千光佛秘録此所）
阿彌陀　本　同　末　秘
五佛頂　大佛頂　秘　金輪　秘　時處　秘

熾盛光　秘　本秘録合金輪　同　末
尊勝　秘　白傘蓋
佛眼　秘　同　初度　同　第二度　同　第三度
孔雀　准泥　舍利　光明眞言
諸經　法華　秘本　同　末　仁王　秘
普賢延命　秘本　同　末　請雨
造塔　無垢淨光　寶篋印　寶樓閣
持世　菩提場
聖觀音　請觀音　六字　本
同　河臨　末　同　別　千手　十一面
馬頭　不空羂索　如意輪　葉衣　鎭
大白衣　秘　多羅（毘倶胝　大白衣　青頸　水月）　白衣
六觀音合行
普賢　五秘密　秘　文殊五字　二印
文殊六字　滅婬欲（二字二鬘）
文殊八字　秘
令法久住　秘　虛空藏　求聞持
明星供　五大虛空藏　秘
隨求　本　同　末　彌勒
地藏　藥王（勢至）（龍樹　延命）
轉法輪　放光　馬鳴
愛染　秘　不動　本　同　末上　同　末下
五壇法　本　同　末
安鎭　本　同　末上　同　末下
正鎭作法（支物加持　受地　輪緣供養）
安鎭日記　甲　同　乙　同　丙　同　丁
降三世　軍荼利　大威德　金剛夜叉
五大尊合行　金剛童子
烏瑟沙摩　大輪　步擲　無能勝

毘沙門　變身　秘
四天　別總　最勝太子　訶利帝　吉祥天
北斗　星　妙見　摩利支
氷迦羅　常求利　童子經　歡喜天
氷歡喜　施餓鬼　帝釋　火天
焰魔　辨才　羅刹　水天
風天　伊舍那　梵天　地天
日天　月天　迦樓羅　深沙　大黑天神
冥道供　本　同　末　同　別　七十天
十二天　十羅刹　大師（山王　玉女）
受地　五色糸〇　護（護身　驗者）
傳法　三部　授戒（八齋戒　衣鉢）　佛經供養（開眼　佛印）
食法（臨眠　澡浴）　上闕
御衣木（佛　念珠　絹）（鐃鈸　鈴杵）
帶　湯衣
四種念誦作法（圓雜）（四種念誦本在別作之法夫寫）
通法抄　教相（菩提心論四卷　同別勘文）　教相雜抄
二卷　一二三名目二卷
悉曇字記正決　上　同　下
正音義　明匠事（三卷）　書籍事　香藥
諸尊緣起抄二卷　三國名所事
已上（尊法百五十八　式作法等七十）　都合二百二十八
卷
義釋要文二卷　大日經要文（付要文教時義一卷）
教時義抄　胎諸尊釋二卷
灌頂讚衆用意三卷
文永十二年二月日　僧正承澄

眞言不思議　觀誦無明際
一字含千理　即身證法如

以治定之目錄本書寫也　奉順
此序目者阿娑縛抄胎灌記之卷頭有
之外文永二年別行之序目一本有之
與此本大同少異
寶永二乙酉六月念四日謄寫
延曆寺兜率谷雞頭院闍梨嚴覺

當流代々書籍事
先四十帖決大原御說　長宴被記之
是大原長宴僧都丹州池上大原十三二イ
年之間御通有谷阿闍梨奉遇四度諸
尊法灌頂等不審被尋申其御返事具
記之給者也聞書云事自是始也帖數
四十帖有之故四十帖決名也四十帖
略常帖決云也是法曼院相實法印後
調卷也初色々不審所々散在決故前
後雜亂同尊事處々沙汰又同十八道
等散在記故見惡間部類一處集帖數
薄餘多取合一帖調十五帖調卷也是
三流總口決也然當流別我物子細有
之其故双嚴坊賴昭阿闍梨池上御弟
子也池上御入滅後長宴隨度々御受
法其時此口決引出物賴昭被進之仍
當流物意得也賴昭當流元祖也長宴
同朋兄御座
口祕聞三帖佛頂房行嚴賴昭御說記者也
穴太決二十帖聖昭御記是佛頂坊行嚴御
說聖昭記之
[illegible]五輪種子外題次第書所

以[illegible]三帖[illegible]三帖[illegible]三帖[illegible]帖各一
密談抄六十帖　忠快御記
契中御說忠快記是大小帖取合云々
今二十七帖調卷
阿娑縛抄承澄僧正御記
忠快并諸師說取合記二百餘卷有之
此御抄四度諸尊法灌頂御修法現行
已下一流相承事悉取集每事指南此
一部類聚一流龜鏡也東天三非諸流
中如此調書籍無之希代重寶非他流
人沙汰之此外御作物共多之
總持抄七帖　澄豪御記
傳受記二十帖　同御記
三五要決十三卷　同御記
是等皆諸師傳法和尚記者也豪鎮法
印以來四度諸尊法灌頂重位印信血
脈等付代々口決等非一雖然題號無
披露無凡當流師資口決正流申合代
々血脈他流近也大日如來先師豪惠
法印二十八代也是胎方也金相承二
代多之也是祖師達中長命人多之故
也又月藏抄有之是密談抄同聽異聞
也小坂仁聖契中御說記者也當流內
小坂方有之此仁聖流也

當室聖教箱銘
八合前金右寶左蓮後羯
十波羅蜜檀戒忍進禪慧方願力〇智歟
十六大菩薩薩王愛喜寶光幢咲法利因語業護牙拳
八供嬉鬘歌舞香花燈塗
四攝鈎索鎖鈴
十二時子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥
已上根〇御聖教也此內八合十波羅
蜜悉皆有之十六大菩薩內薩王愛喜
寶法因七合八供之內香籍一合有之
其餘文明亂紛失多無念云々
阿娑縛抄六合
[illegible]上下[illegible]上下[illegible]上下

山門眞言三流事
上古谷川兩流也川流者慈惠大師御流
也川橫川事也大師橫川御座故也谷流
池上御流也東塔南谷別谷云在所有之
池上和尚彼御座故也池上申皇慶御事
也丹州池上大日寺御座故也慈應和尚
申也東塔東谷阿彌陀坊靜眞御弟子也
川流斷絕今無之一向谷流也谷御下三
流分池上最初阿彌陀坊御入室後南谷
井坊御移住其丹波池上御隱居此王御
トカメ依又井之坊御登山彼御入滅云々
丹州御夢猿一來池上御背破血三スチ
流御覽其時我法三流分瑞相也思食隨
谷流三流分事不思議也三流者三昧流
法曼流穴太流也
先池上御弟子井坊安慶双嚴賴昭也賴
昭當流元祖安慶三昧流元祖也安慶御
弟子三昧阿闍梨申事大原三昧衆御座
故也法曼院流三昧下出相實法印法曼
院申此相實者三昧良祐御弟子也是法
曼流始也穴太常流双嚴也是當流佛頂

流名也行殿御弟子大慈坊少將阿闍梨聖昭申後坂本穴太云處御座故是穴太流號也當流又智泉流號事有之其故此穴太聖昭智泉房院昭隨受法故也仍灌頂曼陀羅供等現行兩部佛頂現行本合行智泉現行用也穴太聖昭佛頂智泉房兩流一身受如此兩壇合行二現行用サレハ合行時五部鈴杵立後行道逆用等皆是智泉房現行也聖昭御弟子常寂坊但馬阿闍梨中也契中弟子大教房中納言忠快法印也是小川殿申也小川法印申是也當流小川流事是始也此忠快法印平家太政入道殿舍弟門脇宰相教盛卿子息也卽能登殿舍弟也東山三條小川高島在所有之門脇宰相屋數也仍關東忠快御上洛之時彼御所立御座間小川殿申也彼御所寶算院申也今常室持佛堂地藏藥師彼小川御所本尊也卽院號其故也云〻二尊並本尊セラル、事藥師根本中堂御本尊模地藏十禪師權現本地也何御信仰故也忠快御弟子承澄僧正也小川僧正申是也常小川殿申此承澄御事也承丨本持明院覺審御弟子也覺審法曼流人御座也承澄僧正後忠快御受法當流祖師成給也忠快御弟子大藏卿僧正良信申人御座然承澄猶勝故付弟成也彼良信人唐有ヘシトテ已鎭西下然而鎌倉殿貴僧御座故異國趣惜給使者立留被申間無力御留仍彼

寶持院今妙法寺寶持院其餘流也仍彼寶持院祖師理本上人云人本處尋上洛故上人受法在之其以後故寶持房源契豪鎭法印受法次住持嚴豪法印度〻上洛受法被申其以後代〻住持皆當室上洛受法有之承澄御弟子澄豪也上人號法圓和尚號傳法和尚也當處御座故西山上人申也小川殿出世御座二十五歲御時承澄御入滅其以後大和國室生空智上人隨律體成其以後白毫院圓光上人隨東寺流眞言御沙汰圓光上人小川殿隨當流御受法也

和尚當處御下事奧房開山仲舜律師和尚受法被申仍細〻白毫院參入或時上人何心閑御座由御定律師不思議菴室所持由被申仍御下御覽ヤカテ可然事被思召其儀一期御座空智上人戒光寺圓悟長老弟子也眞言勝萬院相意上人弟子也三寶院戒賢方也（八十七歲入滅也）傳法和尚御下山洛當流眞言弘也山門月藏坊永慶寶光坊澄堯普門坊行遍此兩三人下不出當流眞言師於山上一人不可有之京都法勝寺惠鎭上人鷲尾道者上人光崇恒雲親王良惠僧正等皆〻和尚御弟子也法勝寺元應寺始山方律僧者悉惠鎭光宗下出也

右師〻御記端〻御物語之趣等爲後鑑存知書集而已

慈應（諱皇慶池上阿闍梨性空上人甥永承四年七月二十六日於井坊御遷化七十三歲）

賴昭（東塔東谷佛頂尾双嚴房）

行嚴（同佛頂房）

聖昭（同大慈房少將阿闍梨穴太高祖）

契中（常寂坊但馬阿闍梨）

忠快（小川法印）（大敎房中納言法印門脇宰相敎盛子息能登守敎經舍弟）

承澄（小川僧正）（松殿〻下師家公息西林院座主承圓僧正入室八歲出家受戒相從覺審大僧都法萬流忠快法印穴太流務受法灌頂）

澄豪（冷泉宰相陽成卿息十九歲御出家六歲〻小川殿御座東體云禪師殿申〻御母儀相模內侍）

法圓（傳法和尚）上人（二十五歲御時小川殿後玉ヲ二十三歲御入壇四十九歲初度御授職於攝州觀音大門寺執行也）

當流七重受法

一許可　二兩壇　三合行　四蘇悉地

五瑜祇　六第五　七別行經　已上

先許可者重〻淺深有之今七重最初許可持明許可云也灌頂已前所授是也此持明許可四家許可所以大原許可梨下許可持明房許可大僧正許可今當流四家中大僧正許可用也是則川流斷絕間彼慈惠大師御流シタヒテ此許可灌頂已前持明許可用也四家共灌頂已前持明許可重也此外三光房許可八家許可等深位許可也

次兩壇者常台金兩部傳法灌頂也

次合行者兩壇後所授合行是也合行又重〻淺深可有之也

次蘇悉地者兩部妙成就法也山門獨傳之東寺無之慈覺一門尤可祕藏之旨智證大師起請文有之仍山門台金

蘇傳法也東寺兩部也
次瑜祇者瑜祇經灌頂也是金界至極
也此經東天共祕藏シテ名字不云只
祕藏云也
次祕密者第五祕密是也大日經五種
三摩耶中第五祕密三摩耶也仍第五
云也
次別行經者此經東寺上古名字不聞
之當時經所持歟然共傳受義無之此
經蘇悉地至極也
已上七重受法是也 已上七重
次薄墨云第五祕密至極也白紙瑜祇至
極也
大般若經云 大菩提心護正法妙數修行心寂靜自利々他心平等是卽名異供養佛
右鈔者寶菩提院豪憲法印作云々當流
爲龜鏡之間自尊舜法印賜右本令書寫
之訖

天文六年丁酉九月一日於山門西谷以
寶菩提院御本書寫畢
享保九辰年ヨリ同午歲マテ於出雲
寺書寫校合了

阿娑縛抄第一 胎灌記 本 横川檢校承澄

∴先莊嚴道場
以大幕二帖始自東北角引之 以表爲外 亦讀
衆座曳之
道場八方懸八色幡 白紅黑烟赤水黃白自東順右旋懸之
壇上張設天蓋
道場近東 後除行道所 懸曼荼羅 佛面向西
大壇 對曼荼羅立之 五寶等下壇之 其以絹一疋
敷壇上幷引週立緣標引五色糸
裏書云良僧正現行以絹四丈引週等決云壇上可敷之云々
灌頂壇 大壇西北邊立之壇東立禮版
半疊之上敷蓮臺其上敷草座 是受者座也 壇
西立禮版敷半疊 是阿闍梨座也 壇南立机 壇與蓮臺
中分立之裏書云師座實晩
護摩壇 大壇西南邊對正覺壇立之以
絹四丈尺可引壇中心置葉火爐 火爐濱炭 禮版
上敷草座禮版左敷草座 受者座也
淨莚 大壇之西南護摩壇直東屬南壁
東西敷之莚之西端有小床子 打顯灑衣料也 上
安淨衣幷師布施莚之上 東寄 立机 裏書云良僧都莚上
上置廣筥蓋 入寶冠一々臂釧四々茅環二々白緋一々花鬘二々條多羅一々 又
邊壁寄立白傘
門前机 便宜所立之机下邊置香象机
北端置灑水瓶 一莖花幷散杖挿之 次白花 造花 次
含香 次塗香
南端覆面 白 疊安之
廂曲 門前便所立屛風敷座

讚衆座 便宜處敷之
∴次排比供物
大壇
四端敷食道 白色 其上備四面內外供 飯餅鈎根
菓蘂 十二執金剛等供小飯之上挿時菓子
一果盛小土器 四角花瓶外各一器花瓶內各一器西四方壇門火舍四角各一
器 其壇上可敷曼荼羅
羯磨四枚四角引入置之
五瓶 於灌頂壇加持了阿闍梨入道場



以前移置大壇以白帶瓶置大日座上赤
東南 黃 西南 青 西北 黑 東北 帶瓶置八葉四角畫瓶
上
左机 灑水 後夜香水入之 塗香 名香 居箱
右机 佛布施 裹九 香呂箱置之 若略香呂箱者居箱置此机
示云大壇邊來木花鬘之又投花少々可設之樒葉三房計以糸結之
灌頂壇
一面內外供備之 蓮臺方內共禮版 閼伽等器用新物 方外供
南机上西端筥入道具置之 中鏡金錍四邊法螺五
銅輪入之 白拂 東端立五瓶 可入香水以五寶等裹五色以五色帶各繋
各隨色結之其結懸花枝又挿時花一枝以五色帶瓶項細結一結片カキニ結之カキノ方左向也
中白 如散杖 赤 東南 黃 西南 青 西北 黑 東北
護摩壇
爐右油粥飯生大小杓扇火箸置之
前芥子粳米胡麻房花散花香酥蜜乳木
決云三四十許桑木用之 置之
爐左灑水嗽口置之

十方神供
先以淨菜敷儲十方位（草座也始自東方敷之）
次備糲粥（堅粥上加入五穀）總置一處。以印眞言加持之（加持飯食須彌王一字心水輪觀）然後各々位所置之
正北八器（左右各四器）三方及四維上下各一器（上方料東方帝釋北下方料西方水北）都盧十七器也。幷初後二度。三十四坏設之
雜神供　如常修法等。神供一桶可設之

圖像一

∴加持五瓶（入堂已前於壇頂加持之）
先以不動眞言（慈救刀印）於五瓶去垢辟除。又以法界心嚂字加於五瓶（結火印於一々瓶觀嚂字也）然後先以正等覺心加中瓶（五股印）
歸命〇南阿（五瓶加持各百遍左轉右轉以念珠取數）
次以普賢加赤瓶（微數蓮花中指小開）
歸命〇南暗噁娑嚩賀
次以慈氏加黃瓶（金合掌當胸左三轉右三轉）
歸命〇南摩訶瑜識瑜擬寧瑜詣詵嚩履欠惹利計娑縛賀
次以除蓋障加青瓶（虛合二地二水入內背相著二火二風作寶形）
歸命〇南阿薩怛嚩係多弊嗢蘖多怛藍々藍々娑嚩賀
次以除惡趣加黑瓶（定慧合掌）
歸命〇南特懺娑離阿毘庾達擺捉薩怛嚩馱敦娑縛賀
加持了移瓶於大壇

∴先阿闍梨入堂　讚衆在前發音（四智讚）
鐃鈸放響。受者以傘侍後。審阿闍梨入堂
但到堂前。受者留堂外廂曲所令隱居也
次阿闍梨入堂內（在後）與讚衆（在前）三匝繞壇（繞間打鈸誦讚）繞了。讚衆出於幕外
次阿闍梨就座。加持香水。灑淨供物等如例
次開白及神分等（祈受者三昧耶成就）
次供養文　唱禮　九方便（弟子在壇室外同音共起居師之）
次發願五大願
讚衆幷受者發願之後。誦不動眞言。振鈴之後。念誦佛眼眞言。是爲祈三昧耶成就也。但近代初鈴後誦大讚等。仍念誦少許歟
次供養法　乃至　普供養（先供養會限也）
次讚（大讚四智讚佛讚或此間又讚普賢之）
次神供（天衆讚諸讚漢音誦之）
阿闍梨自座起（讚衆一人在前以指揮付幟執香爐）順迴堂內
三匝供之（二手捧二器々誦呪供之避之）
先正東一器（帝釋天幷毘那夜迦幷）
次正南一器（焔魔天幷摩訶迦羅）
次正西一器（水天幷藥叉羅）
次正北八器　〇〇〇〇〇〇〇〇（八六四二一三五七）右方四器。多聞天等部類眷屬。左方四器。荼吉尼羅刹叉毘者々部多等。自中左右供之
已上一周竟
次東北角一器（大自在天幷眷屬）
次東南角一器（火天幷眷屬）

次西南角一器（羅刹主幷眷屬）
次西北角一器（風天幷眷屬）
已上第二周竟
次東方一器（上方梵天帝釋北幷眷屬）
次西方一器（下方地天幷水天之北）
已上第三周竟
此間如常可修雜神供（道場之外。於便所讚衆之中勤之）
神供畢。阿闍梨出門前。灑淨自身。超薰香入也
次奉佛布施。阿闍梨還就禮版。取佛布施。先灑淨薰燒香而奉獻諸尊（兩手捧之橫當額奉之）
誦普供養明奉之
次就座念誦（普門持誦是也）
先布字八印無所不至。其後自若以先受弟子於師邊可結諸會。又諸會不必盡之
根本印（無所不至。行位。佛眼。八字）
念誦（無所不至。百反。行位。薩埵。佛眼。各七反許）
次引入弟子
念誦畢後。即頂戴珠。未入定以前。從座而起頂禮諸尊。即立壇前。應作是念。我今爲某甲灌頂。惟願諸佛菩薩降臨道場。受我供養。諦想所請佛菩薩衆。皆來集會
次召入承事（讚衆之中王役人也）令取去禮版（便宜處若道場外）
次移大壇五瓶。置灌頂壇側花机上（以木枚白）
立（赤黃青黑白之次第。取本方中四角瓶。五瓶之口散水灑大壇。中瓶指之）
次阿闍梨出道場。立於門前。結大鉤召印明（如胎）召之（隨召弟子來立机邊）
次以香水灑淨弟子頂（先以杵加持香水誦三世明然後灑水）
歸命〇赦訶々々尾娑摩曳薩嚩怛他蘖多

尾灑野三婆吠怛麗路枳也尾惹也吽若
娑縛訶
次含香　令弟子含之（机上所置丁子也）
次授塗香　令塗手（弟子兩掌仰並受之卽塗手）又師右手
捻塗香塗弟子心上誦明
唵（大藏記同）嚩日羅獻弟虜教王記（用胎藏香明）
次授淨花（弟子仰兩手承花立ﾂ）師卽說言住心品云
佛言一切智々菩提心爲因大悲爲根本
方便爲究竟云何菩提謂如實知自心々
々尋求菩提及一切智何以故本性淸淨
故釋曰衆生自心卽是一切智々々如實了
知名爲一切智者是故此教諸菩薩直以
眞言爲門自心發起菩提卽心具萬行見
心等正覺證心大涅槃發起心方便嚴淨
心佛國從因至果皆以無所住而住其心
云々
汝等當如是發菩提心（告言了取返花置本處）
次師爲弟子護身
先阿闍梨觀弟子身作五輪（結五輪印五字加 五古印 押紙云）
（持五處講下 上心額頂上）
次結佛頂印當其心誦眞言　曩◯南阿
卽想於其心花臺中有□阿字卽同大日
之體
次以入佛三昧耶印誦眞言印其頂上（想弟子髻中有阿字）
次以法界生印誦眞言印心上
次以轉法輪印誦眞言印臍輪上
次結五股印誦金剛薩埵眞言印其身五
處卽想彼心中阿字轉爲□字成金剛事

業眞言曰
曩◯赦戰拏摩訶嚕灑拏吽
次阿闍梨自護身
師亦更以三昧耶等而自護持（入佛法界轉法金剛用）
（否在意）
教王記云如先加弟子也
次覆面
阿闍梨取白縵先以不動眞言（決慈救）如法
作淨（決左持順持加疊右以杵持之）復用本部眞言（決大日命阿歸）三
轉加之然復周覆弟子面門（數珠頂王結記項云）
次授三昧耶戒
師當深起慈悲護念之心耳語告彼三昧
耶戒勿令諸未入壇者聞聲偈曰
佛子汝從今　不惜身命故
不應捨正法　捨離菩提心
慳悋一切法　不利衆生行
佛說三昧耶　汝善住戒者
如護自身命　護戒亦如是
應至誠恭敬　稽首聖尊足
所作隨教行　勿生疑慮心
次又觀彼頂上有□字四邊遍有光焔字
中又遍流出白光以此淨法界心所加持
故能除內外諸障（勝林記云結火印誦明云々）
次引入道場
阿闍梨教令結入佛三昧耶印口誦密言
師以右手執取其印末引入壇場此間令
越香象薰香至第一重門二龍守護之處
令正當門廟立不得前却（弟子門中心立師立其北）
阿闍梨應作是言我（某甲）如法作此曼茶羅

將弟子入隨其福德種性及與成就所堪
法器唯願於此曼茶羅中示現其相（於曼茶羅）（中現光等異相故也）
次師自作入佛三昧耶印置弟子頂上誦
眞言三反
次作曼茶羅主印置其（弟子）頂上誦彼眞言五
胡印
曩◯南阿
告言此是三摩耶金剛契汝若向未入壇
人說者令汝頭破裂汝於我所莫生疑慢
應當深生敬信汝於我身當如執金剛菩
薩我所教誨當謹奉行若不爾者自招其
禍或令中夭死墮地獄汝應愼之
次投花
師以花（云花末大指方也）鬘令掛弟子印上（自本所作三昧耶印也）三以至
誠心向道場散之隨花所墮之處當知卽
是行人往昔因緣法門善知識也
看花示位東寺樣不限度數只以著大
日爲限今慈覺大師御說唯以三度爲
限隨所得授傳法阿闍梨位云々
次應開面令瞻覩道場以歡喜心而告之
曰
汝今觀此妙曼茶羅深生敬信汝已生諸
佛家諸明尊等同共加護一切吉祥及與
悉地皆悉現前是故堅持三摩耶戒於眞
言法教應懃修習（此告言師共本尊向立）卽結如
來悲生眼印加弟子兩眼（並立右手左指印也）眞
言曰
曩◯南譏々曩縛羅落吃叉儞迦嚩拏摩

耶怛他蘖多作吃蒭娑嚩賀
隨○記云，受明灌頂法，先出印明，從出
告言，此極可也云云
悲生眼之後，即令禮曼荼羅（是師之用心也。文不說之云云）
次令弟子修五供養
禮曼荼羅之後，壇前半加坐，右方五供
一一捧供之（如常）此間師猶立也
先閼伽　次塗香　次花鬘　次燒香
次飲食　次燈明　次普供養　次讚（四智）
若加大日小讚無妨云云
次即於道場，授與所得本眞言印，令坐一
處誦之
教王記云，只授大日印明，五古印歸命
阿（云云決同）
寶淨記云，何處授五古印明云云
決云，令坐一處者，有多弟子故，去壇前
令坐一處，召餘弟子，若有一人時不必
去壇前也云云
次引入餘弟子（如前一一）
次寂災護摩（決被加持夜○大壇火爐令炎）
師即著護摩壇（不用偈讚佛讚等）
先加持香水灑淨諸物　次加持供物
次去垢　次淸淨　次光澤　次羯磨
次金剛輪
火天段
淨火　扇火　投房花　合掌誦偈
召請　四字　嗽口　取杓法　油
粥　飯　生（各三反）　華木（三枚）　芥　更
廳（若各三七反）　香　大杓油　廝　嗽口

投花撥（決一曼荼羅衆會諸供之云云）
諸尊段
淨火　扇火　投散花
合掌觀尊（總可想一曼荼羅大底）　召請（曼荼羅主明 曩○南阿 曩大鉤召印○南阿曳醯噜）
四字　嗽口　大杓油（已下三部總呪）　粥　飯
生花　木（三枚）　芥　更　廳　香
大杓油
次以寂災眞言護摩一一諸尊各七反
但勞故，唯總三反許投之
唵薩婆皤波薩沒多娜賀那嚩日羅耶
娑嚩訶
次三摩波多法（聖衆會云，師授灌頂之夜攝大指微香告曰，是名三摩波多護）
（護摩法）將弟子於護摩處，於阿闍梨左邊坐（草座）（上）
阿闍梨左手乍取杵，作忿怒拳，以小指鉤弟子右忿怒拳（仰拳面上）大指，用曼荼
羅主眞言，用牛酥護摩七反（小杓）
曩○南阿
復以寂靜眞言，護摩牛酥七反（小杓）
復以牛酥，用同眞言，於其弟子頭上右轉
三反，而作護摩（小杓）是名三摩波多護摩
法也
次嗽口　次投散花　次奉送（已上護摩竟）
復以神袋繫於右膞
復以塗香塗手，按其胸上，隨意持誦（塗香眞言）
（眞言如上）而發遣去，神袋塗香不修之，若有
他弟子者，皆先作法，可作三摩波多
次嚫施法

師大壇南門前向西立，召弟子，師前（西也）
長跪，兩手橫捧布施（若有多受者，同時令捧之云云）師向
資誦文，令弟子取決第
弟子先當奉獻衣裁二匹，然後捨施餘財。
阿闍梨受施（師受施之時布施呪願云云）而告之曰
今此勝福田　一切佛所說
爲欲廣饒益　一切諸有情
奉施一切僧　當獲於大果
無盡大資財　世說常隨生
以供養僧者　施具德之人
是故世尊說　應當發歡喜
隨力辨肴膳　而施現前僧
已上嚫施頌偈了。布施置本所
次引入蓮臺（若有他弟子者，唯留一人，余皆令出道場外）
先將向弟子，於蓮臺之處，師乍立用辨事
眞言（不動呪也云云 記云勝三世云云 教王）加持座物（草座）安置
蓮花臺上
次阿闍梨復爲弟子護身
先以不動明王（本印刀印也 慈救）用除諸障（示云，左右轉）
次用三種三昧耶（入佛 法 轉）加持三處（頂 心 膞）
次以金剛薩埵加持支分（五古印加五處）眞言曰
曩○救戰挐摩訶嚕灑挐吽
次令依吉祥座法
弟子以左脚踏蓮花門，以右脚踏蓮花臺，
面向西坐（結跏趺坐云云 教王記半跏云云）結薩埵印（五古印 同三）
（味記云 結五古）內先以寶冠令著之
寶冠彼淨莚之處蓄上在之，即取來令
著之
教王記云，二佛頂爲前

次（尺）先阿闍梨往於大壇供十二尊
蹲居二手捧器先稱名號次誦飲食明
供之
先四菩薩（四角花瓶內東南爲首順迴供之）
南無恭敬供養總持自在執金剛菩薩
摩訶薩
〃〃〃〃〃〃〃念持〃〃〃〃〃〃〃
〃〃〃
〃〃〃〃〃〃〃利益心〃〃〃〃〃〃〃
〃〃〃
〃〃〃〃〃〃〃悲者〃〃〃〃〃〃〃
〃〃〃
次四執金剛（四角花瓶外東南爲首順迴供之）
南無恭敬供養住無戲論執金剛菩薩
摩訶薩
〃〃〃〃〃〃〃虛空無垢〃〃〃〃〃
〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃〃無垢眼〃〃〃〃〃〃
〃〃〃〃
〃〃〃〃〃〃〃被雜色衣〃〃〃〃〃
〃〃〃〃
次四奉教者（西門四隅左右相交供之左右且約行人）
南（內左）無恭敬供養著雜色衣奉教者
〃（內右）〃〃〃〃〃〃滿願〃〃〃
〃（外左）〃〃〃〃〃〃無礙〃〃〃
〃（外右）〃〃〃〃〃〃解脫〃〃〃
次（尺）阿闍梨還到灌頂壇向蓮臺前花机而
坐（半跏）
次五供〃弟子（可想弟子受職最後身金剛薩埵也）

先加持供物（不動慈救加持之或用拍掌彈指去垢清淨光澤）
次阿伽　塗香　花鬘　燒香　飲食
燈明（已上右方）
次（尺）阿闍梨從座而下取白傘到（淨筵之處有之取彼也）
弟子後以杵誦慈救明加持白傘去垢除
障
次以大日眞言（阿明）加持之（以杵順逆加持之）師自執
（以左手執莖）用覆弟子上
次（尺）阿闍梨右手取白拂口誦吉慶伽陀唐
音每句終以白拂三遍順排受者肩（每句不必終）
（不拂除〃義〃不間斷拂從阿闍梨右肩至左肩數拂之也云〃有已入壇者今彼持傘阿闍梨右手取白拂左持之也云〃）
次說其訓耳語受者（此誦一段了打磬文說其間讀師音調）
讚曰
諸佛都史下生時　釋梵龍神隨侍衛
種〃勝妙吉祥事　願汝今時盡能得　丁
迦毘羅衛誕釋宮　龍王澍沐甘露水
諸天供養吉祥事　願汝灌頂亦如是　丁
金剛座上爲群生　後夜降魔成正覺
現諸希有吉祥事　願汝此座悉能成　丁
波羅奈苑河莊嚴　爲五仙人開妙法
成就無量吉祥事　願汝今時盡獲得　丁
諸佛大悲方便海　普利法界衆生界
盡未來際無疲惓　四無礙智汝當得　丁
次阿闍梨置白拂及傘至佛前頂禮曼荼
羅一切尊然後合掌（金合）起立壇前啓白諸
尊云
今與受者（某甲）將授五瓶灌頂仰願諸尊海
會特垂加悲愍聽許之
次擎水纏繞壇（此間弟子猶坐於蓮臺結所得尊印誦其明）

先阿闍梨捧中臺瓶順迴壇誦其明（唵〇南阿暗惡）
次讚衆上臈捧東南瓶（赤）迴（唵〇南暗惡ソハカ）
次臈捧西南瓶（黃）迴（唵〇南摩訶瑜誐瑜擬寧瑜詣說濕縛羅欠惹利計莎可）
次臈捧西北瓶（青）迴（唵〇南多怛他藥多喃薩縛怛羅藍〃保多ソハカ）
次臈捧東北瓶（黑）迴（唵〇南薩怛特轉默數喃阿毘度遮）
各誦明繞壇三匝
若阿闍梨不得自捧令他人捧阿闍梨
在後迴耳若人少時只一兩人度〃捧
五瓶迴了或說捧中臺一瓶云〃
次更如法加持四瓶上（繞壇了如本立五瓶於花机上即阿闍梨乍立加持之）
中瓶（正等覺心）五古印（明如前）
東南瓶（普賢）虛合如未敷蓮花唯中指小
開（明如前）
西南瓶（慈氏）金剛合掌當心相著（明如前）
（押瓶云唵〇南アアクソハカ）
西北瓶（除蓋障）虛合二地二水入內背相著
二火二風作寶形（明如前）
（押瓶云唵〇南マカユキヤユキネイケイシハリケンシヤリケイソハカ）
東北瓶（除惡趣）定慧合掌（明如前）
次灌頂（先令弟子靜所得五古印）先觀字觀一
阿（尺）闍梨至灌頂壇跏趺而坐（向受者）先結火
印當心觀想弟子身在〔梵字〕字方壇金輪之
中頂有〔梵字〕字發生智火焚燒一切煩惱罪
障乃至身除體同金輪然後誦明以印投
外於弟子身三遍散之
次以四瓶次弟灑之（師起座到五瓶所乍立各誦其眞言灑之五瓶三反許）
先赤瓶（普賢）
唵〇南暗惡ソハカ
次黃瓶（文殊）

曩〇南阿吠娜尾泥ソハカ
次青瓶（慈氏）
曩〇南摩訶瑜識瑜擬寧瑜詣說縛履
欠惹利計ソハカ
次黑瓶（觀音）
曩〇南沒馱達羅尼娑沒嚩底沫羅馱
曩迦履馱羅〻〻馱羅野〻〻〻薩鑁
婆譏縛底阿迦羅縛底三摩曳ソハカ
次白瓶（大日）
曩〇南阿
次鑁字觀二（師成作書立本無）
結水印（八葉）當心觀想弟子心上有圓明
於中有[梵]字其色純白而生水輪猶如白
乳而注死灰生淨菩提心佛種子也所謂
[梵][梵][梵][梵]也然後誦鑁字明於弟子身
而以散之
次五輪觀三
結五輪印弟子身上想有五字此卽鑁字
緣雨（㮇）火動因和合所生也變此五字各成
五輪誦各〻明印彼五處成率都婆
地輪（[梵]五古歸命腰下）　水輪（[梵]八葉歸命臍上）
火輪（[梵]火印歸命心）　風輪（[梵]轉法輪歸命額）
空輪（[梵]寶珠刀歸命頂）　已上名佛牙灌頂
次十二眞言王四（[梵]字）
結羯磨印弟子〇上想十二字誦各〻字
印其處
[梵]（頂）[梵][梵]（二耳）[梵]（額）　上分
[梵][梵]（二肩）[梵]（心）[梵]（咽）　中分
[梵]（臍）[梵]（腰）[梵]（足下）　下分

次暗字等觀五
先結普印弟子頂上想有[梵]字誦暗字
明印頂〇（上印）
次結佛頂印（內縛三古也）弟子心上想有[梵]字誦阿字
明印其心上
次結火印弟子胸上想有[梵]字誦羅字
明印其胸上卽想弟子心中阿字白蓮開
敷大日如來坐其上然後灑之
次正灌頂六（師起座到五瓶）
先本尊灌頂（若直得大日者別不作本尊灌頂只四菩薩四佛大日灌之）
師結其尊印置弟子頂誦其明（弟子亦同結誦其印明）
次誦其明以其瓶水灑水（皆三反許）
若得八葉尊者別一度（本尊灌頂）總一度（八葉）
（順也）都合同瓶二度灑之若得地藏處空
藏院尊者灑其方瓶若得文殊院文殊
釋迦院釋迦者八葉釋迦文殊瓶灑之
次普賢（蓮合中指小開　曩〇南暗惡ソハカ）　赤帶瓶灑之（其作法同前）
次文殊（蓮合中指稍開　曩〇南阿吠娜尾泥ソハカ）　黃瓶
次慈氏（金合低左右　曩〇南摩訶瑜誐〻〻）　青瓶
次觀音（蓮合火圓　曩〇南沒馱達羅尼〻〻〻）　黑瓶
次寶幢（蓮合地風散　曩〇南嚂落ソハカ）　赤瓶
次花開（前印屈風量空輪　曩〇南鑁縛ソハカ）　黃瓶
次阿彌陀（八葉印　曩〇南糝索ソハカ）　青瓶
次鼓音（先印二地入掌　曩〇南哈糊ソハカ）　黑瓶
次大日（五古印　曩〇南阿）　白帶瓶（已上作法同前）
卽想弟子同大日亦想已同十方諸佛灌
以法水授法王位（已上可名佛果灌頂）
次百光王七（本師著座）
（灌書云梁行云百光布字時不必結印或結印若普印若定印）

師結普印弟子頂上想有[梵]字卽誦暗字
明印彼頂上而搖動之次以同印次外（縛カ）一[梵]字
輪迴布十二字（伊等十二也）卽誦十二字以印
迴轉次以同印想從暗字放百字光（阿等二十）
（五系等二十五　ア等二十五）照弟子身於身四處（額咽心臍）
百字隨現然後想誦一〻諸字以印迴轉
印弟子身四處然後以印當心觀想暗字
及十二字轉成中台藏四處百字轉成四
重曼荼羅爾時弟子都爲曼荼羅身
次換衣
弟子從蓮臺下往淨莚邊（往間不蓋傘）作立脫
濕衣裳懸床子了奉施阿闍梨
師自取新衣等令著之（先裳次衣次袈裟）或（數天記）令讚衆
著之
次以二十一結修多羅繫右肩自右肩繫
之左脇而下繫之（翻著袈裟也　住云二端挿左帶）
次以花鬘交結兩肩　謂以花鬘二條各
一條打懸左右肩前後垂之長等身也（前後）
一結也
次以臂釧腕釧令著其臂腕先左臂（大次）
同腕（小）次右臂（大）次同腕（小）內方結緒
次以茅環左右無名指中節懸之（先左次右）
次更令戴寶冠〻〻上更著白繒
或灌頂了後不令脫寶冠至于此處寶
冠上更著白繒云〻可依此說
繒二端在後腦後程閉之爲令不落也
次師以寶繖（白傘）隱受者將向新佛壇座令坐
蓮臺（左足踏門　右足踏臺）　坐了作法界定印誦阿字
明（卽大日印明是也）　卽去傘了

次阿闍梨對座。捧五供養（左方）
先塗香　次花鬘　次燒香　次飮食
次燈明　次普供　次讚
先所得尊讚（若先大日尊。次所得尊。又不必師所得尊讚）次僧讚（三反）
次四智（三反）各打鐃讚衆同音
次閼伽
次授道具
師（略出）右手取五股。讀偈文（弟子每句取次第）
諸佛金剛灌頂儀　汝已如法灌頂竟
爲成如來體性故　汝應受此金剛杵
誦偈了。授弟子兩手（竝仰）橫置之也。次授眞言（弟子每句取次第）
唵跋折羅𡀔鉢提微怛鑁阿鞞詵者弭底
瑟吒跋折羅三摩曳薩怛鑁
次（略出）授金剛名號
於弟子本名上。加金剛字呼之（金剛佛子某甲隨照金剛尊）
可誦此密語一（弟子每句取次第）
唵跋折羅薩怛鑁摩含阿毘詵者冥跋折
羅娜莽毘𠸪迦多係跋折羅娜莽
而後師取五古置本處
次加持道具
師起座臨入道具筥蓋。乍立不取上。只
誦一々明。以杵一々加持之。若一々用
其印明加持之
先（尺）加持金鉀　火印（若金剛印。迦利）曩○南[梵字]
次（尺）加持明鏡　金合（若文殊院印）曩○南[梵字]
次（尺）加持法輪　轉法輪印（或輪壇明）曩○赦縛
日羅怛摩句含
次（尺）加持商佉　法螺印曩○暗

次（尺）授金鉀
於弟子兩目。觀[梵字]字。淨其目中垢障。卽右
手（仰掌）橫持鉀。先以右頭拭右目。次以左頭
拭左目（以峰不拭只橫拭也）之而後授弟子雙手了。說
偈（弟子取次第）
佛子（大日經）佛爲汝　決除無智膜
猶如世醫王　善用於金籌
偈了。師取鉀置本所
次（尺）授鏡
又現（供力）前示彼明鏡。當觀[梵字]字。淨其心中垢
障。然鏡授弟子雙手。令見之。而爲說偈（取次第）
諸（大日經）法無形像　清澄無垢濁
無執離言說　但從因業起
如是知此法　自性無染汚
爲世無比利　汝從佛心生
偈了。師取鏡置本所
次（尺）授法輪
先取輪授弟子左手。令持跏趺之上（指末向右）
當臍立之。或覆安（持輪也）
次取法螺授弟子右手。如將吹之勢令持
之（指末向外）卽師授偈弟子。每句取次弟
汝（大日經）自於今日　轉於救世輪
其聲普周遍　吹無上法螺
勿生於異慧　當離疑悔心
開示於世間　勝行眞言道
當作如是想（略）宣唱佛恩德
一切執金剛　皆當護念汝
偈了。師輪螺取收
次（尺）透壇（押紙許吉慶云。弟子梵語）

弟子從蓮臺下。卽繞大壇（古結印誦明五）師持傘
覆弟子。隨後旋繞三匝（三重行道遶院意也）此間誦吉
慶梵語讚。々衆同音
初段之間一匝。次於壇前出第二段一
匝。次又於壇前出第三段一匝。如是三
匝了。打鈸每段畢不打之
次（尺）禮拜
卽於壇前（第一重二龍和衛處）教弟子慇懃令禮曼荼
羅（徐立居三々反）其傘當隨身上下而以蔭之
次（略）啓請
令弟子向壇令長跪。師乍立白諸尊云
我某甲爲某甲灌頂竟。今付囑諸尊。令傳
明藏
作是語已。應放其傘
次（尺）爲說三昧耶戒
令彼起立。對曼荼羅前。耳語說之。偈曰
佛（大日經王記云先偈次唱）子汝從今　不惜身命故
常不應捨法　捨離菩提心
慳悋一切法　不利衆生行
佛說三昧耶　汝善住戒者
如護自身命　護戒亦如是
應至誠恭敬　稽首聖尊足
所作隨教行　勿生疑慮心
次（略）教誡（弟子起立向壇）
告云。汝今已成就曼荼羅傳法阿闍梨竟。
諸佛菩薩及眞言主一切天神已共知汝。
若見衆生堪爲法器。憐愍彼故。當爲建立
曼荼羅而敎授之。佛子汝已祕密藏中。隨
順修學。具足明了。堪能教授於他。汝今已

得善利乃至諸賢聖衆亦皆稱歎今已作
灌頂竟汝當以眞淨心傳持流布使如來
祕密藏久々不滅如是隨其所應種々慰
愈已即應得爲人作曼荼羅阿闍梨也
次中間護摩
今度護摩供弟子心中法界曼荼羅衆
會也
此間弟子坐便所 敎王記云居大壇前結誦所得印明云々
諸尊段 如前二段修之但略時諸尊段許也 加持供等無之
淨火 扇火 散花 梵○南梵
合掌觀尊 觀一曼荼羅大日 召請 大鉤召印梵○南阿明曳醯
四字 嗽口 大杓油 三反梵明 粥 飯
生花 木三枚梵 芥 更 巵 香
已上梵 大杓油
次用曼荼羅主眞言 梵○南梵 護摩牛酥七
反 若三反
復以寂靜眞言護摩七反 若三反
次嗽口 投花 奉送
次教印眞言 不用之云々
次召餘弟子一々如是灌頂已畢
三昧記云大壇閼伽小壇閼伽佛供等
可奉獻替之又先受者暫可出堂外 文
次供尊法 令弟子坐壇前令供左方投花等
敎令弟子修五供養
先塗香 次花鬘 次燒香 次飮食
次燈明 次普供養 次讚 四智或大日若所得尊四智云々
弟子誦之
次師立壇前讀般若 大般若經中令法久住陀羅尼 令彼等
聽

弟子向師坐每句取次第 師北面資南居之 陀羅尼
日
怛姪他阿虎洛屈洛罰底 丁履反下同 虎剌擎
莎婆荼者遮者遮折 支契反 尼阿弃若刹多
々々刹延多刹也莎訶陝末尼羯洛鄔犄
々々罰底迦羅跋底迦阿鞞者底尼莎顙
尼社闍社闍末底阿罰始尼罰尸罰多々
々奴沙理尼部多奴悉沒栗底提罰多奴
悉沒栗底莎訶
不云々
次爲都說三昧耶戒 師猶立資坐說戒令聞之入壇之間說戒別不調持
一汝等從今日常於三寶及諸菩薩諸眞
言尊重恭敬供養
二於摩訶衍經恒生信解
三凡見一切受三昧耶者當生愛樂
四於尊者所恒起恭敬
五不應於諸尊所懷嫌恨心及與信學外
道經書
六凡來求者隨力施與
七於諸有情恒起慈悲
八於諸功德歡心修習
九常樂大乘於眞言行勿得懈廢
十所有祕密之法無三昧耶者不應爲說
次師說傳法印等
於壇前師資相向坐 師北資南 即授傳法密印
等於此處可授密印等
次最後護摩 今度爲弟子入壇所得三昧耶成就也
火天段 如最初但不用加持供等
諸尊段

淨火 扇火 散花 梵明 合掌觀尊 曼一
荼羅大底可想之 召請 大鉤召印梵○南阿梵曳醯醯 四字 嗽
口 大杓油 三反阿明 粥 飯 生 花
木三枚梵 芥 更 巵 香 已上梵 大杓
油
次以曼荼羅主眞言 阿明 護摩七反 若三反
復以寂靜眞言護摩七反 若三反
又三部心眞言護摩三反許
次嗽口 投花 奉送
次施食法 取去前神供更備之
十方神供 坏十七 全如前作法此間誦諸天
漢語讚幷雜神供等不異初度
次神供畢後弟子脫寶冠瓔珞等令坐淨
筵邊
次結緣灌頂
召入結緣灌頂者等令投花 茶位 之後於
小壇邊以瓶水灌頂又授印等
結緣灌頂事畢移五瓶於大壇拔取散杖
加香水器 寶瓶記云先五瓶移大壇次淨水之云々三昧記同
次後供養法
阿闍梨就座 受者出坐佛前可想與師
共修供養
先入三摩地 次根本印 次五供 左方
次普供 次讚 次閼伽 次振鈴 次
九方便 ム乍云九師之貽五悔云々 次隨方迴向 次
加持句 次解界 次示三昧耶 次禮
佛 次奉送 次入佛 次法界 次轉
法 次被甲
次下座與讚衆相共行道三匝誦四智讚

打鈸如常各禮曼荼羅出堂

阿闍梨讃衆并受者立廻次繞壇也（逆順）

（在意云々）

次第二日護摩（近代不修之）

次分施物法

（本云）

建長三年十月二十四日於小河草了

同五年三月三日於關東大藏谷書畢　遍照金剛鎮澄

建武二年十一月十八日於西山之畔

長岡舊都佛花林依仰書寫畢

行賀

◯曆應元九十朱點了　豪鎮

同日校合畢　豪鎮

建武四年四月二十九日東谷花藏坊

以五大堂殿御自筆之本交合了

又一交了

右御本傳領畢　嚴豪

敬以傳領畢　豪喜

永享九年（丁巳）沽洗上旬之比以右御本

書寫之畢

持者　遍照金剛堯尊

右筆豪宗[illegible]

法印權大僧都豪喜記之

永正五年（戊辰）南呂下旬之比賜右御本

奉書寫傳受畢

右筆重藝

穴太鏖芥豪祝記之

天文二十二年（癸丑）初冬二十三日於當

房重委（五十一歳三十五﨟）以數年願望先師重

藝自筆私記令披拜開壇遂成就者也

阿娑縛抄第二　胎藏記　末

闕

阿娑縛抄第三　金灌記　本

∴先莊嚴道場
引幕。懸八色幡。張天蓋（如胎不改之）
曼荼羅　道場近西（後除道所行）對大壇懸之
大壇　向西立之。又壇敷以新可引替之
灌頂壇　大壇東北之邊移立之。壇西立
蓮臺（受者座）　壇東立禮盤（師座）壇南立机（壇與蓮臺中分立之）
護摩壇　大壇東南之邊移立之。壇東立
禮盤（師座也）禮盤左邊（南也）敷草座（養座也）
淨筵　如胎不改之（但嚴身具中寶冠可取替）
門前机等。如胎（但覆面用赤色）
廂曲門前邊敷座。立屛風
讚衆座。便所敷之
∴次排比供物
大壇食道可用赤色。其上備供具如胎（前方有香薪多入之）十
二執金剛等供如胎（但東方壇門四器置之）
壇上敷金曼荼羅。四角端角置獨磨
或寄懸鏁立之
五瓶。中四方五佛蓮座上立之。白（中）赤（東）
黃（南）青（西）黑（北）也（於灌頂壇加持畢移之但重不加持無失）
左右脇机置物（如胎）但佛布施五裹也。又磬
水料。小土器（水盛）禮盤右方置之（或讚衆尅限取出之）
示云。後夜香水入水瓶置便所。尅限入
之

灌頂壇　闕伽等可用新器（不用胎用）机西端
立五瓶。中四方也。餘如胎
護摩壇　燒供等全如胎
十方神供
先以淨葉（草座也）敷諸天鬼神位　次加持
稠粥（一字心水輪觀加持飮食須彌王）各々位所置之。八方
上下各一器。更下方一器。都廬十一坏也
雜神供　例如修法等時可儲之

圖像　二

∴次加持五瓶（於灌頂壇加持之）
先以不動眞言（刀印慈救）於五瓶去垢臂除
次以法界心[梵字]字。加於五瓶（先結火印於一々瓶觀[梵字]字）
然後先以大日羯磨印眞言加中瓶　智
拳印
嚩日羅馱覩鑁
次以普賢加東方瓶　外縛五貼
唵三曼多跋捺羅野惡
次以彌勒加南方瓶
虛合。二風背合。以二大指置二風上
唵每怛隷野阿娑縛賀
次以除蓋障加西方瓶　梵夾印置心
唵薩嚩幡野惹賀野娑
次以離諸惡趣加北方瓶　內縛三古
唵薩縛戍迦怛母儞嚛迦多曳曀娑嚩
賀
加持了。壇上五佛位置之

此[決]界四菩薩賢劫十六菩薩之中印明。
但此水不替作。故四菩薩又唯可用胎
四菩薩印明賦。若唯修金剛一界之灌
頂之時。唯用金剛界耳（文）
胎加持了。故重不加持無失
∴次阿闍梨入堂
未入堂前。讚衆受者念誦事可示之。振
鈴已前降三世。鈴後佛眼眞言誦之。唱
禮等。受者同起居可誦之
讚衆在前發音（四智讚）鐃鈸放𨫼。受者以傘
侍後。蓋阿闍梨入堂。但到堂前。受者留堂
外廂曲所。令隱居也
次阿闍梨入堂內。與讚衆三匝繞壇（讚繞師打鐃鈸）
繞了。讚衆出於幕外
次阿闍梨就座。加持香水灑淨供物等（如例）
淨地乃至金剛持大
次閼伽神分等
次供養文。唱禮五悔等（弟子在堂外同音誦之）　次五大
願
次供養法（乃至普供養）（只成身合許也）
讚衆受者。發願以後。念誦降三世眞言。
振鈴以後。誦佛眼眞言。近代振鈴之後。
讚衆出百字讚等
次讚（百字普賢百八四智）
次（略出）供養諸方天等（此間讚衆誦諸天漢語讚又此間修雜神供示云讚衆一人在前蠟燭付火）
阿闍梨自座起。順迴供之
[決]東北爲首。各誦本明。取器。一周供之
[禁林]或二手捧器。誦嚕迦々々明。供之。極略
時也

先東北自在天
唵(略出)遏哩賒儞曳薩婆訶
次上方梵天(東方先供之)
鉢羅若鉢多曳薩縛訶
次東方帝釋
唵遏移逹羅耶薩婆訶
次東南方火神
唵遏姞娜曳薩婆訶
次南方琰魔王
唵琰魔曳薩婆訶
次西南方羅刹婆
唵邏差娑地婆多曳薩婆訶
次西方諸龍及水神
唵婆羅那薩婆訶
次下方地天(西方次供之)
鉢哩體吠曳薩縛訶(有歸命)
次於下方施諸鬼神
密止〻〻毘舍遮南薩婆訶
蜜〻(魁勇反)部馱南薩婆訶
次西北方諸風神
唵嚩夜微薩婆訶
次北方諸藥叉
唵藥叉苾陀逹黎薩婆訶
如上施已出門前灑水(灑淨自身也)
次奉佛布施(以准貽用之)阿闍梨還就禮版取佛
布施先灑淨次薰燒香而兩手捧之當額
奉獻諸尊
次就庵念誦(普門持誦是若自若以先受弟子於師邊可結諸會又諸會不必誦之)
根本印(行佛位)(薩埵)

念誦(大日薩埵)(行佛服位)
次(略出)引入弟子
先阿闍梨(文大日口出之)從座起頂禮諸尊(念誦了頂戴念珠未入定以前)
(起座頂禮也)
次阿闍梨乍立壇前應作是念爲某甲灌
頂唯願諸佛菩薩降臨道場受我供養諸
想所請佛菩薩衆皆來集會
次召入承仕令取去禮版
次移大壇五瓶置灌頂壇側花机上
次第白赤黄青黑中四方立之(以杖木中移之)
瓶加大壇灑水散杖讃衆之中勤仕之
次阿闍梨出道場外到門前乍立結誦大
鉤召印明(貽召之)(隨召弟子來立机邊)
次加持香水(師降三世明以杵加持之)灑淨弟子頂
次含香　令弟子含之
次教令弟子作四禮印明(向道場乍立結之方)
次(略)覆面(先以降三世眞言加持之)
阿闍梨以赤色帛掩抹其眼告言掩閉一
切惡趣門能開清淨五眼
次(略)師教令結金剛薩埵契(外縛忍願如針)口授密
語三反
三昧耶薩埵鑁
師以右手執其印末(忍願端取之指)引入壇場越
香象入道場行步之間授此密語三反
三昧耶吽
卽到壇前(師立北南資立)應告之言
汝(略出文)今已入一切如來眷屬部中我今令汝
生金剛知汝等應知由此智故當得一切
如來悉地事業然汝亦不應與未入此等

壇場人説此法事汝儻説者非但違失汝
三昧耶自招殃咎耳眞言曰(次資取)
阿儞也薩怛鑁薩嚩怛他蘖多句犁鉢羅
尾瑟吒薩多娜悍諦嚩日羅枳惹娜母怛
跛那以使也彌曳那枳娘泥那怛鑁薩嚩
怛他蘖多悉地羅比跛羅鉢多㗚金布那
羅儞也悉馱藥〇那遮怛嚩耶涅哩瑟吒
摩訶曼拏羅寫嚩羯多尾闍摩帝三摩瑜
尾也他儞諦
次(略出)師結普賢三昧耶印置弟子頂上誦普
賢三昧耶明告言
此是三昧耶金剛契汝若輒向未入壇人
説者令汝頭破裂汝於我所莫生疑慢應
當深生敬信汝於我身當如執金剛菩薩
我所教誨當肅奉行若不爾者自招其禍
或令中天死墮地獄汝應憶之
次(略下)誓水(臨期小土器盛之大日檀末驗者香也讃衆役穴云尊泉見行之予當加持役以降三世加)
持　弟子如本結普賢三昧耶印向壇立
師先取水器誦誓水眞言一反(弟子取次第)卽
令飮之三反眞言曰
嚩日羅薩埵薩嚩延諦儞耶訖利那曳娑
摩嚩薩體哆涅避儞也薩哆怛乞叉南夜
耶儞也儞沒魯耶儞難那闍嚩日路娜迦
坼
次作是教已次令求請一切如來覆護令
金剛薩埵入其身心唯願一切如來加持
金剛薩埵遍入
師結普賢三昧耶印告言此是三昧耶金
剛名爲金剛薩埵願入汝身以爲無上金

剛智誦此密言（取次第）

跛折羅薛舍娜

次（略）阿闍梨應作是言我（某甲）如法作此曼荼羅將弟子入隨其福德種性及與成就所堪法器唯願於此曼荼羅中示現其相

次以花鬘令掛其針（印也）上授此密語三反（取次第）

唵鉢羅底車跛折羅護

誦已教擲所掛鬘於壇中（隨彼因業鬘所著處即令念誦其部）密語當知速得成就

次（略）即取彼所擲花鬘誦此密語置彼頭上

眞言曰（以葉末側一度安頂上即誦如是三反受者取次第）一

唵鉢羅底訖哩恨拏怛𠼝縒摩含薩埵摩

訶波羅

告言由此繫鬘故得摩訶薩埵攝授速疾

成就諸勝悉地汝未來學得大日如來位

必將引濟一切衆生

次（略）誦此密語解所掩眼物密語曰（取次第）

唵跛折羅薩埵薩𠼝縒帝提（梵爲汝親開日）斫具

數伽吒那（梵開）怛鉢羅（梵尊）溫陀伽吒野提薩

縛阿具毱（梵即一切眼五眼）跛折羅斫具毱

阿耨怛羅（梵上無也）則開而了誦見眞言（梵金剛眼令見道場）

（取次第）

係縛日羅波拎

次令弟子禮曼荼羅

裏書云

論曰金剛薩埵親自取爲汝開淨眼及無上金剛眼告言由此法故爲一切如來所護念金剛薩埵常作其心隨彼所求乃至執金剛身無不證得漸常得入一切如來體性法中　大弟子禮曼荼羅餘弟子引入設今爲（某甲）灌頂唯願諸佛菩薩降臨道場受我供養

次令修五供養（壇前半跏右手捧之）此間師猶立也

先閼伽　唵嚩日盧娜迦妃吽

五供（燒香塗香花鬘飮食燈明如金）

普供（如金）

讚（四智如胎）其

次授與所得部尊印明即於道場而令坐

一處誦之（示云若准胎別葉雖得何可授大日印明歟然者輪總三昧耶隨一歟或輪明三印歟）

次引入餘弟子其法則同前

次引入蓮臺（受者多時留始一人引入蓮臺餘出門前令隱居）

先於花臺上想有𑖀字（圓點眞如寂法身涅槃義）

次以辨事明（降三世）加持座物（茅草）安置蓮臺上

次阿闍梨爲弟子護身

以不動明（刀印慈救）用除諸障

次（略）即引弟子令坐蓮花臺（以左足踏蓮花門以右足踏蓮臺上）

面向東坐令結薩埵印（勝五古內或所得契）即以寶

冠令著

次阿闍梨往大壇供十二尊（跪踞二手捧器先稱名號次誦飮食明供之）

先四菩薩（四角花瓶內）東南爲首右迴供之（東北爲首云云）

南無恭敬供養陀羅尼（歎此亦云）自在王菩薩摩訶薩

〻〻〻〻〻〻〻發正念〻〻〻〻〻

〻〻〻〻〻〻〻利益衆生〻〻〻〻〻

〻〻〻〻〻〻〻大悲者〻〻〻〻〻

次四執金剛（四角花瓶外）東南爲首順迴供之（東北爲首云云）

南無恭敬供養作無戲論執金剛

〻〻〻〻〻〻〻虛空無垢〻〻〻〻〻

〻〻〻〻〻〻〻清淨眼〻〻〻〻

〻〻〻〻〻〻〻持種〻倚麗衣〻〻〻

次四奉教者（東門四器左右相交供之）

南（內左）無恭敬供養修轉勝行奉教者

〻（內右）〻〻〻〻〻〻能滿願者〻〻〻〻

〻（外左）〻〻〻〻〻〻無染著〻〻〻

〻（外右）〻〻〻〻〻〻勝解脫〻〻〻

已上十二尊名勝林記等全同胎

次還灌頂壇向蓮臺前机而坐

先加持供物誦降三世明以杵加持五供

次閼伽（明如金右方）

次右方五供（一〻香華燈飮食誦其明捧供之明如金）

次阿闍梨起立弟子邊左手取傘蓋以杵

誦降三世明加持之次以大日眞言加持

之以覆弟子上

傘令持讚衆

次阿闍梨右手執白拂口唱吉慶伽陀唱

音每句終以白拂順拂受者肩次說其訓

耳語受者（誦一段了披文讀其訓此間讚衆打鈸鼓大師言）

諸（略）佛覩史下生時　釋梵龍神隨侍衛

種〻勝妙吉祥事　願汝今時盡能得　丁

迦毘羅衞誕釋宮　龍王澍沐甘露水

諸天供養吉祥事　願汝灌頂亦如是

金剛座上爲群生　後夜降魔成正覺

現諸希有吉祥事　願汝此座悉能成　丁

波羅奈苑河莊嚴　爲五仙人開妙法

成就無量吉祥事　願汝今時盡獲得　丁

諸佛大悲方便海　普利法界衆生界

盡未來際無疲倦　四無礙智汝當得　丁

次阿闍梨置白拂並傘。至佛前頂禮諸尊。
然後合掌起立壇前。啓白諸尊云
今（金合）與受者（某甲）將授五瓶灌頂。仰願諸尊海
會特垂悲愍聽許之
次擎水罐繞壇（各々誦眞言。通ム云加持瓶明是也。云々。示云今依勝林記等說揭）
（勝會五佛明）
阿闍梨擎中瓶迴
唵嚩日羅馱覩鑁
讚衆（上臈）擎赤瓶迴
唵惡乞蒭毘也吽
次臈擎黃瓶迴
唵羅怛曩三婆縛怛洛
次臈擎青瓶迴
唵盧計濕縛羅々惹紇里
次臈擎黑瓶迴
唵阿目伽悉弟惡
若阿闍梨不得自捧。令他人捧阿闍梨
在後迴
繞壇三匝了。五瓶如本立机上（繞壇間受者猶坐蓮臺）
次（繞之）繞了。更如法加持
先中瓶（大日智拳印 唵嚩日羅馱覩鑁）
次東瓶（普賢五古印 唵三曼多跛捺羅惡ソハカ）
次南瓶（彌勒塔印合二風屈入掌甲相合二空並立 唵每怛隸野ソハカ）
次西瓶（除蓋障梵夾印 唵薩嚩嚩羅拏毘塞劍毘野ソハカ）
次北瓶（離諸惡趣三古內縛二野火如環 唵薩嚩播野毘輸馱儞ソハカ）
次正灌頂
先（略出）五佛加持（師立弟子後。遶弟子一々結印。加持弟子四處。心上。同結誦）
佛部加持（大日劍印 唵三昧耶地涅哩茶嚩日羅底瑟姹薩怛他誐多）

金剛部加持（金剛薩埵二中如針 唵嚩日羅薩怛嚩吽）
寶部加持々（金剛寶二中如寶形 唵嚩日羅囉怛那怛羅）
蓮花部加持（金剛法二中合 唵嚩日羅達摩訖哩）
羯磨部加持（金剛業二中入掌 唵嚩日羅羯磨劍）
次應與其灌頂（台灌記云。至灌頂壇。跌而坐）
先（略出）本尊灌頂（隨師觀想定印之。費間猶可用內五古之正灌）
先想弟子頂上。引𑖪字。上有圓點（眞如法身涅槃寂）
𑖪字放光焰熾然赫奕。又想弟子心中有
月輪相。內有八葉蓮花臺。上亦有𑖪字。於
𑖪字內想有窣覩波（若得寶部者金剛寶珠。若得蓮花部者紅蓮花）
（蓮花部若羯磨。若羯磨）師應想己身如毘盧遮那像
次師（正灌記立座）結弟子所得尊印。誦其明。置弟
子頂上（弟子同結誦其印明）次師誦其部灌頂明。以
其部瓶水灌弟子頂上
次（略出）五部灌頂（五瓶决）一々可觀其部三形
先結誦大日灌頂（略出）印明。印弟子頂上（結誦同）
大日劍印
唵薩嚩怛他蘖多濕嚩哩耶毘濕迦吽
即以白帶瓶灌之
次結誦東佛灌頂印明。印額（結誦同）針印
唵跋折羅薩埵婆阿毘詵遮給吽
即赤瓶灌之
次結誦南佛灌頂印明。印頂右（結誦同）寶印
唵縛折羅阿羅怛曩阿毘詵遮給怛羅
即黃瓶灌之
次結誦西佛灌頂印明。印頂後（結誦同）蓮印
唵跋折羅鉢娜麼阿毘詵遮給訖利
即青瓶灌之
次結誦北佛灌頂印明。印頂左（結誦同）羯磨

印
唵跋折羅羯磨阿毘詵遮給惡
即黑瓶灌之
次（略出）於彼額上想有𑖀字。色相如金。想兩目
上各有𑖪字。其色如火。上生光焰。其二足
間想種々色。爲法輪相。八輻莊嚴（可觀想之。間結定印）
次誦薩埵金剛心密語。加塗香已。塗彼胸
前（師取五供養中塗香器。稍多盛之。大指中指塗香。塗其胸也。右膝着起立至弟子邊）密語曰
三摩耶薩怛鑁
次（略出）繫鬘（弟子各々佛印而結之。或不結。不繫鬘）印彼心喉頂三
處已。於額前以進力度三繞之。如繫鬘法
頂後亦爾。結了。從頂上兩邊至肚。從壇
散之
先佛部繫鬘（大日劍印）
唵薩嚩怛他揭多鼻三菩提跋折羅阿
毘詵遮摩含鑁
次金剛部繫鬘（針印）
唵縛日羅薩埵婆摩攞阿毘詵遮摩含
鑁
次寶部繫鬘（寶印）
唵縛日羅々怛曩摩羅阿毘詵遮摩含
鑁
次蓮華部繫鬘（蓮印）
唵縛日羅鉢娜麼摩羅阿毘詵遮摩含
鑁
次羯磨部繫鬘（羯磨印）
唵縛日羅羯磨摩攞阿毘詵遮摩含鑁
次（略出）換衣
弟子從蓮臺下。往淨筵（往筵間不蓋傘）。作立脫濕衣。

竪蓮西小床子了。奉施師。師自手取新衣
令著之（先著大衣次袈裟）
次以二十一結修多羅繫右肩。翻著袈裟
也
次以花鬘交絡兩肩。各以一條懸左右肩
前後垂之（前後一結也）
次臂釧腕釧（先左臂左腕次右臂右腕）
次茅環懸無名指（先左次右）
次寶冠（或灌頂了後不令脫寶冠至于此處冠上更著白繒）
次白繒　打懸寶冠上左右垂之
次師以寶繖隱受者。將向新佛壇座令坐
蓮臺（左足踏蓮華門右足踏蓮臺）受者作智拳印而坐。坐了
去傘
次授五鈷（出略）
師立道具机邊（本立者座上）觀初執五鈷爲說頌
曰（每句取次第）
諸佛金剛灌頂儀　汝已如法灌頂竟
爲成如來體性故　汝應授此金剛杵
頌了。五古授其雙手（兩手並仰横受之）　次授眞言
（取次第）次
唵跋折羅嚩鉢提徵怛鑁阿韠詵者弭底
瑟吒跋折羅三摩曳薩怛鑁
授明了。告言。汝已灌頂獲得金剛尊主竟
此拔折羅常住汝所。爲三摩耶身
次授金剛名號（出略）
於弟子本名上加金剛字。作之呼之（金剛佛子）
ム甲（清淨金剛）
應誦此密語（取次第）
唵跋折羅薩怛鑁摩含阿毘詵者𡨗（※灌頂北）

跋折羅娜莽（※各位）毘盧遮迦多（※灌頂）係跋折
羅娜莽（※甲某）
而後師取五鈷收本處了
次阿闍梨對座捧供五供（此間受者可結印契）
香　花　燈　塗　食（如左方明金）
次讚（所得大日小讚等著略之）僧讚　四智（居壇邊小讚等同之云云）
良賁（音打或正）或先大日
次閼伽
次道具加持（臨道具蓋作立加持之不取上之）
先加持金鉀（火印○南）
次鏡（音印○南）
次輪（唵輪轉壇日印羅斫迦囉吽）
次商佉（唵法螺○螺印南暗）
次授金鉀（出略）
師執小金剛杵子（鉀也）横拭其兩目（先右目次左目便）
授弟子雙手（横受之）告言
善男子。世間醫王能治眼翳。諸佛如來今
日爲汝開無明翳。亦復如是。爲令汝等生
智慧眼。見法實相故。說此語竟。取收金剛
杵子
次授鏡（出略）
師執鏡令其觀照。說此偈言
一切諸法性　清淨不可得
非實亦非虛　皆從因緣現
應當知諸法　自性無所依
汝今眞佛子　應當利衆生
取收鏡了。師於弟子。當生恭敬。此人能紹
緒佛種故云云
次授法輪並商佉

先取輪授弟子。左手令持。跏趺之上輪當
臍立。次取法螺授右手。如將吹之勢令持
之
告言（出略）自今以後。諸佛法輪汝應轉之。當吹
無上法螺。令大法聲遍一切處。不應於此
法中而生疑怖。諸陀羅尼究竟○（略）修行理
趣。汝應廣爲衆生方便開示。善男子諦聽
若能如是作者。一切如來皆知此人能報
佛恩。是故於一切時處。一切持金剛者之
所衞護。令汝安樂。然後收輪螺
次繞壇（出略）
弟子從蓮臺下。結智拳（若大劍印）繞壇三匝。阿
闍梨隨後。用傘覆其上。同迴。阿闍梨讚衆
同音誦吉慶梵文（一段一匝了三段三匝了。如是打鐃）
次周畢（出略）。至東門。令其慇懃禮拜（居三々反立）
其傘當隨身上下而蔭之
次令弟子長跪阿闍梨（持傘立）啓請諸尊。作
如是言
我某甲與某甲灌頂畢。今付囑諸尊。令傳
明藏　然後卽放傘
次令弟子起立。對曼荼羅前告云（出略）
汝今已成曼荼羅傳法阿闍梨。竟諸佛菩
薩及眞言主。一切天神已共知。汝佛子汝
已祕密藏中隨順修學。具足明了。堪能教
授於他。汝已得善利。乃至諸賢聖衆亦皆
稱歎。今已作灌頂竟。汝當以眞淨心傳持
流布。使如來祕藏久久不滅。如是隨其所
應種種慰喩已。卽應得爲人作曼荼羅阿
闍梨也

次令坐一處教彼本印眞言持誦之

有他弟子時事也一人者眞說三昧耶

次召餘弟子一ゝ如是灌頂已畢

次爲說三摩耶戒

阿闍梨引起弟子至大壇前（若一人若多人並居長跪）

（合掌聽受之）

告言善男子汝○堅守正法設遭逼惱

害乃至斷命不應捨離修菩提心於求法

人不應慳悋於諸衆生有少不利益事亦

不應作此是最上句儀聖所行處我今共

足爲汝說竟汝當隨順如說修行（三昧耶戒了）頂

（禮阿闍梨也）良僧正略此禮云ゝ

次阿闍梨執五鈷杵而授與之（偈誦杵云ゝ）

告言此是諸佛體性金剛薩埵手所執者

汝○堅護禁戒常當持之至于成佛之日

不可離身弟子受已授此決定要誓密語

令其誦之密語曰（取次第）

唵薩婆怛他揭多悉地跋折羅三摩耶底

瑟吒嚩沙怛縛含馱羅野冥跋折羅薩埵

係係ゝゝ吽

論曰一切如來金剛薩埵成就三摩耶願

住我所我常守護（此弟子言也師代爲讀也）

於大壇前師卽告云入收懷中云ゝ此

杵至于成佛之期不可離身云ゝ

次授金剛界傳法等八種（決云是卽當清涼之流八種印也）

大壇前師資對座授諸家密印等（穴云授密印可依器）

羯磨大日（先三摩耶次羯磨會印）三昧耶大日　行位　薩埵

佛眼○

三身密印○（[illegible]）

次教戒（略出）

阿闍梨（宋云可略之）告言弟子於師應恭敬尊重莫見

師短於同學所莫相嫌恨

聖行裏書云已上不行此事給云ゝ決

云入壇夜不問之（更可問之文）

次應告之言（師向北立弟子向師跪）

汝於一切衆生常生慈愍哀矜示誨莫生

厭離而說偈言（師弟子偈音讀之取次第）

三界極重罪　不過於厭離

汝於貪欲處　莫生厭離心

次欲令弟子堅持歡喜故爲說偈言（取次第）

此等三昧耶　諸佛爲汝說

守持善愛護　常如保身命

次弟子受師教已頂禮白言如師教誨我

誓修行（師教弟子云如師教誨我誓修行ト云テ三反禮師立北ヒ）

次寂災護摩（爲除諸災已灌頂弟子爲令其護法故除其災與作護摩寂靜法）

先著座灑水加持供物等如常羯磨

金剛輪

次火天段

淨火　扇火　投房花　合掌偈　召

請　四字　嗽口　取杓油　粥

飯　生花　木（三枚）　芥　更　麻（各七）

（若三反）香　大杓油　祈　嗽口　投花

撥

次諸尊段

淨火　扇火　投散花（縛日羅馱覩鑁）　合掌觀

尊（可想茶羅一大壇）　召請（大鉤召印明）　四字　嗽口

大杓油

粥　飯　生　花　乳木（十三五枚若三枚也三五）

芥　更　麻　香

已上[illegible]之明

大杓油　縛日羅馱覩鑁

次三摩波多法

召弟子令坐師左邊師左執杵以左拳

覆之

樹度鉤弟子觀羽智度（右拳仰之）以小杓誦

寂災眞言護摩二十一反

唵薩縛婆縛娜賀那縛日羅耶ソハカ

嗽口　投花　奉送

次阿闍梨從座起就大壇位（召弟子壇前南令跪歸面北立也）

（南大壇前）告弟子言諸佛爲利益一切衆生

故說此殊勝福田妙法汝應隨力辦香花

供養大衆能令汝得無量果報

次教令弟子（向大壇）令結誦羯磨會三昧耶

會八供養印明

先羯磨會（香華燈塗歌舞）　次三昧耶會（香華燈塗歌舞）

次復以金剛讚歎密語作四種供養

師向壇前中心居資師左方居師弟幷

讚衆同音誦四智漢語隨句師資共作印

○（略北門斷音向壇前）

金剛薩埵攝受故（師弟共金剛合掌當胸面左方仰如嬉菩薩儀）

得爲無上金剛寶（金剛合掌當額勢著）

金剛言詞歌詠故（金剛合掌當口下向仰散之）

願成金剛勝事業（歌金剛合掌縛印勢心前左臍右腋各邊也舞菩薩儀）

穴云三反鈸一行用讚一無鉢

次阿闍梨教令弟子修事供養

先五供　香　花　燈　塗　食左方

次普供

次讚（次大日所得讚四智。次成唯大日）
次閼伽
●略出[四十]次與花　成路之（大壇右方花臺賜弟子數如前此花與曾木向當辭由可示之文[四十四]）
阿闍梨取壇上所獻花（花器花一房也）著（禾云。此花與菴木同[圖說]）
（可書持也）賜諸弟子。授弟子雙手（大壇右花盤云〻）復令重
作要誓云
如上所說。不得輒說此法（即說意云。如上諸事。爲無三昧耶人。輒不可說之科）
次令弟子各令脫寶冠等了。即令坐淨筵
邊
次結緣灌頂
次五瓶移大壇（取散杖加香水）數禮盤等
次師著座（受者坐師後右可想共供養）　次入定
次根本印　次八供養
次事供養　次普供○（普供[四十]）
次讚　次閼伽
次振鈴　次五悔（乍五其曲早速也）
次迴向　次解界
次奉送　次五佛加持
次五佛灌頂　次寶印
次甲冑　次拍掌
次四禮
次下座。與讚衆行道三匝（錫杖四智讚打鈸如常）
次出堂
御本云
建長三年十一月一日於小河草畢
同五年三月十四日於關東大藏谷書
了　無障金剛尊澄記之

延元〻年八月七誂行賀金剛書寫了
澄豪
應永九年秋八月之比以祖師傳法和
尚御本書寫之訖　無障金剛圓俊
文明八年丙申六月九日以阿彌陀寺中
學房御本書寫之訖　無障金剛乘憲
大永五年乙酉六月十七日西塔院寶幢
房之御本書寫之訖　無障金剛澄賢
御本云
本堂江寄進可申候爲後代故也生年
五十七歲筆書也

阿娑縛抄第四　金灌記　末

∴先莊嚴道場
大壇
決云。私云。大壇向東。自餘皆同昨日。但
敷曼荼羅并五瓶樣異昨日 文
灌頂壇
略出云。其灌頂壇。應向大壇天方門外下
至二肘 文
帖云。天方者上方也。梵天方也 文
決云。蓮臺草座如昨夜。但蓮臺中心種子。
有別異歟（師曰。不必置之云〻）
又云。問。蓮臺上安種子耶。師曰○字是也。
而不必安之。但觀置而已。若草座下歟 文
觀置可有也云〻
護摩壇
略出云。於灌頂壇火天方○作四肘壇。高
一搩手 文
決云。於大壇東南（火方）立之。向西（師面也）立
之。自餘皆如昨夜 文
淨筵
靜然法眼圖云。大和尚現行（不云栢實也）淨筵
東立小床子云〻
∴次排比供物
問。灌頂壇瓶花。一夜修可替之乎。又護摩
壇胎燒供殘可用之乎
答。供物皆可改之。前諸尊供故也。一夜事
忽〻密〻胎殘用之有何事哉云〻

近代見此護摩作法、小壇上置火鉢一口井燒供投物乳木等、無閼伽飲食等、又不引繩、豈可然哉。見川流一面備閼伽、是極略故也。此說尤可也。仍於例不不可顧視。請同法等、配備四面供具、引繩立標修之。若有云非據者、不知大旨者也。然先達只存略也。何此時存略哉。只此陵遲甚也 文

十方神供

記云、若依四卷經者、可儲八方神位。若依六卷經者、可儲十方神位 文

決云、六卷經之意、供十方天鬼也。即於下方更加一器。故十一坏也。四卷之意、供八方天鬼、於北方更加一坏。故九坏也。問、六卷之意、下方更加一器、何。答、下方地天位也。更加一器者、施諸鬼類歟。謂閻魔王之國在此列、下方諸鬼神類多在彼國、故於下方儲加一器、施諸鬼神類歟 是一意也 問、四卷經意、於北方更加一器、心何。答、於北方施諸類鬼神也 如常文

離作業。決云、有人云、一夜修兩界時、胎神供不取、傍置金神供、爲之 文

又儲五瓶

決云、問、瓶水并寶等、更新入之耶。答、不替昨而已 文

穴云、問、五瓶加持用不動心、何。答、辨事明王、此界用也。胎用降三世事有 云々

決云、莊嚴道場等之事畢之後、如昨晝被示弟子云、入道場見方角、不覺方角所不宜也 云々 即召入於壇之東門前、被示云、於此可投花也。又數曼荼羅、如昨日㲲隱不令見之。師曰、如昨曼荼羅時、師與弟子拼繩辨事、故皆覺方角也 文

日䟽五云 具縁品 阿闍梨又云、欲共引線、要須所欲灌頂弟子耳。先以加持香水灌之。與共行事、所畫壇位等且以物覆之、勿令見也 文

次阿闍梨入堂

次前方便等

次供養法 乃至普供養

次供養諸方天

上方東、次下西、次供之。一匝故 云々

禾云、三昧記例八方天眞言用之。謂伊舍那ソハカ等也 云々

記云、施已當淨手嗽口、還入壇 文

決云、小次云、以香水灑身、越香象入堂 文

問、如胎可有洗手灑淨燒香供養歟。答、可有之。非實洗手嗽口。但燒香供養事。文不說之、用心可用之也。 問、以何明加持門前水灑自身耶。答、金界加持香水等事、皆用降三世明 文

次奉佛布施

記注云、私謂、准胎藏供養八方天、後入壇中、可奉佛布施 文

決云、問、如胎有奉獻閼伽燒香耶。答、准彼界可有之 云々

次就座念誦

決云、問、諸會盡不何。答、如胎記之

後日見之、先入壇弟子令結諸會也 師念誦之閑也 文

三昧記云、一師云、不必修諸會、只念誦 云々 一師云、必可修之 云々

敎王記云、隨早晚、若可盡諸會者、以他人居師邊、令盡之 文

記云、結阿闍梨位印等、後結佛眼印、誦彼眞言千反 文

決云、如常念誦作法修之。但文所說印明等加結之、各少許誦之 云々

後日師說、念誦大日行位薩埵佛眼作法在別 文

此定也。五佛眞言等各少々歟

次引入弟子

次移大壇五瓶、置灌頂壇机 文

略出云、移大壇中寶瓶、隨本方角置之。又於其壇周圍界外、想四月輪、使四淨人持上寶瓶、住月輪中。帝釋方人想如普賢、琰羅方人想如彌勒、龍方人想如滅諸障礙、藥叉方人想如離諸惡趣 文

次四禮

記云、四種禮拜法已、取赤色衣與彼、如著袈裟、若出家人令著乾陀色衣 文

決云、以白㲲赤色染之與之。如著袈裟令著之也。如不動尊等像似袈裟衣著給。非實袈裟。是即白㲲也。白㲲者非例絹、別清淨織物也。出家人令著乾陀色衣 云々 師曰、赤加沙也

私云、入金界壇之夜、不見如此作法耳 文

見聞集（諸定）云。涅槃第七云。若有說言。聽
著摩訶楞伽（乃至）即是魔之所說。疏云。摩
訶楞伽此云赤色。與下文被服赤色相違
云何通解云。下文說未制戒。此中說制戒
後文。一解。赤亦多種。大赤即遮。如乾輕赤
此即不遮。普門灌頂日記云。承平七年四
月八日。大師大和尚稀灑私室。爲灌頂道
場。即移智證大師大唐青龍寺法全和尚
付屬灌頂道場之具而莊嚴之（云云）大師
以乾陀衣送弟子。即脫故衣著之（文）
次覆面
決云。問。如胎界先加持覆面耶。答。文不說
之。隨宜耳（文）（以降三世加持之云云）
決云。師曰覆面此界赤色之面反用之。白
色面用之。故表裏二色也（云云）
次教與結金剛薩埵契
次當引入壇場門前
記云。應告之言。汝今已入〇（文）
決云。問。如胎界師北資南歟。答。爾也（更可決之）
後日私案（[illegible]）此界師南資北可立也。師執資
手在前入故也。胎師在前。故自然立北也
更決（[illegible]）後日度々見之。師常北立給。謂灌頂壇方
也（文）
次誓水
決云。師曰。誓水以三昧戒之處通用。若別
儲之。後日度々見之。別器盛儲之。臨其期
盛之
誦誓水眞言。即令弟子取其次第。次即令

飮之。不用別加持印明。是則加持歟
又云。即入白檀末。師先加持之。次教眞言。
次令飮（文）
勝林記云。加持誓水（不動刀印文明）
穴云。智泉坊見行時。我當加持役。以降
三世加持（云云）
問。誓水何心耶。答。大國作法歟。義釋略出
經見。神水云此國有之（云云）
灌頂略記（覺大師）云。又於別器調和香水。
以鬱金龍腦栴檀等種々妙香。亦眞言加
持授與令飮少許。此名金剛水。祕密加持
故（乃至）地獄重障皆悉除滅。內外俱淨。堪
爲法器也。亦名誓水。亦順世諦。猶如盟誓
之法。今於一切衆生前。嚼此香。自誓其心
要令不退大菩提願也（文）
次作是教已。唯願一切如來加持（文）
決云。此言爲弟子告言歟。答。然也（文）
記云。次願金剛拳（文）
決云。師曰已下至見相文略之。不修之。已
下文爲見相也。不可有故除之也。又大師
等同除之給。凡夫不可有故也
大師達不用之給。而相實法印可用之
云々。不得其心也（云云）
穴云。相實法眼云。是凡夫所爲。非事ノ
ミコソ有レ。サリトテ略シヤハスル。
然此不可略（云云）自達也奇特也（云云）
穴云。問。願金剛拳（文）願字何。師云。忿怒
拳云也（云云）
帖云。金灌次云。問。汝見何相等。覆面後見

也
次引將曼荼羅前（文）
決云。師曰已下文依之修之。今此告言。於
壇前作此言也。此時先以鬘掛印
次作是言。我（ム甲）（云云）
次令誦眞言
次投鬘（私云。此是瑜伽文也。故於此有將引之言文）
後日見之。於壇前種々作法了。而後印掛
花。而教鉢羅底車（三反）明。而令投之（文）
穴云。投花本體。花鬘可掛指端也。權花二
三房許。以糸卷投之（云云）
記云。教擲所掛鬘於壇中。隨彼因業鬘所
著處。即令念誦其部密語。當知速得成就
（文）
決云。私云。又即令念誦其部密語者。非今
時授之。指後歟（云云）
又授此密語三反。令弟子所結三摩耶契。
於其心上解之
論日。願金剛常住堅固加持我心。願授與
我一切悉地（文）
決云。論日已下文我言指誰乎。答。此文是
受者詞也
禾云。勝林記此一段略之
次即取彼所擲花鬘繫彼頭上（文）
穴云。問。花倒鬘頂上心何。師曰。不落料也
（云云）
論日。願大力菩薩攝授汝（文）
次誦此密語。解所掩眼物（文）
記云。論日。金剛薩埵。親自專爲汝開五眼

及無上金剛眼文
禾云。勝林記略此眞言。唯出見眞言許
次令弟子修五供
決云。問。准胎藏記意者。弟子此次禮曼荼
羅。次以香花等供曼荼羅 乃至 普供次讃
歟。答。如胎記之云々
次授與所得部尊印明文
決云。問。其儀何。答。如胎記之。問。何不云印。
答。可有之
寶淨記云。何處授之。但東壁邊歟云々
次引入蓮臺
決云。中胎字兩界各別也。故各書別紙安
之。金界[梵字]胎[梵字]也。而今不必爾。故今於臺
上准觀[梵字]字耳文
次即引灌頂弟子。入帝釋方門。坐蓮花臺
文
三昧記云。帝釋方可尋之
帖云。引弟子入帝釋方文 可撿二十天之
位歟文 禾云現圖東南安也
帖云。金界蓮臺從帝釋方引上者。取去花
机自東門可入也。而煩故不爾也文
次阿闍梨供十二尊
先四金剛。次四菩薩也 本文可見也云々
金界自東北供之。胎界自東南始之。大原
私記胎金共自東南始之。背本經云々
略出經云。自在天方名住無戲論云々
義釋云。火方置住無戲論文
尊勝寺灌頂道源闍梨自東北始之。意覺
雖云東南供道源云付本經說也云々

次還灌頂壇五供
略出以種々名花塗香燒香油燈幡蓋淸
妙音樂。而以供養○所以爾者。是人坐佛
位處故文
記云。次閼伽。次塗香。次花鬘。次燒香。次飮
食 各誦其明詠音。私謂依此界意者香花燈塗依次供養然後供養飮食文
勝林記云。師云。有二說云々。若依胎次第
者。可用胎眞言歟云々
禾云。三昧記用金次第 寶淨同 穴云。依此界
心吉云々
次覆白傘拂伽陀等
次頂禮諸尊啓白等
次率水纏繞壇文
厶云。各々誦眞言。迴加持瓶明是也云々
禾云。大日四菩薩也
勝林記云。繞壇之間。可誦羯磨會五佛眞
言 三昧寶淨等記同。教王記同。後日傳聞之云々
問。決云。後日說繞壇時誦五佛明云々。此
事何。答。不可爾也。與經心相違故 問。其
經文何。答。如云四淨人於上寶瓶等也。何
違此文用五佛哉。依之授大記云。普賢等
四菩薩。在此界賢劫十六尊中文 尤神妙
也 問。四淨人者。普賢等四菩薩歟。答。然
也如經文。帝釋方人想如普賢 乃至 藥叉
方人想如離諸惡趣云々 問。何故以此
寶瓶令持四菩薩等哉。答。毘盧遮那四德
寶以入瓶故也 問。義釋云。普賢等四菩
薩。佛身四德也。若爾者。舍那四德者。即是
四菩薩其體也。能持所時一哉。答。釋前後

文少其異歟。大日經二云。四寶所成瓶。盛
滿衆藥寶普賢等四菩薩。而以作加持文
其藥寶深祕釋云。安立菩提心中五智之
寶。能起五種善萠。滅除五種過患。故云五
藥也云々。故穀藥等所加持四德。四大菩薩
能加持四德也
大原記云。略出中淨人持瓶者。只是先受
職人名淨人也云々
厶云。經文大相違何會之哉
次繞了後。當更如法加持文
此處不加持之。胎加持故也云々
五佛加持
記云。次令結五佛契。置頂而一々灌頂。次
以四佛鬘眞言鬘次布弟子頭冠之上 已上
花山本文 私今依此文者灌頂之前。可作五佛
加持文
裏書云 聖行 勝林上綱云。依花山意。用
五佛加持等。又吉云々 私云。入壇師不
行此事給云々
五佛加持略之云々
次應與其灌頂
寶淨記云。直得大日略之云々
正灌頂記云。弟子頂上有暗字。放光焰熾
然赫奕。私謂。文中唯云放光焰不明其色。
若依本色者。可云字體金色。空點白色。故
可有二種光焰歟。若依甘露智水義者。可
云白光。菩提心論云阿字素光色文
又云。心月輪內想有八葉蓮華。私謂。白色
歟○次想花臺上有阿字。私謂白色歟

次五部灌頂
記云。先是本尊灌頂。後是傳法灌頂
勝林記師以灌頂明灌之。弟子結三昧耶
印誦羯磨眞言所得尊并五佛皆如是 文
決云。五佛根本印者。各結三昧耶印。各誦
羯磨明是四波羅蜜等乃至四攝等諸尊
根本印明。只三昧耶會之印明用之。謂三
昧耶五佛之明。只金剛智云〻 無差別故。
用羯磨明也。四波羅蜜等諸尊三昧耶眞
言各別。有差別故用之。度〻面見之得金
剛波羅蜜人。師先結金剛波羅蜜印明。加
持弟子頂。弟子又結其印明而後師以其
部瓶灌之 文
問。五佛十六尊外尊以何瓶灌之乎
答。此界離五部尊無之。四大明王四佛教
令輪身也。八供四攝皆屬五部。然者隨其
部用其瓶 云〻
次於彼額上想有〇 字 文
正灌頂記云。私謂是毫相歟 文
又云。弟子二足間想種〻色變成法輪相。
八輻莊嚴。私謂。此觀爲令弟子具足如來
諸相好。故先觀毫相等。後觀千輻輪歟。故
文云法輪相。又六卷經云。復想弟子二足
間想有千輻金輪。出種〻色光。令使弟子
當來當得轉法輪。以三十二相福智莊嚴
文
次誦薩埵〇塗彼胸前 文
決云。師曰。此事必可爾也。小次第云。誦明
塗之 文

寶淨記。加持三摩耶薩怛鑁。正塗之時令
塗香明用之 文
教王記云。是爲令弟子成金剛薩埵也 文
正灌頂記云。爲令弟子成金剛薩埵故。私
謂。問上已說五部灌頂法。何故此處偏令
成金剛薩埵。答。五部各有金剛薩埵故觀
弟子通成金剛薩埵。例如彼陳三昧耶
問。何故五部各有金剛薩埵耶。答。諸部修
行各〻雖異。經十六生初必定證金剛薩
埵位故 文
繫鬘
決云。五佛鬘印。師獨結之。弟子不結之〻云
後日說云。五佛鬘之間。弟子唯結各〻佛
印。而不繫頭上鬘云〻 後日度〻見之。唯
師獨結之謂立弟子邊於彼頭繫之 文
換衣
記云（略出文）。引出壇外。換去濕服。別著淨衣。若是
刹利居士著本衣。即於壇上置下小床以
儭〔頭註〕（儭玉云至也眞也）其濕衣 文
決云。私云。大底皆同昨
記云。若依胎藏者。有種〻莊嚴。若用之者。
可依彼文 文
決云。私云。如昨夜寶冠花鬘等種〻莊嚴。
一無闕而 文
次授五古
記云。復取金剛杵。若是寶部者。又於跋折
羅上想有寶珠。餘部倣此。誦偈時應改。初
金剛字爲寶珠字。諸部准此改之
決云。師曰。此文說持明者也。或傳法者。

又隨所得尊加句無妨也 文
次授金剛名號 文
記云。若是餘部。或加寶珠蓮花等。作字呼
之 文
決云。後日聞之。眞言句末云。遍照金剛某
甲（本名）呼之 文
次阿闍梨對坐捧供
記云。先塗香。次花鬘。次燒香。次飲食。次燈
明（私謂。依此界意者。香花燈塗依次供養。然後供養飲食。又是安然和尚口傳也 文）
勝林記云。師云有二說云〻 若依胎次第
者。可用胎眞言歟 云〻
決云。先以降三世眞言加持供具。而一〻
捧之。誦各〻明供之。後日見之。不必用別
加持給也
加持用否准胎 云〻
小次云。次普供養 云〻
記云。此間受者隨得尊結其印。若傳法灌
頂人。可結大日智拳印 文
次道具加持
決云。如胎記決之
又云。後日說。加持輪此界用輪壇印明 文
次授鉀鏡輪螺
如胎決
次遶壇 禮拜 啓請
決云。行道之時。令結誦智拳印明。若大劍
印明 文
寶淨記云。昔作五古印 文
次令坐一處。教彼本印
次召餘弟子

次爲說三昧耶戒
決云。至如說修行之文讀之云々
次阿闍梨執五股杵而授與之文
問今授五古。置何處五古乎。道具已前授
五古外又授之如何文
次授金剛界傳法等八種文
次教誡
決云。入壇夜不聞之更問文
裏書（裏行）云。已上不行此事給云々
穴云。可讀之也。大原僧都入壇時不聞之。
師說注之許也。可令聞事也云々
次應告之言
記云。三界極重罪。不過於厭離。汝於貪欲
處莫生厭離心文
決云。此偈音讀之。弟子取次第文
後日見之。師先告言。次此偈訓讀之。次
音讀。令取次第給文
貪欲處者。貪欲卽菩提心故也。或唯於
貪愛知識等不生厭也。如恒河女文
次欲令弟子堅持歡喜
記云。此等三摩耶〇文
三昧記云。取次第。又訓讀文
次寂災護摩
記云。師以上羽〇鈎弟子觀羽〇以小杓
如前沃火人各々二十一杓（問師）文
帖云。問師者何事耶。師曰。人々各々二
十一杓煩故繁故略之。唯三反沃之耳
文
決云。師左拳小指鈎弟子右金剛拳空

指如胎界也文
此天段後火大段修之（如常依釋之心幷界梨式加入之云々）
近代諸德不修此二段。是相傳疎也。又不
見經文也　問。不修曬箱二段。何用此段
哉。答。依軌心用之。彼二段無軌文不修之。
問。無經何強用之。答。胎記云。囉惹護摩。眷
屬幷百官法界諸衆生。自身各三護文以
此准念尤至要也。仍加用也　問。古說不
然何。答。存略隨早晚。不可守株耳
決云。私云。昨夜呼摩之次。有儭施之事。今
夜不見之。但師布施在淨筵上也
穴云。我受時無儭施。此界無此事也云々
次阿闍梨從座起就大壇位文
決云。大壇位者。不必禮盤等座。只是大壇
之前邊也。今此文此界三昧耶戒也。大衆
者曼荼羅集會也文
教王記云。師往大壇之前立。向南召弟子。
令踞跪大壇前南。告弟子文
次教令弟子令結羯磨三昧耶八供印明
決云。彼夜不聞之。今案。師存略給歟。後日
度々見之。令弟子向大壇。卽令結誦三昧
耶會羯磨會八供印明文
次復以金剛讚嘆密語作四種供養
決云。私云。師弟共壇前向壇（長跪）卽金合掌。
師弟共當胸面仰左方（如嬉菩薩儀也）同音誦四
智讚語初一句（同讚衆音亦也）第二句金合頭上
當著。第三句金合指端下向上散之（歌菩薩勢也）
第四句心前及左邊右邊各舞之。後日又
度々見之同之。或時三反誦之給讚三反

了打鈸一反了
梨行房裏云。私云。入壇之夜見之。師每句
身左伏給。三反誦之給。後日見一字時處
軌有此意云々
時處軌云。當心左低身。是爲敬禮儀文
穴云。雨夜靜三反吉事也云々
又云。每句身左伏事可用之云々
次阿闍梨教令弟子修事供養
決云。上結八供印明供養。次誦四智是亦
供養儀也。而今亦捧左方事供養。一々誦
明。如常供之云々
胎小次云。五供養普供。次讚。次禮拜云々
後日見之。香花燈塗食普供讚閼伽如次
供之文
次花果〇分賜弟子文
決云。小分與供物也。唯一房花與之。私云。
但彼夜不見略歟。後日度々見之有此事
勝林記勘付云。勝林師略之云々
穴云。與菓等事驗爲也。奉獻佛物也。熊野
詣ナキノ葉。如與花許略也云々
次令弟子〇令脫寶冠等
決云。私云。弟子卽於淨筵邊脫寶冠等了。
卽半跏上坐。次卽引入結緣灌頂者也
次如常念誦禮讚文

建長五年五月二十九日於關東大藏
谷書了　無障金剛尊澄
建武元年五月七日以右本御本書寫
了

同二十二日一交了　豪鎮

同四年四月晦日於東谷花藏坊以五大堂殿御自筆之本校合了　豪鎮

貞治四年九月八日於西山寺戶奧坊以右御本書寫了　澄盛

享德三年三月盡日書寫之了。源喜承應（甲午）年卯月三日觀音寺舜興法印依命書寫之了

元祿十六年三月十七日謄寫

天台山兜率谷雞頭院嚴覺

享保九辰年同午年於出雲寺書寫校合了

阿娑縛抄第五　兩行毘盧次第

∴先莊嚴道場

以大幕二帖始自東北引（以表爲外）道場八方懸八色幡（白紅黑緋赤水黃白自東方順右旋懸之）壇上張設天蓋

曼荼羅　道場近北並懸兩曼（胎東金西）

大壇

對曼荼羅向北立之（五寶等其下可壓藏之）以絹一疋數壇上。並引過立鏁引糸。如例

灌頂壇

大壇西南邊立之。壇北立禮版。半疊之上數邐蓋。其上數草座（是受者座也）壇南立禮版。數半疊（是阿闍梨坐也）壇西立机（金時安東壇與邐蓋中分立之）南端安道具箱蓋（中鏡四方五鈷鈴輪螺又白拂入之）北端立五瓶（五瓶胎時中四角金時中四方立之）

護摩壇

大壇東南邊。對正覺壇立之（北向）以絹四丈可引壇中心。置葉火爐（火爐置之）壇南立禮版。半疊上數草座。禮版左邊板數上數草座（受者座也）

淨莚

大壇東南邊（東懸綵）南北數之。莚南端立小床子（懸裙衣料也）莚北端置廣筥蓋（寶冠香水器釧四茅環二白繪一條多羅葉二懸紐一）又邊壁寄立白傘

門前机便所立之。机下邊安香象。机上灑水瓶（一莖花数枝加之）白花（造花）含香（丁子）塗香覆面（白色）

安之。又安香水

廂曲　門前便所立屛風數座

讀衆座　隨道場便宜數之

∴次排比供物

大壇々四端數食道。其上備四面內外供（飯餅油根菓蘿）更可加十二執金剛等供（四角花瓶內外各一器四角花瓶外各一器）南方壇門火舍四角各一器　二箇度分儲二十四坏。先胎分十二坏備之。壇上可重數兩曼（胎上金下）二界共北上

以羯磨四枚置四角

五部鈴杵立之。塔鈴中瓶外立之。餘四鈴杵四面火舍內方（數曼荼羅緣也）立之（東五寶西三北獨南）五瓶於灌頂壇加持了。移置大壇（日白帶座上置大四瓶四角上置之）

裹書曰

禾云。中瓶東佛與中台中間可立之

禾云。合行時赤帶瓶立東南或東北立之。數曼荼羅過方。故付彼意也

禾云。中臺與西佛中間立塔鈴。輪西佛與般若菩薩中間立之。或塔鈴下數之

左机　灑水　塗香　名香　居箱置之

右机　佛布施　香爐箱置之（若居箱略香爐居此机）

示云。大壇邊夾木花締置之

又投花少々可設之（樒葉三房許以糸結之入折敷置折敷）

灌頂壇　一面內外供（蓮臺方內供禮版方外供也閼伽器等可用新物）

護摩壇　爐右油粥飯生大小杓扇箸

爐前芥子　粳米　胡麻　房花　散花

香　酥　蜜　乳木　爐左　灑水　嗽

口（各加散杖）置之
十方神供
先以淨葉敷十方供（草座十一枚始自東方敷之也）
次粥盛器（堅粥上加入五穀）於一處總加持之（兩界料二十八坏也北方加持）
（飲食須彌字水輪觀）一然後各々位所備之
（十坏三方及四維上下各二坏也）
禾云。北方九坏。下方三坏歟
雜神供　常如修法之時備之
∴加持五瓶
各入香水并寶藥香穀。并插時花一枝
（白色若造）以五色帶繫其項。立灌頂壇加持
之
以不動眞言（慈救刀印）於五瓶去垢辟除
以法界心[梵字]字。加五瓶（結火印於一々瓶觀[梵字]字也）
先加中台瓶
胎正等覺心（五古印　𑖀〇南阿）
金大日羯磨印明（智拳印　唵縛日羅駄都鑁）
次加赤帶瓶
胎普賢（蓮合中指少開　𑖀〇南暗惡ソハカ）
金普賢（內五古印　唵三曼多跋捺羅野惡）
次加黃帶瓶
胎慈氏（金合〇（左右）〇南摩訶瑜誐瑜　縛拳瑜諸洗縛傾欠惹利計ソハカ）
金彌勒（虛合二風背合以二大指置二風上　唵每怛隷野ソハカ）
次加青帶瓶
胎除蓋障（虛合地水入內火風寶形（左右合）阿薩　怛縛係多嚩嚩嚩多怛藍々々藍々）ソハカ
金滅諸障礙（金縛如三古杵唵薩縛戍迦怛　怛𑖀里伽多𑖀多鬼ソハカ）
次加黑帶瓶
胎除惡趣（定慧合掌（右）特憎嫌阿毘　庾遮羅捉薩怛縛馱數ソハカ）

金離惡趣（梵夾印　唵蔵縛幡野惹賀野ソハカ）
加持了。大壇移之（中四角立之）
∴次阿闍梨入堂　讃衆在前發音（四智讃）
鐃鈸放釋。受者以維付後。蓋阿闍梨入堂。
但到門前。受者留堂外廂曲所。令隱居也
次阿闍梨讃衆入堂内。三匝繞壇（通設打鈸）繞
了。讃衆出於幕外
次阿闍梨就座。加持香水（乃至）啓白神分
等
次供養文
次唱禮（合唱在別禮）
次九方便（弟子在堂外供養文等同音誦之）
次五大願
次供養法（胎乃至讃）
讃\衆大讃。佛讃。百字（時赴久故略之）
阿闍梨三身讃許歟　云々
次諸方神供（兩部諸天可兼歟）此間。讃衆誦諸天漢
語讃一匝（供了鈸）
次阿闍梨自座起。順迴堂内三匝供之（二手）
（捧器誦唄迴々々咒）
先正東一器（帝釋并毘那夜迦）　又一器（金帝釋天）
次正南一器（焰魔天并變嘷訶）　又一器（金焰魔王）
次正西一器（水天并變嘷羅）　又一器（金諸龍及水神）
次正北八器（多聞等左方四器茶吉尼等　自中左右相変供之右方四）　又一器（金諸夜叉）
已上一周了
次東北一器（大自在天并眷屬）　又一器（金自在天）
次東南一器（火天并眷屬）　又一器（金火神）
次西南一器（羅剎主并眷屬）　又一器（金羅剎婆）

次西北一器（風天并眷屬）　又一器（金諸風神）
已上第二周了
次東方一器（上方梵天并眷屬）　又一器（金梵天）
次西方一器（下方地天并眷屬）　又一器（金地天）
又一器（金諸鬼神施）
已上第三周了
此間。於堂外可修雜神供（如常）
施了。出門前灑淨（自身）超薰香入堂
次拳佛布施
阿闍梨著禮盤。左手執布施。右手取散杖。
灑水
次右取布施。薰香煙　次兩手捧之當額
云
南\無恭敬供養兩部界會摩訶毘盧遮那
如來。護持金剛佛子三昧耶成就
卽誦普供養明
次就座念誦（普門持誦是也）
兩界合行供養法也。八印後三昧耶會
五佛印明加之（〇〇）
根本印　無所不至胎八字。行位。薩埵。佛
眼念誦。無所不至（百反）行位。薩埵。佛眼（各七反許）
次引入弟子
先移大壇五瓶。置灌頂壇（先依胎中四隅立之以灑水散杖加中瓶）
又大壇塔鈴令取去（敎王記云前火合遍置）
次阿闍梨頂禮諸尊（阿闍梨從座而起令取去禮頂等）
應作是念。我今爲某甲善男子灌頂。惟願
諸佛菩薩。降臨道場。受我供養。諦想所請
佛菩薩衆。皆來集會
次阿闍梨出外。乍立門前。結誦大鉤召印

明召之。被召弟子。來立机邊
次門前灑水
以杵誦吽三世明加持之。灑弟子頂
次含香　令弟子含之
次授塗香　誦胎塗香明。授弟子兩手（並仰）
令塗。次師右手捻香。申五指塗弟子胸
次授淨花
師取花授弟子兩手（並仰受之）說云。住心品云。
佛言。一切智智菩提心爲因。大悲爲根本。
方便爲究竟云。何菩提謂如實知自心。自
心尋求菩提及一切智。何以故。本性淸淨
故。釋云。衆生自心卽此一切智智。如實了
知名爲一切智者。是故此教諸菩薩直眞
言爲門。自心發起菩提。卽心具萬行。見心
正等覺。證心大涅槃。發起心方便。嚴淨心
佛國。從因至果。皆以無所住而住其心云云
汝等當如是發菩提心（告言了。取返置本處）
次教令弟子結誦四禮印明（向道場立作之）
次阿闍梨自○身（[illegible]）
入佛　法界　轉法　被甲
次覆面　阿闍梨取白帛（以右手掩之）以不動眞
言（慈救）如法作淨（右以杵順逆加之）復用本部眞言王ゝゝ
（阿歸命）三轉加之。周覆弟子面門
次當深起慈悲護念之心。耳語告彼三昧
耶戒。勿令諸餘未入壇者聞聲
佛子汝從今　不惜身命故
不應捨正法　捨離菩提心
慳悋一切法　不利衆生行
佛說三昧耶　汝善住戒者
如護自身命　護戒亦如是
應至誠恭敬　稽首聖尊足
所作隨教行　勿生疑慮心
次令弟子結普賢三昧耶印。授三昧耶薩
埵鏤。三反（若入佛三昧耶）師以右手執針。引入卽
越香象。入道場內。行步之間。授三摩耶吽。
三反
次引至第一重門二龍王守衛之處。令正
當門扉立。不得前却（私。師立門東。資立門西）
次應告言。汝今已入一切如來眷屬部中。
我今令汝生金剛智。汝等應知。由此智故。
當得一切如來悉地事業。然汝亦不應與
未入此等道場人說此法事。汝儻說者。非
但違失汝三昧耶。自招殃咎耳
汝於我所莫生疑慢。應當深生敬信。汝於
我身當如執金剛菩薩。我所教誨當盡奉
行。若不爾者。自招其禍
次誓水
以不動刀印明。加持誓水。次誦誓水眞言
次弟子取（弟子取）○（[illegible]）
次令飮之三反（前作立壇飮之）
次以花鬘令掛弟子印上。當授此密語。三
反
唵鉢羅底車跛折羅護
而以至誠心。向道場散之（看花示位）
取去胎鬘。次金投花也云云
次取其花。以葉末倒置受者頂上。一誦一
安。三反。教云。汝未來學得其如來位。必將
引濟一切衆生。其眞言曰（次第取）
唵鉢羅底紇里恨拏怛縛縒摩含薩埵摩
訶波羅
次應開面令瞻覩道場。卽以悲生眼印眞
言。印資兩眼。然後令禮曼荼羅
娑○南識ゝ娑縛羅浠吃叉儜迦喃拏摩
耶怛他孽多作吃芻ソハカ
然後令禮曼荼羅。以歡喜心。告之曰
汝今觀妙此曼荼羅。深生敬信。汝已生諸
佛家。諸明尊等同共加護。一切吉祥及與
悉地。皆悉現前。是故堅持三昧耶戒。於眞
言法教。應懃修習
次令弟子以香花等。普供養曼荼羅聖衆。
於壇前半跏坐。右方五供一ゝ捧之
先閼伽　塗香　花鬘　燒香　飮食
燈明　普供　讚（四智若大日）
此間師猶立
次卽於道場。授與本眞言印（五古印歸命阿）令坐
一所誦之（ム云。若一入弟子。不必去壇前）
次引入餘弟子
次寂災護摩
師卽著護摩壇　加持香水（乃至）光澤。羯
磨金剛輪
火天段（如常）
燒供等三反。投物等七反（若三反）乳木三
枚
諸尊段（一曼荼羅集會請供之）
淨火　扇火　投散花（曼荼羅ゝゝゝ明阿）
合掌觀尊（總可想一曼荼羅大底）召請（大鉤召印阿明）四字
嗽口　大杓油（已下三部總呪）粥　飯　生

花　木三把　芥　粳　麻　香
大杓油
次以寂災眞言護摩一〻諸尊各七反 頌故總供三反
次將弟子於護摩所於阿闍梨左邊坐 草座上
以左手小指 覆忿怒拳 鉤弟子右手大指 仰拳
用曼荼羅主眞言 歸命阿 護摩七反
次用寂災眞言護摩七反
復以同眞言於弟子頭上右轉三反而
作護摩是三摩波多護摩法也
次嗽口　次投散花　次發遣
次神袋
以左袖覆弟子右膊以塗香塗手按其胸
次儭施法
師立大壇東邊 向南 賚向師長跪兩手捧布
施 若有多弟子同時捧之 師向賚而告之言 弟子取大[illegible]

今此勝福田　一切佛所說
爲欲廣饒益　一切諸有情
奉施一切僧　當獲於大果
無盡大資財　世說常隨生
以供養僧者　施具德之人
是故世尊說　應當發歡喜
隨力辦肴膳　而施現前僧

頌偈了布施置本所 此次若有多弟子者唯留一人餘且出之
次引入蓮臺
先用辦事眞言 勝三世 加持座物 草座安置蓮臺上
次令依吉祥坐法而坐 以左脚踏蓮花門以右脚踏蓮臺 面
向南坐蓮花臺上

先以寶冠令著之 二佛頂方爲前
次令結薩埵印 五古印也押紙云弟子同五古印 明曰
曩〇赦唵縛日羅播抳縛日羅薩埵嚩吽
次師往大壇供十二尊 閼伽居二手捧器先稱名號次塗香飲食明供之
先四菩薩 四角花瓶內東南爲首順迴供之
南無恭敬供養總持自在執金剛菩薩
摩訶薩
南〻〻〻念持執金剛〻〻〻〻
南〻〻〻〻〻利益心〻〻〻〻〻〻
南〻〻〻〻〻悲者〻〻〻〻〻〻
次四執金剛 四角花瓶外東南爲首順迴供之
南無恭敬供養住無戲論執金剛菩薩
摩訶薩
南〻〻〻〻〻虛空無垢〻〻〻〻〻
南〻〻〻〻〻無垢眼〻〻〻〻〻〻
南〻〻〻〻〻被雜色衣〻〻〻〻〻〻
次四奉教者 南門四器左右相交供之且約行人左右
南 內左 〻〻〻〻著雜色衣奉教者
南 內右 〻〻〻〻滿願〻〻〻
南 外左 〻〻〻〻無礙〻〻〻
南 外右 〻〻〻〻解脫〻〻〻
次還灌頂壇面向北方對受者坐 半跏 供
受者 可想受職金剛薩埵後 先加供物 拍掌彈指去垢淸淨光淨
次閼伽　塗香　花鬘　燒香　飮食
燈明 已上右方 一〻供之
次師從座下到弟子邊以不動 慈救 加持白
傘 右杵左傘 誦大日如來眞言 阿歸命 加持用攪
其上 左手執拂
禾云令已入壇者持傘

次師取白拂口誦吉慶伽陀 讚衆同音 以拂漸
〻拂弟子肩拂弟子煩惱業苦塵令成佛
也
次一段了止拂披伽陀文說其訓耳語受
者讚曰 此讚衆打鈸伽陀師讀音

諸佛覩史下生時　釋梵龍神隨侍衞
種〻勝妙吉祥事　願汝今時盡能得　丁
迦毘羅衞誕釋宮　龍王澍沐甘露水
諸天供養吉祥事　願汝灌頂亦如是　丁
金剛座上爲群生　後夜降魔成正覺
現諸希有吉祥事　願汝此座悉能成　丁
波羅奈苑河莊嚴　爲五仙人開妙法
成就無量吉祥事　願汝今時盡獲得　丁
諸佛大悲方便海　普利法界衆生界
盡未來際無疲倦　四無礙智汝當得　丁

次師置白拂及傘至佛前頂禮曼荼羅一
切尊然後合掌起立壇前啓白諸尊云
今與受者 某甲 將授五瓶灌頂仰願諸尊
海會將垂加悲愍聽許之
次擎水纔繞壇 令弟子結印明所得部令坐蓮臺
阿闍梨捧中瓶 誦明 迴餘人隨臈次各捧
一瓶 誦明 繞壇三匝
中瓶 正等覺心 曩〇南阿
東南瓶 普賢 [illegible]暗惡ソハカ
西南瓶 慈氏 [illegible]ソハカ
西北瓶 除蓋障 [illegible]ソハカ
東北瓶 除惡趣 [illegible]
繞壇了五瓶如本立花机上 敕王記云如前 大日四菩薩印
明加持之

次灌頂
資向西方、同胎藏大日。師向受者、先結火
印、當心想弟子以爲阿字方壇中安弟子。
次用羅字爲火燒之、悉成灰。已[梵字]字獨存
次以四瓶次第灑之 師起座作立各誦其瓶眞言灑之三反許
先赤帶瓶 普賢
曩〇南暗惡ソハカ
次黃瓶 文殊
曩〇南阿吠娜尾泥ソハカ
次青瓶 慈氏
曩〇南摩訶瑜誐瑜擬寧瑜詣說縛履欠
惹利計ソハカ
次黑瓶 觀音
曩〇南沒馱達羅尼娑沒嘌底沫羅馱曩
迦履馱羅〻〻馱羅野〻〻〻薩鑁婆誐
縛底阿迦羅縛底三摩曳ソハカ
次白帶瓶 大日
曩〇南阿
次鑁字觀 師著本座或作立
結水印 八葉 當心觀想弟子心上有圓明。
於中有[梵字]字。其色純白而生水輪。猶如白
乳。而注死灰。生淨菩提心佛種子也。所謂
[梵字][梵字][梵字]也。然後誦鑁字明於弟子身
而以散之
次五輪觀
結五輪印。弟子身上想有五字。此卽鑁字。
緣雨火動因和合所生也。變此五字各成
五輪。誦各〻明。印彼五處。成率都婆
地輪 五古腰下 [梵字]歸命　水輪 八葉腰上 [梵字]歸命　火輪 火印 心 [梵字]
歸命 風輪 轉法輪 額 [梵字]歸命　空輪 慧刀 頂 [梵字]歸命 已上
名佛牙灌頂
次十二眞言王
結羯磨印。弟子身上想十二字。誦各〻字
印其處
[梵字] 頂 [梵字][梵字] 二耳 [梵字] 額 [梵字][梵字] 二肩 [梵字] 心 [梵字] 咽
[梵字] 臍 [梵字] 腰 [梵字] 腿 [梵字] 足下
次暗字等觀
先結普印。弟子頂上想布[梵字]字。誦暗字明。
印頂上
次結佛頂印。弟子心上想布[梵字]字。誦阿字
明。印其心上
次結火印。弟子胸上想有[梵字]字。誦羅字明。
印其胸上。卽想弟子心中阿字白蓮開敷。
大日如來坐其上。然後灑之
次正灌頂
先本尊灌頂 若不得大日直作之 師結其印置弟子
頂。誦其明 弟子別結誦之同 次誦其明。以其瓶水灑
之
次普賢
蓮合中指小開
曩〇南暗惡ソハカ
赤帶瓶灑之 其作法同前
次文殊
蓮合中指稍開
曩〇南阿吠娜尾泥ソハカ
黃瓶
次慈氏 金合低左右
曩〇南摩訶瑜誐瑜擬寧瑜詣說嚩履
欠惹㘑計ソハカ
青瓶
次觀音 火蓮開合
曩〇南沒馱達羅尼娑沒嘌底沫羅馱
曩迦履馱羅〻〻馱羅耶〻〻〻薩鑁
婆誐縛底阿迦羅縛底三摩曳娑縛訶
黑瓶
次寶幢 蓮合地風散曩〇南落ソハカ　赤瓶
次花開 前印屈風置空輪曩〇南縛ソハカ　黃瓶
次阿彌陀 八葉印曩〇南糝索ソハカ　青瓶
次觀音 先印二地入掌曩〇南唅鶴ソハカ　黑瓶
次大日 五古印曩〇南阿　白瓶
已上作法同前。師資結誦。次誦明灑之
卽想弟子同大日。亦想己同十方諸佛灌
以法水。授法王位 已上可名佛果灌頂
或記。次用百光王布字 如胎灌云々可見合
次金界灌頂 移五瓶五机立蓮臺東 五瓶立机中四方
資向南花机坐。結所得部印
次師往大壇供十二尊 作法如先胎灌頂了。更居替十二執供是
金剛界分也
次還至灌頂壇向蓮臺前花机而坐。供弟
子 想受職最後身金剛薩埵也
先加持供物 誦降三世明。以杵加持之
次左方閼伽五供養供之 香花燈塗食一〻誦明捧供明如金
次讚 四智 僧讚
次師加持白傘 誦降三世眞言以杵加持之 大日 覆弟子上
左手取莖
次唱吉慶伽陀。右手取白拂。拂受者肩
次說其訓。耳語受者讚曰 師一段了。披文讀此訓。聞讚未打鈸

（讚師）諸佛觀史下生時　釋梵龍神隨侍衞
種々勝妙吉祥事　願汝今時盡能得丁
迦毘羅衞誕釋宮　龍王澍沐甘露水
諸天供養吉祥事　願汝灌頂亦如是丁
金剛座上爲群生　後夜降魔成正覺
現諸希有吉祥事　願汝此座悉能成丁
波羅奈苑河莊嚴　爲五仙人開妙法
成就無量吉祥事　願汝今時盡獲得丁
諸佛大悲方便海　普利法界衆生界
盡未來際無疲倦　四無礙智汝當得丁
次師覺拂傘至佛前頂禮曼荼羅一切尊
然後合掌（金合）起立壇前啓白諸尊云
今與受者（某甲）將授五瓶灌頂仰願諸尊
海會特垂加悲愍聽許之
次擎水瓶繞壇三匝（中瓶阿闍梨捧之餘四瓶隨讃大讃衆捧之各隨當瓶明）
中瓶（大日）
唵縛日羅馱覩鑁
東瓶（普賢）
唵三曼多跛捺羅惡ソハカ
南瓶（彌勒）
唵每怛隸夜野ソハカ
西瓶（除蓋障）
唵薩縛戍迦怛𭃬儞哩迦多摩野曳暗
ソハカ
北瓶（離諸惡趣）
唵薩縛幡野惹賀野婆ソハカ
繞了如本立瓶
次賚向東同金界大日師向受者

先作本尊灌頂
先想弟子頂上有□字上有圓點（眞如圓寂法身涅槃）
□字放光焰熾然赫奕又想心中有月輪
内有八葉蓮花臺上亦有□字内想有率
覩婆（且依佛部三形餘部隨得佛觀之）師應想己身如毘盧
遮那像（觀想聞定印之）師結弟子所得尊印誦其
明覺弟子頂上（弟子同結其印誦明）次師誦其部灌頂
明以其部瓶水灌弟子頂上
次五佛灌頂　師資共結誦印明然後灑
之劍印印印頂上
唵薩縛怛他蘖多濕囀哩耶毘𭃬迦吽
（白瓶灑之）
針印印額
唵縛日羅薩怛婆毘詵遮給吽（赤瓶灑之）
寶印印頂右
唵縛日羅々怛曩毘詵遮給怛羅（黃瓶灑之）
蓮印印頂後
唵縛日羅鉢娜摩毘詵遮給頡利（青瓶灑之）
羯磨印々頂左
唵縛日羅羯磨毘詵遮給惡（黑瓶灑之）
次於彼額上想有□字色相如金想兩目
上各有□字其色如火上生光燄其二足
間想種々色爲法輪相八輻莊嚴（觀想同定印之中五瓶供塗香之）
次師誦薩埵金剛心密語捻塗香
塗弟子胸也
三摩耶薩怛鑁
次五佛繫鬘（弟子不結之）
師結誦五佛印明各々印彼心喉頂已於
額前以進力繫鬘（如金

唵薩縛怛他揭多鼻三菩提跋折羅阿毘
詵者鈴鑁（佛部）
唵縛日羅薩怛縛摩羅毘詵遮給鑁（金部）
唵縛日羅羅怛曩摩羅毘詵遮給鑁（寶部）
唵縛日羅鉢娜摩摩羅毘詵遮給鑁（蓮部）
唵縛日羅羯磨摩羅毘詵遮給鑁（羯磨部）
次換衣
弟子從蓮臺下往淨筵（往間不蓋傘）乍立脫濕
衣懸小床子（禾云或云只蓋傘云々）師自手取新衣等
令著之（禾云令衆著之）
次取二十一結線自右肩左脇下繫之（反著）
（袈裟也）
次華鬘各以一條懸左右肩前後垂之（前後）
（腰程一結也）
次臂釧腕釧先左臂（大）同腕（小）次右臂（大）
同腕（小）
次茅環懸無名指中節（先左次右）
次寶冠（或自本不脫寶冠）
次白繪
智泉說白繪前後打懸其上令著冠繒
前後打上云々合行時依此說云々
次以寶繖隱受者將向新佛壇座令坐蓮
臺（左足踏門右足踏蓮花臺）向南花机作法界定印坐（去印）
傘
次師對座捧供五供養（左方）次讃（四智讃）次
閼伽
禾云讃衆同音誦之
次授道具（教王記云私記此處有五供養若是誤賦可慰之文）
師以觀羽取五古爲說偈曰（每句取次第）

諸佛金剛灌頂儀　汝已如法灌頂竟
爲成如來體性故　汝應授此金剛杵（取次第）
卽五古橫授弟子雙手（並仰橫受之）眞言曰
唵䟦折羅𡃤鉢提微怛𠹺阿鞞詵者弭底
瑟吒䟦折羅三摩曳薩怛𠹺
次授金剛名號。於弟子本名上加金剛字。作名呼之（照金剛佛子某甲遍金剛隨得佛）密語曰（取次第）
唵䟦折羅薩怛𠹺摩含阿毘詵者冥䟦折羅那莾毘𠽋迦多係䟦折羅那莾
次道具加持（作立一臨道具當作結一印加持之逡）
鉀（火印歸命ま）　鏡（金合歸命ゑ）　輪（轉法輪印明）　螺（法螺印明）
次以金鉀瑩拭其目。橫持鉀。先以右頭拭右目。次以左頭拭左目。當於弟子兩目觀ま羅字。淨其目中垢障。然後授弟子雙手。而爲說偈（取次第）
佛子佛爲汝　決除無智瞙
猶如世醫王　善用於金籌
次現前示彼明鏡（授弟子雙手令見之）當觀ゑ滿字。淨其心中垢障。而爲說偈（取次第）
諸法無形像　淸淨無垢濁
無執離言說　但從因業起
如是知此法　自性無染汚
爲世無比利　汝從佛心生
次持法輪授弟子左手。令持二足之間（立輪）授法螺右手令持之（如持吹勢指末向外）而爲說（當轉或擬）偈（取次第）
汝自於今日　轉於救世輪
其聲普周遍　吹無上法螺
勿生於異慧　當離疑悔心
開示於世間　勝行眞言道
常作如是願　宣唱佛恩德
一切執金剛　皆當護念汝
記云。私云。於此次一人從蓮臺下。令坐一處。教彼眞言印
次召餘弟子云々
次繞壇三匝
弟子從蓮臺下。結五古印。誦阿明繞大壇一匝
師持傘隨後覆弟子。此間誦吉慶梵音
一段三匝了三段。第三段了。打鈸
次禮拜
既周畢從至二龍廂衞處。教弟子慇懃令禮拜三反其傘隨身上下而蔭之（禮拜了其傘應放之）
次令弟子長跪而師乍立白諸尊云
我某甲與某甲灌頂已畢。今付囑諸尊。令傳明藏
作作是語已。令彼起立。對曼荼羅前。次告云
汝今已成曼荼羅○傳法阿闍梨竟。諸佛菩薩及眞言主一切天神已共知汝佛子
汝已祕密藏中隨順修學。具足明了。堪能敎授於他。汝已得善利。乃至諸賢聖衆亦皆稱歎。今已作灌頂竟。汝當以眞淨心。傳持流布。使如來祕藏久々不滅。如是隨其所應種々慰喩已。卽應得爲人作曼荼羅阿闍梨也
次令坐一處。教彼本印眞言
次召餘弟子。一々如是灌頂畢
次爲說三昧耶戒（令彼起立曼荼羅前耳語說之）
佛子汝從今　不惜身命故
常不應捨法　捨離菩提心
慳悋一切法　不利衆生行
佛說三昧耶　汝善住戒者
如護自身命　護戒亦如是
應至誠恭敬　稽首聖尊足
所作隨教行　勿生疑慮心
次師取五鈷金剛杵。而授與之。告言
此是諸佛體性。金剛薩埵手所執者。汝應堅護禁戒。常當持之（佛像卽告言。人收懷中。至成佛之期不可離身云々）
弟子受已。授此決定要聲密語。令其誦之。密語曰（取次第）
唵薩縛怛他揭多悉地䟦折羅三摩耶底瑟吒翳沙怛𠹺含䭾羅野冥䟦折羅薩埵係々々々吽
次中間護摩
（初持誦竟。爲一々弟子而作護摩。令弟子成佛身說。更云。爲彼弟子而作護摩是供弟子）
加（亦）炭　淨火　扇火　散花（阿歸命）
合掌觀尊（觀一大曼茶羅衆會弟子）
大鈎召（心想中請大大曼荼羅衆會也）
四字　嗽口　大杓油　粥
飯　生花木
芥　更𪊑　大杓油
小杓油三反（主曼茶羅明）　飯三反（明寂靜）　胡
𪊑二十一反（上明）
嗽口　投花　奉送（已上不灌胎記云說如右）（灌頂）
加（上）炭　淨火　扇火
勸請　大鈎召印明。想請大曼荼羅衆
會。卽弟子心中法界曼荼羅衆會也

小杓油三反（曼荼羅主明）　飯三反（寂靜明）
乳木三枝（上明）　胡麻二十一反（上明）
奉送云云
次（瓶之水）教次第令坐（向師）師立壇前讀般若令彼等聽（大般若經陀羅尼此經有令法久住陀羅尼最要矣）陀羅尼曰（每句次第）
怛姪他阿虎絡屈洛尉底虎刺拏莎𡃤茶
者遮者遮折尼阿弃若刹多刹多刹莚多
刹也莎訶陝末尼羯洛鄔曾鄔曾尉底迦
羅跋底迦阿辮耆底尼莎賴尼杜闍杜闍
末底阿尉始尼尉尸尉多尉多奴沙理尼
部多奴悉沒栗底提尉多奴悉沒栗底莎
訶
次爲都說三昧耶戒（師對資立坐）
一汝等從今日常於三寶及諸菩薩諸眞言尊重恭敬供養
二於摩訶衍經恒生信解
三凡見一切受三昧耶者當生愛樂
四於尊者所恒起恭敬
五不應於諸尊所懷嫌恨心及以信學外道經書
六凡來求者隨力施與
七於諸有情恒起慈悲（學行）
八於諸功德懃心修習
九常樂大乘於眞言行勿得懈癈
十所有祕密之法無三昧耶者不應爲說
次授兩部密印法
於壇前師資對座（師西資東）授之
如是作法已（乃至）弟子於師應恭敬尊重莫見師短於同學所莫相嫌恨

次應告之言（師立西資向師跪）汝於一切衆生常生慈愍哀矜示誨莫生厭離而說偈言（取次第）
三界極重罪　不過於厭離
汝於貪欲所　莫生厭離心
次欲令弟子堅持歡喜爲說偈言
此等三昧耶　諸佛爲汝說
守持善愛護　當如保身命
次弟子受師教已頂禮師足白言
如師教誨我誓修行（弟子向師禮拜三反）
次最後護摩（爲祈弟子三昧耶成就也如最初但不用加持供等如初）
火天段
諸尊段
大杓油　次以曼荼羅主眞言（阿彌陀）護摩七反（若三反）
復以寂靜眞言（唵薩婆播波那訶那嚩日羅耶娑嚩賀）護摩七反（若三反）
次嗽口　投花　撥遣
次四智讃漢語
師向壇中心坐資坐師左方（ム云長跪）讃衆同音誦之每句師資共作印或三反誦之三反了打鈸
金剛薩埵攝受故（師弟共金合掌當胸面向左方如金剛薩埵）
得爲無上金剛寶（金合掌當胸著）
金剛言詞歌詠故（金合掌蓮華勢下向仰）
願成金剛勝事業（散之歌菩薩之心前左脇右脇各舞菩薩儀也）
次後供養法
阿闍梨召弟子向大壇令胡跪告云
諸佛爲利益一切衆生故說此殊勝福田妙法汝應隨力辦香華供養大衆能令汝得無量果報

次弟子左方五供（或了次第云云依金）普供　讃（大日所得）
（讃四）閼伽
次香花等分賜弟子
（ム云）取壇上花鬘器之花一房授弟子雙手（禾云）（此花與當木等同齋持之）復令重作要誓云如上所說不得輙說此法
次令諸弟子各還本位於淨筵邊脫寶冠等坐
次引入結緣灌頂者
次移五瓶於大壇（以散杖加香水）數禮版等
次阿闍梨著坐入三摩地根本印後供養閼伽等
次解界奉送（可用兩界彙之ム云可胎界兩部解可想也）
次五悔（金）
次隨方迴向
次阿闍梨讃衆受者相共行道（逆）三匝（讃四智）
（打鈸如常）郎出堂

御本云
建長三年十一月六日於小川草了
依勝林院記次第委注師說
同五年四月七日於關東大藏書了
無障金剛尊澄記之
正應元年十一月八日酉剋許書寫之
畢　按合之了　淸淨金剛澄豪
建武四年四月晦日以五大堂殿御自
筆御本於花藏坊校合了　豪鎭
右御本傳領畢　嚴豪

傳領畢

持者權少僧都　堯尊　豪喜

右筆豪宗（花押）

權大僧都法印大和尚位豪喜記之

永享九年丁巳四月五日

永正五年戊辰南呂下旬之比賜右御本

奉書寫傳受畢　右筆重藝

小川末流豪祝記之

天文二十二癸丑季初冬二十五日以先

師自筆私記偏妙見神納奉備且爲先

師代々佛果增進且爲紹隆佛法且爲

二世願望悉地成就敬重委遂三箇夜

開壇成就者也

阿娑縛抄第六　合灌記　末

合行灌頂慈覺智證共傳之給。慈覺大師傳給事。山門不知之。口惜事也。三井寺人智證許傳給。知川流離作業。智證流云々佛眼教賢供奉定心和尚灌頂受。被申汲嚴阿闍梨可被授合行之由被申。和尚未受之云々。闍梨又申。只令授給押沙汰被授於印信者。兩部各別被放云々

決云。雖合行印信各々授無妨云々

又智泉房阿闍梨井房可受合行灌頂之由被申未受之。但兩部受同事也云々

問（問圖智也）故法印（實相）不令谷合行灌頂給。仍川流人々令授之由承之如何。答（答圖雲也）川流令受給也。但谷流令受給了。先々令申之樣。ヒトリ師云。兩壇云合行數度作法事。不必可有○（之イ甲）只兩壇灌頂之後。合行印信放加常例也。又谷合行人。川合行印信放加又常例也。然者故法印作法雖被受川合行。谷合行何不被授人哉云々

靜然法眼相語仙範云。故法印（實相）令受川給。仍玄雲律師可奉受谷合行灌頂之由。雖令申。不作法方不能授川方令授給也云々

（元莊嚴道場）

記云。可敷胎曼。更問文

兩界曼荼羅重敷之（胎上金下）而投花之時。先胎投之後。取去胎曼。金投花也。一說胎曼許投花。金得佛如胎示之云々　但先說可也云々

ム於大原清淨院受合行之時。兩界共打之云々

智泉房。五瓶五鈴共立之　佛頂房。五鈴不立之。合行時可依智泉說云々

灌頂要事（谷）云。塔鈴般若菩薩與虛空藏間立。餘四方門上方立之文

帖云。問。隨處便宜。曼荼羅建立。若向南安壇。其鈴杵等何安之耶。答。可隨巧慧也。若過安之。若如本方安之文

次排比供物

記云。更加十二執金剛等供

二箇度分二十四坏。胎自始居壇上。金胎灌頂了可居替也

記云。又可備十方神供（若依胎者八都盧十七器。或金者或八器或十器）更問文

兩界分都二十八坏。一度居並供養時。胎帝釋之次金帝釋。胎水天之次金水天等。供養之列不供也。只三匝之次金供養之也文

禾云。此圖北方十坏置之如何。胎分十七坏。北方八坏。三方四維上下各一坏也。金十一坏。十方各一坏。更下方一坏加之。然者西方五坏。北方九坏。可有之歟。仍教王記意爾。如何

或記了云。十方神供如胎藏。但地天北可

居一坏。金諸天總供料也云々
儲五瓶
如記。以胎金各別印明。同瓶二箇度加持
之也云々
常師云。記心如此。但私思之。胎印明許加
持可足。其故兩壇之時。胎加持故。金時不
用加持。決云。仍胎許有云々
次門前灑水
教王記云。合行時故並可誦勝三世降三
世也文
引入弟子
離決云。有人取塔鈴瓶等。立曼荼羅西北
角文
引入壇門
弟子結印有二說（禾云。普賢三昧耶。入佛三昧耶）隨意用之云々
次引至第一重門（師立門北。資立門南文）
教王記云。賢暹私案云。合壇意。師立西。弟
子可立東歟
勝林記云。師立門東。資立門西文
次引入餘弟子
教王記云。他受者猶別儲備五供也。用舊
不穩文
次袖袋
教王記云。袖袋塗香二事。隨人可略之
次還到灌頂壇。西向北坐。受者供物机前
加持供物。次閼伽五供養等一々供之
決云。師曰。儀文甚略。可用心之件儀是法
性房大和尚授平燈院給本也。平燈赴鎮
西之時。以之授故師也云々。蓮臺南向立
之。花机亦臺南面安之。備供具也。而供養
之時。先令受者向西。同胎藏大日。師向受
者坐。即南五供一々取供之。但餘部得。先
如常令結本部印。而後結大日印之後供
五供也。次亦令受者向東。同金界大日。如
前。又取五供一々供之。次令受者南向座。
（向花机也）如常誦吉慶伽陀云々。又新佛登臺
時。直向南座文
教王記云。平等院傳々口（禾云。即右決文）引私云。爾
者以同五供二度可供歟。一方五供後供
養料也。如何々々文
次擎水纔繞壇（作法如記文）
教王記云。次繞壇了。如本五瓶。花机上立。
即如前以大日四菩薩（普賢文殊觀）印明加持之
文
次灌頂
教王記云。先因灌頂耳文
次金界灌頂
教王記云。偏是果灌頂也
擎水纔繞壇
教王記云。羯磨會五佛明誦之迴
又云。繞壇了○以五佛印明加持五瓶（但先加持了故略之文）
私云。於此次一人從蓮臺下。令坐一處。
教彼眞言
次召餘弟子文
教王記云。愚案。此時猶不可召餘弟子。只
令先受者繞壇了後可召歟云々
次令坐處。教彼本印眞言。次召餘弟子。一
々如是灌頂畢文
問。召餘弟子二說中。可用何說乎。答。人意
也。私云。師說。可用之歟。但嚴身具二具
難有故。一人作法皆了後。可召餘弟子歟。
臨期可許也云々
白絣
智泉房先白絣前後打懸。其上令著冠。前
被打上。是可然不覺云々
ム云。印合行灌頂之時。爾其次常師云。
合行時依此說。大師合行。被受智泉房
故也云々
智泉云。白絣前後懸事。髮際懸本文依聖
行房用此說給。前方打上事。私意樂也云々
三界極重罪○文
此偈音誦。弟子令取次第。又訓讀可令闕歟。
但總略之時。音許有。如此事可隨早晚文
引入結緣灌頂者
教王記云。抑合壇打灌頂示尊位事可尋
之
師即著座入定根本印等
教王記云。次八供養印明○○　次事五供
行道出堂
逆行道。智泉房イミシキ事被云。仍合行
彼流故隨之云々

建長三年十一月六日草了（于時在小川）
寶永二年六月二十三日寫之
兜率谷　嚴覺

享保九辰年ヨリ同午年マテ於出雲寺書寫校合了

阿娑縛抄第七　三摩耶戒儀 本

先壇場莊嚴

大幕引之（依便宜者不引之）雜色幡懸之

高座一面南向立之（師座也）上張天蓋

高座南立花机

香水　塗香　華　燈明

燒香（●新本）　灑水　香爐　齒木二

金剛線二條置之（禾云。木綿受者多分可置之面々）

又塗香　名香　可有置樣

机南向北敷半疊（受者座也）

受者座右（東也）淨薦一枚置之（三重許押折其耳在東西）

受者座左（西也）盥水瓶加紙一枚（手巾料歟疊折）

置之讃衆座隨便宜可敷之（前方右左歟）

屛風一雙可儲之（受者右方置之）

（圖像）三

次入堂作法如曼荼羅供（但無行動）

○（又有圖）闕梨持珠杵○（又有圖）受者隨後指蓋（正入堂之時蓋置門之）

前便所

次師登座（不用禮拜直著座師灑淨加持）　受者坐机前半疊

次讃衆誦（讃衆）四智讃　三反　打鈸起（次起立若居次受者不立）

次云何唄（先金二逆灑水）

大儀之時佛前敷別座就限著座唄了

歸本座先鐃二打之

或散華　對揚（用否在意）

（甲本頭註曰或本背書云散花〻總受者不立對揚讃衆同前受者立也）

常師云兩壇之時不用之合行時用之（云〻）

次表白神分等（次●或次乞戒次欲次超有流次善哉云云〻〻）

次●佛號（師作居唄之受者讃衆起居禮之常師云淡音人唱讃之異修法等唄禮云〻）（●圖齋圖人申）

南無淸淨法身　毘盧遮那佛

〻〻東方　寶幢佛

〻〻南方　花開敷佛

南無西方　無量壽佛

〻〻北方　天鼓雷音佛

〻〻胎藏海會　一切佛菩薩等

次金界禮佛

南無常住三世淨妙法身金剛界大悲毘盧遮那佛

〻〻金剛堅固自性身　阿閦佛

〻〻福德莊嚴聚身　寶生佛

〻〻受用智慧身　阿彌陀佛

〻〻作變化身　釋迦牟尼佛

〻〻金剛界大曼荼羅一切佛菩薩等

次前方便（用否在人意）

胎入佛（二）　法界　轉法　被甲　不動

刀印

金五佛加持（天）　灌頂　繫鬘　被甲

拍掌

或次振鈴（●圖云東加素）

夫欲超有流海達本無生岸要先捨惡進善捨惡者調身口意進善者專修戒定慧〻者卽一切陀羅尼門定者卽是一切三摩地門欲入此二門者要籍正戒以爲根

本而是三門如世伊字。闕一不可。自有古先大德。則有求那跋囉三藏達摩師。々傳授唯詮三摩地門。又三藏瞿多。三藏留支唯集陀羅尼門。次有三藏善無畏與金剛菩提流志。即天竺高德。唐土傳燈。鳩此三門歸于一揆。其定慧門者。乃是滅煩惱之要津。登涅槃之直路。甚深微妙。難可測度。若不發增上心。精勤勇探者。則不合得聞。勝上法門矣。仰願大日如來海會聖衆梵王帝釋一切五類諸天降臨此道場。證知證誠今日灌頂三摩耶戒事。謹誓願

次乞戒偈（弟子唱之。了禮師三反）唱

我今勸請阿闍梨　合掌恭敬頭面禮
當於尊者生佛想　及執金剛菩薩想
我等歸依尊者所　求學菩薩淨戒儀
唯願阿闍梨哀愍攝　爲欲建立不退位
（若金剛界者…）入胎藏界曼荼羅　慈悲教示令我見
受諸佛所共灌頂　是故至心歸命禮（三反）

善哉々々。如汝所請。我今依佛教。能受與。汝等應當一心諦聽。汝莫散亂。心若散亂者。一切如來及金剛薩埵所。不加持。汝當發露懺悔。三藏告曰。欲入大乘者。先發無上大菩提心。次受諸佛菩提心戒。身器清淨。然後受法。約有十種方便

一歸依啓請　二運心供養　三懺悔諸罪　四歸依三寶　五發菩提心　六略問遮難　七羯磨受戒　八求聖加護　九修四攝行等　十說四波羅蜜及十善戒

諸歸命啓請者

弟子某甲等歸命十方一切諸佛。諸大菩薩大菩提心。爲大導師。能令我等。離諸惡趣。能示人天大涅槃路。是故我今至心頂禮。眞言曰

唵薩縛沒馱冒地薩怛鑁設羅散蘖車弭縛日羅達磨頡唎

二運心供養

弟子某甲今於十方　無量世界
所有一切　最勝上妙　香花幡蓋
種々勝事　供養諸佛　諸大菩薩
及諸聖衆　盡未來際　至誠供養
至心頂禮（已上禪要意）　眞言曰

唵阿謨伽布惹麼抳跛納麼嚩日羅怛他蘖多尾路枳帝三滿多鉢羅薩羅吽

三懺悔諸罪

弟子某甲　自從過去　無始已來
乃至今日　貪瞋癡等　一切煩惱
及忿恨等　諸隨煩惱　擾亂身心
廣造一切　三業諸罪　身業不善
殺盜邪婬　口業不善　妄言綺語
惡口兩舌　意業不善　貪瞋邪見
一切煩惱　無始相續　纏染其心
如是三業　造罪無量　或殺父母
殺阿羅漢　出佛身血　破和合僧
毀謗三寶　打縛衆生　破齋破戒
飮酒食肉　如是等罪　無量無邊
不可憶知　自作教他　見作隨喜
今日誠心　發露懺悔　一懺已後
永斷相續　更不敢作　唯願十方
一切諸佛　諸大菩薩　加持護念
能令我等　罪障消滅　至心頂禮

眞言曰

唵薩縛播波薩怖吒娜訶曩縛日羅野娑縛賀

四歸依三寶

弟子某甲　始從今身　乃至當坐
菩提道場　歸依如來　無上三身
歸依方廣　大乘法藏　歸依一切
不退菩薩　唯願十方　一切諸佛
諸大菩薩　證知我等　至心頂禮（三說）

弟子某甲　歸依佛竟　歸依法竟
歸依僧竟　從今已往　乃至成佛
更不歸餘　二乘外道　唯願諸佛
慈悲接受　至心頂禮（一說）

眞言曰

唵步欠

五發菩提心

汝等發菩提心。諦聽菩提心者。從大悲起。爲成佛正因。智慧根本。能破無明業報。摧破魔怨。汝等能發大菩提心。應心口相應發大誓願

弟子某甲　始從今日　乃至當坐
菩提道場　誓發無上　大菩提心
衆生無邊誓願度　福智無邊誓願集
法門無邊誓願學　如來無邊誓願事
無上菩提誓願成
唯願十方　一切諸佛　諸大菩薩

證知我等　至心頂禮
眞言
唵冒地喞多母怛波那野弭
六略問遮難（一人之時問之）
諸佛子汝等從生已來不殺父否不殺母
否出佛身血否殺阿羅漢否殺和尚否殺
阿闍梨否破和合僧否汝等若犯如上七
逆罪者應可對衆發露懺悔不得覆藏或
依勝義諦觀罪性不內不外不在兩間空
無自性了不可得本來淸淨如是觀已了
一切法無自性故離諸妄念永斷相續方
名淸淨是爲殊勝懺悔能除一切重罪諸
佛子等應當如是修學
七羯磨受戒　阿闍梨啓白
苾芻某甲稽首和南敬白蓮華胎藏（若金剛界）
大毘盧遮那佛及十方三世一切諸佛諸
大菩薩聲聞緣覺一切賢聖咸願證明今
有娑訶世界南贍部州大日本國比叡山
延曆寺於某房有善男子於我所發菩提
心求受菩薩三聚淨戒其三聚淨戒者所
謂攝律儀戒攝善法戒饒益有情戒此三
聚淨戒能持否
ム云弟子持トモ又トウトモ可云也
（讀來一人副居受者可教[illegible]）
八求聖加護
弟子某甲仰啓毘盧遮那三部五部金剛
廳剎界會一切如來諸大菩薩無邊聖衆
唯願慈悲以本願力降臨道場證明我等
以大威光加持護念令我身心堅固不動

永無退轉乃至當坐菩提道場於其中間
不爲一切煩惱及隨煩惱之所染汚我及
一切有情亦復如是至心頂禮（三反）
九修四攝行（甲本頭註曰攝行之下一本有及除四障兼行四律依法已發菩提心具）
（三昧耶戒竟復[illegible]十修四攝法其四攝之三十字）法所謂布施愛語利行
同事爲欲調伏無始慳貪及饒益有情故
應行布施汝等能行否　受者答能行（已下）
（之同）爲欲調伏瞋恚憍慢煩惱及利益有情故
應行愛語汝等能行之否
爲欲饒益有情及滿本願故應修利行汝
等能行之否
爲欲親近善知識及令心無間斷故名爲
同事（行イ）汝等能行之否
除四障兼行四律儀法
已發菩提心具三昧耶戒竟今入三密門
卽復應淨除四障〻〻者一於有情中及
一切法中作種〻不平等見是第一障二
者於平等智中作種〻限量之心是第二
障三者諸有所作隨名利不爲大事因緣
是第三障四者放逸縱意不能警察身心
是第四障如是四障若纔起時卽爲自損
亦損於他是故精勤誓願除斷應如是持
次應修四律儀名爲無作於其功德運〻
之間自然增長
一者於一切如來正法藏中誓願解了
二者於一切菩薩正行之中誓願勤行
三者於如來度人門中誓願修集
四者於一切有情中以四攝法而救濟之

令離苦獲安是名四無作功德應如是持
十說四波羅夷及十善戒相
將入陀羅尼門復具四種三昧耶是踐如
來所行之跡必須專精四波羅夷誓無闕
犯波羅夷者毘尼藏中廣明四波羅夷
一者不得捨正法而起邪見若捨正法是
第一波羅夷不得犯能持不（三說）
能持不許三反讀上也已下准之（三帖問云）
（三答云〻）
二者不得離菩提心若離菩提心是第二
波羅夷不得犯能持不（三說）
三者於一切法中不應慳悋於一切法中
有所慳悋是第三波羅夷不得犯能持不
（三說）
四者於一切有情中起饒益行若於有情
之中不起饒益行是第四波羅夷不得犯
能持不（三說）
既能護如是四波羅夷從一切智生終趣
薩波若海本末堅固猶若金剛於一念中
恒殊勝進轉深轉廣常興義利如巧色摩
尼珠應念出寶周遍法界無有剤限今更
殷勤重說十戒相其十善戒相者是謂十
重
一者不應退菩提心妨成佛故
二者不應捨離三寶歸依外道邪見法故
三者不應毀謗三乘教典背佛法故
四者於甚深大乘經典不通解處不應生
疑非凡夫境界故
五者若復有人已發菩提心者不應說如

是法令彼退菩提心趣向二乘斷三寶種
故
六者見未發菩提心者亦不應說如是法
令彼發於二乘之心違本願故
七者對小乘人不應輒說深妙大乘恐彼
生謗獲大罪故
八者不應發起邪見斷善根故
九者於外道前不應自說我具無上菩提
妙戒令彼以瞋害心求如是法不獨能辨
退菩提心二俱損故
十者但於有情中有所損害及無利益皆
不應作及教他作見作隨喜即於利他法
中及以慈悲相違背故
今授戒已將紹法寶如佛在世無異此也
是眞佛子當補佛處此法深奧難可信受
未可對衆委曲具陳亦應隨機審授稱々
觀察方乃具錄必須堅信決除疑網
次回向發願（取次第）
弟子衆等今道場人志心合掌稽首和南
具大吉祥至於今日已入大悲胎藏（若金剛）
大毘盧遮那如來大曼荼羅王得授灌頂
諸忿怒金剛衆加持護念能令我等誓當
修習悉地瑜伽祕密教門悟入眞宗法無
自性是名眞空性者體性無生之性本來
清淨同歸實際眞如平等性空法體圓明
光明遍照實性身心淸淨遍周法界悉地
瑜伽一念相應智慧光明了達三世一切
諸法無罣礙故能令我等誓出世間悉地
成就

迴向之後未入壇者令去之
次五供養
次加持香水　以白檀等入水（三昧世界明意加以持勝）
（杵之用）
嚢○赦訶々々尾娑摩曳薩嚩怛他蘗多
尾灑野三婆吠怛麗路枳也尾惹也吽惹
娑嚩賀
次塗香塗手　授弟子雙手如常儀令手
抑塗之是結印料也（示云香等弟子授與數人取數）
次唱淨三業（取次第）眞言曰（即數授眞言也心合掌）
唵薩嚩婆嚩輸馱薩嚩達摩薩嚩婆嚩輸
度唅
次護身眞言曰（不動持五印師實共除結界誦之加）
嚢莫三曼多嚩日羅赦戰拏摩訶嚕灑拏
吽（略出）
次加持塗香授弟子掌密語曰
先誦勝三世明用杵加持之（下花香燈准之）師
（若數者授）右手取塗香申五指塗弟子雙掌
（仰掌如受物之形）眞言授之取次第次願汝等具
得等
唵嚩日羅獻弟虜
願汝等具得一切如來戒定慧解脫々々
知見之香
次加持白花授之密語曰（先加持次誦明取次第次告言已下准之）（略出）
唵嚩日羅補瑟閉唵
願汝等獲得一切如來三十二大丈夫相
次加持香爐薫弟子雙手密語曰（略出）
師取香爐弟子兩手仰下指入香爐香
烟薫手背令誦明次告言

唵嚩日羅杜閉嚕（取次第）
願汝等獲得一切如來大悲滋潤妙色
次加持燈令弟子覩之密語曰（略出）
挑燈齊弟子面前令覩之即令誦明次告
言
唵嚩日羅路計儞曳（取次第）
願汝等獲得一切如來智慧光明
次授與齒木
師先捧一枝用杵（左右木杵）加持之（不動慈救）横
當額（花尖方右方左）奉獻大日等諸尊次取一
枝加持之授弟子次授偈（取次第）
授齒木偈曰
汝獲無等利（取次第）　成辨於大事
汝等於今日　當得大乘生
位同於大我　一切諸如來
此教菩薩衆　皆以攝授汝
次弟子跪受齒木受了向東左金拳押腰
右忿怒拳水火二指把木花方小指方
以右牙尖方令嚼（三反）
嚼楊枝即誦一切如來金剛微咲密語曰
唵嚩日羅賀娑賀娑（決云三反可誦之取次第）
此密語能破一切煩惱隨煩惱結誦之七
反以觀羽作金拳然後嚼楊枝
（押紙云念汝等以三世無礙智牙嚼諸煩惱苞除身心過患）
我方當授汝佛性醍醐極無過味已教汝
發菩提心淨除三業宿障以三世無障礙
智調伏之牙嚼諸煩惱竟令復以此祕密
加持滌除身心過患汝又當淨其口過在
所遊方勿妄宣傳明日當貽汝不死甘露

皆充足也
卽取齒木臨鼻令洗嚼頭卽用手巾紙
而後令結普賢三昧耶印〻末插齒木云木爲嚼方下也
至心令投立蓆上之帖云誓取木令結印印端又插
記云向東或向北如法蹲踞嚼之嚼已令
向所面之方而正擲之而驗其相若嚼處
向外者是人悉地不成向身者悉地成就
若遠擲却來近身是不久成就之相若首
直竪向上成就更速首向下者是人當入
修羅龍宮若擲在空中當知此人先已成
就也又向北方東方爲上成就西方爲中
成就南方爲下成就雖如是若人先向東
擲而嚼處向東卽是背身亦不得成就餘
准此方類而可知餘如瞿醯中說也
擲了師取木如初安置机上了勿令濫
佛與資
次授與金剛水
移水重加持之用杵次與之次授偈言
三反次令飲之入本土三口而如本安机上了
唵跋折羅鄔陀迦吒
此名金剛水祕密加持故乃至地獄重障
皆悉除滅內外俱淨堪爲法器也
復次以無礙戒香和合鑁字門淸白心水
諸有飲觸之者皆必定成於無上菩提如
此淸淨其心則堪入祕密曼荼羅也
次當作金剛線法
師先取一條繫自左臂次左手取一條
右手以杵加持之不動若降三世卽令繫弟子
左臂衣上
授線了自臂線置机上下座了教王記云至于灌頂畢不離身文
受者乍繫線起去也
或授線了弟子禮師
次讚衆同音誦四智讚打鐃鈸
次下座受者起了

御本云
建長三年十月十一日草了
同五年二月二十三日書了　無障金剛尊澄
建武二年九月二十七日依寺戶仰書寫畢　無障金剛行賀
同日寫點畢　重以正本交合畢
又一交了　豪鎭
㊥同二十九朱點畢　一交了
行賀
右御本傳領了　嚴豪
僧領畢　豪喜
永享九年丁巳季春之比以右御本書寫了
右筆豪宗
持者遍照金剛堯尊
穴太末嗣法印豪喜記之
御本云
文明元年己丑五月十九日不圖自或方令感得之大慶〻〻限來際常院可有安置努力不可出院中祕藏〻〻
穴太末資豪惠記之
許取三胎金合

幷表白等悉皆先師御筆也
永正五年戊辰南呂下旬之比賜右御本
忝書寫傳受畢　右筆重藝
法印豪祝記之
天文二十二癸丑十月二十三日於心蓮
房權大僧都重委五十一歲令開增記

阿娑縛抄第八　三摩耶戒儀　末

∴先壇場莊嚴

雙嚴圖定可用之。但香末香爐無之。口決有之。決定可具也

決云。高座一面（若版禮）南面立之　文

師曰。多分南向。說三戒云〻

問。三戒所何不安置佛像經卷乎　答。受戒作法。必安佛像經卷。而此谷流不用之。是請不現前師。令受戒心也。只於師成佛想也云〻

離決云。三昧耶戒壇不繫兩界。但繫一界。或略時不繫佛　文

決云。机上有燒香一坏（香呂用之歟。後日見之。別有燒香文）

後日說。用之。穴云。不置用香呂也云〻

決云。花一杯（白蓮花）　師云。白花之節。不可煩造歟

白蓮花可宜歟。然而師遂菊梅櫻等被造之。仍其定造也云〻

決云。釋水一杯（後日香水用之文）

後日香水用之者。入白檀事歟

帖云。問以後夜香水。廢之歟　文

穴云。入小土器　文

決云。金剛線二條　文

二條師賚料歟。一條有也云〻

穴云。師料用舊也云〻

兩人之時。金剛線各一條置之。其外阿闍梨線置之云〻

決云。齒木二枝（以茅敷鹿頭机東端有之）

兩人之時。總齒木三枝也。一枝通獻諸尊。餘各一枝也云〻

決云。鈴一口在前　文

師遂不被置之。仍不置之

決云。受者座右（東也）鼻淨薦敷之（薦耳東面云〻）

聖行決云。コモ一枚。三重折。四角カヒネリシテ。ドチテシキタリ云〻

∴入堂作法

入堂之間。誦讚仰崇師心也。谷流無行道云〻

次讚衆打鉢誦讚　三反

決云。讚衆起立。發音誦四智　文

立可誦之。又居誦之

次唄

帖云。云何唄。若無人時用如來唄　文

記（大阿）初作梵音　文　梵音唄也。此間有逆洒水。

讚衆下臘役也云〻（不作梵唄佛告云〻期玉云唄音梵音也）

ム云。有十弟子之時。逆灑水十弟子役也云〻

帖云。三昧耶戒時。灑淨後。繞洒之謂洒香水地。不踏行也。如受戒時之　文

江師云。現行阿闍梨令洒之。無逆行洒水

決云。次散花三段（如常）　次對揚

用否在意。佛頂房不用之。智泉房用之云〻

常師云。兩壇不用之。合行用之。付師〻說也云〻

次表白神分等

決云。不說久事。但隨意隨宜修之云〻

次佛號

三戒作梵。胎藏金剛共可唱之云〻

次前方便

決云。胎藏三部三昧耶。置被甲結給（後日被說）（甲之次不動刀印）而即振鈴（師云。灑淨幷三部等印及振鈴之前方便云〻。但如此事多）（只隨意耳云〻）而師先白云前方便表白神分等後用之。而後日重決之說云唱禮之後作之云〻　而猶洒淨著淨之次可有之歟。又可問之

又說云。前方便印等只隨意樂云〻

後日見之善哉〻〻之後唱禮之前有前方便之印明　文

又云。振鈴有二說。或印明之後用之。或先鈴。次印明　文

問。印明用否。可付何說乎（已上決）　答。三部被甲不動用之。次第何處用之不苦云〻

問。振鈴二說。可付何說耶。又用振鈴心如何。答。用否未思定。忽〻間自然不用之用振鈴者。是驚覺儀也

聖行決云。阿闍梨供養法之間。受者誦大日眞言　文

次乞戒（乞戒作法或表白神分次佛號前用之）

決云。受者禮師三反。次即乞戒。次又禮師三反　後日見之。唯有後禮拜也。次善哉〻〻　文

一度兩度禮。兩說在意云〻　常師云。後計禮之　文

兩人授之時机前半疊二帖並敷之乞戒
偈兩人共誦之云云
次讀戒儀
帖云諸文三說者其文全三度可說也或
又慈愍故言三唱文
又云迴向等偈受者并大衆同音取次第
眞言受者獨受誦之
禾云今任現行依勝林合三記注之欲授
兩界各別者如隨要記等
一歸命啓請
二運心供養
三懺悔諸罪
四歸依三寶
五發菩提心
六略問遮難
嘉會壇云諸戒儀中皆問七遮而撿金剛
頂義決云此地梵網兩卷從此經中淺略
之行相出也其中廣相未撰云云而彼梵
網中七遮問者恐淺略又法悅集陀羅尼
經云犯五逆者三十年懺悔乞食路中鉢
得此呪持誦成就飛騰十方云云若爾七
遮何妨持明今據
七羯磨受戒
八求聖加護
九修四攝行等
十說四波羅夷及十善戒
已上勝林合三記十門畢
胎三隨要記有十門
一者說法開導　二者敎彼三歸　三者
懺悔先罪　四者發菩提心　五者運心
供養　六者應問遮難　七者應請戒師
八者羯磨授戒　九者求聖加護　十者
正說戒相文　正說戒相有四種（一十善戒二三世智戒三四重戒四十重禁戒）
嘉會壇二云夫大悲胎藏入曼荼羅前
有四種戒一者受方便學處五戒十善
法戒二者三世無障礙智三平等戒三
者眞言門行菩薩根本四重禁戒四者
眞言門行菩薩根本十重禁戒也又有
三種一者入三昧耶耳語一偈戒二者
四波羅夷三昧耶戒三者持明禁戒但
此等具支灌頂者所應得聞也文
不奪生命戒　不與取戒
不邪婬戒　不妄語戒
十善戒
不麁惡語戒　不兩舌戒　不綺語戒
不貪戒　不瞋恚戒　離邪見戒
義釋云示同彼所學漸以正見引之如
是等方便無邊故所利無限云云
三世無障礙智戒
義釋云菩薩所發心攝受方便學處成
就如來淸淨智慧於一念中入達三世
諸法無罣礙故其有住斯戒者乃至初
見心明道時卽有如是不思議勢分以
此戒親能發生佛慧又對二乘律儀有
限量故以三世無障礙智爲名文
四重禁戒
義釋云如聲聞有四重禁戒於中乃是
偸蘭遮非重禁也所以者何此十善戒
爲隨順將護二乘外道故以善巧方便
而具持然菩薩自有根本重禁此中所
謂殺盜婬妄但是偸蘭非極重
又云若菩薩捨離佛名破重禁所以然
者如來卽是一切善巧法所從生處菩
薩以自歸依佛故方有一切地波羅蜜
等萬行成就猶因種子得生菓若捨阿
字本自然之智則一切善不得生故捨
佛卽是斷一切菩薩之命而絕其成佛
之根若行婬盜殺妄但於道有礙非是
絕成佛之根本故但成偸蘭故佛不可
捨法僧亦爾如聲聞經當捨一卷經或
捨七衆中一人卽和合義斷不成具戒
況一切菩薩同乘一道而至道場佛佛
無異無別故當知隨有所捨卽斷一切
法命也菩提心亦爾是一切諸行之本
若離菩提心則無一切菩薩法故捨之
亦犯重也如聲聞犯重已卽非沙門非
釋種子不入衆數今此中若捨佛法僧
菩提心卽不入衆數同彼二乘毀四重
也然行者自知犯戒更自洗浣其心而
重受之卽還得戒不同二乘斷不斷頭
無亦得義也文
十重禁戒
義釋云菩薩自有十重戒如前不殺等
不在其數乃是偸蘭也云何十耶其四
如前所說更有只（六カ）重也并爲十也○當
知前不殺等是將順他人之意又初入

法者所持之戒。今次說十力乃是一切
菩薩正行之戒也。若菩薩正斷後十事。
故假使行前十事中而不爲犯 文
金
三隨要記有十四門
一者淨除三業　二者歸命啓請 隨要記云發心門
三者運心供養　四者懺悔諸罪
五者隨喜功德　六者歸依三寶
七者發菩提心　八者略問遮難
九者奉請戒師　十者羯磨受戒
十一求聖加護　十二修四攝行
十三說十戒相　十四發願迴向
三昧阿闍梨受灌頂時三戒隨要記
二界共一日讀灌頂二夜受之
五供
帖云。三戒五供只是爲令弟子具諸功德
也。非供佛之具云々
決云。唯四供也。何云五供耶。師云。加香水
云五也
又云。五供或一々加持之辨事云先日說降三世或唯
與之誦其呪。此即加持也 文
後日見之。將授之時。一々以杵加持之授
之 文
兩說中皆可加持之 文
帖云。問。有多弟子之時。五供養何 文
兩人授之時。二說有之。一同時一次。〇
授之。一說一人授了。次人又次弟授之
云々
離決云。横川說〇授香華等。始自下臘至
上臘 文

香水
決云。師曰。胎藏意。以勝三世明加持之 文
白檀末入之云々
私說。可用此明。王見爲除三世有障。此明
王相叶義歟。又此所水白檀可入也云々
帖云。私云。花机上紙裏有白檀末。阿闍梨
今時捻取入水也 文
塗香塗手
此令結印料也。仍當定可塗手也
唱淨三業
問。決云。教席心合掌然。師不結歟。答。如決
云々
護身
決云。師資共以不動刀印辟除結界加持
五處 文
如決師資共可結也
塗香
問。塗香等眞言用金界明心如何
答。胎眞言供本尊。我得其功德云心眞言
也。金眞言只金剛塗香等云眞言也。仍心
相叶故借用之歟云々
白華
決云。如先仰變掌授花誦明。即有眞言 文
香爐
帖云。問。花机上無別燒香器歟。爲當故用
香燒歟 文
燈
決云。已上皆如本安机上了
次授與齒木

記云。師當取一齒木。獻諸尊。餘者分授弟
子 文
帖云。問。何故以一枝獻尊耶。答。西國之法。
請人之時。必先嚴備齒木塗之。將請尊。故
奉之。即是灌頂之意耳 文
記云。次當授與齒木。令諸弟子嚼之。因即
觀彼人成器及非器相。所以爲此法者。亦
是順彼方俗。諸因用祕密方便而作加持
也。印度國人。凡請僧食乃至世人相命皆
先遺其齒木。以稱々香花嚴飾□□與之
當知明日請彼飲食也。所以如是者。爲明
發愛敬之心。恐彼先有猜嫌猜食因緣。若
受我供。或令發動不安。故先以善意將護。
與驚發之。令彼先淨身器。或服呵梨勒等。
則明日隨意飯噉。無所犯觸。身心安樂也
文
離作業決云大原問。弟子嚼齒木時作
何觀念耶。答。羯醯經上云。念嚼盡煩惱隨
煩惱。日經疏五云。以無世無礙智調伏牙。
噬諸煩惱竟心文
問。齒木是古佛菩提樹王。行者發菩提心
樹王也。故繫著白花。以表菩提心因花也。
何以木即煩惱耶〇答。一法常無量緣。故
於一齒木作多義。無失。用種々觀念有何
失〇問。齒木即煩惱隨煩惱。何故奉佛尊
耶。答。爲令轉行者煩惱成菩提。故奉佛歟。
又行者煩惱奉佛。々能爲行破之故也 文
決云。師曰。其ム弟子把齒木。右拳忿怒拳是說
一或金剛拳。以五指把之。如文說之一是

文說
以忿怒拳取之也云々
決云。即令結普賢三昧耶印。挿齒木胎界
可用入佛三昧耶。而師說普賢三昧耶也
文
決云。問。洗之由云何。師曰。道理以此齒木
入檀可投曼荼羅也（不用別投花也）故洗淨嚼處
用投檀上而煩故。或不用洗之。或洗之不
用入檀之投花料也
問。洗齒木事如決歟。又洗口事
答。如決也。口不洗之。決洗木事。投曼陀
羅料也云々
但律作法。齒木必洗之。准彼歟云々
離決云。橫川說。不投只置也。又投時取花
著投之取捨也云々
庸上投齒木事　谷流也。都率流不投
之便處置之。總庸上投事。本文不見之。
妙心太出外○擲棄云々　源幸阿闍梨
後三戒時。依妙心太說出緣前庭令捨
之云々
問。知成不成事
闍梨云。其所嚼頭或對向身及向上竪。應
知得上成就。若嚼頭背身向東。應知不成
就。若向北者及餘方橫墮。應知得世間及
出世間成就。若嚼頭著地直竪者。應知得
入修羅宮成就文
文東向北向別々二說。然者上中下成
就向北之時事也。但東向南北向北向
定上中下成就云也云々

略出經云。以所嚼處為頭。隨所向方。多是
其部。若向四隅多是毘盧遮那。若有立者。
當知最吉祥相文
帖云。金隨所向方。多是其部。若向四隅
多是毘盧遮那○云々
帖云。投齒木小頭向上立。最上吉也
又云。齒木向上向下俱吉事
又云。所投齒木其相不吉。更以又令投耶
極至何度耶文
又云。問。投齒木之後。更又向師坐歟
次授與金剛水
帖云。問。五供之前。已加持誓水了歟。為當
今又重加持歟。以何明加之耶文
決云。師曰。授真言。次令飲之。重不加持云々
後日見之。先重少許加持之（用杵）次與之。次
授真言三反。次令飲之三嚥。而如本安机
上文
加持用否二說。可用何說耶。答。可加持
也云々
記文アラ〳〵　可許聞也。此名金剛水。以
後可許聞也文
谷記云。阿闍梨言。此即名為誓水。亦順世
諦。猶如盟誓之法。令於一切眾聖前斷此
香水。自誓其心。要令不退大菩提願也文
次金剛線
記云。作金結用。繫左臂護持自身。以一々
為諸弟子。繫如是攝受弟子。則入此曼荼
羅。是離諸障難也
決云。左手取一條。右以杵加持之

問。何明哉。答。不動若降三世
決云。即自臂線置机上。座下給了。受者記
了
後日見之。次弟子禮師。次讚眾同音四智
讚。打鈸了。次座下給了。受者起了文
禮師誦讚用否。在人意。但用能事也
決云。此線行者常隨身。念誦時。一千數念
珠取之。一萬數。此金剛線取之也。行者一
時念誦不過一萬故也。但左臂衣上繫之。
恐穢汚故也文
又云。結線灌頂者料。不貫珠者略之也文
義釋云。若見諸阿闍梨能以如來五智加
持弟子菩提心中五種善根。貫攝萬行。繫
持瑜伽之臂。使釋生歷死常不失壞。若能
如是攝取弟子。乃名善作金剛結文

應永九年五月六日書之
右筆　降俊金剛
寶永二年秋九月六日謄寫
兜率谷嚴覺洪道
享保九辰年ヨリ同午歲マテ於出雲
寺書寫校合訖

阿娑縛抄第九　灌頂私決

∴第一灌頂所起

具緣釋云。如西方世人受灌頂法時。取四大海水及境內一切河水。具置寶藥穀等。作境內地圖。令此童子踞師子座。以種々珍寶莊嚴。所統眷屬隨其大小列次陪奉。韋陀梵志師坐於象寶以臨其後。持此寶水以注象牙〔頭註〕弘決一云有三解 一云牙名象牙令隨其頂上。而後唱令以告衆人。又歎說古先哲王治人濟代之法。如是隨順行者當得壽命長遠本枝繁盛克紹轉輪之業。若不作如是事者則當自退其位損身絕嗣。如是一々而教誨之。今此法王子灌頂則不如是。陳列密嚴佛土法界大圖。坐於妙法蓮華自在神通師子之座。以本性淸淨智慧慈悲水具含萬德而灌其心。爾時諸菩薩衆下至八部衆生莫不歡喜讚歎而生敬仰。時阿闍梨以法王遺訓而教誨之。從此以後當得生如來家定紹佛位文

祕密曼荼羅品釋云。譬如世間刹利之種。謂欲紹其嗣令王種不斷故。爲其嫡子而作灌頂。取四大河以四寶瓶盛之。種々嚴飾子身。衆物咸備。又飾大象。於象背上持報令太子坐於壇中。所統畢集。於象牙上象水令流注太子之頂。灌此水已大聲三唱汝等當知太子以受位竟。自今以後所有教勅皆當奉行。今如來法王亦復如是。爲令佛種不斷故。以甘露法水而灌佛子之頂。令佛種永不斷故。爲順世法王之位。諸有所作眞言身印瑜伽等業皆不敢違越也

∴第二灌頂種類

胎十三灌頂。金十六灌頂等。可見具支灌頂一卷。

三種灌頂 五十二紙

義釋十一云。然灌頂有三種。一者但以印法作之。離諸作業。此是入祕密曼荼羅。謂有弟子誠心慇重深樂眞言之行。志求大乘。然資力乏少。若令一々具求衆事反當於道有礙。如是之人師當深起慈心觀彼心行。而攝引之。然但得爲此一人而作之。不得多爲人作。何以故。恐彼資力堪辨者生怠慢心。而不盡殖衆德本。故作時隨力令辨少供。供養三寶此第一最勝故 私云今離作業灌頂是也 二 [illegible] 者以作事業而灌頂者。即是師及弟子。皆先作事業也。謂先令第七日以來誠心懺悔之類。亦於七日以來爲其持誦。必求感應及令辨諸供物香花類。○然此之灌頂與前者不殊。但以有資力故。令盡其所有於諸佛海會之中而作無盡供養。由此因緣福施之果不可窮盡。三 [illegible] 者但以心而作灌頂。如是灌頂不擇時方。由此弟子已修眞言之行。於祕密藏中有所堪任。令師心悅此又最勝也。師弟但得瑜伽以心灌頂。猶如摩頂授記也。○其灌頂法瑜伽阿闍梨先入淨室而住三昧。如前所說。以身四分作四重曼荼羅位。如是作已。以祕密加持故。令彼弟子先在門外而待命者。自然而得金剛手威神加持引之令入。亦自然而解作印等。一々如法。既入室已。以金剛手所加持故。現視曼荼羅諸尊之位宛然現前。一々本尊之形及印字等亦悉明了。爾時行者復以加持力故。手中自然蒙授妙花而以供養大衆。隨所墮本尊之處。尊即起以妙音聲而安慰之。爲作攝

授爾時本尊卽取一〻大會諸尊處甘露三昧之水而爲彼弟子現前灌頂爾時阿闍梨但坐一處而入三昧寂然不動而能成就如是勝事也 文

入祕密位品釋云師既自住瑜伽之座以其身心而作佛母之會獨自明了餘所不見也次授弟子花令投師身上供養內心之佛而觀本緣隨彼本緣而觀其法若本尊攝受花中於彼師皆觀之不謬而弟子未得瑜伽者但見在其身上并也其花投處大略心爲八葉之位從臍至心爲金剛藏臍爲大海從臍以下是地居諸尊位也

帖云見諦阿闍梨爲弟子授灌頂之時自身觀作漫荼羅自〻身卽金剛薩埵出弟子手授花引入師身曼陀羅手持花故云不空手也又見諦阿闍梨爲乏財弟子授灌頂之時於自身觀曼荼羅令弟子花投我身上卽隨花墮處尊位授其尊灌頂〻云

中川上人云祕密灌頂唯小野流有之實範從嚴覺僧都受之僧都從信覺僧正受之寬親靜與等雖求請之依不肯身未許之於我處止思範俊僧正授兩三蹤從彼所多弘其作法大略與傳法大異小同〻云

或印信云入祕密壇詳血脈者慈覺大師一門之所傳云〻

圓乘房云谷阿闍梨院尊阿闍梨授菩賢延命法次示云授汝祕密灌頂思小壇上備閼伽一前許如常許可體作法有愛院阿闍梨被申云諸壇渡如此可候被申然也被仰云〻

具支灌頂一云私撿經文其事業灌頂如具緣品及轉字輪品其手印灌頂如轉字輪品及入祕密品其心灌頂如入祕密位品 文

祕密灌頂眞實智品布字品行法也近代絕不受之云〻

五種三摩耶（三摩耶者卽是不可違越義也略而言之卽是戒義也）

釋十一云第一但得遙見漫荼羅謂如遙見漫荼羅時忽有諸人齊心隨喜欲求禮拜供養爾時阿闍梨聽令引入於壇外遙令禮拜以香花等遙散道場而作供養以得見如是法會故無量罪業皆滅除然未令授彼眞言及印是第一也

第二是漫荼羅坐位謂引彼入於壇中禮拜供養投花散於本位師告彼汝花墮某尊位上爲說本尊名號並得入壇門內悉見諸位也此人說名爲第二三昧耶也若諸眞言及印亦得隨所應者授之

第三見曼荼羅及印位並作諸事者謂阿闍梨從首至末爲此人而作漫荼羅乃至諸尊及印等一〻告示又授眞言手印一〻行法皆敎授之此是第三也

第四者已能依隨行法彼眞言門所有法則一〻通解具知緣壇所須方便衆藝堪在師位悅可師意師卽爲作傳敎曼荼羅告言汝自今以後亦如我無異造曼荼羅度諸弟子令法久住佛種不斷故此第四也

第五卽是祕密三昧耶如教所說印壇配位皆見若不經入此壇祕密智不生也是故當於祕密壇中如法作灌頂是名第五智者應知也若異此者不名三昧耶也卽前所說第三灌頂時可入也 文

江師云第二三昧耶結緣灌頂也云〻

延暦寺灌頂第三三摩耶東寺灌頂第二三昧也云〻

江師云五種三昧耶廣三種灌頂狹第五三摩耶與心灌頂同物覺五大院別也官給不得意五種三摩耶第一第二不及灌頂物也此不同第二三摩耶結緣灌頂也云〻

祕密灌頂與第五三昧耶同物也大日房云公胤第五三昧耶佛所證也人不知〻云

江師云夫別物也常所云第五三摩耶並祕密灌頂一物也師資共得瑜伽人可習云〻彼公胤所云第五三昧耶此〇第五三昧耶中又說之是佛境界也仍別物取合云也云〻

金對記七云八字（[illegible]八字也）印眞言是胎藏界都法大阿闍梨如前先成薩埵次成佛母三部深密一時頓證及弟子傳授三部大教之法故大日經阿闍梨眞實智品阿字布心娑字布胸吽字布額次以阿尾羅吽欠字布身五處彼八字中娑字此八字中紇哩（二合）字同蓮花部之種子也〇今准義釋五種三昧耶中第四三摩耶中雖得大悲胎藏傳法灌頂而若不入第五三摩耶中祕

密曼陀羅而得傳法灌頂則祕密智不生
其祕密壇灌頂即是眞實智品布字品之
行法也彼眞實智品唯有布八字法無印
眞言今此經中明白說之故知金剛界中
兼說胎藏極密究竟之法若不入此金剛
界大阿闍梨位則胎藏界大阿闍梨位終
無由成就也若不入彼胎藏界二壇大阿
闍梨位則金剛界大阿闍梨位終無由具
足也

四種灌頂事
蹬囉云凡入曼陀羅必有四種灌頂一者
除難灌頂二者成就三者增益己身四者
得阿闍梨位 文

五相灌頂
義決云一者光明灌頂謂諸佛菩薩放光
加持也二者甘露灌頂謂以部主眞言加
持香水三者種子灌頂謂部尊字門想布
身心四者智印灌頂謂部主所執持印契
加持五者句義灌頂謂部尊眞言及句中
義理想布彼心 文

內作業灌頂
瑜祇經云
持眞言行者　觀身如佛形
根本命金剛　釋輪以爲座
多羅爲二目　毘俱胝爲耳
吉祥爲口舌　嬉戲爲鼻端
金剛觀自在　以成兩手臂
三世不動尊　以爲兩膝脚
心爲遍照尊　轉成虚空眼
虚空爲寶冠　相好金剛日
以此十五尊　共爲一佛身
金剛阿闍梨　教授諸弟子
以緋繒掩面　與彼作加持
令次阿闍梨　敎彼薩埵契
置花於印中　令彼散支分
隨花所墮處　行人而尊奉
敎彼本明印　令其作成就
此名金剛手　內作業灌頂
極祕密中祕　此名五部源
金剛即寶光　蓮華即羯磨
如々同一體　即此身五佛
左臂觀音部　右臂金剛業※
頂上摩尼屬　多羅毘俱胝
並是羯磨部　三世不動尊
即名四攝智　嬉戲名供養
虚空眼外持　金剛光※彼岸
即名三十七　最上極深密
諸佛祕成就 文

受明灌頂事 成云受法灌頂者受明灌頂異名也云々
帖云諸別尊義中所說灌頂是一尊受明
灌頂也
又若建立大日曼荼羅隨樂授別尊受明
灌頂時移本尊可觀安中胎也若八葉尊
互替大日位耳若外三重諸尊等安中胎
者大日安寶幢位並之左右無妨○問何
故大日並寶幢之位耶答第八第九識是
同故也謂第八識之淨分是第九識故也
同位安也 文
又云移彌陀安大日位乃至天等者是祕
密壇之中行法是大阿闍梨爲第三三昧
耶受明灌頂也授明時隨要安之也非常
途作法 文

蘇悉地灌頂事
玄隆草云問慈覺大師在大唐隨何師受
悉地灌頂給耶答隨義眞阿闍梨受之給
御印信在右敎時諍 院五大 云○ 兩部印信在之暫止之

三種悉地
大日　薩埵　龍樹　龍智　金剛智
無畏　不空　一行　惠果　惠足四カ　義
操　義眞　圓仁
巡禮記云會昌元年五月三日於青龍寺
設供養便於初置本命灌頂道場受灌頂
拋花始受胎藏毘盧遮那經大法兼受蘇
悉地大法
進官牒云不空三藏第三弟子義眞阿闍
梨邊灌頂並受大毘盧遮那祕旨及蘇悉
地大法
問單修悉地灌頂儀式如何答依陀羅尼
集可修之
祕錄云蘇悉地灌頂本法三 載具 不陀羅尼
集經十二卷 文
問蘇悉地灌頂餘家受之哉答慈覺智證
兩門受之餘家不受之 有宗叡聊疑 智證大師授
雲和尚賜官符云胎藏金剛兩部大法者
先來本朝非不傳之至蘇悉地大法者其
名未會有之矣○阿闍梨圓仁應五百之
運創傳得斯道大之中大實在此門能有

未有非伊人誰歟。傳教弘法。圓行。惠運。皆
彼經軌將來。其名未曾有云者。此指悉地
灌頂名歟
弘法大師。蘇悉地灌頂不傳之。慈覺智證
傳之給。蘇悉地者。別不立壇。只密印許授
之也云云
陽救供奉傳蘇悉地灌頂云云。此由智泉
房語申。凡無事也。印信許書具。事件供奉
以雙嚴房爲本體師。大原末弟也。更彼一
人不可被授事也。就中雙嚴房灌頂受。蘇
悉地密印不賜之。後院尊受。不取印信。サ
テ我是與了。以其如此云。以外事也云云
蘇悉地印信。大師授安惠和尚與長意云云
此事不審也。他本如此。若有意趣。仍更不
改之。但如何。長意和尚大師悉地灌頂奉
受事。凡無事也。胎藏受。攝在如此云歟云云
∴第三功能
大日經云。金剛手白佛言。世尊若有諸善
男子善女人。入此大悲藏生大曼荼羅王
三昧耶者。彼獲幾所福聚。如是說已。佛告
金剛手言。祕密主。從初發心乃至成如來
所有福德聚。是善男子善女人福德聚。與
彼正等文
具緣品云。無量俱胝劫。所作衆罪業。見此
曼荼羅。消滅盡無餘文
具緣品釋云（具支第四引之）。謂造立此曼荼羅。是隨有見
聞觸知。下至舉手低頭一念隨喜。皆必定
成阿耨菩提。故阿闍梨不得差機誤授。爲
作具支灌頂。然繫珠毒皷之緣。豈當已乎。

金剛頂經云（凡支第四引之）。復有作正法有情爲一切衆
生。求一切如來戒定慧最勝悉地方便佛
菩薩。故久修禪定解脫地等。勞倦彼等入
此金剛大曼荼羅。纔入已一切如來果尚
不難。何況餘悉地類文
瞿醯經（下十二右）云。凡蒙灌頂。諸佛菩薩及諸尊菩
薩眞言行菩薩皆悉證明加被護念。聖觀
自在及執金剛所有眞言悉皆成就。一切
天神不能損害。皆悉恭敬。在生死中不墮
惡趣。不生貧窮家。及不具足而人所汚嫌
恒懷術明。夕饒資財。具戒端正。當生天人
恒遇佛世。猶於菩提心曾不退轉。具大福
德不久出離生死苦海。當得無上菩提之
果。及其灌頂者。具如是無量功德
不受灌頂過
瞿醯（下十四右）云。若有愚人不入曼荼羅。持誦眞言
雖滿遍數終不成就。復起邪見。彼人命終。
墮於地獄。若有與彼眞言法者。彼亦墮於
三摩耶戒。命終之後。墮於嚕羅婆地獄文
∴第四本書事
祕錄云
（谷金）胎藏界灌頂本經法一
（谷金）大毘盧遮那成佛神變加持經七卷（無畏）
（谷金）瞿醯經三卷（海 明 澄 覺 釋）
（金）蕤呬經三卷
（谷）玉呬但路羅經三卷（不空 仁 運）
已上三卷是同本
圓雲云。同本也。以請此可見彼云云
金剛界灌頂本經法二

（谷金）金剛頂一切如來眞實攝大乘現證大教
王經三卷（加 圓 不空 珍 仁 行）
（谷金）金剛○瑜伽中略出念誦經六卷（金剛智 仁）
金剛頂瑜伽中略出念誦經四卷
蘇悉地灌頂本經法三
（谷金）陀羅尼集經十二卷（瞿多 貞元 梵釋云 十三 圓 覺）
三摩耶戒本錄法四
三曼陀颰羅菩薩經一卷（梵 圓 釋 覺）
與金剛弟子入壇受灌頂法一卷（行）
最上乘受菩提心戒及心地祕訣一卷（無畏）
（仁 出一行 運 行 記）
無畏三藏禪要一卷（仁 海）
灌頂三昧耶戒一卷（澄）
授灌頂金剛最上乘菩提心戒一卷（運）
菩提心戒一本（仁）
具支灌頂云。此中無畏三藏心地祕決
及無畏三藏禪門要法。此中最要。宜用
彼文文
胎灌頂義釋瞿醯爲本云云
金灌頂教王略出爲本云云
又灌頂儀軌云菩不指南云云
儀軌譯者將來共不知之云云
∴第五私記事
藏梨式一卷
界梨式一卷
胎藏大灌頂儀式一卷
灌頂略記一卷
灌頂記一卷
道場灌頂次第一卷

延暦寺灌頂行事一卷
唐國略灌頂義式一卷
已上慈覺大師
傳法灌頂次第一卷　智證大師
具支灌頂九卷（爲觀中院撰定）
玄靜記云。草案未了
持誦不同六卷
已上安然
嘉會壇四卷
禾云。此嘉會壇世以爲安然作。而見玄靜記。大悲胎藏嘉會壇中七日灌頂行法次第六卷者。是玄靜私依具足支分意而抄出。至用宛行用而已云々
傳法灌頂作法一卷（法性房）
灌頂見聞集二卷
寺家灌頂次第一卷
圖樣一枚
已上都率
先代記等皆依髣髴以谷隨要記天台傳法灌頂爲本記
六卷抄禪門和尚抄也
禾云。六卷抄安然作歟。如何不見玄靜之錄
∴第六元初事
延暦二十四年（乙酉）九月七日。依勅於清瀧峯高雄道場傳教大師令授道證修圓勤操正能正秀廣圓等八人給。是日本國灌頂最初也云々
∴第七阿闍梨事

瞿醯云（下十三右）。是故阿闍梨應解都法及得灌頂時爲傳法。然後方作曼荼羅法。若違此法作曼荼羅法。即不成就法。死墮地獄。其入彼者無利益。非但無益。諸障難起。所謂饑饉疫病亢旱諸賊盜起。國王相諍。其諸弟子被魔所損。其阿闍梨必定致死文
又（下十四右）云。若有愚人。不解教法。作曼陀羅。如犯五無間重罪。所墮之處。彼亦如是。若有如法以求功德。作曼荼羅。彼大菩薩生於淨土文
大日疏十九云。然有二種師。若瑜伽但用三昧心自在故。已得通達眞言門。故隨心所作便成。不必待於事法。亦得成也。若第二世間師。必須依於事法用眞言及印加持之。乃可成也文
阿闍梨用心事
江師云。眞言教超過諸教事。灌頂也。吉々師資共學之可授之。此即自受成道之儀式也。正覺壇金剛座坐成佛。示只淺他受用。阿迦尼吒天成道儀式。世人謂之不可然。是自受用身內證眷屬共眞實成道唱給儀式也。諸外儀莊嚴內證顯色也。內證覺幽玄深密。不可悟不可知。仍爲未證者理內眞實色外顯。令見之信者知之。即法身自受用功德カヨフ也。水灌即毘盧遮那五智金剛智水煩惱垢洗也。此即表示事相也。眞實此事即內證境可達也文
離作業記云。但恐愚暗身所傳多違聖旨然今所以爲此事者。非爲名利非爲誑他

爲令法久住也。唯願大日如來兩部諸尊傳燈諸師慈悲聽許文
最後斷種人事
疏三云。已得傳教灌頂。不應作最後斷種人。應紹先師事業。度諸弟子文
灌頂師現存之時不可授灌頂事
廣傳（不空三藏授惠果法）三藏告云。吾百年後。汝持此兩部大法護持佛法擁護國家利樂有情文
禾云。傳教大師三十九。令授給也（高雄灌頂也）
助阿闍梨事
灌頂壇樣（川）云。於大和國多武峯被修灌頂作法。阿闍梨安養御房。助阿闍梨一人（淨土房）讚衆八人。承仕一人文
西塔流密印奧云。蓮實房大和尚奉爲聖行房阿闍梨兩部入壇並奉受密印等了。出羽阿闍梨並辨阿闍梨御房同爲助阿闍梨
灌頂見聞集（都率）云。一東寺請僧等（合）　一大阿闍梨　一助阿闍梨　一色衆持金剛四口　讚衆十口文
讚衆事
ム云。人數二十人。十二人。十人。八人。六人。四人。隨時不定。仁和寺宮御灌頂。必三十人請之
梶井宮（快雅）御灌頂。三十人請之。山門傳法灌頂讚衆三十人之始也
寛平法皇御灌頂。于益信之時。讚衆八十人也

∴第八弟子事

擇弟子

瞿醯[上九オ]云。應簡擇弟子○族姓。家生。淸淨無畏深樂正法。具信能忍。勇猛精進。心求大乘事。不愼我慢顏貌有相。盛年端正。具解諸論智慧具足。深信三寶。具律儀戒。深信大乘。應可攝受。身無過患。內懐諸德。無病族姓。具信。大乘。堅持大願。具足如是之相。甚難可得。是故但於三寶有敬信心。深樂大乘。復求福德。應當攝受。如是弟子。若見渇仰此法。常勤念誦。善逝眞言。假令身無善相。及見內無福德。亦應攝受文

灌頂見聞集云。私云此文甚要也。末世弟子誰具諸相。隨宜攝受。善哉〻〻。又准知師亦然。雖可備衆德。只須發令法久住顯隨堪傳所受法也。不爾恐永斷佛種。師弟俱不可起名利之心。努〻〻愼矣

瞿醯[上九オ]云。凡入曼荼羅者。總有三種所求。一謂成就眞言故。二謂滅罪獲福故。三謂來生求果故。若爲來生求果故。以起信心入曼荼羅者。非但成就來世果報。亦於現在獲得安樂。若爲現在求安樂者。不如彼人求未來果。是故智者爲未來果。入曼荼羅。卽獲二世安樂果報文

受者年限事

傳法灌頂不簡老少事也。安[井房]慶阿闍梨。小兒之時入壇云〻

又不空惠果等。幼少時入壇云〻

不空行狀云。正[生歟]年十歲○祖師大奇。他日與授菩提心戒。引入金剛界大曼陀羅。驗之擲花知有緣。至十五初落髮文

受者數

瞿醯上[十紙]云。應所受持弟子等數。或一或三或七及乃至二十五。隻不得雙取文

瞿醯[十三紙]下大作曼荼羅時。唯與一人受阿闍梨灌頂。自餘灌頂。或三或五。必不應雙。皆以各別供具而爲灌頂文

攝軌云。次引應度者。或十或八七。或五二四一文

具支灌頂云。具緣品義釋○云。偈中云。或十或八或七五二一四者。是一期道場作阿闍梨灌頂之限數。此中約超數取之。謂從一至二。從二超至於四。從四至五。超至七。從七至八。從八超至十人。是故一曼陀羅中。不得同時爲三人六人九人灌頂。蓋如來密意。阿闍梨不釋所出。又方等陀羅尼經。不得過十人已上也。過此以外。恐阿闍梨心量有所不爾。當待後緣別爲作法○若但求結緣。於一門本尊法印中受眞言印者。則不依如是齊限。阿闍梨亦當發起大悲。隨有能發少分善心者。皆爲發生立菩提種子文

日疏[具緣品]云。金剛手白佛言。平等大悲。無復限量。而今世尊所說。雖有德可傳者猶不過十人○我本爲此等衆生。來成等正覺。況今所願已滿。開衆生自心之實。如其本性而給與之。當有何限耶。且據惡世弘經淺行之一迹故。云一期法事制至十人耳文

山王院疑問云。不許爲三六九人灌頂。其由如何在下

玉耶經許三人。不聽雙取。此亦如何[已上]

又下云。耶經云。弟子數或一二三七及五乃至二十五。隻不得雙取。大日云。十八七五二一四。釋文云。約超數取之。乃至不得同時爲三六九人灌頂。今二經不同。未得會之。既言不得雙取。要二四八十。何故不爲三六九人。其由如何。又約超數取之。其意如何文

俗人灌頂事

帖云。大唐日本兩國之習。俗人不修眞言教。但天竺多淨行優婆塞。習眞言也。故悉地在結髮印。凡眞言教中。皆在家形人可修見。又如蘇摩呼經云。除俗服外。皆如比丘禁戒云〻

金剛童子經云。行者受八戒。凡諸經軌等可見之

金剛灌頂門前處云。若居士等。與赤色衣如著袈裟云〻

比丘尼灌頂事

帖云。西國土淨行比丘尼入壇受法等有如比丘者云〻　故經云。若善男子善女人等云〻　又一髻經云。說線云。男繫左臂女繫右臂文

∴第九加行事

禾云。灌頂加行百箇日也

攝眞實經云、若阿闍梨與灌頂時、先須三月觀察其心文

帖云、欲授灌頂以前之日、先令弟子念誦佛眼眞言一千反（於佛前誦了）此意亦金剛吉祥品中見之云云

瑜祇經（金剛吉祥品）云、若欲爲大阿闍梨敎授密法印等、當須先誦此明一千遍、一切諸佛菩薩金剛薩埵皆悉歡喜文

∴第十日事

瞿醯云、當於月十五日及十三日、或白月十一日十日一日五日七日三日、於此十種吉祥之日、應作勝上曼荼羅文

又云、蘇悉地羅月及毘舍佉月、於此二月應作摩訶曼荼羅文

瞿醯云、然諸曼荼羅、皆於日沒之時起首而作、明相未動、要須發遣文

又云、於夜分時、諸事寂靜、作法有驗文

又云、於日沒之時、諸天集會、觀祀作法之處加威彼人、是故於夜作曼荼羅

日疏五（具緣品）云、從日沒後至明相出以來、總名爲夜〇明相未出已前使發遣竟、若違此法則生障礙、乃至令取依作處亦不吉祥也。然深祕密釋中、正以道機嘉會爲時、或以加持方便促百劫爲一夜、或演一夜爲百劫、脩短在緣無定限也文

∴第十一支度事

曼荼羅供支度（胎藏）

壇二面之內

一面方八尺（高一尺）（大壇料）

一面方四尺（高一尺）（護摩壇料）

机四前之內

一前（高三尺廣一尺長二尺五寸門前料）

一前（高二尺五寸廣二尺長三尺三昧耶戒料）

一前（高一尺七寸二前二尺二尺五寸灌頂料）

二前（高一尺七寸廣一尺五寸長三尺五寸）

脇机二前（高二尺廣一尺五寸）（長一尺八寸大壇料）

燈臺七本之內（四本高一尺二寸大壇料）（三本高三尺可有地敷）（灌頂壇料二本）（門前料一本）

小高坏四十一本（大壇料並灌頂壇料）

禮版四面之內（一面方二尺八寸高七寸大壇料）（一面方三尺高七寸灌頂壇料一面）（二面方二尺五寸高七寸護摩壇料一面）

高座一脚（高一尺八寸方二尺五寸三昧耶戒所料）（已上禮版高座各可有半疊一枚）

案二本之內（一本高一尺廣一尺五寸長二尺八寸灌頂所料）（一本高一尺廣一尺二寸長二尺八寸護身具料）

天蓋二覆之內（一覆方一丈五尺大壇料）（一覆方三尺三昧耶戒所料）

白蓋一覆（方二尺五寸可有龍頭竿）

八色幡八流

壇敷料絹三疋（若布五段、兩壇並護摩壇料）

食道一條

五寶（金銀眞珠瑟瑟頗梨、六粒）

五藥（赤箭人參茯苓石菖蒲天門冬）

五香（沈水丁子鬱金龍腦白檀）

五穀（稻穀大麥小麥菉豆白芥子）

蘇　蜜　蠟　已上各少々

名香一裹　白檀抹鷄子計

沈水白檀鬱金龍腦（已上各少々、除香料新香少々）

丁子少々　含香料（五色絹切長一尺計）（五色糸各少々）

大壇供八前（閼伽器五種金銅器飯食供者金銀等盤若白瓷等）（淨塗若花足器面徑五寸盛高從盤下定五寸飯餅）（飯桶菜盛已上各二十）（坏燈明八蓋大雜日器）（雜日器各插）（菓子一顆）

飯二十四坏

五穀四十五坏

六種供養二前（雜日器〇菓子）（如前可有燭）（閼伽等新器用之飲食種並）（器面徑盤物高皆同大壇）

佛布施十四裹

葉火爐一口（口徑一尺五寸）　扇一枚　火箸一具

護摩供一具（燒油乳粥燒飯五穀已上各一坏盛）（叩乃若瓷芥子胡麻粳米已上各少）

（時々可儲供物之）

桑李薪少々（若炭松）（若少々）

瓶花十九枚（五）（若一十枚高一尺許枝）　瓶花料（造花二十若時料花已上）

時花少々

水罐一口（若三升納口徑九寸高七寸）　可有蓋也

桶一口（口徑八寸高一尺）　小杓二柄

散杖四枚　草座十五枚（可編簡樣）

水瓶一口　盥一口

淨衣三具（一具受者淨衣料一具）（二具同受灌衣料）（可有阿闍梨衣料）

儭施物（可同物樣）　莚二枚

薦二枚　折敷十枚

土器少々（大小）　燈心少々

油五升　紙一帖

大幕三帖　屏風

續松少々　炭少々

讚衆布施（數可隨）　淨履（具進）

承仕二人　淨衣（付小袈裟）

諸僧鉢並布施

前日沐浴　當日浴身

右可被調設之狀如件
建保三年十一月　忠師出之
仁平元年十二月
禾云。瀧水嚢可設之
合行灌頂支度〈智泉〉
桶二口〈若水瓶〉　杓二柄
續松少々
已上後夜香水料
壇一面〈若花机〉　高座一面〈若加禮盤半疊〉
金剛線　齒木
燒香　白花　塗香　香水〈加散杖〉
燈明　藥水　白檀末　淨薦
盥　水瓶
已上三昧耶戒料
敷曼荼羅〈兩界〉　壇一面〈廣七尺五寸高九寸〉
脇机二前　禮盤〈加半疊〉
壇敷　簾四枚
五色糸一條　花水供四前
飲食供十八前〈飯餅餲根菓子盞〉　灑水一坏〈加散杖〉
名香　燈臺四本
天蓋一懸　八色幡
瓶九口〈大五口小四口〉　瓶帶五條〈白赤黃青黑〉
五寶　五藥
五香　五穀
佛布施〈兩界料〉　下襪一足
用鈴杵等一具　鐃鈸一具
草座一枚　板敷座〈可敷疊讀〉
已上大壇料
禮盤二面〈可有半疊〉　花机二前

花水供一前　飲食供等
十二座供二十四坏〈兩界料〉　燈明二坏〈可有燈臺〉
五古一枝　鈴　鏡　輪　螺
寶冠　白蓋一棒
白拂　花鬘
腰線　淨衣二具〈一具濕衣料〉
臂釧　指環　草座一枚
已上灌頂所料
壇一面　火爐一口
半疊一枚　燈油
乳粥　燒飯
五穀　蘇　蜜　名香　雜香
芥子　胡麻　粳米　花　乳木
薪〈若炭〉　松扇　火箸
灑水二坏　草座二枚　儭施
已上護摩壇料
五穀粥二十八坏〈兩界料〉　草座十一枚
已上神供料
机一前　大花瓶一口〈加散杖〉
花一坏　香一坏
香象一頭　燈臺一本
覆面一條　疊等
已上門前料
永久五年十五日
∴第十二調支物
金剛線一

記〈私文〉云。凡作線。當擇上好細具織香水洗之。
板令清淨。令潔淨童女子。右綫合五色線。
當用五如來眞言。各持一色。然後以成辨
諸事眞言總加持之。造曼荼羅線亦爾。五
如來色者。謂大日佛加持白色。寶幢持赤
色。花開敷持黃色。無量壽持綠色。鼓音佛
持黑色。阿闍梨先自取線。三結作金剛結
○其金剛結法。不可輙說。當從阿闍梨而
受之文
決云。此線以五如來眞言綫之。而兩頭截
捨無妨文
禾云。九尺線之。下綫表綫。八尺許。綫立云々
宜。太量。琵琶二三絃許宜。
決云。問。三結者何。答。不分明云々　若是
上二結。下左右二結。合爲一云三結歟〈此說〉
〈更可決之〉私案之。其最下結。左右各三結也。謂
見結樣可覺之也。又諸大師等祕
之。軌不授之給文
前唐院有惱移能事也。只結々可見移別
眞言誦事無之。只結樣云也云々
齒木二
記〈私四文〉云。彼當取優曇鉢羅〈顯註 妙心太云爲曇末羅木者謂杏木也〉
〈加良母々文〉或阿說他木。端直嫵好者。不麁不細
稱十二指量。凡一切法。皆用大拇指上節
側而相捻。是其正數也。此二木是過去佛
菩提樹。若無者當取有乳之木。謂桑穀等。
記木上下之別。皆以枝末爲上。根柢爲下。

以香水灌洗。又復以塗香而薰之。於其下末以白（二品）線纏花用莊嚴。亦作標誌。令上下易知。當以手案明誦不動眞言加之。或百反或千反。索令嚴備 文

寺家灌頂記（叡山本）云。私云。下末末明 文

羅讎云。優曇婆木。或阿修他木。取無病者無虫食而作齒木。量十二指。非麁非細。以香水洗以於其木根頭以白線纏花○隨弟子數木數亦然 文

禾云。花一房以紙捻苧等結付齒木花五六房。以糸編ッ丶ケテ結付之云々

敷曼荼羅

日疏云（具緣品）准定曼陀羅大小方位。或四肘或十二肘等。乃至諸聖天位處皆用白粉點記之。若阿闍梨不能具記。持者乃至畫其形相。或書字記之。使一一分明 文

敷曼荼羅樣々多。或種子。或三昧耶形。或中胎佛形。餘坐位。或只座位許也云々

食道

義釋五云。置食塊內遍布蓮荷葉或芭蕉等。令便周布。若無應用新淨白氈或淨布極以淨水洗濯。以香遍隨 文

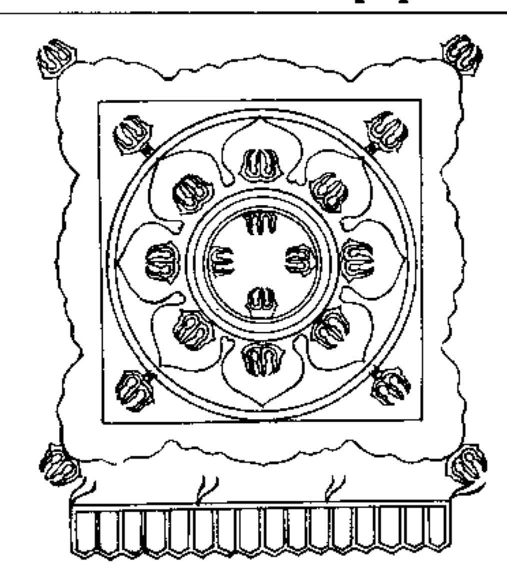
帖云。食道如覆面表裏赤白也。胎用白色之方。金用赤色之方 文

又云（造花）表裏赤白四枚也。左右之端有劍 文

食道普通有。不鬪之云々

常師云。世用之人有之歟。敷曼荼羅迴小高坏立。不敷之。敷曼陀羅緣廣。雖可安供物煩別儲之歟云々

天蓋樣（大壇）



瓶帶

長六尺 金 廣一寸五分（所忠持師）

離決云。瓶帶六尺。廣如几帳紐。五色染之 文

又云。東寺有人云。以五色紙覆裹五瓶口封之。至灌頂時用之。四瓶水合入中台瓶而總灌之。是法藏僧都口傳也 文

又云。或以五色絹各裹瓶口 文

裹五寶等事

決云。私云。先寸切紙五切。一々先一寶入度。次又一々入加一寶。乃至五寶一々紙滿。即五裹ナシテ。次又如前五切寸紙如前一々五香入。即五裹ナシテ。次又五藥如前。次又五穀如前即五寶乃至五穀各五裹。四五二十也。而後五寶五香五藥五穀各一裹。取白色帛裹之爲一裹。次以赤黃青黑帛一々裹之。合五裹也。即隨五瓶帶色入之也

ム云。裹五寶樣。于入壇之時見之。五色綵次第白赤黃青黑。重寶香藥穀各少分裹合。入白帶瓶。又如前重赤色取出表裹之入赤瓶。以下准之。或說不重一色綵裹之。凡裹五寶事祕事也云々

帖云。受者隨身五寶謂爲終時驗也。又自今以後此大日四德寶等具足我身。乃至成佛永不退失。縱事五寶雖散失之。理五寶等我身成就之。更無失之。如云一切智願猶在不失。義釋五寶等之理釋有之可見之 文

集經十二云。收纈中（二品）寶物之裹。以此寶物繫前呪索。永不離身。擬壽終時將此寶爲信驗 文

一髻尊陀羅尼經云。以絹帛裹於五寶並五穀子。五色線繫眞言索上。隨人多少一々裹之 文

入壇時五寶隨人數裹之若依此意歟云々

決云瑟々者瑠璃也頗梨者水精也菉豆青色小豆也胡麻烏麻用之五香人師替用不同也抄

金鉀

穴云金鉀如獨古形兩頭有寶珠

鏡

禾云例鏡也

輪

禾云八輻輪也

螺

禾云例法螺也

白拂

忠師所持

義釋六云復令餘人執淨釐牛及扇香鑪文

玉云釐莫刀反獸如牛而尾長　韻云釐豆忙反或氂又音貓

白拂世有蠅拂也云々

作云近來イチヒ獨古形物峯カヽマレル付云々

按自以下七行之文原本無之今依甲本補錄之

論曰九右金剛薩埵親自專爲汝開吾眼及無上金剛眼告言由此法故爲一切如來所護念金剛薩埵常住其心隨

彼所求乃至執金剛身無不獲得漸當得入一切如來體性法中汝弟子禮曼荼羅餘弟子引入我今爲某甲灌頂唯願諸佛菩薩降臨道場受供養

蓮臺

忠師所持

決云蓮臺是十二執金剛曼荼羅也

釋六云四角之外畫四執金剛火方○作無戲論伊舍尼方被雜色衣○八葉四葉四伴侶菩薩帝釋方○總持自在王菩薩○乃至四隅四奉教者火方著雜色衣乃至○經云中央主法界不可思議色者卽是此藍字作純白色所謂不可思議法界之幖幟文

帖云灌頂壇蓮臺極少狹之定同大壇中胎葉也不可減之也文

二十一結修多羅一

忠師所持皆一結也

禾云一丈縷之九尺許繞立之太量琵琶一絃許歟

問結眞言有之耶答不用眞言只結也云々

花鬘二

忠師所持長八尺五寸一鬘串花五色白赤黃青黑重貫之以五色右糸串之端有獨古形

灌頂要事谷云以色々染絹花嶲以左糸右燃串之長五六尺形如衣笠也文

離決云有人云花鬘○以四尺許糸二支貫五色作花五葉各色々貫之二糸端々是獨古首文

赤
黃
青
黑
白

臂釧腕釧各二

腕釧様同之只長六寸許廣一寸許也

決云蘇軌云其臂釧中穿一活兒子云々

師曰以活兒子青珠也文

穴云活兒子者何師曰菩提子也外道以死兒子置菩提樹下子即活故曰活兒子青珠菩提子替也云々

茅環二胎金

寶冠二胎金

忠師所持兩界同之胎五佛繪之一金五佛繪之イヒカミ様ハイシテ絹キセテ作之高六寸許廣四寸餘

白緒一

白蓋一

草座

覆面

決云覆面長六七尺許表裏練絹用之而表白裏赤色中入綿廣如常絹廣而中心一尺許縫合之左右不合之猶如印袋也

又説覆面胎白金赤色今二色合略也文

∴第十三三摩耶戒在別卷

∴第十四胎灌記在別卷

∴第十五金灌記在別卷

∴第十六合灌記在別卷

∴第十七延曆寺灌頂記在別卷

∴第十八兩寺灌頂記在別卷

∴第十九許可事

立五瓶之許可有之是則略灌頂也雙嚴房從暗經聖人受給谷流祕藏許可其定也安慶受之其流範胤律師長祐阿闍梨三人之密印初金後胎也云々

常師云太師欲受件許可從青蓮院座主而他流許可被授之仍腹立云々

ム云尤可辭受事也

智泉房云許可供養法立五瓶授作法有之也谷流

問介行歟兩段歟答濕衣袈裟二帖云サレハ兩部別スルナメリ云々

∴第二十密印等事

帖云密印等或行法之時用之或必不用之只如印鎰也文

密印等行法之時可結加之一説不必結加也受入三衣箱可隨身也開箱底云事自此起

四家流

是祕藏事也只印信密印許得之云々

大僧正御流覺延號

此密印常行用之云々

梨本流

ム云師此流殊祕藏之云々

持明房流

變嚴授智泉之時授此密印放梨下印言是イミシキ事也大阿闍梨位諸家密印受聚本源一流心得此流密印彼流印信放之也文

常師云我初度如此云云
勝林流
三中光中房流
ム從中道房受之
傳中教御流
ム從同人受之
帖云清涼 法性戒壇等之流諸密印等皆是大師傳受者也而以近名號之
云清涼法性等云云
帖云師傳說所授密印等其流非一若以其流作灌頂之事可授其人者只隨所授手印傳法之流云云作其流灌頂可授耳（事業作法書同故文）
受諸家許可事一結緣料一受他家許可
密印雖受一流灌頂欲授他家灌頂之時任意授之許可灌頂一事故也依之金剛壽院座主不受合行灌頂而陽救被授之
但同作法受得受別事也云云
問（圓智問也）故法印（相實）不令谷合行灌頂給仍川流人云云令授給之由來之如何
答（圓豐答也）川流令受給也但谷流令受給了
先云云令申之樣ヒトリ師云兩壇云合行數度作法事不必可有之只兩壇灌頂之後合行印信故加常例也又谷合行人川合行印信放加又常例也然而故法印作法雖被受川合行谷合行何不被授人哉云云（校者曰以下四行之文原本無之今依甲本補之）
靜然法眼相語仙範云故法印（相實）令受川給仍玄雲律師可泰受谷合行灌頂之由雖令不作法方不能授川方令授給也云云

建長三年窮冬十二日於小川草畢
同五年四月二十六日於關東永福寺
谷浚病患昔畢　以此功德悉迴菩提
無障金剛尊澄
二覽了　澄豪

建武三年（歲大丙子）正月二十二日於叡山本院東谷花藏房亥時書寫之訖焉
永慶金剛記之
同五月三日（戊申）交點了
建武四年（丁丑）四月四日於華藏房以後御（讀書）正本加一校了注異本置也云云
永慶金剛重記之
于時應安二年（己酉）四月十八日（酉尅）於比叡山本院東谷檀那院泉藏房以右御本記之畢　無障金剛貞存（生年六十三）
于時應安七年（甲寅）十月二十一日於田舍書寫畢　弘範金剛
寶永二年（乙酉）十月二十六日以東南淨教房所藏本命松安寫之
雞頭闍梨嚴覺

阿娑縛抄第十　取水作法

（決云後夜香水是師傳也大底或移見之云云後夜水取淨衣不著之云云問大受者不向泉處事有之耶答未開之阿閼梨所勢時令讀知法禮衆事有之云云問禮衆併可向泉處耶答不然在心也云云）

丑剋
丑剋水花サク云事在之吉水必剎也云云
先房中三部被甲　次赴泉處
承仕在前行（持散米）次師
次賚　次承仕（持閼伽桶有在杓水瓶等有灑水）
散米折敷上花香米切紙入之上覆折敷云云
次到泉處了師水邊向北蹲居（置散米前）
息災上成就故向北自南岸出水猶向北傍居成也（示云良僧正行用向西云云是向水天方意歟）
先結火印誦[梵字]字明燒淨其地
次結八葉印誦[梵字]字明灑淨之是爲請出水神先淨地也
次加持散米[梵字]（火印）[梵字]（八葉印）
暗步里帝吽發吒（掬水印灑水也如清淨印加持之也）
又以杵誦阿密里帝吽發吒明加持之
又用施飲食須彌王甘露一字心印明加持之
次勸請　左拳風指鉤（示云）召之
阿播鉢多曳ソハカ（有歸命）
次散米　次普供　次讚（諸天）
阿演都泥嚩左誐素羅緊那羅云云鑠迦羅那野鉢羅云云達摩駄哩多地迦羅尾

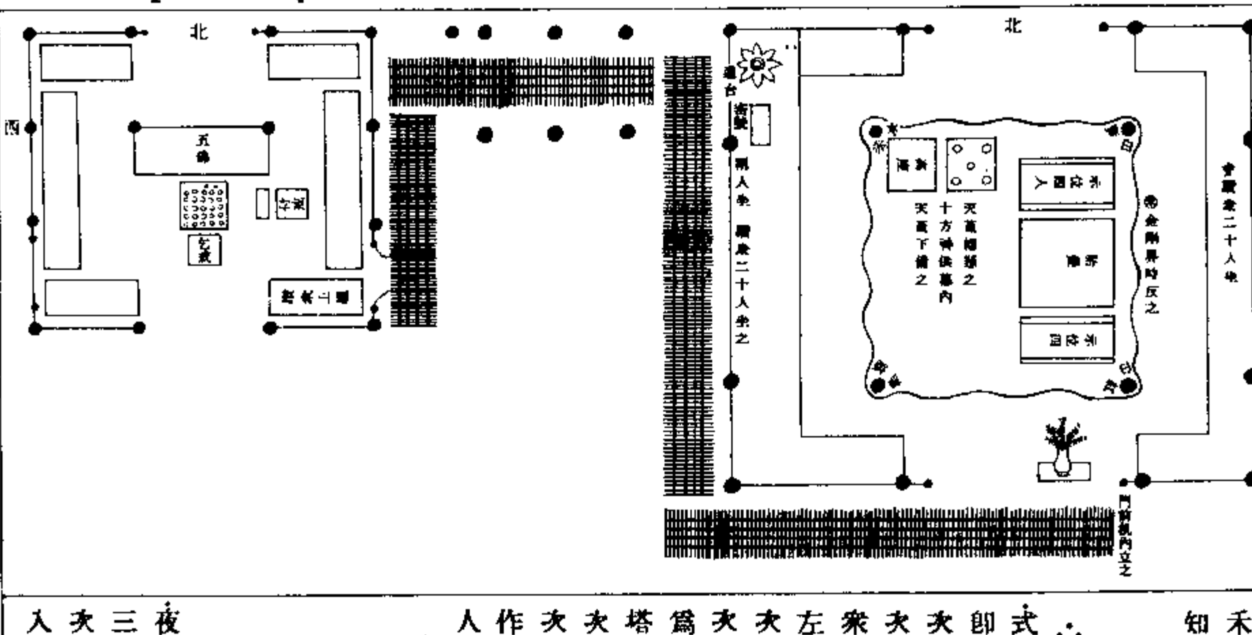
達磨左鉢羅拾磨操企也儞銘多部多銘
多鉢羅迦捨夜但儞賀室羅摩挙也䭾給
次心經　諸緣度
次敬白
敬白教主大日如來四方四佛三部五部
海會聖衆殊此所水神言今信心弟子（某甲）
學得兩部大法奥旨欲受五瓶灌頂眞位
仰乞願水神此水許給三摩耶成就所求
願圓滿給
次懺謝偈　次發遣　次被甲（不用三部）
次資汲水師卽於流底觀ส字流上觀ส
字令汲之
示云先洗水漉宛水瓶口汲入水也滿
了以樒葉塞口次承仕汲水入閼伽桶
也
次還時資持水前行師後行
次水安棚之後以杵誦不動降三世之二
明王加持之（示云然後水瓶水懸道場内）
決云金界不汲別水文
雖修兩夜不汲別水瓶水不替之云々
應永五年（戊寅）九月十六日非現所用分
少々除之書之後見可知之
嚴豪（四十九歳）
右筆豪喜
永享九年（丁巳）季春之比以右御本書寫
畢
持者堯尊（ส字）
永正五年（戊辰）南呂下旬之比賜右御本
奉書寫傳受畢
右筆重藝

小川末流豪祝記之
天文二十二（癸丑）歳十月二十二日夜丑
尅取水供奉大衆十餘人在之屬晴天
新阿闍梨當房住重委權大僧都（五十一歳）
（三十五歳）
㊄同夏公方樣御入洛之時義興仁令
供奉在京之條令住山於山門本院五
智院不顧惡筆御本申請書寫了右或
八月三日於同院寶菩提院豪祝法印
仁傳受了
重藝（四十五）

阿娑縛抄第十一　延暦寺灌頂

灌頂見聞集（定圓）云私云今見寺家灌頂
作法當于受明灌頂然略多事又尋諸
師傳存略不同隨宜斟酌而已
寺家灌頂第三々昧耶學法灌頂也東
寺灌頂第二三昧耶結緣灌頂也
持明房決云結緣灌頂只入壇散花得尊
唯受一印一明也（東寺等結緣也）而我山結緣灌
頂授道具等著冠登壇殆同受明等作法
計知大師爲一門徒衆結緣灌頂之次加
用受明作法卽授之更重不授受明而受
大法學眞言而後卽授傳法灌頂也故我
山結緣灌頂只許一門之僧衆不許餘道
俗童子等也
∴第一元初事
示云嘉祥元年始之歟
∴第二式日事
每年九月十五日也胎金隔年有之
延暦寺灌頂行事（慈覺大師）云
九月一日可始行灌頂雜事
三日可奉送阿闍梨御請並所々預請書
五日請灌頂料物牒可進官家
十一日可遣留佛供並僧供料雜物使
十四日裝束灌頂堂了
自同日始可辨備佛供並僧供料
十五日儀式
∴第三請書事

延暦寺灌頂式云、三日、成阿闍梨並所々
預請事
政所
堂莊嚴所一人　辨備佛供所二人　看門進
北所(十人事當)　門前灑水所(二人中堂上座)　道俗加持所
所(二人同前)　授與齒木所(一人當行堂)　隨樂注記所
(一人當時記)　辨設投花所(八人所司法花堂)　辨行神供所
(一人中堂)　覆面引入所(二人中堂)　授與密花所(二人同)
授與密號所(二人大衆老人)　看花示位所(八人有職知法)
灌臺灌頂所(一人)
已上一紙
寺(別紙)家借衆(二十人中堂)
右始自來　日可修恒例金剛界灌頂御
願者請定如件
年　月　日　小寺主
座主
上座
寺主
別讀衆(二十人座主房請)
∴第四莊嚴道場事
式云
十五日辰二刻、可打僧供鐘(三丁)
辰四刻、佛供等可運於灌頂堂、已一刻
阿闍梨入堂、加持○五瓶等之作法可
聞之
次阿闍梨加持香水灑淨供物等、可安
置壇上(文)
總持院灌頂堂并塔中三戒圖、親見之



禾云、道場莊嚴委細如兩寺灌頂記、准彼
知之
曼荼羅並敷曼荼羅寂場座主被施入
之云々
∴第五正作法
式云、未一刻、打三摩耶戒鐘(三丁)
卽時借衆十弟子等參會
次阿闍梨房前所司排批白蓋並輿等
次阿闍梨參堂(乘輿執蓋)十弟子隨從、此間讀
衆引列、先會行事所司二人(或云各持燭火)引頭。
左右讀衆名、呼上、任位階、令列立
次阿闍梨於中門前、下輿
次讀衆發音、誦四智讚(先左方次右方次同音)卽下臘
爲前、漸步行(寺讀衆爲前別讀衆在後)經舞臺、自正面入
塔中
次行道三匝之後、各著本座
次阿闍梨禮佛三反、卽登高座、已下三戒
作法、如兩寺灌頂記、香水等事、十弟子一
人授之
至加持香水所、水白檀共入之
林泉房延範闍梨、西京座主手代シケ
ルニ、別受者ヲシテ齒木投サセケリ
作法如常、其受者大教阿闍梨也、予行
時受者アラセムト思也、人謗ストモ
不可失故實云々
夜作法
三戒了、卽自塔東妻戸出、引列、誦讚、打鈸
次莚道上、次第漸步、自灌頂堂南面妻戸
入堂、各門前灑水(机在門內)次行道三匝

已下作法。如兩寺灌頂記

帖云。問。結緣灌頂者心何。答。初遙見曼荼羅。是此生始結緣也。第二結緣灌頂。而卽知宿世結緣之尊也。故結緣之名可在宿世歟云云。而又先德云。今始結緣也云云

帖云。結緣灌頂。又從本垂迹意歟云云

勸請古佛供養故也

∴第六卷數事

延曆寺

奉修　鎭國灌頂法事

合受灌頂人（若干人）

道（若干人）

俗（若干人）

右阿闍梨座主大僧正法印大和尙位（甲某）謹依舊例。今月　日晝則修三摩耶戒事。夜則修金剛界（若胎藏）灌頂。以其白業專奉資護　聖主寶算。兼以迴向法界衆生已訖。謹錄功德言上如件

年　月　日　都維那大法師位

寺主傳燈

上座傳燈

座主

建長三年十一月十四日於小河草了

文永八年正月二十四日以小河殿御草本寫了

於越州波寄（ハキ）（於元應寺）搭（タウ）㧞（ヌキ）書了云云

元亨元年（酉）八月十七日誂越州客僧寫了　卽亥時交點了

新本共越州有緣希代因緣非直也　惠鎭記之

事哉

本｜

康永三年閏二月九日申出大御堂殿御本於法勝寺誂良榆大德重交合了

同繪圖了

寶永二年三月十七日於兜率谷鷄頭院書寫　三部阿闍梨嚴覺

阿娑縛抄第十二　兩寺灌頂記本

先讃衆集會　likely 相待奉行職事參仕

次辨上卿參到已

次阿闍梨（持珠杵）自東門參堂（古日記云。自西門入講堂。而云云。講堂破壞之間。近來所入東門也）

於門內乘腰輿（自乘之傍）漸行。衞府指蓋。五位張綱。此間讃衆二行列立莚道上。進向腰門（可敷引列之由日記云。明雲綱所）　綱所引頭

次阿闍梨於腰門際（不引敷引之輿下時）下輿（直蹈莚草鞋或）漸步上莚道（此時六弟子介錫杖草鞋）六弟子從僧等隨後

次讃衆發音（先左方。次右方。次左右同音）下䏶鳴（○）漸上堂。於門前各灑水（此間六弟子各取法物具值）阿闍梨灑水

座具先高座與乞戒中間。敷之。或草座重敷之

次阿闍梨於座具上（或作禮脫之草鞋）取香爐向本佛禮拜三反（拜了香爐置箱）

次登高座（六弟子取座具鋪。阿闍梨先取座具數高座。或結付一人）次讃衆（作平座立或）誦四智漢語讃。左右各一反（記云。左右各二反）

次梵唄師著座。云何唄（日記云。唄師於本座發音。高座南云云。或）此路是也

此間。六弟子一人取門前瓶。逆行灑水（唄了）

又闍梨其間置杵取香爐

次唄了。阿闍梨（置香爐取如意左手）佛號（作居指香也）

南無淸淨法身毘盧遮那佛

〻〻東方寶幢佛

々々南方華開敷佛
々々西方無量壽佛
々々北方天鼓雷音佛
々々胎藏海會一切佛菩薩等
已上胎藏界
南無常住三世淨妙法身金剛界大悲毘盧遮那佛
々々金剛堅固自性身阿閦佛
々々福德莊嚴聚身寶生佛
々々受用智慧身阿彌陀佛
々々作變化身釋迦牟尼佛
々々金剛界大曼荼羅一切佛菩薩等
已上金剛界

次讀緣起（取如意）

日記云（明雲）別燈臺無之。預一人戒了燃大指燭立云々禾云。或六弟子一人指之云々

敬白冥顯三寶集會大衆。方今尋此灌頂大事、傳本朝之元始。傳敎大師。去延曆二十三年四月奉詔渡海到唐。彼大唐貞元二十年九月。往臺州國淸寺。遇天台大師第六弟子道邃和尚。硏學天台奧旨。同二十一年四月八日。却到越府龍興寺。遇天竺善無畏三藏第三弟子順曉阿闍梨。稟受三部悉地法。阿闍梨授付法之明驗。台州明州刺史並與印信公驗。延曆二十四年六月歸朝復命。主上感悅。詔所司令寫新度天台法門七通。其年八月二十七日。有勅建立灌頂道場。定受法弟子。同年九月一日。有勅令大師於淸瀧峯高雄寺修灌頂事。傳授眞言敎法。又勅召緇門中高德名僧八人。以爲受灌頂弟子之首。同年九月十六日。勅賜傳法公驗於大師矣。二十五年正月二十六日。定諸宗年分度者。有勅賜天台年分度者二人。一人習眞言業。一人學止觀業。始于其年永々爲恒式。爾後於比叡岳每年修灌頂。兼令勤修兩業。而大師歸寂之日。以法付修禪和尚。々々遷化之後。勅令寂光和尚紹繼前風。其後至于承和五年。慈覺大師特銜綸旨。涉海詣唐。於諸阿闍梨邊。訪學祕密奧旨。凡住長安六年。往還合十年也。承和十四年九月二日。却著太宰府。明春入朝歸山。其後　皇帝感容。嘉祥二年五月八日。特賜　勅使。令行灌頂事。自彼延曆二十四年至惟元仁元年。合四百十三年也。白河法皇御宇。承保二年七月。占白河之勝地。拓精舍之洪基。號之法勝寺。被始修佛事。堀川天皇御宇。康和三年八月。又當其西方。草創伽藍。號之尊勝寺。旁勤修御願。茲中結構道場。始行灌頂。胎藏金剛。二年積功。終而且始。萬代期勤。鳥羽法皇御宇。永久六年二月。掃兩寺之中間。建一區之堂塔。最勝題額。忽表名稱。忝尋芳躅於祖廟。永模叢修於佛庭。灌頂勝事。於焉共行。當靑春素秋之二季。盡胎藏金剛之兩部。誠是殊勝之御願。甚妙之善根也。上自一人。下至衆庶。諸天護持。悉地圓滿。乃至恒沙界及以微塵刹。依此投花之緣。併步證果之路。仰願（胎藏界金剛界）海會諸尊。普天率土天神地祇。伽藍護法一切聖衆。證誠知見。必令成辦鎭國灌頂御願。

諸乞誓

夫欲超有流海。達本無生岸。要先捨惡進善。捨惡者調身口意。進善者修戒定慧々々者卽一切陀羅尼門。定者卽一切三摩地門。欲入此二門者。要籍正戒以爲根本。而是三門如世伊字。闕一不可。自有古先大德則有求那跋羅三藏達磨師々傳授。唯詮三摩地門。又三藏咒多三藏留支。唯集陀羅尼門。次有三藏善無畏與金剛菩提流志。卽天竺高德。唐土傳燈。始此三門。歸于一揆。其定慧門者。乃是滅煩惱之要津。登涅槃之正路。甚深微妙。難可測度。若不發增上心。精勤勇採者。則不合得聞勝上法門

次乞戒師著座。神分勸請等（在別）

其間阿闍梨覺如意取杵

次阿闍梨發詞云

善哉々々。如汝所請。我今依佛敎能授與。汝等應當一心諦聽。汝莫散亂。若散亂者。一切如來及金剛薩埵所不加持。汝○當發露懺悔。三藏告曰。欲入大乘者。先發無上大菩提心。次受諸佛菩提心戒。身器淸淨。然後受法。約有十種方便

一歸命啓請　二運心供養

三懺悔諸罪　四歸依三寶
五發菩提心　六略問遮難
七羯磨受戒　八求請加護
九修四攝行等　十說十善戒
初歸命啓請者
弟子某甲等　歸命十方　一切諸佛
諸大菩薩　大菩提心　爲大導師
能令我等　離諸惡趣　能示人天
大涅槃路　是故我今　至心頂禮
眞言曰
唵薩嚩沒馱冒地薩怛鑁設羅拏誐車弭
縛日羅達磨頡利
次運心供養
弟子某甲等　今於十方　無量世界
所有一切　最勝上妙　香花幡蓋
種々勝事　供養諸佛　諸大菩薩
及諸聖衆　盡未來際　至諸供養
至心頂禮　眞言曰
唵阿謨伽布惹磨抳鉢納磨縛日羅怛他
蘗多尾路枳帝三滿多鉢羅薩羅吽
三懺悔諸罪
弟子某甲　自從過去　無始已來
乃至今日　貪瞋癡等　一切煩惱
及忿恨等　諸隨煩惱　擾亂身心
廣造一切　三業諸罪　身業不善
殺盜邪婬　口業不善　妄言綺語
惡口兩舌　意業不善　貪瞋邪見
一切煩惱　無始相續　纏染其心
如是三業　造罪無量　或殺父母

殺阿羅漢　出佛身血　破和合僧
毀謗三寶　打縛衆生　破齋破戒
飮酒食肉　如是等罪　無量無邊
不可憶知　自作教他　見作隨喜
今日誠心　發露懺悔　一懺已後
永斷相續　更不敢作　唯願十方
一切諸佛　諸大菩薩　加持護念
能令我等　罪障消滅　至心頂禮
眞言曰
唵薩嚩播波薩怖吒娜訶曩嚩日羅野娑
縛賀
四歸依三寶
弟子某甲　始從今日　乃至當坐三說
菩提道場　歸依如來　無上三身
歸依方廣　大乘法藏　歸依一切
不退菩薩　唯願十方　一切諸佛
諸大菩薩　證知我等　至心頂禮說三
弟子某甲　歸依佛竟　歸依法竟
歸依僧竟　從今已往　乃至成佛
更不歸依　二乘外道　唯願諸佛
慈悲攝受　至心頂禮說一　眞言曰
唵步欠
五發菩提心
弟子某甲　始從今日　乃至當座
菩提道場　誓發無上　大菩提心
衆生無邊誓願度　福智無邊誓願集
法門無邊誓願學　如來無邊誓願事
無上菩提誓願成
今所發心　復當遠離　我法二相

顯明本覺　眞如平等　正智現前
得善巧智　具足圓滿　普賢之心
唯願十方　一切諸佛　諸大菩薩
證知我等　至心頂禮　眞言曰
唵冒地喞多母怛波娜野弭
六略問遮難
諸佛子。汝等從生已來。不殺父否。不殺母
否。不出佛身血否。不殺阿羅漢否。不殺和
尙否。不殺阿闍梨否。不破和合僧否。汝等
佛子。若犯如上七逆罪者。應可對衆發露
懺悔。不敢覆藏。或依勝義諦觀罪性。不內
不外。不在兩間。空無自性。了不可得。本來
淸淨。如是觀了。一切法無自性故。離諸妄
念。永斷相續。方名淸淨。是爲殊勝懺悔。能
除一切重罪。諸佛子等。應當如是修學
七羯磨受戒
先請和尙
弟*子某甲等。至心奉請大悲胎藏金剛界會大日如來。
爲我作和尙。故得受菩薩三昧耶戒
次請羯磨阿闍梨
弟*子某甲等。至心奉請淸涼山中文殊師
利菩薩。爲我作羯磨阿闍梨。我依阿闍梨
故。得受菩薩三昧耶戒
次請教授阿闍梨
弟*子某甲等。志心奉請兜率天宮慈氏菩
薩。爲我作教授阿闍梨。我依阿闍梨故。得
受菩薩三昧耶戒
次請證戒阿闍梨
弟*子某甲等。至心奉請四方佛等三十七

尊、盡虚空界一切如來、爲作證戒阿闍梨。
我依阿闍梨故、得受菩薩三昧耶戒
次請同學伴侶
弟子某甲等、志心奉請十方法界金剛薩
埵諸大菩薩、爲我作同學伴侶、我依同學
伴侶故、得受菩薩三昧耶戒
次正羯磨受戒
諸佛子等、汝始從今日乃至當坐菩提道
場、於其中間、能守持三世諸佛三聚淨戒、
誓不犯、能持不(答能言)不捨正法及菩提心、
不毀謗正法、能持不(答能言)不害一切有情、
皆隨順安樂、不起一念厭離之心、能持不
(答能言)誓不毀呰世間一切諸法、此皆諸佛
方便、爲度有情、我當隨順心無所著常行、
能持不(答能言)諸佛子、三聚淨戒者、所謂攝
律儀戒、攝善法戒、饒益有情戒、此三聚淨
戒、三世諸佛、依此得阿耨多羅三藐三菩
提、故汝等應當依教奉行、如諸佛諸說汝
今如是持(三說)諸佛子、汝等今已受三世
諸佛三聚淨戒竟
次乞戒師隨喜起去
次阿闍梨、以杵加持誓水等、左轉右轉、各
三反
別委作法無之、是記裏書說也、近來略
儀也
記具有作法、全如傳法灌頂三昧耶戒
作法、戒儀許讀之、誓水齒木等事無之
云々
次迴向(衆讀打杵取香爐鐃一丁讃)

所修功德、迴向梵釋四王々々三界天主(衆讀)
々々山王三聖々々伽藍護法々々國界
神祇々々行疫神等々々一切神等々々
登霞聖靈々々諸御靈等々々一切靈等
々々國主聖朝(三反)々々太上天皇々々國
母殿下々々親王諸王々々攝錄殿下々々
大臣公卿々々文武百官々々五畿七
道々々滿山大衆、迴施法界、迴向大菩提
一丁
次唄師後唄、々々了、著本座
次阿闍梨下高座(如本持珠杵扇)
次如初向本佛三拜
次對上卿就奥座
次引布施
阿闍梨一重一裹辨之(若爲貴人大阿闍梨時上卿取之授大夫)
(手長)六弟子取布施、賜大童子(貴種大阿闍梨者近習讃)
(衆取之賜房官々々賜童子)讃衆一裹也
次上卿辨退出
已上三摩耶戒作法了
夜作法
先阿闍梨、禮堂西壁際向東立(金時東壁際向西立)六
弟子持物具隨後、讃衆向阿闍梨立、發音
(先左方次右方次左右同音)漸自正面妻戶入堂、門前灑
水等如常
次行道三匝(下讃衆前陣讃打鈸此間六弟子置物具)
次闍梨於曼荼羅前三禮(作着草鞋立座具上禮之或脫草鞋立)
懺悔偈、淨三業等如常
次著禮版(日記カ々次讃衆讃四智漢語一匝並鉢云々)前方便如常
次表白神分(在別)先讃衆打鐃

次供養文(長音)唱禮　驚覺　九方便(金時)
(五悔)
次供養法(乃至)讃(三身密誦)讃
此間讃衆大讃(初鈴出之)次佛讃、普賢四智
誦之
若金百字、百八、普賢四智誦之
日記(明云)云、普賢讃不誦之云々、誦吉慶
漢語讃云々
次讃了、阿闍梨取香爐、唱佛號(有音曲)
南無恭敬供養胎藏界會(若金剛界會)
聖朝安穩增長寶壽
大悲護念成御願(此句或無)
次置香爐念誦(大日眞言祈願)
此間十方神供、役人次第勸之(預取入物隨役人順置)
之(或衆)讃衆誦諸天漢語讃(打鈸)又此間雜
神供修之(役人於讃衆座勸之)
次阿闍梨持珠杵、從禮版下、著灌頂所禮
版(向南)
次小灌頂、著蓮臺所禮版(向南)
次舁去禮版脇机(奉行讃衆召預令去之又預左机或右跡衝花折瓶取之)
次移五瓶、置灌頂壇(白赤黃青黑次第一人衲木取之一人取手置机胎)
(中四角金中四方取香水散杖如中瓶)
次十二執供、役人繞壇勸之
次示位人起座、著示位座(曼荼羅上方爲上薦以佛左爲一和尚)
次道俗加持人到門前、加持結緣者
次引入覆面人、引到壇前
次授與密花人、花挿印末
次注記人、大梵天王、奉爲高聲讀神名、密
花師開之、卽令投花、見花示位、如此神分

灌頂等後。自分灌頂了。開面令禮曼荼羅
三反（記云。令十弟子一人辭分灌頂云〻）
次引入人。將到大阿闍梨處。令蹲居。阿闍
梨。所得尊方瓶水灌之。兩三反
胎藏蓮臺灌頂次第（大慈覺師）云。五佛誦一字
明。各方瓶灌之
普賢及東方佛菩薩二乘衆。誦軍荼利明
唵闍沒嚩嚩吽泮吒用赤帶瓶灌之（甲本頭朱註曰。王唱釋云。輪王佛頂眞言是佛部明王。馬頭大尊十字眞言是蓮花部明王。然婆忿怒其彼眞言有吽發音字。是金剛部明王。其軍荼利尊通是三部明王文）
文殊并金剛部諸尊及悲愍等九菩薩。誦
降三世明。黃瓶灌之
觀世音并西方明王一切菩薩。誦軍荼利
明（如上）。靑帶瓶灌之
彌勒并蓮花部聖衆并地藏等九菩薩。誦
馬頭十字明。用黑帶瓶灌之（抄）
金剛界蓮臺灌頂次第（大慈覺師）云
大日。四波羅蜜。內四供。誦佛部灌頂明（如金）
白帶瓶灌之
餘四部。各誦其部灌頂明（如金）用其方瓶灌
之（抄）
賢劫十六菩薩略頌云
東慈不滅無　南香會虛智
西賢無網月　北辨無金普
二十天略頌云
東方那俱金梵釋　南方日月金嚴熒
西方羅風金火毘　北方金焰金毘水
次授道具（記具出之。全如傳法灌頂。近來略之。或初兩三人五貼許授之）
帖云。授道具。只大底許也。謂只師捧之見

之。不知令如傳法時作法也（文）
次將到小阿闍梨所。即授印明了
延曆寺灌頂式云。必不令登蓮臺。或坐
下蹲踞。或令懸兩膝（文）
次將到密號人所。授密號出之
次引入餘人（作法如前。但無神分。灌頂等了）
次移五瓶置大壇（次第如前取。散杖如香水）　禮版脇机
等立之
次大阿闍梨。著大壇禮版。小阿闍梨并餘
讚衆等。悉著本座
次後供養（如常）
次獻佛布施（如常）或佛名次奉之
次振鈴。後唱禮師四智讚
如常。三反誦之。初反同音密誦。第二反
獻閼伽。第三反漸轉杵。音了即振鈴
次阿闍梨讀法記文（讚衆持置右。机記云。取香爐）
次唱禮師五悔（禾云。迴向方便許）
次阿闍梨迴向。誦云　願以此功德云〻
次解界奉送等
次下座禮佛。行道（逆順）若三匝（阿闍梨爲先。誦讚打鈸）
出堂

御本云
建長三年十一月十一日於小川草了
同五年四月十七日於關東二階堂谷
書了偏是爲紹隆佛法鎭護國家也
無障金剛尊澄
建武二年十二月二十七日一交了
豪鎭

同四年五月一日以五大堂殿御自筆
御本於花藏房交合了
貞治四年乙巳五月七日於西山寺戶奧
坊以右御本寫了　一校了　澄盛
享德三年甲戌二月一日以右本書寫了
右筆源昱
持者源貴

阿娑縛抄第十三　兩寺灌頂記末

兩寺灌頂

∴第一元初事

尊勝寺灌頂。長治元年（甲申）被始行（堀河院御願）

最初大阿闍梨。敎王房座主賢暹（于時法印）

蓮臺阿闍梨。三光房律師範胤（于時有職）也

上卿源中納言國信（左大辨）時範。史廣宣。綱所。

威儀師慶俊。從儀師靜算。胎藏界也

最勝寺灌頂。保安三年（壬寅）被始行（鳥羽院御願）

∴第二式日事

尊勝寺。三月二十四日。東寺。慈覺。智證門徒。爲阿闍梨。胎藏金剛兩年輪轉。蓮臺阿闍梨。一宗二年勤仕之。任僧綱（但東寺被始置小灌頂之）

（後山門園城許勤之）

最勝寺。十二月十五日

禾云。近代兩寺共及歲末無定日。陵遲（權中納）故歟

∴第三請書事

尊勝寺灌頂大阿闍梨甲（名字）可令參勤給者

依天氣執達如件

月　日

小灌頂請書

僧綱

傳燈大法師位〻〻（年臈）眞言宗延暦寺

右依宣旨請定當年最勝寺灌頂蓮臺阿闍梨如件

文永八年十二月十八日

從儀師相秀

威儀師嚴暹

大僧正道融

僧正

僧正

僧正

僧正

權僧正

權僧正

權僧正

權僧正

權僧正

權僧正

權僧正

權僧正

權僧正

權僧正

法印權大僧都

法印權大僧都

∴第四受請錄事

大阿闍梨受請錄。依人意不定也。且注一兩例

總在廳

綾（ム定）被物三重（同文）合（十八）袴一腰（生已上入假裹）色〻

布一結（十端）云〻

青（西林院僧正承韶）唐綾被物一重。白唐被物一重云〻

唐（十樂院僧正仁澄）綾被物一重。美絹二疋。色〻布一結（十反）云〻

公文

綾（ム）被物二重（同文）合袴一腰生色〻一結七反

志（西林院僧正）〻良綾被物一重云〻

綾（十樂院）被物一重。美絹一疋。色〻布一結十反云〻

綱掌

合（ム）衣一領（一料疋絹）

國（十樂院）絹一疋

鎰取（小綱）

單衣一領（四料丈絹）國（十樂院）絹四丈云〻

所守（上日者）

白（ム十樂院）布二反

手鎰取（四人）

國布八反云〻白布八反云〻

∴第五讚衆事（付六弟子）

敎王支度云。讚衆可有二十人者。覆面引入已上合十二人。其數之外。可召御寺供僧八人也云〻

近（禾云）來讚衆二十人。大阿闍梨率之（法服甲袈裟。但小灌）

執（頂）香（懸）爐（錦横）上臈四人（若六人）示位

敎王行事云。入壇灌頂人八人

一人蓮臺灌頂

一人乞戒

（敎云。御導師若供僧中堪能人可召對。禾云。近來讚衆中勤之）

一人十二執供
一人十方神供
教云、中堂衆上臈二人云々
一人門前灑水
教王云、中堂衆上臈二人云々
一人道俗加持
教王云、中堂衆上臈二人云々
二人引入覆面
教王云、入壇者二人、兼擲花
一人授與擲花
教王云、入壇者二人云々
一人注記
教王云、寺家公文小綱等所作云々近來讃衆中勤之
此外、廣野神供、唱禮、庭讃等、隨器量可相計、隨便宜依堪能、一兩々々三事兼勤常事也、六弟子法服白袈裟平袈裟本寺修學者請之、座主、四谷學頭召之、隨臈次、如次三衣、香爐、如意、草座、坐具、草鞋持之

∴第六道場莊嚴事
教王記云、壇上莊嚴、寺家政所調之云々
仁安二年日記明雲座主云、堂莊嚴者、寺家之役也、兼又小阿闍梨沙汰也、五寶等者、自公家被下也、而公家御沙汰遲々、入夜事出來、故如然物、小灌頂阿闍梨用意私儲之、五瓶莊嚴事、小阿闍梨沙汰也云々
禾云、近來大阿闍梨、親近讃衆奉行之、抑若小阿闍梨令莊嚴早參御寺、以御寺預并大阿闍梨承仕等、令莊嚴、但立寶幢、敷緣道并敷座等事、一向御寺沙汰也、曼荼羅之最勝寺無可用意
并壇等、皆御寺在之、道具并敷曼荼羅、大阿闍梨私隨身之
總持院供養之時、眞言堂借上尊勝院寺家灌頂堂八色幡之處、白色一流、黃色二流在之起東寺人調進云々良辭阿闍梨、懸煩蒙世謗、尊勝寺灌頂之時、人々不審之云々是蘇悉地經說也、謂白、火、黑、烟、紅、青、金、白、黃云々、是正非說幡色、八方天色云也云々

一、三昧耶戒場
尊勝寺灌頂堂禮堂七間爲三摩耶戒場、正中間向本佛幸四帖立壇一方四尺高一尺五寸、其上備五前供、塗香、花鬘、燒香、燈明各五坏、花瓶五抑花枝置之
問、花瓶燈等五並居如何、答、何事不知云々、又灑水器一口加散杖、警水壺一口加齒木、齒木二枚、金剛線置之、壇南立禮版乞戒座也、傍立磬、又此間端立門前机瓶口抑散花杖并立之机下置香象

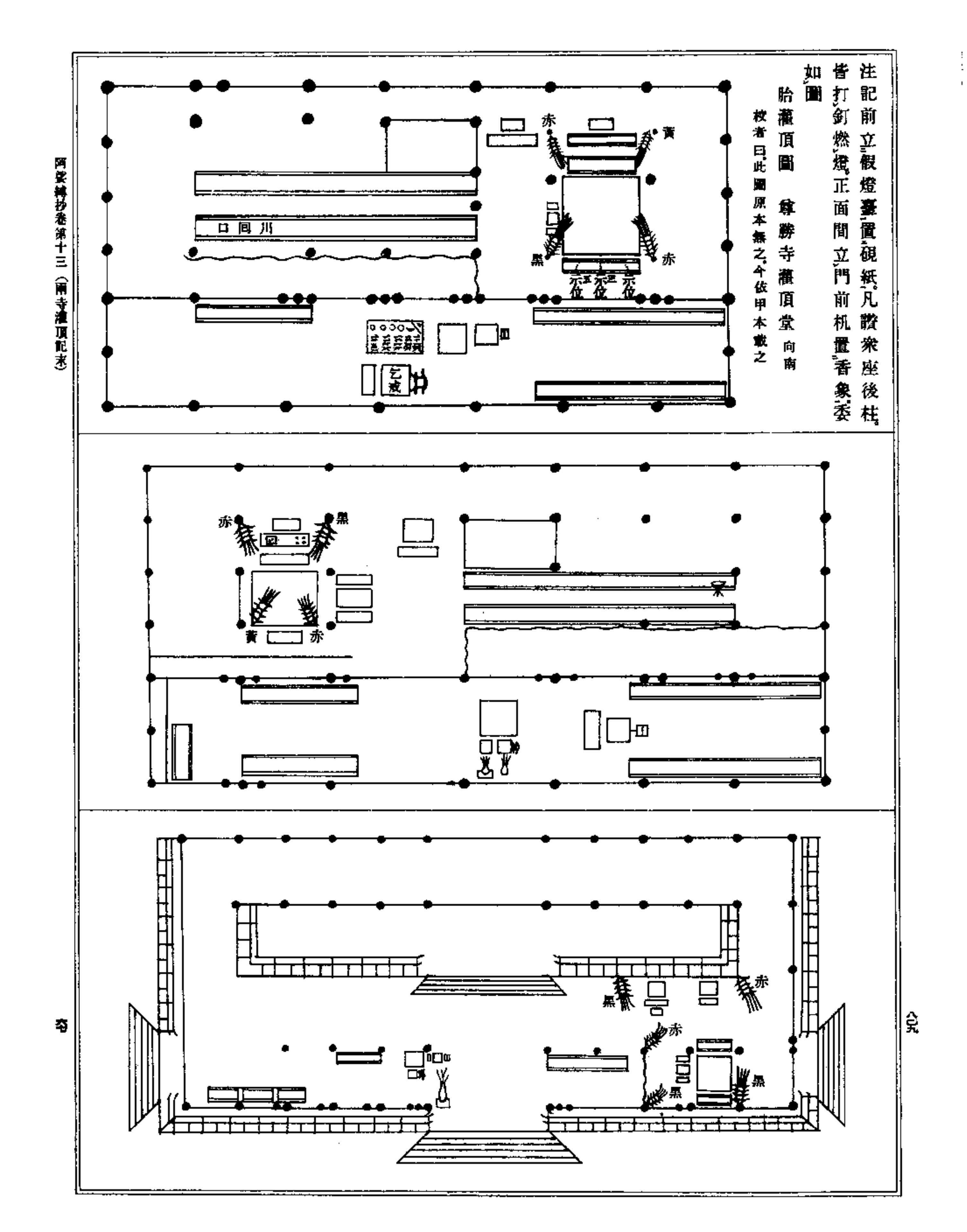
校者曰、此圖原本無之、今依甲本載之

次東間、向西立高座高二尺座前立机高二尺五寸可有禮、次東二間餘奧端、東西敷讃衆座、次東間奧、寺家沙汰西端壁際、南北敷辨座、東西敷○大阿闍梨座阿闍梨座高麗二帖重敷之、同間端、對阿闍梨座、敷上𨉷座、又庭上立幡、敷緣道

一、灌頂道場
同堂内陳、自東第二、自北第三間、向東立大壇、引壇敷立橛標、引糸、上敷曼荼羅、置羯磨、立五種鈴杵、立五瓶、備内外供十二、執金剛供等如例、灌頂時、左机置灑水、塗香、名香等、右机置佛布施

校者曰、此圖原本無之、今依甲本載之

大壇東懸胎曼荼羅、大壇左右敷示位座、
大壇直北隔一間、立禮版、前立机置道具箕又移五瓶料、是大阿闍梨灑瓶水處也
同次西間、立禮版、前立机日記云、小阿闍梨香爐箱許、三戒時置之、其前立蓮臺、是小灌頂授印明處也
大壇直西隔一間本佛前左右二行、東西敷讃衆座



注記前立假燈臺置硯紙凡讃衆座後柱
皆打釘燃燈正面間立門前机置香象委
如圖

胎灌頂圖　尊勝寺灌頂堂 向南

校者曰此圖原本無之今依甲本載之

∴第七正作法（在別卷）

∴第八讃衆所作

一。乞戒導師

三昧耶戒緣起并有流海等段了不令得
聞勝上法門云時。乞戒師着禮版（五前供前禮版也向）
（本佛）從僧如意香爐置右机（或入箱）
先表白神分祈願（或先三禮如來唄）
次勸請詞云
歸命傳戒阿闍梨　戒定智慧如月輪
照明長夜度衆生　是故大衆三業禮（起禮一）
歸命傳戒大阿闍梨　三十七品皆具足
等視衆生如一子　是故我等一心禮（起禮一）
無數大劫如說行　能爲世界傳戒師
授與菩薩三摩耶戒　是故國主歸命禮（禮一）
次佛名
南無歸命頂禮傳戒大師授與菩薩三摩
耶戒
次（式無）乞誓已了。謹（式無）奉勸請云々
次大阿闍梨讀戒體（乃至）受三世諸佛三
聚淨戒竟云了
次乞戒師隨喜。其詞云
南無隨喜々々傳戒師
次（式無）教化々々了。起去著本座（從僧取如意等）

一。十二執金剛供

役人迴大壇順供之。蹲踞先稱名號。次誦
飮食明供之（於袈裟下結之）
先四菩薩（四角花瓶內東南爲首順迴）
南無恭敬供養總持自在執金剛菩薩
摩訶薩
南々々々々念持々々々々々々々
々
南々々々々々利益心々々々々々々
々
南々々々々々悲者々々々々々々々
々
次四執金剛（四角花瓶外東南爲首）
南無恭敬供養住無戲論執金剛菩薩
摩訶薩
南々々々々々虛空無垢々々々々々
々々々
南々々々々々無垢眼々々々々々
々々
南々々々々々被雜色衣々々々々々
々々々
次四奉教者（前方四隅左右相交供之）
南無恭敬供養著雜色奉教者
南々々々々々滿願々々々
南々々々々々無礙々々々
南々々々々々解脫々々々
尊勝寺灌頂。道源闍梨。金界十二執供。
自東北始之。意覺難云。東南ヨリコソ。
道源云。付本經說也云々。意覺見大原
說難。道源見本經。暫可付本經云々略
出云。自在天方名住無戲論云々

一。十方神供

胎三匝供之。結普印。誦嚕迦々々明。供之
先正東（帝釋）次正南（焰魔）次正西（水天）

次正北八器 多門等。荼吉尼等。自中左右供之

○○○○○○○○
八六四二一三五七

已上第一周了

次東北 自在天 次東南 火天 次西南 羅刹主

次西北 風天

已上第二周了

次東方 上方梵天 次西方 下方地天

已上第三周了 勝林記心

金一周供之。結普印。誦各本明供之。極略

時誦嚕迦〻〻呪

先東北 自在天 次上方 梵天 次東方 帝釋 次東南 火神 次南方 焰魔 次西南 羅刹 次下方 諸鬼神 次西方 水神 次下方 地天 次西北 風天 次北方 諸夜叉

常師云。最勝寺灌頂役。我勤仕之時。見神供堂後戶一處置之。號云雜神供。八方天幡下不居之。是離作業有事也。義釋道場狹。十方神供一處居供之云〻

最勝寺無灌頂堂。金堂前修之。故道場狹。後戶儲神供歟云〻

離作業決云。有人云。堂內神供有二說。一別所設。一壇修之。如圖。二堂內四方迴置供之。多依之文

明雲座主日記云。十方神供次曠野神供無之。後供養間。一人讃衆修之云〻

兼堂內戌亥隅一間幕曳。其內壇立。方三尺許。五穀小飯四十五坏在之。粥一桶在之。禮盤在之。行者向北云〻

一雜神供

十方神供間。於本座修之 如常

一道俗加持

十方神供了。禮版等取去。後到立門前机邊。加持結緣者。先灑淨結緣者頂 人或役別 次以辨事印明。加持結緣者 胎金降三世 勝三世

一引入覆面

道俗加持人。相共起座。到門前

先加持覆面 胎不動慈救 並歸命 金降三世 明左轉右轉 阿三反 次覆面。門。敎結緣者令作印 胎入佛三昧耶 金普賢三昧耶 執其印末。引入到壇前立 引入結緣者 北南 投花示位了後。先將到大阿闍梨處。次將到蓮臺處。次將到密號師處。次將到注記人許。次出之了

一授與密花

引入結緣者了。取投花 右脇机 折櫃在之 入揷印端立。此時注記人神號讀上時。卽令投花 是最初一人許打神分灌頂故也。後〻只卽令投也

一注記

神分灌頂神號等。自兼書儲之。正將投花之時。奉爲大梵天王等。高聲讀之。得佛。開示位人詞。當座注之。結緣者名字。當座書之。得佛注書之。其書樣假令如左

尊勝寺 式[illegible]

元久元年十二月二十三日

胎藏界灌頂注記

奉爲

大梵天王 金剛鉤菩薩

天帝釋 寶幢佛

四大天王 八葉普賢

十二天 釋迦院虛空藏菩薩

八大龍王 寶幢佛

堅牢地天 花開敷佛

奉爲

伊勢太神宮 無量壽佛

八幡大菩薩 普賢菩薩

加茂大明神 金剛輪菩薩

稻荷大明神 寶幢佛

春日大明神 大日如來

日吉大明神 天鼓雷音

祇園天神 彌勒菩薩

北野天神 普賢菩薩

當年行役疫神 七倶胝

王城鎭守諸大明神 彌勒菩薩

國內一切神祇等

伽藍護法

奉爲

國主聖朝 彌勒菩薩

太上天皇 大日如來

國母仙院 八葉普賢

諸宮諸院 如來毫相

關白殿下 毘倶胝

大臣公卿 虛空藏

文武百官 虛空藏

國內萬民 無量壽佛

藥師 檀波羅蜜
惠仁 毘俱胝
藤原盛助 毘俱胝
石王丸 地藏菩薩
一示位
大壇禮版等取去後。各立座。就示位座
佛方爲上 左爲一和尚 隨花落處示尊號
八葉西北彌勒東北觀音。可示也。是本也云々
一蓮臺阿闍梨
與大阿闍梨同者著禮版。隨所得尊印
明授之
隨器量印明可授也。假令蓮部。常云大
隨求大吉祥等觀音云。阿嚕力迦印明
可授也
帖云。胎界結緣灌頂。無印明。菩薩。可授
其院主印明也。無印明天等。普印嚕迦
々々呪授之 文
或決西塔云。一々尊眞言不知之時。三部
總呪教之。但曼荼羅三部能々可習 云々
帖云。爲結緣灌頂人。授八印眞言乎。師
曰。不令知密印明。故授之無妨。但若有
可替用印明。可用彼也。謂觀音等也。大
日如然。授五古幷五字明 文
八印不可授之云々
帖云。金結緣灌頂時。授三昧耶會印明
佳矣 文
一授與密號
不動本座 讀衆座也 將來結緣者之時。令云開
遍照金剛等也

帖云。密號是漢詞也。如遍照金剛等也。
而此名此尊德顯故云密號也 文
一六弟子
入堂之時。行列次第。大阿闍梨 二和尚香爐箱 一和尚三衣箱
四和尚草座 三和尚如意 六和尚草鞋 五和尚座具 三昧耶戒門前灑水間。
三衣箱高座前机北端置之。香爐箱同机
南端置之。如意香爐箱上置之。草座高座
敷之。坐具先高座與五前供壇中間磬臺
外敷之。阿闍梨取香爐。於座具上三拜了。
後取座具敷高座也。草鞋阿闍梨登進道
之時令履之 被役人取指蓋高座西北角持之 阿闍梨上或預取之結付高座足
各置物具了。高座近邊便處蹲踞。但人讃
戒體之間。指紙燭也。又一人唄間。逆灑水
勸之。三戒了。引布施了後。各如本取物具。
隨阿闍梨後夜作法。如前列立 乃至 入堂
行道之間。三衣置左脇机。香爐箱如意置
右脇机。草座敷禮版上。坐具敷禮版前 小縣
敷禮版也 置了。坐便宜處。事了。出堂之時。行道
之間。如本持之。隨阿闍梨後也
∴第九卷數事
最勝寺
奉修 鎭護國家灌頂事
合受灌頂人ム人
道ム人
俗ム人
右謹依 宣旨任例今月十一日奉修灌
頂法事
晝則修佛性三昧耶戒夜則修 胎藏金剛 界灌
頂事以其白業專奉誓護

金輪聖主陛下 寶祚長遠之由如件
仍勤名 行事 字謹奏
承久三年五月八日
都惟那大法師位
寺主大法師位
上座法橋上人位
小灌頂 傳燈大法師位定尊
大阿闍梨法印前大僧都忠―
卷數。翼日注記書。進大阿闍梨。々々加
署。賜當堂預。々々賜所司。々々進公家 云々
建長三年十一月十一日於小河草了
同五年於關東二階堂谷書了
無障金剛尊澄
元應元年巳八月二十七日於洛陽西
山寺戶賜彼御本書寫了
無障金剛玄契
享德二年六月十五日書寫了
一交了 源喜
于時承應三甲午年七月十日以總持房
本書之了
舜興 筆者 善祐 六十七歲
元祿十六年三月二十四日命松安寫
之
延曆寺雞頭院
三部阿闍梨大僧都嚴覺

阿娑縛抄第十四　曼荼羅供　本

∴第一阿闍梨事

一裝束
法服衲袈著之可持五古爲僧正者皆水精數珠也
如恒例遠忌每月勤者著甲袈裟常事也

一隨身物
一莒　二莒（已上納道具但近來數莒之）　居箱　香爐箱
如意　草座　坐具　草鞋
已上十弟子持之隨從阿闍梨後（上藹爲前下藹爲後）

∴第二讃衆事

一人數
常二十人十二人八人六人四人隨時無定法勝寺八萬四千基塔供養之時讃衆三十人導師吉水前大僧正

一所作
呪願
一和尚勤之堂達乞呪願之時立于座呪願（禾云布施呪願用之）或云帶緌鞋（草鞋）下座呪願了卽座
唄
雖爲一和尚役隨堪能勤之
爲大儀之時唄師二人請之先正面設座至唄時各起本座著唄師座（香爐坐具持之）云何唄用之雖唄終不起座事終之後唱後唄故也
散花　對揚
凡僧中勤之
爲大儀之時散花頭二人進出正面唱初段〻〻了大行道庭綱所引列
梶井宮御灌頂之時散華師二人自左右座持香爐坐具進出正面唄師前邊敷坐具立其上散花（不行道）餘僧立本座唱之
常儀散花師〇（一人）進出正面初段了行道（讃衆同行道）至艮角出第三段卽行道至正面散花了（內堂）蹲踞對揚
禾云略儀立本座散花〻〻了蹲踞對揚
唱禮讃
凡僧中堪能人勤之胎金之時可用胎金唱禮若合行之時可用合行唱禮若修一尊行法可用兩部略唱禮也
兩寺總持院等灌頂之時可用長音唱禮出讃事異說在之但座久故近來振鈴了出讃佳也
鐃鈸
迎阿闍梨或爲二行者最下藹二人鈸（庭讃幷著座讃）次下藹二人鐃若爲一行者最末藹一人鈸次下藹一人鐃
突鈸樣（付打鐃樣）
上〻（丁）序
上邪（丁イ）〻上邪（丁）〻上〻（丁）左羅〻上〻（丁）左羅〻
上邪（丁イ）〻上邪（丁）〻上左羅〻（丁）上左羅〻（丁）
上邪（丁イ）〻上佐（丁）〻上左羅〻
雙嚴決云打鈸時先擧右打之（任慶阿闍梨說也）
庭讃　著座讃
突鈸人誦之若不堪者餘人誦之無咎
堂達
最下藹勤之（作法在奧）
逆灑水
十弟子不具之時讃衆下藹勤之
諷誦導師（耆年若貴之人爲導師之時請之）
讃衆之中上藹堪能人勤之

∴第三十弟子事

一人數
本體十人也（起自如來十大弟子）但近來常六人具之最略時四人也本寺修學者請之座主四谷學頭召之

一裝束
法服白裳平袈裟著之

一所作
阿闍梨參堂之時隨藹次如次三衣香爐如意草座坐具草鞋持之（若四人之時香爐箱上置如意草座坐具重持）之隨行阿闍梨持草鞋之人阿闍梨欲登莚道之時令渡之自餘入道場了行道三匝之間三衣置左脇机香爐箱如意置右脇机草座敷禮版上坐具敷禮盤前如此置了出堂大床若便宜之所祇候事終出堂之時行道之間如本持之隨闍梨出堂
逆灑水

其中入眞言門之歟可勘此役云何唄之
間取門前瓶右匝退行灑淨。堂中遲歩唄
一反之間廻合也

∴第四堂莊嚴事

一幄屋
門内門外隨便宜打之。最勝四天王院供
養之時門前左右打之。又門内常事也。常
途只參集堂内。阿闍梨參堂之時。參會幔
門

一幔門
中門邊引幔開幔門。臨尅限。搴幔門之幔。
自幔門之内至于堂登橋際。敷筵道。々々
上布敷之二行並二端敷之。一行一端敷
之

一門前
堂正面右方立机若臺。其上置灑水瓶。挿
時花。加散杖。奉行讃衆兼加持之。机下邊
置香象。尅限承仕可置火

一堂内
雜色幡花幔代隨間數懸之。本所之沙汰
也。不及闍梨之口入云々

一立壇
假令向南向東歟。隨堂向方正面立壇。即
引壇敷（以紺一疋覆壇上引四方）立撅引糸

一懸曼荼羅
奉懸一界曼荼羅事在之。其時不及向方
沙汰。若新曼荼羅供養。若合行曼荼羅供
時（南胎北金）是一界本方也。今一界奉廻心也。
向南向北之時（東胎西金）是依本方心也

已上谷御說也。可仰信之

一供物
閼伽等供物如常。一方白飯以下八盃也。
世云衆佛供。其色赤黃青黑中除一色也云々

一筵道具作法
阿闍梨入道場以後。雖可置之。近來兼置
之。其樣如圖。但金朱付瑪磨也
大原圖云。右手取杵。左手執鈴。左右相
交置之
或說。右手鈴杵共取之置之
器一二置次第。朱一二取次第也
又用鈴可立之。杵闍梨隨身。仍不可居之（或前方鈴引出之振鈴在之）
抑雖向南北思本方可置道具也是師說
也

一脇机置物
左机　灑水　塗香
右机　佛布施可置之

∴第五行法事
阿闍梨於門下々從車於
幄屋前乘輿（繖付指蓋五位 張綱任丁舁輿）
於幔門下輿脫草鞋（紅當退）
漸步入幔門內登筵道之
時履替草鞋立筵道之端

（圖註）此時十弟子各持取物隨闍梨後二行立

此閇唄衆參儲
於幔凹公家院
中綱所左右呼
名立行列先一
和向左方火二和
尚方三和向右方
四和尚大立如此
次第交尚第十
七八和十鐃第
十九二立和尚
鈸各列闍逹道
上而向讃裂
次左方一頭
四智讃鐃反出
突鈸打無有序了
閒右方讃音此
次右方一頭出
四智讃鐃反了
突鈸打無右序
閒左方同音此
次左右一音出
四智讃鐃反了
突鈸打同無序
次左右衆音師
讃徐鬱四下臈
先上﨟為鈸五歩
一度突々打鐃
但上邪上許
突之也
若人數少之
一行列立猶時
闍梨方為上阿
最末﨟鈸火﨟
﨟鐃打之下

次左右同音讚了。隨讚衆
後徐參堂（此作法仰崇阿闍梨之意也。仍入道場）
（以前阿闍梨不可誦讚也）到門前机邊右
手取散杖灑水。隨讚衆後。
最後入堂。右遶佛三匝（此作法欲本尊德也。仍阿闍梨同音可誦讚也）
次行道三匝了。留禮版前
机【圖註】（十弟子隨阿闍梨後入堂行道之間三衣箱置机右草座置左脇）
（机香爐與如意置右机。草座敷禮版上。坐具敷禮版前。置了各出堂。大床若便宜繼祇候）
佛三反（鐃鈸云ゝ）鐃鈸了。脫草鞋（不脫草鞋）立坐具禮拜。普印。
若虛心云ゝ

回十二　回十一
回十四　回十三
回十六　回十五
回十八　回十七
回二十　回十九

次到門前嚴下薩取合鈸插左脇右手取散杖灑水入堂ゝゝ後又突鈸讚音和續不斷次ゝ薩各灑水入堂ゝゝ後一行也尙下薩爲先上薩爲後行道三反行道了任薩次各立留座前讚了鈸鈸打之無序衆可思定我座

次懺悔偈　淨三業
次著禮版（坐敷草座之）
次著座讚。聞。加持香水（八百）
（反用杵左取　念珠取散）
次灑淨（線上可依便下）已下前方
便漸ゝ結誦印明。
次讚音了。阿闍梨唱總禮。
歸命合掌於禮版上三禮。
次閼金取香爐。
此次唄散花【圖註】（唄十弟子一人逆灑水勤之）
次開眼（非新佛不可用之文）
法用了。先灑香水於新佛。
三遍（或前方便之次灑淨之）
次閼金取香爐。
次又閼金開眼詞
新被圖繪供養給
大悲胎藏摩訶毘盧遮那
如來四智四行諸佛菩薩
四重曼荼羅十三大會外
金剛部金剛天等。總而一
曼荼羅諸尊聖衆四百十
八尊金剛界會大日世尊
四佛四波羅蜜十六大菩
薩內外八供四攝行天女
賢劫十六尊二十大天四
明王四神等成身一會八
十一尊各開青蓮御眼爲
奉具足五眼金剛吉祥成
就眞言一切誦五智四身

阿闍梨著禮版之後乍立座前出著座讚四智漢語也若梵先左方一反突鈸打鈸次右方一反鐃鈸讚了各著座唱總禮之時各於本座同時禮拜總禮了唱禮師打金一丁次唄師發音次散花師發音

唱禮師見灑水衆打金一丁

見阿闍梨取香爐又一丁

唱禮師聞之打金一丁

功德爲奉圓備一切智ゝ
眞言一切誦
置香爐。合結誦印明。
若供養一尊之時。新被
圖繪給（若造立佛可隨）西土教
主四十八願度脫衆生
大慈大悲阿彌陀如來
眞容（隨尊可改之）唱ゝ
次表白（兩手持香爐）
次讀願文。
次經供養（堂供養必副供養法等之）
願文了。新寫御經可奉拜
首題云ゝ（若有一卷經分第一之机置脇堂達奉之）
南無妙法蓮華經序品第
一
次閼金取香爐發願
四弘
衆生無邊誓願度煩惱無
邊誓願斷法門無邊誓願
知無上菩提誓願證。影向
神等增威光護持御願令
滿足
次唱一切諷誦（若大悲咒誦）
次置香爐取經誦經
次自堂達手傳取諷誦文
讀之。讀了。乍持諷誦文發
願
四弘

唱禮師又聞之打金一丁

殊法會表白之末堂達所願文（若神分靈名可立正面自）

阿闍梨解結進取之進之

常途儀置脇机也若殿重經置机立佛前然者願文末堂達起座分經作法

餘僧隨薦次第二卷已下題各可揚ゝ了唱禮師一丁

發願四弘之間堂達起座出正面請取先誦文口傳云諷取本所之一通與阿闍梨後又出取總諷誦歸本座賢逆法印記云一度請取與一通歸本座也佛名等了時隨身之取替先唱禮師金一丁

唱禮師先金三丁

次佛名
南無歸命頂禮兩部界會。
諸尊聖衆
次教化
耆年宿老阿闍梨讚衆之
中可然之人用諷誦導師
事在之其作法
賢暹法印私記云阿闍梨
自堂達手請取諷誦文了
即命堂達請其人也堂達
至其人前蹲踞解之歸本
座了相觸之時不出聲而
示領狀之氣色也即起座
至阿闍梨邊請取諷誦文
（蹲踞 但蹲踞脩）相並禮版向佛前坐了
口傳云讚衆西方之時
有堂達之方可請其人
也
次鳴鐘三度堂達作立御
誦經鐘可云也堂達本座
坐了我不可打磬次就鐘
音讀諷誦文了即安坐（不但）
（可脫鞋歟）于時打金一度
次發願四弘了唱三寶名
每唱打金次佛名教化（口傳）
（云可用八句之教化）次教化了諷誦導
師蹲踞待堂達之來堂達
既近臨之時導師之人立

向與之歸本座了
此作法吉水僧正八條
院御逆修御法事曼荼
羅供御導師時實圓法
印爲彼御導師
公顯僧正於或所唐本
一切經供養之時以證
中法橋令勤此役云云此
等近例也
但本所誦經導師修之次
〻諷誦用別導師文
次堂達捧持諷誦文乞呪
願之時心中可唱敬禮十
方三寶也（ム云敬呪願師之時居請之寂寬法）
（印云究竟秘儀也云〻）
次呪願了堂達之人向佛
前讀其文尤可早速也此
間威儀作法能〻可練習
也
堂達歸座打金一度（寺仰書載）
次釋佛經先牒諸經次牒
佛是正釋時先佛後經之
故也
但此前後雖一定者也
次神分等（可有令法久住之詞）
次入行法
若新兩界曼荼羅可修合
行之法
若爲恆例式各年各月修

諷誦了堂達金一丁

隨唱寶號打金

一界此時一界行法但諸
會略之
若一堂供養奉居一佛之
時胎金略行法若佛眼等
曼荼羅供養其尊行法修
之
供養文之間置珠杵持香
爐
唱禮之間置香爐取杵當
心
九方便次五大願許用
之或發願五大願共不
用之
振鈴
若盡諸會者讚間可結之
根本印
胎五古印
金三昧耶會印羯磨會明
若一尊供養彼尊根本印
可用之
前後入三摩地衆座行法
不可用之師說也
念誦
衆座行法不用加持珠等
作法併矣
胎一切智〻明
金羯磨會大日明
合行猶一切智〻明（胎金兼明故也）
佛布施

唱禮師於本座發音於本座起居靜之

自振鈴了發讚音但異說任之且依現行

胎大讚佛讚普賢四智金百字百八普賢四智但座久故普賢讚略之常事也兩寺禮頂等必可誦之又一佛供養之時音賢讀之後本尊讚可誦加之

後普供養次奉之。左手取。
布施。右手取散杖。灑水一
兩度
次以辨事明加持之 用杵
次横捧之唱云
南無恭敬供養本尊界會
哀愍納受所獻供養云云
供養之後火舍奥方置之
後讃
今度阿闍梨獨誦之。四智
讃 番匐
佛名教化
迴向方便了。取香爐 如意取 其詞
南無胎藏界諸尊聖衆
護持施主御願圓滿 餘准
之知
次教化
用佛名教化之時者不用
隨方迴向只可云迴向大
菩提 下座了 三禮
次行道三匝 順逆 若
【頭註】行道了弟子如本所三衣等持之祇候便所布施了隨闍梨出堂
次著導師座引布施
次取出布施了。出堂

後振鈴一丁了。出迴向方便了

金丁

阿闍梨爲最前讃衆上﨟爲先下﨟爲後行道三匝讃四智讃打鐃鈸專如入道場之時行道了各著本座引布施等引了出堂

建長四年三月十日於小河草了是寳
治之比於關東所草置也
建長六年十二月十九日於永福寺書

之 一本
弘安四年九月十五日拭老眼馳毫訖 尊澄
三部傳燈比丘承澄
元弘三年七月二日於松尾寺書之了
同三日一交了 豪鎮
建武四年五月二日以右御自筆御本
交合了 豪鎮
應安七年五月五日 時申 於願德寺寶菩
提院以右御自筆之御本書寫之
金剛佛子嚴豪 生二十一 臈十五
去月十九日高野巡禮進發同二十一
日高野山參著誠振鈴觸耳香煙遮眼
奥之體森森而寂莫是偏爲期龍花芳
契也其後南都院院寺寺巡禮三國一
之十六丈盧舍那佛拜見凡言語道斷
多生之宿緣催畢同二十七日下向京
著旅行窮屈之間此十餘日雖令闍爲
紹隆又企書寫者也後生可悉之
同酉時繪圖朱點了
同六日巳時一交了
享德三年三月十四日書寫之了
朱點了 源喜
一交了
右一卷從源進法印賜之畢
天正二十年五月三日
權大僧都光祐
寳永二年乙酉冬十二月二十又六日
命松安膽寫
天台山兜率谷雞頭院闍梨嚴覺

正德二年壬辰六月念六以谷汲本挍
讎 探題嚴覺
校本卷尾云
弘安三年正月十一日於三州書寫了 爾然
正和二年二月二日於實相寺書寫了 本寂
應安元年五月十三日於東海守山大坊書之
訖
應永九年卯月晦日書了 弘範

阿娑縛抄第十五　曼荼羅供末

第一阿闍梨事
第二讃衆事
第三十弟子事
第四堂莊嚴事
第五行法事

曼荼羅供末

∴第一阿闍梨事

隨身物具事

一筥。東方五古鈴杵。南方寶鈴杵羯磨二枚。塔鈴輪云云

二筥。西方三古鈴杵。北方獨古鈴杵。羯磨二枚云云

居箱

香爐箱

如意

草座

坐具

草鞋

已上。十弟子持之。行列之時。阿闍梨前後二說也。私思之。道具三衣前行(可尊故)香爐如意草座坐具後行(身具故)宜歟云云

記云。或說。道具筥在導師前之文

持物弟子。阿闍梨前。讃衆後可立也。而近代無此事云云

香爐事

行香起云。愛樂金瓶受蛇身者。行香免業報云云。香爐形。蛇尾持金瓶形也。執所回物瓶也。爐際平物面也。細舌形也云云

如意事

憍梵波提出衆之時。ニレヲカム。隱料面覆物也。自爾以來。說法之時用之云云

∴第二讃衆事

∴第三十弟子事

十弟子四五人有之。然而號十弟子事。起自佛十大弟子歟云云

∴第四堂莊嚴事

門前

灑水。兼加持之可置。師傳用甘露軍荼利明。雖有胎金辨事明。取甘露義故也

香象。堂內堂外可隨宜云云

香象頭向佛前置机本云云

懸幡事

雜足記云。天蓋(東北白。東白。東南紅。南黑。西南煙。西赤。東北綠。北黃。)已上八方幡懸之文

先張天蓋。懸迴八幡(祖師說云。父師曰。灌頂道場之外。常曼荼羅供不懸)之云云

懸八色幡之人有之。不得心事也。八色幡灌頂時請供八方守護天心也。非莊嚴云云

懸曼荼羅事

雙嚴決云。東南西三方。金右胎左。至北方者猶可隨本方也云云

兩界幷懸事。東壁懸之。金南胎北(金胎)西壁懸之。金北胎南(金胎)南北懸之。金西胎東也

或說云。金剛手院方懸金剛界。行者右方也

或說云。曼荼羅迴懸之云云

或決云。向東西時。行者右懸金界智界故。左懸胎藏理界故云云

同雲說云。法界無方。只約行者理智爲善云云

相豪阿闍梨云。以依佛左右可宛理智界也云云

標立事

標必可立之。世人不立之不知也。東寺人五色糸前方少上之用意歟云云

壇上供具

白飯八坏。染佛供二十四坏也云云

染佛供。不知何事。自往用來。或人飯餠菓子等供之。宛謂事也。自昔用來事。不可改事也

染佛供本文不見非也。不可染之。又染クサ必不淸淨歟。但自昔來始不可難之。又染義方云云。一色五色宛可備之也。白色佛供角如常

又如常修法時。飯汁菓子等四面備之云云

政春云。佛供加灌頂之壇供。此流不用染佛供云云

先師立巾瓶。智泉不然云云

雜足記云。五瓶(中一瓶插花。壇四角各一瓶插花。已上五瓶。無總而立之文)

住云。忠尋座主立五瓶。不可然事也云云

五瓶立事。灌頂之時事也。水用時事也。余不可有之云云

置道具事

記云。讃衆中令近習人置道具文

已灌頂人若官符阿闍梨可置之云々

置樣異說有之。大旨如大原圖羯磨置樣。兩界有差異。胎[梵字]金[梵字]其故金界現圖曼荼羅端鎭壇杵ズミサマナル三古有之（不但三古也）仍定端奇置之。胎界成就壇界道立羯磨。然者中程若端有心可置也。羯磨三重界道皆有之。故何重思配可置也云々

羯磨祕密壇行法置之。大悲壇五色界道也。可隨一。但通用不苦事也。行法品々文取合故也。先達說云。大悲壇諸尊各有祕密壇。依之通置羯磨云々

五鈴。五佛位置之云々

慈覺御流西三北獨置之。智證御流西獨北三云々智泉云。智證御說宜樣。覺云々西獨北三義。西佛三形蓮花莖獨古故。北三古羯磨片端也云々口祕聞云。以獨古置北者。獨古杵是不空成就佛三形也。此則獨古羯磨也。以三古置西者。西方是說法斷疑佛也。故置三古杵歟云々

住云。輪中置其上可居塔鈴也。傍置無謂云々羯磨橛際置說。又置閼伽內邊（是吉）金界之時十字スチ角宛是安鎭法才覺也。胎界之時十字直置之。合行時金界方スチカヘ。胎界方直可置也云々

四鈴杵。四面火舍外置之。塔鈴中寄前方。千及程置之。塔鈴前安輪文

羯磨燈臺內瓶外置之。近代此說不見。山王院一說。寄懸橛立之付常途說可置閼伽內云々

壇立之者。根可造付也云々

康治二年。家成卿北方堂供養導師座主僧正法務（行玄）四面鈴杵等。火舍之外置之。輪塔鈴前置之。四羯磨燈臺下置之。無用鈴（先々不如此。今度有此事。矛尤爲悅。道理之上池上。究率々如之。常行法之時。鈴東寺內置之。天台之外置之。仍準例何如。東寺內置之乎。後學以今度爲規摸耳云々）

向餘方之時。置道具之樣

一說。雖向何方。東方五古鈴・南寶・西三・北獨立之

此說佛與鈴位可亂云々

一說。雖（用之）向何方。胎向東定行者前三古鈴立之。金向西定行者前五古鈴立之。智泉云。平等院御念誦堂依此說。三非人立之云々

桂阿口傳。行者前五古。左寶右一古。奧三古。何方如是安之云々。無障問云。此金界通用心歟。約胎不可然。行人前可置三古也云々

問。置五鈴四杵意如何。答。鈴供樂器也。一曼荼羅諸尊一々可供之。而事廣故。上首五佛位置之。鈴上塔等并杵是彼五佛各々三形也。塔鈴無杵事。下數輪即三形故也。又置五古人有之。又此鈴杵金界心也。胎引用之也

大原決云。五部杵鈴安壇上之事。本說未詳。唯是大師所傳也。唯置羯磨之事有本說多文

妙心太云。當壇四門裏各安置一金剛鈴。二縛日羅。中間金剛鈴。左右縛日羅文

中川實範上人云。五部鈴本說未撿之。弘法大師受傳之給。他所人用之條頗不審云々

禾云。實範上人說又不審也。大師御受傳何文乎。進官錄不載之。被記灌頂事之中不見置之文。覺大師已在唐之時。被記灌頂事。置五鈴之旨分明也。進官錄又三鈷鈴等被載之。偏執之分尤可有思慮歟

置道具次第

大原圖云（禾云上卷如圖之）胎又說。東北一東二東南三南四西南五中六西七西北八北九

金又說。東北一中二東三東南四南五西南六西七西北八北九或說先鈴杵一匝置之。次羯磨一匝置之云々

用鈴事

自昔用別鈴不心得事也。只五鈴中隨一可用之。無用鈴之時。五鈴心得。火舍內少引出可置也。或人曼荼羅供導師向北修之時。東方五古鈴取寄振之。不快事也。雖何方我前鈴可用之也云々

振鈴時。可用塔鈴并輪也。五種鈴杵外別用鈴無謂事也云々

∴第五行法事

記云。次鐃（無此事人令從僧持自打之文）

此事東寺如此。山門必不然云々

記云。次阿闍梨（持五古文）

江師云。持五古事。道理可然。但近來作法。僧正持之由。世人存歟。上位人有何事哉。凡僧其歟云々

用三杵之時。三古獨古入香爐箱也云々

獨古念誦。三〇加持。此外五古用之云々

記云。次到門前（先灑水。次越香象入堂文）問。讚衆中鐃鈸人不灑水云說如何

師云。必可有灑水也。不用心何煩故歟云々

不必正越香象。自傍入同事也。或說〇令持十弟子。登禮版之時越之云々（甲本注曰。一本異說）云。乘香象。心金剛薩埵成入堂云々

如來在世香象詣佛所。身出香供養佛薫香也。全可越物非云々

次行道三匝文

有多意事也。一義云。西國禮拜作法。先行道也。後逆行道。辟除結界義也云々

但深位大阿闍梨。三匝行道。入曼々廻三重行道院。住般若尊位之義也。後逆行三匝。廻出曼荼羅三重也。是胎藏意也。金界又可有此意。智泉祕說也云々

或俗家日記云（長久元年八月二十七日）於法性寺被供養兩部大曼荼羅。有二人導師。胎界導師明尊大僧正。初後行道七匝。金剛界導師仁海。凡無繞壇。老衰故歟云々

阿闍梨到禮版前。敷坐具。於其上禮佛（三度）

大原記云。脫草鞋。登座具上。三度禮拜文

賴延記。作著草鞋禮拜云々。若是謬記歟云々

智泉云。維範阿闍梨。於一乘房。曼荼羅供導師。取香爐禮佛。經遍法眼見之。不知案內事。不可勤仕物。云。凡密教禮佛。不取香爐。虛心若金合可禮也云々

住云。以座具敷禮版下。次阿闍梨禮拜。其後座具布禮版上著座云々

次禮版上敷草座坐之文

座具爲不令袈裟穢也。草座佛坐之給。此二隨一可敷之。或人共重敷之無謂事也。二座上下論有之。強數重座具下可敷也云々

問。僧綱草座有之。凡僧無之何

師云。自上古如此云來事也。心不知之云々

讚衆誦四智讚（左方二度 右方二度）

余付此說二度云誤也。左右四智漢語三反可誦也云々

次供養法前方便

帖云。灑淨壇上之時。或時自五色下灑之。或自糸上灑之云々

次導師幷讚衆同時總禮文

導師唱總禮。讚衆聞之同立禮拜。私思之。不唱有各用心前方便了。只可禮歟云々

總禮合掌禮之。持香呂人有之。無謂事也云々

江師云。古說總禮有無不定。用處又不定云々

唄　散花（記無之）

大原記云。云何唄。梵唄等。可隨唄師堪否耳。唄間以從僧一人（筆云十弟子也）令灑水滿堂文

逆步事。淨處不蹈料也云々

江師云。宮僧正（性信）內府（通親）京極堂供養時。實照張行云。自丑寅角逆行灑水スヘシトテ。式六堂二反十弟子迴之。不可說也。縱雖有其說。不叶時儀。況道場廣時一反行道。猶云何唄不合早速哉。只自正面始置正面。常事也云々

師云。堂供養之時。用唄散華。不然時略之。私云。若三禮如來唄可用之。近代斷絕無此事。依然和上御說示此旨耳

略時不用唄散花云々

逆灑水人。初一句一匝迴了。唄師如常花。可謂。此時堂童子各取花莒。可曳。如常。散花師執花莒。佛前發音。願我在道場。唄師。究竟到彼岸。可合之。願以此功德。可合廣爲衆生說。而近代此作法亡了。凡知人無之。始段唄同之。唄師教示此旨。可興立此事也。是兜率御說。尤可順之耳

次開眼

江師云。種子曼荼羅時開眼有無異說也。向種子青蓮御眼開云。不相應。只五眼三身功德具足圓滿。爲大日眞言。一切誦云々。或說開眼用之。但其詞可用意。所謂五眼功德具足圓滿。爲佛眼眞言。三身圓滿。爲大日眞言云々

次奉揚經題（導師第一卷）
近來無四度計也。先導師南無妙法蓮華經云。諸衆又妙法蓮華經取次第。次導師序品第一云。諸衆又序品第一可唱也。次一和上一人妙法蓮華經譬喩品第三云。餘僧又取次第。如此次第擧也。若數部有導師一部許直擧之。殘近來定有云云

次題名句　教化文
不堪人不用之能事也。昔無別釋經教化。長近來釋經體。賀緣阿闍梨始之。近來續經聲樣彼闍梨始之云云

次誦經。堂達取本家誦經文獻導師文
堂達取誦經文。自便宜方步寄。跪獻導師。師歸本座

次導師讀諷誦文（先打鐃三反。若七反。若堂舍鳴鐃之文）

次發願　次四弘

次祈願
其詞云。依御諷誦威力故。奉令圓滿大施主御願（摩訶毘盧遮那丁。妙法經名丁）

次佛名　次教化

次堂達往導師右邊賜諷誦文文
導師諷誦了可召堂達云云自本方寄。
跪賜諷誦文

次出佛前作立看讚衆一和上乞呪願文
堂達乞呪願事。依一和上體可有用心
耳文
立向一和上小曲腰乞呪願。其詞云。布施呪願云了。後可立直

次一和上作居呪願文
一和上取香爐著草鞋。立佛前可唱。其詞云
依云正云是心色　無二平等無自他。
本自淸淨離論取　無能無所號檀那。
檀波羅蜜具足圓滿
畢歸著本座云云
又云。大法會導師呪願導師高座作居呪願。其不可准例事歟。三禮呪願幷懺法呪願皆立行之。若作居呪願香爐必可取也。若無香爐時。コマ貫呪願了後作居一禮

次度〻誦經畢文
誦經文度〻讀事可隨體。本家必一人別可讀也。誦經文度〻讀教化少〻堂達若堪能讚衆可令勤仕也云云

次神分等
或決云。慶闍梨云。令法久住詞及法成就詞不用之云云

次供養法（不用發願五大願文）
五大願用之云云
江師云。三十二印明略事。可依時早晩云云

此間讚衆念誦（若胎藏者大日五字眞言餘准知之文）

次供養會了。導師誦本尊讚。後讚衆出讚（大讚佛讚三反普賢四智文）
胎藏者　金界者（百字三反百八普賢四智文）
大原記云。密讚了讚衆可出讚之由告之。其後出之。他忽劇時。振鈴後或五大願後出之。隨時宜不定也云云

金界用讚有二說。一讚會了事供了讚時。阿闍梨祈願之時讚衆出讚。一成身會之後事供幷讚用之。其時讚出之。是能說也。又近來振鈴了出讚。是忽故。次振鈴前雖可出。實中振鈴サスカナル故歟云云
有本尊讚者。普賢讚次。讚衆同音誦之
智泉云。法成寺無量壽院供養導師命尊大僧正也。阿彌陀大贊可誦之由被示之。讚衆皆不覺悟。梨下座主只一人令誦給云云
若堂供養之時無說法人。雖胎藏行法百八讚必可誦也云云

此間導師盡諸會（隨用否時）
大原記云。讚間可盡諸會（漸修用心待讚了）
曼荼羅供不必盡諸會。供養爲本故也。
大原僧都不令盡云云
任云。不盡諸會者。讚間念誦云云
大原記云。次正念誦。次入三摩地文
入三摩地。布字八印四拳印等不用之。是衆坐行法有憚。又供養爲本故也云云
任云。胎可略三十二嚴身印也。入三摩地根本印明不可用之。是等自身成身作業儀也。今只以奉請一曼荼羅衆爲本意故也。且是一時行法晴儀也。仍大日念誦許用之。不布字八印。智泉闍梨等。此定被存。此事示契中闍梨之處。作書口決不承用。甚無其謂云云
金觀身爲本尊不可有之云云

入三摩地用之云々
念誦了後。五供養前取香爐佛名文
振鈴了用之説有之。然者此所不可用之
次讚文
後密讚之時。伴僧誦四智讚事。曼荼羅供。不可然。御修法。先讚無。誦只阿闍梨一人可誦之
仕云。忠尋座主。一字呪四智讚如修法令誦之。不習作法歟
讚衆出四智讚三反如常 但阿闍梨結印。有堪能人者可用漢語。此私巧慧也。以此由申文師。云々是之其隨喜感歎云々
智泉云。四智讚不可誦之云々問。灌頂行法誦之。何不用乎。智答云。所難有興。但件時與今別也。曼荼羅供以金剛壽院和尚説爲規摸。件説不用入三摩地根本印。又不誦四智讚也云々。此旨難信。根本印等暫置之。四智讚法性寺記已誦之。承前之例也。何不依之。用後學之説乎云々
清蓮院座主。大讚次四智讚略之。閼伽之時。三反誦之。事繁故也云々
次五悔
合行可用金五悔
次大原記迴向。或説云。振鈴之次。取香爐佛名教化。此説佳也。若用此説時者。不用迴向。只云迴向大菩提文
振鈴迴向方便了。取香爐佛名教化也云々

若用佛名教化之時。不用隨方迴向教化。終云迴向大菩提文
次令取壇上道具。取道具作法在別。其間阿闍梨猶在禮版。或略不用之
阿闍梨有無。二説隨意。又可隨早晩也云々
取道具如本入筥。後行道了時同迴文
次行道三匝如前 或説逆行道也云々
此所行道出四智讚。即迴也。順逆隨意云々
出堂之時行道一匝 上﨟爲先四智讚鐃鈸如初或三匝
或説逆行云々。是一説也。若用之時。道具逆可取也
有堪能人者。阿闍梨讚衆等並立佛前。可誦吉慶漢語。持明房御説也云々 持明房受仁海此東寺説也云々
仕云。仁按僧都。行道了誦吉慶漢語云々
禾云。雞足式與云。後行道。次念佛。南無毘盧遮那云々
示云。此事見慈覺大師在唐記。彼記云。灌頂事了。即唱讚繞壇。諸人皆唱南無大毘盧遮那佛。多時作之文

建長四年三月十日於小川草了
同六年十一月十五日於大藏書了
無障金剛尊澄
弘安四年四月十四日於小川殿書寫
了

建武元年夏之比於江州松尾寺書寫 豪鎭
了
建武四年五月一日以小川殿御自筆之御本交合了 豪鎭
但此御本朱星點無之
應安七年甲寅五月六日酉時於寶菩提院以右御自筆御本敬以書寫了 嚴豪 年廿五 臘十二
今月一日中終一卷功了諸天垂護念給
(朱)同七日巳時朱點了
同時一校了
享德三年四月日書了 文游
(朱)朱點了 一校了
持者源喜

阿娑縛抄第十六　修法

∴第一濫觴事

桓武天皇御宇。傳教大師令寂光和尚（圓澄）修五佛頂法。是日本國修法之始也云云

扶桑略記云。延曆二十四年春。最澄大師入唐歸朝已後。圓澄法師依詔於紫宸殿修念五佛頂法。即預得度（出文德實錄云云）

∴第二起首日事

息災增益等相應起首日在之（加持護摩帖）又隨尊法有相應日。阿闍梨細知之。仍冷泉院以往。令修其法思食。自何日可始修哉之由。被仰下阿闍梨。近來不然。只自其日可被始修其法。可進支度云云

仁王軌（不空）云。如有功要不得依日文。（禾云四種）（相應日說有此文了）

∴第三支度事

隨法有異。通用支度大略如左

注進

某御修法七箇日夜支度

御本尊
壇一面（方六尺。可有爐桶）　脇机二脚
燈臺四本　禮盤一面（可有半疊）
五寶（金銀真珠瑟々頗梨）
五藥（赤箭人參茯苓石菖蒲天門冬）
五香（沈白檀丁子鬱金龍腦）
五穀（稻穀大麥小麥大豆胡麻）
酥　蜜　名香（隨法異）
壇供（如常）　明油（如常）
壇敷布一端　大幕一帖
芥子袋　佛供覆
阿闍梨　助修八口（若六口）
承仕二人　駈使四人　見丁二人
已上淨衣　人供（如常）
右注進如件
年　月　日　行事大法師

或云。酥字可書之。蘇訓惡也云云

禾云。勘廣韻（平）云。酥（酪酥）蘇（紫蘇草也。蘇木也。滿也。提也。又姓也。）蜜佛供准之。蘇燈明幷酥器入之。名香隨法相應名香先書也

或云。息災沈水爲前。但病事沈字憚歟云云

壇供常八石四斗（官米定能米五石四升也）

佛供覆者。覆佛供持參也。生絹二丈（若布也）

芥子袋。入芥子等洗料也。絹三尺（若布也）

私云。供所雜具鋪設等。公家皆存知歟。若不知子細人。許供所雜具鋪設等書之。又只閼伽桶等書之。如然事施主可斟酌歟

又宣旨院宣行事僧並與阿闍梨某書之

凡人所行事僧許書之云云

一壇供人供等事。爲行事僧用意注之（非大）

（阿闍梨入口）定

初旬能米六石九斗四升四合（伴僧六口人供八箇日定）

壇供	五石四斗（日別七斗二升）
阿闍梨供	二石四斗（日別三斗）
伴僧六口	八石六斗四升（日別一石四斗四升）
承仕二人	二斗八升八合（人別一斗四升四合）
駈使四人	三斗八升四合（人別九升六合）
見丁二人	一斗九升二合（人別九升六合）
油	一斗五合（日別一升五合）

支配

御壇供（日別五斗）	三石五斗
伴僧六口	八石六斗四升
承仕三人	二斗八升八合
駈使四人	三斗八升四合
見丁二人	一斗九升二合
粥料（日別五升）	三斗五升
立預	五斗
請使	二斗
車力	一斗

用殘二石七斗九升

次旬十五石四斗五升六合（人供七箇夜定）

壇供	五石四斗
阿闍梨（日別三斗）	二石一斗
伴僧六口	七石五斗六升
承仕二人	二斗五升二合
駈使四人	三斗三升六合
見丁二人	一斗六升八合

（日別一石二斗六升）（人別一斗二升六合）（人別八升四合）（人別八升四合）

油一斗五合

支配

三石五斗　壇供

七石五斗六升　伴僧

二斗五升二合　承仕二人

三斗五升六合　駈使四人

一斗六升八合　見丁二人

三斗五升　粥料

五斗　立預

二斗　請使

一斗　車力

用殘二石四斗九升

行事僧以小下文付請使

初旬

伴僧口別一石四斗四升

承仕口別一斗四升四合

駈使口別九升六合

見丁口別九升六合

次旬

伴僧口別一石二斗六升

承仕口別一斗二升六合

駈使口別八升四合

見丁口別八升四合

佛供八坏支配

行事一坏　承仕二坏　駈使二坏

立預一坏　見丁一坏　牛童一坏

立預請使大童子役也

修法行事。大法。供米同伴僧。大幕四帖之時。二帖行事分。又用途米用殘賜事有之。小法。只用殘米許也。供米無之

大幕一帖承仕分也

已上。青蓮院支配也云々

∴第四伴僧事

ム云。大法二十人。若十六人。若十二人請之

常御修法。大旨八人六人也

又公家長日三壇御修法（山如意輪三井不動東寺延命）伴僧六口也。大衆本山久住（能陀羅尼）請之。堂衆退散之後。能陀羅尼學生請之云々

大佛頂經七云。若此比丘本受戒師。及同會十方比丘等。其中有一不淸淨者。如是道場多不成就文

一請書案（近習僧綱奉行之）

自來十八日。於閑院殿可被勤行藥師法。可令參勤助修給之由。座主御房所候也。仍執達如件

月　日　權少僧都ム奉

謹上　大納言法印御房

一裝束

淨衣　表袴　白裳　五帖袈裟著之

若大法開白結願。著平袈裟

一所作

護摩壇

上臈之中。知法親近人請之

想蓮房云。大阿闍梨下位之時。以上臈勤仕護摩壇之例無之。近衞院御時。花藏院僧正（于時法印）被行大北斗法（奉行三位入道五位藏人也）護摩壇。世豪法印（藏次上臈覺曉弟子也）而

高野御室無謂之由被仰之。被改他人。

其上猶件法事。醍醐元海法印。令訴申鳥羽院（御室御結構）仍元海行之（覺曉辭退不行之云々）

小壇

唱禮師

下臈中堪能人勤之

神供

伴僧中知法人可修之

一用心事

帖云。若爲人助修之時。可順彼人作法。勿專我耳文

∴第五莊嚴道場事

ム云。壇所內裏若御所。先助修一人。早參可搆之云々

道場隨法異。具如各々法記之

向方塗爐等隨五種護摩有異。具如護摩卷

一幕事

ム云。始自東北順引之（以表爲外）一帖只壇引迴也。假令二間許歟

一懸本尊事

對大壇懸之

嚴範記云。禪定御房。奉爲公家。被修藥師法之時。有大壇護摩壇。各懸佛像文

一立壇事

往昔。公家一切御修法必立四壇（大壇。護摩壇。十二天壇。聖天壇）來。非大法不立四壇。無謂事也。雖何法。如法之時蓋立四壇哉云々

付立四壇。大壇護摩壇。左右有異說。常途

所用。大壇左。護摩壇右（約人約行也）也。是大壇定
護摩壇慧也。大壇所安布入定諸尊。請入
護摩壇智火之心也。近來世共依此說。一
說（抄雜摩）息災增益大壇。右立護摩壇。降伏
敬愛大壇左立之。是以東南爲火天之方
故也。一說修胎行法之時。大壇右立護摩
壇（有義釋文）依金之時。大壇左立之（略出經有文）是
已入壇後可見之。尤祕奧也。是智泉說也
具緣釋明灌頂時息災護摩中云。大壇之
南向曼荼羅中胎置火爐。或稍近南。乃至
西南角 文
略出付說灌頂時息災護摩云。於灌頂壇
火天方。不應遠絕 文
嚴範記云。此約灌頂壇明大壇方。約大
壇辨大壇方。更思之
覺\曜阿闍梨（戒光房 王房寫瓶 教）禪定殿下（[illegible]）御祈愛染
王法修法之時。大壇左立護摩壇。而實算
阿闍梨（南圓房）乘覺阿闍梨難詰之云々。世
多不知左立說。故難之歟云々
十\二天壇。無方所。隨便宜云々
聖\天壇。伊舍那方立之
一門前事
ム云。便宜所立机（若臺）安灑水器（加持散杖）其邊
置香象（若薰香云々）
一表物事
瑜伽護摩軌云。若遙加持人。或抄名。或著
前人衣。標心而加持 文
安鎭軌云。囉惹上服。以代其位 文
自公家被送御衣。入御衣筥。以生絹裹筥

上。置八足上。以紺綱十文字結之（加藏人封）以
紫絹覆之。藏人瀧口等持御衣來。壇所奉
行助修請取。置大壇左。又結願日來請取
之也
一排備供具等事
若即壇。以壇敷布一端。自東北角引廻之。
立橛標。引糸事。具如護摩帖
四面閼伽等。後夜日中外供。具如護摩帖
ム云。中瓶立之。雖尊位相兼莊嚴。仍時花
一枝插之云々
攝眞實經四云。所請佛菩薩衆。皆來集
會。移大壇中寶瓶 文
壇置瓶事。瞿醯經說也。瓶口置般若經
文
若開壇
大壇（對本尊立之）以布二段覆壇上。四方立橛
引糸事（如常）但不立標木
四面內外供如常　中瓶插時花
左机　灑水　塗香　三衣箱
右机　香爐箱　佛布施　名香等置之
護摩壇　以布一段引廻壇（自東北始之）
壇上四面內外供備否異說也
一說。內外共不備之。大壇召請供養尊。今
請入護摩爐火供之外。何用內外供乎云々
一說。內供許備之。壇上徒然也。內供許有
何妨乎。且自往如此備來云々
一說。內外供共備之。是建立軌尊勝軌意
也。近來皆依之
建立軌云。所供如大壇 文

尊勝軌（無畏三藏本 二卷）其護摩壇安五瓶諸飲食
等。一依大壇法不異。若不依。如是者法不
成 文
鈴/不立之云々
杵。護摩師隨身之。若兼置之
花山記云。一古用調伏。三古通三壇 文
十二天壇
一面閼伽供。蠟燭十五坏備之。如左圖
又常十三坏居之。略山王行疫神也

香爐置之云々
小壇打鳴不可置之云々
聖天壇
一面內外供。如常日中
昔\浴油用之。近來相實法印用之云々。此
事雖非僻事不可然事也
近代不安本尊。不行浴油。不供圖等。但古
跡皆行此等事。知者不云者。知所謂行藏

在人意 文
浴油可有之
一。修中渡壇所於他所事
想蓮房云。壇所被渡他所事常例也。但非
續目者不被渡。是被忌中間破壇故也。中
間破壇舊例有之。然而打任不可然。就中
後三條院可被憚之由被仰。其後憚之云々
圓雲云。此說無謂。破壇之儀非結願。何々
故當七日續目只中間渡也云々
想蓮房云。移壇所之時。渡表物藏人不行
向阿闍梨心渡之。只出納小舍人許來向
令沙汰云々
∴第六諸壇行法事
一。大壇行法
先阿闍梨入堂著座（阿闍梨座敷莚內）
卽承仕打時金
次阿闍梨到佛前懺悔偈。淨三業。禮佛。唱
云
南無歸命頂禮本尊界會 某佛等 三反
伴僧取次第異口同音禮佛（是師如是被示世人達不用之）
々歟　云前方便
禾云。若有三杵者隨事用之
花山記云。加持香水及以供物乃至五
供。可用三古。護摩念誦應用獨古。驚發
地神及振鈴時應用五胡 文
神々事
自日中開白之時。初許日中時令法久住
等詞用之。後々如常。初夜許可用之云々
大藏德決中有之

三昧記云。中間初夜時。以令法久住言
爲發言之。初後夜日中不爾云々
心經讀了。唱大般若經名事甚無謂。是不
讀心經之時。替唱大般若經名。而作讀心
經不思分。重唱大般若經名歟云々又略
時讀大日五字眞言說在之。其時一切神
分大日眞言一切誦可唱也
初夜神分詞委唱之。後夜日中只一切神
分般若心經唱之云々
靈分
息災祈略之作云々
祈願
自國王至宮院。唱藥○寶號。關白已下唱
觀音寶號云々
供養文唱禮等事
山門唱禮師唱之。餘助修取次第。本體阿
闍梨可禮之。近來不然云々
阿闍梨供養文間取香爐。唱禮之間持杵
々云
唱禮本尊所三反禮之
第二反除南無二字。第三反大曼荼羅
主句除之云々
唱禮了。欲出九方便之時。闍梨誦驚覺眞
言。令有音。（禾云。音曲有之）開其音。出歸命十方等。
每九方便終改大悲毘盧遮那。可加本尊
梵號。抑終一句幷歸命頂禮々々世不唱之
無謂事也。其可唱之也云々
普賢延命決（金剛壽院說覺範記）云。雖後夜日中開白
之時。必用唱禮（但五悔文）

三昧記云。開白若日中者。唯唱五悔。若初
夜及半夜者。唱禮幷九方便。中間初夜時
唱禮。九方便。後夜日中准五悔也 文
供養文唱禮。初夜許用之。是略也。禮懺靑
龍寺黃昏勤也。順之不用餘時云々
發願五大願事
發願爲令施主幷伴僧知祈願意趣也
ム云。有御加持之時。發願略之。然者五大
願可略之歟。但常五大願許可唱之歟云々
入行法
胎藏　金界　悉地　隨法意修之
根本印
帖云。本尊印於袖內造之 文
念誦了。頂戴珠之時。伴僧見之出部唵吽。
阿闍梨讚後祈願之程止之。伴僧同音呪
放。阿闍梨祈願手磬之時。伴僧歸命頂禮
本尊梵號。唱。合掌乍居禮佛
此事異常如何。答。谷記振鈴之後禮佛
文　前振鈴四智讚前祈願之時禮一樣
也云々
禮佛。取蓮出四智讚三反
常祈願時。指上。磬手之時出讚也
初一反。闍梨伴僧同音誦之。次一反漸供
闍伽。次一反取杵。漸轉之句終取鈴。讚了
卽振鈴。々々終卽出迴向方便々々々
了打金。次々如常
振鈴後打金。出迴向方便。或說。初夜打
金。後夜日中不打之。或說。每時倂打之。
又說每時不打之云々

奉送事

戒壇決云。一期修法中間時々及安居等之中間時々不奉送也。至最後結願之時可奉送也

抑尊意僧正每時奉送也 文

下座禮佛

如初主伴唱本尊名禮之云々

一。護摩壇行法

ム云。護摩壇者大壇所請本尊諸尊請供護摩壇也。是云開壇。又云離壇

江師云。大壇尊請護摩壇事。都率三重可請也云々自大壇請護摩壇。自護摩壇請爐。或二重請之。自大壇直請爐。何有文證。不可偏執。而豐林寺座主(〔圓〕カ)三重勸請外道義也云々無其謂。爐邊同匝數茅草。爲聖衆座云如何

勸請有三重。自本土請大壇。一自大壇請護摩壇(二重)。自護摩壇請入爐中(三重云々)

付修護摩壇有異說。一說護摩壇阿闍梨非大壇阿闍梨受法弟子者。同時著禮版。同修供養法。然者鈴杵等可置之(嚴範記補闕大)

護摩壇阿闍梨爲弟子(徳說同之。但至振鈴用印不用鈴云々)者。只護摩許修之。其時或說發願之後著護摩壇。或振鈴之後著之(世共依之)云々先師云。大壇阿闍梨懸念誦之時著之云々但近來雖非受法弟子。修別行法事無之。誠以無便事歟云々

初鈴之後。護摩壇阿闍梨氣色用意(先護身云)々至壇前禮拜三遍(不誦懺悔偈等)

次登禮版 次塗香塗手 次加持香水

次灑淨供物 次加持供物 次拍掌

次彈指 次去垢 次清淨 次光澤

次羯磨 次金剛輪 次根本印明(用否在心)

次念誦(大日護術本尊當壇) 次不動成身(刀契印)

次入護摩

次護摩了。小念誦。謂金剛輪陀羅尼(七反)

部主明百反許也(部主明者谷記意一字明也)

一。十二天壇

瑜伽護摩軌云。卽出道場外。八隅數茅。或蓮葉。或餘青草。或塗圓壇。爲十位。於東方帝釋左右。置梵天地天。若道場外無處。卽於道場前。別爲方界。於中作八方。於中作兩位

建立軌云。又復於淨處。祀八方天 文

或云。十二天壇。見蘇婆呼經并護世八天法云々

十二天者。守護曼荼羅上首也。仍必可供養之。往昔一期(七日)三箇度修之。近來每初夜時修之云々

ム云。與護摩壇阿闍梨同起座(先護身云々)到壇前禮拜三反

次著座 次塗香塗手 次加持香水

次灑淨供物 次加持供物

次加持飮食等三印明

次略神分祈願等(不用磬自讀大塡也)

神分不可有之。祈願許幷念誦時有之云々

次驚覺 次金剛輪陀羅尼

次十八道行法可修之

小壇行法。地結金剛墻等不可用之。大壇結界內。故可准灌頂新佛供養所

道場觀

如座位觀之。不用種子三形

方言勸請

至心謹請 四臂不動 十二大天

與諸眷屬 來降於此 受此供養

五供養

飮食供時。壇上所辨備蠟燭供。若火也。

其次第如圖

風天 七	行疫 十五	多門 八	山王 十四	伊舍那 九
水天 六	地天 十一	四臂不動 一	梵天 十	帝釋 二
羅刹 五	月天 十三	焰魔 四	日天 十二	火天 三

本體脇机上備置之。至此時承仕取一坏進阿闍梨。々々取之。先飮食明。次不動明(除當天明)誦之。捧供之後返承仕。々々請取。壇中座位居之。如此坏數皆了。總結誦燈明印明。然而近來皆兼備置

根本印明

先四臂不動(第一根本印不容檗者明各別印如別記叅迦々々明)

若總印合掌立大指

次十二天

住云。圓融房座主(不云明云)延春門院御祈七佛藥師法之時。十二天壇(承閏)根本印

所各別印併結之。頗無口傳見云云

念誦

准知根本印

發遣

金剛部用之。每夜用之。想奉送大壇也

一。聖天壇

毘那夜迦常隨魔。長時作障礙。故如此。揭焉大法。別請供之。除彼等障難也

蘇悉地經中云。或以先來持誦有功眞言。誦白芥子散繫難者。必若不止。卽應出外以好飮食加以豐多如法祭祀彼諸難衆文

或云。聖天壇見蘇婆呼經幷持世別行法云云

蘇磨呼經分別成就相分第五云。酒肉蘿蔔及以衆多波羅羅食。供養彼等八方大神及諸一切毘那夜迦文

持世別行法說供養法云

其毘那夜迦。別在一邊。還作種種飮食供養文

法性房傳云。延長元年六月二十九日。依勅奉爲中宮御產。於右僕射東五條家。七箇日間修不動法。第四日初夜之後。大聖歡喜天示現異相。稱名乞酒。因玆加供聖天文

靜觀僧正修法之時。道場中。聖天現乞供物。仍自其已來必有此壇云云

行法如十二天壇

道場觀

地結上金剛墻內。有須彌等九山八海。於其第六金山之上有七寶殿。無量莊嚴周匝懸列。殿中有大圓曼荼羅。壇上復有無量供具。周匝陳列。中心有荷葉。上有𑖐𑖾二字。變成本尊云云

方言勸請

至心謹請　大聖歡喜　雙身天王

降臨道場　受此供養

勸請（以根本印可召之）

以二小指二無名指相鉤向內。卽以二中指竪相叉。又以二頭指各竪附中指。以二大指亦竪。近頭指側。大指來去

讚

唵擬上里盧

唵誐那鉢底扇底娑縛悉底摩賀誐那鉢底ソハカ

根本印

前召請印不招爲異

念誦

大日　二十一反　本尊（百反若一千反）

小法施

心經　諦繫度（如常）

一。神供事

七箇日之間三箇度（開白第四第七夜也）修之。若延行之時。第八夜修之。於伴僧座修之。作法在別卷

或云（曉良）長日十日一度也云云

∴第七御加持事

ム云。以修法功力迴施主。以此眞言令結界護身心也。於御所被修之時。初後夜在之。於宿房修之時。大旨七箇日三度也（初中後）但火急御祈有別仰者。每夜可參入。可隨體也（禾云。火急之時每時也。異說𪜈多。且依師說）

其作法

先著御加持座　次護身（被三甲部）

次結根本印。成本尊身

次地結　次金剛墻

次磨念珠。出發願聲（發願詞隨事改之）

次五大願（微音）

次伴僧呪放出陀羅尼。二和上呪放。一和上陀羅尼。三和上呪放。二和上陀羅尼。如此隨能陀羅尼員。初重三反。第二重闍梨磨念珠之時擧重也。第二重五反歟。可依闍梨計也。第三重磨念珠之時。陀羅尼音止之。陀羅尼了後。金剛網火院。其後起去

已上。初夜幷結願時樣也

後夜著座。護身等了。磨念珠之時。呪放讚陀羅尼也（不用發願五大願云云）

結願御加持。日中用之。付之有二說。一後夜不用。而日中用之。一說後夜如常用之。重日中用之云云

又結願發願五大願共用之一說　又發願許用之一說

普賢延命決（金剛覺阿闍梨說）云。後加持開白結願時。必用發願五大願。中間初夜時只用發願。無五大願。後夜等不用發願。只出陀羅尼云云（覺師所用同之）

壇主會時於其壇所有御加持者。不可有

發願雖一家內於別方有御加持者。發願可有之也。三昧阿闍梨說也云ゝ
或云。時發願與後加持發願。其詞聊有用意。請降臨道場證知證誠等句。鉤召引入悉皆焚燒乃至護摩功德等句。乃至法界平等利益句。後加持發願不用之。但後二句古用之。近代無邊御願決定成就云。即出陀羅尼也云ゝ
覺師云。發願前摺念珠事東寺說也。山門總而摺念珠事無之。念珠爲令知反數也。法曼院御說。助修陀羅尼何反約束之故。雖無念珠讀陀羅尼。又上重云ゝ近來以念珠爲期。讀陀羅尼數云ゝ
又云。御加持處。必不燃燈明者也。頗可有用意云ゝ

∴第八卷數事

ム云。卷數必書案文。其案置脇机讀上。是名讀卷數。以往施主必披覽卷數。公家奉行職事披見之。近九條殿令披之給。尤可有用意事也。谷流所念眞言悉不書之。但讀上之時雖不書之。所念眞言一ゝ讀之（未達之伴僧不分明之）
三昧和尚所誦眞言併書之。近來用此說。勝林上綱依此說云ゝ
護摩沒物并伴僧念誦數。委算計書之。伴僧人別一時千反宛之
卷數。大壇供七箇度。護摩供二十一箇度。書。未知其故。初夜花等。後夜粥是非供耶。山門古人二十一箇書。可付之云ゝ

右狀公家院宮御祈五行書之。大臣以下三行書之。凡人施主名奉祈之下書之。無闕字施主官唐名書之尤可也云ゝ
產修法卷數。欲產之時。忽書儲平安產成。即令進也云ゝ
或云。連壇并數壇御祈在之時。阿闍梨名字机書之云ゝ又連壇之時。脇壇卷數等進中壇。或各ゝ直進云ゝ
禾云。眞言遍數字可用彳辵二篇
去聲線韻云徧（方見切周也說文匝也）遍（俗文）玉云。
偏（疋研切鄙也不平也文）

建長四年三月七日於小河草了
同五年六月一日於關東大藏谷書了
是爲以賢遺訓及後賢也
韋澄記之

建治二年七月八日書了
比丘承澄

以右御自筆之御本一交了
于時建武四年五月一日

建武四年二月二十六日書寫了
豪鎭

應安七年（甲寅）五月八（未）以右御自筆御本爲興隆正法書寫了
(東)同時朱點了
同申時一交了　無障金剛嚴豪（生二十五臈十一）

應永十九年（壬辰）六月六日於西御所御料所以右御本書寫了
(東)同時朱點了　金剛佛子豪明（生二十七臈十四）

享德三年四月五日書寫了
(東)同朱點了交合了　右筆　宥元
持者　源喜

元祿十二年秋九月十二日書之
台嶠雞頭院沙門嚴覺洪道

阿娑縛抄第十七　修法雜用心

一修法濫觴事
扶桑略記云延暦二十四年春最澄大師入唐歸朝以後圓澄法師依詔於紫宸殿修五佛灌頂法即預得度 出文德實錄寂光大師傳同
一請書請文事
冷泉院以往令修其法思食自何日可始修哉之由被仰下阿闍梨近來不然只自其日可被始修其法可進支度云々
請書樣 想蓮房說
被綸言云始自來二十日引率十二口伴僧勤修佛眼法玉體安穩寶祚延長之由宜可被奉祈者綸言如此悉之恐々謹言
正月十六日　左大辨姓某奉 藏人頭也僧許打任不書姓或又書之文
逐言
支度可令進給
御壇所可爲登算 參カ（イ本） 殿候
謹請
宣旨一枚
右始自來二十日引率十二口伴僧勤修佛眼法玉體安穩寶祚延長之由宜可奉祈之狀跪所請如件
正月十六日　權少僧都某 請文
逐申
支度進上之
以登算殿可爲壇所之由承了

被仰言僧始自明後日引率 （イ本） 二十口伴僧可令勤修除目御修法給者綸言如此悉之某恐惶謹言
年號正月日　右小辨某奉
進上　宮 永大僧都 僧正御房 或天台座主御房五位藏人也貫首奉行常例也
逐言上
可令進支度給
於本房可令修給候也
謹請
綸旨
右始自明後日引率二十口伴僧可令勤修除目御修法之狀所請如件
年號月日　權僧正々々 某（イ本） 請文
逐言
支度進之
於本房可令勤修之由謹承了
略時樣 禮紙狀如上
除目御修法率二十口伴僧自明後日可勤修之狀所請如件
月日　權僧正々々 請文
自來ム日勤修藥師供玉體安穩寶壽長遠之由可令奉祈給者依天氣言上如件以此旨可令申入給恐々謹言
月日　勘解由次官ム奉
謹上　ム上座法眼御房
逐申
於御本房可被行之支度可令進給
自其日勤修藥師供玉體安穩寶壽長遠之由宜奉祈之狀謹所請如件
月日　權大僧都判 請文 不依奉行人於御請文者可爲御名也
逐申
支度進之於本房可令勤行之由承了

被院宣云始自來ム日引率十二口伴僧七壇北斗法中壇可令勤修給者院宣如此悉之恐惶謹言
年號月日　權中納言ム奉
謹上　宮僧正御房
逐言
支度可令進給
跪請
院宣
右始自ム日率十二口伴僧可令勤修七壇北斗法中壇之由跪所請如件ム謹言
逐申
支度進之
自來ム日可令勤修焰魔天供給者依院御氣色言上如件以此旨可令申入給恐々謹言
月日　右中辨ム奉
進上　ム法眼御房
逐申
支度可令進給於本房可被修心也
自來ム日可令勤修炎魔天供之由謹所請如件
同 月カ 日　權僧正ム 請文

逐申
支度獻之於本房可令修之由承了
一壇所事
御所本房或靈社靈場隨法依時宜不定
也
非御所住房靈地修法之例
普賢延命日記云承曆四年六月十八日金剛壽院座主覺尋須結
願之時可有行幸也雖然件法於內裏不
被修之於右中辨通俊家被修之仍無行
幸云〻
又云結願之時二十人伴僧引率參內後
加持丨云〻
同時異記云點堀川殿北人家建立壇所
依皇帝還居堀川殿也文
一起首日事
本法中多說之但近來用常途吉日又急
事之時不必用吉日
土御門內裏鎮日記云保延六年十月十三日青蓮院座主行玄
狼藉日也常途之習三寶不用之但舊例
多用之文
一支度事
二計可書歟事
法住寺殿鎮日記云建久二年顯眞座主御支度二計
被書之而近江律師如此御支度一計可
被書之由被申之然而何事有故之由和
尚被仰合之以二計書進給了
一助修事
請書案近習僧綱奉行
自來十八日於閑院殿可被勤行藥師法
可令參勤助修之由座主御房所〻也仍
執達如件
月　日
權少僧都ム奉
謹上　大納言法印御房
大阿闍梨之上﨟不勤助修事
想蓮房云大阿闍梨下位之時以上﨟勤
仕護摩壇例無之近衛院御時花藏院僧
正覺曉于時法印被行大北斗法護摩壇
被召世豪法印藤大上﨟如心曉弟子也而高野御室無
謂之由被仰之被改他人其上猶件法事
醍醐元海法印令訴申爲羽院御室結構御仍
元海行之覺曉辭退不行之
僧正勤伴僧之例
普賢延命日記建保五年七月二十三日云孔雀經法被
始之大阿闍梨御室伴僧二十人內僧綱
十人凡僧十人成賢僧正護摩壇勤之文
寶治元年九月七佛藥師道覺親王法權僧正
最守護摩云〻
閑院內裏鎮日記建長三年尊覺親王權僧正公豪
權僧正靈快爲助修勤八鎮
未入壇助修
五辻殿安鎮日記元久元年城興寺宮僧正眞性助修十六
人未灌頂三人云〻
護摩壇多人修之例
土御門內裏鎮記保延六年青蓮院座主云伴僧上﨟
御壇所不通夜仍後夜護摩阿闍梨宴意
延範良尋實豪打替〻〻修之初夜護摩
大途相實法橋也云〻
普賢延命日記承曆四年六月十八日金剛壽院座主云護摩壇
阿闍梨三人云〻
普賢延命日記康和四年九月二十七日敦王房座主云以永意
釋海院明番〻爲護摩師云〻
一裝束等事
大阿闍梨裝束
普賢延命日記康和四年九月二十七日敦王房座主賢暹結願泰
行幸皆淨衣裝束云〻
普賢延命日記建保五年七月二十六日西林院座主承圓院御悩開白
結願淨衣白裳指貫平袈裟中間淨衣白
裳表袴平袈裟襪云〻
熾盛光記建久五年七月二十三日慈鎮和尚云開白淨衣香
平袈裟結願法服平袈裟云〻
水無瀨殿鎮日記建保四年西林院座主云開白大將
香染七帖香御裳云〻
法華日記建保二年正月十六日於中堂慈鎮和尚云結願之時大
阿闍梨香染七帖
助修裝束
普賢延命日記建保五年七月二十八日西林院座主御悩云伴僧
開白結願淨衣白裳表袴平袈裟襪中間
淨衣白裳表袴五帖袈裟襪隨時用之但
小壇阿闍梨每度用之
熾盛光記建久五年七月二十三日慈鎮和尚云伴僧開白淨衣
平袈裟結願法服平袈裟云〻
法花日記建保二年正月十六日於中堂慈鎮和尚云結願助修平
袈裟淨衣
護摩壇阿闍梨結願時且著五條事
普賢延命日記〻保元年云結願時諸衆著平
袈裟但護摩壇阿闍梨且著五帖護摩了
又著代平袈裟著後加持烈云〻

從僧裝束

水無瀨殿鎭記（建保四年。西林院）云。御共房官等。餘時等身衣指貫也（或練裳着之）鎭夜鈍色下紹

云々

承仕裝束

普賢延命日記（建保五年七月二十六日。西林院座主）云。承仕開白結願推鈍衣。白裳。鳫袴。五條袈裟。中間白衣袴。白裳云々

一行粧事

法務修大法之時。召具綱所祿物事

熾盛光日記（建久五年七月二十三日。法務權僧正慈圓。天變御祈）云。關白大阿闍梨御參內。自西洞院面四足門令入給前駈六人。威從二人。綱掌六人。鎰取四人。延暦寺三綱二人。所司二人。維那四人。被召具之綱所祿物。開白不賜。結願召具其時可賜故也。御供承信律師。玄長良雲。後車云々

助修行粧

水無瀨殿鎭日記（建保四年。西林院座主）云。八鎭僧綱火二燃參（或大童子法師原）門入時。或侍或ヤカテ大童子燃參。侍等身衣指貫。アリ只衣袴有中童子直垂也。鎭夜從僧二人トモサセテ門入。凡僧火一燃。法師原童子不定也。鎭夜天童子燃云々

一堂莊嚴等事

道場洗淨事

七佛藥師日記（建保五年三月四日。中宮御產。良快）云。成源早參。最賢法眼參會。御修法之支物等令請取了。先御所禰等取布。承仕等道場令洗々云

七佛藥師記（建保六年十一月一日。中宮御產。良快）云。當日成源早參。道場御板等取拂。本自被洗儲也云々

御衣使事

藥師日記（建久二年正月八日。祈願。貝作房）云。御倉一人爲御撫物使。先々藏人令參如何云々

又云。十五日御撫物迎藏人憲隆參上。戌初許開白。勅使藏人假所勞依不參之由令陳申。殊寒雪寒風飄然依爲遠眇々道。召入被勸盃膳了云々

大法道場正面蔀不下事

七佛藥師日記（建保五年三月四日。中宮御產。良快僧正）正面御蔀等。晝夜上。又不下也。此大法道場常途習也云々

新佛之時開白可設佛供事

普賢延命（建久二年九月二十七日。慈鎭。和尙）前唐院曼荼羅護世四天王像各一鋪（各新圖之繪）初夜時起首。四天王像開白時供養。各懸本方。新佛々供。大壇二坏。四天王壇各二坏云々

初夜奉佛供事

普賢延命記（嘉保二年五月十九日。南陽房座主仁覺）云。結願日中時不奉佛供等。開白之初夜時。佛供奉之

十二天壇蠟燭之外居外供之例

如法延命日記（建久二年九月二十七日。爲中宮御修慈鎭）十二天壇事。蠟燭供十五坏居之（其樣在別）此外之供居之無先例之由人々傾之。但准餘壇被居之由。其仰在之。又寬意申旨有之。但其僞覺歟如何云々

燈臺四本並置事

普賢延命日記云（承暦三年八月十八日。於內裏。大原僧都）

置三杵事

如法延命日記（建久二年五月二十七日。中宮御修。慈鎭和尙）云。護摩壇〇如大壇立五寶瓶立鈴置三種杵。此條不可然之由。雖有其仰。護摩壇阿闍梨晴遑依被申行被置之

晴遑云。故七宮七佛藥師法之時。杵只五古許置之文

法住寺殿鎭（建久二年。顯眞）護摩壇置三種杵并鈴。仙範僧都難之。仙雲律師云。置不置兩說有何事乎文

熾盛光日記（天治二年八月五日。仁實）云。阿闍梨前方置三古。五古。獨古。護摩壇同之文

乳木事

如法延命日記（建久二年九月二十七日。爲中宮御修。慈鎭）乳木用栗木文

一開白事

開白案內非本奉行申之例

七佛藥師日記（建久六年十一月一日。中宮御產。良快）奉行藏人李頭成長〇助修〇皆參之後。以中宮大進弘經被申案內文

後夜開白之例

普賢延命法日記（承保二年十月九日。金剛壽院）九日後夜開白〇十五日初夜時結願云々。聖行房記云。十六日結願云々

又云。雖後夜日中開白時必用唱禮云々（但五悔）

入堂時持上大幕役

如法延命記（建久二年九月二十七日。中宮御修。慈鎭）伴僧參會之後打時鐘。大阿闍梨御入堂。成圓持上大幕。令入御了

時金并火舍置火事

普賢延命記（建保五年七月二十六日院御修西林院）云。次打時金。々打了。置唱禮師前。此打金間。請火舍置火云々

法花記（建久二年正月十六日於中堂慈鎭）云。開白承仕打金。打了。即大阿闍梨伴僧悉入道場之後。夜大阿闍梨廻廊裡令參給境。打金令入道場給時止之。日中供物等調了。打金

一行法

後夜日中不速事

如法延命記（建久二年九月二十七日中宮御修慈鎭）云。日中時如法午一點令修之給云々

修法三時唱禮等用樣

法花日記（建久二年正月十六日於中堂一院御祈慈鎭）初夜唱禮九方便。後夜日中唱禮除之。五悔也。無發願。只五大願也。又神分金二打之。後總神分般若心經丁讀了。大般若經名丁

祈願如常。結願常日中時定也。但五悔如初夜長誦之。後四智讚五悔少長誦之（文）

七佛藥師日記（寛治七年四月九日仁覺座主奉爲郁芳門院）初夜九方便。後夜日中五悔。結願初九方便

發願等事

七佛藥師日記（治承二年十月二十五日中宮御產覺快親王）開白夜發願。次五大願。中間初夜無發願。只五大願許也云々

藥師法（建久二年正月八日顯眞）同之

賀陽院殿鎭日記云（元久二年慈圓）發願每初夜時在之。五大願以後。伴僧念誦云々

小壇阿闍梨五大願次修之事

承保二年十月九日。金剛壽院座主修普賢延命。日記云。五大願之後。六人助修同時修供養法。同人承曆四年六月十一日。又同之

成就明事

普賢延命記（建保五年七月十六日院御修西林院）云。護摩了。伴僧唱部嚕吽時。手高捧摺給。其時出四智讚（三反）如常。次後鈴。次迴向方便丁　次隨方迴向丁

一御加持事

熾盛光日記（建久五年七月二十三日少天變慈鎭）云。開白時於壇所御加持在之。大阿闍梨對御所敷半疊一帖著座。能陀羅尼等八人幕內勤入之。大衆伴僧々綱已下本座在之。後夜時於二間御加持在之。日中時後夜時次夜之內被修之。兩時間御加持一度在之。但結願日々中時如法。日中午時許別被修之。故御加持兩度在之（文）大阿闍梨已下二十人伴僧悉法服著平袈裟。先入道場行時了後參清涼殿。御加持在之。伴僧以北爲上著座。能陀羅尼大阿闍梨御邊勤寄。發願五大願之後。出陀羅尼聲十二匝了。其後能陀羅尼等退出了

七佛藥師記云（建保五年三月四日中宮御產妙香院）御加持三時共有之。陀羅尼初夜十二反。後夜日中八反也

同法記云（建保六年十一月一日中宮御產妙香院座主）御加持三時共令參給。御加持陀羅尼三時共八反（初重三反第二重五反）

普賢延命記云（承保二年金剛壽院）後加持。開白結願時必用發願五大願。中間初夜時只用發願。無五大願也。後夜等不用發願。只出陀羅尼聲也云々

建保西林院同

於道場有御加持之時。敷小壇半疊。爲阿闍梨座事

普賢延命記云（保元年）後加持座。取小壇半疊カリソメニシキテ爲阿闍梨御座云々

御加持初忌凶會日之例

如法延命日記云（建久四年正月二十六日上皇御祈慈鎭和尚）御加持事。開白自去二十日。水無瀨殿在御幸。仍無之。二十五日還御。依爲凶會日又無之。二十六七日在之。又結願在之

御溫氣時御加持不讀陀羅尼事

七佛藥師日記云（天養元年八月十九日青蓮院）後加時。依御溫氣頂上光明眞言念誦御加持云々

指合時。行法以前有後加持之例

七佛藥師日記云（保安三年五月十七日寛慶座主後教王房修之）初夜行法之後。令參後加持給。後夜又如此。加持後日中時或時初夜前後加持（五壇法指合故）云々

不斷經時參不參御加持事

普賢延命記云（建保五年七月十七日院御修西林院）不斷經開白後。（亥時）始之間。亥時衆殘止。經讀之後加持。不參。又一時三人二人殘。一人參事アリ。然後加持。又還道場。亥時經讀之

一修中用意

依御物忌修法道場無御幸之例

普賢延命日記云（康和四年九月二十七日於白河教王房）今夜
雖可有行幸依御物忌令留御第四五六
七又依物忌無行幸
熾盛光記云（康和四年十二月十日於教王房）除御物忌日之
外毎夜有臨幸云々

於本房修法之時上皇入御之例

延久四年如法延命（慈徳）結願日午始御幸
成一〇御時之後上皇入御所供御等在
之御膳初（沙金門剛）是即還御了其後若宮還
御了

修中移壇所之例

普賢延命日記云（康和四年九月二十七日於教王房）第二七
日初日依神事移壇所於侍從殿第三七
日第六日如本移仁壽殿云々
熾盛光記云（康和四年十二月二十日於仁壽殿教王房）依神事三
十日被遷壇所於那亭爲御加持藏人持
參御衣每時加持之云々
熾盛光記云（天治二年八月五日仁覺座主）十四日移壇所
於阿闍梨房十五日八幡放生會神事故
也十六日移本所了云々
七佛藥師日記云（建保二年五月八日賢遲）日來被修之
間相當神事六月八日被移壇所於賀陽
院殿小六條殿神事之間二十五日又移壇
所於仁壽殿云々
七佛藥師記云（天養元年八月十九日依御□□青蓮院）於禁中
被修之爽七日依神事壇所被移花山院
云々

修中迴祿例

天曆御記云天德四年九月二十二日（己未）
始從今夜於仁壽殿僧正延昌修熾盛光
法爲消除天變也同二十三日夜內裏燒
亡二十四日遣藏人忠尹仰僧正延昌於
左近府大將曹司可修點御修法事僧正
遁火達智門人宅仍造作件曹司與此間
相近故點定云々

修中大阿闍梨禁忌之時以他人修終
之例

七佛藥師日記云（保安三年五月十四日於内中宮御産御祈大乘房座主寬慶）
同二十八日大阿闍梨兄弟能登入道逝
去仍即日法性寺御房（未云賢暹獻之覺慶師可辭之）從初
夜時勤仕之云々

修中替助修之例

熾盛光記云（天治二年八月五日仁覺座主）伴僧〇但永意
阿闍梨初七日許勤之從第二七日覺實
阿闍梨勤之文

延行之時供料事

法花記云（建保二年正月十六日於中堂一院御祈慈鎭）二十三日可
爲結願之處日次運時二十二日可引上
之由御奏聞文而今一日延行二十四日
可爲結願今一日供料可被沙汰之由被
下院宣之間其定成了云々

一結願事

延役日次事

安鎭日記云（延久三年青蓮院座主）缺日故運時第七
日夜半結願也云々
普賢延命日記云（承曆四年六月十一日金剛壽院）雖可二
七日々即結願依七月二日沒日被延引
也云々
六字日記云（承曆四年閏八月十六日金剛壽院）依長凶會二
七日延修之文
三條內裏鎭日記云（永保三年圓融房座主）二十二日
々中雖滿七日缺日故二十三日朝被結
願了文
葉衣日記云（永治二年三月二十三日忠通公壽逆院）二十九日依
缺日運時二十八日結願云々
七佛藥師日記云（康治二年正月十一日皇后宮御産御祈相實）依第八
日延一日至第九日結願云々
普賢延命記云（保元々年）結願日二十六日也
依御衰日二十八日結願
白衣日記云（保元々年日仰御祈）十月三日可有結願
而依凶會日々中結願了日蝕不正現云々
春日殿安鎭日記云（建仁二年十九日慈鎭）日中時被
結願十八日依爲凶會日今度御修法八
箇日（二十四時）被修之文
閑院內裏鎭（建長三年六月十六日尊覺親王）同十九日々
中結願在之明二十日依主上御衰日運
時被結願云々

結願奉行人替之例

押小路殿鎭（承元三年成興寺）奉行人関白時權右
中辨宗行（衣冠）在鎭夜結願藤中納言資賴
奉行之（正鎭夜東帶云々）
大炊殿安鎭日記云（建保二年西林院座主）奉行頭右
大辨宗行但依昇進但馬前司賴資奉行
云々

大法結願時中案內事

普賢延命記云（建保五年七月二十六日院御惱西林院）大阿闍
梨御參後被申案內以聞重可被結願之

由被申奉行賴資其由奏奉行歸參可被始之由申可有出御云々次出御此時公卿廣庇著座云々

大法結願總禮事

如法延命記云建久二年九月二十七日中宮御僧慈鎭結願時總禮如開白時文

七佛藥師記云保延七年五月二十九日行玄座主光澤次有總禮如開白日文

結願御加持作法

七佛藥師日記云保延七年行玄座主御加持了令著座給御布施被物一重裹物一番僧裹物各一次被引御牛御隨身教利引之從僧章仁請取之文

熾盛光記云建久日中時々於清涼殿南面後加持不動慈救呪御加持之後被引御布施大阿闍梨綾大掛一領頭中將兼宗朝臣取之給度者勸賞退可被仰云々伴僧於弓場殿賜之事終後各退出文

如法延命記云建久二年九月二十七日中宮御僧慈鎭御加持了即仰勸賞次公卿等取御布施先左大將殿令取之給公卿八人殿上人十人許上御布施御馬被引之右馬助國基隨身忠武引之實命寺主請取之次自簾中御纏頭御衣被押出菊黃亶也宮太夫三位中將宗房松殿御息令取之給大阿闍梨御前令置給成圓取之與從僧玄長阿闍梨取被物裹物良雲阿闍梨取之作僧各布施自取之從僧有庭賜々了其後各出堂了

如法延命記云建久二年九月中宮御産慈鎭結願時事十

九日午一點各著座大阿闍梨御座○臨中一點日中時被始之是勸賞事依有其御沙汰也云々時晴遲阿闍梨於當座令補權律師々々即上座席賜絹裹希代未曾有也文成圓記之

普賢延命記建保五年七月二十六日院御僧西林院座主後加持三部

被甲等有之無不見之發願五大願次加持念誦如常了被思食時念珠令摺給摺了時如先々晉止了次承仕取經机并經次殿上人番僧座被座スヱ御簾上并大幕打上次內陳大阿闍梨座後幕上之殿上人役次仰勸賞頭右大辨出來先一座右大臣殿中體也右大臣殿可申之由被示體也其後右大辨大阿闍梨邊參著仰勸賞大阿闍梨令畏給體也賞松殿小殿下御息澄快禪師令補僧都給次布施被引之公卿自下蒲立座持無中門廊綾被物一重右大臣殿取之令置大阿闍梨前遣著本座絹裹侍從宰相定家取之置大阿闍梨前不還本座經中門方了次御馬被引之御隨身二人曳之自西中門過南殿前引向道場前御馬鹿毛中門內橋際引寄時房官助上座請取了二綱一取合引出中門外了次藤大納言師經取絹裹置伴僧一和上前還著本座了次々如此次伴僧自取布施退出於中門邊給從僧承覺良承還參取大阿闍梨御布施了次大阿闍梨御退出賞曉取三衣筥御共歟云々

七佛藥師記云建保五年三月四日中宮御産良快則率伴僧令參御加持給御加持座南殿正面階隱西間西御簾際大阿闍梨御座半帖被敷儲之伴僧座橋隱間程付端西爲上被敷之僧綱座高麗也末紫緣也階下公卿著座階隱東間敷疊著座右大臣殿中宮太夫兼宗中宮權太夫敎ー著座公卿三人也大阿闍梨經公卿前正面橋隱間令入給伴僧等東妻戶各著座成源持御居箱奉隨大阿闍梨御後入正面御座傍置之卽著本座了其後能陀羅尼伴僧等大阿闍梨御後邊召寄御加持先發願五大願等在之如開白其後諸陀羅尼八反許了歸本座此後先仰勸賞職事木工頭棟基先右大臣殿御前進參承上卿仰卽大阿闍梨御前參仰勸賞也任人追可被申之由大阿闍梨兼令申給云々其後大阿闍梨御布施被物一重兼宗卿取之裹物一中宮權亮信能朝臣取之伴僧一和上布施權太夫殿令置之給次々殿上人置之也伴僧布施裹物一也布施皆置了後成源立座取御居箱給從僧々々大床東端程從僧儲賜之大阿闍梨御布施被物裹物等能快間憲兩人取之賜從僧々則歸入本座自分布施各取退出了御馬被引御布施間時於庭上被引六位一人御隨身一人引入從僧則請取之歟其後大阿闍梨出御伴僧退出了

七佛藥師記云建保六年十一月一日中宮御産良快御加持座○伴僧座自橋隱間與端二行敷コマトリ著座也階下著座公卿右大臣殿九條大納言殿中宮權太夫忠定左大辨宰

相定高已上四人也勸賞頭中將公雅仰之大阿闍梨御布施九條大納言殿令取之給裹物〇東宮亮知家取之伴僧三和尚布施忠定ヾ高兩人置之次ー殿上人次第置之伴僧布施等置之成源御居箱取以賜(給之歟)從僧成眞能快被物裹物等取之從僧給了各歸本座自裹物取退出伴僧各自取布施退出其後大阿闍梨出外了御馬一疋御隨身相具殿上人被送殿御宿所此事定有先例歟云ヾ

如法延命日記云(承久四年正月二十二日上皇御祈慈鎭)於熾盛光堂被修之大阿闍梨御行法了令著本座給其後御加持伴僧等各進出上內大幕發願五大願了以本尊小呪奉加持之百反許了各著本座此後被引御布施大阿闍梨御布施被物大納言實輔取之裹物忠行中將取之光親有雅兩人法印二人裹物取之已下殿上人取之了此後全兼覺修兩律師入壇內取出大阿闍梨布施此後伴僧等各取裹物出大床邊賜從僧各ヾ退出了

水無瀨殿鎭日記云(建保四年西林院)大將被物一重絹裹一僧綱八人絹裹一凡僧皆紙裹各一也御布施取了殿上人五人其中奉行賴資隆性阿闍梨大將御布施取出之僧綱各從僧取出之凡僧承仕取出之

五辻殿鎭日記云(元久二年成興寺)御布施五位殿上人二人助修布施同人等取之各以承仕共者賜了云ヾ

土御門內裏鎭記(保延六年青蓮院)布施取頭中將教長可參云ヾ然日中時了各ヾ數刻相待不參仍諸番僧罷出自童子各ヾ御房承仕南殿出布施クハレハ得之歸アヒタリ伴布施常公家凡絹紙裹也云ヾ

押小路殿鎭記云(承元三年眞性)大將御布施奉行少納言資賴役也(裝束衣冠)總今度御布施取是御結願如此後夜ヾ間雖催儲遲參故也俄闕如伴僧常座不取之大將許也御布施取出役者有職伴僧中昌忠阿闍梨實圓阿闍梨也取次房官役也文

春日殿安鎭記云(建仁二年慈圓)行事辨殿上人遲參之間大阿闍梨御布施一重一裹取之伴僧布施各大童子等聽官賦了云ヾ

結願布施被送之例

普賢延命記云(保元年)後加持了布施令送宿所給五重ウスアヲ生衣令給之也云ヾ

修法之行事僧有布施之例

熾盛光日記云(建久五年七月二十三日爲天親慈鎭)伴僧布施一裹(凡僧僧綱紙絹)裹各被送宿所行事僧如僧綱絹裹一引之文

於中堂修結願之樣

法花日記(建保二年正月十六日於中堂一院御修僧慈鎭)破壇等作法事了令著座給之時實輪法眼立座御座前大幕板置之還本座此時大阿闍梨御加持次第コマメカセ給三部被甲等歟次發願(常樣加持如御香色)助修ヨヨト云常定也次五大願其後助修壽量品偈三反誦之念誦加持聲色也大阿闍梨左轉等令加持給三反了念珠スラセ給畢次覺輪又取之置本所了還本座此時奉行最兼召房官伴僧座隔子際大幕皆打擧之再下禮堂正面隔大幕同擧之次上卿大納言通具經下禮堂僧綱アケタル處過大阿闍梨座幕內身入疊座向被仰賞慶深法印敍慶朝法眼爲云體ホノカニ聞其後還本座此時大阿闍梨慶深御房可上著之由被不(示歟)仍立座豪圓下令著給以外見次御布施被引之七人公卿皆立座長押キハニ東向被立役人被物一重進大納言ヾヾヾ被置大阿闍梨御前殿上人一人被置絹裹一大納言著本座次餘公卿取裹物次第自僧綱上臈被置之公卿只一反也其外殿上人數反被取之御馬被引之(御隨身鬼之歟)於中門外請取內不被引入是卽青蓮院和尚例云ヾ如此次第從僧等取布施凡僧大旨承仕取之其後大衆如形延年

一卷數事

大法卷數不付札事

六條殿鎭日記云(文治四年金堂)大將仰云御卷數有說如此大法雖不付札故大僧正御房御時通憲奉行之時稱不付札不取上仍今度令付札也以行事僧御童子令進御所給云ヾ

春日殿鎭(建保二年慈鎭)御卷數自十八日初夜之時被立之不付札云ヾ

卷數置樣

押小路殿鎮（承元三年眞性）大壇奧南戶御卷數
寄懸之。此大壇西南楓可付之
大炊殿鎮日記云（建保二年西林院）御卷數大壇西
北絹障子寄立之文
水無瀨殿鎮日記云（建保四年西林院）上卷數大壇
面物寄懸被立云々
一御衣返進事
閑院殿鎮（建長三年六月尊覺親王）公澄取御衣於淸涼
殿廣庇傳藏人々々立簀子請取之。御卷
數承仕取出之於淸涼殿東庭給大童子
々々賜力者々々持參御所云々
賀陽院鎮（元久二年慈圓）御衣御卷數付辨進上
了云々
一祭文可返進事
六條殿鎮日記云（文治四年全玄）結願引御命絕
後御表物御衣幷御祭文以藏人被進御
所了
春日殿鎮日記云（建保二年慈鎮）御衣御卷數御
祭文以藏人被進御所了（實祐上座奉之云々）
一御產所事
御產所不打釘不破壁事
七佛藥師日記云（建保五年三月四日中宮御產妙香院）幕柱幔
代等柱竹釘打以紙令結付之。御產所不
打釘云々又壁不破云々仍壁等不被破
之間道場頗狹少也云々
御產所用伎樂否事
七佛藥師日記云（保安三年五月十四日中宮御產寬慶賢暹）御懷
姙御祈故伎樂不用之文
七佛藥師日記云（治承二年十月十五日中宮御產覺快法親王）於南
面階下奏音樂又云。供養間奏之
七佛藥師（建保五年三月四日中宮御產妙香院）音樂產婦殊可
聞食之由右大臣殿令勸申給。仍今度開
白結願被用音樂先例御產御祈常不被
用歟云々
御產祈結願時雖當何時可如日中事
七佛藥師記（建保五年三月四日中宮御產妙香院）結願時雖當
初夜如日中時大壇護摩壇外供養等備
之被修之結願時何時當日中時作法也。
仍小壇等不居佛供又不備之也。自餘法
可准知之歟。御產御祈御產成了被結願
之間如此用意兼可存知歟云々
御產祈結願儀式
七佛藥師日記云（建保五年三月四日中宮御產妙香院）二十一
日初夜時御產氣分有其聞被改御所御
所拔等之後。南殿七佛藥師以下諸壇阿
闍梨率伴僧終夜雖參候翌日（二十一日）自未
剋許殊有御氣分申半御產平安成了。其
後御心地猶御不快之間諸壇阿闍梨不
退出奉祈御藤居之後。及酉半各退出之。
修結願時云々　七佛藥師大阿闍梨御
退出伴僧各退出。更著法服平袈裟又參
會伴僧參會之後大阿闍梨御宿所中案
內。戌半有御參伴僧之中僧綱少々門邊
參向則如例直令入道場給云々
七佛藥師日記云（建保六年十一月八日中宮御產妙香院）十日
後夜御時御產氣分云々可被忽御時之
由以譯申。御時了後令參御加持給則寅
剋無程皇子降誕諸壇阿闍梨各參候。御
產平安。辰剋許大阿闍梨令出御宿所給。
大阿闍梨香染御法服同御平袈裟令著
御未剋許有御參前駈八人伴僧之中僧
綱兩三參向門前令入道場給了
御產成後卽不結願之例
七佛藥師日記云（保安三年五月十四日中宮御產寬慶賢暹）六月
二十七日子時御產。七月二日結願作法
如常云々
一虛病御祈事
餘摩天供日記云（保延四年七月三日法曼院）大殿（治字）如
政所御發心地於東三條殿修之自三日
丑時始之至四日申剋結願御發心地平
復殿下御感無極御纏頭御牛被給之（靜然記之也）

建治二年七月十四日書終
求法沙門僧正承
弘安六年十月十日寫御本了
小比丘爾然
正和二年二月六日書寫了
金剛佛子判
應安元年五月六日戊剋於燈下寫功
（本云）應永九年五月一日書之訖（弘範）
右筆　幸運
寶永三年（丙戌）夏四月朔以淨教房本謄
寫　兜率谷闍梨巖覺

阿娑縛抄第十八 合行本

智泉記
著座　塗香塗手　加持香水　灑淨供
物　加持供物　拍掌彈指　去垢淸
淨　光澤　淨地　淨三業　觀佛　四
禮　金剛持大　啓白　神分　祈願
供養文　唱禮　驚覺　九方便　發願
五大願　入佛三摩耶　法界生　轉法
輪　被甲　欖字觀　無堪忍　持地偈
召請地天　持地　勝悉地　摩吒　金
剛合掌　金剛縛　開心　召智　閉心
普賢三昧耶　極喜三昧耶　降三世
蓮花三昧耶　法輪　大欲　大樂　召
罪　摧罪　淨業障　成菩提　內五輪
觀　地輪　水輪　火輪　風輪　空輪
十二支　百光王　心置無生句　胸表
離染字　安立無垢眼　念滿足句　外
五輪觀　空輪　風輪　火輪　水輪
地輪　五相成身　入佛三摩耶　法界
生　轉法輪　大慧力　法螺　吉祥願
金剛大慧　如來頂　如來頂相　如來
毫相　瑜伽持鉢　施無畏　滿願　悲
生眼　如來索　如來心　如來臍　如
來腰　如來藏　普光　如來甲　如來
舌　如來語　如來牙　如來辯舌　如
來十力　如來念處　一切平等開悟
普賢如意珠　慈氏　一切三世無礙力

無能害力　五佛加持　五佛灌頂　四
佛繫鬘　甲冑　拍掌　現智身　見智
身　四字　陳三摩耶　大海　須彌
金剛手持花　花臺　蓮華王　道場觀
三力偈　普通供養　大輪壇　五色界
道　外院界道　觀曼茶羅　治路　成
不動　振鈴　啓請　開門　啓白　觀
佛海會　索　鎖　鈴　遣除從魔　示
三摩耶　閼伽　花座　善來偈　除障
加護不動　成事業身　被甲　摧伏諸
魔　難堪忍　四大護　門々二守護
閼伽　塗香　花鬘　燒香　飲食　燈
明　普供養　讚　祈願　羯磨三摩耶
布字　八印　加持珠　正念誦　還珠
入定　根本印　部母　成事業身　塗
香　花鬘　燒香　飲食　燈明　普供
養　讚　閼伽　振鈴　加持句　解界
示三昧耶　奉送　入佛三摩耶　法界
生　轉法輪　五佛加持　五佛灌頂
寶印　甲冑　拍掌　四禮　五悔　迴
向

已上智泉記

寶泉記云

兩部道場觀　觀曼茶羅

無盡大香水海上現二報佛刹土之相。東方名胎藏。妙花布地。莊嚴道場。五股金剛。以爲其莖。十字羯磨。安置其上。々々復有大白蓮花。其重廣大無有邊際。是名花藏世界。其地平坦五寶間錯。上有大妙寶宮殿。々內有四重曼陀羅。內院有八葉大蓮花。大日四佛四菩薩座位也。外有三重界道。三部聖衆及金剛部座位。周匝圍遶。總有十三大會座位。西方名金剛大壇場。須彌王用爲其基。山頂上以[梵字]五字。以爲大殿。以四門左右有吉祥幢。軒楯周環有四重界道。其內有五峯妙樓閣。上妙綷綵珠鬘瓔珞周匝莊嚴。寶樓閣中有大壇場。大日五部聖衆。內外八供。四攝菩薩賢劫十六尊及二十天座位周匝列々云

次大輪壇 兩界

次衆色界道 胎界

八葉蓮花臺上有普光淨月輪。々々上有[梵字]字門。字放光明。照諸尊位。各々種子隨光現前。中臺[梵字]字變成率都婆。亦放光照諸尊種子。各々變成三摩耶形。前率都婆變成大日如來。妙色超三界。絹縠嚴身。服寶冠紺髮垂。暉焰過衆電。大日如來放光照諸尊三昧耶形。各々三摩耶形變成各々諸尊。五峯樓閣大壇場中央有大月輪。中有[梵字]字。變成率都婆。々々々變成大日如來。身色如素月。首戴五智冠。四佛四波羅蜜十六尊八供四攝賢劫諸尊二十天等。隨皆顯現

合行唱禮 住心房

南無胎藏金剛界大悲毘盧遮那佛
々々東方寶幢阿閦佛
々々南方花開敷寶生佛
々々西方無量壽阿彌陀佛

〻〻北方天鼓雷音釋迦牟尼佛
〻〻盡虛空遍法界一切諸佛
〻〻虛空眼菩薩摩〻〻
〻〻阿里耶阿左羅
〻〻吒棘路迦毘惹耶等〻〻
〻〻胎藏金剛界一切佛菩薩等
已上胎合金
南無金剛胎藏界大悲毘〻〻〻〻
〻〻東方阿閦寶幢佛
〻〻南方寶生花開敷佛
〻〻西方阿彌陀無量壽〻
〻〻北方釋迦牟尼天鼓雷音〻
〻〻盡虛空遍法界一切諸〻
〻〻佛眼部母菩薩摩〻〻
〻〻吒棘路迦毘惹耶等〻〻
〻〻阿里耶阿左羅那多〻〻
〻〻金剛界一切佛菩薩等
已上金合胎

建治三年正月五日書寫之畢
前僧正承澄

重校合畢　承惠

建武四年三月二十八日於東塔東谷
花藏坊以小川殿〇（尊澄僧正圓）御自筆之御本押
付書之畢
卽日一交了　豪鎭
延文三年戊戌十二月二十日於西山寺
戶輿房以右御本書寫畢　澄盛
一交了

享德三年甲戌正月二十六日書寫了
右筆　源弘
一校了
持者　源喜

阿娑縛抄第十九　合行　末

合修胎金兩部也

∴第一本說事
諸說皆本法者法花尊勝兩軌云〻而私
見彼文全不然云〻
禾云。兩軌共現文合行也。可思之
有五大院御說。其說所依憚多。不形翰墨。
廣見自相合歟云〻

∴第二行法事
一。胎合金之樣
前方便
三阿云。以兩部辨事。加持香水。次兩部
先方便云〻
神分等
三阿云。祈願詞中兩部大日云〻
唱禮
胎五佛。次加金五佛云〻
一說寶幢次阿閦。花開次寶生。如此相
交唱之云〻
大原決云。合行唱禮云。吒棘路迦毘惹
耶等者誰乎。答。吒棘路迦三世毘惹耶
勝卽是胎藏辨事明王。故別禮勝三世
云〻
九方便
江師云。初九方便終金五悔云〻
觀曼荼羅
三阿云。兩部觀之云〻

迎請印明
兩部用之云〻
五供養
三阿云。五供八供云〻
江師云。念誦以前用胎五供。後供養用金八供云〻
讚
江師云。大讚。百字。百八。普賢。四智云〻
大原決云。兩界令誦。唯隨意樂耳文
根本印
八印無所不至。次加三昧耶會五佛印明云〻
凡雖略諸會。八印必可結之。若強略之者。胎金大日印許可結之云〻
一說寶幢次阿閦印明。華開次寶生印明。如此相交用之云〻結決同
大原決云。二界大日。二界阿閦。乃至二界釋迦類聚結之云〻
江師云。結兩界五佛印。先胎。次金
略者五佛印。中者八葉幷院主尊等四波羅蜜十六尊。廣者各諸會頗尤多歟云〻
念誦
准知根本印云〻
兩界五佛眞言云〻
入三摩地
兩部大日種子
後供養
如前
江師云。後供養。一說用金界八供。若依之者。五供金界可用之云〻
奉送
兩部奉送解界
江師云。奉送胎金無差別。用別印事殊師傳也云〻
迴向方便
用金界云〻
江師云。用金五悔發願一段用之。云〻
已上了
圓師云。先胎行法兩部曼荼羅五佛印明念誦同之。已後皆金云〻
敎說同之
智阿云。二界七分一〻相交可修行。是私意樂耳。賓私案尤巧但尤頗多此後定心和尚遠忌日。智師現修如謂具足修行。翼日馳參而受之。但無文受依五大院御說。撿見本文。自初如是不交相圓似說之頗其說所依憚多。不形翰墨。廣見自相合歟云〻
江師云。師云。念誦以前。胎藏行法無交金界。念誦以後。偏又金行法。是五大院先德御說云〻五大院御說其文頗不分明歟。可見合云〻
一。金合胎之樣
一說翻先知之
唱禮
金五佛。次胎八尊加之。一說相交事准知胎
根本印
三昧耶會五佛。次胎八印無所不至云〻
一說相交事准知前云〻
大原說云。金合時。於三昧耶會中。先大日二界次阿閦。次寶幢等云〻四菩薩不必結之。若者可合給四波羅蜜歟
迴向方便
用胎迴向方便
禾云。合行次第諸說區多。智泉東塔東谷佛頂尼私記尤可充現行歟。彼私記覺師自住心房相承之。自筆所書置也。世コキマセ私記ト稱。相實法印傳習智泉此私記歟。抑又寶泉房定慶私記。又コキマセト稱。與智泉私記相違非一。又稱東尾私記物有之。全同寶泉之記。是外能可勘見之
∴第三兩界雜要事
胎藏虛心合掌爲印本是蓮花也
金界以金剛縛爲本是月輪也
胎藏三時如常金剛界四時如半夜此界習一切取四員故也云〻

建治三年正月二日染筆了
前僧正承澄
建武元年七月九日書寫了　豪鎭
同二年十二月十九日於燈下交合了
校本云
建長四年四月十一日於小川草了
同五年六月十一日於大藏書之
尊澄

建武四年五月二日於花藏坊以小川殿五大堂殿兩御所之御自筆之御本交合了　豪鎭
延文三年戊戌十二月二十日於西山寺戶奥坊以右御本書寫了　澄盛
享德三年甲戌正月十八日以右御本書寫了　源喜三十五
承應三年甲午卯月三日書之　舜興
元祿七年七月二十六日書寫
雞頭院闍梨嚴覺
享保九辰年ヨリ同午歲マテ於出雲寺書寫之訖

阿娑縛抄第二十　胎記供養會本

理云。禾云。胎藏身入佛法界法輪被甲等也。略之時不動左轉右轉已下五處也。但常不用此等說耳

建立道場洗衣浴身等作法 在別
上厠作法 在別
不論淨穢以觸穢金剛印明印之。右拳立大指
唵俱嚕陀曩吽弱
頂上觀赤色[梵字]囕字云々
分土洗淨作法 在別
加持衣 如悉　著衣 如悉
淨三業 如悉　三部三昧耶 如悉
遣除身中毘那夜迦等難印
以兩手大指屈入掌中。以中指已下押作拳。舒二頭指左右相叉入虎口中。以印從頂向下至足而略去之
唵闍沒嚩帝賀曩々々吽泮吒
[梵字]
印相有兩說。一二頭指乍叉從頂至足。
文略去者非云印相去毘那夜迦事也
常師用之 一。每下頭指開去云々
禾云。妙心太云。印如文。但以印三度略去也
被甲護身 如悉
持珠杵入堂 其往詣時安住本尊阿字本不生觀。應想步々踐八葉蓮花
歸阿字本不生理爲佛。本尊悟此理行者自本處此理內。無明覆弊不覺不知。
今立三密瑜伽之行。歸本有妙理之意也。踐蓮花事出煩惱之泥水開敷覺花成就實果之義也。如釋尊誕生之初。十方七步之時。蓮花承其趺云々
門前灑水 以軍荼利眞言加持香水灑身上
堂內入足 超薰香唵入縛里多路者舉許泮吒七反
禮佛　懺悔偈　淨三業
著座　塗香塗手
加持香水 以杵左轉五十四反右轉五十四反極略各三反
灑淨 取散杖灑之時作清淨印是一說也自身一灑地上供物一灑堂內一灑也
加持供物 不動印明若杵左轉三反右轉三反
拍掌 指末少猛三度俱拳拍之時閉之也
彈指 左轉彈之三反拳面拘下時彈之也
去垢　清淨　光澤 印明々磨手外縛成就心也
此以磨手外縛是乞加持成就之意也
云々
啓白　神分等
供養文　唱禮　驚覺 以上如十八道
作禮方便 軌云持地印。理云悉地金剛部印
以左手翻掌向外。以右手掌背安左手背。
用左右大小指互相鉤。如金剛杵形
歸命十方正等覺　三世一切具三身
歸命一切大乘法　々々不退菩提衆
歸命諸明眞實言　々々一切諸密印
以身口意清淨業　慇懃無量恭敬禮
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛 行別尊之時唱其尊號。但得此
享者。不改無失云々
唵曩莫薩縛怛他櫱多迦野弭嚩吃質多
縛日羅滿娜南迦嚕弭

（梵字）歸命 如來 身
（梵字）語 意 禮 我
印當心誦漢語并眞言。誦了散頂上。左
右手背向顏漸々摩下少低頭。是禮佛
足之意也。以下八方便准之云々

出罪方便　執云大慧刀印
金合。二大指並竪二頭指屈著大指端。如彈指
我由無明所積集　身口意業造衆罪
貪欲恚癡覆心故　於佛正法賢聖僧
父母二師善知識　以及無量衆生所
無始生死流轉中　具造極重無盡罪
親對十方現在佛　悉皆懺悔不復作
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
唵薩嚩播波薩怖吒娜訶曩嚩日羅野娑
嚩賀
（梵字）歸命 一切 罪 破摧 焚燒
（梵字）金剛爲 成就決定

歸依方便　普印
南無十方三世佛　三種常身正法藏
勝願菩提大心衆　我今皆悉正歸依
歸命頂禮大々々々々々
唵薩嚩沒馱冐地薩怛鑁設羅拏蘖車弭
嚩日羅達磨頡利
（梵字）歸命 一切 佛 菩薩
（梵字）歸 我 金剛 法
（梵字）

施身方便　外縛。二中指竪合如針
我淨此身離諸垢　及與三世身口意
過於大海刹塵數　奉獻一切諸如來
歸々々々々々々々
唵薩嚩怛他蘖多布惹鉢羅嚩嚟多曩夜
怛磨南怛里夜哆夜弭薩嚩怛他蘖多室
者地底瑟姹擔薩嚩怛他蘖多惹難謎阿
味設都
（梵字）一切 如來 供
（梵字）轉 爲也 屢 獻 奉
（梵字）我 一切 如來
（梵字）今 持 加 一切 入 遍 如來 智
（梵字）我

發菩提心方便
外縛仰當脇　二云空拈相柱云々九云方便一云々此印不必須觸頂云々散
印而不發心方便文
淨菩提心勝願寶　我今起發濟群生
生苦等集所纏繞　及與無知所害身
救攝歸依令解脫　常當利益諸含識
歸々々々々々々々
唵冐地唧多母怛跛娜夜弭
（梵字）

隨喜方便　普印
十方無量世界中　諸正遍知大海衆
種々善巧方便力　及諸佛子爲群生
諸有所修福業等　我今一切盡隨喜
歸々々々々々々々
唵薩嚩怛他蘖多本若惹穰拏努摸捺那布
闍迷伽三慕捺羅薩頗羅拏三摩曳吽
（梵字）一切 如來 隨喜
（梵字）供養 雲
（梵字）海 等 平

勸請方便　普印
我今勸請諸如來　菩提大心救世者
唯願普於十方界　恒以大雲降法雨
歸々々々々々々々
唵薩嚩怛他蘖多睇灑儜布惹迷伽三慕
捺羅薩頗羅儜三摩曳吽
（梵字）一切 如來 勸請
（梵字）供養 雲 海 普
（梵字）等 平

奉請方便
內縛。竪風開屈如鉤　摽幟印結之以風三招之執云如鉤招之文
願令凡大所住處　速捨衆苦所集身
當得至於無垢處　安住淸淨法界身
歸々々々々々々々
唵薩嚩怛他蘖多捺睇灑夜弭薩嚩薩怛
嚩係多嘌他野達磨馱覩悉體底瞟嚩䟦
觀
（梵字）一切 如來 利益爲
（梵字）我今 勸請 法界 生 住 得

迴向方便　普印
所修一切衆善業　利益一切衆生故
我今盡皆正迴向　除生死苦至菩提
歸々々々々々々々
唵薩嚩怛他蘖多怛哩耶怛曩布惹迷
伽三慕捺羅薩叵羅儜三摩曳吽
（梵字）一切 如來 奉獻
（梵字）供養 雲 海 普

(等)(平)

以上九方便印、當心誦明、奉頂上散之。

已上九方便略時用五悔、所謂作禮出

罪隨喜勸請迴向是也 云云

生起 都率 今世作法、初夜用九方便、後夜

日中用五悔 文

五大願 若唯獨修時入內儀耳

入內者、指淨珠時也。但獨修之時於此

處發之 云云

入佛三昧耶

肅心合掌、二大指上節稍屈並立、印五處。

橫印也 云云

阿三迷怛哩三迷三摩曳娑縛賀 有歸命

(破)(無)(等)(三)(本)

(發)(驚)

法界生

二手作金拳、側舉二頭指端相拄、當胸誦

眞言三遍了、當額印向外、又向自而下致

臍散之

先指峯向外橫仰、次向身轉之、火災ウ

スマク體也 云云

達磨馱覩薩嚩婆嚩句唅 有云云

(界)(法)(性)(也)(我)

轉法輪

以慧背加定背、八指交反出左大指致慧 增口也

掌中、轉面合當胸三反、上下三反右轉印。

五處

曩莫三滿多嚩日羅赦嚩日羅怛麼句含

(命)(歸)(普)(金剛)(爲)(金)

(我)(願)

中背

肅合二頭各著火背、二大著二中第二節。

當胸誦眞言、印五處、頂上各作金拳、各直

竪頭指、引下之、右頭端念唵、左念砧

口誦唵砧各三遍、繞之臍腰、左膝右膝又

臍腰胸背咽項額腦後、二頭各作拳、左右

引之、即前低頭小動

繞時右頭指內成時左右引之、是引堅

體也、腰背不繞之、只於臍胸引之、項腦

後正於彼所繞之、其繞樣翻前 云云

曩莫三滿多嚩日羅赦唵嚩日羅迦嚩遮

吽

(金)(剛)(甲)(因)

觀羅字 火印

曩○南羅

軌云、羅字色鮮白、空點以嚴之、如彼髻

明珠、置之於頂上、所積衆罪垢、由是悉

除滅、福慧皆圓滿 文

無堪忍 如未敷蓮花、二水開立、左轉右

轉各三反、上下五處、橫印 云云

曩莫薩嚩怛他蘗帝毘藥薩縛佩也尾蘗

帝弊尾濕縛目契弊薩嚩他唅欠羅吃灑

摩訶沫麗薩嚩怛他蘗多弃尼也涅左帝

吽々怛羅吒々々阿鉢羅底訶帝娑嚩

賀

(命)(歸)(切)(一)(如)(來)(等)

(切)(一)(畏)(怖)(離)(等)

(擁)(護)(諸門)(巧妙)(等)(如)(來)(切)(一)(大)(力)(恐)(怖)(生)(無)(對)(呵)(叱)

發地神 變膝長跪、定手持杵、當心、慧

手舒五指平掌按地

指末向左方、按袈裟上、二誦之間、三

度按之、必不長跪、只右膝後遺 云云 帖決

云、唯必跪不改也 云云

怛鑁泥尾娑乞叉部路悉薩嚩沒馱曩路

易南左哩也曩也尾勢曬數部密播羅密

多速者摩羅細使演也他娑蘗喃舍吉也

僧䫂曩路易㸑怛他賀麼羅惹演乞㗭怛

嚩滿拏櫳曆洛佉夜沒藥唅

(汝)(天)(諸)(護)(觀)(切)(一)

(佛)(度)(世)(行)(修)

(地)(淨)(破)(到)(彼)(岸)

(等)(者)(救)(來)(世)(如)

(迦)(釋)(子)(師)

(我)(如)(魔)(降)(伏)

(タ)(ラ)(我)(叢)(我)

地神持次第

縛定印持杵、仰覆、各三反、押之 仰三反押之也覆三

大指相交 云云 帖云、大指叉下揷杵 文

唵部欠

(命)(歸)(堅)

灑淨

以散杖三反許灑之 或以散杖始自東北角順灑之三反、如文、欅可用只

以散杖三反許灑之也

寶淨記云、不磨迴云云。豪覺決云、磨迴三反云云

靑軌云、遍淨身五處、次香花飲食衣服并結界 文

阿鉢囉底娑謎識識。曩娑謎三滿多弩糵帝鉢羅訖哩底尾秫弟達麼馱覩尾戍馱𩕳娑婆賀 有歸命

[梵字]（無等等虛空）

[梵字]（等隨本性淨）

[梵字]（界法除淨）

持地偈 擎香爐

先以右手取香爐、次以左手我前方取之。誦了上香爐、若無香爐用普印云云

諸佛慈愍有情者　唯願存念於我等
我今請白諸聖賢　堅牢地天幷眷屬
一切如來及佛子　不捨悲願悉降臨
我授此地求成就　爲作證明加護我

召請地天　二手作掬開掌如鉢、以大指著頭指側、以大指招之三遍

鉢哩體吠曳娑縛賀 有歸命

[梵字]

持地　前作禮方便印按地三反

如驚發地神抑袈裟上云云。但不長跪也

藤嚩但他蘖多地瑟吒曩地瑟耻帝阿佐攞尾麽麗娑麽囉爾鉢羅訖哩底鉢哩輸睇娑縛賀 有歸命

[梵字]（如來加持）

[梵字]（不動無垢念）

[梵字]（本性持義）

內五輪觀　先用法界生印三遍、自頂致臍、即念燒盡煩惱妄想身（如法界生印、但印末不向外云云）

濫 有歸命

[梵字]

地輪　外五古印、想臍下有[梵字]阿字金色變成我地輪形方色黃

阿 有歸命（當臍下、印末少垂云云。已下次第作上也云云）

[梵字]（瑜伽座）

水輪　八葉印、想臍上有[梵字]鑁字白色變成水輪形圓色白（橫印云云）

鑁 有歸命

[梵字]（大悲水）

火輪　法界生印、想心上有[梵字]覽字赤色變成火輪形三角色赤（指末向上云云）

覽 有歸命

[梵字]（智火光）

風輪　轉法輪印、想額上有[梵字]唅字黑色變成風輪形半月色黑（橫印也云云）

唅 有歸命

[梵字]（自在力）

空輪　大慧刀印、想頂上有[梵字]欠字種種色字變成空輪形圓色種種（手持印也云云）

欠 有歸命

[梵字]（大空）

十二支句　布自身

外縛、二中指入內面合、二地二空竪相拄、口誦眞言、每處置字印之

[梵字]（置頂）[梵字][梵字]（左右耳）[梵字]（項）[梵字][梵字]（二肩）[梵字][梵字]（咽心）[梵字]

[梵字]（腰臍）[梵字][梵字]（二足）

印頂之時、二中指直向下當頂十字（後日）（云不必正當頂、只指上也）項於前當口程印之。耳肩足先左次右印之。腰從臍少下印之。眞言每處加歸命云云。但常師不用之云云

變ム別受祕說也。注梵字是也云云

帖云、頂上暗字如百光王、臥頂上觀之 文

又云、足字結加半加足陽布之。字頭下隨宜若指方、可爲上歟 文

百光王

普印捧頂三度、前後動之。即頂上散之

暗 有歸命　腕上三反前後動也云云

[梵字]（焰遍出義）光

心置無生句

內縛、二中指合竪、以二頭指著中指背、二大指並著火中節（頭指著中指之樣ヤハラカニ側ナル體也云云）

阿 有歸命（示云、當心）

[梵字]（無生）

胸表離染字

火印當胸（指末向上云云）即成自性淸淨心也（竪印也）

覽

[梵字]

安立無垢眼　先火印當目、加持二目

不改先印、指上先自右目遣左目、次又遣右目也。以頭指傍橫磨也。以指峯。非印之云云

覽 有歸命

[梵字]

念滿足句　普印當心、念成五分法身

阿鑁囕唅欠 有歸命

[梵字]

外五輪觀　結火印三反擲下外念燒除器界向外荒投轉之云云

囕 有歸命

[梵字]

空輪　ム云今度印末少垂下云云

風輪　火輪　水輪　地輪　横印云云

已上以前內五輪印明逆用云云次第

作上也云云

入佛三昧耶　法界生　轉法輪 如前已上

大慧刀

金合二大並竪二頭指屈著大指端如彈

指

摩賀羯伽尾羅惹達摩跚捺羅奢迦娑訶

惹薩得迦野捺曬惹恥矽諾迦怛他蘖多

尾目乞底儞佐多尾羅誐達磨儞惹多吽

[梵字]

[梵字]

[梵字]

[梵字]

法螺

[梵字]

纔合持二風各纔空輪上以印當

口

二風甲少許相去當口吹勢也必正不

付之云云

暗 有歸命

[梵字] 遍一切處

吉祥願　八葉間 指皆直舒也云云

阿 有歸命

[梵字]

金剛大慧　五古印 ム云外五古印內縛亦得文 對記云外正傳正當心云云外縛五古

[梵字]〇赦吽

[梵字] 三解脫門義

如來頂　佛頂印 ム云手持印云云 如來頂已下佛印等有歸命句在之即上記云如來頂已下儀軌中句是也 曩莫三曼多縛日羅赦

吽吽

[梵字]

如來頂相　右手作金拳置頂左拳置腰

變嚴說拳面左向大指頭指當頂 此說可也 常用

聖行說小指方當頂之云云 師說 以小指方當頂也

誐誐曩難多娑亘羅傳尾秫馱達磨儞惹

帝娑縛賀 有歸命

[梵字]

[梵字]

[梵字]

毫相　慧拳以頭指節柱眉間以拳下向

外 不解前印以頭指正當眉間云云

阿唅惹 有歸命

[梵字]

瑜伽持鉢　先取左肩所繫後方袈裟角

從左腋下引超之取左臂所繫前方袈裟

角二角取合從左手腕上右一匝纏即左

手取之更折反端取如二耳而後作印以

右手背置左手面二大指少起端相著即

似定印

婆 有歸命著通袈裟時准之說文不得大衣說文也

[梵字]

著中袈裟之時行法之間其威儀不懸

中指而此時取後威儀角與挿緒前角

如文作兩耳云云

ム云左掌上右手背之間挿袈裟角云云

施無畏　直竪右臂擧五指掌向外左手

如前取衣當臍

先所持袈裟持左拳袈裟角上向當臍

左云云

薩嚩他爾那々々佩野曩奢那娑縛賀 有歸命

[梵字]

[梵字]

滿願　右手改前印掌向上指末垂下左

手如前之云云 心左程持

嚩羅娜嚩日羅怛摩迦娑縛賀

[梵字]

悲生眼　右手以空押小指頭指甲水火

舒竪以印當二目左拳置腰

印二目事如安立無垢眼 ム云以無名指傍印左目次以中指傍印右目也

又說只右左一匝印之云云

誐々曩嚩羅落吃叉傳迦嚕拏摩耶怛他

蘖多作吃芻娑縛賀

[梵字]

[梵字]

如來索　內縛二風開屈端圓相柱 横印也云云

係々摩賀播奢鉢羅娑勞那里也薩埵馱

睹微謨訶迦怛他蘖多地目吃底儞佐多

娑縛賀

[梵字]

[梵字]

[梵字]

如來心　內縛各舒立火（二火不合小橫也云々）
枳攘怒嚕婆嚩娑嚩賀（有歸命）

如來臍　內縛各舒立水（二水不合而小橫也云々末向外當心）
阿沒㗚都嚕婆嚩娑縛賀（有歸命）
（甘露）（生）

如來腰　內縛舒慧水（小橫也云々當心）
怛多蘖多三婆嚩娑縛賀（有歸命）
（如來）（生）

如來藏　虛合二水二風屈入內火空合
豎地合少令屈
曩莫薩嚩怛他蘖底弊藍々落々娑縛賀
（歸命）（一切）（如來）（等）
（無垢）（除）（消）

普光　虛合二空屈入掌風舒如放光火
屈如鉤形
如放光者直立也鉤形者圓立也（ニシテ）云々
入嚩攞摩履儞怛他蘖多喍旨娑縛訶（有歸命）
（焰）（光）（鬘）（如來）（明）（光）

如來甲　先金剛甲印（但不印五處不二十二處云々）
鉢羅戰拏嚩日羅入嚩攞尾娑普羅吽
（極）（惡）（金剛）（光）（遍）

如來舌　虛合二空入掌中
怛他蘖多爾訶嚩薩底也達摩鉢羅底瑟
耻多娑縛訶（有歸命）
（如來）（舌）（諦）（法）（住）

如來語　虛合水風屈節合入掌中當口
如藏印二小不屈也云々
怛他蘖多摩訶縛吃怛羅尾濕嚩枳孃嚢
摩護那也娑縛訶（有歸命）
（如來）（大）（語）
（巧智）（大）

如來牙　虛合二風屈入掌中小相去如
牙當口（入風大指事大指少不相付以二風掌指上節程也云々）
怛他蘖多能瑟吒羅々娑々々訖羅參鉢
羅博迦薩嚩怛他蘖多尾灑也參婆嚩娑
縛訶（有歸命）
（如來）（牙）（味）（上）
（得）（一切）（如來）
（境界）（生）

如來辯說　虛合二風屈當火背上節端
勿著師傳曰小動二空（師傳印用之云々取今）
阿振底也娜部哆路婆嚩三摩多鉢羅鉢
多尾輸馱娑嚩羅娑嚩訶（有歸命）
（不思議）（奇特）（分明）（淨）（清）（音）（語）
（普）（至）

如來十力　蓮合地空屈入掌節相合
捺奢沫浪誐達羅吽三髯娑嚩訶（有歸命）
（十）（力）（分身）（持）（三）（德）
（可見）

如來念處　虛合二風屈著空端如彈指
二空並押二風上節上也云々
怛他蘖多娑摩喋底薩怛嚩係怛嚩毘庾
嗢蘖多誐々曩三忙三摩娑嚩訶（有歸命）
（如來）（念）（生）（衆）（利益）

（一切）（法）（平）（生）（等）（虛空）（等）（無）
一切法平等開悟
虛合二水屈入掌以空置水上（以空置之云々水上節）
薩嚩達磨三摩多鉢羅鉢多怛他蘖多耨
蘖多娑嚩訶（有歸命）
（一切）（法）（平等）（得）（生）

普賢如意珠
蓮合風著火背屈如寶形（空與火少相去云々）
參摩多弩蘖多尾羅惹達磨儞社多摩賀
々々娑嚩訶（有歸命）
（等）（大）（離）（法）
（大中）

慈氏　蓮合風屈置火甚以空押風
二大指間一寸許開之云々
阿爾單惹野薩嚩薩怛嚩奢野弩蘖多娑
嚩訶（有歸命）
（心）（性）（無能）（勝）（一切）（衆）（生）
（隨）

一切三世無礙力明妃　先佛頂印
怛儞也他誐々曩三謎阿鉢羅底三謎薩
嚩怛他蘖多三摩路弩蘖帝誐々曩三摩
嚩羅落乞叉婀娑嚩訶
（如）（是）（無礙）（虛空）（等）
（無礙）（隨）（一切）（平等）（來）（如）（勝）
（等）（相）（願）

無能害力明妃　左手仰掌四橫置心上
右手覆左掌面如持物之勢（梵夾印也云々）

曩莫薩嚩怛他蘖帝毘藥薩嚩目契毘藥
阿三迷鉢羅謎阿者隷讖〻泥娑摩羅嫻
薩嚩怛羅野蘖帝娑嚩訶
[Siddham]（梵）命（梵）歸（梵）切（梵）一（梵）如（梵）來（梵）等
[Siddham]（梵）切（梵）一（梵）無（梵）等
[Siddham]（梵）動（梵）不（梵）念（梵）等
[Siddham]（梵）切（梵）一（梵）至（梵）遍
大海　二手內相交二空端相柱仰印右
轉三反臍程柔迴轉也水湛體歟云〻
唵尾摩喚娜地吽
[Siddham]
金剛手持花　五古印竪大海中
變ム說臂合直立之（佛頂房用之）　聖行說臂
不合右肩指上（智泉坊用之）
不問五古印者內外縛中何ム理記注
之外五古印云〻執注之內智文　青軌
注之內五文
對受記海意別說并花山法性別高○（潛書）
大夫記等皆內縛云餘說不云內外凡
諸說內縛未得外縛證
嚩嚩日羅播抳
[Siddham]（梵）金剛（梵）手
花臺　二手外交二中指入中面相合二
地二空端相柱念先五股上置十字羯磨
於心前下置前印云〻向上也
阿三忙鉢多達磨馱覩蘖登蘖多南薩嚩
他暗欠暗惡縛索哈鶴薩落鑁嚩娑嚩賀
吽嚩落訶羅鶴娑嚩賀藏落娑嚩訶（有歸命）
[Siddham]（梵）無（梵）法界

[Siddham]（梵）越（梵）超（梵）切（梵）一（梵）地
[Siddham]（梵）風（梵）語言（梵）火（梵）真言（梵）水（梵）真言身
妙蓮花王　八葉置先羯磨上印念建立
花藏世界
阿（有歸命）　ム云舒開指竪印也　云〻
[Siddham]
道場觀　定印
觀想地輪之上有八功德水海〻中有五
股嚩日羅以爲妙蓮花金剛莖其上有十
字羯磨以爲妙蓮花臺其上有開敷白蓮
花八葉其鬚蘂是花藏世界也（今前四印所成重觀之歟）
此觀不重作　於臺上中心四方普周匝一門及
通道

金剛印遍嚴　中羯磨金剛
其上大蓮花　妙色金剛莖
八葉具鬚蘂　衆寶自莊嚴
開敷含果實　於彼大蓮印
大空點莊嚴　十二支生句
普遍花臺中　常出無量光
百千衆蓮繞　其上復觀想
大覺師子座　寶玉以按飾
在大宮殿中　寶柱皆行列
遍有諸幢蓋　珠鬘等交洛
垂懸妙寶衣　周匝香花雲
及與衆寶雲　普雨雜花等
繽紛以嚴地　諸韻有愛聲
而奏諸音樂　宮中想淨妙

賢瓶與閼伽　寶樹王開敷
照以摩尼燈　三昧總持地
自在之綵女　佛波羅蜜等
菩提妙嚴花　方便作衆妓
歌詠妙法音　供養諸如來

三力偈　普印
以我功德力　如來加持力
及以法界力　普供養而住

普供養
虛合二中外縛二風寶形（文不云卜可謂之云〻四反）
唵讖〻[Siddham]三嚩婆嚩日羅斛
[Siddham]（梵）虛空等（梵）作（梵）金剛
大輪壇　二手作金拳二風二地鉤竝佛
佛作覆印之然後反仰印空等也印口
空心額頂口印之
之時正開口如欲勢　云〻　ム云左右散
之　云〻
唵嚩日羅斫迦羅吽弱吽鑁斛
[Siddham]（梵）金剛（梵）輪（梵）子種（梵）召（梵）鈎（梵）引
入[Siddham]（梵）縛（梵）普（梵）命
衆色界道（五色表五佛大色有白赤黃青黑中院所表各異以此）
先白色界道（表大日如來）　結五古印自東北角
右三匝轉布之想字變成白色界道
五色界道外院界道都合十八反不解
一印轉也強迴轉也曼陀羅四方迴體
也　云〻
羅（有歸命）
[Siddham]
次赤色界道（表東方寶幢如來）

續前白色迴隔赤色用印作法如上
[梵字] 有歸命
[梵字]
次黃色界道 表南方花開如來
續前赤色迴隔黃色用印如上
迦 有歸命
[梵字]
次青色界道 表西方無量壽如來
續前黃色迴隔青色用印如上
麼 有歸命
[梵字]
次黑色界道 表北方天鼓音如來
續前青色迴隔黑色用印如上
訶 有歸命
[梵字]
外院界道 結五古印始自東北角於來
色外右一匝轉為第一界道
第二重　第三重　印明全同
曩〇赦吽
[梵字]
觀曼荼羅 現修私記名月輪觀定印
觀想大覺師子座上有淨月輪〻〻上有蓮
花座諸尊座位又有月輪蓮花座次結大
日印當心 五古印也 誦阿字真言三反 有歸命
圓觀 覺ム抉云若從因果意以第一阿字為種子若從本覺迹以第五暗字為種子云〻
即觀想中臺月輪上有阿字 金色 字放光
照諸尊座位應光諸尊各〻種子皆悉顯
現中臺阿字變成率覩婆五大輪相重率
覩婆放光照諸尊種子各〻種子變成三

昧耶形中臺率覩婆變成大日如來妙色
超三界沙穀嚴身服寶冠紺髮垂敍然三
摩地輝焔過衆電猶如淨鏡內幽邃現真
容無相淨法體應願濟群生大日如來放
光照諸尊三摩耶形一〻三摩耶形變成
各〻尊形如是觀已散印頂上
帖云觀曼荼羅時結五古印觀之或無
所不至印阿字明別尊法其根本印明
云〻
治路　擎香呂 三反右轉云〻
若用結印二手作金拳敍二頭指端相
柱中指背並竪
唵蘇悉地羯哩入縛哩多曩南多讃羅多
曳入縛羅〻〻〻滿馱〻〻賀曩〻〻吽
伴吒
[梵字]妙 [梵字]成 [梵字]作 [梵字]
[梵字]放 [梵字]縛 結 [梵字]
[梵字]除 [梵字]息 [梵字]光 壞 破
成不動身
〇大火炎イ 先二手忿怒拳二地二風其節相著向胸
曩〇赦唅
次改舒風指端相柱如次印指末向上當
胸 〇大不動明王イ
曩〇赦覽
次二手各以空押地水甲仰左手置左膝
上覆右手刀印入左手鞘中誦慈救真言
三反畢拔出慧刀置右乳上以鞘當頂十

字右三遍轉指少屈漸自左頰邊向下刀
與鞘相入誦真言三反而後拔出刀以鞘
覆左乳上以刀印自左目頰頭下引自右
頰邊擧頂上此即成身印也次頂上左轉
三反此辟除印也次右三轉次指天次指
地各一反此即結界印也次以刀印當額
次左肩次左膝次右膝次右肩每處一反
此即護身也而後刀與鞘置左膝上如本
相入次以印當額少時間次置頂上前後
仆動而後散之
刀印入鞘之時每度右一轉指入鞘也
不轉鞘 頂上右轉之樣　如此仆動者
鞘面頂向一兩反仆動也云〻 甲本異本註日覺大
師在唐記云逆日而轉云右轉云〻
曩〇赦戰拏摩賀路灑寧娑叵吒也吽怛
羅吒悍𤚥
[梵字]極 [梵字]大怒 [梵字]破壞
[梵字]堅固 [梵字]如常
振鈴
勸請內縛竪慧風如鈎三度召之
阿蘇囉怛羅鉢羅底訶諦但他蘗黨矩者
冒地浙哩也鉢哩布羅迦娑縛訶 有歸命
[梵字]所 [梵字]一切 [梵字]害
[梵字]行 [梵字]如 [梵字]鈎 [梵字]提 行者
[梵字]足 水 滿
蘇悉地三部心 谷記不用之
內縛二大並竪召之
唵爾那爾迦 佛部心
同印左大入掌右大召之

唵阿嚕力迦 蓮花部心

同印。右大入掌。左大召之

唵縛日羅地刀迦 金剛部心

次隨本尊其印明未加梵號

索 內縛。二風圓端相柱。是引入意也

係係摩訶幡耆鉢羅娑勞挪里也薩埵馱

睹微謨訶迦怛他蘖多地目乞底儞佐多

娑嚩訶 有歸命

鎖 以左手掌向外。以右手背加左手背。

頭指已下左右八指各以右拘左。從腕外

入腕下出 云云 腕下出腕內。二大指面向吾以

右大指著左大指背。是令堅住意也

鑁〇赦吽滿馱々々野冒吒々々野縛日

羅娜婆吠薩嚩怛羅鉢羅底賀帝娑縛賀

（梵字）子 種 縛 結 半 堅

（梵字）剛 子 金 生 切 一處 無

唐組

鈴 鑁 五輪舒散。指末向下。如振鈴 空師入說

中子振如鈴之 即是令歡喜意也

唵縛日羅獻吒阿

（梵字）剛 金 鈴 子 種

遣除從魔 刀鞘印。以鞘置左乳上。以刀

印當心前。左轉三反。右轉三反。指上下。印

五處。而後刀鞘一匝迴轉。置左膝上。如本

相入。當額少時。次貫頂上。前後仆動而後

散之

眞言如前

示三昧耶 前入佛三昧耶印眞言也。示

三昧耶所以者。諸尊恐怖辟除故。示本誓

三昧耶令住也 圖 三反右轉若頂上擧之也

此處不印五處。只三反右轉若只捧頂

上云云

閼伽 取閼伽器置八葉印中。先述心願。

頂上 佛 額上 蓮 心上 金 獻之置之。次二手

清淨印並合 圖 事供之後悉地閼伽印用之若捧器眞言是一說也云云

識々曩三摩々々娑縛訶 有歸命

（梵字）空 虛 等 等 無

大師不用加持前方便時。加持之了故

也云云

花座 八葉印。額上面上心上捧之

阿 有歸命

善來偈 金合

善來尊者 由本願故 降臨道場

當就此座 受微妙供

除障加護 如先遣除從魔

成事業身

大慧刀印安頂上

欠 有歸命

可想欠字其色黃色。用置頂上。乃轉身

作金剛薩埵

次以外縛五古印當心

婆 有歸命

次右手三古印 小外向作之 印五處。左拳置腰

曩〇故戰拏摩訶嚕灑拏吽

（梵字）

是谷記說也云云

示云。谷記以五古印々五處。三古印無

用印。今三古印々五處如何

大原記。五古印當心。欠字置頂 黃色 諸法

等虛空義也。嚩字或鑁字置心 白色 諸法

離言說義也。次誦金剛薩埵眞言。印五

處云云

被甲 如先金剛甲冑印之云云 十二處結

摧伏諸魔

慧拳舒風空。著風中節。以頭指橫置白毫

際。左轉右轉五處

置白毫際事。正不置之云云

ム云。加持之時。印末向左云云

摩訶沫羅縛底捺奢嚩路溫婆吠摩訶每

怛哩也毘庾嗢蘖底娑縛訶 有歸命

（梵字）大 力 具 力 十

（梵字）得 大 生 發

難堪忍 虛合。二風屈入內背著。二水各

散。左轉右轉上下五處。此名結界

麗嚕補里尾矩穫尾矩隸娑嚩訶 有歸命

（梵字）離 相 離 乘 離 弟 垢 離 縛 離

作 相 初二 義

四方四大護

東方無畏 內縛。中指合豎。左轉右轉。上

下五處。東門中央花臺上置（梵字）縛字。轉成

無畏結護者。身金色。著妙白衣。面現小忿

怒。手持檀荼。々々謂棒也

右手持檀荼。左手安腰。若兩手取檀荼

云云

嚩麗嚕補里尾矩穫尾矩隸娑嚩訶 有歸命

北方壞諸怖 金合。二風屈各捻空端。用

印如前。北門中央花臺上觀置（梵字）縛字。轉

成壞諸怖結護者。身素色。著潔白衣。持渴伽。渴伽者劍也
左手安腰。若兩手持之云々
波麗嚕補里尾矩幰尾矩隸娑嚩訶（有歸命）
西方難降伏　內縛。二風屈端圓相柱。用
印如前。西門中央觀置（हूं）索字。轉成難降
伏結護者。身色如無憂花（禾云深紫色也）著朱色
衣。面現微笑。而在圓光之中。亦觀大衆之
形（諸方四衆）
文\無手相。若合掌。若二拳置腰。可觀也
云々又\西方南方可觀花臺云々
對○云（受口傳）。私云。難降伏文中手所持印無
也○然大日經持竭伽也。而儀軌中不
出故。傳者不導耳（文）
索麗嚕補里尾矩幰尾矩隸娑嚩訶（有歸命）
南方無堪忍　虛合。二風舒散。用印如前。
南門中央觀置（हूं）唅（अ）欠字。此二字轉成
無堪忍結護者。身黑色。著玄黑衣。面現毘
俱胝眉。而有浪文。首戴髮髻之冠。光照衆
生界。持檀荼
左手安腰。若兩手持之云々
唅欠麗嚕補里尾矩幰尾矩隸娑嚩訶（有歸命）
門々二守護（每四門左方無能勝右方有相向）
無能勝守護　定忿怒拳。舉印臂如羽。慧
拳舒風置心上（圖註）（定手忿怒拳如打物之勢。慧忿怒拳橫正當心上。見彼方圖）
舒\風置心之時。拳面向身。指橫置之。忿
怒拳臂少舉。拳面向外也。物打印也云々
囊○枚訥羅馱里灑摩賀路灑拏佉捺野

薩鑁娑怛他蘖多然矩嚕娑嚩訶
相向守護　左右翻前印
囊○枚係阿鼻目佉摩賀鉢羅戰拏佉那
野緊旨羅野徙三摩野摩野婆摩羅娑縛
訶
無能勝見左方。相向見右方。是見打方
也
已上二印明。四反用之。置四門意也
智泉云。一反結誦而置四門。觀可足歟
帖云。二大護若存略時。唯一度結之。若
不略者。各四度結之（文）
獻閼伽　如前（圖註）（加持之印如了前用）
塗香（ム云。先塗花燒食燈等。次印明。若結印明。不結印明。誦明。以下供養之不誦。次器云々事）（圖註）
（器略也。明誦。今不結所用印。是略也。成就上云事也。供之次彼器印明。如大印結誦之。供養以下是略也）
慧手向外。以定手握慧手腕。三處奉之
尾輸馱諛度納娑嚩娑嚩訶（有歸命）
花鬘
二手內相交開仰之。二風指端柱。三處奉
之
摩賀昧怛哩也毘庾納蘖帝娑嚩訶（有歸命）
燒香　二手中指以下六指背竪相著。二

風舒頭端不相著小許也。二空置頭指邊
三處奉之
達磨馱怛嚩紆蘖帝娑嚩訶（有歸命）
飮食
虛合開掌向上。如掬物之勢。三處奉之
阿羅々迦羅々沫隣捺那弭沫隣捺嚩摩
賀沫隣娑嚩訶（有歸命）
燈明
慧拳以空端捻火面向上。三處奉
之。猶處動之。如燈炎之勢
怛他蘖多喏娑匝羅儞嚩婆娑蘖誐々
捺娜哩耶娑嚩訶（有歸命）
普供養　普印
曩莫薩嚩怛他蘖帝驃尾溫嚩日契弊薩
嚩他欠嗢娜蘖帝薩頗囉係給誐々娜劍
娑嚩訶（有歸命）
讚
大讚（大日小讚）四智可用之（圖註）（大加行用之否。後在大日。若略之者。大日小讚四智可誦之）（有何妨）
若修別尊者。大讚。本尊。四智用之
若密讚加用之
曼荼羅供時。大讚。佛讚。普賢。四智用之

云々
自行之時。密讃用之
薩嚩尾也比婆嚩訖羅訖里也素嚢多地
鉢帝爾嚢怛頼馱覩迦摩訶擺佐尾嚕左
嚢々謨娑覩諦（此密讃出儀軌）
盡諸會之時。此次用之（穴云。縦雖不盡諸會深行人布字八）
（印許可用之。大原御行用如此云々）
入本尊觀　定印隨尊各別
根本印　隨尊各別
大日印明有多種。一五古印阿（有々々名一字明）
初心用之
一同印念滿足明（阿々々鑁々々）一同印滿足一
切智々明（阿々々尾々々）一無所不至印明（如八印次）
一同印滿足一切智々明一百光王印
暗（有々々）
是甚密也。又行八葉尊之時。可用八印
明。又此次結加三身印。前後在意
加持珠
唵縛日羅虞呬也惹跛三摩曳吽
淨珠
唵尾盧左娜摩羅ソハカ
正念誦
ム云。大日。佛眼。不動。三部（若一字）諸天。有
本尊者。可用其眞言
還珠法
入三摩地　隨尊各別
根本印　隨尊各別
部母印　隨尊各別
若佛部結虛空眼印

虛合。二地開竪。二風相著火背第三節。二
空並竪。又三部通用之（阿闍梨位人可用祕印明云々）
唵識々嚢嚩羅落訖叉娜識々嚢三迷曳
薩嚩覩嚕嚢多避娑羅三嚩吠入嚩擺那
日伽難娑縛訶（有歸命）
[悉曇]
[悉曇]
五供　普供
讃　本尊。四智許用之。大日法身讃
閼伽（捧器先祈願）
振鈴
發願　普印
令法眼道遍一切處。久住。軌文也
ム云。發願乃至奉送。一期行法。結願許
作之
加持句　金合。印五處
薩嚩他勝々怛陵々顆々達隣々々娑
他婆野々々々沒馱薩底也縛達嚩薩
底也嚩僧伽薩底也嚩娑嚩迦嚩吽々吠
娜尾泥娑縛訶
[悉曇]（一切）（加持）
[悉曇]（佛）（眞實）（若）
[悉曇]（眞實若力法）（子）（種）（眞實若力僧）（法作此明是也文殊）
[悉曇]（各）（若）
解界　以無堪忍印左轉三反
示三昧耶　以入佛三昧耶印明頂上左
轉三反
禮佛　歸命合掌。置頂上。思惟諸佛菩薩
眞實功德。至誠作禮

諸有永離一切過　無量功德莊嚴身
一向饒益衆生者　我今悉皆歸命禮
奉送　從禮盤下向尊。長跪而後結印。外
縛。竪中指端如蓮花。挿以時花。當心
現在諸如來　救世諸菩薩
不斷大乘教　到殊勝位者
唯願聖天衆　決定證知我
各當隨所安　後復垂哀赴
唵訖哩妬嚩薩嚩薩怛縛羅他悉地捺多
野他努識蘖車特梵沒馱尾灑塩布嚢羅
識摩嚢野覩唵鉢娜摩薩怛縛穆
[悉曇]（已上作）（勝）（生）（衆）
[悉曇]（一切）（與）（授）（成）（利）（歸依）（佛）（土）（國）（隨）
[悉曇]（還）（降）（赴後）（乘）（花）（蓮）
[悉曇]（脫）（解）
誦了。向上擲花。即上禮盤。印四處。念奉送
聖衆
智泉云。引用金界。故云四處。此界可印
五處也云々　鉢娜摩薩嚩斛句。非此界
要。仍替用本尊梵號。但有此用心者。不
改無失云々
ム云。花右方花莚用之。投時自線下可
投之
入佛三昧耶　法界生
轉法輪　被甲
九方便　隨方迴向（時已上振二次用之行之稱共）
下座禮佛　出堂
重作三密（行法用之了）

普印　暗 有歸命
火印　羅 有歸命
佛頂印　阿 有歸命
重作三密智澄〇大[illegible]在唐記中出之
智師云對記中惠和上說有之谷依之
本書說不知之又法性記用之云々

本云
建長三年
同四年七月二日於小河拭汗書之
爲興法利生也　金剛佛子尊澄

阿娑縛抄第二十一　胎記供養會末

靑龍軌云欲結印者敬白十方三世諸佛我等下輩愚鈍凡夫雖掌持此印如蚊蟻掌須彌山恐無勢唯願諸佛加護於我結持此印同佛勢力令我得成無上正覺文

江師云或說取香爐唱之現修私記用金令云々

前方便

戒壇上綱以後引用蘇悉地前方便云々

啓白神分

供養文

唱禮

帖決云唱禮出胎藏界讚驚發地神之處云先當以爲一切如來作禮云々此卽受地一具文也先爲三寶作禮唱名也乃至九方便三部被甲等乃至持地印等皆是受地作法也以字燒字以後正是行法也故一卷軌金剛智初以字燒字以下出之故業色也云々

廣軌云次觀解脫性體空含衆色眞言生欠字想置於頂上色玄相尙普名爲大空輪云々

三密抄料簡云問何故云空色玄答如世俗言天地玄黃問若爾亦云種々色答玄指虛空本色種々指空中所現諸色歟文

靑軌圖　○ ☽ △ ○ □

三密抄料簡云四大互相造遍在一身中云何上下次第安布答入祕密位品疏意云四字所生四大皆遍身中祕密法品疏明五輪了云然此皆是如來祕密之義也非徒如文而已當善思之 私云有觀布五輪次第如此而具五 大更互相遍云々

又云問如來法身周遍法界若爾五大云何有方角形耶答若遍法界無方角形文 有可爲初心人作此說歟　問法身豈無心々所耶云何只觀五輪成身答如疏云々水是悲也火是慧也云々故知此五大具表萬法也問何故用五大加持耶答有云法性五大與此五大無二無別此法界身轉成率堵婆々々卽法性也諸佛如來悉其中此率堵婆變成大日如來云々

十二支句

義釋 〇[illegible] 云出置十二字復同十二緣文

對〇云讚岐守所撰念要集〇暗字頂上欠暗二字兩耳文

雙嚴決云十二眞言軌云左耳暗字大勤勇大日如來右耳欠字佛眼母暗字頂上釋迦云々

帖云十二眞言王布字或八印前用之爾者五輪成身時可止之若五輪成身時用之者八印之時布字可止之但誦明抄[illegible] 已成五大法身可有所說菩薩故頂上置暗字歟之

百光王（光軌云首中百光王云々）
對云。海大德説○首中者。阿闍梨云。頂骨
十字之上也○布(梵)字二説。一云。(梵)字空
點安之腦後。以字下方安之頂上。一々字
體遍布行者五體之上。空點安之頂上。意
大德説同（但懷第二説云々）
義釋十三云。百光遍照眞言者。謂從此一（菩提是智。無生是理。）
字而百法明光遍流而出也（圓性）（以智證理故(梵)明之。又菩提能依。無生所依。能所爲(梵)）
心體無生句
對云。海大德説。(梵)以(梵)字安之心上。其色
赤也 文
帖決云。心體無生句(梵)○（阿闍梨）亦臥觀之
胸表離染字
帖決云。只立胸觀之
安立無垢眼
念滿足句
法性別記云。令此所觀五大輪皆悉滿足。
文
明胤抄云。前五輪別成。今總加持之 文
或云。勝林許下私記（廣）此(梵)用三身印明。
文
外五輪觀
花山記云。燒盡妄執器世間。更安立清
淨不壞因陀羅網世界。 抄
空輪 風輪 火輪 水輪 地輪
青軌圖
□ ○ △ ◠ ○

悉地出現品疏云
□（金剛也地也黃） ○（悲也水也白色）
△（慧也火也赤色） ◡（神通也風也黑色）
○（空無定形而現種々色 文）
對云。海大德記○限以三千大千世界。安
立此界訖○大和上釋。若准法界尼吒義
者。可云法界三千大千界也 云々
問。常途成世界。先成器世間。次成有情世
間。今何先觀內五輪成身。次觀外五輪成
器乎。答。具支灌頂六云。私謂法身住法性
土。法體法然身器本如。報身住受用土。因
圓果滿身成器應身住變化土。酬願利生
土成身出。今娑婆等。無受地作法。別尊之
法不可必用唱禮也。只爲世間耳。莊嚴用
之也。全非其法之意。
驚覺
九方便
生起（都率）云。問。何故此九名方便耶。答。由此
印明等方便力。即成眞實。作彼九種事故。
或是所修法前後方便故 文
三陸（長實）云。九方便。如次八葉中四菩薩五
佛印明也。作禮普賢（乃至）迴向大日如來
∴以九方便攝五悔事
三密抄料見（都率）云。歸依施身可接作禮以
菩提心可接隨喜。上求故喜佛菩薩。下化
故喜衆生善以請法身亦攝隨喜。衆生有
安樂性。即願令衆生住○（青龍）淨法身 文

蘇疏云。懺悔破大惡罪業。歸命三寶破邪
歸依。發菩提心破迷眞罪。迴向是破爲諸
有罪。發勝願是破發惡願罪。今此文中無
有勸請及以隨喜。歸命三寶攝之○勸請
即破謗法之罪。隨喜是破嫉妬之罪 云々
生起云。問。何故此五通名悔耶。答。今文不
明。但正決述天台所用○五悔。意之五悔
罪故名五悔。懺悔破三業遮性等罪。勸請
破謗法罪。隨喜破嫉妬罪。迴向破爲諸有
罪（但願生死爲諸有因）發願破邪願罪 云々 今准可知
文
∴以普賢十願配九方便事
作禮（一禮敬諸佛）出罪（四懺悔業障）除 歸依 隨施
身（三廣修供養）發菩提（八常隨佛學 九恒順衆生）隨喜（五隨喜功德）
如（釋讚 供養 來）勸請（六請轉法輪 七請佛住世）奉請 迴向（十普皆迴向）
三密抄料簡云。禮敬等五不俟可知。以稱
讚接隨喜（可隨喜稱讚故）以供養接施身（施身有三種）
命財（以命財施身）○（阿闍梨）請住世接勸請（請住世意在說法故）常隨
恒順接菩提心（常隨佛學恒順衆生即願上求下化故）
禾云。如右文者。歸依與奉請無所當。愚
案之。以常隨佛學接歸依（右抄上文云以是隨從）
請佛住世接奉請（要略念誦如下阿闍梨勸之）然者九
方便無殘相當十願歟。如何但末學管
見尤爲恐。可仰先哲賢訓了。後日見三
陸抄（長實）如禾意對之
∴以十願配五悔事（云々 [illegible]）
三密抄料見之。稱讚供養常隨恒順可接
隨喜（以隨喜故可讚供常隨故。又恒順衆生豈不喜其喜）餘如配九方便

抄

禾云。以供養常隨可接作禮歟。右抄中。
上文以九方便接五悔之時。歸依施身
接作禮故云々

作禮方便【圖註】（生起云。欲修萬行先禮三寶故。有作禮）

帖云。問。胎玄軌。何故不載作禮方便文耶。
答。第七卷所出。是世共所誦也。今軌所載
作禮之文。意亦不違耳。但又懺悔已後之
文正是發言所可唱也。至作禮只以禮拜
爲儀不必唱。存此意故略不載耳

出罪方便【圖註】（禮三寶已。即修共善。々有二種。謂止行也。懺悔即止善也。歸依等行善也）

三密抄料簡云。問。二師者何等。答。有云世
間出世間云々

圓靈云。眞俗師也。眞者法文師也。俗者習
書師也云々

蘇疏云。言懺者。謂陳露先惡。言悔者。謂改
往修來。約此懺悔有二種別。謂理事懺也。
理懺者。普賢觀云。端坐念實相。衆罪如霜
露。慧日能照除。我心自空。罪福無主○是
名眞實理懺也。言事懺者。極理幽深。觀用
輕踈。惑障覆藏。悉地難成。重運二業。助發
意業。歸命聖衆。發露黑惡。諸佛覆護。速得
相應。是爲事懺也。何況身結滅罪之契。口
唱擺惡眞言。意觀無住本尊云々

又云。銘誠心腑。名爲誠心。又契心極理。以
爲誠心。若如是懺。累劫所作如露滅云々

歸依方便

持明房決云。歸者歸命也。依者依怙也。故
云歸依云々

蘇疏云。以三箇至誠之事歸命三寶【圖註】（滅罪業豈不生善業。故懺次有歸依等）
一者誠心。二者盡形。三者
歸命○若修行人致此至誠。諸尊海會感
應道交。而垂救護云々

三密抄料簡云。問。作禮歸依有何差別。答。
作禮是恭敬。歸依是隨從。見豪貴人。雖加
禮不必隨從文

施身方便【圖註】（歸三寶竟。故以身見佛哉云。若以業爲已有者。恐爲煩惱惡業所使。須獻如來如教行也。故歸依次有施身）

對受記云。海大德說。金合。心上三誦。次舒
二臂。以印捺頂。身足伏地。形如獨古印云々
（禾云。意大德已下諸說同之）

發菩提心方便【圖註】（以身獻佛。可有所作。即上求菩提。下化衆生也。故施身次發菩提心）

蘇疏云。此菩提心。名爲無上大乘種子。能
與衆生甘露解脫上妙之果。是故勸進文

隨喜方便【圖註】（此中諸佛已成佛故。自適我願故。隨喜菩提等。今修行當成佛故。我亦隨喜）

蘇疏云。佛若轉三種法輪。諸衆生得三世
利益。必應慶被云々

勸請方便【圖註】（乃至衆生修善根。漸次修行。皆當由佛說故。勸請佛轉法輪）

蘇疏云。勸請常住在世說法利益文

奉請方便【圖註】（佛轉法輪爲利衆生。利益雖多。究竟唯爲令在纏菩身證出纏法身。故勸請次有奉請法身）

問。勸請々々。奉請々々。有何異耶

帖云。奉請法身方便者。即是我身中法身
如來奉請之。或說前勸請々々請轉法輪
也

今奉請法身々々請住涅槃也。即請佛住
世是也云々其意金剛智一卷軌分明也
云々

要略念誦經（菩提金剛譯三藏）云。禮一切佛及本尊。
復次勸請德雲。復次懺悔法。復次歸依法。
復次分身供養。復次發勝菩提心。復次隨
喜功德。復次請佛住世。復次迴向菩提。爾
時行者心念口言。我今奉請一切如來。爲
我凡夫地衆生所集。云何得至無垢處。安
住清淨法界之身。唯願如來不捨於我文

金剛○（略出經）受記五悔處云。珍和上說○正可
云六悔。於勸請有二種。一請久住。二請轉
法輪。阿閦軌出二眞言云々

金五悔勸請有二意。所謂請轉法輪。請佛
住世也。今開之爲勸請奉請歟云々

相云。阿閦軌云。次應勸請十方諸佛如來
不般涅槃。願諸如來哀愍有情。久住世間
○眞言（禾云。眞言大同。今奉請眞言）

迴向方便

蘇疏云。迴向者。是迴衆善。向大菩提。謂衆
生無諍我以善施々衆生已。正迴向菩提
也云々

或決（曉良）云。九方便明我不誦云々。明無別
事。只偈頌梵文也。依之金界無明云々。或
云（不出勸記。泉法橋決文）

五大願

入佛三昧耶

對記意。大德說。是印當佛部

軌云。淨除三業道○成三法界道文

不思議疏云。成三法界道者。印眞言及意密云云
處心記云。言三法界道者。佛菩薩金剛等三部。亦三身等云云
對記云。意大德說〇文云三法界道者。本（處心記圖）尊眞言印契也文
處心記云。入佛三昧三力明妃〇阿三迷者佛力也。底履三迷者法力也。三摩曳者僧力也文
又云。三摩耶即是誓願。猶如於勅。是三世佛本所要誓也
帖云。印二大指是菩提心幖也
口祕聞云。印菩提幖幟意歟
法界生
對云。意大德說。是當蓮花部
帖云。蓮部當大淨除義。蓮淸淨之義故歟文
處心記云。達摩馱都是法界也。法界者即是佛身。下句云。我者我即是法界也。又此行者。雖未能即體眞性。但作此印而誦眞言。即體同法界也
轉法輪（軌云金剛輪印）
對云。意大德說是當金剛部文
靑軌云。由作此印故。令彼身心俱淨。能現見十方諸佛。法輪三隨轉。能轉無上大法輪於大千也文
帖決云。入佛三昧耶是我子也。如處胎法界生初出生也。轉法輪如習伎藝文
又云。今此三部當胎內胎外學藝三也

不思議疏云。由入佛三昧耶故。於胎藏中。不令夭折。由法界生故。云云初於胎時。離諸障礙。由金剛薩埵故。能持家業。備諸伎藝文
甲冑〔圖註〕（爲莊嚴金剛薩埵身故。轉法輪次有被甲）
對記云。右指有唵。左指有砧。如靑色絲文
又云。別記云。從字出藕糸。其色紺靑文
不思議云。若法是造作所成。當知但有假名。從緣遷變。尙不能自固其性。況能弊捍六塵利箭耶。今觀此金剛體。無盡莊嚴。皆悉利諸造作。是故堅固不壞。百非所不能干。是故名爲金剛甲冑文
觀羅字〔圖註〕（即表金剛薩埵大威光。故在甲次）
軌云。一切觸穢處。當加此字門文
對云。海大德說〇一切穢處。即大小便利處也云云
無堪忍（對云。別記云。亦名降伏魔）〔圖註〕（前表威光。今正降魔故）
靑云。諸佛平等力。不住於寂。現大方便。由彼威光猛盛。如初生小兒不堪烈日之光。此亦如是。一切不能堪忍。而敢映奪之者。此明王以此眞言而護行者云云。是無能勝明王印明也
問。無堪忍印。與下四大護中南方無堪忍同人歟。答。對記或說意同人也
帖云。驚發地神之前無能堪忍。四大護之前難堪忍。四大護之中南方無堪忍。即是三尊同尊也。而眞言異也。南方護者名無堪忍。菩護。即以此菩用也。釋迦會中無能勝（釋迦忿怒也）佛眼軌云。無能勝此二尊同尊

也。而佛眼中無能勝印。似無堪忍印而已
驚發地神〔圖註〕（已下作壇也。前護身法如將作佛降魔之相。故驚此神以爲證明）安（抄引之）記釋此偈意云。釋迦成道云時。無量地神從地涌現。示現半身。而作證明。魔軍見了退散。釋迦成道文
三密抄料簡云。問。就驚發偈意。釋尊降魔地神爲證。是初成佛之事也。今是凡夫初修道也。何彼爲例驚地神耶。答。義釋云。世尊昔在菩提曼荼羅。降魔軍時。汝作證明。我今亦欲隨佛所行。紹如來事。故盡此曼荼羅也。我雖未得一切同於如來。然以毘盧遮那三密所加持故。亦能現作佛身。普集一切曼荼羅大會。故汝今亦當現作證明。使諸魔軍不能沮壞也（取意）文
又云。驚發地神等是作壇法也。何故每時用此法耶。答〇諸軌不委說作壇等法也。壇場儀式。多用觀念〇故知深觀難堪。助以淺事文。緣離具還用心觀。故恒用驚發等法也抄
地神持次第〔圖註〕（佛成道驚地神。云云除金剛座餘地不堪歎喜守護此地。今同金剛。今又以印明加持。彌令堅固。故次第來也）
對云。珍和上說〇文云。持次第者。謂三地。一道場地。二自心地。三衆生心地
灑淨〔圖註〕（除增次淨其增）
對云。海大德說〇以印入水。灑淨於地。次以楊枝淨所辨一切供物
持地偈〔圖註〕（除增此增溉地淨故次請白來）
禾云。此偈有晉曲時儀可用之。又我授此地授字。大日經受字也

召請地天〔頭註〕（諸白之旨在受持地故別新請地神次諸白新請了即受持令堅固故次奉）
尊覺決云此印亦名曰瓶印云々
持地
內五輪觀
軌云謂以字燒字因字而更生
〔頭註〕（自下第二建立行者依正今欲觀建立先成大日身也前燒有漏穢身五大次成無漏新身五大）
對云海大德說文云謂以字等乃至彼器
者能燒是[梵字]字所燒是[梵字]字[梵字]字即眞言
行者身也燒盡此身中二障猶如練鑛金
成純金也文
義釋云燒者即是字義當以阿字爲弟子
身使以阿字遍作其身也次以囉字而加
其上囉字者即是大慧火也即以此慧火
之字焚彼菩提性眞金之鑛令金垢穢無
餘故以羅字而焚阿字也文
地輪　水輪　火輪　風輪　空輪
義釋十（密印品云）嚩空能含一切色像即是具
一切色若但依顯色即是淺青之色如草
木成壞劫時先器後情蓮花藏界無成壞
相先身後器今眞言者修入內證故先成
身而後成土故
（大日經）發生偈云有情及器界次第而成立即其
誠文也文
入佛三昧耶　法界生　轉法輪
問入佛三昧耶等先已用了何重用之耶
爰以對記意云惠和上說儀軌此次有三
部印前已作故此中除之云々大師記云
已上三印前已用了故措而不用（抄）如何
三密抄料簡云問最初有三昧耶等三印

明今何故更重用之答諸軌數々用此三
印廣軌亦在五輪成身之前亦在五輪器
界之前故知此三通辨諸事也文
明胤抄云興云上明實行菩提行相下明
方便菩提行相文有云前表因後表果謂
初有漏身故名因後無漏身故名果也云々
大慧刀印〔頭註〕（自下四印表三身具謂成遍利生々具也刀表斷惑用斷惑自利故在初也）
靑云亦云歸命力喩利智以能除斷爲義
○能斷害身見及俱生見六十二見等此
刀○（印明義）即大智得無垢法身
高太夫記云即是諸佛大智能絕諸煩惱
故云々
法螺〔頭註〕（螺表說法故利他自利々々他以爲次第）
對云海大德說○即成佛轉法輪義也文
靑云即得滿一切善願宣說大法普得聞
知文
吉祥願（靑云蓮花座印）〔頭註〕（自他利身當有依報故次有花座也）
靑云金剛座猶坐此故諸佛從此生即名
言吉祥座文
對海說○奉座也○如來金剛座也意大
德說同前但是行者座也○大和上釋是
自身之佛座以此等印皆是我法具故文
金剛大慧〔頭註〕（三身依正五智爲體故次以五業金剛表之）
惠心記云能壞無智之宮一切不能壞文
對云別記云壞無智城曉悟睡眠天人不
能壞之文
如來頂（對意大德說此印名髗阿印文）〔頭註〕（已上二十一印分爲三一佛身分頂等十四印是也佛法分舌等四印是也三佛心分十力等三印是也次以身口意爲次第）

髮嚴決云佛頂印名摩訶印心者結此印
同世尊故名大印
靑云即同仁者○想佛入身中相好圓滿
文
法性別記云金輪佛頂印是文
如來頂相〔頭註〕（頂相居身最上故最初次毫相是處次第也鉢是手持總依處次第在無畏等前別依義在無畏等前別依義口鉢表法身瑞爲法器也法身即爲所依故鉢來所）
靑云一切諸天神不能見頂相文
對云海結此印故一切天人不見其頂惠
珍兩和上說云肉髻又云表無見頂相文
帖云已上二印明心何答如來頂者總同
世尊頭相也
生起云頂直指其鳥瑟之體頂相顯人不
能見義文
毫相（軌云毫相々々）〔頭註〕（依功德施無畏等表能依功德以所爲先以能爲後）
靑云毫光遍十方能滿頂淨戒因文
三密抄料簡云藏字意云何答疏釋云如
來無量功德之所集成即寶處三昧中一
種滿願如意珠也
瑜伽持鉢（惠心記云釋迦大鉢印）
對云海說由此印故想令一切非器衆生
成法器也文
生起云鉢表法身々々萬德所依故以鉢
表所依功德文
明胤抄云釋迦成道之時四大天王各獻
石鉢從此初有佛鉢也今行者始成道故
此用鉢印云々
施無畏〔頭註〕（施無畏是拔苦也）
惠心記云若作此印能除一切衆生種々

怖畏憂患。餉時皆息。亦除彼未來種々大
可怖畏文
滿願〔圖註〕(滿願與樂也。先拔後與。是其次第)
疏心記云。如是力故。一切佛滿其所願。皆
得成就也云々
軌與願眞言了云。怖魔如前文
三密抄料簡云。有云。此印如前取袈裟。故
云怖魔如前袈裟名怖魔如前。袈裟名怖
魔衣。故玄靑軌與願眞言住云持衣如前。
〇私云。(玄云。指說記有之)釋及攝軌等。此次有怖魔眞言。
有人私記亦用之。然今軌〇至下結大界
前用之。爲示此事。可云怖魔如後歟。寫者
失念書前字歟抄
帖云。經(補口記)接廣軌。皆與願之次。有怖魔印明。
(智拳舒風摩可抹羣等)而今軌怖魔如前者。一說指前
無堪忍。一說此三十二印或普供養後。布
字八印之前安之。如靑龍一本(正僧正本)故知
此印明前後不定也。彼正僧正本怖魔在
前。此三十二印在後。故與願之次無怖魔。
故住(并刀口)可云怖魔如前也(住謂注准意也)今軌亦如
彼本。以三十二可安五供後歟。故云如前
歟。若准安後本云如前次又以彼顯之歟
抄
悲生眼(疏心記云。亦名佛眼印)〔圖註〕(拔與是慈悲之用也。悲眼即慈悲之體也)
靑云。能淨眼根。成就佛眼。得見如來深密
境界文
疏心記云。彌印再構過度也。意謂掃除內
障外障文
高太夫記云。內障三毒也。外障謂三災七
難文
法性別記云。內障煩惱障所知障。外障三
災七難文
如來索〔圖註〕(前三表慈悲廣則强不順衆生前以今索縛難調者引至菩提爲次)
對云。正僧正說。壞造惡者。縛諸不善文
靑云。能縛及破壞作障難者。從信解力生。
能現種々形。四接度有情文
如來心〔圖註〕(次身中分心居最上。次講次顯前後爲次)
靑云。能生大慧慈善除廣大方便文
如來臍
靑云。能除身心熱惱文
如來腰
靑云。成妙色身。自性成聖智文
如來藏〔圖註〕(身下分也)
靑云。除於二垢障。悟佛清淨身文
普光(靑云亦因光文)〔圖註〕(光出於身在於身外。非正身分故置藏次也)
對云。海說是名金剛薩埵圓光眞言印
如來甲〔圖註〕(甲是全非身分之擐故置光次)
靑云。如一生補處菩薩。要被此無上菩提
甲。坐金剛座。降一切魔軍。成於正覺眞言
行者。此甲作於佛事文
如來舌〔圖註〕(第三明語分次第舌爲語本故居初也)
靑云。得如來舌。法音遍十方。常作如語不
誑不惑不異語。眞實故常住也文
如來語〔圖註〕(語正是語體故在次也)
靑云。此語從如來無量門。巧慧而生
如來牙〔圖註〕(牙是發語之處故次第也。牙齒舌喉唇五處之中且舉初也)
如來辨說〔圖註〕(聖衆默然不樂語言。然發語唯爲辨說利生次有之)
靑云。由此印故。處衆無畏。爲人演說正法。
乃至一字中含無窮義。辨才不可窮盡
如來十力(十力降伏諸魔。記別問論可於順逆起。愛恚心。然念處力大悲平等。故十力次)
(有念處也)
靑云。由此智印。能持如來十力之分也
如來念處
生起云。莊嚴論明如來三念處云。若有衆
生。於大集中聞如來說法利生。毀謗如來
亦不瞋。若能信受如來亦不受。若無毀無
信。如來亦不捨。於此三處常起大悲。以方
便力巧說正法。令其入理文
一切法平等開悟〔圖註〕(此二是利他權智也。開悟是自證實智也。先權後實故次第歟)
生起云。義釋眞言法云。得至一切法平等
也已上
私助顯云。一切法平等者指平等大會。是
一乘無二之理也。開悟二字。略顯法花開
示悟入四句歟文
普賢如意珠(已上佛果功德。欣果修因故。果次有因也。已下佛因功德。普賢行是大日圓因)
靑云。此菩薩所有三業。普遍賢善。諸佛菩
薩之所敬歎文
又云。菩薩萬行從慈生。衆願滿足故名珠
也
慈氏〔圖註〕(菩提願行由慈悲起故次置慈氏也)
靑云。住發生普遍大慈三昧印。同諸佛率
堵婆文
一切三世無礙力明妃〔圖註〕(三世無礙力是拼總法也)
智大師在唐記云。不爲三毒所動。故言三
世無礙力。又過去不生。現在不壞。未來不
滅。故言三世無礙力

疏心記云釋云三世無有能破壞者〇除一切無明煩惱之闇故名之爲明〇菩心口出者名眞言從一切身分任運生者名之爲明也由增長義故女聲呼之如王尊位故其妃亦復尊重故云明妃也如世女人能生男女令種胤不絕此明能生一切如來所有功德故義云妃也

清涼記云從身分出名明生一切如來所有功德故妃文

義釋云明是大慧光明義妃三昧義謂大悲胎藏三昧也此三昧是一切佛子母此佛子者淸淨法幢菩提心也文

同十二云此明妃者卽同如來之身若不悟此理無由成佛文

無能害力明妃（圖註）（無能害力是阿闍梨法也此二卽是法用次第也）

疏心記云無能害者卽是無障礙義也非直遍於如來境界亦遍一切聲聞緣覺境界乃至最初發心之者但能修此明妃之行亦卽入於如來境界也文

持誦不同二云是調彩色文

對記三十二嚴身印了云靑龍寺三卷別卷以此等印安大讚後傳受之時迴諸尊之印皆安其前攝大儀軌以此等印安中胎後遍知印摩尼珠佛眼印後其後說三重諸尊印

又云義釋云如來圓光等印是阿闍梨嚴身具故諸儀軌入成身中又抄記及攝大儀軌並云如來毫相等印乃至一切法平等開悟印列第一重遍知印院云〻故靑龍寺本安之四處輪前文

三密抄料簡云三十二印今軌置道場觀前接軌抄記等以彼中二十九尊置遍知印中云何不同答具緣品疏云如來圓光等是阿闍梨嚴身之具云〻故置道場〇前又是如來功德故置遍知中各據一義文

大海（圖註）（自下第二趣立諸尊位正初大海前大海前地輪上想香水海）

對記云別記云〇從此以後名嚴淨佛國土奉事諸如來文

靑云八功德香水海也文

金剛手持花（圖註）（海中寶蓮花）

入祕密曼多羅品云持金剛手菩薩以爲其莖處于盡大海

義釋云其花莖卽以執金剛祕密主持之以爲其莖也文

帖云金剛手持花者第五卷入祕密曼荼羅位品文也彼別時心授灌頂時觀想今借用也謂五古金剛是金剛手所持也故以彼爲花莖令持金剛手也但彼文阿闍梨將輪大海生意生八葉花持金剛手爲莖也今借彼文以五古爲花藏世界之莖以持金剛手爲莖也謂持五古莖金剛手卽立大香水大海中也謂是依因功圓滿果地之諸德心也（可見瑜祇幷疏十六文也文）

又云金剛手持花者金剛手持五古爲花莖處海也是祕密壇意也不開常行法所觀不必爾觀次者必可觀之此卽我心法界曼荼羅也我心本有菩提心金剛手能持此五古蓮花莖也卽本有菩提心金剛薩埵所持大悲蓮花莖卽顯現佛大智大曼荼羅示究竟佛事也（故菩提爲因大悲爲根方便爲究竟等云〻入重玄門是果上方便也）

東曼荼羅別卷云問何故此蓮金剛杵爲莖十字羯磨爲臺答經云爾時執金剛從金剛蓮花座從轉而下義云此菩薩以金剛杵上而有蓮花臺以此爲座也金剛卽是諸佛智印此佛智印大曼荼羅之臺故有所表也云〻以此可思但文不明文

花臺（圖註）（上蓮莖）

帖云胎蓮臺羯磨是三古羯磨耳文

妙蓮花王（圖註）（臺瓣）

帖云花藏世界花葉八葉觀之謂八葉含無量葉也是義釋文

帖云胎界香水海大蓮卽華藏世界無障礙土也故大蓮量五古莖量等不可測量其大小文

祕藏記云花者理也理遍法界藏者諸法於其中故曰華藏〻〻世界者最上妙樂在其中故曰極樂當知極樂與花藏雖名異非異處文

道場觀

東曼別云問何故作是道場觀耶答可有多意且出一兩一者今軌云爲嚴淨佛國奉事諸佛二者爲見諸佛及國三者爲作不二觀自成佛身也此中以第三爲究竟要期其觀更尋百字位成品幷廣軌意又有人遮不二觀云本尊爲本以我爲顯以

吾爲本。ゝ尊爲縱。諸佛亦如是。習融觀平等云ゝ此義甚深文

觀想地輪之上有八功德香水海

廣大軌云。五寶爲四岸。底布妙金沙文

東曼別云。花嚴經有兩重海。一者世界海所依大香水海。二者世界海中塵數世界稱所依塵數香水海。以彼說。准大日經疏及諸軌說。前五輪中。水輪當彼世界海下大香水海。次地輪上香水海。當彼世界種下小香水海文

八功德事

稱讚淨土經。一者澄淨。二者清淨。三者甘美。四輕軟。五者潤澤。六者安和。七者飲時除飢渴等無量過患。八者飲已定能長養諸根。四大增益。種ゝ殊勝善根文

倶舍頌疏云。一甘。二冷。三軟。四輕。五淸淨。六不臭七飲時不損喉。八飲已不傷腹文

海中有五古縛日羅。以爲妙蓮花莖文

禾云。縛日羅此云金剛

東曼別云。入祕密曼荼羅位品云。持金剛手菩薩以爲其莖云ゝ今依彼歎。廣軌鑁八峯彌盧山。依悉地出現品歎。蘇悉地同之文

其上有十字羯磨。以爲妙蓮花臺

東別云。蓮花上實臺也。有云蓮花房位文

其上開數白蓮花。八葉具鬚蘂。是華藏世界

谷道場觀記云。有二師說。一五古上置十字羯磨。上置蓮花王。二以前羯磨印。爲蓮花臺。以此八葉印。爲花葉也文

於臺上中心。四方普周匝一門及通道

東別云。四方各有一門（或有人作四門或人無作一門可決）以西爲通門文

具緣釋云。重ゝ院。皆設四門〇西向一門以通入出。餘門以線橫斷之文

谷道場觀記云。一門者。四方各有一門也。通道者。此界緣也。衆色界道。此上可布之也。四門及通道周闌四方。故云普周通也文

帖云。疏云。一云。又經文云通門西向。若有因緣。向餘方開之。有二師說。一云。若息災時。南門開之。通出入。餘降伏等通門准之。而其曼荼羅亦迴向其方耳（如先所辨）ゝ故云若有因緣等也。一云。曼荼羅不迴之。只若有因緣。若南若東若北開之也。如處狹少。開西門無便等云因緣等耳。師曰前說佳矣

帖云。其內院四門有五色界內畔。其五色界內畔四角有四橛。其四門之前各有十二橛。五色界緣之上立之也。卽以五色線引橛繞〇其門處。十二橛各如亞字引之。而其通門前之橛。立標擧線引之（或想線出入云ゝ）其三面之門。置引線不通之。故文云以線斷之文

又云。第一重院。又門前有十二橛。皆立界緣上也。四角有四橛。又以五色線引之。通門之處界之。三門處斷之。於界緣之內畔有門非橛等也。第二第三門前又同之文

祕藏記云。四方門謂常樂我淨也文

金剛印遍嚴

帖決云。金剛印遍嚴者。是非大悲壇之意。羯磨金剛。爲界。是祕密壇意也。而此曼荼羅中。諸尊祕密壇。皆具有。故依此意兼祕密壇之意。可觀羯磨金剛印界道也。而亦祕密壇成就壇。金剛界道之外。必具五色界道。大悲壇。獨只五色道也。而今只依軌文。金剛印道。并五色道。共觀之耳文

又云。金剛印遍嚴者。五色界道內。立羯磨金剛也。五色外四方有門。而不間斷五色文

中羯磨金剛。其上大蓮花

東別云。羯磨上有半敷蓮花（意義釋）其上有開敷白大蓮花王（卽中胎九尊位也云ゝ）

又云。其十字金剛印上。實作蓮花。仰半敷令此十字如花之莖。其花上又安八葉花文

帖決云。羯磨金剛上半敷蓮花安。半敷上開敷八葉安。此是因半敷上果地開敷也。卽八葉佛菩薩位也。彼祕密曼荼羅品。亦如是觀之（祕密壇也）但行大悲壇之法。初行ゝ者。不必知之。只羯磨上八葉觀。如儀軌文。今是義釋經文。外釋也。凡祕密壇中說。皆大悲壇通用。是義釋所釋也（可見之云ゝ）

妙色金剛莖。八葉具鬚蘂

具緣品釋云。妙白蓮者。此是衆生本心妙法芬陀利花文

不思議疏云。具鬚蘂者。恒者大悲也文

問。何故八葉而不多不少耶
東別云。有二義。一者〇凡夫心處自然而有八瓣。如合蓮花形。今但觀照此心令開敷。卽是三昧實而且便也。然其理者。若觀八葉之花。卽得與理相應。此八葉者。卽是四方四隅也。四方者卽是如來四智。四隅之葉卽是四攝法也 抄
又云。八葉者。單數歟。複數歟。答。單數無失。此且觀有情心分八葉爲入祕密藏之初門。若實證時。不必如是〇又複數無失。心分八葉。只是表示也。其實何全同祕密品釋云〇芬陀利迦花。可有百葉許〇是曼茶羅八葉者也 已上取意 以之可思。教時義云。邊有八葉。ゝゝ之下。有無量葉 文
衆寶自莊嚴。開敷含果實
谷道場觀記云。義釋云。又云花中安子者。謂臺蓮子。或十或過減亦無在 文
於彼大蓮印。大空點莊嚴
祕密曼荼羅品釋云。當以心想置九點。卽是臺及八葉中。各想一點也。此點卽是大空之證。此成正覺義也 文
帖云。大空點者。九位在之。白色曜光也
十二支生句。普遍花臺中。常出無量光
持誦不同云。其臺上想十二字者。私云。此十二字五佛種子。故頂以[梵字] 大日 布之。中央字首四向。初[梵字]安東。次第布之。[梵字] 彌陀 布西[梵字] 天鼓 布北[梵字] 寶幢 布東[梵字] 開花 布南。並以字首向外。卽是西北東南順行布之

谷道場觀記云。常出無量光。私謂此眞言王光餤耳 文 帖云。問。何故於中臺花臺布十二支字耶。答。如花藏界大蓮臺。以十二眞言王加持。卽爲花臺。卽法性十二因緣是也。故今中臺亦以法性十二緣起法門安布成就之也 文
百千衆蓮繞
不思議云。百千蓮繞者。化主坐 云ゝ
廣軌云。遍布於八方。想百千蓮花。當座衆座尊。不壞金剛座 文
谷道場觀記云。是總明三重諸尊所坐耳 文
東別云。廣軌云。衆聖座不思議云。化主所坐。可詳。又花嚴說。小香水海莊嚴中。有四天下微塵數蓮花。今私助顯云。此諸蓮花。或有衆聖所居宮殿所依。卽此名衆聖所居。或有寶階寶欄等所依。或有唯是海中莊嚴。問。宮殿所依何名座耶。答。梵網經云。我今盧舍那。方坐蓮花臺 云ゝ

此卽世界所依名座。故宮殿所依。亦名座無失 云ゝ
帖云。師曰。百千衆蓮繞者。是第七卷文也。彼第七意云。香水海中。觀八葉妙白蓮。妙色金剛莖 云ゝ。是一花藏界也。百千衆蓮繞。卽亦百千ゝゝ花藏界也。故不思議疏云。百千〇者。化主座也。又是第一二三重院諸尊。蓮水中繞也。諸尊卽各備大日報身之德。故一ゝ皆是花藏界主也。若於此界。此花藏界爲主。餘衆蓮爲伴。彼一ゝ蓮花界亦指彼爲主。餘方爲伴。是故主ゝ伴ゝ各不相見。主伴ゝ主圓明具德。是則十方臺葉。互爲主伴之義也。今傳法軌意。彼借水中衆蓮之文。今海中五古金剛莖上大蓮花藏界之臺上三重諸尊衆蓮座文。爲也。又說。今軌意。花藏界上中臺八葉并三重諸尊蓮皆圍繞。乃至十方世界各ゝ如此。花藏界一ゝ海中五古莖上。一大花藏界有。皆具中台及三重。如之不可說ゝゝゝ衆蓮繞也。是則不可說花藏界也。故百千衆蓮繞之文。師說有二說。是也。若一曼荼羅中台三重尊一ゝ蓮。別ゝ有水中者。行者行道旋繞爲之云。何供養諸尊通道。又如何師說若隨者。道場只是水中也 文
又云。有二意〇彼第七卷意。於大海觀之。大海之上。十方衆蓮圍繞也。今此傳法軌。借彼第七卷文。觀成一花藏世界之中百千蓮繞。其衆蓮者。一曼荼羅八方所在諸

尊蓮花也。衆蓮之間不隔大海。故彼此意
異也。不可相濫 文
又云。問。百千衆蓮繞。各有莖耶。師曰。不爾。
唯於大蓮上觀之云〻
又云。四重諸尊皆是花臺上實報土所居
衆也
東別云。問。中台八方蓮。有高下寬狹耶。答。
一往言之中台八葉高廣。八方諸蓮狹下。
主伴異故本迹異故因果異故。若初心觀。
高下寬狹顯然分明而已 文
其上須觀想。大覺師子座寶玉以挾飾。在
大宮殿中。寶柱皆行列
不思議疏云。大覺師子座者。師子者。能降
伏涅槃義也。寶玉者。能滿衆生願也。大宮
殿者。金剛法界宮 文
持誦不同云。義釋云。大蓮花上大宮殿中。
大覺師子座上觀曼荼羅 文
谷道場觀起云。私謂。或說此大曼荼羅。唯
在一大宮殿中。若依入祕密曼荼羅位品
意者。諸尊各有宮室殿堂。○若依此品意
者。大宮殿者。如王都城。非指一堂耳 文
東別云。此即經第七文也。廣軌云。須觀虛
空藏廣大寶樓閣。在大宮殿中。寶柱皆行
列云〻 自下大同。今軌○今此大覺師子
座文。當彼軌大寶樓閣文也○此文具意
云。其大蓮上有大殿。其中復有大寶樓閣。
○中有九尊壇。上有花座。其殿內樓壇花
座等總名師子座。雖有樓閣。以座爲本。今
見世間王者所居。於大殿中有床其上有

屋形者。法王○居嚴重亦○若不爾者。今
言師子座亦言寶柱行列。餘處或言樓閣
等。雖和會。言師子座者。義釋一云。釋論云。
佛名人○師子。其所坐處。若床若地若名
師子座。今此宗明義。言師子者。是勇健菩
提心 文 禾云。其可見彼
對記云。珍和上說○八葉一〻別立一柱。
以成八柱樓閣 文
又云。正僧正說。百千蓮花繞蓮花王。此花
王藏上師子座在大宮殿中 文
遍有諸幢蓋珠鬘等。交絡垂懸妙法衣
東別云。大殿內樓閣之莊嚴歟云〻
周匝香花雲及與衆生雲。普雨雜花等。繽
紛以嚴地。諧韻有愛聲。而奏諸音樂
谷道場觀記云。已上六句。明虛空莊嚴耳
文
入祕密位品云。無量樂器自然諧韻。其聲
微妙。人所樂聞 文 釋云。無量樂器。彌滿虛
空中。不鼓自鳴 文
宮中想淨妙賢瓶與閼伽寶樹王開敷照
以摩尼燈
谷道場觀記云。已上四句。明供養莊嚴耳
文
東別云。顯五供也。但闕無香花等。剩有寶
樹王。悉寶樹中備此等供具歟○祕密品
釋云。又以此花等遍周法界。爲一大樹。如
天意樹無異雨種〻花雲花香幢蓋等及
飲食物○又義釋云。或觀大寶樹王遍覆
一切世界。如花嚴菩提樹王之相具足莊

嚴。隨一〻須受用之具悉於中出。無有窮
盡○又略出經云。西方國王長者。以種〻
花香瓔珞裝掛樹王。布施一切。此名劫樹
文
三昧總持地自在之婇女
不思議疏云。三昧是定也。總持是慧也。三
昧總持即是地也○綵女者。般若智〻能
養義也 文
東別云。義釋云。花臺是實相慧。正方四葉
是如來四智。隅角四葉。是如來四行。鬚蘂
是一切三昧門。陀羅尼門。六度十八空等。
又祕密位品說。花臺八葉九尊了云。一切
蘂中佛菩薩母六波羅蜜三昧眷屬而自
莊嚴云〻 以之案之。三昧總持地者。彼蘂
中也。其中有菩薩。即大日衆三昧也。三昧
名女。其諸菩薩亦天女形。故云自在之婇
女歟。又細案此文意。彼三昧眷屬是嬉鬘
歌舞等類歟。故下云方便作衆伎等歟。彼
亦女形。故云婇女○問。此界何處。說內外
供。答。靑龍軌說。蓮花部曼陀羅中云。蓮花
燈塗香四攝內供養云〻
玄法三卷同之云〻
佛波羅蜜等。菩提妙嚴花
不思議云。佛波羅蜜。佛部眞言也。等者取
金剛也。菩提妙嚴花。蓮華部眞言也 文
東別云。佛者五智佛也。波羅蜜者四葉菩
薩也。菩提者九尊內證。即喩大樹王也。妙
嚴華者。歌舞等類。嚴彼內證之外用也。即
喩花嚴樹也○今雖舉佛波羅蜜。意所嚴

彼菩提歌舞類也。此中列供具、未說尊位故。又法花軌云。菩提妙花普散諸佛及諸大衆云〻。以之可思文

方便作衆伎歌詠妙法音供養諸如來

不思議疏云。方便者應機也。衆伎者能說也。妙法音諸尊眞言也文

東別云。私云。內證雖妙衆生不知。方便示現自受法樂相。令諸衆生欣安樂果文

禾云。凡東曼荼羅別卷意。今軌妙蓮王持花藏界。上更有八葉大蓮之文會。只一重蓮觀之。又大殿中諸尊。一〻別樓閣觀之。重〻問答。具可撿見之

三力偈

對記云。大和上記云。偈言住者。建立也○

別記云○言住者是建立曼荼羅之義文

普供養

大輪壇

金對記云。行和上說○以印納口者。是毘盧遮那體性宮故文

又云。空海和上說云。想納帝釋宮也。今依攝眞實經。大日如來諸尊海會皆在三十三天善法堂中。故有此釋云〻

三密抄料簡云。何故吸印。答。對記有云。所以吸印者。想以印納收帝釋宮。大和上○大日成道。先於彼宮說初會故○今私云。有先德云。以曼荼羅入己身之義也云〻此說可然。略出經云○次觀五部尊置彼輪壇上。次云。卽想彼輪盡己身。彼先德傳順此經意。納帝釋宮義似疎遠文

明胤抄云。問。用輪壇印明者。加持壇及尊。令成眞壇眞尊故也。故衆色界道後。可結此印故。廣軌在界道後。答。此印用處不定。今軌在界道前。廣軌在界道後。法花軌在觀壇及諸尊後。如此異說隨宜了輪壇之名。只在壇非尊。故今軌別可加持壇場故在界道前文

衆色界道

帖云。五色道是只界道緣也。非行道院。謂內院四門之外。有五色界緣。是非行道之院。問。爾者何云四方普周匝一門及通道耶。答。是非行道之地。只是界道。故云通道耳。問。爾者內院無行道院歟。答。無之。問。爾者行者或入內院供養中台之時。入何道耶。答。行者輒無入內院。又不見耳。卽以第一重佛室等。爲行者出入之際耳。但中台九尊供安時。越五色界。入通門。置供耳文

又云。五色界道通門之處。不絕之。而諸佛菩薩通門出入無妨。但行者內院不出入。故不越五色也

又云。其五色道。只是地之色也。謂或以五色米粉布之。或黏五粉塗之文

帖\云。五色具緣品。白赤黃青黑（五佛色也）奧品。白黃赤青黑（受第色也大文）

尊\勝軌云（長壽下無）第三院外緣畫五道白黃赤青黑。此表五佛頂五智之義

帖\云。胎曼院〻地色。內院黃色。第一第二重院黃白。第二重院黃黑也。表字色（抄云不表）（字色凡四重曼了）

（[illegible]）[梵字]黃　[梵字][梵字]白黃　[梵字]黑黃也

外院界道

帖云。其第一重院有三線道。或只白線也（不同云〻其行道供養外緣等隨一純色界白色）界云。有三線道。故分爲四分。內方第一分是行道壇也。卽行者之道也。第二分是置供壇也。第三分是尊位壇也。第四分是界緣也（如世人房室等有緣也）其第二重院第三重院之各三線道。爲四分亦爾也。其第一重之界緣間中台以五色爲界緣。第二重白赤黃三色用之。第三重只白色用之。門。第三重白色界緣之外。有飮食道。牡丹草之地耶。答。牡丹草之地。是現圖〻曼荼羅有之也。至地曼荼羅者。不安之耳

又云。大悲壇中台第一重。同五色界也。二重三色。三重一色也。而無別界道。只此衆色界緣云界道耳。只是周匝數地故也。如云三線道等也。又界道耳。而祕密成就三壇。於此衆色界緣之內際尊位之外際。立十字五古耳。而是觀作也。如建立之也。界道也

又云。第云重外。唯白色界道用之。謂是白性之色也。漸加行等。故三五色也文

對記云。海大德記。言衆色者。五大色。次第安布。言界道者。每第一二三院。次第安置金剛杵文

帖云。問。外三重院各以杵爲界道耶。答。諸佛說結五古印。誦[梵字]明（或云阿明）繞之。卽念五古爲其界道云〻

問。義釋意云。第一重

五色界道第二重三色第三重一色云〻
義釋經軌等不云三界杵道云何師曰軌
是結五古印誦吽明(或阿明)布其三重之五
三一色界也如內院五色界以五古印布
之此亦以五古布之也軌文金剛慧印眞
言者卽是以五古印𑖀字明布五三一色
等界是以五古金剛非爲界道　問爾者
何故諸師說三重界道皆用杵道耶師曰
是亦師說也唯是爲初行者際五三一色
道只用杵道○問法性記傳法記等云衆
色者五色是也界道者杵等也云〻若爾
者界道金剛慧印者猶是杵道歟師曰成
就壇五古連屬立之○又祕密壇羊連屬
立之云〻
又云諸師說三重院界五古云〻是立觀
之也金界或本一文臥安之歟文
帖云道場觀之時行者卽住花藏界上謂
蓮花臺也卽因陀羅網花藏世界也其量
無窮中心觀大宮殿〻〻中觀大曼荼羅故
其第三重院外上廂修供養法也文
觀曼荼羅
軌云觀彼中胎內(諸尊種子一〻分明安布光想圓光)
對云海說文云觀彼中胎內乃至圓光者
師說云圓光者卽月輪也
普光淨月輪淸淨離諸垢中有本尊形妙
色超三界綃縠嚴身服寶冠紺髮垂
具緣疏云以𑖀字門轉作大日身如閻浮
金如菩薩像首戴髮髻猶如冠形通身放種
〻色光被綃縠是首陀會天成最正覺之
幖幟也彼界聚天本質嚴淨不假外飾世
尊俯同其像祕釋如來妙嚴法爾無滅不
以外寶爲飾十住菩薩承佛神力見加持
身其於常寂如在羅縠閻浮檀金自性淨
色金剛智體最爲深妙放種〻光普門大
慧文
轉字品疏云其像聚白蓮花座上以髮爲
冠不加綵飾用極細綃爲下裙更用極細
羅縠輕細用爲上服肉色相映內現也身
作閻浮金色〻〻之深金極光瑩者是也文
寂然三摩地輝焰過衆電猶如淨鏡內幽
邃現眞容喜怒顯形色操持與願等正受
相應身明了心無亂無相淨法體應願濟
群生
三密抄料簡云有人釋此文云寂然三摩
地(寂然交寂形)喜(增益召攝)怒(降伏)喜怒(增益召攝)正受相應身(定印三昧身)
(寂用交)操持(增益召顚)(用印)(降伏接)與願(增益與願)印劍印(三昧味身印)
(伏耶用印降)○今撿祕密曼荼羅品○疏云顯
謂諸尊靑黃赤白等形謂聖立大小之事
色相貌也謂喜咲忿寂住之類○有云操
持等者說手印也與願印也等者取無畏
定印等也私云操持者持物與願等者手
印歟文
淸涼記云○喜者天等像也怒者金剛等
像也顯者佛菩薩等像也操持者刀杖等
也與願者衆生與願之相也正受相應身
者謂大日尊入定像也謂大日尊含融諸
形色是故云也(對記海說同也)以八曼荼羅眷
屬自圍繞(對云海云中院第一會四佛四菩薩文也淸涼記云)次東遍
知印(對云第二會)北方觀自在(對云第三會)南贍金
剛手(對云第四會)依涅哩底方不動如來使風
方降三世(對云第五會第二院)四方四大護(對云第六會)初
門釋迦文(對云第七會第三院)第三妙吉祥(對云第八會)南
方除蓋障(對云第九會)勝方地藏尊(對云第十會)龍
方虛空藏(對云第十一會)及蘇悉地眷屬(對云第十二會)
護世威德天(對云第十三會第四院)次第而分布文(上已)
軌文
對云海大德說○師說云○始自中台大
日如來至于第三重院諸尊其一〻種子
○一〻三昧耶形一〻尊形像一〻月輪
等各〻分明安布曼荼羅中○是最上阿
闍梨觀法○若有不堪如是觀者於月輪
上觀置𑖀字以爲諸尊一〻種子想從其
字放金色光照餘一二三重院尊卽時𑖀
字變成諸尊種子次變諸尊種子以成諸
尊形像諦想四重曼荼羅諸尊種子皆悉
分明○其種子色隨諸尊色各〻種〻一
〻形像應知亦然阿字是一切法之本母
也此字具一切法出生○一切(一切心法)色法故以
此一阿字而爲諸尊種子于時隨阿闍梨
意觀則彼四重曼荼羅一〻本色形像皆
悉現列則有十三大會○或云可云十三
大院而不可云十三大會
帖云具緣品有十一院○轉字品有十一院
○大儀軌中更加二院爲十三院○云〻
意大德說鈍根阿闍梨中台外皆觀月輪
於中台院有一𑖀字放黃金光照諸尊位
幷以種子次中台院𑖀字變成大日如來

此佛放金色光照三重院諸尊種子變成
諸尊形像
權僧正大和上說惠和上說鈍根阿闍梨
於中台月輪觀一𠃉字〻放金色光照於
諸尊月輪應光變成諸尊種子（禾云今記）如一
〻月輪必有蓮花上觀種子文私云上來
觀行諸師不記印相因之諸問大和上大
和上答云可用本尊印明若觀大曼荼羅
可用一〻尊印明也抄
具緣品釋云一〻諸尊皆用本種子字或
以諸部通用字如三部阿娑縛等若恐淺
阿闍梨不能如是速疾旋轉者但觀阿字
門生無量光〻所至處即現彼尊身也文
又云凡諸尊聖者皆面向大日文
明胤抄云問眞言宗意明一佛一處一會
義而何明三重諸會差別耶答義釋云此
會中都無具惑眷屬但爲未來說入於修
法文即知約大日雖明一處一會約未來
化說諸會差別歟云〻
行法間阿闍梨住處事
東別云問行者住何處作此觀耶答具緣
品疏白檀曼荼羅位中云正西是通門處
阿闍梨所住修供養瑜伽處也云〻但經
云持誦者思惟而住佛室疏云在二明王
中間（私云不動降三世）名爲佛室云〻是行者住處
也　問彼是塗壇時之事也作意以後不
可住本尊壇中又彼中只說中台第一重
不說餘二重故不可以彼文而判行者住
處也故彼疏即云至畫曼陀羅竟時阿闍

梨移座位出壇門外當此佛室置所樂尊
或置般若經數珠杵等云〻若爾畫曼荼
羅竟常住何處耶答所難可爾但今世學
者以此爲行者住處故且作此說然彼疏
云正面是通門阿闍梨住處故知彼文意
次正面通門爲行者住處也若爾畫竟雖
出門外正西通門爲行者座故疏第十三
云造了時阿闍梨先在門外座〇又私云
此是立作畫作時之事也立畫處狹故順
事相故不可住本尊壇中故畫竟移座若
觀作時心境無礙又親對大日作不二觀
故隨便宜亦可得觀住彼佛室　問經第
七卷意云中置大日若釋迦於佛右蓮上
當觀本所尊（不思議云得菩薩本抄者自本尊也）爲左置執金剛
等前後花臺中一生補處等右邊花座中
眞言者所居不思議云眞言者所居者於
畫像地右下角也云〻若住正西便違彼
說答直住正西面向大日奉事觀念能得
便宜而云邊角未詳其旨試會云案彼經
疏意云佛右邊置本尊菩薩若依此意即
令行者正向彼所尊故云右蓮置本尊右
角坐行者歟此舉一端若大日爲本尊猶
可住正西也　問何故云右邊本尊答世
人多念觀音故云爾歟 頭註（自下第四召請諸尊者前觀布理性）
（性曼陀羅次請諸尊入心所反理曼陀羅淨治如來降臨之次）
治路
阿修羅軍爲防天帝四天下空中悉張鐵
網仍諸天召請之時以此印明淨治來臨
之路云〻

阿閦軌云行者持香呂即治虛空道眞言
誦三反烏瑟沙摩軌云空中有關鍵及障
難皆除文
成不動身 頭註（請佛之時諸魔從來故先觀現此威猛相歟將召請先驚覺佛有此法二）
靑云謂行人從初發心守護增長令成佛
果終不退失不墮在非道中
振鈴
軌云欲請聖賢次先用鈴杵文
三密抄料簡云有人祕決云以杵三擲表
令諸衆生超昇三地〻〻者一歡喜地（超初）
（僧祇）二第八不動地（超第二僧祇）三如來地（超第三僧祇）
以鈴心前五度振舉驚覺五趣衆生無明
醉臥令證入如來五祕密門也左耳三振
覺悟三有衆生令證三解脫門也文
對云大和上傳師說云鈴聲觀般若空義
出金剛界振鈴處文
勸請
攝軌云菩薩大心衆及惡思衆生隨召皆
赴集文
靑云此鉤印能召十方諸佛菩薩集會道
場滿足十地位況餘八部未生善心者而
不來至耶能召諸佛大功德海文
蘇悉地三部心
對云海說〇或用三部心眞言印用召請
也私云〇意大德說無三部心印〇又儀
軌中亦有可用部心之文玄法寺兩卷儀
軌注云或三部心請而爛脫本無此注文
文
廣心記用三部心文

大原決云。三部勸請必用之云々
索
鎖
鈴
遣除從魔
示三昧耶
花山記云。辟除從魔已了。恐衆（歟）生（本）與彼紛
作示三昧耶。令歡喜留住 抄
閼伽 〔圖註〕（如人遠來先洗足也）
軌云。次當淨一切佛〇（佛本）所生子 文
鼎心記云。佛口所生子者。師曰。諸菩薩
等
軌眞言住云。二十五反不動 文
靑注云。不動尊加持二十五反 文
法性別記云。結刀印。誦不動眞言二十
五反。加持水獻之（故文注云二十五反不動文） 淸涼記
意同
二\十五反非云不動加持反數閼伽眞
言事也。不動以不動加持云也。其意見
供養法云々（同江師）
禾勸七卷云。閼伽眞言（當誦二十五反以不動印示之）
要略念誦（菩提金剛文）云。用不動印。加邊器。
誦以此明（眞言云閼伽示也）二十五反
智證在唐記云。獻閼伽水者。二十五反。
以不動故加持云々
問。三五七反乃至百八反常事也。二十
五反如何。答。是又一反數也。蘇悉地軌
上。三部心眞言皆作（廿カ）二十五反
大師以不動刀印。加持之事。不用之。其故

今記文引載傳法私記文。件記無前方便
之故。至供養之時。用加持而戒壇僧都以
後。引用蘇悉地前方便。故前方便之時。種
々加持了。至此處。重不可加持之歟。如此
得意故。後閼伽不用加持注。知已前加持
了。重不可用之云事云々。但強不可定執
云々
花座 〔圖註〕（如人洗足大著座歟）
善來偈 〔圖註〕（第五成身結界者。迎請已了。將修供養於此中間有此法。欲作金剛事業先作事業）
除障加護 〔圖註〕（金剛薩埵）
成事業身
對云。轉大日身。作執金剛身印 文
帖\云。問。胎記振鈴前。成不動尊。一云何花
座之後。將大日成薩埵乎。答。文在轉阿爲
轉文殊人師赴此文云。大日爲薩埵也。猶
是指前五輪成身大日云爾也。問。頂上[梵字]
心上[梵字]心何。答。[梵字]薩埵字也。頂相也云
或云。了爲展供養成事業身者。閼伽供養
以前可有歟。師云。閼伽六種供養云時供
具也。五供養除之。屬勸請也（大原決可見。據盛光之文）
被甲 〔圖註〕（作金剛薩埵。次被金剛甲）
疏八云。阿闍梨云。作如來身時。用如來甲。
作金剛身時。用金剛甲。當轉換用之云々
（被甲了）摧伏諸魔（對魔印云怖）
靑云。如來菩提樹下。以此印摧伏諸魔 文
〔圖註〕（次伏魔降魔了次結界）
難堪忍（三要略念誦釋云降三世祕密明印文）
靑云。謂從初發菩提心。乃至成佛不令間

斷不退菩提。卽大界儀也云々
東別云。問。下言結大界者。結何處耶。答。私
准云。總結花藏界歟 問。若爾云何先德
云結三千界耶。答。未詳其意。隨宜用意歟。
有云。近三千界。遠無邊際。又其所（言カ）三千界
與花藏界同異難知。對記云。大和上釋。若
准法界尼吒義者。可云法界三千大千世
界也 文
要略念誦經云。此明印力。十方三界悉能
堅護 文
四方四大護 〔圖註〕（結界了。四護者。前難堪忍一人普護十方三世。今四大護各護一方）
智證大師在唐記云。四方大護。此四天王
化身。其位自須對坐。此佛四神足也 文
明胤抄云。四大護與云。是四大天王密名
云々。或云。守護法界道場四邊。每方有一
執金剛神。住妙高山四角峯。五大尊。或文
云。地水火風。爲四大護云々
三密抄料簡云。四大護印。有師說。未得本
文。廣軌并今軌。明持物種子。諸師所傳印。
東方棒印。北方劍印。卽彼尊持物也。西南
何用別印哉
有人云。西方降難者。如來索爲勝。故難降
伏護用索印。南方爲名同種子同。故用無
堪忍印 抄
鼎心記云。無畏（印）普光壞諸怖（摧伏魔印）諸難降
伏（難堪忍印）無堪忍（無堪忍印）抄
問\東北西南用意如何。答。左迴結護心也
云々

帖云、四大護逆迴、謂降伏意也、卽辟除意〻、是也云〻

門〻二守護 〔頭註〕大護大扰小護者敵

無能勝守護 梵號難破、天竺云難勝金剛、對云海說不可越守護文

相向守護 梵對面天推敵、軌云不空金剛

智證在唐記云、門〻二守護者、亦是四天王、四大護等化作之、定慧力用也

青云、此二守護、威猛熾盛故、如百千日、無敢視者、常如來內門而奉敎、令一切魔不能燒亂

閼伽 〔頭註〕第六供養讚歎或說、初閼伽以前方便了求、當供養然讚摩法欲先以讚歎、今亦准之

對云、珍和上說、此處閼伽不用之文

帖云、又說云、通途供養法、三度閼伽獻之、初度洗足也、此有二說、或捧器想洗兩足、或器盤滴水傾入之、左取盤也、此說懸兩足意也、次度澡浴也、大闕作法、浴水之後、身塗香故也、最後閼伽漱口也、食後漱口也 四度閼伽中、二度共浴水也、共用塗香等故也云〻

或云、丁四度閼伽、後供養前、閼伽奉處、爲私事、謂塗香之前也云〻

塗香 〔頭註〕大師花燒燈、此六次第有云、如次表檀戒忍禪進

花鬘

江師云、胎佛飾也、金內供養在鬘外供養、散云〻、仍東寺散之、以之爲例、胎散之、無謂事也云〻

燒香

飲食

燈明

普供養 〔頭註〕前依本相別供、其初此以觀念總供一切供養、由功德故也、故供次歎德也

讚

對云、私云、見大和上見行之法、唯用大日小讚、其小讚本但是口傳、未見經文、然玄法寺儀軌兩卷儀軌、出此小讚、又其大讚出大日經第七卷中、及金剛頂四卷六卷本經幷唐翻、今玄法寺兩卷三卷儀軌、出其梵文、慈覺大師傳其詠曲、又出小讚、亦有慈覺大師及珍和上幷正僧正三家詠曲、讚岐守說、慈覺大師此處傳大日小讚也、但珍和上以此小讚爲法身讚、更加報身應身二讚、傳三身讚、幷有四調云〻

攝\大軌下卷十號讚有口傳云〻、然何答第五句三反誦之云〻

入本尊觀

對云、珍和上說、入定時不閉目耳、而乍開日入定也、無有閉目入定之樣文

帖云、兩界念誦前、三摩地重不成身、只觀我身如本尊、同坐曼荼羅也、謂胎界先已成大日身已、又更將念誦之時、四處輪布字用之、故又卽大日成身也、故入三摩地時、重無安種子事也、金界亦五相成身先已、故重不用之云〻

智\泉云、布字八印修之、而以大日爲本尊之時、入三摩地根本印、不用之、別尊之時、可用之歟云〻、穴口同

根本印

大原決 要染王帖 云、有三部率都婆印、佛部無所不至印明也、蓮部觀自在軌大劍印、并五字明也、金部瑜祇經序品〇率都婆法界普賢一字心密言曰、偈文云、普賢三昧耶、屈進力如鉤、如鉤檀慧禪智合也 五古 此三印、各於彼部、枝念大日、用之耳文

又云、無所不至、名率都婆者、五輪相累故也、謂塔以五輪成也文

智\流云、問、何故名率都婆印乎、師五輪如次重故也、仍大指可押風也云〻

加持珠

念\誦轉法輪儀式也、三部數珠印、三身說法印也、空水相捻 佛部 空火 蓮部 空風 金部 也云〻

正念誦

帖決云、念誦間、字道觀用之、謂本尊心月、連眞言字、一〻分明字義、而我心月、亦觀而念誦、卽彼尊心月字、從尊口入我頂、連我心月、從我口出、入尊足、連心月、如之相續、而念誦畢時、眞言字、尊心月上奉預本尊也、或本尊右邊觀部母、納入其眞言字云〻、凡眞言行者、數息成就人故、如之觀諸字、心無散亂也、而瑜伽未熟人、如之明諸字甚難、故胎藏先觀種子〻〻、熟更加觀一字、次熟亦加一字、乃至盡一眞言、分明觀之、故胎藏諸尊之初、安種子字也、或疏意云、灌頂爲聲云〻、謂先本尊心月眞言字觀之、其字卽從尊口出、灌我頂、卽我身入納、如之從心月中無盡、如寫水無窮、同眞言字、百千萬相續出、灌頂入我身、卽消滅罪垢云〻、於我心不觀月輪、唯灌頂

爲入身也。初心入是佳矣。又唯種子尊心月觀。如前字道。從尊口〇入我頂。住我心月。從我口〇入尊足。觀云々。又義釋有字輪句輪〇者。唯一字觀之輪者。或一字本尊瑜祇輪轉也。或只不轉於尊心月觀之。而輪者輪摧破之義也。破業障也。句輪者。如前字道觀是也。念誦之後。修三摩地念誦。謂於我心月運居眞言字一々。觀字義也。順逆觀之。或唯種子一字觀之文

還珠法

頂戴。念珠意也云々

入三摩地　根本印

帖云。入三摩地。并入我々入觀。大法不云之。本文不出之。但是人師意樂也。又是爲初行者所用也。或行隨行法。或別尊法。修者爲所用也。但正念誦之間。字道觀是所最要也。故大法阿闍梨供養法諸會等擧後。直加持念誦。入正念誦耳。又別結根本印明。是爲初行者所用也。爲修別尊法者也。爲隨行者也。大法阿闍梨前諸會中大日印明既結。故重不用大日根本印明。直入正念誦。用字道觀耳。而兩界私記等多隨人師意樂。唯隨行等法。用根本印明文

部母印（圖註）（所修功德散失。部母不令滅沒）

成事業身

帖云。後五供養。前成事業身。謂金剛薩埵印明也（如前五供養印明）　又或不動刀印結護。次成事業身。此結護。成事業。是一具故用之云々

五供

普供

讃

閼伽

帖云。後鈴前閼伽。是漱口也（如天竺世儀。食後漱口也）

振鈴（圖註）（事了欲送。故先驚覺。疏云。普令法眼道久住於世。又遍法界無不流通。將還時驚覺。新請令法久住世。人送客之時。最後結至要之事）

發願

加持句

慮心記云。文云。常念恩德有三恩德。謂三寶恩德。後眞言中。勃馱薩底也縛（是念佛恩）達磨薩底也縛（是念法恩）僧伽薩底也縛（是念僧恩）文

帖云。加持句明。結願之時。迴向之後用之。但每日長時自行。每持用加持句。奉送解界等文

解界（圖註）（新了將送。故解界也）

示三昧耶（圖註）（解界將送。恐諸尊爲無等大誓之所留止。故還示三昧耶）

總佛

奉送（圖註）（將還故陳意慕渴仰之聲。如人送客時。表慇懃期後會）

或云（晚良）勝地。阿闍梨奉送花取左方（左注同）。永意阿闍梨云。此方取刀云々。私案云。若兩界別修者。辨理智可取花歟云々。教師取右方花擲之

祕藏記云。投花佛位。是常樂我淨。是則解脫位。當觀想以我覺心花。致解脫地。與作是觀。投花共諸佛還入作法界定文

帖云。曼荼羅聖衆奉送之時。即還入心源之謂。以心觀作曼荼羅。故我心即是本也。故還入之耳文

入佛三昧耶（圖註）（聖衆去時。恐魔界來。故護身也）

法界生

轉法輪

被甲

對云。海說三密護者〇結此四印。誦四眞言結護自身。令堅固也文

九方便

隨方迴向（圖註）（以所修善根迴向菩對願歟）

帖云。諸次第等。奉送解界等之後。有隨方迴向也。謂每時解界奉送之時。全依此說耳。若期日者。不用解界奉送。故振鈴等之次用迴向也云々

二義共有。謂本尊道場御坐之時。可用迴向。仍振鈴次用之云々。解界奉送等。猶功德中也。故皆行法了後。用迴向云々

本云

弘安元年十二月十六日於黎州禪房

書之　一校畢

享保九辰年同年年於出雲寺書寫校

合了

阿娑縛抄第二十二　胎記諸會　本

遍知印 一切諸佛心印也 金剛合掌

曩莫三曼多沒馱南暗薩縛沒馱冐地薩怛縛訖哩捺野儞也吠奢儞曩莫薩縛尾泥娑縛賀

（梵字）

對云。海說。一切佛心。亦名遍知印。佛坐道樹下。持此降四魔。故名遍知印 文

又云。正偏正說〇凡八葉如來自證所爲。化一切出一切佛位。卽遍知位也 文

虛空眼明妃 又名集師佛母 文云佛眼印

虛合。二地開竪。二風相著火背第三節。二空並竪

唵識ゝ曩縛羅落訖叉儞識ゝ曩三迷曳薩縛覩嚧駄多避娑羅三婆攞入縛攞那目伽難娑縛賀 有歸命

（梵字）

一切菩薩

金剛合掌

迦薩嚩他尾嚰底尾枳羅儜達摩馱睹湼左多三ゝ訶娑縛賀 有歸命

（梵字）

對云。海說。七俱胝印。大勇猛印。大安樂印三尊用。一切菩薩印明 抄

㊟已上第二會東方遍知院

北方觀自在 高記云部主

八葉印相如開敷蓮華

娑薩縛怛他蘖多縛路吉多羯嚕儜摩野囉ゝ囉吽惹娑縛賀

（梵字）

多羅 對云。海說。多羅法性妹也 別記卽云。阿此云陀。抄之因緣

內縛。二風竪並合之

耽羯嚕奴嚧婆吠多隷多哩尼娑縛賀 有ゝ

（梵字）

毘俱胝 不空羂索云。毘俱胝天女 下云。眉下 文

前印。二風端相交 帖云。花山記云。右押左 初節 文

勃哩薩嚩婆野怛囉散儜吽娑叵吒野娑縛賀 有歸命

（梵字）

得大勢

虛合相如未敷蓮花

三髯ゝ索娑縛賀 有ゝゝ

（梵字）

耶輸多羅 禾云持稱名疏五云。釋義 文

虛合。二空並入內。二水屈入內背相著。二風屈著空上。二頭指相去如穬麥許 二風大指上節付之云ゝ

瑛野輸馱羅野娑縛賀 有ゝゝ

（梵字）

白處尊

虛合。二水二空入內

半怛他蘖多尾灑野三婆吠鉢娜摩忙[illegible]儞娑縛賀 有ゝゝ

（梵字）

馬頭

虛合。二水入內背著。二風屈端不著。二空並立勿著風

唅吽佉娜野畔惹娑叵吒野娑縛賀 有ゝ

（梵字）

地藏

內縛。地水空並竪合

訶ゝゝ索怛䋲娑縛賀 有ゝゝ

（梵字）

帖云。觀自在院有地藏ゝゝ菩薩。屬蓮華部意也 文

㊟已上第三會北方觀自在院

東第三文殊

虛合。以二火各押二水甲。二風屈捻空端

瞞係ゝ矩摩羅迦尾目吃底鉢他悉體多娑摩羅ゝゝ鉢羅底然娑縛賀 有歸命

（梵字）

所顧文

光網

定拳舒「風」作「鉤」形 不苔之
髯係〻矩摩囉忙野薩多娑縛娑縛悉體
多娑縛賀 有歸命
種子 呼 召 童 子
法 如幻 知一切 自在 住
寶冠 圖註 心當
外縛。二風作「寶形」用「一切菩薩眞言」 如前
無垢光 圖註 不召之
定手立向「外」少屈如「蓮花」慧拳如「常」
係矩忙囉尾賓怛羅蘖底矩忙囉摩野娑
摩囉娑縛賀 有〻〻
呼 子 童 〻 種 行
子 童 所 願曰 昔
計設儞 自下五使者 文殊五
刀印。定拳置腰
枳㕧係〻矩忙哩計娜耶壞難娑摩羅鉢
羅底然娑縛賀 有〻〻
子 種 召 呼 子 童
願 與 念 憶 願 本
烏波計設儞
慧拳直立火以空押地水風三甲。定手置
腰
儞哩頻娜野壞難係矩忙哩計娑縛賀 有
〻〻 子 種 牢 智 呼 童
女
地惠 亦名財惠 青龍軌云
定拳直立地水以空押火風甲。慧拳如常
馴哩係娑摩羅壞難計都娑縛賀 有歸命

子 種 呼 念 憶 智 憶
質多羅童子
慧拳直立風指。定拳如常
囉弭履娑縛賀
召請童子
慧拳屈風召之。定置腰
阿迦羅灑野薩鑁矩嚕阿然矩忙羅寫娑
婆賀 有〻〻
子 種 招 切 作 敕
義釋四具縁品云。五使者 指此身 一名髻設尼。二
名優婆髻設尼。三名質多羅。四名地惠。
五名請召○各持文殊一智 文
同七云。五尊各有一奉教者 文
不思議童子 此一人文殊之五種奉教者
內縛。二風立合屈第三節。二空並立
阿尾娑麼野儞曳娑縛賀 有〻〻
子 種 願 滿
已上第八會東方文殊院
左方除蓋障
虛合。二地水入內背相著。二火風作「寶形」
阿薩怛縛係多弊嗢蘖多怛藍〻〻藍〻
娑縛賀 有〻〻
子 種 情 有 金 利 起 發生
如垢 垢 無 無
除疑悔 對云海戲亦名栖都揭羅菩薩除疑 亦除垢常斷一切衆生疑怪也 文
內縛。二火空立合。但屈火第三節。如劍形
訶娑難尾麼底掣諾迦娑縛訶 有〻〻

種 寧 慧 無疑 斷 截
施無畏
舒慧掌向外。左拳置腰
囉娑難阿佩延娜〻娑縛賀 有〻〻
子 種 無 味 長 無施
帖云。有三說。一如金界寶生羯磨印。而
稍高舉之。一右五指申仰當肩上高舉
之。謂舉五趣也 五指是也 一右五指申小屈
形當右肩上。掌向下如打物勢耳。謂打
破惡趣也 文
除一切惡趣 破惡趣菩薩
右手舒五指掌向上。定拳置腰
花 此性同 山記云。仰掌以五輪端當肩。指於身
後向上 文
特懺娑難阿毘庾達攞捉薩怛縛馱敦娑
縛賀 有〻〻
子 種 碎 衆 生 衆
界
救護慧 青龍軌云。亦名哀愍 慧種子中云。賢護
右手掌橫覆心。空竪向上。定手如常 圖註
其印正近身
尾訶娑難係摩賀〻〻娑摩羅鉢羅底然
娑縛賀 有〻〻
之子 種 召 呼 大 念 憶 願 本 安 樂 令 得
中大
大慈生
右手竪臂。舒五輪向外。火空相捻。如持花
之勢。定拳如常
詔娑縛制始嗢駄多娑縛賀 有〻〻

子(梵)種　白(梵)　心(梵)　生(梵)
悲旋擱悲念悲愍者
（對云海說此菩薩捻圖及梵號未見之悉曇讚文）
右手横覆心以火指屈指心定拳如常
（並性同）對記海說指心三度云〻
闇迦嚩倖沒麗眤多娑縛賀有〻〻
子(梵)種　悲(梵)　愍(梵)
除一切熱惱
右手舒仰指末垂下
盜係縛曩鄉縛羅鉢羅鉢多娑縛賀有〻〻
子(梵)種　願(梵)　與　得(梵)　先〻
不思議慧菩薩
右手空風相捻如持珠之勢以印先向上
夾向外
印末向左當心仰掌夾向外也云〻
〈圖註〉向上之時指仰之夾向外也
（並性同）高記云移印當右肩掌向外也文
汚薩縛捨鉢哩布羅迦娑縛賀有〻〻
子(梵)種　切(梵)　一　願(梵)　滿(梵)
(梵)已上第九南方除蓋障院
北方地藏
內縛二火直立不相著
訶〻〻尾娑摩曳娑縛賀有〻〻
業(梵)三因　有(梵)　希
寶處
右水火風直立如三古以空押地甲定
拳置腰
淸涼記云竪臂向外文
難嚩係摩訶〻〻娑縛賀有〻〻

子(梵)種　召(梵)　中(梵)　大大
寶手（對云海說寶掌菩薩亦名）
慧拳以空押地火風甲水直立以印向外
定拳如常
杉羅怛怒嚕娑縛娑縛賀有〻〻
子(梵)種　出(梵)　生(梵)
齊軌云寶從手出聖者從寶而生從何
寶而生謂從菩提心寶而生文
持地
卽持地印（軌云二手金剛印文　記云蘇悉地三部金剛部印也文）
唵達羅尼達羅娑縛賀有〻〻
（唵字二十附說獻而義釋云第五字也附說者ク厶宜獻）
子(梵)種　地(梵)　持(梵)
寶印手
外縛五貼印
唅羅怛曩儞𡀔多娑縛賀有〻〻
子(梵)種　寶(梵)　生(梵)
堅固意
前五貼印以風著火背以空置風本
敎縛日羅三婆縛娑縛賀有〻〻
子(梵)種　壞(梵)不（從金剛智印生）
(梵)已上第十會北方地藏院
西方虛空藏
虛合二風屈置二火本二空屈入內（文云大慧刀印者是也）（二風端少屈）
去也云〻
伊阿迦奢三摩多㝹蘗多尾質怛藍縛羅
達羅娑縛賀有〻〻
子(梵)種　空(梵)　虛　寺(梵)　得(梵)

釋(梵)　色種〻　衣(梵)　著(梵)　被
虛空無垢〈圖註〉三說中初說是也　谷記注云無垢逝
虛合二風屈捻二空端
懺識〻蘖阿難多思者羅娑縛賀有〻〻
子(梵)種　空(梵)　虛　量(梵)　無　行(梵)
虛空慧（谷記注云發意轉輪）
先轉法輪印（當高心記云）
陵斫吃羅嚩喇底娑縛賀有〻〻
子(梵)種　輪(梵)　輪(梵)
蓮華印（谷記注云慈悲觀音悲）
普印
俱縛隷野娑縛賀有〻〻
淸淨慧（谷記注云生念處）
法螺印當口
𩒐升達磨三婆縛娑縛賀有〻〻
子(梵)種　法(梵)　生(梵)
行慧（谷記云不空鉤觀自在也　高西同）
八葉印（當高心記）
地藍鉢納摩阿攞野娑縛賀有〻〻
子(梵)種　花(梵)　蓮　藏(梵)
安住慧
二手合六指端開稍屈二地二空相著屈
之
吽壞擊納婆縛娑縛賀有〻〻
子(梵)種　智(梵)　生(梵)
出現智（亦名悉地大輪也　文云蘇悉地茶者大輪羅）
普印
南縛日羅悉體羅沒㗚布羅縛〻怛摩滿

怛羅娑羅娑縛賀 有ゝゝ

執蓮花杵 花山記云、即不空鉤菩薩異名文

普印

縛日羅迦羅娑縛賀 有ゝゝ

檀

右仰火空相捻、仰掌垂下、置右膝上、左手
如前印置心上
ム云、右掌仰置右膝上、左手小向外當
心也云ゝ
或云、了智泉云、不付膝云ゝ
對註云、海說、右手〇表施他、左手〇表自
持、先自持、次施他文

唵娑誐縛底娜曩地跛帝尾娑嚩惹布羅
駄野娜難娑縛賀

戒

內縛、二空並竪 頭指下並立之云ゝ 已下准之
唵試羅駄哩捉婆誐縛底吽郝

忍

內縛、二空二風並立
唵娑誐縛底乞鏟底駄哩捉吽發吒

精進

內縛二風開立不相著、二空並立 圖註 風二一寸許開之
唵尾里耶迦哩吽尾哩商ゝゝ莎訶

禪

法界定印
唵娑誐縛底薩縛幡跛賀哩捉摩賀奈底
曳吽ゝゝ發吒

慧

梵夾印當心
唵地室哩輸嚕多尾惹曳娑縛賀

方便

以二地水各握空、二火背並竪、二風側相
柱、以印每誦三反進去 圖註 指進去前後 名船印
唵摩賀母怛羅即帝娑縛賀

願

施無畏印、定拳如常
唵迦嚕捉ゝゝ賀ゝゝ檬

力

內縛二空風火立合
唵娜摩頼母儞帝吽賀ゝゝ吽𡁂

智

外縛、二地竪少交、二火直立合、二風圓相
柱
唵麼ゝ枳攘曩賀哩吽娑縛賀

已上第十一會西方虛空藏院

金剛手

內五古印
曩〇敉唵縛日羅播捉縛日羅薩怛縛吽

忙莽雞 亦云發生金剛部、不空羂索部云、唐云我ゝ文
內縛、二火竪合、二風竪屈、當火背不相著
曩〇敉怛哩吒ゝゝ惹衍底娑縛賀
江師云、我ゝ所覺、即忙莽雞也、部母儀
我ゝ所爲本、無量儭見生也、如是自忙
莽雞生諸金剛也、是師案也云ゝ

金剛針 金剛鉞

內縛、二風立合如獨古
曩〇敉薩縛達摩儞嘌吠達儞縛日羅素
旨縛羅禰娑縛訶

金剛鎖 對云、商羯羅、亦名金剛鎖文
即鎖印
曩〇敉吽滿駄ゝゝ野吽吒ゝゝゝ野縛
日羅娜婆吠薩嚩怛羅鉢羅底賀帝娑縛
賀

忿怒降三世 亦名月黶尊
合掌。二水外縛。二風散舒稍屈之。如五古
印。屈二空著二風本。二空少不相合。
曩○敕紇林吽泮吒娑縛賀
種子 怖 恐 呵 吒
虛心記云。此金剛在佛額毫相而生。故
以爲名。毫相明淨如滿月。故號名月黶
也文
一切持金剛 亦云手持金剛
持地印
吽々々發吒々々嚕々娑縛賀
呵 吒 嚕
金剛拳 亦名金剛拳
內縛。二空並竪。二肘並合。以印槩右。如打
物之勢
曩○敕娑怖吒耶縛日羅三婆吠娑縛賀
散 剛 金 生
一切奉教金剛
內縛
曩○敕係々緊旨羅拽徙疑哩假拏々々
々々佉娜々々鉢哩布羅野薩縛緊迦羅
敕娑縛鉢囉底尾然娑縛賀
召 呼 速 作何 不
食 滿 無
奉 教諸 立 願本 所
㊟已上第四南方金剛手
西方般若菩薩
梵夾印
唵地室哩輸嚕多尾惹曳娑縛賀

不動
慧拳。地風立開空押水火甲。風之端指定
掌。五指散舒覆慧。左右三轉 也云々 左手小轉
曩莫薩縛怛他蘖帝毘藥薩縛日契毘藥
薩嚩他怛囉吒贊拏摩賀路灑拏欠佉呬
々々薩縛尾覲南吽怛羅吒憾給
或決云。西塔 普無畏三卷軌用刀印。法全
軌用火界印云々
勝三世
五古印 法性記云。外縛 花山記云。內縛文 庶心記同
曩○敕訶々々尾娑摩曳薩縛怛他蘖多
尾灑野三婆吠怛隸路枳也吽尾惹也吽
惹娑縛賀
喜 行 一
如 來 坎設 界 三 切
世 三 勝 降 殷
大威德
內縛。二火竪合
曩○敕唵訖利瑟穻利尾訖哩多娜曩吽
薩嚩設咄喻娜捨野薩擔婆野々々々々
娑叵吒々々娑縛賀
種子 切 怨摧 家伏 一 怖 恐
切 一 家 怨 禁
心
㊟已上第五會西南不動院

第三院初門釋迦文
左手仰掌橫置心上。右手火與空相捻。地
直竪。水風竪少屈之。立臂向外。此說法印
曩○南麼薩縛吃里捨涅素娜曩薩縛達
麼縛始多鉢羅鉢多識々曩三摩々々娑
縛賀
種子 切 一 伏
切 一 法 白 在得
礙 無
遍知眼 又名能寂母
內縛。二火竪合。二風當火背少不相著
怛他識多作乞蒭尾野縛路迦野娑縛賀
有々々
來 如 眼 觀
毫相
慧拳以風節置眉間。定拳如常 ム云。正不置之唯指上也
縛羅泥縛羅鉢羅鉢帝吽娑縛賀 有々々
與 願
一切諸佛頂 對通云。大和上云。一切諸佛之頂者。頂是名也文
勝之義文
慧手五指端一所集。以端置頂上。定手如
常
ム云。正不置之。仰印低頭。少指上也云々
鑁々々吽々々泮吒娑縛賀 有々々
種子 縛 無 得 三寶 離三因 生 不
五佛頂 初白傘蓋
慧拳直舒風柱定掌。慧風如莖。定掌如蓋。
以印當口
帖云。拳面向左云々

藍悉怛多鉢怛羅鄔瑟尼灑娑縛賀有ヽヽ
白㊥ 蓋㊥ 頂㊥ 佛
勝佛頂
慮合。屈二風縛捻空端
苫惹欲鄔瑟尼灑娑縛賀有ヽヽ
子㊥ 種 勝㊥ 頂㊥ 佛
最勝佛頂
先轉法輪印
施尾惹卻鄔瑟捉灑娑縛賀有ヽヽ
子㊥ 種 勝㊥ 最 頂㊥ 佛
光聚佛頂 青云。如ヽ無垢火輪。即是如來聚。能除ヽ暗。悉皆無文
慮合。地水內交。二風置中指背。二空並立
怛陵帝儒羅施鄔瑟捉灑娑縛賀有ヽヽ
子㊥ 種 聚㊥ 光 頂㊥ 佛
除障佛頂
內縛。叙右風屈如鉤
訶林尾枳羅拏半祖鄔瑟尼灑娑縛賀有ヽヽ
子㊥ 種 障㊥ 除 五㊥ 頂㊥ 佛
三佛頂 廣大發生佛頂 對云。海說心是大轉輪佛頂也文
八葉印
吒嚕吽鄔瑟尼灑娑縛賀有ヽヽ
子㊥ 種 頂㊥ 佛
極廣ヽ生佛頂 對云。海說是高佛頂也 對云。權僧正大和上惠和上珍和上說內轉文。淸涼記ヽ內五股。諸說同
五古印
輸嚕吽鄔瑟尼灑娑縛賀有ヽヽ
子㊥ 種 頂㊥ 佛
無邊音聲佛頂
法蝶印

吽惹欲鄔瑟尼灑娑縛賀有ヽヽ
頂㊥ 佛
聲聞衆
梵夾印置左胁
係睹鉢羅底也野尾藥多羯麼涅惹多吽有ヽ
證㊥ 因㊥ 緣㊥ 離㊥ 業㊥
脫㊥ 解 三
緣覺衆
內縛。火圓端相柱如輪
縛有ヽヽ
道㊥ 言 斷 語
無能勝 靑云。是釋迦如來忿怒師子吼聲云ヽ
右手當右胸上。豎臂舒。掌向外。以空捻火。如持花之勢。左手五指叙散。擧印自頭高之
ムヽ。右印當右乳。左手右手。高差上之ヽ云
吽地陵ヽヽ卽陵ヽヽ娑縛賀有ヽヽ
言㊥ 眞 體 不㊥ 生 諸 生
無能勝妃
內縛。二空並豎屈如鉤。風空之間稍如張大口
ム云。如鉤者只屈第二節也云ヽ
阿跛羅爾帝惹徧底怛捉帝娑縛賀有ヽヽ
能㊥ 無 勝 能㊥ 勝 伏㊥ 降 境
㊥已上第七會東方初門釋迦院
東北方淨居衆 五淨居天。亦名五那含 自在天
叙右掌仰屈如受頰。少低頭不著。定拳置腰

唵播囉儞怛摩囉底毘藥娑縛賀有ヽヽ
化㊥ 悅㊥ 遍 等㊥
普花天
右手叙五指。以風著火背。以印横當心。定手如常
仰印當心
摩努羅達摩三婆迦託ヽヽ娜三ヽ忙継泥娑縛賀有ヽヽ
意㊥ 悅 法㊥
光鬘
普花印。空置掌中。印向心上。定手如常
惹都鄔姹寫難娑縛賀有ヽヽ
滿意
右空風相捻。餘三並豎立。臂向外。定手如常
阿唵鉧嚀恥娑縛賀有ヽヽ
遍音天
二手各空柱水中節。火風各覆二耳
智泉云。非正覆耳。只顧程擧之云ヽ
唵阿婆薩縛隷弊娑縛賀有ヽヽ
令㊥ 適 普 等㊥
火天
右手向外。空置掌中。屈風召之。定手如常
阿擬曩曳娑縛賀有ヽヽ
火㊥

火后

火天印

阿起攞曳娑縛賀 有〻〻

[梵字] 后㊥ 火

縛思等五仙　斯嚩仙

慧掌向外。以空捻地第二節。餘指直並立。

先離開風

嚩斯瑟詑摩訶㗚釤娑縛賀 有〻〻

[梵字]

阿詣羅仙

前印離火

蘖㗚伽摩訶㗚釤娑縛訶 有〻〻

[梵字]

倶曇仙 亦名瞿答摩

次離水

倶怛摩〻訶㗚釤娑縛訶 有〻〻

[梵字]

阿底哩與仙

次離地

惡帝羅也摩訶㗚釤娑縛訶 有〻〻

[梵字]

毘里瞿仙

次離空

娑哩輸怛摩〻訶㗚釤娑縛訶 有〻〻

[梵字] 字㊥ 名 [梵字]

㊥ 已上第十二東南五仙衆

已上五仙作同印。隨眞言次第一指離也。五仙眞言異說在之。且依智泉相傳。

五仙。口決 大原 云。慈覺大師口決出之

云〻

五仙口決云。五仙中二仙。上下文相稱。餘三仙軌文參差。謂蘖栗伽仙眞言中。交驕答摩眞言。以毘哩瞿眞言。名驕答摩眞言也 文

坍長天

右腕置左腕上。二手相背。中指相鉤如索。餘指各屈

唵尾嚕荼迦藥乞叉地跛多曳娑縛訶 有〻〻

[梵字] 長㊥ 坍 [梵字] 又㊥ 衆藥

帖決云。明中有藥叉句。是本經之誤也。謂此藥叉之句。可有北方之部歟 云〻

炎魔王

壧合。地風入內。背相著。屈空自風上越致

火指

縛縛娑縛多野娑縛訶 有〻〻

[梵字]

死王 對云珍和上說此印未分明。是五道大神名 私云。檀陀本云。死王眞言亦名后 文

金合當心

沒野底野吠娑縛訶 有〻〻

[梵字]

七母

定拳立空當胸。後舒臂舉印如打勢。慧拳置腰

忙底哩毘藥娑縛訶

[梵字]

暗夜天 此即閻王后也

定拳風火並立。空少屈著風邊。慧拳置腰

迦羅囉底哩曳娑縛訶 有〻〻

[梵字] 黑㊥ [梵字] 夜㊥

閻王妃

右鈴印。左手置腰 少振鈴勢云〻

閻謎娑縛訶 有〻〻

[梵字]

奉教官 青龍軌云。太山府君也 文 攝軌云。判官 文

金合

只怛羅虞鉢多野娑縛訶 有〻〻

[梵字]

拏吉尼

定掌當口。以舌著掌。如吸人血之勢

掌末正向外云〻

ム云。少指出舌面低之云〻

訶唎訶娑縛訶

[梵字]

金翅鳥王 謂迦樓羅 虛心記云。

兩手叙五指向外。定空拘慧空。左右如鳥羽。而雄鳥以左羽置右羽上。所以〻定空拘慧空。三反動之如飛勢

兩頭指稍許淺。兩指末小乘樣。小動也

云〻

阿鉢羅底賀多捨薩那南怛儞也他唵捨句娜摩賀捨句娜尾且多跛乞叉薩縛跛蘖識那迦伕〻〻〻咽三摩野摩奴薩摩羅吽底瑟姹冒地薩怛嚩栱孃跛野底娑縛賀 有〻〻

[梵字]

[梵字]

[illegible]

[illegible]

㊥已上第十二南方增長天衆

西南方羅刹天

虛合水入內背相著火空端交（圖註第二說印也イ）

羅吃察娑地跛哆曳娑縛賀有〻〻

[illegible]

羅刹斯（對云儞云羅刹女本文股）

先印

落乞剎娑誐尼弭娑縛訶有〻〻

[illegible]

羅刹衆

先印

落乞叉細毘藥娑縛賀有〻〻

[illegible]

㊥已上南方羅刹天衆

西方廣目天

定慧拳以右拳背置左拳背以慧風拘定風空押火甲

唵尾嚕博乞叉那伽地跛多曳娑縛訶有〻〻

[illegible]

水天

左拳叙頭指如鉤（是師說也紀用宗印）

阿播鉢多曳娑縛訶有〻〻

[illegible]

難陀龍王

左掌覆橫置右掌背動之如雲

ム云覆重之三角之勢也上下如扇之勢云〻

難陀曳娑縛賀有〻〻

[illegible]

拔難陀龍王

如前右置左上

鄔波難娜曳娑縛訶有〻〻

[illegible]

諸龍

定慧五輪叙散並向外慧空拘定空置頂上名九頭龍印（稱掌向外也云〻）

ム云八指少屈開散之二空鉤二腕引去之勢云〻

銘伽捨儞曳娑縛賀有〻〻

[illegible]

地神

合掌十指端捻屈令圓掌令空如瓶形（師曰二空附二風以風而動之以印當心）如法用之

鉢里體吠曳娑縛訶

[illegible]

妙音天

定叙仰橫置心上如琵琶慧風空捻三指直立常定掌如摩琴之勢

雙\嚴房說慧空風常掌摩之

智泉說以中指已下三指摩之（常師用之云〻）

蘇羅娑縛帶曳娑縛訶

[illegible]

那羅延天

定手叙散向外空置掌中文云定掌以叙散文

用第二說云〻ム云手持印也云〻

尾瑟拏吠娑縛訶有〻〻（圖註梵字逸）

那羅延后

定手向外空風捻如圓輪餘三指直立慧拳如先

尾瑟拏弭娑縛賀有〻〻

[illegible]

月天

定手火空捻餘直立如持蓮花

戰捺羅耶娑縛訶

[illegible]

二十八宿

虛合二火空外縛

唵阿瑟吒尾孕設底喃諸乞察怛羅毘藥儞囊類曳摘計吽惹娑縛訶有〻〻

[illegible]

[illegible]

[illegible]

魔醯首羅（亦名商佉羅）

定空押地甲三指各開直立如戟

唵摩係濕縛羅野娑縛賀

[illegible]

后

前印三指立合 用前眞言

妃

前醯係首羅印

烏摩儞弭娑縛訶有〻〻

[illegible]（上㊥）[illegible]（妃㊥）

帖云后者如中宮也妃者女御也或后者父母與如妻也妃者女進如爲妾也

文

遮文荼

定五指仰掌稍屈當口如吸血慧拳置腰

唵護嚕々々左門拏娑縛訶 有々々

風天

慧拳直叙水空押地火風甲定拳置腰

縛野吠娑縛訶 有々々

㊝已上第十二西方天衆

北方多聞

虛合二地屈入內相交二風屈端一寸計不著

吠室羅摩拏野娑縛賀

諾藥叉

內縛地水合立

藥乞叉濕縛羅野娑縛訶

食㊝ 噉 在㊝ 白

諾藥叉女

左手叙掌空押地甲風置空節上右手如常

藥乞叉尾儞也達哩娑縛訶

毘舍遮（靑云極著餓鬼常飢渴熱惱所逼文）

定拳直立火慧拳如常

毘舍遮藥底娑縛訶 有々々

神㊝ 通 趣㊝

毘舍支

前印火少屈

毘旨々々娑縛訶

㊝已上第十二北方多聞天夜叉衆

東北方伊舍那（靑云摩醯首羅化身文）

定拳直竪火而風當火背屈之不相著

嚕捺羅野娑縛訶 有々々

諸步多（淸凉記云步多是伊舍那眷屬也文）

前伊舍那印

嗢縊嗢伊蘖憎散寧步多喃娑縛訶 有々々

東方帝釋（此是界帝釋也）

內縛二風竪合如針二空並竪

鑠吃羅也娑縛訶 有々々

持國天

左右拳風屈如鈎空叙之空風之間不相著以右腕側置左腕上

帖云此印名龜印而無龜形如何 文

唵地隸多羅瑟吒囉羅々鉢羅末馱那娑縛訶

持㊝ 國㊝

白天

顯現合掌二水屈入內二地相並二火少屈不相著二風直竪二空置二水邊以印置額（淸心記同）

淸凉記云顯現合掌者二掌並合仰小許開 文

義釋十云以兩掌仰而相並令俱向上

正相並舖之名嗢多那若合掌（此云顯現合掌文）

阿儞但夜野娑縛賀 有々々

社耶毘社耶（社耶者日天后也毘社耶者日天妃也）

虛合地風內屈背相著用日天眞言

摩利支

二地水內相合風空並立合以火纏風如常

金剛輪印印五處云々

唵摩利支娑縛訶 有々々

九執（七曜者木火土金水及日月加羅睺與計都爲九執計都者彗星也羅睺者交會蝕神也）

合掌二空直立

蘖羅醯濕縛哩也鉢羅鉢多儒底摩野娑縛訶 有々々

行㊝ 在㊝ 自 得㊝ 明㊝ 生㊝

梵天

定掌立向外以空捻水餘指叙散慧拳如常

ム云以空捻水中支云々

鉢羅惹鉢多曳娑縛訶 有々々

生㊝ 衆 主㊝

梵天明妃（梵天無欲及女人等云何習后耶此是梵王）

竪定掌向外風加火背空置水內中支慧拳如常用梵天眞言

乾闥婆（文句云此云嗅香以香爲食又云香陰其身出香此是天帝俗樂之神也文）

內縛二水叙立不相著

尾戍馱薩縛羅縛係儞娑縛訶 有々々

淨㊥ 清 音㊥ 出㊥

諸阿修羅

定手仰掌。橫置心上。慧手竪掌。以風纏空背。

阿素羅邏延娑縛訶 有〻〻

天㊥ 非 宅㊥ 窟

緊那羅 天文句云。此云疑神。似人而有一角。故名人非人 天帝法樂神。居十寶山。身有異相。即上天奏樂

金合。二風相合。二空散竪。掌中一寸許開之。腕不相著。

賀伽薩喃尾賀薩喃枳那羅赦娑縛賀 有〻〻

喜㊥ 歡 歡喜㊥令他

疑㊥人諸

摩睺羅

結三角印。稍開二風。以印當心 三角印。左右拳

二風舒端不相著。二空各捻火甲。當心。似火印

蘗羅藍尾羅隣娑縛訶

諸人 若欲生人道者。常可結此印。先隨所樂畢。引入佛位。

金合

壹車鉢藍摩紵摩曳迷娑縛賀 有〻〻

召請諸天

眞實合掌 二空並立云〻

唵薩縛儞縛多喃翳醯曳呬阿儞底也素摩半左諾乞察怛羅䕶計覩那縛捺捨尾摩䕶阿瑟吒尾孕設底畢㗚體吠曳摘枳吽祚娑縛訶 有〻〻

切㊥ 一 神㊥ 大 來㊥

日㊥ 月㊥ 星㊥ 障㊥ 復 旗㊥ 二㊥ 天㊥ 地 十㊥ 宮㊥ 八㊥

普世明妃

金合

路迦〻〻羯羅野薩縛禰縛䭾識藥乞叉健達縛阿素羅識嚕拏緊䭾羅摩睺羅識儞訶哩捺野儞也羯羅灑野尾質怛羅藥底娑縛訶 有〻〻

世 阿㊥ 天㊥ 龍㊥ 作㊥ 切㊥ 婆乾 叉㊥ 金 藥 藥闥㊥ 地㊥大來 龍 心㊥ 明㊥ 作 羅緊 等㊥ 〻㊥ 趣有

㊥已上第十二東方帝釋天衆

問。已上二印明有何異耶 答。召請諸天。唯限遊空地居實天。普世遍攝雜類。八部等有之。故云普世 文

三密抄料簡云。問。佛菩薩可然。何用天龍鬼神諸人印明等耶。答。總案經疏意。今此大曼荼羅中。諸衆皆是毘盧遮那加持化現之身也。若有持念彼三密者。皆蒙彼尊慈悲護念。皆得成彼所通達一〻法門。究竟證得毘盧之果。 問。此中全不用實者耶。答。一往然也。設用實者。可作權相所得功德無邊 抄

三部四處輪布字法 胎在別末

諸會次第

對云。胎藏慧和上次第云。先第三重釋迦世天。次第二重四菩薩等。次第一重三部諸尊。後中胎院八印大日 抄 私云。此念誦次第〇似義釋意。若修因向果曼荼羅。則從外向內。若從本垂迹曼荼羅。則從內向外。今此次第。即是修因向果念誦法也 抄 又云。慈覺大師將來攝大儀軌灌頂法中。先中台院大日八印。次第一重遍知印及三十印尊。次觀音部。次金剛部。次不動等。次第二重四菩薩。次第三重釋迦世天。即是從本垂迹念誦法也。具緣品疏第七夜中又云。先誦中台。次誦第一重尊。次誦第二重。次誦第三重尊。亦此義也。然攝大儀軌別本中。先中台院大日八印。次第一重遍知印及三十印尊。次觀音部。次文殊院。次除蓋障。次地藏院。次虛空藏。次金剛部。次不動等。次釋迦院。乃至世天。故玄法寺兩三卷本及爛脫本及青龍寺三卷本等。並皆用此次第。但青龍本供養會中成身不入三十二印。大讚之後。列三十二印。次四處輪。次八印等。次大日印以後同前。此等意云。初遍知等以爲佛部。次觀音等文殊除蓋地藏虛空藏等爲蓮華部。次金剛手不動等釋迦世天爲金剛部。總攝四重。以爲三部故 文

智證在唐記云。問。中台八印理須初頭安置。其後須說諸尊印眞言。何以不爾。答。諸佛雖宜設教。各自不同。先從十二大會。歷事而修。末後歸本。原其意如次 文

諸會廣略事

如＼現圖欲盡諸尊印明者可用法性記也
智泉云覺範阿闍梨用法性記但又淨藏
記可見合之件記胎軌不見印明引用諸
尊本軌印明若用梵號也
玄法軌本體大日經印明也其外十波羅
蜜印明引用千手軌四天王印明引用陀
羅尼集經不動印立印軌所出也法全和
尙隨要被引用之若得此意隨堪任心可
引用諸文也云〻
若存略時上首尊印明許結誦之私記有
之憐師說也云〻
或云供養會許修之時布字八印用之八
印之次一切佛佛眼諸菩薩緣覺聲聞諸
天已上六印用之智泉祕說也云〻

建長四年七月二十日於小川書了
爲紹隆佛法也　無障金剛尊澄
正應四年十一月二十一日於東塔西
谷西蓮房書寫之　偏續佛法慧命爲
奉捧山王法樂也
遍照金剛昌全在判
享德四年乙亥七月二十四日於山門楞
嚴院飯室南淨我房書寫畢
梵漢　宗慶
照心
三部軌師源慶法印令龍入玉
文永十二年之朱明初旬之候染短毫
覺　老眼畢　僧正承澄
寶永四年丁亥三月十三日謄寫

兜率谷三部都法闍梨嚴覺
正德二年壬辰七月十二日美州華嚴
寺本按讎其卷尾云
建長四年七月二十日於小河草了
應永九年七月二日一按了

阿娑縛抄第二十三　胎記諸會末

∴三部四處輪布字法
持明房決云布字謂法界曼荼羅身成
遍十方利生也故一切法必有布字也
又大日如來說大日經時亦如是謂肩
間出中臺諸尊即遍法界利生即反入
肩間喉三點眷屬出遍法界利生即反
入喉心出四大菩薩遍法界利生即反
入心臍出外金剛部即遍法界利生即
反入臍文
又云今此三部四處輪有三樣一若佛
部念誦唯佛部四處輪布之若蓮念誦
若金念誦亦隨一布之二三部四處合
一度布之三部四處如次第各別布之
文
先寶冠拳手印供性記云内縛五古豎山峰
結五古印置頂上成寶冠五古印即五智
〻〻即五佛大日如來以此五智爲頭冠
飾
阿有歸命
第一眉間發心輪
五古印當眉間誦發心阿字即念以阿字
置眉間
阿有〻〻
即以第一發心迦等三十三字始自眉間
阿字相接右一匝安布之

三密抄料簡云頭爲阿字位眉間白毫處最中置阿字其阿字外正直當于兩眉之間與阿相對先觀迦字次〻右旋觀布文

布字畢後誦菩提心眞言加持之

冒地阿 有〻〻

第二咽修行輪

五古印當咽誦修行阿字即念以阿字置咽

阿 引 有〻〻

即以第二修行迦等三十三字始自咽阿字相接右一匝安布之

布字畢後誦菩提行眞言加持之

左哩也阿 引 有〻〻

第三心菩提輪

五古印當心誦菩提暗字即念字置心

暗 有〻〻

即以第三菩提劍等三十三字始自心暗字相接右一匝迴安布之





布字畢後誦拔菩提眞言加持之

三冒地暗 有〻〻

第四臍涅槃輪

五古印當臍誦涅槃噁字即以噁字置臍

噁 有〻〻

即以第四涅槃麗等三十三字始自臍噁字相接右一匝安布之



布字畢後誦涅槃眞言加持之

涅懐縛拏惡 有〻〻

第五阿字此方便無定處也周遍一切處以此阿字置眉間等四處念在身外如光炎布散

次布伊等十二字前身外如光炎布散之

結五古印當心念之此十二字通用三部

已上佛部了
帖決云諸說多云佛部發心輪先阿次迦等方便次光炎次冒地阿云々 三部四處准之知之
又說師依傳法私記意被修之謂佛部發心輪先阿次迦等次冒地阿次修行輪乃至次涅槃輪次方便字光炎云々
已上傳法記意一說也
謂四處輪布字了從方便光炎字反一度上四處布之又方便光炎字不加歸命句文
第一眉間發心輪
五古印當眉間誦發心娑字即念娑字置眉間
娑 有々々
[梵字]
即以發心迦等三十三字始自眉間沙字相接右一匝安布之布字畢後誦菩提心
眞言加持之
冒地娑
第二咽修行輪
五古印當咽誦行娑字念置咽
娑引 有々々
[梵字]
即以第二修行迦等三十三字始自咽娑字相接右一匝安布之布字後誦菩提行
眞言加持之
左哩也娑引
第三心菩提輪
五古印當心誦菩提[梵字]字置心
[梵字] 有々々
[梵字]
即以第三成菩提劍等三十三字始自心[梵字]字相接右一匝安布之布字後誦成菩提眞言加持之
三冒地[梵字]
第四臍涅槃輪
五古印當臍誦涅槃索字置臍
索 有々々
[梵字]
即以第四涅槃[梵字]等三十三字始自臍相接右一匝安布之布字了誦眞言加持之
涅隸縛拏索
次第五娑字
次伊等十二字
已上蓮華部了
第一眉間發心輪
五古印當眉間誦發心縛字置眉間
曩莫三滿多縛日羅赦縛
即以第一發心迦等三十三字始自眉間縛字相接右一匝安布之布字後誦發心眞言加持之
曩〇赦冒地縛
第二咽修行輪
五古印當咽誦修行縛字置咽
曩〇赦縛
即以第二修行迦等三十三字始自咽縛字相接右一匝安布之布字後誦修行眞言加持之
曩〇赦左哩也縛
第三心菩提輪
五古印當心誦菩提鑁字置心
曩〇赦鑁
即以第三成菩提劍等三十三字始自心鑁字相接右一匝安布之布字後誦菩提眞言加持之
曩〇赦三冒地鑁
第四臍涅槃輪
五古印當臍誦涅槃字置臍
曩〇赦縛入
即以第四涅槃[梵字]等三十三字始自臍縛字相接右一匝安布之布字後誦涅槃眞言加持之
「曩〇赦涅隸縛拏縛」此眞言依甲本補之
次第五縛字 如前
帖云蓮華金剛二四處輪以[梵字][梵字]安眉

問。乃至安膸前故。□等字列外時。各除□□列之

又云。有二說。遍口八字中除□□安額故也（一說）

或不除之。額安之。四處輪々安之無妨（一說）文

次伊等十二字（如前）

已上金剛部了

帖決云。三部俱是大日三部衆德曼荼羅也。故大日是主也。若在別意。佛部輪。大日主也。蓮部輪。觀音主也。金剛輪。金剛手主也。故各中安阿娑縛字也文

又云。問。此三部四處布字。安眉間等者。重累歟。傍布歟。答。傍布文

又云。四處輪等諸布字。々皆立觀之。如畫付耳文

又云。仰等五字。或伊等字。列外輪布之文

又云。此布字一々觀字義。是佳矣。心思付。了々。人有何煩耶。今此三部四處布字意。我身卽大日如來也。故今四處布三重曼荼羅（同二中三）卽成胎外大曼荼羅身也。然和上曰。成曼荼羅身也。乎居如圓座。四重（如中胎）曼荼羅成想文

軌注云。漫荼羅三重。內金輪二三同中位。惡字第三重黃々白色黑色。方便一切處文

具支灌頂六云。內者大日院也。白色也。二三同中位者。第二第三院合爲第二重。黃白色。惡字第三重者。第四院黑色也。方便一切處者遍在四處。方便□字々體黃色。角點白色。傍點黑色。第二第三院合爲第二重者。遍知印與釋迦院合爲第二重也。文殊是第四院爲第三重也文

又云。內金輪者。謂曼荼羅中。三重之內。是金輪色。□字黃色也。二三同中位者。謂□字黃白色。第三重者。謂□字黑色。黃々白色黑色者。謂釋上三重。方便一切處者。謂以是四輪之外遍一切處。謂四處也文

法性別記云。大師記云。漫荼羅三重內。金輪者除外第四重。故云三重。所謂三重內者。內謂毘盧遮那內院。其內院地色悉是金色也。二三中位者。謂第二第三院地色。同內院色也。所謂噁字第三重。黃々白黑色者。謂第四院。望於二三以爲第三。其地色黃也。言噁字者。若四種阿相配四院者。阿短字是內院也。阿長字是第二院也。暗字是第三院也。噁字是第四院。故云噁字第三重也○方便一切處者。是第五噁。卽方便遍於四院。而無定處。故云一切處也文

帖云。具如傳法記幷對受記。但今師案云。義釋意。二三同中位等者。是四處輪布字說也。今軌此布字輪。大壇曼荼羅。對當思有此注也。故曼荼羅三重者。除內院之外三重歟。卽□字輪三點眷屬重也。□□字輪（同二中三）卽四大菩薩。重也。□字外金剛院也。問。爾者布字時。以何對內院耶。答。凡初以字燒字之後。觀五大輪。一々先安字。是種子也。而五輪成就。是法界塔。卽我身成大日三形了。而布十二支。是成大日尊形也。又心置無生句者。卽心蓮上觀大日尊也。又百光王放百字。生自身。卽生自身大日曼荼羅也。故心上大日。卽是內院也文

又云。私謂。大曼荼羅合爲三重也。謂。一者中台院（云內金輪是也）二者三點眷屬院。四大菩薩院（此第二第三重院合爲一重也。其色同黃白色故也。云二三同中位是也。惡字第三重云是也。謂□內院□□二三重也。□第）三者外金剛部院（四重也而合□□二重爲一重故□字第三重）次黃者。內金輪。云也。次黃白色者。云。二三重色也。次黑色者。云。第四重色也。次方便一切處者。第五□字遍四院。爲方便。故也○謂□純黃色也。□□字體黃也○白色。□字體黃色々。黑也。字輪諸字色皆准之文

又云。問。內金輪者。意云何。答。內院阿字純黃色也。故云內金輪歟。如云五輪成身之中金輪也文

大悲藏瑜伽（大智師證）云。內金輪者。八葉之地。二三中位者。五色界道文

義釋十一（四イ）云。凡布曼荼羅。亦爲三重。第一重迦字乃至訶周匝。內重。名爲金剛輪也。此金剛輪持一切法。猶如世界金剛之輪持於世界也。卽是行者最初菩提心也。輪謂堅固菩提心。故先作內重

也。第二輪謂阿暗。此是長阿及暗二輪同是中分。若同阿爲輪。即不須用暗字論也（私謂阿是行是因。暗是證是果也。）次第三輪用惡字輪。亦順中如上布之。令環合也。其伊等十二字在外散布。猶如光焰也。此是即三轉法輪之義也。如是布已。持誦者即是持明之身。猶如大日如來神力加持等無有異 文

三密抄料簡云。問。言三重者。只指四名三歎。爲當四中捨一歎。答。疏云頭爲上分。咽心爲中分。臍爲後分。注云發菩提心爲初。行果爲中。大寂爲後也 云々 以之思之只指四名三也 文

又云。問。何故四輪爲四重曼荼羅。豈謂大日是發心諸菩薩。是菩薩諸天。是涅槃耶。答。案抄記意云。此非發心等次第。初阿字爲體。次三字爲用。此從法身體展轉起應用之義也 文

又云。問。三部曼荼羅。各具四輪。何以三部發心。俱爲中胎佛部曼荼羅 乃至 何以三部涅槃。俱置外金剛部曼荼羅。答。此亦作觀自在無疑莫守杭矣 文

禾云。上來三部各別布様也

如右斬修之後。三部總合布字受之。秘事也 云々

∴三部總合布字

先寶冠舉手印明 如前

第一眉間發心輪

五古印。誦發心阿娑嚩。即念以阿置眉間。以娑置阿字外方。以縛置娑字外方

阿娑縛 有々々

帖決云。東寺說眉間阿字。々右娑左嚩 云々

即以發心迦等三十三字。始自眉間阿娑縛相接。右一匝安布之

布字畢後。誦菩提心眞言加持之

冐地阿娑縛 [梵字]

帖云。次其阿娑縛連。一度三重[梵字]等之字連。謂[梵字]等一反誦之間。三重布之。誦一反。布字三重也。次方便幷伊等。一誦之間。三重加之。次歸命冐地阿娑縛文（唯心臍之）

第二咽修行輪

五古印當咽。誦修行阿娑縛字。即念以阿字置咽。阿外方娑。々外方縛置之

阿娑縛 有々々 [梵字]

即以修行迦等。始自咽阿娑縛字相接。右一匝安布之

布字畢後。誦菩提行眞言加持之

左哩也阿娑縛 有々々

第三心菩提輪

五古印當心誦菩提暗字。即念暗字置心。次外穆。次外鑁

暗穆鑁 有々々

即以菩提劍等。始自心暗穆鑁相接。右一匝安布之





布字畢後。誦成菩提眞言。加持之
三昧地暗𤚥鑁
第四臍涅槃輪
五古印當臍。誦涅槃噁字。即念以噁字置
臍。次外索。次外縛 入 文
噁索縛 々々
即以涅槃羅等三十三字。始自臍噁索縛
相接。右一匝安布之



布字畢後。誦涅槃眞言。加持之
涅槃縛拏噁索縛
第五阿字此方便無定處也。標遍一切處。
以此阿字。眉間等四處。念在身外如光炎
布散
帖云。方便字不加歸命 文
又云。傳法私記意。四處輪布字了後。方
便字光炎字。只一處反四處布之。一反
之間。布四處耳
次布伊等十二字畢。身外如光炎布散之。

結五古印。當心念之。此十二字通用三部
伊縊塢烏哩哩嚧〻翳鷃汙噢
布字事。祕教之奧理。成佛之目足也。而
得意之人少。解字之輩希。仍拾經軌之
文。集解釋之趣。畢其中簡要。故抄出之
禾云。持明房三說(三部各別 三部總合 四處隨一輪)之中。
三部總合之布字甚深也。義釋布字品
釋者。三部總合之布字也。三部者即三
寶也。此三部居樣。義釋云。壇法中心是
大日如來。即同此中阿字。北邊置娑字。
南邊置縛字 抄
帖決又問重累傍付答傍付云〻
四傍付東寺說云。現行者重累也(此可準明之猶)
又字輪迴樣。演密鈔(覺苑撰)自內阿之後順
迴之。現行者自內之阿前順迴之。相接內
阿之在之。然者自前迴之付相接之詞歟。
抑此三說之外。三重曼陀羅布字有之義。
釋云。凡布字曼荼羅亦爲三重。第二重迦
乃至訶字周匝內重。名爲金剛輪也。此金
剛輪持一切法。猶如世中金剛輪持於世
界也。即是行者最初菩提心輪謂欲因菩
提心故。作內重。次第二輪謂此是長阿引
及暗二輪同是中分。若用輪即不須置
字(禾云。帆三中位是也。同三)第三輪用亦從中如上
布之。令輪合也。其伊等十二字在外散布
如光焰也。此即是三轉法輪之義也 文 禾云
(三轉法輪者。演密抄云。示相勸修作證云〻)
禾云。此簡要之法也。義釋云。又此布字

之法。是祕密曼陀羅。自非久習眞明之
行。堪傳授者。以意相傳。不可以文載也。
故師以口相授。經所不說 文 又云。如
是布已。持誦者即成持明之身。猶如大
日如來。神力加持等無有異。此輪亦名
因緣輪也。師及弟子幷漫荼羅輪皆作。
如是祕密之輪 文
禾云。演密抄圖云



禾云。十二點依釋文禾加之。內輪
不審。二重。蓮。三重。金也。不可似四
處輪布字歟
大眞言王(法性記云。前已用了。今此中列者但隨文勢來耳 文)
翔廣印〻心額喉頂
智泉云。非心額喉頂。是額咽心臍四處
也。是布字處也 云〻
阿三忙鉢多達摩馱覩蘖登蘖多南薩縛

他暗欠阿〻暗惡穆索唅鶴藍落鑁縛娑

縛賀吽藍落訶羅鶴娑縛賀藍落娑縛訶

有〻

吽藍落訶羅等眞言。此心眞言也。後藍
落眞言。心中心眞言也
又或(花山記)記云。吽藍落此身也。訶羅鶴此語
也。次藍落是意也
對五云。惠和上說○凡此眞言分爲三
道眞言。從初暗字于嚩字名爲身眞言。
次吽等五字名爲語眞言。後二字名爲
心眞言。此靑龍寺義眞阿闍梨說。又從
初暗字迄後暗字是地輪。次四字是風
輪。次三字是火輪。次二字水輪也。吽藍
落三字是身眞言。次訶囉(二合)鶴二字是
語眞言。次藍落二字是意眞言。此玄法
寺法全阿闍梨說也○
私云。大日經大眞言王中云。暗欠惡等
也。玄法寺兩卷儀軌及攔脫本云。暗欠
阿(上)阿(上)阿(去)暗惡。阿闍梨對受時除中阿
(上)阿(去)二字。又惟謹本同大日經○攝
大儀軌亦同經文。但以吽嚂落訶羅(二合)
鶴爲心眞言。藍落爲心中心○玄法寺
兩卷。有阿(上)阿(去)字。但云暗欠阿〻(地輪)
暗惡穆索唅(風輪)鶴嚂(火輪)嚂鑁(水輪)
嚩娑縛(二合)賀(下三道眞言)吽嚂嚂(此身眞言)訶羅
(二合)鶴(此語眞言)娑嚩(二合)賀嚂嚂(此意眞言)娑縛賀

靑龍寺法全和上三卷本云。暗欠[illegible]暗
惡(地)穆索含(風輪)鶴嚂(火輪)嚂鑁(水輪)嚩
入娑嚩(二合)賀(下三道眞言)吽嚂嚂(此身眞言)訶囉
(二合)鶴(此語眞言)娑嚩(二合)賀嚂嚂(此意眞言)娑嚩(二合)
賀
義釋中說。暗欠暗惡。如次佛部地水火
風四輪。穆欠穆索。如次蓮花部地水火
風四輪。鑁欠鑁嚩。如次金剛部地水火
風四輪。於此三部。各有息災增益調伏。
鉤召。此十二字隨五事用而轉。吽嚂嚂
(身眞言)訶羅(二合)鶴(語眞言)嚂嚂(意眞言)文

八印

寶幢(大威德生)(八印品疏云。從此中有如來大威德生)
蓮合。散敍地水(眞言)
藍落娑縛訶 有〻

華開(金剛不壞)(八印品疏云。金剛者是如來智。此智非從緣生故。不可破壞故。名金剛不壞文)
先印屈風置空端相捻
鑁縛娑縛訶 有〻

彌陀(蓮花藏)(疏云。亦云如來藏)
八葉印(帖云。作初割花形文。又云。八指大屈作之文)
穆索娑縛訶 有〻

鼓音(萬德莊嚴)(八印品疏云。亦云。內外莊嚴若內若外。如來衆德莊嚴皆具也文)
如前彌陀印而二地入掌中背相著
唅鶴娑縛賀 有〻

普賢(一切支分生)(疏云。謂從如來一切支分而生文)
如未敷蓮花。唯中指端少開。二空並立
暗惡娑縛訶 有〻

觀音(世尊陀羅尼)
蓮合。二火端圓拄
沒馱達囉尼娑沒㗚底沫羅馱曩迦履馱
羅〻〻馱羅野〻〻〻薩鑁婆誐縛底阿
迦羅縛底三摩曳娑縛訶 有〻

疏云。眞言曰。勃馱陀羅尼佛總持
帖決云。問。何故名世尊陀羅尼耶。答。觀
音是世間最所尊重。故云世尊也。而非
佛十號中云〻 又是眞言初所云佛
陀〻羅尼者。佛陀卽世尊故也(私案。八印皆有世尊之名。是大日世尊之八印故也。故今云世尊陀羅尼者。卽世尊總持印也。故後義善歟云〻)
智證在唐記云。觀於世間衆生苦惱求
護之音。所以爲世中尊。故言世尊。卽是
觀世音也文

文殊(法住)
虛合。中指稍開
阿吠娜尾泥娑縛訶 有〻

帖云。私云。疏文闕此印名。師曰。疏文可
有亂脫歟。謂上釋世尊陀羅尼中。此是
法住印。五字生。下文殊釋可讀歟。其文
顯著也文

慈氏 迅疾 疏云。此是如來密神通之力加持迅疾印。義如文
金合。以印先低。竪左方不動臂向左方旋
轉三反。次低竪右方。旋轉三反
義釋云。先左轉ヽヽ時右手覆而左仰。次
右轉ヽヽ時左覆右仰 抄
娑縛訶 有ヽヽヽ
摩訶瑜識瑜擬寧瑜詣設縛履欠惹利計
〔梵字〕生〔梵字〕相應〔梵字〕自在〔梵字〕空〔梵字〕

∴四行次第有異說
普賢 入位品間 觀音 文殊 彌勒 是儀軌次第也 記依此次第也
普賢 秘記 東南 文殊 西南 彌勒 西北 觀音 東北方 是義釋意實相義也
普 文 觀 彌 曼荼羅意
此中依義釋次第。或用曼荼羅心也。隨宜
曼陀羅。是隱正義也。又傳法儀軌爲初行
人也。故皆隱正義。全淺略也。仍不用之ヽ云
禾。儀軌者如經。此說如何
持誦不同七云。無畏廣大軌云。西北觀音。
東北慈氏。此事擧世相承行之。未知出處
文
禾云。四行次第。多有異說之由。古來談
之歟
禾云。加料簡。強無異說。無畏廣大軌獨
有異歟。且其旨見安然和尚持誦不同
七卷 彼云。時違抄記。發心。修行。證果。涅槃
之次第 文 自餘詞如引上
經。東南 普 東北 觀 西南 文 西北 彌 自左
至右列之。儀軌義釋。自東南至東北順 儀大軌記同次第也
迴列之。仍無異儀也。現圖曼陀羅無異

廣大軌同之
廣大軌 普 東南 文 二 西南 觀 三 西北 彌 四 東北 違經與義
釋之列樣。此有子細。可思之。一二次第
者廣軌說也。方角者持誦不同次第也。
世流布曼荼羅皆此次第也
問。此四行呼次第如何。答。經自左至右。
謂普觀。文彌也。義釋自東南普賢順迴。
普文彌觀呼之也。此二樣之外無所見。
歟。廣軌。東南普。西北觀。角サマ次第也。
而安然持誦不同如義釋順迴呼之。仍
二樣之外不可有之歟
∴無處不至 三密抄料簡云。阿字不生理。名爲大日。其此理周遍無所不至。故得名 文
合掌。二風捻空頭。形如鈎頭也云ヽ 指淺押
東寺祕說云。郎身成佛義云。因業等庸
空云。佛果也。因業。凡位也。風指因位也。
大指佛果也。表因位歸佛果之義也
記云。五古印 文 是猶祕也云ヽ
〔梵字〕莫薩嚩怛他蘖帝毘庾尾濕嚩目契毘
藥薩嚩縛他阿ヽ暗惡
〔梵字〕
∴百光王 用四處輪布字之時不用此布字云ヽ
金合置頂。每誦眞言。搖動之。文云。欲布百
光王字在其中者。暗字置頂上是也。布字
時結合掌印。誦眞言頂散之
〔梵字〕〇南暗
次第一右旋而頂上置伊等十二字
第二眉間布迦 短 等二十五字
第三咽布迦等二十五字
第四心布劍等二十五字

第五臍布〔梵字〕等二十五字 此文中無〔梵字〕
等字者略也
念百光王眞言之時。用此布字法也。餘不
用也
帖云。百光王。〔梵字〕等二十五。〔梵字〕等二十五。
〔梵字〕等二十五。〔梵字〕等二十五。是百光也。以
此百字爲〔梵字〕字光也。王者〔梵字〕字眞言也。
是〔梵字〕字。是一切眞言中王字也。謂一切
眞言字。皆從〔梵字〕字出生故也。如云十二
眞言王。〔梵字〕字是王也。又大日經云。布眞
言者。郎〔梵字〕字云ヽ 先師曰。今此百光郎
是大日如來果地 〔梵字〕字是大日果地德也 上百法
明門也 問。百法明門者初地初住所
證也。今五字成身四處輪郎成大日尊。
何果地更證百法明門耶。答。百法明門
初地初住所證者。顯宗一途說也。今意
自初至終。具百法千法萬法名。何不可
耶。況因果位異。淺深明昧殊有之耳
問。以伊等十二爲〔梵字〕字光炎。若爾百十
二字也。云何云百耶。答。伊等諸字莊嚴
也。郎諸字三昧點也。非以之可爲別字
數。然是伊等從阿音起故。於〔梵字〕字邊加
之也
禾云。字母中何故除遍口字耶
帖云。人師說。用無所不至者。勿用百光
印明布字云ヽ。謂無所不至中。有百光
王故也。若有〔梵字〕王字。百光自然有故。無
所不至廣也。百光略也。行者心用百光。
欲除無所不至印明。替用百光印明幷

布字等。是尤佐矣。人師說重不可有之云〻

問。供養會五字成身之次。有百光王印明。於彼用布字耶　師曰不也。唯印明用之。彼五字。成大日身之後。大日尊髻具也

又云。百光王唯大日一部也。而又瑜祇意。似有三部。可思之 文

又云。問。何故百光中台加・點耶。答。百光者。初地初住百法明門也。故得法身本成分身佛。故加成果之點也 文

對記云。抄記云。問。百字輪。外𑖀内𑖀𑖾。一〻𑖀𑖁𑖀𑖽𑖀𑖾如是次第。即是曼荼羅引入漸攝至於中之義耶。答。此謂於因果也。若行者。初發菩提心。次進行。次成正覺。次住涅槃。次起方便。即依如是次第也。若自果地而說者。即以𑖀迦字最在內。次𑖁行。次𑖀𑖽菩提。次𑖀𑖾方便最在外也。其𑖀𑖽字於𑖀體。即爲法體之果。不作菩提心因地之說也。從法身起應。次流向外。以度衆生。猶如曼荼羅自中台出生八部世天之位。又從外引入佛果。猶如曼荼羅乃至八心之初直至成菩提方便等也 文

又云。私云。今准抄記。迦等最在內。𑖀等最在外。是從內向外之次第也。所謂從法身本起應化用之觀法也。又有迦爲外。𑖀爲內。是從外向內之次第也。所謂修因感果之觀行也。若作布字。前六種一〻可用修因向果之布法也。尤是初發行者之要用也 文

又云。私云。所言百光者。此品初說阿娑嚩字是三部字。〻〻〻各具三十三字。迦等二十字。野等八字。仰等五字。合三十三字。三部都合九十九字。加初阿字。自成百字。但以娑嚩二字在八字內不再數耳。持誦百字。成百光王。故經中有多。百字品。又此暗字是佛部。王如轉字輪品中。唯約佛部阿字安心。暗字安頂。義釋中說如阿字者嚩等亦然。又一切字亦然 文

∴六月成就法

記云。此別時事。非念誦時也。故不記之 文

帖云。六月修者。非凡夫所修事。并者一見義也。見者見證也。落叉義中有見義也。地水火等字觀之 文

禾云。近代委不相傳之。本說六月持明儀軌并胎軌奧義釋等也

建長四年八月一日於小河草了
尊澄

文和四年乙未卯月八日於西山寺戶奧房書寫了
同九一交了

享德三年三月二十二日書寫了
朱點并一交了　源喜

寶永二年乙酉六月七日於台山兜率谷雞頭院謹謄寫訖

阿闍梨法印大僧都嚴覺
愛宕山威德院代六世現住法印泰寧
命岸貞安寫之
享保九辰年。同年年。於出雲寺書寫校合訖

阿娑縛抄第二十四　胎藏雜要

胎經軌事
胎三壇事
胎曼荼羅事

一、經軌事

大毘盧遮那成佛神變加持經七卷（善無畏　證海仁）
（行運。曉　珍叡）
持誦不同四云。第七卷是世間成就品。悉地出現品。成就悉地品。世出世持誦品之行法也文
大毘盧遮那經疏二十卷（無畏譯一行記　海嶋僧正治定）
同義釋十四卷（有溫古序　慈覺大師）
大毘盧遮那經義記十卷（山階昉僧正　上下十四卷）
大〃〃〃〃〃義記七卷（西大德淸大德　上下十四卷）
大〃〃〃〃〃義記七卷（叡山本　師治定）
大〃〃〃〃〃疏十四卷（高野海賭僧　正有溫古序）
大〃〃〃〃〃義釋十四卷（運明和上慈來　同叡和尚本異）
大〃〃〃〃〃義釋十卷（睿山〃　王和尚）
（仁和尚本）
已上八同疏異本。經至第六卷釋之
大毘盧遮那經供養法疏二卷（不思議行義　人仁和上本）
（云三藏於烏底那國作此供養法　而此疏云空中示現故人多疑）
經第七卷疏也
大毘盧遮那佛說要略念誦經一卷（菩提金剛。運睿）
大日經供養儀式一卷（海）
大日經持誦次第儀一卷（曉。運）
大日經持誦次第儀一卷（睿。與前稍廣）

持誦不同云。此等三本并同第七卷意
抄
大毘盧遮那經隨行儀軌一卷
大日經略攝念誦隨行法一卷（不空。海　仁。珍）
大日經略攝念誦隨行法一卷（亦名五支略念誦要行法）
（不空）
私云。上二恐同本云ム云。若此等同書歟別歟
持誦不同四云。不空三藏抄第七卷略出要用名略攝念誦隨行儀軌入貞元入藏錄奉勅牒別行出世
大毘盧遮那成佛神變加持經略示七支念誦隨行法一卷（不空。貞元新入目錄。海。仁。珍）
大毘盧遮那略要速疾門五支念誦法一卷（運。仁）
持誦不同四云。此等二本是略念誦法。非本儀式故式雜務中。臨時用之。若欲此中用之。式於意支念誦法中用之〃云
毘盧遮那五字眞言修習儀軌一卷（不空。仁）
大日如來成佛經釋中略出世間六月持明禁戒念誦儀軌一卷（運）
攝大毘盧遮那成佛神變加持經入蓮華胎藏海會悲生曼荼羅廣大念誦儀軌三卷（善無畏譯一行筆受　貞月譯請根本了本）
此\軌灌頂行法也。餘軌念誦行法也〃云
持誦不同四云。上卷大日一尊念誦法。用六月修。亦同第七卷儀式云〃
祕錄云
攝大毘盧遮那成佛神變加持經入蓮

花胎藏海會悲生曼荼羅廣大念誦儀軌三卷（仁以前本脫中間。與良相國人多持）
或云良相西三條右大臣事歟。件臣初從叡嚴圓行阿闍梨。學兩部大法。後奉從慈覺大師。重學兩部大法。并受灌頂。見大師口傳。爲件右丞相。脫在家有憚之所。授之給本歟云〃
攝大〇如前儀軌三卷（珍。是根本〃。其中但中卷文與前有異。亦字頗異）
攝大〇儀軌三卷（叡。前根本〃。但中卷文與　珍本同學與仁本同云〃）
攝大毘盧遮那經廣大儀軌三卷（無畏。叡法　潤付權譯）
本
或云。號廣大儀軌是也云〃
大毘盧遮那成佛神變加持經蓮花胎藏悲生曼荼羅廣大成就儀軌二卷（法全。仁）
禾云。玄法軌是也。今山家傳受之。仍名傳法軌
帖云。玄法寺全大和尚先所住也。靑龍寺者。同大和尚後所住也文（三井出雲地　比心坊云兩）
（寺非各別。靑龍寺玄法寺云〃。證據可尋之。燒失後號）
對記四云。凡玄法全和上諸本儀軌并會經疏及以攝大儀軌。并加天竺曼陀羅位。列入諸院文
帖云。凡傳法軌意。偏不可云大悲壇。偏不可云自餘之壇。只是爲初行之人。抽取經疏〃文。集之也。故此軌文兼三壇之意了。又是依現圖曼荼羅作此軌也文
大毘盧遮那成佛神變加持經蓮花胎藏悲生曼荼羅廣大成就儀軌二卷（法全或　以怪正）

者。恭蜜弟子惟正弟子惟向歟可記之云々
與前本同本。但有爛脫及注
大毘盧遮那成佛神變加持經蓮花胎藏悲生曼荼羅廣大成就儀軌三卷 法全 仁
大毘盧遮那神變加持經蓮花胎藏菩提幢標幟普遍 通 眞言藏成就瑜伽三卷 法全 珍
大毘盧遮那成佛神變加持經蓮花胎藏菩提幢標幟普通眞言藏成就瑜伽三卷 法全撰與前本同 但以有注爲異
帖云。師曰。東寺傳授睿僧正青龍三卷軌。今所授青龍三卷軌。是彼睿僧正本也云々
經 ナ法 軌決
軌云。菩提幢密印標幟祕密曼荼羅法品第二 文
三密抄料簡云。菩提幢標幟者。有云。佛果名菩提印明。名幢標幟。如世精舍建幢爲標。人遙見之。知有道場。印明亦爾。
標佛菩提 文
軌云。一切諸如來菩薩救世者及佛聲聞衆 文
三密抄料簡云。及佛者。指支佛歟 云々
諸會
三密抄料簡云。軌文初依圖列名。故與圖同。後依經說印明。此多與圖不同 文
∴私記事
慮心記者。慈覺大師御私記也
禾云。胎印者。起於慮心。故爲名也

高大夫記者。師說云。任慈覺大師之口授。被記之云々
花山記 正遍照僧正記也
山記者淸凉房記也。或淸凉房記奧書云。此記是淸凉房記也。其故者。法性房御記所被引文等皆書之。又銘淸凉房傳記與記校之。無違分毫云々
或云。彼正本注等無之。吉祥房豐義內供裏書也云々 三光房律師說云々
禾云。此奧書不知誰人記
淸凉房記者。禾云。世號傳法私記是也
法性別記者。任現圖諸尊。於所無之印明者。勸別尊軌等書入者也
淨藏私記者。師說云。此記者現圖定書諸尊之印明。不見儀軌印明。諸尊本軌引用。若者梵號ナト用也云々
禾云。法性別記同體歟。如此引用印明事。似自由。如何。但玄法軌爲本大日經印明。而波羅蜜印明千手軌引用。四天王印明陀羅尼集經引用。不動印立印軌印也。法全如此。得引用意者。任意可引用事也。
仍聖昭阿闍梨我隨堪引用云ハレタリ。又欲用略者。上主尊印明許用說有之。件私記有之云々。是師說也
理界私記三卷 明遍律師集 三百三十四箇印明在之云々
記云。件記心正受學智證大師傳。又用慈覺大師傳。兼集經疏儀軌圖等異說。

又別段加種子密號三昧耶身也。及記在眞言句義等云々
谷私記者。師說云。此記者任慈覺大師之被仰高大夫私記爲所依也云々
大原私記者。禾云。此記谷私記所依。少々被注心作也。世號書合私記。抑書合私記書。此外有三歟。其故帖決書合私記被引之。則驚覺眞言注。驚大千界中千界之諸佛云記也。此記又不知誰人作。以彼記校合大原書合私記。全無異。尤不審々々。若爲大原記者。何三千界諸佛驚覺事 ストヱ 可云三部諸尊可被唯故。自撰私記。不可難故知他本也
阿界次第 不知誰人記之 多引用諸師說
奧書云。長和五年五月二十七日於近江州犬上郡尾上寺書之。末學沙門睿超
南洞記 不知誰人記之
智泉房略私記 嚴身印明等略之
禾云。古賢別記多在之。今所持本內注之。隨見及可書入之
∴胎三壇 大悲密成就祕
大悲壇
帖云。大悲壇者。灌頂行法等引入弟子。以悲爲首異也。卽諸尊圖位如常。此壇亦名都會壇。亦名嘉會壇也。而嘉會壇者。觀念移大日安寶幢之位第一重。乃至焰魔等以之安中臺之時。諸尊皆同嘉悅集會給。故名嘉會壇也 文

又云。謂大悲壇者。以慈悲爲本。最初引入弟子壇也。故簡略。具不說之。後々壇々委漸說顯之 文

東曼陀羅抄云。曼荼羅大分爲二。一都會壇（亦名普會壇） 二別壇。就都壇有多類。安公持誦不同中。依祕密品意。明諸壇不同。彼文云。依祕密壇。亦有四重。中有九類。一大日。二佛部。三蓮花。四金剛部。五二明王。六佛眼。七諸菩薩。八釋迦。九四菩薩（私云若二乘諸天可云十類）以爲大壇。互以諸尊安中臺也。是大阿闍梨祕密行法。不可輒示。第三々昧耶人若作大日壇了時。若隨五事作餘尊法者。不改大壇。直以所樂之尊。入中臺位（私問何云作大日壇了時不可別時故作歟可詳） 故義釋云。凡作餘佛壇。如作彌陀壇。卽移彌陀入中。其大日佛移就彌陀位。若是二乘諸天等。卽不合坐。八葉花當去之。但於方壇中。坐其本座。八葉上佛菩薩。各移稍近外。各依方所也。其大日佛當與資糧並在一處。左右無在也。然亦須在中臺院內了。如以闍魔入中者。其外院本位表地印而供養之。

豐ム決云。其本位安地印者。彼一々尊三摩耶形云々

蘇悉地經上云。又不應踐蹋地印。過所謂鉛輪々梧杵蝶金剛杵等及以索成。並不踐蹋 文

又安公灌頂文云。中臺文有二例。義成三例。一八葉入中臺。二々乘諸天入中。三文雖不說。若第一二重。若釋迦佛隨入中臺。與八葉座不異。亦須大日安資糧後邊。彼等本位法內外衆亦表地印而供養之云々

私而何云後邊 文

江師云。寶幢位移大日事。寶幢大圓鏡智也。緣理之智故。如此云歟。八識九識染淨異也云々

東曼荼羅別卷云。問。二乘諸天爲中臺時。當去八葉爾時花藏界以何爲所依。答。誰云爾時觀花藏界。彼是別時立作畫作曼荼羅也云々

祕密壇

帖云。祕密壇者。卽前說大悲壇之後。彼大悲壇所有諸尊各別壇也。方圓三角等各別々尊壇也。亦各有部類圍繞之。謂此尊別壇建立時用之。或大悲壇諸尊皆各別壇觀可也。故經意於前大悲壇諸尊說祕密壇也 文

又云。祕密壇者。皆以五大爲其壇也。若方若圓若角半月等也 文

東曼荼羅抄云。又別壇有多類。持誦不同云。又九類尊（私云若加二乘諸天可云十類） 若隨所樂作別壇者。義釋上下部有三例。一九類中各以主爲內院眷屬爲次院八部爲外院。二九類中。各以所樂之尊爲內院。餘尊爲次院。八部爲外院。三九類中。合三部爲一類。成七類。互以所樂之尊爲內院。餘尊爲次院。八部爲外院。但大日三重壇。不見正文。義推必爲第三々昧耶。大日持明者可作此壇。大日爲內院。遍知印等佛部眷屬爲次院。八部爲外院。又以八葉八尊。隨爲內院。亦准知之。互爲主伴。亦可准知 文

又云。今九類尊。各有本壇。若隨所樂。各作五壇。一大日壇。四方中有臺八葉之尊。五如來作方壇。四菩薩作圓壇。並安臺及八葉之上。此大方壇是扇底迦。若樂增益等者。亦作圓角月點等也 文 更撿（私云意云此有扇底等五）

（種初心大壇也各有諸尊別壇其別體方圓不隨總壇也 文）

東曼荼羅抄云。又云。今案彼意。別壇有二。一都壇中別。謂總集一界三部四重。名爲都會。都是總義也。總一界中一部一會。是都中別也。此中諸會主伴。皆向大日行別。二都外之別。謂諸部諸會諸尊等隨一也。此中又以一尊爲主。眷屬重々圍繞而坐。各別建立一曼荼羅是也

帖云。或於都會壇中一々諸尊皆一々具足彼一々祕密壇。此名爲祕密都會壇 文

又云。祕密壇諸尊之曼荼羅。唯是觀作曼荼羅也。非可圖畫 文

又云。大悲壇大蓮花藏上。中心八葉妙白蓮安。卽爲中臺九尊位。祕密壇花王上有十字羯磨。々々上有半數蓮。々々上有蓮臺。々々上有八葉妙白蓮也 文

又云。祕密壇半數蓮上有妙色金剛莖鑿。八葉蓮謂因果具足之義也 文

又云。問。祕密成就壇如傳法軌云有大蓮花藏世界耶。答。有之。執於蓮花藏世界。亦建立之耳 文

成就壇

帖云成就壇爲成就物也文
又云成就壇者世間成就品有四種念誦一
一意支念誦謂先觀本尊相好了〻分明
也而於尊心月先觀種子字種子分明即
眞言之字一〻加之乃至一眞言字皆分
明也故台界之意諸眞言中先種子次諸
字也是觀次第也（如不動明種子在終雖然先必觀種子）而一
〻字了〻分明即觀一〻字義更分明也
而即諸字有聲一〻字旋轉流灑一〻有
聲謂如□字唱阿聲乃眞言諸字皆有聲
唱字名也此念誦純熟之後次作先持念
誦謂其本尊眞言依數若一洛叉等之數
反滿之持之也而後三具支念誦也謂辨
香花等諸事供〻養本尊等也次四作成
就法謂前之三念誦已成就了更作成就
法也謂所境界謂若我以何物可爲成就
物乎可祈之也若夫夢可成就杵若劍蓮
若種〻異物隨其境界作儲其物然後即
以其物修成就法即依其物發神通手持
其物往反十方佛刹爲持明仙乃至登覺
耳即今此三摩地所成就物謂之三摩耶
形也即初入門之中三摩地所成之標幟
也云〻已上此作成就之作法謂之成就
壇也若無意支作先持乃至無前三作成
就還妨秘法何有其驗耶即諸別軌等多
是第四作成就法也而無前三直作第四
云無驗痛哉〻〻但依台藏金剛智三藏
一卷軌意者不作前三直作成就聊有法
驗依此意尤可貴〻〻云〻

又云成就壇或唯安內院不安外院故四
大護有內門是別時意也
界道事
帖云大悲壇中臺第一重同五色界也二
重三色三重一色也而無別界道品此衆
色界緣三界道耳只是周匝數地故也
又云秘密成就二壇於此衆色界緣之內
際尊位之外際立十字五古耳而是觀作
也如墻立之也
又云秘密壇羯磨蓮鬭立之謂其左右中
古頭如鈎互相鈎連並立之也
又云秘密壇成就壇外重〻界道可准各
內院歟但或准內院用之或准一尊用之
持誦不同七云前大悲藏嘉會壇中台三
重都有四重〇成就云亦有中台三重秘
密云亦有中台三重文
又云秘密壇成就壇外院重〻隨尊不同
也（三多重云）
又云秘密成就壇不云外院界道若以大
悲壇可准之歟文
〻胎曼荼羅事
慈覺大師御將來八供養讚胎曼荼羅有
之云〻
普集會曼荼羅金剛壽院座主以唐院本
寫之依無畏六種曼荼羅釋圖之金剛智
授善無畏給本也云〻
秘錄云
大毘盧遮那大悲胎藏大曼荼羅一鋪（五副苗仁海〻　七副珍云五副）

大悲胎藏三昧耶略曼荼羅一鋪（一副苗仁）
（三海〻副）
大悲胎藏法曼荼羅一鋪（三副仁〻三海副苗）
大悲胎藏曼荼羅一鋪（五副苗仁海行運　亦將來有小異）
帖云胎藏三昧耶形等圖一卷是法性房
賠僧正大和尙御弟子調定院所造書也
件院後住岩護山（石泉所傳故法橋說也）但件書之裏
所記者是安然和尙御說也是胎藏釋迦
會不同也
調定圖法性房御弟子調定院云人所作
也仍云調圖（一說）又只トヽノヘサタム
ル圖云事也（一說云〻）
又胎藏梵語曼荼羅云物有之云〻
帖決云花山曼荼羅謂之梵號曼荼羅〻云
江師云梵字曼荼羅玄照入寺書云〻
帖云世流布胎藏曼荼羅謂之現圖曼荼
羅昔無畏三藏云經中大曼荼羅佛所密
也顯露圖之恐違佛旨若任意圖亦非也
仍祈請給即佛空中現此曼荼羅故云現
圖又佛隨宜現之故云亦云隨宜曼荼羅
〻云
又云然師資傳來有此說未見文云〻
又云胎金二曼荼羅俱云現圖隨宜云〻
對記云金界天竺隨宜云〻又現圖〻顯
圖故菩提心義云金現圖云〻
又云現圖曼荼羅只是爲世流布隨宜所
圖繪也唯爲顯一義等耳云〻
分重〻院事
帖云胎藏曼荼羅也是三重曼荼羅也除

內院云爾也文
又云胎藏曼荼羅除中台之外三重院也
院者恒也故中台不云院中院者初重院
也又云第一重院圖中台故也云々
又云台三重第一重智門第三重悲門第
二重悲智二中門也卽兼悲智也
軌云初門釋迦文第三(外院歟)如吉祥云々
三密抄料簡云具緣云次往第二院東方
初門中畫釋迦牟尼疏云次往第二院畫
釋迦牟尼阿闍梨言此中第二是隱密語
耳若從中向外當以釋迦牟尼眷屬爲第
三院今則以毘盧遮那法門眷屬爲一釋
迦牟尼生身眷屬爲第二諸菩薩在悲智
之間上求下化故爲第二所以如此互文
者此是如來密藏爲防諸慢法人不師々
受者變亂經文故須口傳相付也輙字輪
品衣之前曼荼羅中之第二院置釋迦第
三文殊師利菩薩此文互也云々
江師云初門釋迦文云者端可有歟而現
圖第二重釋迦院第一重文殊院而違第
三妙吉祥云文如何此有多說自內院第
一初門釋迦門云也第一釋迦第二遍知
印第三文殊可有也云々
帖云胎曼荼羅中臺三重卽四種佛土也
中臺寂光初重實報二重方便土三重同
居土以文殊爲方便土化主者卽是應身
如來故也如以文殊眞言爲應身眞言也
付應身可分二勝應卽方便土主也劣應
卽同居土主也是第三重釋迦凡聖同居

也文
又云今此曼荼羅觀世音金剛手等院諸
尊二三重安之處狹故也如除蓋地藏院
一重安之皆可向大日也文
又云三重院諸眷屬菩薩皆向我々主(如來也)
又義釋云々觀音院又或唯皆向大日
尊云々心王如來心所聖衆故皆可向大
日歟可尊之云々
或云十三大院次第幷院々尊一二次
第義操阿闍梨密號集可見之云々
中臺
具緣疏云大日身如閻浮金如菩薩像首
戴髮髻猶如冠形通身放種々色光被綃
縠是首陀會天成最正覺之標幟也彼界
聖天本質嚴淨不假外飾世尊同其像文
或云(決良曉)問大日住法界定印故如何師
云先違爲表法界之理住之說理故然理
界云也金大日結智拳印故名智界云々
大原決同之
大原決云四面毘盧遮那者唯是顯隨向
不背德也兩界俱妨耶故或胎藏數曼荼
羅四箇大日各向四方畫之四寶冠在一
處也(上安祥寺在之)二臂也
一切佛常金色也胎大日爾也是衆生所
喜見身養眼精眞金智體也金色衆色中
勝云々眞言師祕藏事云樣胎大日實白
色可有祕藏經處々金色云心本源清淨
理覺返色心究竟大日白色衆色本色可
有歟サレハニヤ古胎曼荼羅大日白色

畫有之文
變嚴決云胎藏曼荼羅大日尊猶可畫白
肉色也金色不得意之間幸見讚岐前司
俊綱宅曼荼羅畫白肉色卽年來本意足
物語之間守曰是東寺曼荼羅相傳文
帖云五佛大日是智處城成道相也故同
天人寶冠瓔珞相也四佛下界成道出家
相也云々
又云問撿胎現圖曼荼羅寶幢在北(阿閦觸地印也)
開敷在東(寶生與願印故)雷音在南(與金剛界不突印荷其印)
(右掌向外指末垂向印)何故三佛位異耶答是唯隨
宜畫像也不可爲定量唯隱祕本位 問
既是隨宜之所圖也爾者可有一往之隨
之由也何答經一云北方不動佛離惱清
涼定疏四云此是如來涅槃智是故義云
不動非其本名也本名常云鼓音如來云々
今現圖隨宜畫像故不動之名通阿閦故
暫以阿閦佛安北方也 問若爾以北佛
可安東佛位也何故以北佛安南以南佛
安東耶私且案之爲隱祕三佛之位故也
以北移南以南移東也若以北直移東南
佛之位不移故也 問若爾何故不移西
佛耶私案諸教所讚多在彌陀故一切成
知彌陀是西方故不移也文
又云胎不說五佛獨磨形是隱祕也云々
只是依金耳而其位參差也(如先問)而前唐
院本全如金位耳
又云胎四佛不說其形隱故耳皆可任定
印歟而借圖金四佛形文(又云胎藏四佛所著衣袈裟也云々)

又云兩界四佛是同佛也寶幢等者義名也阿閦等者生身名也又天鼓ゝゝ者最勝經微妙聲是也釋迦也

修行法云今寶生佛本是大日身亦是南方寶莊嚴世界他受用身若本所通達如是觀佛三昧經四比丘一檀越今成五佛比丘中南方成佛之比丘也文

帖云胎曼荼羅若地若壹壇數曼荼羅其中台藏不滅十六指云ゝ故釋云此曼荼羅極少之量則十六指云ゝ

又具緣品云十六央俱里指也云ゝ此是白檀曼荼羅處文也可見釋義其十六指者中臺八葉量有所表也八葉上各有八種善知識各持金剛慧印故釋云故云遍出諸葉閒云ゝ卽八葉與尊也故十六也又表金剛頂超十六菩薩坐入如來地也文

帖云八葉閒三古是四智四行表歟

持明房決云八葉八隅三古是各其八尊三形也文

帖云問胎藏內院四隅之瓶由ゝ何師云此是四智瓶也故灌頂時於彼瓶上置四瓶也

第一重

帖云問第一重院東遍知印南金手北蓮手西不動等也何故只云三點眷屬乎答西南方不動等一重院是佛部使者也更非別院耳文

遍知印菩提心義云一切佛心名遍知印五輪率都婆塔火輪三角以爲佛心其壇圓形臍有八點一切衆生亦與此相應故肉心八分以爲三角火輪以此佛心遍知諸法名正遍知文

帖云遍知印是諸佛之位標幟也是降伏智印也智火表故三角○形也中表萬字是佛圓滿之德也文

三密抄料簡云三角火形具緣品疏云其鋭下向標幟同之祕密品疏幷曼荼羅中上向圖之文

帖云遍知印三角尖方向下事持明曰於東方見之其尖亦向下歟疏五○一切遍知印○其鋭下向純白色○云ゝ是三角火投下地意耳如法界生印以三角尖頭地卽是以智火投焚法界也今此印亦說其用歟文

江師云三角中有滿字表佛功德也此滿字是何答是印也非文字滿字印也唐院御本三角智火也左右菩薩形有也祕藏事也一方滿字印一方口云ゝ

古曼荼羅遍知院嘔形有之不知之云ゝ

遍知印伽耶迦葉優樓頻螺迦葉事

對記云海說○何故此二聲聞安此院耶師說表一切聖人互爲眷屬此二聲聞儀軌所不說也○權僧正大和上說惠和上說○如普賢觀音等遍在一切處也○私云此二迦葉本是釋迦生身眷屬經疏諸軌此處不說竊疑天竺曼荼羅中以此院近釋迦院故繪匠便書而已

智大師在唐記二迦葉可在牟尼院何以在此答非但聲聞在此院普賢觀音等亦在彼院是顯示互爲眷屬更不可疑文

三密抄料簡云私撿靑龍軌有之今謂三角火形表大智火是如來大智威德降伏魔外之相也二迦葉本是事火者如來降伏爲弟子也爲顯此義置此中歟○問生身聲聞豈在法身中答世天尙爲中台之生何不許聲聞爲遍知眷屬又釋迦或時在第二院文

帖云二迦葉釋迦院狹故於下臺之或云降魔院故也文

江師云經中一切諸菩薩位諸菩薩可有所置現圖安大安樂不空是二十臂延命也卽金剛薩埵也此二十臂攝金剛界三十七尊併有此一位也文

又云大勇猛菩薩有祕藏事

觀自在院菩提心義云諸執金剛一向是佛智印今蓮花尊義兼定慧又兼慈悲無果解脫如蓮出水爲表此義手持蓮花故名蓮華手云ゝ

菩提心義三云問八葉已有普賢文殊慈氏觀音第一重亦有觀世音第二重亦有文殊等第三重釋迦眷屬亦有普賢文殊此有何別答抄記云觀音文殊普賢彌勒已在八葉中卽大日如來大法身也爲度人故漸ゝ出于外故次門中須有文殊觀音等以類可解也云ゝ

私云八葉是大日尊八大法身第一重○卽是佛地三德祕藏云ゝ第二重是等覺以還法身菩薩如文殊等四法王子皆是其跡云ゝ第三重是變化生身如文殊生南天多羅聚落等也云ゝ

帖云胎藏觀自在院耶輸陀羅者非羅睺羅母是同名定門菩薩也妃也文

智證在唐記云寂留明者於大涅槃留住
而能照世間文
江師云水吉祥是水自在也水自在天部
在之佛部有蓮部水自在事未撿之大日
經佛部終蓮花部上水自在眞言說之是
可爲佛部見云々
又云多羅尊眷屬等可有沙汰秘藏事也
云々
金剛手院菩提心義云心王毘盧遮那成正等覺時一切心數莫不入此金剛界中變成智印約菩提義則有無量智印者別約佛陀義則有持智印者身口意密速疾無礙手印持金剛故名金剛手云々
江師云金剛部發生云者金剛部母歟發
生詞可然歟若定部母蓮花部發生亦可
爲部母對席也云々
帖云經二云月黶或記黶持誦不同黶云々
月黶尊者降三世也此尊半月輪中現黑
色忿怒也故以月黶故云爾也文
對云意大德說義釋云此尊從佛額毫相
生故爲名也毫相明淨猶如滿月故名月
黶文
持明院
帖云胎藏現圖曼荼羅降三世二尊並坐
謂風方勝三世及四面八臂降三世也師
傳云降三世有四種忿怒身顯之也一降
三世二不動三勝三世四月黶也云々今
私案云現圖曼荼羅意廣普攝諸尊又爲
廣觀法也是以金剛界中降三世爲辨事
尊卽此一尊攝三十七尊一々尊皆入降
三世三摩地降三世會意也故此尊爲最也故此
現圖曼荼羅中安四面八臂降三世攝金
界三十七尊也云々又瑜伽護摩軌中以
薩王愛喜爲降三世四種忿怒文
三密抄料簡云金剛手院有降三世亦名
月黶第五院風方有勝三世經疏名降三
世不動北般若南亦有降三世此三尊同
異云何答雖詳然有人云異異一云別體同
名其印眞言各異故私加三身形亦異一云一人
名隨本誓故處々出現云々今私問具就
別人義此三尊中何是五大尊中降三世
耶答不動如吽迦羅八臂四面以同彼降
三世軌然瑜祇經疏云胎曼荼羅勝三世
外更置吽迦羅及遜婆等非也文可決
第二重菩提心義云東方金色世界文殊以表分佛智德南方世界除蓋障尊以表分佛斷德北方世界地藏菩薩以表分佛福德西方世界虛空藏尊以表分佛莊嚴文
帖云四大菩薩院四角之瓶心何師云只
是於閼位安之也師傳台界以賢瓶安閼
位金界以三古安閼位捨曼荼羅降三世會以獨古安閼位自餘諸會三古也文
又云問賢瓶之〇有半杵形由云何師曰
是莊嚴之具也如尊勝軌云也
又云第二重界道畫匠誤不施之隅界道
事也
三密抄料簡云軌除蓋障圖在地藏院軌
曰光在地藏院圖在除障院此是異說不
可和會問若爾何云除蓋障會耶答誰云依軌圖私云除蓋會有云日光是除障義私云義釋云無分別法滅諸戲論如雲霧消日輪顯照故除蓋障云々故云爾歟云々
帖云問何故除蓋障院在地藏院耶答互
爲主伴義也文
又云勝方地藏者四州之中北州勝故也
如云涅槃經等也或左者非也
帖云千手金剛藏本云一曼荼羅大日三
摩地但千手是觀音大悲三昧所現也金
剛藏是金剛薩埵大智三昧所現也而大
悲門福德門也求願福衆生多故現千臂
利益之大智門入之者少求之者少故現
一百八臂利益之福智二身手多少以之
可得意歟又此二尊各可在其觀自在金
剛手院內也而左右相分十波羅蜜菩薩
爲此二院攝也卽寶等五觀自在院福德
莊嚴也慧等五金剛手院智慧莊嚴也若
依此義者虛空藏菩薩一獨無眷屬而然
和尚說云下大曼荼羅等菩薩是其眷屬
也云々可尋問若爾波羅蜜菩薩各於彼二院
可圖之何於虛空藏院圖之耶答師曰虛
空藏是智兼備菩薩也爲顯此義故於虛
空藏左右畫之今此虛空藏持劍寶卽表
福智也故一說十波羅蜜菩薩虛空藏眷
屬也云々
又云金剛藏上所畫飛天首陀會天也置
閼位之處畫之也文
又云問千手金剛藏何故在虛空藏院耶
答非在虛空藏院之中千手是觀自在院
一具也是隨宜繪界道等之形也不可爲
定置耳
又云古一說西方第二重虛空之北方權
々々禪并其下之四尊及其下界道下
十一面等四尊并千手菩薩等并十四尊
併是觀自在院之所攝也又虛空藏之南

方慧等五。次下五（或四）其下界道下之四尊。及金剛藏。倂是金剛手院之所攝也。但是現圖隨宜之繪像。故於虛空藏右〻書之也。虛空藏一尊是西方之本菩薩也。義釋中。曼荼羅具有虛空藏眷屬文
又云。十波羅蜜眷屬者。又可有屬般若菩薩也云〻

帖云。十波羅蜜等。般若菩薩等所著。即羯磨衣有所爲時衣也。事業衣也。金界四波羅蜜衣。又是也。鬼類腰帶謂之力布文
又云。羯磨衣多是女人所著也。謂强隱身也。如金界四波羅蜜女也。而男形菩薩又著之。如胎般若菩薩幷十波羅蜜等也文
江師云。蘇婆呼烏瑟沙摩云說在或金剛兒云〻

帖云。問。蘇悉地眷屬者何。答。古傳說。虛空藏南力波羅蜜下菩薩。是蘇悉地迦羅菩薩也。出現智即是也。其菩薩有八眷屬。謂虛空藏直下界道下左右各有四菩薩。是其眷屬也文 其中在十一面等耳（未詳）
又云。蘇悉地眷屬院出現智菩薩眷屬也。或云。虛空藏眷屬也。又虛空藏下左右分爲觀音金剛手攝文
又云。問。出現智直南有尊誰耶。答。或曼荼羅有此尊。或曼荼羅無此尊。故左右各四菩薩也。此尊是曼荼羅菩薩也。謂蘇莫悉地哩也。地尾迦南。明幷唵縛日羅斫迦羅。明。賢言主歟。金剛輪菩薩是也（可尋之文）
對記云。意大德說。曼荼羅菩薩是大輪菩薩文

帖云。纔發心菩薩者。胎藏虛空藏院下在之。金界因菩薩是也。即是轉法輪義也文
又云。胎曼荼羅有三軍荼利。蓮花軍荼利一金剛〻〻二蘇悉地院軍荼利菩薩三是也

第三重

釋迦院（菩提心義釋迦是世界主故偏擧其若經疏等列十方佛文）
持明房口決云。釋迦院五佛頂置背釋迦轉輪聖王成給時。或光聚佛頂身現給依之。今此院置餘佛頂依之可知（一字釋五佛頂經是意具說）
帖云。問。遍知眼（或云能寂母或云如來寶）如何。答。遍知眼者。能寂母是也。未開如來寶說耳。只是相對歟。是不分明〻〻〻。能寂母者是釋迦佛母也。即內第一重佛眼母者是法身佛母也。今能寂母是生身佛母也
問。胎曼荼羅分生法二身眷屬方何。答。釋迦諸眷屬幷外金剛部。是生身眷屬也。四大菩薩三點眷屬等是法身眷屬也
江師云。現圖。佛右一切如來寶云。佛御前經中。於世尊右顯示遍知眼文 是名能寂母云。故以之爲故。一切如來寶能寂母云說有之歟云〻 以一切諸佛頂一切如來寶云說有之文
帖云。釋迦院無能勝。陀羅尼集經無能勝尊。勝軌無能勝佛眼無能勝是同尊歟。不可越守護無能勝。不必同尊歟
三衛抄料簡云。問。毫相舌牙等尊攝軌等在遍知院圖中。在釋迦院云何不同○答。一往隨宜施設歟。生身法身俱有相好。然於此中。或法身隱故。總立一身。生身顯故。別開諸相文
帖云。聲聞坐荷葉。亦表心蓮不開耳。支佛坐蓮。表成佛相故歟
義釋云。若縠聲聞緣覺○或坐俱勿頭花葉云〻
帖云。西方蓮花有多數。二者鉢頭摩○俱物頭有赤色及靑二種。又云。俱物頭是蓮花靑色者云〻。天部坐荷葉者。謂未開心蓮故耳。圖中梵天坐蓮花者。三界主故。表勝故耳文

外院（菩提心義云。八方世界八種天子以表護方諸世界中八種天衆皆攝八類云〻）
帖云。問。胎現圖曼荼羅何故有二帝釋耶。答。三說。一云。北是三十三天受妙樂之身也。東是鬪戰之時形也。故東門之帝釋以之爲護方神也。一云。北是他方帝釋也。東是此界帝釋也。一云。有所表云〻。未詳。凡此曼荼羅是隨宜所圖也。不可爲定量也云〻
又云。釋四云。上方諸尊多依帝釋。右下方諸尊多依龍尊之右（師曰右字誤可作左字也）也。師曰。帝釋者梵天位也。龍尊左者地天位也云〻
又云。問。胎軌東北五淨居云〻。又東南云。四禪五淨居云〻。而圖中東南淨居無之。備者此等意如何
師曰。上方故置淨居等也文 私案。軌文東北天部。初五淨居各別列之。安東北而示四禪衆中。可有淨居天也。故次文云。四禪

五淨居等也。而東北列故。圖不列之歟。又云。四空處中畫支佛形也。是表出離三界之意耳。居三界頂也。三密抄料簡云。問。質多羅自記等何人。答。二十八宿也 文。大原懺盛光決云。二十八宿者。木者作者。卽是異名也。見外金剛部不同之中 然和尙撰。帖云。第三重西門內軌文有二龍幷地神及二守護。而圖無地神門中心有賢瓶云。下有荷葉瓶口如例有花杵等形。師說此瓶有二口傳。一云西門是通門故門前灑水瓶安之也。一云。此瓶是地神之三昧耶形也。故合軌文耳 文。江師云。若云門前瓶者。行者入曼荼羅之時已灑水了。何曼荼羅中在之耶。若地神三昧耶形云者。可書其形。何書三摩耶形耶。何況堅牢地天已上在之。是則地神也。何別在之耶。有可云事祕藏也。更問之云〻。義釋五云。通門外有一瓶○擬出入時灑身云〻。帖云。何故圖地天在東耶。答。只是隨宜圖也。不可定准也云〻。帖云。日月五星等。卽是世界所有日月五星等也。謂被召入曼荼羅中住其位故也。三界諸天神等皆爾也。或亦彼大日所現。諸天神等隨類各領世界天神各爲其部類云〻。又云。胎金等曼荼羅中諸天曜宿等皆是大日等流身也。卽是顯教中實業生此界

天曜宿等是也。更無異也。尋本皆是大日如來本初入門形示也。故一卷一字經智處城此等曜天等皆列此事猶以難〻可思之。門事。疏六云。大勤勇門傴月上各置如意寶。金剛手門傴月上各置拔折羅蓮花手門傴月上各置商佉 文。帖云。鑁圖於最外南北門上安其物可見之。又云。毘沙門前帶形造物云之河伯面謂河伯神形歟。又台藏門桁造形。又是河伯面也。畫匠云□又 文。又云。問。難陀跋難二龍。可有何門耶。答。可勸曼荼羅經軌等也云〻。今撿曼荼羅最外第三重院南北門內各有二龍 軌文亦爾 軌西方最外門說云。難徒拔難徒云〻。圖同之。軌幷圖東門無二龍。又云可勸之云〻。又云。四大護二守護中台四門在之。五色界道四面皆可有門也。狹故畫之云〻。又云。四大護玄法軌意。初重列之。可尋經及疏也。但外金剛部之中列之 文。又云。四大護在第一重門。而諸文或第三重門在之。況是十二門皆有之歟 文。江師云。四方四大護現圖無之。然而以二守護可准之云〻。帖云。二守護所在之門。延一定然和上稱子三形等抄。文殊院門云對護門 文殊右 不

可越守護也。對面護門相向守護也 取意。又撿現圖曼荼羅第三重西門中有對面護 梵號〔梵字〕 對破天 梵號云〔梵字〕 又第三重南門中有對面護對護。又文殊門有云對面護 梵號云〔梵字〕 對面護 梵號〔梵字〕 玄軌云門〻二守護無能○相對云〻。文殊院云對面護對護云〻。次下云。不可越守護 無能是歟 相向守護 相身是也 又金剛部西門內左右忿怒無能勝 不可越歟 阿毘目佉對 相向歟 又撿義釋大曼荼羅第一重持明院門中有之。左相向守護。右不可越守護也。又持誦不同第二金院第一重院西方持明院出二守護。又義釋云。守護者常住佛內受佛勅 取意文 師曰。若依此義釋意者。內院四門有之也。而見上諸文第一重門 文殊 第三 光 重門皆用之。恐尙是重〻門〻有之歟 文。緣周草事。妙心太云。寶性草倒鎖花 壇上草及華〻名文。文殊八字軌云。四角同諸壇法寶性草 文。帖云。十三院曼荼羅周牡丹草畫之。此牡丹草地飲食道云。天竺牡丹草敷之陳列食也。院列食草畫。故隨彼飲食道云也。此飲食道觀作曼荼羅幷地曼荼羅無之。分三部事。帖云。八葉遍知院持明院 佛部列院 是佛部也。觀自在虛空藏蓮部也。釋迦金剛手 乃至 諸天金剛部也。釋迦金剛部諸天主故也。又義釋十方諸佛又金剛部所攝也。械上主故也。總略三部者。大日 佛部 彌陀 蓮花部

釋迦　金部

教(帖引之)時義云三部者有二說一義釋中第一重分爲三部○上方如來智部佛母○摩尼○下方不動○勝三世○爲如來部勝方觀世音等及諸眷屬名蓮花部右方執金剛手及諸眷屬爲金剛部中台九曼荼羅極果云々義釋中毘盧遮那是佛部也阿彌陀是蓮花部也卽觀世音釋迦是金剛部卽金剛手諸傳法者因之分此四重以爲三部台爲佛勝方第二重地藏初方文殊右方除蓋障花方虛空藏并諸眷屬爲蓮花部右金剛手花方不動初方釋迦并諸眷屬及第三院世天爲金剛部也云々

東曼荼羅別卷云問且置自在釋若約通途義云何判三部答中台遍知印是佛部也觀音及第二重四菩薩是蓮花部也金剛手二明王釋迦世天等是金剛部也若二明王或爲佛部攝是如來部使者故是通途義　問何文明之答具緣品疏及不思議疏如前引又具緣品疏云大凡此第一重上方是佛身像衆德莊嚴下方是佛持明使者皆名如來部門右方是如來大悲三昧能滋榮萬善故名蓮花部左方是如來大慧力用能摧破三障故名金剛部云々

帖云金剛手院是佛左也爾者可云定如何智耶答離智定是劣也今智上建立定也觀自在院亦是出假利生智也卽義釋云三點眷屬云々是金剛手空觀自在假上佛部中也文

帖云問胎界三部何答佛部者眞如佛性也蓮花部者其理淸淨無染如蓮花無染淤泥雖在有情無明淤泥中更不染不染自性情淨也金剛部者其理本自非但淸淨亦如金剛不壞此理在衆生身中雖往來六道四生於此理敢無損增猶如金剛無毀壞也是則三部俱理性也理界故也亦此三部如次正緣了三佛性也又煩惱業苦三道也云々

胎曼十界具足事

帖云胎藏曼荼羅以觀不思議境之意可知之也今此曼荼羅凡聖雜居善惡並起尊本大日三摩地且本置而不論且點一念心卽如來藏理也百界千如三千世間法門宛然具足故一念心中旣地獄乃至佛界雜居凡聖不異離善惡無隔趣此曼荼羅卽此意圖顯也但義釋中大曼陀羅其事彌分明也釋迦如來及諸佛世尊同在譸々雜類之中故也云々

又云胎曼是十界互具中佛界上十界顯現也故其曼荼羅中六道四生宛然具之卽是天台所說觀不思議之意也佛界乃至地獄界宛然一曼荼羅示現也其地獄義釋曼荼羅具有之但現圖曼荼羅無之師說地獄攝炎王也又義釋曼荼羅天部中諸佛雜居佛界上理具地獄鬼畜云彌顯然也云々

寶永二年乙酉七月二十四日以淨教房
眞如藏本命松安寫
兜率谷雞頭院三部闍梨嚴覺
享保九辰年ヨリ同午年マテ於出雲寺
書寫校合訖

阿娑縛抄第二十五　隨行私記　本

先加持衣
以右手作拳取水持誦用灑淨衣眞言
曰
唵微莽羅莎合二訶
次著衣
以眞言持誦其衣而著眞言曰
唵鉢哩縛羅多合二縛日哩尼吽
著衣眞言無手印
次淨三業　次三部三昧耶
次被甲護身　次持珠杵入堂
其往詣時住本尊阿字本不生觀想步
々踐八葉蓮華
次到門前以軍荼利印眞言加持香水灑
身上
次超薰香入堂々々間誦此眞言而入足
眞言曰
唵入縛合二哩多路者囊吽泮吒　誦七反
次到佛前禮佛說懺悔偈并誦淨三業眞
言　如常
次著座　次塗香塗手
次加持香水　用軍荼利印眞言　若用杵
次取散杖自身壇上供物同件堂內灑之
皆始從東北順灑之
次加持供物　用不動印明　若用杵
次拍掌辟除
以右手拍左手掌如是三遍眞言曰

唵縛日羅多羅吽泮吒
次彈指辟除
以右手彈指三遍眞言曰
唵枳哩々々嚩曩咤捺羅合二吽泮吒
次去垢
以右手大指捻小指甲上餘三指微開
並竪又腰間三指向前左手亦作此印
用觸諸物即成去垢及與清淨眞言曰
唵枳里々々嚩日羅吽泮吒　七遍
次清淨印
以部心眞言作拳取水持誦七遍用灑
諸物便成清淨眞言曰
唵爾囊爾迦　輕呼　唵阿路力迦　輕呼　唵縛日
羅持力迦
次光澤
以右手大指捻小指甲上餘三指微開
並竪舒其肘還以左手亦作此印承左
手肘以左手印觸諸物眞言曰
唵帝誓帝惹徙尾寧徙提娑馱也吽發
吒　三遍
唵儞軕々々儞跛也摩訶室哩曳莎訶
三遍
唵入縛羅々々々也滿度哩莎訶　三遍
護摩時此次用二印
次啓白　次神分
次供養文　次唱禮
次驚覺
二手作拳二小指相鉤二頭側端相柱
當額三反上下念驚覺一切佛眞言曰

唵嚩日盧合二地瑟姹吽合二
次作禮方便
歸命十方正等覺　三世一切具三身
歸命一切大乘法　歸命不退菩薩衆
歸命諸明眞實言　歸命一切諸密印
以身口意淸淨業　慇懃無量恭敬禮
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
以左手翻掌向外以右手掌背安左手
背用左右大小指互相鉤如金剛杵形
眞言曰
唵一引　曩莫薩嚩怛他糵多二　迦野弭嚩
入　吃質合二多　三　縛日羅合二　滿娜南迦嚕
弭
次出罪方便
我由無明所積集　身口意業造衆罪
貪欲恚癡覆心故　於佛正法賢聖僧
父母二師善知識　以及無量衆生所
無始生死流轉中　具造極重無盡罪
親對十方現在佛　悉皆懺悔不復作
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
金合二大指並竪二頭指屈著大指端
如彈指　疏文云大刀印　眞言曰
唵一薩嚩幡跛薩怖合二吒娜訶曩縛日
羅合二野娑縛合二賀　引
次歸依方便
南無十方三世佛　三種常身正法藏
勝願菩提大心衆　我今皆悉正歸依
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
用普印眞言曰

唵薩嚩沒馱冐地薩怛鑁設羅救藥車弭三嚩日羅達摩四誐利五

次施身方便

我淨此身離諸垢　及與三世身口意
過於大海剎塵數　奉獻一切諸如來
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

外縛二中指竪合如針（古印云獨文）眞言曰
唵一薩嚩怛他蘖多二布惹鉢羅合二嚩
𠵿多合二曩夜怛摩合二南三怛里合二夜引
哆夜弭四薩嚩怛他蘖多室者地底
瑟姹合二擔五引薩嚩怛他蘖哆惹難謎阿
味設覩六

次發菩提心方便

淨菩提心勝願寶　我今起發濟群生
生苦等集所纏繞　及於無知所害身
救攝歸依令解脫　常當利益諸含識
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

定印外縛仰當請眞言曰
唵冐地喞多二母怛跛那夜弭

次隨喜方便

十方無量世界中　諸正遍知大海衆
種〻善巧方便力　及諸佛子爲群生
諸有所修福業等　我今一切盡隨喜
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

用普印眞言曰
唵一引薩嚩怛他蘖多二本若（左也反）惹曩
拏慕捺那三布闍迷伽三慕捺羅合二四
薩叵合二囉拏三摩曳五引吽

次勸請方便

我今勸請諸如來　菩提大心救世者
唯願普於十方界　恒以大雲降法雨
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

用普印眞言曰
唵一薩嚩怛他蘖多二睇灑傳布惹迷
迦三慕捺羅合二薩叵合二羅傳三摩曳四
吽

次奉請方便

願令凡夫所住處　速捨衆苦所集身
當得至於無垢處　安住清淨法界身
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

內縛慧風開屈如鉤〻眞言曰
唵一引薩嚩怛他引蘖多二二合捺睇灑夜
弭三一引薩嚩薩怛嚩係多引嘌他去二合野
四達摩馱覩悉體地二合以反底嘌縛秣覩
五

次迴向方便

所修一切衆生業（功德）利益一切衆生故
我今盡皆正迴向　除生死苦至菩提
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

用普印眞言曰
唵一引薩嚩怛他引蘖多二怛哩合二野怛
曩合二本惹迷伽三慕捺羅合二薩叵合二羅
傳三摩曳四吽

發願并五大願（若爲他人時於此發五大願若唯獨修時入內發耳）

次三昧耶印眞言

虛心合掌二大指並上節稍屈並竪以
印〻身五處也五處者謂額右肩左肩
心喉也頂上散之

曩莫三漫哆沒馱引南阿三迷三怛哩
三迷三摩曳莎訶

次法界生印眞言

二手金剛拳側拳舒二頭指端相柱當
胸誦眞言三遍了卽先仰次向身竪印
後頂上誦眞言向身散之三反致心散
之

曩莫三滿多沒馱南達摩馱覩薩嚩婆
嚩合二句唅

次轉法輪印眞言

以慧手背如定手背八指相交反出左
大指致右手掌中禪而相合作印了當
胸誦眞言三反上下次三反右轉次印
身五處而頂上散之

曩莫三曼多縛日羅赧縛日羅合二怛摩
合二句唅

次金剛甲冑印眞言

虛合二頭指各著火指背二大指著二
中指第二節作印了當胸誦眞言印身
五處頂上各作金拳各直竪頭指自左
右邊引下之致腰而右頭指端念𑖎唵
字左頭指端念𑖎砧字口誦唵砧卽以
二頭指先三遍纏繳次腰次左膝次右
膝次又臍腰次當心背次頭次額次腦
後二頭指各作拳左右引之卽前低頭
小動如結冠緒勢而後散之

曩莫三曼多嚩日羅合二赧唵嚩日羅合二
迦縛遮吽

次鑁字觀

以覽字安頂上印明（用法界生印）
曩莫三曼多沒馱南覽𑖨
次無堪忍印眞言
定慧十指一處集如未敷蓮花二水指
開竪三遍左轉辟除三遍右轉結界次
指上下次印身五處散頂眞言曰
曩莫薩縛怛他蘗帝毘藥一合二薩縛佩
也尾蘗帝弊二尾濕嚩合二目契弊薩嚩
他三吽欠四羅乞灑合二摩訶沫攞五薩
嚩怛他蘗多奔尼也合二㴱左帝六吽〻
怛羅合二吒〻〻〻阿鉢羅合二底訶諦娑
嚩合二賀
次安立器世間印眞言
先結火印誦𑖨字眞言三反擲下外念
燒除器界明曰
曩莫三曼多沒馱南𑖨
次空輪印眞言
金合二大指並竪二頭指屈著大指端
想有欠𑖏字種〻色字變成空輪形圓
色種〻即誦眞言曰
欠 有歸命
次風輪印眞言
結先轉法輪印念唅字色黑形半月變
成風輪明曰
唅 有〻〻
次火輪印眞言
結法界生印想有𑖨字赤色字變成
火輪形三角色赤即誦眞言曰
𑖨 有〻〻

次水輪印眞言
二手相合二地二空並著餘六指開小
屈如八葉蓮花念鑁𑖪字色白形圓變
成水輪明曰
鑁 有〻〻
次地輪印眞言
合掌二水外縛二風開之當中指背不
相著形如五股念阿𑖀字色黃形方變
成地輪明曰
阿 有〻〻
次道場觀 用定印
想地上有八功德水甚深彌滿其內有
八葉大白蓮華其花開敷金剛爲莖謂
五股杵蓮華臺上有大寶殿〻中莊嚴
之具種〻衆多寶四方寶柱行列宮中
想淨妙賢瓶閼伽寶樹王開敷照以摩
尼燈三昧總持地自在之婇女佛波羅
蜜菩提妙嚴花方便作衆伎歌詠妙法
音
次結金剛合掌偈言
以我功德力　如來加持力
及以法界力　普供養而住
次普供養印眞言
虛合二中指外縛二風作寶形眞言曰
唵誐〻曩三婆縛日羅斛
次觀曼荼羅 用定印
觀想樓閣內有三重曼荼羅〻〻〻中
心有瑟〻盤石座〻上有唅𑖮字〻變
成劍〻變成不動明王右手執智劍左

手執羂索第二重有自部眷屬第三重
護世威德天兩邊
次治路印
二手作金拳殺二頭指端相柱二中指
背並竪當額誦眞言念摯香爐又正取
香呂也眞言曰
唵蘇悉地羯哩入縛合二里多曩南多讃
羅多合二曳入縛羅〻〻〻滿馱〻〻賀
曩〻〻吽泮吒
次不動辟除結界護身
結不動印二手金剛拳後各刀印右刀
左鞘刀入住出於鞘中定手住心慧手
左右轉天地五處後復入鞘當心後捧
頂上振而散之眞言曰
曩莫三曼多縛日羅合二赧一戰拏摩賀
路灑儜二娑頗合二吒也三吽怛羅合二吒
四悍𤚥 常引誦三反
次振鈴
二手作金剛拳各置腰邊誦金剛杵眞
言三遍明曰
唵縛日羅播尼吽
先舒右臂取杵橫仰上右三遍轉如日
輪次三度擲上舉口唱長聲吽反舉向
右置右乳上次下誦金剛鈴眞言三遍
明曰
唵縛日羅獻吒吽
即舒左臂取鈴自心上至于頰振舉五
度即念驚覺聖衆次耳邊二度振之成
召請而後面二度振之即觀聲性寂靜

如是振了。以鈴横置腰邊。次以杵印五
處。而後鈴杵俱置本處。初夜晨朝。初九
度。後七度。日中夜半。初七度。後五度也。
七度者。頰邊五度。耳邊二度也。五度者。
頰邊三度。耳上二度
次召請印
定慧内縛竪慧風。如鉤。每誦眞言召之。
眞言曰
曩莫三滿多沒䭾引南一 阿念呼去薩嚩怛
羅二合鉢羅底訶諦二 怛他引蘖黨矩
者三引 冒地浙哩也二合鉢哩布羅迦四 娑
縛二合賀 七遍
次辟除從魔用不動印 如前
次示三昧耶印
先入佛三昧耶印眞言是也。用印如初。
示三昧耶之所以者。諸尊恐怖辟除故。
示本誓三昧耶令往也
次奉閼伽
二手側並仰上。如器相若持器擎之。先
以不動刀印明加持閼伽。先述心願而
後頌眞言。念浴諸尊無垢身眞言曰
曩莫三滿多沒䭾南一引 誐〻曩三摩引
〻娑婆賀
次奉花座印
二手相合。普舒散之。如鈴鐸形。二空地
輪聚合爲寶。水稍相建。眞言曰
曩莫三曼多沒䭾南引 阿引急呼擊
次辟除自身所生障。印用前不動印眞言
也。無異

次成事業身印
結五股印。當心想欠何字。置頂色黃。諸
法等虛空義也。嚩[illegible]字或用鑁字置心。
色白。諸法離言說義也
次誦金剛薩埵眞言。印身五處。明曰
曩莫三曼多嚩日羅赦戰拏摩訶路灑
拏吽
次金剛被甲印 如前印眞言
次摧伏諸魔印
右手作拳。舒風以空著風中節。以頭指
横置白毫際。而後左右辟除結界。次印
五處左擧置腰。眞言曰
曩莫三曼多沒䭾南引 摩訶引 泮羅
嚩底捺奢縛路嚩婆吠三 摩賀引 昧怛
哩也二合毘庾二合嗢蘖二合底四 娑嚩賀
次無堪忍印
虛合。二風屈入内。背相著。二水各散竪。
左右三轉。而後指上下。印五處。此名大
結界也。眞言曰 與執印異也
麗魯補哩呢矩履呢矩隸娑縛賀 有歸命七反
次獻閼伽
印眞言如前。但此處不用加持
次塗香印眞言
慧手向外。以定手仰握慧手腕。三處奉
之。如塗之勢。明曰
尾輪䭾誐度納婆二合嚩也娑婆賀 有歸命
次華鬘印
二手内相叉開仰之。二風側端相柱。空
置風邊。三處奉之。明曰

摩賀昧怛哩也二合毘庾納蘖帝娑婆訶
有〻〻
次燒香印眞言
二手中指以下六指背竪相著。二風舒
側端不相著。小許也。二空置頭邊。三處
奉之。明曰
達摩䭾怛縛二合拏蘖帝娑嚩賀 有〻〻
次飲食印眞言
二手虛合開掌向上。如掬物之勢。三處
奉之。明曰
阿羅〻迦羅〻沫隣捺那弭沫隣捺禰
摩賀沫㗚娑縛賀 有〻〻
次燈明印眞言
慧手作拳。以空端捻火面。向上三處奉
之。每處動之。如燈炎之勢。明曰
但他蘖哆羅脂二合縛娑叵羅傳縛婆娑
曩誐〻捺娜哩野二合娑縛賀 有〻〻
次普供養印眞言。用普印也。明曰
曩莫薩嚩怛他蘖帝驃尾濕縛目契弊
薩縛他欠烏娜蘖帝薩叵二合羅係給誐
〻曩劍娑婆訶引
次讃 普印 次本尊觀 用定印 隨尊各別
次根本印 隨尊各別 次加持珠
舒兩手。各以名指大指取念珠。頭指屈
著中指上節。然後三遍右引轉珠。誦此
眞言
唵嚩日羅虞呬也惹跛三摩曳吽
轉了。左手頭指已下四指上轢之。而更
拔取之 或薫燒香 入二掌中。虛心合掌。二火

少開。然後頂戴。誦。眞言。曰
唵尾盧左那摩羅娑嚩賀
眞言之後陳。所。祈願。
次正念誦
卽從。頂上下。乍。取。珠。當。心前。以。右名大
二指。除。兩箇珠子。捻。第四珠子。而誦。本
眞言。
次還珠法
念誦了。以。左手名大二指。捻。珠。左手頭
指已下四指纏。之更抽。之置。二掌中。盧
心合掌。二中指末少開。之頂戴發願。然
後置。本處。
次入三摩地（各隨別尊） 次根本印（各隨別尊）
次部母印（各隨別尊）
臚合。二地開豎。二風相著火背第三節。
二空並豎。又三部通用之眞言曰
曩莫三曼多沒馱南唵讖々曩嚩羅落
訖叉（合二）孏々讖々曩三迷曳 三 薩縛覩
嗢蘗多（四引）避娑羅三婆吠 五 入縛（合二）攞
那目伽難 六 娑嚩（合二）賀
次塗香 次華鬘 次燒香
次飲食 次燈明 次普供養
次讚 次閼伽（加祈願詞也） 次振鈴
次加持句
結。金剛合掌。（印五處）眞言曰
薩縛他 二 勝々怛陵々々顯々達憐々
々娑他（合二）娑野娑他（合二）娑野沒馱薩底
也（合二）縛 六（合二）達摩薩底（合二）也嚩 七 僧伽薩
底也（合二）縛 八 娑嚩（合二）迦嚩 九 吽々吠娜

尾泥娑縛（合二）賀（有引）々々
次解界
以無堪忍印。左。轉三匝。眞言如前
次示三昧耶
以前入佛三昧耶印。頂上散。之。或於。頂
上。左轉三匝。眞言如前
次禮佛
作。歸命合掌。置。之頂上。思惟諸佛菩薩
眞實功德至誠作。禮。而說。偈言
諸有。永離。一切過。 無量功德莊。嚴身。
一向饒。益衆生者 我今悉皆歸命禮
次奉送
先結。印。金剛縛。忍願如。針。揷以。時花。誦。
偈并眞言已。投。於上方。偈云
現在諸如來 救世諸菩薩
不。斷。大乘教。 到。殊勝位。者
唯願聖天衆 決定證。知我。
各常。隨。所安。 後復垂。哀赴。
眞言曰
唵 一 訖哩娖縛（二合）一 薩嚩薩怛嚩（合二）羅
他（二二合）悉地捺多 四 野他紵讖（引）蘗車
特梵（合二）沒馱尾灑盤布曩羅讖摩曩野
覩唵（一合二）嚩日羅（合二）鉢娜摩（七二合）薩怛縛
（合二）穆
次入佛三昧耶 次法界生
次轉法輪 次被甲
次九方便 次隨方迴向
次下座禮佛 次出堂

元弘四年正月八日書寫畢 清淨金剛豪鎭
建武四年五月四日於花藏坊以小川
殿御自筆御本交合了 豪鎭
文和三年（甲午）十月二十二日賜彼御本
書寫了
一交了 金剛佛子澄盛
享德三年（甲戌）正月二十五日以右本書
寫了
一交了 右筆乘源
持者金剛佛子源喜
寶永二年乙酉七月二十八日命全啓
寫之
台嶺橫川兜率谷雞頭院
三部闍梨嚴覺

阿娑縛抄第二十六　隨行私記　末

帖云隨行法者此題可名大日經第七
卷謂大日文殊觀音等隨行何尊儀式
也而不名經別軌造大日一尊法名隨
行也

可修此法事

帖云師曰隨行軌者以此軌隨何尊可
行云隨行也
此\法胎藏行別尊儀則也大法諸尊合
行作法也然者大法授先方便尤可授
此法也云々
帖云師曰三部大法各有別法胎隨行
金三摩地蘇十八契也是則三部別法
也云々
又云山門先教十八道次教不動法後
隨行次教大法儀軌或先隨行三摩地
云々
先\授四種念誦作法次授十八道（先軌後記）
次授隨行次授胎藏供養會次授三摩
地次授金剛界成身會次戶摩次授胎
諸會（但布字八印許可灌頂之後授之）其後授諸尊法

行法事

禾云智泉房私記有之以此爲行用記
就谷私記可致其沙汰
此\記慈覺大師之仰高[illegible]太夫被記爲所
依云々
詣堂時住阿字觀想步々踐○蓮文
是\心蓮也入佛地也等云々
相決云此事不審也阿字觀除觀其義
可有歟
此處只如此云如何不得心云々
大師私記云眞言行者四威儀中恒住
阿字本不生觀云々

門前灑水

無\門前灑水者可用此印也不限此行
法何法無門前灑水之時可用此印也
是飲可想也飲水印也
相決云以掬水印只向身灑水想也飲
之事不用之只悉地飲水淸淨印爾云
歟
尋云左拳置腰樣如何
拳\面當胸也

入堂內已五體著地先禮諸尊文

禮\拜三品有之五體投地上品也是西
國人座殿內三尺六寸床立一人々々
坐也此國堂舍切床體也件座前至二
足我手取頂令踐是歸依義也我最上
所彼最下所令踏也冠取捨履令脫踏
也稽首攝足云是也禮佛此義也下品
禮委如十八道決

觀想親對三部○及金剛藏菩薩文

尋云金剛藏誰乎
金\剛薩埵也尊勝軌等如此云

懺悔偈

我從無量劫流轉生死海等文
尋云遮常文如何
大\師令好誦給御此記大師仰被記也
又大師御手跡本古裏私記令作給行
端我從無量劫等有之等云々

禮佛懺悔偈

尋云先禮佛次懺悔偈文前後如何
一\切行法時如此可用之

就座誦淨三業眞言印心額喉頂文

尋云印相無之
又云印四處事違他如何
印\如常處合可用之
又此淨三業印明自餘出印四處是常
事也

結跏趺坐（ム云私記不見之）

安\座不動義也世間我不動者他人不
蔑我云是也如云止觀等云々

加持香水灑淨

灑\水非眞言行儀世間物淨皆用之世
間取大海水其故大海不止一切穢物
淸淨故也此眞言以遍至法界之香入
本性淸淨之水灑之令具此功德也是
非所表實大日所說眞言功力如此有
之等云々

啓白等

無\香呂之時持珠杵但顯教捧花見云
說有之釋尊爲摩耶說法給時持蓮花
等云々密教此習捧花人有之然而無
香呂者可持珠杵也
私云師作法置香呂常珠杵被持
大師私記無啓白神分靈分所願等私

加之云々
禾云見大師私記啓白等無之
供養文
觀佛三昧經文也
唱禮
禮讃
稱號禮佛
禾云大師私記出谷私記無之
驚覺
尋云眞言末吽字無之如何
有無不定也但大師御說憶吽字有之
仍可讀加也
ム云印三反上下驚小千中千大千是
大師御私記如此
九方便
入佛家方便也
發願　五大願
自行不可用之九方便事足也但化他
唱可令闕料也等云々
相決云發願五大願此國法也然而爲
他修之時了寧發願祈悉地也自行之
時不必然前方便行願九方便事足仍
自行念誦時只發五大願也
私記云大師私記無發願私加之獨身
之行時不加之云々
禾云見大師私記誡無之
三昧耶　ム云執入佛三昧耶文
入佛家也
法界生

煩惱妄染身燒盡得清淨身也
轉法輪
サテ轉妙法輪也是大日功德我又具
此功德也
金剛甲冑
慈悲甲冑也慈悲則攝伏義也等云々
尋云金剛甲冑三古五古等金剛作甲
冑歟
此何不覺金○金剛云サレハ金甲冑
金常五種七種有之　私云阿闍梨說云帖運
大論云金剛龜背上金剛置以白羊角　木鋼名也
打之碎也等云々
又云金剛卽金也云證悉皆文選見之
云々
金輪唱禮所如注之
涅槃經云金剛有二種一摧散二堅固
以堅固譬如來常住佛性
[梵字]字觀
轉輪聖王髻中明珠等云々
禾云大師私記云凡觀鑁字有二義入
堂之時字色甚白欲入穢處字色盛赤
云々
無堪忍
是無能勝明王印眞言也此明王釋迦
化身也釋迦成正覺之時此身降魔成
道此意也等云々
內
五輪觀鑁字於座前八葉蓮臺文
行者前先觀蓮臺次觀[梵字]字次結火印
也如金現智身見智身也先字體觀鑁

次結其印樣也
空輪
空輪種々色者空四方各別也隨方北
黃東白西紅南靑可觀之也
尋云金剛頂宗名五相成身其意如何
是兩部成身意令等也五輪卽五相歟
等云非可心得也
禾云大師私記云阿鑁覽唅欠三遍此
則五輪成身也金剛頂宗稱之名爲五
相成身而已
尋云自身五輪之時何不誦明乎
結總誦也外五輪別々誦各々意也
外五輪
外穢惡器界燒盡成清淨器界也軌云
風輪水ー金ー文私記五輪云々不同
如何可村何說乎
依軌誡可三輪今私記依大法歟
軌云是輪如金剛名大因陀羅文
大因々々者帝網土云也
ム云報土帝網土云也
道場觀
如本軌可觀也
三力偈　普供養明
尋云普供養明異常作法如何
識々挪明普供養明唵字明同事也仍
通用之無失
重尋々爾者識々鑁明五供養次普供
用之如何
用之有何事乎常供養淨陀羅尼云誦

讖〻讖明也

尋云。文注。法應多誦〇文意如何

尤可多誦事也。多物供養故也

曼荼羅觀

可用定印也

治路

阿修羅軍事。如胎藏大法之時

不動

印前後。振者指堅心也

又云。誦本尊我身不動成也等云〻

召請

尋云。此印相異台。如何　ム云。胎内縛。

今軌外縛也

如此印相異説常事也。只今私記依大法也

閼伽

二掌仰並指端少屈也。依此私記者可用此印也。閼伽五印有之。今其一也

禾云。大師私記云。以國土詞申志奉獻云〻

花座

尋云。印猶如鈴鐸形何乎

此法八葉印微敷蓮花形也。火風微敷形。水指開敷指末向上。其形如鈴鐸云也

執金剛

成金剛薩埵演供養料也。成最上菩薩也等云〻

相決云。執金剛印内縛五古印。又重結

五古印事

今私記大師授高太夫作法也。仍此説。

此法如此授給歟

無堪忍

此重結大界也。結外廓也等云〻

尋云。印相私記與軌異如何

印相異説常事也。何様可作歟

頂禮界會諸尊ム云。凡〻見〻大師御記無之

只作居禮也

閼伽

此處閼伽多義有之。浴身也

ム云。文注或私記文云。此度嗽口也云〻

五供普供

是總別供養義也。丁寧心也

且作印　且捧供物

私記擧三様。今第三理供事供並供意也

尋云。然者如注文者。先結印後修事供歟

是又一様歟。但行法如大法可結也ム云

燒香燈明印異常

增加句

眞言中要句要事添云增加句。世驗者ナト事不似歟。但其思成同事也

私記云。當以供養所生善根業。回向自他悉地。謂滿我功德。成他善業也云〻

ム云。此私記先加持珠。次結根本印。入三摩地文此次第念誦秘説頗附合歟。

殊勝〻〻

入三摩地

若不動行種子[梵字]字也。此字三字合也。

[梵字][梵字]也。[梵字]因。[梵字]寂靜。[梵字]大空三昧因。

發菩提心。寂靜菩提心。令不動不退也。

大空三昧成佛也。能護菩提心等。此意也等云〻

又種子者佛性云。同事也。難知之故。以字顯之。是菩提因也

尋云。所持明字。自心月輪上字右旋布列。漸〻口出入本尊口文違常如何

此様不惡。常様今少便宜歟

正念誦ム云。私記此章無之

此行法正宗云正念誦也

入三摩地

前後同様不替用説有之。此一説也

部母

私記云。可想自始迄終念誦功德皆盡奉負此尊。即使受納。至于成佛之日。令不散失。以此意發祈願詞云〻

尋云。部母印不動刀印。成事業身文如何

刀印辟除自身所生障也。次成事業也

尋云。大法後成事業身前可用刀印歟

後供養

念誦了。臨本尊歸給之時。重爲饗應。修供養也

加持句

令法久住心也云〻

禾云。大師私記云。可想以此奉報三寶

之恩恒不忘奉憶佛法僧也惟願三寶
諸尊常存念我云云

解界
始無堪忍印左轉一切皆解也云云

奉送
此胎奉送印金借用也但胎二中指作
蓮葉也云云

發遣
二讀有之發遣云云大師令用初讀是
師說也云云

入佛法界等
尊歸給我身恐有護身也
相尋云此處三部護身心如何
今軌其心見行法之後爲結護身儀軌
可見之

迴向
此功德迴向發願也
凡云不隨餘天無畏依具此名良助件
文
常事也如藥師經等乃至盡形不事餘
天等云云
凡云執金剛阿利沙偈如何
義釋多有本名只今不憶云云
凡云堂外作善之時作觀音事
觀音成身云不惡堂外作善之時廣施
云歟

經軌事
大日經略攝念誦隨行法一卷（不空 海仁 珍）
大日經略攝念誦隨行法一卷

祕錄云亦名五支略念誦要行法（不空譯 貞）
（元新入目錄圓覺無注 又云無本私云上二恐同本）
大毘盧遮那成佛神變加持經略示七
支念誦隨行法一卷（不空 貞元新入 目錄 海仁 珍）

私記事
隨行次第（覺大師）
奥書云已上次第是慈覺大師授高
太夫次第也云云
隨行次第（谷）
奥書云以慈覺大師授高太夫之次
第而爲所依
私記此恐違大師意哉後賢見之可
直謬處
于時寬弘三年十一月十四日於筑
後國上妻郡菩提寺偷以抄之云云
隨行私記（是相承私記也）
奥書云以御本書寫了沙門延覺佛
頂御本云云
建治三年初冬候抄記之畢是則於此
流者隨行法三摩地如大法加行初行
勤之而私記之沙汰不委悉如羊僧等
爲龜毛見仍所抄記也（且者大原僧都傳法後無隨行供養）
（會三摩地成身會云云）
求法沙門承澄記之
元弘四年正月十日以右御本書寫了
清淨金剛豪鎭
建武四年五月四日於花藏房以小川
殿御本一交了

私記澄春之筆跡奥書御所之
康永二年八月十八日於大原野阿彌
陀院書寫了　承慶
文和三年（甲午）十二月二十二日一交了
澄盛
享德三年（甲戌）正月二十八日書寫了
右筆乘源
朱點并一交了　持者源喜
寶永二年（乙酉）七月三十日於兜率溪雞
頭院勝寫之
三部阿闍梨法印大僧都嚴覺
享保九辰年ヨリ同午歲マテ於出雲
寺書寫校合了

阿娑縛抄第二十七 金記本

先建立道場洗衣浴身等作法
次上廁作法　次分土洗淨作法
次加持衣　次著座
次淨三業　次三部三昧耶
次遣除身中毘那夜迦等難印
次被甲護身　次持珠杵入堂（以上如胎記）
次到門前以降三世印眞言加持香水灑
身上
ム云。右拳舒立頭指（是獨古印）左轉右轉。各
三反
寧三波嚩日羅吽
有\用大呪人不知案內事也。大呪成身
之時可用也。加持之時用小呪。又是見
尊勝軌云々
次入堂　次懺悔偈淨三業　次禮佛
懺悔禮拜前後無定。可隨意云々
次著座　次塗香塗手
次加持香水（用降三世印眞言若用杵）
可\用軍陀利印明也。甘露義相叶故也
云々
穴〇（本ノ）云。亦名甘露軍陀利。用云。除八識
中羅染種。故用之有便云々
次灑淨　次加持供物（用降三世印眞言若用杵。未云。如前）
次拍掌　次彈指　次去垢
次清淨　次光澤（已上如胎記）
次淨地　火印向身觀法離塵念淨地

唵囉儒波哦多薩縛達莫
次淨三業（圖在）（軌清身眞言）肅合（二火小開云々）觀法本
淨念淨三業
娑縛波縛秫馱薩縛達摩
（自性）（清淨）（一切）（法）
次觀佛
金合低左顯見右空（圖在）（見拳左右不同但見右方也）卽
念諸佛滿空
欠縛日羅馱都鍐
（虛空）（金剛）（界）
次驚覺
二手各作金拳。以右小指相鉤左小指。二
頭指側豎端相合。向身指上。念彈驚入定
佛
印\豎掌胸不上下也云々
唵縛日囉底瑟姹吽
（金剛）（起）
次四禮（普\賢也）
先東佛
吽字（黃色）想於心變成五智杵。應想遍身
中所有微塵數爲金剛薩埵。金剛掌舒臂
全身委地禮。捨身遍法界奉獻阿閦尊盡
禮事諸佛
微\塵數者心所也。種子三形只一成金
剛薩埵（普賢也）之時。微塵數薩埵成。始自
阿閦尊東方一切諸佛前現禮事觀也
（除方三准知之）
又印如法頂上散之。散後低頭禮也（除方准三）

之云々
唵薩嚩怛他哦多布儒波薩他孃
（一切）（如來）（供養）
野怛摩南儞哩耶多夜弭薩嚩
（承事）（己身）（奉獻）（我今）
怛他哦多嚩日羅薩怛嚩地瑟
（一切）（如來）（金剛）（薩埵）
姹娑嚩給吽
（守護）（於我）（種子）
南佛想　怛洛（清黑）字於額金剛寶想身爲
寶形身中微塵數想成金剛藏（可同）全身以
額禮金剛掌於心奉獻寶生尊想於無邊
刹。手持五佛冠灌一切佛頂
金\剛藏（可同）者虛空藏也云々（清涼記法性記同內見虛々々）
唵薩嚩怛他哦多布慈毘嚩迦耶
（一切）（如來）（供養）
怛摩南儞哩耶多夜弭薩嚩
（灌頂）（己身）（奉獻）（我今）（一切）
怛他哦他嚩日羅囉怛孃毘詵者
（如來）（金剛）（寶）（灌頂）
給怛落
（我）
西佛觀　紇利（赤色）於口卽想八葉蓮花觀
身爲蓮花。身中微塵數想成金剛法。全身
以口禮金剛掌於〇奉獻無量壽想遍諸
佛會。而請轉法輪
金\剛法者觀音也云々（清涼法性同）
唵薩嚩怛他哦多布惹鉢羅縛哩多那耶

怛摩南俑哩耶多夜弭薩嚩怛他哦多嚩

日羅達摩鉢羅嚩哩多耶斡紇哩

北佛。噁白色字想於頂。變爲業金剛。觀身
業金剛身中微塵數皆成金剛業。至全身以
頂禮當心金剛掌。奉獻不空尊。想於普集
會。觀金剛業身而作大供養
法性別記云。業金剛者。羯磨杵文（圓註）
ム云十字羯磨杵也 又云。金剛業者業菩薩也文
金剛業者。羯勒也云々

唵薩嚩怛他哦多布惹羯磨捉阿怛摩南

偏哩耶多夜弭薩嚩怛他哦多嚩日羅羯

磨矩嚧翰噁

次金剛持天（賢大日也云々 亦名普禮）
如悉地金剛部印。右膝著地。以印置頂上。
念禮諸如來御足。即舒指從頂左右垂下
如垂帶。至留心上。右三反旋轉。次右脇邊
三反旋轉。即左手舒左方。次右脇邊三反
旋轉。即右手舒右方。如是如舞勢。次金合
置頂上
然後二掌合摩外縛。是成就義也。是義
決云々

唵薩嚩怛他哦多迦耶弭縛紇只多嚩日

羅嚩娜南迦嚕弭唵嚩日羅吻

帖云。已上淨地乃至金剛持大。一說著
座塗香次用之抄
次啓白 次神分 次供養文 次唱禮
次五悔（圓註）一般粘五悔印明引用之 通用金合。每度散
頂上云々

作禮
歸命十方一切佛　最勝妙法菩提衆
以身口意清淨業　慇懃合掌恭敬禮
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

懺悔
無始輪迴諸有中　身口意業所生罪
如佛菩薩所懺悔　我今陳懺亦如是
歸命々々々々々々々々

隨喜
又應深發歡喜心　隨喜一切福智聚
諸佛菩薩行願中　金剛三業所生福
緣覺聲聞及有情　所集善根盡隨喜
歸命々々々々々々々々

勸請
復觀諸佛座道場　己身各請轉法輪
一切世燈座道場　覺眼開敷照三有
我今胡跪先勸請　轉於無上妙法輪
所有如來三界主　臨般無餘涅槃者
我今勸請令久住　不捨悲願救世間
歸命々々々々々々々々

發願
懺悔隨喜勸請福　願我不失菩提心
諸佛菩薩妙衆中　常爲善友不厭捨
離於八難生無難　宿命住地相嚴身
遠離愚迷具悲智　悉能滿足波羅蜜
富樂豐饒生勝族　眷屬廣多恒熾盛
四無礙辨十自在　六通諸禪悉圓滿
如金剛等及普賢　願讚迴向亦如是
歸命々々々々々々々

五大願
次勝悉地。普印 軌云。次應發勝心願一切有情如來所稱讚世間出世間速成勝地
文（圓註）此印明加持供物之時用之事アリ非後世

唵薩嚩怛他哦多商悉多薩嚩薩怛嚩南

薩嚩悉馱業三波備演耽怛他哦多先者

地底瑟姹耽

次摩吒
摩字置右目。吒字置左目。即念。摩成
月。吒成日。次念。從眼中出五古金剛杵。二
手金剛拳。各安於腰邊。遍觀空中。諸佛皆
歡喜。所有香花等及餘供養具。因此目瞻
覩。去垢成清淨。辟除成結界
嚩日羅怛哩瑟致摩吒

次金剛合掌　二羽合十度初分交
嚩日蘭惹里

次金剛縛　外縛是也。能解結使縛
嚩日羅滿馱

次開心
[illegible]怛羅字念置左乳上。[illegible]吒字置右乳上。
外縛開掌腕橫當心。引開心。如掣開戶樞。
即開心也
三軌用印云怛羅吒字文金色花山記云。
不改前縛印云云
引開時曲指峯加搔勢云云
縛日羅滿馱怛羅吒
[illegible]

次召智
外縛禪智屈入掌致地水間。以印當心。即念胸內有心寶殿。此殿前有[illegible]阿入字。光明赫奕流光。即後以二大指掌內召入阿入字。念心殿內召入阿字軌云。想召無漏智入於藏識中
二大指入掌內背不著掌。召時大指於拳內召之云云
縛日羅吠奢噁
[illegible]

次閉心
以前印相屈進力三反。相拄二大指節上。
如固封物。觀以無漏智收菩提心殿內已。
固閉門戶。
縛日羅母瑟致鑁
[illegible]

次普賢三昧耶
金縛忍竪如針軌云。鑁誦眞言已坐於月輪上自身成普賢自身觀普賢
三昧耶薩埵鑁
[illegible]

次極喜三昧耶
金縛檀慧禪智並竪忍願交入掌內。指面合開腕當心。以忍願三反指心上。念以大悲箭射二乘厭離心
三昧耶斛蘇羅多薩怛鑁
[illegible]

次降三世印
隨誦眞言作印。第一吽左作忿怒拳。第二吽右忿怒拳。以右腕置左腕上。第三吽二地相鉤。第四解二頭指竪。開如牙。次左三轉辟除。右三轉結界。印天地。印身五處
身五處文然而可印四處也心額喉頂云云
唵蘇婆儞蘇婆吽蘗哩訶拏云云云云吽
[illegible]
蘗哩訶拏婆耶吽阿那耶斛婆誐鑁縛日羅吽泮吒
[illegible]

次蓮花三昧耶
金縛檀慧禪智竪。得成蓮花部轉輪之主
掌以印當口
開腕面前向指上。必不當口也云云
唵縛日羅鉢娜麼三摩耶薩怛嚩
[illegible]

次轉法輪
前印檀慧交叉竪。開腕橫當心三反。右迴轉。念摧滅阿賴耶識中違背菩提二乘種
吽吒枳薩怖吒野麼訶尾羅誐嚩日藍縛
[illegible]
日羅馱羅薩帝曳毀術
[illegible]

次大欲
金縛以禪入力智間。隨誦眞言。三反出入。
橫結之云云
唵蘇囉多縛日藍弱吽鑁斛三摩耶薩怛
[illegible]
鑁

次大樂
前印不動。大指爲異軌云。菩提大欲滿圓成大悲稱文
唵摩訶蘇佉縛日蘭娑馱耶薩嚩薩怛吠
[illegible]
毘愈弱吽鑁斛
[illegible]

次召罪
金縛忍願竪如針進力如鉤。隨誦眞言。以進力召自他罪。入掌內圖註召摧二印內外不同今可用外縛也
軌云。觀想召諸有情罪。自身三惡趣衆罪召於掌。黑色如雲霧。衆多諸鬼形
唵薩嚩播波迦哩灑拏尾戍馱曩縛日羅
[illegible]
薩怛嚩三摩耶吽發吒
[illegible]

次摧罪
金縛忍願竪合獨古杵。而誦眞言間。忍願
二指端相磨[illegible]怛羅字念左中指端。[illegible]吒
字念右中指端。次誦吽字。一度拍。次誦怛
羅字。一度拍。次誦吒字。一度拍
中指竪合磨三度。指倒拍指芟也。令有

聲云々

唵縛日羅皤抳尾薩普吒耶薩縛皤耶滿

馱那儞鉢羅設訖灑野薩嚩皤耶哦底毘

藥薩縛薩怛嚩薩縛怛他哦多嚩日羅三

昧耶吽怛羅吒

軌云、當觀自身想變成降三世〇內心起慈悲〇摧諸有情罪三惡皆辟除云々

次淨業障（軌云、次應淨業障令滅決定業文）

金掌進力屈二節、以禪智壓進力初分。安右耳上

正\不當耳、只指上之云々

唵縛日羅羯磨尾輸馱耶薩縛々羅拏儞

毋馱薩底曳難三摩耶吽

次成菩提（軌云、次成菩提心自他令四句文）

前蓮花三昧耶印、置左耳上

開\腕掌、向外左上也云々 ム云、常師云、掌向前、左上也云々

唵戰捺嚕多黎三滿多波捺羅枳羅抳摩

訶縛日里尼吽

已上三昧耶分

次定印

金剛縛仰安於臍下、端身勿動搖、舌拄於上腭、止息令微細

縛\定印、大指端相合也

諦觀諸法性　皆由於自心
煩惱隨煩惱　蘊界諸入等
皆如幻與焰　如乾闥婆城
亦如旋火輪　又如空谷響
如是諦觀已　不見於自心
住平等寂滅　究竟眞實智
即觀於空中　諸佛如胡麻
遍滿虛空界　想身證十地
住於如實智　空中諸如來
彈指而驚覺　告言善男子
汝之所證處　是一道淸淨
金剛喩三昧　及薩婆若智
尚未能證知　勿以此爲足
應滿足普賢　方成最正覺
自心不動搖　定中禮諸佛

唵薩縛怛他誐多跛那滿娜南迦嚕弭

次五相成身

微心明（亦名通達心）

行者聞驚覺　定中普禮已
唯願諸如來　示我所行處
諸佛同音言　汝應觀自心
既聞是說已　如教觀自心
久住諦觀察　不見自心相
復想禮佛足　白言最勝尊
我不見自心　此心爲何相
諸佛咸告言　心相難測量
授與心眞言　即誦徹心明
觀心如月輪　若在輕霧中
如理諦觀察

唵質多鉢羅底吠鄧迦嚕弭

無染心（亦名修菩提心）

藏識本非染　淸淨無瑕穢
由具福智故　自心如滿月
復作是思惟　是心爲何物
煩惱習種子　善惡皆由心
心爲阿賴耶　修淨以爲因
六度熏習故　彼心爲大心
藏識本非染　淸淨無瑕穢
長時積福智　喩如淨滿月
無體亦無非　即說亦非月
由具福智故　自心如滿月
踊躍心歡喜　復白諸世尊
我已見自心　淸淨如滿月
離諸煩惱垢　能執所執等
諸佛皆告言　汝心本如是
爲客塵爲翳　菩提心爲淨
汝觀心月輪　得證菩提心
授此心眞言　密誦而觀察

唵冐地質多母怛跛娜野弭

次觀金剛蓮花（亦名菩提心堅固、私云、已下金剛部之文可改蓮花之字、縛日羅鉢那磨之句通）

能令心月輪　圓滿益明顯

諸佛復告言　菩提心堅固
復授心眞言　觀金剛蓮花
私云。隨部心月輪上置其種子。字轉成
三摩耶形文
禾云。若佛部[梵字]字。率都婆。若金剛部[梵字]
字五古。若寶部[梵字]字寶形。若蓮花部[梵字]
字蓮花。若羯磨部[梵字]字羯磨。若行別尊。
各可用其種子三形耳
唵底瑟佗縛日羅鉢那磨
[梵字]
次金剛蓮花界 亦名普周法界 亦名即爲蓮花界
汝於淨月輪　觀八葉蓮花
令普周法界　唯一大蓮花
應當知自身　金剛蓮花界
已上四相通不散縛定印
舒蓮花
二手以大押小甲。水火風舒屈。如蓮花形。
以左印仰置臍上。以右手水火風迴磨左
手面三反已。右印漸舒舉大空。誦舒蓮花
眞言念自身蓮花普遍法界。此法界即成
一大蓮花界
如文右三指末。正付左手面。右磨迴了。
指末乍垂下。漸々引上之。致肩程。指末
上印面向外
唵縛日羅鉢怛磨娑頗羅
[梵字]
證金剛身
前舒蓮花印。乍擧右手誦此眞言。想虛空
中諸如來入蓮花中

唵縛日羅鉢那麼怛麼句唅
[梵字]
斂蓮花
亦同印漸垂下。左手面誦斂蓮花眞言。念
斂彼一大蓮花法界。入自身內 可想虛空諸如來悉隨於
蓮花斂量同己身所在諸如來皆入爲一體猶如明鏡能現於萬像法界自在體住於金剛蓮
印下時。指末次第早下也。文不云。如此
三反舒斂也
此印相通用五部。率都婆五古寶珠羯
磨等。引分舒斂思成。不違印相也
唵縛日羅鉢怛麼僧迦羅
[梵字]
次觀身爲本尊 又名佛身圓滿
自身爲蓮花　清淨無染著
復白諸佛言　我爲蓮花身
時彼諸如來　便勸行者言
觀身爲本尊　復授此眞言
記云。此觀身爲本尊相。五佛通用此眞言。
但印相隨五佛各異之。成大日如來時。印
相外縛忍願直竪合。上節屈指端。相拄如
劍首。以進力著忍願背。名劍印
若行四佛可結其印 禾云如次下加持印　若行別
尊。結其尊根本印云々
唵野他薩嚩怛他哦多薩怛他含
[梵字]
諸如來加持 記云文諸如來加持者大日如來也文
先大劍印置心上 花山記云不改前印云々
唵薩嚩怛他哦多避三冐地涅哩奈嚩日
[梵字]

羅底瑟吒
[梵字]
次四如來加持
東不動佛　外縛。二中指直竪如針。置心
已下不解縛如文改中指置處々也云々
唵嚩日羅薩怛縛地瑟姹娑嚩銘吽
[梵字]
南寶生佛　外縛。中指竪。成寶形。置額
唵嚩日羅囉怛曩地瑟姹娑嚩銘怛洛
[梵字]
西無量壽佛　外縛。中指竪。成未開蓮花
形。置喉
唵嚩日羅達磨地瑟姹娑嚩銘紇哩
[梵字]
北不空成就佛　外縛。二大二小並竪。如
蓮花三昧耶印。置頂
二大入掌中。羯磨印也云々　對記中院惠和上說同華
同山記
唵嚩日羅羯磨地瑟姹娑縛銘噁
[梵字]
次五如來灌頂　記云。即前五佛印也文
遍照灌於頂　正不置也額上程指上也云々
不動佛於額　遍照少下也云々
寶生尊頂右　右耳程指上也云々
無量壽頂後　只前額程遣也云々
不空在頂左　左耳程指上
唵薩縛怛他蘖嘁濕縛哩耶毘曬迦吽 中
[梵字]
唵縛日羅薩怛縛毘詵遮銘吽 東

唵嚩日羅囉怛曩毘盧遮給怛洛 南

唵縛日羅鉢娜麼毘盧遮給槶哩 西

唵縛日羅羯磨毘盧遮給惡 北

次四如來繫鬘

師説。四如來繫鬘。前用大日繫鬘。前加持印。於額轉准。四如來繫鬘

唵薩縛怛他蘖多摩羅毘盧遮給鑁 云云

裹莫 晋

用前四佛印。先作東佛印。當額。誦東佛眞言。二羽作金拳。三遍迴轉如結鬘。頂後又三反迴轉。二羽分從頭左右邊垂下如垂帶。即於前始自小指開拳。餘三佛准之

頂後只額迴轉也。謝額分迴轉之

唵縛日羅薩埵縛摩羅毘盧遮給鑁 東

唵縛日羅囉怛曩摩羅毘盧遮給鑁 南

唵縛日羅鉢娜麼摩羅毘盧遮給鑁 西

唵縛日羅羯麼摩羅毘盧遮給鑁 北

次如來甲冑

二羽金拳舒進力 進指面想掩力度面想砧 當心繞。次背。次左右膝。次臍。次腰。次左右肩。次喉。次項。次額。次頂後每處三繞。從頭左右徐垂下

於前始自小指散之

左肩右手下引下。右手右手引上也。自餘如胎云云

禾云。或先結胎甲冑印明。後十二處結之。是義決説也

唵砧 禾云。大原記。砧字。貼字。貼ナフ入聲之字也。可用砧字歟。砧知林反チム也。イエ相通故用チム。ノ音也

次金剛拍 平掌而三拍

兩掌直舒。横心前拍之云云

唵縛日羅覩瑟也斛

次現智身

先結誦前召智印眞言。次外縛。忍願直竪。誦現智身眞言 圖在 三反召也

軌云。身前想月輪。於中觀本尊。諦觀於相好遍入金剛已 文

花山記云。想身前八葉蓮花。其上有惡字。變成普賢。相好圓滿。左手執鈴腰。右手執五智杵安心 文

唵嚩日羅薩怛嚩嚩

次見智身 軌云。見彼智薩埵。兩觀於自身鈎召引入縛令喜作成就

前普賢三昧耶印

同印現見兩智身眞言誦之云云

唵縛日羅薩怛嚩湼哩捨也

禾云。現見俗作也。有何差別成二印哉。可尋之

次四字明

如降三世印。二風屈加鈎形。念鈎弱。鈎召義。次進力末互少交。念索吽 索義 引 次進力互大相物交念鎖鑁 鎖義 次二腕相合振之。念斛 鈴義 喜

鈎頭指立出召様也。鈴腕上前後動也云云

次陳三昧耶 金縛。忍願蓮葉形

三昧耶薩怛鑁

即左拳捺左腰。念持鈴。右拳置右乳上。念持杵

唵三昧喩哈摩訶三昧喩哈

已上成身分

次大海印

觀有大海。有八功德水。最底有欠字。色種種成空輪形。上有哈字。色黒成風輪。半月形上有鑁字。色白成水輪。圓形上有鉢羅字。色黄成金龜形。上有素字。成妙高山。方形有字。成七金山遶形。如是觀已。二手内相叉掌 [山] 仰横當前。右三匝迴轉。念壇場。即大海 師曰。先結印。當時作空風水等觀。了誦眞言。三匝遶轉

欠哈鑁鉢羅素劍唵尾摩嚩娜地吽 出兩卷軌

禾云。大海印如對受記者。雖異説多兩部具用同印也

次須彌山

内縛。二腕相合竪。念山立海中

佛頂房說二臂合竪臂下（常師用之）智泉房說深叉入開腕臂自心前下結之是聖行房行用云々

唵阿者攞吽

次道場觀（法界定印云々）

觀想於山頂上有鑁吽多羅（二合）奚哩（二合）惡五字以爲大殿其殿四角正等具足四門其門左右有吉祥幢軒楯周環四重階道於其殿上有五樓閣懸雜繒綵網花鬘而爲莊嚴於彼殿外四角之上及諸門角以金剛寶之所嚴飾想其外院復用種々雜寶鈴鐸映蔽日月懸珠瓔珞以爲嚴飾復於其外無量劫波樹行列復想諸天美妙音聲歌詠樂音諸阿修羅莫呼落伽等次金剛佛之所娛樂（已上略出經文也）

次觀曼荼羅（法界定印云々）

想於大殿內有大曼荼羅々々々中心有縛字左右有阿字此三字變成八師子座々々上有月輪々々上有蓮花座々々上有鑁（白色）字々々變成率都婆（更問）々々々變成大日如來身色如月首戴五佛寶冠垂妙紗縠天衣瓔珞飾身住智拳印光明普照從於頂上放白色光照于十方無量世界悉皆白色從身四邊（胸右肩左肩背）放隨方光（背色紅色）（金色五色）照曼荼羅四佛四波羅蜜十六大菩薩八供四攝幷賢劫十六尊二十天並無量無數大菩薩衆悉皆顯現前後圍繞以爲眷屬

次金剛輪印（圖胜）（此云小金剛輪大金剛輪共用外縛也）

二羽金拳進力構慧鉤結印心佛壇空自身尊壇地虛空皆成大曼荼羅

向\身印身當心前印尊印下外反向印之印壇下向之次空前反仰向上云々

唵縛日羅斫迦羅吽

已上曼荼羅分

次用鈴杵（如胎記）

次啓請（軌云想白諸佛世尊降此曼荼羅文）

先金剛輪印誦偈三反（印面向上云々）

野毘焰涅尾蝎嚢娑斫迦羅悉地寫多母陛穌黎嚩日羅軍荼利係都毘焰多毘焰多摩薩都婆娜嚢莫

次開門

金拳檀慧鉤結進力竪側合至吽字開進力指端如是四反念開四門

不改前印唯改二頭指許指合也云々

唵嚩日羅娜嚩嚕嗢娜茄吒也三摩耶鉢羅伏舍耶吽

次啓白

金縛忍願竪合進力屈如鉤中指復而不著稱名而啓請三唱此伽陀

若得三昧耶者金剛佛子（某甲）稱名後誦伽陀也云々

阿演都薩吠步嚩迺迦沙羅鉢羅拏弭多世沙迦散羅摩羅沙乞叉怛訖哩多難多娑嚩娑嚩娑嚩娑嚩娑嚩演步冐難多娑嚩娑嚩婆嚩

次觀佛海會（軌云觀佛海會諸聖衆雲集文）

二手（三反）作拳二腕相交以右押左如抱胸勢二頭指彈指三反

右\押左者右手在胸方云々帖云以左付胸以右押左肘上文

唵嚩日羅娑摩惹々

次諸如來集會（軌云諸如來集會皆在於虛空誦百八名讚禮曼陀羅衆文）

金剛合掌

各\禮終嚢牟薩都諦云每低頭禮他不解印

縛日羅薩怛縛摩訶薩怛縛嚩日羅薩嚩怛他蘗多三漫多跋捺羅縛日羅儞野縛日羅播儜嚢牟薩都諦

縛（王）日羅囉惹蘇沒馱紇哩野嚩日羅矩舍怛他蘗多阿目伽羅惹縛日羅儞也嚩日

羅羯囉灑鑁牟薩覩諦

縛日羅邏識摩訶傑企也縛日羅縛擎嚩

商迦羅摩羅迦摩ゝ訶縛日羅ゝゝゝ左

波鑁牟率都諦

嚩日羅娑度蘇縛日羅藥羅也縛日羅都

悉鑠摩訶囉諦鉢羅母儞耶囉惹縛日羅

儞野縛日羅喝羅娑鑁牟薩都諦

已上東方

縛日羅囉怛鑁蘇縛日羅ゝ他縛日羅迦

捨摩訶摩抳阿迦捨藥娑縛日羅荼縛日

羅藥波鑁牟薩都諦

縛日羅諦惹摩訶儞嚩攞縛日羅素哩耶

爾鑁鉢羅婆縛日羅囉涅銘摩訶諦惹縛

日羅鉢羅波鑁牟薩都諦

縛日羅計覩蘇薩怛縛囉他縛日羅特嚩

惹蘇都灑迦囉怛鑁計都摩訶縛日羅ゝ

ゝゝ野悉鑠鑁牟薩都諦

縛日羅賀娑摩訶賀娑縛日羅悉哩多摩

訶娜步多必哩低鉢羅母儞耶縛日羅儞

耶縛日羅必哩諦鑁牟薩覩諦

已上南方

縛日羅達摩素娑怛縛羅他縛日羅鉢娜

麼素戍馱迦路計濕嚩羅素縛日羅乞叉

縛日羅儞怛羅鑁牟薩都諦

縛日羅底乞叉拏摩訶野那縛日羅句捨

摩訶庾馱曼殊室哩嚩日羅儼鼻哩耶嚩

日羅冒地鑁牟薩都帝

縛日羅係都摩訶曼拏縛日羅斫迦羅摩

訶鑁野素鉢囉靺怛鑁縛日路怛他縛日

羅曼拏鑁牟薩覩諦

羅日羅娑沙素微儞耶藥羅也縛日羅惹

波素悉地那阿嚩遮縛日羅尾地耶藥羅

野縛日羅娑婆鑁牟薩覩諦

已上西方

縛日羅羯磨素縛日羅訖讓也羯磨縛日

羅蘇薩縛藥羅縛日羅誐伽摩呼娜哩野

縛日羅尾濕嚩鑁牟薩都諦

縛日羅囉乞叉摩訶吠哩耶縛日羅靺摩

ゝ訶泚哩荼訥哩庾馱那蘇微哩耶吃哩

耶縛日羅尾哩耶鑁牟薩覩諦

縛日羅藥乞叉摩呼播耶縛日羅部瑟吒

羅摩訶娑耶摩羅鉢羅摩㗚底縛日路藥

羅縛日羅戰拏鑁牟薩覩諦

縛日羅散地素沙寧地耶縛日羅滿馱鉢

羅誤斫迦囉縛日羅母瑟吒耶藥羅耶三

摩耶縛日羅母瑟緻曩弈薩都諦

已上北方

次四明

如降三世印。鉤〔屈進度招索〕二頭指相鉤。

鎖〔開腕相鉤〕鈴〔合腕振〕各誦本眞言

縛日羅矩捨弱 鉤召義

縛日羅播捨吽 索入義

縛日羅薩普吒鑁 鎖住義

縛日羅吠捨惡 鈴喜義

次金剛拍掌

左右手舒掌。相拍三度。令有聲。念令聖衆

歡喜〔後二度少早令拍云々〕

唵縛日羅多羅覩使也斛

次閼伽

二手並仰。二大入掌內。念掌內有水。洗佛

手足。即啓白願志。於三所奉三部

先〔捧器祈願。奉三處置本所。次結誦也〕

師如貽用之。通用三部故也。謂二手作

清淨印。少指方並合是也云々

唵縛日嚧娜迦姹吽

次花座印 八葉印

唵迦摩羅娑婆訶 此儀軌中無眞言

次振鈴

二拳安腰。誦金剛杵眞言。以右手如取杵

之勢。於心上三轉迴抽擲三反。即拳安右

乳上。拳面向右方外。次誦金剛鈴眞言。左

拳如取鈴之勢。謂五指垂下。如少開蓮花。

大指爲鈴子。當面上振之。三反上下。念諸

佛歡喜 軌云心入解脫觀照般若理文

念〔如正用鈴作法而三度振上之〕文不

云。鈴印安腰。以右拳印五處。鈴杵兩印。

置壇樣也云々

唵縛日羅健吒覩使也斛

次羯磨會 次三昧耶會 次大供養會

已上諸會在別卷

次奉獻事供 若修成身一會時。先加修

三昧耶會八供印明

私云。四攝可略之

次奉獻事供 若盡諸會時。只修五供養

耳

私云。八供印明。諸會時已用故也

香〔花燈塗飲食。次第供之。謂先捧供。燒香

器。置器。結誦香菩薩印明。次捧供。華壇器。

置器。結誦花菩薩印明。以下准知之

飲食印明 記云飲食印明可用之

初〔心用胎藏飲食印明。已成人用大供

養會薩埵三味耶印明。是非强祕藏頓

故也云々

金縛。二中指如針

唵薩嚩怛他誐多嚩日路跛摩三摩地娑

縛那幡那冒地那嚩娑那布惹吽伽三母

捺羅薩發羅拏三摩曳吽

次普供養印 無軌

金剛合掌。二頭指戚如寶形。並竪二大指

唵阿謨伽布惹摩尼跛納摩縛日隷怛他

蘖多尾路枳帝三滿多鉢囉薩羅吽 此印明無

軌無

次讃 普印

自行時。四智讃用之

曼荼羅供時。百字。百八。普賢。四智用之

已上供養分

次百字明

結前薩埵三昧耶印。誦金剛百字明〔用隨之部〕

唵縛日羅薩怛嚩三摩耶摩努播攞耶縛

日羅薩怛嚩底尾努播底瑟姹涅哩濁弭

婆嚩素覩使喻弭婆嚩阿努路訖覩弭婆

縛素補使喻弭婆縛薩縛悉地弭鉢羅野

瑳薩嚩羯麼素者弭只多室哩藥句嚧吽

訶訶訶斛薄伽鑁薩嚩怛他誐多縛日羅

摩弭閦遮嚩日利婆嚩摩訶三味耶薩怛

嚩隱

[梵字]

隨部改句。佛部冐地。金部縛日羅。寶部羅怛曩。蓮部鉢娜麼。業部羯磨也。終字（如意記之）隨部[梵字]隨一用之。印隨部三昧耶會。五佛印隨一用之云云

問。今記金部讃終字[梵字]如何

答。金剛薩埵種子用[梵字]。是一說也

又隨部不改之通用金剛百字印明說有之。不惡。金剛薩埵五佛事業故云云

次不散前印。誦金剛薩埵（隨部用之）

唵縛日羅薩怛縛

[梵字]

百字次根本印。可結之。大日羯磨會三昧耶大日印明共用之。若羯磨明三昧耶印明之。自餘尊准之。又可加用三身密印云云

次捧珠鬘（頭註）（此界淨珠真言等不用之）

二羽捧珠鬘。誦真言七反已。三反頂戴

如胎。二中指端少開之云云

唵嚩日羅[illegible][illegible]也惹波三摩曳吽

[梵字]

次正念誦

三反頂戴珠了。於心前以二手大指無名指捻珠而作念誦（頭註）（取珠印明三部五部各別有之。見攝真實經）

大日（縛日羅駄都鑁）　金剛薩埵（薩縛日羅怛縛）　降三世

（大呪二十一反許。小呪百反許）

餘真言等在心。不可定執云云

次還珠法（念誦了。捧珠鬘。大頂戴。置珠子）

修習念誦法　以此勝福田

法界諸有情　速成菩提道

大師用後偈

次入三摩地（隨尊異也。法界定印）

若行大日者。[梵字]字言語不可得可觀也云云

次根本印（隨尊異也）

本尊許用之云云

已上作業分

次八供養　次事供養

次普供養　次讃（本尊四智讃誦之云云）

次閼伽（降白志願）　次鈴杵

次以降三世印左轉解界

次結三昧耶會（不[illegible]諸會者不用之）大日劍印。誦真言曰

唵嚩日羅穆

[梵字]

以印舉頂上。即二羽分。從頭垂下。如摩頭。如是三反已。即前三昧耶會結界皆解散也

次結羯磨會（不[illegible]諸會者不用之）智拳印。誦真言（同前真言）次印舉頂上。二羽分。從頭左右垂下。如摩頭。如是三反已。即前羯磨會結界皆解散

次奉送。金縛。忍願如蓮葉。指端安時花。誦偈云云

二中指作蓮葉事。依蓮部也。隨部可改之云云

禾云。時花前供養花鬘一房插之。誦明了投之（如胎）

以作如是勝上利　授與一切有情竟

願諸聖衆還歸土　不違本誓後還來

唵訖哩覩縛薩怛縛遝他悉地娜多

[梵字]

野他拏誐蘗車特梵勃馱尾灑鹽布曩羅

[梵字]

誐摩那野覩唵鉢娜麼薩怛嚩穆

[梵字]

鉢娜麼句。隨部隨尊可改之。行別尊時。改本尊梵號云云。或又不改之。五部五有五部心也云云

次五佛加持　次五佛灌頂

次寶印

金縛。進力如寶形。禪智並竪當心。誦真言。次當額。分手作拳。以進力二節三轉迴。次繫後三轉迴。如結鬘之勢。自檀慧散之

次甲冑

即作金拳當心。舒進力相縈。心。背。兩膝。臍。腰。兩肩。喉。頂。額。腦後。各三轉。徐向下垂下。從檀慧散之。作兩道印。誦一箇真言

結寶印散之間。唵以下至制娜梵誦之。誦唵砧二字之時。作甲冑印云云

唵嚩日羅々怛曩毘洗者銘薩嚩母捺羅

[梵字]

吽捺哩埵矩嚕嚩日羅迦縛制娜嘜唵砧

[梵字]

次拍掌（如前）（軌云。令聖衆歡喜。以此心真言。解縛得歡喜。獲得金剛體文）

次四禮

次五悔（迴向方便許用之云云。ム云。發願也。不用云。結願時五悔具用之）

次迴向

已上三摩波多分

建長三年十月五日於小河草了
同四年八月十八日書寫了
尊澄記之

建武三年丙子十二月二十一日於花藏房以右御本加校合了　永慶記之

正應四年十一月晦日於東塔西谷西蓮房書寫了偏爲奉捧山王法樂繼佛法慧命也　佛子昌全

元弘三年歲次癸酉十月八日於本院東谷佛頂尾華藏房爲紹隆佛法書寫之訖　金剛佛子永慶

同日酉刻交點訖今親以正本如交合
宿福甚厚尤可貴々々

于時應安六年歲次癸丑六月十二日於東谷佛頂尾月藏房賜右御本令書寫了
師仰云若一部書寫不終者何置又西山上本房可被送云々
[梵字]眞存記之

于時應安七年甲子十一月二十九日以御本書寫了
[梵字]弘範記之

寶永二年乙酉五月十五日敬膽寫竟
兜率谷雞頭院阿闍梨嚴覺洪道
享保九辰年同午歲於出雲寺書寫校合訖

阿娑縛抄第二十八　金記末

淨地

軌云。應誦此眞言。器界皆清淨

甲本頭註曰。生起義圓云。若地不淨何淨法器。故先行之

生起 異云。器是所依。身是能依。先觀所依清淨之時。能依清淨。即觀故。譬如世間爲盛淨物。先淨其器文

淨地記云。關鎖偈云〇芙蓉合玄法々々口與法界生印同文

花山記云。玄法寺元征阿闍梨所傳。火印向外三反擲之。想器世界清淨文 對法性記諸說同。

淨三業

甲本頭註曰。縛淨次淨身不淨何處佛爲故大身淨

軌云。次當淨三業。觀法本清淨文

生起 異云。觀法本清淨者。無有一法非眞如故。身有三業殺生偸盜婬欲 口有四業妄語綺語惡口兩舌 意有三業貪欲瞋恚邪見

示云。淨地記等。此印次用三金觀

觀佛　軌云。遍照明文

甲本頭註曰。淨身故身成法殺大觀處生佛

軌云。於虛空觀佛遍滿如胡麻文

生義 異云。此明觀理佛性也〇眞如佛性遍在法界。如胡麻油。以虛空喩法界。日情以麻油喩眞如佛性。乃至草木無非佛性々々

清涼記云。低右頸見左空　三軌用印同

見左右空異說也。但見右空宜歟。事業時常用右故也云々

穴云。若約所表者。見佛是觀也。觀是右也。

若就見左空義。見定中佛故也云々

對記諸說觀右方

花山記云。元征阿闍梨用五古印云々

驚覺　軌云。金剛起

甲本頭註曰。佛皆住法界定。若不驚覺者。恐不降立。故行金

對記諸說皆三反擧之云々

四禮

甲本頭註曰。隨起故行四禮

清涼記云。各々先觀種子字並字色。次觀成三昧耶形。次觀成尊形。次印禮佛。具如文

法性別云。東黃。南青。西赤。北白。是元征和尚傳。東赤。南黃。西青。北黑。是胎藏意文

文殊供養軌云。東心想吽字青色　南想額黃色　西想口赤色　北想頂綠色

抄

帖云。先阿閦禮者。謂行者於心上觀[梵字]字。々變成五古立之 觀全身遍是五古體也。其杵量等自身也。即想我身即五古也。其身中微塵數心所小乘三四十六大乘具言門微塵心所也 六々即各變成金剛薩埵。即微塵數薩埵也。此即於微塵數諸佛所。全身委地行禮拜。即自身三昧耶形觀。只身中微塵心所尊形成也。此全身只五古不成尊形也。餘三禮大底准之。但虛空藏手取寶冠。於一々佛頂灌頂之。謂我成佛道時十方佛亦爲我如來之灌頂給也。法菩薩請法輪。又請住佛世業

菩薩作事業也
又云。四禮之處。阿閦心。謂心第八識本故。
額灌頂寶冠處故。口說法之智故頂々戴
供養故。五佛加持同之。但加大日可思之
生義（異本）云。問。此人猶未能入初發心。作何
爲薩埵。答。但是勝解作意也。如花嚴云。初
發心時便成正覺。非謂實成。唯是觀解也
軌北佛三昧之普金剛
淸涼記云。普金剛者十字羯磨杵也（十字羯磨形）
此其形也。此杵形四方皆皆金剛故云
普金剛也（帖心同）
金剛持大（甲本頭註曰。四禮是旣禮四佛故。次行普禮歟）
此眞言軌　略縛日羅勿句別安題云金
剛持印
淨地記云。此眞言或本作二段。初眞言
名爲金剛持大。後段眞言印名爲金剛
持。今撿六卷經。於後段眞言亦作金剛
持大印也
啓白等
供養文唱禮
帖云。金界不可必用唱禮文不見也。胎藏
本文有之
或云。金界唱禮如常。廣如禮懺中唱禮如二
大原唱禮集云。太門流曼荼羅供灌頂等八二
用中略唱禮用之。但近來不用之是隨世
也云々
示云。法性別記此次用驚覺印明
帖云。五悔之前不用驚覺。四禮前用之故
可前故（又圏）。若用之是誤說也々
五悔
五悔通用普印。漢語許用之（細圏）
一說引用胎藏五悔印眞言（花由等用之諒　記法性別用之）
帖云。五悔之中加歸依無發願。前第五之
願中有發願迴向之二意可
作禮
生義（甲本頭註曰。普禮已衆故次發歸命）異云等正覺者佛寶。言最勝妙法者
法寶。言菩提衆者僧寶。白業云淸淨云々
懺悔
生義云（甲本頭註曰。雖有歸命而不懺悔業致成驗。故次懺悔）。生死無際。故云無始。言諸有者三
有欲界色界無色界々々
隨喜
生義云（甲本頭註曰。雖懺淨衆罪而不隨喜功德。故次隨喜）。福智聚者六度之中前五爲福後
一爲智。諸佛菩薩積此福智。故云聚也
勸請
生義（甲本頭註曰。衆生未思漸漸將入涅槃。故勸請）云。世燈者佛菩薩也。以智慧光照世
間。故道場者是菩提也。覺眼者是佛眼也。
其肉等四至佛位時總名佛眼。如衆流總
名海。鮮淨如蓮。故云開敷○寶勝云隨喜
功德者不可思議。勸請功德多勝於彼勸
請有二。一請轉法輪。二請不入涅槃云々
東山記
偈中我今胡跪先勸請轉於無上妙法輪二
句。音聲明不誦之。無動寺于今不誦云々
或云。頂觀諸佛等初二句東寺不用之禮
懺中無此句故也云々
發願
生義（甲本頭註曰。其懺悔等功德無邊。故次迴向法界）云。言八難者。一生佛前佛後難。二生
地獄難。三生畜生難。四生餓鬼難。五生北
州難。六生長壽天難（非想天）。七世智辨聰難。
八諸根不具難（根不具　生淨土）人不生無難者翻之
可知。言宿命住智三明之中宿住智明相
與隨好莊嚴其身。故云嚴身○到五種彼
岸。故云波羅蜜（[illegible]）萬德圓滿云富
樂。豐饒。常生佛家。故云生勝族。諸眷屬爲伴。
故云眷屬多。言四無礙。一法二義三詞四
辨。言十自在。一事自在。二心自在。三莊嚴
々々。四業々々。五生々々。六解脫々々。七
欲々々。八神力々々。九法々々。十智自在。
言六通者。一天眼。二天耳。三宿命。四他心。
五漏盡。六神境。言諸禪者。八禪定。即四靜
慮。四無色。言金剛幢者。爲大悲門菩薩顯
下化衆生之義。言普賢者。爲菩提菩薩顯
上求菩提之義云々
穴云。金剛幢不重也。但以花嚴四大士對
作行向地之時。金剛幢是迴向菩提故歟
々云
次五大願（甲本頭註曰。若無大願者三世諸佛難成廣大）
次勝悉地（淨地記名速成悉地印　性同花由記名發勝心印法）（甲本頭註曰。發殊勝心一切行者悉地必成）
大原記云。次法意勝悉地。次有四無量觀

（文繁廣故不抄可見）又引有記云。四無量心。次勝悉地。
次大金剛輪。次金剛
法\意勝悉地等五箇印明不用之。又無本
有之。或作甞。止本有之云云
示問。諸私記等。皆用勝悉地印。而師既法
意勝悉地等不用五箇印明云云。相違如
何。答。初勝悉地印。諸私記用之。今可用之
歟。而對受記勝悉地次用五箇印所謂四
無量心觀。次勝心。示云。勝悉地記。次金剛
輪陀羅尼。次地結。次金剛墻也。記者私云。
地結。金剛墻〈蘇悉地之法故。此中難用云云
付此等說師說不用五箇印云。五印連用
樣云。也。初勝悉地不可用非云也
示云。智界記云。被除勝悉地畢聊遺師說
之趣歟。可想之。但智記之本末記也。故法
印自筆也。不除之句
又示云。法意勝悉地名出何書。故可尋之
（今智記者。觀佛等人手跡也。許寫之間許落之。其後悉者見。今爲不審也）
𤙖吒（名花山同。又金剛眼云云）
（甲本頭註曰。於所修法多降伏故次結金剛眼法性記云辟除成法界印）
𤙖\吒字置兩門。不同有之云云
淨地記云。六卷經云。右睞有𤙖字。左睞有
吒字。𤙖變爲月。吒變爲日。是爲正義
對記說云。𤙖爲日。吒爲月。是舊頂言師說。
是不正義。故不用之
帖云。日月白眼也。金剛。黑眼爲也。今此五
智眼。以遍見物見佛也。從眼出飛（シテ）五古者。
甚非也。可咲云云
金（十七）剛合掌

（甲本頭註曰。令諸衆生圓滿十度）
花山記云。想一切有情圓滿十度。云云
金（十八）剛縛（已上四攝位）
（甲本頭註曰。無結使故金剛縛滿依）
開（第十九）心
（甲本頭註曰。既斷結使堪召無漏智故爲召入先開心殿之門）
軌云。能淨第八識。亦除雜染種云云
示云。[梵字][梵字]左右不同有之
對云。日院說。是印引開殿門之義云云
召（第二十）智（法性云。又名入智印）
（甲本頭註曰。開心門故召智名）
閉（第二十一）心（法性云。又名堅固智印）
（甲本頭註曰。既召入無漏智何令散去故次閉心殿門）
普（第二十二）賢三昧耶（已上法位）
（甲本頭註曰。既入無漏智慧我心當觀我本身變成普賢故次結普賢印）
谷新記云。文殊五字軌云。次結文殊三摩
耶。十度相叉成滿月。直中忍願金剛劍想
身同等妙吉祥三摩耶。眞言曰。唵縛日羅
底乞叉儜三摩耶娑怛鑁。若依此意者。隨
行可改歟
極喜三昧耶
（甲本頭註曰。既成普賢菩薩故次大悲之箭射破厭離菩提之心）
對云。日院記〇又云。厭離心者。眞言者大
障也。故厭離此心也〇惠和上說。厭離心
者。二乘心也云云
生義云。其厭離心。爲菩薩說其大悲心。如
射（第二十三）怨箭
降（第二十四）三世（修習位初地以後心）
（甲本頭註曰。既成普賢而慈悲之儀斷界難伏故結降三世忿怒印）

記云。印身五處
此\界習可印四處。聖行房如此被用印五
處無謂事也。智泉云。金剛薩埵儀軌見四
處。今五處云云。若祕藏義歟。若謬歟云云
付\三世印。有五重結護。此中護身辟除法
界等。各印五處。仍今記心此用也。記者心
區也。不可偏執歟。依之見時處軌。以部母
佛眼印。四處或五處。此軌金剛行法也。而
云五處只可隨宜歟云云
示勸淨地記云。印四處謂心額喉頂也云云
花山記同
清涼記云。印五處云云
法性記同
谷新記云。觀自在王並青頸軌中用馬頭
印明
蓮（第二十五）華三昧耶
（甲本頭註曰。既成忿怒王堪爲轉輪王。次結蓮華三昧耶）
對云。記者私云。義決云。蓮花三昧耶者。有
五部三昧耶。今此蓮花三昧耶也。若作五
部隨〇（句印）改。跛頭摩句用其部名。亦有印等
谷新記云。義決云〇改鉢頭摩句。安金剛
句。寶句羯磨句。法界句〇印相亦隨句改
之。如經中文具說其相也。私謂。普賢軌蓮
花部三昧耶。若順決意者。可用金剛部三
昧耶。此事不明。可尋之耳
帖云。蓮花三昧耶印明隨部改其句。又改
印。謂三昧耶會大日阿閦寶生不空成印
也。而薩埵軌唯用蓮花三昧耶印明通明
歟（義決改之云云）

軌云。得成蓮花部轉輪之主宰 文
私云。地記云。主宰者無拈請也 文（大妙同心）
法輪（第七轉法輪印）（甲本頭註曰。轉法輪主宰能破二乘厭離菩提之心。故結轉法輪印）
生義云。三十七種菩提分法。摧破煩惱名
輪
大慾（第八大慾得自在印）（甲本頭註曰。既摧二乘之心。今當成大菩提故。次結大慾印）
法性云。煩（惱カ）疏云。降三世金剛爲大染欲。即
是東方染欲。如來大菩提故。以爲大染欲
也 文
又云。智蓮記云。慾者慾大菩提。想令一切
有情同欲大菩提
對云。日院說。即爲謂大欲菩提
大樂（第九大樂不空身印）（甲本頭註曰。志求菩提之法。必以成就衆生。故次結大樂不空印）
軌云。大樂不空身普願諸有情速證如來
地。修行瑜伽者。應發如是心。成就衆生已。
次當召一切。自成火（大）染智。菩提大欲滿。
成大悲種
花山記云。大樂者。菩薩住空。而後出假故
云不空
對○珍和上說同
召罪（第十召罪印）（甲本頭註曰。雖成就衆生。不滅自他菩提障者。障果成。故次召罪）
軌云。召諸有情罪。自身三惡趣。衆罪召於
掌。黑色如雲霞。衆多諸鬼形
生義云。止觀滅罪。故云召於掌。惡業染污。
故云黑色。障菩提月。故喩雲霧。善人畏之。

如是鬼形
檀那贈僧正覺運說。修他向外召之爲自
身向內召之。向外召者。印末向外招召之。
向內者。印竪。召之云云
摧罪（第十一摧罪印）（甲本頭註曰。既召自他罪。今當摧破。故次結摧罪印）
軌云。當觀自身相。變成降三世。爲聲訶眞
言。內心起慈愍。忿顏應三拍。摧諸有情罪。
三惡皆辟除
生義云。三拍者。伏貪瞋癡。言三惡者。貪
瞋癡故
帖云。問。召罪摧罪印如何。答。召罪印外縛
結之。即不離腕。地水風空四指。即內縛結。
摧罪印也　問。不離腕結摧印意如何。答。
召罪印掌中召入罪業故。掌中入攝罪障
等故。掌持不離腕也。不漏落意也　問。召
罪印是外縛。摧印何故煩改結內縛耶。答。
召印意。一切罪業等。召入掌中也。摧印即
改外縛。以八拍入攝掌中。即是入攝業煩
惱意可是。則依先召印入罪業也
又云。二火（大）相摩者。上下摩之云云　左右搦
誤也
三軌用印云。摧罪印內縛云云　師說也。諸
說同
內縛外縛同事也。是內證外用也。然者召
罪摧罪可一准。今所用共外縛也云云
示云。淨地記已下諸記。皆召罪外縛摧
罪內縛。又軌記召罪云。二羽金剛縛說
摧罪云。八度內相叉。召外摧內覺。又青

頭軌分明也
ム云。拍事中師拍末相拍云云
淨業障（第十二淨業障印）（甲本頭註曰。雖摧罪業。障猶而未決定業。轉故次結淨業障印）
三軌用印云。置右肩上也 文
成菩提（第十三成菩提印）（甲本頭註曰。業障已成。身器清淨。良堪受菩提心戒。故次受戒）
軌云。次應淨業障。令滅決定業 文
或云。二乘業名決定業。唯留自地。不求
上故 文
定印（第十四住禪定印）（淨地記云。又名定中禮諸佛。都率記云。無識身三昧地。甲本頭註曰。三業已淨。戒法亦具。乃堪入定。故次結入定印）
應結跏趺座　支節不動搖
應結等持印（弘決三云。三動。四動。小動。四搖）
二羽金剛縛　仰安於臍下
端身勿動搖　舌柱於上腭
止息令微細
五相成身記谷云。先明身息調法。初一行
三句明調身。終一句明調息法云
成身記云。定印有三。一仰金剛縛印。如今
軌。二妙觀察智印。如三摩地軌千手等。三
略出結（經カ）云。置右手於左手上云　五相總明
諦觀諸法性　皆由於自心
諸法所依　煩惱隨煩惱
蘊界諸入等（法別體指）　皆如幻與焰
如乾闥婆城　亦如旋火輪
又如空谷響
五相記云。此二行明空觀。初一行明所觀
境。後一行擧五喩 文

成身記云諦觀諸法性(乃至)空谷響調心觀也
生義云言諸法者即三性法遍計無體由妄情起依他假有由因緣生圓成無相由離執故云觀諸法皆由於自心唯識觀理不越此三言煩惱者貪瞋等根本十惑言隨煩惱者忿等二十
倶舍圓暉疏云隨眠外纏垢等名隨煩惱隨根本煩惱起故
生義云蘊者五蘊界者十八界入者十二處等者取十二緣起及四食等如是諸法皆依他故云皆如幻與焰等文
對○云運和上說依他九喩一々有三意即心幻即蘊幻不思議幻文　記者私云此軌中有五喩謂幻炎城谷響火輪略出經有七喩伽化夢○運說云依他九喩者普賢軌云九種緣生句炎夢像響影月化空爲九也文

如是諸觀已　不見於自身
住平等寂滅　究竟眞實智

五相記云此一行偈勸住空智文
同記並都率記已下爲五相成身
生義云以正體智入眞觀時不見色心差別相狀故云不見於自心也言寂滅平等者顯所證理言究竟眞實智者顯能證智理智冥合故名爲住文
成身記(都率)云大分爲二初明方便從應結跏至眞實智明阿波頗那伽三摩地是也次明正觀從即觀訖成本尊眞言明五相是也
義決云阿(無)波頗那伽(破)三摩地(持平等)也入此定者能治攀緣散亂等障　問入此定者有何利益答曰若內識散亂外塵所牽識隨諸塵起也種々妄見隨念即爲無量諸垢々々前纏縛以是因緣淪溺生死故以此定而止息之々
又云漸學大乘及小乘等及於外道同遊此定小乘以之爲畢竟外道不除各々有異漸學大乘者以爲方便息攀緣故若頓入者亦不申之文
對○云金剛頂經中一切義成就菩薩(甲本)直入阿娑
(頭註曰盂蘭盆經疏記說云悉達此云一切義成即淨飯王之嫡嗣故名太子云々)
頗那伽三摩地云々無調心定者文略也理實可有二定又無畏禪要具出調氣出入息法即此中調心定也　叡和上後說○定者不必閉目緘口縛身而已凡大乘之人行住坐臥無非是定自性即定故外不取定相文
瑜伽蓮花部念誦法(不空)云若有妄念多者應先數息數息法從一息至七息又從一至七相續不絕心無攀緣
菩提心義一云應結跏趺座究竟眞實智者無識身三摩地　問此三摩地觀亦名迦樓羅意何答守護經云譬如世人觀五大色觀念成就能消災害爲迦樓羅觀今亦如是觀五相等斷惑成佛亦如迦樓羅觀々々々此云微妙觀也(取意文)
率記云念我及法界一切衆生煩惱業苦依報正報森羅萬法悉從妄想顚倒心生此心如幻無有實體所生諸法亦復如是心及諸法本性空寂如大虛空
又云爲厭捨有漏依正先作空觀爲欣求佛果菩提次作五觀文
科文云是則成身前方便也爲觀心月輪先觀身心空譬如世月輪處於虛空
帖云問何故五相成之前修空觀耶　答師說五相成身是月輪觀也修月輪時者必先可修空觀也何以故以月依空而住故也
心地觀經云爲欲除斷六十二見種々見故心々所法我說爲空如是諸見無依止故譬如叢林茂盛惡獸滑住其中客人時有智者以火燒林因林空故諸惡獸無復遺餘心空見滅亦復如是爲煩惱從妄心生而說是空若執空理爲究竟者空性亦空執空作病亦應除遣如阿伽陀藥能療諸病若有病者服之必差無病服藥々還成病(抄)
成身說云義釋意云觀十緣生句除一切妄想而空寂相應名出世三昧尚以空病未除未名大空及坐道場證心性時知心實際心不住相亦不依空而照見空與不空畢竟無相而具一切相故名大空三昧住三昧者即是住於佛無礙慧佛說是人一切智究竟圓滿云々
此文善順今軌初觀十緣生句似空觀次云證心性知實際者當于此中不思議中

道實也文

卽觀於空中　、諸佛如胡麻

遍滿虛空界

五相成身記云、從此已下分爲十段。初先
觀佛文中胡麻二字有口傳文
準記云、念大日釋迦藥師阿彌陀等諸佛。
五部諸尊遍滿虛空
妙心太云、如胡麻者粒多爲喩文
帖云、一說胡麻粒數多。如諸佛滿空中。一
說如胡麻油。一粒中油彌滿。以一粒喩空。
卽大空粒中諸佛麻油彌滿也。又說法身
理滿空粒中油如滿文
金疏云、如胡麻者取油麻膩中。以諸佛遍
滿之相文
義釋云、滿於法界無有間隙。如胡麻中油
文
千手軌云、一々佛身微細由如胡麻文
文殊五字軌云、大如胡麻數如微塵文
大悲成就軌云、有如來形大如胡麻文
瑜伽蓮花部念誦法（不空）云遍滿虛空其身
大小猶如胡麻文
帖云、大小者唯多少見也
帖云、大如胡麻大者多義也
又云、師說云、空無邊際故諸佛集會如胡
麻非胡麻許之身量

想身證十地（五相云、明所證位）　住於如實際（明所證理）

五相記谷云、此二句偈、一明行者所證文
中證十地三字有口傳

帖云、有口傳云々。何師曰、第十法雲地中
卽沈空被諸佛驚覺也。疑云、第十地何爾
耶。答、此教異顯教也文
又云、十地菩薩入空觀。別時意也。是則後
心菩薩也。七地入空是當說也文
對○（口云）云、蓮說云、阿婆頗那伽是顯教八地
已上住如幻三昧。次云想身證十地者是第
十地。次云一道清淨者是三乘第十地究
竟佛。次云金剛喩等者是三乘家等覺。今
大日經名大普賢地文

空中諸如來（五記云、卑佛）　彈指而驚覺（威儀師驚覺）

告言善男子　汝之所證處

見一道清淨（指所證行者）　金剛喩三昧

及薩婆若智　尚未能證知（指未證行者）

勿以此爲足（還指證行之所）　應滿足普賢

方成最正覺（正勸勅）

五記云、此二行三句、三明佛勸勅文

身心不動搖（五記云、明不起座）　定中禮諸佛

眞言曰（中本頭註曰、大定爲既驚諸佛故次禮佛）

五記云、此一句偈並眞言曰明定中禮佛。
行者聞佛語卽禮拜
妙心太云、諸佛告言者、行者未見諸佛何
忽有此告言。以言見自心。卽是見佛。若爾
行者以自心自自身（心イ本）佛自問自答（詳見文）
生義云、法花論云、言彈指者、令修行者覺
悟進修故。言一道清淨者謂第十地所證
眞如之理無二故名爲一。正智所緣故名
爲道。金剛喩三昧者、金剛喩定卽無間道。
言薩婆若智者、一切智解脫。有此文義云。

諸佛驚覺誡菩薩云、汝所證理第十地道。
然未能昇於金剛道、斷二障種入解脫道。
證二轉依、由（勿）住此地成止息想。應滿普賢
行方成最正覺文
問、中川上人（記覺範）云、五相成身大旨是薩埵
行法也。自等覺入妙覺。然未至等覺位菩
薩天等爲本覺時、想身證十地（乃至）應滿足
普賢等句可改之耶。無指答。
中川上人問云、十地行滿之時何有此告
乎。答云、十地滿足以之爲實際。不知妙覺
位是等覺後身。未發金剛喩定不得薩般
若智。仍應滿足普賢方成最正覺云也。是
顯密所云等覺一轉入于妙覺意也云々
身心不動搖者、不散亂云也。非云不動身。
傾頭禮也。動搖或本取捨有也。是猶能覺
文
花山記云、以心禮諸佛。不可低頭禮文
菩提心義四云、問、略出經云、從定起已遍
禮佛海。大瑜伽云、身心不動搖定中禮諸
佛。二文相違云何會之。答、金剛頂云、卽從
阿娑頗那伽三摩地起。故略出經意從阿
娑頗那伽三摩地出入普賢五相成身觀。
故云從定起已遍禮佛海。大瑜伽意初從
調心觀終至成本尊皆是三摩地門皆名
首楞嚴定。亦名法界定。故云定中禮佛文

五相成身（淨地記云、亦云五轉成身也文。成身記云、或云五法成身文）

徹心明（亦名通達心）

（甲本頭註曰、既過諸佛驚覺無願求。故次請樂所行法。佛隨其願未所行處行者淺故猶不受之。故佛授徹心明）

帖云間微心明者心何答是通達菩提心明也故微者通達義也 菩提心義云通達性得本有佛性大菩提心故名通達本心文

又曰持明曰謂微見自心本有淨菩提心故也

示云文殊軌名營微菩提心

菩提心義云問此所通達本心九識心中何識心耶何心通達何心耶答所通達心能通心各有二義一約九識謂本淨九識是所通達心染穢九識是能通達心亦約五智謂佛地五智是所通達心行者五智是能通達心更有二義第九淨識是所通達第六意識是能通達又約五智更有二義大圓鏡智是能通達法界性智是所通達

行者聞驚覺 定中普禮已 (五記云結前明正啓白)
唯願諸如來 示我所行處

五○相記云此一行五明行者啓白

生義云菩薩志云若我所證眞理之外亦有未證應證處者唯願諸佛示我其處我心難覺更爲何處十地菩薩不覺佛地故致此言文

諸佛同音言 (五相記曰採佛語) 汝應觀自心 (正故)

五○相記云此二句六明佛教

生義云心謂眞如即勝鬘經自性清淨心眞實法性故名爲心梵可云軌栗馱也或是質多心體相也教授意云汝所應證究竟菩提非應外求即是汝心花嚴經云若人欲了知三世一切佛應觀唯自心々造諸如來

成身記云大日經云金剛手復白佛言世尊誰尋求一切智誰爲菩提成正覺者誰發起彼一切智々佛言祕密主自心尋求菩提及一切智何以故本性清淨故義釋云○薩婆若慧唯是自心乃至無有少法(出示即)於此心者文

既聞是說已 (五相記云結前) 如教觀自心 (正觀心相)
久住諦觀察 不見自心相

五○相記云此一行七明依佛教觀心相文

生義云菩薩依教觀察自心眞如之心階位指降不能觀見下位菩薩不能覺知上位菩薩擧足下足何況於其佛地心唯識論云如來實心等覺菩薩尚不能知如爲體故不知見文

谷新記云攝眞實經云心意識法入諸煩惱共相和合不可分別然諸法中求心々所悉不可得五蘊法中求不可得十二處中亦不可得十八界中亦不可得乃至十八空中亦不可得蘊處界法一々分別一切法體無我々所補特伽羅無我々所心々所法本來無生亦無滅處於諸世間一切心中亦不可見內無外無中間無過去心不可得現在心不可得未來心不可得猶如幻化無有差別

復想禮佛足 (五相記云明行者重禮) 白言最勝尊
我不見自心 此心爲何相 (正問心相)

五○相記云此一行八明行者重禮問佛文

諸佛咸告言 (五相記云標佛語) 心相難測量 (正明佛答行者問)
授與心眞言 (明佛授眞言) 即誦徹心明
(佛誦即傳受密誦之心中所內惡字變成月輪也了便想)
若在輕霧中 如理諦觀察 (明觀法)

五○相記云此一行三句九明佛答文

生云徹者通也通達義十地菩薩二障未出未明淨故淨起昇進道覺了佛地所證眞如々々雖網中觀於明等故云觀心月輪若輕霧中二障殘種薄如輕霧佛地眞如猶朦朧月知見雖疎旣覺所證故云如理諦觀察也文

成身記云有云此觀本在等覺位也彼位唯有一品無明故云輕霧今凡夫行者學彼位觀也

又云問如理諦觀察者意何答觀心月輪深理也其觀可隨行者智解不能委記文

又云問所言月者喩歟法歟所言心者性歟相歟答且有二一者喩世間月也二者法謂菩提心也法難解故以喩觀法一往可言月是喩名也然諸文中言心月者以喩合法也又約法有二一者凡夫勝解有相月輪二者聖人實證無相月輪如眞實經說又約法有二一者心性月輪二者心相月輪 (亦可云性智相智)

示云理趣會軌云日輪觀之

守護經云此菩提心本無色相爲未成就諸衆生故文

菩提心義四云問○天台別教中道迴出如雲外月非雲即月圓教煩惱即是菩提

如雲卽月故智者觀心論云圓〻明月無有闕減而今觀心在霧中非霧卽月故眞言宗色心不融同彼別義答若眞言者在凡夫地能了惑障卽是菩提唯在心垢滅取證如反掌此智始生雖未分明智強惑弱亦如月輪在輕霧中大日經云解脫業煩惱而業煩惱具存謂業煩惱本來菩提無所繫今何所脫金剛頂亦爾 文

眞言曰 五相(圖)云十出眞言 不出聲密誦之

法性記引道海和上記云所言月輪者是本有阿字轉成月輪非世間月輪眞字是本不生義如是觀察密誦眞言 文

無染心 亦名修菩提心

甲本頭註曰猶心之力雖見心月而不分明因雖諸佛復敎之故次菩提心明

成身記云月是菩提心今觀念修習故名修菩提心前名通達此名修習如大乘見道修道此心無垢染故名無染心 菩提心義云於性得菩提心發修得菩提心名菩提心也 文

藏識本非染 清淨無瑕穢 五云明藏識本淨

由具福智故 自心如滿月 正明觀心為月輪

五〇相(圖)云從此以下為二初略明觀心為月輪

五相成身記 谷云 心月輪是阿賴耶識也一切諸法皆由此識有為諸法自此識生眞如卽此識性也 文

成身記云阿賴耶有三義謂能藏所藏執藏義也謂與雜染互為因故有情執為自內我故雖有三義正依執藏立賴耶名無我執位永捨此名煩惱習種子善惡皆由心者顯此識接藏諸法也 文

生義云言藏識者第八識能藏執藏義故名為藏識〻〻者心也第八識中有其自相與及實性言自相者界趣生體言實性者卽眞如也

今舉自相顯其實性 文

弘決四云阿賴耶八識此名藏識以能盛持智種不失體是無沒無明〻〻〻〻性是了因 文

成身記云問何故不言餘七識耶答觀本接末且云藏歟若不爾者餘無漏識何非月耶 文

復作是思惟 五云標 是心為何物 正尋求

煩惱習種子 善惡皆由心 明所遮業

心為阿賴耶 修淨以為因 正明所依淨

六度熏習故 彼心為大心 明能所熏業

五云從此以下二廣明觀心為月輪就中又七此二行初先明尋求心體次一行明淨因所依 文

生云明心為世間本也此文且約識自相說物者體謂卽思惟有何體煩惱習者略有二釋一謂煩惱之習業也二謂煩惱卽是現行習謂云習氣無堪任性種子如文善謂白業惡謂黑業此惑業種一切皆攝第八識中起煩惱業生死流轉皆由自心故云由心心為阿賴耶 乃至 彼心為大心者明心為出世因也此且約識自相說阿賴耶者唐云藏也修清淨因福智熏習故轉有漏證得無漏是故第八名為大心大者廣大二轉依 文

藏識本非染 清淨無瑕穢 五云重明藏識本淨

長時積福智 喩若淨滿月 正明觀心為月輪

五云此一行二正明觀心為月輪 文

生義云明顯得心本淨也雖眞如體性清淨若不修行難顯淨性是故菩薩長劫積集福智二行顯得眞如本性清淨故云長時積福等

問此文與前第一義有何異耶答前第一文唯明眞如本性清淨此文明顯本性清淨一重義深故與前別 文

率記云大圓鏡智雖非月而似月或云譬如五十由旬圓滿月輪清淨皎潔無諸雲翳當知此是言菩提心相或云猶如滿月光遍虛空界 文

無體亦無事 卽說亦非月

由具福智故 自心如滿月 五云正遣執還顯心月

五記云此一行三遣執 文

成身記云伏難云阿賴耶是有漏我愛執藏位名也今何云淨如月通此難云藏識本非染云〻〇重難云心無形質何為月輪通難云無體亦無事云〻體事者眞實經云體用 文

生云明心定無體相也此文且約識實性說眞如無色形故云無體相眞如無動心故云無本業眞如亦是形旋設名如食油蟲故云非月但由具足福智行人之證故假名顯之 文

菩提心義四云。爲除月執亦說非月亦月非月即中道義文

又云。用心次第云。亦莫作月解。即此自性清淨心以三義故猶如於月。一者自性清淨義。離貪欲垢故。二者清涼義。離瞋恚熱惱故。三者光明義。離愚癡闇故。所以喻月者。爲世人皆共見。取以爲喻。令其悟入觀智成就文

踊躍心歡喜 五云明行者歡喜 復白諸世尊 揔標啓

我已見自心 清淨如滿月 正指所見

離諸煩惱垢 能執所執等 明離垢執

五云。此一行二句四明行者啓白文

生云。昇上起下。是故踊躍稱說怖意。是故歡喜。煩惱垢者本隨惑等。言能執者能遍計心。即是迷情所執者遍計所執即實我法等者。取所遍計境。眞非妄執所緣境故。謂即眞如離諸煩惱。非能執心。非所執性。非妄執境。無垢清淨猶如滿月。菩薩覺之。身心踊喜文

不思議疏云。能執者妄心也。所執者妄境也文

諸佛皆告言 五云標佛告語 汝心本如是 正指本心

爲客塵所翳 明所翳 菩提心爲淨 標淨心

汝觀淨月輪 正明觀法 得證菩提心 明證得

授此心眞言 明佛授眞言 密誦而觀察 明行者修

踊觀心月 眞言曰

五記云。此二行。五明佛告示。爲三。初一句標佛告。次五句正告示。後二句明眞言授受文

生云。菩薩依前起勝進道。親觀所證佛地眞如。是故諸佛許可告言。汝心如是。言客塵者。煩惱業等能藏眞如。以所翳即顯在纏如來藏義。如慈尊云。非染非不染。非染非淨。非不淨。心性本淨故。由客塵所染。正與此同文

觀 無間道 金剛蓮花 亦名菩提心堅固亦名金剛心千手執加持蓮花指歸云成金剛心

甲本頭註曰既見心月輪而未見心蓮臺故次示之令堅固

成身記云。金剛與堅固眼目異也。或名金剛。或蓮花。隨部得名文 菩提心義云爲欲加持此菩提心能令堅固猶 如金剛於心月輪令觀金剛故名金剛心云〻

記云。示云已下。金剛蓮花之字。縛日羅鉢那麼之句。隨部可改文

五記云。從此觀五部始分

能令心月輪 圓滿益明顯

五云此二句七結前明觀法行者心月輪垢翳既除證明清淨也文

諸佛後告言 標佛告語 菩提心堅固 正勅

復授心眞言 明佛授眞言 觀金剛蓮花 明觀法

五記云。此一行佛告勅也。彼一句金剛蓮花四字。隨部可改之。此法大部故具應有五部。略故擧二部。不擧餘三部。故隨五部心月輪上置其種子字。轉成三昧形。此慈覺大師口決意也。又隨本尊各可用其種子三昧耶形文

文殊軌云。想菩薩月中有曇字。如金色。即成般若波羅蜜劍文

法性記云。慈覺大師口決云。於佛部有二意。一吽字轉成五古。其意者法界性智必具四智。此五古表五智。故以之爲大日三昧耶身。亦以五古爲金剛薩埵三昧耶身。所以然者。金剛薩埵即大日如來因身故。二鑁字轉成法界率都婆。即果地具德圓標幟也。一切功德莊嚴皆悉具此寶塔故抄

帖云。問。於心月輪觀字〻變成三形也。爾者其三形即擧體成其形歟。師曰。不爾。於心月觀其字〻變成其形。即稱心月量。不遍擧體也。而後即舒金剛 若蓮花若塔等 之時。即普周法界。斂金剛之時。擧體即成其三形也文

又云。五相成身時。於心上先仰觀月輪 如圓座 於月上觀種子。其字臥觀之 成字首向前或字首向後 也 二說 而則字變成三形時。其五古若塔月上立觀之。而月輪普周法界時。此月輪如圓珠。如圓室 寶 即遍法界。而斂之如身量。自身即住此月輪中。其形如圓珠等。而即成佛身也文

生云。正明無間道。即第三僧祇修也。菩薩住於金剛定時。十相顯現。一者主相。大寶花王忽然出現。二者量相。周圓如十阿僧祇耶百千三千大世界 金文驗之 菩薩爾時坐寶蓮花王上。頓斷煩惱反所知障所殘種子。十方諸佛即以智水灌菩薩頂。菩薩受之成無上覺。故此文云觀蓮花也 問。此蓮花是觀自身。而何擧座釋之。答。今此所明自受用身。非嚴身外別有土。故如淨土量亦爾。身土無別。何致疑文

唵底瑟佗縛日羅鉢那麼
五記云。眞言中金剛蓮花句。或可云兼擧
二部。其由者。教王經等。但有金剛句。千手
軌等。但有蓮花句。此文既重有二句。故似
兼擧。或可云。但擧蓮花部。其由者。觀自在
如意輪菩薩瑜伽法要等。金剛蓮花共重
有之。此名蓮花云金剛蓮花。又可云金剛
界中蓮花部故 文
無量壽軌（不空）說花座印功能云。一切
聖衆。各皆得此金剛蓮花爲座 文 示
云第二義證
成身記云。明金剛蓮花者。有云。五股變作
之蓮花也。有云。五股爲莖之蓮花也（大日經云）
（金剛蓮花莖也云々。疏云。金剛杵上有花云々。故似有證據） 有云。金剛言通五
部三昧耶形。塔杵等。皆名金剛。有云。金剛
與蓮花也。此軌未出百字眞言。有金剛蓮
花二種百字。故知此中通明二部〇明二
部者難詳。今軌出金剛蓮花眞言了 云々
汝於淨月輪。觀八葉蓮花。若兼二部何只
云蓮花耶。又觀自在王軌云。月中想蓮花
眞言曰。縛日羅跛娜麼。即知彼月中蓮花。
是金剛蓮花也。豈言彼亦通明二部耶〇
軌題既云蓮花部。可知此軌多依彼也。有
云。金剛是金剛界也。即通五部。蓮花是蓮
花部也。局在於一云々此義甚善。見略出經
菩提心義云。金剛蓮花。是金剛界蓮花部
心行法故 云々
帖云。問。金剛界金剛々々部金剛同歟異
歟。答。金剛界者。即五智金剛也。即是智界

也。詮五方五佛智。金剛部亦五智金剛也。
即五智杵爲三形五佛智也。五部之中總
五智唯金剛部也。故能思之只寛狹之殊
許歟 云々
金剛蓮華界（指歸云。證金剛身。菩提心義云。令心金剛爲蓮花界。攝入自身。名金剛身）
汝於淨月輪（五云。明小月輪）觀八葉蓮花（明三昧耶形隨部異）
令普周法界 唯一大蓮華（明舒）
應當知自身 金剛蓮花界（明成三昧耶身）
五記云。此一行二句。又此佛勅也
生云。即解脫道正體智第五段究竟位也。
言淨月輪者。是所證眞如。言八葉蓮花者。
能證智慧。理智冥合。於此究竟。金剛定後
入解脫道。捨非障有漏及與劣無漏身。遍
法界。佛果圓滿。故云〇周法界唯一大蓮
花
舒蓮花
證金剛身
斂蓮花
清涼記云。師曰。次用舒斂二蓮花印。但舒
蓮花眞言在文中。即第四金剛蓮花界眞
言是也。但無斂蓮花眞言。今依後寶月三
藏所傳。即加舒斂二蓮花眞言 文
五記云。斂蓮花名。但約一部。約餘部者。可
云斂金剛等。眞言句文。隨部可改之。又傳
法私記云。斂屆如蓮花者。暫約蓮花部。餘
部 問。師又依諸軌意者。舒蓮花時月輪
共引斂口決中。但舒蓮花已舒月輪中蓮
花。豈不舒月輪乎。故含不云之。大軌意同
之 文

法〇記云。已上三印眞言。是法月三藏所
傳。唐諸阿闍梨闕而不傳。是密中密也。大
師密不傳他 文（對記意同）
對〇云。忠和上說。慈覺大師說。寶月三藏
云。至此眞言始出三昧。勅身體作手印 文
帖云。問。斂金剛時。虛空諸如來悉入金剛
中云々。爾者諸佛皆成一體。在金剛中歟。
爲當一々佛。各々體並座歟（自餘部准同） 答。以
此金剛周遍法界也。故十方界中。一切諸
佛身土悉現此金剛中也。未令成一體。而
後斂金剛時。合成一體 問。斂金剛意如
何。答。斂周遍法界金剛。同己身量己身即
金剛體也。爾時一切如來悉入己身。金剛
中合成一體。更不見衆多差別身。而金剛
變即成本尊身 文
又云。問。五相成身記云。猶如於明鏡現萬
像云々。既云現萬像。猶是諸佛各々形像
別々現歟。答。不爾。只是無妨礙意也。非云
各々體現並。又只是顯像見現邊云。如明
鏡現萬像等也 文（亦名佛身圓滿。亦名成本尊身。菩提心義云。以金剛身爲本尊身。名證無上菩提也云々）
觀身爲本尊
（中本頭註曰。此昔周法界八葉蓮花莖促歸於行者身。全對蓮花。于時我身變成本尊）
復白諸世尊（擧佛） 爲我蓮花身（修行者白）
時彼諸如來 便勅行者言（標佛）
觀身爲本尊（正勅） 復授此眞言（明佛授眞言）
五記云。此一行二句。爲三段。初二句行者
啓白。次三句佛勅。佛一句明佛授眞言 文
生云。此佛身圓滿也。即解脫道一切種智

也後得智中更有二種一無分別疎緣正
智行證眞言二有分別出(散心)大悲門現身化
生文
成身記云(書寫心覺文)安公云第五自身成本尊者成
何尊耶答各隨所尊成五部身　問若爾
以諸菩薩爲本尊者可以自身成菩提身
今發大菩提心五相成身之人何成菩提
答論云若願成瑜伽中諸菩薩身者亦名
發菩提心何者爲次諸尊皆同大毘盧遮
那佛身文故知成三十七尊身皆名成佛
云々
金剛頂疏云五相眞言初四是因位後一
郎果位文
問約都法成身一行者身應成一佛云何
成五部諸尊身耶答私案云五部可有二
義一者佛變化五部二者諸佛召集五部
今且約一佛作此說也我心本來且諸佛
身非自非他非一非異不可思議故大蓮
花三昧經云歸命本覺心法身(乃至)還我頂
禮心諸佛文
成身記云此五相可有三類一五部都法
觀二五部隨一觀三諸尊隨一觀是故諸
文所說不同但五相中初二觀相都別意
同後三觀相其旨互異
對記七云此有都法五部阿闍梨行法隨
行五部阿闍梨行法三十七尊中一尊持
明行法雖瞿醯經有隨三部別行阿闍梨
及以都法總阿闍梨今此界中雖無明文
准理言之是故都法阿闍梨法一時鱗次

用五部法隨行五部阿闍梨隨用五中一
部行法隨行三十七尊法三十七人持明
行者隨用三十七尊文
又云記者私云凡成金剛成本尊加持灌
頂繫鬘可有六例
一者三十七尊中隨修一尊謂諸軌中心
月輪上隨用其尊種子變成其尊三昧耶
形變成其形之身次成一尊隨用其部加
持灌頂繫鬘
二者以三十七尊總爲一法謂中院說惠
和上說心月輪上安率覩波內安四佛種
子變成五部三昧耶形變成五形之身次
成三十七本尊次用五部加持灌頂繫鬘
三者三十七尊中隨修一尊爲門而入先
用其種子三昧耶形其形之身其本尊身
其加持灌頂繫鬘次用四部加持灌頂繫
鬘次用大日加持灌頂繫鬘後成大日謂
略出經眞實經說金剛薩埵法也頂經亦
同此三經中皆用金剛薩埵者唯義決有
四而大日故且以金剛而現薩埵身爲初
兼修其實是教王經所說一切如來薩埵
現證菩提之法故非東方金剛部中金剛
薩埵
四者三十七尊中隨修一尊爲門而入先
用其尊種子三昧耶形其形之身次成大
日次五佛加持灌頂繫鬘謂今大軌所說
二薩埵法是也
五者三十七尊中隨修一尊先用其尊種
子三昧耶形其尊之身次用其尊加持次

用五佛灌頂次用其尊繫鬘謂金剛王軌
等所說是也
六者或時不成五相成身從三昧耶直成
尊身隨用加持灌頂繫鬘謂大樂軌等說
是也或東寺人云大日心月輪有本尊種
子々變成三形三形變成本尊大日即本
尊也(大日不移別處)三十七尊皆住本尊三摩地
可觀也云々
或云智泉云依胎修別尊之時字形各別
修之依金修之時置大日一尊種子觀作
諸尊也是修因向果從本垂迹意也云々
諸如來加持
(甲本頭註曰雖既現證猶令衆生起敬信心故請諸佛加持灌頂如轉輪王取四海水請一明師灌頂加持)
對云慈覺大師又云既是大日印故可云
大日加持中因決云故其次有四佛加持
而有人疑云何故唯云四佛加持不云五
佛
慈覺大師決此疑云大日總攝諸尊故有
大日加持合初意云諸如來加持是大日
加持五佛義具足更無疑也珍和上決彼
疑云大唐阿闍梨云四佛是能加持大日
是所加持故無大日加持
帖云大日是諸佛本也故云諸如來可總
諸佛舉可又四方四佛各現大日身今此
大日是北方釋迦不空成就如來所現大
日也乃至阿閦佛國所現大日阿閦如來
所現也諸方例爾也以大日爲總諸如來
之位故大日名諸如來可

●四智具足●四如來加持
●以五佛灌三身●五如來灌頂
甲本頭註曰、既成佛已故、大五佛加持、加持已訖故、大五佛授已下
對云、惠和上說中云、五佛先以印安心誦
眞言、復轉安五處中、今釋云、五處是明五
佛所在之處、至其灌頂理當灌之頂上、
帖云、五相成身卽受五佛灌頂眞言曰、入
縛里耶明光毘盧遮那灌頂卽光明灌頂也、五佛
光明灌我頂也、四佛眞言無入縛里句略
也、卽是自灌頂也
問云、自灌頂者何、答、可尋之、但自灌者、如
五相成身後自被諸佛灌頂也、他灌者師
卽爲我授五佛灌頂也 文
又云、五佛灌頂印者是卽著五佛冠標也、
繫鬘中者是更著鬘也、又佛灌者卽於頂
上灌五佛智也、鬘印是正莊著冠歟 文
●四智相應心品體相上東無分別智●
四如來繫鬘
甲本頭註曰、灌頂畢故、大授四佛鬘
軌云、應結如來鬘、四方諸如來皆三昧耶
契
法性記云、應結如來鬘者、是大日如來
鬘也 文
對七云、私云略出也、此經唯出四部灌頂眞言、不
出佛部、軌中加之、軌中唯出四部繫鬘眞
言、不出佛部、師傳加之 文
略出禾略出種四佛繫鬘了、次如上所現灌頂鬘
中間、於頂上應置一切如來金剛界自在
契示云、大日劍印也而語、此密語、
唵薩婆怛他揭多鼻三菩提跋折羅阿毘
詵遮摩斡錢
次總自身以爲一切如來寶冠莊飾也 文
示云、是大日鬘歟、但先達唯云口傳不
云有經 文
對記云、中院惠和上說中云、或說以大日
劍印當額以下…祕而不傳頂、大日後結四佛印、
是五佛鬘印、諸阿闍梨祕惜不肯傳受之、
不可經爾 文
又云、忠和上說、繫五佛鬘、此則同者、中院
別時說云、四佛鬘以前、大日劍印繫大日
鬘
唵薩縛怛他蘗多摩羅毘詵遮斡錢々々
九會密記元杲云、或記云、可有五佛繫鬘、卽
出其印眞言、是猶難信、既爲奉飾大日如
來、四佛各奉繫鬘、有毘盧遮那鬘乎、大日
如來是所莊嚴等也、唯可有能莊嚴四佛
繫鬘也 文
五佛鬘隨部其形有失、大日鬘集塔爲鬘、
乃至北佛集羯磨、可爲鬘也、鬘者聚集物
通名也、何限花、世間女人等集髮爲鬘、盍
幗摩羅集、入指爲鬘、是者指鬘集光者光
鬘、集炎云炎鬘、集珠云珠鬘 云々
禾云、一字時處軌云、輪鬘爲首飾 文
智泉云、珍仁阿闍梨云、東佛當額、乃至北
佛頂尤當之、此事無謂、繫鬘非可然事、鬘
頂繫皆可同、不可准加持灌頂
帖云、繫鬘眞言、一々云々、謂是結之義也
文
甲本頭註曰、示云、傳不可得意故歟
如來甲胄
●出大悲胎藏門自下金剛智中分別智●
甲本頭註曰、甲胄既得是足今當被大誓甲胄
軌云、次於諸有情、當興大悲心、無盡生死
中、恒被大誓甲、爲淨佛國土、降伏諸天魔、
成最正覺故、卽能護一切、天魔不能壞 文
對○云、運和上說甲胄文云、爲淨佛國土
云者、是自心界名佛國土、淨自心妄執顯
自心曼荼羅、故云淨佛國土也 文
生義云、如來本願力故、從大定中擊發大
悲、爲化有情、於後得門以智方便、復更永
現發心修行種々事業、無始無終生死之
中、恒被大悲佛誓甲胄、成就有情淨佛國
土、降伏魔軍、示現成覺、說法、屬生滿足本
願、有情無盡、大悲無窮、此方唱滅、他界示
生、大悲誓心、名爲甲胄、與生死戰、拔濟有
情、如將被甲破敵利群生 文
繫鬘並甲胄等、迴轉有三樣、一作拳結之、●三樣用印同●
二頭指直舒結之、三頭大二指相捻繞之、
此中繫鬘用初說、甲胄用第二說 文
花山記云、自唵砧二字、出藕糸、其色紺青
文
谷新記云、問、軌中唯出唵砧二字印眞言、
而何或私記先用別印眞言耶、答、義決釋
經前方便中、出其印眞言、理趣會軌並文
殊軌等、又出其眞言、故合用之
義決云、經闕金剛甲胄印也、今以敍之、先
以二手合掌、當心、卽以二頭指附二中指
背、二大指並竪捻二中指中節文、卽眞言
曰
唵拔折羅迦縛左吽 云々

帖云。金剛甲印明。如胎印明。用之義決等
亦爾也　如新記之（示云智體大師記同用之）
金剛拍
（甲本頭註曰。行者已成佛已可聖衆歡喜故拍掌）
軌云。由此印威力。縛解々者縛使成堅固
甲。聖衆皆歡喜。獲得金剛體。如金剛薩埵
道海和尚記云。所言縛解者。謂解自身生
死煩惱縛。觀解如是煩惱縛。可拍掌。所言
解者縛者。名諸佛菩薩爲解者。言縛者止
義。謂我身內召入止住之義
生義云。新成之佛出大悲門。已成諸佛皆
歡喜利有情事。與我同。故言金剛拍。謂表
喜相。如歡樂人開掌拤悅。喜導三乘。故云
三指（拍力歟）正體智中大悲解散。今繫縛彼。故云
縛解。正體智中大智縛束。今解彼。故云解
縛。由此悲心。故成堅固甲。大悲堅故。聖衆
歡喜我得金剛不壞之體。猶如普賢。智與
理也。然古德云。上縛者是根本煩惱。下縛
者是隨煩惱。今案。五相成佛何有煩惱。若
言示現印力無用。更可思之
現智身
（甲本頭註曰。行者雖成佛。與爲供佛之願。更成金剛薩埵。故次法現智身印）
對云。後說從五相成身至金剛拍。是爲理
法身成也。成者是覺悟之義也。卽身成佛
之義在於此也。理身已出現。智身又可現。
是故云現智身。々々已現。可見其體。是故
云見智身。其智身卽自身。故云成智法身。
次爲應度者。當現應身。謂化身也　問。約
眞言宗意。言之。理智法身爲各別體耶。答。
一體非差別義
問。若爾何立理智二成。答。爲令入易覺作
修行次第。若開覺時。無有次第各別之義。
非前後而有前後。非同異而有同意云々
軌云。身前想月輪。於中觀本尊。諦觀於相
好。遍入金剛已。思惟大薩埵云々
生義云。謂大悲故出後得門。爲化有情欲
現應身。故先觀現平等智用。云現智身々々
者依義。先觀前々所證眞如。故云身前想
月輪。次觀實執自受用身。故云諦觀於相
好（八萬四千本具德也）入平等智用。故云入金剛（金剛者智故）
言思惟大薩埵者。謂卽思惟平等智用。薩
埵此云有情。卽擧所化。顯能化用也云々
見智身
（甲本頭註曰。依現智身印力。普賢現前。行者與普賢現身體不二故。次見智身）
對。○（記四）云。珍和上說。能觀薩埵是法身薩埵。
所現薩埵是智身薩埵。今以智身入法身。
表理智不二文
軌云。見彼智薩埵。應觀於自身。鉤召引入
縛。令喜作成就文
生義云。前現智身。觀現智用。此見智身。知
見智用。故云見也。謂既知見平等性智大
悲之用具足我身。故云應觀於自身。眞如
等流故云鉤召。具足我身故云引入。住持
不散云縛也（古人云。縛者住義）自心欣悅故云令喜。
本願圓滿故云成就。然古德云。五相成身。
證得自性理法身已。今所觀者是智法身。
爲令理智無二平等。故前現智身本處也。
此見智身是明見所觀本處召入自身。爲
顯法智體無二。故又云理身已證智身可
得。所以次有現智身。既現故可見其身。故
有智身。理智已證故。應化亦隨有三身。具
足萬德圓滿。今案。此義意云。五相成身證
理法身。此現見智觀自受用。若爾理智前
後可證。尤違道理。前以受用身爲智身者。
是義順也。受可思之文
四字明
（甲本頭註曰。既見普賢引入之。取次有四字明）
帖云。問。先既召無漏智閑心門成薩埵身
已了後。雖現智身現薩埵。次見智身之時。
鉤召引入縛（乃至）四字明心何。答。按經意是
爲造曼荼羅。雖成事業身也文
生義云。鉤是四攝智。引接有情索是善巧
智。令自他一體。鎖是堅固智。令大悲堅固。
鈴是現業智。令自他現業也文
陳三昧耶
（甲本頭註曰。普賢既入我身。與我同體故。次更結普賢印成普賢身故。次入月輪中陳三昧耶）
對。○（記四）云。此眞言者。所作已辨之義也。解如
小乘我生已盡文
谷新記云。問。何故名陳三昧耶乎。對記惠
和上說。文云。陳三昧耶者。自陳我三昧耶
薩埵鏁故云陳文
問。三昧耶有五部。何故唯出蓮花部印乎。
對記惠和上說　問。何故此用蓮花三昧
耶。答。若成五部用普賢三昧耶。不可用蓮
花三昧耶云々。今此說爲善。准教王經十
六番。四波羅蜜。十二供等。皆名普賢。今私
謂。既皆名普賢。故通諸部。用普賢三昧耶

也
問。五相成身。既成佛身。何故還成金
剛薩埵乎。又對〇ア云中。今決云。又釋三昧
耶者。大日疏第十三云。自然師以用[梵]字
作已身。即毘盧遮那佛。不宜自有所作務
故作執金剛菩薩身云〻。今私謂。金剛薩
埵是大日尊事業身也。故用之歟 文
已上谷新記
聖行決 佛眼帖 云。現智身者。前金剛薩埵坐
奉見義。言見智身者。我云金剛薩埵成奉
向坐念。次四字明。彼前金剛薩埵。我身召
入也。次結陳三昧耶。正成金剛薩埵也云〻
記 大疏鈔 注云。師曰。若成五部。用普賢三昧耶印
文
五部總合用先普賢三昧耶云也云〻
法性記云。或說云。兼行五部者。可結金剛
薩埵三昧耶印。不可用蓮花三昧耶。今以
此說爲好也
軌云。成本尊瑜伽。背後遍入出月輪。彼中
尊。贊捺羅中尊。歡薩埵體我
法性記云。月輪體如圓室。又如圓珠。如是
月輪中遍入我身 文
淸涼記云。贊捺羅者月也 文
淨地記云。或本稱誦三昧耶薩埵鑁明已。
次結蓮花三昧耶。誦本眞言七反已。即誦
蓮花百字明〇了。以後背後遍入出月輪
等。然今此本及至加持珠鬘時。結蓮花三
昧。並念蓮花百字明。彼本及至加持珠鬘
時。不用蓮花三昧耶等。迴後安前。迴前在
後。事在時宜。又兩本互顯。初後俱用。與有

何失 文
法性記云。金剛記云。又青龍和尙云。先結
三昧耶印。誦三摩耶薩埵鑁明。次結前蓮
花三昧耶印。誦本眞言七反已。不改印。誦
蓮花百字明〇。次背後遍入出月輪。誦三
摩喩唅〻 出兩卷軌云〻
帖云。或說百字明。於陳三昧耶時用之。而
未詳。猶是陳三昧耶時成金剛薩埵畢思
歟。故用歟云〻
大海
甲本頭註曰。既成普賢此佛之事何無
道場故次建立道場等乃至觀佛請事
軌云。次應想大海。八功德之水。於上想金
龜 色金 七金山圍繞。想上間有河。皆八德水成。
想種子並誦唅鑁與鉢羅
法性記云。八功德水者。一甘。二冷。三㬉。四
輕。五淸淨。六不臭。七飲時不損喉。八飲已
不傷腹云〻
生義云。八功德者。一澄淨。二淸冷。三甘美。
四輕軟。五潤澤。六安和。七除飢渴等。八長
養諸根云〻
帖云。金龜者金輪也。即地輪者是也。而其
形如龜形也。謂非生龜。又說只是堅牢之
義也。即地輪金輪之義 私金輪形似龜
歟。世間法爾 小圖 因果。強不可尋云〻
軍荼利軌 不云 云。金輪龜云〻
台對記云。正僧正說。小軌說。[梵]字變成地
輪〇。海中南[梵]字變成金龜 抄
示云 如此文者金龜異地輪別也云〻
生義云。金龜 餘云金輪 謂在海中。載須彌等諸

山根也。七金山繞須彌立。一踰健達羅山。
二伊沙馱羅山。三竭地洛迦山。四蘇達梨
舍那山。五頞溼縛羯拏山。六毘那怛迦山。
七尼民達羅山。皆眞金成。故名金山 文
帖云。金龜背上觀作須彌七金山等。故於
龜背海水也。此龜即是金輪故也。如彼軍
荼利軌等其意者也。又迦毘羅等云。於金
剛上有九大山。妙高山王處中而住云〻
又云。問。此壇場上下。金輪已上纔八萬由
旬也。須彌山高十六萬由旬也。云何。答。金
輪已上。壇地已下。可觀十六萬也。又此場
花藏界也。何滯其高下耶。花藏界不可有
齊限之者也
祕藏記云。下方虛空。謂心虛空。是虛空有
法身。其法身因不可得。是欠也。是法身慈
悲具足。能度脫衆生界。是慈悲斯水也。金
龜佛性。是佛性能遊生死與涅槃。如龜能
遊水與陸。須彌山是法身。七金山者七覺
支。是法身一切法〻文根本源。故四須彌
山爲座 文
生義云。先德云。正報理智法身。今已圓滿
成就。所以可有依報淨土。故有道場觀並
羯磨眞言云〻
淨地記略出經云。觀三世因等虛空已。於
下方中想有[梵]字。爲持地風輪界。彼盡皆
黑色 大決云想[梵]字流者右秘爲風輪〻 力也持又地輪〻皆黑色是風地種也 復想
[梵]字。爲世界輪圍山。其山雜寶莊嚴。復想
[梵]字。於虛空中想爲毘盧遮那佛。普中普
性慈悲乳滿輪圍山。成甘露海。於其海復

想般羅字變爲龜形。如金色。其身廣大無
量由旬。於龜背上復想 唵哩字。其變爲
黃色。全殊妙蓮花。亦好光。其花三層。有八
葉臺葉圓就（經已上文）
帖云。而三層八葉花。是花藏界也。其三層
蓮者。卽如佛眼曼荼羅。或人云。三花房三
層間有莖云々。是甚謬也。不可依信之文
菩提心義第四云。問。義決云。入空三摩地。
以決定妙智。於穴空際想風地輪圍山甘
露海。金龜。蓮花藏。妙顯山。大殿等云々。千
手瑜伽先安風水地三輪。大悲胎藏安五
輪。同異何。答。義決云。此中與毘盧遮那經
文安立世界別也。應知如彼說具足修行
胎藏界攝大瑜伽云。小乘說三輪。大乘說
五輪云々。彼中大悲胎藏除祕法中觀三
輪也。祕密法品祕中除祕觀五輪也。故頂
此中除祕觀三輪祕中除祕觀五輪。或阿
闍梨此大瑜伽用彼胎藏五輪。卽其義也。
小乘俱舍婆娑等多說風水地三輪。花嚴
瓔珞等大乘多說五輪。如瓔珞云。佛光下
照五輪。華嚴亦云。照見空風地種々水火
輪
須彌山
法花軌云。二手內相叉極令深堅。二肘相
著。開腕
示云。相叶智泉說歟。但二肘相付事不似
彼說
對○云（記四）。日院說。內縛。並空入掌。八指中節。
怒出如八峯。

對○云（記四）。想般羅吽梵三字。爲須彌山衆寶
所成。面有八面（義決云。三字放雜寶色光。成妙顯山。舊云妙高。名堅勝法界座種。今人共號須彌座者。從此立。非是須彌山四寶所成。者此座高顯。對如彼山。故以喩之）八面各門。
於中空洞。八大菩薩常所居宮。各據一面。
演說法。室內乃有十方諸佛微塵大會。
又云。凡觀諸輪須彌曼荼羅者。可有三種
義也。一者他受用身應遍現彼山。故如攝
眞實所說。二者自受用身內證現彼處。如
頂經說現證以後。性輪須彌安立方座現。
三十七尊。疏引義釋（決）判。非世人所呼四寶
所成。三者法性身遍一切處。故如瑜祇經。
金剛界如來以四種法身住菩提心殿與
自性所成三十七尊俱。諸別軌中。或於壇
上或畫像上直觀種子以爲本尊 曼荼
羅壇。是依此義。彼經是金剛界妙成就法
故也
道場觀
帖云。金界教主從尼吒天下須彌頂說之
故。道場觀如此界須彌山觀之。而山上觀
大蓮花。卽大蓮是花藏世界也。作此觀時。
行者卽坐花藏界上。向大日尊而坐交聖
衆之中文
於山頂有鑁吽多羅溪哩噁五字云々
穴云。山頂以五字可置五方。用輪蓮座。不
觀之。其字色不得之云々
帖云。五部種子色。各同本部之色也。謂若
依攝眞實經者。白赤金紅雜云々。或[illegible]黃
\金色云々
有二說。一[illegible]一樓閣五峯有之（見本法花）一[illegible]各別

五樓閣也云々。初說佳歟。一殿內安五佛
有便故也
大悲成就軌云（不空）。於此山中復觀五室。是
室外似有五。而內是一相文
持明房決云。一者五部五具五部意。一々
部皆可觀五部五峯樓等也。若存一意者。
只可觀一部樓等歟云々
劫波樹事
略出經云。四方國王長者以種々花香瓔
珞裝樹上。有施一切。此名劫樹文
觀曼荼羅
記云。已上二觀用定印。若依道海和尚說
者。結壇金剛輪印。安心觀之。觀了誦眞言。
印身佛壇空文
法性記云。如來部中央[illegible]字。左右[illegible]變成
八師子。金剛部中[illegible]字（重音）。左右[illegible]吽變成
八象。寶部中[illegible]字（重音）。左右[illegible]怛羅變成八馬。
蓮花部中[illegible]字。含左右[illegible]嚩唎變成八孔
雀。羯磨部中[illegible]○（記四）左右[illegible]阿（短）變成八迦
樓羅
帖云。五部獸座種子。每方三字也。但中心
一字。正獸種子也。左右字表本部意也。非
\座種子
金界須彌頂說也。仍八峯各一當八師子
座云歟。尊勝軌云。七師子座。是取陽數歟。
是又七覺八聖道等云々
帖云。金界五獸座可得意也。以師子爲中
台座。暫可然。世間法師子次象是最也。故
東方也。象次馬世法種也。故南也。孔雀金

翅可得意也但義決可見之文

義決云五座中師子座者諸獸中王諸獸中遊行無畏故盧舍那佛亦復如是諸法之王於諸法中變化無礙故○象座者其象力用於諸獸力用無能過者金剛部○表以堅力無礙故馬座者其諸世間尊貴吉祥莫先於馬々々有慧用世以寶灌頂法王以之爲座○孔雀座者○此禽麗狀具種々色復有明慧善應時宜轉法輪王以之爲座表以轉大法輪不非器故○迦樓羅座者此鳥威力能降諸龍王々々々々所居四大海中迦樓羅鳥隨所向方龍即降伏不空業王以之爲座表以智用隨方羯磨接引人天之一切諸龍無不歸者謂佛菩薩隨攝隨歸無有違者

義決云此一段經文安立不次也應々出前五部座上各想有月輪於月輪中想有微妙蓮葉臺藥圓具即於師子座上想有四面毘盧遮那佛以諸如來所持之力坐彼座上又想阿閦等四方諸佛各據本座也及十六菩薩並四波羅蜜施設四種內供養四種外供養及四攝菩薩及賢劫千菩薩諸大金剛二十八部等諸神○皆從毘盧遮那佛法界身圓輪光內而現

又云四面毘盧遮那者釋曰所謂鑁字輪中法身如來四面圓滿向四方作三昧相也

記云率都婆更問云事

更\問者例一重塔也云々

以前唐院本寫之大日三形塔爲本云々

或人云智泉云更問者三十七尊成身率都婆也云々是分別座位經意以三十七尊宛塔婆階級也依之池上五輪塔記配對之樣令記給件塔是法花寶塔也世云多寶塔也此界大日三形是也更問云是也云々

聖位經云十六及八方等內外大護展轉出光照觸諸趣以成率都波階級漸護諸佛率都波云々

身四邊放隨方光事可見攝眞實經

瑜疏云若攝眞實經護摩品大日白色爲寂靜法阿閦靑色爲調伏寶生金色爲求財法彌陀佛色爲敬愛法不空五色爲增益法文

輪壇 甲本頭註曰隨觀念力諸尊既顯現故次作輪壇

用鈴 甲本頭註曰已陳故大將啓請振鈴驚覺諸尊

啓請 甲本頭註曰諸尊既敬白故次正啓請

生義云三世諸佛儀式若說大乘非唯獨說必招他佛證誠目事十方諸佛或現光中或來法座爲其證明顯非虛說即是請佛本誓力故今顯此義故云啓請二云請諸尊者觀本佛自性身也迹佛必得本佛加持化有情故下准知之

花山記云三唱啓請一唱一拜是奉請諸尊之義

對○云日院說此啓請明有慈覺大師所傳音曲云々

開門 甲本頭註曰諸尊啓請時人壇變故次開門

生義云瞻待客佛故開壇場門猶迎客時先開門戶如法花相迎分身變八方土令其集會

祕藏記云開門謂四方蓮花門也四方門謂常樂我淨也云々

啓白 甲本頭註曰開門已了故次重啓請々々諸尊入壇

生義云法花云尋念過去佛所行方便力我今所得道亦應說三乘作是思惟時十方佛皆現梵音慰喩我善哉釋迦文乃至我聞坐師子深淨微妙音喜稱南無佛正與此同意言稱名者略有二義○一稱自名而啓佛也即如我今亦說三乘二稱佛名而啓請即如喜稱南無佛也先爲本義

淨地記云稱名謂作印當心比丘甲某唵阿演等同法性

對○云日院說有慈覺大師音曲授之中院決云即是啓白令著我所設座之義云々

觀佛海會 甲本頭註曰諸尊已入壇故次觀佛海會

花山記云彈指有聲因茲十方諸尊皆來
赴 文
生義云主佛客佛俱現神通爲令所化增
勝信力言交臂者依定起通定成右依通
起慧故慧成左爲顯前後左右示之言彈
指者是驚覺義法花論云彈指令覺悟者
令修行者覺悟進修故卽十八變中所作
自在也 文
帖云金界意啓請啓白等之時諸尊獨一
住法界互觀佛海會之時諸尊來會在場
空中其眞言若心〻者鉤召義故也其印
彈指之聲亦遍法界驚來集故必打揵稚
集衆仰也而諸尊乍在空中誦眞言讃次
四字明故來住場門內也 文
諸如來集會
甲本頭註曰諸佛無量讃嘆
對〇云日院說〇有慈覺大師音曲
記云前觀佛印但不彈指少屈頭指叉樸
用金剛合掌抄　當說共用云〻
智泉云略時各方初今四用也云〻
穴少輔阿闍梨決云始終用是略時事也
對〇云私云瑜祇經百八名讃今軌百八
本云十六尊讃也 同讃異說〇教王經百八唐名略
出經出百七十二句亦是同讃 文
帖云百八名金界十六尊論之瑜經三十
七尊論之然皆百八不足也只是百八德
狹十六論之廣遍三十七論之歟又百八
讃者十六尊一百八名讃也謂彼十六德
合計百八德也

又云百八名讃者卽大日百八名分十六
也卽是等大日讃也
先德略頌云薩王語業拳名六寶八餘尊
皆具七〇尊八德五尊六十尊七德合百
八 文
四明
甲本頭註曰讃歎已了故次四字明請以奉引諸尊
帖云四接者召入縛喜也入者索菩薩也
謂設微塵許曼荼羅建立此索故引入諸
尊皆能令入此壇中也故略出本云設入
諸微塵我皆能引入鎖者縛也縛住諸佛
也顯教之中四接與此同之 文
生義云謂由鉤故招他意樂同入自心由
索印故以自意樂同入他身由鎖印故自
他意樂令同一體由鈴印故令自他心皆
同歡喜更有一解又此四明表四接事言
四接者一布施以金等與他二愛語以歡
語慰人三利行令得必出世益四同事共
他同事業以此事接益有情故云四接今
如次配鉤招召義如布施招人索繫束如
愛語繫人鎖罕閉義如利行護人鈴歡喜
義如同事悅人大悲本誓必用四接此則
亦是意樂平等之義也
金剛拍掌
甲本頭註曰諸佛旣生故次拍掌令諸尊歡喜
生義云一佛接生諸佛隨喜 文
示云法性記引智蓮花此次十八道中重
結大界用之
閼伽

甲本頭註曰諸尊旣來入故次奉閼伽奉浴
軌云次入平等智捧閼伽香水總浴諸聖
衆當得灌頂地
法性記云香志記云平等智者觀一切諸
佛同等二一切佛之智平等者自他平等也
帖云平等性智奉閼伽者先日說灌頂智
故也今度說水有平等義耳
生義云平等性智證平等猶如水性故入
此智且表水性湛然平等還顯法性本平
等理梵可云閼伽此云讚勃令其香水灑
〻之義諸佛本誓爲利有情隱法性身現
權應形如譬國王密成奴隸來應形所化
既熟取作無改還入法性正教如水權身
有塵故以法水承同塵身顯本清淨法性
云理故云香水浴諸聖身　問諸會菩薩
非客佛化何云化熟時還入法性答能化
所化有共不共或一屬多或多屬一是一
屬多故無妨難　問說法本爲化有情故
何云法水浴聖身耶答爲生說法佛歡喜
〻受如水故云浴所言當得灌頂地者此
顯聖佛歸法性義所化熟故能化歸本言
灌頂地卽本眞如
記云或說先左手捧閼伽香水降三世加
持二十一反次捧二手啓白願志
加\持用否如胎云〻
記云先頂上擧奉供佛部次少下奉供蓮
花部次又下奉供金剛部矣
問\此界意可獻五部何云三部耶答五
部攝在三部也是佛菩薩明王天等三

部也云々

花座（甲本頭註曰。結已了。故獻座）

振鈴（花開敷）

（甲本頭註曰。諸尊既坐。故次振鈴。護淨法界）

淨地記云。若無鈴者。觀想振之（示云。正用鈴杵）

清涼記云（示云。正用鈴杵）若無鈴時。左手指垂下

谷記云。記文用實鈴杵。今依師說用印

帖云。先用鈴杵。是驚覺義也。後用鈴杵印明。是歡喜義也。而東寺云只後印明之處用鈴杵。先觀曼荼羅供之後。鈴杵不用之。而山門。先實鈴杵。後印明也矣

或記云○前鈴是將（恃(異)）奉請。鈴閼伽後鈴是將供養之鈴矣

生義云。振鈴者。謂顯說法結願之相。右取杵者。表具智慧。左取鈴者。表音起盡智前。說後。故分左右。然振鈴矣

羯磨會（甲本頭註曰。修習諸尊所依事業。故次入羯磨會。一々結印誦明）

三昧耶會（甲本頭註曰。修習諸尊事業已竟。今當驚覺諸尊本誓。故次入三昧耶會）

大供養會

已上有別卷

禾問。胎諸會作業分攝也。分何攝供養分出之耶

帖云。問。以羯磨會。三昧耶會。大供養會。已上三會。屬供養分。心何。答。羯磨會。是諸佛外用威儀也。卽他受用身也。今修之以爲供養佛。故三昧耶會者。是諸佛內證受用三昧地智也。卽自受用身境界也。今以修之供養佛。故可大供養會有二義。一出纏供養。謂諸佛互供養給也。如大日供四佛。四佛令供大日也。二在纏供養。如諸佛自受用三摩地。冥加一切有情。以三十七尊三摩地智薰一切衆生也。卽是諸佛冥在纏之一切如來。供養給也。凡居出障圓明之位。是名出纏如來。一切有情在纏垢之中。是名在纏如來也云々

智泉云。修成身一會時。結加五佛印明（三昧耶印。羯磨明云々）

帖云。羯磨三摩耶兩會。是自受法樂之處也。自受用無飲食。故兩會無之。大供養會。他受法樂處也。他受用土。有閼伽飲食。故以六波羅蜜。安大供養攝六種供養文

八供養

八供養（甲本頭註曰。驚覺本誓已了。今當奉供。故次有大供養會。盡諸會不用之）有二意。一行者供養大日。一除。言本尊行者互供養。三十七尊互供養。謂四佛以香花燈塗供養大日。其報大日以喜鬘歌舞供養四佛。故或香花燈塗爲內供。喜鬘歌舞爲外文

帖云。四佛供大日。是大日自受法樂義也。大日智印故也。故身親所有具供之謂嬉獻也。鬘首莊。歌口所宣也。舞身儀也（而異嬉廣也）大日供四佛。爲他所現也。卽他受用養當。故自外所有花等也。修行法云。內四供養從大日出。外四供養從四佛出

示云。勝初瑜伽普賢法。嬉笑歌舞爲外四供十七尊釋義云。金剛兒（嬉）金剛適悅（鬘）金剛貪（歌）金剛自在（舞）金剛春（花是春事）金剛雲（香爐煙像雲）金剛秋（燈。光色清爽。炎如秋時）金剛霜雪（塗。解諸熱毒。有似結雪）金剛聲（樂）金剛香（鈴）金剛味（鈴抄）

奉獻事供

香花燈塗飲食。各先捧器。次印明結誦也。如此事供理供相交事。餘流不然歟。仍豪覺如是用之。或人難之云々

谷記云。依安然和尚傳者。依此界意。香花燈塗次飲食。或說依胎藏次第奉之。或說

大供養會眞言

法性別記云。若有事供不作印。只誦眞言。一々取之。三重可奉供。然奉供壇上供。彼此傳不同。但此間或供養會中外四供養可奉之有歟

飲食印明事

帖云。有二說。一胎藏中用之。一蘇埵三昧耶印明用之

對云。香房說云。慈覺大師云。六卷經蘇埵三昧耶眞言。論曰。以一切如來無上金剛喩三摩地修習。上妙飲食衣服雲海普皆供養云々。故當以此眞言奉供飲食。以下十六大供養中塗花燒燈眞言。當供四供文

普供養

記云。普供養印（甲本頭註曰。上來供具恐□□次結普供養印）之（更問）

更問者。普供養印明多々中。用此印。心如何云也。此印摩尼普供養云。殊勝印明也。

軌無之出無量軌云々源出金剛頂經云々
東山記云更問云者說所擧也
帖云佛言我閻浮提殘二如意寶珠一是
摩尼普供養陀羅尼一是隨求卽得陀羅
尼也（可檢任文）
十一俱胝成就品云我遺娑婆世界爾
摩尼珠二一者名佛眼文句二者廣大不
空摩尼文句此則我全身舍利此則我
眼云々
谷記云用摩尼供養
帖云此界普供養用摩尼普供印明云々
而猶非此界印明如云對受記不空羂索
經者是胎藏蓮花部法也故此印明非金
界意云々故此界意正以唵字印明爲普供
養其印金剛合掌用之唵者供養義也云々
示云金剛頂要略念誦軌用唵字明
讃
（甲本頭註曰供養既了故次讃詠）
百八普賢本尊四智若百八本尊四智三
身密讃
後日說自行百字成身所用之讃所百八
普賢四智可用之云々
修行法云金剛頂大教王經百八名讃於
十六大菩薩中或六號或七號或八號都
有百八名德名一百八名讃
又云劫初一切法上皆有萬名衆生漸鈍
滅有千名衆生彌昧有百名衆生界更或
現有十名天竺俗法今有十名釋迦應之
故十號天上根利尙行百八名大日應之
故有百名而有十二號百八名者皆有所
表
持明房決云唵嚩日羅薩埵縛僧孽羅賀
（已上東方佛讃）嚩日羅々怛曩麼努哆覽（已上南方佛讃）
嚩日羅達摩誐也奈（已上西方佛讃）嚩日羅羯磨
迦路婆嚩（已上北方佛讃）此四智讃大日讃加五
智
百字明
生起云正教雖多不越百法謂八種識五
十一心所十一種色二十四不相應六無
爲法（百法明門論見）今密順之故云百字
帖云百字讃者卽初地初住所證百法明
門也卽百種功德法門也彼十六尊中最
初金剛薩埵是初地位菩薩也卽其所證
百法明門也故成金剛薩埵後誦此讃矣
又云問若大日彌陀等之時又可改薩埵
嚩耶師曰不爾若大日若彌陀其部薩埵
云故不可改之矣
又云凡此處百字明根本印明等隨前成
身意各用其尊其部可今傳法私記意於
此處金蓮二部之行法大略出之但隨人
意樂唯隨一部用之耳又若唯任傳法次
若金剛薩埵自初行之而加大日念誦於
此處結金剛薩埵印誦金百字並薩埵明
次結誦大日印明次念誦了又若自始依
蓮花修之亦蓮花薩埵明之後結誦阿彌
陀印明次正念誦可若依常途者隨本尊
從初成身至此處唯用其部成身其部百
字其部印明其部念誦可矣
對〇記四云凡百字明是加持自身法四智明
是所請偈云々
入三摩地有無事
尋云此界念誦前入三摩地無之如何答
有字明卽成身故別不用之
花山記云次百字次結定印且入三昧總
本尊與我一體無二入我々入矣
根本印明事
對〇記七云都法阿闍梨總持誦印
一大日羯磨印　二大日三昧耶印總眞
言　三大日勝身三昧耶印眞言　四大
日三種悉地三身印眞言　五大日攝一
切如來阿闍梨行位印眞言　六金剛薩
埵菩提心印眞言　七一切佛眼部母印
眞言　隨行三十七尊持明行者各持誦
印眞言　若大日尊持明行者非阿闍梨
若授大日印眞言者與阿闍梨有何異耶
捧珠鬘
正念誦
（甲本頭註曰供讃已了故次念誦）
胎三部執珠金五部執珠作法有之秘事
也五部取珠見攝眞實經云々
攝眞實經云佛部持念以右拇指頭指執
持念珠若寶部持念以右拇指無名指執
持念珠若蓮花部以大拇指無名指小指
執持念珠若迦嚕摩部持念用上四種執
持皆得矣（甲本細註曰禾云出守護釋九）
軌云住等引而誦不極動舌端脣齒二俱
全成就語密教金剛語離聲修身觀總好

花山記云。念誦有四種。一者音聲念誦發聲
二者金剛念誦合口動舌 三者三摩地念誦心但
中念之 四者眞實念誦思惟眞言之義也 今此中用金
剛念誦云〻

還珠

軌云。念珠分限畢。捧珠發大願云〻
淨地記云。五大願也。又任行者意。更加別
願亦得

入三摩地

甲本頭註曰。念誦已了。故次入定增法身

軌云。結三摩地印。入法界三昧
對○記云。法界三昧者。阿字本不生義 文

根本印

問。不用部母印明。其意如何。答。佛頂云。一
用佛眼明。瑜祇經佛眼三部五部母見。仍
通用五部。智泉○記云。不可用部母。金界四
波羅蜜是部母也。處〻用之。可重此處不
用之云〻
五部〻母。佛部佛眼。四部四波羅蜜也。佛
眼印出瑜祇經。彼經金剛頂十八會一會
也
又尊勝軌說金部行法 金剛波羅蜜爲部母。餘
三部可准之。又出生義云。四波羅蜜者。三
際一切諸聖賢生成養育之母矣
帖云。五部母者。四波羅蜜四佛母也。佛部
母金薩埵是也 文
又云。四部母。卽四波羅蜜是也。是則蘇悉
地王也。波羅蜜者。卽事究竟一到彼岸一
度無極一義也。事究竟卽成就養育義也。
故云蘇悉地王也 文
持明房決云。波羅蜜者。到彼岸事究竟之
義也。此四尊爲四部養育母。令至彼岸。令
至究竟歟矣

八供養

甲本頭註曰。諸尊應請諸證明良久。今當奉還本宮。故次出定乃至復奉供

事供養

普供養

讚

閼伽 甲本頭註曰。供養已竟。故奉閼伽以充漱口

鈴杵 甲本頭註曰。諸尊既將還去。故次振鈴

解界 甲本頭註曰。奉送持念多限已了。故次解界

降三世劍印智拳印 如文
軌云。從彼〻出生所有一切印。於彼〻當
解 文
淨地記云。謂向前諸印。無不從此二印出
生。若散此二。以前諸契咸皆解散 文
大原決云。解界。先三摩耶會。次羯磨會。是
逆解界也云〻

奉送

甲本頭註曰。佛既還去。故次禮拜。乃諷奉送偈

記注云。海和上說。五輪投地。一心禮。卽意
中生戀慕別離辭念。後時稽請垂慈降 文
帖云。金界奉送印明。隨部改用可 文
又云。可有五部奉送印明。佛劍 金普賢三昧耶
寶寶部印 蓮如常 羯磨彼印若大指若小指可杵歟文
又云。訖哩都婆呪。非法波羅蜜呪。是已作
如是勝上屬等偈梵語也
文殊五字軌云。卽結金剛利劍印。奉送諸
聖 文

五佛加持

甲本頭註曰。既解界。恐魔事發。故次四佛加持

五佛灌頂

寶印

甲本頭註曰。三昧耶護身。故次結寶印。未詳

帖云。寶印者。是四部之總寶鬘寶冠印也。
非寶部之寶。只是寶冠寶鬘之寶。眞言中
寶之句亦爾也 文

甲冑

甲本頭註曰。被甲尤是護身之最。故次被甲

拍掌

甲本頭註曰。持念功德無量。故次拍掌

四禮

甲本頭註曰。歡喜事將出。故次禮四佛

五悔

甲本頭註曰。歸命等事始終豈異。故次修五悔

迴向

甲本頭註曰。五悔之中雖有迴向句。是撿略。故後更別〻迴向

正德二年壬辰七月十三日借谷汲花
嚴寺藏本令門人眞應弟子玄暢謄寫
探題法印嚴覺識
天保十二年辛丑五月之吉　天眞

阿娑縛抄第二十九 金記 諸會 本

∴羯磨會 先念心上置十字羯磨
帖云羯磨杵心上臥觀之文
此會外用功德也云云
初大日智拳印
左拳力指直竪。以右拳檀戒忍握左力指
以右進指末拄右禪節。拳面當心
左拳面向右。左手面內ネツル樣也云云
唵縛日羅馱覩鑁
次東佛印 阿閦佛也
左拳置臍。右置右膝。舒開掌。指向地 文云觸地印
左拳面向身。右手自膝下。指末向地
唵惡乞蒭毘也吽
次南佛 寶生佛也
左拳如東佛。右舒開掌。當右前仰空 文云施願印
唵囉怛曩三婆嚩怛洛
次西佛 無量壽佛
二手仰叉。進力曲背。禪智端相拄。安臍
唵嚧計濕縛羅ゝ惹訖哩
次北佛 不空成就佛也
左拳置臍。右舒開掌。當右肩 文云施無畏
唵阿目伽悉弟惡

次金剛婆羅蜜 如前阿閦佛印
薩怛縛縛日里吽
次寶波羅蜜 如前寶生佛印
羅怛曩縛日哩怛羅
次法波羅蜜 如前無量壽佛印
達磨縛日哩纈里
次羯磨波羅蜜 如前不空成就印
羯磨嚩日哩惡
已上四波羅蜜
次東方薩菩薩
左拳置腰。念取鈴。右念取杵。三度擲上。卽置乳上
如例取杵作法。三反旋轉擲上云云
縛日羅薩怛縛阿
次王菩薩 法性記云亦名摩阿摩羅菩薩亦名不空王菩薩云云
以右拳腕押左拳腕交抱胸。進力少屈鉤招之
一反少召也
對記日院說三召 餘說不云反數云云
淨地記云右拳近胸。左拳在後而抱云云
帖云謂以左付胸以右在肘上。以右押左也
縛日羅囉惹弱

次愛菩薩
左拳舒臂致左方。右拳進著左拳。卽引著右頰邊如弓射三反
左拳當左膝上。正不置也云云
縛日羅邏哦護
次喜菩薩
二拳面合當心上。各以風空指彈指
法性記云各三彈指作聲文花山同
縛日羅娑度索
次南方寶菩薩
二拳面合二頭指竪端柱如寶形
縛日羅ゝ怛那唵
次光菩薩
前寶印當心。三度右迴轉。念光迴相
縛日羅諦惹暗
次幢菩薩
左拳側竪橫向臍。以右拳臂向身。置左拳上
右拳面正向身
嚩日羅計都怛藍
次笑菩薩
二拳仰相並當口三反。從小指開之
縛日羅賀沙郝

次西方法菩薩
左拳仰當心上。念蓮花含形。舒右拳頭指。
開左拳指。始自少指開散之。
右頭指。左拳小指近開之。如此三反云云
縛日羅達磨頡利
[梵字]
次利菩薩
左拳置左乳上。念執蓮花。右拳置膝上。念
持劍
縛日羅底乞瑟拏淡
[梵字]
次因菩薩
二拳相並。二風中節合。少側竪。向下當臍。
三反平轉
穴云。平轉者右轉也
縛日羅係都輪
[梵字]
次語菩薩
如前笑菩薩印當口。始自禪指開散 穴云開散
一反也云云
縛日羅婆灑藍
[梵字]
次北方業菩薩
二拳當心上。三反旋舞。次左頰邊三反。次
右頰邊三反旋舞。次金合頂上散之
縛日羅羯磨劍
[梵字]
次護菩薩
二拳當心上。三反旋紫。次額。次腦後。各三
反旋紫
縛日羅乞叉唅
[梵字]
次牙菩薩
二忿怒拳面相合。擧上當口。念如牙相
縛日羅藥乞叉吽
[梵字]
次拳菩薩
左拳仰橫置心上。右拳向下置左拳面
縛日羅散地鑁
[梵字]
已上十六尊
次嬉菩薩
二拳各置左右腰。向左方空少許低頭
見左右空不同在之。可見右方空云云
對記諸說見右空
縛日羅邏細護
[梵字]
次鬘菩薩
二拳額上頂後各三反迴繞。念結鬘繫垂
縛日羅磨黎怛羅吒
[梵字]
次歌菩薩
二拳並仰。二地中節合。少側竪。從臍至口
散之
縛日羅儗諦儗
[梵字]
次舞菩薩
二拳心上。左脇右脇。各三反旋舞已。次金
合頂上散之
縛日羅涅嘌諦訖哩吒
[梵字]
已上内四供養
次燒香菩薩
二拳面相合。向下散之
縛日羅度鎞阿
[梵字]
次花菩薩
前印向上開散之。如捧獻
二拳面向上散之。ム云。腕方散之
縛日羅補澁鎞唵
[梵字]
次燈菩薩
二拳面相合。禪智直竪並如針。念燈
二拳腕上少右迴也云云 法性記云。三轉云云
縛日羅路計儞
[梵字]
次塗香菩薩
二拳中節相合。面向胸。橫置左右乳上。三
反開拳掌。掣摩胸上。如香塗身
縛日羅獻弟[illegible]
[梵字]
已上外四供養
次鉤菩薩
以降三世印。進屈如鉤形
縛日羅矩捨弱
[梵字]
次索菩薩

前印進力曲相捻
縛日羅播捨吽
次鎖菩薩
前印二度相鉤
縛日羅薩普吒鑁
次鈴菩薩
前印合腕微搖動
縛日羅吠捨解
已上四攝
次安立賢刧十六尊
右拳仰置心上以左拳叙垂膝上始從東
北角至于東南角印壇四度毎印唱吽
字餘三方亦爾謂四々十六尊也
\裂\裟前廣敷其上正按也向西方我右
方始順按之可想印壇上雖向餘方向
西定思無妨云々
次安立二十天
以左拳仰置胸以右拳舒垂膝上始自東
北角至于東南角印壇五度毎印唱吽
字餘三方亦爾四五二十天也
十\六尊二十天可用各別印明也云々
禾云如左抄之云々
穴云入壇已後授之不空三藏拔而不
載儀軌此朔又傳受人希也云々
慈氏
虚合二風屈中背相合二空並竪押風
側
唵毎怛𠼝野娑嚩賀
次不空見
虚合二風安火背二大並竪二中指中
節是佛眼印
唵阿目佉捨嚩攞野識
次滅惡趣
內縛申二火端相拄二風從火背如三
股也莽麼雞印也或梵篋印
唵薩嚩幡野惹賀野娑
次除憂暗
梵夾印置心上如藏印梵篋印
唵薩縛戍迦怛喍儞𠼝伽多摩多曳暗
次香象
鉢印　定慧仰並如受物之勢
唵識馱賀悉多儞虞
次大精進　亦名勇猛亦名勇進
右拳中火輪竪臂向外左拳置腰
唵秫羅野尾
次虚空藏或云金剛幢
外縛二風如寶形
唵識々蘖彥惹野惡
次智幢
二拳以右拳竪左拳上羯磨幢菩薩印也
唵枳孃曩計覩味怛濫
次無量光
如前香象印唯想掌中有火珠
唵阿弭多鉢羅婆野特鑁
次賢護
准地神印二風加火側中院決云風少洞加火
唵跛捺囉播邏野鉢里
次網明
左手五指垂輪右拳中風拄左手心緣
叢印
唵惹哩儞鉢羅婆野惹
次月光
右手以空捻風側是持花印想花中有
伏蓮左拳置腰
唵贊捺羅鉢羅婆野摩
次無盡慧
梵夾印
唵阿吒叉野摩多曳吉儞也
次辯積
同香象印想掌中有五色雲
唵鉢羅底婆那俱吒野藍

次金剛藏
外縛。二火如針。或外五古印
唵縛日羅櫱婆野縛
次普賢
五古印。對云。不云内外。或云外縛
唵三曼多跛捺羅野惡
已上十六尊印明
那羅延
左手五輪開散。如輪捧之。右拳安腰。或云。左劍五指出自前。拳向下。右三度迴轉云云　左手舒開少屈。右旋如輪云云
唵摩羅縛日羅
次倶摩羅
右手作鈴印。或云三度動搖　左拳置腰
唵縛日羅建吒
次金剛推碎印
前網明印
唵嚩日羅遇拏
次梵天
左手空水相捻執花。右拳置腰
唵縛日羅摹曩
次帝釋

外縛。二風指豎合。獨股印。或内縛立合火
唵縛日囉庾馱
已上東方五天
次日天
如胎藏。謂顯現合掌。二水入内。二地並。二火少屈不相著。二風直立。二空置。二水邊
唵縛日羅倶吒利
次月天
執花印如前
唵縛日羅鉢羅婆
次金剛食
以二拳並仰當心上。從小指散之。三度。如歡印
唵縛日羅摩尼
次歲星
内縛。二火端合。是棒印
唵縛日羅母娑羅
次熒惑
如香象印。掌中想火珠
唵縛日羅氷識囉
已上南方五天
次羅刹

金剛掌。風空端相捻之
唵縛日羅難拏
次風天
合掌屈火風立地水。以空捻火風端。又右手豎背向外以空押風火餘指開豎
唵縛日羅儞羅
次金剛衣天
内縛。中二火端相叉。是弓箭印
唵縛日羅縛始
次火天
右掌向外。空置掌中。屈風召之
唵縛日羅曩攞
次多聞天
内縛。二火端合少屈
唵縛日羅陛囉縛
已上西方五天
次金剛面天
右拳中風如鉤。左拳置腰
唵縛日羅矩捨
次焔摩天
虛合。地風入内背相著。屈空自風上越致火指
唵縛日羅迦羅

[梵字]
次金剛調伏天
右拳以空押地水甲刀印　左拳置腰
唵縛日羅惹野
[梵字]
次水天
內縛二風圓端相拄
唵嚩誐縛日羅
[梵字]
次伊舍那
右手以空押地甲三輪開散是戟印云或
左拳竪中指以風付火背右拳置腰
唵嚕捺羅野縛日羅
[梵字]
已上北方五天
已上二十天印明了
禾云對記等十六尊二十天印明等異
說甚多依繁不注之
∴三昧耶會先舌上念五股杵
帖云五古舌上臥觀之文
此會內證功德也云〻
初大日印
二羽金縛忍願直竪端相合如劍首進力
開著忍願背
唵縛日羅枳惹南阿
[梵字]
次東佛
金剛忍願直立如針
縛日羅枳惹南吽

[梵字]
次南佛
金縛忍願如寶形
縛日羅枳惹南怛洛
[梵字]
次西佛
金縛忍願如未開蓮華形
縛日羅枳惹南頡利
[梵字]
次北佛
金縛忍願入掌中而指面指合二母指二小指並竪合
縛日羅枳惹南惡
[梵字]
次金剛婆羅蜜　如東佛印
嚩日羅室里吽
[梵字]
次寶婆羅蜜　如南佛印
嚩日羅憂喇怛洛禾云憂憂同カウノ音叶梵字亦音カツ也而ケウノ音不宜歟
[梵字]
次法婆羅蜜　如西佛印
嚩日羅多羅頡利
[梵字]
次羯磨婆羅蜜　如北佛印
佉穌日里捉斛
[梵字]
次薩菩薩
金剛忍願直竪二大二小各開立不相著
是五股印

三昧耶薩怛鑁
[梵字]
次王菩薩淨云經云不空王菩薩
金縛進力開竪屈如鉤二指面去少許
淨地記云經云頭相去二三分許文
阿曩耶娑縛
[梵字]
次愛菩薩淨云經云摩羅菩薩
金縛進力竪少屈如鉤形相交如箭
聖行房云右頭指下也弓箭ハクル意
相叶云〻
或云右智泉祕傳也但文如箭云如弓
箭不云然者只如箭ハスノ可造歟對
記惠和上云叉立如矢首云〻
阿斛索佉
[梵字]
次喜菩薩淨云金剛善哉心要同
金縛進力禪智各三反彈指
娑度〻〻
[梵字]
次寶菩薩淨云經云虛空藏菩薩
金縛二頭指竪屈如寶形二母指並竪
索摩訶怛鑁
[梵字]
次光菩薩
前印不改母指頭指開舒六指右旋轉泉智ア
嚩云右三云〻
嚕褒儞庾多
[梵字]

次幢菩薩（浄云金剛幢。経云金剛幢菩薩）
金縛二地二水直豎合。二母指並立。二頭指如寶形。
阿他鉢羅底
[梵字]
次咲菩薩（浄云経金剛可愛）
如前幢印。指末向下。徐舉當口開散之。（泉智）
（云一反開之云々）
呵々吽磬
[梵字]
次法菩薩（法性記云、亦名金剛眼菩薩。心要云、觀自在菩薩）
金縛二頭指豎屈如蓮未開形。二母指直
敘立並
二\母指頭指傍。豎並以下准之
薩縛迦哩
[梵字]
次利菩薩（法性記云、亦名金剛劍菩薩。心要云、文殊師利大菩薩）
金縛忍願並屈上節如劍首
縛佉砌那
[梵字]
次因菩薩（清涼記云、金剛輪菩薩是也。文帖云、因菩薩者彌勒是也。心要云、纔發心轉法輪菩薩文）
金縛二水直豎合。二地豎相交
母馱胃地
[梵字]
次語菩薩（法性云、経云、言菩薩）
金縛二頭指拄。如蓮未開形。二大開仰著。
頭指邊當口散之
鉢羅底舍那

[梵字]
次業菩薩（浄云、毘首羯磨菩薩。帖云、虛空庫文）
金縛開掌交覆横向下。左右手各以大指押小指甲上
蘇縛始怛鍐
[梵字]
次護菩薩（是勇猛菩薩也。略出経云、難勝精進菩薩文）
金縛進力直豎當心上
涅婆野怛鍐
[梵字]
次牙菩薩（是金剛夜叉菩薩也。帖云、摧一切魔文）
金縛進力開立少屈如牙不相著。二小指少開豎
設咄嚕薄乞叉
[梵字]
次拳菩薩
金縛二大屈入掌內。二頭指屈如鈎。以爪柱大指中節上（法性記云、如閉心門印）
薩縛悉地
[梵字]
次嬉菩薩
金縛禪智並豎指面仰
二\大指者縛上方ヒネリ仰様也云々
摩訶囉底
[梵字]
次鬘菩薩
以前嬉印舉上當額散之（法性記云、以前印當額不散之文花山同）
路波戍陛
[梵字]

次歌菩薩
如前印指末向下從臍至口開散
戍路怛羅操契
[梵字]
次舞菩薩
左右大指各捻水指甲於前一匝旋舞。次左邊。次右邊。各一匝旋舞。即金合頂上散之
[梵字]
薩縛布而
次燒香菩薩
金縛向下散之一度
鉢羅訶邏儞儜
[梵字]
次花菩薩
前印向上散之（掌仰向上散之云々）
[梵字]
破邏讖弭
次燈菩薩
金縛禪智直豎拳三度右迴轉
素帝惹乞哩
[梵字]
次塗香菩薩
金縛開掌横向身直乳上擘開縛如塗香身三度
素獻蕩儼
[梵字]
次鈎菩薩
金縛以右進指直豎屈如鈎

阿夜𡂐弱

次索菩薩

金縛以右大指入左大指頭指間

阿𡂐吽吽

次鎖菩薩

金縛左右大指頭指端相捻如環左手准之

係薩普吒鑁

次鈴菩薩

金縛二大屈入掌內振金縛

健吒噁噁

∴大供養會　此會演供養也

初大日　智拳印

唵薩縛怛他蘖多縛日羅馱怛縛訥多羅布惹娑發羅拏娑摩曳吽

次阿閦佛　觸地印

唵薩嚩怛他蘖多惡乞芻毘也怒多羅布惹娑發羅拏娑摩曳吽

次寶生佛　施願印

唵薩嚩怛他蘖多羅怛曩三婆嚩多羅布惹娑發羅拏娑摩曳吽

次無量壽佛　定印

唵薩縛怛他蘖多盧計濕嚩羅〻惹怒多羅布惹娑發羅拏娑摩曳吽

次不空成就佛　施無畏印

唵薩嚩怛他蘖多阿目伽悉弟努多羅布惹娑頗羅拏娑摩曳吽

次金剛波羅蜜　阿閦印

唵薩嚩怛他蘖多嚩日羅薩怛嚩努多羅布惹娑發羅拏娑摩曳吽

次寶波羅蜜　寶生印

唵薩嚩怛他蘖多縛日羅囉怛曩努多羅布惹娑發羅拏娑摩曳吽

法波羅蜜　無量壽印

唵薩縛怛他蘖多嚩日羅達摩努多羅布惹發羅拏三摩曳吽

次羯磨波羅蜜　不空成就印

唵薩縛怛他誐多縛日羅羯磨怒摩怒多羅布惹娑發羅拏娑摩曳吽

次薩菩薩　金縛安心上

唵薩縛怛他哦多薩縛怛摩涅哩耶怛那布惹娑發囉拏羯𡀩縛日里阿

次王菩薩　以金縛安左脇

唵薩嚩怛他哦多薩嚩怛摩涅哩耶怛那布惹娑發羅拏羯磨乞哩弱

次愛菩薩　以縛安右脇

唵薩縛怛他哦多薩縛怛摩涅哩耶怛那努羅哦拏布惹薩發羅拏羯磨縛傳吽護

次喜菩薩　以縛安腰後

安腰後者只於前置想也云〻法性記云二手遣後作縛云〻

唵薩縛怛他哦多薩嚩怛摩涅哩耶怛曩娑度迦羅布惹娑發羅拏羯磨覩瑟置索

次寶菩薩　以縛安額上

唵娜莫薩嚩怛他哦多毘嚧迦羅怛寧驃縛日羅摩尼唵

次光菩薩　以縛安心上旋轉如日輪

花山記云安心三反右旋轉文

唵娜莫薩縛怛他哦多蘇哩曳毘喩縛日囉諦㘕儞入嚩羅以翊

帖云翊二合與文謂翼音也其梵字亦有翼音謂字通阿伊等音故賀有餘音也即與餘同音也如字有音也

文 私云阿迦相通故阿也。如伊點故イ也。ヤイユエヨノ五音ヲ用故爲二母之時イヨ也。加涅槃點故イヨク也

次幢菩薩 以縛安頂上舒二臂
唵娜莫薩縛怛他蘗多捨跛哩布羅拏眞
多摩捉特縛惹乞梨縹縛日羅特縛惹乞
里怛藍

次咲菩薩 以縛安口笑處量左 解散
解散云不散也。凡十六尊皆不解縛處
處置也云云
唵娜莫薩縛怛他蘗多摩訶必里底鉢羅
母儞也迦𡀔縹縛日羅賀西郝

次法菩薩 以縛安口正中
唵薩縛怛他蘗多縛日羅達磨多三摩地
避薩覩拏嚩摩訶達摩乞哩擲唎

次利菩薩 以縛安左耳上
唵薩嚩怛他蘗多鉢羅枳惹波羅蜜多避
涅哩賀隸薩覩拏弭摩訶遇沙努覽泼

次因菩薩 以縛安右耳上
唵薩縛怛他蘗多斫迦羅乞叉羅鉢梨穌
怛那薩縛蘇怛𡂖多寧耶曳蘇覩爹弭薩
嚩曼荼黎吽

次語菩薩 以縛安頂後 穴云當頭頂後可想量文
唵薩嚩怛他蘗多散馱婆沙沒馱僧儗底
避哦喃娑覩拏弭嚩日羅嚩制斫

次業菩薩 以縛安頂上 舒不舒
唵薩嚩怛他蘗多度波咩茄三母捺羅薩
發羅拏布惹羯迷迦羅迦洛

次護菩薩 以縛安右肩上
唵薩縛怛他蘗多補澁波鉢羅娑羅薩發
羅拏布惹羯迷吉里々々

次牙菩薩 以縛安右跨上
唵薩嚩怛他蘗多路迦入縛攞拏薩發囉
拏布惹羯迷跋羅々々

次拳菩薩 以縛安心上
唵薩縛怛他蘗多𡀔陀咩茄三母捺羅薩
發囉拏布惹羯迷矩嚧々々

次散花 金合仰漸開掌散之 如觀執念
金掌仰上散也。如三昧耶會花菩薩
唵薩嚩怛他蘗多補澁波布惹銘伽三母
捺羅薩發囉拏三摩曳吽

次燒香 金合漸開掌向下散之 如觀執念
唵薩嚩怛他蘗多度波布惹銘伽三母捺
羅薩發囉拏三摩曳吽

次燈契 金縛二大指竪於前三遍旋轉 如觀執念
花山記云、心前右轉三反文
唵薩嚩怛他蘗多儞波布惹銘伽三母捺
羅薩發囉拏三摩曳吽

次塗香契 金縛向身開掣。如香塗身三反 如觀執念
唵薩嚩怛他蘗多𡀔馱布惹銘伽三母捺
羅薩發囉拏三摩曳吽

三昧耶寶契 金縛二頭指竪如寶形 如觀執念
唵薩嚩怛他蘗多冐殿讖羅怛那稜迦囉
布惹咩伽三母捺羅薩發羅拏三摩曳吽

次嬉戲契　二掌開舒於心前左右脇各
一反旋舞　如觀執念
唵薩嚩怛他誐多賀寫邏寫訖哦拏囉底
操契耶歸怛羅布惹吽伽三母捺羅薩發
羅拏三摩曳吽
次薩埵三昧耶　金縛二中指如針
唵薩嚩怛他誐多縛日路跛摩三麼地娑
縛那播那冒惹那嚩娑那布惹吽伽三母
捺羅薩發羅拏三摩曳吽
次羯磨三昧耶　金縛二大二小立如針
如觀執念　開腕掌向身也云々
唵薩嚩怛他誐多迦耶涅哩夜怛那布惹
吽伽三母捺羅薩發羅拏三摩曳吽
次達磨三昧耶　金縛二中指竪如蓮未
開形　如觀執念
唵薩嚩怛他誐多只多涅哩耶怛那布惹
吽伽三母捺羅薩發羅拏三摩曳吽

次寶幢三昧耶　金縛二中指竪如寶形　如觀執念
唵薩縛怛他俄多摩訶嚩日路捺娑嚩娜
那波羅蜜多布惹吽伽三母捺羅薩發羅
拏三摩曳吽
次香身　金縛横向胸掣開掌如香塗身
三反　如觀執念
唵薩嚩怛他誐多拏多羅摩訶冒馱賀羅
迦尸羅波羅蜜多布惹吽伽三母捺羅薩
發羅拏三麼曳吽
次羯磨觸地印　左拳仰置臍右掌開舒
垂膝上印地　如觀執念　右掌覆正膝付指末著地
唵薩嚩怛他誐多歸怛羅摩訶達摩嚩冒
馱乞鏟底波羅蜜多布惹吽伽三母捺羅
薩發羅拏三摩曳吽
次闘勝精進契　金縛二指頭二大指直
竪　如觀文
唵薩縛怛他誐多僧娑羅鉢𡃤丁夜誐拏
怛羅摩訶尾哩耶波羅蜜多布惹吽伽三

母捺羅薩發羅拏三摩曳吽
次三摩地契　彌陀定印　觀如執
唵薩縛怛他誐多歸怛羅摩訶操企耶尾
賀羅皤那波羅蜜多布惹吽伽三母捺羅
薩發羅拏三摩曳吽
次遍照尊印　智拳印也　觀如執
唵薩嚩怛他誐多歸怛羅訖禮賖日抳耶
嚩羅對嚩娑那尾那也那摩訶鉢羅枳惹
波羅蜜多布惹吽伽三母捺羅薩發羅拏
三摩曳吽
次勝上三摩地　縛定印　觀如執
唵薩嚩怛他誐多嚩囉耶摩訶鉢囉底鉢
底布惹吽伽三母捺羅薩發羅拏三摩曳
吽
次說法印　金合二小指大開直竪
唵薩嚩怛他誐多嚩枳底涅哩夜怛那布
惹吽伽三母捺羅薩發羅拏三摩曳吽
次大拳印（頭註）已上四玄印許可灌頂後授之　外縛
唵訖哩娜野末儞瑟多儞薩嚩怛他糵多

南悉地野擿

[梵字]

次三昧耶印　外縛二中指直竪如針

唵薩嚩母捺囉銘鉢哩野娑嚩覩

[梵字]

次法印　外縛二中指作蓮花

唵儞瑟鉢羅半左縛吉悉地娑嚩覩薩縛

[梵字]

怛他蘖多三滿達喩銘阿惹野擿

[梵字]

次羯磨印　外縛二中指入掌內面相合。二大指二小指相竪合

阿尾儞野馱縛蒂銘薩怛縛薩縛怛他蘖

[梵字]

擿室者尾儞野地蘖摩三縛羅三部擿

[梵字]

已上四印。契宗和南所傳也

阿娑縛抄第三十　金記諸會末

智證在唐記云。師云。成身會者。此修行者。立成自己法智二體。兼莊嚴道場。請來於本尊。其羯磨會。明諸本尊立身之儀。三昧耶會。明立身後。諸尊各有手中。把本三昧耶標幟。（此印明諸佛各有本誓）其供養會。明諸尊各以本三昧耶互相供養。其四印會。明諸尊各立別會。各々利物。其一印會。明諸佛同歸本地。唯有一身。更無他佛。獨住圓寂大圓鏡智自受法樂。已絕能所。文

對云。叡和上說○凡羯磨三昧耶會。是如來自受法樂之境也。又通於初心行者自行已滿究竟位法性境界之事。次供養會者。眞言門菩薩。以大智心發行大佛事業之行狀也。就中從金剛拳大印以下。是四印會也。以表四種曼荼羅之義。大三法羯也○如是無量色相威儀。但是不過一法性中。是故有一印會也。雖是獨一法身。而塵沙萬德法門眷屬本來圍繞。爲表是上無比之法樂。現獨一法身之會。文

羯磨會（對云。凡羯磨會。由金剛拳文。智在唐記云。羯磨會印從金剛拳起文）

軌云。結羯磨印。於心而修習。諦觀心月輪。而有羯磨杵。文

生起（異本）云。言羯磨者。此云事業。謂表諸尊之事業。故云羯磨也。言心月者。諸尊。即眞如也。法性眞如體難知。故變觀用相顯示事業。故云諦觀心月輪而有羯磨杵。智慧名杵。摧伏煩惱故。文

帖云。問。何故羯磨會。三昧耶會。先於心上舌上。觀五古及十字耶。答。十字杵是事業故。羯磨會是事業威儀會故耳。五古是五智表故。三昧耶會是內證三昧耶故耳。問。心上舌上心何特明曰。但是三密隨一也。設三昧耶會。於心上觀。終不免難耳。文

大日

智拳印

東山記（圓靜智然記歟）云。法勝寺。尊勝寺被造之時。山門園城以外。有沙汰。左大指立。可握之由也。然而尊勝寺之時。重被問仁和寺宮事功了。兩寺共竪頭指也云々

帖云。智拳印者。理上智冥時。成等正覺而所示印故。名智拳印。即羯磨身所結印也。理恒然變三世常住也。智不冥之時。遂不成佛。若智冥之。即○等正覺。故成佛時。智是最也。文

四佛

四波羅蜜

對○云。日院說。慈覺大師決云。四方四佛。各從自體流出四波羅蜜。加持大日如來。故四菩薩各用本佛印也。文

薩菩薩

對云。眞實云○行者自觀我身語心金剛薩埵○想未成佛來。常不退轉。恭敬

供養毘盧遮那佛文

王菩薩

對云。眞實云。行者自想。我是金剛王〇作念諸佛菩薩以鈎引來。名爲金剛鈎王文

愛菩薩

對云。眞實云。行者自想。我金剛愛身〇以何因緣。名金剛愛。謂此菩薩能施行者所愛樂故文

又云。日院說〇想以大菩提心。欲箭射本尊心地文

喜菩薩

對云。眞實云〇是歡喜相容結此印。即得出離無明城故文

寶菩薩

對云。眞實云。我與諸佛菩薩衆生灌頂文

光菩薩

對云。眞實云。行者自想。我身是日光天子。於刹那頃。滅盡衆生內外黑闇文

又云。日院說。不改前印。唯倒印末。當心三誦右平轉三反也。言平轉者。倒手端平迴轉也文

幢菩薩

對云。眞實云。行者自想。我是金剛幢。一切衆生所愛樂物。雨我身邊文

笑菩薩

對云。眞實云。微笑如是。能令十方衆生皆獲怡悅受。大安樂文

法菩薩

對云。眞實云。能令衆生厭離世間樂出世法入甘露城文

利菩薩（帖云利菩薩者劍義也 即智慧堅利劍也文）

對云。眞實云。我是眞金剛利。能斷除一切衆生貪瞋癡等文

因菩薩

對云。眞實云。我是金剛因。我是世間醍醐甘露。我是金剛大教法輪文

語菩薩

對云。眞實云。能達一切衆生言語文

業菩薩

對云。眞實云。我是種々事業能成就。我是能到一切處。我是能作種々事。我能成就妙事業文

對記諸說。二手各以空押火甲。舞之

護菩薩

對云。眞實云。我是金剛甲。堅實牢固不可破壞。我是金剛精進。我是守護十方無量一切衆生。施無怖畏文

牙菩薩

對云。眞實云。我是金剛藥叉。所以諸佛大方便方。神通變化。我口中有金剛利牙。一切見者。壞大恐怖。亦能摧破一切魔怨文

拳菩薩

對云。眞實云。我是能解脫金剛繫縛者文

內四供養

外四供養

四攝

對云。運和上說。四大護印文

對云。眞實云。五方佛。四波羅蜜。爲眞印。金剛喜等。名影相印。金剛燒香等。名親近印。金剛鈎等。名爲智印。行者以身語意印契眞言。供養毘盧遮那如來。諸供養中。最爲第一文

法性記云。大師記曰。四方四佛。各從自體流出四波羅蜜。加持於大日如來。故四菩薩各用本佛印。大日如來。被押（圖註 師玉云被押也）四佛加持已。流出內供養菩薩。供養四佛。々々受大日如來供養已。後流出外四供養菩薩。供養大日文

智界問答曰。問。外四供養中。有香花燈塗菩薩〇何無閼伽飲食菩薩耶。答。自受用土。無閼伽飲食之用。他受用土。有此二物之用。故以六波羅蜜。實大供養會。攝六種供養。飲食攝檀波羅蜜文

賢劫十六尊

妙心太云。若安立千佛位時。結何印。誦何眞言。千佛十六菩薩。同一箇印。同一眞言。何以故。十六菩薩是千佛數故。若安置十六菩薩位時。不用安千佛位文

持明房決云。賢劫之位。仰拳。以拳背按之文

二十天

持明房決云。二十天之位。伏拳。以拳面按之文

禾云。十六尊。二十天。各別印明祕之。深行後用之。不空別譯之不載。金軌頗祕之故歟

賢劫十六尊二十天儀軌　錄外

明達律師智界記云。有別儀軌。名賢劫千佛。此儀軌智證大師傳之。以前未有之云々

智證大師。授性海阿闍梨。本奧云。珍歸國後。性海上人請爲獨受此三十六箇印了。除此未然文

或云　了依右說者。此軌。慈覺大師。無御將來歟。觀中院記奧書云。此觀中院門授說。同慈覺大師將來軌說云々

慈覺大師進藝灌頂次第。十六尊。二十天印被載之

或云　了依右說者。覺大師有御將來歟。但彼蓮臺灌頂次第。印許載之。無眞言云々

禾勸祕錄云。梵字賢劫十六菩薩。眞言二本仁二十天名。並眞言一本　作文　眞言御將來之條。不可疑

三昧耶會　對云。三昧耶會用金剛縛文　智證唐記云。三摩耶印從金剛合掌起文

生起　具云。三昧耶者。是本誓義。雖具眞如性。無其相狀。乘本誓力。示種々形。是故名爲三昧也。爲表無相貌。不現其身體。爲表所有本誓。示其三昧耶形文

法性記云。或云。此會五佛本誓文

對云。心要云。能令修行人入諸三摩地。佛性海中。適悅安樂文

大日

對云。古來呼大日劍印。今謂。文云爲刀是作印詞。實是率覩波印。何以知之。彼略出經○隨部三昧耶形。毘盧遮那部想。率覩波上。想其部物。○故知爾也。若不然者。胎藏大日無所不至。亦作刀形。而攝大軌。名率覩婆。其文雖釋一其凡三昧耶印。是三昧耶形之標幟也。其大日尊三昧耶形。是率覩波故。其三昧耶印。

亦率都波印二其文

或云　了焰劍印

四佛

帖云。問。五佛契加五佛加持印。五處安之乎。答。不必爾。只心前結之文

四波羅蜜

十六尊

八供

四攝

對云。四印而一縛。故以一縛不解而作文

帖云。三昧耶會大供。可有十六菩薩。二十天也。唯獨一法界成身會。不圖諸尊等。餘皆具有之。而不用印是略歟文

大供養會

對云。叡和上說。供養會。眞言門菩薩。以大智心發行大佛事業之行狀也文

四佛

記注云。師曰。或依順軌文不加之。或用前羯磨會印眞言。或金剛波羅蜜眞言。除縛日羅薩怛縛句。可加惡乞芻毘也句。自餘准之。今且依有四佛之說文

對云。日院說○此門中唯說大日印眞言。不說四佛印眞言。六卷經亦不說四佛印。四波羅蜜印。唯說十六尊印。傳法阿闍梨云。此中具用五佛印眞言。是故大日尊印用前羯磨門中大日印。唯眞言別在軌。說四佛印眞言。用羯磨門中四佛印眞言文

又云。日院說。軌云。金剛薩埵羯磨印。乃至金剛業羯磨印。是四波羅蜜印也。而無明說。印相各用前羯磨門中四波羅蜜印。唯其眞言。此文說也文

又云。中院說。惠和上說。勘本軌。不載四佛羯磨印。因之。唐國阿闍梨。或加四佛契。或依順本軌。不加四佛契。今且用有佛說也。是前羯磨四佛印文

四波羅蜜

生起　具云。問。何故不說四佛。答。誓四彼岸。影而顯之故。心要云。此爲遮那及菩薩。即同五如來文

十六尊

生起　具云。自下明能供養○一明金剛部四供。二明寶部四供。三明法部四供。心要云。是諸菩薩。爲供養故。各持器印。布在身上諸支分。而能爲如來供。作大佛事

問。何故不說業護牙拳。答。有二釋。一云。依心寶業部有十七供養。即以嬉鬘等

為始也。業護牙拳是業部故。偏擧嬉等。攝顯業等。故心要云。嬉鬘等四。北方四菩薩。業部所管云々。二云。若依對文。內供四云成事智用。故更不用云々。此意偏擧業護牙拳。略嬉等四文

對云。然上二會。十六尊外有四內供。今以北方四大菩薩為內四供。其意云何。心要意云。為足八供。而轉用之。若爾叡和上說。次文散華以下八印以為外四。內八供。卽以寶契。嬉戲。薩埵。羯磨四印。為內四供。是足八供。不缺十六。可否云何。此違心要云。次業部十七供養印。嬉鬘歌舞。此四菩薩。北方四親近大菩薩也。業部所管。若爾經軌何故不別說內四供。而以業部四菩薩印。為內四供。上以四菩薩印。亦為四佛印。亦為四佛印。亦為四鬘印。兩重轉用。且據簡略。此中亦然。若廣明者。並當別明。若爾。上是四佛為印。大日出四鬘。大日為供四佛出內。此中何故唯以業部四菩薩印。為內四供。成所作智。本是成就二種事業。一供養諸佛事業。二利益衆生事業。故以內外八供。皆屬業部。若爾。違摩地軌。住妙觀察智。修五相成身。次以成所作智。修道場觀四攝。次入平等性智。獻閼伽八供。次住大圓鏡智。持百字念誦。凡金界行法。總有七支。一行願。二三昧耶。三成身。四道場觀。五奉請。六供養。七念誦。一々支中皆住五智。或總或別。各有印明。且行願中淨三業明。准眞實經。是報身明。卽法界智。遍覺遍禮是總五智。四禮是別四智。五悔是別五智。准眞實經。五佛如次寂靜調伏求財敬愛增益護摩。卽是如次五悔功德。四無量心是別四智。餘支准知云々。彼軌住灌頂智。獻閼伽水。住事業智。拳（圓壁）獻奉八供養。住圓鏡智。誦百字明。住觀察智。金剛語言而念誦之。故與今義無有相違。五若此四明是業部四明者。何故論日。香花燈塗。大日為供四佛。如次出生嬉鬘歌舞。四佛為答大日。如次出生香花燈塗。此中業部四大菩薩。住內四供養所答供。顯能戲獻供。能所八供。總奉曼荼羅海六。若爾。此中八供具足。何故次有外四供養。前是一切如來香花燈塗。後是世間所有香花燈塗。故於其中可奉事供七

外四供

散花

軌云

觀察於十方　言我今勸請
諸佛轉法輪　復應作是念
今此贍部洲　及於十方界
人天意生花　水陸所有花
皆持獻十方　一切大薩埵
部中諸眷屬　契明密語天
我為普供養　一切諸如來
而作事業故文

義釋云。意生謂從心生花等文

帖云。持云。運心花歟文

胎軌云。意生香花鬘文

燒香

軌云

而作是思惟　人天本體香
和合變易香　如來羯磨香
我今皆奉獻

對記云。日院說。人天中本體香者謂香自性差別。和合變易者。諸香和合變作也文

清涼記云。變易香者。如濕香沈香等也文

淨地記云。經（略出軌也）云。和合變易香。所謂諸花香。或薰或浸。變成此香文

帖云。人天本體香者。人天所有沈檀等本體香也

和合變易者。如合薰也文

燈契

軌云

人天本體生　及差別光明
為作事業故　我今皆奉獻文

淨地記云。經（略出）云。差別光明（謂寶珠也）文

塗香

軌云

人天本體香　和合變易香
如是差別香　如來羯磨故
我今皆奉獻文

生起（異）云。問何故不說四攝菩薩。答。能

所二供所不攝故。以無用故。略不說之。然對文云。若欲用四攝契者。此次安之文

對云。已上外四供印結云。花。燒。塗。燈。軌云。花燒燈塗〇此文次有珍寶。伎樂。衣食。獻食獻心。五種供印。故成九種。此是十方人天。本體變易八種。普皆觀念供養〇次文亦有六度。三空。佛口八印。是法供養。一々文中。皆有願爲衆生之言。此則前九事供。是供養諸佛事業。後八法供。是利益衆生事業。作此二事業故。名爲成所作智。是爲業部十七外供故此九印。文云。供養諸佛。作事業故。八印。文云願一切衆生等也文

三摩耶寶契

軌云

此界及餘界　寶山諸寶類
地中及海中　彼皆爲供養
如來羯磨故　我今皆奉獻

生云。自下明寶類等三種供也文

嬉戲

軌云

人天之所有　種々諸戲弄
玩笑伎樂具　皆爲供養佛
而作事業故　我今當奉獻文

薩埵三昧耶

軌云

如是劫樹等　能與種々衣
嚴身資具者　彼此爲供養
而作事業故　我今當奉獻文

略出經第四云。西方國土長者。以種々花香瓔珞莊嚴樹上。布施一切。此名劫樹文

羯磨三昧耶

軌云

於虛空藏中　所有諸如來
我爲承事故　想一々佛前
而皆有己身　以親近侍奉文

生眞云。此後明承事行相文

達磨三昧耶

軌云

我今卽此身　與諸菩薩等
觀諸菩薩等　觀諸法實性
平等無有異

寶幢三昧耶

軌云

應觀生死中　一切衆生類
苦惱之所纏　深生哀愍故
我今爲救護　幷護菩提心
未度者令度　未安者令安
皆令得涅槃　及雨種々寶
所求令滿足文

生眞云。自下檀等。六度行也文

心要云。次行六波羅蜜法。運度有情文

香身

軌云

願一切衆生　三業諸不善
願悉皆遠離　一切諸善法
願悉皆成就文

羯磨觸地

軌云

願一切衆生　慈心無惱害
遠離諸怖畏　相視心歡喜
諸相好莊嚴　成甚深法藏文

闘勝精進

軌云

願一切衆生　修菩薩行者
被堅固甲冑文

三摩地

軌云

花方佛羯磨　應作是思惟
願一切衆生　調伏於煩惱
隨煩惱怨讎　獲甚深禪定

遍照尊印

軌云

願一切衆生　成就五種明
世間出世間　智慧皆成就
而得眞實見　除煩惱障智
辨才無畏等　佛法嚴其心

九會密記元杲云。以六種供養。配六波羅蜜〇以閼伽配檀波羅蜜。以塗香配戒波羅蜜。以花配忍波羅蜜。以燒香配精進波羅蜜。飲食配禪波羅蜜。以燈明配智慧波羅蜜文

勝上三摩地

軌云

應作是思惟　諸法眞實性

空無相無作　諸法悉如是

生云。自下明觀行相。觀三解脫門義

說法印

軌云

而作是思惟　我令出語言

願一切衆生　悉皆令得聞　文

九會密記云。已上顯法身解脫般若三點具足般若波羅蜜。次說解脫。次說法　文

記云。青龍寺契宗和尚傳云。二手金合。二頭指作蓮花葉。二大指頭指邊。是說法印　文

對云。香房說○又云。慈覺大師得青龍寺經藏契宗和上金剛界大儀軌將來。非從彼和上受。彼和上先滅。故大師不逢　文

四印會

大拳印（軌云金剛大拳印文已下四玄印）

生（異）云。成菩提心

三昧耶印

生云。滿衆生願

法印

生云。入勝義諦

羯磨印

生（惣性同）云。滿足門也

花山記（惣性同）云。興善寺征和尚（惣性云元征阿闍梨）曰。從此四箇印。同前四佛印。故不更記（惣性作）（安阿闍梨云四佛印不明今疑）

三摩耶四佛印歟　又不空三藏停止此文。又接藏裏本不記此文　文

（惣作同）淨地記云。又撿略集開鎖偈。亦不列此四六卷經。亦不說　文

花山記云。青龍兩卷本。全載此四道眞言。今依青龍寺契宗阿闍梨（是義眞和尚弟子也）所持本文錄之。契宗曰。尋常諸師曰。大拳契者。以金剛縛。當心。三昧耶契者同印安額。法印者不改縛印。二大指竪安喉。羯磨契者。以前法印安頂上。寶月三藏云。金剛大拳印。金縛安心上。三昧耶印。左拳安腰。右拳安心上。法印。金縛二大指竪安心上。羯磨印。以前法印安心上。三迴轉。又法全和尚云。大拳印者。右拳安心上。左拳安腰。三昧耶。以右拳安口。法印。以同印安額上。羯磨。以同拳安頂上　文

對云。日說○興善寺和尚云（中院云。元征阿闍梨也）前四佛印故。此更不作也。今且就青龍寺和上傳々之。大拳者。外縛安心。三昧耶者。普賢三昧耶。法印者。外縛忍願如蓮。羯磨者。外縛地空各立。合之安心。以上四印。依青龍寺契宗和上本文記之

○元征阿闍梨傳云。已上四印。諸文中所不說。最祕術故名玄印　文

又云。問。此四大印。供養印歟。爲當念誦印歟。若爾何失。二俱有難。若供養印。何故眞言句中。無供養言。又心要云。結四大印。誦四種眞言。誦百字明○若念誦印。何故軌中此四印後。次云如是廣作佛事已。次應諦心爲念誦。答。私云。是非供養。亦非念誦。是四智印。自滿頂法○　文

二印會

智拳印

法性記云。道海和上說云。是大日印。大師祕密不妄傳之。經多年。乃傳授此印　文

智蓮記云。或曰。四大印之後。置大日如來羯磨印。前四印曼荼羅。後是一印曼荼之義○此一印眞言。置此間之意頗難　文

布字事

禾云。或決（鎭斟璧嚴流抄）一印會。次若三十二相印布字。若三十七尊布字云々。又金對受記第八可見之。又東寺用之。但非常途作法

御本云

建長三年十月五日於小川草了

同四年九月八日於同所書寫了

是爲繼法命於未來也

敢非求名利於現在矣

無障金剛尊澄記之

建武元年七月二十四日書寫了

同二年十二月二十二日交合了　豪鎭

同四年五月五日正本交合了

文和四年（乙未）二月二十八日於西山寺

后與房書寫了

一交了　　　　　　　　　澄盛

享德三年三月十九日書了

右筆　乘源

朱點并一交了　　持者　源喜

寶永二年（乙酉）五月十一日於兜率谷雞頭院敬謄寫竟

阿闍梨法印大僧都嚴覺

享保九辰年同午年於出雲寺書寫校合訖

阿娑縛抄第三十一　金界雜要

金經疏儀軌事（本經軌儀義疏決）

金曼荼羅事（六種曼荼羅・九會曼荼羅・五部攝）

經軌事

本經

金剛頂瑜伽眞實大教王經三卷（不空譯・貞元・仁・行・運・珍・叡）

金剛頂經十八會第一會也尼吒說也云云

帖云。金剛頂經大意者。佛於色究竟成道之後。下須彌頂。爲一切義成就菩薩（白色大慈金剛名也・菩實金剛也）成正覺時。一切諸佛皆集互相涉入。悉入釋迦身中。其中釋迦昔知識善友阿閦等四佛。從釋迦身出。坐四方。乃至如之現曼荼羅。卽了而第二卷末請佛說曼荼羅。佛卽爲說之。現作薩埵身。卽名大慈金剛也。說曼荼羅了。第三卷卽說灌頂也　文

又云。大日所現。若大日後身薩埵白色五古安乳。鈴安腰。名大慈金剛者也。東方薩埵菩薩青色也。右五古安乳。左拳安腰　文

金剛頂瑜伽略出念誦經六卷（兩本金剛智・本金）

金剛頂瑜伽略出念誦經四卷（兩本並金剛智・海・珍・治爲）

（四有加減）錄

治六爲四云云。恐展轉誤歟。高野錄云。四本古譯。金剛智。圓覺錄云。六本不空譯文

年來不審之間。或勝本治四爲六云。尤可指南。豈賓本師治哉云云

帖云。金剛頂教之中。委悉事無如略出經。而此經猶大本略出也。雖然是甚抄要給也　文

略出經。金剛頂經。同本異譯也云云

金剛頂峯樓閣瑜伽瑜祇經一卷（金剛智・海・運・叡）

ム云。錄注金剛智譯　文　高野錄。不空譯。文　實難詳云云

圓雲法印云。此經金剛智譯也。而不空之由。在弘法錄。亦令書遣御歟。權者如是事。先例是多故也。而東寺人別有不空譯之由稱之。不便事歟。又前唐院藥紙中慥在之。而無慈覺持來之由。東寺人稱之。不便歟云云

諸佛境界攝眞實經三卷（般若・仁・行・運・叡）

禾云。此外祕錄所載如左

金剛頂教王經一卷（運・叡）

金剛頂略出經一卷（運・叡）

守護國界主陀羅尼經十卷（貞元錄外・澄・海・珍・叡・外・般若・貞元・海・圓覺）

大乘理趣六波羅蜜多經（般若・貞元・海・圓覺）

大乘心地觀經八卷（叡）

菩提心經一卷（叡）

瑜伽法鏡經二卷（圓覺）

法鏡經二卷或一卷（貞元圓覺梵釋・私云宜悋見之）

義疏

金剛頂瑜伽十八會指歸一卷（不空・貞元・海・仁・澄・十八會・瑜伽法・云云・叡）

金剛頂經大瑜伽祕密心地法門義決一
卷（智證 仁海）義釋云々
覺師問云。金剛頂義決。誰人製作耶
江師答云。或一行云々。造玄血脈。禪師
一行製決三卷文。此決上卷也。奧未了
文。見或不空云々。是又文狀所見也。開
元六年中至西京。一行禪師求我灌頂
文。一行自作。豈自名一行禪師云乎云々
金剛頂瑜伽三十七尊分別聖位法門一
卷竝序（不空 貞元 圓覺 仁珍 海）
金剛頂瑜伽略述三十七尊心要一卷（不空 海仁 行敏）
金剛頂瑜伽略三十七尊出生義一卷（不空 仁運）
金剛頂瑜伽中發阿耨多羅三藐三菩提
心論一卷（不空 貞元 圓覺 海 仁珍）
菩提心義一卷（海 運）
此外祕錄所載如左
三十七尊名一卷（澄）
禪門用心一卷（仁 錄外）
心次第一卷（仁）
菩提心記決一卷（叡）
金剛頂經疏七卷（仁 和上撰）
金疏舊本者四卷略出也。新本者教王
也。別本者六卷略出也云々
六波羅蜜經疏十卷（智通 仁有 初四卷）
六波羅蜜經疏十卷（超悟 叡通 和上 送來 明）
釋摩訶衍論十卷（龍樹 戒明）
初來之日道俗爲僞論。大德崟師引用

叡山本師破爲僞論。仁和尙問南大寺
新羅僧珍聰云。新羅中朝山月忠妄造。
後海和上奏入眞言三藏中。流行天下。
次福貴山道詮和上。叡詠破古僞論。立
爲眞論文
釋摩訶衍論疏三卷（法敏 僞眞論 奏）
眞言宗卽身成佛四種曼荼羅義文字
實相義一卷

∴儀軌

金剛頂蓮花部心念誦法儀軌一卷（不空 貞元 仁 海 運叡）
金剛頂瑜伽要略念誦儀軌一卷（仁）
瑜伽蓮華部念誦法一卷（不空 貞元 叡 海 珍 仁）
瑜伽供養次第法一卷
金剛頂瑜伽修習毘盧遮那三摩地法一
卷（金剛智 貞元 圓覺 海 仁 運 珍）
金剛五支法一卷
十七尊釋義述一卷（阿目佉 金剛述）
略敍金界相承傳法次第記一卷（海 蜜）
賢劫十六尊二十天眞言一卷

∴經軌決

略出經云。頓方一肘量文
帖云。頓。端直意也。謂其方面不曲直行
也。猶頓筆引。如不曲直。又如流星頓走
也文
各以語言印記之（卽釋名字是也文）
帖云。謂以名字。戴三摩耶形也。如不空
見以眼爲其印等是也文
從心上契之文

帖云。謂云印云契是同也
應向大壇天方文
帖云。天方者上方也。云梵天方也文
經云。金剛薩埵極堅牢故文
帖云。何故一々諸尊皆云金剛薩埵三
摩地極堅牢耶。答。此等諸尊皆以金剛
薩埵三摩地爲初入位也。無超金剛薩
埵三摩地故。一々諸尊皆有金剛薩埵
三摩地所成堅牢之義也文
略出經記西佛灌頂云。結加持契已。置玉
枕下文
醫家云。頂上左右名玉枕下云々

金軌事

生起（眞）云。軌有四品。一成身會品。明從
初發心至佛果位之行相。故名成身。二
羯磨會品。明諸尊自體之業用。故名羯
磨。三々昧耶會品。明諸尊本誓之相狀。
故名三昧耶。四供養會品。明弟子承事
之儀則。故名供養文
對云。此軌兼說二薩埵法。各是別時行
法。而非同時行法文
成身記（禪定）云。問。今軌題云蓮花部心念
誦儀軌。其成身觀卽似蓮花部。然人師
云作五部釋。卽出其印明。今傳受記明
金剛部成身。又軌加持灌頂備有五部
結誓唯出四部。次三會具五部。末後唯
出二薩埵法。若爾此軌爲是何耶。答。此
極雖詳。偸述愚慮云。題云蓮花部五相
亦是蓮花部。然後說諸部者。入理之門

雖異所證之果是一隨從一門入自備五部德故雖云蓮花部五部具足 文

軌云歸命禮普賢金剛蓮花手說修瑜伽法 文

生 眞 云言普賢者佛部遍照尊 [illegible] ○金剛者金剛部金剛手言蓮華者蓮花部觀自在手言通二譯祕密人必先可歸三部尊故言瑜伽者唐云相應與法合故 文

軌云 成菩提印處 運心諸有情月上如來威速成如普賢瑜伽經所說 文

對云惠和上記 [illegible] 云文云月上如來威者普賢會於月上如來所發菩提心故今發菩提願一切有情亦如普賢皆於月上如來所發菩提心也運和上說觀諸有情皆有月輪如來性由我三密力速顯月輪證大日位普賢者是大普賢地自性法身瑜伽者是金剛頂經

記者私云觀自在菩薩說普賢陀羅尼經云普賢會於月上如來所得此陀羅尼云云故惠和上所說經然今文云瑜伽者亦指此經無失可讀文云運心於諸有情可觀以月上如來威力即成普賢菩薩行願令如普賢陀羅尼瑜伽經所說 文

帖云月上如來者二說一過去如來也 慈和上說 一月上如來觀 文 生起云入觀行者先起此心一切有情心月輪上皆有如來眞如法性何以故一切有情皆如來藏普賢菩薩自體遍故願我今彼諸有情顯如來藏速成普賢如是觀已跏趺入定威者威德即佛性也 文

軌云後十六生成普賢 文

帖云十六生後成普賢者即普賢如來也即大日也故金界軌初云普賢金剛蓮花手即三部也普賢大日也 文

文云後十六生成正覺者斷無明生也反易生也 文

文云十六大菩薩皆是大日如來果所現也故初後不二不可淺深約次位者誠是初心也 文

∴私記事

淨地記 慈覺大師御說作 [illegible] 也

禾云淨心口意三業入五相三摩地證淨菩提心故爲名歟亦金界印初故爲名

金界記上下 金輪院

智蓮華記

奧云弟子經圓以清涼房本手自寫之有上綱御筆外題并房號 云々

金記一卷 清涼房

金記一卷 花山

法性別記上下印眞言三百三十在之 云々

金剛界私記 小島僧都記

奧書云余初學此道猶如嬰居山抄間未聞師說是以爲消暗配釋如此還入癡網三寶放言麁言細語歸勝義故以此功德自他俱利而已 云々

成身私記 都率僧都記

奧書云此觀門者甚深祕密之祕密苦海之浮木長夜之大燈往生之淨業成佛之直道也學祕教者知甘露之門在於茲也幸哉此身適値此教設得紫金之妙體欲拜黃壤之朽骨矣

時長和二年季春三月末學沙門覺超記 文

谷新記

奧書云已前私記依安然大阿闍梨說中以三十七尊總 [illegible] ○大日一部意撰之賢者知之可見對受記同奧書云寬德二年四月二十八日於丹州池上大日寺寫賜之是近日新被撰私記也五部之祕牘掌中依然矣 長宴

金剛界書合次第 子細同胎卷

大原私記二本 不同

一本勝悉地印明次法意勝悉地 [illegible] ○有四無量觀又引有記云四無量心次勝悉地次大金剛輪次金剛次麼吒如之連之自餘 如常

一本勝悉地麼吒如常連之諸會略之但三昧耶會八供四攝并大供養會之華契香々燈々塗々寶々戲々薩埵三昧耶羯磨三昧耶達磨三昧耶許用之自餘如常記

金剛界私記 雖人記不知之大概同智蓮花記

奧書云寬弘二年秋八月比以入唐圓通大師古點本校之了遍照金剛本長

德四年五月八日於雲林院閑町房西戶屋書了。行者延殷本。同十八日點讀了。大師月院律師御房 云々

應德元年十二月一日於萱尾別所書記之　　　金剛佛子經圓

金記 誰人記不知之

後五佛加持次云。私云。安惠和尚御私記。奉送次用寶印甲冑印。安惠和尚御私記。奉送次用五佛加持。學者可隨一說 云々

禾云。古賢制記其數多之歟。今所持本內記之許也。悉之

∴六種曼荼羅事

指歸云。金剛頂瑜伽有十萬偈十八會。初會名一切如來眞實攝教王。有四大品。一名金剛界。二名降三世。三名遍調伏。四名一切義成就。表四智印。於初品中有十六曼荼羅。所謂金剛界大曼荼羅。并說毘盧遮那佛受用身。以五相現成等正覺〇成佛後。以金剛三摩地現發生三十七智。廣說曼荼羅儀則。爲弟子受速證菩提地法

第二說陀羅尼曼荼羅。具三十七。此中聖衆皆住波羅蜜形 云々

第三說微細金剛曼荼。亦具三十七聖衆。於金剛杵中畫。各持定印 云々

第四說一切如來廣大供養羯磨曼荼羅。亦具三十七。彼中聖衆。各持本標幟。供養而住 云々

第五說四印曼荼羅 云々

第六說一印曼荼羅 云々

帖云。四種輪。只金剛界輪度。餘三輪未度大本中有之歟 云々

問。何故名四印曼荼羅。答。西曼荼羅抄云。指歸云。四印曼荼羅爲弟子授四種速成就法。今謂。依四種速成就法得四印名。慈（心本）覺大師受唐阿闍梨口決曰。四印者。是四佛印也。四種成就者。卽四印成就也。四印具二十一者。四佛四波羅蜜八供養四攝。中尊爲二十一 決已上文 今私謂。四種成就者。敬愛鉤召降伏息災等。卽在法曼荼羅中。大師曰。四印者。是四佛印。四種成就卽四佛印。今案。護摩法云。敬愛用無量壽眷屬。鉤召與降伏用阿閦佛眷屬。息災用大日眷屬。增益用寶生佛眷屬。此卽用四佛印也 文

問。何故名一印曼荼羅。答。西曼荼羅抄云。指歸云。一印曼荼羅說修一尊法。今謂。依修一尊得一印名。慈（心本）覺大師受口決曰。一印具十七。謂四五二十尊。隨取一尊印。以爲一印曼荼羅。以四佛圍繞。八供四攝以爲眷屬。並中心尊爲十七。若持大日尊及薩埵兩箇尊眞言。具十七也。餘佛菩薩具十三。際四箇佛 決已上文 指歸云。金剛界輪中第六一印曼荼羅。若持大日眞言及金剛薩埵眞言。具十七。餘皆具十三。又降三世輪中一印具十七。又遍調伏輪。又第六蓮花部一印具十三。皆觀自在菩薩也。又一切義成就輪中一印具十三。說修一尊法 文

對記明曜行五部阿闍梨行法中云。此隨五部阿闍梨可用一印曼荼羅。具十七尊。部別五尊加十二供。指歸雖云大日薩埵具十七尊。餘皆十三。而依理言之。五佛各具十七 文 帖云。十七尊只大日普賢也。或私謂。四佛猶可有十七尊曼荼羅歟 四各親近加之也云々

金對記六云。珍和上說〇四大印 禾云四玄歟 者。四印曼荼羅也。言假令若取東方一佛安中台。而〇四菩薩四攝八供。凡十七尊。是名四印曼荼羅也。又於三方亦復如是。今言四印者。謂於四佛各表此義。若大日尊安中台者。加四波羅蜜乃至四攝八供。爲一曼荼羅。此義可知。若於一佛曼荼羅安三十七尊者。四親近。四攝。八供。四忿怒。十六天。是爲三十七尊。今於此處不可必用四印。又一印曼荼羅。軌中不見也。但以義言之。毘盧遮那如來法身體性一體無二之義。是名一印曼荼羅。凡於此界而有九會。故具印。私云〇准指歸及理趣釋并諸別軌。只九會圖言之。指歸說一印中云若持大日及金剛薩埵眞言。具十七尊。餘皆具十三尊 云々 四印中云。具三十一尊 云々 大樂軌及普賢等。皆說十七觀自在王如來軌中只說十三。此則本尊。四親近。十二供尊。具此十七。皆名一印曼荼羅也。若三摩地大日法中只出十三。亦名一印。准理可具十七 云々 故四印中。此十七尊。更加四印爲二十一。此等四印。一印。三十

七尊一一ゝ皆爾。非但五佛。故師說難。又於一尊具三十七者。出五祕密。謂以大樂五尊各住合二十五尊。加十二供爲三十七名也。若五普賢及五大虛空藏具十七尊。謂五方如來共成一尊。以本部印爲此尊印。故有五印。加十二供是十七尊。唯十八會中第十三大三昧耶眞實瑜伽會言之。具如下出云ゝ 故知師說難文

∴九會事

(朱)理趣會 (墨)十七尊 (朱)或云降三世三昧耶會
(朱)此金剛界輪六品中一印曼荼羅指歸云十七尊

(朱)同 (墨)降三界會
(朱)此降三世輪六品中第一降三世品也具三十七尊

(朱)同 (墨)降三世三昧耶會 (朱)或云降三世羯磨會
(朱)降此三世三昧耶形也具三十七

(朱)同 (墨)一印會
(朱)此五相成身毘盧遮那如來

(朱)同 (墨)成身會
(朱)此金剛界輪六品中第一金剛界大曼荼羅具三十七尊

(朱)三昧耶會 (墨)成身三昧耶會 (朱)或云成身羯磨會
(朱)此金剛界大曼荼羅三昧耶形具三十七

(朱)四印會 (墨)五普賢會
(朱)此大供養院品中大日及四波羅蜜內四供菩薩三角有四波羅蜜三昧耶形

(朱)供養會 (墨)微細會
(朱)此金剛界輪六品中第四廣大供養羯磨曼荼羅羯磨三十七尊是也

(朱)同 (墨)微細會 (朱)或云成身三昧耶會
(朱)此金剛界輪六品中第三微細曼荼羅儀云三昧耶三十七尊是也

已上墨注。慈覺大師傳

(朱)已上朱注。叡和上
(朱)已上朱注。新度金剛界九種曼荼羅樣

九會密記杲元云。凡持法人傳云。儀軌唯說成身羯磨。三昧耶。供養（四印幷五會說。不說餘會〇云ゝ）彼人意。中央之會名成身會也。若爾羯磨會在何處耶〇今謂中央之會名羯磨。現羯磨身之會故。言羯磨者事業具足之義也〇其九會間有成身儀。凡眞言門成立（五相?）尊體。其觀已定。先其種子變成三昧耶身ゝゝ變成羯磨身ゝゝゝゝ者。如人體諸相具足身也。今九會儀式。先現降三世身。可爲成佛障三世怨敵皆悉降伏。現其降三世身時。先以短吽字爲種子。現三昧耶身。是降三世三昧耶會也。卽儀軌說極喜三昧耶也。降三世尊持弓箭極喜三昧耶是射厭離心大悲箭也。其三昧耶者是本誓義也。如千手經說如意之手饒財寶等也。儀軌云。極喜三昧耶驚覺本誓願云ゝ〇次說降三世印眞言。是降三世會也。彼三昧耶身變成降三世羯磨身降伏三世怨敵義也〇次至現智身見智身四明陳三昧耶。有微細行相。是微細會也。卽儀軌云。諦觀於相好遍入金剛已云ゝ 言金剛者三股杵也。其遍入金剛見曼荼羅也。微細會諸尊皆以三貼隨其身也。次至道場觀結如來拳印。先觀種子變成三昧耶身是三昧耶會也。次觀其三昧耶身變成羯磨身。是羯磨會也。然則言成身會者。是說九會成身儀式品名也。非九會其一也 問。若成身〇(?)品名非九會其一者〇何加會言。會既成身會品是猶九會其一也〇答。言會者集會義也。此品說諸尊成身。故用會字也 問。會者集會義者。一印會唯大日一尊也。何云會耶。答。既其大日御身內攝入一切諸尊乎。猶有會義也 問。降三世會現被一尊行相。云何云會耶。答。諸尊皆現降三世身。故其會諸尊皆結降三世印。以之可知〇問。成身會品中皆說九會者。何別說羯磨會品三昧耶會品供養會品耶。答。成身會品唯說成身義。不說諸尊印眞言。故重置三品具說其印眞言。故羯磨身之體顯本誓顯之意。表大供養之儀。加以入諸尊三摩地在羯磨會也 問。何故不重說微細會等餘會諸尊印眞言。答。是繁取要也

西曼荼羅抄云。對記明四玄印中云。私云。十八會指歸。初教王會金剛界品。六曼荼羅。第五說四印曼荼羅法。弟子受四種速成就。以此曼荼羅求悉地成就像。如上四曼荼羅中所求悉地。於此像前求悉地。第六說一印曼荼羅。若持毘盧遮那眞言及金剛薩埵菩薩。具十七尊。餘皆十三尊。亦說入曼荼羅。與弟子受先行法。修集本尊三摩地云ゝ 又准降三世品四印曼荼羅。具（二十一）〇十七（印曼荼羅具八尊?）是先行法。遍調伏品。蓮花四印曼荼羅。二十一尊。一印曼荼羅具十三。修本尊法。一切義成就品。四印曼荼羅。具二

十一修先行法一印具十三修一尊法云々
今此儀軌是六曼荼羅中初金剛界大曼
荼羅修行之法故不可以第五四印安此
中也若於第五四印像前作此軌中成就
法者可用二十一尊印若以第六一印作
此軌中先行法者大日薩埵可用十七尊
印餘尊可用十三尊印言十三者本尊四
攝八供言十七者加四眷屬二十一者加
四尊印大三法羯卽是四方初一薩寶法
業四菩薩印又〔昭有之〕高野說金剛界大儀軌或
爲九會從淨三業至中百字眞言爲成身
會一其中降三世明爲降三世會二大業
明爲理趣會三五相成身爲微細會四羯
磨會五次三昧耶會六次供養會七次四
印會八次加羯磨大日印爲一印會九供
讚等無所名也今撿指歸無九會文但教
王會金剛界一品六曼荼羅初金剛界大
曼荼羅五相成正覺發生三十七智第二
陀羅尼曼荼羅三十七尊皆住波羅蜜形
第三微細金剛曼荼羅三十七尊於金剛
杵各持定印第四一切如來廣大供養羯
磨曼荼羅三十七尊各持本標幟而住說
十六大供養第五四印曼荼羅第六一印
曼荼羅具如上引云々私云今唯指歸初
大曼荼羅攝此成身及三昧耶第三微細
攝此微細及三昧耶第六一印攝此一印
及十七尊此降三世及三昧耶是〔四印中第二也〕第二品
降三世此五普賢會是〔十八會中第三也〕第十三大三昧耶
眞實瑜伽會普賢菩薩說十七尊支分各

入本尊身共成五尊居一蓮花臺說一眞
言今此大軌初金剛界品金剛界大曼荼
羅行法故不可以餘品曼荼羅而攝此中
也又成身會微細會各異而名爲一特不
可然金剛界品修行可用六曼荼羅而作
九院以呼九會此是天竺隨宜繪像不可
以爲此界定量文

帖云九會天竺晨旦雖一定但猶是人師
爲一機所圖歟文

文云九會不空所爲歟文

或說〔東寺〕云惠果阿闍梨爲弟子義滿新圖
之若叶聖意者可有奇瑞賚給之處忽降
甘雨仍門弟等作奇異思云々

或說云金剛三藏欲圖曼荼羅而祈念之
時九會顯現見之三藏圖之云々

禾云右兩說々所可尋之不審歟

帖云九會圖種子本自但中心一會有之
自餘八會種子是源照入寺始所書出也
自後自他皆所書寫也彼入寺書出最初
以之令覽師云々

九會中羯磨會諸尊後皆立三古畫之此
是羯磨杵也而略在左右畫歟是卽表羯
磨會之義也云々

∴圖曼荼羅

帖云胎金二曼荼羅俱云現圖隨宜云々
對記云金界天竺隨宜云々又現圖云々
顯圖故善提心義云金現圖云々又金界
曼荼羅不云現圖如說圖也九會不空所
爲歟文

帖云前唐院在普集會曼荼羅一鋪云々
必可拜之謂是十八會中集會瑜伽也未
度大本中一曼荼羅圖來也〔理趣釋指歸可見之云々〕
廣福寺金泥手繪曼荼羅者金界中央一
會也世間普集會云是也宇治御藏有之
云々

帖云問金界曼荼羅是何重曼荼羅耶答
或云三重也加內院金剛輪而是非也何
重曼荼羅者只云外院故此界是二重曼
荼羅也如云胎藏三重曼荼羅也云々

帖云問二重各有四門耶答可有二四八
門如前唐院曼荼羅四方四攝之位各有
門々中有四攝也其門形如胎門也文

帖云問胎藏界只開通門也爾者金界亦
可爾耶答不爾金界曼荼羅四門皆開之
故開門印四方皆用之文

∴寶性草事

智證大師雜記云寶生草者取不可窮際
之義此草渴々不可取盡天竺多有今增
上畫此草者取不可窮義喻佛法不可盡
之意文

往生論云寶性功德草柔軟左右施觸者
生勝樂過加旃隣陀文

智光云迦旃隣陀印度草名其性柔軟若
觸之者能生樂受故文

帖云九會中心會最中之月輪四隅半月
上有寶珠是安闕位也卽爲月輪之莊嚴
也卽表四智寶也又會々二十天等位中
有三古是闕位安之也又會々月輪各々

角有〔醍醐師説〕云是又安闕位也又此有一師説〔源照入寺説〕角々是各四尊三昧耶形安爲也故異角會其四尊之三形蠹之又撿前唐院本於正北降三世會五月輪各々角所有位皆盡一々尊三形謂四波羅蜜十六尊之三形也皆如立五瓶次第右引繞蠹之故知余會々亦是三形之位也而一雖云正東並乾角三昧耶會月輪角皆有也若爾既是可蠹何耶師云猶闕位之説佳矣又闕位安除正東乾角二會之外會々爲莊嚴三形歟二俱無過歟

又云内四供月輪下有雲形只是空處故爲莊嚴蠹雲形也文

∴五佛

對云私云四方四佛面向毘盧遮那文

又云眞實云東方不動如來〇面向西方四大菩薩亦爾文

帖云問大日即釋迦也何有北〇耶答北方佛釋迦事業身也西方佛釋迦智慧身也南佛福德身也東佛發菩提心也故大日如來即釋迦尊此尊即具此四方北方佛名不空成就亦名釋迦即供養諸佛修行圓滿三祇百劫事業成就悉達太子出家成道名爲釋迦爲顯此義故在事業方也胎名天鼓雷音者此事業尊隨諸界趣之機縁隨樂欲遍説法猶如天鼓隨人樂有雷音彌陀説法斷疑尊猶當々爲十地菩薩説法歟天鼓音遍應同説法救度故名天鼓雷音也文

∴四波羅蜜

帖云四波羅蜜八供養等是女也文

文云四波羅蜜衣又羯磨衣也事業衣也有所爲時衣也羯磨衣多女人所著也謂強隱身也四波羅蜜是女也但男形菩薩又著之如胎般若菩薩十波羅蜜等也文

∴十六尊

帖云問金界四親近何故不順圍繞而前右左後次第爾乎答謂是親近義也先最親前居次親右居次親左居次親後居猶世間之儀也文

薩菩薩

帖云東方薩菩薩青色也文

禾云祕藏記幷月輪寺曼荼羅肉色云々

愛菩薩

帖云愛染王是也但形異也文

幢菩薩

帖云幢菩薩與地藏恐同菩薩歟印相々似〔古記云地藏菩薩讃幢菩薩讃即是也〕

∴八供養

帖云金界是忉利天所説也故以天女等爲供養天耳文

帖云嬉眞實八供西南嬉菩薩香菩薩在之乃至東南舞塗也是一様也非亂脱謂東南順引迴安西南也文

文云嬉菩薩三形三古腰曲也謂嬉戲之儀故曲腰歟文

∴四攝

帖云四攝各有四面之門中云々即撿前唐院本於千佛位四面各有一門〔其様全如台藏四門〕〔四攝菩薩各在門中云々〕

∴賢劫千佛

海雲血脈云賢劫十六大菩薩表賢劫中一千或賢劫千皆在曼荼羅四方圍繞文

對云兩卷軌云賢劫千佛位十六大菩薩文教王經三十七尊各住本位已大日説召集心一切世界諸佛皆來往詣大日樓閣閣闔作境而住偈云外境摩訶薩略出經云方壇四周線道之中置十六大菩薩〇又應思想千大菩薩舍利弗等諸大比丘私云此等文中不言賢劫千佛而兩大軌賢劫等者心要云今此建立金剛界三十七尊大曼荼羅及賢劫千佛外金剛部二十天及四十天等云々准悲華經一千王子誓成賢劫千佛一觀音二普賢三文殊等其如彼文故知此十六菩薩亦是賢〇佛中十六也且是此界現在菩薩故粗點之准理可觀十方世界諸佛菩薩文

帖云十六菩薩經中説之其菩薩名唯以世所貴菩薩之名通用名之也不必三世佛母之文殊寶威德佛國之普賢也況悲華經説賢劫千佛寶蓋脊屬也非千太子云々私云金對記四云悲華〇意千太子誓爲千佛云々今見經文不見此説可尋之又補正記意云何文

持明決云賢劫十六尊賢劫千佛一々十六生經可成佛也是十六云十六生表也

千佛圖位可置或圖位此菩薩置或圖此
菩薩置不空也云々
帖云千佛經中不說之天竺三藏等意樂
歟但可尋之文
祕藏記云三世千佛（過去莊嚴劫千佛未來星宿劫千佛現在賢劫千佛）
我身中本來在無量無數差別智身功德
莊嚴藏是謂過去莊嚴劫千佛又此身起
最初普賢之行普賢行是最妙善也賢是
最妙善義也是故白普賢覺知我身有無
數如來是賢劫千佛者舉滿數耳有無量
無數如來此身已如說修行排除煩惱雲
顯滿本有如來聲披雲見星月是未來星
宿劫千佛云々
∴二十天
對云若依心要可觀二十天及四十天私
云三界二十八天加十二天為四十天二
十天如曼荼羅列文
妙心太云儀軌中云有四十天者更加何
天每天有后其位〇何處隨其本天也文
二十天之中象頭天五體有之先達〇曰
此蘇波呼經所說四部大將也云々若爾者
今一體是誰就中彼經野干部主名象頭
文是則歡喜天其旨大自在天法則法委
悉也仍更難列二十天中又四部中野干
部主有象頭名餘三部主何現象頭耶文
帖云金界曼荼羅火天方西北方也若依
此意不可定東南但八方天位凡兩界是
定如彼灌頂等之時也
文瑜伽護摩軌同東南也若依此意與胎
藏同也文
∴四神四明王等事
對云記者私云曼荼羅中第一重四角有
火天巽水天坤風天乾地天艮第三重四
角有降三世巽軍荼利坤焰鬘德迦乾不
動尊艮此等八尊真言印契諸說不傳又
金剛智三藏手繪曼荼羅中下方列安五
大明王立像又出生義於塔上方安諸佛
頂於塔下方安諸明王又慈覺大師所傳
二十天真言次有八大明王真言唯略出
經云隨其當方八大護等一說云八方天
也一說云八大明王文
穴云問四大明王何安置二十天位耶
答是鎮壇意也兼忿怒外護德故置曼
荼羅四角令守護也
∴攝五部事
妙心太云賢劫十六菩薩及千佛於三十
七中何尊相攝隨其方面彼方佛相攝也
文
帖云四攝八供賢劫十六尊二十天各隨
其部謂香嬉鉤菩薩並東方賢劫四菩薩
東方五天是金部攝也（餘准知之）但千佛二十
天可思之其中二十天是五類諸天也此
諸天若於佛前立誓說呪蒙佛印可攝部
若於觀音普賢等前立誓說呪蒙印可各
攝蓮金部（見釋義）故此界二十天亦隨文可
攝其部歟云々
文云四大四忿怒不見文且唯香等可攝
之文
文云四大幷大圓輪即五輪也四忿是鎮
壇也故不必攝部歟文
文云四大即壞空輪依空輪餘四輪生意
歟文
∴三部五部事
祕藏記云一蓮花部吾自身中有淨菩提
心清淨之理此理雖經六道四生界生死
泥中流轉而不染不垢〇蓮花出生泥土
中而不染垢仍名蓮華部二金剛部吾自
心理所又有智斯智雖沒在生死淤泥經
無數劫而不朽不壞能破諸煩惱如金剛
雖久埋地中而不朽不壞摧破諸怨敵固
物仍名金剛部三佛部斯理斯智凡位未
顯理智具足覺道圓滿即名佛部又加二
〇名曰五部一寶部佛萬德圓滿中福德
邊云寶部二羯磨部為眾生垂悲愍成辦
一切事業云羯磨部文

建長三年十月五日於小河草了
同四年九月十二日書寫了
遠屬後賢願致弘通　無障金剛尊澄
延元々年三月八日誂同朋（烈經）書寫了
同十日一交了　不動金剛豪鎮
建武四年五月六日於華藏坊以五大
堂殿御自筆之本一交了
文和四年（乙未）三月七日於西山寺戸奥
坊以彼御本書寫了
同日一交了　澄盛
享德三年二月二十八日書寫畢

筆者海舜

朱點并一交了　持者源喜

承應三甲午年三月二十三日書寫之畢

筆者善祐

元祿十六年癸未季秋二十三日書之

中天闍梨嚴覺洪道

享保九辰年同午年於出雲寺書寫校合了

阿娑縛抄第三十二　三摩地法本 私注之

先房中作法 如例

次持珠杵入堂 如常

次到門前以降三世印眞言加持香水灑身上

次超薰香入堂〻〻之間誦眞言 如常

次到佛前懺悔偈竝淨三業然後禮佛三遍 如常

次著座

次塗香塗手

次加持香水 用降三世印明若用杵

次灑淨 如常

次加持供物 用降三世印明若用杵

次拍掌 略除

次彈指 略除

次去垢

次淸淨

次光澤 已上如悉地

次淨地 私云依師説加之

蓮合當前觀法離塵誦眞言念淨地又火印向身觀之眞言曰

唵囉儒引波我多引入薩縛達摩

次淨三業

定慧虛合當前觀法本淨誦眞言念淨三業眞言曰

唵一薩嚩二合下同婆縛戍馱二薩婆達磨

次驚覺

二手各作金拳以右小指相鉤左小指二頭指側立端相合向身指合向上念奉驚入定佛誦眞言曰

唵縛日羅底瑟姹吽

次四禮印

先禮東佛

吽[梵字]字想於心變成五智杵應想遍身中所有微塵數爲金剛薩埵金剛掌舒臂全身委地禮捨身遍法界奉獻阿閦尊盡禮事諸佛眞言

唵薩縛怛他我多布儒波薩他曩野怛摩南偏哩耶多夜弭薩縛怛他我多縛日羅薩埵縛地瑟姹娑縛𤚥吽

次禮南佛

想怛洛二合[梵字]字於額金剛寶想爲寶形身中微塵數想成金剛藏可悶全身以額禮金剛掌於心奉獻寶生尊想於無邊剎手持五佛冠灌一切佛頂眞言曰

唵薩縛怛他哦多布惹毘灑迦耶怛摩南偏里耶多夜弭薩縛怛他哦多縛日羅〻〻怛曩毘詵者𤚥怛洛

次禮西佛

觀訖利[梵字]於口即想八葉蓮觀身爲蓮花身中微塵數想成金剛法全身以口禮金剛掌於頂奉獻無量壽想遍諸佛會而請轉法輪眞言曰

唵薩縛怛他哦多布惹鉢羅縛哩多那耶怛摩南偏里耶多夜弭薩縛怛他哦多縛日羅達摩鉢羅縛哩多耶𤚥訖哩

次禮北佛
惡[梵]字想於頂變爲業金剛觀身業金剛
身中微塵數皆成金剛業全身以頂禮當
心金剛掌奉獻不空尊想於普集會觀金
剛業身而作供養眞言曰
唵薩縛怛他誐多布惹羯磨抳阿怛摩南
儞里野多夜弭薩縛怛他誐多縛日羅羯
磨矩盧翰嚟
次金剛持大印
如悉地三部中金剛部印右膝著地以印
置頂上念禮諸如來御足卽舒指從頂左
右垂下如垂帶至留心上右三遍旋轉次
左脇邊三遍旋轉卽左手舒左方次右脇
邊三反旋轉卽右手舒右方如是如舞勢
次金合置頂上卽可作歡喜心眞言曰
唵薩縛怛他誐多迦野弭縛訖只多縛日
羅嚩那南迦嚕弭唵縛日羅勿反微一
私云儀軌先金剛持大禮後四禮也今依師說准大教用之
次啓白等
次供養文
次唱禮
次五悔印　卽金剛合掌
先作禮
歸命十方一切佛　最勝妙法菩提衆
以身口意淸淨業　慇懃合掌恭敬禮
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
次懺悔
無始輪迴諸有中　身口意業所生罪
如佛菩薩所懺悔　我今陳懺亦如是

歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
次隨喜
又應深發歡喜心　隨喜一切福智聚
諸佛菩薩行願中　金剛三業所生福
緣覺聲聞及有情　所集善根盡隨喜
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
次勸請
復觀諸佛坐道場　已身各請轉法輪
一切世燈坐道場　覺眼開敷照三有
我今胡跪先勸請　轉於無上妙法輪
所有如來三界主　臨般無餘涅槃者
我今勸請令久住　不捨悲願救世間
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
次發願
懺悔隨喜勸請福　願我不失菩提心
諸佛菩薩妙衆中　常爲善友不厭捨
離於八難生無難　宿命住智相嚴身
遠離愚迷具悲智　悉能滿足波羅蜜
富樂豐饒生勝族　眷屬廣多恒熾盛
四無礙辨十自在　六通諸禪悉圓滿
如金剛幢及普賢　願讚回向亦如是
歸命頂禮大悲毘盧遮那佛
次五大願
次普賢三昧耶印
二羽金剛縛忍願竪如針纔誦眞言已自
身成普賢坐於月輪上身前觀普賢眞言
曰
三昧耶薩怛鑁
次極喜三昧印地

二羽金縛檀慧禪智並竪忍願交入掌內
指面相合小許開腕橫當心上以忍願而
三遍指心上念以大悲箭射二乘厭離心
也眞言曰
三昧耶斛蘇羅多薩怛鑁
次開心印
二羽外縛開掌腕橫當心上怛羅[梵]字念
置左乳上吒[梵]字念置右乳上卽三遍引
開心如掣開戶樞卽開心也又樣云怛羅
念置右乳上吒念置左乳上也眞言曰
縛日羅滿馱怛羅吒
次召智印
二羽外縛禪智屈入掌致地水間以印當
心卽念胸內有心寶殿此殿前有阿入[梵]
字光明赫奕流光卽後以二大指掌內召
入阿入字念心殿內召入阿入字眞言曰
縛日羅吠奢惡
次閉心印
以前印相屈進力三遍相拄二大指節上
如固封物觀以無漏智收菩提心殿內已
固閉門戶勝林金記文中附字恐封意歟　眞言曰
縛日羅母瑟致鑁
次降三世印
隨誦眞言作印至第一吽字左手作忿怒
拳次至第二吽字右手作忿怒拳以右腕
置左腕上至第三吽字二地相鉤至第四
解字二頭指竪開如牙次左三轉辟除右
三轉結界次印天印地次印身五處文忿怒
拳者以水火握空指地風猶握少起怒　眞言曰

唵蘇（反 吽蘇）娑儞蘇婆吽（短呼之下同）蘖哩訶拏
〻〻〻吽蘖哩訶拏波耶吽阿那耶斛
娑哦譏鑁縛日羅吽泮吒
次蓮華三昧耶印
二羽金剛縛。檀慧禪智竪。蓮華三昧耶。得成蓮花部轉輪之主宰。（以印當心）眞言曰
唵縛日羅鉢娜摩三昧耶薩怛梵
次定印
應結跏趺坐　支節不動搖
應結等持印　二羽金剛縛
仰安於臍下　端身勿動搖
舌拄於上腭　止息令微細
諦觀諸法性　皆由於自心
煩惱隨煩惱　薀界諸入等
皆如幻與焰　如乾闥婆城
亦如旋火輪　又如空谷響
如是諦觀已　不見於身心
住平等寂滅　究竟眞實智
卽觀於空中　諸佛如胡麻
遍滿虛空界　想身證十地
住於如實際　空中諸如來
彈指而驚覺　告言善男子
汝之所證處　是一道清淨
金剛喩三昧　及薩波若智
尚未能證知　勿以此爲足
應滿足普賢　方成最正覺
身心不動搖　定中禮諸佛　一
眞言曰
唵薩嚩怛他哦多跛娜滿娜南（引）迦嚕弭

次五相成身
初徹心明（亦名通達心）
行者聞驚覺　定中普禮已
唯願諸如來　示我所行處
諸佛同音言　汝應觀自心
既聞是說已　如教觀自心
久住諦觀察　不見自心相
復想禮佛足　白言最勝尊
我不見自心　此心爲何相
諸佛咸告言　心相難測量
授與心眞言　卽誦徹心明
觀心如月輪　若在輕霧中
如理諦觀察
眞言曰
唵質多鉢羅底吠鄧迦嚕弭
次無染心（亦名修菩提心）
藏識本非染　清淨無瑕穢
由具福智故　自心如滿月
復作是思惟　是心爲何物
煩惱習種子　善惡皆由心
心爲阿賴耶　修淨以爲因
六度薰習故　彼心爲大心
藏識本非染　清淨無瑕穢
長時積福智　喩如淨滿月
無體亦無事　卽說亦非月
由具福智故　自心如滿月
踊躍心歡喜　復白諸世尊
我已見自身　清淨如滿月
離諸煩惱垢　能執所執等

諸佛皆告言　汝心本如是
爲客塵所翳　菩提心爲淨
汝觀心月輪　得證菩提心
授此心眞言　密誦而觀察
眞言曰
唵冒地質多母怛跛娜野弭
次觀金剛心（亦名菩提心堅固。私云、金剛言隨部可改之）
能令心月輪　圓滿益明顯
諸佛復告言　菩提心堅固
復授心眞言　觀五智金剛
（勝林金記云、隨部心月上置其種子轉成三昧耶形）
眞言曰
唵底瑟佗（合二）縛日羅（合二）
次成金剛心（亦名普周法界）
汝於淨月輪　觀五智金剛
令普周法界　唯一大金剛
應當知自心　卽爲金剛界
（已上四相通用定印也。私云、今軌意用妙觀察智定印。而師說用縛定印。是依大教意也）
私云、准大教意。可用舒斂二金剛印明。
舒金剛
眞言曰
唵縛日羅娑頗羅
斂金剛印
唵嚩日羅僧伽羅
舒斂二印相。二手各以大指押小指甲。左右水火風舒屈如金剛。先以左印仰置臍上。次以右印面置左印面。次以右手水火風三指相磨左手面三遍。迴磨已。次以右印漸斂聚。大空誦斂金剛眞言。念自身五

智金剛周普法界。此法界卽成一大金剛界。
次卽誦證金剛身眞言曰
唵縛日羅怛摩句唅
勝林金記云。此證金剛眞言。依師說於此周出之。卽作慈右手誦此眞言。想虛空中諸如來悉入五智金剛中云々
次反同印。漸垂下左手面。誦斂金剛眞言。
念斂彼唯一金剛法界。入自身內。可想虛空諸如來悉入爲一金剛體
觀五古金剛斂量同己身所在諸如來背入如於明鏡能現於萬像法界自在性證往於五古金剛
次觀身爲本尊。身又名佛圓滿
自身爲金剛　清淨無染著
復白諸佛言　我爲金剛身
時彼諸如來　便勅行者言
觀身爲本尊　復授此眞言
私云。結本尊印可修此觀。若成大日如來之時印相。先外縛。忍願直竪。指末相合。二指上節頗指端。柱如劍首。以進力著忍願背
唵野他薩縛怛他哦多薩怛他唅
諸如來加持印
以先劍印置心上。念大日如來加持也。又諸如來者。大日如來也。眞言曰
唵薩縛怛他哦多避三冐地濕里茶縛日羅底瑟吒
次東佛加持印　私云。依軌意出之。隨本尊可替用之。灌頂等准知之
先外縛。中指竪如針。置心。眞言曰
唵嚩日羅薩埵縛地瑟姹娑縛翰吽
次東佛灌頂印
結前印。置印於額。眞言曰
唵縛日羅薩怛縛毘詵遮翰吽
次寶鬘印
先結先印。當額誦其佛眞言。二羽分各作金剛拳。三遍回轉。卽如結鬘。次二羽分頂後。又三遍回轉。卽如結鬘。次二羽分從頂左右邊垂下。如垂帶。卽於前始自小指開拳。眞言曰
唵縛日羅薩怛他嚩摩攞毘詵遮翰鑁
次甲冑印
二羽各金拳。舒進力二度。私云。進指面想唵。力度面置砧字
當心三匝繞。次至背三匝相繞。次至左膝三匝相繞。次至左膝三匝相繞。次至臍三匝相繞。次至腰同繞。次至左肩同繞。次至右肩同繞。次至喉。至項。至額。至頂後。各繞遶三繞。從頭左右徐垂下。於前始自小指散之。眞言曰
唵砧
次金剛指印
平掌而三拍。眞言曰
唵縛日羅覩瑟耶斛
次大海印
觀有大海。有八功德水。最底有劍字。色種々。成空輪。圓形。空輪上有唅字。色黑成風輪。半月形。風輪上有鑁字。色白成水輪。圓形。水輪上有鉢羅字。色黃成金龜形。々々上有素字。成妙高山。方形。有劍字。成七金山。回形。如是觀已。二手內相叉。掌凹仰橫。當前。右三匝迴轉。念境場卽大海。勝林金記云。師曰。先結印當臍作空風水等觀。々了誦眞言三匝四轉
誦眞言曰
欠含鑁鉢羅素劍唵尼摩盧㳊地吽
次須彌山印
二羽內縛。二腕相合直竪。念山。卽以印置壇上。念立海中也。眞言曰
唵阿者攞吽　私云。已上二印。依師說加之
次道場觀　用定印
行者想於己身前。觀無盡乳海。川生大蓮花王。金剛爲莖。遍周法界。上想七寶珍妙樓閣。天如意寶以爲莊飾。花雲香海妓樂歌讚
次觀曼荼羅　用定印
於寶樓閣中師子座上。淨滿月中現妙白蓮。觀翰字門。放大光明。普照法界。爲毘盧遮那如來。身色如月。首戴五如來冠。垂妙紗縠天衣。瓔珞嚴身。光明普照。無量無數大菩薩衆。前後圍遶　私云。若行者別欲觀曼荼羅作法可用之
次金剛輪印
二羽各作金拳。進力檀慧相鉤結仰印面。作印已。以印面向身。印自身。次以印面向本尊像印尊。次以印面向下低印壇。次擧印面向大虛印虛。誦眞言。如是印故。自身尊像壇場虛空皆成大曼荼羅。眞言
唵嚩日羅斫迦羅吽
次用鈴杵　如胎記
次觀佛海會印
先左手作拳。次右手作拳。二腕相交。以右押左。如抱胸勢。二頭指舒。每誦眞言。各彈指。眞言曰
唵縛日羅娑摩惹々　自洛反
次四明印
印如降三世。鉤二屈進度。招。索。進力如環　金記

云記云二頭指相鈎也 鎖開腕相鈎鈴合腕以振各誦
本眞言曰
縛日羅矩捨弱鈎義召 縛日羅播捨吽索義入
縛日羅薩普吒鑁鎖義住 縛日羅吠捨惡鈴義喜
次閼伽印
二羽掌並仰凹以二大指入掌內誦眞言
念掌內有水洗佛手足即啓白其願志先
頂上擧奉供佛部次少下奉供蓮花部次
又下奉供金剛部或說先二手捧器啓白願志次師眞言
唵嚩日盧娜迦姹吽
次花座印
三部三昧耶中蓮花部印相也眞言曰
唵迦摩羅娑婆訶儀軌中無之依師說加之
次八供養
先嬉菩薩
金縛禪智並竪指面仰
摩訶羅底丁以反
次鬘菩薩
以前嬉印擧上當額散之
路波戌陛
次歌菩薩
如前印契指末向垂下以印從臍至口開
散之
戌路二合怛羅二合操引契
次舞菩薩
大指水指相捻師說以母指押大指甲左右手如此即
於前一匝旋舞次左邊次右邊各一匝旋
舞即金合頂上散之
薩縛布而

次燒香菩薩
金縛向下散之一度
鉢羅二合訶邏儞儜
次花菩薩
以前印向上散之
破邏引誐弭
次燈菩薩
金縛禪智直並竪擧三度右囘轉
素帝惹乞哩二合
次塗香菩薩
金縛開掌橫向身置乳上隨誦眞言掣開
縛如塗香身三度
素獻蕩儗異枳反
次四攝
先鈎菩薩
金縛以右進指直竪屈如鈎
阿夜呬弱
次索菩薩
金縛以右大指入左大指頭指間
阿呬吽吽
次鎖菩薩
金縛右大指頭指端相捻如環左手准之
係薩普二合吒鑁
次鈴菩薩
金縛以二大指屈入掌內振金縛即鈴也
建吒噁噁
私云四攝依軌意出之存略有人意
次奉獻事供私云香花燈塗大第捧供之如常但飲食印明可問之
次普供養印私云依師說加之

二手金剛合掌二頭指蹙如寶形並竪二
大指即成眞言曰
唵阿謨伽布惹摩抳跛納麼縛日隸怛他
蘖多尾路枳帝三滿多鉢羅薩羅吽
次讚隨異軌也 今金剛軌意四智讚歟
次祈願
次百字明
結前劍印誦金剛百字明三部用之一遍曰
唵縛日羅薩怛縛三摩耶摩努播攞耶縛
日羅薩怛縛底尾努幡底瑟姹濕哩濁弭
婆縛素覩使喩弭婆嚩阿努洛訖覩弭婆
縛素補使喩弭婆嚩薩縛悉地弭鉢羅野
瑳薩縛羯麼素者弭只多室哩藥句盧吽
呵呵呵呵斛嚩伽鑁薩縛怛他誐多縛日羅
摩弭閻遮縛日利婆縛摩訶三昧耶薩怛
縛惡
次不散印便誦根本明眞言曰
唵嚩日羅馱都鑁
私云依儀軌意出之若行別尊者可結
誦其根本印明
次捧珠鬘印
二羽捧珠鬘誦本眞言七遍眞言曰
唵縛日羅嚕呬也惹婆三麼曳吽
誦此眞言已以珠子從心致頂三遍戴
次正念誦
三遍頂戴珠了然後心前以二手大指無
名指捻珠而作念誦眞言可問
次遷珠法
念誦分限了捧珠子發大願即置珠子金記

云具如勝記大願者海和上用五大願有記云修習念誦法以是勝福田法界諸有情速成菩提道

次結定印入三摩地 隨尊異也

次根本印眞言 隨尊異也

次八供養

次事供養

次普供養

次讃

次閼伽 啓白共願志

次鈴杵

次以降三世印左轉解界

次奉送印 金記云海和上說五輪投地一心禮即意中生戀慕別離之戀念後時再請垂慈降

二羽金剛縛忍願如針指端安時花誦偈

云

以作如是勝上利　授與一切有情竟

願諸聖衆還歸土　不違本誓後還來

唵訖哩覩縛薩縛薩怛縛羅他悉地娜多野他弩誐蘖車特梵勃䭾尾灑豔布曩羅誐摩那野覩唵縛折羅薩怛縛穆

次加持 如前

次灌頂 如前

次寶印

金剛縛進力如寶形禪智並竪當心誦眞言次當額分手作拳以進力二節三轉迴次腦後三轉迴如結鬘之勢自檀慧散之

執云進力禪智如寶形

次甲冑印

即作金拳當心舒進力爲相索心背兩膝臍腰兩肩喉項腦後各三轉徐向下垂下從檀慧散之師曰依兩道印誦一箇眞言

更可問之 眞言曰

唵縛日羅囉怛曩毘詵者鈝薩縛母捺羅吽捺哩墀矩魯縛日羅迦縛制娜梵唵砧

次拍掌印明 如前　次四禮 如前

次五悔 如前　次回向 如前

建久九年仲春下旬或同行爲初行次第聊注之是依佛頂上綱私記任先師大阿闍梨耶口授更不從私筆後覽悉之而已

叡岳南溪隱光無障金剛忠快記之

建治三年五月八日書寫了

比丘承[illegible]

弘安五年臘月下旬於燈下滑眉馳筆了

小比丘爾然

延慶三年五月二十七日於三州實相禪寺尊座[illegible]貸賜御本書寫了　圓照

興國三年十一月二十八日書寫了

金剛佛子良薦

應安三年五月二十日濃州可兒郡觀蓮寺大鏡房書寫了

于時承應三年甲午七月十四日以總持房本書了

善祐 六十七歳

舜興

元祿十六年九月二十五日於兜率溪雞頭院謄寫　金剛佛子嚴覺

阿娑縛抄第二十三　三摩地　末

帖云三摩地無別由只有五相成身等三摩地之儀也

文云三摩地者只是金剛界瑜伽之法也云々

菩提心義一云梵云三摩地大唐云等念故金剛頂決云三昧耶形者正翻爲等持三摩地者正翻爲等念 等持云々 謂遍一切處等持自智即入一切如來智也即入一切普賢智持此智行猶如金剛入有情界平等攝受而護念之文

文云問或云三摩呬多或云三摩跋提或云三昧耶或云三昧與三摩地同異云何答三摩呬多唐云等引亦云攝心一境義即一心義也謂以觀念等引其心成就理智境界此有二地一三摩呬多地二非三摩呬多地謂觀行相似二位別也云々

義釋云三摩是等地是慧三事平等爲一名爲等持文

∴可修此法事

瑜伽大法修先此三摩地修習也

文云台藏三摩地法云事有之云々然而不習傳之但常說其有許受之云々

金界略行法三摩地觀自在王如意輪瑜伽多羅菩薩儀軌以此等可通用也

∴行法事

禾云。依佛頂上綱私記并任常師口授次第可修行之者也

尋云。淨地印明無之。可加用歟　如大法可誦之

尋云。驚覺明末。吽字無之如何　可有之。大師儀讃加給

尋云。觀佛印明無之云何　無答

尋云。金剛持大。四禮別有之如何　如大法可用之。（有記）但今軌。四禮眞言終種子在本有之

尋云。如金界前方便悉地印等可用之歟　爾也。昔不必爾。谷以後。一切行法悉地前方便如此用之。但又儀軌定。用之無妨歟

相決云。爲初心如軌可用之。若受大法之後。如大法可用之云々

尋云。啓白神分等可用之歟　如常金界行法可用之。但又儀軌定。不用之心也云々

大師云。定事。此處啓白神分等用之。サラテモ有ナム覺。若又用キンニテモ。行法皆畢有之

又初何事セヌ前ニマレ用テン。中間如此用之煩事也云々

尋云。五悔中作禮方便無之云何　四禮等印明讓ナルヘシ。驚可加用之。台兩卷軌作禮偈無ケレトモ。如加用之

ム云。金界軌作禮偈有之。又此軌勸請方便中間有二句。金軌無之

四無量心觀

千手儀軌委說之。各別眞言有之。五祕密發菩提心。又四無量心觀也。一眞言有之。凡此觀一切行法可用事也

妙觀察智定印

常只四佛配四智。彌陀妙觀察智故。彼定印爲名云々同事ナレトモ西方彌陀說法斷疑佛。此定印卽說法印指合也等云々

尋云。金界縛定印用之。今儀軌用彌陀定印。其意云何　心少異也。金界作印縛爲本。故縛仰爲定印。此軌心金界中定印彌陀定印有也。故用之。但見行作法只如金界可用之

義決云。阿娑頗那伽云。阿之言無。娑頗那伽者議也。三摩地平等體也。入此定者。能治攀緣散亂等障。故云不應動心及身支。卽轉齒但令兩目似開。且心累緣勿令散亂也 文

諸佛如胡麻

所々二心見。一諸佛聚集給事。胡麻散多如也事云義。一胡麻油滿。如一々佛歸法界給也云心也。此義。本體義可有之。但聚集云。此周遍法界心可有也云々

尋云。此定印次眞言無之如何　此軌眞言ナクハサテ有ヘシ

普周法界　金界金蓮花界 文

ム云。此軌心金剛部行法歟。所以文汝於淨月輪觀五智金剛令普周法界。唯

一大金剛文金界行法二樣事。以之可得意也 已上

尋云。諸如來加持印不說如何　略也如大法可用之云々

東佛加持

此軌金剛部行法說。故東佛許用之云々

寶印

額頂後共可繞也

尋云。被甲如此軌十度可繞歟　如大法十二處可繞也

尋云。不說大海印如何　可有可加用之。但道場觀之次觀有之

尋云。須彌無之如何　金界須彌頂說之イカニマレ用之。有何事乎

尋云。道場觀々曼陀羅如軌歟　如軌可觀也。略行法如此可有也

尋云。金剛輪不說如何　此可有通引入文又不用有何事乎

尋云。索印異大法如何　如此印相違常事也。如大法借之。有何咎乎

閼伽

尋云。不說印如何　如此儀軌不說印常事也。但用否在意。用之思常印也

娜譏水梵語也。和歌ウタカタ讀同語也　古語梵語相合。常事也

尋云。閼伽之次用四智讚如何　是又不惡。供養初。先唱讚歎演說供養歟。常不空軌樣也。但是金剛智軌也。可心得云々

師云闕伽之時用讃事釋迦如來尼連
禪河浴水之時諸天以奉讃歎心歟
ム云浴水事如十八道
尋云花座印明無之如何　金ノヲ可
借用之金私記有之
八供養
尋云嬉戲爲供養事如何　小兒等ア
アソハセ咲體事歟
尋云嬉戲本體何事ヲスルソヤ　不
知之
ム云靑頸軌云作如法者如以一切如
來智慧供養諸佛以爲遊喜由以嬉戲
供養故不久當證金剛定 文
尋云舞所得如來意生身何事乎　常
事也神足見之心通可得心也
師云義釋悉地出現品所意生身事見
尋云內四供養花鬘外供養華有何差
別乎　內四供養花卽佛花鬘見外四
供養花只可愛妙花供養歟
重尋云五供養花卽花鬘也サラデ佛
供花何事乎　其何事有
ム云靑頸軌云金剛花鬘印相捧寶鬘
用嚴首○作此法者如意菩薩花鬘而
供養 文 以此莊嚴諸世界○芬馥雲遍
法界 文
尋云八供養之後四明可有見如何
尤可用之
尋云普供養無之如何　不用之有何
事乎但用思心也然而摩尼普供養可

借用之
念誦分限○動心發大願 文
如金界可用之
修習五字旋陀羅尼
是阿尾羅吽欠眞言也
根本印縛日羅馱都鑁用念誦阿尾羅
吽欠用也以之作用根本印明他眞言
念誦用證據也
以妙香詞稱揚讃歎 文
四智讃也若別尊行其尊讃可用也
重以三摩耶印等 文
如先可用之但繫鬘無之用否人心也
略時只想之同事也等云〻
∴經軌事
金剛頂瑜伽修習毘盧遮那三摩地法一
卷 智金剛譯 貞元新入目錄 圓覺海仁運珍敍
此軌五種三摩地所〻說故云三摩地
儀軌也
梵字毘盧遮那三摩地儀軌一卷 海
∴私記事
三摩地次第 佛頂房作
奧云賜佛頂御本書寫之　比丘闍朝
三摩地次第 依儀軌
奧云建久九年二月二十七日於武州
足立郡抄記之更非今案併依師說
叡山無障金剛忠快記之
三摩地私記 私 是行要私記也
奧書云建久九年仲春下旬或同行爲
初行次第聊注之是依佛頂上綱私記

任先師大阿闍梨耶口授更不添私筆
後覽悉之而已
叡岳南溪隱光無障金剛忠快記之
建治元初冬天三摩地事如大法不注
之間初心之輩蒙昧難散歟仍准大法
書之了　求法比丘承澄記之
弘安第五年賜御本馳筆了
小比丘爾然
延慶三年六月二日於三州禪寺首座
賜御本書寫了　末學小僧圓照
興國三年仲冬二十五日於尾州岩屋
寺燈下書寫了
爲二親聖靈御菩提也　金剛頭叡
應安三年庚戌五月十九日於濃州伊賀
尾觀蓮寺書寫之了　能叡
同二十六日一交朱點了
于時承應三甲午年七月二十五日以總
持房本書了　善祐七十六歲
舜興
元祿十六年癸未九月二十八日命松
安書之　兜率谷鷄頭院闍梨嚴覺
寬永丙戌仲冬朔旦岸貞庵命書之
愛宕山威德院七代目現住
白雪堂道可庵奚疑 年四十二 戊三十二歲
享保九辰年同午年於出雲寺書寫校
合了

阿娑縛抄第三十四　悉記本

依常師記又依大原隨要印明
禾云儀軌與傳法式不同者記定用也云〻

先入足眞言
次懺悔偈
次淨三業
次禮佛
次著座
次用塗香
次加持香水
次灑淨
次加持供物
已上如十八道
次遣除身中毘那夜迦難
兩手作拳各舒風指左右叉入虎口以
印從頂至足略去
唵闍沒哩帝賀曩〻〻許泮吒
[Siddham]
風\合拂障難心也云〻
ム云印有二說記花山云至臍前拔風指
云〻軌不拔風指云〻
三軌用印云拔風指者每至臍二拳各
別引去之也師曰或不必引去唯結印
向外押出云〻
次辟除諸障者
右手作三股印叉腰左手作忿怒拳於
頭上左右三轉而印五處

那謨縛日羅也許賀曩鈍曩莽他尾特
[Siddham]
夢娑瑜瑳羅也許泮吒 七反
[Siddham]
次拍掌辟除
次彈指辟除
次去垢
次清淨
次光澤
已上如十八道
次啓白神分等
次供養文
次唱禮
次驚覺
次九方便
次五大願
次佛部三昧耶
仰兩手十指直向前舒並相側著微屈
二頭指上節頂散之
唵怛他蘖跢娜婆縛也莎訶 五反
[Siddham]
次蓮花部三昧耶
合掌中間六指向外舒散勿令相著二
大二小指依舊相著其合掌中虛如開
花
唵鉢娜謨娜婆縛也莎訶 五反
[Siddham]
傳記云用蓮花開敷印頂散如常文
次金剛部三昧耶

二手背相著大指小指互相叉頂散 如常
唵縛折路娜婆縛也娑婆訶 三反 五記
[Siddham]
隨要印明云私謂已上印或前用之具
有師傳文
此\事大師熾盛光記見云〻
ム勸彼記懺悔偈淨三業三部三昧耶
文
禾云軌次室眞言次三部三昧耶出之
傳法記著衣眞言次遣除身中上出之
次護身
二小指叉入掌二無名指雙押二小指
叉上竪二中指端令相柱二頭指微屈
在中指上節側二麥許相去直竪大指
在中指側以印〻五處
唵縛日羅祇寧鉢羅儞鉢多也莎訶
[Siddham]
次大護身
印相與前護身印同印五處
唵入縛羅曩也泮許吒
[Siddham]
問護身之外重用大護身心如何 答
鄭重意也如云導師大導師等也云〻
次被甲
先作金掌安頂上散舒二手徐〻仰掌
安膝上二手作拳舒二風處〻迴轉如
金剛界中
唵砧被甲
唵度比〻〻迦也度比鉢羅入縛里寧

莎縛訶 七反
三軌用印云散舒合掌〻〻向上如引被物文
尋云被甲印後唵砧本軌無之何私記
如此用之　答師說也云〻
次結髮
右手作拳直舒大指印於頂上此結髮
印通三部用
指末向上小指方置頂也云〻
傳記朱說云以大指端倒置十字處文
唵蘇悉地羯哩莎縛訶 通用三部
佛部結髮眞言 云
那莽娑怛隸也地尾迦難薩羅喃怛他
蘗多難唵悉䭾路者寧莎訶 七反
蓮花部結髮眞言
那讃羅怛曩怛羅夜也那莽鉢那莽鐽
傳曳唵迦隸莎訶 七反
金剛部結髮眞言
曩讃羅怛曩怛羅夜也曩莽室戰拏縛
日羅簸傳曳摩訶藥乞沙細曩鉢多曳
曩莽迦羅訖㗚難多路比尼商迦隸扇

底迦哩迦吒偏迦吒寧䥫多也莎訶 七反〔下同〕
江師云結髮眞言是如來頂相功德也
蘇悉地相好印也云〻
次地結 軌云以金剛橛法用結地界文
以〔傳記〕左手中指無名指絞右手中指無名
指二風指二小指直竪端相柱二大指
直舒向下端相柱是金剛橛印 名地結印十八道中
地結印但左右少異也 誦眞言三度以大指端印地
唵枳里〻〻𤙖日羅拔折哩部羅滿陀
〻〻𤙖泮吒 三反
次金剛墻
作前橛印開散二大指當心前右轉
唵薩羅〻〻縛日羅鉢羅迦羅𤙖泮吒
三反
次道場觀 具如師說
應想大海中有寶山其頂上想師子座
於其上復有微妙寶蓮花於蓮花上復
觀諸寶樓閣懸以繒幡上有寶蓋覆衿
羯尼網而以莊嚴
有師說者隨尊所居等可替之意歟
次大海 軌注云四玄賞知文
唵毘莽嚕椰地𤙖
次寶山

唵阿者羅𤙖 三反
次師子座
唵阿者羅微隸莎訶 ○三反〔下同〕
次寶蓮花
唵迦莽羅莎訶
次寶樓閣 禾云已上不說別印之故四云玄見上對記幽玄義也
唵曩莽薩羅縛怛他蘗多南薩羅縛他
欠烏路蘗帝娑破羅𤙖莽閣伽〻曩劍
莎訶 七反
已上五箇眞言未受密印已前通用普
印密印百箇日勤修之後可受之所謂
大海　金剛大海印 〔界下同〕
寶山　金界寶山印深結之又淺
師子座　蓮花印大指小指少屈之
寶蓮花 開敷
樓閣 普印禾云已上四玄印也
次三力偈 普印
次普通供養
已上二印明如十八道
次觀曼荼羅 具如師說
隨尊可觀之如十八道
次治路 傳記朱云照天往來橋路及修羅關鎖悉皆開解文
捧香爐誦眞言當額三反右轉

唵蘇悉地迦里入縛里多畟喃多慕羅

多曳入縛羅〻〻滿馱〻〻賀畟〻〻

吽泮吒（軌云金剛部治路眞言通三部用之）

佛部淨治路眞言

唵入縛羅虎許

蓮花部淨治路眞言

唵鉢那弭寧婆伽嚩底慕賀也〻〻〻

若㜸慕賀寧莎縛訶（蓮花部）

帖云悉地處〻文金剛部眞言通三部用文謂此軌本是金剛部成就法也故雖金剛下部能成三部云〻故本部金剛部成就法故以本部成就眞言通三部耳文

次送車輅

二手（軌云）中指以下六指相叉入掌二大指輔頭指側

唵都嚕〻〻吽（通三部）

傳記云二大指著二中指端毎呪竟二大指散撥之文

帖云中指已下六指各轉著掌中不起二火村二風本也（一説）以二大向外撥二火端送意也（一説也文）

次請車輅（有師説）

如前送車輅印但以二大指向前撥招文

那莽娑怛誄也地尾迦南薩羅縛怛他

㜸多南唵縛日羅祇儞也羯羅灑也（此中）

安來句（莎訶通三部）

軌云前車輅印改右手大指與左手中指頭相著文

妙心太云文云此中安來句者若請時加句云唵翳〇（二合）嚩〻〻若請佛部時云唵翳〇嚩〻〻怛他㜸都若請蓮花部時云唵翳嚩〻〻鉢那摩若請金剛部時云唵翳嚩〻〻拔折羅〇若送遣尊時云唵㜸磋〻〻〇文禾云三部送准請

禾云軌在奉請句（通三部云）

次請本尊（有師説）

先作內縛竪二大指招之（佛部）內縛竪右大指招之（蓮部）內縛竪左大指招之（金部）

唵爾䉵爾迦（佛部心二十五反）

唵阿路里迦（蓮花部心二十五反）

唵縛日羅特勒迦（金部心二十五反）

師說者加梵號事也云〻

次除遣從魔

右手作三古印安腰左又作同印向外左轉三反右轉三反五處加持之印未散即觀三昧耶

唵枳里〻〻縛日羅鉾泮吒（七反）

三軌用印云未散即觀三昧耶者二手三古印不散即以左安腰以右示三昧耶也是教次印也文

隨要印明云有毘那夜迦遂諸尊將枳里〻〻金剛眞言及手印而用除遣之（有師説文）

有師說者三部用事不同也云歟云〻

次觀三昧耶

右手三古印向外託之左手三古印安腰

唵昇羯隸三莽焔莎訶（七反）

傳記云左轉三反次右轉三反次五處加持文

不轉之也云〻

次金剛網（軌云以金剛鉤欄〇結上方〻）

作前橛印開二大指著風指側以印擧頂上三遍右轉是金剛鉤欄墻印

唵微娑普羅那羅乞沙縛日羅半惹羅

鉾泮吒三反

以下現行私記無之悉記下入之可勘之現行私記此次用火院

金剛羂索 〇軌云以金剛羂索結東方界文

右手以風屈著大指根下以大指直立押風甲微開令有圓孔右手亦如此以右手三指背著左三指內於胸前三度右轉

唵一跋折羅波舍二訖哩伽〻那摩羅

吽

妙心太云以右手三指背著左手三指內著猶如定印之勢文

三軌用印云如火院印勢胸前竪之又二空端不著文

金剛幡 〇軌云以金剛幡結西方界文

左拳大指直舒立右手五輪直舒橫側置左大指上於胸前右轉三反又以左代右亦復此印相也以結西方

唵鉢鐙祇寧羅吒 三反

軌云左拳直竪大指舒右手五指側置左手大指頭上掌向身文

妙心太云右側置左大指頭上是一樣也若左置右亦是一樣也文

金剛迦利 軌云以金剛迦利〇結北方 此云一古印又云

右手舒五輪以風指著大指中節左拳以風著大指中節以左拳握右大指端胸前右轉三反此印與軌文大相違今依師傳結北方

唵縛日羅迦哩羅吒莽吒

軌云二手二大指二小指合頭相著餘指各自屈向掌中勿令指背相著亦勿著掌

三軌用印云又軌中印如文但二大二小反申如獨古形也文例如烏瑟沙摩印文

金剛峯 軌云以金剛峯結南方界

左拳直竪大指右拳大指風指相捻以右手橫側置左手大指上又說右手中指以下三指舒散而橫側置左大指上 〇結南方

唵縛日羅尸佉羅嚩吒莽吒 三反

三軌用印云如文但右拳如無量壽軌如來拳印文

結上下方

左拳安腰右手舒五輪而以掌七反拍地成結下界又以右掌仰以拍上方虛空七反即成結上方又說左手作拳安胸上右手舒五輪而以風指〻地七反成結地界文

唵商羯隸三莽焰莎訶 七反

次火院

以右手背置左手內令無縫鏁二大指向上直竪右轉一反即成火院

唵阿三莽祇寧加喇餅泮吒

賀喇二字不加之云〻

次獻閼伽

先捧器所願 次結誦印明之 不云印常通用之明可用之

二手如清淨印小指方並合 是先師說也

唵蘇乞衫囊那也見捺羅達紵鉢里也

鉢捨〻〻莎訶

傳記云以本眞言持誦而獻閼伽或通用閼伽眞言 在軌常額佛部心蓮花部膝金剛部

或作護身印 印被甲 改大指安於風指側

運心想奉閼伽

次獻花座

開敷蓮花印也通三部用之此印與軌少異也文

唵味羅〻〻也莎訶 佛部

唵鉢那莽味羅也莎訶 蓮花部

唵嚩日羅味羅也莎訶 金剛部

軌云合掌二手頭指中指無名指並相轉文

軌軍荼利請隨金部用兩業印云〻

妙心太云頂上額上面上如次佛蓮金部奉之 抄

次普來偈 普印

普來世尊 由本願力 而來降赴

願垂加持 奉斯所請 並受我所

辦諸供養 起大慈悲 惟垂納受

軌云。若辨衣裳瓔珞等物。以辨事眞言。
持誦奉獻 文
次重結大界
結前被甲印。於頂上左轉三反。次右轉。
次上方。次下方。次五處加持。結此大界
印時。假令持金一字頂輪王者。不能破
壞之。
唵异羯隷莾訶三莾焰莎訶
[梵字]
問。前者指何處乎。若護身印。彼此印相
少異如何　答。任此記被甲印可用之
軌云。二手小指無名指相叉入掌。直竪
二中指頭○相著。二頭指屈在中指背
上節。勿著中指。如三古杵。二大指在頭
指側 文
次塗香
右手舒五輪。向外舒立。以左手把右手
腕。四指在外。大指在內而握之
伊吽言馱輪婆儞微夜輪者也輪者瑜
[梵字]
耶也莾夜儞吠儞姤薄訖底夜鉢羅底
[梵字]
仡㗚䫂也鉢羅四娜吽唵阿賀羅〱〱
[梵字]
〱薩羅嚩尾儞夜達羅布爾帝莎訶 七反
[梵字]
通三部用
唵阿吃踏多羅仡羅微瀧曳㵻莾莎訶
[梵字]

唵那㗚知〱〱那㗚吒鉢底那㗚帝 佛部七反
[梵字]
夜那㗚底夜鉢寧鉾泮吒 蓮花部七反
[梵字]
唵微薩囉〱〱鉾泮吒 金剛部七反
[梵字]
次花鬘
內縛仰掌。二風指相柱也
伊吽蘇莾曩索儞尾夜輪者瑜〱〱
[梵字]
曩也莾夜寧吠儞多薄訖底夜鉢羅底
[梵字]
吃㗚䫂也鉢羅四娜吽唵阿賀羅〱
[梵字]
〱薩羅嚩尾儞夜達羅布爾帝莎訶 七反
[梵字]
通三部
唵尸祇尸㮤莎訶 佛部七反
[梵字]
唵戰尼寧健吒謨丁泥鉾泮吒 蓮花部七反
[梵字]
唵部哩若縛攞多詣莎訶 金剛部七反
[梵字]
次燒香
二手仰掌。竪立中指以下三指。向上。二
風指端相著。一麥許勿相著。二大指著。
風指側。以印仰上
阿闍(林)縛曩娑鉢底(木)㗚素(計)賀㗚儞

[梵字]
也(慈)健陀値也(擬)蘇羅部若(食)天
[梵字]
莾夜寧吠儞姤(捺)(麼)薄訖底夜度報
[梵字]
闍鉢羅底仡㗚䫂也難(納)(受)唵阿賀羅
[梵字]
〱〱薩羅嚩尾儞夜達羅布爾帝莎
[梵字]
訶 三部七反
[梵字]
那謨仡羅曼拏微瀧曳尸奇寧莎訶 佛部七反
[梵字]
唵戰捺羅婆曩拏里伽㗚那祇里尼鉾
[梵字]
泮吒 蓮部七反
[梵字]
唵微薩羅〱〱鉾泮吒 金部七反
[梵字]
問。塗香與燒香。金部明全同如何　答。
不審事也。若香義通用心歟 云〱
次飲食
二手仰掌向上。二小指無名指端相柱。
二風指少屈博著中指側。二大指轉著
風指側。是與鉢印少異
輿灑㘑難(藥汁)㗚素賀㗚儞也(歡喜心)噎
[梵字]
瀧滿多羅設怒摩里(此等食)莾也寧吠

儞娠薄訖底夜鉢羅底佐[口+栗]馹也鉢羅

四娜吽(奉獻塗香) 唵阿賀羅〻〻〻薩羅縛

尾儞夜達羅布爾帝莎訶(七反通三部)

唵摩娜弭尼莎訶(七佛部反)

唵微路緊寧莎訶(七蓮部反)

唵縛日哩尼縛日𡃤藝莎訶(七金部反)

次燈明

右拳舒中指大指相捻直竪

囉訖蒭近嚢濕者(奉獻燈明唯願納受 諸清淨能去無明等此度)

跛尾怛羅室者膽謨尾曇莽嚢(念短)輸

婆莽夜寧吠儞娠薄訖底夜儞報閭鉢

羅底佐[口+栗]馹也難唵阿路迦也〻〻〻

〻薩羅縛尾儞夜達羅布爾帝娑縛訶(七反通三部)

唵阿莽羅劍底帝爾寧莎訶(七佛部反)

唵戰安尼寧茹䃥嚢羯哩許泮吒(七蓮部反)

唵尾縛[口+栗]多路者嚢許泮吒(七金部反)

傳記云。已上五印皆右轉(文)

軌云。若當不辨塗香乃至燈明供養。但誦如上奉塗香等眞言及作手印亦成圓滿供養(文)

次普供養(金剛合掌)

唵薩羅縛他龕嗢椰蘗帝娑頗羅[口+四]門

加伽嚢劍莎訶

次讚(或此次祈願 有師說)

歎佛德

大悲護世尊　導師備衆藝

無邊功德海　我今頭面禮

歎法德

離欲清淨法　能除諸惡趣

眞寂第一義　稽首依法住

歎僧德

善獲解脫道　妙住諸學地

無等良福田　我今歸依足(禮)

歎觀自在

諸佛大吉祥　圓備於尊德

號名觀自在　歸依常寂理

歎執金剛

大力奇忿怒　成就大明王

調伏難降者　歸命執金剛

次入三摩地(用定印 隨尊各別)

次根本印

次加持珠(有師說云。如胎用之無失。又今禾云。明軌云。如胎用之)

軌淨珠明可用之(委云明別之書) 但如胎結習(云云)

次正念誦

問。胎金如用不動降三世。此法可用軍荼利明歟　答。此法不用之(云〻)

次珠置本處

次入三摩地

次根本印

次部母印(各隨尊別)

佛部佛眼(又名佛母)

先合掌開二風指捻中指上節側。二大指入掌中(禾云。妙心大法有用印作)

嚢謨婆伽伐娠陥瑟膩沙也唵嚕〻娑

普嚕若縛羅底瑟吒悉馱路者寧薩羅

縛羅他娑馱寧莎縛訶

蓮華部佛眼(是半佛母也 白縛羅私尊也)

合掌十指端相柱。如未開敷蓮花相也

那羅舍嚢娑鉢[口+栗]羅舍嚢便演縛室羅

嚩傳娑莽羅孅嚢者濕莽唸薩羅縛薩

怛縛難薩囉縛微也地指枳䃥迦唵迦

嚩微迦嚩迦吒微迦吒〻〻迦嚩婆伽

[illegible]底微若曳莎縛訶

金剛部佛母佛眼 名忙莽計 蘇悉地經云莽摩計通三部此文

合掌屈二風二水入掌中如馬頭印相

那謨羅怛羅怛羅夜也那莽室戰拏縛

日羅皤傳曳莽訶藥乞沙細娑鉢多曳

唵俱蘭達里滿馱〻〻件泮吒

次五供養

次普供養

次讚 或此次祈願而有師說

次奉送 具有師說

請車輅迎請印用之 如十八道云〻

次佛部

次蓮花部

次金剛部

次被甲 前護身印也云〻明

次九方便

次隨方迴向

次下座禮佛

次出堂

次堂外作善

建長三年九月十六日於小河草了

同四年二十五日書了

求法比丘尊澄

以彼御本書寫了

弘安三年二月十九日　澄修

以右御本書寫了

建武元年九月二十三日同二年十二月二十二日一交了　豪鎮

校本云

弘安四年二月二十一日書梵字了

比丘承澄

建武四年五月六日於花藏坊以右御自筆之御本交合了

文和三年甲午十二月二十九日於西山寺戸奥坊書了　澄盛

享德三年四月十日書了

宥禎持者源喜

本云

承應三年甲午五月二日書了

善祐 六十七歲

元祿十六年十月上絃日

兜率谷雞頭院嚴覺

阿娑縛抄第三十五　蘇悉地記末

第一部屬事　第二可祕事

第三經軌事　第四私記事

第五供養法 室内作法等

疏云。蘇悉地羯羅者。是訓西域音。今此云妙成就。蘇悉地可知。羯羅者。又云迦羅。此云作也。又羯喇麼。此云業。又迦羅。此云務也。并應通用。今此經妙成就世出世諸作業也。世業者。謂六趣四生。諸有情所樂之業也。出世業者。是二乘菩薩等。諸聖者所樂之業 文

十諸決 安然云。胎藏金剛兩部。以理爲正兼事也。蘇悉地。以事爲正而兼理 文

∴第一部屬事

教時義云。問。第五藏何。答。或可言一藏○或可言二藏。一金剛界祕密藏。二胎藏界祕密藏○或可言三藏。加蘇悉地祕密藏。以十八道而爲紀綱。與前兩界少差別故。又阿闍梨印信云。是兩部大法羽翼也。奉勸學兩部大法覺者。方始授之。或可言四藏。加瑜祇祕密藏○謂蘇悉地行十八道。雖異兩界。而立三部。同胎藏。實是胎藏大法之悉地成就法也 文

智證大師在唐記云。妙成就。玉呬耶等。應是十萬大本抄出 文 玄隆律師云。十萬本者。指大日經。梵本 文

帖云。蘇悉地胎藏妙成就法也。謂胎藏修經年月未得成就時。卽修此法得成就也
文
經上云。若依此經一切諸事無不成就。此經雖屬金剛下部。爲奉佛敎亦能成就上二部法。譬如國王隨有敎勅自亦依行。此法亦爾 文
帖云。蘇悉地敎是胎藏三部中金剛法也。以此金剛部成就上二部也。故文云。雖金剛下部云云此金剛部中分別三部也。故全不同胎三部耳 文
文云。妙成就。以釋迦爲曼荼羅主云云謂蘇悉地是金剛下部故耳 文
∴第二可祕事
此\法山門獨知之。入壇以後可習之。智證大師御起請在之
智證大師起請云
與阿闍梨位之後。可授蘇悉地大法事
右大法者爲胎藏金剛兩部大法之羽翼。是以唐大師等并我慈覺大師殊祕惜之。不同他部。仍自今以後傳法者須敎弟子。令登阿闍梨位之後方授件法。若不爾者恐損人道。故定如件
貞觀十六年十一月十一日
阿闍梨大法師圓珍
阿闍梨大法師承雲
阿闍梨法眼和尚位遍照
玄隆云。慈覺大師御流。不必限受職已後。池上蓮實坊等爲承此。又一說也。智證大師御起請已前。慈覺大師御說同
智證大師遍昭授阿闍梨牒狀云。件遍昭○慈覺大師○以遺囑故。於故阿闍梨安惠座主邊眞學○三部大法了。垂授師位。又遭遷舟 文
此文未授阿闍梨位已前。受蘇悉地明證也。此牒狀貞觀十五年正月十五日
文起請文貞觀十六年也
仍起請已前未登阿闍梨位人受之云云
江師云。蘇悉地大法自慈覺智證兩大師御時尤盛也。傳敎大師雖傳給不委歟。弘法大師不傳事分明也。而云眞言三藏給時。以蘇悉地蘇婆呼毘尼藏云事。經傳給如此宣給。行法儀軌也。儀軌不傳給。不能行用歟十八道許也。是支流也
∴第三經軌事
蘇悉地羯羅經三卷 善無畏譯 明覺梵釋
此經於須彌頂依忿怒軍陀利菩薩請。金剛手所說也
玄隆云。問。傳敎大師進官錄不見之。五大院依何入之哉 答。依台州錄入之云云
蘇悉地經疏七卷 仁和上述
蘇悉地供養法二卷 無畏 珍錄外。略本
蘇悉地供養法二卷 仁 錄外。與前少異
蘇悉地供養法二卷 仁 與前稍廣
蘇悉地羯羅法一部二卷 運 與前更廣
都有四本。第二是最初本。餘三法治定
玄隆云。問。依入唐次第者。惠運。慈覺。智證可載之何 答。不依入唐次第。只文廣略爲次也
文云。叙本何不載之乎。錄有之云云
蘇悉地羯羅供養眞言集一卷 仁。澄
經軌決
經上云。若有持誦餘眞言法不成就者。當令兼持此經根本眞言。當速成就 文
疏云。此經根本眞言威德旣勝諸餘敎法眞言。故令彼等不成就者速得成就 文
問\此經根本眞言者何乎 答。一說云。三種悉地印明是也。一說云。別行經中印明是也云云未云。在別記之
帖云。根本眞言者。卽是三種悉地眞言也。又卽有根本印。謂三種悉地印是也
文
又云。亦一說云。三種悉地經中印明也。此經蘇悉地中最極成就法也
瑜祇經疏云。經中不出根本眞言。別有毘盧遮那別行經。出蘇悉地眞言。及功課眞言。并三種悉地法也 文
玄隆云。三井說云。用金剛童子印明云云
經上云。辨才眞言曰
唵咄嚕二合底寠囉馱囉抳鉡虎膗
以此眞言〻〻水三反。灑身作淨 文
問。辨才眞言者。辨才天歟如何
江師云。最勝心明王經中。又說洗浴嗽口眞言。與今同小異句 件經又此洗浴眞言。何眞言不覺。而與說入堂所。以辨才天眞言散灑云。無眞言。仍推之。彼端有

洗浴眞言也。仍爰不書眞言也。以之思之。今辨才眞言、辨才天眞言也。是兩經相合見殊勝事也。凡蘇悉地行法。最勝心明王經可見覺云々

問。以辨才天眞言用嗽口意如何　答。義決可見云々

軌云。出外出入處（乃至）入室便禮拜文

帖云。蘇悉地軌二重。謂先室內。次入堂也。各有其作法故也

軌讚次出懺悔等事

帖云。讚後懺悔是一說也。初不修五悔。於此修之也文

軌下云。成就物有二。一雌黃朱砂等類。二心意淨文

帖云。謂心不淨不得成就。故心意淨之緣。必可具之云々

軌下云。金剛降三世讚曰小讚也○文

帖云。悉軌下卷末。有一亂脫。謂讚文一中絕有與。於上菩薩金剛等讚之次可有之文

又云。加持土印。非亂脫也。於末出之也

又云。灌頂印密故與說之。非亂脫文

∴第四私記事

藥師儀軌一具

此書。次第一帖印相一帖。眞言一帖也

帖云。蘇悉地次第。妙心太中在之。正是慈覺大師御私記也。又蘇悉地中行法次第。不可新作之。傳敎大師御○（作カ）藥師私記是也文

傳敎大師御作三卷藥師私記。蘇悉地行法也。師祕密口傳悉地記用之云々

智泉云。件書傳敎御作云傳事歟。其故。蘇悉地行法。慈覺大師始令傳之給故也云々

江師云。師云。三帖記慈覺大師御作。覺吉古說。慈覺大師就蘇悉地制三帖私記給。云則是歟。何況又法性房弟子增欽云。人依此三帖文作私記。其文分明也云々

祕錄云。藥師法一卷（澄和上集仁[illegible]和代　多依阿闍[illegible]之文）是前三卷記也云々　但傳敎記何依悉地故。澄和上集云ヘル猶別書歟云々

江師云。傳敎御作中。千枝燈外題書。書。又藥師法書。澄和上集云ヘル若是歟。非三帖書。覺云々

玄隆云。問。傳敎大師蘇悉地儀軌。不將來給。何記彼行法乎　答。祕錄云。蘇悉羯羅經三卷（澄無　異）蘇悉地羯羅供養眞言集一卷（仁澄）將來御書籍如此。不知其上隨順曉阿闍梨面受。歸朝後制彼記給歟。五大院注。澄和上集給。池上備悉地規模。御兩師說仰而可信　問。覺大師熾盛光私記行法首尾與傳敎藥師記全同之。可知。猶慈覺御記歟。答。誰知。祖師受學藥師御記。後製作熾盛光記給云事。努力不可貽疑歟云々

或云。雙嚴決（從大原僧都決之）慈覺大師御作藥師私記三卷傳安惠云々分明證據也云々

蘇悉地私記（覺大師）

奧書云。天治元年十一月十二日。以理智藏慈覺大師御筆本書寫之云々

禾云。此中唯記次第。無印明。其次第依儀軌

妙法記

玄隆云。智證大師蘇悉地記也云々

妙成就記（花山　禾云世號傳法記）

軌下云。曼字先師所傳。朱書後師說文

奧批云。曼字先師所傳者。謂權僧正遍昭。依慈覺大師遺屬。於覺大師付法第一弟子○惠運主所。而學得三部大法。故云先師所傳也。朱書後師說者。年月以後。亦依珍座主。重再學之。故云後師所說也云々

禾云。此記依軌次第。其說大旨同妙心太

軌與傳法記有不同者。可用私記說云々

妙成就隨要印明（大原）

批云。寬德二年六月上旬。依師說隨要抄之。金剛弟子長宴記之

或云。此法諸尊通用。條數故名隨要印明云々

此私記定可行用之文

蘇悉地略（三昧和尚）

禾云。此記道場觀前。內外五輪觀用之

∴第五供養法（室內）

傳法記云。夫行者欲作法。當知三部大意。

胎藏從阿字生起。以五輪成身。金剛界從鑁字生起。以五相成身。今此中從吽字生起。以三吽成身。行者先心觀吽字。一誦吽眞言。字變成五智金剛。[梵字]舌上置同字。[梵字]置頂上。共成五股金剛（誦吽准上）即結五股印。五處加持。想自身成金剛牙菩薩。是則此界初入門也文

帖云。[梵字]字是三解脫門成就一切物義也（見釋義）故爲蘇悉地種子也文

文云。[梵字]字成金剛牙菩薩云云持曰。妙成就是事業部故成業部尊歟文

玄隆云。從吽字生起者。從成所作智生起云事也。吽字成所作智種子也。成所作智種子有三種。所謂[梵字][梵字][梵字]也。以金剛牙菩薩爲初入門事者。不空佛成所作智故。以金剛牙菩薩爲初入門也

祕藏記云。金剛夜叉（不空成就佛忿怒自性輪牙菩薩是寂靜身也云云）

問。從成所作智生起意如何　答。一切悉地彼智所用故也云云

三\金剛觀以[梵字]字心舌頂三所置之。是淨三業義歟云云

一往彼處作法

受觸忿怒（軌云所往觸處當用受觸忿怒眞言而作護身文）

右拳直豎大指。當護五處謂頂。兩肩。心及咽上。左拳安腰（傳記云心前合掌散頂抄妙後心太同合）

唵句路陀嚢吽惹

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

軌云。分土洗淨者。謂以五聚土當洗下部。以三聚土洗小便處。以三聚土。觸洗左手。以七聚土共洗兩手。或恐未淨。任意洗之。以淨爲限。其三聚土。以受觸眞言及用印云云土持誦七反。然後用之文

妙心太云。文云。五聚土及三聚土者。謂以五指共聚至土。而爲一聚云云

灑身（又名洗手面）

右手仰掌。五輪直舒。無名屈中節。大指屈著風輪本。左手持水瓶。瀉于右掌。誦眞言三反。飮之三反。勿令有聲

唵戍噜底娑沒里底陀羅尼餠訶三反

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

一灑掃神室等作法

帖云。神室者道場也。西國天神廟有之。習彼云神室歟云云

塗地灑淨（又名拓印無）

一說金合（印通）又說。合掌二小指二無名指相叉入掌中。二風直豎端相柱。二中絞食指上節。二大指入掌中。別印

那莽娑底隸也儞尾迦難薩縛怛他蘖

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

跢難闇尾羅而云云云云摩訶作訖羅縛

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

日里薩多云云娑羅底云云云云怛羅以

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

云云云云尾把莽寧三件若寧多羅莽底

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

悉陀佗隸怛監莎訶

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

軌云。或時忌念法則錯誤。犯三摩耶。每日當誦此明三〇七反。或一百八反能除其過文

除萎花

右手持拂子（軌云。獻華花已。先誦此明。除其萎花文。妙心太云。除萎花者謂去壇上萎花也文。拂子者以拂扇等。萎竹枝端是等也）左手安腰

唵濕尾帝摩訶濕尾帝佉挪寧娑縛訶

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

傳記云。若拂除時。先自中央尊像上始而從內徐云云向外。當誦眞言拂除文

文云。師（不說也）說以花造拂子拂之云云

拂地（播[梵字]）

右手把蘇左手安腰

唵賀羅云云羅茹薛羅賀羅儜也莎訶

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

傳記云。其拂地法者。自西起。右迴拂之文

帖云。拂（播[梵字]）地自西起。悉地意多向東修之。胎藏具法也。故自前起拂之歟文

塗地

右手散舒五輪。如塗壁之勢

唵羯羅隸摩訶羯羅隸莎訶三反

[梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字][梵字]

傳云。自東北角起塗之。其塗法者。一寸二寸〇一尺二尺。徐云云自狹而及廣文

一往澡浴作法

加持供物（軌云。往澡浴時。先以此明及其印。謹諸供養具。然後可往云云）

右拳風指直豎。又說如文。以印五處加持頂散（如常）加持供物時。同用此兩印。若作軍荼利三古印。右手以大指押小指甲。三指散舒如三股杵。若作不動尊。用

大刀印。以大指押無名指小指甲也
唵尸却羅縛日哩闇 三反

佛部三昧耶
蓮花部三昧耶
金剛部三昧耶 私云已上在別卷
軌云。凡作法。先作三昧耶。然後作護身
等。一切諸事教如是說 文
結縛諸難 軌云軍荼利手印及眞言而縛諸難文
二手各作三古印。以左印安右肩上。以
右印安左肩上
曩謨羅怛曩多羅夜野曩莽室戰拏嚩

日羅簸傳曳莽訶藥乞差細曩鉢多曳

曩謨縛日羅句路馱野能瑟吒路得羯

吒波也珮羅縛野阿徙母薩羅鉢羅戍

路捨訶娑多野怛姪他唵阿沒㗚多軍

拏里佉ゝゝ佉却穉ゝゝ底瑟吒ゝゝ

ゝ滿馱ゝゝ訶曩ゝゝ跋羅若ゝゝゝ

微娑鋪吒野ゝゝゝ薩嚩微伽曩ゝ

ゝゝ野劍莽訶伽傳鉢底餌尾丹多訖

羅野餅泮吒 七反

妙心太云。或云。若欲縛。卽此眞言後。置
滿馱ゝゝ。若欲解。卽此眞言後。置悶左
ゝゝ 文
澡浴 軌云澡浴者。爲淨身故。先取淨土分。三聚以眞言手印持誦之云ゝ
二手作外縛。舒二風。端相柱如針。二大
指並立 三玄抄在此
軌云。以此印。觸所取土。誦眞言五反。然
後取之
唵寧佉曩縛蘇提莎訶 五反 此是淨土眞言

軌下云。加持土。彼後加二印。其印文云。
內縛。二地合。頭交爲杵形。用判其土。三
下。卽是也
又印內縛。並甲合二空輪。二風空在風 右傍
合內。二地亦申合。便以印於土上。右轉
三匝。卽成結護。次後至辟除印。於一ゝ
時。如法念誦 文
持明房決云。加持土爲密印。心何。答。不
必尋之。或云。非凡夫境界故云ゝ
辟除 軌云。凡作諸事。先須辟除。然後方作一切諸事教說如是文
拍掌辟除
彈指辟除 已上三別卷記之
護身
左拳按腰。右手三貼印。擧頂上。左轉右
轉各三反。而倒印打東方。次西。次南。次
北。次東南。次西北。次西南。次東北。次上。
次下。次第各一度打之

次五處加持
唵﨟迦隷三莽焰莎縛訶

去垢
淸淨
光澤 已上如別卷記之
加持浴水
金剛縛。屈二風指端。安大指上節。誦眞
言。卽舒立二風指。散發而入湯中。右三
轉加持之 軌云是攪水印 古巧反
唵一餅賀曩二縛日里縛日隷擊訶 三

取土塗身
取土和水。二手大指各押小指甲上。餘
指散開互相揩。以右手遍塗身上。軌云是塗身印 土洗身印
唵部羅若縛羅餅 七反

攪水澡浴
右手作忿怒拳。但以中指無名指。押大
指甲上。以印攪水。而後澡浴

唵闍沒㗚帝餅泮吒 七反
除遺身中毘那夜伽難
護身 已上二如別卷記之
持誦分土
二手合掌。屈二中指無名指。入掌中。相
背。不令相著。二風二小端相柱。二大側
相著。具在軌中。事竟當心。三右轉解印

唵度比ゝゝ迦也度比鉢羅餌縛里寧莎訶

妙心太云。文稍難見。或本云。其手印相。以二手頭指小指頭相著。二中指二無名指各屈入掌。指背勿相著。以二大指各捻中指無名指頭。所置三聚土。一分以印ゝ土。誦呪三反。用洗身分。從足至臍。即洗其手。用水灑淨。第二第三如是。又取一聚。如前誦呪用洗。從臍向上至頸。又取一聚。如前誦呪持用洗。從頸至頂畢已。還誦呪隨意入深水澡浴。還作此印。誦呪七反。轉印於身一度已。即當心解印。是名被甲印。亦名呪土印法也。文中云。轉印於身者。當於胸前右半轉手印一度已頂散文

誦軍荼利根本眞言。以手攪水水前印攪

隨意澡浴

曩謨囉怛曩怛羅夜也那莽室戰拏縛日羅簸儜曳摩訶藥乞沙細曩鉢多曳

那謨縛日羅句嚕䭾也鉢羅入縛哩多儞鉢多能瑟怛𭌛得迦吒波也珮羅縛也阿徙母娑羅縛日羅鉢羅輸波捨賀

娑多也怛姪他唵闍沒㗚多軍拏里佉

ゝゝ曩ゝゝ佉曩ゝゝ佉陀ゝゝ佉

陀ゝゝ佉嚩ゝゝ佉嚩ゝゝ底瑟吒ゝ

ゝゝ賀曩ゝゝ娜賀ゝゝ鉢者ゝゝ蘖

㗚衍ゝゝ訶拏ゝゝ滿䭾ゝゝ蘖羅若ゝ

ゝゝ怛羅若ゝゝ微娑鋪吒也ゝゝ

ゝゝ薄伽梵曩沒㗚多軍拏里母栗䭾

南多拏也縛日隷拏薩羅縛微伽那也

微那也劍寧縛羅也摩訶伽儜鉢底餌

尾多迦羅也吽ゝ泮吒ゝゝ句嚕䭾根

那曳莎訶〇三反

自灌頂

結前被甲印。以印取水。誦眞言三反。而自灌頂

唵一賀佉里ゝ二吽泮吒三反

傳記云。以印取水者。仰印取水灌頂也。軌下有二澡浴印。二如今。一右手三古印也

結髮通三部用　不云如別卷記之

佛部結髮

左拳安臍上。右拳舒風指大指。端相合頂輪。以右手倒安頂上。即散餘三指。而更又握。如是三度。而作結髮之勢

唵一尸祇尸契娑縛賀

蓮花部結髮

印相如前。但右手大指風指以端不合爲異。用法如前

唵一尸契二娑縛訶三反

金剛部結髮

右拳安頂上。用法同前

唵一尸佉寫莎訶三反

三軌用印云。金部結髮。四指把之開之文

傳云。凡於上三印有二說。或云。佛部印安頂上。蓮花部安右肩。金剛部安左肩文

掬伽

雙合二手。以風指捻大指。如常

唵一帝羅隸佛陀莎訶佛部獻水三反　忝三掬水三

唵避哩ゝゝ吽泮吒蓮花部獻水三反三掬水

唵微濕嚩縛日隷莎訶金剛部獻水三反三掬水

軌云。獻三掬水者。洗浴了也。面向本尊

所居之方。以印掬水而獻○或於水中。
隨意念誦云々
帖云。浴本尊及奉閼伽者。是洗浴嗽口
之意歟。水中念誦者。洗浴之次。於水中
念誦也云々
解結（禾云。火院印明。左轉一反。解所結火院印。在別卷）
軌云。奉獻已訖。澡浴又畢。所結諸印應
須解之文
一換衣灑水等作法
軌云。至道場門外。而立洗手及足。用前
所說眞言手印。重更飮水。并灑淨之。
飮水灑淨
佛部仰舒右手。屈無名指中節。向內勿
著掌。蓮花部前印。屈無名指○（中指）小指。
金剛部前印。以頭指小指散開（傳記云。金剛部印風令相去。中指以小指令相去。無名文）
唵一摩訶入縛攞餅二（佛部）

唵一覩々羅二俱嚕々々三莎訶（蓮花部）

唵一入縛哩多二縛日里尼餅（金剛部）

灑淨換衣
以右手。仰作拳。取水持誦。用灑淨衣。
唵一微莽羅莎訶

著衣
傳記云。軌文不說印相。或說以拳印執
衣著之

妙心太云。圖中作普印文
唵鉢里縛羅多縛日里尼餅

現行私記。此次結髮次三部。佛眼。治路。
奉請句在之
裏書云。奉請句。三部通用　私裏書入之
（陸醯嚩婆伽梵事賀薄乞底夜二合曩三莽曳髮者閼羅健者三鉢羅底瑟南若弭二合遮儞捺爛也鉢羅咽爍吽）
一辨諸供具法
軌上云。辨供具者。謂塗香等五種。牛淨。
神線。茅環。己身之座。及閼伽器。金剛數
珠。白芥子。繼腰線等。是名供具。先當辨
之云々
向下云。備嚩日羅等者。謂金剛數珠指
環。腰線。臂釧。蓮花。標旗等物。以香水淨。
或餘物淨。用本尊眞言而持誦之。於念
誦時及護摩時。皆須具備。如上等物文
妙二心太云。文云。用本呪持誦者。謂以五
供養眞言。各々加持也。或本云。呪王者。
或云。謂軍荼利根本眞言也。請金剛者。
謂三青面金剛也（此等三說未詳。可撿諸。又直撿依此文抄也云々文）
帖三云。問。青面云者何。答。可尋之。若是胎
藏金剛手。其色碧色（見之釋）也。故云青面
歟。今悉地意。只是依胎藏意耳。若依金
界意者。東方薩菩薩。或青或白。二色不
同也。軌云。所說耳文
成就拔折羅
唵度曩縛日羅莎訶

妙心太云。成就拔折羅眞言無印。直依
文作之。細尋文意。或云。左拳置腰。右拳
抱拔折羅。右三度轉。當胸持之文
佛部淨珠眞言
那謨羅怛曩怛羅夜也唵閼挪薄帝微

若曳悉地悉馱嘌替莎訶

蓮花部淨數珠
那謨鉢特莽皤拏曳唵一闍沒里耽儞

袂室哩曳室唎忙里儞莎訶

金剛部淨數珠眞言曰
那謨羅怛那怛羅夜也那莽室戰拏縛
日羅皤儜曳摩訶藥乞沙細嬖鉢路曳

唵枳里々々勞捺哩尼莎訶

妙心太云。三部淨珠眞言。直爾誦本部
呪。穿珠孔等文（印本細註曰。禾云。五部數珠者出略出經及攝眞實經等云々）
佛部成就數珠眞言
唵一那謨婆伽嚩底二蘇悉悕三娑馱
也々々四悉馱嘌替五莎訶

蓮花部成就數珠眞言
唵一縛蘇莽底室哩曳二鉢特莽忙里

儞三莎訶四

金剛部成就數珠眞言

唵一縛日羅二爾耽若曳三莎訶

妙心太云。三部成就數珠眞言無印。直爾誦本部呪。加持香花供養文

執持數珠甲本頭注曰。未云五部持念事出攝眞實經及守護經等云々

以右手大指捻無名指頭。直舒中指小指。而微頭指著中指上節側。案軌文云通三部。應知此佛部印通攝三部。以右手印執數。左手以大指捻無名指。輪穴之中串入珠。漫勿執珠

蓮花部執數

以右大指捻中指頭。餘三指直舒。左手亦如此

金剛部執數

右手作拳。舒大指捻頭指端。左亦如此

臂釧

軌云。其臂釧中穿一活兒子等珠。以部母眞言手印持誦香花。而用供養。及香水灑。還以此部母眞言手印請來加持釧上。復以部母眞言印。次第供養。乃至持誦千遍。以捺婆草作環。置無名指。用部心眞言。如前作法成就。乃至持誦千反。各依本部次第應知

護摩支分釋都率云。菩提子亦名活兒子。有一外道。以死兒置菩提樹下。乞活。依佛悲力。還活。故名活兒樹。出數珠經文

妙心太云。此中云捺婆草者。或云茅草也作環之法。在別儀末足

腰線

軌云。其腰線法令童女搓合。以俱遜婆染此云紅藍花或鬱金染。如前作法成就。乃至持誦千反。於念誦時。護摩時。及以睡時。繫於腰間。能止失精○其印與部母印同。於佛部中其線白色。蓮花部中其線黃色。金剛部中其線赤色文

唵一訶羅々々滿馱々々儞二束訖羅二合馱羅尼三悉馱嘌替四莎訶五通三部用

持千反誦

爾然云。現行弘觀。此次有歎佛德有之

現行々々者。理智私記也

建長三年九月十二日草了

弘安二年二月二十八日書寫了。偏是興法利生爲本緣文心

圓慧

延慶三年庚戌六月二日於三州禪房莊

元亨賜御本二箇日中書寫了

興國三年壬午仲冬二十五日於岩屋寺書了

金剛末資類教

應安三年庚戌五月十七日書寫了

能教

同二十二日朱交了

承應三年甲午六月二十四日於河原森草庵書之了

善祐六十七歲

元祿十六年歲次癸未初冬下絃日令寫之

兜率谷鷄頭院

阿闍梨大僧都嚴覺

正德六年六月二十一日以實藏房本校合其卷尾云

建長三年九月十二日草了

同四年六月二十八日書寫了

偏是興法利生爲本懷

尊澄

以師御本書寫了

建武二年十二月二十三日於燈下一交了

後日可書直之

豪鎭

同四年五月六日於花藏房以御本一交了

御本朱點并梵無之

御本體人手跡不知之外題御筆奧書五大堂殿御手跡也

延文三年戊戌十二月二十九日於西山寺戶奧房以右御本書寫了

澄盛

享德三年三月二十二日書了

右筆乘源

朱點并一交了

持者源喜

阿娑縛抄第三十六　悉地記別

淸淨毘盧遮那三種悉地經一卷（後題云毘盧遮那別行經略）

私云。此經。毘盧遮那如來在蓮花藏世界。與百千億化身釋迦牟尼佛說此經。是蘇悉地中最初成就法也。此中有四明。如次用普印〻〻鉢印五胡印也云〻

蘇悉地經上云。此經根本眞言文一說云。三種悉地印明也。一說云。今經印明也云〻

心地神呪　普印云〻

唵蘇底悉吒嚩折羅

[梵字]

緒勤呪　普印

曩牟婆伽伐帝嗚瑟尼沙唵部林盤陀

[梵字]

曳娑婆訶怛他揭都娑婆曳娑婆訶鉢

[梵字]

頭摩尼娑婆曳娑婆訶跋折羅摩尼娑

[梵字]

婆曳娑婆訶摩尼〻〻俱羅曳娑婆訶

[梵字]

怛姪他許〻叭吒摩尼達哩許叭吒唵

[梵字]

吽〻歌〻叭吒摩尼伐折羅哩許叭吒

[梵字]

問。緒勤名義如何　答。緒功云〻謂若求聞持法者。先持念誦滿百萬遍之後。欲作最後成就法之間（請提見蘇是也）有障起。若不遂之。而後先持誦與成就法。卽有間斷故。猶不能作成就。而今此眞言功。故。卽緒前勤功。若非眞言之功用者。更作先持誦法。卽可作成就法也。且舉求聞持一法。餘先持准之

經云。若人持三部呪。未得悉地者。爲是凡夫無明熾盛。忽生退轉之心。造諸非法。貪著五欲。於所持呪而令間斷。或經多時。於後忽然自發開悟菩提之心。重持本呪。我爲此等。說緒勤心神呪文

天廚神呪　飮食印（名鉢印。亦名廚印。如木土羅印也）

南牟喝羅怛那哆羅耶夜闍囉摩訶闍

[梵字]

羅逗遛摩訶逗遛許急速訶尼攝唵急

[梵字]

速訶尼接速

[梵字]

經云。或在深山曠野之中。持誦呪法。未得成就。乏少糧食之。以是義故。令退菩提之心。我今爲此等善男子。說（請）天廚神呪云〻

防護呪　外縛五鈷印

怛姪他唵跋折羅娑婆耶娑婆訶

[梵字]

經云。若持呪之人。覺有不安。當知卽是諸魔夜迦等惱亂。卽急誦此呪〻〻

本云

弘安二年三月三日書了

延慶三年六月六日於三州賜御本書之了　圓慧

興國三年十一月二十日於岩屋寺書之了

應安（庚戌）五月七日於觀蓮寺書之

元祿十年秋九月二十日於左麓書之　覺遐

天台兜率谷雞頭院主

大僧都（覺）洪道

正德六年六月二十一日以寶藏房本校攻其卷尾云

弘安三年五月十九日於小川校合了

沙門承惠

建武元年六月八日書寫了　豪鎭

同二年十月二十二日一交了

同四年五月六日於花藏房以御本一交了　豪鎭

延文四年（己亥）三月二十三日以西山寺戶與房以彼御本書寫了　澄盛

享德三（甲戌）正月二十日書寫了

朱點並一交了　源喜（三十五年）

享保九辰年。同午年。於出雲寺書爲校合訖

阿娑縛抄第三十七　十八道次第本

先以吉日擇定勝地

次建立壇場

次洗衣浴身

次門前置灑水 加散杖

門前便處立札 若置瓶入香水插時花一枝并散杖云々

次門內置香象 若用薰香器或設安門外

次以燒閼塗花等壇場右旋置之壇左置灑水器 加散杖 壇下右方置塗香 行人所用云々

私云先以壇敷布洗淨引之 覆壇上其引四方

上辨備供物等初夜花水供也後夜粥二杯備之日中飯汁餅菓各二杯備之

後夜粥左右同之

粥

日中飯汁餅菓左右同之

飯 汁 餅 菓

次加持衣 以右手作拳取水持誦用灑淨衣眞言曰

帖云右拳小許開四指灑之如清淨印觀有水文相決云先師四指握大指樣結之後師四指與大指三四分去之文

唵微㮈攞莎訶

袈裟許加持之法衣本體故初行時餘衣等加持云々

次著衣 眞言曰 無印

唵鉢哩縛羅多縛日哩尼吽

次護身先於淨處跏趺坐

次淨三業二手虛心合掌頂上散之眞言曰

唵薩嚩婆縛 自性 輸馱 淨清 薩縛 一切 達摩 法 薩縛婆縛輸度唅

師說中指微開淨三業罪障顯本性淸淨功德心蓮小開形也

次佛部三昧耶

以二手虛心合掌開二頭指屈輔二中指上節二大指屈輔二頭指下節其印成置印當心想於如來三十二相八十種好分明如對目前至心誦眞言七反眞言曰

唵 怛他蘖覩 納婆縛也 娑縛訶

歸命 如來 佛 生

誦了印散頂上云々

次蓮華部三昧耶

以二手虛心合掌散開二頭指二中指二無名指屈如蓮花形安置於當心想觀自在菩薩相好具足誦眞言七反於頂右散

眞言曰

唵跛娜謨 納婆縛也 娑縛訶

蓮花 生

次金剛部三昧耶

以左手翻掌向外以右手當背安左手背用左右大指小指互相鉤如金剛杵形安置於當心想金剛手菩薩誦眞言七反頂上左散之眞言曰

唵縛日盧 納婆縛也 娑縛訶

金剛 生

次結護身三昧耶印 亦名被甲

以二手內相叉右押左竪二中指屈二頭指如鉤形於中指背勿令相著並二大指押無名指節成印身五處所謂先額次右肩次左肩次心喉於頂上散各誦眞言一遍眞言曰

唵縛日羅銀儞鉢羅捻跛跢也娑縛訶

次持珠杵上堂

次到堂門誦辨事明加持香水灑自身用杵若無杵用三古印右手以空捻地中餘指散叙眞言曰

唵阿密利帝吽發吒

次堂內入足 眞言曰 先入右足

唵入縛哩多路者簸銋泮吒

次到佛前長跪合掌虛心住誠心盡陳說三業一切罪

我從過去世　流轉於生死

不可具知造諸惡業數 可加之

今對大聖尊

盡心而懺悔　如先佛所懺

我今亦如是　願承加持力
衆生悉淸淨　以此大願故
自他獲無垢
密言曰（三遍）
唵薩嚩婆縛輪馱薩縛達磨薩縛婆縛輪
度唅
次禮佛
先合掌次跪次臂突並仰二掌取佛足低頭戴之是上品禮也云云
尊決云念珠先可置机次可禮也云云
次著座　先跏趺坐整衣裳
尊決云結跏半跏隨意左右脛可隔衣不可觸膊是律制也云云
次塗香塗手
若如法可塗遍身也然與至臂塗之可塗遍身之想
次辨備供物
次加持香水
以右手取杵誦辨事明加持香水先左轉
次右轉（軍荼利印眞言名辨事印明）
左手取珠記數右手持杵左轉右轉各五十四反一一轉誦一文一百八反了盤珠置本處云云（常師云常途行法左右轉各三反也云云）
帖決云之明加持之云云
又云水底字立觀之水上且云一觀之文
次灑淨
先取散杖入水器磨旋三遍而後引上唱吽發先灑自身次灑壇上次灑供物次灑堂內次灑同伴皆始自東北角順灑之而後置散杖
帖決云加持畢杵安本處右取散杖灑之文
磨旋事磨立香也以散杖取水之時不鳴器緣又頻不搵之自身一搵壇上供物合一搵堂內同伴一搵宜歟但必無定量云云
先手云取散杖事作淸淨印取之云云
次加持供物
右手取杵加持供物等先左轉次右轉
右拳安腰若無杵用印（印明如辨事印明）
記心用甘露軍荼利明然而師說用吉里里明下去垢明也是爲退穢供物之鬼也云云
次拍掌（初心不用之）
以右手拍左掌三反眞言曰
唵縛日羅多羅吽發吒
拍掌有異說且二手作拳次開拍之如三反是慈覺大師御說也云云
次彈指（初心不用之）
次右手大指彈頭指三反眞言曰
唵枳里枳羅々縛姥捺羅吽泮吒
覆拳面旋轉彈指也云云
次去垢
以右手大指捻小指甲上餘三指微開直豎叉腰三指向前左手亦作此印印諸物
私云先左轉次右轉　眞言曰
唵枳哩々々縛日羅吽發吒（七反）
次淸淨
右手作拳取水持誦七反用灑諸物眞言曰
唵爾曩爾迦（佛部）
唵阿路力迦（蓮花部）
唵嚩日羅特勒迦（金剛部）
帖決云淸淨印三部心印用之〇掌中觀水右旋灑之又親見之而爲初行者
右拳少開四指觀有水灑之總印也文
眞言如次三部也隨本尊隨一可用之若又三部合行共可用之次下光澤同之云云
次光澤
以左手大指捻小指甲上餘三指微開直豎舒其臍還以右手亦作此印承左手肘下以左手印々觸諸物（禾云先左轉次右轉）眞言曰
唵帝晳帝惹徙尾寧徙提娑馱也吽泮吒（佛部）
唵儞馱々々儞跛也摩訶室哩曳莎訶（蓮花部）
唵入縛羅々々也滿度哩莎訶（金剛部）
誦三部眞言間左右轉各三反云云

光澤次摺手外縛祈念是祈加持成就
歎云々
次啓白
先打金一丁次取香爐並珠杵次又一丁
以風俗語宣其願旨也他開白一時用
之後々時只神分許也云々
次神分祈願等
次供養文
次唱禮
次驚覺
二手作金剛拳二地相鉤二頭指舒端相
拄三遍上下誦明眞言曰
唵縛日盧地瑟姹吽
腕上上下也云々
次九方便 吉五悔
若不用供養文唱禮九方便者替用金剛
輪印眞言用金剛合掌眞言曰 悉地別有印故
用普印傳受後可用彼云々
[illegible]
娜莽娑底𭧂也儞尾迦難薩縛怛他蘗多
[illegible]
難闍尾羅而々々摩訶作訖羅縛日哩
[illegible]
薩多々々娑羅帝々々々怛羅以々々々
[illegible]
尾佗莽寧三件惹寧多羅莽底悉陀佐隷
[illegible]
怛藍莎訶
[illegible]
次發願 取香呂一丁

次五大願
衆生無邊誓願度　福智無邊誓願集
法門無邊誓願學　如來無邊誓願事
菩提無上誓願證　護持佛子或菩提
打金一丁香呂
次佛部三昧耶 如上
次蓮花部三昧耶 如上
次金剛部三昧耶 如上
次護身 如上
次地結
右無名指入左無名指小指內右中指入
左中指頭指內左亦如之餘指並頭相拄
卽想印成火焰金剛杵形以大指著地擊
之一擊一誦至三便止隨意大小標心卽
成堅固地界眞言曰
唵枳里々々縛日羅縛日里部律滿馱々
[illegible]
々吽發吒
[illegible]
次金剛墻
准前地界開二大指竪之側如墻形想印
金剛杵形右遶身三轉標心大小卽成金
剛堅固之城諸佛菩薩尚不違何況諸餘
難調伏者毘那夜迦及毒虫利牙爪者不
能輔近眞言曰
唵薩羅々々縛日羅鉢羅迦羅吽發吒 半音
[illegible]
次道場觀 用定印
行者應想於壇中八葉大蓮華々上有師
子座々上有七寶樓閣垂諸瓔珞綵幡蓋
寶柱行列垂妙衣周匝香雲〇普雨雜華
奏諸音樂寶瓶閼伽天妙飲食摩尼爲燈
樓閣中有曼荼羅 已下且依不動記之 上有瑟々盤
石々上有[illegible]字々變成劍形劍變成不動
尊圓滿諸相好右手執智劍左手執羂索
極忿怒相
次三力偈 用普印
以我功德力　如來加持力
及以法界力　普供養而住
次普通供養
以二手合掌以二中指外相叉以二頭指
相拄如寶形結印成已誦眞言四遍普通
供養眞言曰
唵誐々曩三縛婆縛日羅斛
次振鈴 初心不用之
二手作金剛拳各置腰邊誦金剛杵眞言
三反明曰
唵縛日羅帽尼吽
先舒右臂取杵橫仰上右三遍轉如日輪
次三度擲擧口唱長聲吽反拳向右置右
乳上次誦金剛鈴眞言三反明曰
唵縛日羅獻吒吽
卽舒左臂取鈴自心上至于頰振擧五度
卽念驚覺聖衆次耳邊二度振之成召請
而後重二度振之卽觀聲性寂靜如是振
了以鈴置腰邊次以杵印五處而後鈴杵
但置本處初夜初九度後七度日中夜半
初七度後五度也七度者頰邊五度耳邊

二度也。五度者頰邊三度。耳邊二度
擲舉杵事。只乍持手擲上之也。東寺放
手擲舉之文
舒左拳欲取鈴之時。作鈴印攬鈴首即
取鈴也云〻
禾云。耳邊二度振之時。暫間斷。又二度
振之。是口傳也
次送車輅
二手內相叉仰掌。頭指橫相拄。以二大指
各捻頭指根下。想七寶車輅金剛駕御寶
車乘空而去於本尊世界。誦眞言三反。眞
言曰
唵都嚕〻〻吽（有師說）
次請車輅
准前印。以大指向身撥中指節。誦眞言三
反。眞言曰
娜麼悉底羅野地尾迦南怛他蘗多南唵
嚩日郎銀儞野（左㊟羅阿鉢利他也）羯利沙也莎縛訶
有師說云。者眞言末加本尊梵號。或加
羯利沙也。句上或加莎縛訶。上梵號終
云阿蘗車〻〻〻。是其師說也云〻
禾云蘇軌上云。羯羅灑也。下注云。此中
安來句文
次迎請聖衆（有師說）
二手內相叉作拳。左大母指入掌。以右大
母指向身招之。眞言曰
唵爾裂爾迦（半音）唵阿嚕力迦（半音）唵縛

日羅地力迦阿蘗車〻〻〻娑縛訶
帖云。先結佛部心印（禾云二召）誦爾蘗爾
迦。次結蓮花部心印（禾云並召）誦阿嚕力
迦。次結金剛部心印（禾云大指召）誦縛日羅
特力迦一〻明末加曳醯呬（禾云大指召）云〻文略
故只出佛部心印文
師說者。如誦車輅加梵號也。阿蘗車〻
〻〻上加之云〻
次辟除從魔（有師說）
二手合掌。屈二頭指二無名指。於掌內。
中相背豎。開二大指。以印左轉三匝。心
想辟除諸作障者。一切諸魔見此印已。
退散馳走。以印右旋三匝。即成堅固大
界
唵阿密里都納皤縛吽發吒（半音）
有師說者。隨部各別。今順如意輪軌。敌
用馬頭。又以吉里〻〻印明。三部通用。
常依此說（印明在上禾云去垢）
次示三昧耶
以右手大指捻小指甲。豎三指作拔娑
羅形。向外託之。眞言曰
唵弃羯隸三弃焰莎訶
次金剛網
准前墻印。二大指捻二頭指下節。誦眞言
三反。頭上右轉三匝便止。眞言曰
唵尾娑普羅捺落乞叉縛日羅半惹羅吽
發吒

於頭上轉之。左右手分引延也。是張網。
引衬金剛墻也云〻
次火院
以左手掩右手背。豎二大指。誦眞言三反。
右旋身三匝。想金剛墻外火院圍繞。眞言
曰
唵阿三莽擬儞吽發吒
次閼伽（捧器先祈願可薰燒香）
二手捧器。想浴聖衆足。誦眞言三反。眞言
曰
曩莫三滿多沒馱南誐〻曩娑莽娑忙娑
縛訶
師說云。先取右方（約行者）閼伽器。薰香爐
捧之。想洗佛足。致祈願詞。置本所。次二
手如清淨印。小指方並合。誦眞言
次花座（安三所奉之）
二手虛心合掌。舒開左右無名指中指頭
指屈如微敷蓮花形。在寶樓閣內諸聖衆
及本尊各坐本位。眷屬圍遶了〻分明誦
眞言三反。眞言曰
唵迦麼攞莎訶
三所者。額面心也。如次配三部也。修一
部一尊之時。隨一用之云〻
覺師云。奉三處事。請供三部尊之時事
也。一尊之時。雖何尊於頂可供也云〻
次善來偈（用印普）

善來尊者　由本願故　降臨道場
當就此座　受微供具
次重結大界
以二手小指無名指叉入掌中。直竪二中
指頭相著。二頭指屈在中指背上節。勿著
中指。如三胡枓。二大指在頭指側。普轉八
方上下。及誦眞言。成結大界（私云。左轉右轉上下五處也。又）
做（打頂之）眞言曰
唵昇羯隷莾訶三莾焰莎訶
[梵字]
次塗香
私云。此處先取塗香器。薰燒香。捧供之。
置本處
次花鬘亦如此　次捧供燒香
次飲食　次燈明
慧掌向外。以定印仰握慧手腕。三處奉之。
如捧之勢。明曰
曩莫三曼多沒馱南尾輪馱識度納娑縛
娑縛訶
三處奉之。額心臍也
次花鬘
二手內相叉。開仰之。二風指側相拄。（二空ヵ）ゝ
置風邊。三處奉之。明曰
曩莫三滿多沒馱南摩賀妹怛哩也毘庾
納蘗帝莎訶
厶云。此印與車輅印相似。尤可用心也。
如器盛花相也　文
帖云。車輅六指頭各臥著掌花鬘。六指
頭小許起立也　抄

次燒香
二手中指以下背竪相著。二風舒側不相
著小許也。二空置頭指邊。三處奉之。明曰
曩莫三滿多沒馱南達摩馱怛縛弩蘗帝
莎訶
次飲食
二手虛合開掌向上。如掬物之勢。三處奉
之。明曰
曩莫三滿多沒馱南阿羅ゝ迦羅ゝ沫隣
捺娜弭沫隣捺彌摩訶沫㗚莎訶
次燈明
慧拳以空端捻火面向上。三處奉之。每處
動之。如燈炎之勢。明曰
曩莫三滿多沒馱南怛他櫱多羅旨娑叵
羅儜縛婆娑曩識ゝ揉娜里野莎訶
未問動之樣如何
廣大軌云。念彼眞言已。右旋而照明　文
東寺軌（不空）云。右旋照勢　文
次普供養
二手合掌。以右押左。交指卽成。誦眞言三
反。想無量無邊塗香雲海。花鬘雲海。燒香
雲海。飲食燈明雲海。皆成淸淨廣多供養。
普供養眞言曰
曩莫三滿多沒馱南薩縛他欠嗢娜蘗底
[梵字]
娑頗羅呬𤚥識ゝ曩劍莎訶
[梵字]
次讚（先用普供此印。次祈願本尊（各隨別對）四智）
本尊（不且依動）

曩摩薩縛沒馱母地薩怛縛南薩縛怛羅
僧句素彌多鼻枳若羅始跌曩謨素都帝
莎訶
四智讚
唵縛日羅薩怛縛僧迦羅賀縛日羅ゝ怛
曩麼都怛藍縛日羅達摩迦也奈縛日羅
羯麼迦魯波鑁
次入三摩地（隨用本尊定印各別）
心月輪上有[梵字]含字。ゝ變成劍形。劍變成
不動明王
次根本印（各隨本尊別）（且依不動）
二羽內相叉。輪ゝ各如環。二空住水側。火
峯住空面。二風和合竪。眞言曰
曩莫三曼多縛日羅赧戰拏摩賀路灑拏
娑破吒也吽怛羅吒悍𤚥
次加持珠
取珠以左右大指捻無名指頭。直叙中指
小指微屈頭指著中指上節側。以大指無
名指捻珠。右引轉誦旋轉眞言三反引轉
之。眞言曰
唵縛日羅獄呬耶惹跛三摩曳吽
卽緣左手頭指以下四指而更脫取之。以
安二掌中。十指作虛合勢。二中指稍開頂
戴。誦眞言曰
唵尾盧左那摩黎莎訶
以右手名大二指執母珠。以左手名大
二指取母珠邊一商珠子。卽誦旋轉眞
言。至五十四引轉至眞言惹跛字。次五
十四引轉至母珠邊珠子。誦眞言至吽

字不越母珠又如前引轉誦眞言如此
三反了以左大頭二指取母珠卽左手
頭以下四指纏之隨珠長强之纏了以
右大指甲當左掌珠拔取置右掌薫香
煙薫了置二掌內母珠當指峯弟子顯
卽作未敷蓮花形捧頂上誦淨珠眞言
七反誦了發五大願或誦願我今念誦
所生福等偈云〻
次正念誦　加持後當心念誦
頂戴珠已以右名大二指捻母珠邊一
箇珠子以左手名大二指置二箇珠子
捻第四珠念誦之間常如此不越母珠
如旋轉法文
禾云左手持杵大日百反一字百反本
尊千反三部百反諸天總呪百反如此
可誦也但必無定相隨法異也云〻
次正念誦了珠置本處盤珠法如加持珠
而後置本所置珠時母珠爲上火舍方向
母珠置之云〻
次入三摩地 用定印隨尊各別
[梵字]質字因不可得義[梵字]阿字寂靜不可得
義・空點大空行三昧義 且依不動
次根本印 如先
次部母印 隨部尊異
二手虛心合掌屈二頭指以端著二中指
背上節二大指捻二中指中節眞言曰
唵沒馱嚕瀉儞涉訶
次塗香　次華鬘
次燒香　次飲食

次燈明　次普供養
次讚 祈願　次閼伽 捧器先祈願
已上塗香乃至閼伽等行者左方捧供
之云〻
閼伽作法如先但今度奉獻口也讚後
祈願閼伽次祈願隨一用之云〻
次振鈴 初心不用
次廻向方便 普印
所修一切衆善業　利益一切衆生故
我今盡皆正廻向　除生死苦至菩提
歸命頂禮阿梨耶阿日羅挪馱冒地薩埵
婆耶摩訶薩埵婆耶
眞言曰
唵薩縛怛他蘖多怛哩野怛囊布惹迷伽
三慕捺羅薩叵羅儜三摩曳吽
次隨方廻向 取香爐等打金
所修功德　廻向三界大衆〻〻〻一
切神等〻〻一切靈等〻〻〻國主
聖朝〻〻仙院陛下〻〻文武百
官〻〻百姓萬民〻〻信心佛子
二反 心中善願　決定成就　決定圓
滿　廻旋法界　廻向無上大菩提 打金
置香呂
次解界　火院印明左轉三匝
次奉送
先結請車輅印除羯羅縒也句加蘖瑳〻
〻句以大指向外撥之 禾云禮佛 亦次結前迎
請聖衆印明除阿蘖車〻〻〻句加蘖車
〻〻句以大指向外撥之

次佛部　次蓮花部
次金剛部　次被甲
次下座禮佛　次出堂
建長三年八月二十二日於小河草了
是爲初行者也　委細在別卷
弘安元年七月晦日於三州書寫了
應安三年五月二十六日一交朱點了
承應三甲午年卯月十一日書寫了

阿娑縛抄第三十八 十八道次第 末

帖云。三部大法各有別法。胎。隨行。金三摩地。蘇。十八契也文

住云。十八道是蘇悉地略行也。妙成就義也。仍先德作私記事。多依悉地。此意歟。七分委具故也云々

（頭註）依時義云。蘇悉地祕密經以十八道而爲記綱云々。孟蘭記云。人有目足所住各至。事有願行所求必遂文

七分者

一行願分（自九方便至發願） 二三昧耶分（自佛部至金剛部） 三成身分（自被甲至觀佛） 四曼陀羅分（自地結至火院） 五供養分（自至閼伽） 六作業分（自入三摩地至部母）

七三摩波多分（以後供養以後）

帖云。軌文唯有五分。依師說私記中加二分文

先以吉日擇定勝地（如儀軌說云々）

六齋日並吉曜好宿直甘露金剛峯日。布灑星合等是吉日也。聖教中雖不取支干任國風撰之。但自行時只以信心爲吉日。慈覺大師御說以發菩提心之日可爲最上吉日云々　吉日事廣見義釋蘇悉地經同疏云々

在唐記云。良日者謂甘露日金剛峯日。當時（日本）無上月所在宿與今日曜合以良日更問云々

蘇疏云。太陽直日月在軫。太陰直日月在畢。火曜直日月在尾。水曜直日月在柳。木曜直日月在鬼。金曜直日月在房。土曜直日月在星。右已上名甘露日云々

又云。太陽直日月在尾。太陰直日月在女。火曜直日月在壁。水曜直日月在昴。木曜直日月在井。金曜直日月在張。土曜直日月在尾。右已上名金剛峯日文

（頭註）或云。釋迦初說法日。鬼宿直也。見佛本行集經云々。可勘之

烏瑟沙摩軌云。補沙宿直日（唐云鬼宿）文

具緣品釋云。良日辰者。意在菩提心嘉會之辰也文

尊勝軌（善無畏）下云。淨與不淨。但發菩提心爲淨。內外緣合不擇時日文

大論云。於佛法中日無好惡文

或云。二十八宿者日月寄宿也。縱如世間長途有宿々。其定我心月輪也。心數曜宿也。若發惡念惡宿所爲也。故世間曆道吉日。發惡念日非吉宿也。發善心日可爲吉宿也。卽心月輪宿善宿發善心也云々

涅槃經十八云。如來法中無有撰擇良日吉星。如旗檀火及伊蘭火二俱燒物。無有異也。吉日凶日亦復如是。若至佛所俱得滅罪文

要略念誦經（菩提金剛）云。祈無上願莫念時處。不簡吉凶。不依儀式。但能正修及正迴向運心供養。亦速成就。若求成就世間小願。雖復專勤依於法式修持。外相唯小成就文

蘇疏云。若不知時節。聊爾修行者。違世道理。神祇不感。凡世間森羅本則勝義。若違差別勝義亦難文

勝地如軌決云々

次建立壇場。或六肘四肘二肘壇。若一前机。莊嚴道場。安置尊像。隨法異也

地壇作法。七日作壇受地作法。深行所爲也。六肘四肘等水壇作法也云々

禾云。肘量有異說。俱舍論云。二十四指肘。四肘爲弓量文。光記云。一肘有一尺六寸文。無畏口決云。一尺四寸也。長一尺五寸文。或一尺八寸。或一尺二寸。或九寸云々。具不記之

問。壇場與道場其義如何。答。令地坦然云壇場。佛道庭云道場。具如弘決第二云々

莊嚴道場幢幡華鬘。隨力所辨云々

次洗衣浴身

此事尤可有之。若不堪洗衣所著中（淨）○潔可用也。西天衣袈裟也。我朝入道場衣外許四種衣。一常途衣。二眠衣。三上廁衣。四浴衣也云々

蘇疏云。備衣四種。一三衣。二內衣。三睡衣。四浴衣文

浴身時別用之。若有煩者洗手足面門云々

蘇疏云。但令去垢。勿爲嚴身之想文

若行者有本性淸淨觀。不著世俗洗浴云々

法華軌云。不及時別澡浴者。卽誦淸淨

眞言加持衣服。此卽名爲勝義澡浴文
軍荼利軌(不空)云。修瑜伽者。不應執著外
淨。當以勝義自性淸淨法水洗滌身心。
如理相應文
攝眞實經下云。或時行者不及洗浴。以
此法印眞言加持。卽得淸淨文　禾云。
此法印者淨三業也
次門前置灑水(加持散杖)
散杖散刪借音也。人以謂散灑水散云
散杖云々
隨聞記云(淸水寺藏定深智證記之說)以柳枝刪三府
八葉。是毘瑠璃王害五百釋女。大迦葉
以三府八葉蓮花裹阿耨達池水灑釋
女手。時身心安樂也。表此義。如此刪之
云々。此義雖用。其故用灑水事。披經軌
說。或束茅草。或用三古印灑之。替此等
說。我朝人師用散杖。然者不必用瑠璃
王緣事歟。雖然正刪時。不可失方角末
刻八葉。其心高含如花實蓮花形也。世
多用之。是只意樂也。所用木。柳尤吉。又
用枝杖云々
義釋十一云。分荼利迦花。可有百葉。許
○最外葉極白。漸向內色漸微黃○昔
瑠璃王害釋女。大迦葉於阿耨達池取
此花。裹八功德水灑之。諸女身心得安
樂。命終生天。因是投花於池。遂成種。至
今猶有之○此法花所引者。是云曼荼
羅八葉者也文
無量壽化身俱摩羅儀軌(金剛智)云。執持

楊枝。自身內外間淨除煩惱垢文
次門內置香象。若無象用薰香器。或說安
門外文
帖云(同)門前香象(或安門內)。昔如來在世。有
香象。薰大會。從此已來用香象文
雖迫在世儀。所詮爲香氣。仍或用香爐
云々
次以燒閼伽花等。境場右旋置之。境左置
灑水器(加持散杖)。境下右方置塗香(行人所用)
右旋置之事。四面供時事也。自東北角
至于同角。順可置之。若一面供。自右方
可參之歟云々
尊決云。六時四時境。四面供。二時若一
前机。一面供也云々
禾云。火舍前方可立鈴
圓雲法印云。一說鈴鈷當前。一說角當
前云々
或云。智師云。開白初夜吉日故。佛供二
坏供之
次還房。重以楊枝淨水洗手嗽口文
是堂莊嚴間。經時剋可用之。閼伽一前
奉不必用之云々
次加持衣
次著衣眞言曰(無印)文
問。何故不用印耶。三密闕減者歟　答。
身著衣。以之爲身密。呪是蘇悉地軌文
也。仰可信之。但一師說。合掌內置衣誦
明。然後著之。是人師意樂也云々
妙心太云。著衣眞言(無印也。印中作普印)

大悲成就軌(不空)云。著衣時。誦是呪○印
者。以二手各爲拳卽是文
次護身淨三業。佛部。蓮華部。金剛部。護身
三昧耶
已上五箇印。是護身作法也。雖非行法
時。常可作之。委事如軌決云々
次持珠杵上堂
持杵事。蒙師許。三鈷獨鈷之間。隨一持
之。謂行者其如來金剛性。爲欲發明其
理。手持金剛杵。如世勇士懷害心。故手
持兵器。爲害煩惱敵。顯金剛性。常持不
離。如金剛手菩薩等也。但世非官符阿
闍梨之人不持之。瞻西上人持之蒙誹
謗云々
金剛壽院記云。向道場時。不起三毒。專
念本尊。觀想步々。踐八葉蓮花文
次到堂門。誦辨事明。加持香水灑自身
若不置門前灑水者。用印明(如隨行記云々)
禾云。左拳押腰。仰舒右手。屈水中節向
內。以印汲水飮之。便以灑淨(不飮水事用之)
唵摩訶入嚩羅吽
次堂內入足眞言
先入右足。是外道爲事業之時皆用左。
今弊彼左道。順佛道之意也云々
又云。智慧門佛入。右足。大悲門尊入左
足云々
想流轉生死之間。始入眞如佛性之家。
證正等菩提。如反掌。避香象之時。想隱
弊惡業臭穢芬馥尸羅戒香云々

次到佛前長跪合掌文

尊決云。長跪者。二膝著地也。但嚴重時。裝束等有煩者。右膝著地宜歟云々

又云。高太夫說。歸命合掌。誦偈至眞言。時用蓮合。凡漢語皆用金合故歟云々

流轉於生死下可加句云々

持誦不同云。我從過去世。流轉生死界。恣身口意業。及嫉妬慳悋邪見覆心故。違越三摩耶。今對大聖尊云々

未云。是師說加句潤色也

次禮佛

蘇疏云。智論何以頭面禮足。答曰。人身中第一貴者頭。五情所著。而最在上故。足第一賤。復不淨處。最在下故。是故以所貴禮所賤。貴重供養故文

又云。有下中上禮。下者揖。中者跪。上者稽首頭面禮足文

釋迦文佛一乘修行軌云。禮有三種。一者音禮。二者心禮。三者身禮。是則三業禮拜也。若行住若坐臥。稱南謨字。是爲音禮。復於恒時。雖不出音。歸唯心中觀世尊德。隨喜歸命。是爲心禮。復五輪著地（額二手二膝也頭心間轉故名爲輪）或作合掌低頭。是爲身禮々者。要不須身投地。但歸敬爲禮。所以吾頭上稽而觸世尊之下足。故名稽首文

（甲本異本曰私云。前行云。左足色。右足受。左臂想。右臂行。頭識。五體投地云々）

禮拜之時。唱尊號。先云南無歸命頂禮。次舉本尊德。次稱名號。如云南無歸命頂禮娑婆世界施無畏者大悲觀世音菩薩等也云々

義釋一云。西方語法言。及尊者不敢直斥其名。心先歎其功德。如云大智舍利弗文

尊決云。凡禮佛時可奉唱梵號也云々

又云。搯念珠事不用之。乞求時搯手事可有之云々

問。軌文先禮佛。次懺悔偈也。今何先偈後禮耶　答。軌生善滅惡。今滅罪生善。據一義云々

次著座先跏趺坐。整衣裝

義釋云。若行住身速疾疲勞。若倚臥增惛睡。唯結跏趺坐。無斯過失。人天敬信。魔軍怖畏。故如是結跏趺坐文

弘決三云。大論第九問云。有多坐法。何故令跏趺坐耶。答。最安穩故。攝持手足。心不散故。魔王怖故。偈云。得道慚愧人。安坐若龍蟠。見盡加趺坐。魔王亦驚怖文

三陸云。無畏三藏云。不須全跏。若全跏者。支節多痛。若緣痛處。即難得定云々

今案。若堪者。全跏不難云々

整衣裝事。爲令安身心。正威儀也云々

次塗香塗手

法華軌云。其塗香。於右上水。磨白檀龍腦。如泥。即是遍塗二手。乃至臂肘文

生義云。想磨瑩五分法身。證得尸羅波羅蜜云々

次辨備供物

問。壇上供物先已辨備了。何重云之耶。答。灑香水用印明。令其闕少圓備之故云然也。非重備供物　又云。見迴壇排供。可引直也云々

次加持香水

帖云。凡顯密二教是一也。顯教分別諸法相性。密教其可修方法。說也以淺事顯深理也。即是速證之道也。彼如加持香水。[梵字]空觀也。[梵字]假觀也。[梵字][梵字][梵字]中觀也。[梵字]不生也。[梵字][梵字]老死也。即不老不死之義也。是云甘露之明。謂是實相中道不老不死妙藥也。世間上藥。何物如之耶。凡一切壇上供物。本尊像。行者身等。皆是眞如一理上。今以此甘露中道理水。灑灑之。作其觀念也文

次灑淨

或云。唱吽發之事。即破壞之義也云々

義釋三（具縁品）云。以等至法界之香。與大悲三昧之水和合。能普灑一切衆生心地。除其垢穢文

又云。如水性本淨。故能淨諸垢穢。如來香水亦如是。由本淨。故能淨以一切衆生心文

水有清淨德。香有遍至用。和合灑之。普遍淸淨也云々

尊決云。用灑水何意耶。師云。是非獨眞言教所用。天竺風俗。淨物時必用之。法花〇香水灑地文

又大品常啼菩薩爲供養曇無竭菩薩爲淨物求永魔隱永時常啼出自身血灑之時所出血變成白乳云云

無畏口決云灑淨者有二種意一者除去不淨穢物二者成天甘露文

次加持供物

次拍掌

三陸云拍掌印明一師云拍掌名辟除謂辟除諸魔也一師云拍掌名歡喜謂本尊諸尊歡喜也○二說共當理所以然者辟除魔故諸尊歡喜○破魔網出三界是故三度拍之法花云滅三毒出三界破魔網爾時如來亦大歡喜云云

次彈指

次去垢

次淸淨

次光澤

去垢穢物不必淸淨云云物不必無光澤故已上三印用之云云

東山記（靜然說）云淸淨光澤等佛部明許用之一說也故法印（相實）如此所授仍用之云云

豪決云或金部許用之（悉地云在二部故云云）

次啓白

三陸云啓白爲四段一敬白諸尊二所修本意三歎本尊德四隨樂祈請也云云

問取香爐意如何答此則起西天佛說（金光明經）用來是如香煙遍法界我言音隨之遍十方佛刹也云云

最勝王經第六云大王自持香爐燃香○其時香煙刹那頃至自他三千世界乃至梵釋諸天龍鬼神宮殿化成香蓋諸天見彼來集抄

三陸云行者所出言語有二種一者自作言自恣發言啓願求之事二者依他教出言謂眞言等如來說教也然自言者口穢恐有臭香是故執香呂祕密言有法威力雖從口出或作光焰或作化佛無有臭香云云

禾云供養文是佛說也然而取香呂如何

次神分　祈願等

心經續了重云大般若經名是誤說也云云

祈願等某甲寶號云佛事也直可唱某佛又自國王至于女御等藥師佛號唱之執柄已下唱觀音名號施主時唱本尊並餘佛菩薩等云云

舊說行法了迴向前用神分是一樣也云云

次供養文（胡跪取香爐）

觀佛三昧經文也漢土作法一切法會用之如法花懺法請觀音懺法等云云

問何五供養時不用之耶答是非祕密要須准餘法事用之許也云云

次唱禮（置香呂取杵當心）

問入堂禮佛之外重名禮之心如何

答大國法事供養文次有此事准彼作法也四種三昧布薩等皆如此云云

次驚覺

諸佛常入定故驚之云云

三度上下者驚覺三部諸尊或驚三界諸佛或驚三千界佛云云

金對受記云珍和上說初度驚覺道場諸佛第二度驚覺三千界佛入定第三度驚覺十方界佛○忠和上說慈覺大師說初學時驚小千界佛第二學時驚中千界佛第三學時驚三千界佛文

次九方便（若五悔）若替用金剛輪陀羅尼

此印明補闕分功能廣見諸經軌

蘇悉地軌云或時忘念法則錯誤犯三摩耶每日常誦此明三七反或一百八反能除其過文

底哩軌云誦此明卽滅前所犯諸罪障文

阿閦軌云由○此眞言加持入輪壇失念破三昧四重五無間是等諸罪障悉皆得淸淨文

智證大師門流非入壇人者不授之是功用不思議同入壇灌頂故也山家不然底哩三昧耶阿閦軌雖非深行法載之故也云云

是金剛輪菩薩印明也大輪金剛纔發意轉法輪菩薩同尊也云云

禾云法花軌大輪壇處云纔發意轉法輪印云云

次發願

穴記云。初夜用之。後夜。日中。唯用五大
願。文
次五大願
胎對記云。私云。五大願出尊勝軌。不空
本文菩提心義二心同
禾云。尊勝陀羅尼念誦法 不空出之
八大童子法。五句如次對當五智。初句
大圓鏡智。乃至第五句法界性智也
菩提心義二云。問。於菩集因果立誓化
度。此事合理。何於佛智誓度衆生。又四
弘中誓斷煩惱。今五大願何無此誓。答。
大圓鏡智普現有爲無爲諸法。能發自
他大菩提心。故於鏡智照了衆生。發大
誓願。爲化度之。平等性智普了能取二
執。其性平等。或卽解脫一切衆生五住
煩惱。無非佛地福德寶藏。故於此智照
了惑性。而修習之。妙觀察智。觀察法門。
於大會中。轉妙法輪。故於此智照了法
門。而修學之。成所作智。作二事業。一者
供養諸佛事業。二者利益衆生事業。若
事如來亦爲衆生。故於此智照了承事。
而成立之。法界性智總上四智以爲體
性。名爲菩提。故於此智照了極果。而修
證之。文
次佛部
次蓮花部
次金剛部
次護身
或云。智師祕傳云。此次本尊印明用之。

見准泥軌等云々
又云。又用金剛輪多羅尼密印。此說見
阿閦軌 智流口傳祕藏也云々
次地結
次金剛墻
次道場觀
帖云。境上有八葉蓮花壇者。卽金剛輪
云也。意者例壇道場高行者下故也云々
道場觀。隨本尊可替之
此\道場。卽我未來成佛時土也。此宗意。
縱雖觀淸涼山文殊。縱雖行補陀落山
觀音。皆是周遍法界之土。如虛空之身
也。且隨部尊樣々觀之許也
∴月輪蓮花事
問\可觀月輪耶。答。用否在人意。蓮花常
觀之。肉團八分。方。取云蓮花圓方。云月
輪也。故若月輪。若蓮花。若二共觀之云々
尊\決云。肉團團圓正等。方。云心月輪開
敷八葉方云心蓮。然而人心非蓮故五
相成身文云非月文但在生泥中不被
染。心自性淸淨方譬蓮。月十六分次第
漸々顯。衆生心性。經十六般若位次第
顯現同之云々
∴種子三形事
或\不觀種子。三形。直觀尊形云々
問\種子三形尊形次第轉反之心如何。
又何云種子。何云三形耶 答。佛性眞
如之理。本來淸淨之法。絕四句離百非。
然而恒沙功德本來具足。所謂大悲大

智等也。緣苦惱衆生。以悲愍救濟其人。
遂大悲成就歸遍法界理。其悲周遍法
界本來淸淨功德也。本有大悲顯。是則
應正等覺者也。從悲一門。本有法身顯。
大定大智等。一切功德皆悉圓滿。如云
從此一門得入法界。卽是普入一切界
門也。故行者觀本尊所證法身以月輪。
々中觀種子。是則法身理中大悲大智
等也。譬如觀音。大悲爲門。遂成正覺。以
[illegible]字爲種子。無染不可得義也。云心爲
拔苦衆生。雖處生死中。心無染著而施
利益。其大悲利益相。猶如蓮花在泥水
不汚染。依此義以蓮花爲三摩耶形具
此大悲之誰。卽觀世音菩薩也。種子三
形尊形次第如此。種子者。眞如佛性種
子。則指本尊初入法門三昧耶形者。本
誓義。謂從大悲門得覺。誓度苦惱衆生。
其\誓形顯。卽蓮花也 文
今決帖云。三昧耶形者。凡諸佛菩薩示成道。
登覺位。皆不離定慧二法。謂慧者陀羅
尼也。卽陀羅尼中一字。以爲其種子。三
昧形者。三摩地門標幟也。謂百八三昧
等數非一故。一々諸尊所好所掌。隨三
昧顯其定標也。如日光三昧以日光爲
標。慧炬三昧以燈爲標。金剛三昧以杵
等爲標可歟。若不爾何顯其定標耶。故
此二法中出顯尊形也 文
∴尊形事
帖云。道場觀時見本尊。身量大小隨意。

但稱行者身最可賤
今所觀置尊我心理性佛也所召請尊
修得佛也請入之令無二也云云
大悲成就軌云前所觀者名爲法身相
今所請者名爲慧身屈彼慧身來就法
體由是義故先觀後請文
帖云道場觀之時觀作曼荼羅是我心
所變曼荼羅也奉請本尊入前所觀之
佛身爲一身也而是唯我心所見佛也
必彼顯教是猶以心度量之限見佛相
好等也不見如虛空身（如法花教主等也）壁所
懸畫像卽壇上所觀尊無異無別卽所
觀尊所請尊所懸畫所布畫是唯一也
不可各別故輪壇印亦印所懸畫像觀
入我我入幷於其像心觀月輪相字道
等從辯口出字觀云云
或云（三光坊決）略出經中說護摩處火中觀
覽字々變爲火天云云後更請火天云云
々已來與前一體無二也云云以之可
准知諸道場觀云云
祕藏記云問何謂假諦空諦中諦耶答
謂因緣所生法也　問何謂因緣所生法
耶答據喩以本質爲因以鏡爲緣以影
像爲所生法　問約法者如何答〇以
觀心爲因以三密爲緣所現普門海會
卽所生法文
次三力偈
次普通供養
或云智泉祕傳云普通供養之次大輪

印明用之見阿闍軌云云
次振鈴
金對記云珍和上說先作鈴印執鈴上
首云云
或云以風指當中鈷上振之以風動之
意也云云
圓雲法印云鈴五智也中鈷上不許充
指古人多只中握振之只非中鈷其頭
不可充指云云
問於耳邊二度振之時間斷又振之是
誰人傳耶　答盧心記云九箇振鈴七
箇之後少時以鈴停在耳上諦聽鈴音
觀聲本性諦觀已後兩度振鈴驚覺一
切諸佛菩薩文
花山記云次復於左耳上二度振之暫
有間斷又於同處二度振之文（慈惠和上常作金剛）
（記文見可問斷之由）
問觀聲性寂靜者如何　答外五音樂
也能養五藏生五行內此聲性不可得
也離執著義也云云
金對記云日院說聲解脫者觀聲性空
不可得文
義釋十四曰此聲者約衆緣而有謂
依喉舌腭等衆緣相觸而有衆聲生
但屬衆緣無有自性而此能生衆緣
亦復從緣當知卽是本不生也文
文云以識空聲等故卽入眞性之理入
眞性卽是住三昧也云云
問振鈴何義耶　答大國帝王出入之

時樂也我朝行幸之時有此事步納言
奏之驚鈴奏云云　今准彼風欲召請本
尊之時奏之
問振鈴正作法出何文耶　答帖決云
出不空羂索經文
禾勘金剛童子持念經（智證大師請來）甚委悉
也
在唐記云若無杵鈴左拳置腰右拳印
五處文
次送車輅
或云以大指端向外撥之見准胝軌云云
帖云中指已下六指各博著掌中不起
二大付二風本（一說）　次二大向外撥二
火端送意也（一說也）文
次請車輅
次迎請聖衆
妙心大云召請明末又云此中安來句
者若請佛部時云唵翳呬々々但他蘖
親若請蓮華部時云唵翳呬々々鉢那
摩若請金剛部時云唵翳呬々々拔折
羅是卽安來句也〇若送遣尊時云唵
蘗磋々々（大略如此可檢教法文）
次辟除從魔
帖云馬頭印有二說一者二空中並與
二風相離（大法中云二空小屈）一者二空各散開（不付）
（二說而又開也）卽如馬可而已文
次示三昧耶
辟除印明力恐本尊可還本土故示本
誓願奉留也云者附語也

尊決云。向外託者。非云名。聖衆來著此
場也云云
禾云。軌無此印。明准悉地大法用之也
次金剛網
次火院
帖云。有二樣。一如常。一頭指已下八指
側立之是也文
次閼伽（可捧器先祈願薰燒香）
捧器祈願。奉近佛之時啓白願旨也。如
世人主君獻手水之時。啓所望事其詞
無定。最任意樂啓之。或說誦偈。謂以本
清淨水。洗浴無垢身。不捨本誓故。證成
我承事云云。此說可也。東寺多用之云云
禾云。獻閼伽之時。可啓白心中所求之
旨。見法花千手等軌
薰香煙事。令遍法界之意也（千手軌云。瑜伽者獻閼伽）
禾云。薰香煙事。可見蘇悉地經奉請品（時心中所希望事即發願啓白聖者文）
云云（捧持閼伽燒香薰之文）
或說。獻閼伽時。傾器滴花盤三滴。是見
准泥軌。東寺多用之。山門都率流用之
云云
花山記云。獻了。即以閼伽水三滴於盤。
當念奉浴諸尊文
籠門記同（仰本異本曰。禾云。鎮西籠門山阿彌陀私記出云云）
大原決云。四面之供。先捧左方閼伽之
時。運心四面之右方閼伽。又塗花香食
燈皆爾也云云
捧閼伽印相。有二說。一八葉印也。一鉢
印云云（帖同）
次花座
次善來偈
軌無此偈。准大儀軌用之。儲座著之啓
意也。大國法就物之時。必用祝願。見客
來。必唱善來。如佛命善來成羅漢云云
次重結大界
軌無之。依悉地軌用之
問。重重結界先已了。重用之心如何
答。持金輪之人傍五百由旬之內。餘尊
行者其法不成就。被奪彼威神故也。而
今以此印明。更結一重。設隣近頂輪王。
令法成就。爰以火院外用此三古界也。
是軍荼利印明也云云
時處軌云。修行諸尊者。五百由旬內。尊
皆不降赴。亦不賜悉地。以輪王威勢斷
壞諸法故文
蘇軌下云（禾云重結大界所也）如此作了。假令側
近輪王佛頂。及餘相違諸眞言者。不能
爲壞。亦不損減本尊威力文
軍荼利軌云。若結此大界。設近持誦頂
輪王人。不能殞礙。不奪威力文
或云。祕說云。已成本尊之身。今至後供
養之時。佛身其義不相叶。仍重結大界。
次用成事業身印明（如胎）是祕說也。不聊
爾云云
次塗香
塗香磨水入器。其香隨部隨法所用不
向也。廣如悉地經並義釋。西天風俗。九
夏磨梅檀塗其身。爲清涼也。三冬磨沈
水塗其身。爲溫暖也。今准彼風。奉本尊
也云云
次花鬘
問。花鬘其形如何。答。結珍爲首飾。是西
天風俗也　問。然者結珍可作鬘。何器
盛之。答。於盛花成鬘想也。其形難造故
也　問。非首飾。彼大日尊爲身飾。又堂
舍花鬘代何必云首飾耶。答。然也。身有
之。堂舍有之。代者正不採花。作其形故
也。此中以首飾爲本云云
疏七云。採集以爲鬘者。謂錯雜莊嚴。或
綴或結。以行人歷淨淳心。故則令諸尊
歡喜文
陀羅尼集引阿彌陀大思惟經云。若無
香花供。雖生極樂莊嚴少文
次燒香
燒香令香煙芬馥也。西天風俗。請客之
時。燒香置砌前。客見之來入其所。今准
彼風云云
三陸云。欲以所樂事。啓通佛聖者。向燒
香應語之。其煙遙至佛前。現其所語事
也。須達多女三摩竭。與祇園精舍隔八
千里居難國土。爲諸佛故燒香向香唱
請佛語。爾時香煙遙至佛所。遶佛已。住
於佛上。變成香蓋。佛知是已。赴彼女國
云云
義釋云。燒香是遍至法界義。如天樹王
開敷之時。香氣逆風順風自然遍布。菩

提心香亦復如是隨一〻功德即爲智
慧所燒解脫風所吹隨悲願力自在而
轉普薰於一切故文

次飲食
漿水名飲飯餅名食其所用隨部不同
也廣如悉地經并義釋但我朝先達日
中備飯藥餅菓後夜粥奉之
問初夜花水供也然者初夜用飲食印
明耶
答初夜用飲食印明是本敎說也今三
時且准僧中儀式許也致誠之時六時
四時三時二時〻別所備飲食也云〻
蘇悉地經上獻食品云獻諸花菓及諸飲
食常須念之不應廢忘仍依本法若言
一時念誦一時供養諸根菓食若言二
時念誦二時供養若言三時念誦三時
供養文

次燈明
問已上五種供養軌中不說之依何加
用之乎
答悉大儀軌并胎藏瑜伽皆用之今軌
依如意輪軌不用各別印唯用普供養
是又一說也
問今法悉地略行也然者何不用彼中
五供印明用胎藏印明耶
答雖須用悉地暫祕悉地說也是非忽
緒胎藏擧兩部大法後受悉地故輒不
能抽出也云〻
問六種供四面各二器也其中燒香燈
明何一器耶
答塗香等配前後供養各〻二器也燒
香燈明者其薰氣明相前後不失不滅
故一面各備一器也
問供養天竺法衣服等可供之而今擧
五種如何　答衣服等可供歟諸尊軌
皆衣服印明出之今攝普供中存略歟
蘇軌下云若辨衣裳瓔珞等物以辨
事眞言持誦奉獻文
凡六種供養觀念並深祕釋義釋蘇疏
軍荼利軌法花軌等廣明之或滿六度
或破六道云〻甲本異本曰弘決云以六度破六弊云〻

次普供養
問五供各別印明諸事既具更用普供
其心如何　答軌中無別印明只普供
養功能云塗香雲海乃至燈明雲海文相
加記文得心是總別心也表鄭重志歟
奉請本尊供養爲宗故名供養法仍用
總別印明云〻
問普供次誦偈之說在之所謂
我今奉獻諸供養　一〻諸塵皆實相
〻〻周遍法界海　法界即是妙供具
供養自他四法身　三世常住普供養
此說用否如何　答尤可也大[illegible]僧正常
任金剛記被用之況偈心甚妙者也文
三陸云大聖本尊雖不用世間六塵供
養而隨順世俗諦故不受而受爲令行
者得大利益故似受此供文
問軌普供養以後更無文私記依何加
之耶　答軌自無量壽軌撰出之而彼
軌此後出阿彌陀讚并觀自在三摩地
根本印等今爲諸尊通用略之也以後
儀式必可有之故記加之云〻

次讚本讚四智
此次讚歎偈可用之是漢語文也諸經
敎中歎佛文隨宜加誦之是師說也又
有證文云〻
蘇悉地經云其讚嘆文應用諸佛菩薩
所說偈不應自作讚歎也文
疏云恐修行者任自胸臆作讚頌辭大
違聖意文
又密誦三身讚也可加誦之但非初行所作
云〻
帖云佛菩薩忿怒尊諸天〇諸隨部用
之或只四智用之云〻
或說行天等之時不誦四智讚或說誦
之四智功德誰不具之云〻
諸尊若無別讚三部通讚隨部可用之
或通用本尊讚云〻
禾云本尊讚者藥師讚也梵號處許改
之
三陸云若依蘇悉地用五讚佛法僧蓮花金剛
悉地經并軌出唐語五言四句偈也宜用梵語
〻〻在大毘盧遮那經廣大軌也
祈願如闕伽次但闕伽次若讚次隨一
可用之兩所用之事樂故也

次入三摩地用定印隨様各別
菩提心義一云金剛頂決云三昧耶者

正翻爲等持三摩地者。正翻爲等念云（舊）（等至）謂遍一切處等持自智。卽入一切如來智也。卽入一切普賢智。持此智行。猶如金剛。入有情界平等攝受而護念之文

於此入三摩地事。爲成本尊身故可想。我心上有圓明月輪。是則佛性也。心性自本無形。佛性亦爾。行者爲修證。於無形想其形。月輪中種子字。理具佛性中。大定智悲等。無量差別功德也。今寄本尊所證。以眞言一字觀之。種子變成三昧形〻〻者本尊所證三昧也。是則以本誓修行證入手所執標幟也。蓮花金剛杵類。隨尊不同也。其三昧耶形漸〻大舉我體三摩耶變成本尊。如此觀也。閉目靜心一緣一想止攀緣覺觀。設雖觀力微弱。本尊宜必加被云〻

三陸云。心月輪者卽是第八識也。心中諸染淨諸種子。本自在之故。於月輪上。所觀見鑁等諸字。卽是第八識中所出現也。非他所現〻〻字變成三昧耶形。又是第八識中具故卽現也。三形變成尊形。亦是第八識中所具法門故。卽顯現也云〻

三陸云。問月輪者喩歟法歟。答。且有二種。一者喩。謂世間月也。二者法。謂菩提心也。心月者以喩合法也。又約法且有二。一者凡夫勝解有相月輪。二者聖人實證無相月輪。如眞實經中說云〻

問（又ノ）。人身胸量狹少。云何容受一肘月輪。（一尺八寸）答。一肘者。卽取周圍量。徑量六寸也云〻

次根本印

本尊所證（各隨本尊別）功德爲根本印契。名之爲根本印。文殊劍印。大日五古印。以之可覺云〻

眞言行法。以念誦爲正宗。故今成本尊身。爲念誦也。意成本尊。身相身口結誦本尊所證印眞言。故三業悉與本尊同一體也云〻

三陸云。供養法時。根本印必入袖中作之。不令人知其印也（同帖）

密抄云。西方作印。甚以祕之。不令人見。密誦眞言。不令人聽云〻

准提軌云。結契印時。以衣覆手。勿令人見文

次加持珠

帖云。珠鬘。先薰香。次旋轉。樣未見之云〻

對記云。海說。盤珠左手入之掌。二小珠緖從二手上越之垂懸文

同說。以二水取珠。佛部。以二火取珠。蓮部。以二風取珠。金部（抄）

同說。先以念珠而三轉者。表三轉法輪。卽示勸證是也。示者示是苦等。勸者勸是苦可知等。證者證苦我已知不復更知。又云。示者示其相狀。勸者勸人令修。證者引已證彼。初一轉表示。中一轉表勸。後一轉表證。可細知之云〻

三陸云。以三密行。速超三祇行。卽身成佛表示此義云〻

金對記六云。叡和上說。旋轉想轉法輪於世界。三度旋轉○從母珠轉一珠至半。擬菩薩下化也。從半至母珠。擬菩薩上求也。每轉一珠斷一〻煩惱。除百八煩惱成就百八三昧文

或名千轉眞言。是旋字借音歟。但以此眞言加持珠。故一轉珠子。卽成誦千反功力。或名千轉。若依此心者。千轉旋轉其意別也。故不引轉誦眞言說有之云〻

帖云。唵嚩日羅（金剛也）獄嚩也（密也）左波（語）嚩日羅獄嚩也左波三摩曳吽（至半十四五）（第致百珠）如之還令三反文

江師云。一說。嚩日羅獄嚩也（一半）左波三摩曳吽（一半）曳之云〻

妙心太云。持念之時。不蹔母珠。過。若過所有功課。悉皆折盡文

時處軌云。不應母珠蹔過。越法罪文

次正念誦

同正念誦者。傍念誦可有之歟　答。對加持珠云正也云〻

或云。對散念誦云正念誦歟。散念誦。加持珠次用之。又加持珠名散念誦。或加用眞言云散念誦云〻

帖云。東寺正念誦如常。結根本印等了後散念誦。謂任意千萬等念誦遍數滿之。如世人常念誦也。如淳內供如意輪記等也文

大日佛眼加誦事。大日是眞言教主故。本尊本身故。佛眼一字爲成就也
大日本尊內證三身。佛眼本尊五眼功德也云〻
定慶阿闍梨。阿彌陀供養法手代時。蓮實坊座主示云。大日眞言阿彌陀大日也。佛眼眞言阿彌陀佛眼也云〻
此說尤可也云〻
帖云。念誦之間。字道觀用之。謂本尊心月輪蓮眞言字。一〻分明字義。而我心月輪亦觀而念誦。卽彼尊心月字。從尊口出入我頂。連我心月。從我口出。入尊之連心月。如之相續而念誦。畢時眞言字尊心月止。奉預本尊也。或本尊右邊觀部母。納入其眞言字 更問
三陸云。問。念誦其義云何。答。念者觀也。觀是意密也。謂者所顯之義也。卽在口密。如是念誦。必用數珠。以二手持之。是身密也　問。是三密共成者。何名念誦。不名三密耶。答。雖具三密。其口意勝。是故別名念誦。又動口意兼身。雖動身若不致口意。不兼念誦。無所顯。故而口意勝文
秘藏記云。將就念誦時。三平等觀。先觀五大於身中。如五字反身。所謂吾遍法界身。諸佛亦遍法界身。以吾身入諸佛身者。吾歸命諸佛。以諸佛身入吾身者。諸佛接護於我。以吾口業入諸佛口業者。吾以口業如實讚歎諸佛功德。以佛口業入吾口業者。諸佛說法教授加持於我。以我意業實相理。入諸佛意業實相理者。吾知諸佛心及吾自心。以諸佛意業實相理。入吾意業實相理者。諸佛以觀照門開示於我。已成如來從因向果。於其中間所修功德。及淨煩惱成正覺後度衆生利他功德廣大無邊。一佛功德廣大無邊。況無數如來功德不可說〻〻〻。斯不可說〻〻〻〻功德入吾身者。諸佛開法界藏。以無量功德施與我。以吾本來所有功德。與此生所修功德入諸佛身者。吾供養諸佛。本尊三密鏡明如大圓鏡智。照一切色相。本尊與吾無二無別。吾三密鏡明如本尊三密鏡已成未成諸佛與吾無二無別。已成未成諸佛三密鏡明如吾三密鏡。諸佛萬德圓滿眷屬圍繞。吾亦萬德圓滿眷屬圍繞。諸佛遍法界身。吾身在諸佛身中。吾身遍法界身。諸佛身在吾身中。譬如因陀羅網文
又云。三平等以三密攝一切諸法。色攝身〻。卽印契見色也。一切聲攝口語。卽眞言聞音也。一切理攝心〻。卽本尊表實相。是三密平等〻〻遍一切處。是故行者常可思一切所見境皆遍一切處身。一切所聞音皆是陀羅尼。卽是諸佛說法音也。又吾口所出音皆是誨他之音。教誨前人。是身語之下理攝自心。卽實相心。卽本尊心。卽自心。如是觀謂三平等文
正念誦者。是極大事也。其故一切行法以念誦爲正宗。前次第作觀身與成佛也。念誦時說法相也。故三度念珠旋轉。三轉法輪也。念誦印是卽說法印也。無名指大指念誦。是佛部說法也。中指大指蓮花部。頭指大指金剛部等云〻。密說也云〻。說法云何。自受用身自受法樂。本有也。其自受法樂委樣。金剛頂經有之。經難得心義。決並大師疏見之也。爲機說法等云。自受用說法。上事也。常恒不變說法云。是如此不變說法。故衆生內薰密益發心修行也。法花常在靈山說法。是則常恒不變自受法樂也云〻
詠云。一切行法本意等正覺作法也。然忿怒尊行此尊等正覺處觀。正覺成可思歟。答。然也。但天等只請供許。爲本只請供許有也。其作法常事也。深行大阿闍梨位。心忿怒尊等等正覺正形非是。則自受用身智身也。行也
帖云。問。行法之時。行道旋繞滿數偏耶　答。見蘇婆呼經可爾也云〻
禾云。念誦了。磨念珠事。自流不用之
妙心太云。從始至終不令數珠作聲文
帖云。記云。念珠不令有聲爲吉文
次正念誦了。珠置本處
悉地軌云。念誦已。隨所懷願。及擬成就。慇懃求之文
禾云。發願頌樣〻也

金剛壽院如意輪軌云。願我念誦所生
福。奉入本尊大智海。平等一味同法性。
我及衆生共成佛文
頂戴珠事。奉敬珠也。敬珠猶如佛云故
也。廣可見瑜伽念珠經。數珠功德經等
云々
三昧記。如加持珠時。薰香煙覆之云々
次入三摩地
觀種子字義不可得。或觀心月輪廓周
法界。或我身卽本尊也。三說中。世常用
初說
帖云。念誦後三摩地念誦。於心月上布
字。一々觀字義也。諸字皆觀不可得義。
此卽𑖀本不生義也。卽中道實相義也。
諸字皆帶𑖀聲故。於諸字皆不可得義
有也云々或種子字許觀之
種子字義不可得也。觀也。所以𑖀字。如
天竺無言也。今眞言教。依無義本來不
生也。不生。法定是不滅也。不生不滅。法
云。實相常住眞言法性也。餘字准之云
或云了賀地坊法印𑖀云。修善惡事。終
皆可唱後唄。是善事著心惡也云々今
字義空也。觀後唄心耳文
帖云。若依求聞持法。本尊身舒斂云々
若准之餘法亦可爾歟。而多用觀字義
等耳文
行法等正覺說法儀式。後入三摩地當
般涅槃等義云々
三陸云。問。何故念誦之後更入月輪觀

耶　答。爲表覺道圓滿之義。更入月輪
觀也。佛證覺有三義。一自覺自受用身
是也。二覺他義他受用身是也。三覺道
圓滿義。入月輪觀是也云々
次根本印
次部母印
部母者。隨部諸尊從此出生。是則般若
波羅蜜也。有三部々母。佛部佛眼。蓮部
白處尊。金剛部忙莽雞也。或以佛眼通
用三部。或以忙麼雞通用。今以念誦功
課奉負部母。此尊常持不令散失。遂至
成佛剋必成大事云々
時處軌云。瑜伽者縱有違犯闕法等。爲
愍不見過。亦不陵逼他。持諸密語者。若
不作此法。不得微闕少文
蘇疏云。一能衞本尊。二能獨衆罪。三除
諸災障。四悉地相應。五母通成事。六諸
天增衞文
瞿醯中卷云。忙莽計通三部母文　若
依此說者。麼雞是佛部母也。故此文云
佛部忙麼雞也云々
帖云。悉軌處々文。金剛部眞言。通用三
部用云々謂此軌本是金剛部成就法
也。故雖金剛下部。能成三部云々故本
部金剛部成就法。故以本部成就眞言
通三部文
又云。悉地經疏。忙麼雞通三部者。是非
金剛部母。謂忙麼雞者母義也。三部母
中。二部母各有別名。唯金母得母名也

次塗香
次華鬘
次燒香
次飮食
次燈明
次普供養
次讚祈願
次閼伽先捧器祈願
已上塗香乃至閼伽等。行者左方捧之云々
次振鈴
一說。閼伽前用之云々
圓雲法印云。後鈴長振ヲメタル事也
云々
次迴向方便
次隨方迴向
次解界大院三印左轉頭明
以此一印明。地結墻界等一切法界悉
解可想也云々
烏樞瑟摩軌云。火印密縫印頂上左旋
之。諸印都解除文
禾云。悉地大法中。金剛墻印云。若左轉
成解界云々
次奉送次先結請車輅印。次結前迎請聖衆印
奢車輅於道場空。奉乘本尊送本土虛
空。次以部心印明奉下從車著本座。以
大指撥此意也云々
又部心車輅用說有之。以迎請時可心
得云々
天等奉送皆用彈指云々禾云。仰印也

戒壇決云一期修法中間時々及安居等之中間時々不奉送也至最後結願之時可奉送也抑尊意僧正每時奉送也文

天供每時奉送也久令請住有其恐故也云々

三陸云或師傳云設修七日初時結界奉請終時解界其中間時々不奉請不解界陳其由云初時請本尊而行法之間何煩奉送之耶仍不解界奉送々々々々故不受奉請云々此事私案之便宜雖可然頗有其憚所以然者若不解界妄越先所觀之界者有違越之罪又時々可請故時々可送之是故奉送偈云各當隨所安後復垂哀赴云々

禾云慈覺大師在唐記云七日等行法之時解界奉送不可用之但辟除結界可用之（不每時奉送禮）都表如意軌（解脫師子）時別皆作迎送之事（禾云每時奉送禮也）

次佛部

次蓮華部

次金剛部

次被甲

本尊還歸給後行者有恐怖故用三部被甲云々

禾云大日經七卷奥入佛法界等三部云若念誦竟以此三印持身所有眞言行門終畢法則皆悉圓滿云々

次下座禮佛

問本尊已還歸給了禮何佛耶

答奉禮安置尊像也

次出堂　次堂外作善

出堂之後於淨處讀誦經典或講說或印佛印塔坐禪入定任意樂可修之但我山必以法施奉莊嚴地主三聖可祈靈驗勝利云々

宇治殿仰云修法堂外作善集讀經事覺猷快譽勤之餘人不用之云々

隨行軌云以法施心讀誦大乘方廣經典或以心誦而請諸天神等令聽受之

禾云師說法樂山王准據也

建長三年八月二十二日於小河草了

弘安元年八月九日於參州書了偏爲末世流傳也　遍照金剛爾然

延慶三年六月十一日於參州實相賜御本書寫了志念無他只此爲二親成佛三世流通也　末學圓惠

興國三年仲冬晦日於尾州岩屋寺書寫了

應安三年仲夏二十三日（爲尊靈）□□於濃州伊賀金剛院書寫了

右筆　全敬金剛

承應三（甲午）年卯月九日書寫了　善祐（六十七歲）

阿娑縛抄第三十九　十八契印儀軌 別

∴名義事

此中有十八印契故爲名

問勘軌文印明正十七也（一淨三業二佛部三運部四金剛五護身六地結七普通八金剛牆九寶車十請車十一迎請十二辟除十三金剛網十四火院十五閼伽十六花座十七普供）

答有二說一加三力偈普印（帖同此說）一加道場觀定印云々

問十八所表如何

帖云二十空十六空等中十八空中容不多不少也十八道表十八空是生師（圓乘生師）（一說云大原法橋也佳草生故云生師云々）口傳也文（此所表一往義也又當十八不共法又何必可有所表乎云々）

問契印義如何

持明坊決云印契者符契意歟符破竹一片出外契以鐵作契以一片出外若有王宣時以所留一片合之故知王宣當朝用木契如不破關固關開關時也云々

弘決一云符合也漢書封公臣以竹長六寸分而合之爲信故字從竹文

生義（眞興僧都）云問十八儀則皆用三密者三共可爲題何今從印立名耶答有二意故以印爲名一三密中以身爲首印是身之所作今以略取首行是故名契印也二三密其爲諸佛智印之所印故總以印字爲目也彼此猶有深密故後代之師呼爲道法謂三密法皆助佛道修之昇道是故名

十八道也文

∴道事

奮迅王問經偈云

平等名道　以一切法　皆眞實故
寂靜名道　以一切熱　皆悉離故
安穩名道　不離一切　善方便故
無漏名道　諸漏盡故云云

義釋十一云。三業道者。道是慧義。言與理同故會之。汝等所行是菩薩道。卽是三道同歸一致文

∴譯者事

問。諸軌題下。多注譯者。而此軌不見如何。答。此軌初已下。至于淨三業眞言。是金剛智如意輪瑜伽法要文也。自下不空如意輪軌文也。故無別譯者名耳　問。然者誰人抄之哉。答。安然和尚無量壽儀軌中梵唐對註眞言云。海阿闍梨抽出此儀軌中一十八道眞言印契。以充持明通行之要。世呼十八道儀軌焉文 付此海阿闍梨言。或云弘法大師(空海)或云道海和尚　問。若是弘法作。山門何依用之耶。答。傳教大師隨順教阿闍梨傳之。弘法大師隨惠果傳之。唐土可有此作法之由。見在唐記。然者恐此軌。弘法雖書出給。山門用之云云　或云。此儀軌二本有之。一傳教隨順曉傳之。一弘法隨惠果傳之云云

中川上人云。弘法御撰也云云

大悲藏瑜伽(智證大師)持地菩薩印。如無量壽中金剛部。是(同本或號十八道)此文

或人云。前唐院御厨子見在書目錄中云。十八契印一卷云云 何及道海弘法之不審。唐土有此作法。慈覺御將來歟。又安然梵唐對注所記。更非當世流布本歟。依無量壽軌記給。今本無其義。依如意輪二軌之故也云云

∴軌大意事

生義云。今十八契者。胎藏支末蘇悉地行也。是故立三部。攝諸尊○竊案行儀有六法○一莊嚴行者有五(一淨三業 二佛部三昧耶 三蓮花部 四金剛部 五護身)二者結界法有二(一地結 二金剛墻)三者莊嚴道場法有二(一道場觀 二普通供養)四者勸請法有三(一送車輅 二請車輅 三請事)五者結護法有三(一當部明王印明 二金剛墻 三火院)六者供養法有三(一閼伽 二花座 是二供養別奉本尊也 三普供養 是總供養也。普供本尊及一切十方諸佛聖衆故)生起次第如何者。欲入此祕密門者。先須誦淨莊嚴自身(淨三業三部 護身之意)既身調淨者。亦應加持調淨界地(地結金剛墻之意)既加持界地者。須莊嚴道場(道場觀 虛空藏之意)既莊嚴者。應請本尊(寶車輅 請車輅之意)既得請者。須作結護(明王上方火院之意)既作結護已。內外無障。然後致供養也(閼伽花座普供養之意)文

∴從師獲灌頂

問。灌頂是深行所受也。受法已前。何受灌頂哉　答。灌頂有多種(內外)心又受灌頂。所謂受明學法灌頂等也。今文瑜伽法要文也。然者指如意輪一尊灌頂也。十八道心悉地總灌頂歟云云

生義云。謂入本部大曼荼羅灌頂之壇。知器非器相。謂所投花。若過三度。不當曼荼羅像者。是非眞言三昧耶法器也。若得尊者。是人卽法器也文

三陸云。從師獲灌頂者。指是結緣灌頂云云

此卽如意寶云云

問。如意寶者。指弟子法歟。將云敎法　答。指教法也云云

生義云。如意珠是佛舍利所變也。能雨財穀種種珍寶。利益衆生。而非於好惡者所而雨。唯於持戒者所雨。又此如意珠有種種色。隨色用異。或除病患。或消凶變。或雨萬寶也。如是等有種種利。此眞言法。亦復如是。有經云。力士額如意寶珠。彼若起瞋。珠入肉中。不能自用云云 世間之寶猶爾。況今眞言法寶哉。是故除貪瞋癡等惡。將持此法勝利無窮也云云

如經說處所文

問。指何經耶　答。指蘇悉地經歟。但今軌意指金剛頂經歟。瑜伽法要出金剛頂故也。或又總指諸經。何必限一經云云

山間及流水。清淨阿蘭若。隨行之澗谷。離諸厄怖難文

生義云。山間者。山以登山爲○表上求菩提云云

又云。阿蘭若者。天竺之語。唐云無喧處。去里最近三里

或云。去村一狗盧舍(此云鼓聲 其量二里)謂閑靜處。不令聞村鼓聲也云云

不思議疏云。阿蘭若。此翻名爲空閑處文

不聞牛聲處云阿蘭若云云

生義云、澗谷者、以降下爲道、表下化衆生云々

有\水云澗、無水云谷云々

問、山間流水何必勝處、山水滿國悉是勝所歟　答、山間空寂、神仙所讚也、流水清澄、善神所遊戲也（金光明疏文）豈非勝處耶、但雖空寂、有虎狼畏、非勝處、雖清澄、有毒蛇難、非好地、故下文云、離諸厄怖難文、然者山河雖多、勝地尤希歟、善神擁護地、諸佛八相所、尤爲最

問\聚落田里隨請修法、是非勝處、爭得成就耶　答、今文書經文之許也、不必限山間流水、依之師說云、貫經卷所、成諸佛成道轉法輪所、故不擇別勝所云々

法花云、當知是處即是道場、諸佛於此得阿耨○菩提、諸佛於此轉於法輪文

義釋（具縁品）云、若人已發菩提心、即是諸佛生地、亦是得道轉法輪般涅槃處文

又云、猶如般若經所在之處、諸小鬼輩不敢停留、故法驗易成也文

行人面於本方、禮拜本尊文

本\方者、指本尊所住方、謂若修彌陀之時、向西方、禮之、餘准知之云々

問\息災等五種、向方各異、若指之歟、如何　答、既云本方、何息災等方、況瑜伽法要、行人面於西、漫提自在王文、今爲諸尊通行之日、改西云本○去自在王云本尊、若准本文、其意顯然也、但息等向方云義強不可棄捨歟云々

次禮餘方佛文

生義云、限一本尊者、初心行者、不悟一佛一切佛同一故、恐生偏少之心、是故次禮餘方佛云々

瑜\伽法要源依金剛頂、故可指四禮、餘法之時、更不可用之云々

觀自在王軌（不空）云、以五輪著地頂禮本尊觀自在王如來、次禮北方不空成就如來、乃至無動寶生遍照如來文

以五輪著地、如教之敬禮文

釋迦文佛一乘修行軌云、須五輪著地（二額）（手二膝也、神心遍轉、故名爲輪文）

不思議疏云、五輪者、身中五支也文

阿含云、二肘兩膝及頂名五體文

弘決三云、准地持阿含、皆以雙膝○肘及頂至地、名五體投地、亦曰五輪、五處圓故云々（甲本異本曰、禾云弘決左足色右足受左手想右手行頭識配五陰云々）

二\膝雙屈著地也、若半跏右膝著地云々

雙膝長跪文

問\胡跪長跪同異如何　答、胡跪胡國例、大跪云長跪、長跪云、此二同事也云々

陳說三業一切罪文

生義云、三業者、三謂身口意也、爲諸業本、業者十惡業也、以是爲根本惡、謂身三口四意三也、由是等罪、于今流轉、是故文云我從過去世流轉於生死云々、而我與諸佛昔等輩之凡夫也、然諸佛由懺悔罪故、已得覺道、是故今准彼修此、非但我一人爾、亦一切衆生如是々々、故兼一切發願也、

既懺三業罪、須顯三業清淨、是故懺悔之次有眞言也、是清淨眞言也、後師名淨三業也

祕藏記云、於誦此眞言有二說、一曰、身者印、語者眞言、意者觀照、如斯自他三業本來清淨故曰淨三業眞言、二曰、吾三業本來清淨遍法界、他衆生三業本來清淨遍法界、我三業與他衆生三業不相障礙遍法界、譬如千燈光明不相障礙、故淨吾三業者、他衆生三業、俱時清淨、故曰淨三業眞言文

結跏趺坐或半跏趺坐文

生義云、結跏趺坐者、結兩足互置股上、是表攝引下界類、令向上位不動也、是座法名如來座、佛部所用也、半跏座者、以右足置左股、是表以正道鎭邪道、謂右正左邪也、是座法名菩薩座、蓮花部所用也、金剛座法祕之○在大法中、謂降伏法座也云々

起大慈心、我修此法、爲一切衆生、速證無上正等菩提文

生義云、夫修此法者、即非爲二乘偏小果、亦非一身自度行、是故今誓一切衆生同證無上正等菩提也、如是發廣大菩提願、是入佛三昧耶也

先磨諸香以用塗手文

義釋五云、其塗香中、勿用衆生身分及與紫礦并虫食等、常取淨好者、以水研之文

佛部三昧耶陀羅尼印

佛\者、梵名略也、具云佛陀、唐云覺者也、部

者類聚之義也。三昧耶者有多義。今暫擧
願義。卽諸佛行願也。陀羅尼者總持義也。
印者決定義。謂以印々身等處必定成就
所念之事也
三陸云。以分法爲名。謂佛部者人也。三昧
耶者力也。陀羅尼者法也云々
文云。佛部身密也。依行見佛身故。三昧耶
者誓也。卽意密也。諸佛以因位誓願爲力
也。陀羅尼口密云々
問。今陀羅尼文下出陀羅尼處眞言曰文
然者陀羅尼眞言同歟　答。爾也。陀羅尼
者總持總攝之義也。眞言者義釋云。梵曰
曼荼羅。卽是眞語如語不妄不異音也文
或云密語。或〇密言。諸佛密語故。或云明。
破無明闇故。或云呪。々々縛鬼魅怨家。呪禁
邪魔外道故云々
祕藏記云。陀羅尼者佛放光々中所說也。
是故陀羅尼與明其義不異。呪者佛法未
來漢地前有世間呪禁法。能發神驗除災
患。今持此陀羅尼人能發神通除災患與
呪禁〇相似。是故曰呪。密語者凡夫二乘
不能知故曰密語。眞言者如來言眞實無
虛妄故曰眞言。然皆是擧一邊所名也。以
曼荼羅爲眞言名耳文
　想於如來三十二相八十種好文
生義云。三十二相者勝衆人故爾。八十種
好者超天衆故爾也。或輪王人中雖具三
十二相而非處正圓明。唯佛相好處正圓
明也

問。今宗意。可觀內證眞實功德。何想三十
二相等耶　答。想相好則是想內證也。所
結印。如來無見頂相也。諸相中最爲第一。
手作此印。諸相悉具。心想相好。一切功德
悉備。從內證眞實法身所顯相好海也。法
身卽相好也。相好卽周遍法界功德也。若
執色相。唯見相好。是可行邪道文
止觀一云。深達罪福相。遍照於十方。微
妙淨法身。具相三十二。一々相好。卽是
實相。々々法界。具足無減文
弘決二云。智稱法身。故名深達。卽指法
身。爲諸相本。故云法身具三十二文
教時義一云。釋尊出世應輪王相。故具
三十二相。世間皆知佛具三十二相。隨
此世情。三十二相以爲佛相。故示衆生
身中佛相。多云三十二相。又說法身相
好。亦〇三十二相云文
問。從烏瑟頂至輪趺一々細觀之歟。然者
初心行者觀力難及如何　答。只豫可想。
相好莊嚴身。三十二相八十種好。細觀尤
有煩。但眞言行人。於前時廣披經教。普達
相好者尤宜。始向此文者觀行甚遠歟
或云。問。下蓮金二部。想觀自在金剛手菩
薩。何至佛部。不擧其名耶。答。佛部擧總爲
顯如來悲智。尤觀音金剛手歟。但念誦結
護法佛部文云。常想釋迦尊文云々
　誦眞言七反文
一三五七九是陽數也。此中七是陽數極
也。故取此數也。九是三々重數也。故云重

陽。非單數也。又隨眞言字數。用三五七反。
上（已下三十字）三反。中（已下三十字）五反。下（已下十五）七反云々
三陸云。或人云。三部聖衆皆是如來四種
法身。從此法身出三密加持。今顯彼能發
之四法身所發之三密。故用三七反也文
　所有罪障皆得消滅。壽命長遠。福慧
　增長文
問。壽命長遠者。壽命千秋歟。福慧增長者。
世路調屋歟　答。壽命一得永不失。金剛
慧命福慧過恒沙功德。如虛空智慧也。然
而又隨人樂萬歲算。七珍貲何不成耶。佛
教常習事理兼備者也。法花云。現世安穩
後生善處。可思之云々
　生々世々離諸惡趣文
問。縱雖生善趣。未來永々流轉。非速疾頓
成之本意耶
答。經教常說也。爲云永離惡趣也。於菩提
遲速者。可有念力之淺深也云々
　蓮花部三昧耶印
生義云。此部以譬爲名。蓮花雖在泥水不
染塵泥穢水。以譬菩薩雖住惡世而不染
煩惱也。印相從名作之。卽開八葉花之勢
也。花雖有多葉。今取八葉者表四德四行。
皆由清淨而成也文
　想觀自在菩薩相好具足文
觀自在菩薩蓮花部々主故觀之云々
三陸云。觀自在者。有深重願。不捨衆生。常
遊穢惡世界。堪度衆生。得大慈悲名〇以
是可爲菩薩本行。所以爲蓮花部主云々

觀自在菩薩等持蓮花者。一切蓮花
部聖衆文
問。文殊取劍。虛空藏持寶珠。猶可云持蓮
花者耶　答。以大悲拔苦義。何不云持蓮
花者。況虛空藏寶珠置蓮花上。文殊又持
青蓮花。凡一切菩薩所持多不離蓮花。是
大悲利生意也。但○不可求所執蓮花。可
爲事大悲利益。楊枝淨水像豈非觀音耶
於頂右散文
以三部當三處。佛部最上義故頂上也。蓮
部隨衆生萬品施利益。是右運用自在義
也。金部堅固不可動。是左屬定之義也云云
三陸云。佛爲尊。是故爲中央。餘部圍繞之。
一切衆生有邪正二事。是故如來現二種
身。一於趣正者現正法輪身。卽蓮花部慈
悲形○也。二於○邪者現教令輪身。此金
剛部威猛忿怒形是也。而右是准正。左是
喩邪。是故蓮部居右。金部左云云
一切菩薩當爲善友文
問。上佛部證無上菩提云。今菩薩爲善友
如何　答。只是擧各各印明功力也。非云
證究竟菩提之後歸下位云云
金剛部三昧耶
私云。從喩立名也。金剛堅固利用之義。能
摧怨敵。以譬如來大智能破煩惱怨敵
如金剛杵形文
金剛有多種。一古二古三古四古五古等
也。此中印土風。以三古戟戰具中爲最。故
用三古印也云云

或云。烏瑟沙摩軌說金部印云。如十股金
剛文　今師說三古云云　彼十指總譬金剛
杵。今左右三指譬三古也云云
三陸云。有三種杵以配三部。謂五古杵五
智所標。是故佛部所用也○獨古杵是中
道第一義所標也。菩薩好中道。是故以此
杵爲蓮花部所用也。三古是三德祕藏所
標也。從意而生。是故爲金剛部所用也。皆
堅固利用之義。故通名金剛也
想金剛手菩薩文
金剛手是部主也。普賢菩薩從佛受得金
剛杵名也云云
金剛部衆文
金剛手等持金剛者。并不動降三世等忿
怒尊也。但不動胎藏佛部使者也云云
問。帝釋等持金剛杵。又是金剛部聖衆歟
答。大教地藏悉心不入之歟。以如來所證金
剛智爲金剛部聖衆。釋天雖持○只是爲
禦修羅兵也。異金剛手等。但行者修諸天
法。猶可屬金剛部。崇釋天之時。降伏無明
住地修羅。顯現法性眞如智慧之意忽忘
云云
生義云。問。部者是聚義。聚者行位同者總
集爲一衆云云　爾者此三部諸尊云何集
於一身頂上。若廣多集遍滿虛空。無能容
受云。何結界衆無量故。若一尊現不可名
部。如何觀察耶　答。有二意。一者一切聖衆
集於一頂。以不思議神通方便令此境界
不增滿。乃至入芥子中不可遍從也。二者

一功聖衆功德。各攝在一尊。謂一切如來
所有因果功德。皆攝大日一身。一切菩薩
慈悲皆攝觀音一身。一切執金剛自在威
德皆攝金剛手一身也。是故意密之文出
一尊功德之文兼一切。是其意也云云
一切痛苦不著身文
罪障消威無明痛盡。法性理顯。得常住體
也。故次下文云。當得金剛堅固之體文
護身三昧耶印
上三部印蒙諸尊擁護。今印明自身被金
剛甲冑也云云
生義云。被精進鎧。住菩薩威儀也○又由
三部加持故。既得消除身口意內障。次須
臾被法性光明甲冑。消除外障也。內障是
罪業。外障是天魔等也文
無量壽軌云。遍緣一切有情。願皆被大慈
悲莊嚴甲冑。速令離諸障難文
印身五處
三陸云。身中五處最爲重處。是故加持之
文
擧身最要處。印此五處。遍體著甲冑也。又
大國著甲冑。結諸處歟云云
私云。後義不明。印五處多之。何皆被甲
義耶
問。上三部印各諸尊總印也。今印主何尊
耶　答。只是護身也。強不可尋其主。但重
問之云云　後日云。軍荼利印明也云云
卽成被金剛甲冑文
以三古作甲冑著。可想也云云

結地界眞言印文
打界也。爲令地堅固也。故下功能文云。如
金剛座文
帖云。問。地結印心何。答。以橛打入地。故其
地即堅密也。如樵客縷束之。木更打入一
兩枝等更堅密耳
印成火焰金剛杵形文
有火炎金剛杵也。是則金剛橛也。以之打
地也。以大指著地。掣之此意也云々
隨意大小標心文
隨行者心力。有結界廣狹。一由旬乃至一
丈等也。但相承說云。隨道場間數可結界
之。若及道場外。諸魔怖之。不自在遊行○
者致障礙。初心行者。尤可愼之。觀力纖難
淺。印明功力不思議。令魔恐怖云々
帖云。結界之時。若擅越之家。若○一家之
內結之。若自行等者。若一房。若一間結之。
而於其中觀法界曼荼羅。皆圓備如淨名
之室也。而長魔事。故狹結之佳矣文
文云。我主宅之內。有何違者耶。故家內房
內任意結之無憚也。而極廣結界。七重結
界云々。不過之云々
攝眞實經下云。釋迦如來說曼荼羅道場
儀軌。廣狹大小有三千五百。第一道場一
千由旬。是金輪聖王持念儀軌。次有五百
一百五十一十。如是漸小乃至掌中爪甲
之最。建立道場。皆獲悉地文
下至水際如金剛座文
生義云。水輪上有金剛座三億由旬。其上
有九大山八大海四大州。而山入○至金
輪際量八萬由旬也。又四州地與八海上
等。是故下至水際者。金輪隔地三億八萬
由旬也
問。徹世界底者。可云風輪際。依俱舍等者。
可云下據金輪。何云水際耶　答。水際者。
水輪上也。故不違下據金輪乎。或又堅固
事譬金剛座。何必同下據金輪文云々
無量壽軌云。下至金剛輪際。成金剛不壞
之界文
步擲軌云。下至金剛際。悉如金剛座文
生義云。金剛座者。成佛之處。在中天竺摩
迦陀國菩提樹下。有堅固力。能持此故成
佛時○坐此座云々
方隅金剛墻眞言印
結界也。四方迴立。成金剛墻也
想印金剛杵形
准大教三鈷杵其互鉤繞立也云々
帖云。金剛墻之形云何。答。周圍立三古金
剛。而般々相連。如杵道界也。或高大三古
立周。或衆多三古。亞連。或只堅固之墻也。
如築墻等
生義云。想印金剛杵形。是四方墻。各角有
金剛橛々形○獨古杵也。開二大指。竪之。
者。表其橛形也。是故無量壽軌中。此印名
金剛橛也云々
右遶身三轉標心大小
生義云。右繞者入正義也文　禾云。又是
法界心也
文云。三轉者。一師云。表三重結界。又一師
云。重切故致三轉。謂無上世尊尙爲慇重。
用三言。況餘人哉。又一師云。人身爲三惑
所纏。不得堅固。是故今對治彼惑。故用三
也○標心大小等前地界廣云々
諸佛菩薩尙不違越。何況諸餘難調
伏者毘那夜迦及毒虫利牙爪者文
印明功力不思議。諸佛無礙通力。猶不越
之也云々
生義云。引大敗小也。敗小者。除三種魔。謂
天魔常隨魔地魔也。難調伏者。天魔摩醯
首羅等也。毘那夜迦者。此云象鼻。是常隨
魔也。天地魔有來時不常。而是毘那夜迦
恒常隨逐一切有情。是故名常隨魔。外人
所呼荒神是也。毒虫利牙爪者。是地魔也。
有十二齋三十六禽獸等。是皆利牙爪者
也云々
行者次應想於壇中文
生義云。祖師名道場觀。爲聖衆集會。故名
爾也云々
水壇上可觀○也云々
帖云。師傳云。壇中者。非所造拔等壇。是則
金輪壇也。如云阿字金輪壇也。而於所造
壇上。觀花座樓閣等者。本尊坐高遠。行者
處底下也。故今可觀金輪之壇中大蓮花。
上有師子座。上有樓閣云々。然猶文異意
含。謂金壇上有大海々中有寶山々上有
大蓮花々上有師子座々上有樓閣可觀。
其大蓮花臺即花藏世界也。行者即住其

臺上師子座前文

生義云。問。此法行儀皆用三密。而何此觀無印眞言。答。三密不闕。而今以觀法爲旨。故不明印。但師傳云。用定印。多觀故云々

又一師云。觀後有偈頌。々印與合掌相應。而則前用入定印。後改作合掌。似別異。而以頌爲此行口密。是故先作合掌印。次作觀法。不改合掌。而誦偈也。是故成就三密也文

而誦此偈文

生義云。後師以此偈名三力偈。力字有三故也。案云。由行者本有功德力。故蒙如來加持力。然法界力相應作諸供養也文

我所修功德力。如來所說印明加持力。法界法爾自然體力。以此三力所觀置道場供具。如觀想皆成就也。第四句無量壽軌。願成安樂刹文准之隨本尊願成靈鷲山等。可改也。若本土不憶本尊如文頌之。若供養觀世音等可頌云々

帖云。而住云々。謂我觀念一々莊嚴供具等不散失。不似想成就住斯意也。此偈猶呪願意也文

問。此偈有梵語耶。答。有之者。何不唱梵語。若無之。眞言教源起西天。何始作其頌耶。答。傳譯聖者隨意樂加之無。答。尙本朝先達加之例非一。但今偈可有梵本。爲令知三力之心。翻之也云々

示云。大日經悉地出現品云。以我功德力。如來加持力。及法界力。周遍衆生界文

（甲本異本曰。又第七卷有普通所要文）

問。眞言教法。結印誦明例也。何用偈耶

答。偈又眞言也。是呪願文也。今法中懺悔。普來偈其類也云々（甲本異本曰。不云金光明經辨天品以偈爲眞言云々）

蘇疏六云。偈卽眞言文

大虛空藏普通供養印文

普遍通至供養。故名普通供養云々

生義云。以觀〇行者恣自作也。而不知成不成。是故更依虛空藏菩薩加持。令前〇所觀必定成就也〇此菩薩福德智慧功德力故。亦於一切諸佛世界。雨諸供養雲海〇諸佛。故名普通供養文

無量壽軌云。繼觀念力微。由此印及眞言加持力故。諸供養物皆成眞實

誦眞言四反文

入師云。表四而供養也云々此說不叶心。爲演四而供誦四反。何云所表耶云々

帖（同了）四反者。謂身（行者身也）佛（所懸佛也）壇（壇上所觀佛也）（若所布茶羅也）空（諸廂空也）此四處皆曼茶羅成故。四反誦之。輪壇印々。身佛壇空皆如成曼茶羅也文

生義云。四反者。爲成以前四種觀法也。謂四種者。大壇寶座樓閣及諸莊嚴具等也云々

寶車輅

玉篇云。輅大車文

白虎通曰。輅者正也。人君之正車也。詩註云。人君之車曰輅。是也云々

七寶車輅金剛鬘御寶車乘空而去於本尊世界文

金剛者。師說云。軍荼利明王也。是則御車也云々

問。諸尊法悉以軍荼利爲御車歟。又修軍荼利法之時。其御車如何。答。悉地中。以軍陀利爲辨事。故雖修何尊。同用之。修軍荼利之時。御車更問之。依大教心。雖修軍荼利。尙不用別御車。又隨部隨法。辨事不同。或以使者爲御車。不動二童子等類也。若不云其眷屬者。但以自部眷屬爲御車云々

帖云。金剛鬘御。謂悉地之意。軍荼利也。猶隨尊隨法可改之。如佛眼日月曜等鬘御歟。如不動二使者鬘御歟云々

生義云。金剛鬘者御〇也。用三部使。謂若佛部行用不動尊。若蓮花部行用蓮花軍荼利。金剛部行用金剛軍荼利也云々

請車輅

先送車輅於本土。本尊乘之住空中。今請彼車輅。令住道場空中也

請本尊三昧耶降至於道場文

本尊下從車輅降至道場也云々

三隆云。既雖本尊來。而住堂外虛空。不入道場。此卽有結界三昧耶故。不妄入也。上文云。諸佛菩薩尙不違越文是故本尊要更應待行者之許請也云々

問。云本尊三昧耶文意如何　答。本尊發誓願。召請我必來至。指其本誓。云本尊三昧耶。故下文云。不違不越本誓。故卽赴集於道場文

問。印相何物形耶
答。或師云。瓶形也。瓶中必水。是大悲義
故。爲蓮花部心云云。此義雖用佛金二部。
其印相同之。但以大指爲異。然者餘二部。
又可有大悲水義歟。如何。此印相以義作
之歟云云
生義云。印相以義作之。內叉者內是不顯
露貌。即表冥義。相叉是不離散貌。即表合
義。此是法身如來理智冥合標幟也〇若
佛〇以二空向身招之。表諸佛以空々現
形也。若蓮花部。左大指入左掌。以右大指
向身招之。此是掩左道空計。而立正道妙
空。是菩薩大悲方便也。若金剛部。右大指
入右掌。左大指招之。此是佛菩薩隨衆生
意作利益。故祕順慈體。更現逆忿怒之標
幟也云云
問。軌唯出蓮花部心一印明。或本出蓮花
部一印三部眞言共出之。如何。答。勘正
本唯出蓮花部心明。是順如意輪軌也。或
本傳持者。書加佛金二部眞言。是爲宛諸
尊通行也
問。然者何印相只出一部耶。答。雖須出
三部心印。以眞言自印相可知。故略而不
出之歟云云
次應辟除諸作障者。結蓮花部明王
馬頭觀自在菩薩眞言印文
生義云。本尊來時聖衆皆發來。聖衆亦有
所從聖凡皆俱。凡中有未悟者有作障者。
是故招聖應內結界內上凡可令在結界

之外。所以令用明王印等。辟除作障者也。
三部各有忿怒明王。蓮花部馬頭明王〇
印相馬頭形也。有法名馬口印。是大明王
噉食無明諸障。謂破摧衆生諸恐怖。謂如
大馬口〇呑衆流。表示此。故頂現馬頭云
々
仁王般若念誦法 不空 云。即能辟除大力
諸魔。隨佛菩薩隱顯者遠去文
用蓮部辨事馬頭。順如意輪軌也云々
上方金剛網印
生義云。先既雖結方所。爲奉請招入本尊
故暫〇不結上方。而今已請本尊。擇入聖
衆竟須結上方云々
帖云。金剛鉤欄者心何。答。謂是金剛網也。
其網多々。三古金剛各々般々。相鉤連鎖
如網耳故云也文
網形以三古作之。故云金剛網。爲防虛空
障難也云々
無量壽軌云 乃至 他化自在天不能
障難文
問。上方張網事。西天風俗歟。將淨土儀式
歟
答。淨土有之。小阿彌陀經。七重羅網。本願
藥師經。軒窓羅網等是也。忉利天有之。此
云帝網。大梵天有之。此云梵網。西天宮殿
上必有之。本朝禁中張之云々
火院密縫印
金剛墻外更作火院。密縫者。無隙之義也。
儲城郭如掘池溝。院怛也。諸魔爲怖畏事。

不可如火炎熾盛云々
獻阿伽香水眞言印
閼伽梵語也。此云樽淨
又云圓滿器
此則器水入滿獻之。我心願圓滿義也。印
度風俗。其國暑熱故。人行步之時。塵汚其
足。則結病因。故客欲來之時。水設門前。令
洗其足。准此義奉閼伽也云々
生義云。閼伽飜爲無濁。是淸淨義。香水者。
香有普義。水有淨義。所以然者。普遍淸淨
之義也云々
（圖注）求十一面軌中云。閼伽口隨四種事。並設四色花文
閼伽入香浮花事
蘇悉地軌云。滿香水。隨其部類。而浮諸花文
法花軌云。泛時花。并著小許鬱金文
帖云。閼伽浮花事。或是水莊嚴料也。或是
浴池水也。故池中蓮花表也。撿文殊八字
軌。閼伽觀云。心想寶池中蓮花若苕花開
云々。持口爲令水有芳芬也 香等亦加入 而表說
云。水中沈花。洗浴時蹲彼花。洗足坐彼花
沐浴也云々
義釋云。樽捽水西天之法者。取集花。木漬
經宿以其汁水。令沐浴也。依此心閼伽水
入花也文
悉達太子六年苦行後。請牧牛粥了。於尼
連禪河沐浴。給時。諸天雲集。長壽天擡先
佛沐浴儀式。指妙花浮河流。莊嚴菩薩沐
浴。是閼伽水浮花源也云々

佛本行集經云菩薩受牧牛之乳糜已到尼連禪河○澡浴身體之時虛空諸天以種〻末香○種〻雜花雨水上文

獻蓮花座印文

生義云本尊浴足已須著座是故有獻蓮花座云〻

問大教中有三部花座印明今何唯出蓮部乎

答且順如意輪軌也具在各別印謂佛部開敷蓮部微敷金部六葉印軌在立四葉用之

但又通用八葉之意在之文

問聖不動坐盤石大威德乘水牛修此○等印尊之時同用花座印耶　答由結誦八葉印明功能成隨類座各受用之可見法花軌云〻

法花軌云獻花坐印○卽從此印流出無量寶師子座并蓮花座金剛座種〻諸座佛及菩薩一切聖衆各隨所宜悉獲得殊勝之座文

生義云三部衆中或有處月輪者或坐蓮花坐七寶師子座者或肅空爲座者或寶衣爲座者或坐水上者或居山峯者或坐盤石者或坐禽獸者如是種〻由往昔誓所坐不同而今行者通以蓮花爲尊座者爲自身出穢濁中得淸淨身也又如世人各於私宅所坐之座雖異若人儲一色座請諸異人受請來著彼處所施座今亦如是諸聖所居之處其座雖異受行者請來著之時不嫌蓮座也一師云諸尊不捨本

物皆成雲海雲者忽然普周之義海者深座更坐行者所獻蓮花之上也云〻

尊決云○大日諭佛坐蓮花給所以明劫初光晉天下生時坐千葉蓮花佛應同彼故坐蓮云

普供養文

生義云閼伽花坐是但來坐時之儀非正供養本尊安座已須修正供養○諸供養廣利益之義也夫聖衆不耽世財唯悅信敬離諸貪愛破諸疑故若起信敬歸依者雖乏少供而諸聖同時納受文

建長三年八月十九日草了

弘安二年正月三日書了

爾然

延慶三年六月十四日於參州實相禪寺賜御本書寫了

執筆　政賢

興國三年仲冬二十三日書寫了

同日夜一交了

于時應安三年庚戌五月六日於濃州可兒郡伊賀尾觀蓮寺金剛院書寫了

右筆尾州智多郡枳豆志莊尊讃寺住侶金剛佛子金然無極惡筆任本如形書了比興〻〻一交了

于時承應三甲午三月三十日書寫了

筆者河原森善祐六十七歲

舜興

元祿十六年初冬十四日書寫訖叢仰

右筆松安七十五歲

兜率谷雞頭院闍梨法印大僧都　嚴覺洪道

享保九辰年同午年於出雲寺書寫校合了

阿娑縛抄第四十　護摩記（本 未行用）

一。莊嚴壇場

先北壁懸本尊（且依息災。若增益東。若降伏南。若敬愛西。若鈎召西北方）

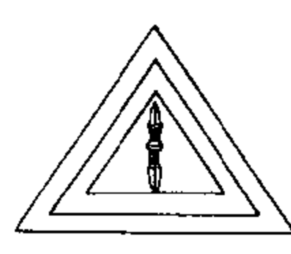
次其前立壇（方六尺）

次塗爐　壇中寄前方穿爐跡穴（前方外緣外立鈴畫珠杵釈也）其下置爐桶。取土分二。一分滿爐桶底。一分作泥（和紙拌灰）塗爐（爐樣隨法異。具如左圖）其爐有二緣（各闊四指。高二指）內緣高外緣下

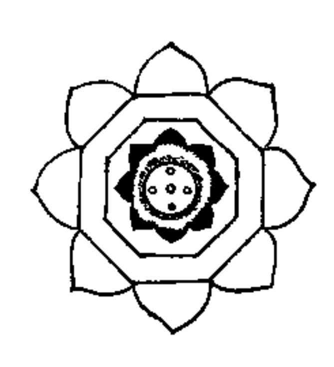
息災

增益（延命之時外緣上畫甲胄形）

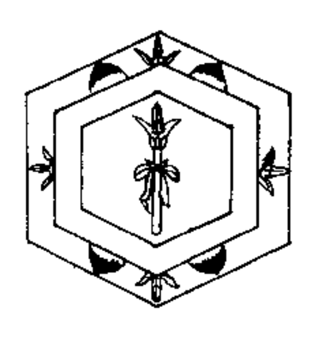
降伏



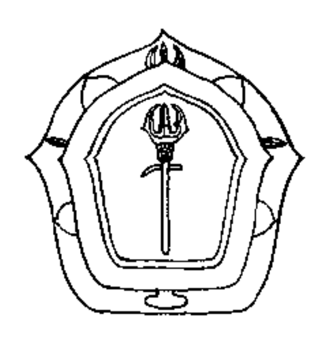
敬愛（略時外緣八角縫之其上畫八葉形）



鈎召（大師將來樣）



鈎召（瑜軌爐谷樣也）



塗爐了掃壇。以香塗爐上。而後阿闍梨（若奉行助修）登禮版。先爐底畫輪等（以木畫之）

次加持壇

誦佛慈護幷地天明。以杵加持塗壇。又裹五寶五藥五香五穀。各別四裹入土器覆蓋。以紙捻十文字結之。加持壇下爐桶奧隱置之

㊟寫本云。我師大聖主是義如是說。右手散舒。掌向下。自前方摩訶迦羅娑波訶。右手取辮拂之。明曰。祖仡羅賀擎耶。

次金剛輪印明

次以橛打壇。四角先到東北角。取橛（以右拳取之。大指末向橛木）誦地結明打之。次東南。次西南。次西北准之

次以標立前方左右

次引五色絲。始自東北終于東北。拧橛頭右一纏順引之。又隨標舉線（甲本異本曰。唐決云。右轉者逐日而轉云々）

次以壇敷自東北引廻之

一。辨備供具

先壇上閼伽。塗。花。燒。瓶。燈。自東北右旋布列之（如常）以灑水嗽口器置爐左（嗽內灑外）右方閼伽塗之間置。○香爐（各加散杖。加自行時香爐置之）前方置鈴杵。

外供　初夜不備之後夜粥八杯備之

一面各二杯　日中飯。汁。餠。菓。各八杯（自端次第置之）

左机

房花（三十四房許）散華。乳木（下七木七木四把末爲奥上三木三把末爲中與三）

十六木三把末爲外　雜香。塗香（行人所用）置之

右机

若降伏者。鐵末稻穀等

若敬愛。花箭

若延命。骨婁草等置之

油粥。飯。生穀。鹽（已上外方）

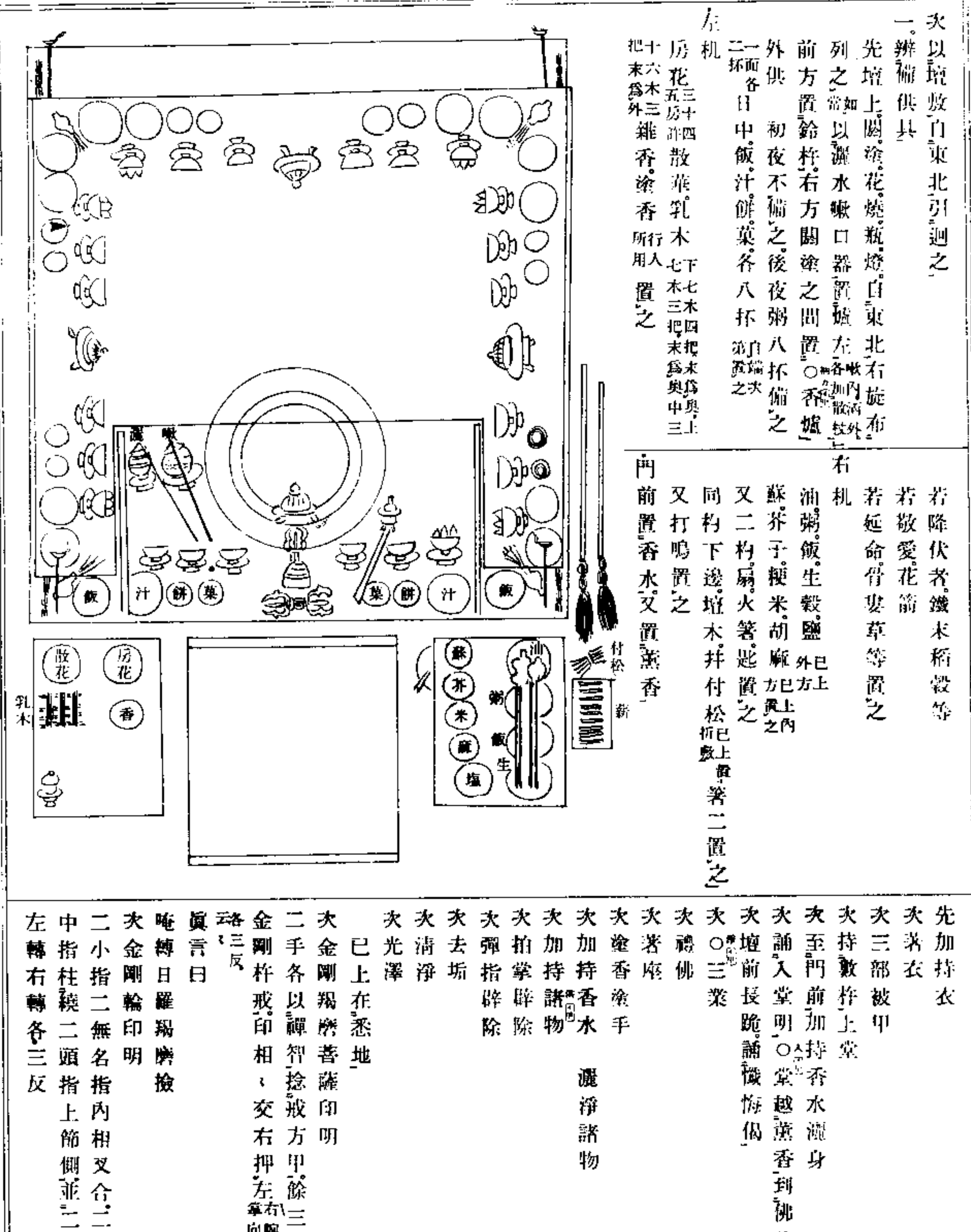
蘇。芥子。粳米。胡麻（已上內方置之）

又二杓。扇。火箸。匙置之

同杓下邊。壇木并付松（已上折數置）著二置之

又打鳴置之

門前置香水。又置薰香



先加持衣

次著衣

次三部被甲

次持數杵上堂

次至門前加持香水灑身

次誦入堂明○（入堂云云）越薰香到佛前

次壇前長跪誦懺悔偈

次○（普禮）三業

次禮佛

次著座

次塗香塗手

次加持香水　灑淨諸物

次加持諸物（普印）

次拍掌辟除

次彈指辟除

次去垢

次淸淨

次光澤

已上在悉地

次金剛羯磨菩薩印明

二手各以禪智捻戒方甲。餘三度開竪如金剛杵。戒。印相、交右押左（右腕向上左腕下也。右掌上左轉右轉）

各三反云云

眞言曰

唵縛日羅羯磨撿

次金剛輪印明

二小指二無名指內相叉合。二頭指竪。二中指柱。繞二頭指上節側並。二大指直竪。

左轉右轉各三反

那莽娑底隷也儞尾迦難薩縛怛他蘖多
難闍尾羅而ヽヽヽ摩訶作訖羅縛日哩
薩多ヽヽ娑羅帝ヽヽヽ怛羅以ヽヽヽ
尾陀莽寧三件若寧多羅莽底悉陀訖隷
怛藍莎訶
次啓白神分等
次供養文
次唱禮
次驚覺
次九方便
次發願（有同伴者發之 無伴者不發）
次供養法乃至念誦（大日眞言百反 護摩本尊眞言百反 本尊眞言百反 護摩眞言百反）
護本尊眞言部母眞言也
五種護摩眞言。ム勤瑜軌云
息災　唵薩縛播波娜訶那縛日羅○
　　　娑縛賀
增益　唵縛日羅補瑟吒曳娑縛賀
延命　唵嚩日羅喩曬娑縛賀
降伏　唵吽縛日羅藥怛○
鉤召　唵縛日羅羯哩灑耶弱
敬愛　吽縛日羅吠捨耶弱
念誦了後。念珠入合掌中祈願所求事
此次不○知人不動刀印辟除結界
祈願了。次右手持珠杵（珠顆指已下三指握之不離也）治左
袖（袖捻取也）左手取鈴壇左方角香飯○間內
方立之
次同方閼伽塗香器取重之。同方花鬘器
上重之

次取同方外供菓子。及閼左方內供閼伽
塗內閒
次取餅置前菓子邊（已上左手）
此間承仕取已前火舍已右方香飯二
坏間內置之。又取重閼塗器花上
次以燒香指遣承仕ヽヽ取之。右方角香
飯二坏內方置之
次同方取重閼塗器。重同方花器上
次同方外供取餅器。指遣承事。ヽヽ請取。
已右方花器內方疊置之
次菓子如前
此間承仕已前外供餅菓取之置先所

傳餅菓內邊
次行人以香爐右方汁次橫置之
次以二杓香爐與油器打度之（大小左右）
次取重胡麻粳米芥子器。以芥子壇前端
中置之。以粳米置芥子左。以胡麻置芥子
右（已上右手）
次以花置米左（房花內 散花外）
次以香置米內方
次以乳木三把（七木）置胡麻內方（已上左手）
次以蘇置芥子內方（右手）
此間承仕取油器粥器飯器生穀器鹽
器置爐右邊　又推直箸扇等。取儲薪

∴火天壇（念大）
可成火天即大日想。此火即大日智火也云云
先積木
取一枝置爐內左方。又取一枝置右方。又取一枝橫置前方左〇（右イ）木上（如三角形）。次又取一枝。如前置三角上左方。次一枝。次一枝並置之（左方已上四枝也）。次又取一枝。置右方。次一枝。次一枝。次一枝（已上右方四枝也）又一枝橫置前方。又一枝置左方。又一枝置右方。凡十四木如三角

下　中　上
一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四

私（イ本）禾云。承仕指出一枝（下線）行人以著取之。置爐〇略時（左次々則此イ本）以手積〇（之イ本）（帖云。護摩薪以手積之可也云云）
次承仕以松付右方爐火。指入爐內（自線下入）
之成自右机上捧
次行人先以杵加持。次傳取松火〇（先イ本）爆解蘇。然後指入積木下
次淨火　右手取散杖。灑火上（三反）
唵阿密哩帝吽發吒
（水底觀〔梵字〕字。諸離染不可得義。水上觀〔梵字〕字。諸法言說不可得義也）
次扇火　以扇々火也（依火多反。若三反。若以杵加持之。兩說）
唵步入縛羅吽
（扇上觀〔梵字〕字。若用杵者杵端觀之）

次右手取房花一房。誦明投火上（想此花於爐上成荷葉）
次合掌誦偈（先金合觀想火焰中荷葉上有〔梵字〕字。變成火光尊身。色赤黃。三目四臂。遍身火焰光。已上建立文。右第一手施無畏。第二手持珠。左手仙杖。第二手執軍持。已上瑜伽文）
觀後誦偈
我今稽首請　火天上首尊
天中之大仙　梵行所崇德
唯願降臨此　納受護摩供
次召請印明
以左手握右手腕。右手舒掌向外。屈禪度橫在掌中。進度如鉤。來去招之
唵阿哦那曳々醯呬（依胎藏瑜伽文明多故存略）
次四字印明
如降三世印。先二地相拘。次二風竪屈如鉤形。念〇（佛イ本）即誦弱字（鉤召義）。次進力末互交。頭相柱。念索即誦吽字（索引義）。次進力互大相拘交。念鎖即誦鑁字（鎖縛義）。次二腕相合振之。念鈴即誦斛字（鈴喜義）。次嗽口印明。右手取散杖。灑火上（三反）
唵縛羅娜縛日羅曇
次取杓法
定羽持珠杵。重把大杓（先取右手移左也）舒風添比大杓。慧羽取小杓。又舒風指添比杓。左右二杓頭相交（小下大上）。當前。如三角火體即杓
觀（又名內護摩觀）
三處同一體　大壇即護摩
護摩即己身　己身即火天
火天即大日　身口意和合
三平等無異　具足於三身
量周遍法界　不生亦不滅
離言々々相　生與於無生
無非大日尊　觀於阿字門
入於猛利智　周匝成光焰
持刀及羂索　焚燒業煩惱
當想遍身中　流注白甘露
灑於十方剎　熱惱諸衆生
滋長菩提芽　次第生諸字
〔梵字〕　變成五輪塔
塔婆即大日　大日即火天
若略觀者
觀想火天三密爐三密我三密三平等無異也。若為他人修者。以檀越屬我（依師傳出之）
觀了。次舒大杓打懸油器緣。以小杓酌油入大杓三反。即捨小杓。取大杓誦火天明。入供火中（小杓口入之云々）如此三反。次捨大杓。以小杓三反入供
（瑜云。想火天口從心遍身中流出無量塗香雲花雲燒香雲飲食燈明種々供養。一切世天緣覺聲聞及一切諸菩薩云々文。護摩物通用云々）
次粥三反　次飯三反　次生穀三反
次鹽三反（已上小杓三反供了。捨杓）
次以右手供房花三反
次七木一把（以兩頭揾蘇蜜先末後本。已下諸段准）
次芥子七反
想。此芥子入火天口。至心蓮臺。變成無量諸金剛杵。從一々毛孔流出。普遍供養十方世界無量無邊諸佛菩薩及以一切諸忿怒尊。此金剛杵即遍十方一

切世界轉自他頂我及衆生嗔恚煩惱
并瞋所造一切罪業皆悉消滅一切怨
結悉皆如解（以此爲降伏相應物依師傳并相承文取意出之）

次粳米七反
觀想此粳米入火天口至心蓮臺變成
無量如意寶一一毛孔流出普遍供養
十方世界無量無邊諸佛菩薩此如意
寶卽遍十方世界轉自他頂我及衆生
貪欲煩惱并貪所造一切罪業皆悉消
滅皆獲盛富貴延命（以之爲增益相應物依師傳并相承文取意出）
之

次胡麻七反
想此胡麻入火天口至心蓮臺變成無
量光明輪從一一毛孔流出普遍供養
十方無量諸佛菩薩此光明輪卽遍十
方一切世界轉自他頂普照身心我及
衆生愚癡煩惱并癡所造一切罪業皆
悉消滅無量災難咸皆消滅（以此息災相應物依師傳并相承文出之）

次香三反（瑜祇通觀已上畢）
次大杓油三反（已前供養皆用火天明）
次合掌祈願　次嗽口（如前）
次投房花（爐奧東南方）
次發遣印明
結召請印以禪度捻戒度三度撥之
唵阿哦那曳驃車ゝゝ
∴次曜壇（念佛眼）
先淨火（如前）　火扇火（如前）
次投散花於火中（二十枚許用曜明）

次合掌誦偈（先觀想爐中心在佛眼尊其周圍有九曜字ゝ變成九曜各菩薩形持蓮花ゝ上有星形其外又十二宮圍繞種ゝ尊形如曜）

寶瓶
魚宮
青牛
牛宮
男宮
螃蟹
師子宮
女宮
秤量
蝎宮
弓宮
摩竭
木
金
土
羅
計
日
月
火
水
佛眼

我今稽首請　佛眼部母尊
七曜十二宮　唯願降臨此
納受護摩供

次召請印明
合掌二風空端一所捻之共召之（風只許二）（召之召者空風相著也云ゝ）
唵驃羅醯濕縛里耶鉢羅跛多而喩底
摩耶曳醯咽
次四字印明（如前）　次嗽口（如前）
次以小杓酌油入供火中三反
次粥三反　次飯三反　次生穀三反
次鹽三反（已上小杓）
次以手投房花三反　次七木一把
次芥子七反　次粳米七反

次胡麻七反　次香三反
次小杓油三反（已上曜明供之又諸物觀法准火天壇）
次合掌祈願　次嗽口（如前）
次投散花四方（私云只爐奧方投越之也）
次發遣
前四字印舒二風發之眞言曜明末加
驃車ゝゝ句
∴次宿壇（念釋迦）
念釋迦者一字金輪是也釋迦須彌○
成道之時諸天敕令身也云ゝ
先淨火（如前）　次扇火（如前）
次投散花火中三十枚許（用宿明）○
次合掌誦偈（觀尊）（先觀想爐中心在一字金輪二十八宿自東北角右旋圍遶種子尊形如曜）

角亢氐房心尾箕
斗牛女虛危室壁
奎婁胃昴畢觜參
井鬼柳星張翼軫
一字金輪

我今稽首請　一字金輪尊
二十八宿衆　唯願降臨此
納受護摩供

次召請印明

右手以空押地水甲舒風火召之

唵諾乞灑怛羅濕那儞曳翳醯呬

次四字印明（如前） 次嗽口（如前）

次小杓油三反 次粥三反 次飯三反

次生穀三反 次鹽三反（已上以小杓供之）

次房花三反 次七木一把

次芥子七反 次粳米七反

次胡麻七反 次香三反（已上以手供之）

次小杓油三反（已上用諸明物觀法如前）

次合掌祈願 次嗽口（如前）

次投散花四方（只爐奧方投越之）

∴次本尊壇

禾云。取乳木三把（三十六木）置壇上

先積木（如火天壇）

若十一枝

下 一 二 三 上

若七枝

若三枝

若一枝 可依火勢

次淨火（如前） 次扇火（如前）

次二房花投火中（本尊明）

次合掌誦偈（觀尊可想爐中奧方大日尊前方在本尊二尊向行者坐。種子三形隨尊異）

我今稽首請 本尊ム甲尊

唯願降臨此 納受護摩供

次奉請印明

二手合成內拳以慧風召之

曩莫三曼多沒馱南阿蘇縛怛羅鉢羅

底詞諦怛他蘗黨矩奢冐地漸哩也鉢

哩布羅迦娑縛賀（或用本法勸請明。或本尊真言末加曳醯呬句）

次四字印明（如前） 次嗽口（如前）

次取杓法（內護摩觀如火天段。祇火天段本尊）

次大杓油三反。小杓油三反

次粥六反 次飯六反

次生穀六反 次鹽六反○（已上小杓）

次房花六反

若調伏。此次白芥子 次相應物天地

人形 次菲春 次鐵末 次阿世見

次芥子百反（左持數珠記反數） 次粳米百反

次胡麻二百反

次三種物總合一器

先以芥子入胡麻器。空器置本處。次以

米又入胡麻器。空器重前芥子空器。次

取胡麻器重二空器上

次取乳木三十六枚投之

想。麁妄執（此是見思惑也。若約十二因緣又此即無明也）自性清淨。

畢竟空寂。本不生故。又此妄執所生業

果。皆空寂。無有眞實。一切諸法。本不生

故（此即以十二因緣乃至老死為薪也）

次合物五百反（觀法如火天之下用之。輪可加修杵寶）

次乳木三十六枚投之

想。細妄執（此是塵沙也）自性清淨。畢竟空寂。本

不生故。又此妄執所生業果。皆悉空寂。

無有眞實。一切諸法本不生故（十二因緣准前知之）

次合物五百反 次乳木三十六枚投之

想。極細妄執（此即無明也）自性清淨。畢竟空寂。

本不生故。又此妄執所生業果。皆悉空

寂。無有眞實。一切諸法。本不生故（十二因緣）

（准前知之）

次合物五百反 次香六反

次大杓油三反（已上諸物用法准火天段。本尊）

次合掌祈願 次嗽口（如前）

次投二房花（爐奧方投越之。本尊明）

次奉送（如前。本尊明。加解界句末）

∴次諸尊壇

禾云。七木四把置壇上

先積木（如火天壇）

若九枝

一 二 三

初 後

若三枝 若一枝 可依火勢

次淨火 次扇火

次散花投火中（用三部總呪可投之多）

次合掌誦偈（先觀爐中蓮花上有[梵字]三字各變成三部諸尊可想）

[梵字] 金部

我佛部

可蓮部

我今稽首請　三部諸聖衆
唯願降臨此　納受護摩供

次召請印明（大鉤召印如本尊段）
阿娑縛曳醯呬
次四字印明　次嗽口
次大杓油三反　次粥三反
次飯三反　次生穀三反
次鹽三反　次房花三反（已上以阿娑縛明供之）
此復承事粥穀器一口集入飯生穀鹽
殘卽其三空器取重置右脇机（後端外方）又
若燒香置可盛器之
次七木三把（一把誦唵阿娑縛賀一把唵娑縛賀一把唵娑縛賀投之）
次合物百反（三部總呪）
次誦意樂眞言投合物遍數在意
次香三反　卽以香殘加入合物（空器重又房花器之〇）
取房花三房若一房加合物取重指遣承事
承事取之加入合供器（花摘切加之）三合物空
置右脇机（後端內方對飯等空器置之）
次大杓油三反　次合掌祈願
次爲法界衆生護摩
右手舒五指掌向上定拳當腰
特幅娑雛阿毘庾達羅抳薩怛縛馱敎
娑縛賀（有諸命）
卽以小杓油三反投之
次嗽口　次投散花四方（只投越爐之奥）
次奉送（如前明）　唵阿娑縛蘖車〻〻
∴次世天壇

先積木隨時早晩之（若前積薪者可加積若燒廣者可積也）
次淨火　次扇火
次投散花火中（用世天總明）
次合掌誦偈（觀尊想周圍中心有十二𑖪字變成十二天四臂不動尊字變成）
伊舍那　梵天　帝釋　日天　火天
毘沙門　四臂不動　焰魔
風天　地天　水天　月天　羅刹
我今稽首請　四臂不動尊
十方普世天　唯願降臨此
納受護摩供
次召請印明　堅實合掌以二空召之
唵路迦〻〻迦羅野翳醯呬
次四字印明　次嗽口
次小杓油三反（諸天總呪）
次以加持飲食等印明加持合供
加持飲食印明　以右手大指磨中指
甲上彈指三反
曩莫薩縛怛他蘖多縛嚕枳帝唵波羅
〻〻三波羅〻〻吽
須彌王印明　右手竪臂展五指
唵蘇迷盧蘖羅娑耶唵素嚕〻〻娑羅
素嚕〻〻〻娑縛賀
一字心水觀　前印臨食器（觀掌中有字流出甘露）
（乳海醍醐）
曩莫三曼多勃馱南鑁
次取小杓酌供先供中心四臂不動三杓（若殘食總呪）
次東方帝釋一杓
唵因陀羅也娑縛賀

次東南方火天一杓
唵阿哦那曳娑縛賀
次南方焰魔天一杓
唵焰魔也娑縛賀
次西南方羅刹天一杓
唵地里底曳娑縛賀
次西方水天一杓
唵嚩嚕拏野娑縛賀
次西北方風天一杓
唵嚩野吠娑縛賀
次北方毘沙門天一杓
唵吠室羅嚩拏野娑縛賀
次東北方伊舍那天一杓
唵伊舍那野娑縛賀
次上方梵天一杓
唵沒羅含摩寧娑縛賀
次下方地天一杓
唵畢里體微曳娑縛賀
次日天一杓
唵阿儞地也耶娑縛賀
次月天一杓
唵戰捺羅耶娑縛賀
次九曜一杓　前曜明
次二十八宿一杓　前宿明
次諸天總眞言三杓（此外加用合供在意）
次承事以合供器重置右机前三空器
次七木一把（諸天總呪）　卽蘇器指遣承事前
次以念珠念誦百反（諸天總呪）
次小杓油三反（諸天總呪）　卽取重二杓（大小上下）打

懸酥器承油
承事以殘油滴入於小杓以油器右机
與方外對粥飯等器置之
次行人油入火中了以小杓打渡油器與
三重器取大杓承酥
承事取酥器滴入大杓後右机奥方内
置之
行人卽入供火中引杓相雙小杓打渡
之
次金合誦四諦十二緣生滅六波羅蜜等
是苦是苦集是苦滅是苦滅道
無明緣行ゝゝ緣識ゝゝ緣名色ゝゝ緣六
入ゝゝ緣觸ゝゝ緣受ゝゝ緣愛ゝゝ緣取ゝ
ゝ緣有ゝゝ緣生ゝゝ緣老病死憂悲苦惱無明
滅卽行滅ゝゝ卽識滅ゝゝ卽名色滅
ゝゝゝ卽六入滅ゝゝゝ卽觸滅ゝゝ
卽受滅ゝゝ卽愛滅ゝゝ卽取滅ゝゝ
卽有滅ゝゝ卽生滅ゝゝ卽老死憂悲
苦惱滅
布施波羅蜜淨戒波羅蜜安忍波羅蜜
精進波羅蜜靜慮波羅蜜般若波羅蜜
次合掌祈願
次啓謝用普印
所設供具　多不如法　唯願諸天
布施歡喜
次嗽口　次投散花八方爐奥方投越之
次發遣如前
唵路迦ゝゝ迦羅野棄車ゝゝ
次取重花器置左脇机

次以箒掃淨爐前并左方其間諸掃地明
唵賀羅ゝゝ祖佗囉賀拏野娑縛賀
承事同爐奥并右方掃之
次與承事相共列置供物等如初又閼伽
等列置如初
次安置鈴杵并念珠等
次調衣裳　次塗香塗手
次灑淨壇上并供物等取合二散杖灑之
次取珠杵念誦一字金剛輪陀羅尼七反金輪呪百反許
此間承事立去
次念誦了念珠入合掌頂戴置本所
若共行之時頂戴珠之時伴僧見之唱
縛羅吽呪讃後祈願程止之
次入三摩地　次根本印
次部母　次五供養
次普供養　次讃
次祈願
若共行之時祈願　次伴僧〇四智讃
初反阿闍梨同音次一反之間供閼伽
次一反〇之間取杵轉之音終卽振鈴ゝ
ゝ了出迴向方便
次閼伽　次振鈴
次迴向方便結五悔時用五願
次迴向先取香爐頌了又一打乃至一打
次三部被甲等下座

護摩　本

天台海者曰此卷依本記之

先房中洗手嗽口
次加持衣　次著衣
次淨所半跏趺坐三部護身
次持珠杵上堂　次門前灑水
次上堂　次懺悔偈禮佛
次著座　次加持香水灑淨
次加持供物　次去垢
次淸淨　次光澤
次金剛羯磨印
二手各以禪智捻戒方甲餘三度開豎
如金剛杵印相交右押左諸物各加持
右轉三反眞言曰
唵嚩日羅合二羯磨撿引
次金剛輪印明
二手内相叉進力並申直忍願纏進力
初節各以峯相拄禪智並申直當心眞
言曰
曩莫悉底哩也合四地尾合二迦南引怛他
引蘖多引南引暗尾羅而ゝゝゝ摩訶
斫羯羅合二縛日哩合二娑跢ゝゝ娑羅帝
ゝゝゝ怛羅以ゝゝゝ尾馱摩儞三畔
惹儞怛囉合二摩底悉馱儗哩耶怛覽合二
ソハカ
次啓白神分祈願等　次供養文
次唱禮　次驚覺
次九方便　次發願五大願

次供養法乃至念誦或依大法或依本法
先大日眞言
次護本尊一若二十反
吽縛日羅薩怛嚩耶發吒
是降伏眞言也。息災用之。餘降伏敬愛
等可問之
次本尊百反
次護摩眞言
唵薩嚩幡引波娜訶那嚩日羅ソハカ
是息災眞言也。餘壇准知之
次念珠入合掌中祈願所求事
次右手持珠杵。左手取鈴。左方飯二杯間
內方立之
次同方閼伽塗香器取重。同方花器上重
之
次左手持珠杵取燒香。右方角飯二杯內
方置
次同方閼塗器取重。同方花器上重之
次同方外供餅器取之。指違承仕。ミミ取
之。右方花器內方置之。次菓子。次汁塗
閼內方置之
次亦右手持珠杵。次取左方外汁置左方
內供閼塗器內。次菓子
此間承仕已前閼塗器重花器上。次同方
外供菓子先所傳菓子汁內邊置之。此間
行人以香呂右方香飯次橫置之。次以二
杓香呂與呂緣間打渡之。次芥子器置壇
前右。次胡摩器置芥子左壇前中　次粳米器
置胡摩左。次房花器置粳米左。次散花同
左。次以丸香器粳米內方置之。次散香器
同左。此間承仕取油器粥五穀器飯器生
五穀器壇器呂右邊置之。以薪解置右方
机上
已上
火天壇念大日左手持獨古中指懸念珠
先積木。取一枝置爐內左方。又取一枝
置右方。又取一枝橫置前方左右木上
如三角　次又取一枝如前置三角上左方。
次一枝。次一枝。次一枝並置之。左方四
枝了。次取一枝置右方。次一枝。次一枝。
次一枝右方四枝了。左右如交。又一枝
橫置前方。次又一枝置左方。次一枝置
右方。凡如三角

阿娑縛抄第四十一護摩末

∴護摩結願作法末
佛布施讀卷數。右机置之若左机隨便
段ミ乳木皆解結緒。檀蘇一度投之
後鈴之次作居禮佛一打金一度
次讀卷數聊可有意。又所不載卷數具書等如前滿一ミ可讀也　讀了燒
爐火
次補闕分之由啓之〇
自開白之始至于結願之今。致隨分之精
誠。雖勤修。具縛凡夫分段依身故。行法之
間難制餘念。然者經三業亘六根。多所犯
有誤事。仍誦祕密神呪。唱諸尊名號。懺所
犯。充補闕
懺悔印眞言七反丁　出罪方便印明也
金剛輪印眞言七反丁
佛眼印眞言七反丁
南無摩訶毘盧遮那如來丁
南無佛眼部母菩薩丁
南無一字金輪佛頂如來丁
南無金剛輪菩薩丁
南無一切三寶丁
依念祕密眞言唱諸尊寶號。成如法如說
功德了
次神分除久住法
抑日來之間。降臨道場。所隨喜善根。天神
地祇重奉爲法樂莊嚴威光倍增。總神分
般若心經一卷打

次讃分〇（譬者可唱之）
奉爲大師等聖衆普賢行願成就圓滿
南無摩訶毘盧遮那如來丁
次祈願
上從一天君下至于四海民圓滿御願成（如意日行）
就善願
南無藥師瑠璃光如來丁
南無觀世音菩薩丁
伏乞祕密教主摩訶毘盧遮那如來御本（如意日行幷）
尊界會（佛某）三部五部諸尊聖衆外金剛部
金剛天等各還念本誓降臨祕密道場納
受隨方（分國）供具
信心大施（主備子）主息災延命恒受快樂心中御（之所）
願決定成就（隨事改之）
南無摩訶毘盧遮那如來丁
南無御本尊界會丁（三反）
南無佛眼部母菩薩丁
南無大聖文殊師利菩薩丁
南無一切三寶丁
南無叡山三寶丁
爲法界衆生平等利益
南無觀世音菩薩丁
爲法成就
南無一字金輪佛頂丁
〻〻金剛手菩薩丁
次五悔　次廻向
次奉佛布施
左手取布施右手以散杖灑水三反次
取杵誦辨事明加持之（左轉右轉各三反）　次二

手橫捧之唱曰
南無恭敬供養本尊界（佛某甲）哀愍納受所
獻供養即誦普供養眞言投置爐奥方（諸尊）
（座位程也）
金剛壽院記云施了置左方机上便所
云〻
次解界奉送已下（如常）
次壞壇
先取去鈴以下閼伽等內外供物如始
護摩之時次取杵誦十二緣滅句
諸法從緣生　如來說是因
此法因緣盡　是大沙門說（或用梵語）
誦了以杵爐前方聊突壞也
次下座禮佛

建長四年二月十七日於小河草了
弘安元年六月十七日於三州書寫了
　遍照金剛爾然
延慶三年六月十三日於同國賜御本
書了　圓慧
興國三年十二月十五日於尾州書寫
了
同十五日夜一交了　不二金剛顯叡
本云
應安三年五月二十三日濃州伊賀尾
觀蓮寺大鏡房書寫了
　同三十三日一交了
寶永二年（乙酉）五月二十二日命松安寫
之

台嶺兜率谷雞頭院嚴覺洪道
同年七月以淨教房藏本校讎其卷尾
云
建長四年二月十七日於小河御房草
了
同十月三日於同御所書了
　無障金剛尊澄
弘安四年二月二十三日書梵字了
　比丘承澄
建武四年五月七日於東塔東谷佛頂
尾花藏房以右御自筆之御本一交了
　豪鎭
御本爐壇等圖幷朱點梵字無之
文和三年（甲午）後十月二十八日於西山
寺戶以右御本書寫了
同十一月五日交了　澄盛
享德三年四月八日書寫了　源喜
朱點幷一校了　重交合了
此一卷從源進法印賜之畢
天正二十年五月三日
　權大僧都法印光祐

阿娑縛抄第四十二　護摩要

（首缺）

□摩

見聞集云。有云。自身爲壇場。我口爲爐。以
煩惱爲薪。眞言觀智爲火。定慧法味爲種
々供具。供養心王如來心所□聚衆理智
無二。無受無不受。
義釋十二云（秘密曼荼羅品）護摩有二種。者外護
摩。謂作法除煩惱隨煩惱等障。內護摩謂
○息諸境界十二緣生等也。然外護摩與
內護摩而作方便。即是彼因也。有難者言。
今作此護摩之施。而求彼果。即是有所希
望。何成稱理者。答。我今無所希求。問曰。若
爾何不隨壇那常法遍施一切貧苦之人。
而慮作此焚燒。今□有何義也。答。然凡夫
之人若有所施。而有受者。即有□顧之心。
或求反報。或希施果。以此因緣不能對治
□□□心。以不能治故。即不能絕貪愛之
源。以是因□□□□內護摩而作因緣。今
燒□□□□□□□□□□□□□□□
慧因而□□□□□□□□□□□□□
□□□□而奉本尊□□□求之心。亦如
此物無異□□如薪盡火滅。無可取□□
□□所故。能與內護摩爲因緣文
有唐記消自妄念。不起分□取所取相本
自空寂。皆內護摩也。外印明相應順世間
法而斷貪等。隨自所求願々得成就。隨時

設教教度有文
世間取法疾□又當□壽。不墮三惡道。皆
外護摩也
瑜祇經內護摩品云。圓明爲火焰。自□口
爲爐。⊙擲諸不祥者。惡人惡天衆。上至等
覺尊。還自□搦者。擲於爐中焚。疾得火成
就焚。諸等覺衆。能息一切厄文
灌頂悉地品云。息災月爲爐。各如本尊貌。
種智發光焰。焚燒一切罪。○三世天人等。
普爲護摩木文
修行法云。以三妄執百六十心名因。五障
爲業。以此因業爲此木。三十七智爲火天
菩提心月輪同得爲焰。口爐壇爐。法界爲
量。以眞言聲而爲燒燃。以印契形而爲焰。
形遍虛空界。以等覺等擲口爐中。作諸成
就文
支分釋云。一切有情身中□□三界見思
等百八煩惱種子。及界外塵沙無□□□
□□十地位始自□地壽斷無明□□□
□□□□□□□□□□□□薪文
□□□□□□□□□□□□□□□□
□□有火祠之法□□□□□□□□□
爲攝伏一類。故以佛圍陀而攝□□□□
□□□□相並文
□□□□類事
瑜軌云。護摩說多種。略出有五類文
一扇底迦（此云息災亦云寂災）
建軌云。總明及長壽。幷除障難法五星
所凌遍種々諸災難。口舌及鬪諍。王宮

等遍迫。內外不和順。七曜乖常度。風雨
不以時。疾疫刀荒儉。鬼魅諸不祥。如是
災起時文
火吽云。此謂息災滅罪
一字佛頂經云。遮心諸□□□息災
護摩品釋□□□□□□□□□□
□□□□□內□□
護摩品□□□□□□□□□□霜降
等種々災耗□乘眞言門亦有火法所
□□□□皆能淨除之也文
□□□□□□□□□□□法常寂
自然疑悔永盡□□□除即是□然護
摩之本意也文
二布瑟徵迦（此云增益亦云增□亦云增長）
建云。五通及寶藏劍輪杵財物。藥丸服
藥俱。遷榮增壽命福智及名聞。職任仕
王宮。吉祥勝安樂文
火吽云。此謂成就顯及諸勝事
一字佛頂經云。成就隨意。故是名增益
若備多（此云延命）
谷廣記云。延命法屬增益
三阿毘遮嚕迦（此云降伏亦云調伏亦云破壞法亦云□決）
建云。制鬼神惡人。破壞正法眼。及諸惡
毒龍非時降雹雨霜雹損苗稼。水旱不
□□鬼魅遍流行處々現變怪□□□
□□□□□□□□□□□□此法能
制除
穢積軌□□損壞□三寶者
火吽云。此□□□佛法中刻

一字佛頂經云。除害故護摩名爲調伏文
修行法云。相增（相增諸外道天魔破佛法者故）文
護摩品釋云。有一類衆生。一向爲惡不可止。過縱加勸導。更增其惡。若縱之又趣惡道。以方便故而伏其身。令迷悶無所知。以此因緣善惡俱不能造。次卽斷引導之令入正法文
義決云。諸佛菩薩具大慈悲。云何敎諸衆生作斯惡法。答。諸佛菩薩說此法者。爲智者說。不爲愚人。所以然者。佛滅度後多有惡人。恃大勢力。順於邪道。不信正法。破滅三寶住持之相。令諸衆生失涅槃眼。悲哉一戀。以此法治。菩薩之心。行此法者。爲利益故有大功德。□□□□起於惡心損害衆生。獲大重罪。佛□□□□□□□□□□

四縛施迦羅
建云。若□□□□□□施迦羅
未問□□□□□□□說。五種梵號。云扇底迦布瑟底迦縛□□□□□邪阿尾捨嚕迦文而下文迦吒耶敬愛見。然者縛之迦羅是非敬愛歟。與今軌相違如何
火吽云。擯（心反）孕迦羅法〇此謂欲見大人求敬愛法文
義決云。第三降伏法文下文云。謂行道之人。須有威勝。彼不降伏。愛樂歸依法輪難轉。是故修此護摩法文

江師云。以敬愛爲降伏也
略出經云。若欲降伏者。應面向西。若爲阿毘遮羅者。應面向南文
明秦抄云。或人此經降伏。是今軌敬愛也云云。未詳。今案。瑜祇經云。降伏向西。破壞向南云云。又云。法利因語爲降伏法云云。應以此得意文
有云。敬愛法言降伏者。降滅怨憎之念。彼此同共令住和順之心故云云
建云。召人及天龍鬼神非人類。一切所敬愛家國及眷屬怨敵諸朋友和順而歡喜及求妙辨才。天龍八部衆諸佛及菩薩聲聞因緣覺。一切所護念所求滿願者文

五鉤召（又攝召云）
建云。金剛鉤攝召鉤雲供法界。次召三惡趣安置於人天（想彼心來鉤召入）
□上是□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□命爲六種護摩□□□□
□□□□□□□□□□□□□□
法滅惑業卽調□□□□□□□□□
□□護卽敬愛也。萬善積□□□集
卽鉤名也。餘四准知文
又云。有云。火中所有不主寂滅之義。是息災也。所生福智是增益也。敬伏煩惱是降伏義。違背本覺令變本覺是敬愛也。流浪六道四生無明。招入本覺。是鉤召義文
祕藏記云。以五種法相宛五部。一息災。用佛部尊。佛母也。二增益。用寶部尊（滿願者寶生。福智者虛空藏。增益者光明。愛者）三降伏。用金剛部尊（忿怒尊）四敬愛。用蓮花部尊（觀音菩薩）五鉤召。用羯磨部尊（鉤菩薩）云云
義決云。案瑜伽大祕密教中說。祕密大法相應有二十種。云何爲二十種。此二十種從三種法出。所謂一者扇底迦。二者布瑟致迦。三者阿毘遮羅迦。能除一切罪。圓滿功德。身寂靜。增長財命□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□等二□□□□□□□□□□□□□□□□遊行虛空中成就雄□□□□□□布。難五調迦九（此中法）禁縛摧滅等三一四二降伏諸難。五調怨家六及魔鬼七。是名阿毘遮羅迦一（此中法七）□□□□□□護摩法（此中廣一百一十種）。大法祕文而不見文
∴第三護摩功能事
建云。息災與增榮。敬愛降伏等。威神莫能測。能遍天地心。功用無涯際。亘展含靈福文
天地任意云事也。又天衆地類心云也（此說佳文）
天神地祇納受護摩給云歟文
又云。三俱胝數滿。常得見本尊。心通解脫門。智慧不可測。世出間願所求皆滿足文
∴第四起首日時等
一起□□
□□月□□□□□□□□□□□□□□

□□□□□□至十□□□□□□□
□□□□□□□□□□十三敬□□
□□□□□□□□□□□□鉤召一
□□□□□□□□□□□□□□□
□□准知之一只□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□郎故敬
愛相叶□□□□□□□口傳降伏或
日□闍時□降伏義也□□□二十四
月盡
一日限事
火吽軌云燒火供養七日爲限如事不
獲已三七日亦得文
蘇悉地經下云護摩經三七日或一七
或後五日或得三晨云々
一起首時
建云息災初夜起增益初日分中猛利
降伏鉤召一切時於夜作敬愛文可撿同軌
帖云息初夜相應者謂定時靜故增初
日分者日出生長物故降中□□□日
中□□□故敬愛夜者世俗愛□□□
□□□□□
□□□□□□□□□息災心鉤召初
夜始之
□□□□□□鉤召何時相應云々
□□□□以相對日中故也云々
慈氏軌中□爲降伏□魔念誦文
悉地經中云於中夜分是作阿毘遮嚕
迦事
一時限事

火吽云每日三時（日出時人定 時後夜時文）
建云三餘時護摩文
無畏口決云三餘時者每三時念誦竟
作護摩事業文
在唐記云三時或四時念誦畢餘時護
摩故云三餘時護摩也
∴第五建立壇場
瑜云面□□□□□□□□□□而住以
作降伏事仰觀□□□□□□□□□□
相應□應住面□
見聞集□□□□□□□□□草木枯
稿□□□表除災有云□□□□□□
□壇水形故有云北方寂靜方故□私
□□□□間々人秋收冬藏更無所
作故云寂靜歟佛入寂滅頭北郎是此
義歟
支分釋云若依淺略者冬季主於北方
息災法三途猛火暗以滅三業楚毒自
亦除猶如彼冬百草萎萬木衰〇（已上花山）
（同記）若依深祕釋者北爲勝方以息災爲世
諦護摩第一故勝方爲本方又水曜主
定在北方而寂靜法本方抄
見聞集云增益向東有云東方主春草
本生長以來增益
又日月東出草木生長故表增益私云
若對五行以東爲□以木茂盛表增益
文
□□□□□□□□□□□從此時萠

增益法殖□□□□□□□□□□□
隨願增進福□□□□□□□□□□
□□□願圓滿猶如春時榮開□□□
□□□□□□□祕釋者東方名爲初
方□□□□□□□□□□□世界增
益法亦如是〇木曜□□□□□□□
□□依精進故無事成抄
見聞云降伏向南有云南方主夏陽氣
熾然熱炎燒物以表降伏有云若對五
行以南爲火降伏壇火形故向彼方文
支分云若依淺略者夏季主南方陽光
熾然今調伏法向南修之智火猛炎自
然燒盡無明株林猶如彼夏時熱炎令
物燒旱若作深祕釋者火曜在南方主
慧其勢剛盛無敢當者故降伏法向南
修之抄
見聞云鉤召云仰觀遍諸方者本品注
云鉤召火壇向諸方行若與敬愛相應
須向西方若與降伏相應面向南方□
□□□□□□□□□□□□仰觀□
□□□□□□□□□隨向何方修事
也云々
妙心太云□□□□□□□□□諸方
也文
帖云仰觀□□□□□□□諸方也爾
所以鉤從空雨故時々觀□□□□□□
□□□方觀之以此鉤々彼也文
又云卽鉤召兼諸壇意也謂若依增若
依降若依敬等修之文

文云。鈎召護摩隨向何方修之文
妙心太云。若鈎召面北文
見聞云。敬愛向西。有云。西方主秋。〻則草木結實開花世人愛之。以表敬愛。私云。金光明經疏云。秋時萬物結實人計爲常爲樂云〻計爲常樂可表敬愛
私云。若對五行以西爲金。〻爲收（軒不明）世所愛故表敬愛文
支分云。若依□□□（果實義）深祕釋者。金曜在西方主□□□□□愛者。必依念力所生之善抄
引幕□□□□□□幕事經軌說也
文

帖云。凡護摩處
記云。若建立曼荼羅新造立精舍者。須依義釋幷建立護摩法擇地建立之（壇七日作法七日作）云也〻
若於屋上樓上檀越之舍舊精舍等。但可修法者。不能堀地擇治之文
悉地經云。若於中庭及與室內或佛堂中作曼荼羅〇但持誦香水灑即成淨。不假堀地文
集經十二。若作水壇亦不須擇日月時節。其地隨得□□□作平正地面即須香泥塗其地上即成壇法云〻
瞿醯云。於屋□□□□□□制底〇如是之處作曼荼□□不須〇
一日水壇□□□□□□□藏給。件決有護摩壇樣。又大佛頂經可用□增□由見

付水壇名有異義。一以水洗其分限。一息災壇（示云山壇故云〻　默水輪壇故云〻）
谷壇樣云。慈覺大師之在唐之日。値于天竺三藏寶月而問於水壇云何謂水壇也。三藏答曰。望事而掃地隨所修之法。取方圓角肘量數。以水灑限量之內地上。以手磨瑩地面。令端嚴。是名水壇文
祕藏記云。水壇法。先以不動眞言加持可建立壇之地。肘量隨心。即觀至於地下金剛輪際。淸却地中穢惡物及諸夜叉類。即誦眞□□八遍。次以水灑淨地面作平。次以降三世□□□□□□□持泥塗作壇高一寸以下。又以□□□□□□□□□又以小金剛輪眞言加持百八□□□□□□□身偈加持。即任意破棄文
誦\補闕分眞言本處令具七□功德給
思用水壇也只合
記云。但或布衆彩色紛（顏造）（冬韻云形徒各反赤也）輝極嚴麗。一切繢事成。中安置火爐文
具緣釋云。若於大石上作曼荼羅。或重閣上不可穿堀作鑪者。當用綵色畫之。極念分明嚴麗。使可充用。是名略作護摩處文　遣軌意同
略出經云。若能鑿作君荼。即以赤色畫其形。然中安火爐文
帖云。作畫於中作爐等者。隨□法畫爐樣（若紙）安壇上〻置火爐

或安別爐
記云。或行人到河岸上取□餘淨土。先用鍬印明一二反十或師傳結印空風間持鍬誦明堀之。然後令駈使堀之。□□□□□□□□□釋捨土中毛髮朽木□木根瓦礫骨灰沙石雜虫。但取淨土了。若不可擇者捨之（取除淨土息災白色增益黄色降伏黑色餘法隨其色）其鍬用新者。若無新者。洗淨舊者。以辨事明加持之文
取土事尤可作法。其作法（大師私云）
先承仕持散米行（散米上擇折敷）
次阿闍梨行　次駈使二人許持鍬幷土入總行
次到其所。阿闍梨蹲踞其前置散米
次以辨事印明□□□□□持散食
次啓白□□□□□□金剛手大聖不動明王堅牢地天部類眷屬□佛子甲ム受兩部大法修練。既有功爲得其成就。欲修護摩行法。爲作其壇場欲取此二地。仰願堅□地天許此土令□法給
次召請地天印明　次飲食印明　次普供養印明　次散供（三反許）　次諸天讚
次□（心略等）　次右拳仰彈指七反（遣是也發）
次承仕駈使掃地上草木（見土善惡）
次闍梨結鍬印。外縛縛中持鍬柄。二頭指傍中著柄。二大並著柄。堀始之
次駈使等取土。取了歸前土。阿闍梨在後
帖云。取爐土作法

師曰。取爐□□□□□（如常）
先室内護□□□□□□□以加持
飲食等施餓鬼中之印明如常。本持供
而誦𩘻多發之偈三反。申掌押地。如常
次勸請地○印明（陳天カ）（謂鉢印二風招之吠里底微曳々醯醯）
次散供　次普供養印明
次讚（等阿々濱々觀）　次諦緣度心經等法施
次白取土之由。所願施主所願成就之
由
次懺謝　鍋（所設供具）　次發遣印
次阿闍梨結印指地。外縛。二風二空立
合以二風指地三反。次鍬挿風空竪間
次之誦明三反許堀始土云々
次取土作□□□□□□□□底滿之。
以一分置□□上以水□□□□□□□
□□□之作泥
□□\擣和土中加紙或淨灰□川底細沙是
爲不令破也云々
帖云。爐之土或□（文）□（灰）□（又）□（若）□（可カ）修淨紙細
碎交之。如白土塗之
次加持泥　文
記（□□心）以無能勝印明加持泥及瞿摩夷塗香
等（或用馬頭印明）
瑜云。加持泥及瞿摩夷塗香等。印二手
合掌屈進力戒方二節相合。禪智並竪。
去進力如口。眞言二十一反
唵阿密哩都納婆縛吽發吒娑縛賀
次塗壇（隨法樣異也）
記云。誦十二緣生句□□□塗之。塗間并

塗了。結塗地印誦明。□□□□□□□□□瞿
摩夷塗香等□□塗之（塗地印明□□建立軌塗壇間不作餘語）
蓮子草等（具如建立軌）文
\誦諸法從緣生□□塗之。一說不誦滅
句。爾者諸法從緣生。如來說是因我師
大聖主。是義如是說　文　可誦也。又梵語
可誦。又無明緣行等唱塗說有之　文　云々
\塗地印。右手散舒五輪。掌向下。如塗
之勢。自前方右旋（正不付爐從東北隅右旋塗拭）
建云。塗地眞言曰
唵迦羅（引）摩訶迦羅（引）梨娑婆訶
瑜云。瞿摩夷塗香等云々
建云。蓮子草蜀葵葉。茅香。墨土相和。如
法淨持摩令光澤　文
瞿摩夷
具緣釋云。此□（是）□（牛）□（糞）□（及）□（尿カ）爲順□（俗）□（方カ）俗
法以爲清淨故　文
釋十四云。劫初□（梵）□（天）□（下カ）世間。作牛形而
行婬欲。因生種類。由此有婆羅門種　文
毘尼討上云。外書云。梵天波羅門及牛
等。此之三種能生育人物也。以爲重佛
亦隨俗貴之爲淨。故用牛糞也　文
大佛頂經七云。雪山大力白（白牛カ）等。食其山
中肥膩香草。此牛唯飲雪山清水。其糞
和合旃檀以塗其池。若其非雪山其牛
自臭穢不堪塗地　文
\此土不用之。無淨牛故也云々
蓮子草
帖云。是唯蓮花也

\和名子□□□□□□□□□□□シホ
リテ可塗也　文
蜀葵葉
ア\フヒノ葉也。蜀所名也云々　カラ
アフヒ云々
五寶五藥五穀等事
法華軌云（不空）五種寶（金銀眞珠瑟瑟玻璃）五藥（娑賀者羅娑賀嚩嚩建吒迦梨擬哩羯羅擊勿里賀底若無此藥以大唐所出蠻藥如赤箭人參伏苓石昌蒲天門冬等代之白芥子等云々）五香（沈香檀香丁香鬱金龍腦香等）五穀（稻穀大豆小豆菉豆）
文
蘇經下云。五寶。謂金。銀。眞珠。螺貝。赤珠
五穀。謂大麥。小麥。稻穀。小豆。胡麻
五藥。謂乾託□（加）□□□□□底藥。娑訶
藥。娑訶提婆藥□□□□□□□（遮カ）藥　文
具緣釋云。若深祕釋者。卽是安立菩提
心中。五智之寶。能起五種善萌。滅除五
種過患。故云五穀五藥也
\五寶等入土器。覆土器。十文字結之。壇
下爐奧藏置之云々
金剛壽院記云。先軍荼中心穿一小坑。
五寶等各取小許。盛金銀器。地天明如
來慈護無能勝明。各加持一百八反。置
軍茶中　文
帖云。鎭壇五寶等。或說。入數曼茶羅下。
以而猶是强事也。七日地壇時。入五寶
等也。非水壇之作法　文
/五寶等須非七日事業壇者不用歟。安
然和上御說云。大唐日本古今傳法但

有一日手印行法。末有七日事業壇法。
若□□□□水壇意也云云然者不出
五寶等歟。但□□□□□□□此壇
是七日事業意歟。若然者□□□□名
水壇云云
私案。蘇悉地經意云。若於人民集會之
處作壇時。其五寶物不應理之。但置所
成物下。若於中庭及與室內。或佛堂中
作壇時。亦復如是。又撿阿嚕力迦經云。
造護摩鑪云云中先下五穀及五寶云云三
昧和尙御說云。塗爐之時。先取五丸泥。
置軍荼中心。想置五寶云云
依此等說。五寶等物置不置自有二途
歟云云
記云。掃地印明（如悉地。并建立軌隨了。掃壇上幷堂內也文）
無別印。但觜取拂之誦明。俱取樣蘇悉。
別受之云云
谷廣云。以觜右手取之。先始自西方。右
迴掃之。左手作拳。眞言
唵賀羅賀羅祇□□□□羅耶莎縛賀
文
記云。次金剛輪印明誦三七反。右轉三匝
（印明如悉地。此一印明私所用。掃壇上堂內已。次塗地輪盤半跏坐用此印明。次下塗壇盤輪壇文）
悉軌云。當誦此明（禾云。金剛輪陀羅尼）而塗其地文
次引壇數
三昧和尙記云。以白布洗淨水曝乾之。而
以辨事眞言加持。始自東
北隅。右旋數之。其食道廣寸文大原金剛
壽院等記同

次打橛
記云。次以橛釘壇四角。始自東北方釘之
（私云。用金剛橛印明。前方左右文。其橛長五尺許）
釘橛有二說。一□□□□金剛橛印明
（地結印也）次取橛打之。餘三隅准之。正□□
時不誦明
又說不結印。只取橛（以拳取之。大指末向橛本）正打之
時誦金剛橛明。是蘇悉地經說也。師依
此說云云
蘇悉地經云。其橛以金剛橛眞言持誦
百反文
問。打橛意如何
答。是地結心也。令心地不動不退。功德
樹王生長成菩提果意也。則當初發菩
提心淨地波羅蜜是也云云
集經云。一切惡鬼及惡怨人。皆不行入
此界之內文
問。以何物作橛耶
答。佉陀羅木（唐云紫檀木）　赤㮏木紫檀木銅
鐵等。皆經軌所說也
瞿醯經云。取□□□□□□□□橛子文
法花軌云。四角外各釘佉陀羅木橛。如
無此木。鑄銅作橛代之亦得文
蘇疏云。廣聚經作五色橛法云。若欲作
一切事。用白檀爲之。若瞋怒作惡之時。
用赤銅作橛。若作兇猛之時。用鐵爲橛。
若作善事之時。用却陀羅木爲橛。怨敵
事之時。用死人骨爲橛文
十度云。運記云。彼三角壇橛。作苦練木。

以人骨納彼中。若有長骨者。全用之。不
用苦練木云云
問。橛長短量如何
答。蘇悉地經云。其量二指折文集經云。
長八指文同五云。二長五指二長□□
□王軌云。長十二指。入地四指文
護摩抄云。長四□□□□□□火末
小云云
所詮爲堅地也。至金輪際事。印明力也。
不可依長短歟云云
問。橛造樣如何
蘇悉地經云。鑱剗一頭。如一股杵文
又云。其橛上一頭作三股杵形。或一股
形文
底哩三昧耶法云。此橛是三股金剛。除
去邊支。卽成獨股金剛。其最少者。名金
剛針文
護摩抄云。如金剛杵。頭上令有花。十一
圓作如意珠形　禾云。世多用之
次引五色糸
記云。次五色糸。又自東北始之。終于東北
方（私云。或人用加持糸線印明。在悉地。隨標幟線力通門文）
聖行記云。以ワナノ方先□橛文
自東北角右一纏。引之。其間誦加持要
線明。或說誦金剛墻明引之。或先□誦
印明後引之。隨標幟之事世標木卷之。
智泉云。古不如此。唯一纏擧之。三昧和
尙記云。以尺木麁母指許。剮立於行者
近方左右

用橛是道場門戶之形也。次五色線先纏東北角橛頭。右旋引之。其門戶擧線。右繞上端纏之。而從右引度於左上端纏之。次右旋引下橛頭纏之。如是曳迴東北隅橛結之文（大原記同）

問。引糸事何意耶

答。糸大事也。□□□□橛牓（傍歟）禾也。引糸結界也。十方淨土金繩界

烏瑟沙摩經（阿蜜陀散）上云。以五色線拼爲界道文

大日疏云。於曼荼羅外更以線爲周域文

帖云。壇外曳五色線。是鎭壇爲也文

問。用五色意如何

\答。表五色界道。是五佛也（示云。如委糸決）

問。標何義耶

答。以之爲通門也

小山記云。而行者辨事之方西四尺許枕著削木亘之。所作辨事不可絲上之故也文

∴第六壇樣事（是建立壇場內也。□分爲別篇）

一建立軌爐樣

息災

建云。圓穿其爐（或方）量一肘。深半。爐底泥作輪。其輪具八輻。一柝是其量（高一四指）

節爲周界。塗壇純白色（餘皆准文）

帖云。息災爐或方文謂灌頂護摩是息災護摩也。而其向東修之。故或兼增益之意。故或方耳。又如云大方杓耳

文云。問。疏十四云○方是息災。圓是增益文意何

答。恐此釋起灌頂事也。謂灌頂護摩是息災。而向東。故息災中用方壇也。以方云息。故替增云同（四）歟。又義決灌頂護摩文云。用大方杓云云謂杓有四種。息（所世用杓）增降（方杓也）敬（用杓）□□□頂事向東。故用大方杓歟文

玄隆云。或方二字者引禮火爐

支分釋云。白是鑁字水輪之色。水輪圓故爐隨亦圓也文

花山記同

世間一切物圓物礙處云云無是無障礙

息災義相叶

增益

建云。爐方二肘。量周圓深半肘。底安三股杵（量前准）塗用檀欝金

帖云。准二軌文。增爐二肘也。師曰。恐二字誤來尚歟。猶一字歟。或如文二肘量塗耳。持曰。二肘者。橫竪各一肘。故合云二歟。□□□□文二護摩軌除增爐之外諸爐皆云廣一肘量深半肘。又建軌文。增爐深量既云半肘云何卽淺半肘。而廣二肘耶。故知猶是可一肘量也。又火吽軌云。四爐皆方一肘（小尺八尺一寸）深則半之云云又悉地經護摩品云。類方一肘（說增文）文

支分釋云。黃是□字地輪色。地輪正方。故爐隨亦方也文

花山記同

\方地大形。萬物生長義

敬愛

建云。爐如八葉蓮（內爐六角）開敷具臺蘂。量一肘深半。底安紅蓮華。兩重緣四指（白色一指）

谷廣記出右□□云。合□□□此敬爐樣。亦爲比校。此中之文出之。專不可用。後人知之文

在唐記云。爐如八葉蓮等者。謂爐外緣八葉。內爐六角也文

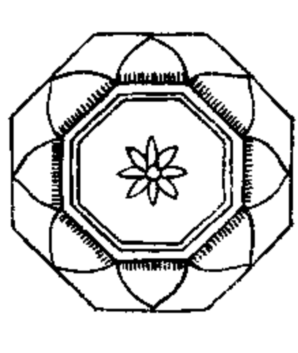
/別云云塗之時。敬愛內緣外緣共八葉。鈎召內緣外緣共六角可塗之歟云云

軌文云。底安紅蓮花文

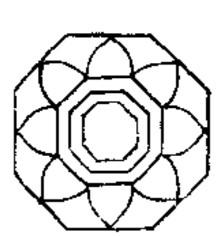
問。修鈎召法時。可安紅蓮華歟。師云。鈎召時可置鈎形歟

/師云。但敬愛塗之。但鈎召塗之云云

私云。喜光院護摩堂之爐如此。又於尊勝寺阿彌陀堂奉爲堀川院。九壇阿彌陀護摩。中壇美福門院御逆修尊勝護摩等皆被塗此爐云云



帖云。師修如意輪法之時。向西塗此爐
給。面見之。又有圖本。而有二重緣。今面
所見塗樣只一重緣也。是可也
帖云。胎敬愛爐□□□□高外下。而其
外緣是葉也。故唯可有一緣也。其次葉
廣用心准作之。於內緣可畫八葉也。其
爐不可安竪頂。非金界之意故也。又外
葉八葉如本圖。八葉別々可畫也。或說
只外葉八角。塗於其上畫八葉形無妨。
是略說也文



支分釋云。赤是□字。々輪之色。是蓮花
種子。其形八葉故。爐形隨亦八葉也。蓮
花是佛菩薩所愛之花文

降伏

建云。火爐三角作。獨股杵置中。量同縛施
迦。壇地塗赤黑。

支分釋云。黑是□羅字大輪發焰之色。
火輪形三角故。爐隨亦云三角也文
三\角火體猛利焚燒。是降伏相叶云々
示云。已上四爐圖。谷壇樣可見之。繁故
不圖之
谷被圖出建立爐本地有之。軌文不見
事也云々
建\軌意。五種爐皆畫無之。唯底畫許也。
予此定用之祕事也。智泉誠云。若人見
之。無畫之由難之者。不知之由可答也
云々
帖云。問。世人供養法幷護摩等作法。依
悉地或胎而塗用金剛頂長作蓮花等
爐心如何。答。建立軌是胎藏灌頂之護
摩意。故爲未灌頂人不授之。先授瑜伽
軌也。故世人多塗用瑜伽軌爐樣也。不
知胎爐故也文

一瑜伽軌爐樣

息災

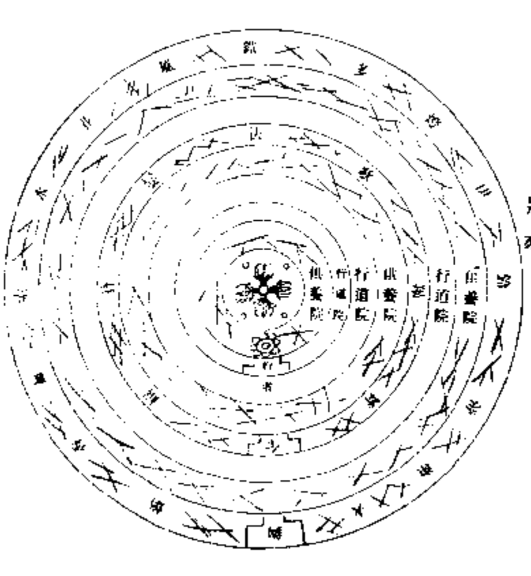
瑜云。息災爐正圓文
又云。息災爐作輪文
又云。息災爐應量橫全竪半肘
又云。五種軍荼壇。應畫作三重。中院羯
磨杵。四隅畫蓮葉。第二院四契。謂四波
羅蜜。四隅內供養。第三院應量八方天
眷屬。四隅於四門外供養四攝。中安遍
照尊。此息災軍荼餘四軍荼相。三院皆
如是文
此\軌爐。三重畫十七尊幷八方天。此則
金界十七尊曼荼羅也。其第二第三院
只壇上也。非爐。仍此軌意。壇隨爐方同
三角云々
中院爐緣次重下緣。次重下緣。亦名中
院。又云重緣文
息災向北故且北佛三佛皆羯磨歟。爐
緣三古端卽羯磨杵也
妙心太云。息災壇。若安羯磨印時。不安
大日尊。若安大日不用羯磨杵
中\川上人云。中院者爐中也。聚衆請入
爐中。如大曼荼羅位觀置中。若羯磨。若
尊置也云々
帖云。四隅蓮花葉是爐莊嚴也。謂三古
羯磨間空無物故也。如胎藏圖位畫瓶。
金界圖位畫草光也文
又云。八方天眷屬文八方天卽眷屬也。
持業釋歟文
下\文八方天各有眷屬見。然而今文非
指彼。冥三部聖衆云眷屬也云々
帖云。問。何故以大日爲息災護摩主耶。
答。只是佛部故。佛菩薩智寂靜圓滿義
故。當寂災之義耳。果地究竟一切皆寂
也。況以息災爲上成就。以中央如來部
爲其主尤可也
爐\底輪等。以土造□可置之。然而煩故
畫也。金剛壽院座主形木□押之尤神
妙云々
重\緣畫以木只畫也。本體以土可造也
云々

帖云。爐葉畫。以木端畫四之。是生師所傳也

以墨丹畫之。如□生師說之人見之意許也 文

口祕聞云。一說以白黃等隨法用之畫云〻

護摩壇樣 大師將來



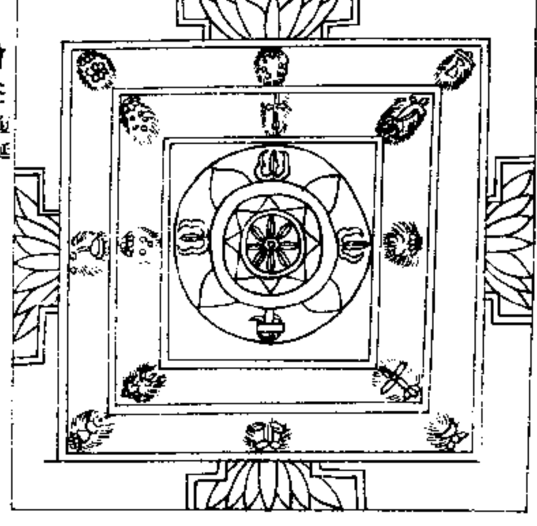
示云。餘五壇可見之。依繁不圖之

世流布瑜伽圖樣。大唐青龍寺東塔院本也 云〻

文谷壇樣可見之。三□皆隨爐形

師云。古瑜伽壇樣外緣上羯磨蓮葉等書。〻

或云。是中院也。此言甚非也。中院者。三重曼荼羅中院也。中院羯磨者。在唐記羯磨杵。遍照尊隨一可安見。又四隅書蓮葉者。准金剛界羯位。可書八葉蓮也。古圖一葉書無謂歟。軌文或蓮葉云。或花。書。不可准也。又爐供養院安之。行者行道院坐也。三重各有通門。行者出入門也。又三重曼荼羅尊位吉祥草上可觀置也。軌不云吉祥草。略出經君荼爾圖布吉祥草。爲聖衆坐位 文



增益 延命復

瑜云。增益應正方。又云。增益三股杵 示云。底畫也

文云。增益兩肘量深量應用半

文云。增益於中院應畫羯磨寶。第二院應書寶生佛眷屬。第三院及門亦如前所說 文

帖云。問。何故以寶生爲增益主耶。答。寶部故爲求財等故耳 文

羯磨寶者。只寶珠也。非別形 文

瑜云。其延命爐如前增益爐外作甲冑形 文

別本瑜軌云。延命如增益爐外畫甲冑。如人被甲形。而作雙袖垂。袖如三獨鈷。下如覆薰籠。上作三峯形。如三獨鈷杵

帖云

師所塗給延命爐樣也

帖云。問。何故畫甲冑形耶。答。是金剛甲冑也。卽表其壽命金剛堅固義也 文

甲冑形全身持算心也

降伏

瑜云。三角作降伏 文

文云。降伏一股作 文

文云。降伏軍荼相。三角各一肘 文

文云。降伏於中院。獨古羯磨杵。四隅畫蓮葉。第二院應畫降三世眷屬。四種忿怒相。第三院及門□□（甲本細註曰。軌作亦如）前所說。而皆忿怒相 文

帖云。問。何故以阿閦爲降伏主耶。答。金剛部故。金剛卽有摧破義故也。又阿閦觸地印。卽摧破無明之地也 文

大原決云。以薩王愛喜爲降三世四種忿怒 文

別本瑜軌云。薩王善哉愛 抄

降三世阿閦教令輪身也。伺薩王愛喜爲降三世眷屬也。四種忿怒相者。謂阿

閦尊入降三世三摩地時。三十七尊皆成降三世。故薩王愛喜四種忿怒相也。是金九會中降三世會心也

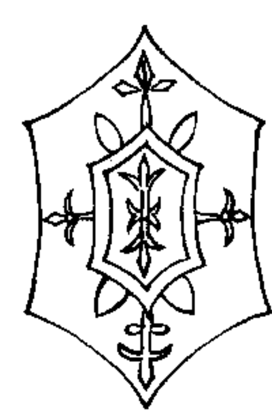
鈎召

瑜云。金剛形軍荼。鈎召爲最勝文

文云。鈎召應作鈎文

文云。鈎召長一肘橫深各減半

壇樣 大師將來云



禾云。外三重四方也

谷壇樣云

禾云。外三重同金剛形也

帖云。金剛形爐鈎召爲最者。此爐樣以金剛也。多用此樣

金\剛鈎者。鎌體物也此體物也

此體左右シタルモ有歟。金剛形□荼

似此鈎也云〻

瑜云。鈎召於中院應畫金剛鈎。四隅畫蓮華。第二院應畫不動佛眷屬文

問。上降伏壇薩王愛喜畫了。今何重云不動佛眷屬之耶

ム答云。前四種忿怒相云。今如例可觀。是其差也。私決。降伏不空成就云ヘリ。然而諸說壇樣降鈎共東佛兒

降\伏壇云。第二院應畫降三世眷屬文

師傳圖東佛四親近皆加忿怒□之。若然者。東方入此三昧。餘方佛不入之歟。若餘方佛可入者。以此文且可屬羯磨部歟。又鈎召壇不動佛眷屬何於一部異名並出之顚。以其義不順。以五種事相配五部。既中東南西有之。何闕獨羯磨部乎云〻

大日經具緣品云。北方不動佛離熱淸冷定文義釋云。鼓音涅槃不動名爲阿閦云〻。若依此義。金界北佛之不動心。何無之乎。若然者。鈎召文以云不動佛眷屬羯磨部云。無失乎云〻

帖云。問。業部何無護摩耶。答。息佛增寶降金敬蓮也。而業部依屬前四段故。無別護摩也。謂諸壇事業皆業部故也

敬愛

瑜云。長作蓮葉形。敬愛爲相應

文云。敬愛作蓮華文

文云。敬愛亦一肘。橫深如鈎召文

長\作蓮花形。一葉爐也。長一葉。𩅰故云。長作蓮花也。平等院護摩堂爐長作蓮華形也。大原僧都令塗給云〻

文云。敬愛於中院。畫蓮花羯磨。四隅三股杵。第二院應畫無量壽眷屬。應畫四種尊文

帖云。問。何故以彌陀爲敬愛主。答。世人以花爲敬愛。故蓮花部主故。況西方之蓮部蓮是紅蓮花也。世人皆敬愛赤紅色故。以之爲主耳文

蓮\花羯磨云者。只是事業蓮花也云〻

已\上五種爐異四攝八供八方天不改之。四親近隨事改之。是准金剛頂且明五部四親近也。雖息災觀音爲本尊之時。何畫四波羅蜜。雖敬愛行愛染王之時。何畫無量壽四親近乎。故非一切息災皆畫四波羅蜜等。云此軌明金界護摩故。且約五部明之也

文\五佛薩埵外尊只十三尊□□本尊八供四攝八方天。何尊可有之。又行觀音等之時。猶觀十七尊曼〻〻事有之。謂以白衣大白衣多羅毘俱胝等。爲四親近也之餘准。但其自部眷屬。不可過十七。取十七尊事可有樣故也云〻

帖云。瑜伽軌別作戶摩曼荼羅。安布十七尊修之。非大曼荼羅。而依略出經者。於大壇前設爐如胎界。而修戶摩時。不依瑜伽軌。安十七尊。只出壇上爐與方。觀作三十七尊等之大曼荼羅修之戶末亦爾也文

文云。近代大壇火壇一修之。壇上爐與方。大曼荼羅諸尊位觀置。爐大曼荼羅外□

觀爐四邊非安尊位故請尊入爐等之事
皆隔爐爲之瑜伽護摩軌別作大曼荼羅
近代不依修之文

五種爐緣本地等量事

瑜云其爐緣高兩指闊四指緣內本地闊
兩指於中契印高兩指文
本地內緣內自內緣卑與外緣同高作
之云々
略出經本四云兩重作緣內緣高闊各一指
外緣高闊各四指文
帖云金剛爐作略出意者兩重也爾者
其高下如何答經云內高一指外高四
指云々故外緣高內緣下火吽爐三重
也而內高外二漸々下文

竪項事（經云柄世人云竪項其異名也又文點可讀柄竪項ヲタチサマノアヒダ云々）

瑜云其爐近身開竪項闊四指長兩指次
闊十指竪長四指作蓮葉形令大小相稱
從竪項至葉末都十二指高下並與緣齊
五種爐並同文
謂自竪項至于葉末都十二指者竪項
長六指也（細所二指廣所四指）次蓮葉形自竪項程
至于蓮端又六指也仍都十二指也蓮
葉形大小相稱者竪項廣處十指也其
相應六指計歟云々
略出經本四云柄向南出如世丁字柄長四
指闊亦四指橫頭長八指高闊各四指次
作土臺形如蓮花次外敷師坐位文
問竪項何物乎答不知之但瑜軌說即
壇（即壇者大壇中造護摩爐也）爾者先大壇造後爐別
置取柄體歟（示云略出云柄最超說柄體歟）建軌說開壇
（相大壇外院立護摩壇也）故竪項不說之但兩軌共
說開即然而宗建開瑜即也云々
建云鑪對曼荼羅外相望別作所供如
大壇（文說闊壇也）
瑜云五種軍荼壇應畫作三重（乃至）第三
院應畫八方天眷屬文是說即壇
帖云瑜軌即壇戶摩也別時一途行法
也文
蘇臺云者竪項也
口祕聞云爐柄人蘇臺云誤也謂西國
祀火爐有此柄歟云々
或云竪項者若是表蓮花門歟
帖云問蓮葉形者何答荷葉形也疑云
多本同云蓮花葉形云々多本有花字
也故花葉形也文
谷壇樣云已上六種爐緣外可作土臺
次作葉形令大小相稱略出云
次作土臺形如蓮葉云々故弘法大師
依此等文意緣外作土臺又先師達同
作之軌文云葉形者即略出經土臺也
然有人言不可作土臺可尋其意文
或超阿闍梨云土臺竪項前指出物也
降伏▽三角餘壇○蓮花形也云々
此言八旬老耄氣歟土臺花葉爐周匝
有之略出經云蘇穀及柴並置臺右以
香水二器置其臺上文若限前方何左
右置之云乎軌緣一重廣四指此外土
臺置之令二重也釋緣兩重也內高闊
各一指外緣高闊四指次外作土臺形
次外敷座位云々

一火吽軌爐樣

火吽云爐法圓（息）方（增）三角（降）八角如
蓮花葉（鈎召）
文云已前四爐皆方一肘（小尺一尺八寸）深則半
之爐底一以泥捏作獨貼杵々長八指
其圓爐及八角爐即作羯磨拔折羅（十詞）
（字拔折羅）爐皆皆作三重從內高向外其外
漸低每重皆闊四指（都闊十二指）皆緣之上
任畫作花如不能畫作即觀想作之文
谷壇樣此四爐闊可見之

一大日經爐樣

義釋云火爐如肘量並遍四指緣金剛
圍之謂隨所住所穿深一肘方亦如之
口上安緣高闊皆四指繞緣以金剛圍
之（四面各一指如上八印等中也）普者謂深及方令等也
如方爐者三角半月圓等可知也文
四爐闊有谷壇樣可見之
未問半月爐五種中何所用乎
在唐記云半月形鈎召文
佛眼修行軌云欲作攝召事業即半月
漫荼羅文

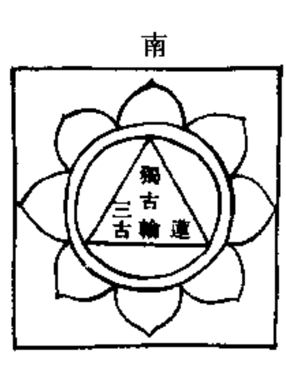
一尊勝軌令壇樣

尊勝軌下（菩提無）云祈雨品云一爐共四
種爐形及爐內四方各書種子字其種
子者[梵字]阿字方東方○（黃色カ）[梵字]訶字青色西
方○（サカ）月形[梵字]鑁字圓北方白色[梵字]藍字
赤色南方三角形底各畫印契等東方

蛩輪北方蓮花南方嚩折羅西方鈎依本方畫之○初日除災第二日增益第三日攝召第四○五ヵ日降伏第六七日極忿怒降伏等事若所期日得廿兩卽止文

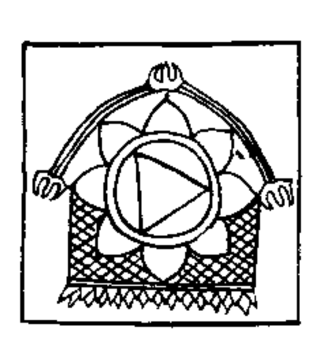
大原決云師曰先師說此文有亂脫可見之種子契連之文

帖云問合壇護摩者云何答師傳也而大底見尊勝軌所兩品息增降敬四法俱時可修故以此合壇爐旋向其方修之



方葉是增八葉是敬圓緣是息角口是降爐底之印四物四方安也但隨方隨法安方隨意

文云合爐文之外師傳加延命爐塗之卽五種之爐也



底契印隨方安之謂輪三古獨古蓮花也

變嚴決云爐口三角降伏緣圓息災其階方增益若依三種和合者底畫獨古杵其四方寶形四隅畫蓮葉或可合敬愛延命二壇云々若然者若加敬愛者三角底可畫蓮花基階上可加甲冑也件爐不可作堅項凡爐三種和合壇五種和合壇二種不同鈎召無沙汰文

奇特佛頂經一云息災等三種一處不應作○若於調伏爐不應作息災如器中有毒盛乳必當壞文

∴第七辨備支物事

瑜云所燒護摩枝皆安右邊酥於蓮葉臺上蜜酪乳飯乳糜近爐右邊安左邊應置二香水器文

建立云護摩諸支分備在於右邊二杓空器物酥蜜油柴等安在於其左文

江師云二杓空器物等安左者無便宜是二杓空器物酥蜜油柴等右可置也左分無之今引烏瑟沙摩軌彼軌云二器阿伽水置茅在左傍文今此文被略也例如上赤增長同文此書習也烏沙物故也云々

無畏口決云空器物者當時之相應物是其密意更問之文

帖云空器物當壇相應物之器也不交合餘物故云空器如云酥悉地經空蘇云々卽空之義從此起也文

大原決云空器者不和乳酪用酥名也悉地經空蘇云此意也

此軌意合有一空器也云々

烏瑟沙摩軌不空一空器承水布在於壇內文

先蓮云物不入器別壇置閼伽器水少許入聖衆洗足嗽口用也烏瑟沙摩軌可見之三井說器入水別置壇火盛時也或說只置器杓打懸也云々圖佳烏示錦勸

疏本作求閼伽香水器盛持獻之成滿聖衆足心所於茫具陳傲浣空器中置水在本位文意火器穴爲空器歟

江師說同右說杓五穀付打又杓可打懸空器也云々

悉地經護摩品云乳木等物及以香花置於右邊護摩器四置左邊云々

明秦抄云若是約佛謂左右歟文

火吽云其火木及香花等物並置右邊文

一壇上

四面閼伽等花燒香燈明塗香飯食如常後夜備粥日中備外供付之有二說一飯藥餅菓端從向中近來用之一飯餅菓藥此記說依

小山記云其餅阿禮調伏黑色卽用烏胡麻息災白色用粉自餘法雖有別色尚用白色文

妙心太云飲食黑者請心生黑之想諸餘護摩亦如此文

權醍云若不辨種々藥者但用小豆藥下文云著牛蘇若有畫者亦應畫之○飯上皆應點酪文

又二香水器置爐左邊各加散杖古置左脇
机臨護摩亦應著之〇飯上皆應點酪文
又二香水器置爐左邊各加散杖古置左脇
机臨護摩時移置爐邊近來自餘置壇
瑜云近爐〇左邊應置二香水器〇一
用灑火及供養物等二一用聖衆火天嗽
口文
帖云嗽口壇々各二反故多用故安爐
近邊灑水不爾故頗遠也文
小山記云以灑淨水近爐口以嗽口水
置其側文
又香爐置之
建云次應執香爐文
一左脇机
房花散花乳木香塗香行人所用置之
若降伏三類形稻穀毒春或曾古机鐵末阿
世見荊蘇置之
若延命骨婁草置之
若敬愛花箭置之
一右脇机
油粥五穀飯生五穀鹽已上外方
蘇芥子粳米胡麻已上內方
二杓箸扇等置之
又同机下邊薪松籌等置之
已上護摩支物委細如左注之
房花散花古云古幾花亦云創花
建云鮮妙諸花息赤花敬刺榍生花黑
花無香氣降抄
瑜云息白花增黃降黑鈎赤敬赤取云々

文云香無花或見花降刺木赤花鈎赤
色花抄敬
小山記云五種護摩有每色之花通途
只調伏用阿世見餘法用之支美文三
昧和尚同
谷廣記云師說可儲房花一器散花一
折數文
帖云房花二十三四房是其用數也文
乳木
瑜云息災燒甘木增益用菓木苦木降
伏業刺木爲鈎召花木說敬愛文
帖云花木櫻木佳歟又合歡木無妨文
建云甘菓李子木薔微乳樹等沈榴柘
楓櫟
建軌息災之下所出木是五種護摩乳
木也
明泰抄云甘木五架柔棘桃橿擣等菓木栗柿胡桃李松栢苦
木阿世美苦棘薔微刺木文
義決息災段云木用甘菓李子薔微迦
耽婆木〇但有甘菓樹木皆充文
圓雲法印云薔微草如木枝故用乳木
云々
建云降伏段骨髮惡木柴文
在唐記云惡木柴者謂榍木柴也
妙心太云調伏用棘刺木薔微柴是也
異緣釋云有乳木謂桑穀之類或用牛
膝莖文
火吽云火木用穀木及夜合木楈木松
木文

准醍云息災取上枝增益中枝降伏樹
根抄義釋同
護摩抄云雖得者隨得而用不證上中
下枝文
長量事量付太
建云量長一搩手或十指或四指量小頭指
義釋云剎十二指量文
火吽云削大如中指長十二指
牟利經云上法者長十二指中法者十
指遂法八指下法四指抄
明泰抄云遂法者調伏也下法者敬愛
也云々
山王院記云息災長十二指增益十指
調伏八指敬愛四指本如母指末大准
之文
文云雖如是得木難易難得貲木但截
四指其沈檀等二三四分隨得截之文
未聞其指量用何指乎
答異緣釋云一切量法皆用大拇指上
節側而相捻是其正數也
無長口決云一指半寸也若長一寸也
文
削樣事
根方太末細削也云切時根方付爲驗
帖云削乳木隨法丸方三角也但師傳
也說不詳本云々
方圓三角等事大威德軌三角者降伏云々
仍准知之歟蓮華鈎形只圓可削也云々
悉地經云香水淨洗文義釋同

數事
禾云一時分七木七把三十六木三把也結其末
帖云若自行等不辨乳木者本尊段二十一枝三七也支火天曜宿本尊世天各三木一把諸尊段三木三把也凡四十五支用之

香
建云丁香白檀沈薫陸龍腦香黃蔻白芥子及以蘇合香半末半爲丸丸以酥蜜和文
其半抹香散香也半爲丸者丸香也四種丸四種散也云云
建云白檀爲燒香增〇燒香用安悉降燒丁香蘇合鉤召抄
隨事出種種香此國難得故楉香少少入加也文
火吽丸香注云若鄉土難得隨辨文

三類形
帖云天狗形鵄地狗犬人形也或傳造加蛇形皆以麵造之文
文云以麵平押彫遥人形餘二如彼形丸作之文
文云其三類形盛器覆蓋文
逸記云或記云五類形所謂野干犬蛇鳥人等也文

稻穀花
帖云或糭焦爲花云云或精八木楉用花文
文云而降伏中唯用稻也文
有芭稻入器用之云云
火吽云末米油煎及染作紫赤黃等色名爲稻穀花文是一說也
如意摩尼陀羅經云稻穀花者燒稻穀取花文
起世經云㸐稻穀爲花文

毒春
瑜云毒藥文建云苦參文無指草也長口決云部指ク、ラ
附子草以刀細切之和酥入器置之文
帖云阿世美之葉春和酢鹽盛器七八合許文

鐵米降段
瑜云或唯用鐵末文
以矢磨荒オコシテ入器置之
帖云鐵末裹紙安之文
大威德法云七夜六兩酬文

阿世見
房取如房花盛器置之云云

荊蘇見根及穂決題
カラタチ也有荊處一寸許切入器云云
帖云枳一寸許切而二刺付切而盛小
土器等安之文
帖云鉤召以刺爲相應物云云枳等也

骨婁草
瑜云其梗米屈婁草比餘物按十倍多文延命
芝根十二指切如乳木調十八十置之百八爲一把云云
帖云芝根一時千枚用之枚數任意百枚爲一束也文
隨聞梵語集新羅人馬勒草云此國イチシハミチシハ或シバノ根云云
十度云安祥祕術要記云屈屢草唯在天竺自唐吾朝都無代用文
高大夫記云此間當擬庭草文
宮抄云其根遠行草也倭云伊知之波文
帖云骨婁草或云芝也或云此國無之而芝之根連而長似延命義而也文

花箭
以米粉小豆許圓作以朱砂紅等染之數若千若百隨人心云云
帖云敬愛只以粳米增加之有說處云云若具粳米赤染用之是用心也又彈丸子許木患百八枚本尊段謂丸以楉香爲粉故赤色也爲遍數猶赤粳米吉歟又智證大師用赤小豆
大原決云有二樣一以且古失ハスノ形作香赤染成用之大國箭石箭云石樣以弓射之也且古許方ハスノ樣作也
其形也二用赤小角豆傳智證大師也文
私云毘沙門法別云示行軌中云若求葛羅闍愛樂者取赤小豆云云世有彈弓以石丸爲箭頗有椽形以之能射的等也云云

油
谷廣記云師說入蘇文
建云名蘇息油麻油熔增芥子油爲油廿
牛胎嚼地羅爲燈降燃燈以菓油抄

牛脂牛油也。嚩地羅牛血也云〻

在唐記云。菓油者。胡桃之油文

瑜云。用蔓青油。或芥子油。或水牛蘇。或用嚩地羅文

粥五穀

建云。乳粥五穀粥文尊勝軌同

瑜糜文

支分釋云。乳和五穀。名爲乳糜。以之爲最上味之供文

述記云。或師口傳云。五穀粥和乳。仍名乳糜耳文

十度抄云。若爾者。何建軌并尊勝軌各別出之一問

飯

建云。粳米飯文尊勝軌同

瑜云。酪飯文瞿醯同

支分釋云。酪和粳米作飯。名爲酪飯。凡是如世間飯食汁曰乳糜。堅名酪飯

又云。飯是五穀王。故不交餘穀

生五穀

瑜云。若息災法五穀中須十倍加油麻文

蕤地經云。淨五穀文

建云。稻穀。大麥。小麥。菉豆。胡麻等略出醫醯

集經同。法花軌同。但胡麻加白芥子

廣谷記同古注云。師傳除胡麻以加大豆或粟足之處

文不定。具可見之文

集經九云。粟。大麥。青粿。小豆。稻穀文

同十二云。稻穀。小麥。大麥。青粿

文云。青粿。小豆。粟。大麥。大豆

本云。大麥出關中。卽青粿麥。是形似小麥。而長皮厚文

清涼記云。五穀合米。大麥。胡麻。粟。小角豆

問。五穀粥外供生五穀之心如何。答。生穀草子體歟云〻

述記云。一切衆生以是五穀曰〻飲食。爲活命。便仍以是五穀淨智火口養諸佛活法身命也

最朝阿闍梨云。此仁和寺法燒供二坏也。飯一坏。五穀粥一坏也。而近代皆用生五穀。本文不詳云〻

生穀文義釋六生熟隨一可用之云歟。

並供表丁寧意歟

又瑜云。乳糜○及木五穀云〻乳糜者熟歟。五穀者生歟

鹽

泉記云。本法中息災法無鹽。而先達皆用之。仍載之文

文云。鹽是調伏。敬愛相應物也。而今世皆通用之文

鹽雖爲降伏物。爲方便通用。例如芥子等云〻

十度抄云。或抄云。問。兩種軌并義釋諸軌等。唐院。山王院。花山高大夫記等無此事。近代何用鹽。又說降伏。鈎召。敬愛相應物。或用鹽。息災增益無用鹽何爲。普通供物。答。術宗多用口傳。唯無誠證。可尋之。又最勝心明王經云。鹽和三甜。護摩除一切病。卽息災意也。增益證可尋之。抑經軌。唐院記等。不載此事。存沒在人情矣

瑜云。若作降伏。用鹽毒藥等云〻

瑜祇經云。取黑鹽護摩能召一切文

立印軌云。攝召護摩鹽作護摩文

最勝心明王經云。由護摩鹽刹利皆敬伏文

帖云。鹽爲鈎召相應物。謂鹽是飮食之中滋味也。如世人依味食。故赴來集會。故以味鹽爲鈎召之物也文

又以鹽爲降伏物。謂鹽是強健物。渦(?)萎物也。如降伏強剛之者也。故相應也本甲

細注曰。禾云。瞿儞家皆經等云鹽梅。以鹽下云鹽梅遍衆味爲鹽梅云〻

蘇

火吽云。三味法酥。蜜。酪每時各三兩。則減半相和一許銅器

之文瓜盛

谷廣云。可儲一器。乳酪蘇。蜜

芥子〻梵云曝阿迦云出息障品

入袋洗。曝於佛前。自所持呪。若辨事明加持之用之。先師所示也

智證記云。蔓菁子小。芥子大也。取大芥子。淸淨洗濯。於日曝文

厶云。世間所有芥子小。蔓青子大也。如何云〻

粳米

帖云。粳米。一說云。囊旦等作用。以粳穢散地。故薙之後經日月。後更生稻也。故云更米也文

悉地經上云。不稱自生粳米飯 文

胡麻

帖。息災胡麻。自餘物稍多盛之。增降相應物准知之云々

文云。安三物次第 ○芥 ○胡 ○米 息。安中。餘准之 文

大小杓

瑜云。注杓（亦云注杓寫杓）一肘量。依木令堅密○口應妙端嚴。闊狹四指量。深當用一指。如吉祥字相（別本形如吉祥子）於中三股杵○鉇應是一把。寫杓一肘量。木如前所說。或依陀羅木。口旋一指量。深量應半之。於中作蓮花。亦用金剛杵 文

帖云。注杓者大也。注火故。寫者小也。寫大故 文

大原決云。如吉祥子者。石榴是也。如中破 文

支分釋云。如吉祥子相者。如柘榴中置三股者。甘露軍荼利印也。爲護摩辨事尊。以此置大杓中。故所盛油蜜等。皆變成甘露醍醐佛性妙藥。小杓中置八葉蓮花。々々有不染塵垢義。故以此酌諸物。皆成清淨 抄

帖云。口旋一指量者。謂杓緣旋高也



或人杓口唯指容大指許作甚非也云々

牟利經云。其面凹作如菲母指節外許

文

別本瑜軌云。口用禪上節。旋而爲其量。橫應一寸餘

帖云。問。小杓底安輪事云何。答。人師意樂歟。而先師小杓下外蓮形也。底有輪 文



明泰抄云。作輪。有人云。弘法大師傳云々

未詳 文

見聞集云。大小杓權實二智也。有云（花也同）定慧 文

明泰抄云（見聞集）。小杓大日也。故中有輪。々々是大日最極三昧耶也。大杓金剛手也。故中有杵。從輪移杵。大日授金剛手之義也。金剛薩埵奉教修二事業。所謂供養諸佛業。利益衆生業也 文

見聞集云。大小杓有二樣。一通用樣。二似爐形樣。謂方圓三角。隨所修法也

帖云。杓有四種。息（息世所用 增方杓 降角杓 敬蓮杓）也○其四種皆大小杓。形同三角等

牟利經云。供養柄長一肘○用銅銀金也 抄

不動使者軌云。杓子法以堅木𣏓之。可受鷄子黃已下。乳柄長二尺許 抄

智證記云。大杓一口。小杓一口。柵二具。其大杓法。柄長一肘。其面凹作。並掛指節外許大也。其小杓准滅之。其二節一用進火。一用進護摩 文

薪

建云。乳木乾柴等 文

乾柴者薪也云々（燒木也）

尊勝軌云。以楓木爲柴。長一肘 文

護摩抄云。量護濶截木長短

…第八淨衣事

瑜云。息白 增黃 降黑 鉤赤 敬 抄

建云。衣服當潔白 息 衣服皆黃色 增 上赤 降

增長同所服紅白黃 敬 鉤 諸色上青黑 抄

紅白黃色。是敬愛色也云々

問。所服紅白黃 文 心何。師云。若紅若白若黃色。隨一可用之 文

玄降云。爐幷淨衣。隨一可用之。祀火法云。兩重是白。餘色好。亦紅色黃云々。此證據也云々

義釋七云。羅字中本淨故白色。具寂災用。以智體故黃色。具增益用。以火輪故赤色。具降伏用

蘇疏云。降伏○今經用青。彼釋（依義釋心）用赤。今經亦云紫色 文

義決云。破壞法○著青黑衣。或血塗衣 文

問。隨法衣色異故如何

答。智證記云。夫心以身口爲表。內心所思以身口而表示。故口以語爲表。身以衣冠爲表。覩其服色。即知貴賤。見其吉服。即知有喜。覩其凶服。即知有憂。故今以其衣服顯法剛柔

∴第九正作法 在別卷

∴第十經軌事

金剛頂瑜伽護摩儀軌一卷 不空貞元新入 海仁運珍

火吽供養儀軌一卷 契進海 錄外

建立曼荼羅護摩儀軌一卷 法全仁 錄外

玄法寺法全和尚隨法潤大阿闍梨口授編集次第也 此注唐院本批也 他本無也

此軌說七日作壇。故不授未入壇人。若授之者。初注祕之。稽首歸命禮已下授之云云

大師云。次陳於護摩儀審成就法已下可授之歟云云

先達 末流 自初日至發菩提。初心人不授之云云此條無爾題讀。七日作壇文。超自次陳於護摩可授。覺西塔出羽阿闍梨初心無細心故讀之無苦云云此中云云吉云云

先達說七日行事故祕之文又有別意祕之歟。世間以爲新出書祕之。法全撰近故祕之歟云云

建立瑜伽共灌頂護摩也云云

已上傳受經軌。此外祕錄所載如左

護摩儀軌一卷 師子國三藏沙門阿目伽跋折羅譯 奉勅改名智藏 前興 亦云善無畏 稍廣

內護摩法一卷 運增興寶 一品

火壇供養及供養十天法一卷 仁

護摩略抄一卷

略護摩次第一卷 翻經沙門慧琳述

護摩法集一卷

北斗七星護摩軌一卷

超際仙人護摩祀火法一卷

建立護摩儀軌深祕略記 三藏善無畏決

師云。善無畏口決書極不審也。奧和語有之云云

私勘之。五葉下有種種和名。又若參者部指草也云云不得其意。況軌法全集也。善無畏口決如何前後相違也云云

玄隆云。此書有疑。池上廣記引之。イカナリケル事ヤラム。孔子依人不捨言云云仍僞書吉云云事可用歟云云

一經軌決

瑜伽軌

特進試鴻臚卿大興善寺三藏沙門大廣智不空奉詔譯云

特進試二位也 圖註 菩提心義云特進是正二品云云 鴻臚卿玄蕃寮也。大興善寺唐在十大寺。是其一也。卽不空三藏居住寺也

隨明當應作云云

軌云。隨五種明作其事也文

廣說大瑜伽文

指金剛頂梵本廣本也云云

持明之遊戲文

軌云。謂遊戲神通之意也文

圓雲法印云。持明法則也云云

一一有多種文

相應物乳木等非

如是五護摩 敬愛 增益 鉤召 文

問。義釋等。息災爲最勝。而今文如何。答。敬愛五種中最勝云云非。此軌依金界。故向西爲本。仍云最勝也云云

持明房決云。敬愛是大悲門之法也。今大乘意。以大悲爲最爲勝〇故云專行。小乘自調自度之行。以他爲先住大悲門也。故敬愛法云 瑜云 流出花箭〇射緣覺聲聞厭離心文建云。歡喜花箭雲射二乘厭離文〇故大乘意。以此敬愛大悲法門。五種護摩中爲最勝耳文

我今說軍荼文

瑜祇經疏云。君茶 同 此云爐也

軌云。軍荼者爐孔也 如決

無畏決云。軍荼中者是孔也。孔者此翠者口也文

作藥而等引文

等引者三昧也。內護摩等云歟云云

息災結佛印

淸涼記云結佛印不空成就印也文 諸說之同

結佛印。有二說。一不空成就印。二大日印云云

用不空成就印事。雖師云相承不順軌意也。又在唐記息災結佛印者。不空佛印文不空佛者。指大日也。大日常入不空王三昧。仍名不空佛也。大師授蘇和尚給時。不空佛印有文傳傳書寫之間。誤加成就二字歟。既中安遍照尊文何不用如佛印乎。先達如此。沙汰無之。口惜事也。都率出三印。不空成就印佛

頂印。大日三昧力印云々。結云。二傳文
理共不明。用大日印。此傳甚善云々。有
先達云。息災法向北方修之。仍結北佛
印歟云々。此說非也云々

增益寶標幟

露地記云。寶生佛印文
清涼記云。寶標幟者。寶菩薩印也〇外
縛進力如寶形文

金剛怒降伏文

露地別本云。降三世印文
清涼云。金剛怒降伏者。忿拳安腰。右當
心是也文

金剛鉤々召大召而相應文

露地云。鉤印。二手外縛。二風作鉤。頭莫
相柱。眞言曰
吽縛日羅羯哩麗耶弱文
清涼云。金剛鉤々召者。鉤菩薩印也〇
內縛舒進如鉤相召文（性記同）
帖云。大召而相應文謂唯鉤召儀耳文

敬愛蓮花部文

露地云。大舍印。二手外縛。立二中指。如
蓮花形文
清涼云。敬愛蓮花部者。蓮花三昧耶印
也文（性記同）
已上當壇印。近來不用之。付谷記修之
故也。彼記正依建立意文然者此軌印
不必可用之故歟云々
江師云。法曼院令結加之給
示云。古記等加延命印明。爲六種護摩

印明

從三昧耶至迎請。皆依本法。或隨五種護
摩隨部々主。五相成身迎請已。誦讚歎。以
四攝安立聖衆圍繞爐。然後獻閼伽。各結
本羯磨印安立。示本三昧耶文
帖云。此前後交雜。謂以四攝安立（乃至）
閼伽十五字上迎請已文。前可有也。誦
讚嘆三字。各立本羯磨云文。上可有歟
或（息災眞言）有教中說。用部母爲息災。或本尊眞言。
或毘盧遮那眞言
帖云。持曰。或教者。是指梵文也。未必譯
傳耳。私云。或教者。指瑜祇經金剛吉祥
品。有何失耶文
若作降伏〇或用〇（本カ）法。或用不動尊。或降
三世。或文殊師利。六足尊等。眞言
帖云。調伏法。多依五大尊法修之。多分
不聞依餘佛菩薩等法。修調伏法。五大
尊之中。不動大威德是通例也文
卽於道場外八隅敷茅或蓮葉或餘青草。
或塗圓壇爲十位文
壇外云道場外也。如灌頂時。十方神供
是十二天供也云々
若道場外無置處。卽於道場前別爲方界。
於中作八方文
建立一壇。其上作十方神座位。可供之
也。常十二天供也文
帝釋乘白象文
是伊羅波象王也（謂善住象王也是切利天象也）
火天乘青羊文
火天梵王子也。羊梵王所好也。火神梵
士所仕尊也。故乘之
炎魔天乘水牛文
水牛有沈牛口牛。能走地中牛也。此王
在地下黃泉國。故乘之文
羅刹主天乘白師子文
諸鬼中可怖羅刹鬼也。噉人故也。諸獸
中可畏者師子也。故乘之云々
水天住水中乘龜文
龜在水。故乘之
風天雲中乘麞文
麞足早獸也。仍乘之文
中心四臂不動尊文
是敎令輪身也。四臂外威猛勢力形也
云々

建立護摩軌

凡此軌非口傳難心得也。以諸文被撰
出端大日經。法花軌等也。中間烏樞沙
摩祠（記カ）火法。奧文殊八字軌也。仍見各々
本文意。自被心得也。凡無畏不空譯私
筆也。法全已下皆取經軌三藏說書之
給。凡諸尊可通事云。成一尊法。又自一
尊法求出事引成餘尊事在之
玄隆云。此軌瞿醯。義釋。攝大軌。瑜伽軌。
法花軌。熾盛光軌。北斗軌。尊勝軌。悉地
軌。烏瑟沙摩軌。祀火法。仁王軌。大般若。
義釋。牟利經等抄出也云々
密迹大忿怒文
潤雲法印云。不動也云々（禾云不詳）

壇處當中頓方各一肘掘之
帖云。頓方一肘者。四方直各一肘云也。不曲不戾不傾各一肘也。頓字訓可尋之。其意如之謂頓故不曲也。如流星直走也
不動母捺羅
無畏口決云。母捺羅 印契也文
以彼諸衆生 乃至 無有於遺燼
總\標內護摩樣 文
/內護摩觀。引尊勝軌文也
我成菩提後。演說十二種。智火最爲初 文
已\下十二火事也。隨要相應施主等心願火隨一可用之。但谷記不用十二火。只依通用。火天形色令觀之。謂非奥并瑜軌所說火天。是五種通用形也 云〻
凡\印度國梵王爲祟朝。火神是梵王八人子。祭火得自在也。故淨行婆羅門多仕火神。其火神有十二。又有四十六神。佛課其風儀說護摩火法。眞實智火亦有十二種梵士。又源流先佛教護摩。爲祀火法也 云〻
禾云。具可見護摩品釋
護摩品釋云。我昔未成正覺先所曉知。略說如上四十四種火法。廣則無量。如彼韋陀典中具明。今成正覺復說眞慧之火十二種法 文
大原法橋決云。十二火卽十地等覺妙覺智火。外道四十四火也 文
十二火隨五種護摩。各〻カタトレハ

第二行滿火○第三名摩嚕。第四盧醯○第五沒栗拏。第六忿怒火○第七名溫腹○第八名費耗（受食天）○第九意生火○第十名羯攞尾○第十一（闍梵名本）第十二謨賀那（迷惑天）
具緣釋云。其十二火經中略說形像。有一神闕名者。但依諸火天總相之形 文
無畏口決云。第十一瑜伽者是相應之義○是一種者。此祕中祕也。因之闕梵本者。大阿闍梨印可灌頂職位與此教法相應故 文
咒金剛輪中能除遺重障。及頂行眷屬 文
在唐記云。金剛輪謂方壇也。頂行者魔也 文
其尊側右手淨行唵印擊 文
在唐記云。唵印。卽側右手也
護摩品釋云。淨行者。凡有所言語皆側右手作印形。而舉案之。以唵字聲而作相故也
次陳四微密
四\微密者。息。增。降。敬也 云〻
圓明一肘○澄明仰在心 文
開\月輪如圓珠圓室。何云仰在心耶
答。若爲初心說之歟。仰月云事起自此文 云〻
入於瑜岐口 文
在唐記云。瑜岐口者。謂行人口也 云〻
搭上祥茅草。隨日右旋布。以本覆其苗 文
在唐記云。階上者謂緣上也
布茅草事

帖云。爐基下邊地布之。爲安供物等也。但是地壇作法也。非水壇作法 文
文云。布茅事。略出云聖位也 云〻 今云。布茅法。是爲安供物。專非聖衆之座。謂聖衆請火爐中故也。而此經意。且存瑜伽軌。爐邊安聖衆位意歟。可思之 文
文云。布茅爲安供物等也。見妙臂經 文
布茅事。常不用之 云〻
慈心生歡喜願祝於一切。是略護摩處 文
此\文不得心 文
義決增益段云。慈心念誦歡喜願祝
護摩品釋云。大慈大悲心。是爲息災法。彼兼具於喜。是爲增益法 文
在唐記云。慈心生歡喜者此慈心喜通四護摩 文
鋪對曼荼羅。外相望別作 文
是\說開壇也。對大壇別立護摩壇
/建立離壇。瑜伽卽壇也。先達云。卽壇者。大壇。卽護摩壇也 云〻（頭註）弘決云。卽者廣雅云。合也云〻
瑜伽軌。離壇義見。迎請已誦讚嘆。以四攝安立聖衆。圍繞壇爐 文 是大壇諸尊。請移護摩壇也。軌上文從三昧耶至迎請并依本法者。大壇聖衆。移護摩壇。法式准大壇法云也。本經文執香爐。請佛菩薩。所請法式如大壇中說 文 本經意。灌頂之時。大壇。護摩壇各〻在之。本經儀軌一心得合所也 云〻
所供如大壇 文
護\摩壇。同可備四面供。若備之時。別必

可修行法也云々
備四面供事義諦靜觀皆出支度而智
泉大以不受之文
尊勝軌本二卷云護摩壇安五瓶諸飮食等一依大壇法不異若不依如是者法不成文

燃爐誦後明

燃爐扇火事也云々

師出洗手已文

供養世天後洗手也但灑水許可用之云々

又復於淨處祀於八方天

十二天供事也且擧八方也遍可供十天云々

上赤增長同

問上增長文云衣服皆黃色文今上赤增長同文何
答是抄裁烏瑟沙摩軌文件軌增益赤色也仍今軌面雖似相違見本文疑惑自除云々
烏瑟沙摩軌云若求增長者○其色皆上赤○若求歡愛法上赤增長同文
玄隆云師云今引此事增益用赤色示異說也云々

焔中韈曳羅文

火天段如抄之文

熾盛無與疇文

ム云疇字也若儔字歟云々

飮食以石榴汁染文

石榴シフキ故也云々

鐵汁皂礬水黑花芥子栢文

在唐記云皂礬其形似沙其色青黃也其汁黑色以染衣等文
鐵汁鐵毒氣出汁歟皂礬共也又皂蛇結云木汁也礬礬石物也云々

酥乳蜜麻油尾沙共相和頭酢或用文

在唐記云尾沙未詳頭酢者謂酢極作者也
圓雲法印云頭酢者ハシメ非タルス也云々

頻申動支節滯唾及鳴聲○制之勿憍慢文

ノヒアクヒ體事行法之間不可爲之如悉地經等云々

地水內爲縛火輪繞二風前令習大輪三七障皆銷文

在唐記云習大輪者謂火輪眞言亦名金剛輪眞言也
圓雲法印云習大輪者輪眞言三七反誦云習云也云々

護摩如教法微細明解之少分不相應衆生皆來集文

是文殊八字軌文也相構會釋云非云外護摩內護摩少分不相應云事也但此文不分別內外少分相應不可有咎云歟云々

三俱胝數滿常得見本尊

八字軌文也餘尊尤可有此義故爲總文改文殊爲本尊也云々
建云大教阿闍梨深行巧慧者欲求大悉地應須頻護摩每滿三洛叉一度大供養○三俱胝數滿常得見本尊文淺略意云念誦本尊呪滿三洛叉一度護摩云歟如不動滿十萬及後以八千乳木一度護摩若不成更念誦幷護摩如此滿三俱胝爲成就云歟洛叉十萬也俱胝千萬也深祕意云大日疏世間成就品具如彼疏云々心洛叉者非十萬反是一見義

火吽軌

帖云火吽法大約普賢爲主等者謂息災大約普賢爲主增益大約觀音爲主降伏大約金剛手爲主也文
帖云火吽法內題與所出諸天眞言軌文云其八天眞言及火天眞言已別錄題與卽書出故不可捨之又其與所出文是此法七支念誦法也是殊特最勝法也

∴第十一私記事

示云慈覺大師已下代々明匠私記數本不可具載文

護摩私記　谷

內題注云正依建立意傍用瑜伽文文
帖云正宗是先師所製也前分後分幷結願等作法私加之文
戒壇僧都記也池上次第相承加前後方便結願等作法加之給
此記依智淵私記被抄建軌山門尤可

詫書也。仍爲本傍引用瑜軌要所。仍正依建立傍用瑜伽文。凡建胎瑜軌金也。然而雖修何界護摩。兼壇上綱以後皆用此作法也。而相實法印闍此作法。作各別私記
師云。建立瑜伽兩部護摩也。粟承私記。兩軌文書合現修時可付界文也。世人不分別之。院□梨此義甚甘心云々
或云。就谷記有兩本再治未再治也。奧後火天段載之未再治本也

三昧私記
此記永源（公任息）作也。件書御作可號之由。中三昧和尚云々一覽之後許之。仍云三昧記也云々

護摩觀法
池上爲教慶律師令作之云々

護摩抄
有云。惠雲僧都作云々
一切護摩私記。作者不審以十度抄紀之云々
智淵僧都記。谷隱祕不令傳人給云々
護摩口決阿彌陀房作（明睛）智淵等說記之祕而世多披露也云々

建長四年二月二十九日小河草ー
寶永八年三月十六日於中天鷄頭蘭若書寫　已講嚴覺

阿娑縛抄第四十三　護摩別

三摩波多事
後火天段事
三段護摩事
爲亡者護摩事
神供事

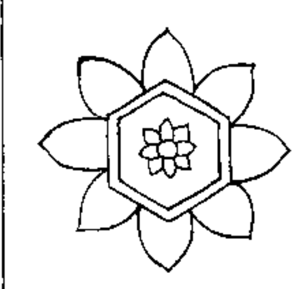
∴三摩波多法
蘇疏云。三摩波多此云究竟文
悉曇藏云。三摩波多已竟之義也文
業煩惱燒盡究竟之義也
露地記云。此云修法文
瑜云。次說三摩波多法。安所成物於酥器前。成物大即安於左右邊。隨便處行人。酥器成物。爐聖衆。如是爲五集。應巡環次第安立。取小杓滿杓酥加於所成物上。誦眞言。至娑嚩（合二）訶字。即舉杓投火。與訶字聲俱下。便長引〇聲。令杓却至物上。訶聲方絕。遍別如此。若加持人。即安杓頭上。若用本尊眞言。無娑縛訶字。常加之而誦。若遙加持人。或抄名。或著前人衣。標心而加持云々
是別作法也。顯祕事歟。所成物云者。普賢延命。八種香等體物也。若安施主頭上可想也。若有表物者置案上。在壇左方。施主座程體也。用此作法之時。無御加持。金剛壽院座主。三摩婆多御加持共被用之云々
帖云。施主家。修護摩時。修三摩波多護摩。而近代皆不修之。傳聞。冷泉院御時以往皆有之。以後唯用後加持云々
又云。三摩波多護摩諸尊段末。奉送之前修之云々
此作法。諸尊段大杓油次。滅惡趣上用之云々
三昧阿闍梨記。本尊段三種合物後出之耳（依師說）
十度抄（甲本頭註曰十度抄者云十波羅蜜抄。大原長宴記以觀戒等十度爲名。）云。私云。軌文。蘇供以前修三摩波多法。又露地記。蓮記同軌意。唐院一記。有（十冊）露地一記。宮抄衆記。先供蘇後修三摩波多法。今且依之而已文
三摩波多。建立軌有火天段。瑜軌有本尊段云々

∴後火天段（滿世天段供前修之）
淨火　次扇火　次投房花一房
次合掌誦偈　次召請　次四字
次嗽口　次小杓油三反
即承仕以殘油叩戶。兩入小杓。以油器置右机。行人入供火中了。以小杓打渡油器。與三重叩戶。次大杓請蘇供火中了。引杓相變。小杓〇渡之
次祈願　次嗽口　次投房花
次發遣　已上如火天段
火天自在威神力　能滿衆生無量願
令所求者願皆成（令求福樂者願皆富饒）

稽首諸天歸本宮　後有至誠奉請時
唯願來此受供養文
已上後火天段
悉地經云。護摩都了後。啓火天。重受餘
供。如法退還○所殘餘穀蘇蜜酪等。並
和一處。用祀火天眞言三反。而作護摩
文
烏芻澁摩軌云。又請火天。祀三大杓文
建云。又復於淨處。祀於八方天○還來
再祀火文 及宿曜等皆三反祀
如\住曜宿段重可有之歟。答。不用之文
十度抄云。或抄云。建立軌。世天段後。重
供火天。蘇悉地經及義釋不說世天段。
唯重供火天。烏樞軌意。雖不明世天段
前以重供火天。人師說。或世天段前供
之。或後供之云々
三昧和尚記云。雖有文說近代無此作
法云々
谷廣記云。此一壇口傳可問之。祕中祕
也。見悉地經。但所供物別也。具如彼經
文
此\事祕藏事也。自行可用之。化他時不
令知人可用之。是建軌意也。初火天段
火供行料供之後。所修功德。入大日智
火心也云々
十度云。問。何故重供火天。答。祀火法故
重供無失云々
∴三段護摩
先火天段○都合〃

次合段 本尊段合結同段也云々
先淨火　次扇火
次投花　房花二 本尊三部明散
次觀尊 大日尊本相對 如例三部闕遶
佛部 金剛 本尊 蓮部
我今稽首請　本尊某甲尊
三部諸聖衆　唯願降臨此
納受護摩供
次召請印明 大鉤召
次四字　次嗽口　次杓觀 如常
次大小杓各三反 以三部明大日諸尊總明供本
次粥飯生鹽花各六反 三反本尊明 三反三部明
禾云。此次承仕合供物
次芥胡麻 如例本尊明　次乳木三十六
次合物　次木　次合
次木　次合　次七木三把 如例三部明
若\略百八木。唯七木三把許投之云々
次合物百反 三部明
次香六反 三反本尊明 三反三部明
次香花入合物。指遣承仕
次大杓油三反 三部明
次祈願　次滅惡趣護摩 如常
次嗽口　次投花 如前數明　次奉送
次世天段 如例合曜宿
若\日來六段修來。略曜宿各別段之時
反數不失之。合供等燒供數宛投之。芥
子等明數念誦加之。乳木三把 禾云天明一世
把曜明一把宿明一把 投之。若自本三段護摩。唯合

供次誦曜宿明投之。全如例世天段乳
木一把也云々
已\上作法谷三段記也。存略之時大切
也。時運之時至要也。但日來反數不失
之故也云々
∴爲亡者護摩事
一本尊事
常阿彌陀尊勝光明眞言也。此中隨施
主意樂。任行者樂略。又法花寶樓閣等。
同可修之法也
一五種隨事
鉤\召修之云々
建云。次召三惡趣。安置於人天文
瑜云。鉤召三惡趣有情。安置人天善
處文
一塗壇事
建軌。敬鉤合說爐可塗之。謂內爐六
角外緣八葉也
或人云。以彌陀爲本尊之時。此爐尤
宜。謂彌陀者依金界意者。西方蓮花
部尊。故敬愛相應。而爲亡者料。鉤召
尤可修。今敬鉤合說尤有據云々



或瑜軌鈎召爐可塗之文
或人云。尊勝光明眞言爲本尊之時。
此爐宜文

一行法事
問。修供養法之時。行者本尊成身。爲亡者有何益乎　答。亡者行者一觀令所修功得亡者也

一護摩作法
全如常。護摩更無可替事也。世人不修曜宿段。尤無其謂云々
問。葬家護摩曜宿段略之心何　師云。先達云。曜宿爲現世也。又說。葬家奉請入星宿事有憚歟。二說共不得心。宿曜錄命家今生事許。不及後世沙汰也。依之息災延命時事也云歟。又有憚云事不審也。本自有結緣。其曜其宿司護給。後世不可見放。有宿緣故請之。後世助給。祈尤有便。全不可略之。又穢所不來云事。外法時事也云々
或人云。曜宿段請本命曜宿。然而爲亡者護摩修之。無咎。常時施主化功歸已得功德事。供施主本命曜宿無失云々
又或人云。曜宿可除之。其故建立軌云。請於本命曜及命業胎宿文依其意者。爲亡者無其詮也云々
問。世天段。五七日內葬家中顧世狀有憚如何　答。是三部中金剛界衆恩供。故無憚。是祕說也云々
本命曜宿々々緣厚故。尤修之。後助可祈禱。是自義也
文神供同可修之。神供爲法成就也。葬家不修之。御菩提難成歟。神分心經更々不穢歟。此自義也。世人不然歟云々
已上法曼院消息也
或云西塔。穢間神分曜宿段。或不爲。或爲之。佛來一切冥衆鬼類皆來。天神地祇併集。主已來伴畏穢而不來耶云々。若爾者神分同可成歟。答。サテ有ナム。然而顯教佛經供養不爲隨順世間之時不爲歟云々
爲亡者三段可修之。火天段。本尊段。諸尊段合世天
帖云。爲亡者護摩內護摩時。與行者與亡者一身口意觀之文
或人云。結誦大鈎召印明。召請亡者。令坐壇邊。修三摩波多護摩如常作法。酌油少高持。擧投火上。則可想依鈎召護摩功力。燒盡亡者惡業煩惱。可送淨地寶地等。是師傳也。以之爲亡者護摩規模也云々

一卷數事
或云。常途不奉卷數也。但或說。亡者墓所送之
或云。依宣旨。西京座主修之。被奉卷數云々

一神供略作法依三昧和尙記抄之

一調備供物
五穀粥一桶有杓。以井花水煮之。若有蘇蜜相和之
問。神供粥入加油心何　師云。蘇替歟云々
散米一折敷ム云切紙檨葉等加之云々
幣帛八捧若三捧
禾云。散米折敷上。左右各四捧置之。若於露地修之時。竝立地上
略出經云。卽從壇出取豆。菓。餅。飯。胡摩。諸花等。和水。安瓶盆中。以歡喜心四方散之。施諸天鬼神眷屬等云々

一正作法禾云。有助修之時。世天段之間。於本壇修之。或修諸尊段間云々三部被甲如例
先護身
次加持供物々々以杵誦吉里々明加持之
次須彌王眞言金合
唵蘇迷嚕嚩羅婆野沙嚩々々跛羅娑嚩賀
次甘露印眞言
左拳押腰。右以施無畏印加持
曩莫蘇嚕婆也怛他蘖哆耶怛儞也他唵蘇嚕々々鉢羅蘇嚕々々々娑嚩賀
次鑁字印眞言八葉印
曩〇南鑁
次開喉眞言
右手大頭相捻。火已下少曲加持
唵步步帝利迦哆唎怛他誐哆耶
次施飮食印眞言
右手以大指加火甲彈指
曩莫薩嚩怛他蘖哆嚩嚧枳帝唵三波羅々々吽

次啓白事由勸請（合掌若捧幣帛）
敬奉始八方神。行疫流行神。山王三聖。國內鎭主諸大明神。有勢無勢權實二類。半天婆羅門仙等一切餓鬼〻類眾白言。今調備五穀御粥散米幣帛等。加三密加持。以廣施無盡之心。奉勸請供養。一〻降臨垂哀愍正鎭申
勸請印眞言
大鈎召印（風內縛鈎之右）
唵嚩迦〻〻迦羅耶曳醯呬莎縛賀（三反）
一切天神地祇冥宮冥類餓鬼〻類曳醯呬娑縛賀
次以杓酌粥。散四方（私云。只酌上〻〻スル也）誦施飮食眞言（上右）
次幣帛。誦普供養眞言。捧供八捧
次散米。誦飮食明。兩三反散之
禾云。只散折敷上也。即拔幣帛。加散米〻〻入粥桶內。以空折敷如本置桶上。其上置幣串杓等
若於地上如法修之時。立幣帛。粥散米等。其幣立所散之
次唱五如來名號（金合）
南無寶勝如來（除慳貪業福德圓滿）
南無妙色身如來（破醜陋形相好圓滿）
南無甘露王如來（灌法身心令受快樂）
南無廣博身如來（咽喉寬大受用飮食）
南無離怖畏如來（悉除恐怖離餓鬼趣）
次心經　次十二因緣流轉還滅
次授三昧耶戒　外縛。立二火指

唵縛日羅薩埵縛吽
次令發菩提心　合掌
唵冐地唧多母怛跛娜夜弭
次圓滿五智（五貼印）
唵阿味羅吽欠
次祈願
法財二施相並。恭敬供養迴向莊嚴。奉悅豫給。所願令成就給
次願以此功德等云〻
次發遣　右手向上彈指（三反）
唵縛日羅摩乞叉穆
若行者能如是施食者。便得殊勝福報。送於無人行之處。或水地邊樹下。恒供施之。但桃柳石榴木下不得供施。若施畢相去時莫顧視也云〻
應永十二年五月五日於濃州谷汲地藏院書了
一交了　（梵字）幸運
寶永八年（辛卯）季春念六日於鷄頭院勝
寫
三部阿闍梨已講大僧都巖覺

阿娑縛抄第四十四　四種念誦事

一。意支念誦　二。先持念誦
三。具支念誦　四。作成就也

一。意支念誦者
帖云。大日經世間成就品。有四種念誦。一意支念誦者。謂先觀本尊相好了〻〻分明也。而於尊心月。先觀種子字〻〻分明。即眞言字一〻加之。乃至一眞言字皆分明也。故台界諸眞言中。先種子字。次諸字也。是觀次第也。如不動明種子在終。雖然先觀種子。一〻字了〻分明。即觀一〻字義。更分明也。而即諸字有聲。一〻字旋轉流灑。一〻有聲。謂如（梵字）字。唱阿聲也。眞言諸字皆有聲。唱字名也文
先隨弟子所樂。定本尊。圖月輪。本尊眞言右旋。梵字書之。字義句義敎之。目見字相。心想字句義。順逆無礙令練習也云〻

二。先持念誦者。禾云。又名先承事
帖云。意支純熟之後。作先持念誦。謂其本尊眞言。依敎若一洛叉等數反滿之持之也文

三。具支念誦者
帖云。數反滿了。具支念誦也。謂辨香華等諸事供〻養本尊也文

四。作成就法
帖云。前三念誦成就了。更作成就法。謂祈境界也。我以何物可爲成就物哉。可祈知

之也。若可成就物。杵若劍若蓮花。夢種々異物。隨其境界。作儲其物。即以其物修成就法。即依其物發神通。手持其物。往反十方佛刹。爲持明仙。乃至登覺了。即今此三摩地所成物。謂之三摩耶形也。是本初入門中三摩地所成標幟也 文

又云。諸儀軌行法。皆是成就念誦之作法也○次第念誦之後。正作成就念誦也。而世只直作此成就念誦作法。如求聞持等。無先持念誦。得成就之人多之 文

又云。義釋之文。無初持誦法(禾云前三念誦也)得成就者。如修求聞持法之人也。有其證 文

禾見求聞持軌云。設不如法。但能常誦。獲福如是 文

又云。乃至七遍。縱在五逆等極重罪障。亦皆消滅。法定成就 文

又云。或不作前三念誦。直作成就法。如云十一面軌上卷。先修持能成一切事業云々 又同軌中卷云。習先行法云々 是一軌二文相違也。謂各據一義也。若隨機若隨法耳 文

又云。問。立印等軌。何故只出第二先持誦。不云第一意支耶。答。凡意支是一切行者必定先可有之。理極成不疑。故唯限反數。出先持誦法也。諸軌出先持念誦法等。准知耳 文

又云。立印軌。求聞持法等。先持誦之時。得成就之相出之。依先持誦即得成就。故出其相也。立印中其相非一。求聞持中欖蘇。是成就相也○ 文

禾見立印軌云。榮食作念誦。數滿十萬遍。斷食一晝夜。方設大供養。已成初行滿。心所願求者。皆悉得成就 文

後\師云。大僧正御世持明之行人皆修之。其後少々有修之。我等世無。下無此事云々

但\近來初行皆十八道授之。谷阿闍梨以後。皆以用之也云々

帖云。若無意支作先持。乃至無前三作成就。還妨我法。何有其驗哉 文

又云。諸別軌多是第四作成就法也(禾云謂之成就壇也)而無前三直作第四法云。無驗。是悲哉々々。但依台藏金剛智一卷軌意者。不作前三直作成就云々 聊有法驗。依此意。尤可貴々々 文

禾見彼經云(要略念誦經也) 祈無上願。莫念時處。不慮吉凶。不依儀式。但能正修。及正迴向。運心供養。亦速成就。若求成就世間小福。雖復專勤。依於法式。修持外相。唯小成就 文

定本尊事

先\持誦之後。具支念誦時。專依一尊修之爲始。十八道。丹州嚴訓也。而近來始授不動立印儀軌。如何。答。闍師說。以不動爲最。彼偏仰明王之本誓。深尊南山之遺風。傳聞。慈覺大師以件儀軌傳授南山和尚云々 自餘尊。又隨所樂。可授之歟

禾云。古人說。山門以藥師爲初入本尊事在之云々

是則仰彼品還得之誠言。悪像法轉時之利益。一經其耳之誓。九横遠離之文。尤可貴故歟云々

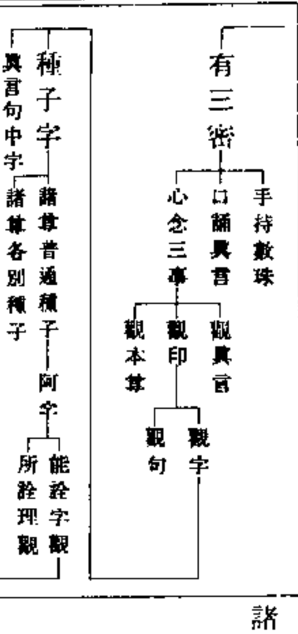
又經云。設有毀犯。聞我名已還得清淨不隨惡趣 文

禾云。若不動字輪圖可如此(餘尊可准知)

又都率三密抄別卷料簡云

念誦有二種。所謂大日經

- 世間成就品
- 世出世持誦品
- 悉地出現品
  - 世間有相念誦(若不依此法者終不得成就)
    - 入出息念誦 世間
    - 心意念誦 出世
  - 出世無相念誦
- 有四法
  - 意支
  - 先念誦
  - 正支
  - 作成就
  - 是自淺至深調心方便也



形觀―有諸色―先白色―諸色本故。順本淨理故。文多說此。寂災色故。若樂增益等。亦當觀黃等

聲觀

禾云。觀自在菩薩瑜伽觀行軌云。於月輪中右旋安布陀羅尼字。其字皆放白色光文

以此最淺極略之觀。期彼甚深廣大之果。

其觀者

行者前有一淨月輪。中有本尊。心上亦有圓明月輪。其圓明外亦有光明。如秋夜月無雲顯照。中有𑖀阿字。瑩徹明白如淨明珠。柔軟潤澤如淳淨乳。焰鬘周匝微妙無比。行者自身亦住月輪。心有圓明。中有𑖀字。其相如前。即以此字爲出入息。若息出時行者心中字隨息而至本尊心中。與彼月輪字和合爲一體。若息入時離別於本尊心中。隨息而入行者身中。（若開口念誦息從口出入。若閉口念誦息從鼻出入）如是循環流注無間。從上向下。遍灑下品（音下品。名可詳）頭尾相接。漸入此中。身心流布灌諸身分。如甘露灑。如是漸々轉謝轉寂息遍於身。字亦隨遍。爾時不見別有喘息。但以阿字爲出入息。甚深微妙任運出入。即以如是加持力故。佛之功德自滿其身。由此本尊身行者身無異故。淨除諸垢穢。得六根清淨。

私述云。行者心月表在纏眞如。本尊心月表出纏眞如。彼二所阿字。即其能詮也。今行者在纏阿字。詣本尊出纏字所交接和合故。被同體加持。既被加持已。還來身中周遍灌灑故。漸除垢得淨。感應道交不可思議

此觀成已。當作深觀。更撿經疏。

疏云。上從佛部下至八部。凡有念誦。皆當如是作之。一切種子皆從阿字而生○是故但觀阿字。爲一切種子。以一切法不出阿字門故

義釋云。行者初習慣時。雖暫得相應。猶如電光儵滅。縱使明白。不應味著而起貢高。設令隱滅。亦勿退念而自憂悔○如已得穀種。植之良田。便養育。必得成果。行人亦復如是。已得初種子。心次作一月。先承事法。即是種植方便也

禾云。就此觀帖決云。或疏意云。灌頂爲善云々。謂於我心不觀月輪。唯灌頂寫入身也。初心人是佳矣云々

禾云。可用此說歟

禾問。此觀實至要。幾時得證哉　答。都率僧都成身文集中云。獲五種三摩地門。云何爲五。一者刹那三昧。二者微塵三昧。三者白縷三昧。四者起伏三昧。五者安住三昧也。云何名爲刹那三昧。謂暫想念滿月而住。譬如獼猴身有所繫。遠不得去。近不得停。唯因飢渴。須臾住止。凡夫觀心。亦復如是。暫得三昧。名爲刹那。云何名爲微塵三昧。謂於三昧少分相應。譬如有人常自食苦。未曾食甜。於一時中。得一微塵蜜。到於舌根。增勝歡喜。倍生踊躍。更求多塵。如是行者經於長劫。食衆苦味。而今得與其甜三昧少分相應。名爲微塵。云何名白縷三昧。謂凡夫自無始時。盡未來際。今得此定。譬如染皂多黑色中見一白縷。如是行者於多生死黑暗夜中。而今方得白縷三昧。名之爲縷。云何名爲起伏三昧。所謂行者觀心未熟。或善成立。或未善成立。如是三昧猶秤低昇。名爲起伏。云何名爲安住三昧。修行前四定。心得安住。善能守護不染諸塵。如人夏中遠涉磧。備受炎毒。其心渴乏殆無所堪忍。得雪山甘美之水天蘇陀等。頓除熱惱。身意泰然。是故三昧名爲安住。入此定已。遠離惑障。發生無上菩提之芽。速登菩薩功德十地

禾云。已上五種三昧所經修觀。雖有漸頓。旨歸在斯。尤可任意。守護國界。心地觀等經說之歟。都率抄取被入瑜伽觀門爲其要旨。見而可知而已

求法比丘承澄記之

德治二年丁未卯月六日於洛陽西山邊書寫之　求法金剛佛子栄順

御本云

弘安四年三月二十二日奉書寫之抑此本者□□御抄也受法之最要行者

發足處也年來受法□□□□□□
□法受此書委細示之自愛只在此事
今月十九日參上小川殿即日奉受之
此白毫院圓□房也
山門末流　良含

阿娑縛抄第四十五　一切佛 亦名遍智印

梵號　薩縛但他識多枳擾嚢母捺羅
密號　發生金剛
第一可修此法事
示云。一切無印明等佛。依之可修之
第二支度事
第三形像事
義釋四云。諸佛菩薩經中不言所持印相。
亦執無價寶珠皆得也
第四道場事
第五行法事
依胎可修之歟
道場觀
種子[illegible]字　三形寶珠　尊形可隨佛
讚
摩賀引迦嚕抳建嚢貪捨沙路藍薩縛
吠儞南奔女娜地蠅虞拏馱藍鉢羅拏
摩弭怛他識耽 是佛讚也
根本印明　金剛合掌
嚢莫三曼多沒馱南暗薩縛沒馱冐地
薩怛縛紇哩捺野儞也吠奢儞嚢莫薩
縛尾泥娑婆訶
後入三摩地
[illegible]暗字門一切法邊際不可得故文
第六護摩事
第七行法用意事
第八經軌事
第九私記事
第十卷數事
建長二年四月十一日草了
建治四年三月二日書了　遍照金剛〻〻
正和二年五月十二日書之　遍照金剛義寂
應永十二年乙酉卯月五日於濃州谷汲
寺地藏院書之　無障金剛幸運
享保十二年秋八月二日於南紀粉河
寺寫之　台山雞頭院沙門天忠

阿娑縛抄第四十六　藥師本

梵　[梵字]藥[梵字]師[梵字]琉璃[梵字]
光[梵字]王[梵字]如來

密　發生金剛（胎藏界遍知院一切佛密號也文）

印

抄（山王院座主抄）云、藥師經古迹記云（太賢撰）、能拔衆苦、喩名藥。無像不徹、稱瑠璃光文

同疏（靖邁述）云、約喩爲名、藥師之術、能除萬病云々

遁倫疏云、拔除生死之痛、故名藥師。照度三有之闇、稱瑠璃光云々

良與法藥、故云藥師。身如瑠璃、內外明徹、故云瑠璃光。具可云青瑠璃光、是瑠璃（中略）○爲本故云々

問云、然者今如來何金色哉。答云、應佛習金色膚也。問、內外明徹淨無凝穢事如何。青瑠璃云也云々

示云、淨瑠璃淨土標云、身淺碧色文

頂上光明決云（安然）、瑠璃吠瑠璃、誤也。梵字相似故誤也。初翻譯誤、後代承用之抄

雖知誤、可云瑠璃、漢家本朝久用來故也。例如云新羅云雞羅也。況又云雞羅、知器、云瑠璃知玉乎云々

又不空少軌云女里云々

示云、彼軌讚中女里文、眞言中瑠璃文

第一可修此法事

爲除病延壽修之（先本經軌）

爲産婦安穩修之（見本經並集經等）

先蹤○（法勝院本）

從保延四年七月六日、依院宣、率十二口伴僧、於中堂被修之（七佛法五七箇日）。院宣云（中務大輔藤原納言顯頼）

證金剛院池蓮花一莖兩花發。大治例事似不快。殊致丁寧、可被祈禱云々

大治例者、白河院御時、鳥羽院殿池一莖兩花發。六月發、七月七日令崩。凡一莖兩花先々皆以不吉云々。今度依常途說、大幡四十九燈等不載之。然七月御札不注進大幡等、尤遺恨也云々。仍自次七日如此等事修之。同七月十八日令進結線（示云、其支物等支度所書之。是第二七日也、六日也云々）

第二支度事

註進

藥師御修法一七箇日支度

御本尊

壇一面（方六尺、可有爐桶）　脇机二前

燈臺四本　輪燈一本

禮版一脚（可有半疊）　壇敷布一端

五寶（金、銀、眞珠、瑟々、頗梨）　五藥（赤箭、人參、伏苓、石昌蒲、天門冬）

五香（沈、白檀、丁子、鬱金、龍腦）　五穀（稻穀、大麥、小麥、菉豆、胡麻）

酥　蜜　名香（沈香、白檀、鬱金）

壇供（如常）　明油（一石五升）

芥子袋　佛供覆

大幕三帖（可有代縵草）

阿闍梨　番僧十二口　承仕二人

駈使四人　見丁二人（以上淨衣黃色）

人供（如常）　供所雜具鋪設等（如常）

右大略注進如件

延曆三年十一月　日

阿闍梨法印大和尚○忠快（已下十字）

本願藥師經十二卷　大幡一流（五色）

長四十九標平　七層輪燈一基（燈四十九料）

五色絲各少々（色別一丈。餘結線料）

切燈臺三本（讀經料）　經机三前

油五斗二升五合（四十九燈七箇日料七升五合、杯別五勺定、日別）

放生四十九頭（七日內三度之）

右隨時早晚、依施主形勢、可出之云々

注進

藥師供一七箇日夜支度

壇一面（方三尺五寸）　燈臺二本

脇机一脚　禮版一面（可有半疊）

名香（沈、白檀）　蘇蜜（各少々）

壇供三石五斗　燈油三升五合

壇敷布一端　桶三口（大二小一）

杓二柄（大一小一）　折敷三枚

阿闍梨　承仕一人　駈使一人

各淨衣黃色　人供如常

右太略注進如件

年　月　日　阿闍梨

結線料絲、尤可載支度、雖供時可用之云々

起首日

七佛經下云、從白月八日至十五日云々

此尊經軌委不明、相應日時、可依普通成就日時

時分

七佛經云、日三別時文

香藥

集經云。燒種々香文

第三形像事

圖像 四

一。施願無畏（通佛相）是拔苦與樂義也

祕說云。中堂藥師施願無畏也。忠師親奉見之

實相院後朱雀院御願也。梁下座主明快（于時御持僧）沙汰奉寫中堂本佛○圓融房行事也。件佛本不持寶珠。人々謗難之間。後令持之云々

東寺金堂並南京藥師寺像。揚右手垂左手。以左足押右䏶坐云々。或云。和州室生藥師佛像同之云々

一。左掌持寶珠。通佛

義釋四云。諸佛並經中不言所持印相。亦執無價寶珠皆得也

印抄云。傳教大師於鎭西爲度海安穩所造四體像。皆左手持珠。義釋初無之。大師說尤貴々々云々

圓明房決云。傳教大師爲四船平達。造藥師像四體。今鎭西大山在之。螺髮有天冠。天衣鬘衣鐶釧還頸絕耳璫。皆悉如菩薩像。左手把蓮花（開名ツボミタル蓮ナントト一有之）右手施願印也。三尺許立像也。天承二年八月十一日大蓮房狀如此云々

示云。右語難用。有二相違反。一印抄左手持珠云々

今把蓮花云々。一傳教大師傳云高六尺餘文

今三尺許云々。恐非件像歟

一淨瑠璃淨土標云。通身淺碧色。寶窟中有蓮花師子座上大空三昧。放無數光明。一々光中。無量分身諸佛。悉大空三昧相。右臂揚掌調手開葉。左安臍輪下勾小指。號大寶瑠璃藥文

大寶瑠璃者。瑠璃壺入阿迦陀藥也。天竺上藥故持之歟

尊決云。其壺青瑠璃也。瑠璃雖有多種。以青爲本。或須彌南邊碎散云。或金翅鳥卵云。皆青色物也。阿迦陀藥雪山藥也。諸藥王也。藥王昔用雪山上藥者是歟云々

（甲本細註曰。禾云。華嚴經云。阿伽藥遍治衆病云々。禾云。瑠璃生南海之水中云々）

華嚴音義云（惠苑）阿揭陀藥。此云普去藥文

此書（標）大師御將來也。雖可仰信。不知大師以之爲規模事。只中堂藥師可爲規模云々

一不空別譯軌云。壇中心安藥師如來像。如來左手令持藥器。亦名無價珠。右令作結三界印。一著袈裟結跏趺令坐蓮花臺文

此軌難信書也云々

印抄云。藥器形如何。答。准弘法說（示云如下）記藥鉢歟

或云。亦名無價珠。故壺形似玉同形歟。世共所圖也。況器非鉢。壺又有器名云々

私云。此義尚不然。珠有方圓八角。增一經二十二云。珠寶八角四面云々。何定圓哉。又撿三五本。唐佛左掌上安合子。尙安壺。未得其證云々。私撿襲初唐本佛云。右手揚臂頭大端相合如彈指。餘三指開立。左手仰當臍下。掌中置映徹碧色花形合子（入鉢藥歟）胸有滿字。其字有焰光云々。不空軌結三界印者。恐今尊右印歟。又法性房說。右手同今云々。又三界印聊有所見。可尋之云々

或抄（東寺永嚴）云。或左持鉢。其鉢十二角。右施無畏云々

印抄云。弘法大師藥師觀念云。掌上有鉢。々中十二大願如義云々。同次上云。藥師印者。以左手開置臍下。以右手重上。二大指頭相合云々

私云。若定印上可置鉢義歟。掌上有鉢者。只左手置臍下。彼手上置器歟。可尋之

又應身說法印（舒右空水相捻是也）

又有唐本持鉢錫杖云々

曼荼羅

不空別譯軌云。壇安中心藥師如來像（示云）（上書之）令安蓮花臺。々下十二神將。八萬四千眷屬上首。又令須遶臺。如來威光中。令住日光月光二菩薩文

消災軌云。排十七位文

印抄云。十七位有師說云々

淨土標云。藥師如來寶窟中。百寶蓮花云示

抄之 其地紺瑠璃色。無量寶花樹○佛前左右。四性出家皆入定。左一重金剛藏菩薩○以爲塵數衆侍者。所謂雲香菩薩花王菩薩。金剛合掌菩薩。大頭天相菩薩。仙相菩薩等。右第一重作蓮花幟金剛手菩薩。○塵數菩薩以爲侍者。所謂青蓮花菩薩。三股金剛杵菩薩。一股金剛鈴鐸菩薩等。左第二重日光菩薩○塵數菩薩以爲侍者。所謂持香爐。持摩訶曼殊赤花等菩薩右第二重月光菩薩○塵數菩薩以爲侍者。所謂持鈎。持鈴等菩薩。如來近後作十弟子。及二十一三十五等羅漢。各以無數聲聞衆。以爲眷屬。左右無數仙人仙女外院無量天衆○上下八方作十二神將無數金剛童子。以爲眷屬抄

印抄云。曼荼羅無指證本。祖法性房本在別紙 又近代先德圖曼荼羅在別 依淨瑠璃淨土標云々也

眷屬

七佛經下云。於彼國中。有二菩薩。一名日光遍照。二名月光遍照。於彼無量菩薩衆中而爲上首。能持彼佛正法寶藏 文 本願經心同

灌頂經云。有二菩薩。一名日曜。二名月淨文

印抄云。日月光。日月天子。譯經既名日曜故云々

梵 日光菩薩

梵 日天種子

一淨土標云。通身赤紅色。左手掌安日。右手執蔓朱赤花。貌。或開敷。或半開。或未開。或其實菓爲之 文

調定圖云。肉色。前本持蓮花。上安日輪。後本蓮花上安紺珠 左手也 右掌覆當肩。指末近面。坐赤蓮花 文

梵 月光菩薩

標云。通身白紅色。左手掌月輪。右手執紅白蓮花 文

調圖云。黃色持未敷蓮花。右持青蓮花。上有半月形。童子形坐赤蓮花。或本右手持杖。上有半月形 文

十二神將

本願經云。爾時會中有十二藥叉大將○一々各有七千藥叉。以爲眷屬。同時舉聲。白佛言 七佛經云 世尊 七佛如來名號 我等今者蒙佛威力。得聞世尊藥師瑠璃光如來名號。不復更有惡趣之怖○若有流布此經。或復受持藥師瑠璃光如來名號恭敬供養者。我等眷屬衞護是人。皆使解脫一切苦難。諸有願求悉令滿足 文 七佛經心同

世人以謂十二神將。藥師眷屬也。是不爾。非藥生神通生眷屬。只釋尊說藥師本願之時。發誓如右。然者藥師行者。定加護給 云々

印抄云。昔在釋尊說教座。始聞藥師名號。何爲藥師使者乎。答。不空別軌爲藥師眷屬。瑠璃土標爲所將。集經列十二名號。爲藥師根本陀羅尼。○十二神者藥師如來內證功德外現。總持定力普門示現形也。以之知。十二神尤藥師眷屬云々

十二神將本所居 付權實

大集經三十 六十木虛空 因分卷之三 云。又此世界諸菩薩等。或作天像 乃至 鳥獸之像。遊閻浮提教化。如是種類衆生○閻浮提外東方海中。有瑠璃山。名之爲潮。高二十由旬具種々寶。其山有窟。名種々色。是昔菩薩所住之處。從廣一由旬。高六由旬。有一毒蛇。在中而修聲聞慈 示云。巳下說相大旨同之故略抄耳 復有窟。高修聲聞慈。又窟有一羊。閻浮提外南方海中頗梨山有窟。有一獼猴。又有窟。有一雞。復有窟。有一犬。閻浮外西海中有一銀山。有窟。有一猪。復有窟。有一鼠。復有窟。有一牛。閻浮外北海有一金山。有窟。有一師子。復有窟。一兔。復有窟。有一龍。天五十本 是十二獸。晝夜常行閻浮提內。人恭敬。功德成就也。於諸佛所。發深重願。一日一夜。令一獸遊行教化。餘十一獸安住修慈。周而復始。七月一日。鼠初遊行。以聲聞乘教化一切鼠身衆生。令離惡業勸修善事。如是次第。重十三日。鼠復還行。如是乃至盡十二月。重十二歲。亦復如是 抄 甲本縱註曰。禾云。止觀出其名云々

印抄云。問。右經說。以巳神爲初。是何次第乎。又不說寅神。說師子如何

十二神形像 其形可依瑠璃土標也云々

梵 集消 金毘羅宮比羅 寅七々多本 梵

淨瑠璃淨土標云第一宮毘羅伊舍那方。
可畏大將其色黃標鷲虎執獸荼劍（示云宮毘羅又集經）
（形惡狀之）左手拳押左腰或云依東北方文
妙見菩薩神呪法云東方寅位畫甲寅將
軍虎頭人身右手持棒文
[梵字] 消集灌 和耆羅伐折羅本 跋折羅寶七 [梵字]
標云第二伐折羅因達方金剛大將其色
青眼赤鷲鶖執三股伐折羅左手屈風仰
左或云作東方文
妙云次卯位丁卯從神鶖頭人身左手持
棒文
[梵字] 消集灌 彌佉羅迷企羅七本 迷佉羅寶 [梵字]
標云第三迷企羅阿揭拏方護法大將其
色帶炎上青煙鷲龍執鉾〻上炎旗二手
調之或云作東南方文
妙云次辰位甲辰將軍龍頭人身手持鐵
鎚文
[梵字] 消集灌 安陀羅安底羅本 安捺羅寶 頞儞
羅 七（比イ）
標云第四安儞羅阿揭多方護法大將其
色帶炎上黃煙（性イ）鷲蛇執戟荼鉞左手舉中
風指火珠之或云作南方文
妙云次巳位丁巳從神蛇頭人身持戟文
[梵字] 消集灌 摩尼羅頞儞羅本 末儞羅七 安涅
羅寶 [梵字]
標云第五安底羅闍魔羅方正法大將其
色赤放炎雷眼大髮鷲兩翼馬左執伐月（㠯カ）
盧右執鏡上炎之或云作西南方文
妙云次午位甲午將軍馬頭人身持戟可
尋之文
[梵字] 消集 素藍羅珊底羅本 宗林羅灌 娑彌羅
七 摩涅羅寶 [梵字]
標云第六珊底羅涅哩底方羅刹大將其
色黃赤作羅刹像鷲羊左執鏡右執戰荼
劍或執伐只哩之或云作西方文
妙云次未位丁未從神羊頭人身持鎚文
[梵字] 本集 因達羅因陀羅寶七 因持羅灌 [梵字]
標云七因達羅涅哩底方帝使大將其色
○鷲猴左執白拂右執鈴令瞻之或云作
西方北方文
妙云次申位甲申將軍猴頭人身持刀文
[梵字] 消集灌 婆耶羅波夷羅七本 波異羅寶 [梵字]
標云八跋伊羅縛嚕荼方狼龍大將其色
白錯鷲金翅鳥左執如意珠右執金剛鐸
或云作北方文
妙云次酉位丁酉從神雞頭人身持刀文
[梵字] 消集灌 摩休羅摩虎羅本 摩呼羅寶 薄呼
羅 七 [梵字]
標云九摩睺羅嚩庚方大將或云折風大
將鷲狗〻形可畏所謂天狗左拳申風指
輪右屈風其色如黑風或作上方文
妙云次戌位甲戌將軍狗頭人身持槌文
[梵字] 消集 眞持羅眞達羅本七寶 眞陀羅灌 [梵字]
標云十眞達羅縛庚方折水大將鷲猪右
就鈎左屈地水其色如黑水或作下方文
妙云次亥位丁亥從神猪頭人身持鐵鈎
文
[梵字] 消集灌 照頭羅招杜羅本 招度羅寶 朱杜
羅 七 [梵字]
標云十一招杜羅毘沙門方護世大將又
摩尼大將鷲鼠右執如意珠左執羂索其
色复日黑雲色之或云作西方文
妙云次子位甲子將軍鼠頭人身持鈎文
[梵字] 消集灌 毘伽羅毘羯羅七本 鼻羯羅寶 [梵字]
以上宿曜經說之
標云十二毘羯羅伊舍那方忿怒大將鷲
牛卽水牛也手執寶弓箭其色黑青但稱
滅前色或云亥方文
妙云次丑位丁丑從神牛頭人身持槌此
諸神等皆著天衣瓔珞盤石上文
示云凡世間流布形像樣〻也或頭冠
上各戴當獸或各乘當獸有一眷屬獸
頭人身執器杖或踏時數獸謂牛神踏
九馬未神踏八羊已下准之也
十二神梵漢相對方角付本地
或書云（朱一行阿闍梨傳教傳詮集云〻）
金毘羅（登明亥神 彌勒菩薩）和耆（河魁戌 得大勢）彌佉羅（從魁
酉 阿彌陀）安陀羅（傳送申 觀世音）摩尼羅（小吉未 摩利支天）素
藍羅（勝光午 虛空藏菩薩）因持羅（太一巳 地藏菩薩）婆耶羅（天罡辰 文殊
師利菩薩）摩體羅（太衝卯 藥師佛）眞陀羅（功曹寅 普賢
菩薩）照頭〻（大吉丑 金剛手）毘伽羅（神后子 釋迦如來）
成菩提云或人集云地心經云正月徵明
彌勒菩薩二月河魁觀自在四月傳送得
大勢〇六月勝光旃檀香佛〇十一月大
吉陀羅尼菩薩〇（示云自上一行餘說）如此經我朝人
師所爲也所不信也云〻

妙見菩薩陀羅尼經云。復次十二神王〇其名曰。徵明。河魁。從魁。傳送。小吉。勝光。太一。天岡。大衝。功曹。大吉。神后。復有其眷屬。一千七百善神文

一說。金毘羅亥也乃至毘迦羅子也。逆迴是御經藏。雜文中一行詮集云。書說也示云 上書之 雜。不知眞僞。在御經藏。大師御將來歟。是則以十二月將初爲金毘羅而正月徵明亥神也。故以金毘羅爲亥也

一說。金毘羅寅乃至毘伽羅丑也順迴是淨土標說也。或書朱付同之示云上云之 傳數大師傳云々。是則自寅時爲當日分心也。此時明相始現。故也云々

一說。金毘羅丑也次第准前 是鐵圍山間有雞。丑時始鳴。自此開傳。漸世間雞鳴也。故以雞驚時爲今日分心也。依之漢朝以丑爲正月々建代有之

一說。金毘羅子也次第准前 是唐國以子爲今日分。爲正月々建。世有之。其時心也。此朝曆始無異途。以寅爲正月々建也。凡子云事。一切萬物萌動。故也。情非情必子。次第生增也。先生子。次第生子孫。草木等先生子。十二時中。次日。始陽氣萌動。始也。故雖可書鼠字。爲顯此義用子字。凡日讀文字仕陰陽家祕事也。宗明入道云云々

或人云。宿曜道以子爲始。祿命以丑爲始。陰陽以寅爲始云々

帖云。師說。金毘羅者。子神也乃至毘迦羅者。亥神是也。謂以小爲首立之也陰陽以子爲始宿曜以寅爲始。可尋之

法性中御堂記云。藥師一日光二月光三文殊四子大將五乃至亥云々是亦以子爲始也云々

又云。師私說。金毘羅者。卽是毘沙門同名歟。謂毘沙門亦名俱吠羅見示云。略出經 〇故金毘羅安正北。尤可也。毘沙門卽是夜叉主故。卽以子神爲首也云々

一字軌云。東方持國乃至北方俱尾羅天文

右異說中。以子爲金毘羅說宜歟。三界義宗云。書有此說歟云々

印抄云。中堂圖。以金毘羅寅爲東面北一。順右施乃至以毘伽羅丑爲北面東終。山本和尚幷法性房說同上。是等則依瑠璃土標歟云々

或抄云。中堂十二神。石山法橋。無動寺座主時。依件標立之給云々

中堂圖

西

亥 金 子 毘 丑 寅 卯 辰

四王 藥師 山本 四王

御帳四面圖

四王 藥師佛 左河四王寺

巳 午 未

治安元年七月九日。入道大相國奉造十二神將〇座主大僧正慶命化賢哲之國樣並迴思慮曜聯壇大梵安之仍聯記之貽後褒美云々

第四道場事

向方

帖云。行者向東

集經二云。作藥師佛像一軀。寫藥師經一卷。造幡一口。以五色成四十八尺九尺 又教燃四十九燈。々作七層形。如車輪。安置像前。又教放生四十九頭文

集經意。不說七佛法。然而說大幡等事。仍一佛時必可修彼事等。而今樣風俗。如法修行時修之耳云々

相實法印云。一佛法四十九尺歟。幡四十九燈用之云々 我答云。集經作安一佛。有此等事。何一佛不奉之哉云々

又云。都率一義。雖二一佛可用之云々

本願經。燃七層之燈。懸著五色續命神幡文

下文云。燃四十九燃燈カ。造彼如來形像七軀。一々像前各置七燈。一々燈量大如車輪。

乃至四十九日光明不絶文

印抄云、問。上文云七層。下文一〻像前各置七燈云ヘル如何。答。上文明一佛儀式。下文說七軀法則。謂一佛法用七層一本。七佛時用一層七本也。況集經說一軀。故有各置七層文。無各置七燈言。七佛經明七佛。有各置七燈文。無七層言。其心自明白也云〻

承覺抄云。祖師中道房闍梨。於宇治殿一佛四十九燈七層被燃之云〻

第五行法事

房中作法如常　次入堂等如例

可想。此尊者無相淨法身之體。應願濟群生之日。爲無醫無藥之衆生。趣醫王藥師之三昧。成正覺於瑠璃土。濟衆生於娑婆世界。故誓言。我之名號一經其耳。衆病悉除。身心安樂文本願經文第七願

抑佛子不備戒行。有恐修法。然而設有毀犯。聞我名已。還得清淨。不墮惡趣。戒品已具。悉地何疑本願經文第五願

次到佛前懺悔偈淨三業等如例

次禮佛

南無歸命頂禮淨瑠璃淨土十二上願藥師瑠璃光如來三反

〻〻日光月光遍照菩薩摩訶薩

〻〻發誓護持利衆生者金毘羅等十二夜叉大將

次著座　次用塗香　次加持香水

次灑淨　次加持供物

次遣除身中毘那夜迦

次辟除諸障者　次拍掌　次彈指

次去垢　次清淨　次光澤

次啓白等　佛釋神分等在別

次供養文　次唱禮

三身佛眼

南無曼荼羅主淨瑠璃淨土十二上願

〻〻藥師瑠璃光佛三反　又說唱梵號

〻云

〻〻日光月光遍照菩薩摩訶薩

〻〻五大明王〻

〻〻金毘羅囀日羅等十二大夜叉將

或云大小自在云〻

又捺舍毘那尾藥乞叉摩訶細褰鉢底

禮十二將

〻〻大小〻

〻〻三部〻〻

次驚覺　次九方便　次發願

至心發願　唯願大日　本尊界會
十二上願　醫王薄伽　日光月光
諸大菩薩　十二神將　部類眷屬
三部五部　界會諸尊　外金剛部
護法天等　叡山三寶　一切三寶
各〻還念　利生悲願　降臨道場
證知證明　所修三密　靈驗勝利
決定現前　護持國主上下文爲皆改之　消除御惱
眞言法樂　本尊加持　護摩功德
薫入玉體　玉體安穩　增長福壽
恒受快樂　無邊御願　決定圓滿
決定成就　宮內安穩　諸人快樂
及以法界　平等利益

五大願

次佛部　次蓮花部　次金剛部大師御記已上三部

遣除上出之

次護身　次大護身　次被甲

次結髮　次地結　次金剛墻

次道場觀

應想大海中寶山。其頂上想師子座。於其上復有微妙寶蓮。於蓮花上復觀諸寶樓閣。懸以繒幡。上有寶蓋鈴鐸尼網。而以莊嚴

谷記云。有瑠璃地。是則淨瑠璃○也十二願莊嚴無量云〻

大海須彌山頂。想淨瑠璃土中心。可觀樓閣等云〻

次大海　次寶山　次師子座

次寶蓮花　次寶樓閣　次三力偈

次普通供養

次觀曼荼羅

想大宮殿中有大蓮花臺。〻上有〔梵字〕阿決帖云金色阿字〻變成佛頂印〔印形〕〻變成藥師如來與願無畏。日光月光坐左右。內外八供。四攝菩薩周匝圍繞。十二神將等外。金剛部天等。其外圍繞

種子三形事

一〔梵字〕字佛頂印。是通佛字形也。此時尊形與願無畏也。〔梵字〕字本不生義。可通諸佛。〻〻展轉相望。頂相功德殊勝也。以

勝相通爲諸佛三形。但佛頂印擬藥師
事可聞之云々
義釋四云。十方佛等○若作印。以如來
頂相種子則以阿字文
一。[梵字]字寶珠。此時尊形左手持寶珠云々
一。[梵字]字五鈷。此時尊形應身說法印云々
是\瑜祇經以𤙖訖里惡當三部心也云々
或抄云（東寺永嚴僧都）云用[梵字]字五古。以象爲
坐。是阿閦藥師爲一佛所觀歟云々
一\[梵字]字（頂上光明呪中字）大寶瑠璃藥（見淨瑠璃淨土標）此
時尊形可持藥壺云々
大原法橋記云。[梵字]字變成大寶瑠璃藥
文
不空別軌云。藥師如來像。左手令執藥
品文
印抄云。弘法手跡觀念云。壺上有鉢。々々
十二大願妙義云々
持明房說云。蘇地座主用[梵字]云々。今云。
和尙依普通種子。今依集經者。[梵字]毘字
用之云々
或說云（或作阿閦種子）[梵字]此字頂相義也。而此尊印三
形。皆用佛頂眞言。又頂上放光中說之。
故義相叶。況以三處當三部之時佛頂
也云々。或說云[梵字]字。印抄云。或說云三
古云々
帖云。無三形佛。必不觀之文
次振鈴
次送車輅（谷記此上用隨方勸請）
/想。七寶車輅送淨瑠璃淨土云々

次請車輅
眞\言末加。佩殺紫野虞嚕吠瑠璃也鉢
羅婆囉惹耶怛他蘗多野阿蘗車々々
々莎訶
次請本尊
內\縛。二大指竪招之三反開腕
唵戶嚕々々戰馱利摩橙祇莎訶
佛（小）部\心明末加句如請車云々（消軌加婆誐鑁）
（婀蘇誐二合鑁野ソワカ句）
帖云。右拳中頭指。如鉤招之。左拳置腰
（慶典闍梨傳）
次除遣從魔　次示三昧耶
次金剛網　次火院　次閼伽
次花座　次善來偈　次重結大界
次五供養　次普供
次讚 /阿\（不空軌讚賂金通之云々）
谷記云。佛讚。四智。諸天文
（印抄云。或明師佛讚通。或四智慈覺大師云々）
鑁誐薩縛勃馱鑁薩嚩爾鑁迦盧拏怛
摩迦訶羅都迷（存念於我）俱嚕吠女哩也入
縛羅々々々怛\他誐多摩訶捺耶（辨才成就）
鑁鑁誐悉羯羅（歸命頂禮）
右讚。不空少軌結護讚也（持明房云。外云々）
祕錄並○唐院葉子目錄云。本尊讚一
本文
是\則右讚也。此讚通用諸尊之故云。本
尊讚。但改俱嚕吠女里也。加今本尊梵
號云々
消災軌讚云。歸命滿月界。淨妙瑠璃光。

法藥救人天。因中十二願。慈悲弘誓願。
願度諸含生。我今申讚揚。志心頭面禮
云々
印抄云。弘法大師手跡有右偈所疑者。
大師當初今軌持來歟。將亦自梵本中
在唐之相傳拵來歟云々
示云。消災軌爲然將來故也云々
次入三摩地
觀\想。心月輪上有[梵字]（金色）阿字。々々變成佛
頂印。漸舒漸大。擧體成佛頂印。々々變成
藥師如來。相好具足云々
次根本明
內\縛竪二大指。並向上。大指頭指相去
不付。開腕（發大師御流）
鑁莫婆誐縛帝佩殺紫野虞嚕吠里
也鉢羅婆羅惹野怛他蘗多野羅喝帝
三藐三沒馱野怛儞也他唵佩殺爾曳
々々佩殺紫野三沒利蘗帝娑婆賀
[梵字]（歸命）[梵字]（世尊）[梵字]（藥師）[梵字]
[梵字]（青）[梵字]（瑠璃）[梵字]（光）[梵字]（王）[梵字]
[梵字]（如來）[梵字]（應供）[梵字]（正覺）[梵字]（等）[梵字]
[梵字]（所謂）[梵字]（有）[梵字]（三菩提）[梵字]（藥師）[梵字]
[梵字]（三藐三菩提云々）[梵字]
右眞言。七佛經云。大陀羅尼不空少軌
云。結願神呪文
消軌。根本眞言文世號大呪。又云頂上
光明眞言
安\然和尙諸本中取捨撰定也。世學用
之。不空軌所說句不足也。又同軌小眞

言不用之
集經云、以左右手頭指以下八指反叉
入於掌中、右押左、兩腕相去五寸許、明
云呼嚕々々々云々
不空軌、消軌等、大旨同之、但眞言異名
帖云、或印明集云、有三說、覺大師說（如集）
（押印明唵戰）證大師說（佛部心印眞言）夜（以下加）叉供阿闍梨
圖註 鏁印、文反叉、云迷歟云々（又供阿闍梨藥師抄之、夜叉供阿々々法、作禾也）○（授成人云、鏁印是也、抄）
藥地座主云、佛部心爲根本印、今依集
經者用鏁印云々
帖云、或師說、集經印十二神呪云々、可
尋之云々
禾云、右說集經心也
帖云、或以入佛三昧耶印、誦呼盧々々
可尋之
印抄云、弘法大師云、定印頂上光明眞
言
或抄云、有人金輪佛頂印有說、如彼形
左手持壺、右與願（已上輔同大德傳）
日光月光十二神將印明加用之云々
次加持珠
次正念誦
（大日金輪佛眼本尊、日光月光文殊十二神若有眼者十二神上四天王總呪云々）
本尊 頂上光明眞言千反、若極略之
時百反、後用小呪
唵轉設逝々々々轉刹社三沒揭帝娑
訶（帖師說同）
唵呼盧々々戰馱利摩橙祇娑婆訶（出集）

（經世說少呪）文殊（依文殊諸周釋說藥師本閣故用之云々）
唵阿味羅吽却折羅（呪是八字可也）
唵叱洛闍濺（是一字呪也、除病功能在之、仍一字呪王印）
日光 外縛二大指直竪、二頭指屈中
節而端相拄、餘六指散舒向外、右三旋
轉（二頭如寶形云々）
唵嚕嚲儞庾多（示三摩耶會光菩薩印明）
月光 左手大指水指相捻、如執花竪
臂向外、想掌中有鬼、右拳安腰（餘指直立甲云々）
（賢劫十六尊儀軌出）
唵賛捺羅鉢羅婆野莎婆訶
日月光眞言無之、以光菩薩眞言爲日
光眞言、以月天子眞言爲月光眞言、甚
以不得意事也
十二神將 內縛地水合竪
帖云、用諸夜叉印、內縛鈎慧風、或奉敎
者印用之、眞言自曩謨至毘迦羅誦之
如前唐院本（抄）
已上日月光十二神三印、或根本印次
用之、或兩時用之、或略之
曩謨羅怛曩怛羅夜耶那謨金毘羅 二
和耆羅 三 彌佉羅 四 安陀羅 五 摩尼羅
六 素藍羅 七 因達羅 八 婆耶羅 九 摩休
羅 十 眞持羅 十一 照頭羅 十二 毘伽羅 十三

（神用之時、除已下句、加俱嚕莎婆訶句、是秘也云々）（私、扇本也）那謨毘舍闍
瞿流 十四 毘留離耶 十五 鉢羅頗囉闍耶 十六
怛姪他 十七 唵毘舍施々々々 十八 毘舍闍
十九 婆摩揭帝 二十 婆縛賀 二十一
後加持之時皆誦之云々
右集經藥師瑠璃光佛大陀羅尼也（亦爲結願神呪）
消軌爲結線加持呪、世號十二神將呪
是則藥師眞言歸命中加十二神將也
云々
又總略之時、右眞言少々、後以諸夜叉
眞言滿其反數云々
藥乞叉濕縛羅野莎婆訶（是諸夜叉眞言也）
次置珠本所
次入三摩地
觀想、心月輪上有鑁字、本不生義也
次根本印 次部母 次五供養
次普供養 次讚 次閼伽 次振鈴
次九方便 次隨方迴向 次解界
次奉送（車略心部） 次三部 次被甲
次下座 次禮佛（佛名） 出堂
依悉地可修之、大師御私說三卷爲規
模云々
示任右師說、依蘇悉地大法列次第耳

又依十八道云々
示云。如右師說。依十八道修之又佳也。
谷私記等皆依十八道。凡世多用十八
道云々
堂外作善
本願藥師經可轉讀之。但法花經尤可
也。藥師如來出世本懷本地三身功德
故也云々
結線具如七佛帖
保延四年中宮御祈時。有此事。念誦頂
上光明眞言。師手自被結之時別兩三
結滿四十九結。被進之云々
集經。尸嚕々々呪了云。若有人等多諸
罪障及諸婦女難月產厄。願欲轉禍求
福並患鬼神病難差者。以五色線而作
呪索。用繫病人頭（脚）及手足腰腹等文
五色糸七尺許撚之。念誦之時阿闍梨
自結之。每日相方三日許可結畢。可令
繫施主頸
池上云。袋縫裹勿著身。所願成就之後。
呪師供養法。解之。若不成不解還成障
難云々
第六護摩事
帖云。依增益
是東佛故多依增益。隨事修餘法無失
云々
印抄云。增益尤相應多者向東。況延命
是增益也云々
火天　曜　宿（如常）

本尊段（日光月光請供之。若諸尊段請供之）
觀尊　藥師　日光　月光
勸請（我今稽首請藥師瑠璃光日光月光等唯々々納々々）
燒供　如常。但日月光各一杓加供之
（示云。如全誦眞言時）
三昧和尚用十七杓（本三。日月各一。十二各一云々）
（皆決云。皆書草可用之云々）
護摩呪　戶嚕々々呪用之云々
若唵毘殺々々三沒里揭帝莎婆訶
是略大呪也。略梵語。雖有其恐。求略
云。故同毘殺々々句略去之云々
諸尊段（文殊救脫等請供之云々）
文殊眞言（如前）記（神呪若迦莎縛訶有之見。可勸見之）　救脫眞言（若寶號弘決三救脫眞言七佛）
世天段
多聞次餘三天王加供之
十二天次十二神將請供之。二方三杓
（帖同）唵金毘羅也莎縛訶（一杓）已下准知之
帖云。若供物少。唯彙讃毘迦羅誦之。
總供一兩杓云々
次唱八萬四千諸夜叉。總供之。二杓
印抄云。往年或先達於河陽院藥師
無護摩云不修之。其理不審。集經云。
又燒蘇蜜胡麻等文
不空別譯軌云。加持苦練子〇一呪
一燒文依之。近古明師皆修護摩云々
伴僧眞言（消軌云。諸七佛）
頂上光明眞言

本願經云。讀誦此四十九徧文（諸本同。集經同）
帖云。危急祈時。發願後助修讀本願經。
（四十九卷）若緩時宜耳文
以助修命讀經事古說也。但不傳受之
云々
後加持呪
近來用大陀羅尼（示云。十二神將呪也。或人云。息災用心中呪時用之）
但頂上光明又無妨
第七行法用意事
胎藏（如都別卷用意）
都壇
唱禮
五佛次本尊四菩薩次日光月光大小
自在次十二神將云々
都壇者。八葉唱禮佛眼次本尊禮之別
壇者。用三身云々
尊位（胎藏中無此尊。故異說甚多。如左注之）
一大日　變成藥師如來（帖同）
先師云。無相淨法身體。應願濟群生之
日。爲無醫無藥衆生。成正覺於瑠璃土。
次下衆說之中。此說尤可也云々
二寶幢佛
付之有二意。點四佛位。盡攝入四方諸
佛。實以寶幢。藥師非爲同體。東方衆悉
攝東方諸佛也（是一）又寶幢即藥師也。於
此一佛顯東方一切佛故（是二）此二說又
佳也云々
三初門釋迦（帖同）
付之有二意。釋迦院是隨佛可改之。瑠

璃土云。藥師院乃至彌勒出世時可云彌勒院。是三世十方諸佛教流布身也。於娑婆界說胎曼之時。以一代教主釋尊安其位。爲二乘凡夫能化主。故中臺藥師無相法身也。初門釋迦藥師教流布身也。況釋迦藥師一佛分身也。三反土田之時所分身數大論等文可思之

一是 又釋迦於娑婆世界說藥師本願藥師如來藥香樹下與願釋尊說教可奇ヽ一佛二土成正覺歟 二是

帖云。先師密口云○釋迦卽藥師也。其東方七佛併釋尊分身也 文

古\老相傳云。傳教大師作施願無畏像二體。一名中堂藥師。一名轉法輪堂釋迦。是一佛故形像無異云ヽ

智\師云。淨瑠璃世界東方故。其𡨆可向西。而中堂向東。非無地形。是初門釋迦文心也。大師心。廣安三世諸佛教流布身。爲一切住持本道界[illegible]也。凡東塔地形。似胎曼中臺。則當初門釋迦程。中臺三院。非二乘凡夫境界。釋迦院則爲凡愚所現身故也。但取別名藥師事有其故歟。嶝西上人云。受菩薩大戒之輩山上多住。設有毀犯。聞我名已還得清淨不墮惡趣文。依況像法轉時利益○此時尤要須也。一經其耳誓約綾恩我等九橫遠離文。蒙薄福衆生尤可貴ヽヽ 文

印抄云。問。叡岳大師以藥師如來爲一乘教主。有何意哉。答。未知深由。但本願經云。若諸有情行邪道者。悉令安住菩提道中。若行聲聞獨覺乘者。皆以大乘而安立之

延長四年冬季。中堂四季天供勸請頌云。周遍法界三世常住。大日如來亦名釋迦。妙法教主。憶念本願。像法轉時。以大方便稱號藥師 文 印抄云。智大師四季天供私記表有之。延長四年始用之

四\光聚佛頂

是古說也。藥師自頂上放光明。演說眞言。義相順云ヽ

帖云。藥師是佛頂部之攝也。故陀羅尼集經有佛頂之中。又其陀羅尼內醫光中演說也。卽是佛頂光明陀羅尼也。安然說。佛頂光明眞言 文

五\無能勝明王

古師以眞言同爲其義云ヽ

或說云。集經戶嚕ヽヽ呪。無能勝是佛部明王故。以彼眞言勸請藥師許也。非藥師呪云ヽ

示云。勘集經云。藥師瑠璃光佛印呪○ヽ戶嚕眞言ヽ 是法印呪。若有人等。多諸罪障○所具抄如之結縁 爲藥師眞言之條勿論歟

六\八葉彌勒

彌勒大日大慈與樂功德也。故良與法藥師功德相叶。此說不可得云ヽ

七\遍知院一切如來印

是諸佛總位之故云ヽ

八\八葉花鬘中觀置之

無現圖諸佛通觀置此所云ヽ 或五色界道內置之云ヽ

帖云。東方界緣。而猶內二重緣可安歟。最外頗聊爾耳 抄 又同居土一切教主。多安外金剛部中云ヽ 如釋圖 文

種子三形

以\寶幢爲藥師之時。用彼字形。謂[梵字]字寶形也。以釋迦爲藥師之時。[梵字]字[梵字]字在心云ヽ

或鈔私云。以無能勝爲藥師之故有此意云ヽ

讚

大讚。佛｜。本尊｜。普賢。諸天 十二神將讚也 四智云ヽ

化他之時。大讚。普賢｜可略之云ヽ 又略大讚。用法身讚云ヽ

諸會並布字八印用否事

修\法護摩等不用之。新佛堂供養之時。諸會許用之。布字八印猶不可用之云ヽ

根本印

無\所不至次用之。依先師說者。無所以直根本印。其故以尊位可得意。若依第二說者。無所次入三摩地 可觀種子三形等 次根本印云ヽ

正念誦

大\日一字佛眼本尊。日光。月光。文殊。不動。十二神。諸天總呪 八萬四千夜叉天王總呪可宛之又云四

後讚

大日（法身諸法也）本諸天四智云云
別壇
觀一尊曼荼羅。修略行法者。可觀三重曼荼羅。中臺藥師。第二重日光月光。文殊。救脫（合掌問形）。諸觀音。彌勒等。第三重十二天。十二神將相交（一方三神）。可觀之云云
又唯獨藥師無妨云云
金
依金界事不甘心。此尊東方佛故。胎界尤有便云云
都壇
唱禮
五佛次本尊。十六尊次日月光（若略之）。四攝次十二將（若略之）
觀金剛蓮花
■字佛頂印可觀之。眞言。唵底瑟吒烏瑟抳沙云云
舒斂
印如例。可想分佛頂眞言改烏瑟膩沙云云
觀身爲本尊
可用藥師印。大日變成藥師心也。又東佛故以阿閦印。此說肝要云云
尊位
一大日變成藥師。此義佳也
二阿閦佛（依東佛二義如胎）
三千佛位。是處娑婆世界有樣。諸佛出所儀式也。隨時不定也。故○（若開眼）東方可觀（ナシトミユ）藥師淨土。但此義不依用歟

種子三形等
依阿閦者■字五古文
百字
金剛百字明次用藥師印明。尤宜云云
念誦
准胎。但改不動用降三世云云
蘇悉地
如法花。仁王等。不出兩部大教之法。三藏依眞言行義。依（ヲ）供養方軌。今藥師經。同不出兩部。准集經有其印明。以之爲規模而出自集經之法。多依悉地修之。依此意。大師依悉地作供養軌。則故依悉地可修之云云
祕錄蘇悉地部中列集經
聖行決云。上古人多依蘇悉地之金剛部。修行此法○兩界所不攝尊。亦無別行儀軌。可依蘇悉地修行故。先德云云
依之歟。又或人云。此尊可依不空所譯阿閦軌云云。彼軌既依蘇悉地之金剛部也云云。可引之
第八經師事
藥師瑠璃光七佛本願功德經二卷（在唐御製）（入藏）
（序。三藏法師義淨在內道場奉制譯）
奧批云。大唐景龍元年（歲次丁未）九月（甲申）朔六（辛丑）翻經三藏沙門義淨奉制在內道場譯并綴文文
內道場者。又云本命道場。祈御算處也。今眞言堂學彼云云
義淨傳云。帝（中宗皇帝）以昔居房部幽厄

無歸祈念藥師。遂蒙降禮躬茲譯重闡（ナリ）供獻因命法徒。更令翻譯。於大內佛光殿譯成二卷。名藥師瑠璃光如來七佛本願功德經。帝御修法莚。手自筆受（印抄）
引之
貞元錄云。第四譯文
祕錄云圓覺文
示云。如祕錄者。宗叡初將來歟。而傳教大師於鎭西爲渡海奉造善名稱如來給（見傳）大師以何知之哉
右經。上卷說東方七佛名號本願淨土。下卷別明淨瑠璃土及本願功德並供養方軌而明行法
藥師法一卷（內題云藥師儀軌一具文）
祕錄云。藥師法一卷（澄和上集。仁和尚多依阿閦軌傳之文）云
ヘル卽是也云云
示云。雖有藥師題名。只是悉地次第也
此法次第一卷。印相一卷。眞言一卷連之。自往古祕藏之。不聊爾。世人多不覺不知也。初心人不授之。但以谷記授之。大師御私記恭故也。師祕密口傳云。以此法用蘇悉地行法私記。智泉疑云。蘇悉地。慈覺大師始傳之給。而今法是依悉地。是非傳教御作云云。然者。若覺大師御作歟。澄和上集。猶別在之歟。或云。十八道儀軌書入藥師眞言書。則彼澄和尚集也云云。然而未詳。抑悉地經者。傳教大師傳之給。如慈覺大師不委許歟。可尋之云云。祕錄云。蘇悉地羯羅經

三卷（澄無長）文
帖云蘇悉地中行法次第不新作之傳
敎大師御藥師私記是也云々
印抄云叡山大師所述兩卷儀軌依蘇悉
地略法述之山家盛用之云々
示云此書委事蘇悉地中抄之
藥（未金）師如來念誦法一卷（不空）
是慈覺大師將來也本體可傳受出自
集經第二云々
示云覺大師將來錄並葉子目錄中不
見之如何
此中說結願神呪並根本印眞言結護
讃不說餘事云々
藥（未金）師如來消災除難念誦儀軌一卷
印抄云本朝永觀年中法橋奝然將來
用捨在意近代粗傳受之云々
奝然者非自門自宗粗有狂惑名頗難
信用歟然而文勢宜行法有首尾故池
上依用之被作記
（示云被記何本哉可尋見之）
其後多傳受之云々（穴云文章一云不得意書也只可見之云々）
此中明修行方軌供養儀則
陀羅尼集經第二
此中別有一段說藥師眞言增様而不
明行法首尾
已上傳受經軌了此外如左
佛說灌頂拔除過衆罪生死得度經一卷
（亦名藥師瑠璃光經 灌頂經第十二卷）
貞元錄云吉支譯文第一譯文

藥疏云宋孝武大明元年（丁酉）鹿野寺沙
門惠簡譯文
貞元錄云其舊藥師經群錄皆云宋時
鹿野寺沙門譯文
慧簡所譯尋撿其文即是灌頂經第十
二卷抄出別行更無異本文
藥師瑠璃光如來本願經一卷（在序 多圓覺）
序云大業十一年〇三藏法師達摩笈
多並大隋翻經沙門法行明長順海翳
出東都洛水南上林園翻經館重譯文
藥疏云隋煬帝大業十一年（乙亥）達摩笈
多譯文
貞〇元錄同右天竺三藏第二譯文
藥師瑠璃光如來本願功德經（玄奘 圓覺）
藥疏云唐高宗永徽元年（庚戌）三藏法師
玄奘譯慧意等大德筆受文
貞元錄云唐玄奘譯文第三譯文
印抄云貞觀年〇於慈恩寺譯文
示云貞元時代遙下書寫誤歟若貞觀
歟改貞觀二十四年爲永徽之故不異
藥疏載
印抄云此外不空三藏別譯軌（比前小軌 邦委悉）
又世有隨願藥師經並五本件經無所
見相傳云本朝人師撿諸本經文成一
卷經立誓言此經違佛說無驗投火可
燒即入火不燒故古今多持之云々
淨瑠璃淨土標
是傳敎御作歟若御將來歟嘉青也山
本御經藏有之云々

快覺持本題下云叡山本云々
此中明藥師曼荼羅并十二神將形像
藥師如來肝心法香遠國所說不空三藏
所執曆密文
印抄云又有香國國等譯無師責相傳
文
此中說十二大願印並七佛（藥名 稱等）各別
印
功能具如本願經
灌頂經云藥師瑠璃光如來〇度脫生老
病死苦患文
七佛經下云彼藥師瑠璃光如來得菩提
時由本願力觀諸有情遇衆病苦〇或復
短命或時橫死欲令是等病苦消除所求
願滿時彼世尊入三摩地名曰滅除一切
衆生苦惱既入定已於肉髻中出大光明
光中演說大陀羅尼呪曰（示云頂上光明眞言）〇爾
時光中說此呪已大地震動放大光明一
切衆生病苦皆除受安穩樂文
印抄云以此眞言可爲數反要歟爲除
一切衆生短命病苦等藥師如來入滅
除一切衆生苦惱三摩地從肉髻中所
說也寶髻中明珠在此眞言彼佛肝心
也文
集經云若有授時（示云十二神將呪）能拔身中過去
生死一切重罪不復經歷三途免離九橫
超越衆苦文（不空小軌同 但頂上呪也）
發願本緣
印抄云藥師古迹記（太賢撰）云阿修羅經云

瑠璃光菩薩遇智勝佛。初發總願。寶頂佛所始發別願。十方諸佛現前經云。青龍光佛所發十二誓願
通倫疏云。十方諸佛現前授記經云。昔在凡位。名曰法藥。逢青龍光佛。初發心。逢藥王佛發十二願 抄
七佛藥師經疏 供極集 阿修羅經云。於大通智勝所初種善根。逢電光如來。發十二誓。此佛先生受獼猴獻蜜大通佛故。於第二生化彼佛第一王子母名分荷夫人。少時名密士。長時名密側。此人捨世出家修行。名密羅比丘。夢三種。一盡食一切衆生。二肩擔日月。三途渡大海。往詣電光所。白如是夢。佛受記言。汝當來作佛。名曰瑠璃光。十號具足。王經云。逢化明如來。前發六願。逢金輪如來。發六願 抄
反數
集經云。誦滿十萬反 文 下文云。滿百千萬反 文
一經軌決
本願經云。爲欲利益像法轉時諸有情故 文
問。轉者起歟盡歟。答。七佛經云。於後末世像法起時 文
箋多本云。正法壞時諸有情故
通倫疏云。轉者起也 文
示云。已上文指利益始也。非無末法利益。愛以七佛經云。後五百歲。法欲滅時。汝等皆應受持是經云其說多耳云々

本願經云。一經其耳。衆病悉除 文
疏云。一經其耳除病者。行積德滿。威神大故。如大寶積經云。大雪山中有大藥王。名毘伽摩。若聞其聲。一切世間猛利毒熱皆悉消滅○況無遍良醫。又喚言。虎來狗所嚙悉愈。口喚木仗。轉筋痛卽愈。世間尚有此力用。又獼猴彼皷狗吠無音。猛獸張陳。鬪毒皷香。自然死。諸法尚萬差不可一概。況諸佛名卽法力 問。近世終日唱名號無其益。況一經其耳耶。答。教行衰薄。人少信心。豈口吐名響香。若機感厚。其利不疑。緣淺信少。非無冥利。仰信在得意耳 文
甲本異本曰。宋云。天台觀音玄疏云。臨發本背觀對谷閉門云々
又云。譬如鴆鳥入水時。河池其中所有大少有情皆死。此鳥毒勝於毒。雖然以犀角漬此水。瀧時死有情皆得生。此角藥力強故 文
義疏云。首楞嚴經。有藥名滅除。藥若塗於皷。聞其聲。雖得箭毒深入。而拔除之。世間神藥其力如是。況諸佛願力。廣劫久薰 文
本願經云。轉女成男 文
問。卽生可成男身耶。答。七佛經云。卽於現身轉女成男 文
本願經云。或四十九日。彼識還時。如從夢覺 文
印抄云。私問。若爲已死人作幡等四十九日。神識還來。經若干時節。彼身分何不壞失耶。答。此義實難知。又無指說。所只依佛威力。遂可還來。故彼身分不壞歟。又捻珠十四云。問。南山宣律師觀感天人來下。發多問。是其一也幽冥所感俗中常有神去形朽如重來。或經七日多日。如生不異。答。天答也見冥。七識々々各有神心識爲主。々雖前去。餘神守護。不足怪○如五戒中一戒五神。五戒使有五神。一戒破五神去。餘者仍在。如大僧受戒。有二百五十防衛。比丘若毀一重戒。但二百五十神去。餘者恒隨 文
靖邁疏云。當知此是藥師如來及經之力。令彼患人第六意識見分之上起此三種行。爲相分。爲琰魔王。王使之身。爲自神識所依。隨使而行。至琰魔王前。其實神識未曾離身。若是六七等識。依本識故。而得現起。若離本識。無種子故。無由得生。是故八識俱無○離身孤行之理。此義如人夢中夢見師僧。或復父母遺使來喚。夢見已身隨使而行。達至師僧。或父母前。當知師僧或復父母使人之身。皆是第六意識見分上現。此三種相分。似有去來。實無去來 文
本願經云。有八菩薩乘神通來 文
灌頂經云。跋陀和菩薩。羅數那竭々。嬌月相々那羅達々。須深彌々。摩訶伽々。用增達々和瑜論々 抄
迦才淨土論云。文殊師利菩薩。觀世音菩薩。大勢至菩薩。寶壇花菩薩。無盡意菩薩。藥王菩薩。藥上菩薩。彌勒菩薩 抄
第九私記事
藥師私記 池上

示云。依十八道

藥師記 池上

示云。依十八道

藥師私記 池上新

示云。觀曼荼羅。方言勸請讚。本尊三摩地。根本印。發遣等許記之。與有圖

藥師如來略次第 大原法橋

示云。依十八道次第

胎藏若蘇悉地今暫就蘇悉地略行法文

已上傳受記了。此外有數本

第十卷數事

御修所

奉讀

本尊藥師經六百卷 無讀經止之

奉念

大日如來眞言二千一百反

護衛本尊眞言二千一百反

藥師如來眞言十萬七千二百反

日光遍照眞言二千一百反

月光遍照眞言二千一百反

三部諸尊眞言二千一百反

諸天曜宿眞言二千一百反

增益護摩眞言二千一百反

右功成就眞言二千一百反

奉供

大壇供二十一箇度

護摩供二十一箇度

諸神供三箇度

右謹依仰旨始自今月二十二日至今日並一七箇日夜之間十三口僧綱大法師等殊致精誠勤修上件敎法抑所修御願如法如說四十九燈晝夜恒明奉祈征夷大將軍殿下御息災延命增長福壽御心中所願成就圓滿之由如件仍勤卷數謹言

建曆元年十月二十九日

阿闍梨權大僧都法眼和尙位忠快

藥師千燈法

集經第二大陀羅尼次文云。誦此神呪者。日夜精勤香湯洗浴。著新淨衣。持諸禁戒。如法誦滿十萬反已。就淸淨處。如法治地○圓圓掘去數丈之地。更以淨土塡築令平○以淨牛糞和壇香湯。以手掌摩。隨日而轉摩地已。上布置千燈。道場上方四方。皆以種々雜寶莊嚴懸繒幡蓋。寶網交絡其地面上。以五色粉周匝間布。作七重院。各開四門。其七重院狀。如此地水礎風輪。院々各有衆多隔子。一々隔子各作寶階砌地之相。其地中央作寶蓮花輪坐之相。是卽名爲下方莊嚴。一々隔道兩頭著燈。重々隔々各別著燈。數滿千盞。布置燈竟。安置種々寶瓶寶樹香花等物。布置畢已。中央坐上著少床子。以錦繡等淨物敷之。床上安置藥師佛像。仍用前印。請爲坐主。結界辟除三摩耶法。如下金剛軍荼利法。然後安心燒種々香。散種々花。供養種々飮食花菓。又燒蘇蜜胡麻人等。而爲供養。若一日夜。三日七日若七々日。以晝兼夜。誦呪數滿百千萬遍。所求從心文

印抄云。傳敎大師抄右文。名藥師千燈儀式

千支燈塗壇圖 大原

已上大原圖

集經水礎風輪藥師一佛奉千燈作法也云々

示云。已上千支燈事非現行要。故委可抄之

阿娑縛抄第四十七　藥師末

∴第一□觴事

□傳教大師令寂光和尚(遣圖)修五佛頂法。是日本國修法之初也云々□延曆二十四年春。最澄大師入唐歸朝□依詔於紫宸殿修念五佛頂法。師□(鈔文)

∴第二□日事

□益等相應起首日在之(如護摩帖)又隨尊法□日阿闍梨細知之。仍冷泉院以往令修某□可始修哉之由被仰下阿闍梨。近□日可被始修其法可進支度云々□功要不得依日文(禾云。四種相應日說了。有此文)

∴第三支度事

□異通用支度大略如左

法進

□七箇日夜支度

□脇机二脚

□四本　禮盤一面(可有半疊)

□寶(金銀瑟々頗梨眞珠)　五藥(赤箭人參茯苓石菖蒲天門冬)

五香(□沈□白檀丁字)　五穀(稻穀大麥小麥菉豆胡麻)

□□名香(龍腦法異)

□明油(如常)

□□□一端　大幕一帖

□子袋　佛供覆

阿闍梨　助修八口(若六口)

□使四人　見丁二人

□衣　人供(如常)

年　月　日　行事大法師

或云。酥字可書之。蘇訓惡也云々

禾云。勘廣韻云。酥(酥酪)蘇(桒蘇草也。蘇木也。紫也。摸也。又姓也。)

□蘇。燈明并酥器入之

□相應名香。先書也

□水爲前。但病事沈字悍歟云々

壇供。常。八石四斗(宜米定能米五石四升也)

佛供覆者。覆佛供持參也。生絹二丈(若布)也

□芥子等洗料也。絹三尺(若布也)

□具鋪設等　公家皆存知歟。若不知□所羅具鋪設等書之。又只閼伽机等書之。如然事施主可斟酌歟

又宜旨院宣。行事僧。竝。奥阿闍梨(某)書之。凡人所。行事僧許書之云々

一壇□事。爲行事僧用意注之(非阿闍梨伴僧六口定人)

□六石九斗四升四合(口入八箇日供定)

□壇供(口別七斗二升)

二石四斗　阿闍梨供(日別三斗)

八石六斗四升　伴僧六口(日別一石四斗四升)

二斗□合　承仕二人(人別一斗四升四合)

□合　驅使四人(人別九升六合)

□合　見丁二人(人別九升六合)

油一斗五合(日別一升五合)

支配

三石五斗　作壇供(日別五斗)

□伴僧六口

□合□人

三□升四合　駈使四人

一斗九升二合　見丁二人

三斗五升　粥料(日別五升)

□立預

□請使

□車力

用殘二石七斗九升

次旬十五石四斗五升六合(人供七箇夜定)

五石四斗　壇供

□阿闍梨(日別三斗)

□六升　伴僧六口(口別一石二斗六升)

二斗五升　承仕二人(人別一斗二升五合)

三斗三升六合　駈使四人(人別八升四合)

油一斗五合

支配

□壇供

七石五斗六升　伴僧

二斗五升二合　承仕二人

三斗五升六合　駈使四人

一□八合　見丁二人

三□粥料

五斗　立預

二斗　請使

一斗　車力

□一石四斗九升

行事僧以小下文付請使

初□
伴僧口別一石四斗四升
承仕口別一斗四升四合
斯使口別九升六合
見丁口別九升六合
次□
伴僧口別一石二斗六升
承仕口別一斗二升六合
斯使口別八升四合
見丁口別八升四合
佛供□□□配
行事一坏　承仕二坏
斯使二坏　立預一坏
見丁一坏　牛童一坏
立預請使大童子役也
修法行事。大法供乘同伴僧。大幕四帖
之時□□事分。又用途米用殘賜事
在之。小法只用殘米許也。供米無之
大幕一帖承仕分也
已上青蓮院支配也云々
∴第四伴僧事
厶云。大法二十人。若十六人。若十二人請
之。常御修法大旨八人六人人也
又公家長日三壇御修法（山如意輪井三）伴（不動東寺延命）
僧六口也（裏書 七灌頂阿闍梨云々。天台僧供養云々）大衆本山久住
（能陀羅尼）請之。當衆退散之後。能陀羅尼學生
請之云々
大佛頂經七云。若此比丘本受戒師及
同會十方比丘等。其中有一不淸淨者。

如是道場多不成就文
一請書案（近江阿闍梨春行之）
自來十八日於閑院殿可被勤行藥師
法可令參勤助修給之由。座主御房所
候也。仍執達如件
月　日　權少僧都厶奉
謹上　大納言法印御房
一裝束
淨衣　表袴　白裳　五帖袈裟著之
若大法開白結願著平袈裟
一所作
護摩壇
上﨟之中知法親近人請之
想蓮房云。大法阿闍梨下位之時。以上
﨟勤仕護摩壇之例無之。近衞院御時。
花藏院僧正（于時法印）被行大北斗法（三奉行位）
（入道藏人也五位）護摩壇世豪法印（曉胤弟子也次上﨟覺）而
高野御室無謂之由被仰之。被改他人。
其上猶件法事醍醐元海法印令訴申
鳥羽院（御室御結構）仍元海行之（覺曉辭退不行之云々）
小壇
唱禮師
下﨟中堪能人勤之
神供
伴僧中知法人可修之
一用心事
帖云。若爲人助修之時。可順彼人作法。勿
專我耳文
∴第五莊嚴道場事

厶云。壇所內裏若御所。先助修一人早參
可拵之云々。道場隨法異。具如各々法記
之
向方途爐等隨五種護摩有異。具如護摩
卷
一幕事
厶云。始自東北順引之（以表爲外）一帖只壇引
迴也。假令二間許歟
一縣本尊事
對大壇縣之
嚴範記云。禪定御房奉爲公家被修藥
師法之時。有大壇護摩壇各縣佛像文
一立壇事
往昔公家一切御修法必立四壇（大壇護摩壇十二天壇聖天壇）
來非大法不立四壇。無謂事也。雖
何法如法之時蓋立四壇哉云々
付立四壇。大壇護摩壇左右有異說。常途
所用。大壇左護摩壇。右（約人行也）也。是大壇定。
護摩壇慧也。大壇所安布入定諸尊請入
護摩壇智火之心也。近來世共依此說。一
說（護摩鈔）息災增益大壇右立護摩壇。降伏
敬愛大壇左立之。是以東南爲火天方之
故也。一說修胎行法之時大壇右立護摩
壇（義釋文存）依金之時大壇左立之（略出經文存）是
已入壇後可見之。尤祕奧也。是智泉說也
具緣釋明灌頂時息災護摩中云。大壇南
向曼荼羅中胎置火爐。或稍近南乃至西
南角文
略出付說灌頂時息災護摩云。於灌頂壇

火天方不應遠絶文
嚴範記云。此約灌頂壇明火壇方。約大
壇辨火壇方。更思之
覺\曬阿闍梨成光房教王房寛脩禪定殿下御祈愛
染王御修法之時。大壇左立護摩壇。而
實算阿闍梨南■房乘覺阿闍梨難詰之
云〻。世多不知左立說。故難之歟云〻
十\二天壇無方所。隨便宜云〻
聖\天壇伊舍那方立之
一門前事
ム云。便宜所立机若臺安灑水器杖加散其邊
置香象器若薰香云〻
一表物事
瑜伽護摩軌云。若遙加持人。或抄名或著
前人衣標心而加持文
安鎭軌云。羅惹上服以代其位文
自公家被送御衣。入御衣筥。以生絹裹筥
上。置八足上。以緋綱十文字結之如藏人封以
紫絹覆之。藏人瀧口等持御衣來壇所。奉
行助修請取置大壇左。又結願日來請取
之也
一排備供具等事
若飾壇以壇敷布一段自東北角引迴之
立橛標引糸事。具如護摩帖
四面閼伽等後夜日中外供。具如護摩帖
ム云。中瓶立之。雖尊位相兼莊嚴。仍時花
一枝揷之云〻
攝眞實經四云。所請佛菩薩衆皆來集
會。移大壇中寶瓶文

壇。置瓶事。毘盧經說也。瓶口置般若經
文
若開壇
大壇立之對本尊
以布二段覆壇上。四方立橛引糸事如常。
但不立標木
四面內外供如常　中瓶揷時花
左机　灑水　塗香　三衣箱
右机　香爐箱　佛布施　名香等置之
護摩壇
以布一段引迴壇自東北始之
壇上四面內外供備否異說也
一說內外共不備之。大壇召請供養尊。今
請入護摩爐火供之外。何用內外供乎云〻
一說內供許備之。壇上徒然也。內供許有
何妨乎。且自往如此備來云〻
一說內外供共備之。是建立軌尊勝軌意
也。近來皆依之
建軌云。所供如大壇文
尊勝軌善無畏二卷本云。其護摩壇安五瓶諸飲
食等。一依大壇法。不異。若不依。如是者
法不成文
鈴/杵不立之云〻
護摩師隨身之。若兼置之
花山記云。一古用調伏。三古通三壇文
十二天壇
一面閼伽供。蠟燭十五坏備之。如左圖
又常十三坏居之。略山王行疫神也

/香爐置之云〻
/小壇打鳴不可置之云〻
聖天壇
一面內外供如常。日中
昔\浴油用之。近來相實法印用之。此事雖
非僻事。不可然事也
近代不安本尊。不行浴油。不供閼等。但古
跡/皆行此等事。知者不云者知。所謂行藏
在人意文
/浴油可有之云〻
一修中渡壇所於他所事
想蓮房云。壇所被渡他所事常例也。但非
續目者不被渡。是被忌中間破壇故也。中
間破壇舊例在之。然而打任不可然。就中
後三條院可被憚之由被仰。其後憚之云〻
圓雲云。此說無謂。破壇之儀非結願。何
故當七日續目。只中間渡也云〻
想蓮房云。移壇所之時。渡表物藏人不行
向阿闍梨任心渡之。只出納小舍人許來
向令沙汰云〻

一第六諸壇行法事

一大壇行法

先阿闍梨入堂著座（阿闍梨座敷幕內）

即承仕打時金

次阿闍梨到佛前懺悔偈淨三業禮佛唱云

南無歸命頂禮本尊界會 某佛等 三反

伴僧取次第異口同音禮佛（是師達如此被示世人不用之）云歟

前方便

未云若有三杵者隨事用之

花山記云加持香水及以供物乃至五供可用三古護摩念誦應用獨古驚發地神及振鈴時應用五胡 文

神分事

自日中開白之時初許日中時令法久住等詞用之後ゝ如常初夜許可用之云ゝ

（大藏德決中有之）

三昧記云中間初夜時以令法久住言爲發言之初後夜日中不爾云ゝ

心經讀了唱大般若經名事甚無謂是不讀心經之時替唱大般若經名而作讀心經不思分兼唱大般若經名歟云ゝ又略時讀大日五字眞言說在之其時一切神分大日眞言一切誦可唱也

初夜神分詞委唱之後夜日中只一切神分般若心經唱之云ゝ

靈分

息災祈略之作云ゝ

祈願

自國王至宮院唱藥○寶號開自已下唱觀音寶號云ゝ

供養文唱禮等事

山門唱禮師唱之餘助修取次第本體阿闍梨可禮之近來不然云ゝ

阿闍梨供養文間取香爐唱禮之間持杵云ゝ

唱禮本尊所三反禮之

第二反除南無二字第三反大曼陀羅主句除之云ゝ

唱禮了欲出九方便之時闍梨誦驚覺眞言令有音（禾云有曲之音）聞其音出歸命十方等每九方便終改大悲毘盧遮那可加本尊梵號抑終一句幷歸命頂禮ゝゝ世不唱之無謂事也只可唱之也云ゝ

普賢延命決（金剛智說金剛覺院說）云雖後夜日中開白之時必用唱禮（但五悔文）

三昧記云開白若日中者唯唱五悔若初夜及半夜者唱禮幷九方便中間初夜時唱禮九方便後夜日中唯五悔也 文

供養文唱禮初夜許用之是略也禮懺靑龍寺黃昏勤也願之不用餘時云ゝ

發願五大願事

發願爲令施主幷伴僧知祈願意趣也

厶云有御加持之時發願略之然者五大願可略之歟但常五大願許可唱之歟云ゝ

入行法

胎藏金界悉地隨法意修之

根本印

帖云本尊印於袖內造之 文

念誦了頂戴珠之時伴僧見之出部噂吽

阿闍梨讚後祈願之程止之伴僧同音呪放阿闍梨祈願手磬之時伴僧歸命頂禮本尊梵號唱合掌作居禮佛

此事異常如何答谷記振鈴之後禮佛而振鈴四智讚前祈願之時禮一樣也云ゝ

禮佛取迷出四智讚三反

常祈願時指上磬手之時出讚也

初一反闍梨伴僧同音誦之次一反漸供闍伽次一反取杵漸轉之句終取鈴讚了即振鈴ゝゝ終即出迴向方便ゝゝゝ了打金次ゝ如常

振鈴後打金出迴向方便或說初夜打金後夜日中不打之或說每時倂打之又說每時不打之云ゝ

奉送事

戒壇決云一期修法中間時ゝ及安居等之中間時ゝ不奉送也至最後結願之時可奉送也

抑尊意僧正每時奉送也 文

下座禮佛

如初主伴唱本尊名禮之云ゝ

一護摩壇行法

厶云護摩壇者大壇所請本尊諸尊請供護摩壇也是云開壇又云離壇

江師云大壇尊請護摩壇事都卒三重

可請也云々。自大壇請護摩壇。自護摩壇請爐。或二重請之。自大壇直請爐。何有文證。不可偏執。而雙林寺座主三重勸請。外道義也云々。無其謂。爐邊周匝敷茅草。爲聖衆座云。如何云々

勸請有三重。自本土請大壇。自大壇請護摩壇（二重）自護摩壇請入爐中（三重）云々

付修護摩壇。有異說。一說。護摩壇阿闍梨非大壇阿闍梨受法弟子者。同時著禮版同修供養法。然者鈴杵等可置之（嚴範記輔圓大德說同但至振鈴用印不用鈴）之。護摩壇阿闍梨爲弟子者。只護摩許修之。其時或說。發願之後著護摩壇。或振鈴之後著之（世此依之）

先師云。大壇阿闍梨懸念誦之時著之云々。但近來雖非受法弟子修別行法事無之。誠以無便事歟云々

初

鈴之後護摩壇阿闍梨氣色用意（先護身云々）

至壇前禮拜三遍（不誦偈懺悔等）

次登禮版　次塗香塗手　次加持香水

次灑淨供物　次加持供物　次拍掌

次彈指　次去垢　次淸淨　次光澤

次羯磨　次金剛輪　次根本印明（用否在心）

次念誦（大日護術本尊當壇）　次不動成身（刀背印）

次入護摩

次護摩了小念誦。謂金剛輪陀羅尼七反。

部主明百反許也（部主明者谷記意一字明也）

一。十二天壇

瑜伽護摩軌云。即出道場外八隅敷茅。

或蓮葉或餘青草。或塗圓壇爲十位。於東方帝釋左右。置梵天地天。若道場外無處。即於道場前別爲方界。於中作八方。於中作兩位。

建立軌云。又復於淨處祀八方天（文）

或云。十二天壇見蘇婆呼經并護世八天法云々

十二天者守護曼荼羅上首也。仍必可供養之。往昔一期（七日）（內）三箇度修之。近來每初夜時修之云々

ム云。與護摩壇阿闍梨同起座（先護身云々）

到壇前禮拜三反

次著座　次塗香塗手　次加持香水

次灑淨供物　次加持供物

次加持飯食等三印明

次略神分祈願等（不用許白讀大壇也）

神分不可有之。祈願許。閼伽并念誦時有之云々

次驚覺　次金剛輪陀羅尼

次十八道行法可修之

小壇行法。地結金剛墻等不可用之。大壇結界內故。可准灑頂新佛供養所

道場觀

如座位觀之。不用種子三形

方言勸請

至心護請　四臂不動　十二大天

與諸眷屬　來際於此　受此供養

五供養

飲食供時。壇上所辨備蠟燭供。差火也。

其次第如圖

伊舍那 九	帝釋 二	火天 三
山王 十四	梵天 十	日天 十二
多門 八	四臂不動 一	焰魔 四
行疫 十五	地天 十一	月天 十三
風天 七	水天 六	羅刹 五

本體脇机上備置之。至此時承仕取一坏近阿闍梨々々取之。先飲食明。次不動明（餘天明略）誦之。捧供之後返承仕々々請取壇中座位居之。如此坏數皆了。總結誦燈明印明。然而近來皆兼備置

根本印明

先四臂不動

次十二天（第一根本印不空羂者明各別印如別記尊迦々々明）若總印合掌立大指

住云。圓融房座主（不云明雲）建春門院御祈七佛藥師法之時。十二天壇（承圓）根本印所各別印併結之。頗無口傳見云々

念誦

准知根本印

發遣

金剛部用之。每夜用之。想奉送大壇也

一。聖天壇

毘那夜迦常隨魔長時作障礙故如此
揭焉大法別請供之除彼等障難也
蘇悉地經中云或以先來持誦有功眞
言誦白芥子散繫難者必若不止卽應
出外以好飮食加以豐多如法祭祀彼
諸難衆文
或云聖天壇見蘇婆呼經幷持世別行
法云々
蘇私記摩呼經分別成就相分第五云酒肉
蘿蔔及以衆多波羅々食供養彼等八
方大神及諸一切毘那迦文
持私記世別行法說供養法云其毘那夜迦
別在一邊還作種々飮食供養文
法性房傳云延長元年六月二十九日
依勅奉爲中宮御產於右僕射東五條
家七箇日間修不動法第四日初夜之
後大聖歡喜天示現異相稱名乞酒因
茲加供聖天文
//靜觀僧正修法之時道場中聖天現乞
供物仍自其已來必有此壇云々
行法如十二天壇
道場觀
地結之上金剛墻內有須彌等九山八海
於其第六金山之上有七寶殿無量莊嚴
周匝懸列殿中有大圓曼荼羅壇上復有
無量供具周匝陳列中心有荷葉二上有
〔梵字〕〔梵字〕二字々變成本尊云々
方言觀請
至心讀請　大聖歡喜　雙身天王

降臨道場　受此供養
勸請 以根本印可召之
以二小指二無名指相鉤向內卽以二
中指竪相叉又以二頭指各竪附中指
以二大指亦竪近頭指側大指來去
唵儗上里唐
讚
唵誐娜鑁底扇底娑縛悉底摩賀誐娜
鑁底ソハカ
根本印
前召請印不招爲異
念誦
大日一二十反　本尊一百千反若
小法施
心經　諸緣度如常
一神供事
七箇日之間三箇度開白第四第七夜也修之若延
行之時第八夜修之於伴僧座修之作
法在別卷
或云晚良長日十日一度也云々
∴第七御加持事
ム云以修法功力迴施主以此眞言令結
界護身心也於御所被修之時初後夜在
之於宿房修之時大旨七箇日三度也初中
後但火急御祈有別仰者每夜可參入可
隨體也
其作法 不云火急之時每時也異說多且依師說
先著御加持座　次護身三部被甲
次結根本印成本尊身

次地結　次金剛墻
次磨念珠出發願聲發願詞隨事改之
次五大願微音
次伴僧呪放出陀羅尼二一和上呪放一和
上陀羅尼三和上呪放二和上陀羅尼如
此隨能陀羅尼員初重三反第二重闍梨
磨念珠之時舉重也第二重五反歟可依
阿闍梨計也第三重磨念珠之時陀羅尼
音止之陀羅尼了後金剛網火院其後起
去
已上初夜幷結願時樣也
後夜著座護身等了磨念珠之時呪放讀
陀羅尼也不用發願五大願云々
結願御加持日中用之付之有二說一
後夜不用而日中用之一說後夜如常
用之重日中用之云々又結願發願五
大願共用之一說又發願許用之一說
普賢延命決金剛壽院說覺範阿々々々記云後加持開
白結願時必用發願五大願中間初夜
時只用發願無五大願後夜等不用發
願只出陀羅尼云々覺師所用同之
/壇主會時於其壇所有御加持者不可
有發願雖一家內於別方有御加持者
發願可有之也三昧阿闍梨說也云々
或云時發願與後加持發願其詞聊有
用意謂降臨道場證知證誠等句鉤召
引入悉皆焚燒乃至護摩功德等句乃
至法界平等利益句後加持發願不用
之但後二句有用之近代無邊御願決

定成就云。卽出陀羅尼也云々
快師云。發願前摺念珠事東寺說也。山門總而摺念珠事無之。念珠爲分知反數也。法曼院御說。助修陀羅尼何反約束之故。雖無念珠讀陀羅尼。又上重々云
近來以念珠爲期讀陀羅尼歟云々
文云。御加持處必不燃燈明者也。頗可有用意云々

∴第八卷數事

ム云。卷數必書案文。其案置脇机讀上。是名讀卷數。以往施主必披覽卷數。公家奉行職事披見之。近九條殿令披之給。尤可有用意事也。谷流所念眞言悉不書之。但讀上之時雖不書之。所念眞言一一讀之（未遂之伴僧不令聞之）
三昧和尙所誦眞言併書之。近來用此說。勝林上綱委此說云々
護摩投物幷伴僧念誦數委算計書之。伴僧人別一時千反充之
卷數大壇供七箇度。護摩供二十一箇度書。未知其故。初夜花等後夜粥是非供耶。山門古人二十一箇度書可付之云々
右狀公家院宮御祈五行書之。大臣以下三行書之。凡人施主名奉祈之下書之。無關字。施主官唐名書之尤可也云々
產修法卷數。欲產之時總書儲。平安產成卽令進也云々
或云。連壇幷數壇御祈在之時。阿闍梨名字机書之云々。又連壇之時脇壇卷數等進中壇。或各々直進云々

禾云。眞言遍數字可用彳辶二篇。去聲線韻云。徧（方見切周也。說文帀也）遍（俗文）玉云。徧（延研切鄙也不平也文）

建長四年三月七日於小河草了
同五年六月一日於關東大藏谷書了
是爲以賢遺訓及後賢也　尊澄書之
建治二年七月八日書了　比丘承澄
以右御自筆之御本一交了
于時建武四年五月一日
建武四年二月二十六日書寫了　豪鎭
應安七年（甲寅）五月八日（未刻）以右御自筆御本爲興隆正法書寫了　無障金剛豪嚴（生二十五臈十一）
◎同時朱點了
同申時一交了
應永十九年（壬辰）六月六日於西御所御料所以右御本書寫訖
◎同時朱點了
金剛佛子豪明（生二十七臈十四）
享德三年四月五日書寫之了
◎朱點了交合了
右筆宥元
持者源喜

阿娑縛抄第四十八　七佛藥師本

校者曰。此卷原本首缺。今依淺草寺本補載之。參照三三三頁上段。

善名稱吉祥王如來（去此過四殑伽沙佛土無勝世界發八大願）
寶月智嚴光音自在王如來（過五殑河沙法世界發八大願）
金色寶光妙行成就如來（過六殑圓滿香積世界發四大願）
無憂最勝吉祥如來（過七殑無憂世界發四大願）
法海雷音如來（過八殑法幢世界發四大願）
法海勝慧遊戲神通如來（過九殑善住寶海世界發四大願）
藥師瑠璃光如來（過十殑淨瑠璃世界發十二大願）
種子永嚴抄

已上名號等出七佛藥師經。餘本不說之
住云。第一佛過四恒沙御坐。出過生老病死四之義也。以非三恒二恒可知也。凡此七佛是表衆生身中陰陽五行也。此等祕事也云々
本願經云。造彼如來形像七軀文
二經不同也。本願經只見藥師像七體。七佛經明七佛各別名號淨土本願智泉云。二經心各別也。隨依一意可修之。世人無所思尤無謂云々
依二卷經修之者。善名等七佛爲本尊。依一卷本者藥師七體云々
用草云。傳云。慈惠和尙依七佛經修善名等七佛法。三昧和尙依本願經只修藥師法云々（用草曰）
但私案之。二經取合。一佛異名可心得也。

故帖決云。七佛者。猶彼新譯經七佛歟。謂本願藥師經唯譯下卷文。新經譯加上文也。故梵本猶在七佛也。故本願經彼如來者。猶七如來歟

又傳敎大師鎭西造立給七如來中。如來共名藥師見傳。若依此意。彼七佛猶是藥師如來一佛異名歟 文 玄非七佛開一佛故專譯第七藥師功德義淨一佛又七佛故委譯七佛各別功德。而藥師瑠璃光如來七佛本願經題終。藥師瑠璃光如來本願功德結名。況又彼傳敎大師傳云。延曆二十二年閏十月二十三日。出太宰府竈門山寺。爲四船○達。敬造壇像藥師佛四軀。高六尺餘。其名號無勝淨善名稱吉祥天王如來 文 此傳是大師御弟子仁忠和尙筆也。是則彼善名稱第八願○若有衆生入於江海遭大惡風○稱我名者○至安隱處云。故也。是等七佛皆爲藥師明證也。又私助見云。本願經又請問詞云。唯願演說如是相類諸佛名號。世尊答云。勸請我說諸佛名號 文 依師說推。此詞指善名稱等云諸佛歟（私云。勸請師說云。如是相類諸佛名號。於樹下廣說七佛名號及本）（傳顯。今譯者除六佛。取第七佛云一經耳）然者二經附合。七佛一揆。故七佛來音樂樹下並寶座。又七如來以一音聲說神呪。設雖爲各佛一音聲可隨時宜歟。然而依師說案之。可一佛方便是則一佛改名號。七國成正覺者也 云ゝ

印抄云（[illegible]）問。本願經心。藥師七體云七佛。ゝゝ經心。出善名稱等名七佛藥師。二經七佛既異。七佛藥師名迹難定。可屬何義邊乎。答。可思之。重問。世共修七佛藥師法。依何說乎。答。可思之 抄

/本願經形像七軀文。與七佛經七軀文同異如何。答。本願經第七佛云七軀。七佛經指善名稱等云七佛歟。但兩經意難測。可能尋訪

江師云。七佛名號各別也。必皆非藥師歟。但七佛藥師者雖各別。藥師始故爲名。謂藥師等七佛云也。而其功能大旨除病延命也。但七佛經下七佛共說神呪。所ゝ有大神呪名曰如來定力瑠璃光 文 案此事藥師變作歟。一佛所爲。可得心也。此義甚祕密也。而故院衆中此沙汰出來時。良寛法印顯縁云之。無念事也 云ゝ

藥疏云。七佛經題藥師如來七佛本願經者。有二義。一相傳釋云。前六佛藥師分身也。攝化歸本名藥師七佛經。二從第七佛得名。言總意別故言藥師七佛經 文

東\寺說。七佛皆淨瑠璃世界藥師如來 云ゝ

∴第一可修此法事

爲除病延命修之（功能抄）

爲產生安隱修之

七佛經云。或有女人臨當產時。受於極苦。若能至心稱名禮讚恭敬供養七佛如來。衆苦皆除。所生之子顏貌端正。見者歡喜。利根聰明。少病安樂。無有非人奪其精氣 文 本願經心同

爲日月蝕等天變修之

爲風雨難（並）時節叛逆等難修之

本願經云。若刹帝利灌頂王等災難起時。所謂人衆疾疫難。他國侵逼難。自界叛逆難。星宿反怪難。日月薄蝕難。非時風雨難。過時不雨難○供養彼世尊藥師瑠璃光如來。由此善根○令其國界即得安隱 文

問\此法者藥師法歟。將又經法歟。答\雖仰藥師如來本誓。尙是屬經法。依兩經（七佛本願）造其像。辨備莊嚴。依以五色綵等文。安置經卷。依轉讀此經等文。讀不斷經。故偏以口傳爲本 云ゝ

先蹤

或\說云。昔赤色雲聳覆清涼殿。皇帝請慈覺大師。令修七佛藥師法。于時雲忽散了 云ゝ 又或說云。赤雲聳紫宸殿上。依勅慈覺大師令修息災法給。于時雲忽散了 云ゝ 此兩說勘正文可知實否云ゝ

國史云。慈覺大師。嘉祥（仁明御宇）三年三月丁酉日。於清涼殿修七佛藥師法。請七佛像。懸御簾前。七重輪燈立庭中（扶桑略記同）

/慈覺大師。仁明天皇御時。令修之給事在之

一大曆十年五月十一日。依九條右丞相請（爲一品內親王御產云ゝ）於坊城殿。慈惠大僧正初令修此法給。以之濫觴。依息災良[illegible]也

或說云。修了大小幡皆被燒之 云ゝ

禾云。其後代ゝ被修之。繁多具記別卷

耳

非天台座主修之例

一、樂行決云、橫川阿闍梨於朱雀院西宮、爲別當殿北方被修之（覺師抄本云、於西宮宰治大納言北方斷大原法橋修之云々）

一、勝林上綱度々勤修之

一、白河院御時、佛頂房律師（行嚴）四箇度修之、一乘房南勝房座主時也

一、保安元年六月、相豐法眼於禁中修之

一、相實法印度々修之

卿相諸大夫私修之例

一、永意律師於顯隆卿家修之

一、良祐阿闍梨於顯季卿家修之

一、近江守基綱於御子左修之、阿闍梨七人、各伴僧二口云々

一、大治元年二月十三日、左衛門督通季參籠中堂、於食堂以最一（禾云、戢歟）合修之

一、ム云、鎌倉右大臣（實朝）奏事由、於鎌倉行之、即率二十口伴僧修之了

∴第二支度事

註進

七佛藥師御修法七箇日夜支度

一、大壇所

御本尊七軀（御等身）

本尊藥師經四十九卷（可書五色之外一卷、鉄寶亦可有天蓋並）

殿腰案幡蓋打敷可有之

壇一面（方七尺）　脇机二脚

花机七前（佛之前除之）　經机十前

燈臺十八本（高三尺五寸、佉佛除十四本）

解輪燈七本（各高三尺、輪徑二尺）

禮盤一面（可有半疊）

五寶　金、銀、眞珠、瑟々、頗梨

五藥　赤箭、人參、茯苓、石菖蒲、天門冬

五香　沈、白檀、丁子、鬱金、龍腦

五穀　稻、穀、大豆、小豆、蓁豆、胡麻

酥　蜜　蠟　各少々

名香　鬱金、沈、白檀、薫陸、安悉

壇供米（七佛供等可被加下之）

御明油（七佛御明並輪燈油等可被加下之）

壇敷布（二端）　五色糸各二丈

五色幡五十流（之內一流四十九搩手、四十九流五尺）

一、護摩壇所

壇一面（方六尺、可有爐桶）　脇机二脚

燈臺四本（高三尺五寸）　禮盤一面（可有半疊）

壇供米　御明油

壇敷布一端

一、小壇所

壇三面（方三尺五寸）　燈臺六本（高三尺）

半疊三枚　壇供米（兩壇蠟燭供可被加下之）

御明油（同前）　蠟燭布一端

壇敷布三端

一、修中事

放生（每日可有之、每日四十九、可從下、其數）　赦免

妓樂（每日可有之）（開白結願許）

一、鋪設雜具等

切燈臺五本（不斷經所料）

芥子袋一懸　佛供覆三懸

大幕四十帖（本無）（二帖、但不足、人々多於五帖云々）

半疊十二枚（之內一枚阿闍梨座）　長櫃二合

桶十口（大二口、小五口、之內五口足桶）　杓五柄（大二、小三）

折敷十枚

一、修僧等

阿闍梨　伴僧二十人

承仕六人　駈使八人

見丁二人

以上各淨衣黃（黃色）

人供等如常（但不斷經供料可被加下之）

右太略註進如件

建保三年十一月日行事大法師榮明

阿闍梨法印前大僧都忠—

壇供已下供米配分（爲存知行事註之僧）

大壇供八石

護摩壇八石五斗

十二天壇三石

夜叉壇三石

聖天壇二石

七佛供一石九斗六升（二坏別）

已上二十六石四斗六升

阿闍梨供二石四斗

番僧二十人（供師定）五十七石六斗（口別二石八斗八升）

行事僧一石四斗四升

承仕六人食八斗六升四合（人別一斗四升四合）

駈使八人食七斗六升八合（人別九升六合）

見丁二人食一斗九升二合

雜用一石（續使）立預車力等也

已上六十三石二斗六升四合

都合九十石五斗四合

明油支流(慈圓)

大壇八升四合(時別四合 定日別四升四合)

輪燈一石五升(日別一升四合 定略 三合 定一燈)

護摩壇一斗五合

十二天壇三升五合

聖天壇一升四合

夜叉壇三升五合

經所三升五合

七佛供九升八合(略定一升四合 開白許燃之)

已上一石四斗五升六合

略定支配

大壇二升八合(日別四 合定)

輪燈六斗八升六合(日別九升八合 坏別二合)

護摩壇四升九合(日別七合定) 加燒油

七佛供九升八合(日別一升 四合定)

小壇三壇四升二合(日別六合定。但燈無之故也。自將軍家唐燭每)

(夜被設之)

見丁九斗三合

智泉房支度○諸壇々敷黃色云々

或支度。出五色絹切。經袋料歟。不可用之云々

敕事。上古人不載之。法印上綱可有旨令諷諫給。其後人々雖非門人多載之。公家大赦思可有時儀。上皇母后執柄功勳臣(或藥師或私勸賞免之)。夫云。臣下庶民祈時。不可載之(但修善時有繫閉)以免除由可誘也云々

禾云。剎帝利可行之由見經文之故也

南勝房和尚(仁豪行事僧淨衣黃色出之云々)

∴第三形像事

本願經云。造彼如來形像七軀文

七佛經云。應先敬造七佛形像文

下文云。恭敬禮拜七佛如來○造彼如來形像七軀文

依此等文。造七體像

ム云。先以吉日可加持御衣木。佛師相具料材參阿闍梨本房(加持作法在別卷)

等身藥師坐像七軀奉造之

等身尤宜見書以。ム云。佛母曼荼羅集等在其說

凡瑜伽中以坐像爲本。轉法輪形之故也。是祕事也。立像不宜行動修之故

圖像 五

若三尺立像

ム云。又近來奉請古佛常例也。謂先々御本尊被安法勝寺等也

康治三尺立像(古佛云々)

相。左手與願。右手無畏

有人(覺瑜 滋蓮)云。說七佛各々印。尤可依之云々。被書是藥師肝心法云書也。山門上古人師不傳之。用否眞僞難知。各別印相甚不○用之云々

ム云。妙覺抄○勝林云。尊形往代只右施無畏左施願也(普通云々)

印抄云。傳教大師於鎭西令造給像持寶珠云々

造了可奉居各別案

集經云。以錦繡等淨物敷之。床上安藥師佛像文

若。率爾難造立者。繪有何過乎。釋尊爲仙道王勸之。大日瑜伽教中多說給。但造彼如來文雖似木像。雖繪像云造立無咎歟云々

ム云。近來全不然云々

大原記云。私云。度々見此法等身像七體懸修之。但佛像造繪之大少。可在人意歟文

印抄云。叡山大師爲或施主畫七佛藥師像記文圖七佛於三制。中臺大佛像。左上方善名稱。次寶月。次下金色。右上方無憂。次法海。次寶海勝抄

∴第四道場莊嚴事

向方

ム云。依增益者可向東。依息災者可向北。又隨便宜。雖向南西可成向東向北之想云々

大幕

ム云。隨道場便宜。計間數廣狹。始自東北角順引之(以表爲外) 壇場與助修座必可引隔之云々

於中堂修之時。北禮堂四間若五間爲道場。但北禮堂不吉也。後三條院御目御祈。於北禮堂被修之。無其驗崩御。院御所食堂云々可南禮堂歟云々

安置本尊

ム云。近道場東壁可奉安本尊（禾云佛後可有行道路）
但異說不同也。暫依師說者（同院作）向大壇中心。
奉安藥師佛。次佛安左。次佛安右。又左。又
右。又左。又右。如此善名稱等六佛可奉居
之。即北端佛向大幡（師子同）南端佛當護摩壇。但
道場狹。大壇（同院无）向三體護摩壇向三體兩壇
中間向一體。各別案上下奉居之（本願經云數清淨座）
（而安處文七佛經云、安在清淨妙之座文）
大壇向藥師。善名稱事可存一說而已
如七佛經者。以善名稱爲始。後雖安之。
道場便宜難得。可招人謗之故。大壇中
心當藥師（若善名稱）右六佛。雙可安之。若藥
師爲中。餘六佛。始第一。右左右左可安
置。以大壇當藥師。凡南端善名稱。北端
其佛其佛可思付云々
二護摩字治闍梨ム傳教大師七佛藥
師壇樣云々
四　兩壇並幡。彼私意略也云々
六
七　大壇
五
三
一　幡
立壇事
假令五間道。自北第二間可立大壇。第三
間可立護摩壇（禾云佛與壇間七佛供花机並輪燈承仕路之程可相計）第
四間可立十二天壇。十二天壇左護摩壇
右邊可立藥叉壇（但已上三壇隨道場便宜可立之必無定相矣）北第
一間立聖天壇。是寄伊舍那方意也（若依息災）

（向北者護摩壇左邊可立之。夜叉壇准知前。然者對聖天壇以十二天壇立大壇右邊云々）
大壇
先立幡引糸事（如常）壇數以二端引之
五寶壇下中心置之
四面閼伽外供（如常）
或決（出慈雲房決）云。問。四十九燈外例四燈
燃之乎。答。大僧正圖燃之。是佳矣（文）
中瓶入香水。立壇中心。結糸爲蕊
康治。中瓶上橫置七佛藥師經。結付之
云々
鈴杵如常
ム云。世置三杵於金剛盤。不知由緒。仍
不可用此說
左脇机。灑水。塗香。名香。三衣箱
右脇机。佛布施七裹（若一裹）香爐箱
護摩壇
先引壇數。立幡引糸（如常）但立標木上絲耳
四面閼伽如常。但於外供者。備否異說有
之。近來皆備之。所供如大壇意歟
鈴杵不置（大乘院被置之）杵護摩壇闍梨可隨身
香爐置之。打鳴不置之
十二天壇
先以壇數。布壇上。引四方
一面閼伽（如常）燈臺二本立之
蠟燭供十五坏（若十三坏）每初夜時儲之
灑水器壇上居之。塗香壇下置之
鈴杵香爐打鳴不置之
夜叉壇
一切如十二天壇。但蠟燭供十二坏備

之
又奉加供山王云々。標銀錢不置之云々
教王房圖藥師日光月光山王行疫加
供之
或人。中心居一坏。不指蠟燭是藥師云々
尤不可然。中堂夜叉供居藥師列事也。
不似今私存念。中心居四坏。可供四天。
夜叉壇是依我等眷屬衞護是人等（文）
而案經意云々。爾時四大天王與其眷
屬皆詣其所供養守護。○無復橫死云々
尤可列位供。但小壇多々有煩。仍夜叉
壇合供有其便歟。先般若十六神者十
二神加四天乎云々
聖天壇
一切如上。但不居蠟燭供。如例日本供備
之
康治。障子帳奉安聖天。置壇上云々
（禾云有浴油歟）
經安置事
本願經云。若自書若教人書。恭敬尊重
○幡蓋伎樂而爲供養。以五色綵作囊
盛之。掃灑淨處敷設高座。而用安處（文）
笈本灌頂心同
七佛經云。以五色綃綵而裹盛之。灑掃
淨處置高座上（文）
此等文讀經時事也。然而行法時引用
之歟。常事也（文）
ム云。先師律師勤修之時。入經箱安大壇
中心。然而當北端佛立嚴麗机。其上經囊

五色帙簀（若經箱） 安置之上張天蓋（禾云其蓋付龍頭結付机足）
此說師曰七佛經一部（二卷）可奉加入之
印抄云若依造彼如來文造藥師七佛
體者可安本願經若依七佛經七佛各
別故可安二卷經云々
文云人師多用袋形私云囊者只袋義
也故或作帙褁之義淨所譯褁寨其意
明也況外典云縹囊云々注云縹囊者
書帙也文故囊卽褁帙義也況異域本
朝案經儀式多用帙珠乎云々
依作囊盛之文先代奉入五色袋而圓
融房座主云（禾云如右抄之）仍作袟簀被納之
此事見文選云々
或（出慈雲房決）師匠上綱帙簀五枚作經十
卷々之五枚卽五色作之其五色者褁
絹並緣等染也
金剛壽院記云褁五色帙簀置嚴麗案
文
大原記云便宜處立高机以經入箱其
机上可案之大師上綱先年被修此法
之時大壇中心置經筥給文
近年（イ）納經箱置案上張蓋尤差也件箱
大壇內方若便宜之○（所カ）安之私案云大
壇中高座立其上安之有何難乎
住云鳥羽院御登山之時宮座主御時
大壇左立之青蓮花國大壇中安筥此
說佳云々
康治經箱（在天蓋）置鵄足机立大壇與大
幡之間二卷經入之（錦囊臺之舊物也云々）
保元大壇與左立經臺箱入二卷注而（闕カ）
件經注作二卷取出置中瓶上云々
常入經箱置嚴麗案一說本尊與文壇
間置之或入經箱置壇上此說非也大
壇傍別可置之私說其經取出大壇瓶
口上置之云々
師云近代置大壇上不知其據大僧正
圖不安之
用草云從北第二佛前高机置經筥以
五色綃覆經箱上可結之歟或復可用
襲歟
或云經十卷許入帙可置也云々

大幡

本願經云懸著五色續命神幡文
文云造五色綵幡長四十九搩手文
七佛經云并一長幡四十九尺文
集經云以五色成四十九尺文
灌頂經並笈多本同四十九尺文
五色綵幡一流囊五謂五色也（禾云白赤黃青黑自上向下）
長寸法異說甚多暫依師說者四丈九尺
用之
大原記同 廣二尺五寸
靖邁疏云搩者尺也七佛經疏（泰[illegible]）云搩
手卽應一尺文
印抄云所々文皆四十九尺也適本願
經有搩文疏云搩尺也云々又字書搩字
皆四十九注尺故用可四十九尺歟但（谷泰[illegible]記云五大院說云々）
慈惠和尚圖二丈餘云々護摩抄云搩
者自大指頭至中指頭其舒取量也與
善寺和尚所傳也云々依此等心或可用
二丈餘歟抄
文云問尺可用何世尺乎答佛於周（出カ）世
可用周尺（唐代八寸）或玄弉義淨共唐三藏
也故或用唐尺 問二說何正乎答邪
正難知但翻皆傳佛說梵文且可依周
尺況玄錄意尺有五其中周尺一閻浮
提通用尺也
聖行決云四十九搩所配二丈四尺五
寸歟云々
大僧正御傳二丈餘云々搩五寸云說定
歟凡一搩異說不同或自大指端座（至カ）中
指頭是六寸也（是智證大師記說）禾云搩事雖有
衆說律法講云自大指頭至中指頭爲
搩是則周一尺也佛在世人勢大故搩
量當唐八寸（此カ）今人其勢少故當唐六寸
所詮如件家所用者依隨時代寸方可
用己身搩量歟
遁倫疏云五色當五行云々
印抄云師說云五囊也云々或說云五囊
配五色云々
或說云以五色成四十九尺之意一色
則一丈也云々
又云五色上下或說云五囊從下囊如
次配地（黃）水（白）火（赤）風（黑）空（青碧）五大
色云々是等各屬一色但以黃色屬中心
之是佳歟或以水等四色屬第二已下
四囊配東西南北四方以黃色屬第一

囊配上方中央之色 抄

梨本座主日記

青 黄 赤 白 黑

四十九尺云云

教王房支度云。囊五自上白。赤。黄。青。黑。是五又白。赤。黄。青。黑 抄

先師被修之時。大壇左天井鈎懸之。幡足幣置之

厶云。近來皆用此說。下敷淨筵

天井下破之梁懸之云云

大僧正御時道場前庭上立幢。侍懸之。其廻有釘拔。又大原法橋同立庭上立尤佳矣

梨本座主於中堂被修之時。鈎懸內陣。足引出禮堂壇所前云云

厶云。蓮實房於中堂修之時。橫懸之。見日記云云

康治大壇之左（西也向北定）天井組入一間取梁懸之。足板敷被盤置之下有折敷云云

保元。向大壇云云左天井懸之

用草云。設一幢（壇所天井以下量也）立經筥前懸大幡云云

四十九流小幡

七佛經云。造雜綵幡四十九首（餘本無此說）

小幡四十九首。如常幡。以五色錦繡可縫之。長五尺

大原記云。五尺許小幡四十九流也。雜色如常 文

大僧正闍五色各別也。謂一流一色也。但今樣一流具五色云云又囊五五色佳歟云云

寸法不見。經五尺吉程也。又配五色歟（印抄云七七四十九重也）云云或七尺云云

仁祐（佛頂弟子）○大（云四）原五尺許被注心如何尋云。答云。定有故歟。但是吉程歟。仁云。是尊勝祈雨壇小幡等身云。准彼歟。智泉房是之云云

教王房支度○（云云）囊手足各五色。長五尺許云云

印抄○（云四）造雜色八幡。即如大幡。可五色。七佛經說長幡。但云雜綵。而本願經等皆云五色。准彼小幡亦是五色也。但世說云一幡一色。若五方繫之者。小幡四十九。染青赤白黑四大色。如次可懸道場東西南北之四方。大幡染黃色。從上方可懸之（或一色九十）世多一色染幡交雜懸之。未知所據。或每幡染五色。可懸道場四方。又慈惠和尚圖云。中尊左右小幡皆青色。右方小幡皆白色云云私云。七佛經云雜綵。何必限青白二色乎。如前出。即五色也。但祖師意非所測。仰可信而已 抄

又云。幡囊數未見定說。或云。幢幡者破四魔表幟也云云然囊四足四有何過耶。或三寶供養幡蓋事續命表幟也。其形造我五輪也云云然五囊染五行色。事頗有所由。或幡以轉爲義。表智斷轉變增進。爾者表斷三毒。顯三身。造三囊亦無違

大僧正令修給之時。天蓋上結木一佛七流懸之（七七四十九流也）謂左右各三流。佛前一流也。然而壇所狹。佛前一流懸。佛後佳也。大僧正樣可用之歟云云

彼時每一佛前幡間懸花鬘云云

先師被修之時。佛左右後三方被懸之

又道場幕內四方懸之。不定員數。前方中幕內方也（大乘院用此說）凡幔代打小釘。可懸之

或說。幕添細縄引懸之

又蓮實房。佛左右二流云云其餘道場左右並懸之。或說。大壇廻云云懸之。凡懸樣無文。不可定執云云

康治四方普懸之。佛後一間四流。佛前一間二流也云云

近來懸樣不心得。唯如常每柱二流云云懸之云云

或七佛之上必張蓋。每蓋之緣懸小幡七流（除前方）都合四十九流云云

承覺抄云。或人云。大原僧都壇場前引縄佛前アケテ左右四十九流懸之

或人云。一乘房和尚小幡四十八流懸之。加大幡四十九流云云

問。四十九首五色綵幡。並四十九尺五色大幡。所表如何。答。四十九陽數極也。五色。五行色卽五藏也。以此色幡奉佛者。卽養我五藏。延壽命也。凡五色綵幡。是延壽祕術也。阿育王危命之時。依雞代密多大阿羅漢教。作幡懸塔婆之時。塔婆自低令懸之。卽大王寶祚延長。又外書中。以五色糸貫花懸襟。長命術也。云文有之。抑幡是軍陣器也。懸大將前。催軍兵進止。其形或以虎豹皮造之。或以孔雀鷄鳥尾作之。或以繪綵縫之。或以錦繡綴之。或畫鬼神形。是名神幡。或畫師子等。令人恐怖。令道場中懸事。佛是大法大將。能破魔軍。伽藍是斷惡戰陣。能禦煩惱賊。故以世俗戰具爲勝義。莊嚴囊四表。四波羅蜜。五表五智。足四四波羅蜜。手十六。十六大菩薩也。凡成法幡之上。所表隨數自在也云云。藥疏云。雜喩經云。阿育王以金縷幡懸千二百塔。延二十五年壽文 阿育王傳云。一日中起八萬四千塔。收王身疾。王手自繫幡。得平愈。故名續命幡文

禾勸字書云

旛 玉云。旛旗總名也。文 弘決云。經中作幡文

旌 玉云。子盈反。周禮析羽爲旌。文 韻云。旌旗。文

旗 玉云。巨基反。熊虎爲之旗也。又旗亭市門樓表也。文 韻云。旌旗。釋名曰。熊虎爲旗。將軍所建。象其猛如虎。文

旟 玉云。弋於反。周禮。鳥隼爲旟。韻云。周禮曰。鳥隼曰旟。州里所建也。爾雅曰。錯革鳥曰旟。郭璞云。此謂合剡鳥皮毛。置之竿頭。

旂 玉云。渠衣反。縣旌於竿頭之旂。文 韻云。爾雅有鈴曰旂。釋名。交龍曰旂。畫作兩龍相依倚也。通以赤爲之。無文彩。諸侯所建也。

旐 玉云。除矯反。周禮云。龜蛇爲旐。文 韻云。旐旐。爾雅云。長尋曰旐。郭璞云。帛全幅長八尺。釋名曰。龜蛇爲旐。云兆也。龜知氣兆之吉凶。建立之於後。縿事宜之形兆也。文

旆 玉云。蒲貝反。爾雅。繼旐曰旆。文 韻云。旗也。旐曰旆。文

旞 玉云。似醉反。周禮。全羽爲旞。文 韻云。旌也。文

旀 玉云。文屈反。州里所建旗也。文 韻云。說文曰。州里所建旗也。象其柄。有三游。雜帛幅半異。所以趣民。故遽稱勿。文

斿 玉云。弋周反。旌旗之末垂者。文

旒 玉云。力周反。旌旗上垂者。韻云。旗旒。文

尊決云。天子幡。足十二。諸侯王九也。諸太夫七也。殺士三也。一切人家皆可有物也。仍鬪戰時伴幡取出。各我カシルシトスル也云云

印抄云。珠林云。迦葉語阿難經云。昔阿育王。自於境內立千二百塔。王後病困。有一沙門。看王病。王言。前爲千二百塔。各織金縷幡。欲手自懸幡散花。始得成辦而得重病。恐不遂願。道人語王。乞王好叉手一心。道人卽現神足。應時千二百寺皆在王前。王見歡喜。便取合幡金花。懸諸刹上。塔寺低仰。卽皆就王手。王得本願。身復病愈。卽發大意。延壽二十五年歟。名續命神幡云云

印抄云。本願經云。續命神幡文 疏云。幡取浮義。死卽沈義。捨沈取浮。故作幡○何以故爲已死作幡乎。答。三途卽沈義。座道卽浮義。故作幡文

七佛經疏泰極云。法釋經云。惠法曰。若亂世惡行當云何除。佛言○五色幡五丈。七日七夜。增壽命。益算上福○幡五丈。中三丈。下丈五○貧下○五尺幡抄

禾云。造幡功德廣如印抄

正法念經云。朝夕王有四十九妻。王受重病。第一妻云。立幢係四十九尺壽命幡。奉三世佛。助救王命。次第四十餘女立一一幡。愈病。延四十九年命。口四十九后命終生淨土文

禾云。或人抄之。正文可勘

輪燈

本願經云。燃七層之燈文 笈本同

下文云。一一像前各置七燈。一一燈量大如車輪。乃至四十九日光明不絕文

七佛經云。燃四十九燈○一一像前各置七燈。其七燈狀圓若車輪。乃至四十九夜光明不絕文

集經云。燃四十九燈。一一作七層形。如車輪文

灌云。七層之燈。一層七燈。一一如車輪文

藥疏云。各造七輪燈。形量大如車輪。一一像前各置一輪燈。一一輪上各安七盞燈ノ

間＼本願經上文云燃七層之燈文下文云各置七燈文其心同乎。又現行作法。每佛各置一層燈。各安七燈。此事順下文。不叶上文如何　答。且付現行會上文者。是實非七重燈。只一層燈云歟。又各置七燈者。若每佛可置七層燈歟取坏數。非云七燈。以一層爲一燈歟。坏數可過四十九歟。坏數多々不吉。然則尤叶大如車輪文。此義不叶。請遍釋并大僧正見行。但彼等唯依一心歟。又上文供一佛之義故七層也。下文廣安七佛故開四十九。成各別歟云々

印抄云。初段出一佛修行。只有七層文。次段出七佛行法。只有各置七燈文。故一佛時用七層一本。七佛時可用一層七本。況七佛經出七佛修行之故無七層文。集經出一佛行義之故。有七層之文。又藥師經。太賢古迹記○云列一座像。造七輪燈。形如車輪。一々像座前各置一輪燈。一々輪上。各安七盞燃云々私云。今書釋意云。一佛像造七輪燈。一々輪上安七盃燈。若七佛一々備前各立一重輪燈抄

一//或人。一々佛前置七燈。此外列立七層一基云々

或說。七佛前總立一本七層燈。燃四十九燈云々

或說。一々輪燈皆七重也。謂一佛前各四十九燈也云々

三非明尊僧正。七佛前各燃七層燈云々

一層輪燈七本輪高三尺徑二尺各燃七盞燈。七佛前各立一本

大僧正闍云。輪徑四尺云々　理智房支度云廣二尺八寸云々

敎王房支度云。高三尺。輪徑一尺五寸云々

尊＼決云。慈惠御時。獨古造輪狀作近來足蜘蛛手上桶蓋覆樣也。迴雁齒畫美綵色也。蒸上不出輪上。而如車輪ェリスカシタリ數七也。其ヤ上燈戒打其上置大土器。燃火也。是大概爲存知也。大旨古自上被下也云々

光＼明不絕文故晝夜常燈也。是壽命運持表相也。故續命幡燈文藥疏可見之云々

實敎經云。燈有明々命也。燈延命可見正文

遁倫疏云。七層以配七曜文

印抄云。往年於河陽院千手院法橋行圓。此法至明旦燈明悉扇滅。天喜五年比。遇彼時助修尋問之處。答曰。依本願經燃燈續明文文今文頗似彼說。但四十九日光明不絕之文。猶似說晝。況光明不絕。是常住例也。佛土摩尼燈豈晝滅其明抄

七佛供

每＼七佛前立一小机。々上備閼伽一前。佛供二坏。燈臺二本立之示云机左右是云七佛供佛供初夜許也云々

或說云。日中時如大壇一面供備之云々

師//日。近代諸阿闍梨依大僧正圖七佛前立花机。每夜奉獻飮食燈明守株未識情也。見彼時日記。佛開眼讀經發願酉尅。護摩開白戌尅○初夜讀經發願有之。故有此等事。而近代無其作法。仍不可立花机云々

保＼元花机立之。新佛故。古佛可略之蓮實

康治院內支度無之云々　示云。古佛故也

每//日備佛供事不心得。但上被送染佛供等者。開白許可用之也云々

新/佛開白時許立之佛供時了取去之。古佛總不奉之云々

經事

新寫經四十九卷文不云卷數。四十九卷歟云々雖餘事伴僧座僧別經机一前立之。起首時。四十九卷藥師經分置之。開題之時。可擧經題。供養了後。々時讀經番僧前可立之。明燈臺五大每前机間也。一本可立之。初後夜時間也。日中可取去之。又經一卷。可置大壇脇机。爲擧題也云々

修僧座事

大阿闍梨座。幕內示云。若幕外便宜所數之大文高麗

助修座。幕外南西端座數之。假令二十人座十帖歟。僧綱小文。凡僧紫緣歟。奉行職事定存知歟。

香盤

便宜閑所可置之可盛時香不斷經料也
門前
計入道場便宜立机可置門前瓶（入香水挿時花）
（加散鼓）
香象同邊可置之
打鳴
唱禮師邊可置之便宜惡可置上臈邊云々
示云又開結時鐃鈸可儲之入道場行道
料也
五色糸（結線料也）
糸例線糸染五色也又長一丈許也（八百）
（結定）若十二結二尺許歟但百八宜云々
自開白時可始結線者兼日可繕之中間
可始之者閑可繕之其作法
先於佛前立机燒香次三禮次如來唄
次啓白（五大願云々若只以和音申願志然者不取香爐云々）
次誦十二神將呪以杵加持之四十九反
（若三反）
次薰香熕（此時不誦云々）其後可繕之（延命小指二丈許可許也）
之下繕合時共可誦十二神將呪也（若事辨明）
（但十二神等宜云々）○前誦十二神將呪以杵加持之
四十九反（若七反）而後可薰香熕耳/以藥師
呪繕之
其後置小机幕內便宜所可安之
樂人事
本願經云妓樂歌讚右遶佛像（文）笈同
七佛經云皷樂絃歌稱讚功德右遶佛
像（文）
校者曰以上依淺草寺本補之

灌頂經云歌詠讚歎圍繞百匝（文）
開白時可有妓樂仍兼日可被召之由可
申職事起首時以前可召儲之道場寢殿
階隱邊可儲伶人座（禾云庭上）
康治樂人南庭敷儲坐之云々
住云開白行道萬歲樂結願行道太平
樂前後供養大旨同樂也是等調子神
妙也是成隆少納言入道說也云々
尊云樂人襲裝束云々他行時殿上人
中堪能輩勤此役可也云々

圖像 六

結願用意
一結願前日初夜時卷數付枝結付大壇
右方欄立之
一讀卷數 大壇右脇机置之
一如開白可召儲樂人
一佛布施 大壇右脇机置之
壞壇場事
一御卷數 奉行助修暫留道場以行事
僧令進之但隨奉行人自體取傳又例
也如此事隨時可斟酌之
一奉行助修以承仕先令取御本尊昇出
諸壇等之後取去大幕大旨沙汰了之
後退出
∴第五行法事
先開白用心 ム云大阿闍梨以下著淨
衣平袈裟參（爲貫首人必召具寺官法務召具綱所可然良家僧綱爲作僧者尤可驅從也）

自道場便宜門參入
次上堂儀式 ム云助修下臈爲先大阿
闍梨在後先誦四智讚一反打鐃鈸（如常曼荼羅供）
禾云於門前各灑水如常
即行道三匝（佛像大壇護摩壇大幡等外方小壇等內邊廻之）
此間樂人廻道場外緣奏音樂
修僧與伶人內外行道可計合假令道
場爲寢殿者樂人可廻其外緣若無便
宜於本座奏音樂例也
ム云青蓮院座主於中堂被修之時迴
一堂云々如此事隨便宜可斟酌之云々
/中堂作法阿闍梨番僧遶幔內樂人遶
迴廊表或樂人不行道或修僧樂人共
遶堂緣
阿闍梨昇禮版止樂云々
凡樂起止以使者可示樂所云々 尊云
行事僧可告也云々
右作法伎樂歌讚右繞佛像之文心也
行道三匝後阿闍梨留禮版前
次禮佛
南無歸命頂禮十二上願藥師瑠璃光
如來（三反不云若七佛各別可准唱禮云々）
南無日光遍照菩薩摩訶薩
南無月光遍照菩薩摩訶薩（若日光月光遍照菩薩）
（訶薩）
南無發誓護持利衆生者金毘羅等十
二夜叉大將等
次懺悔偈 次淨三業 次著座
次塗香塗手（此次可捻名香） 次前方便（如何）

次總禮　阿闍梨唱總禮。師命合掌。於禮
版上三度禮之（取香呂禮之云々）助修同時禮之
次開眼　先灑水新佛三反
開眼詞　啓白（不斷經之由可啓之）藥師經開題
釋佛釋經令法久住詞　神分等（已上在別）
ム云。如此息災祈之時。處分略之佳矣
次供養文　唱禮
三身　佛眼
南無々々勝淨土善名稱吉祥王如來
右先師說加之。是擧七佛前後之意
歟云々
ム云。依師說加之。可有用心云々
南無曼荼羅主淨瑠璃淨土十二上願
藥師瑠璃光佛　三反
南無日光月光遍照菩薩摩訶薩
南無金毘羅縛日羅等十二大藥叉將
（或大小次禮之）
南無大小々々三部々々（已上先師說云々）
唱禮大僧正說用之云々
禾云。彼時八業次七佛各別禮之。謂
南無々々勝淨土八大誓願善名稱吉
祥王如來
已下准知之。但第七佛三反禮之
三身佛眼七佛各別（不云大誓願等。不云八）文殊
々々執金剛々々阿梨也々々四大
明王々々釋梵四天等提婆々々金
毘羅等々々三部々々　是私師說
也。師云。梨本教王兩座主用通途藥
師唱禮。恐兩座主意趣有一卷經心

歟。大僧正西方院等。依二卷經具禮
七佛云々
大原記云。三身等七佛各別禮之。但
第七佛三反禮之。日月十二自餘如
常云々
萬壽四年無動寺座主於法成寺修
之時。八業佛眼藥師南無々々勝淨土
善名稱吉祥王佛等一切諸佛五大
々々小十二三部云々
次驚覺　次九方便
次發願
至心發願　唯願大日　本尊界會
七佛世尊　十二願王　藥師如來
日光月光　諸大菩薩　發誓弘經
護世四王　十二神將　七千夜叉
三部界會　諸尊聖衆　降臨影向
瑜伽壇場　護持皇后（隨人）　清淨御願
造立形像　書寫經卷　修瑜伽法
供養恭敬　歸依世尊　本願功德
大悲願力　眞言威力　哀愍加護
御產平安（隨事）　寶壽長遠　無邊御願
皆令滿足　宮內安穩（隨所）　諸人快樂
乃至法界　平等利益
五大願
ム云。開白時有經供養者。重不可用之。
又有後加持之時。發願略之
次入行法　ム云。胎略行。若悉地
大旨胎藏宜。其儀則如一佛法記之。又
悉地大法。若強求極略之時。可依十八

道。凡受悉地大法之後。如此行法。非大
法而不可修之。若雖依十八道。大法印
明少々加入之云々
大原記云。世人多以悉地修之。或以胎
藏修之。無妨云々
道場觀
觀想。地結上金剛墻內。即瑠璃地也。其地
中心有大曼荼羅。四角有四賢瓶。無量供
具周匝陳列。曼荼羅中心有大蓮花臺。々
上有七個[illegible]字（金色）。々々變成七佛頂形。々々變
成七體藥師像（左手施願右施無畏 已上大原）
ム云。又可觀一尊曼荼羅。謂中臺本尊。
第二重日光月光文殊救脫觀音彌勒。
第三重八方天。十二神將。若四隅四明
王（若依本願經。全如一佛法記之云々）
閼伽　附妓樂
自此所至于後供養讚。可奏音樂（ム云。萬歲樂延
喜樂千秋樂等。太平樂歟云々）近來開白結願許用音樂
雖有伶人煩。每時前後供養時奏之。尤
可嚴重歟云々
傳聞相覺法眼（月卿雲客同弟子）於禁中修之時。每日初
夜時音樂在之云々
開白結願兩時前後行道。并前後五供
養之間。妓樂有之云々
或記云。從振鈴奏音樂。五供養了即留。
又後供養時。行法了奏之云々
讚
鑁誐薩嚩勃馱鑁薩嚩尒鑁　入加處舉則
麼迦訶羅（引）都迷俱嚕吠女里也（二合）入縛

羅引怛他識多摩○(引入)捺耶嚩誐悉羯羅(不出)
(空少執)誦右一讚可任讚七佛之心云々
文\先可誦三身云々　ム云次四智讚云々
若\誦法身讚佛功德之中以法身爲本
故也云々　又心地觀經三身即一文
敬禮天人大覺尊　恒沙福智皆圓滿
因圓果滿成正覺　住壽凝然無去來
勝鬘經文
如來妙色身　世間無與等
無比不思議　是故今敬禮
以此等文可奉讚歎是皆祕說也云々
或說此次准識儀光禮拜三度若一度
但今世不用之
入三摩地(一不引用佛法)
觀想心月輪上有𤙖(金色)阿字々々變成佛頂
印々漸舒漸大舉體成佛頂印々々變成藥師
如來相好具足(皆名稱等一體無二無別云々)
根本印明
内縛二大指向上並立開腕
曩莫婆識縛帝佩殺紫野虞嚕吠咗里也
鉢羅婆羅惹野怛他蘗多野囉喝帝三藐
三沒馱野怛儞也他唵佩殺儞曳々々
佩殺紫野三沒蘗帝娑嚩賀(出七佛經不空執世號并頂上)
(光明眞言)
以右印明可想七佛總印明云々
師云右印七佛同音呪用之云々但人
多不誦誦世界用頂上光明眞言云々
正念誦

大日　佛眼　本尊　頂上　日光(唵嚕娑鑠底多)
月光(唵戰捺羅鉢羅婆野ソワカ)　文殊(唵阿味羅吽却吽羅)
十二神將(唵摩訶伐折羅藥叉佉羅安陀羅摩尼羅毘因達羅和羅者)
(婆耶羅毘伽羅摩休羅底羅俱毘嚕持涉羅訶照頭)
若加誦七佛同音所說眞言(七反許)
怛姪他具謎々々膩尼謎膩唎○差楊
羯囉莎(具如七佛經故略抄)
文\加誦執金剛菩薩眞言南麼駁多南
○莎訶
若有煩著替用胎金剛手眞言
曩○敕唵縛日羅播捉縛日羅薩怛縛
吽
師云金剛手曼殊師利眞言加誦之云々
後入三摩地
觀想心月輪上有𤙖阿字本不生義也
新佛布施(開白時)
後普供養之次可奉之
右任忠師抄記行法要耳
出堂
康\治前後行道共三匝但開結二時許
也云々
入\堂之時三匝出堂時行道一匝歟或
略之
或開白結願時許用之云々
一結線事
本願經云以五色縷結我名字得如願
已然後解結文(七佛經灌頂經同)
集經云諸婦女難月產厄願欲轉禍求
福○以五色線而作呪索用繫病人項
及手足腰腹等處文
文云結作四十九結一呪一結數之文
大阿闍梨念誦之間可結之誦頂上光明
眞言一反一結三箇日計一百八結了(異說)
(在之依師說)謂以藥師呪結籠十二神將意也
是大阿闍梨所作也若\知法助修替大阿
闍梨勤之(康治阿闍梨於禮盤正念誦之間結之第五日被進了云々)
或開白或中間以吉日始結之(用心草云避施主衰日)
云々
或於道場修中撰吉日修少行法其念誦
之間結之是佳矣但常途不然
結了可與施主爲擁護也結願時常例也
太原記云結線了可令繫施主頸此呪索
袋縫裟繫頸也勿著膚耳文
結\線眞言役助修許誦之不可高聲云々
又凡糸先結設不引堅隨句引堅也云々
又集經以印柱之者以手結之云歟云々
舉行房決云結願神呪樣七箇日畢結
願時以五色糸十二神將呪誦一神將
一結如此十二神將十二結令番僧結
也又誦戶嚕々々呪一百八結抄
付\此說者紙少切書十二神名字結籠
說有之以五色縷結我名字文結籠十
二神將令守護料也云々
珍和上決云結願神呪者青龍和尚曰
以五色線作索即書十二大將名一々
結於線中限若干日要期滿願之稱意
記解前結文
或\說四十九結但惱其廢用之不知之

是集經心歟云々
大原記云。以五色糸三尺許可四十九
結用結○神呪（十二神將呪也）念誦間阿闍梨
自結之。三日許可結了 抄
阿闍梨自四十九結。每日相分。三日許
可結畢○線了者。可令繫施主頸
阿闍梨可結之。用十二神將呪。除藥師
句結了。第六日五日間以吉日送之。裏
紙ソクヒニテ苻端書我名。爲解結驗
也。或伴僧結之
或說。護摩時誦大陀羅尼。滿百反時結
線灑水足四十九結云々。大原法橋說
或說。云經一卷。十二神將呪百反畢時。
同音放呪結之。若有表物可灑水。如此
四十九。又有施主者。自結之云々
結願神呪不同
帖云。集經以戶嚕々々呪爲結願神呪
文（如經）本願經意。以十二神將呪爲結願
神呪。如云○（之圖ヨ圖）五色縷結我名字云々故新
渡軌（禾云消災）以大陀羅尼（十二神呪）爲結願神
呪也。私云 同小軌 [illegible] 爲結願神
呪文
禾云。集經戶嚕々々又十二神將呪次
云。是卽名爲結願神呪
結願呪結願神呪者。昔十二神結願呪
云歟。此線令結我名字願呪云也。結言
非糸結。又頂上光明眞言名結願神呪
事經說十二神願。此事可用呪。故名結
願神呪云々

結願神呪云非願結籠心也。記義非々云
結線送文（仁南勝房豪圓融和尚弟子）
進上
結線一條（以五色縷結願神呪）
右件呪索縫裝生絹。繫帶御頸。努勿著
御廁耳。但御願成就之後。可返預之。爲
解結也。以此由可被言上之狀如件
天永二年五月三日　權僧正（在判）
解結事
經（集經行法）年月悉地成就了。可解之。其作法修小
行法（藥師）念誦之間可解之
小念誦之後解之。其間不誦眞言。解了
後供養云々
聖行決云。經年月。縱願不成。必解之。不
解者還成障難文
結線人可解之。餘人又無妨云々
用草云。若有病者。平愈之後可解之。若
無病者。結願時解之云々
承覺抄云。日數久時。先所結線申返之。
解結又線申請結線進也云々
圓明房（融聖）決云。金剛壽院和尚奉爲後
三條院被修七佛藥師法之時。結線不
被解。于時上皇御夢御說樣。十二人武
勇者御前侍申樣。今赦遣御云々。爰上
皇被尋仰云。是何人達哉。武勇申云。山
座主參可奉守護之由被申云々。卽以
御夢想和尚令語御。和尚申云。サル事
候覽。先日結線宛給。解候。卽給解結了。
其後又院御夢云。山座主罷出被申候

得者能出十二人武者散云々
一香水事（禾云大壇中心立瓶水也）
ム云。每時行法了誦頂上光明呪。以杵
一百八反加持之。結願之後。如小瓶入
之。相具結線可送施主之許
天養元年。青蓮院座主。三箇日許後被
進中瓶香水云々
一放生事
本願經云。應放雜類衆生。至四十九可
得過度文
七佛經云。放四十九生文
集經云。放生四十九頭文
消災軌云。放水陸衆生。日滿四十九文
灌頂經云。當知四十九種。非是一類數
至四十九也文
每日可有之。漁捕處遣直物。令買放也云々
ム云。近來仰淀河尻等。放生常皆魚類也。
必不可限魚。只得便歟云々
康治放生。每日自沙汰所進解文云々
一赦免事
本願經云。赦諸繫閉文　七佛經云。放
大恩赦文
修中可在之
康治雖載支度不行之云々
一八齋戒事（用ム不用之）
本願經云。受八分齋戒文
爲產婦修之時。多授之歟（見或文）
敎王房座主修之時。不從師自對佛可
受八齋戒。或被書進。堀川院（不云件記在覺師結文）

或云。忠尋座主十重（以開白前）七宮八齋戒（小僧快）
云々（第五日）
一結願用意
公家御祈爲請儀者。可著法服平袈裟行
道伎樂等如開白時
供養文唄讚等不用之如例。後夜。日中
結願作法
後振鈴之後。作居禮佛一度　打金
次讀卷數。讀了。以承仕送卷數於護摩壇。
即令燒爐火
次補闕之由　次懺悔眞言等
次寶號等　次少神分等
次五悔　次迴向
次奉佛布施　次解界等
次奉送（可想七佛各歸本國土也）　以下如常
結願了。引率伴僧。參候御加持所（清涼殿敷）
阿闍梨著御加持座。陀羅尼衆參候阿闍
梨後。餘助修著端座。公卿陪階下。御加持
了。陀羅尼衆著本座
其後職事仰勸賞賜度者。歸參之後被引
御布施。大阿闍梨布施。禁中藏人頭大掛
一領取之。殿上人取絹裹。院中著座公卿
一座取被物。四位殿上人取裹物
助修布施　禁中裹物一。殿上人役院中
卿相取之。次々殿上人
次被牽御馬（殿上人御隨身引之）　大阿闍梨從僧請
取之。大阿闍梨布施花族伴僧取繼之。於
階下邊給。從僧伴僧布施手自取之同給
從僧了。即阿闍梨以下退出

康治。阿闍梨被物一重（右大將實能取之）　裹物
修理大夫忠能　御衣（少將雅通）　助修裹物一云々
本願經云。應以飮食及餘資具隨力所
辦供養苾芻僧文
七佛經云。於彼法師應修供養。一切所
有資身之具〇是便諸佛護念所求願
滿乃至菩提文
∴第六諸壇行法事
一護摩壇（以知法觀近助修爲護摩壇阿闍梨云々）
大旨依增益。於中堂修之時。雖向西。猶依
增益。爲宇治殿於中堂被修之時。向西而
依息災
多依增益。但大僧正依息災。尤可爲規
摸云々
天變怪異（息災）除病產生（增益）云々
藥師注。日蝕御祈息災可行之。依增益
無謂事歟云々
大阿闍梨初鈴後。護摩壇阿闍梨（持珠杵）起
本座
住云。一說。大阿闍梨發願時起座。一說
念誦時起座。此中振鈴後著禮版。與大
壇相應云々
康治。大阿闍梨念誦起座云々
次至禮版前三拜（ム云懺悔一偈等不用之。三昧流云一禮云々）
次登禮版　次塗香
次捻名香（又加入器。又加入閼伽雜香耳除香）
次加持香水　次灑淨　次加持供物
次拍掌　次彈指　次去垢　次清淨
次光澤（已上五箇印或不用之）

次金剛羯磨　次金剛輪
次根本印（用否在人意）
次念誦（大日百本尊百護摩百護摩百）
增益護摩眞言
唵縛日羅補瑟吒曳ソワカ
次入護摩
火天（嚩。宿）如常
本尊段（二菩薩十二神本尊段請供之云々）
房華七房投之（若花散歟）
若依本願經如例。若依七佛經者七房
歟。私案七佛料宜歟。燒供同之云々
觀尊　樂音樹下。七佛觀之云々
勸請詞　我今稽首請七佛藥師尊唯
願々々納々々
燒供八反。讀大日一反。七佛各一反也
若八反。若十反（大日三反）若三反（可總供七佛云々）
三昧說。七佛各三杓（又二十一云々）
護摩呪
大原記云。少呪用之
唵（有用之）鞞殺逝々々々三沒揭帝ソワカ
唵（有用之）呼嚧々々戰馱梨摩登祇莎訶文
師云。颯多沒馱毘逝々他多鞞多耶ソ
ワカ（師說也更問云々）
未云。有眞言。七佛藥師如來云梵語歟
但師梵語虛聯無之歟云々
諸尊段（大原記云。日光月光加供之）
日光　月光　文殊　救脫（唵迦ソワカ）可請
供之。三摩波多護摩（已後大杓油火滅上用之）小杓
油三反。可想安施主頭上。若有表物者。

可思安彼上可有御加持之時三摩波
多略之
凡天段（大原記云十二神加供之云々）
十二天之次曜宿等前十二神將各一
杓一方三杓也
唵金毘羅莎賀（已上准知之）或只唱名號
十二神將次八方四千諸夜叉一杓（總供）
康治護摩壇阿闍梨下座之就助修唱
嚩羅吽云々
結願時用意
護摩了如例時不可下座自大壇遣卷數
之時取其卷數（押折燒爐火）
大阿闍梨奉送等之後取去鈴杵幽伽等（私云鈴自本不置之）
如始護摩之時
次結誓印誦壞壇眞言
次誦十二緣滅句以杵壞前方爐緣然後
大壇護摩壇阿闍梨同時下座禮佛
一十二天壇（如修法帖）
常（作同）途說護摩壇小壇等阿闍梨同時起座
至各々壇前（作云世天壇以前起去云々）
護（作同）摩壇阿闍梨世天段之程小壇阿闍
梨起座云々
ム（作同）云師說仰可信之但途世間常說歟
如師說者世天一段之間小壇阿闍梨
總略行法尚以難行歟愚案云如自大
壇請供護摩壇世天請供小壇護摩世
天段以前可奉送大壇歟而又護摩壇
可請供之然者護摩小壇同時起座爲
便宜歟云々

作云或大阿闍梨同時起座是大阿闍
梨非受法弟子人別用啓白神分等時
事也或發願時著座
康治大阿闍梨正念誦之時護摩小壇
阿闍梨起座至壇前云々
一夜叉壇
胎極略若悉地云々師傳云十八道云々
別私記無之准餘法修之云々
先到壇前禮拜三反
次著座　次塗香　次加持香水　次加
持供物等　次加持飲食等三印明　次
驚覺　次金剛輪　次略神分等
啓白神分等用否可任大阿闍梨命不
用說可也但先師時打鳴置之然而猶
不用啓白神分等許用之云々
唱禮九方便等不用之云々
次三部　次被甲
用草云地結墻界車輅網界　火院等
師說不用之從大壇請渡故別不用結
界也若用之又無妨云々
次道場觀
ム云如圖觀之云々　金毘羅爲始一方三神
云々
種子三形不用之若欲觀者用眞言初
字若通用[illegible]嚩字三形不用之常事也
若淨瑠璃淨土標等中所明持物以之
爲三形云々尊形十二武將同形可觀
之云々予以定輸令圖著鎧合掌不著
甲白佛言形尤可然也云々

師傳云十二荷葉上有十二嚩字々變
成十二神將云々
次三力　次普通供養之云々（振鈴不用）
次方言勸請（金令打牌二次取香爐傾之近來香爐仍出之若無之直用普印云々）
至心讚請　十二神將　七千藥叉
降臨道場　受此供養　御願圓滿
次迎請（金剛部心）
次召請諸天（堅實合掌立二大召之路迦々々）
自大壇影向小壇給可想若水精頗梨
等山來給云々
次閼伽　次華座（四葉印納日羅毘羅耶ソワカ）
次善來偈　次五供
此次蠟燭供圖如左

ム云假令向東定北中爲金毘羅以
之爲一可指火也右遶但異說有之
且依師傳云々
至五供養時承仕指蠟燭供師普供養
之後誦諸天漢語讚云々
飲食印次召承仕令付蠟燭云々

十二神方角異說不同如一佛法但如此ニ時請供之時必不可尋本方只一行並可有歟若隨一說定方角一方三坏可備又中堂恒例夜叉供必定方角其依古圖也又彼時山王大師十二天等請供之今不然也而教王房夜叉壇圖有數多尊甚不甘心藥師日月光十二天等各々壇供之上又夜叉壇不可請供之云々

次普供

次讚（諸天四智）

先讚四智諸天漢語（不可梵語云々）

次根本印（不用入三摩地）

胎諸夜叉印　內縛地水合立

十二神將呪用之（禾云除藥師句）

次念誦

ム云大日十二神將（百反若藥師者以諸夜叉異言滿反數耳）諸天慈護吉祥云々

十二神將呪之外不用他呪云々

次少法施（ム云著至者供養大用之云々）

心經（藥師如來所說般若功德法門可想云々）●摩訶　藥師寶號　七反

藥師經要文

我等眷屬衛護是人皆使解脫一切苦難諸有願求悉令滿足文

汝等念報世尊藥師瑠璃光如來恩德者當應如是利益安樂一切有情文此等意可祈念也云々

三昧耶戒

次根本印明　次部母　次五供

次普供

次啓謝　次讚（後讚梵語四智諸天云々）　次閼伽

次發遣（所設供具多不如法　唯願諸天布施歡喜　何右娑彌指三反　ハサラモキ又穆）

次三部被甲（之道向方便故也不用云々　開事補長料云々）

次金剛輪陀羅尼（也云々）

已上任ム抄住次第耳

一聖天壇（如法修行）

康治浴油三百反云々

一神供（如常）

開白第四第七已上三箇夜助修中知法人修之未入壇者不可修之云々

一伴僧事

人數近來二十人或六口（大治僧正災軌）　或十口

（蓮實坊）或十二口

上臈十人自五大願次至于護摩了頂戴珠念誦頂上光明眞言

但護摩了念誦定印之時二十口同音誦一字呪但不斷經衆猶轉經云々

西京座主依二卷○（異本）被修之伴僧誦七佛同音呪云々

如師說者七佛同音呪也○（但）人多不暗誦難念持歟云々

下臈十人自同時至同時轉讀本願藥師經

ム云雖爲上臈能讀聲可爲讀經衆云々

又不斷經衆雖唱禮等間徵音讀之不可斷絕發願以後高聲讀之云々

一時四十九卷能○（乍）也云々　或云十人々別或四或五卷云々

本願經云讀誦此經四十九反文

灌頂經注云四十九反者一日讀七反文

大原記云每日讀經四十九卷也番僧相分讀經念誦文

不斷經

ム云近來別作法無之大阿闍梨開白之次啓加不斷經之由即始不斷經奉行助修可書番帳一時二人也云々

大僧正御時讀經發願別作法在之唄散花等用之尤爲規模若於御所有不斷經之時有發願作法可宜阿闍梨若伴僧之中可然人勤之修法開白以前可有之但常別作法無之修法開白時五大願次始讀經先師時不斷經幷發願作法無之云々

ム々近來不斷經必有之發願作法必無之云々

康治修法啓白次讀經發願即始不斷經云々

抑不斷經近來斷絕了而當座主（ム云青蓮院歟）云奉爲皇嘉門院被修之時不斷經有之是智師敎訓也云々

不斷經上代中比無之自青蓮院時依法印上綱（禾云相實）諷諫有此事後來知之云々

一御加持呪

十二神將呪（成頂上光明云々　承覺抄云或不動呪云々）

如此大法大旨於禁中幷御所被修之然

者初後夜御加持可有之急切御惱等三時被行之事可有之近來不然其作法如修法帖

∴第七行法用意事

胎

都壇

若依本願經者全如一佛法記之若安七軀可用意歟尙以新經意可爲潤色云々若偏依七佛經者轉釋迦院爲第七佛土其前可安餘六佛

或以初門釋迦爲樂菩樹下教主其前七佛來集給儀式可觀之云々

凡別尊法有本經者觀其說會儀式也云々

用草云又中臺案藥師八葉之上安餘六佛及日光月光第二重安三部聖衆第三重安護世八天甚祕々々若依此曼荼羅可用隨行軌行法云々

又云大曼荼羅遍知院並安七佛 起通

金

大日釋迦依曼殊室利之請說藥師經可觀依二卷經心者七佛來至旨尤至要也

悉地

西塔決房流上 若依悉地行七佛藥師者曼荼羅中心有七蓮花座聖衆圍繞云々

∴第八經軌事

七佛藥師經二卷 義淨

藥師瑠璃光如來本願功德經 玄奘

七佛經安七如來供養莊嚴說之

本願經藥師一佛七軀可造見莊嚴同上

集經造藥師一軀莊嚴同上

灌頂經七佛一佛不明莊嚴同上

功能

本願經云第七大願云我來世得菩提時若諸有情衆病逼切無救無歸無醫無藥無親無家貧窮多苦我之名號一經其耳衆病悉除身心安樂家屬資具悉皆豐足乃至證得無上菩提文

七佛經善名稱第一願云○爲諸病苦逼切其身○若能至心稱我名者○所有病苦悉皆消滅文

寶月第一願云○捨諸苦惱文同功能云無諸病苦增益壽命文

金色寶光第一願云○若聞我名○無病長壽文

無憂第一願云○若聞我名○及諸苦惱悉皆消滅長壽安穩文

法海雷音功能文云聞彼佛名○無病長壽文

法海勝慧

私云此尊文面無除病功能

本願經云一切皆遂求長壽得長壽求富饒得富饒求官位得官位求男女得男女文七佛經文心同

七佛經寶月智嚴第八願云○若有衆生見劫將盡火欲起時生大憂怖苦惱悲泣○若能至心稱我名者所有憂苦悉皆消滅受淸涼樂文

卽抄云壞劫時尙留施益況後五百歲比乎此文染心肝文

七佛經云或有女人臨當產時受於極苦若能至心稱名禮讚恭敬供養七佛如來衆苦皆除所生之子顏貌端正見者歡喜利根聰明少病安樂無有非人奪其精氣文本願經心同

又云離諸苦厄不爲諸橫惡鬼所持文本願經同

又云若有於此七佛之中隨其一佛稱名供養者皆得如是無量功德所求願滿何況盡能具足供養文

∴第九私記事

七佛藥師私記 大原

奧書云承保四年九月五日抄之貝是爲悉昧也努々々々不可他見 法華房座主說 金剛佛子慶嚴文

以定林房御本書了承說此記大原上綱示給々々二彼闍梨被記也云々

私云凡私記無之諸事口傳也

或人云三昧和尙私記有之但不委悉又不相承云々

∴第十卷數事

七佛藥師御修法所

奉造立

御本尊形像七軀

奉摸寫

三身 如例 次々 如例 不云十二神將

覺宮闍梨唱禮

初夜臺八葉等 次々夜三身等云々

壇樣 如慶命僧都但外緣甚廣 先少々立之次四角自不閼之積之不量四角

本尊段 乳木三十六。三把一度燒之。

燒供各六杓

此闍梨入護摩壇時。立右膝坐。正護摩時。字須久末利爾坐

覺超闍梨唱禮

三身 如例 次曼荼羅主藥師瑠璃光

佛 三反 次日光云々 次月光云々

成合之釋 次阿梨耶日羅云々 次四大

明王云々 次大小自在十二宮十二

藥叉大將一切權現天等 次三部云々

蘇壺緣上貫之 外緣甚廣 積薪

作法如別記

本尊段 乳木一百八把一度燒之。燒

供各六杓

此闍梨能誦隨願經呪 高聲誦之

慶久心空等誦小呪歟 以投芥子乎

知之

一。禪定法橋見行 公家御祈

本尊 讚像二舖 大壇一、護摩段一、懸之。佛面向

西。行者向東也

壇 午二壇樣并五色糸有之

燈 四十九燈 七層之燈一層七燈

已上堂莊嚴

唱禮

三身云々十二上願 南無淨瑠璃淨土十二上願藥師瑠璃光佛

日光云々月光云々不動々云 四大明王

云々大小自在云々金毘羅等十二藥

叉云々三部界會云々

九方便 十方無量段。至護摩壇闍梨就

禮盤加持香水等。已下如例

大阿闍梨發願之時。護摩壇同執香呂取

次第 次供養法共修之 次入護摩云

振鈴大壇如例。護摩壇振。不鳴 給物內指歟 迴

向之時又共執香呂。大壇唱之。護摩壇取

次第

續經或云。一日四十九卷。或云。七日中四

十九卷云々

結願作法如例 午二壇奉送。又讀卷數。

懺悔行願神分時。護摩阿闍梨共取香呂

讀心經等。至五悔時置之。迴向之時亦取

之供云々

一。法曼院修之日記

從保延四年七月六日依 院宣。十二

口作僧。於中堂被修之 七佛藥師法五箇日

證金剛院池蓮花一莖兩花發。大治例非

似不快。殊致丁寧可被祈請云々 大治

例者。白河院御時 大治四年云々。大 鳥羽殿池一莖

兩花發。六月發。七月七日令崩。凡一莖兩

花先々皆以不吉云々。今度依常途說。大

幡四十九燈等不截之。然七日御札云。不

注進大幡等。尤遺恨也云々。仍自次七日

加此等事修之。同七月十八日令進結線

是第二七日結願也云々 六日

已上相法印自記

一。大原座主 顯尊 修之日記

建久二年正月六日 宣旨云。凌寒不凍

可被修藥師法云々。宣旨七日到來 光御奉行

自明日 八日丁亥 可被始行云。三日立春也。立春

以後凍寒質雖有事也。當時天氣和氣溫

和無極。雖然王事靡盬令巾領狀令進支

度御了。於住房可被修之候。伴僧八口之

內。大衆 昭覺 行昭 覺雅 有巳講上 圓快 中堂 秀良 快賢

中堂衆仰執行被召了。西南院東廊西

四間爲御壇所。當日掃治洗浴了。伴僧等

沐浴了。戌剋被送境等了。事體實以不法

也。御介一人爲御供物使。先々藏人令參

如何。其後餝道場。東壁奉懸御本尊。三方

引大幕。伴僧座西壁北行二帖。又傍北一

帖三帖。伴僧八人坐。爐方塗之。承仕香

香珍章慶行事勝玄次第物等請取了道

場莊嚴之後及子初。其後伴僧參集。大阿

闍梨御開白了。唱禮愚僧勤之。後夜日中

行昭阿〇梨勤之。以後初夜御行法。後夜

者昭覺。日中行昭。後夜日中唱禮應尊。初

夜覺雅勤了。神供秀殿勤之。發願渭白許。

本願藥師經四十九卷
奉轉讀
同經ム卷
奉念誦
大日如來眞言二千一百遍
護衞本尊眞言二千一百遍
藥師如來眞言三十一萬五千遍
日光遍照眞言二千一百遍
月光遍照眞言二千一百遍
十二神將眞言百四十七遍
三部諸尊眞言二千一百遍
諸天曜宿眞言二千一百遍
增益護摩眞言二千一百遍
奉供養
大壇供二十一箇度（之中四十九燈光明不絶五色神幡四十九流數繫歟贖石續佛像）
七佛供一七箇度
護摩供二十一箇度
十二天供一七箇度
藥叉供一七箇度
聖天供一七箇度
諸神供三箇度
右謹依宣旨始自今月ム日至于今日
并七箇日夜之間二十一口僧綱大法師
等特致精誠如法修行如法供養晝夜不
斷轉經七日光明不絶放生修福赦諸繫
閉以五色縷結願神呪任經文勤修件教
法奉祈聖主陛下玉體明千秋寶算保
萬年之由如件仍勤行事謹奏

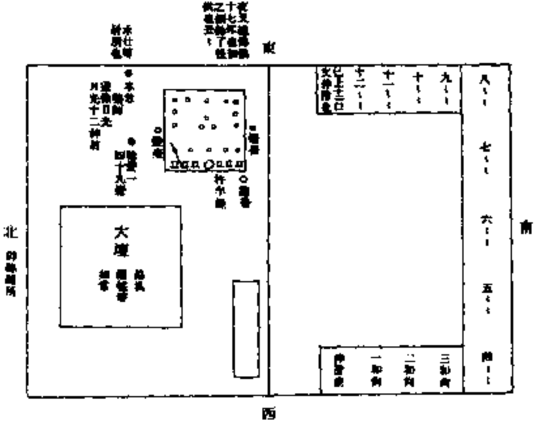
年　月　日　阿闍梨々々々々
ム於關東修之時反數等如上
右謹依御旨始自今月十二日至于今日
并七箇日夜之間二十一口僧綱大法師
等特致精誠依經說轉念上件經王眞
言殺生禁斷一七箇日赦諸繫閉六十三
人以五色縷結願神呪奉祈將軍殿下
御息災增福壽之由如件仍勤行事謹言
建保三年五月十九日
阿闍梨々々忠ー
放生赦免數書載之樣有之云々
又右狀七八行可書紙二枚繼可書云々
寬元三年二月二十七日於小川草了
于時客星出現
建長七年二月五日於大藏書之
于時暖雨頻降　尊澄
元應元年十月二十七日於松尾寺寫
之了

阿娑縛抄第四十九　七佛藥師末

一御堂殿登山受戒次被修七壇藥師法
日記入道大相國於中堂被七佛藥師法
儀式等
中堂一壇
阿闍梨（法印大和尚請僧十六口）
食堂六壇
阿闍梨（慶命僧都久慶々々心譽々々叡孝律師皇宮阿闍梨覺超々々）伴僧
各六口
法印唱禮
三身如例十二大願藥師瑠璃光佛（三反）
日光菩薩云々月光菩薩云々阿利耶
日羅那陀云々四大明王云々大小自
在云々金毘羅云々三部云々
慶命僧都唱禮
胎藏中台八葉　次藥師云々（不云十二神將）
久慶僧都唱禮
八葉等云々　自不聞之
心譽僧都唱禮
胎中臺八葉（如例）次南無大曼荼羅經主
十二上願藥師瑠璃光佛南無曼荼羅
（云々二反）次佛眼次大藥不空云々次阿利耶
日羅云々次遜波尼等四大明王云々次梵
王帝釋云々次三部海會云々
壇樣（同前）積薪（如此重心同三重許不作三角形也）
叡孝律師唱禮

後〻初夜五大願云〻自開白夜寒風頻
吹飛雪徐下九日大雪寒氣尤甚十日同
前也十一日十二日十三日三日頗和暖
爲奇〻處自十四日凍寒如冬云〻八夜
九日十日寒以外也以七箇日可被結願
法驗已還之由被仰下奉行藏人左京權
大夫光綱朝臣十五日御撫物迎藏人惠
隆參上戌初許開白勅使藏人俄所勞不
參之由令陳申殊寒雪寒風飄然依爲違
眇之道召入被勸盃勝了藏人正束帶凌
飛雪終夜參洛了法驗重可謂希異其後
餘寒猶不止十五六七以外也十六日爲
致御登或半分或全分山上京中法驗之
驗令以外也結願十五日〻中也唱禮勸
之支度卷數等豫書之大旨依行林出之
御結願之作法後鈴之後打金令讀卷數
案其後神分補闕等此次心經令申云〻
願不似普通作法廻向方便所五悔云〻
作禮出罪勸請隨喜廻向申了令進御卷
數御了
爐立燈火被召中堂了
爲後見聊記大概
金剛佛子覺寮記
同二月十一日　宣旨云
凌寶凍居事
右去月上中旬比寒嵐勞叩薄水適凍仍
或五六介或三四介令採藏之由所言上
候也是則雖王化之遠被已法驗令然也
右所感恩食也仍以執啓如件

二月十一日　右京權大夫光綱奉
計上　天台座主御房
御請文云
謹請
綸言事
右寒御祈法驗令然之由綸言之趣謹以
承候了抑佛法者尙雖存效驗者依時異
而論時代者末法之最中冥利是薄願涯
分者淺智之愚質感應難憑只常王化之
猶盛遂呈法驗之不空歟以此旨可令洩
奏給恐〻計〻
二月十三日　權僧正一
一元久三年二月二十四日七箇日之間
於五辻御所三星變御祈爲被行無動寺
前大僧正慈圓被行之



阿娑縛抄第五十　阿閦

梵號
密號　不動金剛
∴第一可修此法事
∴第二支度事
∴第三形像事
圖像　七
六種曼荼羅釋云尊容具佛相好偏袒右
肩左金剛拳持袈裟角歸胸當心舒右手
五指以覆右膝指端至地頭光及艷蓋如
前全跏而處蓮華座有靑色象棒載抄
仁和寺永嚴抄云黃金色左手拳安臍右
手垂觸地
∴第四道場事
∴第五行法事
十八道
道場觀
樓閣中有八葉大蓮華〻上有曼荼羅上
有月輪〻中有吽字〻變成五股金剛
杵〻變成阿閦佛身形如金軌具相觸地印存居
偈繞
送車輅
軌云想奉送妙喜剎文
讚軌云或讚百八名文佛讚用之
摩賀迦嚕捉建綮含捨娑路藍薩轉吠南

奈女那地哩孃拏馱藍鉢羅拏摩弭怛他
誐靴四
根本印明
金縛。忍願直竪如針。眞言曰
唵惡屈務毘野吽
大身眞言
那謨婆誐嚩帝惡屈務毘夜野怛他誐路
[梵字]
夜囉訶帝三藐三沒馱野怛儞野他唵迦
[梵字]
〻儞迦〻儞盧左儞〻〻〻〻咄嚕吒儞〻
[梵字]
〻〻〻怛邏娑儞〻〻〻〻鉢羅底訶路
[梵字]
儞鉢囉底訶路儞薩嚩羯摩路嚕跛羅野
[梵字]
屈務毘野都娑嚩訶
[梵字]
入三摩地
[梵字]字。一切法因不可得義
軌云。應觀唵字門。諸法無流注。次念阿
字門。諸法本不生。第三閦字門。諸法無
盡滅。第四陛字門。諸法無自性。第五吽
字門。諸法無因緣文
∴第六護摩事
∴第七行法用意事
胎
金
此尊在金曼荼羅東方月輪中心。尤可
依金界金剛行法
悉
本軌依悉地
∴第八釋軌事
阿閦如來念誦法一卷不空
此中依悉地略明修行儀則
祕錄云。阿閦如來佛國經二卷宜㑨見
∴第九私記事
先達私記無之。用心草中聊記。次第依本
軌次第
∴第十卷數事
建長三年四月十二日於小河草了
建治四年二月二十八日於三州書之
遍照金剛　爾然
應永十二年卯月日濃州谷汲地藏院
書之　金剛幸運
寶永二年乙酉八月望日於兜率谷雞
頭院學窓下敬書
三部闍梨　嚴覺

阿娑縛抄第五十一　釋迦

梵號 [梵字]
密號　寂靜金剛
玄幽盆經疏記照元云。釋迦牟尼。此翻能
仁寂默。以寂默故不住生死。卽法身也。
以能仁故不住涅槃。卽報應也
釋迦金剛部〻主也云〻
帖決云。釋迦外金剛部主。猶不可顯露。
大日如來隱祕說尤爾也。妙成就以釋
迦爲曼荼羅主云〻　謂蘇悉地是金
剛下部故耳文
∴第一可修此法事
釋迦ハカ〳〵シク不恭崇。無謂事也。一
切衆生慈父。敎流布身也。恩德廣大也。尤
可尊崇。天親菩薩依不恭造釋迦像自極
樂被返給事在之天親菩薩夢也云〻
集經云。若欲得供養十方諸佛。欲避一切
障難。除一切鬼神。治一切病痛者。應作此
法云〻
∴第二支度事
一起首日
集經云。十二月〻末一日文
牟梨經云。白月一日至十五日
一香藥
集經云。燒八種香。供養釋迦牟尼佛文
八種香。上文云。蘇合。龍腦。麝香。鬱金。沈
水。旃檀。安息。薰陸

私云八種香名香料可出之然近代八種
香外載名香未知其理文
一淨衣
集經云用黃色不宜雜色文
∴第三形像事
大日經具緣品云圓繞光聚身具三十二相
被服袈裟衣坐白蓮花臺爲令教流布住
彼而說法文
疏第五云身眞金色並具光耀三十二相所
被袈裟作乾陀色坐白蓮花作說法之狀
謂以左手執袈裟角如今之阿育王像右
手竪指以空水輪相持是其標幟也此白
蓮花卽是中胎淨法界藏世尊爲令此教
廣流布故以此生身標幟而演說之然與
本法界身無二無別故住彼而說法也文
釋迦文軌云若欲報無上世尊恩德者先
作曼荼羅其中央畫釋迦牟曩曳像金色
之身具四八相被服袈裟應身說法相智
手吉祥印理手向上置臍前於白蓮花臺
結跏趺坐普賢文殊觀音彌勒住於四隅
如胎藏說各坐蓮花半跏而居於佛前有
如來鉢於佛右邊有賢瓶含花於佛後有
錫杖於佛左邊有寶螺各安蓮葉上光炎
圍繞
白蓮花經云身相黃金色左定結拳印右
慧開外方屈無明小指叙中指大指跏趺
左押右垂下右輻輪被服袈裟衣安住白
蓮花文
圖云黃金色當心作說法相印著赤色袈
裟坐蓮花云〻
牟利經曼荼羅說之廣故不記可見之

圖像 八

∴第四道場事
一向方
集經云面向東文牟利經同
一時分
集經云六時五時三時四時文
牟梨經云一日三時文
壇上法華一部可置之云〻
∴第五行法事
先房中作法如常
次入堂乃至禮佛
南無歸命頂禮靈山教主久遠實成釋
迦牟尼如來三反
南無〻〻〻〻普賢文殊等諸大薩埵
次先方便如常 次開白神分等在別
次供養文 次唱禮
南無清淨法身毘盧遮那佛
〻〻圓滿報身盧遮那佛
〻〻千百億化身釋迦牟尼佛三反
〻〻佛眼部母菩薩摩訶薩
〻〻阿利也阿鉢羅爾多冐地薩埵波
耶摩賀薩埵波耶
〻〻五大明王冐地薩埵波耶摩訶薩
埵波耶
〻〻大小自在〻〻
〻〻三部〻〻〻
次驚覺 次九方便 次發願五大願
次入佛 次法界 次轉法
次金剛甲冑 次觀覽字 次無堪忍
次內五輪 次外五輪 次道場觀
可想靈山云〻
次三力 次普通供 次觀曼荼羅
私記文觀想曼荼羅中心有發蓮花臺〻上有月
輪上有𑖥婆字〻變成大鉢或袈裟或錫杖鉢變
成釋迦如來住說法印具四八相三部聖
衆圍繞
本尊釋迦院釋迦思可行也云〻不云是都會壇意也
次治路 次不動辟除結界 次振鈴
次召請印 次辟除 次示三
次閼伽 次花座 次辟除自身所主障
次成事業身 次金剛被甲
次摧伏諸魔 次無堪忍
次閼伽 次五供 次普供
次讚四智本讚
嚩每迦旨羅娑哆擗𩕳素多𩕳沙怛鑁
合二跛曬迦賀娑多合二鼻哩俱胝合二穆佉呰
迦羅引乞儼合三悉底哩野合四地尾嚩爾娜
嚩里鉢羅合二底僧娑覩合二多引娑怛鑁合二
阿引哩摘𩕳麼𩕳野合二阿者攞制吒去南
引弭地𩕳去出身讚軌
讚有異說一應身讚出軌所 一金輪佛頂
讚一谷記所出讚也三說中隨意用之
曩謨嚩部里也摩訶荼夜馱寧那母
抳捨反含迦也絲伽鉢羅合二跋底合二縛折

羅（二合）遶摩護摩哩野（二合）惹那（二合）跛哩（二合）普
利（二合）跛（二合）含（吉反）計荼也波灑素堵帝（谷記所出也）
次入三摩地
觀想心月輪上有娑字。々々變成釋迦如
來。住說法印。具四八相。
次根本印明（用ム諸會印明之云々）
左手作拳。横置心上。右手火與空相捻地
直竪。水風竪少屈之。立臂向外。此說法印
（或用鉢印）㘕莫三曼多沒駄南婆薩縛吃哩捨涅素
娜㘕薩縛達摩嚩始多鉢羅鉢多誐々㘕
三摩々々娑縛賀（是胎印明也）
次加持珠
次正念誦
大日　佛眼　一字　本尊（南㘕々々婆）
三部　諸天
釋迦等呪樣々也
一大日經一字眞言（字呪）
一佛眼小呪（南京眞興僧都十卷佛抄物出之）
一唵薩縛悉地雞毘輪陀羅泥娑縛賀
（出新渡儀軌）
次還珠
次入三摩地
觀想心上有月輪。々々上有字。々々諸法有不（字一切法遠離不可得）
可得義也
東寺人云。字破有法王出現世間意
也云々
疏七云。梵云婆縛。此翻爲有。々々謂三有
乃至二十五有等。若見婆字。卽知一切
諸法皆悉有因緣。衆緣合故說名爲有
無決定性。所以者何。若法定有。々々相則
終無々々。相是卽爲常。如說三世者。未來
中有法相。是法來至現在。轉入過去不
捨本相。卽墮常見。若定有無。是無必先
有今無。是卽爲斷滅見。因是二見。故遠
離佛法○今觀諸有從緣。卽是本不生
義○是故婆字門○卽是三昧王三昧
能破二十五有。釋迦牟尼由此義故名
爲破有法王也文
疏云。婆是三有。傍有二點。卽是除遣三
有義也文
次根本印　次部母（佛眼欲用能寂母云々私云同者）
次五供　次普供　次讃　次閼伽
次振鈴　次加持句　次解界　次示三
次禮佛　次奉送　次入佛　次法界
次轉法　次被甲　次九方便
次隨方迴向　次下座禮佛　次出堂
三部在意。但胎略行可用之。次用諸會
印明故也云々
未任師說。依胎記之谷記依悉。又可依
彼
∴第六護摩事
五壇隨事宜（但息災歟）北方不空成就卽釋迦也。
故向彼方。尤有便云々
火天　曬　宿（如常）
本尊段
勸請（我今精誠以此請唯願降臨此座本尊釋迦納受護摩供）
護摩呪（鑁字明用之云々）
集經第二眞言。若種子心明云々
三非說用羯磨會不空成就明云々
諸尊段（諸尊若賢文殊可供之云々）
世天段（如常）
伴僧呪
可用諸會眞言歟云々
後加持呪
釋迦文軌云。以離勝忿怒爲結護明王
（又名無能勝云々）依此文可用無能勝。又依大原
說者。可用不動歟。釋迦變身之故也。加
之佛部辨事故云々
∴第七行法用意事
胎
尊位　東方初門中央
金
禮懺。禮北佛。々々釋迦牟尼云々
見決文。事業成就佛云釋迦云々
義釋云。私謂釋迦於五部佛中乘迦婁
羅坐。卽是虛空進行之義也
如此文不空成就與釋迦一佛異名
歟。但虛空進行之義何佛同歟云々
悉
釋迦文軌云。供養儀式勸請奉送皆依
如來部。應修之。如蘇悉地等說。以佛眼
尊爲部母。以離勝忿怒爲結護明王。又名
（無能勝文）

∴第八經軌事

牟利曼荼羅呪經一卷 不空或云失譯

或本題下云失譯。今附梁錄云云

或決 寶積闕抄 云。牟梨者卽牟尼也。曼荼羅者大日疏云。曼陀羅者眞言云云。故知。此經者牟尼眞言經也。卽其三曼荼羅卽是三眞言也文

江師云。是釋迦法也。牟梨。牟尼云義也云云。此謬義也。此經說三種印。牟梨曼荼羅。於梨曼荼羅。烏波大曼荼羅也。牟梨者根本云義也。仍牟梨曼荼羅云事。先第一根本表之。非牟尼義。又非釋迦法歟云云

釋迦一乘修行儀軌一卷

下注云。傳法阿闍梨深祕主故不載於錄。仁和尙云云

此軌雖傳受常不用之云云

此師云不審文也云云

陀羅尼集經一二卷明釋迦法

江師云。菩提場法。寶樓閣法。又釋迦法也

一功能

佛本行第一云。往昔作轉輪聖王。名曰牟弓。於樂海幢如來所初發道心。彼滅後發誓願言。於當來世得作佛時。有諸衆生。不孝父母。不敬沙門及婆羅門。不識家內親疎尊卑。無信敬心。不信三世因緣業果。不信現在有於聖人。無一法行。唯行貪瞋癡。具足十惡。唯造雜業。無一善事。願我於彼世界中。常得菩提。憐愍彼等諸衆生故。說法教化。慈悲拔濟。令離諸苦。安置樂中云云

法花云。如我昔所願。今者已滿足。化一切衆生。皆令入佛道文

一經軌決

牟梨經云。說護摩柴之其爲無名○如驢蹄觀云云

或決云。無名法者。降伏法修之時不令人聞其法名。故無名法也。驢蹄截者。木打ソケル形如驢蹄◇降伏之外法不用驢蹄截云云

∴第九私記事

釋迦私記上卷池依十八道

∴第十卷數事

如常

未云。普賢文殊呪可書加之

建長三年四月十四日草了

建治四年二月二十八日於參州書之了

遍照金剛爾云云

正和二年六月四日於參州實明房書了

遍照金剛本寂

應永十二年五月九日於濃州谷汲寺書了

幸遍

阿娑縛抄第五十二 無量壽命決定如來

或云。無量壽命決定如來者。釋迦報身也云云

彌陀釋迦不審事也。但釋迦爲正云云

大原法華決云。是釋迦顯本遠壽身也。法花法中決定如來眞言。又是壽量品之肝心眞言也。以壽量品爲眞言也。故修此如來法。只釋迦爲本尊也。齋然將來經者或云如來法也。或云阿彌陀法也。非此如來法也 禾云。法花軌所說眞言與齋然將來眞言大同小異

經齋云。從是南閻浮提。西方過無量佛土。有世界。名無量功德藏○超過十方。微妙第一。於彼○界之中有佛。名無量壽命決定光明王如來文

法華軌。處靈鷲山。常說妙法。深信。次當卽誦無量壽命

∴第一可修此法事

爲延壽修之云云

經云。爾時釋迦牟尼佛。愍念未來世中一切短命衆生。令增命得大利益。爲說不可思議祕密甚深微妙勝法云云

二先蹤

村上御日記云。應和元年 辛酉 三月九日 壬寅 勅始自今夜。於延曆寺法華三昧堂。令座主僧正延昌修無量壽命決定如來法。限七日竟之云云

∴第二支度事

∴第三形像事

圖像 九

∴第四道場莊嚴事

經云。或殿堂內淸淨之處。如法嚴飾種々供養云々

∴第五行法事

前方便等 如常

啓白神分等 在別

道場觀

曼荼羅中心有蓮華座。々上有月輪。々中有[siddham]字。々變成鉢。々變成釋迦牟尼如來。住說法印。具四八相。三部聖衆圍繞

讚 應身讚 文

大原法橋決云。佛眼又釋迦讚。是宜歟云々

曩每迦旨羅娑哆擗曩韈素多曩娑怛鑁
二合跛曬迦賀娑多二合鼻哩俱胝二合穆佉醫
迦羅引乞懺二合悉底哩野四合地尾嚩爾娜
嚩里鉢羅二合底僧娑覩二合多引娑怛鑁三合
阿引哩攞曩麼儞野二合阿者攞制吒去南
引弭地䤈去

根本印明 法花軌所說印明用之云々大原決同

法界定印

曩謨引阿跛里弭路引欲枳孃二合曩尾韈

[siddham]

室者二合也羅引逝引捺羅二合也怛他引蘖

[siddham]

路也唵引薩縛僧去寐迦引二合羅跛里秫

[siddham]

侍律反 馱達麼音鼻帝麼賀引蘖也跛里縛引

[siddham]

隸引娑縛賀

[siddham]

念誦

後入三摩地

[siddham]字。諸法有不可得義也

∴第六護摩事

五種隨事 禾云。可依延命歟

火天 曜 宿 如常

本尊段

護摩呪

大原法橋決云。護摩之時。以釋迦小呪滿數。反若以延命眞言充之。謂延命眞言者。只是延壽命義故也云々

釋迦小呪云。不知何明。延命眞言可用之云々

相應物

示云。骨婁草可用之歟云々

諸尊 世天 如常

伴僧呪

今本眞言可用之云々

後加持呪

根本眞言可用之云々

∴第七行法用意事

禪定僧都法華次第奧云。問。無量壽命決定如來法。卽是法華法歟。答。有云。不然。彼如來眞言。在此軌序分。故非法華法正宗也。問。若爾依何修彼法。答。亦可任行者意樂也。或可依大法修之。或可依此軌修之。但可問口傳云々

∴第八經軌事

無量壽命決定王如來經一卷

此軌旖然法橋將來也云々

法華軌不空云。卽跏趺坐結定印。誦如來壽量品。但思惟品中妙義。深信如來常住在世。與無量菩薩緣覺聲聞。以爲眷屬。處靈鷲山常說法。深信不疑文

次當卽誦無量壽命決定如來眞言七反。作是念言。願一切有情皆獲如來無量壽命。發願已誦眞言曰〇

禾云。已上二經軌所明眞言。大同小異也。譯者不同歟

一功能

經云。短壽之人。若能志心書寫受持讀誦供養禮拜。如是之人復增壽命滿於百歲云々

文云。若有衆生。聞是無量壽命決定光明王如來名號。若能志心稱念一百八反。如此短命衆生復增壽命。或但聞其名號。志心信受遵崇之者。是人亦得增益壽命云々

禾云。凡聞經功力廣明。可見之

法華軌云。若修行者。每日六時誦此眞言七反。能延壽命。能滅決定夭壽惡業。獲得身心輕安。離諸惛沈以懈怠。受持此法華經。速得成就云々

∴第九私記事
如形注物有之可求出之
∴第十卷數事
建長三年四月十四日於小河草了
建治四年二月二十八日於參州書了
遍照金剛爾然
延慶三年十月晦日於三州書了
圓慧
十一月一交了
興國三年（壬午）十二月十二日
執筆慈叡（七四）
應安三年六月一日於觀蓮寺書了
覺遍（六十三歲）
元祿十六年（癸未）八月二十又九日敬寫
兜率谷雞頭院闍梨嚴覺洪道

阿娑縛抄第五十三　阿彌陀

梵　[梵字]（貽）
[梵字]（金）
密　清淨金剛（貽金同）
亦云無量壽（軌並大日經釋）
亦云觀自在如來（軌）
亦云甘露王如來
亦云無量光（六種曼荼羅幷勝初瑜伽軌釋）
亦云觀音如來（青頸軌）
阿彌陀阿彌利帝梵語也（禾云略也）廣此翻無量壽無量光又正云甘露故大呪云十甘露明依之甘露王如來申服甘露不老不死故名無量壽云云
帖決云阿密里帝者不老不死義也故阿彌陀呪中有十阿密云云句是阿彌陀佛壽命無量故不老不死義也十甘露者不老不死即甘露妙藥也如云三十三天不老不死甘露也故彌陀佛亦號甘露王如來文
又云甘露者天上樹汁起云云
開名觀自在王如來故如何答理趣釋云於淨妙佛國土現佛身住雜染五濁世界則爲觀自在菩薩文以因名令蒙果歟又此部々主故歟又妙觀察知故也
∴第一可修此法事
爲滅罪生善修之
爲亡者修之
先蹤
於法城寺九壇御修法有之中壇林豪僧都用九方便範胤阿闍梨唱禮三身南無極樂世界阿彌陀佛（三反）觀音勢至佛眼馬頭大小三部用五悔
仁平二年十月四日於尊勝寺阿彌陀堂被修九壇護摩中壇伴僧六口也其中一壇參勤之云云
久安四年閏六月八日一院御逆修之次護摩相實法印修之
於蓮光院被修九壇護摩之時九壇阿闍梨參向御所有御加持云云
私云可然人御祈之時九壇護摩皆伴僧二人被具之雖然如修法不作唱禮等事只念誦云云
∴第二支度事
注進
阿彌陀御修法七箇日夜支度
壇一面（方六尺可有鍍桶）　脇机二前
燈臺四本　禮盤一脚（可有半疊）
五寶（金銀眞珠瑟々頗梨）　五藥（赤箭人參伏苓石菖蒲天門冬）
五香（沈白檀丁子鬱金龍腦）　五穀（稻穀大麥小麥菉豆胡麻）
酥蜜　名香（㊥沈 沈檀薰陸 白檀鬱金 龍腦丁子蘇合）
壇供（如常）　明油（如常）
芥子袋　佛供覆
大幕二帖（可有代幔覆草）
壇敷布一端
淨衣ム領（赤色）

供所新具補設等
承仕二人　駈使四人
見丁二人
已上淨衣　人供如常
右大略註進如件
年　月　日　行事

香藥
集經云、燒種々香文
又云、沈檀薫陸文（療病法中出之）

淨衣
集經二云、四人並著黃屑袈裟、若是賢者即著白衣文
又云、其呪師衣服並皆黃色、不得餘色云々
私云、淨衣隨法而異、今云黃色、暫依增益歟、此法多依敬愛、用赤色、但滅罪事多依息災、白色有何事乎云々

起首日
集經云、從十二月八日起首至十五日文

時分
無量壽軌云、每日三時云々（集經同）
觀自在王軌云、四時文

∴第三形像事

圖像　一〇

義釋三云、於西方觀無量壽〇作眞金色、稍閉目下視、作寂滅三昧之形、諸佛例如是也
玄法軌云、彌陀眞金色文　青龍玄三同
調定圖云、白黃色、住定印、著輕衣、坐寶蓮花文
前唐院進官曼茶羅同上、後本同前
帖云、彌陀定印、二手各風空相捻、其形如蓮花葉形、即是定印、是蓮花印也
已上胎界
六種曼茶羅釋云、無量光尊容相好如前佛形（禾云、前佛者阿彌陀佛也、其佛相好）（因）不露肩胸、二手舒而重疊仰在臍下、兩手間垂袈裟角、以孔雀承座云々
江師云、東寺惠什心覺兩闍梨云、寶冠彌陀無之、不心得事也、觀自在王軌并青頸觀音軌見、自身成彌陀寶冠、是也、五佛灌頂如此寶冠、寶冠灌頂名、又唐院六種曼茶羅釋（右如見）秘藏文也、覺大師無畏說、書給歟云々
最勝心明王經云、坐師子座、已二蓮承身金色、右手施無畏文
迎攝佛可爲立像歟文（人勝西出之上）
寄瞭他行如象步云々
稱讃淨土經現在前立云々
法華云、在門外立云々
天台方便品疏云、行動佛立像云々
又常行三昧佛立三昧名事
迎淨土、始惠心僧都以春日部恒則令畫之云々

觀音勢至左右事
觀無量壽經、觀左、勢右（凡顯經皆然）
集經、阿嚕力迦經、最勝心明王等經、觀右勢左
仁和寺本堂彌陀三尊也、其勢至居左、與依常違、爲居直、先取去觀音、取勢至欲居替、凡不動移、仍如本不直、以勢至殊爲驗佛也、左右說在破偏執給歟云々
東山禪山常行堂彌陀三尊、本鳥部堂本佛也、而本願上人奉迎安置之云々、件勢至瓶不頂戴之、蓮花上立之持之、仍見觀音頂無佛形、驚見所持蓮花段々折其花實上佛御坐跡有之、甚有興事也

曼茶羅
集經第二云、中央著阿彌陀佛、結跏趺坐、手作阿彌陀佛說法印、左右大師無名指頭各相捻、以右大指無名指頭壓左大指無名指頭、左右頭指中指小指開竪、佛之右相作十一面觀世音菩薩像、左相作大勢至菩薩像、佛上作寶殿、皆以七寶所成、殿下作七寶帳、悉以七寶瓔珞所成、其寶殿上畫作三箇大寶珠玉、一々寶上出五色光、於其光上化爲寶殿樓閣、其寶殿中作佛菩薩、其阿彌陀佛坐七寶高座、其高座上作七寶蓮花、阿彌陀佛坐其花上、其內院四角作四七寶樹、其佛內院四邊作四七寶殿、其寶殿上各有七寶、一々寶上出五色光、一々光上有七寶殿、其寶殿中有佛菩薩、其佛外院有四七寶殿、其寶殿上各有七寶、一々寶上出五色光、一々光上有七寶殿、其寶殿中有佛菩薩、阿彌陀佛前左右作二菩薩、各作音樂、其佛底下

有甘露水。中生無量寶花。一〻花上各有菩薩。左右各作五百花樹。其佛形作金色。其袈裟作赤色。其佛圓光以五色成。其佛頭上放五色光。其諸菩薩作黃白色。其菩薩身上作五色天衣。其佛左邊大勢至菩薩結跏趺坐。左手覆掌於左膝上。右手屈臂節柱右膝上。竪臂向上以大指捻無名指甲上。頭指中指小指磔竪。掌側當前。其佛右邊畫十一面觀世音菩薩結跏趺坐。屈左臂向肩上。掌覆向背手把蓮花。右臂節柱右膝上。手把白拂。〻尾向右出其水四邊有無量寶樹。七寶所成。其水之岸以七寶成其諸佛上諸天散花 文

無量軌云。壇上分布八曼荼羅。磨白檀香。用塗聖位。

帖決云。一說云。唯是八葉蓮花也。即是八葉蓮花壇也。故云八曼荼羅。即於臺上觀本尊。葉上不必安尊。如云延命軌等想八葉蓮花。於花臺中想阿字○成菩薩 文

定(賢寶)慶云。分布八曼荼羅 文 世有彌陀曼荼羅。以八菩薩爲其眷屬○此文與觀自在三摩地意同。彼以行者爲本故。以因位爲中尊。果地如來爲眷屬。此以本尊爲宗故。以佛爲中尊。菩薩爲眷屬。二身雖異因果不二 云〻

/私云。八曼荼羅者。一說依八大菩薩曼荼羅經說 云〻

江師云。八曼荼羅理趣經八大菩薩云。

又覺大師御說引八曼荼羅經云〻

東寺永嚴抄云。八曼荼羅。或云八大菩薩也。如經。或人此中除金剛手安大勢至菩薩云〻

用草云。私云。以軌說爲敷曼荼羅。以集經說可爲懸曼荼羅歟 云〻

帖云。以觀[梵字]等爲種子。虛空藏安前。以除蓋〻(障カ)安後。依八曼荼羅經歟。又尊勝軌左右不定。如上

阿彌陀

除蓋障

不可得

成菩提云。勝尾寺唐幡繡文也 云〻

攝津國勝尾寺從空飛來幡畫之 云〻

禾云。或人軌奧有圖 云〻 彼圖大概如右圖。自[梵字]字左[梵字] 乃至 [梵字]順迴之。當觀彌等

成菩提云。覺圖云（㊟朱又成覺圖也成菩提出之）

中阿。寶冠著袈裟。金色。住定印（㊟解以花左右肩覺各如）

東（濯頂自餘同上）虛。寶冠白肉色。左掌持寶當胸。右拳安腰（㊟同上。但右手當膝中。五指當向外以安爲異）

巽。普。寶冠白肉色。左持蓮花。上有舌形。有光焰。舌中有三古（甲本異本曰形如胎藏如來舌之所持也） 右手仰掌地水屈著掌中（甲本異本曰而如實生佛羯磨印勢）

南。金。寶冠白肉色。左手屈水火第二節。火面合空。而竪地風。手掌向外。當著左乳。右手持三古杵。橫著右乳

坤。文。髮髻。黃金色。左持蓮花。莖花上立劍。右持蓮花莖。花上安寶篋。而持蓮花手。各當左右乳

西。除。寶冠白肉色。左持幡。右施願印（甲本異本曰如）

（㊟胎藏曼荼羅以安東爲異）

乾。地。寶冠白肉色。右掌持寶○於心上。左拳安腰。取蓮莖。花上立幢

北。觀。寶冠白肉色。左持蓮莖。當臍前。其花含未敷花房至心前。右手當花。作開勢。謂屈風火與空面合

艮。彌。寶冠白肉色。左掌向外。竪著左乳申五指。右拳安腰。持蓮花。上立水瓶○（㊟當心左）

（持蓮莖立印如前故仰掌安右膝。屈水火與空相合。地風申之）

已上八葉〻間各出半三古形

四隅四攝尊形如金剛界。但西南鈎。西北索。東北鎖。東南鈴（㊟外有五色界道）

成菩提云。八大菩薩曼荼羅壇場云。觀。慈。虛。普。金。文。除。地。中心本尊東坐（前唐院本[梵字]字觀在中之）

東寺永嚴抄所圖。八葉臺上阿彌陀自前葉右旋。如次觀。慈。虛。普。金。文。除。地安之。四攝八供如常

/右人所圖一印

燈 鈴 塗 鉤 香 索 花 鎖
歌 因 舞 法 嬉 利 鬘 語 阿

成菩提云。師曰。舊寺中得此樣云云。此則同一印之中十七尊曼荼羅。然文所不說之。若依此意者。四佛猶可有十七尊歟云云。

文所說一印

燈 鈴 塗 鉤 香 索 花 鎖
歌 舞 嬉 鬘 阿

成菩提云。此是一切曼荼羅也

對記六云。指歸說。一印中云。若持大日及金剛薩埵眞言。具十七尊。餘尊〇[普賢]具十三尊云云

觀自在王如來軌。只說十三〇[尊]。謂本尊及十二供也云云

已上兩圖師傳也

東寺永嚴抄云。惠運僧都請來九品曼荼羅中臺有八葉開敷蓮花。花臺上有上品上生阿彌陀佛。周匝八葉安八品阿彌陀。內院四隅法利因語。第二院十二光佛。四攝外四供。第三院二十四菩薩。一方〇[有]六菩薩。合二十四尊也。但加內院法菩薩爲二十五菩薩

十二光佛事

惠什云。大佛頂經意。十二光佛各出世慈覺大師。一佛具十二名號

或云。十二光種子[圖從]一本自一至十二次列之

[siddham]一 無量 [siddham]二 無邊 [siddham]三 無礙 [siddham]四 無對 [siddham]五 光炎 [siddham]六 清淨 [siddham]七 歡喜 [siddham]八 智慧 [siddham]九 不斷 [siddham]十 難思 [siddham]十一 無稱 [siddham]十二 超日月

禾云。依禮讚次第注之二畢

五佛事

東寺永嚴抄云。觀音勢至加地藏龍樹曰彌陀五佛。出何文乎。答。未見本文。但大唐并州一國人人皆念阿彌陀。其國人命終時。阿彌陀觀音勢至地藏龍樹皆〇[來]引接[見唐傳記]

五十二身像

東寺永嚴抄云。有阿彌陀曼荼羅號五十二身像。是天竺雞頭摩寺有五通菩薩。現身往極樂世界。問佛言。娑婆世界衆生念阿彌陀佛。無其所據像。何佛言。汝還娑婆國。於彼國可示現也。於是菩薩速還本寺。其寺樹木葉上畫佛菩薩像。菩薩採集此樹葉散之。有五十二體佛菩薩像。以之唐朝閻賓人以爲本尊

集經云。以泥作阿彌陀佛像十萬軀滅罪。死生阿彌陀佛國云云

眷屬事

成菩提云。彌陀十五童子[未得本文更可孫之]梨車毘童子 師子〇[光]云云 師子慧云云 法授云云 因陀羅授云云 大光云云 火猛云云 佛護云云 法護云云 僧護云云 金剛語云云 虛空護云云 虛空孔云云 寶藏云云 吉祥妙藏云云

用草云。最勝王經同聞衆如今文。但經云。復有梨車毘童子五億八千。其名曰。師子光童子乃至吉祥妙藏童子云云。故梨車毘者總名也。師子光等十四差別名也。仍此事不被信也云云

∴第四道場事

無量壽軌云。建立方壇。上張天蓋。周匝懸幡文

向方

無量壽軌云。壇西面安像。持誦者〇面西對像文

集經云。呪師面向東云云 下文云。像面向西文

爐樣

爐八葉上置六角緣也。是敬愛鈎召共通用意也。金剛界[胎藏]然不云也。又內外共八葉。若內外共六角。此等皆敬愛鈎召通用意也。依之妙心太半月爐云。敬愛鈎召妙用也云。是則敬愛鈎召可通用證據也

加持院阿彌陀護摩爐。經遍法眼塗之。覺

範阿闍梨難云。オトナケナキ人也云々
難意、可鈞召難歟云々
青蓮院座主逆修之時。民部卿阿闍梨教
重敬愛一葉爐塗之云々
授決集云。敬愛爐樣。若依胎者。八葉（無項）
鈎若依金者。長作蓮花云々
大政大臣（實行）物語云。祖父御忌。西塔海岸
阿闍梨尊宴。修阿彌陀護摩。我兄弟覺實
僧都小僧。參西京座主。々々問云。阿彌陀
護摩誰人乎。爐壇何樣塗。僧都云。海岸阿
闍梨尊宴也。降伏修之。爰座主云。降伏ヨ
ナ〳〵云々

∴第五行法事

房中作法　入堂儀則（如例）
次到佛前。懺悔偈淨三業等（如例）
無軌云。想在極樂世界。對無量壽如來
并諸眷屬
次禮佛
南無歸命頂禮極樂教主四十八願阿
彌陀如來（三反）
々々々々々々娑婆世界施無畏者大
悲大名稱吉祥安樂觀世音菩薩摩
訶薩
々々々々々々拔苦大力得大勢至菩
薩摩訶薩
次前方便（如常）
次啓白神分等（在別）
次供養文
次唱禮

三身佛眼（如常）
半駄羅縛灑儞肖地々々々
南無曼荼羅主阿利也彌哆婆也怛他
誐路耶（三反）
南無觀音勢至諸大菩薩摩訶薩
南無阿利也訶野吃哩縛肖地薩埵縛
耶摩訶々々々
五大之（私）加大々小　三部
或說。用金界唱禮五佛。次南無極樂
世界阿彌陀佛（三反）
南無圓光中顯一切諸佛南無觀音勢
至菩薩摩訶薩次々如金西佛外更禮
彌陀如何。私師云。若大日為本尊者。初
大日之處三反禮之云々　今以彌陀
為本尊者。於西佛處三反禮之。不可別
禮云々
傳聞。金剛壽院三身本尊四波羅十六
○四攝五大大小三部用之
次驚覺　次五悔（私）金
次發願
至心發願　唯願大日　本尊界會
極樂化主　彌陀善逝　觀音勢至
諸大薩埵　三部界會（若五部）　諸尊聖衆
外金剛部　護法天等　護持ム甲
滅罪生善　臨命終時　心不散動
三昧現前　刹那迅速　則生彼土
蓮花化生　證菩薩位　乃至速證
無上菩提（已上十句非改之。若為已者。過去幷滅罪生善句除蓮花化生極樂上品蓮臺云々）
及以法界　平等利益

五大願○次被甲（私云別本記此次入佛三昧耶大金剛輪二印明）
次地結　次墻界
次道場觀　結如來拳印。觀之云々
觀想。須彌山頂有四重階道曼荼羅大地。
々上有〔梵字〕字。變成光明廣大七寶莊嚴宮
殿。寶柱行列。懸垂雜綵珠網花鬘。而為
莊嚴。諸天奇妙音聲。歌詠樂音。即是極樂
世界也。水鳥樹林。念三寶音
無量軌云。七寶為地。水鳥樹林。皆演說
法音。無量莊嚴。如經所說云々
竊門記云。作水想。見水澄清。亦令明了。
無分散意。既見水已。當起冰想。見冰映
徹。作琉璃想。此想成已。見琉璃地內外
映徹。地上以黃金繩雜廁間錯。其地上
觀寶樹。一々觀之。作七重行樹想。諸寶
樹七寶花葉無不具足。又有八池水。一
々池水。七寶所成。池底布金沙。一々水
中。有六十億蓮花。百寶色鳥和鳴哀雅。
常出讚念三寶音。衆寶國土。一々界上。
有五百億寶樓閣。其樓閣中有無量諸
天。作天伎樂。又有樂器。懸處虛空。不鼓
自鳴。此衆音中。皆出念三寶音。又地上
作蓮花想。其花衆寶合成。臺上自然有
四種寶幢。々上有寶縵。有微妙寶珠。以
為映飾。（已上抄之釋文）
次三力　次普通（無量壽如來軌此次印明）
次觀曼荼羅
想。宮殿內有大曼荼羅。々々々中心有〔梵字〕
字。左右有〔梵字〕字。此三字變成金色孔雀王。

上有月輪。々々上有蓮花。々々上有訖哩（放大光明如紅頗梨色遍照十方其中衆生遇此光者滅罪生福云々）字變成紅色蓮花（爲開敷蓮花以獨古杵豎其色紅色云々）蓮花變成無量壽如來身色頗底迦寶色（紅色）住於正受坐寶蓮花。從頂上放紅色光明照曜曼荼羅。四親近大菩薩。八供四攝菩薩皆坐孔雀鳥。乃至無量無數大菩薩前後圍繞

（無量壽軌文）儀云。想先蓮花臺上有月輪。々々上有訖哩（合二）字。放大光明。如○頗梨色。遍照十方世界。其中有情遇此光者。無有不得罪障消滅（已上軌文）此字變成蓮花。々々變成阿彌陀如來。相好無邊光明照十方（相好具不可說可見觀經文儀軌文云頂上布八曼荼若然可觀八曼荼羅儀軌故不記）佛左邊更想一蓮花。如前無異。復想一大蓮花有佛右邊。想一觀世音菩薩像坐左花上。亦放金光。如前無異想。又想一大勢至菩薩坐右花上。佛菩薩像皆金色。其光照諸寶樹。一々樹下亦有三蓮花。諸蓮花上各有一佛二菩薩像。又阿彌陀如來放無量光明。一々光明遍照十方世界。念佛衆生攝取不捨。其光明相好及與化佛具不可說。佛身量最少者丈六八尺。此凡夫行人所觀（已上經文）行者如是了々分明觀。即成眞實極樂世界○如○經說之云々

三形事

谷說蓮花。大原說開敷蓮云々

帖云。三形　或杵腰安花形云々

成菩提云。或人云。初割蓮花云々

帖云。彌陀三形開敷蓮。觀音微敷蓮歟

抄

尊形事

問。道場觀形像。寶冠螺髻中何可觀乎。

答。大瑜伽寶冠也。但此所螺髻宜歟。西方集云。池中像（遊戲）講堂像（說法）樹下像（等正覺像。師云。寶冠像歟）私案云。初生者生池中蓮故。可奉見池中像。而池中像螺髻可有歟。十二禮。金底寶間池上花初生時見云々

次振鈴　次寶車輅（無量軌。想送極樂世界云々）

次請車輅　次迎請聖衆（蓮部）

次辟除從魔（無量軌用馬頭蓮花部明王故用之云々）

次示三摩耶

次金剛網　次火院

次閼伽　次花座　次善來偈

次重結大界　次又閼伽

次五供（悉地門記用）　次普供

次讚

曩謨（引）弭路（引）婆（引去）野　曩謨（引）弭路（引）庾

曩（一引）曩謨々々進底哩耶（合二）欒拏（引上）迦羅

答磨（合二）薄曩謨弭路（引）婆（引去）野喞（反慈）以曩

野（引上）帝母薄（三引）素佉（引去）嚩底姪（引二合）夜弭

多嚩（引）拏（呼鼻）劍跋野（四引）素佉（引去）嚩底孕

迦攞迦尾喞怛羅（合二）迦攞南（五引）嚩（上）（引二合）

拏（鼻聲）羅鈴素𧙃多素帶（引）羅稜（去）訖哩（合二）

耽（六引）多嚩（引）室羅（合二）夜答鉢羅（合二）體（反町）以

多虞拏（上）寫地（引）麼（上）多（引都七合反）鉢羅（合二）

夜（引）弭擔（引）麼護虞拏（上）囉怛曩（合二）散左

琰○（出無量壽儀軌）

次祈願

智泉記。此次本尊。四親近。八供。四攝印明用之

次入三摩地（在無量壽軌云觀自在菩薩三摩地）

觀自身中（已下無量壽軌文）圓滿潔白猶如淨月。仰在心中。於淨月上想訖哩字。放大光明。其字變成八葉蓮花臺。々上有觀自在菩薩相好分明。左手作蓮花。右手作開花葉勢。作是思惟。一切有情身中具有此覺悟蓮花。清淨法界不染煩惱。於蓮花八葉上各有一如來。入定結跏趺坐。面向觀自在菩薩。項佩圓光。身如金色。光明晃曜。即想此八葉蓮花漸舒漸大量同虚空。觀了定中誦唵娑嚩羅跛娜麼。即作是思惟。以此覺花照觸如來海會。願成廣大供養。心不移此定。則於無邊有情深起悲愍心。以此覺花蒙照

觸者於苦煩惱悉皆解脫等同觀自在菩
薩即想蓮花漸〻收斂量等己身想已誦
帖云八葉花收斂量等己身即己身成
觀自在前八葉如來等共成一體次儲
可決申也云〻師云八葉如來共成冠
中一如來形往也自身即同臺上觀音
蓮花臺同共成觀音歟云〻
唵僧伽羅跛娜摩
即出定
次觀自在菩薩印明（觀文抄）
二手外相叉二頭指相柱如蓮花葉二大
指並竪誦真言印心額喉頂即散真言（想自身等同觀自在菩薩）
唵嚩日羅達磨（轉舌）紇哩（二合引）（無量軌云由結印及真言即自身同觀自在菩薩文）
次根本印明
二手外相叉作拳竪二中指頭相柱如蓮
花葉形結此契已誦無量壽如來陀羅尼
七遍以印於頂上散真言曰
智泉記云想觀自在菩薩成無量壽如
來
曩謨引羅怛曩合二怛羅合二夜引耶娜莫阿
哩野引二合弭路婆引去耶二怛他引引去蘖路
夜引曪曷合二帝三藐三去沒馱耶三
怛儞也合二他引四唵阿密㗚合二帝五阿密㗚
姤引納婆合二吠引六反阿密㗚合二多三
去婆上吠阿密㗚合二多蘖陛阿密㗚合二多
悉帝九阿密㗚合二多帝際自反十阿密㗚合二
多尾訖磷簡二合反引下帝一上十阿密㗚合二多尾
訖磷前二引合多誐引弭寧二引十阿密㗚合二
多誐〻曩吉引底丁以反迦隸三十阿密㗚合二
多上嚩擎鄒毘寧反必婆縛合二隸四十薩縛引囉
他合二婆引去馱寧引二五十薩縛羯麼訖禮搖乞灑
合二孕迦隸婆縛合賀（出無量軌）

（集經第二大身呪同之但文句少〻　釋世號十甘露呪云〻）
地藏房云九句阿密㗚帝九品淨土心
也云〻
已上觀自在三摩地自昔義云事也因
圓果滿義等云〻彌陀觀音同一體也
因位名觀音果位名彌陀凡夫佛道修
行成正覺極位時節自因至果義歟所
詮同事先觀音成身次觀音成彌陀歟
云〻
帖云無量軌意先入觀自在三摩地而
後成彌陀如來也如後心金剛薩埵成
大日尊也而軌八葉上一〻在如來者

即彌陀如來也謂因位果傍因正也故
以果佛安傍也云〻
此義不感心因菩薩一體果如來八身
之故也因若一果又可一果八因可八
也云〻
帖云於八葉觀八如來謂阿彌陀如來
也臺上觀自在也其由如先日說抑西
佛是第六意識之變也即肉團八葉心
處心是也故約彌陀論之耳云〻
私云帖決如後心薩埵成大日尊者凡
此法成身大旨先成觀音次成彌陀也
今軌大旨尚是薩埵行法心也其觀音
者最後心菩薩也理趣釋名法金剛（非極樂補處弟子觀音金剛界四親近中法菩薩也即是等覺後身受職菩薩地也）成彌陀者
妙覺究竟毘盧遮那也臺上觀音等覺
一轉入于妙覺名觀自在王如來也（阿彌陀別名也）
正覺標幟也即上品上生教主自受用
身佛也（故不空三藏金剛頂三摩地禮儀云受用智成身阿彌陀佛云〻　軌不委歟成彌陀自受用身出八如來葉上令坐八葉上可思念歟）是上
八佛者
品中生以下教主他受用應化身歟付
極樂九品且成此義也
師云觀心月有九重者表九識也今中
臺菩薩八葉觀九佛又九識反作意歟
即九體阿彌陀也中臺尊即第九無垢
識也極樂九品相分意有之歟　問顯
教常途義娑婆人業不同故淨土有九
品云〻答是又一途義邊歟但九識九
品云只是私義也　問准金界五相之

心。觀自在菩薩者。後心薩埵也。即變作彌陀上品上生教主云冥道理極。但文證頗闇何。答。其明文即無量壽軌也。所謂結觀自在菩薩印〇由〇此印誦眞言加持故。即自身等同觀自在菩薩。次結無量壽如來根本印云々加之理趣釋云若人持此一字眞言（眞言謂紇里字也）能除一切災禍疾病。命終已後。當生極樂國土。得上品上生文故知後心薩埵持此眞言。能除最後品災禍疾病難斷元品惑。命終已後。得成上品上生教主也。故今宗意云。現世證得初歡喜。後十六生成正覺也。命終者。即此十六生之義也。然則上品上生者。第十六成正覺究竟果也。此即大瑜伽曰。應滿足普賢方成最正覺大同耳　問。觀經明上品上生人行相中云阿彌陀如來與〇百千比丘聲聞大衆〇演說妙法聞已即悟無生法忍文若爾者是非法佛刹土歟。有聲聞弟子。又聞法得無生忍。此初住地可得益。故更不可云自土何。答。凡顯密二教。行儀金水火也。今經凡約娑婆凡夫行人。明應佛粧也。爲菩提希婦人說之。部屬方等。以此經意彼三摩地行相不可比況者也。就中此三摩地法祕之中深祕也云々　問。觀音一印法有此三摩地。但不用彌陀印明。故觀音一菩薩法也。不可有九品。然者八如來何。答。觀音。心中妙觀察智也。此菩薩成菩提。佛即阿彌陀也。正雖不成阿彌陀心中八如來何不斷現。此即菩薩未成佛時儀式也。然則因中性得有性爲令知教示此旨云々

禾云。且此三摩地事。息心〇中廣決之

問。中臺觀音成阿彌陀之時。猶持蓮花歟。師曰。爾也。五佛寶冠持開數蓮花也。理趣會曼荼羅。闇中臺阿彌陀五佛寶冠持三莖蓮花前葉法菩薩一佛寶冠持未敷蓮花也云々

觀自在菩薩印明。羯磨會法菩薩印明也。想此菩薩等覺後身受職薩埵也。斷五住迷。圓滿五分法身。開散五指此心歟。念開合蓮云等覺一轉入于妙覺也。次無量壽印八葉印也。眞言大呪。想蓮花臺觀自在菩薩依紇哩加持。入妙覺海居寂光。都是即妙覺究竟毘盧遮那也。上品上生教主也。在因位名觀自在菩薩。至果位即稱觀自在王如來。不失本名云々

作云。中臺居觀自在。八葉居阿彌陀。是觀音等覺無垢之大士。隣極位。仍蒙果佛加。可拔佛之故。中臺居之也。八葉佛是印可之料也。以之爲觀自在三摩地也。人不得意也云々

此法以觀自在三摩地爲究竟祕事云々

私云。軌云。分有八曼荼羅文自上古說。依八大菩薩曼荼羅經云々然者觀。慈。虛。普。金。文。除。地八菩薩印可結之。其印明大教中有之云々

次加持珠（無量壽軌云取蓮子珠云々在下卷）

次正念誦　大日　佛眼　本尊（大呪小呪）　觀音（蓮華部心）

索　勢至（部母又）　馬頭云々

本尊小呪

心中

唵（引）阿蜜㗚（二合）多帝際賀羅吽（軌無）

心呪（又廣羅尼經出之紫陀）

心中心呪

唵阿蜜㗚底吽〇

觀音（在上三摩地中）

勢至

三購々索（入）娑婆賀

馬頭（蓮花部明王云々故用之）

唵吽佉那野畔若娑訶（二合）吒野娑縛訶

次珠置本處

次入三摩地

於圓滿清淨月輪上想紇哩字因不可得　字塵垢不可得義　禍不可得義　字遠離不可得義　字災

理趣釋云。紇哩字具四字成一眞言賀字門者。一切法因不可得義。囉字門者。一切法離塵義。伊字門者。自在不可得。二點惡字義〇名爲涅槃由覺悟諸法本不生故。二種執著皆遠離。證得法界

清淨〇由此字加持於極樂世界水鳥樹林皆演法音如廣經中所說若人持此一字眞言能除一切災禍疾病命終已後當生極樂國土得上品上生云々

次根本印（本尊許也法菩薩印不結之既成身ノ故也）

次部母（寶云佛眼云々）　次五供　次普供

次讃　次閼伽　次振鈴

次解界　次奉送

寶云想彌陀如來及界會聖衆乘寶車歸還本土如來雖無來去而示之

次三部　次被甲　次五悔

次迴向　次下座禮佛　出堂

已上次第依智泉記耳

堂外作善

無量軌云隨意經行常讀誦無量壽經云々

觀軌云讀大乘般若經花嚴涅槃及楞伽等經云々

∴第六護摩事

軌等不說護摩　集經中多火供說之可依敬愛（相應物花寶云々）

帖決云阿彌陀護摩等猶隨息等之法可向其方也經云縱隨法向餘方若勸請之時向彼本方請之云々若爲滅罪修之者猶滅罪事多可用息災也向西方猶是本方也

阿彌陀護摩爲亡者鈎召可修之也又見存人爲鈎召可修之仍歡喜光院護摩堂爐八葉爐內鎚六角也敬愛鈎召通用意歟但志鈎召也三惡道苦患濟上意也鈎召又非可無息災意自古阿彌陀護摩息災不被修尤遺恨也災者三惡道苦患也其比許大切事可有哉但鈎召可修之也然近來皆只敬愛修之向西方意歟云々

私云此法滅罪爲宗滅罪事多依息災是師傳也又火吽軌息災功能文云此謂息災滅罪云々然者可依息災歟但多分依敬愛云々

可隨事但此法滅罪爲宗依息災可修之也淨衣白色也云々

授決集云或時依息災向北修之（爲滅現在罪）（罪業生也）但禮拜之時兼禮西方又勸請之時故向西結印云々

又云依鈎召々々即請方中隨向一方也故又向西可也即鈎召惡趣等衆生護摩也若爲亡者等多依此意也又敬愛云々

寶淨記云爲現在檀主滅罪者（息）又（敬）爲過去者鈎召相應物等可依本法云々

護本尊事

帖云問阿彌陀護摩以何爲護本尊耶　師曰師傳寂靜用其部忿怒々々々用〇寂靜謂彌陀用大威德々々々用彌陀等也而今護本尊者猶是部母也故彌陀護摩若依胎藏者白處尊是也　問胎藏界彌陀是佛部也云何用蓮母耶　答師曰爾也若依佛部之意又是可用佛眼部母也而又胎界大日佛部主彌陀蓮部主也釋迦金部主也故又白處尊佳矣若〇金界意者可用法波羅蜜也蓮母也

火天　曜宿（如常）

爲亡者修之可略曜宿二段但近來不略之云々

爲亡者世人不用曜宿段尤無其謂事也云々

示云此事委如護摩別帖

本尊段（若請供觀音勢至尊段觀云々）

觀尊　彌陀（觀音勢至）

勸請詞

我今稽首請　本尊彌陀（阿彌陀）尊

觀音勢至等（聖衆）　唯願降臨此

納受護摩供

燒供

禾云八反歟大三本尊三觀一勢至一

護摩呪

阿密里吒呪用之云々

帖云先師用盧計入縛羅呪又阿密里帝呪在入心耳（抄）

又云盧計尤佳歟觀自在王軌又云々

可請供觀音勢至云々　八大菩薩可請供用否在心云々　大威德等云々

諸尊段

世天（如常）

伴僧眞言

大陀羅尼云々（集經第二云請四人僧設齋多亦無限云々）

後加持呪

大威德若馬頭。又大陀羅尼後世祈大陀羅尼歟。自餘准知之云々　爲現在大威德云々

∴第七行法用意事

胎 可有都別帖等用意具如別帖

都壇

唱禮　九尊如常。於彌陀處三反禮之

尊位　八葉西方

種子　[梵字]　抄記大悲胎藏會九尊種子中說　[梵字]　尙然和　[梵字]

秘密壇九尊種子中說

三形　初割蓮花　八印

金

四印一印等。具如別帖

都法　佛部大日具三十七尊云々

別法

十三尊曼荼羅　如觀自在王軌

種子　[梵字]　軌同

大法。小法

悉

∴第八經軌事

無量壽如來修觀行供養儀軌法一卷　不空

貞元新入目六海仁運珍

與文云。此法通一切蓮花部云々

此軌悉地行法也。十八道以此軌爲本也云々　覺海附注

安然和尙云。海和上抽此軌中一十八道印契宛持明者通用行法。世呼十八道儀軌云々

金剛頂經觀自在王如來修行法一卷　不空

貞元新入目六海仁　珍[illegible]

此軌金界略行法也云々　依金界而明一印曼荼羅云々

阿彌陀佛大思惟經　出集經第二

此釋補陀落山中說。以觀音爲對揚。蓋尊像法。並阿彌陀佛身印等之十四道印別々成就法委說云々

已上傳受經軌。此外祕錄所載如左

阿彌陀鼓音聲王陀羅尼經一卷　貞元失譯圓覺

阿彌陀經二卷

無量壽經二卷

觀無量壽經一卷

阿彌陀經一卷

稱讚淨土佛攝受經一卷

後出阿彌陀佛偈經一卷

小無量壽經一卷

隨願往生經一卷　是灌頂經第十一卷

已上九經宜檢見

靑頸觀自在儀軌幷大悲成就法。阿彌陀法也。靑頸者。靑是阿彌陀色也。頸是蓮花部也。故阿彌陀父。靑頸觀自在云。無失云々

功能　凡不能具讚。諸教所讚多在彌陀之

義釋云。此是如來方便智。以衆生界無盡故。諸佛大悲方便亦無終盡。故名無量壽云々

無量壽軌云。不以少福無慧方便得生彼刹。是故依此教法正念修行。決定生於極樂世界上品上生。獲得初地云々

又云。出微智定現生每於定中見極樂世界無量壽如來。在大菩薩衆會聞說無量契經。臨命終時。心不散動。三昧現前。刹那迅速則生彼土。蓮花化生。證菩薩位云々

又云。誦一反 不云十萬 則滅身中十惡四重五無間罪。一切業障悉皆消滅○誦滿一萬反獲得不廢忘菩提心。三摩地菩提心顯現身中。皎潔圓明猶如淨月輪。臨命終時見無量壽如來與無量俱胝菩薩衆圍繞來迎安慰行者。則生極樂世界上品上生。證菩薩位文

問。上品上生寂光土。何故證菩薩位云耶　答。妙覺位有始中終三位。故入妙覺海。五分法身未滿足。卽名妙覺菩薩位文　此則安然御說也

問。云智光圓滿無復可增。故妙覺位不可有始中終。設如大海鹹水一味也

答云。凡萬品併有初中後。爾卽付終之無復可增等歟。設如大海潮有濃淡耳云々

集經第二云。若善男子善女人。誦持阿彌陀佛陀羅尼。並作印等。日々供養者。卽得滅除五逆四重恒河沙數生死重罪云々

理趣經云。時薄伽梵得自性淸淨法性 釋云 是觀自在王如來異名。則此佛名無量壽。若於淨妙佛國土現成佛身。住雜染五濁世界。則爲觀自在菩薩 如來復說一切平等觀自在智印出生般若理趣 釋云。大日爲觀自在菩薩說四種不染法。取意 所謂世間一切欲淸淨故。卽一切瞋淸淨 釋云。此則法菩薩三摩地 世間一切垢淸淨故。卽一切罪淸淨 釋云。此利菩薩三摩地 世間一切淸淨故。卽一切有情淸淨 釋云。此因菩薩三摩地 世間一切智々淸淨故。卽般若波羅蜜多淸淨 釋云。此語菩薩三摩地。由瑜伽者得受四種淸淨菩薩三摩地。於世間悲

如蓮花以此三摩地能淨諸雜染　顯生於六趣不被一切煩惱染汚　獲金剛手若有
聞此理趣受持讀誦作意思惟設住諸慾
猶如蓮花不爲客塵諸垢所染疾證無上
正等菩提時薄伽梵觀自在大菩薩欲重
顯明此義故熈怡微咲作開敷蓮花勢觀
慾不染說一切群生種々色心

經軌決

無量壽如來拳印　文

　帖云二手金拳各面向胸右拳把左大
印地者以印上下印地也以左拳下　小指
之方如打物之勢　云々

無量軌奧云無量壽如來心眞言
唵阿密哩二合多帝際賀羅吽
誦十萬反滿得見阿彌陀如來命終決定
得生極樂世界　文

帖云多本有之或本出印或本不出之
其心印左右三指各蓮葉形也又集經
印結之其印右如文左還把右三指中
節已上左大指亦右小指下出左三指
甲押二風各立　文

　禾云勘集經云阿彌陀佛心印第六
　右手中指已下三指總屈入左手掌
　內把左手大指還右大指押右三指
　甲上二頭指直竪磔開之

觀自在王軌云演金剛蓮花達摩法要　文
堅勝蓮花云歟又金剛智也金軌金剛
拳智拳云達磨法梵漢取合常事也如
云悉地成就云々
禾云無量壽軌花座印功能云一切聖

衆各得此金剛蓮花爲座云々是則堅
　勝蓮花義歟

此軌先四攝次八供也
　帖云四攝勸請故於瑜伽前安之如胎
　藏耳　文

理趣釋云於淨妙國土現成佛身住雜染
五濁世界則爲觀自在菩薩云々
問是若極樂娑婆歟然者何極樂有補
處觀音耶　答觀自在後心薩埵法金
剛別名也證妙覺極果淨妙國土云未
證果住五濁世界云非極樂娑婆又非
補處觀音云々

∴第九私記事

阿彌陀略私記　谷

　號龍門私記
與靑云纜述已愚慮聊省繁補闕恐文
訛彌陀加冥助于時長保五季二月
於鎭西鎭門大山寺偷以抄之天台沙
門金剛弟子皇慶　文

　禾云依十八道委悉被記之　住云

池上祕藏記也

阿彌陀略私記　大原

　禾云依十八道略記也
　　已上相承記也

此外谷私記一兩本
谷別本記被甲次用入佛三昧耶大金
剛輪二印明
此所用金剛輪事阿閦幷軍荼利軌之
例也用入佛三昧耶說所可尋之
義釋六釋入佛三昧耶眞言云若不先

念持者不得作一切眞言法事云々
同別本記後根本印次々此次散念誦
任意云々
私起意部主部母明幷觀音勢至等眞
言於此少々可念誦云々
功德院問大原云　心覺阿闍梨實問大原弟子　正念誦外散念誦者
是何乎大原答云對上三摩地念誦根
本印後別念誦眞言等少計用之云々

∴第十卷數事

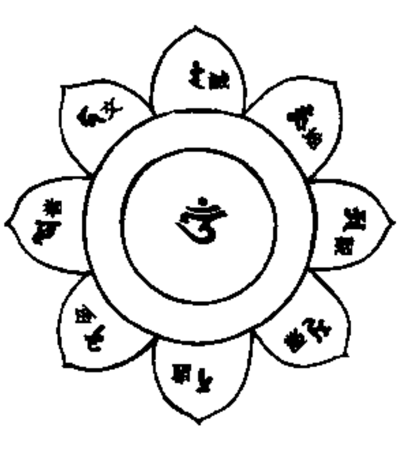
阿彌陀御修法所
　奉念
　　大日如來眞言二千一百遍
　　護衛本尊眞言二千一百遍
　　阿彌陀如來眞言ム　遍
　　觀音勢至眞言二千一百遍
　　三部諸尊眞言二千一百遍
　　諸天曜宿眞言二千一百遍
　　敬愛護摩眞言二千一百遍
　奉供
　　大壇供二十一箇度
　　護摩供二十一箇度
　　諸神供三箇度
右謹依仰旨始自今月ム日至于今日幷
一七箇日夜之間ム〇僧綱大法師等殊
致精誠勤修上件教法奉祈々々由如件
仍勒遍數謹言
　　　年　月　日　阿闍梨々々
寬元三年三月十日　於小河草了

建治二年十二月二十八日於三州書
了　　爾然
延慶三年十一月九日　於三州寫了
　　圓慧
同十八日一交了
興國六年正月二日　執筆　慈叡
于時貞和二年（丙戌）八月十八日書了
　　覺遍
一交了
元祿十二年己卯夏四月二十六日書
雞頭院南軒
阿闍梨法印大僧都嚴覺洪道

阿彌陀許可作法

先佛前閼伽燒香等　灑水一器（加散杖）
師資共調威儀入堂（謂具三衣等是也）
禮佛著座（師登禮盤 弟子下座）　加持香水（百反 逆順）
即取弟子手三灑其頂　次敬白事由
次略問遮難　其詞云
汝持三歸十戒後無所犯否
於如來正法不謗否（如此三反問之）
三昧耶不犯否
更授云
汝從今身至于佛身如來禁戒能持否
護持正法不捨菩提心否
於三昧耶戒不犯否（答一一能持）
即以普賢三昧耶印印可授[梵字]眞
言
次授[梵字]（印在口傳）
次横竪三反可授獨古（如常途許可儀式）可耳語汝
今覺三世諸佛祕密法門授阿彌陀如來
三身即一之三昧耶形了自今日坐菩提
道場其中間無妄失
授三身等印明（委細在等之事）（口傳）師子共禮佛迴向
詞云
　願共諸衆生　往生安樂國
永久二年三月二十七日奉受了　院昭
天承元年（辛亥）六月一日於白川阿彌陀
堂奉從智泉房阿闍梨奉受了
　傳燈大法師梨昭

天養二年七月一日於穴太佛頂房御
房奉受了　傳燈大法師聞胡
文治五年十月四日隨大原常寂房阿
闍梨御房奉受了　一校了
　前律師忠快記之
小呪印在口傳云々　裏書々
左右地水火空各相捻風各々竪云々
阿許（安養房流 淨土房傳）
金剛界三摩耶會阿彌陀印眞言（印根本印）
眞言曰
縛日羅（二合）枳惹（二合）南𡁠利
胎藏　阿彌陀印眞言　印八葉印
眞言曰
日南（引）穆索娑縛賀
無量壽說法印眞言　印以左大指押
中指甲開餘三指横胸前右手同作當
左手上（印口傳）眞言曰
娑縛（二合）婆怯（去引）嚩（引）秫（上）雅度憾三



天養二年七月五日
賜佛頂御本寫之闍梨云々
以彼御本忠快寫取之

阿密（安養房淨土房流）
先根本印
次小呪印眞言　陀羅尼集經云。阿彌陀佛輪印。謂左手仰掌。大指無名指兩頭相拄。食中小三指皆舒展之。右手同前。但以此手覆左手上。二手大指無名指甲垂之相拄。阿彌陀心中心呪
唵阿密㗚（二合）底幷幷
阿彌陀佛四十八大願印
二拳並。二空舒並立。二地開立卽成。用根本大眞言
阿彌陀佛卽身成佛印
前印。但二火開立。眞言上品也
曰南唵阿密㗚多䚮婆吠達磨吉栗婆婆
阿三反
次阿彌陀三身印
舒左右掌。各屈大指著頭指根。左當臍向上。右當心向下。中間五寸計（應身）。虛心合開臍放合。大指卽成向下（報身）。以前印向上（法身）
已上印隱而可作之也。是師口傳也
用決定往生眞言呪曰
曰南唵阿密㗚都特婆吠薩婆訶（三各反）
私云。前印者。報身印也
最極祕中之祕密。決定往生上品上生蓮臺。努力不可授與不信懈怠之

騰從根本以前可作之。皆各隱可作之也
裏書云。左右地水○（火輪）空各々相捻○（風開）各々堅之（小呪印）
本云。佛頂御房以智泉房御本○（書寫）寫之云々
賜佛頂御本書寫之　比丘闍朝
文治五年十月二日於大原賜彼御本書寫之　佛子忠快
同日奉而受了　忠快記之
交點了

無量壽如來十二契印
一。根本印
二羽外縛。二空並竪。二火峯拄如蓮葉。誦根本眞言（在軌）
二。大身印
虛心合掌（與小異經）以二地絞二水背。以二風押二空頭。眞言曰（已下九印用小呪）
那莫阿（引去）哩野（二引合）彌路（引）婆（引去）耶娑婆（二合）訶
三。大心印
不改前印。以二風押二空甲上入用。眞言曰
唵悍他（引去）藥路夜吽
四。護身法界印
不改前身印。二火入月。爪甲相合印五所眞言曰
唵阿密㗚（二合）多帝際賀羅吽
五。坐禪印
不改前印。申立忍願如針。眞言曰
唵阿密㗚（二合）帝訖哩婆婆（二合）訶
六。滅罪印
虛心合掌。以二風掌二火第三節。以二空押二火第二文。二地開立。眞言曰
唵訖哩阿唔訖哩々々吽
七。小心印
各以大指押四指甲。仰左俯右。入掌中。如環。眞言曰
唵訖哩吽婆縛（二合）訶
八。頂印
內縛。申二火相交。眞言曰
唵三婆吠婆嚩（二合）訶
九。轉法輪印
二手開申。以二空押二水甲（與小異經）眞言曰
唵達磨訖哩婆縛（二合）訶
十。療病印
以二拳仰左覆右當臍。眞言曰

[illegible]
唵嚩羅弭弭娑縛（合二）訶

十一。隨類說法印（用依大和此印可咒歟）
二手舒五輪。以二空押二風端（輪圓頭）仰左右（右下仰）乳
下。立右向外。眞言曰
[illegible]
唵宜哩ミミ達磨訖哩娑嚩訶

十二。妙觀察智印（軌在）
金剛合掌。開掌仰安臍。舒二風背相捻
二空輪。眞言曰
[illegible]
唵三摩地半度迷訖哩娑縛（合二）訶
（件印用咒見所說也）不右契印等功能。可見陀羅
尼集經第二卷　波羅門僧正傳

次五悔代印眞言曰。淨三業印
索赤莎訶
本云佛頂御房賜智泉房本寫之（文）
賜佛頂御本寫之　比丘聞朝
文治五年十月二日以右御本於大原
書了　按點了　佛子忠快
同日面授了　忠快

九品往生密印明
九品說法印
上ミ品
以衆色（大輸名也）押黑道（風輪名也）（戒鬘同定）眞言曰
鑁莫三曼多沒馱南阿密㗚妬納婆（合二）
[illegible]
吠達磨乞哩娑婆（合二）訶

上中品
以虛空（大輸名）捻炎中（中指）上（如前去）眞言曰
曰南阿密㗚多三婆吠達磨訖哩娑
[illegible]
嚩（合二）訶

上下品
以大力（大輸名也）菩薩指押水自在王（如上）眞言曰
曰南阿密㗚多藥隣ミミミ
[illegible]

中品三
以前一印仰左立右安甘露海上（如上）眞
言曰
曰南[illegible]ミミミ
以前二印安坐水生（如上）眞言曰
曰南[illegible]ミミミミ
以前三印處蓮生上（如上）眞言曰
曰南[illegible]ミミミミ

下品三
以前一印背合立前朱雀上（如上）眞言曰
以前二印背合火輪面上眞言曰
曰南[illegible]
曰南[illegible]
以前三印玄武相安寶部上眞言曰
南[illegible]ミミミ
已上慈覺大師密傳也

九品往生印眞言曰
印者梵篋印。左手仰置中心。以右手
覆左手。勿相持（云）ミ

唵阿密哩都ミ婆吠莎訶
本云佛頂御房以智泉房御本寫之
賜佛頂御本書寫之　比丘聞朝
文治五年十月二日於大原書寫之
金剛佛子忠快
按點ー
同日　奉面受ー　忠快

印信本
日本國近江州比叡山延曆寺
許可　前權律師法橋上人位忠快
右金剛弟子前權律師法橋上人位忠快
係欣求於淨刹訪修行於莽友薰修日積
加功年深今於淸淨金剛契中遂諸彌陀
之別法結淨土之良緣適任師資相承之
次第授傳法許可之印信義也以今生一
對之芳契將期當來九品之覺蘂而已
文治五年四月四日
灌頂阿闍梨淸淨金剛契中示

弘安　年無射候書集ー
遍照金剛承澄
同年應鐘作寫御本ー
小比丘爾然
正和三年暮春候寫御本ー
同後三十二一交ー
少僧都圓慧
興國三年陸月二十八日書寫ー
示叡

于時貞和二年六月晦日　賜彼御本
書寫｜　法界金剛覺遍三十九歳
一交｜
元祿十二年己卯四月日書之
兜率谷雞頭院沙門嚴覺洪道
校合本奧書云
寬元三年三月十日於小川草了
建長六年八月二十九日於大藏書之
願以此抄寫之功必生彼安樂之國
正元二年正月二十一日　尊澄
一覽　承澄
建武元年七月七日賜御本書寫｜
豪鎭
同四年五月九日以御所之御本於花
藏房一交｜
文和四年乙未五月二十六日於西山寺
戸奧房以彼本書寫之
同日一交｜　澄盛
享德三年六月二十六日書寫｜
一校｜　源喜三十行年五
寶永二年五月十八日以東南淨教房
眞如藏本一校了　嚴覺
享保九辰年，同午歳，於出雲寺書寫校
合訖